ワシントンDCのガバナンス、リスク、コンプライアンス

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

ガバナンス、リスク、コンプライアンス....7
GRC と ServiceNow Store....11
初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする....12
GRC コンテンツパックと統合をインストールする....19
以前に ServiceNow Store からダウンロードした GRC アプリケーションを更新する....20
インスタンスの次の GRC ファミリリリースへアップグレードする....20
スマートアセスメントエンジン 21
スマートアセスメントエンジン の詳細....22
スマートアセスメントエンジン の構成....23
既存の測定基準タイプからアセスメントテンプレートを作成する....23
アセスメントのトリガー....25
アセスメントテンプレートを作成する....26
アセスメントの設計....27
アセスメントテンプレートカテゴリの作成....28
アセスメントのスケジュール設定および開始....28
アセスメントの実行....29
コンサルタントとのコラボレーション....29
レビューのためにアセスメントを送信....29
アセスメントをレビューし、フィードバックを提供する....29
完了したアセスメントを分析する....30
アセスメントの承認....30
スマートアセスメントエンジン 参照....30
Audit Management....35
Audit Management の詳細....37
Audit Management の構成....37
Audit Management の使用....43
Audit Management と タイムカード 管理の統合....114
Audit Workspace....115
Audit Management の参照....154
Audit Management での分析およびレポートソリューション....165
事業継続性管理....172
事業継続性管理 の詳細....174
事業継続性管理 の構成....219
BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性ワークフロータスクの管理....310
BCM 構成可能ワークスペース で Everbridge を使用して通知を送信する....393
BCM クラシック ワークスペース の使用....397
事業継続性管理 の参照....482
Compliance Case Management....504
Compliance Case Management の詳細....505

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Compliance Case Management の構成....517
Compliance Case Management の使用....530
Compliance Case Management の参照....552
Continuous Authorization and Monitoring....555
Continuous Authorization and Monitoring の理解....556
Continuous Authorization and Monitoring の実装....557
認証パッケージの準備....561
認証パッケージの分類....566
認証パッケージのコントロールの選択....568
コントロールの実装....571
レポートの評価、承認、監視、生成....572
でのアセスメント目標の理解 CAM....575
Continuous Authorization and Monitoring の概要レポート....593
Operational Resilience....599
Operational Resilience の詳細....600
Operational Resilience の構成....604
クラシック Operational Resilience の機能のセットアップ....628
Operational Resilience ワークスペース の機能のセットアップ....678
でのレポートの表示 Operational Resilience....774
Operational Resilience の参照....788
Policy and Compliance Management....799
ポリシーとコンプライアンス管理 の詳細....800
ポリシーとコンプライアンス管理 の実装....806
Policy and Compliance タスク用クラシックユーザーインターフェイスの使用....842
従業員センター から GRC タスクを管理....954
コンプライアンスワークスペース でコンプライアンスタスクを実行....966
コンプライアンスワークスペースでのポリシーの作成とレッドライン....1061
ポリシーレコードに動的承認構成を設定する....1072
ポリシーとコンプライアンス管理 用 360° Relationship Visualization....1080
予防コンプライアンス管理のための Policy as Code Engine....1083
GRC: Policy and Compliance integrator....1087
Cloud Security Compliance Accelerator によるクラウドコントロールの監視....1099
[store-future: BEGIN review]
[End]
コントロールコンプライアンス、PaCE 実行、および例外管理のための DevOps Accelerator....1103
コンフィグレーションコンプライアンス と ポリシーとコンプライアンス管理 の間のコントロールの継続的な監視を管理....1105
GRC Policy and Compliance のモバイルエクスペリエンス....1107
ポリシーとコンプライアンス管理 の参照....1150
GRC: Policy and Compliance Management の Analytics and Reporting のソリューション....1161
プライバシー管理....1166

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理 の詳細 1167
プライバシー管理 の構成 1179
プライバシー管理 の使用 1189
従業員センター とリスクポータルを プライバシー管理 と統合 1205
プライバシーケース管理 1206
プライバシー管理 の参照 1246
プライバシー管理 のレポート 1255
規制変更管理 1266
規制変更管理 アプリケーションの詳細 1266
規制変更管理 のセットアップチェックリスト 1273
コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーション 1274
規制変更管理 クラシック ユーザーインターフェイス 1301
リスク管理 1329
リスク管理 の詳細 1331
リスク管理 の構成 1382
他のアプリケーションとの リスク管理 の統合 1406
リスク管理 の使用 1439
リスクワークスペースを使用する 1595
Integrated Risk Management の GRC: Metrics 1666
リスク管理 の分析およびレポート作成ソリューション 1711
リスク管理 の参照 1748
サードパーティリスク管理 1766
サードパーティリスク管理 の詳細 1768
サードパーティリスク管理 の構成 1786
サードパーティデューデリジェンスの要求 1848
サードパーティリスクの評価 1853
サードパーティリスクの監視 1867
デューデリジェンスの要求の承認または却下 1894
契約リスクプロセスの管理 1898
VRM Classic ユーザーインターフェイスでの作業 1907
サードパーティポータルの管理 1931
リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合 1937
サードパーティリスク管理 参照 1948
共通の GRC 機能 1982
ガバナンス、リスク、コンプライアンス のモバイルエクスペリエンス 1982
GRC アプリケーションの用語の更新と業界の用語 1982
GRC の参照 1993
GRC コンテンツパック 2004
GRC の統合 2023
GRC ユースケースアクセラレータ 2034
360° Relationship Visualization 2191
アイテム生成プロセスを使用してコントロールとリスクを生成する 2206

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認構成 2218
機密レコード 2226
ユーザー階層 2235
GRC テーブルでのユーザーグループベースのアクセス 2239
GRC でのコンテンツ参照 2240
問題を管理する 2246
GRC のドメイン分離 2255
ブレッドクラムナビゲーション 2257
GRC のタクソノミ管理 2258
ランディングページ構成モジュール 2259
ワークスペースの自分のタスク 2267
エンティティを探索する 2270
ガバナンス、リスク、コンプライアンス 例外の表示と更新 2300
詳細 ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションリスクダッシュボード 2301
ワークスペースページ構成 2306

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス

ビジネスリスクにリアルタイムで対応します。統合されたリスクプログラムでセキュリティと IT をつなぎ、継続的な監視、優先順位付け、および自動化を行います。

Governance, Risk, and Compliance の各アプリケーション



自動翻訳

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

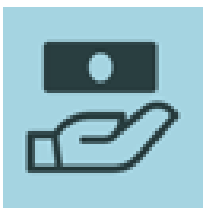
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow GRC でビジネスリスクにリアルタイムで対応する

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) は、大規模な企業全体に存在する非効率的なプロセスを統合されたリスクプログラムに変換するために役立ちます。GRC アプリケーションでは、継続的な監視と自動化により、コンプライアンスとリスクをリアルタイムで把握でき、意思決定の改善と組織全体やベンダーのパフォーマンスの向上を実現できます。

統合されたリスクフレームワークにビジネス、セキュリティ、IT をつなぐことで、サイロ化された非効率的な手作業のプロセスを単一のプラットフォームに構築された統一プログラムに変革できるのは、ServiceNow アプリケーションだけです。

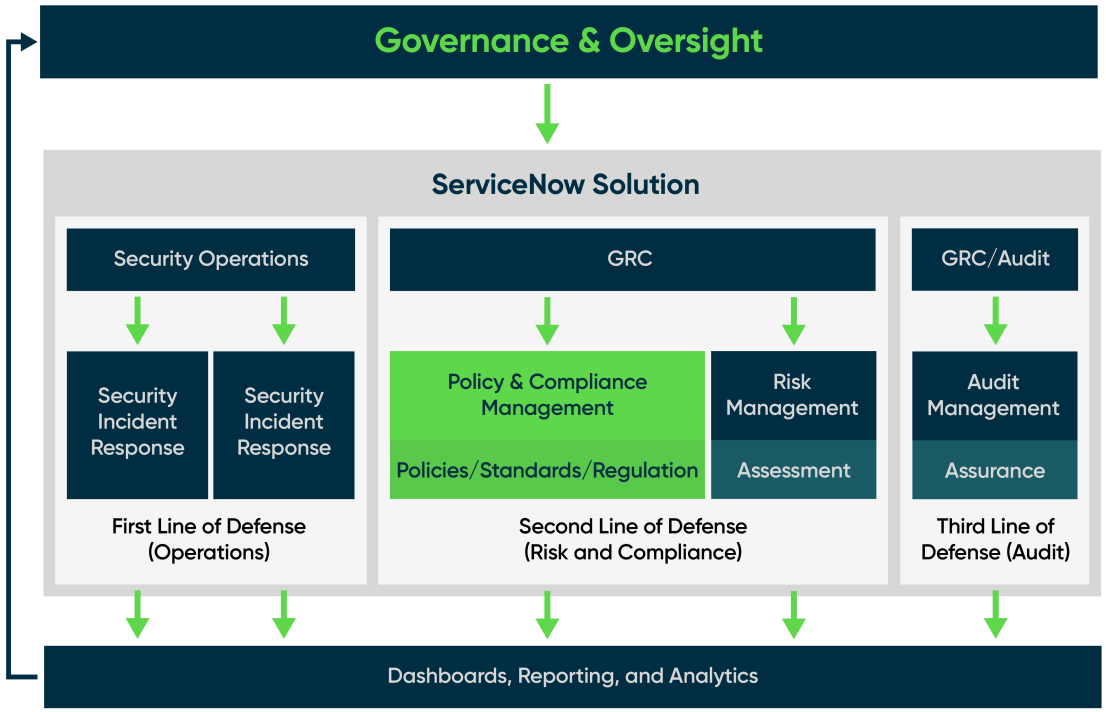
GRC 機能の特長については、詳細情報カードを表示してダウンロードしてください。

	緊急時に直面するアクティビティを簡素化および自動化 自然災害や COVID-19 などのパンデミックの最中でも、事業継続性への取り組みを結集します。
	ポリシーのライフサイクルを自動化および管理し、コンプライアンスを継続的に監視します。 コンプライアンスに対するすべての取り組みをより体系的かつシンプルにし、透明性と信頼性を高めることができる単一のプラットフォームを採用することは、最も理にかなっています。
	きめ細かいビジネスインパクト分析により、リスクに適切に優先順位を付けて対応することができます。 Integrated Risk Management でビジネスリスクにリアルタイムで対応します。
	リスクデータを使用して、監査計画のスコーピングと優先順位付けを行い、部門横断型のプロセスを自動化します。 監査コストを削減し、効率を向上させ、リスクを最小限に抑えます。
	ベンダーエコシステム内のリスクを継続的に監視、検出、評価、緩和、および修正します。 ベンダーが機密性の高いシステムやデータに関与する機会が増えるにつれ、リスクとコンプライアンスに対するベンダーの体制が、自社のセキュリティにとってさらに重要となります。ベンダーを定期的に評価し、発生した問題をプロアクティブに軽減することが重要です。

自動翻訳

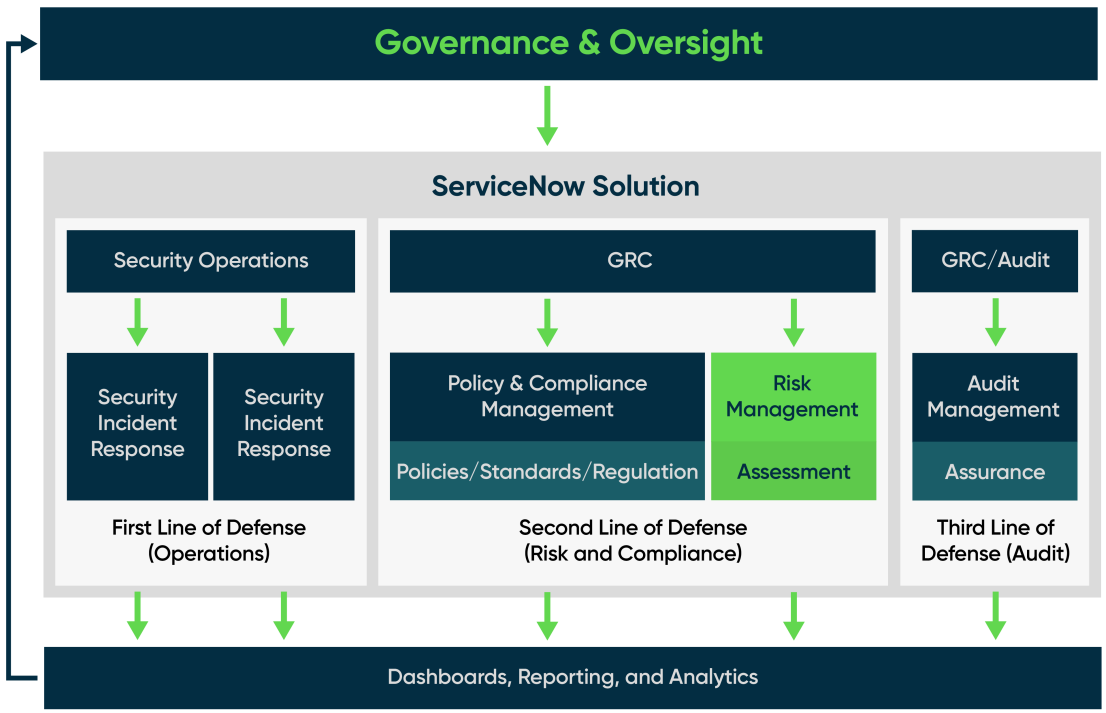
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーのライフサイクルを自動化および管理し、コンプライアンスを継続的に監視する



ServiceNow® ポリシーとコンプライアンス管理 製品では、一元的なプロセスにより、ポリシー、標準、および内部コントロール手順を作成および管理することができます。このプロセスによって自動的に、手順と外部規制が相互に割り当てられます。またこのアプリケーションは、制御アクティビティの識別、評価、および継続的な監視のための構造化ワークフローも提供しています。

きめ細かいビジネスインパクト分析により、リスクに適切に優先順位を付けて対応することが可能

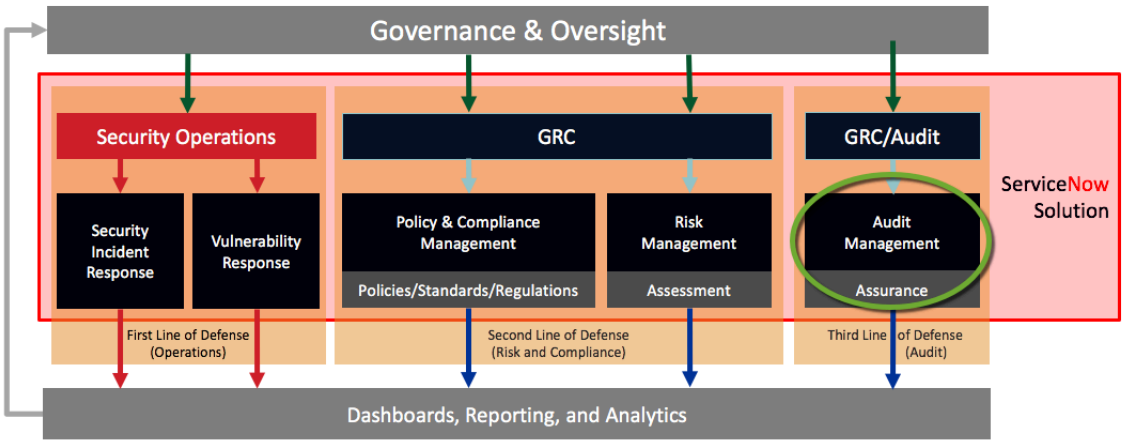


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow リスク管理 製品では、一元的なプロセスにより、事業運営に悪影響を与える可能性のあるエンタープライズや IT のリスクを特定、評価、対応、および継続的に監視することができます。アプリケーションは、リスクアセスメント、リスクインジケーター、およびリスク問題を管理するための構造化されたワークフローも提供します。

リスクデータを使用して、監査計画のスコーピングと優先順位付けを行い、部門横断型のプロセスを自動化



ServiceNow Audit Management 製品は、内部監査チームの作業ストリームを自動化することで、リソースと生産性を最適化し、何度も繰り返される監査結果を排除します。Audit Management はコンプライアンスとリスクのデータを使用して、監査エンゲージメントのスコーピング、計画、優先順位付けを行います。ポリシーと手順、リスク、およびコントロールのブレークダウンを継続的にレビューすることで、監査が失敗する前に問題を修正する機会が得られます。

ServiceNow 規制変更管理 アプリケーションを使用することで、顧客が今後の規制変更を確認し、その影響を評価し、リスクおよびコンプライアンス関連の変更を実装して、全体的な規制コンプライアンスを確保することができるよう推進します。

ベンダーエコシステム内のリスクを継続的に監視、検出、評価、緩和、および修正する

ベンダーが機密性の高いシステムやデータに関与する機会が増えるにつれ、リスクとコンプライアンスに対するベンダーの体制が、自社のセキュリティにとってさらに重要となります。ベンダーを定期的に評価することは重要ですが、これまではスプレッドシートやメール、従来の原始的なリスク管理ツールを使用していたために、時間がかかり、エラーも発生しやすくなっていました。

ベンダーリスク管理 アプリケーションは、ベンダーのリスクや問題の核心を突いたレポート、一貫したアセスメントと修正のプロセス、および自動化されたアセスメント手順により、ベンダーリスクの管理方法を変革します。ステークホルダーとのやり取りを容易にし、透明性と説明責任を促進し、ベンダー関連のリスクを効果的に監視する手段を提供します。

全体的なエンタープライズリスク管理の優先度に合わせて ベンダーリスク管理 を調整することで、リスクを重点的にまとめたビューを作成し、大規模な企業におけるより強力なリスク体制を実現できます。

学習内容

- 事業継続性計画とは
- ビジネスレジリエンスとは
- Compliance Management とは

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- GRC とは
- Operational Resilience とは
- オペレーショナルリスクマネージメントとは
- ランサムウェアとは
- Third-Party Risk Management (TPRM) とは

開始するには

- 実装スペシャリストと協力して、目的のビジネス成果を達成します。詳細については、Customer Success Center でご確認ください。
- ガバナンス、リスク、コンプライアンス コースを活用して専門知識を構築し、短期間で ROI を実現します。サインアップするには、「ServiceNow のトレーニングと認定」を参照してください。

アプリケーションと機能

- Audit Management
- Business Continuity Management
- Compliance Case Management
- 継続的な承認と監視
- Operational Resilience
- Policy and Compliance Management
- Privacy Management
- Regulatory Change Management
- Risk Management
- サードパーティリスク管理
- GRC と ServiceNow Store
- 共通の GRC 機能

GRC と ServiceNow Store

すべての GRC アプリケーションは ServiceNow Storeから入手可能で、新しい機能や更新された機能をより迅速に取得できます。GRC アプリケーションを使用する前に、アプリケーションのエンタイトルメントがあること (つまり、使用するための有効なライセンスがあること) を確認する必要があります。ServiceNow Store からそアプリケーションをダウンロードして有効化することができます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ダウンロード可能 GRC なアプリケーションのリストは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Audit Management (およびサポートされる統合)
- 事業継続性管理
- Operational Resilience
- ポリシーとコンプライアンス管理 (およびサポートされる統合機能)
- 規制変更管理
- リスク管理 (およびサポートされる統合機能)
- ベンダーリスク管理 (およびサポートされる統合機能)

ServiceNow Storeから Security Operations および GRC アプリケーションをダウンロードする方法については、この 5 分間の動画をご覧ください。 この 5 分間の動画では ServiceNow Store から Security Operations および GRC アプリケーションをダウンロードする方法を説明します

GRC 製品を取得するために使用するプロセスは、製品の初回ダウンロードであるか、以前に ServiceNow Store からインストールした製品の更新であるか、またはあるファミリリリースから次のファミリリリースへのアップグレードであるのかによって異なります。

初めて **ServiceNow Store** から **GRC** アプリケーションをダウンロードする

ServiceNow Store からアプリケーションを初めてダウンロードする場合は、いくつかの簡単なステップを実行します。ServiceNow Store で実行されるステップと、Now Platform のインスタンスで実行されるステップがあります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow Store を使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。製品には、グループとしてライセンスされる 1 つ以上のアプリケーションが含まれています。たとえば、GRC は製品です。このプロセスには次のステップが含まれます。

- ServiceNow Store で、アプリケーションとその依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認する必要があります。
- アプリケーションを有効化し、インスタンスで実行します。

次の GRC コアアプリケーションを有効にすると、依存関係プラグインが自動的にインストールされます。

- Audit Management
- Policy and Compliance Management
- Risk Management

たとえば、Risk Management アプリケーションを有効化すると、Risk Management Dependencies プラグインも有効になります。

重要:
ベンダーリスク管理 では、ベンダーリスク管理 アプリケーションを有効にする前に ベンダーリスク管理 Dependencies プラグインを有効にする必要があります。詳細については、「資格付与された GRC ServiceNow Store アプリケーションを有効化する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントを取得する

アプリケーションのインストールの最初のステップは、アプリケーションまたは製品およびその関連付けられたアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認することです。

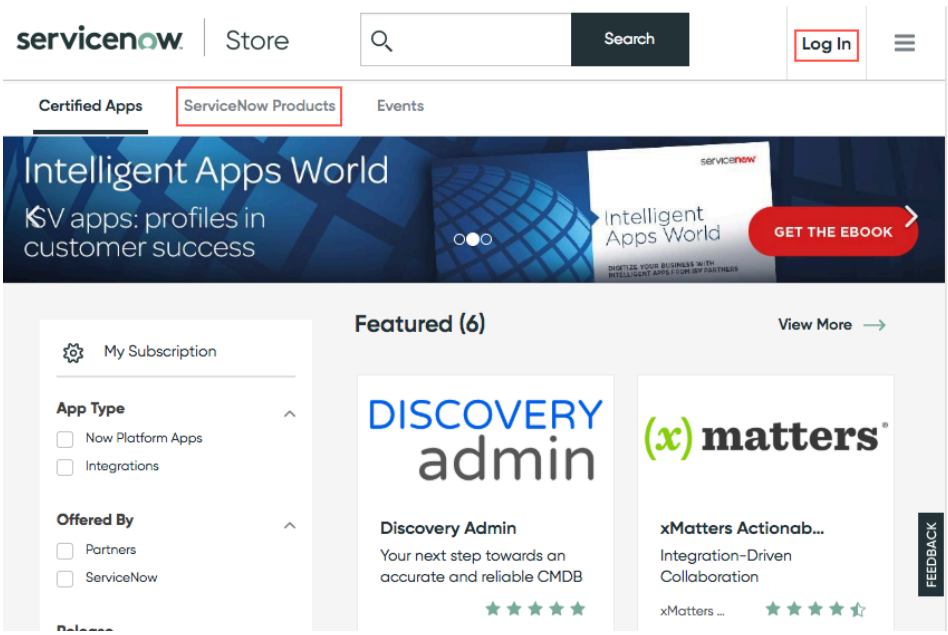
始める前に

必要なロール：admin
エンタイトルメントを実行する個人には、Now Support アカウントと、検討中のインスタンスのアプリケーションを要求する権限が必要です。

> **注:**
> このプロセスは、本番インスタンスにダウンロードしたアプリケーションにのみ適用されます。準本番インスタンスまたは開発インスタンスにアプリケーションをダウンロードする場合は、エンタイトルメントの取得は必要ありません。に進む の有効化 ServiceNow Store application .

手順

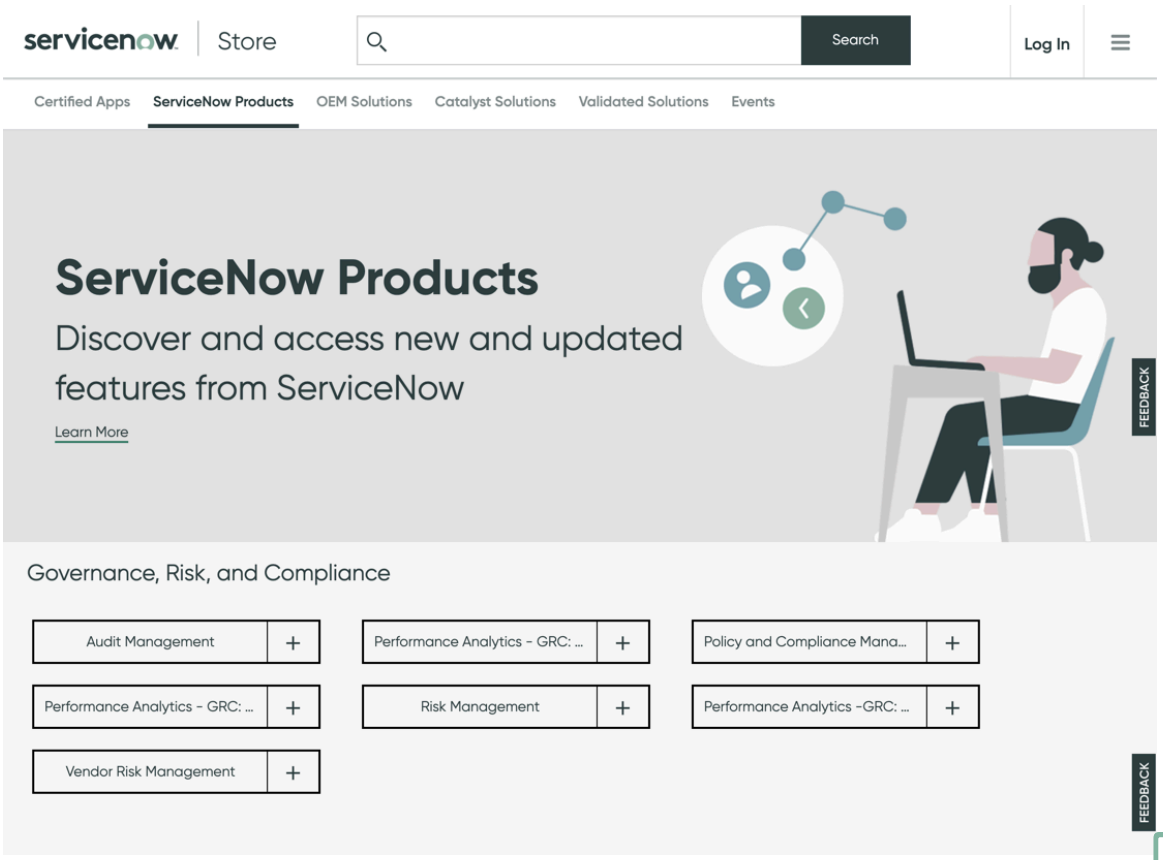
1. に移動します。 ServiceNow Store .



2. [ログイン] をクリックし、HI の資格情報を使用してログインします。
3. **[ServiceNow** 製品] タブをクリックして、利用可能なすべての ServiceNow製品を表示します。統合とその他のタイプのコンテンツが [認定アプリ **(Certified Apps)]** タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

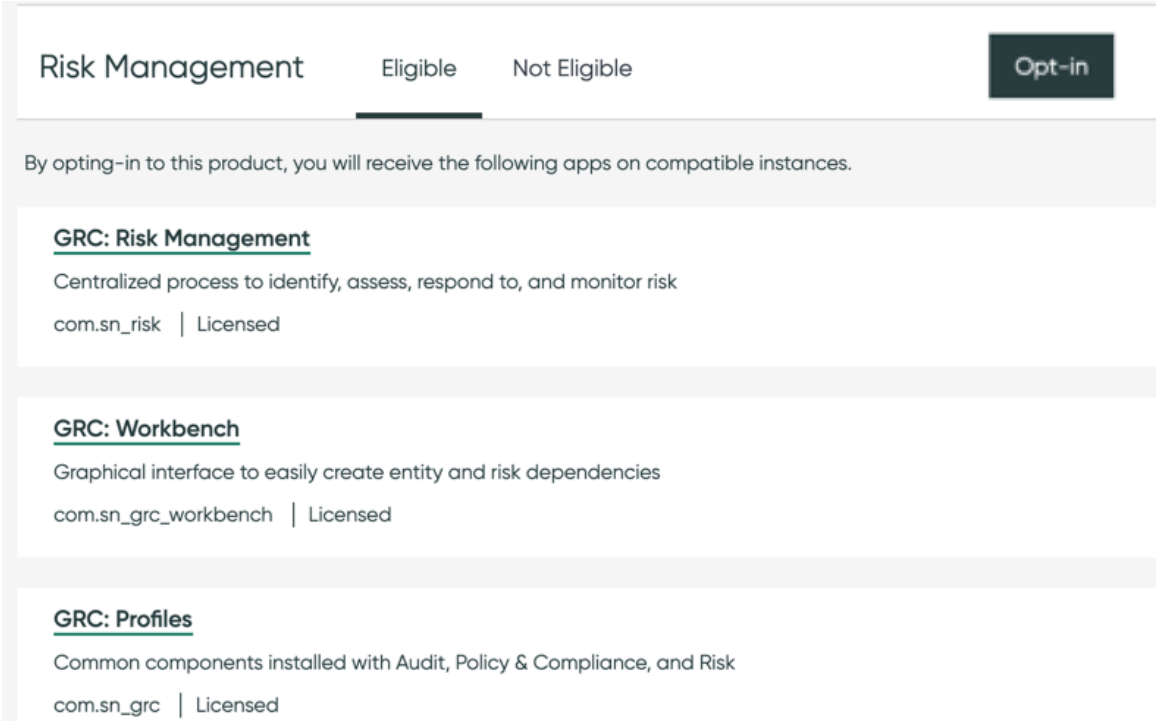


注:
この例では、リスク管理 製品のエンタイトルメントを取得するものとします。

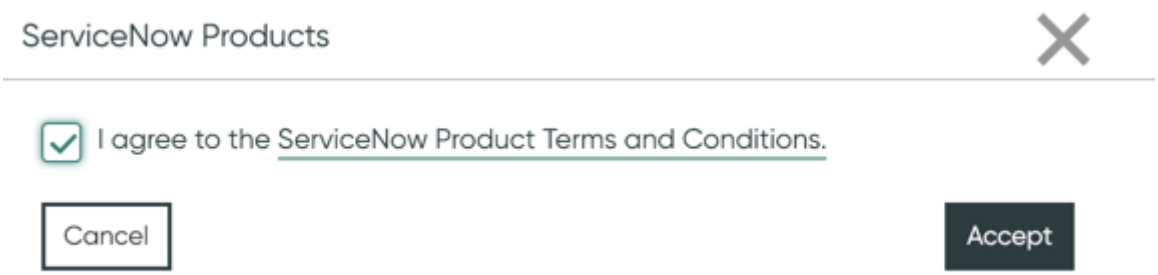
4. エンタイトルメントを取得する製品の製品名をクリックします。
エンタイトルメントを取得している製品に関連付けられているすべてのアプリケーションが一覧表示されます。コア製品のエンタイトルメントを取得すると、その下にリストされているアプリケーションについてもエンタイトルメントを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

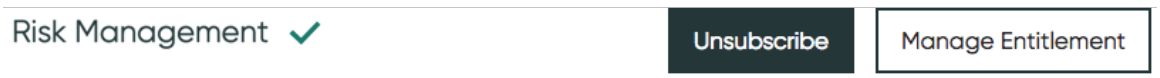


5. [オプトイン] をクリックして、一覧表示されている製品とアプリケーションのエンタイトルメントがあることを確認します。
ServiceNowの契約条件を読んで同意するように求められま



す。

6. チェックボックスをオンにし、[受け入れ] をクリックします。
7. 製品名の横にチェックマークが表示され、[エンタイトルメントを管理 (Manage Entitlements)] ボタンが表示されます。

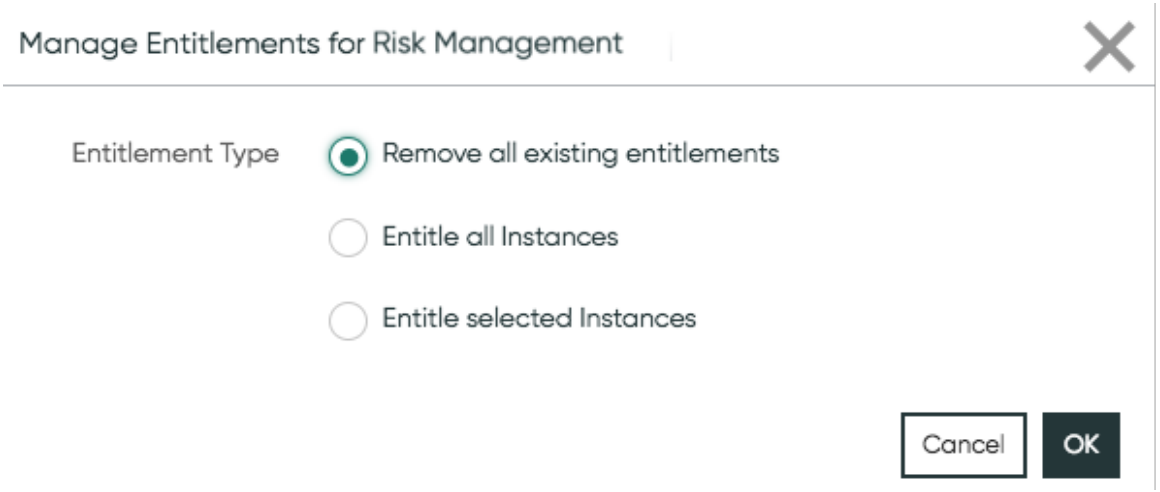


このチェックマークは、ユーザーが製品とそれに関連付けられたアプリケーションに登録されていることを示します。エンタイトルメントを管理します。これは、この製品および後からインストールする他の製品に対する 1 回限りのプロセスです。

8. オプション: [エンタイトルメントの管理 **(Manage Entitlements)]** をクリックして、エンタイトルメントが付与されているアプリケーションの影響を受けるインスタンスを変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. ServiceNow の契約条件に同意し、エンタイトルメントを管理した後に、製品名の横にあるプラス記号 (+) をクリックすると、他の製品にエンタイトルメントを付与できます。

注:
これで、製品を有効にする準備ができました。

資格付与された **GRC ServiceNow Store** アプリケーションを有効化する

アプリケーションにエンタイトルメントが付与された後、そのアプリケーションを有効化できます。このプロセスは、準本番インスタンスにダウンロードしたアプリケーションに適用されます。

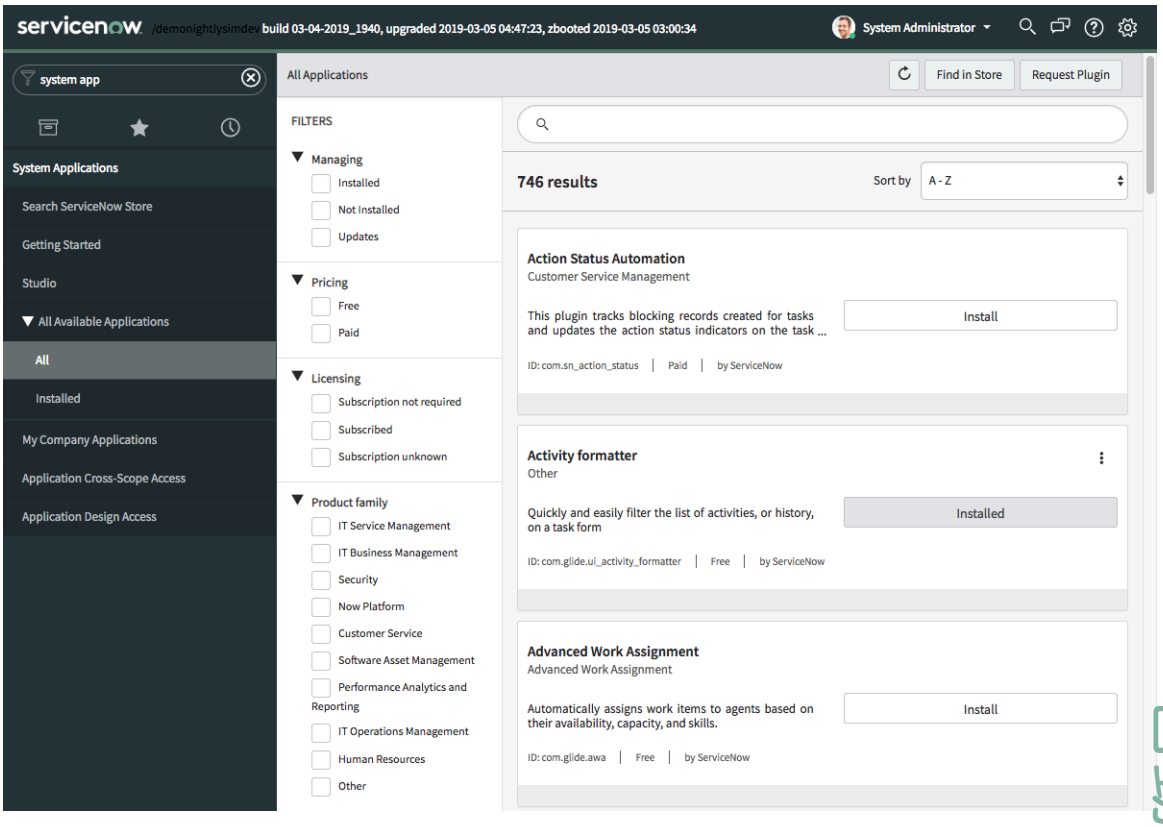
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.



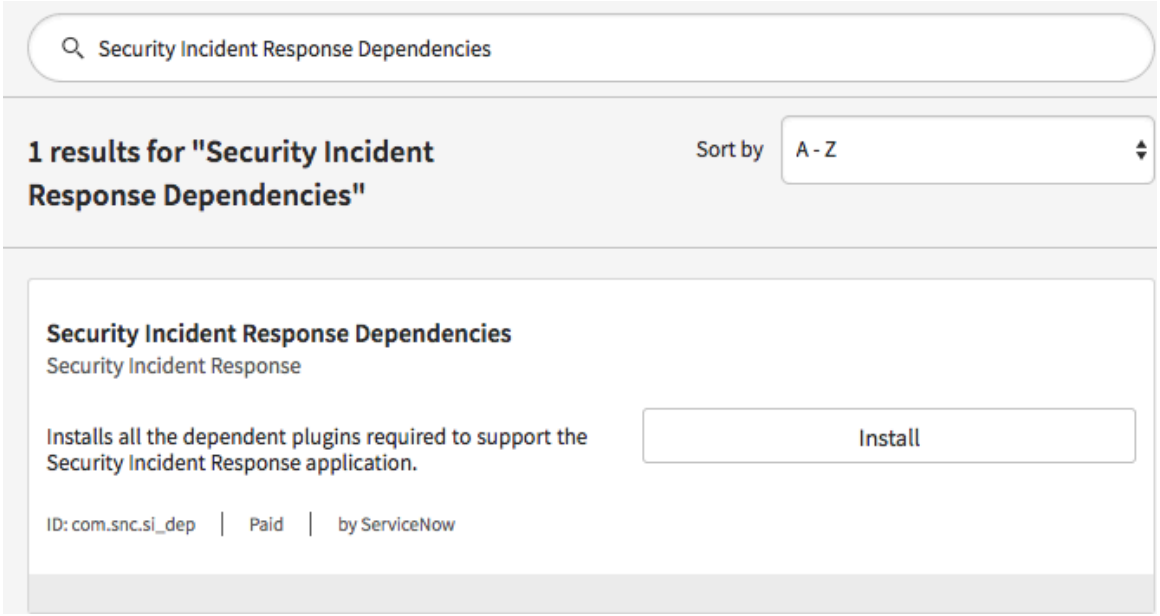
注:

Orlando 以降では、コアアプリケーションを有効化すると、依存関係プラグインが自動的に有効化されます。たとえば、アプリケーションを有効にすると Audit Management 、Audit Management Dependencies プラグインも有効になります。

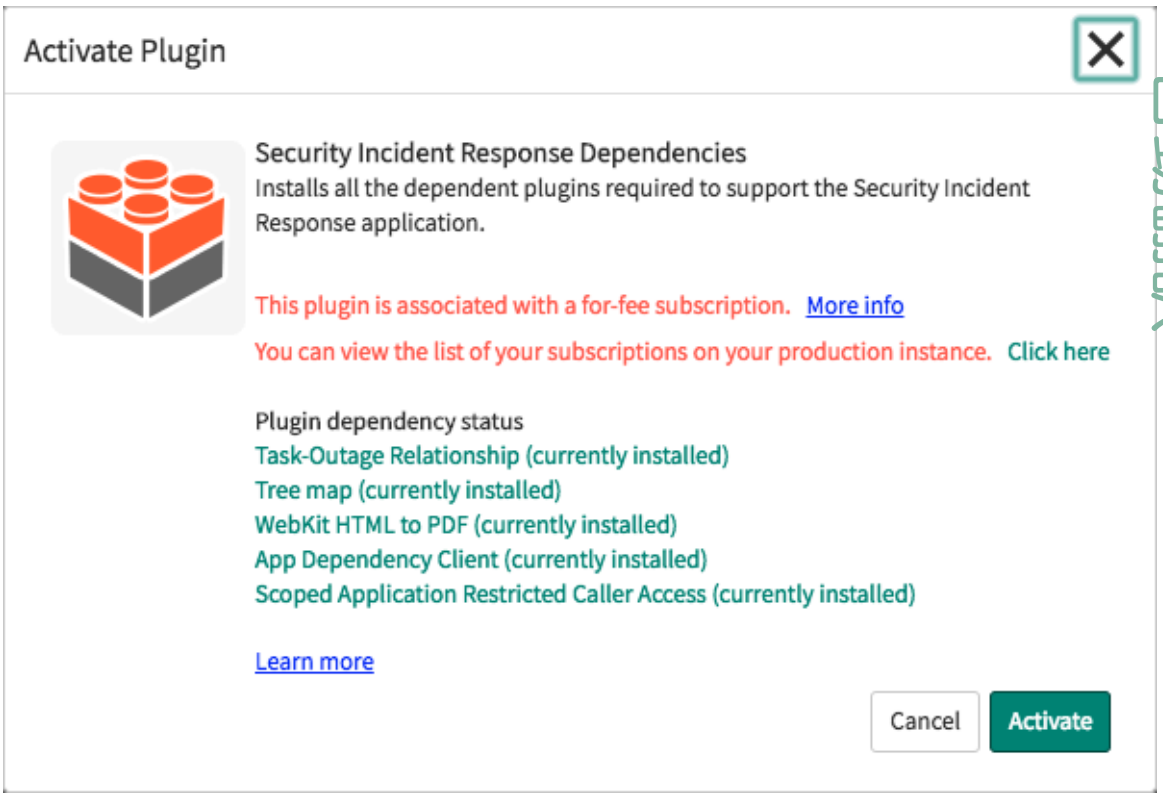
重要：前のメモの情報は ベンダーリスク管理 アプリケーションには適用されません。ベンダーリスク管理 を有効にする場合は、次の手順に進みます。他の GRC アプリケーションを有効にする場合は、ステップ 2 ～ 5 はオプションです。

2. 有効にするアプリケーションの依存関係プラグインを検索します。
たとえば、セキュリティインシデントレスポンス をアクティブ化する場合は、セキュリティインシデントレスポンス Dependencies プラグインを見つけます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [インストール] をクリックします。
[プラグインをアクティブ化] ダイアログボックスが表示されます。



4. [プラグインをアクティブ化] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

5. アクティブ化が完了したら、[フォームを閉じてリロード] をクリックします。

6. アクティブ化するコア製品を検索します。

7. デモデータをロードする場合は、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。

8. [インストール] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションはインスタンスへ自動的にインストールされます。

> **注:**
> [デモデータのロード] チェックボックスをオンにしないと、後でアプリケーションマネージャーからデモデータをインストールできません。初期インストール後にデモデータをインストールまたは再インストールする方法については、HI ナレッジベース記事「Work around to install demo data if application is already installed (アプリケーションが既にインストールされている場合にデモデータをインストールする方法) [KB0722909]」を参照してください。

GRC コンテンツパックと統合をインストールする

ServiceNow のすべての統合を ServiceNow Storeで利用できます。ポリシーとコンプライアンス管理 などのコアアプリケーションは、ストアの **[ServiceNow** 製品] タブに表示されます。コンテンツパックと統合アドオンは、[認定アプリ **(Certified Apps)]** タブに表示されます。

始める前に
必要なロール：admin
ストアのインストールには、 Now Support アカウントと、検討中のインスタンスのアプリケーションを要求するための権限が必要です。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. インストールするアプリケーションを見つけて、[インストール] をクリックします。
   - 準本番インスタンスにアプリをインストールする場合、アプリケーションはインスタンスにインストールされます。
   - 本番インスタンスにアプリをインストールしようとしていて、有効なライセンスがある場合 (つまり、アプリケーションのエンタイトルメントがある場合)、アプリケーションはインスタンスにインストールされます。
   - 本番インスタンスにアプリをインストールしようとしていて、有効なライセンスがない場合、メッセージが表示されます。次のステップを実行します。

   a. [ストア内検索] をクリックして ServiceNow Store を開きます。

   b. アプリケーションを見つけて、そのタイルをクリックします。

   c. [取得] をクリックし、Now Support ログイン資格情報を入力します。

   d. [インストールを要求] をクリックします。

   > **注:**
   > ServiceNow によって開発されたストアアプリケーションの場合は、[取得] ボタンが表示されます。

   e. [要求] をクリックします。
   インスタンス名と要求の理由を入力し、[要求] をクリックします。詳細なインストール手順が記載されたメールが送信されます。

   f. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
   インストール可能なアプリケーションのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [インストール] をクリックします。
アプリケーションを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。アプリケーションはインスタンスに自動でインストールされます。

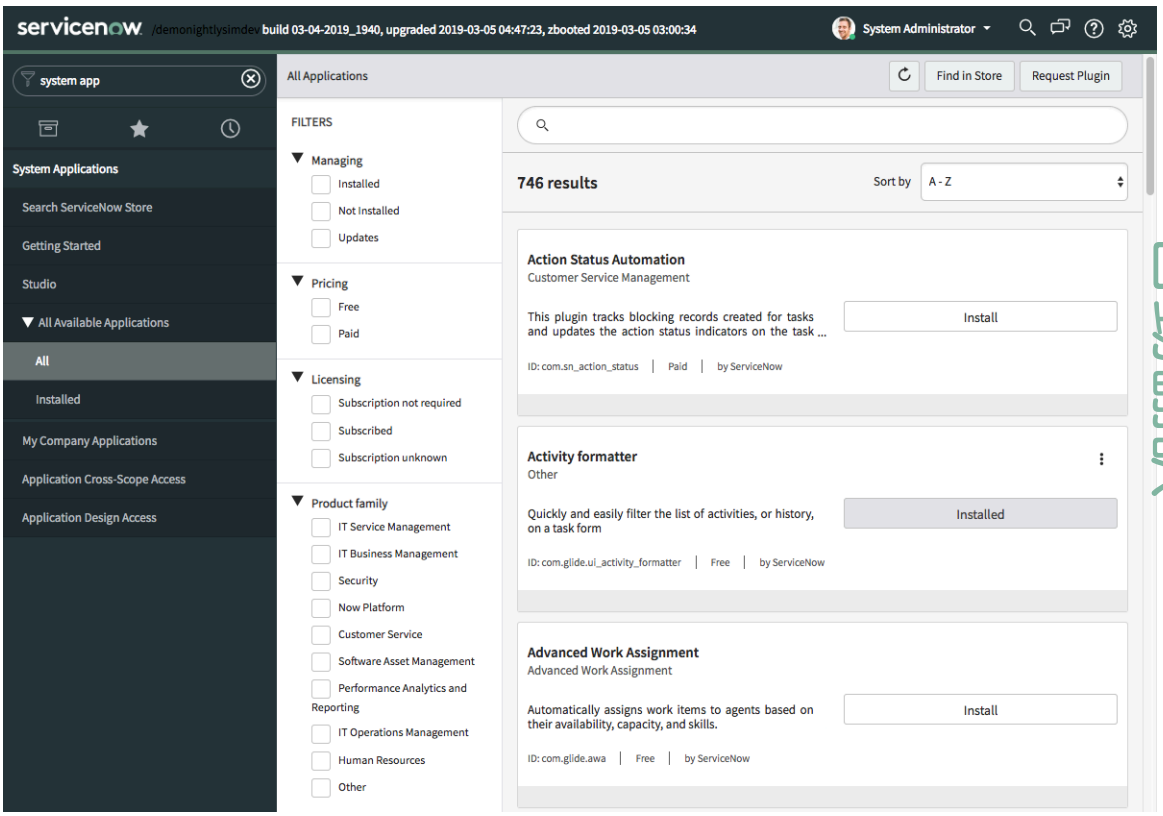
以前に ServiceNow Store からダウンロードした GRC アプリケーションを更新する

以前にアプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしていて新バージョンが入手可能な場合、インスタンスで更新できます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.



2. 更新するアプリケーションを検索します。
3. 更新するバージョンを選択し、[更新] をクリックします。
アプリケーションはインスタンスで自動的に更新されます。

インスタンスの次の GRC ファミリリリースへアップグレードする

現在、いずれかのファミリリリース (London など) を実行していて、次のリリースにアップグレードする場合は、ServiceNow Store からアプリケーションを取得する必要はありません。プラットフォームが必要な最低バージョンに更新されると、アプリケーションが自動的に更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スマートアセスメントエンジン

ServiceNow® スマートアセスメントエンジン (SAE) アプリは、自動化によってリスクアセスメントプロセスの手作業による負担とコストを削減するのに役立ちます。これは、外部関係者によって導入されたリスクを評価および管理するプロセスを整理および改善するのに役立ちます。

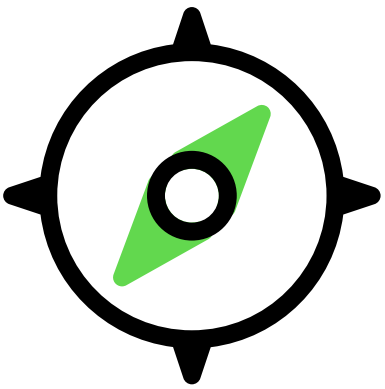
概要

開始するには

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

スマートアセスメントエンジン の詳細

探索



このアプリを使用して SAE アセスメントを設計し、従業員、ベンダー、およびサードパーティに送信できます。

スマートアセスメントエンジン の構成

構成：



アプリをアクティブ化またはアップグレードするには、アプリをダウンロードServiceNow Storeし、スマートアセスメントエンジン ニーズに合わせて設定を構成します。

既存の測定基準タイプからアセスメントテンプレートを作成する



既存の測定基準タイプをアセスメントテンプレートに移行して、アセスメントプロセスを自動化できるようにします。

自動翻訳

アセスメントのトリガー

スマートアセスメントエンジン 参照

参照

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



指定した査定人グループにアセスメントを送信する条件を指定できます。アセスメントは、指定されたアセスメントテンプレートに基づいています。



参照トピックでは、アプリと共に SAE インストールされるテーブル、プロパティ、フォーム、およびロールについて詳しく説明します。

トラブルシューティングとヘルプ

- GRC フォーラムで質問や回答をする
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索します。
- 開発者サイトでアプリを構築する方法については、こちらをご覧ください。
- 担当者 カスタマーサービス & サポート.

スマートアセスメントエンジン の詳細

このアプリを使用して SAE アセスメントを設計し、従業員、ベンダー、およびサードパーティに送信できます。

SAE のメリット

- SAE は、リスクの特定、最小化、排除に役立ちます。
- アセスメントにより、組織内のすべての従業員が、ワークスペース内でのリスクの処理に関するポリシーとガイドラインを認識していることを確認できます。
- アセスメントの結果に基づいて、会社はリスクの重大度を特定し、実行すべきアクションを決定できます。
- 適切なアセスメントは、職場のリスクを最小限に抑え、組織内での整合性を向上させるために役立ちます。

ペルソナとそのアクティビティ

アセスメントのペルソナとそのアクティビティは次のとおりです。

- 作成者/イニシエーター:スケジュールを作成し、アセスメントを開始します。
- 査定人:アセスメントを実行し、アセスメントに関連するクエリについて該当分野の専門家と協力して、レビューのためにアセスメントを送信します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- レビュー担当者/承認者：完了したアセスメントをレビューし、必要に応じてフィードバックを提供します。査定人がレビュー担当者から提供されたフィードバックを組み込んだ後、承認者がアセスメントを承認します。
- コンサルタント：アセスメントへのアクセスの有無にかかわらず、特定の領域に関する専門的なアドバイスと説明を行います。
- アナライザー：アセスメントのデータを分析してインサイトを導出します。

スマートアセスメントエンジン の構成

アプリをアクティブ化またはアップグレードするには、アプリをダウンロードServiceNow Storeし、スマートアセスメントエンジン ニーズに合わせて設定を構成します。

構成の概要

Guided Setup を使用した の実装

Guided Setup には一連のタスクがあり、インスタンスでの構成 に役立ちます。の Guided Setup を開くには、次に移動します。 .

詳細については、「」を参照してください。

既存の測定基準タイプからアセスメントテンプレートを作成する

既存の測定基準タイプをアセスメントテンプレートに移行して、アセスメントプロセスを自動化できるようにします。

概要

アプリを使用して SAE 、新しいフレームワークでアセスメントテンプレート を作成できます [??? なぜ新しいフレームワークで? 既存の測定基準タイプから。[スマートアセスメントエンジンはバックエンドの概念であり、UIやUX機能ではありません。プロセスを開始できるフォームに固執するのが最善です。

詳細については、「アセスメントテンプレートへの測定基準タイプの移行」を参照してください。

移行ステータス

- セクション、質問、および応答の移行中は、[移行ステータス] の値は [進行中] になります。
- すべてのマッピングが正常に移行されると、ステータスが [完了] に変わります。
- 一部の要素のみが正常に移行された場合、状態は [部分的に完了] に変わります。
- 移行できない質問タイプではサポートされていません。
- 移行プロセス中にエラーが発生すると、ステータスが [エラー] に変わります。

移行できる質問タイプ

- Number (数値)
- 文字列
- 添付ファイル
- 日付
- 日付/時刻
- 参照

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- はい/いいえ
- リッカートスケール
- 選択肢
- 複数選択
- 数値スケール
- テンプレート ([画像を許可] が選択されていない場合)

アセスメントテンプレートへの測定基準タイプの移行

既存の測定基準タイプをアセスメントテンプレートに移行して、アセスメントプロセスを自動化できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_smart_asmt.assessment_admin

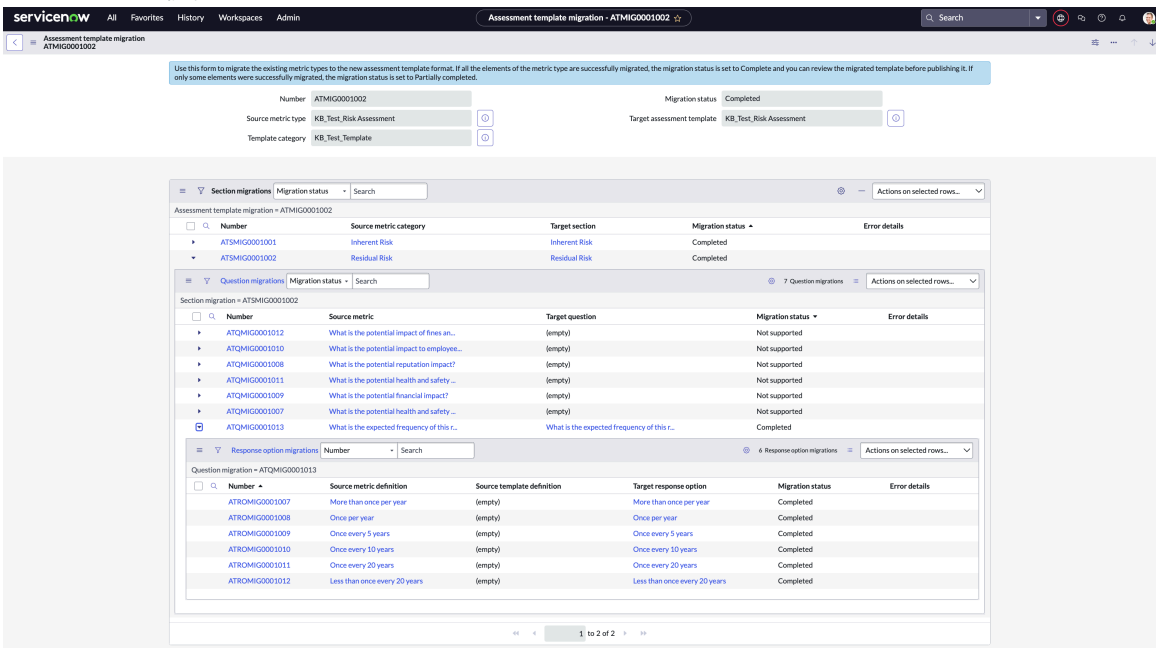
手順

1. 移動先 すべて > スマートアセスメントエンジン > 管理 > テンプレートの移行.
2. [評価テンプレートの移行] リストで、[新規] を選択し、[評価テンプレートの移行] フォームに入力します。
   フォームの設定については、「 アセスメントテンプレート移行フォーム」で説明されています。
3. [移行]を選択します。

タスクの結果

既存の測定基準タイプがアセスメントテンプレートに移行されます。

アセスメント移行フォーム



すべての要素 (測定基準タイプ、測定基準カテゴリ、およびその中の測定基準) を移行すると、ステータスは [完了] に変わります。テンプレートを確認して公開できます。

移行ステータスが完了しました

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

いずれかの要素の移行が失敗した場合、状態は [部分的に完了] に変わります。エラーを解決し、再度移行してください。

移行ステータスが一部完了しました

アセスメントのトリガー

指定した査定人グループにアセスメントを送信する条件を指定できます。アセスメントは、指定されたアセスメントテンプレートに基づいています。

アプリを使用すると SAE 、からアセスメントをトリガーまたは開始できます。このアセスメントは、ユーザーまたはユーザーのグループにアサインされます。アセスメントテンプレートを作成してアセスメントをトリガーするか、既存の測定基準タイプから移行されたテンプレートを使用することができます。

[スマートアセスメントライトフローをトリガー **(Trigger smart assessment** lite flow)] アクションによってアセスメントがトリガーされます。使用するトリガー条件とアセスメントテンプレートを使用してアクションを構成します。

トリガー条件の例としては、コントロール テーブルの状態が 証明に変わることがあります。

トリガー条件を定義したら、スマートアセスメントライトのトリガーアクションを設定します。詳細については、「スマートアセスメントライトアクションのトリガーを構成する」を参照してください。

フローの作成とトリガー条件の設定

スマートアセスメントライトのトリガーアクションを設定する前に、フローを作成し、トリガー条件を設定します。

始める前に

スマートアセスメントライトのトリガーアクションを設定する前に、フローを作成し、トリガー条件を設定します。

必要なロール：sn_smart_asmt.assessment_admin

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > プロセス自動化 > フローデザイナー.
2. [フロー] タブで、[アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
3. アクション を選択し、スマート アセスメント ライトのトリガー を検索します。
   [スマートアセスメントライトアクションをトリガー] フォームに入力します。フォームの設定については、「」を参照してください スマートアセスメントライトアクションをトリガーフォーム。
4. [保存] を選択します。

> **注:**
> 構成を保存したら、 [アクティブ化] を選択して評価をトリガーします。

タスクの結果

アセスメントがトリガーされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スマートアセスメントライトアクションのトリガーを構成する

アセスメントをトリガーするようにスマートアセスメントのトリガーライトアクションを構成します。アクションを構成することで、アセスメントを開始し、選択した査定人に送信できます。

始める前に
スマートアセスメントライトのトリガーアクションを設定する前に、フローを作成し、トリガー条件を設定します。

必要なロール：sn_smart_asmt.assessment_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセス自動化 > フローデザイナー.
2. [フロー] タブで、[アクション、フローロジック、またはサブフローを追加] を選択します。
3. アクション を選択し、スマート アセスメント ライトのトリガー を検索します。
   [スマートアセスメントライトアクションをトリガー] フォームに入力します。フォームの設定については、「」を参照してください スマートアセスメントライトアクションをトリガーフォーム。
4. [保存] を選択します。

> **注:**
> 構成を保存したら、 [アクティブ化] を選択して評価をトリガーします。

タスクの結果
アセスメントがトリガーされます。

アセスメントテンプレートを作成する

アセスメントデザイナーを使用して、アセスメントテンプレートを作成します。

始める前に
必要なロール:作成者/イニシエーター

手順

1. 評価ワークスペースのホーム ページで、新しいテンプレート を選択し、 テンプレート の詳細フォームに入力します。

テンプレートの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの一意のわかりやすい名前。
説明	他のユーザーがテンプレートの使用目的を理解するのに役立つテキスト。
アセスメントターゲット	アセスメントに対する応答が書き込まれるテーブル。
カテゴリ	[カテゴリ] は、与えられた測定基準タイプのアセスメント可能なレコードを評価するためのテーマを表します。カテゴリによって、テンプレートを表示または使用できるユーザーグループも制限されます。カテゴリはユーザー定義です。例としては、ROI、リスク、パフォーマン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ス、セキュリティ、個人データなどがあります。
アセスメントリーダーロール	
アセスメントターゲット	
期間	アセスメントが送信されてから、回答者が完了したアセスメントを返すと予想されるまでのデフォルトの期間 (日数)。この設定により、アセスメントの期日が決まります。

2. [保存] を選択します。
   テンプレートが生成されます。次の手順では、テンプレートに質問、関連する質問のグループのセクション、テンプレートで生成できるアセスメントに回答するための手順を入力します。
3. [アンケート] または [文書要求] タブで、[応答を表示] をクリックし、フィールドに入力します。

アセスメントの設計

アセスメントデザイナーを使用して、アセスメントテンプレートを作成します。

始める前に

必要なロール:作成者/イニシエーター

手順

1. 評価ワークスペースのホーム ページで、新しいテンプレート を選択し、 テンプレート の詳細フォームに入力します。

テンプレートの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの一意のわかりやすい名前。
説明	他のユーザーがテンプレートの使用目的を理解するのに役立つテキスト。
アセスメントターゲット	アセスメントに対する応答が書き込まれるテーブル。
カテゴリ	[カテゴリ] は、与えられた測定基準タイプのアセスメント可能なレコードを評価するためのテーマを表します。カテゴリによって、テンプレートを表示または使用できるユーザーグループも制限されます。カテゴリはユーザー定義です。例としては、ROI、リスク、パフォーマンス、セキュリティ、個人データなどがあります。
アセスメントリーダーロール	
アセスメントターゲット	
期間	アセスメントが送信されてから、回答者が完了したアセスメントを返すと予想されるまでのデ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フォルトの期間 (日数)。この設定により、アセスメントの期日が決まります。

2. [保存] を選択します。
   テンプレートが生成されます。次の手順では、テンプレートに質問、関連する質問のグループのセクション、テンプレートで生成できるアセスメントに回答するための手順を入力します。
3. [アンケート] または [文書要求] タブで、[応答を表示] をクリックし、フィールドに入力します。

アセスメントテンプレートカテゴリの作成

アセスメントデザイナーを使用して、アセスメントテンプレートカテゴリを作成します。

始める前に
必要なロール:作成者/イニシエーター

手順

1. 移動先 すべて > スマートアセスメントエンジン > テンプレートカテゴリ.
2. アセスメントテンプレートカテゴリ リストで、 新規 を選択し、フォームに入力します。

アセスメントテンプレートカテゴリフォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの一意のわかりやすい名前。
カテゴリロール	[カテゴリ] は、与えられた測定基準タイプのアセスメント可能なレコードを評価するためのテーマを表します。カテゴリによって、テンプレートを表示または使用できるユーザーグループも制限されます。カテゴリはユーザー定義です。例としては、ROI、リスク、パフォーマンス、セキュリティ、個人データなどがあります。
説明	他のユーザーがテンプレートの目的と想定される使用方法を理解するのに役立つテキスト。
アクティブ	カテゴリをアクティブ化するオプション。アクティブなカテゴリーのみが XYZ です。 デフォルトでは、新しく定義されたカテゴリがアクティブになっています。

3. [送信] を選択します。
   カテゴリが生成されます。

アセスメントのスケジュール設定および開始

ae-assmt-schedule-and-initienc x.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:作成者/イニシエーター

手順

移動先 すべて > > .

アセスメントの実行

ae-assmt-schedule-and-initienc x.

始める前に
必要なロール:査定人

手順

移動先 すべて > > .

コンサルタントとのコラボレーション

ABC X.

始める前に
必要なロール:査定人

手順

移動先 すべて > > .

レビューのためにアセスメントを送信

レビューのためにアセスメントを送信します。

始める前に
必要なロール:査定人

手順

移動先 すべて > > .

アセスメントをレビューし、フィードバックを提供する

アセスメントをレビューし、フィードバックを提供します。

始める前に
必要なロール:レビュー担当者/承認者

手順

移動先 すべて > > .

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

完了したアセスメントを分析する

アセスメントを分析する。

始める前に
必要なロール:レビュー担当者/承認者

手順

移動先 すべて > > .

アセスメントの承認

アセスメントを承認します。

始める前に
必要なロール:レビュー担当者/承認者

手順

移動先 すべて > > .

スマートアセスメントエンジン 参照

参照トピックでは、アプリと共に SAE インストールされるテーブル、プロパティ、フォーム、およびロールについて詳しく説明します。

参照トピック

スマートアセスメントエンジン でのロール

ロールは、 スマートアセスメントエンジン アプリの権限とアクセスを決定します。

[アセスメントテンプレート移行 (Assessment template migration)] フォーム

アセスメントテンプレート移行フォームを使用して、既存の測定基準タイプをアセスメントテンプレートに移行する方法を指定します。

スマートアセスメントライトアクションをトリガーフォーム

[スマートアセスメントライトアクションをトリガー (Trigger smart assessment lite action)] フォームを使用して、アセスメントトリガーアクションを構成します。

スマートアセスメントエンジン でのロール

ロールは、 スマートアセスメントエンジン アプリの権限とアクセスを決定します。

SAE のロール

SAE のロール

sn_smart_asmt.assessment_reader	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アセスメントテンプレート移行 **(Assessment template migration)**] フォーム

アセスメントテンプレート移行フォームを使用して、既存の測定基準タイプをアセスメントテンプレートに移行する方法を指定します。

アセスメントテンプレート移行設定

[セクションの移行] テーブルには、関連リストのフィールドの説明が表示されます。

[アセスメントテンプレート移行 **(Assessment template migration)**] のフィールド

フィールド	説明
Number (数値)	システムによって、 テキスト **ATMIG** で始まる一意の番号が移行レコードに割り当てられます。番号を使用してレコードを検索できます。
ソースの測定基準タイプ	アセスメントテンプレートフォーマットに移行できる既存の測定基準タイプ。
テンプレートカテゴリ	移行する測定基準タイプのテンプレートカテゴリ。ターゲットアセスメントテンプレートは、選択したカテゴリに属しています。 たとえば、プライバシーテンプレートカテゴリを選択した場合、ターゲットアセスメントテンプレートは プライバシー カテゴリに属します。
移行ステータス	この値は、テンプレートの移行プロセスが進むにつれて変化します。 • 新規:新しく追加されたテンプレートのステータス。移行開始時の変更。 • 処理中: 移行プロセスを開始した後、移行が完了するまでプロセスは進行中です。 • 完了:測定基準カテゴリと関連する測定基準を含む測定基準タイプの要素が正常に移行されたときに表示されるステータス。 • 一部完了:テンプレートは移行されたが、質問、セクション、測定基準カテゴリなどのダウンストリーム要素のいずれかが正常に移行されなかった場合に表示されるステータス。この場合、エラーに対処してプロセスを再開する必要があります。 • エラー: 移行中にエラーが発生した場合、ステータスは [エラー] に変わり、移行は失敗します。
ターゲットアセスメントテンプレート	既存の測定基準タイプが正常に移行された新しいテンプレートを表示する読み取り専用フィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アセスメントテンプレート移行 **(Assessment template migration)]** のフィールド (続く)

フィールド	説明
	重要: 移行ステータスが [エラー] の場合、ターゲットアセスメントテンプレートフィールドには値が表示されません。

セクションの移行

フィールド	説明
Number (数値)	セクション移行レコードには、「 **ATSMIG** 」というテキストで始まる一意の番号が割り当てられます。番号を使用してレコードを検索できます。
ソースの測定基準カテゴリ	測定基準タイプの移行後のセクションの作成元の測定基準カテゴリ。
ターゲットセクション	移行中に入力されたセクション。
移行ステータス	この値は、テンプレートの移行プロセスが進むにつれて変化します。 • 新規:新しく追加されたテンプレートのステータス。移行開始時の変更。 • 処理中: 移行プロセスを開始した後、移行が完了するまでプロセスは進行中です。 • 完了:測定基準カテゴリと関連する測定基準を含む測定基準タイプの要素が正常に移行されたときに表示されるステータス。 • 一部完了:テンプレートは移行されたが、質問、セクション、測定基準カテゴリなどのダウンストリーム要素のいずれかが正常に移行されなかった場合に表示されるステータス。この場合、エラーに対処してプロセスを再開する必要があります。 • エラー: 移行中にエラーが発生した場合、ステータスは [エラー] に変わり、移行は失敗します。
エラーの詳細	測定基準カテゴリのセクションへの移行中に発生したエラーの説明。
質問の移行	
Number (数値)	**ATQMIG** というテキストで始まる一意の番号が、質問移行レコードに割り当てられます。
ソースの測定基準	アセスメントテンプレートの移行後に質問が作成される基になる測定基準。
ターゲットの質問	移行後に作成された質問。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクションの移行 (続く)

フィールド	説明
移行ステータス	この値は、テンプレートの移行プロセスが進むにつれて変化します。 • 新規:新しく追加されたテンプレートのステータス。移行開始時の変更。 • 処理中: 移行プロセスを開始した後、移行が完了するまでプロセスは進行中です。 • 完了:測定基準カテゴリと関連する測定基準を含む測定基準タイプの要素が正常に移行されたときに表示されるステータス。 • 一部完了:テンプレートは移行されたが、質問、セクション、測定基準カテゴリなどのダウンストリーム要素のいずれかが正常に移行されなかった場合に表示されるステータス。この場合、エラーに対処してプロセスを再開する必要があります。 • エラー: 移行中にエラーが発生した場合、ステータスは [エラー] に変わり、移行は失敗します。
エラーの詳細	質問の移行失敗中に発生したエラーの説明。
応答オプションの移行	
Number (数値)	応答オプション移行レコードへのテキスト **ATROMIG** で始まる一意の番号。
ソースの測定基準の定義	質問のオプションが移行される測定基準の定義。
ソーステンプレートの定義	応答オプションの移行元のフィールド。
ターゲット応答オプション	質問に関連する応答オプションの数を示すフィールド。
移行ステータス	• 完了: すべての応答の移行が正常に完了しました。 • エラー:応答の移行中にエラーが発生しました。
エラーの詳細	応答の移行失敗中に発生したエラーの説明。

スマートアセスメントライトアクションをトリガーフォーム

[スマートアセスメントライトアクションをトリガー (Trigger smart assessment lite action)] フォームを使用して、アセスメントトリガーアクションを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットスマートアセスメントライトアクションフォーム

フィールド	説明
アクション	アクションの名前。
アセスメントテンプレート	アセスメントの生成に使用されるスマートアセスメントテンプレートレコード。
査定人	アセスメントの送信先のユーザー。査定人ごとに 1 つのアセスメントのみが割り当てられます。
要求者	査定人の連絡先として機能するユーザー。生成されたアセスメントには、ユーザーの詳細が表示されます。
期日	アセスメントプロセスの予定期間と、アサインされたアセスメントを完了させる必要のある日付。 注: システムは、期日を決定するために開始時間としてアセスメントのトリガー時間を使用します。
重複処理	重複アセスメントを処理する方法。 注: 同じテンプレート、スコープ アイテム、グループ、および査定人を持つ別のオープンアセスメントがある場合、アセスメントは重複と見なされます。 • 重複アセスメントを作成しない • 重複アセスメントを作成: • アセスメントの新規作成および既存のアセスメントのキャンセル:アセスメントを作成し、既存のアセスメントのステータスを [キャンセル] に変更します。
アセスメントグループ	アセスメントを関連付けるアセスメント グループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットスマートアセスメントライトアクションフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: アセスメントグループを選択しない場合、選択したすべてのアセスメントはデフォルトで新しいグループにグループ化されます。 アセスメントグループを選択すると、そのグループがオープンかクローズかを確認するために検証され、同じアセスメントテンプレートにリンクされたアセスメントが少なくとも 1 つ含まれているかどうかも確認されます。 グループがクローズされている場合は、グループがクローズされていることを示すエラーがスローされます。オープンの場合は、このグループのすべてのアセスメントを添付します。
スコープ	生成されたアセスメントが取得されるすべてのスコープアイテムのリスト。 各スコープ項目には、テーブルとレコードの 2 つのキーが含まれています。

Audit Management®

ServiceNow Audit Management アプリケーションには、監査エンゲージメントの計画、エンゲージメントの実行、監査委員会と役員会への結果の報告に関連する一連のアクティビティが含まれます。エンゲージメントレポートは、組織のリスクおよびコンプライアンス管理戦略が有効であることを主なステークホルダーに証明します。

概要

Audit Workspace

バージョン 13.0.2 の時点で、Audit Management ユーザーは 2 つのインターフェイスを使用できます。クラシックモデルと監査ワークスペースです。監査ワークスペースは、監査のスーパーバイザーと監査人が全体的な監査のタイムラインとステータスを表示し、エンゲージメントの予算とリソースを追跡して、コントロールテストと監査タスクの進捗状況を監視するための単一ペインビューを提供します。新しいワークスペースの詳細については、「Risk ワークスペース」を参照してください。

ストアでアプリを要求する

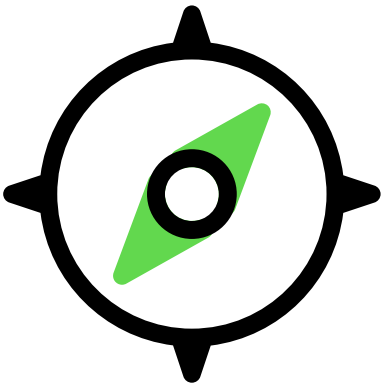
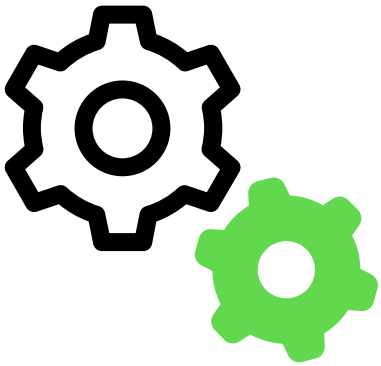
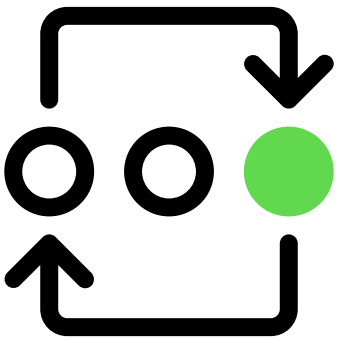
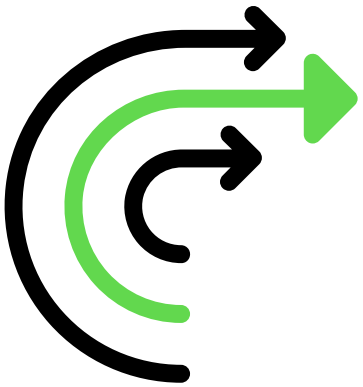
ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC: Audit Management 製品を使用すると、内部監査のスケジュール、リソース計画の実施、およびエンゲージメントのスコーピングを行うことができます。監査アクティビティを実行し、継続的な監視結果を確認して、結果を報告することもできます。

開始するには

探索	構成	使用方法
		
の主な機能と利点 Audit Management	実装するチェックリストの設定 Audit Management	Audit Workspace監査タスク用
管理	統合	分析およびレポート
		
による監査計画 Audit Management	タイムカード エンゲージメントタスクと監査タスクにかかった時間を追跡するための管理	監査結果を表示し、エンゲージメントのブレークダウンを特定するソリューション

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする GRC コミュニティ
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Audit Management の詳細

はAudit Management、内部監査チームの作業ストリームを自動化し、リソースと生産性を最適化し、繰り返しの監査結果を排除します。 は、コンプライアンスとリスクのデータを使用して、監査エンゲージメントのスコープ設定、計画、および優先順位付けを行います。 Audit Managementポリシーと手順、リスク、およびコントロールのブレークダウンを継続的にレビューすることで、監査が失敗する前に問題を修正する機会が得られます。

Audit Management ユーザー

監査人 (独立した機関、通常は取締役会に報告)。

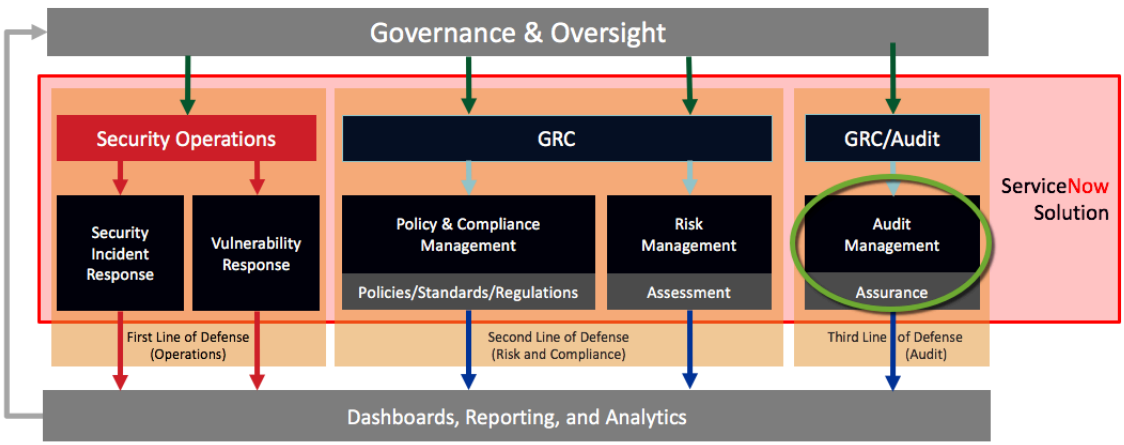
Audit Management の主要なアクティビティ

監査人の責任は次のとおりです。

- ポリシーおよび手順をレビュー
- リスクをレビュー
- コントロール設計をレビュー
- コントロールテスト設計をレビュー
- コントロールテスト結果をレビュー
- コントロールをテスト
- 観察事項を発行

Audit Management および ServiceNow プラットフォーム

Audit Management および Now Platform



注:
GRC アプリケーションの用語と業界用語の詳細については、「GRC アプリケーションの用語の更新と業界の用語」を参照してください。

Audit Management の構成

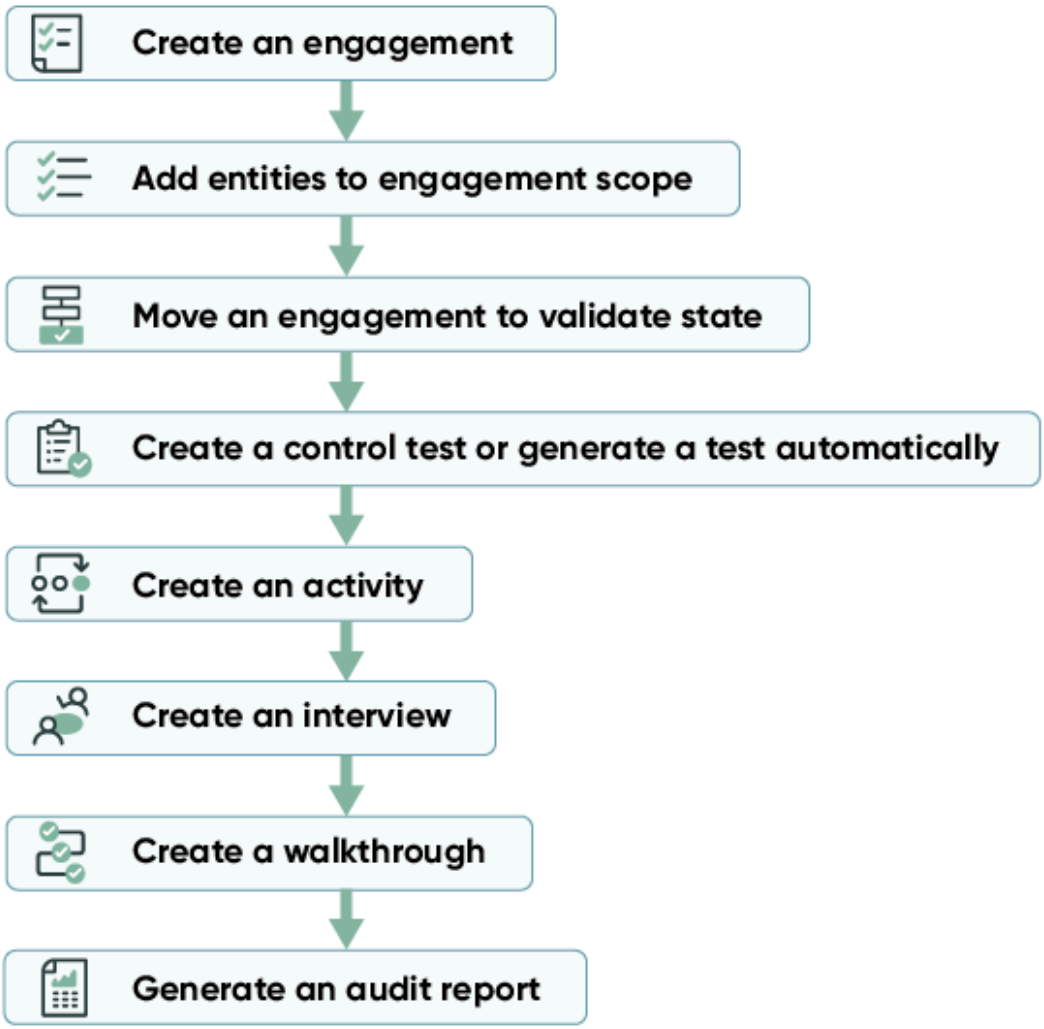
GRC Audit Management アプリケーションチェックリストのステップに従って ServiceNow Store から Audit Management をダウンロードし、操作の準備をします。必須およびオプションのセットアップステップのほか、実装チェックリストが、セットアップを簡略化するために用意されています。

チェックリストの必須ステップのフローは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Audit Management の実装ステップ



GRC Audit Management アプリケーションのセットアップチェックリスト

このチェックリストには Now Platform® インスタンスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。Audit Management の機能を拡張するためのオプションのセットアップ手順も含まれています。

始める前に
必要なロール：admin

このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PDF を生成するには、トピックの上部にある [PDF として保存 (save as PDF)] アイコン



( ) をクリックします。

手順

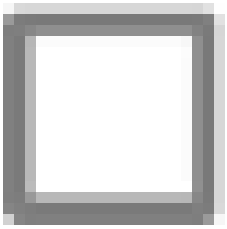
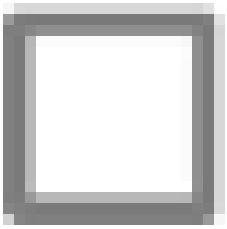
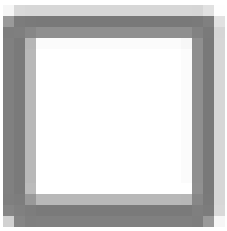
[選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

Audit Management アプリケーションのチェックリスト

アイテム	説明
	監査管理者または監査マネージャーは、エンゲージメントを作成し、監査情報を管理して、監査に関連するエンティティ、コントロール、およびコントロールテストを含めます。詳細については、「エンゲージメントを作成する」を参照してください。
	監査管理者または監査マネージャーは、エンゲージメントを作成した後、監査エンゲージメントでスコープ対象となるエンティティを定義します。詳細については、「エンゲージメントスコープにエンティティを追加する」を参照してください。
	コントロールを定義したら、監査マネージャーは、定期的に実行されるコントロールテストを作成し、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。詳細については、「エンゲージメントからコントロールテストを作成する」を参照してください。コントロールテストを自動的に生成することもできます。詳細については、「エンゲージメントからコントロールテストを自動的に生成する」を参照してください。
	コントロールを定義したら、監査マネージャーは、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかを調べ、その証拠を文書化して提供するアクティビティを作成します。詳細については、「監査タスクアクティビティを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	コントロールを定義したら、監査マネージャーは、コントロールオーナーと話し合うための面談を作成し、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。詳細については、「面談を作成する」を参照してください。
	コントロールを定義したら、監査マネージャーは、観察するために実施するチュートリアルを作成し、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。詳細については、「チュートリアルの作成」を参照してください。
	監査マネージャーは、エンゲージメントの結果を要約した監査レポートを生成して、レポートの結果をエグゼクティブに伝えることができます。詳細については、「エンゲージメントから監査レポートを生成する」を参照してください。

Audit Management のダウンロード

インスタンスで GRC: Audit Management (com.sn_audit) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

Audit Management のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、GRC: Audit Management が引き続き正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

GRC Audit Management

GRC: Audit Management クイックスタートテストでは Audit Management プラグイン (com.sn_audit) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: Audit Management テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC: 監査エンゲージメントを作成し、監査タスクを生成	監査エンゲージメントの作成を検証し、エンティティを関連付けてコントロールとテスト計画を生成します。テスト計画に関	Paris

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC: Audit Management テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	連付けられた監査タスクを生成します。	
GRC：マイルストーンを作成して処理	エンゲージメントにマイルストーンを作成します。なお、期限日を過去の、完了日を未来の日付することはできません。オープン状態のマイルストーンの場合、完了率は 0 で、マイルストーンのステータスの変化に応じて変わります。	Paris
GRC：コストとリソースプランのロールアップ	監査プランを作成し、それにエンゲージメントを関連付けます。このエンゲージメントにコストプランとリソース計画を追加すると、これらのコストがプランにロールアップされる点に注意してください。エンゲージメントにおけるこれらのコストに対するすべての編集は、プランに反映されます。	Paris
GRC：エンゲージメントプロジェクトマニュアルの作成および自動作成	検証ステータスのエンゲージメントについては、[詳細計画を有効にする] UI アクションが実行されている場合、エンゲージメントプロジェクトが作成され、「詳細計画機能」を持つ監査計画に関連付けられたエンゲージメントのステータスが [検証] に変更されると、エンゲージメントプロジェクトが自動的に作成されます。	Paris
GRC：詳細なリスクアセスメントを含む監査可能ユニット	「詳細なリスクアセスメント」としてメソッドを含む監査可能ユニットを作成し、査定人を追加してリスクアセスメントを評価することを要求します。査定人が応答し、コントロールアセスメントと残存アセスメントを実行してアセスメントを完了としてマークした後、リスクアセスメントフィールドが自動的に更新される必要があります。	Paris

Audit Management の詳細については、「Audit Management」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

クイックスタートテスト

GRC Advanced Audit アプリケーションのセットアップチェックリスト

Now Platform® インスタンスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれているチェックリストを完了します。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。

始める前に
必要なロール：admin

このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。

手順

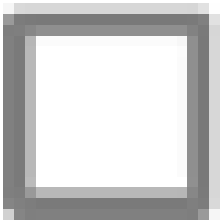
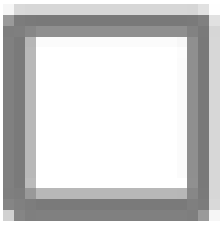
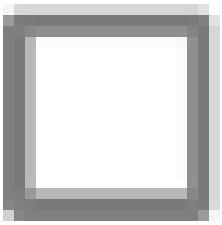
1. PDF を生成するには、トピックの上部にある [PDF として保存 (Save as PDF)] アイコン ( ) をクリックします。
2. [選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

Audit Management アプリケーションのチェックリスト

アイテム	説明
☐	監査マネージャーおよび IT プロジェクトマネージャーは、定期的な方法でさまざまなタイプの監査を管理し、論理的な方法でエンゲージメントをグループ化する監査計画を作成します。詳細については、「監査計画を作成する」を参照してください。
☐	監査ユーザーまたは監査マネージャーは、事業部門、部門、ベンダー、製品、ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、場所、各種法令・基準等、ポリシーなどのエンティティを持つ監査可能単位を作成し、監査可能単位でリスクアセスメントを実行します。詳細については、「監査可能単位を作成する」を参照してください。
☐	監査マネージャーは、詳細計画機能を使用して、エンゲージメントプロジェクトを自動的に作成するエンゲージメントを作成します。詳細については、「詳細計画を使用してエンゲージメントを作成する」を参照してください。
☐	監査マネージャーは、エンゲージメントの進捗状況を追跡するために使用できるマイルストーンを作成します。 エンゲージメントのマイルストーンを作成した後、マイルストーンに監査タスクを追加し、それらのタスクをマイルストーンとして追跡することもできます。詳細については、「エンゲージメントマイルストーンを作成する」を参照してください。
☐	リソースユーザーは、Resource Management アプリケーションから、デマンド、プロジェクト、プロジェクトタスク、インシデント、問題、変更などの任意のタスクのリソース計画を作成できます。承認のために送信するまで、計画を編集および調整できます。詳細については、「リソース計画の作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	IT プロジェクトマネージャーは、コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。プロジェクトコスト計画は、プロジェクトのコストをキャプチャします。詳細については、「コスト計画の作成」を参照してください。
	監査観察事項は監査の結果です。監査観察事項は、監査レポートの重要な部分として、レビュー、分析、面談、およびディスカッションの結果を表します。詳細については、「監査観察事項」を参照してください。
	監査ユーザーとして、証拠を要求します。証拠要求は、監査中にサポートドキュメントを要求するために監査およびコンプライアンスチームによって使用されます。監査人およびコンプライアンスチームは、防御の第一線にこれらのドキュメントを要求します。詳細については、「監査の証拠を要求する」を参照してください。

Audit Management の使用

監査マネジメントの範囲には、内部監査チームの作業ストリームの自動化、リソースと生産性の最適化、何度も繰り返される監査結果の排除が含まれします。

監査マネジメントの目的は次のとおりです。

- リスクが適切に特定され、定量化されるようにする
- 特定されたリスクを効果的に軽減する方法でコントロールが設計されるようにする
- 運用の有効性についてコントロールが適切に監視されるようにする
- コントロールの欠陥が特定され、修正されるようにする

監査レポートテンプレートを作成する

監査レポートテンプレートを作成して、監査レポートを生成します。監査開発者は、HTML、スクリプト、または XML 形式のいずれかを使用して監査レポートテンプレートを作成できます。その後、監査レポートテンプレートを使用して、監査レポートにデータを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.developer

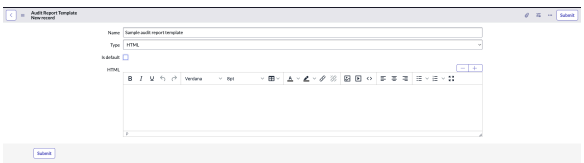
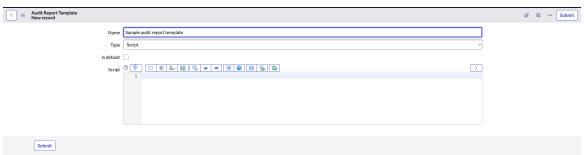
手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 管理 > 監査レポートテンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

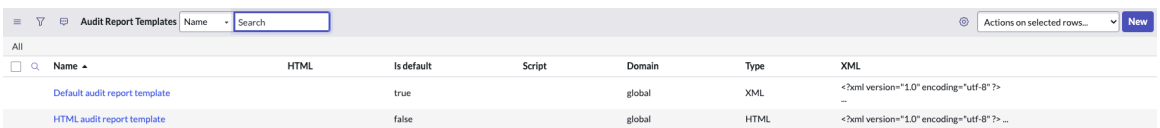
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査レポートテンプレートフォーム

フィールド	値
名前	監査レポートテンプレートの名前。
タイプ	監査レポートテンプレートのタイプ。使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ **HTML** ○ スクリプト ○ **XML** これらの形式を使用して、監査レポートテンプレートを生成できます。これらのテンプレートは、監査レポートで HTML、スクリプト、または XML 形式でデータを表示するために使用されます。
デフォルトである	このテンプレートがすべての KB 記事のデフォルトテンプレートとして使用されることを示すオプション。
HTML	HTML コード。**[HTML]** オプションを選択すると、次の例に示すように、監査レポートテンプレートに HTML コードを追加できます。 
スクリプト	スクリプトコード。[スクリプト] オプションを選択すると、次の例に示すように、監査レポートテンプレートにスクリプトコードを追加できます。 
XML	XML コード。**[XML]** オプションを選択すると、次の例に示すように、監査レポートテンプレートに XML コードを追加できます。 

4. [送信] をクリックします。
次の例に示すように、監査レポートテンプレートがリストビューに表示されます。



監査レポートテンプレートを使用して、監査レポートに定義された形式に従ってデータを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テストテンプレートとテスト計画を管理する

監査エンゲージメントには、コントロールの設計と運用の有効性を評価するコントロールテストアクティビティが含まれる場合があります。

テストテンプレートとテスト計画

コントロールテストを実施するには、エンゲージメントを開始する前に、監査マネージャーが関連するコントロールのテスト計画を作成します。監査マネージャーは、テストテンプレートを使用して、同様のコントロールに対して一度に複数のテスト計画を作成できます。

監査エンゲージメントの [検証] ステータスの間は、エンゲージメントのスコープでコントロールに関連付けられているテスト計画は、自動的にエンゲージメントに関連付けられます。監査マネージャーは、関連付けられたテスト計画からコントロールテストを生成し、必要に応じて個々のコントロールテストを作成できます。

テストテンプレートを作成する

テストテンプレートを使用すると、監査マネージャーは、ほぼ同じようなテスト基準を用いて多くのテスト計画を迅速に作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin、sn_audit.manager、または sn_audit.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査テスト > テストテンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

テストテンプレートフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
期間	テストの期間。
簡単な説明	テストテンプレートの簡潔および一般的な説明。
設計テスト*	
想定設計	コントロールの設計方法の想定内容。
設計評価手順	コントロールが効果的に設計されているか評価する方法を文書化します。
運用テスト*	
想定運用	コントロールの運用方法の想定内容。
運用評価手順	コントロールが効果的に動作しているか評価する方法を文書化

4. [送信] をクリックします。

テストテンプレートをコントロール目標に関連付ける

監査オーナーは、コントロール目標の汎用コントロールテストテンプレートを作成できます。そのため、コントロールごとに個別のコントロールテスト計画を作成する必要はありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査テスト > テストテンプレート.
2. テストテンプレートレコードを開きます。
3. コントロール目標を選択し、[更新] をクリックします。

監査テスト計画の作成

テスト計画は、一から作成することも、テストテンプレートを基に作成することもでき、機能をどのようにテストするかを示します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user、sn_audit.external_auditor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査テスト > テスト計画.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

テストテンプレートフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
コントロール	このテスト計画がカバーするコントロール。 **注:** このフィールドは、ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインが有効化されている場合にのみ表示されます。
テストテンプレート	関連テストテンプレート。
期間	テストの予定期間。
名前	テスト計画の簡潔および一般的な説明。
設計テスト	
想定設計	コントロールの設計方法の想定内容。
設計評価手順	コントロールが効果的に設計されているか評価する方法を示すドキュメント。
運用テスト	
想定運用	コントロールの運用方法の想定内容。
運用評価手順	コントロールが効果的に動作しているか評価する方法を示すドキュメント。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 つのテストテンプレートから複数のテスト計画を作成する

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 がインストールされている場合は、テストテンプレートを使用して、テスト計画のコントロール目標に関連付けられたすべてのコントロールに対してテスト計画を作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager または sn_audit.admin

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査テスト > テストテンプレート.
2. テスト計画を生成するテストテンプレートを選択します。
3. [すべてのコントロールのテスト計画を作成] 関連リンクをクリックします。

> **注:**
> このリンクは、現在のテストテンプレートから生成されたテスト計画がまだないテスト計画のコントロール目標に関連付けられているコントロールがある場合にのみ表示されます。

エンゲージメントを管理する

監査エンゲージメントプロセスには、エンゲージメントの作成、計画、スコーピング、実施、およびエンゲージメント結果に関するレポートが含まれます。

エンゲージメントプロセス

ベースシステム監査エンゲージメントプロセスには、エンゲージメント結果のスコーピング、検証、実施、および承認の手順が含まれています。また、オープンな監査タスクと問題をフォローアップし、最終的に監査エンゲージメントをクローズするための手順も含まれています。

エンゲージメントプロセスのステータス

ステータス	説明
スコープ	[スコープ] ステータスでは、監査マネージャーは、監査エンゲージメントに関与するエンティティを定義します。たとえば、財務監査の場合、財務部門が依存するすべてのビジネスサービスと財務部門自体を含めることができます。 「エンゲージメントスコープにエンティティを追加する」を参照してください。
検証	エンゲージメントが [検証] ステータスに移行した後、エンゲージメントのスコープ内のエンティティに関連付けられたすべてのリスク、コントロール、およびテスト計画が監査に関連付けられます。エンゲージメントの監査期間中に収集されたインジケーターの結果も監査に関連付けられます。監査マネージャーは、リスク、コントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果をレビューし、必要に応じてエンゲージメントのスコープを更新できます。監査マネージャーはエンゲージメントの監査タスクの作成と計画を開始することもできます。 エンゲージメントを [検証] ステータスに移行するには、現在 [スコープ] ステータスにある任意のエンゲージメントで [検証] をクリックします。
フィールド	監査人は、アサインされた監査タスクを [フィールドワーク] ステータス中に完了します。これらのタスクには、コントロールテスト、面談、チュートリアル、およびその他のア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンゲージメントプロセスのステータス (続く)

ステータス	説明
ワーク	クティビティが含まれます。コントロールテスト中に見つかった問題はエンゲージメントに関連付けられます。監査人は、エンゲージメントに関連付けられた一般的な問題を作成することもできます。監査マネージャーは、必要に応じて追加の監査タスクを作成できます。監査が完了すると、監査マネージャーは、エンゲージメントの結果 (満足、適切、または不適切) を指定し、意見の詳細を提供します。 エンゲージメントを [フィールドワーク] ステータスに移行するには、現在 [検証] ステータスにある任意のエンゲージメントで [フィールドワークに進む] をクリックします。 「監査タスク管理」を参照してください。
承認待ち	[承認待ち] ステータスでは、エンゲージメントの [承認者] フィールドで指定された承認者が、実施された監査タスクの結果と作成された問題をレビューします。承認者は、エンゲージメントの結果をレビューした後、エンゲージメントを承認または却下します。 エンゲージメントを [承認待ち] ステータスに移行するには、現在 [フィールドワーク] ステータスにある任意のエンゲージメントで [承認要求] をクリックします。 「エンゲージメントの承認または却下」を参照してください。
フォローアップ	エンゲージメントが承認された後、GRC: Advanced Audit の場合に、エンゲージメントに関連付けられた、オープンなタスク、問題、またはマイルストーンが残っている場合、エンゲージメントは自動的に [フォローアップ] ステータスに移行します。このステージでは、監査人は、エンゲージメントが完了としてマークされる前に、残りのすべての問題、タスク、およびマイルストーンをクローズする必要があります。
クローズ済み	エンゲージメントは、次の 3 つの条件のいずれかで [クローズ済み] ステータスに移行します。 • [スコープ]、[検証]、または [フィールドワーク] ステータスでは、エンゲージメントは未完了としてクローズされます。 • エンゲージメントが承認された後、オープンな監査タスク、問題、およびマイルストーンは存在しません。この場合、エンゲージメントは [承認待ち] ステータスから [クローズ済み] ステータスに自動的に移行します。 • すべてのフォローアップタスク、問題、およびマイルストーンがクローズされます。この場合、エンゲージメントは [フォローアップ] ステータスから [クローズ済み] ステータスに自動的に移行します。

監査タスク管理

監査タスクはエンゲージメント全体を通じて完了し、組織が外部規制と内部ポリシーに準拠していることを示す文書化された証拠を提供します。

監査タスクが作成または再アサインされると、アサインされたユーザーに通知が送信されます。タスクが予定期間の 75% に達すると、通知が送信されます。

エンゲージメントを作成する

監査マネージャーは、エンゲージメントを作成して監査情報を管理し、その監査に関連するエンティティ、コントロール、およびコントロールテストを収集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > 新規作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

エンゲージメントフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
ステータス	○ スコープ ○ 検証と計画 ○ フィールドワーク ○ 承認待ち ○ フォローアップ日時 ○ クローズ済み
名前	エンゲージメントの名前。
タイプ	エンゲージメントのタイプ。以下から選択可能です。 ○ なし ○ 内部監査 ○ 外部監査 ○ SOX 監査 ○ IT 監査 ○ 財務監査 ○ コンプライアンス監査 ○ 認定監査 ○ 規制監査 ○ 運用監査 ○ 継続的な監査 ○ ベンダー監査 ○ 顧客監査 ○ ストア監査 ○ 品質監査 ○ プロジェクト監査
完了率 (%)	完了したエンゲージメントの割合を表す数値。
アサイン先	エンゲージメントにアサインされたユーザー。
監査人	エンゲージメントにアサインされた監査人。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
承認者	エンゲージメントにアサインされた承認者。
説明	エンゲージメントの一般的な説明。
達成目標	エンゲージメントの表明された目標。
スケジュール	
エンゲージメント開始予定	エンゲージメントの予定開始日。
エンゲージメントの開始	エンゲージメントの開始日を自動的に決定する選択肢。以下から選択可能です。 ○ スコープ ○ 検証 ○ フィールドワーク
エンゲージメントの実際の開始	エンゲージメントが開始される実際の日付。
エンゲージメント終了予定	エンゲージメントの予定終了日。
エンゲージメントの終了	エンゲージメントの開始日を自動的に決定する選択肢。以下から選択可能です。 ○ フォローアップ ○ クローズ済み
エンゲージメントの実際の終了	エンゲージメントが終了する実際の日付。
フィールドワーク開始予定	フィールドワークの予定開始日。
フィールドワーク終了予定	エンゲージメントで最初に設定された終了予定日。 **注:** このフィールドでは、デフォルトでフィールドワークの開始予定日に 1 日を加えた値が設定されます。
フィールドワーク予定期間	フィールドワークの予定日数と時間。フィールドワークの期間と開始予定日は、終了予定日を計算するために使用されます。監査タスクが定義されている場合、このフィールドには監査タスクの最長計画期間が入力されます。
フィールドワークの実際の開始	フィールドワークの実際の開始日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドには監査タスクの最も早い実際の開始日が入力されます。
フィールドワークの実際の終了	フィールドワークの実際の終了日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドには監査タスクの最も早い実際の終了日が入力されます。
フィールドワークの実際の期間	フィールドワークの開始日から終了日までの期間。
結果	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
結果	○ 良好 ○ 適切 ○ 不適切
意見	選択した結果の正当性。
レポート	
ナレッジベース	使用するナレッジベース。
レポートテンプレート	エンゲージメント結果をレポートするナレッジベース記事を生成するために使用されるテンプレート。
KB 記事	エンゲージメント結果を含む最近生成されたナレッジベース記事
アクティビティ	
追加コメント	顧客が閲覧可能なコメント。
作業メモ	管理者、監査マネージャーが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされたユーザーまたはユーザーのグループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

自動翻訳

3. [送信] をクリックします。

エンゲージメントから監査レポートを生成する

監査レポートを生成し、[フォローアップ] ステータスのエンゲージメントからさまざまなバージョンの監査レポートを維持します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager

このタスクについて

エンゲージメントが [フォローアップ] ステータスの場合、監査リーダーは監査レポートを生成できます。監査レポートは、ナレッジベース (KB) 記事の形式で表されます。監査レポートが生成された後は、新しいレポートまたは KB 記事の代わりにインクリメントされたバージョンのレポートが作成されます。監査レポートに大幅な変更を加えてレポートを公開すると、レポートの新しいメジャーバージョンが作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 監査レポートを生成するエンゲージメントを開きます。
3. [レポート] タブをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ナレッジベース] フィールドで、ナレッジベースを選択します。

b. [レポートテンプレート] フィールドで、テンプレートを選択します。

4. [レポートを生成] をクリックします。
5. 変更を加えずに KB 記事を公開するには、[公開] をクリックします。
6. KB 記事を編集するには、[編集] をクリックします。
   KB 記事のステータスが [ドラフト] で KB 記事ページが表示され、記事のマイナーバージョンが作成されます。
7. 必要に応じて KB 記事を編集し、[公開] をクリックします。

タスクの結果

インクリメントされたバージョンのレポートが [レポート] タブの **[KB** 記事] フィールドに表示されます。

以前のエンゲージメントからエンゲージメントを作成する

監査マネージャーは、以前のエンゲージメントからエンゲージメントを作成して、通年で実施される同様のエンゲージメントのスコープ、監査人、および承認者を再定義する必要性を削減できます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 必要に応じて、検索フィルター基準をクリアします。
3. コピー元のエンゲージメントを開きます。
4. エンゲージメントのヘッダーを右クリックし、[エンゲージメントをコピー] をクリックします。

エンゲージメントからコントロールテストを作成する

コントロールを定義したら、監査マネージャーは、定期的に実行されるコントロールテストを作成し、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.admin および sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 作成する監査タスクのエンゲージメントを開きます。
   次のいずれかのステータスであるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
   - 承認待ち
3. [監査タスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 監査タスクインターセプターで、[コントロールテスト] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールテストフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
ステータス	○ オープン ○ 対応中 ○ レビュー ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ ○ スキップしてクローズ
親	親監査タスク。
コントロール有効性	コントロール有効性。
アサイン先	このコントロール テストに割り当てられたユーザー。
問題	このコントロールテストに関連する問題。
テスト計画	このコントロールテストに関連付けられたテスト計画。
簡単な説明	コントロールテストの簡潔な説明。
スケジュール	
開始予定日	コントロールテストの開始予定日。
終了予定日	コントロールテストの終了予定日。
計画された期間	このコントロールテストの想定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、コントロールテストスケジュールが考慮されます。
実開始日	このコントロールテストが開始された日付。
実終了日	このコントロールテストが終了した日付。
実際の期間	コントロールテストの開始からコントロールテストの終了までのコントロールテストの期間。
設計テスト	
設計有効性	○ 有効 ○ 無効
想定設計	コントロールが効果的であるために適合する必要がある基本的要件。これにより、コントロールがコントロール目標を達成するために適切に設計されたかどうかがチェックされます。
設計評価手順	コントロールの設計が、コントロール目標を達成するために効果的かどうかを判断するために従う必要がある手順またはステップ。これは、想定設計に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
設計結果	設計アセスメント手順に基づくコントロールの設計のテスト結果。
運用テスト	
運用有効性	○ 有効 ○ 無効
想定運用	コントロール目標を達成するためにコントロールが効果的に動作していることを確認するために適合する必要がある想定。
運用評価手順	コントロールが正常に動作していると判断するために実行する必要がある、想定運用を遂行するための詳細なステップ。
運用結果	運用評価手順に基づくコントロールの運用のテスト結果。
アクティビティジャーナル	
作業メモ	監査マネージャーが表示可能なコメント。
追加コメント	顧客が閲覧可能なコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

自動翻訳

6. [送信] をクリックします。

エンゲージメントからコントロールテストを自動的に生成する

エンティティをエンゲージメントに追加した後、コントロールテストを自動的に生成できます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.admin および sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.

2. コントロールテストを生成するエンゲージメントを開きます。

3. [テスト計画] 関連リストをクリックします。

4. コントロールテストを生成するテスト計画を選択します。

5. [コントロールテストを生成] をクリックします。

タスクの結果

各テスト計画のコントロールテストは、[監査タスク] 関連リストの下に作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査タスクアクティビティを作成する

コントロールを定義したら、監査マネージャーは、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかを調べ、その証拠を文書化して提供するアクティビティを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin および sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 作成する監査タスクのエンゲージメントを開きます。
   次のいずれかのステータスであるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
3. [監査タスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 監査タスクインターセプターで、[アクティビティ] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

アクティビティフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
ステータス	○ オープン ○ 対応中 ○ レビュー ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ ○ スキップしてクローズ
親	親監査タスク。
アサイン先	このアクティビティにアサインされたユーザー。
簡単な説明	アクティビティの簡潔な説明。
説明	アクティビティの詳細な説明。
スケジュール	
開始予定日	アクティビティを開始する予定日。
終了予定日	アクティビティが終了する予定日。
計画された期間	このアクティビティの予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、アクティビティスケジュールが考慮されます。
実開始日	このアクティビティが開始された日付。
実終了日	このアクティビティが終了した日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
実際の期間	プロジェクト開始からプロジェクトクローズまでのプロジェクトの実際の期間。
アクティビティ	
追加コメント	顧客が閲覧可能なコメント。
作業メモ	監査マネージャーが表示可能なコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

面談を作成する

コントロールを定義したら、監査マネージャーは、コントロールオーナーと話し合うための面談を作成し、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.admin および sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 作成する監査タスクのエンゲージメントを開きます。
   次のいずれかのステータスであるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
   - 承認待ち
3. [監査タスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 監査タスクインターセプターで、[面談] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

面談フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
ステータス	○ オープン ○ 対応中 ○ レビュー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ ○ スキップしてクローズ
親	親監査タスク。
アサイン先	この面談にアサインされたユーザー。
簡単な説明	面談の簡潔な説明。
説明	面談の詳細な説明。
スケジュール	
開始予定日	面談を開始する予定日。
終了予定日	面談を終了する予定日。
計画された期間	この面談の予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、面談のスケジュールが考慮されます。
実開始日	この面談が開始された日付。
実終了日	この面談が終了した日付。
実際の期間	面談の開始から面談の終了までの面談の期間。
アサイン	
主要連絡先	この面談についての連絡先となるユーザー。
その他の連絡先	この面談の連絡先となる他のユーザー (主要連絡先が利用できない場合)。
メモ	面談連絡先に関する追加のメモ。
アクティビティ	
追加コメント	顧客が閲覧可能なコメント。
作業メモ	監査管理者および監査マネージャーが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

チュートリアルを作成する

監査マネージャーは、コントロールを定義した後、関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかを観察し、その証拠を文書化して提供するために実施するチュートリアルを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_audit.admin および sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. 作成する監査タスクのエンゲージメントを開きます。
   次のいずれかのステータスであるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
   - 承認待ち
3. [監査タスク] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 監査タスクインターセプターで、[チュートリアル] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

チュートリアルフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
ステータス	○ オープン ○ 対応中 ○ レビュー ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ ○ スキップしてクローズ
親	親監査タスク。
アサイン先	このチュートリアルにアサインされたユーザー。
簡単な説明	チュートリアルの簡潔な説明。
説明	チュートリアルの詳細な説明。
スケジュール	
開始予定日	チュートリアルを開始する予定日。
終了予定日	チュートリアルを終了する予定日。
計画された期間	このチュートリアルの予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、チュートリアルのスケジュールが考慮されます。
実開始日	このチュートリアルが開始された日付。
実終了日	このチュートリアルが終了した日付。
実際の期間	開始から終了までのチュートリアルの期間。
チュートリアル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
主要連絡先	このチュートリアルについての連絡先となるユーザー。
その他の連絡先	このチュートリアルの連絡先となる他のユーザー (主要連絡先が利用できない場合)。
実行ステップ	チュートリアルで実行するアクティビティの詳細。
説明	チュートリアルの意図的な目標。
追加情報	チュートリアルを実行するユーザーが認識する必要がある追加情報。
結果	チュートリアルで発生した内容の詳細。
アクティビティ	
追加コメント	顧客が閲覧可能なコメント。
作業メモ	監査マネージャーが表示可能なコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

6. [送信] をクリックします。

エンゲージメントからの KB 記事を生成する

監査マネージャーは、エンゲージメントの結果を要約した KB 記事を生成して、レポートの結果をエグゼクティブに伝えることができます。

始める前に

必要なロール：sn_audit_manager
[承認待ち]、[フォローアップ]、および [完了してクローズ] ステータスのエンゲージメントの KB 記事を生成できます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > すべてのエンゲージメント.
2. エンゲージメントレコードを開きます。
3. 必要に応じて [レポート] タブのフィールドに入力します。

エンゲージメントフォームの [レポート] タブ

フィールド	説明
レポートテンプレート	この KB 記事に使用するレポートテンプレートを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
KB 記事	一意の識別番号が自動的に入力される読み取り専用フィールド。

4. [レポートを生成] をクリックします。

エンゲージメントの承認または却下

エンゲージメントの承認者としてアサインされている監査ユーザーは、[承認待ち] ステータスのエンゲージメントを承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 自分の監査承認.
2. エンゲージメントに関連付けられた承認レコードを開きます。
3. [承認] または [却下] をクリックします。
   次のいずれかのアクションが発生します。
   - エンゲージメントが承認され、オープンのタスクまたは問題が残っている場合、エンゲージメントは自動的に [フォローアップ] ステータスに移行されます。
   - エンゲージメントが承認され、オープンのタスクまたは問題が残っていない場合、エンゲージメントは自動的に [クローズ済み] ステータスに移行されます。
   - エンゲージメントが拒否された場合、エンゲージメントは自動的に [フィールドワーク] ステータスに戻されます。

エンゲージメントスコープにエンティティを追加する

監査マネージャーは、監査エンゲージメントに関与するエンティティを定義できます。エンティティをエンゲージメントに追加すると、エンティティの対応するリスク、コントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果もエンゲージメントに追加されます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager または sn_audit.admin

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. [スコープ] ステータスのエンゲージメントを開きます。
3. [エンティティ] 関連リストで、[追加] をクリックします。
4. 監査エンゲージメントに含まれる目的のエンティティを選択します。
5. [追加] をクリックします。
   エンティティに関連付けられたリスクとコントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果がある場合は、それぞれのセクションに表示されます。

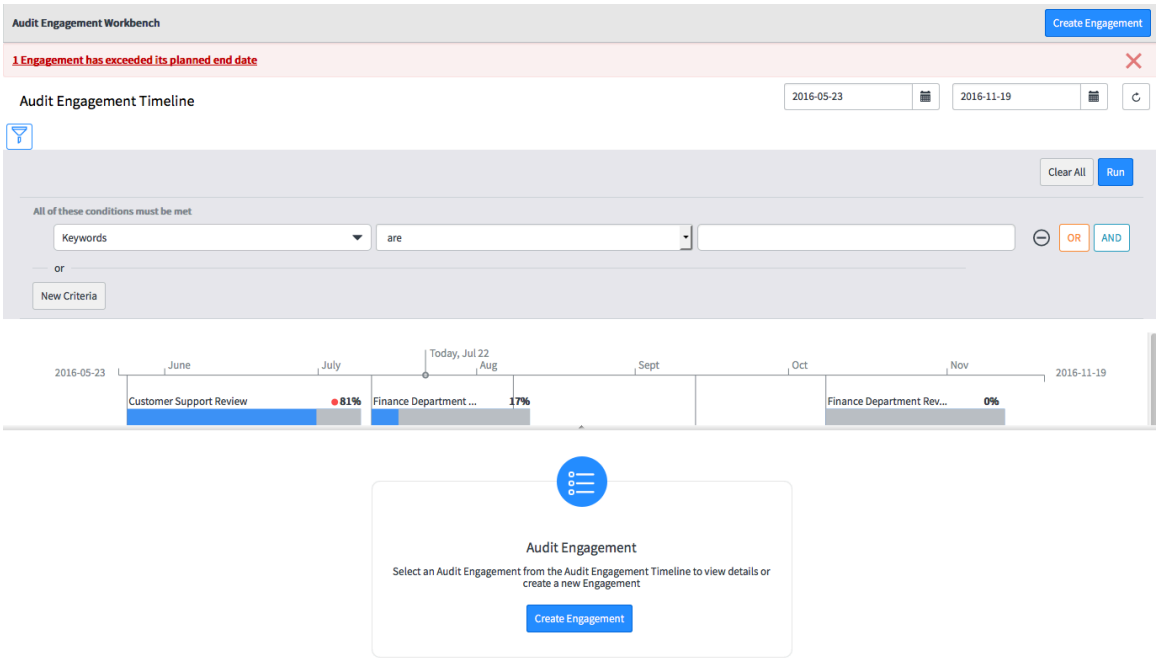
監査エンゲージメントワークベンチを使用してエンゲージメントを視覚的に管理する

エンゲージメントワークベンチでは、監査エンゲージメントを選択して詳細を表示するか、新しいエンゲージメントを作成できるタイムラインビューが利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査エンゲージメントワークベンチ



監査ワークベンチからエンゲージメントを作成する

エンゲージメントワークベンチでは、監査エンゲージメントを選択して詳細を表示するか、新しいエンゲージメントを作成できるタイムラインビューが利用できます。監査マネージャーは、ワークベンチから直接エンゲージメントを作成して監査情報を管理し、その監査に関連するエンティティ、コントロール、およびコントロールテストを収集します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > ワークベンチ.
2. [エンゲージメントを作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

エンゲージメントフォーム

フィールド	説明
名前	エンゲージメントの名前。
アサイン先	エンゲージメントにアサインされたユーザー。
説明	エンゲージメントの一般的な説明。
達成目標	エンゲージメントの目標。
開始予定日	アクティビティを開始する予定日。
計画された期間	このアクティビティの予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、アクティビティスケジュールが考慮されます。
監査期間の開始日 (Audit period start)	エンゲージメントの作業の開始予定日。
監査期間の終了日 (Audit period end)	エンゲージメントの作業の終了予定日。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
監査人	エンゲージメントにアサインされた監査人。
承認者	エンゲージメントにアサインされた承認者。

4. [作成] をクリックします。

ドキュメントとワークシート **Audit Management** をクラウドファイルとして管理

ドキュメントやワークシートを Audit Management クラウドファイルとして管理できます。クラウドファイルプロバイダー機能とのドキュメント統合により、 や ServiceNow などのクラウドファイルプロバイダーMicrosoft OneDrive間の接続を確立できます。ドキュメントやワークシートをレコードに添付するのではなく、クラウドファイル Microsoft OneDrive として管理できます。

リリース以降 Washington DC 、ドキュメント統合機能がエンゲージメントタスクレコードと監査タスクレコードでサポートされています。この機能は、のエンゲージメントおよび監査タスクレコードの Audit Workspace特定のユースケースに対応します。

を使用したワークシートおよびドキュメント管理の主な利点 **Microsoft OneDrive**

ドキュメントデータ連携機能には、ユーザーに次のメリットがあります。

- Excel、プレゼンテーションMicrosoft Word、Microsoft PowerPointドキュメントなどの既存のドキュメントMicrosoft OneDriveに接続します。
- ドキュメントを機密としてマークします。
- 機密でないドキュメントを異なる GRC レコード間で共有します。
- 構成可能な権限に基づいて、クラウドファイルへの読み取りおよび書き込みアクセスを制御します。
- 機能を使用して作業書類 Microsoft OneDrive で共同作業を行います。

クラウドファイル管理のユースケース

ドキュメントデータ連携機能は、顧客の次のユースケースに対応します。

- 構成されたアクセスに基づいて、ドキュメントと作業文書 Microsoft OneDrive を編集および読み取ります。
- で Microsoft OneDrive既存のドキュメントと作業文書に接続します。
- 他の GRC レコードに既に接続されているクラウドファイルを参照して接続します。
- レコード間で共有できないファイルを機密としてマークするか、対応するクラウドファイルを Microsoft OneDrive どのレコードにも接続できません。
- クラウドファイルアクセスを構成して、定義された条件に基づいてユーザーに読み取りおよび書き込みアクセスを提供します。

ドキュメント統合タスクを管理するために必要なロール

ドキュメント統合タスクを管理するには、次のロールが必要です。

必要なロールと対応するタスク

ロール	タスク
監査役(sn_audit_ws.auditor)及び監査監督者(sn_audit_ws.スーパーバイザー)	次のタスクを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロールと対応するタスク (続く)

ロール	タスク
	• で Microsoft OneDrive既存のドキュメントと作業文書に接続します。 • 構成されたアクセスに基づいて、ドキュメントと作業文書 Microsoft OneDrive を編集および読み取ります。 • 他の GRC レコードに既に接続されているクラウドファイルを参照して接続します。 • ファイルを機密としてマークします。
ワークスペース管理者 (sn_grc_workspace.admin)	クラウドファイルアクセスを構成して、定義された条件に基づいてユーザーに読み取りおよび書き込みアクセスを提供できます。

注:
を使用したドキュメントの Microsoft Office 365管理に関する一般的なガイドラインと既知の制限事項については 、 「KB1587297」を参照してください。

次を使用してドキュメントを管理するための必須条件を満たします。 **Microsoft OneDrive**

クラウドファイル統合を有効にできるように、ドキュメント Microsoft OneDrive を管理するための必須条件を満たします。

始める前に
必要なロール:sn_grc_workspace.admin、sn_grc.admin

このタスクについて
次のアプリケーションがインストールされていることを確認します。

- Document Management (com.snc.platform_document_management)
- Microsoft OneDrive ドキュメントサービスフレームワーク用スポーク (sn_docs_onedrive)

注:
統合ハブ に含まれるエンタイトルメントは、 Audit Workspace 統合での使用 Microsoft OneDrive のみに制限されます。その他のすべての使用には、該当する追加の 統合ハブ エンタイトルメントを購入する必要があります。

手順

1. スポークをセットアップします Microsoft OneDrive 統合ハブ 。

   Microsoft OneDriveからServiceNowアクションを実行Microsoft OneDriveするように接続を設定します。詳細については、「」を参照してください。

   ○ 権限許可タイプがの場合は *`Authorization Code`*、サービスアカウントを使用してトークンを生成します *`OAuth`* 。from ServiceNow のすべてのMicrosoft OneDriveファイル操作は、このサービスアカウントを使用して実行されます。エンド ユーザーは、サービス アカウントが、ユーザーがファイルとリンクしようとしているファイルの所有者でもあることを確認する必要があります。

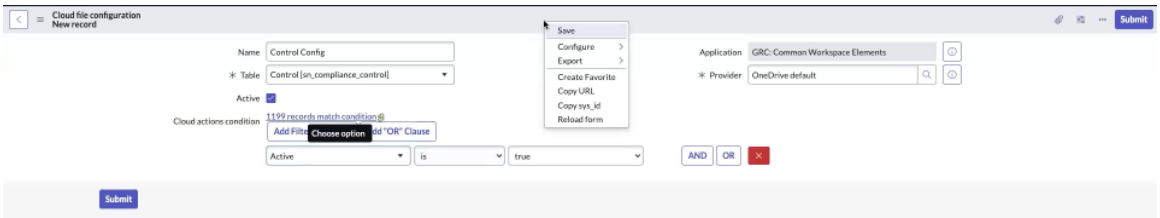
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション登録でAzure必要な API 権限
は*openid*、、*emailUser.ReadBasic.AllFiles.ReadFiles.ReadWrite.Alloffline_accessUser.Re*
す。

- 権限許可タイプが の場合 *Client Credentials*、アプリケーション登録に必要な Azure API 権限は *Files.Read.All* と *Files.ReadWrite.All*です。

2. 移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** のプロパティ をクリックし、プロパティで **[1** つのドライブ] *Select a file sharing service to host documents and attachments* を選択します。
3. クラウドファイル構成モジュールに移動し、エンゲージメントタスクと監査タスクに対してこの機能を構成します。

   クラウドファイル設定レコードが表示されます。



   フィールドの詳細については、「クラウドファイル設定レコードの作成」を参照してください。

エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成する

管理者は GRC ワークスペース 、エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成し、クラウドファイルに対するアクセス権限を管理できます。

リリース以降 Washington DC 、クラウド構成モジュールを使用してクラウド構成レコードを作成し、添付されたクラウドファイルに対するアクセス権限を管理します。

クラウドファイル構成モジュールにアクセスするために必要なロール

ワークスペース 次のロールを持つユーザーは、クラウドファイル構成モジュールにアクセスできます。

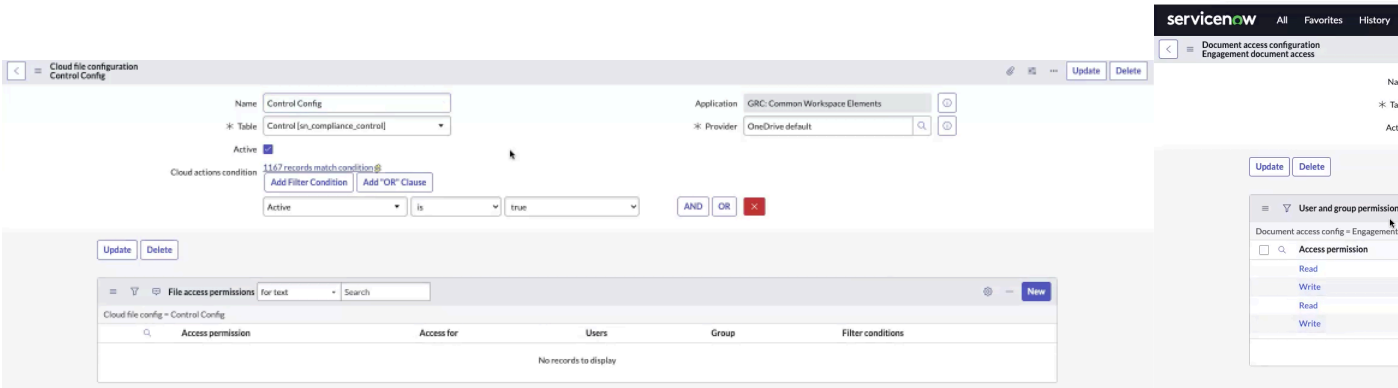
ロール

ロール	権限
ワークスペース 管理者 [sn_grc_workspace.admin]	CRUD 権限
ワークスペース ユーザー [sn_grc_workspace.user]	読み取り権限

クラウドファイル構成モジュール

管理者の場合は ワークスペース 、例に示すように、クラウドファイル構成モジュールの次のフィールドを更新して権限を設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- 名前:ドキュメントアクセスレコードの名前。例:エンゲージメントドキュメントアクセス権。
- テーブル:ドキュメントアクセスレコードに使用されるテーブル。例:エンゲージメント [sn_audit_engagement]。
- アクティブフラグ:レコードをアクティブとしてマークする GRC オプション。
- アプリケーション:レコードの作成に使用されるアプリケーション。例:GRC: Common Workspace Elements
- プロバイダー:ドキュメントアクセスレコードのプロバイダー。このフィールド Microsoft OneDriveのデフォルトのオプションは です。

クラウドファイル設定レコードの作成

クラウドドキュメントに対するアクセス権限を管理するクラウドファイル設定レコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_grc_workspace.admin (CRUD)、sn_grc_workspace.user (読み取り)

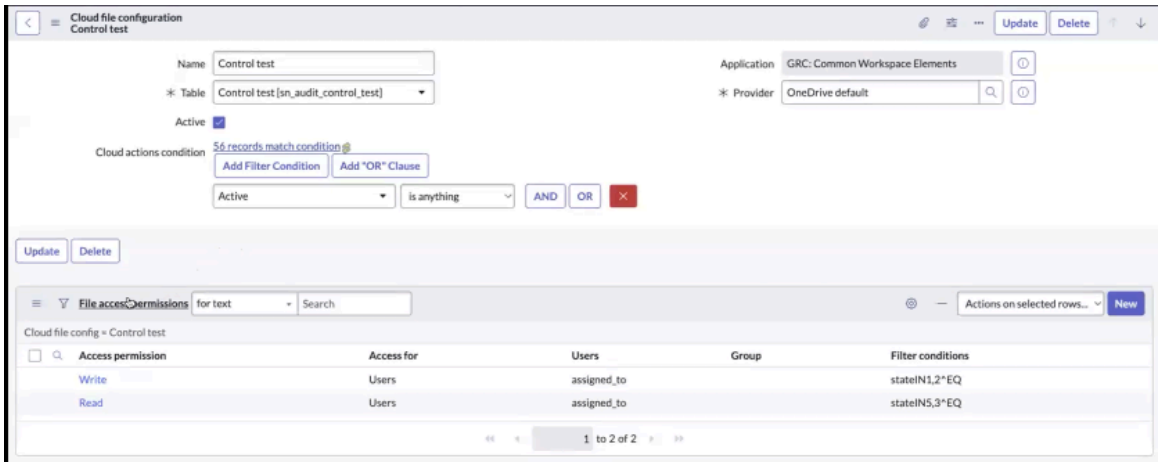
手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > クラウドファイル構成.
2. [新規] を選択します。
   クラウドファイル設定レコードが表示されます。
3. [クラウドファイル構成] フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「クラウドファイル構成レコードフォーム」を参照してください。親クラウドファイル構成がアクティブになると、例に示すように、クラウドファイル構成レコードのファイルアクセス権限を設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [更新] を選択します。

クラウドファイル構成レコードフォーム

クラウドファイル設定レコードフォームでレコードのアクセス権限を更新します。

クラウドファイル構成レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

クラウドファイル構成レコードフォーム

フィールド	説明
名前	クラウドファイル設定レコードの名前。例:エンゲージメントドキュメントアクセス権。
テーブル	クラウドファイル設定レコードに使用されるテーブル。例:エンゲージメント [sn_audit_engagement]。このテーブルで使用されるすべてのファイルについて、アクセス許可がこのフォームで構成されます。
アクティブ	レコードをアクティブとしてマークするオプション。
アプリケーション	レコードの作成に使用されるアプリケーション。例:GRC: Common Workspace Elements
プロバイダー	クラウドファイル構成のプロバイダー。クラウド内でファイルが存在する場所。デフォルトのオプションは **OneDrive** のデフォルトです。
ファイルのアクセス権限	
アクセス権限	レコードの読み取りまたは書き込み権限。
アクセス対象	ユーザーに対して選択されたアクセス権。
ユーザー	フォームの [ユーザー] フィールドの値。
グループ	グループに対して選択されたアクセス権。
フィルター条件	ドキュメントアクセスレコードを作成するために使用する条件。サンプル条件は、[**State**] [**is**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドファイル構成レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	one of] [**Open** (オープン)、 対応中 **(Work In Progress**)、 **Review]** のいずれかです。

権限を管理するファイルアクセス権限レコードを作成します

ファイルアクセス権限レコードを作成し、クラウドドキュメントに対するアクセス権限を管理します。

始める前に

必要なロール:sn_grc_workspace.admin (CRUD)、sn_grc_workspace.user (読み取り)

このタスクについて

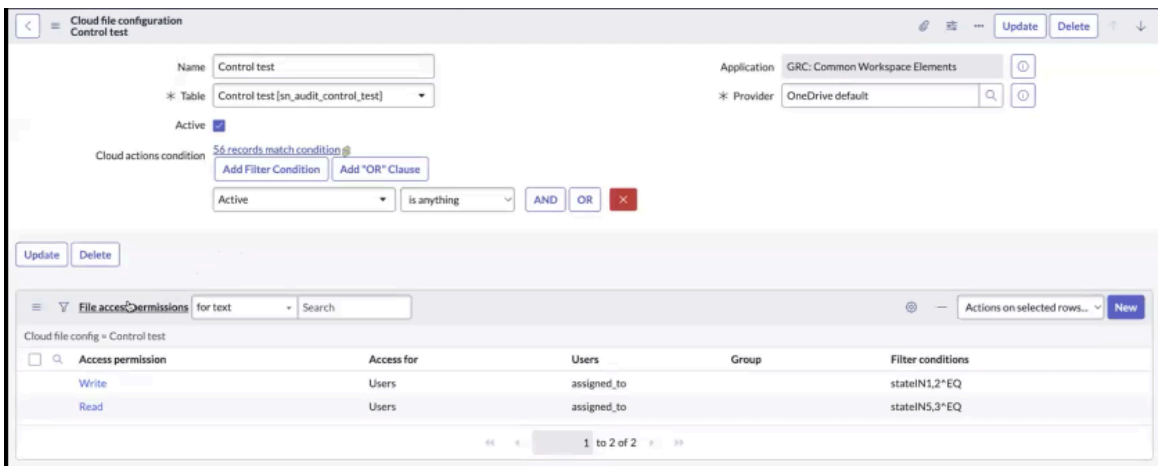
デフォルトでは、ファイルアクセス権限はエンゲージメントタスクレコードと監査タスクレコードで有効になっています。他のレコードでファイルアクセス権限を有効にする場合は、レコードフォームで [アクセスの要求] および [ファイルアクセスのリフレッシュ] アクションを使用できます。

このタスクについて

ファイルアクセス権限レコードを使用すると、ユーザーはクラウドドキュメントに対するアクセス権限を管理できます。

手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > クラウドファイル構成.
2. アクティブな親クラウドファイル設定レコードを選択します。
   クラウドファイル設定レコードが表示されます。



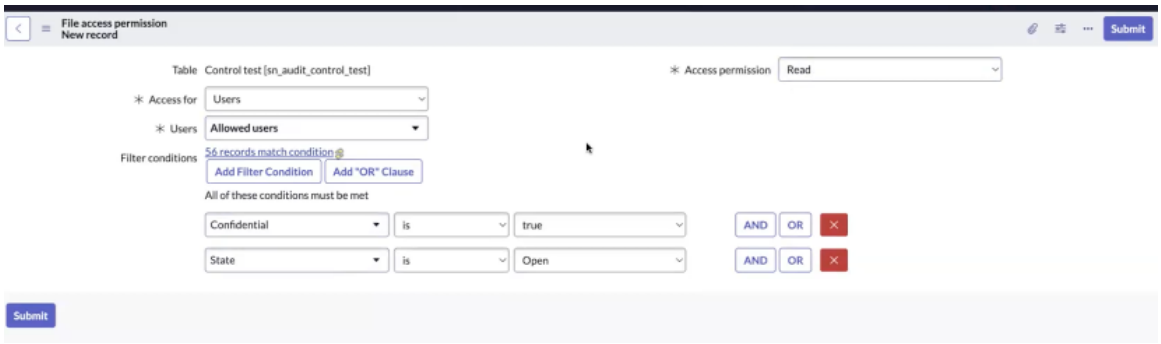
3. [ファイルアクセス権限] 関連リストで、[新規] を選択します。

   ファイルアクセス許可レコードが表示されます。次の例に示すように、許可されたユーザーまたは許可されたグループを [ユーザー] フィールドで選択できます。

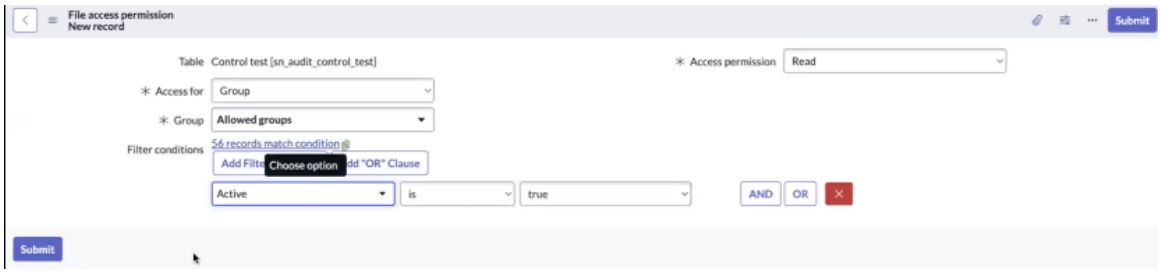
   レコードの 1 人以上のユーザーに対してファイルアクセス権限を設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レコードのグループユーザーのファイルアクセス権限を設定できます。ファイルアクセスグループ権限レコードのサンプルが表示されます。



4. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「ファイルアクセス権限レコードフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
   フォームで設定された設定に基づいて、クラウドドキュメントに対する権限が評価されます。

ファイルアクセス権限レコードフォーム

クラウドファイルのファイルアクセス権限レコードフォームを更新します。

ファイルアクセス権限レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

ファイルアクセス権限レコードフォーム

フィールド	説明
テーブル	アクセス権限が設定されているテーブルの名前。例:コントロール テスト [sn_audit_control_test]。
アクセス対象	ユーザーまたはグループのアクセス。例:エンゲージメント [sn_audit_engagement]。このテーブルで使用されるすべてのファイルについて、アクセス許可がこのフォームで構成されます。
ユーザー	ユーザーに対して構成されたアクセス権限。選択したレコードのすべてのユーザーのツリー構造を表示します。アクセス許可が更新されると、自動的に更新され、ユーザーに割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルアクセス権限レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
グループ	グループに設定されたアクセス。
アクセス権限	選択したユーザーに構成するアクセス権限のタイプ。たとえば、[読み取り] や [書き込み] などです。
フィルター条件	ファイルアクセス権限をいつ適用するかを示す条件。

ファイルのアクセス権限

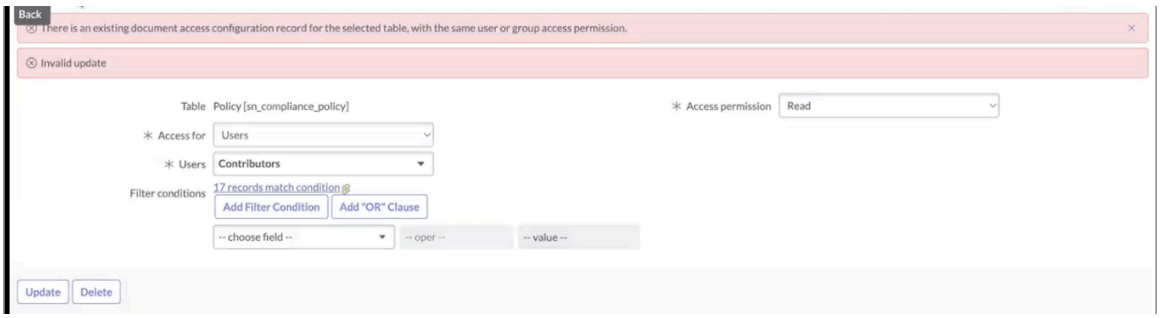
管理者は ワークスペース 、ユーザーとグループのファイルアクセス権限を設定できます。

ファイルのアクセス権限

管理者は ワークスペース 、次の条件でユーザーとグループの権限を設定できます。

- [テーブル] フィールド、[アクセス許可] フィールド、および [ユーザー] フィールドの組み合わせに対して、設定できる ユーザー およびグループ権限レコードは 1 つだけです。特定のユーザーとアクセス権限のセットを持つテーブルに、既存のユーザーとグループの権限レコードがある場合、同じアクセス権限で重複レコードを作成することはできません。たとえば、貢献者がポリシー (sn_compliance_policy) レコードの読み取りアクセス権限を持っている場合、同じ条件の別のユーザーおよびグループ権限レコードの作成は許可されません。

- [テーブル] フィールド、[プロバイダー] フィールド、および **[**アクティブ] オプションの特定の組み合わせに対して許可されるドキュメントアクセス設定レコードは 1 つだけです。次の例に示すように、アクティブなテーブルに対して重複構成を指定することはできません。



- ユーザーが複数の ユーザー フィールドまたは グループ フィールドの一部である場合、より高いアクセス権がユーザーに付与されます。

レコードへの **GRC** ソースリンクと参照リンク

クラウドファイルがレコードに初めて接続されると、その接続 GRC はレコードへの GRC ソースリンクと見なされます。

同じクラウドファイルが別の GRC レコードにマッピングされている場合、そのファイルはレコードへの GRC 参照リンクと見なされます。

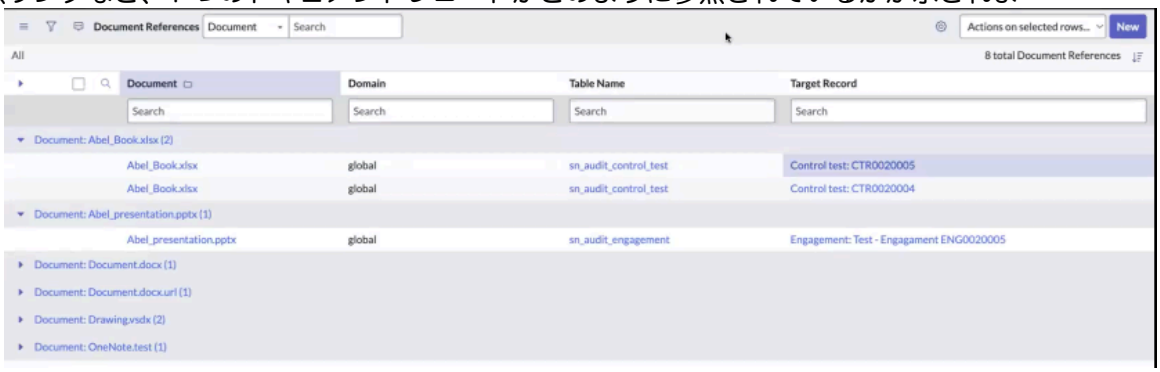
レコードへのソースリンクには常に書き込みアクセス権があり、GRCレコードへのGRC参照リンクには常に読み取りアクセス権があります。

レコードがクラウドファイルへのソースリンクとしてマッピングされると、構成はそのままクラウドファイルに適用されます。たとえば、構成に一部のユーザーの書き込みアクセスと一部のユーザーの読み取りアクセスが含まれている場合、同じ構成が維持され、ユーザーに適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドキュメント参照テーブルには、次の例に示すように、レコードへの GRC ソースリンクや参照リンクなど、1 つのドキュメントレコードがどのように参照されているかが示されま



す。

コントロールテストCTR0020005がソースリンクで、コントロールテストCTR0020004が参照リンクであるドキュメント Abel_Book.xslx の例を考えてみましょう。コントロールテストCTR0020004の構成に一致する構成の場合、この構成のすべてのユーザーは、構成で書き込みアクセス権を持っていても、読み取りアクセス権のみを持ちます。

アクセスドキュメントがエンゲージメントレコード 1 とエンゲージメントレコード 2 に接続されている次の例を考えてみましょう。

例:アクセスドキュメントと関連レコード

ドキュメント	ドキュメントが接続されているレコード
アクセスドキュメント	エンゲージメント記録 1.これは、Access ドキュメントのソースです。
アクセスドキュメント	エンゲージメントレコード 2.これは、アクセスドキュメントの参照です。

この例に割り当てられたアクセス許可については、次の表を参照してください。

例: 割り当てられたアクセス許可

レコードに接続されているドキュメントにアクセスする	ユーザーフィールド値	アクセスのタイプ	説明
エンゲージメントレコード 1	貢献者	書き込みアクセス権があります	ソースレコードの場合、権限構成は構成されているとおりに考慮されます。したがって、共同作成者にはエンゲージメント 1 への書き込みアクセス権があります。
エンゲージメントレコード 2	レビュー担当者	書き込みアクセス権があります	同じアクセスレコードがエンゲージメント 2 にマッピングされ、レビュー担当者は書き込みアクセス権を持っている必要があります。エンゲージメントレコード 2 は参照レコードであるため、レ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例: 割り当てられたアクセス許可 (続く)

レコードに接続されているドキュメントにアクセスする	ユーザーフィールド値	アクセスのタイプ	説明
			ビュー担当者には書き込みアクセス権ではなく読み取りアクセス権があります。

ソースリンクの別のユースケース

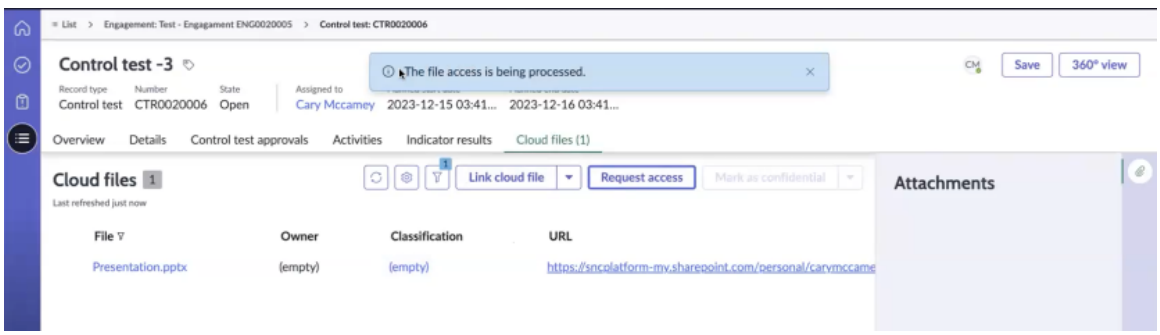
クラウドドキュメントがレコードにマップされると、クラウドドキュメントのソースリンクになります。同じレコードが削除され、クラウドドキュメントが別の GRC レコードにマップされている場合、次のレコードがクラウドドキュメントのソースリンクになります。

たとえば、Abel_book.xlsxファイルはエンゲージメント 1 とエンゲージメント 2 のレコードにマッピングされます。エンゲージメント 1 のレコードはソースリンクで、エンゲージメント 2 のレコードは参照リンクです。Abel_book.xlsxファイルとエンゲージメント 1 レコードの間のマッピングが削除された場合、Abel_book.xlsxファイルにはソースリンクがありません。ファイルがエンゲージメント 3 レコードAbel_book.xlsxマッピングされている場合、エンゲージメント 3 レコードがドキュメントのソースリンクになります。

アクセスの要求およびファイルアクセスを更新のアクション

デフォルトでは、ファイルアクセス権限はエンゲージメントタスクレコードと監査タスクレコードで有効になっています。他のレコードでファイル アクセス許可を有効にする場合は、フォームで [アクセスの要求] アクションと [ファイル アクセスの更新] アクションを使用できます。

グループに属するユーザーは、[アクセスの要求] アクション ボタンを使用して、クラウド ファイルへのアクセスを要求する必要があります。監査マネージャーグループの一員であるユーザーがフォームで [アクセスの要求] を選択すると、次の例に示すような UI メッセージが表示されます。 ファイルアクセスを処理しています。



クラウドファイルへのアクセスの要求は、グループユーザーにとって 1 回限りのアクティビティです。ユーザーが [アクセスの要求] を複数回選択し、そのアクセス権が既に付与されている場合は、「ファイルアクセスは既に許可されています」というメッセージが表示されます。

ユーザーがクラウドファイルへのアクセスを要求し、要求が時間内に処理されない場合は、エラーメッセージが画面に表示されます。ファイルへのアクセスを再度要求するには、ユーザーは [ファイル アクセス の更新] を選択する必要があります。

クラウド ファイルに接続する

ファイルパスとファイル名を使用してクラウドファイル Microsoft OneDrive に接続します。その後、クラウド ファイルを のレコード ワークスペースにリンクできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_audit_ws.auditor、sn_audit_ws.supervisor

[クラウドファイル] 関連リストのクラウドファイル UI アクションが、構成された条件に基づいてフォームに表示されていることを確認します。監査人とエンゲージメントリードに読み取りと書き込みのファイルアクセス権限が追加されていることを確認します。詳細については、「エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成する」を参照してください。

このタスクについて
リリース以降 Washington DC 、 Audit Workspace クラウドファイル統合は、統合を使用して Microsoft OneDrive エンゲージメントタスクレコードと監査タスクレコードで有効になります。したがって、このタスクは、エンゲージメントレコードへのクラウドファイルのリンクを指します Microsoft OneDrive 。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン (タスク) を選択します。
   リストには、自分にアサインされているエンゲージメントが表示されます。
3. 新しい監査エンゲージメントを作成するか、既存のエンゲージメントに移動して [クラウドファイル] タブに移動します。
4. [クラウド ファイル] タブで、[クラウド ファイルのリンク] を選択します。
   [ファイルを追加] ポップアップが表示されます。
5. 「ファイル の場所 」フィールドに、ファイルが存在する Microsoft OneDriveフォルダーのパスを入力します。
   フォルダーの場所として有効な文字は、[a-z]、[A-Z]、[0-9]、[_]、[-]、[/] です。
6. [ファイル名] フィールドに、ファイル形式のファイル名を入力します。
   ファイル名に有効な文字は、[a-z]、[A-Z]、[0-9]、[()]、[_]、[-]、[.] です[スペース]。ファイル名には、.docx、.ppt、.xlsなどのファイル拡張子も含める必要があります。
7. [機密としてマーク] オプションを選択します。

   このオプションを選択すると、レコードにリンクされているクラウドファイルが機密としてマークされます。レコードが機密としてマークされると、 内の ServiceNow他のレコードと共有することはできません。機密レコードを別の ServiceNow レコードにリンクしようとすると、次のエラーメッセージが表示されます :ファイルは機密であるため、レコードに追加できません。このオプションの選択を解除すると、クラウドファイルを別のレコードにリンクできます。

   > **注:**
   > この機能は、と Microsoft OneDriveの統合です。スポーク統合ハブアプリケーションに依存しMicrosoft OneDriveています。アプリケーション API は、ログインしているユーザーのアカウントでMicrosoft OneDriveファイルを検索します。ファイルがリンクされると、ファイルのソースがsn_grc_workspace_mp_dms_doc_linkテーブルレコードに保存されます。このソースは、 内の Microsoft OneDriveファイルに対する後続の操作に使用されます。

8. ポップアップで [リンク] を選択します。
   クラウドファイルがレコードにリンクされると、テーブルに設定された権限に従ってファイルアクセス権限が更新されます。ファイル・アクセス権の詳細については、を参照してください エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドファイルがレコードにリンクされます。次の UI メッセージが表示されます :ファイルが正常にリンクされました。クラウドファイルが、レコードフォームの [クラウドファイル] 関連リストに表示されます。

ファイルがオン Microsoft OneDriveに接続されると、監査人またはエンゲージメントリードは、定義されたアクセス権限に基づいて読み取りまたは書き込みアクセス権を取得します。

参照クラウドファイルのリンク

すでに他の GRC レコードに関連付けられている参照クラウドファイルをリンクします。機密でないファイルのみをリンクできます。

始める前に
必要なロール:sn_audit.admin、sn_audit.manager、sn_grc_workspace.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン (タスク ) を選択します。
3. 新しい監査エンゲージメントを作成するか、既存のエンゲージメントに移動して [クラウドファイル] タブに移動します。
   リストには、ログインしているユーザーにアサインされているエンゲージメントが表示されます。
4. [クラウド ファイル] タブで、[参照ファイルのリンク] を選択します。
   [参照ファイルをリンク] ポップアップが表示されます。
5. [ファイルの選択] フィールドで、レコードにリンクする参照ファイルを選択します。

   このフィールドには、パブリックとして分類されたクラウドファイルが入力されます。

   注:
   機密文書を参照ファイルとして他のレコードにリンクすることはできません。機密としてマークされたファイルは、ポップアップの利用可能なファイルのリストに表示されません。

6. ポップアップで [リンク] を選択します。
   クラウドファイルがレコードにリンクされると、テーブルに設定された権限に従ってファイルアクセス権限が更新されます。ファイル・アクセス権の詳細については、を参照してください エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成する。
   ファイルがレコードに正常に追加されたことを示す UI メッセージが表示されます。ドキュメントは、レコードフォームの [クラウドファイル] 関連リストに表示されます。

   他の GRC レコードに既に関連付けられている参照クラウドファイルがリンクされるようになりました。

クラウドファイルを機密ファイルとしてマークする

既にリンクされているファイルの 1 つを選択し、機密ファイルとしてマークします。クラウドファイルが機密としてマークされると、別のレコードにリンクしたり、他のレコードから参照したりすることはできません。

始める前に
必要なロール:sn_audit.admin または sn_audit.manager、sn_grc_workspace.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン (タスク ) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [エンゲージメント] リストでエンゲージメントを選択します。
   リストには、ログインしているユーザーにアサインされているエンゲージメントが表示されます。
4. [クラウドドキュメント] 関連リストで、クラウドドキュメントを選択します。
5. [機密としてマーク] を選択します。
   クラウド ファイルが機密ドキュメントとしてマークされている場合、他のレコードにリンクすることはできません。
   クラウドドキュメントは機密ドキュメントとしてマークされます。他のレコードで共有または参照することはできません。

クラウドファイルを機密でないファイルとしてマークする

機密ファイルの 1 つを選択し、非機密としてマークします。クラウドファイルが機密ではないとマークされると、別のレコードにリンクするか、他のレコードから参照することができます。

始める前に
必要なロール:sn_audit.admin、sn_audit.manager、sn_grc_workspace.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン (タスク ) を選択し、リストからレコードを選択します。
3. [クラウドファイル] 関連リストで、クラウドドキュメントを選択します。
4. [非機密としてマーク] を選択します。
   クラウドファイルが非機密ドキュメントとしてマークされている場合、他のレコードにリンクできます。
   クラウドファイルは機密ではないとマークされます。他のレコードで共有または参照できます。

リンクされたクラウドファイルをレコードから削除する

リンクされたクラウド ファイルを のレコード Audit Workspaceから削除します。

始める前に
必要なロール:sn_audit.admin、sn_grc_workspace.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン (タスク ) を選択します。
3. [エンゲージメント] リストでエンゲージメントを選択します。
4. [クラウドファイル] 関連リストで、クラウドドキュメントを選択します。
5. [リンク ファイルを削除] を選択します。
   確認ポップアップが表示され、次のメッセージが表示されます。リンク されたファイルを削除しますか?
6. ポップアップで [リンク ファイルを削除] を選択します。
   クラウドファイルがレコードにリンクされると、テーブルに設定された権限に従ってファイルアクセス権限が更新されます。ファイル・アクセス権の詳細については、を参照してください エンゲージメントと監査タスクに関するクラウドファイル構成を作成する。
   クラウドファイルがレコードから削除されたことを示す確認メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC の主なリスクおよびコントロールインジケーターを管理する

継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成に関連するアクティビティが含まれます。これらのインジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、コントロールの問題を作成し、リスクスコアを更新し、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。

インジケーターは、コントロールとリスクを監視するためにデータを収集し、監査証拠を収集します。インジケーターは単一のコントロールまたはリスクを監視します。

インジケーターテンプレート

インジケーターテンプレートを使用すると、類似するコントロールまたはリスクに複数のインジケーターを作成できます。

エンゲージメント概要

エンゲージメント概要は Audit Management アプリケーションに含まれており、監査結果に対するエグゼクティブビュー、タスク別のエンゲージメントブレークダウンを提供し、懸念のある領域を迅速に特定できます。

エンゲージメント概要モジュールには、ユーザーのロールに応じた監査情報が表示されます。

監査エンゲージメント概要

監査管理者、監査ユーザー、および監査マネージャーのロールを持つユーザーが、監査エンゲージメント概要を表示します。ベースシステムに次のレポートが含まれます。

監査エンゲージメント概要レポート

名前	ビジュアル	説明
エンゲージメントの結果	縦棒グラフ	各エンティティに対して実施された監査エンゲージメントの総数を表示します。グラフは、各エンティティの全体的な監査結果を表示するために積み重ねられます。
エンゲージメント別のエンティティ	ドーナツグラフ	各監査エンゲージメントのスコープに含まれるエンティティの合計数を表示します。
エンゲージメント別のコントロール	ドーナツグラフ	各監査エンゲージメントのスコープに含まれるコントロールの合計数を表示します。
エンティティ	ドロップダウンリスト	監査の結果を表示して比較する 1 つまたは複数のエンティティを選択します。
エンゲージメントを選択	ドロップダウンリスト	監査の結果を表示して比較する 1 つまたは複数のエンゲージメントを選択します。
満足のいくエンゲージメント	単一スコア	満足のいく結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査エンゲージメント概要レポート (続く)

名前	ビジュアル	説明
適切なエンゲージメント	単一スコア	適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。
不適切なエンゲージメント	単一スコア	不適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。
コントロールテスト結果	ドーナツグラフ	完了したコントロールテストの数。全体的なコントロール有効性評価で分類されます。
問題のブレークダウン	棒グラフ	エンゲージメント、ステータス、または応答別にグループ化された問題の数
監査タスクのブレークダウン	棒グラフ	タスクタイプ、アサイン先、トップタスク、およびステータス別にグループ化された監査タスクの数。タスクタイプ、アサイン先、トップタスク、およびステータス別に積み重ねられます。
期限切れの監査タスク	リスト	終了予定日を超えたオープンな監査タスクのリスト。

GRC インジケーターを作成する

コントロールとリスクを監視し、パフォーマンスの証拠を収集するインジケーターを作成します。

始める前に

必要なロール：compliance_admin または compliance_manager、risk_admin または risk_manager、audit_admin または audit_manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーター.
   - リスク > インジケーター > インジケーター.
   - 監査 > インジケーター > インジケーター.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーター

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	インジケーターの名前。
テンプレート	関連するインジケーターテンプレート。
カテゴリ	選択されているコントロール/リスクに関連付けられたカテゴリ。このフィールドは編集できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効	インジケーターがアクティブかどうかを判断するオプション。
コントロール/リスク	関連するコントロールまたはリスク。
適用するレコード	[アイテム] に関連するプロファイル。
オーナー	インジケーターのオーナー。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
テンプレートを上書き	このインジケーターに関連付けられたインジケーターテンプレートを上書きするオプション
最終結果 - 成功	コントロールが準拠していたか非準拠だったかを示すオプション。コントロールが準拠していた場合、チェックボックスはオンになります。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターの結果の初回収集時刻。 このフィールドは、インジケーターまたはインジケーターテンプレートが初めて実行されるときに基づいて自動的に設定されます。このフィールドの値は変更できません。
次回実行日	次回実行時間:このインジケーターテンプレートのすべてのダウンストリームインジケーターのインジケーター結果を収集します。
期日の期間 (日数)	インジケータータスクの作成から期日までの結果の生成までの期日期間。 作成日に追加された期日期間は、インジケータータスクの 期日 として反映されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [手動] を選択した場合にのみ表示されます。 詳細については、「インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化」を参照してください。
手法	
タイプ	結果は、タスクのアサインにより手動で、または基本フィルター条件、Performance Analytics、またはスクリプトを使用して自動的に収集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 手動：アサイニーが完了するインジケータータスクを作成するために使用されます。 ○ 基本：インジケーターが合格または不合格のコントロールを識別するかどうかを指定するために使用されます。 ○ スクリプト：必要なデータを収集するスクリプトを記述するために使用されます。
簡単な説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。問題の簡潔な説明。
説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。インジケーターの結果の収集のための指示。
必須の値	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。
成功/失敗	このフィールドは、[タイプ] が [基本] の場合に存在します。インジケーターが成功または失敗します。
スクリプト	このフィールドは、[タイプ] が [スクリプト] の場合に存在します。必要なシステム情報を取得するスクリプト。
提出データ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
テーブル	サポートデータを使用して、他のアプリケーションから裏付け証拠を収集します。
サポートデータフィールド	選択したテーブルに基づくサポートデータフィールド。
基準	サポートデータに対して適合する必要がある条件。
サンプル サイズ	サポートデータ用に選択するレコード数。

4. [送信] をクリックします。

GRC インジケーターテンプレートを作成する

コンプライアンスマネージャーまたはリスクマネージャーは、多数のインジケーターを作成できるインジケーターテンプレートを作成します。

始める前に

必要なロール：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager
- sn_grc.user

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーターテンプレート.
   - すべて > リスク > インジケーター > インジケーターテンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	インジケーターの名前。
説明	インジケーターの説明。
カテゴリ	インジケータテンプレートを作成しているカテゴリ。たとえば、[リスク指標テンプレート] を選択して、リスク指標テンプレートを作成します。
有効	インジケーターテンプレートがアクティブかどうかを判断するオプション。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターテンプレートのタイプを判断するために使用する方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [手動]：手動インジケーターは、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データがサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。 ○ [基本]：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。 ○ [スクリプト]：スクリプト化したインジケーターはカスタムスクリプトを使用してデータを収集します。
値がターゲット値以上の場合の結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、このフィールドに 100 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 100 を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは合格または失敗になります。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
ターゲット	インジケーターが合格か失敗かを決定する値。
説明	テンプレートの追加説明。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にするかどうかを決定するオプション。 **注:** このオプションは、[タイプ] フィールドで [手動] が選択されている場合にのみ表示されます。このオプションは、[ターゲットタイプ] フィールドから [カウント] または [パーセンテージ] が選択されている場合に自動的に選択されます。
サポートデータ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
提出データを含む	インジケーターを実行するたびにサポートデータまたは証拠の収集を有効にするオプション。
テーブル	サポートデータの収集に使用されるテーブル。
サポートデータフィールド	サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールド。
サンプルのコレクションタイプ	カウントやパーセンテージなど、サポートデータ収集のタイプ。
サンプルサイズ	サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、基本インジケーターが大きなテーブルをクエリし、インジケーターの実行ごとに数千のレコードを返すことができます。すべてを保存する必要はありません。それらのレコードのサンプルのみで十分です。サンプルサイズに 100 を入力すると、クエリが数千を返しても 100 レコードのみが保存されます。
基本基準	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。
参照フィールドを使用	[参照フィールド] の使用を有効にするオプション。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。
追加の基準	
ターゲットを持つインジケーターを作成するには、詳細フィルター基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドで [基本] を選択している場合にのみ表示されます。このセクションは、さらにフィルター基準を提供するために使用されます。	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パーセンテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターの結果の初回収集時刻。このフィールドは、インジケーターまたはインジケーターテンプレートが初めて実行されるときに基づいて自動的に設定されます。このフィールドの値は変更できません。
次回実行日	次回実行時間:このインジケーターテンプレートのすべてのダウンストリームインジケーターのインジケーター結果を収集します。
期日の期間 (日数)	インジケータータスクの作成から期日までの結果の生成までの期日期間。 作成日に追加された期日期間は、インジケータータスクの 期日 として反映されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [手動] を選択した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	詳細については、「インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化」を参照してください。

4. これらのエントリを完了すると、次の関連リストの情報も表示することができます。
   - コントロール目標/リスクステートメント
   - コンテンツ参照

   注:
   [コントロール目標/リスクステートメント] タブを使用すると、同じテンプレートを複数のコントロール目標および / またはリスクステートメントに再利用できます。

5. [送信] をクリックします。

監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ

機密性フラグは、問題、エンゲージメント、観察事項、コントロールテスト、アクティビティ、面談、およびチュートリアルのレコードに、レコードレベルで設定できます。許可されたユーザーが、これらのレコードを表示および更新できます。

[機密] オプションを選択すると、エンゲージメントリーダー、監査人、および承認者になることができるユーザーのリストが [許可されたユーザー] として自動入力されます。

システム管理者は、アクセス制御基準に基づいて、監査ユーザーや GRC ビジネスユーザーをリストに追加するか、既存のユーザーを一部削除して、リスト内のユーザーを許可されたユーザーとして設定できます。

また、監査ユーザーまたは GRC ビジネスユーザーではないユーザーをレコードにランダムに追加することもできます。ただし、監査ユーザーロールも GRC ビジネスユーザーロールも持たないすべての許可されたユーザーには、レコードにアクセスする場合、管理者から機密ロール (sn_grc.confidential_user) を取得するように勧めるメール通知が送信されます。

レコードにアクセスできる [許可されたグループ] としてグループを選択することもできます。

すべての問題、修正タスク、証拠要求タスク、エンゲージメント、観察事項、および機密レコードとしてマークされたすべての監査タスクを、アプリケーションナビゲーターから GRC 機密レコードとして表示できます。詳細については、「Confidential records in common GRC features (一般的な GRC 機能の機密レコード)」を参照してください。

同様に、監査およびコンプライアンスのワークスペースで作業している場合は、[タスク] ページの別のタブで [機密レコード] を監視できます。詳細については、ワークスペースの [自分のタスク] を参照してください。

システムレベルで機密性プロパティを有効にするには、次の手順を実行します。

1. 移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ.

   注:
   ユーザーには sn_grc.admin ロールが必要です。

2. [レコードレベルの機密性を有効にする] で [はい] を選択します。
3. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査の問題と修正を管理する

問題を手動で作成して、監査の観察事項または修正を文書化したり、問題を受け入れたりすることができます。インジケーターの結果、証明書の結果、またはコントロールテストの有効性から自動的に生成されます。

さまざまなタイプの問題は、次の条件で作成されます。

問題
: インジケーターが失敗したときに作成されます。

コントロールの問題
: コントロールが実装されていないことを示すコントロール証明書が完了されたときに作成されます。

コントロールテストの問題
: コントロール有効性が無効に設定された状態でコントロールテストが完了してクローズしたときに作成されます。

その他の問題
: ユーザーが手動で作成します。

コントロールエラーやリスクエクスポージャーの原因となっている根本的な問題を解決する意思を示す印をつける問題を修正します。問題を受け入れて、既知のコントロールエラーやリスクの例外を作成する意図があることをマークします。[受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

GRC の問題を手動で作成する

GRC ユーザーは、手動で問題を作成して、ポリシー、リスク、または監査観察事項を文書化するか、GRC の問題を受け入れることができます。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に
必要なロール：(製品ごと)

- In ポリシーとコンプライアンス管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- In リスク管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- : Audit Managementsn_grc.business_user sn_grc.business_user_lite

> **注:**
> 上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

問題に対するアクセス制御の制限の詳細については、「GRC business user role to control access and track usage of compliance tables (コンプライアンステーブルのアクセスを制御し、使用状況を追跡するための GRC ビジネスユーザーロール)」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

2. フォームのフィールドに入力します。

問題フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
アサイン先グループ	この問題がアサインされているグループ。この問題でアクティビティが発生すると、各メンバーは通知を受信します。
アサイン先	問題を解決するためにアサインされたグループのメンバー。 バージョン 12.0.1 以降、ユーザーには少なくとも sn_grc.business_user ロールが必要です。 **注:** 問題のアサイン先にする必要があるユーザーについての提案を得るには、電球アイコンを使用します。電球アイコンは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションが有効になっており、フォームが保存され、[アサイン先] フィールドが非アクティブになっており、GRC プロパティが類似性分析として選択されている場合にのみ表示されます。詳細については、「GRC のプロパティ」を参照してください。 問題レコードにアクセスするユーザーの階層を構成できます。詳細については、「User hierarchy access control for issue and remediation task records (問題および修正タスクレコードのユーザー階層のアクセス制御)」を参照してください。 バージョン 12.0.1 以降では、問題マネージャーがより多くの情報を要求すると、アサイン先ユーザーにメール通知が送信されます。 バージョン 12.0.1 以降、問題が [対応] ステータスに移行する場合、[アサイン先] フィールドへの入力は必須です。
問題ソース	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ インジケーター失敗：問題はインジケーターの失敗によって作成されます ○ リスクアセスメント：問題はリスクで作成されます ○ リスクイベント：問題はリスクイベントで作成されます ○ コントロール証明書失敗：問題は非準拠コントロールが原因で作成されます ○ コントロールテスト失敗：問題は、コントロールが無効で、コントロールテストが完了してクローズとしてマークされたときに作成されます ○ アドホック：問題は手動で作成されます
問題タイプ	問題の種類。選択肢は次のとおりです。 ○ コントロール設計有効性の問題 ○ コントロール運用有効性の問題 ○ コントロールは要件を満たしていません ○ コントロールが存在しません ○ 規制への非準拠 ○ ポリシーへの非準拠 ○ 既存のポリシーに対する改善または提案 ○ 新しいポリシーの推奨事項 ○ プロセスの最適化または改善 ○ 観察事項 ○ データ漏洩 ○ 詐欺 ○ 虚偽 ○ トレーニング ○ ドキュメント ○ リスク問題 ○ その他
分類	問題タイプに基づく、リスク、コンプライアンス、または監査としての問題の分類。
問題マネージャーグループ	問題の管理とレビューを担当するグループ。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 問題マネージャーグループのメンバーは、次のいずれかのロールが必要です。 ▪ sn_audit.manager ▪ sn_audit.user ▪ sn_compliance.manager ▪ sn_compliance.user ▪ sn_grc.manager ▪ sn_grc.user ▪ sn_risk.manager ▪ sn_risk.user ○ 問題が [分析] ステータスに移行するときは、[問題マネージャーグループ] または [問題マネージャー] フィールドのいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題がグループにアサインされると、メンバーはメール通知を受信します。さらに、問題が [レビュー] ステータスに移行すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。
問題マネージャー	問題の管理とレビューを担当するユーザー。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 ○ 問題マネージャーには、少なくとも sn_grc.user ロールが必要です。 ○ アサイン先ユーザーが要求された情報を提供すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。 ○ 問題が [分析] ステータスに移行する場合、このフィールドまたは [問題マネージャー] のいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
ステータス	○ 新規 ○ 分析 ○ 応答 ○ 評価 ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ
サブステート	サブステートとサブステートに適用される詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
優先度	問題を解決すべき順序 (影響度と緊急度に基づく) : ○ **1 -** 重大 ○ **2 -** 高 ○ **3 -** 中 ○ **4 -** 低 ○ **5 -** 計画中
問題評価	バージョン 12.0.1 以降、問題マネージャーは問題に問題評価をアサインすることができます。問題評価に基づいて、[日付] タブの下にある [期日] が次のように計算されて表示されます。 ○ 非常に高い (2 日) ○ 高 (4 日) ○ 中 (8 日) ○ 低 (10 日) ○ 非常に低い (15 日) [期日] は手動で上書きできます。 **注:** sn_grc.manager および sn_grc_advanced.issue_triage_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > 管理 > 問題評価 追加の問題評価を定義します。 問題が [対応] ステータスに移行すると、[問題評価] フィールドは読み取り専用になります。
問題グループルール	この問題にアサインされたグループルール。問題グループルールは、ルールで定義された条件に基づいて類似した問題を親問題にまとめてグループ化するために使用されます。このルールにより、同様の問題を同時に処理し、すべての問題が解決された後に親問題をクローズすることができます。それにより、すべての子問題がクローズされます。
親問題	この問題が属する親問題。
構成アイテム	この問題に関連付けられているアイテム。すべての子問題に同じ構成アイテムがある場合、親問題にコピーされます
場所	問題が発生した場所。
簡単な説明	問題の名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バージョン 12.0.1 以降、このラベルは [名前] に変更されました。	
説明	問題のより包括的な説明。
詳細	
コントロール/リスク	この問題に関連付けられたコントロールまたはリスク。 コントロールが関連付けられると、コントロールの対応するエンティティが [エンティティ] フィールドに追加され、コントロール目標が [コントロール目標/リスクステートメント] フィールドに追加されます。これらのコントロール目標とエンティティは、このコントロールにリンクされているものです。 コントロールが問題フォームに関連付けられると、m2m レコードがソース [sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。レコードがソーステーブルに追加されるたびに、対応するレコード [問題からエンティティ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_to_entity] テーブルに追加され、コントロールの関連付けられたエンティティとコントロール目標の別のレコード [問題からコンテンツ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_content] テーブルに追加されます。
エンティティ	関連エンティティ。
ポリシー	問題に関連付けられたポリシー。
各種法令・基準等	問題に関連付けられた各種法令・基準等。
コントロール目標/リスクステートメント	この問題に関連するコントロール目標またはリスクステートメント。
推奨事項	リスク、コンプライアンス、または監査チームによって推奨される解決アクション。
アクションプラン	問題を修正するための計画。
日付	
開始予定日	問題の作業の開始予定日時。
終了予定日	問題の作業の終了予定日時。
計画された期間	問題に対する作業時間の見積もり。
確認日	(バージョン 12.0.1 以降) 問題が確認された日付。このフィールドは読み取り専用で、問題が [新規] から次のいずれかのステータスに移行すると、当日の日付が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 分析 ○ レビュー ○ 対応 **注:** トリアージ問題が実際の問題に変換された場合、このフィールドには変換された日付が表示されます。
期日	(バージョン 12.0.1 以降) この日付は、GRC プロパティに基づいて自動入力されます。移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ.[問題の評価に基づいて期日を自動入力] プロパティが [はい] に設定されている場合、問題のリスク評価に対して事前定義された修復期間に基づいてこのフィールドが自動入力されます。それ以外の場合は、期日を手動で入力できます。 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
実開始日	この問題の作業が開始された時間。
実終了日	[実際の期間] 入力フィールドによって決定される読み取り専用の値。
実際の期間	作業時間。
作成日時	問題が作成された日時。
クローズ済み	問題がクローズされた日時。
エンゲージメント	
エンゲージメント	関連するエンゲージメント。
アクティビティ	
追加コメント (顧客に表示)	問題に関する公開情報。[投稿] をクリックして、問題にコメントを追加します。
作業メモ	[作業メモ] チェックボックスをクリックして、[作業メモ] フィールドを表示します。問題の解決方法に関する情報、または既に採った解決手順 (該当する場合)。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。[投稿] をクリックして、問題に作業メモを追加します。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
リスクイベント	
リスクイベント	関連リスクイベント。

3. 問題レコードを保存します。
画面の下部にあるタブを使用すると、問題を修正するためのさまざまなタスクを実行できます。ポリシー例外を追加し、修正タスクを作成できます。さらに、他の問題、インジケーターの結果、および問題に関連するタスク SLA を表示できます。

> **注:**
> バージョン 12.0.1 以降、[タスク **SLA]** タブは [期日] に基づいて SLA を作成して表示します。問題の [期日] までの 50% に達したとき、次に 75% に達したとき、その後、期日に達したときに、問題オーナーと問題マネージャーに通知が送信されます。[アサイン先] および [期日] フィールドが空でなく、問題が [新規] ステータスでない場合、その問題に対して SLA が作成されます。
>
> SLA の期日が変更されると、新しい SLA が作成されます。問題が [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に移行すると、SLA は完了です。また、[期日] または [アサイン先] フィールドが空であるか、ステータスが [新規] の場合、SLA はキャンセルされます。
>
> さらに、バージョン 12.0.1 以降では、アサイン先ユーザーおよび問題マネージャーのユーザーロール、および GRC ビジネスユーザーロールを持つユーザーを使用して修正タスクを作成できます。

証拠要求

証拠要求は、監査中にサポートドキュメントを要求するために監査およびコンプライアンスチームによって使用されます。監査人およびコンプライアンスチームは、防御の第一線にこれらのドキュメントを要求します。

証拠とは、監査人が監査意見を決定する際に使用するすべての情報です。証拠には、財務ステートメントの基礎となる会計レコードに含まれる情報やその他の情報が含まれます。証拠は本質的に累積的です。これには、監査中に実行された監査手順から取得された証拠が含まれます。証拠には、以前の監査などの他のソースから取得された監査証拠も含まれる場合があります。

証拠要求は、監査の準備中または監査の告知後の計画フェーズ中に頻繁に導入されます。要求されたドキュメントは、監査チームが、スコープ内のコントロールとプロセスを理解し、フィールドワークテストを開始するために使用されます。監査はさまざまなステージを経て進行するため、監査チームは頻繁に新しい要求をリストに追加します。コンプライアンスチームは、収集された証拠をコントロールテストに使用します。最新リリース以降、予定されていない証拠要求は Audit Management および ポリシーとコンプライアンス管理でサポートされています。証拠要求機能のメリットは次のとおりです。

- 防御の第 2 線および第 3 線で、すべての証拠要求を迅速に作成して送信するのに役立ちます。
- 要求と証拠の管理に役立ちます。
- コミュニケーション用のツールを提供することで、複数のメールが不要になります。
- コンプライアンスチームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、およびプロセスオーナーに証拠を要求できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 監査チームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、プロセスオーナー、およびコンプライアンスチームに証拠を要求できます。
- 提出する証拠の期日の指定を有効にします。
- アサイニーにメールのリマインダーを送信する機能を提供します。
- アサイニーは サービスポータル から直接証拠を提供できます。
- 証拠要求の簡素化されたマネージャー承認は、機密性や重要度などのさまざまな基準に基づくことができます。
- アサイニーは、Box や SharePoint などの一般的な証拠フォルダーに証拠を保存できます。
- 要求者とアサイニー間のコミュニケーションチャネルが改善され、承認プロセスが簡素化されています。
- 改善された機密性の制約は、権限のないユーザーが要求情報を表示することを防止します。

証拠は、エンゲージメントおよびすべての監査テーブルから要求できます。証拠を要求する方法を理解するには、「監査の証拠を要求する」を参照してください。

証拠要求ワークフローとユーザー

証拠要求は、顧客が防衛の第一線および第二線で必要な情報を電子的に要求するために役立ちます。監査対象の個人は、ドキュメントをすぐにシステムにアップロードできるため、手動での処理時間が大幅に短縮されます。

証拠要求ワークフローは次のとおりです。

1. sn_audit.user ロールを持つ監査ユーザーが証拠を要求し、その要求を別のユーザーにアサインします。この要求者は、自分自身のために証拠を要求するか、別の監査ユーザーまたは GRC ユーザーの代わりに要求を出すことができます。要求者は、証拠タスクが誤って作成されたと判断した場合、その特定の証拠タスクをキャンセルできます。証拠要求をキャンセルする機能は、要求が [ドラフト] ステータス の場合に利用できます。要求者は、タスクが [レビュー] ステータスに達するまで、いつでも証拠要求タスクをキャンセルできます。
2. 証拠要求を作成した後、証拠収集レコードを作成し、要求者が証拠を要求する必要があります。証拠収集レコードには、証拠収集の指示、アサイン先、およびアサイン先グループが含まれています。[証拠を要求] をクリックすると、証拠要求タスクが生成され、グループまたはユーザーにアサインされます。
3. アサイニーは、要求された証拠を提供するためのリンクを含むメールを受信します。

   注:
   要求者が証拠を要求した後にアサイニーを変更した場合、元のアサイニーは要求を表示できなくなります。要求をアサインされたユーザーのみが要求を表示できます。この機能により、機密性が確保されます。

4. アサイニーは、要求された証拠を添付するか、必要な証拠を含む URL または場所を指定できます。
5. アサイニーは、証拠を検証および承認するための承認者を追加することもできます。証拠が事実上機密である場合は、承認者の追加が必要です。
6. 承認者は証拠をレビューし、それを承認するか、リビジョンを要求するか、証拠に関するさらなる詳細を要求することができます。
7. 承認者が証拠を承認した場合、要求者は証拠を受け取り、それをさらに処理できます。
8. 要求者は証拠をレビューし、次のいずれかを実行できます。
   - 証拠を承認する。
   - レビューを要求する。

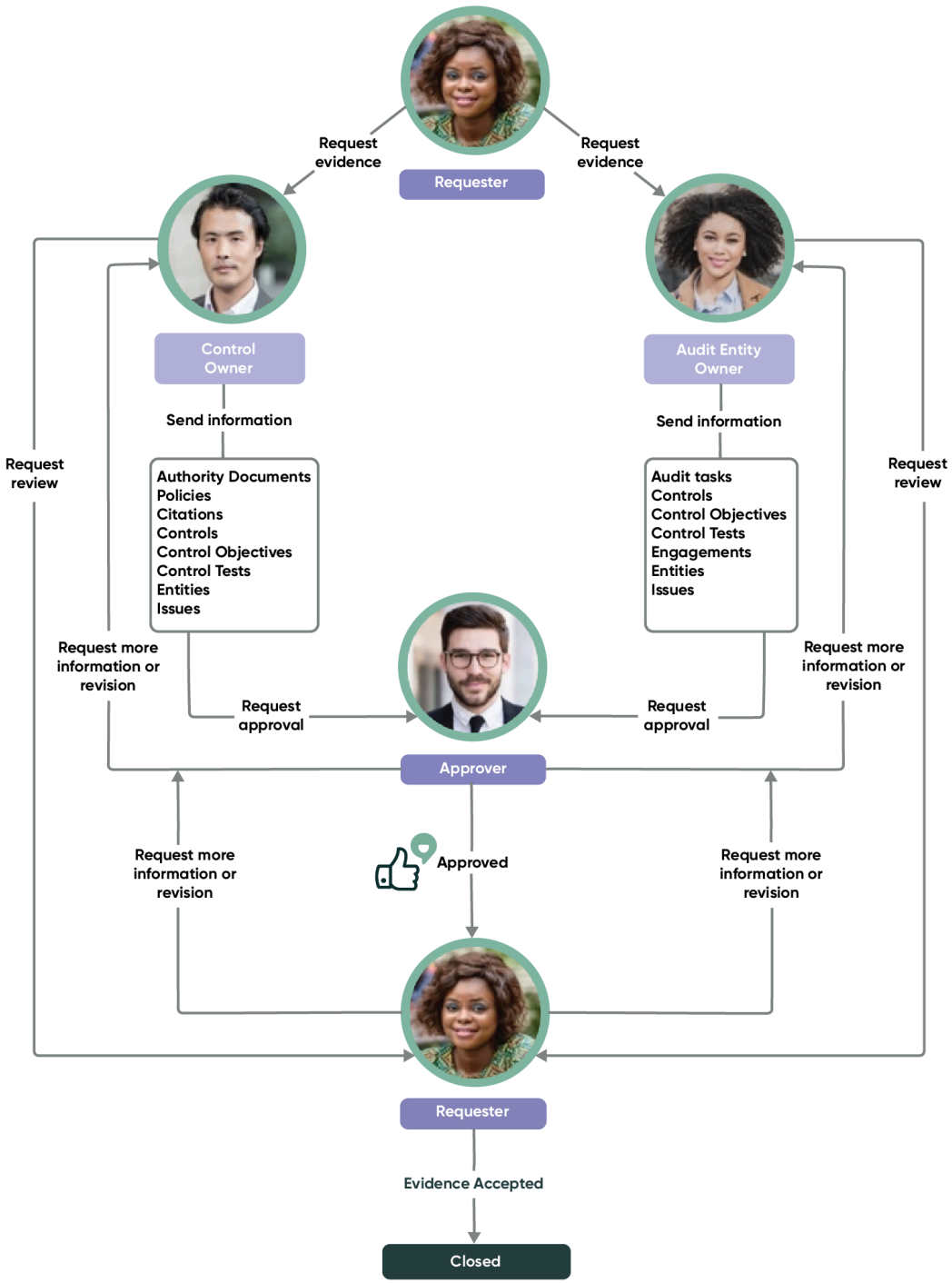
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 証拠に関するさらなる詳細を要求する。
- 証拠要求が不要になった場合はキャンセルする。
- 要求を削除する。

9. 要求者がすべての証拠タスクを受け入れると、要求はクローズされます。

証拠要求ワークフローを次の図に示しま



す。

次の表は、証拠要求ワークフロー中のロールとその責任を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

証拠要求ユーザー、責任、および要件

ユーザー	役割	要件
内部監査人	• 監査テストを実行する。 • 監査テストを要求する。 • すべての監査結果と収集された証拠をレビューする。	• コンプライアンスとリスクアクティビティへの可視性。 • チームの作業を計画するためのジョブキュー (処理待ち、現在、予定)。 • 監査結果を追跡および監視する。 • 監査アクティビティを追跡および監視する。
コンプライアンスマネージャー、監査マネージャー	• 証拠を要求できる。 • コンプライアンステストの証拠を要求する。 • すべての結果と収集された証拠をレビューする。	• コンプライアンスアクティビティへの可視性。 • チームの作業を計画するためのジョブキュー (処理待ち、現在、予定)。 • コンプライアンスの結果を追跡および監視する。
コンプライアンスユーザー、コントロールオーナー	• コントロールが実装されていることを確認する。 • コントロールを証明する。 • コントロールをテストする。 • 監査人によって要求された監査証拠を提供する。	• 日々のアクティビティを指定するジョブキュー。 • 所有するアクティビティとタスクの所要時間とパフォーマンスを追跡する。 • 所有するタスクと監査人からの追加要求が履行されるように確保する。

監査の証拠を要求する

監査中の任意のステージで証拠を要求します。証拠が要求されたアイテムの詳細は、証拠の提供責任者にも提供されます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.user

このタスクについて

証拠は、次の 3 つの方法で要求できます。

- [自分の証拠] モジュールから証拠レコードを作成する。
- エンゲージメントレコード内のエンティティ、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、およびその他の問題から作成します。これらのソースから証拠を要求するには、次に移動します。 監査 > エンゲージメント > 自分のエンゲージメント. エンゲージメントレコードを開き、証拠を要求する関連リストを選択します。[選択した行のアクション] リストから、[証拠を要求] を選択します。ここでは、新しい証拠要求を作成するか、既存の証拠要求に要求を追加できます。証拠要求は作成されますが、証拠要求タスクは作成されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンティティ、コントロール、コントロール目標、コントロールテスト、エンゲージメント、問題のテーブルから作成されます。ただし、ユーザーがこれらのテーブルから証拠を要求すると、実際の証拠要求タスクではなく証拠要求が作成されます。ユーザーは、生成された証拠要求レコードに移動し、証拠要求タスクを追加する必要があります。

この手順では、[自分の証拠 **(My Evidence)]** モジュールから証拠を要求する方法について説明します。

手順

1. 移動先 監査 > 自分の証拠要求.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

証拠要求フォーム

フィールド	説明
数値	証拠要求の一意の番号。
要求者	証拠を要求するユーザー。このフィールドは、自動的に入力されます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
ステータス	要求のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
タイプ	デフォルトのタイプは [監査] です。
要求理由	証拠を要求する理由。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。ユーザーがウォッチリストに追加された場合、そのユーザーは次の場所に移動できます。 監査 > 証拠要求 > 証拠要求ウォッチリスト 要求を表示します。
簡単な説明	証拠要求の簡潔な説明。
説明	証拠要求の詳細な説明。
スケジュール	
期日	証拠の送信予定日。
オープン	要求がオープンされた日付。この日付は自動的に更新されます。
クローズ済み	要求がクローズされた日付。この日付は自動的に更新されます。
アクティビティ	
作業メモ	必要な可能性があるメモを入力します。
アクティビティ	要求のアクティビティログ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

4. フォームを保存します。
[証拠収集の詳細] 関連リストが表示されます。この関連リストは、証拠が要求されているアイテムを一覧表示するために使用されます。
5. [新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

証拠収集の詳細フォーム

フィールド	説明
証拠要求	証拠要求タスクの一意の番号。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
証拠収集手順	証拠を提供するための指示。たとえば、サポートドキュメント、ファイルなどのリストです。

7. **[OK]** をクリックします。
8. [送信] をクリックします。
9. [証拠を要求] をクリックします。
証拠要求が既に [対応中] ステータスであり、新しい証拠収集の詳細が追加された場合、証拠要求タスクはすぐにアサイニーに送信されます。
[証拠] 関連リストに証拠のリストが表示され、要求をアサインされたユーザーは、要求された証拠を提供するためのメール通知を受信します。また、要求のステータスが [対応中] に変更されます。

要求された証拠を提供する

要求された場合は証拠を提供します。証拠が要求されると、証拠を提供する必要があるユーザーはメールを受信します。証拠を提供するプロセスが開始されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user

このタスクについて
アサイニーは、要求された証拠を提供するためのメールを受信すると、要求された証拠を提供するか、別のユーザーに要求を再アサインすることができます。アサイニーは、要求された証拠を送信す

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

る前に承認者を追加して、証拠のセキュリティを強化することもできます。アサイニーが要求を他のユーザーに再アサインした場合、元のアサイニーは要求を表示できなくなります。提供された証拠が承認者を必要としない場合、アサイニーは証拠のレビューを直接要求でき、要求者は証拠をレビューするための通知を受け取ります。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 証拠要求 > 自分の証拠要求タスク.
2. 証拠を提供するレコードを開きます。
3. [作業を承認] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

証拠フォーム

フィールド	説明
番号	証拠要求の番号。この値はデフォルトで生成されます。
要求者	証拠を要求するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
ステータス	要求のステータス。
サブステート	なし。この値はデフォルトで生成されます。
要求理由	証拠を要求する理由。
承認者	レビューのために要求者に返される前に証拠を承認するユーザー。通常、承認者は証拠を提供するユーザーのマネージャーです。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。
名前	証拠要求の名前。この説明はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
説明	証拠要求の詳細な説明。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
要求の詳細	
証拠要求	タスクに関連付けられた証拠要求の一意の ID。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
証拠対象の説明	証拠が要求されているレコードの説明。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠 URL	ユーザーが添付ファイルではなくリンクとして証拠を共有する場合の証拠の URL。たとえば、共有フォルダーへのリンクを指定することができます。

5. 添付された証拠の承認を要求するには、[承認要求] をクリックします。
6. 承認者が必要ない場合は、[レビューを要求] をクリックします。

証拠レビュー前に証拠を承認する

要求者が証拠を表示する前に、提供されている証拠を承認します。証拠要求に応じて証拠が提供される場合、証拠を要求者に送り返す前に、その証拠を承認する必要があります。この機能により、証拠のセキュリティと機密性が保証されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user

このタスクについて
承認者は、証拠を承認する要求を受信した後、次のいずれかを実行できます。

- 問題や懸念がない場合は、要求を承認する。
- 添付された証拠が正しくないか、修正が必要な場合は、その証拠のリビジョンを要求する。
- 承認者が添付された証拠に関する詳細を必要とする場合は、情報を要求する。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 証拠要求 > 自分の承認.
2. 証拠を承認するレコードを開きます。
3. フォームで添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
承認	添付された証拠を承認します。要求者は、提供された証拠を取得します。
リビジョンを要求	添付された証拠のレビューを要求します。リビジョンを要求するときにコメントを入力します。アサイニーは、添付された証拠をレビューするための通知を受け取ります。
情報を要求	添付された証拠に関する詳細情報を求めます。アサイニーは、添付された証拠に関する詳細を提供するための通知を受け取ります。

証拠要求を承認、却下、またはキャンセルする

要求した証拠を受信したら、証拠要求を承認、却下、またはキャンセルします。証拠要求を要求した後、要求者が証拠を受け取ると、その証拠要求を承認、却下、またはキャンセルできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user および sn_compliance.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 証拠要求 > 自分の処理待ちのレビュー.
2. 証拠フォームで、添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
証拠を承認	提供された証拠を承認します。
リビジョンを要求	証拠のレビューを要求します。適切でない場合は、変更を要求します。
キャンセル	証拠要求タスクをキャンセルします。
削除	証拠要求タスクを削除します。

監査計画の概要

監査計画を使用すると、体系的かつ論理的な方法ですべての監査エンゲージメントを計画できます。

監査エンゲージメントは複数のタスクを含むプロジェクトのようなものであり、適切な計画なしにすべての監査アクティビティを管理することは困難です。すべての監査、プロジェクト、およびコストを含む明確に定義された計画があると、監査マネージャーは効率的にタスクを実行できます。

監査計画の使用とメリット

監査チームは、組織内で複数の監査を実施します。監査計画を作成することで、監査チームは監査とエンゲージメントをより適切に計画できます。監査計画を作成することで、ロール sn_audit.manager を持つ監査人ディレクターまたは監査リーダーは次のことができます。

- エンゲージメントを効果的に計画し、年次内部監査計画で設定された目標が確実に達成されるようにする。
- 監査人が状況の適切な証拠を取得できるようにする。
- 監査コストを妥当なレベルに維持する。
- 潜在的な問題が迅速に特定されるようにする
- 明確に定義された方法で監査タスクを実行するために監査人によって決定された監査プログラムのスコープを取得する。

監査計画ワークフロー

- 監査の目的の定義
- リスクアセスメント
- 監査スコーピング
- 監査スケジュールの概要とマイルストーンを含む詳細な監査タイムライン
- 必要なスキル別のリソース計画と監査チームの構築
- コスト計画

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度な計画機能を備えた監査計画を作成し、その計画にエンゲージメントを追加し、エンゲージメントを [検証] または **[** フィールドワーク] ステータスに移行すると、関連付けられたエンゲージメントプロジェクトが自動的に生成されます。

> **注:**
> プロジェクトは、PPM Standard プラグインがインストールされていて、ユーザーが it_project_manager ロールを持っている場合にのみ作成されます。ユーザーが it_project_manager ロールを持たず、sn_audit.manager ロールしかない場合は、計画で高度な計画機能が有効になっていても、エンゲージメントが [検証] または [フィールドワーク] ステータスに移行したとき、対応するプロジェクトがありません。

監査計画にエンゲージメントを追加した後は、エンゲージメントの親計画を柔軟に変更することもできます。以下の点に注意することが重要です。

- エンゲージメントは、計画が [ドラフト] 、[承認待ち]、および [承認済み] ステータスの場合にのみ計画に対して追加または削除できます。
- エンゲージメントの親計画は、そのエンゲージメントが [スコープ]、[検証] 、および [フィールドワーク] ステータスである場合にのみ変更できます。

監査計画を作成する

定期的な方法でさまざまなタイプの監査を管理し、論理的な方法でエンゲージメントをグループ化する監査計画を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager、it_project_manager (プロジェクトを作成するため)

Advanced Audit プラグイン (com.sn_audit_advanced) を有効にします。

このタスクについて

監査計画が作成され、エンゲージメントが計画に追加されると、その計画は承認のために承認者に送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > プラン > 新規作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

計画フォーム

フィールド	説明
番号	計画の一意の番号。
名前	計画の名前たとえば、給与の年次監査計画などです。
解決までの期限	計画の期間。以下から選択可能です。 ○ 年ごと ○ 半年ごと ○ 四半期 ○ その他
開始日	計画の開始日。
終了日	計画の終了日。このフィールドは、[解決までの期限] フィールドでの選択に基づいて自動的

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に入力されます。[解決までの期限] フィールドが [その他] である場合は、終了日を手動で入力します。
所有グループ	計画の所有を担当するグループ。
オーナー	計画オーナー。
ステータス	計画のステータスデフォルトのステータスは [ドラフト] です。
サブステート	計画のサブステート。このフィールドの値は、ワークフローに基づいて変更されます。
タイプ	計画のタイプ。以下から選択可能です。 ○ なし ○ 内部監査計画 ○ 外部監査計画 ○ SOX 監査 ○ コンプライアンス監査計画 ○ ベンダー監査計画 ○ 顧客監査計画
計画	エンゲージメントに使用する計画機能。以下から選択可能です。 ○ 基本計画機能： ○ 詳細計画機能：このオプションを選択すると、エンゲージメントプロジェクトが自動的に作成されます。
承認者	計画を承認するユーザー。
説明	計画の簡単な説明。
達成目標	計画の目標。
経費とリソース	
予算経費	計画に基づくエンゲージメントに割り当てられた予算。
予定経費	エンゲージメントからの計画経費のロールアップ。
実際の経費	エンゲージメントからの実際の経費のロールアップ。
経費のコメント (Expense comments)	経費の詳細に関するメモ。
予算リソース	計画に基づくエンゲージメントに割り当てられた時間数。
予定リソース	エンゲージメントからの計画リソースのロールアップ。
実際のリソース	エンゲージメントからの実際のリソースのロールアップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リソースのコメント (Resource comments)	リソースの詳細に関するメモ。

3. フォームを保存します。
   [エンゲージメント] 関連リストが表示されます。
4. [エンゲージメント] 関連リストで、[新規] または [編集] をクリックしてエンゲージメントを追加します。
5. [承認を要求] をクリックします。
   ステータスが [ドラフト] から [承認待ち] に変わります。

計画を承認

計画の作成後に承認者としてアサインされた場合は、計画を承認します。計画のレビューを要求したり、計画作成者に計画に関する詳細情報を要求したりすることもできます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager

手順
1. 移動先 すべて > 監査 > 自分の計画承認.
2. 承認する計画を選択して開きます。
3. 計画をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
承認	作成された計画を承認します。
リビジョンを要求	計画のレビューを要求します。適切でない場合は、変更を要求します。
情報を要求	計画についての追加情報を要求します。
キャンセル	計画をキャンセルします。

詳細計画を使用してエンゲージメントを作成する

詳細計画機能を使用して、エンゲージメントプロジェクトを自動的に作成するエンゲージメントを作成します。エンゲージメントプロジェクトが作成された後、リソース計画とコスト計画をエンゲージメントに追加できます。これらの計画の値は、エンゲージメントと監査計画にロールアップします。

始める前に
詳細計画機能を使用するには、次のストアアプリケーションとプラグインを有効にする必要があります。

- GRC Advanced Audit プラグイン (com.sn_audit_advanced)
- GRC プロファイル
- GRC ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC リスク管理
- GRC Advanced Core
- GRC 高度なリスク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- GRC Audit Management
- プロジェクトポートフォリオ管理 Standard

エンゲージメントの監査計画を作成することを選択できます。

必要なロール：sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > 新規作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

エンゲージメントフォーム

フィールド	説明
番号	エンゲージメントの一意の識別番号。
名前	エンゲージメントの名前。
タイプ	エンゲージメントのタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 内部監査 ○ 外部監査 ○ SOX 監査 ○ IT 監査 ○ 財務監査 ○ コンプライアンス監査 ○ 認定監査 ○ 規制監査 ○ 運用監査 ○ 継続的な監査 ○ ベンダー監査 ○ 顧客監査 ○ ストア監査 ○ 品質監査 ○ プロジェクト監査 **注:** 監査のタイプの詳細については、「監査タイプ」を参照してください。
アサイン先	エンゲージメントにアサインされたユーザー。
ステータス	エンゲージメントの進捗状況。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ スコープ ○ 検証 ○ フィールドワーク ○ 承認待ち ○ フォローアップ ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ **注:** これらのステータスそれぞれの詳細については、「エンゲージメントを管理する」を参照してください。
完了率 (%)	完了したエンゲージメントの割合。
監査人	エンゲージメントにアサインされた監査人。
承認者	エンゲージメントにアサインされた承認者。
説明	エンゲージメントの一般的な説明。
達成目標	エンゲージメントの表明された目標。
スケジュール	
エンゲージメント開始予定	エンゲージメントの予定開始日。
エンゲージメントの開始	エンゲージメントの開始日を自動的に決定する選択肢。選択肢は次のとおりです。 ○ スコープ ○ 検証 ○ フィールドワーク
エンゲージメントの実際の開始	エンゲージメントが開始する実際の日付。
エンゲージメント終了予定	エンゲージメントの予定終了日。
エンゲージメントの終了	エンゲージメントの終了日を自動的に決定する選択肢。選択肢は次のとおりです。 ○ フォローアップ ○ クローズ済み **注:** [フォローアップ] および [クローズ済み] ステータスの詳細については、「エンゲージメントを管理する」を参照してください。
エンゲージメントの実際の終了	エンゲージメントが終了する実際の日付。
フィールドワーク開始予定	フィールドワークの予定開始日。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィールドワーク終了予定	エンゲージメントで最初に設定された終了予定日。 **注:** このフィールドは、自動的にフィールドワークの開始予定日の 1 日後に設定されます。
フィールドワーク予定期間	フィールドワークの予定日数と時間。フィールドワークの期間と開始予定日は、終了予定日を計算するために使用されます。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最長計画期間に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の開始	フィールドワークの実際の開始日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最も早い実際の開始日に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の終了	フィールドワークの実際の終了日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最新の実際の終了日に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の期間	フィールドワークの開始日から終了日までの期間。
結果	
結果	エンゲージメントの結果。選択肢は次のとおりです。 ○ 良好 ○ 適切 ○ 不適切
意見	選択した結果の正当性。
レポート	
ナレッジベース	レポートテンプレートを選択するために使用するナレッジベース。
レポートテンプレート	エンゲージメント結果を報告するナレッジベース記事を生成するために使用されるテンプレート。
KB 記事	エンゲージメント結果を含む最近生成されたナレッジベース記事。
アクティビティ	
追加コメント	顧客が表示できるコメント。
作業メモ	管理者および監査マネージャーが表示できるコメント。
計画の詳細	
親計画	エンゲージメントを関連付ける計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
経費とリソース	
予算経費	エンゲージメントの予算経費。
予定経費	エンゲージメントの推定経費。コスト計画が定義されている場合、このフィールドには推定経費が自動的に表示されます。
残りの予算経費	[予算経費] と [予定経費] の差。このフィールドは自動的に設定されます。
実際の経費	発生した実際の経費。タイムカードが定義されている場合、このフィールドは自動的に設定されます。
予算リソース	エンゲージメントの予算リソース (時間)。
予定リソース	エンゲージメントのための推定リソース (時間)。リソース計画が定義されている場合、このフィールドは自動的に設定されます。
実際のリソース	エンゲージメントの実際のリソース (時間)。タイムカードが定義されている場合、このフィールドは自動的に設定されます。
プロジェクトの詳細	
プロジェクト	自動的に作成されたエンゲージメントプロジェクト。このフィールドは、[検証と計画] をクリックすると入力されます。 **注:** このフィールドは、エンゲージメントが [検証] または [フィールドワーク] ステータスのときに、[詳細計画を有効にする] をクリックした場合にも入力されます。このフィールドは、次のいずれかが当てはまる場合にも入力されます。 ○ フィールドが、詳細計画機能を備えた計画に既にリンクされている。 ○ ユーザーに必須ロールがある。 ○ エンゲージメントが正しいステータスにある。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイムカード承認者	エンゲージメントにアサインされたユーザー。このフィールドで承認者を変更することもできます。 注: 複数のユーザーが選択されている場合は、リストの全員がタイムカードを承認する必要があります。

3. [検証と計画] をクリックします。

   注:
   [検証と計画] ボタンは、Advanced Audit プラグインが有効になっている場合にのみ表示されます。

   プロジェクトの詳細が入力されます。
4. [詳細計画を有効にする] をクリックします。

タスクの結果
エンゲージメントのバックグラウンドでエンゲージメントプロジェクトが作成されます。[リソース計画] および [コスト計画] 関連リストも表示されます。

次のタスク
リソース計画を作成し、コスト計画を作成します。

リソース計画からのエンゲージメントの監査人を追加する

リソース計画からのエンゲージメントで監査人に監査タスクをアサインします。リソース計画は、監査人に関連付けられたコストを追跡します。エンゲージメントを計画する際には、このコストを考慮することが重要です。

始める前に
リソース計画が作成されたエンゲージメントレコードがある場合、リソース計画は [割り当て済み] ステータスである必要があります。リソース計画の [リソース割り当て] セクションのユーザーには、監査人として追加できるリソースが含まれています。追加する監査人には、sn_audit.user または外部監査人ロール、および pps_resource ロールが必要です。[リソース計画] 関連リストとそれに関連付けられたワークフローは、GRC Advanced Audit および プロジェクトポートフォリオ管理 プラグインが有効になっている場合にのみ利用できます。

必要なロール：sn_audit.manager

手順
1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント.
2. 監査人を追加するエンゲージメントレコードを開きます。
3. [リソース計画] 関連リストをクリックします。
4. [監査人を追加] ボタンをクリックします。
   必要なロールを持つリソースがまだ存在しない場合は、自動的に [監査人] フィールドに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査可能単位を作成する

事業部門、部門、ベンダー、製品、ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、場所、各種法令・基準等、ポリシーなどのエンティティを持つ監査可能単位を作成し、監査可能単位でリスクアセスメントを実行します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.user または sn_audit.manager

GRC Advanced Audit プラグイン (com.sn_audit_advanced) を有効にします。

このタスクについて

監査可能単位を作成し、監査可能単位で実行するリスクアセスメントのタイプを決定できます。リスクアセスメントが完了した後、監査マネージャーは、リスク評価に基づいてエンティティを監査するかどうかを決定できます。監査可能単位は、エンゲージメントのエンティティとみなすことができます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査領域 > すべての監査可能単位.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

監査可能単位フォーム

フィールド	説明
番号	監査可能単位の一意の番号。
名前	監査可能単位の名前。たとえば、買掛金 - 経理。
所有グループ	監査可能単位を所有するグループ。
オーナー	監査可能単位のオーナー。
ステータス	監査可能単位のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
優先度	監査可能単位の優先度。
説明	監査可能単位の簡潔な説明。
リスクアセスメント	
メソッド	監査可能単位のリスク評価を取得するリスクアセスメントのタイプ。以下から選択可能です。 ○ 基本リスクアセスメント。このオプションでは、リスク評価の値を手動で入力できます。 ○ 詳細なリスクアセスメント。このオプションは、Advanced Audit プラグインが有効になっている場合に表示されます。このオプションを選択すると、[リスクアセスメント] 関連リストが表示されます。
リスク評価	基本リスクアセスメントから取得された監査可能単位のリスク評価。このフィールドは、[メソッド] フィールドに [基本リスクアセスメント] がある場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
固有リスク評価	固有のリスクスコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、[方法] フィールドに [詳細なリスクアセスメント] がある場合に表示されます。
コントロール有効性	コントロール有効性スコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、[方法] フィールドに [詳細なリスクアセスメント] がある場合に表示されます。
残存リスク評価	残存リスクスコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、[方法] フィールドに [詳細なリスクアセスメント] がある場合に表示されます。

4. [方法] フィールドで [基本リスクアセスメント] を選択した場合は、[送信] をクリックします。
5. [方法] フィールドで [詳細なリスクアセスメント] を選択した場合は、[リスクを評価] をクリックします。
   a. [査定人] フィールドで、リスクアセスメントの査定人を選択します。
   b. [承認者] フィールドで、アセスメントの承認者を選択します。
   c. [送信] をクリックします。
   左上にリスクアセスメントインスタンスのリンクが作成され、査定人はリスクアセスメントを実行するための通知を受け取ります。詳細なリスクアセスメントが実行された後、[リスクアセスメント] 関連リストにアセスメントが表示されます。
6. 次の利用可能な関連リストをクリックし、必要に応じてエンティティを追加します。
   - 事業部門
   - 部門
   - ベンダー
   - 製品
   - ビジネスプロセス
   - ビジネスアプリケーション
   - 場所
   - 各種法令・基準等
   - ポリシー

監査タイプ

監査には多数のタイプがあり、各監査タイプには監査エンゲージメントでの固有の用途があります。

監査タイプ	説明
内部監査	内部監査は、会社の内部コントロール、コーポレートガバナンス、および会計プロセスをチェックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査タイプ	説明
外部監査	外部監査は、組織によって準備された財務ステートメントの独立した調査です。
SOX 監査	サーベンスオクスリー (SOX) コンプライアンス監査は、会社が内部コントロールをどの程度適切に管理しているかを示す測定基準です。SOX では特に情報セキュリティについて言及されていませんが、実用的な目的では、内部コントロールは財務データを処理するインフラストラクチャを扱うあらゆるタイプのプロトコルであると理解されています。
IT 監査	IT 監査は、組織の情報技術インフラストラクチャ、ポリシー、および運用の調査と評価です。
財務監査	財務監査は、組織の財務レポートおよび財務レポートプロセスの独立した客観的な評価です。財務監査の主な目的は、財務ステートメントが正確かつ完全であるという合理的な保証を規制当局、投資家、ディレクター、およびマネージャーに提供することです。
コンプライアンス監査	コンプライアンス監査は、組織が外部の法律、ルール、規制、または社内規則、コントロール、ポリシーや手順などの内部ガイドラインに従っていることを確認するための独立した評価です。
認定監査	認定監査は、正式な ISO 9001 認定を発行する前に、登録機関が ISO 9001 標準に準拠していることを検証するために実施する監査です。
規制監査	規制監査の目的は、プロジェクトが規制と標準に準拠していることを検証することです。
運用監査	運用監査では、効率性と有効性を高めるための改善の特定を目的として、組織がビジネスを行う方法を検査します。
継続的な監査	継続的な監査は、会計慣行、リスクコントロール、コンプライアンス、情報技術システム、およびビジネス手順を継続的に調査する内部プロセスです。通常、継続的な監査はテクノロジー主導型で、エラーチェックとデータ検証をリアルタイムで自動化するように設計されています。
ベンダー監査	ベンダー監査は、2 つのエンティティ間の契約または合意の規約、条件および意図に対する請負会社またはベンダーのコンプライアンスの客観的なアセスメントを達成することを目的として会社に対して実施されます。
顧客監査	顧客監査は、会社が顧客によってどのように認識されているかを詳細にレビューし、各顧客のニーズをレビューして、顧客の各ビジネスで会社が果たしている役割を評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査タイプ	説明
ストア監査	ストア監査は、ハードデータを使用して小売業の拠点の健全性を評価します。小売業者、スタッフ、またはサードパーティが、ストアやポップアップショップを調べて、順調に動作および販売されているものとそうでないものに関する情報を収集します。
品質監査	品質監査は、内部または外部の品質監査人または監査チームによって実施される品質システムの体系的な調査のプロセスです。
プロジェクト監査	プロジェクト監査は、プロジェクトの正式なレビューであり、多くの場合、プロジェクト管理標準がどの程度維持されているかを評価します。監査は通常、特別に指定された監査部門、プロジェクトマネジメントオフィス、承認された管理委員会、または外部監査人によって実施されます。

マイルストーンを管理する

マイルストーンは、エンゲージメントの進捗状況を追跡するために使用できます。

エンゲージメントのマイルストーンを作成した後、マイルストーンに監査タスクを追加し、それらのタスクをマイルストーンとして追跡することもできます。マイルストーンを担当するユーザーにマイルストーンをアサインできます。ユーザーがマイルストーンにアサインされると、アサインを知らせる通知が送信されます。マイルストーンがアサインされたユーザーには sn_audit.user ロールが必要です。エンゲージメントが [フォローアップ] ステータスに移行し、オープンな監査タスク、オープンなマイルストーン、およびオープンな観察事項がない場合、エンゲージメントは [クローズ済み] ステータスに移行します。

エンゲージメントからマイルストーンを作成した後、次の場所に移動してマイルストーンを管理できます 監査 > マイルストーン > 自分のマイルストーン.

エンゲージメントマイルストーンを作成する

エンゲージメントのマイルストーンを作成して、エンゲージメントの進捗状況を追跡します。マイルストーンに監査タスクを追加することもできます。

始める前に

Advanced Audit プラグインを有効にします。

必要なロール：sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント.
2. マイルストーンを作成するエンゲージメントを開きます。
3. [マイルストーン] 関連リストをクリックします。
4. [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マイルストーンフォーム

フィールド	説明
番号	マイルストーンの一意の番号。この番号は自動的に生成されます。
タイプ	監査マイルストーンタイプ。以下から選択可能です。 ○ スコーピング ○ 計画 ○ フィールドワーク ○ フォローアップ ○ レポート ○ クローズ
名前	マイルストーンの名前。
アサイン先グループ	マイルストーンを担当するグループ。グループメンバーには、sn_audit.user ロールが必要です。
アサイン先	マイルストーンの作業担当者。
ステータス	マイルストーンのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
完了率 (%)	マイルストーン完了率。このフィールドに値を入力すると、ステータスが [対応中] に変わります。
親	マイルストーンの親エンゲージメント。
主要マイルストーン	マイルストーンを重要としてマークするオプション。
オートコンプリートとクローズ	関連付けられたすべての監査タスクが完了してクローズされたときに、マイルストーンを完了してクローズとしてマークするオプション。このオプションが有効になると、完了してクローズとしてマークされたタスクの数に応じて完了率が自動的に更新されます。
説明	マイルストーンの簡単な説明。
スケジュール	
期日	マイルストーンの予定完了日。
完了日	マイルストーンの実際の完了日。
クローズ日	マイルストーンの実際のクローズ日。
アクティビティ	
作業メモ	マイルストーンの作業メモ。
追加コメント (顧客に表示)	マイルストーンに関連するコメント (存在する場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. フォームを保存します。
   [監査タスク] 関連リストが表示されます。
7. メンバーの編集フォームで、必要な監査タスクを [コレクション] 列の利用可能な監査タスクから [監査タスクリスト] 列に移動し、[保存] をクリックします。
   マイルストーンが作成されます。

監査タスクからマイルストーンを作成する

監査タスクをマイルストーンとして作成して追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > マイルストーン > すべてのマイルストーン
2. 追跡する監査タスクを含むマイルストーンを開きます。
3. [監査タスク] 関連リストから、追跡する監査タスクを開きます。
4. [マイルストーンとして追跡] をクリックします。
   マイルストーンが作成され、タスクがマイルストーンに追加されます。

監査観察事項

監査観察事項は監査の結果です。監査観察事項は、監査レポートの重要な部分として、レビュー、分析、面談、およびディスカッションの結果を表します。

監査観察事項は、重大な問題に監査マネージャーの注意を引くために使用されます。観察事項はシステムのログに記録されます。たとえば、銀行の業務が監査されている場合、監査観察事項は、銀行の業務が監査基準に照らしてどのように行われているかについての証拠に基づいています。コントロールテスト、面談、およびチュートリアル中に、監査観察事項が記録されます。監査ユーザーは、エンゲージメントが [フォローアップ] または [クローズ済み] ステータスでない場合、エンゲージメントから観察事項を作成できます。観察事項は、すべてのタイプの監査タスクから作成することもできます。

監査人が監査を完了すると、監査人は監査マネージャーに監査観察事項を提示します。監査人は、監査観察事項を使用して、問題、検出、および推奨事項のサマリーを提示できます。監査チームは、観察事項をレビューして、その観察事項が報告可能な問題であるかどうかを判断します。監査チームは、観察事項を推奨事項、観察事項、またはベストプラクティスとして追跡できるかどうかを決定することもできます。

ライフサイクルでは、監査観察事項は次の状態に移行します。

1. ドラフト
2. レビュー
3. 応答
4. 確定
5. クローズ済み

観察事項のワークフローは次のとおりです。

1. sn_audit.user ロールを持つ監査ユーザーが観察事項を作成します。
2. 観察事項の作成者は、回答者とピアレビュー担当者を観察事項にアサインします。回答者はエンティティオーナーとコントロールオーナーです。ピアレビュー担当者は、エンゲージメントの監査人および監査リーダーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

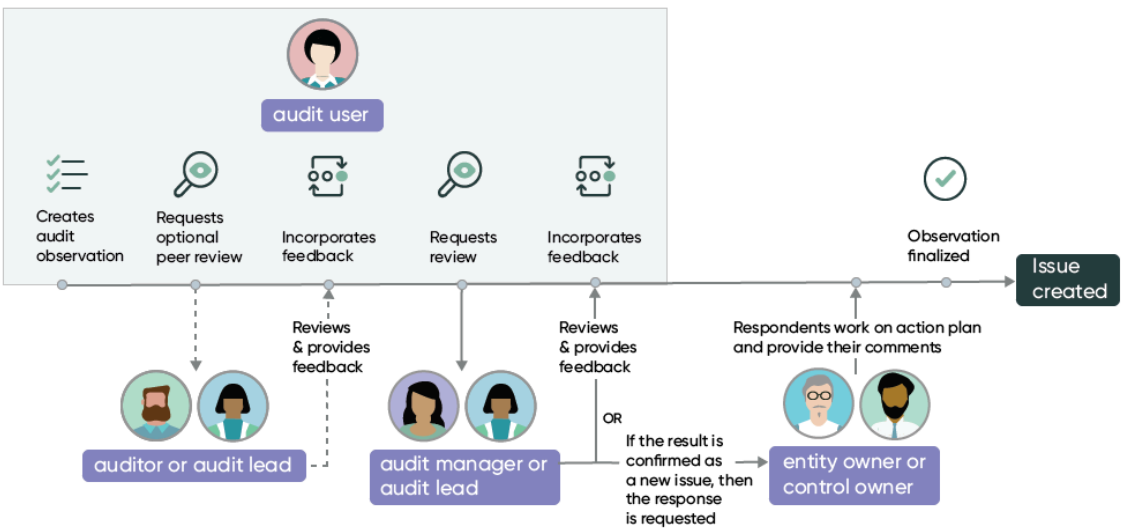
自動翻訳

3. 観察事項の作成者は、観察事項のピアレビューを要求できます。その場合、次のようになります。
   a. ピアレビュー担当者は、ピアレビューを実行するための通知を受信します。ピアレビュー担当者は、 監査 > 観察事項 > 自分の処理待ちのピアレビュー.
   b. ピアレビュー担当者がレビューを完了します。

   注:
   ピアレビューが要求されると、ステータスは [ドラフト] のままになりますが、サブステートは [ピアレビューが要求されました] サブステートに変わります。

4. 観察事項の作成者は、レビューを要求することもできます。レビュー担当者は、監査マネージャーまたは監査リーダーになることができます。
   a. レビュー担当者は、レビューを実行するための通知を受信します。レビュー担当者は、次の場所でタスクを表示できます。 監査 > 観察事項 > 自分の処理待ちのレビュー.
   b. レビュー担当者は、観察事項の改訂を要求するか、回答者からの応答を要求することができます。レビュー担当者は、適切なオプションを選択して [結果] セクションでフィードバックを提供することもできます。
5. レビュー担当者が回答者からの応答を要求した場合、回答者は次の場所に移動して観察事項に応答します。 監査 > 観察事項 > 自分の応答処理待ち.
6. 観察事項が [確定] ステータスに移行します。
7. 観察事項がクローズされ、問題が作成されます。

監査観察事項ワークフロー



エンゲージメントの経費とリソースをロールアップする

監査プロジェクトには、関連付けられたコスト、予算、およびリソースがあります。これらのコスト、予算、およびリソースのロールアップでは、監査マネージャーは全体のコストとリソースを統合された方法で表示できます。

新しいリリースから、Audit Management アプリケーションに Advanced Audit と呼ばれる新しいプラグインが導入されました。Advanced Audit プラグインを有効にして プロジェクトポートフォリオ管理 アプリケーションをインストールすると、プロジェクト管理機能を活用してエンゲージメントプロジェクトを自動的に作成できます。

監査計画を作成する場合、監査マネージャーはエンゲージメントに関与するすべての経費とリソースを表示できる必要があります。Advanced Audit プラグインを有効にすると、統合ビューのすべての

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンゲージメントの経費とリソースコストをロールアップできます。詳細計画機能を使用して、個々のエンゲージメントの経費とリソースをエンゲージメントの親計画に自動的にロールアップすることもできます。

プロジェクト予算のロールアップ

エンゲージメントプロジェクトが自動的に作成された後、ユーザーが it_portfolio_manager ロールを持っている場合、ユーザーはプロジェクト予算を作成できます。予算が作成されると、予算コストがエンゲージメントプロジェクトからエンゲージメントの [予算経費] フィールドにコピーされます。詳細計画機能を使用して自動的に計画を作成すると、関連付けられたエンゲージメントとエンゲージメントプロジェクトから [経費] フィールドと [リソース] フィールドの値がロールアップされます。プロジェクト予算を割り当てるには、「プロジェクトへの予算の割り当て」を参照してください。プロジェクト予算を割り当てると、予算コストフィールドのデータがエンゲージメントにコピーされます。たとえば、予算経費が 100 ドルのエンゲージメントがあるとします。次に、このエンゲージメントのエンゲージメントプロジェクトのプロジェクト予算を作成し、予算コストを 200 ドルとして入力すると、エンゲージメントの予算経費 100 ドルが上書きされ、200 ドルに置き換えられます。

実際の経費とリソースのロールアップ

エンゲージメントプロジェクトで実績工数が更新されると、その値がエンゲージメントの実際のリソースにコピーされます。[実際のリソース] と [実際の経費] の両方が [実績工数] および [実績コスト] フィールドからコピーされます。

リソース計画のロールアップ

プロジェクトポートフォリオ管理 を使用すると、リソース計画とコスト計画をエンゲージメントに追加できます。詳細計画を使用してエンゲージメントを作成する方法については、「詳細計画を使用してエンゲージメントを作成する」を参照してください。

リソース計画を作成し、それが [割り当て済み] ステータスになると、リソース計画のすべての確認済みおよび割り当て済みの時間が、エンゲージメントプロジェクトの予定リソースに合計されます。リソース計画が作成されると、値が自動的にロールアップされるため、エンゲージメントフォームの [予定リソース] フィールドに時間を手動で入力することはできません。[予定リソース] フィールドに時間を手動で入力するには、作成したリソース計画を削除する必要があります。

コスト計画のロールアップ

リソース計画の結果として作成されていない独立したコスト計画を作成する場合、エンゲージメントフォームの [予定経費] フィールドに手動で値を入力することはできません。[予定リソース] フィールドは引き続き編集できます。

Audit Management と タイムカード 管理の統合

監査ユーザーと監査マネージャーは、タイムカード 管理機能を使用して、エンゲージメントとエンゲージ上のその他のタスクの時間をログ記録および取得できるようになりました。

タイムカード 管理機能を使用すると、ユーザーはアサインされたタスクの時間を提示および追跡できます。Time Card Management 機能では：

- タイムカードユーザーは、タイムカードとタイムシートを使用して、タスクの作業時間を記録できます。ユーザーは、タイムカードとタイムシートを承認のために送信できます。
- タイムカードとタイムシートは承認のために、ユーザータイムシートポリシーの [プロジェクト以外の時間の承認者] フィールドに基づいてルーティングされます。タイムカード承認者ロールを持つマネージャーは、時間を記録し、リソースのタイムシートを送信することもできます。

Audit Management を タイムカード 管理と統合すると、次のタイムカードをレポートできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- エンゲージメント
- 監査タスク
- 問題
- マイルストーン

タイムカード 管理機能と GRC Advanced Audit の統合を使用するには、次のプラグインを有効にする必要があります。

- プロジェクトポートフォリオ管理
- GRC：Advanced Audit

注:
エンゲージメントの詳細計画を有効にする必要があります。

監査ユーザーがタイムカードを使用して時間を記録すると、タイムシートポリシーで定義された承認者に基づいてタイムカードが承認のために送信されます。タイムシートポリシーの詳細については、「タイムシートポリシー」を参照してください。

注:
承認者が指定されていないか、ユーザーにアサインされたタイムシートポリシーの [プロジェクト以外の時間の承認者] フィールドで [なし] が選択されている場合、**[**タイムカード承認者] フィールドのユーザーはそのエンゲージメントに関連付けられたタイムカードを承認できます。[プロジェクト以外の時間の承認者] フィールドで [ユーザーマネージャー] または [自動] が選択されている場合、承認者は上書きされずにそのまま残ります。タイムカードの承認に必要なロールの詳細については、「詳細計画機能と プロジェクトポートフォリオ管理 統合に必要なロール」を参照してください。

タイムカードを作成するには、「タイムカードを作成する」を参照してください。

ユーザーは、エンゲージメントにアクセスすることなく、タイムシートポータルから直接タイムカードを送信できます。タイムカードを送信するには、「タイムカードを送信する」を参照してください。タイムシートポータルからタイムカードを送信するには、「タイムシートポータル からタイムカードを送信する」を参照してください。

タイムカードおよび経費とリソースのロールアップ

バージョン 12.0.1 の Audit Management のリリースでは、エンゲージメントにプロジェクトが関連付けられている場合、タイムカードが承認され、経費ラインが処理された後、[実際のリソース] と [実際の経費] の両方の値がエンゲージメントにロールアップされます。エンゲージメントのプロジェクトを作成する前にタイムカードを作成して時間を記録することはできますが、プロジェクトの作成後にタイムカードを作成することをお勧めします。このタスクにより、経費とリソースの正確なレポートが保証されます。[タイムカード] 関連リストは、プロジェクトが作成された後にのみエンゲージメントに表示されます。

関連情報

詳細計画機能と プロジェクトポートフォリオ管理 統合に必要なロール

Audit Workspace

監査ワークスペースは、監査スーパーバイザーと監査人が全体的な監査のタイムラインとステータスを表示し、エンゲージメントの予算とリソースを追跡して、優先度の高い観察事項と問題をトレースし、継続中のコントロールテストと監査タスクの進捗状況を監視するための単一ペインビューです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい **Audit Workspace** のハイライト

ワークスペースは、新しいユーザーエクスペリエンスを提供します。

- 監査スーパーバイザーおよび監査人のデフォルトのホームページには、アクション可能なインサイトとクイックリンクが表示されます。
- 各ユーザーのニーズに基づいてモジュールを一覧表示する体系的ナビゲーションメニュー。
- 開業医、ビジネスユーザー、およびエグゼクティブ向けのエクスペリエンスが改善された、デザインし直されたページレイアウト。
- 全体的なビューと、表示されている内容に固有のアクション可能なインサイトを提供するレコードページ。
- スコアと評価を検討し、レコードの企業全体のデータ関係を視覚化するための 360 度ビュー。

監査スーパーバイザーのビュー

監査スーパーバイザーは、ワークスペースを使用して次のことができます。

- 計画とエンゲージメントを定義する
- 予算とリソースをエンゲージメントにアサインする
- エンゲージメントの進捗状況を追跡する

監査人ビュー

ワークスペースを使用する監査人は、次のことができます。

- コントロールの有効性をテストする
- 証拠を要求する
- 観察事項を作成する
- すべての監査アクティビティを完了する

自動翻訳

監査スーパーバイザー向け **Audit Workspace**

監査スーパーバイザーは、計画に従って内部監査を整理および管理します。

監査スーパーバイザーワークスペースの概要

監査ワークスペースは、監査スーパーバイザーが作業をより適切に管理できるようにパーソナライズされたエクスペリエンスを提供します。監査タスクをより適切に遂行するのに役立つ 4 つの主要なセクションがあります。

概要
: 監査のタイムラインと概要を提供します。

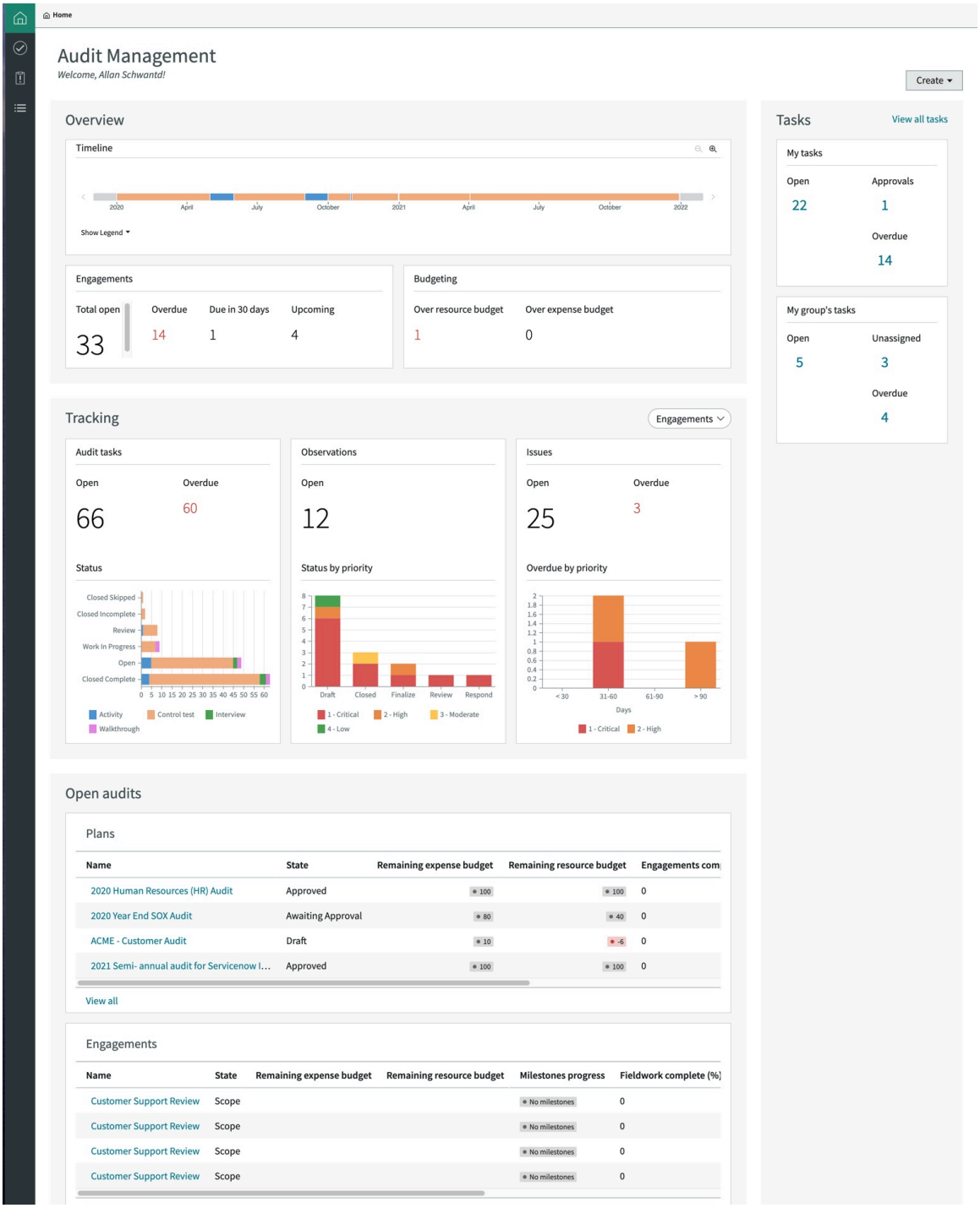
追跡中
: 監査タスク、問題、観察事項のサマリーを提供します。

監査をオープン
: オープンな計画とエンゲージメントの詳細を提供します。

タスク
: ログインしているユーザーのタスクとグループのタスクのサマリーを提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査スーパーバイザーのワークスペース

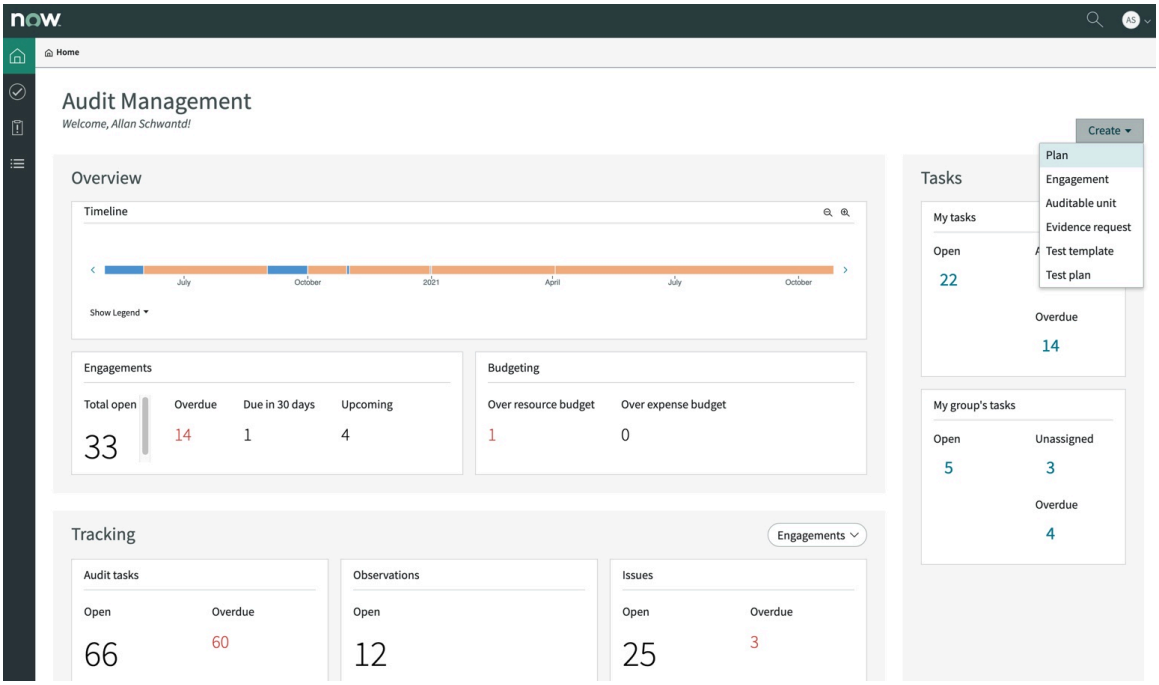


監査スーパーバイザーのワークスペースには、新しいレコードを作成するためのクイックリンクも用意されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査スーパーバイザーのレコードを作成するためのリンク



監査スーパーバイザーの責任には、監査のプロセスの監督、ポリシーに関する推奨事項の作成、組織による国際的および政府のコンプライアンス義務の履行の確保が含まれます。

監査スーパーバイザーのタスク

次の表に、監査スーパーバイザーとしてのロールで実行する主なタスクを一覧します。

監査スーパーバイザーのタスク

アクティビティ	タスク
監査プログラムを計画およびスケジュールし、承認のために計画を送信します。	計画を作成
計画を承認します。	計画を承認
監査エンゲージメントを作成し、進捗状況を監視します。	監査エンゲージメントを作成
リスクアセスメントを実行し、リスク評価に基づいて監査可能単位とエンティティをスコーピングします。	監査可能単位を作成しリスクのあるエンティティをスコーピングする
コントロールテスト手順を文書化するテスト計画を作成します。内部コントロールプロセスを評価するためのチュートリアルと面談を調整します。	• テストテンプレートを作成する • テスト計画を作成する
監査の観察事項、問題をレビューし、それらをフォローアップします。	• エンゲージメントの問題を作成 • エンゲージメントの観察事項を作成
監査エンゲージメントをレビューして承認します。	エンゲージメントの承認または却下

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査スーパーバイザーのタスク (続く)

アクティビティ	タスク
監査に基づいて推奨事項とレポートを作成し、これらのアイデアを上級管理者に提示します。	エンゲージメントのレポートを生成

Audit Workspace にテストテンプレートを作成する

テストテンプレートを作成し、それを使用して、同じテスト基準の多くを適用するテスト計画を作成します。

始める前に
必要なロール：
sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor、sn_audit.user、sn_audit_ws.auditor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [作成] をクリックして、[ホーム] ページから [テストテンプレート] を選択します。
   監査ワークスペースリストページに移動して、テストテンプレートを作成することもできます。
   a. リストアイコン ( ) をクリックします。
   b. 実行リストで [テストテンプレート] をクリックします。
   c. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいテストテンプレートフォームを作成

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	テストテンプレートの名前。
コントロール目標	コントロールテストのガイダンスとして機能する目標。
期間	日、時、分、秒単位でのテストの期間。
設計テスト	
想定設計	コントロールが効果的であるために適合する必要がある基本要件。
設計評価手順	コントロールの設計が、コントロール目標を達成するために効果的かどうかを判断するために従う必要がある手順またはステップ。これは、想定設計に基づいています。
運用テスト	
想定運用	コントロール目標を達成するためにコントロールが効果的に動作していることを確認するために適合する必要がある想定。
運用評価手順	コントロールが正常に動作していると判断するために実行する必要がある、想定運用を遂行するための詳細なステップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [保存] をクリックします。
5. ビジネスに影響する異なるタイプの重大な監査データ間の関係を視覚的に調べるには、**[360** 度ビュー] ボタンをクリックします。
6. 作成したテストテンプレートのコンテンツに関連付けられたすべてのテスト計画を更新するには、[すべて更新] ボタンをクリックします。
7. テスト計画がまだ存在しない場合に、テストテンプレートのように、コントロール目標に関連するすべてのコントロールのテスト計画を作成するには、[すべてのコントロールのテスト計画を作成] ボタンをクリックします。

Audit Workspace でテスト計画を作成する

コントロールテスト手順を文書化するテスト計画を作成します。テスト計画は、最初から作成することも、テストテンプレートを基に作成して、機能をどのようにテストするかを示すこともできます。

始める前に
必要なロール：
sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor、sn_audit_ws.auditor、sn_audit.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [作成] をクリックして、[ホーム] ページから [テスト計画] を選択します。
   監査ワークスペースリストページに移動して、テスト計画を作成することもできます。
   a. リストアイコン ( ) をクリックします。
   b. 実行リストで [テスト計画] をクリックします。
   c. [新規] をクリックします。

   [検証] または [フィールドワーク] ステータスのエンゲージメントからテスト計画を作成するには、テスト計画を選択し、[テスト計画] 関連リストで [コントロールテストを生成] ボタンをクリックします。
3. テスト計画のコンテンツをテストテンプレートのコンテンツに変更するには、[テンプレートに戻す] ボタンをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しいテスト計画の作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	テスト計画の名前。
コントロール	このテスト計画がカバーするコントロール。
エンティティ	エンティティは、[コントロール] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。
テストテンプレート	関連テストテンプレート。 テストテンプレートを選択すると、[設計テスト] セクションと [運用テスト] セクションのすべてのフィールドにテストテンプレートの値が入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	テストの予定期間。
設計テスト	
想定設計	コントロールが効果的であるために適合する必要がある基本要件。
設計評価手順	コントロールの設計が、コントロール目標を達成するために効果的かどうかを判断するために従う必要がある手順またはステップ。これは、想定設計に基づいています。
運用テスト	
想定運用	コントロール目標を達成するためにコントロールが効果的に動作していることを確認するために適合する必要がある想定。
運用評価手順	コントロールが正常に動作していると判断するために実行する必要がある、想定運用を遂行するための詳細なステップ。

5. [保存] をクリックします。
6. ビジネスに影響する異なるタイプの重大な監査データ間の関係を視覚的に調べるには、**[360** 度ビュー] ボタンをクリックします。

Audit Workspace で計画を作成する

定期的な方法でさまざまなタイプの監査を管理し、論理的な方法でエンゲージメントをグループ化する計画を作成します。

始める前に

Advanced Audit プラグイン (com.sn_audit_advanced) を有効にします。

必要なロール：sn_audit_ws.supervisor または sn_audit.manager

このタスクについて

監査計画が作成され、エンゲージメントが計画に追加されると、その計画は承認のために承認者に送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース > 計画 > すべての計画.
2. オプション: または、次の場所に移動します。 監査 > 監査ワークスペース > 計画 > 自分の計画.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

計画フォーム

フィールド	説明
番号	計画の一意の番号。
名前	計画の名前たとえば、給与の年次監査計画などです。
タイプ	計画のタイプ。以下から選択可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ なし ○ 内部監査計画 ○ 外部監査計画 ○ SOX 監査 ○ コンプライアンス監査計画 ○ ベンダー監査計画 ○ 顧客監査計画
ステータス	計画のステータスデフォルトのステータスは [ドラフト] です。
サブステート	計画のサブステート。このフィールドの値は、ワークフローに基づいて変更されます。
説明	計画の簡単な説明。
達成目標	計画の目標。
スケジュール	
解決までの期限	計画の期間。選択肢は次のとおりです。 ○ 年ごと ○ 半年ごと ○ 四半期 ○ その他
開始日	計画の開始日。
終了日	計画の終了日。このフィールドは、[解決までの期限] フィールドでの選択に基づいて自動的に設定されます。[解決までの期限] フィールドが [その他] である場合は、終了日を手動で入力します。
アサイン	
所有グループ	計画の所有を担当するグループ。
オーナー	計画オーナー。
承認者	計画を承認する必要があるユーザー。
経費	
予算経費	計画に基づくエンゲージメントに割り当てられた予算。
予定経費	エンゲージメントからの計画経費のロールアップ。
実際の経費	エンゲージメントからの実際の経費のロールアップ。
経費メモ	経費の詳細に関するメモ。
リソース	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予算リソース	計画に基づくエンゲージメントに割り当てられた時間数。
予定リソース	エンゲージメントからの計画リソースのロールアップ。
実際のリソース	エンゲージメントからの実際のリソースのロールアップ。
リソースメモ	リソースの詳細に関するメモ。
アクティビティ	
作業メモ	この計画に関するメモ。これらのメモは内部使用向けで、顧客には表示されません。
追加コメント (顧客に表示)	計画に関する追加コメントは、顧客に表示されます。

5. フォームを保存します。
   [概要] ページのステッパーで、計画プロセスフローの進行に合わせて計画のステータスを監視できます。
6. [エンゲージメント] 関連リストで、次のいずれかの操作を行います。
   - エンゲージメントを追加するには、[新規] を選択します。
   - 既存のエンゲージメントを追加するには、[追加] を選択します。
7. [承認を要求] を選択します。
   ステータスが [ドラフト] から [承認待ち] に変わります。

タスクの結果
計画が承認のために承認者に送信されます。計画が承認されると、フォームの [承認者] フィールドと [承認日] フィールドに値が自動的に設定されます。

Audit Workspace で監査エンゲージメントを作成する

ワークスペースでエンゲージメントを作成し、監査スーパーバイザーにアサインします。ワークスペースを使用して、エンゲージメントをスケジュールし、詳細を計画して、経費を予算計上します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

このタスクについて
監査スーパーバイザーは、エンゲージメントを作成して、監査情報を管理し、その監査に関連するエンティティ、コントロール、およびコントロールテストを収集できます。監査エンゲージメントを監督し、その実行を監視して、指示および時間どおりに確実に完了することができます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [作成] リストをクリックして、[ホーム] ページから [エンゲージメント] を選択します。
   監査ワークスペースリストページに移動して、エンゲージメントを作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. リストアイコン ( ) をクリックします。

b. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] をクリックします。

c. [新規] をクリックします。

3. フォームのフィールドに入力します。

新しいエンゲージメントの作成フォーム

フィールド	説明
番号	エンゲージメントの一意の識別番号。
名前	エンゲージメントの名前。
タイプ	エンゲージメントでの特定の使用に基づく監査タイプ。
ステータス	エンゲージメントの進捗状況。デフォルトのステータスは [スコープ] です。
フィールドワーク完了率 (%)	完了したエンゲージメントの割合。
説明	エンゲージメントの一般的な説明。
達成目標	エンゲージメントの表明された目標。
アサイン	
エンゲージメントリード	指示に従ってエンゲージメントを監督および完了する監査スーパーバイザー。
監査人	エンゲージメントにアサインされた監査人。
承認者	エンゲージメントにアサインされた承認者。
エンゲージメントスケジュール	
フィールドワーク開始予定	エンゲージメントの予定開始日。
フィールドワーク終了予定	エンゲージメントの予定終了日。
フィールドワーク予定期間	フィールドワークの予定日数と時間。フィールドワークの期間と開始予定日は、終了予定日を計算するために使用されます。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最長計画期間に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の開始	フィールドワークの実際の開始日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最も早い実際の開始日に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の終了	フィールドワークの実際の終了日。監査タスクが定義されている場合、このフィールドは監査タスクの最新の実際の終了日に自動的に設定されます。
フィールドワークの実際の期間	フィールドワークの開始日から終了日までの期間。
計画の詳細	
親計画	エンゲージメントに関連付けられる計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
開始日	計画の開始日。
終了日	計画の終了日。
経費とリソース	
予算経費	エンゲージメントの計算済み経費。
予定経費	エンゲージメントの推定経費。
実際の経費	発生した実際の経費。
予算リソース	エンゲージメントのための予算リソース (日、時間、分、秒)。
予定リソース	エンゲージメントのための推定リソース (日、時間、分、秒)。リソース計画が定義されている場合、このフィールドは自動的に設定されます。
実際のリソース	エンゲージメントのための実際のリソース (日、時間、分、秒)。
結果	
結果	エンゲージメントの結果。選択肢は次のとおりです。 ○ 良好 ○ 適切 ○ 不適切
意見	選択した結果の正当性。
レポート	
レポートテンプレート	エンゲージメント結果を報告するナレッジベース記事を生成するために使用されるテンプレート。
レポートのナレッジベース	使用するナレッジベース。
レポート	エンゲージメント結果を含むレポート。
アクティビティ	
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
作業メモ (プライベート)	管理者と監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [保存] をクリックします。
   監査エンゲージメントに関与するエンティティを定義できます。
5. [概要] ページで、[その他の問題] タブをクリックします。
   作成したエンゲージメントに 1 つ以上の関連する既存の問題を追加できます。既存の問題をエンゲージメントにマッピングすることで、オープンな問題の数を減らすことができます。

   a. [追加] ボタンをクリックします。

   b. [問題] ポップアップから関連する問題を選択します。

   c. [追加] をクリックします。
      選択した問題は、関連する問題としてエンゲージメントに追加され、エンゲージメントの問題 [sn_grc_m2m_issue_engagement] テーブル内のエンゲージメントと問題の間に m2m 関係が作成されます。[新規] ボタンをクリックして、新しい問題の作成フォームに移動し、エンゲージメントの問題を作成することもできます。

   d. エンゲージメントにマッピングされている問題を削除するには、問題を選択して [削除] をクリックします。
      削除アクションでは、m2m テーブル内のエンゲージメントと問題の間のマッピングまたは関連付けのみが削除され、問題レコードは削除されません。

      注:
      エンゲージメントが [廃止] ステータスの場合、[新規]、[追加]、[削除] などの UI アクションボタンは使用できません。

概要ページからのエンゲージメントの管理

説明、日付、スコープ、目標などの基本情報を含むエンゲージメントを作成して保存すると、概要ページが表示されます。

監査エンゲージメントの概要ページ

概要ページを使用して、必要な詳細を確認し、ステッパーで監査エンゲージメントのステータスフローを監視します。次のことが可能です。

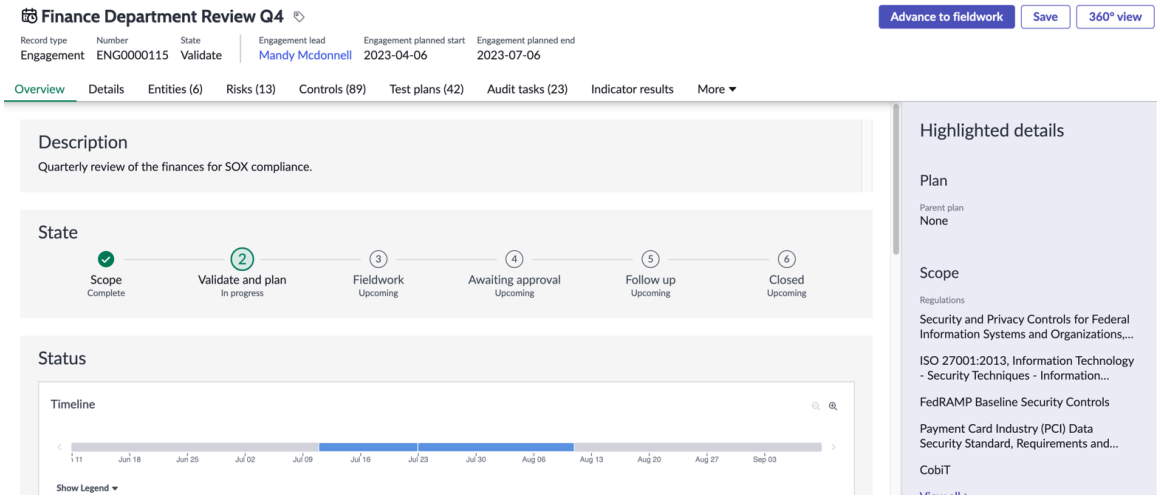
- 監査エンゲージメントを定義する
- チームメンバーをエンゲージメントにアサインする
- フィールドワークを実行してレビューする
- 問題を管理する
- 各種関連アイテムを使用して監査エンゲージメントを完了する

 アイコンを選択すると、エンゲージメントのスコープが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査エンゲージメントの概要



監査可能単位を作成しリスクのあるエンティティをスコーピングする

監査可能単位を作成して、リスクのある可能性のあるビジネスエンティティを特定し、それらに監査をスコーピングします。

始める前に

必要なロール：
sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor、sn_audit.user、sn_audit_ws.auditor

このタスクについて

監査可能単位は、事業部門、製品またはサービス、法人、規制に必要な監査、プロセス、プログラム、システム、ポリシー、規制、財務ステートメントなどのさまざまなエンティティの組み合わせです。

監査可能単位の性質とスコープを決定した後の目標は、リスクアセスメントを実行し、リスク評価に基づいて監査可能単位とエンティティをスコーピングすることです。

「Perform advanced risk assessment in the Risk workspace (Risk ワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行)」も参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [作成] をクリックして、[ホーム] ページから [監査可能単位] を選択します。
   監査ワークスペースリストページに移動して、監査可能単位を作成することもできます。
   a. リストアイコン ( ) をクリックします。
   b. [スコーピング] リストで [すべての監査可能単位] または [自分の監査可能単位] をクリックします。
   c. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい監査可能単位の作成フォーム

フィールド	説明
番号	監査可能単位の一意の番号。
名前	監査可能単位の名前。たとえば、買掛金 - 経理。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	監査可能単位のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
優先度	監査可能単位の優先度。
説明	監査可能単位の簡潔な説明。
アサイン	
所有グループ	監査可能単位を所有するグループ。
オーナー	監査可能単位のオーナー。
リスクアセスメント	
メソッド	監査可能単位のリスク評価を取得するリスクアセスメントのタイプ。以下から選択可能です。 ○ 基本リスクアセスメント：リスク評価の値を手動で入力できます。 ○ 詳細なリスクアセスメント：Advanced Audit プラグインが有効になっている場合に表示されます。このオプションを選択すると、[リスクアセスメント] 関連リストが表示されます。
リスク評価	基本リスクアセスメントから取得された監査可能単位のリスク評価。
固有リスク評価	固有のリスクスコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、リスクアセスメント方法が [詳細なリスクアセスメント] の場合に表示されます。
コントロール有効性	コントロール有効性スコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、[方法] フィールドに [詳細なリスクアセスメント] がある場合に表示されます。
残存リスク評価	残存リスクスコア。このフィールドの値は、高度なリスクアセスメントから導出されます。このフィールドは、[方法] フィールドに [詳細なリスクアセスメント] がある場合に表示されます。

4. [保存] をクリックします。
5. 事業部門、部門、ベンダー、製品、ビジネスプロセスなどのエンティティを監査可能単位に追加するには、[詳細] ページでそれぞれの関連リストをクリックします。
6. それぞれのポップアップからレコードを選択します。
7. [追加] をクリックします。
8. [有効化] をクリックします。
   監査可能単位のステータスが [有効] になります。
9. 監査可能単位を廃止するには、[その他のアクション] アイコン (•••) の [廃止] ボタンをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

10. GRC: Advanced Risk アプリケーションがインストールされていて、[リスクアセスメント方法] を [詳細なリスクアセスメント] として選択した場合は、 [リスクを評価] ボタンをクリックしてリスクを評価できます。
詳細については、「監査可能単位を作成する」のリスクアセスメント方法を参照してください。

エンゲージメントのマイルストーンを作成する

エンゲージメントのマイルストーンを作成して、エンゲージメントの進捗状況を追跡します。マイルストーンに監査タスクを追加することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

このタスクについて
マイルストーンは、エンゲージメントの進捗状況を追跡するために使用されます。

エンゲージメントのマイルストーンを作成した後、マイルストーンに監査タスクを追加することもできます。これらのタスクをマイルストーンとして追跡できます。

マイルストーンを担当するユーザーにマイルストーンをアサインできます。アサインされたユーザーには sn_audit.user ロールが必要です。アサインされたユーザーは、アサインに関する通知を受信します。

エンゲージメントが [フォローアップ] ステータスに移行し、オープンな監査タスク、オープンなマイルストーン、またはオープンな観察事項がない場合、エンゲージメントは [クローズ済み] ステータスに移行します。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] を選択します。
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
5. [マイルストーン] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しいマイルストーンの作成フォーム

フィールド	説明
番号	マイルストーンの一意の番号。この番号は自動的に生成されます。
名前	マイルストーンの名前。
親	マイルストーンの親エンゲージメント。
タイプ	監査マイルストーンタイプ。以下から選択可能です。 ○ スコーピング ○ 計画 ○ フィールドワーク ○ フォローアップ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ レポート ○ クローズ
ステータス	マイルストーンのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
完了率 (%)	完了したマイルストーンの割合。 このフィールドに値を入力すると、ステータスが [対応中] に変わります。
主要マイルストーン	マイルストーンを重要としてマークするオプション。
オートコンプリートとクローズ	関連付けられたすべての監査タスクが完了してクローズされたときに、マイルストーンを完了してクローズとしてマークするオプション。 このオプションを有効にすると、完了してクローズとしてマークされたタスクの数に応じて完了率が自動的に更新されます。
説明	マイルストーンの簡単な説明。
アサイン	
アサイン先グループ	マイルストーンを担当するグループ。 グループメンバーは、sn_audit.user ロールをアサインされている必要があります。
アサイン先	マイルストーンの作業担当者。
スケジュール	
期日	マイルストーンの予定完了日。
完了日	マイルストーンの実際の完了日。
クローズ日	マイルストーンの実際のクローズ日。
アクティビティ	
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
作業メモ (プライベート)	管理者と監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。

8. [保存] を選択します。
   デフォルトの [概要] ページの [ステータス] バナー で、マイルストーンレコードの説明を確認し、そのステータスを監視できます。

Audit Workspace での監査タスク管理

監査タスクはエンゲージメント全体を通じて完了し、組織が外部規制と内部ポリシーに準拠していることを示す文書化された証拠を提供します。

監査タスクは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コントロールテスト
- アクティビティ
- 面談
- チュートリアル

これらの監査タスクは、[検証] または **[** フィールドワーク] ステータスのエンゲージメントにアサインされます。

監査タスクが作成または再アサインされると、アサインされたユーザーに通知が送信されます。タスクが予定期間の 75% に達すると、通知が送信されます。

エンゲージメントからコントロールテストを作成する

定期的に実行されるコントロールテストを作成し、関連付けられたコントロールが正しく動作しているかどうかの証拠を文書化して提供します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] を選択します。
   次のいずれかのステータスにあるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [監査タスク] 関連リストを選択します。
6. 関連リストの下にあるグループ化ボタンをクリックして、リストから [新しいコントロールテスト] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しいコントロールテストの作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	コントロールテストの名前。
親	親エンゲージメント。
テスト計画	このコントロールテストに関連付けられたテスト計画。
ステータス	コントロールテストのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
コントロール有効性	コントロール有効性。
問題	このコントロールテストに関連する問題。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン	
アサイン先	コントロールテストにアサインされたユーザー。
スケジュール	
開始予定日	コントロールテストの予定開始日。
終了予定日	コントロールテストの予定終了日。
計画された期間	コントロールテストの想定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、コントロールテストスケジュールが考慮されます。
実開始日	コントロールテストの実開始日。
実終了日	コントロールテストの実終了日。
実際の期間	コントロールテストの開始からコントロールテストの終了までのコントロールテストの期間。
設計テスト	
設計有効性	○ なし ○ 有効 ○ 無効
想定設計	コントロールが効果的であるために適合する必要がある基本要件。このフィールドで、コントロールがコントロール目標を達成するために適切に設計されたかどうかがチェックされます。
設計評価手順	コントロールの設計が、コントロール目標を達成するために効果的かどうかを判断するために従う必要がある手順またはステップ。この手順は想定設計に基づいています。
設計結果	設計アセスメント手順に基づくコントロールの設計のテスト結果。
運用テスト	
操作有効性	○ なし ○ 有効 ○ 無効
想定運用	コントロール目標を達成するためにコントロールが効果的に動作していることを確認するために適合する必要がある想定。
運用評価手順	コントロールが正常に動作していると判断するために実行する必要がある、想定運用を遂行するための詳細なステップ。
運用結果	運用評価手順に基づくコントロールの運用のテスト結果。
アクティビティ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ (プライベート)	監査マネージャーと監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

8. [保存] を選択します。
   レコードがコントロールテストのプロセスフローを通じて進行する過程で、 [概要] ページの[ステータス] バナーで説明の確認とコントロールテストのステータスの監視が可能です。

Audit Workspace でのアクティビティの作成

関連付けられたコントロールが正しく動作しているかどうかを調べ、証拠を文書化して提供するアクティビティを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] を選択します。
   次のいずれかのステータスにあるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [監査タスク] 関連リストを選択します。
6. 関連リストの下にあるグループ化ボタンをクリックして、リストから [新しいアクティビティ] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しいアクティビティを作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	アクティビティの名前。
親	親監査タスクまたは親エンゲージメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	アクティビティのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
説明	アクティビティの詳細な説明。
アサイン	
アサイン先	アクティビティにアサインされたユーザー。
スケジュール	
開始予定日	アクティビティの予定開始日。
終了予定日	アクティビティの予定終了日。
計画された期間	アクティビティの予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、アクティビティスケジュールが考慮されます。
実開始日	アクティビティの実開始日。
実終了日	アクティビティの実終了日。
実際の期間	アクティビティの開始から終了までの実際の期間。
アクティビティ	
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
作業メモ (プライベート)	監査マネージャーと監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

8. [保存] を選択します。
   アクティビティのステータス は、[概要] ページの [ステータス] バナーで監視できます。

Audit Workspace で面談を作成する

関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうか、コントロールオーナーと話し合うための面談を作成し、証拠を文書化して提供します。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] を選択します。
   次のいずれかのステータスにあるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [監査タスク] 関連リストを選択します。
6. 関連リストの下にあるグループ化ボタンをクリックして、リストから [新規面談] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新規面談の作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	面談の名前。
親	親エンゲージメント。
ステータス	面談の進捗状況。デフォルトのステータスは [オープン] です。
説明	面談の詳細な説明。
アサイン	
アサイン先	面談にアサインされたユーザー。
主要連絡先	面談についての連絡先となるユーザー。
その他の連絡先	連絡先となる他のユーザー (主要連絡先が利用できない場合)。
メモ	面談連絡先に関する追加のメモ。
スケジュール	
開始予定日	面談の予定開始日。
終了予定日	面談の予定終了日。
計画された期間	面談の予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、面談のスケジュールが考慮されます。
実開始日	面談の実開始日。
実終了日	面談の実終了日。
実際の期間	面談の開始から終了までの実際の期間。
アクティビティ	
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
作業メモ (プライベート)	監査マネージャーと監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

8. [保存] を選択します。
   レコードがさまざまなプロセスフローを進行する過程で、 [概要] ページの [ステータス] バナーで監査の面談タスクのステータスの監視が可能です。

Audit Workspace でチュートリアルを作成する

関連付けられているコントロールが正しく動作しているかどうかを観察するチュートリアルを作成して実施し、証拠を文書化して提供します。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] を選択します。
   次のいずれかのステータスにあるエンゲージメントに監査タスクをアサインします。
   - 検証
   - フィールドワーク
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [監査タスク] 関連リストを選択します。
6. 関連リストの下にあるグループ化ボタンをクリックして、リストから [新規チュートリアル] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新規チュートリアルの作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	チュートリアルの名前。
親	親エンゲージメント。
ステータス	面談の進捗状況。デフォルトのステータスは [オープン] です。
説明	チュートリアルの詳細な説明。
アサイン	
アサイン先	チュートリアルにアサインされたユーザー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
主要連絡先	チュートリアルについての連絡先となるユーザー。
その他の連絡先	連絡先となる他のユーザー (主要連絡先が利用できない場合)。
スケジュール	
開始予定日	チュートリアルの予定開始日。
終了予定日	チュートリアルの予定終了日。
計画された期間	チュートリアルの予定期間。実際の期間と同様に、計画された期間には合計アクティビティ時間が表示され、チュートリアルのスケジュールが考慮されます。
実開始日	チュートリアルが開始された日付。
実終了日	チュートリアルが終了した日付。
実際の期間	チュートリアルの開始から終了までの期間。
チュートリアル	
実行ステップ	チュートリアルで実行するアクティビティの詳細。
説明	チュートリアルの意図的な目標。
追加情報	チュートリアルを実行するユーザーが認識する必要がある追加情報。
結果	チュートリアルで発生した内容の詳細。
アクティビティ	
追加コメント	顧客も表示できるコメント。
作業メモ (プライベート)	監査マネージャーと監査スーパーバイザーのみが表示できるコメント。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

8. [保存] を選択します。
   [概要] ページの [ステータス] バナーで、チュートリアルの説明を確認し、そのステータスを監視できます。

エンゲージメントスコープにエンティティを追加しエンゲージメントを検証する

選択した監査可能単位に関連するエンティティをエンゲージメントに追加します。さらに、監査可能単位用に作成されたエンティティ以外のエンティティをエンゲージメントに追加することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

このタスクについて
[スコープ] ステータスでは、監査スーパーバイザーは、監査エンゲージメントに関与するエンティティを定義できます。たとえば、財務監査の場合、財務部門が依存するすべてのビジネスサービスと財務部門自体を含めることができます。

エンティティをエンゲージメントに追加すると、エンティティの対応するリスク、コントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果もエンゲージメントに追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] をクリックします。
   エンティティスコープを [スコープ] ステータスのエンゲージメントに設定することができます。
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクをクリックします。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [エンティティ] 関連リストをクリックします。
6. [監査可能単位を追加] ボタンをクリックします。
7. [監査可能単位] ポップアップで、監査エンゲージメントに含まれる目的のエンティティを選択します。
   これらの監査可能単位は、既にエンティティが作成されているものです。
8. [追加] をクリックします。
   エンティティに関連付けられたリスクとコントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果がある場合は、それぞれのセクションに表示されます。

   エンゲージメントが既に [検証] ステータスの場合、リスク、コントロール、およびテスト計画は自動的に追加されます。その他の関連アイテムは、[検証] または [検証と計画] ボタンをクリックした場合にのみ追加されます。

   注:
   GRC: Advanced Audit アプリケーションがインストールされていない場合のみ [検証] ボタンが表示され、それ以外の場合は [検証と計画] ボタンが表示されます。

   監査可能単位をエンティティとして監査エンゲージメントに追加すると、エンゲージメントを検証して計画できます。

9. 監査可能単位用に作成されたエンティティ以外のエンティティを追加するには、[その他のエンティティを追加] ボタンをクリックします。

   注:
   GRC: Advanced Audit アプリケーションがインストールされている場合、[監査可能単位を追加] および [その他のエンティティを追加] フィールドが表示されます。それ以外の場合は、[追加] ボタンがページに表示されます。

10. [検証と計画] ボタンをクリックします。
    エンゲージメントが [検証] ステータスに移行した後、エンゲージメントのスコープ内のエンティティに関連付けられたすべてのリスク、コントロール、およびテスト計画が監査に関連付けられます。エンゲージメントの監査期間中に収集されたインジケーターの結果も監査に関連付けられま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。監査スーパーバイザーは、リスク、コントロール、テスト計画、およびインジケーターの結果をレビューし、必要に応じてエンゲージメントのスコープを更新できます。エンゲージメントの監査タスクの作成と計画を開始することもできます。

エンゲージメントの問題を作成する

問題を作成して、ポリシー、リスク、または監査の観察事項を文書化するか、GRC の問題を受け入れます。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] をクリックします。
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクをクリックします。
   エンゲージメントレコードの詳細が [概要] タブに表示されます。
5. [その他の問題] 関連リストをクリックします。
6. [新規] をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

新規問題を作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	問題の名前。
問題ソース	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 ○ インジケーター障害：問題はインジケーターの障害によって作成されます。 ○ リスクアセスメント：問題はリスクで作成されます。 ○ リスクイベント：問題はリスクイベントで作成されます。 ○ コントロール証明書失敗：問題は非準拠コントロールが原因で作成されます。 ○ コントロールテスト失敗：問題は、コントロールが無効で、コントロールテストが完了してクローズとしてマークされた場合に作成されます。 ○ アドホック：問題は手動で作成されます。
問題タイプ	問題の種類。
分類	問題タイプに基づく、リスク、コンプライアンス、または監査としての問題の分類。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	○ 新規 ○ 分析 ○ 応答 ○ 評価 ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ
サブステート	サブステートとサブステートに適用される詳細。
優先度	問題を解決すべき順序 (影響度と緊急度に基づく) : ○ 1 - 重大 ○ 2 - 高 ○ 3 - 中 ○ 4 - 低 ○ 5 - 計画中
問題評価	問題マネージャーは、問題に問題評価をアサインすることができます。問題評価に基づいて、[日付] タブの [期日] が次のように計算されて表示されます。 ○ 非常に高い (2 日) ○ 高 (4 日) ○ 中 (8 日) ○ 低 (10 日) ○ 非常に低い (15 日) [期日] は手動で上書きできます。
説明	問題の包括的説明。
アサイン	
アサイン先グループ	問題がアサインされているグループ。この問題でアクティビティが発生すると、各メンバーは通知を受信します。
アサイン先	問題を解決するためにアサインされたグループのメンバー。
問題マネージャーグループ	問題の管理とレビューを担当するグループ。
問題マネージャー	問題の管理とレビューを担当するユーザー。
ウォッチリスト	問題を表示するために追加されたユーザー。
スケジュール	
期日	期日は GRC プロパティ *Auto populate due date based on issue rating* に基づいて自動入力されます。[はい] に設定されて

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	いる場合、問題のリスク評価に対して事前定義された修復期間に基づいてフィールドが自動入力されます。それ以外の場合は、期日を手動で入力できます。 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
確認日	問題が確認された日付。このフィールドは読み取り専用で、問題が [新規] から次のいずれかのステータスに移行すると、現在の日付が表示されます。 ○ 分析 ○ レビュー ○ 応答 **注:** トリアージ問題が実際の問題に変換された場合、このフィールドには変換された日付が表示されます。
作成済み	問題が作成された日時。
クローズ済み	問題がクローズされた日時。
開始予定日	問題の作業の開始予定日時。
終了予定日	問題の作業の終了予定日時。
計画された期間	作業時間の予定期間。[開始予定日] と [終了予定日] を使用して計算されます。
実開始日	問題の作業が開始された時間。
実終了日	問題の作業が完了した時間。
実際の期間	作業時間の期間。[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
詳細	
コントロール/リスク	この問題に関連付けられたコントロールまたはリスク。
コントロール目標/リスクステートメント	この問題に関連するコントロール目標またはリスクステートメント。
エンティティ	関連エンティティ。
構成アイテム	問題に関連付けられたアイテム。すべての子の問題に同じ構成アイテムがある場合、親の問題にコピーされます。
場所	問題が発生した場所。
リスクイベント	関連リスクイベント。
エンゲージメント	関連エンゲージメント。
ポリシー	問題に関連付けられたポリシー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
各種法令・基準等	問題に関連付けられた各種法令・基準等。
問題のグループ化	
親問題	問題が属する親問題。
問題グループルール	問題にアサインされたグループルール。 問題グループルールは、ルールで定義された条件に基づいて類似した問題を親問題にまとめてグループ化するために使用されます。これにより、同様の問題を同時に処理し、すべての問題が解決された後に親問題をクローズすることができます。それにより、すべての子問題がクローズされます。
アクションプラン	
推奨事項	リスク、コンプライアンス、または監査チームによって推奨される解決アクション。
アクションプラン	問題を修正するための計画。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	問題の解決方法に関する情報、または既に採った解決手順 (該当する場合)。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。
追加コメント	問題に関する公開情報。

8. [保存] をクリックします。

Audit Workspaceを使用して監査中に証拠を要求

Audit Workspaceを使用して監査中の任意のステージで証拠を要求します。証拠が要求されたアイテムの詳細は、証拠の提供責任者にも提供されます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査ワークスペース.
2. Audit Workspace でリストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 証拠要求 > 自分の要求.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

証拠要求フォーム

フィールド	説明
数値	証拠要求の一意の番号。
名前	この要求の名前。
要求者	証拠を要求するユーザー。このフィールドは、自動的に入力されます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。
タイプ	作成される証拠のタイプ。[監査] または [コンプライアンス] のいずれかです。
要求理由	証拠を要求する理由。
ステータス	要求のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
サブステート	要求の追加ステータス。
説明	証拠要求の詳細な説明。
アサイン	
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。ユーザーがウォッチリストに追加された場合、そのユーザーは次の場所に移動できます。 監査 > 証拠要求 > 証拠要求ウォッチリスト 要求を表示します。
スケジュール	
期日	証拠の送信予定日。
オープン	要求がオープンされた日付。この日付は自動的に更新されます。
クローズ済み	要求がクローズされた日付。この日付は自動的に更新されます。
アクティビティ	
作業メモ	必要な可能性があるメモを入力します。
アクティビティ	要求のアクティビティログ。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

6. フォームを保存します。
[概要] ページのステッパーで証拠のステータスを監視します。証拠を受け入れ、証拠のリビジョンを要求し、情報を要求すると、レコードは一連の論理ステップを進行します。

   [証拠収集の詳細] 関連リストが表示されます。この関連リストは、証拠が要求されているアイテムを一覧表示するために使用されます。

7. [新規] をクリックします。
8. フォームのフィールドに入力します。

証拠収集の詳細フォーム

フィールド	説明
数値	証拠収集の詳細の一意の番号。
名前	この要求の名前。
証拠収集タイプ	証拠が要求されているレコード。 監査ユーザーロールを持つユーザーである場合、使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ 監査タスク ○ 各種法令・基準等 ○ 信頼できるソースコンテンツ ○ コントロール ○ コントロール目標 ○ コントロールテスト ○ エンゲージメント ○ エンティティ ○ 問題 ○ ポリシー 要求が監査ユーザーロールを持つユーザーによって入力された場合、使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ 監査タスク ○ コントロール ○ コントロール目標 ○ コントロールテスト ○ エンゲージメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ エンティティ ○ 問題
証拠対象	証拠が適用されるすべてのテーブルを一覧表示します。
証拠要求	証拠要求タスクの一意の番号。
アサイン	
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
説明	
証拠収集手順	証拠を提供するための指示。たとえば、サポートドキュメント、ファイルなどのリストです。

9. [保存] を選択します。
10. [証拠要求を選択] を選択します。
証拠要求が既に [対応中] ステータスであり、新しい証拠収集の詳細が追加された場合、証拠要求タスクはすぐにアサイニーに送信されます。
[証拠] 関連リストに証拠のリストが表示され、要求をアサインされたユーザーは、要求された証拠を提供するためのメール通知を受信します。また、要求のステータスが [対応中] に変更されます。説明を表示できます。[概要] ページのステッパーで、証拠要求プロセスフローの進行に合わせて証拠要求のステータスを監視します。

自動翻訳

Audit Workspace の監査観察事項

監査観察事項は監査の結果です。監査観察事項は、監査レポートの重要な部分として、レビュー、分析、面談、およびディスカッションの結果を表します。

監査観察事項の概要

監査観察事項は、重大な問題に監査スーパーバイザーの注意を引くために使用されます。観察事項はシステムのログに記録されます。たとえば、銀行の業務が監査されている場合、監査観察事項は、銀行の業務が監査基準に照らしてどのように行われているかについての証拠に基づいています。コントロールテスト、面談、およびチュートリアル中に、監査観察事項が記録されます。監査ユーザーは、エンゲージメントが [フォローアップ] または [クローズ済み] ステータスでない場合、エンゲージメントから観察事項を作成できます。観察事項は、すべてのタイプの監査タスクから作成することもできます。

監査人が監査を完了すると、監査人は監査スーパーバイザーに監査観察事項を提示します。監査人は、監査観察事項を使用して、問題、検出、および推奨事項のサマリーを提示できます。監査チームは、観察事項をレビューして、その観察事項が報告可能な問題であるかどうかを判断します。監査チームは、観察事項を推奨事項、観察事項、またはベストプラクティスとして追跡できるかどうかを決定することもできます。

ライフサイクルでは、監査観察事項は次の状態に移行します。

1. ドラフト
2. レビュー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 応答
4. 確定
5. クローズ済み

ワークスペースでの監査観察事項のステータスワークフロー

1. sn_audit.user ロールを持つ監査ユーザーが観察事項を作成します。「エンゲージメントの観察事項を作成する」を参照してください。
   a. 観察事項を作成するには、次の場所に移動します。 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
   b. リストアイコン ( ) をクリックします。
   c. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] をクリックします。
   d. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクをクリックします。
   e. [観察事項] タブをクリックします。
   f. [新規] をクリックします。
   g. 新しい観察事項の作成フォームのフィールドに入力します。
2. 観察事項の作成者は、回答者とピアレビュー担当者を観察事項にアサインします。回答者はエンティティオーナーとコントロールオーナーです。ピアレビュー担当者は、エンゲージメントの監査人および監査リーダーです。
3. 観察事項の作成者は、観察事項のピアレビューを要求できます。その場合、次のようになります。
   a. ピアレビュー担当者は、ピアレビューを実行するための通知を受信します。ピアレビュー担当者は、 自分の処理待ちのタスク > すべて ワークスペースのタスクアイコン (タスク) をクリックします。

      注:
      ピアレビュー担当者は、次の場所に移動することもできます。 タスク > 自分のタスク > **Open** (オープン) ワークスペースのホームページにあります。

   b. ピアレビュー担当者がレビューを完了します。

      注:
      ピアレビューが要求されると、ステータスは [ドラフト] のままになりますが、サブステートは [ピアレビューが要求されました] に変わります。

4. 観察事項の作成者は、レビューを要求することもできます。レビュー担当者は、監査スーパーバイザーまたは監査リーダーになることができます。
   a. レビュー担当者は、レビューを実行するための通知を受信します。レビュー担当者は、次の場所に移動してタスクを表示できます。 自分の処理待ちのタスク > すべて > 観察事項.
   b. レビュー担当者は、観察事項の改訂を要求するか、回答者からの応答を要求することができます。レビュー担当者は、適切なオプションを選択して [結果] セクションでフィードバックを提供することもできます。
5. レビュー担当者が回答者からの応答を要求した場合、回答者は次の場所に移動して観察事項に応答します。 監査 > 観察事項 > 自分の応答処理待ち.
6. 観察事項が [確定] ステータスに移行します。
7. 観察事項がクローズされ、問題が作成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンゲージメントの観察事項を作成する

監査観察事項を作成して、問題、検出、および推奨事項のサマリーを提示します。その後で、監査チームは、観察事項をレビューして、その観察事項が報告可能な問題であるかどうかを判断できます。

始める前に

必要なロール：
sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor、sn_audit.user、sn_audit_ws.auditor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. [リスト] アイコン () を選択します。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] を選択します。
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクを選択します。
5. [観察事項] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しい観察事項の作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	観察事項の名前。
エンゲージメント	この観察事項に関連付けられたエンゲージメント。
ソース	観察事項のソースまたは作成元。
問題タイプ	観察事項を作成する理由。以下から選択可能です。 ○ コントロール設計有効性の問題 ○ コントロール運用有効性の問題 ○ コントロールが存在しません ○ コントロールが要件を満たしていない (Control doesn’t meet requirement) ○ その他の観察事項
ステータス	観察事項のステータス。
サブステート	観察事項のサブステート。
優先度	観察事項の優先度。選択肢は次のとおりです。 ○ 1 - 重大 ○ 2 - 高 ○ 3 - 中 ○ 4 - 低
説明	観察事項の詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクションプラン	結果として発生した問題を解決するための計画。
アサイン	
オーナー	観察事項の作成者および担当者であるユーザー。
ピアレビュー担当者	ピアレビューを担当する監査人の 1 人。
回答者	アクション計画の完了を担当するユーザー。 回答者は、親エンゲージメントに関連付けられたエンティティまたはコントロールのオーナーになることができます。
レビュー担当者グループ	観察事項をレビューするためにアサインされたグループ。
レビュー担当者	観察事項のレビューを担当するユーザー。
ウォッチリスト	観察事項の次の更新に興味を持っているユーザー。
詳細	
コントロール	観察事項に関連付けられたコントロール。
コントロール目標	観察事項に関連付けられたコントロール目標。
エンティティ	観察事項に関連付けられたエンティティ。
監査タスク	観察事項に関連付けられた監査タスク。
結果	
結果	観察事項の結果。選択肢は次のとおりです。 ○ 観察事項として追跡 ○ 推奨事項として追跡 ○ ベストプラクティスとして追跡 ○ 新しい問題として確認済み ○ 既存の問題として確認済み ○ アクションは必要ありません
説明	選択した結果の説明。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	観察事項に関するメモ。作業メモは、観察事項にアサインされたユーザーに表示されます。
追加コメント	観察事項に関する公開情報。
セキュリティ	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査レコードのアクセスを制御する機密性フラグ

機密性フラグは、問題、エンゲージメント、観察事項、コントロールテスト、アクティビティ、面談、およびチュートリアルのレコードに、レコードレベルで設定できます。これらのレコードを表示および更新するように決定されたユーザーが、機密ユーザーです。

[機密性] オプションを選択すると、エンゲージメントリーダー、監査人、および承認者になることができるユーザーのリストが [機密ユーザー] として自動入力されます。

アクセス制御基準に基づいて、監査ユーザーまたは GRC ビジネスユーザーをリストに追加したり、既存のユーザーの一部を削除したりして、それらを機密ユーザーとして設定できます。

また、監査ユーザーと GRC ビジネスユーザーのどちらでもないユーザーをレコードにランダムに追加することもできます。ただし、監査ユーザーロールも GRC ビジネスユーザーロールも持たないすべての機密ユーザーには、レコードにアクセスする場合、管理者から機密ロール (sn_grc.confidential_user) を取得するように勧めるメール通知が送信されます。

レコードにアクセスできる [機密グループ] としてグループを選択することもできます。詳細については、「一般的な GRC 機能の機密レコード」を参照してください。

システムレベルで機密性プロパティを有効にするには、次の手順を実行します。

a. 移動先 システムプロパティ > すべてのプロパティ.

b. *sn_grc.enable_record_confidentiality* システムプロパティを選択します。

c. [値] フィールドに「**true**」と入力します。このアクションは、レコードレベルの機密性を有効にします。

d. [更新] を選択します。

8. [保存] を選択します。
レコードがさまざまなステータスを通じて進行する過程で、デフォルトの [概要] ページの [ステータス] バナーで観察レコードのステータスの監視が可能です。

Audit Workspace でエンゲージメントを承認または却下する

監査ユーザーがエンゲージメントの承認者としてアサインされている場合は、[承認待ち] ステータスのエンゲージメントを承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user、sn_audit_ws.auditor

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.

2. タスクアイコン ( ) をクリックします。
ワークスペースが開き、承認待ちのエンゲージメントを含む、自分にアサインされたすべてのエンゲージメントが一覧表示されます。

3. [自分の処理待ちのタスク] 関連リストの [自分の承認が必要] ボタンをクリックします。

4. リンクをクリックして、[ステータス] 列のエンゲージメントに関連付けられた承認レコードを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [ステータス] リストで [承認] または [却下] をクリックします。
6. [保存] をクリックします。
   次のいずれかのアクションが発生します。
   - エンゲージメントが承認され、オープンのタスクまたは問題が残っている場合、エンゲージメントは自動的に [フォローアップ] ステータスに移行されます。
   - エンゲージメントが承認され、オープンのタスクまたは問題が残っていない場合、エンゲージメントは自動的に [クローズ済み] ステータスに移行されます。
   - エンゲージメントが拒否された場合、エンゲージメントは自動的に [フィールドワーク] ステータスに戻されます。

Audit Workspaceでエンゲージメントからレポートを生成する

エンゲージメントの結果を要約したレポートを生成して、レポートの結果をエグゼクティブに伝えます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.manager、sn_audit_ws.supervisor

このタスクについて

[承認待ち]、[フォローアップ]、または [完了してクローズ] ステータスのエンゲージメントのレポートを生成できます。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [実行] リストで [すべてのエンゲージメント] または [自分のエンゲージメント] をクリックします。
4. [名前] 列のエンゲージメントレコードへのリンクをクリックします。
   エンゲージメントは [承認待ち]、[フォローアップ] 、または [完了してクローズ] ステータスである必要があります。
5. [詳細] タブをクリックします。
6. エンゲージメントフォームの [レポート] セクションに詳細を入力していない場合は、フィールドに入力します。

エンゲージメントフォームの [レポート] セクション

フィールド	説明
レポートテンプレート	エンゲージメント結果を報告するナレッジベース記事を生成するために使用されるテンプレート。
レポートのナレッジベース	使用するナレッジベース。

7. [保存] をクリックします。
8. レポートを生成するには、[レポートを生成] ボタンをクリックします。

監査人向けAudit Workspace

監査人ワークスペースは、監査アクティビティを管理するための一元化されたワークスペースです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

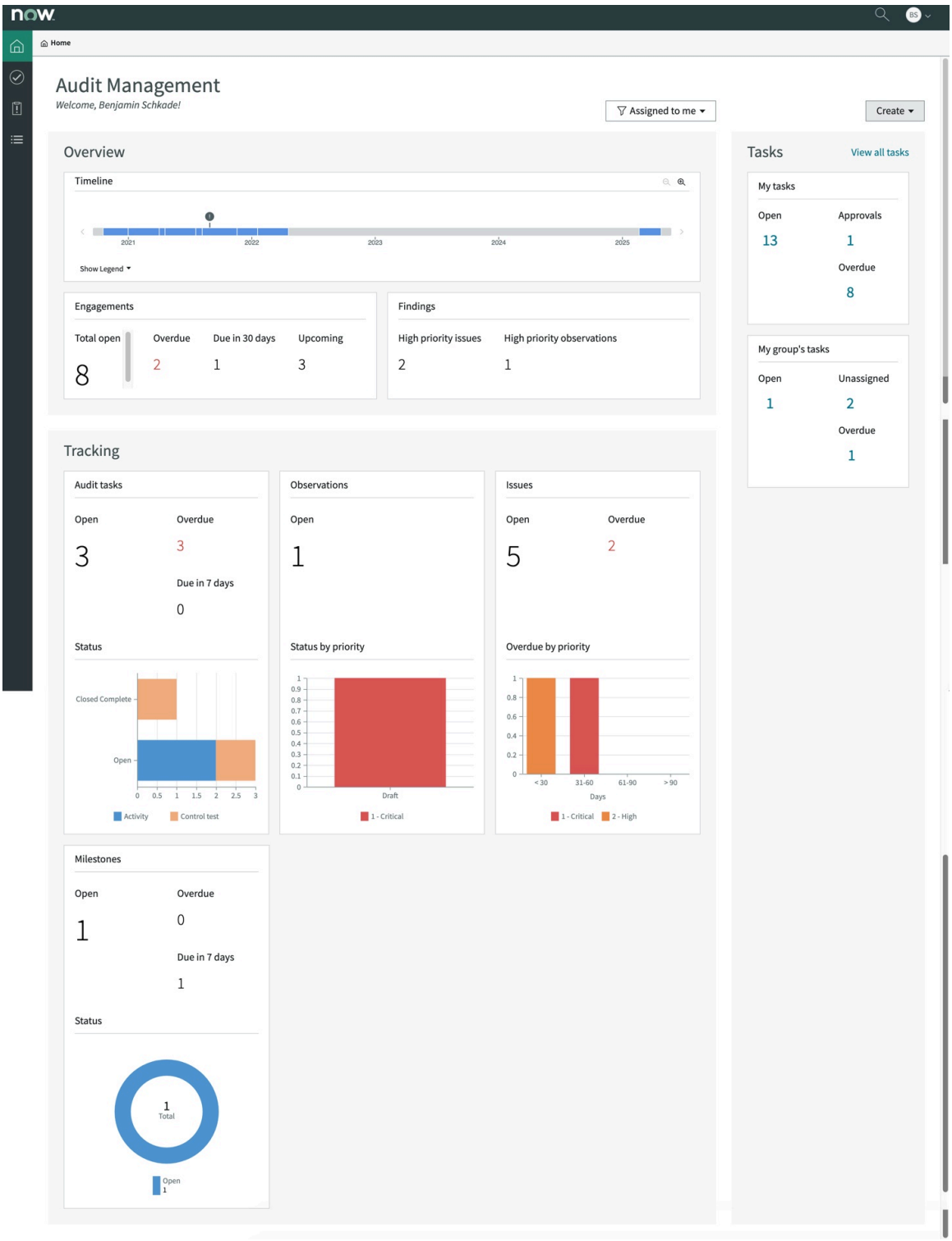
自動翻訳

監査人ワークスペースの概要

監査人は、会社の運用および財務プロセスを分析して、業界および連邦規制へのコンプライアンスを確認します。財務レポートを準備し、内部コントロールをレビューして、証拠を収集し、監査テストを実施して、監査結果をフォローアップします。

監査人ワークスペースを使用して、監査人はコントロールテスト、アクティビティ、面談、チュートリアルなどのフィールドワークを実行できます。作業と結果を文書化し、監査結果を解決またはフォローアップすることができます。

監査人向けワークスペース



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査人のタスク

次の表に、監査人としてのロールで実行できる主なタスクを一覧します。

監査人のタスク

アクティビティ	タスク
レコード、レポート、運用プラクティス、およびドキュメントを調べて、内部コントロールへのコンプライアンスを確認します。	アサインされたコントロールテストを更新する。
コントロールテスト手順を文書化するテスト計画を作成します。	テスト計画を作成する。
内部コントロールプロセスを評価するためのチュートリアルと面談を調整します。	アサインされた他の監査タスクを更新する。
コントロール実装の証拠を要求およびレビューします。	監査タスクの証拠を要求する。
連邦、州、および地域のセキュリティに関する法的要件に準拠します。	監査人にアサインされた監査タスクの観察事項を作成する。

Audit Workspaceでアサインされたコントロールテストを更新する

Audit Workspaceを使用して、レコード、レポート、運用プラクティス、およびドキュメントを確認して、確立された内部コントロール手順へのコンプライアンスを確認します。

始める前に
必要なロール：sn_audit_ws.auditor、sn_audit.user

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン ( ) をクリックします。
   ワークスペースが開き、[自分の処理待ちのタスク] 関連リストで自分にアサインされた [すべて] のタスクが一覧表示されます。
3. ステータスを [対応中] に移行し、詳細を入力します。
   必要な情報をすべて入力すると、コントロールテストを [レビュー] ステータスに移行できます。
4. 自分の承認が必要なコントロールテストを承認するには、[自分の承認が必要] ボタンをクリックします。

   a. リンクをクリックして、[ステータス] 列のコントロールテストを開きます。

   b. コントロールテストの詳細をレビューし、[ステータス] リストをクリックして、要求されたコントロールテストを適切なステータスに更新します。

      以下から選択可能です。

      - 未要求
      - 要求済み
      - 承認済み
      - 却下

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- キャンセル
- 不要

c. [保存] をクリックします。

5. [詳細] タブをクリックします。
6. コントロールテストの詳細をレビューし、[ステータス] リストをクリックして、適切なステータスに更新します。
   これで、コントロールテストのステータスを [完了してクローズ] に移行できるようになりました。
7. [保存] をクリックします。

Audit Workspaceでアサインされた他の監査タスクを更新する

通知を受信したときに、アサインされたチュートリアルや面談などの監査タスクを更新します。

始める前に
必要なロール：sn_audit_ws.auditor、sn_audit.user

このタスクについて
監査タスクはエンゲージメント全体を通じて完了し、組織が外部規制と内部ポリシーに準拠していることを示す文書化された証拠を提供します。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン ( ) をクリックします。
   ワークスペースの [自分の処理待ちのタスク] タブに [すべて] のタスクのリストが開きます。自分にアサインされた [すべて] - [監査タスク] を表示できます。
3. [名前] 列で、更新する監査タスクレコード (面談、アクティビティまたはチュートリアル) をクリックします。
   レコードが [概要] タブに開き、そのステータスのワークフローが表示されます。
4. [詳細] タブをクリックして、監査タスクの詳細をレビューして更新します。
   他の詳細を入力するだけでなく、監査タスクのステータスを [対応中]、[レビュー]、または [完了してクローズ] に移行することもできます。
5. [保存] をクリックします。

監査タスクの観察事項を作成する

既存および新規のセキュリティ法を調査することで、連邦政府の州および地域のセキュリティの法的要件に準拠するための監査タスクの観察事項を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_audit_ws.auditor、sn_audit.user

このタスクについて
観察事項を作成すると、要件の遵守を強制できるため、連邦および地域のセキュリティの法的要件を遵守するために必要なアクションについて管理者にアドバイスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
2. タスクアイコン ( ) をクリックします。
   ワークスペースの [自分の処理待ちのタスク] タブに [すべて] のタスクのリストが開きます。自分にアサインされた [すべて] - [監査タスク] を表示できます。
3. [名前] 列で、観察事項を作成する監査タスクレコードをクリックします。
   レコードが [概要] タブに開き、そのステータスのワークフローが表示されます。
4. [観察事項] タブをクリックします。
5. [新規] をクリックします。
6. 新しい観察事項の作成フォームに詳細を入力します。
7. [保存] をクリックします。

Audit Management の参照

この後のセクションでは、Audit Management で使用されるテーブルのロールとアクセス制限について説明します。

Audit Management とともにインストールされるコンポーネント

GRC: Audit Management (com.sn_audit) プラグインを有効にすると、複数のテーブル、ユーザーロール、およびその他のコンポーネントが追加または変更されます。

Audit Management および Advanced Audit とともにインストールされるプロパティ

プロパティは、GRC: Audit Management のアクティブ化とともに追加されます。

名前	説明	アプリケーション
sn_audit.knowledge_base	監査レポートを公開するために使用されるナレッジベースの名前 • タイプ：文字列 • デフォルト値：監査	Audit Management
sn_audit_advanced.default_adv_notification_duedate_duration	マイルストーンの期日からのデフォルト期間 (日数) で、これに基づいて通知が送信されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：8	GRC: Advanced Audit
sn_audit_advanced.role_documentation_link	(PPM 統合により) 高度な計画機能を有効にして使用するためのロール要件のドキュメントリンク。 タイプ：文字列	GRC: Advanced Audit

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	アプリケーション
sn_audit_advanced.ppm_project_documentation_link	プロジェクト機能とロール要件のドキュメントリンク。 タイプ：文字列	GRC: Advanced Audit
sn_audit_advanced.rollup_documentation_link	プロジェクトから関連するエンゲージメントおよび計画までの経費とリソースのロールアップ詳細のドキュメントリンク。 タイプ：文字列	GRC: Advanced Audit

Audit Management と一緒にインストールされるロール

ロールは、GRC: Audit Management のアクティブ化とともに追加されます。

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
監査管理者 [sn_audit.admin]	継承された権限に加えて、監査管理者はエンゲージメント、監査タスク、テストテンプレート、およびテスト計画を削除できます。	• sn_audit.manager • sn_grc.admin
監査開発者 [sn_audit.developer]	継承された権限に加えて、監査開発者は監査レポートテンプレートを追加および削除できます。	• sn_audit.admin • sn_grc.developer
外部監査人 [sn_audit.external_auditor]	外部監査人は、エンゲージメントの監査人としてアサインでき、監査タスクにアサインすることができます。クローズ済みエンゲージメント、自分にアサインされた監査タスク、クローズ済み監査タスクを表示できます。ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインまたは リスク管理 プラグインがインストールされている場合は、[監視] ステータスの公開されたポリシーおよびすべてのコントロールやリスクを表示することもできます。	
監査マネジメント [sn_audit.manager]	監査マネージャーは、継承された権限に加えて、監査タスク (コントロールテスト、アクティビティ、チュートリアル、面談など)、エンゲージメント、テスト計画、テストテンプレート、問題、修復タスク、およびエンティティを作成できます。Advanced Core がイン	• sn_audit.user • sn_grc.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	ストールされている場合、監査マネージャーは証拠要求を作成することもできます。	
監査ユーザー [sn_audit.user]	継承された権限に加えて、監査ユーザーには監査タスクをアサインすることができ、テストテンプレートおよびテスト計画を作成できます。監査ユーザーは、リスク管理 アプリケーションとモジュールおよび ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションとモジュールへの読み取り専用アクセス権を持ちます。	• sn_compliance.reader • sn_grc.reader • sn_grc.user
エンゲージメントプロジェクトマネージャー [sn_audit_advanced.engagement_project_manager]	詳細計画を立案し、計画またはエンゲージメントを処理できる監査リーダー。	• sn_audit.manager • resource_manager • it_project_manager

Audit Management とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: Audit Management のアクティブ化とともに追加されます。

テーブル	説明
アクティビティ [sn_audit_activity]	監査タスク [sn_audit_task] を拡張し、監査アクティビティを保存します
監査タスク [sn_audit_task]	計画タスク [planned_task] を拡張します。これは監査に関連付けられたすべてのタスクの汎用テーブルです
基本監査テスト [sn_audit_base_test]	テストテンプレートとテスト計画のベーステーブル
コントロールテスト [sn_audit_control_test]	監査タスク [sn_audit_task] を拡張し、コントロールテストを保存します
コントロールからエンゲージメント [sn_audit_m2m_control_engagement]	コントロールとエンゲージメント間の多対多の関係を保存します
エンゲージメント [sn_audit_engagement]	計画タスク [planned_task] を拡張し、エンゲージメントを保存します
面談 [sn_audit_interview]	監査タスク [sn_audit_task] を拡張し、面談を保存します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
エンティティからエンゲージメント [sn_audit_m2m_profile_engagement]	エンティティとエンゲージメント間の多対多の関係を保存します
リスクからエンゲージメント [sn_audit_m2m_risk_engagement]	リスクとエンゲージメント間の多対多の関係を保存します
テスト計画 [sn_audit_test_plan]	基本監査テスト [sn_audit_base_test] を拡張し、テスト計画を保存します
テスト計画からエンゲージメント [sn_audit_m2m_test_plan_engagement]	テスト計画とエンゲージメント間の多対多の関係を保存します
テストテンプレート [sn_audit_test_template]	基本監査テスト [sn_audit_base_test] を拡張し、テストテンプレートを保存します
チュートリアル [sn_audit_walkthrough]	監査タスク [sn_audit_task] を拡張し、チュートリアルを保存します
監査レポートテンプレート [sn_audit_report_template]	定義された xml、html、またはスクリプトベースの監査レポートテンプレートを保存します
アセスメント手順 [sn_audit_asmnt_procedure_control_test]	コントロールテストのアセスメント目標を保存します。[識別子] および [アセスメント目標] フィールドの値は、アセスメント手順計画テーブルからコピーされます。
アセスメント手順計画 [sn_audit_asmnt_procedure_test_plan]	テスト計画に対して生成されます。テスト計画に加えられた変更は、コントロール テスト テーブル [sn_audit_asmnt_procedure_control_test] に反映されます。
アセスメント手順テンプレート [sn_audit_asmnt_procedure]	アセスメント目標を保存します
アセスメントのテンプレートテスト手順 [sn_audit_m2m_test_temp_asmnt_procedure]	テストテンプレートとアセスメント手順の間の多対多の関係を保存します

注:
依存プラグインによってインストールされる追加のテーブルはすべて GRC: Audit Management にも必要です。

Advanced Audit とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: Advanced Audit のアクティブ化とともに追加されます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
マイルストーンに対する監査タスク sn_audit_advanced_m2m_audit_task_milestone	監査タスクとマイルストーン間の多対多の関係を保存します。
監査可能単位 sn_audit_advanced_auditable_unit	監査可能単位を保存します。
各種法令・基準等に対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_authority_document	監査可能単位と各種法令・基準等との間の多対多の関係を保存します。
ビジネスアプリケーションに対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_business_application	監査可能単位とビジネスアプリケーションとの間の多対多の関係を保存します。
ビジネスプロセスに対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_business_process	監査可能単位とビジネスプロセスとの間の多対多の関係を保存します。
事業部門に対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_business_unit	監査可能単位と事業部門との間の多対多の関係を保存します。
部門に対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_cmn_department	監査可能単位と部門との間の多対多の関係を保存します。
場所に対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_location	監査可能単位と場所との間の多対多の関係を保存します。
ポリシーに対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_policy	監査可能単位とポリシーとの間の多対多の関係を保存します。
製品に対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_product_model	監査可能単位と製品との間の多対多の関係を保存します。
ベンダーに対する監査可能単位 sn_audit_advanced_m2m_unit_vendor	監査可能単位とベンダーとの間の多対多の関係を保存します。
エンゲージメントプロジェクト sn_audit_advanced_engagement_project	プロジェクトテーブルを拡張し、エンゲージメントのエンゲージメントプロジェクトを保存します。
マイルストーン sn_audit_advanced_milestone	計画タスクテーブルを拡張し、マイルストーンを保存します。
観察事項 sn_audit_advanced_observation	トリアージテーブルを拡張し、観察事項を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
プラン sn_audit_advanced_plan	計画タスクテーブルを拡張し、計画を保存します。

注:
依存プラグインによってインストールされる追加のテーブルはすべて GRC: Audit Management にも必要です。

プロジェクトポートフォリオ管理 のエンゲージメントプロジェクト計画に必要なロール

詳細計画機能を使用すると、Advanced Audit と プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) 製品を統合できます。この機能は、エンゲージメントに同等のプロジェクトを作成し、エンゲージメントプロジェクトからリソース計画やコスト計画などに使用できる計画機能を提供します。

エンゲージメントプロジェクト計画機能とロール

エンゲージメントプロジェクト計画機能を使用するために必要なロールを理解するには、次の表を参照してください。

エンゲージメントプロジェクト計画機能とロール要件

機能	説明	ロールとそのスコープ
リソース計画	リソース要求者は、リソースの可用性の確認、およびプロジェクトとプロジェクトタスクのリソース計画の作成および管理をプロジェクトワークスペースで行います。詳細については、「プロジェクトのリソース計画を作成および管理する」を参照してください	• 少なくとも resource_user ロールを持つユーザーは [新規] ボタンを使用してリソース計画を追加でき、it_project_manager ロールを持つユーザーは [管理] ボタンを使用して新しいリソース計画を管理および追加できます。resource_manager ロールを持つユーザーは、リソース計画を確認して割り当てることができます。 • sn_ppm_read、timecard_user、または resource_user ロールを持つユーザーは、エンゲージメントプロジェクトのリソース計画を表示できます。
コスト計画	プロジェクトコスト計画は、プロジェクトのコストをキャプチャします。コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。詳細については、「プロジェクトのコスト計画を作成する」を参照してください	• sn_audit.user または sn_audit.manager ロールと it_project_manager を持つユーザーは、コスト計画を管理できます。it_project_manager ロールを持つユーザーは、新しいコスト計画を追加で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンゲージメントプロジェクト計画機能とロール要件 (続く)

機能	説明	ロールとそのスコープ
		きます。sn_audit.user または sn_audit.manager と project_manager ロールを持つユーザーは、新しいコスト計画を追加できます。 • sn_audit.user または sn_audit.manager ロールと project_manager ロールを持つユーザーは、新しいコスト計画を追加できます。PPM では、project_manager ロールの代わりに it_project_manager ロールを使用することをお勧めします。it_project_manager ロールを持つユーザーは、新しいコスト計画を追加することもできます。
エンゲージメントプロジェクトの関連リンク	ユーザーは、ロールと権限に基づいて表示される関連リンクを使用して、プロジェクト予算の入力、プロジェクトの移動、エンゲージメントプロジェクトの完了推定の計算を行うことができます。	• プロジェクト予算を作成するには、portfolio_manager ロールが必要です。ユーザーロールを手動で追加する場合は、portfolio_manager ロールの代わりに it_portfolio_manager ロールを使用します。 • 完了推定を計算し、プロジェクトを移動するには、project_manager ロールが必要です。ユーザーロールを手動で追加している場合は、portfolio_manager ロールの代わりに it_portfolio_manager ロールを使用します。

関連情報

詳細計画機能と プロジェクトポートフォリオ管理 統合に必要なロール

詳細計画機能と プロジェクトポートフォリオ管理 統合に必要なロール

詳細計画機能を使用すると、Advanced Audit と プロジェクトポートフォリオ管理 (PPM) 製品を統合できます。この機能は、エンゲージメントに同等のプロジェクトを作成し、エンゲージメントからリソース計画やコスト計画などに使用できる計画機能を提供します。

エンゲージメント計画機能とロール

詳細計画機能の新機能を使用するには、次のロールが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンゲージメント計画機能とロール要件

機能名	説明	ロールとそのスコープ
リソース計画	リソース要求者は、リソースの可用性の確認、およびプロジェクトとプロジェクトタスクのリソース計画の作成および管理をプロジェクトワークスペースで行います。詳細については、「プロジェクトのリソース計画を作成および管理する」を参照してください	• sn_audit.manager と resource_user または resource_manager ロールを持つユーザーは、リソース計画を管理および追加できます。resource_manager ロールを持つユーザーは、リソース計画を確認して割り当てることもできます。 • 既にエンゲージメントへのアクセス権があり、sn_ppm_read または timecard_user または resource_user ロールも持っているユーザーは、エンゲージメントでリソース計画を表示できます。
コスト計画	プロジェクトコスト計画は、プロジェクトのコストをキャプチャします。コスト計画を作成して、会計期間の原価費目の単位コストを指定します。詳細については、「プロジェクトのコスト計画を作成する」を参照してください	• sn_audit.user または sn_audit.manager に加えて it_project_manager を持つユーザーは、コスト計画を管理できます。 • sn_audit.user または sn_audit.manager に加えて project_manager ロールを持つユーザーは、新しいコスト計画を追加できます。 **注:** PPM 製品では、project_manager ロールの代わりに it_project_manager ロールを使用することをお勧めします。 • 既にエンゲージメントへのアクセス権があり、sn_ppm_finance_read または demand_manager または program_manager または portfolio_manager または project_manager のロールも持っているユーザーは、エンゲージメントのコスト計画を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンゲージメント計画機能とロール要件 (続く)

機能名	説明	ロールとそのスコープ
リソース割り当て	リソース要求者がリソース計画を作成した後、リソースマネージャーはリソースを確認して、プランを [確認済み] ステータスに移行できます。リソースマネージャーは、リソースをプランに割り当て、それを [割り当て済み] ステータスに移行できます。 カレンダーとスケジュールの情報に基づいて、リソースマネージャーはリソースの可用性を表示し、確認して特定のタスクに割り当てることができる管理下のリソースを選択します。詳細については、「リソース割り当て」を参照してください。	• ユーザーは、リソース計画から pps_resource と sn_audit.user または sn_audit.external_auditor の両方のロールをエンゲージメントの監査人フィールドに追加する必要があります。 • ユーザーは、リソース計画に pps_resource ロールをリソースとして追加する必要があります。
タイムカードレポート	エンゲージメントのタイムカードとエンゲージメントの他のタスクに時間を記録できます。エンゲージメントに関連付けられたプロジェクトがある場合は、実際の経費と実際のリソースの値がロールアップします。タイムカードを作成するには、「タイムカードを作成する」を参照してください。	• タイムカードを作成するには、timecard_user ロールが必要です。 • エンゲージメント、監査タスク、マイルストーン、問題へのアクセス権が既にあり、sn_ppm_read または timecard_approver または timecard_admin ロールも持っているユーザーは、エンゲージメント、監査タスク、マイルストーン、および問題に関するすべてのタイムカードを表示できます。 • エンゲージメント、監査タスク、マイルストーン、問題へのアクセス権が既にあり、timecard_user ロールも持っているユーザーは、エンゲージメント、監査タスク、マイルストーン、および問題に関してレポートしたタイムカードのみを表示できます。 • 送信されたタイムカードを承認するには、timecard_approver ロールが必要です。ユーザーに割り当てられたタイムシートポリシーによって、承認プロセスが決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プロジェクトポートフォリオ管理 のエンゲージメントプロジェクト計画に必要なロール

ドメイン分離と **Audit Management**

Audit Management ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

Domain Separation は、以下の顧客にとって最適です。

- ビジネスエンティティ間で絶対的なデータ分離を適用する必要がある (データ分離)。
- 各ドメインのビジネスプロセス定義とユーザーインターフェイスをカスタマイズする (委任管理)。
- 単一のインスタンスでグローバルなプロセスとグローバルなレポートを維持します。

これらのユーザーは、ドメインスコープを展開するか折りたたんで、他のドメインからのデータを表示または非表示にすることができます。

> **注:**
> ユーザーは、ドメインの可視性によって明示的に付与されたドメインのデータに常にアクセスできます。

Audit Management におけるドメイン分離の仕組み

GRC はデータの分離をサポートしていますが、ロジックおよびプロセスの分離を完全にはサポートしていません。

- GRC アプリケーション内のタイプのレコードの多くは、ユーザープロセスによって自動的に生成されます。エンティティ、コントロール、リスク、インジケーター、およびコントロールテストはすべて、自動的に生成できるフィールドです。自動で生成されたレコード (および手動で生成された GRC レコード) の場合、レコードのドメインは、レコードの作成または生成を担当するユーザーのドメインと同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドメイン分離された GRC 実装で作業する場合は、自動生成を念頭に置いておく必要があります。ユーザーは、適切なドメインレベルでレコードを作成および生成して、それらが適切なユーザーセットに表示されるようにする必要があります。

  たとえば、次のようなドメインがあるとします。

  - グローバル
    - 最高
      - ドメイン A
      - ドメイン B

- ドメイン A および B のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、リスクまたはコントロールをグローバルレベルで生成するか、手動で作成する必要があります。リスクまたはコントロールがドメイン B で作成された場合、インデックス作成が原因で、ドメイン A でリスクまたはコントロールを再作成することはできません。
- トップおよびドメイン A のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、ドメイン A でリスクまたはコントロールを作成できます。

リスクとコントロールがグローバルドメイン内にない限り、ユーザーは上位のドメイン内にあるリスクまたはコントロールケースを、下位のドメインのユーザーにアサインできません。上記の例では、トップドメインにコントロールがある場合、証明書のために、そのコントロールをドメイン A または B のユーザーにアサインしないでください。これらのユーザーはコントロールにアクセスできないため、証明書またはアセスメントのアンケートは生成されません。

同様に、ユーザーは、上位ドメインのコントロール目標とリスクステートメントを下位ドメインの証明書とアセスメントにアサインしないでください。アサインすると、証明書またはアセスメントアンケートが生成されません。

ユースケース

IT 用の GRC データを他の部門の GRC データから分離できます。GRC アプリケーションを使用している各ビジネスエリアは、他の部門と共有できない分離データを保有できます。そのため、各部門には独自のエンティティ、ポリシー、コントロール、リスクなどがあります。

IT ドメインからのコントロールを調べる場合、ユーザーはドメインスコープを展開して財務ドメインの値を表示するか、ドメインスコープを折りたたんで IT ドメインに一致するコントロールのみを表示するかを選択できます。

デフォルトでは、ドメイン分離は、タスク [task] および構成アイテム [cmdb_ci] テーブルとその拡張に、ドメインフィールドを追加します。

sys_domain フィールドをテーブルの辞書定義に追加することで、作成する任意の新しいテーブルにドメイン分離を拡張することができます。デフォルトでは、システム専用ドメインは、適切な場合に、プラットフォームとベースラインアプリケーションテーブルを分離します。

> ⚠ **警告:**
> ServiceNow では、予期しない結果が生じる可能性があるため、ドメイン分離プラットフォームテーブル (辞書エントリ [sys_dictionary] や辞書エントリオーバーライド [sys_dictionary_override] テーブルなどの sys_prefix を持つテーブル) は推奨されません。

このユースケースでは、クライアントスクリプト、ビジネスルール、ワークフロー、プロセスなどをドメイン分離できます。

ドメイン分離での動作がマルチテナントのサポートを提供している間は、マルチテナントはまだ単一のインスタンス内に含まれています。つまり、一部のグローバルプロパティ、グローバルデータ、お

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

よびグローバルプロセスは、すべてのドメインで共有されます。たとえば、ログインページのシステムの [記憶する] オプションはグローバルであり、ドメインごとに指定できません。

すべてのシステムのプロパティを完全に分離する必要があり、グローバルレポートまたはグローバルプロセスを必要としない場合、インスタンスの分離が最適なオプションです。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

Audit Management での分析およびレポートソリューション

プラットフォームアナリティクス には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

GRC: Audit Management 分析およびレポートのソリューションは ServiceNow Store で利用できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

GRC: Audit Management の分析およびレポートソリューションを有効にするには、次の手順を実行します。

1. ServiceNow Store にアクセスし、パフォーマンスアナリティクス - GRC: Audit Management アプリケーションおよび関連付けられたアプリケーションのエンタイトルメントを取得します。「」を参照してください。 をインストールする ServiceNow 製品 の ServiceNow Store.
2. インスタンスで、次に移動します。 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション > すべて.
3. パフォーマンスアナリティクス - GRC: Audit Management アプリケーションを見つけてインストールします。

GRC 監査エンゲージメント概要ダッシュボード

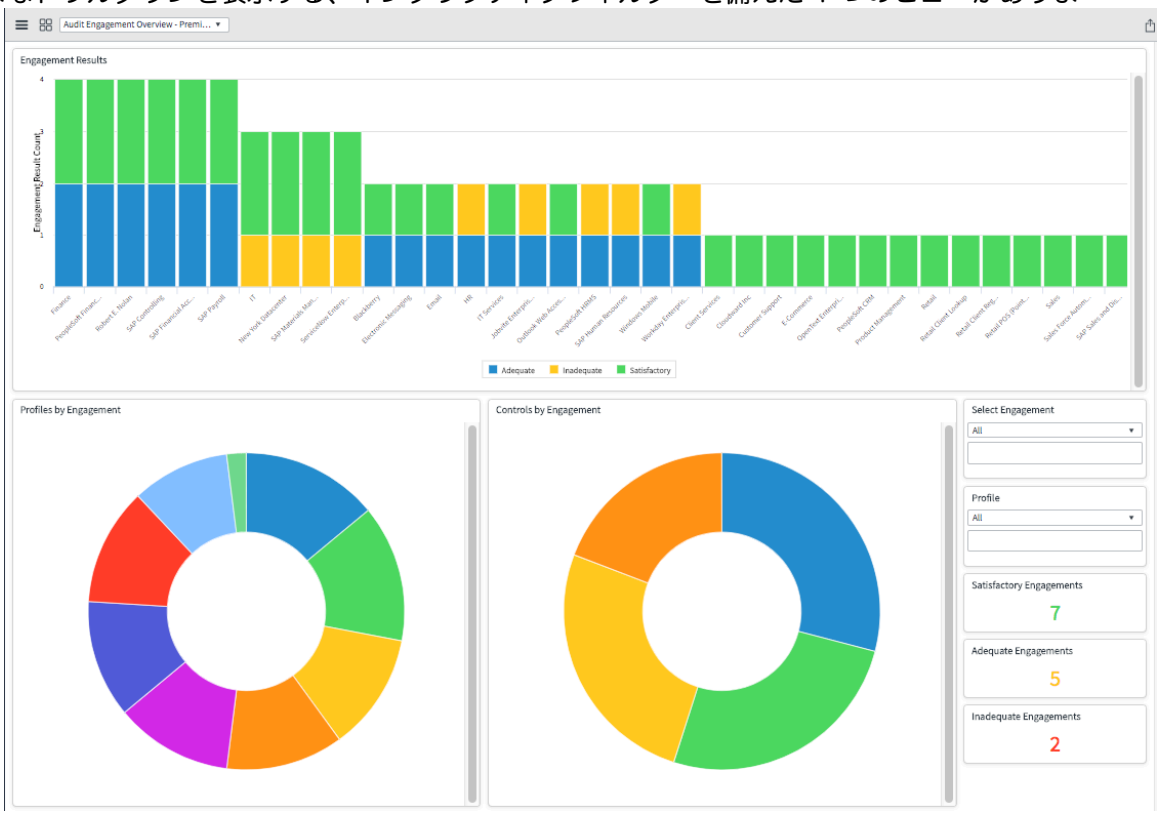
監査エンゲージメント概要ダッシュボードは 、監査結果に対するエグゼクティブビューおよびタスク別のエンゲージメントブレークダウンを提供し、懸念のある領域を迅速に特定できます。

このダッシュボードはインタラクティブフィルタリングを使用するため、パフォーマンスアナリティクス のライセンスバージョンが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査エンゲージメント概要 ダッシュボードには、エンゲージメント結果に関するレポートとさまざまなドリルダウンを表示する、インタラクティブフィルターを備えた 1 つのビューがありま



す。

エンドユーザー

エンドユーザーと目標	必要なロール
監査マネージャー：組織内の脆弱性の全体的なステータスと量に対する明確な可視性が必要です。	sn_audit.manager
監査管理者：懸案分野をすばやく特定する必要があります	sn_audit.admin
監査アナリスト：組織にとっての重要度に基づいて、どのリスク/タスクに焦点を当てるかを迅速に優先順位付けする必要があります。	sn_audit.user

データの可視化

監査エンゲージメント概要 ダッシュボードには、以下の可視化が含まれています。

名前	タイプ	説明
適切なエンゲージメント	単一スコア	適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。
監査タスクのブレークダウン	水平バー	タイプ、ステータス、およびアサイン先別のアクティブな監査タスクの合計数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	タイプ	説明
コントロールテスト結果	ドーナツグラフ	完了したコントロールテストの数。全体的なコントロール有効性評価で分類されます。
エンゲージメント別のコントロール	ドーナツグラフ	監査エンゲージメント別のオープンコントロール数のブレークダウン
エンゲージメントの結果	棒グラフ	各エンティティに対して実施された監査エンゲージメントの総数を表示します。グラフは、各エンティティの全体的な監査結果を表示するために積み重ねられます。
不適切なエンゲージメント	単一スコア	不適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。
問題のブレークダウン	水平バー	エンゲージメント、ステータス、または応答別にグループ化された問題の数
期限切れの監査タスク	リスト	終了予定日を超えたオープンな監査タスクのリスト。
エンゲージメント別のプロファイル	ドーナツグラフ	監査の結果を表示して比較する 1 つまたは複数のエンティティを選択します。
満足のいくエンゲージメント	単一スコア	満足のいく結果でクローズしたエンゲージメントの数を表示します。

監査マネージャーダッシュボード

ガバナンス、リスク、コンプライアンス 監査マネージャーダッシュボードは、監査エンゲージメントと関連する監査アクティビティの現在のビューを提供します。sn_audit.manager ロールを持つユーザーは、このダッシュボードを表示できます。この監査マネージャーダッシュボードは、詳細 GRC ダッシュボードの一部です。

注:
監査マネージャーダッシュボードを表示するには、次の GRC アプリケーションを有効にします。

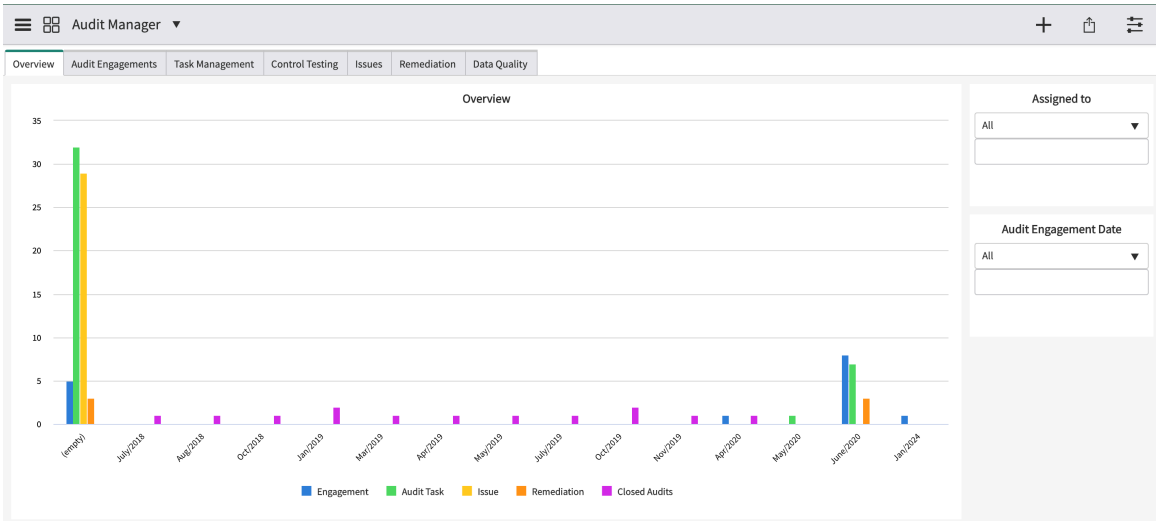
- GRC Audit Management (com.sn_audit)
- GRC 詳細ダッシュボード (com.sn_grc_pa_advanced)

監査マネージャーダッシュボードを表示するには、[監査] > [監査マネージャーダッシュボード] に移動します。レポートを表示するには、sn_audit.manager ロールでログインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査マネージャーダッシュボード



監査マネージャーダッシュボードは、次のような監査アクティビティをキャプチャする詳細なレポートを提供します。

- さまざまなオープンおよびクローズ済みエンゲージメントの概要
- 監査タスクとコントロールテストステータスの概要
- 監査の問題とコントロールテストの失敗の概要
- アクティブな修正タスク
- クローズ済み監査
- 監査のデータ品質

このダッシュボードは、次の質問に対する有用な回答を提供します。

- オープン、期限切れ、クローズ済み、および予定されている監査とは何ですか？監査エンゲージメントの日付範囲とは何ですか？監査タスクは誰にアサインされますか？
- 主要な監査エンゲージメントは何ですか？エンゲージメントの結果は適切または満足いくものですか？
- さまざまな監査タスクとは何ですか？タスクの完了率はどのくらいですか？
- 指定された時間内にいくつのテストが完了しましたか？
- 問題と修正タスクは時間どおりに完了していますか？

sn_audit.manager ロールを持つユーザーは、データをグループ化または積み重ねることによってレポートのグラフを表示および調整できます。監査とそのアクティビティをグループ化して積み重ねるには、[ステータス]、[アサイン先]、[結果]、[名前] などの一般的なフィルターを使用します。

レポートをさらに絞り込むためのさまざまなインタラクティブフィルターが用意されています。たとえば、[アサイン先] フィルターを使用して、Abel Tuter にアサインされた監査を表示できます。

概要

[概要] タブは、色分けされた棒グラフレポートを提供します。監査タスク、問題、修正タスクなどの監査エンゲージメントと監査アクティビティの最新ビューが表示されます。個々のレポートでさらにドリルダウンすることができます。

[概要] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付

監査エンゲージメント

[監査エンゲージメント] タブには、監査エンゲージメントの概要が示され、次のレポートが表示されます。

[監査エンゲージメント] タブ

レポート	説明
未解決の監査	オープンな監査エンゲージメントの数
期限切れの監査	時間経過に伴う期限切れの監査
予定されている監査	今後の監査エンゲージメントの月次カウント
開始された監査	開始された監査エンゲージメントの月次カウント
クローズ済み監査	クローズ済み監査エンゲージメント

[監査エンゲージメント] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付

タスク管理

[タスク管理] タブには、監査タスクの概要が示され、次のレポートが表示されます。

[タスク管理] タブ

レポート	説明
アクティブなタスク	アクティブタスクの数
期限切れのタスク	期限が切れたタスク
今週が期限のタスク	期限が指定した 1 週間以内のタスク
予定されている監査タスク	予定されている監査タスク
時間どおりに完了したタスク	ユーザーが時間どおりに完了したタスクの数
終了予定日の後に完了したタスク	終了予定日の後で完了したタスク
完了したタスク	経時的に完了したタスクの数

[タスク管理] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タスクタイプ

  タスクタイプの例としては、面談、チュートリアル、アクティビティ、およびコントロールテストがあります。

コントロールテスト

[コントロールテスト] タブには、コントロールテストに関する詳細情報が表示されます。さらにドリルダウンすると、コントロールテストに関する詳細情報を表示できます。このタブには次のレポートが表示されます。

[コントロールテスト] タブ

レポート	説明
アクティブなテスト	アクティブなテストの数
期限切れのテスト	期限切れのテストの数
今週が期限のテスト	期限が指定した 1 週間以内のテスト
予定されているテスト	予定されているコントロールテスト
時間どおりに完了したテスト	時間どおりに完了したテストの数
終了予定日の後に完了したテスト	終了予定日の後で完了したテスト
週別のオープンなテスト	指定した 1 週間以内にオープンであるテスト
月別の完了したテスト	1 か月で完了したテストの数

[コントロールテスト] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付
- 運用有効性
- 設計有効性

問題

[問題] タブには、監査の下で作成されたすべての問題と、コントロールテストの失敗によって生成された問題の概要が表示されます。このタブには次のレポートが表示されます。

[問題] タブ

レポート	説明
アクティブな問題	さまざまなユーザーにアサインされたアクティブな問題の数
期限切れの問題	さまざまなユーザーにアサインされた期限切れの問題
応答待ちの問題	オープンで応答待ちの問題
今週が期限の問題	期限が指定した 1 週間以内のテスト
予定されている問題	予定されている問題の数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[問題] タブ (続く)

レポート	説明
終了予定日前に完了した問題	終了予定日前に完了した問題
終了予定日の後に完了した問題	終了予定日の後で完了した問題
時間どおりに完了した問題	ユーザーが時間どおりに完了した問題の数
月別の完了した問題	1 か月で完了した問題の数

[問題] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付
- 問題エンティティ
- 問題ステータス
- 問題の優先度
- 問題応答

修正

[修正] タブには、監査問題に作成された修正タスクの概要が示され、次のレポートが表示されます。

[修正] タブ

レポート	説明
アクティブな修正タスク	アクティブな修正タスクの数
期限切れの予定された修正	期限切れの修正タスクの数
今週が期限の修正タスク	期限が指定した 1 週間以内の修正タスク
予定されている修復タスク	近々予定されている修正タスク
終了予定日前に完了した修正タスク	終了予定日前に完了した修正タスク
終了予定日後に完了した修正タスク	終了予定日後に完了した修正タスク
時間どおりに完了した修正タスク	ユーザーが時間どおりに完了した修正タスクの数
月別の完了した問題の修正タスク	1 か月で完了した修正タスクの数

[修正] タブのレポートでデータをフィルターするには、次のインタラクティブフィルターを使用します。

- アサイン先
- 監査エンゲージメントの日付
- 修復タスクの優先度

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ品質

[データ品質] タブには、監査、監査の問題、修正タスク、およびコントロールテストのデータが正しい方法でキャプチャされているかどうかを検証するレポートが表示されます。このタブには次のレポートが表示されます。

データ品質タブ

レポート	説明
アサイニーなしのアクティブな監査	未アサインのアクティブな監査のリスト
タスクなしの監査	タスクのない監査のリスト
エンティティなしのアクティブな監査	エンティティのないアクティブな監査のリスト
アサイニーのない監査タスク	未アサインの監査タスクのリスト
結果のない運用テスト	結果のない運用テストのリスト
説明のないアクティブな監査	説明のないアクティブな監査のリスト
結果のない設計テスト	結果のない設計テストのリスト
説明のない問題	説明のない問題のリスト
アサイニーのないコントロールテスト	未アサインのコントロールテストのリスト
アサイン先グループのない問題	アサイン先グループのない問題のリスト
修正タスクのない問題	修正タスクのない問題のリスト
テスト計画のないコントロールテスト	テスト計画のないコントロールテストのリスト
アサイニーのない問題	未アサインの問題のリスト
推奨事項のない問題	推奨事項のない問題のリスト
説明のない問題	説明のない問題のリスト
アサイニーのない修正タスク	未アサインの修復タスクのリスト
アイテムのない問題	アイテムのない問題のリスト
問題のない修正タスク	問題のない修正タスクのリスト

レポートの [アサイン先] フィルターを使用して、[データ品質] タブのレポートでデータをフィルターします。

関連情報

詳細 ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションリスクダッシュボード

事業継続性管理

ServiceNow® 事業継続性管理 アプリケーションを使うことで、破壊的なインシデント発生時に、許容可能なレベルで製品とサービスを提供し続けることが可能になります。このアプリケーションの継続的なアクティビティは、運用面のリスクを軽減し、問題や中断への対応、反応、および復旧する組織の能力を高めることを目的としています。

事業継続性管理の概要

事業継続性管理 製品には、継続的な管理アクティビティを実行するためのフレームワークが入っています。事業継続性管理 アプリケーションは、組織が次の目標を達成するために役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 明確なガバナンス構造を確立する。
- ビジネスへの影響度分析とリスクに基づいて、ビジネスプロセス、相互依存関係、および復旧目標の一貫した分類を定義する。
- 事業継続性計画を策定し、継続的に改善する。
- 中断イベント中およびその後のプロセス継続性を特定、分析、および管理する。

事業継続性管理 の詳細については、「事業継続性管理 の詳細」を参照してください。

はじめに



自動翻訳

事業継続性管理 **UI** ビルダー ワークスペース のサポート

Washington DC リリース以降は、事業継続性管理 アプリケーションを UI ビルダー ワークスペース で設定できます。UI ビルダー は、Next Experience コンポーネント を使用して ワークスペース ページを構築またはカスタマイズするための Web ユーザーインターフェイスビルダーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次世代のユーザーインターフェイスの詳細については、「Next Experience UI」を参照してください。

BCM での UI ビルダー 管理タスクの詳細については、「UI ビルダー 用のセットアップ」を参照してください。

BCM UIB ワークスペースで事業継続性タスクを構成する方法については、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性ワークフロータスクの管理」を参照してください。

> **注:**
> Washington DC リリース以降、BCM クラシック ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。新しいインスタンスではナビゲーションに表示されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは BCM UIB ワークスペース で提供されます。

トラブルシューティングとヘルプの取得

- GRC コミュニティで質問や回答をする
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート
- 開発者トレーニング
- 開発者ドキュメント

事業継続性管理 の詳細

事業継続性管理 アプリケーションを使用して、事前定義されたテンプレートとワークフローを使用して事業継続性タスクを管理する方法について説明します。

事業継続性管理 の概要

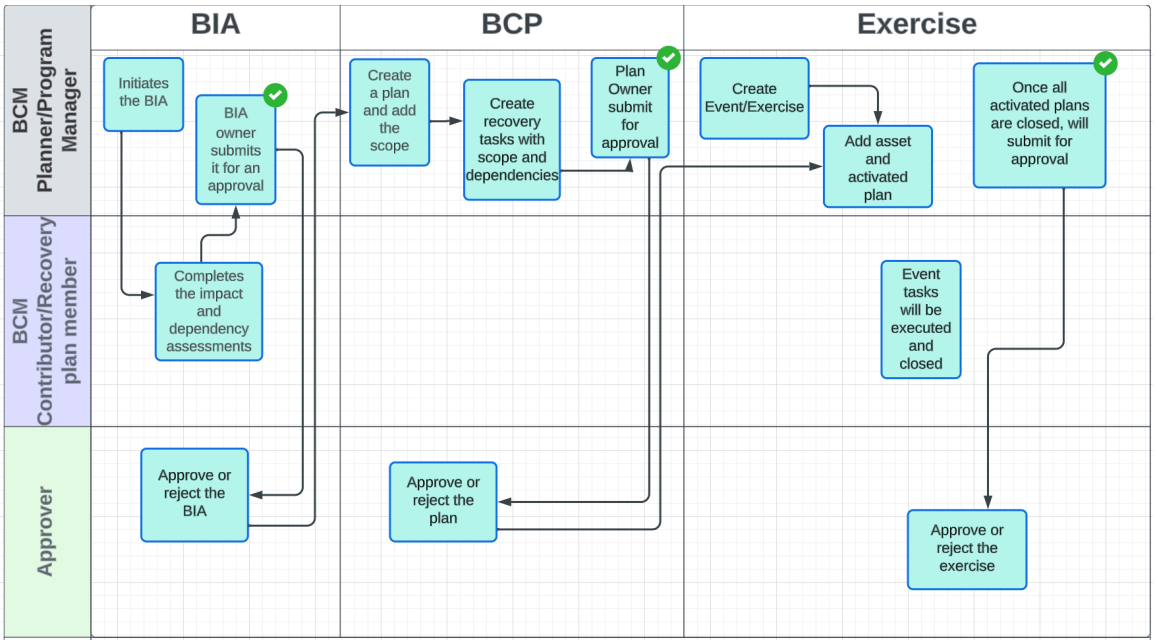
事業継続性管理 アプリケーションには、ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、演習管理、危機管理などの継続的な管理アクティビティを実行するためのフレームワークが入っています。事業継続性管理 アプリケーションの構造化されたワークフローにより、組織が問題に対応し、中断から短期間で復旧する能力が向上します。

事業継続性管理 のワークフロー

事業継続性管理 アプリケーションの一般的なワークフローでは、事業継続性タスクを管理するために次のステップを行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



1. 管理者が ServiceNow Store から 事業継続性管理 アプリケーションをダウンロードする。
2. BCM 管理者が、事業継続性アクティビティを実行するための 事業継続性管理 アプリケーションとテンプレートを設定する。
3. BCM プログラムマネージャーまたはビジネス影響分析 (BIA) 管理者が、中断がビジネスプロセスと IT アプリケーションに及ぼす影響を判断するためのビジネスインパクト分析を作成する。BIA 管理者が、インシデントの結果にも注目して、通常の事業運営を再開するための復旧時間を見積もる。
4. BCM プログラムマネージャーまたは BCM リードがアセスメントをレビューし、ビジネスインパクト分析を承認する。
5. BCM プログラムマネージャーまたは事業継続性計画 (BCP) 管理者が、事業継続性計画を作成し、それに関連する資産、スコープ、ドキュメント、関連計画、復旧チーム、損失シナリオ、および復旧タスクを追加する。その後 BCP 管理者が、事業継続性計画のレビューと承認を求める承認要求を BCM リードに送信する。
6. BCM プログラムマネージャーが演習イベントを作成し、資産とその依存関係を追跡して、演習イベントを承認する。
7. BCM プログラムマネージャーが、危機イベントに対応し、資産とそれに関連する依存関係を追跡して、復旧タスクを管理して中断の悪影響を軽減する。
8. BCM プログラムマネージャーが、クライシスマップ インターフェイスからのアラートを管理し、応答ワークフローを開始してダウンタイムを最小限に抑える。
9. BCM 管理者または BCM プログラムマネージャーが、Everbridge 通知システム で緊急通知を送信し、危機アラートについてステークホルダーに通知する。

事業継続性管理 のメリット

事業継続性管理 アプリケーションには次のメリットがあります。

メリット	機能	ユーザー
ホームページのインタラクティブダッシュボードから事業継続性アクティビティを管理します。	ホームページビュー	BCM プログラムマネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
[自分のタスク] ビューの単一のダッシュボードから、個人とチームのタスクを監視します。	[自分のタスク] ページビュー	BCM プログラムマネージャー
ビジネスインパクト分析を作成して、重要なビジネスサービスと IT アプリケーションを評価します。	ビジネスインパクト分析の作成	BCM プログラムマネージャーまたは BIA 管理者
応答戦略を含めた事業継続性計画を準備し、BCM リードとプログラムマネージャーによるレビューを受けます。	事業継続性計画の作成	BCM プログラムマネージャーまたは BCP 管理者
イベントを継続的にテストおよび実行して、事業継続性計画を確定します。	演習を作成	BCM プログラムマネージャーまたは BCM 計画者
実際の危機イベントに対応し、関連するイベントタスクを管理します。	危機イベントの開始	BCM プログラムマネージャーまたは BCM 計画者
クライシスマップ のアラートに応答し、アラートを管理するための復旧タスクを実行します。	クライシスマップ でのアラートの管理	BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー
Everbridge で緊急通知を送信して、危機アラートについてステークホルダーに通知します。	BCM 構成可能ワークスペース で Everbridge を使用して通知を送信する	BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

Pro および IRM Pro ライセンスとともにBCMインストールされるロール

このリリース以降Washington DC、Operational Resilienceロールは Pro と Pro IRM ライセンスの関係BCMを含むように変更されています。

Operational Resilience IRM Pro ライセンスのユーザー、マネージャー、および管理者は、対応するレポート、グラフ、およびデータにアクセスできるようになりました。同様に、Proライセンスのユーザー、マネージャー、管理者は、対応するレポート、 Operational Resilience BCM グラフ、およびデータにアクセスできるようになりました。

変更された Operational Resilience ロールの詳細については、「」を参照してください Operational Resilience と一緒にインストールされるロール。

BCM UIB ワークスペース

バージョン 17.x.x 以降、事業継続性管理 アプリケーションは BCM UIB ワークスペース をサポートしています。BCM UIB ワークスペース の直感的な機能を使用して、事業継続性タスクを実行できます。

BCM UIB ワークスペース の機能強化

BCM UIB ワークスペース (別名 事業継続性ワークスペース) では、ユーザーに提供されるユーザーエクスペリエンスが強化され、簡素化されています。BCM アプリケーションユーザーは、BCM UIB ワークスペース を通じて次のような BCM クラシック ワークスペース の機能拡張を利用できます。

1. ホームページのインタラクティブダッシュボードから、危機イベント、ビジネスインパクト分析、計画立案、および演習を管理する。
2. [自分のタスク] ページで個人やチームのタスクを監視し、処理待ちのタスクを迅速に処理する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. クライシスマップ のアラートに応答し、復旧タスクを効果的に管理する。
4. ビジネスインパクト分析、計画立案、演習、および危機イベントレコードの 360-Degree Relationship データを可視化し、すべての依存関係の全体像を見る。

> **注:**
>
> Washington DC リリース以降、BCM クラシック ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。クラシック ワークスペース 内の 事業継続性ワークスペース は BCM UIB ワークスペース を指すように自動的に更新されます。
>
> > **注:**
> > BCM クラシック ワークスペース の詳細については、「BCM クラシック ワークスペース の使用」を参照してください。

詳細な構成が可能でロール主導型の ワークスペース

BCM UIB ワークスペース は、詳細な構成が可能で、ロール主導型です。組織内のユーザーまたはロールごとにカスタマイズされた一意のものです。特定のユーザーロールにログインしてさまざまな機能を実行できます。ユーザーインターフェイスのビューは互いに異なります。

BCM アプリケーションのユーザーロールの詳細については、「事業継続性管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

アプリケーションをインストールしてアクティブ化するストアアプリの詳細については、「事業継続性管理 および ServiceNow Store」を参照してください。

BCM アプリケーションのユーザー

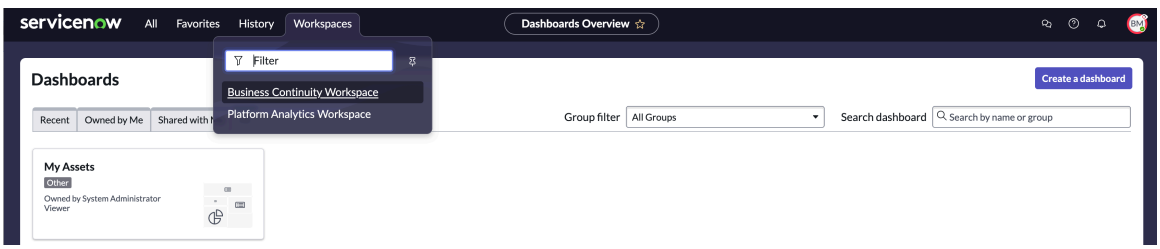
BCM アプリケーションは、次のタイプのユーザーにとっての中心的なワークベンチです。

- BCM 管理者
- BCM マネージャー
- BCM 計画者
- BCM 貢献者
- BCM ビューアー
- ビジネスユーザー
- IT アプリケーションオーナー

BCM UIB ワークスペース への移動

特定のユーザーロールで 事業継続性管理 アプリケーションにログインすると、次のいずれかのオプションを使用して 事業継続性ワークスペース に移動できます。

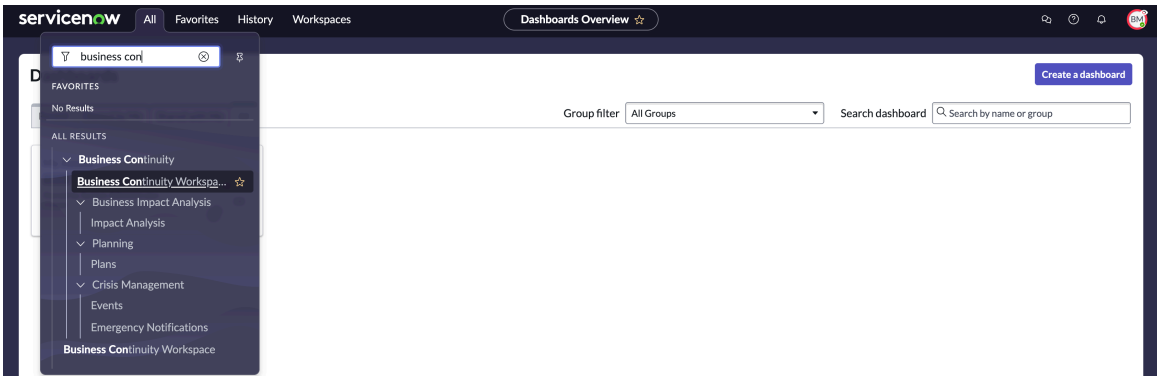
- 最初のオプション:に移動します 事業継続性ワークスペース>ワークスペース アプリケーションインスタンスで、次の例に示すように配置できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 2番目のオプション:移動先 事業継続性ワークスペース>事業継続性ワークスペース>すべて アプリケーションインスタンスで、次の例に示すように配置できます。



注:
クラシック ワークスペース ビュー内の 事業継続性ワークスペース は、BCM UIB ワークスペース へ移動するように自動的に更新されます。

事業継続性ワークスペース のアイコン

事業継続性ワークスペース を起動すると、ワークスペース ビューのサイドバーに次のアイコンが表示されます。

- ホームページ：事業継続性タスクを一元化されたビューに表示します。
- [タスク] ページ：ログインしているユーザーのタスクの概要が表示されます。詳細については、「[自分のタスク] ページビュー」を参照してください。
- リスト：ビジネスインパクト分析、計画立案、演習、および危機イベントレコードの数とステータスを表示します。詳細については、「リストビュー」を参照してください。
- クライシスマップ：さまざまな場所からのリアルタイムの脅威アラートを 1 つのマップビューに表示します。詳細については、「クライシスマップ ビュー」を参照してください。

BCM UIB ワークスペース での機能コンポーネントの管理

BCM アプリケーションの次の機能コンポーネントを、BCM UIB ワークスペース で管理できます。

ビジネスインパクト分析

ビジネスインパクト分析を実行すると、高リスクな資産を特定し、重要なビジネス機能やサービスに対する中断の影響を判断するために役立ちます。影響を分析することで、ビジネスを再開するための復旧時間を見積もったり、インシデントと中断の結果を重点的に見たりすることもできます。

ビジネスインパクト分析の作成については、「ビジネスインパクト分析」を参照してください。ビジネスインパクト分析の構造化ワークフロータスクの詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース でのビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー」を参照してください。

事業継続性計画

事業継続性タスクを計画することで、重要なビジネスプロセスと IT 機能の継続性および復旧に関する計画を策定できます。災害復旧により、組織の重要なデータとそのテクノロジーシステムを保護、復旧、復元することができます。また、各アクティビティの事業継続性戦略を策定することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画の作成については、「事業継続性計画」を参照してください。事業継続性計画の構造化ワークフロータスクの詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性計画作成のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

演習管理

シミュレートされた危機で計画をの演習を行うイベントを作成すると、継続的なテストによって事業継続性計画を検証するために役立ちます。そうすると、計画の有効性と、シミュレートされた危機の間の使いやすさを向上させることができます。

演習イベントの詳細については、「訓練」を参照してください。演習管理の構造化ワークフロータスクの詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での演習管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

危機管理

実際の危機イベントを管理することは、中断によるビジネスシステムへの悪影響を軽減するために役立ちます。そうすると、アクションに優先順位を付け、適切な戦略を適用してダウンタイムを最小限に抑えることができます。

危機イベントの詳細については、「危機イベント」を参照してください。危機管理の構造化ワークフロータスクの詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での危機管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

注:
事業継続性管理 の設定については、「BCM の全般管理セットアップ」を参照してください。

ホームページビュー

事業継続性ワークスペース のホームページは、BCM アプリケーションのランディングページとして機能します。

事業継続性ワークスペース のホームページ

事業継続性ワークスペース のホームページには、インタラクティブダッシュボードの BCM 機能コンポーネントの概要が表示されます。ビジュアル化は、ワークスペース ユーザーが自分のタスクのステータスを把握し、それらを体系的に処理するために役立ちます。ホームページに表示される情報は次のとおりです。

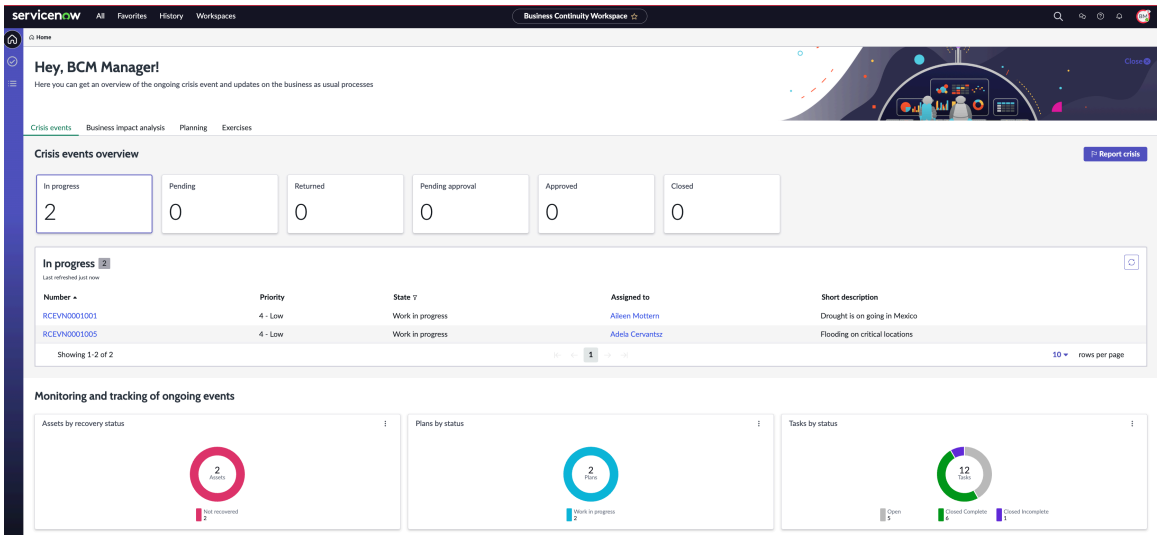
- 危機イベント
- ビジネスインパクト分析
- 計画
- 訓練

[危機イベント] タブ

ホームページの [危機イベント] タブには、危機イベントに関する情報を提供するさまざまなカードが表示されます。さまざまなステータスの危機イベント、選択した危機イベントの詳細、および危機イベントの監視と追跡を確認できます。次の例は、[危機イベント] タブのカードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[危機イベント] タブのカードの説明については、次の表を参照してください。

[危機イベント] タブのカード

カード	説明
危機イベントの概要 (Crisis events overview)	さまざまなステータスの危機イベントの概要。表示可能な危機イベントの詳細のステータスは次のとおりです。 対応中 [対応中] ステータスの危機イベントの数。 保留中 [保留中] ステータスの危機イベントの数。 戻り [戻り] ステータスの危機イベントの数。 承認待ち [承認待ち] ステータスの危機イベントの数。 承認済み [承認済み] ステータスの危機イベントの数。 クローズ済み [クローズ済み] ステータスの危機イベントの数。
選択したイベントカードの詳細	選択したカードのステータスに対する危機イベントの詳細。たとえば、[危機イベントの概要 **(Crisis events overview)]** で [対応中] を選択した場合、[対応中] ステータスの危機イベントの詳細がこのパネルに表示されます。表示可能な危機イベントの詳細は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[危機イベント] タブのカード (続く)

カード	説明
	アクティブ 危機イベントのステータス。ステータスは **True** または **False**です。リンクを選択すると、危機イベントレコードを開くことができます。 アクティビティ期限 危機イベントを期限とするアクティビティ。 参加者 危機イベントの参加者。 承認 危機イベントの承認情報。 承認履歴 危機イベントの承認履歴。 アサイン先 危機イベントへの対応を担当するアサイニーの名前。列でアサイニー名を選択すると、レコードフォームが開き、次のタブが表示されます。 • 詳細 • ロール • グループ • 委任 アサイン先グループ 危機イベントのアサイン先グループ。 ビジネス時間 危機イベントのビジネス時間。 サービス 危機イベントによって影響を受けたサービス。
進行中のイベントの監視と追跡 (Monitoring and tracking of ongoing events)	すべての危機イベントのグラフ表示。危機イベントに関連する資産、計画、およびタスクに基づいて、円グラフ形式で情報をフィルタリングできます。 復旧ステータス別の資産 進行中のイベントの資産の数を復旧ステータス別に表示します。円グラフで表示される資産の詳細情報は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[危機イベント] タブのカード (続く)

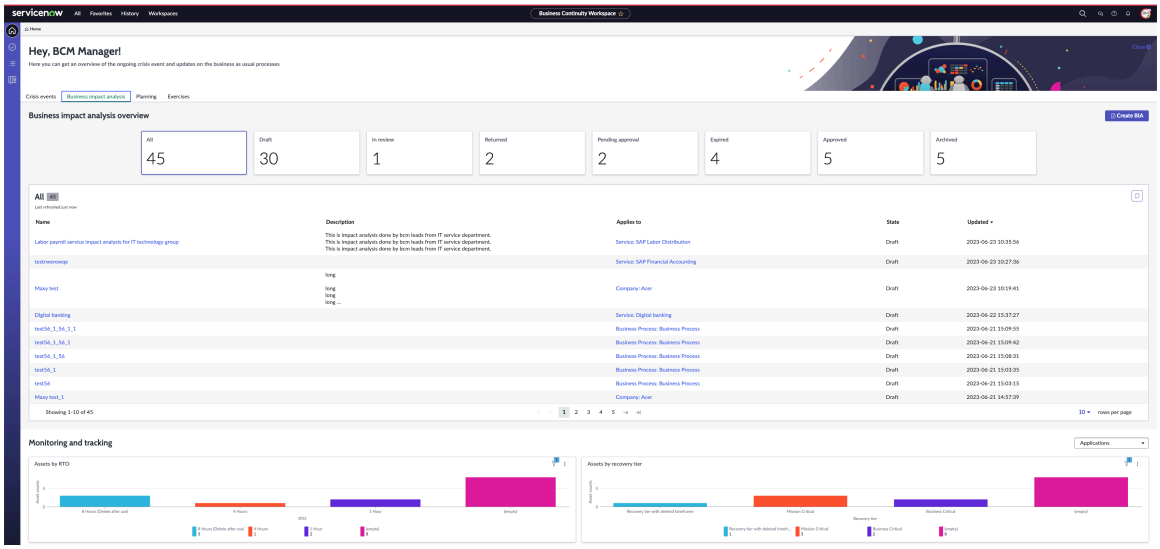
カード	説明
	• 未復旧 • 復旧済み 画像の例は、合計 18 の資産のうち、17 の資産がまだ復旧されておらず、1 つの資産が復旧されていることを示しています。 ステータス別の計画 進行中のイベントの計画を次のステータス別に表示します。 • 保留中 • 処理中 • 完了してクローズ タスク (ステータス別) 進行中のイベントのタスクを次のステータス別に表示します。 • オープン • 保留中 • 未完了でクローズ • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
[危機を報告**(Report crisis)**] アクションボタン	危機を報告し、[危機イベント] タブから危機イベントを作成するためのアクションボタン。[危機を報告**(Report crisis)**] を選択すると、危機イベントの詳細を入力できる [新規イベントを作成] フォームが起動します。

[ビジネスインパクト分析] タブ

ホームページの [ビジネスインパクト分析] タブには、ビジネスインパクト分析に関する情報を提供するさまざまなカードが表示されます。さまざまなステータスのビジネスインパクト分析、選択した分析の詳細、および分析の監視と追跡を確認できます。次の例は、[ビジネスインパクト分析] タブのカードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ビジネスインパクト分析] タブのカードの説明については、次の表を参照してください。

[ビジネスインパクト分析] タブのカード

カード	説明
ビジネスインパクト分析の概要	さまざまなステータスのビジネスインパクト分析の概要。表示可能なビジネスインパクト分析の詳細のステータスは次のとおりです。 すべて BCM アプリケーションでのビジネスインパクト分析の総数。 ドラフト [ドラフト] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 レビュー中 [レビュー中] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 戻り [戻り] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 承認待ち [承認待ち] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 期限切れ [期限切れ] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 承認済み [承認済み] ステータスのビジネスインパクト分析の数。 アーカイブ化済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ビジネスインパクト分析] タブのカード (続く)

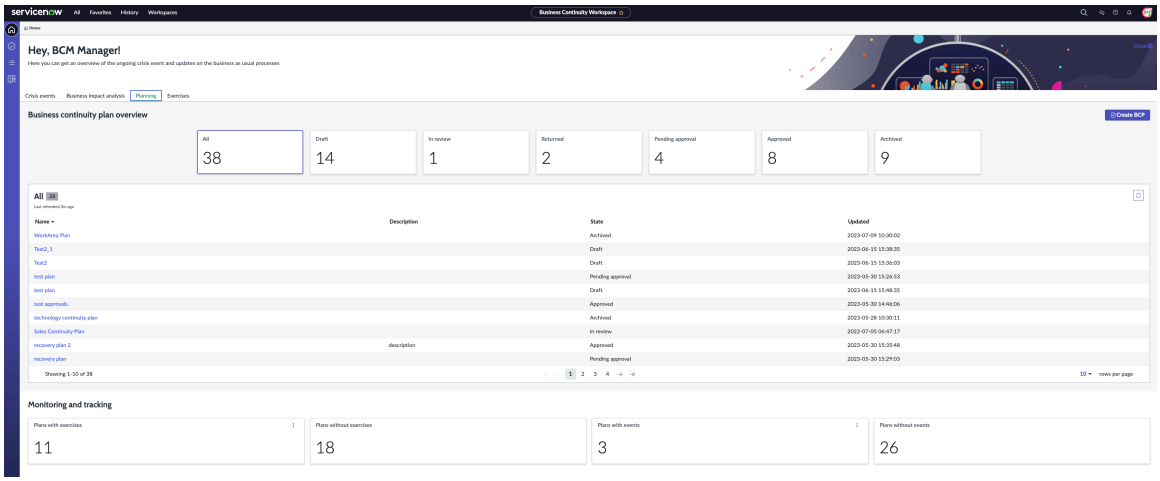
カード	説明
	[アーカイブ化済み] ステータスのビジネスインパクト分析の数。
選択したビジネスインパクト分析カードの詳細	選択したカードのステータスに対するビジネスインパクト分析の詳細。たとえば、[危機イベントの概要 **(Crisis events overview)]** で [対応中] を選択した場合、[対応中] ステータスのビジネスインパクト分析の詳細がこのパネルに表示されます。ビジネスインパクト分析の以下の詳細が、表形式で表示されます。 名前 ビジネスインパクト分析の名前。 説明 ビジネスインパクト分析の説明。 適用先 ビジネスインパクト分析が適用されるサービス、プロセス、または会社。 ステータス ビジネスインパクト分析のステータス。 更新日時 ビジネスインパクト分析が更新される日時。
進行中のビジネスインパクト分析の監視と追跡	すべてのビジネスインパクト分析を、それに関連する資産についてグラフィカルなパイチャート形式で表現したもの。 RTO 別の資産 目標復旧時間 (RTO) が異なる資産の数を表示します。この画像は、RTO が 8 時間の 3 つの資産と、RTO が 4 時間の 1 つの資産の例を示しています。 復旧階層別の資産 復旧階層が異なる資産の数を表示します。この画像は、ミッションクリティカルな復旧階層を持つ 3 つの資産と、ビジネスクリティカルな復旧階層を持つ 2 つの資産の例を示しています。
[BIA を作成] アクションボタン	[ビジネスインパクト分析] タブからビジネスインパクト分析を作成するためのアクションボタン。**[BIA** を作成]を選択すると、ビジネスインパクト分析の詳細を入力できる [新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)]** フォームが起動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[計画] タブ

ホームページの [計画] タブには、事業継続性計画に関する情報を提供するさまざまなカードが表示されます。事業継続性計画、選択した計画の詳細、および計画の監視と追跡を確認できます。次の例は、[事業継続性計画] タブのカードを示しています。



[計画] タブのカードの説明については、次の表を参照してください。

[計画] タブのカード

カード	説明
事業継続性計画の概要	さまざまなステータスの事業継続性計画の概要。事業継続性計画は、次のステータスのいずれかで表示されます。 すべて BCM アプリケーションのすべての事業継続性計画。 ドラフト [ドラフト] ステータスの事業継続性計画。 レビュー中 [レビュー中] ステータスの事業継続性計画。 戻り [戻り] ステータスの事業継続性計画。 承認待ち [承認待ち] ステータスの事業継続性計画。 承認済み [承認済み] ステータスの事業継続性計画。 アーカイブ化済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画] タブのカード (続く)

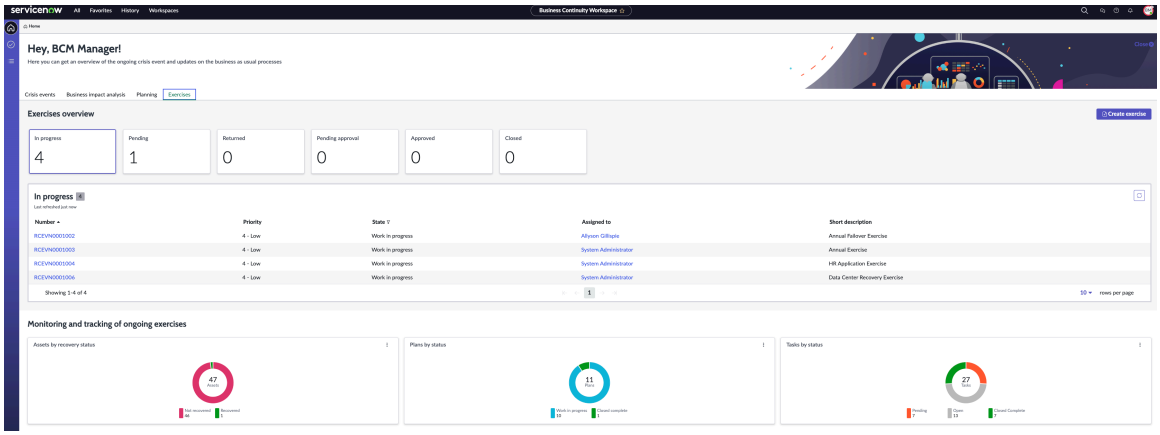
カード	説明
	[クローズ済み] ステータスの事業継続性計画。
選択した事業継続性計画カードの詳細	選択したカードのステータスに対する事業継続性計画の詳細たとえば、[事業継続性計画の概要] で [対応中] を選択した場合、[対応中] ステータスの事業継続性計画の詳細がこのパネルに表示されます。ビジネスインパクト分析の以下の詳細が、表形式で表示されます。 名前 事業継続性計画の名前。 説明 事業継続性計画の説明。 ステータス 事業継続性計画のステータス。 更新日時 事業継続性計画が更新される日時。
監視と追跡	すべてのアクティブな事業継続性計画を次の円グラフ形式でグラフィカルに表現したもの。 訓練を含む計画 カードを選択して、演習を含む計画を表示できます。 訓練のない計画 カードを選択して、演習のない計画を表示できます。 イベントを含む計画 カードを選択して、イベントを含む計画を表示できます。 イベントのない計画 カードを選択して、イベントのない計画を表示できます。
[BCPを作成] アクションボタン	[計画] タブから事業継続性計画を作成するためのアクションボタン。**[BCP**を作成]を選択すると、事業継続性計画の詳細を入力できる [新規計画を作成] フォームが起動します。

演習

ホームページの [演習] タブには、演習イベントに関する情報を提供するさまざまなカードが表示されます。さまざまなステータスの演習イベント、選択した演習イベントの詳細、および演習イベントの監視と追跡を確認できます。次の例は、[演習] タブのカードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[演習] タブのカードの説明については、次の表を参照してください。

[演習] タブのカード

カード	説明
演習の概要(Exercises overview)	さまざまなステータスの演習イベントの概要。表示可能な演習イベントの詳細のステータスは次のとおりです。 対応中 [対応中] ステータスの演習イベント。 保留中 [保留中] ステータスの演習イベント。 戻り [戻り] ステータスの演習イベント。 承認待ち [承認待ち] ステータスの演習イベント。 承認済み [承認済み] ステータスの演習イベント。 クローズ済み [クローズ済み] ステータスの演習イベント。
選択したステータスの演習の概要	選択したカードのステータスに対する演習イベントの詳細。たとえば、[演習の概要**(Exercises overview)**] で [対応中] を選択した場合、[対応中] ステータスの演習イベントの詳細がこのパネルに表示されます。演習イベントの以下の詳細が、表形式で表示されます。 アクティブ 演習イベントのステータス。ステータスは **True** または **False**で

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[演習] タブのカード (続く)

カード	説明
	す。リンクを選択すると、演習イベントレコードを開くことができます。 アクティビティ期限 演習イベントを期限とするアクティビティ。 参加者 演習イベントの参加者。 承認 演習イベントに関する承認情報。 承認履歴 演習イベントの承認履歴。 アサイン先 危機イベントへの対応を担当するアサイニーの名前。列でアサイニー名を選択すると、レコードフォームが開き、次のタブが表示されます。 • 詳細 • ロール • グループ • 委任 アサイン先グループ 演習イベントのアサイン先グループ。 ビジネス時間 演習イベントのビジネス時間。 サービス 演習イベントのサービス。
進行中の演習の監視と追跡 (Monitoring and tracking of ongoing exercises)	すべてのアクティブな演習を次の円グラフ形式でグラフィカルに表現したもの。 復旧ステータス別の資産 進行中のイベントの資産の数を復旧ステータス別に表示します。円グラフで表示される資産の詳細情報は次のとおりです。 • 未復旧 • 復旧済み 画像の例は、合計 18 の資産のうち、17 の資産が復旧されておら

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

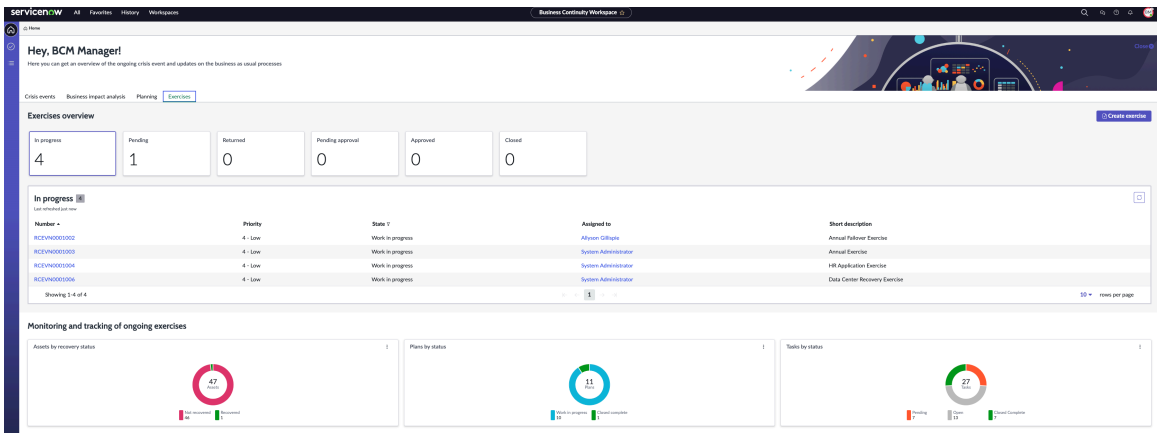
[演習] タブのカード (続く)

カード	説明
	ず、1 つの資産が復旧されていることを示しています。 ステータス別の計画 進行中のイベントの計画を次のステータス別に表示します。 • 保留中 • 処理中 • 完了してクローズ タスク (ステータス別) 進行中のイベントのタスクを次のステータス別に表示します。 • オープン • 保留中 • 未完了でクローズ • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
[演習を作成] アクションボタン	[演習] タブから演習イベントを作成するためのアクションボタン。[演習を作成] を選択すると、演習イベントの詳細を入力できる [新規イベントを作成] フォームが起動します。

BCM マネージャーと BCM 計画者のホームページビュー

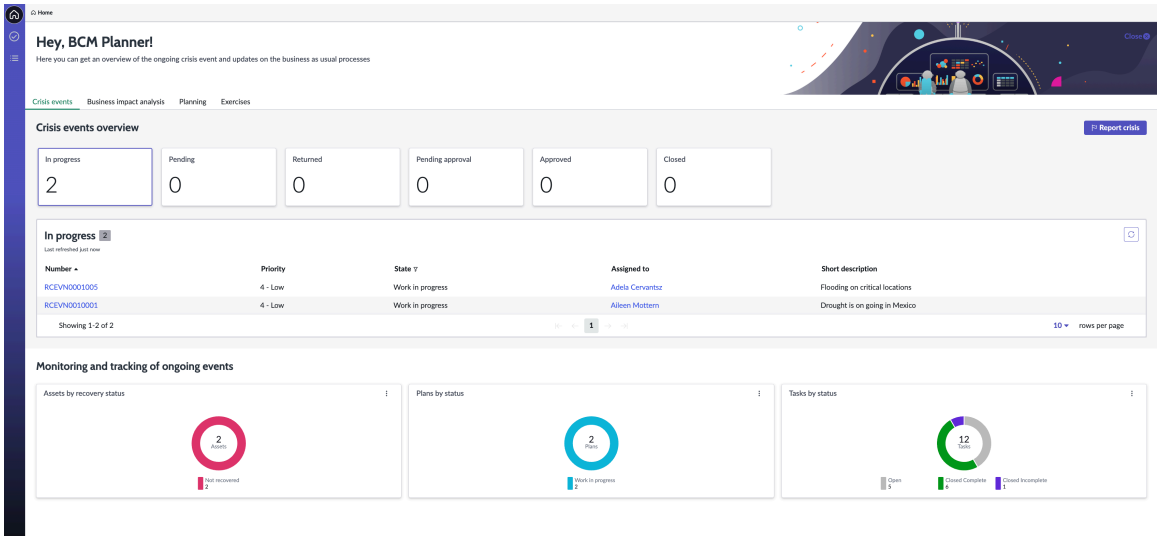
BCM アプリケーションにログインすると、ユーザーロール、責任、およびアサインされたタスクに従ってホームページビューが表示されます。

BCM マネージャーの一般的なホームページビューは、次の例のように表示されます。



BCM 計画者の一般的なホームページビューは、次の例のように表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



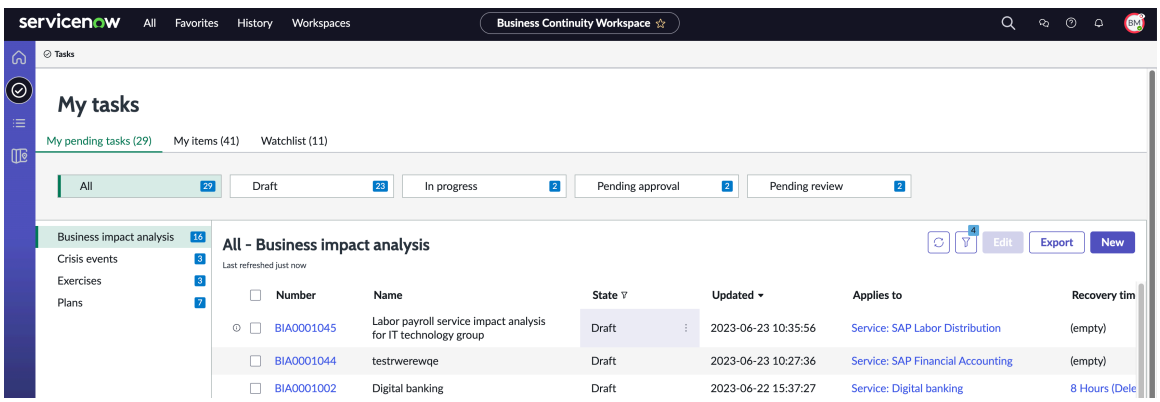
ホームページのタブとそれに関連するアクションの詳細については、「ホームページビュー」を参照して ください。

[自分のタスク] ページビュー

[自分のタスク] ページには、処理待ちのタスク、自分のユーザーグループにアサインされたタスク、およびウォッチリストにあるタスクが 1 つのペインに表示されます。

[タスク] ページのタブ

次の例に示すように、ログインしているユーザーにアサインされたタスクが [タスク] ページに表示されます。



BCM UIB ワークスペース の [タスク] ページには、次のタブが表示されます。

- 自分の保留中タスク：自分にアサインされている処理待ちのタスクと、自分のアクションが必要なタスクの概要が表示されます。次のタイプのステータスを使用して、保留中のタスクをフィルタリングできます。
  - すべて
  - ドラフト/新規
  - 処理中
  - 自分の承認が必要
  - 自分のレビューが必要

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

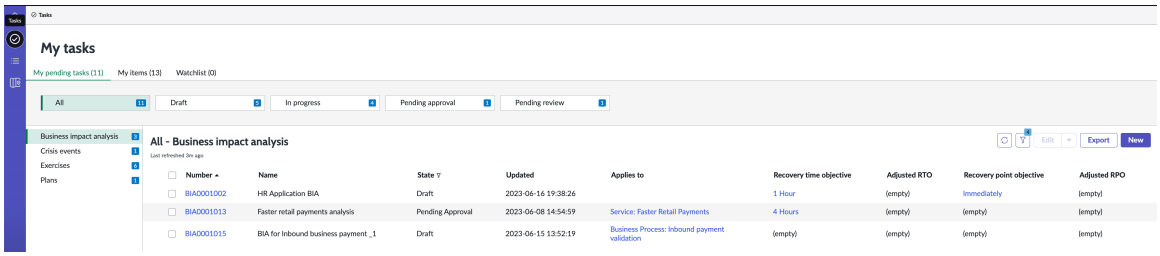
- 期限切れ
- 保留中の応答

> **注:**
> [タスク] ページに表示されるデータは、ユーザーのロールに基づいています。

- 自分のアイテム：ログインしているユーザーにアサインされているタスクのリストが表示されます。

- ウォッチリスト：自分がウォッチリストに入っているタスクのリストが表示されます。タスクが承認または完了すると、[ウォッチリスト] タブに通知が表示されます。

次の例に、ログインしているユーザーの一般的な [自分のタスク] ページを示します。



アプリケーションの [自分のタスク] ページ構成モジュールの詳細については、「マイタスクページ構成」を参照してください。

> **注:**
> [自分の処理待ちのタスク]、 [自分のアイテム]、および [ウォッチリスト] タブでは、進行中のレコードのみを表示できます。クローズ済みレコードとキャンセル済みレコードは、これらのタブには表示されません。BCM UIB ワークスペース のそれぞれのフォームで、クローズ済みレコードとキャンセル済みレコードを表示できます。

BCM 管理者ロールを持っている場合は、[タスク] ページ構成モジュールを更新して BCM UIB ワークスペース をカスタマイズできます。[タスク] ページの構成を更新するには、次の場所に移動します。 すべての**>** [全般] 管理**>** [自分のタスク] ページ構成 すぐに利用できます

BCM マネージャーまたは BCM ユーザーロールを持っている場合は、ホームページで事業継続性タスクに関連する推奨事項を取得することもできます。

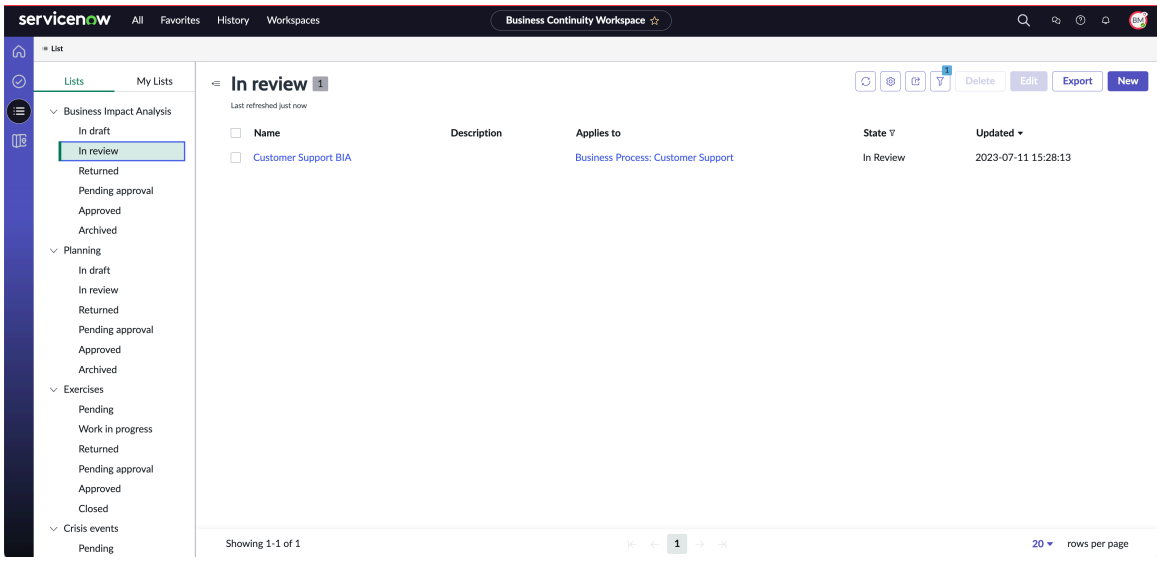
[タスク] ページの詳細情報を表示するには、「タスクページ設定レコードを更新する」を参照してください。

リストビュー

BCM UIB ワークスペース のリストビューには、すべての BCM 機能コンポーネントのスコープとその主要な測定基準情報が表示されます。

リストビューを使用して、ビジネスインパクト分析、計画立案、演習、および危機イベントレコードの数とステータスを確認します。BCM UIB ワークスペース の一般的なリストビューを次の例に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



各グループのレコードは現在のステータスに従ってリストされ、レコードの詳細を構成できます。[新規] を選択すると、レコードを作成できます。[名前] 列でレコードのリンクを選択して、その詳細を表示できます。

BCM UIB ワークスペース のリストビューを使用して、次の事業継続性タスクを完了します。

- 中断がビジネスサービス、プロセス、およびアプリケーションに及ぼす影響を評価する。ビジネスインパクト分析の実行の詳細については、「ビジネスインパクト分析」を参照してください。
- イベント発生時のリスクを軽減するための事業継続性計画を作成する。事業継続性計画タスクの管理の詳細については、「事業継続性計画」を参照してください。
- シミュレートされた危機で計画の演習を行うためのイベントを作成する。イベントの実行の詳細については、「訓練」を参照してください。
- 実際の危機に計画を適用する。危機イベントの管理の詳細については、「危機イベント」を参照してください。

BCM UIB ワークスペース での事業継続性タスクの管理の詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性ワークフロータスクの管理」を参照してください。

レコードの 360 度リレーションシップデータの監視

ビジネスインパクト分析、計画立案、演習、および危機イベントレコードに使用する 360 度リレーションシップデータを監視できます。各レコードの依存関係の概要を見ることもできます。

360 度ビューの構成は、次の場所に保存されます。 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成. 管理者ロールを持っている場合は BCM 、次のレコードの関係を構成できます。 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.

360 度のリレーションシップレジストリとビューの構成の詳細については、「360 度のリレーションシップレジストリとビューの構成」を参照してください。

ビジネスインパクト分析の 360 度リレーションシップを見るには、「ビジネスインパクト分析の 360 度の関係を可視化」を参照してください。

事業継続性計画の 360 度リレーションシップを見るには、「事業継続性計画の 360 度の関係を可視化」を参照してください。

演習イベントまたは危機イベントの 360 度リレーションシップを見るには、「演習と危機イベントの 360 度の関係を可視化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライシスマップ ビュー

インスタンスに GRC: クライシスマップ アプリケーションをインストールすると、リストビューにクライシスマップ のアイコンが表示されます。クライシスマップ アプリケーションを BCM と統合して、マップビュー内のさまざまな場所からのリアルタイムの脅威アラートを分析できます。そうすることで、事業継続性ワークスペース から修復アクションを実行し、危機イベントを管理できます。

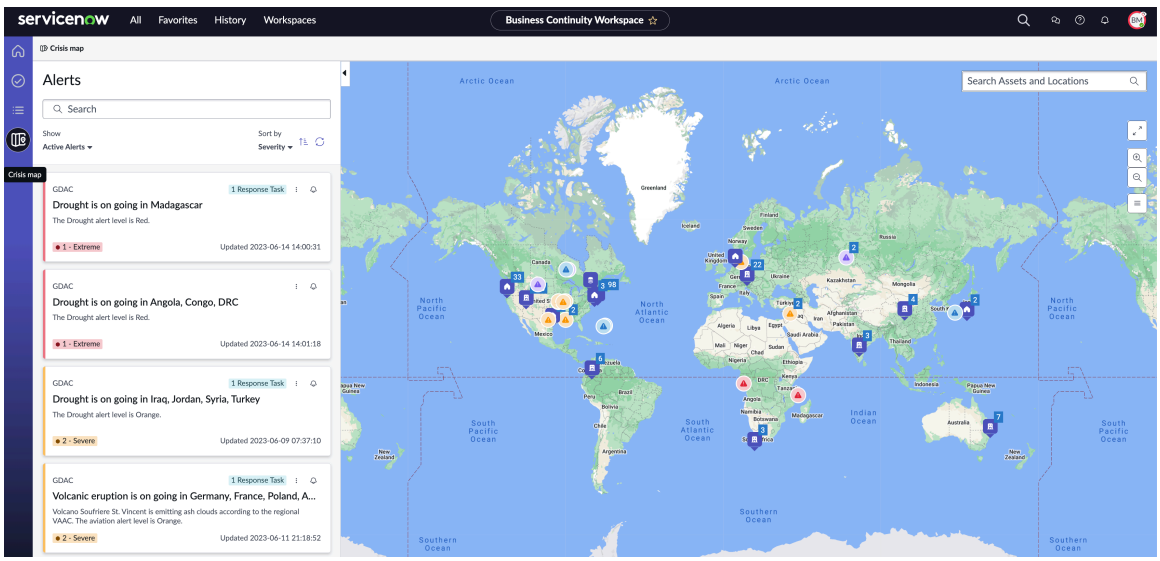
クライシスマップ に表示されるパネル

クライシスマップ アプリケーションは、次の各パネルで構成されています。

- [アラート] パネル
- アラートの場所を示すマップビュー

> **注:**
>
> クライシスマップ の検索機能を有効にするには、*sn_bcm_map.use_google_places_lib* システムプロパティを設定する必要があります。プロパティの設定の詳細については、「事業継続性管理でインストールされるプロパティ」を参照して下さい。
>
> GRC: クライシスマップ アプリケーションでクライシスマップ機能を有効にするには、Google マップを設定する必要があります。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

クライシスマップ アプリケーションの一般的なビューを次の例に示します。



クライシスマップ でのフィード、アラート、およびイベントの詳細については、「クライシスマップインターフェイス」を参照してください。

BCM 管理者のタスク

BCM 管理者は、クライシスマップ に対して次のセットアップタスクを実行する必要があります。

- ベースシステムによって提供される脅威フィードの統合を有効にする。
- Crisis Management アプリケーションで追加の脅威フィードを設定する。この設定により、脅威に関するアラートが危機マネージャーに送信され、適切なアクションを適時に実行できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライシスマップ のセットアップタスクの詳細については、構成セクションの「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。

クライシスマップ の [アラート] パネル

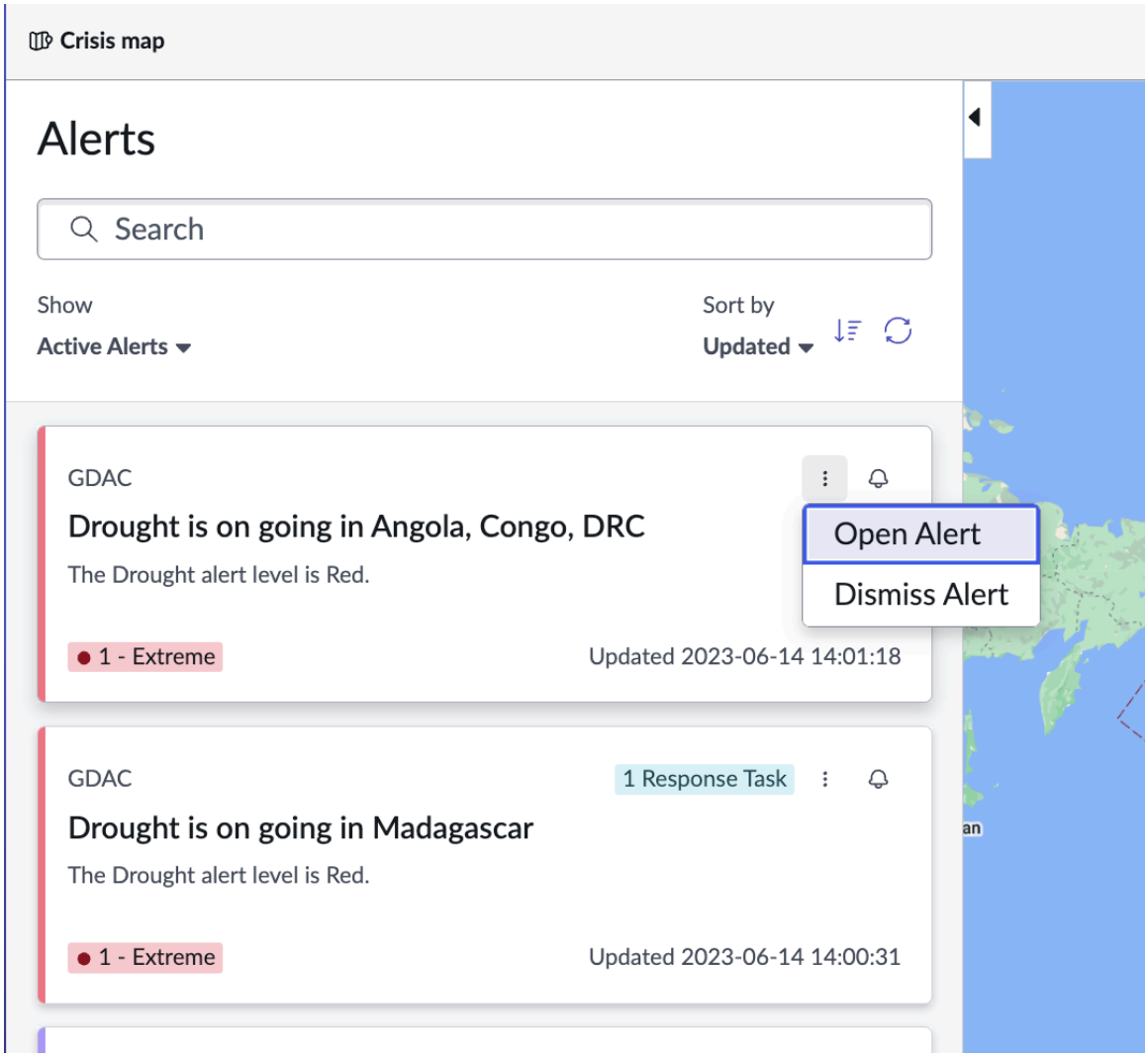
クライシスマップ の [アラート] パネルには、次の詳細が表示されます。

- 検索フィールド：特定のキーワードを使用してアラートを検索できます。
- 表示：このオプションを選択すると、次のタイプのアラートを表示できます。
  - アクティブアラート
  - アラート解除しました
- ソート基準：このオプションを選択すると、アラートをソートできます。次のオプションのいずれかを選択します。
  - 重大度：[極度] や [重大] などの重大度に基づいてアラートをソートして表示するには、このオプションを選択します。
  - 作成日時：作成日に基づいてアラートをソートして表示するには、このオプションを選択します。
  - 更新日時：更新された日付に基づいてアラートをソートして表示するには、このオプションを選択します。
  - ソート順を変更：アラートを昇順または降順で表示するには、このオプションを選択します。
  - 更新：アラート表示を更新するには、このオプションを選択します。

アラートパネルでアラートを開いたり閉じたりすることができます。次の例に示すように、ベルのアイコンを選択してアラートに登録することもできます。

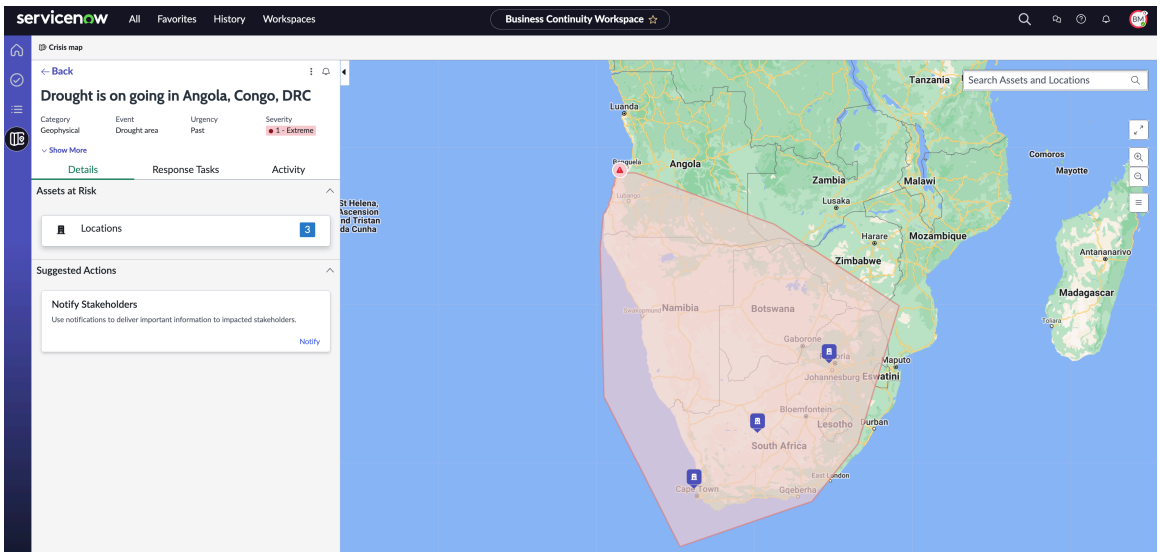
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[アラート] パネル

[アラート] パネルでアラートを選択すると、次の例で示すように、カテゴリやイベントなどのアラートの詳細を含むズームインビューが起動します。



[アラート] パネルでは、ひとつのアラートの次の詳細を表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[アラート] パネルの情報

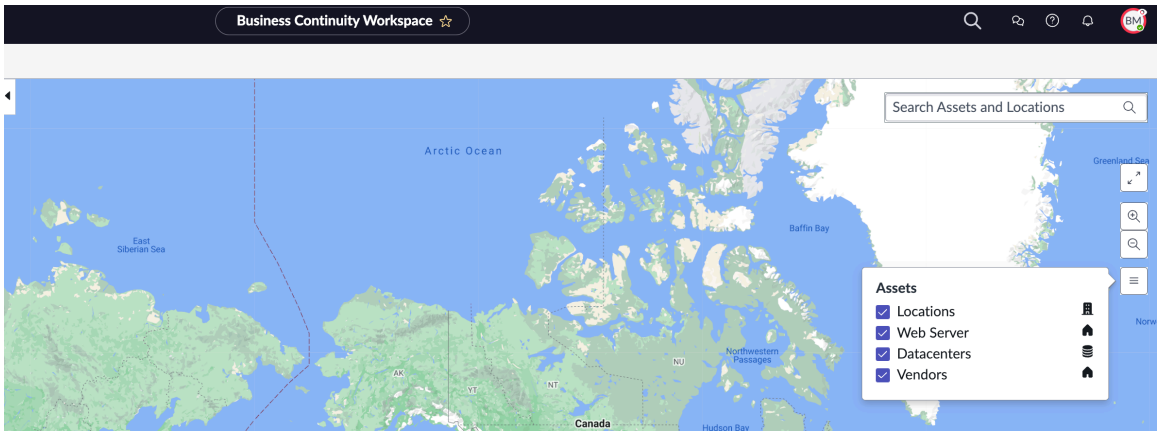
フィールド	説明
アラートのタイトル	アラートのタイトル (「アンゴラ、コンゴ、DRC で干ばつが続いています (Drought is on going in Angola, Congo, DRC)」など)。
カテゴリ	地球物理学などのアラートのカテゴリ。
イベント	アラートのイベント (「干ばつの地域 (Drought area)」など)。
緊急度	アラートの緊急度 (「過去」など)。
重大度	アラートの重大度 (「極度」など)。
確実性	アラートの確実性 (「不明」など)。
ソース	アラートのソース (GDAC など)。
緯度	アラートの緯度 (-14.0701845 など)。
経度	アラートの経度 (13.0958574 など)。
Web URL	アラートの Web URL (「Web https://www.gdacs.org/report.aspx?eventtype=DR&eventid=1014416」など)。
説明	アラートの説明 (「干ばつアラートレベルは Red です (The Drought alert level is Red)」など)。
[詳細] タブ	
リスクのある資産	場所ごとのリスクのある資産の数。場所を選択して、[名前]、[連絡先]、[電話番号]、[市区町村]、[緯度]、[経度]、[更新日時] などの詳細を表示できます。右側のパネルのマップビューには、アラートのズームインされた場所とハイライト表示された領域が表示されます。
応答タスク	アラートに関連付けられている応答タスク。
アクティビティ	アラートに関連するアクティビティ。[アクティビティ] パネルと、メモを追加できる [作成] セクションが表示されます。
提案されたアクション	アラートに対して提案されたアクション。たとえば、[ステークホルダーに通知] に「通知を使用して、影響を受けるステークホルダーに重要な情報を配信します。」と表示するなどです。
戻る	[アラート] パネルビューに移動するオプション。

クライシスマップ のマップビュー

Google マップを設定すると、次の例に示すように、マップビューでアラートの場所を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マップビューでは、次の詳細を表示できます。

マップビューの詳細

アイコン	説明
[資産と場所の検索] 検索バー	マップビューの検索バー。アラートの影響を受ける場所やデータセンターを入力できます。場所を検索すると、会社の結果のリストとレコードの表示値がそれらのアイコンとともに表示され、Google マップピンアイコンが表示されます。
ズームアウト ( ) およびズームイン ( )	マップのズームレベルを変更し、特定の領域を表示するためのズームコントロールボタン。
レイヤーアイコン ( )	資産の場所、データセンター、コア会社などの資産を選択してマップ上に表示するレイヤーアイコン (レイヤーコントロールアイコン)。 マップ上のレイヤーは、Google マップ上でピンとして表示され、構成可能です。資産の場所、資産、データセンター、コア会社などのすべてのレイヤーの詳細は、構成されたアイコンによってマップ上に表示されます。 レイヤーアイコンを使用すると、選択した資産のみを表示することも、すべての資産を表示することもでき、マップ上でオンとオフを切り替えることができます。危機管理者は、アクティブなアラートを表示するときに、他の資産ではなく、その時点で重要になる可能性のある単一の資産に集中することで、情報に基づいた意思決定を行うことができます。次の資産が表示されます。 • 場所 • Web サーバー • データセンター • ベンダー
リセットアイコン ( )	マップからすべての検索結果をクリアするリセットアイコン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析

ビジネスインパクト分析は、影響度カテゴリと依存関係を評価し、ビジネスプロセスまたはビジネス機能に対するサービスの中断の結果を予測する際の構造化されたプロセスです。

事業継続性計画の重要なコンポーネント

ビジネスインパクト分析は、組織の事業継続性計画の不可欠なコンポーネントです。この中には、重要な情報システムに関する情報と、リスクを最小限に抑えるための戦略を含む計画立案コンポーネントが含まれています。

ビジネスマネージャーは、ビジネス全体の成長に寄与する可能性のある難しい意思決定を行う必要があります。場合によっては、予期しないイベントやサービスの中断によって破壊的な影響が生じることがあります。ビジネスインパクト分析を実行することで、ビジネスにおけるこのような懸念を軽減することができます。イベントや意思決定の潜在的な影響を評価することで、ビジネスが将来の結果を予測し、業務停止から正常に回復できます。

ビジネスインパクト分析のユースケースの詳細については、「ビジネスインパクト分析のユースケース」を参照してください。

ビジネスインパクト分析の作成で実行するステップ

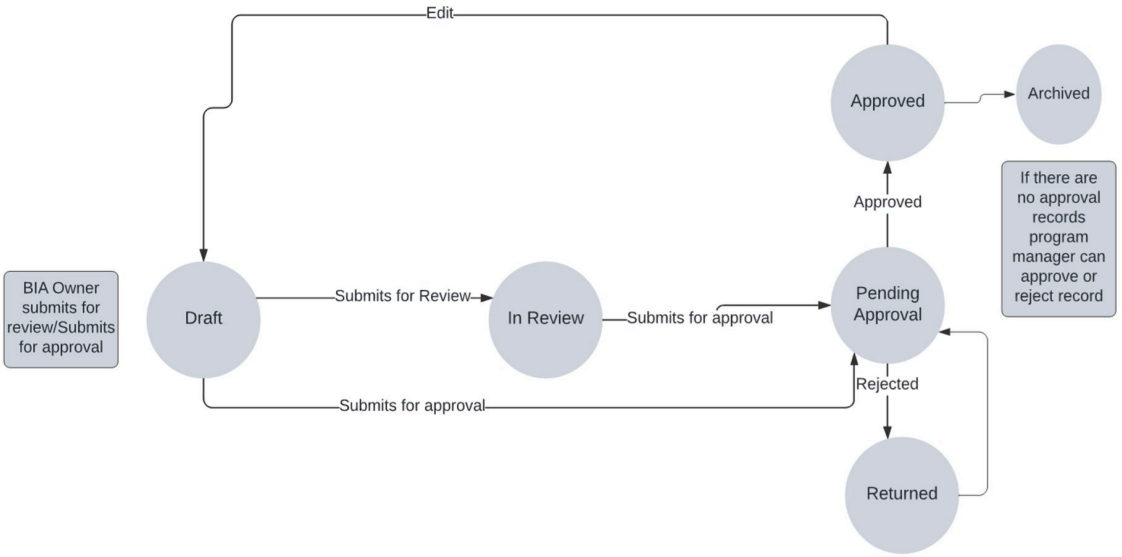
一般的に、ビジネスインパクト分析の作成では次のようなステップを実行します。

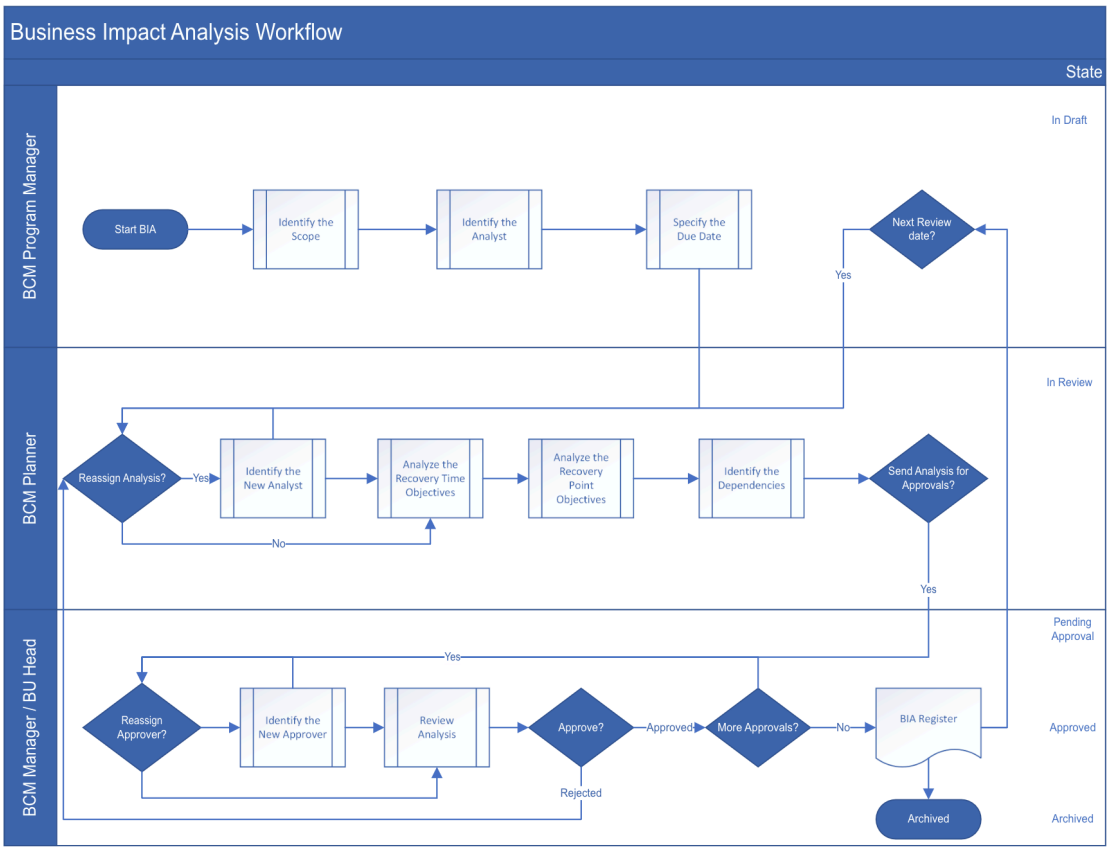
- ビジネスインパクト分析オーナーが、ホームページ、または BCM UIB ワークスペースのリストビューのビジネスインパクト分析レコードページから、ビジネスインパクト分析を作成する。
- BIA オーナーは、[詳細] タブでビジネスインパクト分析の詳細を追加する。
- BCM アプリケーションのさまざまなユーザーが、[アセスメント] タブのビジネスインパクト分析に関するアセスメントアンケートに回答する。
- 受け取った回答に基づいて、BCM アプリケーションが、ビジネスインパクト分析の目標復旧時間 (RTO)、目標復旧時点 (RPO)、および依存関係を計算する。
- ビジネス影響分析オーナーが情報をレビューし、サービスのビジネスマネージャーまたはアプリケーションの IT マネージャーへ、レビューと承認のために分析を送信する。
- ビジネスマネージャー、IT マネージャー、または BCM リードが、ビジネスインパクト分析の詳細をレビューして、承認または却下する。
- 承認されたビジネスインパクト分析が [承認済み] に移行し、その後 [アーカイブ済み] ステータスに移行する。
- ビジネスインパクト分析オーナーは、分析の PDF を生成して参照用にコピーを保存できる。

ビジネスインパクト分析の一般的なワークフローを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





ビジネスインパクト分析の管理者のセットアップタスク

ビジネスインパクト分析管理者は、「ビジネスインパクト分析のためのセットアップ」で BCP セットアップタスクの情報を確認できます。

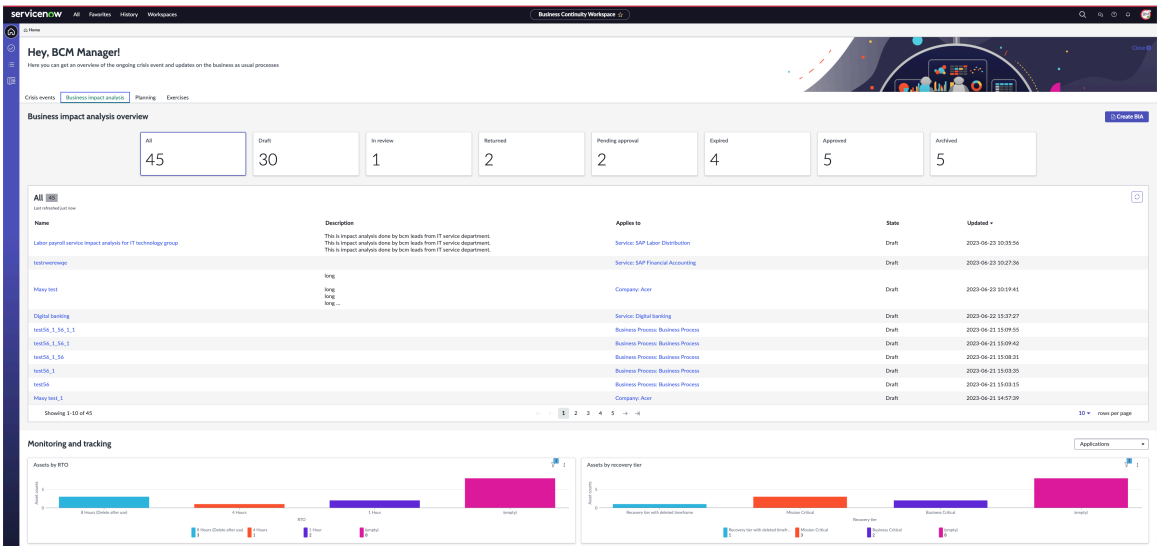
事業継続性ワークスペースでのビジネスインパクト分析の作成

ビジネスインパクト分析オーナーは、次のいずれかのオプションを使用して、事業継続性ワークスペースでビジネスインパクト分析を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

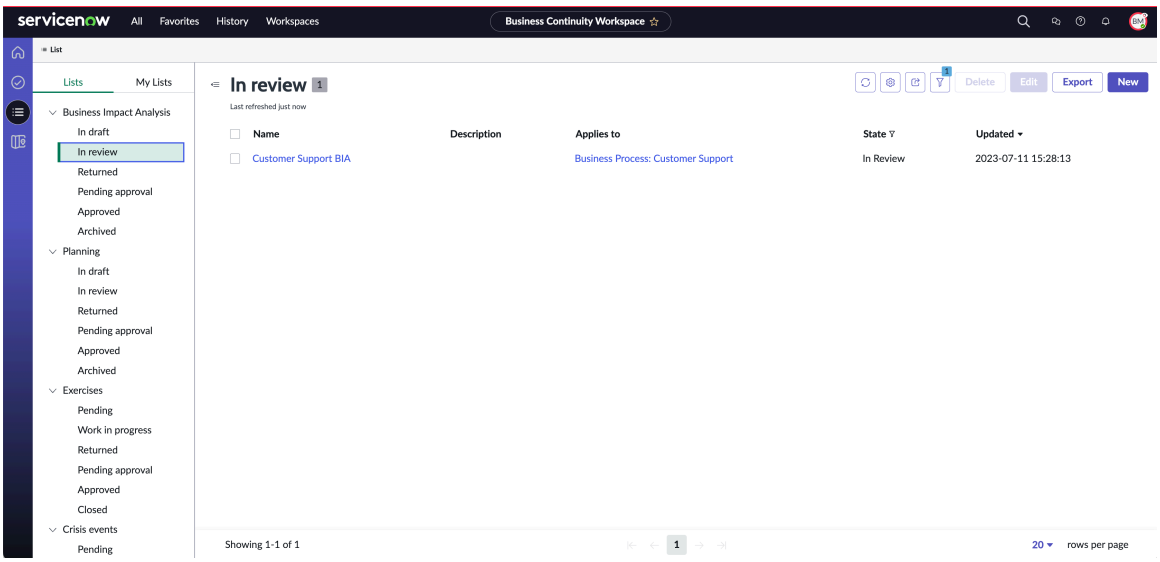
自動翻訳

- ホームページの [ビジネスインパクト分析] タブに移動して、次の例のように **[BIA を作成]** を選択します。



ホームページの [ビジネスインパクト分析] タブのカードとアクションボタンの説明については、「ホームページビュー」を参照してください。

- 次の例で示すように、リストビューに移動して、[ビジネスインパクト分析] レコードで [新規] を選択する方法もあります。



事業継続性ワークスペースでビジネスインパクト分析を作成するには、「ビジネスインパクト分析の作成」を参照して下さい。ビジネスインパクト分析に関連するタスクの管理の詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース でのビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー」を参照してください。

ビジネスインパクト分析のユースケース

事業継続性管理 アプリケーションを使用して、ビジネスサービスやプロセス、およびデータセンターやアプリケーションなどの技術的なエンティティに対するダウンタイムの影響を評価できます。組織に対するビジネスインパクト分析を作成する際は、事業継続性タスクの管理に使用される一般的なユースケースの参照が可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
環境は、お客様によってそれぞれ異なります。ここで述べるユースケースのシナリオが示すのは、あくまでもここに記されているユースケースの一般的な実装です。実際の実装は異なる場合があります。

インパクト分析を実行することの重要性

インパクト分析の実行は、事業継続性タスクを管理するための重要なステップです。インパクト分析の実行には次のメリットがあります。

- 通常のビジネス機能の意図しない中断を防止し、最小限に抑えます。
- 組織にとって重要なビジネスプロセスを特定し、将来の問題を防止するための戦略を策定するために役立ちます。
- 財務資産および技術資産の保護に関する計画立案を支援します。
- 将来の改善領域に関するガイダンスとサポートを提供します。

インパクト分析のカテゴリ

インパクト分析は、次のカテゴリに大まかに分類できます。

ビジネスインパクト分析

主にビジネスサービスやビジネスプロセスを管理するビジネスユーザーは、サービスとプロセスに対するダウンタイムの影響を判断する必要があります。プロセス関連のビジネスインパクト分析を実行することで、ビジネスが次の目標を達成するために役立ちます。

- プロセスまたは手順の変更に備えて準備する。
- プロセスに関連する問題を特定する。
- 予期しない事象によって発生する可能性のあるリスクを軽減する。

技術的インパクト分析

主にデータセンターや IT システムを管理するアプリケーションユーザーや IT マネージャーは、データとアプリケーションに対するダウンタイムの影響を判断する必要があります。技術的インパクト分析を実行することで、実装された製品やアプリケーションでの技術的な変更の影響を分析するために役立ちます。分析により、アプリケーションの特定のセクションや機能の変更によって影響を受ける可能性がある情報システムの領域に関する情報が得られます。

ビジネスインパクト分析の作成の目標と方法

ビジネスインパクト分析は通常、ビジネスサービスまたはビジネスプロセスを分析するため、ビジネスユーザーによって実行されます。たとえば、財務アナリストがビジネス影響分析を実行すると、ビジネスプロセスまたはビジネスサービスのダウンタイムの影響を推定できます。

目標

ビジネスインパクト分析を実行する目標は、次の情報を判断することです。

- プロセスの重要度を特定する。
- ビジネスがビジネスサービスまたはビジネスプロセスなしで存続できる時間を判断する。

ビジネスインパクト分析を実行する方法

ビジネスユーザーがビジネスサービスまたはプロセスを分析するには、次のアセスメントの質問のいくつかに対する回答を推測します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネスサービスまたはビジネスプロセスに影響を与える影響度カテゴリまたは要因は何か？
- ビジネスプロセスまたはビジネスサービスのダウンタイムの影響はどのようなものか？
- 影響を受ける顧客は何人か？
- 組織のダウンタイムの収益への影響はどのようなものか？
- その他に組織が被る可能性のあるペナルティはあるか？
- 組織の風評被害はあるか？
- 推定ダウンタイムのメディア報道などの損害を修復するための追加コストはいくらか？
- ビジネスプロセスを効率的に実行するために普段から必要となる支援システムは何か？

BCM リードまたはマネージャーがこれらのアセスメントの質問に回答することで、ビジネスインパクト分析を作成する目標を定義するために役立ちます。

技術的インパクト分析の作成の目標と方法

技術的インパクト分析は通常、データを格納するアプリケーションやシステムを分析するために、IT オーナーによって実行されます。たとえば、財務組織の IT オーナーが技術的インパクト分析を実行することで、アプリケーションの重要度とタイムライン、およびデータをバックアップする頻度を判断できます。

目標

技術的インパクト分析を実行する目標は、次の情報を判断することです。

- アプリケーションの重要度。
- アプリケーションなしで組織が存続できるタイムライン。
- データをバックアップする頻度

技術的インパクト分析を実行する方法

ビジネスユーザーがビジネスインパクト分析を実行するには、次のアセスメントの質問例に対する回答を推測します。

- アプリケーションが機能しない場合、ビジネスにどのような影響があるか？
- 影響を受ける従業員は何人か？
- アプリケーションは外部につながっているか？
- アプリケーションが外部につながっている場合、影響を受ける顧客は何人か？
- アプリケーションが処理するデータはどのような種類か？
- データはどのくらいの頻度で変更されるか？

ビジネスユーザーがこれらのアセスメントの質問に回答することで、技術的インパクト分析の目標を決定するために役立ちます。

ビジネスインパクト分析ワークフローの使用

BCM アプリケーションのユーザーは、ビジネスインパクト分析ワークフローを使用してビジネスインパクト分析を実行できます。

BCM を使用してビジネスインパクト分析を作成する場合は、次のユースケース例が考えられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 事前定義済みのテンプレートに基づくビジネスプロセスまたはアプリケーションの復旧階層を評価する。
- 目標復旧時点を特定する。
- 目標復旧時間を特定する。
- ベンダー、アプリケーション、施設、その他の基本的な要素などの依存関係を特定する。

ビジネスインパクト分析ワークフローの前提条件として、組織の BCM 管理者が BCM アプリケーションで BIA テンプレートを設定します。テンプレートを使用することで、アセスメントアンケートの形式でのサーベイ型ユーザーエクスペリエンスが可能になります。

BCM 管理者は、BIA テンプレートで組織とシナリオに適した質問を設定できます。BCM 管理者ロールで BIA テンプレートを設定する方法の詳細については、「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

BCM リードまたは BCM プログラムマネージャーは、ビジネスインパクト分析レコードの [アセスメント] タブでアセスメントアンケートに回答できます。主にビジネスサービスとビジネスプロセスを使用する場合、回答は目標復旧時間のアセスメントと依存関係アセスメントの重要なデータポイントとして機能します。回答に基づいて、ビジネスプロセスまたはビジネスサービスの重要度と推奨タイムラインが決定されます。

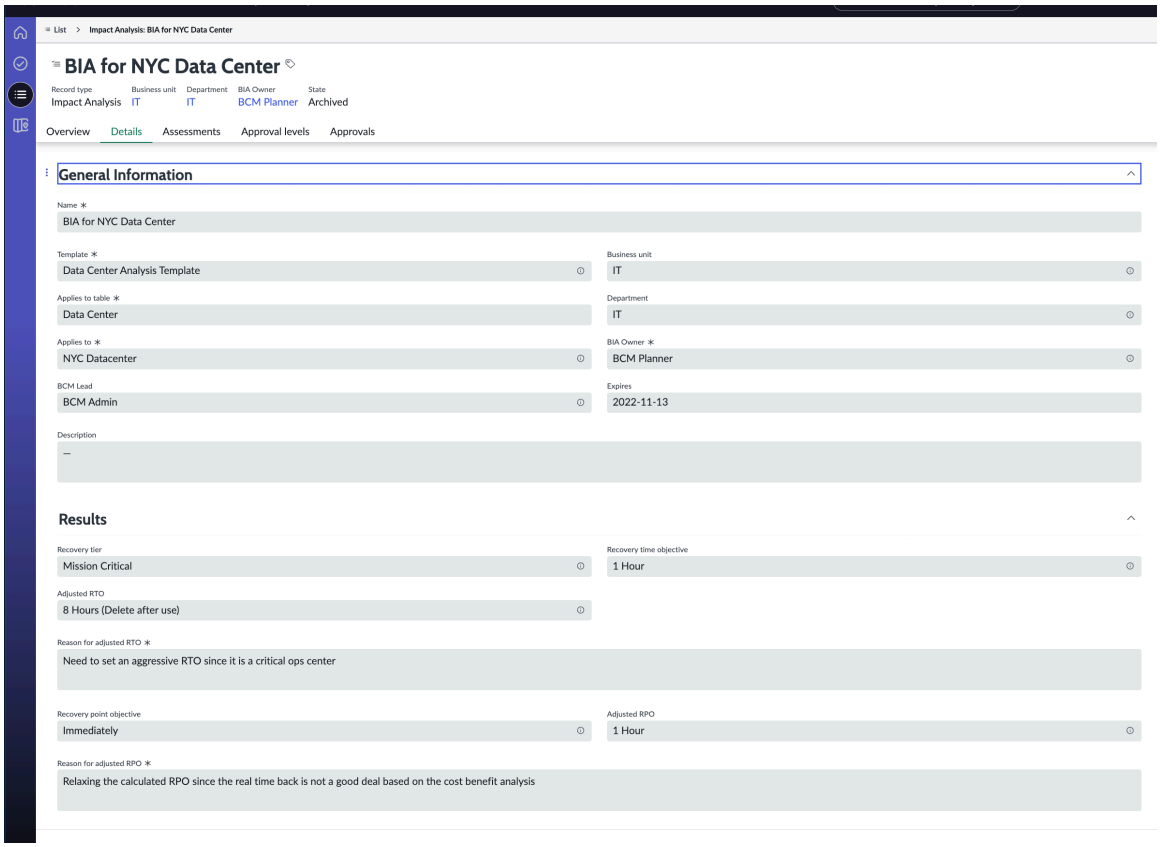
IT システム、データ、およびアプリケーションを処理する BCM リードまたは BCM プログラムマネージャーの場合、回答は目標復旧時点アセスメントの重要なデータポイントとして役立ちます。受診したアンケート回答に基づいて、アプリケーションがビジネスプロセスまたはビジネスサービスの重要度と推奨タイムラインを計算します。

BCM でのインパクト分析の結果

アンケートへの回答の受信後、BCM アプリケーションがビジネスインパクト分析の結果を計算します。結果は、次の例に示すように、ビジネスインパクト分析レコードの [詳細] タブの [結果] セクションに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



BCM アプリケーションで、ビジネスインパクト分析レコードに次の主要な結果が表示されます。

復旧階層

BCM アプリケーションがプロセスの重要度を特定します。これを復旧階層と呼びます。たとえば、復旧階層の中にはビジネスにとって必須でないものもあれば重要なものもあります。

達成目標復旧時間

BCM アプリケーションは、組織がビジネスプロセスなしで存続できる時間、すなわち目標復旧時間 (RTO) を判断するのに役立ちます。

調整済み RTO

ビジネスインパクト分析のオーナーは、実用的な理由で目標復旧時間の値を調整できます。調整された値は、[結果] セクションの [調整済み **RTO]** フィールドに表示されます。自分がビジネスインパクト分析オーナーであり、アセスメント中に何らかの理由で RTO 値を調整した場合、調整の理由が [調整済み **RTO** の理由] フィールドに表示されます。

依存関係

BCM アプリケーションを使用することで、ビジネスプロセスを効率的に実行するために普段から必要となる支援システムや依存関係を判断できます。ビジネスに存在する依存関係としては、次のようなものがあります。

- 人 (People)
- 施設 (Facility)
- アプリケーション
- ベンダー

目標復旧時間、目標復旧時点、および復旧階層の詳細については、「目標復旧時間、目標復旧時点、および復旧階層」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析 **(BIA)** テンプレート

事業継続性管理 アプリケーションには、ビジネスインパクト分析を作成するための事前設定済みビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートが入っています。BCM または BIA 管理者は、事業継続性管理 アプリケーションの **BIA** テンプレートモジュールを使用できます。そうすることで、ビジネスインパクト分析に使用するテンプレートのタイプ、要素、影響度カテゴリなどを選択できます。

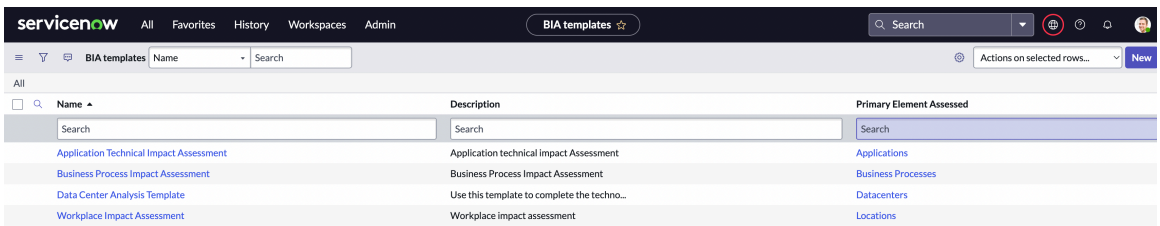
BIA テンプレートを使用するメリット

BIA テンプレートには、ビジネスプロセスが依存する影響カテゴリや依存関係グループなどの情報が保存されます。BIA テンプレートを使用することのメリットは次のとおりです。

- ビジネスインパクト分析の作成プロセスが簡素化されます。
- テンプレートを事前に入力することで、時間とリソースが節約されます。
- BIA テンプレートの使用対象となるプライマリオブジェクトタイプを定義できます。たとえば、アプリケーションの技術的インパクト分析テンプレートを使用して、IT アプリケーションの技術的インパクト分析を実行できます。
- 依存関係グループが BIA に自動的に入力されます。
- 組織に直接関連する影響度カテゴリを選択できます。

BCM に入っている BIA テンプレート

sn_bcm.admin ロールを持っている場合は、アプリケーションをインストールするとき、または **BIA** テンプレートモジュールで BIA テンプレートを設定するときに、デモデータとともにインストールされた BIA テンプレートが表示されます。デモデータとともに 事業継続性管理 アプリケーションにインストールされる BIA テンプレートを、次の例で示します。



BIA テンプレートの構成

sn_bcm.admin ロールを持っていれば、BIA テンプレートで次の詳細情報を設定できます。

名前と説明

[名前] フィールドと [説明] フィールドを使用して名前を検索し、ビジネスインパクト分析に適したテンプレートを選択します。

評価されたプライマリー要素

ビジネスプロセスや CI サービスなど、評価する予定の要素のタイプを選択します。

影響度カテゴリ

ビジネスインパクト分析中に特定の影響度カテゴリを評価します。たとえば、ダウンタイムによる財務への影響と法的影響を評価することを計画しているとします。

依存関係アセスメント

ビジネスインパクト分析の依存関係を特定します。

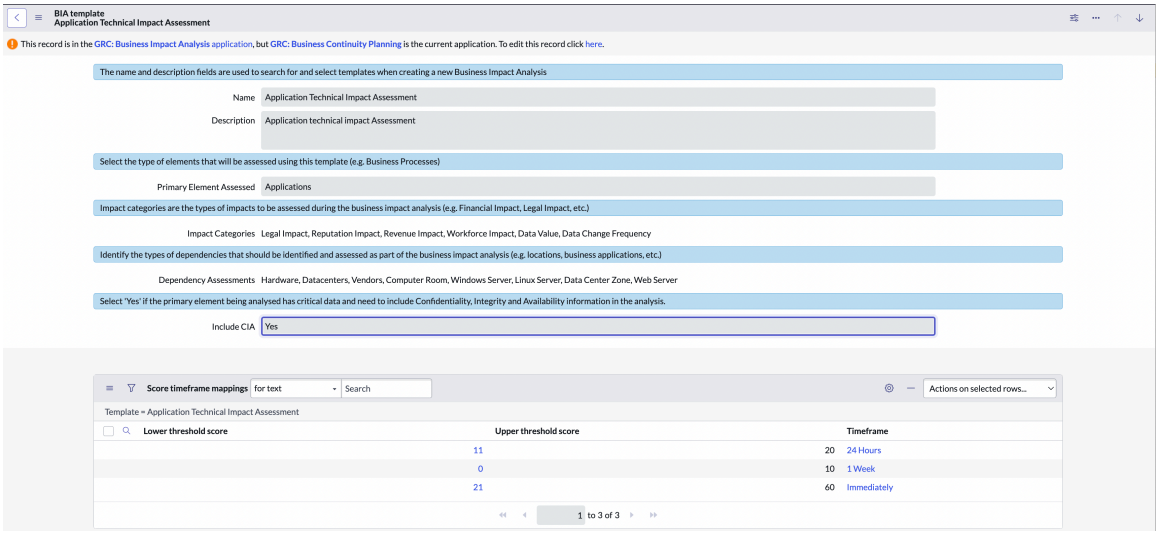
CIA を含める

分析対象のプライマリ要素に重要なデータがある場合は、ビジネスインパクト分析に CIA (機密性、完全性、使用可否) の情報を含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、インスタンスでの BIA テンプレートの構成例を示しています。



BIA テンプレートの構成

sn_bcm.admin ロールで BIA テンプレートを構成する方法の詳細については、「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

要素定義と変数

要素定義は、ビジネスインパクト分析で評価される構成アイテムです。要素定義も事業継続性計画内に復元されます。管理者ロールを持っていれば、要素の特定の依存関係に要素変数を設定できます。

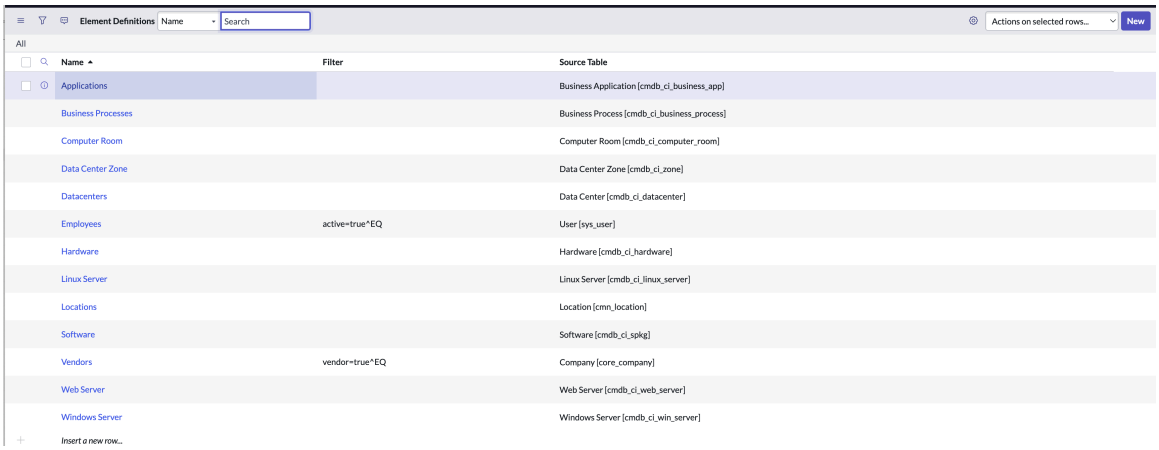
BCM 管理者は、事業継続性管理 アプリケーションで要素定義を構成できます。一般的に、次の要素定義が 事業継続性管理 アプリケーションで定義されます。

- アプリケーション
- ビジネスプロセス
- コンピュータールーム
- データセンターゾーン
- データセンター
- 従業員
- Linux サーバー
- 場所
- ソフトウェア
- ベンダー
- Web サーバー
- Windows サーバー

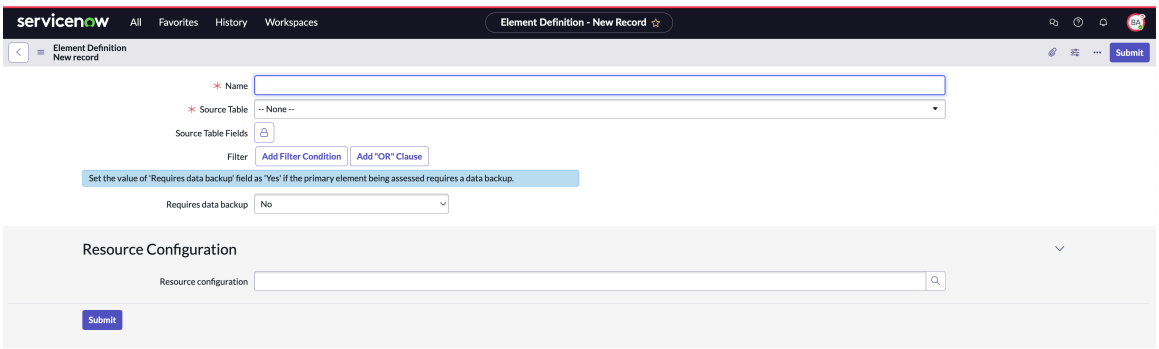
次の例は、インスタンス内の要素定義を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の例で、事業継続性管理 管理者による要素定義の構成を示します。

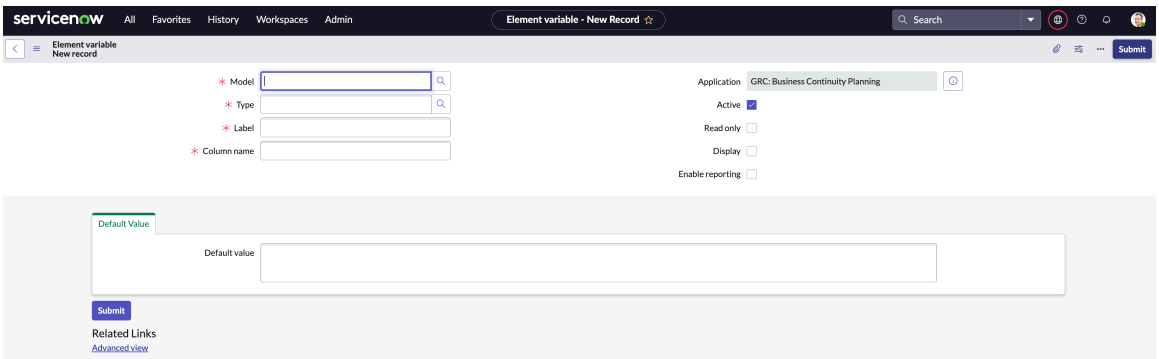


要素定義の構成

BCM 管理者ロールを使用して要素定義を構成する方法の詳細については、「ビジネスインパクト分析の要素定義の構成」を参照してください。

要素変数の構成

機能システム管理者は、要素の特定の依存関係に必要な要素変数を設定できます。次の例は、管理者から見た要素変数レコードを示しています。



事業継続性管理 アプリケーションで管理者ロールで要素変数を構成する方法の詳細については、「要素定義の要素変数の設定」を参照してください。

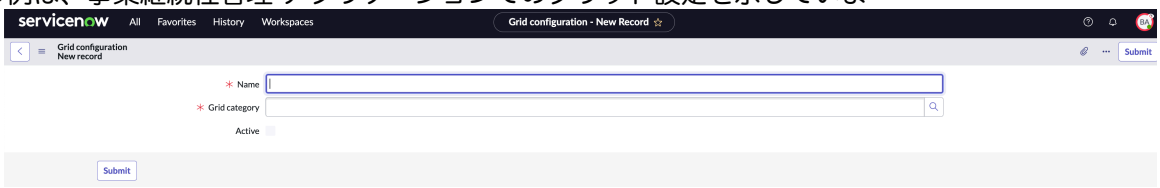
グリッドの設定とカテゴリ

グリッド構成を設定することで、構成された列で BIA 依存関係アセスメントグリッドをレンダリングできます。グリッド設定が適用可能な依存関係アセスメントなどのグリッドカテゴリが定義可能です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、事業継続性管理 アプリケーションでのグリッド設定を示していま

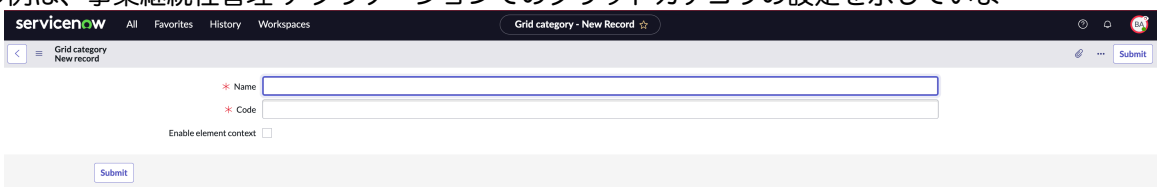


す。

> **注:**
> グリッド設定は BCM クラシック ワークスペース でのみ使用されます。Washington DC リリース以降、BCM クラシック ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。

事業継続性管理 アプリケーションでのグリッドの設定方法の詳細については、「BIA 依存関係アセスメントでのグリッド構成の設定」を参照してください。

次の例は、事業継続性管理 アプリケーションでのグリッドカテゴリの設定を示していま



す。

> **注:**
> グリッドカテゴリは BCM クラシック ワークスペース でのみ使用されます。Washington DC リリース以降、BCM クラシック ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。

事業継続性計画

事業継続性計画は、イベント発生時のリスクへの対応とその軽減に役立ちます。アクティビティ、ドキュメント、損失シナリオ、復旧チーム、承認などのプライマリスコープに対処し、計画することができます。そうすることで、事業継続性計画タスクの構造化されたワークフローを BCM UIB ワークスペース で構成できます。

考えうるさまざまな破壊的なシナリオに対して包括的な事業継続性計画を作成すれば、危機や何らかの不利な状況に組織が立ち向かうための準備がととのいます。

事業継続性計画を作成するためのステップ

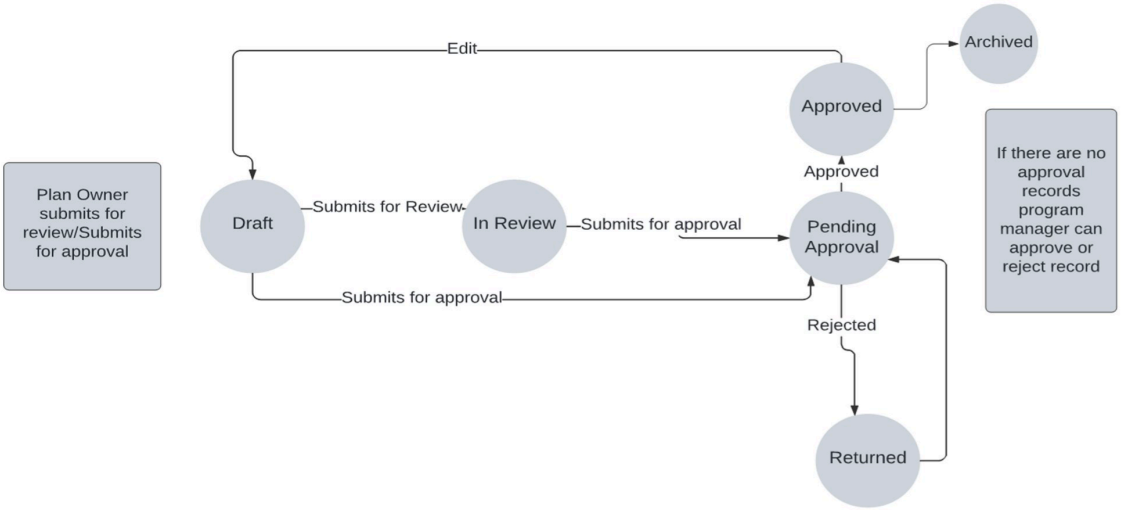
一般的に、事業継続性計画の作成では次のようなステップを実行します。

- BCM プログラムマネージャーまたは計画者が、BCM UIB ワークスペース のホームページまたは [計画] レコードページのリストビューから事業継続性計画を作成する。
- BCM プログラムマネージャーまたは計画者が、スコープ、ドキュメントセクション、復旧チーム、関連計画など、事業継続性計画の詳細情報を追加する。
- ビジネス影響分析オーナーが情報をレビューし、サービスのビジネスマネージャーまたはアプリケーションの IT マネージャーへ、レビューと承認のために分析を送信する。
- ビジネスマネージャー、IT マネージャー、または BCM リードが、事業継続性計画の詳細をレビューして承認する。
- 承認された事業継続性計画が [承認済み] に移行し、その後 [アーカイブ済み] ステータスに移行する。
- 事業継続性計画のオーナーが、計画の PDF を生成して参照用にコピーを保存できる。

事業継続性計画の一般的なワークフローを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



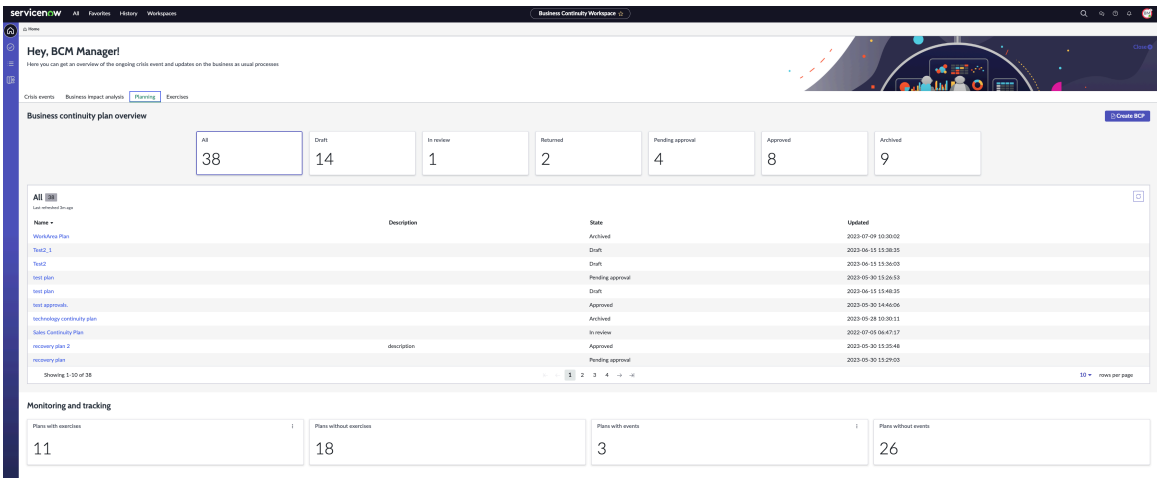
事業継続性計画立案のためのセットアップタスク

BCP 管理者は、「事業継続性計画のためのセットアップ」で BCP セットアップタスクの詳細を確認できます。

事業継続性ワークスペース での事業継続性計画の作成

事業継続性計画の所有者は、次のいずれかのオプションを使用して、事業継続性ワークスペース で事業継続性計画を作成できます。

- ホームページの [計画] タブに移動して、次の例に示す **[BCP** を作成] を選択します。



ホームページの [計画] タブのカードとアクションボタンの説明については、「ホームページビュー」を参照してください。

- リストビューに移動し、[計画] レコードで [新規] を選択する方法もあります。

事業継続性ワークスペース で事業継続性計画を作成するには、「事業継続性計画の作成」を参照して下さい。事業継続性計画に関連する管理タスクの詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性計画作成のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

事業継続性計画に関連する資産と計画

事業継続性計画に関連する資産と計画を特定できます。その後、計画ステージで資産を復旧できます。依存関係アセスメント中に CMDB から Business Impact Analysis (BIA) に渡される構成アイテムの関係性データを再利用して、計画内の資産を特定します。

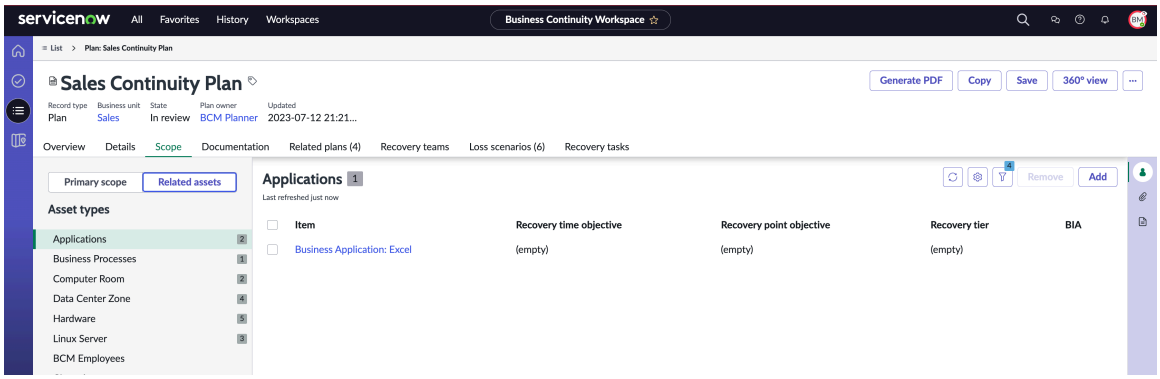
関連資産

レコードの [プライマリスコープ] パネルのアイテムとしてビジネスプロセスまたは場所を追加し、スコープ対象のアイテムがビジネスインパクト分析に関連している場合、ビジネスインパクト分析のすべての関連資産が計画の [関連資産] パネルにリストされます。

つまり、ビジネスインパクト分析で依存関係として追加された CMDB 構成アイテムは、関連資産として計画にプルされます。これらの関連資産のソースは、ビジネスインパクト分析として表示されます。

計画を作成するときは、計画の対象となるプライマリ要素も選択します。事業継続性計画で選択したスコープまたは計画のプライマリ要素に基づいて、アプリケーションは計画フェーズ中に関連資産と関連計画を追加します。これらのアイテムは、ビジネスプロセス、重要なビジネスアプリケーション、データセンター、または場所で作業するリソースである可能性があります。これらのすべての依存関係は、ビジネスインパクト分析に保存されている場合、ビジネスインパクト分析の作成中に追加された他の依存関係に加えて、[関連資産] パネルの計画にコピーされます。

次の例は、事業継続性計画のプライマリスコープと関連資産を示しています。



関連計画

資産が計画にコピーされた後、いずれかの関連資産に計画が添付されている場合、これらの計画が自動的にプルされ、[関連計画] タブに一覧表示されます。計画内の資産は、イベント中に計画によって復旧されるエンティティです。関連する計画が計画作成フェーズに組み込まれたら、復旧タスクを作成することもできます。計画者は、メイン計画とその依存サブ計画の復旧タスクの実行順序を設定できます。

復旧チーム、損失シナリオ、復旧タスク

事業継続性計画ワークスペースは、事業継続性計画を完了するようにガイドします。復旧チームを作成し、ユーザーのロールを定義して、チームに計画の実行を指示できます。部門または事業部門の継続性計画を作成するときは、事業継続性計画に対する損失シナリオを特定する必要があります。

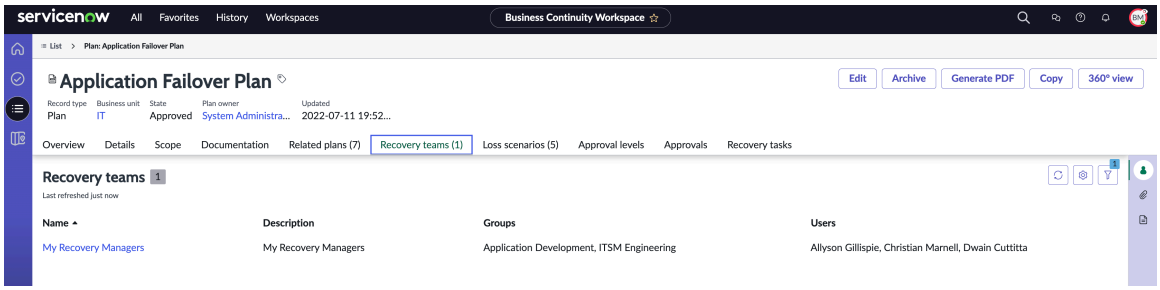
復旧チーム

復旧チームの名前と説明を入力して復旧チームを作成することも、既存の復旧チームを更新することもできます。それぞれのリストから 1 人以上のユーザーとグループを選択できます。

復旧チームの説明には、復旧チームにアサインされたユーザーとグループの責任も示されています。次の例に示すように、復旧チームを作成し、ユーザーとグループのアサインを後で追加することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

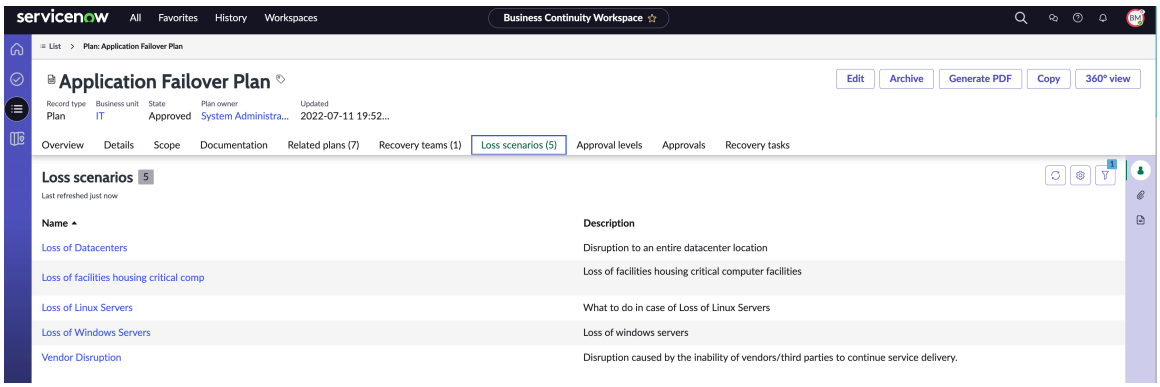


損失シナリオ

損失シナリオを特定することで、ビジネスは将来の破壊的なイベントに備え、通常どおり業務を継続できます。

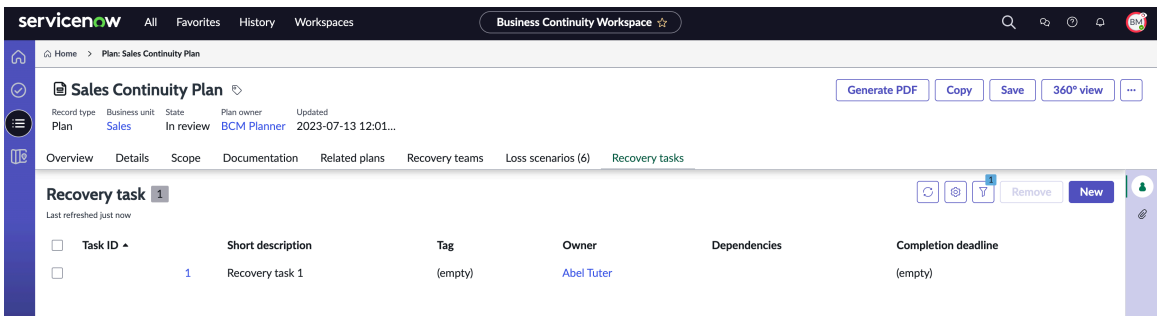
BCM 管理者ロールがある場合は、計画テンプレートを使用して事業継続性計画を作成します。計画テンプレートで特定された損失シナリオが、作成した計画に自動的に関連付けられます。

計画には、一連の基本的な損失シナリオが添付されています。次の例に示すように、その後、BCM UIB ワークスペース の要件に応じて損失シナリオを計画に追加できます。



復旧タスク

オーナーを特定して復旧タスクをグループにアサインし、復旧のプロセスと手順を実行できます。次の例に示すように、復旧タスクには、復旧するアイテムの詳細と完了する必要がある時間が指定されています。



訓練

演習は、継続的なテストと継続性計画の改善を提供するために行います。演習を使用して事業継続性計画を確定し、実際の危機イベントでの有効性と使いやすさを向上させることができます。BCM UIB ワークスペース で演習を管理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

演習を作成するためのステップ

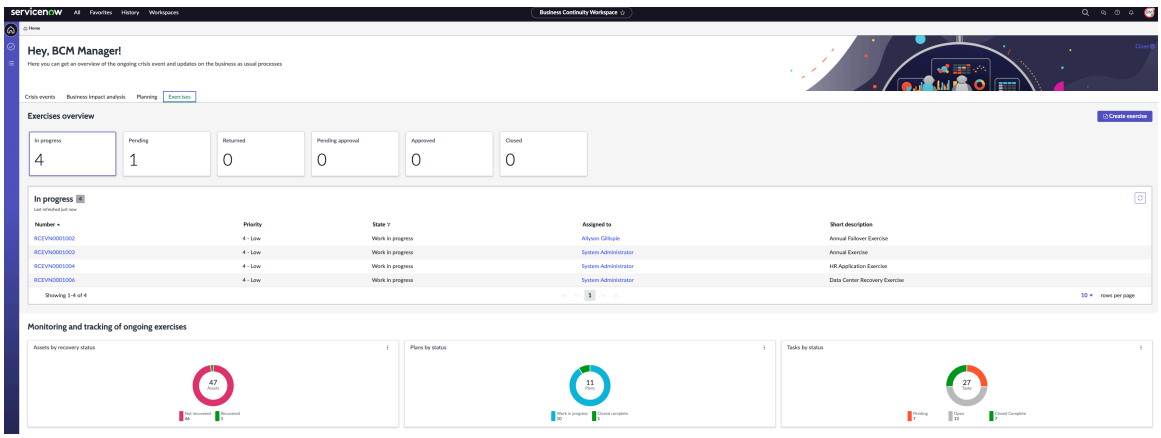
一般的に、演習の作成では次のようなステップを実行します。

- BCM プログラムマネージャーが、BCM UIB ワークスペース のホームページまたは [演習] レコードページのリストビューから、演習を作成する。
- BCM プログラムマネージャーが、資産、計画、イベントタスクといった演習の詳細を追加する。
- BCM プログラムマネージャーが、演習に関連するイベントタスクを承認のために送信する。
- アサインされた BCM プログラムマネージャーが、イベントタスクの詳細を確認し、演習を承認する。
- 演習が [承認済み] ステータスに移行する。その後、承認済みの演習が [アーカイブ済み] ステータスに移行する。
- BCM プログラムマネージャーが、詳細の PDF を生成し、参照用にコピーを保存できる。

事業継続性ワークスペース での演習の作成

BCM プログラムマネージャーは、次のいずれかのオプションを使用して 事業継続性ワークスペースに演習を作成できます。

- ホームページの [演習] タブに移動して、次の例に示す [演習を作成] を選択します。



  ホームページの [演習] タブのカードとアクションボタンの説明については、「ホームページビュー」を参照してください。

- リストビューに移動し、[演習] レコードで [新規] を選択する方法もあります。

事業継続性ワークスペース で演習を作成するには、「BCM 構成可能ワークスペース での演習管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

危機イベント

BCM UIB ワークスペース で危機イベントを管理すると、組織全体の重要なビジネス機能とプロセスのダウンタイムを最小限に抑えることができます。危機イベントは、危機イベント発生時の財務、評判、法務、規制遵守への影響を最小限に抑えるためにも用いられます。

危機イベントの作成手順

一般的に、危機イベントの作成では次のようなステップを実行します。

自動翻訳

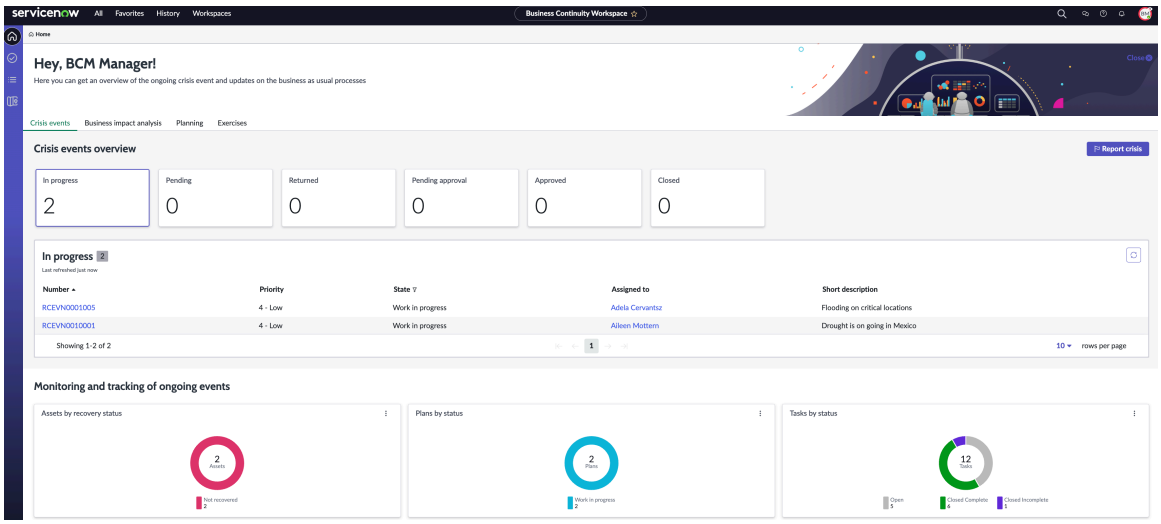
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- BCM プログラムマネージャーが、BCM UIB ワークスペース のホームページ、または [危機イベント] レコードページのリストビューから、危機イベントを作成する。
- BCM プログラムマネージャーが、資産、計画、イベントタスクといった危機イベントの詳細を追加する。
- BCM プログラムマネージャーが、演習イベントに関連するイベントタスクを承認のために送信する。
- アサインされた BCM プログラムマネージャーが、イベントタスクの詳細を確認し、イベントを承認する。
- 危機イベントが [承認済み] ステータスに移行する。承認済みの危機イベントが [アーカイブ済み] ステータスに移行する。
- BCM プログラムマネージャーが、詳細の PDF を生成し、参照用にコピーを保存できる。

事業継続性ワークスペース での危機イベントの作成

BCM プログラムマネージャーは、次のいずれかのオプションを使用して 事業継続性ワークスペース に危機イベントを作成できます。

- ホームページの [危機イベント] タブに移動して、次の例に示す [危機を報告 **(Report crisis)]** を選択します。



  ホームページの [危機イベント] タブのカードとアクションボタンの説明については、「ホームページビュー」を参照してください。

- リストビューに移動し、[危機イベント] レコードで [新規] を選択する方法もあります。

事業継続性ワークスペース で危機イベントを作成するには、「BCM 構成可能ワークスペース での危機管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

クライシスマップインターフェイス

クライシスマップ を BCM アプリケーションと統合し、危機管理の応答ワークフローを開始できます。クライシスマップ アプリケーションをインストールした後、BCM アプリケーションインスタンスで [脅威とアラートのデータフィード] モジュールを表示できます。

BCM のフィード、アラート、およびイベント

クライシスマップ アプリケーションを BCM アプリケーションと統合すると、クライシスマップ ビューでさまざまな場所のフィード、アラート、およびイベントを表示および分析できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィード

フィードは頻繁に更新されるニュースコンテンツで、世界中の Web サイトで提供されます。フィードフォームの **[Web]** フィールドにフィードチャネルの URL を手動で入力することで、ニュースフィードに登録できます。

アラート

アラートは、特定の場所と時間に発生したインシデントを報告する通知です。まず、インシデントまたはイベントが発生したことが報告されます。次に、アラートにより、アクションを実行するために関係者にインシデントを報告または通知する通知がトリガーされます。

イベント

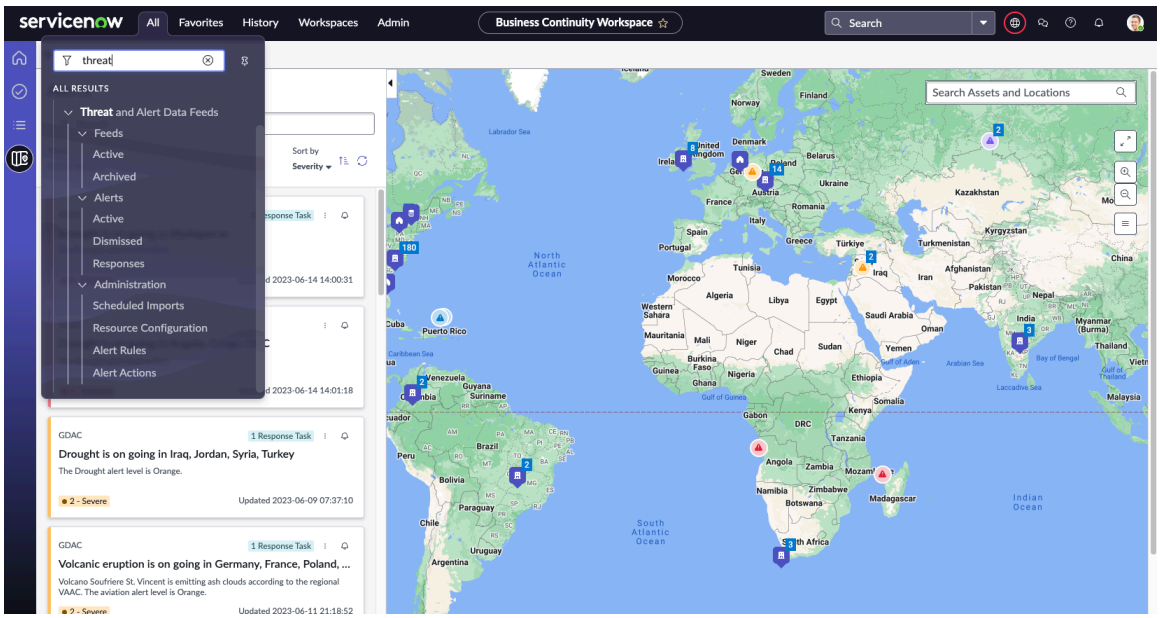
アラートの重大度に基づいて、発生したインシデントをステークホルダーに通知する、または危機イベントを宣言するなどのアクションを実行できます。事業運営を妨げるイベントは、危機イベントになる可能性があります。危機イベントの詳細については、「クライシスマップ ビュー」を参照してください。その後、イベントの影響を受ける場所の事業継続性計画をアクティブ化できます。

BCM の [脅威とアラートのデータフィード] モジュール

BCM の [脅威とアラートのデータフィード] モジュールには、次の情報が表示されます。

- フィード
- アラート
- 管理

[脅威とアラートのデータフィード] モジュールは、次の例で表示されます。



BCM のフィードモジュール

脅威フィードは、組織に危険をもたらす可能性のある潜在的な脅威または現在の脅威のデータインテリジェンス情報です。ビジネスルーチンを停止させたり、ビジネスプロセスを無効にしたりする可能性があります。クライシスマップ アプリケーションは、GDAC フィードや Weather Gov アラートなどのサードパーティソースからフィードを受信します。

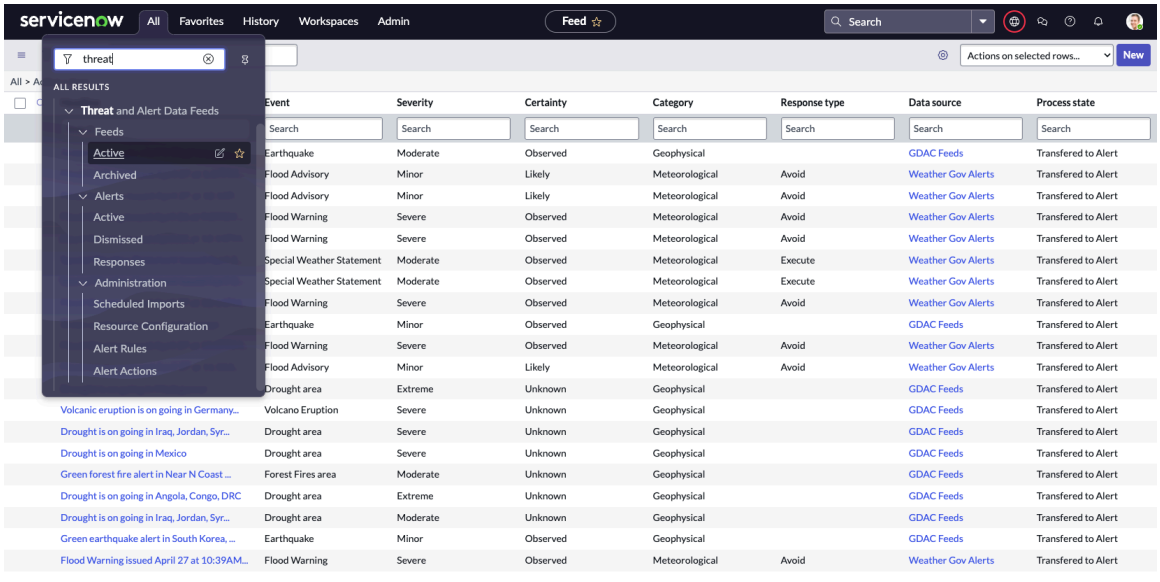
BCM の [フィード] モジュールには、次のタイプのフィードが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- アクティブなフィード
- アーカイブ化済みフィード

次の例は、アクティブなフィードのサンプルビューを示しています。



[リストのカスタマイズ] アイコンを使用して、[フィード] モジュールのリスト列を設定できます。たとえば、アラートに次の追加の詳細を表示できます。

- 見出し
- イベント
- 重大度
- 確実性
- カテゴリ
- 応答タイプ
- データソース
- プロセスステータス

脅威フィードには、次のサンプルリストに示すように、リアルタイムの中断イベントに関する情報が含まれています。

- 内乱または暴動
- 洪水注意報
- 洪水警報
- 干ばつ地域
- 地震
- 台風
- 山火事または山火事警報
- 戦争または軍事衝突
- 火山の噴火

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

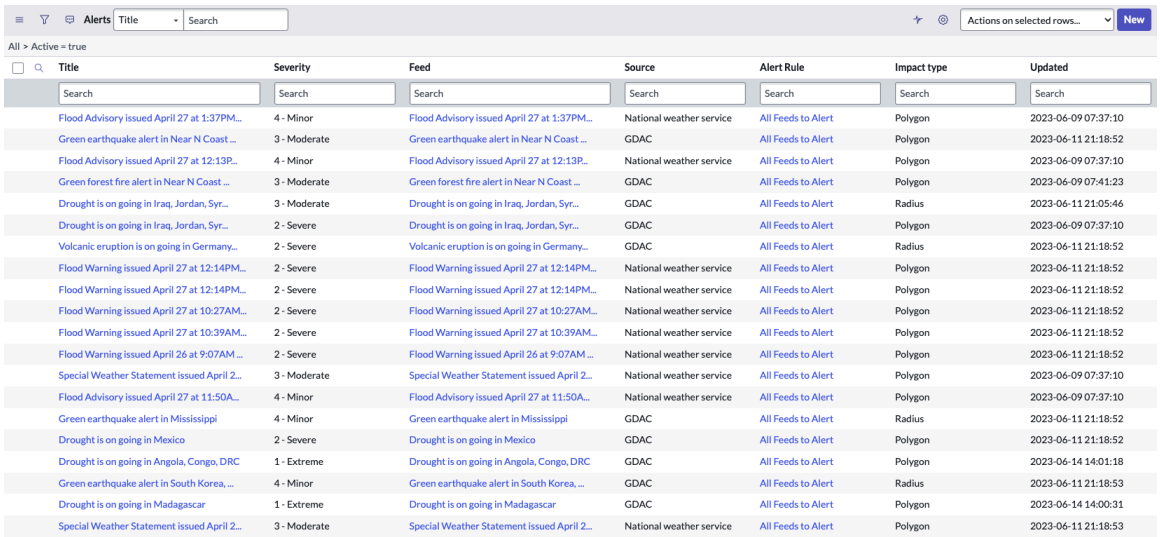
BCM のアラートモジュール

アラートは、特定の場所と時間に発生したインシデントを報告する通知です。まず、インシデントまたはイベントが発生したことが報告されます。次に、アラートにより、アクションを実行するために関係者にインシデントを報告または通知する通知がトリガーされます。

BCM の [アラート] モジュールには、次のタイプのフィードが表示されます。

- アクティブアラート
- 解除済みアラート
- アラート応答

アクティブアラートのサンプルビューを次の例に示します。



Title	Severity	Feed	Source	Alert Rule	Impact type	Updated
Flood Advisory issued April 27 at 1:37PM...	4 - Minor	Flood Advisory issued April 27 at 1:37PM...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:37:10
Green earthquake alert in Near N Coast ...	3 - Moderate	Green earthquake alert in Near N Coast ...	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Flood Advisory issued April 27 at 12:13P...	4 - Minor	Flood Advisory issued April 27 at 12:13P...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:37:10
Green forest fire alert in Near N Coast ...	3 - Moderate	Green forest fire alert in Near N Coast ...	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:41:23
Drought is on going in Iraq, Jordan, Syr...	3 - Moderate	Drought is on going in Iraq, Jordan, Syr...	GDAC	All Feeds to Alert	Radius	2023-06-11 21:05:46
Drought is on going in Iraq, Jordan, Syr...	2 - Severe	Drought is on going in Iraq, Jordan, Syr...	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:37:10
Volcanic eruption is on going in Germany...	2 - Severe	Volcanic eruption is on going in Germany...	GDAC	All Feeds to Alert	Radius	2023-06-11 21:18:52
Flood Warning issued April 27 at 12:14PM...	2 - Severe	Flood Warning issued April 27 at 12:14PM...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Flood Warning issued April 27 at 12:14PM...	2 - Severe	Flood Warning issued April 27 at 12:14PM...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Flood Warning issued April 27 at 10:27AM...	2 - Severe	Flood Warning issued April 27 at 10:27AM...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Flood Warning issued April 27 at 10:39AM...	2 - Severe	Flood Warning issued April 27 at 10:39AM...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Flood Warning issued April 26 at 9:07AM ...	2 - Severe	Flood Warning issued April 26 at 9:07AM ...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Special Weather Statement issued April 2...	3 - Moderate	Special Weather Statement issued April 2...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:37:10
Flood Advisory issued April 27 at 11:50A...	4 - Minor	Flood Advisory issued April 27 at 11:50A...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-09 07:37:10
Green earthquake alert in Mississippi	4 - Minor	Green earthquake alert in Mississippi	GDAC	All Feeds to Alert	Radius	2023-06-11 21:18:52
Drought is on going in Mexico	2 - Severe	Drought is on going in Mexico	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:52
Drought is on going in Angola, Congo, DRC	1 - Extreme	Drought is on going in Angola, Congo, DRC	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-14 14:01:18
Green earthquake alert in South Korea, ...	4 - Minor	Green earthquake alert in South Korea, ...	GDAC	All Feeds to Alert	Radius	2023-06-11 21:18:53
Drought is on going in Madagascar	1 - Extreme	Drought is on going in Madagascar	GDAC	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-14 14:00:31
Special Weather Statement issued April 2...	3 - Moderate	Special Weather Statement issued April 2...	National weather service	All Feeds to Alert	Polygon	2023-06-11 21:18:53

[リストのカスタマイズ] アイコンを使用して、[アラート] モジュールのリスト列を設定できます。たとえば、アラートに次の詳細を表示できます。

- タイトル
- 重大度
- フィード
- ソース
- アラートルール
- 影響タイプ
- 更新日時

[脅威とアラートのデータフィード] モジュールの管理タスク

BCM 管理者ロールがある場合、セットアップタスクの詳細については「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。

BCM の [管理] モジュールには、次のタイプのフィードが表示されます。

インポートスケジュール

内部および外部から取得した脅威フィードのサブスクリプションを管理するには、定義された間隔でデータソースからデータインポートをスケジュール設定する必要があります。インポートスケジュールの詳細については、「スケジュール設定済みデータインポートレコードを構成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リソース構成

組織の資産またはリソースを クライシスマップ にプロットするには、アプリケーションでリソースを構成する必要があります。リソース構成の詳細については、「危機マップのリソース構成レコードの構成」を参照してください。

アラートルール

クライシスマップでフィードをアラートとして表示するには、アラートルールを構成します。アラートルールの詳細については、「危機マップでのアラートルールの設定」を参照してください。

アラートアクション

クライシスマップ ダッシュボードから重大なアラートに対応するには、「危機マップでのアラートアクションの設定」を参照してください。

- クライシスマップ の管理タスクの詳細については、「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。
- クライシスマップ で場所を検索するには、*sn_bcm_map.use_google_places_lib* システムのプロパティを設定する必要があります。詳細については、「事業継続性管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

危機マップ

危機マップでのアラートの管理の詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での クライシスマップ のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

Everbridge 通知システム での緊急通知

BCM アプリケーション内の Crisis Management を、Everbridge 通知システム と統合できます。そうすることで、差し迫った緊急事態を警告する緊急通知を個人やグループに送信できます。適切に確立された配信チャネルを通じて、一方向の通知と双方向のコミュニケーションを提供します。

事業継続性管理 アプリケーションの Crisis Management は、Everbridge を使用して特定の危機対応アクティビティを指示します。この統合は、重要なイベントに関する通知をステークホルダーに送信し、効果的な双方向配送チャネルでステークホルダーからの応答を調整するのに役立ちます。

通知を送信するには、正しい連絡先、グループ、および配送チャネルが必要です。配送チャネルは Everbridge で作成および保存されます。特定の組織 ID 用の配送チャネルをインポートする必要があります。これらの配送チャネルは、通知の送信と連絡先の作成に使用されます。

緊急通知を送信するプロセス

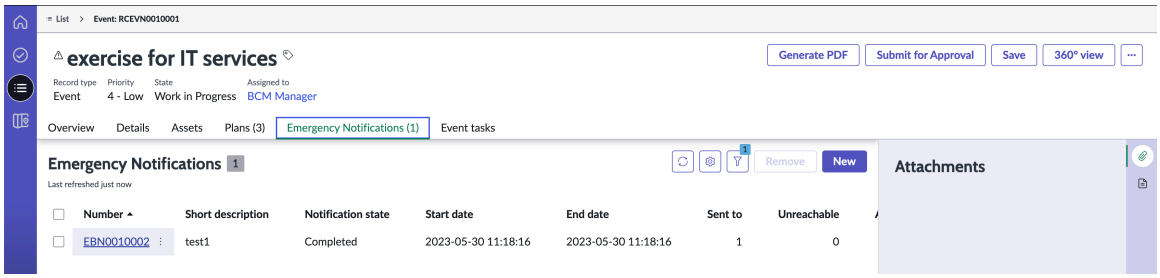
Everbridge で、[ドラフト] ステータスから [完了]ステータスまでのアクティビティの完全なワークフローをトリガーするイベント通知を送信できます。事業継続性ワークスペース からすべてのアクティビティを監視できます。

事業継続性ワークスペース から緊急通知を送信すると、アクションによってインシデントが作成され、Everbridge でのインシデントの通知が適切な連絡先とグループに送信されます。

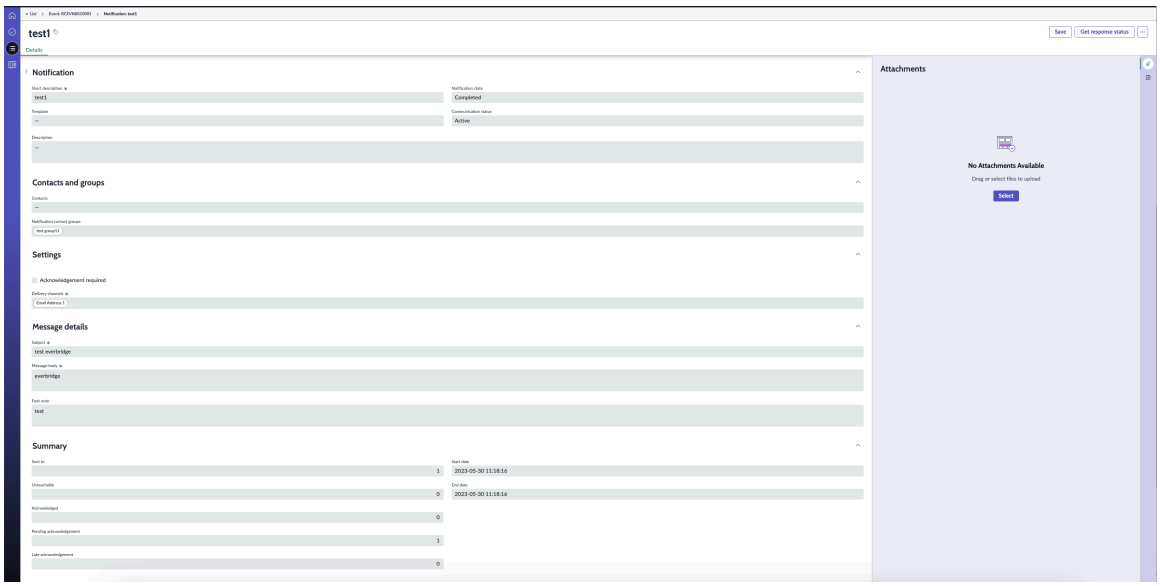
イベントの緊急通知は、イベントの [緊急通知] タブに表示されます。次の例に示すように、通知のステータス、開始日、終了日などの緊急通知の詳細を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の例のような緊急通知フォームが表示されます。



連絡先に送信された通知の概要

通知フォームの [サマリー] セクションには、通知が送信された連絡先およびグループのリストが表示され、その連絡先やグループの応答も記録されます。また、通知が届かなかった連絡先の数、通知に確認応答した連絡先の数、および処理待ちの確認応答の数も表示されます。この情報は Everbridge から取得され、次の例に示すように 事業継続性ワークスペース に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

連絡先に送信された通知の概要



通知フォームの [サマリー] セクションには、次の情報が含まれています。

送信先
: 通知の送信先となった連絡先の数。

到達不可能
: 通知が送信されなかった連絡先の数。

確認済み
: 通知の受信を確認した連絡先の数。

確認応答待ち
: 通知の受信を確認しなかった連絡先の数。

確認応答の遅れ
: 通知期間が経過した後に通知の受信を確認した連絡先の数。

通知を配信できなかった連絡先が多数存在する場合は、同じ危機イベントの別の通知を作成できます。前回の通知は多くの連絡先に届かなかったため、今回はマネージャーのチームに送信できます。

Crisis Management を **Everbridge** と統合するための管理タスク

Crisis Management を Everbridge 通知システム と統合するための管理タスクの詳細については、「Everbridge 通知のセットアップ」を参照してください。

事業継続性管理 の構成

組織の事業継続性タスクを実行するように、事業継続性管理 アプリケーションを構成します。

構成の概要

事業継続性管理 を構成するには、管理者が ServiceNow® Store からアプリケーションをインストールし、セットアップする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
BCM ロールを持っている場合は、このセクションで説明されているセットアップタスクを実行できます。

- Store から 事業継続性管理 アプリケーションをインストールします。詳細については、「事業継続性管理からの ServiceNow Store のインストール」を参照してください。

  注:
  GRC: Business Impact Analysis、GRC: Business Continuity Planning、または GRC: Crisis Management をインストールすると、 GRC: Business Continuity Management – Core および GRC: Business Continuity Management – Components が自動的にインストールされます。

- ユーザーに必要なロールがアサインされていることを確認します。詳細な手順とロールのリストについては、「事業継続性管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
- BCM 管理者ロールで管理タスクを実行して、事業継続性管理 アプリケーションを設定します。詳細については、「BCM の全般管理セットアップ」を参照してください。

  注:
  [全般管理] セットアップで、自分のタスクページ構成とプロパティを表示できます。

- BIA 管理者ロールで管理タスクを実行して、ビジネスインパクト分析のセットアップを完了します。詳細については、「ビジネスインパクト分析のためのセットアップ」を参照してください。

  注:
  BCM UIB ワークスペースでビジネスインパクト分析を作成すると、BCM リードを BIA フォーム自体の分析にアサインできます。

- BCP 管理者ロールで管理タスクを実行して、事業継続性計画のセットアップを完了します。詳細については、「事業継続性計画のためのセットアップ」を参照してください。

  注:
  BCM UIB ワークスペースで事業継続性計画を作成すると、BCM リードを BCP フォーム自体の分析にアサインできます。

- ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、またはイベントの PDF テンプレートを書式設定します。詳細については、「BIA、BCP、およびイベントの PDF テンプレートを書式設定」を参照してください。
- 360 度の関係レジストリと関係ビューを構成します。詳細については、「360 度のリレーションシップレジストリとビューの構成」を参照してください。
- Everbridge で通知を設定します。詳細については、「Everbridge 通知のセットアップ」を参照してください。
- 危機マップを設定します。詳細については、「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。
- 管理者が実行するセットアップタスクを確認します。詳細については、「システム管理者によるセットアップ」を参照してください。
- UI ビルダー のセットアップ情報を確認します。詳細については、「UI ビルダー 用のセットアップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

両方 BCM クラシック ワークスペース と BCM 構成可能ワークスペース ビューを使用します ワークスペース 。他の UI ビューでカスタマイズを行った場合は、以前のリリースからリリースにアップグレードする前後に Washington DC 、同じカスタマイズを適用する必要があります。詳細については、 KB1442692 記事を参照してください。

BCM クラシック ワークスペース のカスタムコンポーネント構成の詳細については、記事 KB1442692 を参照してください。

レポートとカスタム変更を BCM 構成可能ワークスペース に移行する方法については、記事 KB1444397 を参照してください。

事業継続性管理 および ServiceNow Store

事業継続性管理 アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。このアプリケーションにより、新しい機能や更新された機能をより迅速に取得できます。事業継続性管理 アプリケーションを使用する前に、それらを使用するエンタイトルメントがあることを確認する必要があります。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ServiceNow Storeで利用可能な BCM アプリケーションのリストを以下に示します。

アプリケーション	説明
GRC: Business Impact Analysis	事業継続性管理チームが、ビジネスプロセス、アプリケーション、場所などの重要なリソースに対する中断の影響を評価するための構造化されたワークフローを提供します。
GRC: Business Continuity Planning	事業継続性管理チームが事業継続性および災害復旧計画を作成、レビュー、および承認する機能を提供します。
GRC: Crisis Management	事業継続性管理チームが、計画の実行中および実際の危機状況進行中に事業継続性計画を有効にする機能を提供します。
GRC: Crisis Management integration with Everbridge Notifications (com.snc.bcm.app_crisis_ebn_intg)	通知を作成して送信し、応答を追跡するために、Everbridge との統合を提供します。
GRC: Crisis Map (com.snc.app_bcm_crisis_map)	Feeds and Alert Management アプリケーションと統合して、BCM クライシスマップで脅威のアラートとリスクのある資産を表示する機能を提供します。また、Crisis Management イベントと通知ワークフローをトリガーして、適切なアクションを実行します。
GRC: Approver Configurator (sn_grc_appr)	承認ルールの定義に基づいて複数レベルの承認を定義する機能を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
GRC: Business Impact Analysis、GRC: Business Continuity Planning、または GRC: Crisis Management をインストールすると、GRC: Business Continuity Management – Core、GRC: Business Continuity Management – Components、および GRC: Approver Configurator が自動的にインストールされます。

GRC: Business Continuity Management – Core は、事業継続性管理アプリケーションに必要なデータを構成する機能を提供します。このアプリケーションは、Business Continuity Management アプリケーション向けの GRC: Business Continuity Management – Components: Now Design System コンポーネントもインストールします。

事業継続性管理 アプリケーションのエンタイトルメントの取得

アプリケーションのインストールの最初のステップは、アプリケーションまたは製品およびその関連付けられたアプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認することです。

始める前に
必要なロール：admin

エンタイトルメントを実行する個人には、Now Support アカウントと、検討中のインスタンスのアプリケーションを要求する権限が必要です。

手順

1. [ServiceNow Store] に移動します。
2. [ログイン] を選択し、Now Support 資格情報を使用してログインします。
3. **[ServiceNow** 製品] タブを選択して、利用可能なすべての ServiceNow Store 製品を表示します。
   統合とその他のタイプのコンテンツが [認定アプリ **(Certified Apps)]** タブに表示されます。
4. エンタイトルメントを取得する製品の製品名を選択します。
   エンタイトルメントを取得している製品に関連付けられているすべてのアプリケーションが一覧表示されます。コア製品のエンタイトルメントを取得すると、その下にリストされているアプリケーションについてもエンタイトルメントを取得します。
5. [オプトイン] を選択して、一覧表示されている製品とアプリケーションのエンタイトルメントがあることを確認します。
   ServiceNow Storeの契約条件を読んで同意するように求められます。
6. チェックボックスをオンにし、[受け入れ] を選択します。

   注:
   製品名の横にチェックマークが表示され、[エンタイトルメントを管理 **(Manage Entitlements)]** ボタンが表示されます。

   このチェックマークは、ユーザーが製品とそれに関連付けられたアプリケーションに登録されていることを示します。エンタイトルメントを管理します。これは、この製品および後からインストールする他の製品に対する 1 回限りのプロセスです。

7. [エンタイトルメントの管理 **(Manage Entitlements)]** を選択して、エンタイトルメントが付与されているアプリケーションの影響を受けるインスタンスを変更できます。
   ServiceNow Store の契約条件に同意し、エンタイトルメントを管理した後に、製品名の横にあるプラス記号 (+) を選択すると、他の製品にエンタイトルメントを付与できます。

   これで、アプリケーションをインストールする準備ができました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性管理からの **ServiceNow Store** のインストール

admin ロールをお持ちであれば、事業継続性管理 アプリケーションをインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連するストアアプリケーションをインストールします。

始める前に

必要なロール：管理者

ServiceNow Store で、アプリケーションとその依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認する必要があります。

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して Business Continuity Management アプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることもあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. [インストール] を選択します。
4. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   使用中のアプリケーションが他のアプリケーションを必要とし、それがまだインストールされていない場合は、先にインストールしておいてください。

   アプリケーションをインストールする時点で、依存アプリケーションがインストールされていない場合は、それらが自動的にインストールされます。
5. デモデータが利用可能になり、ロードするには、[デモデータのロード] を選択します。

   一部のアプリケーションには、デモデータ (一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコード) が含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   注:
   インストール時にストアアプリケーションの [デモデータのロード] チェックボックスをオンにしないと、後で アプリケーションマネージャーからデモデータをインストールできません。初期インストール後にデモデータをインストールまたは再インストールする方法については、HI ナレッジベースで「アプリケーションが既にインストールされている場合にデモデータをインストールする方法 [KB0722909]」記事を参照してください。
6. [インストール] を選択します。

   注:
   GRC: Business Impact Analysis、GRC: Business Continuity Planning、または GRC: Crisis Management をインストールすると、 GRC: Business Continuity Management – Core および GRC: Business Continuity Management – Components が自動的にインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性管理 **Lite** オペレーター

事業継続性管理 アプリケーションのユーザーライセンス条件は柔軟です。オペレーターが読み取り専用アクセス権を持っているかどうかや、特定のタイプのタスクを完了できるかどうかに基づいて、条件が決まります。

Lite オペレーター分類の概要

Lite オペレーターとして分類される 事業継続性管理 ロールは、次のタスクを担当するユーザーです。

- ビジネスインパクト分析 (BIA) 計画がビジネスインパクト分析に寄与する要因として追加されたときに、その計画に対応する。
- [リストビュー] または [自分のタスク] ページのレコードから、アサインされた承認レコードを承認する。

Lite オペレーターがタスクに応答できるようにするには、アクティビティのための適切なロールをオペレーターにアサインし、承認者としてレコードに追加する必要があります。この条件が満たされると、Lite オペレーターはレコードを承認または却下し、ワークフローメモを提供できます。

BCP または BIA 計画テンプレートを構成する方法の詳細については、「ビジネスに対する事業継続性計画テンプレートの構成」および「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

事業継続性管理 アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされるすべてのロールについては、「事業継続性管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

BCM Lite オペレーターのロール

BCM Lite オペレーターのロール (sn_bcm_lite.lite_operator) には、次の表に示すロールが含まれています。

BCM Lite オペレーターのロールの分類

ロール	説明	追加情報
sn_bcm_contributor	ユーザーが貢献者としてタグ付けされている BIA に応答できるようにします。	BIA オーナーは、ユーザーを貢献者として BIA に追加する必要があります。
sn_bcm.core_viewer	ユーザーがワークスペース UI で BIA、計画、演習、およびイベントを表示できるようにします。	
sn_bia.bia_contributor	ユーザーが貢献者としてタグ付けされている BIA に応答できるようにします。	BIA オーナーは、ユーザーを貢献者として BIA に追加する必要があります。
sn_bcm.recovery_team_member	ユーザーがアサインされた復旧タスクを受信して応答できるようにします。	
sn_bcm_viewer	ユーザーが BCM アプリケーションのすべてのレコードを表示できるようにします。	
sn_bcp.plan_viewer	ユーザーが計画を読み取り専用形式で表示できるようにします。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM Lite オペレーターのロールの分類 (続く)

ロール	説明	追加情報
sn_bia.bia_viewer	ユーザーが BIA 応答を読み取り専用形式で表示できるようにします。	
sn_recovery.event_viewer	ユーザーが演習またはイベントを読み取り専用形式で表示できるようにします。	復旧イベントメンバーが演習全体のコンテキストを把握できるようにするためにこの読み取り専用の情報が必要です。ただし、ユーザーはアサインされたタスクにのみ応答できます。
sn_crisis_ebn.viewer	ユーザーが緊急通知を読み取り専用形式で表示できるようにします。	
sn_recovery.event_member	演習またはイベント中に、ユーザーがアサインされた復旧タスクを受信して応答できるようにします。	復旧タスクは復旧チームメンバーにアサインする必要があります。

Lite オペレーターにアサインできない BCM ロール

オペレーターロールは、Lite オペレーターにアサインできません。ユーザーにロールを割り当てた場合、そのユーザーはオペレーターとしてカウントされ、柔軟なライセンスモデルは使用できなくなります。

次のロールは Lite オペレーターにアサインできません。

- sn_bia.bia_admin
- sn_bia.bia_manager
- sn_bia.bia_planner
- sn_bcp.plan_admin
- sn_bcp.plan_manager
- sn_recovery.event_manager
- sn_recovery.event_user
- sn_crisis_ebn.admin
- sn_crisis_ebn.user

ロールの割り当ての詳細については、Now Support ナレッジベースの「GRC ビジネスユーザーロール [KB0864247]」の記事を参照してください。

注:
記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

Lite オペレーターのアクティビティと制限

次の表に、Lite オペレーターのアクティビティと制限事項を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM Lite オペレーターのアクティビティと制限

アクティビティ	説明	作成	読み取り	更新	承認
ビジネスインパクト分析 (BIA)	• BIA 分析に応答します。 • 完了した分析を表示します。 • BIA ワークフローに参加します。 • 分析をレビューし、承認または却下します。		X	X	X
事業継続性計画 (BCP)	• 公開された継続性および災害復旧計画を表示およびダウンロードします。 • 計画ワークフローに参加します。 • 分析をレビューし、承認または却下します。		X		X
事業継続性演習	• 演習の詳細を表示します。 • 復旧タスクに参加します。 • 演習結果ワークフローに参加します。 • 分析をレビューし、		X		X

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM Lite オペレーターのアクティビティと制限 (続く)

アクティビティ	説明	作成	読み取り	更新	承認
	承認または却下します。				
危機イベント	• 危機の詳細を報告および表示します。 • 復旧タスクに参加します。 • 演習結果ワークフローに参加します。 • 分析をレビューし、承認または却下します。		X		X
復旧タスクのステータスの更新	• 演習と危機イベントからの復旧タスクを受け取ります。 • 進捗状況とステータスをイベントコーディネーターに報告します。		X	X	X
緊急通知テンプレート	• 緊急通知を表示します。 • ワークフローに参加します。		X		X

BCM の全般管理セットアップ

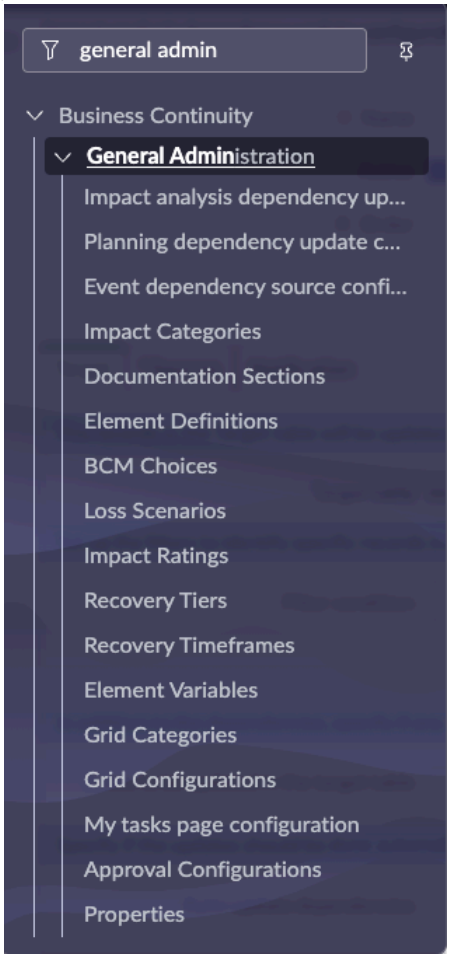
BCM 管理者は、特定の管理タスクを実行して、事業継続性管理 アプリケーションを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[全般管理] モジュール

次の例に示すように、BCM アプリケーションに関連付けられている管理タスクは、アプリケーショ



ン UI の [全般管理] モジュールに一覧表示されます。

sn_bcm.admin ロールを持つ 事業継続性管理 管理者は、事業継続性管理 アプリケーションに関連付けられている管理タスクを実行する責任があります。

通常、事業継続性管理 管理者は次の管理タスクを実行します。

- 影響度カテゴリを構成します。詳細については、「ビジネスインパクト分析の影響度カテゴリの構成」を参照してください。
- ドキュメントセクションを構成します。詳細については、「事業継続性計画のドキュメントセクションの構成」を参照してください。
- 要素定義を構成します。詳細については、「ビジネスインパクト分析の要素定義の構成」を参照してください。
- 損失シナリオを構成します。詳細については、「事業継続性計画内の損失シナリオの設定」を参照してください。
- 影響度評価を構成します。詳細については、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」を参照してください。
- 復旧階層を構成します。詳細については、「ビジネスインパクト分析の復旧階層の構成」を参照してください。
- 復旧の解決までの期限を構成します。詳細については、「復旧階層の復旧期間の設定」を参照してください。
- 要素変数を構成します。詳細については、「要素定義の要素変数の設定」を参照してください。

自動翻訳

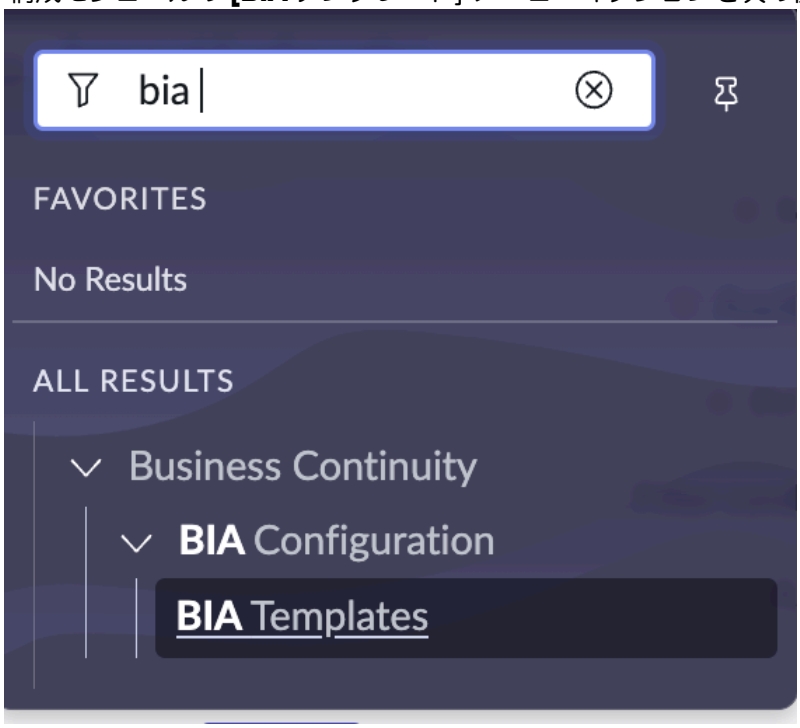
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自分のタスクページ構成モジュールを表示します。詳細については、「マイタスクページ構成」を参照してください。
- 承認構成を設定します。詳細については、「承認構成」を参照してください。
- プロパティを構成します。詳細については、「BCM のプロパティ」を参照してください。
- グリッド構成とカテゴリの詳細については、「BIA 依存関係アセスメントのグリッドの構成」および「グリッド構成のグリッドカテゴリを設定する」を参照してください。

BIA 構成モジュール

BCM 管理者は、BIA 構成モジュールで BIA テンプレートを構成します。BIA テンプレートを構成することは、ビジネスインパクト分析を実行するための前提条件です。

BIA 構成モジュールの **[BIA** テンプレート] メニューオプションを次の例に示します。



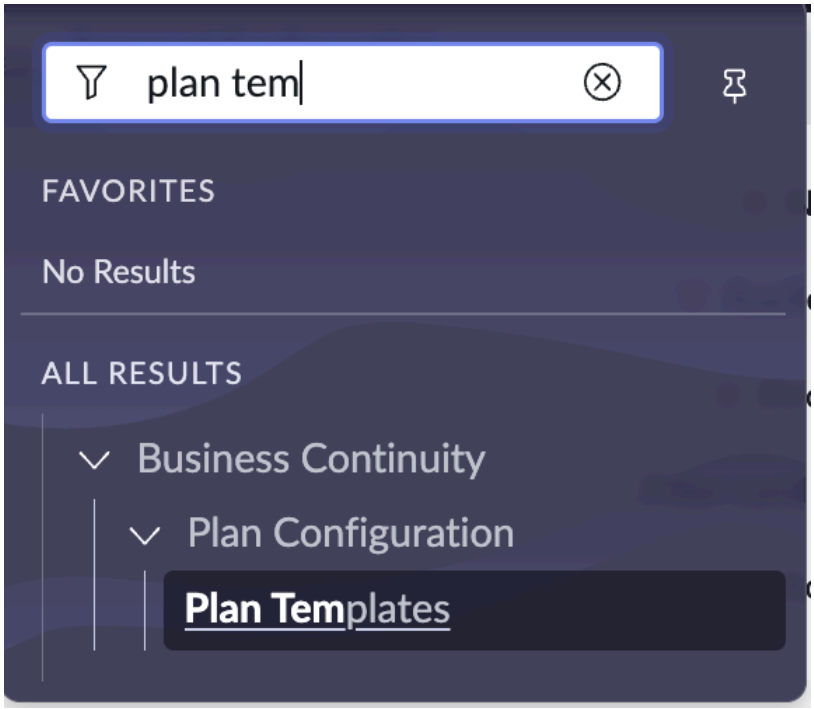
BIA テンプレートの構成の詳細については、「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画テンプレートモジュール

通常、事業継続性管理 管理者は計画テンプレートモジュールを使用して、事業継続性計画テンプレートを構成します。次の例に、計画テンプレートモジュールを示します。



事業継続性計画テンプレートの構成の詳細については、「事業継続性計画の計画テンプレートの構成」を参照してください。

影響分析依存関係の更新の構成

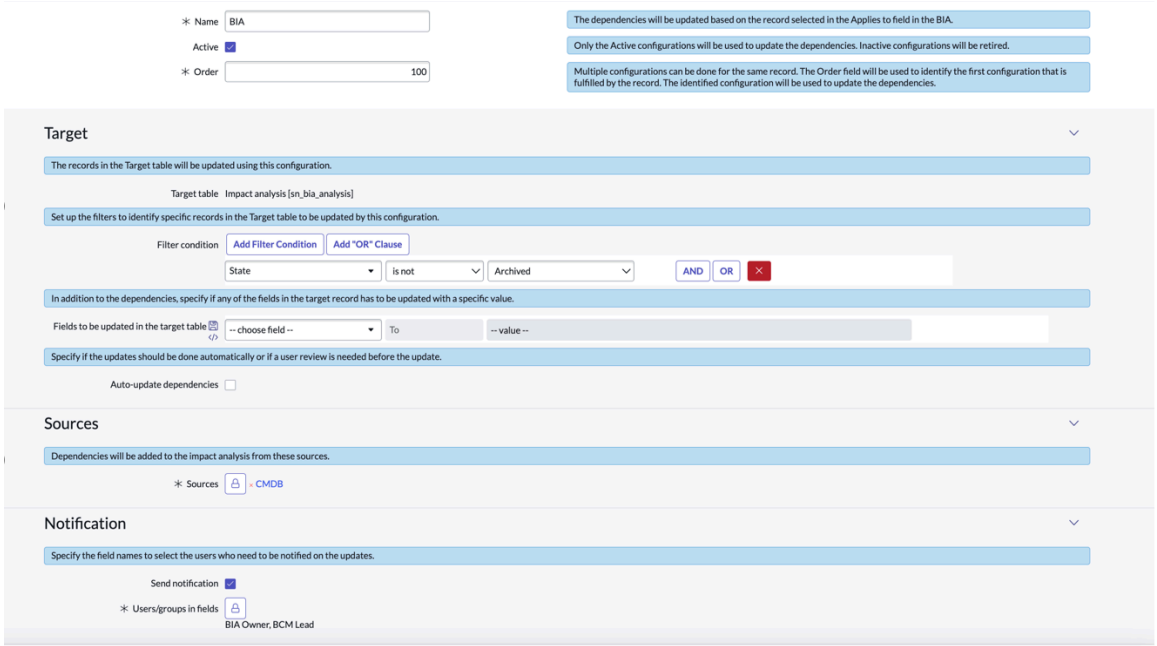
BCM管理者は、影響分析の依存関係更新構成モジュールを構成して、ソースデータと関係CMDBに基づいて BIA 依存関係の自動更新をスケジュールできるようにします。

影響分析依存関係更新構成モジュール

BCM管理者は、アプリケーション UI の [全般管理] に移動して、影響分析依存関係更新構成モジュールにアクセスします。次の例に示すように、モジュールには、名前、順序、ターゲットレコード、ソース、通知設定などの構成の詳細が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



依存関係を追加するためのソースを構成

影響分析依存関係更新構成モジュールで BIA の最新の依存関係をフェッチするためのソースを構成します。依存関係を読み取るCMDBために使用されるソースが作成されますCMDB。BIA の [適用先] フィールドは入力資産です。これは、BIA が何に対して行われるかに基づいて、 から依存関係CMDBを取得します。

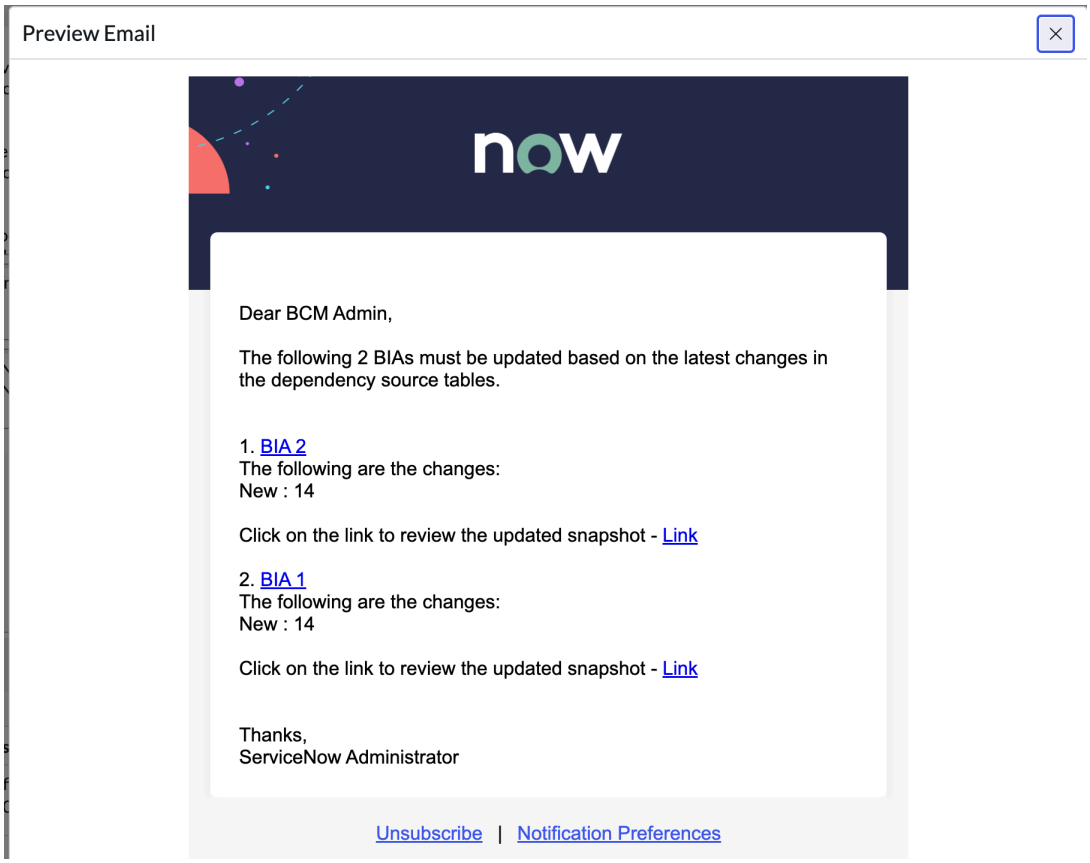
注:
関係から CMDB のみ BIA の最新の依存関係をフェッチできます。

依存関係を自動更新し、通知設定を行う

BCM管理者は、[依存関係を自動更新] オプションを選択して、BIA の依存関係の自動更新をスケジュールします。

BCM管理者は [通知を送信] オプションを選択して、更新された依存関係について BIA オーナーに通知します。メール通知には、次の例に示すように、BIA レコードの依存関係の更新の詳細が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スナップショットレコードは、リストビューから BIA の [保留中の更新] モジュールに表示されます。デルタスナップショットレコードには、BIA と更新された依存関係構成の詳細 (BIA の追加、更新、削除済みの資産など) が表示されます。

BIA 所有者は、BIA の CMDB 依存関係アセスメントに表示される [依存関係を更新] UI アクションを選択して、資産と 依存関係 を手動で更新します。BIA オーナーまたは BIA 承認者は、依存関係の更新を確認し、BIA への変更を保存します。

影響分析の依存関係更新の構成モジュールの構成の詳細については、「」を参照してください 影響分析依存関係更新構成モジュールの構成。

影響分析依存関係更新構成モジュールの構成

影響分析依存関係更新構成モジュールを構成して、(依存関係が更新される) BIA レコード、そのターゲットレコード、ソース、および通知設定を構成します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

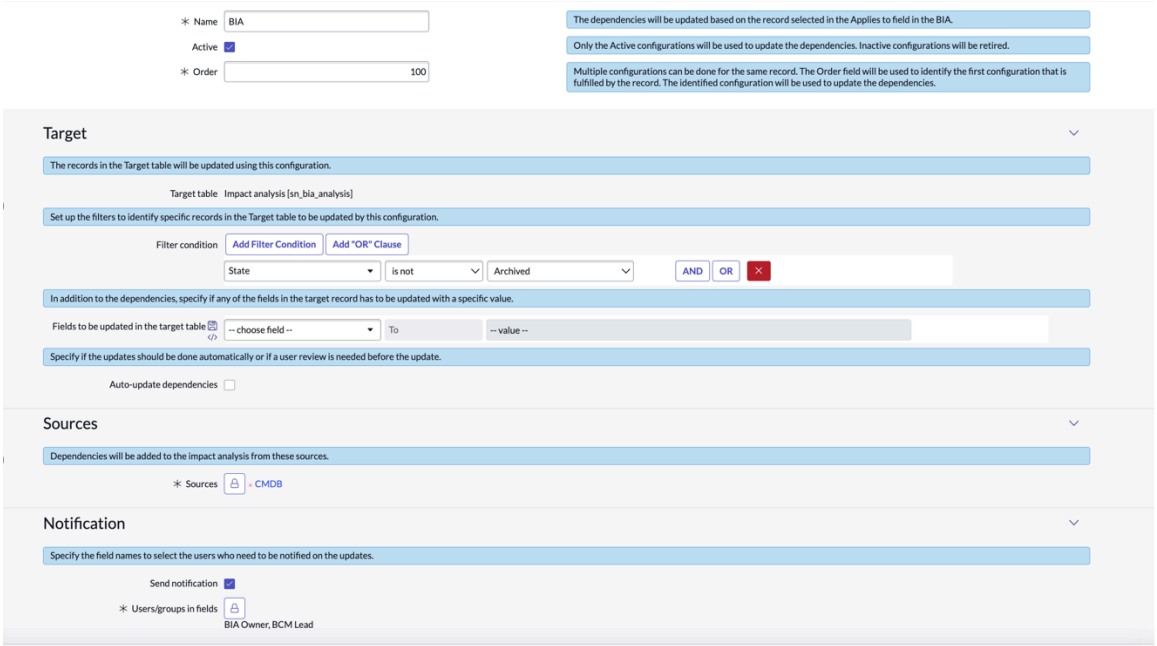
手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 影響分析依存関係の更新構成.
2. [新規] を選択します。

次の例は、影響分析依存関係更新の構成モジュールを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「影響分析依存関係更新構成フォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

   影響分析依存関係更新構成モジュールで管理者が設定した BCM 構成に従って、BIA で依存関係が更新されます。

   BIA オーナーと承認者は、更新された依存関係をレビューし、BIA ワークフローを完了します。BIA での依存関係の自動更新のスケジュール設定の詳細については、「」を参照してください ビジネスインパクト分析の依存関係の自動更新をスケジュールする。

影響分析依存関係更新構成フォーム

[影響分析依存関係更新構成] フォームを使用して、BIA レコード名、ターゲットレコード、ソース、通知設定など、依存関係の更新の詳細を構成します。

影響分析依存関係更新構成レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

影響分析依存関係更新構成レコードフォーム

フィールド	説明
名前	依存関係更新構成ルールの名前。
アクティブ	アクティブな構成を選択するオプション。アクティブな構成が依存関係の更新に使用されます。非アクティブな構成は廃止されます。
順番	レコードによって実行される最初の構成を識別するフィールド。識別された構成が依存関係の更新に使用されます。同じレコードに対して複数の構成を行うことができます。フィルター条

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

影響分析依存関係更新構成レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	件が同じ場合は、0 などの最小順序が優先されます。
ターゲット	
ターゲットテーブル	BIA レコードを含む影響分析 [sn_bia_analysis] テーブル。これらのレコードは、影響分析依存関係更新構成モジュールの構成設定に従って更新されます。
フィルター条件	ターゲットテーブル内の特定のレコードを識別するためのフィルター条件。これらのレコードは、影響分析依存関係更新構成モジュールの構成設定に従って更新されます。
ターゲットテーブルで更新するフィールド	依存関係に加えて特定の値で更新できるターゲットレコードのフィールド。
依存関係の自動更新	依存関係を自動的に更新するオプション。 BCM 管理者は、更新を自動的に実行するか、更新前にユーザーレビューが必要かを指定できます。
ソース	
ソース	影響分析に依存関係を追加するための適用可能なソース。BIA レコードの場合、使用されるソースは CMDBです。
通知	
通知を送信	更新についてユーザーまたはユーザーグループに通知するオプション。
フィールド内のユーザーまたはグループ	更新に関する通知を受け取る sn_bia_analysis のユーザーまたはグループのフィールドを選択するオプション。たとえば、更新を受信する BIA オーナーと BCM リードを選択できます。

計画依存関係の更新の構成

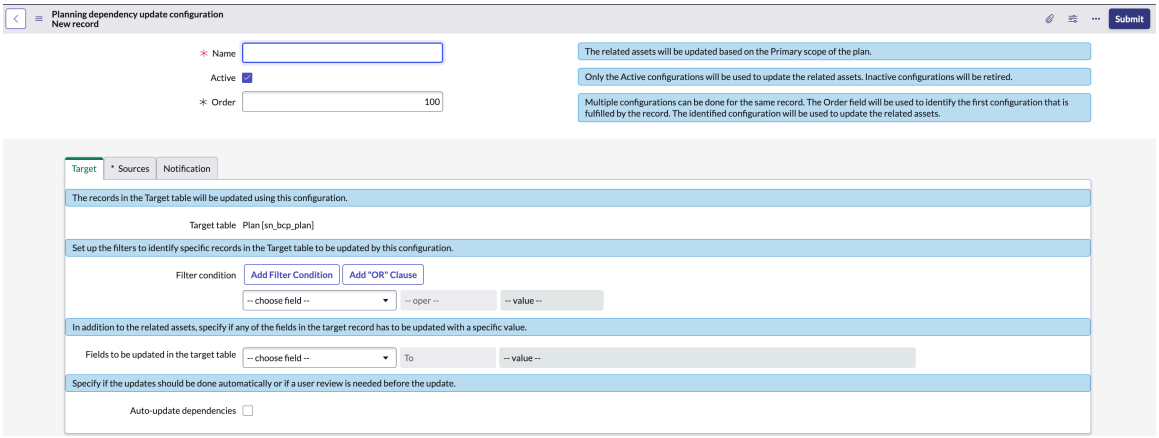
BCM管理者は、計画の依存関係の更新構成モジュールを構成して、および BIA のソースデータと関係CMDBに基づいて、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールできるようにします。

依存関係の更新の構成モジュールの計画

BCM管理者は、次の例に示すように、計画レコード、そのターゲットレコード、ソース、および通知設定の詳細を [計画] 依存関係更新構成モジュールで構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



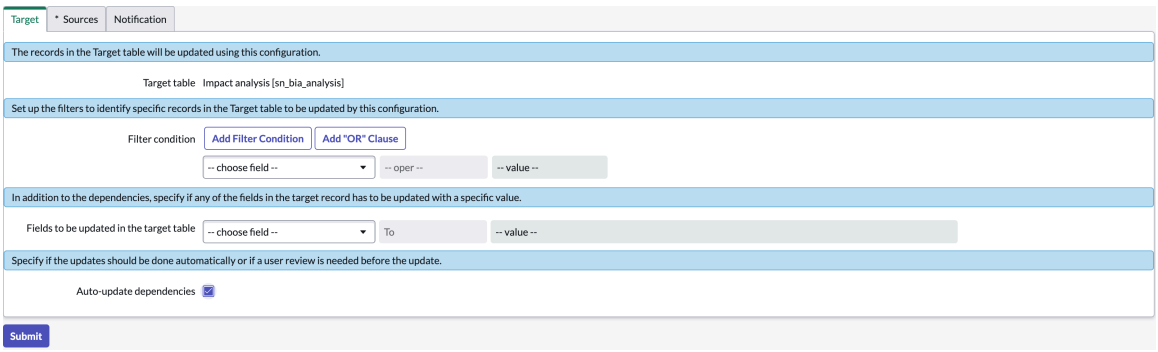
依存関係をフェッチするためのソースを構成

BCM管理者は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係CMDBなどのさまざまなソースから計画の最新の依存関係をフェッチするためのソースを構成します。

注:
計画では、すべてのプライマリスコープ資産の依存関係がフェッチされます。

依存関係を自動更新

BCM管理者は、次の例に示すように、[依存関係を自動更新] オプションを選択して、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールします。

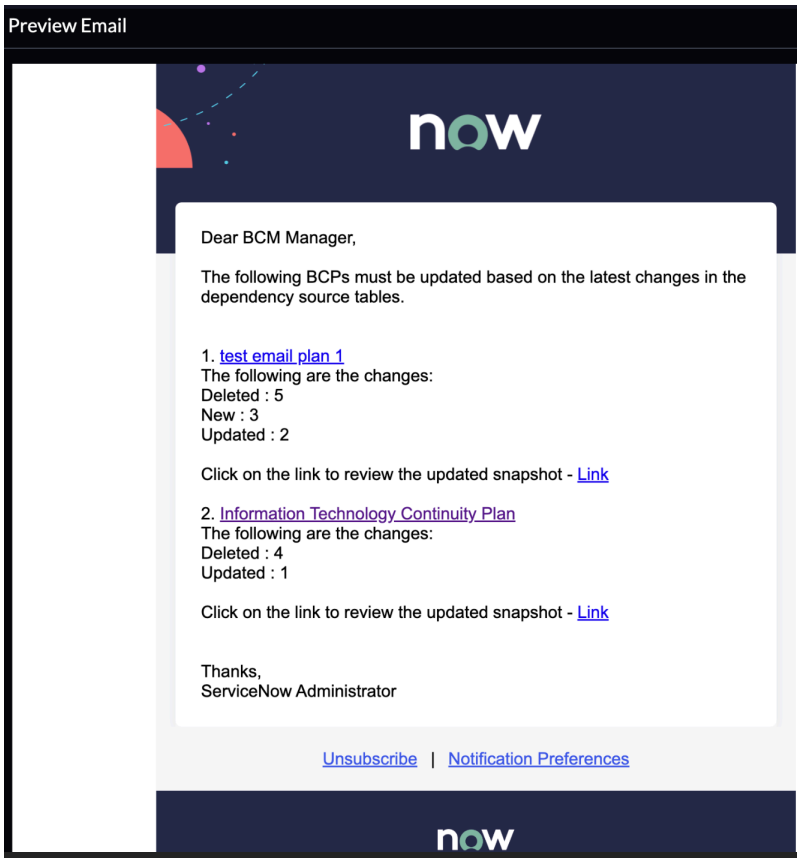


通知設定を行う

BCM管理者は、[通知を送信] オプションを選択して、計画所有者の通知設定を行います。例に示すように、計画依存関係の更新ごとに、計画依存関係の更新と更新されたスナップショットレコードへのリンクに関するメールが計画オーナーに送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



計画の所有者と BCM リードは、スナップショットレコードから依存関係の更新をレビューします。デルタスナップショットレコードには、選択した計画レコードの [追加済み]、[更新済み]、[削除済み] の資産など、更新された依存関係が表示されます。

計画依存関係更新構成モジュールの構成の詳細については、次を参照してください 計画依存関係更新構成モジュールの構成。

計画依存関係更新構成モジュールの構成

計画依存関係更新構成モジュールを構成して、(依存関係が更新される) 計画レコード、そのターゲットレコード、ソース、および通知設定を構成します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

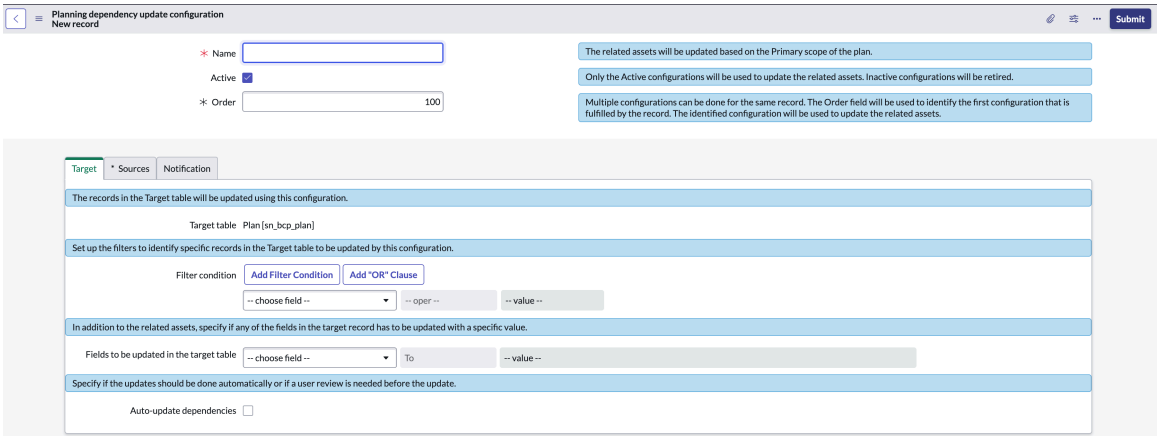
手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 依存関係更新構成の計画.
2. [新規] を選択します。

次の例は、計画依存関係更新構成モジュールを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「[依存関係の更新の構成の計画] フォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

   計画依存関係更新構成モジュールでBCM管理者が設定したBCMソースと設定に従って、計画レコードの計画依存関係の更新が自動更新されます。

   BCP オーナーと承認者は、更新された依存関係を確認し、BCP ワークフローを完了します。

[依存関係の更新の構成の計画] フォーム

[計画依存関係更新構成] フォームを使用して、計画レコード、そのソース、および基本設定 (計画レコード名、ソース、通知設定など) を設定し、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールします。

[依存関係の更新の構成レコードの計画] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[依存関係の更新の構成レコードの計画] フォーム

フィールド	説明
名前	計画レコードの名前。関連資産は、計画レコードのプライマリスコープに基づいて更新されます。
アクティブ	アクティブな構成を選択するオプション。アクティブな構成が依存関係の更新に使用されます。非アクティブな構成は廃止されます。
順番	レコードによって実行される最初の構成を識別するフィールド。識別された構成が依存関係の更新に使用されます。同じレコードに対して複数の構成を行うことができます。
ターゲット	
ターゲットテーブル	計画レコードを含む計画 [sn_bcp_plan] テーブル。これらのレコードは、計画依存関係更新構成モジュールで設定された構成に従って更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[依存関係の更新の構成レコードの計画] フォーム (続く)

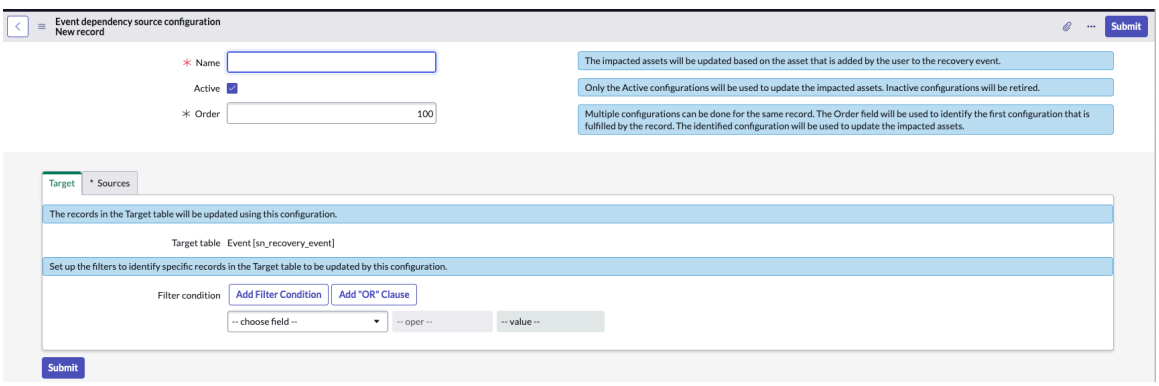
フィールド	説明
フィルター条件	ターゲットテーブル内の特定のレコードを識別するためのフィルター条件。これらのレコードは、計画依存関係更新構成モジュールで設定された構成に従って更新されます。
ターゲットテーブルで更新するフィールド	特定の値で更新できるターゲットレコードのフィールド。
依存関係の自動更新	依存関係を自動的に更新するオプション。 BCM 管理者は、更新を自動的に実行するか、更新前にユーザーレビューが必要かを指定できます。
ソース	
ソース	計画に関連資産を追加するための適用可能なソース。事業継続性計画レコードには、次のソースが使用されます。 • BIA アップストリーム • BIA ダウンストリーム • CMDB
通知	
通知を送信	更新についてユーザーまたはユーザーグループに通知するオプション。
フィールド内のユーザーまたはグループ	更新に関する通知を受け取るユーザーまたはグループを選択するオプション。たとえば、更新を受信するために計画オーナーと BCM リードが選択されています。

イベント依存関係を追加するためのソースの構成

BCM管理者は、BIA、および計画のソースデータと関係に基づいて影響を受ける資産がイベントと演習に追加されるように、CMDBイベント依存関係ソース構成モジュールでソースを構成します。

イベント依存関係ソース構成モジュール

次の例に示すように、イベント依存関係ソース構成レコードには、イベントレコード名、そのターゲットレコード、ソースなどのイベント依存関係の詳細が含まれています。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係は、ユーザーが [依存関係を更新] UI アクションを選択した場合にのみ、イベントに追加されます。イベントの依存関係は、次のソースからフェッチされます。

- BIA アップストリーム依存関係
- BIA ダウンストリーム依存関係
- CMDB
- プライマリ資産の計画
- 関連資産の計画

注:
イベントでは、すべての資産の依存関係が手動で追加されます (ソースは手動)。

イベント依存関係ソース構成モジュールの構成の詳細については、次を参照してください イベント依存関係ソース構成モジュールを構成する。

イベント依存関係ソース構成モジュールを構成する

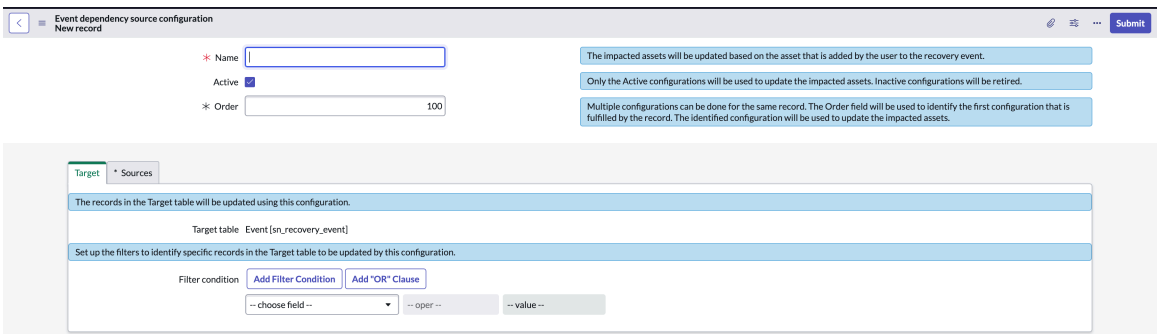
イベント依存関係ソース構成モジュールで、イベント依存関係を追加するためのソースを構成します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > イベント依存関係ソースの構成.
2. [新規] を選択します。

   次の例は、イベント依存関係ソース構成モジュールを示しています。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「イベント依存関係ソース構成フォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

   イベント依存関係ソース構成モジュールで管理者が設定した BCM ソースに従って、依存関係がイベントに追加されます。

イベント依存関係ソース構成フォーム

[イベント依存関係ソース構成] フォームを使用して、イベントレコード名、そのターゲットレコード、ソースなどのイベント依存関係の詳細をアプリケーションに追加します BCM 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント依存関係ソース構成レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

イベント依存関係ソース構成レコードフォーム

フィールド	説明
名前	復旧イベントの名前。影響を受ける資産は、ユーザーが復旧イベントに追加した資産に基づいて更新されます。
アクティブ	アクティブな構成を選択するオプション。アクティブな構成が依存関係の更新に使用されます。非アクティブな構成は廃止されます。
順番	レコードによって実行される最初の構成を識別するフィールド。識別された構成は、影響を受ける資産を更新するために使用されます。同じレコードに対して複数の構成を行うことができます。
ターゲット	
ターゲットテーブル	イベントレコードを含むイベント [sn_recovery_event] テーブル。これらのレコードは、イベント依存関係ソースの構成モジュールで設定された構成に従って更新されます。
フィルター条件	ターゲットテーブル内の特定のレコードを識別するためのフィルター条件。これらのレコードは、イベント依存関係ソースの構成モジュールで設定された構成に従って更新されます。
ソース	
ソース	影響を受ける資産を復旧イベントに追加するための適用可能なソース。イベントレコードには、次のいずれかのソースを使用できます。 • BIA アップストリーム依存関係 • BIA ダウンストリーム依存関係 • CMDB • プライマリ資産の計画 • 関連資産の計画

ビジネスインパクト分析の影響度カテゴリの構成

ビジネスインパクト分析の実行時に、ビジネスの影響度カテゴリを構成します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [インパクトカテゴリ] モジュールを使用して、名前、影響度カテゴリが寄与する基準、適用可能な期間、最大 RTO 値などを定義します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

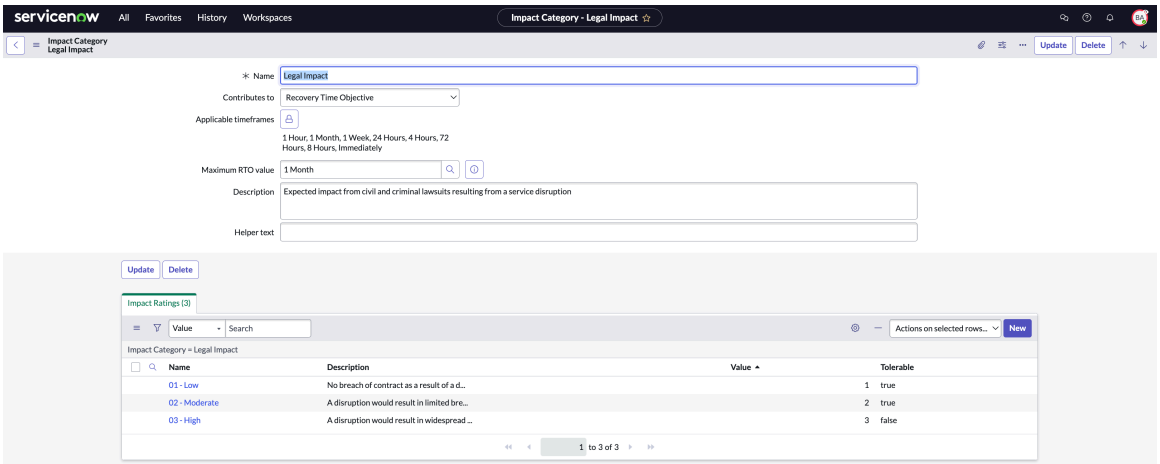
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 影響度カテゴリ.
2. [新規] を選択します。

   次の例は、影響度カテゴリのデモデータとともにインストールされている影響度評価を示しています。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「[影響度カテゴリ] のレコードフォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

[影響度カテゴリ] のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース で、[影響度カテゴリ] のレコードフォームを使用して、名前、影響度カテゴリが寄与する基準、適用可能な期間、最大 RTO 値といった、影響度カテゴリに関する詳細情報を追加します。

[影響度カテゴリ] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[影響度カテゴリ] のレコードフォーム

フィールド	説明
名前	影響度カテゴリの名前。
寄与する	ビジネス中断への影響の結果としての RPO または RTO への寄与度。影響度カテゴリが目標復旧時点に寄与している場合、影響分析の質問関連リストが表示されます。
適用可能な解決までの期限	ビジネスプロセス中断の期間。このフィールドは、[寄与する] フィールドの値が **[RTO]** の場合にのみ表示されます。
最大 RTO 値	中断後にビジネスで要素の復旧が必要になる時間の上限を計算する測定基準。
説明	影響度カテゴリの簡単な説明。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[影響度カテゴリ] のレコードフォーム (続く)

フィールド	説明
ヘルパーテキスト	ヘルパーテキストを追加するフィールド。アセスメントの質問にどう回答するかのヒントをユーザーに提供します。ヘルパーテキストは、ビジネスインパクト分析レコードの中でユーザーに表示されます。

事業継続性計画のドキュメントセクションの構成

事業継続性計画のドキュメントセクションを、構造化された形式で構成できます。目的、スコープ、対象範囲、目標、成功基準といった計画の概要を説明できます。

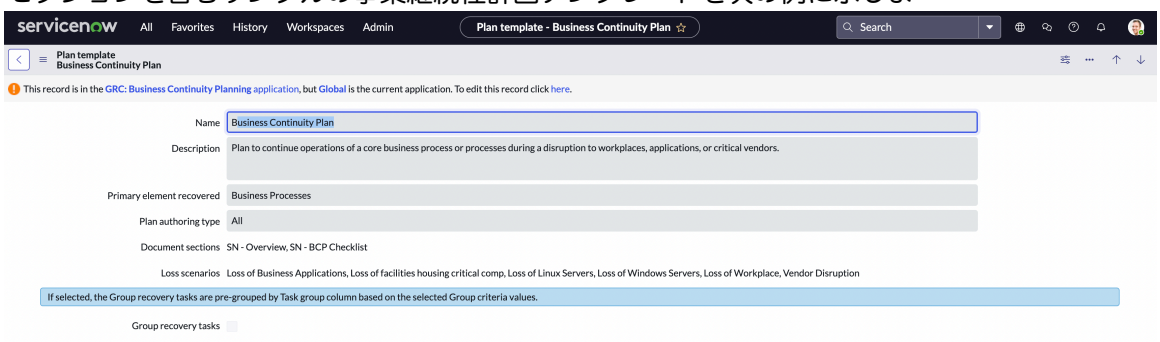
事業継続性計画の詳細は、別個のドキュメントセクションで文書化できます。事業継続性管理 アプリケーションの [全般管理] セクションで、事前設定されたドキュメントセクションを表示できます。

事業継続性計画が作成されると、計画テンプレートで選択された 1 つ以上のドキュメントセクションが入力されます。

事業継続性管理 アプリケーションには、計画テンプレートのデモデータとともにインストールされる次のドキュメントセクションがあります。

- BCP - 仮定 (BCP-Assumtions)
- BCP - 目標 (BCP-Objectives)
- BCP - スコープ (BCP-Scope)
- BIA - 概要 (BIA-Overview)
- SN-BCP チェックリスト (SN-BCP Checklist)
- SN - 概要 (SN-Overview)

[SN - 概要 (SN-Overview)] および **[SN-チェックリスト (SN-Checklist)** ドキュメントセクションを含むサンプルの事業継続性計画テンプレートを次の例に示します。



ビジネス要件のドキュメントセクションの作成

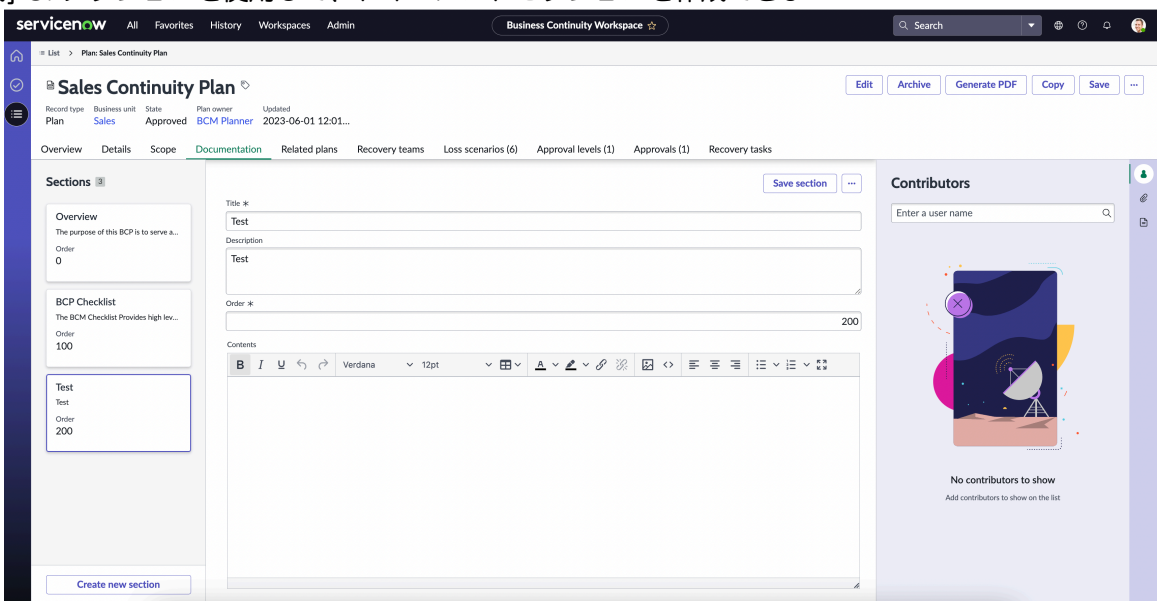
BCM 管理者ロールがある場合は、[全般管理] にリストされているドキュメントセクションテンプレートを使用して、ドキュメントセクションを作成できます。ドキュメントセクションテンプレートを使用してドキュメントセクションを構成するには、「事業継続性計画のドキュメントセクションの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
計画テンプレートを使用せずに [ドキュメント] タブでドキュメントセクションを作成すると、そのドキュメントセクションでは [テンプレートにリセット] UI アクションを使用できません。

事業継続性ワークスペース の [ドキュメント] タブでドキュメントセクションを作成することもできます。次の例に示すように、[新規セクションの作成] UI アクションを使用して、ドキュメントセクションを作成できます。



事業継続性ワークスペースでのビジネス計画のドキュメントセクション作成の詳細については、「ドキュメントセクションの作成」を参照してください。

事業継続性計画のドキュメントセクションの構成

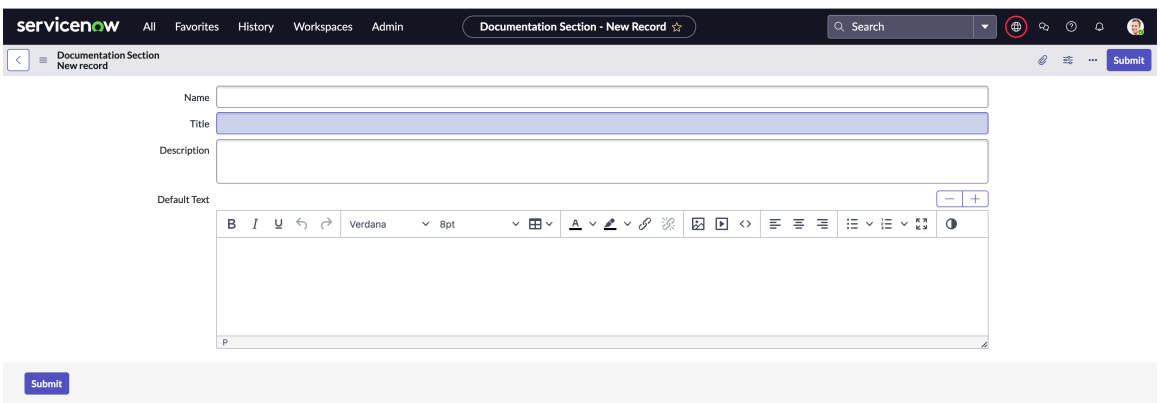
事業継続性管理 アプリケーションで計画のドキュメントセクションを構成します。ドキュメントセクションを使用することで、高レベルの詳細項目のチェックリストや、計画の目的、計画の目的と対象範囲を説明するスコープといった構造化されたセクションで、計画を説明することができます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcp.plan_admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > ドキュメントセクション.
2. [新規] を選択します。

ドキュメントセクションテンプレートを次の例に示します。



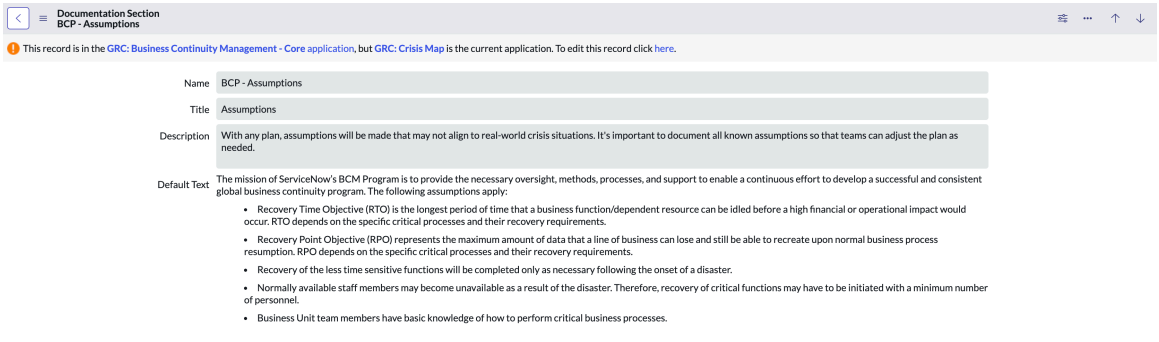
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「[ドキュメントセクション] のレコードフォーム」を参照してください。

   次の例は、デモデータからのドキュメントセクションテンプレートを示しています。



4. [送信] を選択します。

[ドキュメントセクション] のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース の構造化セクションで、[ドキュメントセクション] のレコードフォームを使用して計画を設定します。

[ドキュメントセクション] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[ドキュメントセクション] のレコードフォーム

フィールド	説明
名前	ドキュメントセクションの名前。
タイトル	ドキュメントセクションのタイトル。
説明	ドキュメントセクションに関する簡単な説明。
デフォルトテキスト	ドキュメントセクションに関連するデフォルトのテキスト。このテキストは、後に計画が策定されてドキュメントセクションが追加された時点で、計画に応じて編集できます。

ビジネスインパクト分析の要素定義の構成

要素定義を構成して、ビジネスインパクト分析で評価し、事業継続性計画で復旧する必要がある構成アイテムを特定します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [要素変数] モジュールを使用して、要素定義を設定します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

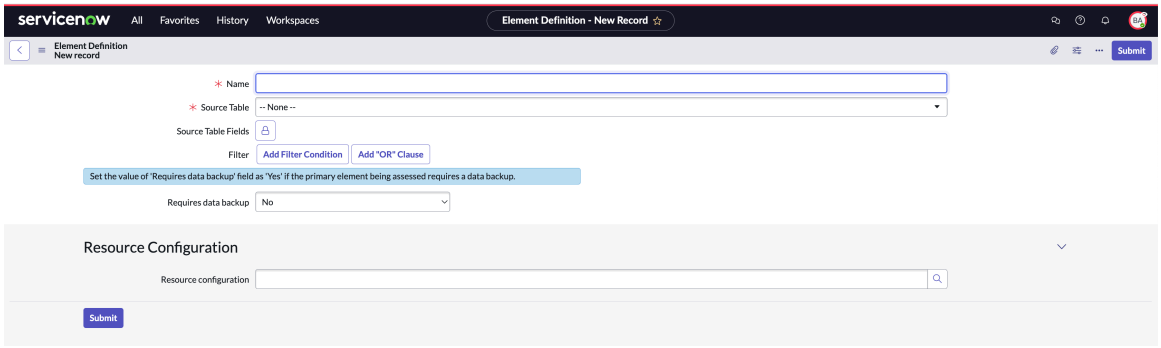
手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 要素定義.
2. [新規] を選択します。

   次の例は、要素定義レコードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「[要素定義] のレコードフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[要素定義] のレコードフォーム

[要素定義] のレコードフォームを使用し、BCM UIB ワークスペース を使用してビジネスアプリケーションのセットで復旧階層を構成します。

[要素定義] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[要素定義] のレコードフォーム

フィールド	説明
名前	要素定義の名前。
ソーステーブル	構成アイテムのレコードの詳細を格納するテーブル。
ソーステーブルフィールド	参照用に選択できるソーステーブルの列見出し。
フィルター	要素定義のフィルター条件を追加します。
データのバックアップが必要	プライマリ要素にデータのバックアップが必要かどうかを示すオプション。技術資産は、システムまたはデータベースに保存されている重要な IT 情報に関連するため、データのバックアップが必要です。
リソース構成	要素定義のリソース構成。使用可能なオプションは次のとおりです。 • ロケーション • **Web** サーバー • データセンター • ベンダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素定義の要素変数の設定

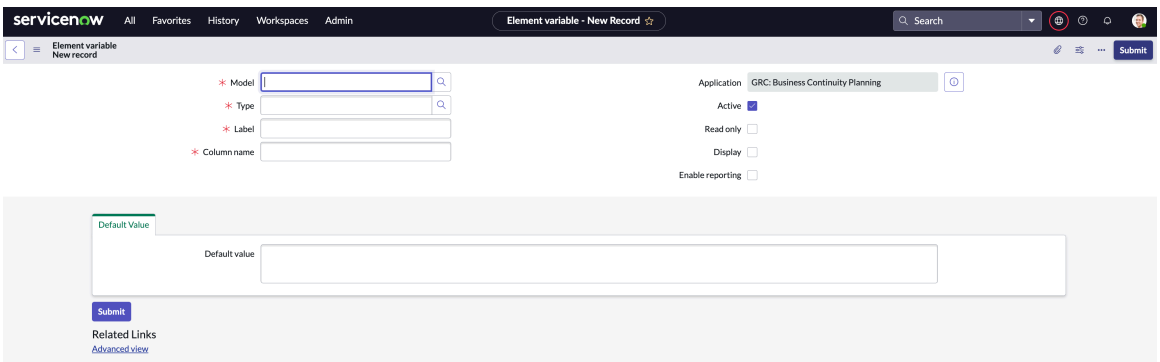
要素の特定の依存関係の要素変数を設定します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [要素変数] モジュールを使用して、要素変数を設定します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 要素変数.
2. [新規] を選択します。

   次の例は、管理者から見た要素変数レコードを示しています。



3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「[要素変数] のレコードフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[要素変数] のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース を使用して要素定義の要素変数を設定するには、[要素変数] のレコードフォームを使用します。

[要素変数] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[要素変数] のレコードフォーム

フィールド	説明
モデル	要素定義 [sn_bcm_element_definition] 参照。要素定義に対して複数の要素変数を作成できます。
タイプ	モデルテーブルのフィールドクラス。
ラベル	BIA 依存関係グリッドの依存関係グループに名前を表示します。
列名	テーブル内の列名。
アプリケーション	このレコードを含んでいるアプリケーション。
アクティブ	要素変数をアクティブにするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[要素変数] のレコードフォーム (続く)

フィールド	説明
読み込み専用	要素変数を読み取り専用として表示するオプション。
表示	要素変数を表示するオプション。
レポートを有効にする	要素変数をレポートするオプション。
デフォルト値	
デフォルト値	デフォルト値の説明。

事業継続性計画内の損失シナリオの設定

事業継続性管理 アプリケーションの損失シナリオテンプレートを使用して、特定された損失シナリオの計画を設定します。発生しうる災害に対するニーズと要件が一覧で記載された、文書化された計画を使用します。

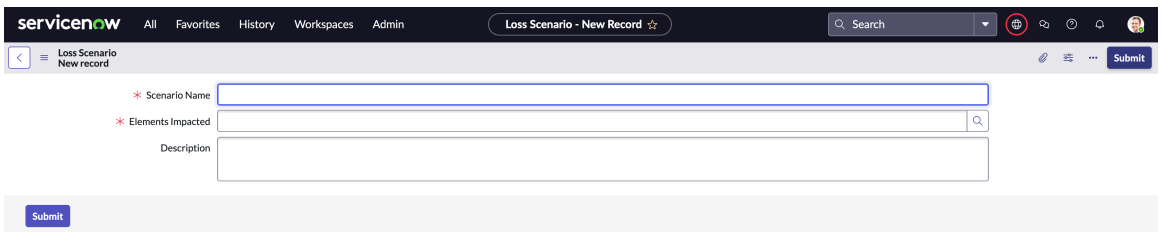
始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcp.plan_admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 損失シナリオ.
2. [新規] を選択します。

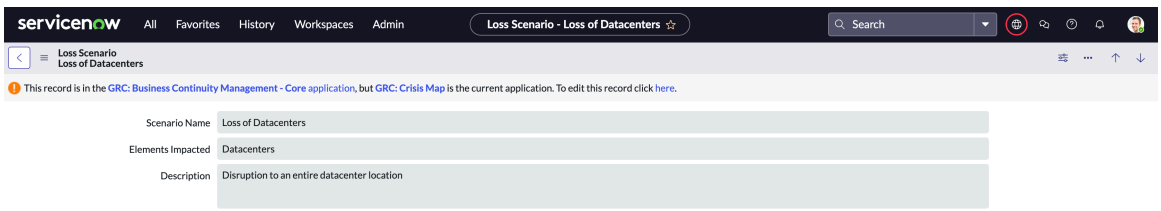
   損失シナリオフォームを次の例に示します。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールドの詳細については、「[損失シナリオ] のレコードフォーム」を参照してください。

   次の例は、損失シナリオの詳細を示しています。



4. [送信] を選択します。

[損失シナリオ] のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース で [損失シナリオ] のレコードフォームを使用して、特定された損失シナリオの計画を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[損失シナリオ] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[損失シナリオ] のレコードフォーム

フィールド	説明
シナリオ名	影響シナリオの名前
影響を受ける要素	損失シナリオのために影響を受けるアイテムまたは資産。
説明	損失シナリオに関する簡単なメモ。

影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成

影響度カテゴリを低、中、高、または重大として評価するための影響度評価を構成します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [影響度評価] モジュールを使用すると、ビジネスダウンタイムが発生したときの損失の大きさを測定できます。

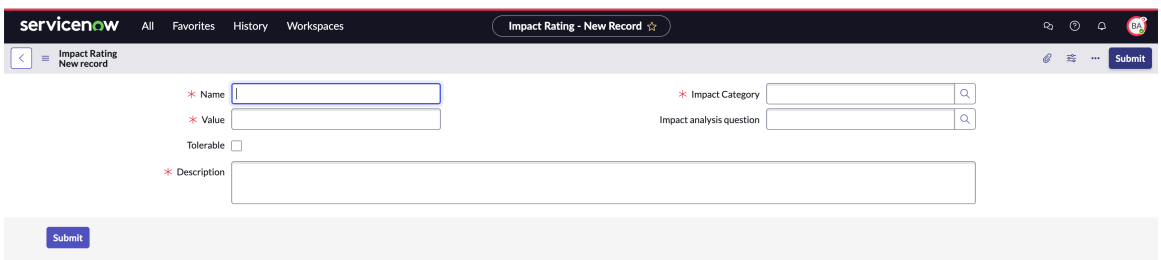
始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 影響度評価.
2. [新規] を選択します。

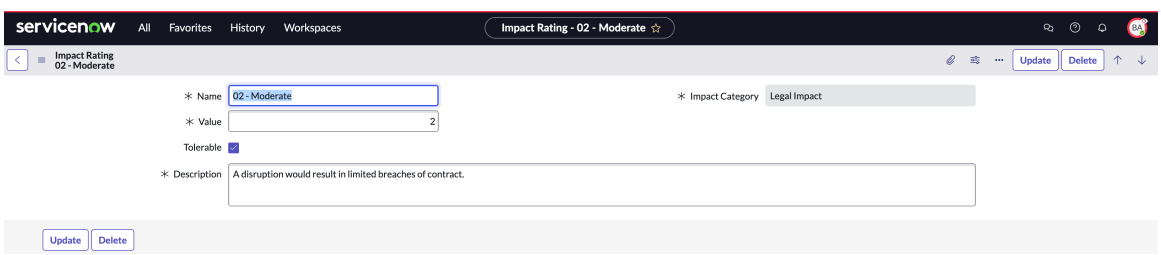
   次の例は、影響度評価テンプレートを示しています。



3. フォームのフィールドに入力します。

   フォーム内のフィールドの詳細については、「[影響度評価] のレコードフォーム」を参照してください。

   次の例は、デモデータによる影響度評価を示しています。



4. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

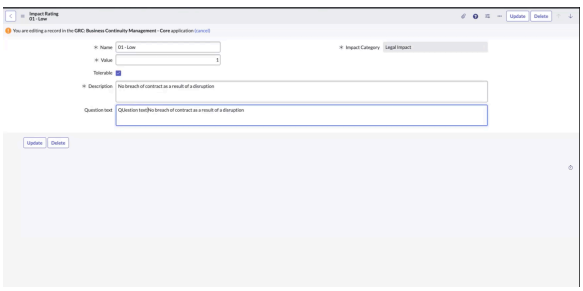
[影響度評価] のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース で [影響度評価] のレコードフォームを使用して、低、中、高、重大などの影響度カテゴリを評価します。

[影響度評価] のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

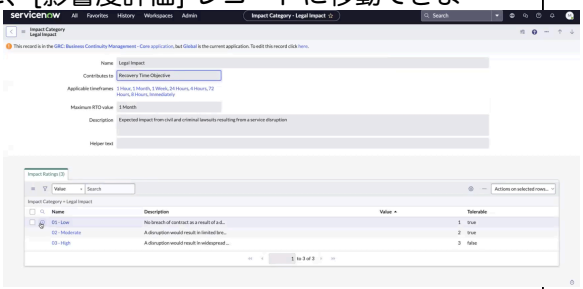
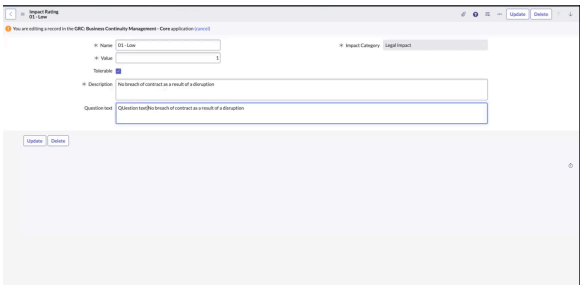
[影響度評価] のレコードフォーム

フィールド	説明
名前	影響度評価の名前。
値	影響度評価の数値。それぞれの影響度評価に固有の数値を関連付けることができます。同じ値を BCM アプリケーション内の他の影響度評価に利用することはできません。 たとえば、次に示すように、値 *1* を *01-Low* 影響度カテゴリに割り当てることができます。そうした後に、値 *1* を BCM アプリケーションインスタンス内の他の影響度評価に割り当てることはできません。 
影響度カテゴリ	影響度のカテゴリ。たとえば、人員の影響、規制の影響、収益の影響などです。
影響分析の質問	影響分析で利用可能な質問のリスト。このフィールドは、ビジネス中断の影響度カテゴリが RPO に寄与している場合に表示されます。
許容範囲	RTO の影響を許容範囲内として有効にするためのオプション。このチェックボックスは、影響度カテゴリが RTO に寄与する場合にのみ表示されます。
説明	影響度評価に関する簡単な説明。
質問のテキスト	質問のテキストを変更するフィールド。影響度カテゴリの目標復旧時間については、RTO アセスメントアンケートに表示される質問を変更できます。次の例で示すよ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[影響度評価] のレコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	うに、[影響度評価] レコードに移動できます。  次の例で示すように、RTO アセスメントの質問テキストを更新します。  変更された質問は、ビジネスインパクト分析レコードの RTO アセスメントに表示されます。

ビジネスインパクト分析の復旧階層の構成

同様の範囲の目標復旧時間 (RTO) 値に従う一連のビジネスアプリケーションで、復旧階層を構成します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [復旧階層] モジュールを使用して、復旧階層を構成します。

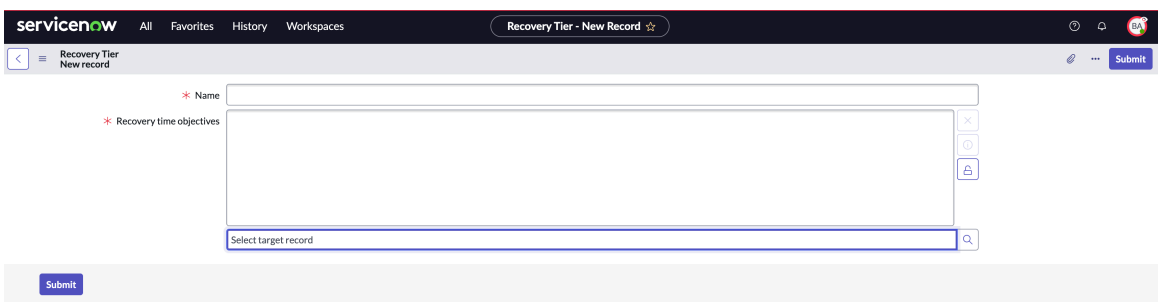
始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 復旧階層.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   復旧階層レコードを次の例に示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォーム内のフィールドの詳細については、「[復旧階層] レコードフォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

[復旧階層] レコードフォーム

[復旧階層] レコードフォームを使用し、BCM UIB ワークスペース を使用してビジネスアプリケーションのセットで復旧階層を構成します。

[復旧階層] レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[復旧階層] レコードフォーム

フィールド	説明
名前	復旧階層レベルの名前。
目標復旧時間	災害後にビジネスの要素をどの程度迅速に復旧する必要があるかを計算する測定基準。

復旧階層の復旧期間の設定

復旧階層の復旧期間を設定します。復旧期間は、中断イベントが発生したときに開始し、通常業務が再開可能になると終了します。事業継続性管理 アプリケーションの [復旧期間] モジュールを使用して、復旧期間のタイムラインを設定できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 復旧の解決までの期限.
2. [新規] を選択します。
3. [名前] フィールドに、復旧期間の名前を入力します。
4. [開始] フィールドに、復旧期間のタイムラインの開始を日、時間、分、秒で入力します。

   次の例は、事業継続性管理 アプリケーションでの復旧の解決までの期限の構成を示しています。



5. [送信] を選択します。

グリッド構成のグリッドカテゴリを設定する

グリッド構成のグリッドカテゴリ (依存関係アセスメント) を設定します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [グリッドカテゴリ] モジュールを使用して、グリッドカテゴリを設定します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > グリッドカテゴリ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「グリッドカテゴリのレコードフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

グリッドカテゴリのレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース で、グリッドカテゴリのレコードフォームを使用して、グリッド構成のグリッドカテゴリ (依存関係アセスメントなど) を設定します。

グリッドカテゴリのレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

グリッドカテゴリのレコードフォーム

フィールド	説明
名前	グリッドカテゴリの名前。
コード	グリッドカテゴリのコード。
要素コンテキストを有効にする	グリッドカテゴリの要素コンテキストを有効にするオプション。

BIA 依存関係アセスメントのグリッドの構成

構成された列で BIA 依存関係アセスメントグリッドをレンダリングするようにグリッドを構成します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの [グリッド構成] モジュールを使用して、グリッドを構成します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 すべて > 事業継続性 > 全般管理 > グリッド構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「グリッド構成のレコードフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

グリッド構成のレコードフォーム

BCM UIB ワークスペース を使用して BIA アセスメントのグリッドを設定するには、グリッド構成のレコードフォームを使用します。

グリッド構成のレコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

グリッド構成のレコードフォーム

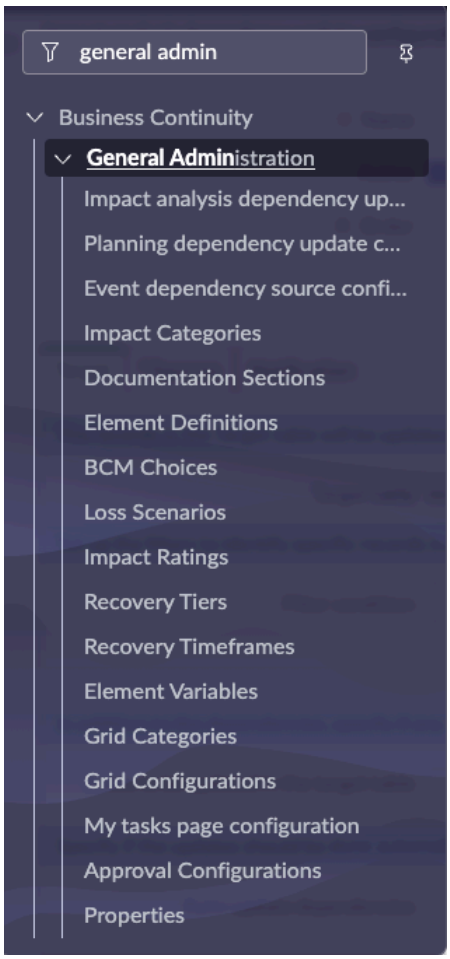
フィールド	説明
名前	グリッド構成の名前
グリッドカテゴリ	構成が適用されるグリッドカテゴリ。例：DEP_ASSMNT。
アクティブ	レコードをアクティブに設定するオプション。このオプションが無効になっている場合、グリッドは構成されたビューに基づいてレンダリングされます。カテゴリと要素に対してアクティブにできる構成は 1 つに限定されます。

マイタスクページ構成

事業継続性管理 アプリケーションユーザーの場合は、[全般管理] モジュールの [自分のタスクページ構成] を使用して、自分にアサインされたタスクを確認できます。

自分のタスクページ構成モジュール

BCM アプリケーションに関連付けられている管理タスクは、アプリケーション UI の [全般管理] モジュールに一覧表示されます。次の例に示すように、[全般管理] モジュールで自分のタスクページ構成を確認できます。

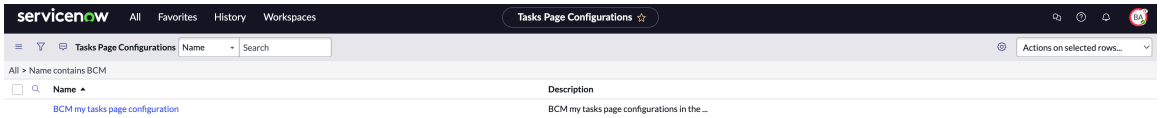


BCM 管理者ロールを持っている場合は、[自分のタスクページ構成] で BCM タスクをカスタマイズできます。

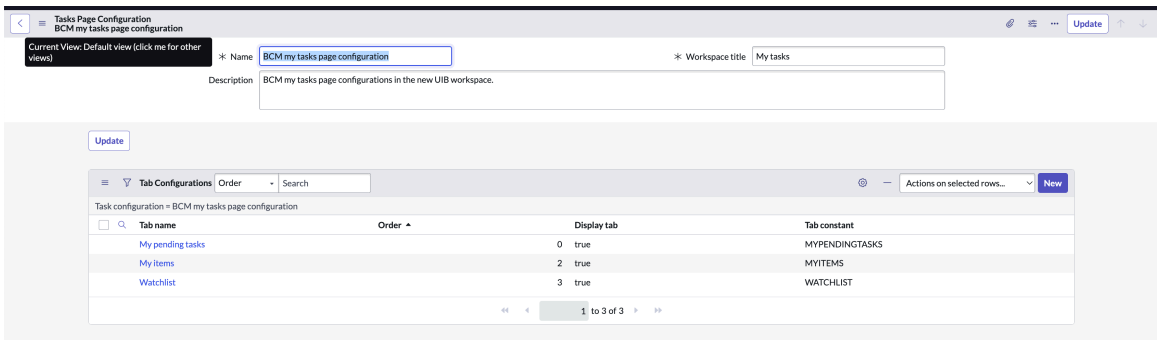
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

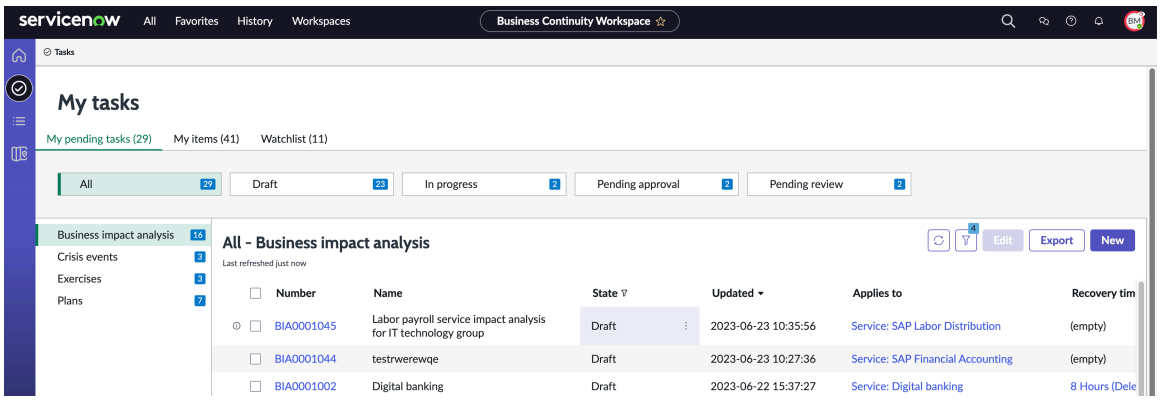
次の例に、リストビュー内の [自分のタスクページ構成] モジュールを示します。



次の例に、[自分のタスクページ構成] モジュールのレコードを示します。



次の例に示すように、ホームページの [自分のタスク] ページに、ログインしているユーザーにアサインされたタスクが表示されます。



BCM UIB ワークスペース での [自分のタスク] ページの詳細については、「[自分のタスク] ページビュー」を参照してください。

承認構成

Approver Configurator は、ビジネスルール定義に基づいて複数のレベルの承認を定義する機能を提供します。

ビジネスインパクト分析とビジネス計画で複数レベルの承認を設定するには、次の設定手順を構成する必要があります。

- 承認構成の設定
- 承認レベルの設定
- 承認ルールの設定

注:

Business Continuity Management アプリケーションのロールの詳細については、「事業継続性管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認構成の設定

複数レベルの承認を有効にする承認構成を設定し、承認ルールに基づいて各レベルの承認者を選択します。

始める前に

承認構成のために、GRC: Approver Configurator (sn_grc_appr) アプリケーションをインストールする必要があります。

必要なロール：sn_bcm.admin

> **注:**
> ワークフロースクリプトアクティビティはアクセス制御をバイパスしてすべてのテーブルとデータベース操作に対するアクセス権を付与するため、このロールをユーザーに付与することはユーザーに admin ロールを付与することと同等です。スクリプトアクティビティはアプリケーションスコープ設定はバイパスしません。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 承認構成.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[承認構成] フォーム

フィールド	説明
名前	承認構成の名前。
適用先	ビジネス影響分析、事業継続性計画、イベントなどのテーブル、またはレコードが承認のために送信されるテーブルなど。
優先度	優先度の高い承認構成の設定。
フィルター条件	[適用先] フィールドを参照してテーブルに適用される条件。 承認者の評価用に、ビジネスドキュメントのフィルター条件に一致する優先度の高い承認構成が選択されます。
アクティブ	承認構成を有効にするオプション。

> **注:**
> 同じ優先度で複数の承認構成をテーブルに適用することはできません。

4. [送信] をクリックします。

承認レベルの設定

BIA、BCP、またはイベントワークフロープロセスの各ステップをサポートするために、ユーザーまたはグループに複数レベルの承認をアサインします。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ワークフロースクリプトアクティビティはアクセス制御をバイパスしてすべてのテーブルとデータベース操作に対するアクセス権を付与するため、このロールをユーザーに付与することはユーザーに admin ロールを付与することと同等です。スクリプトアクティビティはアプリケーションスコープ設定はバイパスしません。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 承認構成.
2. リスト内の承認設定レコードをクリックして、承認レベルを設定します。
3. [承認レベル] セクションで [新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

承認レベルフォーム

フィールド	説明
名前	承認レベルの名前。
レベル	承認のステージ。

注:
同じレベルで承認構成の複数の承認レベルを使用することはできません。

5. [送信] をクリックします。

承認ルールの設定

承認者タイプと 1 人またはすべてのステークホルダーからの承認要件を選択して、各承認レベルで承認のルールを設定します。承認ルールを適用するソーステーブルにフィルター条件を定義します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
特定の承認者、選択したソーステーブルからの承認者、動的承認者、またはビジネスドキュメントを承認するために選択した承認者を選択できます。承認者は、BIA オーナー、BCM リード、BCM マネージャー、BCM 管理者、貢献者、または選択したソース テーブルのうち 1 名または全員です。

手順

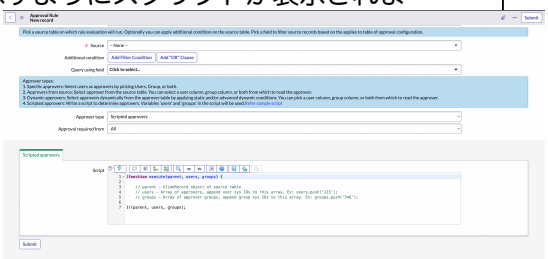
1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 承認構成.
2. リスト内の承認設定レコードをクリックします。
3. [承認レベル] セクションで [名前] 列の承認レベルレコードをクリックします。
4. [承認ルール] セクションで [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

承認ルールフォーム

フィールド	説明
名前	承認ルールの名前。
ソース	承認ルールが適用されるテーブル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フィールドを使用するクエリー	承認テーブルとソーステーブルを接続するフィールド。
他の条件	ソーステーブルに適用されるフィルター条件。
承認者タイプ	承認者のタイプ。 ○ 特定の承認者：選択した承認者。 ○ ソースからの承認：ソーステーブルからのユーザーまたはグループ。 ○ 動的承認者：任意のテーブルから動的に選択された承認者。 ○ スクリプト化済み承認者：承認者を決定するためのスクリプト。下の例に示すようにスクリプトが表示されます。  **注:** セキュリティ上の理由から、BCM 管理者は、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの書き込みアクセス権がありません。Approver Configurator 開発者のみに、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの作成および書き込みアクセス権があります。 BCM admin ロールを持っている場合は、[承認者タイプ] リストから次のタイプの承認者のみを使用して承認ルールを設定できます。 ○ 特定の承認者 ○ ソースからの承認 GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。
次の承認が必要：	承認してもらう必要がある 1 人以上のステークホルダー。
説明	承認ルールに関する簡単なメモ。
承認者	
次からの承認者：	承認者テーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、承認者タイプが [ソースからの承認] または [動的承認者] である場合のみ使用できます。[ソースからの承認] の場合は、デフォルトでソーステーブルになります。
フィルター基準	承認者テーブルからのレコードをフィルターするための条件。 このフィールドは、承認者タイプが [動的承認者] である場合のみ使用できます。
詳細	スクリプト化された動的条件を設定するためのオプション。
ユーザーフィールド	承認者テーブルからのユーザー参照または承認者のリスト。
グループフィールド	承認者テーブルからの承認者としてのユーザーグループ参照。
動的条件	承認者テーブルに高度なフィルターを適用するためのスクリプトフィールド。
ユーザー	承認者として指定された 1 人以上のユーザー。
グループ	承認者のグループ。
スクリプト化済み承認者	
スクリプト	承認者を決定するためのスクリプト：スクリプト内のユーザーおよびグループが承認者として選択されます。

6. [送信] をクリックします。

Example: CMDB 依存関係からのアサイニーを承認者として追加するサンプルスクリプト

フォームのフィールド値：

名前

承認者としての CMDB 依存関係のアサイニー。

ソース

依存関係 [sn_bia_dependency]。

フィールドを使用するクエリー

依存関係グループの影響分析

承認者タイプ

スクリプト化済み承認者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認者を追加するサンプルスクリプト

```
(function execute(parent, users, groups) {

    // parent - GlideRecord object of source table
    // users - List of approvers
    // groups - List of approver groups
    var gr = new GlideRecord('cmdb_ci');
    gr.addQuery('sys_id', parent.depends_on);
    gr.query();

    while (gr.next()) {
        users.push(gr.assigned_to.toString());
    }

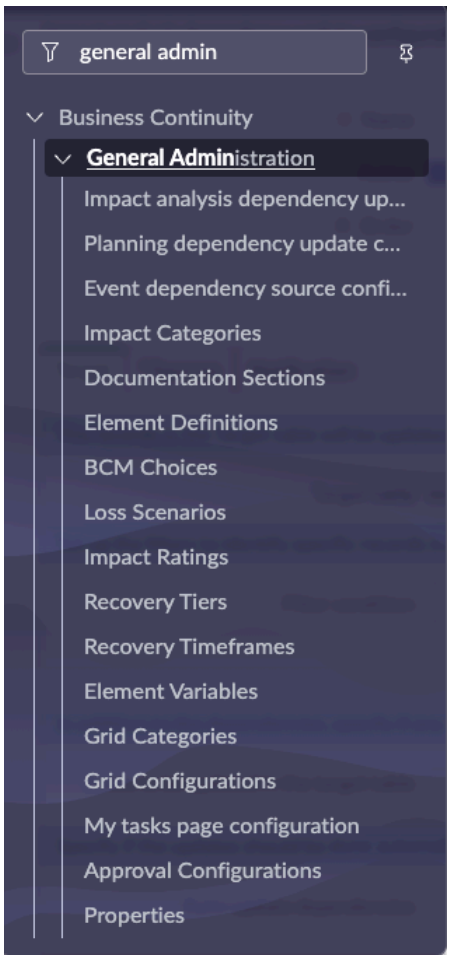
})(parent, users, groups);
```

BCM のプロパティ

[プロパティ]モジュールで BCM プロパティを設定できます。

事業継続性管理 アプリケーションユーザーの場合は、**[** 全般管理] モジュールの [プロパティ] で、事業継続性管理 アプリケーションのプロパティを表示できます。

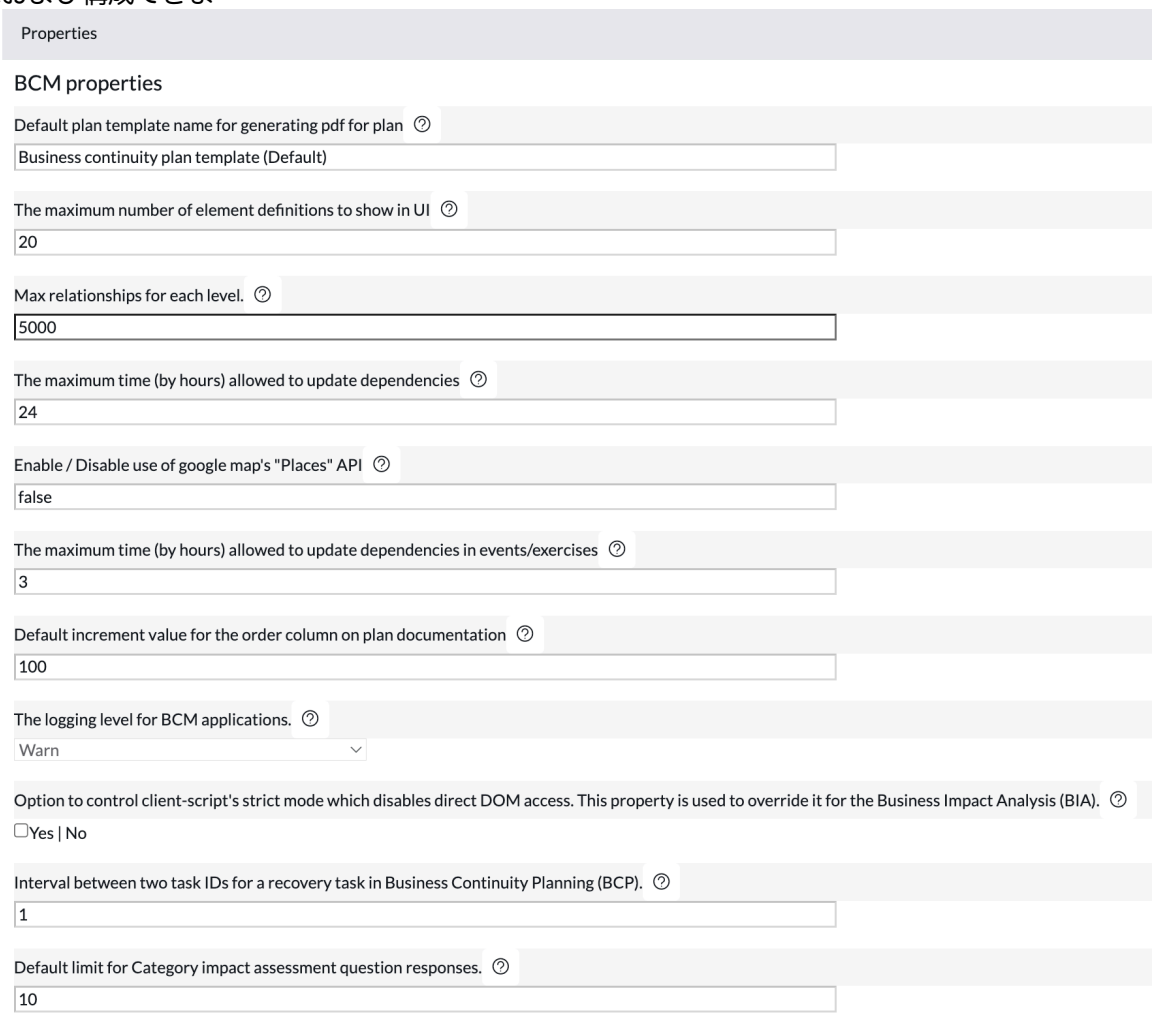
次の例に示すように、[全般管理] モジュールで [プロパティ] メニューオプションを表示できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の例に示すように、[プロパティ] モジュールを選択して、BCM アプリケーションのプロパティを表示および構成できま



す。 Save

BCM のプロパティの詳細については、「事業継続性管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

事業継続性管理でインストールされるプロパティ

プロパティは、事業継続性管理 のアクティブ化とともに追加されます。

BCM プロパティ

シニア。いいえ	名前	説明
スコープ：GRC: Business Continuity Planning		
1	計画の PDF を生成するために使用するデフォルトの計画テンプレート名 sn_bcp.default_pdf_plan_template	• タイプ：文字列 • デフォルト値：計画 PDF テンプレートの詳細 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM プロパティ (続く)

シニア。いいえ	名前	説明
2	Business Continuity Planning（BCP）の復旧タスクの 2 つのタスク ID の間隔 sn_bcp.taskIdOffset	• タイプ：数値 • デフォルト値：1 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
3	計画ドキュメントのオーダー列のデフォルトインクリメント値 sn_bcp.document_order_increment	• タイプ：数値 • デフォルト値：100 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
スコープ：GRC: Business Impact Analysis		
4	直接 DOM アクセスを無効にするクライアントスクリプトの Strict モードを制御するオプション。このプロパティは、Business Impact Analysis (BIA) で上書きするために使用されます。 sn_bia.glide.script.block.client.globals	• タイプ：yes または no • デフォルト値：no • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
5	各レベルの最大リレーションシップ sn_bia.cmdb_max_relationships_per_level	• タイプ：数値 • デフォルト値：5000 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
6	依存関係の更新に許可される最大時間 (時間単位) (BIA および BCP の場合)	• タイプ：数値 • デフォルト値:24 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
7	カテゴリ影響度評価の質問応答のデフォルト制限	• タイプ：数値 • デフォルト値：10 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
スコープ：GRC: Business Continuity Management - Core		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM プロパティ (続く)

シニア。いいえ	名前	説明
8	BCM アプリケーションのログ記録レベル sn_bcm.logging_verbosity	• タイプ：選択リスト (デバッグ、情報、警告、エラー) • デフォルト値：警告 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
9	UI に表示する要素定義の最大数 sn_bcm.element_definitions_limit	• タイプ：数値 • デフォルト値：20 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ
スコープ：GRC: Crisis Map		
10	Google マップの「Places」API の使用を有効/無効にします sn_bcm_map.use_google_places_lib	• タイプ：true または false • デフォルト値：true • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ **注:** 危機マップ機能を有効にする前に、Maps API を購入して設定 Google していることを確認してください。
11	イベント/訓練の依存関係の更新に許可される最大時間 (時間単位)	• タイプ：数値 • デフォルト値：3 • 居住地： 事業継続性 > 全般管理 > プロパティ

ビジネスインパクト分析のためのセットアップ

ビジネスインパクト分析に関連付けられている管理タスクは、事業継続性管理 アプリケーションの [全般管理] モジュールに一覧表示されます。sn_bia.bia_admin ロールを持つ BIA 管理者は、ビジネスインパクト分析に関連付けられている管理タスクを実行する責任があります。

一般的には、sn_bia.bia_admin ロールを持つ BIA 管理者が BIA テンプレートを構成します。詳細については、「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

ビジネスインパクト分析 **(BIA)** テンプレートの構成

ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートを構成して、標準オブジェクトタイプでビジネスインパクト分析を構成します。事業継続性管理 アプリケーションナビゲーターの **BIA** テンプレートモ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジュールを使用して、BIA テンプレートを使用して評価される要素のタイプ、影響度カテゴリ、および依存関係を選択します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 すべて > 事業継続性 > **BIA** 構成 > **BIA** テンプレート.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「[BIA テンプレートレコード (BIA Template record)] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[BIA テンプレートレコード (BIA Template record)] フォーム

[BIA テンプレートレコード (BIA Template record)] フォームを使用して、名前、説明、要素、影響度カテゴリなど、新しいビジネスインパクト分析に関する詳細を BCM UIB ワークスペース に追加します。

[BIA テンプレートレコード (BIA Template record)] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[BIA テンプレートレコード (BIA Template record)] フォーム

フィールド	説明
名前	BIA テンプレートの名前。
説明	テンプレートについての簡単な説明。
評価されたプライマリー要素	プライマリオブジェクトタイプ、またはテンプレートを使用する評価対象の要素。
影響度カテゴリ	組織に関連し、ビジネスインパクト分析中に評価される影響度のカテゴリ。収益、法務、規制、評判などへの影響があります。
依存関係アセスメント	ビジネス機能が依存するアイテムまたは資産のカテゴリ (場所やビジネスアプリケーションなど)。依存関係はビジネスインパクト分析の一部として特定され、評価されます。
CIA を含める	機密性、完全性、および可用性を BIA に含めるオプション。分析対象のプライマリ要素に重要なデータがあり、分析に機密性、完全性、および使用可否の情報を含める必要がある場合は、フラグを [はい] に設定します。 このフィールドは、同じフォームの [評価されたプライマリー要素] フィールドに対して選択された要素でデータのバックアップが必要な場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画のためのセットアップ

BCP 管理者は、事業継続性管理 アプリケーションの [全般管理] セクションに一覧表示されている特定の管理タスクを実行できます。

事業継続性計画の管理タスクは、アプリケーションナビゲーターの [全般管理] セクションに一覧表示されます。

sn_bcp.plan_admin ロールを持つ BCP 計画管理者が実行する管理タスクとしては、一般的に次のようなものがあります。

- 計画テンプレートの構成：詳細については「ビジネスに対する事業継続性計画テンプレートの構成」を参照してください。
- 事業継続性計画のドキュメントセクションの構成：詳細については「事業継続性計画のドキュメントセクションの構成」を参照してください。
- 事業継続性計画のド損失シナリオの構成：詳細については「事業継続性計画内の損失シナリオの設定」を参照してください。

事業継続性計画の計画テンプレートの構成

BCP 計画マネージャーは、破壊的なイベントの発生時にそれぞれの事業部門で使用できる事業継続性計画を作成できます。事業継続性管理 アプリケーションには、事前設定済みの事業継続性計画テンプレートが入っています。この事前設定済み計画テンプレートを使用すると、計画作成のプロセスを合理化できます。ビジネス要件に合わせた計画テンプレートを自分で作成することもできます。

事業継続性計画の事前設定済み計画テンプレートは、アプリケーションナビゲーターの [全般管理] セクションで見られます。

計画テンプレートを使用すると、復旧すべきドキュメントセクション、損失シナリオ、およびプライマリ要素が入った標準的な計画レイアウトを作成できます。計画テンプレートは、計画のコンテンツ、そのタスク、および計画の効果的な実装に重点を置くために役立ちます。

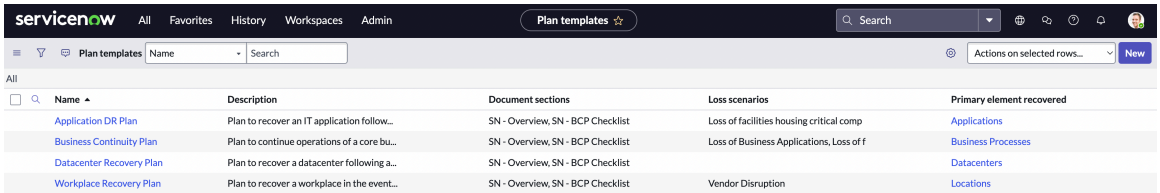
計画を作成することで、組織は中断が発生したときに優先的に復旧する必要があるプロセス、場所、および資産を特定できます。計画タイプを選択すると、復旧する要素と復旧する必要がある時間を特定するのに役立ちます。

事業継続性計画テンプレートの使用

事業継続性管理 アプリケーションには、デモデータと一緒にインストールされる、次の事業継続性計画テンプレートが入っています。

- アプリケーション **DR** 計画**(Application DR Plan)**
- 事業継続性計画
- データセンター復旧計画**(Datacenter Recovery Plan)**
- 職場復旧計画**(Workplace Recovery Plan)**

デモデータと一緒にインストールされる事業継続性計画テンプレートを、次の例で示します。

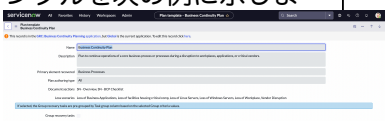


事業継続性管理 アプリケーションで使用できるデモデータの計画テンプレートの各タイプの詳細については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デモデータの計画テンプレート

名前	復旧されたプライマリー要素	説明
アプリケーション DR 計画 (Application DR Plan)	アプリケーション	中断イベント後に IT アプリケーションを復旧する計画。アプリケーション DR 計画 (Application DR Plan) のテンプレートのサンプルを次の例に示します。 
事業継続性計画	ビジネスプロセス	職場やアプリケーションや重要なベンダーの中断にも主要なビジネスプロセスの運用を継続するための計画。事業継続性計画のテンプレートのサンプルを次の例に示します。 
データセンター復旧計画 (Datacenter Recovery Plan)	データセンター	自然災害や、データセンターの可用性に影響を与える重大なイベントが発生した後にデータセンターを復旧するための計画。データセンター復旧計画 (Datacenter Recovery Plan) のテンプレートのサンプルを次の例に示します。 
職場復旧計画(Workplace Recovery Plan)	場所	複数の職場のうち 1 つが使用不可または居住不可能になった場合に職場を復旧するための計画。職場復旧計画 (Workplace Recovery Plan) のテンプレートのサンプルを次の例に示します。 

ビジネス要件に合わせた計画テンプレートの作成

デモデータのテンプレートを使用する代わりに、具体的な要件に合わせたテンプレートを作成できます。ビジネス要件の計画テンプレートを作成する方法の詳細については、「ビジネスに対する事業継続性計画テンプレートの構成」を参照してください。

ビジネスに対する事業継続性計画テンプレートの構成

事業継続性管理 アプリケーションで、自社のビジネスに対する事業継続性計画テンプレートを構成します。計画テンプレートを使用すれば、従業員や Web サーバーといった特定のプライマリ要素を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

復旧できます。同様に、ドキュメント、損失シナリオ、復旧タスクといったさまざまな計画作成タイプの計画テンプレートを作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
sn_bcm.admin ロールには sn_bcp.plan_admin ロールが含まれています。[計画テンプレート] メニューを表示するには、sn_bcm.admin ロールが必要です。BCM管理者は [計画テンプレート] メニューに移動でき、その後、計画管理者は計画テンプレートを更新できます。

計画テンプレートを構成すると、次のことができます。

- 復旧する必要があるプライマリオブジェクトタイプを定義する。
- 計画の開始時に含める必要があるドキュメントセクションを定義する。
- テンプレートを使用して損失シナリオを特定し、それに応じて計画する。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 計画構成 > 計画テンプレート.
2. [新規] を選択します。
3. [計画テンプレート] フォームのフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、「[計画テンプレート] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[計画テンプレート] フォーム

BCM UIB ワークスペース で計画テンプレートフォームを使用して、事業継続性計画についての詳細を追加します。

[計画テンプレート] フォーム
フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[計画テンプレート] フォーム

フィールド	説明
名前	計画テンプレートの名前。
説明	計画テンプレートについての簡単な説明。
復旧したプライマリ要素 (Primary Element Recovered)	計画で復旧対象として識別されたプライマリオブジェクトタイプまたは要素。
計画作成タイプ	このテンプレートを使用して継続性計画を作成するときにオプションとして使用できる計画のさまざまなフェーズまたはセクション。これらのオプションは、計画の詳細を完了するときに BCP ワークスペースにタブとして表示されます。 • すべて (デフォルト)：このテンプレートを使用する計画には、[ドキュメント]、[損失シナリオ]、[復旧タスク]、[復旧チーム] などのすべてのオプションが表示されます。これらのオプションは、ワークスペースでタブとして表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

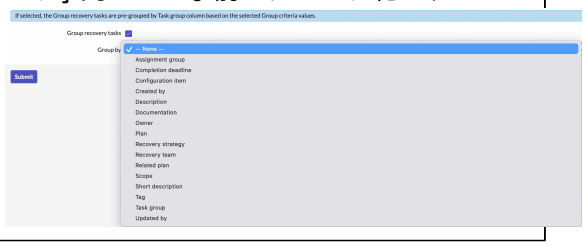
[計画テンプレート] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• ドキュメント：このテンプレートを使用する計画には、選択した依存関係とともにドキュメントオプションが表示されます。[復旧タスク] および [復旧チーム] とともに [ドキュメント] タブをワークスペースに表示できます。 • 損失シナリオ：このレプリケーションを使用する計画には、[復旧タスク]、[復旧チーム]、およびその他の選択された依存関係とともに、損失シナリオが表示されます。 • 復旧タスク：このテンプレートを使用する計画タイプに関連付けられた復旧タスクと復旧チームを表示します。
ドキュメントセクション	計画に追加するドキュメントセクション。使用可能なオプションは次のとおりです。 • BCP - 仮定 (BCP-Assumtions) • BCP - 目標 (BCP-Objectives) • BCP - スコープ (BCP-Scope) • BIA - 概要 (BIA-Overview) • SN-BCP チェックリスト (SN-BCP Checklist) • SN - 概要 (SN-Overview)
損失シナリオ	計画に追加する損失シナリオ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 重要な補償を収容する施設の損失 • Linux サーバーの損失 • データセンターの損失 • 職場の損失 • ビジネスアプリケーションの損失 • 人員の損失 • ベンダーの中断 • Windows サーバーの損失 損失シナリオを作成してテンプレートに追加することもできます。損失シナリオの作成の詳細については、「損失シナリオの計画の構成」を参照してください。
グループ復旧タスク	復旧タスクをグループ化するオプション。このオプションを選択した場合、次の例に示すように、グループ復旧タスクは、選択し

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画テンプレート] フォーム (続く)

フィールド	説明
	た [グループ分け基準] に基づいて [タスクグループ] 列ごとに事前にグループ化されます。 

BIA、BCP、およびイベントの **PDF** テンプレートを書式設定

ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、またはイベントの PDF の生成に使用される PDF テンプレートを書式設定します。組織の要件とテンプレートに従って PDF を書式設定できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner

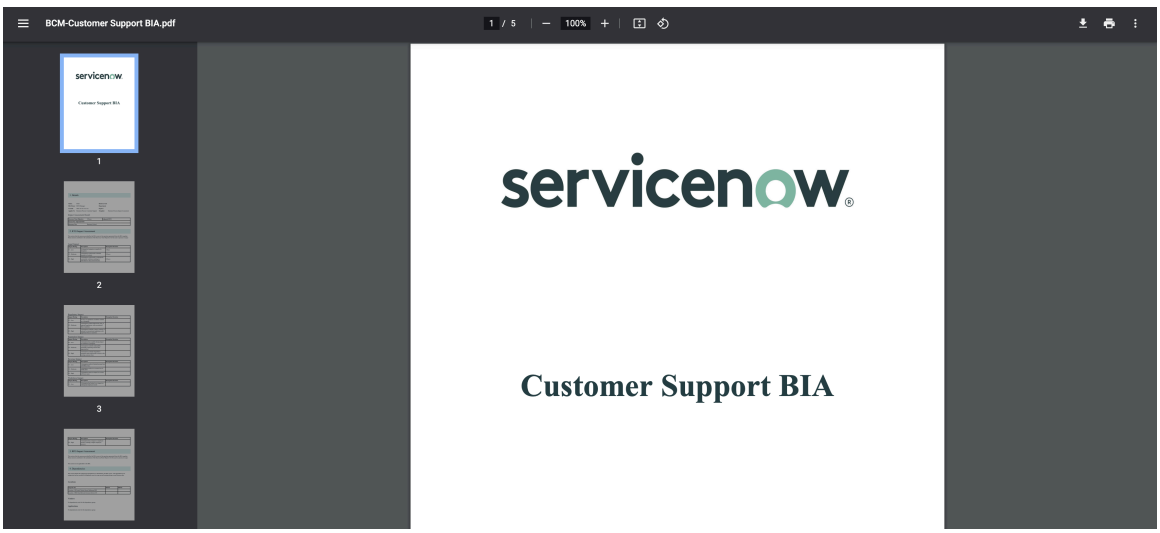
次のトピックで説明されている手順に従って、ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、またはイベントの PDF をダウンロードしていることを確認してください。

- ビジネスインパクト分析の PDF の生成
- 事業継続性計画の PDF の生成
- 演習または危機イベントの PDF の生成

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、**[Business Impact Analysis]** レコードに移動し、[詳細] タブに保存されている PDF を開きます。
3. 組織のテンプレートに従って、PDF のタイトルとフォントを更新します。

   次の例は、要件に応じて更新できる PDF を示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同じプロセスを使用して、ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、演習、または危機イベントの PDF を更新できます。

注:

管理者は、インスタンスの [すべてのドキュメントテンプレート] に移動して、 BCM アプリケーションで提供されるドキュメントテンプレートを表示できます。

編集および入力可能な PDF テンプレートを使用して、PDF を書式設定することもできます。PDF のカスタマイズに使用できる PDF ドキュメントテンプレートの詳細については、「Configure a PDF document template」を参照してください。

4. PDF を保存します。
   PDF を保存すると後で参照できます。

360 度のリレーションシップレジストリとビューの構成

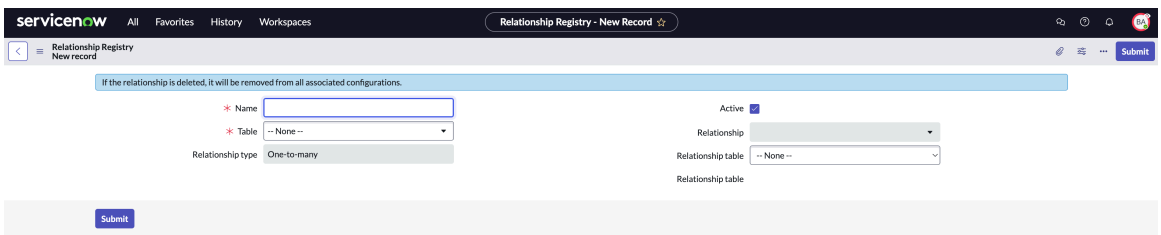
sn_bcm.admin ロールで、360 度ビューの構成を設定します。

始める前に

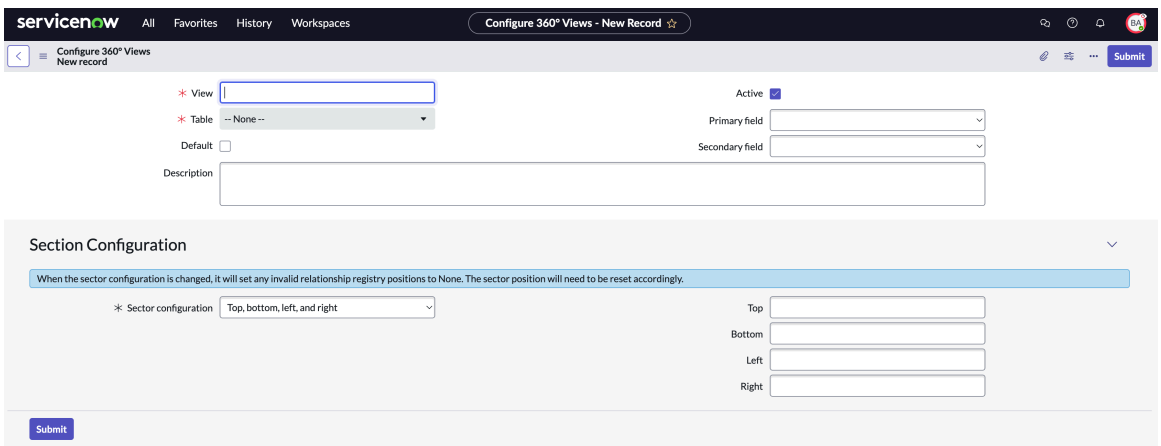
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 すべて > **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成.
2. レコードの関係を設定するには、次の場所に移動します。 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.
   次の例のようなフォームが表示されます。



3. **[Update** (更新)] を選択します。
4. レコードの 360 度ビューを構成するには、次に移動します。 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成.
   次の例のようなフォームが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [更新] を選択します。
   360 度ビュー構成の詳細については、「360 度ビューを構成する」を参照してください。

Everbridge 通知のセットアップ

セットアップ手順は、Everbridge 通知システム との一貫した接続と正常な通知配信ワークフローの確立に役立ちます。BCM 管理者とアプリケーションユーザーは、BCM UIB ワークスペース で緊急通知を設定できるように、特定の前提条件データを構成する必要があります。

緊急通知を送信し、通知ワークフローを監視するには、次の前提条件構成を設定する必要があります。

- 接続を作成し、Everbridge で資格情報を認証するには、「Everbridge での接続の作成および資格情報の認証」を参照してください。
- Everbridge から連絡先の配信の詳細を取得し、それらを使用して通知を送信するには、「Everbridge からの配送チャネルのインポート」を参照してください。
- Everbridge から連絡先のタイプの詳細を取得するには、「Everbridge からのレコードタイプのインポート」を参照してください。
- 連絡先にメールまたは SMS を送信するように通知テンプレートを事前設定するには、「緊急通知のテンプレートの作成」を参照してください。
- 通知を送信するための連絡先を作成するには、「緊急通知の連絡先の作成」を参照してください。
- ユーザーテーブルから連絡先をフィルタリングするルールを設定するには、「連絡先インポートルールの作成」を参照してください。
- 連絡先のグループを作成するには、「通知連絡先グループの作成」を参照してください。

さまざまなセットアップ手順が統合にどのように接続されるかを示すフロー図は、次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急通知のセットアップフロー



Everbridge での接続の作成および資格情報の認証

接続を確立し、Everbridge インスタンスを使用してログイン資格情報を認証します。そうすることで、配送チャネルを使用して通知を送信できます。この接続は、Everbridge インスタンスとの通信を送受信するために役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 接続および資格情報エイリアス.
2. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「接続および資格情報フォームを作成」を参照してください。
4. [作成] を選択します。
   Everbridge インスタンスとの通信を送受信するための接続が確立されます。

接続および資格情報フォームを作成

[接続と資格情報を作成] フォームを使用して、接続を確立し、Everbridge インスタンスでログイン資格情報を認証します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

接続および資格情報フォームを作成

接続および資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続名	接続の名前。「エバーブリッジ接続」と入力します。
接続 URL	Everbridge の API ベースアドレス。
組織 ID	Everbridge の組織 ID。 **注:** 組織 ID は Everbridge インスタンスから取得できます。
インシデントテンプレート ID	Everbridge インシデントテンプレートの一意の ID。 **注:** ID は Everbridge インスタンスから取得できます。
資格情報名	Everbridge 資格情報の名前です。
ユーザー名	Everbridge の API ユーザーのユーザー名。
パスワード	接続を検証して確立するためのパスワード。

Everbridge からの配送チャネルのインポート

Everbridge インスタンスから配送チャネルをインポートします。そうすることで、配信チャネルを介して簡単に通知を送信できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
危機の発生時に、ステークホルダーとの連絡に関する問題に直面する可能性があります。ステークホルダーが使う配信方法が変わっているために、通知が到達しない可能性があります。連絡先と選択したグループに到達するための配信チャネルをインポートすると、より簡単かつ管理しやすい方法で通知を送信できます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 配送チャネル.
2. [インポート] を選択します。
   すべての配送チャネルが Everbridge インスタンスから正常にインポートされます。通知が成功すると、Everbridge から確認のメッセージが届きます。

Everbridge からのレコードタイプのインポート

組織 ID のレコードタイプを Everbridge からインポートし、それを使用して通知対象の連絡先を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
レコードタイプは、Everbridge に保存される情報であり、通知対象の連絡先を作成するために必要です。

手順
1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジ通知の構成 > レコードタイプ.
2. [インポート] を選択します。
   カテゴリを持つ組織 ID のレコードタイプが Everbridge インスタンスからインポートされます。
   レコードタイプがインポートされていない場合、エラーメッセージが表示されることがあります。

緊急通知のテンプレートの作成

事前定義済みの情報を使用してテンプレートを作成します。これを使用して、緊急時にユーザーに通知を送信できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
メールのドラフトを使用してサンプルテンプレートを定義できます。サンプルテンプレートには、特定の事業所や施設に影響を与える可能性がある特定の緊急の危機に関する通知形式を含めることができます。

手順
1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 通知テンプレート.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[通知テンプレート] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[通知テンプレート] フォーム

[通知テンプレート] フォームを使用して、通知を送信するための事前定義済み情報を含むテンプレートを作成します。

[通知テンプレート] フォーム

[通知テンプレート] フォーム

フィールド	説明
名前	通知テンプレートの名前。
説明	テンプレートの目的に関する簡単なメモ。
配送チャネル	通知の送信に使用する通信チャネル。
件名	通知のタイトル。
メッセージ本文	通知の導入テキストメッセージ。
脚注	通知の終結メッセージまたは脚注。
SMS テキスト	SMS を介して送信されるテキストメッセージ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急通知の連絡先の作成

緊急通知を送信する連絡先を手動で作成し、Everbridge インスタンスと同期します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

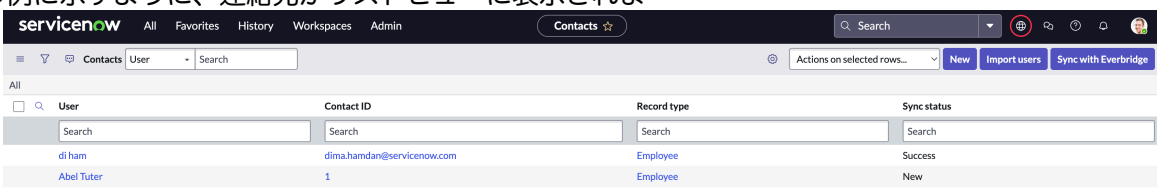
このタスクについて

ユーザーリストから連絡先を作成した後、連絡先を更新して Everbridge インスタンスと同期できます。

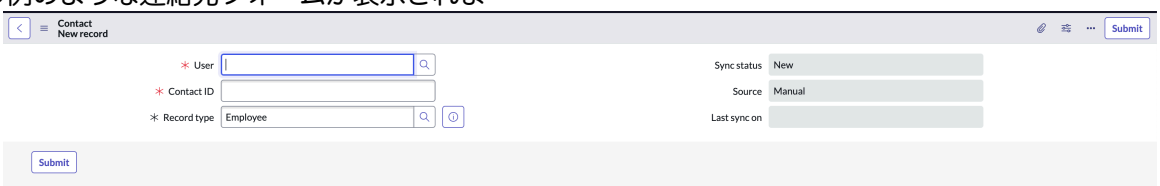
配送チャネルが Everbridge インスタンスから配送チャネルテーブルにインポートされます。インポートされた配送チャネルを使用することで、連絡先の配信の詳細を手動で作成することができます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 担当者.
   次の例に示すように、連絡先がリストビューに表示されます。



2. [新規] を選択します。
   次の例のような連絡先フォームが表示されます。



3. フォームのフィールドに入力します。

   手動で作成した連絡先をユーザーテーブルから削除できます。ただし、連絡先は [新規] ステータスである必要があります。参照されているユーザーレコードが削除されると、毎週実行されるスケジュール設定済みジョブによって連絡先テーブルから連絡先が削除されます。

   フィールドの詳細については、「[連絡先] フォーム」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

5. 連絡先同期ルールに基づいて連絡先をインポートするには、[ユーザーをインポート] ボタンを選択します。
   同期ルールを使用して連絡先をインポートするために、最初に必要な操作 - 連絡先インポートルールの作成。フォームページを更新して、インポートされたユーザーのリストを取得します。

   [ユーザーをインポート] アクションは、連絡先同期ルールに基づいてユーザーテーブル [sys_user] を読み取り、連絡先テーブルにレコードを作成します。

6. 連絡先のリストを Everbridge のリストと同期するには、[エバーブリッジと同期] ボタンを選択します。
   連絡先が Everbridge と同期されると、同期アクションのステータスが [同期ステータス] フィールドに記録されます。Everbridge で正常に同期された連絡先の一意の ID は、連絡先テーブルに外部連絡先 **ID** として記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[連絡先] フォーム

[連絡先] フォームを使用して連絡先を手動で作成し、その連絡先を Everbridge と同期します。

[連絡先] フォーム

[連絡先] フォーム

フィールド	説明
ソース	連絡先のソース。 • ユーザーリストから手動で連絡先を作成した場合は [手動] です。 • 同期ルールを使用して連絡先を作成した場合は [同期ルール] です。
前回の同期日	連絡先が最後に Everbridge と同期された日付。
連絡先 ID	連絡先の一意の ID。
同期ステータス	連絡先が作成されたときの同期ステータス。連絡先の作成時のデフォルトは [新規] です。次のようなステータスもあります。 • 成功：連絡先が Everbridge と正常に同期された場合 • エラー：同期中にエラーが発生した場合 • 更新済み：連絡先または配信の詳細が変更された場合
ユーザー	ユーザーテーブル [sys_user] からのユーザー参照。
外部連絡先 ID	Everbridge 内の連絡先 ID。
同期エラー	連絡先と Everbridge の同期中に発生したエラー。

連絡先インポートルールの作成

ユーザーテーブルに適用する連絡先インポートルールを作成します。そうすることで、緊急通知の連絡先にするユーザーを抽出できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
連絡先インポートルールを適用するデフォルトのテーブルが、ユーザーテーブル [sys_user] に適用されます。ユーザーテーブルの sys_id と、連絡先テーブルの一意の連絡先 ID がマッピングされます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 連絡先インポートルール.
2. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「[連絡先インポートルール] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

[連絡先インポートルール] フォーム

[連絡先インポートルール] フォームを使用して、ユーザーテーブルに適用できる連絡先インポートルールを作成します。

[連絡先インポートルール] フォーム

フィールド	説明
名前	インポートルールの名前。
テーブル	ルールのユーザーテーブル [sys_user]。
フィルター条件	レコードをフィルタリングするためにユーザーテーブルに適用される条件。
レコード タイプ	レコードタイプのデフォルトカテゴリ。
ユーザーマッピング	ユーザーテーブルからの一意のユーザー参照。
連絡先 ID マッピング	Everbridge との同期に使用される各連絡先の一意の ID。

通知連絡先グループの作成

Now Platform のグループを使用して通知連絡先グループを作成します。グループメンバーを緊急通知の連絡先として使用します。グループメンバーを連絡先として Everbridge と同期し、同期されていないメンバーを例外として追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 通知連絡先グループ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   詳細については、「[通知連絡先グループ] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。
5. グループを Everbridge のグループと同期するには、[グループをエバーブリッジに同期] を選択します。
   ページを更新して、グループの同期ステータスを取得します。

   グループが Everbridge と同期されなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
6. Everbridge と同期されなかったグループメンバーの名前を表示するには、[グループユーザー例外] 関連リストを選択します。

Example:
1 つのグループに 5 人のメンバーがいて、そのうちの 4 人が既に Everbridge と既に同期され、連絡先として存在しています。グループを同期すると、4 人の同期されたグループメンバーを含むグループが Everbridge に作成されます。ただし、同期されていない 1 人のメンバーは、例外としてログ記録され、同期に失敗した理由に関するメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最初にこの特定の連絡先を同期してから、グループを Everbridge と同期させることができます。

[通知連絡先グループ] フォーム

[通知連絡先グループ] フォームを使用して、通知連絡先グループを作成します。

[通知連絡先グループ] フォーム

[通知連絡先グループ] フォーム

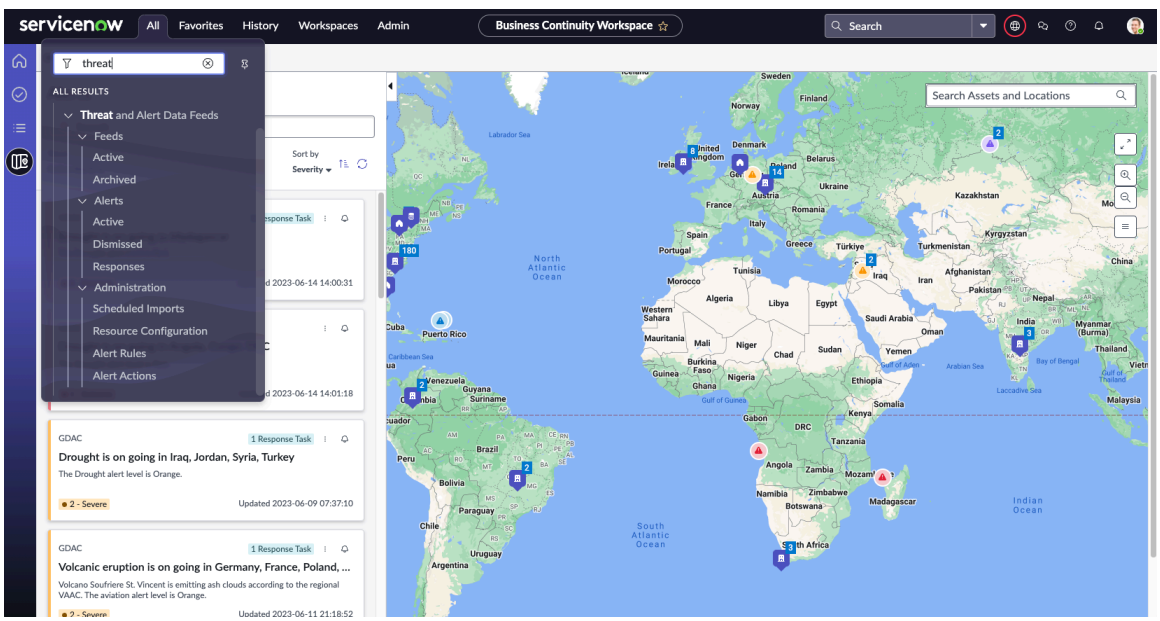
フィールド	説明
グループ	ユーザーグループテーブルへの参照。
同期ステータス	グループの同期ステータス。グループの作成時のデフォルトは [新規] です。 • 成功：連絡先グループが Everbridge と正常に同期されました。 • エラー：同期中にエラーが発生した場合 • 更新：連絡先グループが変更された場合
前回の同期日	グループが最後に Everbridge と同期された日付。

クライシスマップのセットアップ

BCM 管理者は、クライシスマップ インターフェイスを設定するための管理タスクを実行できます。

BCM 管理者は クライシスマップ で、脅威アラートとデータフィードを設定するための管理タスクを実行できます。管理タスクは、次の例に示すように、[脅威とアラートのデータフィード] モジュールの [管理] に表示されます。

注:
危機マップ機能を有効にする前に、Maps API を購入して設定 Google していることを確認してください。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

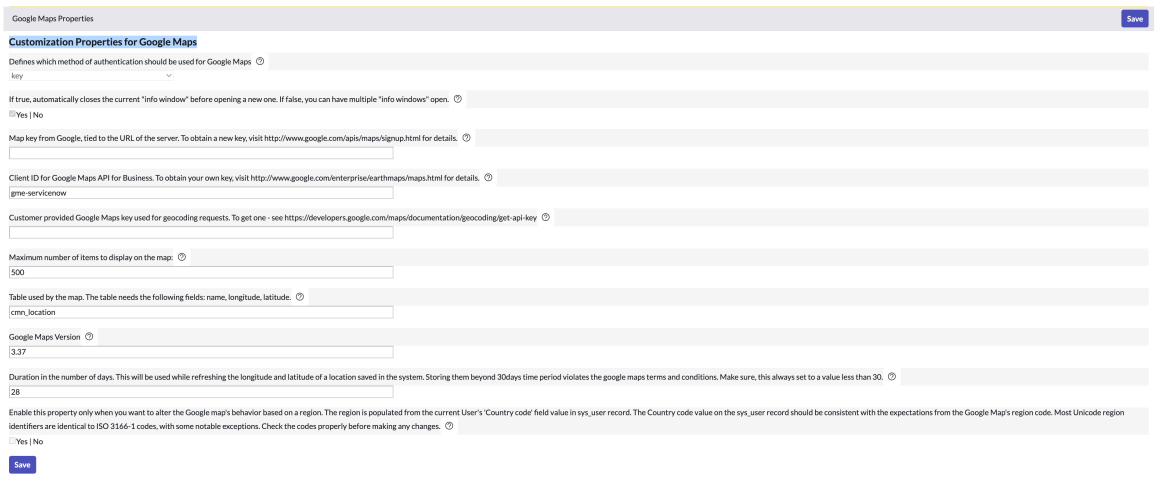
BCM 管理者ロールを持っている場合は、次の管理タスクを実行して クライシスマップ を設定します。

- インポートスケジュール：危機マップアプリケーションのスケジュール設定済みデータインポートレコードを構成します。詳細については、「スケジュール設定済みデータインポートレコードを構成する」を参照してください。
- リソース構成：Crisis Map アプリケーションのリソース構成レコードを構成します。詳細については、「危機マップのリソース構成レコードの構成」を参照してください。
- アラートルール：危機マップでのアラートルールを構成して、フィードをアラートとしてダッシュボードに表示できる条件を指定できるようにします。詳細については、「危機マップでのアラートルールの設定」を参照してください。
- アラートアクション：Crisis Map アプリケーションの UIB ワークスペース でアラートアクションを設定します。詳細については、「危機マップでのアラートアクションの設定」を参照してください。

マップの **Google** カスタマイズプロパティ

クライシスマップアプリケーションユーザーは、Google マップのプロパティモジュールでマップのGoogleカスタマイズプロパティを設定できます。

アプリケーションで **Google** マップのプロパティ モジュール クライシスマップ を選択できる場合は、次の例に示すようにカスタマイズプロパティを表示できます。



プロパティの詳細については、「」を参照してください マップの Google カスタマイズプロパティテーブル。

マップの **Google** カスタマイズプロパティテーブル

マップのカスタマイズプロパティについては、次のGoogle「マップのプロパティ」のGoogle表で説明されています。

マップの **Google** カスタマイズプロパティ

名前	説明
Google Maps に使用する認証手法を定義します google.maps.method	• タイプ:選択リスト (クライアント ID、キー) • デフォルト値:キー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップの **Google** カスタマイズプロパティ (続く)

名前	説明
true の場合、新しい「情報ウィンドウ」を開く前に、現在の「情報」ウィンドウが自動的に閉じます。false の場合、複数の「情報ウィンドウ」を開くことができます。 google.maps.auto_close	• タイプ：yes または no • True に設定すると、新しいウィンドウが開く前に現在の情報ウィンドウが自動的に閉じます。
サーバーの URL と結合された、Google からのマップ キー。新しいキーを取得するには、http://www.google.com/apis/maps/signup.html で詳細を参照してください。 google.maps.key	**注:** Fam-map コンポーネントは、認証に設定されたキー (google.maps.key) とクライアント ID (google.maps.client) を使用します。キーまたはクライアント ID のいずれかのオプションを使用する必要があります。
Google Maps API for Business のクライアント ID。独自のキーを取得するには、http://www.google.com/enterprise/earthmaps/maps.html で詳細を参照してください。 google.maps.client	• サーバーの URL と結合された、Google からのマップ キー。 • デフォルト値: gme-servicenow
ジオコーディング要求に使用する Google Maps キーを顧客が提供しました。入手するには-https://developers.google.com/maps/documentation/geocoding/get-api-key を参照してください google.maps.key.ジオコーディング	• ジオコーディング要求に使用される Google Map キー。 • デフォルト値：なし
マップに表示する最大項目数 google.maps.max_items	• マップに表示する最大項目数。 • デフォルト値：500
マップが使用するテーブル。テーブルには、名前、経度、緯度のフィールドが必要です。 google.maps.table	• マップが使用するテーブル。 • デフォルト値:cmn_location
Google Map バージョン google.maps.version	• Google Map バージョン • デフォルト値:3.37
日数で表した期間。これは、システムに保存されている場所の経度と緯度を更新するときに使用されます。30日の期間を超えて保存すると、Googleマップの利用規約に違反します。これは常に 30 未満の値に設定されるようにしてください。	• 日数で表した期間。 • デフォルト値：28

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップの **Google** カスタマイズプロパティ (続く)

名前	説明
google.maps.refresh.latlong.duration	
このプロパティは、地域に基づいて Google マップの動作を変更する場合にのみ有効にします。地域は、sys_user レコードの現在のユーザーの [国コード] フィールド値から入力されます。sys_user レコードの国コード値は、Google Map の地域コードから推測される値と一致している必要があります。ほとんどの Unicode 地域識別子は ISO 3166-1 コードと同じですが、いくつかの例外があります。変更を加える前にコードを適切に確認してください。(Enable this property only when you want to alter the Google map's behavior based on a region. The region is populated from the current User's 'Country code' field value in sys_user record. The Country code value on the sys_user record should be consistent with the expectations from the Google Map's region code. Most Unicode region identifiers are identical to ISO 3166-1 codes, with some notable exceptions. Check the codes properly before making any changes.)] google.maps.localization.region.enable	• 地域に基づいてマップの動作を変更する場合は、 Google このプロパティを有効にします。 • タイプ：yes または no

Google の **Fam-map** コンポーネントで使用されるマップ **API** クライシスマップ

の クライシスマップ Fam-map コンポーネントは、さまざまな Google マップ API を利用して、インタラクティブなマッピング機能を提供します。このセクションでは、 Google Fam-map コンポーネントに統合されている Maps API とその使用情報を示します。

マップ - 動的マップ **JavaScript API**

マップ - 動的マップ **JavaScript API**

製品	説明	ライブラリー
マップ JavaScript API	ファムマップコンポーネントは、ダイナミックマップ JavaScript API に依存してダイナミックマップをロードします。この API を使用すると、マップを動的に作成および操作できます。また、コンポーネントのインタラクティブ機能の基盤も提供します。 詳細なドキュメントと価格情報については、を参照してください https://	@googlemaps/js-api-loader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ - 動的マップ **JavaScript API** (続く)

製品	説明	ライブラリー
	developers.google.com/maps/documentation/javascript 。	

機能とモジュール

さまざまな機能	モジュール	デフォルト	使用法
マーカー	google.maps.Marker	有効	基本
マーカークラスター	@googlemaps/markerclusterer	有効	基本
カスタムオーバーレイビュー	google.maps.OverlayView	有効	基本
ポリライン	google.maps.Polyline	有効	基本
多角形	google.maps.Polygon	有効	基本
サークル	google.maps.circle	有効	基本
四角 形	google.maps.Rectangle	有効	基本
FeatureStyleFunction	google.maps.FeatureStyleFunctionOptions	無効	基本
マップ スタイルのカスタマイズ	featureType、elementType、およびスタイラーで使用可能なすべての値のリストについては、「」を参照してくださいhttps://developers.google.com/maps/documentation/javascript/style-reference 。	有効	基本

マップのプロパティ

名前	説明	**Type** (タイプ)	必須
mapProperties	ロード時に設定する Google マップのプロパティ	アレイ	いいえ

場所のプロパティ

製品	説明	モジュール	デフォルト	使用法
近くの検索	請求は、ユーザーが使用するフィールドによって異なります。	google.maps.placesPlacesService(mapRef).近く検索	無効	基本

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

場所のプロパティ (続く)

製品	説明	モジュール	デフォルト	使用法
場所の詳細	請求は、ユーザーが使用するフィールドによって異なります。	google.maps.places	無効	PlacesService	基本
オートコンプリート:要求ごと +	オートコンプリート – 要求ごとの SKU は、セッション トークンを含まない次の呼び出しまたは要求に対して課金されます。JavaScript:マップ JavaScript API の場所オートコンプリート サービス	google.maps.places	無効	AutocompleteService	基本	().getQueryPredictions({input: language})

注:
Geo-map コンポーネントでのプロパティとハンドラーの使用方法の詳細については、Geo-map の Readme ファイルを参照してください。Geo-map コンポーネントの Maps API の詳細については Google 、KB 記事「 KB1588661

スケジュール設定済みデータインポートレコードを構成する

Crisis Map アプリケーションのスケジュール設定済みデータインポートレコードを構成します。その後、UIB ワークスペースで内部または外部ソースから脅威フィードへのサブスクリプションを管理できます。

始める前に
必要なロール：admin

危機マップ機能を有効にするには、Google マップを設定する必要があります。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

このタスクについて
脅威フィードは、組織のセキュリティに対する潜在的な脅威または現在の脅威に関する状況認識を提供します。脅威アラートには、天気アラート、パンデミックアラート、地政学的状況、またはセキュリティインシデントやシステム停止などの内部イベントが含まれます。

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > スケジュール済みインポート.
   ベースシステム内には、次の 2 つのスケジュール設定済みデータインポートが存在します。

名前	データソース
GDAC フィードソース	GDAC フィード
Weather.gov の重大なアラートのインポートスケジュール	Weather.gov アラート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 新しいスケジュール設定済みデータインポートを追加するには、[新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   スケジュール設定済みデータインポートの詳細については、「[スケジュール設定済みデータインポート] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
データインポートレコードが [スケジュール設定済みデータインポート] レコードページに表示されます。

[スケジュール設定済みデータインポート] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [スケジュール設定済みデータインポート] フォームを使用して、スケジュールされているデータインポートレコードに関する詳細を追加します。

[スケジュール設定済みデータインポート] フォーム

フィールド	説明
名前	インポートスケジュールの名前。通常、ソースは名前です。
データソース	インポートに使用される脅威およびアラートデータの内部または外部ソース。
実行方法	脅威アラートをインポートする権限を持つユーザー。
有効	アラートをアクティブとして有効にするためのオプション。
アプリケーション	Read-onlyフィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
実行	データがインポートされる頻度。
時刻	データインポートの時間 (時間、分、秒)。
条件付き	脅威アラートのインポートに条件付きスクリプトが必要かどうかを示すオプション。
同時インポート	同時インポートを有効にするオプション。
インポート前処理スクリプトの実行	インポート前処理スクリプトの実行を有効にするオプション。
インポート後処理スクリプトの実行	インポート後処理スクリプトの実行を有効にするオプション。

危機マップのリソース構成レコードの構成

UIB ワークスペース で、Crisis Map アプリケーションのリソース構成レコードを構成します。そうすることで、組織の資産を危機マップにプロットできます。資産には、場所、従業員、データセンター、サプライヤーなどがあります。リソースの設定は、アラートルールを設定するための入力としても必要です。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

危機マップ機能を有効にするには、Google マップを設定します。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > リソース構成.
2. 新しいリソース構成レコードを追加するには、[新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   [リソース構成] フォームの詳細については、「[リソース構成] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果

リソースが [リソース構成] レコードページに表示されます。

[リソース構成] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [リソース構成] フォームを使用して、リソース構成レコードの詳細を追加します。

[リソース構成] フォーム

フィールド	説明
名前	マップのビジュアル化で使用されるリソース構成の名前。
アイコン	マップ上のリソースアイテムを表す画像。
テーブル	マップ上にプロットするリソースのテーブル。
場所フィールド	マップ上の場所として使用されるテーブルの [場所] 列。
座標を使用	位置情報マップにリソースをプロットできるようにするためのオプション。
アプリケーション	Read-onlyフィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
アクティブ	リソース構成がアクティブであることを示すオプション。
順序	レコードの順序。
カテゴリ	レコードのカテゴリ。値は **[BCM]** です。複数のアプリケーションがコンポーネントを使用する場合に、BCM 関連のリソースを識別するのに役立ちます。
検索可能	マップのビジュアル化でリソースが検索可能かどうかを示すオプション。
連絡先ユーザーフィールド	フォーカスされているリソースに関するコミュニケーションの連絡先。
連絡先エイリアス	識別のための連絡先。
表示フィールド	連絡先として表示するために選択されたフィールド。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース構成] フォーム (続く)

フィールド	説明
条件	テーブルからのレコードをフィルタリングするための条件。

危機マップでのアラートルールの設定

危機マップでのアラートルールを構成して、フィードをアラートとしてダッシュボードに表示できる条件を指定できるようにします。アラートが無効になる条件を指定して、ダッシュボードから消すこともできます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > アラートルール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   [アラートルール] フォームの詳細については、「[アラートルール] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
アラートルールが [アラートルール] レコードページに表示されます。

[アラートルール] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [アラートルール] フォームを使用して、アラートルールの詳細を追加します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[アラートルール] フォーム

フィールド	説明
名前	アラートルールの名前。
順序	アラートルールの表示順序。デフォルトでは 100 です。
アプリケーション	Read-onlyフィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
カテゴリ	レコードのカテゴリ。値は **[BCM]** です。複数のアプリケーションがコンポーネントを使用する場合に、BCM 関連のリソースを識別するのに役立ちます。
アクティブ	ルールをアクティブに設定するオプション。
説明	アラートに関する詳細。
条件を作成	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アラートルール] フォーム (続く)

フィールド	説明
リソースが影響を受けるかどうか	リソースが影響を受ける場合にアラートルールを有効にするオプション。
詳細	アラートルールの条件スクリプトを使用して詳細フィルタールールを有効にするためのオプション。
影響領域の最適化	マップエリアを最適化するかどうかを示すオプション。最適なパフォーマンスを得るには、このチェックボックスをオンにします。
最初の一致で停止	最初の一致で条件を停止するオプション。
フィード条件	設定されたルールに基づいてアラートをフィルタリングするための条件。これらのフィルター条件を使用して、フィードアラートのルールを設定します。フィルター条件を設定すると、登録したフィードリソースからの数千のフィードから、事業所にとって重要なアラートをフィルタリングできます。事業所には、企業のオフィス、従業員の場所、データセンター、サプライヤーなどがあります。 フィード条件 
詳細条件スクリプト	詳細条件スクリプトの構成。このフィールドは、[詳細] オプションが選択されている場合に表示されます。条件 (アクティブなアラートなど) に基づいてフィードをフィルタリングするスクリプトを入力します。詳細ルールオプションを使用して、条件スクリプトでフィルタールールを設定します。たとえば、資産の場所への危機の近接度に基づいて条件を設定できます。ルールをアクティブにすることもできます。
条件の却下	
フィードが削除されたとき	フィードが削除された場合に、ダッシュボードからアラートを消す必要があることを示すオプション。
詳細	アラートルールの条件スクリプトを使用して詳細フィルタールールを有効にするためのオプション。
リソースへの影響がなくなったとき	影響を受けるリソースがない場合に、ダッシュボードからアラートを消す必要があることを示すオプション。
フィード条件	設定されたルールに基づいてアラートをフィルタリングするための条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アラートルール] フォーム (続く)

フィールド	説明
詳細条件スクリプト	詳細条件スクリプトの構成。このフィールドは、[詳細] オプションが選択されている場合に表示されます。条件 (アクティブなアラートなど) に基づいてフィードをフィルタリングするスクリプトを入力します。

危機マップでのアラートアクションの設定

UIB ワークスペース で、Crisis Map アプリケーションのアラートアクションを設定します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > アラートアクション.
   ベースシステム内で使用できるアラートアクションは次の 2 つです。

名前	説明
通知	影響半径内にいるステークホルダーと資産管理者にメール通知を送信するために使用されます。
危機を宣言	アラートと重要な資産の組み合わせを危機イベントとして宣言するために使用されます。

2. 新しいアラートアクションを追加するには、[新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[アラートアクション] フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。
   アラートアクションは、危機マップダッシュボードからフォローアップできます。

タスクの結果
アラートアクションが [アラートアクション] レコードページに表示されます。

[アラートアクション] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [アラートアクション] フォームを使用して、アラートアクションの詳細を追加します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[アラートアクション] フォーム

フィールド	説明
タイトル	アラートアクションのタイトル。
説明	アラートアクションの詳細な説明。
名前	危機マップダッシュボードのアクションの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アラートアクション] フォーム (続く)

フィールド	説明
アクション名	アラートアクションの一意の名前。
1 回実行	ダッシュボードからのアクションの 1 回以上の実行を示すオプション。
タイプ	実行するアクションのタイプ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • タスク • スクリプト • フロー
タスクタイプ	アラートアクションのタスクタイプ。たとえば、資産タスクやカタログタスクなどです。
アプリケーション	Read-only フィールド。このフィールドは、アクションの一般的なリストから危機管理に関連するアイテムをフィルタリングするためのフラグとして使用されます。
アクティブ	アラートアクションがアクティブであることを示すオプション。
順序	ダッシュボードでの表示順序。
自動的に実行	条件に基づいてアクションを自動的に実行できるようにするオプション。
ロール	タスクを正常に実行できるユーザーロール。
表示フィールド	アクションが実行された後に応答アクションに表示されるフィールド。
条件	アクションを実行する条件。
タスクスクリプト	ユーザーがダッシュボードのアクションのコントロールを選択したときに実行されるタスクスクリプト。

システム管理者によるセットアップ

システム管理者は、特定のセットアップタスクを実行して、事業継続性管理 アプリケーションを設定できます。

一般的な管理タスクを設定するには、前提条件データを構成する必要があります。ワークスペースを使用するさまざまなユーザー向けの事業継続性ワークスペースを設定するには、次の構成が必要です。

- 参照フィールドのレコードの数を更新するには、「参照フィールドのレコード数を更新する」を参照してください。
- 依存関係アセスメントの要素定義の数を更新するには、「依存関係アセスメントの要素定義の数を更新する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 事業継続性管理 (BCM) アプリケーションで承認構成を設定するには、「承認構成」を参照してください。
- BCM アプリケーションメニューオプションを参照するには、「事業継続性管理 ユーザー用のアプリケーションメニューオプション」を参照してください。

参照フィールドのレコード数を更新する

Business Continuity Management (BCM) ワークスペースの参照フィールドに表示されるレコードの数を更新します。*referenceFieldLoadLimit* システムプロパティを設定すると、グリッド構成ページの各参照フィールドに表示されるレコードの数を制御できます。

始める前に
必要なロール：admin

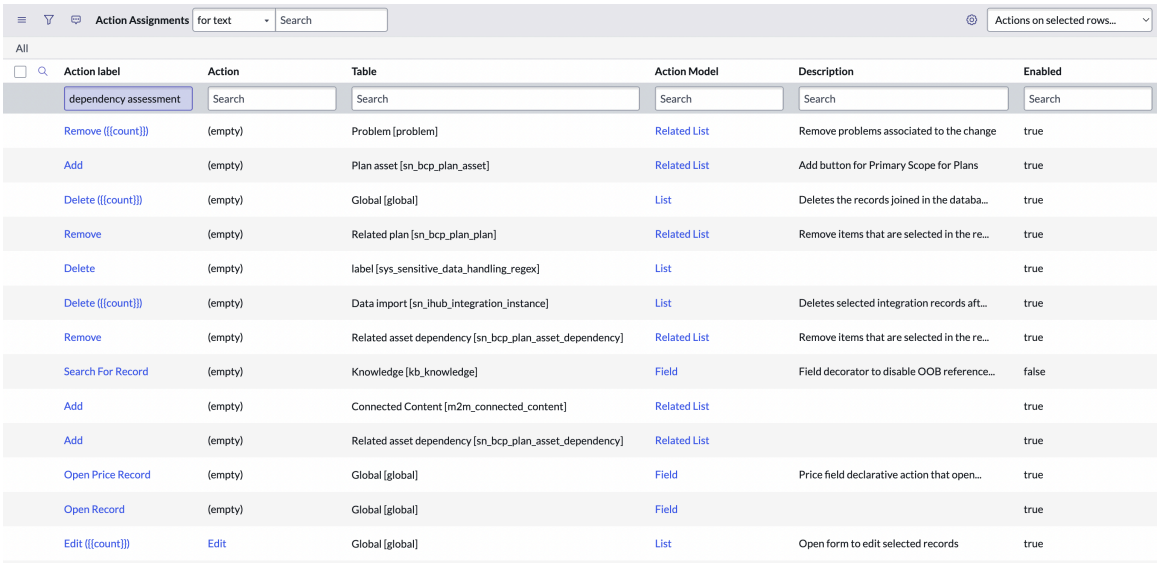
このタスクについて
次のタブで、参照フィールドの *referenceFieldLoadLimit* システムプロパティを設定できます。

- ビジネスインパクト分析の **[RTO** 影響度評価] タブ、**[RPO** 影響度評価] タブ、および [依存関係アセスメント] タブ
- [計画] の [復旧タスク] タブ
- [演習] の [影響度] タブと [イベントタスク] タブ

手順

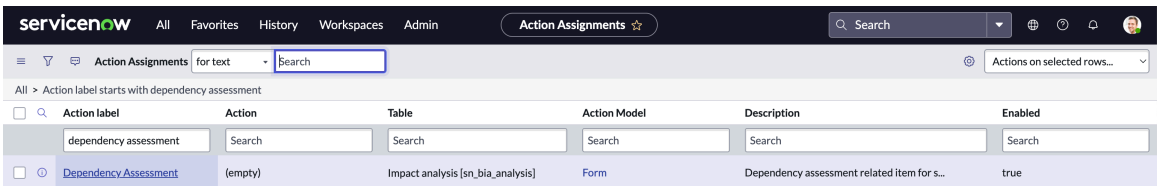
1. 移動先 すべて > **sys_declarative_action_assignment.**リスト BCMアプリケーションインスタンスで。

   次の例に示すように、[アクションのアサイン] テーブルのリストビューが表示されます。



2. [アクションラベル] 列にアセスメントアクションの名前を入力して、アセスメントを選択します。

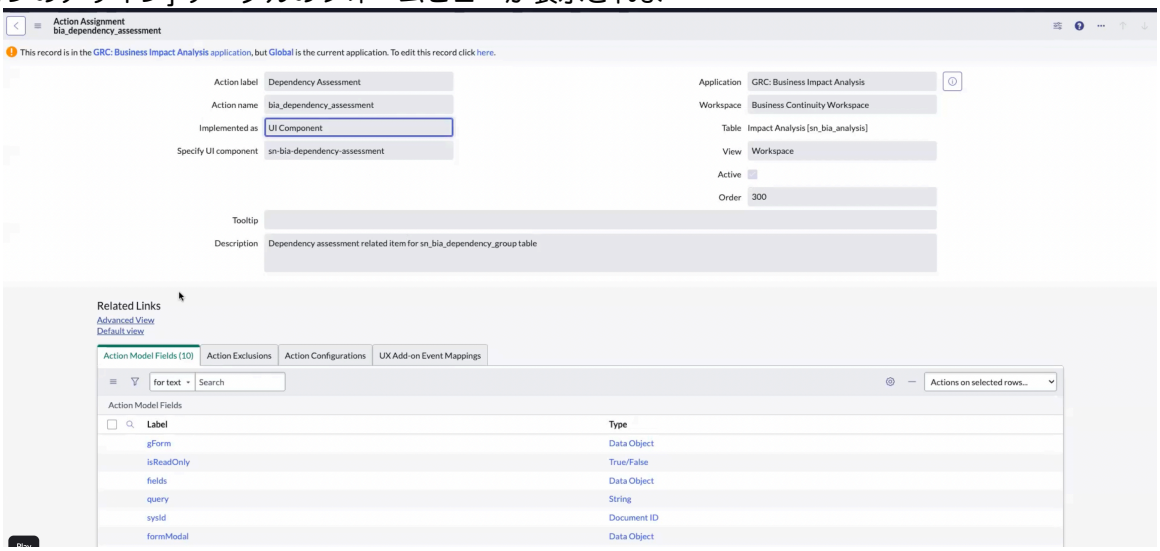
   次の例では、アセスメントのサンプルテキストの文字列が表示されています。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

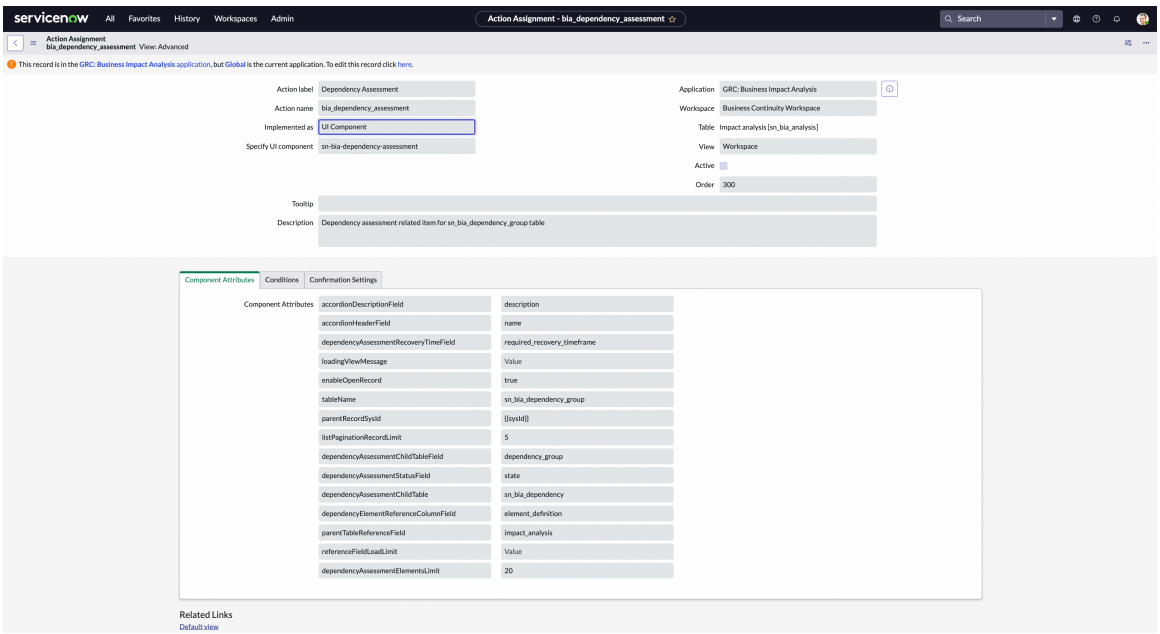
自動翻訳

アセスメントを選択すると、次の例に示すように、[アクションのアサイン] テーブルのフォームビューが表示されます。



3. [アクションのアサイン] テーブルのフォームビューで、[詳細ビュー]を選択します。

   [詳細ビュー]を選択すると、次の例に示すように、選択したアクションのプロパティが [コンポーネント属性] タブに表示されます。



   「このレコードを編集するにはここをクリックしてください。」という情報メッセージが画面に表示されます。

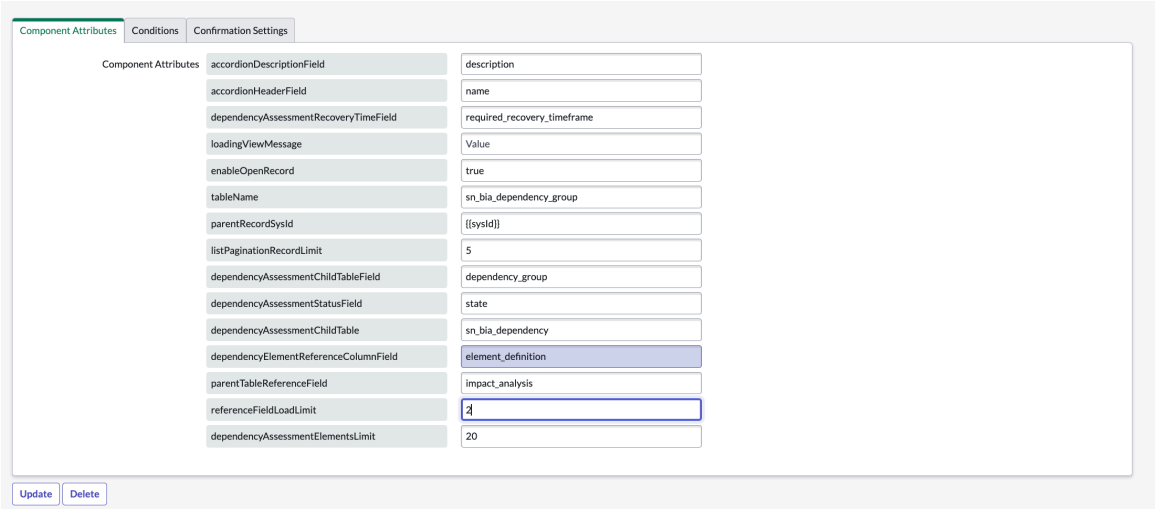
4. 選択したレコードの *referenceFieldLoadLimit* プロパティを更新するには、情報メッセージで [ここ] を選択します。

   referenceFieldLoadLimit プロパティを更新することで、グリッド構成ページのレコード数を制御できます。

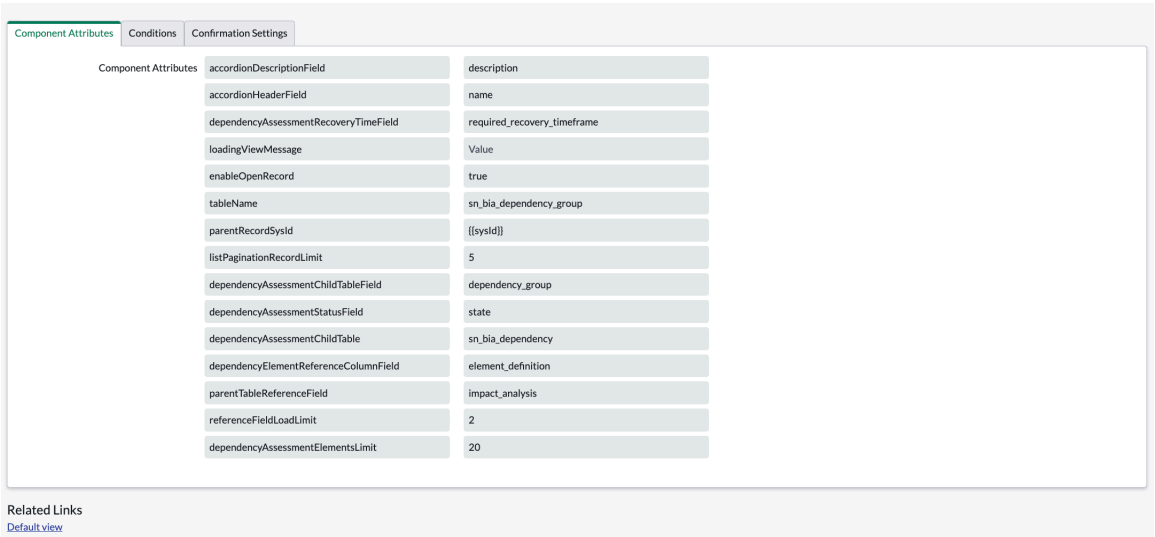
   次に、*referenceFieldLoadLimit* プロパティの構成例を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [更新] を選択します。
   選択したアセスメントの *referenceFieldLoadLimit* プロパティを次の例で示すように構成しまし

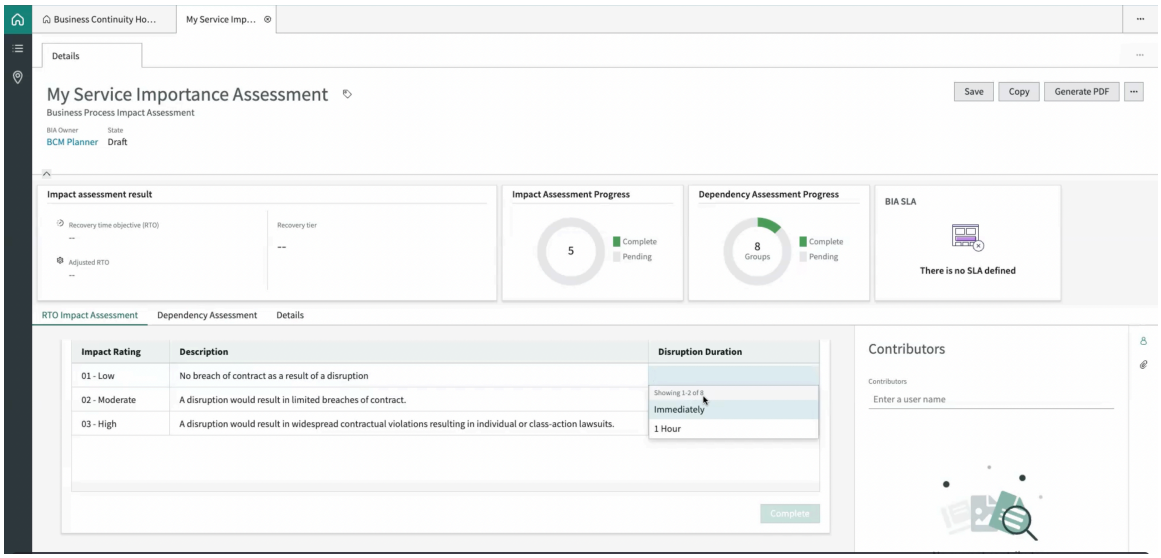


た。

> **注:**
> このタスクのコンテキストで概説したように、*referenceFieldLoadLimit* プロパティを設定して、さまざまなグリッド構成ページの参照フィールドの数を制御できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、**[RTO** 影響度評価] タブの [中断期間] フィールドで更新されたレコード数を示しています。



依存関係アセスメントの要素定義の数を更新する

Business Continuity Management (BCM) ワークスペース の [依存関係アセスメント] タブに表示される要素定義の数を更新します。*dependencyAssessmentElementsLimit* システムプロパティを構成して、ビジネスインパクト分析の依存関係アセスメントに使用される要素定義の数を制御できます。

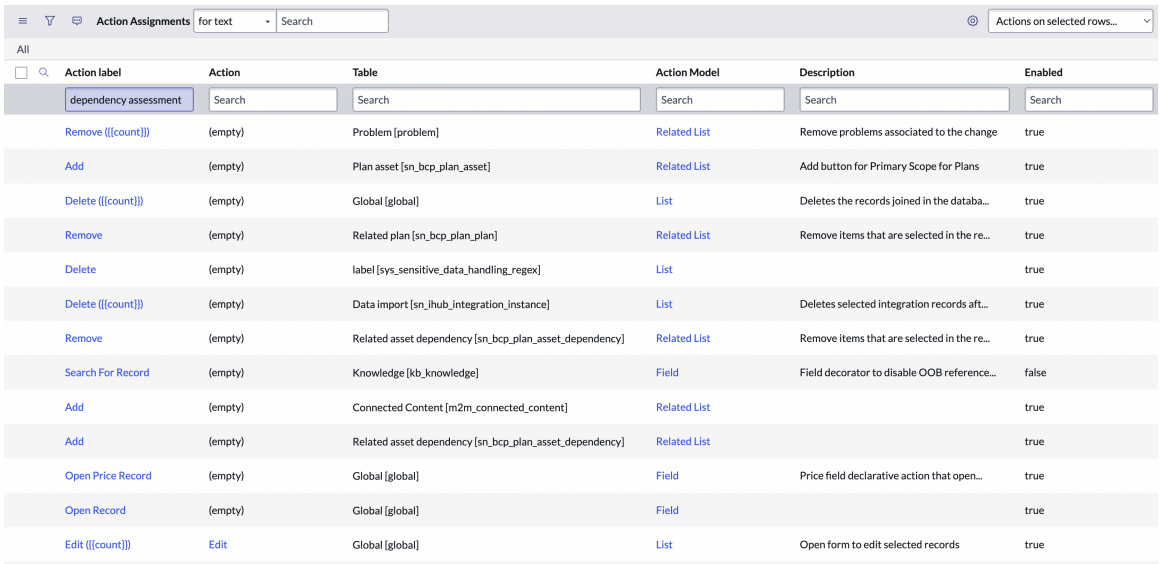
始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > **sys_declarative_action_assignment.**リスト BCMアプリケーションインスタンスで。

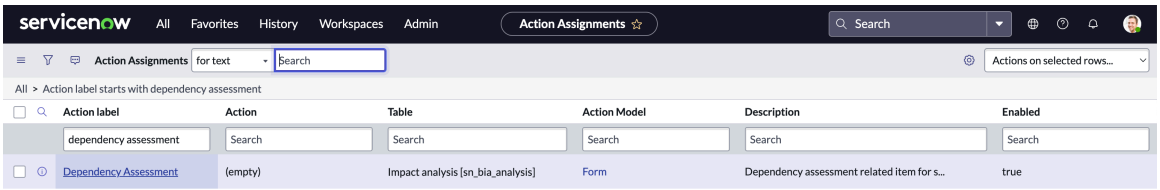
   次の例に示すように、[アクションのアサイン] テーブルのリストビューが表示されます。



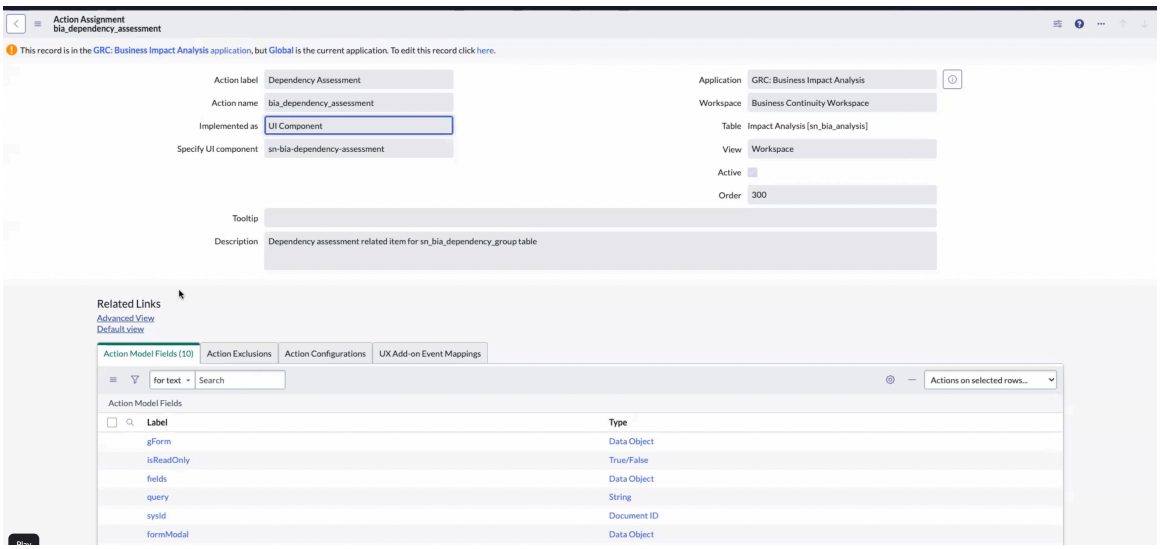
2. [アクションラベル] 列に [依存関係アセスメント] などのアセスメントの名前を入力して、アセスメントを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルテキストの文字列が次の例に表示されます。

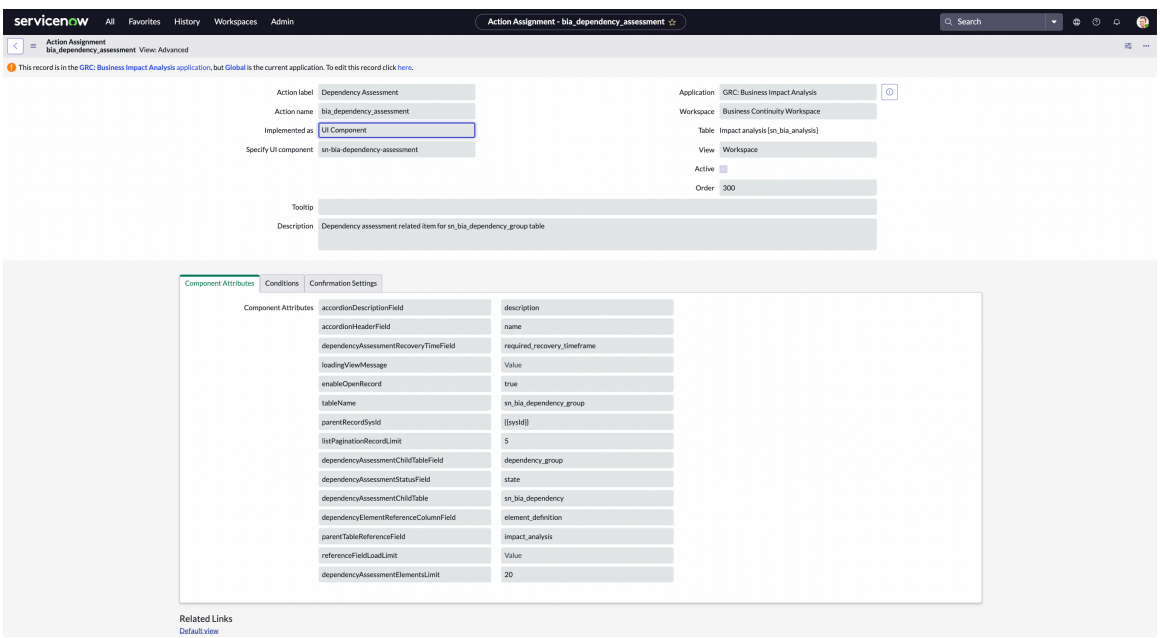


アセスメントを選択すると、次の例に示すように、[アクションのアサイン] テーブルのフォームビューが表示されます。



3. [アクションのアサイン] テーブルのフォームビューで、[詳細ビュー]を選択します。

[詳細ビュー]を選択すると、次の例に示すように、選択したアクションのプロパティが [コンポーネント属性] タブに表示されます。



「このレコードを編集するにはここをクリックしてください。」という情報メッセージが画面に表示されます。

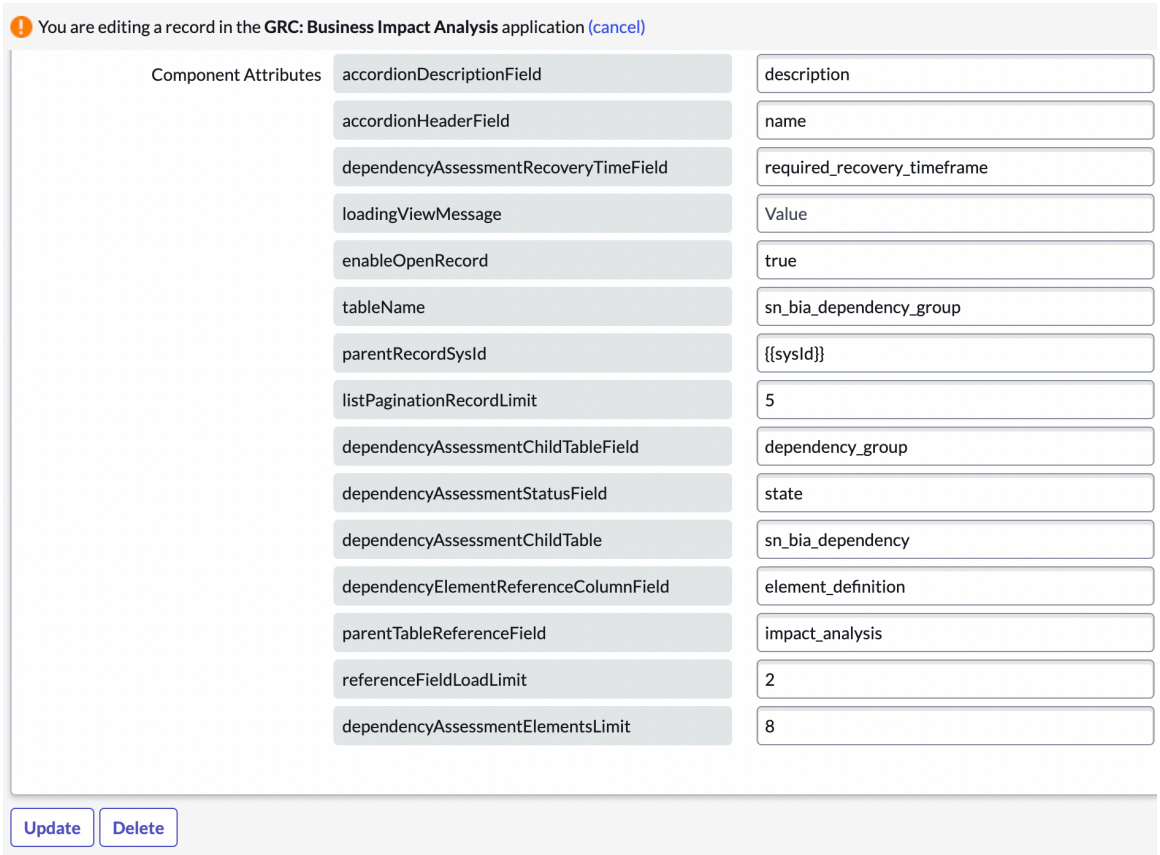
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. *dependencyAssessmentElementsLimit* プロパティを更新するには、情報メッセージで [ここ] を選択します。

   dependencyAssessmentElementsLimit プロパティを更新することで、依存関係アセスメントの要素定義の数をコントロールできます。

   次に、*dependencyAssessmentElementsLimit* プロパティの構成例を示します。

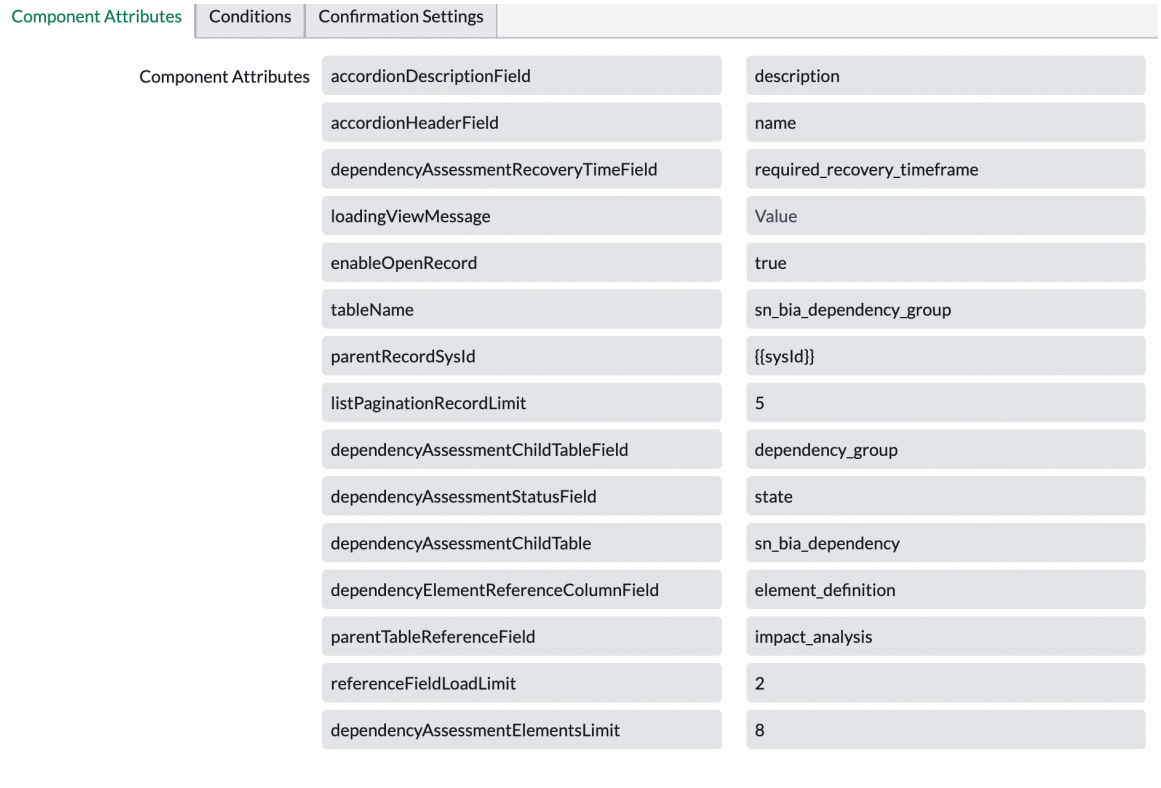


5. [更新] を選択します。

   dependencyAssessmentElementsLimit プロパティを次の例で示すように構成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



要素定義の更新された数は、[依存関係アセスメント] タブに表示されます。

事業継続性管理 ユーザー用のアプリケーションメニューオプション

次の表に、Business Continuity Management アプリケーションのメインユーザーが表示および移動できるアプリケーションメニューオプションを示します。

BCM アプリケーションメニューオプション

ユーザーロールの詳細については、インストールされるロールの表を参照してください。

	BCM 管理者	BCM 管理者は、[事業継続性] メニューからすべてのメニューオプションにアクセスできます。 • 事業継続性ワークスペース • Business Impact Analysis • 計画 • Crisis Management • BIA 構成 • 計画構成 • 全般管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	BCM プログラムマネージャー	BCM プログラムマネージャーは、次のメニューオプションを表示してアクセスできます。 • 事業継続性ワークスペース • インパクト分析を作成するには: 事業継続性 > **Business Impact Analysis** > 影響分析 • 計画を作成するには: 事業継続性 > 計画 > プラン • イベントを作成するには: 事業継続性 > **Crisis Management** > イベント
	BCM 計画者	BCM 計画者は、次のメニューオプションを表示してアクセスできます。 • 事業継続性ワークスペース • インパクト分析を作成するには: 事業継続性 > **Business Impact Analysis** > 影響分析 • 計画を作成するには: 事業継続性 > 計画 > プラン • イベントを作成するには: 事業継続性 > **Crisis Management** > イベント
	BCM ビューアー	ワークスペースを表示するには: 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース

UI ビルダー 用のセットアップ

UI ビルダー を使用して、BCM ワークスペース ページとコンポーネントを設定および拡張できます。

UI ビルダー について

UI ビルダー は、Next Experience コンポーネント とカスタム Web コンポーネント を使用するドラッグアンドドロップ式の Web ユーザーインターフェイスビルダーです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ワークスペース ページとコンポーネントを構築してカスタマイズするには、ui_builder_admin ロールが必要です。

インスタンスの UI ビルダー への移動

アプリケーションインスタンスでは、次の場所に移動できます。 すべての **> Now Experience** フレームワーク**> UI Builder** をクリックし、ホームページから UI ビルダー 作業するエクスペリエンスを選択します。

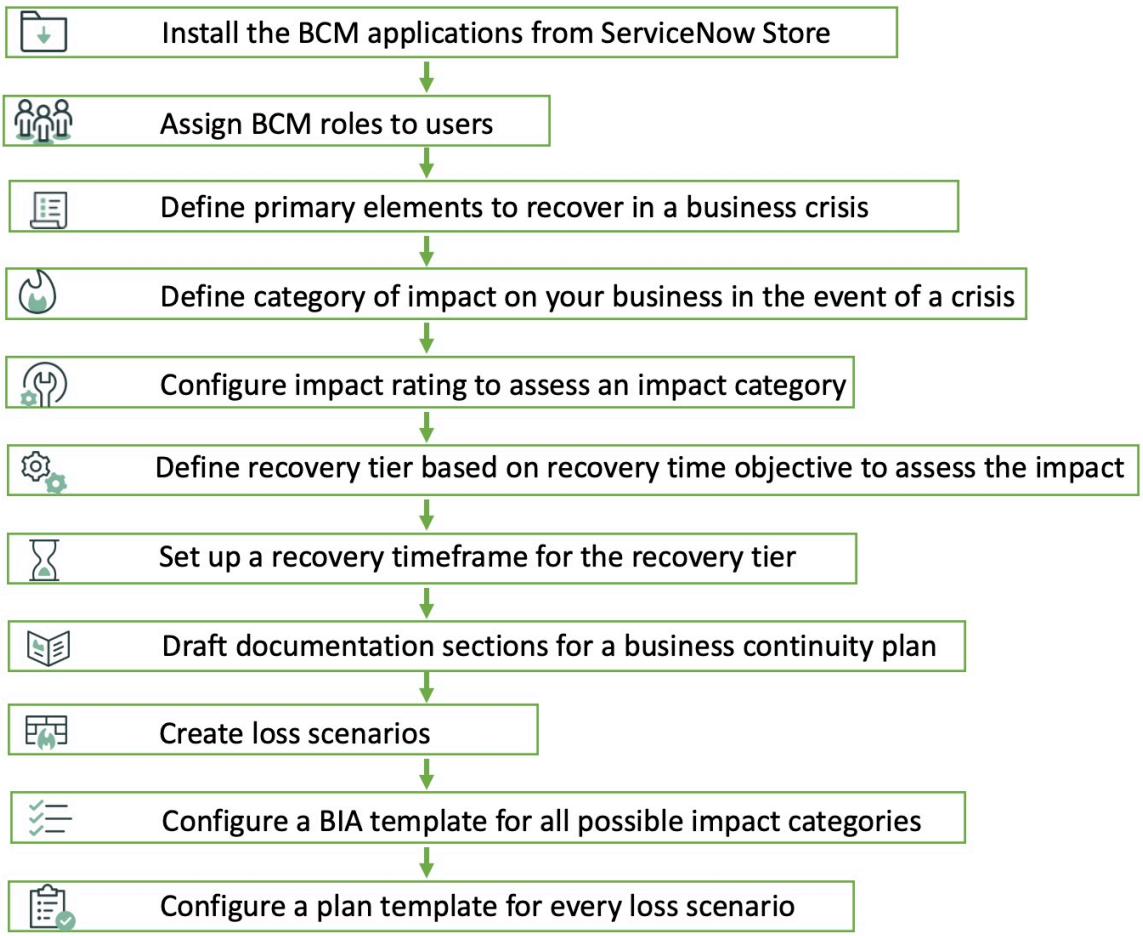
UI ビルダー の使用方法の詳細については、「UI Builder quick start」を参照してください。

事業継続性管理 の実装

事業継続性管理 アプリケーションチェックリストのステップに従って ServiceNow Store から 事業継続性管理 をダウンロードし、操作の準備をします。

チェックリストの実装ステップのフローを次に示します。

BCM 実装チェックリストのグラフィカルフローチャート



チェックリストに関する情報

*Graphical flowchart of BCM implementation checklist*に記載されている手順の詳細については、以下のセクションを参照してください。

- ServiceNow Store から 事業継続性管理 をインストールするには、「事業継続性管理からの ServiceNow Store のインストール」を参照してください。
- BCM ロールの詳細については、「Operational Resilience とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- フローチャートにリストされている管理セットアップの詳細については、「BCM の全般管理セットアップ」を参照してください。以下のタスクについては、このセクションを参照してください。
  - ビジネス危機から回復するための主要な要素を定義するには、「ビジネスインパクト分析の要素定義の構成」を参照してください。
  - 危機発生時のビジネスへの影響のカテゴリを定義するには、「ビジネスインパクト分析の影響度カテゴリの構成」を参照してください。
  - 影響度カテゴリを評価するための影響度評価を構成するには、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」を参照してください。
  - 目標復旧時間に基づいて復旧階層を定義して影響を評価するには、「ビジネスインパクト分析の復旧階層の構成」を参照してください。
  - 復旧階層の復旧の解決までの期限を設定するには、「復旧階層の復旧期間の設定」を参照してください。
  - 事業継続性計画のドキュメントセクションのドラフトを作成するには、「事業継続性計画のドキュメントセクションの構成」を参照してください。
  - 損失シナリオを作成するには、「事業継続性計画内の損失シナリオの設定」を参照してください。
- 影響度カテゴリの BIA テンプレートを構成するには、「ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートの構成」を参照してください。

  注:
  BCM UIB ワークスペースでビジネスインパクト分析を作成すると、BCM リードを BIA フォーム自体の分析にアサインできます。

- 損失シナリオの計画テンプレートを構成するには、「事業継続性計画の計画テンプレートの構成」を参照してください。

  注:
  BCM UIB ワークスペースで事業継続性計画を作成すると、BCM リードを BCP フォーム自体の分析にアサインできます。

[store-future: BEGIN review]

事業継続性管理 アプリケーションのセットアップ

事業継続性管理 (BCM) アプリケーションをセットアップして使用するには、特定の前提条件データを設定する必要があります。

BCM アプリケーションデータを構成すると、あらゆる種類の危機に必要なテンプレートをワークスペースに装備できます。アイテムや資産などの要素を定義し、影響度を分類し、復旧の階層レベルと期間を設定できます。BCM ユーザーは、ワークスペースでタスクを完了するために必要なすべての正しい最新のデータを見つけることができます。

ワークスペースを使用するさまざまなユーザー向けの事業継続性ワークスペースを設定するには、次の構成が必要です。

- スコープ対象の BCM アプリケーションに対するユーザーロールとアクセス制御の制限については、「Business Continuity Management とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
- 要素定義を設定するには、以下を参照してください。 の要素定義の構成 事業継続性管理.
- 影響度カテゴリを設定するには、次を参照してください の影響度カテゴリの構成 事業継続性管理.
- 影響度カテゴリの影響度評価を設定するには、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

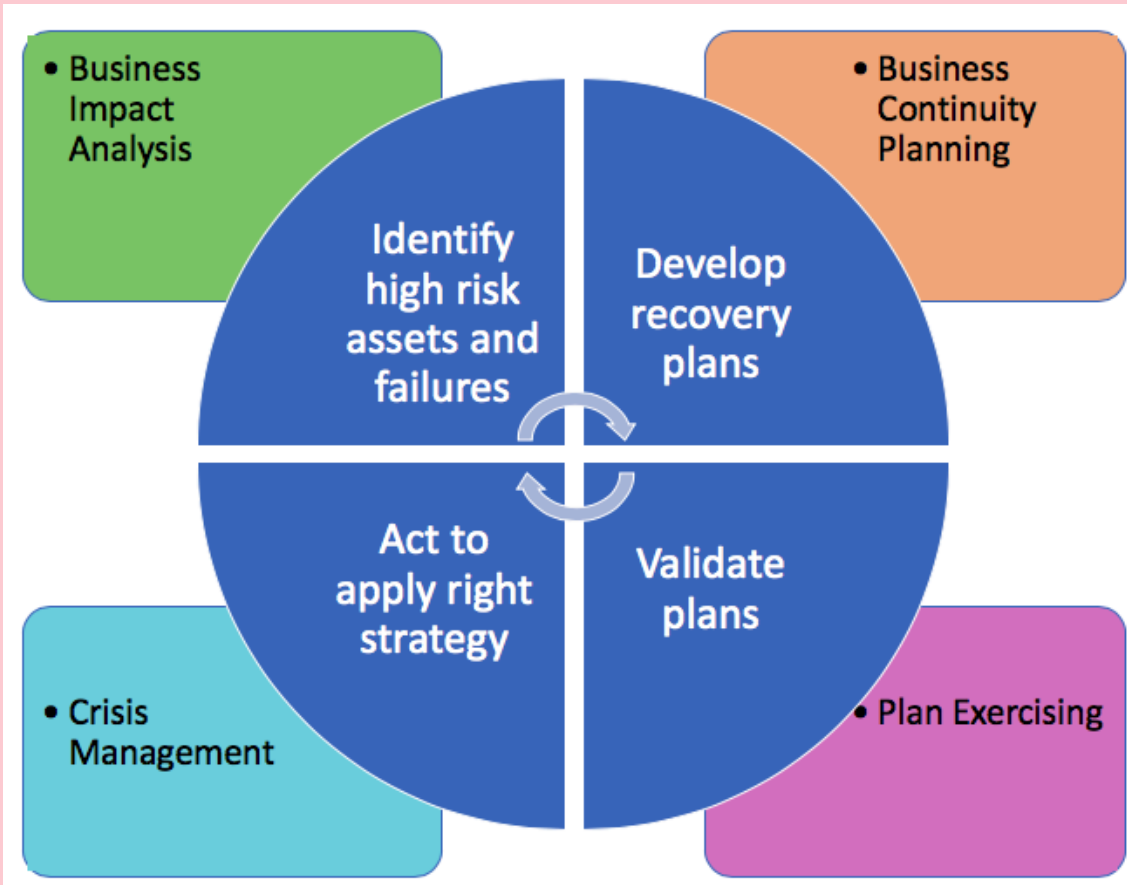
自動翻訳

- 影響度を評価するための復旧階層を構成するには、「影響度評価のための復旧階層の構成」を参照してください。
- 復旧階層の復旧期間を設定するには、「復旧階層の復旧期間の設定」を参照してください。
- 計画のドキュメントセクションを構成するには、「事業継続性計画のドキュメントセクションの構成」を参照してください。
- 列表示用のグリッドを構成するには、「BIA 依存関係アセスメントでの列表示用のグリッドの構成」を参照してください。
- 損失シナリオを特定して計画に追加するには、「損失シナリオの計画の構成」を参照してください。
- BIA テンプレートを構成するには、「ビジネスインパクト分析テンプレートの構成」を参照してください。
- BCP テンプレートを構成するには、「事業継続性計画テンプレートの構成」を参照してください。
- さまざまな BCM ユーザーが利用できるアプリケーションメニューオプションについては、「Business Continuity Management ユーザー用のアプリケーションメニューオプション」を参照してください。

BCM UIB ワークスペース 横向き

BCM UIB ワークスペース をコンソールのように使用して、事業継続性タスクを表示および管理します。ビジネスへの影響度分析、事業継続性計画、演習、および危機イベントを監視、実行、レビュー、およびレポートできます。

BCM アプリケーションの統合



[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[store-future: BEGIN review]

事業継続性管理 の要素定義の構成

要素定義を構成して、ビジネスインパクト分析で評価し、事業継続性計画で復旧する必要がある構成アイテムを特定します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 要素定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[要素定義] フォーム

フィールド	説明
名前	要素定義の名前。
ソーステーブル	構成アイテムのレコードの詳細を格納するテーブル。
ソーステーブルフィールド	参照用に選択できるソーステーブルの列見出し。
データのバックアップが必要	プライマリ要素にデータのバックアップが必要かどうかを示すオプション。技術資産は、システムまたはデータベースに保存されている重要な IT 情報に関連するため、データのバックアップが必要です。 「ビジネスインパクト分析の詳細を表示する」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成

ビジネスのダウンタイムが発生したときの損失の程度を測定できるように、各カテゴリの評価を構成します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
影響度評価を定義して、影響度カテゴリを低、中、高、または重大として評価できます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 影響度評価.
2. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

[影響度評価] フォーム

フィールド	説明
名前	影響度評価の名前。
値	影響度評価の数値。
影響度カテゴリ	影響度のカテゴリ。たとえば、人員の影響、規制の影響、収益の影響などです。
影響分析の質問	このフィールドは、ビジネス中断の影響度カテゴリが RPO に寄与している場合に表示されます。
許容範囲	RTO の影響を許容範囲内として有効にするためのオプション。このチェックボックスは、影響度カテゴリが RTO に寄与する場合にのみ表示されます。
説明	影響度評価に関する簡単な説明

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

影響度評価のための復旧階層の構成

復旧階層を構成して使用し、単一の復旧時間と名前を、目標復旧時間 (RTO) 値の類似する範囲に割り当てます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて

復旧階層は、サポートレベル、エスカレーション、コミュニケーションなどの組織の期待とも関連付けられています。
復旧階層は次の領域で使用されます。

- BIA スコアおよび影響度評価結果
- 要素復旧時間

復旧階層の例を次に示します。

- 階層 1 – ミッションクリティカル：2 時間の RTO。
- 階層 5 – 重要ではない：1 週間の RTO。

復旧階層の数に制限はありませんが、組織内で 4 ～ 6 の復旧階層を設定できます。

注:
復旧階層は、最も近い復旧階層の最大時間を選択することで、BIA と要素 RTO で自動的に計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 復旧階層.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[復旧階層] フォーム

フィールド	説明
名前	復旧階層レベルの名前。
目標復旧時間	災害後にビジネスの要素をどの程度迅速に復旧する必要があるかを計算する測定基準。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

BIA 依存関係アセスメントでの列表示用のグリッドの構成

列表示用のグリッド構成は、要素に対応する依存関係グリッド内の特定の列をキャプチャするのに役立ちます。

構成テーブルからフィールドを選択して、各依存関係グループグリッドに目的の列を表示するように、次の構成を設定します。

- BIA 依存関係アセスメントグリッドの要素変数の設定
- BIA 依存関係アセスメントでのグリッド構成の設定

[End]
[store-future: BEGIN review]

BIA 依存関係アセスメントグリッドの要素変数の設定

機能システム管理者は、要素の特定の依存関係に必要な特定のカスタム列である要素変数を設定できます。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 事業継続性 > 全般管理 > 要素変数.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[要素変数] フォーム

フィールド	説明
モデル	要素定義 [sn_bcm_element_definition] 参照。要素定義に対して複数の要素変数を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	モデルテーブルのフィールドクラス。
ラベル	BIA 依存関係グリッドの依存関係グループに名前を表示します。
列名	テーブル内の列名。
有効	要素変数をアクティブにするオプション。
読み込み専用	要素変数を読み取り専用として表示するオプション。
必須	要素変数を必須として設定するオプション。
表示	要素変数を表示するオプション。
レポートを有効にする	要素変数をレポートするオプション。
参照仕様	
参照	要素変数を含むテーブルへの参照。
参照修飾子の条件	参照用に設定されたフィルター条件。
選択リストの仕様	
選択肢	リスト選択肢の仕様。
デフォルト値	
デフォルト値	デフォルト値の説明。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

BIA 依存関係アセスメントでのグリッド構成の設定

構成された列で BIA 依存関係アセスメントグリッドをレンダリングするようにグリッド構成を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 すべて > 事業継続性 > 全般管理 > グリッド構成.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[グリッド構成] フォーム

フィールド	説明
名前	グリッド構成の名前
グリッドカテゴリ	構成が適用されるグリッドカテゴリ。例：DEP_ASSMNT。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要素定義	BIA で評価される構成アイテム。グリッドカテゴリで、[要素コンテキストを有効にする] が true の場合、グリッド構成は要素に基づく必要があります。
有効	レコードをアクティブに設定するオプション。このオプションが無効になっている場合、グリッドは構成されたビューに基づいてレンダリングされます。カテゴリと要素に対してアクティブにできる構成は 1 つに限定されます。
グリッド列の設定	
フィールドソース	フィールドはこのソースから選択する必要があります。たとえば、依存関係、要素、要素変数テーブルなどです。
ソーステーブル	フィールドを含むテーブル。
フィールド	フィールドの名前
順序	グリッド内の列の表示順序。
フィルターを有効にする	列にフィルターを設定するオプション。
グループ化を有効にする	列のグループ化を有効にするオプション。
ソートを有効にする	列のソートを有効にするオプション。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

復旧階層の復旧期間の設定

インシデントまたは危機が発生してから通常業務を再開できるまでの復旧期間を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 復旧の解決までの期限.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[復旧期間] フォーム

フィールド	説明
名前	復旧期間の名前。
開始時刻	復旧期間の開始時間。復旧操作を開始する時刻。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[End]

[store-future: BEGIN review]

事業継続性計画のドキュメントセクションの構成

構造化されたセクションで計画を説明する計画のドキュメントセクションを構成し、高レベルの詳細、計画の目的、計画の目的と範囲を説明するスコープ、その目標と成功基準のチェックリストを提供します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > ドキュメントセクション.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ドキュメント] セクションフォーム

フィールド	説明
名前	ドキュメントセクションの名前。
タイトル	ドキュメントセクションのタイトル。
説明	ドキュメントセクションに関する簡単な説明。
デフォルトテキスト	ドキュメントセクションに関連するデフォルトのテキスト。このテキストは、後に計画が策定されてドキュメントセクションが追加された時点で、計画に応じて編集できます。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

損失シナリオの計画の構成

損失シナリオを特定して文書化することで、発生する可能性のある特定の災害に対するニーズと要件を計画に含めることができます。潜在的な脅威ごとに固有の復旧手順が必要であり、損失シナリオの必要性はそれぞれ異なります。潜在的な影響を受ける損失に対応して運用を維持できるように、計画を立案する必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
対応する計画を作成できる損失シナリオを定義する機能を設定します。その後、計画テンプレートに損失シナリオを含めて、BCM プログラムマネージャーと計画オーナーがすべての重大な潜在的損失シナリオを考慮できるようにします。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 損失シナリオ.
2. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

[損失シナリオ] フォーム

フィールド	説明
シナリオ名	影響シナリオの名前
影響を受ける要素	損失シナリオのために影響を受けるアイテムまたは資産。
説明	損失シナリオに関する簡単なメモ。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

ビジネスインパクト分析テンプレートの構成

ビジネスインパクト分析 (BIA) テンプレートを定義して、BIA を作成し、標準のオブジェクトタイプを割り当てます。オブジェクトタイプは、ビジネスプロセス、アプリケーション、施設などであり、それらの影響度は BIA で評価されます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて

BIA テンプレートを構成すると、次のことができます。

- テンプレートを使用するプライマリオブジェクトタイプを定義します。
- BIA 中に評価する特定の影響度カテゴリを選択します。
- BIA 中に特定する必要がある依存関係のタイプを定義します。

プライマリ要素のビジネス影響分析を行うときは、要素にデータのバックアップが必要かどうかに基づいて、その復旧時間を評価することもできます。プライマリ要素がサーバーまたはデータベースに関連する技術資産である場合は、重要な情報が保存され、ビジネス価値を高めるため、データのバックアップが必要です。目標復旧時間または目標復旧時点のどちらかに寄与する影響度カテゴリをフィルタリングできます。これは、影響分析を行うときに重要なプライマリ要素の復旧目標を特定するのに役立ちます。

評価されたプライマリ要素がデータのバックアップを必要とする場合 (要素定義フォームで [データのバックアップが必要] フィールドが [はい])、それらが目標復旧時点または目標復旧時間に貢献するかどうかを示すすべての影響度カテゴリが [影響カテゴリ] フィールドに表示されます。プライマリ要素がデータのバックアップを必要としない場合は、RTO に寄与する影響度カテゴリのみが表示されます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > **BIA** 構成 > **BIA** テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[BIA テンプレート] フォーム

フィールド	説明
名前	BIA テンプレートの名前。
説明	テンプレートについての簡単な説明。
評価されたプライマリー要素	プライマリオブジェクトタイプまたはテンプレートが使用される対象の要素。
影響度カテゴリ	組織が直面する可能性のある影響のカテゴリ。収益、法務、規制、評判などがあります。
依存関係アセスメント	ビジネス機能が依存するアイテムまたは資産のカテゴリ。
CIA を含める	機密性、完全性、および可用性を BIA に含めるオプション。 このフィールドは、[評価されたプライマリー要素] フィールドでデータのバックアップが必要な場合にのみ表示されます。プライマリ要素でデータのバックアップが必要な場合は、[要素定義] フォームでフラグを [はい] に設定します。「Business Continuity Management の要素定義の構成」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

事業継続性計画テンプレートの構成

事業継続性計画 (BCP) テンプレートを構成して、標準オブジェクトタイプを使用して事業継続性計画を作成して割り当てます。オブジェクトタイプには、ビジネスプロセス、アプリケーション、従業員、ハードウェア、ソフトウェアなどがあります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
計画テンプレートを構成すると、次のことができます。

- 復旧する必要があるプライマリオブジェクトタイプを定義する。
- 計画の開始時に含める必要があるドキュメントセクションを定義する。
- テンプレートを使用して損失シナリオを特定し、それに応じて計画する。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 計画構成 > 計画テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[計画テンプレート] フォーム

フィールド	説明
名前	計画テンプレートの名前。
説明	計画テンプレートについての簡単な説明。
復旧したプライマリ要素 (Primary Element Recovered)	計画で復旧対象として識別されたプライマリオブジェクトタイプまたは要素。
計画作成タイプ	このテンプレートを使用して継続性計画を作成するときにオプションとして使用できる計画のさまざまなフェーズまたはセクション。これらのオプションは、計画の詳細を完了するときに BCP ワークスペースにタブとして表示されます。 ○ すべて (デフォルト)：このテンプレートを使用する計画には、[ドキュメント]、[損失シナリオ]、[復旧タスク]、[復旧チーム] などのすべてのオプションが表示されます。これらのオプションは、ワークスペースでタブとして表示できます。 ○ ドキュメント：このテンプレートを使用する計画には、選択した依存関係とともにドキュメントオプションが表示されます。[復旧タスク] および [復旧チーム] とともに [ドキュメント] タブをワークスペースに表示できます。 ○ 損失シナリオ：このレプリケーションを使用する計画には、[復旧タスク]、[復旧チーム]、およびその他の選択された依存関係とともに、損失シナリオが表示されます。 ○ 復旧タスク：このテンプレートを使用する計画タイプに関連付けられた復旧タスクと復旧チームを表示します。
グループ復旧タスク	値別のグループに基づいて、復旧タスクグリッドの [グループ] 列でタスクを事前にグループ化するオプション。
グループごと	[グループ復旧タスク] オプションが有効になっている場合にフィールドが表示されます。[グループごと] の値に基づいて [グループ] 列で、復旧タスクが事前にグループ化されます。

4. [送信] をクリックします。

[End]

[store-future: BEGIN review]

事業継続性管理 の影響度カテゴリの設定

影響度カテゴリを構成して、組織でビジネスプロセスのダウンタイムが発生する期間を定義します。この期間に基づいて、ビジネスプロセスが依存する資産の目標復旧時間 (RTO) を決定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin

このタスクについて
目標復旧時間 (RTO) の測定は、次のことを確認するのに役立ちます。

- 資産は、親の依存関係をサポートするのに間に合うように復旧される。
- 資産復旧機能のギャップを特定できる。
- 損失シナリオがある場合は、資産の復旧の優先順位が設定される。

RTO ではビジネス機能が復元されるまでの許容時間を計算しますが、目標復旧時点 (RPO) では機能の最大許容データ損失を超えていないことを確認します。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 全般管理 > 影響度カテゴリ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[影響度カテゴリ] フォーム

フィールド	説明
名前	影響度カテゴリの名前。
寄与する	ビジネス中断への影響の結果としての RPO または RTO への寄与度。影響度カテゴリが目標復旧時点に寄与している場合、影響分析の質問関連リストが表示されます。
適用可能な解決までの期限	ビジネスプロセス中断の期間。このフィールドは、[寄与する] フィールドの値が [RTO] の場合にのみ表示されます。
最大 RTO 値	中断後にビジネスで要素の復旧が必要になる時間の上限を計算する測定基準。
説明	影響度カテゴリの簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。
5. 影響度カテゴリが目標復旧ポイントに寄与している場合は、[影響度カテゴリ] リストで作成したレコードをクリックします。

   a. [影響分析の質問] 関連リストで [新規] をクリックします。

   b. [質問] フィールドに、影響度カテゴリに関する質問を入力します。
   [影響度カテゴリ] フィールドには、ビジネス影響度のカテゴリが自動的に入力されます。

   c. [説明] フィールドに影響度分析に関する簡単な説明を入力します。

   d. [送信] をクリックします。

[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性ワークフロータスクの管理

事業継続性管理 アプリケーションの各種機能を使用して、ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、演習管理、危機管理などの管理アクティビティを実行できます。

BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性タスクの実行

このセクションで概説されているタスクを実行して、組織の事業継続性を管理します。事業継続性ワークスペース (別名 BCM 構成可能ワークスペース) で、ビジネスインパクト分析、事業継続性計画、演習イベントを作成したり、危機イベントを管理したりすることができます。

BCM 構成可能ワークスペース で事業継続性タスクを実行するには、次のセクションを参照してください。

- ビジネスインパクト分析に関連するタスクについては、「BCM 構成可能ワークスペース でのビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー」を参照してください。
- 事業継続性計画に関連する管理タスクについては、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性計画作成のための構造化されたワークフロー」を参照してください。
- 演習イベントに関連するタスクについては、「BCM 構成可能ワークスペース での演習管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。
- 危機イベントに関連するタスクについては、「BCM 構成可能ワークスペース での危機管理のための構造化されたワークフロー」を参照してください。

BCM 構成可能ワークスペース でのビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー

このセクションで概説するタスクを実行して、事業継続性 ワークスペース (別名 BCM 構成可能ワークスペース) でビジネスインパクト分析を作成します。

一般的に、ビジネスインパクト分析オーナーは次のタスクを実行します。

- ビジネスインパクト分析を作成する。詳細については、「ビジネスインパクト分析の作成」を参照してください。
- 影響度カテゴリを評価し、レビューと承認のために分析を送信する。

  注:
  BIA の承認レコードが既に作成されている場合、[承認] または [却下] ボタンは BIA フォームに表示されません。

  詳細については、「影響度カテゴリと依存関係の評価」を参照してください。
- BCM リードとして、BIA を承認する。詳細については、「ビジネスインパクト分析の承認」を参照してください。
- 参照用に分析の PDF を生成して保存する。

ビジネスインパクト分析に関する追加情報

- ホームページの [ビジネスインパクト分析] タブの詳細については、「ホームページビュー」を参照してください。
- ビジネスインパクト分析の詳細については、「ビジネスインパクト分析」を参照してください。
- ビジネスインパクト分析で行う管理タスクの詳細については、「ビジネスインパクト分析のためのセットアップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響度カテゴリと評価

影響度カテゴリは、ビジネスインパクト分析中に評価できる影響度のタイプです。組織の BCM 管理者は、影響カテゴリと、組織でダウンタイムが発生する可能性のある期間を定義する責任を負っています。この情報は、資産の目標復旧時間と目標復旧時点を決定するために使用されます。

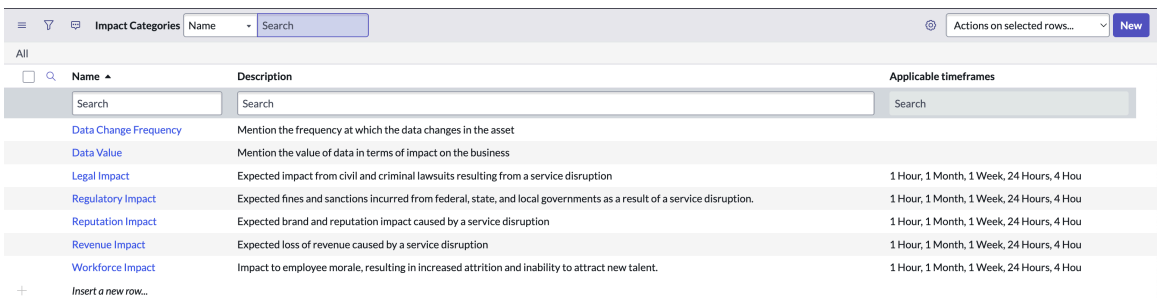
影響度カテゴリの大まかな分類

破壊的なイベントが原因でビジネスサービスやプロセスやアプリケーションでダウンタイムが発生した場合、その影響はさまざまなカテゴリに大まかに分類できます。

- 法的影響：サービス中断に起因する民事訴訟や罰金などの法的な影響を伴う影響として分類されます。
- 規制上の影響：既存の規制の変更や新しいポリシーの導入による影響として分類されます。
- 評判への影響 (Reputation impact)：会社のブランドイメージや評判への影響として分類されます。
- 収益への影響：財務的損失または収益の低下による影響として分類されます。
- 人員への影響(Workforce impact)：破壊的なイベントが人員に与える影響として分類されます。たとえば、パンデミック後にある会社の離職率が上昇し、従業員の士気が低下するなどです。

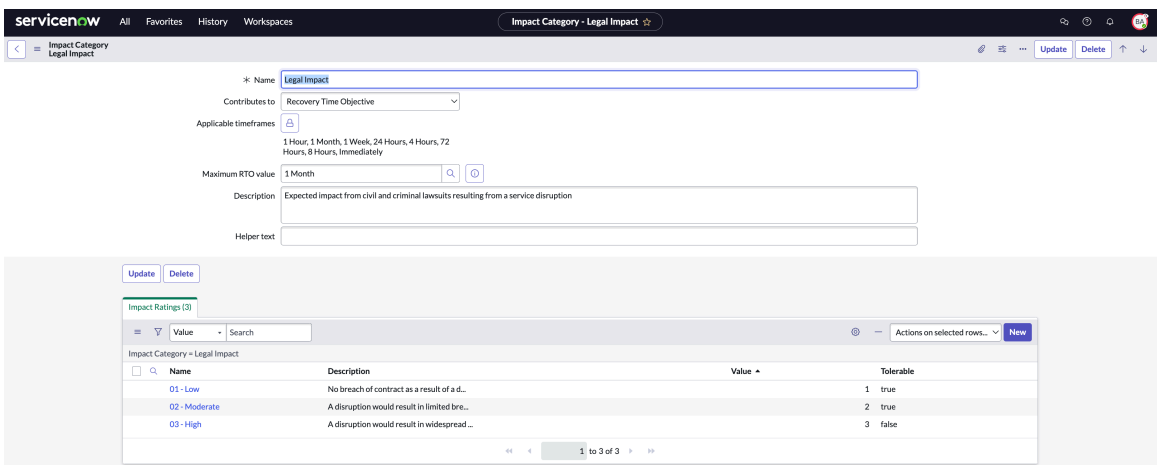
BCM の影響度カテゴリ

BCM 管理者ロールを持っていると、デモデータとともにインストールされている影響度カテゴリを確認して、BCM アプリケーションの [影響度カテゴリ] モジュールで新しい影響度カテゴリを設定できます。次の例は、デモデータとともにインスタンスにインストールされている影響度カテゴリを示しています。



影響度カテゴリの構成

BCM 管理者は、影響度に関する主要な情報を追加することで、影響度カテゴリを構成したり変更したりできます。次の例は、インスタンス内の影響度カテゴリの構成の詳細を示しています。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

BCM 管理者は、新しい影響度カテゴリについて、次の詳細を設定できます。

名前

法的影響や評判への影響など、影響に適した名前を追加して、サービス、プロセス、またはアプリケーションのダウンタイムの影響を分類します。

寄与する

影響が目標復旧時間と目標復旧時点のどちらに寄与するかを選択します。

適用可能な解決までの期限

影響度カテゴリに適用可能な期間を設定します。

最大 RTO 値

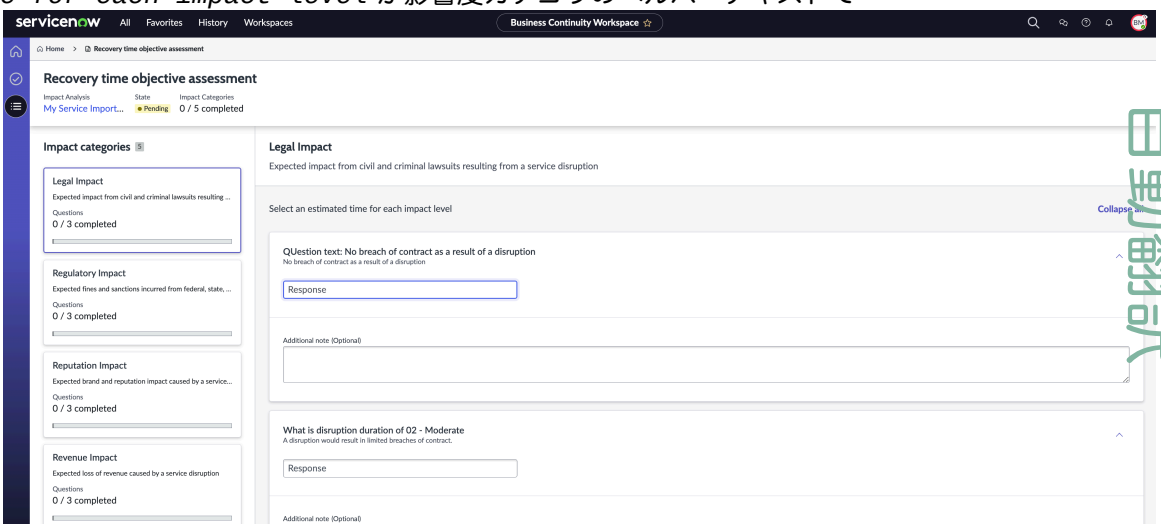
影響度カテゴリの最大 RTO 値を定義します。

説明

影響度カテゴリの説明を追加します。

ヘルパーテキスト

アセスメントの質問にどう回答するかのヒントをユーザーに提供するヘルパーテキストを追加します。ヘルパーテキストは、ビジネスインパクト分析レコードの中でユーザーに表示されます。次の例では、*`Select an estimated time for each impact level`* が影響度カテゴリのヘルパーテキストです。



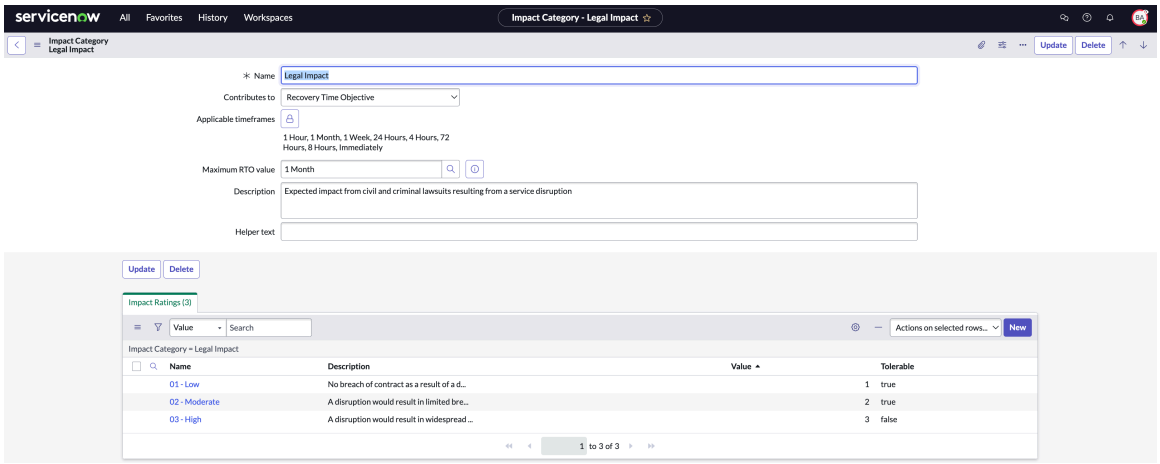
管理者による影響度カテゴリの構成

sn_bcm.admin ロールで影響度カテゴリを構成する方法の詳細については、「ビジネスインパクト分析の影響度カテゴリの構成」を参照してください。

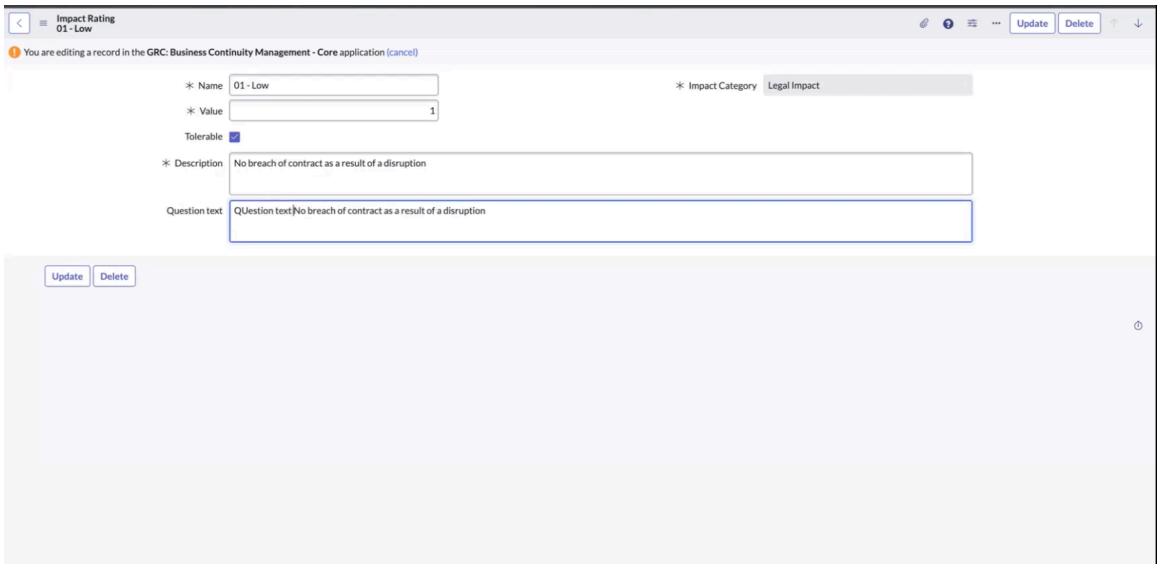
BCM での影響度評価

BCM 管理者ロールを持っている場合は、デモデータとともにインストールされている影響度評価を確認して、[影響度評価] モジュールで具体的な影響度評価を定義できます。次の例は、影響度カテゴリのデモデータとともにインストールされている影響度評価を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



影響度カテゴリの影響度評価を、次の例で示します。



影響度評価の構成

BCM 管理者は、ビジネスインパクト分析の影響度評価について、次の詳細情報を設定できます。

名前

影響度評価に固有の名前を割り当てます。

影響度カテゴリ

影響度評価が関連付けられている影響度カテゴリを分類します。

値

それぞれの影響度評価に固有の数値を割り当てます。同じ値を BCM アプリケーション内の他の影響度評価に再利用することはできません。

許容範囲

RTO の影響を許容範囲内として有効にするためのオプションを選択します。このチェックボックスは、影響度カテゴリが目標復旧時間に寄与する場合にのみ表示されます。

説明

影響度評価に関する説明を追加します。

質問のテキスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響度カテゴリの目標復旧時間の影響度評価レコード内の質問のテキストを変更します。変更された質問は、ビジネスインパクト分析レコードの RTO アセスメントフォームに表示されます。

管理者による影響度評価の構成

sn_bcm.admin ロールで影響度評価を構成する方法の詳細については、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」を参照してください。

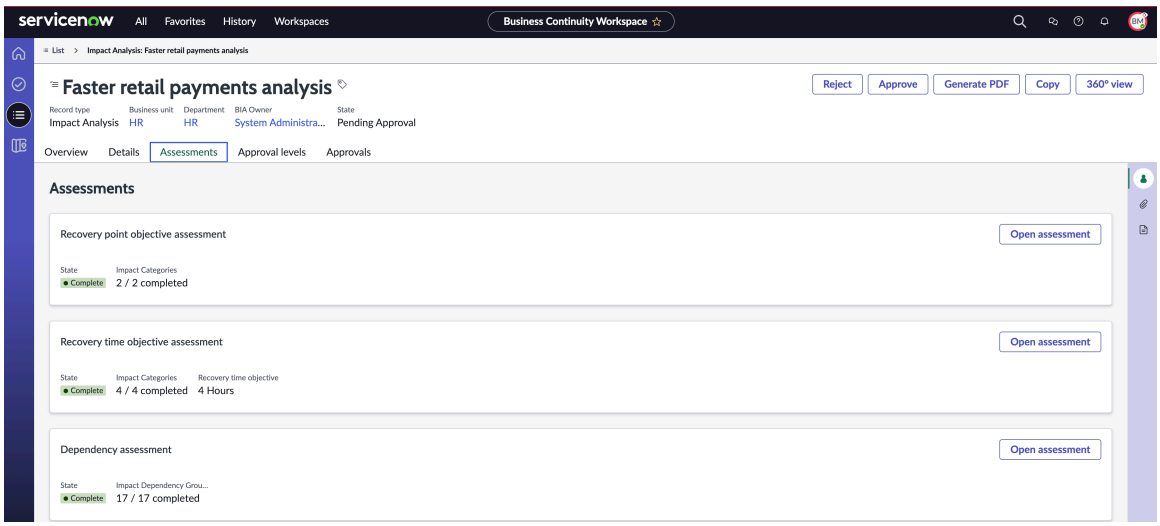
目標復旧時間、目標復旧時点、および復旧階層

予期しない中断イベントが原因で、組織内のビジネスプロセスがダウンタイムに直面する可能性があります。ビジネスプロセスを復旧階層に分類し、組織が運用に大きな影響を与えることなく処理できるデータ損失の時間と量を計算することが重要です。

達成目標復旧時間

目標復旧時間 (RTO) は、コンピューター、システム、ネットワーク、またはアプリケーションが機能停止イベントやデータ損失の後に事業運営に大きな影響を与えることなく復旧するためにかかる最大時間です。

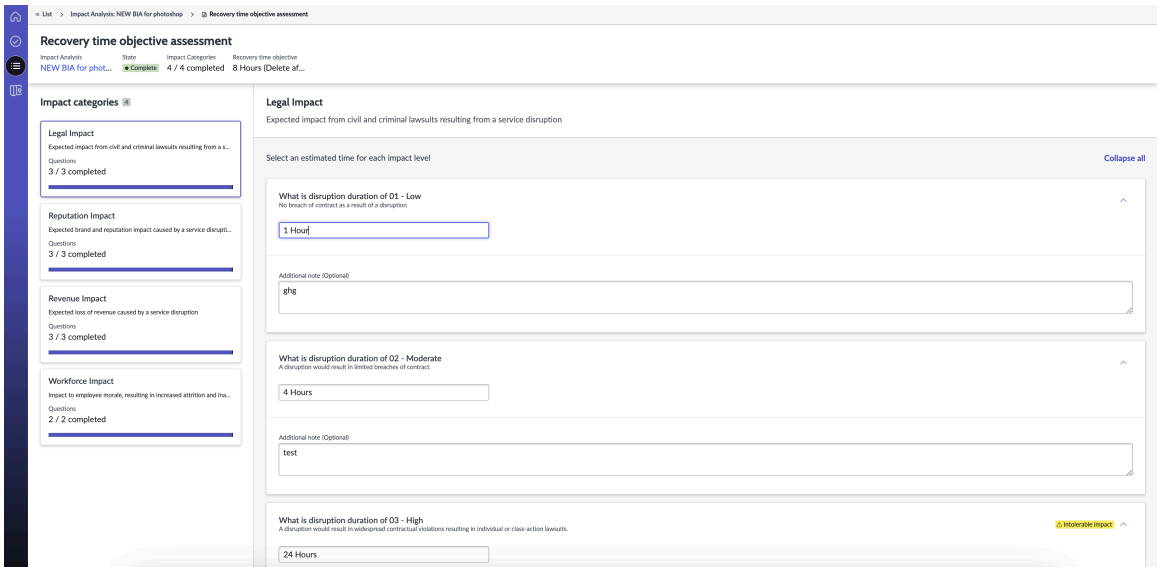
ビジネスユーザーと IT オーナーは、BCM UIB ワークスペース の BIA コンポーネントのアセスメントに応答することで、それぞれビジネス影響分析と技術的影響分析を実行できます。[アセスメント] タブのサンプルビューを次の例に示します。



ビジネスユーザーの場合は、[アセスメント] タブの [目標復旧時間のアセスメント] に応答することで、ビジネスサービスとプロセスの目標復旧時間を見積もることができます。質問は、BCM 管理者が設定した構成に従って、[目標復旧時間のアセスメント] タブに表示されます。サンプルの目標復旧時間 アセスメントとデモデータを次の例に示します。

自動翻訳

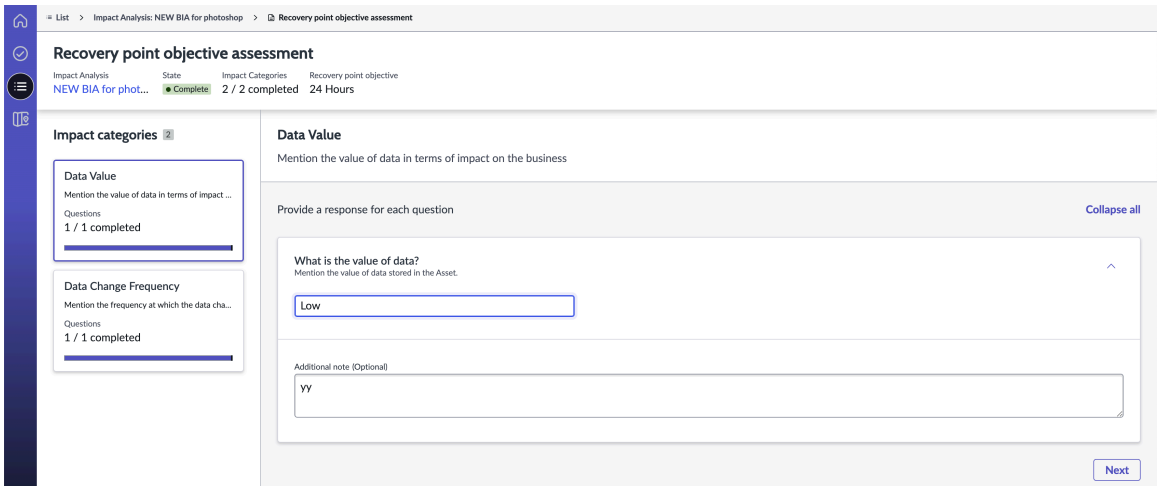
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



達成目標復旧ポイント

目標復旧時点 (RPO) は、ビジネスプロセスが運用に大きな影響を与えることなく処理できる最大許容データ損失を定義します。

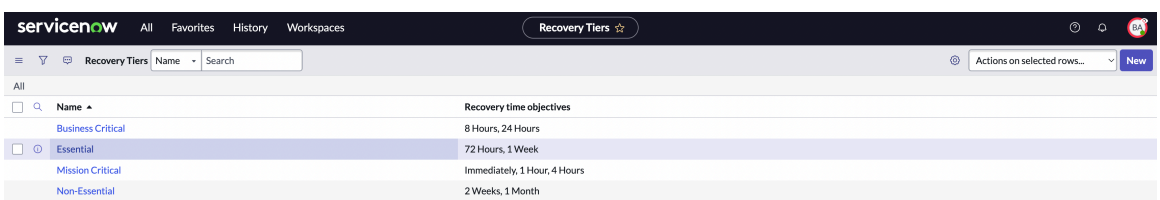
IT オーナーは、BIA の目標復旧時点アセスメントに応答することで、データアプリケーションとシステムの目標復旧時点を推定できます。次の例に示すように、BCM 管理者が設定した構成に基づいて、質問が [目標復旧時間のアセスメント] タブに表示されます。



復旧階層

BCM 管理者は、1 つのタイプの復旧階層で、同様の範囲の目標復旧時間 (RTO) 値に従う一連のビジネスアプリケーションを分類できます。たとえば、ミッションクリティカルな復旧階層の場合、目標復旧時間は [即時]、[1 時間]、[4 時間] にすることができます。

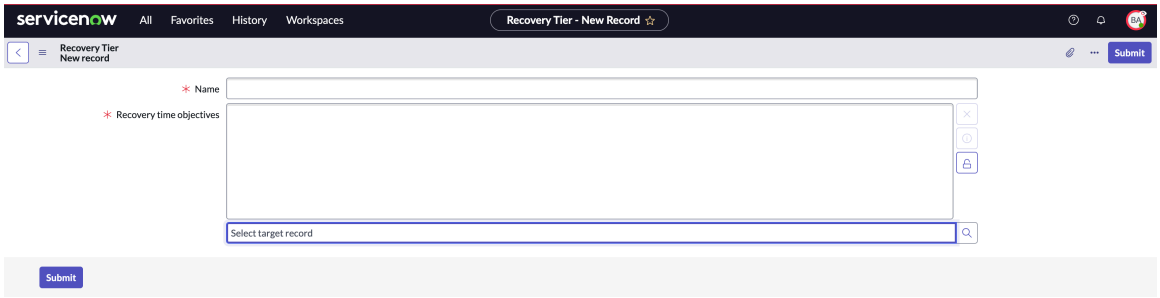
次の例では、復旧階層とそれに関連する目標復旧時間が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

BCM 管理者は、次の例に示すように、復旧階層を構成し、その目標復旧時間を設定できます。



復旧階層は、サポートレベル、エスカレーション、コミュニケーションなどの組織の期待とも関連付けられています。復旧階層は次の領域で使用されます。

- BIA スコアおよび影響度評価結果
- 要素復旧時間

復旧階層の数に制限はありませんが、組織内で 4 ～ 6 の復旧階層を設定できます。復旧階層は、最も近い復旧階層の最大時間を選択することで、BIA と要素 RTO で自動的に計算されます。

復旧階層は、重要性と重要度に基づいて分類できます。

- ミッションクリティカル
- ビジネスクリティカル
- 必須
- 必須ではない
- 重大
- 重大ではない

管理者による復旧階層構成

事業継続性管理 アプリケーションで復旧階層を構成する方法の詳細については、「ビジネスインパクト分析の復旧階層の構成」を参照してください。

復旧の解決までの期限

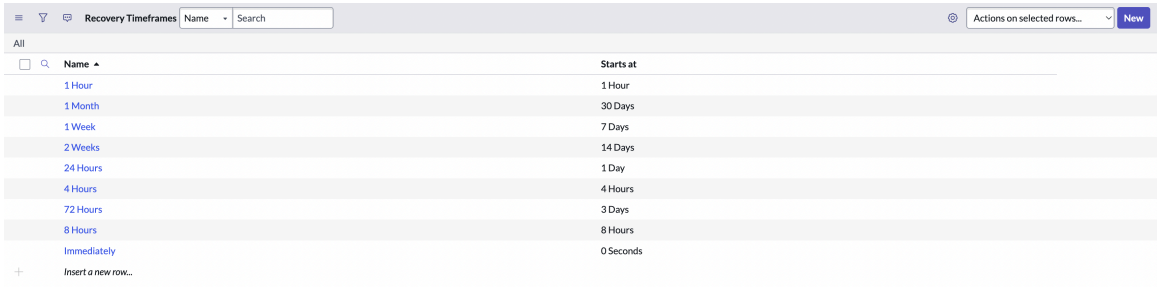
復旧階層の復旧の解決までの期限を設定できます。中断イベントが発生したときに開始し、通常業務を再開できるまでの期間です。BCM 管理者は、復旧期間とその開始時間を設定できます。次の例に示すように、さまざまな復旧期間を設定できます。

- 即座
- 1 時間
- 4 時間
- 8 時間
- 24 時間
- 72 時間
- 1 週間
- 2 週間

自動翻訳

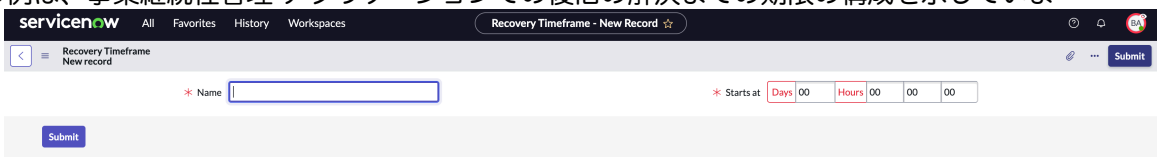
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、事業継続性管理 アプリケーションで構成された復旧期間を示していま



す。

次の例は、事業継続性管理 アプリケーションでの復旧の解決までの期限の構成を示していま



す。

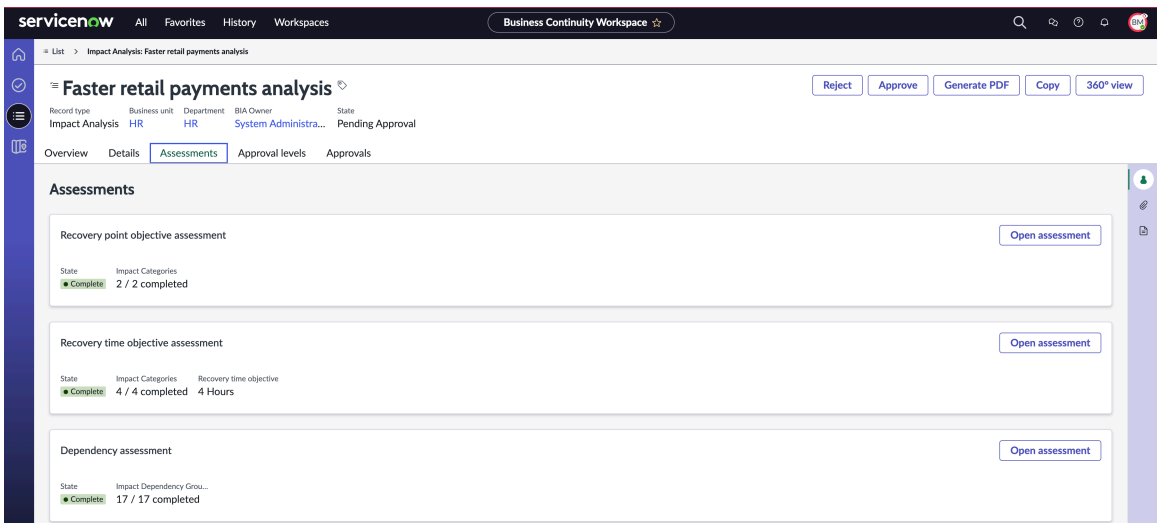
事業継続性管理 アプリケーションで復旧の解決までの期限を構成する方法の詳細については、「復旧階層の復旧期間の設定」を参照してください。

目標復旧時間と目標復旧時点の計算

BCM アプリケーションは、ビジネスインパクト分析 (BIA) で目標復旧時間 (RTO) と目標復旧時点 (RPO) を計算するためのアセスメントアンケートを提供します。BIA の前提条件として、BCM 管理者は影響度評価を定義し、アセスメントの質問を設定します。アセスメントに対する応答を受信した後、BCM アプリケーションは RTO と RPO を計算します。

ビジネスインパクト分析レコードの [アセスメント] タブ

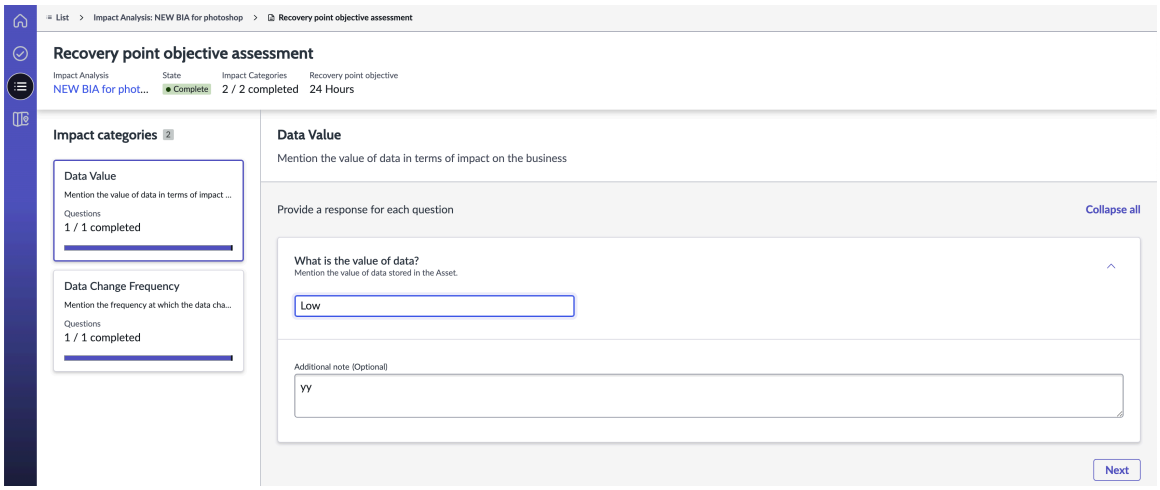
ビジネスユーザーと IT オーナーは、BCM UIB ワークスペース の BIA コンポーネントのアセスメントに応答することで、それぞれビジネス影響分析と技術的影響分析を実行できます。[アセスメント] タブのサンプルビューを次の例に示します。



目標復旧時点アセスメント

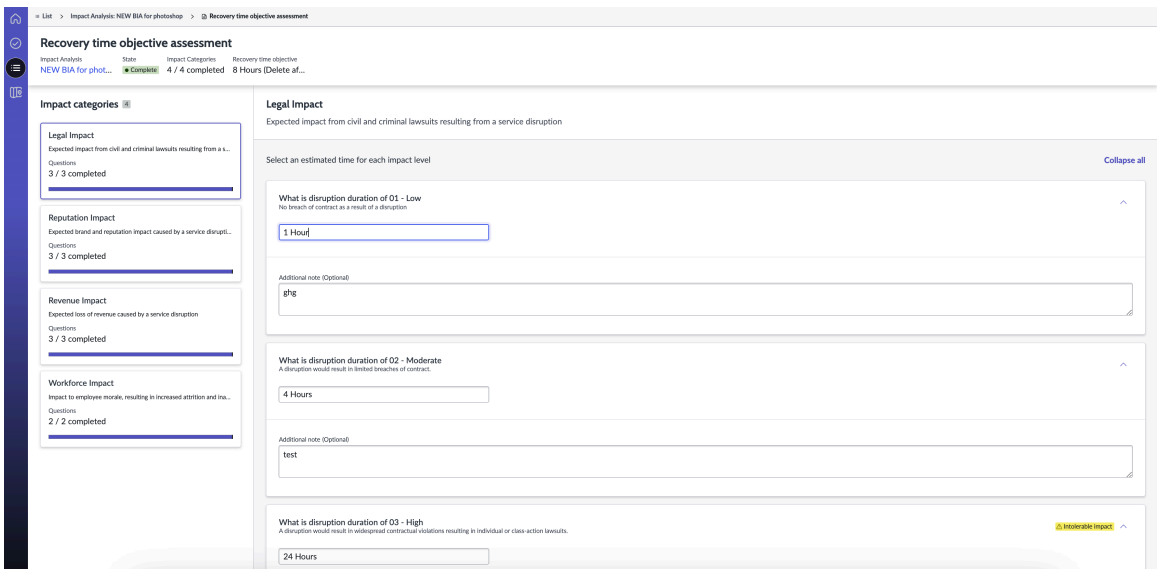
IT オーナーは、BIA の目標復旧時点アセスメントに応答することで、データアプリケーションとシステムの目標復旧時点を推定できます。次の例に示すように、BCM 管理者が設定した構成に基づいて、質問が [目標復旧時点のアセスメント] タブに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



目標復旧時間のアセスメント

ビジネスユーザーの場合は、[アセスメント] タブの [目標復旧時間のアセスメント] に応答することで、ビジネスサービスとプロセスの目標復旧時間を見積もることができます。質問は、BCM 管理者が設定した構成に従って、[目標復旧時間のアセスメント] タブに表示されます。サンプルの目標復旧時間のアセスメントを次の例に示します。



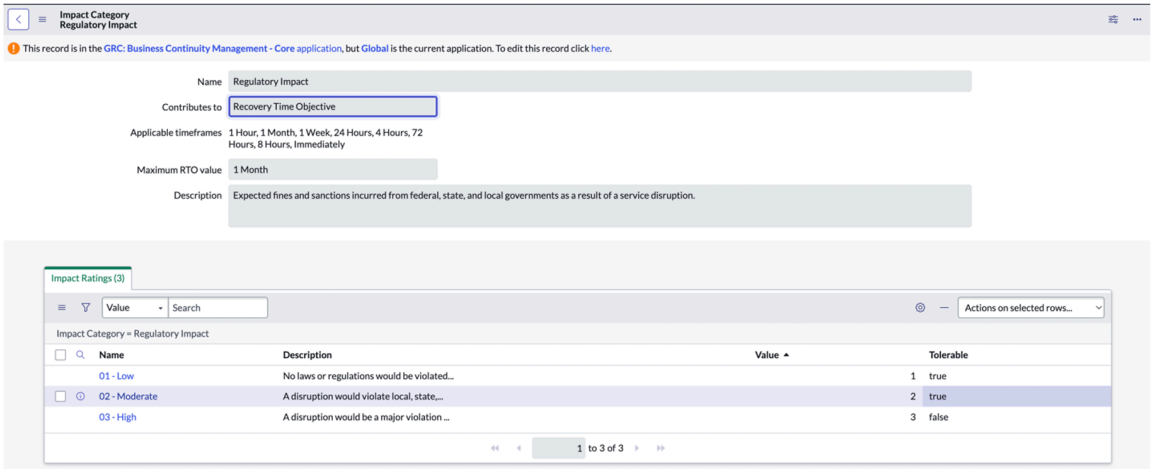
影響度カテゴリと影響度評価の管理者ビュー

BCM 管理者は、影響度カテゴリの [低]、[中]、[高] などの 1 つまたは複数の影響度評価を含めるようにアセスメントアンケートを構成でき

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ます。次の例に示すように、影響度評価は影響度カテゴリに表示されま



す。

BCM 管理者は、影響度カテゴリごとに影響度評価の非許容のしきい値を指定できます。最初の許容できない影響度カテゴリの中断期間は、目標復旧時間 (RTO) に対して選択されます。影響度評価には、次のような値が指定されます。

- 低 = 1
- 中 = 2
- 高 = 3

影響度カテゴリの計算については、次の例を参照してください。

影響度カテゴリの計算を示す例

Regulatory Impact

Expected fines and sanctions incurred from federal, state, and local governments as a result of a service disruption.

Impact Rating	Description	Disruption Duration
01 - Low	No laws or regulatio...	4 Hours
02 - Moderate	A disruption would v...	24 Hours
03 - High	A disruption would ...	72 Hours

目標復旧時間 **(RTO)** の計算

ビジネスユーザーがアセスメントアンケートに回答すると、BCM アプリケーションはビジネスプロセスとサービスの目標復旧時間 (RTO) を自動的に計算します。

RTO 計算の例として、次のシナリオを考慮してください。BCM 管理者は、[収益への影響度] カテゴリの許容できない影響度評価を構成し、許容できない影響を定義しました。ビジネスインパクト分析のオーナーは、収益への影響が 100 万ドルを超える可能性のあるタイムラインを特定する必要があります。次の表に示すさまざまなシナリオのサンプル RTO 計算を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RTO 計算の例

シナリオ	許容できない影響	説明
シナリオ 1	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	管理者が [低] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復旧時間 (RTO) として設定されます。 この例では、**[01 -** 低] 影響度評価の中断期間は 4 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間 (RTO) は 4 時間より長くなります。 中程度の影響の中断期間の方が短い場合でも、計算では、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている、最初に英数字順にソートされた影響度評価の値が選択されます。
シナリオ 2	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	管理者が [中] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復旧時間 (RTO) として設定されます。 この例では、**[02 -** 中] 影響度の中断期間は 24 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間 (RTO) は 24 時間より長くなります。
シナリオ 3	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	次の例に示すように、管理者が [高] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復旧時間 (RTO) として設定されます。  この表形式の例では、**[03 -** 高] 影響度の中断期間は 72 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間は 72 時間より長くなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RTO 計算の例 (続く)

シナリオ	許容できない影響	説明
シナリオ 4	[低]、[中]、[高] の影響度評価の [許容範囲] フィールドが **[true]** に設定されている。	管理者がすべての影響度評価を許容可能として設定した場合、テンプレートの [最大 **RTO** 値] フィールドで指定された値が目標復旧時間 (RTO) として選択されます。 次の例では、管理者がすべての影響度評価を許容可能として設定しています。したがって、目標復旧時間 (RTO) は、[最大 **RTO** 値] フィールドで指定された値に従って 1 か月です。 

BIA の全体的な影響度評価結果の計算

影響度カテゴリの [中断期間] を更新すると、BIA の RTO が自動的に更新されます。BIA の RTO は、各影響度カテゴリの中で最も低い許容可能なダウンタイムとして設定されます。

たとえば、法務、評判、人員、規制の 4 つの影響度カテゴリがある BIA について考えます。法務の影響度カテゴリの中断期間の値を更新すると、BIA の RTO 値が各影響度カテゴリの最も低い許容可能な中断期間に基づいて再計算されます。復旧階層は組織ごとに異なり、再計算された RTO 値に基づいて設定されます。

RTO 値	復旧階層
即時	ミッションクリティカル
1 時間	ミッションクリティカル
4 時間	ミッションクリティカル
8 時間	ビジネスクリティカル
24 時間	ビジネスクリティカル
72 時間	必須
1 週間	必須
2 週間	必須ではない
1 か月	必須ではない

目標復旧時点 (RPO) に貢献する影響度カテゴリの影響分析の質問からのカテゴリスコアの計算

影響度カテゴリが **RPO** に寄与している場合は、その RPO カテゴリの各影響分析の質問を、事業上の重要度、運用上の重要度、ビジネスに必須、または運用に必須などのデータの値に基づいて評価します。その RPO の全質問の中での最大値は、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

その影響度カテゴリのカテゴリスコアと見なされ、影響度カテゴリ結果テーブル [sn_bia_category_result] に保存されます。

ビジネスインパクト分析に関連付けられているステータスと UI アクション

ビジネスインパクト分析を作成すると、特定の UI アクションが各ステータスに関連付けられます。

ビジネスインパクト分析のステータスとその UI 関連アクション

ビジネスインパクト分析に関連付けられているステータスと UI アクションが次の表で説明されています。

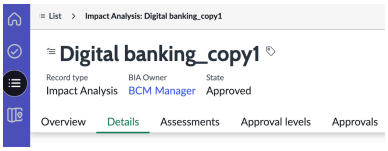
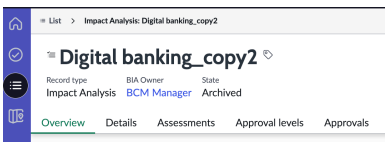
ビジネスインパクト分析のステータスとその UI 関連アクション

ビジネスインパクト分析のステータス	UI アクション	アクションの説明
ドラフト	Business Impact Analysis レコードリストビューで、[新規] を選択します。 注: ホームページの [ビジネスインパクト分析] セクションに移動し、**[BIA を作成]** を選択することもできます。	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [新規] を選択するか、ホームページで **[BIA を作成]** を選択すると、レコードはデフォルトで [ドラフト] ステータスで作成されます。 [詳細] タブでは、ビジネス影響分析 (BIA) の詳細を追加できます。[アセスメント] タブでは、[目標復旧時点のアセスメント]、[目標復旧時間のアセスメント]、および [依存関係アセスメント] に応答できます。
レビュー中	[レビューのため送信] を選択します。	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [レビューのため送信] を選択すると、ビジネスインパクト分析のステータスが [レビュー中] に更新され ます。
承認待ち	[承認のため送信] を選択します。	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [レビューのため送信] を選択すると、ビジネスインパクト分析のステータスが [承認待ち] に更新され ます。
承認済み	[承認] を選択します。	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [承認] を選択すると、ビジネスインパクト分析のステータスが [承認済み] に更新されます。[概要] タブには、次の例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析のステータスとその **UI** 関連アクション (続く)

ビジネスインパクト分析のステータス	**UI** アクション	アクションの説明
		に示すように、ステータスの進行が表示されます。  ビジネスインパクト分析が [承認済み] ステータスの場合、読み取り専用形式になります。[承認済み] ステータスでは、[目標復旧時点のアセスメント]、[目標復旧時間のアセスメント]、および [依存関係アセスメント] のみ表示できます。
アーカイブ化済み	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで、**[** アーカイブ] を選択します。	次の例に示すように、[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [アーカイブ] を選択すると、ビジネスインパクト分析のステータスが [アーカイブ化済み] に更新され ます。  ビジネスインパクト分析が [アーカイブ化済み] ステータスの場合、読み取り専用形式で利用できます。これらのタブの情報は編集できなくなります。 [新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで、次の追加の UI アクションを実行できます。 PDF の生成 参照用にビジネスインパクト分析の PDF をダウンロードします。[詳細] タブの [アクティビティ] パネルで PDF 添付

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析のステータスとその UI 関連アクション (続く)

ビジネスインパクト分析のステータス	UI アクション	アクションの説明
		ファイルが利用できます。 ビジネスインパクト分析の PDF の作成については、「ビジネスインパクト分析の PDF の生成」を参照してください。 コピー 後で参照できるように、ビジネス影響分析の PDF のコピーをテンプレートとして保存します。 360 度ビュー 名前、使用されたテンプレート、依存関係、BIA 結果など、ビジネスインパクト分析の 360 度表現を可視化します。 ビジネスインパクト分析の 360 度リレーションシップを見るには、「ビジネスインパクト分析の 360 度の関係を可視化」を参照してください。 削除 参照する必要がなくなった場合は、ビジネスインパクト分析を削除します。 編集 アプリケーションで、ビジネスインパクト分析を編集します。 保存

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析のステータスとその **UI** 関連アクション (続く)

ビジネスインパクト分析のステータス	**UI** アクション	アクションの説明
		アプリケーションで、ビジネスインパクト分析を保存します。
戻り	[却下] を選択します。	[新規影響分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームで [却下] を選択した場合、ビジネスインパクト分析のステータスが [戻り] に設定されます。[戻り] ステータスのビジネスインパクト分析を編集できます。再度レビューのために更新して送信することができます。

注:
スケジュール設定済みジョブが毎週実行され、期限切れになったビジネスインパクト分析が [アーカイブ化済み] ステータスに移行します。

ビジネスインパクト分析の作成

BCM UI ビルダー ワークスペース でビジネスインパクト分析 (BIA) を作成して、計画に必要な情報を取得します。

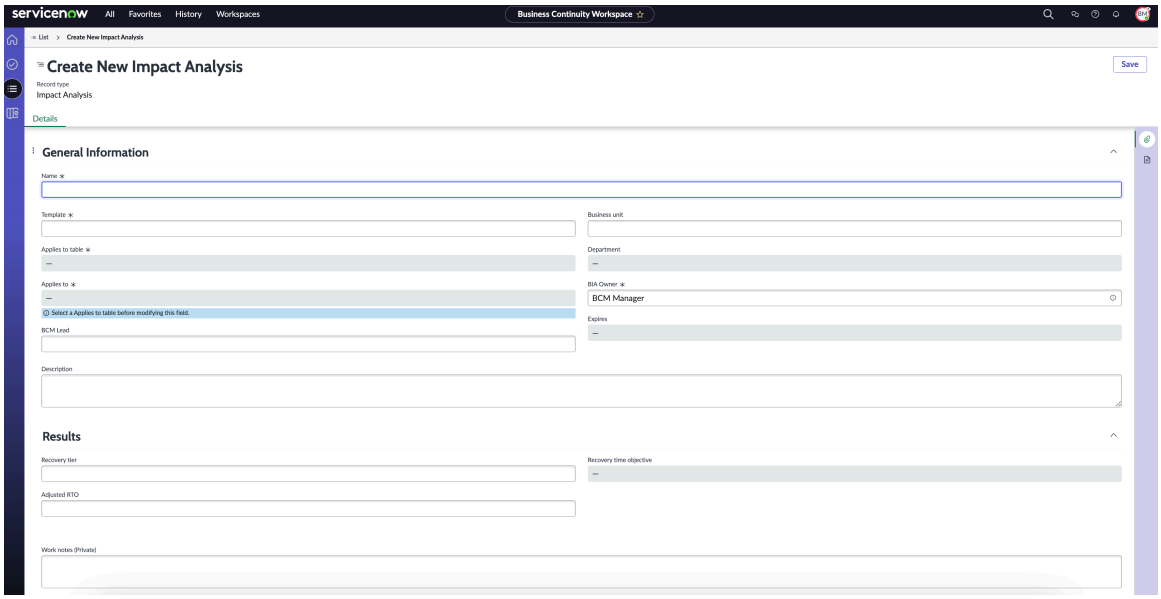
始める前に
必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、**[Business Impact Analysis]** に移動して、[新規] を選択します。
   次の例に示すように [新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)]** フォームが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



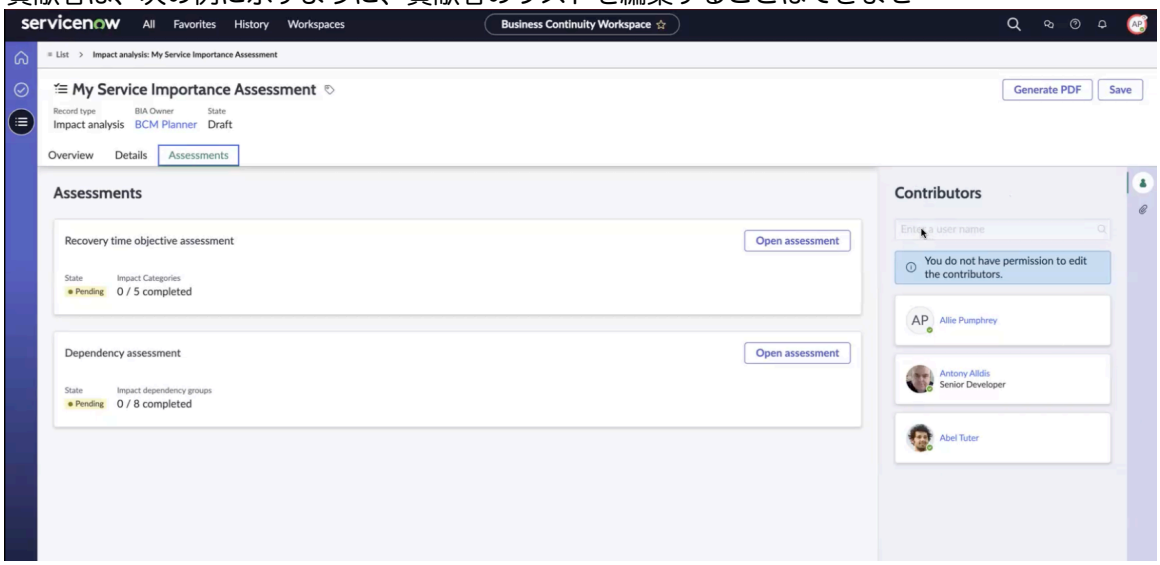
3. [新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)]** フォームの [詳細] タブで、必須フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[新規インパクト分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォーム」を参照してください。
   ビジネスインパクト分析が [ドラフト] ステータスで作成され、リストビューに表示されます。ビジネスインパクト分析のステータスと詳細が次のタブに表示されます。
   - 概要：ビジネスインパクト分析の現在のステータスと全体的なステータス進行状況を表示できます。
   - 詳細：名前、テンプレート、事業部門、部門など、ビジネスインパクト分析の詳細を追加できます。
   - アセスメント：[目標復旧時間のアセスメント]、目標復旧時点アセスメント]、および [依存関係アセスメント] タブで、ビジネスインパクト分析のアセスメントアンケートに回答を入力できます。
4. サイドバーの [貢献者] アイコンを選択して [貢献者] パネルを起動し、リストから貢献者をビジネスインパクト分析レコードに追加します。

   BIA オーナーまたは BCM マネージャーは、貢献者をビジネスインパクト分析に追加できます。

   注:
   sn_bia.bia_contributor ロールを持つ BIA 貢献者が持っているのは BIA への読み取りアクセス権ですが、[アセスメント] タブでアセスメントを完了することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BIA 貢献者は、次の例に示すように、貢献者のリストを編集することはできませ


ん。

5. [保存] を選択します。

   ビジネスインパクト分析が [ドラフト] ステータスで保存され、レコードの [ビジネスインパクト分析] リストビューに表示されます。

[新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)**] フォーム

[新規インパクト分析を作成 (Create New Impact analysis)] フォームを使用して、ビジネスインパクト分析、アセスメント、承認などの詳細を BCM UIB ワークスペース に追加します。

[新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)**] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)**] フォーム

フィールド	説明
[概要] タブ (分析の作成時に表示)	
ステータス	ビジネスインパクト分析のステータスのステッパーコンポーネント。
[詳細] タブ	
名前	ビジネスインパクト分析の名前。ビジネスインパクト分析を 255 文字以内で説明します。
テンプレート	ビジネスインパクト分析を作成するためのモデルとして使用できるテンプレート。 BIA テンプレートには、アセスメントのタイプに対応する識別されたプライマリ要素 (アプリケーション、ビジネスプロセス、および場所)、影響度カテゴリ、および依存資産があります。
テーブルに適用	ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、またはビジネスインパクト分析で評価されるその他の資産。このフィールドは、選択したテンプレートに従って自動入力されます。
事業部門	テンプレートのプライマリ要素データを格納するテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規インパクト分析を作成 **(Create New Impact analysis)]** フォーム (続く)

フィールド	説明
部門	ビジネスプロセスを使用する部門。選択した事業部門に基づいて部門を選択できます。
適用先	分析が適用されるプロセス。
BIA オーナー	ビジネスインパクト分析を所有し、完了する責任を負っている人物。BCM リードはビジネスインパクト分析をレビューできます。
BCM リード	分析にアサインされた BCM リード。
有効期限	分析の有効期限。このフィールドは自動入力されます。
説明	プロセスの説明。
結果	
復旧階層	ビジネスインパクト分析の復旧階層。
調整済み RTO	手動で調整された RTO。
達成目標復旧時間	インパクト分析の目標復旧時間。
作業メモ	ビジネスインパクト分析の作業メモ。このフィールドは自動入力されます。
レコードのサイドバーに表示されるアイコン	
貢献者	レコードのサイドパネルに表示されるアイコン。パネルからビジネスインパクト分析への貢献者を追加できます。
添付ファイル	ビジネスインパクト分析の PDF が添付されているパネル。
テンプレート	ビジネスインパクト分析のテンプレートを入力するパネル。このパネルでは、すべてのテンプレートまたはカスタマイズされたテンプレートを表示できます。

ビジネスインパクト分析の依存関係の自動更新をスケジュールする

のソースデータと関係 CMDBに基づいて、ビジネスインパクト分析の依存関係の自動更新をスケジュールできます。アプリケーションから BCM 、BIA 依存関係の更新の詳細を含むメール通知を受信できます。

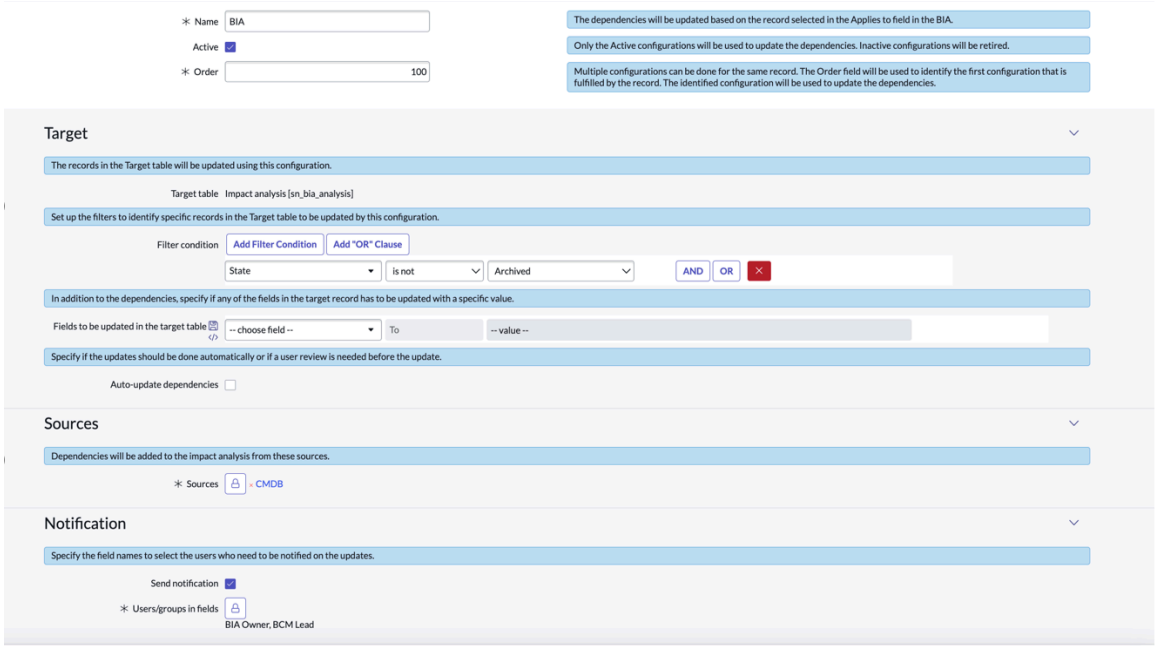
依存関係の自動更新のスケジュール設定

管理者は BCM 、影響分析の依存関係の更新構成モジュールで、ソースデータと関係に基づいて BIA 依存関係の自動更新をスケジュールできます CMDB。

影響分析の依存関係更新構成モジュールを次の例に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



BCM管理者が [依存関係を自動更新] オプションを選択すると、BCMBIA の依存関係の自動更新がスケジュールされます。同様に、[通知を送信] オプションを選択すると、 BCM アプリケーションは依存関係の更新に関する自動メールを BIA オーナーに送信します。

BIA 依存関係のソースは CMDBです。

注:
HR アプリケーション BIA、売掛金管理 BIA など、BIA レコードの [適用先] フィールドにリストされている BIA の依存関係がフェッチされます。

影響分析依存関係更新構成モジュールの設定は 1 回限りのアクティビティです。影響分析依存関係更新構成モジュールでソースが構成されると、依存関係の更新が BIA で同期されます。

影響分析依存関係更新構成モジュールの設定の詳細については、「」を参照してください 影響分析依存関係の更新の構成。

BIA 依存関係の更新に関連付けられたロール

次のロールを持つユーザーは、通常、BIA で依存関係の更新を確認します。

- プログラムマネージャー、計画者、およびBCMマネージャーはBCM、BCM最新の依存関係を更新できます。
- BCM 管理者は、影響分析依存関係更新の構成モジュールを構成できます。

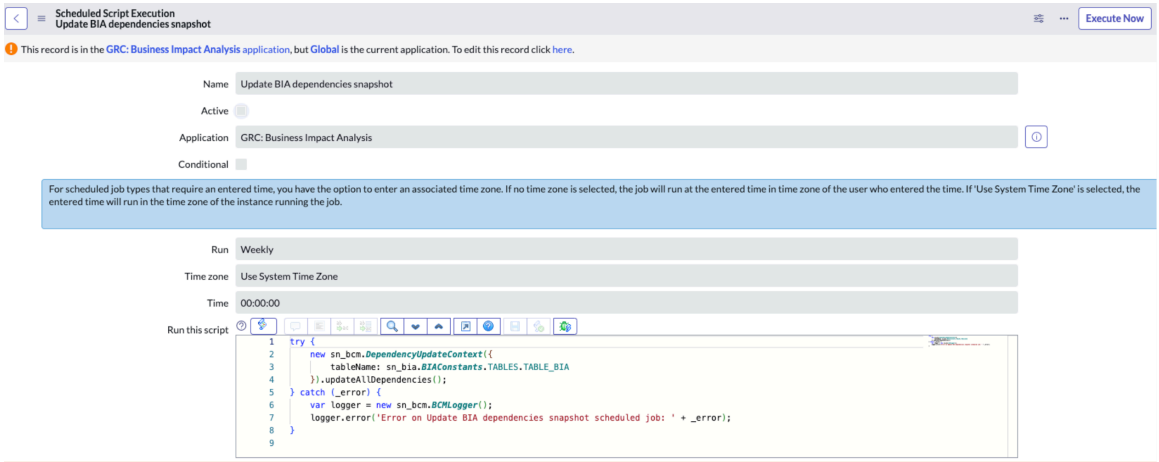
依存関係アセスメントを更新できるユーザーは、BIA の依存関係の更新をインポートできます。

スケジュール設定済みジョブを使用した依存関係の自動更新

スケジュール設定済みジョブは *`Update BIA dependencies snapshot`* ベースシステムの一部として出荷されます。定期的に実行され、依存関係の更新をフェッチします。ジョブスケジュールを次の例に示します。

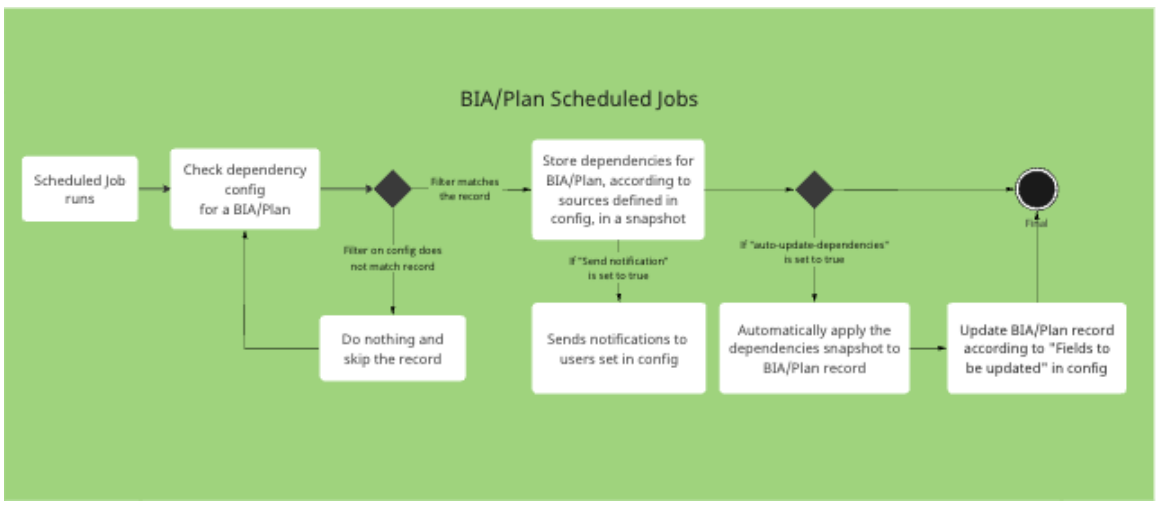
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スケジュール設定済みジョブは、デフォルトではアクティブとしてマークされていません。スケジュール設定済みジョブを定期的に実行するには、システム管理者は [アクティブ] オプションを選択し、[今すぐ実行] を選択してスケジュール を設定します。その後、スケジュール設定済みジョブが定期的に実行され、BIA レコードで変更がスキャンされ、更新された BIA レコードの依存関係の更新をフェッチします。BIA 更新ごとにスナップショットレコードが作成されます。

スケジュール設定済みジョブは、次の例に示すように、ワークフローを処理して関係の変更を確認し、依存関係の更新を自動的に保存します。



1. スケジュール設定済みジョブは毎週実行され、各 BIA レコードの依存関係構成をチェックして、影響分析依存関係更新構成モジュールの [ソース] タブで定義されている CMDB から BIA 依存関係をフェッチします。すべてのアクティブな BIA と、各 BIA のプライマリ資産および依存資産のリストが生成されます。BIA に対して新しい依存関係が追加、更新、または削除されると、スケジュール設定済みジョブは、ユーザーの変更を表示する BIA のスナップショットレコードを作成します。

   注:
   デフォルトでは、スケジュール設定済みジョブは、[アーカイブ済み] ステータスでないすべての BIA レコードで更新された依存関係をチェックします。

2. ジョブスケジュールは、構成 (影響分析依存関係更新構成モジュール) で設定されたフィルター条件を参照します。条件が BIA レコードと一致する場合、スケジュール設定済みジョブは、BIA の依存関係をフェッチし、構成で定義されたソースに従ってスナップショットレコードに保存します。フィルター条件が BIA レコードと一致しない場合、アプリケーションはレコードをスキップします。

自動翻訳

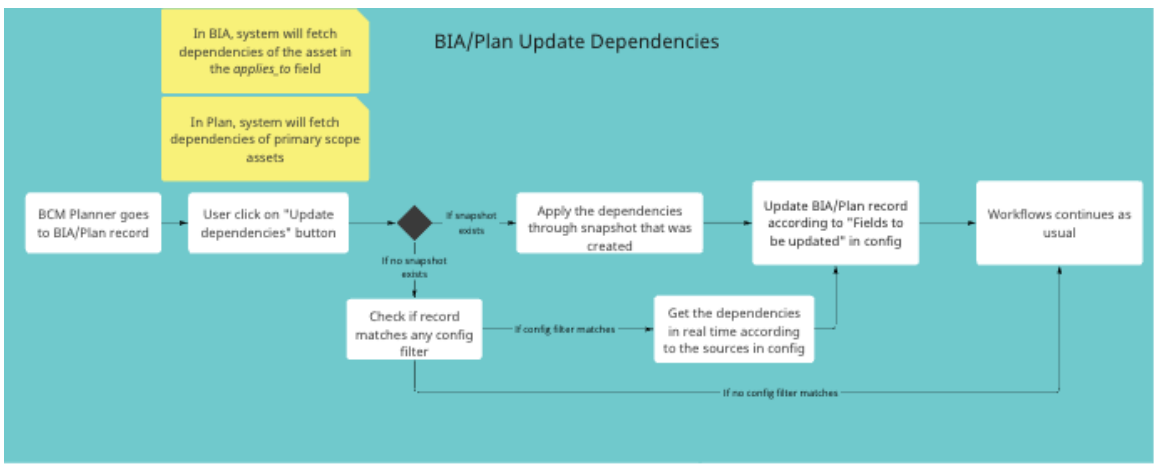
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. アプリケーションは、影響分析依存関係更新構成モジュールで定義された優先度に基づいて、資産リストを 1 つのリストに結合します。アプリケーションは、資産リストを既存の資産リストと比較し、各資産に [追加済み]、[更新済み]、または [削除済み] ステータスを割り当てます。
4. アプリケーションはまた、新しい資産を要素定義にリストされている資産と比較し、要素定義の条件を検証します。アプリケーションは資産のスナップショットを作成し、依存関係スナップショットレコードの依存関係の更新を自動完了します。
5. 影響分析依存関係更新構成モジュールで [通知を送信] オプションが **True** に設定されている場合、構成内の BIA レコードセットのユーザーには、スケジュール設定済みジョブを通じて依存関係の更新が通知されます。
6. 影響分析依存関係更新構成モジュールで [依存関係を自動更新] オプションが **True** に設定されている場合、スケジュール設定済みジョブによって依存関係スナップショットが BIA レコードに自動的に適用されます。
7. 最後のステップとして、スケジュール設定済みジョブは、構成内の更新するフィールドに従って BIA レコードを更新します。

依存関係の手動更新

BCMアプリケーションユーザーは、[依存関係を更新] UI アクションを使用して、BIA の依存関係を瞬時に更新できます。このようにすることで、週次スケジュールに従ってスケジュール設定済みジョブが実行される前に、依存関係を手動で更新できます。[依存関係を更新] UI アクションは、BIA の依存関係アセスメントに一覧表示されます。その後、依存関係がソースで更新され、BIA 更新のスナップショットレコードが作成されます。

[依存関係を更新] UI アクションを使用し、依存関係を手動で更新する方法については、次のワークフローを参照してください。



1. 計画者が BCM BIA レコードに移動します。アプリケーションは、BIA の [適用先] フィールドで定義された資産の依存関係をフェッチします。
2. 計画者は BCM 、BIA の依存関係アセスメントにリストされている [依存関係を更新] UI アクションを選択します。
3. BIA 更新のスナップショットレコードが存在する場合、システムはスナップショットを介して依存関係を適用し、構成内の 更新するフィールド に従って BIA を更新します。その後、BIA ワークフローは、レビューや承認の要求などの次のステップに進みます。

   BIA 更新のスナップショットレコードが存在しない場合、 BCM 計画者は BIA レコードがいずれかの構成フィルターに一致するかどうかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- BIA レコードがいずれかの構成フィルターに一致する場合、アプリケーションは構成内のソースに従ってリアルタイムで依存関係を取得します。次に、構成内の 更新するフィールド に従って BIA レコードを更新します。その後、BIA ワークフローが次のステップに進みます。
- BIA レコードが構成フィルターと一致しない場合、BIA ワークフローは次のステップに進みます。

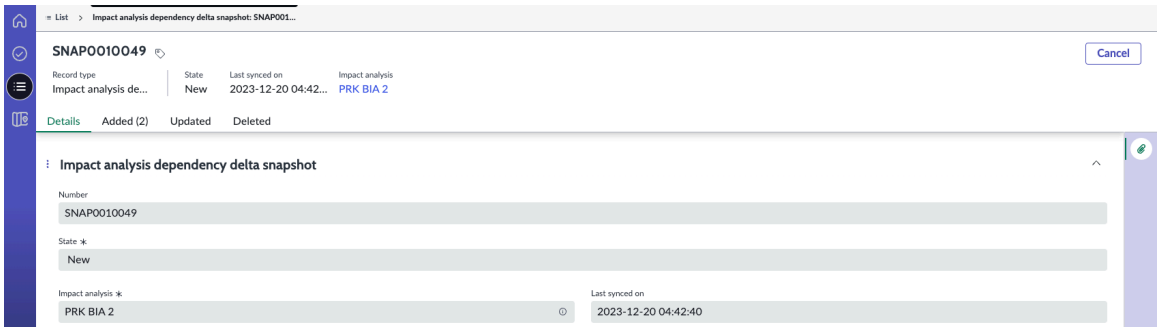
依存関係を手動で更新する方法の詳細については、次のリンクを参照してください BIA 依存関係を手動で更新。

注:

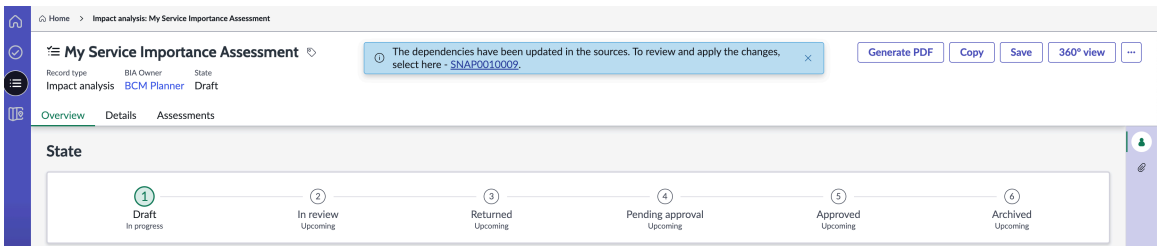
注:
影響分析依存関係更新構成モジュールは、スケジュール設定済みジョブの使用と、手動での依存関係の更新 ([依存関係の更新] UI アクションを使用) に使用されます。

BIA のスナップショットレコード

スナップショットレコードは、スケジュール設定済みジョブまたは [依存関係を更新] 手動 UI アクションのいずれかを使用して、BIA 更新ごとに作成されます。BIA に対して新しい依存関係が追加、更新、または削除されると、スナップショットレコードに変更の差分が表示されます。スナップショットレコードは、の 事業継続性ワークスペース[ビジネスインパクト分析] リストビューの [保留中の更新] モジュールに一覧表示されます。スナップショットレコードを次の例に示します。



スナップショットレコードが作成されると、アプリケーションは BIA の依存関係アセスメントに次の UI メッセージを表示して、依存関係の更新についてユーザーに通知します。 ソースで依存関係が更新されました。 変更を確認して適用するには、ここ - <link>を選択します。UI メッセージを次の例に示します。



スナップショットレコードは、記録保持の目的で使用されます。BCMアプリケーションは、BIA ごとに一度に 1 つのアクティブなスナップショットを保存します。依存関係が更新されるたびに、スナップショットが常に最初に作成されます。システムはすべてのレコードを 1 つずつ処理するため、スナップショットレコードはシステム内で 1 つずつ自動コミットされます。

[完了] ステータスで数か月間更新されていないスナップショットは、アプリケーションから自動的に削除されます。

BIA レコードの依存関係に変更がない場合、その BIA レコードのスナップショットレコードは作成されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データリレーションシップフレームワーク

資産に対してビジネスインパクト分析 (BIA) を実行する場合は、依存関係アセスメントを実行して BIA の依存関係を評価する必要があります。内の CMDB 依存関係が更新された場合、BIA に手動でインポートするのは面倒な作業になる可能性があります。リリース以降 Washington DC 、アプリケーション (com.sn_app_grc_relationship_config) は データリレーションシップフレームワーク 、BIA の依存関係をフェッチするために、基礎となるフレームワークを使用してアプリケーションをサポートします BCM 。データリレーションシップフレームワークアプリケーションは、デフォルトでアプリケーションと共にBCMインストールされます。

データリレーションシップフレームワーク の詳細については、「データリレーションシップフレームワーク」を参照してください。

BIA 依存関係を手動で更新

影響分析依存関係更新構成モジュールでスケジュール設定済みジョブが有効になっていない場合は、スナップショットからビジネスインパクト分析 (BIA) の依存関係を手動で更新します。アクティブな BIA で依存関係を更新できます。

始める前に
必要なロール:sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner、sn_bcm.admin

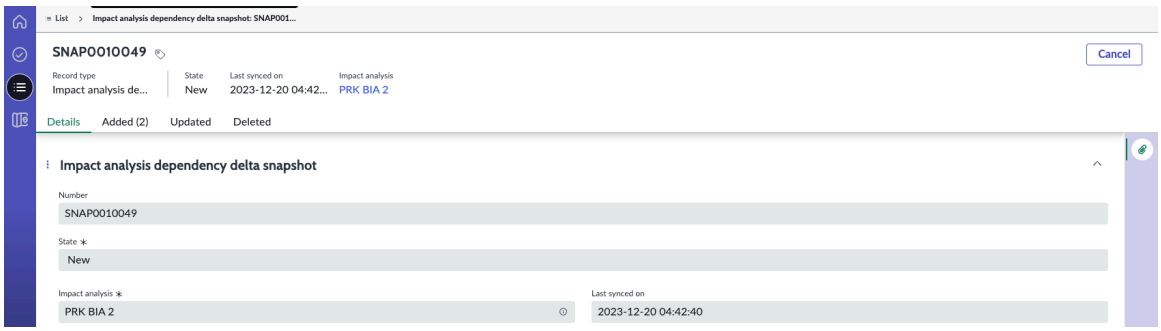
手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. [ドラフト] ステータスの BIA を開き、[アセスメント] タブに移動します。

   ソースで依存関係が更新されている場合、ジョブスケジュールが依存関係をフェッチし、画面に UI メッセージが表示されます 。変更を確認して適用するには、ここ - SNAP0010078を選択します。スナップショットレコードを選択して更新を表示できます。

3. スナップショットレコードを表示するには、[ビジネスインパクト分析] リストビューで [保留中の更新] モジュールを選択し、スナップショットレコードを選択します。

   影響分析依存関係デルタスナップショットが表示されます。



   BCMアプリケーションは、BIA のアクティブなスナップショットを一度に 1 つ保存します。[完了] ステータスで過去 6 か月間更新されていないスナップショットは、アプリケーションから自動的に削除されます。

4. 依存関係を手動で更新するには、依存関係アセスメントで [アセスメントを開く] を選択します。
5. [依存関係の更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> システムが依存関係を更新しているときは、BIA レコードの UI アクションがブロックされ、BIA ステータスを続行できなくなります。システムが依存関係のインポートを完了しない限り、ユーザーは BIA のそれ以降のステータスに進むことはできません。依存関係アセスメントの依存関係は、ユーザーが BIA の以降のステータスに進む前に完了する必要があります。すべての依存関係がインポートされ、依存関係アセスメントの依存関係が完了すると、ユーザーは BIA レコードのワークフローを続行できます。

UI メッセージが画面に表示されます: 依存関係を更新しています。ページを更新して更新された依存関係を表示し、アセスメントを完了します。

6. BIA への変更を保存するには、 [保存] を選択します。
   BIA オーナーと承認者は、BIA への変更を保存することで依存関係を更新できます。

影響度カテゴリと依存関係の評価

BCM UIB ワークスペース で影響度カテゴリと依存関係を評価して、計画に必要な情報を取得します。ビジネスインパクト分析を使用して、アイテムの目標復旧時間を特定し、依存関係が最も少ない資産と最も重要度が高い資産に優先順位を付けます。この情報を使用して、計画段階で復旧戦略を確立します。

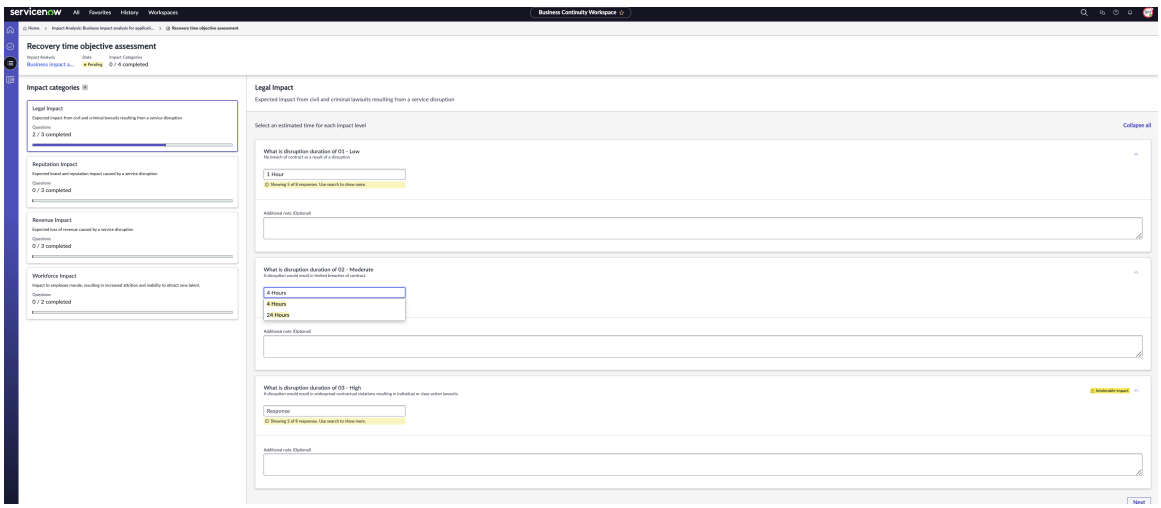
始める前に

必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. 既存のビジネスインパクト分析を更新するには、[名前] 列のビジネスインパクト分析レコードへのリンクを選択し、[アセスメント] タブに移動します。
3. ビジネスプロセスでのさまざまなタイプのビジネスへの影響度カテゴリを評価するには、[目標復旧時間のアセスメント] タブをクリックします。

   目標復旧時間のアセスメント (RTO アセスメント) のサンプルアンケートを次の例に示します。



   [目標復旧時間のアセスメント] で、すべての影響度カテゴリを設定する必要があります。ビジネスプロセスは、デフォルトで、ビジネスインパクト分析に使用したテンプレートから一連の影響度カテゴリを取得します。詳細については、「影響度カテゴリの確認とそのダウンタイムの評価」を参照してください。

4. 目標復旧時間のアセスメントアンケートの質問に回答して、[次へ] を選択します。

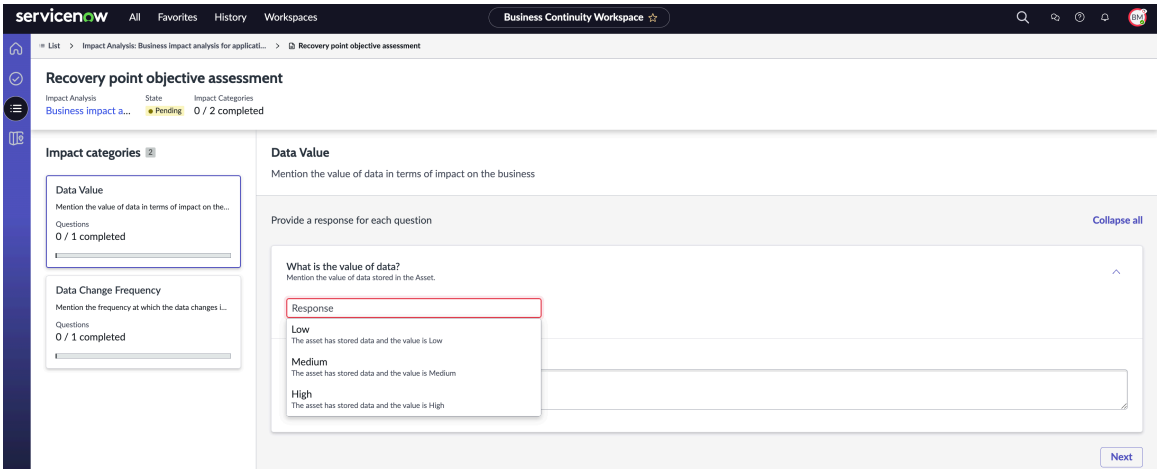
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目標復旧時間とその計算の詳細については、「目標復旧時間、目標復旧時点、および復旧階層」および「目標復旧時間と目標復旧時点の計算」を参照してください。

5. 資産のデータコンポーネントに関連する質問に回答するには、[目標復旧時点のアセスメント] タブを選択します。

   目標復旧時点のアセスメント (RPO アセスメント) のサンプルアンケートを次の例に示します。



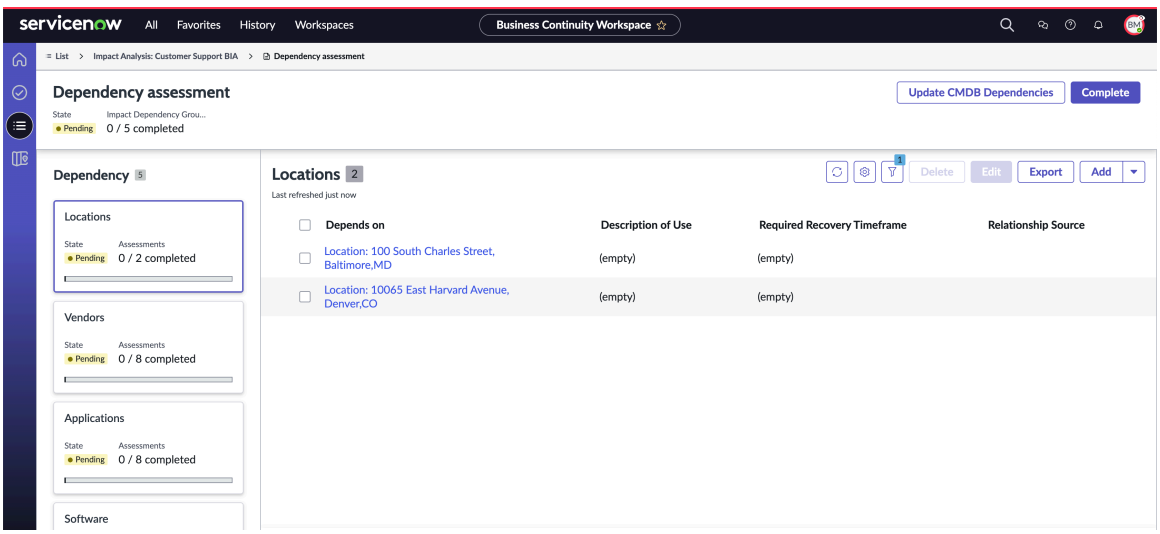
[目標復旧時点のアセスメント] で、すべての影響度カテゴリを設定する必要があります。詳細については、「技術資産がビジネスに与える RPO の影響度の評価」を参照してください。

目標復旧時点とその計算の詳細については、「目標復旧時間、目標復旧時点、および復旧階層」および「目標復旧時間と目標復旧時点の計算」を参照してください。

6. 目標復旧時点のアセスメントの質問に回答して、[次へ] を選択します。
   質問に回答して、目標復旧時点のアセスメントを完了します。
7. 依存関係を評価して、それぞれの依存関係の中でビジネスプロセスが依存するアイテムを特定するには、[依存関係アセスメント] タブを選択します。

   [依存関係] パネルで依存関係を選択すると、グループとそのグループに属するアイテムが表示されます。たとえば、グループが [場所] の場合、1 つ以上の場所を選択して、その場所に関連付けられた依存関係を評価できます。

   依存関係アセスメントアンケートのサンプルを次の例に示します。



8. 依存関係グループにアイテムを追加するには、次のいずれかのオプションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. [レビューのため送信] を選択します。

   注:
   レビューのためにビジネスインパクト分析を送信する前に、すべてのアセスメントが完了し、[詳細] タブの **[BCM** リード] フィールドで BCM リード の名前が更新されていることを確認してください。

   ビジネスインパクト分析が、レビューのために BIA オーナーまたは BCM リードに送信されます。ビジネスインパクト分析は [レビュー] ステータスになっています。

10. BIA オーナーまたは BCM リードである場合は、ビジネスインパクト分析でアセスメントを確認します。

11. [承認のため送信] を選択します。
    ビジネスインパクト分析が [承認待ち] ステータス に更新されます。

    注:
    BIA の承認レコードが既に作成されている場合、[承認] または [却下] ボタンは BIA フォームに表示されません。

ビジネスインパクト分析の承認

BCM アプリケーションの BCM UI ビルダー ワークスペース で、ビジネスインパクト分析を承認します。ビジネスインパクト分析のオーナーまたはビジネスインパクト分析の BCM リードであれば、ビジネスインパクト分析を承認できます。

始める前に

必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. 既存のビジネスインパクト分析を更新するには、[名前] 列のビジネスインパクト分析レコードに移動します。
3. フォームで [承認] を選択します。
   ビジネスインパクト分析のオーナーまたはビジネスインパクト分析の BCM リードであれば、ビジネスインパクト分析を承認できます。
   ビジネスインパクト分析を承認すると、ステータスは [承認済み] に更新されます。

セルフサービスの **BIA** の依存関係の詳細を更新

貢献者ロールを使用して、影響度カテゴリ結果、RPO 影響分析応答、影響度依存関係グループのステータス、および BCM アプリケーションの [アクティビティ] セクションで作業メモを更新します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.contributor または sn_bcm.viewer

貢献者リストに含まれている BCM 貢献者の場合、または BCM ビューアーである場合、ビジネスインパクト分析 (BIA) の依存関係の詳細を更新できます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 影響分析.
2. 自分に割り当てられたビジネスインパクト分析レコードと自分が貢献できる BIA のリストを表示します。
3. BIA レコードを選択し、詳細を表示します。
4. BIA の [ステータス] を更新します。
5. レコードを更新するには、[更新] を選択します。

ビジネスインパクト分析の **360** 度の関係を可視化

BCM UIB ワークスペース でビジネスインパクト分析とその関連エンティティの 360 度の関係を可視化します。ビジネスインパクト分析の作成中は、いつでも 360 度ビューにアクセスできます。

始める前に
必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

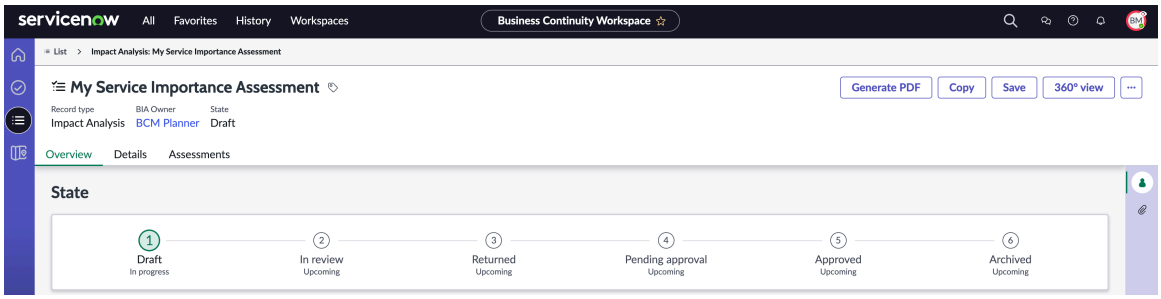
このタスクについて
360 度ビューの構成は、次の場所に保存されます。 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成. 管理者ロールを持っている場合は BCM 、次のレコードの関係を構成できます。 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.

手順

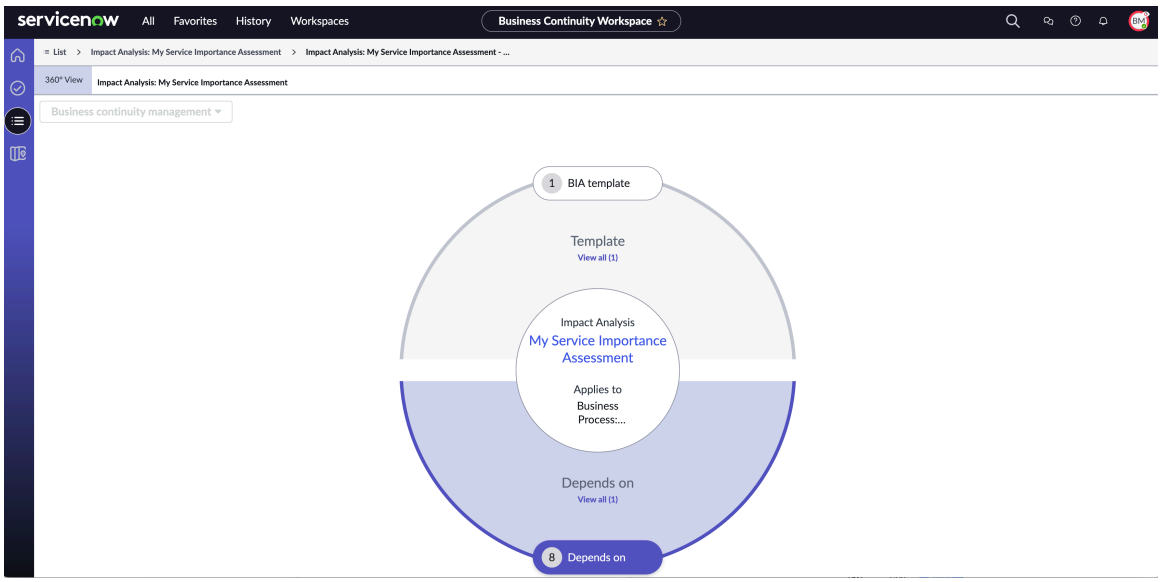
1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、**[Business Impact Analysis]** に移動して、リストからレコードを選択します。
   ビジネスインパクト分析レコードが表示されます。
3. **[360** 度ビュー] を選択します。
   次の例に示すように、**[360** 度ビュー] を選択して BIA の関係を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の例は、ビジネスインパクト分析とその詳細の 360 度ビューです。



ビジネスインパクト分析の 360 度ビューには、次の詳細が表示されます。

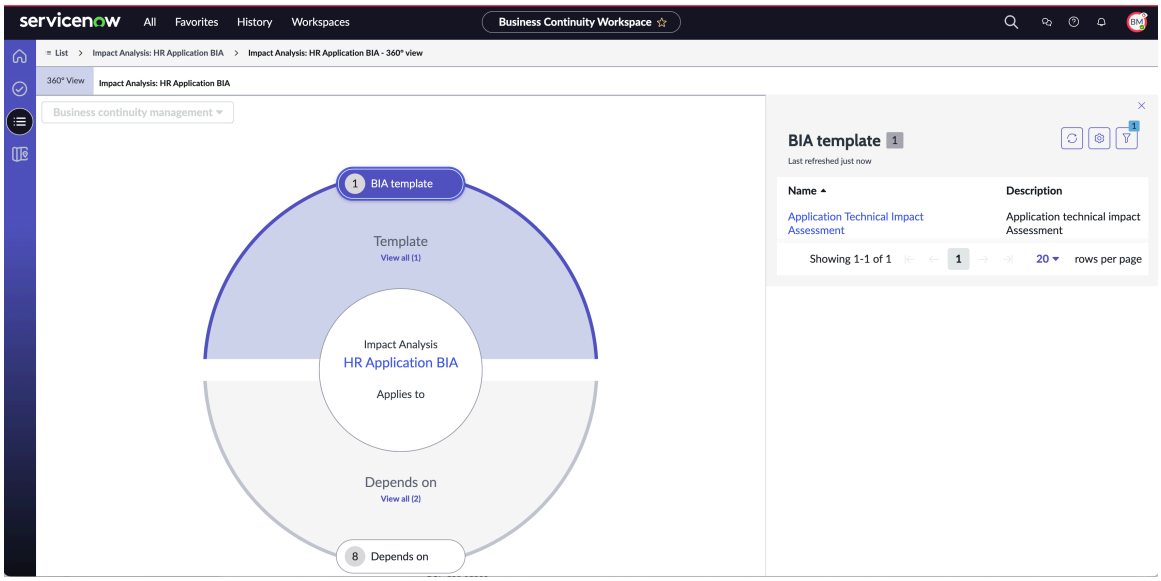
- [影響分析]：ビジネスインパクト分析の名前 (自分のサービス重要性アセスメントなど)。
- [適用先]：ビジネスプロセスやビジネスサービスなど、ビジネスインパクト分析が適用されるエンティティ。
- [テンプレート]：テンプレートの名前や説明などの BIA テンプレートの詳細。**[BIA** テンプレート] カプセルを選択し、BIA テンプレートの詳細を表示できます。
- [依存先]：ビジネスインパクト分析に関連付けられた依存関係。[依存先] カプセルを選択して、その詳細を表示できます。

4. ビューで **[BIA** テンプレート] を選択します。

   次の例に示すように、テンプレートの名前や説明などの BIA テンプレートの詳細がビューの右側のパネルに表示されます。

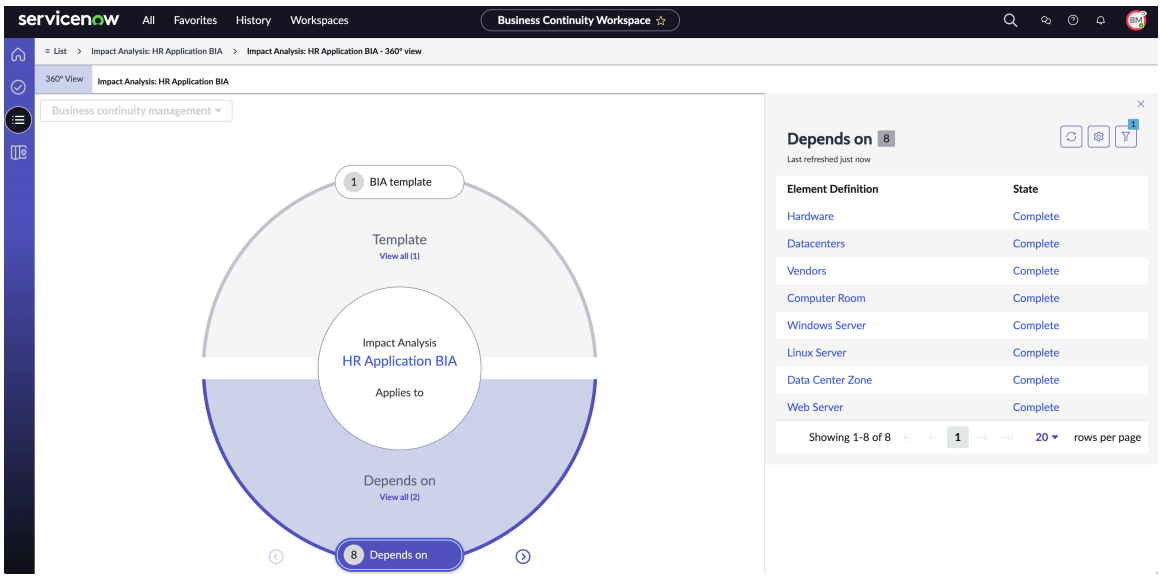
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. ビューで [依存先] を選択します。

次の例に示すように、依存関係の詳細がビューの右側のパネルに表示されます。

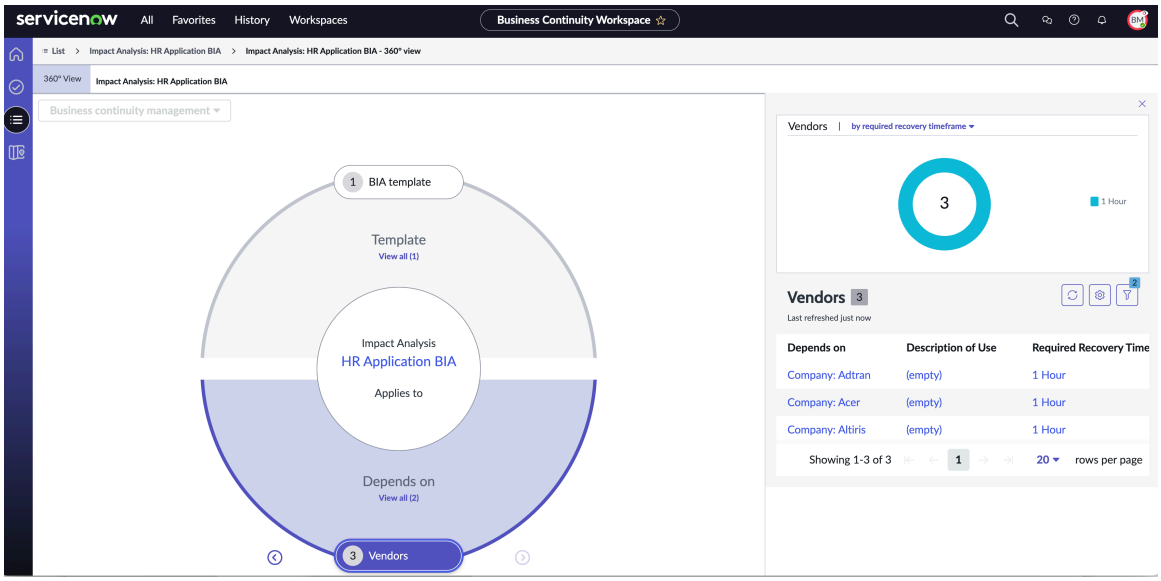


6. ビューで [ベンダー] を選択します。

次の例に示すように、ベンダーの詳細がビューの右側のパネルに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. 再度 BIA に移動するには、ページのブレッドクラムナビゲーションで BIA またはリストビューを選択します。

ビジネスインパクト分析の **PDF** の生成

BCM UIB ワークスペース でビジネスインパクト分析の PDF を生成し、後で参照できるように保存します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner

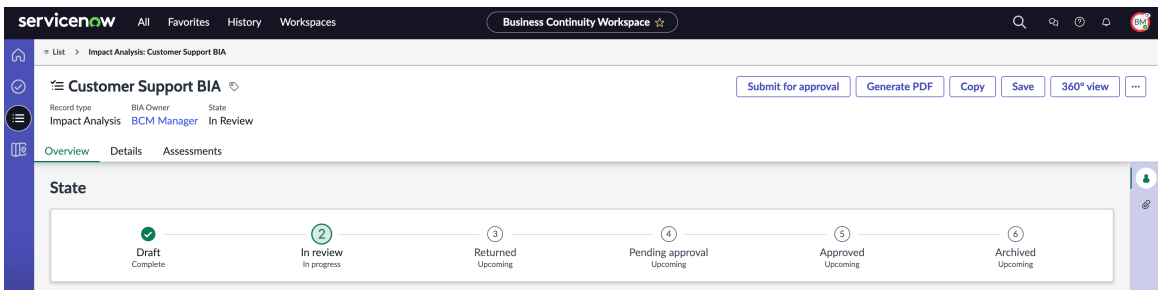
このタスクについて

ビジネスニーズに合わせて PDF をフォーマットするには、「BIA、BCP、およびイベントの PDF テンプレートを書式設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[ビジネスインパクト分析] に移動し、[レビュー] または次のステータスにあるビジネスインパクト分析を選択します。
3. フォームで **[PDF**の生成] を選択します。

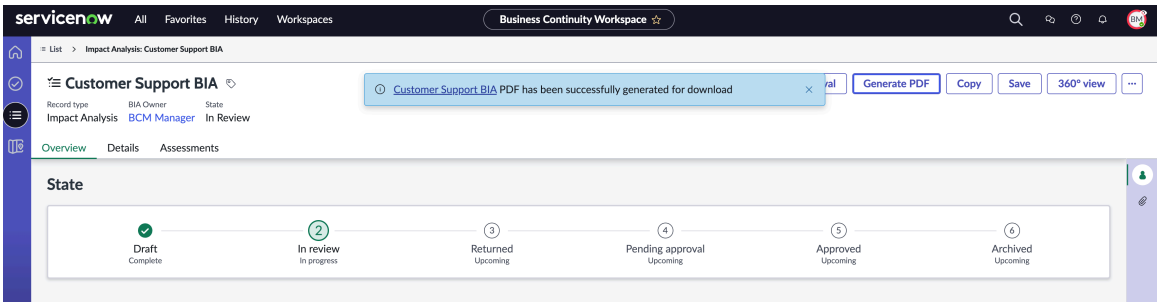
   次の例は、ビジネスインパクト分析フォームの **[PDF** の生成] オプションを示しています。



   次の例は、「<BIA の名前> ダウンロード用 PDF が正常に生成されました」というメッセージが画面に表示されているところを示しています。

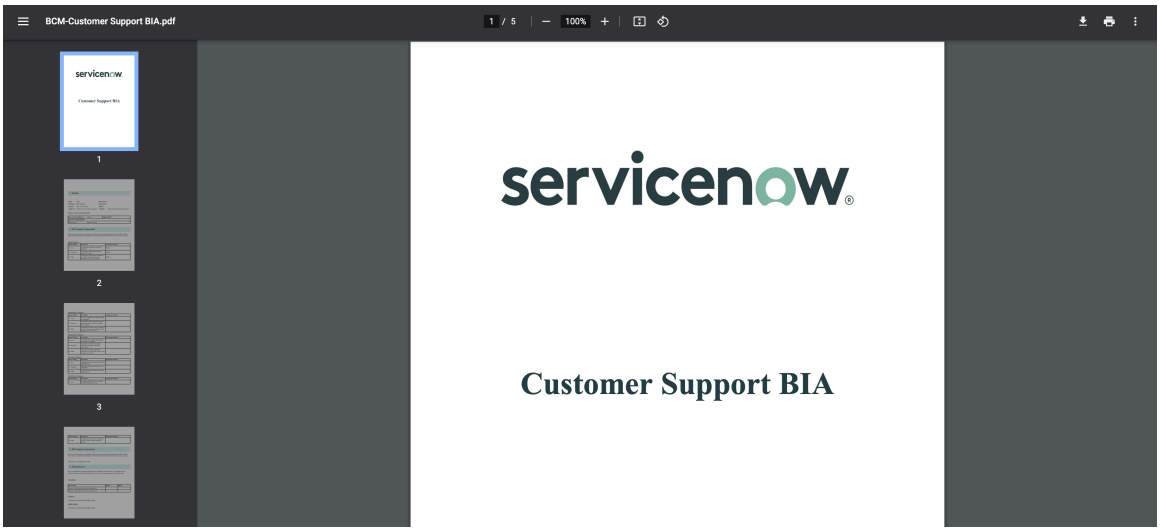
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



4. PDF をダウンロードするには、メッセージ内のリンクを選択します。

次の例は、ビジネスインパクト分析フォームの PDF を示しています。



5. システムに PDF を保存します。

BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性計画作成のための構造化されたワークフロー

このセクションで概説されている構造化されたワークフローを実行して、事業継続性ワークスペース (別名 BCM 構成可能ワークスペース) で事業継続性計画を作成します。

通常、事業継続性計画オーナーは次のタスクを実行します。

- 計画テンプレートから事業継続性計画を作成する。詳細については、「事業継続性計画の作成」を参照してください。
- 計画に資産とスコープを追加する。詳細については、「事業継続性計画への資産とスコープの追加」を参照してください。
- ドキュメントセクションを作成する。詳細については、「ドキュメントセクションの作成」を参照してください。
- 関連計画と復旧チームを追加する。詳細については、「関連計画と復旧チームの追加」を参照してください。
- 損失シナリオ、復旧戦略、および復旧タスクを追加する。詳細については、「損失シナリオの追加」、「関連資産の依存関係の復旧戦略の追加」、「損失シナリオの復旧タスクの追加」を参照してください。
- 参照用に分析の PDF を生成して保存する。詳細については、「事業継続性計画の PDF の生成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画に関する追加情報

- ホームページの [計画] タブの詳細については、「ホームページビュー」を参照してください。
- 事業継続性計画の詳細については、「事業継続性計画」を参照してください。
- 事業継続性計画における管理タスクの詳細については、「事業継続性計画のためのセットアップ」を参照してください。

事業継続性計画のステータスと **UI** アクション

事業継続性計画を作成すると、特定の UI アクションが各ステータスに関連付けられます。

事業継続性計画と関連付けられているステータスと **UI** アクション

次の表で、事業継続性計画に関連付けられているステータスと UI アクションについて説明します。

事業継続性計画と関連付けられている **UI** アクションとステータス

更新された **BCP** のステータス	**UI** アクション	説明
ドラフト	事業継続性計画レコードのリストビューで、[新規] を選択します。 **注:** ホームページの [計画] セクションに移動し、**[BIA** を作成] を選択することもできます。	[新規計画を作成] フォームで [新規] を選択するか、ホームページで **[BIA** を作成] を選択すると、レコードはデフォルトで [ドラフト] ステータスで作成されます。 [詳細] タブで、事業継続性計画の詳細を追加します。次のタブで詳細を追加します。 • スコープ • ドキュメント • 関連計画 • 復旧チーム • 損失シナリオ • 復旧タスク
レビュー中	[レビューのため送信] を選択します。	[新規計画を作成] フォームで [レビューのため送信] を選択すると、事業継続性計画のステータスが [レビュー中] に更新され ます。
承認待ち	[承認のため送信] を選択します。	[新規計画を作成] フォームで [承認のため送信] を選択すると、事業継続性計画のステータスが [承認待ち] に更新され ます。
承認済み	[承認] を選択します。	[新規計画を作成] フォームで [承認] を選択すると、事業継

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画と関連付けられている **UI** アクションとステータス (続く)

更新された **BCP** のステータス	**UI** アクション	説明
		続性計画のステータスが [承認済み] に更新され ます。[概要] タブには、事業継続性計画のステータスの進捗状況が表示されます。 事業継続性計画が [承認済み] ステータス の場合、それ以上編集することはできません。
アーカイブ化済み	[新規計画を作成] フォームで、[アーカイブ] を選択します。	[新規計画を作成] フォームで [アーカイブ] を選択すると、事業継続性計画のステータスが [アーカイブ化済み] に更新されます。 事業継続性計画が [アーカイブ化済み] ステータス の場合、読み取り専用形式で使用できます。これらのタブの情報は編集できなくなります。 [新規計画を作成] フォームで、次のUI アクションを実行できます。 PDF の生成 参照用に事業継続性計画の PDF をダウンロードします。[詳細] タブの [アクティビティ] パネルで PDF 添付ファイルが利用できます。 ビジネスインパクト分析の PDF の作成については、「事業継続性計画の PDF の生成」を参照してください。 コピー 後で参照できるように、ビジネス影響分析の PDF のコピーをテンプレートとして保存します。 360 度ビュー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画と関連付けられている **UI** アクションとステータス (続く)

更新された **BCP** のステータス	**UI** アクション	説明
		名前、スコープ、関連計画、関連タスクなど、事業継続性計画の 360 度表現を可視化します。 事業継続性計画の 360 度リレーションシップを見るには、「事業継続性計画の 360 度の関係を可視化」を参照してください。 削除 継続性計画を削除します。 編集 事業継続性計画を編集します。 保存 事業継続性計画を保存します。
戻り	[却下] を選択します。	BCP が却下されると、[戻り] に設定されます。[戻り] ステータスの事業継続性計画を編集できます。

自動翻訳

事業継続性計画の作成

BCM UIB ワークスペース で事業継続性計画を作成します。

始める前に

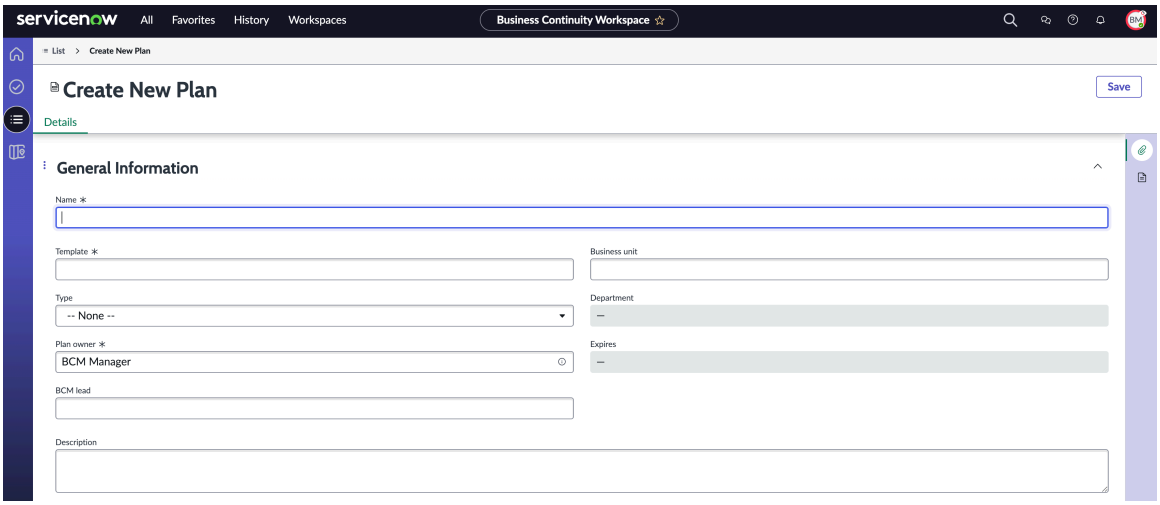
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[新規] を選択します。

   次の例に示すように [新規計画を作成] フォームが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



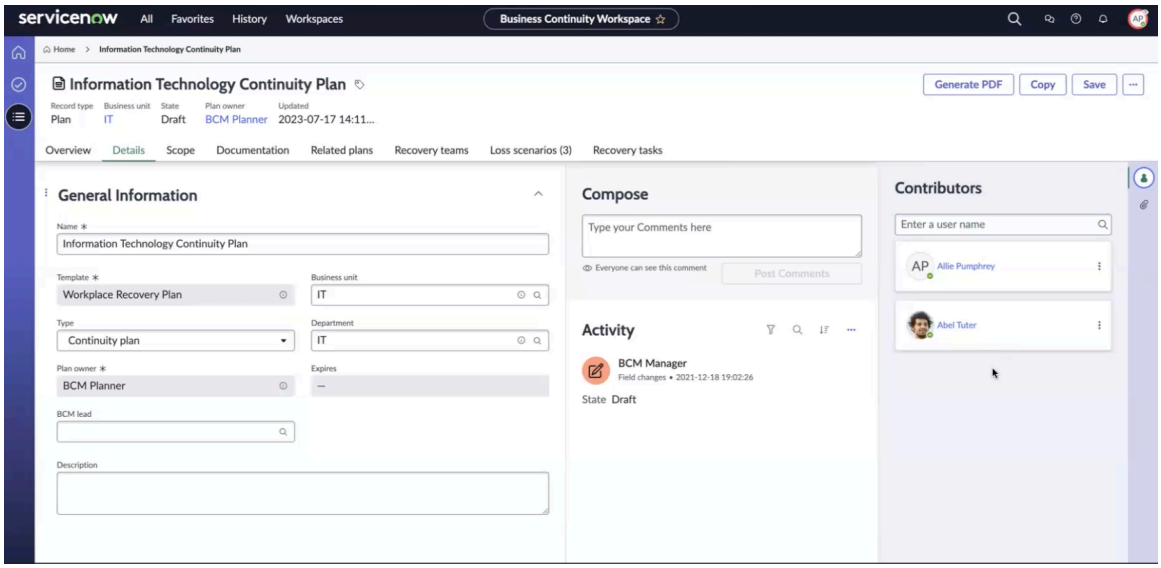
3. [新規計画を作成] フォームの [詳細] タブで、必須フィールドに入力します。
フィールドの詳細については、「[新規計画を作成] フォーム」を参照してください。
事業継続性計画 (BCP) が [ドラフト] ステータスで作成され、リストビューに表示されます。事業継続性計画のステータスと詳細が次のタブに表示されます。
   - 概要：BCP の現在のステータスと全体的なステータス進行状況を表示できます。
   - 詳細：名前、テンプレート、タイプ、計画オーナーなど、計画の詳細を追加できます。
   - スコープ：計画のスコープに資産を追加し、計画テンプレートで定義されているプライマリ要素を表示できます。
   - ドキュメント：ドキュメントセクションで、計画の復旧機能を文書化できます。
   - 関連計画：ワークスペース ビューに一覧表示する関連計画を追加できます。
   - 復旧チーム：事業継続性計画の復旧チームを作成できます。
   - 損失シナリオ：事業継続性計画に適用可能な損失シナリオを追加できます。
   - 復旧タスク：事業継続性計画の復旧タスクを作成できます。
4. サイドバーの [貢献者] アイコンを選択して [貢献者] パネルを起動し、リストから貢献者を事業継続性計画レコードに追加します。

   sn_bcp.plan_contributor ロールを持つ BCP 貢献者には、事業継続性計画への読み取り、書き込み、および削除のアクセス権があります。BCP マネージャー、BCM リード、または計画貢献者ロールを持っている場合は、貢献者を追加または削除できます。

   BCP 貢献者は、次の例に示すように、貢献者のリストを編集したり BCP を編集したりすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存] を選択します。
   BCP が [ドラフト] ステータス で保存され、計画レコードのリストビューに表示されます。

[新規計画を作成] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [新規計画を作成] フォームを使用して、事業継続性計画 (BCP) についての詳細を追加します。

[新規計画を作成] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新規計画を作成] フォーム

フィールド	説明
[概要] タブ	
ステータス	事業継続性計画のステータスを表示するステッパーコンポーネント。
[詳細] タブ	
名前	事業継続性計画の名前。BCP は 255 文字以内で説明します。
テンプレート	BCP を作成するためのモデルとして使用できるテンプレート。 テンプレート BIA には、アセスメントのタイプに対応する識別されたプライマリ要素 (アプリケーション、ビジネスプロセス、および場所)、影響度カテゴリ、および依存資産があります。
タイプ	事業継続性計画のタイプ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 継続性計画 • 復旧計画 • 危機対応計画

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規計画を作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
事業部門	事業継続性計画の作成対象となる事業部門。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 経理 • HR • IT • 法務 • マーケティング • 営業
部門	事業部門に関連する部門。選択した事業部門に基づいて部門を選択できます。
計画オーナー	事業継続性計画のオーナー。
有効期限	Read-onlyフィールド。計画の有効期限。
BCM リード	事業継続性計画の BCM リード。
説明	事業継続性計画の説明。
レコードのサイドバーに表示されるアイコン	
貢献者	レコードのサイドパネルに表示されるアイコン。パネルから事業継続性計画への貢献者を追加できます。
添付ファイル	事業継続性計画の PDF が添付されているパネル。
テンプレート	事業継続性計画のテンプレートを入力するパネル。このパネルでは、すべてのテンプレートまたはカスタマイズされたテンプレートを表示できます。

計画内の関連資産の自動更新をスケジュールする

ソース CMDBデータと関係に基づいて、計画内の関連資産の自動更新をスケジュールできます。アプリケーションから BCM 、計画依存関係の更新の詳細が記載されたメール通知を受信できます。依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係 CMDBなどのさまざまなソースからフェッチされます。

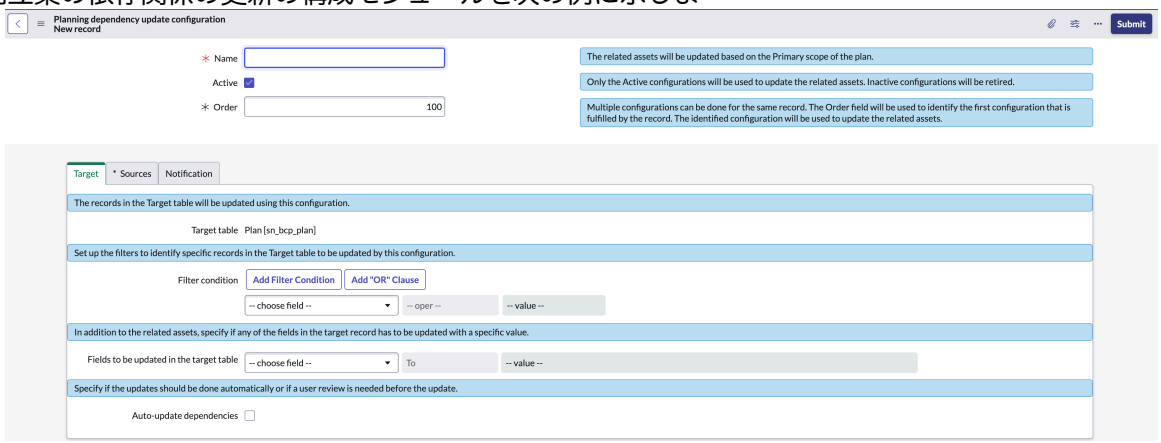
関連資産の自動更新のスケジュール設定

管理者は BCM 、のソースデータと関係 CMDBに基づいて、計画依存関係更新構成モジュールの計画内の関連資産の自動更新をスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画立案の依存関係の更新の構成モジュールを次の例に示しま



す。

BCM管理者が [依存関係を自動更新] オプションを選択すると、BCMアプリケーションは計画内の関連資産の自動更新をスケジュールします。同様に、[通知を送信] オプションを選択すると、BCM 依存関係の更新に関する自動メールが計画オーナーに送信されます。

計画の依存関係は、BIA アップストリーム依存関係、BIA ダウンストリーム依存関係 CMDBなどのさまざまなソースからフェッチされます。

注:
計画では、すべてのプライマリスコープ資産の依存関係がフェッチされます。

計画依存関係更新構成モジュールの設定は 1 回限りのアクティビティです。計画依存関係更新構成モジュールでソースが構成されると、更新が計画内で同期されます。

計画依存関係更新構成モジュールの設定の詳細については、次を参照してください 計画依存関係の更新の構成。

計画内の関連資産の自動更新に関連付けられたロール

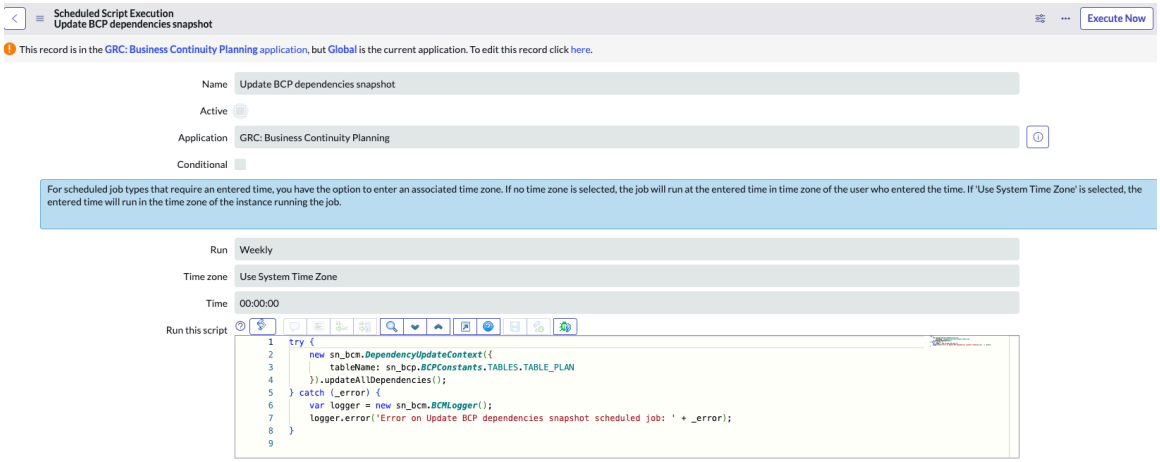
通常、次のロールを持つユーザーは、計画内の関連資産を更新します。

- プログラムマネージャー、計画者、マネージャーBCMはBCM、BCM計画内の関連資産を更新できます。
- BCM 管理者は、計画依存関係更新構成モジュールを構成できます。

スケジュール設定済みジョブを使用した依存関係の自動更新

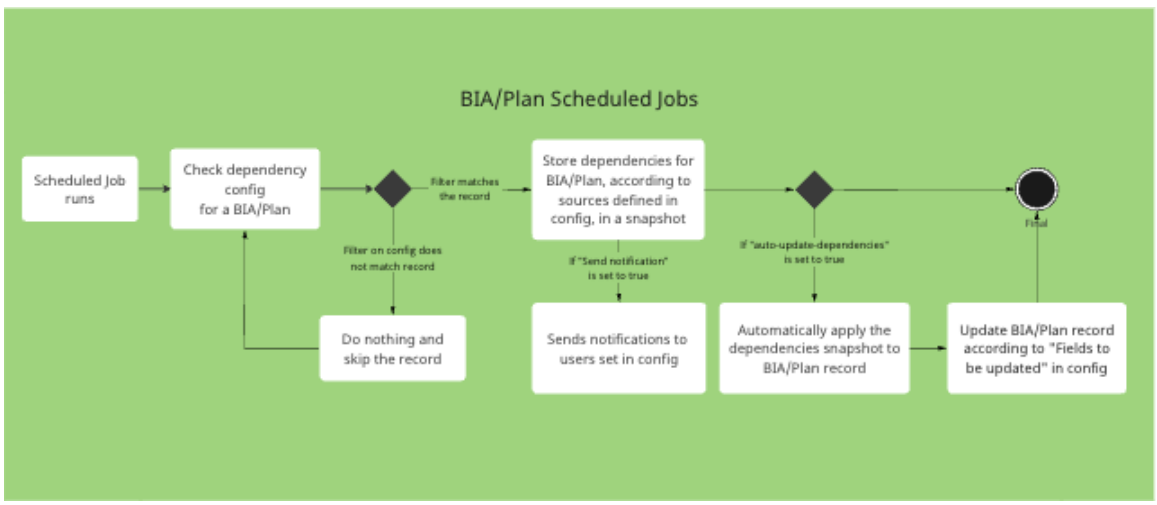
スケジュール設定済みジョブは *Update BCP dependencies snapshot* ベースシステムの一部として出荷されます。定期的に実行され、計画内の更新された関連資産をフェッチします。ジョブスケジュールを次の例に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スケジュール設定済みジョブは、デフォルトではアクティブとしてマークされていません。スケジュール設定済みジョブを定期的に実行するには、システム管理者は [アクティブ] オプションを選択し、[今すぐ実行] を選択してスケジュール を設定します。その後、スケジュール設定済みジョブが定期的に実行され、計画レコードで変更がスキャンされ、計画レコードの更新された関連資産がフェッチされます。計画レコードの更新ごとにスナップショットレコードが作成されます。

スケジュール設定済みジョブは、次の例に示すように、ワークフローを処理して関係の変更を確認し、依存関係の更新を自動的に保存します。



1. スケジュール設定済みジョブは毎週実行され、各計画レコードの関連資産構成をチェックし、計画依存関係更新構成モジュールの [ソース] タブで定義されたソースから関連資産をフェッチします。
2. スケジュール設定済みジョブは、構成 (計画依存関係更新構成モジュール) で設定されたフィルター条件を参照します。条件が計画レコードと一致する場合、スケジュール設定済みジョブは、構成で定義されたソースに従って、計画の関連資産をフェッチしてスナップショットレコードに保存します。フィルター条件が計画レコードと一致しない場合、アプリケーションはレコードをスキップします。
3. 計画依存関係更新構成モジュールで [通知を送信] オプションが **True** に設定されている場合、構成内の計画立案レコードセットのユーザーには、スケジュール設定済みジョブを通じて更新された関連資産が通知されます。

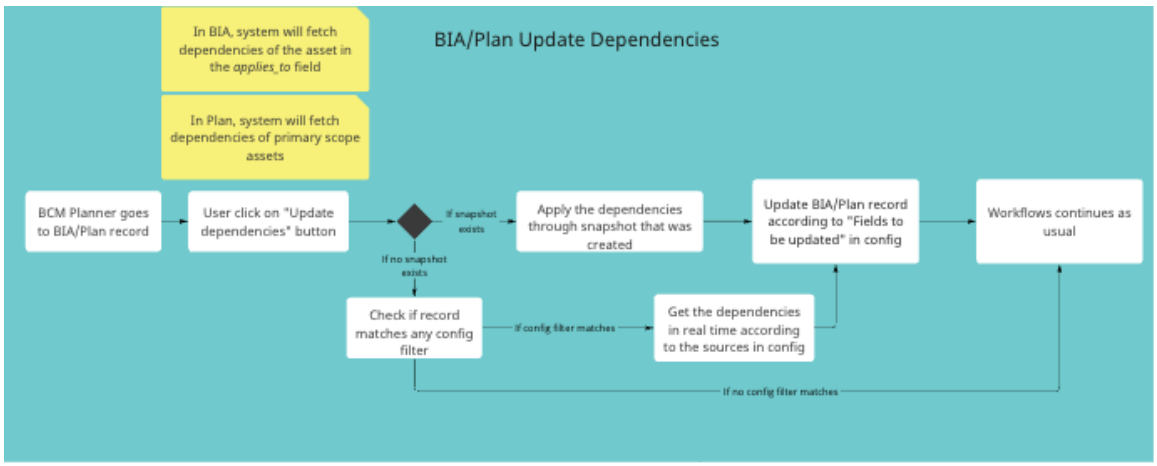
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 計画依存関係更新構成モジュールで [依存関係を自動更新] オプションが **True** に設定されている場合、スケジュール設定済みジョブは計画の依存関係スナップショットを計画レコードに自動的に適用します。
5. 最後のステップとして、スケジュール設定済みジョブは、構成内の更新するフィールドに従って計画レコードを更新します。

依存関係の手動更新

BCMアプリケーションユーザーは、[依存関係を更新] UI アクションを使用して、計画の依存関係を瞬時に更新できます。このようにすることで、週次スケジュールに従ってスケジュール設定済みジョブが実行される前に、依存関係を手動で更新できます。その後、ソースの依存関係が更新され、計画レコード更新のスナップショットレコードが作成されます。

[依存関係を更新] UI アクションを使用し、計画立案の依存関係を手動で更新する方法については、次のワークフローを参照してください。



1. BCM計画者が計画レコードに移動します。アプリケーションは、計画で定義されているプライマリスコープ資産の依存関係をフェッチします。
2. 計画者は BCM [依存関係を更新] UI アクションを選択します。
3. 更新用のスナップショットレコードが存在する場合、計画者はスナップショットを介して計画依存関係を適用し、 BCM 構成内の 更新するフィールド に従って計画を更新します。その後、計画ワークフローは、レビューや承認の要求などの次のステップに進みます。

   更新用のスナップショットレコードが存在しない場合、 BCM 計画者は計画レコードがいずれかの構成フィルターに一致するかどうかをチェックします。

   - 計画レコードがいずれかの構成フィルターに一致する場合、アプリケーションは構成内のソースに従ってリアルタイムで依存関係を取得します。次に、計画者は、 BCM 構成内の 更新する項目 に従って計画レコードを更新します。その後、計画ワークフローは次のステップに進みます。
   - 計画レコードが構成フィルターと一致しない場合、計画ワークフローは次のステップに進みます。

計画依存のマニュアル更新の詳細については、以下を参照してください 計画依存関係の手動更新。

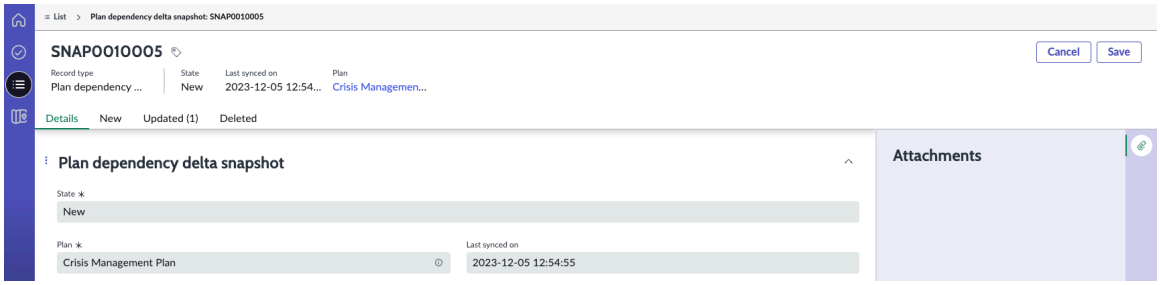
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

注:
計画依存関係更新構成モジュールは、スケジュール設定済みジョブの使用と、計画立案の依存関係の手動更新 ([依存関係の更新] UI アクションを使用) に使用されます。

計画のスナップショットレコード

スケジュール設定済みジョブが設定された間隔で実行されると、アプリケーションに各計画更新のスナップショットレコードが作成されます。スナップショットレコードには、計画の新規、更新、削除済みの資産など、構成の変更のデルタが含まれています。スナップショットレコードは、の計画 事業継続性ワークスペースリストビューの [更新待ち] モジュールに一覧表示されます。スナップショットレコードを次の例に示します。



スナップショットレコードが作成されると、アプリケーションは、計画的な依存関係の更新についてユーザーに通知する UI メッセージを表示します。アプリケーションは、 BCM 一度に 1 つのプランのアクティブなスナップショットを保存します。[完了] ステータスで、6 か月間更新されていないスナップショットは、アプリケーションから自動的に削除されます。

計画レコードの依存関係に変更がない場合、その計画レコードのスナップショットレコードは作成されません。

データリレーションシップフレームワーク

事業継続性計画を作成するときは、計画内の関連資産を更新する必要があります。リリース以降Washington DC、(com.sn_app_grc_relationship_config) アプリケーションは、データリレーションシップフレームワークBCM計画内の関連資産をフェッチするための基礎となるフレームワークを備えたアプリケーションをサポートします。データリレーションシップフレームワークアプリケーションは、デフォルトでアプリケーションと共にBCMインストールされます。

データリレーションシップフレームワーク の詳細については、「データリレーションシップフレームワーク」を参照してください。

計画依存関係の手動更新

スケジュール設定済みジョブが [計画依存関係更新] 構成モジュールでアクティブ化されていない場合は、スナップショットから計画の依存関係を手動で更新します。アクティブな計画の依存関係を更新できます。

始める前に
必要なロール:sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner、sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. [ドラフト] ステータスの BCP を開き、[スコープ] タブに移動します。

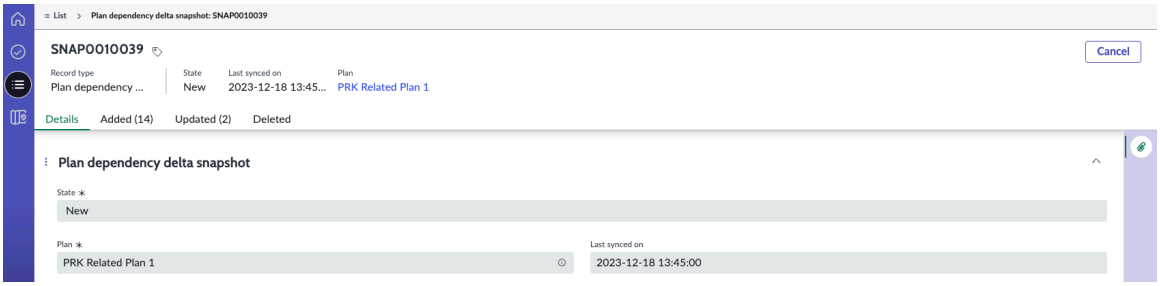
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースで依存関係が更新されている場合、スケジュール設定済みジョブは依存関係をフェッチします。スナップショットレコードを選択して更新を表示できます。

3. スナップショットレコードを表示するには、[計画] リストビューで [更新待ち] モジュールを選択し、スナップショットレコードを選択します。

   [計画依存関係デルタ スナップショット] が表示されます。



   アプリケーションは、 BCM 一度に 1 つの BCP のアクティブなスナップショットを保存します。[完了] ステータスで過去 6 か月間更新されていないスナップショットは、アプリケーションから自動的に削除されます。

4. 依存関係を手動で更新するには、プランに移動し、 [依存関係の更新] を選択します。
   UI メッセージが画面に表示されます: 依存関係を更新しています。
5. プランへの変更を保存するには、 [保存] を選択します。
   計画オーナーと BCM リードは、計画への変更を保存することで、計画の依存関係を更新できます。

事業継続性計画への資産とスコープの追加

事業継続性計画に資産とスコープを追加します。そうすると、BCM UIB ワークスペース でプライマリ要素を確認できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

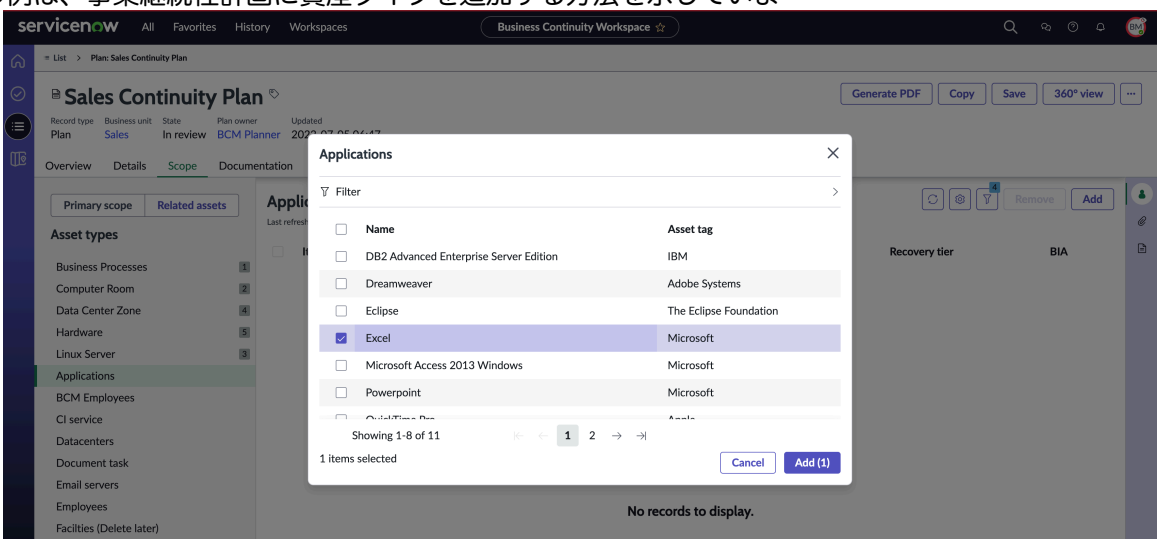
1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[名前] 列で計画レコードへのリンクを選択します。
3. [プライマリスコープ] タブを選択し、事業継続性計画のプライマリスコープを追加します。
   計画が計画テンプレートから作成されている場合は、計画テンプレートで定義されているプライマリ要素を表示できます。
4. [関連資産] タブを選択し、[追加] を選択します。
   プライマリ要素が資産タイプとして一覧表示されます。[アイテムを追加] モーダルに表示される資産は、計画テンプレートの [復旧したプライマリ要素 **(Primary Element Recovered)]** フィールドで識別された要素定義タイプに属します。次のオプションから、資産タイプを事業継続性計画に関連付けることができます。
   - アプリケーション
   - ビジネスプロセス
   - コンピュータールーム
   - データセンターゾーン
   - データセンター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

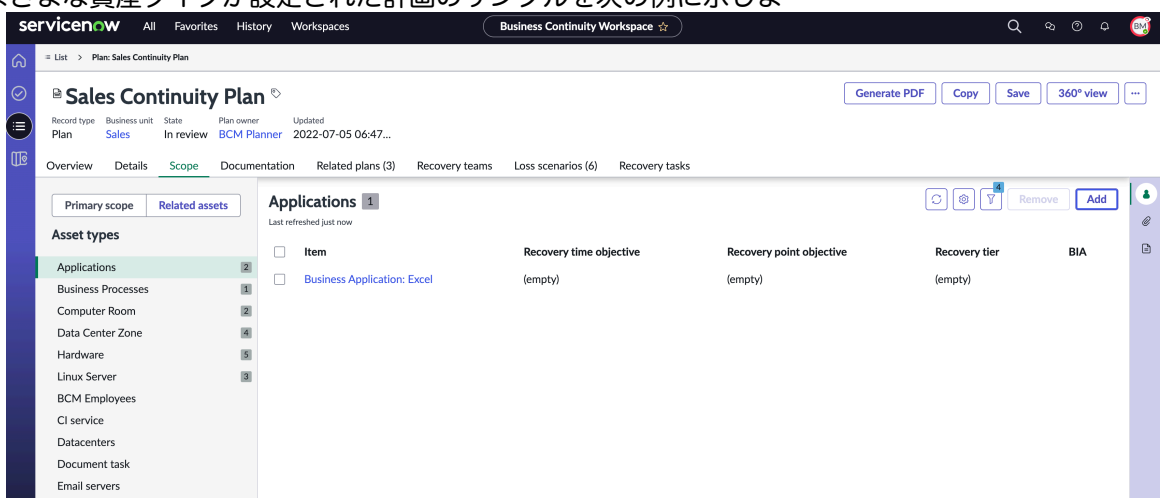
- 従業員
- ハードウェア
- Linux サーバー
- 場所
- ソフトウェア
- ベンダー
- Web サーバー
- Windows サーバー

次の例は、事業継続性計画に資産タイプを追加する方法を示していま



す。

さまざまな資産タイプが設定された計画のサンプルを次の例に示しま



す。

5. [保存] を選択します。

ドキュメントセクションの作成

事業継続性計画のドキュメントセクションを作成します。その後、BCM UIB ワークスペース で事業継続性計画の復旧機能を文書化できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ドキュメントセクションで使用できる UI アクションは次のとおりです。

- 更新：既存のドキュメントセクションを更新します。
- 削除：既存のドキュメントセクションを削除します。
- テンプレートにリセット：既存のドキュメントセクションを、[ドキュメントセクション] テンプレートにリセットします。利用可能なテンプレートを表示するには、アプリケーションナビゲーターで [事業継続性] の [ドキュメントセクション] に移動します。既存のドキュメントセクションでは、[更新]、[削除]、および [テンプレートにリセット] のアクションを使用できます。新しいドキュメントセクションでは、[テンプレートにリセット] アクションは使用できません。

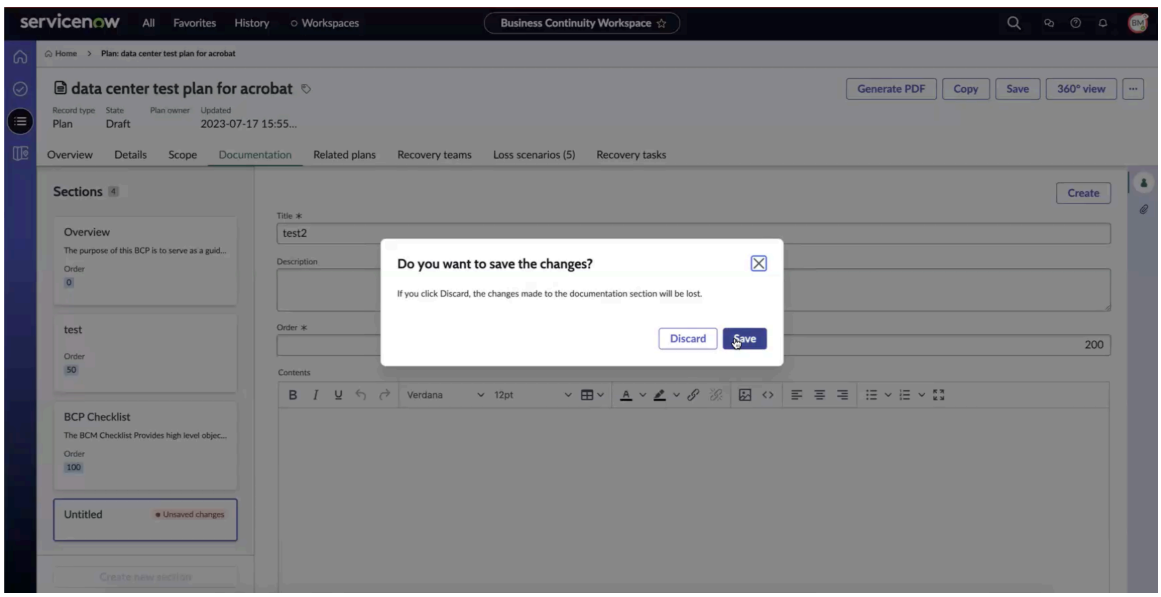
> **注:**
> 計画テンプレートを使用せずに [ドキュメント] タブでドキュメントセクションを作成すると、そのドキュメントセクションでは [テンプレートにリセット] UI アクションを使用できません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[名前] 列で計画レコードへのリンクを選択します。
3. 計画の [ドキュメント] タブを選択します。
4. [新規セクションの作成] を選択します。

   事業継続性計画にドキュメントセクションを追加できます。

   ドキュメントセクションを作成し、変更を保存せずに移動すると、次の例に示すように、ドキュメントセクションは [未保存の変更] タグがついて [無題] としてマークされます。「変更を保存しますか？」というメッセージが画面に表示されます。



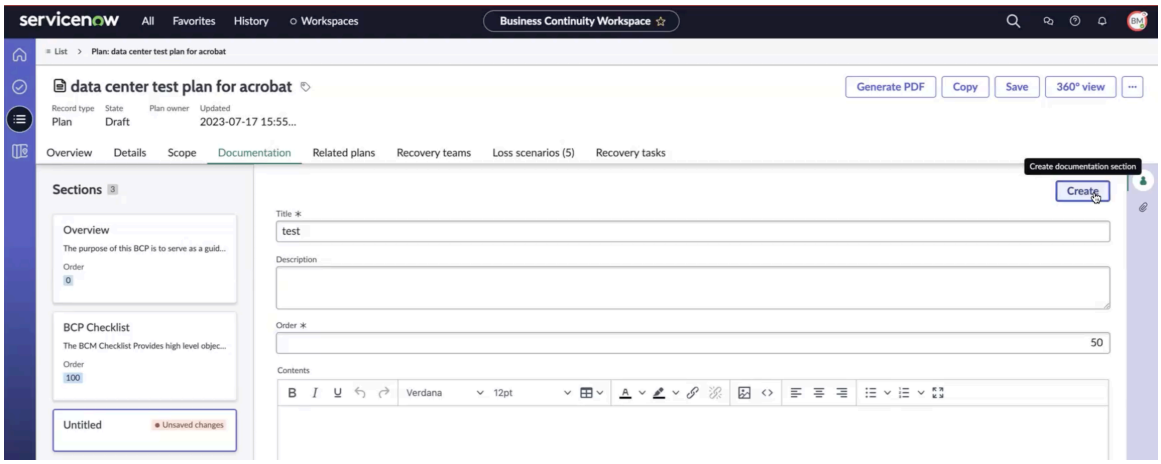
   [保存] を選択すると、ドキュメントセクションが計画に保存されます。[破棄] を選択すると、ドキュメントセクションへの変更は保存されません。

5. ドキュメントセクションを作成するには、[作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

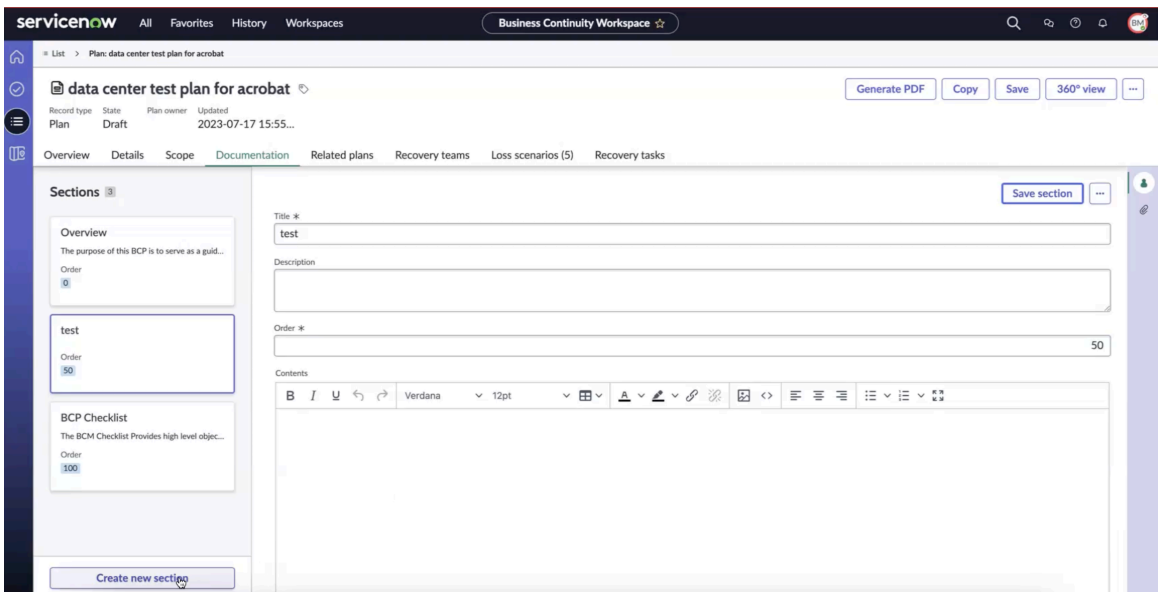
自動翻訳

次の例は、事業継続性計画の中に [概要] および [BCP チェックリスト] ドキュメントセクションがある様子を示しています。[概要] ドキュメントセクションの順序値は 0 です。[BCP チェックリスト] ドキュメントセクションの順序値は 100 です。



[セクション] パネルの 2 番目のセクションとして表示されるドキュメントセクションを作成するには、0 より大きく 100 より小さい順序値 (50 など) を割り当てます。

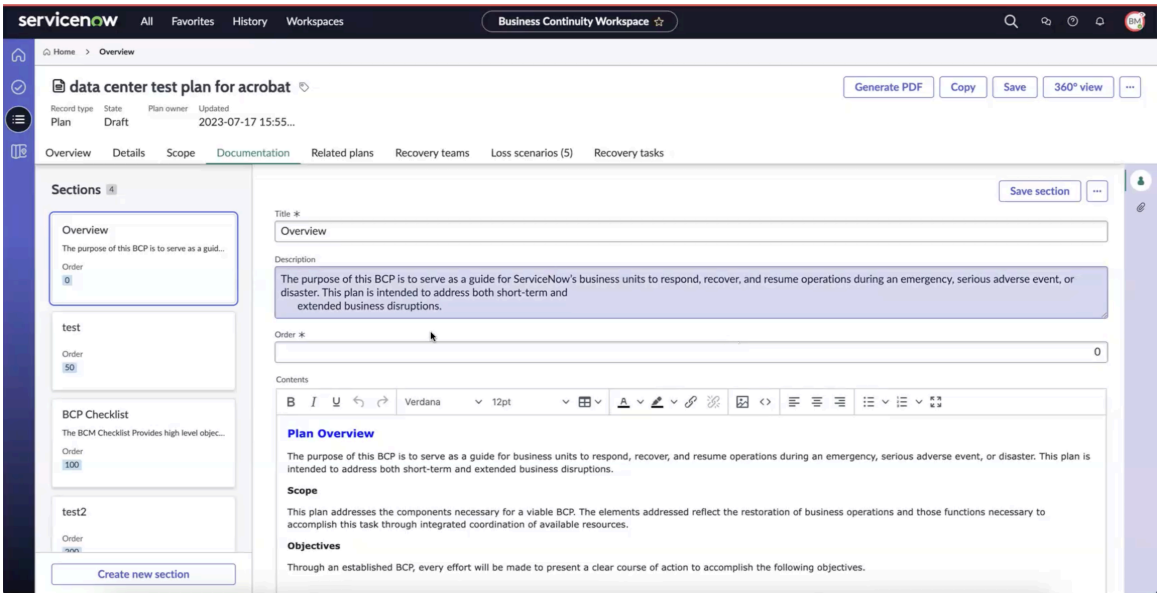
順序値が 50 のドキュメントセクションは、[ドキュメント] タブの [セクション] パネルに 2 番目のドキュメントセクションとして表示されます。



6. ドキュメントセクションを計画に保存するには、[セクションを保存]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性計画にドキュメントセクションが保存されます。



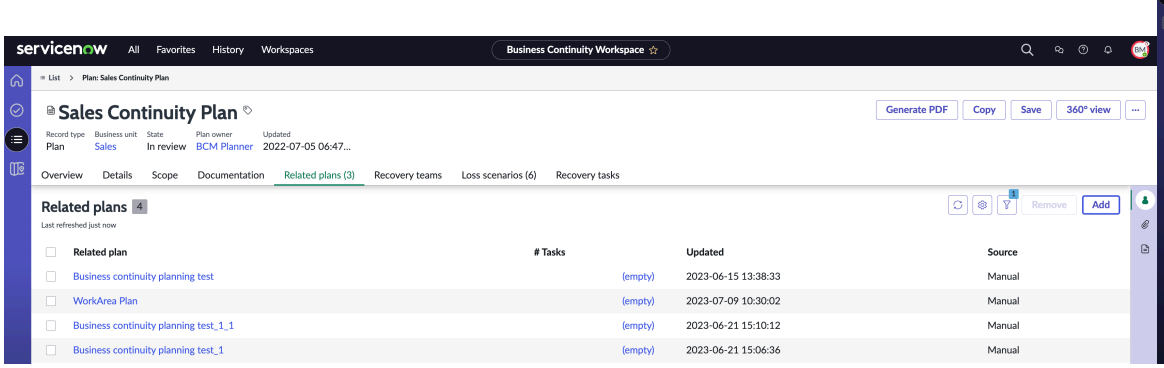
関連計画と復旧チームの追加

事業継続性の関連計画と復旧チームを、事業継続性計画に追加します。そうすると、BCM UIB ワークスペース で詳細を表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

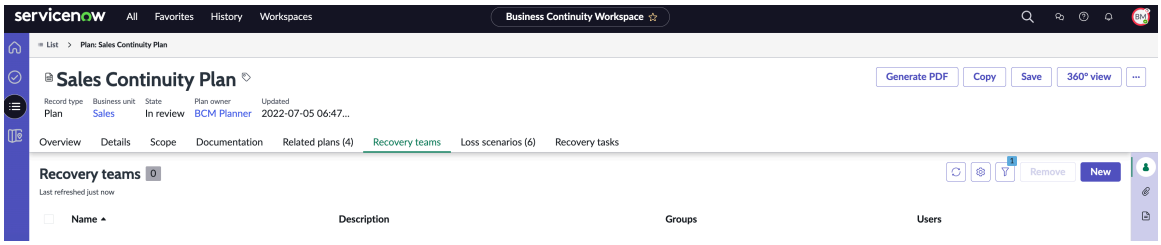
1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[名前] 列で計画レコードへのリンクを選択します。
3. [関連計画] タブを選択し、[新規] を選択します。
   次の例に示すように、事業継続性の関連計画を追加できます。

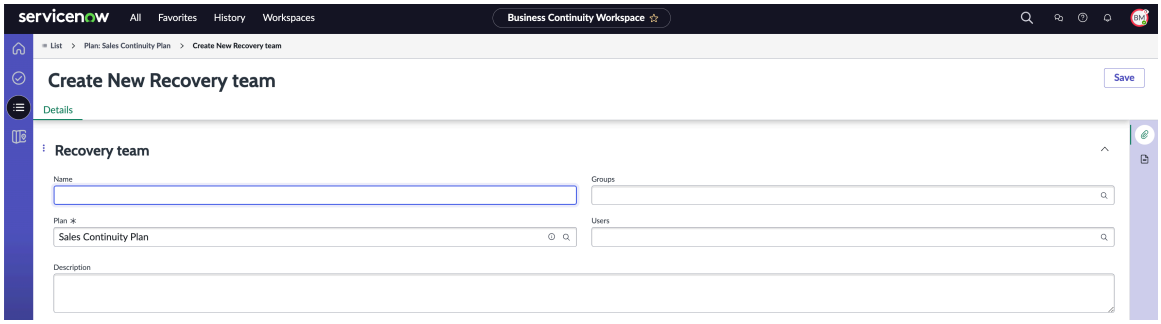


4. [復旧チーム] タブを選択し、[新規] を選択します。

   次の例に示すように、計画に復旧チームを追加できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





。

5. [保存] を選択します。
   関連計画と復旧チームが事業継続性計画に追加されます。

損失シナリオの追加

損失シナリオを追加し、関連資産の依存関係を事業継続性計画内で定義します。そうすると、BCM UIB ワークスペース で資産の詳細を表示し、特定された損失シナリオの復旧戦略を計画できます。

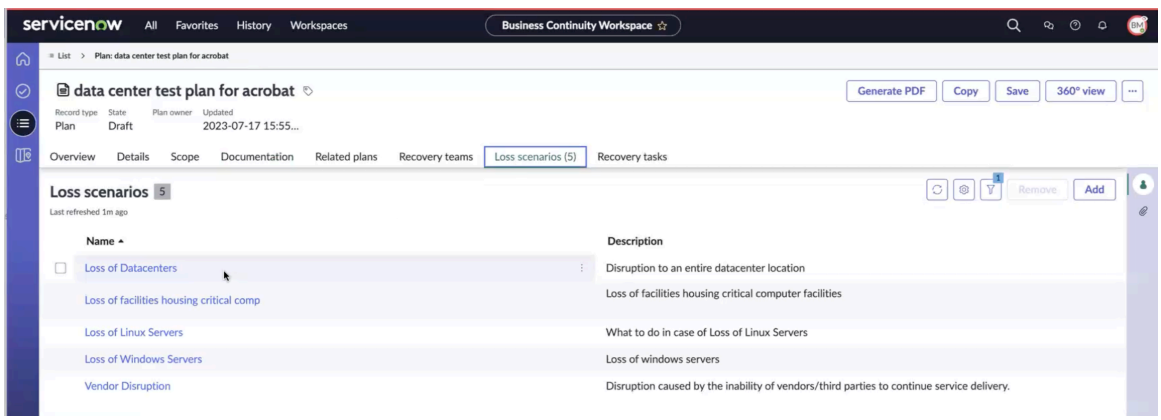
始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[名前] 列で計画レコードへのリンクを選択します。
3. [損失シナリオ] タブを選択し、[追加] を選択します。

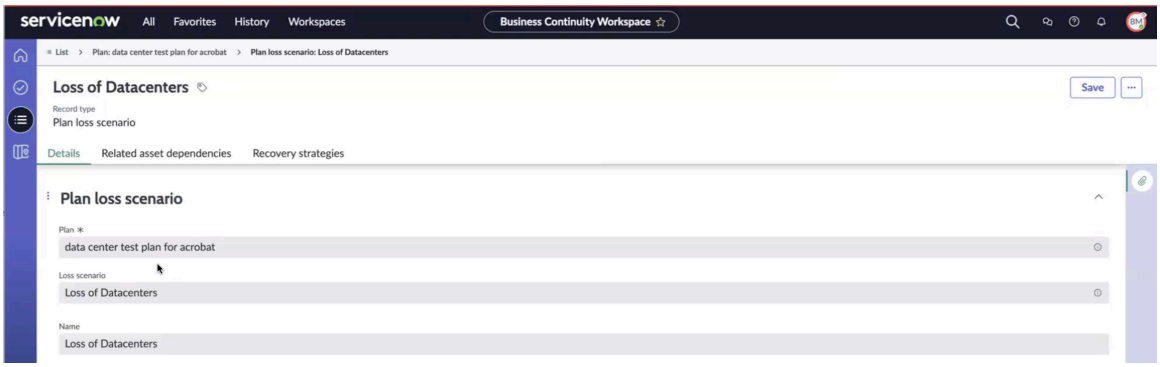
   損失シナリオを事業継続性計画に追加できます。次の例では、データセンターの損失のシナリオを選択して事業継続性計画に追加できます。



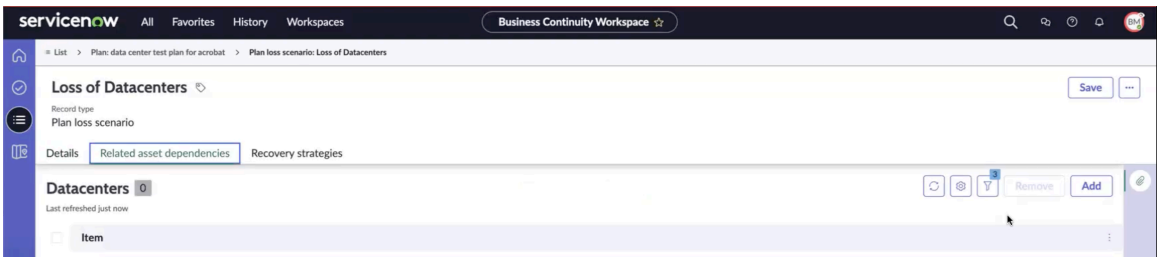
次の例に示すように、シナリオのレコードの損失が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

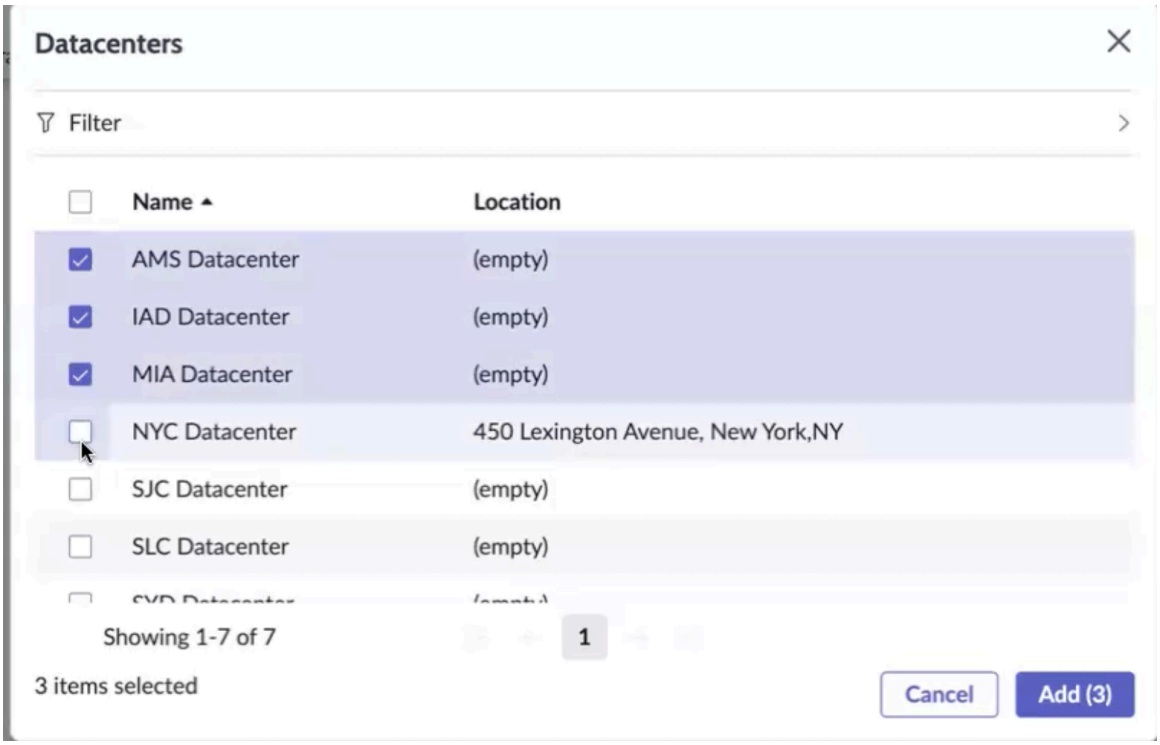


4. [関連資産の依存関係] タブに移動し、[追加] を選択します。
次の例に示すように、関連資産の依存関係を損失シナリオに追加できます。



5. リストから依存関係を選択し、[追加] を選択します。

次の例に示すように、依存関係を損失シナリオに追加できます。



6. [保存] を選択します。
関連資産の依存関係が、[関連資産の依存関係] タブに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連資産の依存関係の復旧戦略の追加

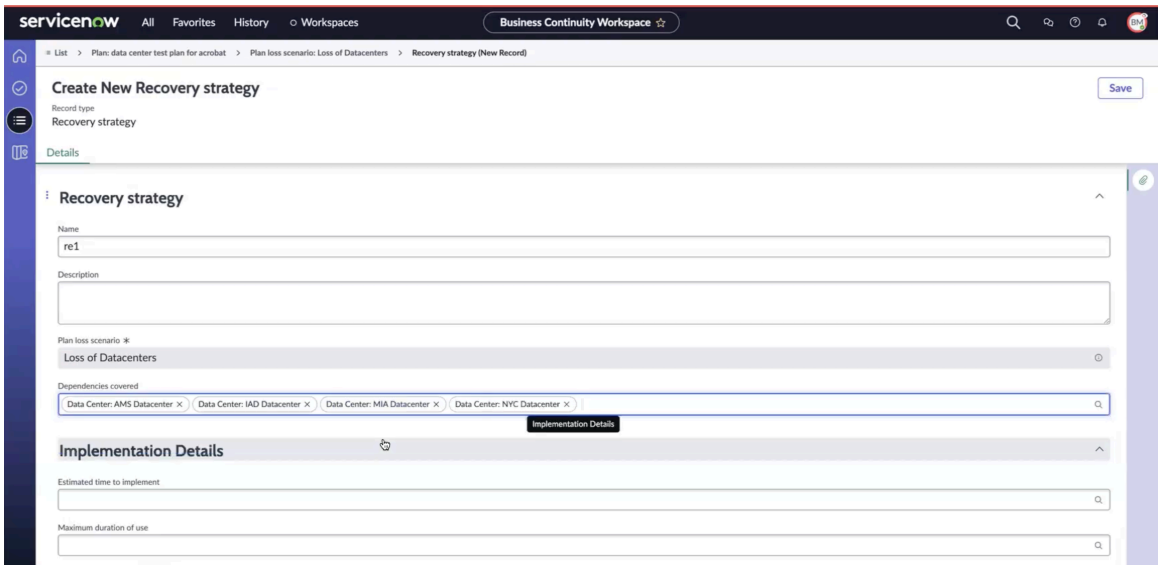
関連資産の依存関係の復旧戦略を追加し、戦略の実装にかかる時間を見積もります。そうすることで、特定された損失シナリオで資産を迅速に稼働させることができます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.program_manager または sn_bcm.planner

手順

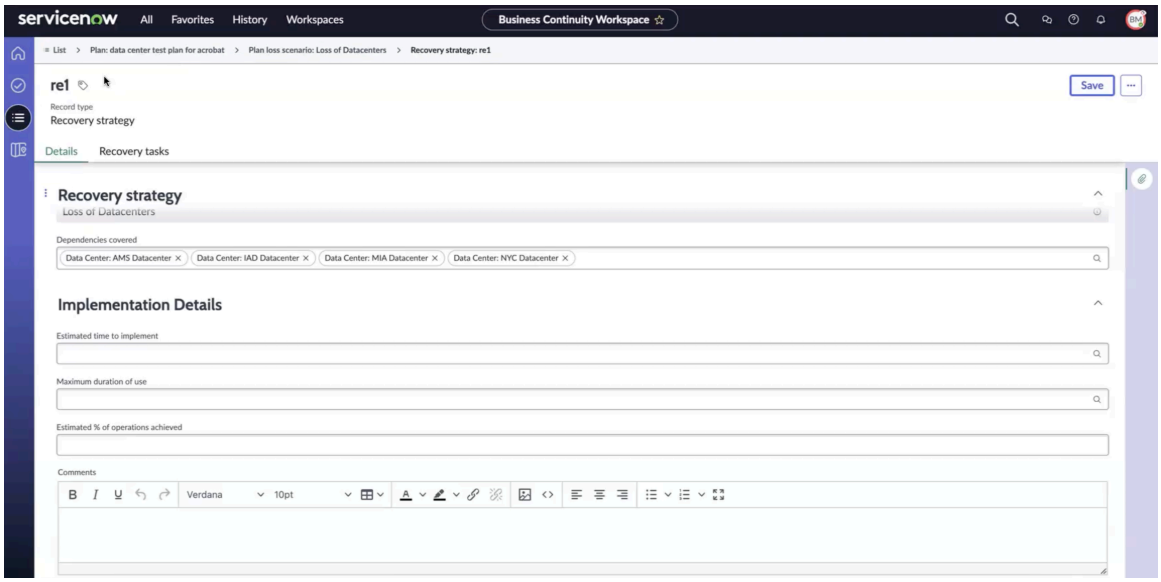
1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、計画レコード内の損失シナリオに移動します。
3. [復旧戦略] タブに移動し、[新規] を選択します。
   次の例に示すように [新規の復旧戦略を作成 (Create new Recovery strategy)] フォームが表示されます。



4. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「[新規の復旧戦略を作成 (Create new Recovery strategy)] フォーム」を参照してください。
5. [保存] を選択します。
   次の例に示すように、復旧戦略を保存できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[復旧タスク] タブが [復旧戦略] フォームに表示されます。

次のタスク
次のステップでは、復旧戦略の一環で 1 つ以上の復旧タスクを追加できます。

[新規の復旧戦略を作成 **(Create new Recovery strategy)**] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [新規の復旧戦略を作成 (Create new Recovery strategy)] フォームを使用して、特定された損失シナリオの復旧戦略に関する詳細を追加します。

[新規の復旧戦略を作成 **(Create new Recovery strategy)**] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新規の復旧戦略を作成 **(Create new Recovery strategy)**] フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
名前	事業継続性計画で特定された損失シナリオの復旧戦略の名前。
説明	復旧戦略の説明。
損失シナリオの計画	復旧戦略が計画されている損失シナリオ。
依存関係	関連資産に関連付けられている依存関係。
実装の詳細	
実装予定時間	復旧戦略の実装にかかる推定時間。
最大使用期間	復旧戦略の最大使用期間。
達成した推定運用率（%）	復旧戦略で達成された操作の割合の推定。
コメント	復旧戦略に関連するコメント。BCM 管理者または計画者は、計画内のコメントを更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

損失シナリオの復旧タスクの追加

計画された復旧戦略の一部として復旧タスクを追加します。復旧タスクは 1 つの損失シナリオに 1 つ以上追加できます。これらの復旧タスクは損失シナリオ自体に表示されます。事業継続性計画のレベルで追加された復旧タスクは、[復旧タスク] タブに表示されます。

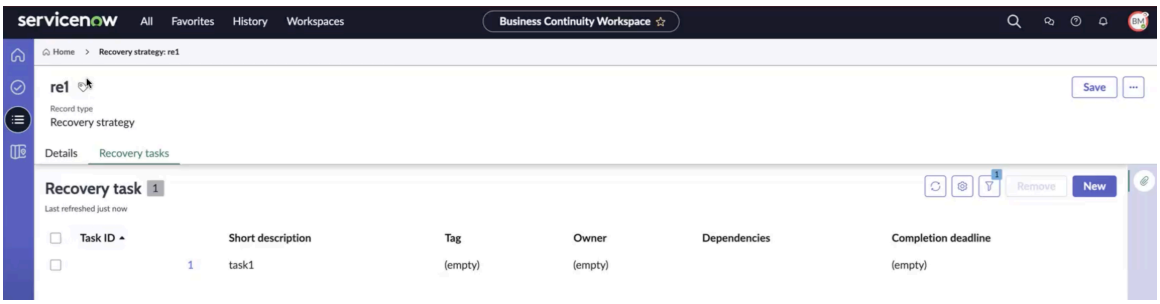
始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

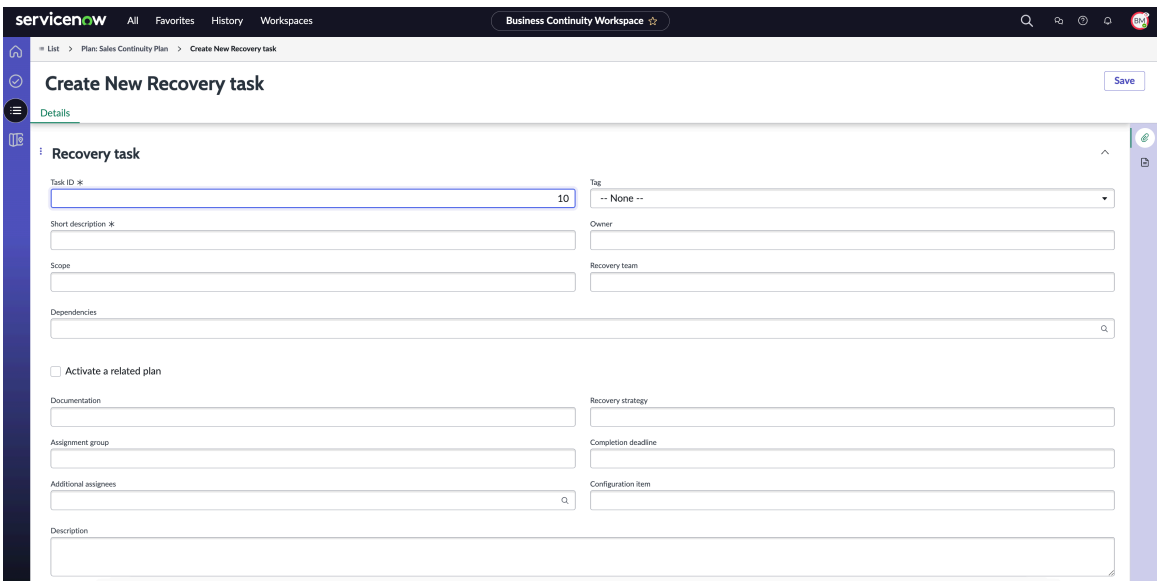
手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、計画レコード内の損失シナリオに移動します。
3. [復旧タスク] タブに移動し、[新規] を選択します。

   次の例に示すように、事業継続性計画に復旧タスクを追加できます。



   [新しい復旧タスクの作成(Create New Recovery task)] フォームが表示されます。

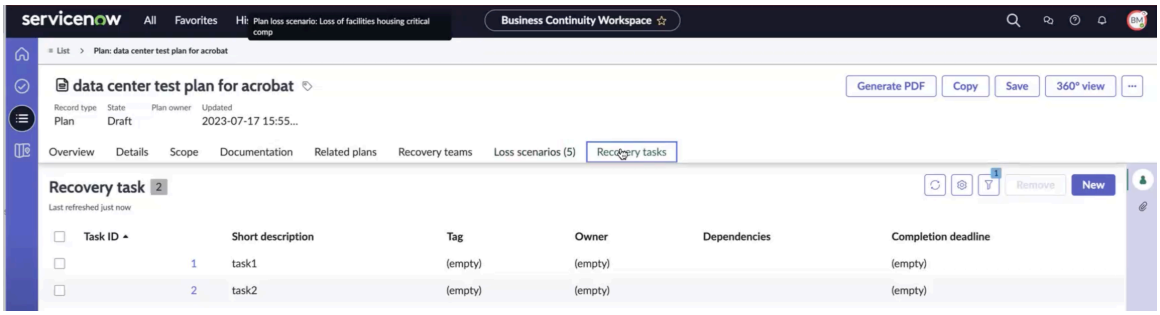


4. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「[新しい復旧タスクの作成(Create New Recovery task)] フォーム」を参照してください。
5. [保存] を選択します。
   1 つの損失シナリオに対して復旧タスクが作成されている場合は、その損失シナリオ内にタスクがリストされます。事業継続性計画の複数の異なる損失シナリオに対して復旧タスクが作成されてい

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

る場合、次の例に示すように、すべての損失シナリオの復旧タスクが [復旧タスク] タブにまとめて一覧表示されます。



[新しい復旧タスクの作成**(Create New Recovery task)**] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [新しい復旧タスクの作成(Create New Recovery task)] フォームを使用して、復旧タスクの詳細を追加します。

[新しい復旧タスクの作成**(Create New Recovery task)**] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新しい復旧タスクの作成**(Create New Recovery task)**] フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
タスク ID	各タスクにアサインされた一意の番号。特に印刷された PDF で、特定の順序でタスクを表示できます。
簡単な説明	復旧タスクの簡単な説明。
タグ	復旧タスク用にマークされたタグ。
オーナー	復旧タスクにアサインされた所有者。
スコープ	タスクが復旧する資産。フィールドが空の場合、タスクは計画レベルで資産を復旧します。それ以外の場合は、復旧タスクスコープを復旧します。
依存関係	復旧タスクに関連する依存関係。
復旧チーム	復旧タスクがアサインされているチーム。
関連のある計画を有効化	復旧タスクに関連のある計画をアクティブ化するオプション。
ドキュメント	事業継続性計画で定義されたドキュメントセクション。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
復旧戦略	[復旧戦略] タブで定義された復旧戦略。
完了期限	復旧タスクの完了期限。
追加担当者	復旧タスクに追加でアサインされた人物。
構成アイテム	復旧タスクに関連付けられた構成アイテム。
説明	事業継続性計画の説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認のために事業継続性計画を送信

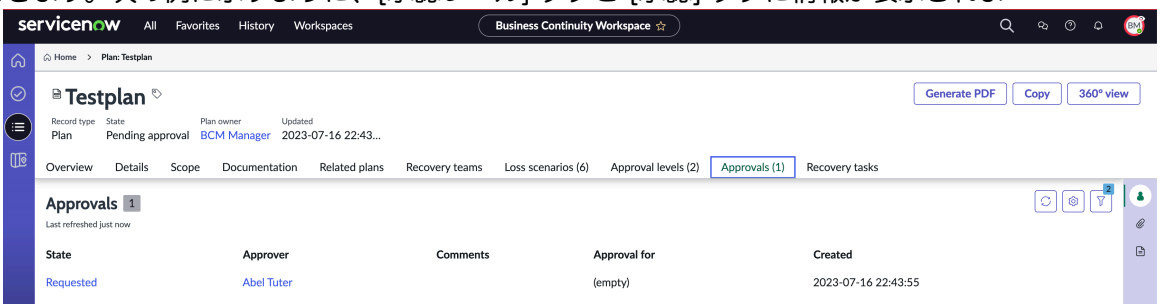
承認のために事業継続性計画を送信します。そうすると、BCM UIB ワークスペース で詳細を表示できます。

始める前に

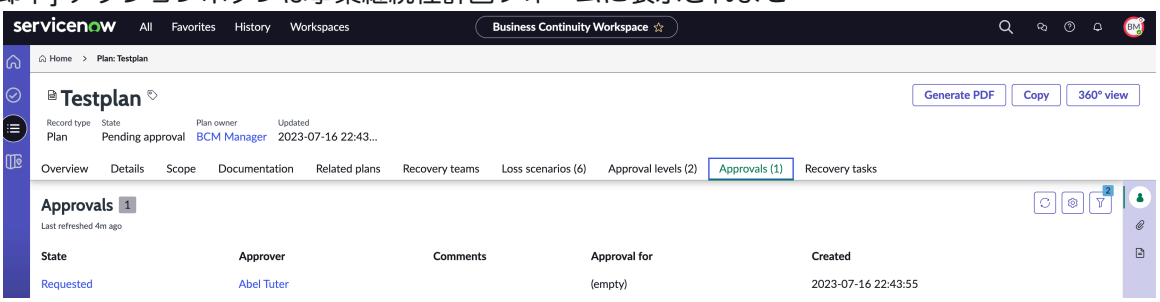
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[名前] 列で計画レコードへのリンクを選択します。
3. [レビューのため送信] を選択します。
   事業継続性計画は、[レビュー] ステータスです。
4. [承認のため送信] を選択します。
   事業継続性計画は、[承認待ち] ステータスに更新されます。事業継続性計画は、レビューのために事業継続性計画オーナーに送信されます。
5. [承認] を選択します。
   BCM リードまたは BCM プログラムマネージャーロールを持っている場合は、計画を承認できます。次の例に示すように、[承認レベル] タブと [承認] タブに情報が表示されます。



> **注:**
> 計画を作成し、承認レベルと承認が要求された情報が [承認レベル] タブと [承認] タブにリストされている場合、例に示すように、[承認] および [却下] アクションボタンは事業継続性計画フォームに表示されません。



事業継続性計画を承認するとき、ステータスは [承認済み] に更新されます。

事業継続性計画の 360 度の関係を可視化

BCM UIB ワークスペース で事業継続性計画とその関連エンティティの 360 度の関係を可視化します。事業継続性計画の作業中に、いつでも 360 度ビューにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

自動翻訳

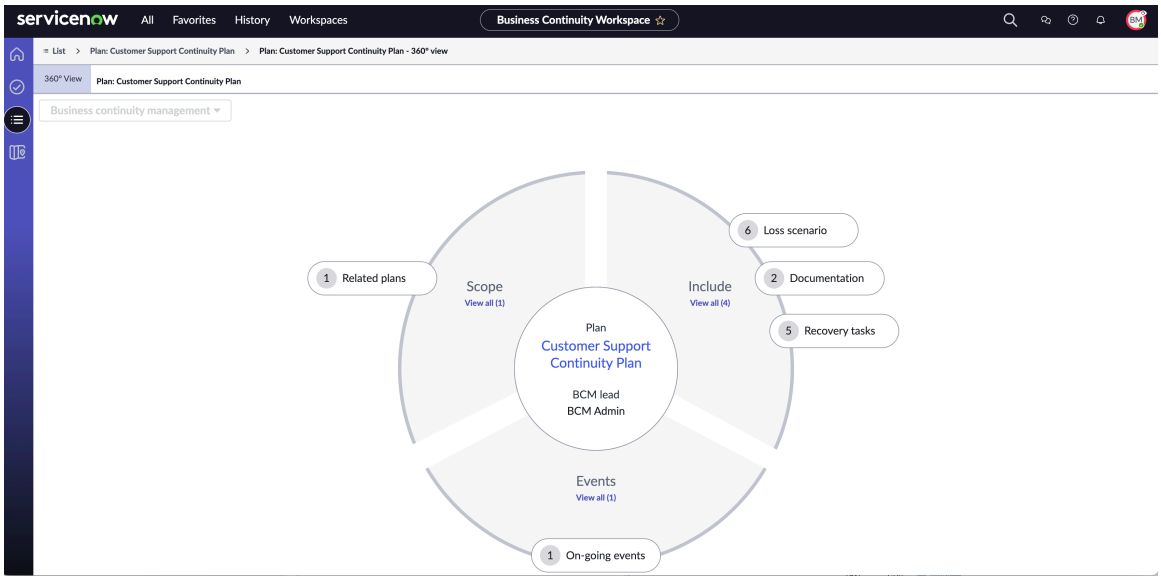
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
360 度ビューの構成は、次の場所に保存されます。 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成. 管理者ロールを持っている場合は BCM 、次のレコードの関係を構成できます。 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動して、リストからレコードを選択します。
   事業継続性計画レコードが表示されます。
3. **[360** 度ビュー] を選択します。

   次の例は、事業継続性計画とその詳細の 360˚ ビューです。

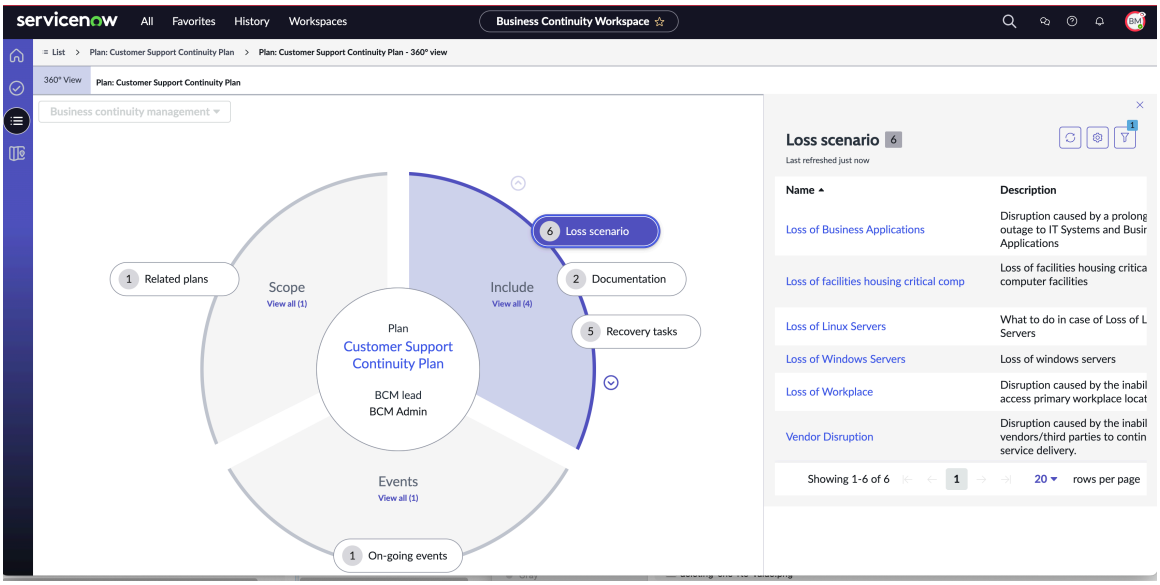


- [名前]：カスタマーサポート継続性計画などの事業継続性計画の名前。事業継続性計画を選択して、その詳細を表示できます。
- **BCM** リード：事業継続性計画のアサイン済み BCM リード。
- [スコープ]：[関連計画] などの事業継続性計画のスコープ。
- [イベント]：[進行中のイベント **(Ongoing events)]** など、事業継続性計画に関連付けられているイベント。
- [包含]：次の例に示すように、[損失シナリオ]、[ドキュメント]、[復旧タスク] などの事業継続性計画に関連付けられているエンティティ。

次の例は、カスタマーサポート継続性計画とその関連エンティティの 360 度関係ビューを示しています。360 度ビューで [損失シナリオ] カプセルを選択すると、カスタマーサポート継続性計画に関連する損失シナリオの詳細が右側の損失シナリオパネルに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 再度計画に移動するには、ブレッドクラムナビゲーションで計画またはリストビューを選択します。

事業継続性計画の **PDF** の生成

BCM UIB ワークスペース で事業継続性計画の PDF を生成し、後で参照できるように保存します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner

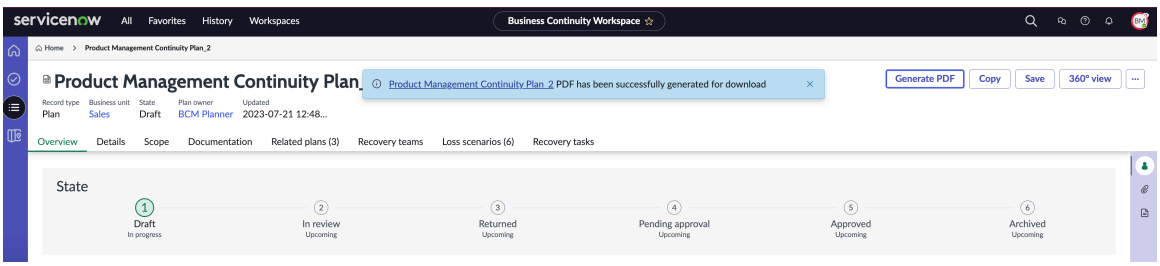
このタスクについて

ビジネスニーズに合わせて PDF をフォーマットするには、「BIA、BCP、およびイベントの PDF テンプレートを書式設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[計画] に移動し、[レビュー] または次のステータスになっている事業継続性計画レコードを選択します。
3. フォームで **[PDF**の生成] を選択します。

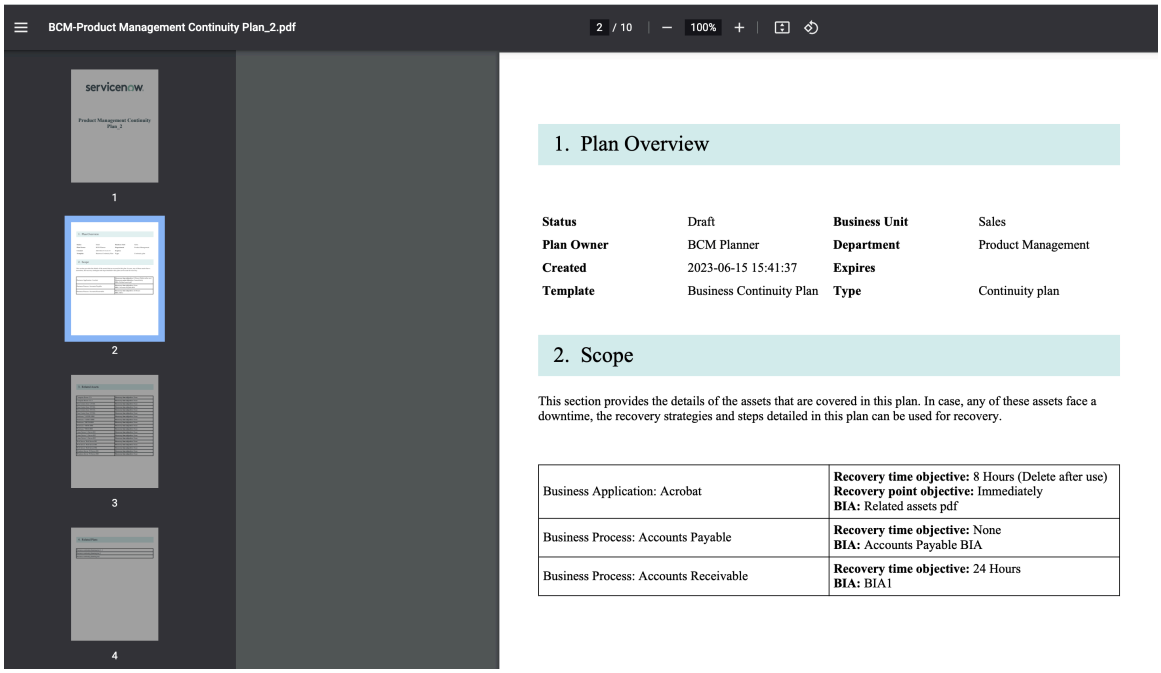
   次の例は、「<BCPの名前> ダウンロード用 PDF が正常に生成されました」というメッセージが画面に表示されているところを示しています。



4. PDF をダウンロードするには、メッセージ内のリンクを選択して PDF を開きます。

   次の例で、事業継続性計画の PDF を示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. システムに PDF を保存します。
   PDF を保存すると後で参照できます。

BCM 構成可能ワークスペース での演習管理のための構造化されたワークフロー

このセクションで概説されている構造化されたワークフローを実行して、事業継続性 ワークスペース (BCM 構成可能ワークスペース とも呼ばれる) で演習を管理します。

通常、BCM プログラムマネージャーは、以下のタスクを実行して、イベントを演習します。

- 演習を作成します。詳細については、「演習を作成」を参照してください。
- 演習に資産と計画を追加します。詳細については、「影響を受ける資産の追跡と関連する計画の追加」を参照してください。
- 演習にイベントタスクを追加します。詳細については、「演習へのタスクの追加」を参照してください。
- 演習イベントのイベントタスクを送信します。詳細については、「演習を承認」を参照してください。

演習に関する追加情報

- ホームページの [演習] タブの詳細については、「ホームページビュー」を参照してください。
- 演習の詳細については、「訓練」を参照してください。

演習および危機イベントのステータス

このセクションでは、演習と危機イベントの進行のステータスについて説明します。

演習および危機イベントのステータス

演習および危機イベントのステータス

ステータス	説明
保留中	イベントの最初のステータス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

演習および危機イベントのステータス (続く)

ステータス	説明
保留中の承認	承認が要求されたときのイベントのステータス。[承認のため送信] を選択すると、イベントが [承認待ち] ステータスに設定されます。このステータスでは、イベントフォームで [作業メモ] フィールドのみを更新できます。 イベントに対して承認ルールが構成されている場合は、承認が生成されて承認者に送信されます。要求されたステータスのイベントに関連付けられている承認レコードがない場合、[却下] または [承認] のいずれかを選択できます。 [承認] タブにあるイベントの承認の詳細は、承認者の名前、承認レベル、および承認のステータスで表示できます。 [承認履歴] タブで、承認ステータス、承認者の名前、イベント番号などのイベントの承認履歴を表示できます。 **注:** BCM プログラムマネージャーである場合は、[承認] および [却下] ボタンを表示できます。
戻り	イベントが却下されたときのイベントのステータス。ステータスは [戻り] に設定されます。[承認のため送信]、[完了してクローズ]、または [未完了でクローズ] のステータスに移行できます。このアクションはイベントに関連しているため、ユーザーのみがフォーム内の説明、結果、作業メモを更新できます。 イベントが [戻り] ステータスの場合は、イベント資産のステータスを編集できます。 [戻り] ステータスから先では、イベントタスクへのコメントと添付ファイルの追加のみを実行できます。
完了してクローズおよび未完了でクローズ	イベントが承認されたときのイベントのステータス。承認されたイベントをクローズできます。[イベントをクローズ] ボタンを選択して、イベントのステータスを [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に設定できます。
承認済み	イベントの最終ステータス。イベントが承認されると、[承認済み] ステータスに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

演習および危機イベントのステータス (続く)

ステータス	説明
	次の追加の UI アクションを実行できます。 PDF の生成 演習または危機イベントの PDF を参照用にダウンロードします。[PDF の生成] を選択すると、 [詳細] タブの [アクティビティ] パネルで PDF 添付ファイルが利用できます。 演習または危機イベントの PDF を生成する方法については、「演習または危機イベントの PDF の生成」を参照してください。 コピー 後で参照できるように、演習または危機イベントのコピーをテンプレートとして保存します。 360 度ビュー 演習または危機イベントの 360 度表現を可視化します。 演習イベントまたは危機イベントの 360 度リレーションシップを見るには、「演習と危機イベントの 360 度の関係を可視化」を参照してください。 削除 演習または危機イベントを削除します。 編集 演習または危機イベントを編集します。 保存 演習または危機イベントを保存します。

イベントタスクの次のステータス移行を確認します。

イベントタスクのステータス移行

ステータス	説明
オープン	イベントタスクの [オープン] ステータス。イベントが開始されると、依存復旧タスクを持たないそのイベントのイベントタスクが [オープン] ステータスに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベントタスクのステータス移行 (続く)

ステータス	説明
保留中	イベントタスクの [保留中] ステータス。他の復旧タスクに依存するイベントタスクは、イベントの開始時に [保留中] ステータスになります。依存タスクがクローズされると、親イベントタスクが [オープン] ステータスに移行します。
タスクをスキップ	イベントタスクの [タスクをスキップ] アクション。このアクションは、BCM プログラムマネージャーとしてログインしている場合にのみ使用できます。[スキップ] アクションは、タスクが [保留中] または [オープン] ステータスにあり、イベントが [対応中] ステータスである必要がある場合に表示されます。[タスクをスキップ] を選択すると、タスクが [スキップしてクローズ] ステータスに移行します。このステータスでの実際の開始時間と終了時間は空です。
トリガー	イベントタスクの [トリガー] アクション。このアクションは、BCM プログラムマネージャーとしてログインしている場合にのみ使用できます。タスクは [保留中] ステータスです。[トリガー] を選択すると、依存関係に関係なくタスクが [オープン] ステータスに移行します。
対応中	イベントタスクの [対応中] ステータス。タスクは [オープン] ステータスです。[対応中] を選択すると、タスクが [対応中] ステータスに移行します。このステータスの [実際の開始] フィールドで、タスクの実際の開始時間を更新できます。実際の開始時間を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の開始時間として記録されます。次に利用可能なオプションは、[完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスです。
未完了でクローズ	イベントタスクの [未完了でクローズ] ステータス。タスクの実際の終了時間が [実際の終了] フィールドに記録されます。実際の終了を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の終了時間として記録されます。[作業メモ] フィールドで必要な情報を更新し、タスクを保存します。
完了してクローズ	イベントタスクの [完了してクローズ] ステータス。タスクは、このステータスでクローズ済みで完了しています。タスクの実際の終了時間が [実際の終了] フィールドに記録されます。実際

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベントタスクのステータス移行 (続く)

ステータス	説明
	の終了を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の終了時間として記録されます。

演習を作成

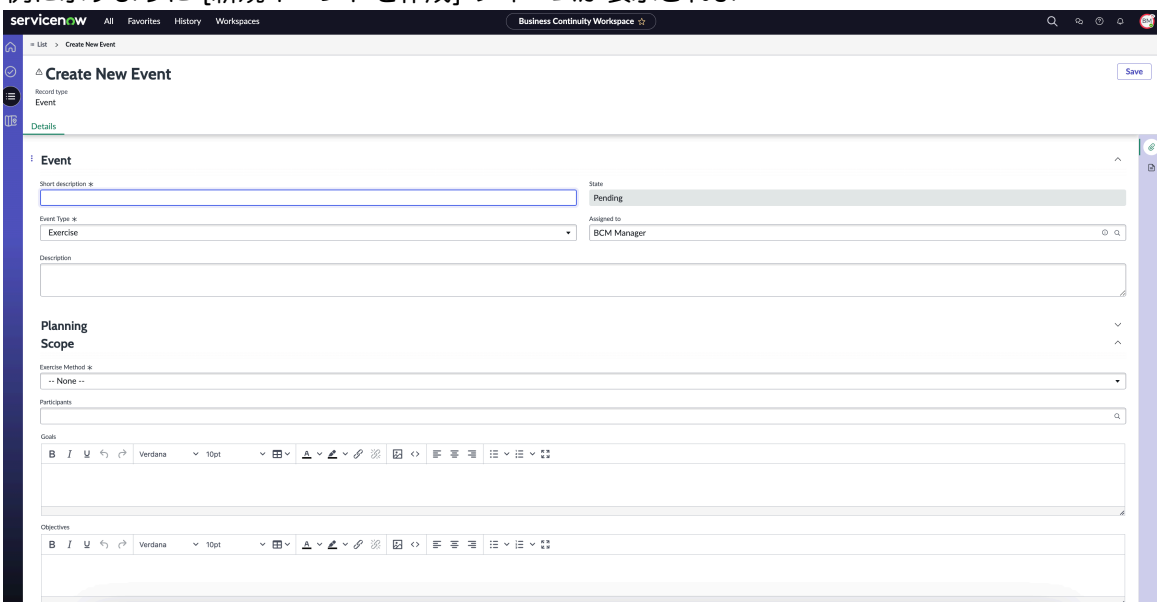
BCM UIB ワークスペース で演習を作成します。その後で、予定されている日に事業継続性および復旧計画をテストし、イベントタスクの完了を監視できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 訓練 > **Pending** (保留中) をクリックし、[新規] を選択します。
   次の例に示すように [新規イベントを作成] フォームが表示されます。

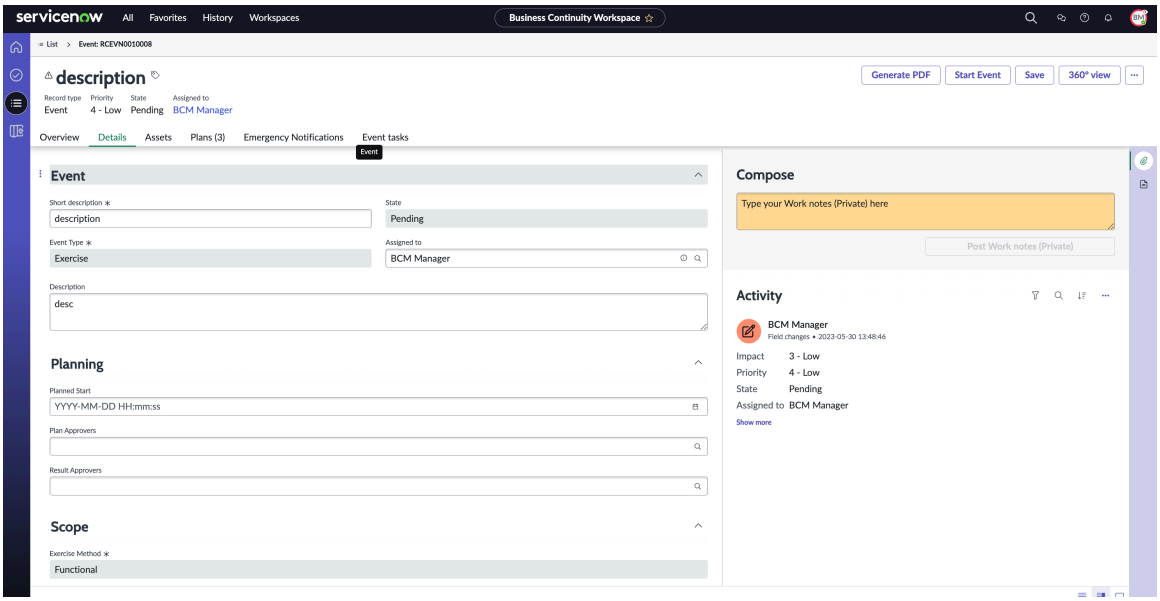


3. [新規イベントを作成] フォームの [詳細] タブで、必須フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[演習イベントの作成 (Create Exercise Event)] フォーム」を参照してください。
   演習イベントが [処理待ち] ステータス で作成され、リストビューに表示されます。演習イベントのステータスと詳細が次のタブに表示されます。
   - 概要：演習イベントの現在のステータスと全体的なステータス進行状況を表示できます。
   - 詳細：[簡単な説明]、[アサイン先]、[訓練方法] などのフォームのフィールドを更新できます。
   - 資産：影響を受けるアイテムタイプまたは資産タイプに対して復旧するプライマリ要素を選択できます。
   - 計画：選択した資産のアドホック計画をイベントに追加できます。
   - 緊急通知：演習イベントの緊急通知を作成できます。
   - イベントタスク：アドホックタスクをイベントに追加できます。

   次の例では、演習イベントフォームを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [保存] を選択します。
   演習イベントは [処理待ち] ステータスで保存されます。

[演習イベントの作成 **(Create Exercise Event)]** フォーム

BCM UIB ワークスペース の [演習イベントの作成(Create Exercise Event)] フォームを使用して、演習イベントの詳細を追加します。

[演習イベントの作成 **(Create Exercise Event)]** フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[演習イベントの作成 **(Create Exercise Event)]** フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
簡単な説明	イベントの簡単な説明
イベントタイプ	イベントのタイプ。演習イベントの場合、イベントタイプは [演習]です。
ステータス	デフォルトは [処理待ち] ステータスです。
アサイン先	アサイン先グループのユーザー。[アサイン先グループ] フィールドが空の場合は、任意のユーザーを選択します。
説明	演習イベントの説明。
計画	
開始予定	演習イベントの開始予定日 (*YYYY-MM-DD HH:mm:ss* 形式)。
計画承認者	演習イベントの計画承認者。
結果承認者	演習イベントの結果承認者。
スコープ	
訓練方法	演習の方法。使用可能なオプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[演習イベントの作成 **(Create Exercise Event)]** フォーム (続く)

フィールド	説明
	• シミュレーション • 机上訓練 • チュートリアル • 機能 **注:** 演習イベントの場合、演習方法はデフォルトで [機能] です。
参加者	演習の参加者。
目標	演習の目標。
具体的な目標	演習の具体的な目標。

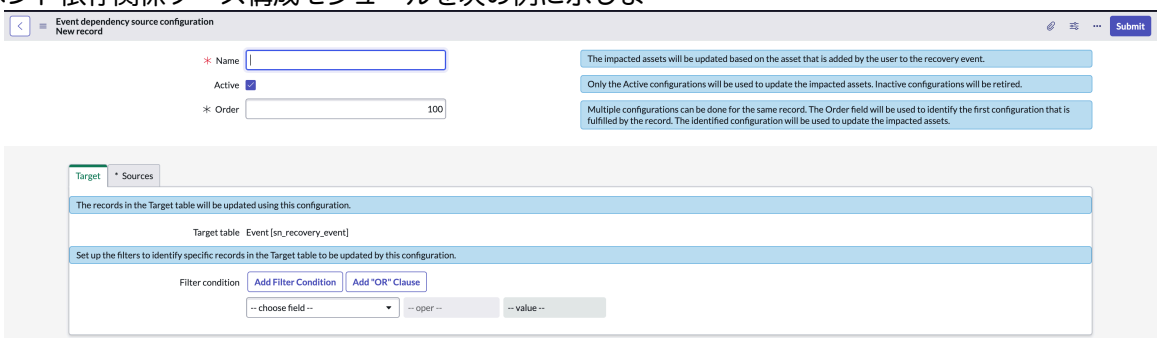
影響を受ける資産の依存関係をイベントに手動で追加する

ソースデータおよび BIA および計画のリレーションシップ CMDBに基づいて、影響を受ける資産の依存関係をイベントと演習に追加できます。

イベント依存関係ソース構成モジュールでのソースの構成

管理者は BCM 、イベント依存関係ソース構成モジュールでイベントの依存関係を取得するようにソースを構成できます。

イベント依存関係ソース構成モジュールを次の例に示しま



す。

BCM管理者がターゲットレコード、レコードのフィルター条件、およびソースを更新して、イベント依存関係をフェッチできる場合。

依存関係は、ユーザーが [依存関係を更新] UI アクションを選択した場合にのみ、イベントに追加されます。イベントの依存関係は、次のソースからフェッチされます。

- BIA アップストリーム依存関係
- BIA ダウンストリーム依存関係
- CMDB
- プライマリ資産の計画
- 関連資産の計画

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
イベントでは、すべての資産の依存関係が手動で追加されます (ソースは手動)。

イベント依存関係ソース構成モジュールの設定は、1 回限りのアクティビティです。イベント依存関係ソース構成モジュールでソースを構成すると、更新がイベントで同期されます。

イベント依存関係ソース構成モジュールの設定の詳細については、「」を参照してください イベント依存関係ソース構成モジュールを構成する。

イベント依存関係の更新に関連付けられたロール

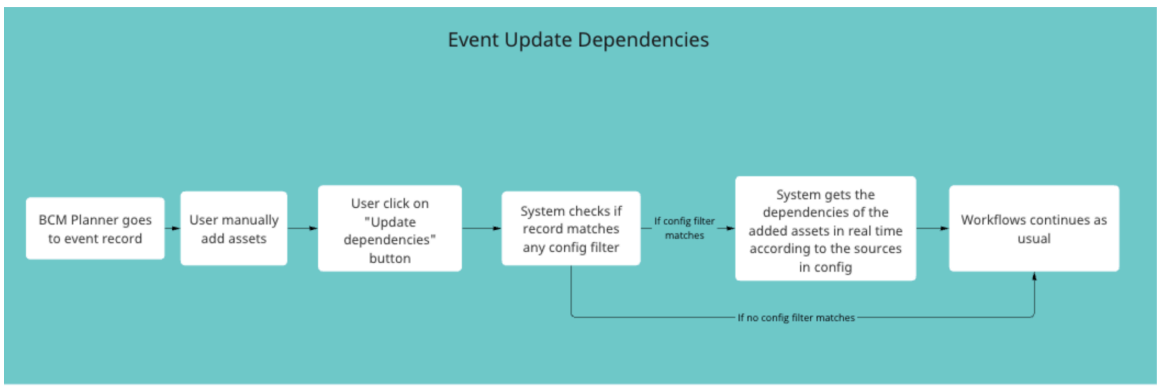
次のロールを持つユーザーは、通常、イベントで依存関係の更新を確認します。

- プログラムマネージャー、計画者、およびBCMマネージャーはBCM、BCM最新の依存関係を更新できます。
- BCM 管理者は、イベント依存関係ソース構成モジュールを構成できます。

イベントと演習で依存関係を手動で更新するためのワークフロー

BCMアプリケーションユーザーがイベントレコードで [依存関係を更新] UI アクションを選択すると、すべての資産の依存関係が手動で追加され (ソースが [手動]の場合)、

BCMアプリケーションは、次の例に示すように、イベントと演習で影響を受ける資産を更新するワークフローを実行します。



1. 計画者が BCM イベントレコードに移動します。
2. 計画者は BCM 、[依存関係を更新] UI アクションを選択して、資産を手動で追加します。
3. アプリケーションは、イベントレコードがいずれかの構成フィルターに一致するかどうかを確認します。
4. イベントレコードがいずれかの構成フィルターに一致する場合、システムは構成で定義されたソース (イベント依存関係ソース構成モジュール) に従って、追加された資産の依存関係をリアルタイムで取得します。
5. イベントレコードがどの構成フィルターにも一致しない場合、イベントワークフローは次のステップに進み、イベントワークフローは次のステップに進みます。

イベントの依存関係を手動で更新する方法の詳細については、を参照してください イベントの依存関係を手動で更新。

データリレーションシップフレームワーク

リリース以降 Washington DC 、(com.sn_app_grc_relationship_config) アプリケーションは、影響を受ける資産の依存関係をイベントと演習に追加するために、 データリレーションシップフレー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ムワーク 基礎となるフレームワークを使用してアプリケーションをサポートします BCM 。データリレーションシップフレームワークアプリケーションは、デフォルトでアプリケーションと共にBCMインストールされます。

データリレーションシップフレームワーク の詳細については、「データリレーションシップフレームワーク」を参照してください。

イベントの依存関係を手動で更新

[依存関係を更新] UI アクションを選択して、イベントの依存関係を手動で更新します。アクティブなイベントの依存関係を更新できます。

始める前に
必要なロール:sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner、sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. [処理待ち] ステータスのイベントを開きます。
3. 依存関係を手動で更新するには、 [依存関係の更新] を選択します。
   UI メッセージが画面に表示されます: 依存関係を更新しています。
4. イベントへの変更を保存するには、 [保存] を選択します。
   計画オーナーと BCM リードは、イベントへの変更を保存することで、イベントの依存関係を更新できます。

影響を受ける資産の追跡と関連する計画の追加

影響を受ける資産を追跡し、関連する計画を演習に追加します。そうすると、BCM UIB ワークスペース で演習の資産と計画を監視できます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 訓練 > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから演習イベントを選択します。
3. [資産] タブで、[追加] を選択します。

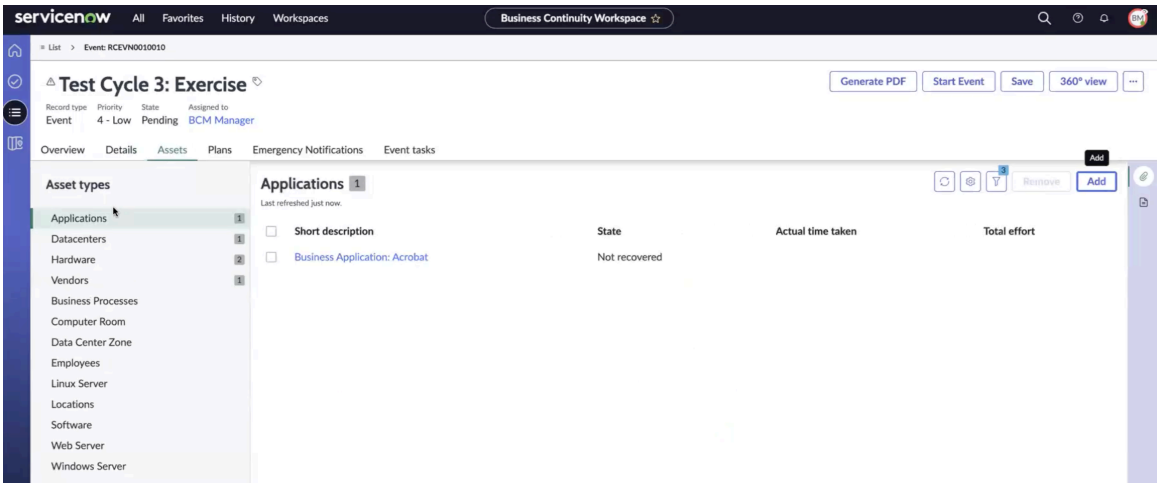
   演習中に復旧する資産を追加できます。資産のプライマリ要素が [資産タイプ] として一覧表示されます。プライマリ要素は、計画テンプレートで識別される要素定義タイプに属します。資産をイベントに追加すると、関連する依存関係がイベントにプルされます。依存関係が [資産タイプ] パネルに表示されます。

   > **注:**
   > アプリケーションに対して [追加] を選択すると、そのアプリケーションのビジネスインパクト分析で特定したすべての依存関係も演習に追加されます。

   次の例は、演習の [資産タイプ] パネルの [Business Application: Acrobat] の依存関係を示しています。

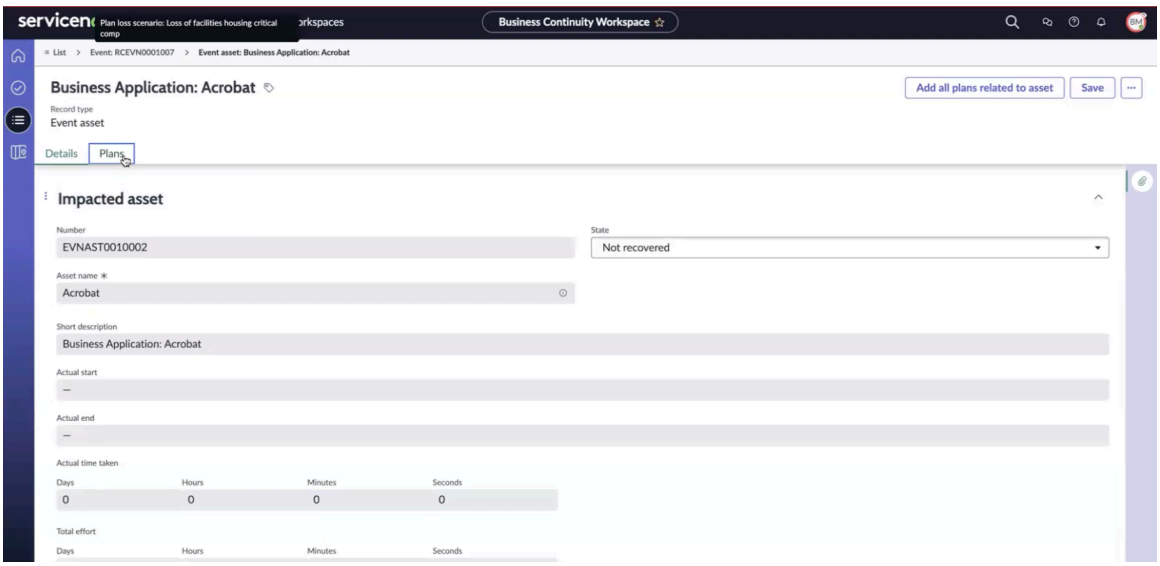
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [アプリケーション] リストでアプリケーションを選択し、[計画] タブに移動します。

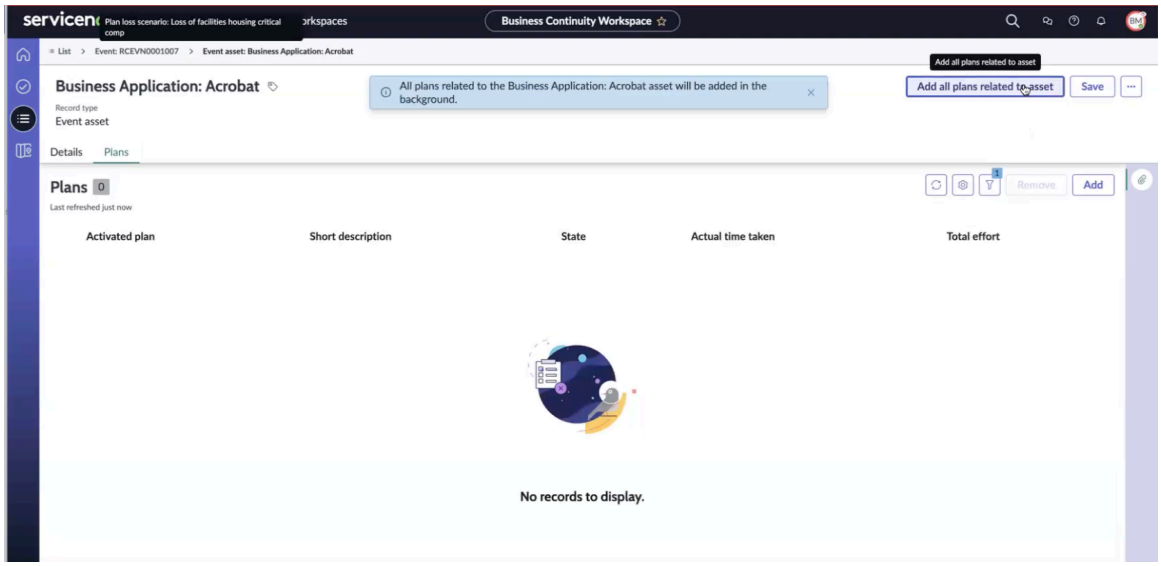
[計画] タブには、次の例のとおりに移動できます。



5. [資産に関連するすべての計画を追加] を選択します。
選択したアプリケーションに関連するすべての計画が演習に追加されます。
次の例に示すように、選択したアプリケーションに関連するすべての計画がバックグラウンドで追加されたことを示す情報メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [保存] を選択します。
   演習は [処理待ち] ステータスで保存されます。

演習へのタスクの追加

BCM UIB ワークスペース の演習にタスクを追加します。そうすると、演習に関連付けられているタスクを監視して完了できます。

始める前に

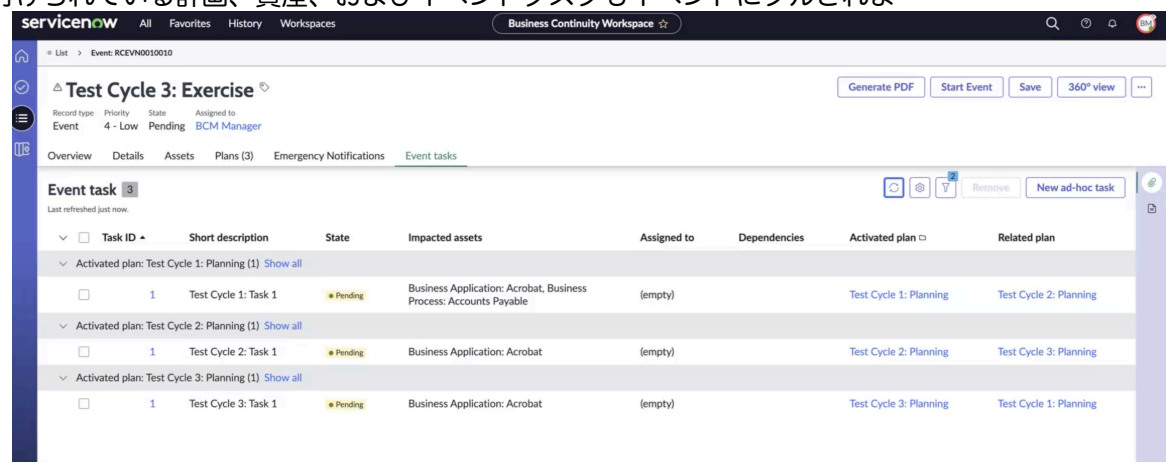
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 訓練 > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから演習イベントを選択します。
3. [イベントタスク] タブを選択します。

> **注:**
> 演習方法が [機能] の場合、当該の演習イベントの [イベントタスク] タブが表示されます。

計画を演習イベントに追加または更新すると、次の例に示すように、計画に関連付けられている計画、資産、およびイベントタスクもイベントにプルされます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例は、タスク 3 がタスク 1 に依存する、循環関係にあるタスクを示しています。

- [テストサイクル 1：タスク 1 (Test Cycle 1: Task 1)] が [テストサイクル 2：計画 (Test Cycle 2: Planning)] をアクティブ化します。
- [テストサイクル 2：タスク 1 (Test Cycle 2: Task 1)] が [テストサイクル 3：計画 (Test Cycle 3: Planning)] をアクティブ化します。
- [テストサイクル 3：タスク 1 (Test Cycle 3: Task 1)] が [テストサイクル 1：計画 (Test Cycle 1: Planning)] をアクティブ化します。

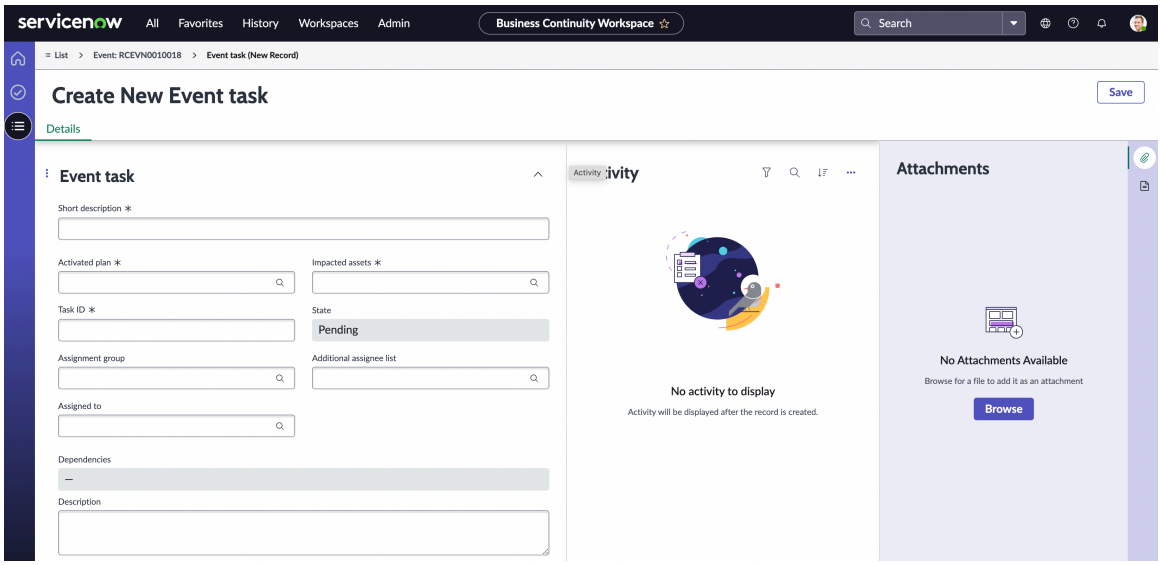
4. アドホックタスクをイベントに追加するには、[新しいアドホックタスク] を選択します。

> **注:**
> [対応中] ステータスの演習イベントにアドホックタスクを追加すると、アクティブ化された計画が [対応中] ステータス の場合、タスクは [オープン] ステータスになります。アクティブ化された計画が [処理待ち] ステータス の場合、タスクは [処理待ち] ステータス になります。

[新規イベントタスクの作成 (Create New Event Task)] フォーム内のフィールドの詳細については、「[新規イベントタスクの作成 (Create New Event Task)] フォーム」を参照してください。

> **注:**
> [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスの有効化された計画に対してアドホックタスクを作成することはできません。

次の例に示すように [新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォームが表示されます。

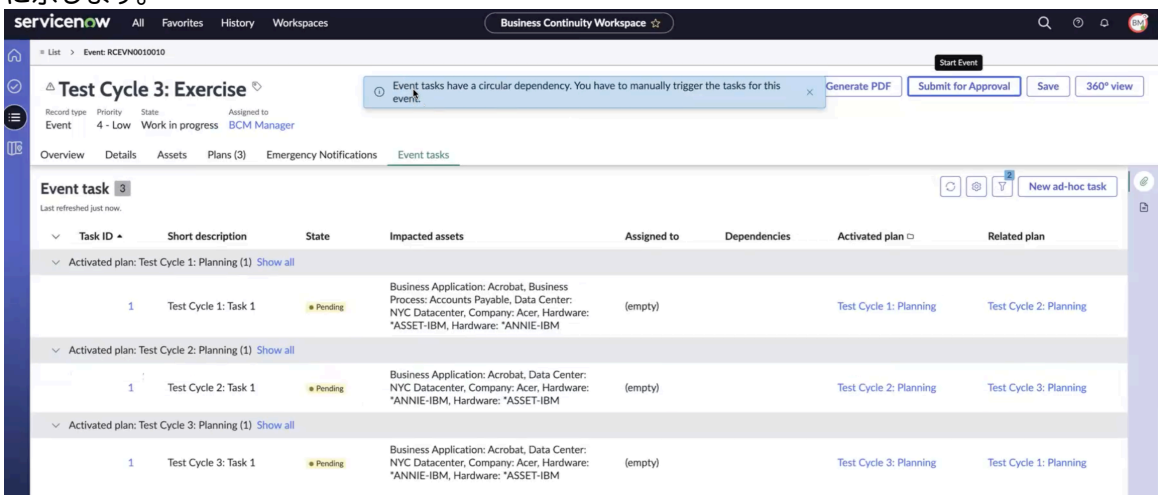


5. 演習を開始するには、[イベントを開始]を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

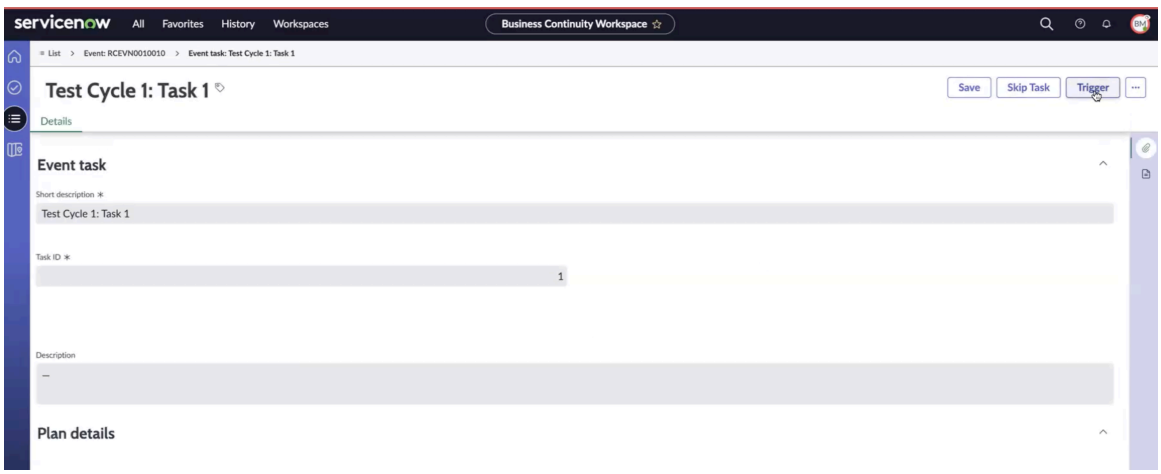
演習を開始すると、イベントのステータスが [対応中] に更新されます。イベントタスクを次の例に示します。



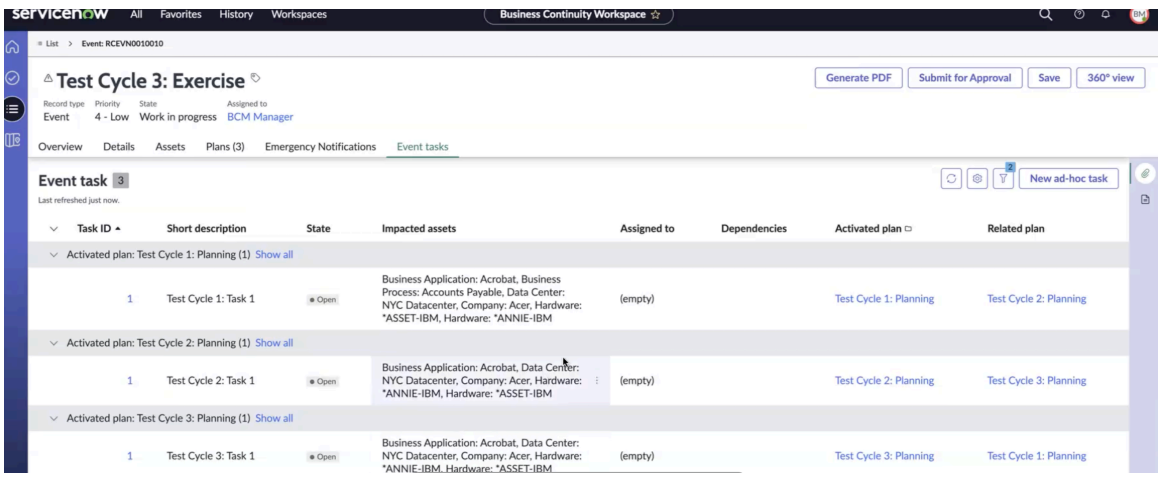
イベントタスクに循環依存関係があることを示すメッセージが表示されます。このイベントのタスクは手動でトリガーする必要があります。

6. 最初のタスクを選択し、[トリガー]を選択します。

タスクを手動でトリガーするプロセスを、次の例に示します。



次の例に示すように、タスクのステータスを [オープン] に更新し、すべての依存タスクを 1 つずつ開きます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 演習イベントのイベントタスクのすべての有効化された計画を完了し、[承認のため送信] を選択します。
8. PDF を生成するには、**[PDF の生成]** を選択します。
   危機イベントへの編集アクセス権がある場合は、イベントのコピーを PDF 形式でローカルハードドライブに保存できます。

   注:
   デフォルトでは、イベントがクローズされた後に PDF が生成されて添付されます。

9. [詳細] タブの [結果] セクションに移動し、イベントタスクの [実際の開始日] と [実際の終了日] を更新します。
10. 必要に応じてアサインフィールドを更新します。
11. [アクティビティ] セクションの [作業メモ] フィールドにイベントタスク関連情報を入力します。
12. [保存] を選択します。
13. 更新アイコン ( ) を選択して、資産または計画の更新されたステータスと、資産の復旧にかかった実際の時間を表示します。

[新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォーム

BCM UIB ワークスペース の [新規イベントタスクの作成 (Create New Event Task)] フォームを使用して、イベントタスクの詳細を追加します。

[新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
簡単な説明	イベントタスクについての簡単なメモ。
有効化された計画	イベントタスクに対してアクティブ化された計画。
影響を受ける資産	イベントタスクに対して影響を受ける資産。
タスク ID	デフォルトは、計画の既存のイベントタスクの次の番号です。
ステータス	デフォルトは [保留中] ステータスです。
アサイン先グループ	イベントタスクがアサインされているグループ。
他の受託者リスト	イベントタスクにアサインされた追加ユーザー。
アサイン先	アサイン先グループのユーザー。[アサイン先グループ] フィールドが空の場合は、任意のユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォーム (続く)

フィールド	説明
依存関係	タスクの依存関係。計画レベルからコピーされたタスクの場合、依存関係は計画復旧タスクからコピーされます。アドホックタスクの依存関係を追加することはできません。
説明	イベントタスクに関する情報。
アクティビティ	
作業メモ	内部で共有されるイベントタスクに関する情報。

演習を承認

BCM UIB ワークスペース で演習を承認します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 訓練 > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから演習イベントを選択します。
3. イベントの承認者としてログインし、リストビューでイベントを選択します。
4. [未完了でクローズ] を選択します。
   イベントに関連付けられたイベントタスクが完了していない場合は、イベントのステータスを [未完了でクローズ] に更新できます。
5. [承認のため送信] を選択します。
6. [完了してクローズ] を選択します。
   イベントのステータスを [完了してクローズ] に更新できます。

セルフサービスから復旧タスクを表示

危機イベントまたは演習から資産を復旧するために、自分または復旧タスクチームにアサインされた復旧タスクを表示します。BCM プログラムマネージャーからタスクがアサインされると、セルフサービスアプリケーションメニューからそれらのタスクを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.recovery_team_member

手順

1. 移動先 セルフサービス > 自分の復旧タスク.
2. 自分に、自分が属するアサイン先グループに、または自分が属する復旧チームにアサインされ、イベントのステータスが [処理待ち] ステータスではない、イベントタスクのリストを表示します。
   復旧タスクの名前と説明を表示できます。
3. 更新するイベントタスクの [タスク **ID]** へのリンクを選択します。
   [実際の開始] と [実際の終了] の詳細を更新できます。
4. [イベントタイプ] 列をソートして、危機関連のタスクを一番上に表示します。
5. [イベントタスクタイプ] 列を表示して、計画されたイベントかアドホックイベントかを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. イベントタスクアクティビティにメモを追加するには、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションを選択し、[作業メモ] フィールドに情報を追加します。
7. タスクを [対応中] ステータスに更新するには、[対応中] を選択します。
8. タスクをクローズするには、[未完了でクローズ] または [完了してクローズ] を選択します。
9. レコードを更新するには、[更新] を選択します。

演習と危機イベントの 360 度の関係を可視化

BCM UIB ワークスペース で、演習または危機イベントと関連付けられたエンティティの 360 度の関係を可視化します。演習と危機イベントの作成中は、いつでも 360 度ビューにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：sn_bia.bia_admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

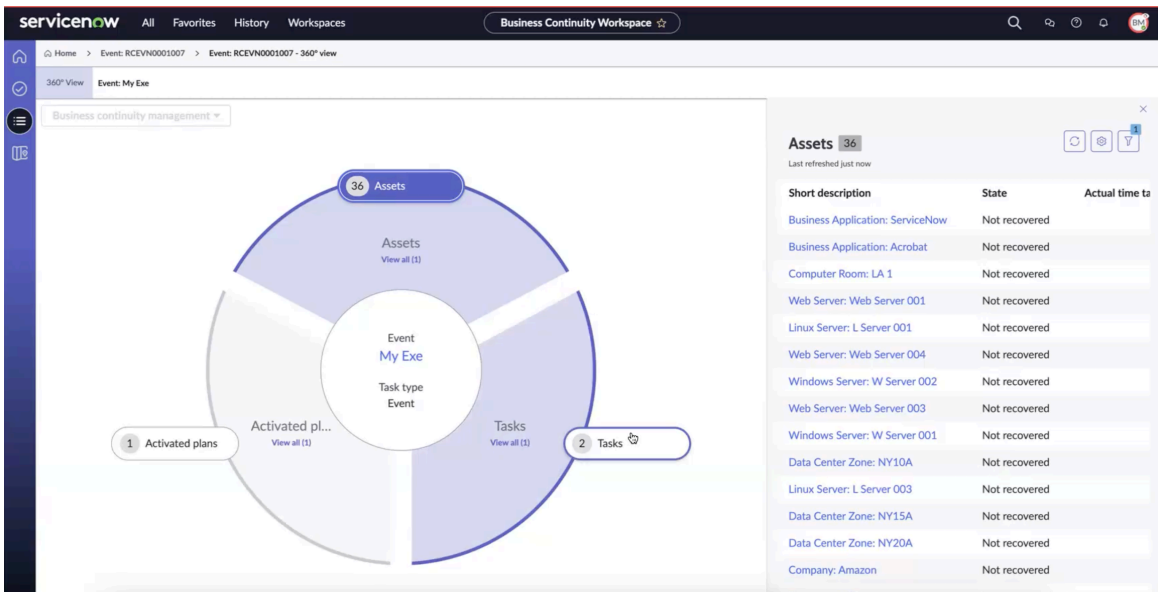
このタスクについて

360 度ビューの構成は、次の場所に保存されます。 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューの構成. 管理者ロールを持っている場合は BCM 、次のレコードの関係を構成できます。 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[演習] に移動して、リストからレコードを選択します。
   演習イベントレコードが表示されます。危機イベントにも同じ手順が適用されます。
3. イベントレコードで **[360** 度ビュー] を選択します。

   次の例に示すように、選択したイベントの 360 度ビューが表示されます。



   選択したイベントの 360 度ビューには、次の詳細が表示されます。

   - 有効化された計画：資産に関連付けられている有効化された計画。
   - 資産：イベントによって影響を受ける資産。
   - タスク：イベントに関連付けられているタスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度ビューで [資産] カプセルを選択すると、例に示すように、イベントの資産の詳細が右側の [資産] パネルに表示されます。

4. 再度イベントに移動するには、ブレッドクラムナビゲーションでイベントまたはリストビューを選択します。

演習または危機イベントの **PDF** の生成

BCM UIB ワークスペース で演習または危機イベントの PDF を生成し、後で参照できるように保存します。

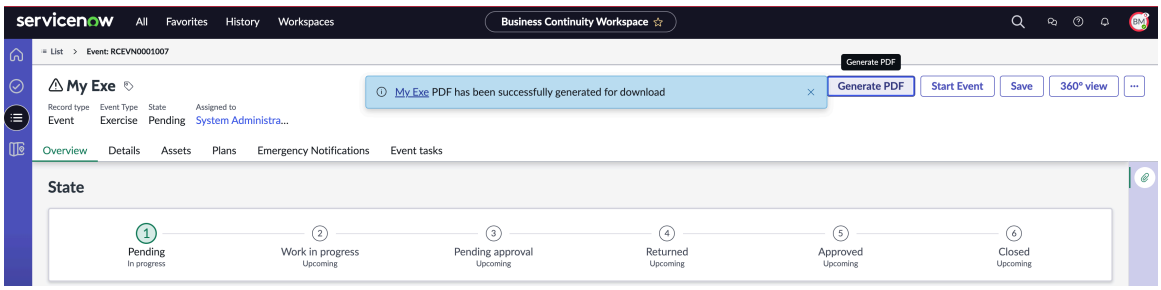
始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて
ビジネスニーズに合わせて PDF をフォーマットするには、「BIA、BCP、およびイベントの PDF テンプレートを書式設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[演習] に移動し、[レビュー] または次のステータスになっているイベントレコードを選択します。
   危機イベントの PDF を生成するときと同じプロセスを使用できます。
3. フォームで **[PDF**の生成] を選択します。

   次の例は、「<演習イベントの名前> ダウンロード用 PDF が正常に生成されました」というメッセージが画面に表示されているところを示しています。

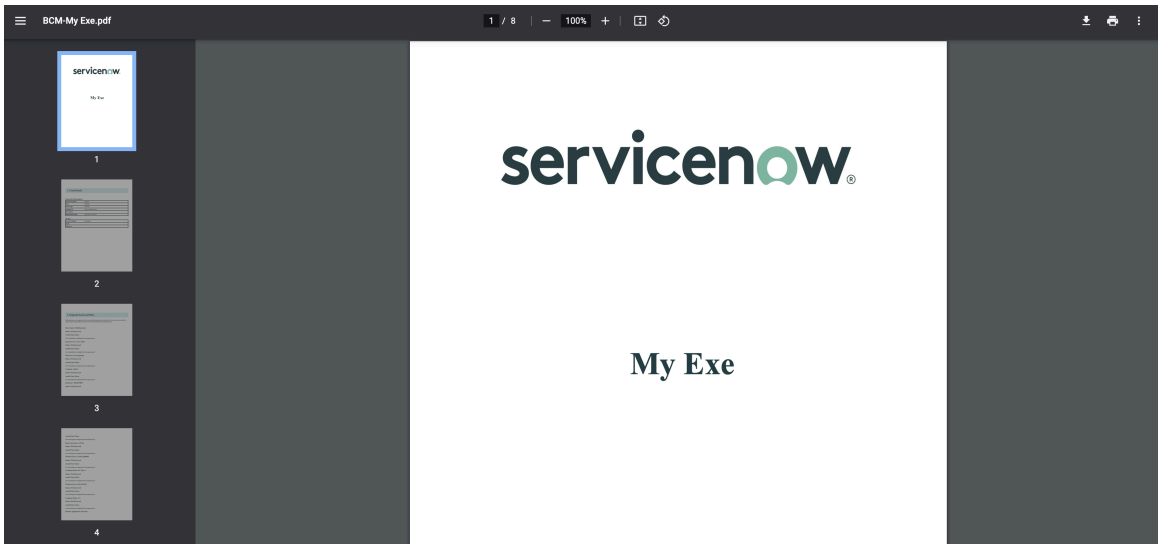


4. PDF をダウンロードするには、メッセージ内のリンクを選択します。

   次の例は、演習の PDF がローカルにダウンロードされたことを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. システムに PDF を保存します。
   PDF を保存すると後で参照できます。

BCM 構成可能ワークスペース での危機管理のための構造化されたワークフロー

構造化されたワークフローを実行して、事業継続性ワークスペース (別名 BCM 構成可能ワークスペース) で危機イベントを管理します。

通常、BCM プログラムマネージャーは、以下のタスクを実行して、危機イベントに対応します。

- 危機イベントを作成します。詳細については、「危機イベントの開始」を参照してください。
- 危機イベントに資産と計画を追加します。詳細については、「影響を受ける資産の追跡と関連する計画の追加」を参照してください。
- 危機イベントにイベントタスクを追加します。詳細については、「危機イベントにタスクを追加する」を参照してください。
- 演習イベントのイベントタスクを送信します。詳細については、「危機イベントを承認」を参照してください。

危機イベントに関する追加情報

- ホームページの [危機イベント] タブの詳細については、「ホームページビュー」を参照してください。
- 危機マップインターフェイスでの脅威、フィード、アラートの詳細については、「クライシスマップインターフェイス」を参照してください。
- 危機マップインターフェイスでの管理タスクの詳細については、「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。
- 危機イベントの詳細については、「危機イベント」を参照してください。

危機イベントの開始

BCM UIB ワークスペース で危機イベントを開始します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

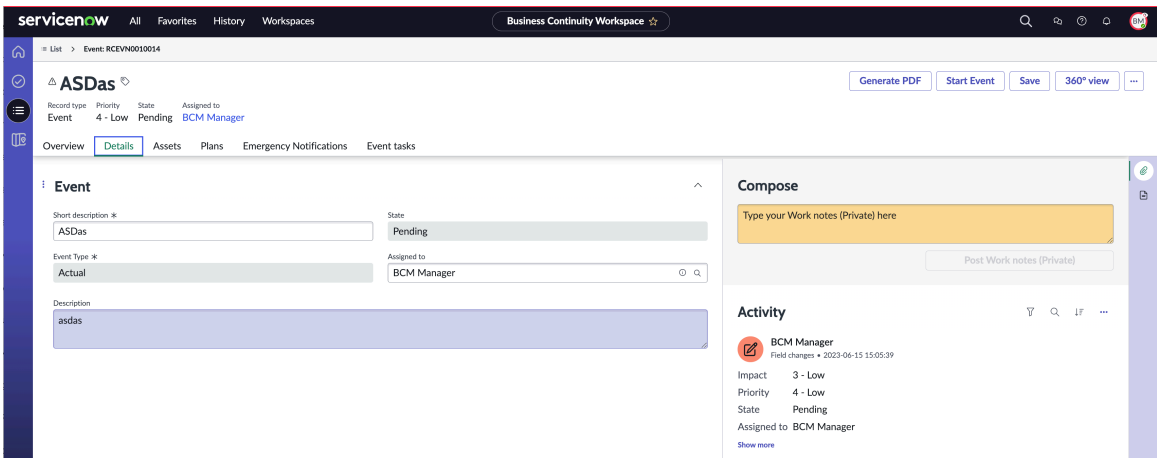
手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 危機イベント > **Pending** (保留中) をクリックし、[新規] を選択します。
   [新規イベントを作成] フォームが表示されます。
3. [新規イベントを作成] フォームの [詳細] タブで、必須フィールドに入力します。

   注:
   危機イベントの場合、イベントタイプは [実績]です。

   フィールドの詳細については、「[危機イベントの作成(Create Crisis Event)] フォーム」を参照してください。

   次の例に示すように、危機イベントが [処理待ち] ステータスで作成されます。



   危機イベントのステータスと詳細は、次のタブに表示されます。

   - 概要：危機イベントの現在のステータスと全体的なステータス進行状況を表示できます。
   - 詳細：簡単な説明、ステータス、イベントタイプ、アサイニーなど、危機イベントの詳細を表示できます。
   - 資産：影響を受けるアイテムタイプまたは資産タイプに対して復旧するプライマリ要素を選択できます。
   - 計画：選択した資産のアドホック計画を危機イベントに追加できます。
   - 緊急通知：Everbridge 統合を使用して危機イベントの通知を作成できます。
   - イベントタスク：危機イベントにアドホックタスクを追加できます。
4. [保存] を選択します。
   危機イベントは [処理待ち] ステータス で保存され、レコードの [危機イベント] リストビューに表示されます。

[危機イベントの作成**(Create Crisis Event)**] フォーム

BCM UIB ワークスペース の [危機イベントの作成(Create Crisis Event)] フォームを使用して、危機イベントに関する詳細を追加します。

[危機イベントの作成**(Create Crisis Event)**] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[危機イベントの作成**(Create Crisis Event)**] フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
簡単な説明	危機イベントに関する簡単な説明。
ステータス	イベントのステータス。デフォルトは [処理待ち] ステータスです。
イベントタイプ	イベントのタイプ。危機イベントの場合、イベントタイプは [実績]です。
アサイン先	アサイン先グループのユーザー。[アサイン先グループ] フィールドが空の場合は、任意のユーザーを選択します。
説明	イベントの説明。

影響を受ける資産の追跡と関連する計画の追加

危機イベント中に、影響を受ける資産を追跡し、関連する計画を演習に追加します。BCM UIB ワークスペース で、危機イベント中に演習の資産と計画を監視できます。その後、計画ステージで資産を復旧できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 危機イベント > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから危機イベントを選択します。
3. [資産] タブを選択し、[追加] を選択します。

   危機中に復旧する資産を追加できます。資産のプライマリ要素が [資産タイプ] として一覧表示されます。プライマリ要素は、計画テンプレートで識別される要素定義タイプに属します。資産をイベントに追加すると、関連する依存関係がイベントにプルされます。依存関係が [資産タイプ] パネルに表示されます。

   > **注:**
   > アプリケーションに対して [追加] を選択すると、そのアプリケーションのビジネスインパクト分析で特定したすべての依存関係も演習に追加されます。

4. [アプリケーション] リストでアプリケーションを選択し、[計画] タブに移動します。
   計画を危機イベントに追加すると、計画に関連付けられている計画、資産、およびイベントタスクもイベントにプルされます。
5. [資産に関連するすべての計画を追加] を選択します。
   インスタンスで選択したアプリケーションに関連する計画がある場合、その計画が演習イベントに追加されます。
6. [保存] を選択します。
   危機イベントは [処理待ち] ステータスで保存されます。

危機イベントにタスクを追加する

BCM UIB ワークスペース で、危機イベントにタスクを追加します。そうすると、危機イベントに対応するために必要なアクションを監視して完了できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 危機イベント > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから危機イベントを選択します。
3. [イベントタスク] タブを選択します。

   注:
   危機イベントの場合、イベントタイプは [実績]です。

   計画を危機イベントに追加または更新すると、計画に関連付けられている計画、資産、およびイベントタスクもイベントにプルされます。
4. アドホックタスクをイベントに追加するには、[新しいアドホックタスク] を選択します。

   注:
   危機イベントに対して是正処置を実行できるように、危機イベントにアドホックタスクが追加されます。[対応中] ステータスの危機イベントにアドホックタスクを追加すると、アクティブ化された計画が [対応中] ステータス の場合、タスクは [オープン] ステータスになります。アクティブ化された計画が [処理待ち] ステータス の場合、タスクは [処理待ち] ステータス になります。

   [新規イベントタスクの作成 (Create New Event Task)] フォーム内のフィールドの詳細については、「[新規イベントタスクの作成 (Create New Event Task)] フォーム」を参照してください。

   注:
   [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスの有効化された計画に対してアドホックタスクを作成することはできません。

5. 危機イベントを開始するには、[イベントを開始]を選択します。
   イベントを開始すると、イベントのステータスが [対応中] に更新されます。

   注:
   イベントタスクに循環依存関係がある場合、このイベントのタスクを手動でトリガーする必要があります。

6. 最初のタスクを選択し、[トリガー]を選択します。
7. 危機イベントのイベントタスクのすべての有効化された計画を完了し、[承認のため送信] を選択します。
8. PDF を生成するには、**[PDF** の生成] を選択します。
   危機イベントへの編集アクセス権がある場合は、イベントのコピーを PDF 形式でローカルハードドライブに保存できます。

   注:
   デフォルトでは、イベントがクローズされた後に PDF が生成されて添付されます。

9. [詳細] タブの [結果] セクションに移動し、イベントタスクの [実際の開始日] と [実際の終了日] を更新します。
10. 必要に応じてアサインフィールドを更新します。
11. [アクティビティ] セクションの [作業メモ] フィールドにイベントタスク関連情報を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

12. [保存] を選択します。
13. 更新アイコン ( ) を選択して、資産または計画の更新されたステータスと、資産の復旧にかかった実際の時間を表示します。

危機イベントを承認

BCM UIB ワークスペース での危機イベントを承認

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 危機イベント > **Pending** (保留中) をクリックし、リストから危機イベントを選択します。
3. イベントの承認者としてログインし、リストビューでイベントを選択します。
4. [承認のため送信] を選択します。
5. [承認] を選択します。
6. [保存] を選択します。
7. [完了してクローズ] を選択します。
   イベントのステータスを [完了してクローズ] に更新できます。
8. [未完了でクローズ] を選択します。
   イベントのステータスを [未完了でクローズ] に更新できます。

BCM 構成可能ワークスペース での クライシスマップ のための構造化されたワークフロー

BCM 構成可能ワークスペース の クライシスマップ インターフェイスを使用して、組織の事業運営に対する潜在的な脅威に関するアラートを受信できます。そうすることで、応答ワークフローを開始してアラートを管理できます。

通常、BCM プログラムマネージャーは、クライシスマップ インターフェイスからアラートを管理するために次のタスクを実行します。

- クライシスマップでアラートを管理する。詳細については、「クライシスマップ でのアラートの管理」を参照してください。
- クライシスマップ でコントロールを設定して、アラートをカスタマイズする。詳細については、「クライシスマップ でコントロールを設定してアラートをカスタマイズする」を参照してください。
- クライシスマップでリソースレイヤーのクラスタリングを表示する。詳細については、「クライシスマップ でレイヤークラスタリングを選択」を参照してください。
- クライシスマップの影響を受ける領域内の資産を監視する。詳細については、「クライシスマップの影響を受ける領域内の資産を監視する」を参照してください。
- 危機管理の応答ワークフローを開始する。詳細については、「危機管理の対応ワークフローの開始」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クライシスマップ に関する追加情報

- BCM 構成可能ワークスペース の クライシスマップ ビューの詳細については、「クライシスマップ ビュー」を参照してください。
- クライシスマップ での脅威、フィード、アラートの詳細については、「クライシスマップインターフェイス」を参照してください。
- クライシスマップ での管理タスクの詳細については、「クライシスマップのセットアップ」を参照してください。

クライシスマップ でのアラートの管理

BCM UIB ワークスペース の クライシスマップ インターフェイスからアラートを管理します。そうすることで、資産の場所から脅威とその位置情報を特定できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin または sn_bcm.program_manager

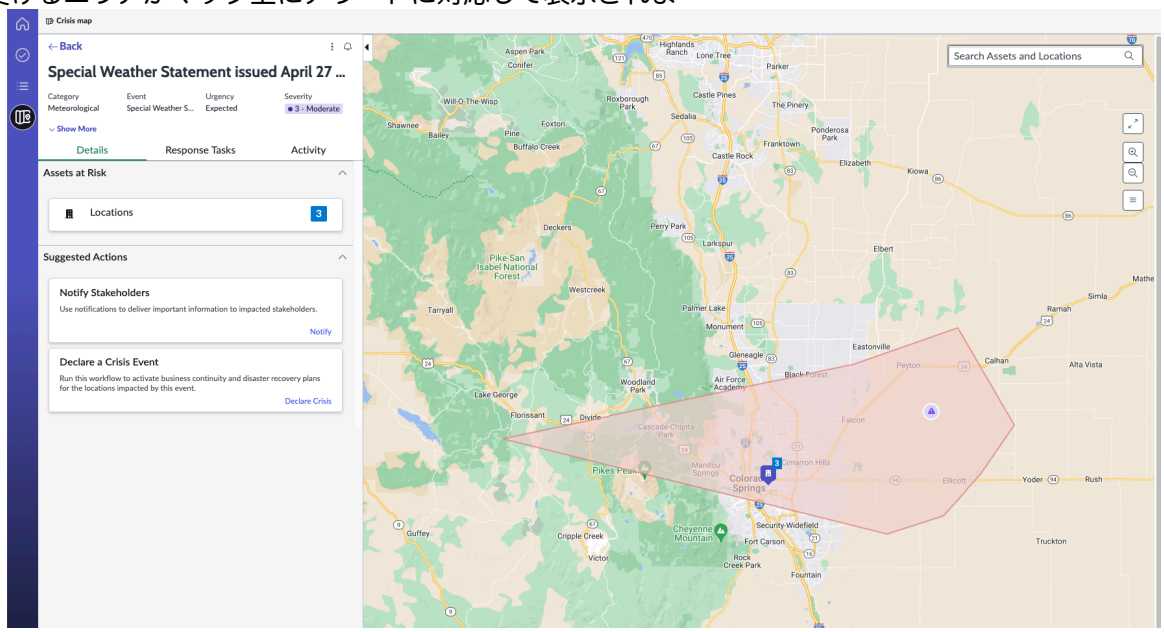
手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、[危機マップ] アイコンを選択します。
3. アラートのレコードを選択します。

   このアクションにより、[アラート] パネルにアラートレコードが開きます。レコードのヘッダーに、レコードの詳細が表示されます。

   [詳細] タブの [リスクのある資産] セクションに、リスクのある資産が表示できます。[提案されたアクション] セクションに、**[** ステークホルダーに通知] や [危機イベントを宣言 **]** などの提案されたアクションが表示されます。

   アラートの詳細ビューを開くと、次の例に示すように、影響を受けるエリアがマップ上にアラートに対応して表示されます。

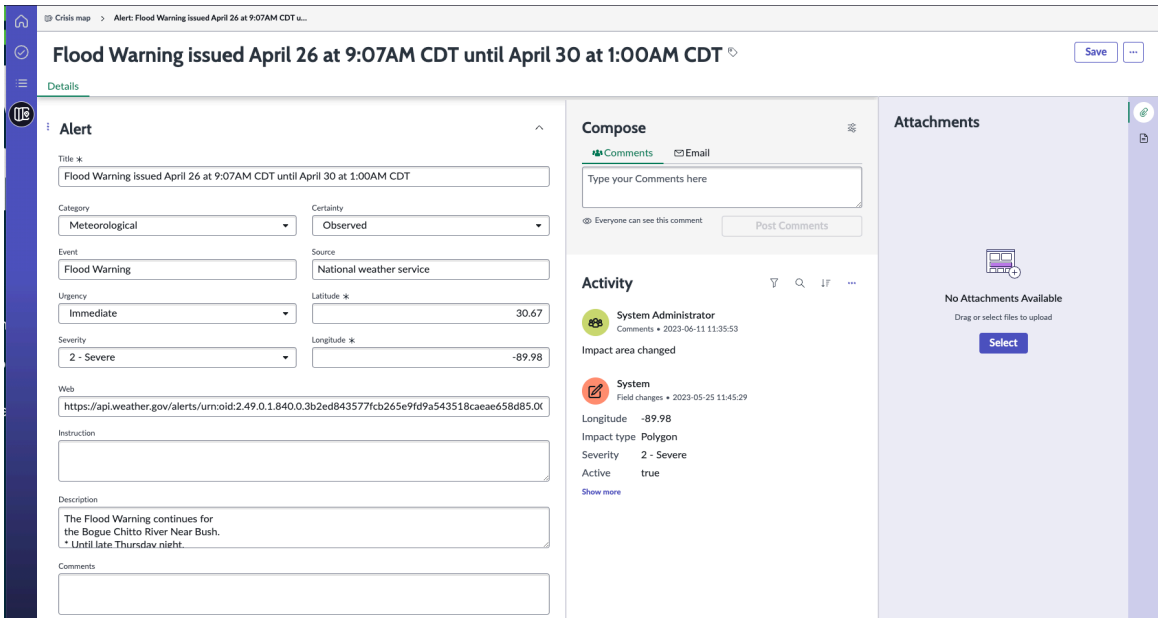


4. フォームビューでアラートの詳細を開くには、[アラートメニュー] アイコン (⋮) で、[オープンアラート] オプションを選択します。

   このアクションにより、次の例で示すように、別の [詳細] タブでレコードが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



5. アラートに関連付けられている応答タスクを表示するには、[応答タスク] タブを選択します。
6. アラートのアクティビティを表示し、[作成] セクションにコメントを追加するには、[アクティビティ] タブを選択します。
7. アラートを解除するには、[アラート] メニューで [アラートを解除] を選択します。

   アラートが従業員の場所、データセンター、コア会社、または事業所への脅威を現在示していない場合に、アラートを解除できます。アラート内容が業務の妨げにならないことがわかっている場合は、リストビューとその詳細ビューでアラートを解除できます。

   リストビューでアラートを解除すると、リストから削除されます。詳細ビューからアラートを解除すると、そのアラートは削除されてリストビューに戻るので、リスト内の他のアラートを確認できます。どちらの場合も、アラートの解除に関する確認メッセージが表示されます。
8. アラート通知に登録するには、[アラート] パネルでベルのアイコンを選択して [登録] を選択します。
   アラートまたはそのソースフィードアイテムが更新されると、ワークスペース通知が届きます。

クライシスマップ でコントロールを設定してアラートをカスタマイズする

BCM UIB ワークスペース の クライシスマップ インターフェイスでコントロールを設定します。その後、資産、場所などのアラートをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin または sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで [危機マップ] を選択します。

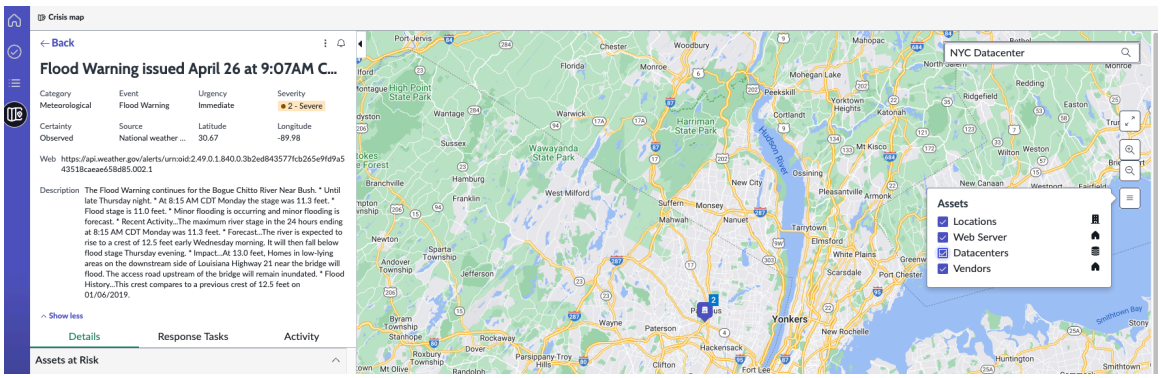
   アラートセクションはワークスペースの左側にあり、マップビューは右側にあります。
3. 右側のマップビューで [資産と場所の検索 **(Search assets and locations)]** 検索フィールドを選択し、アラートの影響を受ける場所またはデータセンターを入力します。
   場所を検索すると、会社の結果のリストとレコードの表示値がそれらのアイコンとともに表示され、Google マップピンアイコンが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員の場所またはデータセンターがわからない場合は、レイヤーコントロールを使用します。

4. マップのズームレベルを変更し、特定の領域を表示するには、[ズームイン] および [ズームアウト] コントロールボタンを使用します。
5. マップ上で資産を選択して表示するには、[レイヤー] アイコンを選択します。

   次の例に示すように、[場所]、**[Web** サーバー]、[データセンター]、[ベンダー] などの資産がマップに表示されます。



6. すべての検索結果のマップをクリアするには、[リセット] アイコンを選択します。

クライシスマップ でレイヤークラスタリングを選択

BCM UIB ワークスペース の クライシスマップ でレイヤークラスタリングを選択します。その後、マップで資産またはリソースを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin または sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで [危機マップ] を選択します。
3. [レイヤー] アイコンを選択します。

   マップ上のレイヤーは、Google マップ上でピンとして表示され、構成可能です。資産の場所、資産、データセンター、コア会社などのすべてのレイヤーの詳細は、構成されたアイコンによってマップ上に表示されます。

   レイヤーコントロールを使用すると、選択した資産のみを表示することも、すべての資産を表示することもでき、マップ上でオンとオフを切り替えることができます。危機管理者は、アクティブなアラートを表示するときに、他の資産ではなく、その時点で重要になる可能性のある単一の資産に集中することで、情報に基づいた意思決定を行うことができます。

4. 選択したリソースまたは資産をマップに表示するには、その資産のチェックボックスをオンにします。

   選択した資産のアイコンがマップに表示されます。レイヤーアイコンは黒い境界線内に表示されますが、アラートアイコンは白い円内に表示されます。

5. マップ上の [資産] アイコンを選択すると、その詳細が表示されます。
   たとえば、横に番号もカウントも付いていないデータセンターアイコンを選択すると、リソース構成テーブル [sn_fam_resource_config] で構成した表示情報を含むポップオーバーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース構成] フォームで、データセンターテーブル [cmdb_co_datacenter] の [電力] および [消費電力] フィールドを表示フィールドとして構成した場合、そのデータセンターの消費電力の詳細がその場所座標とともに表示されます。

6. 横に番号の付いた [資産] アイコンを選択します。

   マップがズームインし、そのクラスター内のカウントと一致するすべての資産が表示されます。さらにクラスター内の各資産を選択すると、任意の資産にドリルダウンして、ポップオーバーにその詳細を表示できます。

   一度に表示できるポップオーバーは 1 つだけです。別のノードを選択すると、ポップオーバーが非表示になります。

7. マップの検索結果をクリアするには、マップでの [リセット] アイコンを選択します。

クライシスマップ の影響を受ける領域内の資産を監視する

事業所の近くでアラートの脅威が確認された場合は、BCM UIB ワークスペース の クライシスマップ でリスクのある資産を監視します。これにより、影響を受けるエリア内のリソースを保護し、組織の重大な損失を防ぐことができます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin または sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで [危機マップ] を選択します。
3. アラートレコードを選択して、詳細ビューでアラートを開きます。

   フォームヘッダーには、アラートのさまざまな詳細が表示されます。

   - アラートのタイトル
   - アラートのカテゴリ
   - アラートがすぐに発生するか、将来発生するかを示すアラートの緊急度
   - 損失の重大度
   - 発生する可能性についての確実性
   - アラートフィードのソース
   - 影響を受ける領域の座標
   - 受信したフィードアラートの提供元のソースまたは Web サイト
   - 説明

4. [リスクのある資産] セクションを展開すると、リスクのあるすべての資産が表示されます。
   [リスクのある資産] には、アラートの影響を受ける領域内にある場所、データセンター、およびコア会社が一覧表示されます。影響を受けるこれらの資産の数も表示されます。マップ上の影響を受ける領域を表示し、提案されたアクションを実行できます。

   マップ上のアラートの影響を受ける領域の境界は、薄紫色でマークされます。マップ上のこの影響を受ける領域内のリスクのある資産を表示できます。場所、データセンター、またはコア会社のいずれかがアラートの影響を受ける場合は、影響を受けるゾーンを編集して資産を含めることができます。

5. 影響を受ける領域を編集するには、アラートメニューアイコンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [影響領域を編集] オプションを選択します。

b. マップ上に開いた [影響領域の編集] ポップオーバーで、影響を受ける領域の形状に応じて [カスタム形状] または [カスタム半径] を選択します。
   - [カスタム形状]：影響を受ける領域が多角形の場合は、[カスタム形状] を選択します。
   - [カスタム半径]：影響を受ける領域が円の場合は、[カスタム半径] を選択します。

c. 資産の場所を含めるには、影響を受ける領域の境界上の点を選択してドラッグします。

d. [保存] を選択します。

6. いつでもアラートの詳細ビューを直接開くことができるように、アラートの URL を保存またはブックマークします。
7. [リスクのある資産] セクションで、場所やデータセンターなどの資産カードを選択します。
   レコードのリストビューが新しいタブで開きます。
8. 資産の詳細を表示するには、[名前] 列でレコードへのリンクを選択します。
   緯度と経度を含む資産の完全な詳細を表示できます。

危機管理の対応ワークフローの開始

BCM UIB ワークスペース で復旧チームの対応ワークフローを開始します。そうすることで、ステークホルダーに通知し、脅威に対応して必要なアクションをステークホルダーが実行できるようになります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin または sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで [危機マップ] を選択します。
3. アラートのレコードを選択します。

   アラートとその重大度を表示しながら、適切なアクションを開始し、それぞれのステークホルダーが危機に対応して処理できるように Crisis Management ワークフローをトリガーできます。[提案されたアクション] セクションには、開始できるさまざまな応答が一覧表示されます。

   ステークホルダーに通知
   : アラートが原因でリスクがある資産について重要なステークホルダーに通知します。

   危機イベントを宣言
   : 復旧チームで資産を復旧するための復旧タスクを有効にするイベントを開始します。

4. 差し迫った危機をステークホルダーにメールで通知するには、[ステークホルダーに通知] カードの [通知] ボタンを選択します。
   開いたモーダルウィンドウで 1 人以上の関係者を特定し、情報を伝達します。この 2 ステップのプロセスで対象者を特定し、メールを作成して対象者に送信します。

   a. [ステークホルダーに通知] ポップアップのリストから対象者を選択します。
      通知する必要があると思われる追加の対象者をリストから選択できます。

   b. [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. プロセスのステップ 2 で、アラートの詳細を確認し、[メール本文] フィールドで適切にメールのドラフトを作成します。

d. [通知の送信] ボタンを選択します。
アクションが実行されたことを示すメッセージが表示されます。

5. 影響を受ける場所の事業継続性計画または災害復旧計画を有効にするには、[危機イベントを宣言] カードで [危機を宣言] を選択します。

   a. [危機イベントを宣言] フォームが開くため、ここに危機イベントの簡単な説明を入力します。

   b. [次へ] を選択します。

   c. 脅威アラートの半径内にあるリスクのある資産を選択します。

   d. [危機イベントを開始] ボタンを選択します。

   これらのアクションをトリガーすると、アラート通知アクションと危機イベントの宣言をトリガーするための個別のスクリプトが実行されます。アクションが実行されたことを確認するメッセージが表示されます。[応答タスク] タブに移動して、アクションと復旧イベントの詳細を表示できます。

   リスクのあるすべての資産は、イベント [sn_recovery_event] に関連するイベント資産テーブル [sn_recovery_event_asset] にコピーされます。

次のタスク

1. 復旧イベントの場合は、[応答タスク] カードの任意の場所を選択してイベントの詳細に移動します。
2. イベントの [詳細] タブで、必要に応じて詳細を更新します。
3. [イベントを開始] ボタンを選択します。その後、危機のイベントが有効になります。この復旧イベントの関連するすべての計画とそれに関連するタスクがアクションに設定されます。Crisis Management ワークフローが影響を受けた資産の復旧を開始します。詳細については、「危機イベント」を参照してください。

   リスクのあるすべての資産は、イベント [sn_recovery_event] に関連するイベント資産テーブル [sn_recovery_event_asset] にコピーされます。

BCM 構成可能ワークスペース で Everbridge を使用して通知を送信する

BCM 構成可能ワークスペース で Everbridge を使用して緊急通知を送信し、危機イベントについてステークホルダーに知らせることができます。

通常は、BCM プログラムマネージャーがステークホルダーに緊急通知を送信します。緊急通知の作成の詳細については、「緊急通知の作成」を参照してください。

Everbridge に関する追加情報

- Everbridge での緊急通知の詳細については、「Everbridge 通知システム での緊急通知」を参照してください。
- Everbridge のセットアップタスクの詳細については、「Everbridge 通知のセットアップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急通知のワークフローステータス

Everbridge で危機イベントの緊急通知を送信するとき、対応するインシデントが通知とともに作成されます。Everbridge から連絡先に正常に配信されるまで、事業継続性ワークスペース で通知の配信を追跡し、そのステータスを監視できます。

緊急通知のステータスフロー

緊急通知のステータスフローには、Everbridge の緊急通知のさまざまなステータスが一覧表示されます。事業継続性ワークスペース 内のイベントの簡単な説明は、Everbridge で通知を含むインシデントとして作成されます。

通知ステータス

ServiceNow 事業継続性管理 ワークスペース から作成されて送信された緊急通知は、[通知ステータス] フィールドで追跡されます。

通信ステータス

Everbridge で受信された緊急通知と、それが配信されるまでに移動するさまざまなステージは、[通信ステータス] フィールドで追跡されます。

緊急通知ワークフローステータス

通知ステータス	通信ステータス
ドラフト：通知のドラフトは 事業継続性ワークスペース に保存されます。	なし
送信を試行中：事業継続性ワークスペース から通知が送信されています。	なし
エラー：Everbridge で通知を作成中にエラーが発生しています。	なし
処理中：通知が Everbridge で正常に作成されました。	アクティブ：通知が作成され、アクティブになっています。 インシデントとインシデントの通知が作成されます。通知は、Everbridge で設定された期間、アクティブなままになります。
停止	停止：通知の送信が停止されています。
送信済み	送信済み：設定された時間が経過すると、ステータスは [送信済み] に移行します。
完了：通知が送信されます。	完了：ステータスは [完了] に移行します。

緊急通知の作成

BCM UIB ワークスペース で緊急通知を作成します。そうすることで、Everbridgeを使用してステークホルダーに通知できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > 事業継続性ワークスペース.
2. リストビューで、次の場所に移動します。 危機イベント 処理待ち状態です

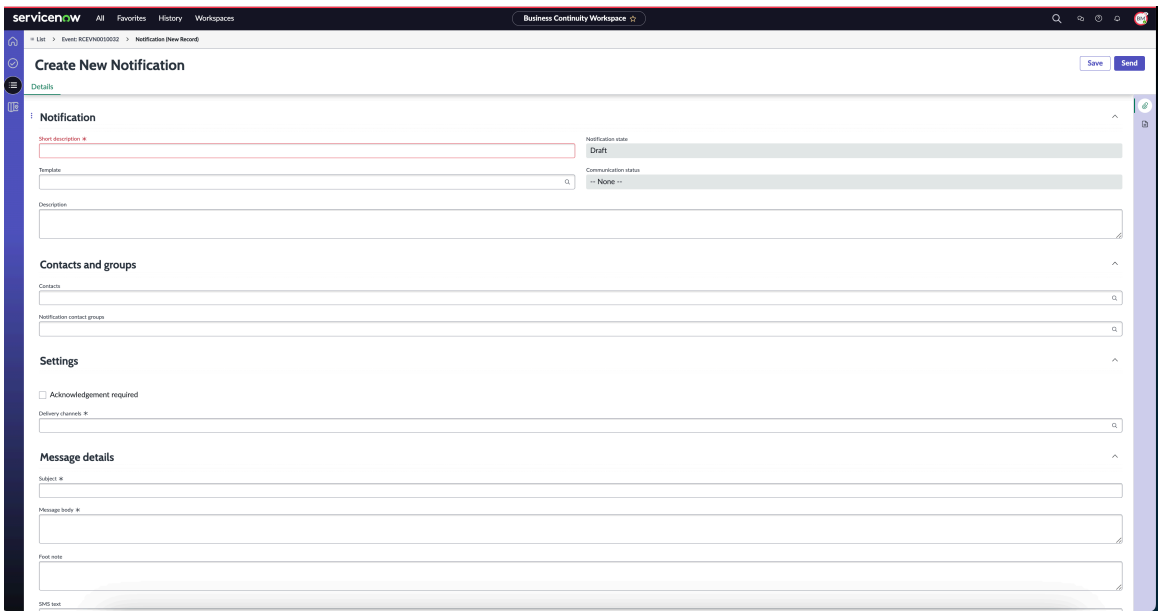
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> [訓練方法] が [機能] の場合は、演習イベントの緊急通知を作成できます。

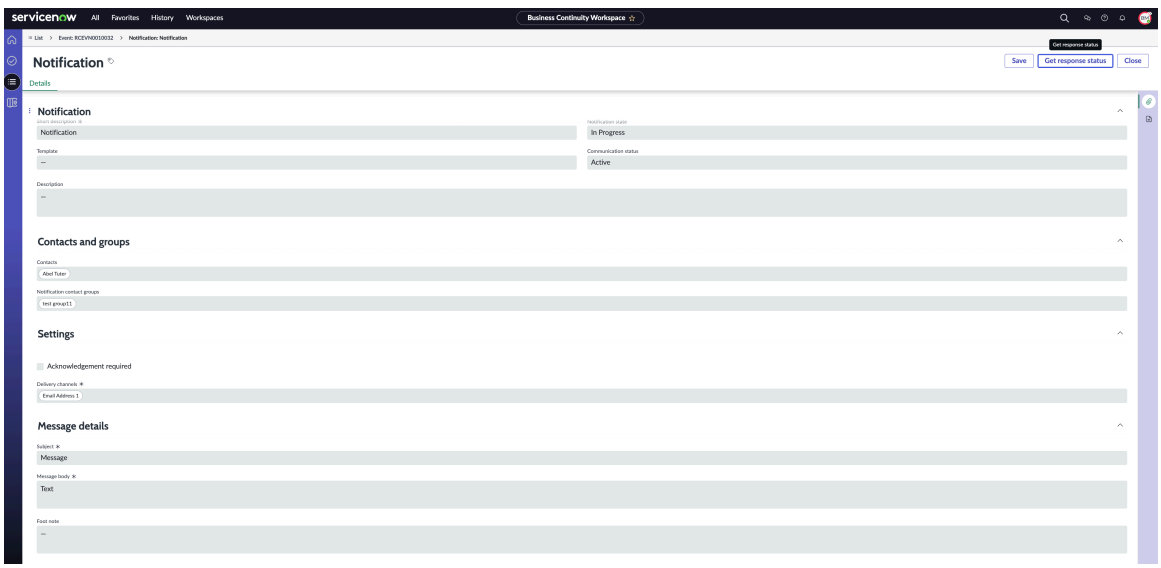
3. [番号] 列のイベントレコードへのリンクを選択します。
4. [緊急通知] タブを選択します。
5. [新規] を選択します。

   次の例のような新規通知フォームが表示されます。



6. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「新しい通知の作成フォーム」を参照してください。
7. 通知を保存して後で送信するには、[保存] を選択します。
8. [送信] を選択します。

   Everbridgeで次の例のような通知が作成されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性ワークスペース で危機イベントの通知を作成して送信すると、Everbridgeで対応するインシデントが通知とともに作成されます。

9. 通知の送信でエラーが発生したかどうかを確認するには、ページを更新します。
エラーが原因で通知が送信されない場合、通知ステータスは [エラー]に移行します。
10. [通信ステータス] フィールドで、連絡先に送信された通知のステータスをEverbridgeから取得するには、[応答ステータスを取得] を選択します。

    承認のためにイベントを送信する前に、[処理中] のすべての通知をクローズする必要があります。

    a. [ドラフト] または [エラー] ステータスの通知を削除するには、[番号] 列の緊急通知レコードへのリンクを選択します。

    > **注:**
    > [送信を試行中]、[保留中]、または [完了] ステータスの通知を削除することはできません。

    b. その他のアクションアイコンで [削除] を選択します。

    > **注:**
    > これでイベントがクローズされ、Everbridgeの対応するインシデントもクローズされたため、このイベントの通知をこれ以上作成することはできません。

11. [保存] を選択します。
緊急通知を保存できます。

新しい通知の作成フォーム

BCM UIB ワークスペース の [新しい通知の作成] フォームを使用して、緊急通知に関する詳細を追加します。

新しい通知の作成フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	緊急通知のタイトル
テンプレート	メールの件名と連絡先の配送チャネルを含む事前設定されたテンプレート。
通知ステータス	ServiceNow ワークスペース内の通知のステータス。
通信ステータス	Everbridge内の通知のステータス。
説明	通知の説明
連絡先とグループ	
連絡先	通知の送信先の個人。 Everbridgeと正常に同期された連絡先が一覧表示されます。
通知連絡先グループ	通知の送信先になる連絡先のグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい通知の作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	正常に同期された連絡先グループが一覧表示されます。
設定	
確認応答必須	連絡先からの受信した通知の確認応答が必要な場合のオプション。
配送チャネル	通知の送信に使用する通信チャネル。
メッセージの詳細	
件名	通知のタイトル。
メッセージ本文	通知の導入テキストメッセージ。 テンプレートが選択されている場合、メッセージの詳細がテンプレートから自動的に入力されます。
脚注	通知のクロージングメッセージ。
SMS テキスト	ショートメッセージサービス (SMS) を介して送信されるテキストメッセージ。

BCM クラシック ワークスペース の使用

このセクションでは、事業継続性管理 クラシック ワークスペース での事業継続性タスクの管理について説明します。

注:
Washington DC リリース以降、BCM クラシック ワークスペース は将来の廃止に備えて準備されます。新しいインスタンスではナビゲーションに表示されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは BCM UIB ワークスペース で提供されます。

BCM UIB ワークスペース での事業継続性タスクの管理の詳細については、「BCM 構成可能ワークスペース での事業継続性ワークフロータスクの管理」を参照してください。

事業継続性管理 クラシック ワークスペース のカスタマイズ

事業継続性管理 クラシック ワークスペース で、特定の要件に合わせて基本的な設定と機能を設定できます。

注:
BCM クラシック ワークスペース は今後廃止される予定です。新しいインスタンスではナビゲーションに表示されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは BCM UIB ワークスペース で提供されます。

BCM クラシック ワークスペース で一般に使用されるカスタムコンポーネントの構成方法については、記事 KB1442692 を参照してください。

注:
ナレッジベース 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

BCM UIB ワークスペース へのレポートとカスタム変更の移行

事業継続性管理 アプリケーションの既存のユーザーで、UI アクションをカスタマイズしている場合は、カスタマイズしたアクションを BCM UIB ワークスペース に移行する必要があります。

注:
BCM クラシック ワークスペース は今後廃止される予定です。新しいインスタンスではナビゲーションに表示されなくなりますが、引き続きサポートされます。この機能の最新のエクスペリエンスは BCM UIB ワークスペース で提供されます。

事業継続性管理 アプリケーションに付属していた UI アクションは、事業継続性管理 アプリケーションソフトウェアの一部として BCM UIB ワークスペース に移行されました。

特定の要件に合わせていくつかの UI アクションをカスタマイズした場合は、手動で 事業継続性管理 UI ビルダー ワークスペース に移行する必要があります。

レポートとカスタム変更を BCM UIB ワークスペース に移行する方法については、記事 KB1444397 を参照してください。

ビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー

ビジネスインパクト分析は、ビジネスプロセスまたはビジネス機能の中断の結果を予測するのに役立ちます。

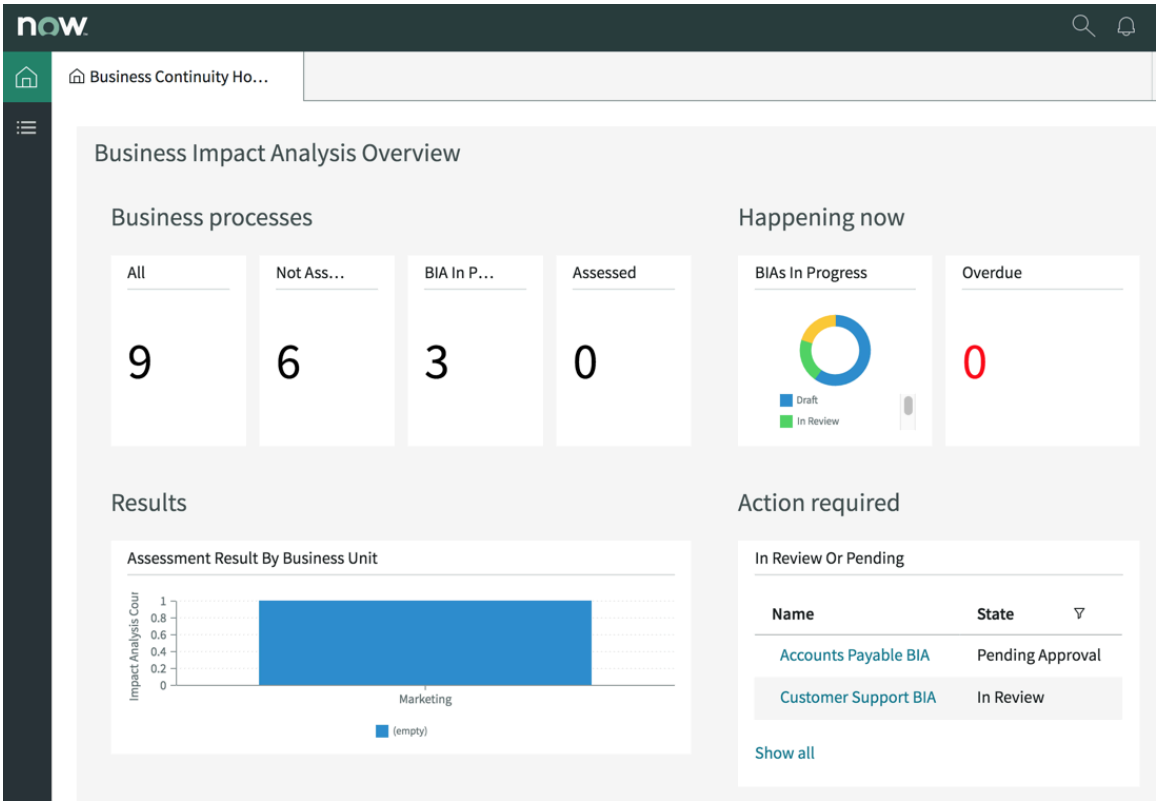
ビジネスプロセスは、ビジネスサービスまたは製品を顧客に提供するためにビジネス組織が行う一連のタスクです。ビジネスプロセスが中断すると、組織の収益と評判に大きな影響を与える可能性があります。ビジネスインパクト分析 (BIA) を実行して、重要なプロセスを特定して優先順位を付け、影響を定量化または認定し、復旧の依存関係を特定します。理想的には、重要なプロセスのビジネスインパクト分析を年に 1 回実行する必要があります。

重要なビジネスプロセスの中断のアセスメントは、ビジネスの収益、法務の問題、人員の混乱、またはビジネスの評判への結果的な影響を推定するのに役立ちます。また、影響を受ける可能性があるビジネスアプリケーション、テクノロジー、またはベンダーに対するビジネスプロセスの依存関係を特定することもできます。この分析では、復旧戦略の開発に必要な情報を収集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

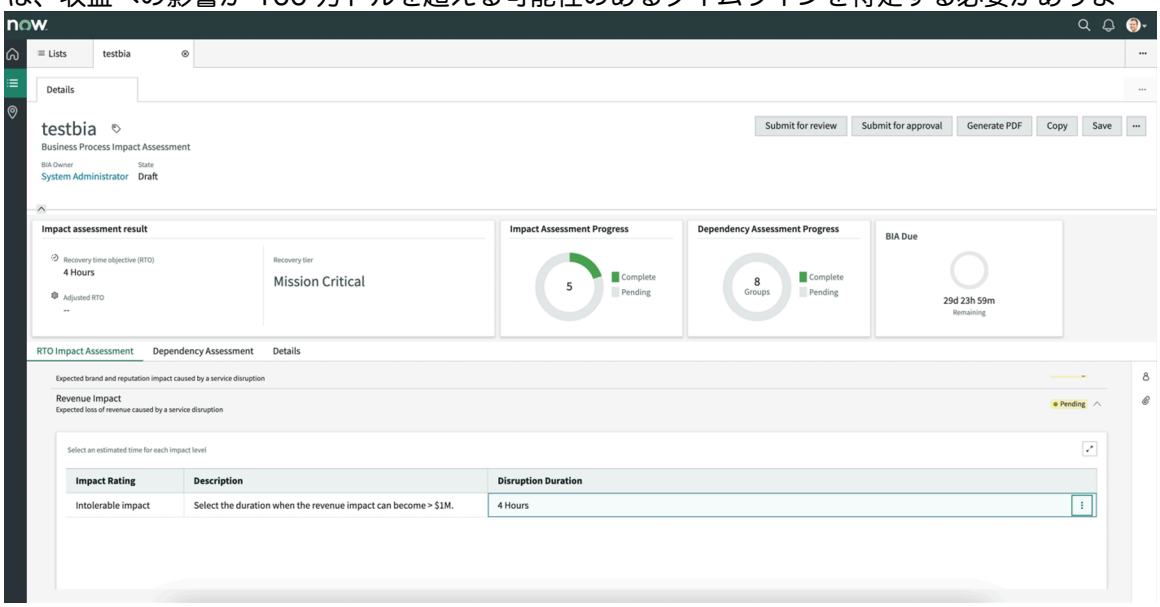
ビジネスインパクト分析の概要



ビジネスインパクト分析の影響度評価

組織の 事業継続性管理 (BCM) 管理者は、ビジネス影響分析 (BIA) の影響度評価を定義し、影響がビジネスプロセスに対して許容可能かどうかを決定します。影響度評価の詳細については、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」を参照してください。BCM 管理者が設定した構成に従って、質問は **[RTO** 影響度評価] タブに表示されます。

BCM 管理者が、[収益への影響度] カテゴリに許容できない影響度評価を構成した、次の例を検討してください。BCM 管理者は、許容できない影響と見なされるものを定義しています。BIA オーナーは、収益への影響が 100 万ドルを超える可能性のあるタイムラインを特定する必要がありま

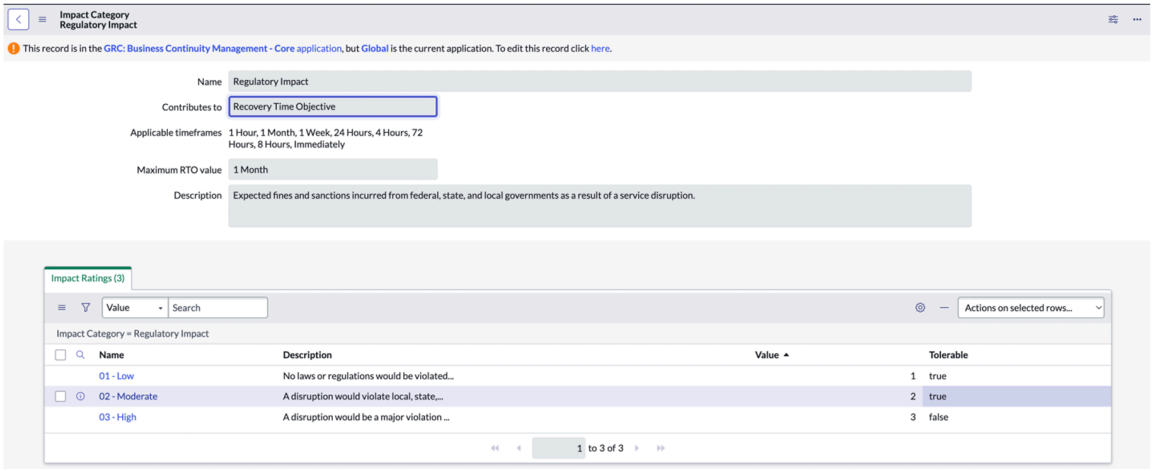


す。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響度カテゴリの複数の影響度評価

BCM 管理者が、影響度カテゴリの複数の影響度評価を含むようにアセスメントアンケートを構成している場合、影響度カテゴリ評価は、次の例のように [影響度カテゴリ] ビューに表示されます。



BCM 管理者は、影響度カテゴリごとに、影響度評価の非許容のしきい値を指定できます。最初の許容できない影響度カテゴリの中断期間は、目標復旧時間 (RTO) に対して選択されます。影響度評価には、次のような値が指定されます。

- 低 = 1
- 中 = 2
- 高 = 3

RTO 計算のサンプルについては、次の例を参照してください。

影響度カテゴリの計算を示す例

Regulatory Impact

Expected fines and sanctions incurred from federal, state, and local governments as a result of a service disruption.

Impact Rating	Description	Disruption Duration
01 - Low	No laws or regulatio...	4 Hours
02 - Moderate	A disruption would v...	24 Hours
03 - High	A disruption would ...	72 Hours

RTO 計算の例

シナリオ	許容できない影響	説明
シナリオ 1	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	管理者が [低] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

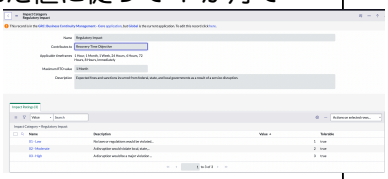
RTO 計算の例 (続く)

シナリオ	許容できない影響	説明
		旧時間 (RTO) として設定されます。 この例では、**[01 -** 低] 影響度評価の中断期間は 4 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間 (RTO) は 4 時間より長くなります。 中程度の影響の中断期間の方が短い場合でも、計算では、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている、最初に英数字順にソートされた影響度評価の値が選択されます。
シナリオ 2	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	管理者が [中] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復旧時間 (RTO) として設定されます。 この例では、**[02 -** 中] 影響度の中断期間は 24 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間 (RTO) は 24 時間より長くなります。
シナリオ 3	[影響度評価] テーブルで、[許容範囲] フィールドが **[false]** に設定されている。	次の例に示すように、管理者が [高] の規制上の影響を許容できないと指定した場合、対応する中断期間が目標復旧時間 (RTO) として設定されます。  この表形式の例では、**[03 -** 高] 影響度の中断期間は 72 時間に設定されています。したがって、影響度カテゴリの目標復旧時間は 72 時間より長くなります。
シナリオ 4	[低]、[中]、[高] の影響度評価の [許容範囲] フィールドが **[true]** に設定されている。	管理者がすべての影響度評価を許容可能として設定した場合、テンプレートの [最大 **RTO** 値] フィールドで指定された値が目

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RTO 計算の例 (続く)

シナリオ	許容できない影響	説明
		標復旧時間 (RTO) として選択されます。 次の例では、管理者がすべての影響度評価を許容可能として設定しています。したがって、目標復旧時間 (RTO) は、[最大 **RTO** 値] フィールドで指定された値に従って 1 か月です。 

目標復旧時点 (RPO) に貢献する影響度カテゴリの影響分析の質問からのカテゴリスコアの計算

影響度カテゴリが **RPO** に寄与している場合は、その RPO カテゴリの各影響分析の質問を、事業上の重要度、運用上の重要度、ビジネスに必須、または運用に必須などのデータの値に基づいて評価します。その RPO の全質問の中での最大値は、その影響度カテゴリのカテゴリスコアと見なされ、影響度カテゴリ結果テーブル [sn_bia_category_result] に保存されます。

BIA の全体的な影響度評価結果の計算

影響度カテゴリの [中断期間] を更新すると、BIA の RTO が自動的に更新されます。BIA の RTO は、各影響度カテゴリの中で最も低い許容可能なダウンタイムとして設定されます。

たとえば、法務、評判、人員、規制の 4 つの影響度カテゴリがある BIA について考えます。法務の影響度カテゴリの中断期間の値を更新すると、BIA の RTO 値が各影響度カテゴリの最も低い許容可能な中断期間に基づいて再計算されます。復旧階層は組織ごとに異なり、再計算された RTO 値に基づいて設定されます。

RTO 値	復旧階層
即時	ミッションクリティカル
1 時間	ミッションクリティカル
4 時間	ミッションクリティカル
8 時間	ビジネスクリティカル
24 時間	ビジネスクリティカル
72 時間	必須
1 週間	必須
2 週間	必須ではない
1 か月	必須ではない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析の作成

ビジネスインパクト分析 (BIA) を作成して、計画に必要な情報を取得します。BIA を使用して、アイテムの目標復旧時間を特定し、最も重要な依存関係を持つ資産と最も重要でない依存関係を持つ資産に優先順位を付けます。この情報を使用して、計画段階で復旧戦略を確立します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [アクション] セクションで **[BIA** を開始] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[BIA を開始] フォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスインパクト分析の名前。 BIA を 255 文字以内で説明します。
テンプレート	BIA を作成するためのモデルとして使用できるテンプレート。 テンプレート BIA には、アセスメントのタイプに対応する識別されたプライマリ要素 (アプリケーション、ビジネスプロセス、および場所)、影響度カテゴリ、および依存資産があります。
テーブルに適用	テンプレートのプライマリ要素データを格納するテーブル。
適用先	ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、または BIA で評価されるその他の資産。
事業部門	ビジネスプロセスを使用し、BIA が評価される事業部門。
部門	ビジネスプロセスを使用する部門。
BIA オーナー	BIA を所有し、完了する責任を負っている人物。BCM リードは BIA をレビューできます。

4. [送信] をクリックします。

BIA は [ドラフト] ステータスで作成されます。

BIA のステータス移行：

ドラフトステータス

BIA が編集中のステータスです。RTO、RPO、および依存関係アセスメントを追加します。レビューのために BIA を送信できます。その場合は、BCM リードが BIA にアサインされていることを確認してください。または、BIA オーナーが承認のために BIA を送信できます。

レビュー中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BIA をレビューし、承認のために送信します。このステータスになっているときは、BCM 管理者は BIA オーナーと BCM リードを変更できます。

承認待ち

[承認のため送信] をクリックすると、BIA が [承認待ち] ステータスに設定されます。承認構成、承認レベル、および承認ルールが BIA に対して評価され、承認者が決定されます。BIA に対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、BCM プログラムマネージャーは [却下] または [承認] のいずれかを選択できます。承認のために送信する前に、RTO、RPO、および依存関係アセスメントを追加する必要があります。承認待ちステータスでは、BIA は読み取り専用であり、RTO、RPO、および依存関係アセスメントの詳細を変更することはできません。計画とその関連テーブルのステータスが読み取り専用になります。

戻り

BIA は編集可能です。BCM 管理者は、このステータスで BIA オーナーを変更できます。BIA が却下されると、[戻り] ステータスに設定されます。

承認済み

BIA が承認済みステータスになっているときは、BIA は読み取り専用になり、RTO、RPO、および依存関係アセスメントの詳細を変更することはできません。ステータスを変更するための唯一のオプションは、[アーカイブ化済み] ステータスに移行することです。

アーカイブ化済み

BIA がアーカイブされると、読み取り専用になります。影響度依存関係グループ、影響度カテゴリの結果、および BIA が影響度評価タブと依存関係アセスメントタブに入力するデータを取得する依存関係など、基礎となるすべてのテーブルが読み取り専用になります。これらのタブの情報は編集できなくなります。このステータスでは、BIA の PDF を生成することもできます。

注:
スケジュール設定済みジョブが毎週実行され、期限切れになった BIA が [アーカイブ化済み] ステータスに移行します。

自動翻訳

影響度カテゴリとビジネスプロセスの依存関係の評価

ビジネスインパクト分析 (BIA) のさまざまなコンポーネントを評価します。まず、ビジネスプロセスの影響度カテゴリを評価して決定します。次に、さまざまな依存関係タイプ間でビジネスプロセスが必要とする基礎となる依存関係を特定します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.program_manager または sn_bcm.planner

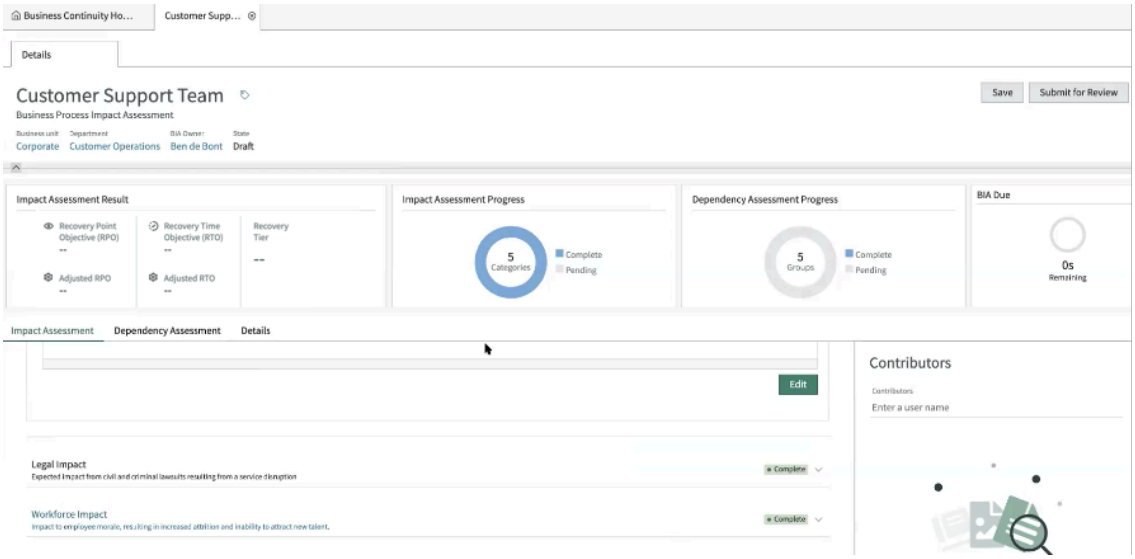
手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
   デフォルトでは、[ビジネスインパクト分析] リストの [ドラフト] ステータスのレコードが開きます。
3. ビジネスインパクト分析 (BIA) レコードを作成するには、[新規] をクリックします。
4. 既存の BIA を更新するには、[名前] 列のレコードへのリンクをクリックします。

   影響度評価の結果、その進捗状況、およびビジネスアプリケーション、ハードウェア、ソフトウェア、またはベンダーに対するビジネスプロセスの依存関係に関する情報を提供するさまざまなカードを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BIA 影響度評価と依存関係ビュー



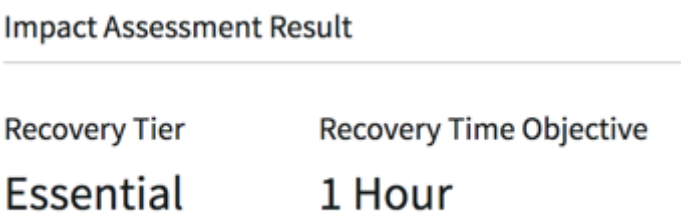
影響度評価結果

このカードは、評価対象のアイテムの復旧階層レベルのアセスメント結果と、評価されるアイテムの目標復旧時間を提供します。

- 目標復旧時点 (RPO)：ビジネス中断期間中に、データ損失が許容レベルを超える可能性を評価する測定基準。RPO の結果は、BIA で評価されたプライマリ要素がデータのバックアップを必要とする場合にのみ、影響度評価結果カードに表示されます。それ以外の場合、カードには目標復旧時間 (RTO) と復旧階層の結果のみが表示されます。
- 目標復旧時間：中断後にビジネスが要素またはアイテムをどの程度迅速に復旧する必要があるかを計算する測定基準。RTO は、災害後に運用が正常に復旧するまでにビジネスが存続できる期間として測定されます。RTO が 4 時間で、アイテムの復旧までに 4 時間以上かかる場合は、ビジネスでかなりの損失が発生する可能性があります。
- 復旧階層：危機の状態で復旧する必要があるアイテムと復旧する必要がある時間に応じて、組織によって定義する復旧階層が異なります。[即時]、**[1** 時間]、または **[4** 時間] の目標復旧時間は、差し迫ったものであり、ミッションクリティカルな復旧レベルに該当します。一方、2 週間から 1 か月の RTO は、重要ではない復旧階層であり、ビジネスに大きな損失をもたらさない可能性があります。

注:
要件に応じて、復旧階層と RTO のマッピングを構成できます。

影響度評価結果



影響度評価の進捗状況

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このコンポーネントは、アセスメント処理待ちのカテゴリに関連して評価および完了した影響度のカテゴリを示します。影響度の各カテゴリのアセスメントを完了すると、[影響度評価の進捗状況] リボンコンポーネントの進捗状況を確認できます。色分けされたリボンコンポーネントは、処理待ちの影響度カテゴリのアセスメントを完了するように求めています。

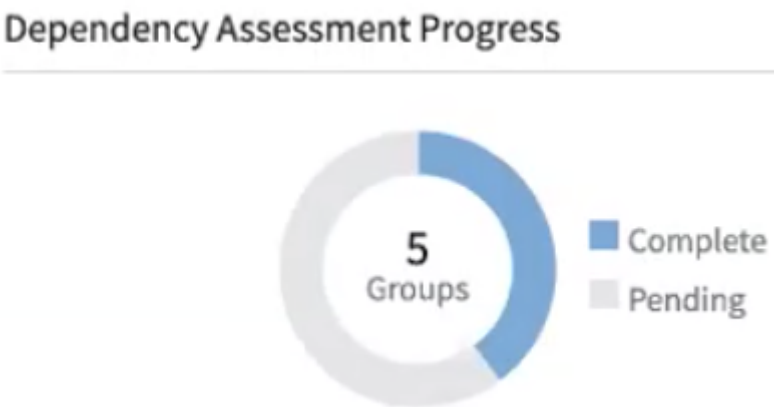
影響度評価の進捗状況



依存関係アセスメントの進捗状況

ビジネスプロセスが、機能するためにさまざまな資産クラスまたはタイプに依存していることを特定します。アセスメントでは、ビジネスプロセスとビジネスアプリケーション、ソフトウェア、職場、またはベンダーとの関係を特定します。または、プロセスが使用する資産タイプ。ビジネスプロセスが依存するビジネスアプリケーション、ソフトウェアまたはハードウェア、およびベンダーの評価を完了すると、依存関係アセスメント円グラフの進捗状況が進行します。

依存関係アセスメントの進捗状況円グラフ



BIA SLA

ビジネスインパクト分析には、ビジネスプロセスのアセスメントを完了させる制限時間の指定も必要です。デフォルトでは、SLA タイマーは 30 日に設定されており、BIA がドラフト (ドラフトステータス) から、完了した時間 ([承認済み] ステータス) までの時間がマークされます。

5. ビジネスプロセスのさまざまなタイプのビジネス影響度カテゴリを評価するには、**[RTO** 影響度評価] タブをクリックします。
すべての影響度カテゴリは構成可能です。ビジネスプロセスは、デフォルトで、ビジネスインパクト分析に使用したテンプレートから一連の影響度カテゴリを取得します。詳細については、「影響度カテゴリの確認とそのダウンタイムの評価」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ビジネスへの影響度とデータ変更頻度に関する資産のデータ価値に関する質問に答えるには、**[RPO** 影響度評価] タブをクリックします。
詳細については、「技術資産がビジネスに与える RPO の影響度の評価」を参照してください。
7. 依存関係グループを確認し、ビジネスプロセスが依存する各グループ内のアイテムを特定するには、[依存関係アセスメント] タブをクリックします。
ビジネスプロセスで使用する資産の重要度に基づいて、事業継続性計画と復旧計画に優先順位を付けることができます。詳細については、「復旧計画の優先順位付けのための重要な依存関係の特定」を参照してください。

影響度カテゴリの順序

[RTO 影響度評価]、**[RPO** 影響度評価]、および [依存関係アセスメント] タブに影響度カテゴリが表示される順序は、BIA で使用されるテンプレートで影響度カテゴリが作成される順序によって異なります。

RTO 影響度評価グリッドの影響度評価の順序と RPO 影響度評価グリッドの質問の順序は、それぞれ BIA の影響度評価スケールと影響分析の質問によって定義されます。

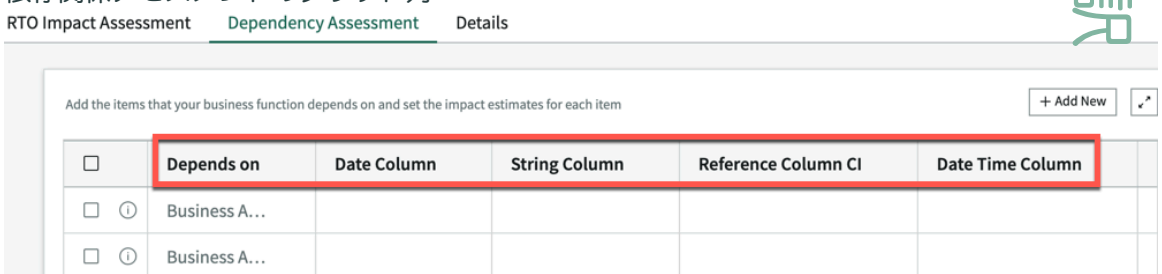
ただし、BIA にアクセスできるユーザーは誰でも、RPO 影響度グリッド、RTO 影響度カテゴリ、および依存関係グループの順序を変更できます。

依存関係グループグリッドの列

依存関係グループの要素の列構成をセットアップし、グリッド構成をアクティブとして有効にした場合、要素定義がグリッド構成の要素定義と一致する、対応する依存関係グループの依存関係グリッドでこれらの列を表示できます。

それ以外の場合は、構成されたビューに基づいてレンダリングされたグリッドを表示できます。これは、依存関係グループの必要なデータバックアップ値に応じて、IT 資産ビューまたは非 IT 資産ビューのいずれかになります。

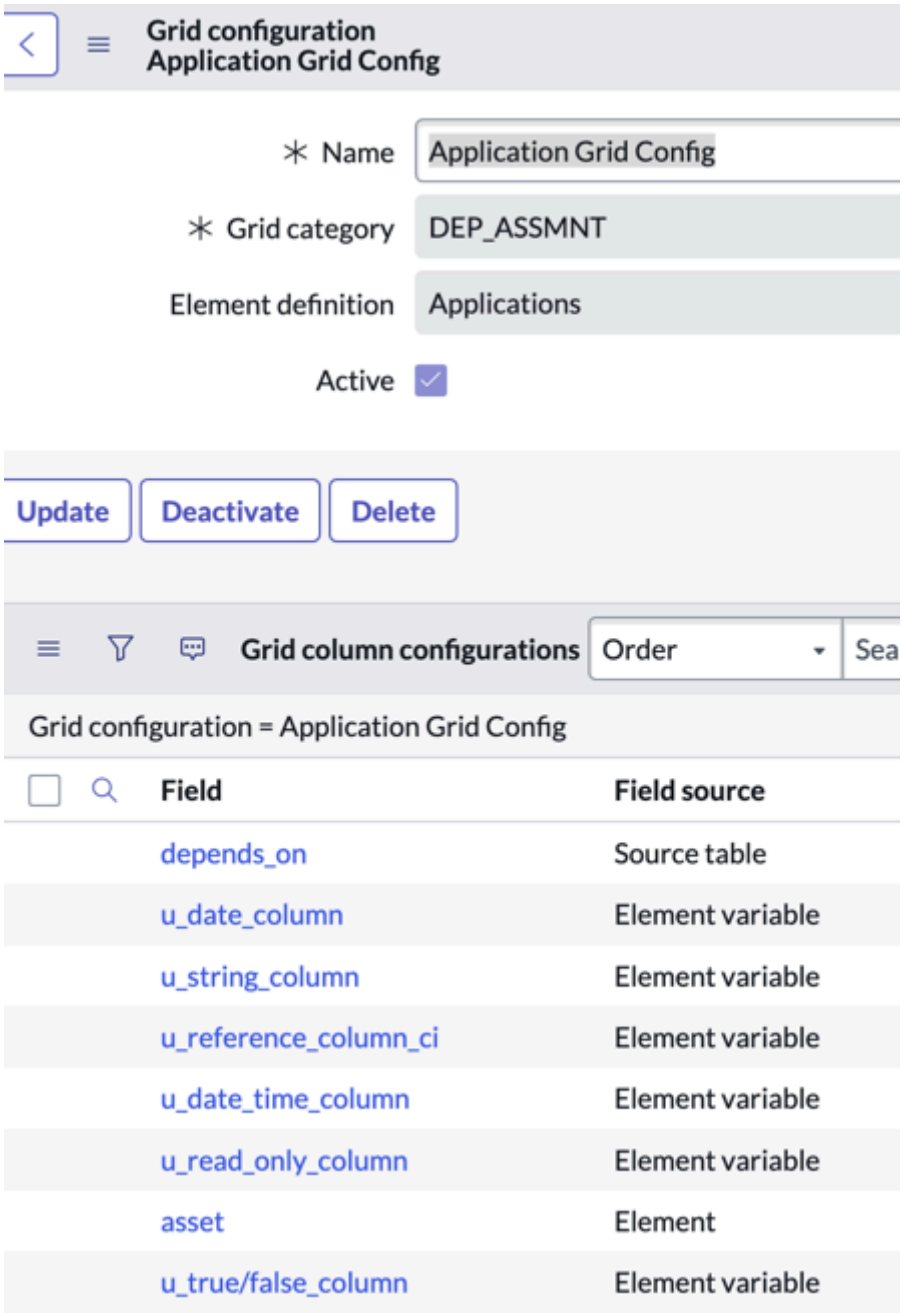
依存関係アセスメントのグリッド列



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グリッド構成のセットアップ



依存関係用に作成された変数のアドホックレポートの場合：[レポートを有効にする] オプションが **true** に設定されている要素変数で定義した変数と一致するように、依存関係レポートソース [sn_bia_dependency_report_source] テーブルに列を追加します。毎週実行されるスケジュール設定済みジョブ：

- 以下を取得します。
  - 影響分析が承認済みステータスで、過去 7 日間に更新され、期限切れになっていない依存関係 (sn_bia_dependency)
  - 対応する要素
- さらに、レポートテーブルのデータを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要な列を表示するには、要素変数とグリッド構成を設定する必要があります。詳細については、「Grid configuration for column display (列表示のグリッド構成)」を参照してください。

8. 依存関係アセスメントの RTO、RPO、および依存関係グループの影響度カテゴリの表示順序を変更するには、次に移動します 事業継続性 > **Business Impact Analysis** > 影響度カテゴリ結果.
   a. インパクト分析レコードをクリックします。
   b. RTO および RPO の影響度カテゴリの順序を変更するには、[影響度カテゴリ結果] 関連リストをクリックし、[順序] 列の順序を変更します。
   c. 依存関係グループの順序を変更するには、 [影響度依存関係グループ] 関連リストをクリックして順序を変更します。

影響度カテゴリの確認とその復旧時間の評価

影響度カテゴリを確認して、組織でビジネスプロセスのダウンタイムが発生する期間を定義します。ダウンタイムまたは中断期間を分析します。これは、評価対象の資産の目標復旧時間を決定するのに役立ちます。

始める前に

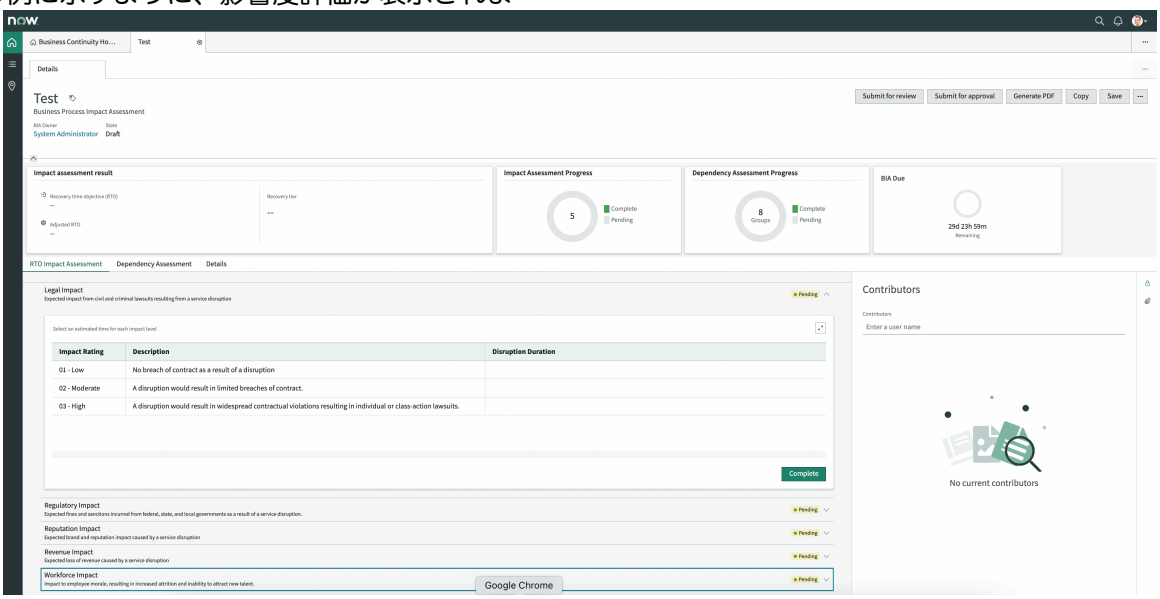
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて

BCM 管理者は、ビジネスに関連する影響度カテゴリを構成します。クラシック BCM ワークスペースでの影響度カテゴリの構成の詳細については、「影響度カテゴリを評価するための影響度評価の構成」および「ビジネスインパクト分析の構造化ワークフロー」を参照してください。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) を選択します。
3. [名前] 列で、[ドラフト] ステータスの BIA レコードへのリンクを選択します。
   次の例に示すように、影響度評価が表示されます。



4. ビジネス影響度カテゴリをその復旧時間で更新するには、**[RTO** 影響度評価] タブを選択します。
   影響度カテゴリのステータスが [保留中] に変わり、グリッドが編集可能になります。
5. 各影響度評価の [中断期間] セルをダブルクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

中断期間は、アセスメントの質問への回答と対象分野の専門知識に基づいて推定される中断の期間です。BIA オーナーは、アセスメントの質問への回答と対象分野の専門知識に基づいて、適切な中断期間を選択する必要があります。中断期間は、目標復旧時間 (RTO) の計算に使用されます。

6. 影響の重要度に応じて表示されるリストから期間を選択します。

   影響度カテゴリのすべての影響度評価について、中断期間の入力を完了するように求められます。

   値のリストには、目標復旧時間 (RTO) タイプの影響度カテゴリに対して適用可能な期間として設定されている期間のみが表示されます。

7. 次の影響度評価の [中断期間] セルを選択して値を入力し、同様に保存します。
8. 影響度カテゴリのすべての影響度評価の期間を評価した後、[完了] ボタンを選択します。
   [編集] ボタンをもう一度選択しなければ、ステータスが [完了] に変わり、編集は終了します。

技術資産がビジネスに与える **RPO** の影響度の評価

[RPO 影響度評価] タブを使用して資産情報を入力します。復旧の目的、資産のデータ価値、資産内のデータ変更の頻度に応じて、情報が重要になる可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager または sn_bcm.planner

このタスクについて
すべての要素でデータのバックアップが必要なわけではありませんが、IT ハードウェアやソフトウェアなどのテクノロジー資産は、重要な情報コンテンツのためにデータのバックアップが必要です。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
   デフォルトでは、[ビジネスインパクト分析] リストの [ドラフト] ステータスのレコードが開きます。
3. ビジネスインパクト分析 (BIA) レコードを作成するには、[新規] をクリックします。
4. 既存の BIA を更新するには、[名前] 列のレコードへのリンクをクリックします。
5. 目標復旧時点の BIA を評価するには、**[RPO** 影響度評価] タブをクリックします。
   [RPO 影響度評価] タブは、BCM 管理者が 事業継続性管理 の要素定義の構成 で [データのバックアップが必要] フィールドを [はい] に設定した場合にのみ表示されます。
6. [データ値] グリッドの [応答] セルに、ビジネスに対する RPO 影響度に関する資産のデータ値を入力します。
7. [完了] をクリックします。
8. 資産のデータが変更される頻度を指定するには、[データ変更頻度] グリッドの質問に対する回答を入力します。
9. RPO 関連のすべての質問に回答したら、[完了] をクリックします。

タスクの結果
影響度評価結果の目標復旧時点 **(RPO)** の計算

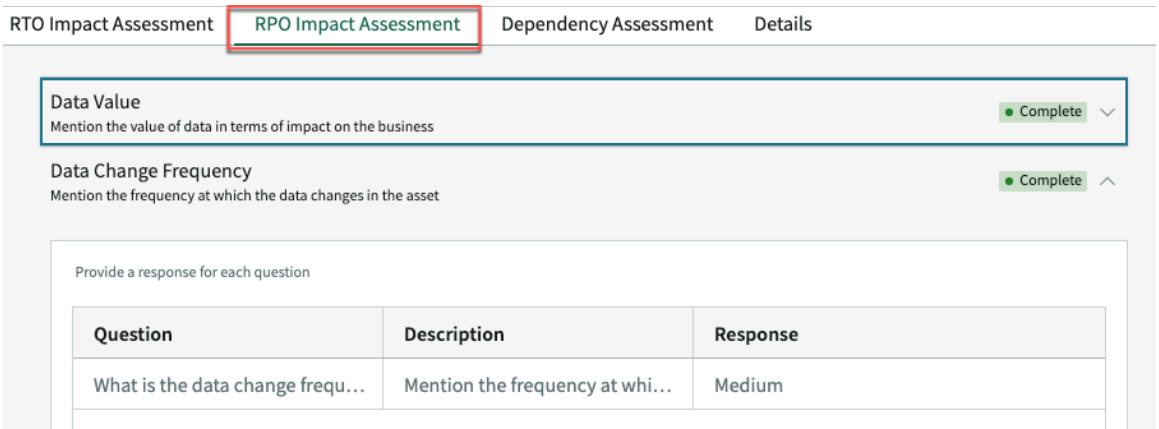
影響度カテゴリが RPO に寄与している場合、RPO は次のように計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RPO は、RPO 影響度評価の影響度カテゴリで各質問に対して指定した評価または応答によって異なります。

RPO 評価結果

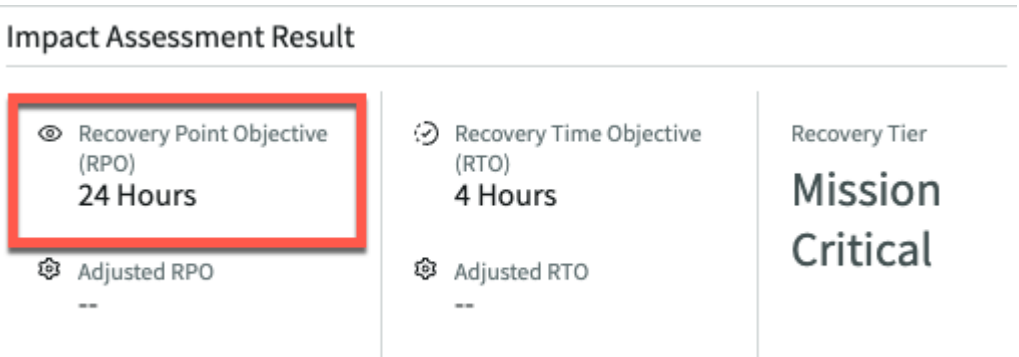


影響度カテゴリの影響度分析の各質問に対して選択した応答に基づいて、RPO が計算されます。

たとえば、2 つの質問の応答が [中] (値が 20) で、1 つの質問が [高] (値が 30) の場合、値が最大の応答が考慮されます。したがって、この場合、影響度評価は [高] と見なされ、値は 30 になります。

影響度評価には、影響度評価テーブル [sn_bcm_impact_rating] で事前に設定された整数値があります。この値は、影響度カテゴリ結果テーブル [sn_bia_category_result] の対応する影響度カテゴリのカテゴリスコアとして更新されます。すべての影響度カテゴリ間で最大のカテゴリスコアが選択されます。このスコアは、下限しきい値と上限しきい値の範囲内になります。最大スコアが含まれるしきい値範囲は、BIA の影響度評価結果カードで目標復旧時点 **(RPO)** としてスタンプされる期間に対応します。

影響度評価結果カードの **RPO** 値



しきい値スコアと期間のマッピング結果は、スコア期間マッピングテーブル [sn_bia_score_timeframe_mapping] に保存されます。

復旧計画の優先順位付けのための重要な依存関係の特定

[依存関係アセスメント] タブを使用して、明確なオブジェクトタイプまたは依存関係グループに属するアイテムまたは資産を識別します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて

使用方法の説明とアイテムの復旧期間を追加し、アイテムのデータのバックアップ機能を提供します。グループの依存関係を評価すると、ビジネスプロセスの基礎となる依存アイテムまたは資産を把

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

握するのに役立ちます。このアセスメントは、計画フェーズ中に復旧戦略を確立する必要がある重要な依存関係に優先順位を付けるのに役立ちます。

ビジネスインパクト分析の作成に使用する BIA テンプレートには、依存関係グループが関連付けられています。アセスメントを行うと、依存関係グループが BIA に自動的に入力されます。テンプレートに関連付けられているそれらのグループの数に応じて、それらのグループをアプリケーション、ハードウェア、ベンダー、職場などとして専用のコンテナーに表示できます。それぞれが依存関係グループであり、そのコンテナー内の各グループに属するアイテムを追加または削除できます。

注:
依存アイテムを追加または削除できるのは、適切なアクセス権を持つユーザーのみです。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [ドラフト] ステータスの [名前] 列のレコードへのリンクをクリックします。
4. グループを確認し、各グループ内のアイテムを特定するには、[依存関係アセスメント] タブをクリックします。
   コンテナーをクリックすると、グループおよびグループに属するアイテムを確認できます。たとえば、グループがアプリケーションの場合、エンタープライズリソースプランニングやカスタマーリレーションシップマネジメントなどの評価対象のビジネスプロセスに関連するアイテムを選択できます。
5. 依存関係グループにアイテムを追加するには、そのコンテナーの [新しく追加] ボタンをクリックします。
   - クラス拡張を使用して構成アイテムを入力し、テクノロジーまたはソフトウェアを検出するのがアプリケーション、ハードウェア、またはソフトウェアの依存関係グループである場合は、「CMDB の CI 関係に基づく依存関係の追加」を参照してください。
   - [ベンダー] または [場所] グループの場合は、それに応じて資産を追加します。モーダルフォームには複数のアイテムを追加できます。コンテナー内のグリッドが編集可能になり、アイテムの各セルにデータを入力できます。

   依存関係グループのステータスが [処理待ち]に変わります。

   a. [依存先] セルのリストからアイテムを選択します。

   b. [使用の説明] セルをダブルクリックし、アイテムの機能またはロールを入力します。

   c. [復旧の解決までに必要な期限] セルで、アイテムを復元する期間を選択します。

   d. [必要なデータのバックアップ] セルで、資産のデータバックアップを提供できる期間を選択します。
   [要素定義] フォームで要素を設定するときに、[データのバックアップが必要] フィールドを [はい] に設定できます。ただし、BIA が作成されるときに、アプリケーションは必要なデータバックアップ情報を要素定義から BIA の依存関係グループにコピーします。この時点で、依存関係グループの必要なデータバックアップが true である場合、[必要なデータのバックアップ] 列がグリッドに表示されます。

6. 依存関係グリッドを全画面に拡大してグリッド値を編集するには、全画面アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

画面を折りたたむアイコン () を使用して、グリッドを折りたたんで通常の画面サイズに戻します。

7. 依存アイテムでグループを更新するには、[編集] ボタンをクリックします。
依存関係グループのステータスが [処理待ち]に変わります。
8. 以前に識別された依存関係アイテムを削除するには、チェックボックス内のアイテムを選択し、[削除] ボタンをクリックします。
[削除] をクリックすると、依存関係テーブル [sn_bia_dependency] からレコードが削除されます。
9. [完了] をクリックしてグループのアセスメントを完了します。
[完了] をクリックする前に、アイテムのすべてのセルにデータを入力していることを確認してください。入力していないセルがある場合は、不完全なセルに入力するように求められます。コンテナーが閉じ、ステータスが [完了]に設定され、次のコンテナーに移動します。[編集] ボタンをもう一度クリックしないと編集できません。
10. [保存] をクリックして、BIA とその依存関係の詳細を保存します。
11. [レビューのため送信] をクリックして、BCM プログラムマネージャーのレビューのために BIA を送信します。
12. [依存関係を追加] をクリックして、BIA のすべての依存関係セクションの依存 CI をまとめて追加します。
依存関係グループが CMDB の構成アイテム (CI) に依存する場合、それらの CI は各セクションの対応するグループの依存アイテムとしてリンクされます。

> **注:**
> 依存関係グループからその CI への依存関係マッピングは、最大 5 段階のレベルで追跡されます。これらの 5 つのレイヤー内のアイテムは、BIA テンプレートでのみ定義されている依存関係アセスメントに依存アイテムとして追加されます。たとえば、アプリケーション、ハードウェア、およびソフトウェアがビジネスプロセス BIA テンプレートで依存関係アセスメントとして定義されている場合、依存関係アセスメントの最大 5 つのレベルにマッピングされている CI のみが追加されます。
>
> CI を選択して各依存関係グループに個別に追加するには、「CMDB の CI 関係に基づく依存関係の追加」を参照してください。

自動翻訳

CMDB の CI 関係に基づく依存関係の追加

CI 関係を参照してアイテムを追加し、依存関係グループに直接関連するアイテムにドリルダウンします。リスクのある資産のビジネスインパクト分析を評価しながら、アイテムの関係と依存関係グループをマッピングできます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて

クラス拡張を使用して構成アイテムを入力し、テクノロジーまたはソフトウェアを検出するのがアプリケーション、ハードウェア、またはソフトウェアの依存関係グループである場合は、BIA 依存関係グループとのアイテムの関係に基づいてレコードをフィルタリングすることでアイテムを追加できます。または、すべてのレコードからアイテムを選択するだけでグループにアイテムを追加できます。

たとえば、ビジネス機能である売掛金が、ビジネスプロセスを完了するためにビジネスアプリケーションである Acrobat に依存する場合があります。したがって、この関係は Depends on::Used by としてキャプチャされます。売掛金ビジネス機能は Acrobat アプリケーションアイテムに依存し、Acrobat アプリケーションは売掛金によって使用されます。同様に、ビジネス機能は、ビジネスプロセスを実行するためにソフトウェア技術やハードウェアなどの他の依存関係グループに依存する場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [ドラフト] ステータスの [名前] 列のレコードへのリンクをクリックします。
4. グループを確認し、各グループ内のアイテムを特定するには、[依存関係アセスメント] タブをクリックします。
5. 依存関係グループにアイテムを追加するには、そのコンテナーの [新しく追加] ボタンをクリックします。
6. すべてのレコードからアイテムをフィルタリングするには、[すべてのレコードから] ボタンをクリックします。
   a. [次へ] をクリックします。
   b. [アイテムを追加] ポップアップからアイテムを選択します。
   c. [追加] をクリックします。
7. 依存関係グループとの関係に基づいてアイテムをフィルタリングするには、**[CMDB** 依存関係に基づく (レベル **1) (Based on CMDB dependencies (Level 1))]** をクリックします。
   a. [次へ] をクリックします。
   b. 関係に基づいてアイテムを選択します。
   c. [次へ] をクリックします。
   d. アイテムを選択します。
   e. [追加] をクリックします。
   依存関係グループグリッドには、BIA に依存するアイテムが一覧表示されます。すべてのレコードからアイテムを追加する場合、関係ソース は **BCM** です。CMDB 依存関係に基づいている場合は、**CMDB** です。

   注:
   [CMDB 依存関係に基づく (レベル **1) (Based on CMDB dependencies (Level 1))]**を選択した場合、直接関連するアイテム、または CMDB で識別された関係タイプに基づく依存関係のレベル 1 にあるアイテムのみが、[アイテムを追加] ポップアップに一覧表示されます。一方、[すべてのレコードから] を選択した場合は、CMDB 内の関係に関係なく、それぞれのテーブルのすべてのアイテムが表示され、最大 5 レベルまで追跡されます。

8. 依存アイテムの詳細を表示するには、 ⓘ をクリックします。
   ビジネス機能が依存するアイテムの依存関係の詳細が新しいタブで開きます。必要な復旧期間、必要なデータバックアップ、およびビジネス機能でのその使用方法の説明を更新し、詳細を保存できます。

ビジネスインパクト分析の詳細を表示する

[詳細] タブを使用して、ビジネスインパクト分析の一般情報を表示します。要件に応じて、プライマリ要素の目標復旧時間と目標復旧時点の結果を調整することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [ドラフト] ステータスの [名前] 列のレコードへのリンクをクリックします。
4. ビジネスインパクト分析の詳細を表示するには、[詳細] タブをクリックします。

一般情報

BIA の名前、その説明、関連する事業部門と部門など、ビジネスインパクト分析のアセスメントの一般的な詳細を表示します。BIA の作成に使用したテンプレートを表示することもできます。

結果

結果は資産レベルで追跡できます。したがって、プライマリスコープはプライマリ要素または資産を復旧することです。復旧要件の定義は、災害のタイプと各資産の復旧が必要になる時間によって異なります。

- 復旧階層：復旧に関するプライマリ要素の重要度のレベル。
- 目標復旧時間 (RTO)：ビジネス中断後にビジネスのプライマリ要素または資産をいつまでに復旧する必要があるかという最長時間。
- 調整済み **RTO**：計算された RTO を調整する場合は、このフィールドを編集して値を追加します。
- 調整済み **RTO** の理由：RTO 値を調整する理由を入力します。
- 目標復旧時点 (RPO)：災害後、どの時点にプライマリ要素を復元する必要があるか。また、中断イベント中にビジネスが維持できるデータ損失の最大量も示します。
- 調整済み **RPO**：このフィールドを編集して、プライマリ要素の RPO を入力します。

  注:
  [目標復旧時点] および [調整済み **RPO]** フィールドは、プライマリ要素がデータバックアップを必要とし、[要素定義] フォームで [はい] とフラグが付けられている場合にのみ表示されます。

- 調整済み **RPO** の理由：このフィールドは、[調整済み **RPO]** フィールドに値を入力すると表示されます。RPO 値を調整する理由を入力します。
- [機密性]、[完全性]、および [可用性]：プライマリ要素に重要なデータが含まれている場合は、機密性、完全性、および可用性 (CIA) の詳細を追加します。CIA の詳細は、BIA が準拠する必要がある基本的なセキュリティ目標です。これらの標準に準拠しないと、ビジネスと生産性に大きな損失が発生するだけでなく、信頼性が失われる可能性があります。

  注:
  [機密性]、[完全性]、および [可用性] フィールドは、使用した ビジネスインパクト分析テンプレートの構成 で **[CIA** を含める] フィールドを [はい] に既に設定している場合にのみ表示されます。

  RTO と RPO の値を調整していない場合でも、システムで計算された RTO と RPO の値をそれぞれのフィールドに表示できます。

アクティビティ

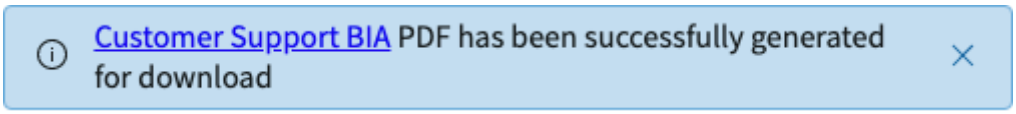
BIA に関する追加コメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [保存] をクリックします。
6. **[PDF** の生成] ボタンをクリックして、PDF 形式で BIA を生成します。
   PDF が生成されたことを示すメッセージが表示されます。

   PDF のダウンロード

   メッセージ内のリンクをクリックして PDF をダウンロードします。

   - BIA への表示専用アクセス権がある場合は、PDF を生成するオプションを使用して、ドキュメントをローカルハードドライブにダウンロードできます。
   - [承認] ステータスになる前に BIA をダウンロードできます。
   - デフォルトでは、BIA が承認された後に PDF が生成されて添付されます。
7. BIA を [承認済み] ステータスから [ドラフト] ステータスに移行するには、[編集] ボタンをクリックします。
8. BIA のコピーを作成するには、[コピー] ボタンをクリックします。
   BIA を読み取りおよび作成する権限がある場合は、BIA をコピーすることもできます。

   a. [影響分析をコピー] ポップアップに新しい BIA の名前を入力します。
   コピー操作では、[影響分析をコピー] ポップアップに入力した名前で BIA の正確なレプリカが作成されます。また、すべての依存関係と依存関係グループも新しい BIA にコピーされます。

   b. [確認] をクリックします。

   - 元の BIA からコピーされた新しい BIA には、元の BIA と同様の RTO、RPO の影響度、依存関係アセスメントの構造の詳細があります。
   - ただし、これらの各アセスメントの影響度カテゴリの詳細は、コピーされた BIA の依存関係の詳細のみを評価するために編集可能になっています。
   - RTO および RPO の影響度評価の影響度カテゴリは [処理待ち] ステータスですが、元の BIA ではこれらのカテゴリが [完了] ステータスになっている可能性があります。
   - したがって、コピーした BIA に関連する中断期間、応答、および必要な復旧期間を評価して入力する必要があります。
   - [結果] セクションで詳細を評価できます。RTO と RPO の値は、アセスメントの完了後に再計算されます。
   - アクティビティと作業メモは新しい BIA にコピーされません。新しい BIA に関連するこの情報を入力します。
   - 元の BIA に添付されているすべての形式の添付ファイルが新しい BIA にコピーされます。ただし、**[PDF** を生成] ボタンを使用して元の BIA 用に生成された PDF は、アセスメントデータが元の BIA に関連しているため、新しい BIA にコピーされません。コピーされた BIA のアセスメントの詳細を変更して PDF を生成する柔軟性があるため、元の BIA 用に生成された PDF をコピーしても意味がありません。

   注:
   [ドラフト] ステータスの BIA およびその関連テーブルを削除できます。BCM 計画者とプログラムマネージャーは、[レビュー中] および [戻り] ステータスの BIA を削除できます。一方、BCM 管理者は、そのステータスに関係なく BIA を削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスインパクト分析の承認ステータスフローの表示

複数の承認レベルでビジネスインパクト分析を指示するときに、承認プロセスの各レベルで送信された承認ステータス移行と承認者の詳細を表示します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager、sn_bcm.viewer

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
   [ドラフト] および [レビュー中] ステータスを除く任意のステータスのビジネスインパクト分析 (BIA) の承認レコードを表示できます。
3. [名前] 列でビジネスインパクト分析レコードへのリンクをクリックします。
4. BIA の承認の詳細を表示するには、[承認] 関連リストをクリックします。
   BIA に対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、BIA の [却下] または [承認] を選択できます。

   注:
   BCM プログラムマネージャーである場合は、[承認] および [却下] ボタンを表示できます。

5. [名前] 列の承認レコードへのリンクをクリックします。
   承認の名前、承認レベル、現在のステータス、およびユーザーやグループなどの承認者の詳細を表示できます。
6. 影響分析の承認履歴を表示するには、[詳細] タブをクリックします。

   a. [承認履歴] 関連アイテムをクリックします。
   承認者の完全な承認履歴と、作成日時の詳細を表示できます。

   複数レベルの BIA 承認のステータス移行：

   未要求

   承認が各レベルの承認者にまだ送信されていない状態。

   要求済み

   承認はそのレベルの承認者に送信されています。それに応じて、後続のすべてのレベルの承認のステータスが [未要求] に変わります。

   承認済み

   1 人以上の承認者がそれぞれのレベルで BIA を承認しました。それに応じて、次のレベルの承認のステータスが [要求済み] に移行します。

   却下

   1 人以上の承認者がその特定のレベルで BIA を却下しました。承認者の 1 人が BIA を却下した場合でも、[却下] ステータスに移行します。それに応じて、後続のすべてのレベルの承認のステータスが [不要] に移行します。

   不要

   あるレベルの承認者が BIA を承認または却下した場合、後続のすべての承認レベルのステータスが [不要] に移行します。

貢献者としてセルフサービスの **BIA** の依存関係の詳細を更新する

貢献者ロールを使用して、影響度カテゴリ結果、RPO 影響分析応答、影響度依存関係グループのステータス、およびアクティビティ関連アイテムの作業メモを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.contributor

貢献者リストに含まれている BCM 貢献者の場合は、ビジネスインパクト分析 (BIA) の依存関係の詳細を更新できます。

手順

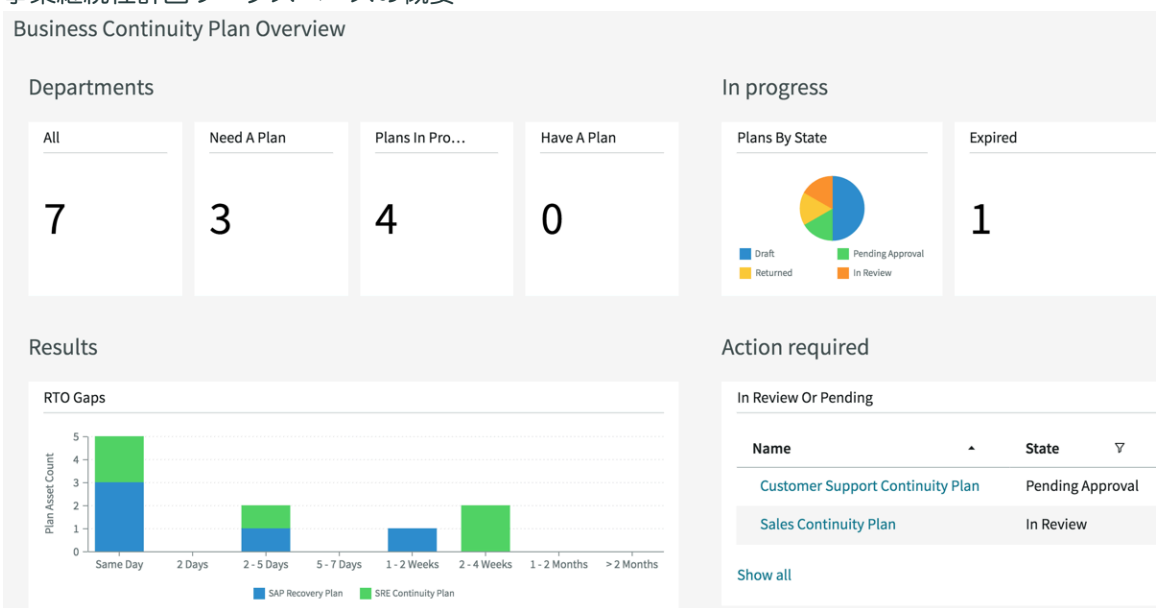
1. 移動先 すべて > セルフサービス > 影響分析.
2. 自分に割り当てられたビジネスインパクト分析のと自分が貢献できる BIA のリストを表示します。
3. インパクト分析レコードをクリックします。
4. [影響度カテゴリ結果] 関連リストをクリックします。
5. 任意の RTO 影響度評価レコードを選択して、中断期間の詳細を更新します。
6. 影響分析応答を更新するには、RPO 影響度カテゴリレコードをクリックします。
7. 影響度依存関係グループのステータスを更新するには、 [影響度依存関係グループ] 関連リストをクリックします。
   依存関係グループの依存関係を追加、更新、削除することもできます。
8. BIA に作業メモを追加するには、[アクティビティ] タブをクリックします。
9. 変更の後に [更新] をクリックします。

Business Continuity Planning のための構造化されたワークフロー

Business Continuity Planning (BCP) は、計画資産、アクティビティ、復旧チーム、ドキュメント、ポリシー、手順などのアクションアイテムに対処することによって、イベント発生時のリスクを設定して軽減するのに役立ちます。

BCP は、Now Platform® での事業継続性計画と災害復旧計画の管理に必要なすべてのデータを統合します。エンタープライズデータのカタログを単一のレコードシステムに編成します。レコードを作成する代わりに、必要なデータを選択するだけで済みます。既存の情報を活用し、復旧のために論理的に関連付けてデータを配置することで、計画の作成が簡単になります。

事業継続性計画ワークスペースの概要



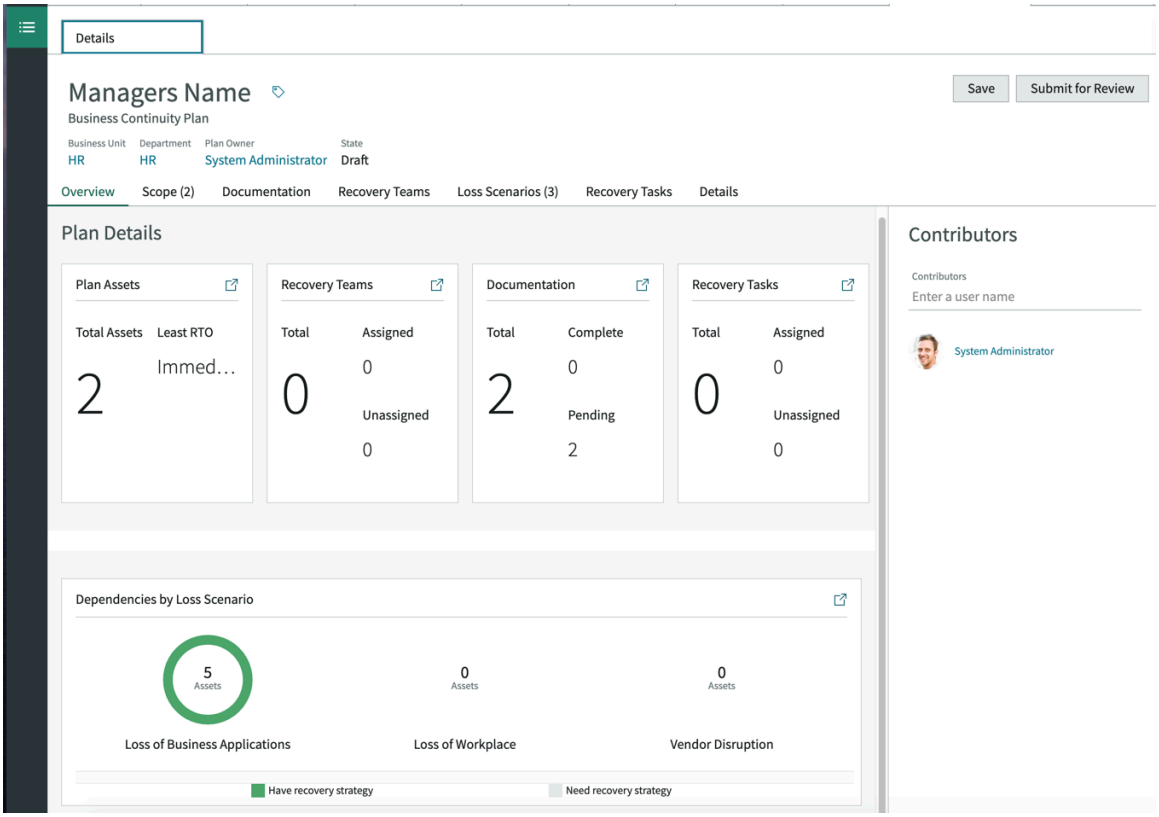
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プログラムマネージャー、計画者、および閲覧者は、作業するカスタムワークスペースを取得します。これは、計画関連のアクティビティの現在のステータスを提示します。ワークスペースは、特定のロールを持つユーザーがアクセスできる計画を開くための安全なポータルです。

計画タブを開いてタスクを完了する機能を備えたユーザーインターフェイスひとつだけで計画を構築できます。次の計画タスクに進み、計画の詳細を追加、削除、または更新できます。

事業継続性計画ワークフロー



考えられるさまざまな破壊的なシナリオに対応する包括的なアクションプランと、損失シナリオ時に迅速に行動する責任を負う専任チームにより、組織は危機または困難な状況に対処できます。

計画テンプレートからの事業継続性計画の作成

プログラムマネージャーは、ビジネス中断時に使用できる各事業部門向けの計画を作成できます。計画タイプごとに特定の計画テンプレートを使用して、計画作成プロセスを簡素化できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner

このタスクについて

要件に適した事前設定された計画テンプレートを使用して計画を作成できます。計画テンプレートを使用すると、ドキュメントセクション、損失シナリオを自動的に追加し、復旧する必要があるプライマリ要素を特定する標準的な計画レイアウトが得られます。計画テンプレートは、計画のコンテンツ、そのタスク、および計画の効果的な実装に重点を置くために役立ちます。

計画を作成することで、組織は中断が発生したときに優先的に復旧する必要があるプロセス、場所、および資産を特定できます。計画タイプを選択すると、復旧する要素と復旧する必要がある時間を特定するのに役立ちます。

BCM プログラムマネージャーは、[新規] ボタンをクリックして計画を作成できます。計画のテンプレートを選択すると、送信後にテンプレート内のすべての関連情報が計画にコピーされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. 事業継続性ホームページから計画を作成するには、[計画を作成] をクリックします。
3. さまざまなステータスの既存の計画のリストを表示して計画レコードを作成するには、リストアイコン ( ) をクリックします。
   a. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
   b. [新規] をクリックします。
4. [計画を作成] モーダルフォームに計画の詳細を入力します。
5. 計画の名前を入力し、計画テンプレートを選択します。

   ビジネスチーム専用の命名規則に従って、255 文字以内で計画名を記述します。

   参照されたテンプレートの詳細が計画にコピーされます。計画に適用可能な事業部門、部門、および計画オーナーを選択します。

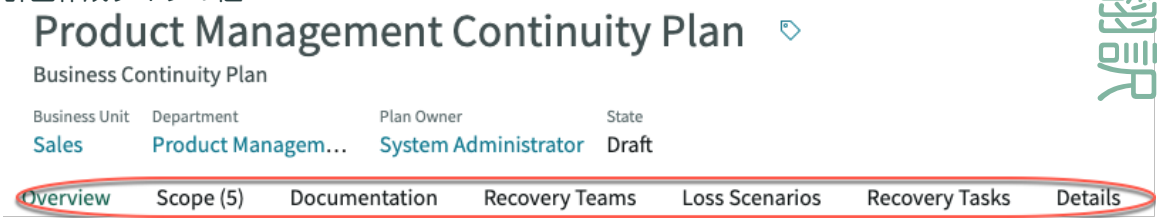
6. [送信] をクリックします。

   作成した計画がレコードビューで開きます。このビューでは、[事業部門]、[部門]、[計画オーナー]、および [ステータス] のヘッダーの下に計画の詳細が表示されます。

   注:

   計画ビューで使用できるタブは、この計画で使用される計画テンプレートの [計画作成タイプ] フィールドで選択した値によって異なります。

   計画作成タイプの値

   テンプレートを使用して計画を作成すると、計画テンプレートに関連付けられた計画ドキュメントが、作成した計画のドキュメントセクションにコピーされます。

7. [概要] タブで計画の詳細を確認します。
8. [詳細] タブをクリックして、計画の詳細を更新します。
9. 計画を保存して後で詳細を更新するには、[保存] をクリックします。
10. 保存してレビューのために送信するには、 [レビューのため送信] をクリックします。

    注:
    [ドラフト] ステージの場合にのみ、レビューのために計画を送信できます。

    レビューのために計画を送信すると、計画は [レビュー中] ステータスに移行します。

    計画オーナーは、計画に詳細を追加し、さまざまなステータス間を移行させて最終的に承認を得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[ステータス] フィールドは読み取り専用です。ここには計画のステータスが示されます。計画に対するアクションを UI で実行することで、ステータスはここから [承認済み] まで遷移します。

ドラフトステータス

計画を編集中のときのステータスです。計画にドキュメントセクションを追加し、復旧チームを特定してオーナーのための復旧タスクを設定し、レビューのために計画を送信します。

レビューのために送信するには、BCM リードが計画にアサインされていることを確認してください。それ以外の場合は、承認のために計画を送信できます。

計画オーナーがレビューのために計画を送信すると、ステータスが [レビュー中] に変わります。計画オーナーの計画のステータスが、[承認のため送信] に変更されます。

レビュー中

計画オーナーは、計画をレビューおよび編集し、承認のために送信できます。

承認待ち

[承認のため送信] をクリックすると、計画が [承認待ち] ステータスに設定されます。承認構成、承認レベル、および承認ルールが計画に対して評価され、承認者が決定されます。計画に対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、BCM プログラムマネージャーは計画の [却下] または [承認] のいずれかを選択できます。計画とその関連テーブルのステータスは読み取り専用です。

戻り

計画が却下されると、[戻り] ステータスに設定されます。

承認済み

計画が承認されると、[承認済み] ステータスに移行します。

計画とそれに関連するタブはすべて読み取り専用です。この状態でステータスを変更するための唯一のオプションは、[アーカイブ化済み] ステータスに移行することです。

アーカイブ化済み

計画をアーカイブすると、読み取り専用になります。計画がデータを取得して計画資産、関連資産の依存関係、復旧戦略、ドキュメント、復旧チーム、損失シナリオ、復旧タスクの各タブに入力する際の基になるテーブルは、すべて読み取り専用になります。これらのタブの情報は編集できません。

注:
スケジュール設定済みジョブが毎週実行され、期限切れになった計画が [アーカイブ済み] ステータスに移行します。

11. 計画をさまざまな場所にエクスポートし、ユーザーが危機的な状況で計画を実行できるようにするには、**[PDF** を生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 計画貢献者 (sn_bcp.plan_contributor) または計画マネージャー (sn_bcp.plan_manager) は、PDF を生成できます。
>
> [承認済み] および [アーカイブ化済み] ステータスを除くすべてのステータスの計画の PDF を生成できます。計画が承認されると、デフォルトで PDF が生成され、計画に添付されます。

計画は、そのサマリー、復旧チーム、損失シナリオ、復旧タスク、および復旧チームの一員であるすべてのメンバーの連絡先番号のリストを含む付録のテーブルとともに全体がエクスポートされます。

スコアカードでの計画の詳細の表示

[概要] タブを使用すると、事業継続性計画と緊急計画がどの程度堅牢であるかを簡単に理解できます。このタブには、重要な計画要素のスコアの概要がそれぞれのスコアカードとして表示されます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager、sn_bcm.planner

このタスクについて
緊急アクションプランは、職場に合わせてカスタマイズし、潜在的な緊急事態のソースに関する情報をすべて含める必要があります。計画は、次の詳細を含む包括的なものでなければなりません。

- 復旧する必要がある資産
- 各タイプの資産の復旧を担当するチーム
- 計画が割り当てられた指定グループ
- アサイン先グループに対して特定されたオーナー
- 計画の実行方法を詳述したドキュメント

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
   [概要] タブには、計画の目標に向けた進捗状況をグラフィカルに表現したスコアカードが表示されます。

   [概要] タブで表示できるさまざまなスコアカードは、この計画で使用される計画テンプレートの [計画作成タイプ] フィールドで選択した値によって異なります。

   > **注:**
   > 計画が [承認済み] ステータスの場合は、[計画の使用率と結果] セクションを表示できます。ただし、計画がどのステータスであるかに関係なく、[計画の詳細] セクションで計画のすべての詳細を表示できます。詳細については、「計画使用率の詳細の計画概要スコアカード」を参照してください。

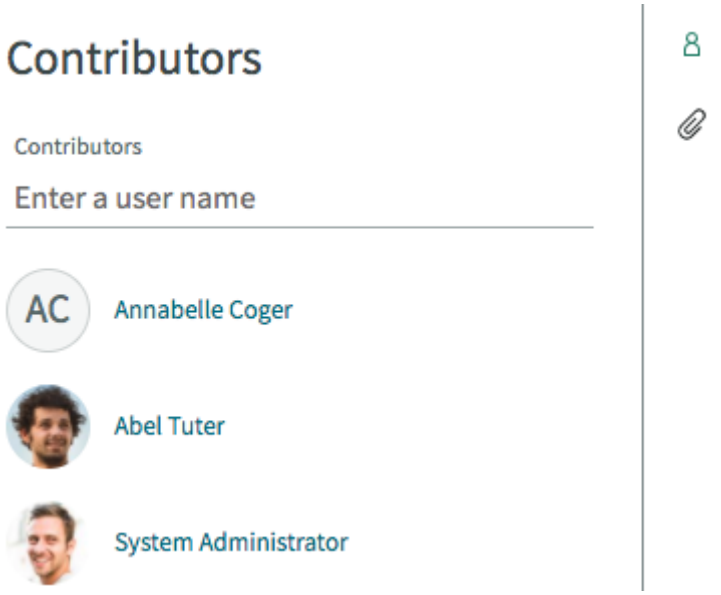
5. [保留中] ステータスのドキュメントセクションを完了するか、未アサインの復旧チームのチームと個人を特定するか、または特定の計画アクティビティを実行するグループをアサインするには、それぞれのスコアカードウィジェットでセクションに移動アイコン ( ) をクリックして、必要な情報を追加し、計画を完了に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 計画に貢献者を追加するには、[貢献者] フィールドをクリックしてユーザーを選択します。

[概要] タブの [貢献者] カード



事業継続性計画を完全かつ堅牢にするには、計画に関する情報について支援および貢献できる人々からのインプットが必要です。これらの貢献者は、特定のタスクをアサインできるユーザーでもあります。計画に必要な数の貢献者を追加できます。

7. 不要になった貢献者を計画から削除するには、貢献者の名前の横にある [削除] ボタンをクリックします。

計画使用率の詳細の計画概要スコアカード

[概要] タブには、計画の詳細と、計画を使用する演習および実際のイベントが表示されます。また、計画が損失シナリオでの資産の復旧にどの程度成功したかも示します。

計画の使用率と結果

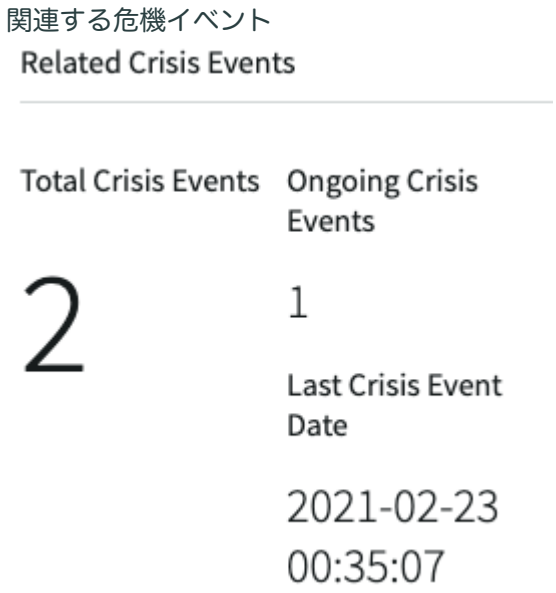
[計画の使用率と結果] セクションには、表示している現在の計画を使用する危機イベントと演習イベントの詳細が表示されます。

関連する危機事象

- 危機イベントの合計数：現在の計画を使用する危機イベントの合計数。
- 進行中の危機イベント：現在進行中の危機イベントの数。
- 前回の危機イベントの日付：前回発生した危機イベントの実際の終了日時。

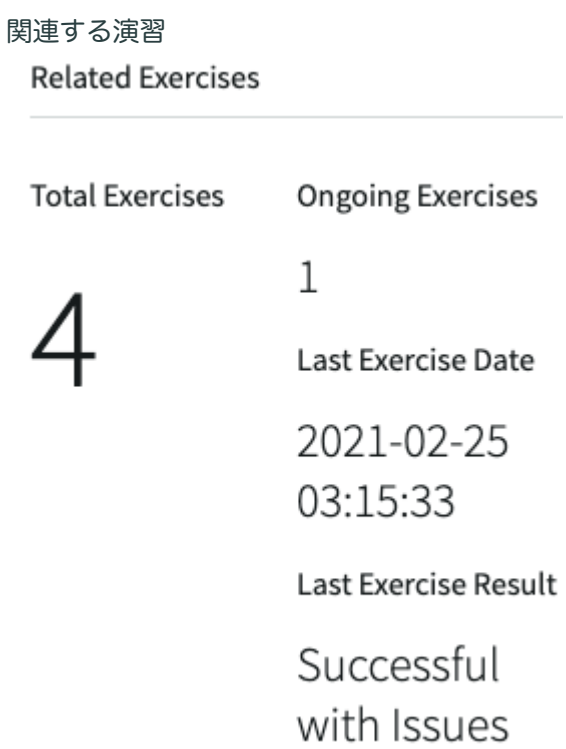
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連する演習

- 合計演習回数：現在の計画を使用する演習の合計数。
- 継続的な演習：現在進行中の演習イベントの数。
- 前回の演習日：最後に完了した演習イベントの実際の終了日時。
- 前回の演習結果：前回完了した演習イベントが成功したかどうかを示します。



演習結果

カラーのドーナツグラフは、完了した演習イベントの中で成功した数、失敗した数、問題がありながら成功した数を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

演習結果

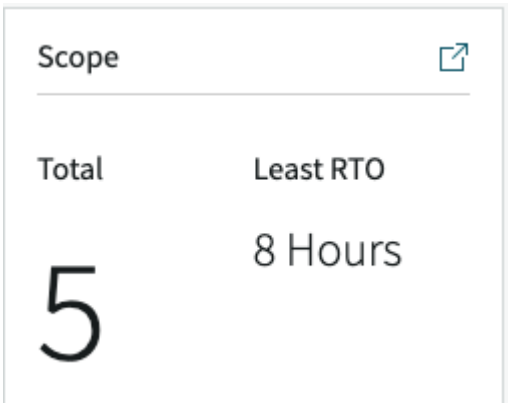


計画の詳細

スコープ

計画で [合計] として識別されたすべての資産を表示します。プライマリ要素がサポートするすべての RPO と RTO のうち、RPO と RTO の最小値が表示されます。

計画資産スコアカード



復旧チーム

スコアカードは、危機発生時に行動するための責任の明確なガイドラインを持つチームと個人を特定するのに役立ちます。

アサインされたスコアは、計画の復旧ロールがグループまたはユーザーに割り当てられていることを示します。未アサインのスコアは、復旧ロールがグループまたはユーザーに割り当てられていないことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

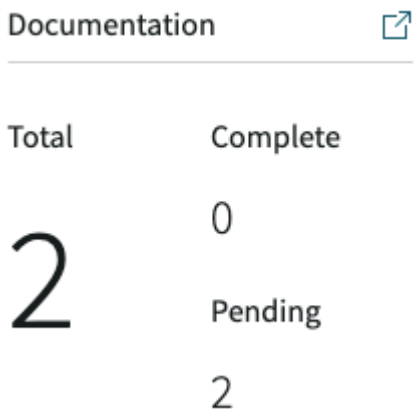
復旧チームスコアカード



ドキュメント

計画に添付されているドキュメントセクションの合計数を表示します。ブレークダウンには、計画に従って更新され、[完了] ステータスになっているドキュメントセクションのステータスが表示されます。[処理待ち] ステータスは、まだ編集中のドキュメントセクションを示します。

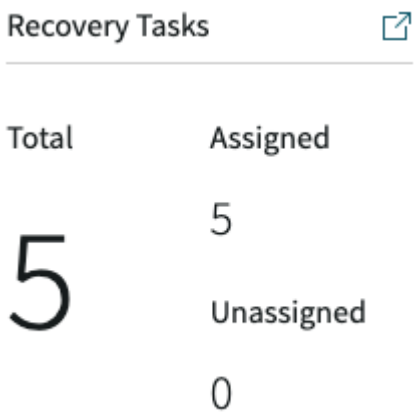
ドキュメントスコアカード



復旧タスク

復旧タスクスコアカードは、復旧プロセス中に計画のアクティビティを実行するために識別されたグループとグループの所有者を示します。

復旧タスクスコアカード



自動翻訳

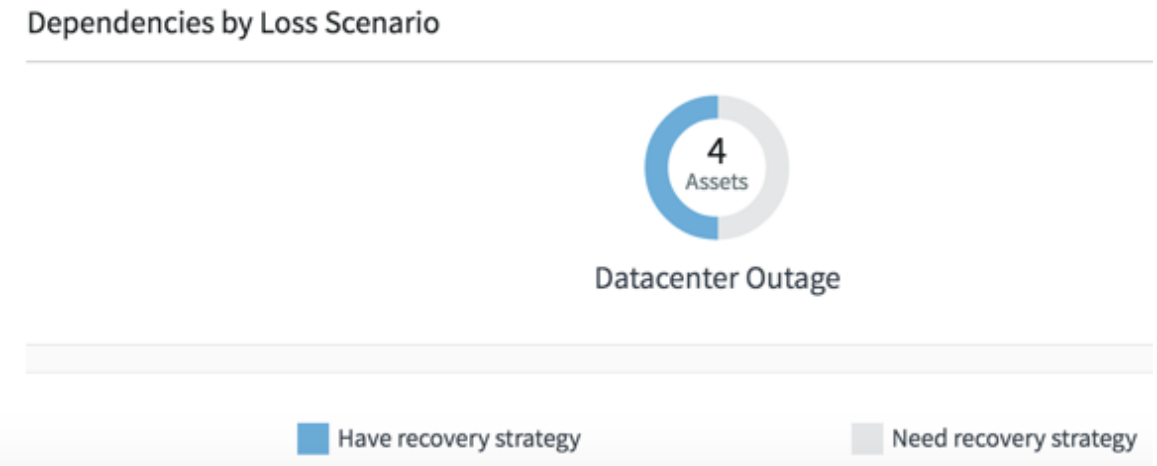
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画に対して識別されたアクティビティの合計数のうち、アサインされたスコアは、グループがアサインされたアクティビティの数を示します。未アサインのスコアは、グループがアサインされていない計画アクティビティを示します。

損失シナリオ別の依存関係

ドーナツグラフは戦略の対象となる資産を示し、資産に戦略があるかどうかを色で示します。損失シナリオ計画では、1 つの資産に少なくとも 1 つの戦略が必要です。ただし、1 つの戦略で複数の資産をカバーすることもできます。

損失シナリオ別の依存関係



事業継続性計画のスコープへの資産の追加

[スコープ] タブを使用して、計画のスコープに資産を追加します。Business Impact Analysis (BIA) アプリケーションがインストールされている場合は、計画テンプレートで定義されたプライマリ要素、その目標復旧時間 (RTO) と目標復旧時点 (RPO) の詳細、およびビジネスインパクト分析を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. [スコープ] タブをクリックします。
   計画が計画テンプレートから作成されている場合は、計画テンプレートで定義されているプライマリ要素を表示できます。
6. 計画に新しいスコープを追加するには、[追加] をクリックします。
7. [アイテムを追加] モーダルで、計画資産を選択します。
8. [追加] をクリックします。
   [アイテムを追加] モーダルに表示される資産は、計画テンプレートの [復旧したプライマリ要素 **(Primary Element Recovered)]** フィールドで識別された要素定義タイプに属します。

   計画資産の追加時に資産に承認済み BIA が添付されている場合、承認済み BIA が資産の **[BIA]** 列に自動的に追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BIA が計画スコープに添付されている場合、RTO と RPO の値は BIA から入力されるため編集できません。

注:

- BIA アプリケーションがインストールされている場合、**[RTO]** および **[RPO]** フィールドが表示され、編集できません。**[BIA]** フィールドは表示され、編集可能です。BIA アイコン ( ) をクリックして、BIA を添付できます。
- BIA がインストールされていない場合、**[RTO]** および **[RPO]** フィールドが表示され、編集できます。
- 承認された BIA が計画に添付されている場合、**[RTO]**、**[RPO]**、および **[BIA]** フィールドに値が入力され、これらのフィールドは読み取り専用で編集できません。

9. 計画資産を更新するか、BIA をリンクするには、[名前] 列で資産をクリックします。

a. BIA アイコン ( ) をクリックします。
資産に対して承認された BIA がある場合、リンクをクリックすると BIA が自動的に資産に添付されます。資産の重要度に基づいて RTO と RPO の値を調整した場合、調整済み RTO と調整済み RPO の値が、システムで計算された RTO と RPO の値よりも優先されます。 をクリックすると、調整済み RTO と調整済み RPO の値が [目標復旧時間] フィールドと [目標復旧時点] フィールドに表示されます。

b. [保存] をクリックします。

10. 計画リストから資産を削除するには、アイテムを選択して [削除] をクリックします。

関連資産と関連計画の追加

計画ステージの資産を復旧するための関連資産とその参照計画を特定します。依存関係アセスメント中に CMDB から Business Impact Analysis (BIA) に渡される構成アイテムの関係性データを再利用して、計画内の資産を特定します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

このタスクについて

この機能拡張により、CMDB の CI 関係に基づいて依存関係を追加するときに、CMDB の構成アイテムの関係データが Business Impact Analysis (BIA) に渡されます。BIA を実行した場合、その後に関連資産データが計画フェーズに移行します。計画フェーズでは、これらの BIA 依存アイテムを関連資産として識別できます。さらに、BIA を完了し、関連資産に計画がある場合は、関連資産の既存の計画を計画フェーズで関連計画として追加し、イベント復旧プロセスの実行フェーズでサブ計画として追加することもできます。

したがって、新しい資産を特定して資産を復旧するための計画を作成する代わりに、CI 関係に基づいて CMDB から構成アイテムとして追加される BIA 依存アイテムを使用し、これらのアイテムを計画ステージで関連資産として再利用できます。

この機能により、次のことが可能になります。

- 計画中に CMDB と BIA で確立された依存関係に基づいて関連資産を特定します。
- メイン計画を作成し、別の関連計画を参照するタスクを設定します。

自動翻訳

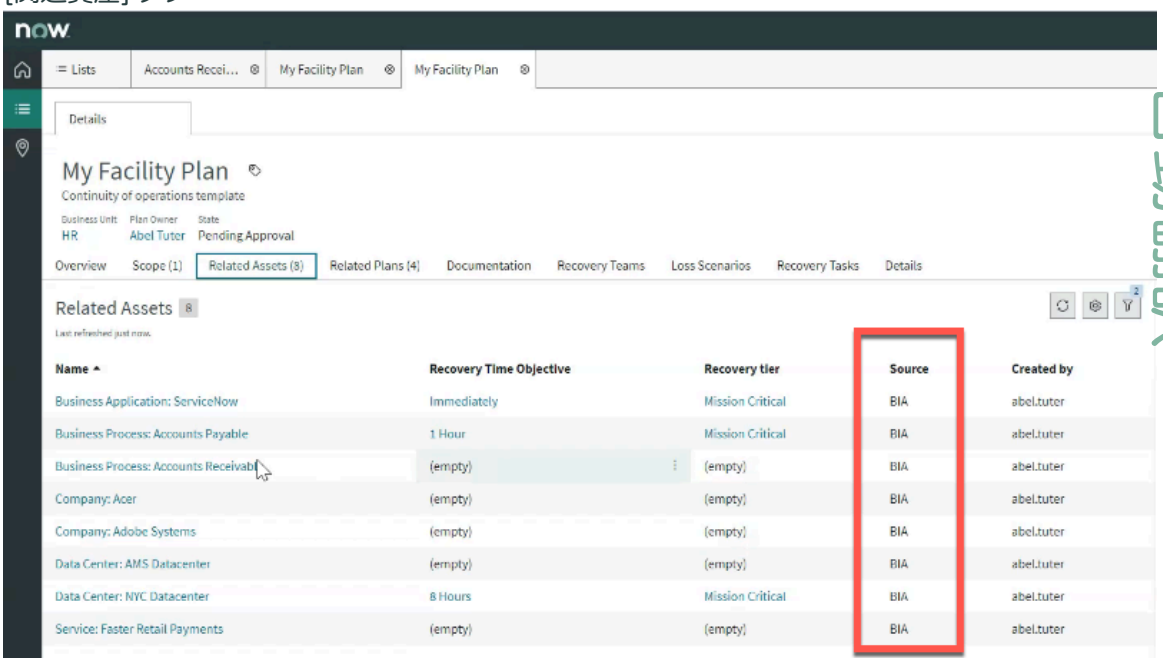
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. [関連資産] タブをクリックして、BIA から計画にプルされた資産を表示します。
   [スコープ] タブのアイテムとしてビジネスプロセスまたは場所を追加し、スコープ対象のアイテムが BIA に関連している場合、BIA のすべての関連資産が計画の [関連資産] タブに表示されます。つまり、BIA で依存関係として追加された CMDB 構成アイテムは、関連資産として計画にプルされます。これらの関連資産のソースは BIA として表示されます。

   計画を作成するときは、計画の対象となるプライマリ要素も選択します。事業継続性計画で選択したスコープまたは計画のプライマリ要素に基づいて、アプリケーションは計画フェーズ中に関連資産と関連計画を追加します。これらのアイテムは、ビジネスプロセス、重要なビジネスアプリケーション、データセンター、または場所で作業するリソースである可能性があります。これらのすべての依存関係は、BIA に保存されている場合、BIA の作成中に追加された他の依存関係に加えて、[関連資産] タブの計画にコピーされます。

   [関連資産] タブ



> **注:**
> ビジネスインパクト分析を実行しない限り、構成されたアイテムデータの関連アイテムは計画にフローされませんが、関連資産と関連計画を計画フェーズで手動で追加することもできます。

6. 資産を手動で追加するには、[追加] ボタンをクリックします。
   a. [アイテムを追加] ポップアップで影響を受けるアイテムのタイプを選択します。
   b. [次へ] をクリックし、影響を受けるアイテムタイプに属するアイテムを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [追加] をクリックします。

> **注:**
> アイテムが BIA からのものではなく、計画フェーズ中に追加された場合、追加した影響を受けるアイテムのソースは [手動] です。

7. 関連資産を削除するには、関連資産を選択して [削除] をクリックします。

8. [関連計画] タブをクリックして、[関連資産] タブのアイテムに関連する計画を表示します。
資産が計画にコピーされた後、いずれかの関連資産に計画が添付されている場合、これらの計画が自動的にプルされ、[関連計画] タブに一覧表示されます。計画内の資産は、イベント中に計画によって復旧される資産です。

関連する計画が計画作成フェーズに組み込まれたら、復旧タスクを作成することもできます。計画者は、メイン計画とその依存サブ計画の復旧タスクの実行順序を設定できます。

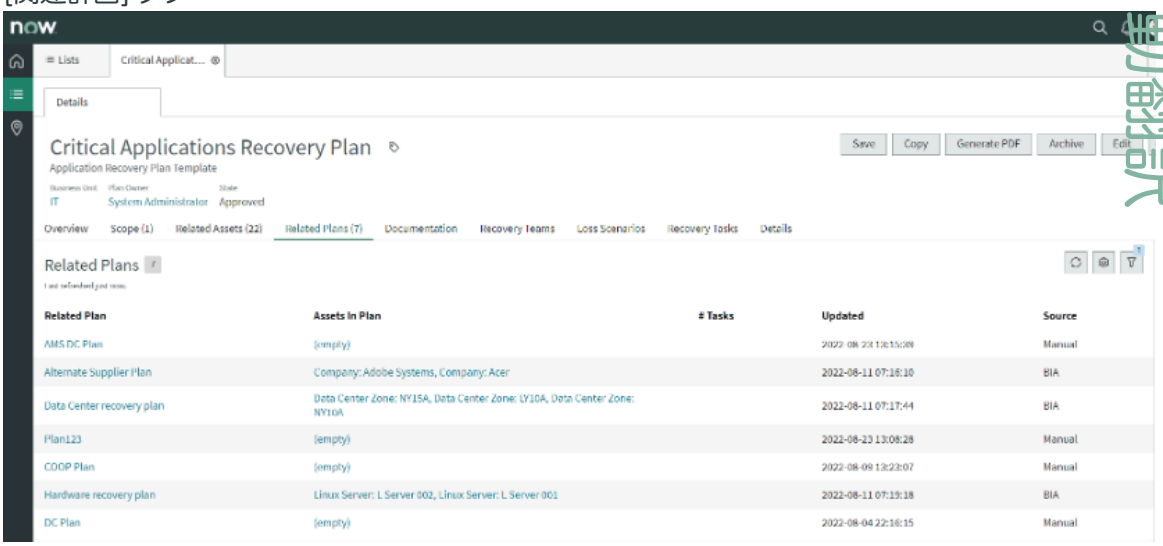
BIA を実行していないか、計画を BIA にスコーピングしていない場合は、このステージで計画を手動で追加できます。

9. 計画を手動で追加するには、[追加] ボタンをクリックします。

a. [追加] ポップアップで計画を選択します。

b. [追加] をクリックします。

[関連計画] タブ



> **注:**
> 計画は BIA からのものではなく、計画フェーズ中に追加したので、追加した関連計画のソースは [手動] です。

10. 関連計画を削除するには、関連計画を選択して [削除] をクリックします。

次のタスク
メイン計画の復旧タスクで関連する計画の 1 つを参照し、イベントで実行順序を決めることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画ドキュメントセクションの作成と管理

ドキュメントセクションを使用して、計画の復旧機能を文書化します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

このタスクについて

目標、目的、スコープなど、計画のコンテキストで必要なすべての追加情報を、ドキュメント内の個別のセクションとして文書化します。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 計画の [ドキュメント] 関連リストをクリックします。
   ドキュメントの各セクションを個別のテキストボックスに表示できます。計画の作成に使用した計画テンプレートの一部であるドキュメントセクションは、この計画のデフォルトになります。ドキュメントに新しいセクションを作成することも、既存のセクションを編集することもできます。
6. ドキュメントセクションを編集するには、編集アイコン ( ) をクリックします。
   このアイコンを使用して、ドキュメントセクションのタイトルと説明のテキストを編集します。
7. セクション内のテキストを編集するには、テキストボックスの [編集] ボタンをクリックします。
8. すべての更新を元に戻し、ドキュメントセクションの元のテキストに戻すには、[テンプレートにリセット] をクリックし、[リセット] をクリックしてアクションを確定します。

   注:
   [テンプレートにリセット] ボタンは、ドキュメントセクションが [完了] ステータスではなく、[処理待ち] ステータスになっている場合にのみ有効になります。

   リセットすると、ドキュメントセクションのテキストとともにタイトルと説明の両方が、計画テンプレートのタイトル、説明、およびドキュメントコンテンツにリセットされます。

9. ステップを削除するには、削除アイコン ( ) をクリックします。
   このアクションにより、ドキュメントセクションが削除されます。
10. [ドキュメント] タブでセクションを作成するには、[新規セクション] をクリックします。
    a. [新規セクション] ポップアップで、セクションのタイトルと説明を入力します。
    b. [作成] をクリックします。
    c. [編集] ボタンをクリックして、セクションのテキストボックスに内容を入力します。
11. 更新を保存してコンテンツの編集を続行するには、[保存] をクリックします。
12. 保存して編集モードを終了するには、[完了] をクリックします。
    [完了] をクリックすると、 と の両方のアイコンが無効になります。アイコンを有効にするには、ドキュメントセクションのテキストボックスの [編集] ボタンをクリックします。
13. 後続のセクションを表示してすべてのセクションをスクロールするには、編集が完了した後にセクションを折りたたみます。

計画レベルでのセクションの順序の変更

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ドキュメント] 関連リストに表示されるセクションの順序を変更して、ユーザーがセクションを論理的な順序で確認できるようにすることができます。ただし、[計画ドキュメント] フォームの [順序] フィールドに整数値を入力して、計画内の各ドキュメントセクションについてセクションの順序を設定する必要があります。このカスタマイズは、計画テンプレートレベルで設定された順序設定より優先されます。

計画テンプレートレベルでのセクションの順序の変更

計画テンプレートのドキュメントセクションの順序も定義できます。この順序は、テンプレートを使用するすべての計画に適用されます。ただし、テンプレートの作成時に [計画テンプレート] フォームのセクションの順序を変更できるのは、BCM 管理者のみです。

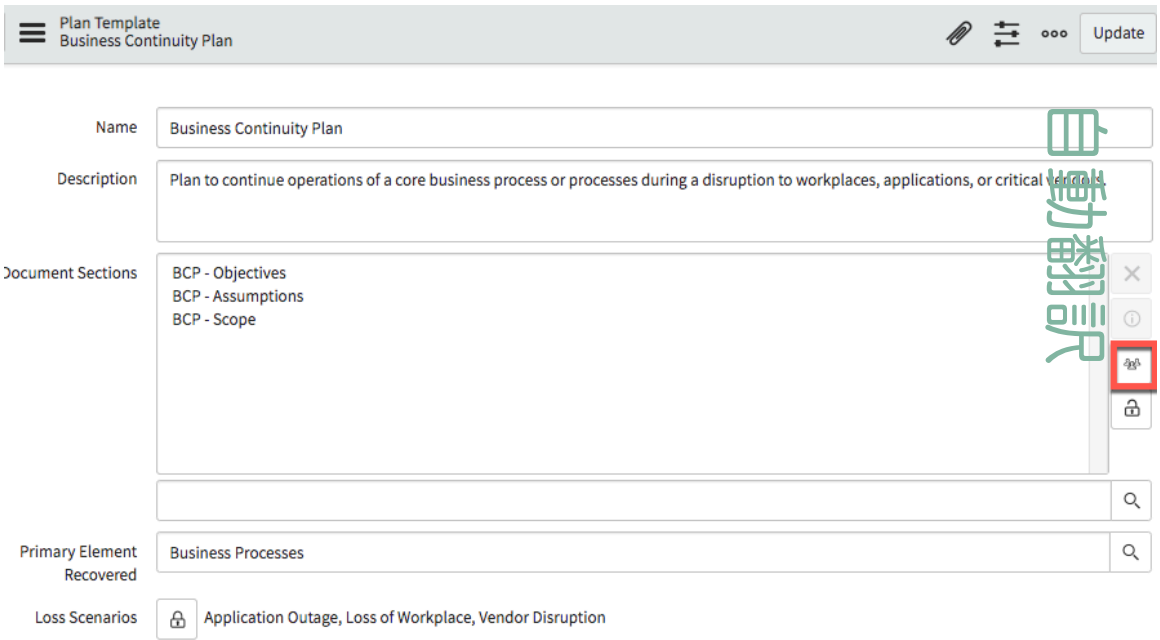
a. セクションの順序を並べ替えるには、次の場所に移動します。 事業継続性 > 計画構成 > 計画テンプレート

b. [名前] リンクの計画テンプレートをクリックします。

c. ドキュメントセクションのロック解除アイコン ( ) をクリックします。

d. 複数の追加/削除アイコン ( ) をクリックし、[ドキュメントセクション] フィールドでアイテムを優先順位に移動します。

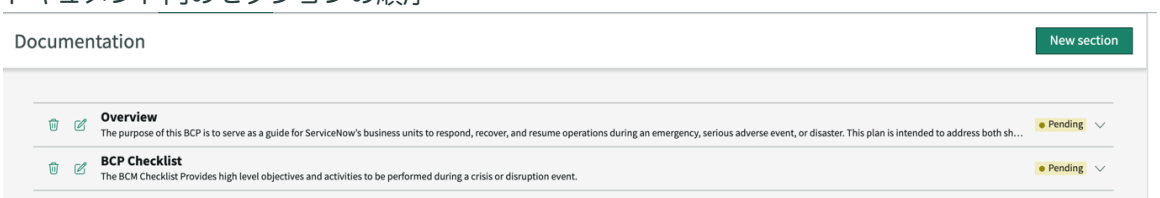
ドキュメントセクション



e. [更新] をクリックします。

プログラムマネージャー、計画者、ビューアー、または BCM 管理者が計画でそのテンプレートを使用するとき、ワークスペース内のセクションは並べ替えられた順序でのみ表示できます。

ドキュメント内のセクションの順序



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

復旧チームへのロールと責任のアサイン

個人とグループを特定して復旧チームにアサインし、危機の状況で行動するためのロールおよびロールの責任を認識するようにします。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

このタスクについて
事業継続性計画ワークスペースは、復旧チームを作成し、ユーザーのロールと責任を定義し、ユーザーとグループを復旧チームに適切にアサインし、チームに計画の実行を指示することで、計画を完了するための手順をガイドします。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン () をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 計画の [復旧チーム] タブをクリックします。
6. 復旧チームを作成してユーザーとグループをチームに割り当てるには、[新規] をクリックします。
   名前と説明を入力して復旧チームを作成するか、既存のチームを更新できます。それぞれのリストから 1 人以上のユーザーとグループを選択します。復旧チームの説明には、復旧チームにアサインされたユーザーとグループの責任も示されています。復旧チームを作成し、ユーザーとグループのアサインを後回しにすることもできます。
7. [送信] をクリックします。

損失シナリオを特定して事業継続性計画に合わせる

部門または事業部門の継続性計画または復旧計画を作成するときは、損失シナリオを特定して計画に合わせる必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager

このタスクについて
計画オーナーによる損失シナリオの特定は、突然の中断イベントに備え、通常どおりにビジネス機能を続行するのに役立ちます。

計画テンプレートを使用して計画を作成すると、計画テンプレートで識別された損失シナリオが作成した計画に自動的に関連付けられます。計画には、一連の基本的な損失シナリオが添付されています。その後、要件に応じて損失シナリオを計画に追加できます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン () をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 開いた計画の [損失シナリオ] タブをクリックします。
   このタブを使用して、予測可能なすべての中断シナリオに備えて計画し、そのような状況での応答と復旧を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [追加] をクリックして、損失シナリオを計画に追加します。
7. [損失シナリオを追加] モーダルフォームからシナリオ名を選択します。
8. [追加] をクリックします。

   損失シナリオは計画に関連付けられています。損失シナリオの計画テーブル [sn_bcp_plan_loss_scenario] には、計画と損失シナリオの関係が保存されます。
9. 関連資産の依存関係を計画の損失シナリオに追加するには、[名前] 列で損失シナリオレコードへのリンクをクリックします。
10. [関連資産の依存関係] 関連リストで [追加] をクリックして、依存アイテムを追加します。

    a. 基になる要素定義のすべてのレコードからアイテムをフィルタリングするには、[すべてのレコードから] ボタンをクリックします。
    損失シナリオがビジネスアプリケーションの損失である場合、影響を受けるすべてのアプリケーションがフィルタリングされ、一覧表示されます。

    b. [次へ] をクリックします。

    c. [アイテムを追加] ポップアップからアイテムを選択します。

    d. [追加] をクリックします。

    a. BIA に添付されている計画スコープに依存するアイテムをフィルタリングするには、[計画スコープに基づく] をクリックします。
    b. リストから計画スコープを選択します。
    c. [次へ] をクリックします。
    d. BIA に添付されている選択した計画スコープアイテムの依存関係を選択します。
    e. [追加] をクリックします。

重要な資産の依存関係に対する復旧戦略の確立

[損失シナリオ] タブを使用して、資産の依存関係を追加し、さまざまな損失シナリオに対処するための復旧戦略を特定します。特定された損失シナリオの復旧戦略を備えた計画は、存在するギャップに対処するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.program_manager または sn_bcm.planner

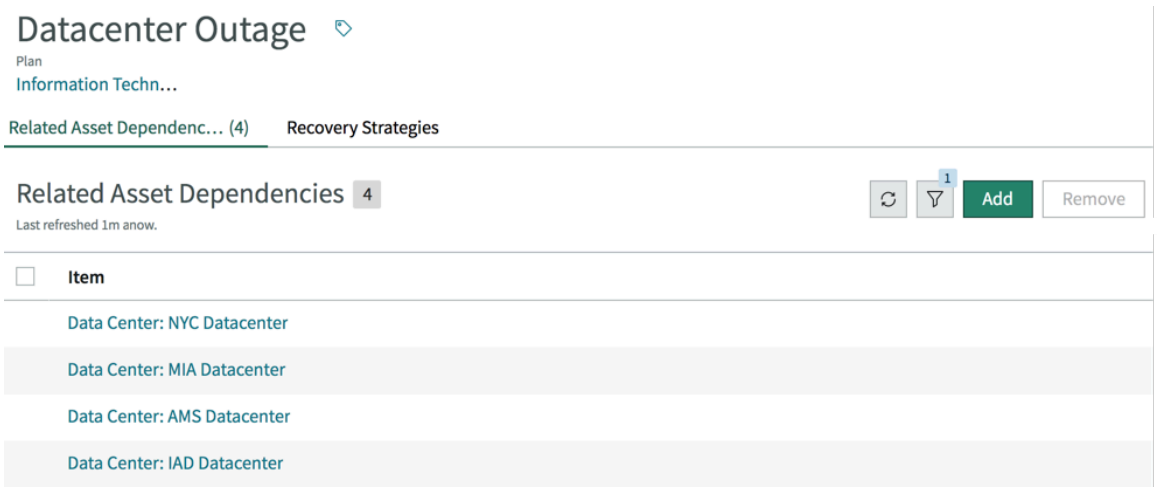
このタスクについて
プログラムマネージャーは、計画者が所有する計画のさまざまな損失シナリオに対する復旧戦略があるかどうかを確認できます。このようなアセスメントにより、これらのシナリオに備えることができます。

計画に関連付けられた損失シナリオの詳細を表示したときに、その計画に関連付けられている資産と、これらの各資産の復旧戦略を表示することもできます。たとえば、NYC データセンターは、カスタマーサポート計画のデータセンター機能停止損失シナリオの関連資産にすることができます。NYC データセンターを稼働させるための戦略を実装する時間を見積もることで、復旧戦略を作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連資産の戦略範囲



手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 計画の [損失シナリオ] タブをクリックします。
6. [名前] 列の損失シナリオレコードへのリンクをクリックします。
7. 影響を受け、損失シナリオの計画に依存する可能性がある関連資産を既存の資産のリストに追加するには、[関連資産の依存関係] タブをクリックします。
   詳細については、「損失シナリオを特定して事業継続性計画に合わせる」を参照してください。
8. 計画から資産を削除するには、アイテムを選択して [削除] をクリックします。

   注:
   計画に応じて資産を追加または削除できるのは、プログラムマネージャーまたは計画オーナーになっている場合のみです。

9. 戦略を確立して重要な資産を復旧するには、[復旧戦略] タブをクリックします。
   a. [新規] ボタンをクリックします。
   b. 復旧戦略の名前と説明を入力し、資産を復旧するための実装の詳細を決定します。
   c. [保存] をクリックします。
10. 計画の損失シナリオの復旧戦略に復旧タスクを追加するには、[復旧タスク] タブをクリックします。

    復旧タスクは復旧戦略レベルでも計画レベルでも作成できます。「復旧タスクの作成、更新、およびグループ化」を参照してください。

復旧タスクの作成、更新、およびグループ化

さまざまな災害状況からビジネスを復旧するためのタスクを計画内に作成します。復旧が必要な重要な資産を決定し、タスクを完了する必要がある時間を見積もることで、タスクに優先順位を付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

このタスクについて
オーナーを特定してタスクをグループにアサインし、復旧のプロセスと手順を実行します。タスクには、復旧するアイテムの詳細と完了する必要がある時間が指定されています。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン () をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 計画の [復旧タスク] タブをクリックします。
   [復旧タスク] タブには、編集可能なリスト内のすべてのデータが表示されます。データの各列を必要な方法でソート、グループ化、およびフィルタリングすることで、タスクに優先順位を付けることができます。
6. 復旧タスクを作成するには、[新規] をクリックします。

   a. フォームのフィールドに入力します。

[復旧タスクの作成] フォーム

フィールド	説明
タスク ID	各タスクにアサインされた番号。グリッド内の他のタスクに対するタスクの位置を示します。 特に印刷された PDF で、特定の順序でタスクを表示できます。
スコープ	タスクが復旧する資産。フィールドが空の場合、タスクは計画レベルで資産を復旧します。それ以外の場合は、復旧タスクスコープを復旧します。
復旧チーム	復旧タスクがアサインされているチーム。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
別の計画を参照	復旧タスクが個別のタスクではなく、独自のタスクセットを含む個別の計画を参照することを示すオプション。 チェックボックスがオフの場合、復旧タスクは演習時のタスク ID 順序に従って正常に実行されます。
プランを選択してください	[関連計画] タブのリストから計画します。タスクに参照された関連計画がある場合、参照された計画のタスクが実行されてから、続けてメイン計画内の残りの復旧タスクが順番に実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フィールドは、[別の計画を参照] チェックボックスが有効になっている場合にのみ表示されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
依存関係	タスクは資産と計画に依存し、循環依存関係は除外されます。
ドキュメント	計画の実行に関する詳細。
復旧戦略	計画で特定された資産を復旧する目標。
完了期限	復旧タスクを完了する必要がある時間。
構成アイテム	このタスクで復旧されるアイテムまたは資産。
説明	復旧タスクに関する簡単なメモ。

注:
復旧タスクは復旧戦略レベルでも計画レベルでも作成できます。

b. [作成] をクリックします。

復旧タスクグリッド

計画のために作成したすべての復旧タスクがグリッドに表示されます。復旧タスクテーブルのフィールドに基づいて復旧タスクをグループ化できます。グループ化は、必要に応じて復旧タスクをグループ化し、集中してタスクグループを管理するのに役立ちます。

注:
フィールド別にグループ化するには、計画を作成する前に、計画テンプレートの [グループ復旧タスク] オプションと [グループ] フィールドの値を選択して、BCM 管理者としてグループ基準値を設定する必要があります。

依存関係

依存関係列には、資産スコープレベルと計画レベルに一致する復旧タスクが表示されます。ただし、スコープレベルの場合は、スコープレベルに一致する復旧タスクと、スコープのないタスクも表示されます。

計画レベルの場合は、計画レベルでのみ一致する復旧タスクが表示されます。計画レベルの復旧タスクにはスコープがないことを考慮してください。

タスク間に循環依存関係がある場合、それらの復旧タスクは [依存関係] 列に表示されません。

タスクグループ

計画テンプレートの [グループ] フィールドに基づいてタスクをグループ化します。

7. セル内のデータを編集するには、セルをダブルクリックして再度クリックします。

8. グループ化とフィルターを適用するには、垂直の省略記号アイコンをクリックします。

ソート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

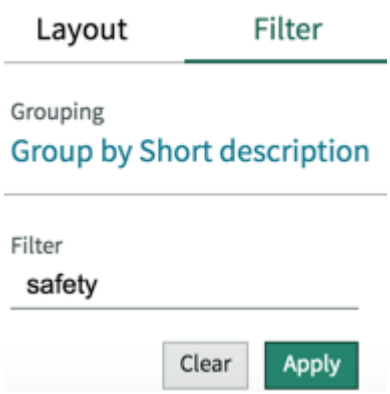
各列レベルでデータをソートできます。列ヘッダーを最初にクリックすると、列のデータが昇順でソートされます ( )。次にクリックすると、ソートが降順になります ( )。もう一度クリックすると、ソートが取り消されます。

フィルター

列フィルターを適用して、シンプルなテキストを含むデータをフィルタリングします。たとえば、安全性についての簡単な説明を使用してタスクをフィルタリングできます。

簡易番号フィルターを使用して、時間が重要なデータをフィルタリングします。たとえば、[完了期限] 列にフィルターを適用して、ビジネスの中断を 1 時間以内に完了する必要があるタスクをフィルタリングできます。

タスクのグループ化とフィルター



9. フィルターを削除するには、[クリア] ボタンをクリックします。
10. 1 つ以上の復旧タスクを削除するには、レコードを選択して [削除] ボタンをクリックします。

事業継続性計画の一般的な詳細の表示

計画の [詳細] タブを使用して、計画に使用されるテンプレート、そのタイプ、およびその他の詳細に関する一般的な情報を表示します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.admin、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.planner

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [計画] リストで [ドラフト] ステータスをクリックします。
4. [名前] 列の計画レコードへのリンクをクリックします。
5. 事業継続性計画 (BCP) の [詳細] タブをクリックします。
   このタブには、計画の詳細の概要が表示されます。必要に応じて情報を編集できます。
6. 計画の詳細を更新した後、[保存] をクリックします。
7. PDF を生成して BCP のコピーをローカルハードドライブにダウンロードするには、**[PDF** の生成] をクリックします。
   BCP PDF へのダウンロード可能なリンクを含むメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
計画が承認されると、PDF が生成され、計画に添付されます。

8. 計画を [承認済み] ステータスから [ドラフト] ステータスに移行するには、[編集] ボタンを選択します。
9. 計画のコピーを作成するには、[コピー] ボタンをクリックします。
BIA を編集する権限がある場合は、BIA をコピーすることもできます。BCM 計画者とプログラムマネージャーは、計画が [ドラフト]、[レビュー中]、および [戻り] ステータスの場合に、その計画とその関連テーブルレコードを削除できます。BCM 管理者は、そのステータスに関係なく計画を削除できます。

   a. [計画をコピー] ポップアップに新しい計画の名前を入力します。

   b. [確認] をクリックします。

   - コピー操作では、[計画をコピー] ポップアップに入力した名前で計画の正確なレプリカが作成されます。コピーされた計画が [ドラフト] ステータスに移行します。
   - このアクションでは、元の計画の計画資産、計画ドキュメントセクション、復旧チーム、損失シナリオ、関連する資産の依存関係と復旧戦略、および復旧タスクが、コピーされた計画にコピーされます。
   - コピーされた計画のドキュメントセクションは [処理待ち] ステータスです。必要に応じて各セクションを編集し、[完了] ステータスに移動します。
   - 依存関係は、計画がコピーされるときに入力されます。

ビジネス計画の承認ステータスフローの表示

複数の承認レベルでビジネス計画を指示するときに、承認プロセスの各レベルで送信された承認ステータス移行と承認者の詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager、sn_bcm.viewer

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
[ドラフト] および [レビュー中] ステータスを除く任意のステータスのビジネス計画の承認レコードを表示できます。
3. [名前] 列のビジネス計画レコードへのリンクをクリックします。
4. 計画の承認の詳細を表示するには、[承認] 関連リストをクリックします。
計画に対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、計画の [却下] または [承認] のいずれかを選択できます。
5. [名前] 列の承認レコードへのリンクをクリックします。
承認の名前、承認レベル、現在のステータス、およびユーザーやグループなどの承認者の詳細を表示できます。
6. 計画の承認履歴を表示するには、[詳細] タブをクリックします。

   a. [承認履歴] 関連リストをクリックします。
   承認者の詳細および作成日時とともに、完全な承認履歴を表示できます。

   複数レベルの計画承認のステータス移行：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

未要求

承認が各レベルの承認者にまだ送信されていない状態。

要求済み

承認はそのレベルの承認者に送信されています。それに応じて、後続のすべてのレベルの承認のステータスが [未要求] に変わります。

承認済み

1 人以上の承認者がそれぞれのレベルで計画を承認しました。それに応じて、次のレベルの承認のステータスが [要求済み] に移行します。

却下

1 人以上の承認者がその特定のレベルで計画を却下しました。それに応じて、後続のすべてのレベルの承認のステータスが [不要] に移行します。

不要

あるレベルの承認者が 計画を却下した場合、後続のすべての承認レベルのステータスが [不要] に移行します。

演習と危機管理のための構造化されたワークフロー

事業継続性とは、組織のリスクを軽減し、中断に対応して復旧する能力を向上させることを目的とした一連の継続的なアクティビティです。このように、復旧と演習の管理は、継続的なテストと継続性計画の改善に役立ち、危機が発生したときのビジネスの中断を最小限に抑えます。

復旧と演習の管理の目標は次のとおりです。

復旧管理の演習の計画

- 継続的なテストと継続性計画の改善を提供します。
- シミュレートされた危機イベントと実際の危機イベントにおける計画の有効性と使いやすさを向上させます。

Crisis Management

- 重要なビジネス機能やプロセスが組織全体で使用できなくなることを最小限に抑えます。
- 危機イベント発生時の財務、評判、法務、規制遵守への影響を最小限に抑えます。

演習イベントの開始

演習イベントを作成して、予定されている日に事業継続性および復旧計画をテストし、イベントタスクの完了を監視します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. ワークスペースの [アクション] セクションで [演習を開始する] リンクをクリックします。
3. モーダルフォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

演習作成フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	演習イベントの名前。
アサイン先	演習イベントを作成したユーザーの名前が自動的に入力されます。BCM プログラムマネージャーは、フィールドを更新できます。
訓練方法	イベントを実装するための方法。方法として、シミュレーション、 TableTop、チュートリアルを使用できます。 ○ シミュレーション：必要な機器、消耗品、および担当者を使用して実際の災害をシミュレートする環境。 ○ Tabletop：チームが部屋で計画を分析し、ギャップを探すことによって演習を実行します。 ○ チュートリアル：チームの各メンバーが、計画のコンポーネントを詳細に確認して、弱点を特定します。 ○ 機能：計画に含まれていないアドホックタスクを含めるオプション。
開始予定	演習イベントの開始予定日。
説明	演習イベントの詳細な説明。

4. [送信] をクリックします。
   演習イベントが作成され、[処理待ち] ステータスになります。

危機イベントの開始

訓練イベントとは異なり、危機イベントは突然発生します。ビジネスは、課題に直面した場合に備え、ビジネス上の損失を防ぐために重要なビジネス機能を迅速に復旧できる必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて
危機は事前の通知なしに突然発生するため、危機に対する計画が準備されていない可能性があります。しかしイベントを準備しておき、要件に応じて危機イベントにタスクを追加することはできます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [アクション] セクションで [危機イベントの開始 **(Start a Crisis Event)]** リンクをクリックします。
3. モーダルフォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[危機イベントを報告] フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	危機イベントの名前。
アサイン先	危機イベントを作成したユーザーの名前が自動的に入力されます。BCM プログラムマネージャーは、フィールドを更新できます。
説明	危機イベントの詳細説明。

4. [送信] をクリックします。
   危機イベントが作成され、[処理待ち] ステータスになります。

イベントの詳細の確認と演習イベントの開始

[詳細] タブでイベントの詳細を確認し、イベントを開始して事業継続性または復旧計画をテストし、イベントの完了を監視します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) をクリックします。
3. [演習] リストで [処理待ち] ステータスをクリックします。
4. [番号] 列のイベントレコードへのリンクをクリックします。
5. [詳細] タブで演習イベントの詳細を確認し、必要に応じて更新します。

演習イベントの詳細

フィールド	説明
イベント	
簡単な説明	イベントの簡単な説明
イベントタイプ	イベントタイプを自動的に入力します
ステータス	イベントの現在のステータス。
アサイン先	イベントを管理および完了するイベントコーディネーター。
説明	イベントの詳細な説明。
計画	
開始予定	イベントの開始予定日。
計画承認者	イベント演習の承認者。
結果承認者	計画の結果を承認するユーザー。
スコープ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
訓練方法	イベントを実装するための方法。以前に選択した演習方法を自動的に入力します。
目標	演習イベントで達成する目標。
具体的な目標	イベントの目標。
結果	
実際の開始日	演習の実開始日。
実際の終了日	演習が完了した日付。
締め切り	演習イベントがクローズした日付。 イベントがクローズ済みステータスに移行すると、このフィールドが表示されます。
結果	演習の結果。
結果サマリー	演習イベントのサマリー。
推奨される改善	演習イベントの改善方法に関する推奨事項。
アクティビティ	
作業メモ	演習イベントに関する追加情報。

注:
[処理待ち] ステータスでは [結果] セクションを表示できません。ただし、他のすべてのステータスではこのセクションを表示できます。

6. [保存] をクリックします。
イベントが [処理待ち] ステータスになります。
7. 詳細を更新した後に、演習の [イベントを開始] をクリックします。
演習を開始すると、[ステータス] フィールドが [対応中] ステータスに移行します。結果承認者は、演習が予定日に実施されなかった場合、演習の実際の開始日と終了日を更新できます。演習の成果または結果を更新します。結果は、成功、成功 (問題あり)、不成功のいずれかになります。今後の演習で使用できるように、結果のサマリーと推奨される改善を入力してください。
8. 演習イベントのイベントタスクのすべての有効化された計画が完了したら、[承認のため送信] ボタンをクリックします。

承認のために演習イベントを送信する前に、[実際の開始] および [実際の終了] の日付を入力する必要があります。[結果] セクションで詳細を更新します。変更を加えた後、承認のために送信する前にフォームを保存します。

承認待ち

[承認のため送信] をクリックすると、イベントが [承認待ち] ステータスに設定されます。このステータスでは、[作業メモ] フィールドのみを更新できます。

イベントに対して承認ルールが構成されている場合は、承認が生成されて承認者に送信されます。イベントに対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、イベントの [却下] または [承認] を選択できます。

[承認] 関連リストで、承認の名前、承認レベル、および承認のステータスなどの承認の詳細を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[承認履歴] 関連リストを選択すると、承認ステータス、承認者の名前、イベント番号、承認が要求された日付、およびコメント (ある場合) が表示されます。

> **注:**
> BCM プログラムマネージャーである場合は、[承認] および [却下] ボタンを表示できます。

戻り

イベントが却下されると、[戻り] ステータスに設定されます。[承認のため送信]、[完了してクローズ]、または [未完了でクローズ] のステータスに移行できます。これはイベントに関連しているため、説明、結果、作業メモなどのフォーム内の特定のセクションのみを更新できます。

イベントが [戻り] ステータスの場合は、イベント資産のステータスを編集できます。

[戻り] ステータスから先では、イベントタスクへのコメントと添付ファイルの追加のみを実行できます。

完了してクローズおよび未完了でクローズ

[イベントをクローズ] ボタンをクリックすると、イベントのステータスを [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に設定できます。

承認済み

イベントが承認されると、[承認済み] ステータスに設定されます。イベントのステータスを [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に設定できます。

9. PDF を生成するには、**[PDF** の生成] ボタンをクリックして PDF をダウンロードします。
演習イベントへの編集アクセス権がある場合は、イベントのコピーを PDF 形式でローカルハードドライブに保存できます。

> **注:**
> デフォルトでは、イベントがクローズされた後に PDF が生成されて添付されます。

危機イベントの管理

[詳細] タブで危機イベントの詳細を確認して更新します。ビジネスを中断させる危機が発生した場合に備えてイベントを準備します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [危機イベント] リストで [処理待ち] ステータスをクリックします。
4. [番号] 列のイベントレコードへのリンクをクリックします。
5. 危機イベントの詳細を確認し、必要に応じて更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

危機イベントの詳細

フィールド	説明
イベント	
簡単な説明	イベントの名前または説明。
イベントタイプ	イベントタイプを自動的に入力します
ステータス	イベントの現在のステータス。
アサイン先	危機を管理するイベントコーディネーター。
説明	イベントの詳細な説明。
追加情報	
実際の開始日	危機イベントの実開始日。
実際の終了日	危機イベントが終了した日付。
締め切り	イベントがクローズした日付。 イベントがクローズ済みステータスに移行すると、このフィールドが表示されます。
アクティビティ	
作業メモ	危機イベントに関する追加情報。
作成	
作業メモ (プライベート)	危機イベントに関する追加情報。

6. [参照] ボタンをクリックして、任意のドキュメントを添付ファイルとして追加します。
7. [保存] をクリックします。
   イベントが [処理待ち] ステータスになります。
8. 危機イベントを開始するには、[イベントを開始] ボタンをクリックします。
   イベントを開始すると、[対応中] ステータスに移行します。
9. 危機イベントのイベントタスクのすべての有効化された計画が完了したら、[承認のため送信] ボタンをクリックします。

   承認のためにイベントを送信する前に、[実際の終了] の日付を入力して、フォームを保存する必要があります。

   承認待ち

   [承認のため送信] をクリックすると、イベントが [承認待ち] ステータスに設定されます。このステータスでは、[作業メモ] フィールドのみを更新できます。

   イベントに対して承認ルールが構成されている場合は、承認が生成されて承認者に送信されます。イベントに対して要求されたステータスの承認レコードがない場合、イベントの [却下] または [承認] を選択できます。

   [承認] 関連リストで、承認の名前、承認レベル、および承認のステータスなどの承認の詳細を表示できます。

   [承認履歴] 関連リストを選択すると、承認ステータス、承認者の名前、イベント番号、承認が要求された日付、およびコメント (ある場合) が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> BCM プログラムマネージャーである場合は、[承認] および [却下] ボタンを表示できます。

戻り

イベントが却下されると、[戻り] ステータスに設定されます。[承認のため送信]、[完了してクローズ]、または [未完了でクローズ] のステータスに移行できます。これはイベントに関連しているため、説明、結果、作業メモなどのフォーム内の特定のセクションのみを更新できます。

イベントが [戻り] ステータスの場合は、イベント資産のステータスを編集できます。

[戻り] ステータスから先では、イベントタスクへのコメントと添付ファイルの追加のみを実行できます。

完了してクローズおよび未完了でクローズ

イベントが承認された場合、イベントをクローズするオプションだけが使用可能になります。[イベントをクローズ] ボタンをクリックすると、イベントのステータスを [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に設定できます。

承認済み

イベントが承認されると、[承認済み] ステータスに設定されます。イベントのステータスを [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に設定できます。

10. PDF を生成するには、**[PDF** の生成] ボタンをクリックして PDF をダウンロードします。危機イベントへの編集アクセス権がある場合は、イベントのコピーを PDF 形式でローカルハードドライブに保存できます。

> **注:**
> デフォルトでは、イベントがクローズされた後に PDF が生成されて添付されます。

自動翻訳

イベントの詳細を表示し、イベントタスクの完了を監視する

イベントの詳細を表示し、影響を受けるアイテムを追加してイベントを開始します。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. 事業継続性ワークスペースのホームページからアクティブな演習または危機イベントを更新するには、[自分の演習] セクションの [イベント] 列でイベントレコードへのリンクをクリックします。
3. ワークスペースのリストビューからイベントを更新するには、リストアイコン ( ) をクリックします。
4. レコードが演習イベントで処理待ちステータスの場合は、[演習] リストの [処理待ち] リンクをクリックします。
5. [番号] 列のイベントレコードへのリンクをクリックします。
6. [詳細] タブでイベントの詳細を確認します。

イベントのすべての詳細を表示および更新できます。ただし、イベントタイプは編集できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

危機管理者は、[詳細] タブで提供された情報を使用して危機イベントを報告できる必要があります。詳細については、「危機イベントの管理」を参照してください。

7. [影響度] タブをクリックして、影響を受けるアイテムを追加します。
影響を受けるアイテムと有効化された計画のリストをイベントに追加するには、「影響を受ける資産と計画のイベントへの追加」を参照してください。
8. [イベントタスク] タブをクリックします。
このタブは、すべての危機イベントに対して表示されますが、演習は機能タイプのイベントのみです。

   サイドパネルとして表示される [計画] セクションには、イベントに追加されたすべての有効化された計画が表示されます。

   計画が有効化されると、スコープが空のすべての復旧タスク、および有効化された計画の影響を受ける資産とスコープが一致するタスクが、その有効化された計画のイベントタスクとして追加されます。

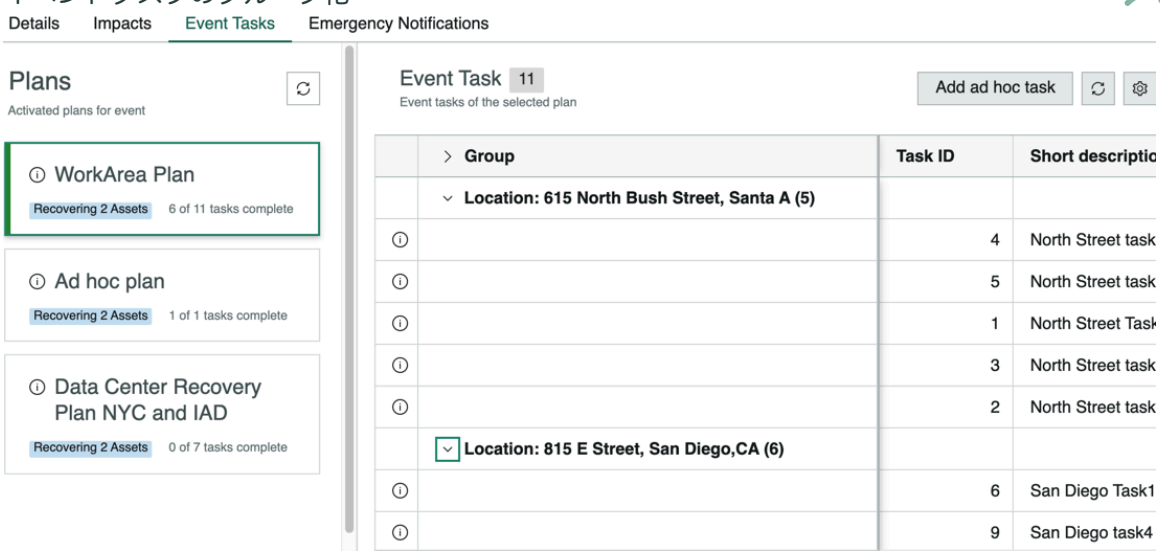
   有効化された各計画は、復旧中の資産の数と、その有効化された計画に対して完了したイベントタスクの数を示すインタラクティブカードです。有効化された計画をイベントタスクに追加すると、その計画のすべての復旧タスクがイベントタスクとしてイベントに追加されます。

   イベントの既存の計画に含まれていないイベントのタスクをアドホックタスクとして作成することもできます。

   a. 有効化された計画カードをクリックして、関連するイベントタスクを表示します。
   選択した有効化済みの計画カードが緑色でハイライト表示され、その計画のすべてのイベントタスクが右ペインのグリッドに表示されます。

      計画が事前にグループ化されている場合、イベントタスクも事前にグループ化されます。事前にグループ化されたイベントタスクを表示するには、グリッドの最初の列である [タスクグループ] 列を使用します。

イベントタスクのグループ化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 有効化された計画が関連資産を復旧するために別の計画を参照している場合、それらのすべての関連計画は、左ペインでメインの有効化された計画の下に [関連計画] として一覧表示されます。
>
> 復旧イベントの計画と実行の詳細については、「イベントの関連計画資産のデータフロー、計画、実行、および復旧」を参照してください。

b. イベントにアドホックタスクを追加するには、[アドホックタスクを追加] ボタンをクリックします。

[新規イベントタスクの作成 **(Create New Event Task)]** フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	イベントタスクについての簡単なメモ。
タスク ID	デフォルトは、計画の既存のイベントタスクの次の番号です。
アサイン先グループ	イベントタスクがアサインされているグループ。
アサイン先	アサイン先グループのユーザー。[アサイン先グループ] フィールドが空の場合は、任意のユーザーを選択します。
他の受託者リスト	追加のユーザー。
影響を受ける資産	イベントタスクに対して影響を受ける資産。
ステータス	デフォルトは [処理待ち] ステータスです。
依存関係	計画レベルからコピーされたタスクの場合、依存関係は計画復旧タスクからコピーされます。アドホックタスクの依存関係を追加することはできません。
説明	イベントタスクに関する情報。
アクティビティ	
作業メモ	内部で共有されるイベントタスクに関する情報。

c. [保存] をクリックします。

> **注:**
> [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスの有効化された計画に対してアドホックタスクを作成することはできません。

d. 既存のイベントタスクを更新するには、 グリッド内のタスクの ⓘ をクリックします。

e. イベントタスクの [実際の開始] と [実際の終了] の日付を更新します。

f. 必要に応じてアサインフィールドを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [アクティビティ] セクションの [作業メモ] フィールドにイベントタスクの関連情報を入力します。

h. [保存] をクリックします。

イベント資産を復旧するための実際の期間と合計工数の計算：

イベント資産を復旧するための実際の期間は、実際の終了 - イベント資産の実際の開始によって計算されます。

- イベント資産の実際の開始は、イベント資産に対して実行されたイベントタスク (つまり、イベント資産を影響を受ける資産として持つイベントタスク) の最小開始時間です。タスクのない有効化済み計画の最小開始時間。
- イベント資産の実際の終了は、イベント資産に対して実行されたイベントタスク (つまり、イベント資産を影響を受ける資産として持つイベントタスク) の最大終了時間です。タスクのない有効化された計画の最大終了時間。

イベント資産の合計工数は、イベント資産に対して実行されるすべてのイベントタスクにかかる実際の時間をロールアップすることによって計算されます。つまり、イベント資産を含むイベントタスク内の影響を受ける資産です。タスクのない資産に関連付けられ、有効化された計画すべての合計工数。

イベントタスクの実際の期間

実際の開始時間と実際の終了時間の時間差。

タスクを含み有効化された計画の実際の期間

有効化された計画の実際の開始時間と実際の終了時間の差。次のようになります。

- 有効化された計画の実際の開始は、その計画のイベントタスクの最小開始時間です。
- 有効化された計画の実際の終了は、その計画のイベントタスクの最大終了時間です。

タスクのない有効化された計画の実際の期間

有効化された計画の実際の開始時間と実際の終了時間の差。

タスクを含み有効化された計画の合計工数

計画に属するすべてのイベントタスクの実際の期間の合計。

タスクのない有効化された計画の合計工数

有効化された計画の実際の開始時間と実際の終了時間の差。

イベントタスクのステータス移行：

オープン

イベントが開始されると、依存復旧タスクを持たないそのイベントのイベントタスクが [オープン] ステータスに移行します。

処理待ち

他の復旧タスクに依存するイベントタスクは、イベントの開始時に [処理待ち] ステータスになります。依存タスクがクローズされると、親イベントタスクが [オープン] ステータスに移行します。

タスクをスキップ

このボタンは、BCM プログラムマネージャーとしてログインしている場合にのみ使用できます。[スキップ] ボタンは、タスクが [処理待ち] または [オープン] ステータスにあり、イベントが [対応中] ステータスである必要がある場合に表示されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。[タスクをスキップ] をクリックすると、タスクが [スキップしてクローズ] ステータスに移行します。このステータスでの実際の開始時間と終了時間は空白です。

トリガー

このボタンは、BCM プログラムマネージャーとしてログインしている場合にのみ使用できます。タスクは [処理待ち] ステータスです。[トリガー] をクリックすると、依存関係に関係なくタスクが [オープン] ステータスに移行します。

対応中

タスクは [オープン] ステータスです。[対応中] ボタンをクリックすると、タスクが [対応中] ステータスに移行します。このステータスの [実際の開始] フィールドで、タスクの実際の開始時間を更新できます。実際の開始を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の開始時間として記録されます。次に利用可能なオプションは、[完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスです。

完了してクローズ

タスクは完了してクローズされます。タスクの実際の終了時間が [実際の終了] フィールドに記録されます。実際の終了を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の終了時間として記録されます。

未完了でクローズ

タスクの実際の終了時間が [実際の終了] フィールドに記録されます。実際の終了を更新しない場合、現在の日付と時刻が実際の終了時間として記録されます。[作業メモ] フィールドで必要な情報を更新し、タスクを保存します。

影響を受ける資産と計画のイベントへの追加

継続性計画と復旧計画をイベントに関連付けてテストすることで、そのパフォーマンスを数値化します。計画の成功は、計画に添付されたイベントタスクの正常な完了によって測定できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager

このタスクについて

優れた事業継続性計画は、ビジネスインパクト分析と破壊的な状況に伴うリスクの慎重なアセスメントの結果です。ただし、計画はイベントでテストされた後にのみ実行可能になります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. 事業継続性ワークスペースのホームページからアクティブな演習または危機イベントを更新するには、[自分の演習] セクションの [イベント] 列でイベントレコードへのリンクをクリックします。
3. ワークスペースのリストビューからイベントを更新するには、リストアイコン ( ) をクリックします。
4. レコードが演習イベントで処理待ちステータスの場合は、[演習] リストの [処理待ち] リンクをクリックします。
5. [番号] 列のイベントレコードへのリンクをクリックします。
6. [影響度] タブをクリックして、影響を受けるアイテムのリストを表示します。
   資産、資産の復旧のための有効化された計画、およびイベント資産のアドホック計画を追加できます。
7. [影響度] タブをクリックして、影響を受けるアイテムのリストを表示します。

   影響グリッドに、影響を受ける資産と有効化された計画が表示されます。以下のことを行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 影響を受ける資産とその資産に関連する計画を追加する
- グリッド内のそれぞれの資産の下にある資産に関連する計画を表示する
- 計画の参照のないアドホック計画を追加する
- 情報アイコン (ⓘ) をクリックして、資産復旧と有効化された計画の詳細を表示する

復旧タスクエンティティの計算の背後にあるロジックについては、「イベント資産を復旧するための実際の期間と合計工数の計算」を参照してください。

影響を受ける資産が CMDB の依存関係に基づいて自動的に BIA に入力された CMDB CI データであり、これらの資産が計画でスコープ指定されている場合、資産の復旧時に関連資産と関連計画が、[影響度] タブで、影響を受ける資産および有効化された計画として演習イベントに自動的に取り込まれます。

復旧イベントの計画と実行の詳細については、「イベントの関連計画資産のデータフロー、計画、実行、および復旧」を参照してください。

8. [資産を追加] ボタンをクリックして、イベント内の資産を復旧します。

   a. [資産を追加] ポップアップで、影響を受けるアイテムタイプまたは復旧するプライマリ要素を選択します。

   b. [次へ] をクリックします。

   c. [資産を追加] ポップアップで影響を受けるアイテムまたは資産を選択します。

   d. [保存] をクリックします。
   グリッドの [簡単な説明] 列に資産が表示されます。これらの資産がイベントに追加されると、イベント資産になります。グリッドには、復旧されているかどうかを示す資産のステータス、および復旧にかかった実際の時間も表示されます。

9. [計画を追加] ボタンをクリックします。
   資産は、承認された計画の一部である場合もあれば、計画がない場合もあります。

   グループ化されたボタンを使用して、必要な数の計画をイベントに追加します。ただし、イベントに追加できるアドホック計画は 1 つだけです。イベントのアドホック計画が作成されると、[アドホック計画を追加] ボタンが表示されます。このアドホック計画は、資産を選択したときに [アドホック計画] ポップアップに表示されます。

   [アドホック計画を追加] ボタンは、イベントのアドホック計画を作成した後に表示されます。アドホック計画モーダルで選択した資産に同じものがマッピングされます。

   - 影響を受ける資産が含まれている計画を選択するには、[影響を受ける資産の計画を表示] を選択します。
     a. [影響を受ける資産を選択] フィールドで、影響を受ける資産を選択します。
     b. [次へ] をクリックします。
     c. [追加する計画を選択] ポップアップで、影響を受ける資産の計画を選択します。

        このアクションにより、有効化された計画がまだ存在しない場合は計画が作成され、影響を受ける資産が、有効化された計画に対する影響を受ける資産 [sn_recovery_impacted_asset_to_activated_plan] テーブルの有効化された計画にマッピングされます。
   - すべての計画を表示し、計画から資産を選択するには、[すべての計画を表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [次へ] をクリックします。

b. [追加する計画を選択] モーダルのリストから計画を選択します。

c. [次へ] をクリックします。

d. [選択した計画の資産を選択] モーダルから、選択した計画の影響を受ける資産を選択します。

このアクションにより、影響を受ける資産、有効化された計画が追加され、影響を受ける資産が、有効化された計画に対する影響を受ける資産 [sn_recovery_impacted_asset_to_activated_plan] テーブルの有効化された計画にマッピングされます。

計画は有効なイベントに対して有効化されているため、イベントが [処理中] ステータスになると、計画または資産を削除できません。

e. [確認] をクリックして、選択した計画の有効化を続行します。このメッセージは、[処理中] ステータスのイベントに対して表示されます。

注:
影響を受けるアイテムまたはイベント資産、有効化された計画、およびそれらのステータスがグリッドに表示されます。

10. [アドホック計画を追加] ボタンをクリックします。
イベントに資産を追加した後、[アドホック計画を追加] ボタンをクリックして、イベントの選択した資産のアドホック計画を追加できます。

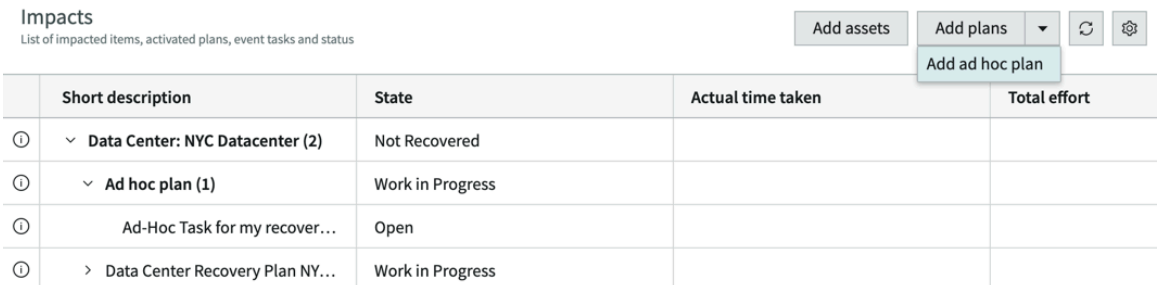
注:
このアクションにより、イベントにアドホック計画がまだ存在しない場合に計画が追加されます。アドホック計画がイベントに追加された後は、[アドホック計画を追加] ボタンをクリックするたびに、選択したすべての影響を受ける資産がこの既存のアドホック計画に追加されます。

アドホック計画はイベントに対して 1 件のみ作成できます。

- イベントが開始されるか [処理待ち] ステータスになるまでは、資産、有効化された計画、およびタスクであるイベントの影響度を削除できます。
- 演習または危機イベントが [対応中] ステータスの場合、関連する影響度は削除できません。
- イベントが [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスの場合、イベント資産、有効化された計画、またはイベントタスクを追加することはできません。

[簡単な説明] 列で選択した資産と計画をグリッドの階層に表示できます。

影響度グリッド



11. 影響度の詳細を更新するには、それぞれのレコードの ⓘ をクリックして、フォームビューでイベント資産と有効化された計画を起動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 有効化された計画の詳細を表示するには、影響度グリッドでそれぞれの計画レコードの ⓘ をクリックします。
有効化された計画番号、計画名、その簡単な説明、計画のステータス、優先度、および説明の詳細を表示できます。

b. 計画名の横にある [レコードを開く] リンクをクリックします。



このアクションにより、計画が別のタブで開き、その詳細を完全に表示できます。

影響を受ける資産の編集可能な詳細

影響を受ける資産の詳細では、資産が復旧されたかどうかを示すステータスと、資産の復旧の実際の所要時間のみを編集できます。残りの影響を受ける資産の詳細は表示専用です。

完全な化された計画の編集可能な詳細

計画のステータス、優先度、および説明を編集できます。ただし、完全な化された計画番号またはその簡単な説明は編集できません。

影響を受けるイベントタスクの編集可能な詳細

[アサイン先グループ]、[アサイン先]、および [追加担当者リスト] フィールドのみを編集できます。残りのフィールドは読み取り専用です。

12. [保存] をクリックします。

13. 更新アイコン ( ) をクリックして、資産または計画の更新されたステータスと、資産の復旧にかかった実際の時間を表示します。

イベントの関連する計画資産のデータフロー、計画立案、実行、および復旧

構成アイテムデータが Now Platform で利用可能な場合は、同じアイテムを使用してビジネスインパクト分析 (BIA) の依存関係を評価できます。その後、BIA の依存関係を計画およびイベントで使用できます。構成アイテム (CI) は、計画とイベントに手動で追加することもできます。

順次復旧される資産を含む新しい計画を追加することもできます。

自動データフローの利点は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CMDB に作成された構成アイテム (CI) データは BIA で再利用できます。BIA からの依存関係が計画とイベントで使用されます。
- 特に参照計画が、それぞれの資産を復旧するために他の部門またはチームの計画者によって管理される場合、メイン計画の残りのタスクを実行する前に、メイン計画のタスク内の関連する参照計画に分岐することができます。
- 実行のフローはタスク ID に従って順序付けされ、スキップされるイベントタスクはありません。

CMDB から BIA へ、および BIA から計画への自動データフロー

Now Platform のレコードが CMDB の構成アイテムとして作成されると、そのレコードとそのすべての関連アイテムを資産として利用して、BIA の依存関係を評価できるようになります。

CMDB

データは CI として作成され、レコードは CMDB に格納されます。CMDB では、この CI は、他の関連アイテムに依存する関係または使用される関係によって他のアイテムに関連付けられます。たとえば、データセンター NYC の場合は、SAP オンプレミスアプリケーションと他の Web サーバー、ビジネスプロセス、場所などに依存する可能性があります。

BIA

CMDB 依存関係に基づいて BIA を評価するとき、CMDB CI とその関連アイテムが BIA でのアセスメント用のアイテムとして自動的に利用可能になります。これらの依存関係を追加することができ、これらのアイテムのソースは CMDB として追跡されます。したがって、CMDB で作成されたデータは BIA で依存関係として使用できます。さらに、BIA で他の依存関係を手動で作成することもできます。たとえば、データセンター NYC とその依存 SAP オンプレミスアプリケーションは、BIA で依存関係として追加できます。さらに、Facility: New York などの依存関係を手動で追加することもできます。

プラン

計画段階で BIA 依存アイテムをスコープ指定し、スコープとして追加した場合、スコープ指定されたアイテムの依存関係は関連資産として使用できます。また、これらの資産の既存の計画は関連計画として利用できます。さらに、新しい計画を追加することもできます。たとえば、Data Center: NYC の計画が作成され、それに伴って、SAP オンプレミスアプリケーションや Facility: New York (BIA で作成) などの関連資産の関連計画も自動的に計画フェーズに移行します。BIA からのアイテムに加えて、新しい資産を計画に手動で追加することもできます。

計画の [復旧タスク] タブで、別の計画を参照し、関連する計画のリストから計画を選択することもできます。

訓練

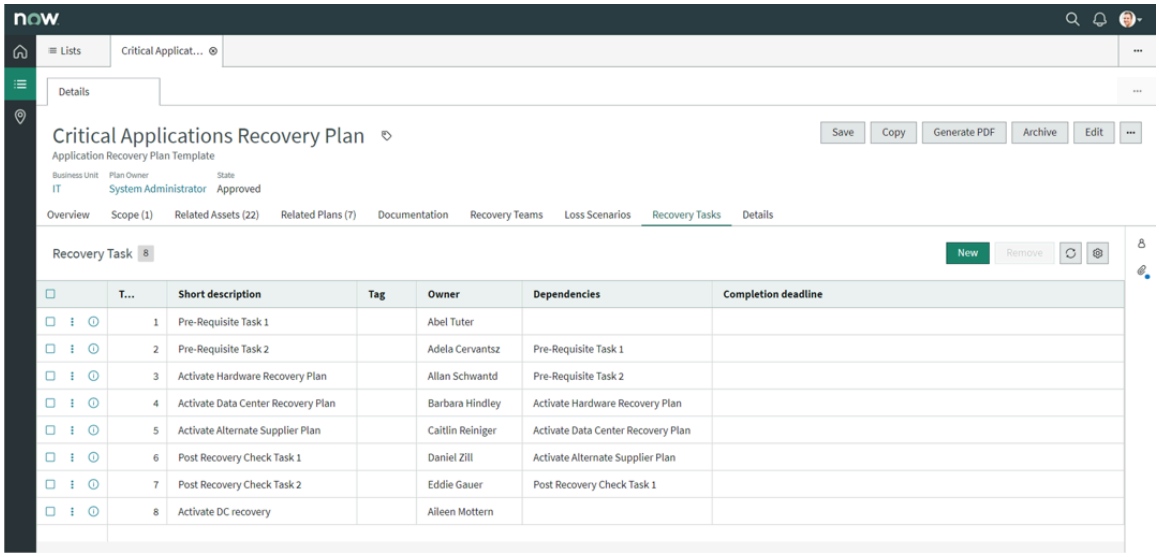
イベントでは、BIA の依存関係に基づいて、影響を受ける資産と有効化された計画が自動的に [影響度] タブに取り込まれます。演習と関連する影響のプライマリスコープに加えて、資産と計画を手動で追加することもできます。これらはすべて復旧のために演習に取り込まれます。

計画フェーズ

この計画フェーズでは、計画者は関連する資産を特定し、関連する計画を追加し、復旧を実行するための順序と依存関係を設定できます。

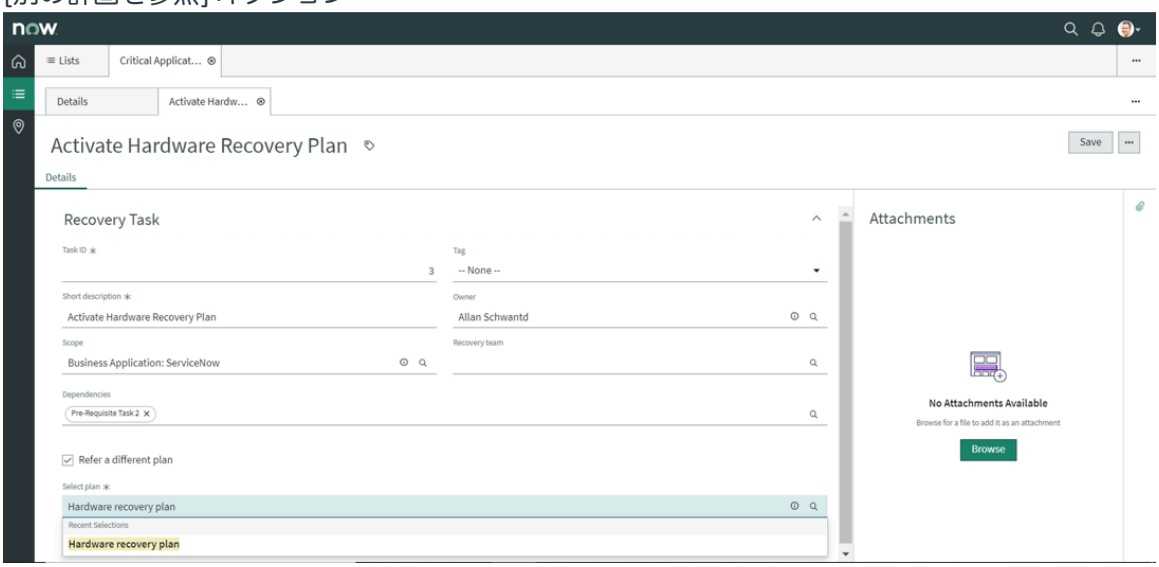
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連計画を有効化するための復旧タスク



データセンター B の資産を復旧する前にデータセンター A の資産を復旧する必要がある場合は、データセンター A の復旧プロセスに従う別の計画を参照できます。この場合、メイン計画の [復旧タスク] の [別の計画を参照] オプションを使用し、関連する計画を選択してデータセンター A を復旧します。参照されている計画には、この特定のタスクに関してアプリケーションが実行する独自のタスクセットがあります。メイン計画のイベントタスク内で参照された計画の実行順序を設定することもできます。

[別の計画を参照] オプション

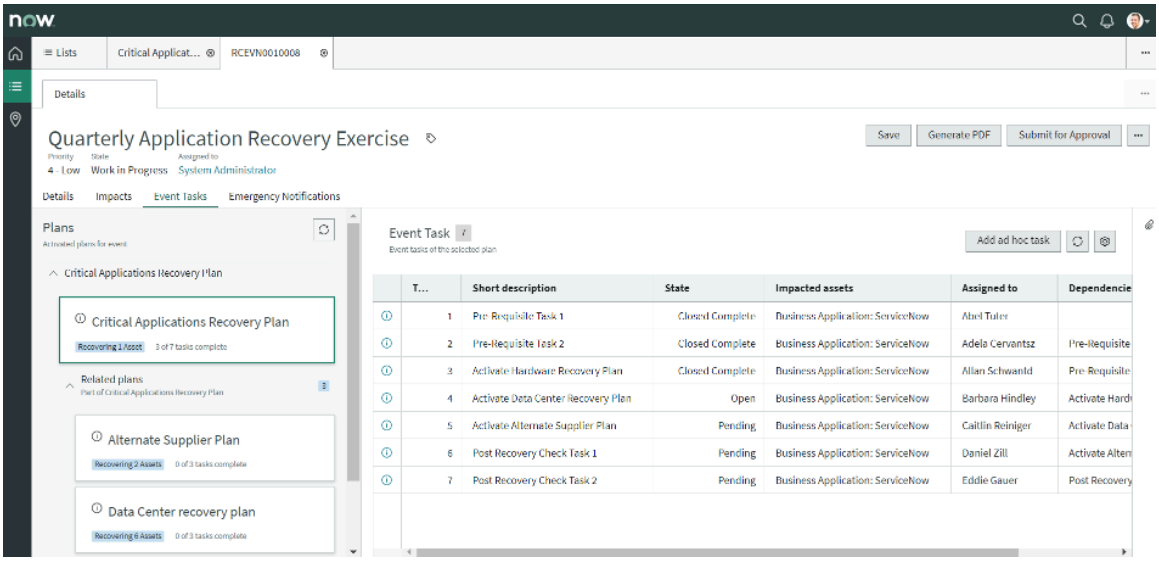


追跡および実行フェーズ

追跡および実行フェーズでは、イベント復旧中に関連する計画を有効化できます。演習の [影響] タブで影響を受ける資産を追加すると、すべての関連資産と関連計画が取り込まれます。同様に、計画を追加した場合、そのすべてのサブ計画も追加されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連計画の実行順序



[イベントタスク] タブに移動して、選択したメイン計画のイベントタスクの実行を追跡します。イベントの [イベントを開始] ボタンをクリックすると、タスクの実行がトリガーされます。左ペインの [プラン] セクションで有効化されたメイン計画を選択すると、選択した計画のすべてのイベントタスクを、イベントタスクとして右ペインに一覧表示することができます。左側の [計画] セクションで、メイン計画の下に [関連計画]があります。メイン計画のイベントタスクはタスク ID の順序で実行されますが、シーケンス内の特定のタスクに参照計画または関連計画がある場合、アプリケーションはその計画に分岐し、その計画にリストされているすべてのタスクを実行して、シーケンスを完了した後で、分岐した元のメイン計画に戻ってシーケンス内の残りのタスクを完了します。したがって、メイン計画の下に復旧タスクのメインリストがあり、その中に独自の復旧サブタスクのセットを含むサブ計画があります。アプリケーションは、参照された計画内のすべてのタスクを順番に実行してから、メイン計画の残りの復旧タスクを順番に実行します。

注:

プライマリメイン計画では、関連する参照計画がその中に存在する場合、アプリケーションは参照されたサブ計画のみを実行し、サブ計画に含まれる可能性がある他の関連計画は実行しません。サブ計画がある場合に限り、実行の階層は最初のレベルで停止します。

セルフサービスからの復旧タスクの表示

危機または演習 (機能タイプ) イベントから資産を復旧するために、自分または所属している復旧タスクチームにアサインされたタスクを表示します。BCM プログラムマネージャーからタスクがアサインされると、セルフサービスアプリケーションメニューからいつでもそれらのタスクを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_bcm.recovery_team_member

手順

1. 移動先 セルフサービス > 自分の復旧タスク.
2. 自分に、自分が属するアサイン先グループに、または自分が属する復旧チームにアサインされたイベントタスクのリストを表示します。
3. [イベントタイプ] 列をソートして、危機関連のタスクを一番上に表示します。
4. [イベントタスクタイプ] 列を表示して、計画されたイベントかアドホックイベントかを確認します。
5. 更新するイベントタスクのタスク **ID** へのリンクをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[実際の開始] と [実際の終了] の詳細を更新できます。

6. イベントタスクアクティビティにメモを追加するには、[アクティビティ] 関連リストをクリックし、[作業メモ] フィールドに情報を追加します。
7. タスクを処理中ステータスフィールドに更新するには、[対応中] ボタンをクリックします。
8. タスクをクローズするには、[完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ボタンをクリックします。
   詳細については、「イベントタスクのステータス移行」を参照してください。
9. 変更の後に [更新] をクリックします。

Crisis Management マップ

Crisis Management アプリケーションを Crisis Management マップと統合して、組織の事業運営を継続する上での潜在的な脅威に関するアラートを受信できます。

脅威フィードは、組織に危険をもたらし、ビジネスルーチンを停止させたり、ビジネスプロセスを無効にしたりする可能性のある潜在的な脅威または現在の脅威のデータインテリジェンス情報です。脅威フィードには次のものが含まれますが、これらに限定されません。

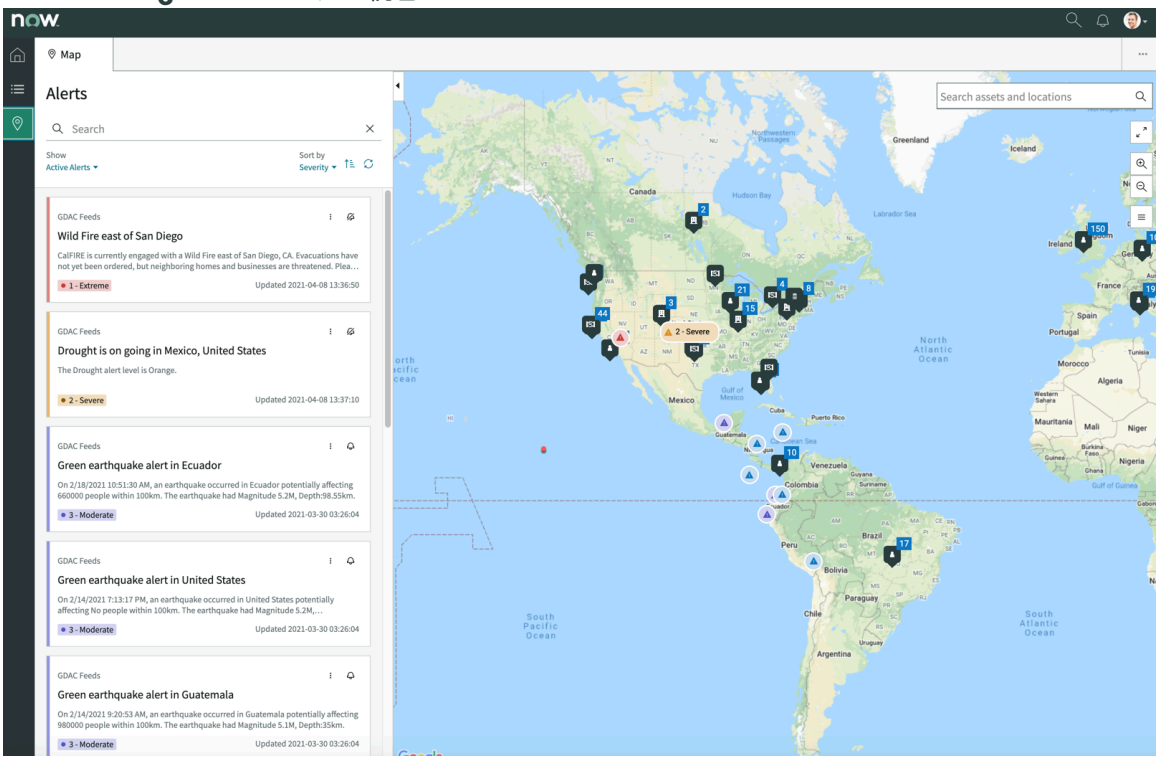
- 悪天気または竜巻
- 台風
- 地震
- 山火事または山火事警報
- 洪水
- 内乱または暴動
- 戦争または軍事衝突

BCM 管理者は、ベースシステムによって提供される脅威フィードの統合を有効または無効にすることができます。Crisis Management アプリケーションで追加の脅威フィードを設定することもできます。セットアップした統合と構成は、危機マネージャーに脅威のアラートを送信し、適切なアクションを適時に実行できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Crisis Management マップの統合



危機マップの設定

Crisis Management マップを資産の地理的な場所と統合する前に、危機マップにアクティブなアラートを表示するために行う必要がある特定の構成があります。

フィード、アラート、イベントについて

フィード

フィードは頻繁に更新されるニュースコンテンツで、世界中の Web サイトで提供されます。フィードフォームの **[Web]** フィールドにフィードチャネルの Web アドレスまたは URL を手動で入力することで、ニュースフィードに登録できます。

アラート

アラートは、特定の場所と時間に発生したインシデントを報告する通知です。まず、インシデントまたはイベントが発生したことが報告されます。次に、アラートにより、アクションを実行するために関係者にインシデントを報告または通知する通知がトリガーされます。

イベント

アラートの重大度に基づいて、発生したインシデントをステークホルダーに単純に通知するか、危機イベントを宣言するアクションを実行できます。事業運営を妨げるイベントは、危機イベントになる可能性があります。その場合、危機管理ワークフローを実行して、イベントの影響を受ける場所の事業継続性計画と災害復旧計画をアクティブ化することができます。

危機マップを統合するためのセットアップ手順

危機マップのビジュアル化で脅威とアラートのフィードを表示するには、次の構成手順が必要です。

- 危機マップで場所を検索するには、システムのプロパティ を設定します。
- 内部および外部から取得した脅威フィードのサブスクリプションを管理するには、スケジュール設定済みデータインポートを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 組織の資産またはリソースを危機マップにプロットするには、リソースを設定します。
- 危機マップでフィードをアラートとして表示する条件を指定するには、アラートルールを設定します。
- 最後に、危機マップダッシュボードから重大なアラートに対応するには、アラートアクションを設定します。

危機マップ内の場所の検索の設定

危機マップ上の検索場所を管理するシステムプロパティを設定します。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて
GRC: Crisis Map アプリケーションで危機マップ機能を有効にするには、Google マップを設定する必要があります。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

> **注:**
> 危機マップ機能を有効にする前に、Maps API を購入して設定 Google していることを確認してください。

手順

1. システムのプロパティテーブル [sys_properties] を開くには、アプリケーションナビゲーションフィルターの左ペインに「sys_properties.list」と入力します。
2. [名前] 列で sn_bcm_map.use_google_places_lib を検索します。
3. Google マップで場所を検索するには、sn_bcm_map.use_google_places_lib システムプロパティの [値] 列で値を **True** に設定します。

スケジュール設定されている機器マップのデータインポートの構成

スケジュール設定済みデータインポートを構成して、内部および外部ソースからの脅威フィードのサブスクリプションを管理します。

始める前に
必要なロール：システム管理者

危機マップ機能を有効にするには、Google マップを設定する必要があります。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

このタスクについて
脅威フィードは、組織のセキュリティに対する潜在的な脅威または現在の脅威に関する状況認識を提供します。脅威アラートには、天気アラート、パンデミックアラート、地政学的状況、またはセキュリティインシデントやシステム停止などの内部イベントが含まれます。

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > スケジュール済みインポート.
   ベースシステム内には、次の 2 つのスケジュール設定済みデータインポートが存在します。

名前	データソース
GDAC フィードソース	GDAC フィード
Weather.gov の重大なアラートのインポートスケジュール	Weather.gov アラート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. 新しいスケジュール設定済みデータインポートを追加するには、[新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[スケジュール設定済みデータインポート] フォーム

フィールド	説明
名前	インポートスケジュールの名前。通常、ソースは名前です。
データソース	インポートに使用される脅威およびアラートデータの内部または外部ソース。
実行方法	脅威アラートをインポートする権限を持つユーザー。
有効	アラートをアクティブとして有効にするためのオプション。
アプリケーション	Read-only フィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
実行	データがインポートされる頻度。
条件付き	脅威アラートのインポートに条件付きスクリプトが必要かどうかを示すオプション。
同時インポート	同時インポートを許可するオプション。
インポート前処理スクリプトの実行	インポート前処理スクリプトの実行を有効にするオプション。
インポート後処理スクリプトの実行	インポート後処理スクリプトの実行を有効にするオプション。

4. [送信] をクリックします。

危機マップのリソースの構成

組織の資産を危機マップにプロットするためのリソースを設定します。資産には、場所、従業員、データセンター、サプライヤーなどがあります。リソースの設定は、アラートルールを設定するための入力としても必要です。

始める前に

必要なロール：システム管理者

危機マップ機能を有効にするには、Google マップを設定します。詳細については、「Google Maps API の設定」を参照してください。

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > リソース構成.
2. 新しいスケジュール設定済みデータインポートを追加するには、[新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リソース構成] フォーム

フィールド	説明
名前	マップのビジュアル化で使用されるリソース構成の名前。
アイコン	マップ上のリソースアイテムを表す画像。
テーブル	マップ上にプロットするリソースのテーブル。
場所フィールド	マップ上の場所として使用されるテーブルの [場所] 列。
座標を使用	位置情報マップにリソースをプロットできるようにするためのオプション。
アプリケーション	Read-only フィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
有効	リソース構成がアクティブであることを示すオプション。
カテゴリ	値は BCM アプリケーションです。複数のアプリケーションがコンポーネントを使用する場合に、BCM 関連のリソースを識別するのに役立ちます。
検索可能	マップのビジュアル化でリソースが検索可能かどうかを示すオプション。
連絡先ユーザーフィールド	フォーカスされているリソースに関するコミュニケーションの連絡先。
連絡先エイリアス	識別のための連絡先。
表示フィールド	連絡先として表示するために選択されたフィールド。
条件	テーブルからのレコードをフィルタリングするための条件。

4. [送信] をクリックします。

危機マップにアラートを表示するアラートルールの設定

アラートルールを設定して、フィードをアラートとしてダッシュボードにポップアップ表示する条件を指定します。アラートが無効になる条件を指定して、ダッシュボードから消すこともできます。

始める前に

必要なロール：管理者

このタスクについて

ビジネスの中断を引き起こす可能性のある差し迫った危険、潜在的な損害、またはリスクを危機管理者に通知するアラートを設定します。資産の場所から境界内で発生する可能性があるイベントまたはフィードを通知するためのフィルター条件を設定します。

アラートルールの構成：アラートルールを評価するための簡単な条件を定義し、アラートを生成するフィードアイテムを決定します。これらのアラートは Crisis Management マップに表示されます。

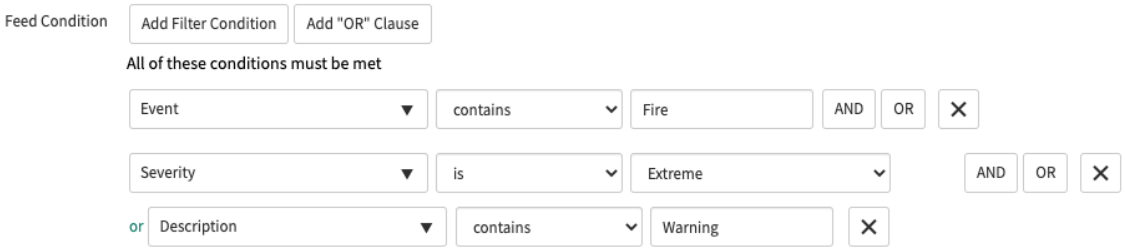
フィード条件フィルター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらのフィルター条件を使用して、フィードアラートのルールを設定します。フィルター条件を設定すると、登録したフィードリソースからの数千のフィードから、事業所にとって重要なアラートをフィルタリングできます。事業所には、企業のオフィス、従業員の場所、データセンター、サプライヤーなどがあります。

フィード条件



詳細条件スクリプトフィルター

詳細ルールオプションを使用して、条件スクリプトでフィルタールールを設定します。たとえば、資産の場所への危機の近接度に基づいて条件を設定できます。ルールをアクティブにすることもできます。

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > アラートルール.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[アラートルール] フォーム

フィールド	説明
名前	アラートルールの名前。
アクティブ	ルールをアクティブに設定するオプション。
アプリケーション	Read-only フィールド。このフィールドは、危機マップに関連するアイテムを区別するのに役立ちます。
順序	アラートルールの表示順序。デフォルトでは 100 です。
説明	アラートに関する詳細。
条件を作成	
リソースが影響を受けるかどうか	リソースが影響を受ける場合にアラートルールを有効にするオプション。
詳細	アラートルールの条件スクリプトを使用して詳細フィルタールールを有効にするためのオプション。
影響領域の最適化	マップエリアを最適化するかどうかを示すオプション。最適なパフォーマンスを得るには、このチェックボックスをオンにします。
フィード条件	設定されたルールに基づいてアラートをフィルタリングするための条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
詳細条件スクリプト	このフィールドは、[詳細] オプションが選択されている場合に表示されます。条件 (アクティブなアラートなど) に基づいてフィードをフィルタリングするスクリプトを入力します。
条件の却下	
フィードが削除されたとき	フィードが削除された場合に、ダッシュボードからアラートを消す必要があることを示すオプション。
リソースへの影響がなくなったとき	影響を受けるリソースがない場合に、ダッシュボードからアラートを消す必要があることを示すオプション。

4. [送信] をクリックします。

アラートアクションの設定

アラートアクションは、危機マップダッシュボードから実行できるフォローアップアクションです。

始める前に
必要なロール：システム管理者

手順

1. 移動先 脅威とアラートのデータフィード > 管理 > アラートアクション.
   ベースシステム内で使用できるアクションは次の 2 つです。

名前	説明
通知	影響半径内にいるステークホルダーと資産管理者にメール通知を送信するために使用されます。
危機を宣言	アラートと重要な資産の組み合わせを危機イベントとして宣言するために使用されます。

2. 新しいアラートアクションを追加するには、[新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[アラートアクション] フォーム

フィールド	説明
タイトル	アラートアクションのタイトル。
説明	アラートアクションの詳細な説明。
名前	危機マップダッシュボードのアクションの名前。
アクション名	アラートアクションの一意の名前。
1 回実行	ダッシュボードからのアクションの 1 回以上の実行を示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	実行するアクションのタイプ。タスク、スクリプト、またはフローを指定できます。
タスクタイプ	アクションに使用されるタスクタイプ。
アプリケーション	Read-only フィールド。このフィールドは、アクションの一般的なリストから危機管理に関連するアイテムをフィルタリングするためのフラグとして使用されます。
アクティブ	アラートアクションがアクティブであることを示すオプション。
順序	ダッシュボードでの表示順序。
自動的に実行	条件に基づいてアクションを自動的に実行できるようにするオプション。
ロール	タスクを正常に実行できるユーザーロール。
表示フィールド	アクションが実行された後に応答アクションに表示されるフィールド。
条件	アクションを実行する条件。
タスクスクリプト	ユーザーがダッシュボードのアクションのコントロールをクリックしたときに実行されるタスクスクリプト。

4. [送信] をクリックします。

危機マップインターフェイスでのアラートの表示と管理

事業継続性管理 は危機マップと統合され、資産の場所から脅威とその位置情報を特定する機能を提供します。

始める前に

これは、脅威をビジネス危機として特定するだけでなく、ステークホルダーに通知し、ビジネスを中断させる可能性がある場合は危機イベントとして宣言するためにも役立ちます。

注:
危機マップ機能の Business Crisis Management Map (sn-crisis-map) アプリケーションをアクティブにします。

必要なロール：BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

このタスクについて

危機マップを使用してフィードを管理し、重大度に基づいてアラートを優先順位付けし、イベントを作成します。その後で、危機管理ワークフローを実行して、イベントの影響を受ける場所の事業継続性計画と復旧計画をアクティブ化することができます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. マップアイコン ( ) をクリックします。

   アラートセクションはワークスペースの左側にあり、マップビューは右側にあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

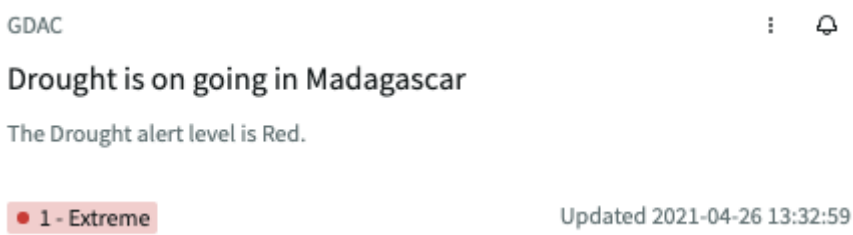
自動翻訳

アラートコントロール機能	説明
アラートを検索	リストからアラートを検索してフィルタリングするためのキーワード。
アクティブまたは却下されたアラートを選択	アクティブなアラートまたは却下されたアラートを選択するためのリスト。アラートが却下されると、非アクティブになります。
ソートする列を選択	重大度、作成日、または更新日に基づいてアラートを選択して表示するリスト。
ソート順の変更 ( )	昇順または降順のアラートのソート順。
アラートの更新 ( )	アラートリストを更新し、更新後にコンポーネントをマッピングするオプション。

脅威アラートは、重大度に基づいて、または設定したソート順で、リストビューに表示されます。アラートのリストでアラートをポイントすると、脅威の影響に関する追加の詳細を表示できます。

リスト内の各アラートレコードには、次の詳細が含まれています。

アラートリストのアラートレコード



タイトル
: アラートの名前。

説明
: アラートの影響に関する簡単なメモ。

重大度
: 脅威の影響度。極度、重大、中、マイナー、または不明のいずれかです。

更新の詳細
: アラートの最終更新日とタイムスタンプ。

3. アラートレコードをクリックして詳細ビューでアラートを開き、マップ上の対応する影響領域を表示します。
4. アラートのリストビューに戻るには、[戻る] ボタンをクリックします。
5. フォームビューでアラートの詳細を開くには、 アラートメニューアイコン ( ) で、[オープンアラート] をクリックします。
このアクションにより、別の [詳細] タブでレコードが開きます。
6. アラートリストに戻るには、[マップ] タブをクリックします。
7. アラートが従業員の場所、データセンター、コア会社、または事業所への脅威を現在示していない場合は、アラートメニューの [アラートを解除] オプションをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アラート内容が業務の妨げにならないことがわかっている場合は、リストビューとその詳細ビューでアラートを解除できます。リストビューでアラートを解除すると、リストから削除されます。詳細ビューからアラートを解除すると、そのアラートは削除されてリストビューに戻るので、リスト内の他のアラートを確認できます。どちらの場合も、アラートの解除に関する確認メッセージが表示されます。

8. アラート通知に登録するには、登録アイコン ( ) をクリックします。
   アラートまたはそのソースフィードアイテムが更新されるたびに、メールとワークスペース通知を受信します。

マップ上のアラートを動的にカスタマイズするためのコントロールの設定

危機マップ上の一連のコントロールを使用して、資産の場所にとって重要なアラートを表示します。

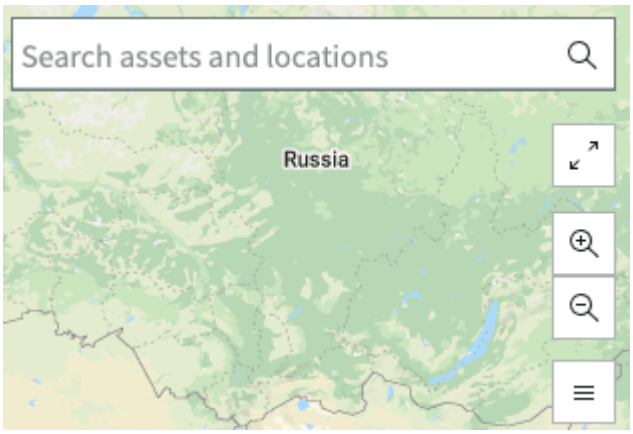
始める前に

必要なロール：BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

このタスクについて

危機マップをカスタマイズして、マップに表示するレイヤーを表示できます。コントロールを使用して、場所、従業員の場所、またはコア会社を表示します。

アラートの表示を制御するパネル



検索バーは、資産と場所を検索するのに役立ちます。一連のズームコントロールを使用すると、ズームインおよびズームアウトして、そのレイヤーに表示されている情報を含む領域に焦点を当てることができます。レイヤーは、マップ上の追加の詳細を取得するのに役立ちます。リセットボタンを使用してコントロールの設定をクリアします。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. マップアイコン ( ) をクリックします。

   アラートセクションはワークスペースの左側にあり、マップビューは右側にあります。
3. [資産と場所の検索 **(Search assets and locations)**] フィールドをクリックし、アラートの影響を受ける場所またはデータセンターを入力します。
   場所を検索すると、会社の結果のリストとレコードの表示値がそれらのアイコンとともに表示され、Google マップピンアイコンが表示されます。

   従業員の場所またはデータセンターがわからない場合は、レイヤーコントロールを使用します。
4. マップのズームレベルを変更し、特定の領域を表示するには、ズームコントロールボタン、ズームイン ( ) およびズームアウト ( ) を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 資産の場所、データセンター、コア会社などの資産を選択してマップ上に表示するには、レイヤーアイコン (≡) をクリックします。
6. すべての検索結果のマップをクリアするには、リセットアイコン (⤢) をクリックします。

リソースレイヤーのクラスタリングの表示

資産またはリソースをマップに表示します。

始める前に

必要なロール：BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

このタスクについて

資産、データセンター、コア会社など、マップに表示されるレイヤーは、ユーザーが構成したリソースです。これらの各レイヤーは、それぞれのリソーステーブルからデータをフェッチします。資産、データセンター、およびコア会社のリソースは、それぞれ場所、データセンター、および会社テーブルからデータを取得します。

互いに近くにある資産の場所はクラスター化され、資産の累積数が資産アイコンの横に表示されます。

手順

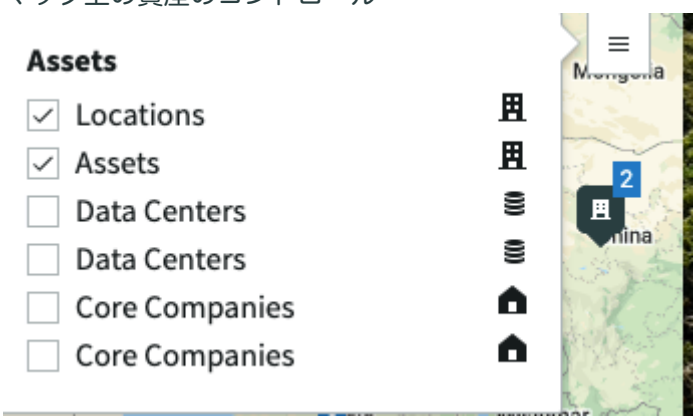
1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. マップアイコン () をクリックします。
3. レイヤーアイコン (≡) をクリックします。

   マップ上のレイヤーは、Google マップ上でピンとして表示され、構成可能です。資産の場所、資産、データセンター、コア会社などのすべてのレイヤーの詳細は、構成されたアイコンによってマップ上に表示されます。

   レイヤーコントロールを使用すると、選択した資産のみを表示することも、すべての資産を表示することもでき、マップ上でオンとオフを切り替えることができます。危機管理者は、アクティブなアラートを表示するときに、他の資産ではなく、その時点で重要になる可能性のある単一の資産に集中することで、情報に基づいた意思決定を行うことができます。

4. 選択したリソースまたは資産をマップに表示するには、その資産のチェックボックスをオンにします。

   マップ上の資産のコントロール

   選択した資産のアイコンがマップに表示されます。レイヤーアイコンは黒い境界線内に表示されますが、アラートアイコンは白い円内に表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. マップ上の資産アイコンをクリックすると、その詳細が表示されます。

   たとえば、横に番号またはカウントがないデータセンターアイコン ( ) をクリックすると、リソース構成テーブル [sn_fam_resource_config] で構成した表示情報を含むポップオーバーが表示されます。

   [リソース構成] フォームで、データセンターテーブル [cmdb_co_datacenter] の [電力] および [消費電力] フィールドを表示フィールドとして構成した場合、そのデータセンターの消費電力の詳細がその場所座標とともに表示されます。

6. 横に番号の付いた資産アイコンをクリックします。

   マップがズームインし、そのクラスター内のカウントと一致するすべての資産が表示されます。さらにクラスター内の各資産をクリックすると、任意の資産にドリルダウンして、ポップオーバーにその詳細を表示できます。

   一度に表示できるポップオーバーは 1 つだけです。別のノードをクリックすると、ポップオーバーが消えます。

7. マップ上の検索結果をクリアするには、リセットアイコン ( ) をクリックします。

影響を受ける領域内のリスクのある資産を表示

事業所の近くにあるアラートの脅威が原因で問題になっているリソースのリストを表示します。リソースを保護し、重大な損失を防ぐためのアクションを実行します。

始める前に

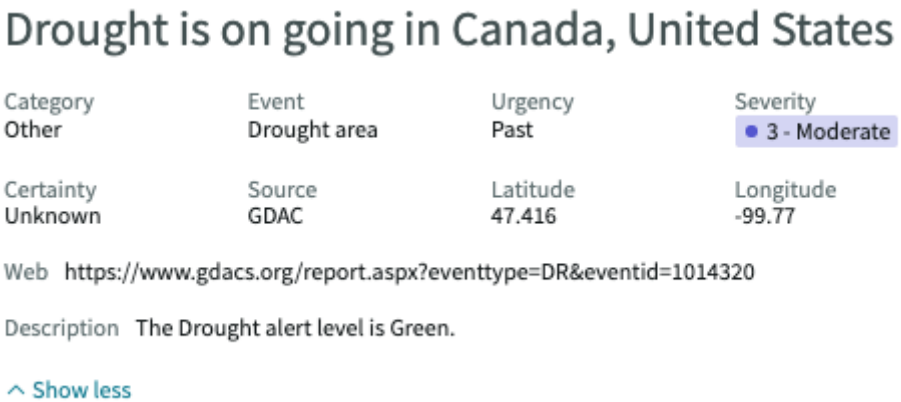
必要なロール：BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. マップアイコン ( ) をクリックします。
3. アラートレコードをクリックして、詳細ビューでアラートを開きます。

   フォームヘッダーには、アラートのさまざまな詳細が表示されます。

   リスクのある資産フォームのヘッダー

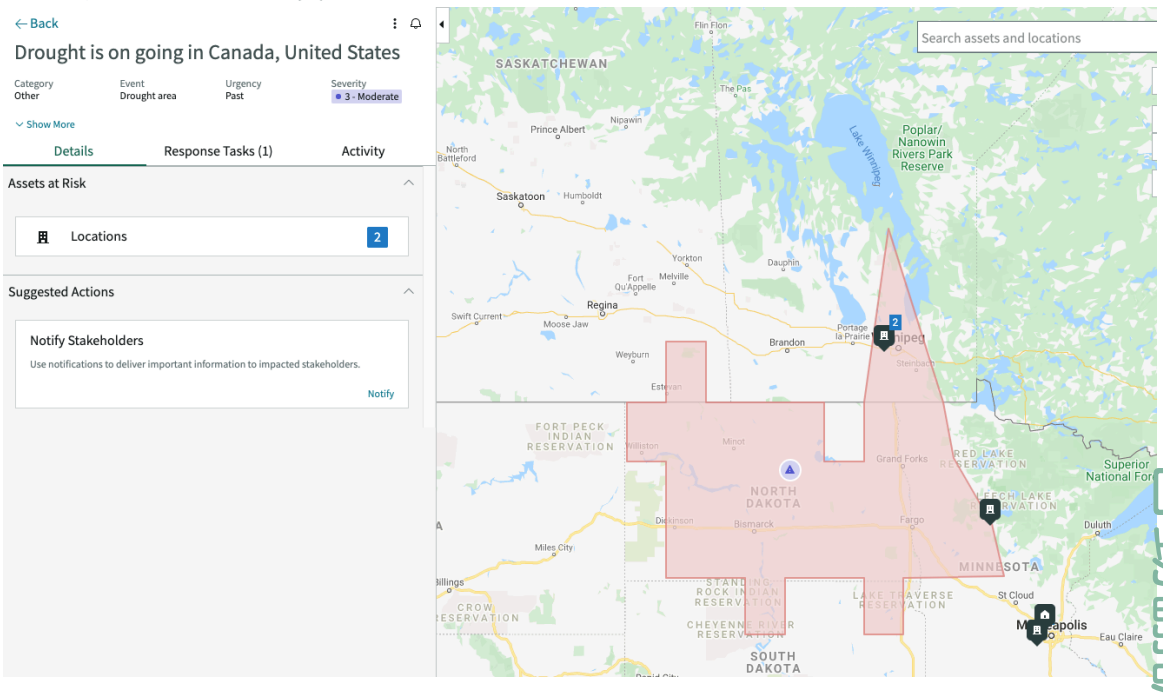
   - アラートのタイトル
   - アラートのカテゴリ
   - アラートがすぐに発生するか、将来発生するかを示すアラートの緊急度

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 損失の重大度
- 発生する可能性についての確実性
- アラートフィードのソース
- 影響を受ける領域の座標
- 受信したフィードアラートの提供元のソースまたは Web サイト
- その説明

マップ内のリスクのある資産



4. [リスクのある資産] セクションを展開すると、リスクのあるすべての資産が表示されます。[リスクのある資産] には、アラートの影響を受ける領域内にある場所、データセンター、およびコア会社が一覧表示されます。影響を受けるこれらの資産の数も表示されます。マップ上の影響を受ける領域を表示し、提案されたアクションを実行できます。

   マップ上のアラートの影響を受ける領域の境界は、薄紫色でマークされます。マップ上のこの影響を受ける領域内のリスクのある資産を表示できます。場所、データセンター、またはコア会社のいずれかがアラートの影響を受ける場合は、影響を受けるゾーンを編集して資産を含めることができます。

5. 影響を受ける領域を編集するには、アラートメニューアイコン (⋮) をクリックします。

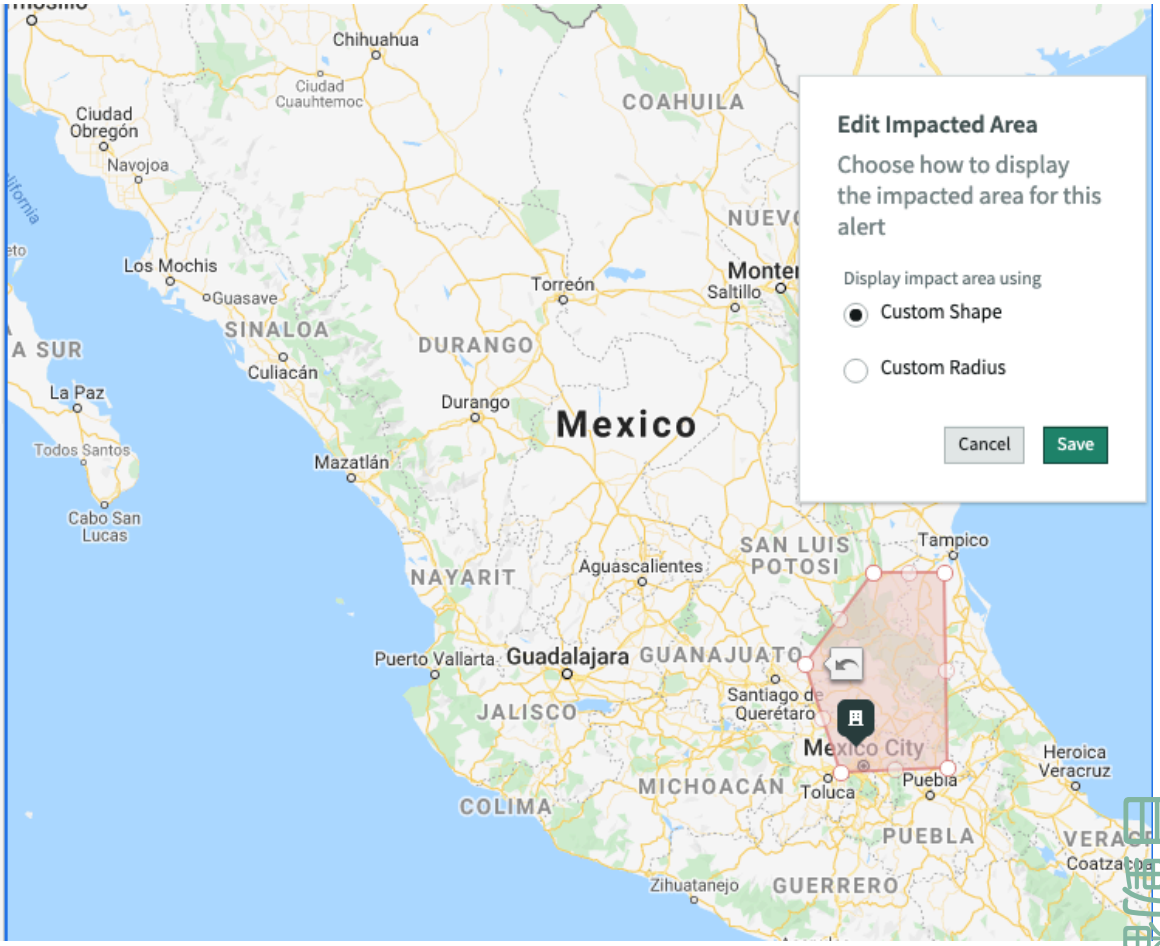
   a. [影響領域を編集] オプションをクリックします。

   b. マップ上に開いた [影響領域の編集] ポップオーバーで、影響を受ける領域の形状に応じて [カスタム形状] または [カスタム半径] を選択します。
      - カスタム形状：影響を受ける領域が多角形の場合は、[カスタム形状] を選択します。
      - カスタム半径：影響を受ける領域が円の場合。

   c. 資産の場所を含めるには、影響を受ける領域の境界上の点をドラッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響領域を編集



d. [保存] をクリックします。

6. いつでもアラートの詳細ビューを直接開くことができるように、アラートの URL を保存またはブックマークします。

7. [リスクのある資産] セクションで、場所やデータセンターなどの資産カードをクリックします。レコードのリストビューが新しいタブで開きます。

8. 資産の詳細を表示するには、[名前] 列でレコードへのリンクをクリックします。緯度と経度を含む資産の完全な詳細を表示できます。

ステークホルダーへの通知および **Crisis Management** 対応ワークフローの開始

ステークホルダーに通知し、組織全体の復旧チームの複数のワークフローを開始し、脅威に対応して必要なアクションを実行できるように支援します。

始める前に

必要なロール：BCM 管理者または BCM プログラムマネージャー

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.

2. マップアイコン ( ) をクリックします。

3. アラートレコードをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

危機管理者は、アラートとその重大度を表示しながら、適切なアクションを開始し、それぞれのステークホルダーが危機に対応して処理できるように Crisis Management ワークフローをトリガーできます。[提案されたアクション] セクションには、開始できるさまざまな応答が一覧表示されます。

ステークホルダーに通知

アラートが原因でリスクがある資産について重要なステークホルダーに通知します。

危機イベントを宣言

復旧チームで資産を復旧するための復旧タスクを有効にするイベントを開始します。

4. 差し迫った危機をステークホルダーにメールで通知するには、[ステークホルダーに通知] カードの [通知] ボタンをクリックします。
開いたモーダルウィンドウで 1 人以上の関係者を特定し、情報を伝達します。この 2 ステップのプロセスで対象者を特定し、メールを作成して対象者に送信します。

   a. [ステークホルダーに通知] ポップアップのリストから対象者を選択します。
   通知する必要があると思われる追加の対象者をリストから選択できます。

   b. [次へ] をクリックします。

   c. プロセスのステップ 2 で、アラートの詳細を確認し、[メール本文] フィールドで適切にメールのドラフトを作成します。

   d. [通知の送信] をクリックします。
   アクションが実行されたことを示すメッセージが表示されます。

5. 影響を受ける場所の事業継続性計画または災害復旧計画を有効にするには、[危機イベントを宣言] カードで [危機を宣言] をクリックします。

   a. 開いた [危機イベントを宣言] モーダルウィンドウに危機イベントの簡単な説明を入力します。

   b. [次へ] をクリックします。

   c. 脅威アラートの半径内にあるリスクのある資産を選択します。

   d. [危機イベントを開始] ボタンをクリックします。

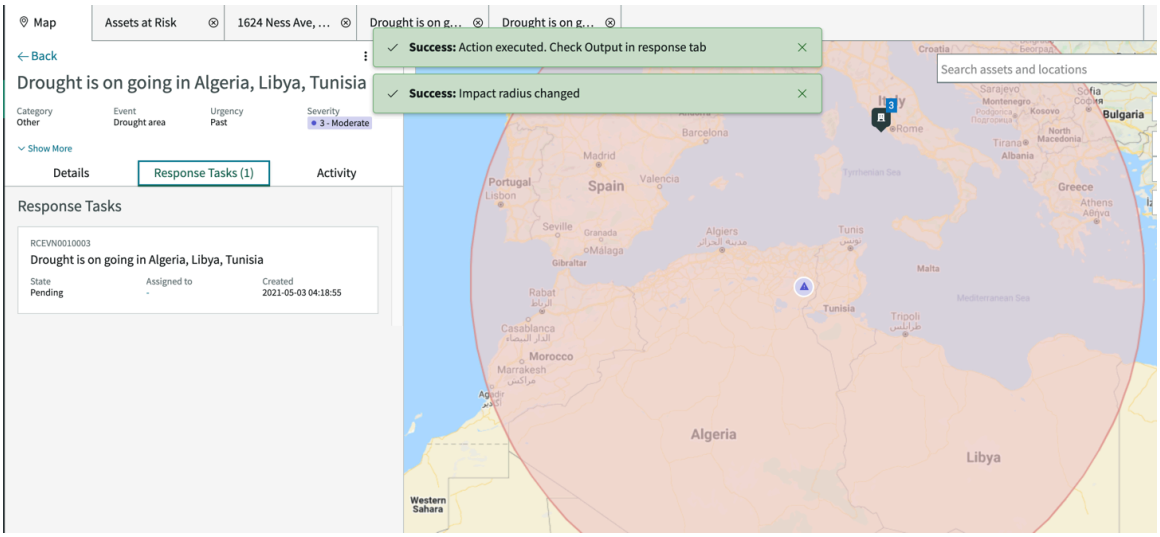
   これらのアクションをトリガーすると、アラート通知アクションと危機イベントの宣言をトリガーするための個別のスクリプトが実行されます。アクションが実行されたことを確認するメッセージが表示されます。[応答タスク] タブに移動して、アクションと復旧イベントの詳細を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクのあるすべての資産は、イベント [sn_recovery_event] に関連するイベント資産テーブル [sn_recovery_event_asset] にコピーされます。

危機イベントの宣言



次のタスク

1. 復旧イベントの場合は、[応答タスク] カードの任意の場所をクリックしてイベントの詳細に移動します。
2. イベントの [詳細] タブで、必要に応じて詳細を更新します。
3. [イベントを開始] ボタンをクリックします。その後、危機のイベントが有効になります。この復旧イベントの関連するすべての計画とそれに関連するタスクがアクションに設定されます。Crisis Management ワークフローが影響を受けた資産の復旧を開始します。詳細については、「危機イベントの管理」を参照してください。

   リスクのあるすべての資産は、イベント [sn_recovery_event] に関連するイベント資産テーブル [sn_recovery_event_asset] にコピーされます。

Crisis Management とエバーブリッジ通知システムとの統合

事業継続性管理 アプリケーション内の Crisis Management を、エバーブリッジ通知システムと統合できます。エバーブリッジシステムを使用すると、差し迫った緊急事態を警告する緊急通知を個人またはグループに送信できます。適切に確立された配信チャネルを通じて、一方向の通知と双方向のコミュニケーションを提供します。

事業継続性管理 アプリケーションの Crisis Management は、エバーブリッジを使用して特定の危機対応アクティビティを指示します。この統合は、重要なイベントに関する通知をステークホルダーに送信し、効果的な双方向配送チャネルでステークホルダーからの応答を調整するのに役立ちます。

通知を送信するには、正しい連絡先、グループ、および配送チャネルが必要です。配送チャネルはエバーブリッジで作成および保存されます。特定の組織 ID 用の配送チャネルをインポートする必要があります。これらの配送チャネルは、通知の送信と連絡先の作成に使用されます。

緊急通知の設定手順

緊急通知機能を設定するには、BCM 管理者として特定の前提条件データを設定する必要があります。設定手順は、Everbridge との一貫した接続と、エバーブリッジ側での正常な通知配信ワークフローの確立に役立ちます。

Crisis Management ワークスペースを使用して緊急通知を送信し、通知ワークフローを監視するには、さまざまなユーザー向けに次の構成を設定する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- エバーブリッジで接続を作成して資格情報を認証するには、「エバーブリッジでの接続の作成および資格情報の認証」を参照してください。
- エバーブリッジから連絡先の配信の詳細を取得し、それらを使用して通知を送信するには、「エバーブリッジからの配送チャネルのインポート」を参照してください。
- エバーブリッジから連絡先のタイプに関する詳細を取得するには、「エバーブリッジからのレコードタイプのインポート」を参照してください。
- 連絡先にメールまたは SMS を送信するように通知テンプレートを事前設定するには、「緊急通知のテンプレートの定義」を参照してください。
- 通知を送信するための連絡先を作成するには、「緊急通知の連絡先の作成」を参照してください。
- ユーザーテーブルから連絡先をフィルタリングするルールを設定するには、「連絡先インポートルールの作成」を参照してください。
- 連絡先のグループを作成するには、「通知連絡先グループの作成」を参照してください。

さまざまなセットアップ手順が統合にどのように接続されるかを示すフロー図は、次のとおりです。

緊急通知セットアップフロー



エバーブリッジでの接続の作成および資格情報の認証

最初のステップとして、エバーブリッジインスタンスとの接続を確立してログイン資格情報を認証し、配送チャネルを使用して通知を送信します。この接続は、通信の送信だけでなく受信にも役立ちます。

始める前に

必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 接続および資格情報エイリアス.
2. [新しい接続 & 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続名	接続の名前。「エバーブリッジ接続」と入力します。
接続 URL	エバーブリッジ API ベースアドレス。
組織 ID	エバーブリッジの組織 ID。 注: 組織 ID はエバーブリッジインスタンスから取得できます。
インシデントテンプレート ID	エバーブリッジインシデントテンプレートの一意の ID 注: ID はエバーブリッジインスタンスから取得できます。
資格情報名	エバーブリッジ資格情報の名前です。
ユーザー名	エバーブリッジの API ユーザーのユーザー名。
パスワード	接続を検証して確立するためのパスワード。

4. [作成] をクリックします。

エバーブリッジからの配送チャネルのインポート

エバーブリッジで接続と資格情報を設定した後に、エバーブリッジから配送チャネルをインポートする必要があります。これらの配送チャネルを使用すると、通知を簡単に送信できます。

始める前に
必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

このタスクについて
危機発生時には、ステークホルダーとの連絡を取る方法がなかなか見つけられないことがあります。試行している配信方法が使用できなくなっている可能性があるため、通知が到達しないかもしれません。連絡先や選択したグループに連絡するための配送チャネルをインポートすることで、通知サービスの確実性が向上し、管理しやすくなります。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 配送チャネル.
2. [インポート] をクリックします。
   すべての配送チャネルがエバーブリッジから正常にインポートされます。成功した場合は確認メッセージが表示されますが、それ以外の場合はエラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エバーブリッジからのレコードタイプのインポート

組織 ID のレコードタイプをエバーブリッジからインポートし、それを使用して連絡先を作成します。

始める前に
必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

このタスクについて
レコードタイプは、エバーブリッジに保存される情報であり、連絡先を作成するために必要です。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジ通知の構成 > レコードタイプ.
2. [インポート] をクリックします。
   カテゴリを持つ組織 ID のレコードタイプがエバーブリッジからインポートされます。インポートに成功した場合は確認メッセージが表示されますが、それ以外の場合はエラーメッセージが表示されます。

緊急通知のテンプレートの定義

緊急時にユーザーに迅速に通知を送信するために使用できるテンプレートを事前定義された情報を使用して作成します。

始める前に
必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

このタスクについて
たとえば、特に事業所や施設が攻撃されるといった特定の緊急事態に関して、メール情報の原案となるテンプレートを定義できます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの通知の構成 > 通知テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[通知テンプレート] フォーム

フィールド	説明
名前	通知テンプレートの名前。
説明	テンプレートの目的に関する簡単なメモ。
配送チャネル	通知の送信に使用する通信チャネル。
件名	通知のタイトル。
メッセージ本文	通知の導入テキストメッセージ。
脚注	通知のクロージングメッセージ。
SMS テキスト	SMS を介して送信されるメッセージ。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

緊急通知の連絡先の作成

ServiceNow ユーザーリストを使用して連絡先を手動で作成し、連絡先をエバーブリッジと同期して緊急通知を送信します。

始める前に

必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

このタスクについて

ユーザーリストから連絡先を作成した後、連絡先を更新してエバーブリッジと同期できます。

配送チャネルは、エバーブリッジから配送チャネルテーブルにインポートされます。インポートされた配送チャネルを使用して、連絡先の配信の詳細を手動で作成するか、システム管理者が簡単にインポートすることができます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 担当者.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[連絡先] フォーム

フィールド	説明
ソース	○ ユーザーリストから手動で連絡先を作成した場合は [手動] です。 ○ 同期ルールを使用して連絡先を作成した場合は [同期ルール] です。
前回の同期日	連絡先が最後にエバーブリッジと同期された日付が自動入力されます。
連絡先 ID	連絡先の一意の ID。
同期ステータス	連絡先の作成時のデフォルトは [新規] です。次のようなステータスもあります。 ○ 成功：連絡先がエバーブリッジと正常に同期された場合。 ○ エラー：同期中にエラーが発生した場合。 ○ 更新済み：連絡先または配信の詳細が変更された場合。
ユーザー	ユーザーテーブル [sys_user] からのユーザー参照。
外部連絡先 ID	エバーブリッジ内の連絡先 ID
同期エラー	連絡先とエバーブリッジの同期中にエラーが発生しました。

手動で作成した連絡先をユーザーテーブルから削除できます。ただし、連絡先は [新規] ステータスである必要があります。参照されているユーザーレコードが削除されると、毎週実行されるスケジュール設定済みジョブによって連絡先テーブルから連絡先が削除されます。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 作成した連絡先の配送の詳細を作成するには、[配送の詳細] 関連リストで [新規] をクリックします。

   a. インポートしたリストから配送チャネルを選択します。

   b. 値を入力します。
   配送チャネルがメールの場合は、メール ID を入力します。

   c. 通知を送信するために配送チャネルを優先順位付けする順序設定を入力します。

   d. [送信] をクリックします。

6. 同期ルールを使用して連絡先をインポートするには、最初に連絡先インポートルールを作成する必要があります。
7. 連絡先同期ルールに基づいて連絡先をインポートするには、[ユーザーをインポート] ボタンをクリックします。
   フォームページを更新して、インポートされたユーザーのリストを取得します。

   [ユーザーをインポート] アクションは、連絡先同期ルールに基づいてユーザーテーブル [sys_user] を読み取り、連絡先テーブルにレコードを作成します。

8. 連絡先のリストをエバーブリッジのリストと同期するには、[エバーブリッジと同期] ボタンをクリックします。
   連絡先がエバーブリッジと同期されると、同期アクションのステータスが [同期ステータス] フィールドに記録されます。エバーブリッジで正常に同期された連絡先の一意の ID は、連絡先テーブルに外部連絡先 **ID** として記録されます。

連絡先インポートルールの作成

ユーザーテーブルに適用する連絡先インポートルールを作成し、緊急通知用の連絡先としてユーザーを除外します。

始める前に
必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

このタスクについて
連絡先インポートルールは、デフォルトのテーブルであるユーザーテーブル [sys_user] に適用されます。ユーザーテーブルの sys_id である一意のユーザー参照と、エバーブリッジと同期される連絡先テーブルの一意の連絡先 ID がマッピングされます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 連絡先インポートルール.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[連絡先インポートルール] フォーム

フィールド	説明
名前	インポートルールの名前。
テーブル	デフォルトでユーザーテーブル [sys_user] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
フィルター条件	レコードをフィルタリングするためにユーザーテーブルに適用される条件。
レコードタイプ	レコードタイプのデフォルトカテゴリ。
ユーザーマッピング	ユーザーテーブルからの一意のユーザー参照。
連絡先 ID マッピング	エバーブリッジとの同期に使用される各連絡先の一意の ID。

4. [送信] をクリックします。

通知連絡先グループの作成

Now Platform のグループを使用して通知連絡先グループを作成します。グループメンバーを緊急通知の連絡先として使用します。グループメンバーを連絡先としてエバーブリッジと同期し、同期されていないメンバーを例外として追跡します。

始める前に

必要なロール：BCM admin (sn_bcm.admin)

手順

1. 移動先 事業継続性 > エバーブリッジの連絡先の構成 > 通知連絡先グループ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[通知連絡先グループ] フォーム

フィールド	説明
グループ	ユーザーグループテーブルへの参照。
同期ステータス	グループの作成時のデフォルトは [新規] です。 ○ 成功：連絡先グループがエバーブリッジと正常に同期されました。 ○ エラー：同期中にエラーが発生した場合。 ○ 更新：連絡先グループが変更された場合。
前回の同期日	グループが最後にエバーブリッジと同期された日付が自動入力されます。

4. [送信] をクリックします。
5. グループをエバーブリッジのグループと同期するには、[グループをエバーブリッジに同期] をクリックします。
   ページを更新して、グループの同期ステータスを取得します。

   グループがエバーブリッジと同期されなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。
6. エバーブリッジと同期されなかったグループメンバーの名前を表示するには、[グループユーザー例外] 関連リストをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example:
1 つのグループに 5 人のメンバーがいて、そのうちの 4 人が既にエバーブリッジと既に同期され、連絡先として存在しています。グループを同期すると、4 人の同期されたグループメンバーを含むグループがエバーブリッジに作成されます。ただし、同期されていない 1 人のメンバーは、例外としてログ記録され、同期に失敗した理由に関するメッセージが表示されます。

最初にこの特定の連絡先を同期してから、グループをエバーブリッジと同期させることができます。

緊急通知の作成とワークスペースでそのワークフローの監視

イベントワークスペースの [緊急通知] タブを使用して、演習方法が [機能] の危機イベントまたは演習イベントの通知を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_bcm.planner、sn_bcm.program_manager、または sn_bcm.admin

このタスクについて
エバーブリッジで [ドラフト] から [完了] ステータスへのアクティビティの完全なワークフローをトリガーするイベント通知をワークスペースから送信します。ここでは、すべてのアクティビティをワークスペースから監視できます。

ワークスペースから緊急通知を送信すると、アクションによってインシデントが作成され、エバーブリッジでのインシデントの通知が適切な連絡先とグループに送信されます。

手順

1. 移動先 事業継続性 > 事業継続性ワークスペース.
2. [リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [危機イベント] リストで [処理待ち] ステータスをクリックします。

   注:
   [訓練方法] が [機能] の場合は、演習イベントの緊急通知を作成できます。

4. [番号] 列のイベントレコードへのリンクをクリックします。
5. [緊急通知] 関連リストをクリックします。
6. [新規] をクリックします。
   新しい通知フォームが別のタブで開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しい通知の作成フォーム

フィールド	説明
簡単な説明	緊急通知のタイトル
テンプレート	メールの件名と連絡先の配送チャネルを含む事前設定されたテンプレート。
通知ステータス	ServiceNow ワークスペース内の通知のステータス。
通信ステータス	エバーブリッジの通知のステータス。
説明	通知の説明
連絡先とグループ	
連絡先	通知の送信先の個人。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	エバーブリッジと正常に同期された連絡先が一覧表示されます。
通知連絡先グループ	通知の送信先になる連絡先のグループ。 正常に同期された連絡先グループが一覧表示されます。
設定	
確認応答必須	連絡先からの受信した通知の確認応答が必要な場合のオプション。
配送チャネル	通知の送信に使用する通信チャネル。
メッセージの詳細	
件名	通知のタイトル。
メッセージ本文	通知の導入テキストメッセージ。 テンプレートが選択されている場合、メッセージの詳細がテンプレートから自動的に入力されます。
脚注	通知のクロージングメッセージ。
SMS テキスト	SMS を介して送信されるメッセージ。

作成する通知はドラフトステージです。

8. 通知を保存して後で送信するには、[保存] をクリックします。
9. ドラフトステージの通知を削除するには、[削除] をクリックします。
10. [送信] をクリックします。

    送信アクションは、エバーブリッジで通知を作成します。

    ワークスペースで危機イベントの通知を作成して送信すると、エバーブリッジで対応するインシデントが通知とともに作成されます。

11. 通知の送信でエラーが発生したかどうかを確認するには、ページを更新します。
    送信中にエラーが発生した場合、[通知ステータス] は [エラー] に移行します。
12. [通信ステータス] フィールドで、連絡先に送信された通知のステータスをエバーブリッジから取得するには、[応答ステータスを取得] ボタンをクリックします。
    [サマリー] セクションには、通知が送信された連絡先とグループのリストとそれらの応答が表示されます。また、通知が届かなかった連絡先の数、通知に確認応答した連絡先の数、および処理待ちの確認応答の数も表示されます。この情報はエバーブリッジから取得され、ワークスペースに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

連絡先に送信された通知の概要



送信先
: 通知の送信先となった連絡先の数。

到達不可能
: 通知が送信されなかった連絡先の数。

確認済み
: 通知の受信を確認した連絡先の数。

確認応答処理待ち
: 通知の受信を確認しなかった連絡先の数。

確認応答の遅れ
: 通知期間が経過した後に通知の受信を確認した連絡先の数。

通知を配信できなかった連絡先が多数存在する場合は、同じ危機イベントの別の通知を作成します。前回の通知は多くの連絡先に届かなかったため、今回はマネージャーのチームに送信できます。

承認のためにイベントを送信する前に、処理中のすべての通知をクローズする必要があります。

a. [ドラフト] または [エラー] ステータスの通知を削除するには、[番号] 列の緊急通知レコードへのリンクをクリックします。

> **注:**
> [送信を試行中]、[保留中]、または [完了] ステータスの通知を削除することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. その他のアクションアイコン ( ) で [削除] をクリックします。

> **注:**
> これでイベントがクローズされ、エバーブリッジの対応するインシデントもクローズされたため、このイベントの通知をこれ以上作成することはできません。

緊急通知のワークフローステータス

次の表は、エバーブリッジ側で緊急通知が進行するまざまなステータスを示しています。エバーブリッジ側から連絡先に正常に配信されるまで、ワークスペースで通知の配信を追跡し、そのステータスを監視できます。

緊急通知のステータスフロー

機器イベントについて作成した緊急通知が、エバーブリッジに送信されると、対応するインシデントが通知とともに作成されます。ワークスペース内のイベントの簡単な説明は、エバーブリッジで通知を含むインシデントとして作成されます。

通知ステータス

ServiceNow 事業継続性管理 ワークスペースから作成されて送信された緊急通知は、[通知ステータス] フィールドで追跡されます。

通信ステータス

エバーブリッジで受信された緊急通知と、それが配信されるまでに移動するさまざまなステージは、[通信ステータス] フィールドで追跡されます。

緊急通知ワークフローステータス

通知ステータス	通信ステータス
ドラフト：ドラフトはワークスペースに保存されます。	
送信を試行中：ワークスペースから通知が送信されています。	
エラー：エバーブリッジで通知を作成中にエラーが発生しました。	
処理中：通知がエバーブリッジで正常に作成されました。	アクティブ：通知が作成され、アクティブになっています。 インシデントとインシデントの通知が作成されます。通知は、エバーブリッジで設定された期間、アクティブなままになります。
	送信済み：設定された時間が経過すると、ステータスは [送信済み] に移行します。
完了：通知が送信されます。	
	停止：通知の送信が停止されています。

事業継続性管理 の参照

参照トピックには、事業継続性管理 アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティなどの追加の情報が記載されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

事業継続性管理 とともにインストールされるコンポーネント

事業継続性管理 アプリケーションのアクティブ化によって、数種類のコンポーネントがインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール	利用可能なスコープ
BCM 管理者 [sn_bcm.admin]	コアデータを含むすべてのテーブルに対する作成、読み取り、書き込み、および削除アクセス権。	• sn_bcm.program_manager • sn_bcm.core_manager • sn_bia.bia_admin • sn_bcp.plan_admin	Business Continuity Management – Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール	利用可能なスコープ
		• sn_grc_appr.admin 注: BCM 管理者には、Approver Configurator 管理者ロールは含まれていますが、Approver Configurator 開発者ロールは含まれていません。 セキュリティ上の理由から、Approver Configurator 管理者が持っているのは、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの読み取りアクセス権です。GRC: Approver Configurator アプリケーションでの Approver Configurator 開発者ロールを持っている場合は、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの作成および書き込みアクセス権があります。 GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。	
BCM プログラムマネージャー [sn_bcm.program_manager]	すべての BCM アプリケーションテーブルに対する作成、読み取り、書き込み、および削除アクセス権。	• sn_bcp.plan_manager • sn_bia.bia_manager • sn_recovery.event_manager • sn_bcm.core_viewer • workspace_user • service_viewer	Business Continuity Management – Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール	利用可能なスコープ
BCM 計画者 [sn_bcm.planner]	計画者が作成または所有するすべてのBCP、BIA、演習、および危機イベントに対する作成、読み取り、書き込み、および削除アクセス権。 注: BCM 計画者ロールがあり、演習の所有者でない場合、演習から資産を削除したり、演習から計画を削除したりすることはできませんが、資産または計画を追加することはできます。また、計画オーナーでない場合は、承認された計画を演習または危機イベントにのみ追加できます。	• sn_bia.bia_planner • sn_bia.bia_viewer • sn_bcp.plan_contributor • sn_recovery.event_user • sn_bcm.core_viewer • workspace_user • service_viewer	Business Continuity Management – Core
BCM 貢献者 [sn_bcm.contributor]	• すべてのBIA、演習、および危機イベントテーブルへの読み取りアクセス権。	• sn_bia.bia_contributor • service_viewer • sn_bcm.core_viewer	Business Continuity Management – Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール	利用可能なスコープ
	• 貢献者が貢献者リストに含まれている場合の BCP テーブルへの読み取りアクセス権。 • グループが処理待ちステータスの場合は、既存の依存関係を作成および削除します。 • RTO、RPO、および依存関係カテゴリステータスフィールド、RTO および RPO 編集可能フィールドの中断期間、および依存関係アセスメントの編集可能フィールドへの書き込みアクセス権。 • RTO、RPO、および依存関係アセスメントのステータスを更新します。		
BCM ビューアー [sn_bcm.viewer]	BCM アプリケーションのすべてのデータを表示します。	• sn_recovery.event_viewer • workspace_user • sn_bia.bia_viewer • sn_bcp.plan_viewer • service_viewer • sn_bcm.core_viewer	Business Continuity Management – Core
BCM 復旧チームメンバー [sn_bcm.recovery_team_member]	BCM プログラムマネージャーによってアサインされた危機イ	• sn_recovery.event_viewer • sn_bcp.plan_viewer	Business Continuity Management – Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール	利用可能なスコープ
	ベントと演習の復旧タスクのリストを表示します。	• sn_bcm.core_viewer • sn_recovery.event_member	
承認構成管理者 [sn_grc_appr.admin]	すべての承認者構成セットアップテーブルに対する作成、読み取り、書き込み、および削除アクセス権。	注: BCM アプリケーションで承認設定レコードを承認するには、BCM ロールが必要です。BCM ロールを持たないユーザーを承認設定レコードの承認プロセスに追加すると、アクセス不可能ステータスが原因でレコードにアクセスできなくなる可能性があります。	Business Continuity Management – Approver Configurator
承認者 [sn_grc_appr.approver]	すべての承認者テーブルに対する作成、読み取り、書き込み、および削除アクセス権。		Business Continuity Management – Approver Configurator

BCM Lite オペレーターのロール

BCM lite オペレーターロールの詳細については、「事業継続性管理 Lite オペレーター」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明	インストール対象のスコープ
BCM 選択 [sn_bcm_choice]	BCM 管理者が BCM アプリケーションの選択オプションを設定するために使用します。	Business Continuity Management – Core
ドキュメントセクション [sn_bcm_document]	計画のドキュメントのセクションを保存します。	Business Continuity Management – Core
要素定義 [sn_bcm_element_definition]	アクティビティ定義のすべてのデータを保存します。	Business Continuity Management – Core
要素変数 [sn_bcm_element_variable]	要素定義用に構成されたカスタム列を保存します。	Business Continuity Management – Core

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明	インストール対象のスコープ
グリッド構成 [sn_bcm_grid_configuration]	特定のグリッドの構成を保存します。たとえば、依存関係アセスメントグリッドです。グリッド構成には複数のグリッド列構成を含めることができます。	Business Continuity Management – Core
グリッド列構成 [sn_bcm_grid_column_configuration]	グリッド構成で表示する必要がある列のデータを保存します。	Business Continuity Management – Core
影響分析の質問 [sn_bcm_impact_analysis_question]	影響カテゴリの影響分析の質問を保存します。	Business Continuity Management – Core
影響度カテゴリ [sn_bcm_impact_category]	BIA の適用可能な期間と最大 RTO 値を保存します。	Business Continuity Management – Core
影響度評価 [sn_bcm_impact_rating]	影響カテゴリの影響度評価を保存します。	Business Continuity Management – Core
損失シナリオ [sn_bcm_loss_scenario]	損失シナリオで影響を受ける要素を保存します。	Business Continuity Management – Core
復旧階層 [sn_bcm_recovery_tier]	復旧階層レベルに適用される復旧期間を保存します。	Business Continuity Management – Core
復旧の解決までの期限 [sn_bcm_timeframe]	復旧期間が開始される期間を保存します。	Business Continuity Management – Core
復旧タスク [sn_bcp_recovery_task]	すべての事業継続性および復旧計画のアクティビティタスクを保存します。	Business Continuity Management – Planning
関連プラン [sn_bcp_plan_plan]	プライマリ計画の関連計画を BCP に保存します。	Business Continuity Management – Planning
計画ドキュメント [sn_bcp_document]	計画テンプレートの一部であるドキュメントセクションのコンテンツを保存します。	Business Continuity Management – Planning

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明	インストール対象のスコープ
プラン [sn_bcp_plan]	事業継続性および復旧計画のステータスを保存します。	Business Continuity Management – Planning
資産計画 [sn_bcp_plan_asset]	すべての計画の計画資産の RPO、RTO、RTA、および RTO ギャップを保存します。	Business Continuity Management – Planning
関連資産の依存関係 [sn_bcp_plan_asset_dependency]	資産を計画損失シナリオに依存する構成アイテムとして保存します。	Business Continuity Management – Planning
損失シナリオの計画 [sn_bcp_plan_loss_scenario]	計画と損失シナリオの関係を保存します。	Business Continuity Management – Planning
タスクの計画 [sn_bcp_plan_task]	計画タスクに対して識別された構成アイテムを保存します。	Business Continuity Management – Planning
復旧戦略 [sn_bcp_recovery_stratedy]	計画損失シナリオで特定された資産に関連付けられた復旧戦略を保存します。	Business Continuity Management – Planning
復旧チーム [sn_bcp_recovery_team]	計画の復旧チームにアサインされたユーザーとグループを保存します。	Business Continuity Management – Planning
計画テンプレート [sn_bcp_template]	各計画テンプレートに対して識別されたドキュメントセクション、要素定義、および損失シナリオを保存します。	Business Continuity Management – Planning
依存関係レポートのソース [sn_bia_dependency_report_source]	レポートで追跡される列を格納します。依存関係テーブルのアドホックレポートを作成するときに使用されます。	Business Continuity Management – Impact Analysis
影響分析 [sn_bia_analysis]	BIA に関連するすべてのデータを保存し、テンプレートを使用します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
影響度カテゴリ結果 [sn_bia_category_result]	すべての BIA の影響カテゴリの結果を保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明	インストール対象のスコープ
依存関係 [sn_bia_dependency]	依存関係グループとそのアイテムの詳細を保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
影響度依存関係グループ [sn_bia_dependency_group]	BIA に関連付けられた要素定義または依存関係グループを保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
結果 [sn_bia_result]	カテゴリ結果、中断期間、および影響度評価データを保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
BIA テンプレート [sn_bia_template]	ビジネスプロセスが依存する影響カテゴリと依存関係グループを保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
スコアの期限のマッピング [sn_bia_score_timeframe_mapping]	しきい値スコアと期間のマッピング結果を保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
有効化された計画 [sn_recovery_activated_plan]	演習または実際のイベントで有効化された復旧計画のリストを保存します。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management
イベント [sn_recovery_event]	イベントのステータスとオーナーの詳細を保存します。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management
イベント資産 [sn_recovery_event_asset]	資産名と資産が回収されたかどうかのステータスを実際のイベントまたは演習イベントで保存します。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management
イベントタスク [sn_recovery_event_task]	イベントタスクのステータスの詳細とアサイニーを保存します。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明	インストール対象のスコープ
有効化された計画に対する影響を受ける資産 [sn_recovery_impacted_asset_to_activated_plan]	影響を受ける資産を有効化された計画にマッピングします。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management
承認 [sn_recovery_approval]	イベントの承認の詳細を保存します。	Business Continuity Management – Recovery Exercise Management
承認構成 [sn_grc_appr_approval_configuration]	BIA、BCP、イベント、任意のテーブルなどのビジネスドキュメントに適用される承認構成情報を保存します。	Business Continuity Management – Approver Configurator
承認レベル [sn_grc_appr_approval_level]	ビジネスドキュメントの承認構成の承認レベル情報を保存します。	Business Continuity Management – Approver Configurator
承認ルール [sn_grc_appr_approval_rule]	ビジネスドキュメントに適用される承認ルールの情報を保存します。	Business Continuity Management – Approver Configurator
承認 [sn_grc_appr_approval]	各承認レベルの承認者の情報を保存します。	Business Continuity Management – Approver Configurator
承認 [sn_bia_approval]	各承認レベルの BIA 承認者の情報を保存します。	Business Continuity Management – Impact Analysis
承認 [sn_bcp_approval]	各承認レベルの BCP 承認者の情報を保存します。	Business Continuity Management – Planning

インストールされるプロパティ

事業継続性管理 アプリケーションとともにインストールされるプロパティについては、「事業継続性管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性管理 のスクリプトインクルード

事業継続性管理 アプリケーションをダウンロードすると、いくつかのスクリプトインクルードがインスタンスに追加されます。

Washington DC リリース用に更新されたスクリプトインクルード

Washington DC リリース用に更新されたスクリプトインクルード

スクリプトインクルード	説明
ActivePlanCandidateFilter	BCP アクティブプランフィルターで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BCPConstants	BCP 定数で使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BCPDataVisualizationUtilsBase	BCP データ可視化で使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BCPDependencySnapshotUpdateStrategyBase	計画の依存関係を更新するための API が含まれています。
BCPDocumentationRecordAPIBase	BCP ドキュメントレコード API ベースで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BCPDocumentationRecordAPI	BCP ドキュメントレコード API で使用されるユーティリティ機能が含まれています。☒
BCPRecordUI	BCP レコード UI ページで使用されるユーティリティ機能が含まれています。☒
BCPRecordUIBase	BCP レコード UI ベースで使用されるユーティリティ機能が含まれています。☒
BCPRecordAPI	BCP レコード API で使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BCPTemplateUtilsBase	BCP テンプレートユーティリティベースで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
BIADependencySnapshotUpdateStrategyBase	BIA の依存関係を更新するための API が含まれています。
DependencySnapshotUpdateStrategyBase	依存関係の更新アクションとスケジュール設定済みジョブの API が含まれています。
EventDependencyUpdateStrategyBase	イベントの依存関係を更新するための API が含まれています。
PlanRestAPIResourceUtil	BCP プラン REST API リソースユーティリティで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
PlanRestAPIResourceUtil	BCP プラン REST API リソースユーティリティで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
PopulateBIAForPlanAsset	計画と資産の BIA を入力するために使用されるユーティリティ機能が含まれています。
PlanCopyUtilBase	BCP プランコピーユーティリティベースで使用されるユーティリティ機能が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Washington DC リリース用に更新されたスクリプトインクルード (続く)

スクリプトインクルード	説明
PlanUtil	BCP プランユーティリティで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
PlanCommonUtils	プラン共通ユーティリティで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
RecoveryTasksUtil	BCP 復旧タスクユーティリティで使用されるユーティリティ機能が含まれています。

データリレーションシップフレームワーク

アプリケーション (sn_grc_rel_config) はデータリレーションシップフレームワーク、BIA、BCPなどのCMDBさまざまなソースから BIA、計画、BCMおよびイベントの依存関係をフェッチするために、基礎となるフレームワークを使用してアプリケーションをサポートします。リリース以降 Washington DC 、 データリレーションシップフレームワーク (sn_grc_rel_config) アプリケーションはアプリケーションとともに BCM デフォルトでインストールされます。

依存関係を取得するためのフレームワーク

(sn_grc_rel_config) には データリレーションシップフレームワーク 、メインオブジェクトタイプを他のオブジェクトタイプに関連付ける方法の設定が格納されます。これにより、ユーザーは依存関係の更新のソース (メインノード) を構成し、子ノードとの関係を構成し、選択したオブジェクトの依存関係をフェッチできます。

スケジュール設定済みジョブは、オブジェクト構成データを定期的にスキャンし、依存関係が更新されているかどうかをチェックします。依存関係に変更が見られる場合、スケジュール設定済みジョブは、BIA、BCP、または CMDB.

データリレーションシップフレームワーク のメリット

アプリケーション データリレーションシップフレームワーク ユーザーには次のメリット BCM があります。

- さまざまなソースから依存関係をフェッチするための単一の API を提供します。
- メインノード (ソース) の構成をサポートし、資産やリスクなどの子ノードとの関係を維持します。
- ユーザーがさまざまなソースを選択してパフォーマンスを制御できるようにします。

に関連付けられたロール データリレーションシップフレームワーク

アプリケーションには、次のロールが関連付けられています データリレーションシップフレームワーク 。

に関連付けられたロール データリレーションシップフレームワーク

ロール	説明
データリレーションシップフレームワーク 管理者 [sn_grc_rel_config.admin]	メインノードと子ノードの関係など、オブジェクトタイプの関係を構成します。
データリレーションシップフレームワーク リーダー [sn_grc_rel_config.reader]	で データリレーションシップフレームワーク定義されているオブジェクト タイプのデータを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に関連付けられたロール データリレーションシップフレームワーク (続く)

ロール	説明
	注: すべての BCM アプリケーションユーザーには、リーダーロールがあります データリレーションシップフレームワーク 。

フレームワークのテーブル

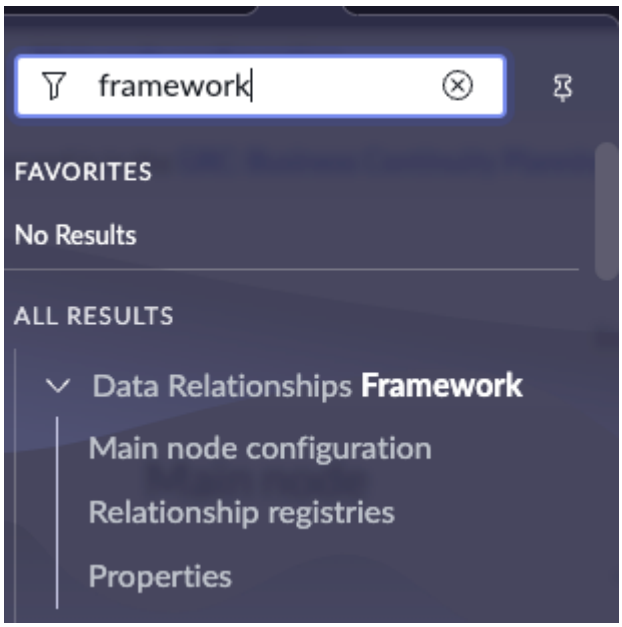
をサポートする データリレーションシップフレームワークために、次の新しいテーブルが追加され、既存のテーブルが改訂されました。

使用されるテーブル データリレーションシップフレームワーク

新規および既存のテーブル	テーブル	説明
新しいテーブル	メインノード構成 [sn_grc_rel_config_main_node_config]	依存関係のフェッチ元であるメインノードの構成を保存するテーブル。
新しいテーブル	ノード関係構成 [sn_grc_rel_config_node_rel_config]	メインノードと子ノードの依存関係を決定する構成を保存するテーブル。また、メインノード構成への参照も保持します。
既存のテーブル	関係のレジストリ [sn_data_registry_relationship]	オブジェクトと他のオブジェクトの関係を決定するテーブル。

関係を構成するためのモジュール

アプリケーション BCM ユーザーは、アプリケーションナビゲーターで データ関係フレームワークに移動し、そのモジュールにアクセスして関係を構成できます。

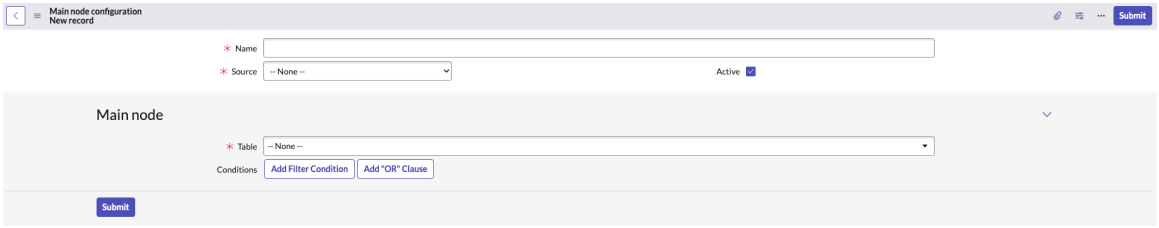


アプリケーションは データリレーションシップフレームワーク 、次のモジュールで構成されています。

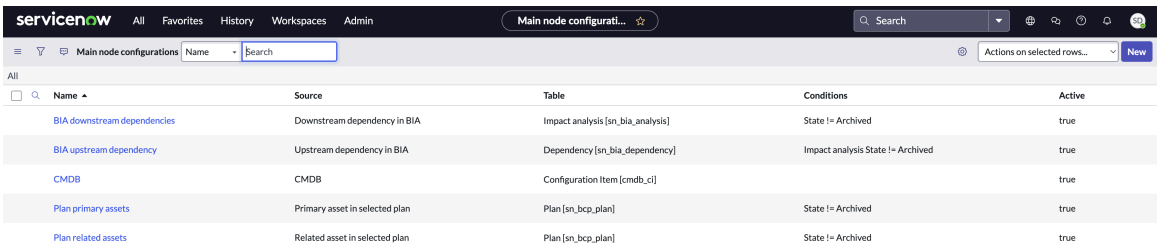
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. メインノード構成:次の例に示すように、名前、ソース、テーブル名、ファイラー条件などのメインノードの詳細を設定します。



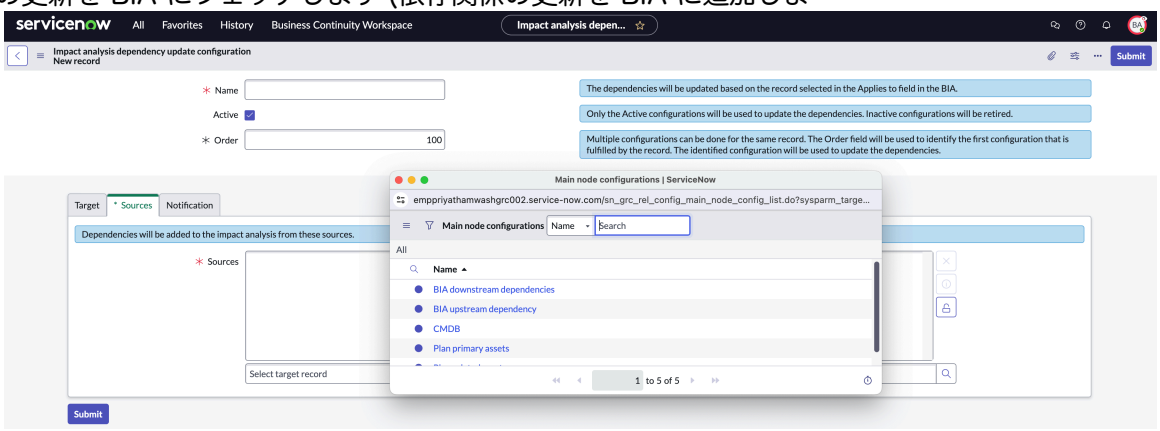
次の例に示すように、次のメインノード構成がベースシステムのソースとして提供されます。



- BIA アップストリーム依存関係
- BIA ダウンストリーム依存関係
- CMDB
- プライマリ資産の計画
- 関連資産の計画

BCM管理者は、メインノード構成を使用して、次のタスクを実行します。

- 影響分析依存関係更新構成モジュールを構成し、これらのソースから依存関係の更新を BIA にフェッチします (依存関係の更新を BIA に追加します)。

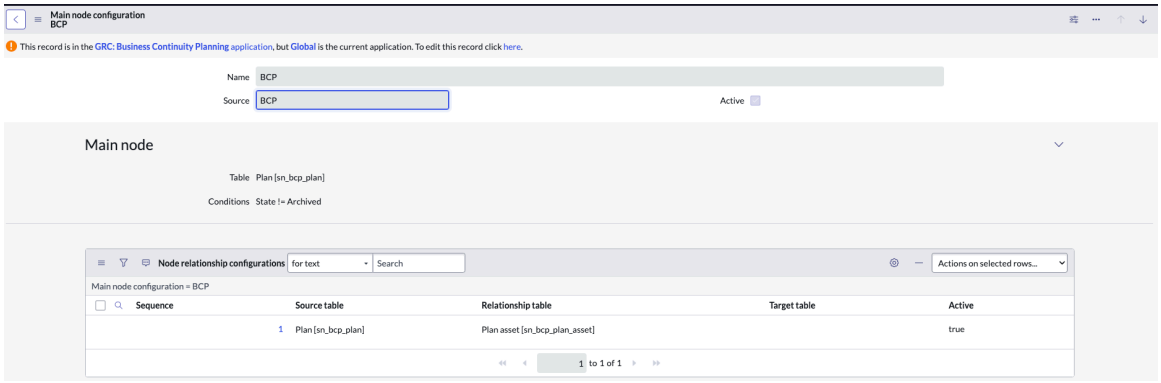


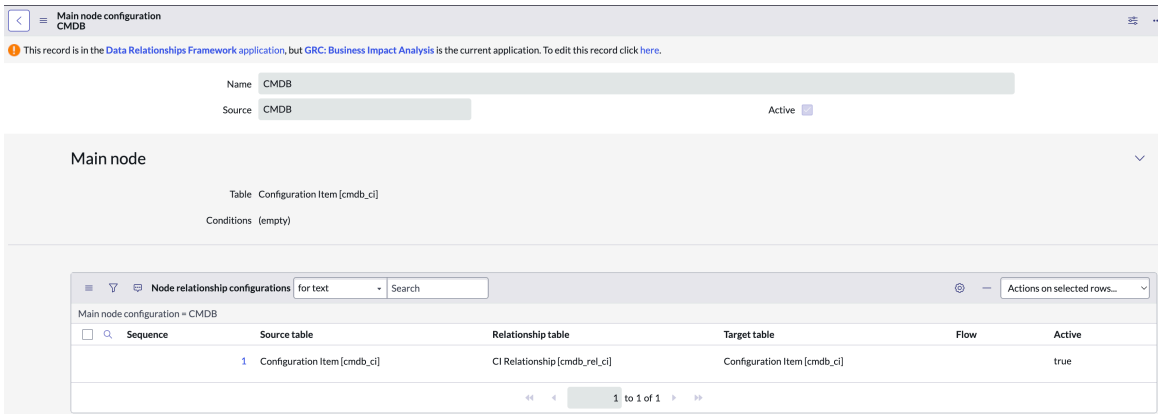
- 計画依存関係更新構成モジュールを構成し、これらのソースから計画の依存関係の更新を計画にフェッチ (更新された関連資産を計画に追加) します。
- イベント依存関係ソース構成モジュールを構成し、イベント依存関係の更新のソースを構成します (更新された影響を受ける資産を復旧イベントに追加します)。

計画のメインノード構成レコードを CMDB 次の例に示します。

自動翻訳

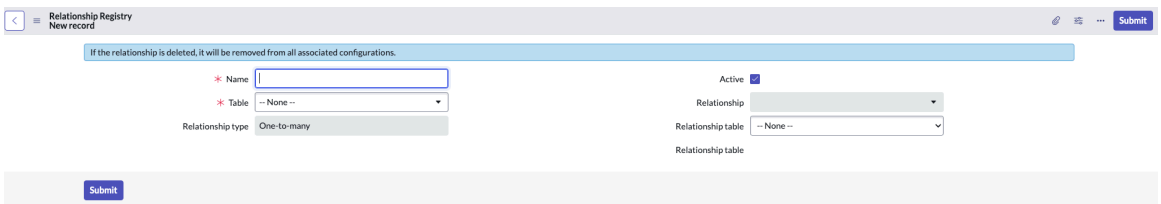
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



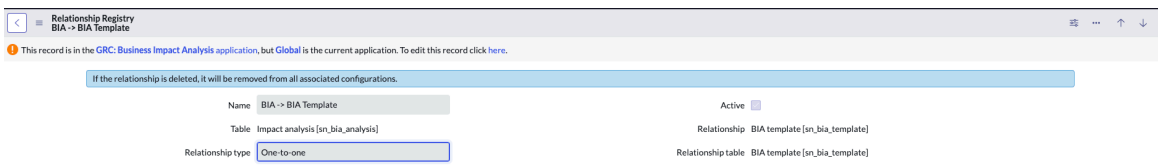


メインノード構成レコードの作成については、を参照してください メインノード設定レコードの作成。

2. 関係のレジストリ:メインノードの関係のレジストリを構成します。関係レジストリは 360 度構成 GRC の一部であり、ユーザーは 1 つのオブジェクトがどのように関連オブジェクトを持つかを定義できます。名前、テーブル、関係タイプ、関係テーブルなど、関係レジストリレコードの構成の詳細がフォームに表示されます。



BIA および BIA テンプレートの関係性レジストリレコードのサンプルを次の例に示します。

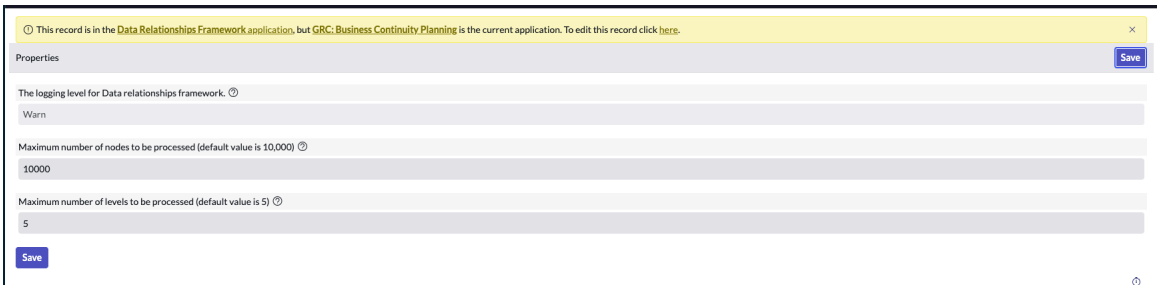


関係レジストリ レコードの作成については、「」を参照してください 関係のレジストリー レコードの作成。

3. プロパティ:次の例に示すように、のプロパティ データリレーションシップフレームワーク を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

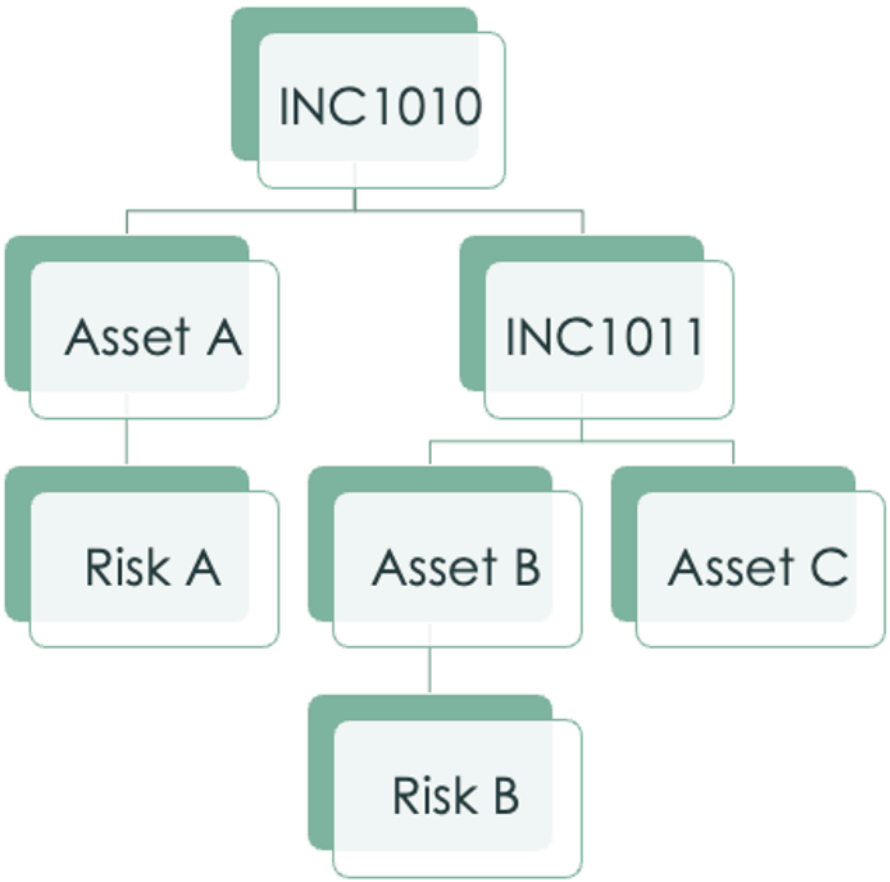


プロパティの構成の詳細については、「」を参照してください のプロパティの構成 データリレーションシップフレームワーク。

のユースケース データリレーションシップフレームワーク

メイン データリレーションシップフレームワーク ノードをその子ノードにマッピングしたり、資産をリスクにマッピングしたりするなど、ノードと資産の関係を構成するために使用されます。

メインノード構成とその関係を示す次のユースケースを考えてみましょう。



この例では、INC1010 はメインノードで、ソースはインシデントです。INC1010には 2 つの子ノードがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 資産 A:資産 A の影響を受ける構成アイテムはリスク A です。
2. INC1011:INC1011の影響を受ける構成アイテム (CI) は資産 B と資産 C です。資産 B の場合、影響を受ける構成アイテムはリスク B です。

基礎となる データリレーションシップフレームワークでは、次の関係が構成されます。

- メインノード:
  - INC1010:資産 A >
  - INC1010-> INC1011
- ノード関係:
  - 資産 A - リスク A >
  - INC1011:>資産 B
  - INC1011:>資産 C
  - 資産 B - リスク B >
- 入力ノード:
  - ソース = インシデント
  - レコード = INC1010
  - 最大レベル = 5
  - 最大ノード数 = 1000
- 出力ノード:
  - INC1010
  - 資産 A
  - INC1011
  - リスク A
  - 資産 B
  - 資産 C
  - リスク B
- エッジ：
  - INC1010:資産 A >
  - INC1010-> INC1011
  - 資産 A - リスク A >
  - INC1011:>資産 B
  - INC1011:>資産 C
  - 資産 B - リスク B >

の使用制限 データリレーションシップフレームワーク

には データリレーションシップフレームワーク 次の制限があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オブジェクトに対してフェッチされたデータは、別の目的で再利用できません。
- フレームワークで提供されるソースは、依存関係の更新をオブジェクトにフェッチするために使用する必要があります。データをフェッチするための独自のソースを設定することはできません。

メインノード設定レコードの作成

メインノード設定レコードを作成して、依存関係をフェッチするためのソースを設定します。名前、ソース、テーブル名、ファイラー条件など、メインノードの詳細を設定できます。

始める前に

必要なロール:sn_grc_rel_config.admin

手順

1. 移動先 すべて > データ関係フレームワーク > メインノード構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「」を参照してください メインノード構成の新規レコードフォーム。
4. [送信] を選択します。
   メインノード構成レコードが [メインノード構成] リストに表示されます。

メインノード構成の新規レコードフォーム

メインノード構成の新規レコードフォームを使用して、 データリレーションシップフレームワークにメインノード構成レコードを作成します。

メインノード構成の新規レコードフォーム

メインノード構成の新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	メインノード構成レコードの名前。たとえば、BCP です。
ソース	メインノード設定レコードのソース。使用可能なオプションは次のとおりです。 • **BIA** アップストリーム依存関係 • **BIA** ダウンストリーム依存関係 • **CMDB** • プライマリ資産の計画 • 関連資産の計画
アクティブ	レコードがアクティブであることを示すオプション。
テーブル	関係を設定するために使用されるテーブル。たとえば、計画 [sn_bcp_plan] などです。
条件	構成レコードの関係を設定するために使用するフィルター条件。たとえば、条件 *"Status in*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メインノード構成の新規レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	*source" "is" "Valid"*を として設定できます。

関係のレジストリー レコードの作成

関係レジストリレコードを作成して、テーブルで定義されているレコードとオブジェクト間の関係を設定します。名前、ソース、テーブル名、ファイラー条件など、メインノードの詳細を設定できます。

始める前に

必要なロール:sn_grc_rel_config.admin

手順

1. 移動先 すべて > データ関係フレームワーク > 関係のレジストリ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「」を参照してください 関係レジストリの新規レコードフォーム。
4. [送信] を選択します。
   関係のレジストリ レコードが [関係のレジストリ] リストに表示されます。

関係レジストリの新規レコードフォーム

関係レジストリレコードフォームを使用して、関係レジストリレコードを作成します。

関係レジストリの新規レコードフォーム

関係レジストリの新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	関係レジストリー・レコードの名前。たとえば、「BIA 分析 - > 問題」などです。
テーブル	関係レジストリレコードを設定するために使用されるテーブル。例:影響分析 [sn_bia_analysis]。
関係性タイプ	関係レジストリレコードの関係タイプ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 1 対 **1:**1 つのレコードが別のテーブルの 1 つのレコードと関係しています。 • 1 対多:1 つのレコードが別のテーブルの 1 つ以上のレコードと関係している。 • 多対多:1 つ以上のレコードが、別のテーブルの 1 つ以上のレコードと関係しています。 • スクリプト化された関係:スクリプトを使用してテーブル間の関係を定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関係レジストリの新規レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
アクティブ	関係レジストリーレコードがアクティブであることを示すオプション。
リレーションシップ	[テーブル] フィールドで定義されているオブジェクトとの関係を設定するために使用されるテーブル。たとえば、問題 [sn_grc_issue] です。
リレーションシップテーブル	Read-only フィールド。[関係] フィールドで選択したテーブルは、デフォルトでは関係テーブルとして表示されます。たとえば、問題 [sn_grc_issue] です。

のプロパティの構成 データリレーションシップフレームワーク

アプリケーションのプロパティ データリレーションシップフレームワーク を構成します。

始める前に
必要なロール:sn_grc_rel_config.admin

手順

1. 移動先 すべて > データ関係フレームワーク > プロパティ.
2. フォームのプロパティを更新します。
   フォームのプロパティの詳細については、「」を参照してください データリレーションシップフレームワーク プロパティフォーム。
3. **[Save** (保存)] を選択します。

データリレーションシップフレームワーク プロパティフォーム

プロパティフォームを使用して、 データリレーションシップフレームワーク API の関係 データリレーションシップフレームワーク プロパティを構成します。

データリレーションシップフレームワーク プロパティフォーム

データリレーションシップフレームワーク プロパティフォーム

フィールド	説明
のログ/トレースレベル データリレーションシップフレームワーク	の データリレーションシップフレームワークログ レベル。使用可能なオプションは次のとおりです。 • デバッグ • 参考情報 • 警告 • エラー デフォルト値は [警告] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データリレーションシップフレームワーク プロパティフォーム (続く)

フィールド	説明
処理するノードの最大数	API が データリレーションシップフレームワーク 呼び出されたときに処理される最大ノード数。 デフォルト値は 10,000 です。たとえば、API が呼び出されると、最大 10,000 ノードの結果が表示されます。
処理されるレベルの最大数	API が データリレーションシップフレームワーク 呼び出されたときに処理される最大レベル数。 デフォルト値は 5 です。たとえば、API が呼び出されると、最大 5 レベルの関係が処理され、5 レベルより深くなることはありません。

ドメイン分離と 事業継続性管理

事業継続性管理 ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

事業継続性管理 はドメイン分離をサポートします。テーブルは、ドメイン ID とドメインパスでストライプ化されます。事業継続性管理 のドメイン分離は、アプリケーションのドメインまたは親ドメイン内のユーザーのみがデータにアクセスできることを意味します。事業継続性管理 のすべての機能は、事業継続性管理 のアクションがドメイン内のユーザーによって実行される限り、そのドメイン分離された環境で機能します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事業継続性管理 におけるドメイン分離の仕組み

事業継続性管理 では、ドメイン分離はデータレベルでのみサポートされています。クロスレベルのスケジュール設定済みジョブデータのセットアップはサポートされていません。したがって、データレベルの分離を遵守するために、各ドメインでスケジュール設定済みジョブをコピーする必要があります。

事業継続性管理 のドメイン分離を設定するには

1. ドメインを作成し、そのドメインに 事業継続性管理 ユーザーを作成します。
2. 指定されたユーザー (そのドメイン内の 事業継続性管理 管理者) のみが、アプリケーションのドメインに構成データを入力する必要があります。
3. アプリケーションのドメイン内のユーザーのみが、ドメイン内でデータをアップロードまたは作成する必要があります。

ドメイン分離を成功させるには、次のガイドラインに従ってください。

- 構成データのアップロード、編集、またはエクスポートを実行するためにドメインごとに個別のユーザーを作成します。
- 特定のアプリケーションの構成データを複数のドメインでアップロードまたは作成することは避けてください。
- アプリケーションのドメイン内のユーザーのみが、ドメイン内でデータをアップロードまたは作成する必要があります。
- ポリシーとエクスポーターは、アプリケーションのドメインまたはグローバルドメインのいずれかに存在する必要があります。

事業継続性管理 のドメイン分離テーブル

すべての 事業継続性管理 テーブルに [ドメイン] 列があります。

関連情報

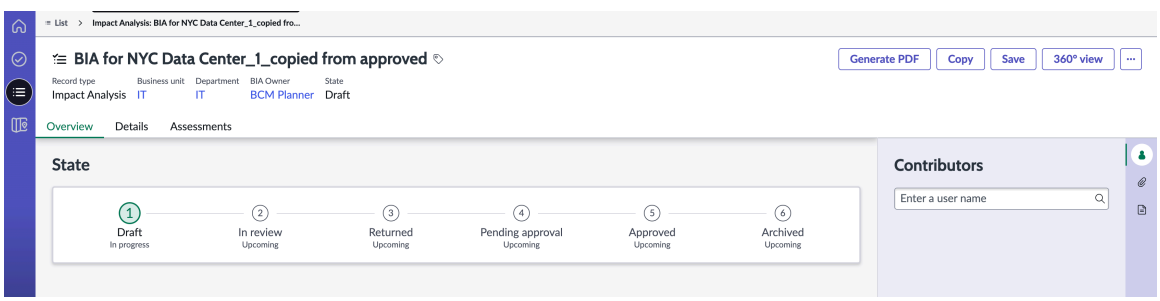
サービスプロバイダーのドメイン分離

BCM レコードの GRC レコードページテンプレート

Washington DC リリース以降、GRC レコードは共通の GRC レコードページテンプレートを使用します。レコードページの新しいバリアントを活用して、ページ作成を合理化し、メンテナンスを簡素化し、ページ所有コストを最小限に抑えることができます。

標準的なレコードページの移行では、すべての BCM レコードに対して一貫したスタイリングと統一された外観を構成できます。レコードのヘッダーを構成して、優先度、期日、問題ソース、問題タイプなどの追加情報を表示することもできます。

GRC レコードテンプレートのある BCM アプリケーション内のレコードを次の例に示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
バージョン 17.x アプリにアップグレードする場合は、前のレコードページに戻すこともできます。

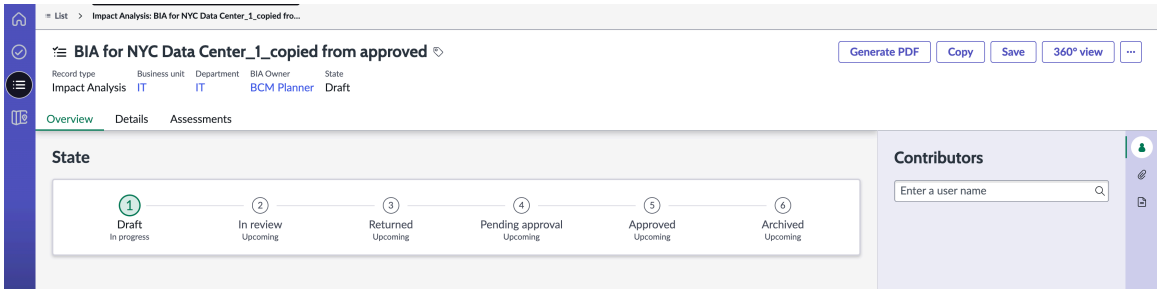
レコードの [概要] タブのステッパーコンポーネント

[概要] タブのステッパーコンポーネントには、レコードのステータスの進行状況が表示されます。

レコードの [概要] タブのステッパーコンポーネント

[概要] タブのステッパーコンポーネントには、レコードのステータスの進行状況が表示されます。

レコードの現在のステータスの数値は、次の例に示すように、参照のためにステッパーコンポーネントでハイライト表示されます。



一般的なレコードは、ステータスが次のように進行します。

- ドラフト
- レビュー中
- 戻り
- 承認待ち
- 承認済み
- アーカイブ化済み

レコードをさらに更新する必要があり、レコードの承認者によって却下された場合、アプリケーションソフトウェアによって [戻り] ステータスに設定されます。レコード所有者がレコードの詳細を更新すると、承認ワークフローが再度実行されます。

Compliance Case Management

ServiceNow® GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、コンプライアンスケースを調査、分析、解決したり、コンプライアンス要求を作成したりします。

Compliance Case Management アプリケーションは、苦情や違反などのコンプライアンスケースをレポート、調査、および解決するのに役立ちます。Compliance Case Management アプリケーションは、コンプライアンスケースや要求に基づいて、高度に構成可能なワークフローを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索	構成	使用方法
		
コンプライアンスケースマネージャー、コンプライアンスケースアナリスト、およびコンプライアンスケース管理者がアプリケーションを使用する Compliance Case Management 方法について説明します。	アプリケーション Compliance Case Management を構成します。	コンプライアンスケース、要求、ケースタスクなどを作成します。
参照		
		
テーブルやロールなどのコンポーネントに関する詳細を取得します。		

Compliance Case Management の詳細

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、コンプライアンスケースをレポート、調査、分析、解決したり、組織に対してコンプライアンスケースを作成したりする方法について説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Compliance Case Management のメリット

Compliance Case Management アプリケーションは、組織に次のメリットをもたらします。

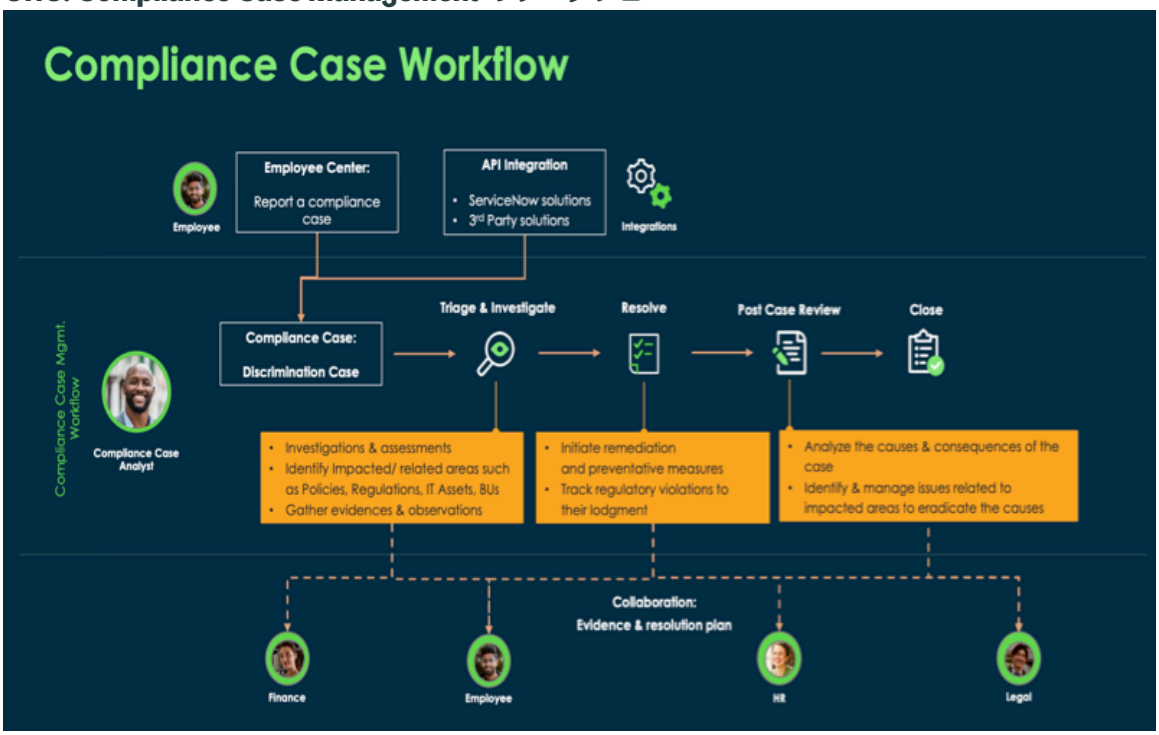
- 要求、苦情、違反などのコンプライアンスケースまたはイベントをレポート、調査、および解決します。
- ポリシーの変更、説明、照会などのコンプライアンス要求を作成します。
- イベントの影響によって違反した規制を、イベントが報告された日付とともに記録します。
- 複数のチームと容易に協力して、コンプライアンスケースと要求を調査および管理します。
- コンプライアンスケースまたは要求に基づく、高度に構成可能なワークフローを提供します。

コンプライアンスケースワークフロー

Compliance Case Management アプリケーションのワークフローは、コンプライアンスチームの注意が必要なケースをレポートおよび管理できるようにするプロセスです。

次の図に、GRC: Compliance Case Management アプリケーションのワークフローを示します。

GRC: Compliance Case Management のワークフロー



コンプライアンスワークフローのさまざまなステージは次のとおりです。

- コンプライアンスケースのレポート
- コンプライアンスケースのトリアージ
- コンプライアンスケースの調査と評価
- コンプライアンスケースの解決
- ケースの事後レビューとクローズ

コンプライアンスケースのレポート

ビジネスユーザーまたはコンプライアンスチームがコンプライアンス違反をレポートします。ビジネスユーザーは、従業員センター アプリケーションでケースをレポートできます。コンプライアンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースチームは、コンプライアンスワークスペース アプリケーションでケースをレポートできます。詳細については、「GRC: Compliance Case Management でコンプライアンスケースをレポートする」を参照してください。

コンプライアンスケースのトリアージ

コンプライアンスケースがレポートされた後、コンプライアンスチームが有効性の観点からケースをトリアージします。チームは、ケースに対処するケースアナリストをアサインします。

コンプライアンスケースの調査と評価

コンプライアンスケースアナリストは、複数のチームと協力して、ケースに関する調査、証拠の収集、詳細と応答の取得を行います。その後、ケースアナリストは、ケースタスクを作成してレポートされたケースの調査とアセスメントを開始し、ケースタスク所有者にそれらをアサインします。

ケースタスク所有者は、要求された詳細を追加して、レビューのためにケースアナリストに送信します。ケースアナリストは、調査とアセスメントへの応答に基づいて以下を実行します。

- コンプライアンスケースの影響を受ける領域を追加します。たとえば、影響を受ける可能性のある影響を受ける領域またはオブジェクトは、コンプライアンスケースの影響を受けるエンティティ、コントロール、場所、またはユーザーです。詳細については、「影響を受ける領域をコンプライアンスケースに追加する」を参照してください。
- コンプライアンスケースに関連する領域を追加します。たとえば、関連する領域には、ポリシー、各種法令・基準内項目、コントロール目標、またはリスクイベントが含まれます。詳細については、「関連する領域をコンプライアンスケースに追加する」を参照してください。
- 影響を受ける可能性があるコンプライアンス規制をコンプライアンスケースに追加します。詳細については、「コンプライアンスケースにコンプライアンス規制を追加する」を参照してください。
- レポートされたコンプライアンスケースまたはイベントの根本原因、および組織に対するその結果など、このコンプライアンスケースの原因と結果を追加します。詳細については、「コンプライアンスケースに原因と結果を追加する」を参照してください。

コンプライアンスケースの解決

報告されたケースのすべての分析が完了した後、ケースアナリストはケースを解決するための修復アクションと予防措置を開始します。ケースアナリストは、報告可能な規制違反を追跡して、規制機関にそれらが報告されていることを確認します。

ケースの事後レビューとクローズ

ケースアナリストがケースの原因と結果を分析します。その後、ケースアナリストは、根本原因分析を実施して、ケースの原因を取り除きます。ケースアナリストは、ケースをレビューして、影響を受ける領域に関連する問題を特定および管理できます。詳細については、「コンプライアンスケースの問題を追加または作成する」を参照してください。最後に、コンプライアンスアナリストが、さまざまなチームと緊密に連携して、コンプライアンスケースをレビューしてクローズします。

コンプライアンス要求ワークフロー

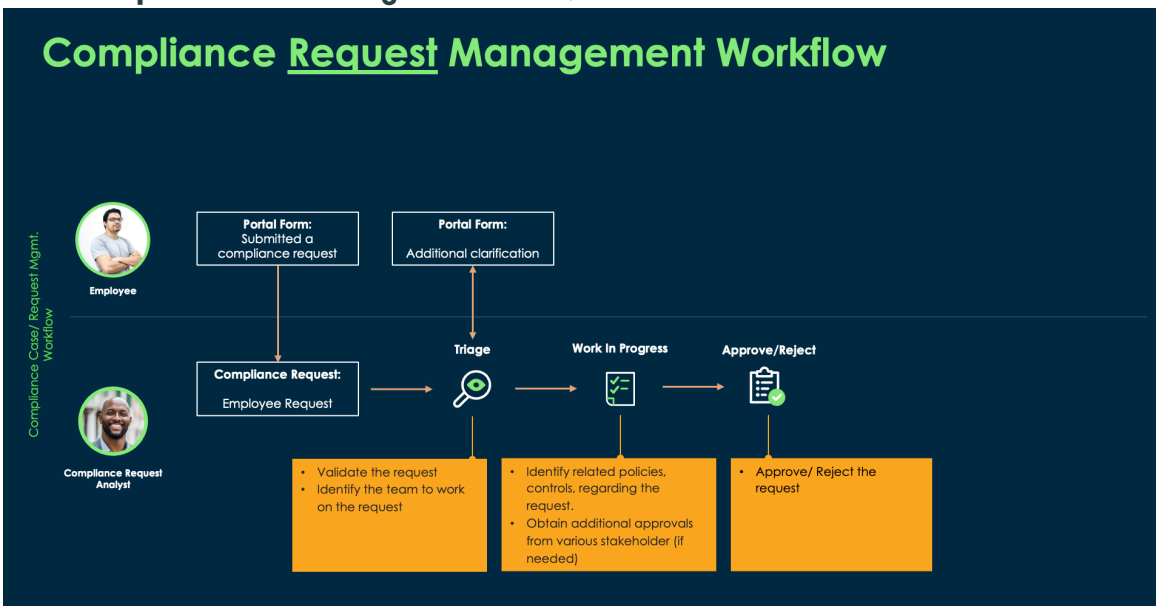
Compliance Case Management アプリケーションの要求ワークフローを使用して、組織内のコンプライアンス要求を作成および管理します。このワークフローを使用することで、コンプライアンスチームがコンプライアンス要求に効果的かつ効率的に対処することが可能になります。

次の図に、GRC: Compliance Case Management アプリケーションでのコンプライアンス要求のワークフローを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Compliance Case Management のワークフロー



コンプライアンス要求のステージには、次のようなものがあります。

- コンプライアンス要求を発生させる
- コンプライアンス要求のトリアージ
- コンプライアンス要求の作業
- 要求の承認の待機
- コンプライアンス要求のキャンセル
- コンプライアンス要求のクローズ

コンプライアンス要求を発生させる

ビジネスユーザーまたはコンプライアンスチームがコンプライアンス要求を発生させます。ビジネスユーザーは、従業員センター アプリケーションで要求を発生させることができます。コンプライアンスケースチームは、コンプライアンスワークスペース アプリケーションで要求を発生させることができます。詳細については、「GRC: Compliance Case Management でコンプライアンス要求を発生させる」を参照してください。

コンプライアンス要求のトリアージ

コンプライアンス要求が発生した後、コンプライアンスチームは、ケースを処理する要求アナリストをアサインします。要求アナリストは、有効性の観点からケースをトリアージします。要求アナリストがこの評価を実施することで、有効かつ適切な要求のみがコンプライアンスプロセスを先へ進めるようになります。要求アナリストが要求を検証して有効と判断すると、要求は [処理中] ステータスに移行します。

コンプライアンス要求の作業

[対応中] ステージで、発生した要求のすべての要件を要求アナリストが判断します。要求アナリストは、要求の適格性を確認し、要求に関連するポリシー、コントロール、引用、コントロール目標などのサポートドキュメントを特定します。アナリストはそのコンプライアンス要求を承認または却下できます。必要に応じて、アナリストはさまざまなステークホルダーからの承認を求めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求の承認の待機

要求のレビューが終了すると、承認または却下に関する決定を行うこのステージに到達します。このステージでは、発生した要求を評価します。要求が必要な基準を満たしている場合、その要求は承認されます。満たしていない場合は却下されます。その場合、却下の正当な理由が要求者に提示されます。要求は承認のために複数のユーザーに送信でき、いずれかのユーザーが承認または却下できます。[任意の承認者 **(Any Approvers)]** オプションを使用すると、アサインされた承認者のいずれかから承認または却下を受け取るとすぐに要求をクローズできます。詳細については、「承認ワークフローを作成する」を参照してください。

コンプライアンス要求のキャンセル

このステージでは、要求がコンプライアンス要求でない場合、要求をキャンセルする必要があります。要求は、正当な理由があればキャンセルできます。その理由は要求者に提示されます。要求は、[トリアージ]、[処理中]、[承認待ち] など、どのステージでもキャンセルできます。

コンプライアンス要求のクローズ

コンプライアンス要求が完全に処理され、承認または却下されると、[クローズ済み] ステージに移行します。このステージは、要求に関連するすべての必要なアクションが実行されたことを示します。要求は解決済みと見なされ、それ以上のアクションは必要ありません。

Compliance Case Management ランディングページ

GRC: Compliance Case Management ランディングページには、すべてのコンプライアンスケース関連情報の概要が表示されます。GRC: Compliance Case Management ランディングページからケースや要求や問題を作成することもできます。

概要

ランチャー ( ) アイコンを使用して、Compliance Case Management のランディングページを起動できます。

GRC: Compliance Case Management ランディングページは、次のセクションで構成されています。

- ケース
- 要求
- 自分のタスク

[ケース] セクション

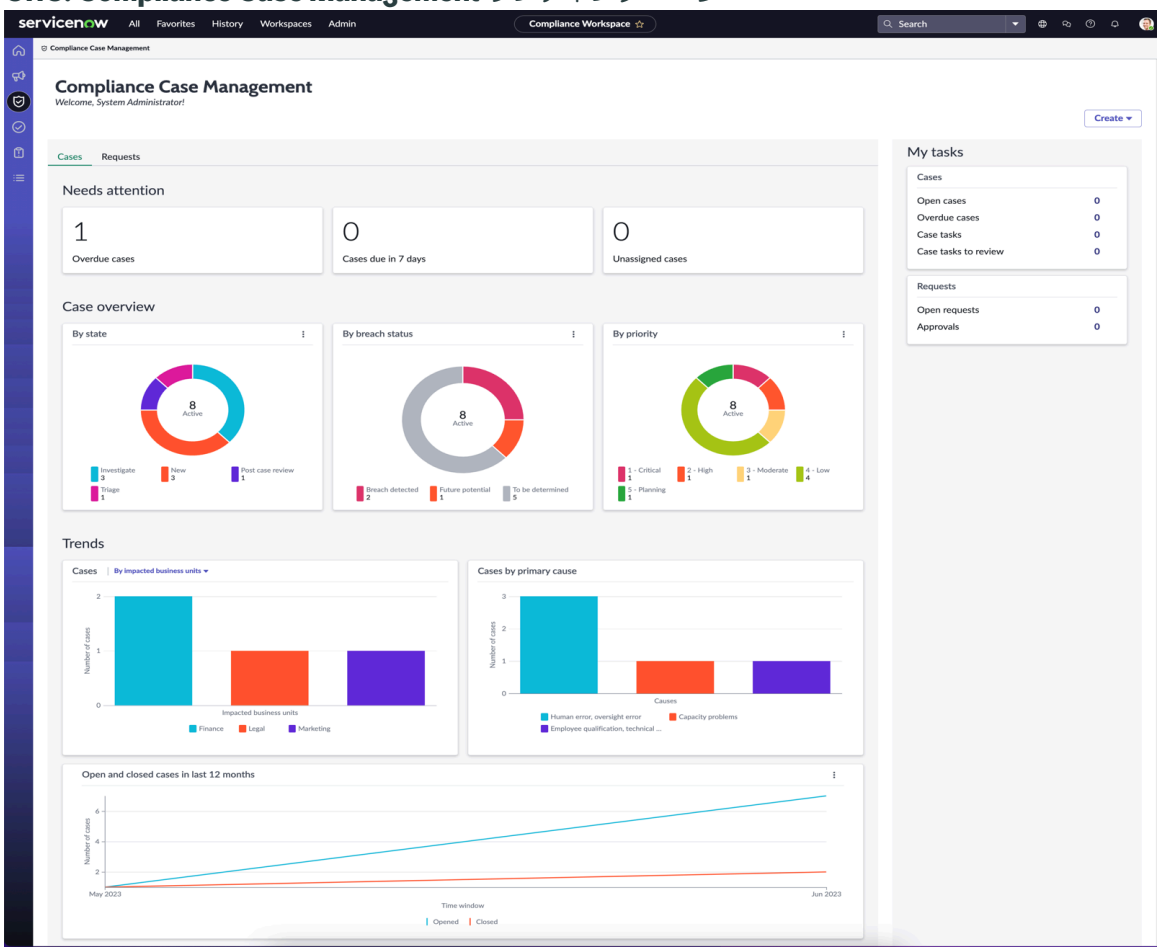
[ケース] セクションには、コンプライアンスケースに関する情報を提供するカードがあります。ここで、注意が必要なケース、概要、傾向、および監視情報を確認できます。

次の例で、GRC: Compliance Case Management ランディングページのケースで利用可能なカードを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Compliance Case Management ランディングページ



次の表で、GRC: Compliance Case Management ランディングページのケースで利用可能なカードについて説明します。

[ケース] セクション

カード	説明
要注意	次のような、即時の対応が必要なイベントやケースの概要。 期限切れのケース クローズ日を過ぎたケース。 期限が 7 日以内のケース クローズ日が今後 7 日以内であるケース。 未アサインのケース まだケースアナリストにアサインされていないケース。
ケース概要	すべてのアクティブなケースを、ステータス、違反ステータス、および優先度別にグラフィックで示したもの。 ステータス別 アクティブなケースの数を、それらのワークフローステータス別に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ケース] セクション (続く)

カード	説明
	表示します。たとえば、コンプライアンスケースマネージャーは、調査ステータスのアクティブなケースの数を表示できます。 違反ステータス別 違反が検出された場合、または将来違反の可能性がある場合、または違反ステータスがまだ特定されていない場合のアクティブなケースの数を表示します。 優先度別 ケースレベルで定義された優先度別に、アクティブなケースの数を表示します。
傾向	次のケースに関する傾向： • 影響を受ける事業部門と地理的な場所別のレポートされたケース。 • 主要原因別のレポートされたケースの数。 • 過去 365 日間にオープンおよびクローズされたケースの数。
追跡中	追跡対象となるアイテム： • コンプライアンスケースのオープンな問題の数 • 期限切れの問題の数 • 今後 7 日間で期限切れになる問題の数

[要求] セクション。

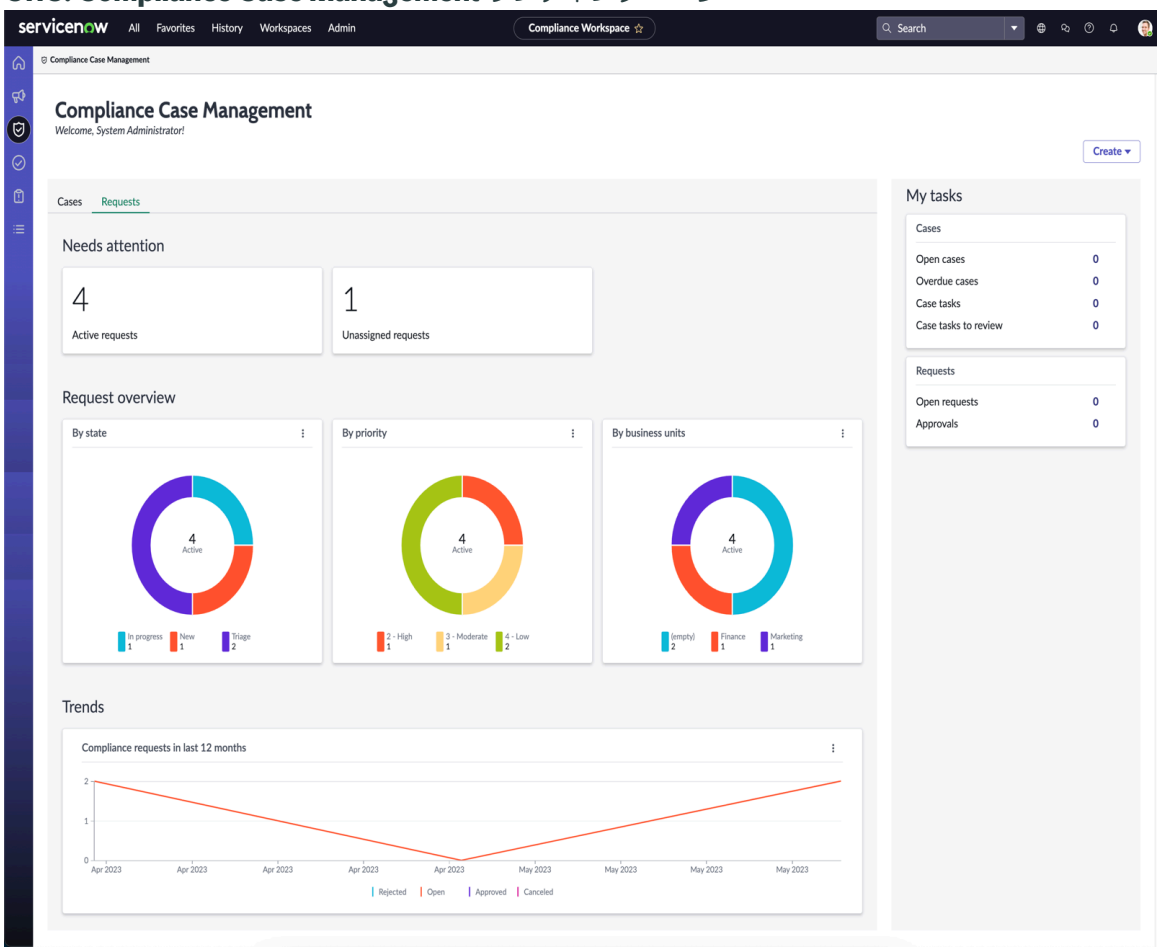
[要求] セクションには、コンプライアンス要求に関する情報を提供するカードがあります。ここで、注意が必要な要求、概要、および傾向を確認できます。

次の例で、GRC: Compliance Case Management ランディングページの要求で利用可能なカードを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Compliance Case Management ランディングページ



次の表で、GRC: Compliance Case Management ランディングページの要求で利用可能なカードについて説明します。

カード	説明
要注意	次のような、即時の対応が必要な要求の概要。 アクティブ要求 すべての未解決の要求。 未アサインの要求 まだアサインされていない要求。
要求の概要	すべてのアクティブな要求を、ステータス、優先度、および事業部門別にグラフィックで示したもの。 ステータス別 アクティブな要求の数を、それらのワークフローステータス別に表示します。たとえば、コンプライアンスケースマネージャーは、対応中ステータスのアクティブなケースの数を表示できます。 優先度別

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カード	説明
	要求レベルで定義された優先度別に、アクティブな要求の数を表示します。 事業部門別 事業部門別に分類されたアクティブな要求の数を表示します。
傾向	過去 12 か月間にオープン、承認、却下、およびキャンセルされたコンプライアンス要求の数。

[自分のタスク] セクション

[自分のタスク] セクションは、ケースと要求の個々のセクションで構成されています。

[ケース] セクションでは、自分にアサインされたすべてのケースとタスクにアクセスできます。

オープンケース
: 自分にアサインされているすべてのケース。

期限切れのケース
: 自分にアサインされているすべての期限切れのケース。

ケースタスク
: 作業するために自分にアサインされているすべてのケースタスク。

レビューするケースタスク
: レビューが必要な処理待ちのケースタスク。たとえば、ケースアナリストがケースタスクを作成し、それを作業するためにケースタスク所有者にアサインしたとします。ケースタスク所有者がケースタスクを完了し、レビューのためにアナリストに送信しました。次に、アナリストがこれらのケースタスクをレビューして完了する必要があります。

[要求] セクションでは、自分にアサインされたすべての要求にアクセスできます。

未解決の要求
: 自分にアサインされているすべての要求。

承認
: 自分の承認待ちのすべての要求。

[コンプライアンスケースの概要 **(Compliance Case Overview)**] 関連リストを使用する

[コンプライアンスケースの概要 (Compliance Case Overview)] 関連リストには、ケースに関する詳細が表示されます。たとえば、GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、ケースに関連する説明、ステータス、スケジュールとマイルストーン、ケースタスク、および問題を表示できます。

[Compliance Case Management 概要] 関連リストには、次のセクションが含まれています。

- 説明
- ステータス
- ケーススケジュールとマイルストーン
- ケースタスク概要

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 追跡中
- 添付ファイル

[説明] セクション

[説明] セクションには、コンプライアンスケースの作成時に入力できる詳細情報が含まれています。たとえば、目的、実行するアクション、タイムライン、適用可能なルールと規制、および関連する証拠またはドキュメントを追加できます。このセクションを使用すると、ケースのコンテキストを理解し、解決に必要な手順を実行できます。

[ステータス] セクション

[ステータス] セクションには、コンプライアンスケースのワークフローステータスが含まれています。たとえば、このセクションには、新規、トリアージ、調査、解決、ケースの事後レビュー、クローズなど、コンプライアンスケースのさまざまなステージが表示されます。これらのステータスによって、ケースのステータスが決まります。コンプライアンスケース管理者は、GRC: Compliance Case Management アプリケーションでこれらのステータスを設定できます。詳細については、「ステータスモデルを作成してワークフローのステータスと移行を定義する」を参照してください。

[ケーススケジュールとマイルストーン] セクション

[ケーススケジュールとマイルストーン] セクションには、タイムライン範囲のケースライフサイクル中のすべてのマイルストーンまたはイベントの詳細が含まれています。このセクションには、ケースがレポート、発生、検出、クローズされた日付など、主要なイベントの概要が表示されます。[イベントを表示] オプションを選択した後、イベントをフィルターして、タイムライン範囲に次のオプションを表示することもできます。

ケース作成日
: ケースが作成された日付。

検出日
: ケースが検出された日付。

発生日
: ケースが発生した日付。

マイルストーン
: 調査と修正のマイルストーンに関連する日付。

違反
: 違反分析に関連する日付。

今日
: タイムライン上の現在の日付。

ケースクローズ
: ケースがクローズされた日付、またはケースクローズのサービスレベルアグリーメント (SLA) が満たされた日付。

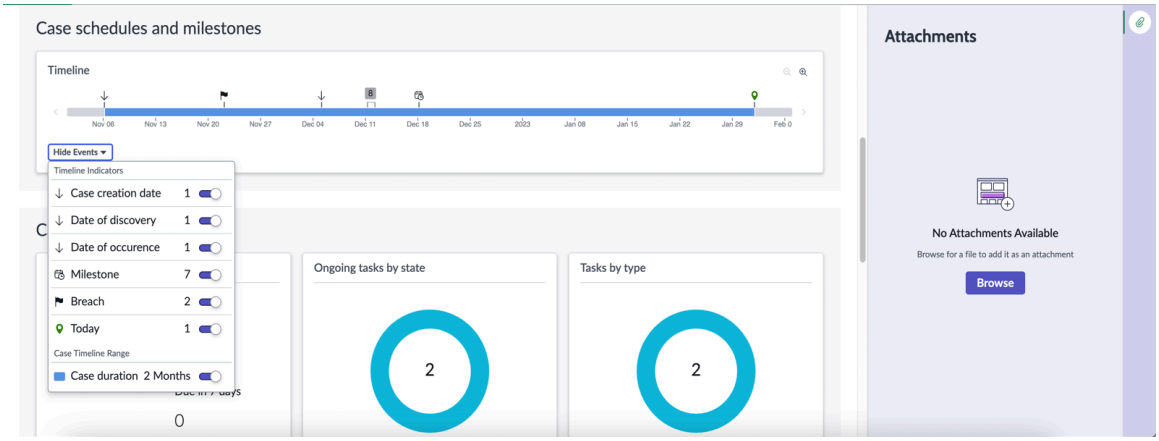
ケース期間
: ケースが作成された日付から最後のマイルストーンの日付まで。

次の例は、[イベントを表示] オプションを選択した後に使用できるオプションを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーススケジュールとマイルストーン



注:
[イベントを表示] オプションを選択した後に表示されるオプションは、ケースで利用可能なイベントとマイルストーンに限定されます。

[ケースタスク概要] セクション

[ケースタスク概要] セクションには、次のサブセクションが含まれています。

タスク
: ケースタスクの合計数、期限切れのケースタスク、および 7 日以内に期限切れになるケースタスクを表示します。

ステータス別の進行中のタスク
: ステータス別のアクティブなケースタスクの数。

タイプ別のタスク
: ケースタイプ別のアクティブなケースタスクの数。

[追跡中] セクション

[追跡中] セクションには、次の情報が表示されます。

- コンプライアンスケースのオープンな問題の数
- 期限切れの問題の数
- 今後 7 日間で期限切れになる問題の数

[添付ファイル] セクション

[添付ファイル] セクションでは、ファイルを添付ファイルとしてケースにアップロードできます。このセクションでは、追加されたすべての添付ファイルを検索できます。

コンプライアンスケースの **360° Relationship Visualization**

360 度コンプライアンスケースビューを使用して、コンプライアンスケースとそれに関連するすべてのオブジェクトの関係を独自の可視化で探索します。この機能を使用するには、Compliance Case Management を 360° Relationship Visualization アプリケーションと統合する必要があります。

コンプライアンスケースの **360** 度ビュー

コンプライアンスケースレコードから 360 度ビューを起動すると、選択したレコードとそれに関連するすべてのオブジェクトとの関係を可視化できます。この可視化により、これらのオブジェクトが

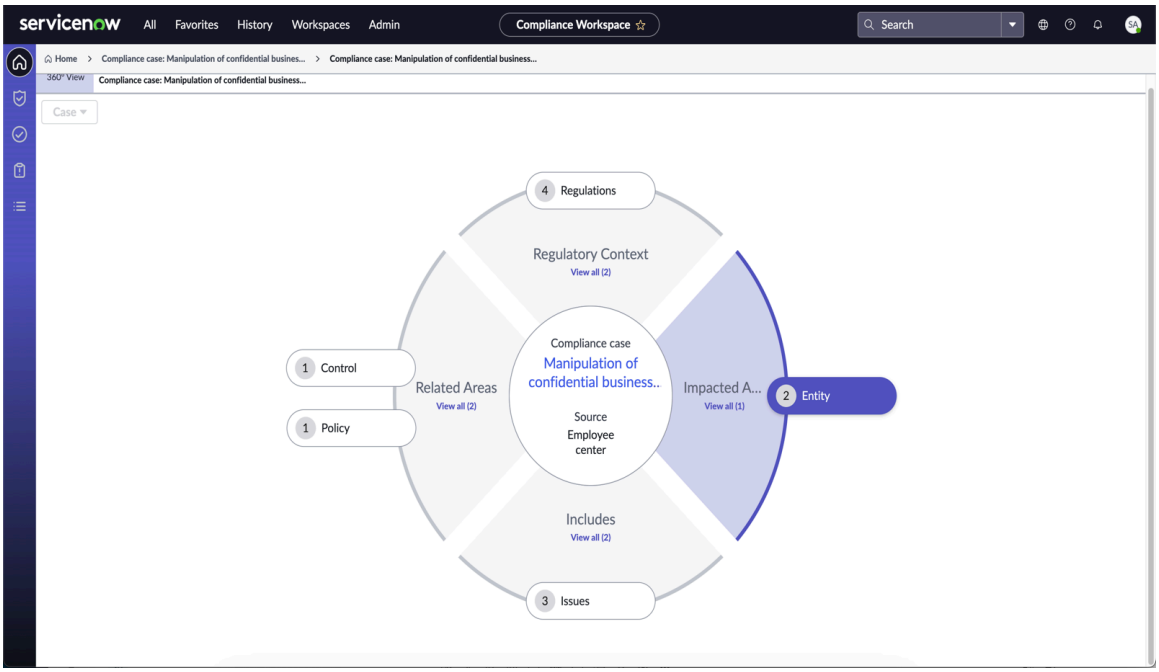
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケース内でどのようにやり取りし、相互に関連しているかについての貴重なインサイトが得られます。表示されたレコードに対してアクションを実行できます。たとえば、より深く掘り下げて詳細を調べたり、レコードを作成したりすることができます。

次の例は、コンプライアンスケースの 360 度ビューを示しています。

コンプライアンスケースの **360** 度ビュー



360 度ビューを探索する方法とビューを起動する方法については、「360 度ビューを探索する」を参照してください。

360° Relationship Visualization を使用できるユーザー、そのロールおよび責任の詳細については、「360° Relationship Visualization」を参照してください。

コンプライアンスケースと統合されたコンプライアンスオブジェクトの **360** 度ビュー

コンプライアンスケースレコードの 360 度ビューでは、ケースに関連付けられているさまざまなオブジェクトを総合的に、かつ詳細に見ることができます。関連するオブジェクトは、エンティティ、信頼できるソースコンテンツ、規制、ケースタスク、問題、コントロール、およびポリシーです。たとえば、[エンティティ] オプションを選択すると、コンプライアンスケースに関連するエンティティのリストを探索できます。コンプライアンスケースが発生したソースを見ることもできます。

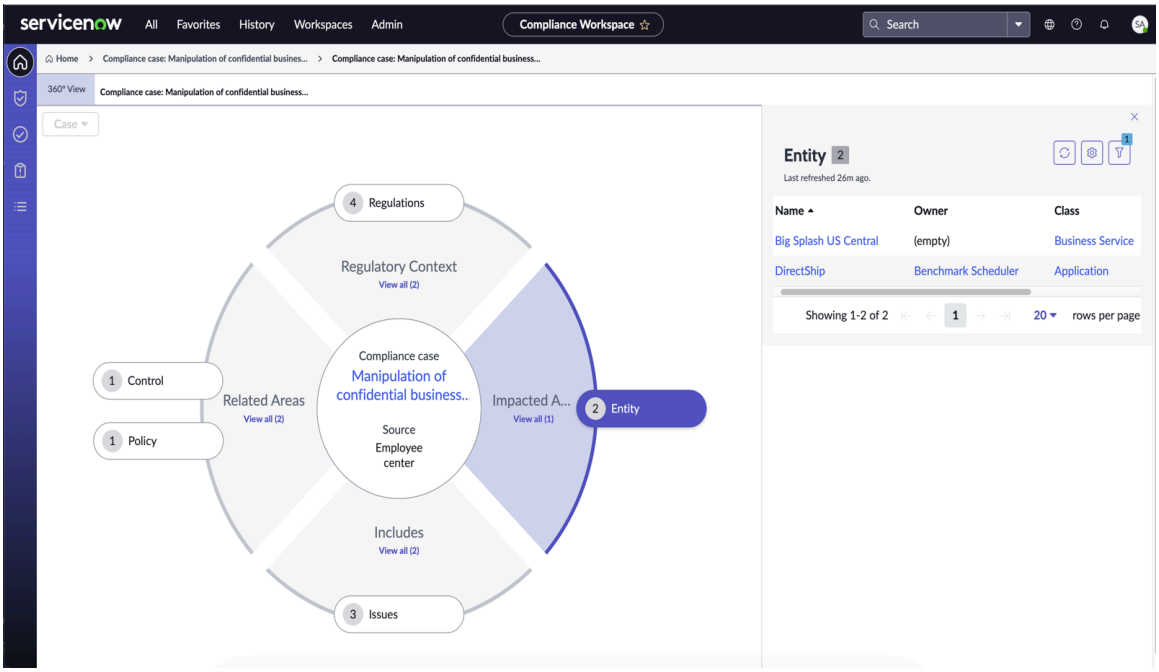
360 度ビューを使用すると、コンプライアンスケースが発生したソースに関する情報を見ることができます。

次の例は、コンプライアンスケースにリンクされているエンティティを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケースにリンクされたエンティティ



Compliance Case Management の構成

Compliance Case Management アプリケーションを構成して、コンプライアンスケースまたはコンプライアンス要求をレポート、調査、分析、解決できます。

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを構成するには、ここに示すタスクの順序に従います。これらのタスクは、コンプライアンスケースおよびコンプライアンス要求を効果的に管理するために役立ちます。

Compliance Case Management をダウンロードする

インスタンスで Compliance Case Management アプリケーションを実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ServiceNow Store アプリケーションを使用すると、コア製品とアプリケーションをダウンロードできます。製品には、グループとしてライセンスされる 1 つ以上のアプリケーションが含まれています。たとえば、GRC アプリケーションは製品です。

手順

1. ServiceNow Store アプリケーションで、アプリケーションとその依存アプリケーションに対するエンタイトルメント (またはライセンス) があることを確認する必要があります。

   注:
   このプロセスは、本番インスタンスにダウンロードされたアプリケーションにのみ適用されます。非本番インスタンスまたは開発インスタンスにアプリケーションをダウンロードする場合は、エンタイトルメントを取得する必要はありません。に進む の有効化 ServiceNow Store application .

2. アプリケーションを有効化し、インスタンスで実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Compliance Case Management のインストール

admin ロールを持っている場合は、GRC: Compliance Case Management アプリケーション (sn_comp_case) をインストールできます。デモデータや関連する ServiceNow Store アプリケーションおよびプラグインがまだインストールされていなくても、このアプリケーションに含まれています。

始める前に

必要なロール：admin

アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください： のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

このタスクについて

Compliance Case Management とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「Compliance Case Management とともにインストールされるテーブル」と「Compliance Case Management とともにインストールされるロール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、Compliance Case Management アプリケーション (sn_comp_case) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、利用可能なバージョンが表示されます。
3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。
4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要:
   インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタイプを作成する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションでケースタイプを作成し、発生のタイプ別にコンプライアンスケースを分類します。たとえば、財務ケース、倫理規範、HR ケースなどのケースタイプを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

このタスクについて

ケースタイプを設定し、発生のタイプ別にコンプライアンスケースを分類できます。コンプライアンスアナリストとコンプライアンスマネージャーは、ケースタイプを定義した後に、ケースフォームでケースタイプを選択できます。ケースタイプは、コンプライアンスケースのワークフローステータスと移行条件を指定するステータスモデルにマッピングされます。ワークフローのステータスと移行を定義するには、「ステータスモデルを作成してワークフローのステータスと移行を定義する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > ケースタイプ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   ケースタイプフォームのフィールド値の説明については、「ケースタイプフォーム」を参照してください。

4. フォームのコンテキストメニューを開いて [保存] を選択します。
   [ケースサブタイプ (Case subtypes)] 関連リストが表示されます。
5. [ケースサブタイプ (Case subtypes)] 関連リストで [新規] を選択し、ケースサブタイプを定義します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   ケースサブタイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	表示されるケースサブタイプのラベル。
名前	ケースサブタイプの名前。例：利益相反
親	親ケースタイプ。このフィールドは、自動的に親のケースタイプに設定されます。
アクティブ	ケースサブタイプをアクティブまたは非アクティブとして選択するオプション。
説明	ケースサブタイプの目的の説明。この説明は、管理者がケースサブタイプを理解するためのものです。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: デフォルトの表示ルールを使用する代わりに表示ルールを作成するには、「表示ルールを作成する」を参照してください。
9. オプション: デフォルトのアサインルールを使用する代わりにアサインルールを作成するには、「アサインルールを作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタイプフォーム

Compliance Case Management アプリケーションでケースタイプフォームを使用して、タイプ別にコンプライアンスケースを分類します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

ケースタイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	表示されるケースタイプのラベル。
名前	ケースタイプの名前。例：倫理規範。
ケースカテゴリ	ケースタイプのカテゴリ。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_case]** に自動的に設定されます。
アクティブ	ケースタイプをアクティブまたは非アクティブとして選択するオプション。
説明	このケースタイプの説明。この説明は、管理者がケースサブタイプを理解するためのものです。
ステータスモデル	
ステータスモデル	ケースタイプのワークフローステータス。詳細については、「ステータスモデルを作成してワークフローのステータスと移行を定義する」を参照してください。
アセスメント構成	
アセスメントテンプレート	ケースタイプのアセスメントテンプレート。詳細については、「アセスメントテンプレートを作成する」を参照してください。
テンプレート構成	
ドキュメントテンプレート	このケースタイプに関連付けられたコンプライアンスケースのポータブルドキュメント形式 (PDF) レポートを生成するテンプレート。

表示ルールを作成する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションのワークスペースとデフォルトビューの表示ルールを定義します。ルールを定義することで、コンプライアンスケースや要求フォームの表示方法を制御できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > ケースタイプ.
2. リストからケースタイプを開きます。
3. ケースタイプフォームで [表示ルール] を選択します。
4. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. フォームのフィールドに入力します。
   表示ルールフォームのフィールド値の説明については、「表示ルールフォーム」を参照してください。
6. [送信] を選択します。

表示ルールフォーム

表示ルールフォームを使用して、GRC: Compliance Case Management アプリケーションのワークスペースとデフォルトの表示ルールを定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

表示ルールフォーム

フィールド	説明
名前	ルールを識別する名前。
テーブル	この表示ルールが適用されるテーブル。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_case]** に自動的に設定されます。
表示	ルールを作成している表示オプション。 • デフォルトビュー：クラシック環境でフォームビューを定義します。 • ワークスペース：ワークスペースでフォームビューを定義します。
制限されたエクスペリエンス	この表示ルールを 1 つまたは複数のワークスペースに対して有効にするオプション。
アプリケーション	この表示ルールが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **GRC: Compliance Case Management** に設定されます。
実行順序	この表示ルールが実行される順序。
アクティブ	表示ルールを有効にするオプション。
条件	
ロール	この表示ルールが適用されるロール。
条件	表示ルールの条件を設定する条件ビルダー。
フォームの設定	
詳細および UI アクションを非表示	関連リストの [詳細] タブを非表示にするオプション。
ジャーナル入力フィールドを非表示	ワークスペースフォームのジャーナルフィールドを無効にするオプション。
セクションのナビゲーションを非表示	ワークスペースフォームでジャンプ先セクションのナビゲーションを無効にするオプション。
セクションの折りたたみを無効にする	デフォルトのフォームセクションの折りたたみを無効にするオプション。
フォームタブ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示ルールフォーム (続く)

フィールド	説明
デフォルトタブの順序	ワークスペースフォームでデフォルトのタブの順序を選択するオプション。
タブの順序	ワークスペースフォームでタブの順序を選択するオプション。このフィールドは、[デフォルトタブの順序] オプションを選択解除した場合にのみ表示されます。
デフォルトタブへのフォーカス	このルールで指定されたテーブルで、レコードを開いた時点でフォーカスさせるアイテム。

アサインルールを作成

Compliance Case Management アプリケーションを使用して、アサインルールを作成し、コンプライアンスケースタイプまたは要求タイプに適用します。アサインルールを使用することで、コンプライアンスケースを処理する適切なユーザーまたはグループを決定できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

このタスクについて

アサインルールを作成し、事前定義の条件に基づいてユーザーやグループにケースまたは要求を自動的にアサインすることができます。

手順

1. ケースタイプのアサインルールを定義するには、次に移動します すべて > **Compliance Case Management** > ケースタイプ.
2. 要求タイプのアサインルールを定義するには、次に移動します。 すべて > **Compliance Case Management** > 要求タイプ.
3. リストからケースタイプまたは要求タイプを開きます。
4. ケースタイプまたは要求タイプのフォームで、[アサインルール] を選択します。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   アサインルールフォームのフィールド値の説明については、「アサインルールフォーム」を参照してください。
7. [送信] を選択します。

アサインルールフォーム

アサインルールフォームを使用して、Compliance Case Management アプリケーションでケースアサインルールを定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

アサインルールフォーム

フィールド	説明
名前	アサインルールの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アサインルールフォーム (続く)

フィールド	説明
アプリケーション	このアサインルールが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **GRC: Compliance Case Management** に設定されます。
アクティブ	アサインルールを有効にするオプション。
適用先	
テーブル	このアサインルールが適用されるテーブル。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_case]** に自動的に設定されます。
条件	アサインルールの条件を設定する条件ビルダー。
アサイン先	
ユーザー	ケースまたは要求がアサインされるユーザー。
グループ	ケースまたは要求がアサインされるグループ。
スクリプト	
スクリプト	高度なアサインルールを定義するスクリプト。

要求タイプの作成

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで要求タイプを作成し、コンプライアンス要求を分類および管理します。要求タイプを作成した後、コンプライアンスアナリストとマネージャーは要求フォームで必要な要求タイプを選択できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > 要求タイプ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   要求タイプフォームのフィールド値の説明については、「要求タイプフォーム」を参照してください。

4. フォームのコンテキストメニューを開いて [保存] を選択します。
   [サブタイプ] 関連リストが表示されます。
5. [サブタイプ] 関連リストで [新規] を選択し、要求サブタイプを定義します。
6. フォームのフィールドに入力します。

サブタイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	サブタイプについて表示されるラベル。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
名前	サブタイプの名前。たとえば、「ポリシーの更新」など。
親	親要求のタイプ。このフィールドは、自動的に親の要求タイプに設定されます。
アクティブ	サブタイプをアクティブまたは非アクティブとして選択するオプション。
ケースカテゴリ	サブタイプのカテゴリ。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_request]** に自動的に設定されます。
説明	サブタイプの目的の説明。この説明は、管理者が要求サブタイプを理解するためのものです。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: デフォルトのルールを使用する代わりに表示ルールを作成するには、「表示ルールを作成する」を参照してください。
9. オプション: デフォルトのアサインルールを使用する代わりにアサインルールを作成するには、「アサインルールを作成」を参照してください。

要求タイプフォーム

Compliance Case Management アプリケーションで要求タイプフォームを使用して、タイプ別にコンプライアンス要求を分類します。

次の表で、フィールド値を一覧形式で説明します。

要求タイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	要求タイプに表示されるラベル。
名前	要求タイプの名前。例：ポリシーの更新/照会。
カテゴリ	要求タイプのカテゴリ。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_request]** に自動的に設定されます。
アクティブ	要求タイプをアクティブまたは非アクティブとして選択するオプション。
説明	この要求タイプの説明。この説明は、管理者が要求タイプを理解するためのものです。
ステータスモデル	
ステータスモデル	要求タイプのワークフローステータス。詳細については、「ステータスモデルを作成してワークフローのステータスと移行を定義する」を参照してください。
テンプレート構成	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求タイプフォーム (続く)

フィールド	説明
ドキュメントテンプレート	この要求タイプに関連付けられたコンプライアンス要求のポータブルドキュメント形式 (PDF) レポートを生成するテンプレート。

ステータスモデルを作成してワークフローのステータスと移行を定義する

ステータスモデルを作成して、コンプライアンスケースタイプと要求タイプのワークフローステータスと移行条件を定義します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

このタスクについて

ステータスモデルは、レコードのワークフローを説明するステータスのリストです。ステータスモデルを使用すると、特定のケースタイプや要求タイプのステータス移行を定義できます。ケースタイプまたは要求タイプは、ステータスモデルで定義されたワークフローステータスと移行条件に従います。

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > ステータスモデル.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   GRC ステータスモデルフォームのフィールド値の説明については、「GRC ステータスモデルフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

GRC ステータスモデルフォーム

GRC ステータスモデルフォームを使用して、Compliance Case Management アプリケーションのワークフローステータスと移行条件を定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC ステータスモデルフォーム

フィールド	説明
名前	ステータスモデルの名前。例：違反ケース。
アプリケーション	このステータスモデルが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **GRC: Compliance Case Management** に設定されます。
アクティブ	ステータスモデルをアクティブまたは非アクティブとして選択するオプション。
テーブル	このステータスモデルが適用されるテーブル。このフィールドは、コンプライアンスケース **[sn_comp_case_compliance_case]** に自動的に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC ステータスモデルフォーム (続く)

フィールド	説明
ステータスモデル	このステータスモデルが適用されるテーブル内のステータスモデル値を保持するフィールド。
ステータス	このステータスモデルが適用されるテーブル内のステータス値を保持するフィールド。このフィールドは自動的に [ステータス] に設定されます。

コンプライアンスケースまたは要求のワークフローステータスを作成する

Compliance Case Management アプリケーションでコンプライアンスケースまたは要求のライフサイクルを定義するための、ケースまたは要求のワークフローステータスを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > ステータスモデル.
2. ワークフローを追加するステータスモデルを開きます。
3. GRC ワークフローステータスのコンテキストメニューで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   [ワークフローステータス] フォームのフィールド値の説明については、「ワークフローステータスフォーム」を参照してください。

5. [送信] を選択します。

ワークフローステータスフォーム

ワークフローステータスフォームを使用して、GRC: Compliance Case Management アプリケーションのワークフローステータスを定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

ワークフローステータスフォーム

フィールド	説明
ステータス	コンプライアンスケースのワークフローステータスの名前： • 新規 • トリアージ • 調査 • 解決 • ケースの事後レビュー • クローズ • キャンセル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローステータスフォーム (続く)

フィールド	説明
	コンプライアンス要求のワークフローステータスの名前： • 新規 • トリアージ • 処理中 • キャンセル • 承認待ち • 承認済み • 却下 • クローズ済み
アプリケーション	この表示ルールが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **GRC: Compliance Case Management** に設定されます。
モデル	このワークフローステータスを使用するステータスモデル。このフィールドは自動的にステータスモデル名に設定されます。
表示タイプ	ワークフローステータスの表示タイプオプション： • ノードとして：親ステータスとして選択するオプション。 • サブレベルとして **(As sub-level)**：親ステータスのサブステータスとして選択するオプション。
オプション	ステータスをオプションとして選択するオプション。このフィールドは、[表示タイプ] で [ノードとして] を選択した場合のみ表示されます。
ステッパーラベル	ステータスのステッパーコンポーネントに表示されるラベル。このフィールドは、[表示タイプ] で [サブレベルとして **(As sub-level)]** を選択した場合のみ表示されます。
親モデルのステータス	サブレベルステータスの親ステータス。このフィールドは、[表示タイプ] で [サブレベルとして **(As sub-level)]** を選択した場合のみ表示されます。

コンプライアンスケースまたは要求のモデルステータス移行を定義する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、移行条件を定義し、コンプライアンスケースがさまざまなワークフローステータスを遷移する方法を制御します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_compliance_case_admin

このタスクについて
ステータス移行は、テーブルに定義された各ステータスを開始または終了するための条件のリストです。ステータス移行テーブルで、条件ビルダーを使用して、各ステータスの開始または終了に必要な条件のリストを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > ステータスモデル.
2. モデルステータス移行を定義するステータスモデルを開きます。
3. モデルステータス移行を定義するには、必要なワークフローステータスを選択します。
4. [モデルステータス移行] コンテキストメニューで、[新規] を選択します。
5. 選択したステータスから移行するステータスを選択します。
6. オプション: ワークフローステータスの自動移行を有効にするには、[自動移行] オプションを選択します。
7. フォームのコンテキストメニューを開いて [保存] を選択します。
   [GRC モデルステータス移行条件] 関連リストが表示されます。
8. [GRC モデルステータス移行条件] コンテキストメニューで、[新規] を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

   GRC モデルステータス移行フォームのフィールド値の説明については、「GRC モデルステータス移行条件フォーム」を参照してください。
10. [送信] を選択します。

GRC モデルステータス移行条件フォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで GRC モデルステータス移行条件フォームを使用して、移行条件を定義し、コンプライアンスケースや要求がさまざまなワークフローステータスを遷移する方法を制御します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC モデルステータス移行条件

フィールド	説明
名前	条件の名前。
ステータス移行	ステータスの移行。このフィールドは自動的にモデルステータス移行の値に設定されます。
アプリケーション	この条件が適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **GRC: Compliance Case Management** に設定されます。
アクティブ	モデルステータス移行条件を有効にするオプション。
説明	このステータス移行の説明。たとえば、新規ステータスの [説明] フィールドに、「新しいス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC モデルステータス移行条件 (続く)

フィールド	説明
	テータスは分析ステータスにのみ移行可能」などと入力できます。
エラーメッセージ	条件が満たされない場合に表示されるエラーメッセージ。
必要	移行条件： • タスクは承認を実施済み：関連するタスクに受入済みまたは却下済みの承認がある場合、条件を満たします。 • タスクは承認されました：タスクが承認されたときに、条件を満たします。 • タスクが却下される：タスクが却下されたときに、条件を満たします。 • 移行条件：このステータス移行の条件。 • 移行スクリプト：このステータス移行の高度な条件。
条件	このステータス移行に定義する条件。このフィールドは、[必須] から [移行条件] が選択されている場合にのみ表示されます。
スクリプト	このステータス移行に定義するスクリプト。このフィールドは、[必要] から [移行スクリプト] が選択されている場合にのみ表示されます。

アセスメントテンプレートを作成する

アセスメントテンプレートを作成し、査定人またはレビュー担当者からの応答を要求します。このテンプレートは、GRC: Compliance Case Management アプリケーションのアセスメント測定基準タイプフォームを使用して作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_case_admin

このタスクについて

デフォルトのテンプレートを使用する代わりにアンケートテンプレートを作成して、コンプライアンスケースを評価できます。アセスメントテンプレートを設定すると、そのケースタイプのケースタスクセクションで使用できるようになります。

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance Case Management** > アセスメントテンプレート.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   アセスメント測定基準タイプフォームのフィールド値の説明については、「アセスメント測定基準タイプフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント測定基準タイプフォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションでアセスメント測定基準タイプフォームを使用して、アセスメントアンケートテンプレートを作成します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントテンプレートの名前。
アセスメント期間	アセスメントが生成された時点から、アセスメントを完了するまでに許容される時間。
テーブル	レコードを含むテーブル。このフィールドは、自動的に **GRC** コアケース **[sn_grc_case_mgmt_core_case]**に設定されます。
ステータス	アセスメントの状態。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
ロール	このテンプレートに関連付けられた結果とアクセスレコードを表示できるロール。
説明	アセスメントテンプレートの目的と作成理由。
前書き	アセスメントに回答するビジネスユーザー向けのガイダンステキスト。

Compliance Case Management の使用

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、コンプライアンスケースをレポートし、ケースのライフサイクルを管理します。

GRC: Compliance Case Management でコンプライアンスケースをレポートする

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、コンプライアンスチームが注意する必要があるコンプライアンスケースまたはイベントをレポートできます。

ビジネスユーザーは、次のいずれかのオプションを使用してケースをレポートできます。

- 従業員センター からコンプライアンスケースをレポートする
- コンプライアンスワークスペース でコンプライアンスケースを作成する

従業員センター からコンプライアンスケースをレポートする

従業員センター アプリケーションを使用して、組織のポリシーまたはガイドラインの違反をレポートします。ケースをレポートすることで、会社の財務、評判、および成長に影響を与える可能性がある不適切な規制アクションを削減し、回避することができます。

始める前に
必要なロール:sn_grc_emp_user.grc_employee または
sn_comp_case.compliance_case_business_user

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. 従業員センター ランディングページで、[リスクとコンプライアンス] タブを選択します。
3. [リスクとコンプライアンスを参照 (Browse Risk & Compliance)] セクションで、[コンプライアンスケースをレポート **(Report a compliance case)]** を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンプライアンスケースをレポートフォームのフィールド値の説明については、「コンプライアンスケースをレポートフォーム」を参照してください。

5. オプション: コンプライアンスケースをレポートフォームで、[添付ファイルを 追加] を選択して補足資料または証拠を添付します。
6. [送信] を選択します。

コンプライアンスケースをレポートフォーム

従業員センター でコンプライアンスケースをレポートフォームを使用して、コンプライアンスケースをレポートします。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

コンプライアンスケースをレポートフォーム

フィールド	説明
タイトル	ケースの名前。例：漏洩した訴訟の判定。
説明	ケースの簡単な説明。
ケースタイプ	レポートされたケースのタイプ。このフィールドは自動的に [コンプライアンスケース] に設定されます。
ケースサブタイプ (Case subtype)	レポートされたケースのサブタイプ。例： データ盗難/紛失。
発生日	ケースが発生した日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生した可能性があります。
検出日	ケースが検出された日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生しても、2022 年 12 月 3 日に検出される場合があります。
ケース発生元	
影響を受ける事業部門	レポートされたケースまたはイベントの影響を受ける事業部門。
発生場所 (Location of occurrence)	ケースの発生場所。たとえば、場所は日本です。
影響を受ける部門 (Impacted department)	ケースによって影響を受ける部門。たとえば、カスタマーサポート。
発生サブ場所 (Sub-location of occurrence)	ケースが発生したサブ場所。たとえば、サブ場所は東京です。

コンプライアンスワークスペース でコンプライアンスケースを作成する

Compliance Case Management アプリケーションを使用して、組織のポリシーまたはガイドラインの違反をレポートします。ケースをレポートすることで、会社の財務、評判、および成長に影響を与える可能性がある不適切な規制アクションを削減し、回避することができます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst および sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
場合によっては、ユーザーが電話やメールを介して、コンプライアンスチームにケースをレポートすることもできます。コンプライアンスチームは コンプライアンスワークスペース でこれらのケースを作成し、関連する詳細をケースに添付できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance** ワークスペース.
2. Compliance Case Management アイコン () を選択します。
3. Compliance Case Management ランディングページで、[作成] を選択します。
4. [作成] で利用可能なオプションから、[ケース] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   コンプライアンスケースの作成フォームのフィールド値の説明については、「コンプライアンスケースフォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。

コンプライアンスケースフォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションでコンプライアンスケースの作成フォームを使用して、コンプライアンスケースをレポートします。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

コンプライアンスケースの作成フォーム

フィールド	説明
番号	ケースの番号。このフィールドは自動的にケース番号に設定されます。
タイトル	ケースの名前。例：漏洩した訴訟の判定。
タイプ	ケースのタイプ。このフィールドは自動的に [コンプライアンスケース] に設定されます。
ステータス	ケースのワークフローステータス。このフィールドは自動的に [新規] に設定されます。
要求者	ケースを報告したユーザー。
主エンティティ	ケースの影響を受けるエンティティ。このフィールドは、[影響領域] 関連リストで特定されたエンティティに自動的に設定されます。
サブタイプ	ケースのサブタイプ。例： 詐欺と横領。
優先度	ケースの優先度。 • **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中
代理で要求済み	ケースを作成したユーザーの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケースの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
エンティティオーナー	エンティティのオーナーであるユーザー。このフィールドは、[影響領域] 関連リストで選択されたエンティティに基づいて自動的に設定されます。
説明	ケースの簡単な説明。
アサイン	
アサイン先グループ	ケースをアサインするグループ。 **注:** アサイン先グループは、構成セットアップ中にケースタイプに事前に構成されます。
ケースアナリスト	ケースを分析して作業できるアナリスト。ケースアナリストはアサイン先グループに属しています。
ウォッチリスト	ケースについて通知する必要があるユーザー。
アカウントエグゼクティブ	ケースの責任者。
プライマリ作成元 (Primary origin)	
場所	ケースが発生した場所。たとえば、日本。
影響を受ける事業部門	レポートされたケースまたはイベントの影響を受ける事業部門。たとえば、経理。
ソース	ケースのレポート元のソース： • 手動：ケースがコンプライアンスワークスペースから作成された場合、フィールドにはソースが [手動] として表示されます。 • **Employee Center**：ケースが 従業員センターからレポートされた場合、フィールドにはソースが **[Employee Center]** として表示されます。
追加のソース (Additional source)	ケースが手動で作成された場合のケースの報告方法。このフィールドは、[ソース] フィールドで [手動] が選択され、レコードが保存されている場合にのみ使用できます。選択肢は次のとおりです。 • メール：メールで受信した情報からケースを作成する場合。 • 電話：電話で受け取った情報からケースを作成する場合。
サブ場所	ケースが発生したサブ場所。たとえば、サブ場所は東京です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケースの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
影響を受ける部門 (Impacted department)	ケースによって影響を受ける部門。たとえば、カスタマーサポート。
ソースレコード	ケースの作成元のソースオブジェクトのソースレコード。たとえば、ケースがリスクイベントからレポートされた場合、このフィールドにはケースのレポート元のリスクイベントの名前が表示されます。
スケジュール	
発生日	ケースが発生した日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生した可能性があります。
検出日	ケースが検出された日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生しても、2022 年 3 月 12 日に検出される場合があります。
ケース作成日	ケースが作成された日付。このフィールドは自動的に現在の日時に設定されます。
ケースクローズ SLA (Case closure SLA)	ケースのクローズ予定日。
調査開始予定 (Investigation planned start)	ケース調査の開始予定日。
調査終了予定 (Investigation planned end)	ケース調査の終了予定日。
調査の実際の開始 (Investigation actual start)	ケース調査の実際の開始日。
調査の実際の終了 (Investigation actual end)	ケース調査の実際の終了日。
修正開始予定 (Remediation planned start)	ケースの修正の開始予定日。
修正終了予定 (Remediation planned end)	ケース修正の終了予定日。
修正の実際の開始 (Remediation actual start)	ケースの修正の実際の開始日。
修正の実際の終了 (Remediation actual end)	ケースの修正の実際の終了日。
違反分析	
違反ステータス	違反が発生したかどうかを示すステータス。 • 未定 **(To be determined)**：違反がまだ決定されていない場合。 • 違反検出 **(Breach detected)**：違反が確認された場合。 • 将来の可能性 **(Future potential)**：違反が発生していないが、将来発生する可能性がある場合。 • 違反ではない **(Not a breach)**：違反が検出されない場合。
レポートステータス	規制機関にレポートされているケースのステータス。このフィールドは、ケースに関連付けられた規制のレポートステータスに基づいて自動的に設定されます。ケースに多くの規制があ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケースの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	り、1 つの規制がレポート可能と特定された場合でも、ケースのレポートステータスはレポート可能に設定されます。このフィールドのデフォルト値は [未定 **(To be determined)]**です。
違反開始 (Breach start)	違反が開始された日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
違反終了 (Breach end)	違反が終了した日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
違反の重大度 (Breach severity)	違反の強度： • 重大 • 高 • 中 • 低
特定された違反の重大性 (Breach significance identified)	ユーザーが違反が重大だと特定した日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
根本原因分析	
主な原因 (Primary cause)	レポートされたケースの主な原因。このフィールドは、[原因と結果 (Cause and consequences)] 関連リストで選択されている主な原因に自動的に設定されます。
結果	レポートされたケースの主な原因からの結果。例：物理資産の破損
すべての観察事項	ケースに関する観察事項。
実施された修正 (Remediation taken)	ケースに対処するために修正処置が行われたかどうかを示すオプション。 • はい • いいえ
全体的な予防措置 (Overall preventive measures)	ケースを修正するために行われる予防措置。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	ケースに関するメモまたは情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスケースの作成フォーム (続く)

フィールド	説明
追加コメント (顧客に表示)	顧客と共有するケースに関する追加情報。

GRC: Compliance Case Management でコンプライアンス要求を発生させる

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、コンプライアンスチームにコンプライアンス要求を作成することができます。たとえば、コンプライアンス要求を送信して、組織のポリシーとガイドラインに関するアドバイスやガイダンスを求めることができます。

次のいずれかのオプションを使用して、コンプライアンス要求を作成できます。

- 従業員センター からコンプライアンス要求を発生させる
- コンプライアンスワークスペース でのコンプライアンス要求の作成

従業員センター からコンプライアンス要求を発生させる

従業員センター アプリケーションを使用して、組織のポリシー、照会、およびガイドラインに関するコンプライアンス要求を作成します。ガイダンス、説明、または承認を求めることで、組織内のコンプライアンス文化の維持に貢献できます。

始める前に
必要なロール:sn_grc_emp_user.grc_employee または
sn_comp_case.compliance_case_business_user

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. 従業員センター ランディングページで、[リスクとコンプライアンス] タブを選択します。
3. [リスクとコンプライアンスを参照 (Browse Risk & Compliance)] セクションで、[コンプライアンス要求をレポート **(Report a Compliance Request)]** を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   [コンプライアンス要求をレポート (Report a Compliance Request)] フォームのフィールド値の説明については、「[コンプライアンス要求を提起 (Raise a Compliance Request)] フォーム」を参照してください。

5. オプション: [コンプライアンス要求をレポート (Report a Compliance Request)] フォームで、[添付ファイルを追加] を選択して補足資料または証拠を添付します。
6. [送信] を選択します。

[コンプライアンス要求を提起 **(Raise a Compliance Request)]** フォーム

従業員センター で [コンプライアンス要求を提起 (Raise a Compliance Request)] フォームを使用して、コンプライアンス要求を提起します。

次の表で、フィールド値を一覧形式で説明します。

[コンプライアンス要求をレポート **(Report a Compliance Request)]** フォーム

フィールド	説明
名前	要求の名前。たとえば、すべての正社員に必須の要求として、「ポリシー更新 - 年次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コンプライアンス要求をレポート **(Report a Compliance Request)**] フォーム (続く)

フィールド	説明
	健康診断 (Policy Update - Annual medical examination)」があります。
説明	要求の簡潔な説明
要求タイプ	要求のタイプ。
優先度	要求の優先度。次のものがあります。 • **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中
要求者	要求を作成した人物の名前。
代理で要求済み	要求を作成した人物の名前。
事業部門	要求の影響を受ける事業部門。たとえば、「Legal」。
ロケーション	要求が作成された場所。たとえば、日本。

自動翻訳

コンプライアンスワークスペース でのコンプライアンス要求の作成

Compliance Case Management アプリケーションを使用して、組織のポリシー、照会、およびガイドラインに関するコンプライアンス要求を作成します。ガイダンス、説明、または承認を求めることで、組織内のコンプライアンス文化の維持に貢献できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst および sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Compliance** ワークスペース.
2. Compliance Case Management アイコン ( ) を選択します。
3. Compliance Case Management ランディングページで、[作成] を選択します。
4. [作成] リストで使用可能なオプションから、[要求] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   コンプライアンスケースの作成フォームのフィールド値の説明については、「コンプライアンス要求フォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。

コンプライアンス要求フォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで [新しいコンプライアンス要求の作成 (Create new compliance request)] フォームを使用して、コンプライアンス要求をレポートします。

次の表で、フィールド値を一覧形式で説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいコンプライアンス要求の作成 **(Create new compliance request)**] フォーム

フィールド	説明
番号	要求の番号。このフィールドは自動的に要求番号に設定されます。
名前	要求の名前。たとえば、すべての正社員に必須の要求として、「ポリシー更新 - 年次健康診断 (Policy Update - Annual medical examination)」があります。
説明	要求の簡潔な説明
タイプ	要求のタイプ。
ステータス	要求のワークフローのステータス。このフィールドは自動的に [新規] に設定されます。
優先度	要求の優先度。次のものがあります。 • なし • **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中
要求者	要求を作成した人物の名前。
代理で要求済み	要求を作成した人物の名前。
アサイン	
アサイン先グループ	要求にアサインされるグループ。 **注:** アサイン先グループは、構成セットアップ中に要求タイプに事前に構成されます。
承認者	要求を承認する必要がある人物。
アサイン先	この要求にアサインされている人物。
ウォッチリスト	要求について告知すべきユーザー。
プライマリ作成元 (Primary origin)	
事業部門	要求の影響を受ける事業部門。たとえば、「Legal」。
ロケーション	要求が作成された場所。たとえば、日本。
スケジュール	
作成済み	要求が作成された日付。このフィールドは自動的に現在の日時に設定されます。
承認日	要求が承認された日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいコンプライアンス要求の作成 **(Create new compliance request)**] フォーム (続く)

フィールド	説明
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	要求に関するメモまたは情報。
追加コメント (顧客に表示)	顧客と共有する要求に関する追加情報。

コンプライアンスケースタスクワークフロー

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、複数のチームと協力して調査を行い、影響度アセスメントを実行し、証拠を収集して詳細と応答を取得してレビューすることができます。

コンプライアンスアナリストは、コンプライアンスケースがレポートされた後に、ケースタスクを作成し、それらのタスクをさまざまなケースタスク所有者にアサインできます。ケースタスク所有者は、タスクを処理し、レビューのためにケースアナリストにそれらを送信します。ケースタスクには次の 3 つのタイプがあります。

アセスメント

アセスメントケースタスクでは、ケースタスク所有者がアセスメントを受け、応答を提供する必要があります。このタイプのケースタスクは、再アサインのみできます。

調査

調査ケースタスクでは、ケースタスク所有者が観察事項を提供する必要があります。

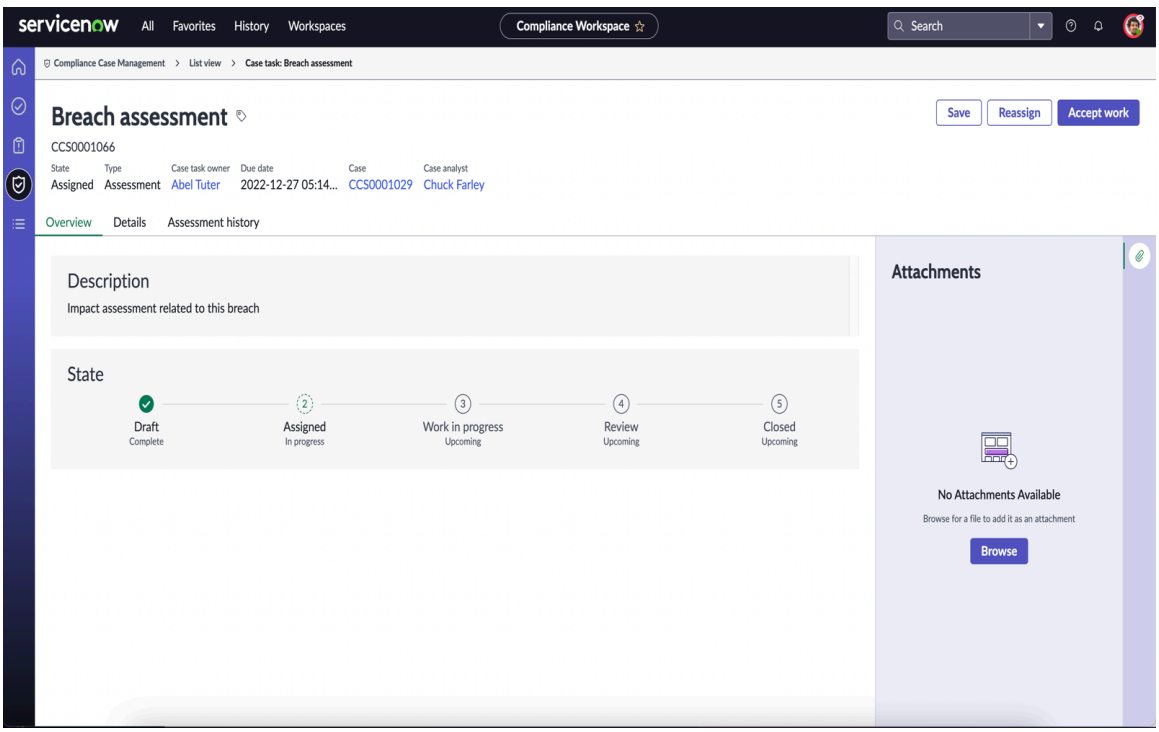
その他

その他ケースタスクでも、ケースタスク所有者が観察事項を提供する必要があります。

ケースタスク所有者は、タスクを処理し、レビューのためにケースアナリストにそのタスクを送信します。

次の例は、ケースタスクのライフサイクルを示しています。

ケースタスクワークフロー



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケースタスクを作成する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションでレポートされたケースを分析および評価できるように、ケースタスクを作成して調査し、証拠を収集し、アセスメントを実行します。各ケースには、複数のチームの異なる所有者にアサインできる複数のケースタスクを含めることができます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

コンプライアンスチームにケースがレポートされた後に、コンプライアンスケースアナリストはケースタスクを作成し、それらのタスクを関連するタスク所有者にアサインできます。これにより、コンプライアンスケースアナリスは、さまざまなチームと協力して、ケースに関連する観察事項を調査、評価、およびキャプチャできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [リスト] セクションで、[すべてのケース] を選択します。
4. ケースタスクを作成するケースを開きます。
5. [ケースタスク] 関連リストを選択します。
6. [新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

   ケースタイプフォームのフィールド値の説明については、「ケースタスクフォーム」を参照してください。
8. [保存] を選択します。
9. ケースタスク所有者にタスクをアサインするには、[タスクをアサイン]を選択します。
10. オプション: 確認ダイアログボックスで、メモを入力します。
11. [確認] ダイアログボックスで [アサイン済みに移動 **(Move to assigned)]** を選択します。
    レコードのステータスが [アサイン済み] に変更され、ケースタスクがケースタスク所有者にアサインされます。
12. オプション: 指定したケースタスク所有者がケースタスクを受け入れる前にケースタスクを別のユーザーに再アサインするには、[再アサイン]を選択します。

    注:
    タイプが [アセスメント] であるケースタスクのみを再アサインできます。

    a. [アサイン先グループ] フィールドで、関連するグループを選択します。
    b. [ケースタスク所有者] フィールドで、新しい所有者を選択します。
    c. [ケースタスクを再アサイン] ダイアログボックスで、[再アサイン] を選択します。

ケースタスクフォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションでケースタスクフォームを使用して、レポートされたコンプライアンスケースのケースタスクを作成します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ケースタスクフォーム

フィールド	説明
番号	ケースタスクの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
ステータス	ケースタスクのワークフローステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
タイトル	ケースに対して作成されるタスクの名前。たとえば、誤って請求された遅延手数料の調査。
タイプ	タスクのタイプ。 • アセスメント：ケースに関するユーザーからの応答を収集します。 **注:** 必要に応じて、ケースタスクタイプが [アセスメント] のケースタスクのみを別のタスク所有者に再アサインできます。 • 調査：レポートされたケースの調査を実行するケースタスクを作成します。たとえば、誤って遅延手数料を請求された原因を特定したい場合があります。 • その他：設定するタスクのその他のタイプ。
優先度	ケースタスクの優先度。
アセスメントテンプレート	ケースを評価するためのアセスメントテンプレート。このフィールドは、[タイプ] フィールドで [アセスメント] が選択された場合にのみ表示されます。 **注:** 各ケースタイプは、構成時に特定のアセスメントテンプレートにマッピングできます。ケースにマッピングされたテンプレートのみを選択できます。たとえば、ケースタイプが [金融詐欺] の場合、金融詐欺タイプに固有のアセスメントテンプレートを選択できます。選択したアセスメントテンプレートを含むオープンアセスメントが既に作業中である場合、同じアセスメントテンプレートを選択することはできません。
説明	ケースタスクの簡単な説明。この説明は、ケースタスクを処理するユーザーに役立ちます。
アサイン	
アサイン先グループ	ケースタスクを処理するグループ。ケースタスク所有者が指定されていない場合、選択したグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	ループに属するすべてのユーザーがケースタスクを処理できます。
ケースタスク所有者	ケースタスクを所有するユーザー。このフィールドで選択するユーザーは、アサイン先グループのメンバーである必要があります。
ウォッチリスト	ケースについて通知する必要があるユーザー。
スケジュール	
期日	ケースタスクを完了する必要がある日付 **注:** 期日は、ケースフォームの [ケースクローズ **SLA]** フィールドで指定された日付より前である必要があります。
受諾日 (Accepted date)	ケースが受諾された日付。
作成済み	ケースが作成され、ケースタスク所有者にアサインされた日付。
タスクのクローズ日 (Task closure date)	タスクがクローズされた日付。
サマリー	
観察事項	ケースタスクの処理中にケースについて行った観察事項。
アクティビティ	
追加コメント	ケースタスクに関する追加情報。

ケースタスクを処理する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、ケースタスクを承認し、ケースアナリストから要求された詳細を提供して、レビューのためにそのケースタスクを送信します。ケースタスクがアサイン先グループにアサインされると、アサイン先グループのすべてのユーザーがそのタスクを承認して作業できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

ケースタスクのタイプが [アセスメント] の場合、ケースから発生した損失を判断するためにケースタスク所有者がアセスメントを受ける必要があります。この場合、タスク所有者は作業を承認してからアセスメントを受けることができます。ケースタスクのタイプが [調査] または [その他] の場合、ケースタスク所有者はタスクを承認し、観察事項を提供し、レビューのためにケースアナリストにケースを送信できます。

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [自分のタスク] モジュールからタスクにアクセスします。
3. 自分にアサインされたタスクを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [オープン] セクションで、[作業を承認] を選択します。
5. 確認ダイアログボックスで [作業を承認] を選択します。
6. ケースタスクタイプに応じて、次のオプションのいずれかを選択します。

次のタスク

1. コンプライアンスケースの影響を受ける領域を追加します。たとえば、影響を受ける可能性のある影響を受ける領域またはオブジェクトは、コンプライアンスケースの影響を受けるエンティティ、コントロール、場所、またはユーザーです。詳細については、「影響を受ける領域をコンプライアンスケースに追加する」を参照してください。
2. コンプライアンスケースに関連する領域を追加します。たとえば、関連する領域には、ポリシー、各種法令・基準内項目、コントロール目標、またはリスクイベントが含まれます。詳細については、「関連する領域をコンプライアンスケースに追加する」を参照してください。
3. このコンプライアンスケースの原因と結果を追加します。たとえば、レポートされたコンプライアンスケースまたはイベントの根本原因と、組織に対するその結果を追加できます。詳細については、「コンプライアンスケースに原因と結果を追加する」を参照してください。
4. 影響を受ける可能性があるコンプライアンス規制をコンプライアンスケースに追加します。詳細については、「コンプライアンスケースにコンプライアンス規制を追加する」を参照してください。
5. コンプライアンスケースに関連する問題を追加または作成します。詳細については、「コンプライアンスケースの問題を追加または作成する」を参照してください。

[アセスメント] タイプのケースタスクを再アサインする

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、[アセスメント] タイプのケースタスクを別のユーザーに再アサインします。たとえば、ケースタスクが誤ってアサインされた場合、またはケースタスク所有者によって承認されない場合、ケースアナリストまたはケースタスク所有者は、コンプライアンスケースタスクを別のケースタスク所有者に再アサインできます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

ケースアナリストは、タスクがケースタスク所有者にアサインされた後、タスクを別のユーザーに再アサインできます。

ケースタスク所有者は、タスクを承認して作業を開始し、部分的に完了したタスクを別のユーザーに再アサインすることもできます。部分的に完了したケースタスクを別のユーザーに再アサインすると、提供したデータもコピーされ、新しいケースタスク所有者が使用できるようになります。新しくアサインされたタスク所有者は、その所有者の要件に基づいてケースタスクを変更できます。

注:
再アサインできるのは、[タイプ] フィールドが [アセスメント] に設定されているケースタスクのみです。

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [自分のタスク] モジュールからタスクにアクセスします。
3. 作業するタスクを開きます。
4. [オープン] セクションで、[再アサイン] を選択します。
   [ケースタスクを再アサイン] ダイアログボックスが表示されます。
5. [アサイン先グループ] フィールドでアサイン先グループを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [ケースタスク所有者] フィールドで、所有者を選択します。
7. [ケースタスクを再アサイン] ダイアログボックスで、[再アサイン] を選択します。

ケースタスクをレビューしてクローズする

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、ケースタスク所有者がケースの応答と観察事項を提供した後、ケースタスクをレビューしてクローズします。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

手順
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [タスク] モジュールで、レビューするタスクを開きます。
3. ケースタスクをレビューし、次のオプションのいずれかを選択します。

影響を受ける領域をコンプライアンスケースに追加する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、コンプライアンスケースまたはイベントの影響を受ける領域またはオブジェクトを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて
コンプライアンスケースの影響を受ける領域またはオブジェクト (エンティティ、コントロール、会社、ユーザーなど) を指定できます。コンプライアンス管理者は、アプリケーションセットアップで影響を受ける領域のオプションを設定することもできます。

手順
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. リストから [すべてのケース] を選択します。
4. 影響領域を追加するケースを開きます。
5. [影響領域] 関連リストを選択します。
6. [追加] を選択します。
7. 影響領域タイプを選択します。
   選択したレコードタイプに関連するレコードを選択できます。
8. 利用可能リストからレコードを選択します。
   [選択タイプ] フィールドを変更すると、現在の選択がクリアされます。
9. [追加] を選択します。
10. [保存] を選択します。

関連する領域をコンプライアンスケースに追加する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで、レポートされたコンプライアンスケースまたはイベントに関連する領域を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて
コンプライアンスケースまたはレポートされたイベントに関連する領域を指定できます。関連する領域には、ポリシー、引用、コントロール目標、コントロール、およびリスクイベントが含まれます。コンプライアンス管理者は、アプリケーションセットアップで関連する領域のオプションを設定することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. リストから [すべてのケース] を選択します。
4. 関連する領域を追加するケースを開きます。
5. [関連領域] 関連リストを選択します。
6. [追加] を選択します。
7. 関連するエリアタイプを選択します。
   選択したレコードタイプに関連するレコードを選択できます。
8. 利用可能リストからレコードを選択します。
   [選択タイプ] フィールドを変更すると、現在の選択がクリアされます。
9. [追加] を選択します。
10. [保存] を選択します。

コンプライアンスケースに原因と結果を追加する

GRC: Compliance Case Management アプリケーションを使用して、レポートされたコンプライアンスケースまたはイベントの根本原因と、組織に対するその結果を定義します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて
コンプライアンスケースまたはイベントに複数の原因を追加し、主な原因を定義することができます。コンプライアンスケースの主な原因は 1 つのみです。疑わしくても確認されていない原因を追加することもできます。Compliance Case Management アプリケーションを使用すると、レポートされたケース、実行されるアクションプランまたは修正計画に基づいて結果を追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. リストから [すべてのケース] を選択します。
4. 原因と結果を追加するケースを開きます。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   原因と結果フォームのフィールド値の説明については、「原因と結果フォーム」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

原因と結果フォーム

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで原因と結果フォームを使用して、ケースが組織に及ぼす原因と結果を定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

原因と結果フォーム

フィールド	説明
原因	ケースまたはイベントの原因。
原因ステータス (Cause status)	原因のステータス： • 疑わしい **(Suspected)**：原因が確認されていない場合。 • 確認済み：原因が確認された場合。
主な原因 (Primary cause)	原因を主な原因として選択するオプション。
原因の説明	原因の簡単な説明。
結果とアクション	
結果	ケースまたはイベントの結果。報告されたケースに対して複数の結果を選択できます。
実行されたアクション	ケースに対処するために実行されたアクションまたは対策。
サマリー	
観察事項	全体的な観察事項 (ある場合)

コンプライアンスケースにコンプライアンス規制を追加する

レポートされたコンプライアンスケースによって影響を受ける、または影響を受ける可能性のある規制を追加します。ServiceNow プラットフォームでは、規制は各種法令・基準等としてキャプチャされます。ケースに規制を追加すると、侵害または違反している規制を特定し、組織がこのケースに関してペナルティや罰金が課されないようにすることができます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

ケースアナリストは、レポートされたケースに関連する規制を選択して追加できます。デフォルトでは、システムに存在するすべての規制が表示されます。規制を追加した後で、違反している規制を分析し、そのレポートステータスを設定する必要があります。レポートステータスは、規制をレポートする必要があるかどうかの判断に役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. リストから [すべてのケース] を選択します。
4. 規制を追加するケースを開きます。
5. [規制] 関連リストを選択し、次のアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. [追加] を選択します。

b. 追加する規制を選択します。

c. [追加] を選択します。

6. 規制のレポートステータスを設定するには、規制を選択して開きます。

7. フォームのフィールドに入力します。

規制フォーム

フィールド	説明
ケース	規制を追加するケース。このフィールドは自動的にケース名に設定されます。
レポートステータス	規制をすぐにレポートする必要があるか、将来レポートする必要があるか、まったくレポートする必要がないかを判断するステータス。オプションは次のとおりです。 ○ 未定 **(To be determined)**：違反をレポートする必要があるかどうかわからない場合。 ○ レポート可能：違反をレポートする必要がある場合。 ○ レポート不要 **(Non-reportable)**：違反をレポートする必要がない場合。 ○ レポートの可能性あり **(Potentially reportable)**：今後、ケースの調査に基づいて違反がレポートされる可能性がある場合。
各種法令・基準等	規制を形成する各種法令・基準等。
報告日 (Lodgement date)	規制が規制機関にレポートされた日付。
説明	分析に基づく規制違反の簡単な説明。

8. [保存] を選択します。

コンプライアンスケースの問題を追加または作成する

レポートされたコンプライアンスケースの影響領域に関連する問題を特定して追加します。GRC: Compliance Case Management ランディングページから問題を作成することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.

2. リスト アイコンを選択します。

3. リストから [すべてのケース] を選択します。

4. 問題を追加するケースを開き、次のオプションのいずれかを選択します。

5. [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

問題を作成フォーム

GRC: Compliance Case Management で問題を作成フォームを使用して、コンプライアンスケースに問題を追加します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

問題を作成フォーム

フィールド	説明
問題	
数値	問題の番号。このフィールドは自動的に入力されます。
名前	問題の名前。
問題ソース	問題のソース (ビジネスサービスやシナリオ分析など)。このフィールドは自動的に入力されます。
問題タイプ	問題の作成元のソース。このフィールドには、問題が作成された方法に基づいて次のオプションのいずれかが自動的に入力されます。 • コントロール設計有効性の問題 • コントロール運用有効性の問題 • コントロールが要件を満たしていない (Control doesn’t meet requirement) • コントロールが存在しない (Control doesn’t exist) • 規制への非準拠 • ポリシーへの非準拠 • 既存のポリシーに対する改善または提案 • 新しいポリシーの推奨事項 • プロセスの最適化または改善 • 観察事項 • データ漏洩 • 詐欺 • 虚偽 • トレーニング • ドキュメント
分類	問題の分類。このフィールドには、次のオプションのいずれかが自動的に入力されます。 • 監査 • Compliance • Operational Resilience • リスク • ベンダー
場所	問題の場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
ステータス	問題のステータス。 • 新規 • 分析 • 応答 • レビュー • 完了してクローズ • 未完了でクローズ
サブステート	問題のサブステート。このフィールドは自動的に入力されます。
優先度	問題の優先度： • 重大 • 高 • 中 • 低 • 計画
問題評価	問題の評価： • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • 超低
説明	シナリオ分析計画の承認者。
アサイン	
アサイン先グループ	問題のアサイン先グループ。例：アプリケーション開発グループ
アサイン先	問題がアサインされるユーザー。
問題マネージャーグループ	問題がアサインされるマネージャーグループ： • コンプライアンスマネージャー • **IT** リスクマネージャー • リスクマネージャー
問題マネージャー	問題がアサインされるマネージャー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
ウォッチリスト	問題のウォッチリストに含まれているユーザー。
スケジュール	
期日	問題の期日。
確認日	問題の確認日。このフィールドは自動的に入力されます。
開始予定日	問題の開始予定日。
終了予定日	問題の終了予定日。
期間	日、時、分、秒単位での問題の期間。
作成済み	問題が作成された日付。このフィールドは自動的に入力されます。
クローズ済み	問題がクローズされた日付。
実開始日	問題の実際の開始日。
実終了日	問題の実際の終了日。
実際の期間	日、時、分、秒単位での問題の実際の期間。
問題のグループ化	
ペアレントレコード	問題に関連付けられている親問題。
問題グループルール	問題のグループルール。このフィールドは自動的に入力されます。
アクションプラン	
推奨事項	問題の推奨事項。
アクションプラン	問題のアクションプラン。
アクティビティ	
作業メモ	問題の作業メモ。
追加コメント	問題の追加コメント。
設定	
機能ドメイン	問題の機能ドメイン。

レポートを **PDF** にエクスポート

アプリケーションで事前定義またはカスタマイズされたテンプレートを使用して、 GRC: Compliance Case Management コンプライアンスケースまたは要求のポータブルドキュメント形式 (PDF) レポートを作成します。この機能により、アプリケーションにアクセスできない可能性がある利害関係者が引き続きデータにアクセスできるようになります。

始める前に

必要なロール:sn_comp_case.compliance_case_analyst

このタスクについて

コンプライアンスデータを PDF レポートにエクスポートして、監査チーム、パートナー、または社内委員会と簡単に共有できるため、アプリケーションにアクセスする必要がなくなります。コンプラ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イアンス管理者は、事前定義されたテンプレートを選択するか、カスタマイズされたドキュメントテンプレートを作成してレポートを生成できます。詳細については、「Configure a PDF document template」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. コンプライアンスケースレポートを生成するには、[すべてのケース] を選択します。
4. コンプライアンス要求レポートを生成するには、[すべての要求] を選択します。
5. PDF レポートとしてエクスポートするコンプライアンスケースまたはコンプライアンス要求を開きます。
6. [その他のアクション] アイコンをクリックします。
7. [**PDF** のエクスポート] を選択します。
   [**PDF** をエクスポート] ボタンは、レコードタイプでドキュメントテンプレートが指定されている場合にのみ表示されます。
8. PDF レポートを生成するテンプレートを選択します。
9. [エクスポート] を選択します。
   PDF レポートが生成され、ダウンロードするレコードの [添付ファイル] セクションで利用できるようになります。
10. PDF レポートのローカル コピーをダウンロードするには、PDF レポートの [その他のアクション] をクリックし、[ダウンロード] を選択します。

でのメールの作成 **GRC: Compliance Case Management**

このアプリケーションを使用して、コンプライアンスケースと要求のメールを作成して送信します GRC: Compliance Case Management 。この機能は、組織内外のさまざまなステークホルダーとコミュニケーションを取るために役立ちます。

始める前に

必要なロール:sn_grc_case_mgmt.grc_case_analyst

このタスクについて

ケースと要求に関するメールを作成し、複数のステークホルダーに送信できます。たとえば、記録されたコンプライアンスケースに関する義務的な意見や提案については、法務部門に相談できます。ケースまたは要求レコードページからメールを管理できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リスト アイコンを選択します。
3. コンプライアンスケースのメールを作成するには、[すべてのケース] を選択します。
4. コンプライアンス要求の電子メールを作成するには、[すべての要求] を選択します。
5. PDF レポートとしてエクスポートするコンプライアンスケースまたはコンプライアンス要求を開きます。
6. [その他のアクション] アイコンをクリックします。
7. [メールの作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. フォームのフィールドに入力します。

メールドラフトフォーム

フィールド	説明
目的	受信者のメール ID。このフィールドに複数のメール ID を追加して、複数の 受信者にメールを送信できます。
件名	メールの簡単な概要またはタイトル。
メールメッセージ	メッセージの本文には、受信者に伝える情報、要求、または詳細が含まれます。このセクションには、テキストの書式設定、添付ファイルの追加、およびリンクを含めることができます。 **注:** インスタンスへのアクセス権を持たないServiceNow ユーザーと外部のステークホルダーの両方にServiceNow メールを送信できます。参照しているレコードをユーザーに認識させるには、メールの件名または本文に基本的なレコードの詳細を入力する必要があります。

9. オプション: 添付ファイルを追加するには、[ファイルの添付] を選択します。
10. [メール送信] を選択します。

Compliance Case Management の参照

参照トピックには、GRC: Compliance Case Management アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロールなどの追加の情報が記載されています。

Compliance Case Management とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: Compliance Case Management アプリケーションのアクティブ化とともに追加されます。

GRC: Compliance Case Management アプリケーションで追加されたテーブルの説明については、次の表を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
GRC ケース [sn_grc_case_mgmt_case]	すべてのコンプライアンスケースの詳細を保存します。
ケース分類 [sn_grc_case_mgmt_case_classification]	コンプライアンスケースの分類を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
ケースタスク [sn_grc_case_mgmt_case_task]	コンプライアンスケースに対して作成されたすべてのケースタスクを保存します。
ケースタイプ [sn_grc_case_mgmt_case_type]	ケースタイプとケースサブタイプの詳細を保存します。
原因 [sn_grc_case_mgmt_cause]	ライブラリに追加され、ケースにマッピングされた原因を保存します。
原因と結果フォーム [sn_grc_case_mgmt_cause_consequence]	ケースにマッピングされた原因と結果を保存します。
結果 [sn_grc_case_mgmt_consequence]	ライブラリに追加され、ケースにマッピングされた結果を保存します。
GRC コアケース [sn_grc_case_mgmt_core_case]	ケースのコア機能の詳細を保存します。
影響領域 [sn_grc_case_mgmt_impacted_area]	ケースにマッピングされた影響領域を保存します。
アセスメントインスタンスへのケースタスク [sn_grc_case_mgmt_m2m_case_task_asmt_instance]	アセスメントタイプのケースタスクのアセスメントの詳細を保存します。
ケースへの問題 [sn_grc_case_mgmt_m2m_issue_case]	ケースにマッピングされた問題を保存します。
規制 [sn_grc_case_mgmt_regulation]	ケースにマッピングされた規制を保存します。
関連する領域 [sn_grc_case_mgmt_related_area]	ケースにマッピングされた関連する領域を保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
コンプライアンスケース [sn_comp_case_compliance_case]	コンプライアンスケースのレコードを保存します。

Compliance Case Management とともにインストールされるロール

GRC: Compliance Case Management は、コンプライアンスアナリスト、コンプライアンスマネージャー、およびコンプライアンス管理者がそれぞれのタスクを実行するためのロールをインストールします。

ロールと説明

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
コンプライアンスケースビジネスユーザー [sn_comp_case.compliance_case_business_user]	コンプライアンスケースビジネスユーザーは、次のタスクを実行できます。 • からのコンプライアンスケースと要求の作成 従業員センター • ケースタスクを処理します。 。	sn_grc_case_mgmt.grc_case_business_user
コンプライアンスアナリスト [sn_comp_case.compliance_case_analyst]	コンプライアンスケースアナリストは、ケースをレビューできます。コンプライアンスケースアナリストは、次のタスクを実行できます。 • ケースアナリストにアサインされた主要なステークホルダー、影響領域、関連する領域、原因と結果、規制、および問題をレビューする。 • 未アサインのケースをレビューする。	• sn_grc_case_mgmt.grc_case_analyst • sn_comp_case.compliance_case_business_u
コンプライアンスケースマネージャー [sn_comp_case.compliance_case_manager]	コンプライアンスケースマネージャーは、作成されたケースをレビューして作業できます。コンプライアンスケースマネージャーは、次のタスクを実行できます。 • ケースアナリストにアサインされた主要なステークホルダー、影響領域、関連する領	• sn_comp_case.compliance_case_analyst • sn_grc_case_mgmt.grc_case_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールと説明 (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	域、原因と結果、規制、および問題をレビューする。 • すべてのケースをレビューする。	
コンプライアンスケース管理者 [sn_comp_case.compliance_case_admin]	コンプライアンスケース管理者は、Compliance Case Management アプリケーションを設定できます。次のタスクを実行できます。 • ケースタイプを作成する。 • ステータスモデルと移行を作成する。 • アセスメントテンプレートを作成する。 • ケースを削除する。 • ケースアナリストにアサインされた主要なステークホルダー、影響領域、関連する領域、原因と結果、規制、および問題をレビューする。	• sn_grc_case_mgmt.grc_case_admin • sn_comp_case.compliance_case_manager
GRC Employee User [sn_grc_emp_user.grc_employee]	GRC 従業員ユーザーは、から従業員センターコンプライアンスケースと要求を作成できます。	NA

自動翻訳

Continuous Authorization and Monitoring

Continuous Authorization and Monitoring では、RMF で定義されている 7 つのステップを採用して、セキュリティ体制について十分な情報に基づいた意思決定を行うことができます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

Continuous Authorization and Monitoring (com.sn_irm_cont_auth_monitor) プラグインは個別のサブスクリプションとして利用でき、アクティベーションが必要です。

探索 継続的な承認と監視	設定	管理 認証パッケージの準備

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	• Continuous Authorization and Monitoring をダウンロードする • ユーザーに Continuous Authorization and Monitoring ロールをアサイン	
使用 • 認証パッケージの分類 • 認証パッケージのコントロールの選択 • コントロールの実装 • レポートの評価、承認、監視、生成	開発 • 開発者トレーニング • 開発者ドキュメント	トラブルシューティングとヘルプの取得 • ServiceNow Community の Continuous Authorization and Monitoring フォーラムで質問や回答をする • 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する • 担当者 カスタマーサービス & サポート

Continuous Authorization and Monitoring の理解

ServiceNow® Continuous Authorization and Monitoring アプリケーション (略して CAM) は、NIST の Risk Management Framework (RMF) を自動化するための標準化されたアプローチを適用します。

米国連邦政府によって、米国の経済的および国家安全保障上の利益を支援するために必要なレジリエンスを提供することが RMF に義務付けられています。Continuous Authorization and Monitoring では、RMF で定義されている 7 つのステップを採用して、セキュリティ体制について十分な情報に基づいた意思決定を行うことができます。

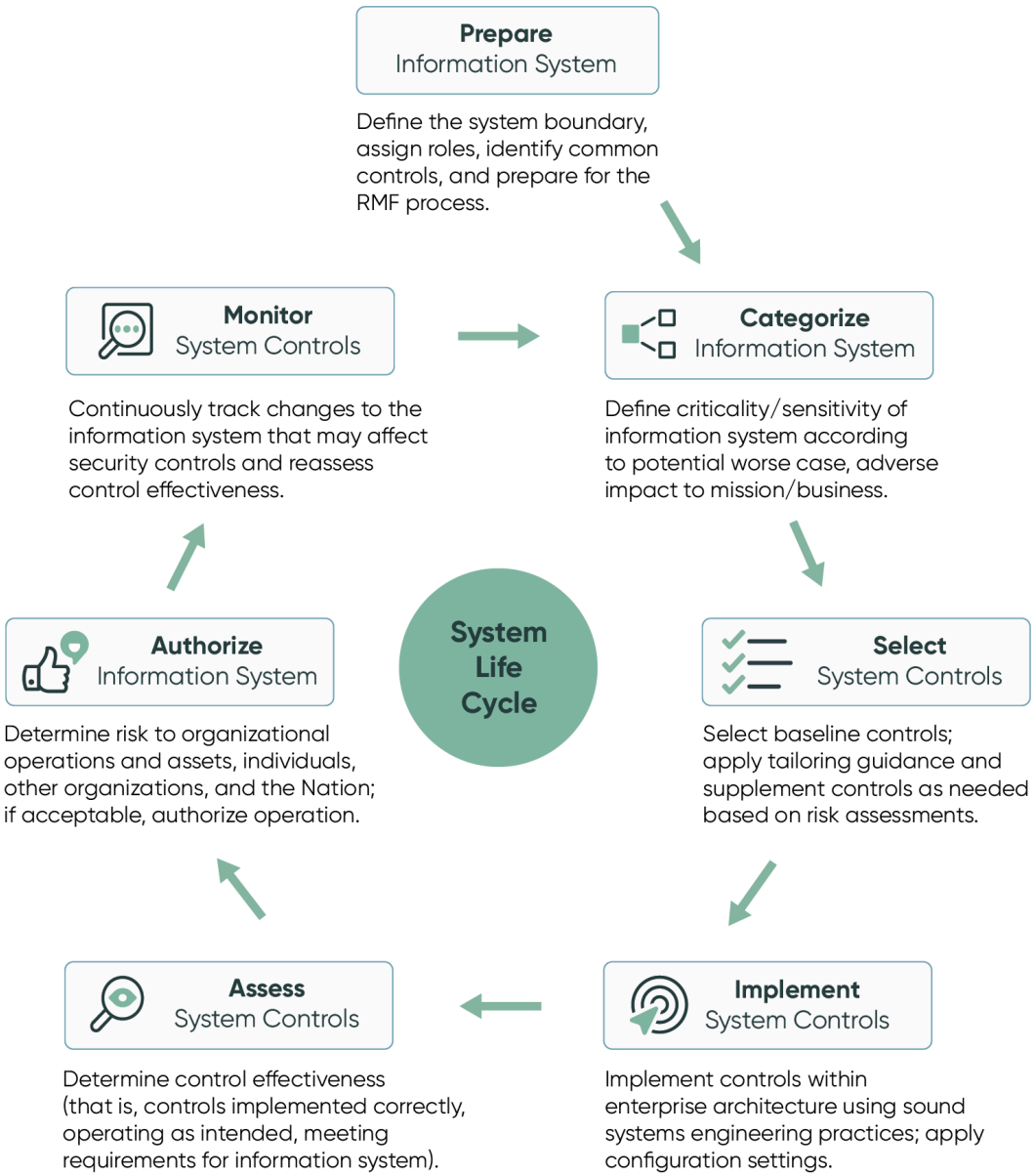
RMF によって定義されたライフサイクル

RMF は、ここに示されている 7 つのステップで構成されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RMF セキュリティライフサイクル



Continuous Authorization and Monitoring の実装

Continuous Authorization and Monitoring アプリケーションチェックリストの手順に従って ServiceNow Store から Continuous Authorization and Monitoring をダウンロードし、操作の準備をします。

Continuous Authorization and Monitoring のセットアップチェックリスト

このチェックリストには、Now Platform® インスタンスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。

始める前に
必要なロール：admin、sn_irm_cont_auth.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. このチェックリストトピックの PDF を作成して印刷し、完了したらタスクにチェックを付けます。
2. PDF を生成するには、トピックの上部にある **[PDF** として保存] アイコン ( ) をクリックし、[選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

Continuous Authorization and Monitoring アプリケーションのチェックリスト

アイテム	説明
	システム管理者ロールを持つユーザーは、GRC コアアプリケーションが Now Platform インスタンスにインストールされていることを確認します。 **注:** GRC アプリケーションと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 **a.** GRC: GRC Profile アプリケーションがインスタンスにインストールされていることを検証するには、[プラグイン] に移動して、GRC Profile を検索します。 **b.** GRC Profile コアアプリケーションがまだインストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、インストールします。 **c.** 必要に応じて、次のアプリケーションもインストールします。 ▪ GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 ▪ GRC: リスク管理 ▪ GRC: Audit Management **d.** これらのアプリケーションをインストールした後、Continuous Authorization and Monitoring コアアプリケーションをインストールします。 上記のアプリケーションがインスタンスに表示されていない場合、GRC コアアプリケーションはすべて ServiceNow Store から入手できます。GRC コアアプリケーションのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。
	Continuous Authorization and Monitoring 管理者ロールを持つユーザーは、Now Platform インスタンスで、必要な Now Platform ロールをアサインされたユーザーがいることを確認します。 詳細な手順と Continuous Authorization and Monitoring ロールのリストについては、「ユーザーに Continuous Authorization and Monitoring ロールをアサイン」を参照してください。

おめでとうございます!Continuous Authorization and Monitoring ベースシステムが正常に設定されました。ベースシステムに含まれる要素の多くは、特定のビジネスニーズに合わせてカスタマイズできます。詳細については、チェックリストのリンクを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Continuous Authorization and Monitoring をダウンロードする

インスタンスで GRC: Continuous Authorization and Monitoring (com.sn_irm_cont_auth_monitor) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

関連情報

プラグインのリスト

ユーザーに Continuous Authorization and Monitoring ロールをアサイン

Continuous Authorization and Monitoring アプリケーションを正常に実装または使用するには、ユーザーにロールをアサインする必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. ユーザーの名前をクリックします。
3. [ロール] タブをクリックします。
4. [編集] をクリックします。
5. ユーザーに割り当てるロールをコレクション側からロールリストに移動し、[保存] をクリックします。
6. 各ユーザーに対して、これらの手順を繰り返します。

ロールタイトル [名前]	説明
承認担当者 [sn_irm_cont_auth.authorization_official]	承認担当者は、既知のリスクレベルで運用環境に情報システムを受け入れる責任を負います。 承認担当者ロールには以下が含まれます。 ○ sn_audit.user ○ sn_compliance.user ○ sn_irm_cont_auth.reader
Continuous Authorization and Monitoring 管理者 [sn_irm_cont_auth.admin]	Continuous Authorization and Monitoring 管理者は、Continuous Authorization and Monitoring アプリケーションのすべてのシステム管理業務を担当します。 Continuous Authorization and Monitoring 管理者ロールには以下が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明
	○ sn_audit.manager ○ sn_compliance.admin ○ sn_doc.admin ○ sn_irm_cont_aut.reader ○ sn_irm_cont_auth.scheduler
エグゼクティブリーダー [sn_irm_cont_auth.executive_read]	エグゼクティブリーダーには、Continuous Authorization and Monitoring アプリケーションのすべてのモジュールに対する読み取り専用アクセス権があります。 エグゼクティブリーダーロールには、sn_irm_cont_auth.reader が含まれます。
情報所有者 [sn_irm_cont_auth.information_owner]	情報所有者は、法定、管理、または運用権限と、その生成、収集、処理、配布、および廃棄を管理するポリシーと手順の確立を担当します。 情報所有者ロールには、sn_irm_cont_auth.reader が含まれます。
情報システムセキュリティ責任者 (ISSO) [sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager]	ISSM は、ISSO によって指定された情報システムのセキュリティ管理アクティビティの実施を担当します。システムレベルのサイバーセキュリティプログラムを開発および維持します。 情報システムセキュリティ責任者 (ISSO) ロールには以下が含まれます。 ○ sn_audit.user ○ sn_compliance.user ○ sn_grc.user ○ sn_irm_cont_auth.reader
リーダー [sn_irm_cont_auth.reader]	リーダーは読み取り専用のロールです。 リーダーロールには以下が含まれます。 ○ sn_compliance.reader ○ sn_incident_read ○ sn_change_read
スケジューラ [sn_irm_cont_auth.scheduler]	スケジューラーは、アプリケーションのすべてのスケジュール設定済みジョブの実行を担当します。これはテクニカルユーザーのロールです。 スケジューラーロールには、sn_irm_cont_auth.system_owner が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明
セキュリティコントロール査定人 [sn_irm_cont_auth.sec_control_assessor]	セキュリティコントロール査定人 (SCA) は、情報システムの管理、運用、および技術的なセキュリティコントロールの徹底的なアセスメントの実施を担当します。 セキュリティコントロール査定人ロールには以下が含まれます。 ○ sn_audit.manager ○ sn_compliance.user ○ sn_irm_cont_auth.reader
システムオーナー [sn_irm_cont_auth.system_owner]	システムオーナーは、情報システムの調達、開発、統合、変更、運用、および維持を担当します。 システムオーナーロールには以下が含まれます。 ○ sn_audit.user ○ sn_compliance.user ○ sn_irm_cont_auth.reader
システムユーザー [sn_irm_cont_auth.system_user]	システムユーザーは、システムで実際の作業を行う責任があります。 システムユーザーロールには、sn_irm_cont_auth.reader が含まれます。

自動翻訳

認証パッケージの準備

CAM の最初の RMF 必須ステップは準備です。このステップでは、認証境界、コントロールオーバーレイ、および情報タイプを設定し、実際の認証パッケージを作成できます。

準備ステップが完了すると、後続の 6 つのステップが繰り返され、コントロールの継続的な認証と監視が行われます。

認証境界の定義

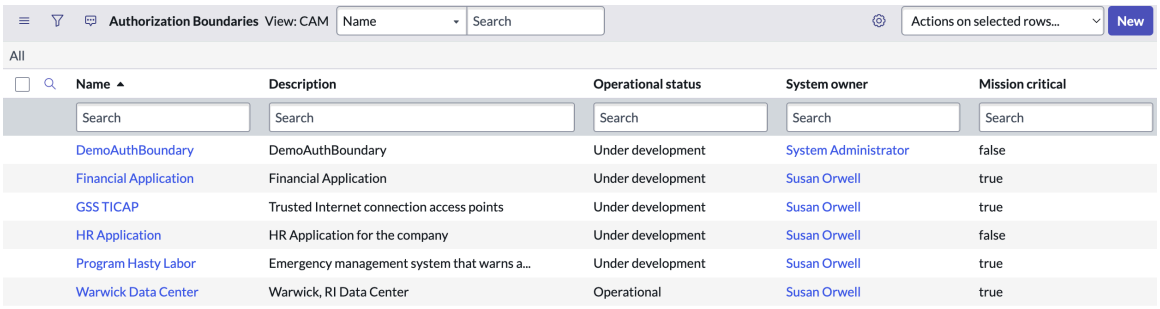
認証境界は、CAM アプリケーションを使用して継続的に管理および監視できる特定のシステムのスコープを定義します。

始める前に
必要なロール：sn_irm_cont_auth.system_owner または sn_irm_cont_auth.admin

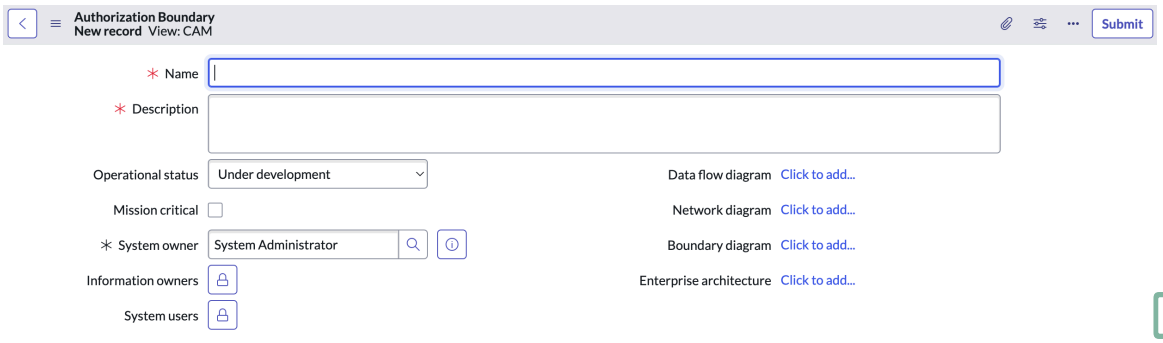
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 継続的な承認と監視 > すべての認証境界.



2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

認証境界

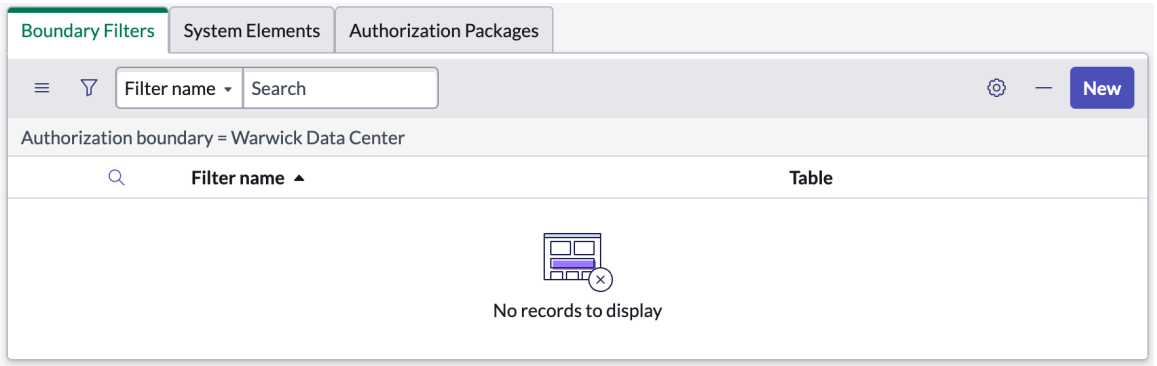
フィールド	説明
名前	この境界の名前。
説明	この境界の説明。
運用ステータス	運用ステータス： ○ 開発中 ○ 再認可 ○ オペレーショナル ○ 廃止
ミッションクリティカル	選択されている場合、境界はミッションクリティカルです。
システムオーナー	情報システムの調達、開発、統合、変更、運用、および維持を担当するユーザー。
情報所有者	法定、管理、および運用権限を担当するユーザー。
システムユーザー	システムで実際の作業を行う責任があるユーザー。
図	必要に応じて、または CMDB がない場合は、データフロー、ネットワーク、および境界図を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. レコードを保存します。

   次のタブが表示されます。これらのタブを使用して、所有しているシステムとシステムの部分を特定し、認証プロセスを実行します。



5. [境界フィルター] タブを使用して、すべてのシステム要素を識別するためのフィルターを作成できます。
   フィルターを実行すると、結果が [システム要素] タブに表示されます。
6. 認証プロセスに含める必要がない要素が表示された場合は、それらの要素を選択し、画面の下部にある [選択した行のアクション] リストから [削除] を選択できます。
7. [追加] をクリックすると、追加の資産またはシステムを認証境界のシステム要素のリストに含めることができます。

次のタスク

これで、認証境界を定義する手順は完了です。次のステップは、承認によって処理される認証パッケージを作成することです。[認証パッケージ] タブをクリックするか、ナビゲーションペインからプロセスを開始できます。詳細については、「認証パッケージの作成」を参照してください。

認証パッケージの作成

認証から運用プロセスを介して送信する資産またはシステムの認証境界を定義した後、その目的のための認証パッケージを作成する必要があります。その後、パッケージは、RMF によって義務付けられている 7 つのステップを経て処理されます。

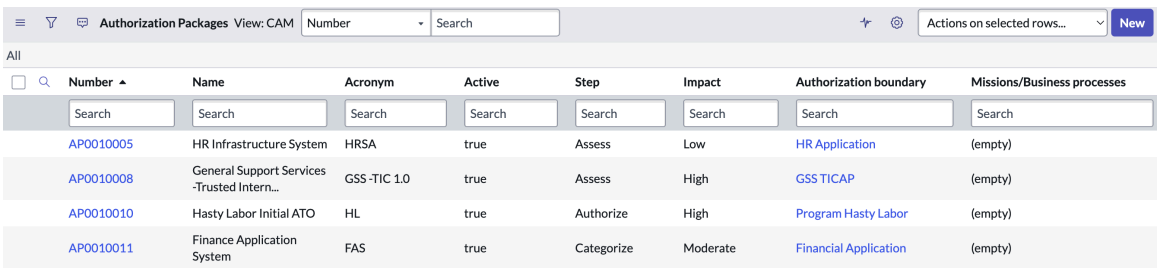
始める前に

必要なロール：sn_irm_cont_auth.system_owner または sn_irm_cont_auth.admin

> **注:**
> これらのロールは、[準備] ステータスから移行した後にのみ、認証パッケージにアクセスするために必要です。

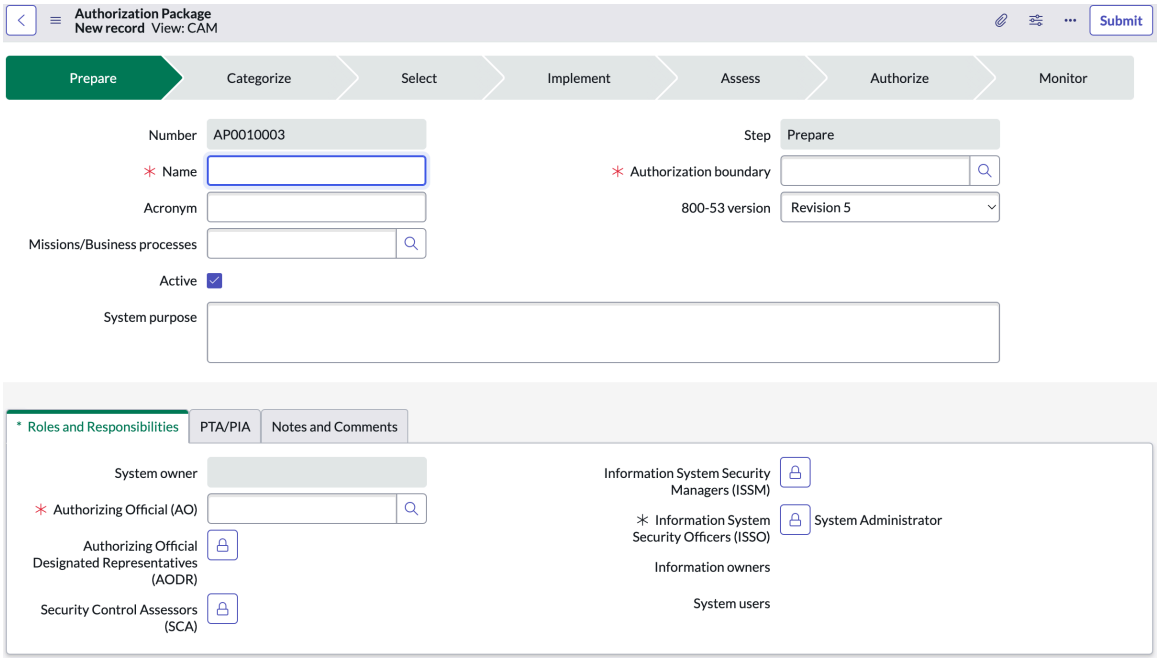
手順

1. 移動先 すべて > 継続的な承認と監視 > すべての認証パッケージ.



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

認証パッケージフォーム

フィールド	説明
番号	自動的に生成された認証パッケージ番号。
名前	パッケージの名前。
頭字語	必要な場合にパッケージを識別するための頭字語。
ミッション/ビジネスプロセス	この認証パッケージの適切なビジネスプロセス。ビジネス・プロセスは、 たとえば、Now Platform **Policy & Compliance** > スコーピング > ビジネスプロセス.
アクティブ	認証パッケージをアクティブにします。
ステップ	現在パッケージに割り当てられている RMF ステップ。
認証境界	このパッケージの認証境界。
システムの目的	この認証パッケージの目的。

4. レビューおよび承認プロセス中に、[ロールと責任] タブをクリックし、さまざまなステークホルダーのロールを定義します。

[ロールと責任] タブ

フィールド	説明
システムオーナー	情報システムの調達、開発、統合、変更、運用、および維持を担当するユーザー。
認定担当者 (AO)	既知のリスクレベルで運用環境に情報システムを受け入れる責任を負うユーザー。通常、この担当者は CISO または代理 CISO レベルです。

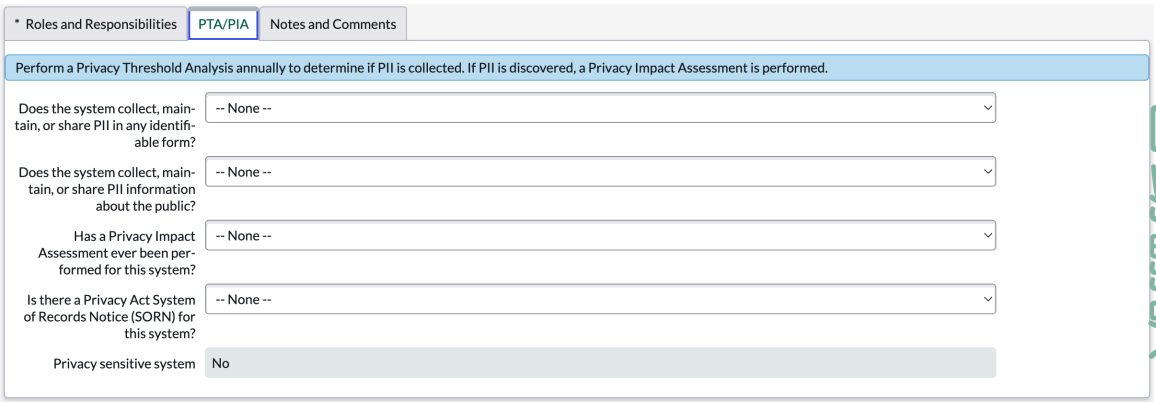
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
正式な指定代理人の承認 (AODR)	1 つ以上の AODR。
セキュリティコントロール査定人 (SCA)	情報システムのコントロールのアセスメントの実施を担当するユーザー。
情報システムセキュリティマネージャー (ISSM)	ISSO によって指定された情報システムのセキュリティ管理アクティビティの実施を担当するユーザー。
情報システムセキュリティ責任者 (ISSO)	適切な運用セキュリティ体制が情報システムに対して維持されていることを確認する責任を負うユーザー。
情報所有者	法定、管理、および運用権限を担当するユーザー。
システムユーザー	システムで実際の作業を行う責任があるユーザー。

5. **[PTA/PIA]** タブをクリックし、質問に回答してプライバシーしきい値分析を実行します。

   PTA は、さまざまなタイプの個人識別可能情報 (PII) が認証されているシステムに存在するかどうかを識別します。



6. すべての質問に対して [いいえ] と答えた場合は、プライバシー影響分析を受ける必要はありません。[送信] をクリックできます。
7. いずれかの質問に対して [はい] と答えた場合は、プライバシー影響分析を受ける必要があります。

   a. [アセスメント回答者] フィールドで、ロックアイコンをクリックし、アセスメントを受けるユーザーを選択します。

   b. 回答者を選択したら、ロックアイコンをもう一度クリックします。

   c. [送信] をクリックします。
   選択した回答者にアセスメント要求通知が送信されます。

   d. PIA が完了すると、認証パッケージフォームの関連リストにアセスメントの応答が表示されます。

8. [メモとコメント] タブをクリックして、顧客向けのメモをパッケージに追加します。
9. [分類] をクリックしてパッケージを次のステップに移行します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

認証パッケージの分類

分類ステップでは、考えられる最悪のケースのシナリオに従って情報システムの重要度または機密性を定義します。ここには、NIST によって提供される情報タイプのリストからパッケージの情報タイプを選択し、その情報タイプを使用してパッケージの影響度レベルを定義する作業が含まれます。

始める前に

必要なロール: [分類] ボタンを使用する場合:

- sn_irm_cont_auth.system_owner
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer

必要なロール: 認証パッケージに書き込むには:

- sn_irm_cont_auth.admin
- sn_irm_cont_auth.system_owner
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager
- sn_irm_cont_auth.authorization_official
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer

必要なロール: 情報タイプを選択するには:

- sn_irm_cont_auth.admin
- sn_irm_cont_auth.system_owner

必要なロール: パッケージフォームの上書きされたフィールドに書き込むには:

- sn_irm_cont_auth.system_owner

このタスクについて

認証パッケージフォームで [分類] をクリックすると、[影響度 **(Impact)]** フィールド、[影響度 **(Impact)]** タブ、および [情報タイプ] 関連リストがフォームに表示されます。

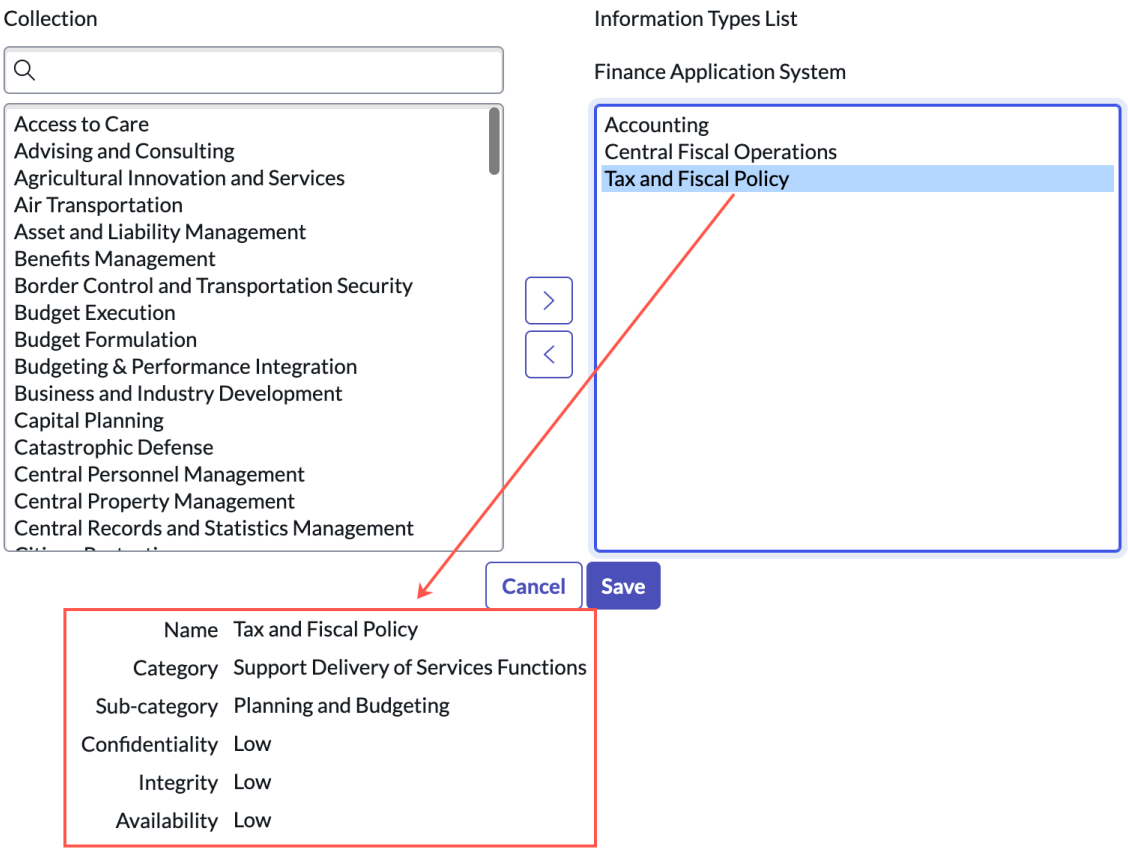
手順

1. [情報タイプ] 関連リストで [編集] をクリックします。

> **注:**
> 情報タイプをクリックすると、名前、カテゴリ、機密性、完全性、可用性 (CIA) 評価など、選択した情報タイプに関するガイダンスが表示されます。

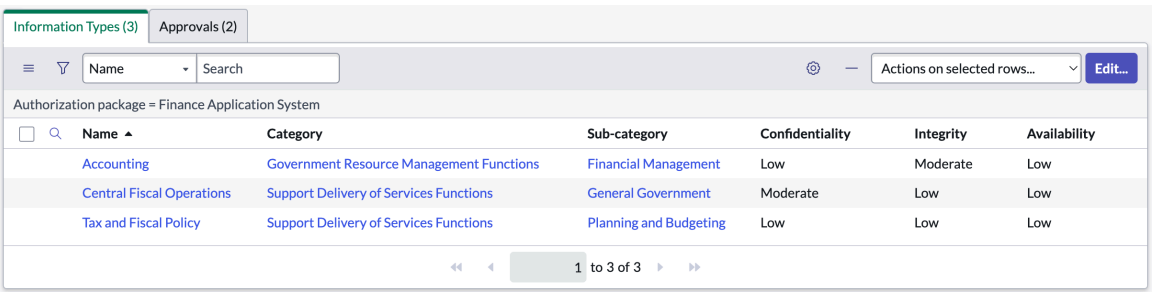
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. この認証パッケージに対して選択する情報タイプを複数選択し、それらを [情報タイプリスト (Information Type List)] ボックスに移動します。
3. 選択が完了したら、[保存] をクリックします。

   [情報タイプ] 関連リストには、選択した情報タイプのガイダンス情報が含まれています。



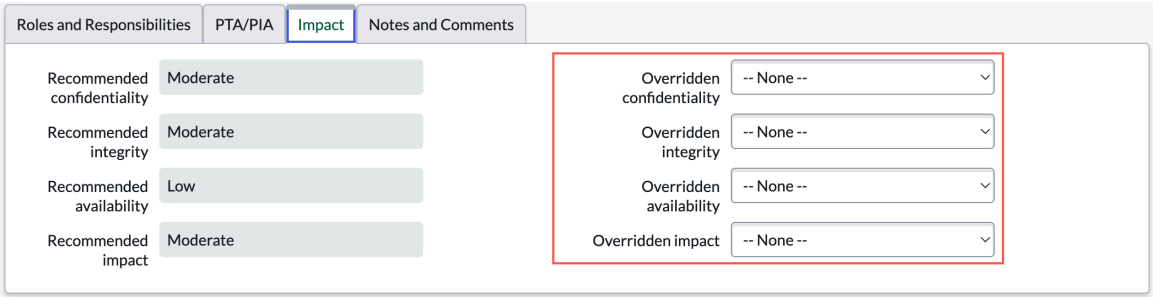
4. [影響度 **(Impact)**] タブをクリックし、選択した情報タイプの推奨影響度を確認します。

   注:
   [推奨] フィールドに表示される影響は、選択した情報タイプの最悪のケースのシナリオを反映しています。たとえば、高 CIA レベルの情報タイプを選択した場合、[影響度 **(Impact)**] タブの [推奨] フィールドにはすべて高レベルのリスクが表示されます。CIA レベルは、選択した情報タイプの全体的な影響度を計算するために使用され、[影響度 **(Impact)**] フィールドにそれが表示されるようになりました。

5. 影響度レベルを上書きするには、フォームの右側にある [上書き] フィールドを変更し、理由を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

上書きを指定すると、[影響度 **(Impact)]** フィールドが更新 CIA レベルに基づいて更新されます。



重要:
[影響度 **(Impact)]** フィールドが、承諾するデータの影響を正確に反映していることが重要です。ここから先のプロセスはすべて、その影響度レベルに依存します。NIST ガイドラインによると、実装する必要があるコントロールの数は、次のように影響度に依存します。

- 高リスク = 343 コントロール
- 中リスク = 262 コントロール
- 低リスク = 125 コントロール

6. 影響度を定義したら、[承認を要求] をクリックします。
承認要求が承認担当者に送信されます。承認担当者はナビゲーションペインから [自分の承認] にアクセスし、パッケージ内の情報を確認します。承認を受け取ると、パッケージは [選択] ステータスに移行します。

認証パッケージのコントロールの選択

パッケージの影響度レベルが承認されたら、選択ステップでベースラインコントロールを選択します。

始める前に

必要なロール:sn_im_cont_baseline_control_objectiveテーブルに書き込む場合:sn_irm_cont_auth.system_owner、sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer、sn_irm_cont_auth.admin

[該当なしとしてマーク] ボタンにアクセスするには:sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer、sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager、sn_irm_cont_au

このタスクについて

認証パッケージフォームで承認が得られると、[コントロールオーバーレイ] フィールドと一連の [コントロール] 関連リストがフォームに表示されます。

手順

1. [ベースラインコントロール] 関連リストをクリックします。
パッケージの計算された影響度レベルのベースラインコントロールが表示されます。実装されるコントロールの数 (NIST で定義) は、影響度レベル (高、中、低) によって異なります。
2. コントロールのリストでは、次のアクションを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインコントロールのアクション

アクション	説明
リストにコントロールを追加する	[追加] をクリックし、追加するコントロールを選択して、[ベースラインコントロールを作成] をクリックします。
コントロールオーバーレイを使用してコントロールを追加する	[コントロールオーバーレイ] フィールドからコントロールオーバーレイを選択します。 **注:** プライバシーオーバーレイやその他のタイプのコントロールオーバーレイは政府機関によって義務付けられている場合がありますが、それらを作成して特定の数のコントロールをリストに追加することができます。
特定のコントロールを適用外として識別する	コントロールを選択し、[適用外] をクリックし、理由を入力して [確認] をクリックします。この方法でマークしたコントロールは、[ベースラインコントロール] リストから削除され、[適用外のコントロール] 関連リストに移動します。
共通コントロールからコントロールを継承する	共通コントロールを作成し、そこからリスクガイダンスを継承できるように他の下位コントロールをアサインすることができます。たとえば、施設全体を処理するコントロールがある場合、共通コントロールから保護とコンプライアンスを継承する関連コントロールを識別できます。共通コントロールを作成するには、コントロールを選択し、[共通コントロールを作成] をクリックして、**[OK]** をクリックして確認します。共通コントロールからコントロールが継承できるようにする方法については、「共通コントロールからの保護とコンプライアンスの継承」を参照してください。

3. [承認を要求] をクリックします。

   承認要求が承認担当者に送信されます。承認担当者はナビゲーションペインから [自分の承認] にアクセスし、パッケージ内の情報を確認します。承認を受け取ると、パッケージは [実装] ステータスに移行します。

   パッケージを [分類] ステータスに戻すには、[前のステップに戻る] をクリックします。すべてのベースラインコントロールが削除されるため、パッケージが [選択] ステータスに再度移行するためには承認を得る必要があります。

共通コントロールからの保護とコンプライアンスの継承

共通コントロールを作成した後、その共通コントロールから保護とコンプライアンスを継承できる他のコントロールを識別できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_irm_cont_auth.system owner、sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer、または sn_irm_cont_auth.admin

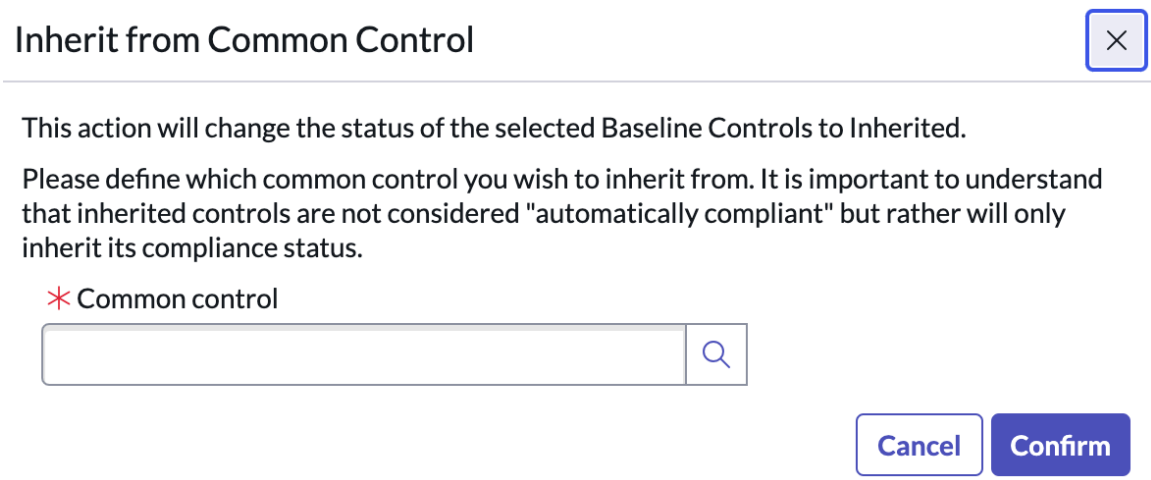
このタスクについて
次のシナリオを考えます。あなたと私はシステムオーナーです。あなたは何百台ものサーバーを所有しており、私はそれらがインストールされている施設を所有しています。認証パッケージの影響度レベルに基づいて、NIST はサーバーを保護するために特定の数のコントロールを実装することを推奨しています。ただし、そのうちの次の 2 つを実装する手段がありません。

- 防火対策
- 訪問者のアクセス制御

あなたは施設に消火システム、火災報知器、煙探知器があることを認識しています。また、施設にバッジシステムで保護されたドアがあることもわかっています。そこで、私からこれらのコントロールの保護とコンプライアンスを継承することにします。私がこれらのコントロールに準拠している限り、あなたも準拠しています。

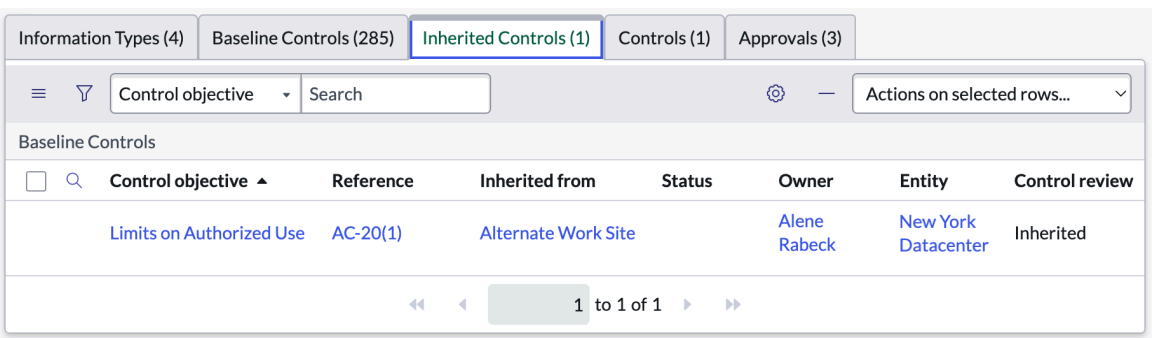
手順

1. 移動先 すべて > 継続的な承認と監視 > すべての認証パッケージ.
2. [選択] ステータスで認証パッケージを開きます。
3. 共通コントロールからの保護とコンプライアンスを継承するコントロールを選択します。
4. [共通コントロールから継承] をクリックします。



5. 保護の継承元の共通コントロールを選択し、[確認] をクリックします。

   [継承コントロール] 関連リストに、コントロール目標、および保護とコンプライアンスの継承元である共通コントロールが表示されるようになりました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールの実装

実装するコントロールを選択し、それらに対して可能なアクションを実行すると、 実装ステップの準備が整います。

始める前に

必要なロール：sn_irm_cont_auth.information_type、sn_irm_cont_auth.information_owner、または sn_irm_cont_auth.admin

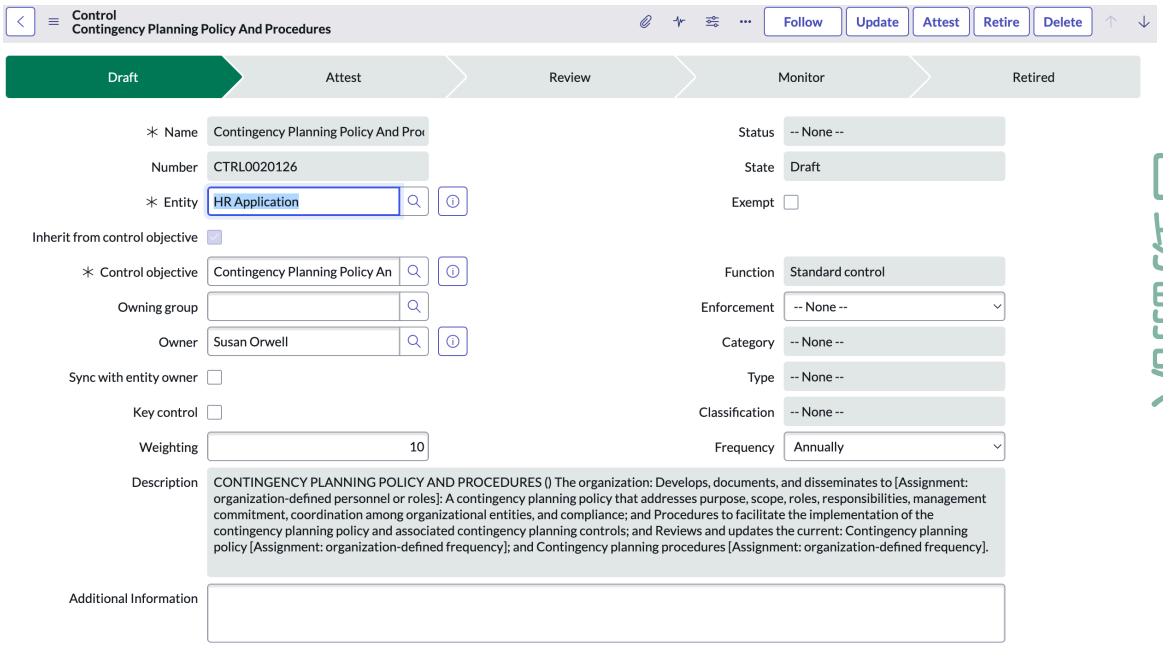
このタスクについて

認証パッケージフォームで承認が得られると、[実装されたコントロールの割合] フィールドと [コントロール] 関連リストがフォームに表示されます。

[コントロール] 関連リストには、選択した認証境界内のコントロール目標から作成されたすべてのコントロールが含まれています。

手順

1. コントロールのリストから、コントロール番号 (CTRL プリフィックス付き) をクリックしてコントロールを開きます。



2. システムオーナーおよび他の技術者またはセキュリティ担当者によって実行される実装プロセスでは、ベース GRC システムに固有のコントロール管理ワークフローが使用されます。

   詳細については、以下を参照してください。

   - コントロールを管理
   - コントロール証明書を管理
   - コントロールインジケーターを管理

3. コントロールを実装すると、[実装されたコントロールの割合] フィールドで進捗状況が追跡されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. すべてのコントロールの実装プロセスを完了したら、[評価] をクリックしてパッケージを [評価] ステータスに移行します。

   パッケージを [選択] ステータスに戻すには、[前のステップに戻る] をクリックします。すべてのアクティブなコントロールが廃止されるため、パッケージが [実装] ステータスに再度移行するためには承認を得る必要があります。

レポートの評価、承認、監視、生成

実装プロセスを完了すると、内部および外部のコントロールを評価し、アクションプランとマイルストーン (POA&M) を生成し、変更要求と脆弱性一致アイテムを管理できます。

始める前に

必要なロール：

- sn_irm_cont_auth.system_owner
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer
- sn_irm_cont_auth.authorization_official
- sn_irm_cont_auth.info_system_sec_manager
- sn_irm_cont_auth.admin

このタスクについて

評価プロセスは、通常、システムオーナーまたはコントロールを実装した担当者以外のユーザーによって実行されます。

[評価] ステータスでは、[コントロールアセスメント] および [リスクサマリー] 関連リスト、および **[POA&M]** 、[変更要求]、[セキュリティインシデント]、および [脆弱性一致アイテム] タブが認証パッケージフォームに追加されます。

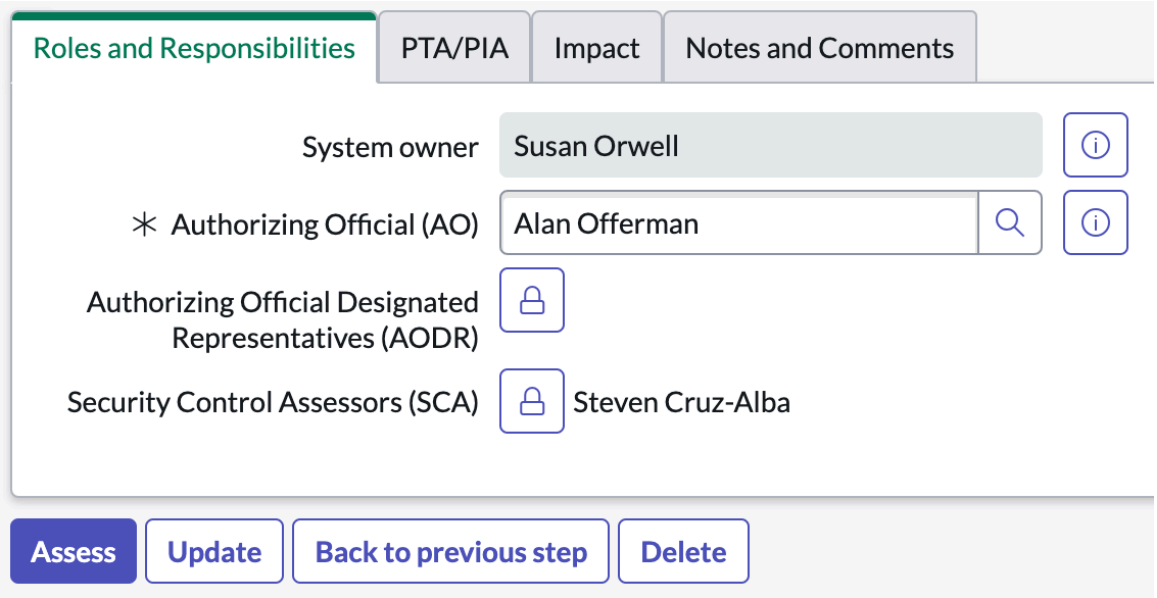
注:
大量の変更要求やインシデントレコードが単一の認証パッケージに関連している場合、Continuous Authorization & Monitoring アプリケーションでパフォーマンスの問題が観測されています。トランザクションの応答時間が長い場合は、KB0861865 に詳述されているワークアラウンドの実施を検討してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

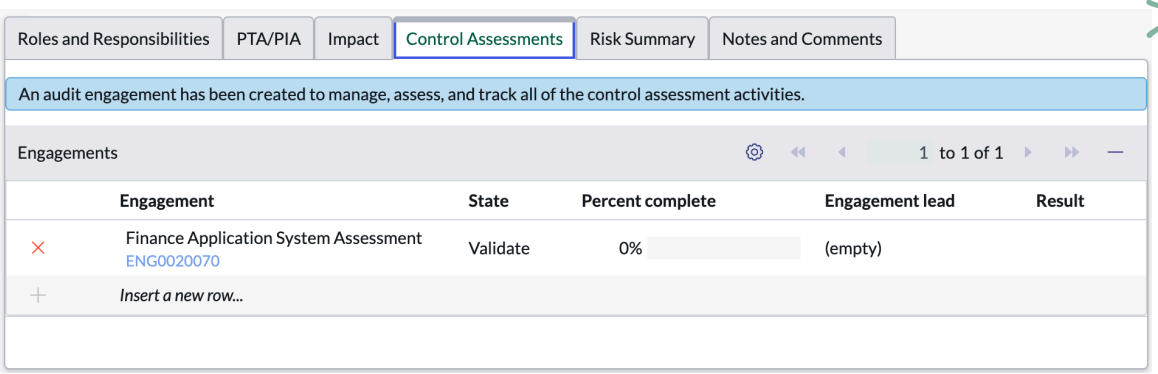
1. [実装] ステータスの認証パッケージの場合は、[評価] をクリックします。



> **注:**
> 監査エンゲージメントが自動的に作成されます。

パッケージを [実装] ステータスに戻すには、[前のステップに戻る] をクリックします。エンゲージメントのステータスが [未完了でクローズ] になります。[評価] ボタンを選択すると、新しいエンゲージメントが作成されます。

2. [コントロールアセスメント] 関連リストをクリックして、監査エンゲージメントを表示します。



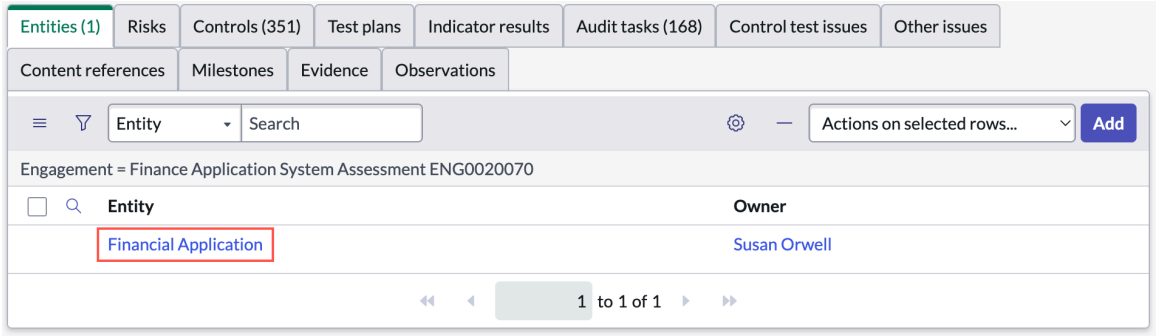
> **注:**
> 監査エンゲージメントが自動的に SCA にアサインされます。

3. エンゲージメント番号をクリックしてエンゲージメントを開きます。

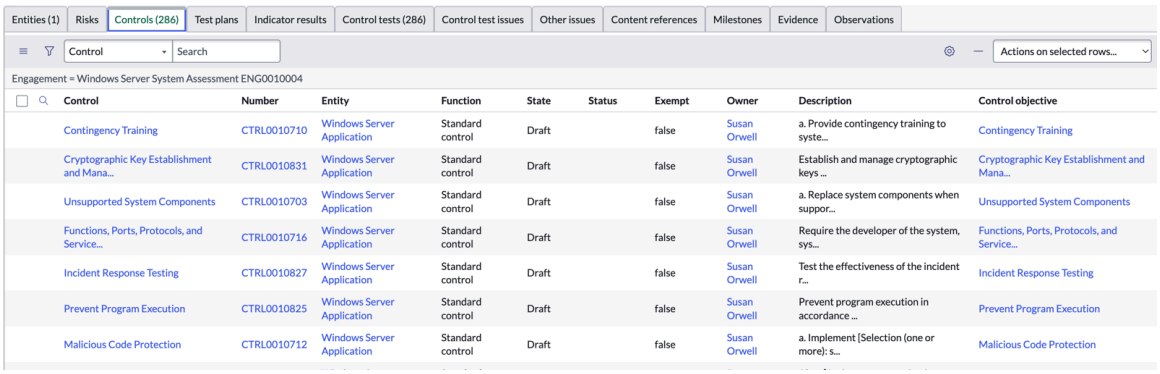
[エンティティ] タブにパッケージの認証境界が表示されていることに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [コントロール] タブをクリックすると、チームが実装したすべてのコントロールが表示されます。



5. [テスト計画] タブを選択します。
コントロールのテスト計画が自動的に作成されます。テスト計画の詳細については、次を参照してください テスト計画のアセスメント手順計画の生成。

6. [コントロールテスト] タブを選択して、コントロールを評価するためのタスクを表示します。

> **注:**
> デフォルトビューの [監査タスク] タブの名前が、CAM ビューの [コントロールテスト] タブに変更されました。関連リストのラベルの名前はさまざまで、選択したビュー (デフォルトビューまたは CAM ビューのいずれか) に固有です。ビューを変更するには、[他のアクション] アイコン ([☰]) を選択し、[ビュー] リストから [CAM] を選択します。
>
> テスト計画の詳細については、次を参照してください コントロールテストのコントロール有効性を判断する。

7. デフォルトビューで 、監査タスクをクリックし、設計テストと操作テストを実行して、コントロールの有効性を判断します。

このプロセスの詳細については、「エンゲージメントを管理する」を参照してください。

> **注:**
> 評価フェーズ中に発生した問題はすべて **[POA&M]** タブに表示されます。さらに、パッケージ内のシステム要素をターゲットとする未解決の変更要求または脆弱性一致アイテムがすべて、これらのタブの下に表示されます。

8. システムオーナーは、システムを脅かす可能性のある POA&M の問題、変更要求、および脆弱性一致アイテムをレビューして文書化する必要があります。

9. 完了したら、[認可] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[監視] ステータスでは、インジケーターがある場合は継続的な監視が可能です。そうでない場合は、コントロールを手動で確認できます。詳細については、「コントロールインジケーターを管理」を参照してください。

[レポートを生成] ボタンをクリックして、認証パッケージの FedRAMP System Security Plan (SSP) ドキュメントを PDF 形式で生成できます。

パッケージが [認可] ステータスに移行します。すべて問題がなければ、[承認を要求] をクリックします。承認要求が承認担当者に送信されます。承認担当者はナビゲーションペインから [自分の承認] にアクセスし、パッケージ内の情報を確認します。承認を受け取ると、パッケージは [監視] ステータスに移行します。

でのアセスメント目標の理解 CAM

NIST 800-53A – アセスメント目標は、ベースシステムによって ServiceNow アプリケーションとともに CAM 出荷され、リビジョン 5 のコントロール目標にマッピングされます。

注:

- NIST SP 800-53 は、連邦情報システムおよび組織のセキュリティおよびプライバシーコントロールです。
- NIST SP 800-53A は、連邦情報システムおよび組織のセキュリティコントロールを評価するためのガイド:効果的なセキュリティ評価計画の構築です。

NIST 800-53 リビジョン 5 から供給されたコントロール目標用にベースシステムによって ServiceNow CAM ユーザーにインポートされる各テストテンプレートには、アセスメント手順テンプレートがあります。NIST ガイドラインに従って、各アセスメント手順テンプレートには識別子とアセスメント目標があります。アセスメント目標は、コントロールのテスト方法を決定するものです。

CAM設計有効性が削除され、運用テストと呼ばれる運用有効性のみが存在するコントロールテストの新しいビューを使用できます。

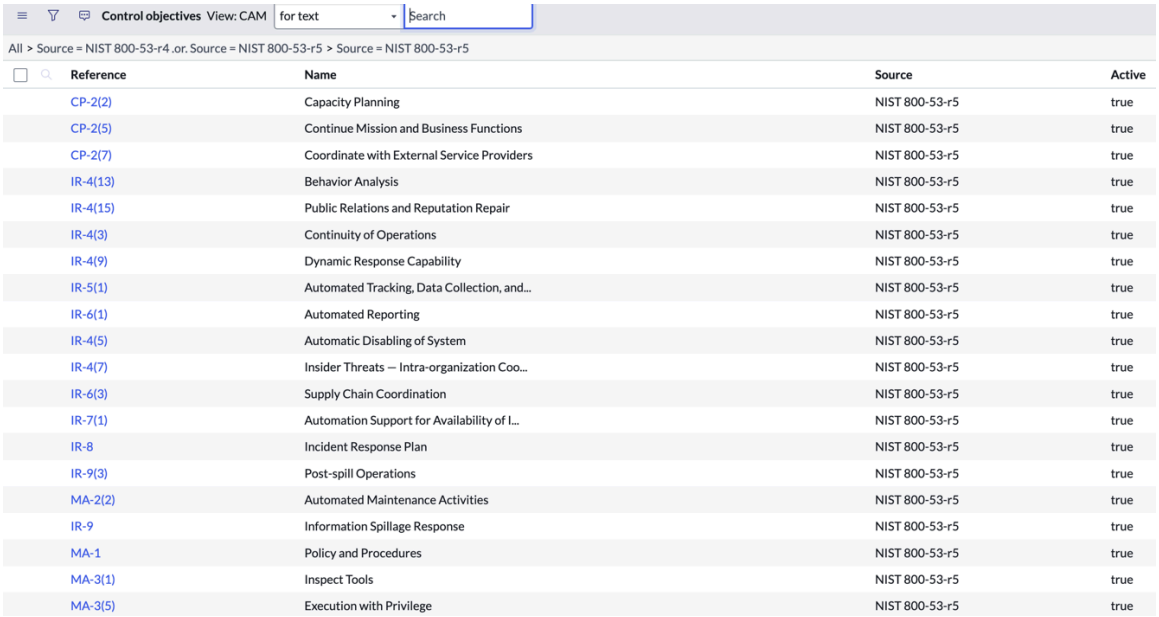
では CAM、コントロールは複数のアセスメント手順を使用して、より詳細なレベルでテストされます。コントロールテストでは、コントロールの有効性を測定します。コントロールテストの有効性は、その操作有効性と評価手順の有効性によって測定され、それに基づいてコントロールテストのコントロール有効性が決定されます。コントロール テストが失敗した場合は、アセスメント目標の失敗も示しています。

コントロールテスト中は、検査、面接、テストなどの新しいコントロールテスト基準を使用できます。これらのフィールドは読み取り専用ですが、テストテンプレートおよびテスト計画レベルでこれらの説明を更新できます。一連のアセスメント手順は、コントロールテスト中に関連リストとして使用できます。アセスメント手順は目標レベルであり、有効、無効、およびなしに加えて、適用外としてマークすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NIST 800-53 リビジョン **5** に基づくコントロール目標



Control objectives View: CAM | for text | Search

All > Source = NIST 800-53-r4 .or. Source = NIST 800-53-r5 > Source = NIST 800-53-r5

Reference	Name	Source	Active
CP-2(2)	Capacity Planning	NIST 800-53-r5	true
CP-2(5)	Continue Mission and Business Functions	NIST 800-53-r5	true
CP-2(7)	Coordinate with External Service Providers	NIST 800-53-r5	true
IR-4(13)	Behavior Analysis	NIST 800-53-r5	true
IR-4(15)	Public Relations and Reputation Repair	NIST 800-53-r5	true
IR-4(3)	Continuity of Operations	NIST 800-53-r5	true
IR-4(9)	Dynamic Response Capability	NIST 800-53-r5	true
IR-5(1)	Automated Tracking, Data Collection, and...	NIST 800-53-r5	true
IR-6(1)	Automated Reporting	NIST 800-53-r5	true
IR-4(5)	Automatic Disabling of System	NIST 800-53-r5	true
IR-4(7)	Insider Threats — Intra-organization Coo...	NIST 800-53-r5	true
IR-6(3)	Supply Chain Coordination	NIST 800-53-r5	true
IR-7(1)	Automation Support for Availability of I...	NIST 800-53-r5	true
IR-8	Incident Response Plan	NIST 800-53-r5	true
IR-9(3)	Post-spill Operations	NIST 800-53-r5	true
MA-2(2)	Automated Maintenance Activities	NIST 800-53-r5	true
IR-9	Information Spillage Response	NIST 800-53-r5	true
MA-1	Policy and Procedures	NIST 800-53-r5	true
MA-3(1)	Inspect Tools	NIST 800-53-r5	true
MA-3(5)	Execution with Privilege	NIST 800-53-r5	true

テスト計画のアセスメント手順計画の生成

評価ステータスのコントロールに対して自動的に生成されたテスト計画を使用して、コントロールがアセスメント手順計画に従って評価されているかどうかを確認および判断します。

始める前に

必要なロール:sn_irm_cont_auth.system_owner、sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer、sn_irm_cont_auth.authoriz

このタスクについて

アセスメント手順計画は、コントロール目標に基づいてコントロールのテスト計画に対して生成されます。各コントロール目標には特定のテストテンプレートがあり、アセスメント手順テンプレートはこのテストテンプレートに対して作成されます。テスト計画は、コントロール目標のテストテンプレートから生成されます。また、アセスメント手順計画は、アセスメント手順テンプレートから生成されます。

手順

1. 移動先 すべて > 継続的な承認と監視 > すべてのコントロール.
2. テスト計画が作成される評価済みのコントロールを選択します。
3. [テスト計画] 関連リストを選択し、[番号] 列の [テスト計画] リンクをクリックします。
   開いた [テスト計画] フォームで、このテスト計画の生成元のテストテンプレートの名前や、このテスト計画に基づいて評価されるコントロールの名前など、テスト計画の詳細を表示できます。

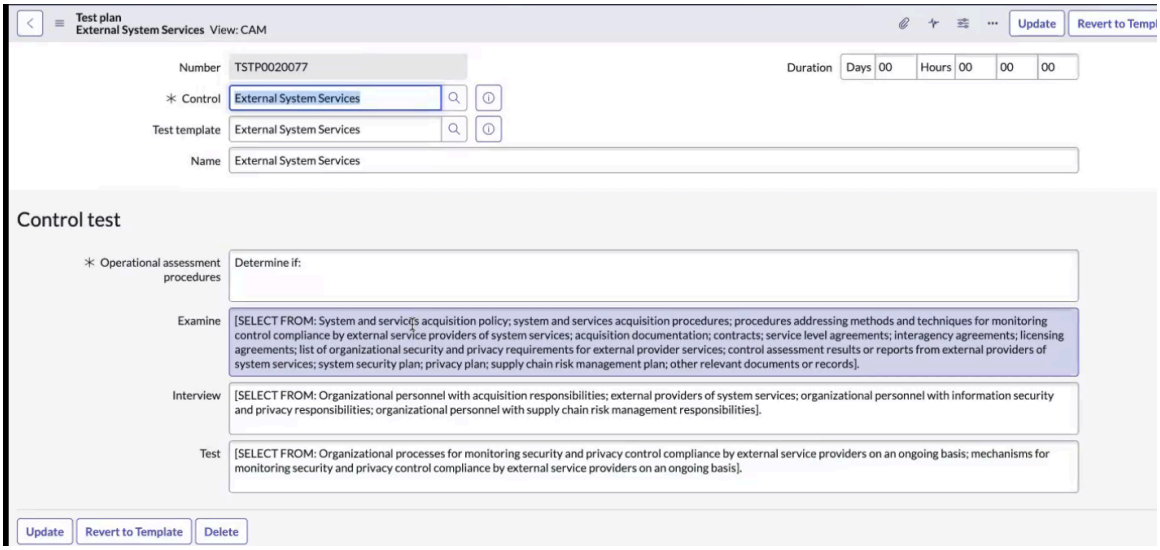
   テストテンプレートは、800-53 リビジョン 5 コントロールのベースシステムによって出荷されるようになりました。これらのテストテンプレートからテスト計画が自動的に作成され、認証パッケージが [実装] ステータスから [評価] ステータスに移行するたびに、テストテンプレートから生成されたこれらのテスト計画からコントロールテストが作成されます。

   [コントロールテスト] セクションには、[運用評価手順]、[検査]、[面談]、[テスト] などの 4 つのフィールドの説明があります。試験、面接、およびテストの説明は、NIST ガイドラインから取得され、テストテンプレートフォームに追加されます。テスト計画フォームのここで必要に応じて、フィールドの説明を更新できます。

自動翻訳

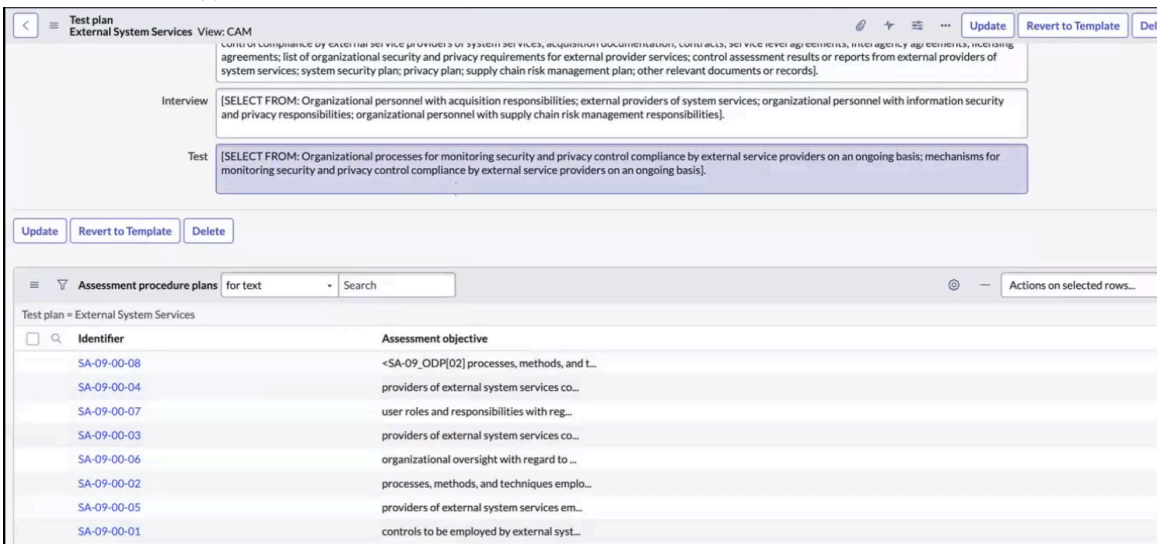
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テスト計画の [コントロールテスト] タブ



4. 説明を更新するには、フィールドを選択してテキストを更新します。
5. 説明を編集した後、[更新] をクリックします。
6. 関連付けられたテスト テンプレートの元のコントロール テストの説明に戻すには、[テンプレートに戻す] ボタンをクリックします。
7. [確認] ポップアップで [**OK**] をクリックして、決定を確定します。
8. アセスメント手順計画を開いてアセスメント目標を表示するには、[アセスメント手順計画] セクションの [識別子] 列のリンクを選択します。
   [アセスメント手順計画] フォームでは、アセスメント手順計画の識別子、テスト計画の名前、およびアセスメント目標を表示できます。アセスメント目標は、コントロールを評価する方法に関するガイドラインです。必要に応じて、目標を更新できます。

アセスメント手順計画



9. コントロールを評価するために生成されたコントロールテストを表示するには、 エンゲージメントフォームの [コントロールテスト] 関連リストに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールテストのコントロール有効性を判断する

アセスメント手順の客観的有効性とコントロールテストの運用有効性を適用して、コントロールテストのコントロール有効性を判断します。アセスメント手順は、詳細なレベルでコントロールテストをチェックするために適用されます。

始める前に

必要なロール:sn_irm_cont_auth.system_owner、sn_irm_cont_auth.info_system_sec_officer、sn_irm_cont_auth.authoriz

手順

1. 移動先 すべて > 継続的な承認と監視 > すべてのエンゲージメント.
2. エンゲージメントを選択します。
3. [コントロールテスト] タブを選択し、[番号] 列のコントロールテストのリンクをクリックします。
4. 開いた [コントロール テスト] フォームの [コントロール有効性] フィールドで、 コントロール の有効性を表示できます。
5. [運用テスト] タブを選択して、コントロール テストの操作有効性を表示します。

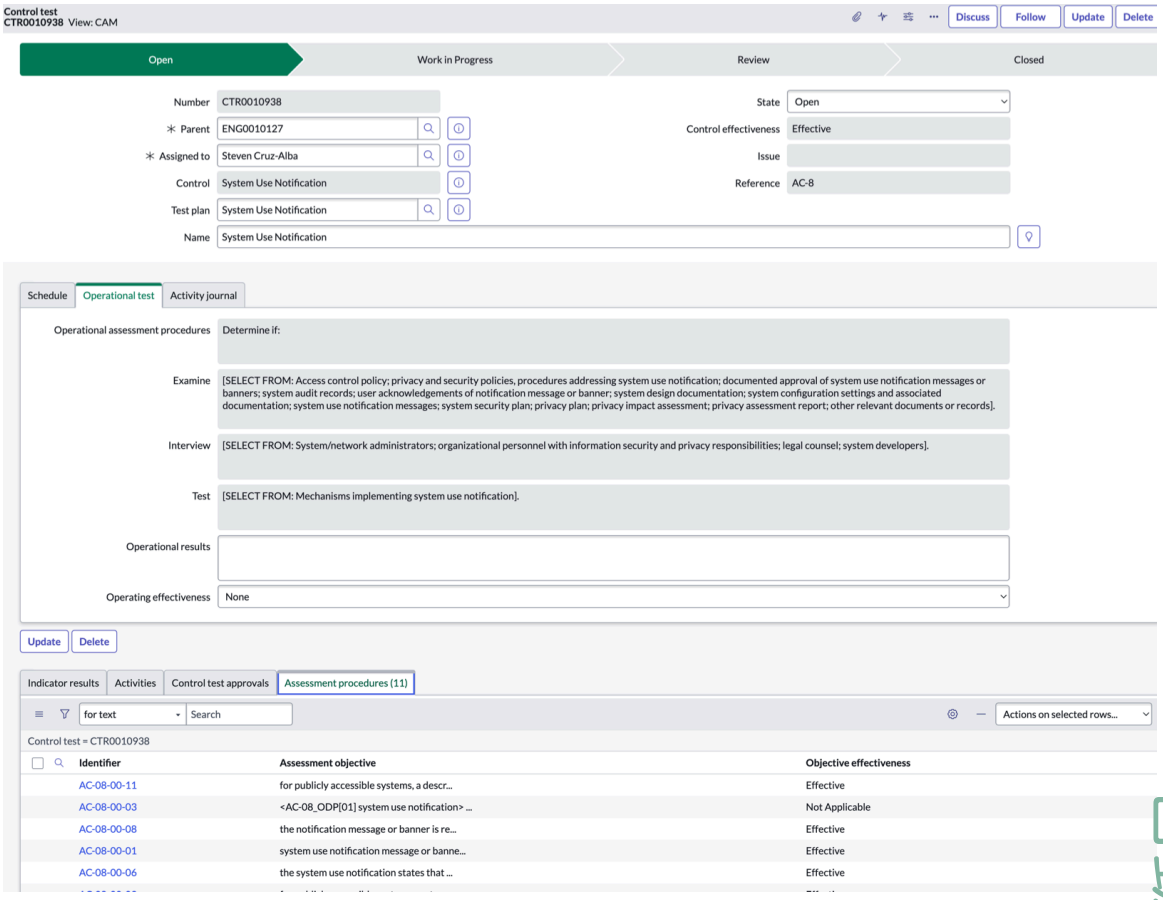
   注:
   [検査]、[面談]、および [テスト] フィールドは、NIST コントロール目標から事前に入力されており、コントロールテストレベルでは編集できません。これらの説明を編集する必要がある場合は、テスト計画フォームで編集できます。「テスト計画のアセスメント手順計画の生成」を参照してください。

6. すべてのアセスメント手順の目標の有効性を表示するには、[アセスメント手順] 関連リストを選択します。
   生成されるアセスメント手順の数は、テスト計画から生成されたアセスメント手順計画の数とまったく同じです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールテストのコントロール有効性



コントロールテストの操作有効性の値は次のとおりです。

- なし
- 無効
- 有効

アセスメント目標の目標有効性の値は次のとおりです。

- なし:アセスメント手順がまだ分析または評価されていないことを示します。
- 有効
- 無効
- 適用外:アセスメント手順が有効でないか、このコントロールテストチェックに必要でないことを示します。

コントロールテストのコントロール有効性は、次によって決定されます。

操作有効性	目標の有効性	コントロール有効性
有効/無効/なし	どれも無効です	無効
有効	適用外/なし/有効	有効
無効	適用外/なし/有効/無効	無効
無効	無効	無効
なし/有効	有効	有効

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

操作有効性	目標の有効性	コントロール有効性
なし	1つは有効で、もう1つは無効です	無効
なし	1 つは [なし] で、もう 1 つは [適用外]	なし

コントロールテストが [オープン] または [対応中] ステータスである限り、アセスメント手順の目標の有効性が [なし] であるかどうかは関係ありません。ただし、すべてのアセスメント目標を [有効]、[無効]、または [適用外] としてマークするまで、コントロール テストを [レビュー] ステータスに移行することはできません。コントロールテストを [レビュー] または [完了してクローズ] ステータスに移行するために、アセスメント目標を確認して [なし] ステータスから抜け出す必要があることを示すエラーメッセージが表示されます。

7. [アセスメント手順] 関連リストの [識別子] 列にあるリンクを選択して、[アセスメント手順] フォームを表示します。
コントロールテストが [オープン] または [対応中] ステータスの場合に編集できる [目標有効性] フィールドを除き、フォーム内のすべてのフィールドは読み取り専用です。[目標の有効性] フィールドは、[レビュー] ステータス、または [完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、[スキップしてクローズ] などのクローズ済みステータスでのみ読み込まれます。
8. 評価手順の目標有効性値を更新する場合は、[更新] を選択して変更を保存します。

コントロール目標のレベルでのコントロールの要件の定義

コントロール目標レベルでコントロールを生成する場合、要件としてより詳細なレベルでコントロールを分類できます。

コントロール要件を定義すると、次のことに役立ちます。

- コントロールテストにさまざまな側面がある場合に、コントロールの各要件を個別に評価するセキュリティコントロール査定人 (SCA)。
- 認可担当者 (AO)、情報システムセキュリティ責任者 (ISSO)、および情報システムセキュリティマネージャー (ISSM) は、コントロール全体の失敗を評価するのではなく、失敗した要件 (コントロールの非準拠につながる) を理解します。
- コントロールに対して識別された証明書回答者は、コントロールレベルではなく、より詳細なレベルのコントロール要件レベルで応答します。

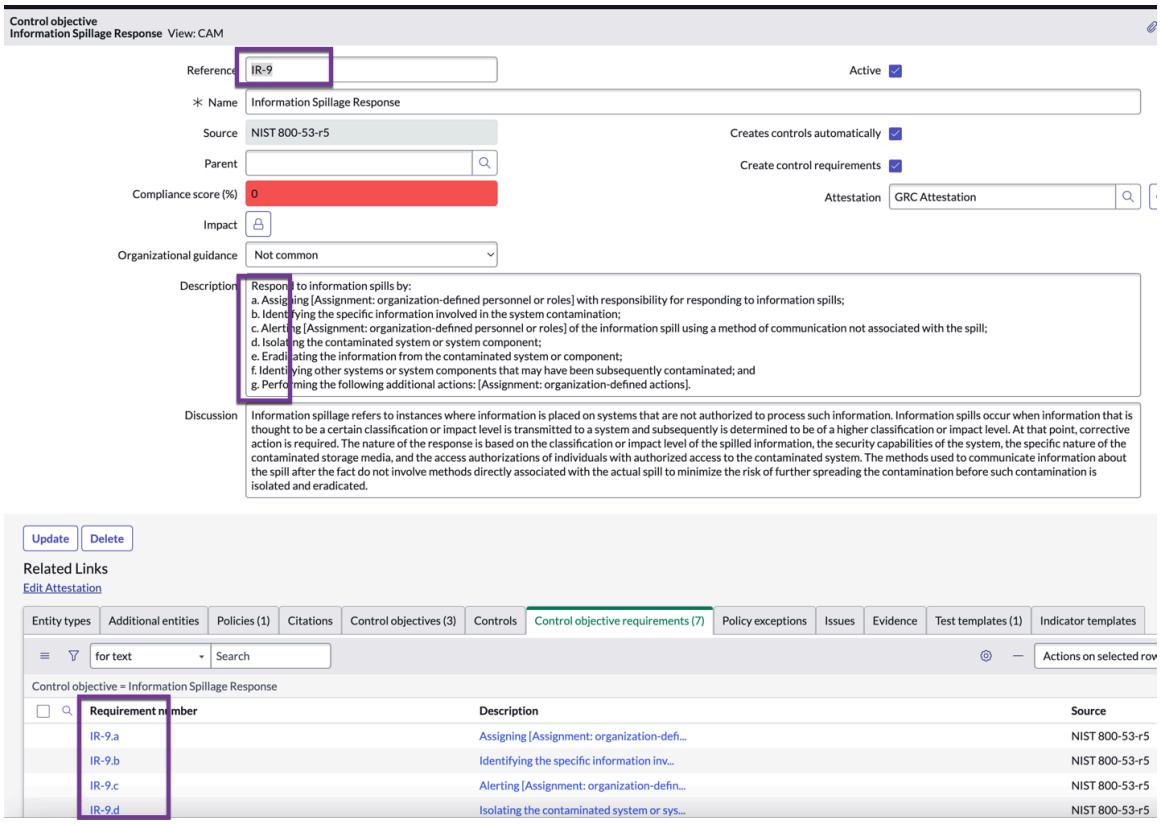
CAMユーザーは、コントロールを分解して要件を制御し、要件をより効率的に管理し、それらを個別に証明し、パッケージを承認することができます。また、コントロールが生成されたときに、要件を定義してコントロール目標レベルで作成することもできます。

コントロール要件としてのコントロール目標の説明から **NIST** コンテンツを作成する

ServiceNowベースシステムは、NIST 800-53 リビジョン 5 コントロール目標から生成されたコントロール要件をユーザーに配布しますCAM。コントロール目標フォーム の [説明] フィールドには、サブポイントとサブ番号として分類された要件がリストされます。コントロール目標の参照は、[説明] フィールドの各サブ番号または節と結合され、コントロール目標要件 の要件番号 として参照されます。たとえば、コントロール目標参照が IR-9 で、コントロール目標の説明がサブ番号 (a) で始まる場合、これら 2 つを組み合わせて最初のコントロール目標要件を IR-9.a として生成し、可能な場合はさらに小番号を追加します。したがって、約 7 つの副記述がある場合は、7 つの管理要件が生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コントロール目標およびコントロールフォームのビューでの **CAM** コントロール要件の詳細

CAMコントロールフォームのビューには、コントロール要件の詳細をキャプチャするために追加されたフィールドがあります。

コントロール目標フォームとコントロールフォームのビューで CAM コントロール要件の詳細に対応するために、コントロール目標要件関連リストとコントロール要件関連リストがそれぞれ追加されます。

注:
ビュー内のコントロール目標フォームとコントロールフォームの CAM ビューは、 で使用されているコントロール目標フォームとコントロールフォーム ポリシーとコンプライアンス管理とほぼ同じです。ただし、コントロール要件の詳細をキャプチャするために、一部のフィールドが削除され、一部がフォームに追加されています。

CAM コントロール目標フォームのビュー

CAM コントロール目標フォームのビュー

フィールド	説明
参照	一意の数値識別子またはコンテンツ参照番号。
名前	コントロール目標の名前。
ソース	コントロール目標のソース (テストテンプレートが提供される NIST 800-53 リビジョン 5)。
親	現在のコントロール目標の子ではないコントロール目標。これは、循環する親子関係を避けるためです。
コンプライアンススコア (%)	このコントロール目標に対して計算されたコンプライアンススコアの割合とそのカラーコード：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CAM コントロール目標フォームのビュー (続く)

フィールド	説明
	• 80 以上：緑 • 50 ～ 80：黄 • 50 未満：赤
アクティブ	コントロール目標を有効化するオプション。
コントロールを自動的に作成	[リレーションシップを追加] ボタンとエンティティを選択して、エンティティが [追加エンティティ] 関連リストから関連付けられたときに、コントロールが自動的に作成されることを示すオプション。
コントロール要件を作成	コントロール目標のコントロール要件を自動的に生成するオプション。 注: コントロール目標の要件がない場合は、コントロール要件もありません。
証明書	測定基準タイプへの参照。 • デフォルトで **GRC** 証明書 が選択されている • 注: ユーザーがコントロール証明書を変更すると、関連するコントロール目標証明書タイプも変更されます。
影響	ターゲットおよびデータの機密性、完全性、または可用性の損失によるビジネス機能への潜在的な影響。
組織ガイダンス	NIST のセキュリティコントロール定義は、組織によって共通コントロール定義として指定されると、1 つ以上の組織ターゲットによって継承されます。
説明	コントロール目標の説明。
補足ガイダンス	NIST 800-53 リビジョン 4 から提供されたコントロール目標の場合、コントロール目標の実装の方向。
ディスカッション	NIST 800-53 リビジョン 5 によって供給されたコントロール目標である場合、NIST によって供給されたコンテンツ関連情報。

コントロール目標は単なるガイドラインであり、エンティティやオブジェクトに固有のものではありません。コントロール目標とコントロール目標要件の関係は多対多であるため、1 つのコントロール目標を任意のコントロール目標要件にリンクし、1 つのコントロール目標要件を任意の数のコントロール目標にリンクできます。

コントロール目標要件関連リスト

フィールド	説明
要件番号	コントロール目標の要件番号。
アクティブ	要件をアクティブにするオプション。
説明	コントロール目標の要件に関する詳細な説明。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[コントロール目標の要件] 関連リストで、 [新規] ボタンを選択し、必要に応じて、生成される要件に基づいてコントロール目標の要件を作成できます。または、 編集 ボタンを選択して、既存のコントロール目標要件をコントロール目標に追加します。

注:

- コントロール目標が [非アクティブ] ステータスの場合、コントロール目標要件を作成または追加することはできません。したがって、[新規] ボタンと [編集] ボタンは使用できません。
- コントロール目標要件が非アクティブである場合、コントロール目標をコントロール目標要件に追加することはできません。

CAM コントロールフォームのビュー

CAM コントロールフォームのビュー

フィールド	説明
参照	一意の識別子。
名前	コントロールの名前。
Number (数値)	コントロールの一意の識別番号。
エンティティ	関連エンティティ。 **注:** エンティティのステータスを [廃止] ステータスから [アクティブ] に変更すると、エンティティに対して手動で作成されたコントロールも [ドラフト] ステータスに移行します。
コントロール目標	関連コントロール目標。
所有者	ポリシーを所有するユーザー。 **注:** オーナーは常に回答者として追加されます。選択したコントロールオーナーは、所有グループに属しています。
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 • 準拠 • 非準拠 • 適用外
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 • ドラフト コントロールがコントロール目標から作成されると、コントロールはこのステータスになります。このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがコントロールを変更できます。ワンオフコントロールを作成する場合のみ利用できます。ワンオフコントロールは可能ですが、推奨されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CAM コントロールフォームのビュー (続く)

フィールド	説明
	• 証明[証明] ボタンを選択して証明書を取得すると、コントロールはこの状態に移行します。 注: コントロールをドラフトに戻すと、証明書はキャンセルされます。 • [レビュー] コントロールは、証明書フェーズからレビューに自動的に移行されます。 • [監視] このステータスでは、すべてのコンプライアンスマネージャーがコントロールをレビューから監視に移動できます。 • [廃止] コンプライアンスマネージャーまたは管理者は、コントロールを [監視] から [廃止] に移動できます。 注: コントロールが廃止された場合： ○ 関連付けられているインジケーターが実行されない ○ 関連付けられている証明書がキャンセルされる ○ 関連付けられているコントロール目標を変更してもコントロールが更新されない
認証パッケージ	コントロールが関連付けられている認証パッケージ、またはコントロールの作成元である認証パッケージ。
周期	オプションのリスト： • イベント駆動型 • 日次 • 週次 • 月次 • 四半期ごと • 半年ごと • 年次 証明書は、コントロールまたはコントロール要件に対して選択された値に基づいて送信されます。 注: コントロールの [頻度] フィールドとエンティティの [証明頻度] フィールドの違いについては、「 KB0694607 」を参照してください。
重み	コントロールスコアの有効性の計算に使用される値。コントロールの重み付けに基づいて、コントロールスコアで有効性の値が計算されます。
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CAM コントロールフォームのビュー (続く)

フィールド	説明
割り当てをコントロール	作成されるコントロールのタイプ。システム固有またはハイブリッドのいずれかです。
説明	コントロールの説明。
ディスカッション	NIST 800-53 リビジョンのコンテンツ関連情報 5.
補足ガイダンス	NIST 800-53 リビジョン 4 から提供されたコントロールの場合、コントロール実装の方向。
実装ステートメント	コントロールの実装方法の説明。 コントロールが認証パッケージから作成され、[ドラフト] ステータスである場合、これは必須の情報です
証明書	
要件レベルで証明書を取得する	コントロールレベルではなく、コントロール要件レベルで証明書を送信するオプション。
証明書	オプションのリストから選択します。 • 他の証明書タイプを構成できます。 • このフィールドに値が入力されると、[証明書の回答者] フィールドが自動的に必須になり、オーナーが回答者になります。 **注:** ユーザーがコントロール目標で証明書タイプを変更すると、関連するすべてのコントロールも変更されます。
証明書の回答者	• このコントロールの証明書にアサインされたユーザー。 • sn_grc.user ロールを持つユーザーのみを応答者として追加できます。 **注:** [証明書] と [証明書回答者] の両方のフィールドが設定されている場合、[証明書] をクリックすると証明書が作成されます。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	コントロールに関する公開情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CAM コントロールフォームのビュー (続く)

フィールド	説明
アクティビティ	コントロール状態変更のメッセージログ。

コントロール要件関連リスト

フィールド	説明
Number (数値)	コントロール要件の一意の番号。
要件番号	参照番号。
コントロール	コントロール要件が関連付けられているコントロール。
ステータス	コントロール要件のステータス。
State (ステータス)	要件の状態。
周期	コントロールの頻度。
説明	コントロール要件の説明。
証明書	
証明書	証明書測定基準タイプ。
証明書の回答者	コントロール要件を証明するユーザー。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	コントロール要件に関する情報。 コントロール目標要件の関連付けが解除される、つまり削除または削除されると、コントロール要件は手動になります。この情報はこのフィールドに記録されます。
アクティビティ	コントロール要件のステータス変更に関するメッセージログ。

コントロールレベルでコントロール要件の実装ステータスを変更

[コントロールを作成するステップを選択] の場合に認証パッケージを承認します。承認後、認証パッケージは [実装] ステップに移動し、コントロールが生成されます。コントロール要件の実装ステータスは、コントロールレベルで変更することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_irm_cont_auth.system_owner

このタスクについて

[ベースラインコントロール] タブの [コントロールレビュー] フィールドで 、値が [適用可能] または [ハイブリッド] であるすべてのベースラインコントロールに対して コントロール が生成されます。さらに、生成されるコントロールのタイプは、コントロールフォームの [コントロール割り当て] フィールドによって決定され、 システム固有 または ハイブリッドのいずれかになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- コントロールは、システム固有で、適用可能とマークされているベースラインコントロールから直接取得されるすべてのコントロールに対して作成されます。
- コントロールは、ハイブリッド設定に基づく要件を持つハイブリッドコントロール用に作成されます。
- 継承したコントロールのコントロールは作成されません。

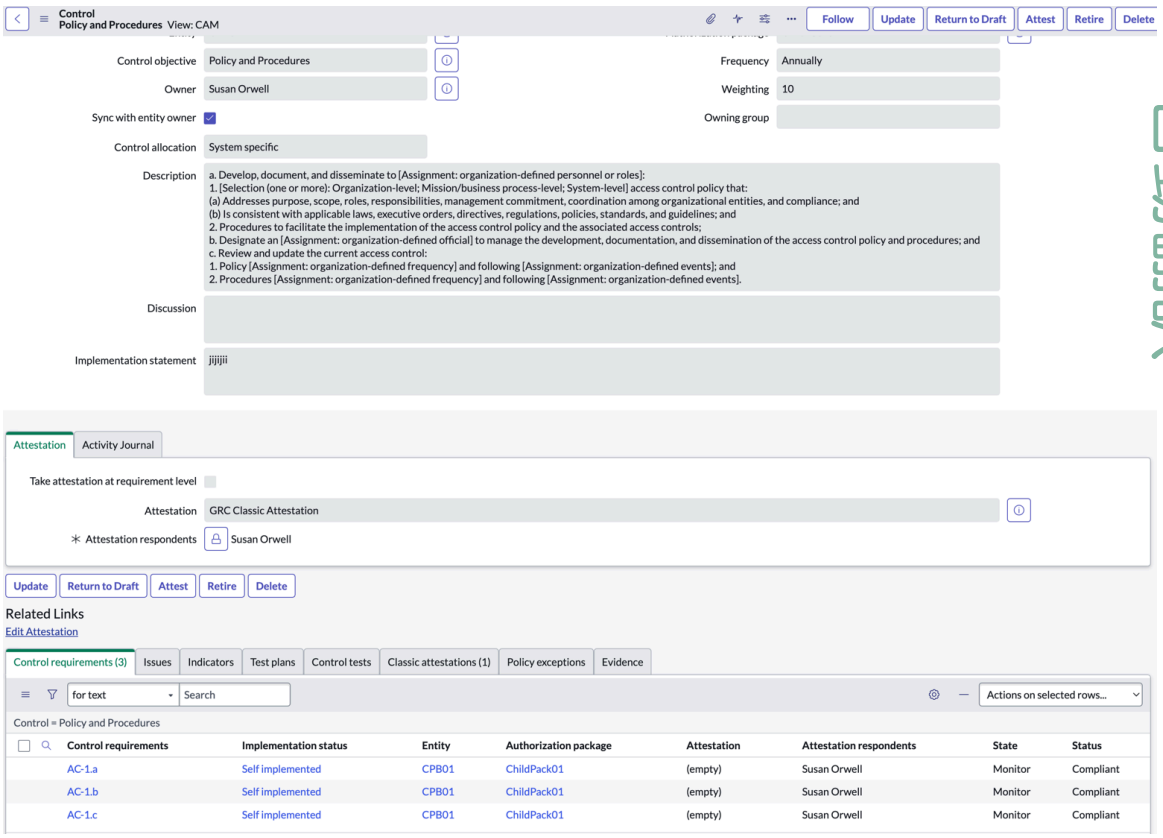
すべてのコントロールは [実装] ステータスで生成されますが、このステータスでもコントロールレベルでセットアップを更新できます。

手順

1. 移動先 継続的な承認と監視 > すべての認証パッケージ > .
2. コントロール設定を変更する、[実装] ステータスの認証パッケージを選択します。
3. [コントロール] 関連リストを選択します。
   生成されたコントロールの数が [コントロール] 関連リストに表示されます。

   Number of Controls = Baseline Controls + Hybrid Controls

4. 設定を変更するコントロールを選択します。



5. 特定の要件のプロバイダーを変更するには、[コントロール要件] 関連リストでコントロール要件を選択します。

   a. [プロバイダーの変更] ボタンを選択します。

   b. [共通コントロールから継承] ポップアップで [共通コントロール リスト] フィールドを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルタークエリには、選択対象としてまだ選択していないプロバイダーのみが一覧表示されます。

c. [確認] ボタンを選択します。

[確認] をクリックすると、クエリフィルターは [コントロール要件] リストの認証パッケージから現在のプロバイダーを削除します。[アクティビティジャーナル] 関連リストを選択して、プロバイダーが変更され、[アクティビティ] フィールドに記録されたというメッセージを表示することもできます。

[プロバイダーの変更] ボタンを使用してのみ、要件のプロバイダーを変更できます。ただし、このアクションでは、プロバイダーの変更によって要件が自動的に準拠するわけではありません。

重要:
このセットアップ変更を行う場合は、コントロールフォームの [コントロール割り当て] フィールドの値を変更する選択を行わないでください。ハイブリッドコントロールであり、この要件のみが [実装ステータス] が [自己実装] である場合、プロバイダーを、すべての要件の実装ステータスが [継承] であるシステム固有としてコントロール割り当て値を持つ別のコントロールに変更することで、そのすべての要件が継承されるため、コントロール割り当てはハイブリッドではなくなります。

ハイブリッドコントロールの場合、少なくとも 1 つの要件を継承し、少なくとも 1 つを自己実装する必要があります。

- すべての要件は、システム固有のコントロールに対して自己実装されています。
- 少なくとも 1 つの要件は自己実装する必要があり、残りはハイブリッドコントロール用に継承できます。コントロール要件が継承されている場合、コントロール要件は、[ベースラインコントロール] 関連リストから取得されるプロバイダーから継承されます。

6. コントロール要件の実装ステータスを自己実装に変更するには、[コントロール要件] 関連リストでコントロール要件を選択します。

a. [自己実装に変換] ボタンを選択します。

b. [確認] ポップアップで [はい] を選択します。
コントロール要件の選択肢には、既に自己実装ステータスになっているものを含めることもできます。ただし、この操作の後は、[継承] ステータスだった要件のみが [自己実装] に変換されます。

この UI アクションによって、コントロールプロバイダーとコントロール間の既存の m2m 関係が削除されます。その後、新しい選択で新しい m2m 関係が作成されます。変更を説明するメッセージは、コントロールフォームの [アクティビティジャーナル] タブの [アクティビティ] フィールドにも記録されます。

7. コントロール要件を自己実装ステータスから継承ステータスに変換するには、コントロール要件関連リストで要件を選択します。

a. [継承に変換] ボタンを選択します。

b. [共通コントロールから継承] ポップアップで [共通コントロール リスト] フィールドを選択します。
そのコントロール要件を継承するために使用可能なすべてのプロバイダーから選択できます。この UI アクションの後、以前の自己実装コントロール要件が削除され、選択した新しい要件がプロバイダーから継承されます。同時に、[ハイブリッドコントロール] 関連リストの認証パッケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジレベルでも設定が変更され、そのベースラインコントロールの要件選択に変更が反映されます。

これがハイブリッドコントロールの自己実装ステータスの唯一の要件である場合、継承に変換することはできません。

8. ハイブリッドコントロールのコントロール要件のリストを表示するには、階層ビューを表示する [階層リストの表示/ ▸ アイコン) アイコンを選択します。
[ハイブリッドコントロール] 関連リストでも ▸ を使用できます。さらに、[コントロール] 関連リストから上記の 3 つのアクション (自己実装に変換、継承へ変換、プロバイダーの変更) を実行することもできます。

[実装] ステータスから [選択] ステータスに戻すことができます。これを行うと、アクティブで実装ステータスで作成されたすべてのコントロールが削除または廃止されます。[選択] ステータスの場合は、すべてのハイブリッドコントロールのセットアップを変更し、コントロールをもう一度生成できます。

9. ハイブリッドコントロールをベースラインコントロールに戻すには、[ハイブリッドコントロール] 関連リストでコントロールを選択します。

   a. [ベースラインコントロールに戻る] ボタンを選択します。

   b. 確認ポップアップで **[OK]** を選択します。
   このアクションにより、ハイブリッドコントロールの以前の要件選択が削除されます。また、ベースラインコントロールの [コントロールレビュー] フィールドが [ハイブリッド] から [適用可能] に更新されます。このベースライン コントロールの手順を設定し、[ハイブリッドの作成] ボタンを選択できます。このコントロールで利用可能な現在のコントロール要件を表示できます。ハイブリッドコントロールをベースラインコントロールに戻すには、次の 4 つのセットアップ変更が可能です。

   - 選択ステータスに戻るときはシステム固有のコントロールである必要があり、これを継承済みとしてマークできます。
   - ハイブリッドから継承に変換します。
   - コントロールをベースラインに戻し、共通としてマークして、共通プロバイダーにします。
   - コントロールを適用外に変換して、ワークフローから外されるようにします。そのためのコントロールが生成されないようにします。

   [継承されたコントロール] 関連リストの [ベースラインコントロールに戻る] ボタンを選択することで、継承されたコントロールを ベースラインコントロール として元に戻すこともできます。この場合、ベースラインコントロールの [コントロールレビュー] フィールドが [継承] から [適用可能] に更新されます。

関連するコンプライアンスオブジェクトがコントロール要件に与える影響

コントロール目標に対してコントロール目標要件が作成されます。コントロール要件は、コントロール目標に関連付けられているすべてのコントロールに対して生成されます。ただし、2 つのレベルのいずれかで証明書が不合格になったり、問題が作成されたりするため、コントロールまたはコントロール要件が非準拠になる可能性があります。

コントロール要件への問題の関連付けとコントロールステータスへの影響

問題は、証明書を使用してコントロール要件に対して作成できます。[要件レベルで証明書を取得] オプションを有効にすると、コントロール レベルでコントロールの証明書を送信する代わりに、すべてのコントロール要件の証明書を送信できます。[要件レベルで証明書を取得] オプションは、コントロールフォームの [証明書] 関連リストにあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

証明書が失敗すると、問題が作成されます。証明書の失敗が原因で作成された問題には、[問題ソース] フィールドが [要件証明書の失敗] としてタグ付けされています。

コントロール要件の参照は、問題フォームの [詳細] 関連リストの [コントロール/リスク] フィールドで確認できます。

[store-future: BEGIN review]手動問題:コントロール要件フォームの [問題] 関連リストで [新規] ボタンを選択し、コントロール要件の問題を作成できます。

注:
コントロールが廃止された場合、[新規] ボタンは非表示になり、問題を作成できなくなります。

コントロール要件レベルで問題が生じると、そのステータスは非準拠になります。コントロール要件は基本的にコントロールに関連しているため、問題はコントロールフォームの [問題] 関連リストにも追加されます。コントロール要件が非準拠であるため、コントロールも非準拠になります。[End]

問題をクローズするには、応答を提供し、それを問題フォームに保存します。応答は [修復] または [承認] のいずれかです。

- [修正] を選択し、問題のステータスを [完了してクローズ] に設定すると、コントロール要件に他の未解決の問題がなければ、コントロール要件は準拠になります。
- [承認] を選択すると、問題がまだ存在し、受け入れることを意味します。この場合、他の未解決の問題がない状態で問題をクローズしても、コントロール要件のステータスは非準拠のままです。

したがって、コントロール要件ステータスを準拠させるには、応答を [承認] ではなく [修復] に設定する必要があります。

コントロール要件が非準拠になると、コントロールも非準拠になります。コントロール要件のステータスが適合になると、コントロールレベルでチェックする基準がさらに 2 つあります。

- コントロールに未解決の問題があってはなりません。
- コントロールのコントロール要件が 1 つでも非準拠であってはなりません。

この 2 つの条件が満たされると、コントロールのステータスは [準拠] になります。そうしないと、コントロール要件のステータスが [準拠] になっていても、コントロールのステータスは非準拠のままになります。

- コントロールおよびコントロール要件が [ドラフト] または [証明] ステータスの場合、証明書に合格してコントロールおよびコントロール要件を準拠させることができます。
- コントロールおよびコントロール要件が [レビュー] または [監視] ステータスの場合は、ステータスを戻して証明し、証明書を渡して、コントロールおよびコントロール要件を準拠させることができます。
- コントロール要件が [監視] または [廃止] ステータスの場合、コントロール要件の問題を作成することはできません。

コントロール要件ステータスに対するインジケーターテストとコントロールテストの影響

コントロール要件は、このコントロール要件の証明書の失敗の結果として作成された問題が原因で、非準拠になる可能性があります。コントロールに未解決の問題がない場合、または既存の問題をクローズしても、コントロール要件は非準拠のままになります。インジケータータスク の結果 は 合格ですが、コントロールのコントロール要件の 1 つが非準拠であるため、コントロールは依然として非準拠のままです。コントロールのコントロール要件を明示的に準拠として作成する必要があります。インジケーターテストに合格すると、コントロールは準拠になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールテストの場合も同様です。

コントロール状態の変更とコントロール要件への影響

ドラフト

コントロールが [ドラフト] ステータスのときに、すべてのコントロール要件が生成されます。

コントロールが [ドラフト] ステータスに移行すると、関連するコントロール要件も [ドラフト] ステータスに移行します。

証明

コントロールが他のステータスから [証明] ステータスに移行すると、[要件 レベルで証明書を取得] オプションに関係なく、コントロールのすべてのコントロール要件も [証明] ステータスに移行します。

> **注:**
> [証明] ボタンを選択すると、コントロール レベルで 1 つの構成証明を取得するか、または [要件レベルで構成証明を取得する] オプションによってガイドされるコントロール要件レベルで複数の構成証明を取得するかを選択できます。

評価

コントロールレベルの構成証明で、[要件レベルで証明書を取得] オプションが選択されていない場合、証明書が完了すると、コントロールは [レビュー] ステータスに移行します。同時に、コントロールのすべての関連付けられたコントロール要件が [レビュー] ステータスに移行します。

コントロール要件レベルの証明書で [要件レベルで証明書を取得] オプションが選択されている場合、証明書はすべてのコントロール要件のすべての証明書回答者に個別に送信されます。証明書が完了すると、コントロール要件レベルでの証明書結果が合格または不合格かどうかに関係なく、コントロール要件は [レビュー] ステータスに移行します。証明書が合格すると、コントロール要件のステータスが [準拠] になり、失敗した場合、コントロール要件は [非準拠] になります。すべてのコントロール要件の証明書が完了し、それらがすべてレビューステータスになると、コントロールは [レビュー] ステータスに移行します。

監視

コントロールが監視ステータスに移行すると、関連するコントロール要件も監視ステータスに移行します。

コントロールがアクティブのままで、ドラフトまたは証明ステータスに戻っていない限り、コントロール要件は [監視] ステータスのままになります。

廃止

コントロールが [廃止] の場合、コントロール要件は [廃止] ステータスに移行します。

コントロールを削除すると、そのコントロールに関連付けられているすべてのコントロール要件が削除または削除されます。

構成証明フローのシナリオの詳細については、ナレッジベースの記事「制御の構成証明ワークフロー」および「制御要件 [KB0555561]」を参照してくださいNow Support

継承された要件がコントロールのライフサイクルに与える影響

1. コントロール要件の 1 つが非準拠になると、対応するコントロールも非準拠になります。
2. 継承されたコントロール要件の 1 つが非準拠になると、そのコントロールも非準拠になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. コントロールの証明書が失敗すると問題が作成され、コントロールは非準拠になります。
4. コントロール要件の証明書が失敗すると問題が作成され、コントロール要件は非準拠になります。そのため、関連付けられたコントロールも非準拠になります。
5. ハイブリッドコントロールの継承されたコントロール要件の 1 つが廃止されると、そのような状態では、自動化された問題が作成されます。問題が作成された理由は、[問題] フォームの [問題ソース] フィールドに [プロバイダーコントロールが廃止されました] として反映されます。適切なメッセージが、[問題] フォームの [アクティビティ] 関連リストにも記録されます。この問題を解決するには、共通コントロール プロバイダーを変更するか、コントロール要件を自己実装に変換します。
6. コントロールが [ドラフト] ステータスで、その要件の 1 つが廃止された場合、コントロールを [ドラフト] から [証明] ステータスに移行することはできません。

注:
詳細については、ナレッジベースの記事Now Support「操作上の変更と、制御のプロセスフローとその要件への影響」[KB1587264] を参照してください。

要件の生成とアップグレードのステップを制御する

コントロール目標フォームの [コントロールを自動的に作成] および [コントロール要件を作成] オプションと、認証パッケージのステータスは、 コントロール要件 を作成するために重要です。

コントロール要件生成ロジック

コントロール目標フォームで [コントロールを自動的に作成] および [コントロール要件を作成] オプションを有効にすると、アイテム生成フローがトリガーされ、それぞれコントロールと コントロール要件 が自動的に作成されます。コントロールのステータスに応じて、生成されたコントロール要件のステータスが変化します。

認証パッケージが [選択] から [実装] ステータスに移行したときに [コントロール要件を作成] オプションが選択されている場合、コントロールが生成されます。それに伴い、コントロール目標要件のコントロール要件も生成されます。コントロール要件は、コントロール目標要件が存在し、フラグが true の場合にのみ生成されます。コントロール目標要件が存在していても、フラグが false の場合、コントロール要件は生成されません。

コントロール目標の作成中にフラグが false に設定され、要件が生成されなかった場合でも、この特定のコントロール目標に関連付けられたコントロールにコントロール目標要件があり、コントロールがアクティブで [ドラフト] ステータスであれば、フラグを選択してコントロール目標レコードを保存してコントロール要件を生成できます。コントロールが [ドラフト] 以外のステータスである場合、コントロール要件は生成されません。ただし、たとえば、コントロールが [監視] ステータスだった場合、[ドラフト] ステータスに戻る場合、[コントロール要件の作成] オプションが選択されていれば、 コントロール要件 が生成されます。

新しいコントロール目標要件が追加されました

[コントロール目標要件] 関連リストの [新規] または [編集] ボタンを使用して、コントロール目標にコントロール目標要件を追加する場合も同様です。

更新

コントロール目標要件の説明を更新すると、コントロールが [ドラフト] ステータスであれば、対応するコントロール要件の説明が更新されます。コントロールがその他の状態にある場合、コントロールが [ドラフト] 状態に戻ると説明が更新されます。

削除

コントロール目標のコントロール目標要件のいくつかが削除された場合、それに応じて、コントロールのコントロール要件を削除することはできず、代わりに手動要件としてマークされます。これは、すべての状態のコントロールに当てはまります。後でコン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トロールが [ドラフト] ステータスに移行した場合、これらの要件から手動タグを削除できます。一方、コントロール目標要件の一部が削除された後に新しいコントロールが作成された場合、新しいコントロールには削除された要件はなく、既存の番号のみが含まれます。

認証パッケージが [実装] から [選択] ステータスに移行すると、関連付けられている CAM すべてのコントロールが廃止され、それに応じてそれらに関連付けられているすべての要件も廃止されます。これらのアクションはすべて、アイテム生成によって処理されます。

必須のアップグレード手順

リリースへの Washington DC アップグレードでは、次のアップグレードセットアップアクションが実行されます。

1. コントロールフォームの [認証パッケージ] フィールドと [コントロール割り当て] フィールドが新たに追加されました。これらのフィールドの値は、既存の CAM コントロールに対して設定されます。
2. すべての NIST 800-53-revision 5 コントロール目標について、[コントロール目標] フォームの [コントロール要件を作成] オプションはデフォルトで **True** に設定されています。
3. コントロール要件は、[ドラフト] ステータスの NIST 800-53-revision 5 コントロール目標から、既存のすべてのコントロールに対して作成されます。

Continuous Authorization and Monitoring の概要レポート

Continuous Authorization and Monitoring レポートおよびその他のビジュアル化を [概要] に表示できます。

表示できるレポートは、ユーザーロールによって次のように異なります。

- 管理者 [sn_irm_cont_auth.admin] ロールを持つ CAM ユーザーが利用できるレポートを表示するには、次の場所に移動します。 **Continuous Authorization and Monitoring** > **CAM** の概要.
- 認証担当者 [sn_irm_cont_auth.authorization_official] ロールを持つユーザーが使用できるレポートを表示するには、次の場所に移動します。 **Continuous Authorization and Monitoring** > **AO** の概要.
- セキュリティコントロール査定人 [sn_irm_cont_auth.sec_control_assessor] ロールを持つユーザーが利用できるレポートを表示するには、次の場所に移動します。 **Continuous Authorization and Monitoring** > **SCA** の概要.

CAM 概要モジュールから利用可能なレポート

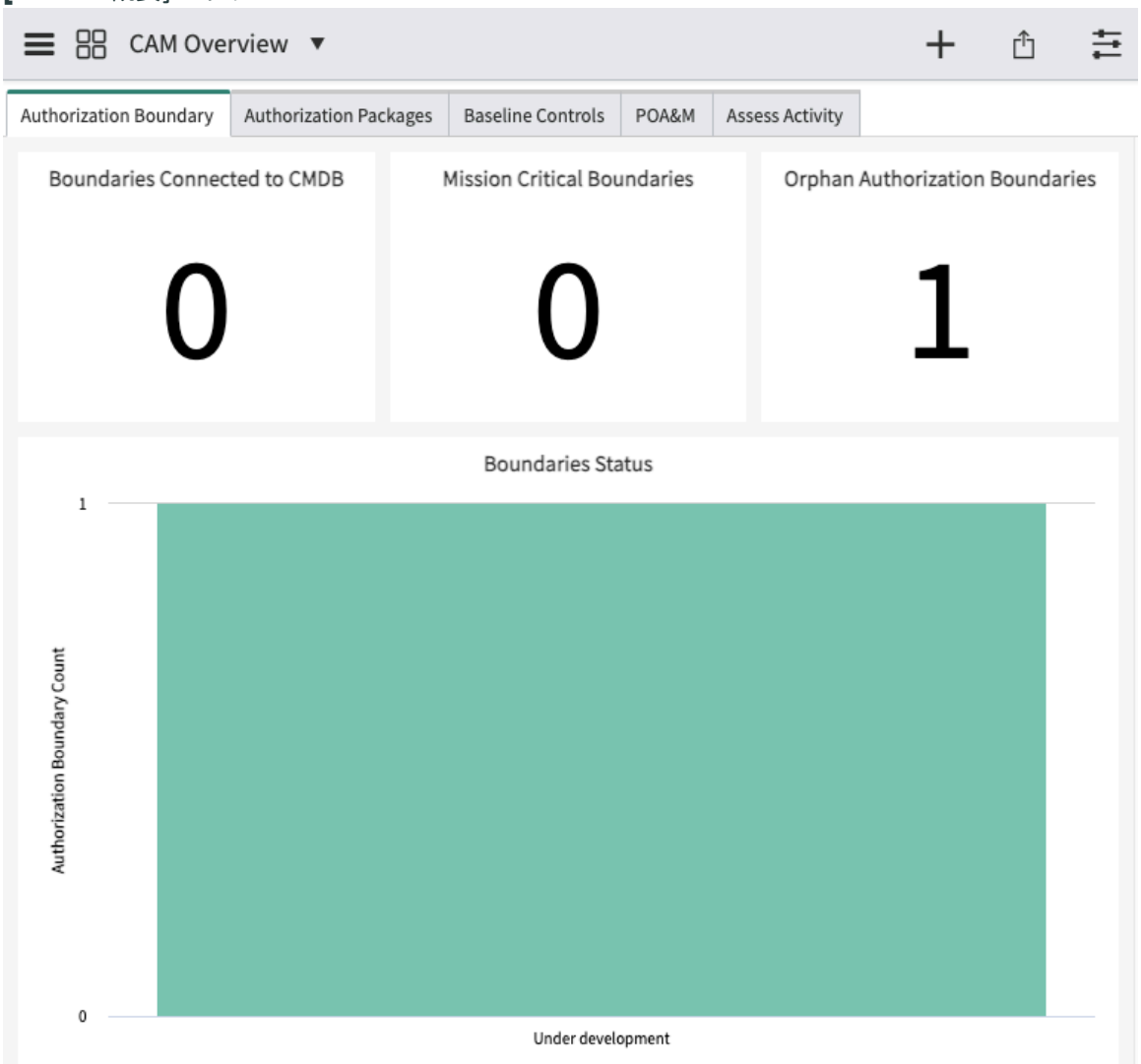
CAM 管理者 [sn_irm_cont_auth.admin] ロールを持つユーザーは、CAM 概要モジュールでレポートを表示できます。

CAM 概要モジュールには、5 つのタブにレポートが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[CAM の概要] のタブ



[CAM の概要] - [認証境界] タブ

[認証境界] タブのレポートには、システムで定義された認証境界の全般的な概要が示されます。

[認証境界] タブのレポート

レポート	説明
CMDB に接続された境界 (Boundaries Connected to CMDB)	CMDB で機能するように定義された認証境界の数。
ミッションクリティカルな境界 (Mission Critical Boundaries)	ミッションクリティカルとして定義された認証境界の数。詳細については、「認証境界の定義」を参照してください。
孤立した認証境界 (Orphan Authorization Boundaries)	認証パッケージに関連しない認証境界の数。
境界ステータス (Boundaries Status)	各ステータスの認証境界の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[CAM の概要] - [認証パッケージ] タブ

[認証パッケージ] タブのレポートには、システムで定義された認証パッケージの全般的な概要が示されます。

[認証境界] タブのレポート

レポート	説明
上書きされた影響度があるパッケージ (Packages with Overridden Impact)	上書きされた影響度がある認証パッケージの数。詳細については、「認証パッケージの分類」を参照してください。
承認待ちがあるパッケージ (Packages Pending Approval)	承認が要求されたが、まだ承認を受け取っていない認証パッケージの数。
影響別のパッケージ (Packages by Impact)	影響度レベル別に分類された認証パッケージの数。
ステップ別のパッケージ (Packages by Step)	ステップ別 (たとえば、監視、アクセス、選択など) に分類された認証パッケージの数。

[CAM の概要] - [ベースラインコントロール] タブ

[ベースラインコントロール] タブのレポートを使用すると、機関全体のすべての認証パッケージのステータスを簡単に追跡できます。

[ベースラインコントロール] タブのレポート

レポート	説明
継承されたコントロールを含むパッケージ (Packages with Inherited Controls)	共通コントロールから継承されたベースラインコントロールを含む認証パッケージの数。
共通コントロールを含むパッケージ (Packages with Common Controls)	共通コントロールが作成および実装された認証パッケージの数。
実装されていないコントロールを含むパッケージ (Packages with Unimplemented Controls)	共通コントロールが作成されても、まだ実装されていない認証パッケージの数。

[CAM の概要] - [POA&M] タブ

[POA&M] タブのレポートでは、システムがどのようにコントロールを提供、継承、実装しているかを把握できます。

[POA&M] タブのレポート

レポート	説明
処理待ちの POA&M (Pending POA&Ms)	承認待ちのアクションプランとマイルストーン (POA&M) の数。
POA&M とマイルストーン (POA&Ms with Milestones)	マイルストーンを含む POA&M の数。
受け入れタスクを含む POA&M (POA&Ms with Acceptance Tasks)	受け入れタスクを含む POA&M の数。
期限切れの POA&M (Overdue POA&Ms)	期限切れのマイルストーンまたは受け入れタスクがある POA&M の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[POA&M] タブのレポート (続く)

レポート	説明
ステータス別の POA&M (POA&Ms by State)	ステータス別に分類された POA&M の数。
POA&M を含むパッケージ (Packages with POA&Ms)	POA&M を含む認証パッケージの数。
優先度別の POA&M (POA&Ms by Priority)	優先度別に分類された POA&M の数。
応答別の POA&M (POA&Ms by Response)	応答別に分類された POA&M の数。

[CAM の概要] - [アクティビティの評価] タブ

[アクティビティの評価] タブのレポートを使用すると、機関内の POA&M の可視性が向上し、 管理作業が軽減されます。これらのレポートの詳細については、「詳細計画を使用してエンゲージメントを作成する」を参照してください。

[アクティビティの評価] タブのレポート

レポート	説明
不適切なエンゲージメント	不適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数。
満足のいくエンゲージメント	満足のいく結果でクローズしたエンゲージメントの数。
適切なエンゲージメント	適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数。
エンゲージメント別のコントロール	エンゲージメント別に分類されたコントロールの数。
監査タスクのブレークダウン	タスクタイプ、アサイン先ユーザー、トップタスク、またはステータス別にグループ化された監査タスク。
POA&M ブレークダウン (POA&M Breakdown)	エンゲージメント、ステータス、または応答別にグループ化または積み重ねられた POA&M。
コントロールテスト結果	完了したコントロールテストの数。全体的なコントロール有効性評価で分類されます。
エンゲージメントの結果	各エンティティに対して実施された監査エンゲージメントの総数。グラフは、各エンティティの全体的な監査結果を表示するために積み重ねられます。
期限切れの監査タスク	終了予定日を超えたオープンな監査タスクのリスト。

AO の概要モジュールから利用可能なレポート

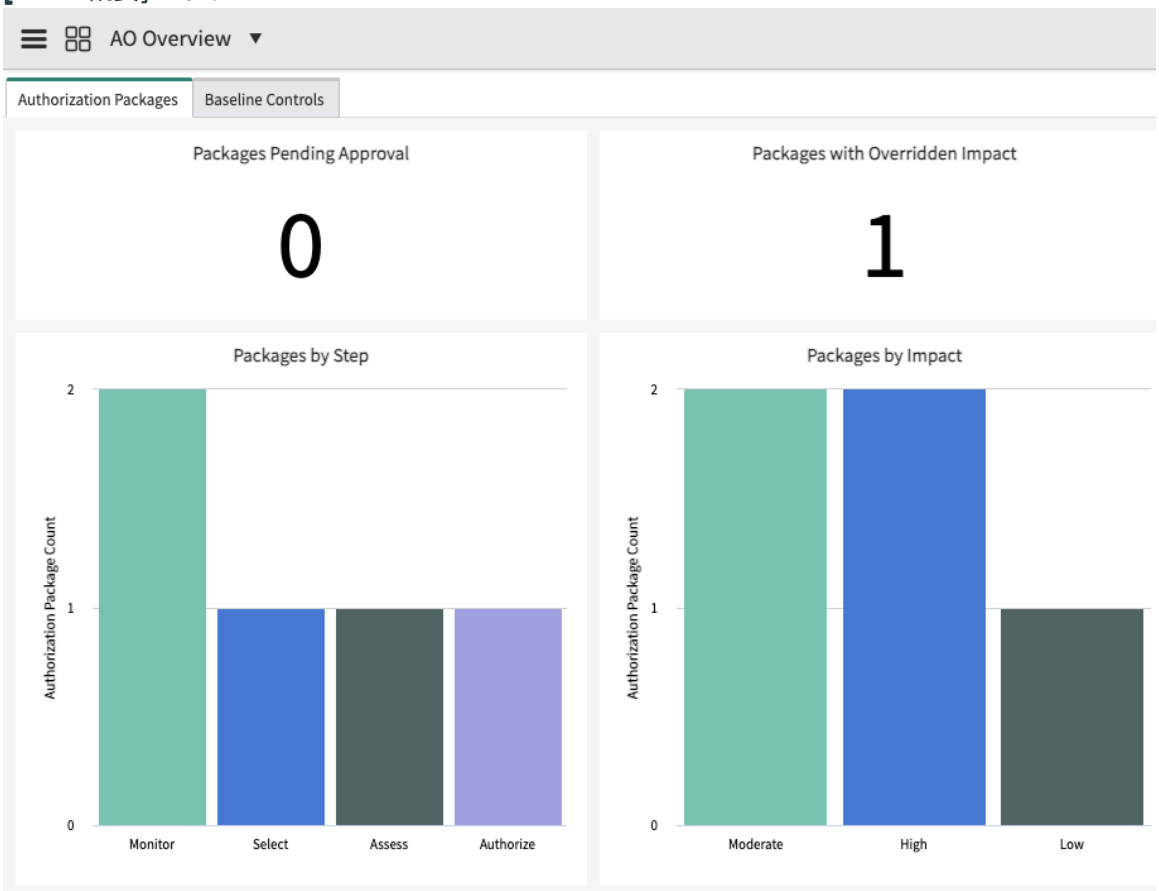
承認担当者 [sn_irm_cont_auth.authorization_official] ロールを持つユーザーは、AO の概要モジュールのレポートを表示できます。

AO の概要モジュールには、2 つのタブにレポートが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[AO の概要] のタブ



[AO の概要] - [認証パッケージ] タブ

[認証パッケージ] タブのレポートでは、すべてのパッケージのステータスを一元的に表示できるため、労力と時間を削減できます。

[認証境界] タブのレポート

レポート	説明
承認待ちがあるパッケージ (Packages Pending Approval)	承認が要求されたが、まだ承認を受け取っていない認証パッケージの数。
上書きされた影響度があるパッケージ (Packages with Overridden Impact)	上書きされた影響度がある認証パッケージの数。詳細については、「認証パッケージの分類」を参照してください。
ステップ別のパッケージ (Packages by Step)	ステップ別 (たとえば、監視、アクセス、選択など) に分類された認証パッケージの数。
影響別のパッケージ (Packages by Impact)	影響度レベル別に分類された認証パッケージの数。
承認待ち	承認待ちがあるすべてのパッケージのリスト。

[AO の概要] - [ベースラインコントロール] タブ

[ベースラインコントロール] タブのレポートには、システム内のベースラインコントロールの概要が示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ベースラインコントロール] タブのレポート

レポート	説明
実装されていないコントロールを含むパッケージ (Packages with Unimplemented Controls)	共通コントロールが作成されても、まだ実装されていない認証パッケージの数。
継承されたコントロールを含むパッケージ (Packages with Inherited Controls)	共通コントロールから継承されたベースラインコントロールを含む認証パッケージの数。
共通コントロールを含むパッケージ (Packages with Common Controls)	共通コントロールが作成および実装された認証パッケージの数。
コンプライアンススコア (%)	名前または番号でグループ化されたポリシーのコンプライアンススコアの割合。

SCA の概要モジュールから利用可能なレポート

セキュリティコントロール査定人 [sn_irm_cont_auth.sec_control_assessor] ロールを持つユーザーは、SCA の概要モジュールのレポートを表示できます。

SCA の概要モジュールには、次のレポートが含まれています。

SCA の概要

[SCA の概要] の下にあるレポートを使用すると、発生したコントロールアセスメントを表示および管理できるため、労力と意思決定時間を削減できます。

SCA の概要のレポート

レポート	説明
適切なエンゲージメント	適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数。
満足のいくエンゲージメント	満足のいく結果でクローズしたエンゲージメントの数。
不適切なエンゲージメント	不適切な結果でクローズしたエンゲージメントの数。
エンゲージメント別のコントロール	エンゲージメント別に分類されたコントロールの数。
監査タスクのブレークダウン	タスクタイプ、アサイン先ユーザー、トップタスク、またはステータス別にグループ化された監査タスク。
POA&M ブレークダウン (POA&M Breakdown)	エンゲージメント、ステータス、または応答別にグループ化または積み重ねられた POA&M。
コントロールテスト結果	完了したコントロールテストの数。全体的なコントロール有効性評価で分類されます。
エンゲージメントの結果	各エンティティに対して実施された監査エンゲージメントの総数。グラフは、各エンティティの全体的な監査結果を表示するために積み重ねられます。
期限切れの監査タスク	終了予定日を超えたオープンな監査タスクのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience

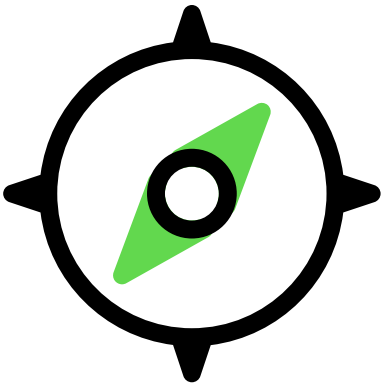
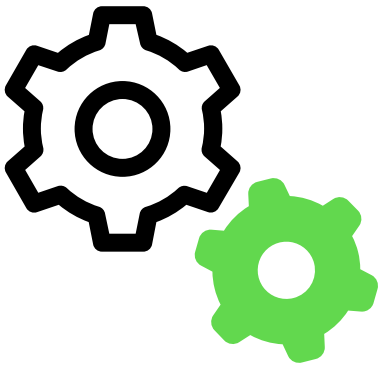
Operational Resilience は、事業に悪影響のあるイベントを予測および防止し、そこから復旧して適応することによって、組織がそれらのイベントに対応する能力です。

Operational Resilience の概要

変化する今日のビジネス状況では、組織は予期しないときにさまざまなオペレーショナルリスクに直面する可能性があります。ビジネスのすべての機能は、オペレーショナルレジリエンスを維持および促進する上で重要な役割を果たします。たとえば、リスクチームは、オペレーショナルリスクを特定して対応するために適切なガバナンスを設定する必要があります。IT チームは、既存の脅威と潜在的な脅威を特定して対処する必要があります。

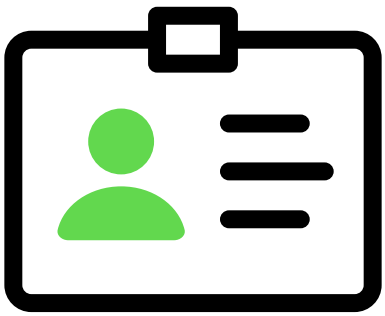
ServiceNow® Operational Resilience アプリケーションを使用すると、パンデミック、異常気象、ハッキングなどの事業に悪影響のあるイベントの発生中でも、組織はビジネスサービスを提供し続けることができます。Operational Resilience を使用すると、複数の場所からデータを監視およびレポートし、顧客への影響を最小限に抑えながら潜在的な中断から迅速に復旧できます。

開始するには

探索	構成	使用方法
		
「Operational Resilience」を参照してください。	Operational Resilience アプリケーションの構成	クラシックを設定Operational Resilience ワークスペース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理	参照	
		
タスクの管理Operational Resilience	Operational Resilience とともにインストールされるコンポーネント	

学習する

Operational Resilience とは

その他のリソース

- GRC コミュニティで質問や回答をする
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート
- 開発者トレーニング
- 開発者ドキュメント

Operational Resilience の詳細

Operational Resilience アプリケーションは、サービスの詳細、エンティティ、ビジネスのコア領域の体制など、オペレーショナルレジリエンスステータスを完全に把握できるようにします。

Operational Resilience の概要

Operational Resilience アプリケーションは、組織がさまざまなビジネス機能にわたって統一されたビジョンを達成し、レジリエンスを構築するのに役立ちます。1 つのプラットフォームで Operational Resilience アプリケーションを使用することで、次の例に示すように、さまざまなチームが 1 つの場所でサービスの健全性を監視できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience による統一されたビジョン



Operational Resilience アプリケーションは、さまざまな部門がオペレーショナルレジリエンスを効果的に構築するのに役立ちます。

- IT 部門は、プロセスを自動化し、アプリケーションのフェイルオーバーシステムの可用性と機能を追跡できます。
- HR 部門は、市場の傾向、リソースプール、および定着リスクを明確に把握できます。
- 施設部門は、少ないメンテナンスで日常の業務を管理するのに役立つ主要な改善の実装に集中できます。
- セキュリティ部門は、物理的な脆弱性とサイバー脅威に効率的に対処できます。
- 財務チームは、契約上の問題、サプライチェーンリスク、および全体的な財務を効果的に管理できます。
- リスクチームは、潜在的なリスクを分析し、事業運営に対するサービスの影響を軽減できます。

自動翻訳

Operational Resilience および 事業継続性管理

Operational Resilience 運用の中断を防ぐために組織が積極的に実行する必要がある手順を定義します。 事業継続性管理 は、組織全体に影響を与える可能性のある中断に迅速に対応するための計画を構築するアプローチを実装します。

Operational Resilience は、完全なエンドツーエンドのサービス提供の提供に関する包括的なアプローチを採用しています。 Operational Resilience とは、レジリエンス統計をプロアクティブに監視し、いかなる犠牲を払ってもサービスの提供が行われるようにすることです。 事業継続性管理は、ビジネス中断の分析、災害復旧計画の準備、およびビジネスプロセスレベルでの危機イベントへの対応に関するものです。

前述のように、 Operational Resilience ダッシュボードで会社のオペレーショナルレジリエンスの統計を明確に理解できます。これには、、リスク、コントロール、サービス統計などの統計情報 事業継続性管理が含まれます。一方、 事業継続性管理 ビジネスプロセスレベルで動作します。

Pro および **IRM Pro** ライセンスとともに**BCM**インストールされるロール

このリリース以降Washington DC、Operational Resilienceロールは Pro と Pro IRM ライセンスの関係BCMを含むように変更されています。

Operational Resilience IRM Pro ライセンスのユーザー、マネージャー、および管理者は、対応するレポート、グラフ、およびデータにアクセスできるようになりました。同様に、Proライセンスの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

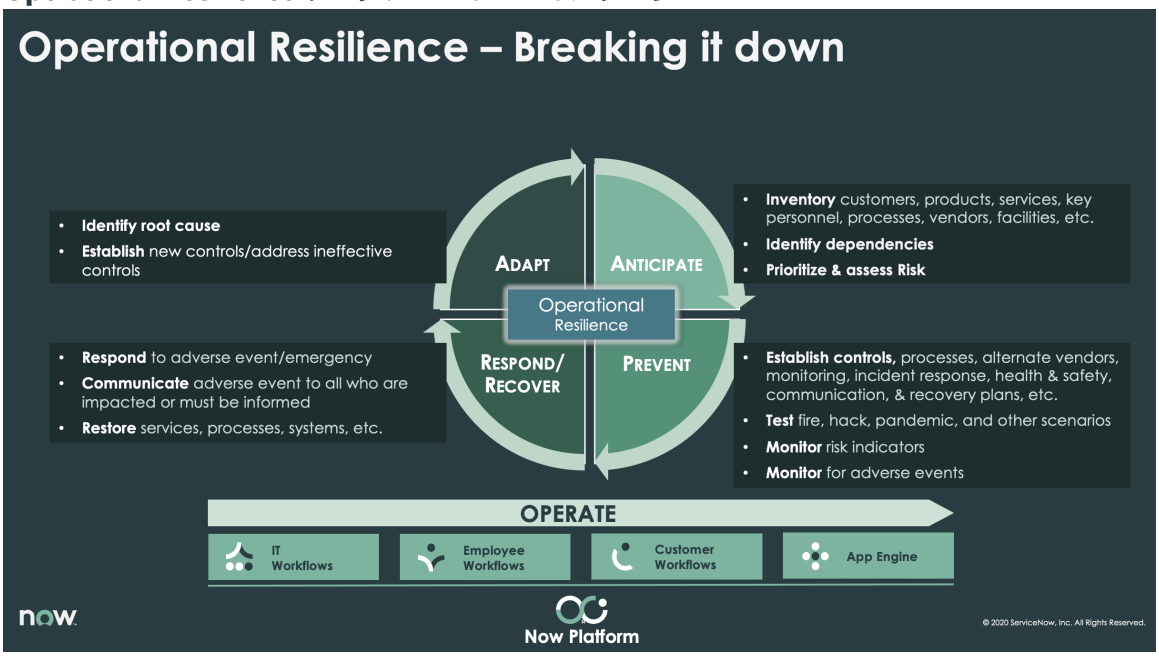
ユーザー、マネージャー、および管理者は、対応するレポート、チャート、 Operational Resilience BCM およびデータにアクセスできるようになりました。

変更されたロールの詳細については、「」を参照してください Operational Resilience と一緒にインストールされるロール。

Operational Resilience のワークフロー

Operational Resilience アプリケーションは、レジリエンスマネージャーと管理者が組織の安全性と健全性を達成するのに役立つ、4 ステージの連続したワークフローを実現します。悪影響を与えるイベントを予測および防止して、そこから復旧して適応することで、そのようなイベントに備え、対処することができます。オペレーショナルレジリエンスのステージを次の例に示します。

Operational Resilience ワークフローの **4** つのステージ



組織のレジリエンスを構築するには、レジリエンスライフサイクルの各ステージを分析します。

1. 予想：壊滅的なイベントが発生したときに、どのサービス、人員、およびプロセスが重要であるかは必ずしも明確ではありません。組織のサイロ化、質の低いデータ、およびさまざまに異なるツールにより、リスクとビジネス間の依存関係を把握しにくくなる可能性があります。優先順位付けと計画立案がない場合、意思決定が不正確になる可能性があります。

   Operational Resilience アプリケーションは、これらの課題を克服するために、what-if シナリオ分析を実行して、最善、最悪、および予想される結果に対してより適切な計画を作成するのに役立ちます。このアプリケーションは、保護する必要があるもののために準備し、ビジネスとリスクのコンテキストに応じて優先順位を付けるのに役立ちます。

2. 防止：ほとんどの運用手順は、リスクやコンプライアンスよりも効率を重視したものになっています。多くの場合、ビジネスは、自動化された予防コントロールではなく、手動の是正コントロールに依存しています。リスクや悪影響のあるイベントの早期警告は、手動のプロセスと断片化されたデータによって妨げられる可能性があります。このような慣行は、災害への対応を損なう可能性があります。

   Operational Resilience アプリケーションは、潜在的な問題の可能性を適時に減らして効果的に軽減するための十分なコントロールを確立する手順を提供します。リスクとコンプライアンスのアクティビティを日常の業務に組み込むことで、少ない労力で運用をスムーズに進めることができま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。インテリジェントなプロセスとポリシーは、新しい効率性を実現するために役立ちます。継続的な監視は、ターゲットのインシデントに対する即時の応答をトリガーします。

3. 対応/復旧：多くの企業は、悪影響のあるイベントに迅速かつ安全に対応できるように組織化されていません。内部またはベンダーやサプライヤーとのコミュニケーションが不十分です。特に情報が不完全または古い場合は、一瞬の決断が状況を悪化させる可能性があります。

   アプリケーションを使用して Operational Resilience 作成された継続性計画は、インシデントの制御不能なエスカレーションを防ぐのに役立ちます。事前に承認およびテストされた復旧計画により、状況に効果的に対応し、リスクを軽減し、復旧時間を短縮するように準備できます。

4. 適応：運用レジリエンスにより、災害から迅速かつ簡単に立ち直ることができます。ただし、これらのイベントが発生しても、学習機会とは見なされないことがよくあります。しかし、次のことが言えます。学習機会と考えた場合、保護対策を改善し、次のイベントに効果的に対応する機会が得られます。これらのイベントから学習して適応することで、影響を最小限に抑え、迅速な復旧を実現できます。

   火災、異常気象、パンデミック、データ漏洩などの悪影響を与えるイベントは、何がより効果的に機能するかについての教訓を提供します。Operational Resilience アプリケーションは、データの収集、結果の評価、チームへのフィードバックの提供に役立ちます。過去を可視化することにより、将来の運用パフォーマンスを向上させるためのビジョンをビジネスリーダーに提供します。

Operational Resilience のメリット

事業継続性管理 アプリケーションには次のメリットがあります。

利点	機能	ユーザー
ホームページのインタラクティブダッシュボードから Operational Resilience アクティビティを管理します。	ホームページの探索	Operational Resilience マネージャーとユーザー
[自分のタスク] ビューの単一のダッシュボードから、個人とチームのタスクを監視します。	[タスク] ページと [リスト] ページの探索	Operational Resilience マネージャーとユーザー
ワークスペースでの Operational Resilience ビジネスサービスの設定	Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスのセットアップ	Operational Resilience マネージャーとユーザー
ビジネスサービスの重要性および影響許容度を分析します。	Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析	Operational Resilience マネージャーとユーザー
Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析を実行します。	Operational Resilience ワークスペースでのシナリオ分析の実行	Operational Resilience マネージャーとユーザー
Operational Resilience ワークスペースでビジネスサービスの自己証明を行います。	Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの自己証明	Operational Resilience マネージャーとユーザー
Operational Resilience ワークスペースで問題を関連付けます。	Operational Resilience ワークスペースでの問題の関連付け	Operational Resilience マネージャーとユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience の構成

リスクの特定、コントロールの強化、サービスとプロセスの監視、組織の完全なレジリエンスの確保を実現するように Operational Resilience アプリケーションを構成します。

Operational Resilience の構成の概要

Operational Resilience を構成するには、管理者が ServiceNow® Store からアプリケーションをインストールし、セットアップする必要があります。

Operational Resilience アプリケーションの構成は、一般に次の手順で行います。

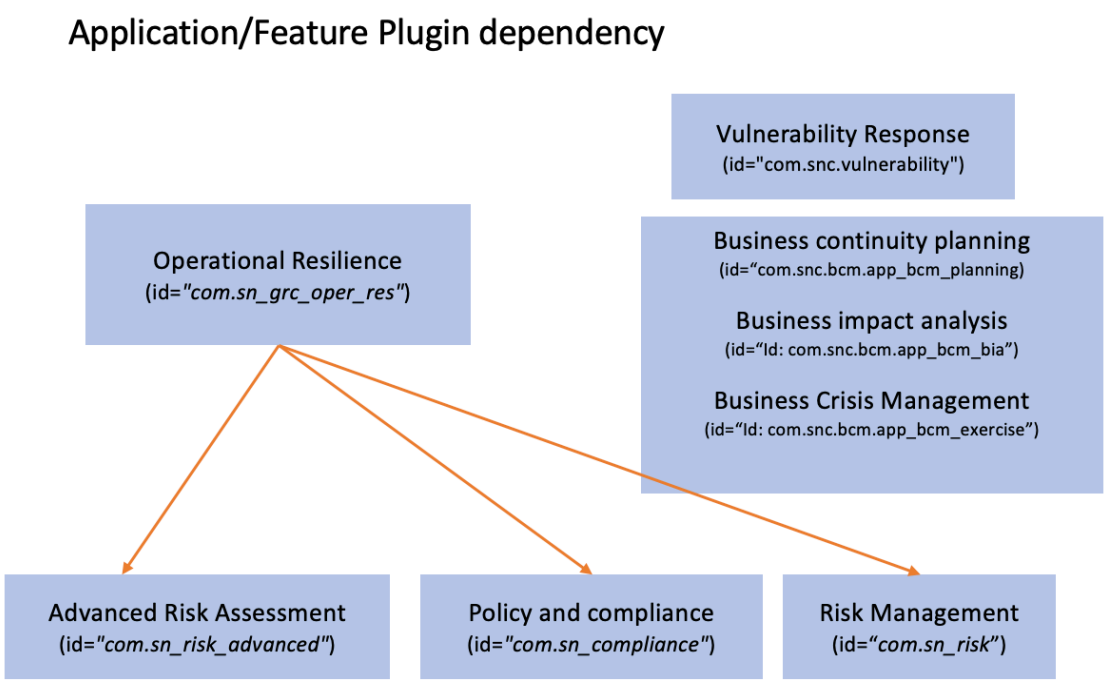
- Operational Resilience の前提条件を確認します。詳細については、「Operational Resilience の必須条件」を参照してください。
- Operational Resilience アプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードします。詳細については、「Operational Resilience アプリケーションのダウンロード」を参照してください。
- 管理セットアップタスクを実行します。詳細については、「管理タスクのセットアップ」を参照してください。

Operational Resilience の必須条件

Operational Resilience アプリケーションをインストールする前に、GRC アプリケーションをインスタンスにインストールする必要があります。

次の例は、Operational Resilience の階層、必須の GRC アプリケーション、およびレポートダッシュボードに追加できるオプションの GRC アプリケーションを示しています。

Operational Resilience アプリケーションの階層



Operational Resilience アプリケーション (com.sn_grc_oper_res) では、次の必要なアプリケーションをダウンロードする必要があります。

- GRC: 高度なリスク
- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: リスク管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Operational Resilience と統合できるオプションのアプリケーションは次のとおりです。

- GRC: 事業継続性管理
- GRC: 脆弱性対応

インスタンスにインストールされているアプリケーションによっては、Operational Resilience レポートダッシュボードでレポートを表示できます。

Operational Resilience アプリケーションのダウンロード

ServiceNow Store から GRC: Operational Resilience アプリケーションをダウンロードしてインスタンスで実行します。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.admin

手順

「ServiceNow Store からの GRC アプリケーションの初回ダウンロード 」の手順に従います。

関連情報

プラグインのリスト

管理タスクのセットアップ

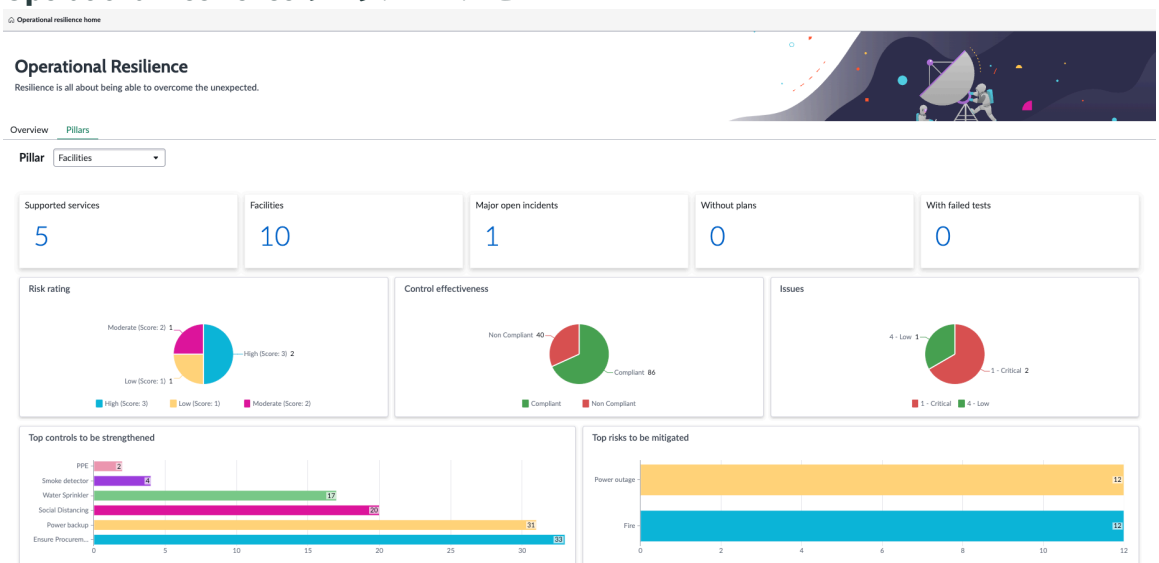
sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、Operational Resilience アプリケーションでセットアップタスクを実行できます。

クラシック Operational Resilience および Operational Resilience ワークスペース

Washington DC リリースより前は、Operational Resilience アプリケーションはクラシックユーザーインターフェイスをサポートしていました。Washington DC リリース以降、Operational Resilience アプリケーションは Operational Resilience ワークスペースをサポートしています。

Operational Resilience ワークスペースは、1 つの重点的な作業領域のタスクとワークフローの集合です。次の例に示すように、単一ペインのビューで複数の機能を構成できます。

Operational Resilience ワークスペース ビュー

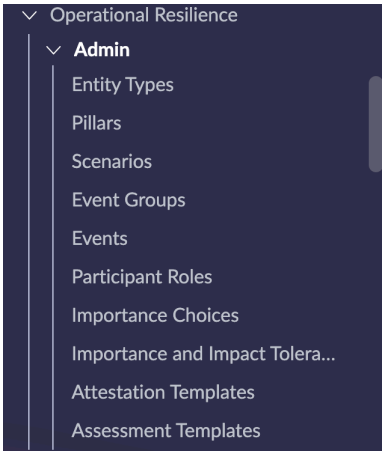


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック **Operational Resilience** ビューの管理モジュール

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、次の例に示すように、クラシック Operational Resilience アプリケーションビューを使用して管理者モジュールを設定できます。

クラシックビューの管理モジュール



sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、管理モジュールを使用して次のエンティティを設定できます。

- エンティティタイプ
- Pillar
- シナリオ
- イベントグループ
- イベント
- 参加者のロール
- 重要性の選択
- 重要性および影響許容度評価スケール
- 証明書テンプレート
- アセスメントテンプレート

注:
sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーとしてアプリケーションにログインすると、管理モジュールを表示できます。

Operational Resilience 管理者は、ピラーを作成し、ダッシュボードでレポートを変更することもできます。

注:
sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、エンティティタイプ、それらのフィルター、およびピラーを変更できますが、これらのエンティティを変更する際には十分な注意が必要です。

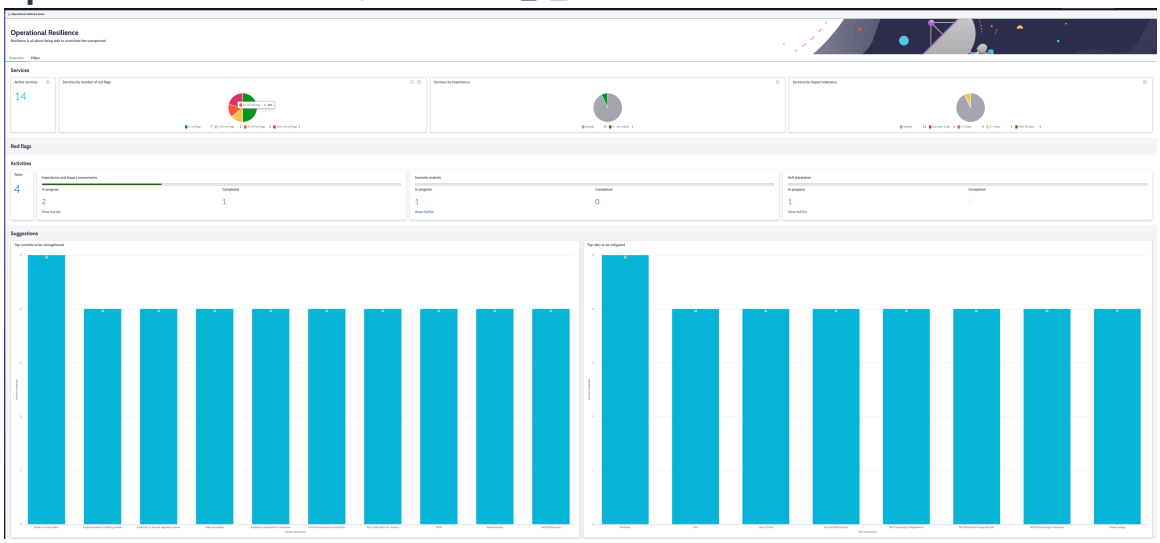
Operational Resilience ワークスペースの管理ビュー

sn_oper_res.admin ロールがあり、インスタンスで利用可能な Washington DC リリースがある場合は、次の例に示すように Operational Resilience ワークスペースで管理者ビューを設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience ワークスペースの管理ビュー



管理セットアップタスク

sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、管理モジュールを使用して次のエンティティを設定できます。

- エンティティタイプ
- Pillar
- シナリオ
- イベントグループ
- イベント
- 参加者のロール
- 重要性の選択
- 重要性および影響許容度評価スケール
- 証明書テンプレート
- アセスメントテンプレート

注:
sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーとしてアプリケーションにログインすると、Operational Resilience ワークスペース のクラシックビューまたは管理ビューで管理モジュールを表示できます。

Operational Resilience 管理者は、ピラーを作成し、ダッシュボードでレポートを変更することもできます。

注:
sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、エンティティタイプ、それらのフィルター、およびピラーを変更できますが、これらのエンティティを変更する際には十分な注意が必要です。

sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、次のセットアップタスクを完了できます。

- Operational Resilience ロールをアサインします。詳細については、「ユーザーに Operational Resilience ロールをアサイン」を参照してください。
- エンティティタイプを設定して、ビジネスエンティティのデータを定義します。詳細については、「エンティティタイプの設定とビジネスエンティティのデータの定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ピラーを設定して、ビジネスのコア領域を定義します。詳細については、「ピラーを設定して、ビジネスエンティティのコア領域を定義します。」を参照してください。
- セットアップチェックリストを確認します。詳細については、「セットアップチェックリストの確認」を参照してください。
- シナリオに関連付けることができるイベントを作成します。詳細については、「シナリオのイベントの作成」を参照してください。
- イベントをイベントグループに関連付けて分類します。詳細については、「シナリオのイベントグループの作成」を参照してください。
- リスクを表すシナリオを作成します。詳細については、「イベントに関連付けることができるシナリオを作成します。」を参照してください。
- シナリオ分析のための参加者ロールを追加します。詳細については、「シナリオ分析のための参加者ロールの追加」を参照してください。
- 重要な選択肢モジュールを使用して、アセスメント評価を更新します。詳細については、「重要な選択肢モジュールのアセスメント評価の更新」を参照してください。
- 重要性および影響度評価スケールを更新します。詳細については、「重要性および影響許容度評価スケールの設定」を参照してください。
- 証明書テンプレートを作成します。詳細については、「証明書テンプレートの作成と編集」を参照してください。

ユーザーに **Operational Resilience** ロールをアサイン

Operational Resilience アプリケーションのユーザーに適切なロールを割り当てます。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて
Operational Resilience アプリケーションを正常に使用するには、ユーザーに適切なロールをアサインする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. ユーザーの名前をクリックします。
3. [ロール] タブをクリックします。
4. [編集] をクリックします。
5. ユーザーに割り当てるロールをコレクション側からロールリストに移動し、[保存] をクリックします。
6. 各ユーザーに対して、これらの手順を繰り返します。
   ロールに関する詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

エンティティタイプの設定とビジネスエンティティのデータの定義

Operational Resilience アプリケーションでエンティティタイプを設定して、ビジネスエンティティのデータを定義できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ガバナンス、リスク、コンプライアンス 内のエンティティは、ユーザー、プロセス、部門、アプリケーション、またはオブジェクトです。ガバナンス、リスク、コンプライアンス のエンティティタイプは、類似の属性を持つエンティティのグループです。

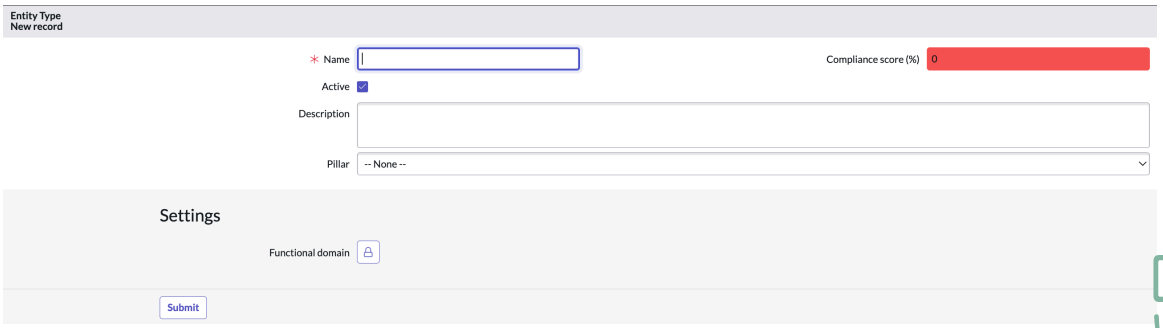
Operational Resilience アプリケーションのエンティティタイプフォームには、エンティティのデータを定義するエンティティフィルターが事前設定されています。

ベースシステムで提供される事前定義されたエンティティタイプを使用するか、ビジネス要件に応じてエンティティタイプを作成できます。出荷されたこれらのエンティティタイプを使用して Operational Resilience を運用したり、必要に応じて編集したり、エンティティタイプを作成したりすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > エンティティタイプ.

エンティティタイプ



各エンティティタイプにはエンティティフィルターが含まれています。

2. エンティティタイプの [名前] をクリックし、 [エンティティフィルター] タブをクリックしてそのフィルターを表示します。

エンティティフィルター



エンティティフィルターは、Operational Resilience アプリケーションで表示するために、各エンティティタイプに取り込むデータの元になるテーブルを定義するために使用されます。

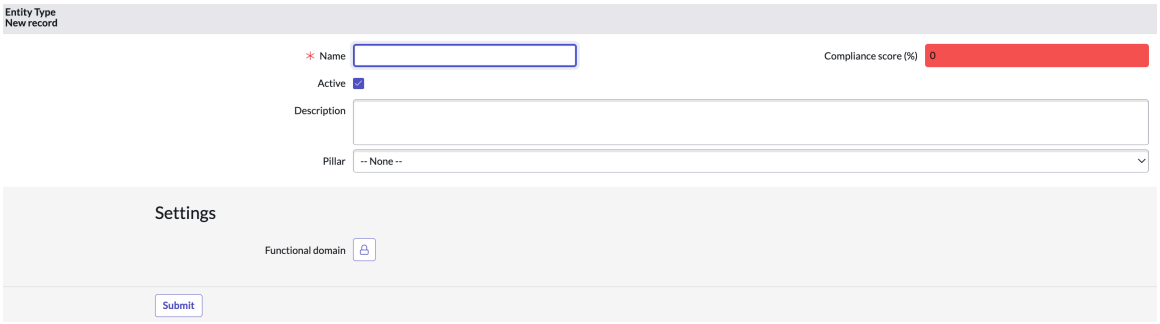
注:
指定されたデフォルトのエンティティタイプを使用し、施設、人員、サプライヤー、サービス、プロセス、およびテクノロジーを使用して、データをピラーに取り込みます。

3. エンティティタイプを作成するには、[エンティティタイプ] 画面に戻り、[新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいエンティティタイプ



4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「エンティティタイプの新規レコードフォーム」を参照して ください。
5. [送信] をクリックします。
   新しく定義されたエンティティタイプが [エンティティタイプ] 画面に一覧表示されます。

エンティティタイプの新規レコードフォーム

エンティティタイプの新規レコードフォームを使用して、ビジネス要件に応じてエンティティタイプを作成します。

エンティティタイプの新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

エンティティタイプの新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスプロセス、サービス、施設などのエンティティタイプの名前。
コンプライアンススコア (%)	ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで定義されたエンティティタイプのコンプライアンススコア (%)。自動入力フィールド。
有効	エンティティタイプをアクティブとしてマークするオプション。
説明	エンティティタイプの説明。
Pillar	リスクデータを整理するために使用され、エンティティタイプが割り当てられるカテゴリ。利用可能なオプションは次のとおりです。 • サービス • プロセス • サプライヤー • テクノロジー • 施設 • 人員
設定	
機能ドメイン	エンティティの機能ドメイン (IT やリスクコンプライアンスなど)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピラーを設定して、ビジネスエンティティのコア領域を定義します。

Operational Resilience アプリケーションでピラーを設定して、ビジネスエンティティのコア領域を定義できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

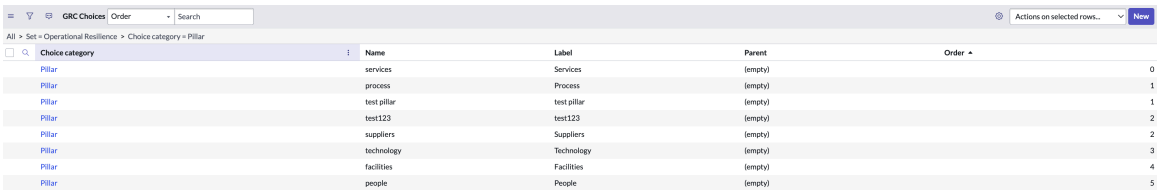
このタスクについて

Operational Resilience ベースシステムには、テクノロジー、施設、人員、サービス、プロセス、サプライヤーなどの事前定義された要素が含まれています。ピラーを作成することも、ビジネス要件に対して事前定義されたピラーを使用することもできます。

手順

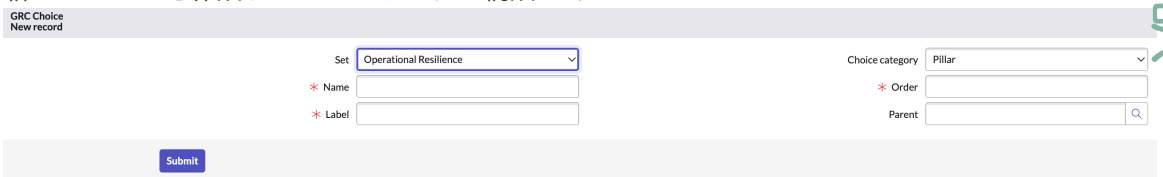
1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > **Pillar**.
   次の例は、ベースシステムのピラーを示しています。ピラーごとに、デフォルトのエンティティタイプがベースシステムに含まれています。

   ベースシステムのピラー

   たとえば、テクノロジーピラーには、事前に選択されたテクノロジーエンティティタイプが付属しています。
2. ピラーを作成するには、[新規] をクリックします。

   新しいピラーを作成するためのサンプル構成フォーム

3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「GRC 選択肢フォーム」を参照して ください。
4. [送信] をクリックします。

GRC 選択肢フォーム

GRC 選択肢フォームを使用してピラーを設定し、ビジネスエンティティのコア領域を定義します。

GRC 選択肢フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC 選択肢フォーム

フィールド	説明
セット	Operational Resilience に設定されているビュー。
名前	ピラーが属する名前 (プロセス、サプライヤー、テクノロジー、施設、人員、サービス、プロセスなど)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC 選択肢フォーム (続く)

フィールド	説明
ラベル	UI に表示されるピラーのラベル。
選択肢カテゴリ	デフォルトで [ピラー] に設定されているカテゴリ。
順序	ピラーの順序。
親	選択したピラーに関連付けられている親エンティティ。

シナリオのイベントの作成

Operational Resilience アプリケーションでイベントを作成して、それをシナリオに関連付け、サービスへの影響を評価できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、Operational Resilience アプリケーションでイベントを作成できます。イベントには、洪水や停電などがあります。類似したタイプのイベントをイベントグループに分類できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > イベント.
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドで、イベントの名前を入力します。
4. [説明] フィールドに、イベントの説明を入力します。
5. [イベントグループ] フィールドで、イベントグループを選択します。

   フォームのフィールド値の説明については、「イベントの新規レコードフォーム」を参照してください。

   注:
   イベントは多くのシナリオに追加できますが、シナリオに追加できるのは 1 回のみです。

6. [送信] をクリックします。
   次の例に示すように、イベントをイベントグループに分類できます。

イベントの新規レコードフォームのサンプル構成



例に示すように、イベントのシナリオはさまざまなピラーに関連付けることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イベントの新規レコードフォーム

イベントの新規レコードフォームを使用してイベントを作成し、それをシナリオに関連付け、サービスへの影響を評価することができます。

イベントの新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

イベントの新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	イベントの名前。たとえば、洪水や地震などです。
説明	イベントの説明。
イベントグループ	イベントに関連付けるイベントグループ。たとえば、 天気の問題などです。
有効	イベントをアクティブとしてマークするオプション。

シナリオのイベントグループの作成

Operational Resilience アプリケーションでイベントグループを作成して、シナリオで定義されているイベントを分類できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

類似のタイプのイベントをシナリオのイベントグループに分類します。たとえば、洪水などの自然イベントを天気イベントグループに分類できます。同様に、停電はエネルギー問題のイベントグループに分類できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > イベントグループ.
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、イベントグループの名前を入力します。
4. [ラベル] フィールドに、イベントグループのラベルを入力します。
   サンプルイベントグループの構成を次の例に示します。

GRC 選択肢の新規レコードフォームのサンプル構成



5. [順番] フィールドにイベントグループの順番を入力し、[送信] をクリックします。
   イベントグループフォーム内のフィールドの詳細については、「GRC 選択肢の新規レコードフォーム」を参照してください。

GRC 選択肢の新規レコードフォーム

GRC 選択肢の新規レコードフォームを使用して、イベントを分類し、イベントグループに整理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC 選択肢の新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC 選択肢の新規レコードフォーム

フィールド	説明
セット	デフォルトで Operational Resilience に設定されているビュー。
名前	イベントグループの名前。たとえば、 天気やエネルギーの問題などです。
ラベル	UI に表示されるイベントグループのラベル。
選択肢カテゴリ	デフォルトで [イベントグループ] に設定されているカテゴリ。
順序	イベントグループの順序。
親	イベントグループに関連付ける親カテゴリ。

イベントに関連付けることができるシナリオを作成します。

Operational Resilience アプリケーションでシナリオを作成して、それをイベントに関連付け、ビジネスサービスへの影響を評価できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

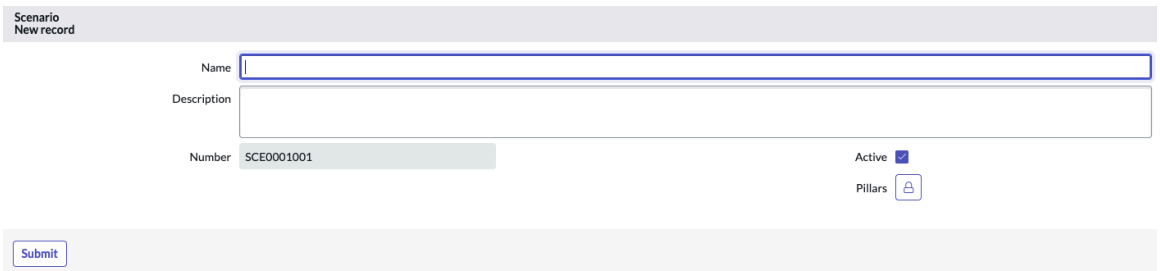
このタスクについて

シナリオは、ビジネスに適用可能なリスクを判断するのに役立ちます。sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、Operational Resilience アプリケーションでシナリオを作成できます。シナリオを使用して、イベントが組織にどのように影響するかをテストできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > シナリオ.
2. [新規] をクリックします。
   シナリオの新規レコードフォームのサンプル構成を次の例に示します。

   シナリオの新規レコードフォームのサンプル構成

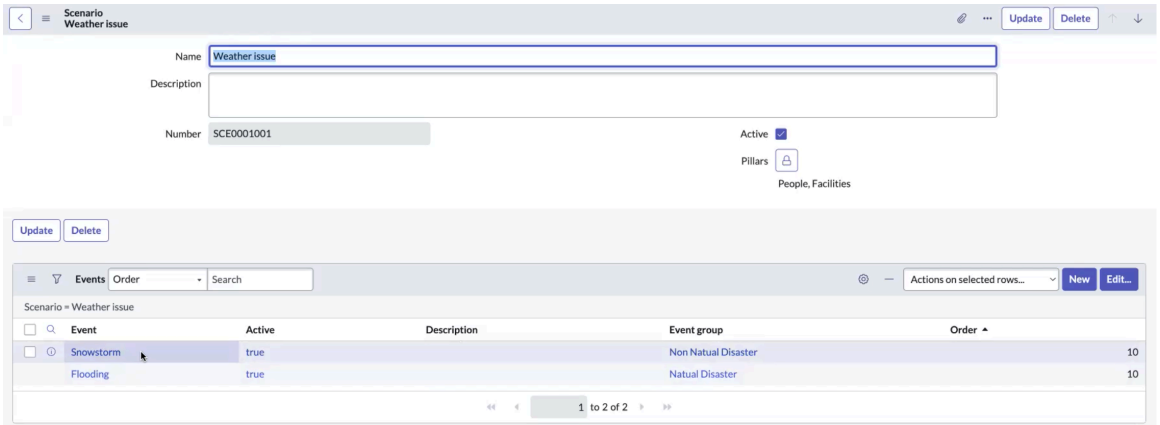
   

3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「シナリオの新規レコードフォーム」を参照してください。
4. [送信] をクリックします。
   イベントがシナリオに関連付けられました。次の例に示すように、[イベント] 関連リストには、関連するイベントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオに関連付けられたイベント



イベントの順序はシナリオに関連付けられており、デフォルトで関連リストに自動入力されます。

シナリオの新規レコードフォーム

シナリオの新規レコードフォームを使用してシナリオを作成し、シナリオに関連付けられたイベントが組織にどのように影響するかをテストします。

シナリオの新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

シナリオの新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	シナリオの名前。
説明	シナリオの説明。
数値	シナリオレコードの番号。このフィールドは自動入力されます。
有効	シナリオをアクティブとしてマークするオプション。
Pillar	シナリオに関連付けることができるピラーのリスト。Operational Resilience ベースシステムには、次のピラーが用意されています。 • 施設 • 人々 • プロセス • サプライヤー • テクノロジー
関連リスト (シナリオの追加後に表示)	
イベント	シナリオに関連付けられたイベント関連リストには、イベントの名前、そのアクティブステータス、説明、関連するイベントグループ、およびシナリオに関連付けられている順序が表示されます。イベントの順序はシナリオに関連付けられており、デフォルトで関連リストに自動入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオの新規レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 新しいイベントを追加するか、シナリオに関連付けられている既存のイベントを編集することができます。

セットアップチェックリストの確認

インスタンスのセットアップチェックリストを確認して、構成タスクを完了し、Operational Resilience ベースシステムを使用する準備を整えます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

GRC: Operational Resilience 機能を拡張するために、オプションのセットアップ手順も含まれています。

手順

1. GRC コアアプリケーションが Now Platform インスタンスにインストールされていることを確認します。

   注:
   GRC アプリケーションと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。

   - GRC: Profiles アプリケーションがインスタンスにインストールされていることを検証するには、[プラグイン] に移動して、GRC: Profiles を検索します。
   - GRC: Profiles コアアプリケーションがまだインストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、インストールします。
   - GRC: 高度なリスク、GRC: リスク管理、および GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションをインストールします。
   - これらのアプリケーションをインストールした後に、Operational Resilience アプリケーションをインストールします。

   この手順で示したアプリケーションがインスタンスに表示されていない場合、GRC コアアプリケーションは ServiceNow Store から入手できます。

   GRC コアアプリケーションのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。

2. 必要なロールがユーザーにアサインされていることを確認します。
   詳細な手順と Operational Resilience ロールのリストについては、「ユーザーに Operational Resilience ロールをアサイン」を参照してください。
3. Operational Resilience ベースシステムに含まれるエンティティタイプを、事前定義されたエンティティフィルターとともに使用します。
   エンティティフィルターは、ダッシュボードに表示されるデータを定義します。出荷されたこれらのエンティティタイプを使用して Operational Resilience を運用したり、必要に応じて編集したり、エンティティタイプを作成したりすることができます。詳細な手順については、「エンティティタイプの設定とビジネスエンティティのデータの定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ベースシステムに含まれるピラーを使用します。
   出荷されたこれらのピラーを使用して Operational Resilience を運用したり、必要に応じて編集したり、ピラーを作成したりすることができます。詳細な手順については、「ピラーを設定して、ビジネスエンティティのコア領域を定義します。」を参照してください。
5. PDF を生成するには、トピックの上部にある **PDF** として保存アイコン ( ) をクリックし、[選択したトピック] をクリックします。
   これらの手順の PDF を作成して印刷します。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。

タスクの結果

このセクションに記載されている手順を完了すると、GRC: Operational Resilience ベースシステムが正常に設定されます。ベースシステムに含まれる要素の多くは、特定のビジネスニーズに合わせてカスタマイズできます。詳細については、手順のリンクを参照してください。

シナリオ分析のための参加者ロールの追加

Operational Resilience アプリケーションでシナリオ分析のための参加者ロールを追加して、参加者の観察事象と推奨事項をロールと機能別に収集できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

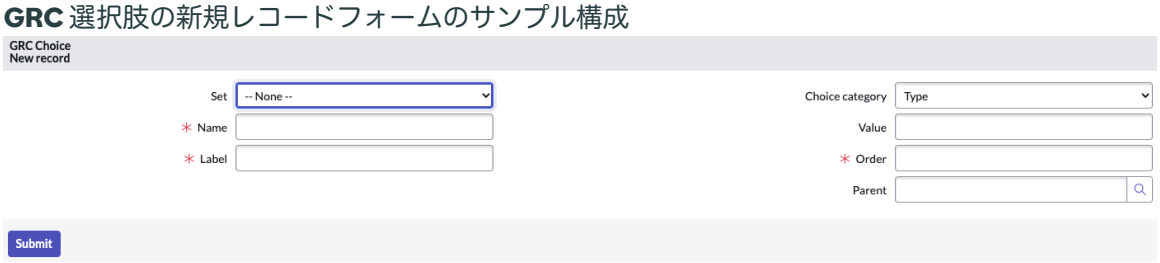
このタスクについて

重要なサービスのシナリオ分析など、シナリオ分析のタイプに応じて、関連するビジネス機能から参加者を追加し、さまざまなロールをアサインすることができます。たとえば、HR、法務、財務、または調達のロールを参加者に追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > 参加者のロール をクリックし、「 新規」をクリックします。
2. [設定] フィールドで、**[Operational Resilience]** を選択します。
3. [名前] フィールドに、参加者ロールの名前を入力します。
4. [ラベル] フィールドに、参加者ロールのラベルを入力します。
5. [選択肢カテゴリ] フィールドで、[ロール] を選択します。
6. [値] フィールドに、参加者ロールの選択肢の値を入力します。
7. [順序] フィールドに、参加者ロールの順序を入力します。
   このフィールドには、GRC 選択テーブルの参加者ロールの順序が表示されます。
8. [親] ルックアップリストのオプションで、親サービスを選択します。
   次の例に示す参加者ロールの構成例を参照してください。

GRC 選択肢の新規レコードフォームのサンプル構成



9. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
アプリケーション UI の参加者ロールモジュールでは、[ロール] リストビューに参加者ロールが表示されます。

GRC 選択肢の新規レコードフォーム

GRC 選択肢の新規レコードフォームを使用して、シナリオ分析のための参加者のロールを追加します。

ロールの GRC 選択肢の新規レコードフォーム
フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC 選択肢の新規レコードフォーム

フィールド	説明
セット	デフォルトで Operational Resilience に設定されているビュー。
名前	ロールの名前。たとえば、施設や財務などです。
ラベル	UI に表示されるロールのラベル。
選択肢カテゴリ	デフォルトで [ロール] に設定されているカテゴリ。
値	ロールに設定した整数値。
順序	ロールの順序。このフィールドには、GRC 選択テーブルの参加者ロールの順序が表示されます。
親	ロールに関連付ける親カテゴリ。

重要性および影響許容度評価スケールの設定

Operational Resilience アプリケーションで重要性および影響許容度評価スケールを設定して、ビジネスサービスの新しいパラメーターを定義できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて
重要性、影響許容度、影響許容度アイコンとその色、最小および最大の許容値、ビジネスサービスの許容度の順序などの新しいパラメーターを定義します。sn_grc_choice テーブルのオプションが *choice_category=opres_asmt_rating* および *set=operational_resilience* に設定されている場合、Operational Resilience アプリケーションは次のデフォルトの重要度評価スケールを提供します。このタスクはオプションです。

デフォルトの重要度評価スケール

重要性	影響許容度	影響許容度のアイコン	最小 - 最大スコア	順序
1 — 最重要	1 日	旗	76 ～ 100	10
2 — ある程度重要	2 日	三角形に感嘆符	51 ～ 75	20
3 — やや重要	3 日	双眼鏡	26 ～ 50	30
4 - 重要ではない	4 日	円にチェックマーク	0 ～ 25	40

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

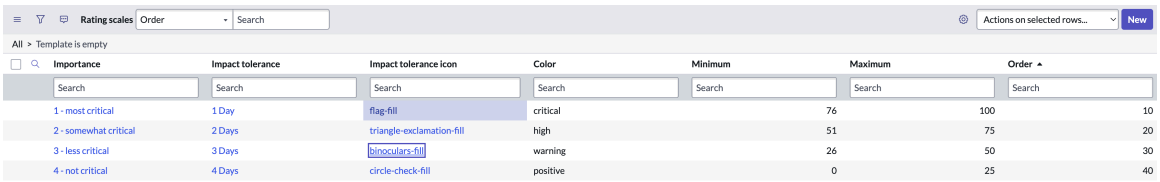
新しいアンケートテンプレートが作成されると、アプリケーションはデフォルトの評価スケールのクローンをそのテンプレートに作成します。

sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、個々のテンプレートの評価スケールを変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > 重要性および影響許容度評価スケール.
   次の例に示すように、デフォルトの重要性および影響許容度評価スケールが表示されます。

重要性および影響許容度評価スケールモジュール



2. [新規] をクリックします。
   重要性、影響許容度、影響許容度アイコンとその色、最小および最大の許容値、ビジネスサービスの許容度の順序などの新しいパラメーターを定義することができます。
3. フォームでフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   評価スケールの新規レコードフォームのフィールド値の説明については、「評価スケールの新規レコードフォーム」を参照してください。

評価スケールの新規レコードフォーム

評価スケールの新規レコードフォームを使用して、デフォルトの重要度評価スケールを設定し、ビジネスサービスの評価スケールのパラメーターを定義します。

評価スケールの新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

評価スケールの新規レコードフォーム

フィールド	説明
重要性	サービスの重要度スケール利用可能なオプションは次のとおりです。 • **1 –** 最重要 • **2 –** ある程度重要 • **3 –** やや重要 • **4 –** 重要ではない
色	選択した許容度評価の色。使用可能なオプションは次のとおりです。 • なし • 青 • 茶色 • 重大 • グレイ • 緑

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

評価スケールの新規レコードフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 緑黄 • 高 • 情報 • 低 • マゼンタ • moderate • オレンジ色 • ピンク • プラス • 紫 • 青緑 • 警告 • 黄
順序	定義された重要性と許容期間の順序。
最小	中断の許容レベルの最小スコア。
最大	中断の許容レベルの最大スコア。
影響許容度	定義されたサービスの重要度に基づく影響許容期間 (日数)。
影響許容度のアイコン	選択した許容度評価の影響度許容度アイコン

自動翻訳

重要な選択肢モジュールのアセスメント評価の更新

Operational Resilience アプリケーションのアセスメントの評価を更新して、ビジネスサービスのアセスメントの重要度と順序を更新できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

重要な選択肢モジュールを使用して、アセスメント評価の重要度と順序を更新することができます。このタスクはオプションです。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > 重要性の選択.
   次の例に示すデフォルトのアセスメント評価が表示されます。

デフォルトのアセスメント評価



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [新規] をクリックします。
3. フォームでフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   GRC 選択肢フォームのフィールド値の説明については、「GRC 選択肢フォーム」を参照してください。

GRC 選択肢フォーム

GRC 選択肢フォームを使用して、重要性の選択モジュールの重要度と選択肢の順序を更新することで、アセスメントの評価を設定します。

GRC 選択肢フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

GRC 選択肢フォーム

フィールド	説明
セット	Operational Resilience に設定されているビュー。
名前	アセスメント評価の名前。
ラベル	アセスメント評価のラベル。
選択肢カテゴリ	デフォルトで [アセスメント評価] に設定されているカテゴリ。
順序	アセスメント評価の順序。
親	アセスメント評価に関連付けられている親。

カスタムアンケートテンプレートの作成

Operational Resilience アプリケーションのデフォルトテンプレートを使用する代わりに、ビジネスニーズに合わせて独自のアンケートテンプレートを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

独自のアンケートテンプレートを作成し、査定人に応答を要求します。このタスクはオプションです。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理 > アセスメントテンプレート.
2. アセスメントテンプレートを作成するには、次の例に示すように [新規] をクリックします。

新しいリスクアセスメント

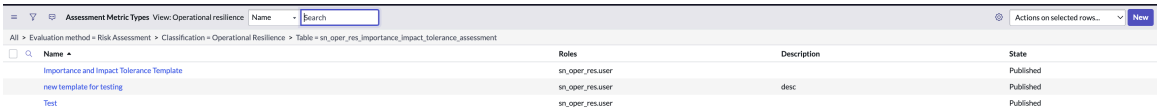


3. アセスメント測定基準タイプフォームのフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   次の例に示すように、新しいアセスメントテンプレートが [アセスメント測定基準タイプ] リストに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しいアセスメント



アセスメントテンプレートフォームのフィールド値の説明については、「アセスメント測定基準タイプフォーム」を参照してください。

アセスメント測定基準タイプフォーム

デフォルトのテンプレートを使用する代わりに、アセスメント測定基準タイプフォームを使用してアセスメントアンケートテンプレートを作成します。このフォームを使用して、査定人からの応答を要求することもできます。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントテンプレートの名前。
ロール	このテンプレートに関連付けられた結果とアクセスレコードを表示できる追加のユーザーロール。指定されたロールを持つユーザーは、テンプレートレコード、ならびに関連するカテゴリ、測定基準、アセスメント可能なレコードとスコアカード、カテゴリユーザー、ステークホルダー、および意思決定マトリクスへの読み込みアクセス権を持ちます。
有効	アセスメントテンプレートを有効にするオプション。
ステータス	アセスメントのステータス：[ドラフト] または [公開] このフィールドは自動入力されます。
説明	アセスメントテンプレートに関する有用な情報。テンプレートとその目的の明確な説明を入力します。

証明書テンプレートの作成と編集

Operational Resilience アプリケーションでビジネスニーズに適したカスタマイズされた証明書テンプレートを作成します。証明書テンプレートをカスタマイズすることで、自己証明書の独自の質問を追加できます。独自のビジネスニーズに合わせて既存の証明書テンプレートを編集することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

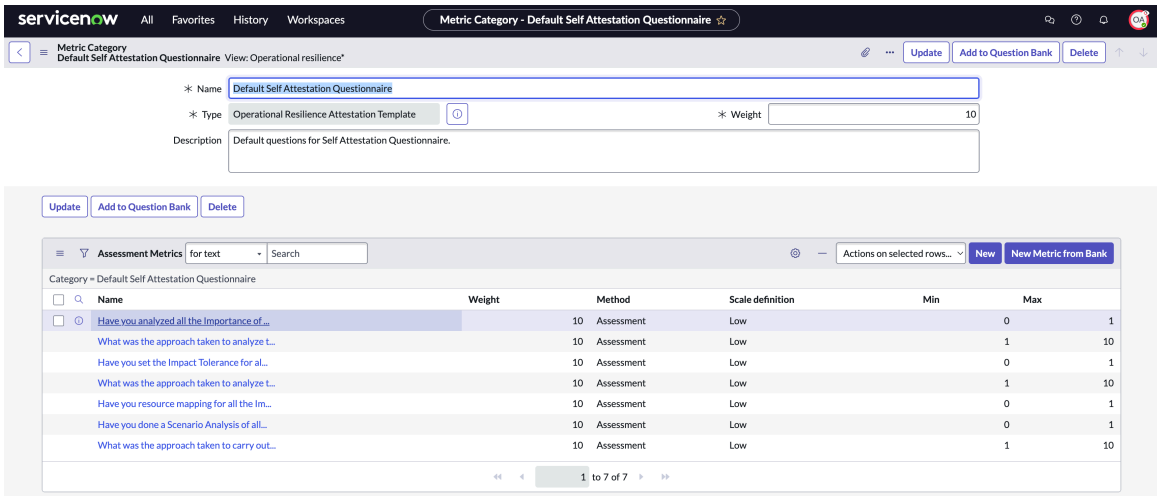
このタスクについて

Operational Resilience アプリケーションは、ベースシステムの一部として証明書テンプレートを提供します。証明書テンプレートの作成はオプションです。

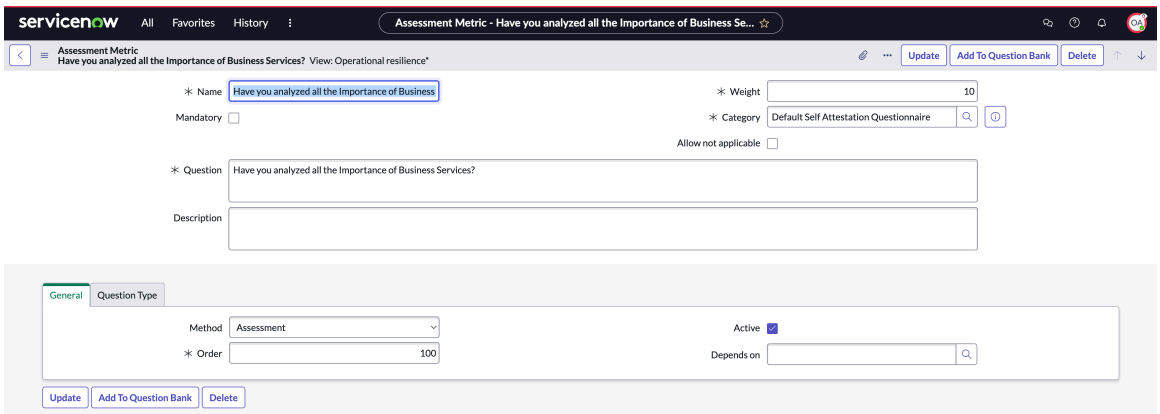
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

sn_oper_res.admin ロールがある場合は、独自のビジネスニーズに合わせて既存の証明書テンプレートを編集することもできます。次の例に示すように、証明書テンプレートの質問を選択して更新できます。



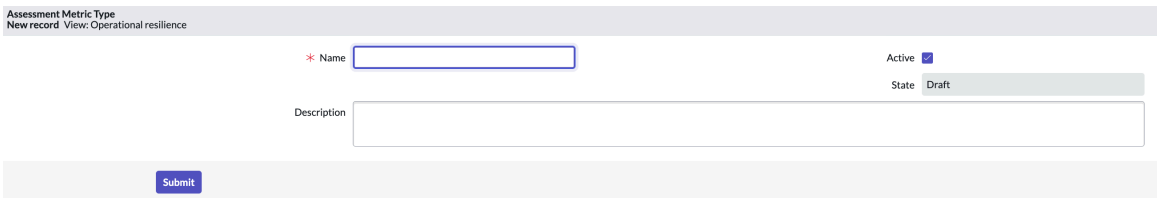
次の例に示すように、ビジネス要件に応じて質問を更新できます。



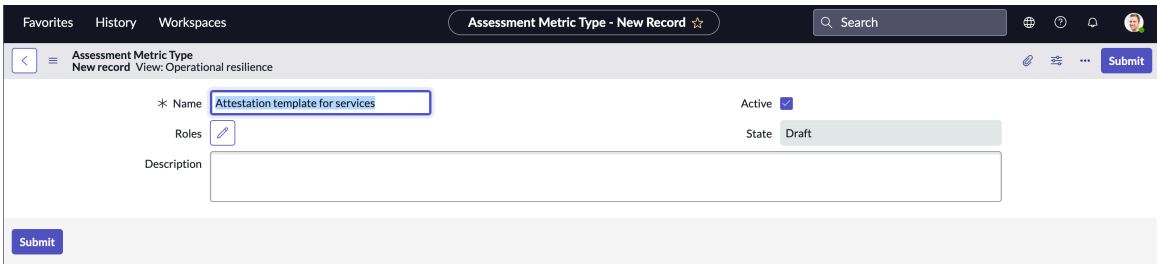
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理 > 証明書テンプレート.
2. カスタマイズされたテンプレートを作成するには、[新規] を選択します。

カスタマイズされた証明書テンプレート



証明書テンプレート



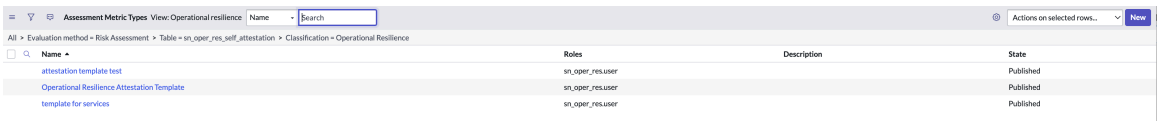
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [アセスメント測定基準タイプの新規レコード (Assessment Metric Type New Record)] フォームで、証明書テンプレートの名前を入力し、[送信] を選択します。

   フォームのフィールド値の説明については、「アセスメント測定基準タイプ新規レコード (Assessment Metric Type New Record) フォーム」を参照してください。

   次の例に示すように、証明書テンプレートがテンプレートリストビューに表示されます。

   リストビューの証明書テンプレート

   [送信] を選択すると、カスタマイズされた証明書テンプレートに Operational Resilience テーブルとアプリケーションユーザーが追加されます。

アセスメント測定基準タイプ新規レコード **(Assessment Metric Type New Record)** フォーム

アセスメント測定基準タイプ新規レコード (Assessment Metric Type New Record) フォームを使用して、証明書を作成するための証明書テンプレートを作成します。テンプレートフォームを使用して、レコードを作成します。

アセスメント測定基準タイプ新規レコード **(Assessment Metric Type New Record)** フォーム

フォームのフィールド値の説明については、次の表を参照してください。

アセスメント測定基準タイプ新規レコード **(Assessment Metric Type New Record)** フォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの名前。
説明	テンプレートに関する情報です。
有効	テンプレートを有効にするオプション。
ステータス	アセスメントの状態。利用可能なオプションは次のとおりです。 • ドラフト • 公開済み このフィールドは自動入力されます。

カスタマイズされた **HTML** ドキュメントテンプレートの作成

Operational Resilience アプリケーションでビジネスニーズに適したカスタマイズされた HTML ドキュメントテンプレートを作成します。デフォルトの HTML テンプレートの代わりにカスタマイズされた HTML ドキュメントテンプレートを使用して、証明書をエクスポートできます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて

カスタマイズされた HTML ドキュメントテンプレートの作成はオプションです。

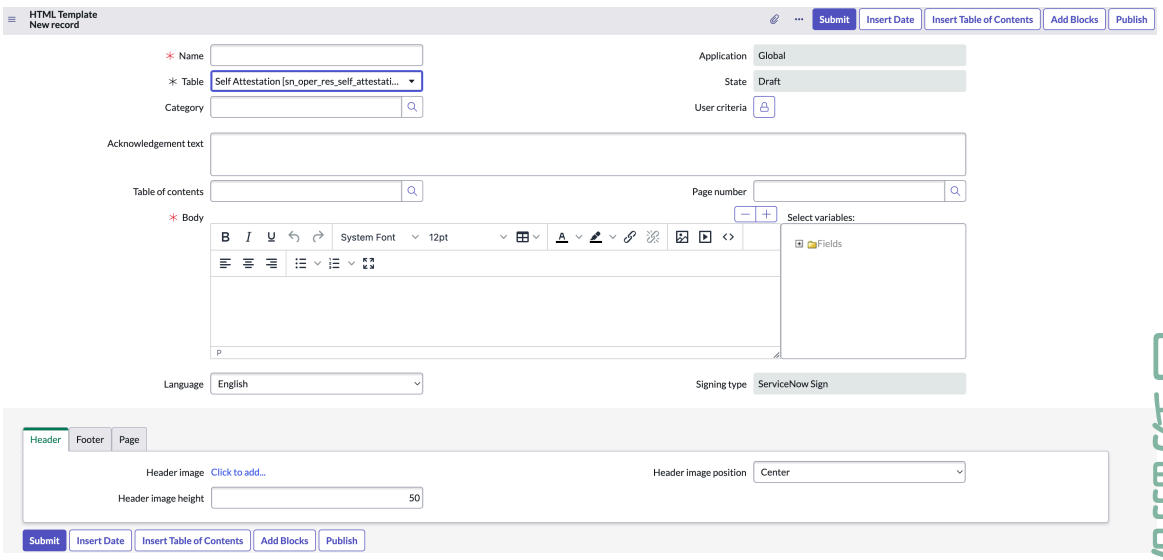
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ドキュメントテンプレート > すべてのドキュメントテンプレート をクリックし、「 新規」をクリックします。
   「*What kind of document template would you like to create?*」という質問がフォームに表示されます。使用可能なオプションは次のとおりです。
   - HTML ドキュメントテンプレート
   - PDF ドキュメントテンプレート
2. [**HTML** ドキュメントテンプレート] を選択します。
3. [テーブル] フィールドで、自己証明書 **[sn_oper_res_self_attestation]** テーブルを選択します。
   サンプルフォームを次の例に示します。

HTML テンプレート



4. フォームでフィールドに入力し、[送信] をクリックします。
   新しいテンプレートが [文書テンプレート] リストに表示されます。フィールド値の説明については、「HTML テンプレートフォーム」を参照してください。

タスクの結果

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、HTML テンプレートを使用して自己証明書レポートを生成できます。

HTML テンプレートフォーム

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、デフォルトの HTML テンプレートを使用する代わりに、HTML テンプレートフォームを使用して HTML テンプレートを作成します。

HTML テンプレートフォーム

フォームのフィールド値の説明については、次の表を参照してください。

HTML テンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	HTML テンプレートの一意の名前。
テーブル	テンプレートに使用されるテーブルのタイプ。デフォルト値は、自己証明書

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTML テンプレートフォーム (続く)

フィールド	説明
	[sn_oper_res_self_attestation] テーブルです。
カテゴリ	Operational Resilience などのドキュメントテンプレートのカテゴリ。
アプリケーション	グローバルなどのアプリケーションのタイプ。このフィールドは自動入力されます。
ステータス	グローバルなどのアプリケーションのステータス。このフィールドは自動入力されます。
ユーザー基準	GRC ビジネスユーザーなどのユーザー基準のターゲットレコード。
確認応答テキスト	HTML テンプレートの確認応答テキスト。
ページ番号	デフォルトなどの HTML テンプレートのページ番号。
本文	HTML テンプレートの本文テキスト。
言語	HTML テンプレートの言語。デフォルトは英語です。
署名タイプ	HTML テンプレートの署名タイプ。
関連リスト	
ヘッダー	ヘッダー画像に関する情報。オプションは次のとおりです。 • ヘッダーイメージ：クリックしてヘッダー画像を追加します。 • ヘッダーイメージの位置：次のオプションを使用してヘッダー画像を配置します。 ○ 左：ヘッダー画像をページの左側に配置します。 ○ 中央：ヘッダー画像をページの中央に配置します。 ○ 右：ヘッダー画像をページの右側に配置します。 • ヘッダーイメージの高さ：ヘッダー画像の高さの値 (ピクセル単位)。
フッター	フッター画像に関する情報。オプションは次のとおりです。 • フッターイメージ：クリックしてフッター画像を追加します。 • フッターイメージの位置：次のオプションを使用してフッター画像を配置します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTML テンプレートフォーム (続く)

フィールド	説明
	○ 左：フッター画像をページの左側に配置します。 ○ 中央：フッター画像をページの中央に配置します。 ○ 右：フッター画像をページの右側に配置します。 • フッターイメージの高さ：フッター画像の高さの値を入力します。 • フッターテキスト：ドキュメントに脚注を追加します。 • フッターテキストの位置：次のオプションを使用してフッターテキストを配置します。 ○ 左：フッターテキストをページの左側に配置します。 ○ 中央：フッターテキストをページの中央に配置します。 ○ 右：フッターテキストをページの右側に配置します。 • 垂直配置：次のオプションを使用してフッターテキストを配置します。 ○ フッターイメージの上：フッターテキストをフッター画像の上に配置します。 ○ フッターイメージの下：フッターテキストをフッター画像の下に配置します。
ページ	ページに関する情報。オプションは次のとおりです。 • ページサイズ：ページのサイズ。利用可能なオプションは次のとおりです。 ○ **A4**：HTML テンプレートのを A4 サイズのページにします。 ○ レター：HTML テンプレートをレターサイズのページにします。 ○ リーガル：HTML テンプレートをリーガルサイズのページにします。 • 上/下マージン：ページの上下のマージンの寸法 (ピクセル単位)。 • 左/右マージン：ページの左右のマージンの寸法 (ピクセル単位)。

自動翻訳

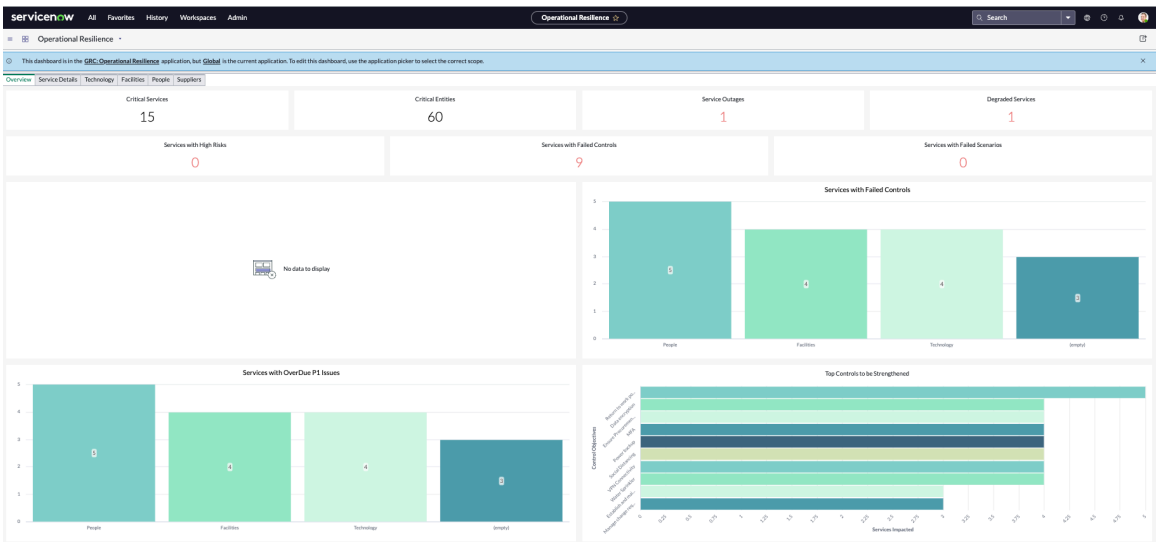
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック **Operational Resilience** の機能のセットアップ

クラシック Operational Resilience の Operational Resilience アプリケーションの機能をセットアップします。ダッシュボードのレポートを監視し、サービスの全体的なレジリエンスを決定します。

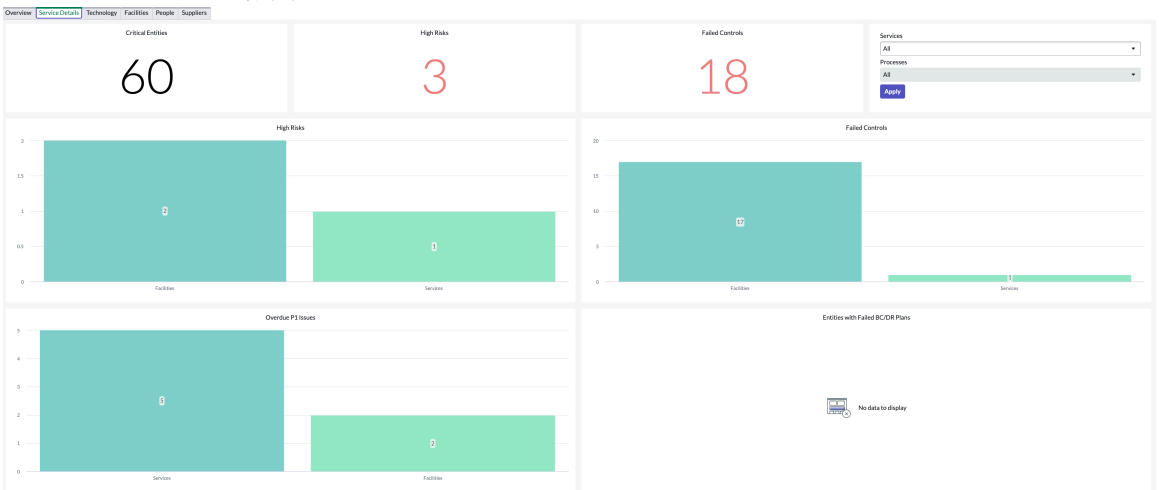
前のセクションで説明したように Operational Resilience アプリケーションを設定した後に、サービスの概要を表示するようにアプリケーションを設定できます。次の例に示すように、 機能を設定し、各ピラーのレポートを表示します。

ダッシュボードの概要



次の例に示すように、 [概要] タブを監視して、ビジネスサービスのステータスを監視します。

ビジネスサービスの概要



Washington DC リリースでは、次の機能を設定し、Operational Resilience ダッシュボードでレポートを設定できます。

1. ビジネスサービスの重要性と影響許容度の期間を測定します。詳細については、「ビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析」を参照してください。
2. 重要なビジネスサービスのシナリオ分析を行います。詳細については、「ビジネスサービスのシナリオ分析の実行」を参照してください。
3. 自己証明書レポートを生成および送信することで、ビジネスサービスのステータスを自己証明します。詳細については、「ビジネスサービスのステータスの自己証明」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスサービスとその依存関係の設定

Operational Resilience アプリケーションは、注意が必要なビジネスサービスのリスク、問題、コントロールの失敗、その他の領域を統合するビジネスサービスビューを提供します。レポートダッシュボードで、ビジネスサービスとその依存関係を設定し、オペレーショナルレジリエンスのステータスを監視できます。

ビジネスサービス、親サービス、および子サービスの概要

ビジネスサービスは、ビジネスレベルの機能を実行するサービスです。たとえば、組織内のビジネス固有の機能を実行するビジネスサービスとして、メール、IT サービス、E コマース、およびテレフォンバンキングを使用できます。

ビジネスサービスは、親サービスと子サービスとして分類できます。親サービスは、ビジネス機能にサービスを提供するために使用できる幅広いエンティティです。親サービスには、それ自体のサブエンティティを含めることができます。子サービスは、親サービスからプロパティを継承します。たとえば、支払サービスは親サービスであり、住宅ローン支払またはメンテナンス支払はその子サービスです。

CMDB のサービスとプロセスを **Operational Resilience** で同期する

Operational Resilience アプリケーションでは、親サービス、子サービス、およびプロセスは 構成管理データベース (CMDB) から取得されます。CMDB 内の cmdb_rel_ci テーブルは、親サービス、子サービス、およびプロセスの関係を維持します。cmdb_rel_ci テーブルに関係を追加することで、親サービス、子サービス、またはプロセスを現在のサービスに関連付けることができます。

デフォルトでは、ビューは Operational Resilience アプリケーションで Operational Resilience に設定されています。ビューには、複数の関連リストを持つ cmdb_ci_service テーブルが含まれています。

構成管理データベース (CMDB) の詳細については、「Configuration Management Database (CMDB)」を参照してください。

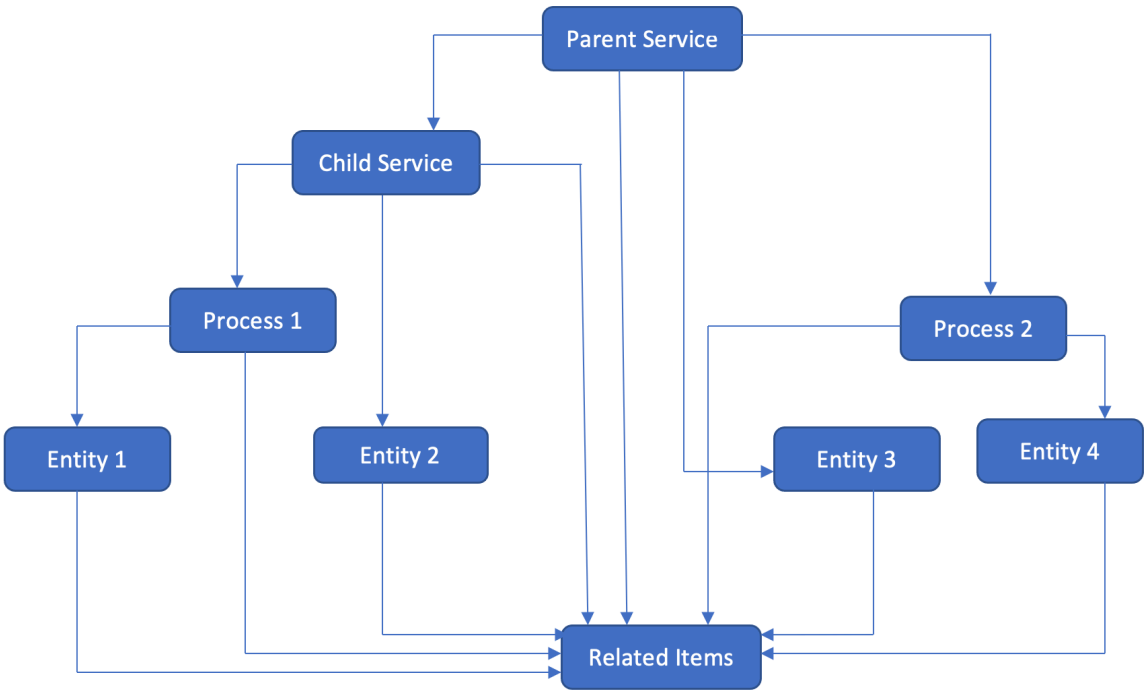
Operational Resilience データアーキテクチャ

Operational Resilience アプリケーションでサービス、プロセス、およびエンティティがどのように接続されるかを理解するには、次の例を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience データアーキテクチャ



Operational Resilience アプリケーションは、ビジネスサービスとその依存関係をエンティティタイプに基づくエンティティとして作成するデータモデルをサポートしています。 サービスエンティティタイプを使用して、毎日監視するサービスをスコープ指定できます。サービスエンティティタイプの各サービスは、その Operational Resilience データの計算に使用されます。

例に示すように、親サービスと子サービスはビジネスプロセスに関連付けられています。ビジネスプロセスは、さらにエンティティと呼ばれる資産に関連付けられます。

次のサンプル構成で説明されているように、サービスとプロセスをマッピングできます。

1. 親ビジネスサービスと子ビジネスサービスを関連するビジネスプロセスにマッピングします。
2. ビジネスプロセスを事前定義されたエンティティにマッピングします。
3. サービスを関連リスト (関連アイテム) に直接マッピングします。関連アイテムには、エンティティ、リスク、リスクアセスメント、コントロール、インシデント、変更要求、機能停止、問題、またはタスクがあります。

図に示すように、Operational Resilience アプリケーションはサービスとプロセス間の関係を同期します。次の例について考えます。

- ビジネスサービスに親サービスを追加すると、追加された親サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのアップストリームエンティティに追加されます。
- ビジネスサービスに子サービスを追加すると、追加された子サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。
- ビジネスサービスに子プロセスを追加すると、子プロセスのエンティティが作成されます。新しいプロセスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience ベースシステムで提供されるピラー

ピラーは、組織のオペレーショナルレジリエンスに貢献する基盤ブロックです。ビジネスサービスとプロセスを Operational Resilience アプリケーションでピラーにマッピングして、これらのエンティティ間の関係を確立し、それらのステータスをダッシュボードで監視することができます。

Operational Resilience アプリケーションは、ベースシステムの一部として次のようなピラーを提供します。

- 施設
- 人々
- サプライヤー
- サービス
- プロセス
- テクノロジー

ピラーに関する詳細については、「Operational Resilience の詳細」を参照してください。

ピラーに関連付けられているデータは、Operational Resilience ダッシュボードに表示されます。たとえば、エンティティに関連付けられているコントロール、リスク、または P1 の問題は Operational Resilience ダッシュボードに表示されます。

事業継続性管理 や 脆弱性対応 などのオプションのアプリケーションをインスタンスにインストールした場合、事業継続性計画または災害復旧計画と脆弱性対応レポートをダッシュボードで表示することもできます。

さまざまなアプリケーションから情報を収集するスケジュール設定済みジョブ

Operational Resilience では、*Compute Operational Resilience Compliance* スケジュール設定済みジョブが毎日バックグラウンドで実行されます。ジョブは次の統合アプリケーションから情報を収集して、レポートデータを計算します。

- GRC: 高度なリスク
- GRC: リスク管理
- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
- CMDB
- 事業継続性管理
- 脆弱性対応

Operational Resilience の統合アプリケーションの詳細については、「Operational Resilience の必須条件」を参照してください。

ジョブスケジュールは、レポート用の新しいサポートデータを作成する前に、前日のすべてのデータを削除します。ジョブは、さまざまな組み込み条件を使用してさまざまなソースからデータを取得し、Operational Resilience ステージングテーブルに保存します。

スケジュール設定済みジョブは、各エンティティタイプ内の各エンティティのすべてのダウンストリームエンティティの Operational Resilience コントロール、リスク、問題、および機能停止を自動的に生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスの情報収集

Operational Resilience アプリケーションは、サービスのさまざまなソースと条件から情報を収集します。次のテーブルでは、Operational Resilience 内のサービスモジュール、そのソースアプリケーション、ソーステーブル、およびダッシュボードのレポートの入力に使用されるフィルタリング条件について説明します。

サービスモジュールとそのソースアプリケーション、ソーステーブル、およびフィルタリング条件

サービスモジュール	外部ソースアプリケーション	ソーステーブルとフィルタリング条件
親サービス	CMDB	サービス [cmdb_ci_service] ビジネス上の重要度 = 1 - 最重要およびサービス分類 = ビジネスサービス
子サービス	CMDB	サービス [cmdb_ci_service] ビジネス上の重要度 = 1 - 最重要およびサービス分類 = ビジネスサービス
プロセス	CMDB	サービス [cmdb_ci_service]
資産	GRC: Profiles	エンティティ [sn_grc_profile] エンティティは、任意のサービスエンティティの、任意のビジネスプロセスエンティティのダウンストリームにある必要があります。
優先度 1 の問題のあるサービス	ポリシーとコンプライアンス管理	問題 [sn_grc_issue] 優先度 = 1 - 重大およびアクティブ = true
高リスク	高度なリスク アセスメント	リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance リスクアセスメントの残存リスクは、残存リスクアセスメントタイプの定性的評価基準で定義された最高のリスクです。
失敗したコントロール	ポリシーとコンプライアンス管理	コントロール [sn_compliance_control] ステータス = 非準拠およびステータス = 監視
変更要求のあるサービス	CMDB	変更要求 (sn_oper_res_change_request)：アプリケーションに対して作成された変更要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモジュールとそのソースアプリケーション、ソーステーブル、およびフィルタリング条件 (続く)

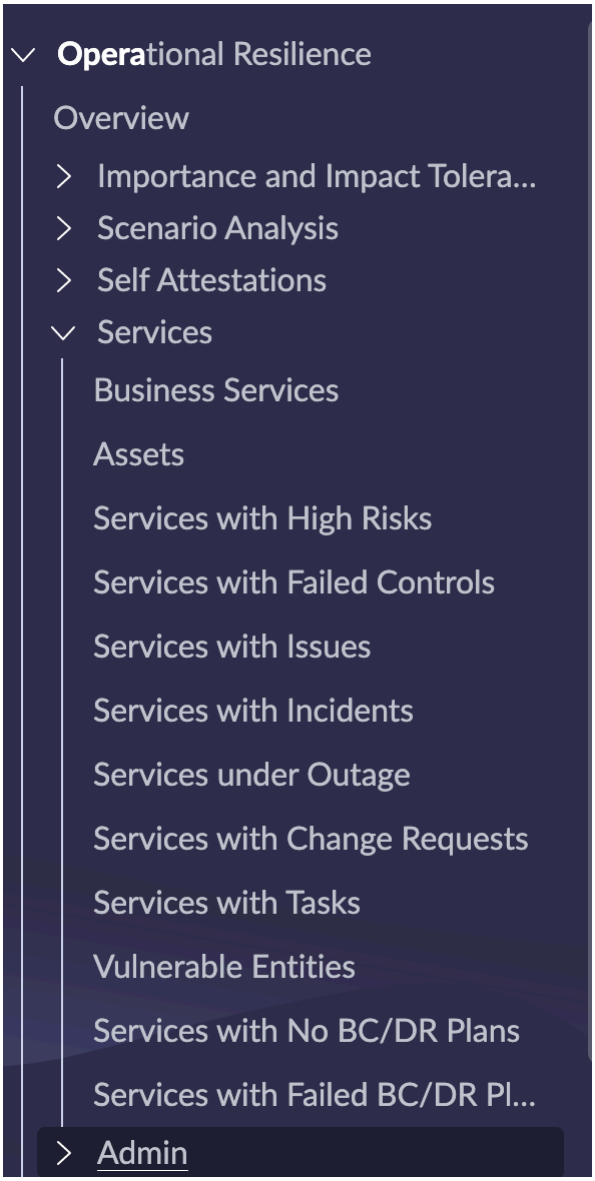
サービスモジュール	外部ソースアプリケーション	ソーステーブルとフィルタリング条件
タスクのあるサービス	CMDB	タスク (sn_oper_res_task)：アプリケーションで定義されたタスク。
インシデントのあるサービス	インシデント管理	インシデント [incident] サービス = 重要なサービスの 1 つで、ステータスが [新規]、[処理中]、および [保留中] であるもの。
機能停止中のサービス	CMDB	影響を受ける CI [cmdb_outage_ci_mtom] 機能停止中の重要なサービスのダウンストリーム CI。
重要性および影響度アセスメント	適用外	サービス影響分析 [sn_oper_res_service_impact_analysis]
シナリオ分析	適用外	シナリオ分析 [sn_oper_res_scenario_analysis_service]
脆弱なエンティティ	脆弱性対応	脆弱性一致アイテム [sn_vul_vulnerable_item] 脆弱性フィールドが空ではなく、ステータスが [解決済み]、[延期]、[クローズ済み] のいずれでもない。
BC/DR 計画のないサービス	事業継続性管理	計画 [sn_bcp_plan] ステータス = [承認済み] およびプランが期限切れになっていない。
失敗したBC/DR 計画のあるサービス	事業継続性管理	イベント [sn_recovery_event] イベントステータス = [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] ステータスの演習。結果が失敗で、関連付けられた計画が期限切れになっていない。

Operational Resilience でのサービスの表示

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、 すべて > **Operational Resilience** > サービスモジュールを次の例に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモジュール



前のセクションで説明したように、インスタンスにインストールしたアプリケーションに応じて、サービスモジュールの下にサービスを一覧表示できます。Operational Resilience アプリケーションビューには、次のサービスが一覧表示されます。

- ビジネスサービス
- 資産
- リスクの高いサービス
- 失敗したコントロールのあるサービス
- 問題のあるサービス
- インシデントのあるサービス
- 機能停止中のサービス
- 変更要求のあるサービス
- タスクのあるサービス
- 脆弱なエンティティ

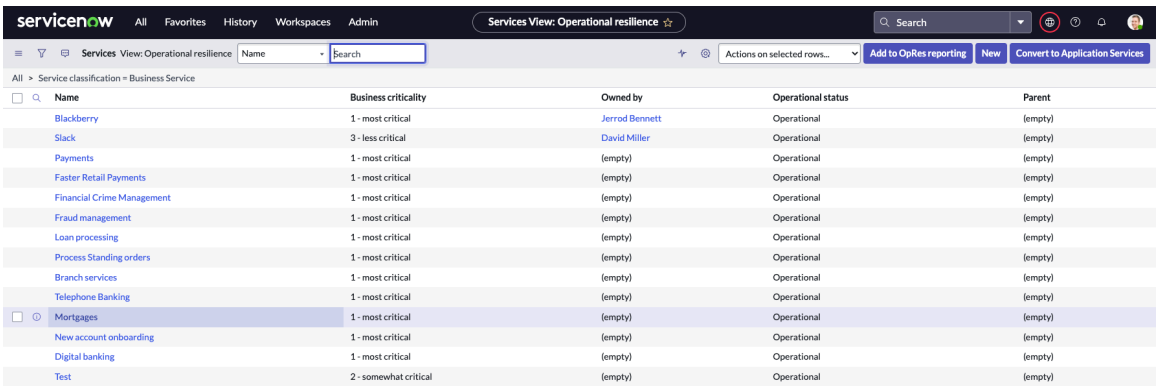
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- BC/DR 計画のないサービス
- 失敗したBC/DR 計画のあるサービス

ビジネスサービスリストビュー

アプリケーションナビゲーターで [ビジネスサービス] モジュールをクリックすると、次の例に示すように、ビジネスサービスリストビューで関連サービスを表示または更新できます。

ビジネスサービスリストビュー



Name	Business criticality	Owned by	Operational status	Parent
Blackberry	1 - most critical	Jerrod Bennett	Operational	(empty)
Slack	3 - less critical	David Miller	Operational	(empty)
Payments	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Faster Retail Payments	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Financial Crime Management	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Fraud management	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Loan processing	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Process Standing orders	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Branch services	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Telephone Banking	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Mortgages	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
New account onboarding	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Digital banking	1 - most critical	(empty)	Operational	(empty)
Test	2 - somewhat critical	(empty)	Operational	(empty)

ビジネスサービスリストビューには、各サービスの詳細が表示されます。たとえば、名前、ビジネス上の重要度、そのオーナー、運用ステータス、および関連する親サービスを表示できます。

Operational Resilience でのビジネスサービスの追加

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、ビジネスサービスリストビューで次のいずれかの方法で Operational Resilience アプリケーションにサービスを追加できます。

- ビジネスサービスモジュールで複数のサービスを選択し、**[OpRes** レポートに追加] をクリックします。
- サービスレコードで、**[OpRes** レポートに追加] をクリックします。
- [サービス] 関連リストを使用して、サービスを現在のサービスに関連付けることができます。

Operational Resilience にビジネスサービスを追加すると、アプリケーションによって CMDB からサービスに関する情報が入力されます。

Operational Resilience ロールに関する詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

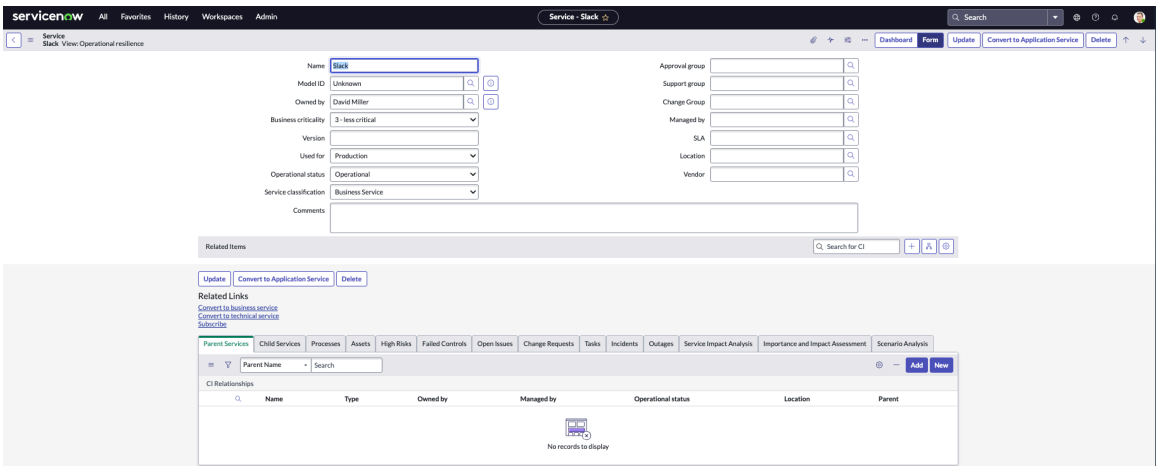
ビジネスサービスに関連付けられている関連リスト

ビジネスサービスを追加すると、その依存関係を関連リストとして関連付けることができます。次の例に示すように、例として親サービス、子サービス、サービスフォームのプロセスなどがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連リストのサンプル構成



関連リスト、その説明、および各関連リストの [新規] および [追加] アクションの使用方法の詳細については、次の表を参照してください。

注:
次の表のアクションには、itil ロールが必要なものがあります。このロールを持つユーザーは CMDB テーブルにアクセスできます。

サービスフォームの関連リスト

名前	説明	新しいアクション	アクションを追加
親サービス	現在のサービスの親サービスのリスト。	親サービスを追加できるサービスフォーム。新しい親サービスと現在のサービスの間に関係を作成します。 ロール：このアクションには itil ロールが必要です。	テーブルビューを開き、そこで複数のサービスを選択し、現在のサービスの親サービスとしてそれらを追加することができます。 ロール：このアクションには itil ロールが必要です。
子サービス	現在のサービスの子サービスのリスト。	子サービスを追加できるサービスフォーム。新しい子サービスと現在のサービスの間に関係を作成します。 ロール：このアクションには itil ロールが必要です。	複数のサービスを選択し、現在のサービスの子サービスとしてそれらを追加できるテーブルビュー。 ロール：このアクションには itil ロールが必要です。
プロセス	現在のサービスに関連付けられているプロセスのリスト。	適用外	複数のプロセスを選択し、現在のサービスの子サービスとしてそれらを追加できるテーブルビュー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォームの関連リスト (続く)

名前	説明	新しいアクション	アクションを追加
資産	現在のサービスに関連付けられている資産のリスト。	適用外	複数の資産 (エンティティ) を選択し、現在のサービスのダウンストリームエンティティとしてそれらを追加できるテーブルビュー。
問題	現在のサービスに関連付けられている期限切れの問題のリスト。	問題フォーム。問題フォームを送信すると、アプリケーションによって [問題のあるサービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外
高リスク	サービスに関連付けられている高リスクアイテムまたは監視ステータスのリスクアセスメントのリスト。	適用外	適用外
失敗	コントロールのステータスが [非準拠] のコントロールのリスト。	適用外	適用外
変更要求	現在のサービスに関連付けられているオープン変更要求のリスト。	変更要求フォーム変更要求フォームを送信すると、アプリケーションによって [サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外
タスク	現在のサービスに関連付けられているオープンタスクのリスト。	作成するタスクのタイプを選択できるタスクテーブルのリスト。フォームを送信すると、アプリケーションによって [タスクのあるサービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外
インシデント	現在のサービスに関連付けられているオープンインシデントのリスト。	インシデントフォーム。インシデントフォームを送信すると、[サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外
機能停止	現在のサービスに関連付けられているオープン中の機能停止のリスト。	機能停止フォーム。フォームを送信すると、アプリケーションによって [サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォームの関連リスト (続く)

名前	説明	新しいアクション	アクションを追加
重要性および影響度アセスメント	重要性および影響度アセスメントの承認済みレコードのリスト	適用外	適用外
シナリオ分析	承認されたシナリオ分析のリスト。	適用外	適用外
事業継続性計画	承認された事業継続性計画のリスト。	適用外	適用外

注:
事業継続性管理 アプリケーションがインストールされている場合、その関連リストが Operational Resilience ビューに表示されます。

サービスフォーム内のフィールド値の詳細については、「サービスフォーム」を参照してください。

レポートダッシュボードへのビジネスサービスの追加

ビジネスサービスとその関連リスト (親サービス、子サービス、プロセス、資産、問題など) を Operational Resilience アプリケーションに追加し、レポートダッシュボードで Operational Resilience ステータスを表示できるようにします。

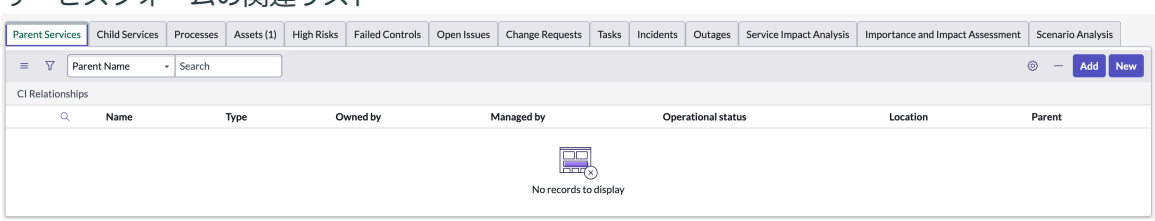
始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて
Compute Operational Resilience Compliance スケジュール設定済みジョブが毎日バックグラウンドで実行されると、Operational Resilience ダッシュボードでビジネスサービスのステータスレポートを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > サービス > ビジネスサービス.
   利用可能なビジネスサービスのリストが表示されます。
2. サービスを重要なサービスとしてマークする場合、またはサービスを Operational Resilience レポートに追加する場合は、**[OpRes** レポートに追加] をクリックします。
   Operational Resilience にサービスを追加すると、サービスの分析を実行できます。サービスについて報告された情報はすべて Operational Resilience ダッシュボードに表示されます。関連リストのレポートをダッシュボードで表示することもできます。
   Operational Resilience にサービスを追加すると、サービスフォームに次の情報メッセージが表示されます。*1 service(s) is added to Operational Resilience reporting and dashboards.*
3. サービスをクリックしてフォームを開き、関連リストを表示します。
   次の例に示すように、関連リストがサービスフォームに表示されます。

サービスフォームの関連リスト

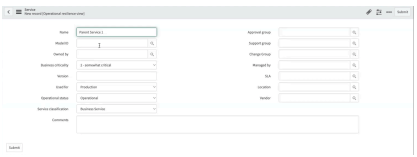
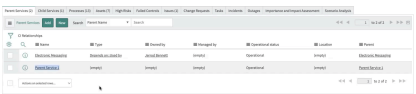
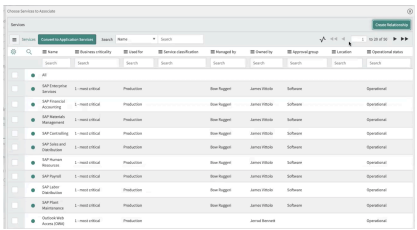
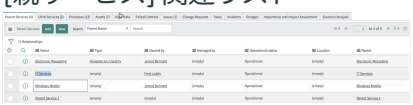


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Operational Resilience レポートダッシュボードにビジネスサービスを追加すると、その関連リストと、各関連リストの [追加] または [新規] アクションがサービスフォームに表示されます。

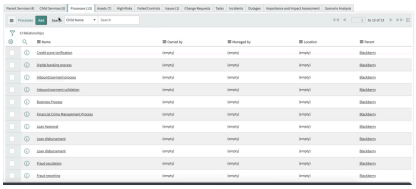
サービスフォームのフィールド値の説明については、「サービスフォーム」を参照してください。

4. 次の表で説明されているように、ビジネスサービスを 1 つ以上の親サービス、子サービス、プロセス、およびその他の構成アイテムに関連付けて、関連リストを更新します。

オプション	説明
親サービス	[親サービス] 関連リスト。[新規] をクリックして、サービスのサービスレコードを作成します。サービスの新規レコード (Service New record) フォームを次の例に示します。 サンプルのサービスの新規レコード **(Service New record)** フォーム  [送信] をクリックすると、次の例に示すように、親サービスがリストに追加されます。 関連リストの親サービス  同様に、[親サービス] 関連リストで [追加] をクリックして既存のサービスをサービスに関連付け、リストビューでサービスを選択して、次の例に示すように [関係を作成] をクリックします。 既存のサービスへの関連付け  次の例に示すように、サービスがリストに追加されます。 [親サービス] 関連リスト  新しく作成された関係 (つまり、関連付けられたサービス) でエンティティが作成されない

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	場合は、GRC アプリケーションによってエンティティが作成されます。また、アップストリームおよびダウンストリームのエンティティをこのサービスに関連付けます。
子サービス	[子サービス] 関連リスト。 **注:** サービスの新規レコード (Service New record) フォームの [子サービス] 関連リストの [親サービス] セクションの手順に従うことができます。
[プロセス] 関連リストをクリックします	[プロセス] 関連リストの [ビジネスプロセス] 関連リストのプロセスを次の例に示します。 [プロセス] 関連リスト  フォームで [追加] をクリックし、[関係を作成] をクリックして複数のプロセスを選択し、それらをサービスに直接関連付けます。
[資産] をクリックします	[資産] 関連リスト。1 つ以上の資産を選択し、フォームで [関係を作成] をクリックして資産をサービスに関連付けます。
[問題] をクリックします	[問題] 関連リスト。このアクションにより、GRC 問題フォームが開きます。[新規] をクリックしてサービスに関連する問題を作成し、[送信] をクリックします。問題が [問題] 関連リストに表示されます。 **注:** 期限切れの問題のみがサービスフォームに表示されます。問題を作成することはできますが、スケジュール設定済みジョブが実行されたときには、問題はサービスフォームにもレポートにも表示されません。
[変更要求] をクリックします。	[変更要求] 関連リスト。[新規] をクリックしてサービスに関連する変更要求を作成し、[送信] をクリックします。変更要求が [変更要求] 関連リストに表示されます。
[タスク] をクリックします	[タスク] 関連リスト。[新規] をクリックしてサービスに関連するタスクを作成し、簡単な説明を入力して、[送信] をクリックします。関連するタスクが [タスク] 関連リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

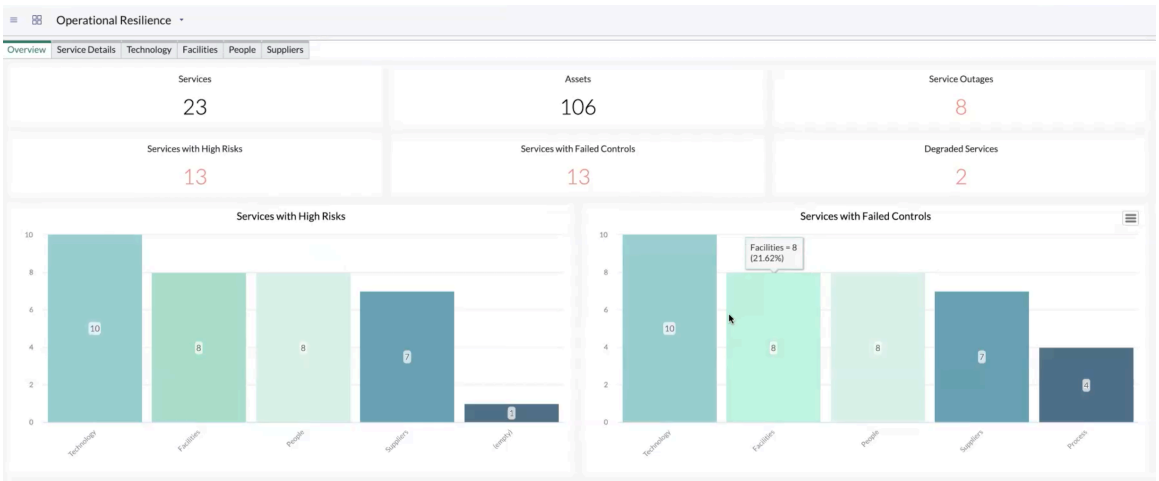
オプション	説明
[インシデント] をクリックします	[インシデント] 関連リスト。[新規] をクリックしてサービスに関連するインシデントを作成し、発信者名と簡単な説明を入力して、[送信] をクリックします。関連するインシデントが [インシデント] 関連リストに表示されます。
[機能停止] をクリックします	[機能停止] 関連リスト。[新規] をクリックして [送信] をクリックし、サービスに関連する機能停止を作成します。関連する機能停止が [機能停止] 関連リストに表示されます。

注:
次の表に示すように構成エンティティをサービスに関連付けると、Operational Resilience ダッシュボードでレポートを表示できます。

タスクの結果

ビジネスサービスの親サービス、子サービス、およびその他の関連リストを設定すると、*Compute Operational Resilience Compliance* スケジュール設定済みジョブが統合されたアプリケーションから関連データを収集します。次の例に示すように、サービス、資産、プロセスなどの関連する構成アイテムのレポートをダッシュボードに表示できます。

ダッシュボードの概要レポートのサンプル



サービスフォーム

サービスフォームを使用して、ビジネスサービスを設定し、その関連リストを構成します。

サービスフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

サービスフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスサービスの名前。
モデル ID	ビジネスサービスのモデル ID。
オーナー	ビジネスサービスのオーナー。
ビジネス上の重要度	ビジネスサービスの重要度。利用可能なオプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 1 — 最重要 • 2 — ある程度重要 • 3 — やや重要 • 4 — 重要ではない
バージョン	ビジネスサービスのバージョン。
使用目的	サービスが使用されるカテゴリ。例：ステージング。利用可能なオプションは次のとおりです。 • 本番 • ステージング • QA • テスト • 開発 • デモンストレーション • トレーニング • 災害復旧
運用ステータス	ビジネスサービスの運用ステータス。利用可能なオプションは次のとおりです。 • オペレーショナル • 非稼働 • 修理中 • DR スタンバイ • 準備完了 • 廃止 • パイプライン • カタログ
サービスの分類	サービスの分類。利用可能なオプションは次のとおりです。 • ビジネスサービス • テクニカルサービス • アプリケーションサービス
承認グループ	ビジネスサービスの承認を担当する承認グループ。例：アプリケーション開発グループまたはアプリケーションセキュリティグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォーム (続く)

フィールド	説明
サポートグループ	キャパシティ管理などのビジネスサービスのサポートを担当するサポートグループ。
変更グループ	ビジネスサービスの更新を担当する変更グループ。
管理担当者	ビジネスサービスの管理を担当するマネージャー。
場所	ビジネスサービスの場所。
ベンダー	ビジネスサービスを担当するベンダー。
コメント	ビジネスサービスに関連付けられている追加コメント。
関連アイテム	ビジネスサービスに関連付けられている依存関係。

関連リスト

サービスに関連付けられている関連リスト

関連リスト	説明
親サービス	親サービスの構成アイテム (CI) 関係タイプ。 ビジネスサービスに親サービスを追加すると、追加された親サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのアップストリームエンティティに追加されます。
子サービス	子サービスの構成アイテム (CI) 関係タイプ。 ビジネスサービスに子サービスを追加すると、追加された子サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。
プロセス	サポートサービスプロセス。サービスにプロセスを追加できます。 ビジネスサービスに子プロセスを追加すると、子プロセスのエンティティが作成されます。新しいプロセスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。
資産	ビジネスサービスに関連付けられている資産。サービスに資産を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連リスト (続く)

関連リスト	説明
高リスク	現在のサービスに関連付けられているリスクの詳細。
失敗したコントロール	現在のサービスに関連付けられている失敗したコントロールの詳細。
公開問題	現在のサービスに関連付けられているオープンな問題。サービスの問題を作成できます。
変更要求	現在のサービスに関連付けられている変更要求。サービスの変更要求を作成できます。
タスク	現在のサービスに関連付けられているタスク。
インシデント	現在のサービスに関連付けられているインシデント。サービスのインシデントを作成できます。
機能停止	現在のサービスに関連付けられている機能停止。サービスの機能停止を作成できます。
サービスの影響分析	現在のサービスに関連付けられているサービス影響分析。サービスのサービス影響分析を作成できます。
重要性および影響度アセスメント	サービスに関連付けられている重要性および影響度アセスメント。 ビジネスサービスの重要性は、サーベイタイプ分析によって決定されます。ビジネスサービスの影響許容度は、サービスを中断させることなく運用できる期間を指定します。たとえば、考慮されるサンプル要素は、顧客の数、収益、ブランドへの影響、および金融機関に対するその他の戦略的影響などです。 分析が完了すると、値は CMDB に格納され、他のユーザーがこの情報を使用できるようになります。
シナリオ分析	ビジネスサービスに関連付けられているシナリオ分析。

ビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析

ビジネスサービスの重要性および影響許容度を分析することで、中断がサービスに与える影響を測定できます。Operational Resilience アプリケーションのアセスメントアンケートテンプレートを使用して、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定できます。

ビジネスサービスの重要性および影響許容度

ビジネスサービスの重要性は、サービスを使用する顧客の数、サービスが生み出す収益、会社のブランドへの影響などの要因によって決まります。ビジネスサービスの影響許容度を測定することで、ビジネスとその顧客に何らかの損失を与えることなく、サービスの稼働を停止しておくことができる期間を確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Operational Resilience アプリケーションを使用して、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定するアセスメントを実行できます。

ワークフローとアセスメントのステータス

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、事前定義されたアセスメントアンケートテンプレートを作成および管理できます。分析する 1 つ以上のビジネスサービスを選択すると、アセスメントテンプレートを使用して、これらのサービスの重要性と影響許容度を計算できます。

通常、アセスメントのオーナーと査定人は次のタスクを実行します。

- アセスメントのオーナーはビジネスサービスを選択し、Operational Resilience アプリケーションで 1 つ以上のビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントを送信します。このアクションでは、アンケートテンプレートの質問を含むアセスメントインスタンスを作成します。
- アセスメントの査定人は、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。
- 査定人はアセスメントへのリンクをクリックし、アンケートに回答します。アンケートに対する査定人の回答に基づいて、1 つ以上のビジネスサービスの重要度評価と許容期間のアセスメントが生成されます。
- オーナーは、アセスメントが完了した後に承認を要求します。
- オーナーは質問に対する回答を確認します。オーナーの応答は、アセスメントの重要性と影響許容度評価を上書きすることができます。
- 承認者がビジネスサービスのアセスメントを承認します。
- オーナーは、承認後にアセスメントをクローズします。

アセスメントタスクを実行すると、次のテーブルに示すように、Operational Resilience アプリケーションのさまざまなステータスを通じてアセスメントが更新されます。

重要性および影響許容度アセスメントのステータス

ステータス	説明
ドラフト	アセスメントのオーナーはアンケートテンプレートを選択し、1 つ以上のビジネスサービスを評価するアセスメントを開始します。アセスメントは、デフォルトでは [ドラフト] ステータスで作成されます。 オーナーは、[サービス] 関連リストから評価するビジネスサービスを追加し、アセスメントを送信します。
応答処理待ち	オーナーがアセスメントを送信すると、査定人のアセスメントのインスタンスが作成されます。インスタンスには、アンケートテンプレートからの質問があります。 アセスメントのステータスは自動的に [応答処理待ち] ステータスに更新されます。査定人は、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度アセスメントのステータス (続く)

ステータス	説明
応答を受信済み	査定人がアセスメントのアンケートに回答すると、アセスメントのステータスが自動的に [応答を受信済み] に更新されます。 重要度評価と影響許容期間は、アンケートの回答に基づいて自動的に生成されます。アセスメントのオーナーは承認を要求できます。
承認待ち	承認者は、アンケートの回答を確認し、アセスメントの重要性と影響許容度評価を上書きすることができます。アセスメントのステータスは自動的に [承認待ち] に更新されます。
キャンセル	オーナーは、無効または誤ったアセスメントをキャンセルできます。[キャンセル] をクリックすると、アセスメントのステータスが [キャンセル] に移行します。オーナーは、[応答処理待ち] または [承認待ち] ステータスの重要性および影響許容度アセスメントをキャンセルできます。
承認済み	選択したビジネスサービスのアセスメントを承認者が承認すると、アセスメントのステータスが自動的に [承認済み] に更新されます。
クローズ済み	アセスメントが承認された後に、オーナーはアセスメントをクローズできます。アセスメントは、[承認済み] ステータスの場合にのみクローズできます。[クローズ] をクリックすると、アセスメントのステータスが [クローズ済み] に移行します。

注:
sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、任意のステータスの重要性および影響許容度アセスメントを削除できます。

Operational Resilience ロールに関する詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

メール通知：sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーがアセスメントをアサインすると、査定人と承認者にアサインについて通知するメール通知が自動的に送信されます。

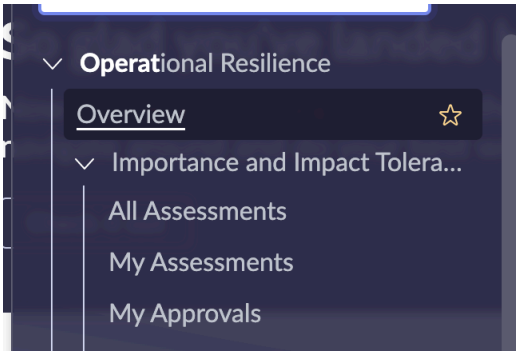
アセスメントの表示

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、 すべて > **Operational Resilience** > 重要性および影響許容度アセスメント 次の例に示すように、アプリケーション UI のモジュールに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度アセスメントモジュール



- すべてのアセスメント：sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、[すべてのアセスメント] で関連するすべてのアセスメントを表示できます。
- 自分のアセスメント：sn_oper_res.user ロールを持っている場合は、[自分のアセスメント] でアサインされたアセスメントを表示できます。
- 自分の承認：sn_oper_res.user ロールを持っている場合は、[自分の承認] でアサインされた承認を表示できます。

アセスメント評価の設定

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、重要な選択肢モジュールでアセスメント評価の重要度と順序を更新することで、アセスメント評価を設定できます。アセスメント評価の設定の詳細については、「重要な選択肢モジュールのアセスメント評価の更新」を参照してください。

サービスのアセスメントの作成

Operational Resilience アプリケーションでアセスメントを作成し、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定します。

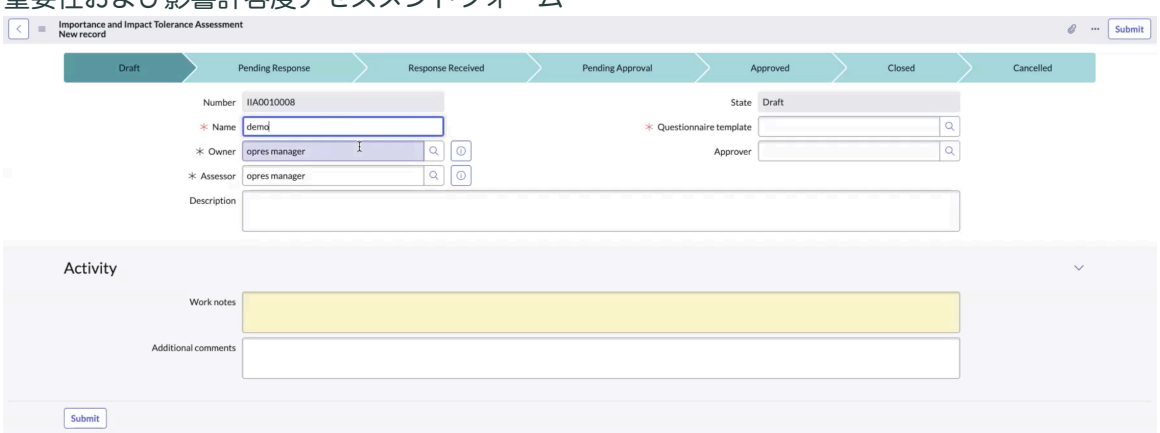
始める前に
必要なロール：sn_oper_res.user、sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント.
2. [新規] をクリックします。

   このアクションにより、アセスメントが作成され、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定できます。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [名前] フィールドにアセスメントの名前を入力します。
4. ログインしているユーザーの名前がアセスメントの [オーナー] フィールドと [査定人] フィールドに表示されていることを確認します。

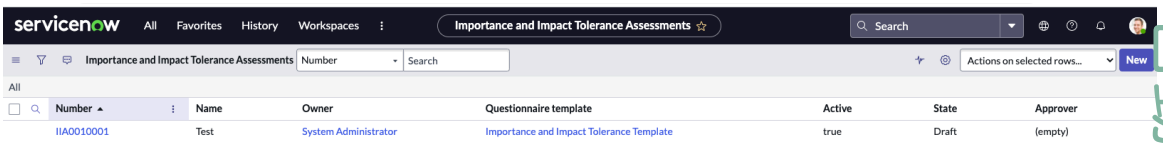
   注:
   デフォルトでは、アセスメントを送信するユーザーがアサインされたオーナーおよび査定人です。

5. [アンケートテンプレート] フィールドで、利用可能なオプションから [重要性および影響許容度] テンプレートを選択します。
6. [承認者] フィールドで、アセスメントの承認者を選択します。
   重要性および影響許容度アセスメントフォームのフィールド値の説明については、「重要性および影響許容度アセスメントフォーム」を参照してください。

   注:
   アセスメントのオーナーは承認者になることはできません。

7. [送信] をクリックします。
   新しいアセスメントは [ドラフト] ステータスで作成されます。次の例に示すように、[重要性および影響許容度アセスメント] リストに表示されます。

新しいアセスメント



タスクの結果
アセスメントのステータスが [ドラフト] ステータスに移行し、ビジネスサービスに関するアンケートが査定人に送信されます。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

重要性および影響許容度アセスメントフォームを使用して、ビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントを作成します。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントの名前。
説明	アセスメントの説明。
番号	アセスメントの番号。このフィールドは自動入力されます。
所有者	アセスメントのオーナー。このフィールドは自動入力されます。
査定人	アセスメントの査定人。このフィールドは自動入力されます。
ステータス	アセスメントの状態。このフィールドは自動入力されます。
アンケートテンプレート	顧客が入力するデフォルトのアンケートテンプレート。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要性および影響許容度アセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
承認者	アセスメントの承認者。
アクティビティジャーナル	アセスメントに関連付けられている作業メモと追加コメント。
関連リスト (サービスが追加された後にフォームに表示される)	
サービス	アセスメントに関連付けられているビジネスサービス。 注: アセスメントに追加できるのは、ビジネスサービスタイプのサービスのみです。
アセスメントのインスタンス	アンケートテンプレートからの質問を含む査定人のアセスメントインスタンス。
承認者	アセスメントの承認者。

重要性および影響許容度アセスメントを送信します。

Operational Resilience アプリケーションでアセスメントを送信し、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定します。

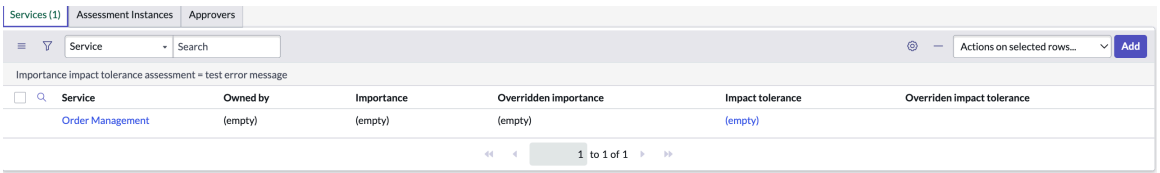
始める前に

必要なロール：sn_oper_res.user、sn_oper_res.manager

手順

1. [重要性および影響許容度アセスメント] リストで、[ドラフト] ステータスのアセスメントをクリックします。
   次の例に示すように、アセスメントに関連付けられている関連リストが表示されます。

   アセスメントの関連リスト

2. [サービス] 関連リストで、アセスメントに関連付けるサービスを選択し、[関係を作成] をクリックします。

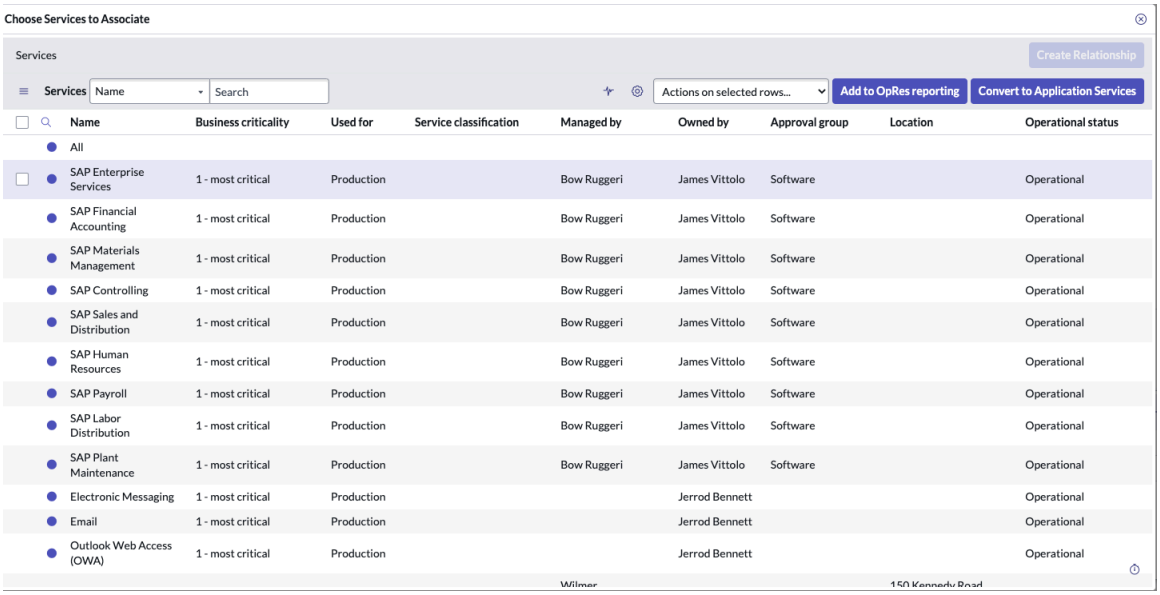
   注:
   アセスメントを送信する前に、少なくとも 1 つのサービスを関連付ける必要があります。

   次の例にサービスリストビューを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

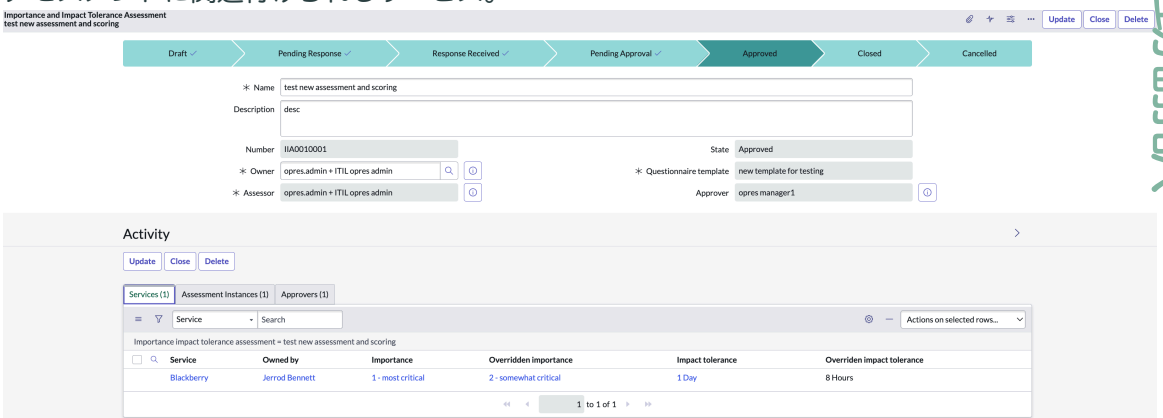
サービスリスト



アセスメントに関連付けられているサービスが [サービス] 関連リストに表示されます。

3. [アセスメントのインスタンス] 関連リストをクリックし、アセスメントのインスタンスを確認します。
サービスをアセスメントに関連付けると、次の例に示すように、アセスメントのインスタンスが関連リストに表示されます。

アセスメントに関連付けられるサービス。



4. [承認者] 関連リストをクリックし、アセスメントの承認者を確認します。
5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
アセスメントのステータスが [応答処理待ち] に変更され、査定人が、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。

重要性および影響許容度アセスメントへの応答

Operational Resilience アプリケーションでア査定人としてログインし、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定するための質問に応答します。

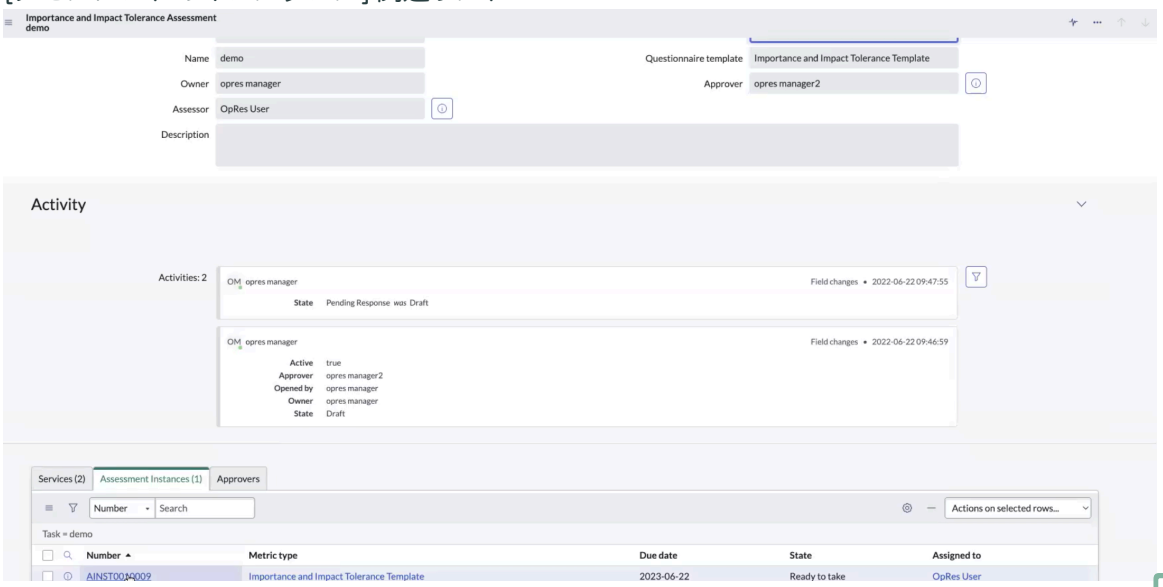
始める前に
必要なロール：sn_oper_res.user

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

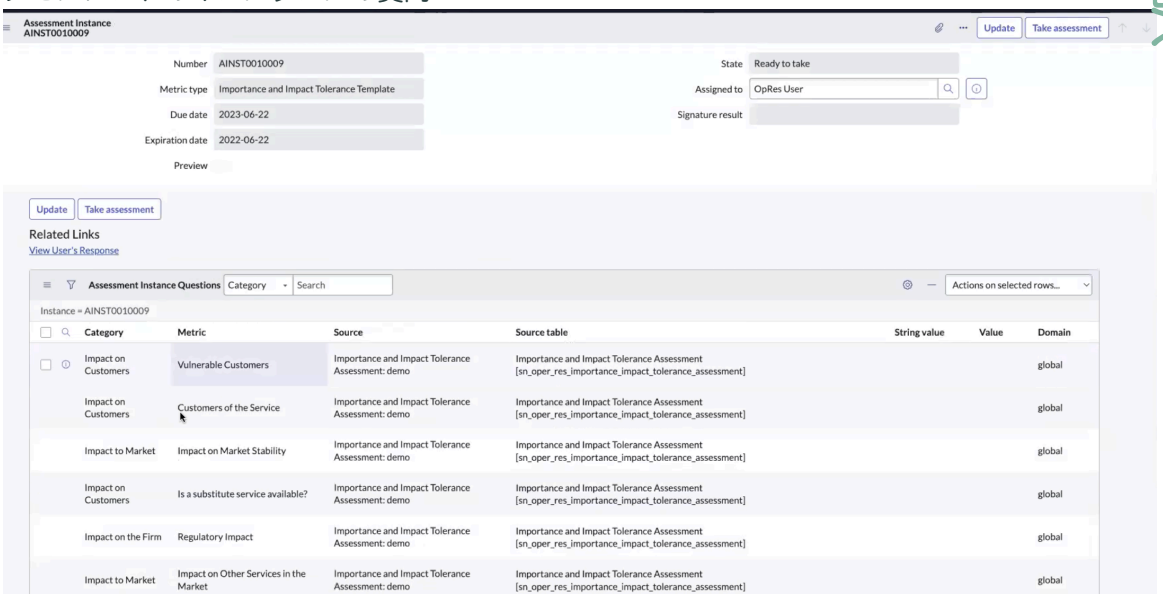
1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 重要性および影響許容度アセスメント > 自分のアセスメント.
   アセスメントの査定人は、次の例に示すように、 [アセスメントのインスタンス] リストのアセスメントにアクセスできます。

[アセスメントのインスタンス] 関連リスト



2. [アセスメントのインスタンス] 関連リストに一覧表示されているアセスメントのインスタンスをクリックします。
   アセスメントのインスタンスをクリックすると、次の例に示すようにアンケートが表示されます。

アセスメントのインスタンスの質問



3. [アセスメントを実施] をクリックします。
   アセスメント質問は、次の例に示すようにテンプレートに入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントの質問



4. 質問に答えて、[送信] をクリックします。
   アセスメントを送信すると、次の情報メッセージが画面に表示されます：*You have completed this risk assessment*。アセスメントオーナーは、フォームの [アセスメント] 関連リストでその進捗状況を追跡できます。

タスクの結果
アセスメントのステータスを [応答受信済み] に変更します。.

アセスメントの評価の上書き

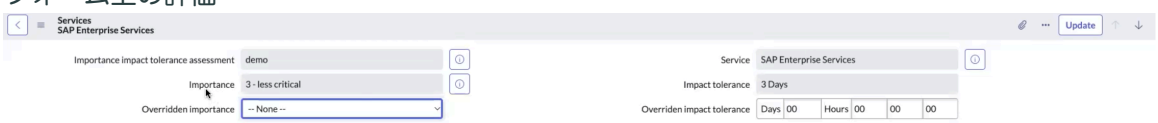
Operational Resilience アプリケーションで応答を検証しているときに、サービスに関するアセスメントの重要性および影響許容度の不一致を上書きします。このようにして、正確な評価がビジネスサービスに割り当てられていることを確認できます。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント > アセスメント > インスタンスのアセスメント.
2. アセスメントをクリックし、その [サービス] リストに移動します。
3. [サービス] レコードを開きます。
4. サービスの重要性および影響許容度評価を表示します。
   次の例に示すように、アセスメントのスコアに基づいて、サービスの重要性および影響許容度の評価が自動的に入力されます。

フォーム上の評価



5. [上書きされた重要性] の重要度の値を次のいずれかのオプションに更新して、サービスの重要度を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- なし
- 最重要
- ある程度重要
- やや重要
- 重要ではない

デフォルトの重要度評価スケールの詳細については、「重要性および影響許容度評価スケールの設定」を参照してください。

6. [理由の重要性] フィールドを、重要性を上書きする理由に更新します。
7. サービスの耐影響度評価を上書きするには、[上書きされた影響度許容度 **(Overridden impact tolerance)]** フィールドの評価を更新します。
   次の例に示すように、アセスメントに基づいて、サービスの重要性および影響許容度の評価を上書きすることができます。

重要性および影響許容度評価



8. [理由の影響許容度] フィールドを、重要許容度を上書きする理由に更新します。
9. [更新] をクリックします。
   関連するサービスの重要性および影響度許容度は、サービスレコード内のサービスごとに表示されます。次の例に示すように、[サービス] 関連リストでサービスの評価を表示します。

上書きされた重要性および影響許容度評価



> **注:**
> サービスの重要性および影響許容度評価は、アセスメントが [応答を受信済み] および [承認待ち] ステータスにある場合にのみ上書きできます。

タスクの結果
アセスメントのステータスが [承認待ち] に変わります。

アセスメントの承認およびクローズ

オーナーに通知してアセスメントをクローズできるように、ビジネスサービスの Operational Resilience アプリケーションで重要性および影響許容度アセスメントを承認します。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて
アセスメントが承認されると、アセスメントが承認されたことを示す通知がサービスのオーナーに自動的に送信されます。その後で、オーナーはアセスメントをクローズできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 重要性および影響許容度アセスメント > 自分の承認.
2. インスタンスで、アセスメントの承認者としてログインし、オープンアセスメントを表示して、[承認] をクリックします。
   アセスメントを承認すると、アセスメントが承認されたことを示す通知がサービスのオーナーに自動的に送信されます。アセスメントのステータスが [承認済み] に変わります。アセスメントが完了すると、次の例に示すようにサービスレコードフォームは読み取り専用ステータスになります。

   評価の読み取り専用ステータス



3. アセスメントをクローズするには、[クローズ] をクリックします。

タスクの結果
アセスメントのステータスを [クローズ済み] に変更します。.

ビジネスサービスのシナリオ分析の実行

Operational Resilience アプリケーションのビジネスサービスのシナリオ分析を使用して、ビジネスに影響を与える可能性のあるリスクを定義できます。sn_oper_res.manager または sn_oper_res.user ロールを持つユーザーなどの参加者を、関連するビジネス機能から シナリオ分析に追加することで、それらの入力を収集して、考えられる中断を計算し、サービスが違反したかどうかを判断できます。

シナリオ分析の概要

シナリオは、イベントが組織にどのように影響を与えるかをテストするために使用されるビジネス固有のリスクを表します。シナリオ分析がある場合は、ビジネスサービスの運用レジリエンスを判断できます。たとえば、sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、アプリケーションのシナリオ分析フォームを使用して、ビジネスサービス、ビジネス機能に関連付けられている参加者、および分析する関連するシナリオイベントを選択できます。

すべてのシナリオイベントを分析した後、サービスのステータスを確認し、中断の期間を計算します。参加者からのギャップ、推奨事項、および観察事象を照合して、分析を完了することもできます。次に、承認者にシナリオ分析を承認するように要求します。承認後、それをクローズしてダッシュボードでステータスを確認します。

シナリオ分析とワークフローステータスを設定するタスク

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、ビジネスサービスのシナリオ分析を設定できます。シナリオ分析オーナーは、次のタスクを実行できます。

- ビジネスに適用可能なリスクを判断するのに役立つシナリオを作成します。
- サービス、参加者、シナリオイベント、および承認者をシナリオに追加します。
- 1 つ以上のイベントをシナリオに関連付けます。
- シナリオ分析を実行し、シナリオ分析イベントに関する観察事象、ギャップ、および推奨事項を参加者から収集します。シナリオ分析の参加者は、財務部門や HR 部門など、関連するビジネス機能の sn_oper_res.manager または sn_oper_res.user ロールを持つユーザーです。これらの参加者は、シナリオに関連する作業メモを追加できます。
- サービスの中断を計算し、サービスが違反したかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レビューのために分析をシナリオの承認者に送信し、承認を要求します。
- 承認されたシナリオ分析をクローズします。

Operational Resilience アプリケーションでシナリオ分析を設定すると、次の表に示すステータスに関連付けられます。

シナリオ分析に関連付けられるステータス



シナリオ分析に関連付けられるステータス

ステータス	説明
ドラフト	シナリオ分析の最初のステータス。sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、シナリオ分析を開始し、分析の名前と説明を入力し、1 つ以上のシナリオと関連イベントを分析できます。 sn_oper_res.manager (ログインしているユーザー) は、シナリオのオーナーとして [オーナー] フィールドに自動的に表示されます。 分析オーナーの場合は、ビジネスサービス、参加者、およびシナリオを分析に追加し、計画承認者と結果承認者をアサインすることができます。 シナリオ分析を送信すると、計画承認者に通知が送信されます。シナリオ分析のステータスが [計画承認待ち] ステータスに更新されます。 **注:** シナリオ分析を [計画承認待ち] ステータスに移行する前に、少なくとも 1 つのサービスを関連付ける必要があります。
計画承認待ち	シナリオ分析の 2 番目のステータス。処理待ちの計画承認者は、このステータスの分析のスコープを確認する必要があります。サービス、参加者、関連するシナリオイベント、および承認者の設定を確認して、分析を承認できます。分析を承認すると、シナリオ分析のステータスが [分析] ステータスに更新されます。
分析	シナリオ分析の 3 番目のステータス。このステータスでは、シナリオ分析の参加者は、シナリオ分析フォームに作業メモを追加し、責任に基づいてイベントを処理できます。 分析オーナーの場合は、参加者からフィードバックを収集し、フォーム上の関連イベントごとに参加者の観察事象、ギャップ、および推奨事項を送信する必要があります。この情報を送

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析に関連付けられるステータス (続く)

ステータス	説明
	信すると、シナリオ分析のステータスが [結果承認待ち] ステータスに更新されます。
結果承認待ち	シナリオ分析の 4 番目のステータス。このステータスでは、シナリオ分析のサマリーの詳細がアプリケーションで シナリオ分析フォームに自動的に入力されます。 シナリオ分析のオーナーである場合は、詳細を確認し、サービス違反がないかどうかを確認して、分析の結果承認を要求できます。 結果承認者の場合は、このステータスの分析スコープをレビューし、選択したビジネスサービスに対して有効な分析であるかどうかを確認して、分析を承認または却下できます。 分析を承認すると、シナリオ分析のステータスが [承認済み] ステータスに更新されます。
承認済み	シナリオ分析の 5 番目のステータス。このステータスでは、参照のためにメール通知も承認者に送信されます。 シナリオ分析のステータスが [承認済み] ステータスの場合は、クローズできます。
クローズ済み	シナリオ分析の最後のステータス。分析オーナーが分析をクローズすると、そのステータスが [クローズ済み] に更新されます。

Operational Resilience ロールに関する詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

シナリオ分析のサマリー

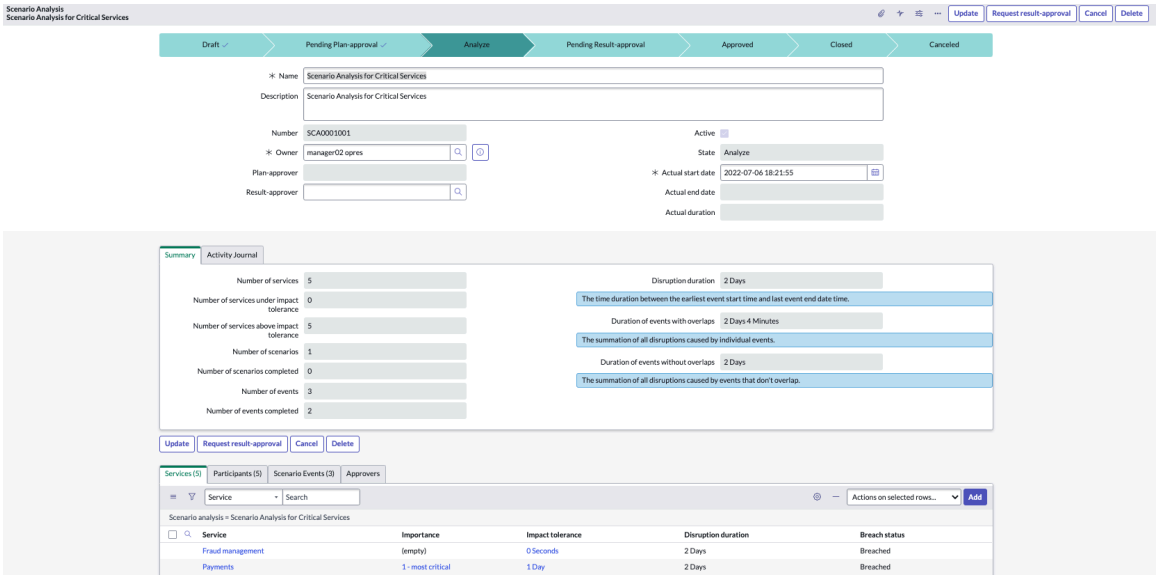
シナリオ分析の実行中、Operational Resilience アプリケーションのシナリオ分析フォームの [サマリー] パネルでビジネスサービスのステータスを確認できます。

一般的なシナリオ分析フォームを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析フォーム



[サマリー] パネルには、ビジネスサービス、関連するシナリオ、中断、およびイベントに関する情報が表示されます。フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

サービス、シナリオ、中断、およびイベントのサマリー

フィールド	説明
サービスの数	シナリオ分析に関連付けられたサービスの数
影響許容度内のサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度内のサービスの数
影響許容度を超えているサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度を超えているサービスの数
シナリオの数	分析に関連付けられたシナリオの数
完了したシナリオの数	分析に関連付けられ、完了しているシナリオの数
イベント数	分析に関連付けられたイベントの数
完了したイベントの数	分析に関連付けられ、完了したイベントの数
中断期間	最後のイベントの終了時間と最初のイベントの開始時間の間の期間日数で表示されます。
重複のあるイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含む、すべてのイベント期間のサマリー。日数と分数で表示されます。
重複のないイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含まない、すべてのイベント期間のサマリー。日数と分数で表示されます。

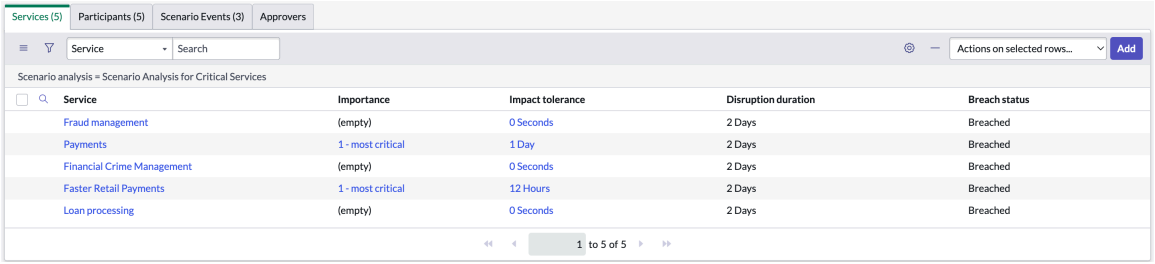
シナリオ分析フォームの関連リスト

シナリオ分析を作成すると、次の例に示すように、関連リストがフォームに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析フォームの関連リスト



例に示すように、[新規] および [追加] アクションを使用して、シナリオ分析フォームの関連リストを構成できます。シナリオ分析フォームの関連リストに関連付けられている名前、説明、およびアクションについては、次の表を参照してください。

シナリオ分析フォームの関連リスト

名前	説明	新しいアクション	アクションを追加
サービス	サービスのリスト	適用外	現在のシナリオ分析に追加できる複数のサービスを選択できるテーブルビュー。 ロール：このアクションには sn_oper_res.admin ロールが必要です。または、サービスを追加するには、シナリオ分析のオーナーである必要があります。
参加者	現在のシナリオ分析の参加者のリスト。	参加者レコードを作成するアクション。 ロール：このアクションを実行するには、sn_oper_res.user ロールが必要です。	適用外
シナリオイベント	現在のシナリオ分析に関連付けられているシナリオイベントのリスト。	適用外	現在のシナリオ分析に追加できる複数のシナリオイベントを選択できるテーブルビュー。 ロール：このアクションには sn_oper_res.admin ロールが必要です。または、シナリオイベントを追加するには、シナリオ分析のオーナーである必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析フォームの関連リスト (続く)

名前	説明	新しいアクション	アクションを追加
承認者	現在のシナリオ分析に関連付けられている承認者のリスト。	適用外	適用外

sn_oper_res.critical_services プロパティを使用したサービスの設定

Operational Resilience アプリケーションのアセスメントアンケートテンプレート を使用して、ビジネスサービスの重要性および影響許容度を分析できます。ビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析の詳細については、「ビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析」を参照してください。

シナリオ分析オーナーは、計算済みの重要性および影響許容度を使用して評価済みのサービスを選択できます。 選択したサービスが、*sn_oper_res.critical_services* プロパティで sys_id が定義されているエンティティタイプで定義されたエンティティフィルター条件を満たしていることを確認する必要があります。このプロパティについては「Operational Resilienceでインストールされるプロパティ」を参照してください。

シナリオ分析への参加者の追加

Operational Resilience アプリケーションでシナリオ分析に参加者を追加して、シナリオに関する観察事象を照合できるようにします。サービスに関連付けられているビジネス機能に属するさまざまな参加者を追加できます。その情報を参考にしてシナリオ分析を行うことができます。

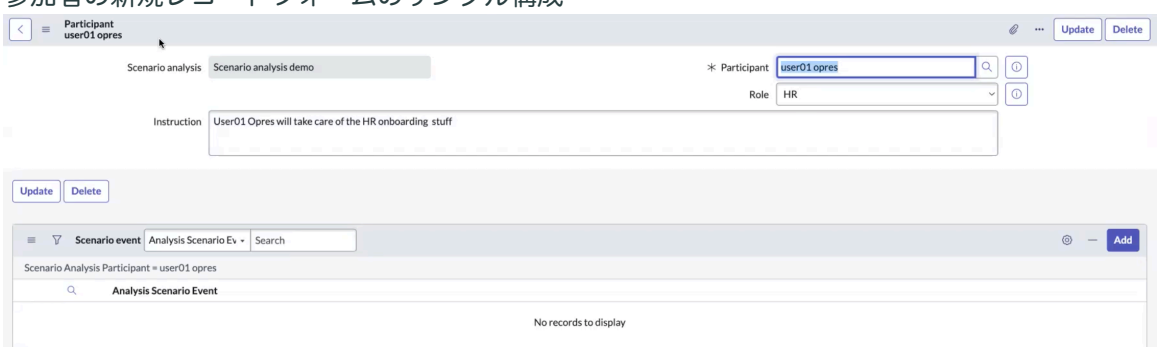
始める前に
必要なロール：sn_oper_res.admin

このタスクについて
参加者は、シナリオに関するメモ、観察事象、および推奨事項をイベントフォームに追加できます。シナリオ分析のオーナーは、シナリオイベント情報レコードで、参加者からシナリオイベントに関するこれらの入力を収集します。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > すべてのシナリオ分析 > すべてのシナリオ分析.
2. 参加者を追加するシナリオを開きます。
3. [参加者] 関連リストで、[新規] をクリックします。
   次の例に示す参加者の構成例を参照してください。

参加者の新規レコードフォームのサンプル構成



参加者の新規レコードフォームに、シナリオ分析の名前が自動的に入力されます。

4. [手順] フィールドに、参加者向けの手順を追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [参加者] フィールドで、利用可能なオプションから参加者を選択します。
6. [ロール] フィールドで、利用可能なオプションから参加者にロールを割り当てます。
7. [更新] をクリックします。
   シナリオ分析に参加者を追加しました。参加者関連リストは、シナリオ分析レコードで自動的に更新されます。

参加者の新規レコードフォーム

参加者の新規レコードフォームを使用して、シナリオ分析に参加者を追加します。

参加者の新規レコードフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

参加者の新規レコードフォーム

フィールド	説明
シナリオ分析	シナリオ分析の一意の名前。このフィールドは自動入力されます。
説明	参加者向けの説明。
参加者	シナリオ分析に関連付ける参加者。
ロール	参加者に割り当てるロール。利用可能なオプションは次のとおりです。 • HR • 法務 • 経理 • テクノロジー • 人々 • データ • セキュリティ • サプライヤー階層 1 • サプライヤー階層 2 • サプライヤー階層 3 • 調達 • 施設 • 中レベル • マネージャー • シニアマネージャー • 請負業者 • 正社員

サービスのシナリオ分析の実行

Operational Resilience アプリケーションでサービスのシナリオ分析を実行して、関連するイベントや考えられる中断が組織に与える影響を理解することができます。シナリオイベントを分析した後、サービスに違反がないかどうかを判断できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて
sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、分析を作成して公開できます。シナリオ分析のオーナーと sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーのみが分析を編集できます。分析をレビューした後で、承認を要求できます。分析が [承認済み] ステータスの場合は、クローズできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > すべてのシナリオ分析 をクリックし、「 新規」をクリックします。
2. [名前] フィールドにシナリオ分析レコードの名前を入力します。

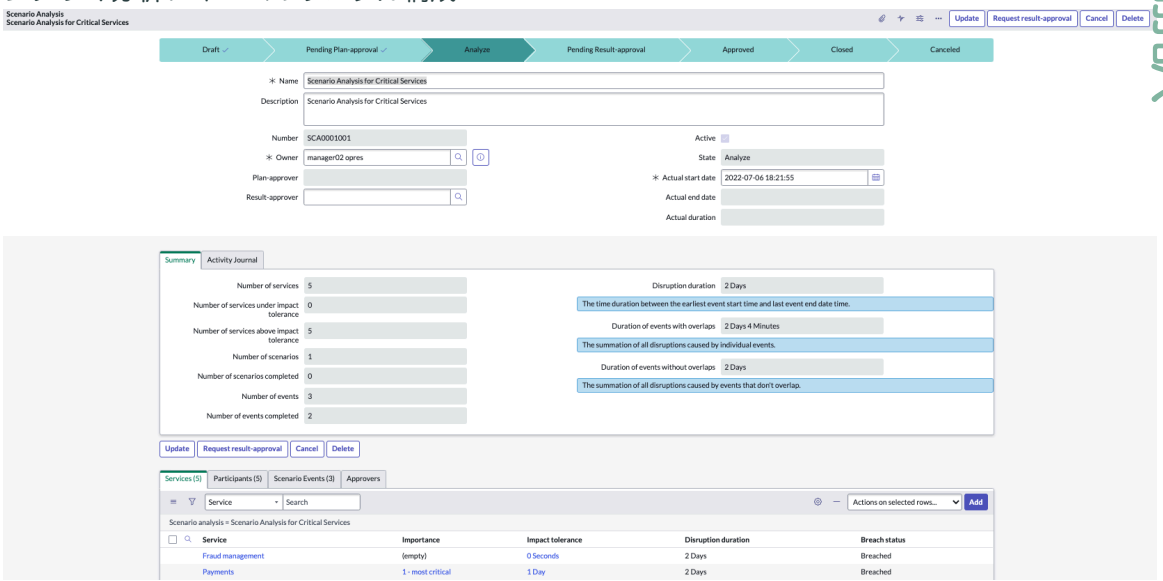
   ログインしているユーザーがシナリオ分析レコードのオーナーとして設定され、シナリオ分析のステータスがデフォルトで [ドラフト] に更新されます。[サマリー] パネルには、シナリオ分析に関連するサービス、中断、およびイベントに関する詳細情報が表示されます。

3. [計画承認者] フィールドで、シナリオ分析の計画承認者を選択します。
   - [新規] をクリックし、ルックアップリストを使用して計画承認者の新しいユーザーレコードを追加します。
   - [送信] をクリックします。

   ユーザーの新規レコードフォームのフィールド値の説明については、「シナリオ分析フォーム」を参照してください。

   シナリオ分析フォームのサンプル構成を次の例に示します。

   シナリオ分析フォームのサンプル構成



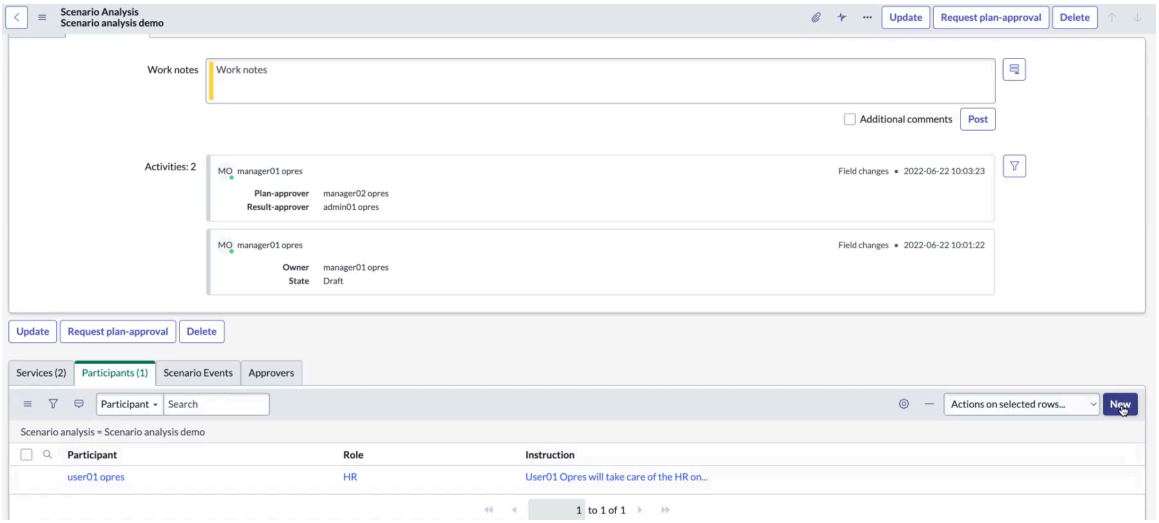
4. [サービス] 関連リストで、少なくとも 1 つのサービスをシナリオに関連付けます。
5. [分析を開始] をクリックします。
   少なくとも 1 つのサービスをシナリオに関連付けずに分析を開始した場合、「*Associate at least one service to begin the analysis.*」という情報メッセージが表示されます。
   [サマリー] パネルで、サービスの数、影響許容度内のサービスの数、および影響許容度を超えているサービスの数が更新されます。フォームのフィールド値の説明については、「シナリオ分析フォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [計画承認者] フィールドで、シナリオ分析の計画承認者をアサインします。
7. [計画承認者] フィールドで、シナリオ分析の結果承認者をアサインします。
8. [開始実績日] フィールドに、分析の実際の開始日を入力します。
9. シナリオ分析への参加者の追加
   次の例に示すように、参加者をシナリオ分析に追加できます。

シナリオ分析への参加者の追加



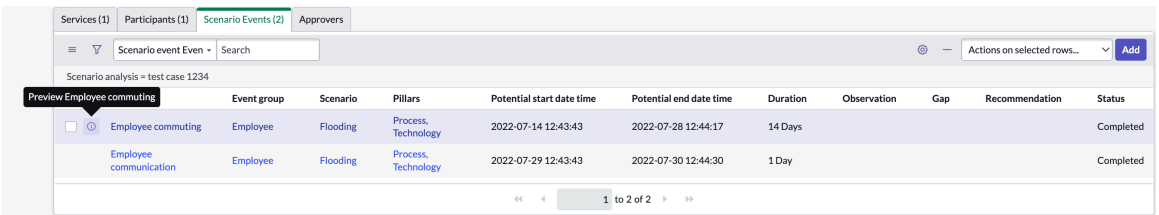
10. シナリオ分析にシナリオイベントを追加します。
    次の例に示すように、1 つ以上のイベントをシナリオに関連付けることができます。

分析へのシナリオの追加



11. シナリオイベントをクリックし、[シナリオイベント] 関連リストでその情報レコードを開きます。
    次の例に示すように、シナリオイベント情報レコードを確認できます。

シナリオイベント情報レコード



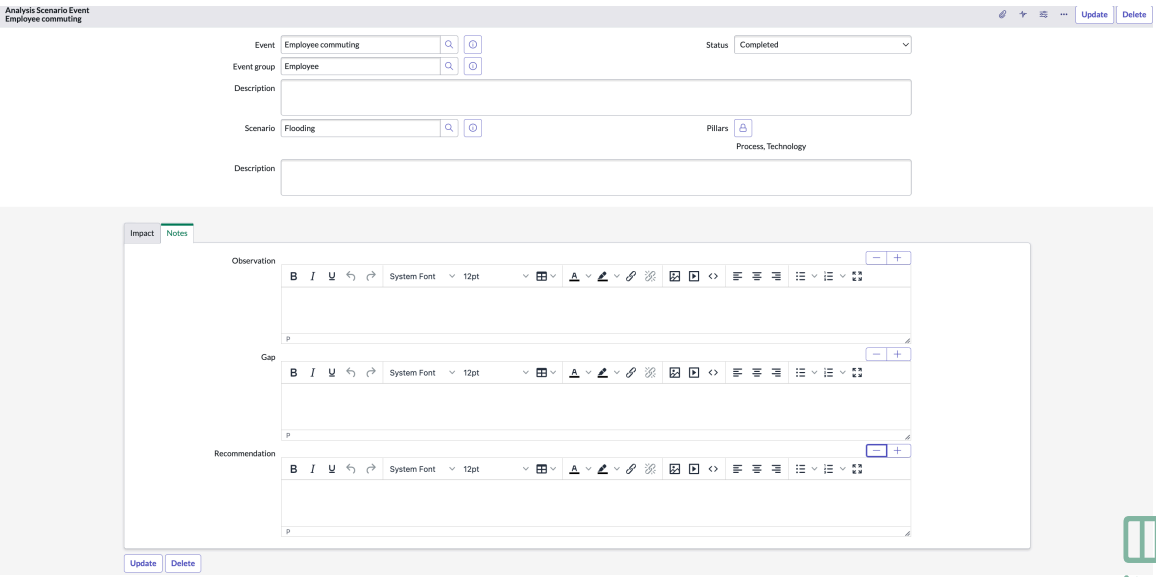
分析のオーナーの場合は、次のタスクを実行することで、すべての参加者から観察事象、ギャップ、および推奨事項を収集し、情報を更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

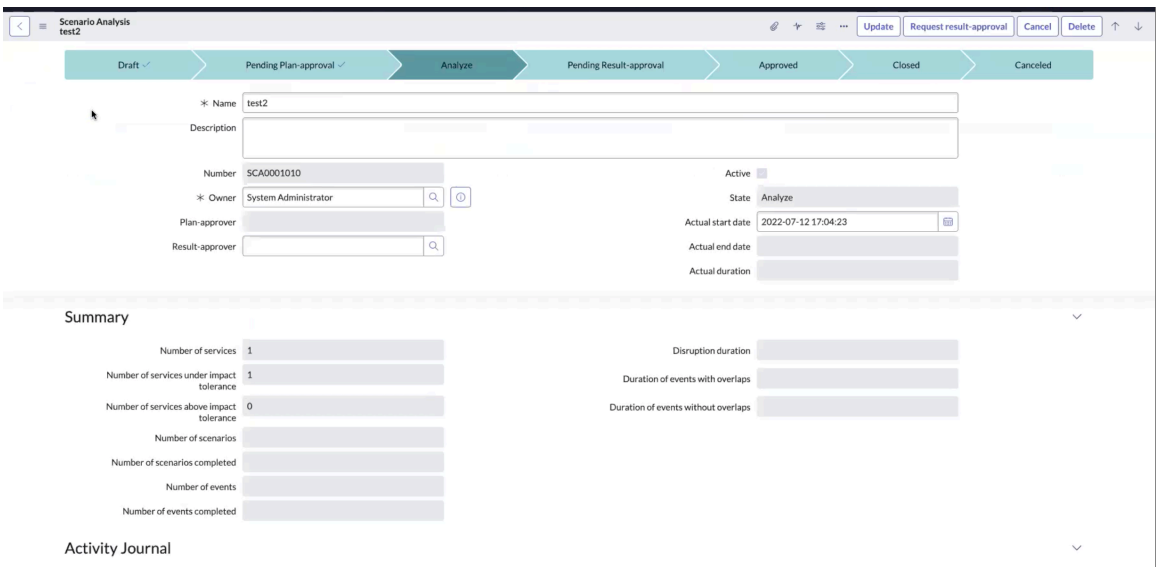
- [影響度] パネルで、[開始見込日時]、[終了見込日時]、および [期間] フィールドの日付と期間を確認して更新します。
- [メモ] パネルで、シナリオ分析イベントに関する観察事象、ギャップ、および推奨事項を [観察事象] 、 [ギャップ] 、および [推奨事項] フィールドに追加します。
- アプリケーションで観察事象と推奨事項を追加するには、次の例に示すように [更新] をクリックします。

シナリオイベントに関するメモ



12. [イベント] 関連リストで、結果の承認を要求する前に、すべてのシナリオイベントをクローズします。
13. [結果承認を要求] をクリックします。

結果承認を要求

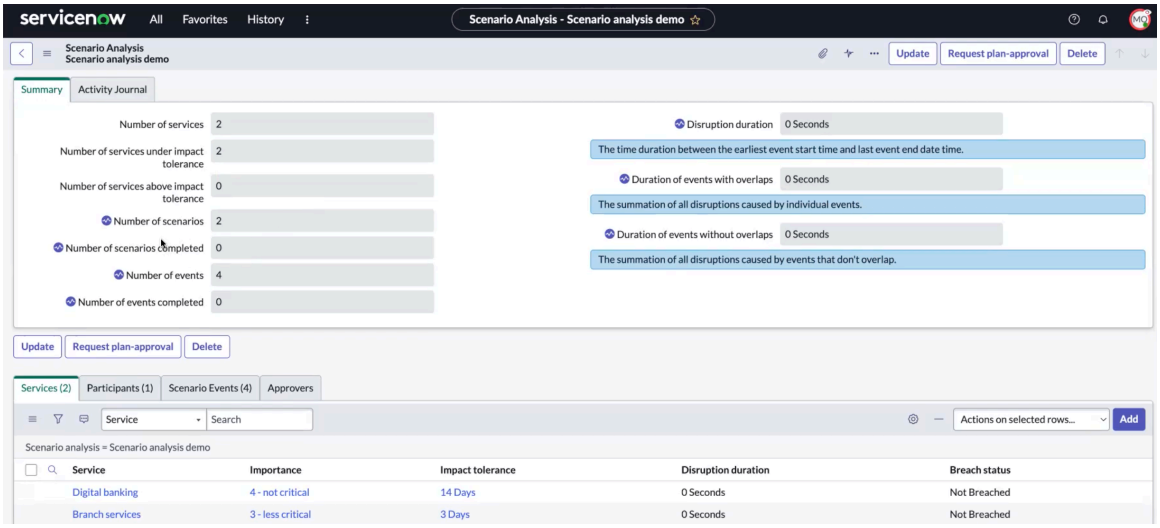


シナリオ分析フォームの [サマリー] および [アクティビティ] パネルで、次の例に示すようにサービスと作業メモの詳細が更新されます。

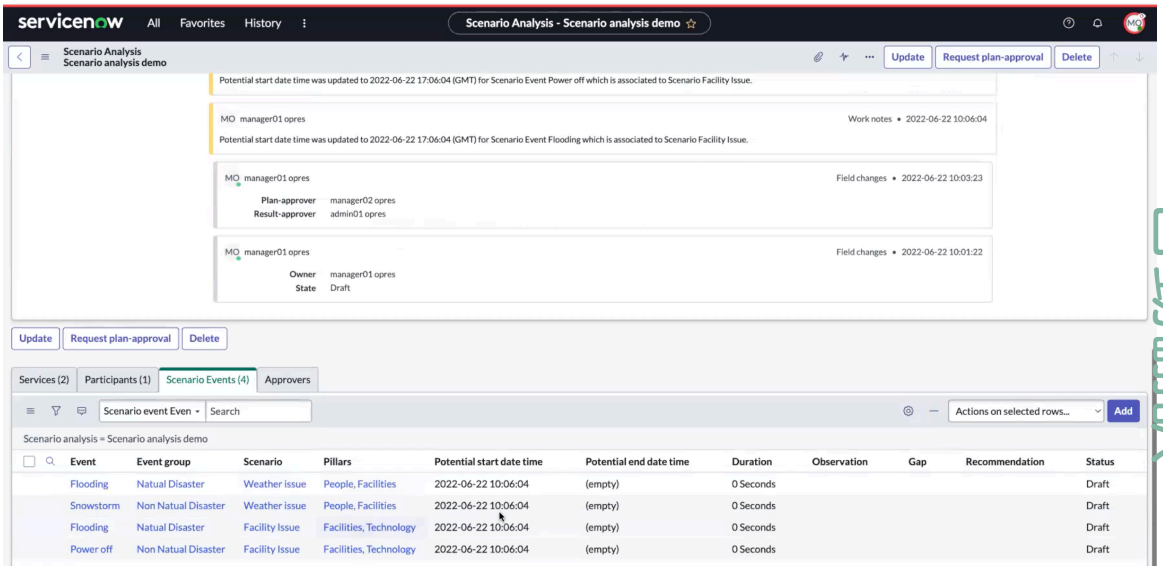
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サマリー] パネルのサービスの詳細



[アクティビティ] パネルの監査人のアクティビティと作業メモ



14. [計画承認を要求] をクリックします。

タスクの結果

承認を要求したシナリオ分析は、アプリケーション UI の [シナリオ分析] リストビューに表示されます。

シナリオ分析フォーム

シナリオ分析フォームを使用して、シナリオの詳細を追加します。たとえば、計画承認者、結果承認者、およびシナリオ分析の期間を追加できます。

シナリオ分析フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

シナリオ分析フォーム

フィールド	説明
名前	シナリオ分析の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

シナリオ分析フォーム (続く)

フィールド	説明
説明	シナリオ分析の説明。
番号	シナリオ分析の番号。シナリオ分析を作成すると、アプリケーションによってシナリオ分析レコードが作成され、一意の識別番号が割り当てられます。このフィールドは自動入力されます。
所有者	シナリオ分析のオーナー。このフィールドは自動入力されます。
有効	シナリオ分析をアクティブとしてマークするオプション。
ステータス	シナリオ分析のステータス。このフィールドは自動入力されます。
計画承認者	シナリオ分析の計画承認者。ユーザーレコードのフィールドの詳細については、「ユーザーレコードフォームリファレンス」を参照してください。
結果承認者	シナリオ分析の結果承認者。ユーザーレコードのフィールドの詳細については、「ユーザーレコードフォームリファレンス」を参照してください。
実開始日	シナリオ分析の実際の開始日。
実終了日	シナリオ分析の実際の終了日。このフィールドは自動入力されます。
実際の期間	シナリオ分析の実際の期間。このフィールドは自動入力されます。
サマリー	
サービスの数	シナリオ分析に関連付けられたサービスの数
影響許容度内のサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度内のサービスの数
影響許容度を超えているサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度を超えているサービスの数
シナリオの数	分析に関連付けられたシナリオの数
完了したシナリオの数	分析に関連付けられ、完了しているシナリオの数
イベント数	分析に関連付けられたイベントの数
完了したイベントの数	分析に関連付けられ、完了したイベントの数
中断期間	最後のイベントの終了時間と最初のイベントの開始時間の間の期間
重複のあるイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含む、すべてのイベント期間のサマリー。
重複のないイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含まない、すべてのイベント期間のサマリー。
アクティビティジャーナル	
作業メモ	レコードに関連付けられたアクティビティの作業メモ。
追加コメント (顧客に表示)	顧客と共有できるその他のコメント。
関連リスト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析フォーム (続く)

フィールド	説明
サービス	シナリオ分析に関連付けられたサービス
参加者	シナリオ分析に関連付けられた参加者。
シナリオイベント	シナリオ分析に関連付けられているシナリオイベント。シナリオ分析イベントレコードで、sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーが次の詳細を更新します。 • [影響度] パネル ○ 開始見込日時：ユーザーがイベントの作業を開始する日時。 ○ 終了見込日時：ユーザーがイベントの作業を終了する日時。 ○ 期間：イベントの計算された期間。 • [メモ] パネル ○ 観察事象：シナリオイベントに関する観察事象。 ○ ギャップ：シナリオイベントに関するギャップまたは不足している情報。 ○ 推奨事項：シナリオイベントに関する推奨事項。
承認者	シナリオ分析に関連付けられている承認者。

ユーザーの新規レコードフォーム

ユーザーレコードフォームリファレンス

フィールド	説明
ユーザー ID	承認者のユーザー ID。
名	承認者の名。
姓	承認者の姓。
タイトル	承認者の役職。
部門	承認者の部門。
メール	承認者のメールアドレス。
言語	承認者の言語。利用可能なオプションは次のとおりです。 • なし • 英語
カレンダー同期	承認者のカレンダーの統合。利用可能なオプションは次のとおりです。 • なし • Outlook
タイムゾーン	承認者のタイムゾーン。利用可能なオプションは次のとおりです。 • システム (アメリカ/ロサンゼルス) • カナダ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーレコードフォームリファレンス (続く)

フィールド	説明
	• 欧州 • GMT • 香港 • US
日付形式	メールメッセージの日付形式。利用可能なオプションは次のとおりです。 • MM-dd-yyyy • dd/MM/yyyy • dd-MM-yyyy • dd.MM.yyyy • yyyy-MM-dd
パスワードのリセットを強制	パスワードのリセットを有効にするオプション。ユーザーのパスワードを設定するには、レコードを保存してから [パスワードを設定] をクリックします。
ロックアウト	ユーザーアカウントがロックアウトされているかどうかをマークするオプション。
有効	ユーザーアカウントをアクティブとしてマークするオプション。
電話 (勤務先)	承認者の勤務先電話番号。
携帯	承認者の携帯電話番号。
写真	ユーザーの写真を追加するオプション。
Web サービスへのアクセスのみ	ユーザーが Web サービスにのみアクセスできるかどうかをマークするオプション。
内部統合ユーザー	ユーザーが内部統合ユーザーであるかどうかをマークするオプション。
マルチファクター認証を有効にする	アカウントのマルチファクター認証を有効にするオプション。
関連リンク	
リンク済みアカウントを表示	承認者のリンクされたアカウントを表示するためのリンク。
サブスクリプションを表示	承認者のサブスクリプションを表示するためのリンク。

シナリオ分析を承認するためのメール通知の確認

Operational Resilience アプリケーションの管理者としてシナリオ分析を承認できるように、メール通知を確認します。メール通知は、自動ワークフローの一部として設定されます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

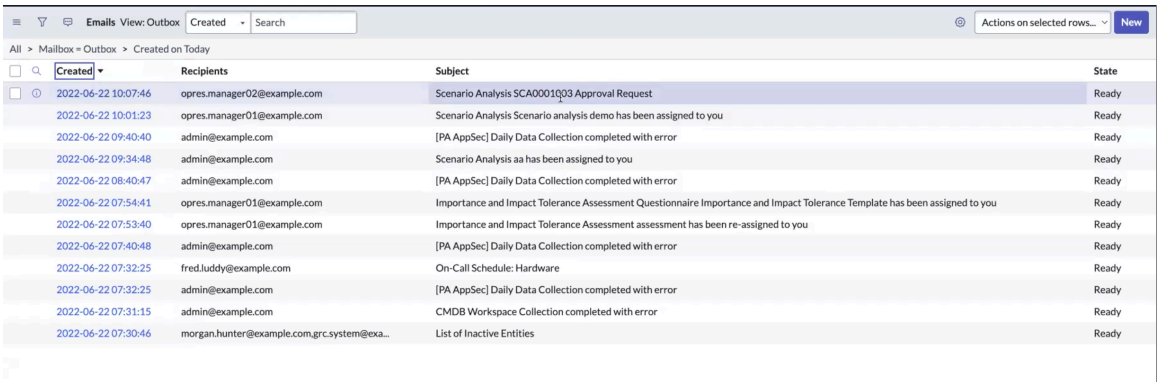
このタスクについて
分析オーナーがシナリオ分析の計画承認を要求すると、管理者がシナリオ分析を承認または却下するためのメール通知を受信します。アプリケーションの管理者は、シナリオ分析を承認または却下できます。このタスクはオプションです。

手順

1. 移動先 すべて > 送信箱.

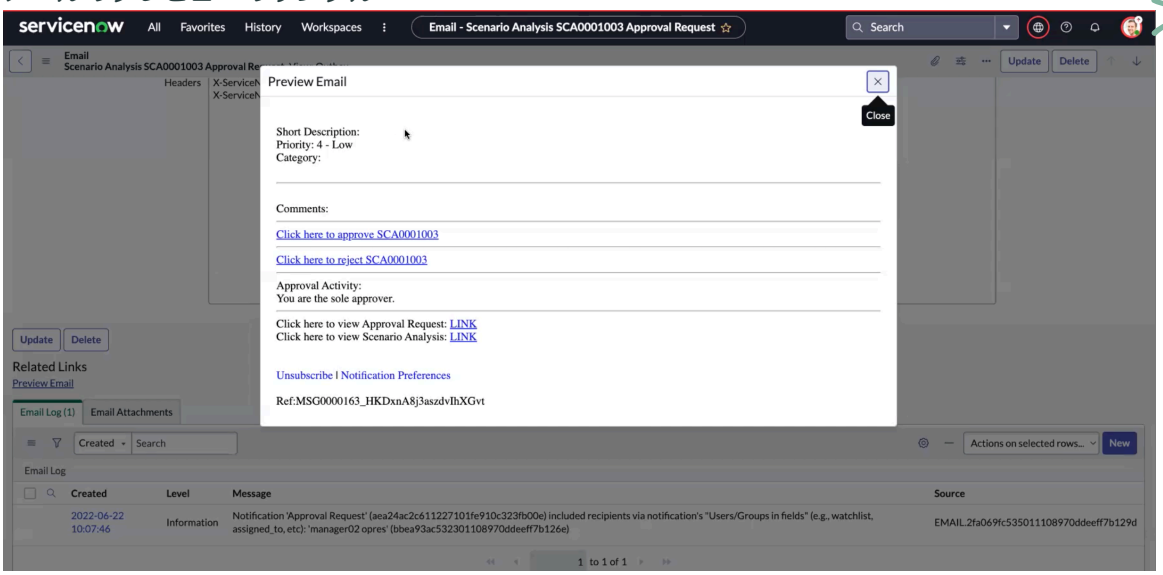
2. シナリオ分析のために受信したメール通知を見つけます。
次の例に示すように、通知リストが表示されます。

サンプル通知リスト



3. メール通知をクリックし、[メールをプレビュー] をクリックします。
次の例に示すように、メールのプレビューが表示されます。

メールのプレビューのサンプル



4. [承認] をクリックします。
Operational Resilience アプリケーションの管理者は、シナリオ分析を承認できます。

シナリオ分析のクローズ

Operational Resilience アプリケーションでサービスのシナリオ分析を実行する最後のステップとして、シナリオイベントのステータスを更新し、承認を要求して、シナリオ分析をクローズします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

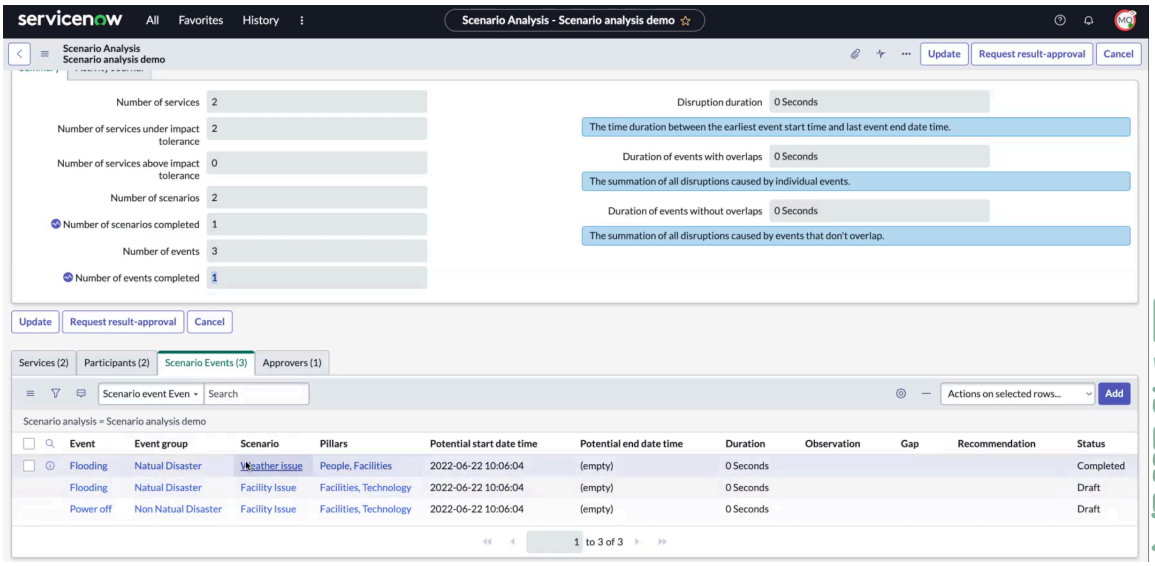
始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて
sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、そのオーナーとしてシナリオ分析を承認してクローズできます。

手順

1. シナリオ分析を承認するには、sn_oper_res.manager ロールを使用して計画承認者としてログインし、[承認] をクリックします。
2. [シナリオイベント] 関連リストでシナリオイベントのステータスを [完了] として更新するには、シナリオ分析のオーナーとしてログインします。
   [シナリオイベント] 関連リストのサンプル構成を次の例に示します。

シナリオイベントを完了としてマーク

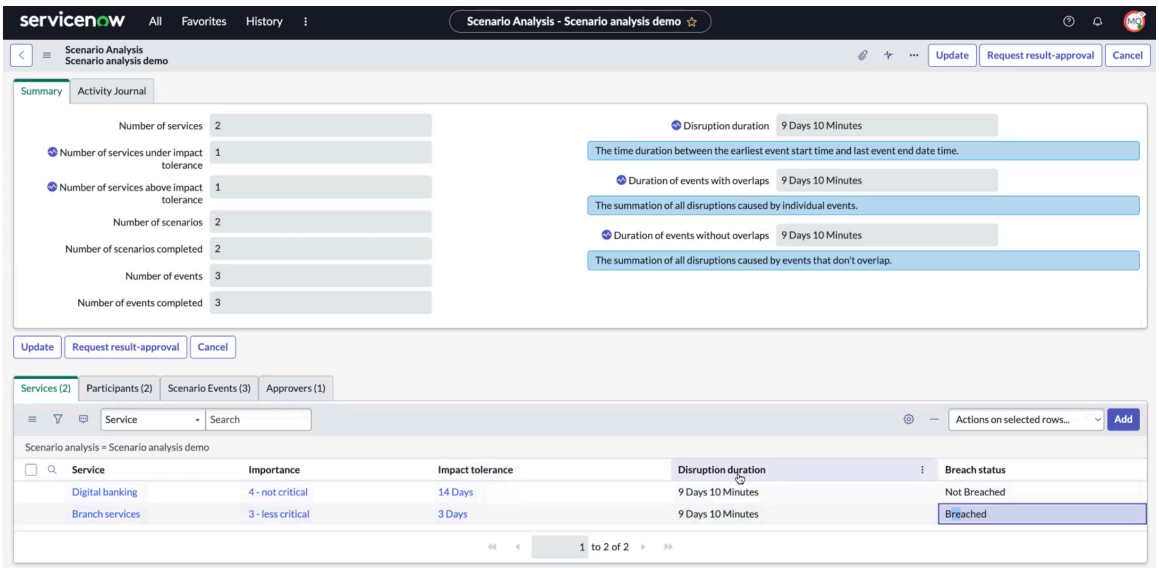


注:
結果の承認を要求する前に、すべてのシナリオイベントを [完了] としてマークする必要があります。

3. サービスの中断を計算し、サービスが違反したかどうかを判断します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスの中断

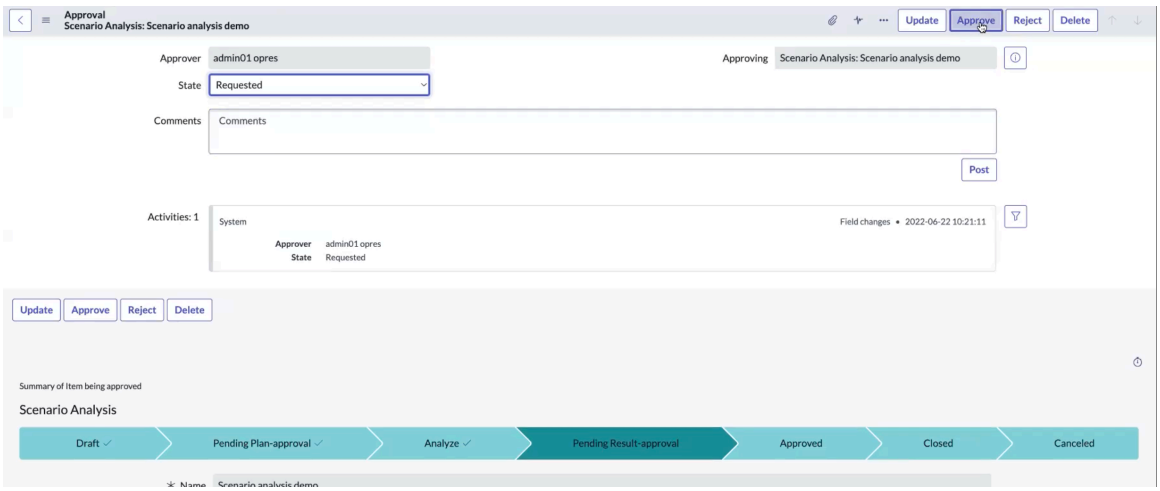


4. シナリオ分析を要求または承認するには、シナリオ分析の所有者としてログインし、[結果承認を要求] をクリックします。

   注:
   シナリオ分析のオーナーは、結果の承認を要求する前に、サービス、参加者、およびシナリオイベントを更新できます。結果承認を要求した後、シナリオ分析フォームはロックされます。

5. シナリオ分析レコードを承認するには、シナリオ分析の承認者として sn_oper_res.manager ロールを使用してログインし、[自分の承認] に移動してシナリオ分析レコードを開き、[承認] をクリックします。
   次の例に示すように、シナリオ分析を承認します。

   シナリオ分析計画の承認



   シナリオ分析を [承認済み] ステータスに移行しました。

6. シナリオ分析レコードをクローズするには、シナリオ分析の承認者としてログインし、リストビューでシナリオ分析レコードに移動して、[クローズ] をクリックします。
   シナリオ分析を [クローズ済み] ステータスに移行しました。シナリオ分析フォームがロックされ、シナリオ分析ワークフローが完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

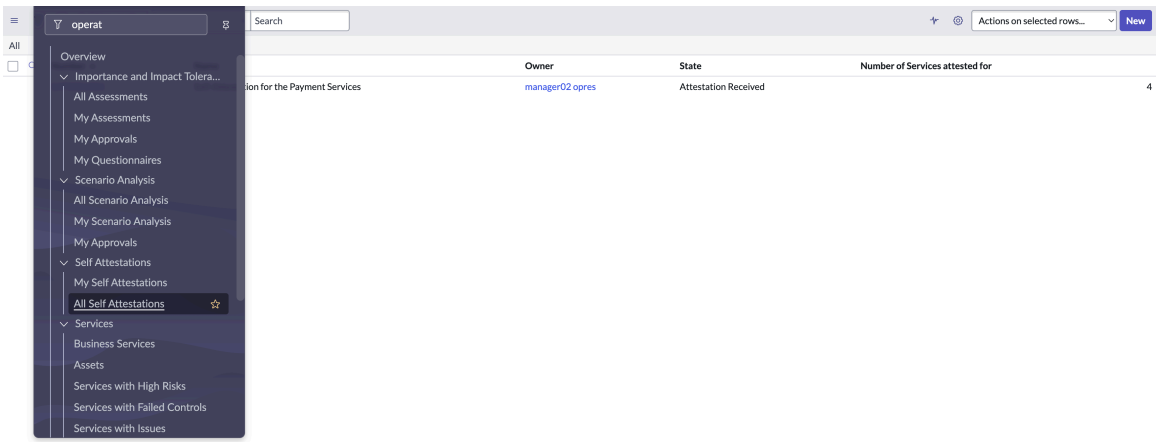
ビジネスサービスのステータスの自己証明

Operational Resilience アプリケーションでビジネスサービスのステータスを自己証明できます。サービスを選択し、事前定義された一連の質問に回答することで、自己アセスメントを完了し、サービスの運用レジリエンスステータスを認定できます。署名し、自己証明書レポートを生成し、PDF をアップロードしてレポートのコピーを保持できます。

自己証明書の表示

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書 次の例に示すように、アプリケーション UI のモジュールに追加します。

自己証明書モジュール



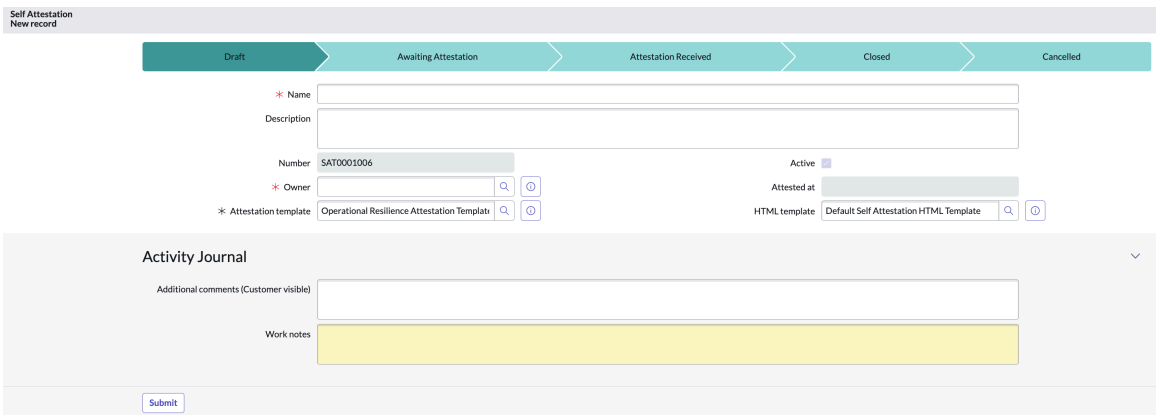
証明書を証明して送信する対象の複数のサービスを選択できます。ビジネスサービスのステータスを証明するには、以下にリストされている次の証明書モジュールを使用します。 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書:

- 自分の自己証明書：自分に割り当てられた自己証明書を管理します。
- すべての自己証明書：システムでサービスに利用可能なすべての自己証明書を管理および表示します。

自己証明書テンプレートの使用

Operational Resilience アプリケーションで提供されている自己証明書テンプレートを使用して、次の例に示すように自己証明書レコードを作成できます。

自己証明書レコード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

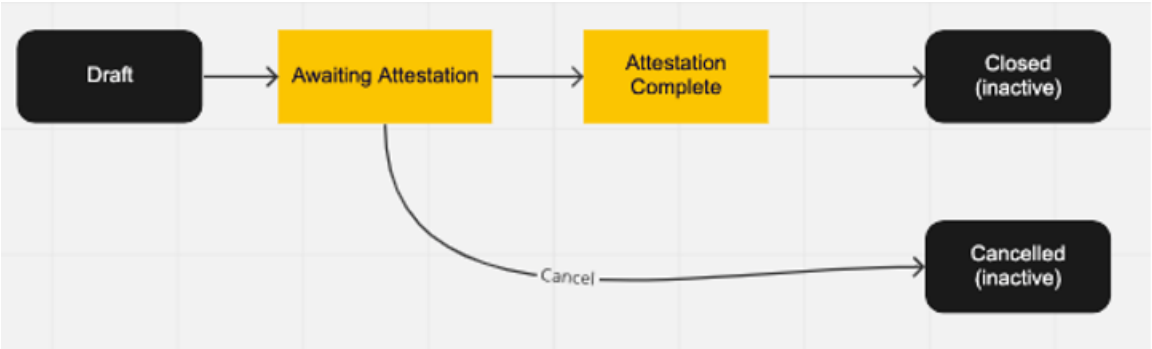
ワークフローと自己証明書のステータス

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、このワークフローで次のタスクを実行できます。

- 自己証明書を開始して、1 つ以上のビジネスサービスを証明します。
- アセスメントが行われる証明書テンプレートを選択します。
- 自己証明書フォームで、サービス名や説明などのサービスに関する詳細を入力します。レコード内の関連リストから証明するビジネスサービスを追加することもできます。
- 自己証明書のためにサービスを送信します。このアクションでは、証明書テンプレートからの質問を持つユーザーのアセスメントインスタンスを作成します。
- アセスメントを完了した後で、証明書を PDF にエクスポートします。自己証明書レコードで提供される HTML テンプレートを使用する必要があります。HTML テンプレートは、PDF の形式と署名を含めるオプションを提供します。
- 必要な場合は、ベースシステムで提供されるデフォルトの証明書テンプレートを使用する代わりに、証明書テンプレートを定義できます。

自己証明書タスクを完了すると、次の例に示すように、Operational Resilience アプリケーションで自己証明書のステータスが自動的に更新されます。

自己証明書プロセス



自己証明書プロセスのステータスについて、次の表で説明します。

自己証明書プロセスに関連付けられているステータス

ステータス	説明
ドラフト	sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーが自己証明書レコードを送信します。レコードは、デフォルトで [ドラフト] ステータスで作成されます。
証明書待ち	sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーは、証明書テンプレートを選択し、ビジネスサービスを自己証明書レコードに関連付けます。 アプリケーションは、自動的にアセスメントのインスタンスを作成します。このアクションにより、自己証明書レコードのステータスが [証明書待ち] に移行します。UI の [アセスメントのイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自己証明書プロセスに関連付けられているステータス (続く)

ステータス	説明
	ンスタンス] 関連リストにアセスメントのインスタンスが表示されます。
証明書を受信済み	自己証明書のオーナーは、証明書テンプレートのさまざまな質問に対する回答を入力し、回答を送信します。自己証明書のステータスが自動的に [証明書を受信済み] に更新されます。
クローズ済み	自己証明書レコードのオーナーは、アンケートの回答を PDF にエクスポートし、ドキュメントに署名します。自己証明書のステータスが [クローズ済み] に更新されます。
キャンセル	自己証明書に無効なデータまたは誤ったデータが含まれている場合、sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーは自己証明書をキャンセルできます。自己証明書のステータスが [キャンセル済み] に更新されます。

参照情報

自己証明書レコードの送信の詳細については、「自己証明書レコードの作成」を参照してください。

自己証明書フォームに表示されるフィールド値の説明については、「自己証明書の新規レコードフォーム」を参照してください。

オプションのタスクとして、ベースシステムで提供されるデフォルトの証明書テンプレートを使用する代わりに、証明書テンプレートを作成できます。証明書テンプレートの作成については「証明書テンプレートの作成と編集」を参照してください。

自己証明書レコードの作成

Operational Resilience アプリケーションでビジネスサービスの自己証明書レコードを作成します。ベースシステムで提供される証明書テンプレートを使用して、自己証明書レコードを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書 > 自分の自己証明書.
2. [新規] をクリックします。
3. 自己証明書の新規レコードフォームで、自己証明書を提供する対象の名前を入力します。
4. [オーナー] フィールドで、自己証明書のオーナーをアサインします。
5. [証明書テンプレート] フィールドで、**[Operational Resilience** 証明書のテンプレート] を選択します。

   証明書テンプレートには、アセスメント用に事前定義された質問が含まれています。Operational Resilience はベースシステムの一部として証明書テンプレートを提供します。sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、独自のビジネスニーズに合わせてデフォルトの証明書テンプレートをカスタマイズできます。証明書テンプレートの作成はオプションです。カスタマイズされた証明書テンプレートの作成については「自己証明書レコードの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. **[HTML テンプレート]** フィールドで、[デフォルトの自己証明書 **HTML** テンプレート **(Default Self Attestation HTML Template)]** を選択します。
   HTML テンプレートは、PDF の形式と証明書に署名を含めるオプションを提供します。
7. [送信] をクリックします。
   フォームのフィールド値の説明については、「自己証明書の新規レコードフォーム」を参照してください。

タスクの結果
自己証明書レコードは、 [自分の自己証明書] の下の [自己証明書] リストに表示されます。

自己証明書の新規レコードフォーム

sn_oper_res.manager ロールを持つユーザーの場合は、自己証明書の新規レコードフォームを使用して、ビジネスサービスの自己証明書を送信します。

自己証明書の新規レコードフォーム
フォームのフィールド値の説明については、次の表を参照してください。

自己証明書の新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	自己証明書レコードの一意の名前。
説明	自己証明書レコードに関する有用な情報。
番号	自己証明書レコードの番号。このフィールドは自動入力されます。
所有者	UI に表示される自己証明書レコードのラベル。
証明書テンプレート	ベースシステムで提供され、自己証明書の作成に使用される証明書テンプレート。
有効	自己証明書レコードをアクティブとしてマークするオプション。
証明日時	証明書が認定されている場所。このフィールドは自動入力されます。
HTML テンプレート	証明書をエクスポートするためにベースシステムで提供されるデフォルトの自己証明書 HTML テンプレート。テンプレートには、事前定義された形式、回答の詳細、および自己証明書レポートで証明されたサービスが含まれています。
アクティビティジャーナル	自己証明書の追加のコメントと作業メモ。

自己証明書レコードの送信

Operational Resilience アプリケーションで関連するビジネスサービスに関連付けた自己証明書レコードをその後に送信します。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

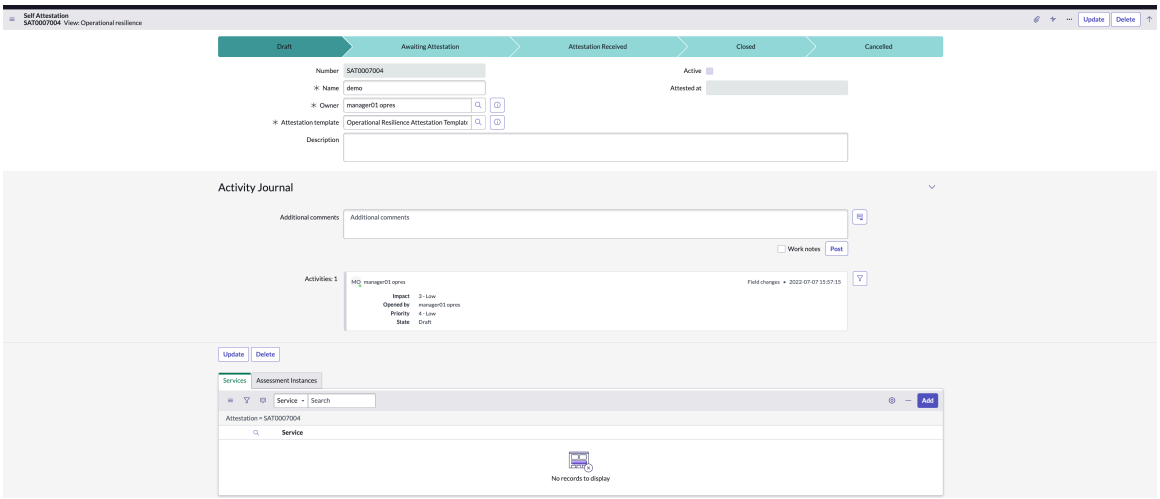
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書 > 自分の自己証明書 をクリックし、作業している自己証明書レコードを選択します。
   次の例に示すように自己証明書レコードに [サービス] 関連リストが表示されます。

自己証明書レコード



2. [サービス] 関連リストで、[追加] をクリックします。
   関連するビジネスサービスを自己証明書に関連付けます。

   注:
   [サービス] 関連リストの重要なサービスのみを追加できます。

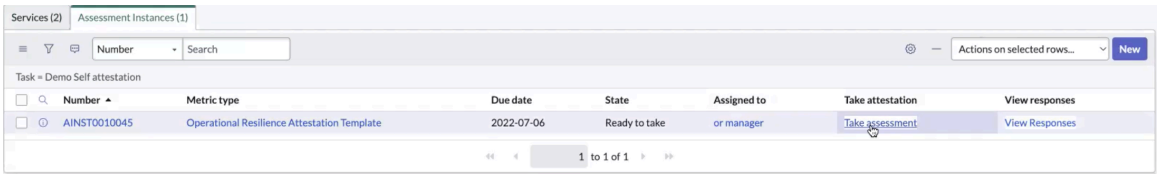
3. 自己証明書レコードに関連付けるサービスを選択し、[関係を作成] をクリックします。
   次の例に示すように、自己証明書に関連付けられているサービスが [サービス] 関連リストに表示されます。

自己証明書に関連付けられているサービス



4. 自己証明書レコードで、[自己証明書のために送信] をクリックします。
   自己証明書のために選択したサービスを送信すると、アセスメントのインスタンスが作成されます。次の例に示すように、このインスタンスは [アセスメントのインスタンス] 関連リストに表示されます。

自己証明書に関連付けられているアセスメントのインスタンス



   このアクションにより、自己証明書のステータスが [証明書待ち] に移行します。

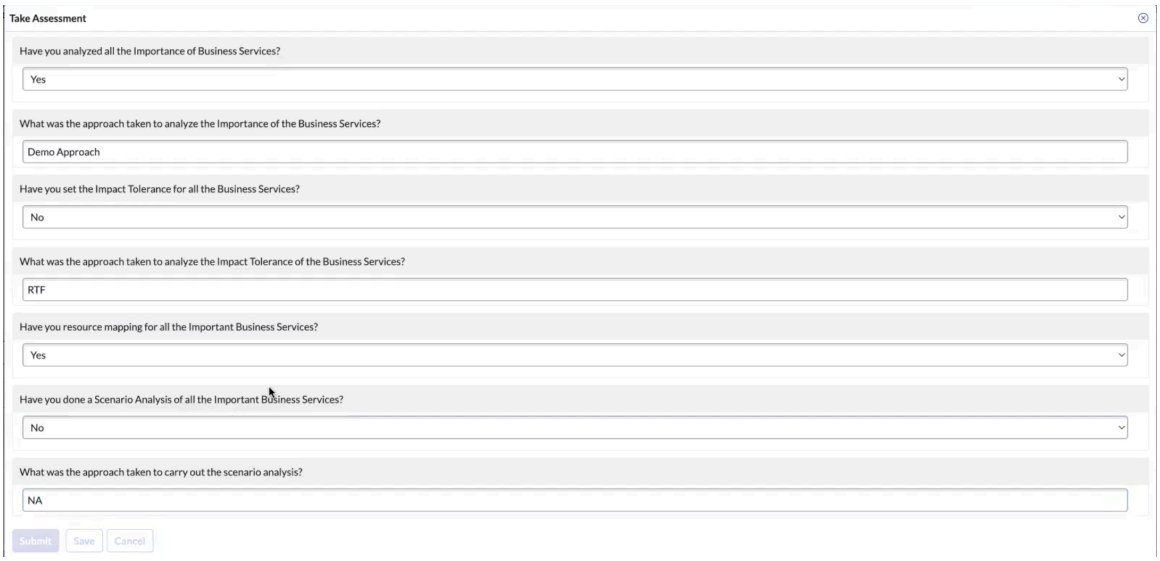
5. 自己証明書レコードで、[アセスメントのインスタンス] 関連リストのアセスメントのインスタンスをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

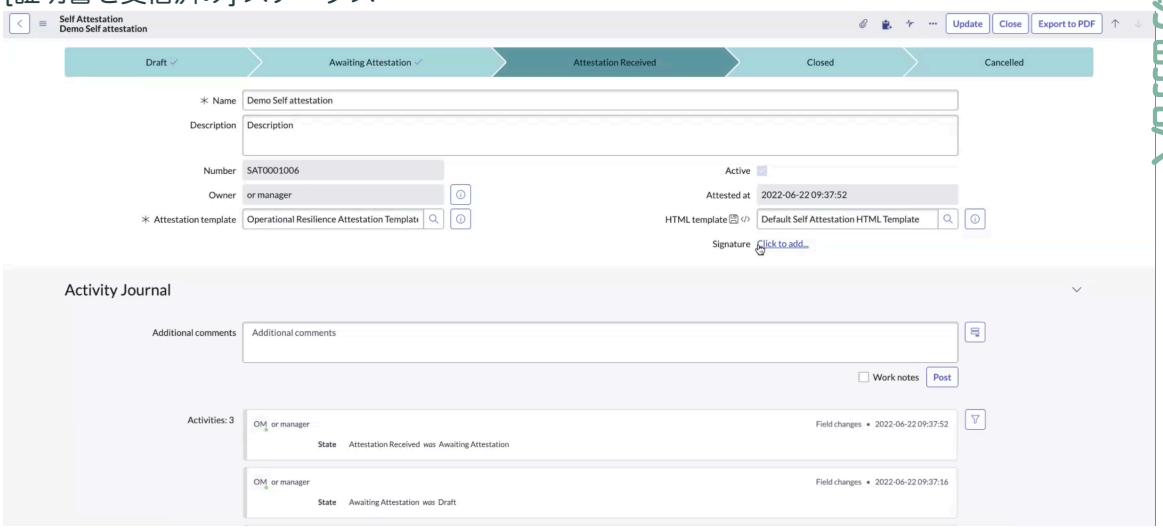
6. [アセスメントを実施] をクリックします。
7. アセスメントアンケートの質問に回答します。
   次の例のように質問に回答してください。

サンプルアセスメント



8. [送信] をクリックします。
   次の例に示すように、自己証明書のステータスが [証明書を受信済み] に更新されました。

[証明書を受信済み] ステータス



自己証明書を **PDF** にエクスポート

Operational Resilience アプリケーションで自己証明書を PDF にエクスポートして、自己証明書レポートを生成できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

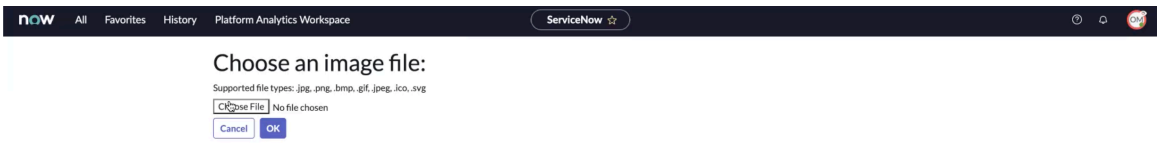
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

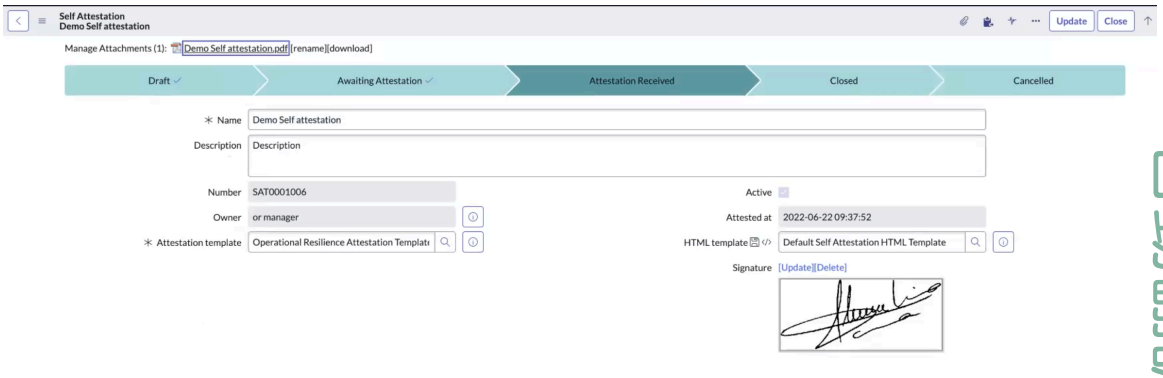
1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書 > 自分の自己証明書 をクリックし、自己証明書 PDF がレコードに添付されている自己証明書レコードを開きます。
2. [署名] フィールドで [クリックして追加] を選択します。
3. [ファイルを選択] をクリックし、**[OK]** をクリックします。
   次の例に示すように、自己証明書の署名をアップロードできます。

署名をアップロード



4. **[PDF** にエクスポート] をクリックします。
   これで、関連するビジネスサービスに関する情報を含む自己証明書 PDF がエクスポートされました。次の例に示すように自己証明書レコードに PDF が表示されます。

自己証明書 **PDF**



5. 自己証明 PDF をダウンロードするには、自己証明書フォームの **[PDF]** リンクをクリックします。
   自己証明 PDF には、名前、説明、テンプレート、質問、および質問に対する回答が表示されます。また、サービスのリストと、サービスの名前、オーナー、重要度、影響許容度、およびシナリオ分析も表示されます。
6. [クローズ] をクリックします。
   これで、自己証明書が [クローズ済み] ステータスに移行しました。自己証明書ワークフローが完了しました。

自己証明書レコードのキャンセル

Operational Resilience アプリケーションの自己証明書レコードフォームで、無効なまたは誤った自己証明書レコードをキャンセルします。このようにして、有効でなくなったレコードを削除し、自己証明書レコードのエラーを修正できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

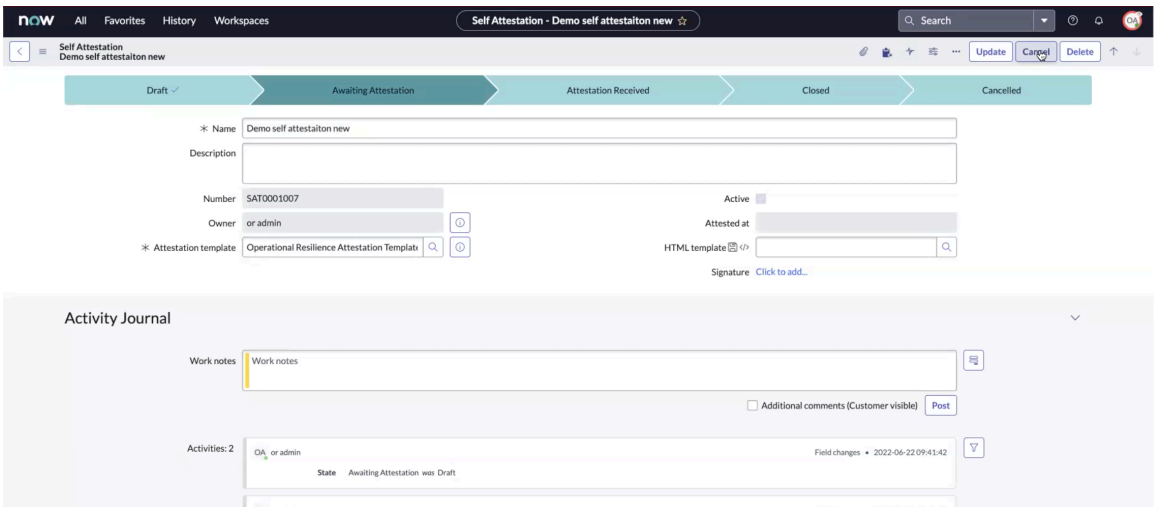
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 自己証明書 > 自分の自己証明書.
2. [自己証明書] リストからキャンセルする証明書を選択し、[キャンセル] をクリックします。
   証明書に間違ったテンプレートや誤った詳細が含まれており、次の例に示すようにキャンセルしなければならない場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自己証明書のキャンセル



自己証明書をキャンセルし、[自己証明書] リストから削除しました。

Operational Resilience ワークスペース の機能のセットアップ

GRC バージョン 16.x.x 以降、GRC: Operational Resilience アプリケーションに新しいワークスペースが導入されています。Operational Resilience ワークスペース を使用して、レジリエンスタスクを管理し、単一のダッシュボードからレジリエンス測定基準を監視できます。

Operational Resilience ワークスペース の概要

Operational Resilience ワークスペース は、改善されたユーザーエクスペリエンス (UX) と簡素化されたユーザージャーニーの一元化されたビューを提供します。Operational Resilience ワークスペース の特長は次のとおりです。

- インタラクティブなフォームを使用して、レジリエンスタスクを設定します。
- レジリエンス測定基準をダッシュボードで可視化します。
- GRC アプリケーションから、サービスフォームの関連タブでリスク、コントロール、および問題を追跡します。
- ビジネスサービスのインシデント、機能停止、脆弱性、および変更要求を修正します。

レジリエンス測定基準のデータ視覚化コンポーネントは、次のページで表示できます。

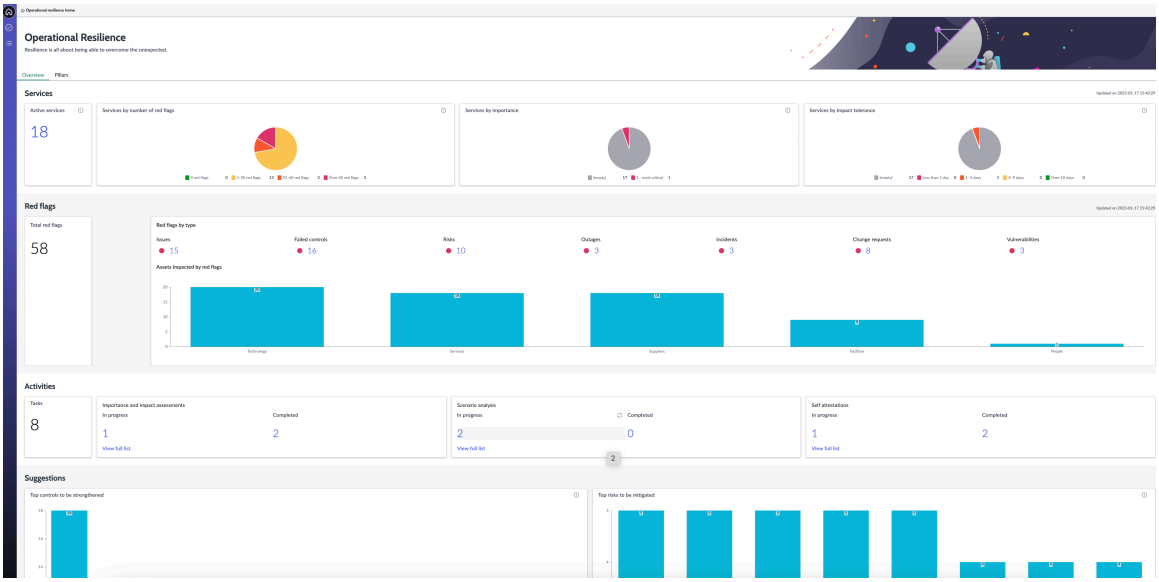
- ホームページ：ホームページでは、サービスのステータスとピラーがダッシュボードに表示されます。
- [タスク] ページ：[タスク] ページでは、個々のタスクとチームのタスクがダッシュボードに表示されます。
- [リスト] ページ：[リスト] ページには、重要性および影響許容度アセスメントやシナリオ分析などの構成可能なレジリエンスタスクがリスト形式で表示されます。

次の例では、ホームページ、[タスク] ページ、および [リスト] ページが表示されています。

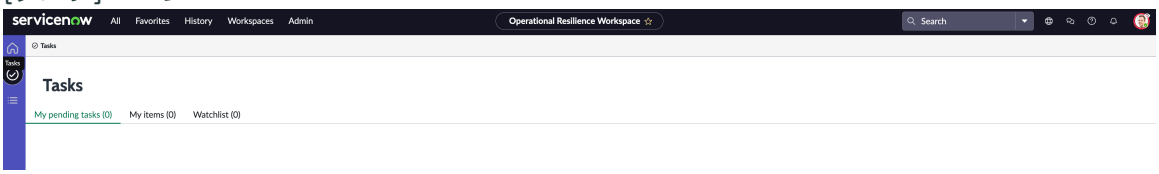
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

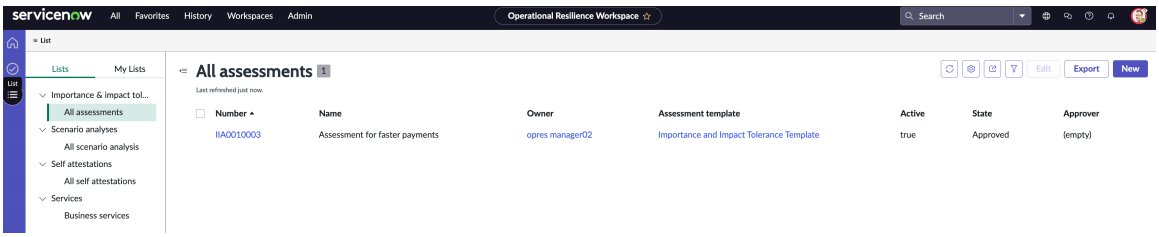
ホームページへ。



[タスク] ページ



リスト ページ



自動翻訳

Operational Resilience ワークスペース にアクセスするために必要なロール

Operational Resilience ワークスペース には次のユーザーロールでアクセスできます。

- Operational Resilience 管理者 [sn_oper_res.admin]
- Operational Resilience マネージャー [sn_oper_res.manager]
- Operational Resilience ユーザー [sn_oper_res.user]

注:
管理タスクの詳細については、「管理タスクのセットアップ」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース の構成可能な機能

Operational Resilience ワークスペース で次の Operational Resilience 機能を構成できます。

- 重要性および影響許容度アセスメント
- シナリオ分析
- 自己証明
- ビジネスサービス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Operational Resilience アプリケーションのユーザーは、UI メッセージとタブを移動して Operational Resilience ワークスペース のエクスペリエンスをカスタマイズできます。タブを追加、削除、または順序変更すると、Operational Resilience アプリケーション UI でナビゲーションエラーが発生する可能性があります。

ホームページの探索

Operational Resilience ワークスペース のホームページでは、組織内のサービスとピラーのステータスを 1 つのペインで表示できます。運用ステータス、完了したアクティビティ、危険フラグ、測定基準を改善するための提案など、サービスのレジリエンス測定基準を表示できます。

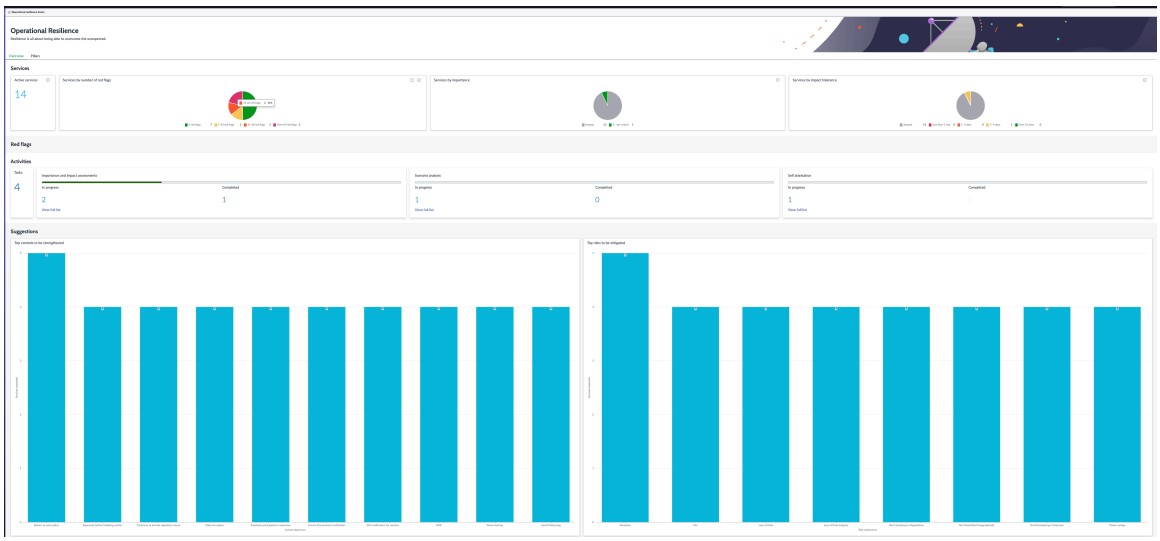
ホームページのタブ

Operational Resilience ワークスペース のホームページには、次の情報が表示されます。

- [概要] タブ：組織内のサービスのステータスの概要を表示します。
- [ピラー **(Pillars)**] タブ：組織内のピラーのステータスと測定基準を表示します。

次の例は、ホームページのサービスのレジリエンス測定基準を示しています。

ホームページのレジリエンス測定基準



[概要] タブ

ホームページの [概要] タブで、次のセクションのサービスのサマリーを確認できます。

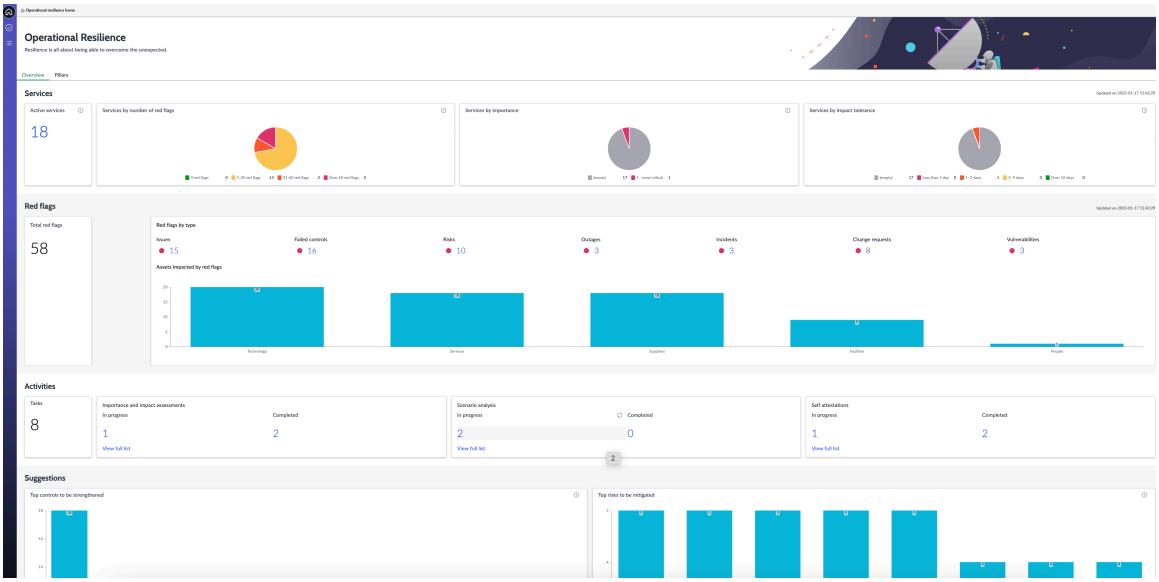
- サービス
- 危険フラグ
- アクティビティ
- 提案

サンプルの [概要] タブを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ホームページの [概要] タブ



注:

管理者は、次の場所に移動できます。 すべてのプロパティ>システムプロパティ インスタンスで、[危険フラグ] セクションのプロパティを設定します *sn_oper_res.red_flags_exclusion* 。*sn_opres_service_process_pillar.list* テーブルの子テーブルを構成できますが、これは [危険フラグ] セクションの一部と見なされません。

デフォルトでは、サービスタスク、事業継続性管理 計画 (危機イベント)、および依存関係 (資産) は、[危険フラグ] セクションの表示リストから除外されます。

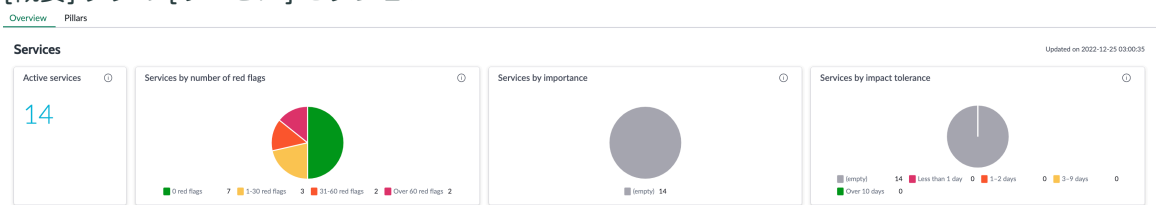
[サービス] セクション

[概要] タブの [サービス] セクションで、サービスの次の詳細を確認できます。

- アクティブなサービス
- 危険フラグ数別のサービス
- 重要性別サービス
- 影響許容度別のサービス

サンプルの [サービス] セクションを次の例に示します。

[概要] タブの [サービス] セクション



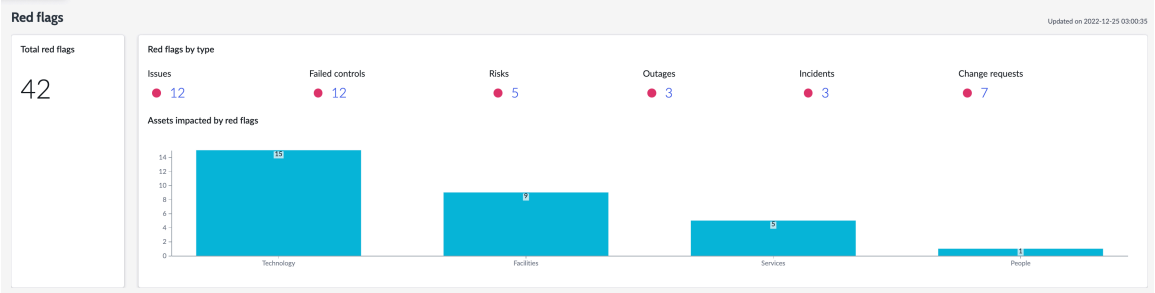
[危険フラグ] セクション

[概要] タブの [危険フラグ] セクションでは、次の例に示すように、アラートのフラグが付けられたサービスを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブの [危険フラグ] セクション



サービスの危険フラグについて、次のサンプルの詳細を表示できます。

- 危険フラグの合計：サービスに適用される危険フラグの合計数を表示できます。
- タイプ別の赤フラグ：次のタイプ別に分類されたサービスの危険フラグを表示できます。
  - 問題
  - 失敗したコントロール
  - リスク
  - 機能停止
  - インシデント
  - 変更要求
- 危険フラグの影響を受ける資産：危険フラグによって影響を受ける技術や施設などの資産を表示できます。

さまざまなユーザーロールのレポートの表示

プロフェッショナルユーザーとプロフェッショナルIRMユーザーのホームページBCMにはOperational Resilience ワークスペース、別々のレポートが表示されます。

レポートにアクセスするためのロールの拡張

でインストールされるOperational Resilienceロールには、Professional ユーザーと Professional IRM ユーザーの関係BCMが含まれるようになりました。

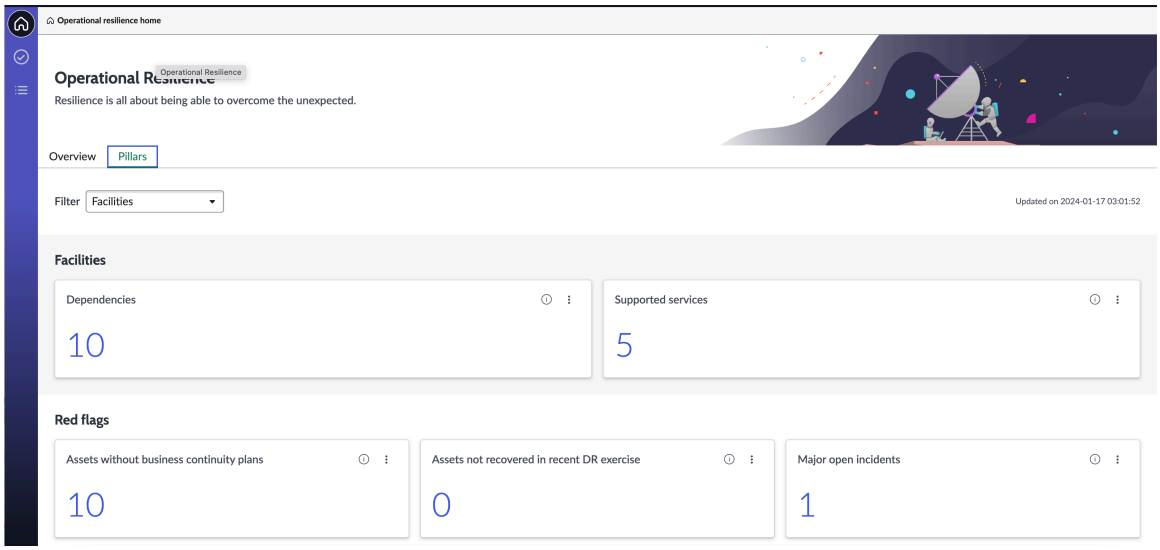
システム管理者、マネージャー、およびOperational Resilienceユーザーは、Operational Resilienceホームページ内のアプリケーションからBCMIRMすべてのレポートにアクセスできます。

次のロールを持つユーザーは、例に示すように、 BCM のレポート Operational Resilience ワークスペース にアクセスできます。

- sn_oper_res.bcm_opres_admin
- sn_oper_res.bcm_opres_manager
- sn_oper_res.bcm_opres_user

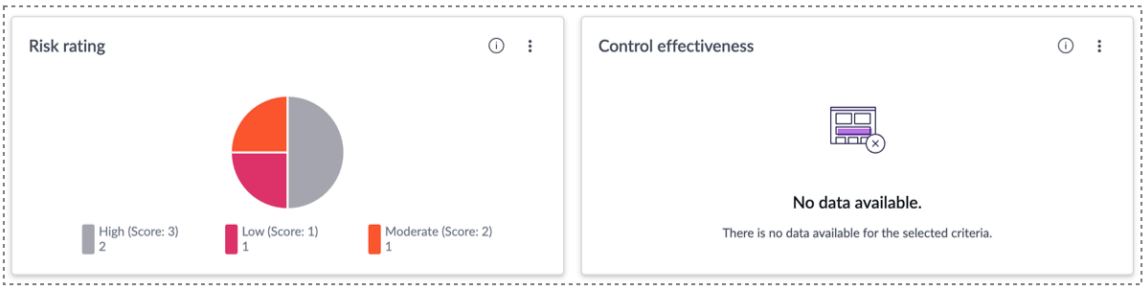
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のロールを持つユーザーは、例に示すように、 IRM のレポート Operational Resilience ワークスペース にアクセスできます。

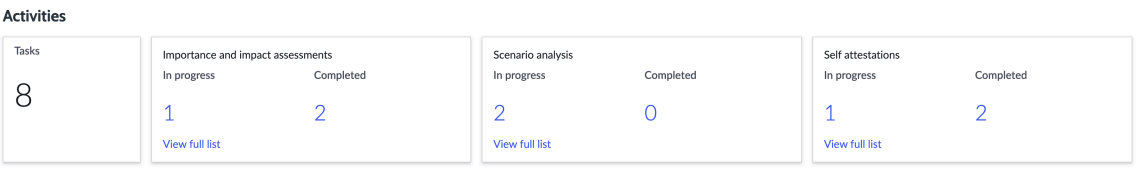
- sn_oper_res.irm_opres_admin
- sn_oper_res.irm_opres_manager
- sn_oper_res.irm_opres_user



[アクティビティ] セクション

[概要] タブの [アクティビティ] セクションでは、ビジネスサービスに関連付けられている Operational Resilience タスクのステータスを表示できます。次の例に示すように、アセスメントまたはシナリオ分析の進行中のタスクと完了したタスクを表示できます。

[概要] タブの [アクティビティ] セクション



[概要] タブの [アクティビティ] セクションでは、ビジネスサービスに関連付けられている次のサンプルタスクを表示できます。

- タスクの合計数
- 重要性および影響度アセスメント
- シナリオ分析
- 自己証明

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[提案] セクション

[概要] タブの [提案] セクションでは、影響を受けるサービスでより良いレジリエンス測定基準を達成するためのシステムで生成された提案を表示できます。

次の例のコントロール目標のグラフは、影響を受けるサービスの上位のコントロールを強化する方法を示しています。リスクステートメントのグラフは、影響を受けるサービスの上位リスクを軽減する方法を示しています。

[概要] タブの [提案] セクション



サービスに関連付けられたピラー

ピラーは、組織のオペレーショナルレジリエンスに貢献する基盤ブロックです。ビジネスサービスとプロセスを Operational Resilience アプリケーションでピラーにマッピングして、これらのエンティティ間の関係を確立し、それらのステータスをダッシュボードで監視することができます。

Operational Resilience アプリケーションは、ベースシステムの一部として次のようなピラーを提供します。

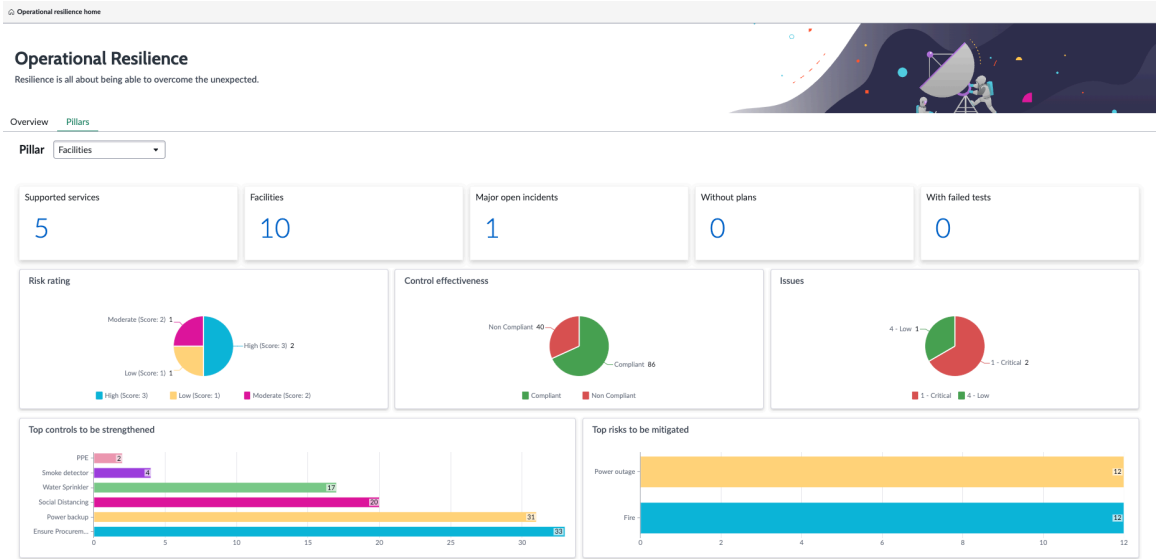
- 施設
- 人々
- サプライヤー
- サービス
- プロセス
- テクノロジー

各ピラーのサービスのステータスを監視できます。[ピラー **(Pillars)]** タブには、各ピラーに関連付けられているデータが表示されます。次の例は、施設ピラーのサービスに関連付けられているコントロール、リスク、および問題を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピラーのサービスのステータス



GRC 製品スイートから 事業継続性管理 や 脆弱性対応 などのオプションのアプリケーションをインスタンスにインストールした場合、事業継続性計画および 脆弱性対応 レポートをダッシュボードで表示することもできます。

ピラーに関する詳細については、「Operational Resilience の詳細」を参照してください。

[タスク] ページと [リスト] ページの探索

Operational Resilience ワークスペース の [タスク] ページには、処理待ちのタスク、グループのタスク、およびウォッチリストにあるタスクが 1 つのペインに表示されます。ダッシュボードから直接タスクを更新することもできます。[リスト] ページでは、運用レジリエンスタスクを設定できます。

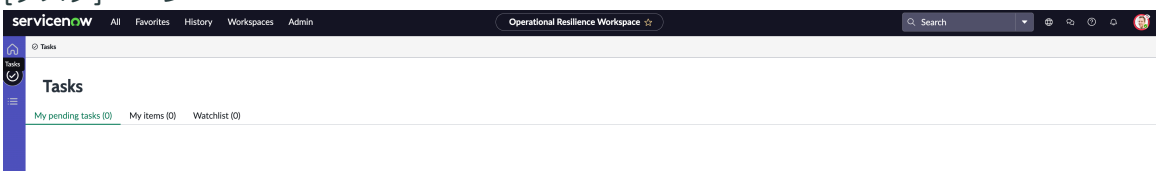
[タスク] ページのタブ

Operational Resilience ワークスペース の [タスク] ページには、次のタブが表示されます。

- 自分の処理待ちのタスク
- 自分のアイテム
- ウォッチリスト

次の例に、ログインしているユーザーの [タスク] ページのサンプルを示します。

[タスク] ページ



自分の処理待ちのタスク

[自分の処理待ちのタスク] タブには、自分にアサインされている処理待ちのタスクと、自分のアクションが必要なタスクの概要が表示されます。

注:
[タスク] ページに表示されるデータは、ユーザーのロールに基づいています。

自動翻訳

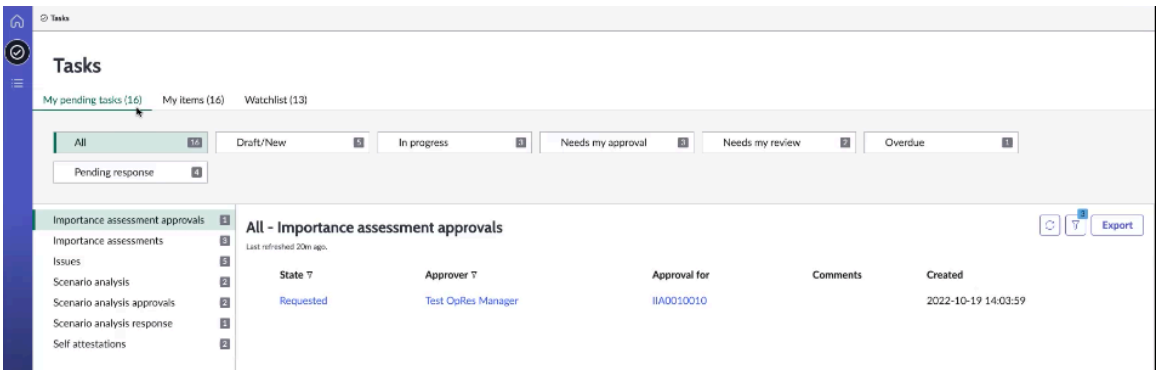
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[自分の処理待ちのタスク] タブには、さまざまなステータスの処理待ちのタスクが表示されます。次のタイプのステータスを使用して、処理待ちのタスクをフィルタリングできます。

- すべて
- ドラフト/新規
- 処理中
- 自分の承認が必要
- 自分のレビューが必要
- 期限切れ
- 応答処理待ち

次の例は、サインインしているユーザーの処理待ちのタスクを示しています。

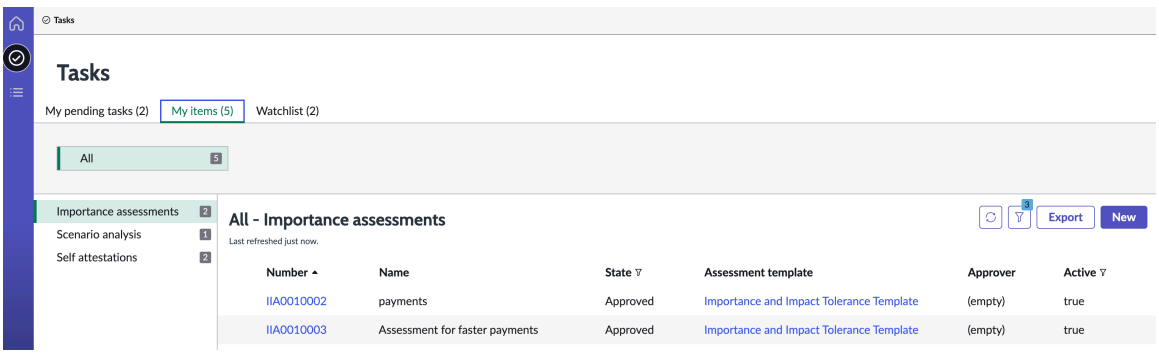
自分の処理待ちのタスク



自分のアイテム

[自分のアイテム] タブには、次の例に示すような Operational Resilience マネージャーなど、サインインしているユーザーに割り当てられたタスクのリストが表示されます。

自分のアイテム



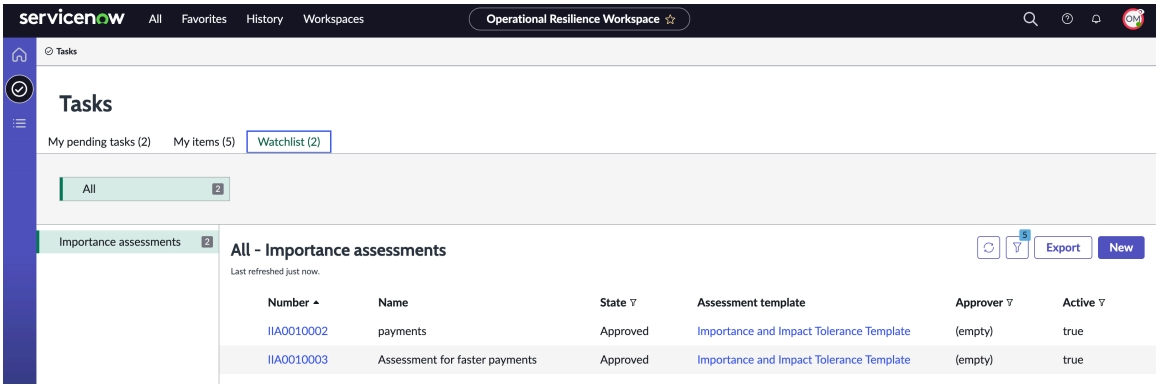
ウォッチリスト

[ウォッチリスト] タブには、ウォッチリストに含まれているタスクのリストが表示されます。タスクが承認または完了すると、タブに通知が表示されます。次の例は、サインインしているユーザーのウォッチリストに含まれているアセスメントタスクの更新を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自分のウォッチリスト



注:
[自分の処理待ちのタスク]、 [自分のアイテム]、および [ウォッチリスト] タブでは、進行中のレコードのみを表示できます。[自分の処理待ちのタスク]、 [自分のアイテム]、および [ウォッチリスト] タブには、クローズ済みおよびキャンセル済みのレコードは表示されません。Operational Resilience ワークスペース では、それぞれのフォームでクローズ済みレコードとキャンセル済みレコードを表示できます。

Operational Resilience 管理者ロールを持っている場合は、[タスク] ページの構成を更新して Operational Resilience ワークスペース をカスタマイズできます。[タスク] ページの構成を更新するには、次の場所に移動します。 すべての **> GRC** ランディングページ構成 **>** タスクページ構成 すぐに利用できます

Operational Resilience マネージャーまたは Operational Resilience ユーザーロールを持っている場合は、ホームページでレジリエンスタスクに関連する推奨事項を取得することもできます。

[タスク] ページの詳細情報を表示するには、「タスクページ設定レコードを更新する」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース の [リスト] ページ

[リスト] ページでは、ビジネスサービスの設定、その重要性および影響許容度の分析、シナリオ分析の実行、自己証明書レポートの生成を行うことができます。

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスの設定の詳細については、「Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスのセットアップ」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析の詳細については、「Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース でのシナリオ分析の実行の詳細については、「Operational Resilience ワークスペースでのシナリオ分析の実行」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスの自己照明の詳細については、「Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの自己証明」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスのセットアップ

Operational Resilience ワークスペース でビジネスサービスを設定し、ダッシュボードでレジリエンス測定基準を監視することができます。サービスフォームでは、注意が必要なビジネスサービスの属性、リスク、問題、コントロールの失敗、その他の領域を統合します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスサービス、親サービス、および子サービスの概要

ビジネスサービスは、ビジネスレベルの機能を実行するサービスです。たとえば、組織内のビジネス固有の機能を実行するビジネスサービスとして、メール、IT サービス、E コマース、およびテレフォンバンキングを使用できます。

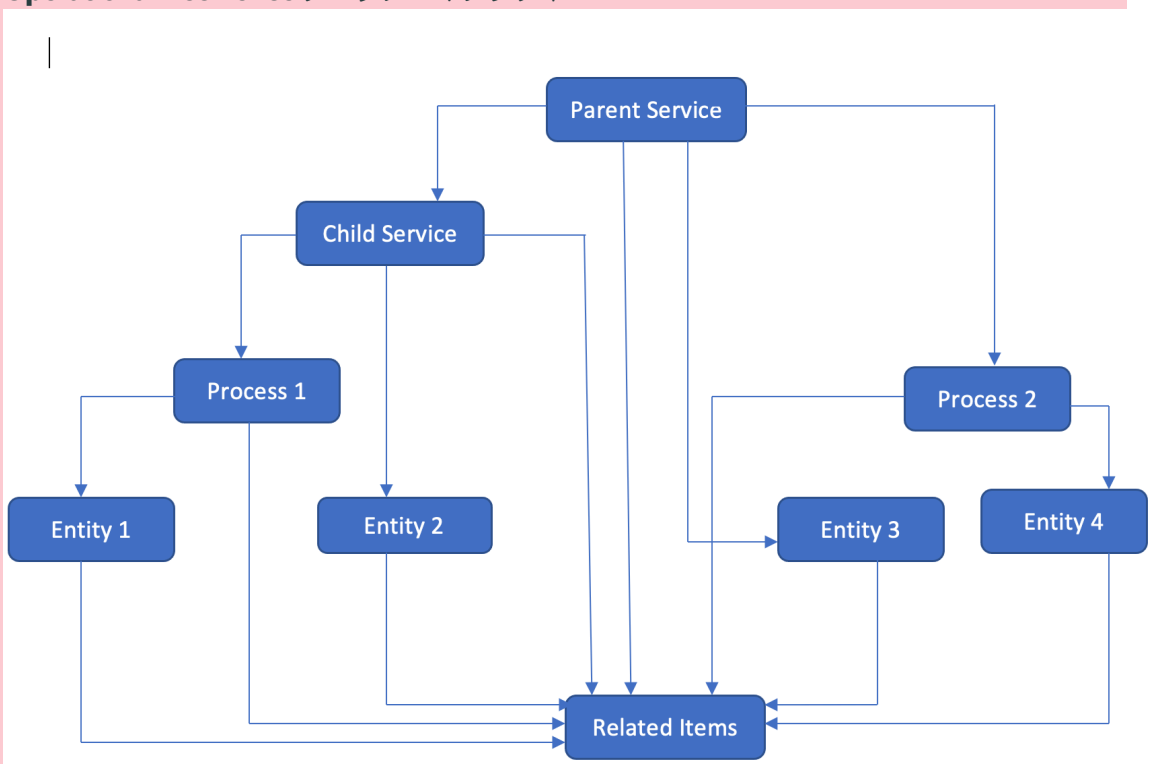
ビジネスサービスは、親サービスと子サービスとして分類できます。親サービスは、ビジネス機能にサービスを提供するために使用できる幅広いエンティティです。親サービスには、それ自体のサブエンティティを含めることができます。子サービスは、親サービスからプロパティを継承します。たとえば、支払サービスは親サービスであり、住宅ローン支払またはメンテナンス支払はその子サービスです。

[store-future: BEGIN review]

Operational Resilience データアーキテクチャ

Operational Resilience アプリケーションでビジネスサービス、プロセス、およびエンティティがどのように接続されるかを理解するには、次の例を参照してください。

Operational Resilience データアーキテクチャ



Operational Resilience アプリケーションは、ビジネスサービスとその資産をエンティティタイプに基づくエンティティとして作成するデータモデルをサポートしています。サービスエンティティタイプを使用して、毎日監視するサービスをスコープ指定できます。サービスエンティティタイプの各サービスは、その Operational Resilience データの計算に使用されます。

例に示すように、親サービスと子サービスはビジネスプロセスに関連付けられています。ビジネスプロセスは、さらにエンティティと呼ばれる資産に関連付けられます。

次のサンプル構成で説明されているように、サービスとプロセスをマッピングできます。

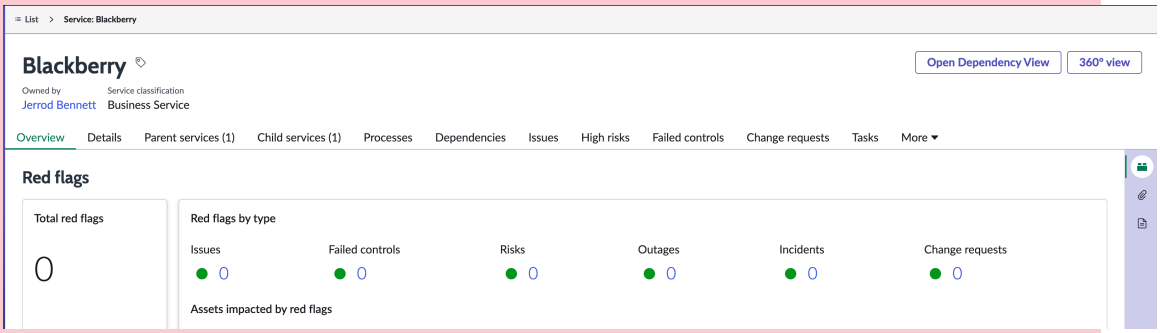
1. 親ビジネスサービスと子ビジネスサービスを関連するビジネスプロセスにマッピングします。
2. ビジネスプロセスを事前定義されたエンティティにマッピングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Operational Resilience ワークスペース のタブにサービスを直接マッピングします。次の例に示すように、タブは親サービス、子サービス、プロセス、または依存関係になります。

サービスフォームのタブ



Operational Resilience アプリケーションはサービスとプロセス間の関係を同期します。次の例について考えます。

- ビジネスサービスに親サービスを追加すると、追加された親サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのアップストリームエンティティに追加されます。
- ビジネスサービスに子サービスを追加すると、追加された子サービスのエンティティが自動的に作成されます。新しいサービスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。
- ビジネスサービスに子プロセスを追加すると、子プロセスのエンティティが作成されます。新しいプロセスエンティティが、ビジネスサービスのエンティティのダウンストリームエンティティに追加されます。

注:
クラシック Operational Resilience インターフェイスでは、親サービス、子サービス、およびプロセスは 構成管理データベース (CMDB) から取得されます。Operational Resilience ワークスペース では、サービスフォームの [親サービス]、[子サービス]、および [プロセス] タブを使用して、ビジネスサービスの親サービス、子サービス、およびプロセスを構成できます。

[End]

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスの管理

Operational Resilience のマネージャーとユーザーは Operational Resilience ワークスペース にアクセスできます。Operational Resilience のマネージャーとユーザーのロールを持っている場合は、Operational Resilience ワークスペース でビジネスサービスを管理し、レジリエンス測定基準を収集できます。

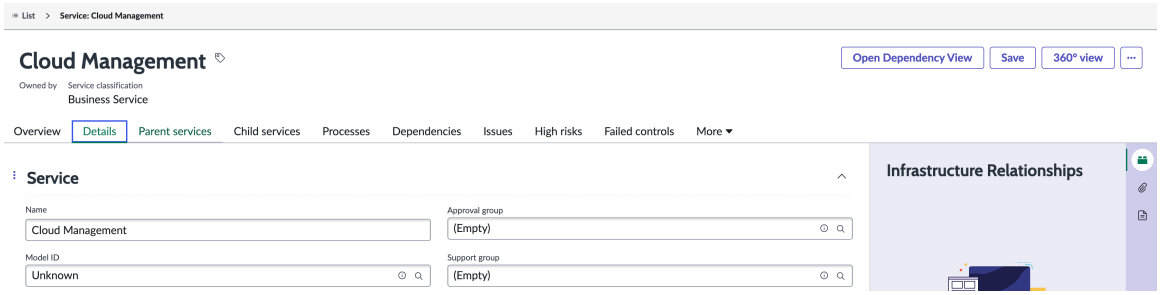
Operational Resilience ワークスペース での親サービス、子サービス、およびプロセスの構成

Operational Resilience ワークスペース では、[親サービス]、[子サービス]、および [プロセス] タブ直接を使用して、ビジネスサービスの親サービス、子サービス、およびプロセスを構成できます。サービスフォームのサンプルタブを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

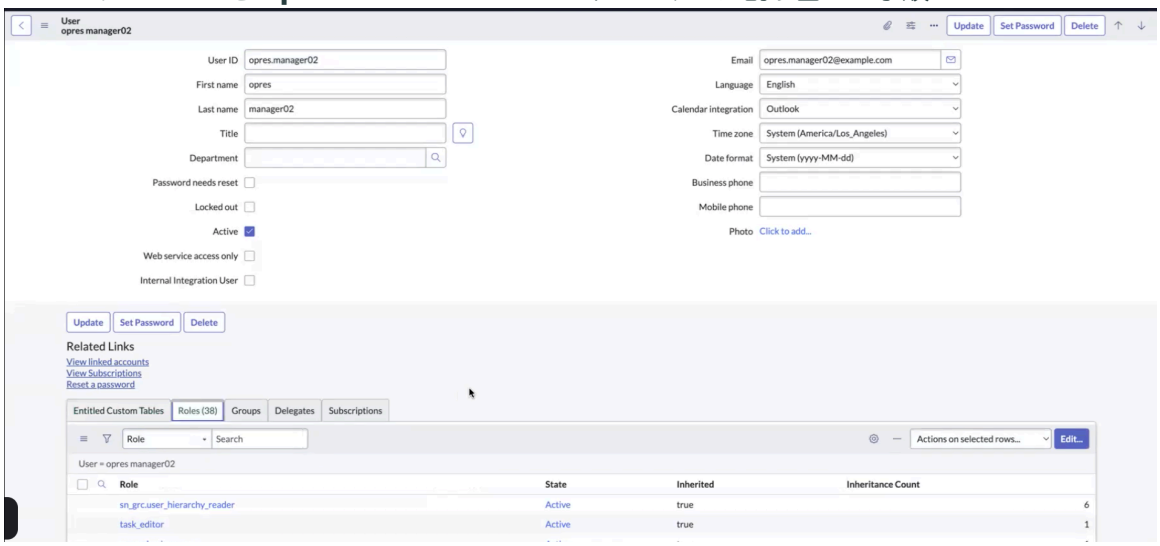
Operational Resilience ワークスペースの [親サービス]、[子サービス]、および [プロセス] タブ



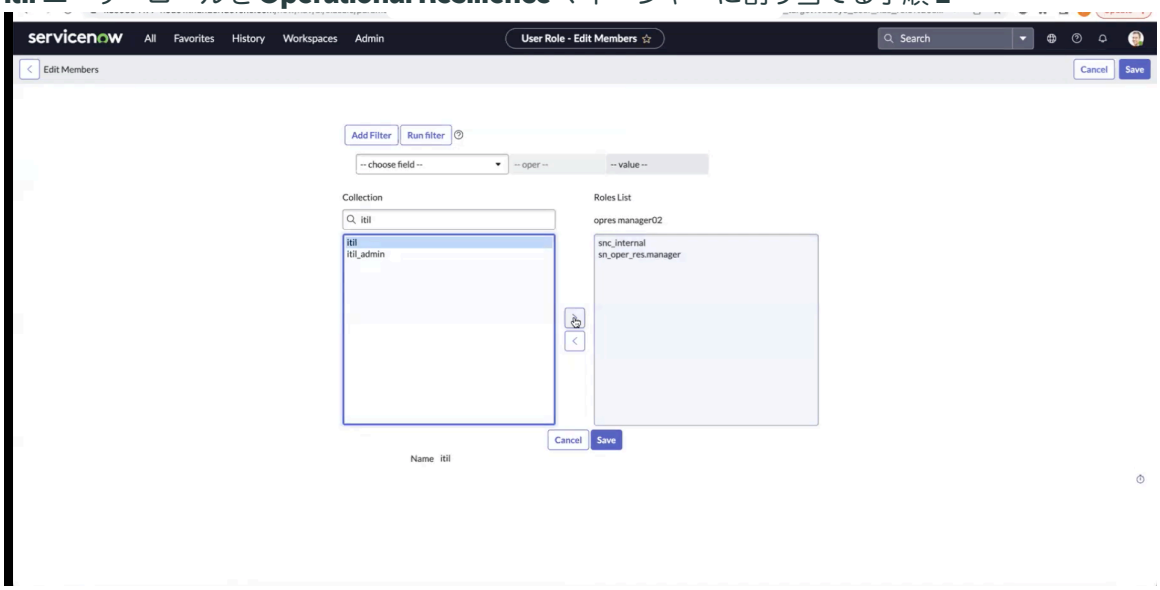
Operational Resilience 管理者またはマネージャーへの **itil** ユーザーロールの割り当て

サービスの親サービス、子サービス、またはプロセスを構成するには、次の 2 つの手順に示すように、Operational Resilience 管理者またはマネージャーに itil ユーザーロールを割り当てる必要があります。

itil ユーザーロールを **Operational Resilience** マネージャーに割り当てる手順 **1**



itil ユーザーロールを **Operational Resilience** マネージャーに割り当てる手順 **2**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

[追加] または [新規] オプションをタブに表示するには、sn_oper_res.manager および itil ユーザーロールまたは sn_oper_res.admin および itil ユーザーロールが必要です。

Operational Resilience レポートへのビジネスサービスの追加

Operational Resilience レポートにビジネスサービスを追加するには、次の例に示すように **[OpRes レポートに追加]** を選択します。

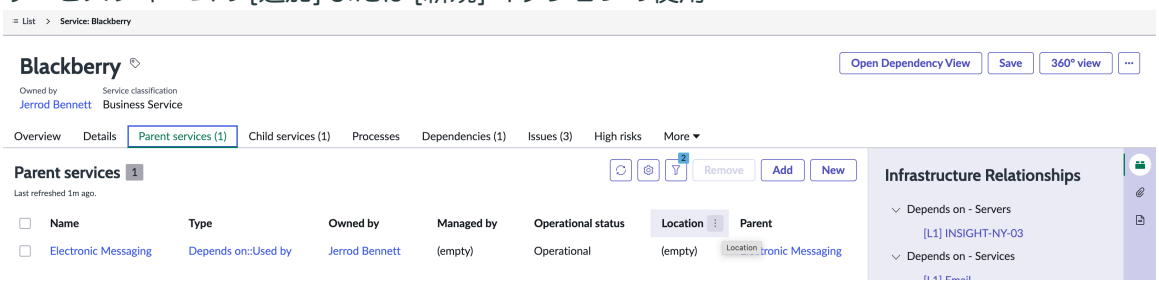
OpRes レポートへのビジネスサービスの追加



注:
Operational Resilience ワークスペース で Operational Resilience レポートにサービスを追加すると、そのサービスの **[OpRes レポートに追加]** オプションが表示されなくなります。

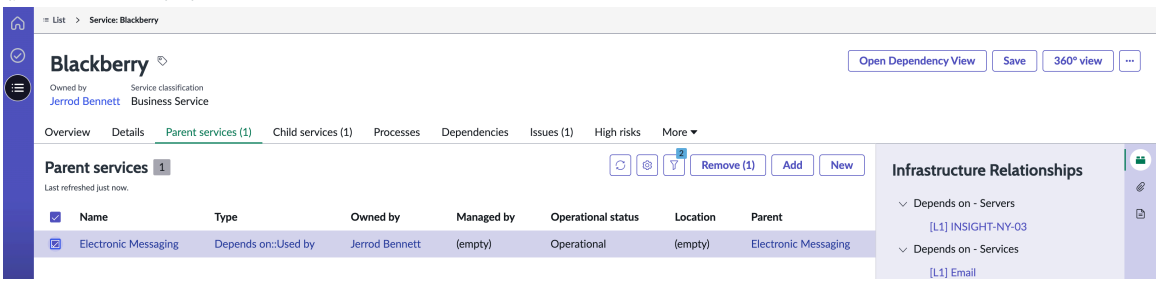
Operational Resilience レポートにビジネスサービスを追加すると、サービスフォームで [追加] または [新規] オプションを表示できます。ビジネスサービスとそのエンティティの関係を設定するには、次の例に示すように [追加] または [新規] オプションを使用します。

サービスフォームの [追加] または [新規] オプションの使用



関連付けられたサービスまたはプロセスを削除するには、次の例に示すように、サービスまたはプロセスを選択して [削除] を選択します。

親サービスを削除するためのサンプルアクション



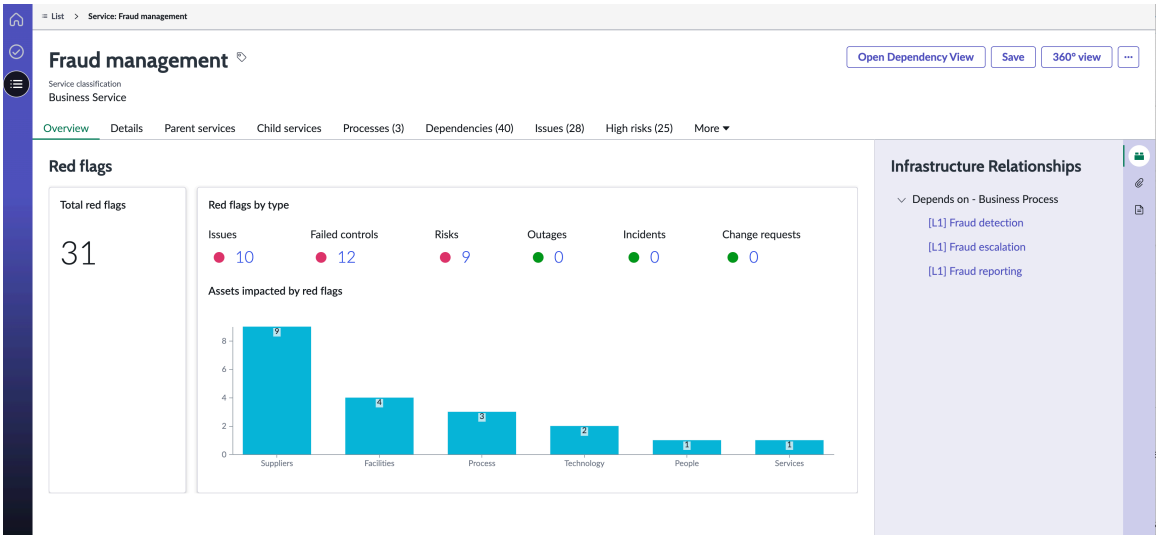
サービスフォームの [概要] タブと [詳細] タブ

サービスフォームの [概要] タブでは、次の例に示すように、ビジネスサービスのレジリエンス測定基準を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

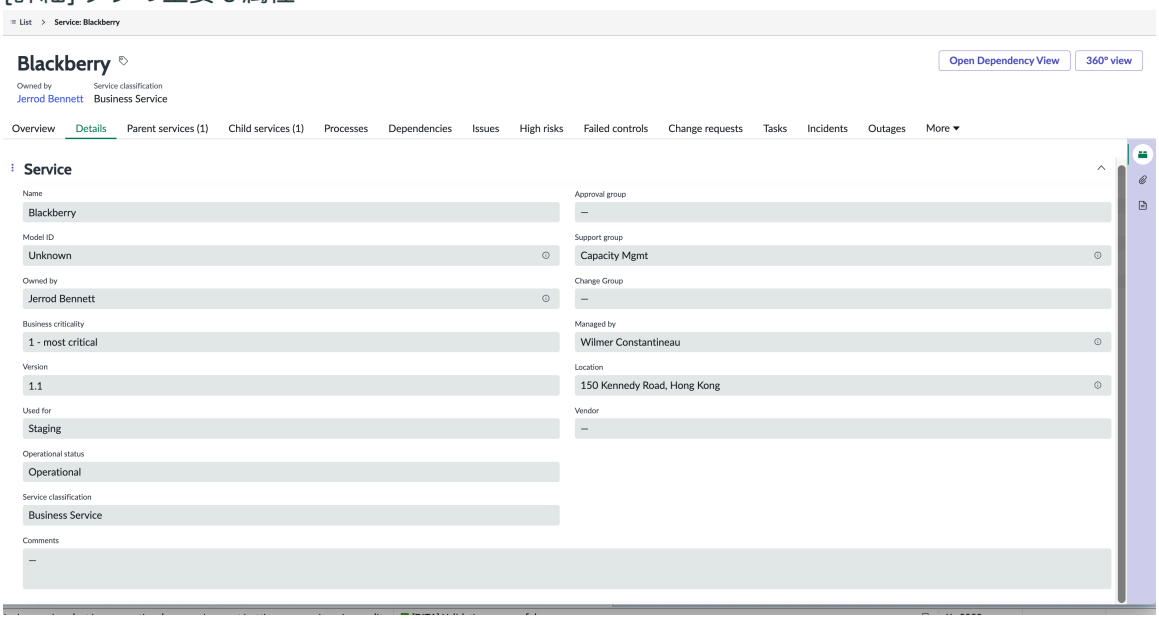
[概要] タブのレジリエンス測定基準



[危険フラグ] セクションには、危険フラグの合計数、タイプ別の危険フラグ、および危険フラグの影響を受ける資産の詳細が表示されます。

サービスフォームの [詳細] タブでは、次の例に示すように、ビジネスサービスの主要な属性を表示できます。

[詳細] タブの主要な属性



サービスフォームのその他の関連タブ

サービスフォームの他の関連タブとその説明の詳細については、次の表を参照してください。

サービスフォームに表示されるその他の関連タブ

タブ	説明	新しいアクション	アクションを追加	アクションを削除
親サービス	ビジネスサービスの親サービスのリスト。既存の親サービスをビジネスサービ	親サービスを追加できるフォーム。このフォームで、親サービスと現在	複数のサービスを選択し、現在のサービスの親サービスとしてそれら	ビジネスサービスから親サービスを削除できるフォーム。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サービスフォームに表示されるその他の関連タブ (続く)

タブ	説明	新しいアクション	アクションを追加	アクションを削除
	スに関連付けるには、[追加] を選択します。ビジネスサービスの親サービスを作成するには、[新規] を選択します。	のサービスの間の関係を作成できます。	を追加できるテーブルビュー。	
子サービス	ビジネスサービスの子サービスのリスト。既存の子サービスをビジネスサービスに関連付けるには、[追加] を選択します。ビジネスサービスの子サービスを作成するには、[新規] を選択します。	子サービスを追加できるフォーム。このフォームで、子サービスと現在のサービスの間の関係を作成できます。	複数のサービスを選択し、現在のサービスの子サービスとしてそれらを追加できるテーブルビュー。	ビジネスサービスから子サービスを削除できるフォーム。
プロセス	ビジネスサービスに関連付けられているプロセスのリスト。	適用外	複数のプロセスを選択し、現在のサービスの子サービスとしてそれらを追加できるテーブルビュー。	ビジネスサービスからプロセスを削除できるフォーム。
依存関係	ビジネスサービスに関連付けられている依存関係のリスト。	適用外	複数の資産 (エンティティ) を選択し、現在のサービスのダウンストリームエンティティとしてそれらを追加できるテーブルビュー。	ビジネスサービスから資産を削除できるフォーム。
問題	ビジネスサービスに関連付けられている問題のリスト。Washington DC 以降では、次の例に示すように、[追加]を選択して既存の問題をビジネスサービスに関連付けることができます。	ビジネスサービスの問題を作成できるフォーム。	ビジネスサービスに既存の問題を追加できるフォーム。	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォームに表示されるその他の関連タブ (続く)

タブ	説明	新しいアクション	アクションを追加	アクションを削除
	ビジネスサービスへの既存の問題の追加  ビジネスサービスの問題を作成するために、[新規] を選択することもできます。			
高リスク	ビジネスサービスに関連付けられている高リスクアイテムまたは監視ステータスのリスクアセスメントのリスト。	適用外	適用外	適用外
失敗したコントロール	コントロールのステータスが非準拠であり、依存エンティティがビジネスサービスである、失敗したコントロールまたは共通コントロールのリスト。	適用外	適用外	適用外
変更要求	ビジネスサービスに関連付けられている変更要求のリスト。	変更要求フォーム 変更要求フォームを送信すると、アプリケーションによって [サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外	適用外
タスク	ビジネスサービスに関連付けられているタスクのリスト。	作成するタスクのタイプを選択できるタスクテーブルのリスト。フォームを送信すると、アプリケーションによって [タスクのあるサービス] テーブルにレコー	適用外	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォームに表示されるその他の関連タブ (続く)

タブ	説明	新しいアクション	アクションを追加	アクションを削除
		ドが作成されます。		
インシデント	ビジネスサービスに関連付けられているインシデントのリスト。	インシデントフォーム。インシデントフォームを送信すると、[サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外	適用外
機能停止	ビジネスサービスに関連付けられているオープン中の機能停止のリスト。	機能停止フォーム。フォームを送信すると、アプリケーションによって [サービス] テーブルにレコードが作成されます。	適用外	適用外
重要性および影響度アセスメント	承認された重要性および影響度アセスメントのリスト	適用外	適用外	適用外
シナリオ分析	承認されたシナリオ分析のリスト。	適用外	適用外	適用外
事業継続性計画	ビジネスサービスに関連付けられている事業継続性計画のリスト。	適用外	適用外	適用外
Vulnerability Response	ビジネスサービスに関連付けられている応答のリスト。	ビジネスサービスの Vulnerability Response。	適用外	適用外

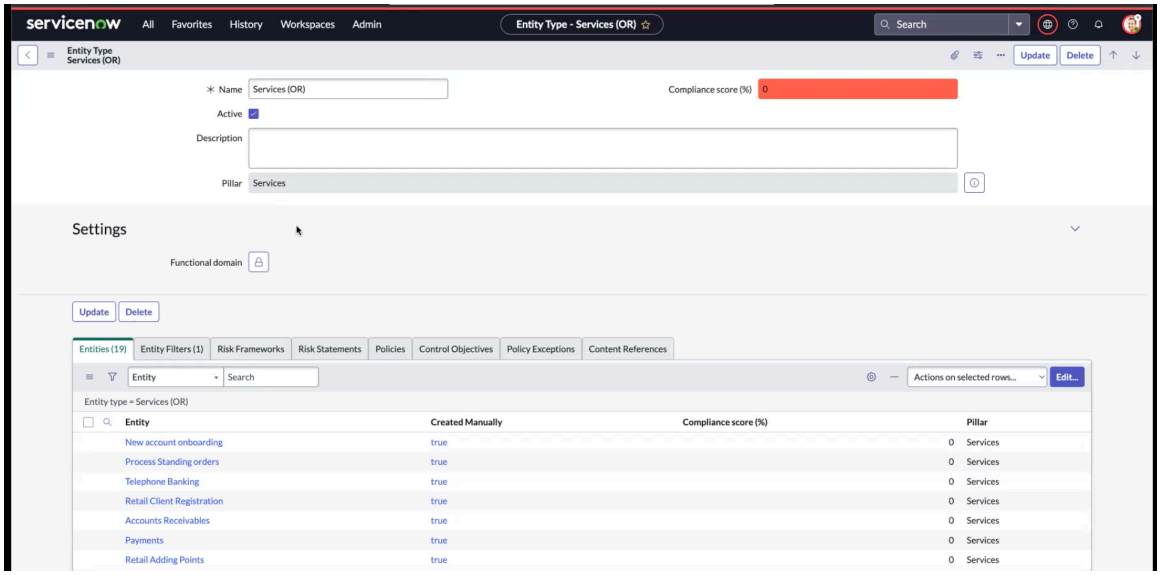
サービス **(OR)** エンティティタイプのエンティティとしてのサービス

Operational Resilience レポートにビジネスサービスを追加すると、次の例に示すように、そのサービスは Operational Resilience アプリケーションのサービス (OR) エンティティタイプのエンティティとして追加されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス **(OR)** エンティティタイプのエンティティとして追加されたサービス

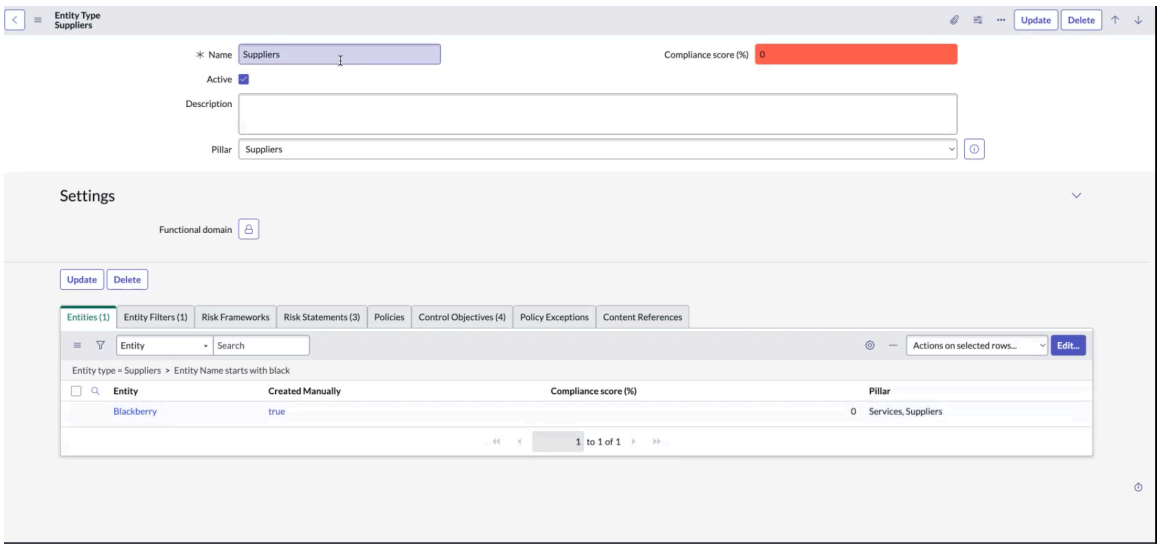


Operational Resilience アプリケーションのすべてのサービスはサービスピラーに属します。例に示すように、エンティティの [ピラー (Pillar)] 列にはサービスピラーが表示されます。

注:
cmdb_ci_service テーブルの一部であるエンティティのみをサービス (OR) エンティティタイプに追加できます。

同様に、Operational Resilience アプリケーションでは、サービスは (エンティティとして) 複数のピラーに属することができます。次の例は、サービスとサプライヤーのピラーなど、2 つのピラーに属するサービスを示しています。

1 つのサービスに対する複数のピラー



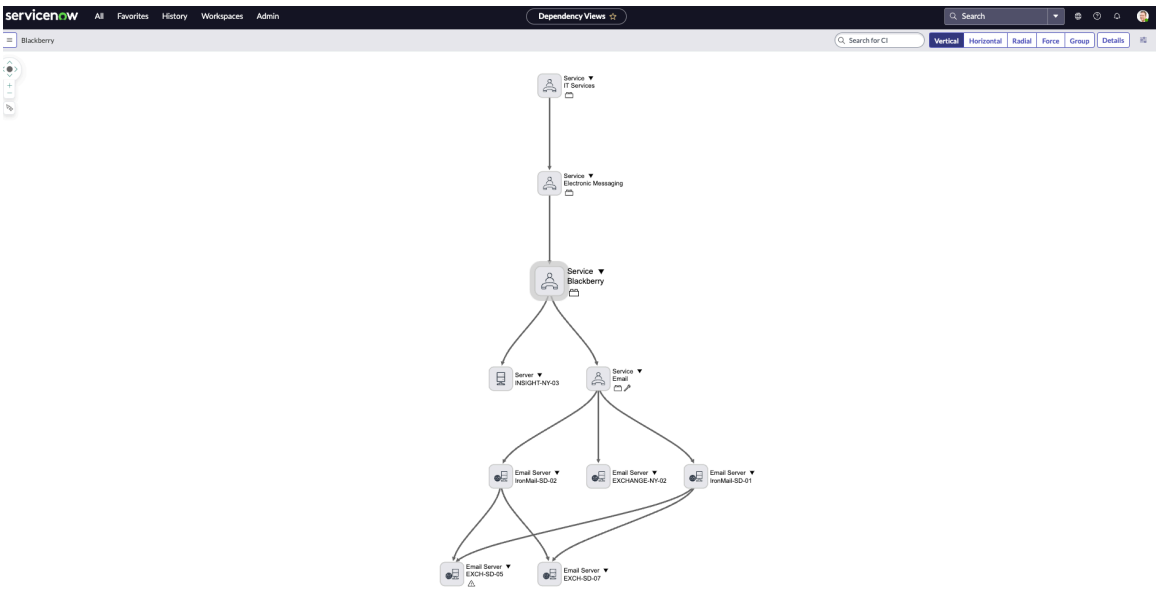
ビジネスサービスの依存関係ビューと **360** 度ビューを開く

サービスフォームで、[依存関係ビューを開く] オプションを選択して、ビジネスサービスのインフラストラクチャ関係を表示できます。ビジネスサービスの依存関係ビューには、次の例に示すように、親サービス、子サービス、およびプロセスとの関係が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスサービスの依存関係ビュー



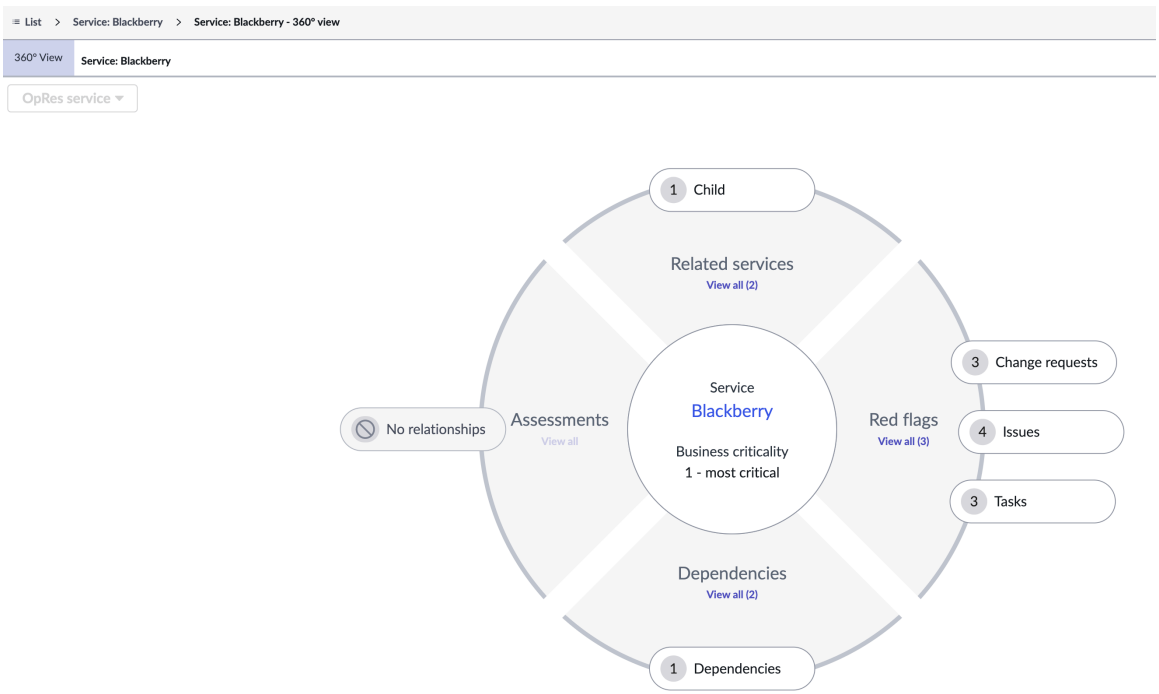
[360 度ビュー] タブでは、Operational Resilience マネージャーがサービスの 360 度ビューを監視し、そのパフォーマンスを測定できます。

Operational Resilience マネージャーロールを持っている場合は、ビジネスサービスの 360 度ビューで次のエンティティを可視化できます。

- 親サービスと子サービス
- 組織内のプロセス、テクノロジー、人員、サプライヤー、施設などのピラーに関連する依存関係
- Operational Resilience 測定基準

次のサンプルの 360 度ビューは、サービスとその関連エンティティ (危険フラグ、依存関係、アセスメントなど) との関係を表示します。

サンプルのサービスの **360** 度ビュー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスフォーム内のフィールド値の詳細については、「新規サービスを作成フォーム」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペース でのビジネスサービスの追加

Operational Resilience ワークスペース でビジネスサービスを追加して、変更要求、インシデント、タスクのタブなどの関連するタブを設定できるようにします。その後、ダッシュボードでサービス属性とレジリエンス測定基準を表示できます。

始める前に

必要なロール：itil ユーザーロールを備えた sn_oper_res.manager、itil ユーザーロールを備えた sn_oper_res.admin

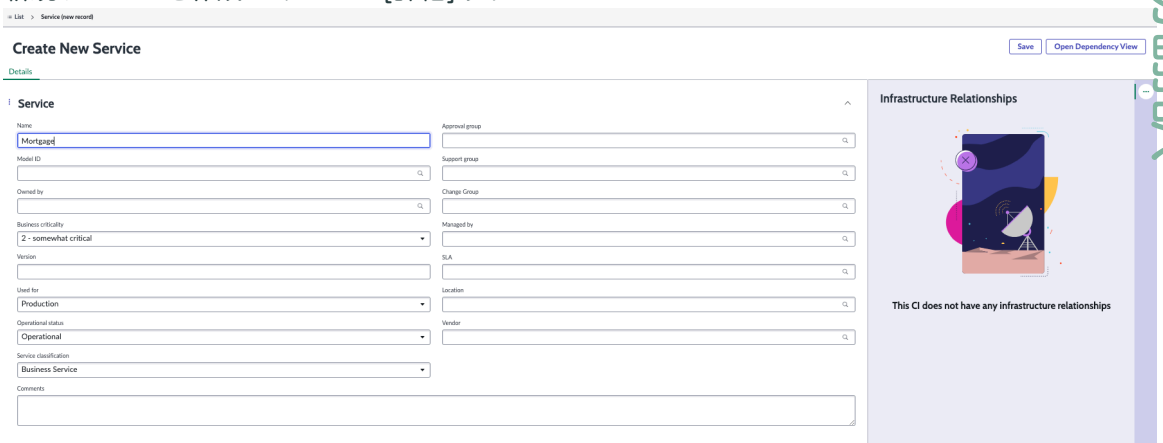
このタスクについて

Compute Operational Resilience Compliance スケジュール設定済みジョブが毎日バックグラウンドで実行されると、Operational Resilience ダッシュボードでビジネスサービスのステータスレポートを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > サービス > ビジネスサービス.
   利用可能なビジネスサービスのリストが表示されます。
2. [新規] を選択します。
   新規サービスを作成フォームが表示されます。
3. [詳細] タブで、フィールドに入力します。
   サンプルの [詳細] タブを次の例に示します。

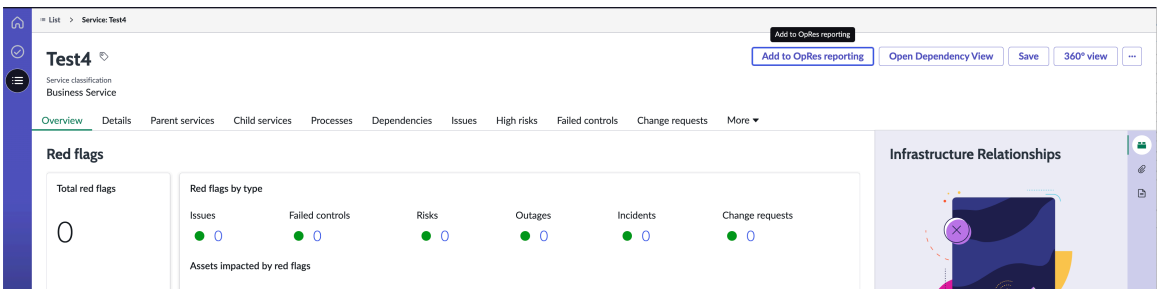
新規サービスを作成フォームの [詳細] タブ



   サービスフォームのフィールド値の説明については、「新規サービスを作成フォーム」を参照してください。

4. サービスの詳細を保存するには、[保存] を選択します。

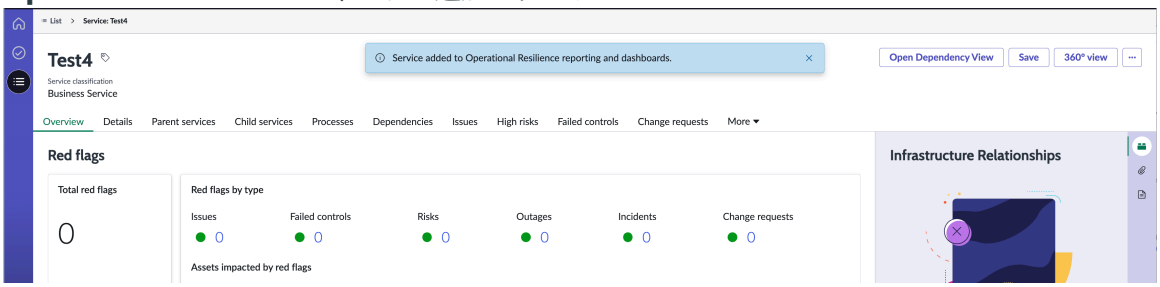
ビジネスサービスのサンプルフォーム



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. Operational Resilience レポートにビジネスサービスを追加するには、**[OpRes** レポートに追加] を選択します。
次の例に示すように、ビジネスサービスが Operational Resilience レポートとダッシュボードに追加されます。

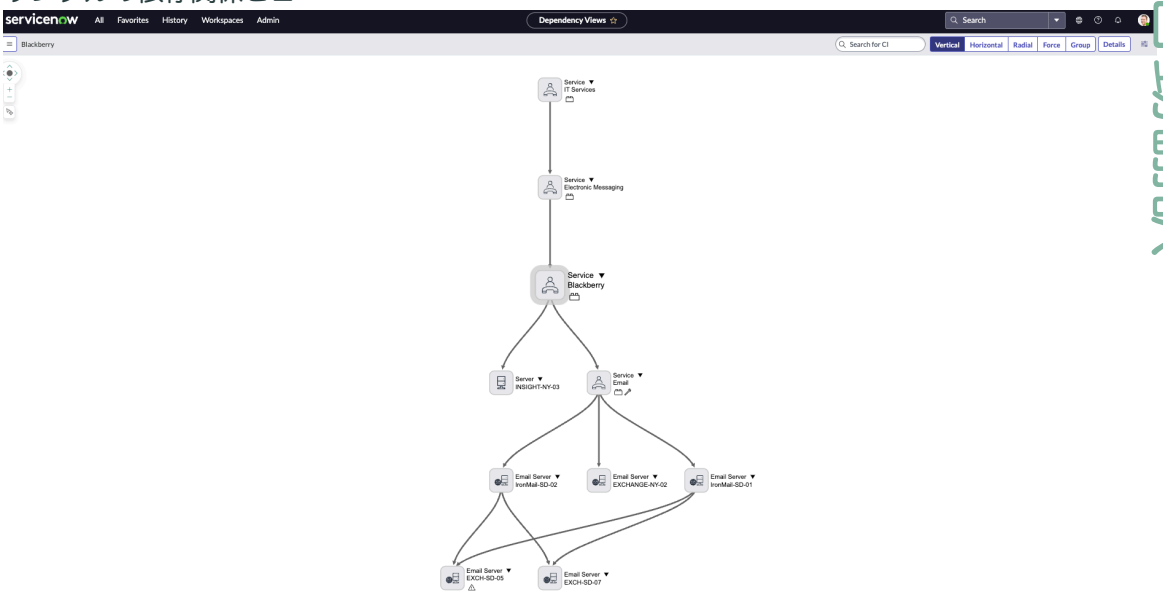
Operational Resilience レポートに追加されたサービス



注:
Operational Resilience レポートにサービスを追加すると、そのサービスの **[OpRes** レポートに追加] オプションがサービスフォームに表示されなくなります。

6. サービスのインフラストラクチャ関係を表示するには、[依存関係ビューを開く] を選択します。
次の例に示すように、サービスとその親サービスおよび子サービスのインフラストラクチャ関係が表示されます。

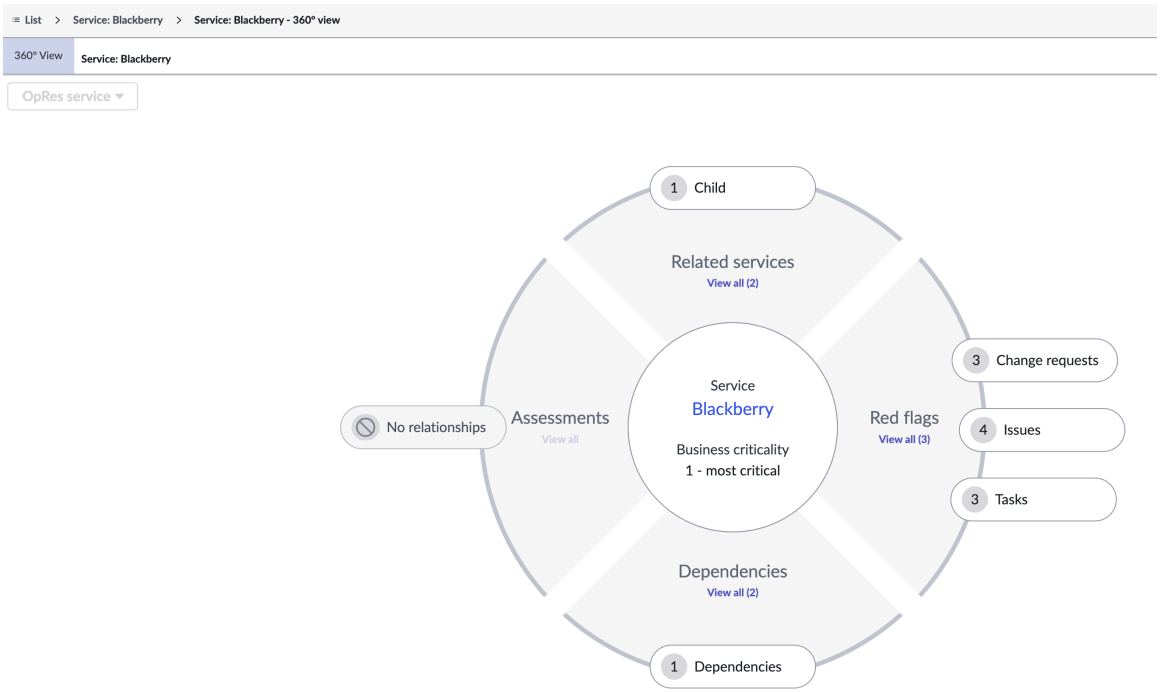
サンプルの依存関係ビュー



7. サービスとその関連エンティティの関係を表示するには、**[360** 度ビュー] を選択します。
360 度ビューのサービスとその関連エンティティ (依存関係、危険フラグなどの) との関係は、次の例に示すように表示されます。

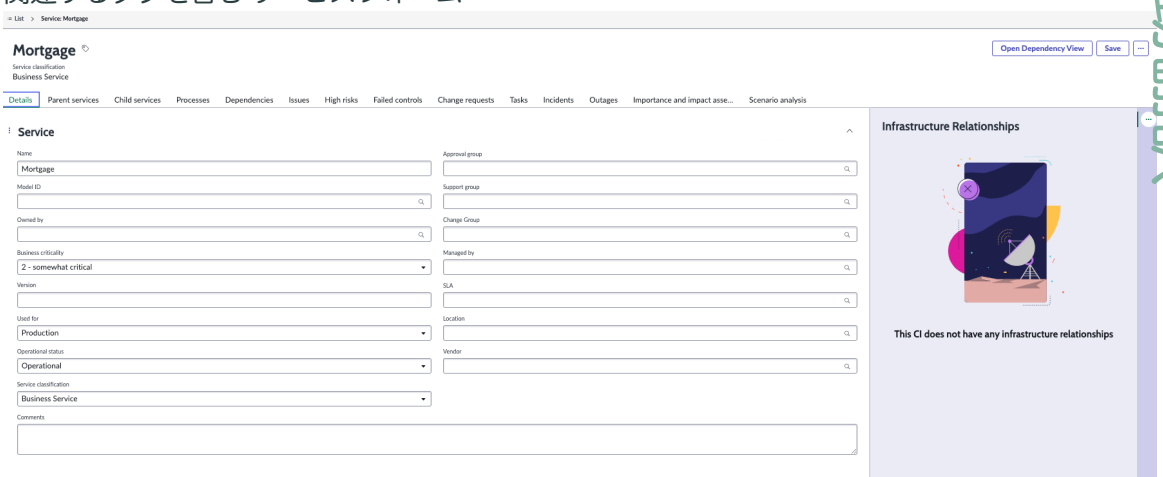
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度ビューでのサービスとその関連エンティティの関係



8. フォームの詳細を保存するには、[保存] を選択します。
   次の例に示すように サービスフォームが表示されます。

関連するタブを含む サービスフォーム



新規サービスを作成フォーム

Operational Resilience ワークスペース の 新規サービスを作成フォームを使用して、ビジネスサービスを設定し、その関連リストを構成します。

新規サービスを作成フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

新規サービスを作成フォーム

フィールド	説明
[概要] タブ	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規サービスを作成フォーム (続く)

フィールド	説明
重要性および影響許容度アセスメント	日付とタイムスタンプを含む重要性および影響許容度アセスメント。このタブには、アセスメントの重要性 (重要度) と影響度の許容度の日数が表示されます。フォームで、[アセスメントを表示] を選択して、重要性および影響許容度アセスメントを表示します。
[詳細] タブ	
名前	ビジネスサービスの名前。
承認グループ	ビジネスサービスの承認を担当する承認グループ。例：アプリケーション開発グループまたはアプリケーションセキュリティグループ。
モデル ID	ビジネスサービスのモデル ID。
サポートグループ	ビジネスサービスのサポートグループ。
オーナー	ビジネスサービスのオーナー。このフィールドは自動入力されます。
変更グループ	ビジネスサービスの更新を担当する変更グループ。
ビジネス上の重要度	ビジネスサービスの重要度。利用可能なオプションは次のとおりです。 • 1 — 最重要 • 2 — ある程度重要 • 3 — やや重要 • 4 — 重要ではない
管理担当者	サービスを管理するユーザーロール。
バージョン	ビジネスサービスのバージョン。
SLA	ビジネスサービスのサービスレベルアグリーメント (SLA)。
使用目的	サービスが使用される使用カテゴリ。例：ステージング。利用可能なオプションは次のとおりです。 • 本番 • ステージング • QA • テスト • 開発 • デモンストレーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規サービスを作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• トレーニング • 災害復旧
場所	ビジネスサービスの場所 (シアトル、フェアファクスなど)。
運用ステータス	ビジネスサービスの運用ステータス。利用可能なオプションは次のとおりです。 • オペレーショナル • 非稼働 • 修理中 • DR スタンバイ • 準備完了 • 廃止 • パイプライン • カタログ
ベンダー	ビジネスサービスの運用を担当するベンダー。
サービスの分類	サービスの分類。利用可能なオプションは次のとおりです。 • ビジネスサービス • テクニカルサービス • アプリケーションサービス
コメント	ビジネスサービスのコメントセクション。通常、Operational Resilience 管理者がビジネスサービスに関するコメントを追加します。

関連タブ

新規サービスを作成フォームで、ビジネスサービスの親サービス、子サービス、およびプロセスを追加できます。サービスの変更要求、インシデント、タスクなどの関連タブを構成することもできます。その後、ダッシュボードでサービス属性とレジリエンス測定基準を表示できます。次の表では、サービスに関連付けられている関連タブについて説明します。

サービスに関連付けられている関連タブ

関連タブ	説明
親サービス	ビジネスサービスに関連付けられている親サービス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連タブ (続く)

関連タブ	説明
	このタブには、親サービスに関する次のサンプル情報が表示されます。 • 名前 • タイプ • オーナー • 管理担当者 • 運用ステータス • 場所 • 親
子サービス	ビジネスサービスに関連付けられている子サービス。 このタブには、子サービスに関する次のサンプル情報が表示されます。 • 名前 • タイプ • オーナー • 管理担当者 • 運用ステータス • 場所 • 子
プロセス	ビジネスサービスに関連付けられているプロセス。 このタブには、プロセスに関する次のサンプル情報が表示されます。 • 名前 • オーナー • 管理担当者 • 場所 • 親
依存関係	ビジネスサービスに関連付けられている依存関係。 このタブには、依存関係に関する次のサンプル情報が表示されます。 • 資産 • Pillar

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連タブ (続く)

関連タブ	説明
	• プロセス • 子サービス
問題	ビジネスサービスに関連付けられている問題 Washington DC リリース以降では、ビジネスサービスに既存の問題を追加するか、ビジネスサービスに関連する問題を作成することができます。 フォームのフィールド値の説明については、「新規問題を作成フォーム」を参照してください。
高リスク	ビジネスサービスに関連付けられている高リスクの詳細。 このタブには、高リスクに関する次のサンプル情報が表示されます。 • リスク • リスクアセスメント • リスクステートメント • リスク対応 • 固有リスク • 計算済み固有リスク • 残存リスク • 計算済み残存リスク
失敗したコントロール	ビジネスサービスに関連付けられている失敗したコントロールまたは共通コントロールの詳細。 このタブには、失敗したコントロールに関する次のサンプル情報が表示されます。 • コントロール • コントロール目標 • ステータス • 資産 • Pillar • プロセス • 子サービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連タブ (続く)

関連タブ	説明
変更要求	ビジネスサービスに関連付けられている変更要求。 このタブには、変更要求に関する次のサンプル情報が表示されます。 • 変更要求 • 簡単な説明 • タイプ • ステータス • 開始予定日 • 終了予定日 • アサイン先 • 資産 • Pillar • プロセス
タスク	ビジネスサービスに関連付けられているタスク。 このタブには、タスクに関する次のサンプル情報が表示されます。 • 簡単な説明 • 番号 • ステータス • タスクタイプ • 優先度 • アサイン先 • 資産 • Pillar • プロセス • 子サービス
インシデント	ビジネスサービスに関連付けられているインシデント。 このタブには、インシデントに関する次のサンプル情報が表示されます。 • インシデント • 簡単な説明

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連タブ (続く)

関連タブ	説明
	• 所有者 • オープン • 問い合わせユーザー • 優先度 • ステータス • カテゴリ • アサイン先グループ • アサイン先 • 更新日時 • 更新者 • 資産 • Pillar
機能停止	現在のサービスに関連付けられている機能停止。サービスの機能停止を作成できます。 このタブには、機能停止に関する次のサンプル情報が表示されます。 • 機能停止 • タイプ • 開始 • 終了 • 資産 • Pillar • プロセス • 子サービス
重要性および影響度アセスメント	サービスに関して実施される重要性および影響度アセスメント。 このタブには、アセスメントに関する次のサンプル情報が表示されます。 • 名前 • 重要性 • 影響許容度 • 所有者 • 承認者 • 更新日時

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスに関連付けられている関連タブ (続く)

関連タブ	説明
シナリオ分析	ビジネスサービスに関連付けられているシナリオ分析。 このタブには、シナリオ分析に関する次のサンプル情報が表示されます。 • 名前 • 所有者 • 分析承認者 • 更新日時
事業継続性計画	ビジネスサービスに関連付けられている事業継続性計画のリスト。
Vulnerability Response	ビジネスサービスに関連付けられている応答の詳細。
インフラストラクチャ関係	ビジネスサービスの依存関係ビューを表示するインフラストラクチャ関係パネル。たとえば、ビジネスサービスに関連付けられているサーバーとサービスを依存関係ビューで表示できます。

ビジネスインパクト分析からの **CMDB** 依存関係のフェッチ

ビジネスサービス、子サービス、プロセス、および子サービスのプロセスの依存関係を CMDB から Operational Resilienceフェッチできます。同様に、アプリケーションがインストールされるとBCM 、スケジュール設定済みジョブは Operational Resilience ビジネスインパクト分析 (BIA) の依存関係の変更も監視し、依存関係の更新をフェッチします。

からの依存関係のフェッチ **CMDB**

リリース以降Washington DC、はデータリレーションシップフレームワーク、から依存関係CMDBをフェッチするための基礎となるフレームワークを持つアプリケーションをサポートしていますOperational Resilience。デフォルトでは、 データリレーションシップフレームワーク (app-grc-relationship-config) はアプリケーションとともに Operational Resilience インストールされます。依存関係は CMDB 、から データリレーションシップフレームワークAPI を呼び出すことによって取得されます。

依存関係を取得するにはCMDB、Operational Resilience管理者はメインノード構成を有効にする必要があります。最初に「ビジネスサービス (CMDB)」データリレーションシップフレームワークとラベル付けされています。

取得された依存関係ごとに、 Operational Resilience アプリケーションは最初に既存のエンティティを検索します。既存のエンティティがない場合、依存関係はスキップされます。既存のエンティティがあり、そのエンティティが のいずれか Operational Resilienceのエンティティタイプに属している場合、親エンティティのダウンストリームに追加されます。エンティティが施設/人/サプライヤー/テクノロジーなどのエンティティタイプに属していない場合は、 の Operational Resilience対応するエンティティタイプに手動で追加する必要があります。

次の例は、ビジネスサービスの関係セットアップの例 CMDB を示しています。サービスが*Windows mobile*依存関係を更新すると、のエンティティがそのエンティティの*OWA-SD-01*ダウンストリーム

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

に追加されIronMail-SD-02、IronMail-SD-01子サービス エンティティのEmailダウンストリームに追加されます。

ビジネスサービスの関係設定の例

ビジネスサービス	関連する依存関係、ビジネスプロセス、およびビジネスサービス: メール	ビジネスサービスに関連するプロセスと依存関係: メール
Windows モバイル	• 依存 関係： OWA-SD-01 • ビジネスプロセス: Inbound payment validation • ビジネスサービス: Email	• プロセス： Fraud_escalation • 依存関係 1: IronMail-SD-01 (テーブルは cmdb_ci_email_serverです。 • 依存関係 2: IronMail-SD-02 (テーブルは cmdb_ci_email_serverです。

ビジネスインパクト分析 (BIA) からの依存関係の取得

BCMアプリケーションがインストールされると、 Operational Resilience BIA の [適用先] フィールドが で使用されるビジネスプロセスOperational Resilienceである場合、BIA の依存関係の更新をフェッチします。

で BIA 依存関係 Operational Resilienceをプルするには、次の条件を満たす必要があります。

- BIA は [承認済み] ステータスである必要があります。
- BIA を [期限切れ] ステータスにしないでください。
- 依存関係グループを完了する必要があります。

注:
BIA レコードの [適用先] フィールドがビジネスプロセスエンティティタイプ内のビジネス プロセス と一致する場合にのみ、その依存関係がジョブスケジュールによってフェッチされます。

フェッチされた依存関係ごとに、 Operational Resilience アプリケーションはまず既存の有効なエンティティを検索します。依存関係に既存の有効なエンティティがあり、そのエンティティが のいずれか Operational Resilienceのエンティティタイプに属している場合、そのエンティティは親エンティティのダウンストリームに追加されます。

依存関係の更新または BIA 依存関係の更新をフェッチ CMDB するには、次の条件に従います。

- 依存関係のエンティティがない場合は、スキップされます。 Operational Resilience は依存関係のエンティティを作成しません。
- 依存関係エンティティが非アクティブの場合、それは無視されます。
- 依存関係エンティティがアクティブであってもピラーがない場合は、無視されます。
- 依存関係エンティティがアクティブでピラーを持つが、どの Operational Resilience エンティティタイプにも属していない場合は、無視されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係を手動で追加する

エンティティが [施設]、[人]、[サプライヤー]、[テクノロジー] などのエンティティタイプに属していない場合、 Operational Resilience ユーザーは対応するエンティティタイプにエンティティを手動で追加する必要があります。管理者とマネージャーは、スケジュール設定済みジョブを使用する代わりに、 Operational Resilience 依存関係を手動で更新できます。依存関係を手動で更新する方法については、を参照してください サービスの依存関係を手動で更新。

のメインノード構成のサポート データリレーションシップフレームワーク

およびメイン・ノードの構成についてはデータリレーションシップフレームワーク、およびメインノード設定レコードの作成を参照してくださいデータリレーションシップフレームワーク。

[store-future: BEGIN review]

さまざまなシナリオでのサービスのエンティティの検証

アプリケーションは、次のシナリオでサービスまたはプロセスのエンティティを作成します。

1. サービスとプロセスの間にリレーションシップを追加する。
2. サービスと子サービスの間にリレーションシップを追加します。
3. 子サービスとプロセス間のリレーションシップの追加

エンティティは、親エンティティのダウンストリームに追加されます。

スケジュール設定済みジョブが実行されると、通常はさまざまなシナリオでサービスのエンティティがチェックされ、特定のアクションが実行されます。たとえば、次のシナリオが考慮されます。

1. シナリオ A:スケジュール設定済みジョブは、サービスの子サービス、プロセス、および資産のエンティティをチェックし、次のアクションを実行します。

エンティティのシナリオ **A**

シナリオ	ジョブスケジュールによって実行されるアクション
子サービスのエンティティがあるかどうか	サービスの依存関係に追加します。
子サービスのエンティティがない場合	エンティティを作成し、サービスの依存関係に追加します。
プロセスのエンティティがあるかどうか	サービスの依存関係に追加します。
プロセスのエンティティがない場合	エンティティを作成し、サービスの依存関係に追加します。
直接資産のエンティティがある場合	サービスの依存関係に追加します。
直接資産のエンティティがない場合	依存関係のエンティティが存在しない場合、アプリケーションはレコードをスキップします。

2. シナリオ B: スケジュール設定済みジョブは、子サービスのプロセスと資産のエンティティをチェックし、次のアクションを実行します。

エンティティのシナリオ **B**

シナリオ	ジョブスケジュールによって実行されるアクション
子サービスのエンティティがあるかどうか	サービスの依存関係に追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ	ジョブスケジュールによって実行されるアクション
子サービスのエンティティがない場合	エンティティを作成し、サービスの依存関係に追加します。
直接資産のエンティティがある場合	サービスの依存関係に追加します。
直接資産のエンティティがない場合	依存関係のエンティティが存在しない場合、アプリケーションはレコードをスキップします。

3. シナリオ C:スケジュール設定済みジョブは、プロセスの資産のエンティティをチェックし、次のアクションを実行します。

エンティティのシナリオ **C**

シナリオ	ジョブスケジュールによって実行されるアクション
直接資産のエンティティがある場合	サービスの依存関係に追加します。
直接資産のエンティティがない場合	エンティティを作成し、サービスの依存関係に追加します。

[End]

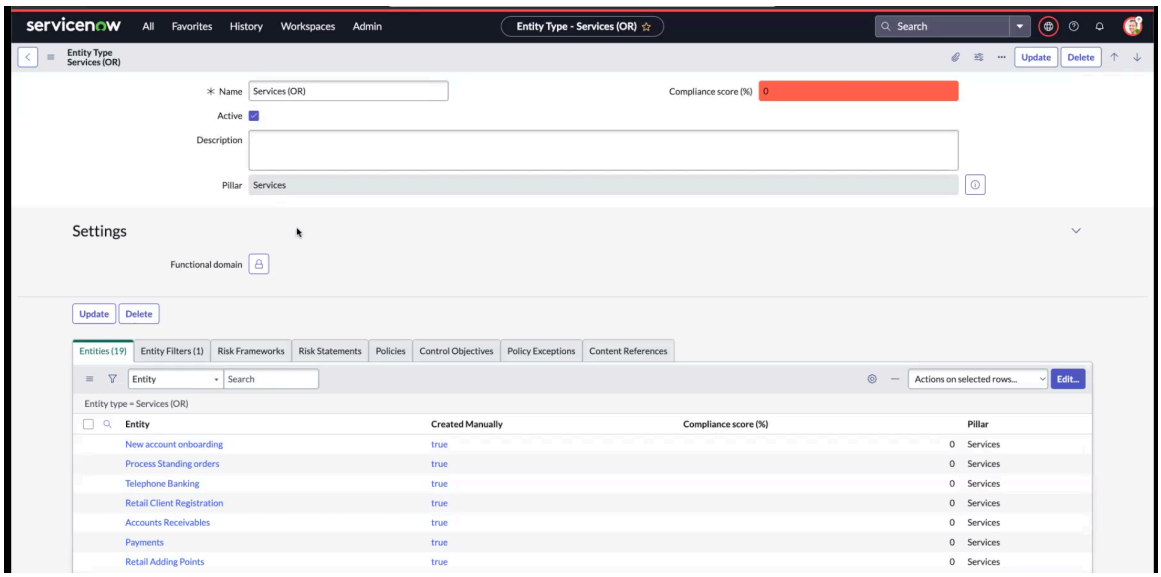
サービスの依存関係を手動で更新

アプリケーションでサービスの依存関係を手動で更新します Operational Resilience 。

始める前に
必要なロール:sn_oper_res.admin、sn_oper_res.manager

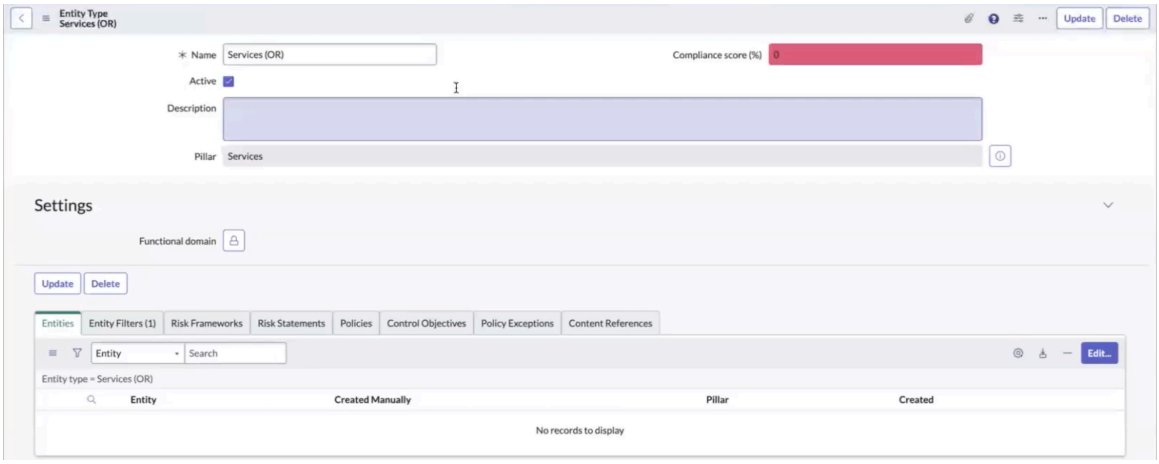
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** > 管理者 > エンティティタイプ.
2. サービス **(OR)** エンティティタイプを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. の Operational Resilience ワークスペースビジネスサービスレコードに移動します。

次の例は、Blackberry が親サービスである Blackberry サービスのデモデータを示しています。

CMDB Relationship Setup

Blackberry
- Email(Child Service)
  - IronMail-SD-01(Dependency)
  - IronMail-SD-02(Dependency)
  - Business process(Business Process)
- Client Management(Business Process)
- INSIGHT-NY-03(Dependency)
- Inbound payment validation(Business Process) // Used to demo the BIA dependency Synch

この例では、親サービスには子サービス、依存関係、およびビジネスプロセスがあります。

- メール (子サービス)
  - IronMail-SD-01 (依存関係)
  - IronMail-SD-02 (依存関係)
  - ビジネスプロセス (ビジネスプロセス)
- クライアント管理(ビジネスプロセス)
- INSIGHT-NY-03 (依存関係)
- インバウンド支払検証 (ビジネスプロセス)

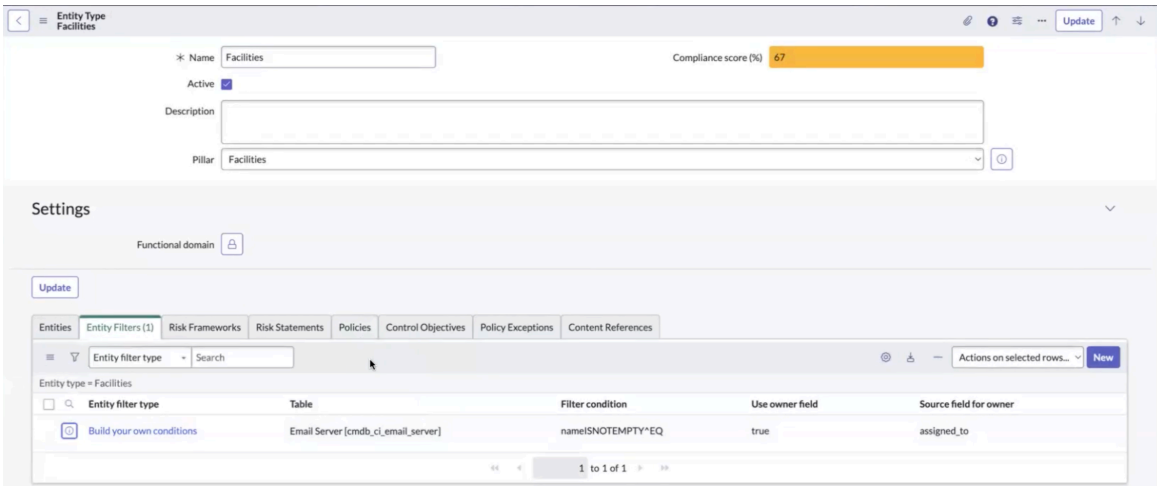
4. [**OpRes** レポートに追加] を選択します。
の関係を管理し CMDB たり、のサービスレコード Operational Resilience ワークスペースからサービスとプロセスの関係を監視したりすることができます。
サービスがレポートダッシュボードに追加されます Operational Resilience 。次のメッセージが画面に表示されます: サービスは Operational Resilience レポートとダッシュボードに追加されました。[追加] および [新規] アクションボタンがフォームに表示されます。

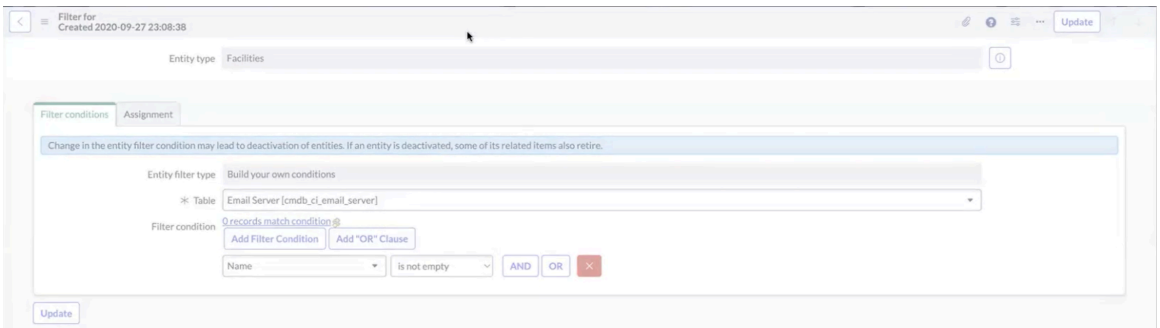
5. フィルター条件を使用して依存関係のエンティティをエンティティタイプに追加するには、[エンティティフィルター] でフィルター条件を選択します。

例に示すように、[エンティティフィルター] にリストされているフィルター条件を使用して、依存関係のエンティティを追加できます。

自動翻訳

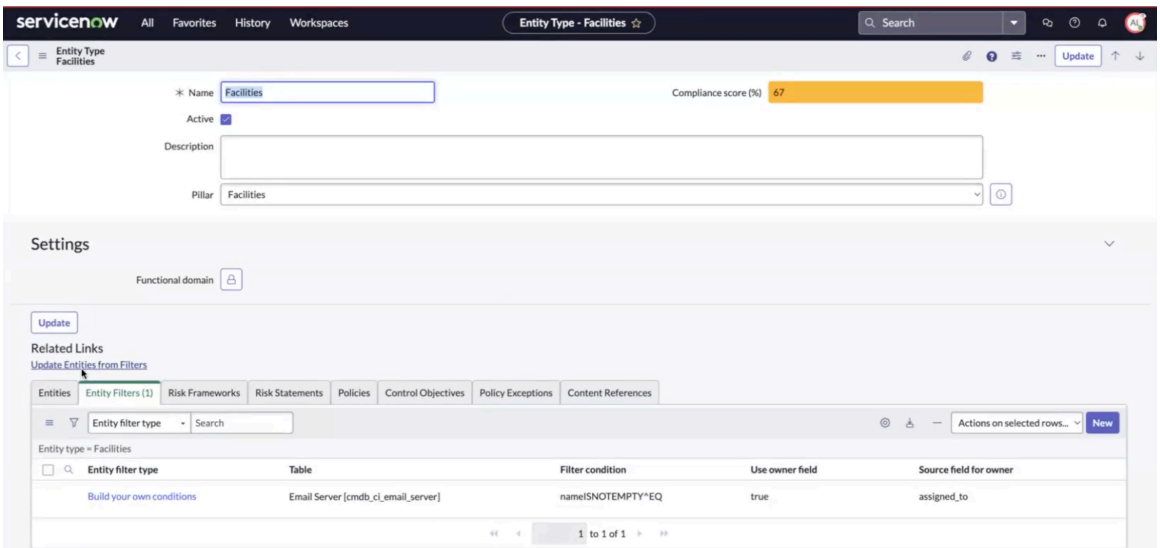
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





6. [更新] を選択します。

関連リンクには、例に示すように、エンティティを更新するための [フィルターからエンティティを更新] リンクが表示されます。

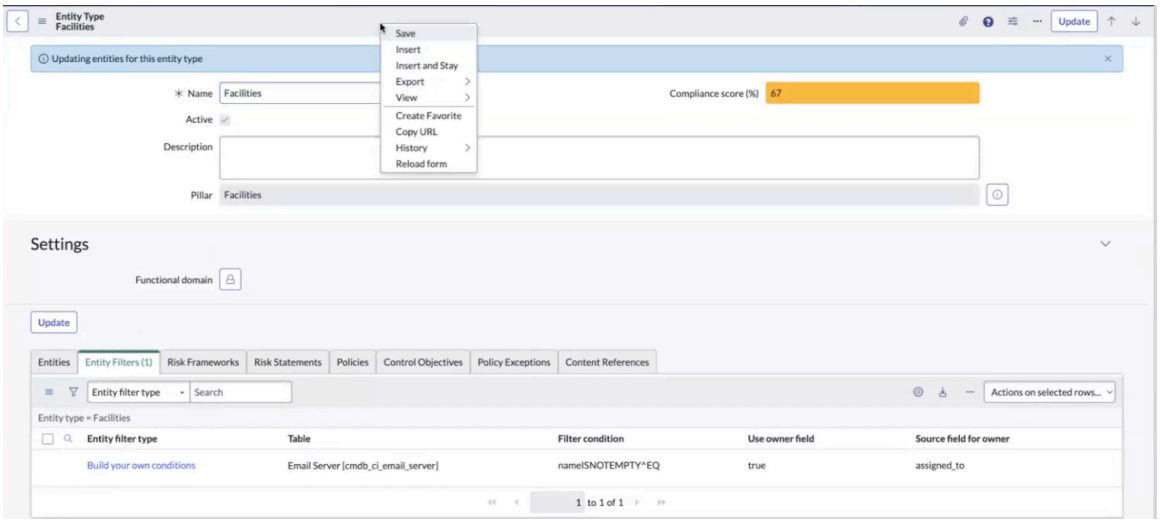


7. [フィルターからエンティティを更新] リンクを選択します。

エンティティタイプのエンティティが更新され、エンティティが [エンティティ] 関連リストに表示されます。

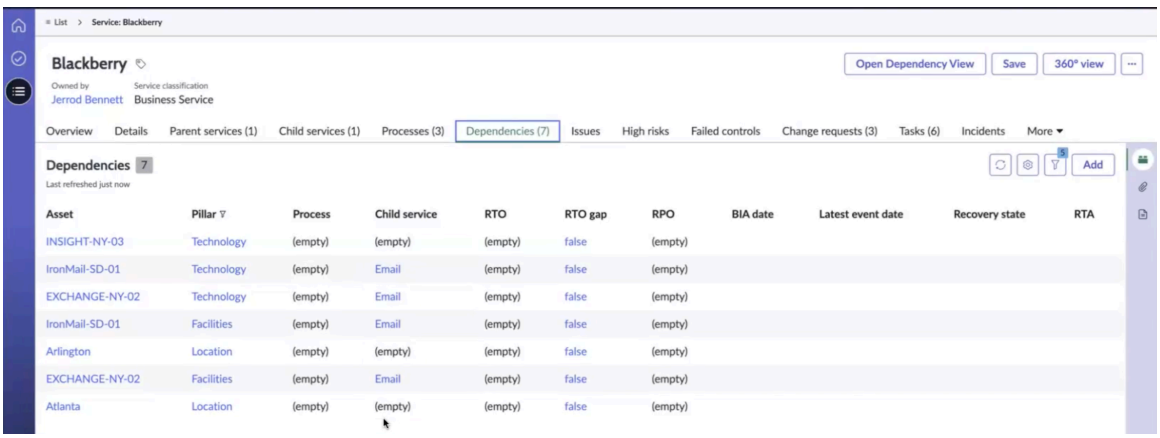
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 依存関係を追加するには、サービスレコードに移動し、[依存関係] 関連リストで [追加] を選択します。

   手動でプルされた依存関係は、サービスレコードのリストに表示されます。



Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの重要性および影響許容度の分析

ビジネスサービスの重要性および影響許容度を分析することで、潜在的な中断がサービスのパフォーマンスにどのような影響を与える可能性があるかを測定できます。Operational Resilience ワークスペースのアセスメントアンケートテンプレートを使用して、選択したビジネスサービスの重要性および影響許容度を測定できます。

ビジネスサービスの重要性および影響許容度

ビジネスサービスの重要性は、サービスを使用する顧客の数、サービスが生み出す収益、会社のブランドへの影響などの要因によって決まります。ビジネスサービスの影響許容度を測定することで、ビジネスとその顧客に何らかの損失を与えることなく、サービスの稼働を停止しておくことができる期間を確認できます。

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、Operational Resilience で事前定義されたアセスメントアンケートテンプレートを作成および管理できます。sn_oper_res.manager ロールを使用すると、分析する 1 つ以上のビジネスサービスを選択し、アセスメントテンプレートを使用してビジネスサービスの重要性と影響許容度を計算できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントワークフローに関連付けられているタスクとステータス

アセスメントワークフローのプロセスは次のとおりです。

- アセスメントのオーナーは 1 つ以上のビジネスサービスを選択し、Operational Resilience ワークスペースで重要性および影響許容度アセスメントを送信します。このアクションでは、事前に入力されたアンケートテンプレートの質問を含む Operational Resilience ワークスペースの [アセスメント] タブを作成します。
- アセスメントの査定人は、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。
- 査定人はアセスメントへのリンクを選択し、アンケートに回答します。アンケートに対する査定人の回答に基づいて、1 つ以上のビジネスサービスの重要度評価と許容期間のアセスメントが生成されます。
- アセスメントが完了した後、オーナーは回答をレビューし、重要性および影響許容度アセスメントの承認を要求します。オーナーの応答は、アセスメントの重要性と影響許容度評価を上書きすることができます。
- アセスメントの承認者が質問への回答を確認し、アセスメントを承認します。
- アセスメントのオーナーが Operational Resilience ワークスペースでアセスメントをクローズします。

アセスメントタスクを実行すると、次のテーブルに示すように、Operational Resilience ワークスペースでさまざまなステータスを通じてアセスメントが更新されます。

アセスメントに関連付けられているステータスと **UI** アクション

ステータス	関連する **UI** アクション	説明
ドラフト	すべてのアセスメントフォームで [新規] を選択します。	すべてのアセスメントフォームで [新規] を選択すると、レコードはデフォルトで [ドラフト] ステータスで作成されます。 [詳細] タブに移動し、アセスメントの詳細を追加します。[サービス] タブで、1 つ以上のビジネスサービスをアセスメントに関連付けます。
応答処理待ち	アセスメントフォームで [評価] を選択します。	[評価] を選択してアセスメントを続行すると、アプリケーションによって [アセスメント] タブのアセスメントのアンケートが入力されます。 アセスメントのステータスは自動的に [応答処理待ち] ステータスに更新されます。査定人は、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントに関連付けられているステータスと UI アクション (続く)

ステータス	関連する UI アクション	説明
		注: アセスメントを続行するには、少なくとも 1 つのサービスをアセスメントに関連付ける必要があります。
アセスメントを受信済み	アセスメントテンプレートで [送信] を選択し、アセスメントフォームで [保存] を選択してアセスメントを完了し、保存します。	アセスメントが [応答処理待ち] ステータスになっている場合は、アセスメントテンプレートで提供されたアセスメントの質問に回答できます。回答を送信するには、[送信] を選択します。アセスメントを保存するには、[保存] を選択します。アセスメントのステータスが [アセスメントを受信済み] に更新されます。 重要度評価と影響許容期間は、アンケートの回答に基づいて自動的に生成されます。 アセスメントのオーナーはアセスメントの承認を要求します。アセスメントの査定人は、アセスメントに関するメール通知を受け取ります。
承認済み	アセスメントフォームで [承認を要求] を選択します。	アセスメントの承認者が質問への回答を確認し、[承認を要求] を選択します。アセスメントのステータスは自動的に [承認済み] に更新されます。
クローズ済み	アセスメントフォームで [クローズ] を選択します。	アセスメントは、[承認済み] ステータスの場合にのみクローズできます。アセスメントをクローズするには、アセスメントフォームで [クローズ] を選択します。アセスメントのステータスが [クローズ済み] に更新されます。

注:
sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、任意のステータスのアセスメントを削除できます。

sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、重要な選択肢モジュールでアセスメント評価の重要度と順序を更新することで、アセスメント評価を設定できます。アセスメント評価の設定の詳細については、「重要な選択肢モジュールのアセスメント評価の更新」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience ロールに関する詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

ビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントの作成

Operational Resilience ワークスペースでビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントを作成します。アセスメントアンケートの質問に対する顧客の回答を確認することで、ビジネスサービスの重要性と顧客への影響を測定できます。

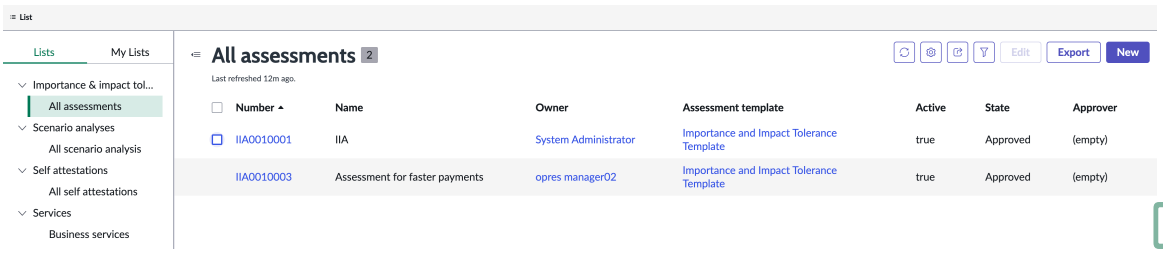
始める前に

必要なロール：sn_oper_res.user、sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > リスト > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント.
   次の例に示すように、Operational Resilience アプリケーションの重要性および影響許容度アセスメントは、すべてのアセスメントフォームに表示されます。

   すべてのアセスメントフォームのリストビュー

2. [新規] を選択します。

   このアクションにより、アセスメントの詳細を追加できるアセスメントフォームが作成されます。

3. [名前] フィールドと [説明] フィールドに、アセスメントの名前と説明を入力します。
4. [アセスメントテンプレート] フィールドで、[重要性および影響許容度のテンプレート] を選択します。
5. [アサイニー] パネルで、アセスメントのオーナー、承認者、および査定人を選択します。

   注:
   アセスメントのオーナーは承認者になることはできません。

   重要性および影響許容度アセスメントフォームのフィールド値の説明については、「重要性および影響許容度アセスメントフォーム」を参照してください。

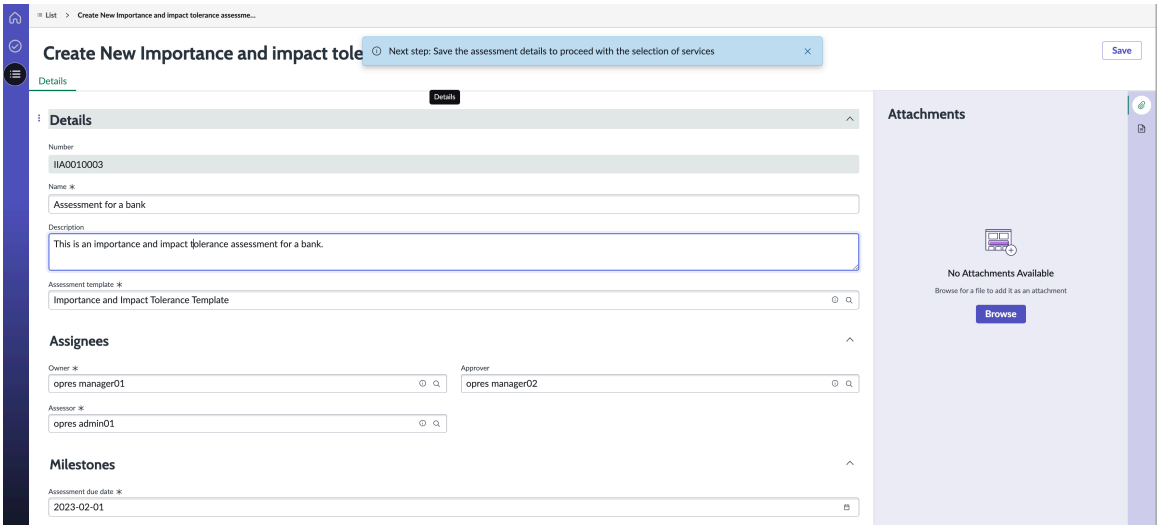
6. [マイルストーン] パネルの [アセスメント期日] フィールドで、アセスメントの期日を選択します。
7. [保存] を選択します。

   新しいアセスメントが [ドラフト] ステータスで作成されます。次の例に示すように、アセスメントの詳細がアセスメントフォームに表示されます。

自動翻訳

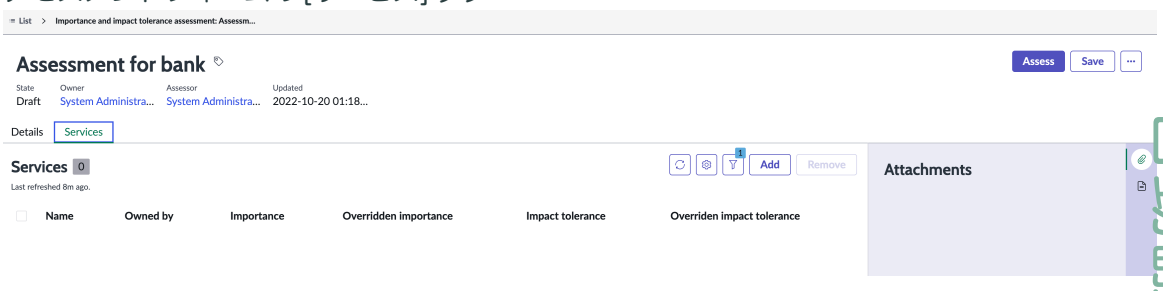
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度アセスメント



[サービス] タブで、サービスをアセスメントに関連付けることができます。次の例に示すように、[サービス] タブがアセスメントフォームに表示されます。

アセスメントフォームの [サービス] タブ



アセスメントが完了すると、[サービス] タブに、名前、オーナー、重要度、上書きされた重要度、影響許容度、上書きされた影響許容度などの情報が表示されます。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

Operational Resilience ワークスペースで 新規重要性および影響許容度アセスメント作成フォームを使用して、ビジネスサービスのアセスメントを作成します。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム

フィールド	説明
[詳細] パネル	
番号	アセスメントの番号。このフィールドは自動入力されます。
名前	アセスメントの名前。
説明	アセスメントの説明。
アセスメントテンプレート	顧客が入力するデフォルトの [重要性および影響許容度のテンプレート] フィールド。
[アサイニー] パネル	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度アセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
所有者	アセスメントのオーナー。このフィールドは自動入力されます。
承認者	アセスメントの承認者。
査定人	アセスメントの査定人。このフィールドは自動入力されます。
フォームのヘッダーに表示される自動入力フィールド	
ステータス	アセスメントの状態。このフィールドは自動入力されます。
所有者	アセスメントのオーナー。
査定人	アセスメントの査定人。
更新日時	フォームの詳細が更新された日時。
[マイルストーン] パネル	
アセスメント期日	アセスメントが期限切れになる日付。
作成	アセスメントに関するプライベート作業メモとコメント。
アクティビティ	アセスメントのアクティビティに関する詳細。

ビジネスサービスの追加と重要性および影響許容度アセスメントの開始

重要性および影響許容度アセスメントにビジネスサービスを追加します。このアセスメントにより、潜在的な中断がビジネスサービスに与える可能性のある影響について理解できます。

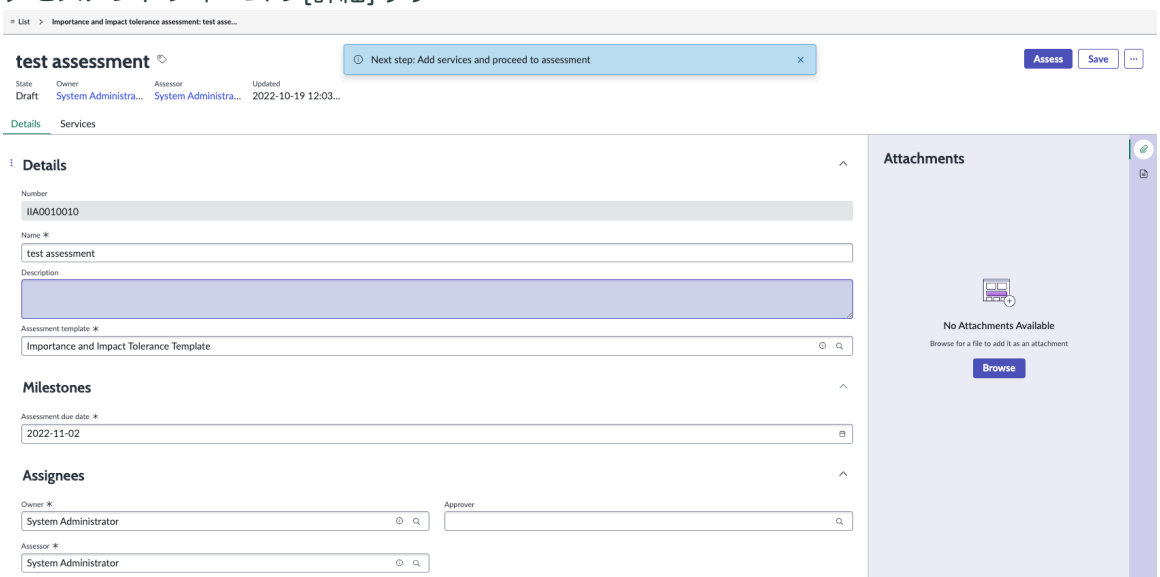
始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > リスト > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント をクリックし、作業中のアセスメントを選択します。
   次の例に示すように、[詳細] タブがアセスメント情報で更新されます。

アセスメントフォームの [詳細] タブ



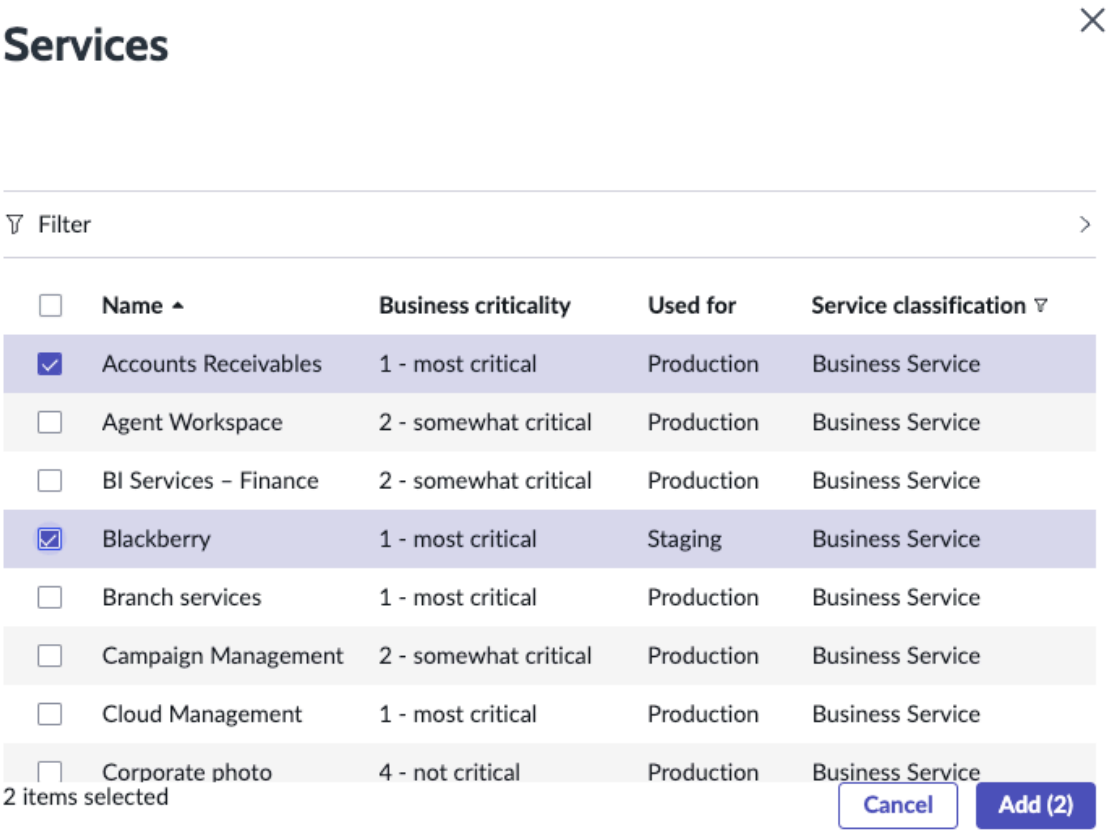
アセスメントの [サービス] タブが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

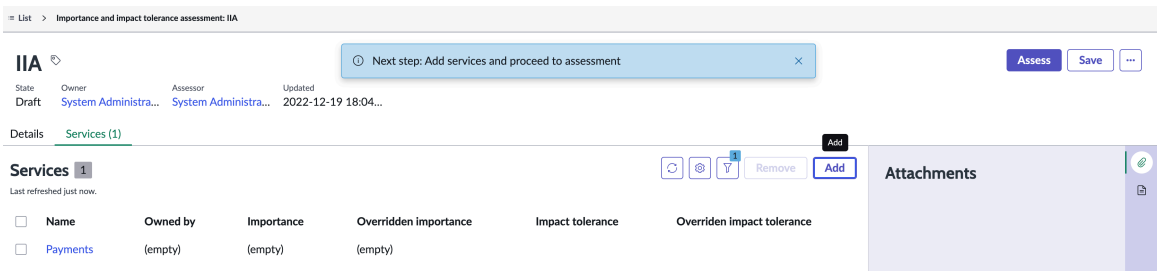
2. [サービス] タブに移動し、アセスメントにサービスを追加して、[追加] を選択します。
次の例に示すように、1 つ以上のサービスをアセスメントに追加できます。

アセスメントに **1** つ以上のサービスを追加



[サービス] タブには、次の例に示すように、関連するサービスが一覧表示されます。

アセスメントに関連付けられるサービス



3. [評価] を選択してアセスメントを作成します。
[評価] を選択すると、インスタンスにアセスメントが作成されます。

アセスメントフォームに [アセスメント] タブが表示されます。次の情報メッセージが画面に表示されます。

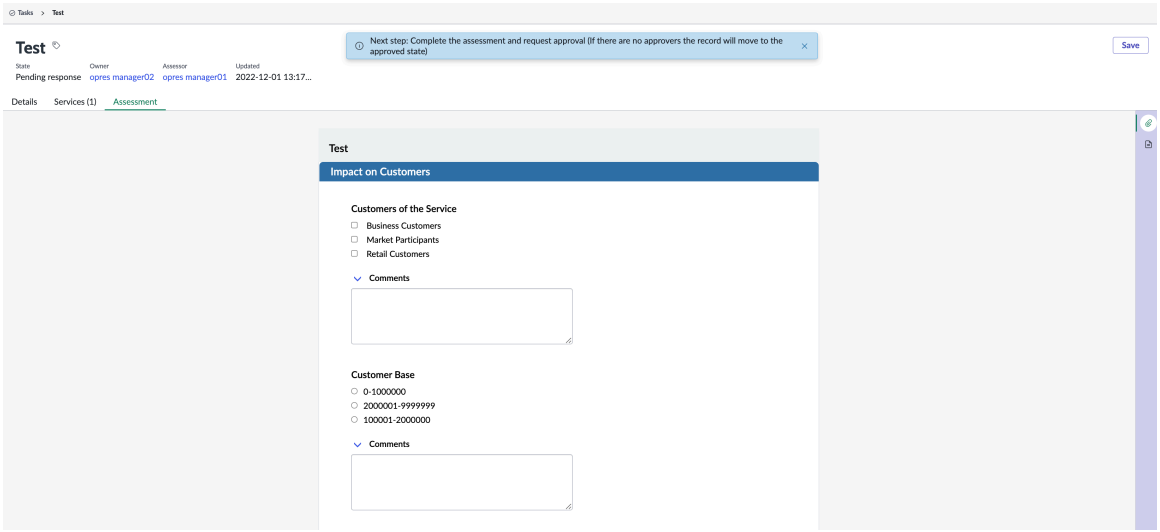
- *An assessment is created.*
- *Next step: Complete the assessment and request approval (If there are no approvers, the record will move to the approved state.)*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例に示すように、[アセスメント] タブにアセスメントの質問が表示されます。

重要性および影響許容度アセスメント



タスクの結果
アセスメントのステータスが [応答処理待ち] に更新されました。アセスメントの査定人は、アセスメントへのリンクを含むメール通知を受け取ります。

注:
承認者がいない場合、アセスメントのステータスは自動的に [承認済み] ステータスに変わります。

ビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントの送信

重要性および影響許容度アセスメントの査定人としてログインし、アンケートに回答して、承認のために Operational Resilience ワークスペースでアセスメントを送信します。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

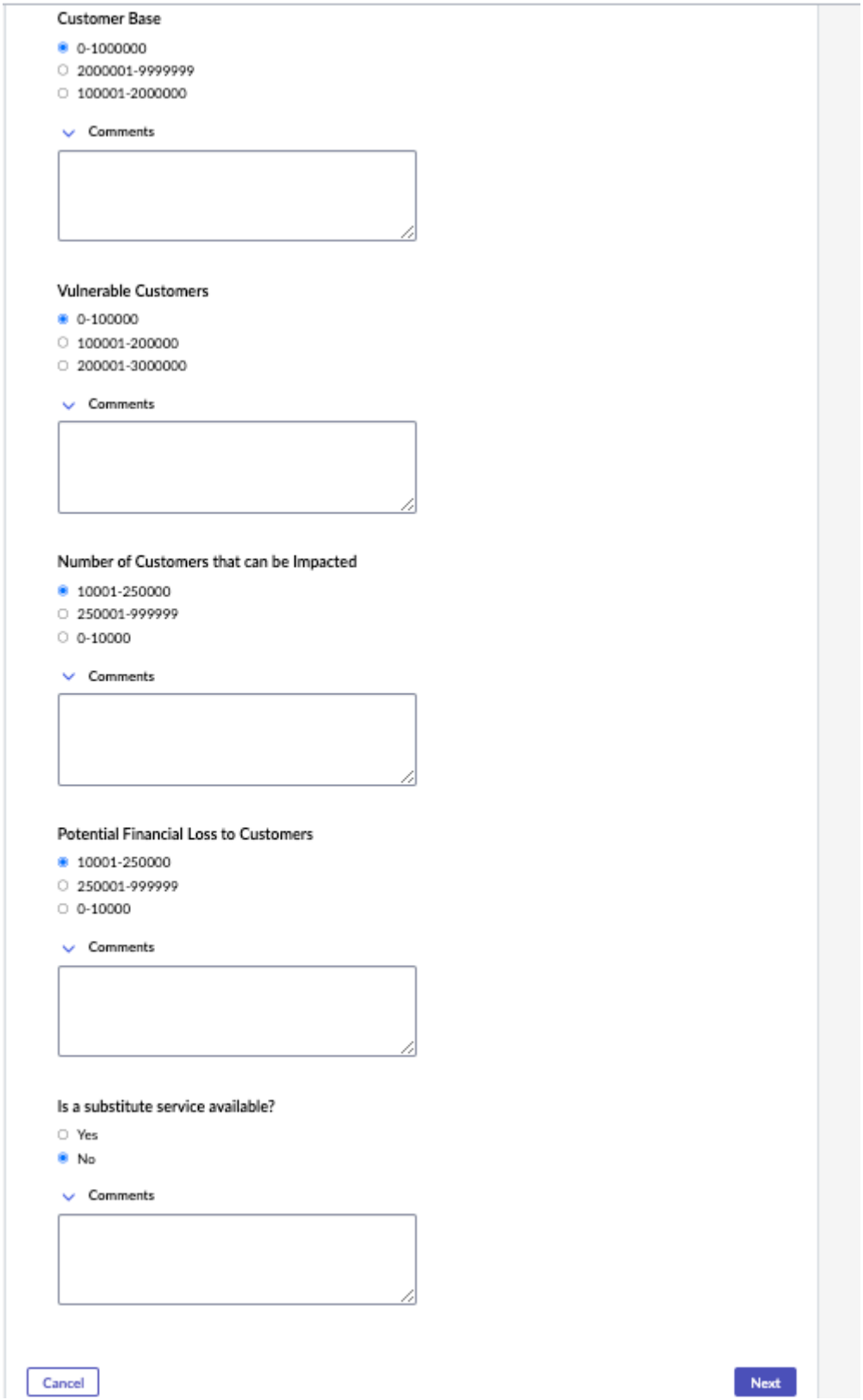
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > リスト > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント 次に、作業中のアセスメントに移動します。
2. [アセスメント] タブでアセスメントの質問に回答します。
   査定人は、次の例に示す重要性および影響許容度のテンプレートの 5 つのページの質問に回答できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

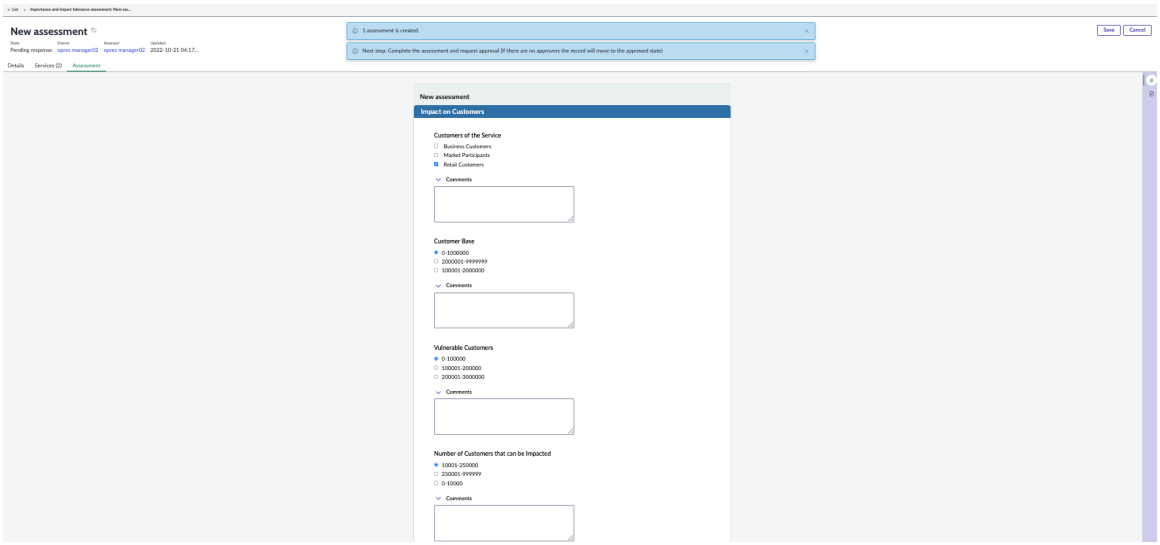
重要性および影響許容度のテンプレートページ1



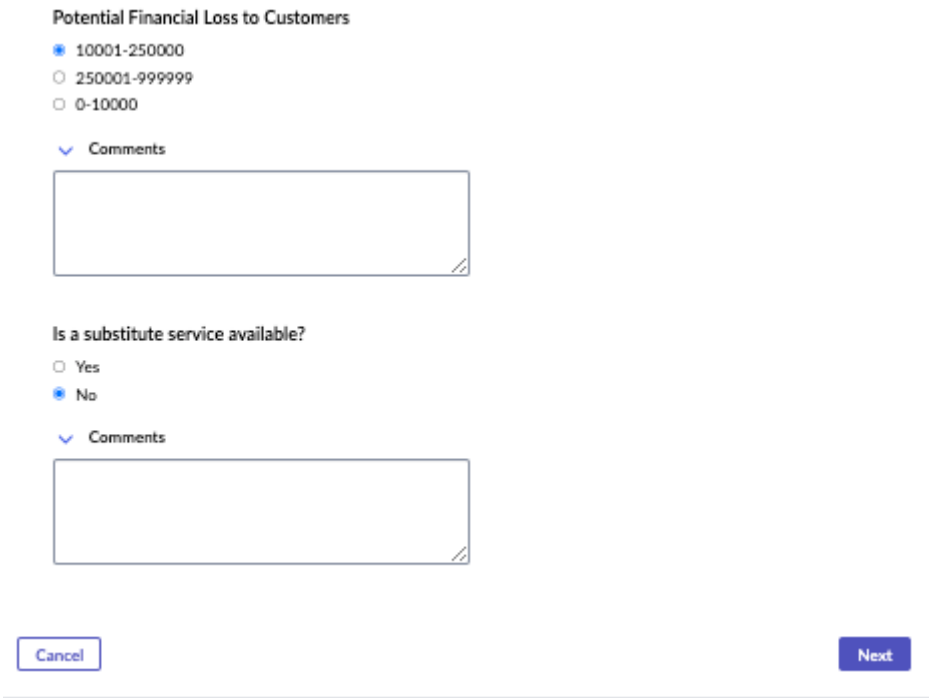
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度のテンプレートページ 2



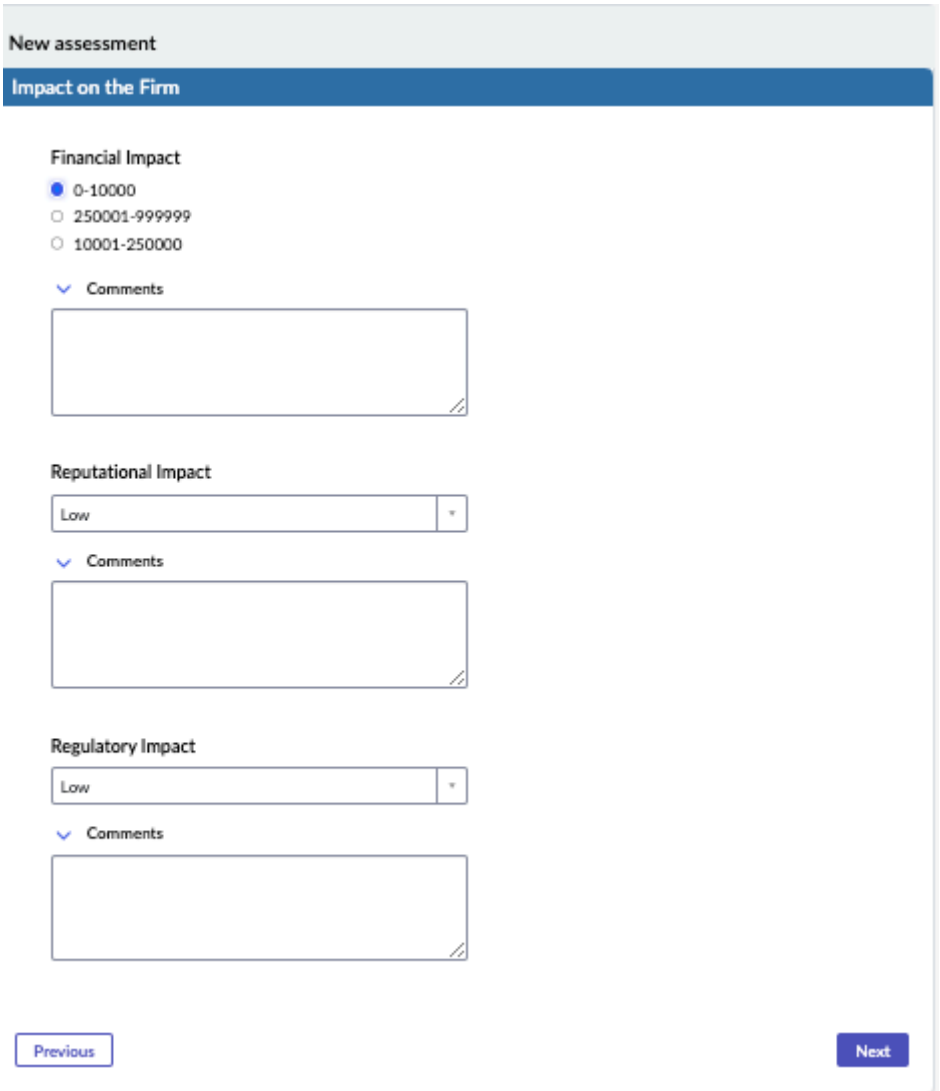
重要性および影響許容度のテンプレートページ 3



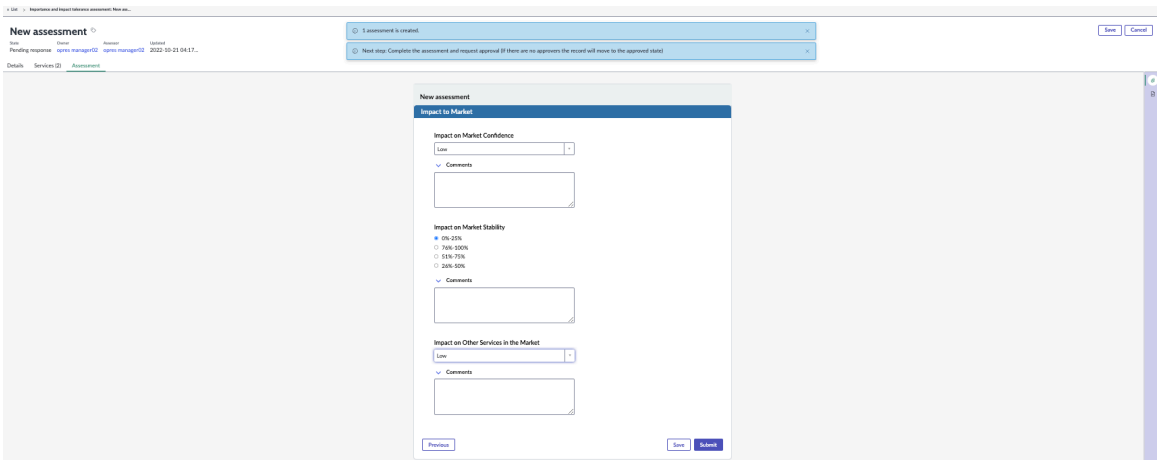
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度のテンプレートページ **4**



重要性および影響許容度のテンプレートページ **5**



3. アセスメントフォームで、[保存] を選択します。
   必要な質問に回答したら、回答を保存できます。
4. [送信] を選択します。
   アセスメントを送信した後に、[アセスメント] タブでアセスメントの進捗状況を追跡できます。

自動翻訳

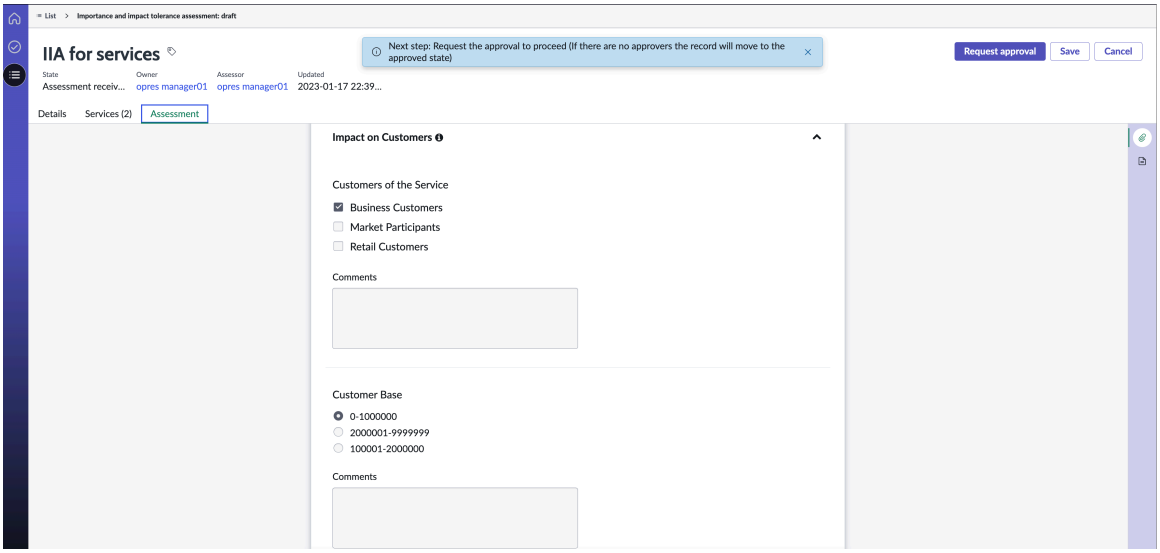
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントを送信すると、次の情報メッセージが画面に表示されます：*Your responses have been submitted. Thanks for taking the Risk Assessment.*。

アセスメントのステータスが [アセスメントを受信済み] に更新されました。

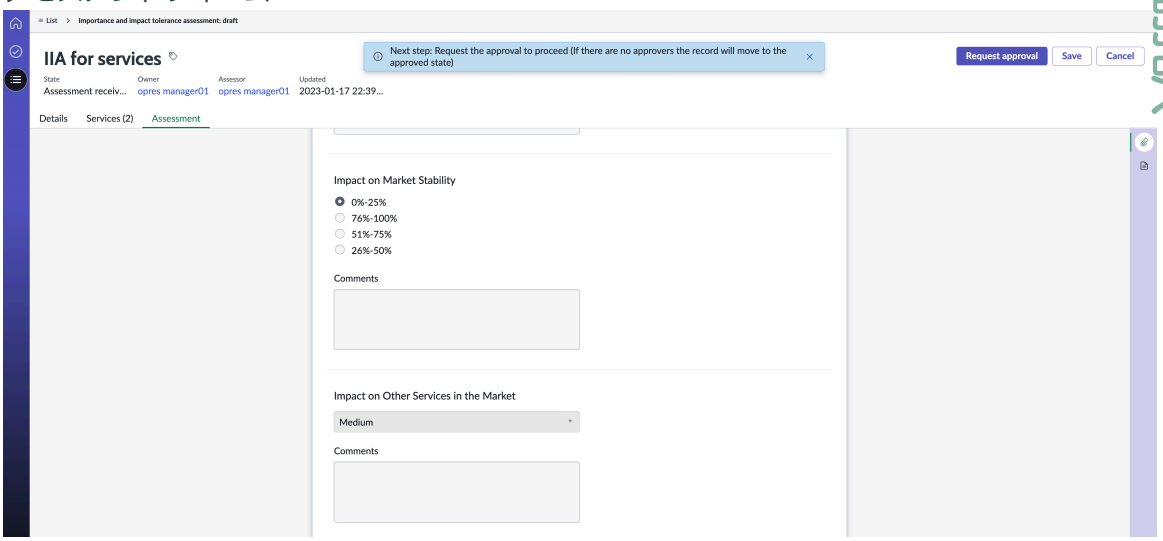
次の例に、[アセスメントを受信済み] ステータスのサンプルのアセスメントフォームを示します。

アセスメントを受信済み



5. [保存] を選択します。
サンプルのアセスメントフォームを次の例に示します。

アセスメントフォーム



重要性および影響許容度アセスメントの承認の要求

Operational Resilience ワークスペースで、重要性および影響許容度アセスメントの承認を要求します。この承認によって、正確な評価がビジネスサービスに割り当てられていることを確認できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

自動翻訳

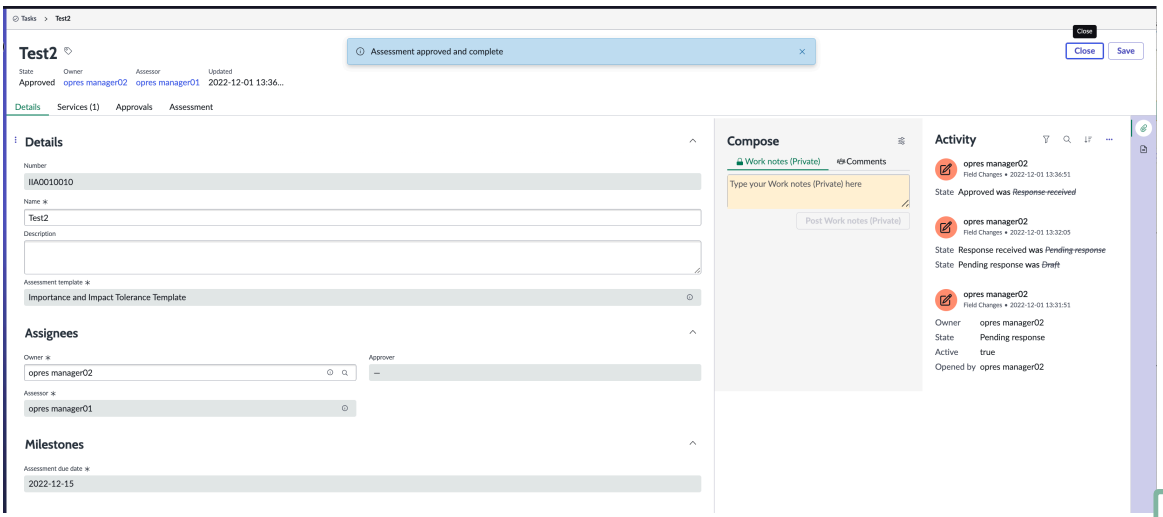
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント > アセスメント 次に、作業中のアセスメントに移動します。
2. [承認を要求] を選択します。

   アセスメントのステータスが [承認済み] に更新されました。次の例に示すように「*Assessment approved and complete.*」というメッセージが表示されます。

   承認されたアセスメント

   アセスメントフォームのヘッダーには、ステータス、オーナー、査定人、アセスメントが更新された日時などの詳細が表示されます。

重要性および影響許容度アセスメントのクローズ

Operational Resilience ワークスペースでアセスメントワークフローを完了できるように、ビジネスサービスの重要性および影響許容度アセスメントをクローズします。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて

アセスメントが承認されると、アセスメントが承認されたことを示す通知がアセスメントのオーナーに自動的に送信されます。アセスメントのオーナーがアセスメントをクローズします。

手順

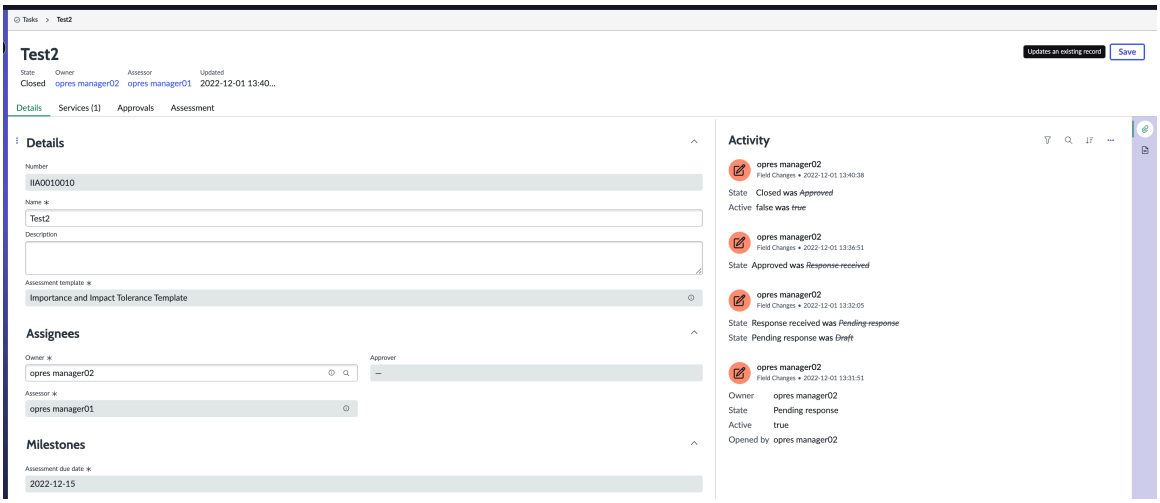
1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > 重要性および影響許容度アセスメント > すべてのアセスメント.
2. [承認済み] ステータスのアセスメントを選択します。
3. [クローズ] を選択します。
   このアクションを実行することで、重要性および影響許容度アセスメントをクローズすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例に示すように、アセスメントのステータスを [クローズ済み] に更新しました。

クローズ済みの重要性および影響許容度アセスメント



Operational Resilience ワークスペースでのシナリオ分析の実行

シナリオ分析を実行することで、ビジネスに影響を与える可能性のあるリスクを判断できます。たとえば、シナリオとイベントがビジネスサービスに与える影響を分析できます。Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析からアクションと改善を追跡することもできます。

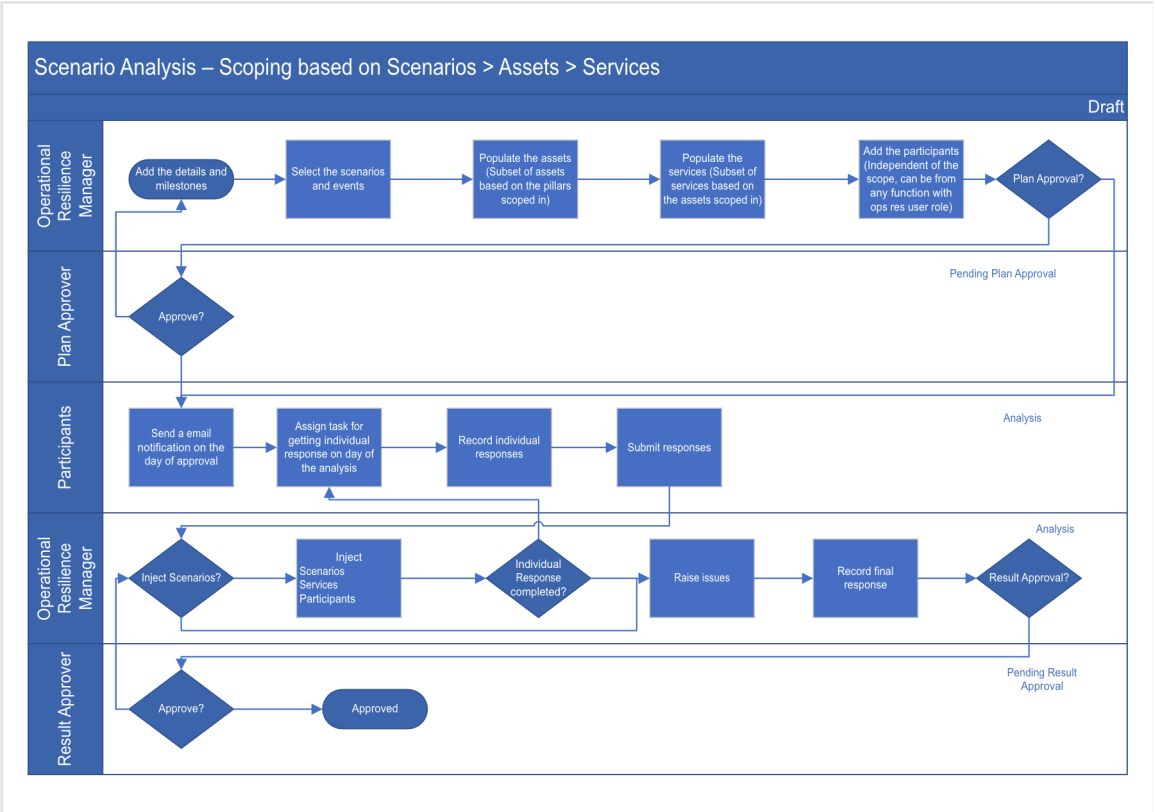
シナリオ分析の概要

シナリオは、イベントが組織にどのように影響を与えるかをテストするために使用されるビジネス固有のリスクを表します。シナリオ分析を実行することで、シナリオと関連イベントがビジネスサービスに与える影響を分析できます。各サービスには、いくつかの依存関係が関連付けられています。*Compute Operational Resilience Compliance* スケジュール設定済みジョブがバックグラウンドで実行され、サービスの依存関係が入力されます。シナリオ分析のオーナーは、計画の承認を要求できます。

シナリオ分析ワークフローのサンプルを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



計画承認者が計画承認を承認すると、シナリオ分析の応答タスクがトリガーされます。分析の参加者は応答タスクを処理し、分析に観察事象を追加します。

シナリオ分析のオーナーは、サービスのステータスを確認し、中断の可能性を計算できます。応答タスクが完了したら、シナリオ分析の分析の承認を要求できます。分析承認者がシナリオ分析を承認したら、Operational Resilience ワークスペースでそれをクローズしてそのステータスを監視できます。

シナリオ分析を設定するタスク

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、次のようにシナリオ分析を設定できます。

- ビジネスに適用可能なリスクを判断するのに役立つシナリオを作成します。
- シナリオ分析フォームで、オーナー、計画承認者、および分析承認者をシナリオ分析にアサインします。
- シナリオに適用可能なサービスと依存関係を追加します。
- 1 つ以上のシナリオイベントをシナリオ分析に関連付けます。シナリオイベントに固有の参加者、サービス、依存関係、および問題を追加します。シナリオイベントが参加者に関連付けられると、対応タスクが [応答] タブで自動的に生成され、参加者にアサインされます。
- シナリオ分析をシナリオの計画承認者に送信し、計画の承認を要求します。
- シナリオ分析イベントに関する観察事象、ギャップ、および推奨事項を参加者から収集します。シナリオイベントの参加者は、財務部門や HR 部門など、関連するビジネス機能のユーザーであり、少なくとも sn_oper_res.user ロールを持っています。
- 影響許容度を中断期間と比較して、サービスの違反があったかどうかを判断します。
- オープンの対応タスクをクローズし、シナリオ分析に関連付けられているシナリオイベントをオープンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- シナリオ分析をレビューのために分析承認者に送信し、シナリオの承認を要求します。
- シナリオ分析をクローズして、Operational Resilience ワークスペースでそのステータスを監視します。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと UI

次の表で、シナリオ分析に関連付けられているステータスと UI アクションについて説明します。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと **UI**

ステータス	**UI** アクション	説明
ドラフト	すべてのシナリオ分析フォームで、[新規] を選択します。	このステータスの UI アクションの詳細： • すべてのシナリオ分析フォームで、[新規] を選択し、[詳細] タブで情報を追加して、[保存] を選択します。レコードが [ドラフト] ステータスで自動的に作成されます。 • 次の例に示すように、[サービス] タブで [追加] を選択して、利用可能なサービスのリストからサービスを追加します。 シナリオ分析へのサービスの追加  **注:** サービスは、Operational Resilience アプリケーションのサービス (OR) エンティティタイプから取得されます。 • Operational Resilience アプリケーションのいくつかのサービスは、Acer や Adran などの特定の依存関係に関連付けられています。依存関係に関連付けられているサービスを選択するには、次の例に示すように、[依存関係関連サービスを追加 **(Add dependency related service)]** を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと **UI** (続く)

ステータス	UI アクション	説明
		依存関係関連サービスを追加  • 次の例に示すように、[依存関係] タブで [追加] を選択して、依存関係をシナリオ分析に関連付けます。 シナリオ分析への依存関係の追加  いくつかの依存関係は特定のサービスに関連付けられています。[サービス関連依存関係を追加 **(Add service related dependency)]** を選択して、特定のサービスに関連付けられている依存関係を追加できます。 サービス関連依存関係を追加  • 選択内容を保存するには、[保存] を選択します。 • シナリオ分析フォームで、[計画承認を要求] を選択し、シナリオの計画承認者に計画の承認を要求します。 **注:** シナリオ分析を開始するには、少なくとも 1 つサービスを関連付ける必要があります。
計画承認待ち	[承認] タブに移動し、ステータスを [要求済み] から [承認済み] に更新して、シナリオ分析	このステータスの UI アクションの詳細：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと **UI** (続く)

ステータス	**UI** アクション	説明
	フォームで [保存] を選択します。	• 分析の計画承認者は、[処理待ちの計画承認] ステータスの分析のスコープを確認する必要があります。関連付けられたサービス、参加者、シナリオイベント、および問題の設定を確認できます。 • 分析の計画を承認するには、[承認] タブに移動し、ステータスを [要求済み] から [承認済み] に更新して、シナリオ分析フォームで [保存] を選択します。 • シナリオ分析の計画を承認して保存すると、シナリオ分析のステータスが [分析] に更新されます。 • 計画を却下すると、シナリオ分析のステータスは [ドラフト] にリセットされます。
分析	[シナリオイベント] タブで、[追加] を選択してシナリオイベントを分析に追加します。[参加者] タブで、[追加] を選択して参加者を分析に追加します。 [シナリオイベント] タブで、ステータスを [クローズ済み] に更新してシナリオイベントをクローズします。[分析承認を要求] を選択します。	このステータスの UI アクションの詳細： • このステータスでは、シナリオ分析の参加者は、シナリオ分析フォームに作業メモを追加し、責任に基づいてイベントを処理できます。 サンプルシナリオ分析フォームを次の例に示します。 分析ステータスのタブ  **注:** シナリオ分析を続行する前に、少なくとも 1 つのサービス、1 人の参加者、および 1 つのシナリオイベントを追加する必要があります。 • [シナリオ分析] タブで、[追加] を選択して、1 つ以上の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと **UI** (続く)

ステータス	UI アクション	説明
		シナリオイベントを分析に関連付けます。 • [参加者] タブで、[追加] を選択して、1 人以上の参加者を分析に関連付けます。シナリオイベントが作成されると、応答タスクが自動的に作成され、参加者にアサインされます。参加者からフィードバックを収集し、フォーム上の関連イベントごとに参加者の観察事象、ギャップ、および推奨事項を確認できます。 • [応答] タブに移動し、シナリオイベントに関連付けられている応答タスクをクローズします。 • シナリオイベントのステータスを [ドラフト] から [完了] に更新し、オープンされているシナリオイベントをクローズします。[保存] を選択します。 • 観察事象と推奨事項を基にして、シナリオ分析の詳細が、このステータスでシナリオ分析フォームに自動的に入力されます。分析承認者からの承認を要求するには、分析フォームで [分析承認を要求] を選択します。シナリオ分析のステータスが [分析の承認待ち] に更新されます。
分析の承認待ち	[承認] タブに移動し、ステータスを [要求済み] から [承認済み] に更新します。	分析承認者である場合は、このステータスで分析スコープを確認できます。選択したビジネスサービスの分析の進捗状況を確認します。その後、分析を承認または却下できます。
承認済み	分析フォームで、[保存] を選択します。	シナリオ分析を承認すると、シナリオ分析のステータスが [承認済み] に更新されます。シナ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析に関連付けられているステータスと **UI** (続く)

ステータス	UI アクション	説明
		リオ分析を却下すると、シナリオ分析のステータスは [分析] にリセットされます。 シナリオ分析のステータスが [承認済み] ステータスの場合は、シナリオ分析をクローズできます。
クローズ済み	分析フォームで、[クローズ] を選択します。	シナリオ分析のオーナーは、シナリオ分析をクローズできます。ステータスが [クローズ済み] に更新されます。

サービス **(OR)** エンティティタイプからのサービスエンティティの取得

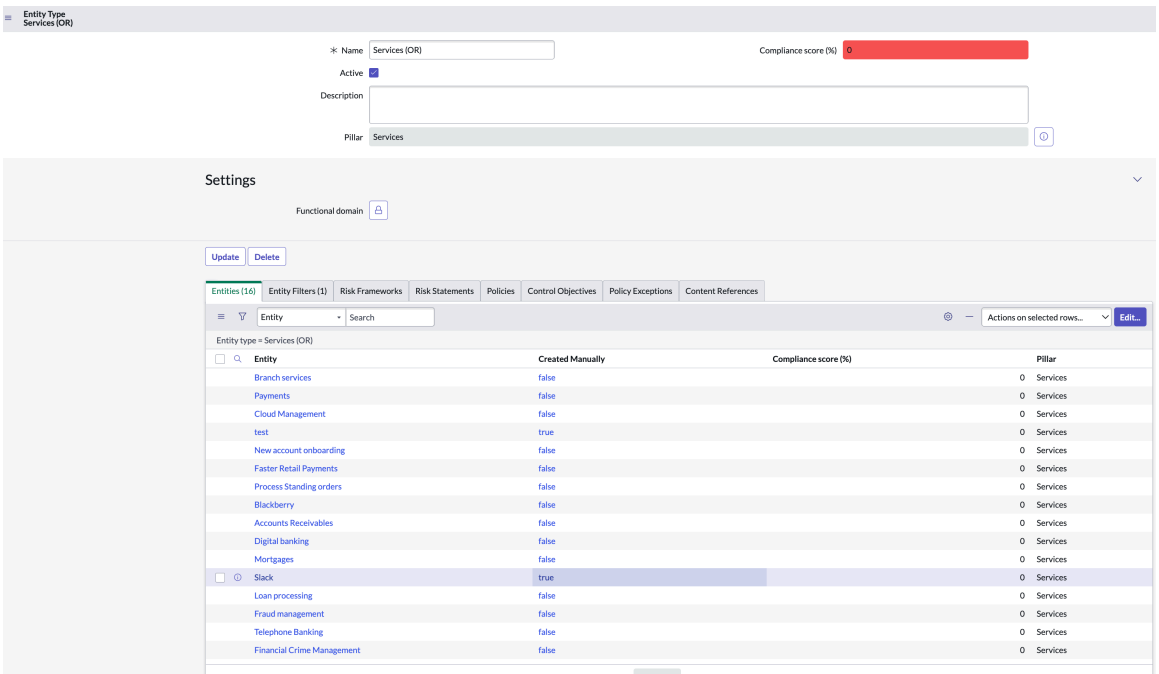
次の例に示すように、Operational Resilience アプリケーションは、サービス (OR) エンティティタイプからサービスエンティティを取得します。

サービス **OR** エンティティタイプ



sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、次の例に示すように、Operational Resilience アプリケーション UI でエンティティタイプモジュールとその関連リストを表示できます。

サービス **OR** エンティティタイプのサービスエンティティ



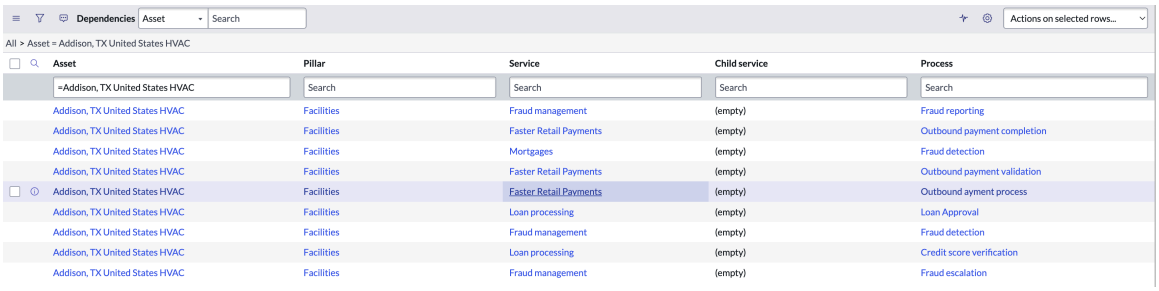
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
施設、 人、サプライヤー、およびテクノロジーの各ピラーに属するエンティティのみを選択できます。サービスとプロセスのピラーは、エンティティのピラーのリストから除外されます。

サービスの依存関係

各サービスには、いくつかの依存関係が関連付けられています。*Compute Operational Resilience Compliance* スケジュール設定済みジョブがバックグラウンドで実行され、サービスの依存関係が入力されます。次の例は、Addison, TX United States HVAC エンティティが、Faster Retail Payments サービスをサポートするための依存関係としてリストされていることを示しています。

サービスの依存関係

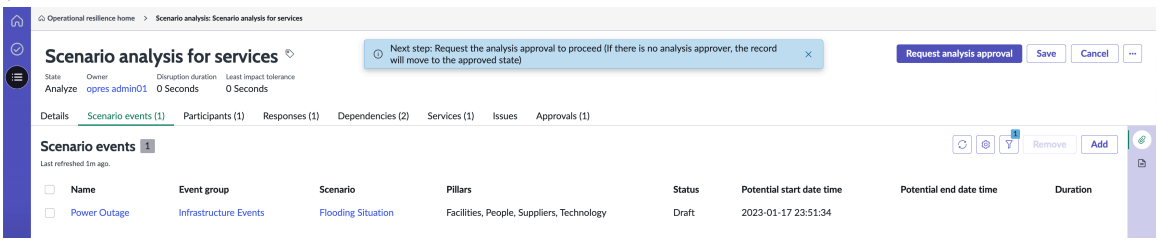


施設、人員、サプライヤー、およびテクノロジーの各ピラーに属する依存関係のみを選択できます。サービスとプロセスのピラーは、依存関係のピラーのリストから除外されます。

応答タスク

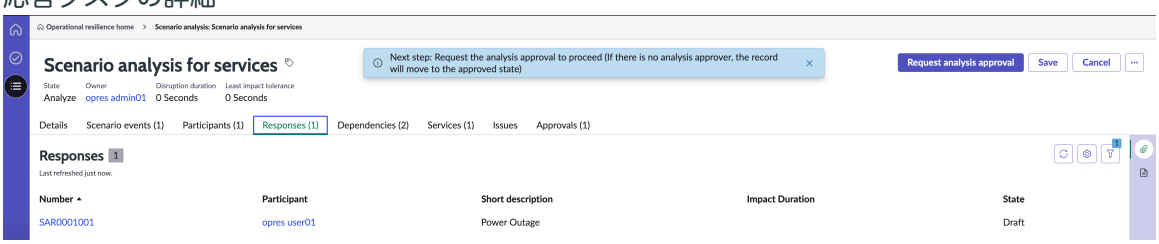
シナリオ分析オーナーがシナリオイベントを作成して参加者を追加すると、その参加者用の応答タスクが自動的に作成されます。次の例は、参加者がシナリオイベントにアサインされると、応答タスクが作成されることを示しています。参加者にメール通知が自動的に送信されます。

参加者の応答タスク



[応答] タブには、次の例に示すように、応答タスク番号、アサインされた参加者の名前、応答タスクのステータスなどの応答タスクの詳細が表示されます。

応答タスクの詳細

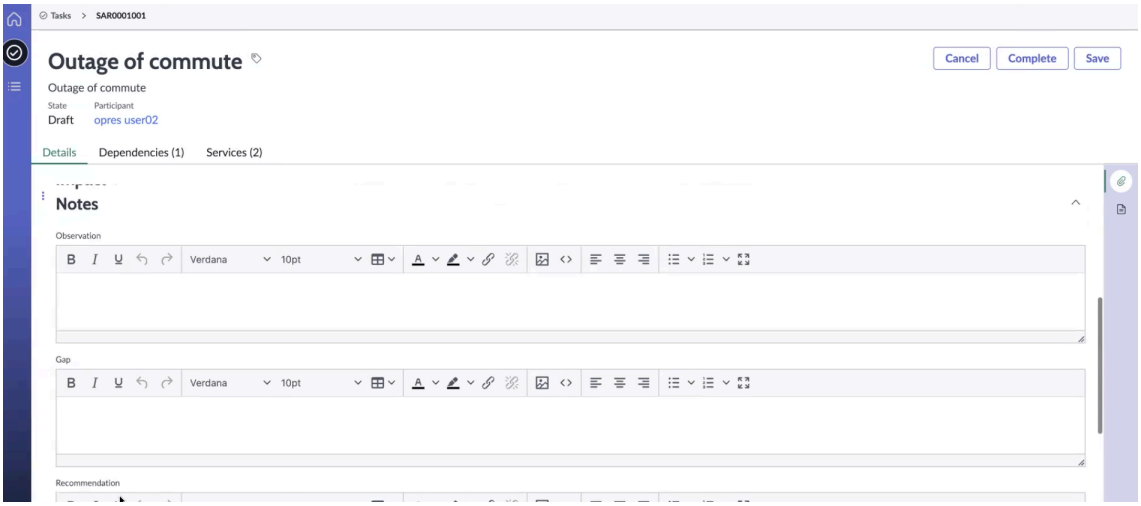


シナリオイベントの所有者は、サービスと依存関係を応答タスクに追加できます。応答タスクのアサイニーは、次の例に示すように、応答タスクを完了し、シナリオイベントに関するメモを追加して、シナリオイベントの影響期間を更新できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオイベントに関するメモ



リリース **15.xx** からリリース **16.xx** へのアップグレードに関する既知の問題

リリース 15.xx からリリース 16.xx へのアップグレード中に、[分析] ステータスのシナリオ分析があり、参加者がすでにシナリオ分析に追加されている場合、応答タスクは自動的に作成されません。これは既知の問題です。

この問題の回避策として、Operational Resilience マネージャーは、そのシナリオ分析から参加者を削除し、同じシナリオ分析に追加する必要があります。Operational Resilience アプリケーションはその後でシナリオ分析の応答タスクを自動的に作成します。

注:
応答タスクなしでシナリオ分析を続行することもできます。

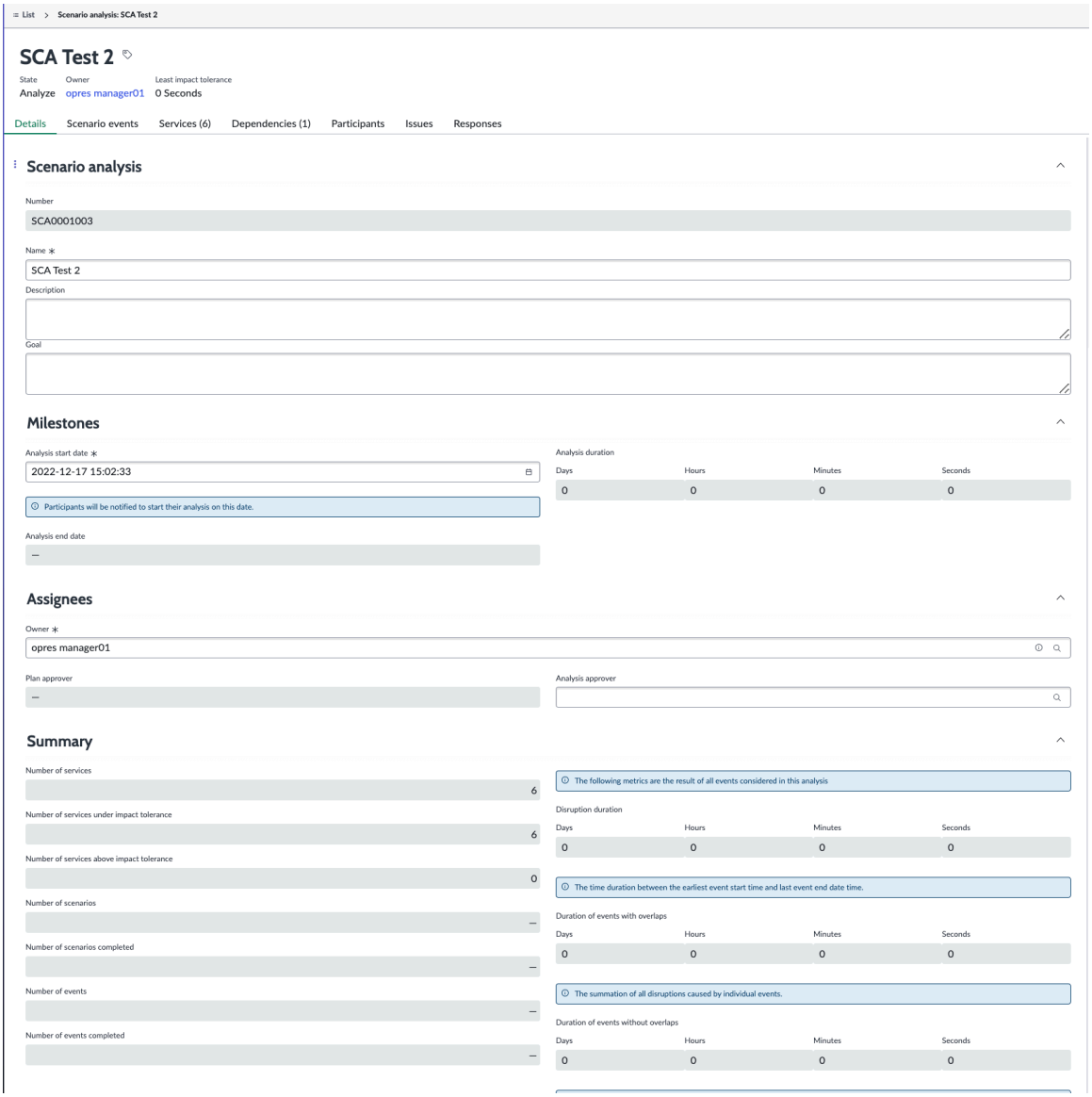
サービス、シナリオ、中断、およびイベントのサマリー

次の例に示すように、[サマリー] パネルでサービス、シナリオ、中断、およびイベントに関する情報を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析フォームの [サマリー] パネル



[サマリー] パネルには、ビジネスサービス、関連するシナリオ、中断、およびイベントに関する情報が表示されます。フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

サービス、シナリオ、中断、およびイベントのサマリー

フィールド	説明
サービスの数	シナリオ分析に関連付けられたサービスの数
影響許容度内のサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度内のサービスの数
影響許容度を超えているサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度を超えているサービスの数
シナリオの数	分析に関連付けられたシナリオの数
完了したシナリオの数	分析に関連付けられ、完了しているシナリオの数
イベント数	分析に関連付けられたイベントの数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス、シナリオ、中断、およびイベントのサマリー (続く)

フィールド	説明
完了したイベントの数	分析に関連付けられ、完了したイベントの数
中断期間	最後のイベントの終了時間と最初のイベントの開始時間の間の期間日数で表示されます。
重複のあるイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含む、すべてのイベント期間のサマリー。日数と分数で表示されます。
重複のないイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含まない、すべてのイベント期間のサマリー。日数と分数で表示されます。

ビジネスサービスのシナリオ分析の作成

Operational Resilience ワークスペースで、ビジネスサービスのシナリオ分析を作成します。シナリオと関連イベントの影響を分析できます。その後で、中断を計算し、いずれかのサービスが違反したかどうかを判断することができます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

このタスクについて

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、シナリオ分析を作成できます。シナリオ分析のオーナーと sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーのみが分析を編集できます。分析をレビューした後で、承認を要求できます。分析が [承認済み] ステータスの場合は、クローズできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > リスト > すべてのシナリオ分析 をクリックし、[新規] を選択します。
   新規シナリオ分析を作成 (Create New Scenario analysis) フォームが表示されます。
2. [シナリオ分析] パネルで、シナリオ分析の名前、説明、および目標を入力します。
   シナリオ分析の番号は、システムによって自動的に入力されます。
3. [マイルストーン] パネルの [分析開始日] フィールドに、分析の開始日を *YYYY-MM-DD HH:mm:ss* 形式で入力します。
   分析開始日に分析を開始するように指示する通知が参加者に送信されます。
4. [アサイニー] パネルの [計画承認者] フィールドで、分析の計画承認者を選択します。
5. [分析承認者] フィールドで、分析の分析承認者を選択します。

   ログインしているユーザーが分析のオーナーとして自動的にアサインされます。

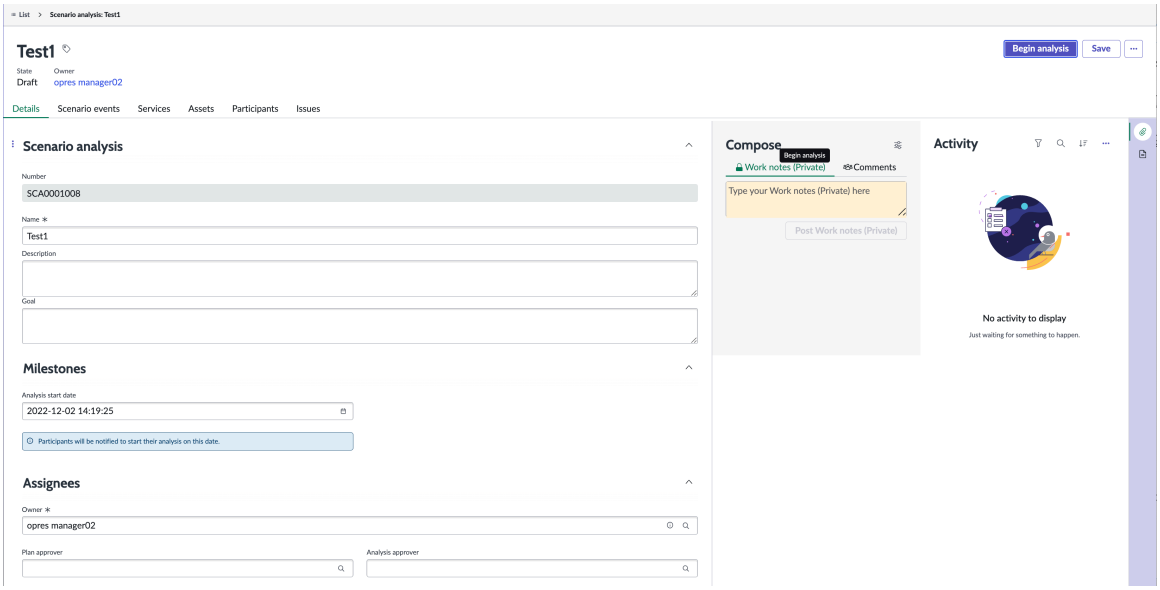
   ユーザーの新規レコードフォームのフィールド値の説明については、「新規シナリオ分析を作成 (Create New Scenario analysis) フォーム」を参照してください。

   サンプルシナリオ分析フォームを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルシナリオ分析フォーム



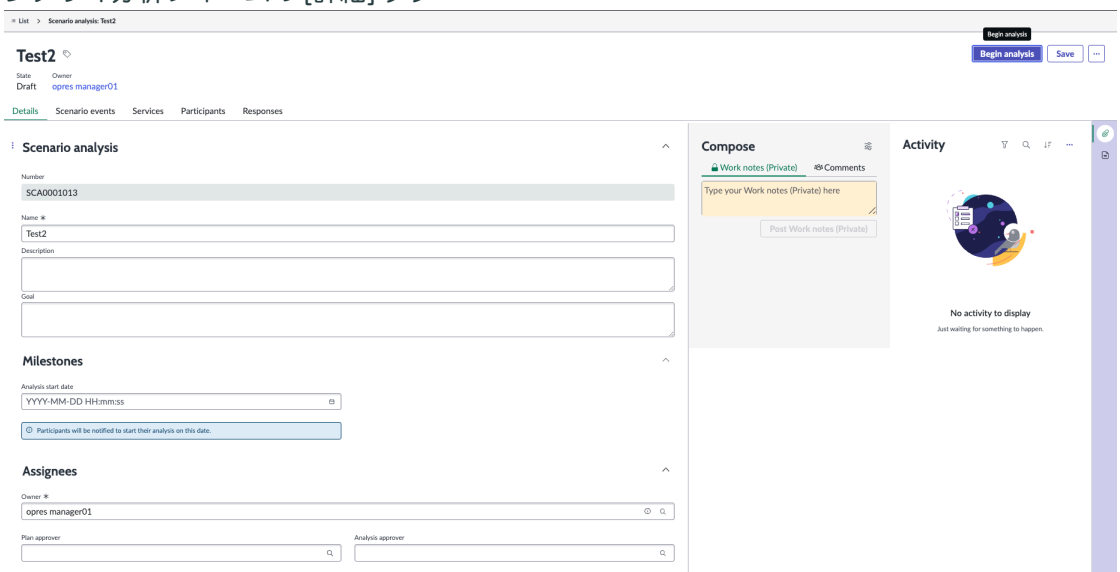
6. [保存] を選択します。

タスクの結果

シナリオ分析のステータスが [ドラフト] に更新されました。オーナーの名前がフォームに表示されます。

次の例は、[詳細] タブで、シナリオ分析、その重要な日付、およびアサイニーの詳細を表示できることを示しています。

シナリオ分析フォームの [詳細] タブ



新規シナリオ分析を作成 **(Create New Scenario analysis)** フォーム

Operational Resilience ワークスペース の新規シナリオ分析を作成 (Create New Scenario analysis) フォームを使用して、シナリオ分析、マイルストーン、アサイニーなどの詳細を追加します。

新規シナリオ分析を作成 **(Create New Scenario analysis)** フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規シナリオ分析を作成 **(Create New Scenario analysis)** フォーム

フィールド	説明
[シナリオ分析] パネル	
番号	シナリオ分析の番号。シナリオ分析を作成すると、アプリケーションによってシナリオ分析が作成され、一意の識別番号が割り当てられます。このフィールドは自動入力されます。
名前	シナリオ分析の名前。
説明	シナリオ分析の説明。
目標	シナリオ分析を実行して達成する具体的な目標。たとえば、ビジネスにとって重要なサービスを分析することが目標である場合があります。
[マイルストーン] パネル	
分析開始日	シナリオ分析の開始日。分析のオーナーが分析開始日を入力します。この日付に分析を開始するように指示する通知が参加者に送信されます。
[アサイニー] パネル	
所有者	シナリオ分析のオーナー。
計画承認者	シナリオ分析計画の承認者。
分析承認者	シナリオ分析の承認者。
[作成] パネル	
作業メモ	レコードに関連付けられたアクティビティの作業メモ。
追加コメント (顧客に表示)	顧客と共有できるその他のコメント。
[アクティビティ] パネル	
アクティビティセクション	シナリオ分析に関連付けられた日時を含むアクティビティのリスト。
シナリオ分析に関連付けられたタブ	
シナリオイベント	**注:** シナリオ分析を続行する前に、少なくとも 1 つのサービス、1 つのシナリオイベント、1 人の参加者を追加する必要があります。 分析オーナーが分析に関連付けることができるシナリオイベント。オーナーは、[追加] を選択してシナリオイベントを分析に関連付けます。 シナリオイベントを分析に追加すると、イベントに関する次の詳細がフォームに表示されます。 • 名前。たとえば、施設停止などです。 • イベントグループ。たとえば、インフラストラクチャイベントなどです。 • シナリオ。たとえば、洪水などです。 • ピラー。たとえば、施設、人員、サプライヤー、テクノロジーなどです。 • 開始見込日時。たとえば、ユーザーがイベントの作業を開始する日時などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規シナリオ分析を作成 **(Create New Scenario analysis)** フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 終了見込日時。たとえば、ユーザーがイベントの作業を終了する日時などです。 • 期間。たとえば、イベントの計算された期間です。 • 観察事項。たとえば、シナリオイベントに関する観察事項です。 • ギャップ。たとえば、シナリオイベントに関するギャップまたは不足している情報などです。 • 推奨事項。たとえば、シナリオイベントに関する推奨事項などです。 • シナリオイベントのステータス。
サービス	分析オーナーが分析に関連付けることができるサービス。オーナーは、[追加] を選択してサービスを分析に関連付けます。 サービスを分析に関連付けると、サービスに関する次の詳細がフォームに表示されます。 • 名前 • オーナー • 重要性 • 影響許容度 • 中断期間 • 違反ステータス • 逸脱 (%)
参加者	分析オーナーが分析に追加できる参加者。新しい参加者を追加するには、フォームで [新規] を選択します。 参加者を分析に追加すると、参加者に関する次の詳細がフォームに表示されます。 • 名前 • ロール • 説明
依存関係	シナリオ分析に追加される資産。 資産を分析に追加すると、資産に関する次の詳細がフォームに表示されます。 • 資産の名前。 • 関付けられている分析シナリオイベント
応答	シナリオイベントに関連付けられている応答タスク。応答フォームに次の詳細が表示されます。 • 番号 • 参加者 • ステータス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規シナリオ分析を作成 **(Create New Scenario analysis)** フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 簡単な説明 • 観察事項 • ギャップ • 推奨事項
問題	シナリオ分析に関連付けられている問題問題フォームに次の詳細が表示されます。 • 問題 • 番号 • ステータス • 優先度 • アサイン先 • 問題マネージャー • シナリオイベント
サマリー	
サービスの数	シナリオ分析に関連付けられたサービスの数
実開始日	シナリオ分析の実際の開始日。
実終了日	シナリオ分析の実際の終了日。このフィールドは自動入力されます。
実際の期間	シナリオ分析の実際の期間。このフィールドは自動入力されます。
影響許容度内のサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度内のサービスの数
影響許容度を超えているサービスの数	シナリオ分析に関連付けられ、影響許容度を超えているサービスの数
シナリオの数	分析に関連付けられたシナリオの数
完了したシナリオの数	分析に関連付けられ、完了しているシナリオの数
イベント数	分析に関連付けられたイベントの数
完了したイベントの数	分析に関連付けられ、完了したイベントの数
中断期間	最後のイベントの終了時間と最初のイベントの開始時間の間の期間
重複のあるイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含む、すべてのイベント期間のサマリー。
重複のないイベントの期間	重複するイベントと一時停止を含まない、すべてのイベント期間のサマリー。
承認者	シナリオ分析に関連付けられている承認者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析へのサービスの追加

Operational Resilience ワークスペースでシナリオとイベントの影響の分析を開始できるように、シナリオ分析にサービスを追加します。

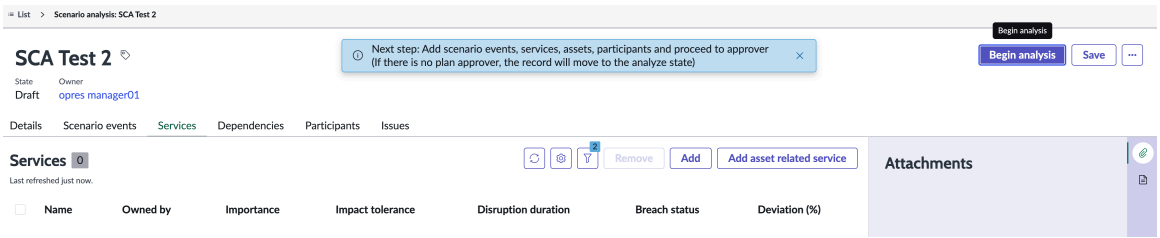
始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

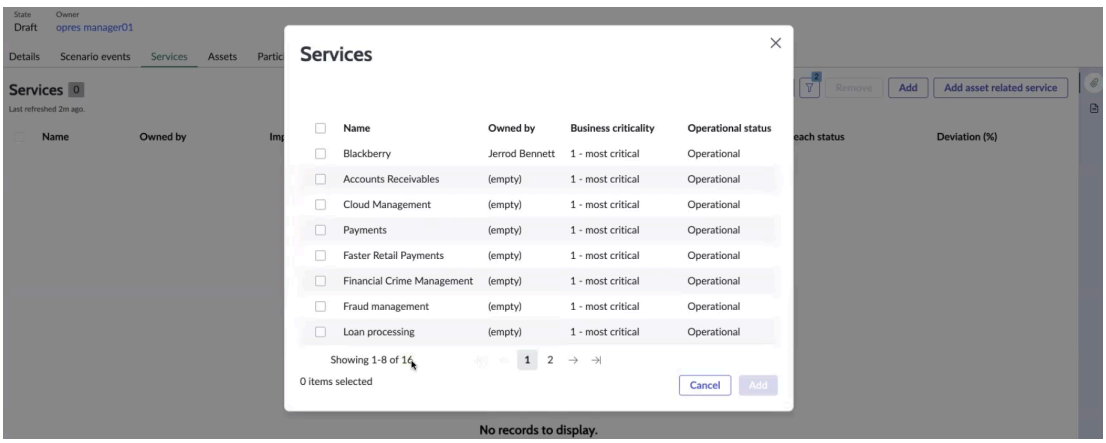
1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 次に、作業しているシナリオに移動します。
2. [サービス] タブで、[追加] を選択します。
   次の例に [サービス] タブを示します。

サービスタブ



[サービス] タブで [追加] を選択すると、サービス (OR) エンティティタイプから取得されたすべての利用可能なサービスのリストが表示されます。次の例にサービスのサンプルリストビューを示します。

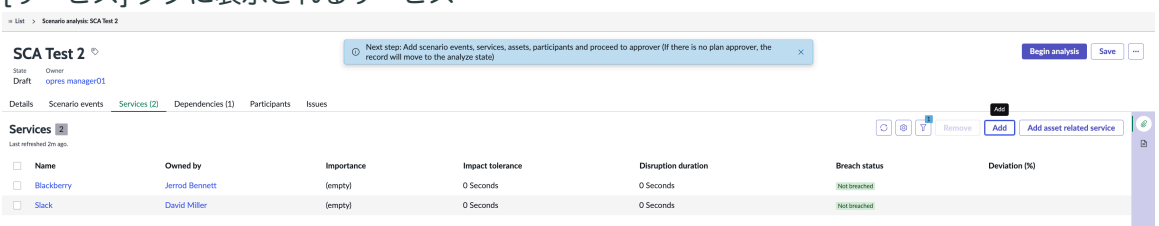
サービスのリストビュー



   a. リストビューで 1 つ以上のサービスを選択し、[追加] を選択します。

      次の例に示すように、選択したサービスが [サービス] タブに表示されます。

[サービス] タブに表示されるサービス



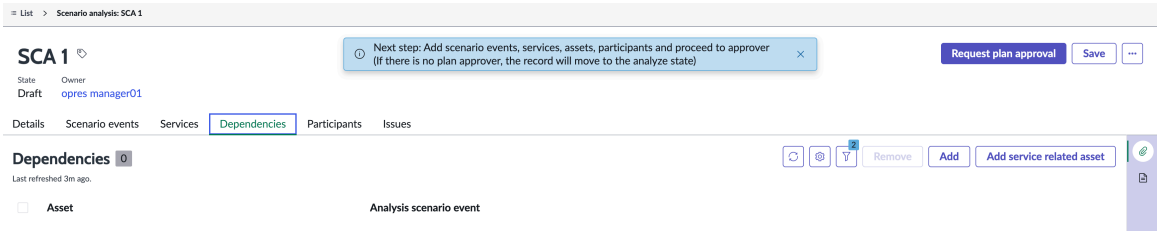
3. シナリオ分析に依存関係を追加するには、[依存関係] タブに移動し、[追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

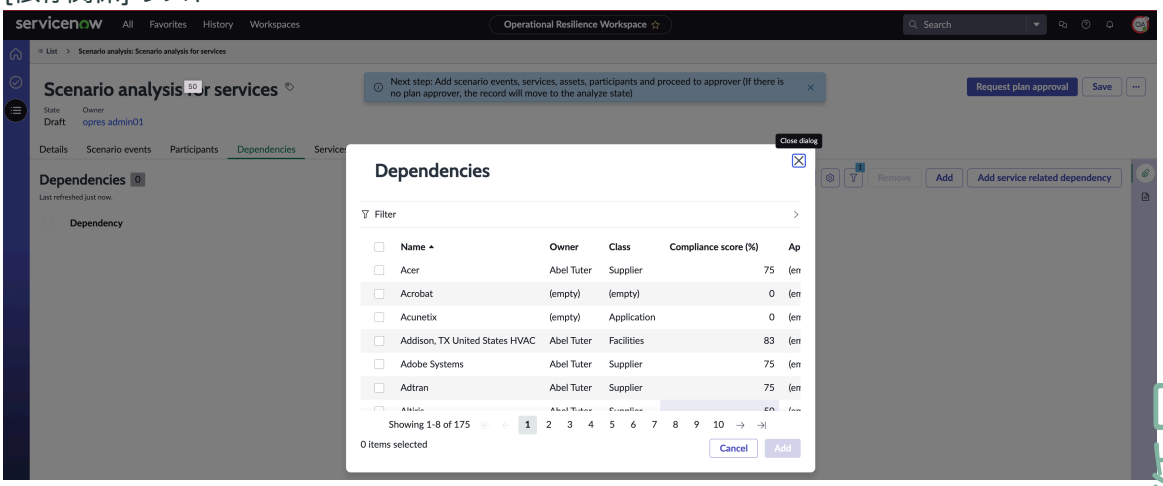
次の例に示すように [依存関係] タブが表示されます。

[依存関係] タブ



次の例に示すように [依存関係] タブに [依存関係] リストが表示されます。

[依存関係] リスト



a. リストから 1 つ以上の依存関係を選択し、[追加] を選択します。
依存関係が [依存関係] タブに表示されます。

4. 依存関係に関連するサービスを追加するには、[サービス] タブに移動し、[依存関係関連サービスを追加 **(Add dependency related service)]** を選択します。

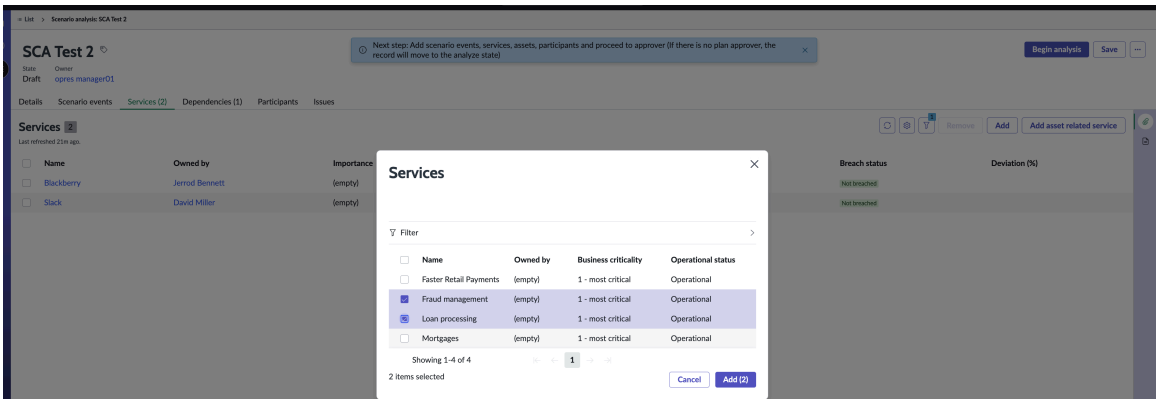
> **注:**
> Operational Resilience アプリケーションでは、一部のサービスで特定の依存関係を使用します。依存関係に関連付けられているサービスを追加できます。1 つ以上の依存関係関連サービスを分析に追加する前に、前の手順で説明したように、[依存関係] タブで 1 つ以上の依存関係を追加する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

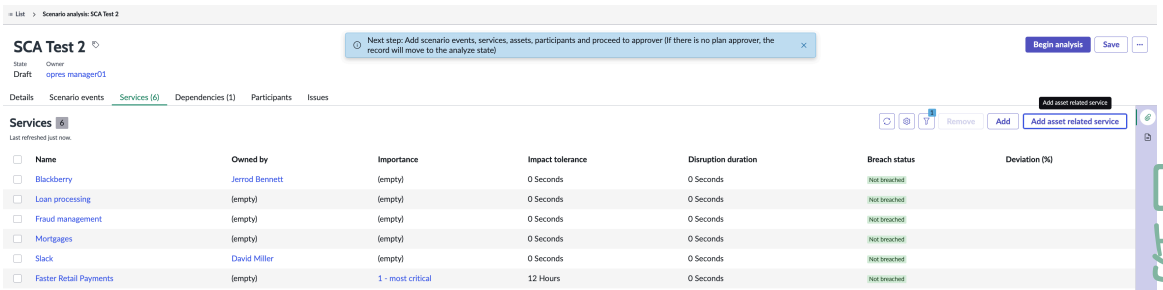
a. 1 つ以上のサービスを選択し、[追加] を選択します。
次の例に示すように依存関係関連サービスリストが表示されます。

シナリオ分析への依存関係関連サービスの追加



次の例に示すように、依存関係関連サービスが [サービス] タブに表示されます。

依存関係関連サービス



5. [保存] を選択します。

シナリオ分析の計画承認の要求

計画承認者にシナリオ分析の計画承認を要求します。Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析を続行できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

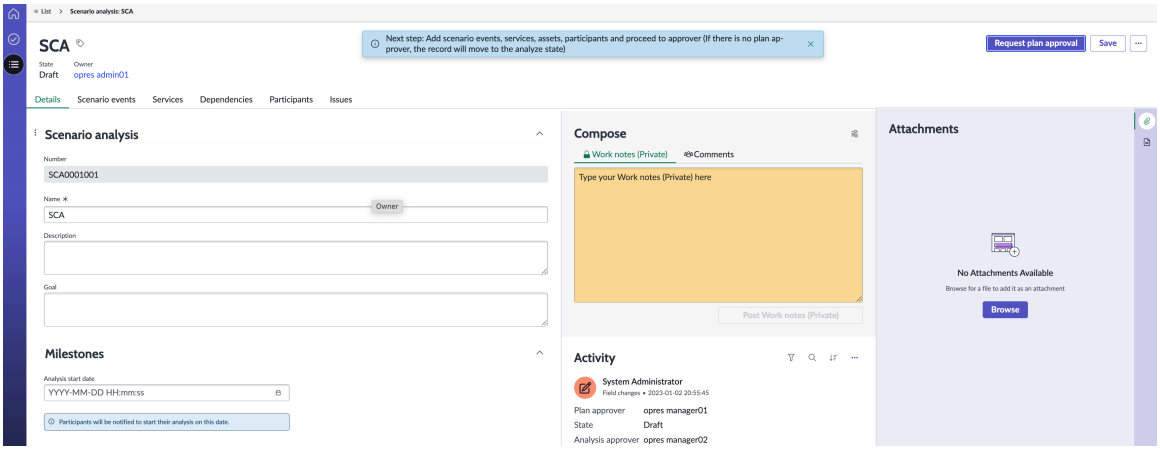
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、作業しているシナリオ分析を選択します。
2. [計画承認を要求] を選択します。
   次の例に示すように、シナリオ分析の計画承認を要求できます。

自動翻訳

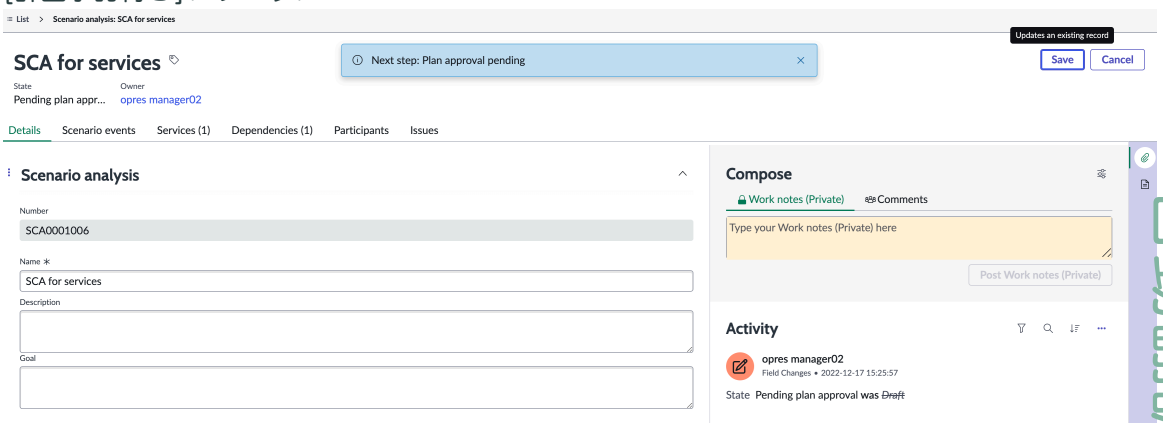
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画承認を要求



シナリオ分析のステータスが [計画承認待ち] に更新されました。シナリオ分析のステータスとオーナーが、次の例に示すように、シナリオ分析フォームのヘッダーに表示されます。

[計画承認待ち] ステータス



3. [保存] を選択します。

シナリオ分析の計画の承認

計画承認者の場合は、Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析の計画を承認します。メール通知を確認することで、シナリオ分析のアクションを追跡できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

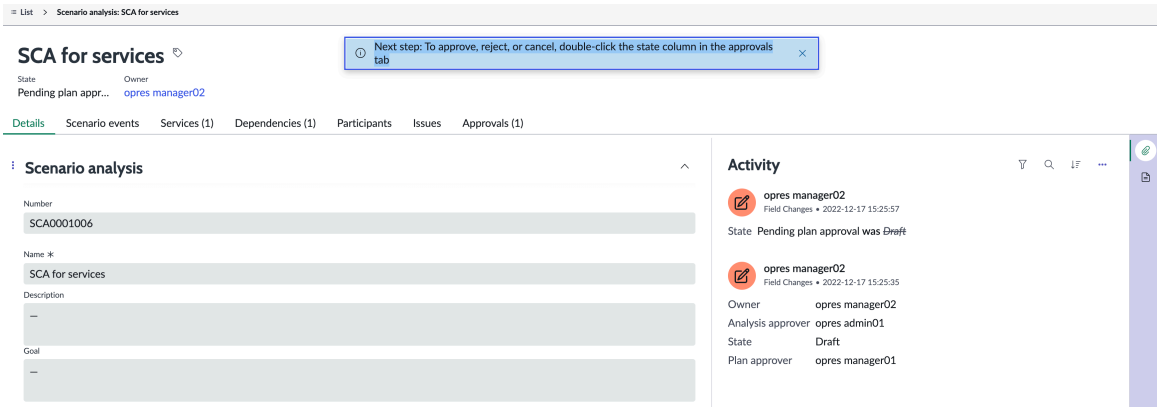
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、作業しているシナリオ分析を選択します。
2. シナリオ分析の計画承認者としてログインし、[承認] タブに移動します。
   サンプルシナリオ分析フォームを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

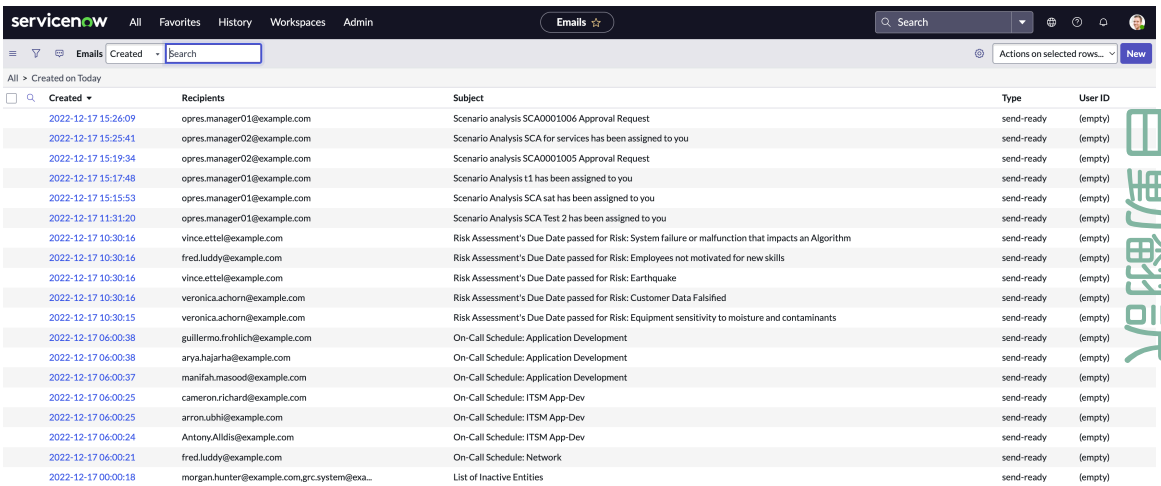
サンプルシナリオ分析フォーム



3. 通知のメールを確認します。

a. 管理者としてログインし、アプリケーション UI で [すべて] **>** [メール] に移動します。
シナリオ分析の実行中、オーナー、承認者、および参加者にメール通知が自動的に送信されます。次の例に示すように、メール通知を表示できます。

アプリケーション **UI** のメール通知



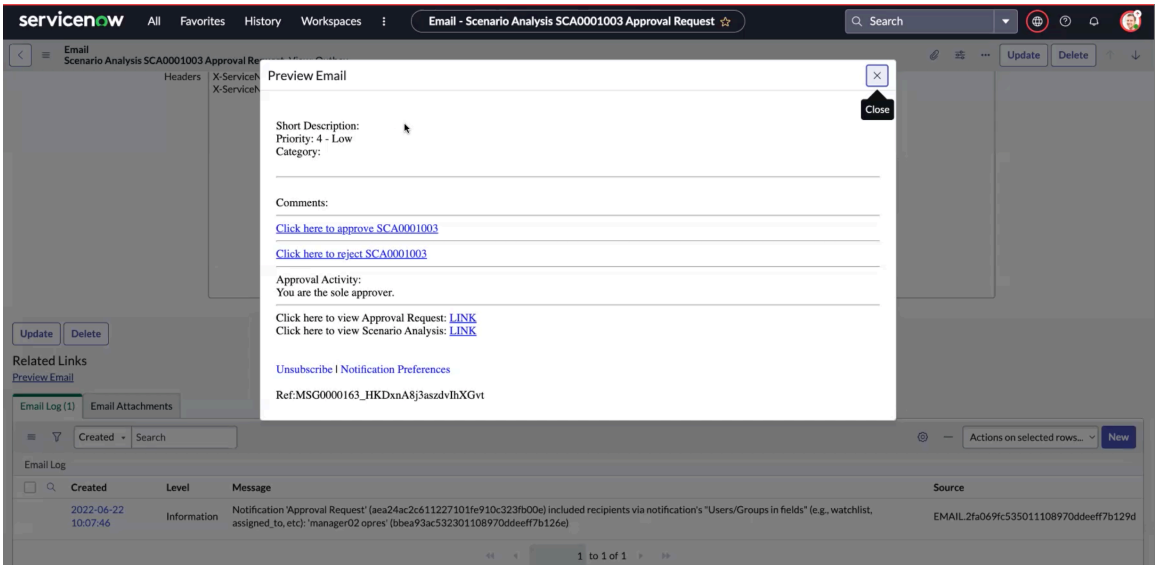
Created	Recipients	Subject	Type	User ID
2022-12-17 15:26:09	opres.manager01@example.com	Scenario analysis SCA0001006 Approval Request	send-ready	(empty)
2022-12-17 15:25:41	opres.manager02@example.com	Scenario Analysis SCA for services has been assigned to you	send-ready	(empty)
2022-12-17 15:19:34	opres.manager02@example.com	Scenario analysis SCA0001005 Approval Request	send-ready	(empty)
2022-12-17 15:17:48	opres.manager01@example.com	Scenario Analysis t1 has been assigned to you	send-ready	(empty)
2022-12-17 15:15:53	opres.manager01@example.com	Scenario Analysis SCA sat has been assigned to you	send-ready	(empty)
2022-12-17 11:31:20	opres.manager01@example.com	Scenario Analysis SCA Test 2 has been assigned to you	send-ready	(empty)
2022-12-17 10:30:16	vince.ettel@example.com	Risk Assessment's Due Date passed for Risk: System failure or malfunction that impacts an Algorithm	send-ready	(empty)
2022-12-17 10:30:16	fred.luddy@example.com	Risk Assessment's Due Date passed for Risk: Employees not motivated for new skills	send-ready	(empty)
2022-12-17 10:30:16	vince.ettel@example.com	Risk Assessment's Due Date passed for Risk: Earthquake	send-ready	(empty)
2022-12-17 10:30:16	veronica.achorn@example.com	Risk Assessment's Due Date passed for Risk: Customer Data Falsified	send-ready	(empty)
2022-12-17 10:30:15	veronica.achorn@example.com	Risk Assessment's Due Date passed for Risk: Equipment sensitivity to moisture and contaminants	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:38	guillermo.frohlich@example.com	On-Call Schedule: Application Development	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:38	arya.hajarha@example.com	On-Call Schedule: Application Development	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:37	manifah.masood@example.com	On-Call Schedule: Application Development	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:25	cameron.richard@example.com	On-Call Schedule: ITSM App-Dev	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:25	arron.ubhi@example.com	On-Call Schedule: ITSM App-Dev	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:24	Antony.Alldis@example.com	On-Call Schedule: ITSM App-Dev	send-ready	(empty)
2022-12-17 06:00:21	fred.luddy@example.com	On-Call Schedule: Network	send-ready	(empty)
2022-12-17 00:00:18	morgan.hunter@example.com,grc.system@exa...	List of Inactive Entities	send-ready	(empty)

b. リストからメールレコードを選択します。

c. メール レコードで、[メールをプレビュー] を選択します。
次の例に示すようにメールのプレビューが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション UI のメール通知

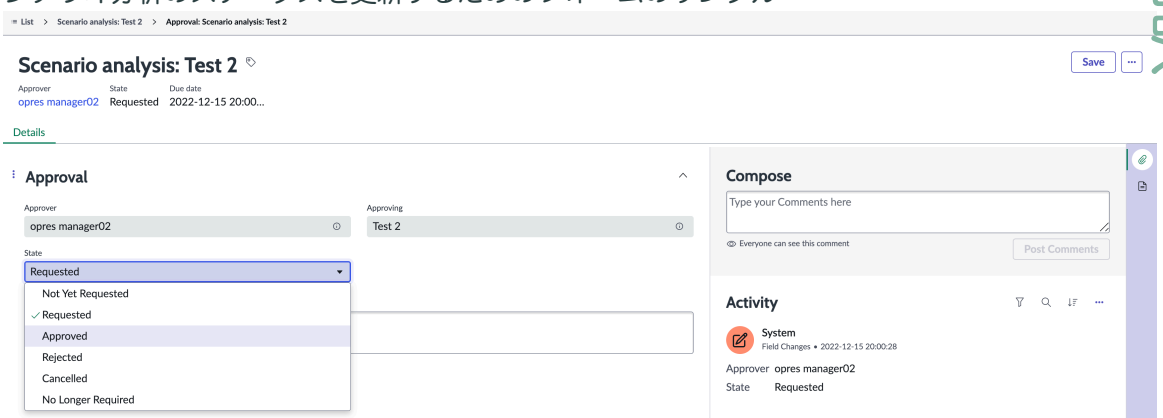


d. メールで、[承認]を選択します。

[コメント] セクションからシナリオ分析を承認または却下するか、例に示すように [承認要求] リンクを表示できます。承認された分析が [分析] ステータスに更新されます。却下されたシナリオ分析は [ドラフト] ステータスにリセットされます。

4. シナリオ分析を承認、却下、またはキャンセルするには、[承認] タブの [ステータス] 列をダブルクリックします。
シナリオ分析のステータスを更新するためのフォームのサンプルを次の例に示します。

シナリオ分析のステータスを更新するためのフォームのサンプル



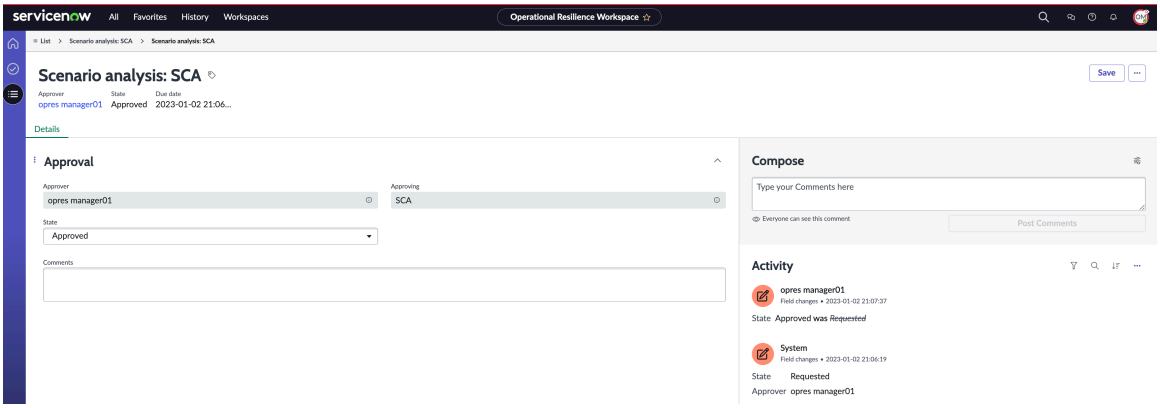
5. ステータスを [要求済み] から [承認済み] に更新します。

6. シナリオ分析フォームで、[保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例に示すように、計画承認者はシナリオ分析を承認します。

承認されたシナリオ分析



シナリオ分析へのシナリオイベントの追加

シナリオ分析にシナリオイベントを追加して、ビジネスサービスへのその影響を分析できます。シナリオ分析オーナーは、Operational Resilience ワークスペース のシナリオ分析にステークホルダーとレビュー担当者を追加できます。その後、すべての参加者の観察事項を照合し、その入力を使用してシナリオを分析できます。

シナリオイベントを追加するためのワークフロー

次のいずれかのワークフローを完了すると、シナリオ分析にシナリオイベントを追加できます。

- 最初にシナリオ分析にシナリオイベント追加してから、参加者、依存関係、サービス、問題などを追加できます。このワークフローの詳細については、「シナリオ分析へのシナリオイベントの追加」を参照してください。
- 最初にシナリオ分析に参加者を追加してから、シナリオイベント、サービス、問題などを追加することもできます。このワークフローの詳細については、「シナリオ分析への参加者の追加」を参照してください。

シナリオ分析へのシナリオイベントの追加

シナリオ分析にシナリオイベントを追加して、ビジネスサービスへのその影響を分析します。Operational Resilience ワークスペース でのシナリオ分析に参加者、依存関係、サービス、問題を追加することで、ビジネスサービスに対するシナリオイベントの影響を判断できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

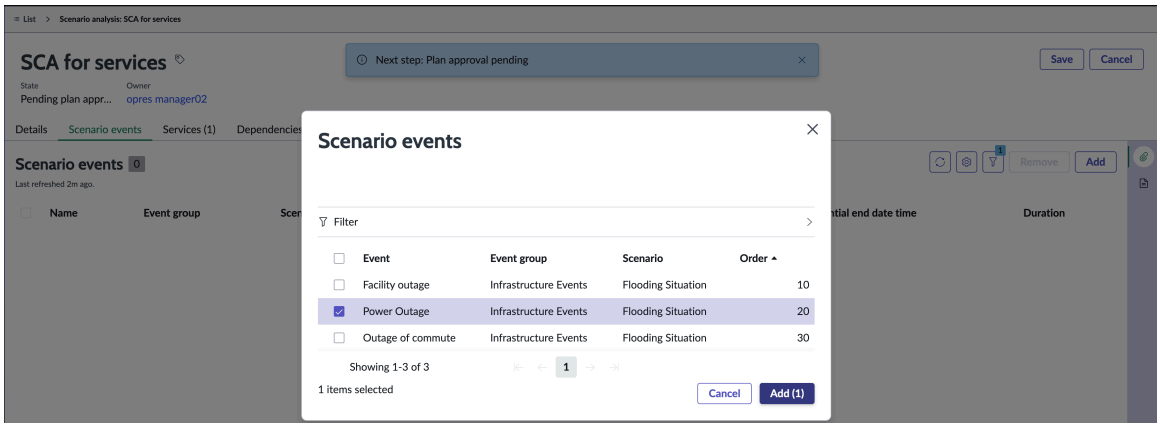
手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、所有するシナリオ分析を選択します。
2. [シナリオイベント] タブで、次のタスクを実行します。

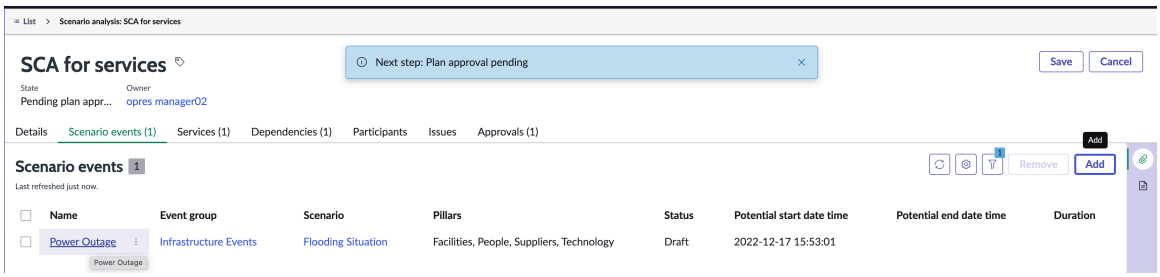
   a. [追加] を選択します。

   b. シナリオイベントフォームで、リストからイベントを選択し、[追加] を選択します。
   シナリオイベントリストを次の例に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

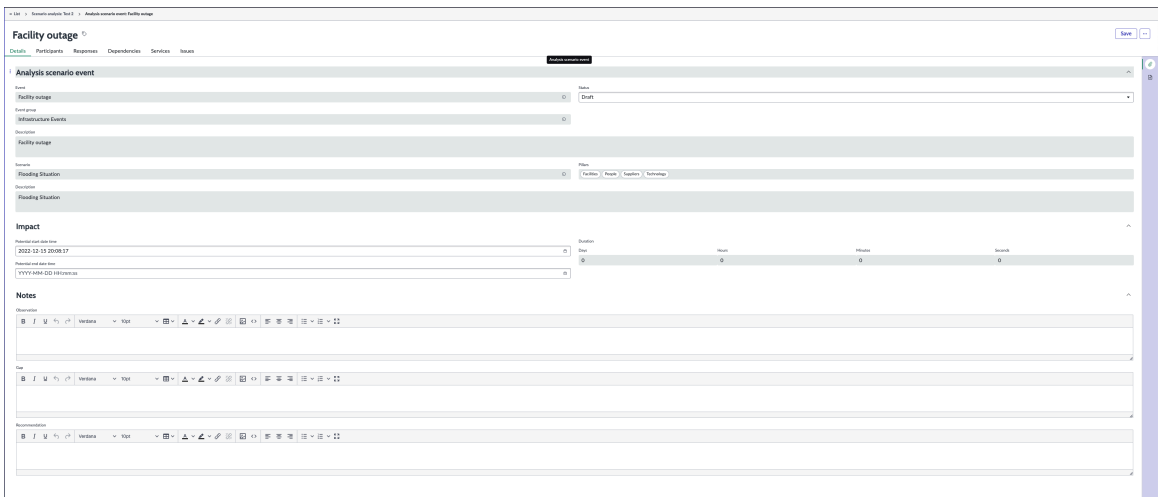


[シナリオイベント] タブには、次の例のように、選択したシナリオイベントが表示されます。



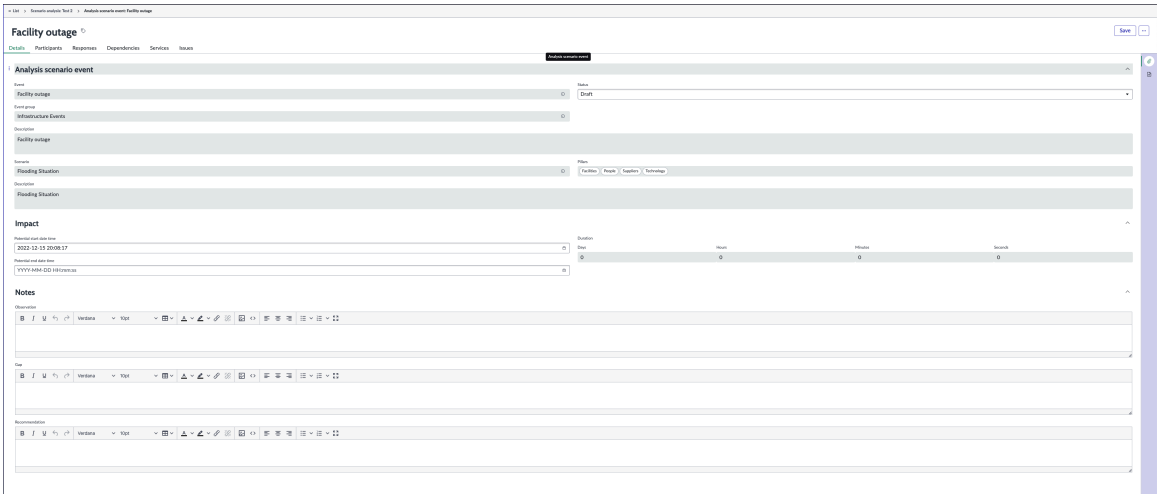
シナリオイベントフォームのフィールド値の説明については、「シナリオイベントフォーム」を参照してください。

3. リストからシナリオイベントを開きます。
次の例に示すようにシナリオイベントフォームが表示されます。



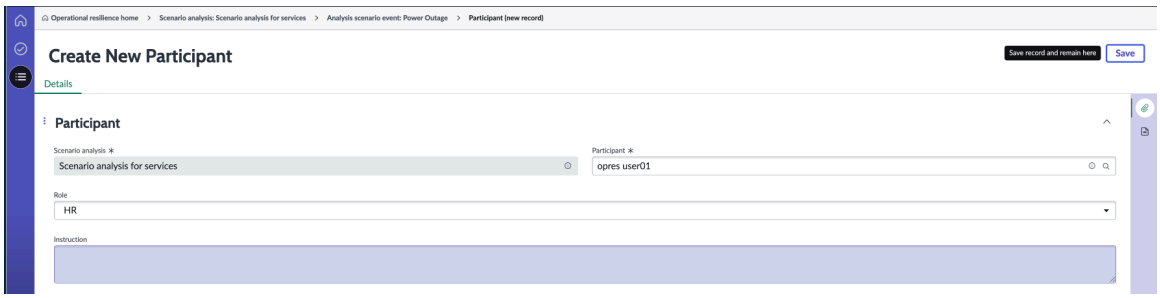
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオイベントフォーム



4. [依存関係] タブで、シナリオイベントの依存関係を追加します。
5. [サービス] タブで、シナリオイベントのサービスを追加します。
6. [問題] タブで、イベントに関連付けられている問題を選択します。
7. シナリオイベントフォームの [参加者] タブに移動し、利用可能なリストから参加者を追加するか、新しい参加者を追加します。

   a. [新規] を選択します。
   次の例に示すように新規参加者の作成 (Create New Participant) フォームが表示されます。



   シナリオ分析の名前は、デフォルトで自動的に入力されます。

   b. [参加者] フィールドで、参加者フォームのリストから参加者を選択します。
   参加者を選択すると、ロールが [ロール] フィールドに自動的に入力されます。

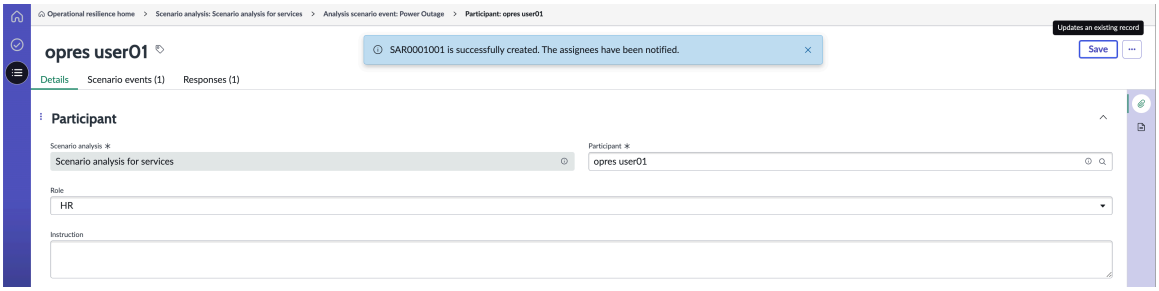
   c. [手順] フィールドに、参加者向けの手順を追加します。

   d. [保存] を選択します。

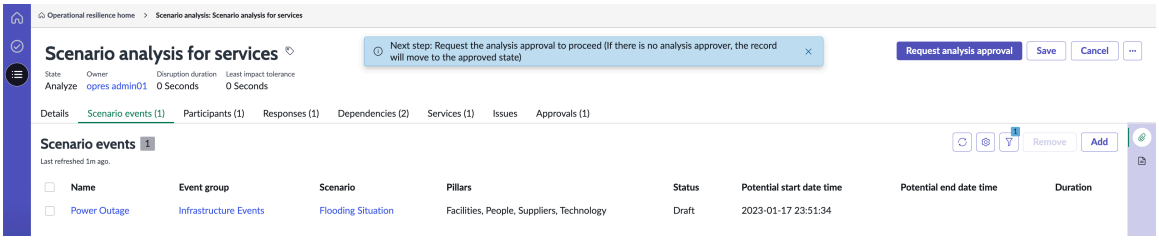
   次の例に示すように、参加者フォームにタブを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

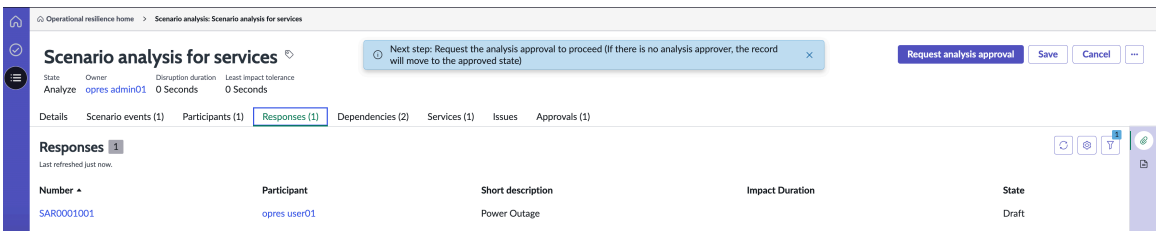


シナリオイベントを作成して参加者を追加すると、その参加者用の応答タスクが自動的に作成されます。次の例は、参加者がシナリオイベントにアサインされると、応答タスクが作成されることを示しています。



参加者にメール通知が自動的に送信されます。

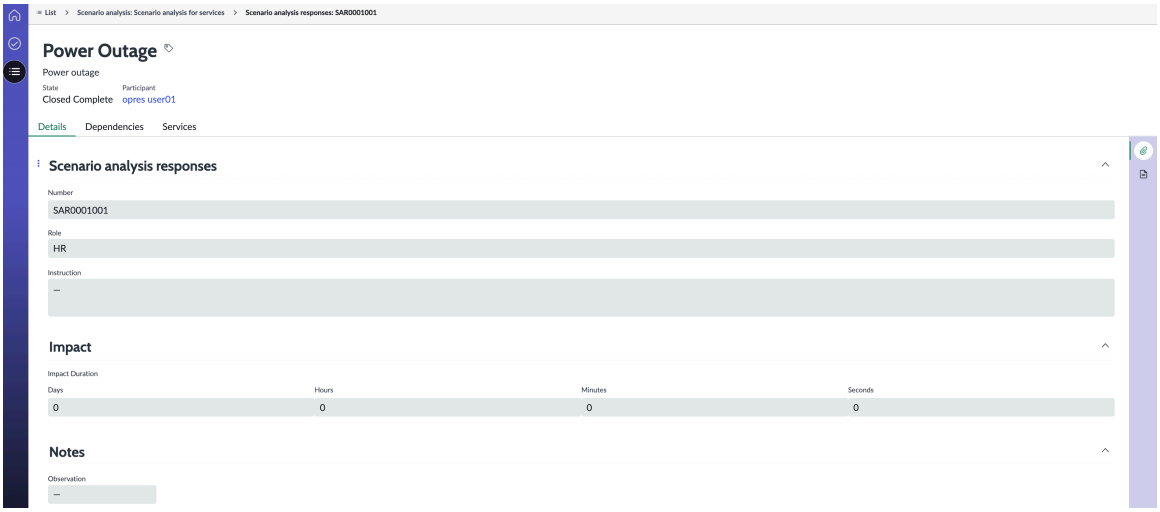
[応答] タブには、次の例に示すように、応答タスク番号、アサインされた参加者の名前、応答タスクのステータスなどの応答タスクの詳細が表示されます。



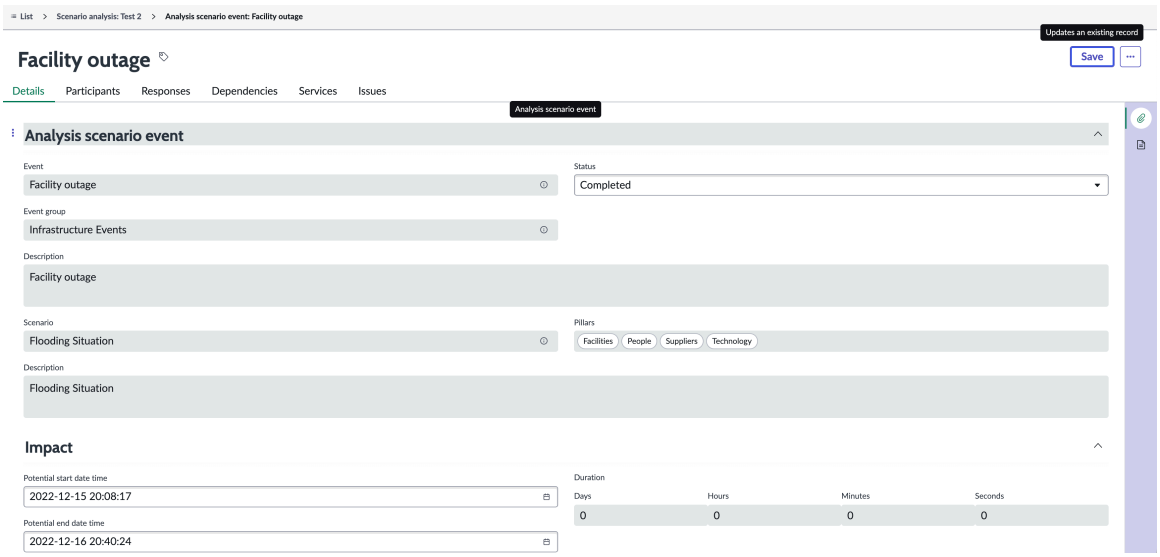
8. [応答] タブで応答タスクを選択し、フォームのフィールドに入力します。
   シナリオ分析応答タスクフォームのフィールド値の説明については、「シナリオ分析応答タスクフォーム」を参照してください。
9. オープンな応答タスクを完了し、[完了] を選択します。
   次の例に示すように、応答タスクが完了し、応答タスクのステータスが [完了してクローズ] に更新されます。

自動翻訳

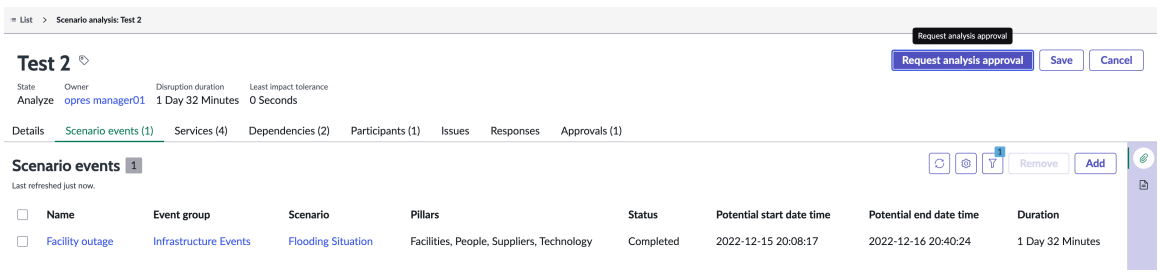
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. シナリオ分析のオーナーとしてログインし、オープンシナリオイベントに移動して、そのステータスを [ドラフト] から [完了] に更新します。
11. [開始見込日時] と [終了見込日時] を更新します。
次の例にシナリオイベントフォームを示します。



タスクの結果
次の例に示すように、シナリオ分析のステータスを [分析] に更新しました。



シナリオイベントフォーム

Operational Resilience ワークスペース のシナリオイベントフォームを使用して、シナリオイベントをシナリオ分析に関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオイベントフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

シナリオイベントフォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
[分析シナリオイベント] パネル	
イベント名	イベントタイプの一意の名前。このフィールドは自動入力されます。
イベントグループ	イベントグループの一意の名前。このフィールドは自動入力されます。
ステータス	イベントのステータス。使用可能なオプションは次のとおりです。 • ドラフト • 完了
説明	イベントの説明。このフィールドは自動入力されます。
シナリオ	イベントに関連付けられたシナリオ。このフィールドは自動入力されます。
Pillar	イベントに関連付けられたピラー。このフィールドは自動入力されます。
説明	イベントの説明。このフィールドは自動入力されます。
[影響度] パネル	
開始見込日時	イベントの開始見込日時。このフィールドは自動入力されます。
終了見込日時	イベントの終了見込日時。
期間	イベントの期間。このフィールドは自動入力されます。
メモ	
観察事項	参加者によってイベントに追加された観察事項。
ギャップ	参加者によってイベントに追加されたギャップ。
推奨事項	参加者によってイベントに追加された推奨事項。
[参加者] タブ	
シナリオ分析	シナリオイベントに関連付けられているシナリオ分析。このフィールドは自動入力されます。
ロール	参加者のロール。使用可能なオプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオイベントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• HR • 法務 • 経理 • テクノロジー • 人々 • データ • セキュリティ • サプライヤー階層 1 • サプライヤー階層 2 • サプライヤー階層 3
参加者	Operational Resilience 管理者やマネージャーなどのシナリオ分析の参加者。
説明	シナリオイベントの参加者向けの説明を追加するためのテキストボックス。
応答	番号、参加者、影響期間、ステータスなどの応答タスクに関する詳細。
依存関係	シナリオイベントに関連付けられている依存関係 (資産)。
サービス	シナリオイベントに関連付けられているサービス。
問題	シナリオイベントに関連付けられている問題

シナリオ分析応答タスクフォーム

Operational Resilience ワークスペースのシナリオ分析応答タスクフォームを使用して、シナリオイベントに関連付けられている応答タスクの詳細を追加します。

シナリオ分析応答タスクフォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

シナリオ分析応答タスクフォーム

フィールド	説明
[シナリオ分析応答 (Scenario Analysis Response)] パネル	
番号	シナリオ分析応答タスクの番号 (例：SAR0001006)。このフィールドは自動入力されます。
ロール	応答タスクのアサイニーのロール。
説明	応答タスクのアサイニー向けの説明。
[影響度] パネル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析応答タスクフォーム (続く)

フィールド	説明
影響期間	日、時、分、秒単位でのシナリオイベントの影響期間。
[メモ] パネル	
観察事項	応答タスクのアサイニーによって追加されたシナリオイベントに関する観察事項。
ギャップ	応答タスクのアサイニーによって追加されたシナリオイベントに関するギャップまたは不整合。
推奨事項	応答タスクのアサイニーによって追加されたシナリオイベントに関する推奨事項。
[シナリオ分析] パネル	
シナリオ分析	シナリオ分析の名前。
Pillar	シナリオ分析に関連付けられているピラー。
説明	シナリオ分析の説明。
目標	シナリオ分析を実行するための目標。

シナリオ分析への参加者の追加

最初にシナリオ分析に参加者を追加してから、シナリオイベント、サービス、問題などを追加します。シナリオ分析オーナーは、Operational Resilience ワークスペース のシナリオ分析にステークホルダーとレビュー担当者を追加できます。その後、すべての参加者の観察事項を照合し、その入力を使用してシナリオを分析できます。

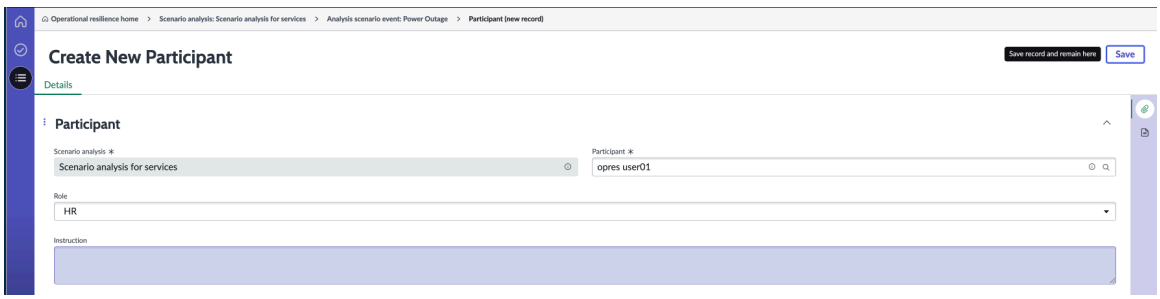
始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、所有するシナリオ分析を選択します。
2. シナリオイベントフォームの [参加者] タブに移動し、利用可能なリストから参加者を追加するか、新しい参加者を追加します。

   a. [新規] を選択します。
   次の例に示すように新規参加者の作成 (Create New Participant) フォームが表示されます。



   シナリオ分析の名前は、デフォルトで自動的に入力されます。

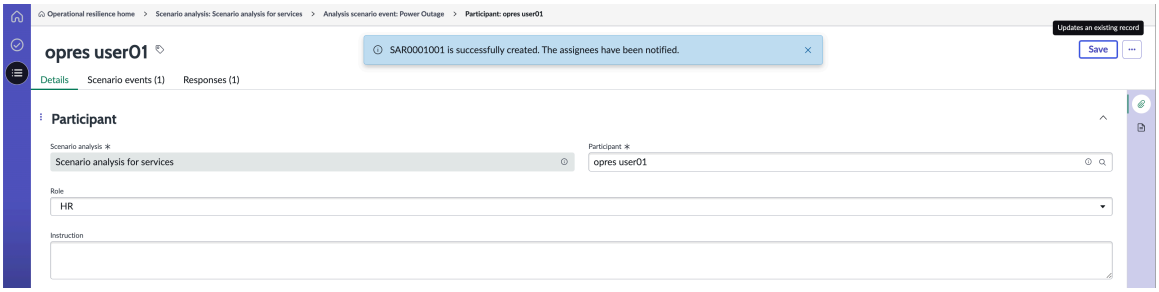
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [参加者] フィールドで、参加者フォームのリストから参加者を選択します。
参加者を選択すると、ロールが [ロール] フィールドに自動的に入力されます。

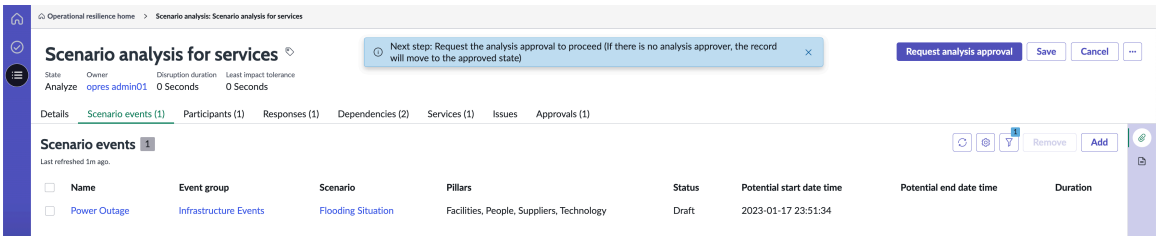
c. [手順] フィールドに、参加者向けの手順を追加します。

d. [保存] を選択します。

次の例に示すように、参加者フォームにタブを表示できます。

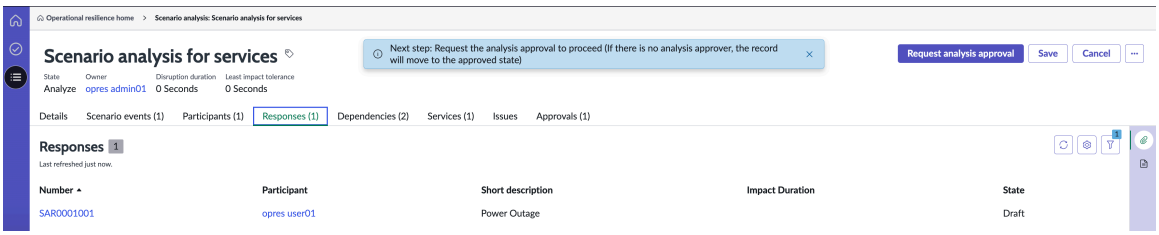


シナリオイベントを作成して参加者を追加すると、その参加者用の応答タスクが自動的に作成されます。次の例は、参加者がシナリオイベントにアサインされると、応答タスクが作成されることを示しています。



参加者にメール通知が自動的に送信されます。

[応答] タブには、次の例に示すように、応答タスク番号、アサインされた参加者の名前、応答タスクのステータスなどの応答タスクの詳細が表示されます。



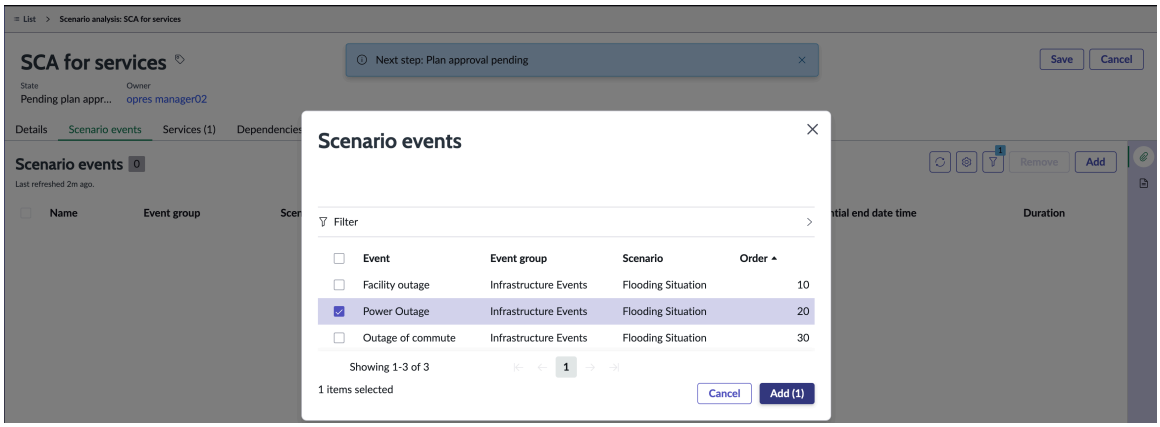
3. [シナリオイベント] タブで、次のタスクを実行します。

a. [追加] を選択します。

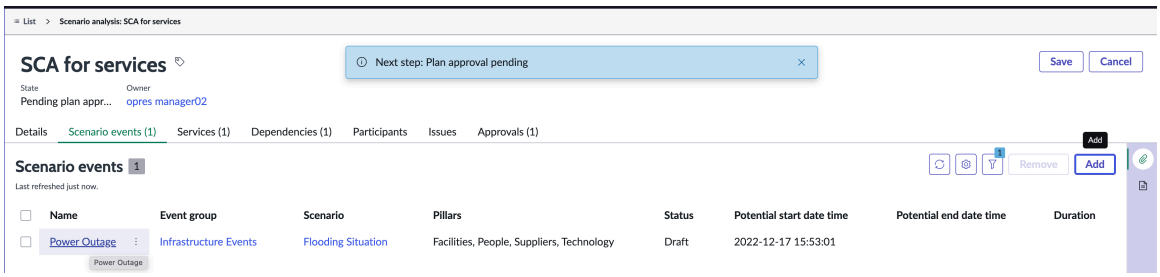
b. シナリオイベントフォームで、リストからイベントを選択し、[追加] を選択します。
シナリオイベントリストを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

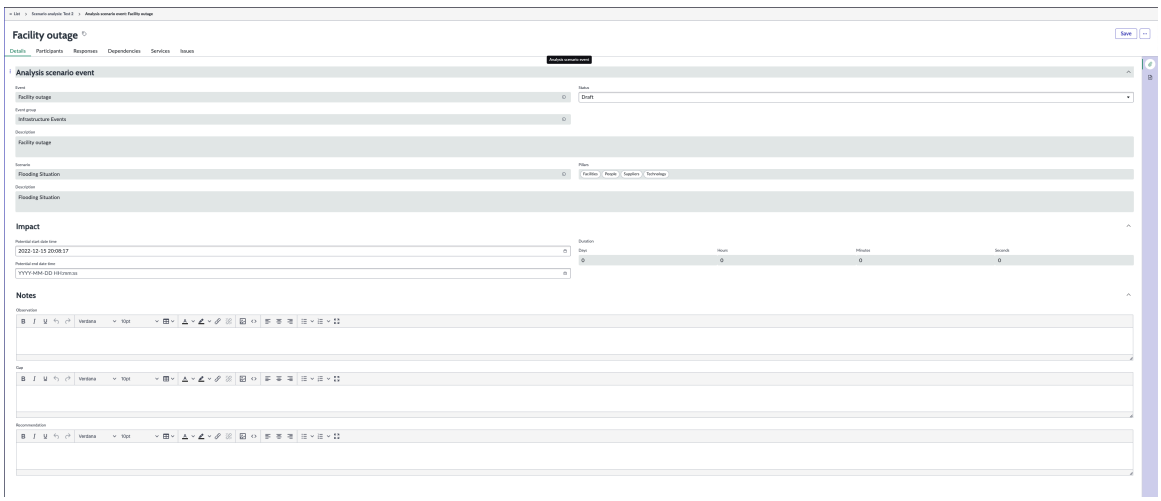


[シナリオイベント] タブには、次の例のように、選択したシナリオイベントが表示されます。



シナリオイベントフォームのフィールド値の説明については、「シナリオイベントフォーム」を参照してください。

4. リストからシナリオイベントを開きます。
   次の例に示すようにシナリオイベントフォームが表示されます。

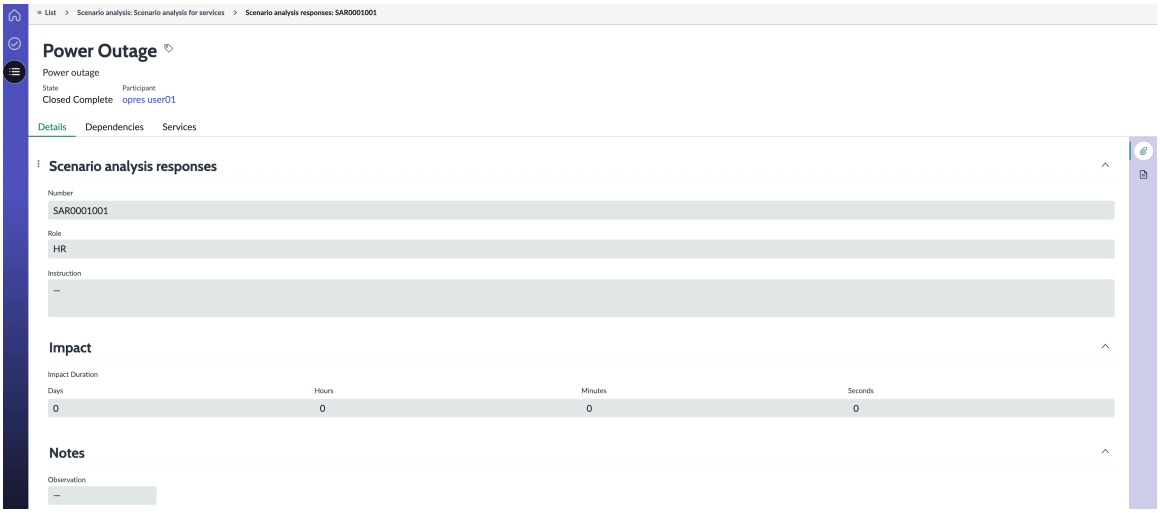


5. [依存関係] タブで、シナリオイベントの依存関係を追加します。
6. [サービス] タブで、シナリオイベントのサービスを追加します。
7. [問題] タブで、イベントに関連付けられている問題を選択します。
8. [応答] タブで応答タスクを選択し、フォームのフィールドに入力します。
   シナリオ分析応答タスクフォームのフィールド値の説明については、「シナリオ分析応答タスクフォーム」を参照してください。
9. オープンな応答タスクを完了し、[完了] を選択します。

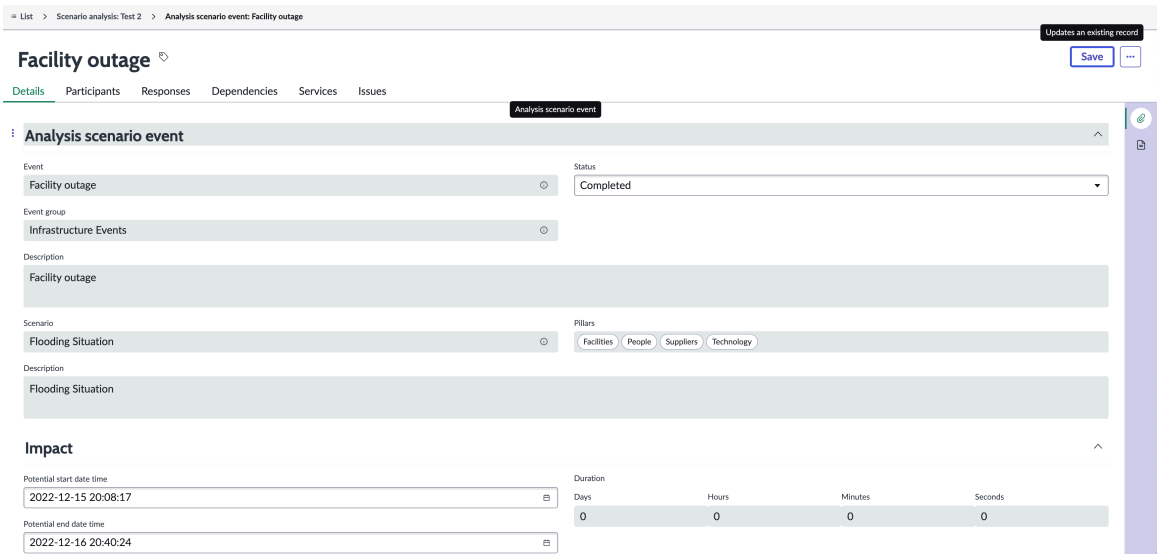
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

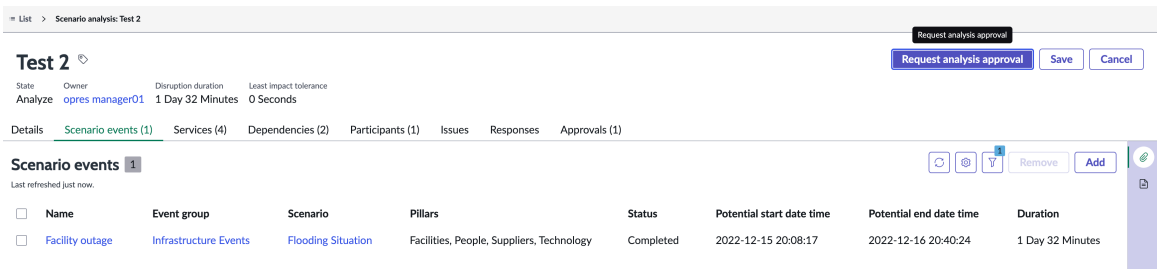
次の例に示すように、応答タスクが完了し、応答タスクのステータスが [完了してクローズ] に更新されます。



10. シナリオ分析のオーナーとしてログインし、オープンシナリオイベントに移動して、そのステータスを [ドラフト] から [完了] に更新します。
11. [開始見込日時] と [終了見込日時] を更新します。
次の例にシナリオイベントフォームを示します。



次の例に示すように、シナリオ分析のステータスを [分析] に更新しました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ分析への問題の関連付け

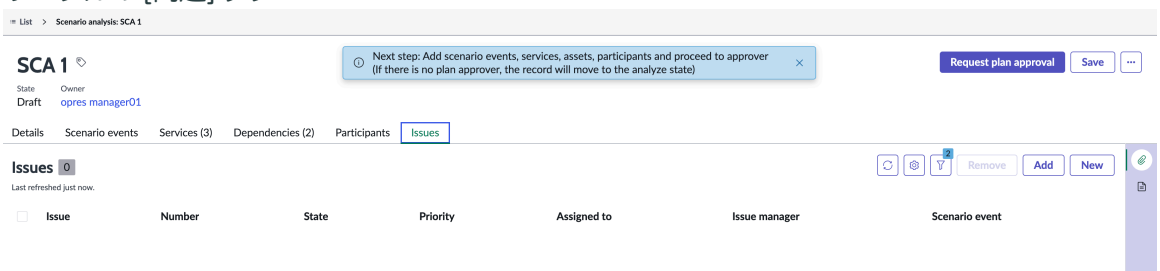
問題を作成するか、または既存の問題をシナリオ分析に追加して、問題をシナリオ分析に関連付けます。その後で、レジリエンス測定基準のギャップを測定し、ギャップを緩和するためのアクション計画を定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、作業しているシナリオ分析を選択します。
2. シナリオ分析フォームで [問題] タブに移動します。
   サンプルの [問題] タブを次の例に示します。

   サンプルの [問題] タブ



   既存の問題を分析に追加することも、分析に追加できる問題を作成することもできます。

   > **注:**
   > 未解決の問題をシナリオ分析に関連付けた場合でも、シナリオ分析の承認を要求できます。シナリオ分析の承認を要求するために未解決の問題をクローズする必要はありません。

3. [保存] を選択します。

シナリオ分析の分析承認の要求

Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析の分析の承認を要求します。承認後、シナリオ分析をクローズできます。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 次のいずれかの方法で、作業中のシナリオ分析に移動します。
   - すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析
   - すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > タスク > シナリオ分析承認

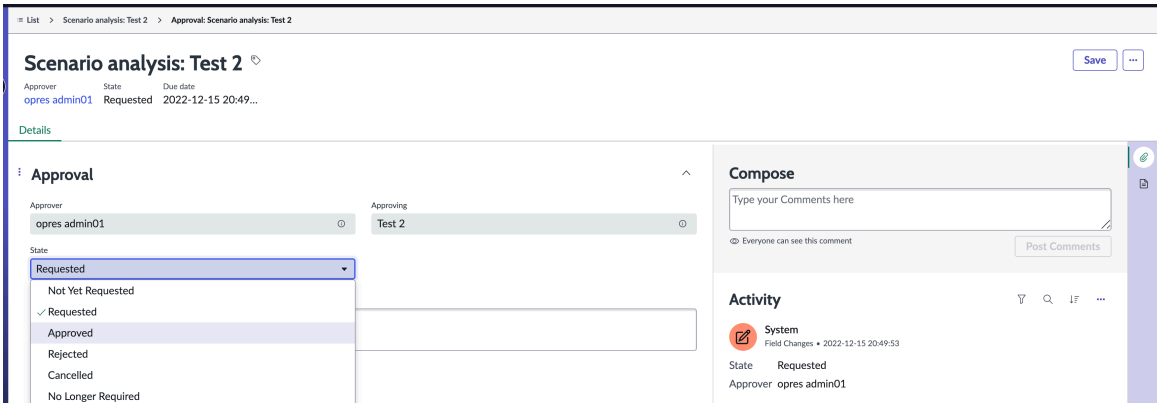
   [タスク] ページからシナリオ分析に移動する場合は、ステップ 2 と 3 をスキップして、ステップ 4 で説明しているようにシナリオ分析のステータスを更新できます。

2. [計画承認を要求] を選択します。
   シナリオ分析のステータスが [分析の承認待ち] に更新されます。
3. シナリオ分析の分析承認者としてログインし、リストビューでシナリオ分析に移動します。
   サンプルの [承認] タブを次の例に示します。

自動翻訳

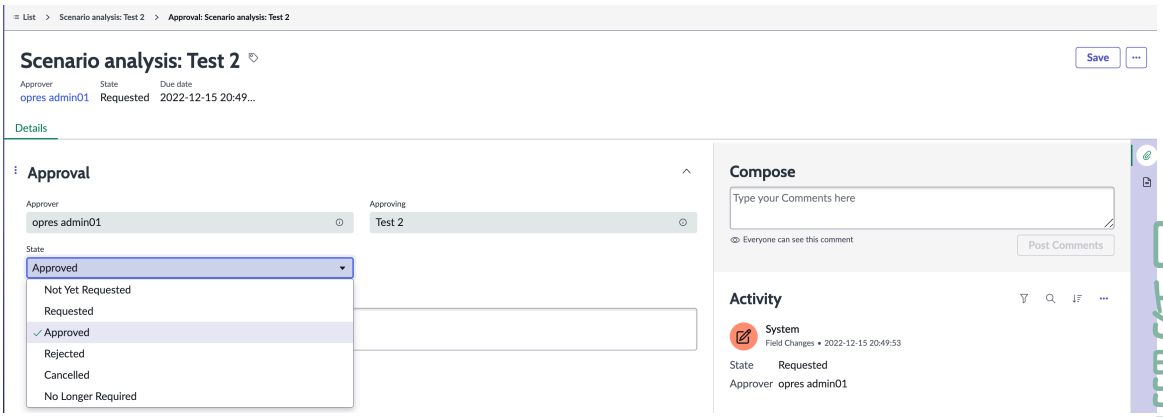
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルの [承認] タブ



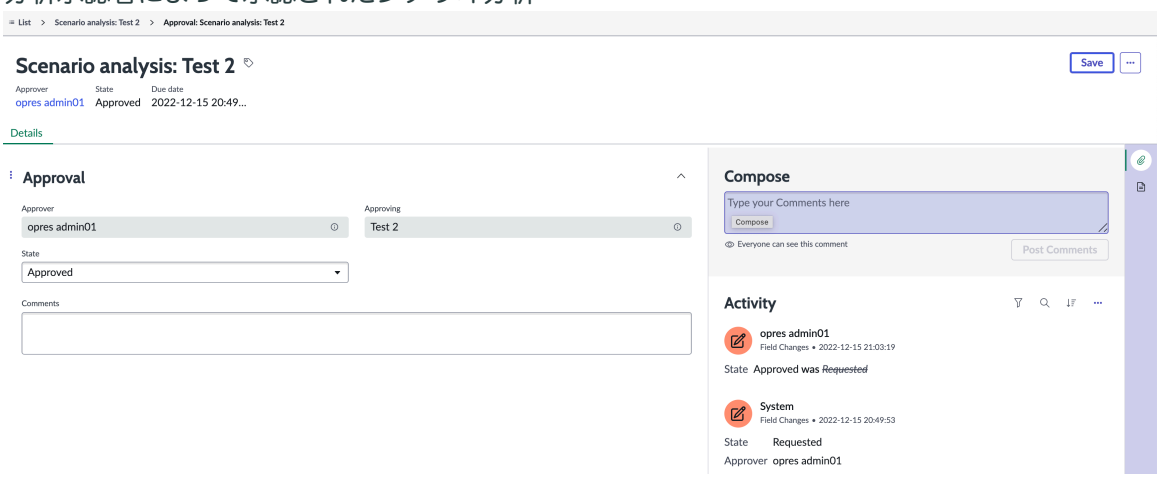
4. [ステータス] フィールドでステータスを [要求済み] から [承認済み] に更新します。
承認を更新するためのフォームのサンプルを次の例に示します。

分析承認



5. [保存] を選択します。
次の例に示すように、分析承認者がシナリオ分析を承認しました。

分析承認者によって承認されたシナリオ分析



シナリオ分析のクローズ

Operational Resilience ワークスペースでシナリオ分析をクローズします。シナリオ分析をクローズした後、観察事項やメモをステークホルダーと共有できます。

自動翻訳

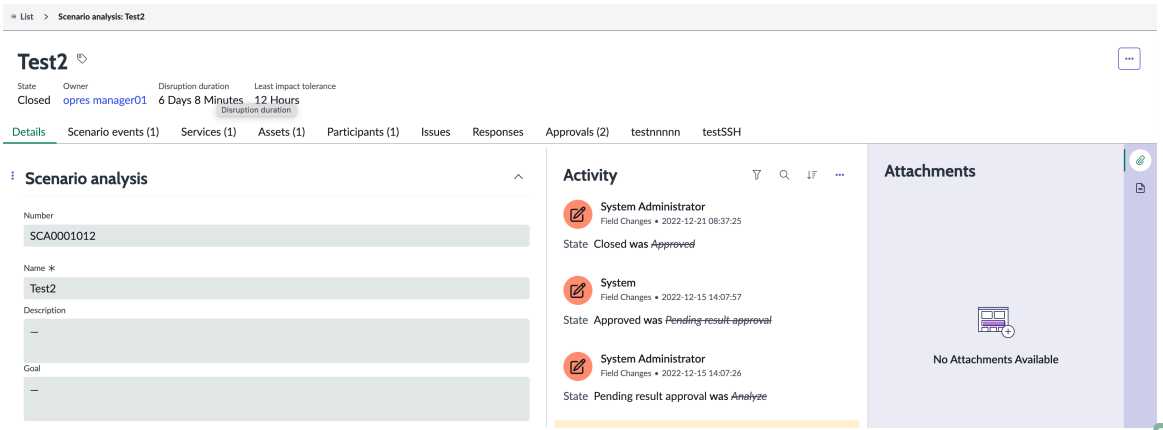
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべてのシナリオ分析 をクリックし、承認されたシナリオ分析を選択します。
2. [**Close** (閉じる)] を選択します。
   このアクションにより、シナリオ分析ワークフローが完了します。
   次の例に示すように、シナリオ分析のオーナーがシナリオ分析をクローズしました。

シナリオ分析の [クローズ済み] ステータス



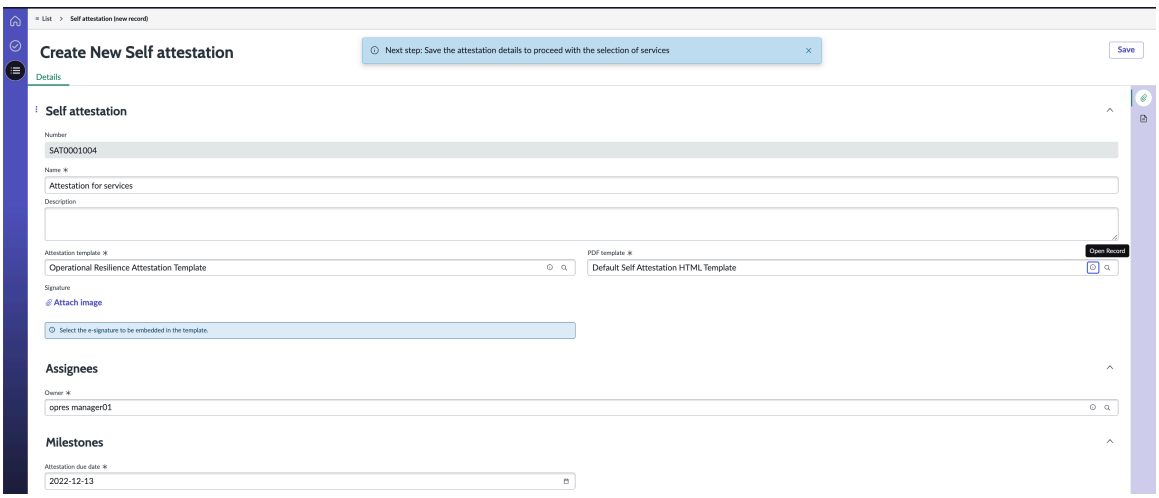
Operational Resilience ワークスペースでのビジネスサービスの自己証明

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、Operational Resilience ワークスペースで自己証明プロセスを完了することで、ビジネスサービスの運用レジリエンスステータスを認定できます。サービスに関する自己アセスメントアンケートに記入し、自己証明書レポートを生成し、PDF をアップロードして記録用にレポートのコピーを作成できます。

自己証明書の作成

アプリケーションで自己証明書 Operational Resilience を作成するには、次に移動します すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべての自己証明書 インスタンスで。自己証明書フォームのサンプルを次の例に示します。

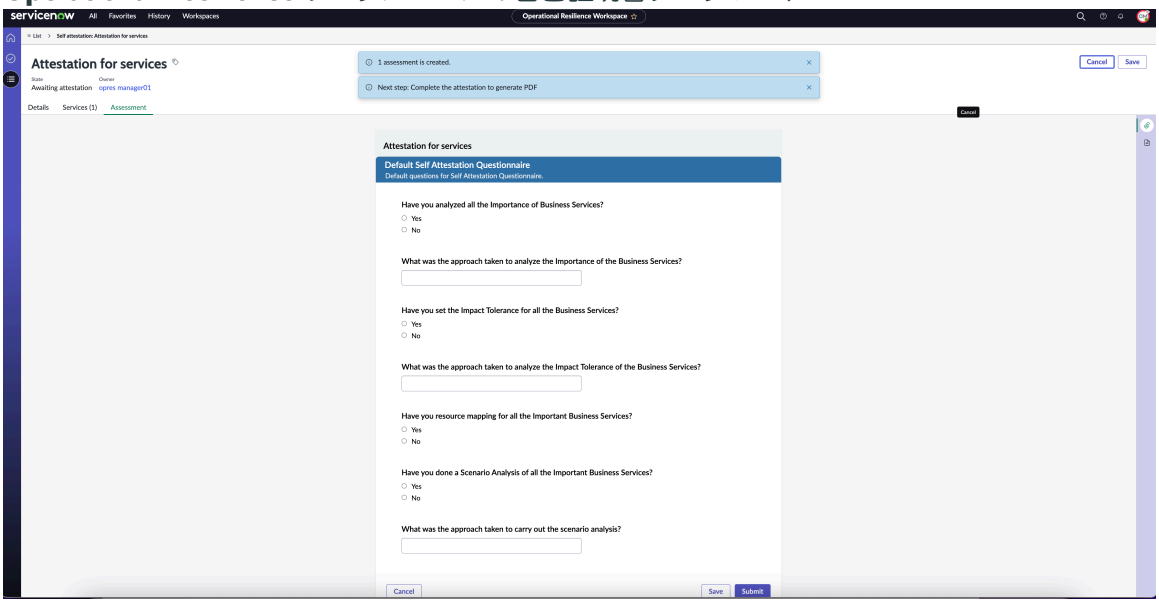
自己証明書フォームのサンプル



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例に示すように、Operational Resilience ワークスペースで提供されている自己証明書テンプレートを使用して、サービスのアセスメントを送信できます。

Operational Resilience ワークスペースの自己証明書テンプレート



自己証明書タスクと各タスクに関連するステータス

sn_oper_res.manager ロールを持っている場合、Operational Resilience ワークスペースで次の自己証明書タスクを完了できます。

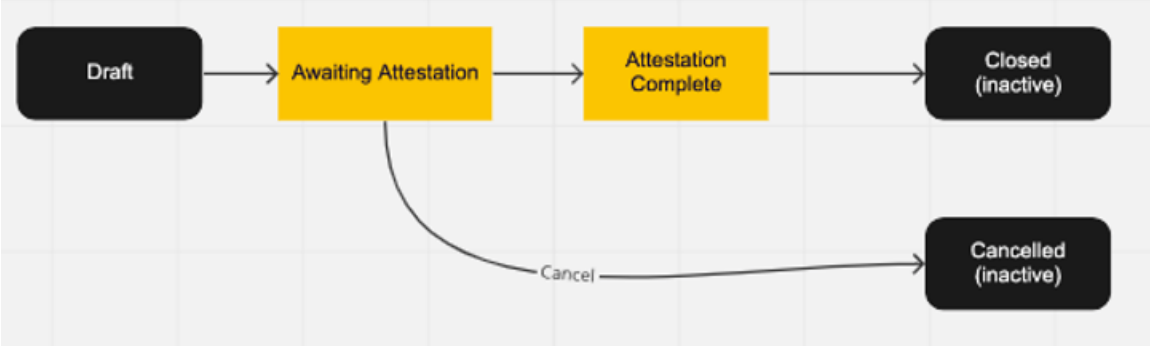
1. 自己証明書を開始して、1 つ以上のビジネスサービスを証明します。
2. 証明書テンプレートとして [Operational Resilience 証明書のテンプレート] を選択します。
3. 自己証明書フォームの自己証明書用の PDF テンプレートとして、デフォルトの自己証明書 HTML テンプレートを使用します。このテンプレートは、PDF の形式と電子署名をレポートに含めるオプションを提供します。
4. ステータスを認定するサービスを自己証明書フォームに追加します。サービスの名前と説明、重要なサービスのシナリオ分析の詳細、シナリオ分析のアプローチなど、アセスメント内の事前定義された一連の質問に回答します。
5. アセスメントを送信し、サービスを証明します。
6. 自己証明書フォームの [アクティビティ] セクションから自己証明書の PDF をダウンロードし、記録のためにレポートのコピーを保存します。
7. 自己証明書をクローズして、自己証明書プロセスを完了します。

自己証明書プロセスに記載されている自己証明書タスクを完了するときには、次の例に示す順番で、自己証明書タスクに関連付けられているステータスが自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自己証明書タスクに関連付けられているステータス



自己証明書タスクに関連付けられているステータスと UI アクションについて、次の表で説明します。

自己証明書タスクに関連付けられているステータスと **UI** アクション

ステータス	関連する **UI** アクション	説明
ドラフト	自己証明書フォームで [新規] を選択します。	[新規] を選択してサービスの自己証明書を送信すると、レコードはデフォルトで [ドラフト] ステータスで作成されます。自己証明書の情報は、自己証明書フォームの [詳細] タブに表示されます。
証明書待ち	自己証明書フォームで [証明] を選択します。	認定するサービスを選択するときは、証明書テンプレートを選択し、[証明] を選択して証明書の操作を続行します。アプリケーションは、自動的に [アセスメントのインスタンス] タブにアセスメントのインスタンスを作成します。 このアクションにより、自己証明書レコードのステータスが [証明書待ち] に移行します。 **注:** 証明書プロセスを続行するには、少なくとも 1 つのサービスを自己証明書に関連付ける必要があります。
キャンセル	自己証明書フォームで [キャンセル] を選択します。	自己証明書レコードが [証明書待ち] ステータスになっている場合は、自己証明書フォームで [キャンセル] を選択することで、誤った証明書または無効な証明書をキャンセルできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自己証明書タスクに関連付けられているステータスと **UI** アクション (続く)

ステータス	関連する **UI** アクション	説明
		これはオプションのステップです。自己証明書のステータスが [キャンセル済み] に更新されます。
証明書を受信済み	証明書テンプレートで [送信] を選択し、[保存] を選択して証明書プロセスを完了します。アンケートの回答を PDF にエクスポートするには、**[PDF** にエクスポート] を選択します。	自己証明書レコードが [証明書待ち] ステータスになっている場合は、証明書テンプレートで指定されたアセスメント質問に回答できます。回答を送信するには、[送信] を選択し、[保存] を選択してアセスメントを保存します。自己証明書のステータスが自動的に [証明書を受信済み] に更新されます。 **[PDF** にエクスポート] を選択してアンケートの回答を PDF にエクスポートし、自己証明書に署名して、記録のためにコピーを保存します。自己証明書フォームの [アクティビティ] セクションから PDF をダウンロードできます。
クローズ済み	自己証明書フォームで [クローズ] を選択します。	証明書をクローズするには、自己証明書フォームで [クローズ] を選択します。自己証明書のステータスが [クローズ済み] に更新されます。

注:
自己証明書に無効なデータが含まれていて、自己証明書の所有者である場合は、自己証明書フォームで [削除] を選択して自己証明書を削除できます。自己証明書は、Operational Resilience ワークスペースの自己証明書リストから削除されます。

自己証明書の **PDF** のダウンロード

自己証明書のオーナーは、自己証明書フォームの [アクティビティ] セクションから PDF をダウンロードできます。監査人、外部連絡先、またはステークホルダーとオフラインで共有することもできます。

自己証明書タスクを実行するために必要なロール

Operational Resilience ワークスペースのユーザーは、次のロールでさまざまな自己証明タスクを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_oper_res.admin role ロールを持っている場合は、事前定義されたアセスメントアンケートテンプレートを作成および管理できます。
- sn_oper_res.manager ロールを持っている場合は、1 つ以上のサービスを選択し、自己証明書のテンプレートを選択して、事前定義された一連の回答を提供することで、サービスの運用レジリエンスプロファイルの自己証明書を完了することができます。

注:

Operational Resilience マネージャーまたは Operational Resilience 管理者ロールを持つ自己証明書のオーナーである場合は、自己証明書の作成、詳細の更新、または自己証明書の削除を行うことができます。

Operational Resilience 管理者は、アセスメントアンケートテンプレートを作成および変更できます。Operational Resilience アプリケーションでアセスメントアンケートに回答するには、Operational Resilience マネージャーロールが必要です。

参照情報

Operational Resilience ワークスペースでの自己証明書の送信の詳細については、「自己証明書のアセスメントの作成」を参照してください。

Operational Resilience ワークスペースの自己証明書フォームに表示されるフィールド値の説明については、「新しい自己証明書を作成 (Create New Self attestation) フォーム」を参照してください。

オプションのタスクとして、sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、ベースシステムで提供されるデフォルトの証明書テンプレートを使用する代わりに、カスタマイズされた証明書テンプレートを作成できます。カスタマイズされた証明書テンプレートの作成については「証明書テンプレートの作成と編集」を参照してください。

自己証明書のアセスメントの作成

Operational Resilience ワークスペースでサービスのレジリエンスステータスを認定できるように、自己証明書のアセスメントを作成します。ベースシステムで提供される証明書テンプレートを使用して、自己証明書を作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > すべての自己証明書.
2. [新規] をクリックします。
3. 新しい自己証明書を作成 (Create New Self attestation) フォームの [詳細] タブに移動します。
4. [名前] フィールドと [説明] フィールドに、自己証明書の名前と説明を入力します。
5. [オーナー] フィールドで、自己証明書のオーナーを選択します。

   自己証明書フォームのフィールド値の説明については、「新しい自己証明書を作成 (Create New Self attestation) フォーム」を参照してください。

6. [証明書テンプレート] フィールドで、**[Operational Resilience** 証明書のテンプレート] オプションを選択します。

   証明書テンプレートには、アセスメント用の事前定義された質問が含まれています。Operational Resilience アプリケーションは、ベースシステムの一部として証明書テンプレートを提供します。

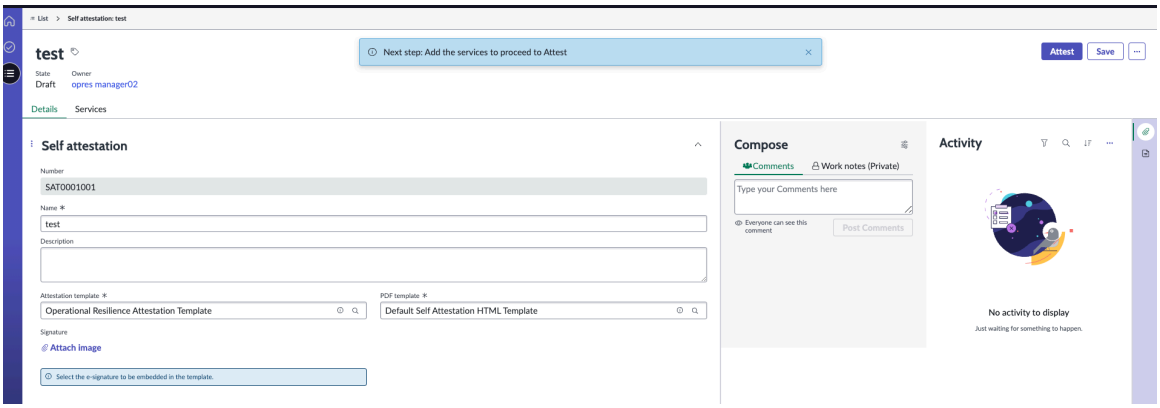
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
sn_oper_res.admin ロールを持っている場合は、独自のビジネスニーズに合わせてデフォルトの証明書テンプレートをカスタマイズできます。カスタマイズされた証明書テンプレートの作成については「証明書テンプレートの作成と編集」を参照してください。

7. **[PDF テンプレート] フィールドで、[デフォルトの自己証明書 HTML テンプレート (Default Self Attestation HTML Template)]** を選択します。
デフォルトの自己証明書 HTML テンプレートを使用して、自己証明書の PDF を生成できます。自己証明書フォームのサンプルを次の例に示します。

デフォルトの自己証明書 **HTML** テンプレートの選択



注:
自己証明書フォームに PDF テンプレートオプションが表示されるように、インスタンスにドキュメントテンプレートがインストールされていることを確認します。

8. [署名] フィールドで、[イメージを添付] をクリックして自己証明書の署名画像を添付します。
次の情報メッセージが画面に表示されます：*`Select the e-signature to be embedded in the template.`*

注:
署名画像のサポートされているファイル形式 (JPEG、PNG、BMP、GIF、ICO、SVG 形式など) を選択する必要があります。Microsoft Word 形式などのサポートされていないファイル形式を選択すると、次のエラーメッセージが画面に表示されます。*`Selected file type is invalid. Valid field types: JPEG, PNG, BMP, GIF, ICO, SVG.`*

既存の画像を削除して新しい画像を追加する場合は、次の例に示すように、[署名] フィールドの削除アイコンを使用して別の署名画像を追加できます。

削除アイコンを使用して署名画像を削除する

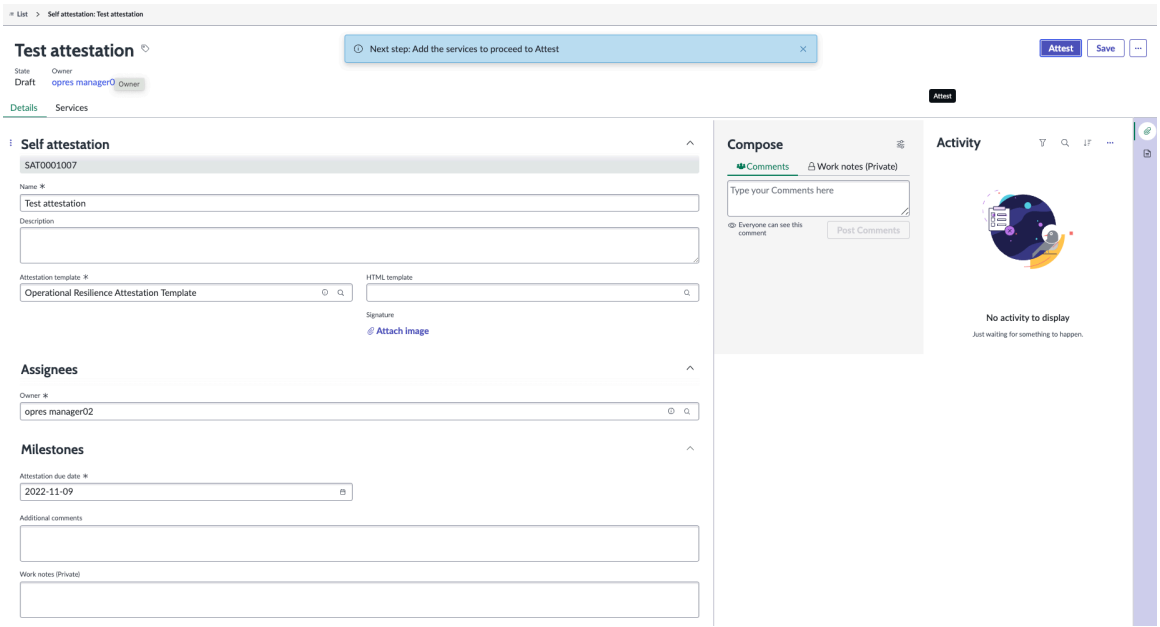
9. [アサイニー] パネルで、[オーナー] フィールドを更新して、自己証明書のオーナーを選択します。
10. [マイルストーン] パネルで、証明書の期限日、追加のコメント、および作業メモ (プライベート) を追加します。
次の情報メッセージが画面に表示されます：*`Next step: Save the attestation details to proceed with the selection of services.`*
11. [保存] をクリックします。
自己証明書の詳細はアプリケーションに保存されます。

次の例に示すように、[ドラフト] ステータスの自己証明書を作成しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ドラフト] ステータスの自己証明書



[詳細] タブが自己証明書の情報で更新され、自己証明書の [サービス] タブが表示されます。

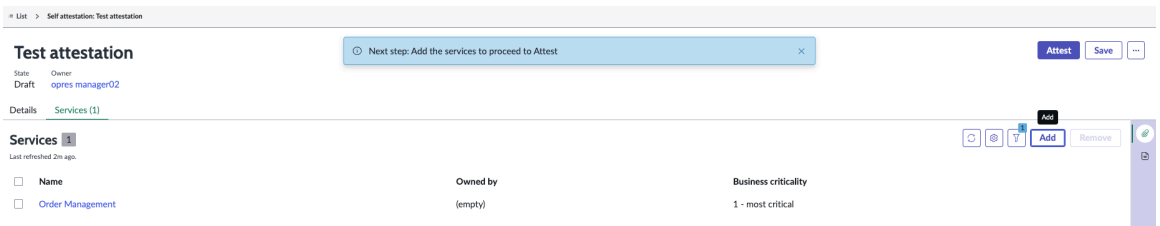
12. [サービス] タブに移動します。
自己証明書でステータスを認定する 1 つ以上のサービスを選択できます。

> **注:**
> 自己証明書を続行するには、少なくとも 1 つのサービスを追加する必要があります。

a. [追加] をクリックします。

b. サービスフォームで、リストからサービスを選択し、[追加] をクリックします。
次の例に示すように、サービスリストで、選択したサービスが表示されます。

レコードで更新されたサービス



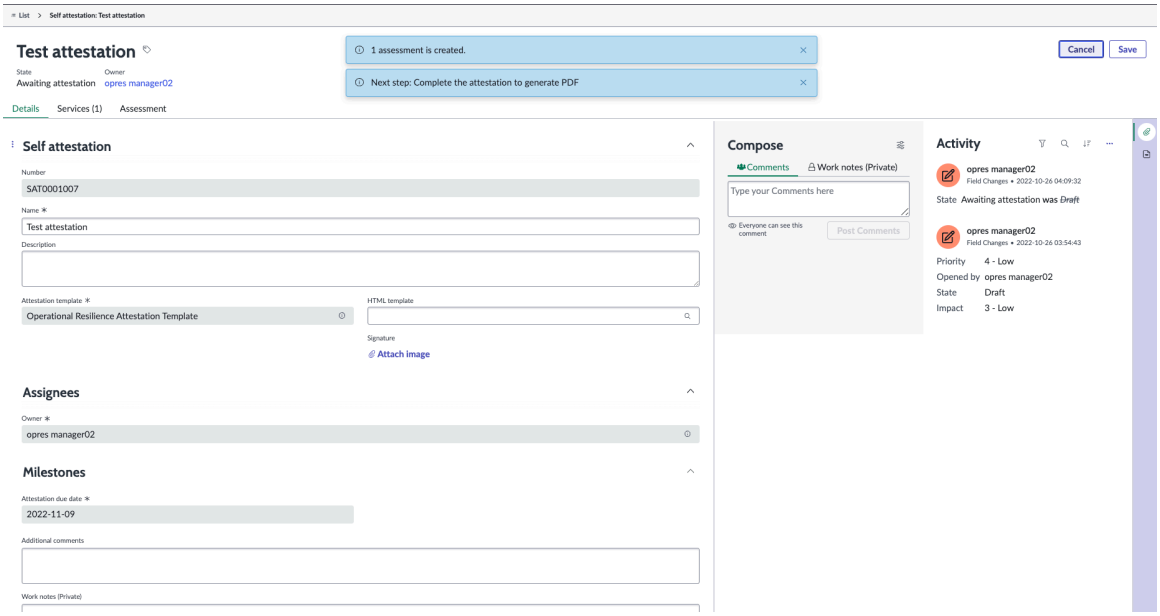
13. [証明] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例に示すように、[証明書待ち] ステータスの自己証明書のアセスメントを作成しました。

作成された自己証明書のアセスメント



新しい自己証明書を作成 **(Create New Self attestation)** フォーム

自己証明書の所有者である場合は、Operational Resilience ワークスペースの新しい自己証明書を作成 (Create New Self attestation) フォームを使用して、サービスの自己証明書を送信します。

新しい自己証明書を作成 **(Create New Self attestation)** フォーム

フォームのフィールド値の説明については、次の表を参照してください。

新しい自己証明書を作成 **(Create New Self attestation)** フォーム

フィールド	説明
[詳細] タブ	
番号	自己証明書レコードの番号。このフィールドは自動入力されます。
名前	自己証明書レコードの一意の名前。
説明	自己証明書レコードに関する有用な情報。
証明書テンプレート	ベースシステムで提供され、自己証明書の作成に使用されるデフォルトの証明書テンプレート。テンプレートの名前は *`Operational Resilience Attestation Template`* です。
PDF テンプレート	証明書を PDF にエクスポートするためにベースシステムで提供されるデフォルトの PDF テンプレート。テンプレートの名前は *`Default Self Attestation HTML Template`* です。
署名	証明書に署名画像を添付するフィールド。テンプレートに埋め込むことができる電子署名を選択します。 **注:** 署名画像のサポートされているファイル形式 (JPEG、PNG、BMP、GIF、ICO、SVG 形式など) を選択する必要があります。
[アサイニー] パネル	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自己証明書を作成 **(Create New Self attestation)** フォーム (続く)

フィールド	説明
所有者	UI に表示される自己証明書レコードのラベル。このフィールドは自動入力されます。
[マイルストーン] パネル	
証明書の期日	証明書の期限日。
外部審査日	証明書が認定された日時。
[作成] パネル	
追加コメント (顧客に表示)	自己証明書の追加のコメント。このフィールドは自動入力されます。
作業メモ (プライベート)	自己証明書の追加の作業メモ。このフィールドは自動入力されます。
アクティビティ	自己証明書プロセスに関連付けられているアクティビティ。
添付ファイル	自己証明書の PDF など、自己証明書で利用可能な添付ファイル。フォームから PDF のダウンロード、名前の変更、または削除を行うことができます。
[サービス] タブ (このタブは、証明書にサービスを追加した後に表示されます)	
名前	ビジネスサービスの名前。
オーナー	ビジネスサービスのオーナー。
ビジネス上の重要度	サービスのビジネス上の重要度。
[アセスメント] タブ (このタブは証明書を送信した後に表示されます)	
Operational Resilience 証明書テンプレート	サービスのアセスメントアンケート **注:** 証明書の所有者である場合は、アセスメントを表示できます。質問に対する回答を入力し、自己証明書のアセスメントを送信することができます。

サービスのステータスを認定するための自己証明書の送信

Operational Resilience ワークスペースで自己証明書を送信して、サービスのステータスを認定し、レコードの自己証明書レポートの PDF を生成できるようにします。

始める前に

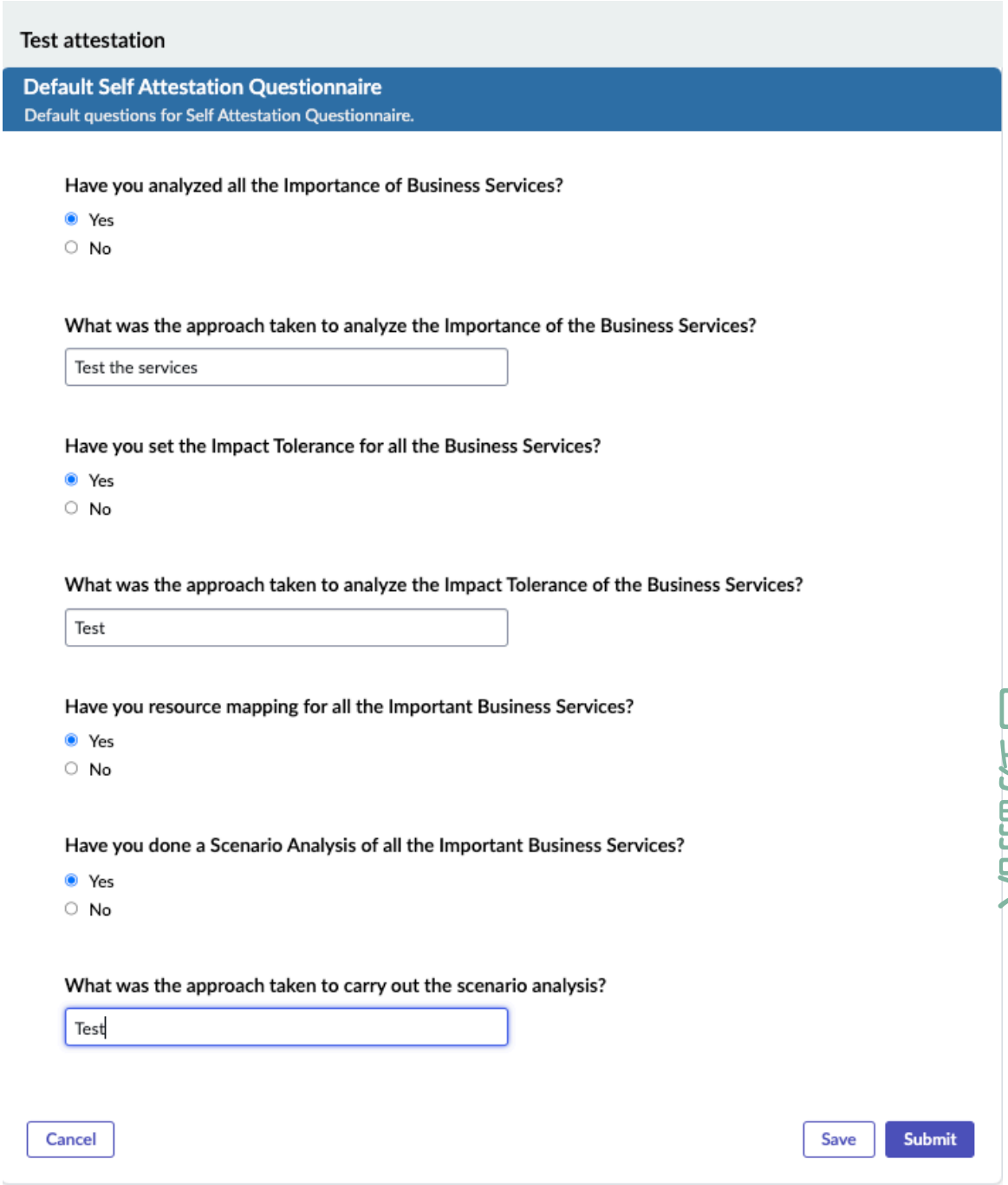
必要なロール：sn_oper_res.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Operational Resilience** ワークスペース > 自己証明書 をクリックし、作業している自己証明書を選択します。
2. [アセスメント] タブでアセスメントの質問に回答します。
   [アセスメント] タブに、サービスのアセスメントアンケートが表示されます。査定人は、次の例に示すように、アセスメントの質問に回答できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要性および影響許容度アセスメントテンプレートページ 1



3. [送信] をクリックします。
   アセスメントを送信すると、回答がアプリケーションに保存されます。

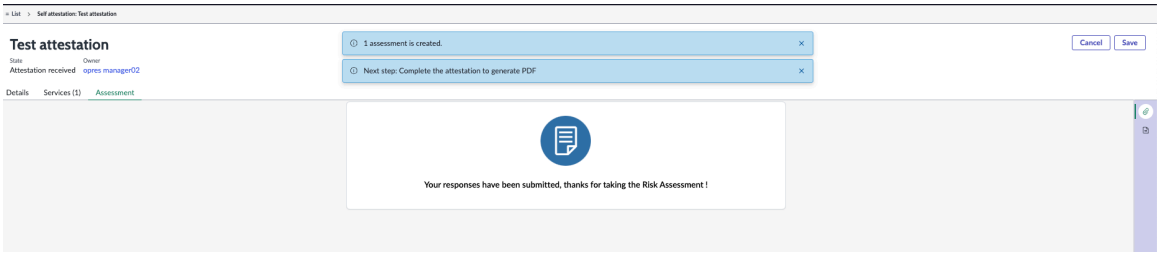
   次の情報メッセージが画面に表示されます：*Your responses have been submitted. Thanks for taking the Risk Assessment.*

   次の例に示すように、自己証明書のステータスが [証明書を受信済み] に更新されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

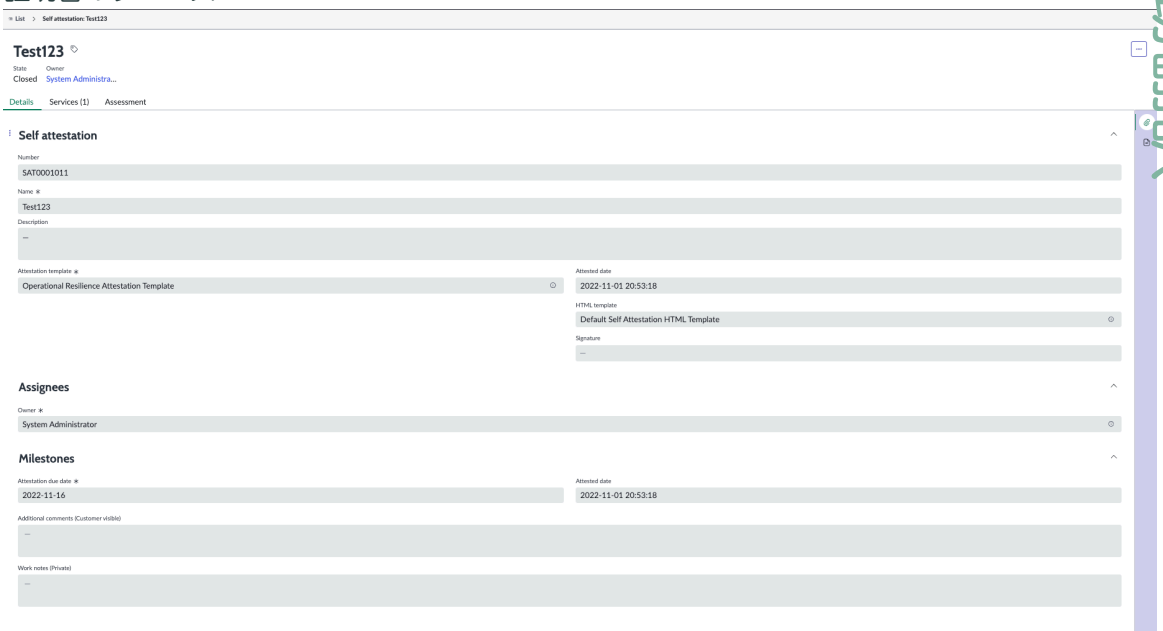
証明書を受信済み



4. [保存] をクリックします。
   アセスメントへの回答はアプリケーションに保存されます。
5. **[PDF** にエクスポート] をクリックします。
   回答のコピーを PDF 形式でエクスポートできます。
   次の情報メッセージが画面に表示されます：*`PDF has been successfully generated for download. You can download the PDF in the activity section.`*
6. [保存] をクリックします。
   回答はアプリケーションに保存されます。
   自己証明書レポートの PDF は、自己証明書フォームの [アクティビティ] セクションに表示されます。
7. [クローズ] をクリックします。
   このアクションを実行することで、自己証明書をクローズできます。

   次の例に示すように、自己証明書のステータスが [クローズ済み] に更新されました。

証明書のクローズ



Operational Resilience ワークスペースでの問題の関連付け

Operational Resilience ワークスペースで、コントロール、コントロール目標、リスクなどの複数のオブジェクトに問題を関連付けることができます。Operational Resilience アプリケーションで、既存の問題を追加するか、特定のビジネスサービスまたはシナリオ分析の問題を作成できます。

問題は、アプリケーション環境で観察された現在の問題またはギャップをキャプチャするために使用されます。ギャップを修正するためのアクション計画を追跡することもできます。

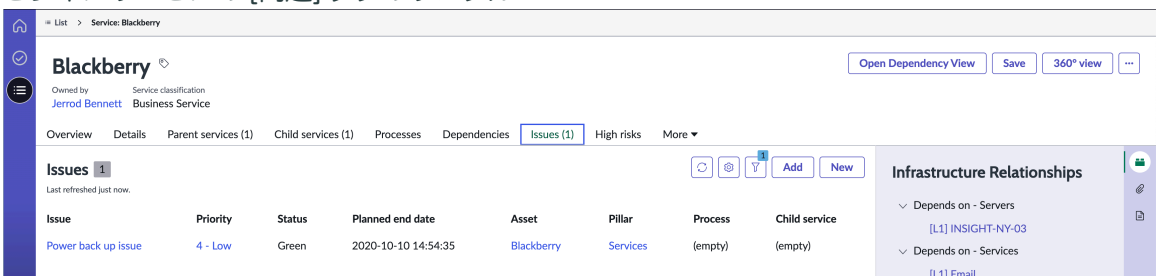
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい問題アーキテクチャでは、既存の問題をコントロールまたはリスクに関連付けることができます。問題を作成し、そこで問題の影響を受ける 1 つまたは複数のコントロール、コントロール目標、リスク、リスクステートメント、引用などを指定することもできます。

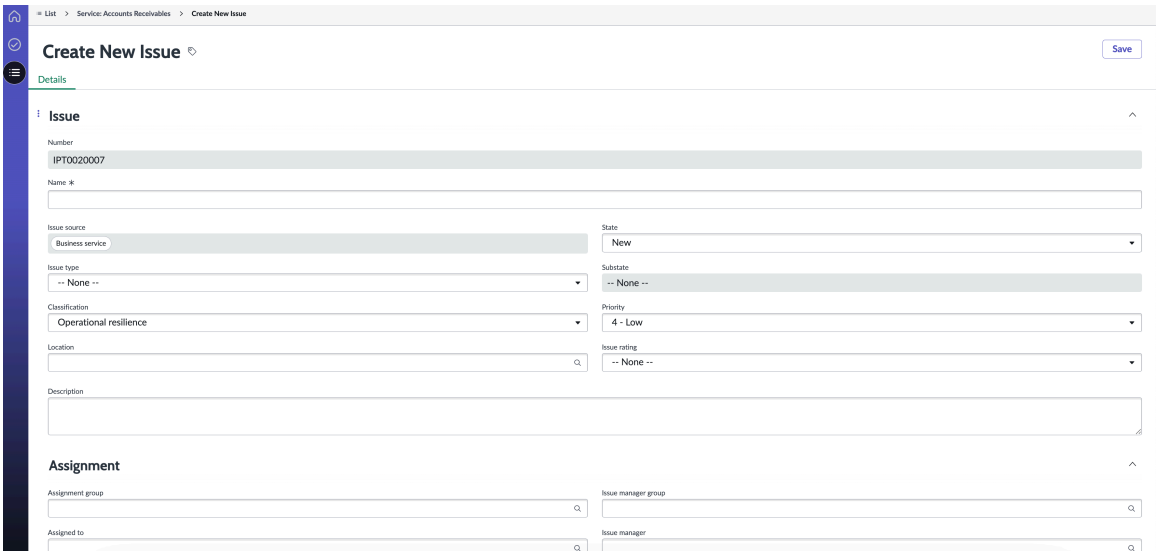
Operational Resilience で、既存の問題を追加するか、特定のビジネスサービスまたはシナリオ分析の問題を作成できます。ビジネスサービスの [問題] タブのサンプルを次の例に示します。

ビジネスサービスの [問題] タブのサンプル



[問題] タブで [新規] を選択してビジネスサービスまたはシナリオ分析の問題を作成すると、次の例に示すように新規問題を作成フォームが表示されます。

新規問題を作成フォームのサンプル



フォームのフィールド値の説明については、「新規問題を作成フォーム」を参照してください。

新規問題を作成フォーム

Operational Resilience ワークスペース の新規問題を作成フォームを使用して、ビジネスサービスまたはシナリオ分析に問題を追加します。

新規問題を作成フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

新規問題を作成フォーム

フィールド	説明
問題	
数値	問題の番号。このフィールドは自動入力されます。
名前	問題の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
問題ソース	問題のソース (ビジネスサービスやシナリオ分析など)。このフィールドは自動入力されます。
問題タイプ	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 • コントロール設計有効性の問題 • コントロール運用有効性の問題 • コントロールは要件を満たしていません • コントロールが存在しません • 規制への非準拠 • ポリシーへの非準拠 • 既存のポリシーに対する改善または提案 • 新しいポリシーの推奨事項 • プロセスの最適化または改善 • 観測事象 • データ漏洩 • 詐欺 • 虚偽 • トレーニング • ドキュメント
分類	問題の分類。このフィールドには、次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 • 監査 • Compliance • Operational Resilience • リスク • ベンダー
場所	問題の場所。
ステータス	問題のステータス。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 新規 • 分析 • 応答 • 評価

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 完了してクローズ • 未完了でクローズ
サブステート	問題のサブステート。このフィールドは自動入力されます。
優先度	問題の優先度。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 重大 • 高 • 中 • 低 • 計画
問題評価	問題の評価。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • 超低
説明	シナリオ分析計画の承認者。
アサイン	
アサイン先グループ	問題のアサイン先グループ。例：アプリケーション開発グループ
アサイン先	問題がアサインされるユーザー。
問題マネージャーグループ	問題がアサインされるマネージャーグループ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • コンプライアンスマネージャー • IT リスクマネージャー • リスクマネージャー
問題マネージャー	問題がアサインされるマネージャー。
ウォッチリスト	問題のウォッチリストに含まれているユーザー。
スケジュール	
期日	問題の期日。
確認日	問題の確認日。このフィールドは自動入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
開始予定日	問題の開始予定日。
終了予定日	問題の終了予定日。
期間	日、時、分、秒単位での問題の期間。
作成済み	問題が作成された日付。このフィールドは自動入力されます。
クローズ済み	問題がクローズされた日付。
実開始日	問題の実際の開始日。
実終了日	問題の実際の終了日。
実際の期間	日、時、分、秒単位での問題の実際の期間。
問題のグループ化	
ペアレントレコード	問題に関連付けられている親問題。
問題グループルール	問題のグループルール。このフィールドは自動入力されます。
アクションプラン	
推奨事項	問題の推奨事項。
アクションプラン	問題のアクションプラン。
アクティビティ	
作業メモ	問題の作業メモ。
追加コメント	問題の追加コメント。
設定	
機能ドメイン	問題が属する機能ドメイン。たとえば、問題が IT リスクおよびコンプライアンスドメインに属する場合があります。

でのレポートの表示 **Operational Resilience**

Operational Resilience を使用すると、パンデミック、異常気象、ハッキングなどの事業に悪影響のあるイベントの発生中でも、組織はビジネスサービスを提供し続けることができます。ダッシュボードで、これらのイベントを予測、防止、対処することで、会社の運用レジリエンスを明確に把握できます。

さまざまなユーザーロールのレポートの表示

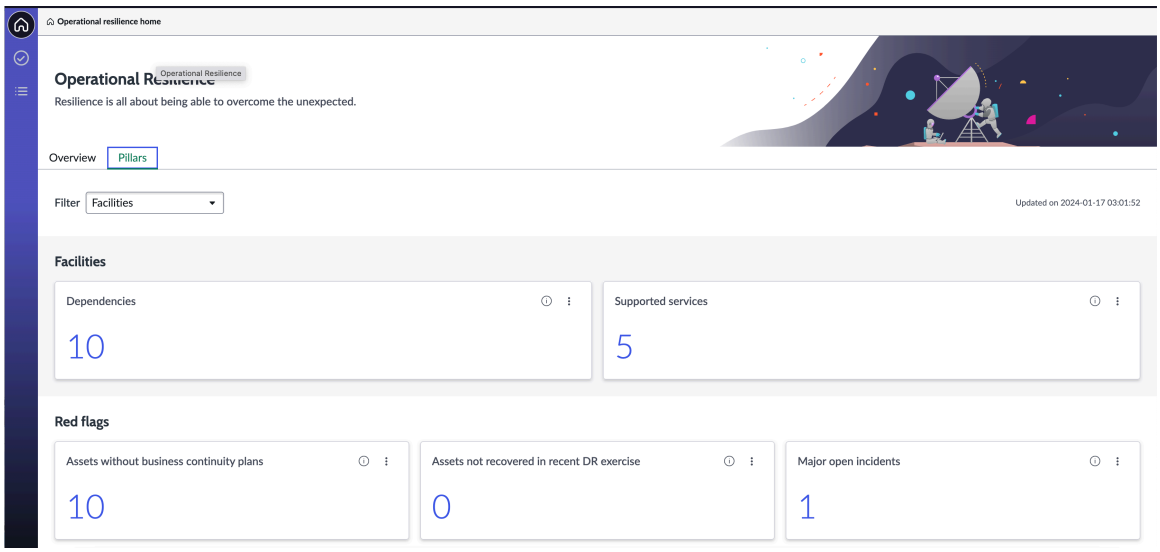
のOperational Resilience ワークスペースホームページには、プロフェッショナルとIRMプロフェッショナルのBCM個別のレポートが表示されます。

レポートにアクセスするためのロール

次のロールを持つユーザーは、例に示すように、 BCMOperational Resilience ワークスペース のレポートにアクセスできます。

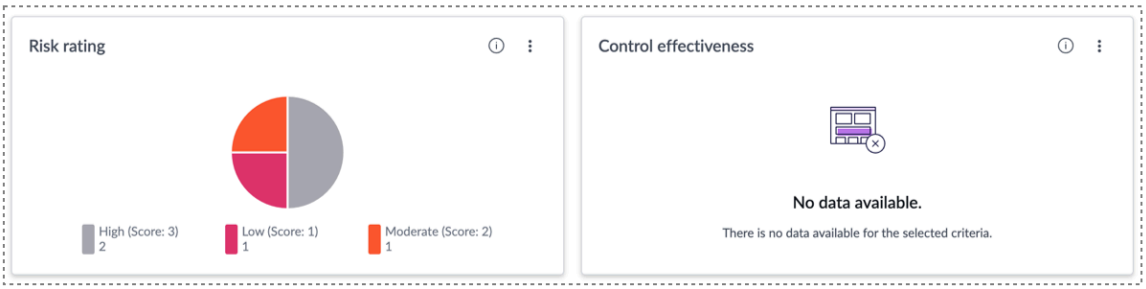
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_oper_res.bcm_opres_admin
- sn_oper_res.bcm_opres_manager
- sn_oper_res.bcm_opres_user



次のロールを持つユーザーは、例に示すように、 IRMOperational Resilience ワークスペース のレポートにアクセスできます。

- sn_oper_res.irm_opres_admin
- sn_oper_res.irm_opres_manager
- sn_oper_res.irm_opres_user



ダッシュボードを使用するユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
Operational Resilience マネージャーと Operational Resilience ユーザー	ダッシュボードとレポートを使用して、組織の運用レジリエンスを確保します。 Operational Resilience マネージャーは、リスク領域のそれぞれのオーナー、コントロールの失敗、未解決で期限切れの優先度 1 の問題、インシデントのある資産、脆弱性のある資産、継

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
	続性計画または復旧計画のないエンティティのフォローアップにもレポートを使用します。

詳細については、「Operational Resilience と一緒にインストールされるロール」を参照してください。

データの可視化

GRC: Operational Resilience ダッシュボードでは、以下の情報が可視化されています。

[概要] タブのレポート

タイトル	タイプ	説明
サービス	単一スコア ( )	顧客に提供される重要なサービスの数。 このレポートのソーステーブル：エンティティからエンティティタイプ [sn_grc_m2m_profile_profile_type]
資産	単一スコア ( )	顧客に提供されるサービスをサポートしている重要なエンティティの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
サービス停止	単一スコア ( )	サービス停止をレポートしている重要なサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なサービス停止 [sn_oper_res_critical_service_outage]
リスクの高いサービス	単一スコア ( )	高リスクとして識別された各ピラーのサービス。 このレポートのデータは、Advanced Risk アセスメント アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
失敗したコントロールのあるサービス	単一スコア ( )	失敗したコントロールの影響を受けるものとして識別された各ピラーのサービス。 このレポートのデータは、ポリシーとコンプライアンス管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブのレポート (続く)

タイトル	タイプ	説明
		アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]
デグレードされたサービス	単一スコア ( )	デグレードされたサービスのレベルをレポートしている重要なサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なサービス停止 [sn_oper_res_critical_service_outage]
リスクの高いサービス	トレンドレポート	高リスクとして識別された各ピラーのサービス。 このレポートのデータは、Advanced Risk アセスメント アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
失敗したコントロールのあるサービス	トレンドレポート	失敗したコントロールの影響を受けるものとして識別された各ピラーのサービス。 このレポートのデータは、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]
期限切れの問題のあるサービス	トレンドレポート	シナリオ分析を使用して実行されたストレステストの影響を受けるサービス。レポートには、失敗したサービスまたは定義されたしきい値に違反したサービスが表示されます。 レポートには、期限切れの各ピラーの P1 問題の数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

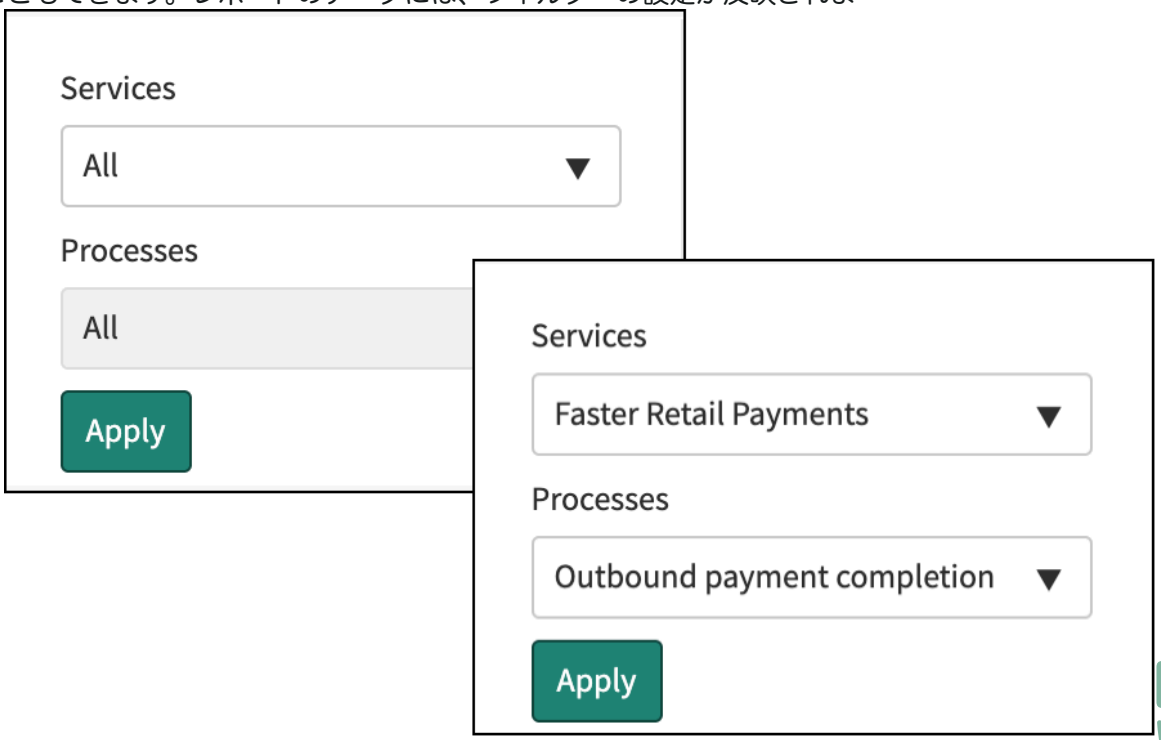
[概要] タブのレポート (続く)

タイトル	タイプ	説明
		このレポートのソーステーブル：優先度 1 の問題のあるサービス [sn_oper_res_issue]
BC/DR 計画のないサービス	トレンドレポート	事業継続性計画も災害復旧計画もないサービス。 このレポートのデータは、事業継続性管理 アプリケーションから取得されます。 注: 事業継続性管理 アプリケーションがインストールされていない場合、このレポートにデータは含まれません。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
軽減すべき上位のリスク	水平バー	影響を受けるサービスと比較した場合の組織を脅かす上位のリスク。このレポートは、軽減の取り組みを開始する場所、およびコントロールの実装に関して最も多くのリソースを投入すべき領域を判断するのに役立ちます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
強化される上位のコントロール	水平バー	最も重要なサービスに影響を与える失敗したコントロール。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[サービスの詳細] タブには、組織で使用されているすべてのサービスとプロセスを表示するために使用できるフィルターが含まれています。または、特定のレポートにドリルダウンしてそのフィルターに固有の情報を表示することもできます。レポートのデータには、フィルターの設定が反映されます。



[サービスの詳細] タブの可視化

タイトル	タイプ	説明
重要なエンティティ	単一スコア ( )	フィルタリングされたサービスとプロセスをサポートしている重要なエンティティの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
高リスク	単一スコア ( )	フィルタリングされたサービスとプロセスで特定された高リスクサービスの数。 このレポートのデータは、Advanced Risk アセスメント アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
失敗したコントロール	単一スコア ( )	フィルタリングされたサービスとプロセスで特定された失敗したコントロールの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サービスの詳細] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
		このレポートのデータは、ポリシーとコンプライアンス管理アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]
高リスク	トレンドレポート	フィルタリングされたサービスとプロセスで特定されたピラー別の高リスクサービスのトレンドレポート。 このレポートのデータは、Advanced Risk アセスメント アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
失敗したコントロール	トレンドレポート	フィルタリングされたサービスとプロセスで特定されたピラー別の失敗したコントロールのトレンドレポート。 このレポートのデータは、ポリシーとコンプライアンス管理アプリケーションから取得されます。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]
期限切れの P1 問題	トレンドレポート	フィルタリングされたサービスとプロセスで特定されたピラー別の期限切れの P1 問題のトレンドレポート。 このレポートのデータには、期限切れの各ピラーの P1 問題の数が表示されます。 このレポートのソーステーブル：優先度 1 の問題のあるサービス [sn_oper_res_issue]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サービスの詳細] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
失敗したBC/DR 計画のあるエンティティ	トレンドレポート	事業継続性計画または災害復旧計画があるが、計画が失敗しているオブジェクトを含むエンティティのトレンドレポート。 このレポートのデータは、事業継続性管理 アプリケーションから取得されます。 注: 事業継続性管理 アプリケーションがインストールされていない場合、このレポートにデータは含まれません。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]

[テクノロジー] タブの可視化

タイトル	タイプ	説明
重要な資産	単一スコア ( )	テクノロジーチームによって管理され、ビジネスユーザーの作業を可能にするビジネスアプリケーションや基盤インフラストラクチャなどの重要な資産の数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
サポートされているサービス	単一スコア ( )	チームによって管理されている重要なビジネスサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
未解決の重大なインシデント	単一スコア ( )	未解決のインシデントを含む重要な資産の数。 このレポートのソーステーブル：重要なサービスインシデント [sn_oper_res_incident]
計画のない資産	単一スコア ( )	関連する災害復旧計画が実装されていない重要な資産の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[テクノロジー] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
		このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
テストに失敗した資産	単一スコア ( )	災害復旧計画があっても計画が失敗した重要な資産の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
資産リスク評価	ドーナツレポート	
資産コントロールの有効性	残存リスクがある技術資産に関連付けられたリスクアセスメント。残存リスクは、残存リスクアセスメントタイプの定性的評価基準で定義できます。 このレポートのデータは、Advanced Risk アセスメント アプリケーションから取得されます。 このレポのソーステーブル：リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance]	
資産の問題	準拠している資産と非準拠の資産のコントロール。このレポートには、まだ証明されていないコントロールの数も表示されます。 このレポートのソーステーブル：コントロール [sn_compliance_control]	重要な資産またはコントロールに対してオープンされた、重要、高、中、低のテクノロジー関連の問題の数。 このレポートのソーステーブル：問題 [sn_grc_issue]
軽減すべき上位のリスク	水平バー	影響を受ける資産を脅かす上位の技術リスク。このレポートは、軽減の取り組みを開始する場所、およびコントロールの実装に関して最も多くのリソースを投入すべき領域を判断するのに役立ちます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
強化される上位のコントロール	水平バー	最も重要なサービスに影響を与える失敗したコントロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[テクノロジー] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
		このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]
修正が必要な上位の脆弱性	水平バー	影響を受ける資産と比較した、技術資産 (Web アプリケーションなど) に影響を与えている上位の脆弱なコントロール。 このレポートのデータは、脆弱性対応 アプリケーションから取得されます。脆弱性対応 がインストールされていない場合、このレポートは空白になります。 このレポートのソーステーブル：脆弱なエンティティ [sn_oper_res_vul_profile] **注:** 脆弱性対応 アプリケーションは、テクニカルサービスにのみ使用されます。

[施設] タブの可視化

タイトル	タイプ	説明
重要設備	単一スコア ( )	設備チームによって管理され、ビジネスユーザーによって使用されている重要な設備の数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
サポートされているサービス	単一スコア ( )	チームによって管理されている重要なビジネスサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
現在のインシデント	単一スコア ( )	未解決のインシデントを含む重要な設備の数。 このレポートのソーステーブル：重要なサービスインシデント [sn_oper_res_incident]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[施設] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
計画のない設備	単一スコア ( )	関連する災害復旧計画が実装されていない重要な設備の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
テストに失敗した設備	単一スコア ( )	災害復旧計画があっても計画が失敗した重要な設備の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
設備リスク評価	ドーナツレポート	残存リスクがある設備に関連付けられたリスクアセスメント。残存リスクは、残存リスクアセスメントタイプの定性的評価基準で定義できます。 このレポのソーステーブル：リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance
設備コントロールの有効性	ドーナツレポート	準拠している設備と非準拠の設備のコントロール。このレポートには、まだ証明されていないコントロールの数も表示されます。 このレポートのソーステーブル：コントロール [sn_compliance_control]
設備の問題の優先度	ドーナツレポート	重要な設備に対してオープンされた、重要、高、中、低の問題の数。 このレポートのソーステーブル：問題 [sn_grc_issue]
軽減すべき上位のリスク	水平バー	影響を受ける設備を脅かす上位のリスク。このレポートは、軽減の取り組みを開始する場所、およびコントロールの実装に関して最も多くのリソースを投入すべき領域を判断するのに役立ちます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[施設] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
強化される上位のコントロール	水平バー	最も重要なサービスに影響を与える失敗したコントロール。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]

[人] タブの可視化

タイトル	タイプ	説明
重要な組織	単一スコア ( )	HR チームによって管理され、ビジネスユーザーによって使用されている重要な組織の数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
サポートされているサービス	単一スコア ( )	チームによって管理されている重要なビジネスサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
計画のない組織	単一スコア ( )	関連する災害復旧計画が実装されていない重要な組織の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
テストに失敗した組織	単一スコア ( )	災害復旧計画があっても計画が失敗した重要な組織の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
組織のリスク評価	ドーナツレポート	残存リスクがある組織に関連付けられたリスクアセスメント。残存リスクは、残存リスクアセスメントタイプの定性的評価基準で定義できます。 このレポのソーステーブル：リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance
組織による有効性のコントロール	ドーナツレポート	準拠している組織と非準拠の組織のコントロール。このレポー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[人] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
		トには、まだ証明されていないコントロールの数も表示されます。 このレポートのソーステーブル：コントロール [sn_compliance_control]
組織の問題の優先度	ドーナツレポート	重要な組織に対してオープンされた、重要、高、中、低の問題の数。 このレポートのソーステーブル：問題 [sn_grc_issue]
軽減すべき上位のリスク	水平バー	影響を受ける組織を脅かす上位のリスク。このレポートは、軽減の取り組みを開始する場所、およびコントロールの実装に関して最も多くのリソースを投入すべき領域を判断するのに役立ちます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
強化される上位のコントロール	水平バー	最も重要なサービスに影響を与える失敗したコントロール。 このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]

[サプライヤー] タブの可視化

タイトル	タイプ	説明
重要サプライヤー	単一スコア (42)	ビジネスユーザーが使用する重要なサプライヤーの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]
サポートされているサービス	単一スコア (42)	チームによって管理されている重要なビジネスサービスの数。 このレポートのソーステーブル：重要なエンティティ [sn_oper_res_profile]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サプライヤー] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
計画のないサプライヤー (Suppliers without Plans)	単一スコア ( )	関連する災害復旧計画またはサプライチェーン計画が実装されていない重要な組織の数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
テストに失敗したサプライヤー (Suppliers with Failed Tests)	単一スコア ( )	災害復旧計画があっても計画が失敗した重要なサプライヤーの数。 このレポートのソーステーブル：事業継続性計画 [sn_oper_res_bcm_plan]
サプライヤーのリスク評価 (Suppliers Risk Rating)	ドーナツレポート	サプライヤーに関連する重大、高、中、低のリスク。 このレポのソーステーブル：リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance
サプライヤーコントロールの有効性 (Suppliers Control Effectiveness)	ドーナツレポート	準拠しているサプライヤーと非準拠のサプライヤーのコントロール。このレポートには、まだ証明されていないコントロールの数も表示されます。 このレポートのソーステーブル：コントロール [sn_compliance_control]
サプライヤーの問題の優先度 (Suppliers Issue Priority)	ドーナツレポート	重要なサプライヤーに対してオープンされた、重要、高、中、低の問題の数。 このレポートのソーステーブル：問題 [sn_grc_issue]
軽減すべき上位のリスク	水平バー	影響を受けるサプライヤーを脅かす上位のリスク。このレポートは、軽減の取り組みを開始する場所、およびコントロールの実装に関して最も多くのリソースを投入すべき領域を判断するのに役立ちます。 このレポートのソーステーブル：高リスクのサービス [sn_oper_res_risk]
強化される上位のコントロール	水平バー	最も重要なサービスに影響を与える失敗したコントロール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サプライヤー] タブの可視化 (続く)

タイトル	タイプ	説明
		このレポートのソーステーブル：失敗したコントロールのあるサービス [sn_oper_res_failed_control]

Operational Resilience の参照

参照トピックには、Operational Resilience アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティなどの追加の情報が記載されています。いくつかのタイプのコンポーネント (プロパティ、ロール、テーブルなど) が、Operational Resilience アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。

Operational Resilience とともにインストールされるコンポーネント

Operational Resilience アプリケーションが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

Operational Resilienceでインストールされるプロパティ

アプリケーションをインストールする Operational Resilience と、いくつかのシステムプロパティがインスタンスに追加されます。これらのプロパティは、変更する必要がない場合があります。sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーは、これらのプロパティを管理できます。

インストールされるプロパティ

プロパティ	説明
sn_oper_res. critical_services	サービスエンティティタイプのsys_id。 タイプ：文字列
sn_oper_res.critical_business_processes	ビジネスプロセスエンティティタイプのsys_id。 タイプ：文字列
sn_oper_res.business_process_pillar	プロセスピラーの sys_id。 タイプ：文字列
sn_oper_res.max_top	Operational Resilience ダッシュボードの [修正が必要な上位の脆弱性] レポートに表示される脆弱性の数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5
sn_oper_res.useAdvancedRisk	true の場合、高度なリスク アプリケーションに基づく計算。false の場合、リスク管理 アプリケーションに基づく計算。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：True または false • デフォルト値：true

Operational Resilience と一緒にインストールされるロール

いくつかのタイプのロールが、Operational Resilience アプリケーションと一緒にインストールされます。

と一緒にインストールされるロール Operational Resilience

このリリース以降Washington DC、プロフェッショナルとIRMプロフェッショナルに BCM 2 セットの新しいロールが追加されています。

注:
ロールと FAQ の詳細については、「 KB0555605 」を参照してください。

Lite アプリがインストールされている場合のモデルの種類

ロール	ファミリ	コメント
sn_oper_res.admin	IRM	なし
sn_oper_res.manager	IRM	なし
sn_oper_res.user	IRM	脆弱性プロファイルレコードにアクセスするには、sn_oper_res.user ロールが必要です。
導入された新しいロール		
sn_oper_res.bcm_opres_admin	BCM	ワークスペースにアクセスするには BCM 構成可能ワークスペース 、sn_bcm.viewer ロールが必要です。 sn_oper_res.bcm_opres_user + ロールを持つユーザーは、と BCM 構成可能ワークスペースの両方Operational Resilience ワークスペースにアクセスできます。
sn_oper_res.bcm_opres_manager	BCM	
sn_oper_res.bcm_opres_user	BCM	
sn_oper_res.irm_opres_admin	IRM	sn_oper_res.irm_opres_user + ロールを持つユーザーは、Operational Resilience ワークスペース、およびリスクワークスペースにはアクセスできますが、 コンプライアンスワークスペース にはアクセスできません。
sn_oper_res.irm_opres_manager	IRM	
sn_oper_res.irm_opres_user	IRM	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Lite アプリがインストールされている場合のモデルの種類 (続く)

ロール	ファミリ	コメント
		およびリスクワークスペースにアクセスするにはコンプライアンスワークスペース、追加のロールが必要です。

プロフェッショナルおよび**IRM**プロフェッショナル用に**BCM**作成されたロール

- プロフェッショナルユーザーに対して、次のロールが作成されます BCM 。

  注:
  app-grc-bcm-lite アプリケーションがインストールされていない場合、これらのロールを持つユーザーはオペレーターとしてカウントされます。

  - sn_oper_res.bcm_opres_admin
  - sn_oper_res.bcm_opres_manager
  - sn_oper_res.bcm_opres_user
- プロフェッショナルユーザーに対して、次のロールが作成されます IRM 。

  注:
  app-grc-bcm-lite アプリケーションがインストールされていない場合、これらのロールを持つユーザーはオペレーターとしてカウントされます。

  - sn_oper_res.irm_opres_admin
  - sn_oper_res.irm_opres_manager
  - sn_oper_res.irm_opres_user
- 次の Lite アプリケーションがインストールされている場合、sn_oper_res.bcm_opres_user、sn_oper_res.irm_opres_user、または sn_oper_res.user ロールを持つユーザーは、Lite オペレーターとしてカウントされます。
  - BCM Lite アプリケーション:app-grc-bcm-lite (プラグイン ID:com.snc.app_grc_bcm_lite)
  - IRM Lite アプリケーション:app-grc-business-user-lite (プラグイン ID:com.sn_grc_lite)
- には、sn_oper_res.admin、sn_oper_res.manager、および sn_oper_res.user ロールが含まれています IRM。

ワークスペースへのアクセスに必要なロール

次のいずれかのロールを持つユーザーは、 と BCM 構成可能ワークスペースにアクセスできますOperational Resilience ワークスペース。

- sn_oper_res.bcm_opres_user
- sn_oper_res.bcm_opres_manager
- sn_oper_res.bcm_opres_admin

以下のロールを持つユーザーは、以下 Operational Resilience ワークスペースにアクセスできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- sn_oper_res.irm_opres_user
- sn_oper_res.irm_opres_manager
- sn_oper_res.irm_opres_admin

次のいずれかのロールを持つユーザーは、リスクワークスペース

- sn_risk_workspace.business_op_risk_manager
- sn_risk_workspace.IT_risk_manager
- sn_risk_workspace.operatonal_risk_manager

次のいずれかのロールを持つユーザーは、コンプライアンスワークスペース

- sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst
- sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager
- sn_compliance_ws.it_compliance_manager

Operational Resilience とともにインストールされるロール

ロール名	説明
Operational Resilience 管理者 [sn_oper_res.admin]	Operational Resilience 管理者の責任は次のとおりです。 • シナリオの構成 • ビジネスチームからのダッシュボード要求に基づいて、エンティティタイプ、エンティティフィルター、およびレポートのピラーを設定します。 • Operational Resilience ダッシュボードでのレポートのカスタマイズ 管理者は、 Operational Resilience サービスとプロセスの間の関係を追加する CMDB ための ITIL ロールを持っている必要があります。 管理者ロールには、 Operational Resilience 次のロールが含まれています。 • sn_grc.admin • sn_oper_res.manager
Operational Resilience マネージャー [sn_oper_res.manager]	Operational Resilience マネージャーは次の責任を負います。 • ダッシュボードとレポートを使用した組織内のオペレーショナルレジリエンスの確保 • Operational Resilience ダッシュボードのレポートとサポートデータを確認します。 マネージャーロールには、 Operational Resilience 次のロールが含まれています。 • sn_grc.manager • sn_compliance.reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience とともにインストールされるロール (続く)

ロール名	説明
	• sn_oper_res.user • sn_risk.reader
Operational Resilience ユーザー [sn_oper_res.user]	Operational Resilience ユーザーは次の責任を負います。 • Operational Resilience ダッシュボードのレポートとサポートデータを確認します。 • サービス影響分析にアサインされた個人の影響許容度とテスト計画の完了。 ユーザーは Operational Resilience データにアクセスできます 脆弱性対応 。 ユーザーロールには、 Operational Resilience 次のロールが含まれています。 • sn_incident.read • sn_grc.reader • task_editor
BCM および Operational Resilience 管理者 [sn_oper_res.bcm_opres_admin]	およびOperational Resilience管理者ロールには、BCM次のロールが含まれています。 • sn_oper_res.bcm_opres_manager • sn_oper_res.admin
BCM および Operational Resilience マネージャー [sn_oper_res.bcm_opres_manager]	およびOperational Resilienceマネージャーロールには、BCM次のロールが含まれています。 • sn_oper_res.bcm_opres_user • sn_oper_res.manager
BCM および Operational Resilience ユーザー [sn_oper_res.bcm_opres_user]	BCMおよびOperational Resilienceユーザーロールには、次の権限があります。 • を読み取る BCM UIB ワークスペースことができます。 • レポートまたはデータにアクセスできません IRM 。 AND Operational Resilience ユーザーロールには、BCM次のロールが含まれています。 • sn_bcm.viewer • sn_oper_res.user
IRM Operational Resilience ユーザー [sn_oper_res.irm_opres_user]	IRM Operational Resilience ユーザーロールは、レポートとデータにアクセスできません

自動翻訳

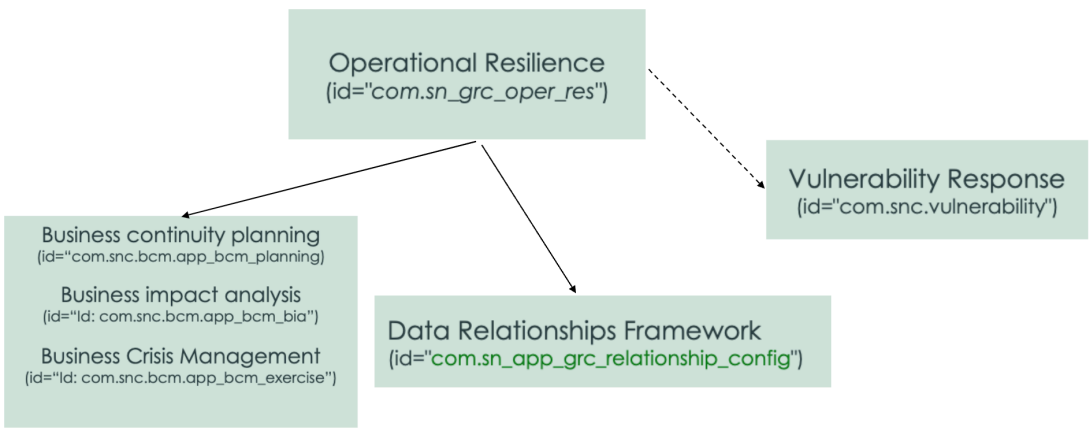
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience とともにインストールされるロール (続く)

ロール名	説明
	BCM 。これには、以下の内容が含まれています。 • sn_grc.reader • sn_oper_res.user 次のユーザーロールは、Policy and Compliance Management と Risk Management がインストールされている場合にのみ含まれます。 • sn_compliance.reader • sn_risk.reader
IRM Operational Resilience 管理者 [sn_oper_res.irm_opres_admin]	管理者ロールには、 IRM Operational Resilience 次のロールが含まれます。 • sn_oper_res.irm_opres_manager • sn_oper_res.admin
IRM Operational Resilience マネージャー [sn_oper_res.irm_opres_manager]	マネージャーロールには、 IRM Operational Resilience 次のロールが含まれています。 • sn_oper_res.irm_opres_user • sn_oper_res.manager

Professional の **BCM** プラグイン依存関係

Professional の場合 BCM 、次の必須アプリケーションがとともに Operational Resilienceインストールされま



す。

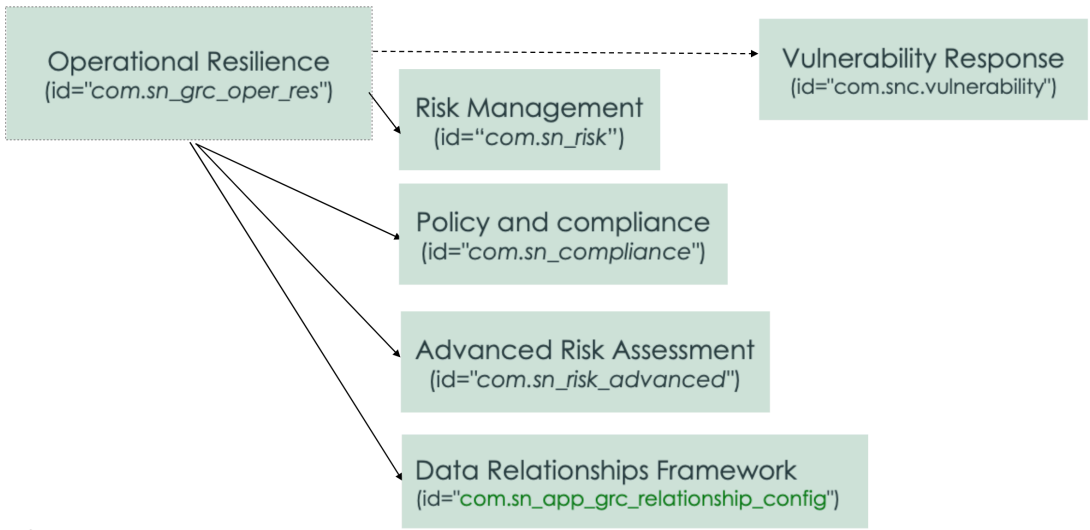
- 事業継続性計画 (com.snc.bcm.app_bcm_planning)
- ビジネスインパクト分析 (com.snc.bcm.app_bcm_bia)
- 危機管理 (com.snc.bcm.app_bcm_exercise)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- データリレーションシップフレームワーク (com.sn_app_grc_relationship_config)
- オプション: 脆弱性対応 (com.snc.vulnerability)

Professional の IRM プラグイン依存関係

Professional の場合 IRM 、次の必須アプリケーションがとともに Operational Resilienceインストールされま



す。

- 高度なリスク アセスメント (com.sn_risk_advanced)
- データリレーションシップフレームワーク (com.sn_app_grc_relationship_config)
- ポリシーとコンプライアンス管理 (com.sn_compliance)
- リスク管理 (com.sn_risk)
- オプション: 脆弱性対応 (com.snc.vulnerability)

インストールされているジョブスケジュール Operational Resilience

Operational Resilience アプリケーションをダウンロードすると、*`Compute Operational Resilience Compliance`* スケジュール設定済みジョブがインスタンスに追加されます。sn_oper_res.admin ロールを持つユーザーにこの情報が役立つ場合があります。

スケジュール設定済みジョブが Operational Resilience アプリケーションとともにインストールされます。

次のジョブスケジュールは Operational Resilience アプリケーションとともにインストールされます。

インストールされているジョブスケジュール **Operational Resilience**

スケジュール設定済みジョブ	説明
`Compute Operational Resilience Compliance`	:、GRC:リスク管理高度なリスク、などのさまざまなアプリケーションGRCからデータを収集し脆弱性対応、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理BCMCMDBさまざまなレポートのサポートデータを計算するスケジュール設定済みジョブ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているジョブスケジュール **Operational Resilience** (続く)

スケジュール設定済みジョブ	説明
	スケジュール設定済みジョブは、1 日に 1 回実行され、レポート用の新しいサポートデータを作成する前に、前日のデータをすべて削除します。ジョブは、さまざまな条件を使用してさまざまなソースからデータを取得し、Operational Resilience ステージングテーブルに保存します。

インストールされたスクリプトインクルード **Operational Resilience**

Operational Resilience アプリケーションをダウンロードすると、いくつかのスクリプトインクルードがインスタンスに追加されます。

インストールされたスクリプトインクルード

スクリプトインクルード	説明
ImportanceAssessmentUtils	重要性アセスメントワークフローで使用されているユーティリティ機能が含まれています。
OperationalResilienceAjax	クライアント側とサービス側の間のインタラクションを処理するクライアントコール可能スクリプトインクルード。
OperationalResilienceConstants	アプリケーション内のさまざまな場所で必要な定数が含まれています。
OperationalResilienceComputationBase	Operational Resilience 内のさまざまな場所からデータをフェッチし、ビジネスサービスのエンティティまたは構成アイテム (CI) に関連するすべての問題をフェッチするために使用されるユーティリティ機能が含まれています。
OperResBusinessServiceUtilBase	ビジネスサービスフォームの関連リストのユーティリティ機能が含まれています。
OpResPdfGenerationUtil	PDF テンプレートスクリプトで使用されるユーティリティ機能が含まれています。
OpResAssessmentUtils	重要度評価を生成するために使用されるユーティリティ機能が含まれています。
OpResConditions	条件のユーティリティ機能が含まれています。
RelatedListOpResIssueFilter	問題関連リストのユーティリティ機能が含まれています。
ScenarioAnalysisUtils	シナリオ分析ワークフローで使用されているユーティリティ機能が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルード	説明
SelfAtestationUtilsBase	自己証明書ワークフローで使用されているユーティリティ機能が含まれています。
ScenarioAnalysisIssuesRLCandidateFilter	シナリオ分析で使用されている問題のユーティリティ機能が含まれています。

Operational Resilience とともにインストールされるテーブル

いくつかのタイプのテーブルが、Operational Resilience アプリケーションと一緒にインストールされます。

インストールされるテーブル

Operational Resilience とともにインストールされるテーブル

テーブル名	説明
アクティビティログ (sn_oper_res_activity_log)	アプリケーションのアクティビティログ。
ASMT 評価スケール (sn_oper_res_asmt_rating_scale)	ASMT 評価スケール。
BCM 計画 (sn_oper_res_bcm_plan)	BCM 計画。
選択肢 (sn_grc_choice)	すべての GRC 選択肢のリスト。
変更要求 (sn_oper_res_change_request)	アプリケーションに対して作成された変更要求。
重要なサービス停止 (sn_oper_res_critical_service_outage)	重要なサービスの機能停止。
イベント (sn_oper_res_event)	アプリケーションに対して記録されたイベント。
失敗したコントロール (sn_oper_res_failed_control)	失敗したコントロール。
GRC プロファイル (sn_grc_profile)	すべての GRC エンティティのリスト。
影響許容度アセスメントの重要性 (sn_oper_res_importance_impact_tolerance_assessment)	影響許容度アセスメントの重要性。
インシデント (sn_oper_res_incident)	イベントのために登録されたインシデント。
問題 (sn_oper_res_issue)	イベントのためにログに記録された問題。
M2M 分析参加者 (sn_oper_res_m2m_analysis_participant)	分析と参加者の間の関連性。
M2M 分析シナリオイベント (sn_oper_res_m2m_analysis_scenario_event)	分析とシナリオイベントの間の関連性。
M2M シナリオ分析サービス (sn_oper_res_scenario_analysis_service)	シナリオと分析サービスの間の関連性。
M2M シナリオイベント (sn_oper_res_m2m_scenario_event)	シナリオとイベントの間の関連性。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience とともにインストールされるテーブル (続く)

テーブル名	説明
M2M サービスの影響許容度アセスメントの重要性 (sn_oper_res_m2m_service_importance_impact_tolerance_assessment)	サービスと影響許容度アセスメントの重要性の間の関連性。
Operational Resilience プロファイル (sn_oper_res_profile)	Operational Resilience エンティティ。
プロファイルタイプ (sn_grc_profile_type)	すべての GRC エンティティタイプのリスト。
リスク (sn_oper_res_risk)	アプリケーションで定義されたリスク。
シナリオ (sn_oper_res_scenario)	アプリケーションで定義されたシナリオ。
シナリオ分析 (sn_oper_res_scenario analysis)	アプリケーションで定義されたシナリオ分析。
サービス影響度分析 (sn_oper_res_service_impact_analysis)	アプリケーションで定義されたサービス影響度分析。
サービスプロセスのピラー (sn_oper_res_service_process_pilar)	アプリケーションで定義されたサービスプロセスのピラー。
タスク (sn_oper_res_task)	アプリケーションで定義されたタスク。
脆弱性プロファイル (sn_oper_res_vul_profile)	アプリケーションで定義された脆弱性プロファイル。
Washington DC リリースで追加されたテーブル	
M2M シナリオイベント参加者 (sn_opres_res_m2m_scenario_event_participant)	各参加者は、1 つ以上のシナリオイベントに関連付けることができます。このテーブルには、参加者とシナリオイベント間の多対多の関係が格納されます。
M2M シナリオイベントの問題 (sn_oper_res_m2m_scenario_event_issue)	問題とシナリオイベント間の多対多の関係が格納されます。
サービス関連情報 (sn_oper_res_service_related_info)	アプリケーションで定義されたサービス関連情報。
サービスサマリー (sn_oper_res_service_summary)	アプリケーションで定義されたサービスサマリー。
応答タスク (sn_oper_res_resp_task)	アプリケーションで定義されたサービスタスク。
応答タスク (sn_oper_res_response_task)	アプリケーションで定義された応答タスク。

ドメイン分離と **Operational Resilience**

Operational Resilience ではドメイン分離がサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

Operational Resilience はドメイン分離をサポートします。テーブルは、ドメイン ID とドメインパスでストライプ化されます。Operational Resilience のドメイン分離は、アプリケーションのドメインまたは親ドメイン内のユーザーのみがデータにアクセスできることを意味します。Operational Resilience のすべての機能は、次のすべてのアクションがドメイン内のユーザーによって実行される限り、そのドメイン分離された環境で機能します。

- アプリケーションを作成 (Create application)
- 構成データの作成/アップロード
- シナリオ分析の実行
- ビジネスサービスの重要性と影響度の測定
- Operational Resilience ステータスの自己証明

Operational Resilienceにおけるドメイン分離の仕組み

Operational Resilience では、ドメイン分離はデータレベルでのみサポートされています。クロスレベルのスケジュール設定済みジョブデータのセットアップはサポートされていません。したがって、データレベルの分離を遵守するために、各ドメインでスケジュール設定済みジョブをコピーする必要があります。

Operational Resilience のドメイン分離を設定するには

1. ドメインを作成し、そのドメインに Operational Resilience ユーザーを作成します。
2. 指定されたユーザー (そのドメイン内の Operational Resilience 管理者) のみが、アプリケーションのドメインに構成データを入力する必要があります。
3. アプリケーションのドメイン内のユーザーのみが、ドメイン内でデータをアップロードまたは作成する必要があります。

ドメイン分離を成功させるには、次のガイドラインに従ってください。

- 構成データのアップロード、編集、またはエクスポートを実行するためにドメインごとに個別のユーザーを作成します。
- 特定のアプリケーションの構成データを複数のドメインでアップロードまたは作成することは避けてください。
- アプリケーションのドメイン内のユーザーのみが、ドメイン内でデータをアップロードまたは作成する必要があります。
- ポリシーとエクスポーターは、アプリケーションのドメインまたはグローバルドメインのいずれかに存在する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Operational Resilience のドメイン分離テーブル

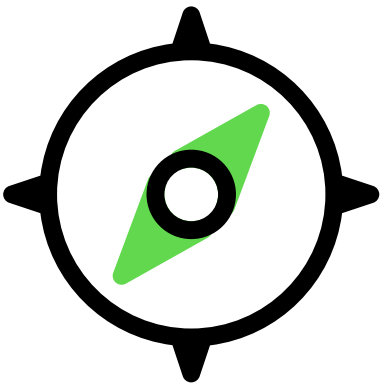
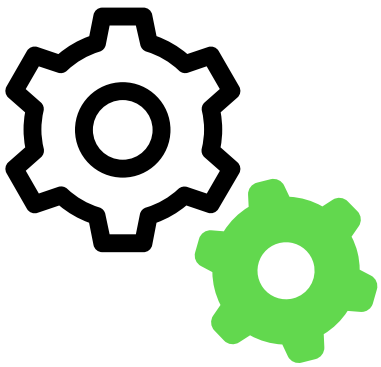
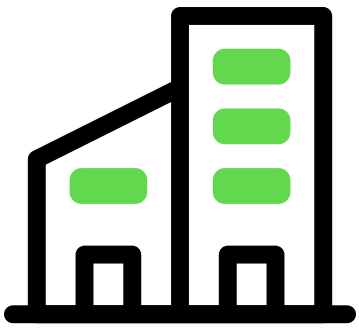
すべての Operational Resilience テーブルに [ドメイン] 列があります。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

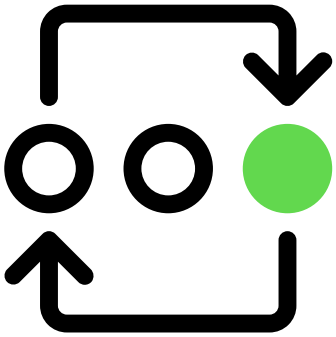
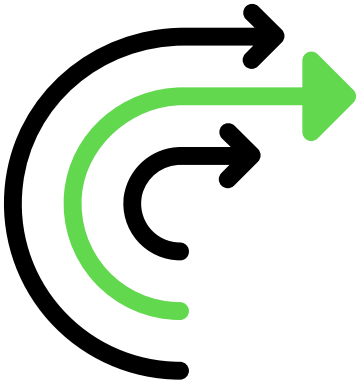
Policy and Compliance Management

ServiceNow® ポリシーとコンプライアンス管理 製品は、外部規制やベンチマークにクロスマッピングされたポリシー、標準、および内部制御手順を作成および管理するための一元化されたプロセスを提供します。加えて、このアプリケーションは、制御アクティビティの識別、アセスメント、および継続的な監視のための構造化ワークフローを提供します。

探索	構成	管理
		
の主な機能とメリットを確認する ポリシーとコンプライアンス管理	GRC: Policy and Compliance Management アプリケーションのチェックリストを設定する	Policy and Compliance Management とともにインストールされるコンポーネント
使用方法	**ビルド**	**管理**
		
コンプライアンスタスクの Compliance ワークスペースを使用する	ポリシードキュメントを作成および修正するコンプライアンスワークスペース	GRC Policy and Compliance のモバイルエクスペリエンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合	分析およびレポート	
		
UCF Common Controls Hub を使用してコンプライアンスフレームワークを管理する	コンプライアンスレコードの分析およびレポート作成ソリューション	

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理 をアクティブ化

ポリシーとコンプライアンス管理 (com.sn_compliance) プラグインは別のサブスクリプションとして利用可能であり、アクティベーションが必要です。

トラブルシューティングとヘルプ

- で質問や回答をする GRC コミュニティ
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 開発者サイトでアプリを構築する方法を学習します。
- 担当者 カスタマーサービス & サポート

ポリシーとコンプライアンス管理 の詳細

ServiceNow ポリシーとコンプライアンス管理 製品は、外部規制やベンチマークにクロスマッピングされたポリシー、標準、および内部制御手順を作成および管理するための一元化されたプロセスを提供します。さらに、アプリケーションでは、コントロールアクティビティの識別、アセスメント、継続的な監視のための構造化されたワークフローが提供されます。

ポリシーとコンプライアンス管理 の概要

包括的な統合リスク管理 (IRM) プログラムは、組織のポリシーによって確立された要件によって定義されます。たとえば、コントロールはリスクを軽減する可能性がありますが、主にポリシーを適用するために実装されます。したがって、規制が増え続ける状況でリスクを管理し、コンプライアンス要件を満たすためには、ポリシーを正規化して統合することが組織の戦略上の不可欠なステップと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

なります。詳細については、「ポリシーとコンプライアンス管理 の構造の概要」を参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理 のスコープには次が含まれます。

- ポリシーとコントロールを作成するプロセス。
- リスクとコントロールまたは構成の変更を継続的に監視することで、リスクエクスポージャーを制御します。
- 自動化により、手作業の負担とコストを削減します。

ポリシーとコンプライアンス管理 のプロセス目標は次のとおりです。

- ポリシー、コントロール目標、およびコントロールを作成するための一元化されたプラットフォームを作成し、それらを規制および業界ガイドラインにマッピングします。
- 一貫したプロセスでポリシーのライフサイクルを管理します。ポリシーのライフサイクルのグラフィカル表現については、「ポリシーとコンプライアンス管理 のポリシーライフサイクルの概要」を参照してください。
- ツールを使用して組織全体にポリシーを伝達します。
- コンプライアンスのステータスを評価します。
- コントロールのライフサイクルを管理するための体系的で一貫したアプローチを提供します。

ポリシーとコンプライアンス管理 は、次のアクティビティを一元管理します。

- コントロールとコントロールオーナーの確立
- コントロールテストと予期される結果の定義
- テストおよびコントロール頻度を確立
- リスクを識別：影響度と可能性
- 証明書を作成
- 信頼できるソースをポリシー、手順、コントロール、リスクにマップ

ポリシーとコンプライアンス管理 ユーザー

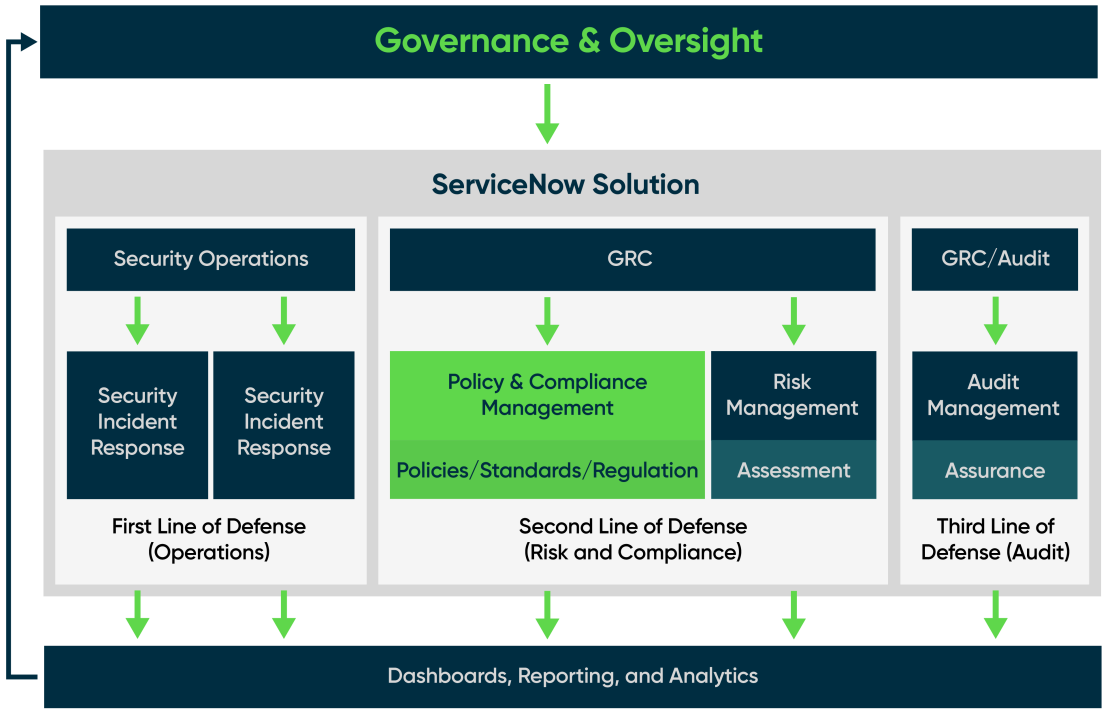
Policy and Compliance のアクティビティには、すべての管理レベルが含まれます。優れたガバナンスの主要な機能は、強力な組織構造の確立です。

- 取締役会
- IT 運営委員会
- 監査委員会
- すべての管理レベル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

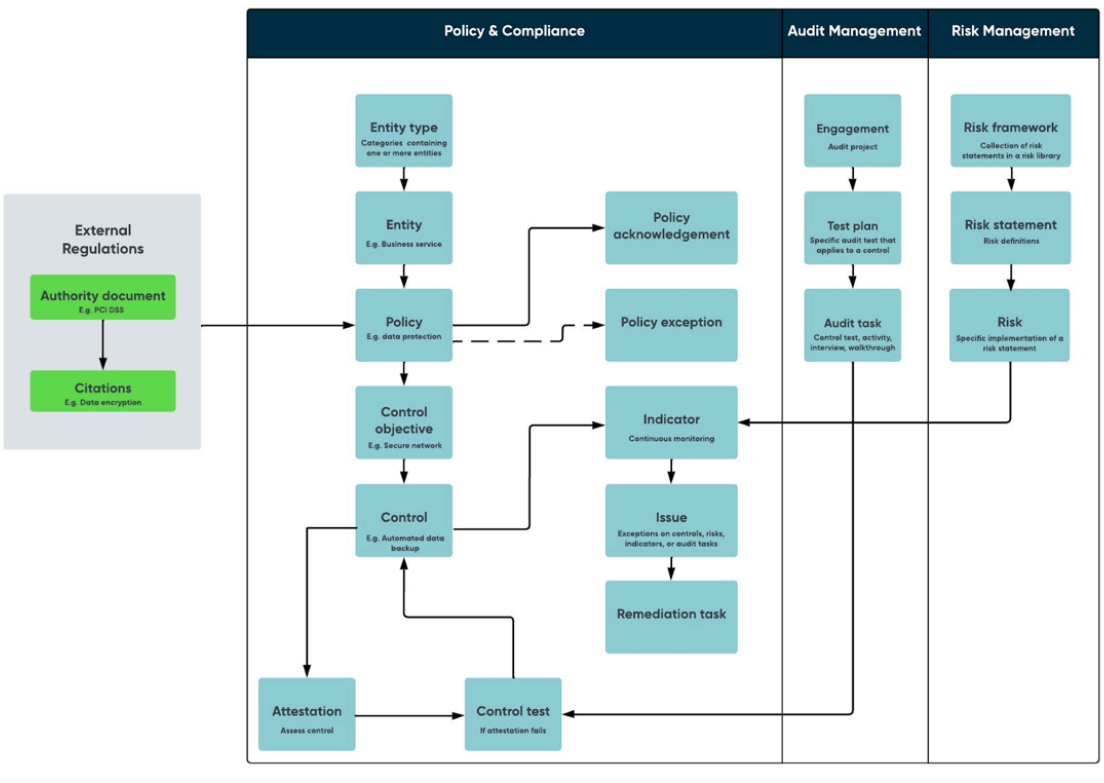
ポリシーとコンプライアンス管理 および **Now Platform**



ポリシーとコンプライアンス管理 の構造の概要

ポリシーとコンプライアンス管理 の構造の概要により、ServiceNow の ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを構成するさまざまなモジュールがどのように統合および相互にやり取りするかを理解できます。

Policy and Compliance のモジュールの構造の概要



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

各種法令・基準等

ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションは、各種法令・基準等を特定することから始めます。これらの文書は、組織が準拠する必要がある法律、規制、および標準を含む外部規制であり、組織が行うビジネスのタイプとその場所によって異なります。規制要件は通常、法律または特定の業界によって概説された要件を提供する規制機関によって公開されます。これらの要件は、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律 (HIPAA) などの連邦または州の規制、一般データ保護規則 (GDPR) などの国際規制、ペイメントカード業界 (PCI) などの業界規制から取得される場合があります。HIPAA、GDPR、PCI などの各ドキュメントは、各種法令・基準等です。

たとえば、ペイメントカード業界データセキュリティスタンダード (PCI DSS) は、情報セキュリティ標準であり、ペイメントカード詐欺を減らすことを目的とした各種法令・基準等です。クレジットカード支払いを受け入れるすべての組織に一連のセキュリティ標準を提供します。フィナンシャルサービスプロバイダーは、不正行為を防止し、カード所有者データを保護し、ビジネスサービスの安全性と合法性を確保するために、PCI 標準に準拠する必要があります。

引用

引用は、ビジネスが明確に準拠する必要がある各種法令・基準等 (Unified Compliance Framework (UCF) など) からの一節または文言です。これは、各種法令・基準等内の個別の要件です。たとえば、パブリックネットワーク全体でのカード所有者データの送信の暗号化は、ペイメントカードトランザクションによる消費者の個人財務情報の盗難を防ぐための PCI DSS の要件の 1 つです。

引用は、手動で作成することも、UCF を介してインポートすることもできます。

エンティティタイプ

エンティティタイプは、一連のフィルター条件に一致するエンティティをグループ化します。インスタンス内の任意のテーブルに対する条件付きクエリに基づいて、エンティティを自動的に生成できます。たとえば、銀行に口座を持っている顧客をエンティティタイプとして考えてみましょう。顧客には、名前、顧客 ID、口座のタイプ、収入ソースなどの属性があり、顧客情報テーブルに格納され、任意の属性に基づいてクエリできます。

エンティティ

エンティティは、人、部門、アプリケーション、オブジェクト、サーバー、外部ネットワーク機器、さまざまな場所、データサーバー、データウェアハウスなど、基本的にコントロールテストを実行する対象となるすべてのものであり、本質的にポリシーとコンプライアンスです。たとえば、名前と関連する財務情報を持つ銀行の口座を持っている人などです。

エンティティは、エンティティタイプが作成されると自動的に生成されます。

ポリシー

各種法令・基準等が特定された後、企業は、事業部門が各種法令・基準等に準拠する方法を指定するポリシーを作成します。ポリシーステートメントは、ビジネスで何をすべきか、また何をすべきでないかを高レベルで定義します。たとえば、組織は、顧客の機密情報を保護するための要件を定義するデータ保護ポリシーを設定できます。ポリシーは組織の内部ドキュメントであり、ファイアウォールポリシー、ネットワークポリシー、受け入れ可能な使用ポリシー、情報セキュリティ、ネットワークセキュリティ、環境保護などがあります。これらは、ビジネスの特定の側面を扱うさまざまなコントロールとコントロール目標の集計です。

ポリシーの確認応答

ポリシー確認応答モジュールを使用すると、ポリシー所有者またはコンプライアンスチームは、コンプライアンス要件を満たすために、従業員によるレビューと確認のためにポリシーを送信できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ポリシー例外

これにより、ポリシーに例外を設定できます。何らかの理由でポリシーまたはコントロールに準拠できない場合は、例外をログに記録できます。

ポリシー例外モジュールは、組織が文書化されたコントロールに従うことができない状況を文書化します。ポリシー例外には独自のライフサイクルと承認があります。

コントロール目標

コントロール目標は、コントロールが達成することを意図した特定の目標です。たとえば、データ保護ポリシーを確保するために、会社は安全なネットワークを構築して維持できます。受け入れ可能な使用ポリシーの場合、ユーザーがアクセスしている Web サイトを常に制御するプロキシを設定するというコントロール目標があります。ネットワークポリシーには、強力なパスワードを設定するというコントロール目標がある可能性があります。

コントロール目標を通じて、各種法令・基準等とポリシーを結び付けてコンプライアンスの負担を軽減できます。1 つのコントロール目標で、複数の内部要件と外部要件を強制できます。引用は、1 つ以上のコントロール目標に関連付けることもできます。また、コントロールとポリシーはコントロール目標レベルで互いに関連付けられています。あるいは、コントロール目標を参照し、目標で示されているアクションを行う理由を示す権限ドキュメントとポリシーへのマッピングを確認することもできます。

コントロール目標モジュールは、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのメインハブです。各種法令・基準等は規制目標を記載し、ポリシーは組織がすべきこと、すべきでないことを文書化しますが、コントロール目標は、これらのポリシーや各種法令・基準等に準拠する方法を正確に定義します。

コントロール

コントロールは、コントロール目標の特定の実装です。たとえば、データ保護ポリシーの場合、会社はデータが確実に定期的にバックアップされるようにしたり、自動バックアップシステムを設定したりすることができます。

ポリシーをエンティティタイプに関連付けるか、エンティティタイプをコントロール目標に関連付けると、コントロールが自動的に生成され、コントロールはコントロール目標のエンティティタイプにリストされている各エンティティに対して作成されます。ただし、コントロールは手動で作成することもできます。コントロールをテストして、意図したコントロール目標を達成できるかどうかを確認します。

コントロールテスト

コントロールは、コントロール目標の達成に有効であることを確認するためにテストされます。たとえば、ペネトレーションテストにより、データ暗号化が適切に実装されていることを確認します。

インジケーター

インジケーターを使用すると、コントロールに対してテストを実行でき、テストは、日次、週次、月次、または四半期ごとにスケジュールできます。インジケータータスクが作成され、コントロールが準拠しているかどうかを確認するためにユーザーに送信され、インジケーターを合格または不合格としてマークできます。タスクが失敗した場合、コントロールは準拠しておらず、問題が作成されます。インジケーターがテストに合格した場合、コントロールは次にスケジュールされているテストまで準拠しています。

インジケーターテンプレートを使用すると、類似するコントロールに複数のインジケーターを作成できます。インジケーターテンプレートはインジケーターのパラメーターを定義し、監視するインジケーターのタイプに応じてリスクステートメントまたはコントロール目標にマッピングされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターが実行されるたびにタスクが作成され、インジケーターの結果が収集されます。スケジュールに従ってインジケータータスクが作成され、インジケーターフォームで事前設定された頻度に従って確実に監視されます。

証明書

証明書は、コントロールを評価してコンプライアンスを継続的に監視します。インジケーターとは異なり、証明書はほとんどがアドホックであり、スケジュールされない場合があります。

問題

コントロールのテスト中にギャップが特定された場合、そのギャップは問題と呼ばれます。問題には、監査からの運用上の観察事項、規制コンプライアンス違反、セキュリティ違反、またはその他の否定的な結果が含まれます。または、コントロールテストが失敗し、非準拠である場合、問題が作成されます。問題は、ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、Audit Management GRC アプリケーション間で共有できます。会社のリスク管理プログラムの有効性は、リスクとコンプライアンスの問題をどのぐらい迅速かつ完全に特定して対処するかによって測定できます。

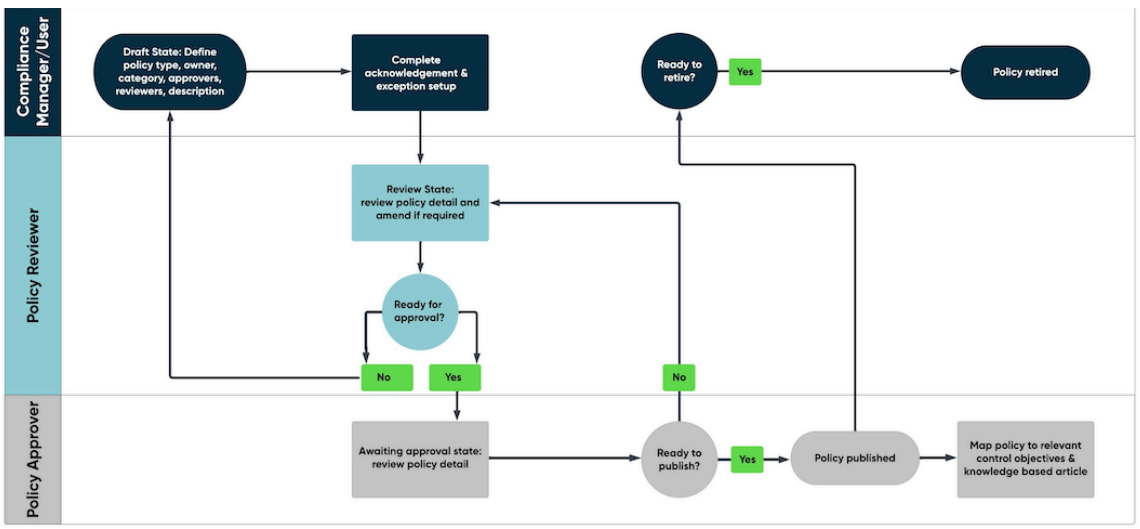
修復タスク

問題が確認された後、組織は問題を修正するために必要な手順を特定します。リスクを軽減するために、修正タスクを作成して修正作業を追跡できます。トリアージが実行された場合、トリアージ問題は実際の問題またはリスクイベントに変換されます。問題を推奨事項として追跡するか、問題ではないとしてクローズすることもできます。

ポリシーとコンプライアンス管理 のポリシーライフサイクルの概要

ポリシーはコンプライアンスを確保し、リスクへのエクスポージャーを削減します。ポリシーには、ポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、テンプレートなど、さまざまなタイプがあります。ポリシーの公開は、ポリシーの承認プロセスの中で行います。

ポリシーを作成すると、ポリシーは [ドラフト] ステータスになり、ポリシーに関するすべての必要な情報が定義され、レコードにキャプチャされます。キャプチャする必要な情報は、ポリシーのプロセスフローを促進する属性です。



ポリシーレコードのライフサイクルの過程には、さまざまなステータスがあります。このライフサイクルは、レコードの現在地を把握し、その進捗状況を表示するように設計されています。各ステータスには一連の具体的な関連アクティビティがあり、それを完了すると次のステータスに移行します。必要に応じて、ポリシーが前のステータスに移行することもあります。この前のステータスは、現在のステータスに従って構成および識別されます。

ドラフト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンプライアンス管理者、コンプライアンスマネージャー、またはコンプライアンスユーザーが、ポリシーを作成して、その関連情報を定義およびキャプチャできます。この [ドラフト] ステータスでは、[レビュー] ステータスでポリシーを編集できるレビュー担当者と、ポリシーを承認できる承認者が識別されます。既存のコントロール目標をポリシーに追加することも、新しいコントロール目標を作成することもできます。各ポリシーには有効期限があり、その期間内でポリシーが更新、レビュー、再公開、または廃止されます。このステータスでは、ポリシーに対して実行できるアクションは、更新、レビュー準備完了、および削除です。

レビュー

ポリシーレビュー担当者だけが、このステータスのポリシーを更新して、すべての規制要件を満たしていることを確認できます。コントロール目標、それに関連するエンティティ、コントロール、および引用をレビューし、情報を追加したり、不要なマッピングを削除したり、新しいコントロール目標を作成したりします。レビュー担当者は、ポリシーが要件を満たしていない場合、またはさらに詳しい情報が必要な場合に、ポリシーを [ドラフト] ステータスに戻すことができます。さらにレビュー担当者は、ポリシーの承認を要求したり、不要になった場合に削除したりすることもできます。

承認待ち

ポリシー承認者がポリシーにアサインされている場合、ポリシーは [承認待ち] ステータスに移行します。そうでない場合は、[公開済み] ステータスに移行します。このステータスでは、承認者がポリシーを削除することもできます。[承認待ち] ステータスでは、ポリシー承認タスクが作成されて承認者にアサインされます。タスクは [要求済み] ステータスですが、承認者はそれを次のいずれかのステータスに変更できます。

- 要求済み
- 承認済み
- 却下
- キャンセル
- 不要

公開

ポリシーが [公開] ステータスに移行すると、ナレッジベース記事が自動的に生成されます。ポリシーは、ポリシーにマッピングされたコントロールを通じて、すべてのユーザーに対してそのポリシーのガイドラインと要件に従うことを義務付けます。このステータスでは、ポリシーを [レビュー]、[廃止]、または [削除] に戻すこともできます。

廃止

ポリシーは、不要になった場合、またはビジネス上の目的を果たさなくなった場合に廃止できます。作成されたナレッジベース記事は削除されますが、ポリシーは監査目的で廃止ステータスのままになります。ポリシーが再度必要になった場合は、[ドラフト] ステータスに戻し、ポリシーのライフサイクルを再開することができます。

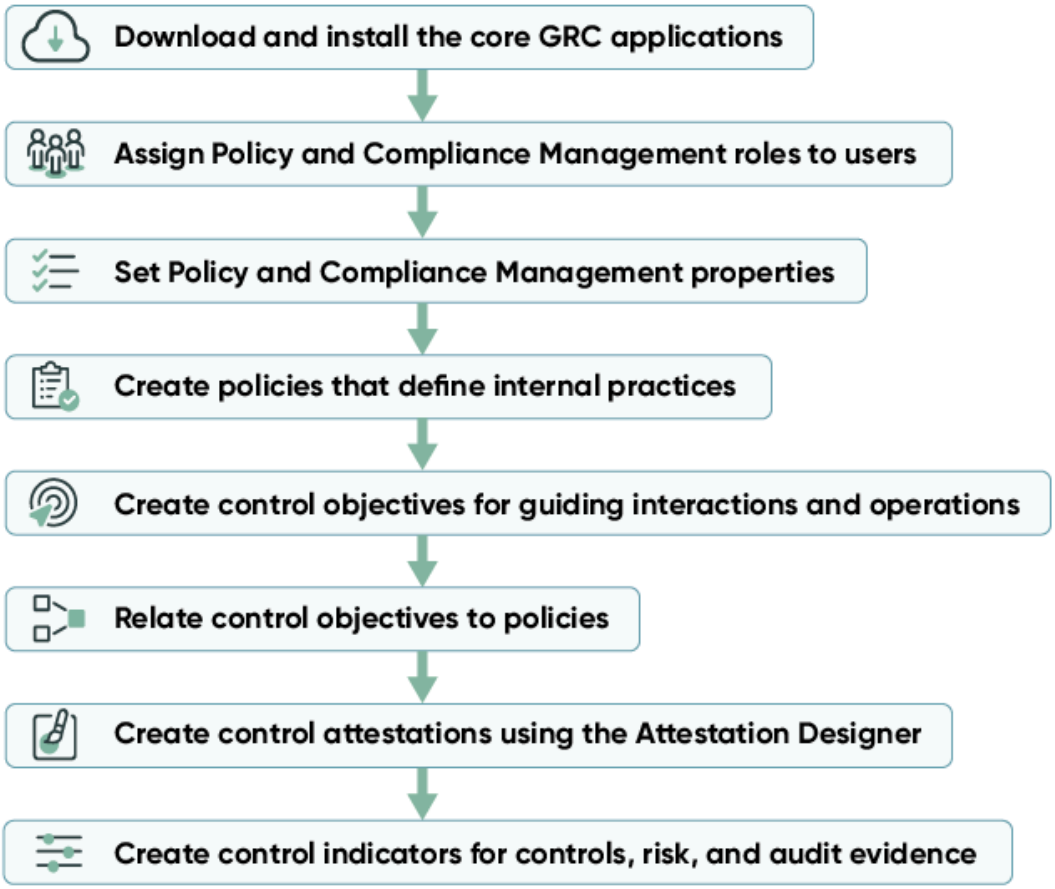
ポリシーとコンプライアンス管理 の実装

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションチェックリストの手順に従って ServiceNow Store から ポリシーとコンプライアンス管理 をダウンロードし、操作の準備をします。必須およびオプションのセットアップ手順のほか、実装チェックリストが、セットアップを簡略化するために用意されています。

チェックリストの必須ステップのフローを次に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上記の必須手順を完了すると、その他のオプションのセットアップ手順を使用できるようになります。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのセットアップチェックリスト

このチェックリストには Now Platform® インスタンスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 の機能を拡張するためのオプションのセットアップ手順も含まれています。

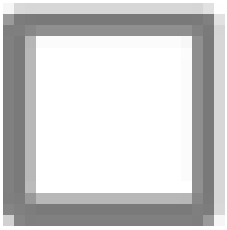
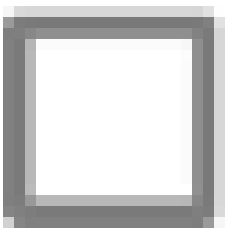
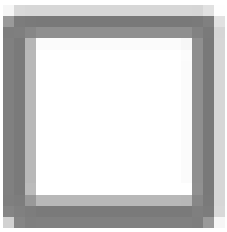
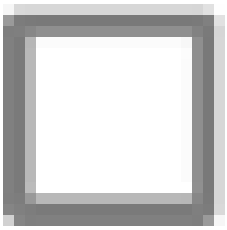
始める前に
必要なロール：sn_compliance.admin、sn_compliance.manager
このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。

手順

PDF を生成するには、トピックの上部にある **[PDF** として保存] アイコン ( ) をクリックし、[選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

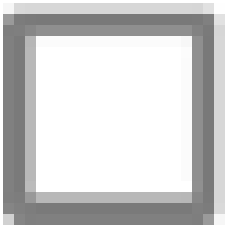
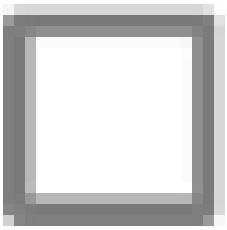
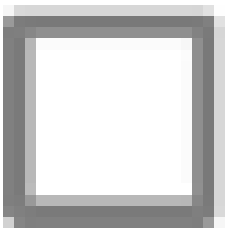
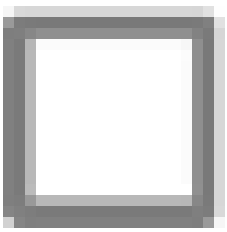
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのチェックリスト

アイテム	説明
	コンプライアンス管理者またはコンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーは、GRC コアアプリケーションが Now Platform インスタンスにインストールされていることを確認します。 **注:** GRC コアアプリケーションと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 **a.** GRC: GRC Profile 依存関係コアアプリケーションがインスタンスにインストールされていることを検証するには、[プラグイン] に移動して、GRC Profile を検索します。 **b.** GRC Profile コアアプリケーションがまだインストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、インストールします。 **c.** GRC Profile アプリケーションをインストールした後、ポリシーとコンプライアンス管理 コアアプリケーションをインストールします。 ポリシーとコンプライアンス管理 がインスタンスに表示されていない場合は、すべての GRC コアアプリケーションを ServiceNow Store から入手できます。GRC コアアプリケーションのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。
	コンプライアンス管理者ロールを持つユーザーは、Now Platform インスタンスで、ユーザーに必要な Now Platform ロールをアサインしたことを確認します。 詳細な手順と ポリシーとコンプライアンス管理 ロールのリストについては、「ユーザーに ポリシーとコンプライアンス管理 ロールをアサイン」を参照してください。
	コンプライアンス管理者ロールを持つユーザーとして、ポリシーとコンプライアンス管理 プロパティを設定してシステム内のさまざまな動作を制御します。たとえば、コントロールがアクティブまたは非アクティブであるステータスを定義できます。 詳細な手順については、「ポリシーとコンプライアンス管理 プロパティを設定する」を参照してください。
	コンプライアンス管理者またはコンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーとして、ポリシーを作成します。ポリシーは、プロセスが従う必要がある組織内のプラクティスを定義するドキュメントです。ポリシーは、ポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、およびテンプレートとして定義されます。 詳細な手順については、「ポリシーの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	コンプライアンス管理者またはコンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーとして、コントロール目標を作成します。コントロール目標は、会社のインタラクションと運用のガイダンスとして機能する目標、指示、または標準です。カテゴリ化、分類、およびポリシーへの関連付けが可能です。 詳細な手順については、「コントロール目標を作成」を参照してください。
	コンプライアンス管理者またはコンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーとして、コントロール目標をポリシーに関連付けます。ポリシーが [レビュー] または [ドラフト] ステータスの場合は、コントロール目標をポリシーに個別に関連付けることができます。 詳細な手順については、「コントロール目標をポリシーに関連付け」を参照してください。
	コンプライアンス管理者、コンプライアンスマネージャー、または証明書作成者ロールを持つユーザーとして、証明書を作成します。証明書デザイナーを使用すると、測定基準タイプを作成および編集したり、さまざまなコントロールに対して異なる測定基準タイプを定義したりすることができます。 詳細な手順については、「証明書デザイナーを使用してコントロール証明書を作成」を参照してください。
	コンプライアンス管理者またはコンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーとして、コントロールインジケーターを作成します。制御、リスク、監査の証拠のインジケーターデータは、GRC アプリケーションによって測定方法が異なります。 詳細な手順については、「コントロールインジケーターを作成」を参照してください。

おめでとうございます!GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 ベースシステムが正常に設定されました。組織のニーズに応じて、オプションのセットアップ手順を利用できます。たとえば、Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) と統合する場合は、統合を管理するための手順がここに記載されています。または、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 のモバイルエクスペリエンスを設定する場合は、その手順もここに記載されています。

オプションの機能の詳細な手順については、「ポリシーとコンプライアンス管理 拡張手順」を参照してください。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 をダウンロード

インスタンスで GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 (com.sn_compliance) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 10.1 以降、脆弱性対応 アプリケーションのバージョン 10.3 内から ポリシーとコンプライアンス管理 の新しいポリシー例外機能を利用できます。この機能を使用するには、脆弱性対応 をアップグレードする前に ポリシーとコンプライアンス管理 をアップグレードする必要があります。詳細については、次を参照してください。

関連情報

プラグインのリスト

ポリシーとコンプライアンス管理 のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 が引き続き正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

GRC：ポリシーとコンプライアンス管理 クイックスタートテストでは ポリシーとコンプライアンス管理 プラグイン (com.sn_compliance) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 クイックスタートテストテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：コントロールの作成	コントロールの作成を検証します。	Madrid
GRC: ポリシー例外とフローを作成	ポリシー例外を作成して、そのステータス内を移動します。	Paris
GRC: ポリシーライフサイクル	ポリシーを作成して、そのステータス内を移動します。	Paris

関連情報

クイックスタートテスト

ポリシーとコンプライアンス管理 管理を実行

アプリケーション固有のセットアップを実行する前に、システムを準備する必要があります。これには、ユーザーロールの割り当てとプロパティの設定が含まれます。

ユーザーに ポリシーとコンプライアンス管理 ロールをアサイン

ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを正常に実装または使用するには、ユーザーにロールをアサインする必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー.
2. ユーザーの名前をクリックします。
3. [ロール] タブをクリックします。
4. [編集] をクリックします。
5. ユーザーに割り当てるロールをコレクション側からロールリストに移動し、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 各ユーザーに対して、これらの手順を繰り返します。

ロールタイトル [名前]	説明
コンプライアンスリーダー [sn_compliance.reader]	コンプライアンスリーダーには、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのすべてのモジュールに対する読み取り専用アクセス権があります。このロールは通常、組織内にどのポリシーとコントロールがあるかを確認する必要があるユーザーに割り当てられます。リーダーロールを持つユーザーは、多くの場合、アクティビティのレポートと監視も担当します。 コンプライアンスリーダーロールには、sn_grc.reader が含まれます。
コンプライアンスユーザー [sn_compliance.user]	コンプライアンスユーザーは、多くの場合、コンプライアンスアナリストと呼ばれ、ポリシーまたはコントロールに関連するほぼすべてのタスクを実行できる権限があります。 このロールを割り当てられたユーザーは、多くの場合、以下を担当します。 ○ 新しいポリシーの作成 ○ ポリシー例外の要求 ○ 確認応答要求への応答 ○ コントロール目標の作成とポリシーへの関連付け ○ コントロール有効性のテストと監視 ○ コントロールの証明 ○ 問題の修正 ○ リスクアセスメントと監査タスクの支援 コンプライアンスユーザーロールには、以下が含まれます。 ○ sn_grc.reader ○ sn_grc.user ○ sn_compliance.reader **注:** コンプライアンスユーザーロールを持つユーザーにはコントロールをアサインすることができ、リスク管理 アプリケーションとモジュールへの読み取り専用アクセス権があります。
コンプライアンスマネージャー [sn_compliance.manager]	コンプライアンスマネージャーは、日々のコンプライアンスプロセスの管理を担います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明
	このロールを割り当てられたユーザーは、多くの場合、以下を担当します。 ○ 特定の規制要件と傾向の確認 ○ ポリシーが必要な規制の判断 ○ ポリシーとポリシー例外の承認 ○ ポリシー確認応答キャンペーンの設定 ○ エンティティタイプとエンティティを使用するコントロールのスコーピング ○ 証明書の作成とアサイン ○ 継続的にコントロール有効性を監視 ○ 非準拠コントロールなどのデータを強調表示するレポートのコンパイルと共有 コンプライアンスマネージャーロールには、以下が含まれます。 ○ sn_grc.reader ○ sn_grc.user ○ sn_grc.manager ○ sn_compliance.reader ○ sn_compliance.user
コンプライアンス管理者 [sn_compliance.admin]	コンプライアンス管理者は ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを管理します。 このロールを割り当てられたユーザーは、多くの場合、以下を担当します。 ○ 他のアプリケーションおよびモジュールとのプラットフォーム依存関係の監視 ○ すべてのコンプライアンスデータの管理 コンプライアンス管理者ロールには、以下が含まれます。 ○ sn_grc.reader ○ sn_grc.user ○ sn_grc.manager ○ sn_grc.admin ○ sn_compliance.reader ○ sn_compliance.user ○ sn_compliance.manager
コンプライアンス開発者	コンプライアンス開発者は、ワークフロー、レポート、ダッシュボード、追加モジュール、アプリケーションを拡張できるその他のプラッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	説明
[sn_compliance.developer]	トフォーム固有のコンテンツなど、プラットフォームのさまざまな側面の維持を担います。 コンプライアンス開発者ロールには、以下が含まれます。 ○ sn_grc.reader ○ sn_grc.user ○ sn_grc.manager ○ sn_grc.admin ○ sn_grc.developer ○ sn_compliance.reader ○ sn_compliance.user ○ sn_compliance.manager ○ sn_compliance.admin
証明書作成者 sn_compliance.attestation_creator	証明書作成者は、証明書の作成と管理を担います。証明書は、コントロールを証明するために使用されるプラットフォームコンポーネントの 1 つであり、それらを無駄なく、正確かつ最新の状態に保つうえで不可欠です。

次のタスク
戻る ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト.

ポリシーとコンプライアンス管理 プロパティを設定する

ソフトウェアのさまざまな側面や動作を制御するプロパティを設定します。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ.

名前	説明
コントロールがアクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトのアクティブステータス) sn_compliance.active_states 注: このプロパティに記載されているように、アクティブステータスのコントロールのみが、コンプライアンススコアの計算時に考慮されます。	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値： draft、assess、review、monitor • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
コントロールが非アクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトの非アクティブステータス)	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
sn_compliance.closed_states 注: このプロパティに記載されているように、非アクティブステータスのコントロールが、コンプライアンススコアの計算時に考慮されません。	• タイプ：文字列 • デフォルト値：retired • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
証明書に使用されるアセスメント評価指標タイプの名前 sn_compliance.default_attestation	システム管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：GRC 証明書 • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
これは、直接 DOM を無効にした厳格モードでクライアントスクリプトを実行するために使用される、プラットフォームレベルのシステムプロパティです。このプロパティが true に設定されている場合、jquery を使用するか、DOM を直接変更することはできません。 sn_compliance.glide.script.block.client.globals	• タイプ：true または false • デフォルト値：false • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
ポリシー記事を公開するために使用されるナレッジベースの名前 sn_compliance.knowledge_base	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：Governance、Risk、および Compliance • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ

次のタスク
戻る ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト.

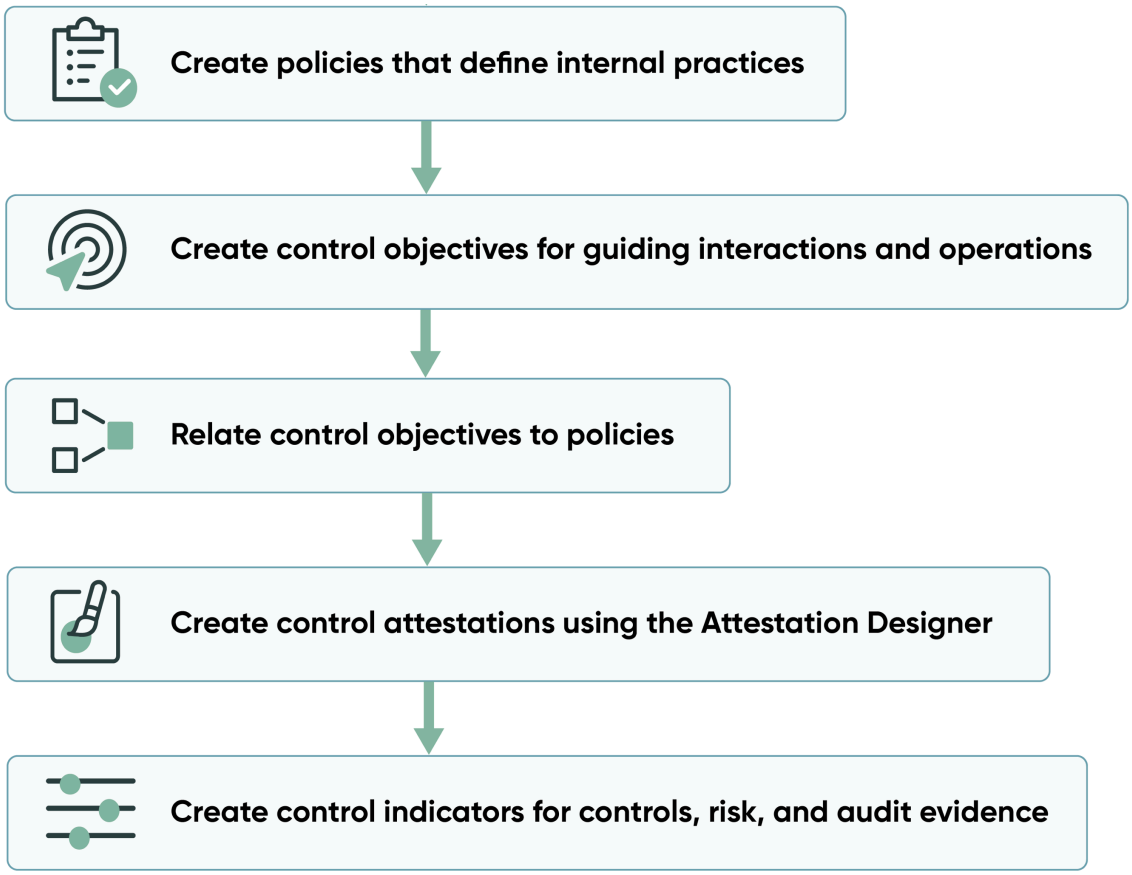
ポリシーとコンプライアンス管理 の必須のセットアップ

ユーザーにロールをアサインして、ポリシーとコンプライアンス管理 プロパティを設定した後、必須のセットアップ手順に進みます。

チェックリストの必須ステップのフローを次に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上記の必須手順を完了すると、その他のオプションのセットアップ手順を使用できるようになります。

ポリシーの作成

ポリシーは、プロセスが従う必要のある組織内のプラクティスを定義します。ポリシーは、ポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、およびテンプレートとして定義されます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.admin または sn_compliance.manager

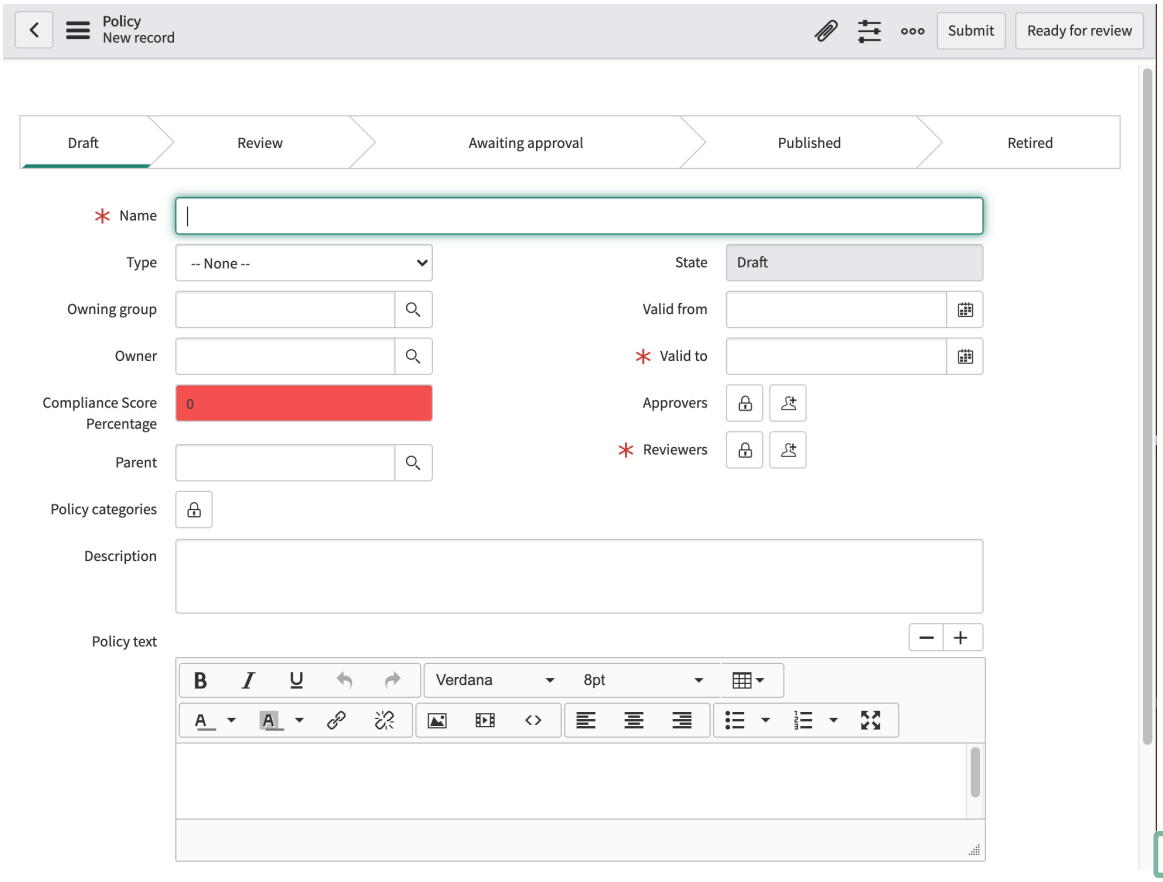
コンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールを持つユーザーもポリシーを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシー

フィールド	説明
名前	ポリシーの名前。
タイプ	オプションのリスト： ○ ポリシー ○ 手順 ○ 標準 ○ プラン ○ チェックリスト ○ フレームワーク ○ テンプレート
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。
所有者	ポリシーを所有するユーザー。
コンプライア	このポリシーにアサインされたコンプライアンススコア (%)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ンススコア (%)	
親	このポリシーを含むポリシー。ポリシー内からコントロール目標を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。
ポリシーのカテゴリ	ロックアイコンをクリックし、フィルタリングポリシーのカテゴリを 1 つ以上選択します。たとえば、[Vulnerability Response] を選択して、そのアプリケーションに関連付けられたポリシーを表示します。
ステータス	ステータスは読み取り専用フィールドです。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ◦ ドラフト このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがポリシーとコントロール目標を変更できます。すべてのコンプライアンスユーザーは、 、[レビューを要求] ボタンをクリックできます。[レビューを要求] ポップアップにメッセージを入力し、[要求] をクリックすると、ステータスが [レビュー] に設定されます。 ◦ [レビュー] このステータスでは、オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者がポリシーとコントロール目標を変更できます。所有者、所有グループ、およびレビュー担当者は、[承認を要求] をクリックし、承認者リストのユーザーに承認を送信してワークフローを開始します。オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者は、[ドラフトに戻る] をクリックして、ポリシーも [ドラフト] に戻します。 ◦ [承認待ち] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。承認者は、ポリシーフォームの [承認] 関連リストで承認ステータスを更新するか、[自分の承認] を表示してポリシーを承認できます。ポリシーが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスになります。それ以外の場合は、[レビュー] ステータスに戻ります。 ◦ [公開] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。管理者は [廃止] をクリックすると、ポリシーのステータスが [廃止済み] に設定されます。 ◦ [廃止済み] このステータスでは、ポリシーはすべてに対して読み取り専用です。
有効期限開始	ポリシーが有効になる日時。
有効期限	ポリシーが無効になる日時。
承認者	承認プロセスに含めるユーザー。
レビュー担当者	レビュープロセスに含めるユーザーを選択します。
説明	ポリシーの一般的な説明。
ポリシーテキスト	ポリシーの詳細な説明。
ナレッジベース	
ナレッジベース	このポリシーに関連するナレッジベース記事。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
KB 記事	ポリシーが公開されている KB 記事番号とリンク。
記事テンプレート	このポリシーの公開に使用する記事テンプレート。
確認応答のセットアップ	
対象者	このポリシーの確認を担当するデフォルトの対象者を選択します。
参照資料 URL	ロックアイコンをクリックして、認定やトレーニング資料などの必要な参照資料の URL を追加します。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	ポリシーの確認を拒否するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
ユーザーに例外を要求することを許可	ポリシーの確認応答の例外を要求するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
例外セットアップ	
最大例外期間 (日数)	指定されたポリシーに対してポリシー例外を要求できる最大期間を入力します。

4. 次のオプションのいずれかで続行します。
   - ポリシーを保存して送信するには、[送信] をクリックします。
   - ポリシーをレビュー準備完了としてマークするには、、[レビューを要求] をクリックします。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コントロール目標を作成

コントロール目標は、会社のインタラクションと運用のガイダンスとして機能する目標、指示、または標準です。コントロール目標は、カテゴリ化、分類、およびポリシーへの関連付けが可能です。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

このタスクについて
コントロール目標とコントロールの違いを理解するには、次を参照してください ポリシーとコンプライアンス管理 の構造の概要。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール目標.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

コントロール目標フォーム

フィールド	説明
名前	コントロール目標の名前。
ソース	コントロール目標のソース。たとえば、コントロール目標がサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	このコントロール目標をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	一意の数値識別子。
親	現在のコントロール目標の子ではないコントロール目標。これは、循環する親子関係を避けるためです。
コンプライアンススコア (%)	このコントロール目標に対して計算されたコンプライアンススコアの割合とそのカラーコード： ○ 80 以上：緑 ○ 50 ～ 80：黄 ○ 50 未満：赤
有効	コントロール目標がアクティブかどうかを示すオプション。
コントロールを自動的に作成	コントロールがコントロール目標から自動的に作成されることを示すオプション。 **注:** コントロール目標がコントロールとしても機能する場合は、このオプションを選択します。
カテゴリ	オプションのリスト： ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護 ○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督 ○ ルート ○ 不使用
分類	オプションのリスト： ○ 予防 ○ 是正 ○ 探知
タイプ	オプションのリスト： ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定 ○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理 ○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理 ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ テスト ○ トレーニング
証明書	オプションリスト。 ○ デフォルトで **GRC** 証明書 が選択されている ○ 注: ユーザーがコントロール証明書を変更すると、関連するコントロール目標証明書タイプも変更されます。
問題グループルール	このコントロール目標にアサインされたグループルール。
説明	コントロール目標の説明。

4. [送信] をクリックします。
   コントロール目標が作成され、すべての関連リストが表示されます。
   - ポリシーがエンティティに関連付けられている場合、コントロールはすべてのコントロール目標に対して作成されます。
   - コントロール属性は、関連するコントロール目標と同じ属性にデフォルト設定されます。

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コントロール目標をポリシーに関連付け

ポリシーがレビューまたはドラフトステータスの場合は、[コントロール目標] 関連リストの [編集] ボタンをクリックして、コントロール目標を個別に関連付けます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

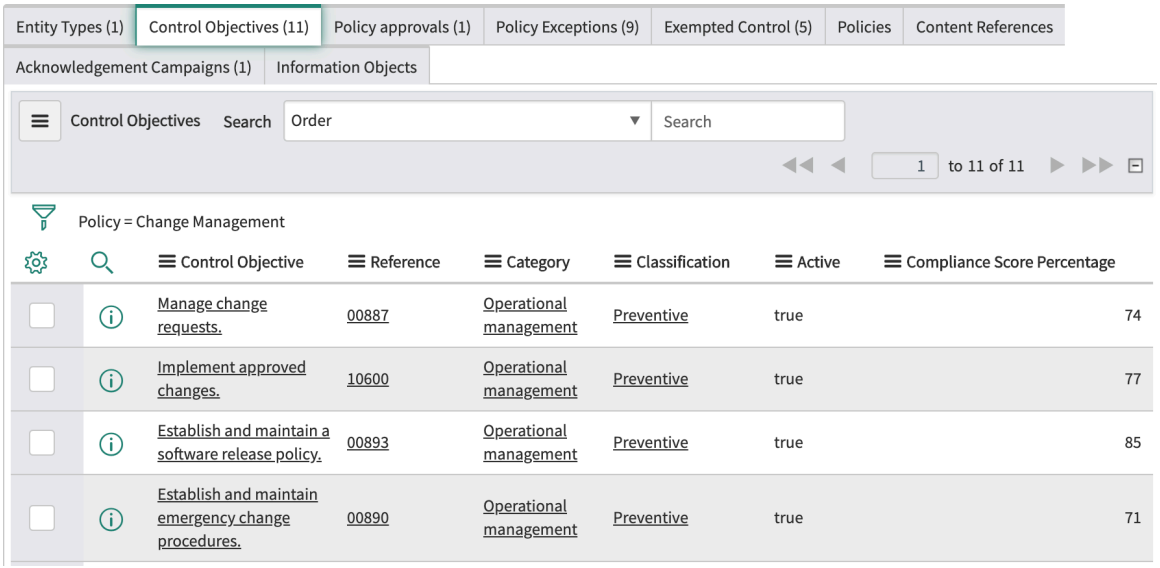
手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. [コントロール目標] 関連リストで [編集] をクリックします。
   スラッシュバケットには、関連付けられているポリシーが選択されていないアクティブなコントロール目標が含まれています。
4. コントロール目標を選択します。
5. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのコントロール目標は、[コントロール目標] 関連リストに一覧表示されます。



次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

証明書デザイナーを使用してコントロール証明書を作成

証明書デザイナーを使用して、測定基準タイプを作成および編集します。コントロールごとに異なる測定基準タイプを使用します。証明書に対して複数の回答者を選択し、スコアリングパラメーターを変更します。

始める前に

必要なロール：
sn_compliance.attest_creator、sn_compliance.manager、sn_compliance.administrator

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 証明書タイプ.
2. [証明書デザイナー] をクリックします。
   デザイナーには次の要素が含まれています。

要素	説明
コントロール	サポートされている質問データのタイプは [Controls] パレットで利用可能です。コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。
質問	さまざまなカテゴリの質問のライブラリで、各アンケートを最初から構築する必要はありません。
カテゴリ	[デザイン] ビューで新しいアセスメントが開きます。アンケートの [名前] フィールドが、キャンバスの最初のカテゴリの上に表示されます。空白の質問フィールドがカテゴリコンテナに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [名前] フィールドに名前を入力します。
4. コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。

質問コントロール

データタイプ	説明	採点済み
添付ファイル	ユーザーが 1 つまたは複数のファイルを添付できる、[添付ファイルを管理] アイコンがある質問。	N
ブーリアン	ユーザー応答のためにチェック ボックスまたは [はい/いいえ] リストがある質問。	Y
選択肢	事前定義済みオプションのリスト。詳細については、[選択肢] の定義を参照してください。	Y
日付	[日付] フィールド。	N
日付/時刻	[日付/時刻] フィールド。	N
番号	事前定義された最小値と最大値を持つ数値フィールド。デフォルトは 1 ～ 10 です。	N
パーセンテージ	範囲が指定されている [パーセンテージ] フィールド。	N
スケール	事前定義されたリッカート尺度。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
数値スケール	選択可能な数値スケール。デフォルトは 1 ～ 5 です。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
文字列	1 行または複数行のテキスト フィールド。	N
テンプレート	オプションの事前定義済みスケールを示すテンプレートの選択リスト。 **注:** すべての証明書にテンプレートをアサインすることが重要です。これにより、コントロール目標とエンティティタイプに基づいてコントロールを自動的に作成できます。	Y
参照	指定された参照テーブルからのフィールドの選択リスト。このデータタイプは参照修飾子をサポートしていません。	N

注:
採点する測定基準の正しい答えを設定します。採点済み測定基準は、コントロールのコンプライアンスステータスを決定します。

5. 証明書デザイナーの右上にあるメニューアイコンをポイントして、次のいずれかのオプションを選択します。

注:
各オプションの可用性は、デザイナーで開いている証明書のステータスに依存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
新しい証明書	新しい証明書の新規キャンバスを開きます。
証明書をロード	選択して編集できる既存の証明書のリストを開きます。

他のタイプのアセスメントとは異なり、コントロール証明書は表示されません セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ 多くのコントロール証明書が一度に生成される可能性があるためです。代わりに、コントロール証明書は **Policy and Compliance** > コントロール > 自分の証明書 モジュールと すべての証明書 モジュール。

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コントロールインジケーターを作成

制御、リスク、監査の証拠のインジケーターデータは、GRC アプリケーションによって測定方法が異なります。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーター.
   - リスク > インジケーター > インジケーター.
   - 監査 > インジケーター > インジケーター.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	コントロールインジケーターの場合は [コンプライアンスインジケーター] を、リスクインジケーターの場合は [リスクインジケーター] を選択します。
名前	インジケーターの名前。
適用先	[アイテム] に関連するエンティティ。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターオーナー。
番号	一意の識別番号。
有効	インジケーターがアクティブかどうかを示すオプション。
アイテム	関連するコントロールまたはリスク。
テンプレート	関連するインジケーターテンプレート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テンプレートを上書き	このインジケーターに関連付けられたインジケーターテンプレートを上書きするかどうかを示すオプション。
最終結果 - 成功	前回の結果が成功したかどうかを示すオプション。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
次回実行時間	インジケーターの結果の次回の収集時刻。
方法 (Method)	
タイプ	結果は、タスクのアサインにより手動で、または基本フィルター条件、Performance Analytics、またはスクリプトを使用して自動的に収集できます。 ○ マニュアル ○ 基本
簡単な説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。問題の簡潔な説明。
説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。インジケーターの結果の収集のための指示。
必須の値	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。
成功/失敗	このフィールドは、[タイプ] が [基本] の場合に存在します。インジケーターが成功または失敗します。
PA しきい値	このフィールドは、[タイプ] が **[PA** インジケーター] の場合に存在します。関連する PA しきい値。
スクリプト	このフィールドは、[タイプ] が [スクリプト] の場合に存在します。必要なシステム情報を取得するスクリプト。
提出データ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
テーブル	サポートデータを使用して、他のアプリケーションから裏付け証拠を収集します。
サポートデータフィールド	選択したテーブルに基づくサポートデータフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [送信] を選択します。

> **注:**
> コンプライアンスマネージャーまたはコンプライアンス管理者は、ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーにインジケータータスクをアサインできます。ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーを [オーナー] フィールドでオーナーとしてアサインし、インジケーターを実行すると、[オープンタスク] 関連リストにインジケータータスクが作成されます。このインジケータータスクは、ビジネスユーザー Lite ロールを持つ所有者にアサインされます。
>
> ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > インジケーター > 自分のインジケータータスク をクリックして、自分にアサインされているインジケータータスクを表示します。インジケーターを表示するには、[インジケーター] フィールドの横にある情報アイコンを選択します。[インジケータータスク] フォームの [結果] フィールド、[ステータス] フィールド、[値] フィールド、[追加コメント]、および [作業メモ] を更新することもできます。
>
> Employee Center から同様のタスクを実行するには、以下を参照してください。 GRC Employee Center ポータルのタスク.

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェアを使用して、必要なセットアップ手順を完了します。戻る ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、必要に応じてオプションの手順に進みます。

ポリシーとコンプライアンス管理 拡張手順

ポリシーとコンプライアンス管理 ベースシステムを設定した後、アプリケーションの機能を強化するために、以下のセクションの手順を実行できます。

関連情報

- GRC Policy and Compliance のモバイルエクスペリエンス
- GRC 記事テンプレートを作成
- 引用を作成または無効化
- 通知プロパティを設定
- ポリシーまたはコントロール目標に対する例外を要求するための GRC 仮想エージェントを設定する
- 他のアプリケーションからのポリシー例外要求を許可

GRC 記事テンプレートを作成

Policy and Compliance マネージャーは、ポリシー記事を公開するためのテンプレートを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.developer

手順

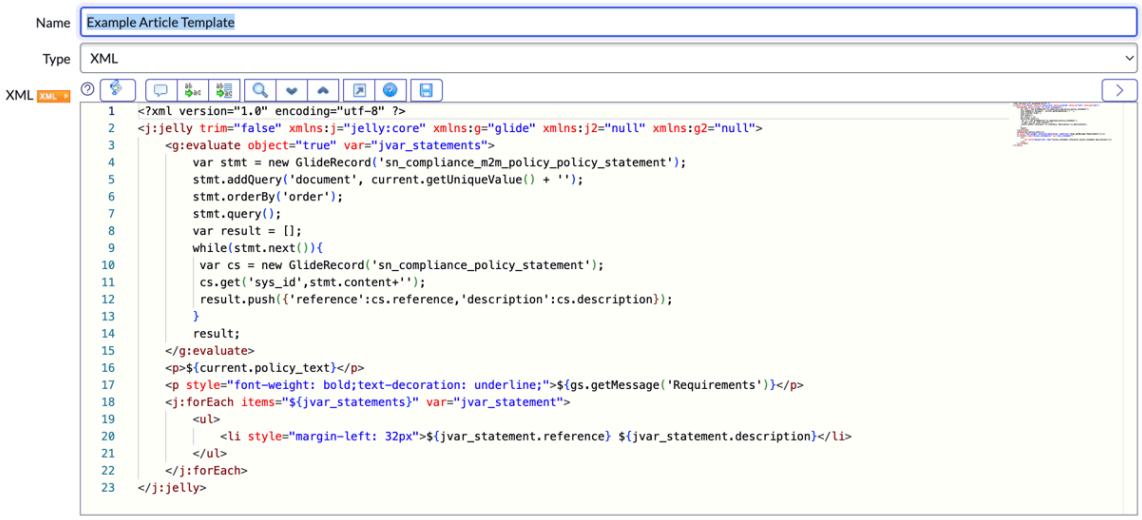
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 記事テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

各種法令・基準等

フィールド	説明
名前	記事テンプレートの名前。
タイプ	○ スクリプト ○ HTML ○ XML
スクリプト	スクリプトコード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
HTML	HTML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
XML	XML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
デフォルトである	このテンプレートがすべての KB 記事のデフォルトテンプレートとして使用されることを示すオプション。



4. **[Submit]** をクリックします。

引用を作成または無効化

通常、各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標は、サードパーティのプロバイダーからダウンロードされます。ただし、引用は各種法令・基準等から手動で作成できます。引用の [アクティブ] オプションは、引用がアクティブか非アクティブかを示します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 信頼できるソース.

2. 各種法令・基準等を開きます。

3. [引用] 関連リストで、[新規] をクリックします。

4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

引用フォーム

フィールド	説明
名前	この引用を識別するユーザー定義の名前。
ソース	ポリシーのソース。たとえば、ステートメントがサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	コンテンツ参照。
タイプ	作成された引用のタイプ。処理に使用されないオプションのフィールド。レポートでこのフィールドの値を使用するか、特定のタイプのレコードをクエリします。 ○ コアトピック ○ プロセス ○ コントロール目標 ○ コントロール ○ サポート情報
各種法令・基準等	この引用の親である各種法令・基準等の名前。各種法令・基準等フォームから引用を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。
有効	ポリシーがアクティブかどうかを示すオプション。[ドラフト] または [廃止] ステータスでない場合、ポリシーはアクティブとマークされます。引用を無効にするには、[有効]とマークされたチェックボックスをオフにします。
親	親コンテンツを参照します。
説明	引用の説明。

自動翻訳

通知プロパティを設定

確認応答要求が対象者に送信されると、応答の適時性とステータスに基づいてさまざまなリマインダー通知が送信されます。プロパティで、通知を設定できます。

これらのプロパティはポリシーとコンプライアンス管理で利用可能です。

注:
移動先 **Policy and Compliance > Administration >**プロパティ.

ポリシーとコンプライアンス管理 のプロパティ

プロパティ	説明
ポリシーの確認のサマリー通知を送信する期限日からの経過日数を指定します。	確認の期限日が過ぎてからポリシーの確認応答サマリー通知が送信されるまでの日数。
コントロールがアクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトのアクティブステータス)	アクティブと見なされるコントロールのステータス。リストの最

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーとコンプライアンス管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	初のステータスはデフォルトのアクティブステータスです。
期限切れ通知を送信するポリシーの確認応答の期限日からの経過日数。	確認応答の期限日が過ぎてから期限切れ通知が送信されるまでの日数。
期日後にポリシーの確認のサマリーを送信します。sn_compliance.policy_ack_after_due_summary_timer プロパティを使用して、期限日後に通知を送信する経過日数を指定します。	[ポリシーの確認のサマリー通知を送信する期限日からの経過日数を指定します] プロパティで指定された日数が経過した後にポリシーの確認サマリー通知を送信する場合は [はい] を選択します。 たとえば、プロパティが 1 日に設定されている場合、確認応答が 1 日遅れると通知が送信されます。
期日前にポリシーの確認応答のサマリーを送信します。sn_compliance.policy_ack_before_due_summary_timer プロパティを使用して、期限日の何日前に通知を送信するかを指定します。	[ポリシーの確認のサマリー通知を送信する期限日からの経過日数を指定します] プロパティで指定した日数に達する前にポリシーの確認応答サマリー通知を送信する場合は [はい] を選択します。 たとえば、プロパティが 1 日に設定されている場合、期日の 1 日前に通知が送信されます。
ポリシーの確認応答の期限切れ通知を毎日繰り返します	[はい] を選択すると、完了するまで期限切れの通知が毎日送信されます。
リマインダー通知を送信するポリシーの確認応答の期限日までの日数。	リマインダー通知の送信を開始する確認応答期日までの日数。
ポリシーの確認応答が期限になるまで、ポリシーの確認応答の期限日リマインダーを毎日繰り返します	[はい] を選択すると、[リマインダー通知を送信するポリシーの確認応答の期限日までの日数] プロパティの設定で指定した日から毎日リマインダー通知が送信されます。 たとえば、このプロパティで [はい] を選択し、期日が 7 日以内に発生し、前のプロパティで 3 日間を指定した場合、リマインダー通知は 3 日後に開始され、毎日繰り返されます。
ポリシーの確認のサマリー通知を送信する期限日までの日数を指定します。	ポリシーの確認応答サマリー通知を送信する期限日までの日数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーまたはコントロール目標に対する例外を要求するための GRC 仮想エージェントを設定する

からポリシーまたはコントロール目標サービスポータルに対する例外を要求するには、を設定しますガバナンス、リスク、コンプライアンス 仮想エージェント。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

顧客は、を設定するには次のプラグイン GRC 仮想エージェントを有効にする必要があります。

- 有効なライセンスでアクティブ化された Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot)。
- GRC
- ポリシーとコンプライアンス管理。

このタスクについて
仮想エージェントチャットボットを使用すると、顧客は例外を要求できます。チャットボットは時間を節約することで顧客を支援します。会話の流れ (ユーザー入力とチャットボット応答) の中で情報を交換することにより、チャットボットはユーザー要求を実行したり、ユーザーによるタスクの完了を支援したりできます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスポータル > **Service Portal** 設定.
2. [ページ編集者] をクリックします。
3. 検索フィールドに「Index」と入力します。
4. [サービスポータルインデックス] をクリックします。
5. ページの上部で、[デザイナーのサービスポータル (インデックス) ページを編集 **(Edit Service Portal (index) page in Designer)]** をクリックします。
6. [フィルターウィジェット] 検索フィールドに「仮想エージェントサービスポータルウィジェット」と入力し、ウィジェットを画面上の任意の場所にドラッグアンドドロップします。

   画面の右下にチャットアイコンが表示されます。

他のアプリケーションからのポリシー例外要求を許可

バージョン 10.1 以降、その他のアプリケーション内から ポリシーとコンプライアンス管理 で新しいポリシー例外機能を利用できます。

要求は、例外に関連付けられたリスク評価、ポリシー、およびコントロール目標に基づいて複数の承認を経由してルーティングされます。コンプライアンスおよびリスクチームは、脆弱性に対して生成された例外に対する可視性が向上します。

> **注:**
> バージョン 10.1 以降、脆弱性対応 アプリケーションのバージョン 10.3 がインストールされている場合は、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに固有の GRC ポリシー例外管理機能を使用してポリシー例外を要求できます。詳細については、「脆弱性対応 とのポリシー例外統合」を参照してください。

他のアプリケーションが ポリシーとコンプライアンス管理 のポリシー例外機能を利用できるようにするには、まずアプリケーションを統合レジストリに追加してから、予備セットアップを実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

他のアプリケーションからポリシー例外を設定

ポリシーとコンプライアンス管理 以外のアプリケーションからポリシー例外を要求する前に、要求を行うための UI アクションを追加し、必要に応じて、ポリシー例外フォームでポリシー例外ターゲットレコードを表示する新しいリストビューを作成する必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.manager、 ui_action_admin または admin

GRC ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) またはビジネスユーザー – Lite (sn_grc.business_user_lite) は、アップストリームアプリケーションからポリシー例外を生成するために最低限必要なロールです。

このタスクについて

ポリシーとコンプライアンス管理 のバージョン 10.1 以降、脆弱性対応 アプリケーションのバージョン 10.3 がインストールされている場合は、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに固有の GRC ポリシー例外管理機能を使用してポリシー例外を要求できます。UI アクションが自動的にインストールされるため、以下の手順で 脆弱性対応 からポリシー例外を要求する必要はありません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > **UI** アクション.
2. UI アクションを作成するテーブルを選択します。
3. **[New]** をクリックします。
4. 次のパラメーターを使用して、新しい UI アクションを作成します。
   - [名前]：ポリシー例外の要求
   - [レコード更新時に表示] チェックボックス：選択済み。
   - [フォームボタン] チェックボックス：選択済み。
   - **Onclick**：popupDispList() 関数呼び出しを入力します。

     注:
     このフィールドは、[クライアント] オプションが選択されている場合のみ使用できます。

   - 条件：必要な条件を適用します。
   - [スクリプト]：このスクリプトを入力します。

```
function popupDispList(){

        ScriptLoader.getScripts(['sn_compliance.PolicyExceptionUtils.jsdbx'], function() {

                sn_compliance.PolicyExceptionUtils.createPolicyException('incident');

        });



}
```

注:
createPolicyException 関数の引数は統合に応じて異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. UI アクションを保存します。
6. ポリシー例外フォームでポリシー例外ターゲットレコードを表示する新しいリストビューを作成するには、KB0783018 を参照してください。

ポリシーの例外を要求するための他のアプリケーションを登録

他のアプリケーションが、問題やインシデントなどのテーブルからポリシー例外を要求できるようにします。統合レジストリでアプリケーションを追加して設定する必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.manager
GRC Business User (sn_grc.business_user) または Business User – Lite (sn_grc.business_user_lite) は、アップストリームアプリケーションからポリシー例外を生成するために最低限必要なロールです。

このタスクについて

New York リリース以降、任意の ServiceNow アプリケーションのユーザーは (GRC) のポリシー例外管理機能を使用してポリシー例外を要求できます。たとえば、ユーザーは、特定の期間解決できないインシデントのグループに関連する問題について、ポリシーの例外を要求できます。ServiceNow アプリケーションで提供されている場合を除き、ポリシー例外を要求できるようにするには、アプリケーションをポリシー例外に登録し、ポリシー例外を要求するための UI アクションを作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 統合レジストリ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシー例外統合レジストリフォーム

フィールド	説明
名前	レジストリエントリの名前を入力します。
ポリシー例外ターゲットテーブル	ポリシー例外が適用されるテーブルを選択します。
適用される例外	例外が適用されるターゲットレコード。オプションは次のとおりです。 ○ 1 つのターゲットレコード：例外が適用されるターゲットレコードを指定します。コンプライアンスデータソースレジストリで評価済みオブジェクトを選択します。 ○ すべてのターゲットレコード：例外が適用されるすべてのターゲットレコード。ポリシー例外が適用されるポリシー例外ターゲットテーブルを指定します。
ソースタイプ	[適用される例外] が **[1** つのターゲットレコード] の場合、[コントロール] が自動入力されます。[適用される例外] が [すべてのターゲットレコード] の場合、[コントロール目標] が自動入力されます。
ポリシーの	フィルタリングポリシーのカテゴリを 1 つ以上選択します。たとえば、[Vulnerability Response] カテゴリを選択し、そのアプリケーションを使用して例外を要求している

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カテゴリ	場合、すべてのポリシーのリストがそのカテゴリでフィルタリングされるため、時間を節約できます。詳細については、「ポリシーのカテゴリを定義」を参照してください。
エンティティマッピング	
関係	エンティティがポリシー例外 [sn_compliance_policy_exception] テーブルのフィールドである場合は、[参照フィールド] を選択します。 エンティティがポリシー例外テーブルの関連リストにある場合は、[関連リスト] を選択します。
エンティティフィールド	エンティティ [sn_grc_profile] テーブルを指すフィールドの名前を入力します。 このフィールドは、[参照フィールド] を [関係] として選択した場合にのみ表示されます。
マッピングテーブル	ポリシー例外テーブルとエンティティテーブルの間の関係を確立するテーブルを選択します。 このフィールドは、[関連リスト] を [関係] として選択した場合にのみ表示されます。
ポリシー例外ターゲットフィールド	ポリシー例外テーブルを指すマッピングテーブル内のフィールドを選択します。 このフィールドは、[関連リスト] を [関係] として選択した場合にのみ表示されます。
エンティティフィールド	エンティティテーブルを指すマッピングテーブルでフィールドの名前を入力します。
要求ソース **注:** このセクションのフィールドは、ポリシー例外ターゲットテーブル以外のテーブルからポリシー例外を要求する場合にのみ必要です。	
テーブル	ポリシー例外が要求されるレコードを含むテーブルを選択します。
関係	エンティティがポリシー例外 [sn_compliance_policy_exception] テーブルのフィールドである場合は、[参照フィールド] を選択します。エンティティがポリシー例外テーブルの関連リストにある場合は、[関連リスト] を選択します
要求ソースフィールド	要求ソーステーブルを指すフィールドを選択します。 このフィールドは、[要求ソース] セクションにある [関係] フィールドで [参照フィールド] を選択した場合にのみ表示されます。
マッピングテーブル	ポリシー例外テーブルとエンティティテーブルの間の関係を確立するテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[要求ソース] セクションにある [関係] フィールドで [関連リスト] を選択した場合にのみ表示されます。
ポリシー例外ターゲットフィールド	ポリシー例外テーブルを指すマッピングテーブル内のフィールドを選択します。 このフィールドは、[要求ソース] セクションにある [関係] フィールドで [関連リスト] を選択した場合にのみ表示されます。
要求ソースフィールド	要求ソーステーブルを指すマッピングテーブルでフィールドを選択します。 このフィールドは、[要求ソース] セクションにある [関係] フィールドで [関連リスト] を選択した場合にのみ表示されます。
アンケート詳細	
例外のアンケート	アンケートテンプレートを選択して、要求されたポリシー例外のアンケートを生成します。詳細については、「例外のアンケートを作成」を参照してください。

4. レコードを保存します。

[理由の選択肢] 関連リストが表示されます。

> **注:**
> ポリシー例外を要求するユーザーは、理由の選択肢を使用して要求の目的を説明できます。そのため、特定の状況に当てはまる理由を定義してください。詳細については、「ポリシー例外理由の選択肢を定義」を参照してください。

自動翻訳

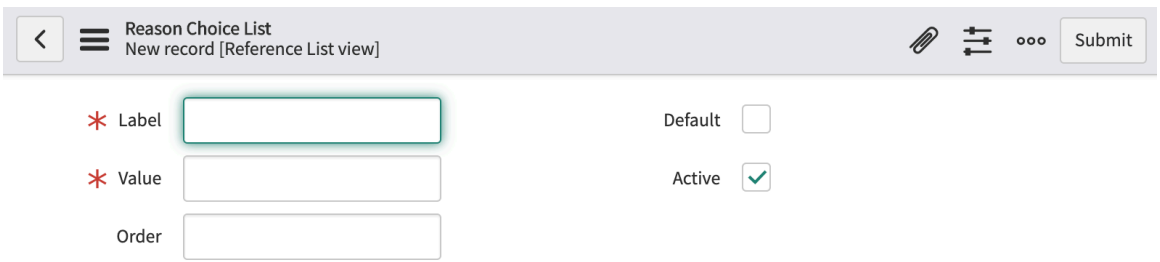
ポリシー例外理由の選択肢を定義

例外を要求するすべてのユーザーが使用可能な理由の選択肢を定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 例外理由の選択肢.
2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[理由の選択リスト] フォーム

フィールド	説明
ラベル	この選択肢の一意のラベルを入力します。
値	この選択肢の一意の値を入力します。
順序	この選択肢の順序を入力します。理由はこの番号に基づいて順序付けされます。
デフォルト	アドホックポリシー例外が要求されるときには必ずこの理由の選択肢を使用できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。統合レジストリにアプリケーション固有の選択肢が入っていない場合は、[デフォルト] が選択されているすべての理由の選択肢が使用可能になります。
有効	これを選択すると、この選択肢が理由の選択肢のリストに表示されます。

4. [送信] をクリックします。
   理由の選択肢が追加され、選択したアプリケーションのポリシー例外要求フォームの [理由] フィールドで使用可能になります。
5. ユーザーが必要とする理由の選択肢の数だけ、このプロセスを繰り返します。

> **注:**
> このプロセスの詳細については、KB0783018 を参照してください。

ポリシーのカテゴリを定義

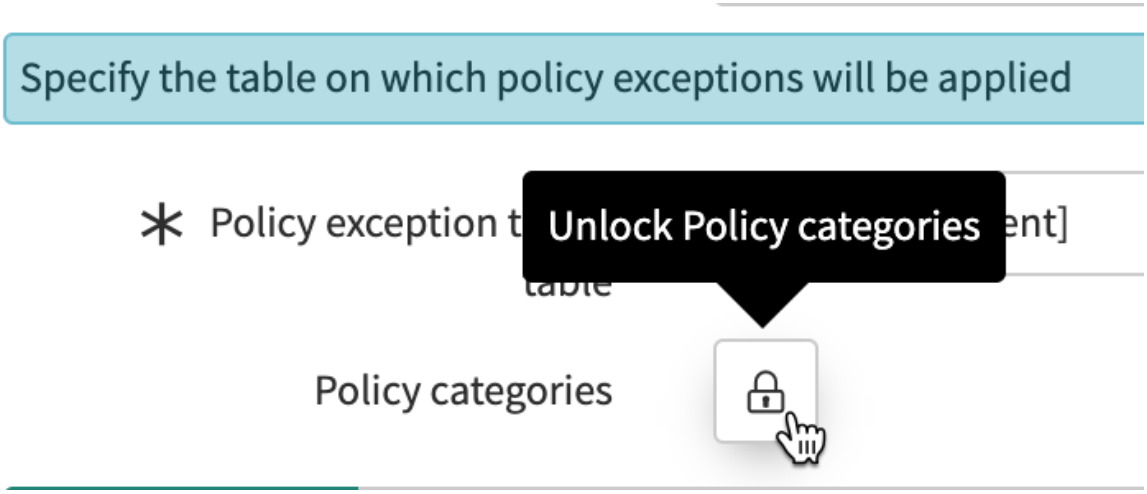
特定の基準でポリシーをフィルタリングして、ポリシーの例外を作成するときに表示されるポリシーの数を制限できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.manager

手順

1. ポリシー例外統合レジストリを定義するときに、[ポリシーカテゴリ] フィールドのロックアイコンをクリックします。



2. [ポリシーカテゴリ] フォームで、[新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 定義するカテゴリの名前と説明を入力します。
4. 定義する他のカテゴリについてこの手順を繰り返します。
5. カテゴリの定義が終了したら、ロックアイコンを再度クリックします。
   レジストリを保存すると、定義したポリシーカテゴリがポリシーをフィルタリングするためのポリシーフォームで使用できるようになります。

Example:
Incident および Problem アプリケーションのレジストリエントリを定義し、インシデント [incident] および問題 [problem] をポリシー例外ターゲットテーブルとして選択したとします。また、[インシデント] と [問題] のポリシーカテゴリを作成したとします。

5 つのポリシーを定義し、次のようにタグ付けします。

- ポリシー 1 には [インシデント] のタグが付けられています。
- ポリシー 2 には [インシデント] と **[VR]** のタグが付けられています。
- ポリシー 3 には **[VR]** のタグが付けられています。
- ポリシー 4 には [問題] のタグが付けられています。
- ポリシー 5 はタグ付けされていません。

問題フォームを開き、[ポリシー例外の要求] ボタンをクリックします。例外に関する特定の詳細 (ポリシー、コントロール目標など) を入力するように求められます。

[ポリシー] フィールドで検索アイコンをクリックすると、ポリシー 1、ポリシー 2、およびポリシー 4 のみが表示されます。3 つのポリシーのいずれかを選択して [コントロール目標] フィールドで検索アイコンをクリックすると、そのポリシーに関連するコントロール目標のみが表示されます。

どのポリシーもタグ付けされていない場合は、5 つすべてが表示されます。タグ付けされているポリシーが 1 つだけの場合、そのポリシーはデフォルトで [ポリシー] フィールドに表示されます。

自動翻訳

例外のアンケートを作成

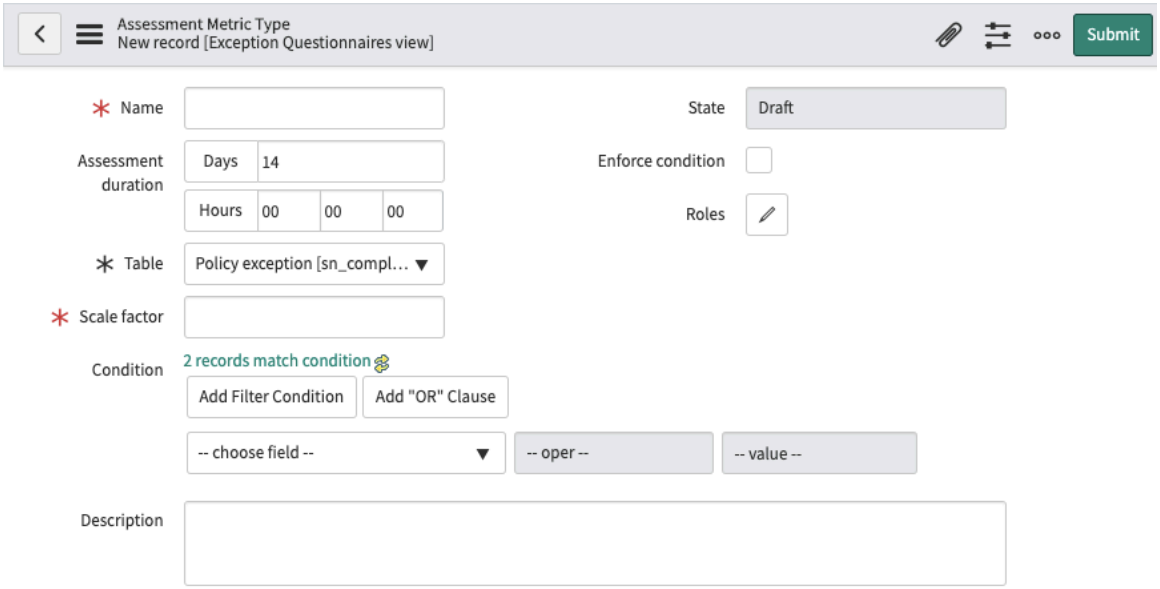
ポリシー例外統合レジストリを設定するときに、テンプレートから作成されたリスクアセスメントに含めることができる構成可能な質問を定義できます。ポリシー例外統合レジストリは、一度に 1 つのテンプレートに関連付けることができます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.attestation_creator

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 例外のアンケート.
2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[アセスメント測定基準タイプ] 画面が開きます。GRC アプリケーションの用語では、アンケートの質問は測定基準とみなされます。質問のグループはカテゴリです。カテゴリのグループは測定基準タイプです。

3. フォームのフィールドに入力します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アンケートの名前。
アセスメント期間	アセスメントの作成から完了までの許容時間。
テーブル	アセスメント対象のレコードを含むテーブル。
尺度値	すべてのアンケート結果に使用される尺度値。
ステータス	アセスメントの公開ステータス：[ドラフト] または [公開]。
条件を強制	選択すると、定義された条件を満たさないすべてのレコードが削除されます。
ロール	アセスメント内の情報への読み取りアクセス権を持つロール。
条件	選択したテーブルからアセスメント対象のレコードを選択するための条件。詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。
説明	この例外アンケートの説明。

4. アンケートレコードを保存します。
5. [証明書デザイナー] をクリックしてアンケートを作成します。
詳細については、「証明書デザイナー」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシー例外検証ルールを定義

検証ルールは、承認のために送信する前にポリシー例外要求の正確性と完全性を検証するために使用されます。アプリケーションに対して複数のレベルの承認者を定義できます。

始める前に

必要なロール：

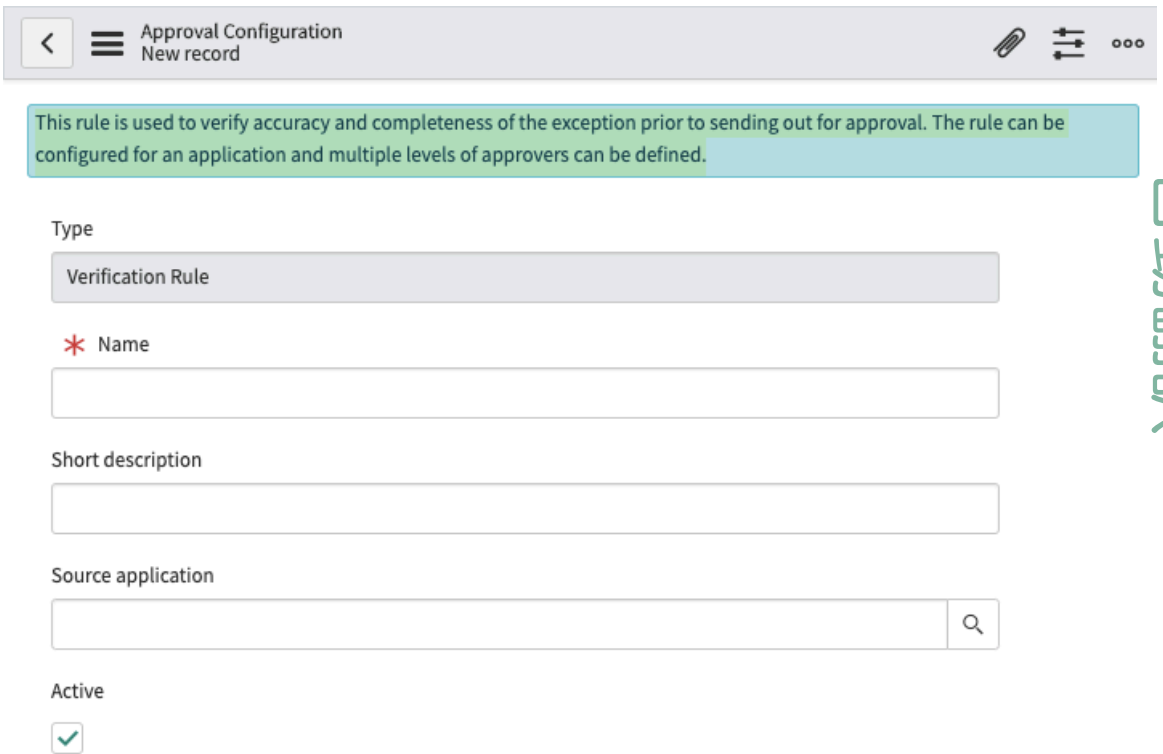
- ポリシー例外検証ルールを作成するには sn_compliance.manager
- アンケートをレビューおよび検証するには survey_reader

このタスクについて

検証ルールの定義はオプションの手順です。検証ルールを定義していないか、定義して有効にしていない場合、要求者のチームからの承認は必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 検証ルール.
2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

[承認構成] フォーム

フィールド	説明
タイプ	デフォルトは検証ルールです。
名前	この承認構成の名前を入力します。
簡単な説明	構成の目的の簡単な説明を入力します。

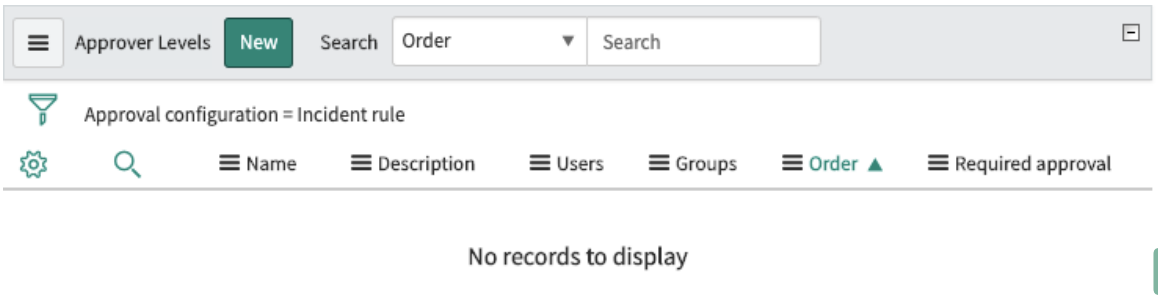
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソースアプリケーション	この検証ルールに適用されるアプリケーションを選択します。以前に統合レジストリに追加されたアプリケーションのみがリストされます。
有効	これが選択されている場合、この検証ルールはアクティブであり、要求者には、承認のためにコンプライアンスマネージャーに送信する前に初期承認を要求するオプションがあります。

4. [更新] をクリックします。

   [承認者レベル] 関連リストが表示されます。この関連リストを使用すると、ルールに対して複数の承認者レベルを定義できます。レベルごとに 1 人以上のユーザーまたはユーザーグループを承認者として選択できます。承認者には survey_reader ロールがアサインされている必要があります。選択したすべてのユーザーに対して例外の承認を必須にすることもできれば、オプションとして単一のユーザーがすべての承認者の代理として承認できるようにすることもできます。



5. [送信] をクリックします。
   ポリシー例外レコードが [検証処理待ち] ステータスに移行すると、指定された承認者に承認が必要であることが通知されます。ポリシー例外要求のいずれかのフィールドが要求者によって入力されなかった場合 (ポリシーやコントロール目標など)、それらのフィールドは承認者にとって必須になります。承認者が要求をレビュー、完了、および承認すると、[分析] ステータスに移行し、さらに分析および承認するためにコンプライアンスマネージャーにアサインされます。

自動翻訳

ポリシー例外承認ルールを定義

承認ルールは、例外の承認要求を送信するために使用される基準 (リスク評価、ポリシー、またはコントロール目標) を定義します。ルールはアプリケーションに対して設定でき、必要に応じて複数のレベルの承認者を指定できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.manager

このタスクについて

レビュー後に承認を自動または手動で送信するように構成することができます。

注:

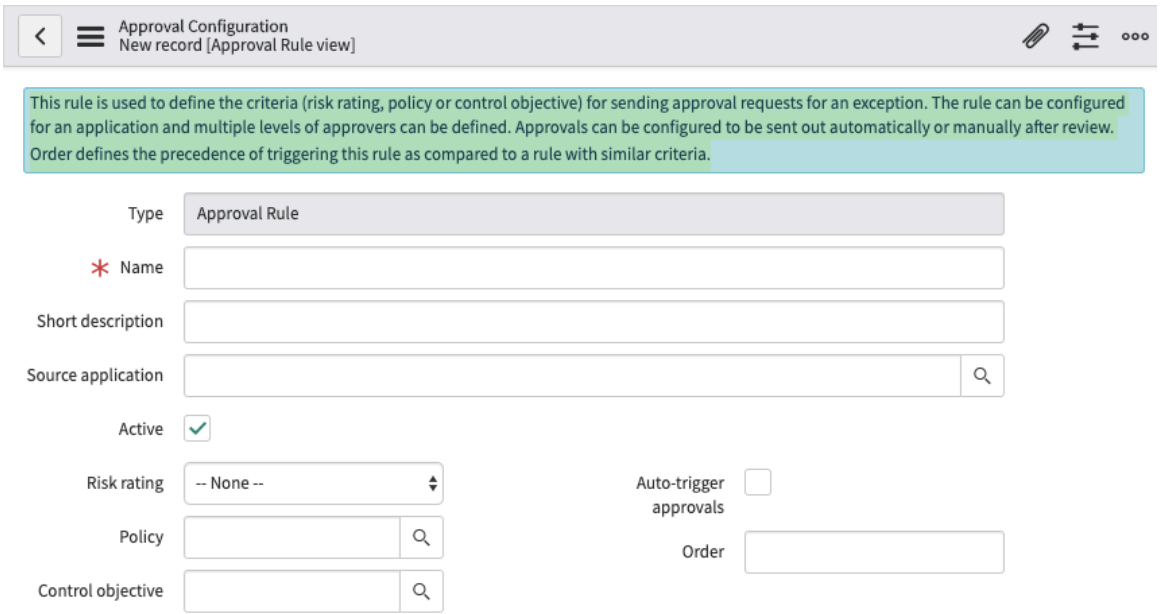
ポリシー例外がアップストリームアプリケーション (例：脆弱性対応) から作成された場合、承認を要求する前に、影響を受けるコントロールがポリシー例外に存在する必要があります。

ポリシーとコンプライアンス管理 を使用して作成されたポリシー例外の場合、ポリシーとコントロール目標の両方が例外フォームに追加されている場合でも、影響を受けるコントロールが存在しないポリシーに対して例外を要求できます。ただし、コントロール目標のみに対して作成されたポリシーの例外の場合、承認を要求する前に、影響を受けるコントロールが存在する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 承認ルール.
2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

[承認構成] フォーム

フィールド	説明
タイプ	デフォルトは承認ルールです。
名前	この承認構成の名前を入力します。
簡単な説明	構成の目的の簡単な説明を入力します。
ソースアプリケーション	この承認ルールに適用されるアプリケーションを選択します。以前に統合レジストリに追加されたアプリケーションのみがリストされます。
有効	これを選択すると、この承認ルールが有効になります。
リスク評価	リスク評価は、ポリシー例外でリスクアセスメントを実行することによって決定されます。
ポリシー	このポリシー例外が適用されるポリシーを選択します。
コントロール目標	選択したポリシーを参照するコントロール目標を選択します。
承認を自動トリガー	レビューの完了後にすべての承認を自動的にトリガーするには、このチェックボックスをオンにします。選択しない場合、コンプライアンスマネージャーはこのルールによって定義された承認を手動でトリガーできます。

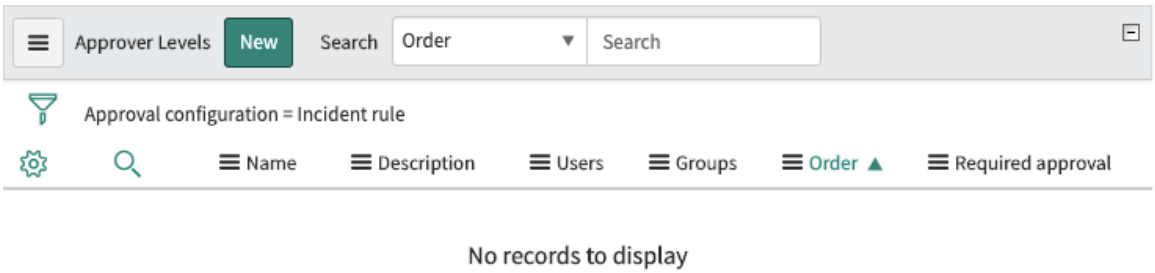
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

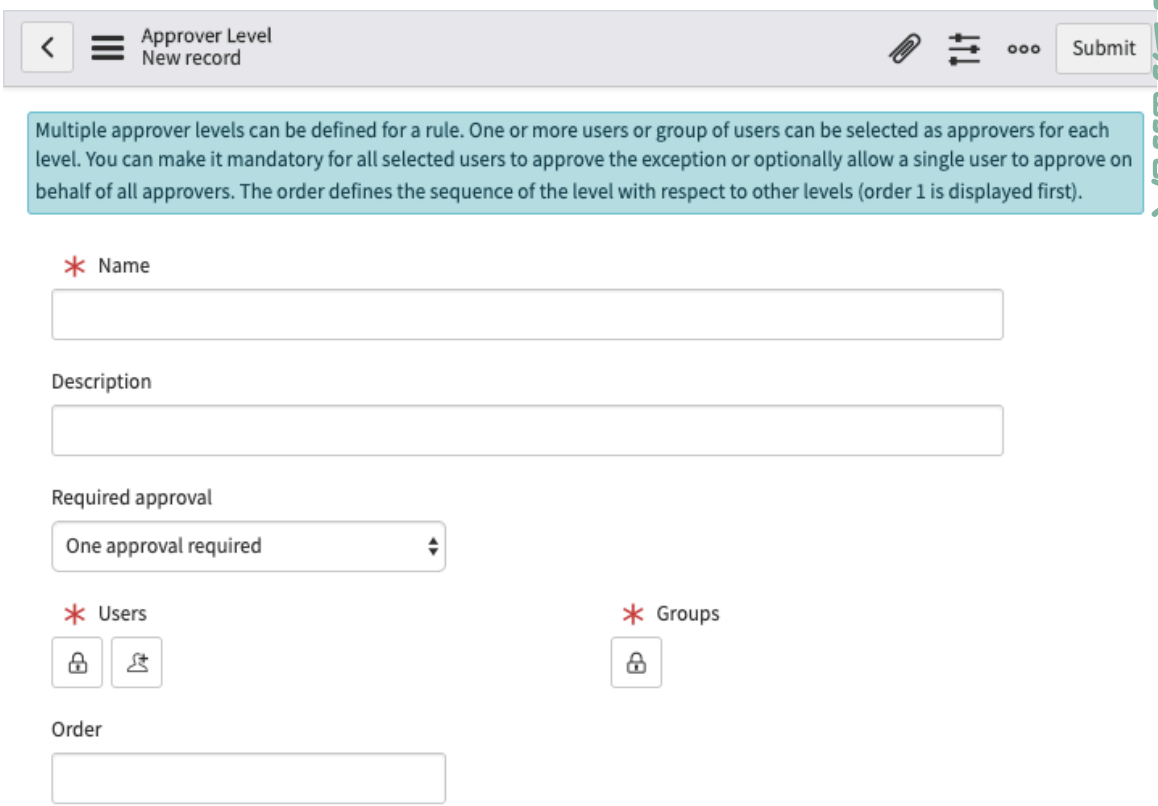
フィールド	説明
順序	順序では、例外に適用可能であり、同様の基準で定義される別のルールと比較してこのルールをトリガーする優先順位を定義します。

4. [更新] をクリックします。

   [承認者レベル] 関連リストが表示されます。この関連リストを使用すると、ルールに対して複数の承認者レベルを定義できます。レベルごとに 1 人以上のユーザーまたはユーザーグループを承認者として選択できます。承認者には survey_reader ロールがアサインされている必要があります。選択したすべてのユーザーに対して例外の承認を必須にすることもできれば、オプションとして単一のユーザーがすべての承認者の代理として承認できるようにすることもできます。



5. [新規] をクリックします。



6. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[承認者レベル] フォーム

フィールド	説明
名前	この承認レベルの名前を入力します。
説明	承認レベルの簡単な説明を入力します。
承認が必要	単一のユーザーがすべての承認者の代わりに承認できるようにするには、[承認が **1** 回必要] を選択します。 指定されたすべてのユーザーが選択を承認することを必須にするには、[すべてのユーザーの承認が必要] を選択します。
ユーザー	ポリシー例外承認者として機能する 1 人以上のユーザーを選択します。
グループ	ポリシー例外承認者として機能する 1 つ以上のグループを選択します。 **注:** グループに属するユーザーには、GRC ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) ロールが必要です。
順序	他のレベルとの関連で使用されるレベルのシーケンスを決定する順序を選択します (順序 1 が最初に表示されます)。

7. [送信] をクリックします。
   [承認を自動トリガー] チェックボックスをオンにすると、指定された承認者に承認が必要であることが通知されます。または、コンプライアンスマネージャーが [承認用に送信] ボタンをクリックすると、承認者に通知されます。

Policy and Compliance タスク用クラシックユーザーインターフェイスの使用

引き続きクラシック環境を使用して、ポリシーとコンプライアンス管理 のすべてのアクティビティを実行できます。

特定のロールを持つコンプライアンスマネージャーまたはコンプライアンスユーザーは、コントロール目標、ポリシー、ポリシーの例外と延長、問題などの管理のような ポリシーとコンプライアンス管理 関連タスクを実行できます。

コントロール目標とポリシーを管理

ポリシーおよび手順モジュールには、ポリシー承認、ポリシー、およびコントロール目標に関連する概要と詳細情報が含まれています。

ポリシーおよび手順の概要

ポリシーと手順の概要は、ポリシーと手順モジュールに含まれており、コンプライアンス要件、全体的なコンプライアンス、およびコンプライアンスのブレークダウンに関するエグゼクティブビューを提供するため、問題のある領域をすばやく特定できます。コンプライアンス管理者およびコンプライアンスマネージャーのロールを持つユーザーは、[ポリシーと手順の概要] を表示します。

自動翻訳

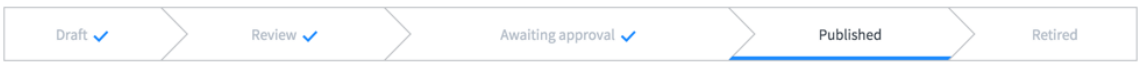
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースシステムのポリシーおよび手順の概要レポート

名前	ビジュアル	説明
コンプライアンスのコントロール	ドーナツグラフ	システム内のすべてのコントロールの全体的なコンプライアンスを表示します。
コントロールの詳細	ドーナツグラフ	オーナー、カテゴリ、またはタイプ別にグループ化されたコントロールのブレークダウンを表示します。
コントロールの概要	縦棒グラフ	各ポリシーに関連するコントロールの総数を表示します。グラフは積み重ねられて、各ポリシーの全体的なコントロールコンプライアンスステータスを表示します。
ポリシー別のコントロール問題 (オープン日)	線グラフ	毎週オープンされたコントロールの問題の数をポリシー別にグループ化して表示します。
ポリシー例外	リスト	受け入れの応答値でクローズされた (問題が修正されなかったことを意味する) コントロールの問題のリストを表示します。
ポリシー別の合計コントロール目標	棒グラフ	各ポリシーのコントロール目標の総数を表示します。グラフは、タイプ別にコントロール目標を表示するために積み重ねられます。

ポリシー承認プロセス

ポリシーは、コンプライアンスを確保し、リスクへのエクスポージャーを減らす厳格な承認プロセスの一部です。ポリシーは、公開されると、承認プロセスに自動的に組み込まれます。コンプライアンスマネージャーは、ポリシーの有効期間を設定し、チームがポリシーを頻繁にレビューしてその有効性を確認できるようにします。ポリシーには、ポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、テンプレートなどのタイプがあります。



ポリシー承認ステータス

ステータス	説明
ドラフト	すべてのポリシーは [ドラフト] ステータスで開始されます。このステージでは、すべてのコンプライアンスユーザーがポリシーとコントロール目標を変更できます。
レビュー	オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者がポリシーとコントロール目標を変更し、次のステータスに送信できます。
承認待ち	このステータスでは、ポリシーは読み取り専用です。承認済みポリシーは [公開] ステータスに移行します。未承認のポリシーは [レビュー] に戻ります。ポリシーフォームで承認者が特定されていない場合、ステータスはスキップされ、ポリシーは承認なしで公開されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシー承認ステータス (続く)

ステータス	説明
公開	承認されたポリシーは、テンプレートで定義された KB 記事に自動的に公開され、ポリシーは読み取り専用ステータスのままになります。ポリシーフォームの [有効期限] フィールドで、ポリシーの有効期間を定義します。 **注:** ポリシーが公開された後、ポリシーの有効期限終了日に達すると、*Number of days after reaching a policy "Valid to" date in which the expired policy will automatically move from its Published state back to a Draft/Review state* プロパティの値に基づいて、ポリシーはドラフト/レビューステータスに戻ります。たとえば、プロパティの値が 10 の場合、ポリシーは有効期限の 10 日後にレビューステータスに戻ります。 ポリシーが レビュー ステータスの最後に達し、公開が 承認 されると、GRC ナレッジベースに自動的に公開されます (**Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ. ポリシーフォームの [記事テンプレート] フィールドで、公開されるポリシーのスタイルを定義します。
廃止	ポリシーが [廃止] ステータスになると、関連する KB 記事が削除されます。

ポリシー

コンプライアンスマネージャーは、一連のビジネスプロセス、手順、または標準を定義する内部ポリシーをカタログ化して公開します。

コントロール目標

コンプライアンスマネージャーは、コントロール目標をカタログ化し、それらのコントロール目標からコントロールを生成します。

注:
UCF では、コントロール目標をコントロールとして参照します。UCF データをインポートすると、コントロールがコントロール目標テーブルにインポートされます。

ポリシーの作成

ポリシーは、プロセスが従う必要のある組織内のプラクティスを定義します。ポリシーは、ポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、およびテンプレートとして定義されます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.admin または sn_compliance.manager

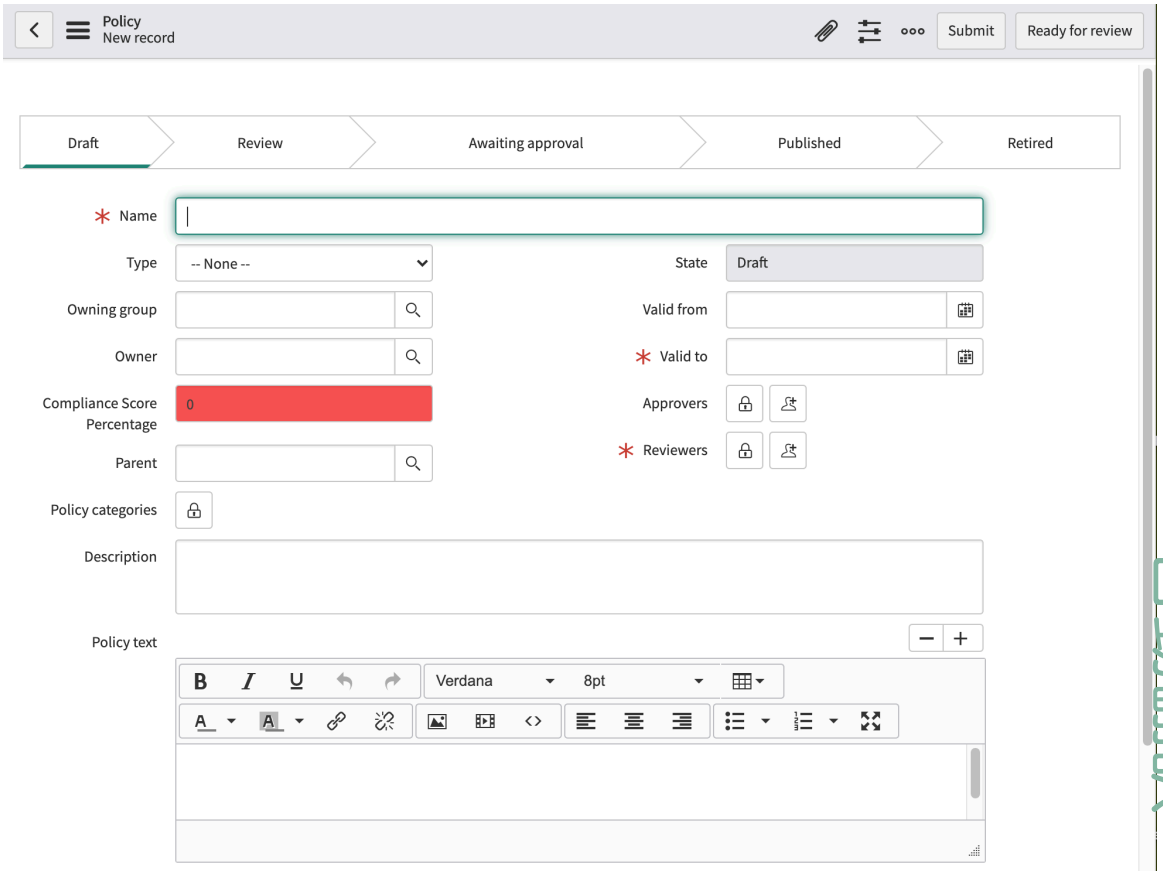
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

コンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) ロールを持つユーザーもポリシーを作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. [新規] をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシー

フィールド	説明
名前	ポリシーの名前。
タイプ	オプションのリスト： ○ ポリシー ○ 手順 ○ 標準 ○ プラン ○ チェックリスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ フレームワーク ○ テンプレート
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。
所有者	ポリシーを所有するユーザー。
コンプライアンススコア (%)	このポリシーにアサインされたコンプライアンススコア (%)。
親	このポリシーを含むポリシー。ポリシー内からコントロール目標を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。
ポリシーのカテゴリ	ロックアイコンをクリックし、フィルタリングポリシーのカテゴリを 1 つ以上選択します。たとえば、[Vulnerability Response] を選択して、そのアプリケーションに関連付けられたポリシーを表示します。
ステータス	ステータスは読み取り専用フィールドです。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ ドラフト このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがポリシーとコントロール目標を変更できます。すべてのコンプライアンスユーザーは、 、[レビューを要求] ボタンをクリックできます。[レビューを要求] ポップアップにメッセージを入力し、[要求] をクリックすると、ステータスが [レビュー] に設定されます。 ○ [レビュー] このステータスでは、オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者がポリシーとコントロール目標を変更できます。所有者、所有グループ、およびレビュー担当者は、[承認を要求] をクリックし、承認者リストのユーザーに承認を送信してワークフローを開始します。オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者は、[ドラフトに戻る] をクリックして、ポリシーも [ドラフト] に戻します。 ○ [承認待ち] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。承認者は、ポリシーフォームの [承認] 関連リストで承認ステータスを更新するか、[自分の承認] を表示してポリシーを承認できます。ポリシーが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスになります。それ以外の場合は、[レビュー] ステータスに戻ります。 ○ [公開] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。管理者は [廃止] をクリックすると、ポリシーのステータスが [廃止済み] に設定されます。 ○ [廃止済み] このステータスでは、ポリシーはすべてに対して読み取り専用です。
有効期限開始	ポリシーが有効になる日時。
有効期限	ポリシーが無効になる日時。
承認者	承認プロセスに含めるユーザー。
レビュー担当者	レビュープロセスに含めるユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	ポリシーの一般的な説明。
ポリシーテキスト	ポリシーの詳細な説明。
ナレッジベース	
ナレッジベース	このポリシーに関連するナレッジベース記事。
KB 記事	ポリシーが公開されている KB 記事番号とリンク。
記事テンプレート	このポリシーの公開に使用する記事テンプレート。
確認応答のセットアップ	
対象者	このポリシーの確認を担当するデフォルトの対象者を選択します。
参照資料 URL	ロックアイコンをクリックして、認定やトレーニング資料などの必要な参照資料の URL を追加します。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	ポリシーの確認を拒否するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
ユーザーに例外を要求することを許可	ポリシーの確認応答の例外を要求するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
例外セットアップ	
最大例外期間 (日数)	指定されたポリシーに対してポリシー例外を要求できる最大期間を入力します。

4. 次のオプションのいずれかで続行します。
   - ポリシーを保存して送信するには、[送信] をクリックします。
   - ポリシーをレビュー準備完了としてマークするには、、[レビューを要求] をクリックします。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

ポリシーを承認および公開

ポリシーが承認されると、自動的に公開されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_compliance.user または sn_compliance.manager

このタスクについて
GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのバージョン 11.0.2 より前では、ポリシーを変更するたびに、新しいナレッジベース記事が以前のバージョンを上書きしていました。バージョン 11.0.2 以降では、ポリシーを再度承認すると、新しいバージョンの KB 記事が作成され、以前のバージョンの履歴とともに [ポリシーバージョン] タブに一覧表示されます。

この機能では、Knowledge Management Advanced Installer [com.snc.knowledge_advanced.installer] プラグインを手動でインストールしてアクティブ化する必要があります。詳細については、「プラグインをアクティブ化する」を参照してください。

手順

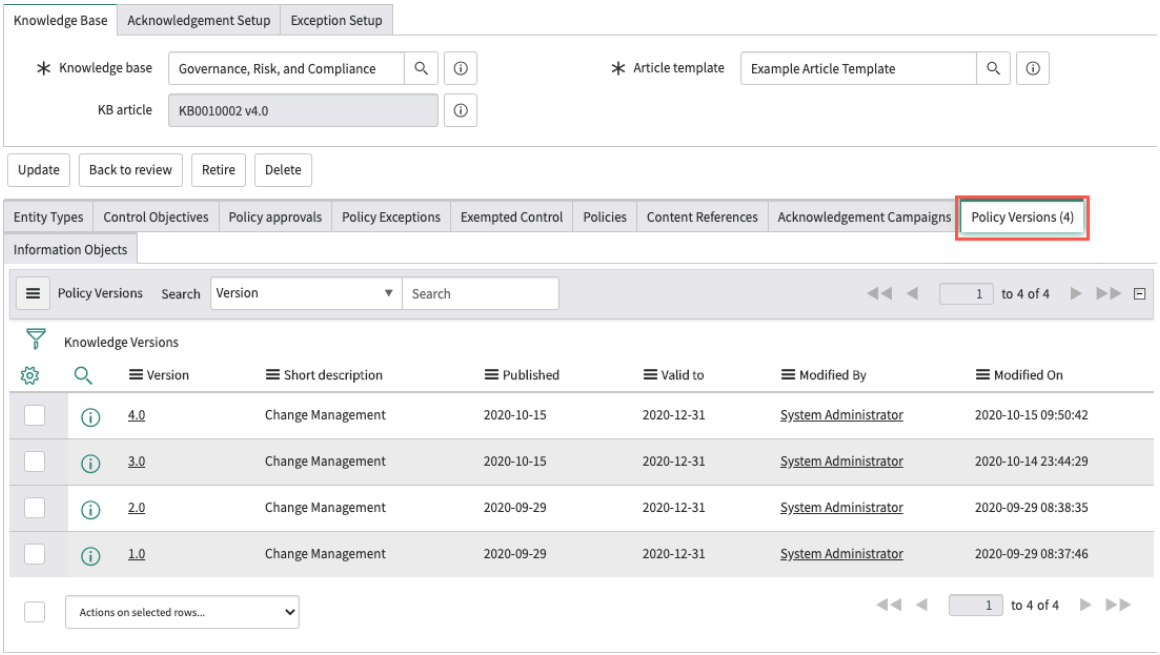
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. ポリシーの詳細をレビューします。
4. [承認を要求] ボタンをクリックします。
   レビュー担当者はポリシーの承認を要求できません。ただし、最低限必要なロールである sn_compliance.user を持つポリシーの所有者と、コンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーは、ポリシーの承認を要求できます。承認が付与されると、ポリシーが公開され、ポリシーの詳細を含むナレッジベース (KB) 記事が自動的に作成されます。
5. ポリシーを変更する必要がある場合は、[ポリシーを編集] をクリックして、ポップアップにメッセージを入力して、[承認を要求] をクリックします。ポップアップにコメントを追加します。承認が付与されると、ナレッジベース記事の新しいバージョンが作成されます。

   注:
   上記のように、Knowledge Management Advanced Installer [com.snc.knowledge_advanced.installer] プラグインをアクティブ化すると、KB 記事の新しいバージョンが作成され、以前のバージョンの履歴とともに [ポリシーバージョン] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Quebec リリースのポリシーバージョン



そのため、Service Portal または他の場所からこのポリシーへのリンクを作成すると、KB 記事の最新バージョンが常に表示されます。

ポリシーを確認

ポリシーが公開された後、確認応答キャンペーンを作成して、特定のポリシーが準拠している確認応答を提供する必要がある従業員のグループを定義できます。キャンペーンが定義されたら、対象者に要求を送信できます。

ポリシー確認応答キャンペーンを設定

ポリシーキャンペーンは、ポリシー確認要求の準備に使用されるレコードです。特定のポリシーが準拠していることを確認する必要がある対象者を定義します。ポリシーキャンペーンは、コンプライアンスユーザーが必要と判断した場合にのみ要求されます。

始める前に

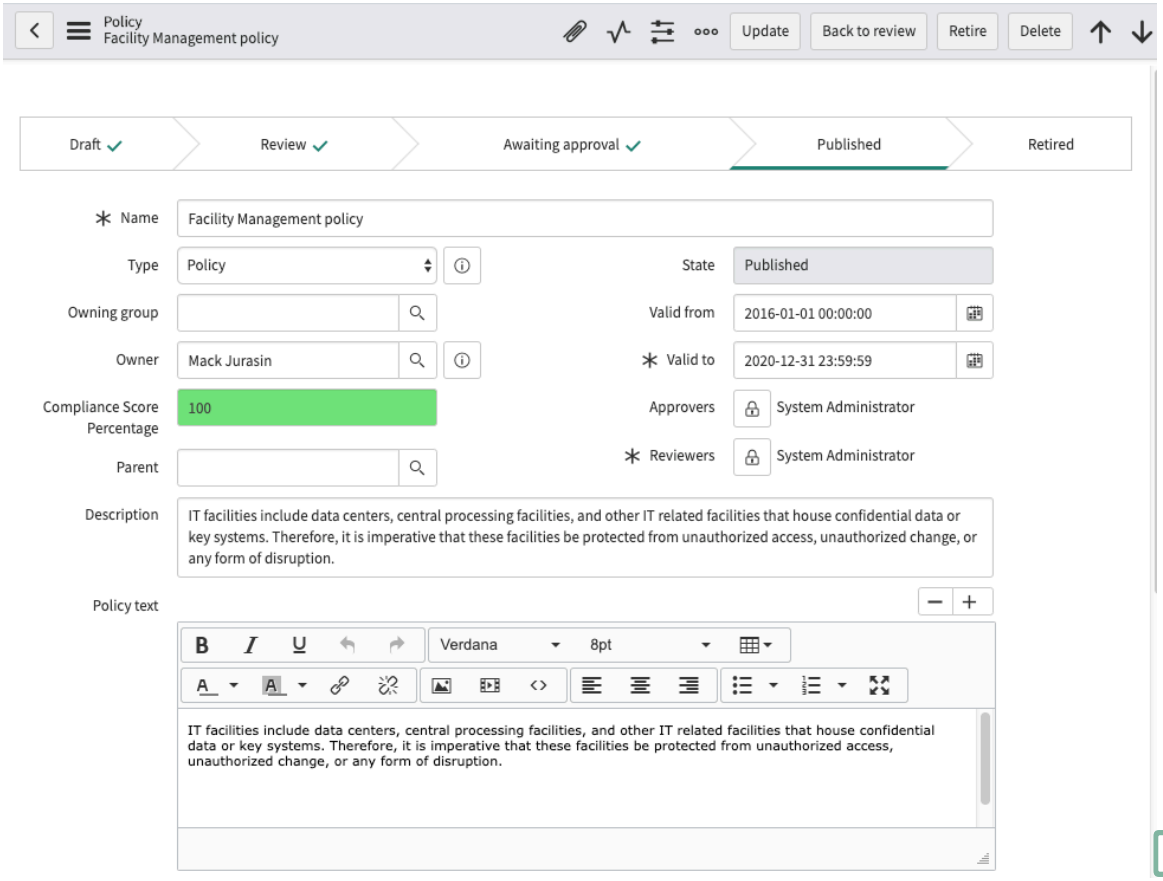
必要なロール：コンプライアンスユーザー

手順

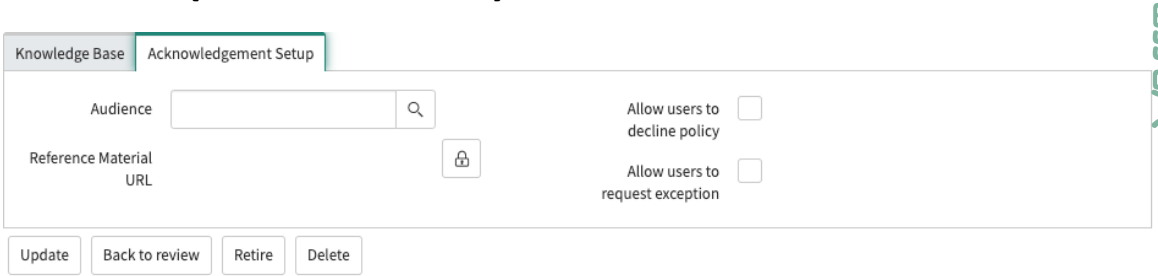
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. 確認する [公開] ステータスのポリシーレコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 下にスクロールして、[確認応答のセットアップ] 関連リストをクリックします。



4. フォームのフィールドに入力します。

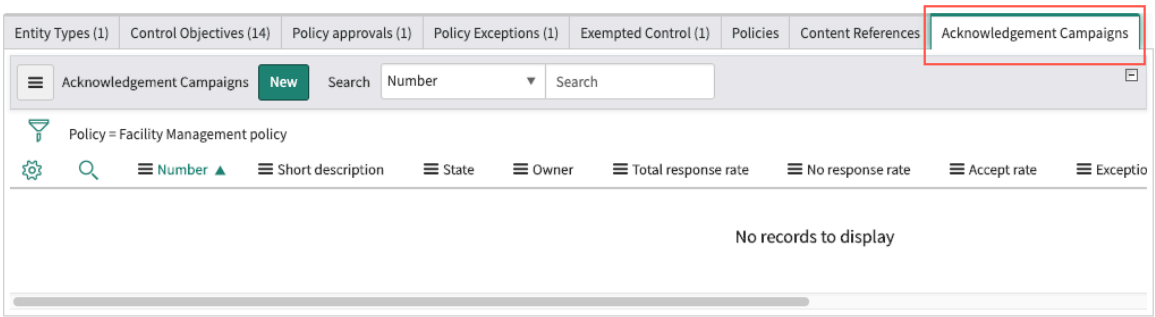
フィールド	説明
対象者	ポリシーの確認を担当する従業員を選択します。対象者は、対象者モジュールを使用して定義します。
参照資料 URL	ロックアイコンをクリックし、対象者がレビューできるポリシーの参照資料への URL を追加します。入力が完了したら、[ロック] アイコンをもう一度クリックします。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	対象者のメンバーがポリシーを拒否できるようにする場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーに例外を要求することを許可	対象者のメンバーがポリシー例外を要求できるようにする場合に選択します。

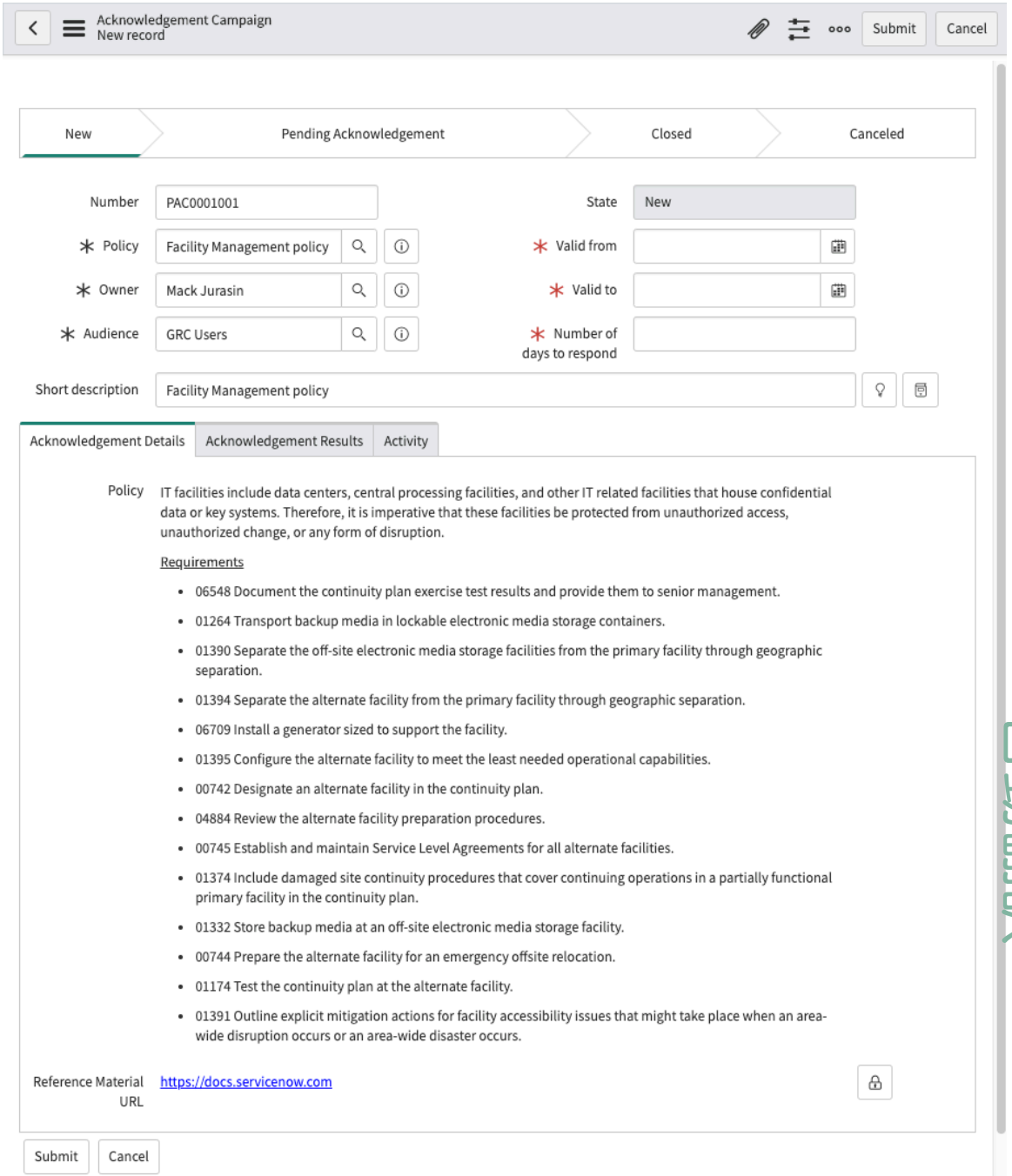
5. レコードを保存します。
6. 下にスクロールして、[確認応答キャンペーン] 関連リストをクリックします。



7. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ほとんどのフィールドには、ポリシーレコードのデータが事前に入力されています。

8. フォームのフィールドに入力します。

注:
以前に説明されていなかったフィールドの説明のみがここに表示されます。

フィールド	説明
数値	確認応答に対して自動生成された確認応答レコード番号です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	確認応答キャンペーンの現在のステータス。デフォルトのステータスは [新規] です。
有効期限開始/有効期限	確認応答が有効な期間を選択します。確認応答は、[有効期限開始] の日付の開始から [有効期限] の日付の終了まで有効です。 **注:** [有効期限開始] を現在の日付より前にすることはできません。[有効期限] の日付は、ポリシーで定義された [有効期限] の日付を超えることはできません。
応答する日数	対象者のメンバーが応答しなければならない日数。
簡単な説明	ポリシーの簡潔な説明。
[確認応答の詳細] タブ	このタブには、ポリシーの詳細と要件、および確認応答のセットアップ中に定義された [参照資料 **URL]** が表示されます。

9. [送信] をクリックします。
これで、確認応答要求を定義された対象者に送信する準備ができました。

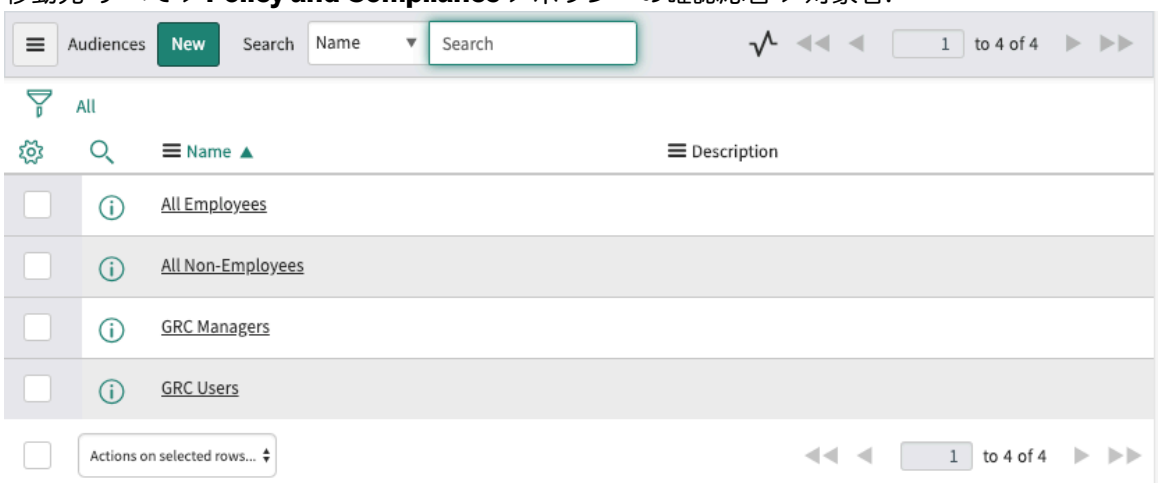
対象者を作成

ポリシーの確認応答要求を設定するときは、確認応答の提供を担当する対象者を特定する必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

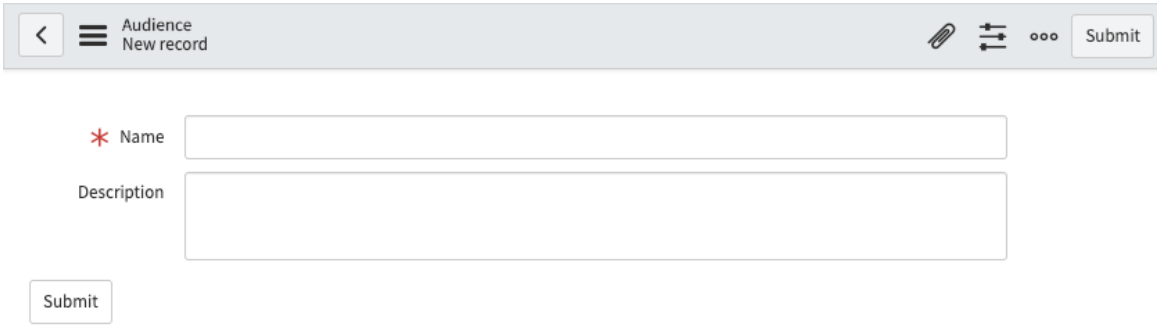
手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 対象者.

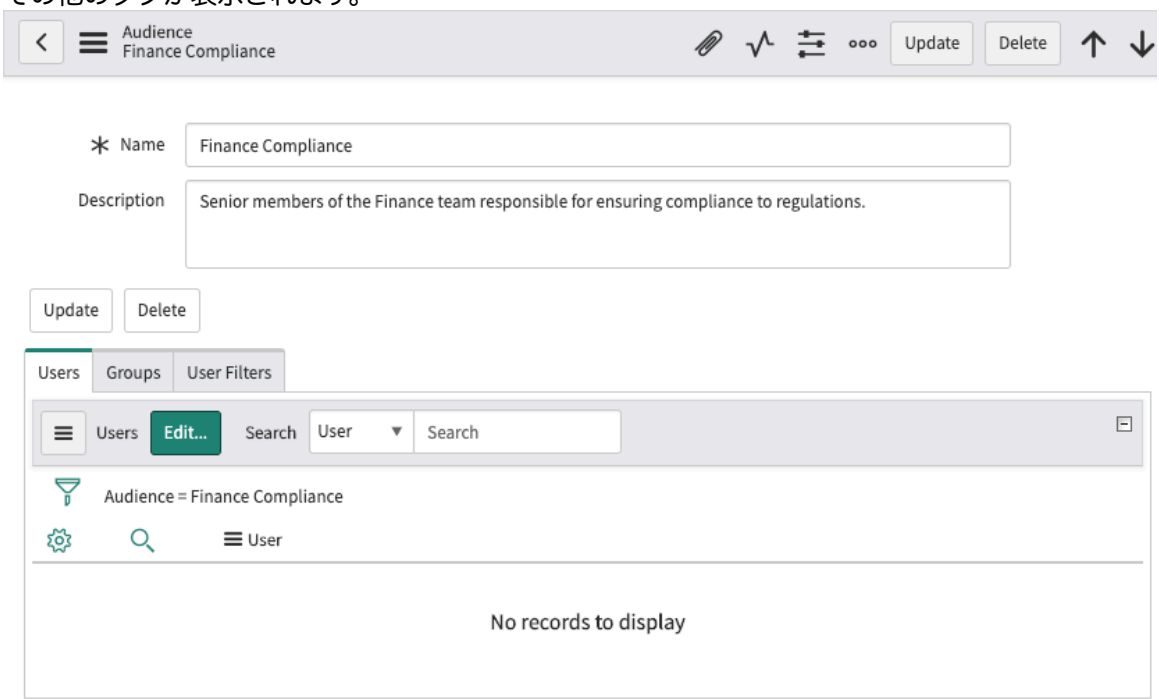


2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 新しい対象者の名前と説明を入力し、レコードを保存します。
4. その他のタブが表示されます。



5. 3 つのタブを使用して、この対象者のメンバーを識別します。

オプション	説明
ユーザー	[編集] をクリックし、1 人以上の個々のユーザーを対象者に追加します。
グループ	[編集] をクリックし、ユーザーの 1 つ以上の事前定義されたグループを対象者に追加します。
フィルターを使用	[新規] をクリックして、対象者メンバーを含めるための新しいフィルターを定義します。[編集] をクリックして、既存のユーザーフィルターを変更します。後で使用するためにフィルターを保存できます。

6. 対象者が定義されたら、ユーザー、グループ、またはユーザーフィルターを確認応答要求に追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

確認応答要求を送信

確認応答キャンペーンを作成したら、定義された対象者に確認応答要求を送信できます。

始める前に

必要なロール： sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 自分の確認応答キャンペーン.
2. 定義された対象者に送信するポリシー確認応答キャンペーン (PAC) レコードを開きます。
3. [確認応答のセットアップ] 関連リストで確認応答を設定して保存したことを確認します。
4. [確認応答キャンペーン] 関連リストをクリックします。
5. [新規] をクリックします。

   注:
   ほとんどのフィールドには、ポリシーレコードのデータが事前に入力されています。

6. フォームのフィールドに入力します。

   注:
   以前に説明されていなかったフィールドの説明のみがここに表示されます。

   確認応答キャンペーンフォーム

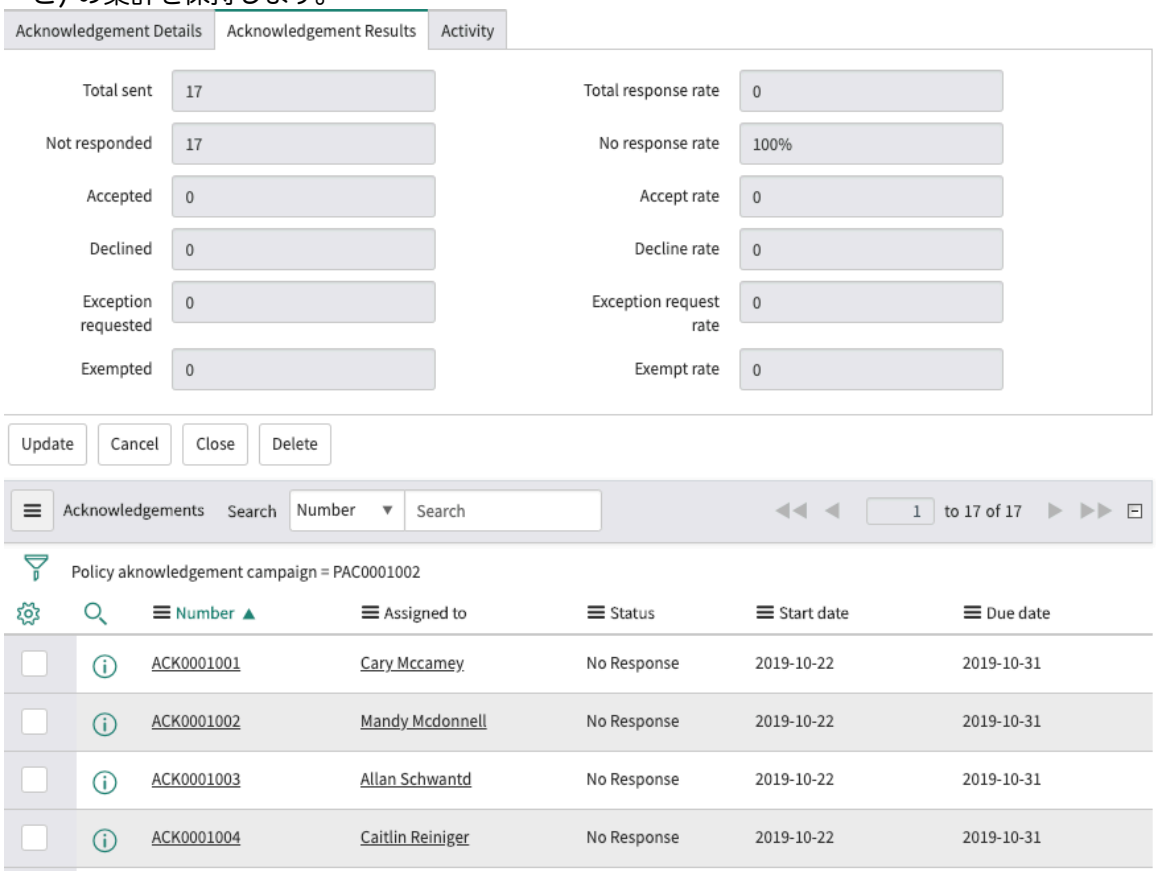
フィールド	説明
数値	確認応答に対して自動生成された確認応答レコード番号です。
ステータス	
有効期限開始/有効期限	確認応答が有効な期間を選択します。確認応答は、[有効期限開始] の日付の開始から [有効期限] の日付の終了まで有効です。 **注:** [有効期限] の日付は、ポリシーで定義された [有効期限] の日付を超えることはできません。
応答する日数	対象者のメンバーが応答しなければならない日数。
簡単な説明	ポリシーの簡潔な説明。
[確認応答の詳細] タブ	このタブには、ポリシーの詳細と要件、および確認応答のセットアップ中に定義された [参照資料 **URL]** が表示されます。

7. [送信] をクリックします。
   [確認応答を要求] ボタンが表示されます。
8. [確認応答を要求] をクリックします。
9. 次の変更が発生することに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 確認応答キャンペーンのステータスが [確認応答処理待ち] に変更されます。
- 対象者の各メンバーの確認応答 (ACK) レコードが画面の下部に表示されます。
- [確認応答結果] タブには、確認応答プロセスの進捗状況が表示されます。つまり、送信された確認応答の合計数を報告し、受信した応答の数とタイプ (たとえば、承認済み、拒否済み、除外など) の集計を保持します。

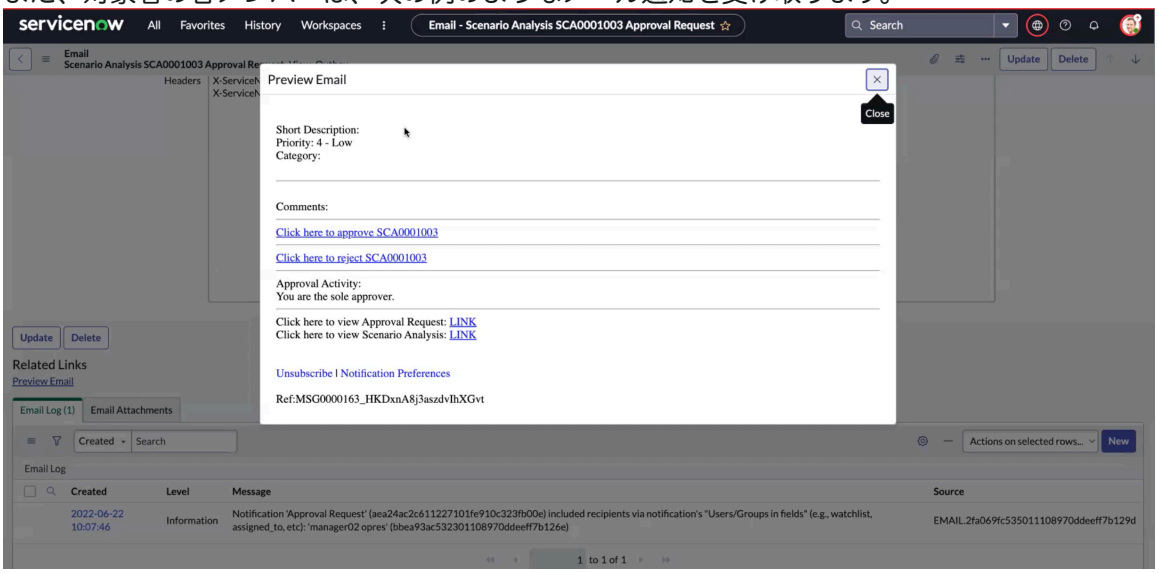


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[アクティビティ] タブには、発生した確認応答アクティビティが表示されます。コンプライアンスユーザーは [作業メモ] チェックボックスをクリックし、作業メモを投稿して変更を追跡できます。[追加コメント] ボックスを使用して、対象者とコミュニケーションを取ることができます。

また、対象者の各メンバーは、次の例のようなメール通知を受け取ります。



10. 確認期間が経過したら、次の場所に移動して応答の進捗状況を監視できます **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 確認応答処理待ち.
11. 次に移動して、確認応答のタイムラインを超えた対象者を特定することもできます **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 期限切れの確認応答.

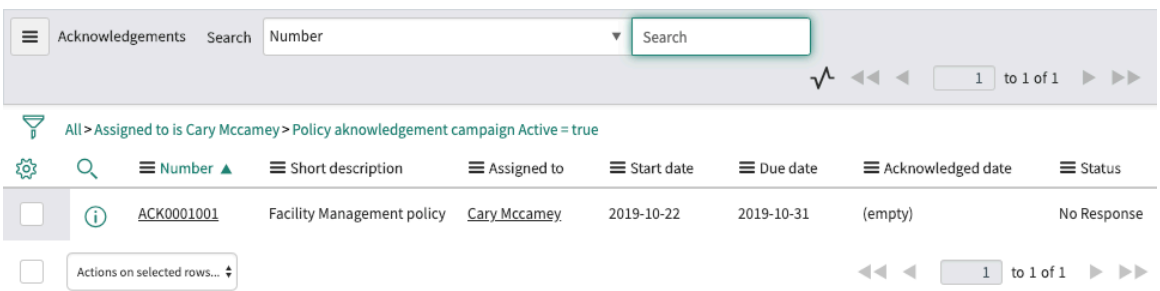
確認応答要求に応答

ポリシー確認応答を提供する対象者のメンバーとして識別された後、レコードを開いて確認し、それを確認する必要があります。

始める前に
必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

手順

1. ポリシーを確認する必要があるという通知を受信したら、次に移動します。 **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 自分の確認応答.



2. 確認応答を提供するには、レコードを開き、次のいずれかのアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なオプションは、確認応答要求の構成方法によって異なります。

使用可能なオプションは、確認応答要求の構成方法によって異なります。

- ポリシーの確認応答のデフォルトステータスは [新規] です。
- ポリシーの確認応答は、次の場合に [確認応答待ち] に設定されます。
  - ポリシーの確認応答が 頻度として設定された時間に達しました。
  - アドホック確認の場合、ポリシーの確認応答は有効開始日に達しました
  - ステータスを手動で移動するには、[確認応答待ち] ボタンをクリックします。
- 次の場合、ポリシーの確認応答は [クローズ済み] ステータスになります。
  - 手動で [クローズ済み] ステータスに移行します
  - 有効期限の日付に達します
- 次の場合、ステータスは [キャンセル] に移行します。
  - 手動で [キャンセル] ボタンをクリックします
  - ポリシー例外が却下され、確認応答がキャンセルにリセットされる

ポリシー確認応答インスタンスが異なるステータスに設定されている場合は、次のオプションを使用できます。

承認

ポリシーが準拠している場合は、[承認] をクリックします。

拒否

ポリシーがコンプライアンスを遵守しておらず、要求を拒否できるように要求が構成されている場合は、[拒否] をクリックします。

例外を要求

何らかの理由で応答を希望せず、オプトアウトできるように要求が設定されている場合は、[例外を要求] をクリックします。

免除

ポリシーが承認された場合

サービスポータルを使用した確認応答の操作

ポリシーに対する確認応答を提供する要求を受信した後、Now Platform で要求を処理するか、ServiceNow サービスポータル でアクションを実行するかを選択できます。

始める前に

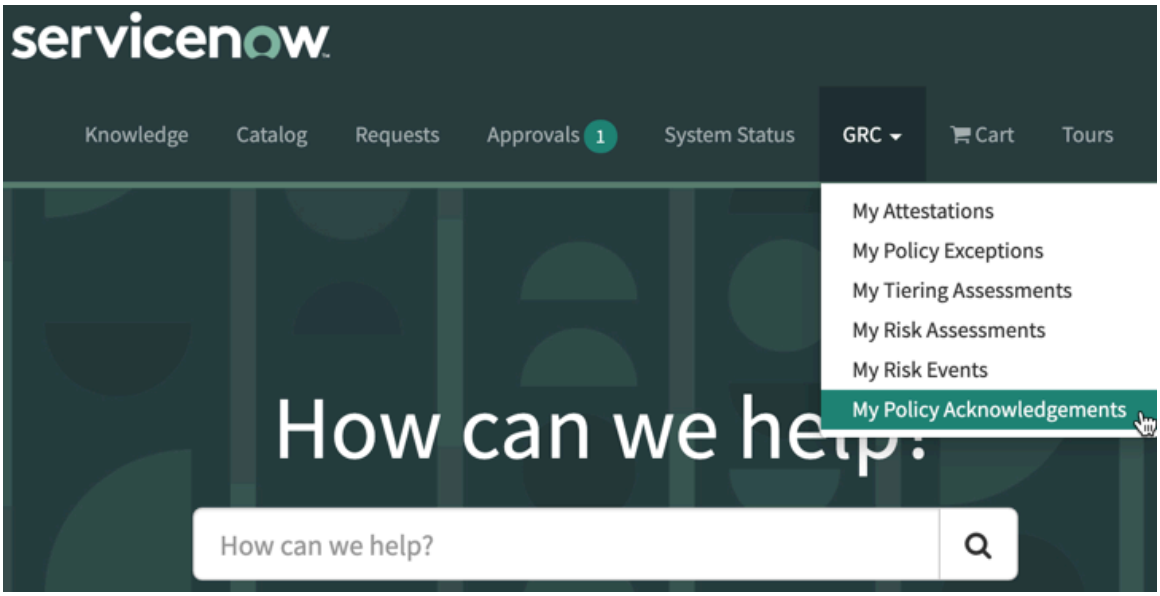
必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

手順

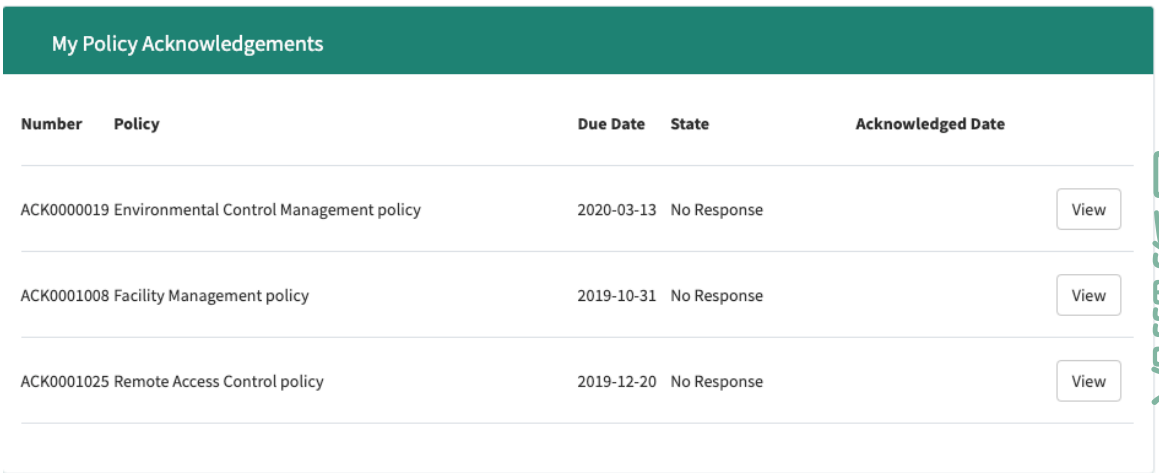
1. ServiceNow サービスポータル に移動します。
2. ヘッダーバーで、次の場所に移動します。 **GRC** > 自分のポリシーの確認応答.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



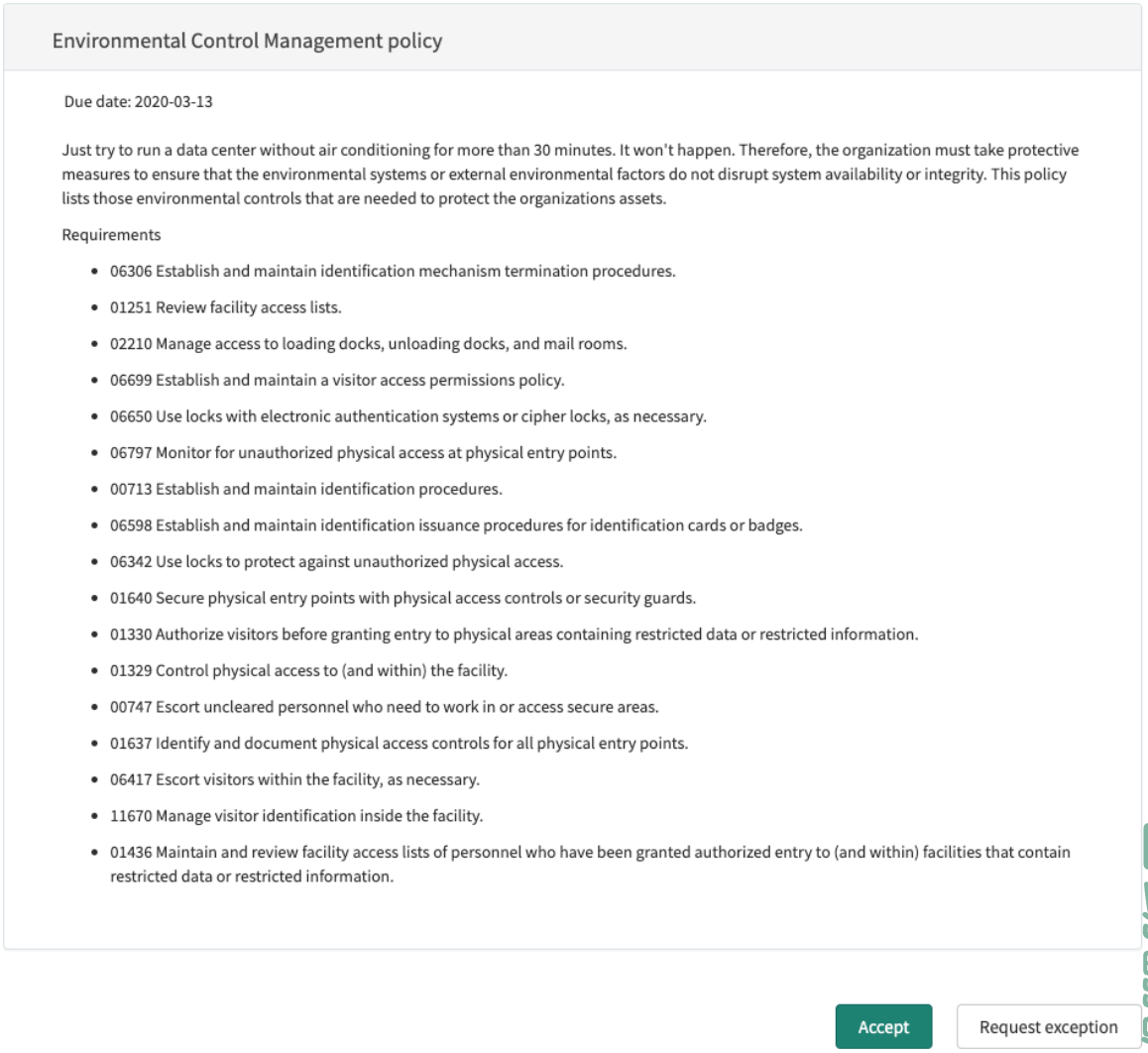
自分にアサインされているすべての処理待ちのポリシーの確認応答要求が表示されます。



自動翻訳

3. 要求の詳細を表示するには、[表示] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

注:
ポリシーの確認応答に対して実行できるアクションは、次のように確認応答キャンペーンの構成方法によって異なります。

オプション	説明
ポリシーがコンプライアンスを遵守している場合	[承認] をクリックします。
ポリシーがコンプライアンスを遵守しておらず、要求を拒否できる場合	[拒否] をクリックします。
応答を希望せず、オプトアウトする場合	[例外の要求] をクリックします。

ポリシーを廃止

ポリシーの廃止は、ポリシー管理プロセスの一部です。承認されて KB に公開された後は、いつでも廃止できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. 右上隅の [廃止] をクリックします。
   このオプションは、公開済みステータスのポリシーでのみ使用できます。

GRC 記事テンプレートを作成

Policy and Compliance マネージャーは、ポリシー記事を公開するためのテンプレートを作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.developer

手順

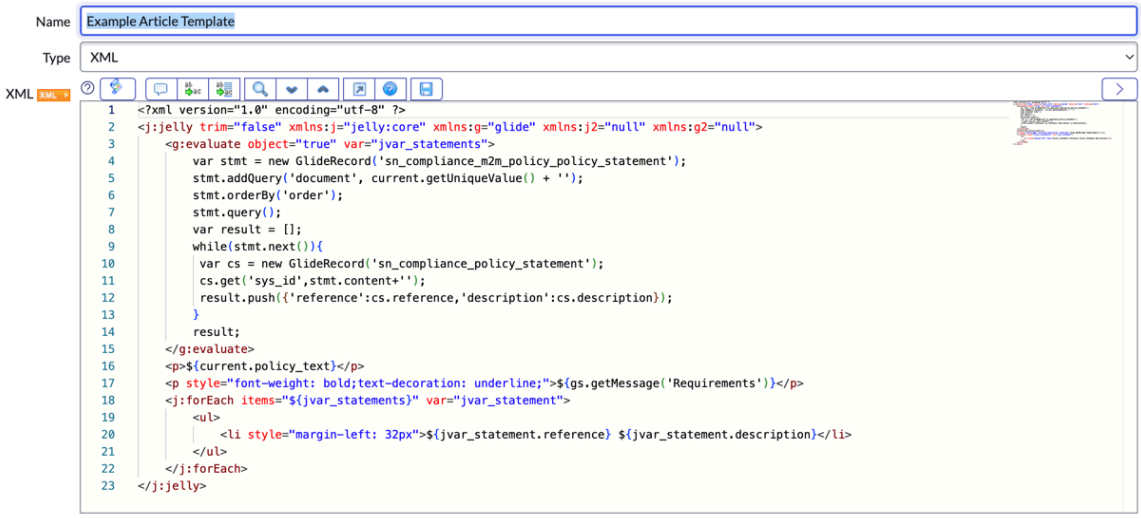
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 記事テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

各種法令・基準等

フィールド	説明
名前	記事テンプレートの名前。
タイプ	○ スクリプト ○ HTML ○ XML
スクリプト	スクリプトコード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
HTML	HTML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
XML	XML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
デフォルトである	このテンプレートがすべての KB 記事のデフォルトテンプレートとして使用されることを示すオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. **[Submit]** をクリックします。

コントロール目標を作成

コントロール目標は、会社のインタラクションと運用のガイダンスとして機能する目標、指示、または標準です。コントロール目標は、カテゴリ化、分類、およびポリシーへの関連付けが可能です。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

このタスクについて

コントロール目標とコントロールの違いを理解するには、次を参照してください ポリシーとコンプライアンス管理 の構造の概要。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール目標.

2. [新規] をクリックします。

3. フォームのフィールドに入力します。

コントロール目標フォーム

フィールド	説明
名前	コントロール目標の名前。
ソース	コントロール目標のソース。たとえば、コントロール目標がサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	このコントロール目標をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	一意の数値識別子。
親	現在のコントロール目標の子ではないコントロール目標。これは、循環する親子関係を避けるためです。
コンプライアンススコア (%)	このコントロール目標に対して計算されたコンプライアンススコアの割合とそのカラーコード：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 80 以上：緑 ○ 50 ～ 80：黄 ○ 50 未満：赤
有効	コントロール目標がアクティブかどうかを示すオプション。
コントロールを自動的に作成	コントロールがコントロール目標から自動的に作成されることを示すオプション。 **注:** コントロール目標がコントロールとしても機能する場合は、このオプションを選択します。
カテゴリ	オプションのリスト： ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護 ○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督 ○ ルート ○ 不使用
分類	オプションのリスト： ○ 予防 ○ 是正 ○ 探知
タイプ	オプションのリスト： ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理 ○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理 ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ テスト ○ トレーニング
証明書	オプションリスト。 ○ デフォルトで **GRC** 証明書 が選択されている ○ **注:** ユーザーがコントロール証明書を変更すると、関連するコントロール目標証明書タイプも変更されます。
問題グループルール	このコントロール目標にアサインされたグループルール。
説明	コントロール目標の説明。

4. [送信] をクリックします。
コントロール目標が作成され、すべての関連リストが表示されます。
   - ポリシーがエンティティに関連付けられている場合、コントロールはすべてのコントロール目標に対して作成されます。
   - コントロール属性は、関連するコントロール目標と同じ属性にデフォルト設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コントロール目標を非アクティブ化

引用または親コントロール目標との関連がなくなったコントロール目標を非アクティブ化します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
2. コントロール目標を開きます。
3. コントロール目標で、[有効]とマークされたチェックボックスをオフにします。
4. [更新] をクリックします。

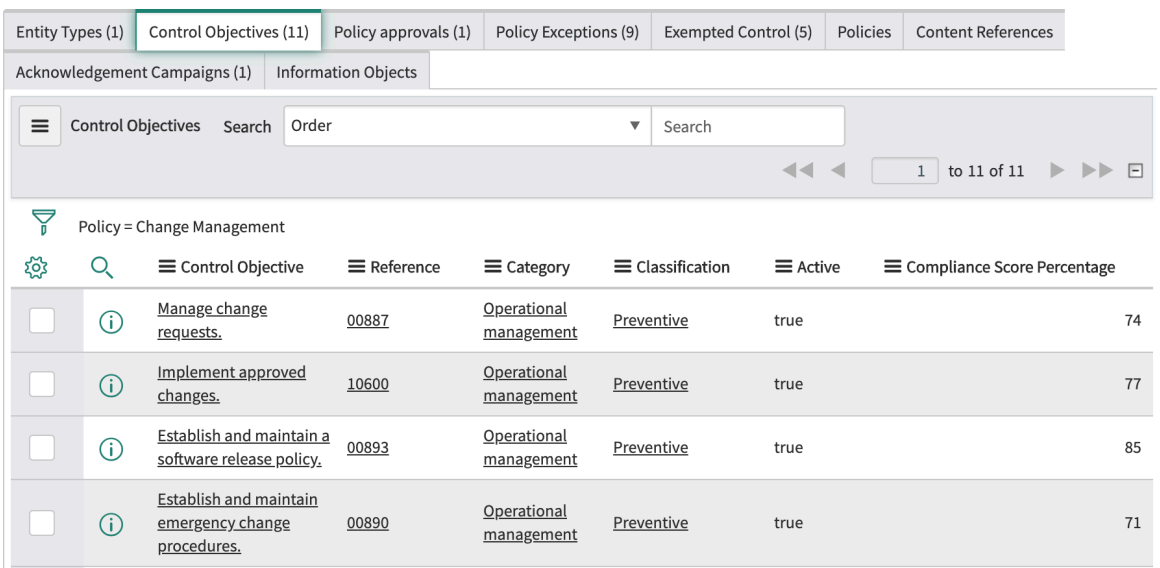
コントロール目標をポリシーに関連付け

ポリシーがレビューまたはドラフトステータスの場合は、[コントロール目標] 関連リストの [編集] ボタンをクリックして、コントロール目標を個別に関連付けます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. [コントロール目標] 関連リストで [編集] をクリックします。
   スラッシュバケットには、関連付けられているポリシーが選択されていないアクティブなコントロール目標が含まれています。
4. コントロール目標を選択します。
5. [保存] をクリックします。
   これらのコントロール目標は、[コントロール目標] 関連リストに一覧表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コントロール目標を引用に関連付け

単一のコントロール目標は、さまざまな各種法令・基準等の多くの引用にマッピングすることができます。この機能を使用すると、さまざまな引用に準拠しながらコントロール目標を 1 回テストできます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コンプライアンス > 引用.
2. 引用を開きます。
3. [コントロール目標] 関連リストで [新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

コントロール目標フォーム

フィールド	説明
名前	コントロール目標の名前。
ソース	ポリシーのソース。たとえば、ステートメントがサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	一意の数値識別子。
ポリシー	このコントロール目標によってサポートされる親コントロール目標。
親	親コンテンツを参照します。
有効	ポリシーがアクティブかどうかを示すオプション。コントロール目標が [ドラフト] または [廃止] ステータスでない場合、ポリシーはアクティブとマークされます。
カテゴリ	オプションのリストから選択します。 ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督 ○ ルート ○ 不使用
分類	オプションのリストから選択します。 ○ 予防 ○ 是正 ○ 探知 ○ IT インパクトゾーン
タイプ	オプションのリストから選択します。 ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定 ○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理 ○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ テスト ○ トレーニング
説明	コントロール目標と、それが組織の目標をどのようにサポートするかの説明。

5. [送信] をクリックします。
   作成されたコントロール目標は、各種法令・基準内項目に関連付けられます。

引用を作成または無効化

通常、各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標は、サードパーティのプロバイダーからダウンロードされます。ただし、引用は各種法令・基準等から手動で作成できます。引用の [アクティブ] オプションは、引用がアクティブか非アクティブかを示します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 信頼できるソース.
2. 各種法令・基準等を開きます。
3. [引用] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

引用フォーム

フィールド	説明
名前	この引用を識別するユーザー定義の名前。
ソース	ポリシーのソース。たとえば、ステートメントがサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	コンテンツ参照。
タイプ	作成された引用のタイプ。処理に使用されないオプションのフィールド。レポートでこのフィールドの値を使用するか、特定のタイプのレコードをクエリします。 ○ コアトピック ○ プロセス ○ コントロール目標 ○ コントロール ○ サポート情報

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
各種法令・基準等	この引用の親である各種法令・基準等の名前。各種法令・基準等フォームから引用を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。
有効	ポリシーがアクティブかどうかを示すオプション。[ドラフト] または [廃止] ステータスでない場合、ポリシーはアクティブとマークされます。引用を無効にするには、[有効]とマークされたチェックボックスをオフにします。
親	親コンテンツを参照します。
説明	引用の説明。

各種法令・基準等を作成

各種法令・基準等はプロセスを管理し、その中でプロセスの要点を管理する引用が作成されます。たとえば、建物のセキュリティと呼ばれるプロセスには、エントリコントロールの引用が含まれています。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 **Policy and Compliance** > コンプライアンス > 信頼できるソース.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

各種法令・基準等

フィールド	値
名前	ドキュメントの名前。
数値	一意の識別番号が自動的に入力される読み取り専用フィールド。
ソース	ポリシーのソースを含む編集不可能なフィールド。たとえば、ステートメントが UCF インポートからのものである場合、ソースは UCF です。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
バージョン	この各種法令・基準等を識別するためにソースによって使用される一意のバージョン番号。
共通名	[名前] フィールドの省略形。
カテゴリ	この各種法令・基準等のカテゴリ。
タイプ	ドキュメントタイプ： ○ 監査の指針 ○ ベストプラクティスの指針 ○ 法案または法令

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ 契約上の義務 ○ 国際標準または国内標準 ○ 未設定 ○ 組織指針 ○ 法令の規制 ○ セーフハーバー ○ 自主規制機関の要件 ○ ベンダードキュメント
有効期限開始	ポリシーが有効になる日時。
有効期限	ポリシーが無効になる日時。
Url	保存されている各種法令・基準等の URL。
説明	各種法令・基準等に関する詳細情報。

4. ヘッダーバーで右クリックし、コンテキストメニューから [保存] を選択します。
各種法令・基準等が作成され、すべての関連リストが表示されます。

> **注:**
> ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのバージョン 13.0.3 以降、[分類] 関連リストが表示されます。この関連リストを使用すると、既存の分類を更新、または新しい分類を各種法令・基準等にマッピングすることができます。

次のタスク
[各種法令・基準等] 関連リストから引用を作成します。

関連情報
引用を作成または無効化

各種法令・基準等を非アクティブ化

各種法令・基準等の [有効] オプションは、各種法令・基準等が廃止されたかどうかを示します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.admin または sn_compliance.manager

手順
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コンプライアンス > 信頼できるソース.
2. 各種法令・基準等を開きます。
3. 各種法令・基準等で、[有効] とマークされたチェックボックスをオフにします。

UCF からインポートされた各種法令・基準等は読み取り専用のフォームであるため、[アクティブ] チェックボックスをオフにすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーの例外と延長を管理

ポリシーの例外と延長により、非準拠コントロールが一時的に緩和されます。

ポリシー例外は、ポリシー例外要求の受け入れまたは却下をサポートする根拠、コメント、および証拠をキャプチャします。また、ポリシー例外有効期間の前に承認されたポリシー例外の延長を要求できます。コントロールオーナー、コンプライアンスマネージャー、およびリスクマネージャーが、ポリシー例外と延長ワークフローに関与する場合があります。

ポリシー例外を要求

ユーザーは、例外が適用されるシステム、アプリケーション、ネットワーク、またはエンティティの特定のリストで例外の理由を指定することで、ポリシー、コントロール目標、または問題の例外を要求できます。ユーザーは、例外が必要な期間も指定する必要があります。

始める前に

必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

例外は、特別な状況のためにコンプライアンス要件を満たすことができないユーザーを一時的に保護します。たとえば、ユーザーが、OS ベンダーがパッチをリリースしてから 48 時間以内にすべての重要な OS サーバーにパッチを適用する必要があるという規定を満たすことができない場合などです。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 自分のポリシー例外.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ポリシー例外フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
要求者	ポリシー例外を要求するユーザー (通常はコントロールオーナー)。
承認グループ	コンプライアンスマネージャーロールを持つグループ。ポリシー例外がレビューステータスに達すると、承認グループを編集できません。 承認グループを指定しない場合、フィールドはデフォルトでコンプライアンスマネージャーに設定されます。コンプライアンスマネージャーは、ポリシー例外が GRC と統合されたアップストリームアプリケーションから発生した場合のデフォルトのロールです。たとえば、インシデントに関連する問題に対してポリシー例外を生成し、その問題が GRC に関連しているとします。
承認者	承認グループのユーザー。例外ポリシーが [分析] ステータスに移行した場合は、承認者を選択する必要があります。
ステータス	承認ワークフロー内のポリシー例外のステータス。
サブステート	承認ワークフロー内のポリシー例外の承認サブステート。
優先度	このポリシー例外の承認優先度

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ウォッチリスト	要求が更新されたときに通知されるユーザー。
名前	ポリシー例外の一意の名前。
理由	ポリシー例外を要求する理由。要求者は、ポリシーの例外が承認されるまで理由を変更できます。
正当性	ポリシー例外の説明。理由は [コメント] タブの [追加コメント] フィールドにも表示されます。
ソース	
ソースタイプ	作成するポリシー例外のタイプ。オプションは次のとおりです。 ○ ポリシー：ポリシーに基づいてポリシー例外を作成します。 ○ コントロール目標：デフォルトは、ポリシー例外が作成される単一のコントロール目標です。 コントロール目標を選択すると、[影響を受けるコントロール] タブが表示され、コントロール目標に関連付けられたコントロールを選択できます。 ○ コントロール：複数のコントロールでポリシー例外を作成するオプション。 異なるコントロール目標から複数のコントロールを関連付けるには、[コントロール] を選択します。このオプションは、複数のコントロールに適用される複数のポリシー例外を作成するのではなく、ポリシー例外の複数のコントロール目標をサポートします。 ○ 問題：このポリシー例外に関連する問題。
コントロール目標	このポリシー例外に関連付けられたコントロール目標。
問題	このポリシー例外に関連する問題。
ターゲットレコード	ポリシー例外が適用されるターゲットレコードテーブル。このテーブルは、[ポリシー例外統合レジストリ] フォームの [ポリシー例外ターゲットテーブル] フィールドでも参照されます。
リスクアセスメント	
リスク評価	ポリシー例外で実行されるリスクアセスメントで定義されるリスク評価を選択します。
リスク詳細	リスクアセスメント中にリスクマネージャーによって実行されたリスクの説明。
リスクと影響度の分析	このリスクが発生する可能性と、このリスクがポリシーの例外に及ぼす残存影響度の詳細。
リスク軽減計画	このポリシー例外のリスク軽減計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スケジュール	
有効期限開始	ポリシー例外が開始される日。
有効期限	ポリシー例外が終了する日。 [有効期限] の日付は [有効期限開始] よりも後である必要があり、過去の日付にすることはできません。
期間	[有効期限開始] と [有効期限] の間の日数。
承認された延長	これまでに要求され、承認された延長の回数。
残りの延長	将来的に延長を要求できる回数。 残りの延長 = `Number of extensions allowed for a policy exception` プロパティの値 – 承認された延長の数。
作成済み	ポリシー例外が要求された日付。
承認日	要求が承認された日付。
延長日	要求された延長日。[有効期限] より後の日付です。
延長理由	延長の理由。
元の有効期限	ポリシー例外が最初に要求され、承認された日付。元の [有効期限] の日付は、延長が承認された場合にのみ入力されます。
コメント	
作業メモ	例外のレビュー担当者と承認者は、作業メモを使用して例外に関する情報を共有できます。
追加コメント	これらのコメントは、レビュー担当者が例外要求者に追加情報を伝えるために使用します。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

注:
バージョン 10.1 より前のバージョンでは、[リスクアセスメント] タブは [ビジネスインパクト分析] と呼ばれており、GRC: リスク管理 アプリケーションがアクティブ化されている必要がありました。バージョン 10.1 以降、リスク管理 への依存関係が削除され、関連するフィールド名が変更されました。

[承認済みの延長]、[残りの延長]、[承認日]、[延長日]、[延長の理由]、[元の有効期限] フィールドは、ポリシー例外の延長を要求し、承認者によって承認された場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ポリシー例外を保存します。
5. いずれかのタブをクリックして、ポリシー例外のさまざまなタイプの情報を表示します。
6. [更新] をクリックします。

延長を要求

作成したポリシー例外の延長を要求します。

始める前に

必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 自分のポリシー例外.
2. 延長を要求するポリシー例外を開きます。

   要求者は、承認済みステータスのポリシー例外の延長を複数回要求できます。ポリシーの延長を複数回要求するには、*Number of extensions allowed for a policy exception* プロパティを設定します。

   a. プロパティを設定するには、次の場所に移動します。 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ

   b. *Number of extensions allowed for a policy exception* プロパティに数値を入力します。
   20 を入力すると、ポリシー例外ごとに 20 の延長を要求できます。

   > **注:**
   > 延長要求が承認者によって却下された場合は、[有効期限] の日付に達するまで別の延長を要求できます。

3. [延長を要求] ボタンをクリックします。
4. ポップアップで、[延長日]、[延長理由]、および [正当性] フィールドに入力します。

   延長を要求フォーム

フィールド	説明
延長日	要求された延長日。[有効期限] より後です。
延長理由	延長の理由。
正当性	延長を要求の説明。理由は [コメント] タブの [追加コメント] フィールドにも表示されます。

5. [要求] をクリックします。
   要求者が延長を要求し、承認者によって延長が承認された後、ポリシー例外フォームの [スケジュール] タブでポリシー延長の詳細を確認できます。

ポリシー例外と延長要求を確認

ポリシー例外要求を確認した後、コンプライアンスマネージャーはその要求を承認または却下できます。ただし、コンプライアンスマネージャーが決定する十分な情報がない場合は、リスクマネージャーによるリスクアセスメントを要求できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：コンプライアンスマネージャー

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 自分のポリシー例外.
2. ポリシー例外を選択します。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

4. 次のいずれかのアクションを実行します。

5. [更新] をクリックします。

サービスポータル を介してポリシー例外を要求

会社内の従業員とビジネスユーザーは、ServiceNow® サービスポータル を介してポリシー例外を要求できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.user、sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

手順

1. 移動先 すべて > サービスポータル > サービスポータルホーム.
2. 画面ヘッダーで、次の場所に移動します。 **GRC** > 自分のポリシー例外 をクリックして、要求したすべてのポリシー例外を表示します。
3. [新規ポリシー例外] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。
   ポリシー例外フォームに入力します。ポリシー例外の対象を指定し、適切なポリシー、コントロール目標、または問題を選択します。この質問は、適切なソースタイプを特定するためのものです。

   コントロール目標を選択すると、[影響を受けるコントロール] タブが表示され、コントロール目標に関連付けられたコントロールを選択できます。エンティティを検索して選択することもできます。

   異なるコントロール目標から複数のコントロールを関連付けるには、[コントロール] を選択します。このオプションは、複数のコントロールに適用できる複数のポリシー例外を作成するのではなく、複数のコントロール目標のポリシー例外をサポートします。

   からポリシー例外を作成する場合 **GRC** > 自分のポリシーの確認応答の場合 例外は何ですか? フィールドにはポリシーとして値が自動的に入力されます。ポリシーの名前は [ポリシー] フィールドにも表示されます。

   [問題] フィールドでは、説明で検索し、適切な問題を選択できます。

5. [送信] をクリックします。

   Service Portal からポリシー例外を生成した場合や検証ルールが設定されていない場合は、ポリシー例外は [分析] ステータスに移行します。ただし、ポリシー例外に対して検証ルールが設定されている場合は、ポリシー例外が [新規] ステータスに移行し、検証承認プロセスがトリガーされます。検証ルールが設定されると、承認者はポリシー例外を検証して承認する必要があります。その後、ポリシー例外は [分析] ステータスに移行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サービスポータル を介してポリシーの延長を要求

ServiceNow® ポータルから、ポリシーの例外を要求した人は誰でもポリシーの期限前に延長を要求できます。

始める前に
必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

サービスポータル インデックスページに [自分のポリシーの例外] ウィジェットを追加します。このウィジェットは、リストに少なくとも 1 つのポリシー例外がある場合にのみ表示されます。

手順

1. Service Portal で [自分のポリシーの例外] をクリックします。
2. 延長を要求するポリシー例外を開きます。
   要求できる残りの延長数が表示されます。
3. [延長を要求] セクションで、延長したい期間の終了日を入力します。
   メモに要求できる残りの延長数が表示されます。
4. [要求] をクリックします。

タスクの結果
延長要求は、承認を得るために承認機関に送信されます。

脆弱性対応 とのポリシー例外統合

バージョン 10.1 以降、脆弱性対応 アプリケーションのバージョン 10.3 内から ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに固有の GRC ポリシー例外管理機能を使用してポリシー例外を要求できます。

ポリシー例外統合を使用するメリット

ポリシーとコンプライアンス管理 とのポリシー例外統合を使用して例外を要求すると、次のようなメリットが得られます。

- アセスメントを実行して、要求に関する追加情報を収集する。
- 特定のポリシーまたはコントロール目標に基づいて例外を要求する。このアクションは、例外が承認されたときのコンプライアンスへの影響を示します。
- ポリシー例外に関連付けられたリスク評価、ポリシー、またはコントロール目標に基づいて自動的にトリガーされるように承認を構成する。

ポリシー例外統合の仕組み

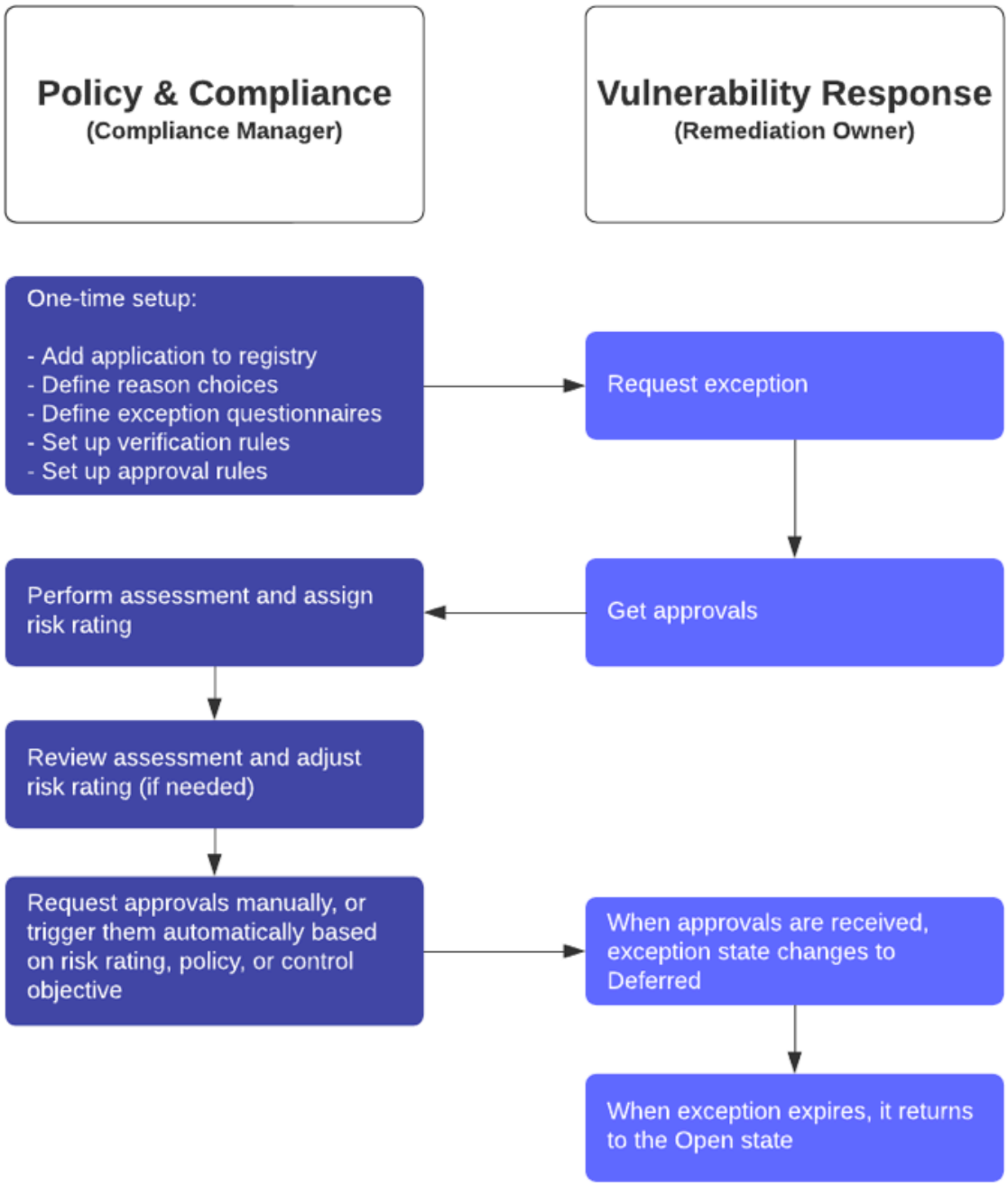
ここで説明するシナリオでは、システムで脆弱性が特定され、修正オーナーがソフトウェアパッチが必要であると判断したことを前提としています。パッチが完全にテストされておらず、オーナーがテストが完了するまでパッチの展開を遅らせるためポリシー例外を要求しています。

次の図は、各アプリケーションでコンプライアンスマネージャーと修正オーナーが実行する手順を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシー例外統合



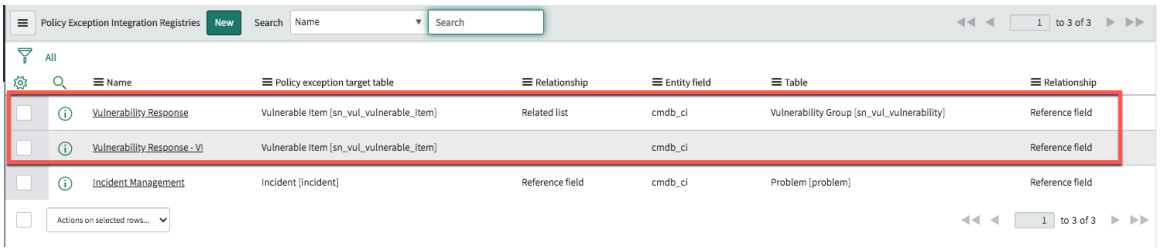
自動翻訳

注:
GRC ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) またはビジネスユーザー – Lite (sn_grc.business_user_lite) は、アップストリームアプリケーションからポリシー例外を生成するために最低限必要なロールです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 脆弱性対応 アプリケーションがインストールされると、脆弱性グループ用と脆弱性一致アイテム用の 2 つのポリシー例外統合レコードが自動的に作成され、統合レジストリに追加されます。

ポリシー例外統合レジストリ



脆弱性一致アイテムレコードを設定するために、コンプライアンスマネージャーは次の手順を実行します。

a. 2 つのアプリケーションを統合するために使用するテーブルのマッピングを指定します。

b. 例外を要求する理由を定義します。

c. (オプション) ポリシーをフィルタリングするためのポリシーカテゴリを定義します。

d. (オプション) ポリシー例外要求に関する追加情報を収集するために、要求者に送信する 1 つ以上のアンケートを作成します。

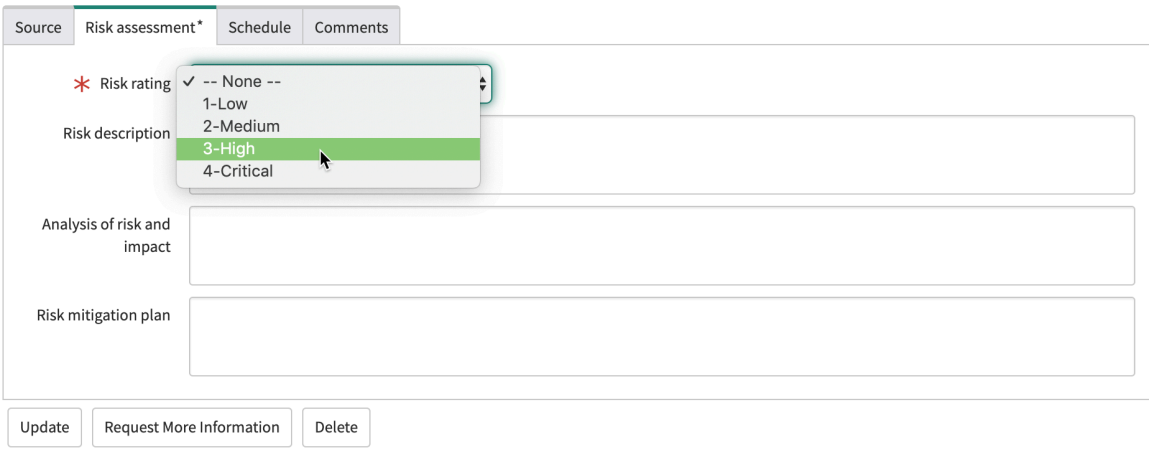
2. また、コンプライアンスマネージャーは、オプションの検証ルールと承認ルールを定義して、ポリシー例外の承認を取得するプロセスを自動化します。

3. で 脆弱性対応、修復オーナー を使用した例外の要求 GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 .

4. アプリケーションに対して検証ルールが定義されている場合、指定された承認者に承認が必要であることが通知されます。ポリシー例外要求のいずれかのフィールドが要求者によって入力されなかった場合 (ポリシーやコントロール目標など)、それらのフィールドは承認者にとって必須になります。承認者が要求をレビュー、完了、および承認すると、[分析] ステータスに移行し、さらに分析および承認するためにコンプライアンスマネージャーにアサインされます。

5. ポリシーとコンプライアンス管理 で、コンプライアンスマネージャーは承認された要求を受け取り、[リスクアセスメント] タブでリスク評価をポリシー例外要求に割り当てます。

[リスクアセスメント] タブでのポリシー例外要求



ポリシー例外レコードが保存されると、ソースアプリケーションとソースレコードを含む [ソース] タブの情報と、[脆弱性一致アイテム] 関連リストの情報が自動的に入力されます。これで、コンプライアンスマネージャーは、ポリシーの例外をレビューして承認するために必要なすべてのデータにアクセスできますできるようになりました。

6. ポリシーとコンプライアンス管理 では、アセスメントが設定されている場合、コンプライアンスマネージャーが例外アセスメントを実行します。　アセスメントが完了すると、コンプライアンス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マネージャーは [リスクアセスメント] タブに戻り、必要に応じてアセスメントの結果に基づいて [リスク評価] を更新します。また、コンプライアンスマネージャーは、アセスメント中に収集された情報を次のフィールドに入力します。

[リスクアセスメント] タブ

フィールド	説明
リスク詳細	このポリシー例外に関連付けられたリスクについての詳細を提供します。
リスクと影響度の分析	ポリシー例外に対するリスクと影響度の分析についての詳細を提供します。
リスク軽減計画	このポリシー例外に関連付けられた緩和計画についての詳細を提供します。

7. ポリシー例外に情報が欠落している場合、コンプライアンスマネージャーは [追加情報をリクエスト] をクリックし、必要なデータのタイプを特定するコメントを追加できます。要求者は通知を受け取り、要求された情報を提供します。
8. 必要に応じて、コンプライアンスマネージャーは、[レビューを要求] をクリックして、承認前に追加の社内レビューのためにポリシー例外を送信できます。

   注:
   レビューを要求する前に、[影響を受けるコントロール] 関連リストにポリシー例外の影響を受けるコントロールが含まれていることを確認してください。関連リストを開き、[追加] をクリックしてコントロールを選択します。

9. ポリシー例外のリスクが特に高く、コンプライアンスマネージャーが組織内の上位のユーザー (CIO など) からの承認が必要であると考える場合、コンプライアンスマネージャーは [承認を要求] をクリックできます。

   それ以外の場合は、次のシナリオで承認が実行されます。

承認ルールの定義	承認への影響
脆弱性対応 の承認ルールが定義されていない場合	[承認] ボタンをクリックすると、ポリシーの例外が承認されます。
承認ルールが定義されていても、[自動トリガー] チェックボックスが選択されていなかった場合	[承認を要求] をクリックすると、ルールで定義されているユーザーまたはグループにポリシーの例外を送信できます。たとえば、承認ルールは、ポリシー例外が特定のポリシーに基づいている場合、特定のユーザーまたはグループに対して、そのポリシー例外の承認を提供する必要があることを示すことができます。または、リスク評価が「重大」のポリシー例外が特定の承認者に送信されるように、承認ルールを定義することもできます。 ポリシーの例外を承認するために必要な承認者の数は、ルールの [承認が必要] フィールドの設定によって異なります。 [承認] をクリックして、自分でポリシーの例外を承認することもできます。
承認ルールが定義されていて、[自動トリ	[承認] ボタンをクリックすると、承認ルールが実行され、そのルールによって定義されたユーザーまたはグループにポリシー例外が自動的に送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認ルールの定義	承認への影響
ガー] チェックボックスが選択されていなかった場合	自動トリガーにより、このステップが必須になります。承認を受け取ると、ポリシー例外が有効になります。

10. 脆弱性対応 では、承認が受領された後、ポリシー例外がアクティブになり、脆弱性一致アイテムのパッチ適用アクティビティはポリシー例外が期限切れになるまで保留されます。[有効期限] の日付に達すると、ポリシーの例外が期限切れになり、脆弱性一致アイテムのステータスが [保留] から [オープン] に変わります。

ポリシーとコンプライアンス管理 で問題を管理

会社のリスク管理プログラムの有効性は、コンプライアンスの問題をどれほど迅速に識別し完全に反応するかにより測定できます。

すべての GRC アプリケーションで問題がどのように機能するかについては、「GRC の問題」を参照してください。

GRC の問題を手動で作成する

GRC ユーザーは、手動で問題を作成して、ポリシー、リスク、または監査観察事項を文書化するか、GRC の問題を受け入れることができます。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に

必要なロール：(製品ごと)

- In ポリシーとコンプライアンス管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- In リスク管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- : Audit Managementsn_grc.business_user sn_grc.business_user_lite

> **注:**
> 上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

問題に対するアクセス制御の制限の詳細については、「GRC business user role to control access and track usage of compliance tables (コンプライアンステーブルのアクセスを制御し、使用状況を追跡するための GRC ビジネスユーザーロール)」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.

   > **注:**
   > 上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

問題フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
アサイン先グループ	この問題がアサインされているグループ。この問題でアクティビティが発生すると、各メンバーは通知を受信します。
アサイン先	問題を解決するためにアサインされたグループのメンバー。 バージョン 12.0.1 以降、ユーザーには少なくとも sn_grc.business_user ロールが必要です。 **注:** 問題のアサイン先にする必要があるユーザーについての提案を得るには、電球アイコンを使用します。電球アイコンは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションが有効になっており、フォームが保存され、[アサイン先] フィールドが非アクティブになっており、GRC プロパティが類似性分析として選択されている場合にのみ表示されます。詳細については、「GRC のプロパティ」を参照してください。 問題レコードにアクセスするユーザーの階層を構成できます。詳細については、「User hierarchy access control for issue and remediation task records (問題および修正タスクレコードのユーザー階層のアクセス制御)」を参照してください。 バージョン 12.0.1 以降では、問題マネージャーがより多くの情報を要求すると、アサイン先ユーザーにメール通知が送信されます。 バージョン 12.0.1 以降、問題が [対応] ステータスに移行する場合、[アサイン先] フィールドへの入力は必須です。
問題ソース	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 ○ インジケーター失敗：問題はインジケーターの失敗によって作成されます ○ リスクアセスメント：問題はリスクで作成されます ○ リスクイベント：問題はリスクイベントで作成されます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ コントロール証明書失敗：問題は非準拠コントロールが原因で作成されます ○ コントロールテスト失敗：問題は、コントロールが無効で、コントロールテストが完了してクローズとしてマークされたときに作成されます ○ アドホック：問題は手動で作成されます
問題タイプ	問題の種類。選択肢は次のとおりです。 ○ コントロール設計有効性の問題 ○ コントロール運用有効性の問題 ○ コントロールは要件を満たしていません ○ コントロールが存在しません ○ 規制への非準拠 ○ ポリシーへの非準拠 ○ 既存のポリシーに対する改善または提案 ○ 新しいポリシーの推奨事項 ○ プロセスの最適化または改善 ○ 観察事項 ○ データ漏洩 ○ 詐欺 ○ 虚偽 ○ トレーニング ○ ドキュメント ○ リスク問題 ○ その他
分類	問題タイプに基づく、リスク、コンプライアンス、または監査としての問題の分類。
問題マネージャーグループ	問題の管理とレビューを担当するグループ。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 ○ 問題マネージャーグループのメンバーは、次のいずれかのロールが必要です。 ▪ sn_audit.manager ▪ sn_audit.user ▪ sn_compliance.manager ▪ sn_compliance.user ▪ sn_grc.manager ▪ sn_grc.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	▪ sn_risk.manager ▪ sn_risk.user ○ 問題が [分析] ステータスに移行するときは、[問題マネージャーグループ] または [問題マネージャー] フィールドのいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題がグループにアサインされると、メンバーはメール通知を受信します。さらに、問題が [レビュー] ステータスに移行すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。
問題マネージャー	問題の管理とレビューを担当するユーザー。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 ○ 問題マネージャーには、少なくとも sn_grc.user ロールが必要です。 ○ アサイン先ユーザーが要求された情報を提供すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。 ○ 問題が [分析] ステータスに移行する場合、このフィールドまたは [問題マネージャー] のいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
ステータス	○ 新規 ○ 分析 ○ 応答 ○ 評価 ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ
サブステート	サブステートとサブステートに適用される詳細。
優先度	問題を解決すべき順序 (影響度と緊急度に基づく) : ○ **1 -** 重大 ○ **2 -** 高 ○ **3 -** 中 ○ **4 -** 低 ○ **5 -** 計画中
問題評価	バージョン 12.0.1 以降、問題マネージャーは問題に問題評価をアサインすることができま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。問題評価に基づいて、[日付] タブの下にある [期日] が次のように計算されて表示されます。 ○ 非常に高い (2 日) ○ 高 (4 日) ○ 中 (8 日) ○ 低 (10 日) ○ 非常に低い (15 日) [期日] は手動で上書きできます。 **注:** sn_grc.manager および sn_grc_advanced.issue_triage_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > 管理 > 問題評価 追加の問題評価を定義します。 問題が [対応] ステータスに移行すると、[問題評価] フィールドは読み取り専用になります。
問題グループルール	この問題にアサインされたグループルール。問題グループルールは、ルールで定義された条件に基づいて類似した問題を親問題にまとめてグループ化するために使用されます。このルールにより、同様の問題を同時に処理し、すべての問題が解決された後に親問題をクローズすることができます。それにより、すべての子問題がクローズされます。
親問題	この問題が属する親問題。
構成アイテム	この問題に関連付けられているアイテム。すべての子問題に同じ構成アイテムがある場合、親問題にコピーされます
場所	問題が発生した場所。
簡単な説明 バージョン 12.0.1 以降、このラベルは [名前] に変更されました。	問題の名前。
説明	問題のより包括的な説明。
詳細	
コントロール/リスク	この問題に関連付けられたコントロールまたはリスク。 コントロールが関連付けられると、コントロールの対応するエンティティが [エンティティ] フィールドに追加され、コントロール目標が [コントロール目標/リスクステートメント]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フィールドに追加されます。これらのコントロール目標とエンティティは、このコントロールにリンクされているものです。 コントロールが問題フォームに関連付けられると、m2m レコードがソース [sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。レコードがソーステーブルに追加されるたびに、対応するレコード [問題からエンティティ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_to_entity] テーブルに追加され、コントロールの関連付けられたエンティティとコントロール目標の別のレコード [問題からコンテンツ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_content] テーブルに追加されます。
エンティティ	関連エンティティ。
ポリシー	問題に関連付けられたポリシー。
各種法令・基準等	問題に関連付けられた各種法令・基準等。
コントロール目標/リスクステートメント	この問題に関連するコントロール目標またはリスクステートメント。
推奨事項	リスク、コンプライアンス、または監査チームによって推奨される解決アクション。
アクションプラン	問題を修正するための計画。
日付	
開始予定日	問題の作業の開始予定日時。
終了予定日	問題の作業の終了予定日時。
計画された期間	問題に対する作業時間の見積もり。
確認日	(バージョン 12.0.1 以降) 問題が確認された日付。このフィールドは読み取り専用で、問題が [新規] から次のいずれかのステータスに移行すると、当日の日付が表示されます。 ○ 分析 ○ レビュー ○ 対応 **注:** トリアージ問題が実際の問題に変換された場合、このフィールドには変換された日付が表示されます。
期日	(バージョン 12.0.1 以降) この日付は、GRC プロパティに基づいて自動入力されます。移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ.[問題の評価に基づいて期日を自動入力] プロパティが [はい] に設定されている場合、問題のリスク評価に対して事前定義された修復

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	期間に基づいてこのフィールドが自動入力されます。それ以外の場合は、期日を手動で入力できます。 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
実開始日	この問題の作業が開始された時間。
実終了日	[実際の期間] 入力フィールドによって決定される読み取り専用の値。
実際の期間	作業時間。
作成日時	問題が作成された日時。
クローズ済み	問題がクローズされた日時。
エンゲージメント	
エンゲージメント	関連するエンゲージメント。
アクティビティ	
追加コメント (顧客に表示)	問題に関する公開情報。[投稿] をクリックして、問題にコメントを追加します。
作業メモ	[作業メモ] チェックボックスをクリックして、[作業メモ] フィールドを表示します。問題の解決方法に関する情報、または既に採った解決手順 (該当する場合)。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。[投稿] をクリックして、問題に作業メモを追加します。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
リスクイベント	
リスクイベント	関連リスクイベント。

3. 問題レコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

画面の下部にあるタブを使用すると、問題を修正するためのさまざまなタスクを実行できます。ポリシー例外を追加し、修正タスクを作成できます。さらに、他の問題、インジケーターの結果、および問題に関連するタスク SLA を表示できます。

注:
バージョン 12.0.1 以降、[タスク **SLA]** タブは [期日] に基づいて SLA を作成して表示します。問題の [期日] までの 50% に達したとき、次に 75% に達したとき、その後、期日に達したときに、問題オーナーと問題マネージャーに通知が送信されます。[アサイン先] および [期日] フィールドが空でなく、問題が [新規] ステータスでない場合、その問題に対して SLA が作成されます。

SLA の期日が変更されると、新しい SLA が作成されます。問題が [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に移行すると、SLA は完了です。また、[期日] または [アサイン先] フィールドが空であるか、ステータスが [新規] の場合、SLA はキャンセルされます。

さらに、バージョン 12.0.1 以降では、アサイン先ユーザーおよび問題マネージャーのユーザーロール、および GRC ビジネスユーザーロールを持つユーザーを使用して修正タスクを作成できます。

類似の問題を新しい親問題でグループ化

問題を作成するときは、問題を他の同様の問題とグループ化することができます。

始める前に
必要なロール：(製品ごと)

- ポリシーとコンプライアンス管理 の場合：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user
- リスク管理 の場合：risk_admin、risk_manager、または sn_risk.user
- Audit Management の場合：audit_admin、audit_manager、audit_admin、または sn_audit.user

このタスクについて
問題を親の下にグループ化することで、貴重な時間を節約できます。たとえば、Windows サーバーのパッチ適用に関連する問題があるとします。各サーバーは個別のエンティティであるため、「毎週火曜日にパッチを適用する必要がある Windows サーバー」に関連付けられているすべてのコントロールに同じ問題が発生します。したがって、関連するパッチを 1 回適用することで、すべての Windows サーバーに対して 1 回で問題を解決できます。したがって、この機能を使用すると、類似の問題をグループ化し、それらをすべて親レベルで解決できます。

手順

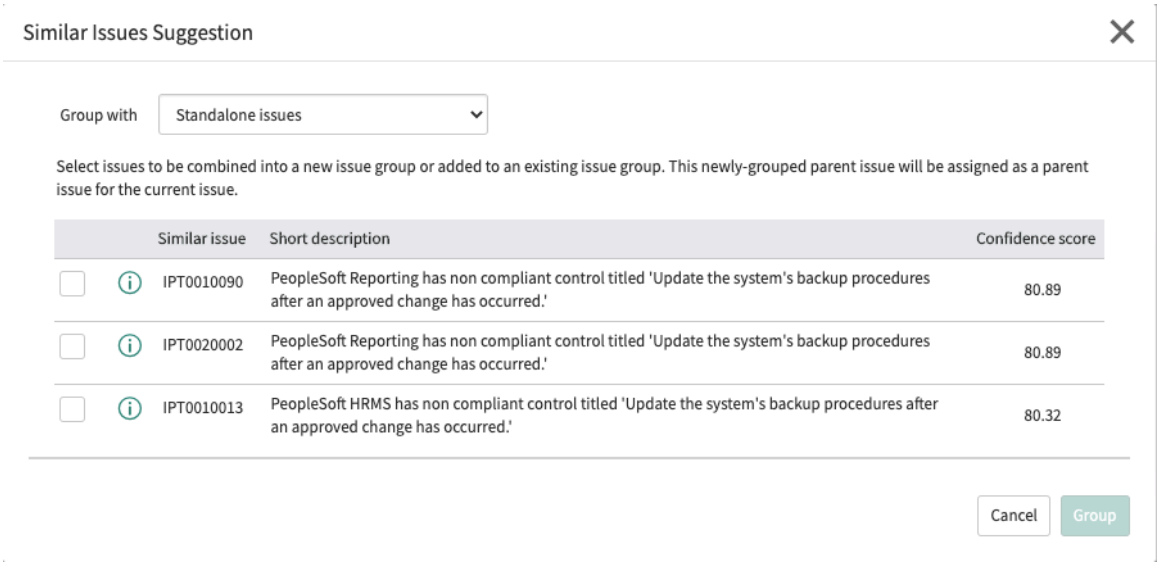
1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.
2. フォームで、[ペアレントレコード] フィールドを見つけます。



3. 電球アイコン ( ) をクリックすると、この親問題にアサインできる類似の問題が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

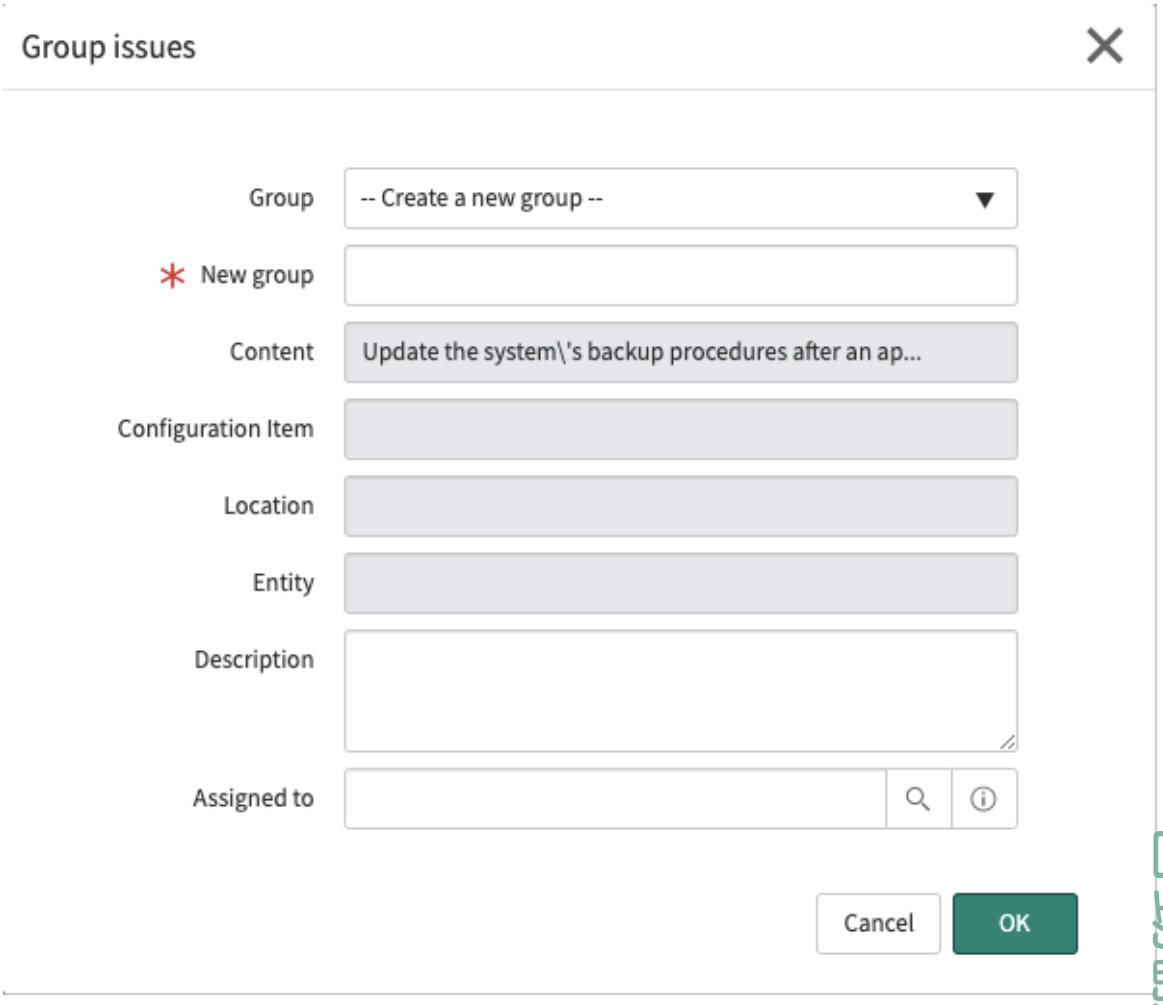


注:
スタンドアロンの問題は、現在の問題に似ていますが、親の問題グループにアサインされていません。信頼スコアは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションベースシステムに含まれる類似性定義を使用して計算されます。

4. 情報アイコンをクリックすると、類似の問題の詳細が表示され、現在の問題とグループ化する必要があるかどうかを判断できます。
5. 現在の問題とグループ化する類似の問題を選択し、[グループ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. フォームのフィールドに入力します。

問題フォーム

フィールド	説明
グループ	選択した問題をグループ化して新しいグループにアサインするには、[新しいグループを作成] を選択します。 選択した問題を既存のグループに追加するには、グループを選択します。
新規グループ	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。新しいグループの名前を入力します。
説明	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。グループの説明を入力します。
アサイン先	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。グループがアサインされているユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [**OK**] をクリックします。
   選択した問題が新規または既存のグループに追加されます。
8. [問題] タブをクリックすると、グループ内の問題を表示できます。

既存の親問題で類似の問題をグループ化

問題を作成するときは、問題を他の同様の問題と既存の親問題グループの一部としてグループ化することができます。

始める前に

必要なロール：(製品ごと)

- ポリシーとコンプライアンス管理 の場合：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user
- リスク管理 の場合：risk_admin、risk_manager、または sn_risk.user
- Audit Management の場合：audit_admin、audit_manager、audit_admin、または sn_audit.user

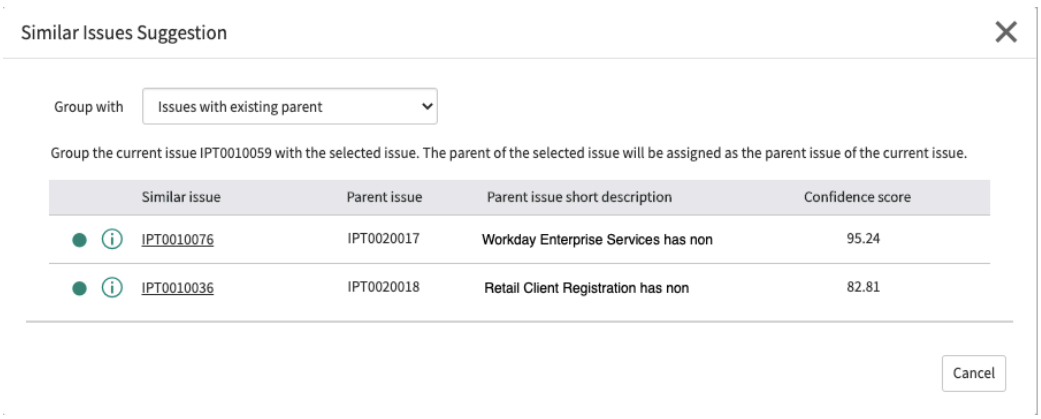
手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.
2. フォームで、[親] フィールドを見つけます。



3. 電球アイコン ( ) をクリックし、[グループ化] ドロップダウンリストから [既存の親の問題] を選択します。

   類似の問題のリストが表示されます。



4. 現在の問題でグループ化する [類似の問題] をクリックします。
   選択した問題の親問題が現在の問題の親問題になります。
5. [問題] タブをクリックすると、グループ内の問題を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題および修正タスクレコードのユーザー階層のアクセス制御

ユーザーが問題または修正タスクにアサインされている場合、そのユーザーのマネージャーと階層内の上位のマネージャーも問題または修正タスクレコードにアクセスできます。

[アサイン先] フィールド、[作成者] フィールド、または [オーナー] フィールドのユーザー参照は、ユーザー階層の設定 [sn_grc_user_hierarchy_configuration] テーブルで構成できます。したがって、テーブルのフィールドを設定し、ユーザー参照を (例：[アサイン先] または [問題マネージャー] を [ユーザー参照フィールド 1] または [ユーザー参照フィールド 2] として) 入力できます。ただし、テーブルに設定できるフィールドは 2 つだけです。

ユーザー参照フィールド内のユーザーのマネージャーと階層内の上位のマネージャーは、それぞれ [ユーザー階層フィールド 1] および [ユーザー階層フィールド 2] として設定できます。いずれかのユーザーがユーザー参照フィールドでユーザーのマネージャーでなくなった場合、階層内のそのユーザーはレコードにアクセスできなくなります。ユーザー階層 [sn_grc_user_hierarchy] テーブルでユーザーの階層を表示できます。

ユーザー階層のアクセス制御を有効にするための前提条件は次のとおりです。

- 階層内のユーザーには、少なくとも GRC ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) ロールが必要です。
- *sn_grc.enable_user_hierarchy_access_control* システムプロパティは **[true]** に設定されている必要があります。

ユーザー階層の概念は、階層内のユーザーの可視性が向上するため、チーム内のユーザーにアサインされたときにその完了を追跡するのに役立ちます。ユーザー階層フィールドは [問題] または [修正タスク] フォームには表示されませんが、この機能を使用すると、レコードにアクセスできる階層内のユーザーに基づいてレコードへのアクセスを制限できます。

Service Portal を介して自己識別した問題を報告

従業員および社内のビジネスユーザーは問題を自己識別して、ServiceNow® サービスポータル 経由で送信できます。送信に続いて、トリアージ問題が自動的に作成されます。

始める前に

ポリシーとコンプライアンス管理 内で問題トリアージ機能を使用するには、GRC: Advanced Core アプリケーションをダウンロードする必要があります。詳細については、「初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする」を参照してください。

必要なロール：sn_compliance.user、sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

Service Portal を使用して問題を報告する方法は複数あります。たとえば、Service Portal のホームページで [要求] ボタンをクリックし、[ガバナンス、リスク、およびコンプライアンス] カテゴリを選択して、[問題を報告] をクリックします。ここでは、代替の、おそらくより簡単な方法について説明します。

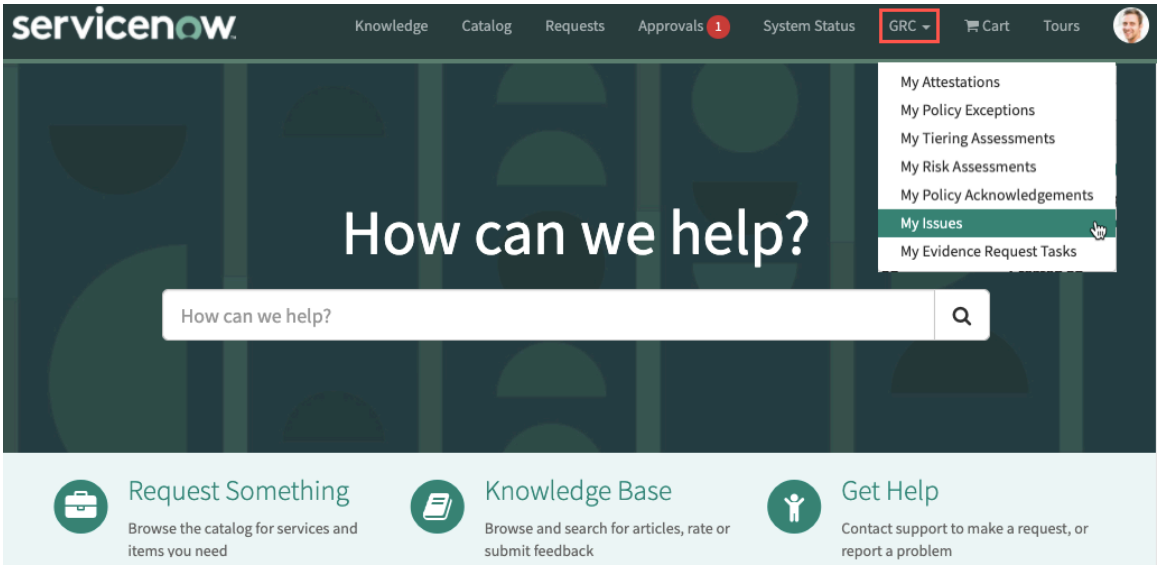
手順

1. Service Portal を開きます。
   a. インスタンス URL で、インスタンス名の後に *sp* と入力します。
   b. Return キーを押します。

自動翻訳

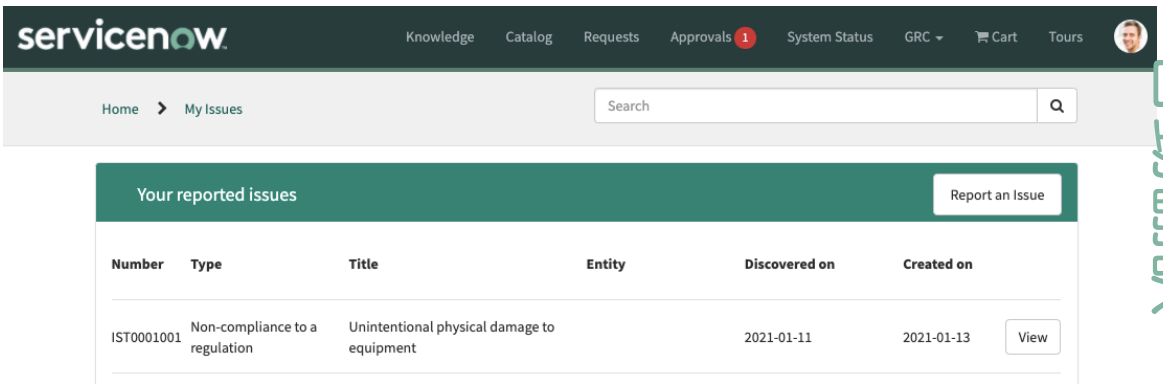
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Service Portal ホームページ



2. 画面ヘッダーで、次の場所に移動します。 **GRC** > 自分の問題 、既に自分にアサインされている問題を表示します。

自分の問題

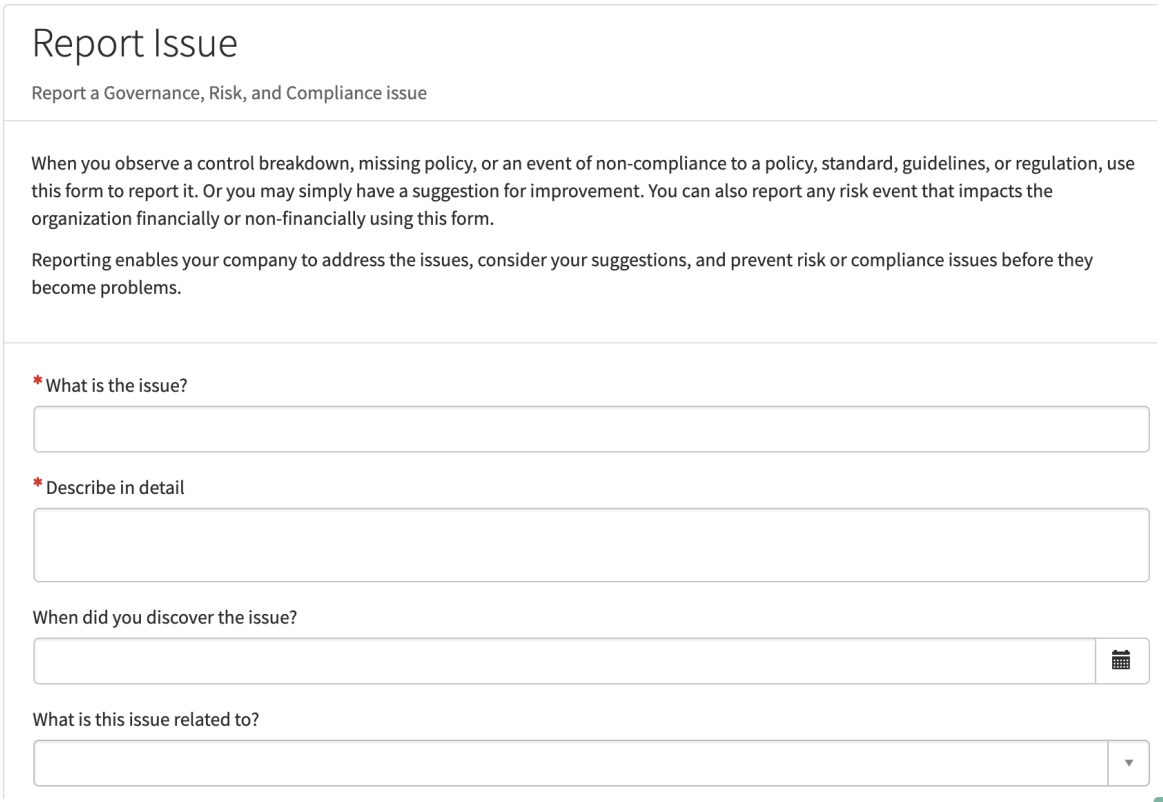


3. [問題の報告] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の報告



4. 提示された質問に回答します。

   Example
   入力した回答に応じて、追加の質問が表示される場合があります。たとえば、 [これはどのタイプの問題ですか？] フィールドが [インシデントまたは損失イベント] の場合、インシデントまたは損失イベントに関連する追加の質問が表示されます。または、そのフィールドで [ポリシーへの非準拠] を選択すると、影響を受けるポリシーと、問題の根本原因と思われるものを尋ねられます。

5. すべての質問を完了したら、[送信] をクリックします。

   要求が送信され、問題トリアージレコードが作成されます。これにより、問題のトリアージプロセスが開始されます。

   注:
   Service Portal の **GRC** オプションメニューに表示されるオプションを制御するには、インスタンスに戻って次の場所に移動します。 **Policy and Compliance** > 問題のトリアージ > 管理 > プロパティを行い、**sn_grc_advanced.enable_my_issues_hide_my_reported_issues** プロパティを設定します。

   [はい] に設定されている場合、 **GRC** > 自分の問題 メニューオプションが利用可能になり、[報告された自分の問題] オプションが非表示になります。[自分の問題] メニューオプションを使用して、実際の問題としてリリースされる前にトリアージする必要があるリスクまたはコンプライアンスの問題を作成できます。

   プロパティが [いいえ] に設定されている場合、 **GRC** > 報告された自分の問題 メニューオプションが利用可能で、[自分の問題] オプションは非表示になっています。[報告された自分の問題] メニューオプションを使用して、実際のリスクまたはコンプライアンスの問題を Service Portal から直接作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自己識別された問題のトリアージ

問題が特定され、サービスポータル を介して従業員またはビジネスユーザーによって送信されると、問題のトリアージプロセスが開始されます。実際の問題が特定され、優先順位付けと解決のために適切なオーナーにアサインされます。

始める前に

必要なロール：

- sn_compliance.manager
- sn_compliance.user
- sn_grc_advanced.issue_triage_manager
- sn_grc_advanced.issue_triage_user

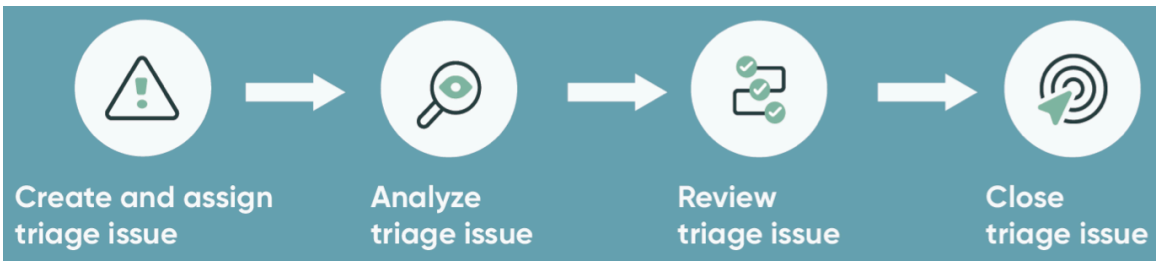
このタスクについて

アサインされたトリアージチームは、自己識別された問題が実際に報告された問題、リスクイベント、または追跡対象の観測事象であるかどうかを識別します。

注:
初期リリースでは、自己識別された問題のみがトリアージプロセスによって処理されます。以降のリリースでは、インジケーターや証明書の失敗などによって生成された問題もトリアージされます。

ここでは、問題のトリアージライフサイクルのエンドツーエンドフローを図で説明します。

問題のトリアージライフサイクル



ステージ	説明
トリアージ問題を作成してアサイン	従業員は、エンティティ、コントロール、ポリシー、各種法令・基準等、プロセス、またはリスクに関連する問題を特定し、ServiceNow サービスポータルでトリアージ要求を送信します。 送信された問題のタイプと問題アサインルールに基づいて、問題はトリアージチームとトリアージオーナーにアサインされます。
トリアージ問題を分析	トリアージチームは、問題を実際の問題またはリスクイベントとして分析するか、ポリシーまたはプロセスの最適化のために追跡するかを決定します。 分析中、トリアージチームは、問題作成者から詳細情報を要求できます。チームは、必要に応じて、コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージの結果がある

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステージ	説明
	トリアージマネージャーに問題を送信することもできます。 考えられる結果は次のとおりです。 • 新しい問題として確認済み • 既存の問題として確認済み • リスクイベントとして確認済み • 推奨事項として追跡 • 問題以外としてクローズ/アクションは不要
トリアージ問題を確認	レビューステータスはオプションです。チームは、オプションとして、コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージの結果があるトリアージマネージャーに問題を送信することもできます。トリアージオーナー詳細情報を要求することもできます。 コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージマネージャーは、問題を問題またはリスクイベントとして確認するか、推奨事項として追跡するか、問題ではないとしてクローズするかを決定します。
トリアージ問題をクローズ	問題が実際の問題またはリスクイベントであると判断された場合は、それらのレコードが作成されるか、既存の問題にトリアージが追加されます。 トリアージプロセスが完了すると、トリアージの問題は自動的にクローズされます。問題は、マネージャーとトリアージチームが手動でクローズすることもできます。

問題のトリアージプロセスには、次のユーザーロールが含まれます。

問題のトリアージペルソナ

ペルソナ/ロール	説明
ビジネスユーザー/従業員	問題を報告する機能。
• コンプライアンスユーザー/マネージャー • リスクユーザー/マネージャー • トリアージユーザー/マネージャー	問題をトリアージおよびレビューする機能
問題マネージャー	レポート可能な問題を管理およびレビューする機能
問題オーナー	担当者に割り当てられたレポート可能な問題を解決する機能

自動翻訳

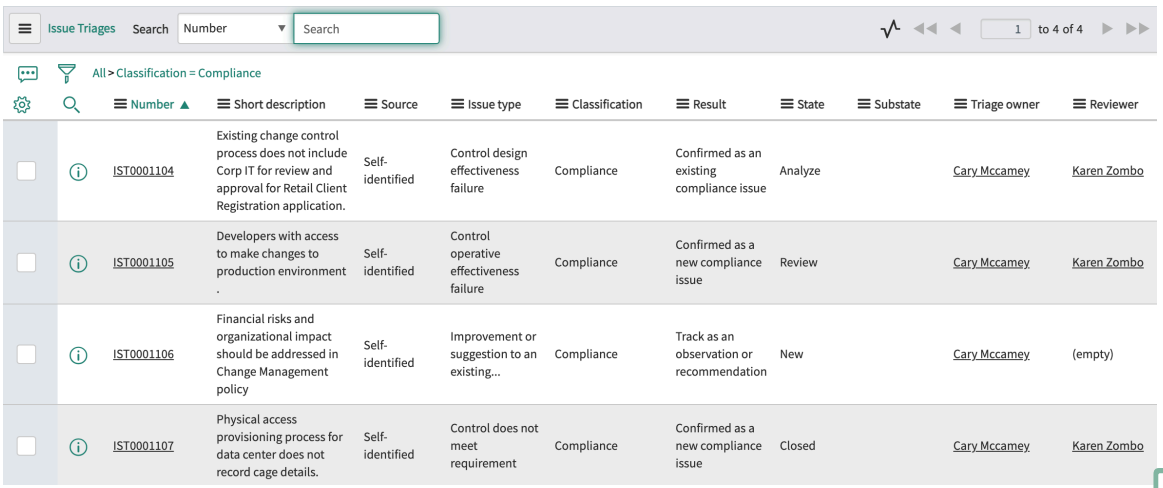
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
トリアージユーザー/マネージャーおよび問題マネージャーのロールは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 バージョン 11.1.0 で導入されました。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 問題のトリアージ > 自分のトリアージ問題 または リスク > 問題のトリアージ > 自分のトリアージ問題.
   リストには、以前に作成されアサインされた問題のトリアージが表示されます。

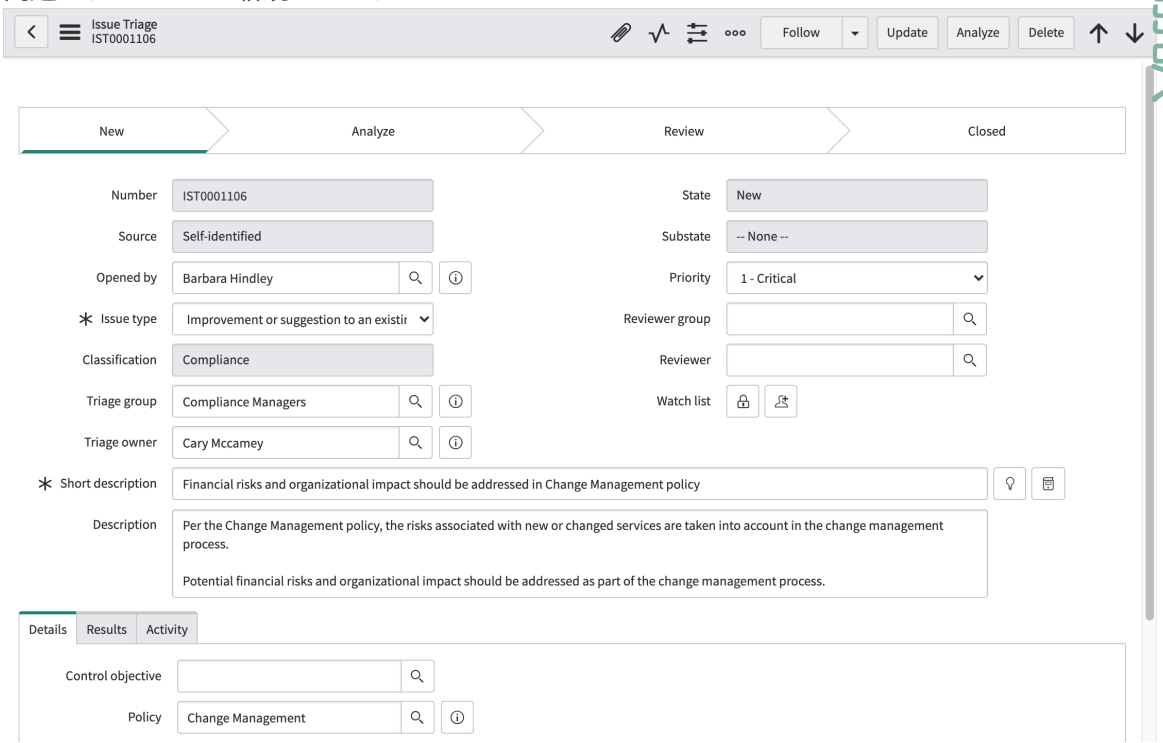
問題のトリアージ



Number	Short description	Source	Issue type	Classification	Result	State	Substate	Triage owner	Reviewer
IST0001104	Existing change control process does not include Corp IT for review and approval for Retail Client Registration application.	Self-identified	Control design effectiveness failure	Compliance	Confirmed as an existing compliance issue	Analyze		Cary Mccamey	Karen Zombo
IST0001105	Developers with access to make changes to production environment .	Self-identified	Control operative effectiveness failure	Compliance	Confirmed as a new compliance issue	Review		Cary Mccamey	Karen Zombo
IST0001106	Financial risks and organizational impact should be addressed in Change Management policy	Self-identified	Improvement or suggestion to an existing...	Compliance	Track as an observation or recommendation	New		Cary Mccamey	(empty)
IST0001107	Physical access provisioning process for data center does not record cage details.	Self-identified	Control does not meet requirement	Compliance	Confirmed as a new compliance issue	Closed		Cary Mccamey	Karen Zombo

2. トリアージする問題の番号をクリックします。

問題のトリアージ - 新規レコード



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

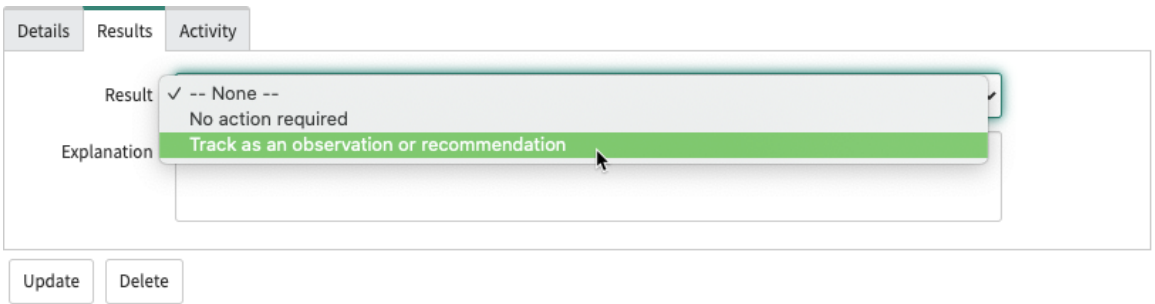
注:
[分類] フィールドは、選択した [問題タイプ] に基づいて自動的に事前入力されます。同様に、sn_grc_advanced_issue_triage と呼ばれるアサインルールが実行され、[トリアージグループ] に事前入力されます。このルールは、[ソース] と [分類] を使用して、トリアージが割り当てられるグループを決定します。アサインルールは、リスク管理の問題のトリアージ、および [分類] が [その他] に設定されている (つまり、分類が当初は不明である) トリアージも処理します。2 番目のユースケースでは、[トリアージグループ] を [リスク] または [コンプライアンス] に手動で設定する必要があります。

3. この問題のトリアージを開始する準備ができたら、[トリアージオーナー] を選択し、[分析] をクリックします。
これでアサインされたトリアージオーナーは、問題をオープンして分析を開始できます。
4. 分析中、トリアージオーナーはいくつかのタスクを実行できます。

Example
オーナーは、たとえば、問題が誤って分類されていると判断し、[問題タイプ] を変更できます。このアクションにより、トリアージグループとトリアージオーナーが変更される可能性があります。この例では、アサインルールがバックグラウンドで実行され、現在のオーナーのキューから問題が削除されます。

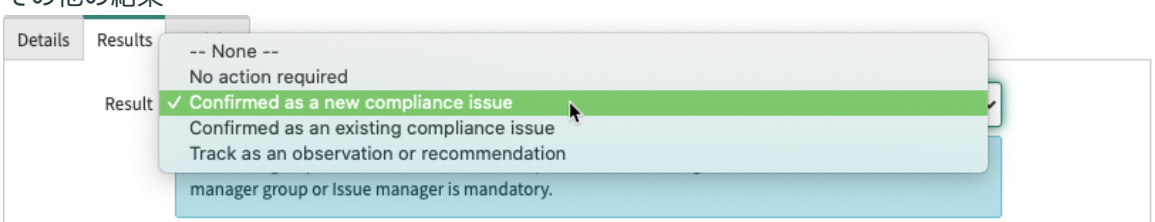
5. トリアージオーナーは、次のアクションも実行できます。
   - [情報を要求] をクリックして、問題の送信者に追加情報を要求します。
   - [レビューを要求] をクリックして、[レビュー担当者] フィールドで指定されたユーザーからのレビューを要求します。そのユーザーは、次に移動して問題を開いてレビューできます。 **Policy and Compliance** > 問題のトリアージ > 自分の処理待ちのレビュー.
   - [詳細] 関連リストを選択して、問題をさらに拡張します。
6. 問題に対して実行するアクション (該当する場合) が決定された後、トリアージオーナーは [結果] 関連リストから分析の結果を選択できます。

結果



注:
[結果] フィールドで使用可能なオプションは、この問題に対して識別された [問題タイプ] によって異なります。たとえば、[問題タイプ] として [コントロール設計有効性の問題] を選択した場合、次の結果が選択される可能性があります。

その他の結果

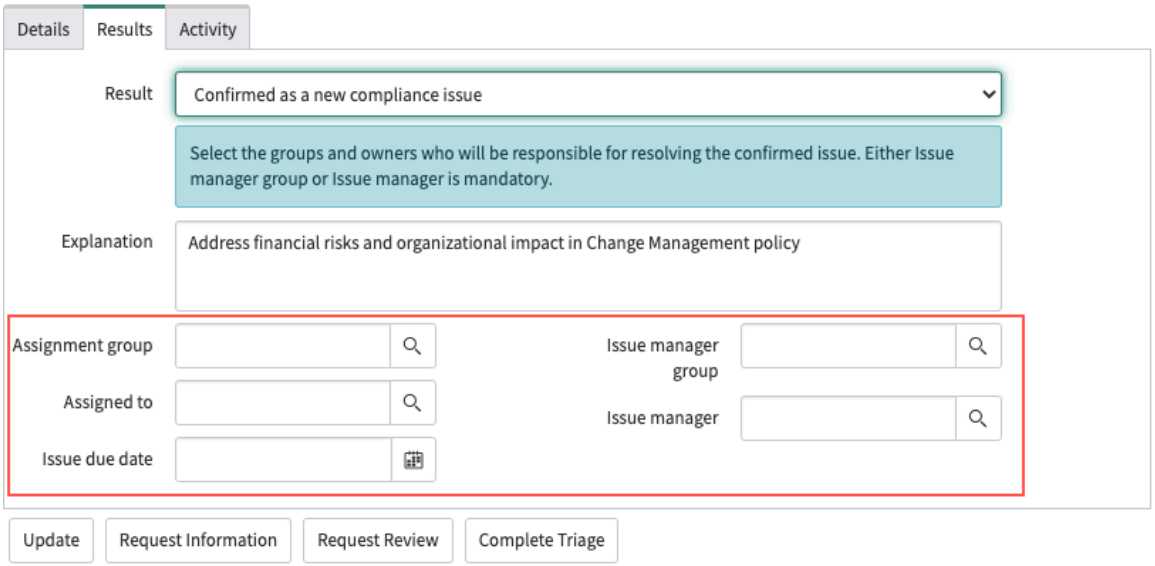


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [新しいコンプライアンスの問題として確認済み] など、単純な観察よりも多くのアクションが必要な結果を選択した場合は、次の画面に示すように、追加の分析フィールドが表示されます。

[結果] を選択した後に表示される追加フィールド



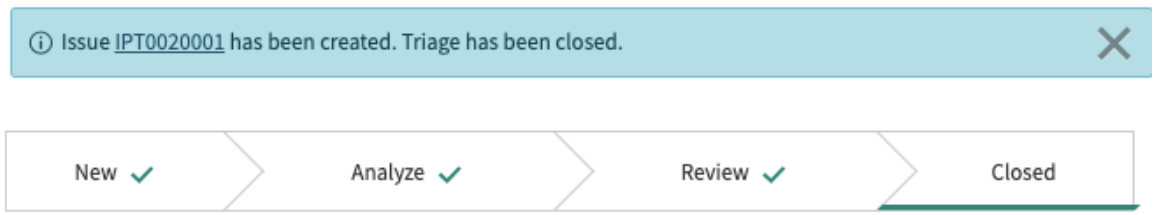
結果が [既存のコンプライアンスの問題として確認済み] の場合、参照している既存の問題を特定する必要がある [既存の問題] フィールドが表示されます。

8. 問題のトリアージが完了すると、トリアージオーナーは [トリアージを完了] をクリックできます。

> **注:**
> 問題がレビュー対象外の場合、レビュー担当者は [トリアージを完了] をクリックしてトリアージを完了し、実際の問題を作成することもできます。

問題のトリアージが [クローズ済み] ステータスに移行し、問題へのリンクが画面の上部に表示されます。

トリアージがクローズされ、新しい問題が作成される



9. 問題は、通常の問題管理手順を使用して分析できます。
[問題] フォームの重要な変更の 1 つは、[問題トリアージ] 関連リストの追加です。トリアージレコードを開くと、この問題の作成の原因となったトリアージの詳細がアナリストに提供されます。

ポリシーとコンプライアンス管理 での問題の修正

問題が特定され、トリアージされ、調査された後、修正できます。

始める前に

必要なロール：
compliance_admin、compliance_manager、sn_compliance.user、sn_grc.business_user、sn_grc.business_us

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 12.0.1 以降では、[修正タスク] フォームの [アサイン先] ユーザーの最小ロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。**[sn_compliance.user]** の最小ロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

修正タスクに対するアクセス制御の制限の詳細については、「GRC business user role to control access and track usage of compliance tables (コンプライアンステーブルのアクセスを制御し、使用状況を追跡するための GRC ビジネスユーザーロール)」を参照してください。

このタスクについて

問題を修正することで、コントロールエラーやリスクエクスポージャーを引き起こしている根本的な問題を修正する意図があることをマークします。問題を受け入れて、既知のコントロールエラーやリスクの例外を作成する意図があることをマークします。[受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

手順

1. 修正する問題を開きます。
2. [修正タスク] タブをクリックします。

注:
修正タスクを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。

- このタスクを作成するための基礎として既存のタスクを使用するには、[提案された修正タスク] をクリックし、[コピー] をクリックします。選択した修正タスクのコピーが作成され、そのタスクの特定の情報が新しいタスクにコピーされます。他のフィールドは手動で入力できます。
- [新規] をクリックして手動でタスクを作成します。

3. フォームのフィールドに入力します。

修正タスクフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
アサイン先	このタスクの作業を担当するユーザーを選択します。 修正タスクにアクセスするユーザーの階層を構成できます。詳細については、「User hierarchy access control for issue and remediation task records (問題および修正タスクレコードのユーザー階層のアクセス制御)」を参照してください。
問題	このタスクが作成された問題。
ステータス	タスクの現在のステータス。
優先度	影響度と緊急度に基づいて、このタスクを解決する必要がある優先度または順序を選択します。
ウォッチリスト	変更が発生したときに通知を受け取るユーザーを選択します。
作成/更新	タスクが作成および更新された日時を表示します。
名前	タスクの短い説明。これはタスクのリストに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	タスクの詳細な説明を入力します。
メモとコメント	
追加コメント	必要に応じて、このタスクに関連する顧客向けのコメントを入力します。
作業メモ	問題の修正に関連する、顧客向け以外のメモを入力します。
タスク スケジュール	
計画された期間	作業時間の見積もり。[開始予定日] と [終了予定日] を使用して計算されます。
開始予定日	タスクの作業の開始予定日時。
終了予定日	タスクの作業の終了予定日時。
実際の期間	実際の作業時間。[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
実開始日	このタスクの作業が開始された時間。
実終了日	このタスクの作業が完了した時間。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

UCF 統合を管理

Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) は、サブスクリプションを検証する認証プロセスを通じて ServiceNow インスタンスと統合します。[UCF 構成] フォームで、認証のタイプを選択し、UCF 提供の API キーまたは ServiceNow 提供の OAuth2 クライアントとシークレットを入力します。

重要:
Kingston で導入された、ServiceNow が提供する OAuth クライアントと UCF Common Controls Hub を使用した UCF 統合は引き続きサポートされていますが、これはインスタンスを UCF と統合する方法として推奨されなくなりました。推奨されるのは、UCF 提供の API キーを使用して UCF 統合を設定する方法です (以下のリンクを参照)。

コンプライアンス UCF をアクティブ化

GRC: Compliance UCF (com.sn_comp_ucf) プラグインは、個別のサブスクリプションとして使用できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このプラグインにはデモデータが含まれ、関連プラグインがまだ有効になっていない場合はアクティブ化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

次のタスク
UCF から提供された API キーを使用するか (推奨方法)、または ServiceNow Store からサブスクリプションとして購入できる UCF Common Controls Hub を使用して、コントロールライブラリのソースを設定します。詳細については、「Common Controls Hub」または「Unified Compliance Framework」を参照してください。

UCF が提供する API キーを使用して UCF 統合を構成

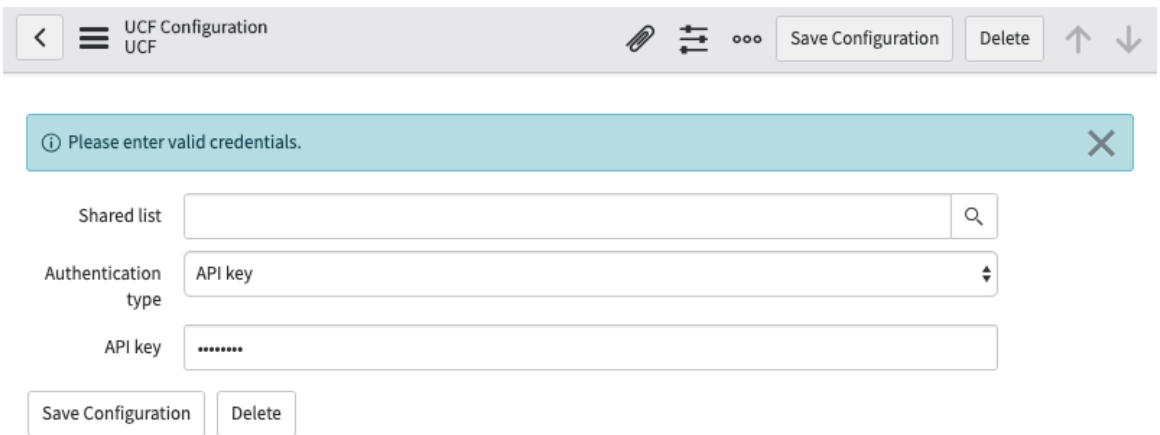
UCF は、サブスクリプションを検証する認証プロセスを通じて ServiceNow インスタンスと統合します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
UCF 統合を設定する前に、UCF 基本サブスクリプションが必要であり、アカウントで API キーマネージャーを使用して UCF から API キーを取得する必要があります。また、アカウントで UCF 各種法令・基準等の共有リストを定義する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **Unified Compliance Integration**.
2. UCF 構成をクリックします。



3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UCF 構成

フィールド	説明
共有リスト	UCF アカウントから共有リストを選択します。
認証タイプ	**[API** キー] を選択します。
API キー	UCF アカウントから取得した API キーを入力します。

4. [構成を保存] をクリックします。

UCF Common Controls Hub を使用して **UCF** 統合を構成する

コンプライアンス管理者は、Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) からコンテンツをダウンロードして、GRC 各種法令・基準等、引用、コントロール、およびコントロール目標として使用できます。

始める前に
必要なロール：sn_comp_ucf.admin および oauth_admin
ドキュメントは事前に定義された間隔で更新できます。共有リストを作成して ServiceNow® インスタンスにインポートするには、UCF Common Controls Hub アカウントが必要です。UCF-CCH から UCF コンテンツをダウンロードするには、API アクセスが必要です。

注:
UCF Common Controls Hub を使用して UCF 統合を構成する前に、次の指針に注意してください。

- UCF OAuth 管理者のみがシステム OAuth テーブルにアクセスできます。UCF 管理者は UCF 設定ページを設定できるように、GRC UCF 管理者に UCF OAuth 管理者ロールを付与する必要があります。
- UCF 統合では、GRC が設定されている必要があり、ユーザーは Common Controls Hub 管理者である必要があります。
- グローバルドメインの設定ページがデフォルトでロードされます。Domain Separation を使用している場合は、デフォルトの設定ページを削除して、ドメインに固有の設定ページを作成します。

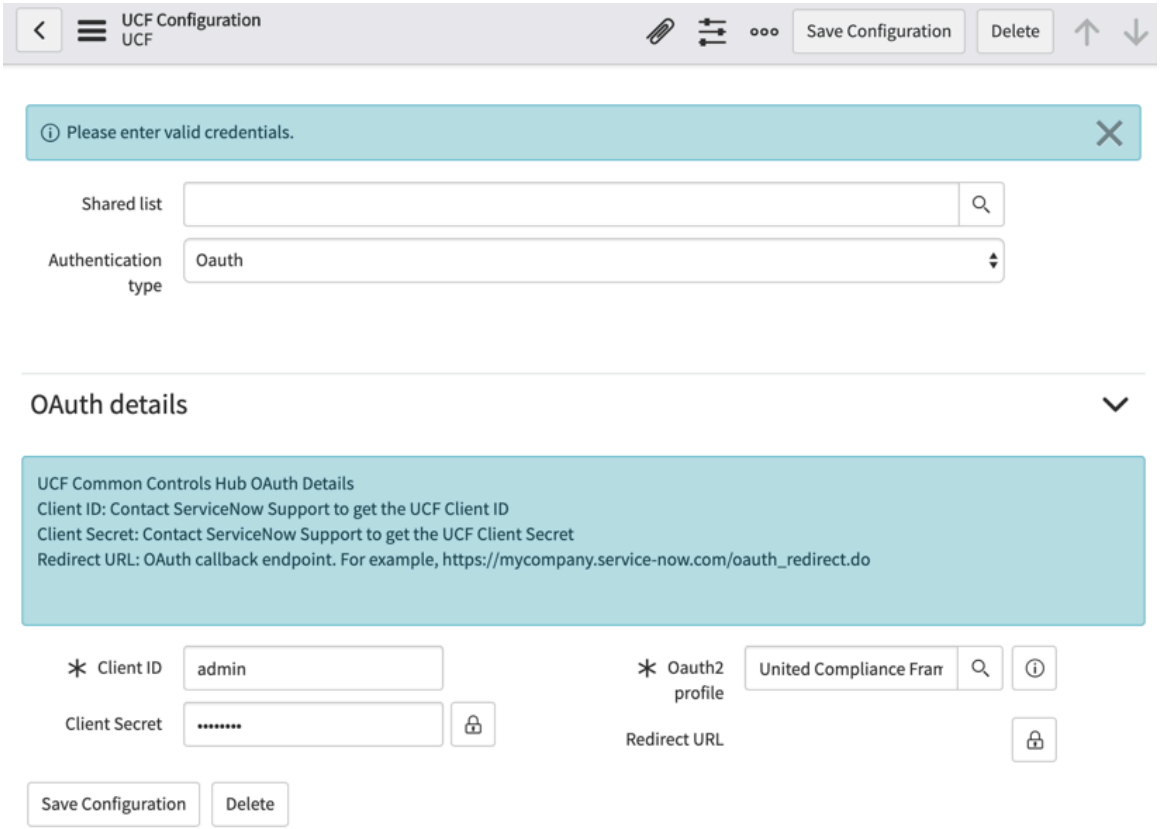
このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **Unified Compliance Integration**.
2. UCF 構成をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

UCF 構成

フィールド	説明
共有リスト	インポートする共有リスト。 **注:** サブスクリプション認証用の共有リストが表示されます。
認証タイプ	**[OAuth]** を選択します。
OAuth の詳細	
クライアント ID	カスタマーサービス & サポート から提供されたクライアント ID または UCF OAuth クライアント ID を入力します。詳細については、「UCF-CCH アカウント統合情報に Now Support ケースを作成」を参照してください。 **注:** 構成情報は ServiceNow® インスタンスに固有です。使用しているテスト、開発、または本番インスタンスについては、必ず、正確な情報を入力してください。入力にはスペースを含めないでください。
クライアント	OAuth クライアントが認証サーバーに対する認証に使用するクライアントシークレットを入力します。クライアントシークレットは、推測できないように十分にランダムである必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
シークレット	
OAuth2 プロファイル	ダウンロードに使用する OAuth2 プロファイルを入力します。デフォルトは、UCF プラグインとともにインストールされる United Compliance Framework のデフォルトプロファイルです。通常、このフィールドを変更する必要はありません。
リダイレクト URL	カスタマーサービス & サポート で指定されたリダイレクト URL を入力します。 例：https://mycompany.service-now.com/oauth_redirect.do

4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
5. 表示される [UCF 統合] ダイアログで、[新しいトークンを要求] をクリックします。

> **注:**
> 初期設定では、UCF 管理者アカウントを持つユーザーがこの設定と次の手順を実行します。

6. Common Controls Hub の資格情報を入力してログインします。
7. 表示されるアプリケーション認証メッセージで、[認可] をクリックします。
8. 共有リストを選択し、[構成を保存] をクリックします。

次のタスク

UCF に新しいフィールドとコンテンツが導入された場合、管理者はステージングテーブルと変換マップを使用して、UCF データ形式の変更に対応できます。これは詳細構成であり、必須ではありません。次のインポートセットとテーブルを構成して、UCF ダウンロードロジックをカスタマイズできます。

UCF 統合に使用されるステージングテーブル [インポートセット行テーブル: **import_set_row** から拡張]

ステージングテーブル	説明
UCF 各種法令・基準等 [sn_comp_ucf_authority_document]	UCF 各種法令・基準等ステージングテーブルは、UCF Common Controls Hub からダウンロードされる各種法令・基準等の保存に使用されます。
UCF 引用 [sn_comp_ucf_citation]	UCF 引用ステージングテーブルは、UCF Common Controls Hub からダウンロードされる引用の保存に使用されます。
UCF コントロール [sn_comp_ucf_control]	UCF コントロールステージングテーブルは、UCF Common Controls Hub からダウンロードされるコントロールの保存に使用されます。
UCF 引用からコントロール [sn_comp_ucf_m2m_control_citation]	UCF 引用からコントロールステージングテーブルは、UCF Common Controls Hub からダウンロードされる引用からコントロールの保存に使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UCF 統合に使用される変換マップ

変換マップ	説明
デフォルトの各種法令・基準等の変換	UCF 各種法令・基準等ステージングテーブルから各種法令・基準等テーブルにデータを変換します。
デフォルトの引用変換	UCF 引用ステージングテーブルから引用テーブルにデータを変換します。
デフォルトのコントロール変換	UCF コントロールステージングテーブルからコントロール目標テーブルにデータを変換します。
コントロールから引用変換マップ	UCF 引用からコントロールステージングテーブルから、コントロール目標から引用テーブルにデータを変換します。

UCF Common Controls Hub を使用してコンプライアンスフレームワークを管理する

コンプライアンス管理者は、Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) からコンテンツをダウンロードして、GRC 各種法令・基準等、引用、コントロール、およびコントロール目標として使用できます。ドキュメントは事前に定義された間隔で更新できます。共有リストを作成して ServiceNow インスタンスにインポートするには、UCF Common Controls Hub アカウントが必要です。

組織がコントロールライブラリのソースとして UCF Common Controls Hub を使用する場合は、ServiceNow Store からサブスクリプションを購入するか、Common Controls Hub を参照してください。詳細については、「Unified Compliance Framework」を参照してください。

注:
GRC ライセンスを含む UCF コンテンツへの無料アクセスに関する従来の取り決めは、2018年11月30日に終了しました。すべての顧客は、Unified Compliance から直接サブスクリプションを購入する必要があります。

警告:
UCF 各種法令・基準等からインポートされたすべてのデータは読み取り専用であり、保護する必要があります。GRC テーブルに変換された UCF フィールドで、各種法令・基準等、引用、コントロール目標をカスタマイズしないでください。

1. UCF CCH アカウントにサインアップし、基本サブスクリプションをカスタマイズして API アクセスを含めます。
2. コンプライアンス UCF をアクティブ化。
3. UCF-CCH アカウント統合情報に Now Support ケースを作成。
4. UCF Common Controls Hub を使用して UCF 統合を構成する。
5. UCF 共有リストをダウンロード。

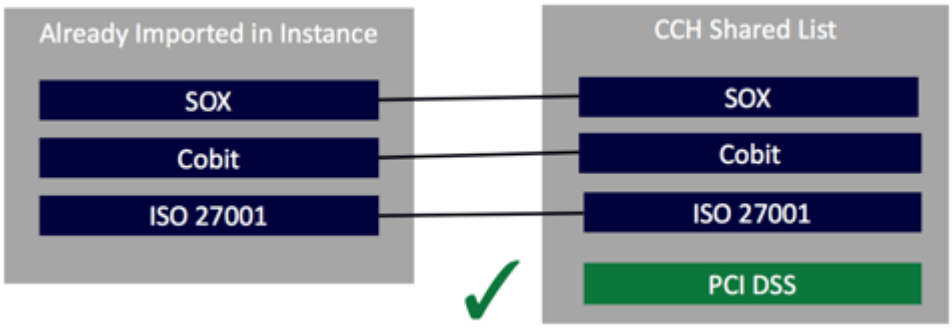
単一の共有リストを使用した各種法令・基準等のインポート

ServiceNow® インスタンスにインポート済みのすべての各種法令・基準等は、UCF CCH からインポートする共有リストに含まれている必要があります。これにより、UCF CCH の内容 (変更されている可能性がある) とインポート済みの内容との間の不整合を防止します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有リストのインポートに成功



共有リストのインポートに失敗



この共有リスト内で SOX が再インポートされていないため、エラーが表示されます。

複数の共有リストを使用した各種法令・基準等のインポート

100 を超える各種法令・基準等をインポートする必要がある場合は、複数の共有リストにインポートする必要があります。これは、共有リストに含めることができるのは 100 件の各種法令・基準等のみであるという制限があるためです。共有リスト (SL) は複数作成できます。たとえば、SL1 は 100 件の各種法令・基準等をインポートし、SL2 は残りをインポートします。各種法令・基準等を複数の共有リストにインポートする場合は、複数の共有リスト間でドキュメントの依存関係がないように、類似した各種法令・基準等をグループ化します。

複数の共有リストをサポートするには、デフォルトで **true** になっているシステムプロパティ *sn_comp_ucf.deactivate_deprecated_docs* を **false** に設定する必要があります。

- システムプロパティが true に設定されている場合は、インポートされた各種法令・基準等が既に ServiceNow インスタンスにインポートされているかどうかを確認するために、既存の検証が実行されます。
- システムプロパティが false に設定されている場合は、インポートされた各種法令・基準等は一切検証されません。

プロパティを false に設定し、複数の共有リストに UCF コンテンツをインポートします。共有リストにインポートされた各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標が廃止された場合、そういったドキュメントは ServiceNow インスタンスで無効化されません。代わりに、ユーザーはドキュメントおよび引用とコントロール目標の間のリンクを手動で検証する必要があります。引用とコントロール目標間のマッピングへのリンクを含むメールが送信されます。

UCF と GRC の用語の違い

UCF コンテンツ内の各種法令・基準等は整理されて適切な引用にマッピングされ、共通のコントロールセットにマッピングされます。UCF と GRC アプリケーションの用語は、次の表で説明されているようにわずかに異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

用語の違い

UCF	GRC アプリケーション
各種法令・基準等	各種法令・基準等
信頼できるソースコンテンツ	信頼できるソースコンテンツ
コントロール	コントロール目標

UCF-CCH アカウント統合情報に Now Support ケースを作成

UCF CCH アカウントを確立した後、Now Support Service Portal を使用してアカウント統合プロセスを開始します。

始める前に
UCF CCH アカウントにサインアップし、基本サブスクリプションをカスタマイズして API アクセスを含めます。UCF 管理者ロールを持つユーザーは、CCH アカウントにログインして API キーを生成する必要があります。

> **注:**
> GRC ライセンスを含む UCF コンテンツへの無料アクセスに関する従来の取り決めは、2018年11月30日に終了しました。すべての顧客は、Unified Compliance から直接サブスクリプションを購入する必要があります。

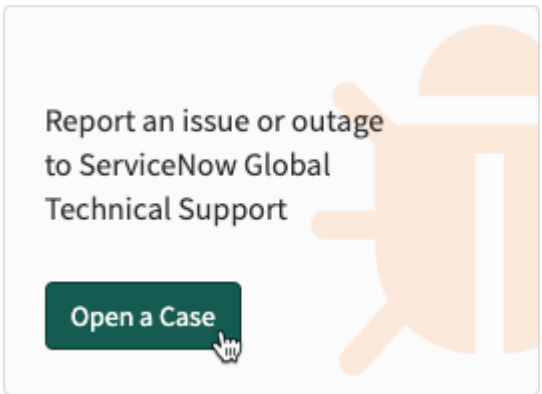
必要なロール：admin

手順

1. Compliance UCF プラグインをアクティブ化した後、[HI サービスポータル] にサインインします。
2. [ヘルプ] をクリックします。

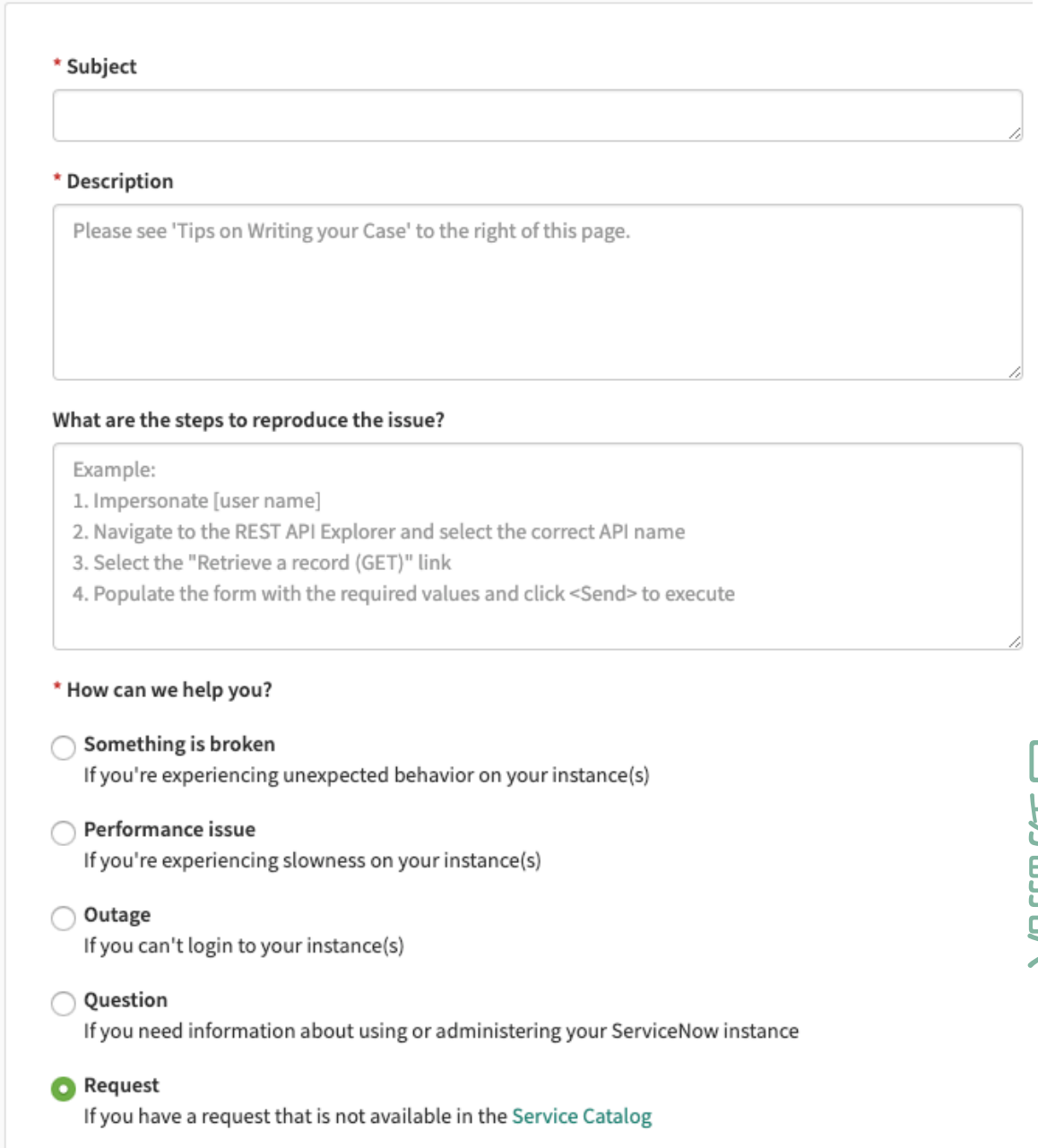


3. [ケースをオープン] をクリックします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

4. [ケースを作成] フォームに入力します。

フィールド	説明
件名	ケースの簡単な説明です。
説明	問題を説明し、次の情報を提供します。 ○ 次のように入力します。新しい GRC: Compliance UCF (com.sn_comp_ucf) プラグインをアクティブ化しました。UCF CCH には登録済みです。統合を完了するために必要な OAuth 情報を提供してください。 ○ 会社名と会社アカウント番号を含めます。 ○ 要求者の名前、勤務先メールアドレス、および電話番号を記載します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 会社と要求者の連絡先情報を提供することで、ServiceNow® カスタマーサービスが第三者である Network Frontiers に連絡してその情報を共有し、UCF CCH アカウントの登録を完了することを承認します。
何かお困りですか？	[要求] をクリックします。
添付ファイル (スクリーンショット、ログなど)	必要に応じてスクリーンショットを添付します。
どのインスタンスが影響を受けますか？(Which of your instances are affected?)	会社の GRC インスタンスを入力します。
どのような影響がありますか？	回答を選択します。

5. [送信] をクリックします。
   カスタマーサービス & サポート が OAuth 統合プロセスを開始し、統合情報を要求者に提供します。

UCF 共有リストをダウンロード

コンプライアンスマネージャーが UCF CCH から UCF 各種法令・基準等をダウンロードするには、リストを [共有] としてマークする必要があります。各種法令・基準等を更新する場合、または新しいドキュメントを追加する場合は、すべての各種法令・基準等を更新して、共通コントロールフレームワークが使用中の各種法令・基準等と同期していることを確認する必要があります。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

注:
UCF の現在の設計では、必須コントロールと暗黙コントロールのダウンロードがサポートされています。実装コントロールのダウンロードはサポートされていません。Unified Compliance ドキュメント「How do I distribute an authority document list to other accounts? (各種法令・基準等のリストを他のアカウントに配布する方法)」を参照してください。

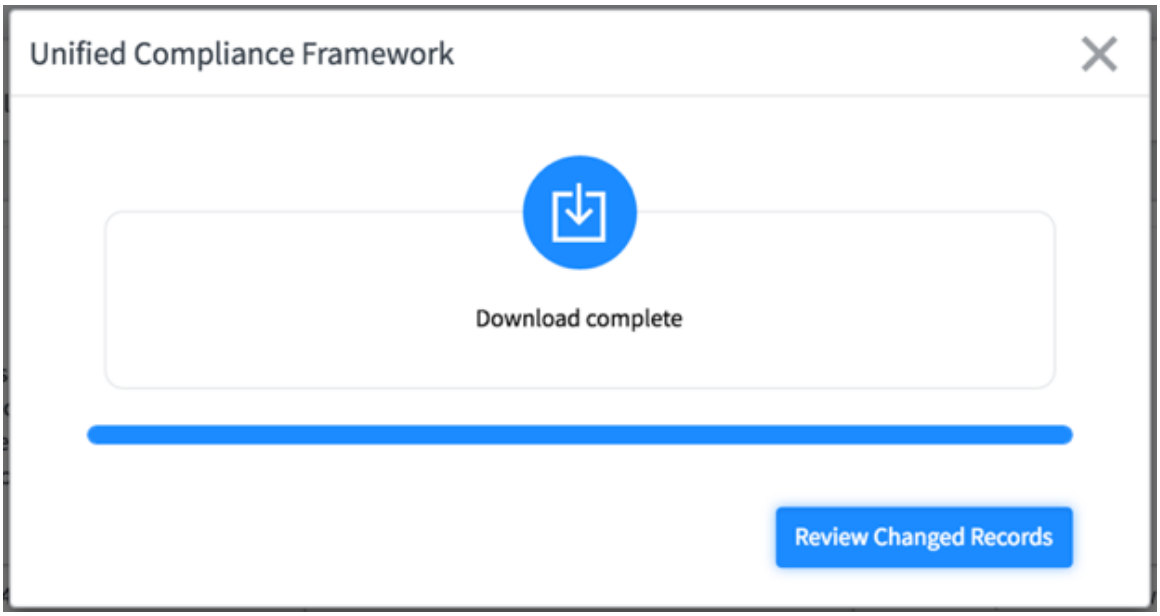
UCF 各種法令・基準等からインポートされたすべてのデータは読み取り専用であり、保護する必要があります。GRC テーブルの UCF フィールドで、各種法令・基準等、引用、コントロール目標をカスタマイズしないでください。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **Unified Compliance Integration**.
2. **UCF** 構成をクリックします。
3. 必要に応じて、UCF Common Controls Hub を使用して UCF 統合を構成する。
4. [共有リストをインポート] をクリックします。

   進捗状況バーに、ドキュメントのダウンロードとインポートの進捗状況が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のいずれかのエラーが発生する可能性があります。

UCF 共有リストエラー

エラー	説明	解決
UCF コンテンツのダウンロード中にエラーが発生しました。再試行するか、詳細についてシステム管理者にお問い合わせください。	何らかの理由でインターネット接続が失われた場合、このメッセージが表示されます。	[共有リストをインポート] をクリックして再度ダウンロードします。
UCF コンテンツのダウンロード中にエラーが発生しました。再試行するか、詳細についてシステム管理者にお問い合わせください。	このメッセージは、各種法令・基準等が既存の共有リストの一部であること、または UCF インポートエラーの可能性を示している場合もあります。各種法令・基準等、引用、コントロール目標、および引用とコントロール目標のマッピングへのリンクの有効性を	ポリシーとコンプライアンス管理 バージョン 12.0.4 以降、UCF 管理者は無効なレコードへのリンクを含むメールを受信します。 **a.** メール内のリンクをクリックし、リストされているレコードを修正します。 **b.** 他の無効なレコードがメールに表示されている場合は、この手順を繰り返します。 **c.** [共有リストをインポート] をクリックして再度ダウンロードします。

自動翻訳

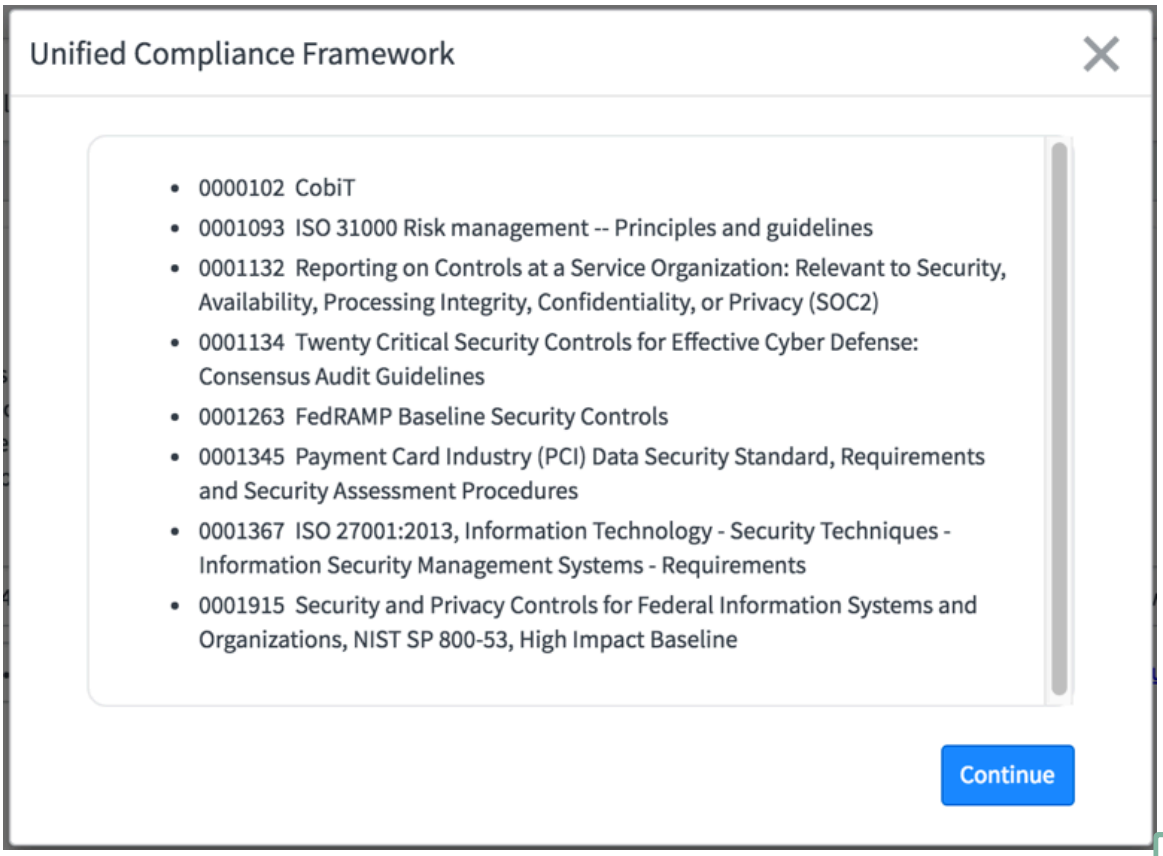
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラー	説明	解決
	確認することを提案します。	**注:** システムプロパティ *sn_comp_ucf.deactivate_deprecated_docs* は、共有リストのインポート中に無効なレコードまたは廃止されたレコードが検出されたときにメール通知を送信するかどうかを制御します。このプロパティのデフォルトは true です。複数の共有リストに UCF コンテンツをダウンロードしている場合は、プロパティを false に設定します。プロパティが false に設定されている場合、ドキュメントは廃止されませんが、メールが送信されます。
選択した共有リストが既存の各種法令・基準等のリストと一致しません。別の共有リストを選択するか、既存の共有リストを更新します。	ダウンロードしている選択した UCF 共有リストに、ダウンロード済みのすべての各種法令・基準等が含まれていない場合は、このメッセージが表示されます。	**a.** CCH に戻り、ダウンロードしようとしている共有リストに元のインポートからインスタンスへのすべての各種法令・基準等が含まれていることを確認します。 **b.** [共有リストをインポート] をクリックして再度ダウンロードします。

5. [変更されたレコードのレビュー **(Review Changed Records)]** をクリックして、変更されたレコードのリストをレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



UCF コンテンツ内の各種法令・基準等は整理されて適切な引用にマッピングされ、共通のコントロールセットにマッピングされます。UCF と GRC アプリケーションの用語は、次の表で説明されているようにわずかに異なります。

用語の違い

UCF	ServiceNow GRC アプリケーション
各種法令・基準等	各種法令・基準等
信頼できるソースコンテンツ	信頼できるソースコンテンツ
コントロール	コントロール目標

コントロールを管理

コントロールは、コントロール目標の特定の実装です。廃止されたコントロールはリストに表示されません。 コントロールを定義する前に、時間をかけて組織内の重要なコントロールを合理化し、統合し、定義します。

コントロールを合理化

すべてのコントロールを一括でアップロードすると、コントロールセットを改善して、簡素化する機会が失われます。ビジネスが変化し、IT データ、プロセス、およびテクノロジーが改善されると、GRC アプリケーションを実装するときに古いコントロールと手順が置き換えられます。次の点を考慮してください。

- このコントロールは事業達成目標にどのように影響するか。
- このコントロールは実際にリスクを防止または検出しているか。
- ビジネスをより適切に保護する別のコントロールはあるか。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

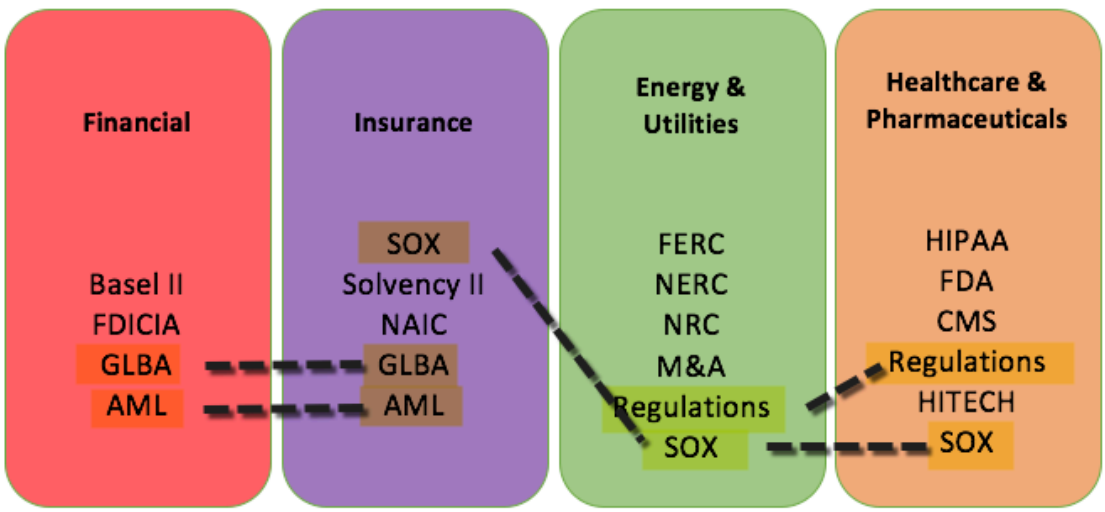
- リスクを軽減しながら、プロセスのオーバーヘッドを削減し、IT パフォーマンスを向上させることができるコントロールはあるか。
- 複雑なコントロールをよりシンプルで効果的なコントロールに置き換えることはできるか。

注:
コントロールを手動で定義するか、Unified Compliance Framework (UCF) からインポートすると、エンティティがコントロールに関連付けられます。これはコントロールフォームの必須フィールドです。ただし、UCF 以外のソースからコントロールをインポートする場合は、エンティティが関連付けられていない可能性があります。コントロールフォームに戻り、コントロールにエンティティを追加することが重要です。エンティティが欠落していると、信頼性の低い結果が生じる可能性があります。また、無効になっているエンティティを含むコントロールを検出した場合は、そのコントロールを廃止する必要があります。

コントロールを統合

コントロールを統合する機会を探します。フレームワークの複数の規制当局間で繰り返される共通のコントロール (SOX、GLBA、AML など) を探します。コントロールを相互にマッピングし、冗長なコントロールを排除することで、規制ごとに 1 つのコントロールを複数回操作することを避けます。このプロセスは、コントロールの単一の統合セット = コントロールフレームワークを確立します。コントロールのクロスマッピングの実行と保存は監査にとって重要です。

業界の規制と要件の重複



コントロールとビジネスルールの定義

事前に定義したビジネスルールは、後で GRC 構成設定を確立します。次の準備をしてください。

- コントロールとコントロールオーナーを識別する
- コントロールテストと予期される結果の定義
- テストおよびコントロール頻度を確立
- リスクを識別：影響度と可能性
- 証明書、アセスメント、アンケート、および必要な証拠を準備する
- 想定されるユースケースを作成する (GRC システムのコンテンツを操作または表示する必要があるユーザーおよび目的)
- 信頼できるソースをポリシー、手順、コントロール、リスクにマップする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールを作成

ポリシーをエンティティタイプに関連付ける場合、またはエンティティタイプをコントロール目標に関連付ける場合、コントロールは自動的に生成されます。コントロールは、コントロール目標のエンティティタイプにリストされている各エンティティに対して作成されます。コントロールは手動で作成することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.admin または sn_compliance.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール > すべてのコントロール.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

コントロールフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	コントロールの名前。
エンティティ	関連エンティティ。 **注:** エンティティのステータスを [廃止] ステータスから [アクティブ] に変更すると、エンティティに対して手動で作成されたコントロールも [ドラフト] ステータスに移行します。
コントロール目標から継承	アイテム生成プロセスを通じてコントロールを作成するかどうかを示すオプション。詳細については、「一意のエンティティとコントロール目標の組み合わせに対する複数のコントロール」を参照してください。
コントロール目標	関連コントロール目標。
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。
所有者	ポリシーを所有するユーザー。 **注:** オーナーは常に回答者として追加されます。選択したコントロールオーナーは、所有グループに属しています。
キーコントロール	コントロールがキーコントロールであることを示すインジケーター。
重み	コントロールスコアの有効性の計算に使用される値。コントロールの重み付けに基づいて、コントロールスコアで有効性の値が計算されます。
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 準拠 ○ 非準拠 ○ 適用外
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ [ドラフト] このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがコントロールを変更できます。ワンオフコントロールを作成する場合のみ利用できます。ワンオフコントロールは可能ですが、推奨されません。 ○ [証明] コントロールがコントロール目標から作成された場合、コントロールはこのステータスになります。 **注:** コントロールをドラフトに戻すと、証明書はキャンセルされます。 ○ [レビュー] コントロールは、証明書フェーズからレビューに自動的に移行されます。 ○ [監視] このステータスでは、すべてのコンプライアンスマネージャーがコントロールをレビューから監視に移動できます。 ○ [廃止] コンプライアンスマネージャーまたは管理者は、コントロールを [監視] から [廃止] に移動できます。 **注:** コントロールが廃止された場合： ▪ 関連付けられているインジケーターが実行されない ▪ 関連付けられている証明書がキャンセルされる ▪ 関連付けられているコントロール目標を変更してもコントロールが更新されない
サブスクリプションの適用	オプションのリスト： ○ 必須 ○ 任意
カテゴリ	オプションのリスト： ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督 ○ ルート ○ 不使用
タイプ	オプションのリスト： ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定 ○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理 ○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理 ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ テスト ○ トレーニング
分類	オプションのリスト：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 予防 ○ 是正 ○ 探知 ○ IT インパクトゾーン
周期	オプションのリスト： ○ イベント駆動型 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年次 注: コントロールの [頻度] フィールドとエンティティの [証明書頻度] フィールドの違いについては、KB0694607 を参照してください。
説明	コントロールの説明。
追加情報	コントロールに関する追加情報。
アサイン	
所有グループ	コントロールを所有するグループ。
所有者	コントロールを所有するユーザー。
証明書	
証明書	オプションのリストから選択します。 ○ 他の証明書タイプを構成できます。 ○ このフィールドに値が入力されると、[証明書の回答者] フィールドが自動的に必須になり、オーナーが回答者になります。 注: ユーザーがコントロール目標で証明書タイプを変更すると、関連するすべてのコントロールも変更されます。
証明書の回答者	○ このコントロールの証明書にアサインされたユーザー。 ○ sn_grc.user ロールを持つユーザーのみを応答者として追加できます。 注: [証明書] と [証明書回答者] の両方のフィールドが設定されている場合、[証明書] をクリックすると証明書が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティビティジャーナル	
追加コメント	コントロールに関する公開情報。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
コントロールを作成した後、コントロールを共通コントロールに変換し、依存エンティティと依存エンティティタイプを追加できます。詳細については、「共通コントロールのテスト、および複数の依存エンティティでの結果の実装」を参照してください。

コントロールをフォロー

Connect は ポリシーとコンプライアンス管理 と統合され、標準インターフェイスへのオーバーレイを提供します。これにより、ユーザーは作業中に会話に参加し、コントロールレコードで共同で作業できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.user または sn_compliance.reader
Connect の詳細については、「Connect」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール > すべてのコントロール.
2. コントロールレコードを開きます。
3. クリック フォロー > フォロー中 をクリックし、ドロップダウンからいずれかのオプションを選択します。

コントロールを証明

証明書は、コントロールが実装されていることを証明する証拠を収集するサーベイです。コントロール証明書と回答者フィールドが選択されている場合、コントロールが [ドラフト] ステータスから [証明] ステータスに移行すると、証明書の回答者に通知が送信されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.user
ユーザーは複数の証明書タイプを作成し、コントロール目標を異なる証明書に設定できます。**[GRC 証明書]** と呼ばれるサンプル証明書もデフォルトの証明書として提供されます。

このタスクについて
コントロールが証明されると、新しいアンケートが作成されます。その結果、証明書は セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ 移動します数百の GRC アセスメントレコードが一度に生成される可能性があり、個別のリストビューで他のアセスメントと分離する必要があります。

手順
1. 移動先 **Policy and Compliance** > コントロール > 自分の証明書.
2. 証明書を開いて、詳細を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
質問に回答できない場合	**a.** [アサイン先] フィールドで別のユーザーに証明書を再アサインします。 **b.** [更新] をクリックして、プロジェクトレコードを保存して閉じます。 注: sn_grc.user ロールを持つユーザーにのみ証明書を再アサインできます。 証明書を別のユーザーに再アサインすると、証明書のリストが更新されます。
質問に回答できる場合	**a.** [証明書を取得] をクリックします。 **b.** 質問に回答し、必要に応じて情報を添付します。 **c.** [送信] をクリックします。 [アセスメントを実施] ポップアップウィンドウを閉じると、証明書のリストが更新されます。

一意のエンティティとコントロール目標の組み合わせに対する複数のコントロール

エンティティとコントロール目標の一意の組み合わせに対して複数のコントロールを作成して、詳細なコントロール情報を取得できます。

複数の製品、運用ライン、および実務を扱う組織の場合、エンティティとコントロール目標の組み合わせに対する単一のコントロールは非効果的です。複数のレベルのコントロール目標を一元的に管理することで、詳細なコントロール情報を取得できます。

同じエンティティとコントロール目標の組み合わせに対して複数のコントロールを作成するメリットは次のとおりです。

- 高レベルのコントロール目標とより詳細なコントロールを作成できます。
- コントロールオーナー、コンプライアンスマネージャー、およびコンプライアンスユーザーは、コンプライアンスライブラリをより効率的に管理できます。

コントロールフォームの [コントロール目標から継承] オプションを有効にすることで、エンティティとコントロール目標の同じ組み合わせに対して複数のコントロールを作成できます。コントロールは、アイテム生成プロセスを通じて作成するか、デフォルトではコントロール目標から継承することができます。このようなコントロールは、エンティティとコントロール目標の組み合わせに対して一意であるため、一意の名前が付けられます。デフォルトでは、コントロール目標から継承できるコントロールは 1 つだけです。ただし、エンティティとコントロール目標の同じ組み合わせに対して複数のコントロールを作成する場合は、手動で作成する必要があり、コントロールの名前は一意である必要があります。

コントロールフォームで [コントロール目標から継承] オプションを選択すると、コントロールはコントロール目標の名前と説明を自動的に継承します。ただし、オプションが選択されていない場合は、コントロールの名前を手動で入力する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール証明書を管理

証明書は、コントロールが実装されていることを証明する証拠を収集するサーベイです。証明書デザイナーは、ユーザーが証明書を作成および編集したり、スコアリングパラメーターを変更したりするために使用できる単一のインターフェイスを提供します。質問集にはさまざまなカテゴリの質問のライブラリが用意されているため、各アンケートを最初から構築する必要はありません。

ユーザーは複数の証明書タイプを作成し、コントロール目標を異なる証明書に設定できます。**[GRC 証明書]** と呼ばれるサンプル証明書もデフォルトの証明書として提供されます。これは、以下の簡単な質問で構成されています。

デフォルトでは、**[GRC** 証明書] はコントロールに使用され、次のアセスメントの質問を提供します。

- このコントロールは実装されているか？
- 証拠を添付
- 説明

[自分の証明書] は Policy and Compliance アプリケーションの [コントロール] セクションにあり、自分が回答者であるアクティブな証明書が含まれています。証明書は、コントロールごとに 1 つの証明書レコードでリストに表示されます。

[自分のグループ化された証明書] には、類似のアセスメントに対して繰り返し回答するタスクを排除するためにグループ化した証明書が含まれています。

[すべての証明書] は Policy and Compliance アプリケーションの [コントロール] セクションにあり、すべてのアクティブな証明書が含まれています。

コンプライアンスマネージャーは、ニーズに合わせてさまざまなタイプの質問を含む証明書タイプを作成できます。「証明書デザイナーを使用してコントロール証明書を作成」を参照してください。

コンプライアンスマネージャーは、コントロール目標ごとに新しい質問セットを作成できます。質問集にはさまざまなカテゴリの質問のライブラリが用意されているため、各アンケートを最初から構築する必要はありません。「証明書タイプを作成」を参照してください。

証明書デザイナー

証明書デザイナーは、ユーザーが証明書を作成および編集したり、スコアリングパラメーターを変更したりするために使用できる単一のインターフェイスを提供します。

すべての証明書レコードはアセスメントテーブルに保存され、それらのテーブルの証明書ビューに表示されます。

証明書デザイナーを使用してコントロール証明書を作成

証明書デザイナーを使用して、測定基準タイプを作成および編集します。コントロールごとに異なる測定基準タイプを使用します。証明書に対して複数の回答者を選択し、スコアリングパラメーターを変更します。

始める前に

必要なロール：
sn_compliance.attest_creator、sn_compliance.manager、sn_compliance.administrator

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 証明書タイプ.
2. [証明書デザイナー] をクリックします。
   デザイナーには次の要素が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要素	説明
コントロール	サポートされている質問データのタイプは [Controls] パレットで利用可能です。コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。
質問	さまざまなカテゴリの質問のライブラリで、各アンケートを最初から構築する必要はありません。
カテゴリ	[デザイン] ビューで新しいアセスメントが開きます。アンケートの [名前] フィールドが、キャンバスの最初のカテゴリの上に表示されます。空白の質問フィールドがカテゴリコンテナに表示されます。

3. [名前] フィールドに名前を入力します。
4. コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。

質問コントロール

データタイプ	説明	採点済み
添付ファイル	ユーザーが 1 つまたは複数のファイルを添付できる、[添付ファイルを管理] アイコンがある質問。	N
ブーリアン	ユーザー応答のためにチェック ボックスまたは [はい/いいえ] リストがある質問。	Y
選択肢	事前定義済みオプションのリスト。詳細については、[選択肢] の定義を参照してください。	Y
日付	[日付] フィールド。	N
日付/時刻	[日付/時刻] フィールド。	N
番号	事前定義された最小値と最大値を持つ数値フィールド。デフォルトは 1 ～ 10 です。	N
パーセンテージ	範囲が指定されている [パーセンテージ] フィールド。	N
スケール	事前定義されたリッカート尺度。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
数値スケール	選択可能な数値スケール。デフォルトは 1 ～ 5 です。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
文字列	1 行または複数行のテキスト フィールド。	N
テンプレート	オプションの事前定義済みスケールを示すテンプレートの選択リスト。	Y

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	説明	採点済み
	注: すべての証明書にテンプレートをアサインすることが重要です。これにより、コントロール目標とエンティティタイプに基づいてコントロールを自動的に作成できます。	
参照	指定された参照テーブルからのフィールドの選択リスト。このデータタイプは参照修飾子をサポートしていません。	N

注:
採点する測定基準の正しい答えを設定します。採点済み測定基準は、コントロールのコンプライアンスステータスを決定します。

5. 証明書デザイナーの右上にあるメニューアイコンをポイントして、次のいずれかのオプションを選択します。

注:
各オプションの可用性は、デザイナーで開いている証明書のステータスに依存します。

オプション	説明
新しい証明書	新しい証明書の新規キャンバスを開きます。
証明書をロード	選択して編集できる既存の証明書のリストを開きます。

他のタイプのアセスメントとは異なり、コントロール証明書は表示されません セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ 多くのコントロール証明書が一度に生成される可能性があるためです。代わりに、コントロール証明書は **Policy and Compliance** > コントロール > 自分の証明書 モジュールと すべての証明書 モジュール。

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

証明書タイプを作成

デフォルトの **[GRC** 証明書] タイプを使用するのではなく、コンプライアンスマネージャーはコントロール目標ごとに新しい質問セットを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.attestation_creator、sn_compliance.manager、または sn_compliance-admin

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 証明書タイプ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントタイプの名前。
アセスメント期間	アセスメントの生成からアセスメントの完了までの許容時間。
テーブル	このアセスメントを適用するテーブル。
尺度値	すべてのアセスメント結果に使用するスケール値。
条件	テーブルから特定のレコードを定義します。
説明	アセスメントに関する詳細。
ステータス	アセスメントのステータス：[ドラフト] または [公開]。
条件を強制	指定された条件を満たさないこのタイプのアクセス可能なレコードを削除するかどうかを示すオプション。
ロール	この測定基準タイプについての情報へのアクセス権限を持つロール。

4. [送信] をクリックします。

同じ応答機能を使用してコントロール証明書を統合する

ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 は、証明書とリスクアセスメントをグループに統合するための 2 つの方法を提供し、これにより、類似のアセスメントに対して繰り返し応答するタスクを排除できます。グループ化されたアセスメントに同じ証拠を提供することも、同じユーザーインターフェイスで個々のアセスメントに応答することもできます。

始める前に

必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

同じ応答機能を使用してコントロール証明書を統合する場合は、最大 1000 件の質問を含む証明書をグループ化できます。グループの証明書またはリスクアセスメントが取得されると、グループ内のすべてのレコードが回答を継承します。

注:
1000 問の制限を変更するには、次に移動します。 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ **sn_grc.consolidated_questions_limit** プロパティを変更します。

ユーザーがこの機能にアクセスできないようにするには、次に移動します。 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティをクリックし、 **sn_grc.enable_consolidate_asmt** プロパティを無効にします。

手順

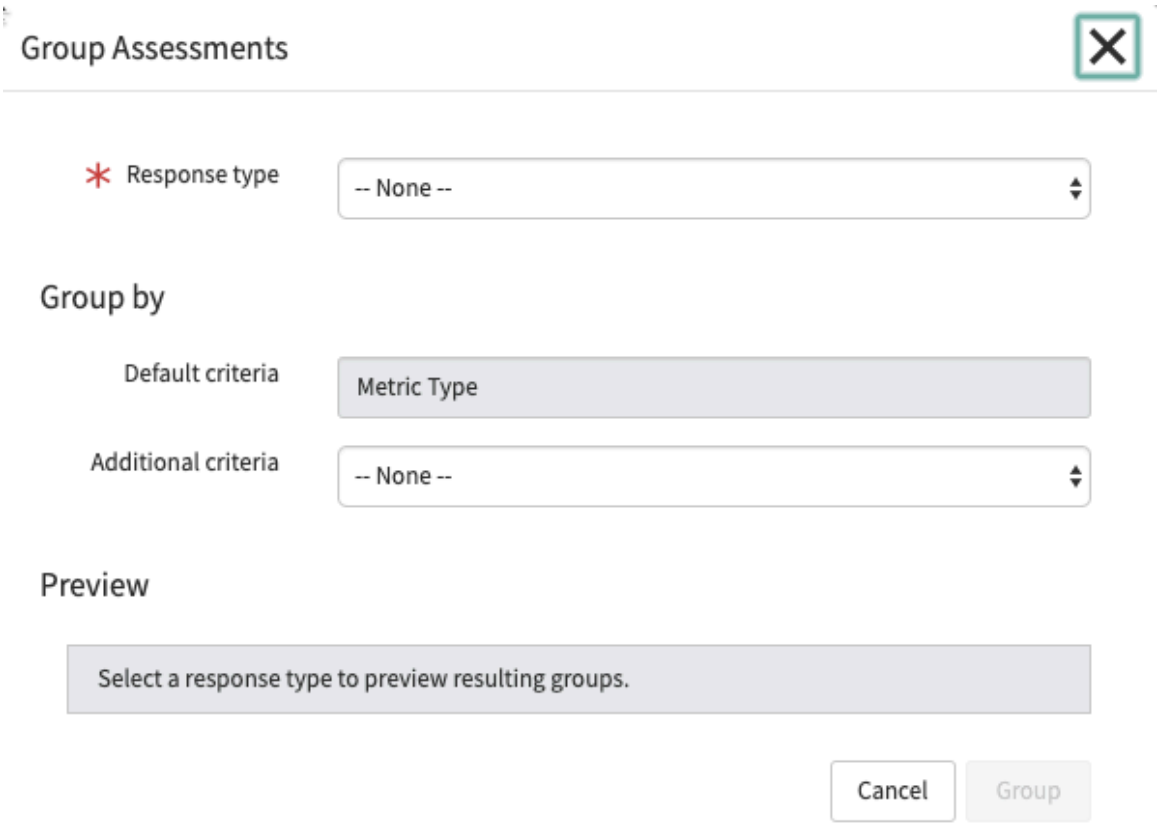
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール > 自分の証明書.

2. グループ化する証明書を選択します。

3. [選択した行のアクション] 選択リストから [グループアセスメント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [応答タイプ] で、[すべてのアセスメントに同じ回答を提供] を選択します。

5. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
デフォルト基準	このフィールドのデフォルトは [測定基準タイプ] です。
追加の基準	オプションで、追加のグループ化基準を定義できます。 ○ カテゴリ ○ コントロール目標/リスクステートメント ○ エンティティ デフォルトがニーズに合わない場合は、追加のアセスメント基準を定義することもできます。

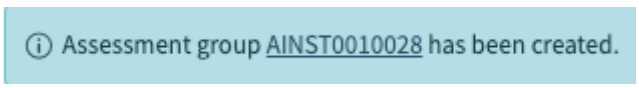
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: グループ化された証明書に選択した基準の複数のインスタンスが含まれている場合は、これらのグループ化スキームを使用することをお勧めします。たとえば、1 つのエンティティに関連付けられている 10 の証明書と、別のエンティティに関連付けられている他の 10 の証明書の計 20 の証明書のグループを選択した場合、このフィールドで [エンティティ] を選択すると、2 つの別々の証明書のグループが作成されます。ただし、グループが 1 つのエンティティに関連付けられた 5 つの証明書と、異なるエンティティに関連付けられた他の 15 の証明書で構成されている場合は、それらの 5 つの証明書のみがグループ化され、残りは無視されます。
プレビュー	[プレビュー] には、グループ化される証明書の数が表示されます。選択した [追加の基準] によっては、[プレビュー] に複数のグループが表示される場合があります。グループ化する証明書を表示するには、グループ化する証明書またはリスクアセスメントの数を示すリンクをクリックします。

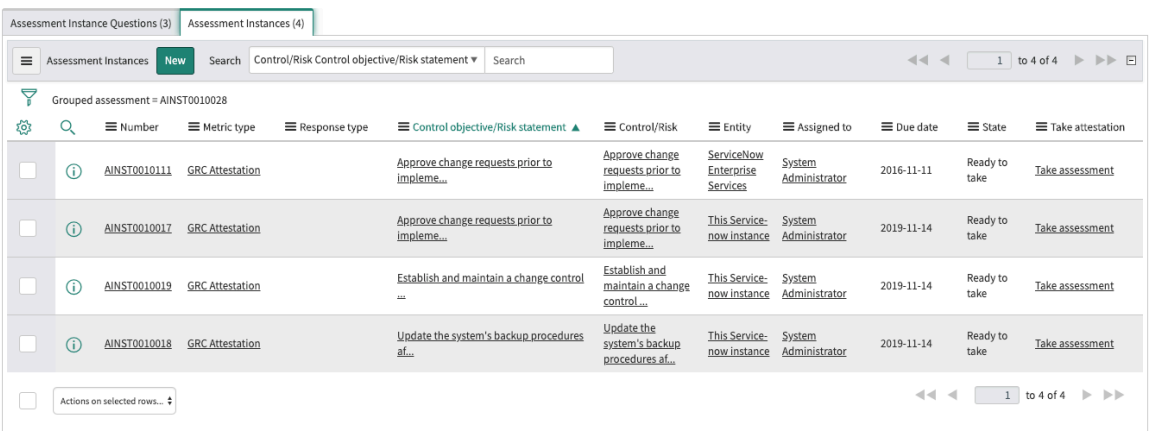
6. 統合する証明書またはリスクアセスメントに問題がない場合は、[グループ] をクリックします。

   確認メッセージと証明書グループへのリンクが表示されます。



   注:
   証明書グループが作成されたら、次に移動して表示できます **Policy and Compliance** > コントロール > 自分のグループ化された証明書. グループ化された証明書を開いている場合、グループから 1 つ以上の証明書を削除することができます。これを行うには、削除する証明書を選択し、[選択した行のアクション] 選択リストから [アセスメントのグループ解除] を選択します。証明書が 1 つしかない状態でグループから証明書を削除すると、そのグループが削除されます。

7. アセスメントを受ける準備ができたら、確認メッセージのリンクをクリックするか、[自分のグループ化された証明書] の証明書番号をクリックします。



8. [アセスメントを実施] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 他の場合と同様にアセスメントを完了し、[送信] をクリックします。
   グループ内のすべての証明書が入力された回答を継承し、グループ内の各証明書のステータスが [完了] に変更されます。

異なる応答機能を使用してコントロール証明書を統合する

ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 は、証明書とリスクアセスメントをグループに統合するための 2 つの方法を提供し、これにより、類似のアセスメントに対して繰り返し応答するタスクを排除できます。グループ化されたアセスメントに同じ証拠を提供することも、同じユーザーインターフェイスで個々のアセスメントに応答することもできます。

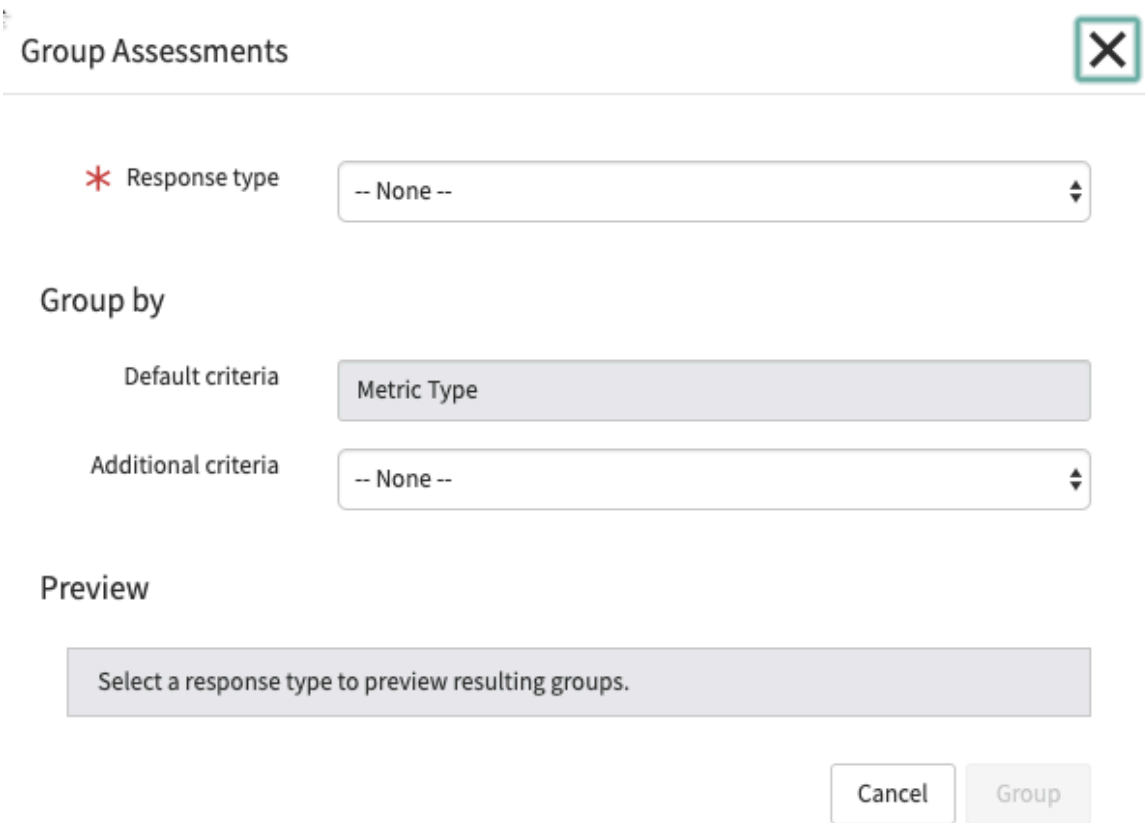
始める前に
必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて
異なる応答機能を使用してコントロール証明書またはリスクアセスメントを統合する場合は、最大 150 件の質問を含む証明書またはリスクアセスメントをグループ化できます。すべての質問が 1 つの UI に表示されます。

注:
1000 問の制限を変更するには、次に移動します。 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ **sn_grc.grouped_questions_limit** プロパティを変更します。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コントロール > 自分の証明書.
2. グループ化する証明書を選択します。
3. [選択した行のアクション] 選択リストから [グループアセスメント] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [応答タイプ] で、[アセスメントごとに異なる応答を提供] を選択します。
5. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
デフォルト基準	このフィールドのデフォルトは [測定基準タイプ] です。
追加の基準	オプションで、追加のグループ化基準を定義できます。 ○ カテゴリ ○ コントロール目標/リスクステートメント ○ エンティティ デフォルトがニーズに合わない場合は、追加のアセスメント基準を定義することもできます。 **注:** グループ化された証明書に選択した基準の複数のインスタンスが含まれている場合は、これらのグループ化スキームを使用することをお勧めします。たとえば、1 つのエンティティに関連付けられている 10 の証明書と、別のエンティティに関連付けられている他の 10 の証明書の計 20 の証明書のグループを選択した場合、このフィールドで [エンティティ] を選択すると、2 つの別々の証明書のグループが作成されます。ただし、グループが 1 つのエンティティに関連付けられた 5 つの証明書と、異なるエンティティに関連付けられた他の 15 の証明書で構成されている場合は、それらの 5 つの証明書のみがグループ化され、残りは無視されます。
プレビュー	[プレビュー] には、グループ化される証明書の数が表示されます。選択した [追加の基準] によっては、[プレビュー] に複数のグループが表示される場合があります。グループ化する証明書を表示するには、グループ化する証明書またはリスクアセスメントの数を示すリンクをクリックします。

6. 統合する証明書またはリスクアセスメントに問題がない場合は、[グループ] をクリックします。

   確認メッセージと証明書グループへのリンクが表示されます。

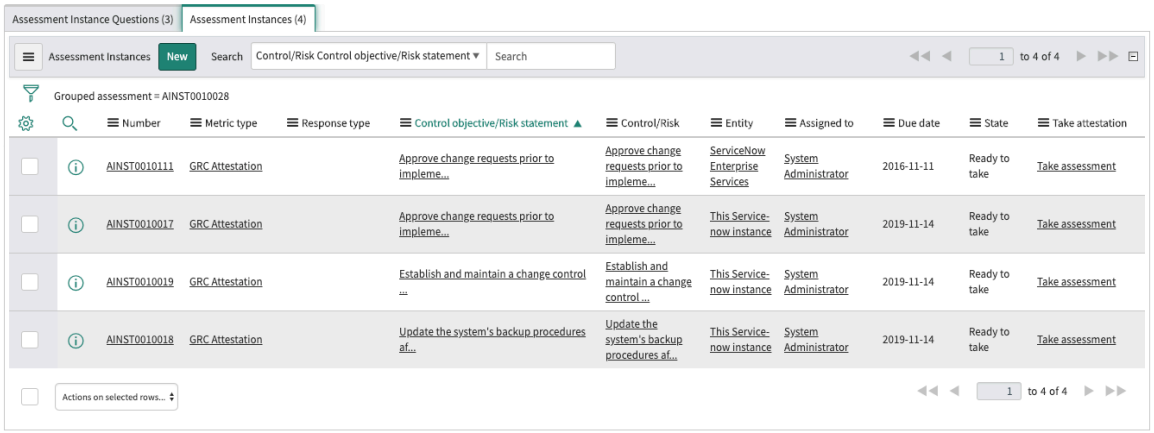


注:
証明書グループが作成されたら、次に移動して表示できます **Policy and Compliance** > コントロール > 自分のグループ化された証明書. グループ化された証明書を開いている場合、グループから 1 つ以上の証明書を削除することができます。これを行うには、削除する証明書を選択し、[選択した行のアクション] 選択リストから [アセスメントのグループ解除] を選択します。証明書が 1 つしかない状態でグループから証明書を削除すると、そのグループが削除されます。

7. アセスメントを受ける準備ができたら、確認メッセージのリンクをクリックするか、[自分のグループ化された証明書] の証明書番号をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. [アセスメントを実施] をクリックします。
   グループで選択したすべての証明書のアンケートが表示されます。
9. 各証明書のアセスメントを完了し、[送信] をクリックします。

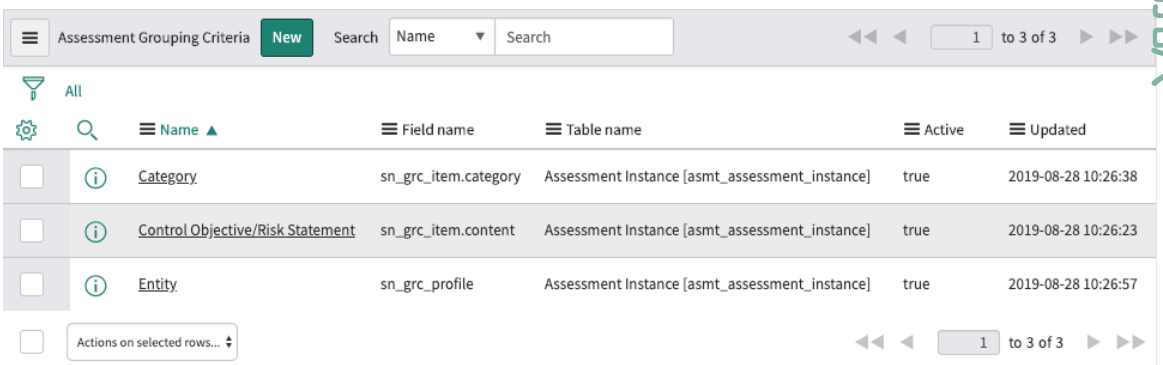
アセスメントのグループ化基準を定義する

デフォルトの基準がニーズに合わない場合は、必要に応じて、追加のグループ化基準を定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.manager

手順

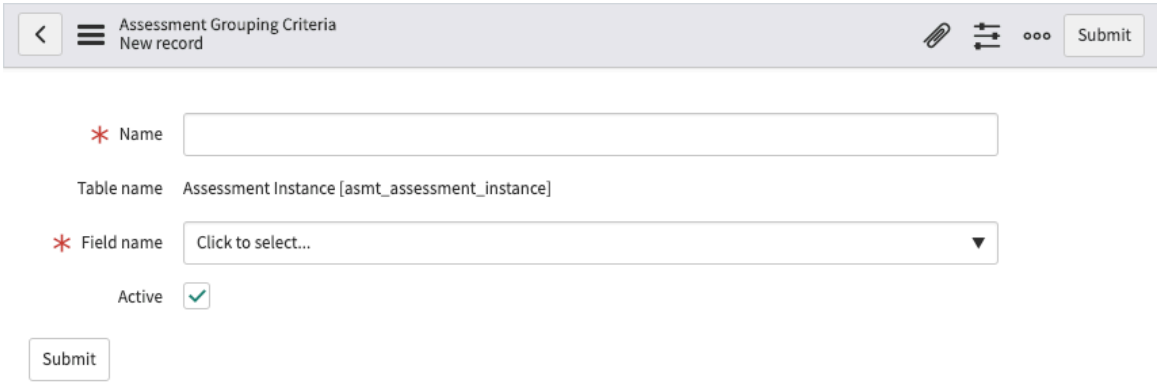
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > アセスメントのグループ化基準.



2. [新規] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



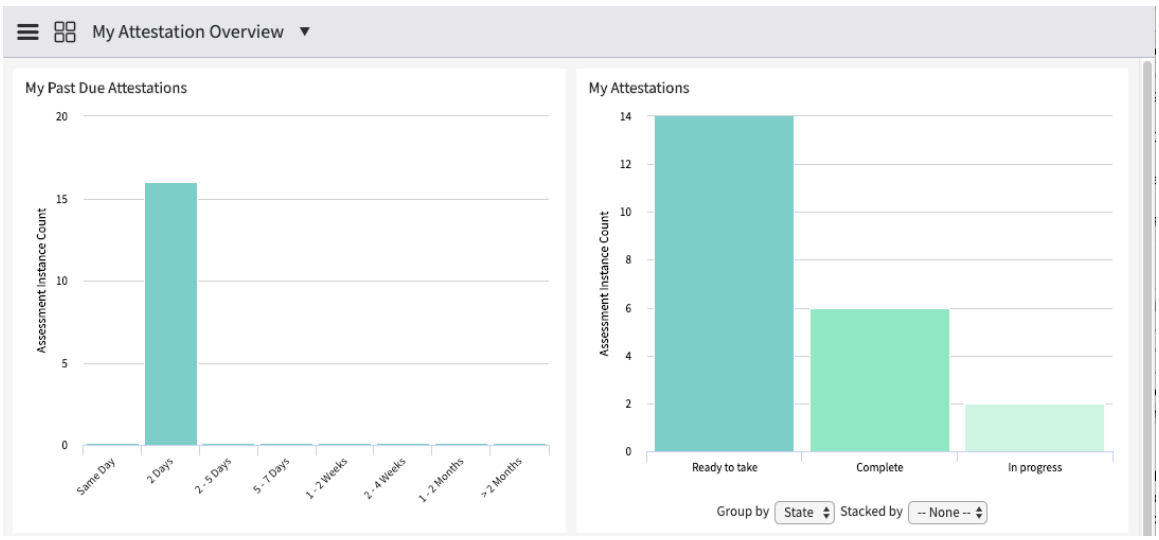
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	アセスメントのグループ化基準の名前。
フィールド名	アセスメントのインスタンス [asmt_assessment_instance] テーブルからフィールド名を選択します。
有効	グループ化基準を有効にする場合に選択します。

4. [送信] をクリックします。

GRC 証明書の概要ダッシュボード

GRC 証明書の概要ダッシュボードには、自分に割り当てられた証明書や、処理待ちの証明書や期限切れの証明書が表示されます。



データの可視化

GRC 証明書概要ダッシュボードでは以下の情報が可視化されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	タイプ	説明
自分の期限切れの証明書	縦棒グラフ ( )	アサインされた期限切れの証明書の総数。
自分の証明書	縦棒グラフ ( )	自分にアサインされた証明書の総数 (ステータス別)。
自分の処理待ちの証明書	リスト	自分にアサインされている処理待ちの証明書のリスト。

コントロールインジケーターを管理

継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成に関連するアクティビティが含まれます。コンプライアンスの概要は、コンプライアンス管理者とコンプライアンスマネージャーが利用でき、コンプライアンス要件、全体的なコンプライアンス、およびコンプライアンスのブレークダウンを提供します。

インジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、コントロールの問題を作成し、リスクスコアを更新し、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。

インジケーター

インジケーターは、コントロールとリスクを監視するためにデータを収集し、監査証拠を収集します。インジケーターは単一のコントロールまたはリスクを監視します。

インジケーターテンプレート

インジケーターテンプレートを使用すると、類似するコントロールまたはリスクに複数のインジケーターを作成できます。

コンプライアンスの概要

ベースシステムのコンプライアンスの概要レポート

名前	ビジュアル	説明
コンプライアンス要件	ドーナツグラフ	特定のコンプライアンス領域にフォーカスするウェッジを選択します。
全体的なコンプライアンス	ドーナツグラフ	システム内のすべてのコントロール要件の全体的なコンプライアンスを表示します。前のウィジェットで特定のウェッジを選択すると、その領域にフォーカスが移動します。
エンティティ	ドロップダウンリスト	1 つ以上のエンティティを選択して、複数のアイテムのコンプライアンスを表示します。
コントロールステータス	チェックリスト	チェックボックスをオンまたはオフにして、コントロールのステータス別にフィルターレポートを表示します。
各種法令・基準等別のコンプライアンス	棒グラフ	選択したエンティティや各種法令・基準等に応じて、コンプライアンスのレベルを比較します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースシステムのコンプライアンスの概要レポート (続く)

名前	ビジュアル	説明
コンプライアンスのブレークダウン	マルチレベルピボット	関連する各種法令・基準等別のコントロールコンプライアンスのブレークダウンを表示します。
非準拠のエンティティ	縦棒グラフ	エンティティ別にグループ化された非準拠コントロール要件の数。

各種法令・基準等

各種法令・基準等は、法令・基準に確実に準拠するためのポリシー、リスク、コントロール、監査、およびその他のプロセスを定義します。

各種法令・基準等はそれぞれレコードで定義され、そのレコードの関連リストには各種法令・基準等の個々の条件が含まれています。

これらの各種法令・基準等関連リストアイテムの関係は、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションの GRC ワークベンチに表示されます。

注:
各種法令・基準等にコンテンツ参照タグを追加できます。コンテンツ参照タグを使用すると、レコードをフィルタリングして、各種法令・基準等に関連付けられたコンテンツパック、統合、およびユースケースアクセラレータをより簡単に識別できます。

信頼できるソースコンテンツ

各種法令・基準内項目には、相互に関連する可能性のある各種法令・基準等の規定が含まれています。各種法令・基準内項目は、各種法令・基準等を管理可能なテーマに分類します。

引用を作成するか、UCF 各種法令・基準等からインポートして、引用間に必要な関係を作成できます。

注:
引用にコンテンツ参照タグを追加できます。コンテンツ参照タグを使用すると、レコードをフィルタリングして、引用に関連付けられたコンテンツパック、統合、およびユースケースアクセラレータをより簡単に識別できます。

コントロールインジケーターを作成

制御、リスク、監査の証拠のインジケーターデータは、GRC アプリケーションによって測定方法が異なります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーター.
   - リスク > インジケーター > インジケーター.
   - 監査 > インジケーター > インジケーター.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	コントロールインジケーターの場合は [コンプライアンスインジケーター] を、リスクインジケーターの場合は [リスクインジケーター] を選択します。
名前	インジケーターの名前。
適用先	[アイテム] に関連するエンティティ。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターオーナー。
番号	一意の識別番号。
有効	インジケーターがアクティブかどうかを示すオプション。
アイテム	関連するコントロールまたはリスク。
テンプレート	関連するインジケーターテンプレート。
テンプレートを上書き	このインジケーターに関連付けられたインジケーターテンプレートを上書きするかどうかを示すオプション。
最終結果 - 成功	前回の結果が成功したかどうかを示すオプション。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
次回実行時間	インジケーターの結果の次回の収集時刻。
方法 (Method)	
タイプ	結果は、タスクのアサインにより手動で、または基本フィルター条件、Performance Analytics、またはスクリプトを使用して自動的に収集できます。 ○ マニュアル ○ 基本
簡単な説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。問題の簡潔な説明。
説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。インジケーターの結果の収集のための指示。
必須の値	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
成功/失敗	このフィールドは、[タイプ] が [基本] の場合に存在します。インジケーターが成功または失敗します。
PA しきい値	このフィールドは、[タイプ] が **[PA** インジケーター] の場合に存在します。関連する PA しきい値。
スクリプト	このフィールドは、[タイプ] が [スクリプト] の場合に存在します。必要なシステム情報を取得するスクリプト。
提出データ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
テーブル	サポートデータを使用して、他のアプリケーションから裏付け証拠を収集します。
サポートデータフィールド	選択したテーブルに基づくサポートデータフィールド。

4. [送信] を選択します。

注:
コンプライアンスマネージャーまたはコンプライアンス管理者は、ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーにインジケータータスクをアサインできます。ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーを [オーナー] フィールドでオーナーとしてアサインし、インジケーターを実行すると、[オープンタスク] 関連リストにインジケータータスクが作成されます。このインジケータータスクは、ビジネスユーザー Lite ロールを持つ所有者にアサインされます。

ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > インジケーター > 自分のインジケータータスク をクリックして、自分にアサインされているインジケータータスクを表示します。インジケーターを表示するには、[インジケーター] フィールドの横にある情報アイコンを選択します。[インジケータータスク] フォームの [結果] フィールド、[ステータス **]** フィールド、[値] フィールド、[追加コメント]、および [作業メモ] を更新することもできます。

Employee Center から同様のタスクを実行するには、以下を参照してください。 GRC Employee Center ポータルのタスク.

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェアを使用して、必要なセットアップ手順を完了します。戻る ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、必要に応じてオプションの手順に進みます。

GRC インジケーターテンプレートを作成する

コンプライアンスマネージャーまたはリスクマネージャーは、多数のインジケーターを作成できるインジケーターテンプレートを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager
- sn_grc.user

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーターテンプレート.
   - すべて > リスク > インジケーター > インジケーターテンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	インジケーターの名前。
説明	インジケーターの説明。
カテゴリ	インジケータテンプレートを作成しているカテゴリ。たとえば、[リスク指標テンプレート] を選択して、リスク指標テンプレートを作成します。
有効	インジケーターテンプレートがアクティブかどうかを判断するオプション。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターテンプレートのタイプを判断するために使用する方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [手動]：手動インジケーターは、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データがサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。 ○ [基本]：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。 ○ [スクリプト]：スクリプト化したインジケーターはカスタムスクリプトを使用してデータを収集します。
値がターゲット値以上の場合の結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 合格 ○ 失敗 たとえば、このフィールドに 100 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 100 を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは合格または失敗になります。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
ターゲット	インジケーターが合格か失敗かを決定する値。
説明	テンプレートの追加説明。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にするかどうかを決定するオプション。 **注:** このオプションは、[タイプ] フィールドで [手動] が選択されている場合にのみ表示されます。このオプションは、[ターゲットタイプ] フィールドから [カウント] または [パーセンテージ] が選択されている場合に自動的に選択されます。
サポートデータ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
提出データを含む	インジケーターを実行するたびにサポートデータまたは証拠の収集を有効にするオプション。
テーブル	サポートデータの収集に使用されるテーブル。
サポートデータフィールド	サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サンプルのコレクションタイプ	カウントやパーセンテージなど、サポートデータ収集のタイプ。
サンプルサイズ	サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数。 たとえば、基本インジケーターが大きなテーブルをクエリし、インジケーターの実行ごとに数千のレコードを返すことができます。すべてを保存する必要はありません。それらのレコードのサンプルのみで十分です。サンプルサイズに 100 を入力すると、クエリが数千を返しても 100 レコードのみが保存されます。
基本基準	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。
参照フィールドを使用	[参照フィールド] の使用を有効にするオプション。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。
追加の基準	
ターゲットを持つインジケーターを作成するには、詳細フィルター基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドで [基本] を選択している場合にのみ表示されます。このセクションは、さらにフィルター基準を提供するために使用されます。	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パーセンテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターの結果の初回収集時刻。このフィールドは、インジケーターまたはインジケーターテンプレートが初めて実行されるときに基づいて自動的に設定されます。このフィールドの値は変更できません。
次回実行日	次回実行時間:このインジケーターテンプレートのすべてのダウンストリームインジケーターのインジケーター結果を収集します。
期日の期間 (日数)	インジケータータスクの作成から期日までの結果の生成までの期日期間。 作成日に追加された期日期間は、インジケータータスクの 期日 として反映されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[タイプ] フィールドで [手動] を選択した場合にのみ表示されます。 詳細については、「インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化」を参照してください。

4. これらのエントリを完了すると、次の関連リストの情報も表示することができます。
   - コントロール目標/リスクステートメント
   - コンテンツ参照

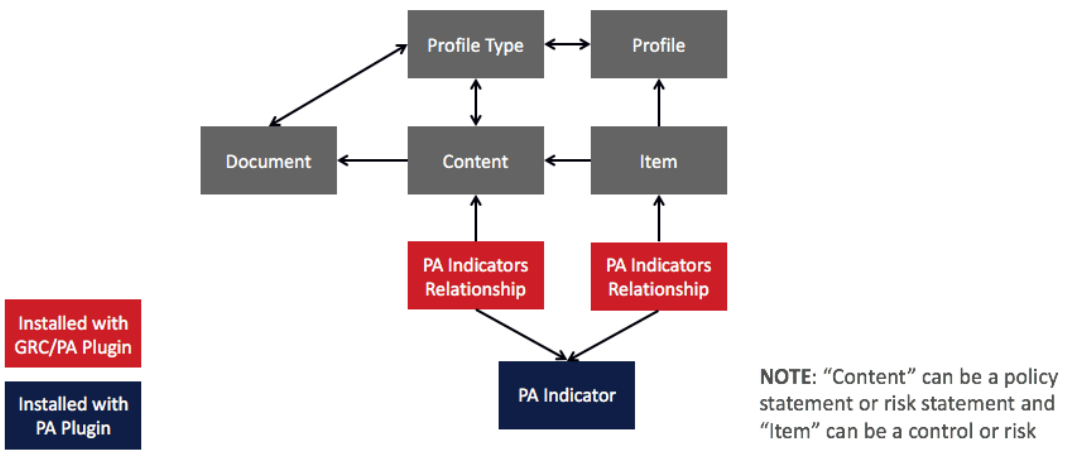
   注:
   [コントロール目標/リスクステートメント] タブを使用すると、同じテンプレートを複数のコントロール目標および / またはリスクステートメントに再利用できます。

5. [送信] をクリックします。

GRC Performance Analytics インジケーターを使用してコントロールを監視

ポリシーとコンプライアンス管理 コンテンツとアイテムを Performance Analytics インジケーター、ブレークダウン、およびしきい値にリンクできます。パフォーマンス分析インジケーターをコントロール目標およびコントロールに関連付けて、スコアカードと傾向を表示し、現在の条件と傾向を分析できます。

PA インジケーターまたは PA ブレークダウン/要素に関連付けられたリスクとコントロールは、同じ PA インジケーターまたは PA インジケーター、ブレークダウン、または要素の関係を持つ PA しきい値を自動的に監視します。PA しきい値違反は、違反カウンタ内のリスクまたはコントロールと Performance Analytics インジケーターの関係レベルで報告されます。



PA しきい値違反の影響

リスクまたはコントロールと Performance Analytics インジケーターの関係違反カウンタがゼロでない場合 (たとえば、同じ PA インジケーターまたは PA インジケーター、ブレークダウン、または要素の関係を持つ PA しきい値が違反している)、かつオープンされた問題が存在しない場合は、リスクまたはコントロールに関連付けられている問題が作成されます。また、リスクの場合、[インジ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーター失敗ファクタ] は、リスクの数とゼロ以外の違反カウンタとの Performance Analytics インジケーターの関係を表します。

すべての **PA** インジケーター違反カウンタをリセット

[すべての **PA** インジケーター違反カウンタをリセット] をクリックするか、特定の関係を開いて [違反カウンタをリセット] をクリックして、リスクまたはコントロールに関連付けられた違反カウンタをリセットします。

GRC PA インジケーター違反レポート

違反の報告には、次の 2 つのレポートがあります。

- リスク PA インジケーター違反
- コントロール PA インジケーター違反

GRC: Performance Analytics Integration をアクティブ化

GRC: Performance Analytics Integration プラグインは、Performance Analytics と リスク管理 アプリケーションおよび ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを統合します。このプラグインは、組織のリスクとコンプライアンスのパフォーマンスに関する詳細情報を提供します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このプラグインにはデモデータが含まれ、関連プラグインがまだ有効になっていない場合はアクティブ化します。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

次のタスク
コンテンツ (リスクまたはコントロール目標) またはアイテム (リスクまたはコントロール) のカスタマイズされた関連リストを持つインスタンスで GRC: Performance Analytics Integration プラグインをアクティブ化した後、PA インジケーターをコンテンツ関係におよび/または PA インジケーターをアイテム関係に手動で追加する必要がある場合があります。

関連情報

プラグインのリスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PA インジケーターをリスクステートメントまたはコントロール目標に関連付ける

パフォーマンス分析インジケーターをリスクステートメントおよびポリシーステートメントに関連付けて、リスクまたはポリシーに関連する傾向を分析できます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
   - すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. リスクステートメントまたはコントロール目標を開きます。
3. **[PA** インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

PA インジケーターフォーム

フィールド	説明
PA インジケーター	リスクステートメントまたはコントロール目標を関連付けるパフォーマンス分析インジケーター。

5. [送信] をクリックします。
   リスクステートメントまたはコントロール目標フォームの **[PA** インジケーター] 関連リストに、関連するインジケーターが表示されます。必要に応じて、目的のインジケーターの [インジケーターを表示] をクリックして、インジケーターのパフォーマンス分析スコアカードを表示できます。PA インジケーターの関連付けは、元のリスクステートメントまたはコントロール目標に関連付けられたすべてのリスクまたはコントロールに引き継がれます。また、インジケーターにコントロールのリスクまたはエンティティと一致するブレークダウンがある場合 (ビジネスサービスブレークダウンなど)、関係の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドが自動的に入力されます。

PA インジケーターをリスクおよびコントロールに関連付ける

Performance Analytics インジケーターをリスクおよびコントロールに関連付けて、リスクまたはコントロールが属するエンティティに関連する傾向を分析できます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > コントロール > すべてのコントロール.
   - リスク > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リスクまたはコントロールを開きます。
3. **[PA** インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PA インジケーターフォーム

フィールド	説明
PA インジケーター	リスクまたはコントロールを関連付ける Performance Analytics インジケーター。
ブレークダウン	ブレークダウンして、ブレークダウン要素に基づいて特定の傾向を表示します。
要素	特定の傾向とスコアカードを表示するブレークダウン要素。 **注:** このフィールドは、入力される [ブレークダウン] フィールドによって異なります。表示されている場合は必須です。

5. [送信] をクリックします。
   リスクまたはコントロールフォームの **[PA** インジケーター] 関連リストに、関連付けられているインジケーターが表示されます。必要に応じて、目的のインジケーターの [インジケーターを表示] をクリックして、インジケーターのパフォーマンス分析スコアカードを表示できます。

一連のアイテムの関連付けられている **GRC** インジケーターを更新する

GRC コンテンツレコードに属するすべてのアイテムを更新して、各アイテムを個別に PA インジケーターに関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
   - すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. 関連付けられた Performance Analytics インジケーターがある、リスクステートメントまたはコントロール目標を開きます。
3. **[PA** リレーションシップを更新] 関連リンクをクリックします。
   リスクステートメントまたはポリシーステートメントに関連するすべてのリスクまたはコントロールは、ステートメントのすべてのリスクステートメントまたはポリシーインジケーターに自動的に関連付けられます。また、インジケーターにコントロールのリスクまたはエンティティと一致するブレークダウンがある場合 (ビジネスサービスブレークダウンなど)、関係の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドが自動的に入力されます。

証拠要求を管理

証拠要求は、監査中にサポートドキュメントを要求するために監査およびコンプライアンスチームによって使用されます。監査人およびコンプライアンスチームは、防御の第一線にこれらのドキュメントを要求します。

証拠要求：証拠とは、監査人が監査意見を決定する際に使用するすべての情報です。証拠には、財務ステートメントの基礎となる会計レコードに含まれる情報やその他の情報が含まれます。証拠は本質

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

的に累積的です。これには、監査中に実行された監査手順から取得された証拠が含まれます。証拠には、以前の監査などの他のソースから取得された監査証拠も含まれる場合があります。

証拠要求は、監査の準備中または監査の告知後の計画フェーズ中に頻繁に導入されます。要求されたドキュメントは、監査チームが、スコープ内のコントロールとプロセスを理解し、フィールドワークテストを開始するために使用されます。監査はさまざまなステージを経て進行するため、監査チームは頻繁に新しい要求をリストに追加します。コンプライアンスチームは、収集された証拠をコントロールテストに使用します。

バージョン 11.0.2 リリース以降、予定されていない証拠要求は Audit Management および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションによって次のようにサポートされています。

- 証拠は、エンゲージメントおよびすべての監査テーブルから要求できます。証拠を要求する方法を理解するには、「監査の証拠を要求する」を参照してください。
- コンプライアンスチームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、およびプロセスオーナーに証拠を要求できます。
- 監査チームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、プロセスオーナー、およびコンプライアンスチームに証拠を要求できます。
- アサインされたユーザーは、サービスポータル から直接証拠を提供できます。
- マネージャーは、機密性や重要度などのさまざまな基準に基づいて、証拠要求を承認できます。
- 要求者とアサイニー間のコミュニケーションチャネルが改善され、承認プロセスが簡素化されています。
- 改善された機密性の制約は、権限のないユーザーが要求情報を表示することを防止します。

証拠要求ワークフローとユーザー

証拠要求は、顧客が防衛の第一線および第二線で必要な情報を電子的に要求するために役立ちます。監査対象の個人は、ドキュメントをすぐにシステムにアップロードできるため、手動での処理時間が大幅に短縮されます。

証拠要求ワークフローは次のとおりです。

1. sn_audit.user ロールを持つ監査ユーザーが証拠を要求し、その要求を別のユーザーにアサインします。この要求者は、自分自身のために証拠を要求するか、別の監査ユーザーまたは GRC ユーザーの代わりに要求を出すことができます。要求者は、証拠タスクが誤って作成されたと判断した場合、その特定の証拠タスクをキャンセルできます。証拠要求をキャンセルする機能は、要求が [ドラフト] ステータス の場合に利用できます。要求者は、タスクが [レビュー] ステータスに達するまで、いつでも証拠要求タスクをキャンセルできます。
2. 証拠要求を作成した後、証拠収集レコードを作成し、要求者が証拠を要求する必要があります。証拠収集レコードには、証拠収集の指示、アサイン先、およびアサイン先グループが含まれています。[証拠を要求] をクリックすると、証拠要求タスクが生成され、グループまたはユーザーにアサインされます。
3. アサイニーは、要求された証拠を提供するためのリンクを含むメールを受信します。

   注:
   要求者が証拠を要求した後にアサイニーを変更した場合、元のアサイニーは要求を表示できなくなります。要求をアサインされたユーザーのみが要求を表示できます。この機能により、機密性が確保されます。

4. アサイニーは、要求された証拠を添付するか、必要な証拠を含む URL または場所を指定できます。
5. アサイニーは、証拠を検証および承認するための承認者を追加することもできます。証拠が事実上機密である場合は、承認者の追加が必要です。

自動翻訳

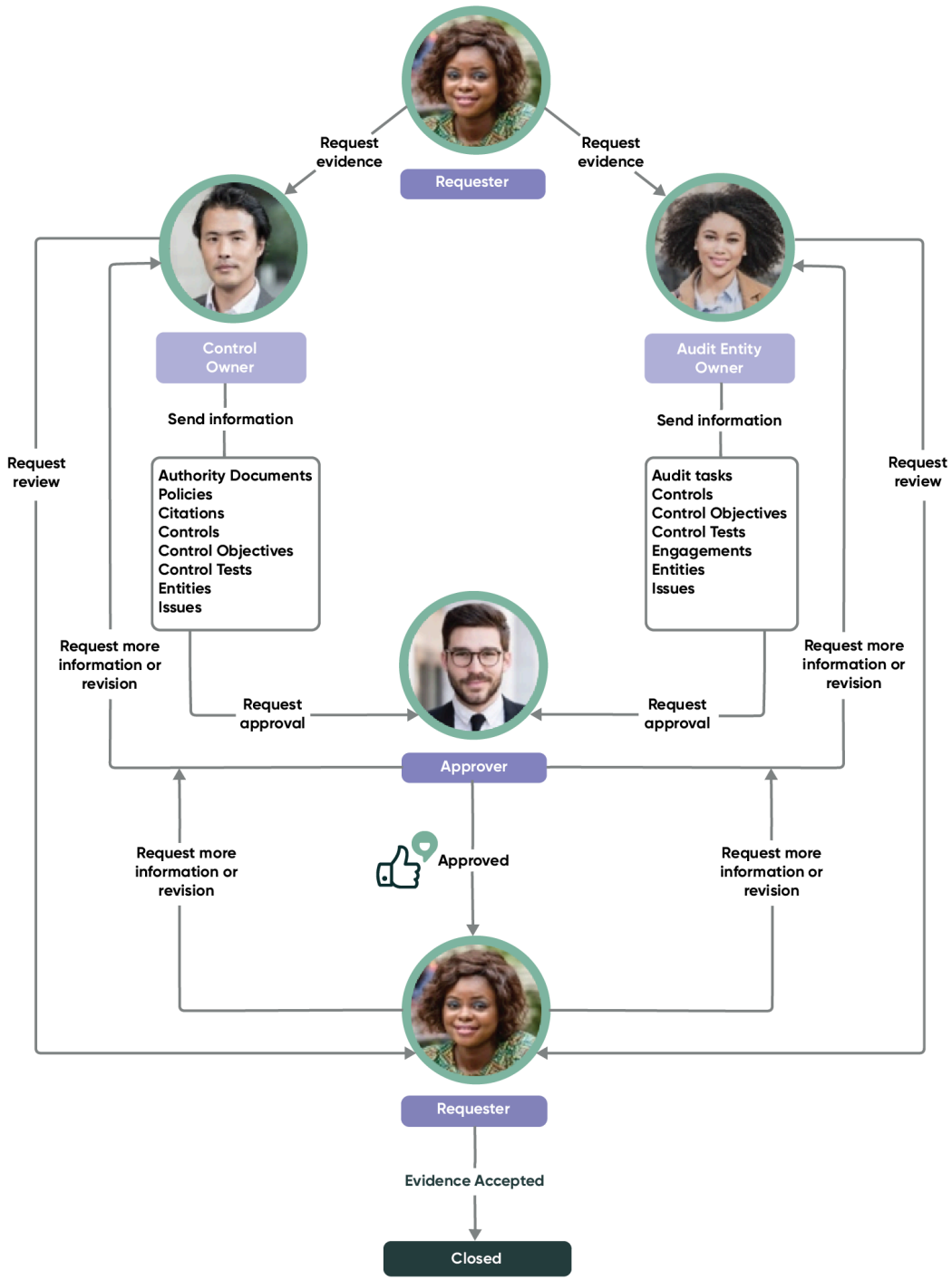
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 承認者は証拠をレビューし、それを承認するか、リビジョンを要求するか、証拠に関するさらなる詳細を要求することができます。
7. 承認者が証拠を承認した場合、要求者は証拠を受け取り、それをさらに処理できます。
8. 要求者は証拠をレビューし、次のいずれかを実行できます。
   - 証拠を承認する。
   - レビューを要求する。
   - 証拠に関するさらなる詳細を要求する。
   - 証拠要求が不要になった場合はキャンセルする。
   - 要求を削除する。
9. 要求者がすべての証拠タスクを受け入れると、要求はクローズされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

証拠要求ワークフローを次の図に示しま



す。

次の表は、証拠要求ワークフロー中のロールとその責任を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

証拠要求ユーザー、責任、および要件

ユーザー	役割	要件
内部監査人	• 監査テストを実行する。 • 監査テストを要求する。 • すべての監査結果と収集された証拠をレビューする。	• コンプライアンスとリスクアクティビティへの可視性。 • チームの作業を計画するためのジョブキュー (処理待ち、現在、予定)。 • 監査結果を追跡および監視する。 • 監査アクティビティを追跡および監視する。
コンプライアンスマネージャー、監査マネージャー	• 証拠を要求できる。 • コンプライアンステストの証拠を要求する。 • すべての結果と収集された証拠をレビューする。	• コンプライアンスアクティビティへの可視性。 • チームの作業を計画するためのジョブキュー (処理待ち、現在、予定)。 • コンプライアンスの結果を追跡および監視する。
コンプライアンスユーザー、コントロールオーナー	• コントロールが実装されていることを確認する。 • コントロールを証明する。 • コントロールをテストする。 • 監査人によって要求された監査証拠を提供する。	• 日々のアクティビティを指定するジョブキュー。 • 所有するアクティビティとタスクの所要時間とパフォーマンスを追跡する。 • 所有するタスクと監査人からの追加要求が履行されるように確保する。

監査中に証拠を要求する

監査中の任意のステージで証拠を要求します。証拠が要求されたアイテムの詳細は、証拠の提供責任者にも提供されます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.user

このタスクについて

証拠は、次の 3 つの方法で要求できます。

自分の証拠

[自分の証拠 **(My Evidence)]** モジュールから証拠レコードを作成します。

証拠を要求

エンゲージメントレコード内のエンティティ、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、およびその他の問題から作成します。これらのソースから証拠を要求するには、次に移動します。 監査 > エンゲージメント > 自分のエンゲージメント. エンゲージメントレコードを開き、証拠を要求する関連リストを選択します。[選択した

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

行のアクション] リストから、[証拠を要求] を選択します。ここでは、新しい証拠要求を作成するか、既存の証拠要求に要求を追加できます。証拠要求は作成されますが、証拠要求タスクは作成されません。既存の証拠の追加の詳細については、「エンゲージメントの関連アイテムからの既存の証拠を再利用」を参照してください。

エンティティ、コントロール、コントロール目標、コントロールテスト、エンゲージメント、問題テーブル

エンティティ、コントロール、コントロール目標、コントロールテスト、エンゲージメント、問題などのテーブルから作成します。ただし、ユーザーがこれらのテーブルから証拠を要求すると、実際の証拠要求タスクではなく証拠要求が作成されます。ユーザーは、生成された証拠要求レコードに移動し、証拠要求タスクを追加する必要があります。

この手順では、[自分の証拠 **(My Evidence)]** モジュールから証拠を要求する方法について説明します。

手順

1. 移動先 監査 > 自分の証拠要求.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

証拠要求フォーム

フィールド	説明
数値	証拠要求の一意の番号。
要求者	証拠を要求するユーザー。このフィールドは、自動的に入力されます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
ステータス	要求のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
タイプ	作成される証拠のタイプ。[監査] または [コンプライアンス] のいずれかです。
要求理由	証拠を要求する理由。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。ユーザーがウォッチリストに追加された場合、そのユーザーは次の場所に移動できます。 監査 > 証拠要求 > 証拠要求ウォッチリスト 要求を表示します。
名前	証拠要求の名前。
説明	証拠要求の詳細な説明。
スケジュール	
期日	証拠の送信予定日。
オープン	要求がオープンされた日付。この日付は自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
クローズ済み	要求がクローズされた日付。この日付は自動的に更新されます。
アクティビティ	
作業メモ	必要な可能性があるメモを入力します。
アクティビティ	要求のアクティビティログ。

4. フォームを保存します。
[証拠収集の詳細] 関連リストが表示されます。この関連リストは、証拠が要求されているアイテムを一覧表示するために使用されます。
5. [新規] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

証拠収集の詳細フォーム

フィールド	説明
証拠要求	証拠要求タスクの一意の番号。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。 証拠が適用されるすべてのテーブルを一覧表示します。
名前	証拠収集の詳細の名前。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
証拠収集手順	証拠を提供するための指示。たとえば、サポートドキュメント、ファイルなどのリストです。

7. **[OK]** をクリックします。
8. [送信] をクリックします。
9. [証拠を要求] をクリックします。
証拠要求が既に [対応中] ステータスであり、新しい証拠収集の詳細が追加された場合、証拠要求タスクはすぐにアサイニーに送信されます。
[証拠] 関連リストに証拠のリストが表示され、要求をアサインされたユーザーは、要求された証拠を提供するためのメール通知を受信します。また、要求のステータスが [対応中] に変更されます。
10. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の証拠要求タスク.
11. 証拠を提供するレコードを開きます。
12. [作業を承認] をクリックします。
13. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

証拠フォーム

フィールド	説明
番号	証拠要求の番号。この値はデフォルトで生成されます。
要求者	証拠を要求するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。 [アサイン先] フィールドの承認者、要求者、ウォッチリストのメンバー、またはユーザーである場合、証拠が [新規] または [対応中] ステータスであれば、[ウォッチリスト]、[名前]、および [説明] フィールドの詳細を編集できます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
ステータス	要求のステータス。
サブステート	なし。この値はデフォルトで生成されます。
要求理由	証拠を要求する理由。
承認者	レビューのために要求者に返される前に証拠を承認するユーザー。通常、承認者は証拠を提供するユーザーのマネージャーです。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。
名前	証拠要求の名前。名前はデフォルトで [証拠収集の詳細] の名前になります。
説明	証拠要求の詳細な説明。説明は、デフォルトで証拠要求フォームに指定された説明になります。
要求の詳細	
証拠要求	タスクに関連付けられた証拠要求の一意の ID。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。
証拠対象の説明	証拠が要求されているレコードの説明。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠収集手順	証拠を収集するための指示。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	マネージャーまたは要求者は、証拠要求タスクが対応中ステータスのときにこのフィールドを編集できます。

14. 添付された証拠の承認を要求するには、[承認要求] をクリックします。
15. 承認者が必要ない場合は、[レビューを要求] をクリックします。
16. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の承認.
17. 証拠を承認するレコードを開きます。
18. フォームで添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
承認	添付された証拠を承認します。要求者は、提供された証拠を取得します。
リビジョンを要求	添付された証拠のレビューを要求します。リビジョンを要求するときにコメントを入力します。アサイニーは、添付された証拠をレビューするための通知を受け取ります。
情報を要求	添付された証拠に関する詳細情報を求めます。アサイニーは、添付された証拠に関する詳細を提供するための通知を受け取ります。

19. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の処理待ちのレビュー.
20. 証拠フォームで、添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
証拠を承認	提供された証拠を承認します。
リビジョンを要求	証拠のレビューを要求します。適切でない場合は、変更を要求します。
キャンセル	証拠要求タスクをキャンセルします。
削除	証拠要求タスクを削除します。

21. [証拠要求] 関連リストを表示するフォームに移動します。
22. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > 関連リスト.
23. [利用可能] ボックスで [関連する証拠] アイテムを検索し、それを [選択済み] ボックスに移動します。
24. [保存] をクリックします。

エンゲージメントの関連アイテムからの既存の証拠を再利用

エンゲージメントの関連アイテムに既に存在する証拠について、監査およびコンプライアンスユーザーに通知します。証拠を要求しているエンゲージメントの関連アイテムテーブルに既に存在する場合は、その証拠を追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_audit.user

このタスクについて
エンゲージメントの場合、証拠はエンティティ、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、その他の問題、または任意の関連アイテムテーブルで作成できます。既存の証拠がある場合は、[証拠を要求] ポップアップに、追加できる可能性がある既存の証拠があるというメッセージが表示されます。

注:
追加できるのは、関連アイテムで直接作成された証拠、および [クローズ済み] ステータスの既存の証拠、および証拠応答の期限日から 6 か月以内の証拠のみです。

ログインユーザーは、証拠レコードが存在するエンゲージメントへのアクセス権を持っているか、それらを表示して追加するエンゲージメントレコードへのアクセス権を持っている必要があります。ログインしているユーザーがこれらのレコードにアクセスできない場合、これらの関連アイテムに証拠が存在しても、ユーザーが追加できるようには表示されません。

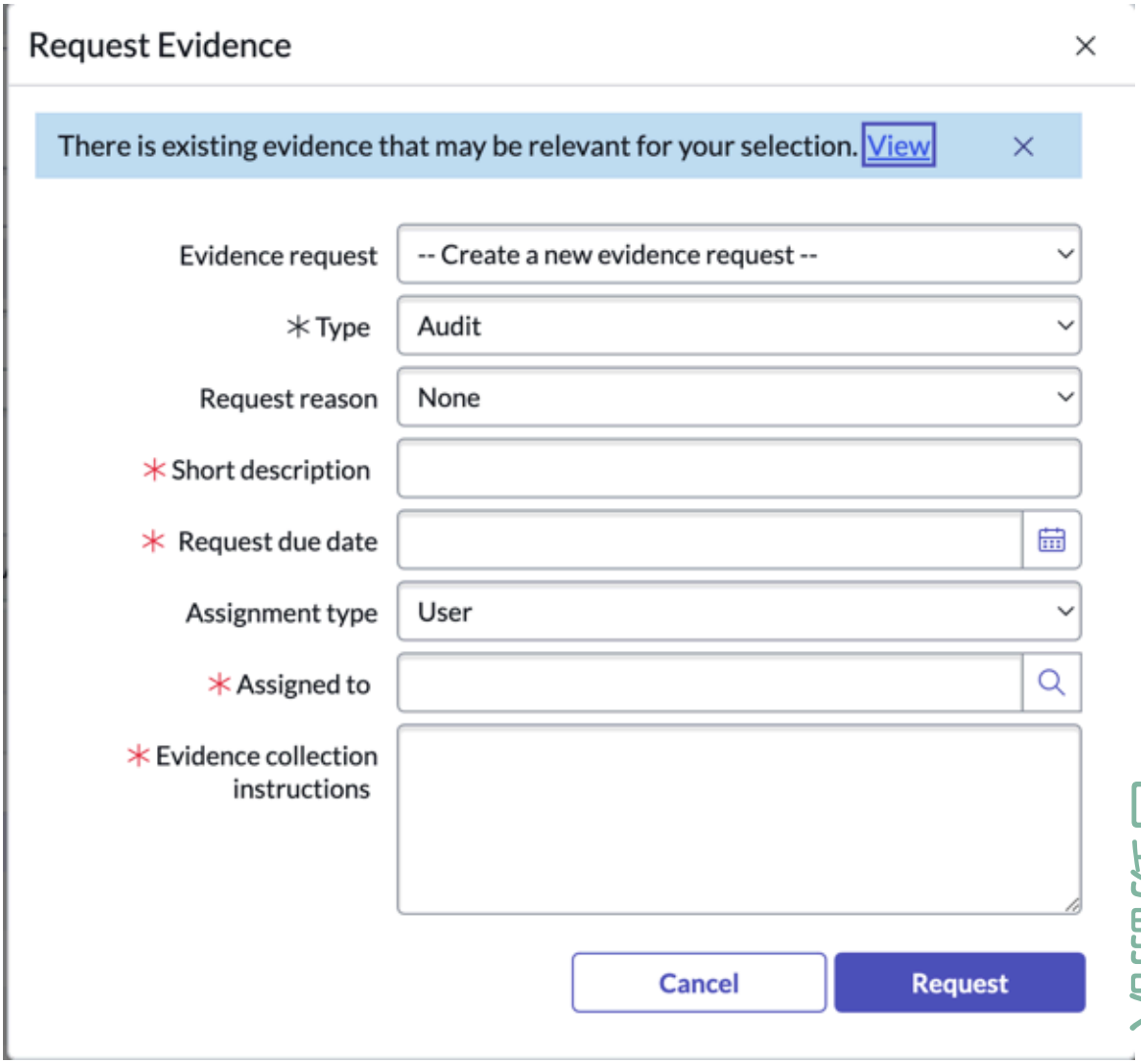
手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンゲージメント > すべてのエンゲージメント.
2. クリックしてエンゲージメントを開きます。
3. 証拠を要求する関連リストを選択します。
4. [選択した行のアクション] リストから、[証拠を要求] を選択します。
   新しい証拠要求を作成するか、既存の証拠要求を追加できます。証拠要求は作成されますが、証拠要求タスクは作成されません。
5. 新しい証拠要求を作成するには、[証拠を要求] ポップアップに詳細を入力し、[要求] ボタンをクリックします。
6. 既存の要求を表示するには、メッセージ内の [表示] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存の証拠を追加



自動翻訳

注:
既存の証拠がない場合、メッセージは [証拠を要求] ポップアップに表示されません。

7. 関連アイテムで作成された既存のすべての証拠を表示するには、[証拠] 関連リストをクリックします。
   証拠が [完了してクローズ] ステータスの場合、[新規]、[既存の証拠を追加]、[削除]、[削除] などの UI アクションボタンは無効になります。これらの UI アクションは、エンゲージメントまたはその他の監査およびコンプライアンスオブジェクトがアクティブステータスである場合にのみ実行できます。
8. 証拠を関連付けるには、[既存の証拠を追加] ボタンをクリックして証拠を選択します。

注:
[既存の証拠を追加] ボタンは、エンゲージメントフォームの証拠関連アイテムでのみ使用でき、クラシック環境の他のコンプライアンスまたは監査オブジェクトでは使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. エンゲージメントにリンクされた証拠の関連付けを削除するには、[証拠] 関連リストで証拠を選択し、[選択した行のアクション] リストで [削除] をクリックします。

   注:
   削除アクションは、既存の証拠の関連付けをエンゲージメントから削除するだけで、データベースからは証拠レコードを削除しません。

要求された証拠を提供する

要求された場合は証拠を提供します。証拠が要求されると、証拠を提供する必要があるユーザーはメールを受信します。証拠を提供するプロセスが開始されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて
アサイニーは、要求された証拠を提供するためのメールを受信すると、要求された証拠を提供するか、別のユーザーに要求を再アサインすることができます。アサイニーは、要求された証拠を送信する前に承認者を追加して、証拠のセキュリティを強化することもできます。アサイニーが要求を他のユーザーに再アサインした場合、元のアサイニーは要求を表示できなくなります。提供された証拠が承認者を必要としない場合、アサイニーは証拠のレビューを直接要求でき、要求者は証拠をレビューするための通知を受け取ります。

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の証拠要求タスク.
2. 証拠を提供するレコードを開きます。
3. [作業を承認] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

証拠フォーム

フィールド	説明
番号	証拠要求の番号。この値はデフォルトで生成されます。
要求者	証拠を要求するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。 [アサイン先] フィールドの承認者、要求者、ウォッチリストのメンバー、またはユーザーである場合、証拠が [新規] または [対応中] ステータスであれば、[ウォッチリスト]、[名前]、および [説明] フィールドの詳細を編集できます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	要求のステータス。
サブステート	なし。この値はデフォルトで生成されます。
要求理由	証拠を要求する理由。
承認者	レビューのために要求者に返される前に証拠を承認するユーザー。通常、承認者は証拠を提供するユーザーのマネージャーです。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。
名前	証拠要求の名前。名前はデフォルトで [証拠収集の詳細] の名前になります。
説明	証拠要求の詳細な説明。説明は、デフォルトで証拠要求フォームに指定された説明になります。
要求の詳細	
証拠要求	タスクに関連付けられた証拠要求の一意の ID。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。
証拠対象の説明	証拠が要求されているレコードの説明。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠収集手順	証拠を収集するための指示。 マネージャーまたは要求者は、証拠要求タスクが対応中ステータスのときにこのフィールドを編集できます。

自動翻訳

5. 添付された証拠の承認を要求するには、[承認要求] をクリックします。
6. 承認者が必要ない場合は、[レビューを要求] をクリックします。

証拠レビュー前に証拠を承認する

要求者が証拠を表示する前に、提供されている証拠を承認します。証拠要求に応じて証拠が提供される場合、証拠を要求者に送り返す前に、その証拠を承認する必要があります。この機能により、証拠のセキュリティと機密性が保証されます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

承認者は、証拠を承認する要求を受信した後、次のいずれかを実行できます。

- 問題や懸念がない場合は、要求を承認する。
- 添付された証拠が正しくないか、修正が必要な場合は、その証拠のリビジョンを要求する。
- 承認者が添付された証拠に関する詳細を必要とする場合は、情報を要求する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の承認.
2. 証拠を承認するレコードを開きます。
3. フォームで添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
承認	添付された証拠を承認します。要求者は、提供された証拠を取得します。
リビジョンを要求	添付された証拠のレビューを要求します。リビジョンを要求するときにコメントを入力します。アサイニーは、添付された証拠をレビューするための通知を受け取ります。
情報を要求	添付された証拠に関する詳細情報を求めます。アサイニーは、添付された証拠に関する詳細を提供するための通知を受け取ります。

証拠要求を承認、却下、またはキャンセルする

要求した証拠を受信したら、証拠要求を承認、却下、またはキャンセルする。証拠要求を要求した後、要求者が証拠を受け取ると、その証拠要求を承認、却下、またはキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.user

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の処理待ちのレビュー.
2. 証拠フォームで、添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
証拠を承認	提供された証拠を承認します。
リビジョンを要求	証拠のレビューを要求します。適切でない場合は、変更を要求します。
キャンセル	証拠要求タスクをキャンセルします。
削除	証拠要求タスクを削除します。

関連する証拠を確認

証拠要求機能には、関連する証拠と呼ばれる関連リストが含まれていますが、これはデフォルトでは表示されません。この関連リストは、現在のレコードに対して直接要求されていないが、関連レコードに関連付けられている証拠のリストを提供します。たとえば、コントロール目標フォームの関連証拠リストには、関連するコントロールに対して要求された証拠が表示されます。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
関連証拠関連リストは、証拠要求機能全体でさまざまなフォームで使用できます。ただし、ベースシステムには表示されません。利用可能な任意のフォームをカスタマイズできますが、この関連リストを有効にするとシステムのパフォーマンスに影響を与える可能性があることに注意してください。

関連証拠関連リストを表示できるテーブル

テーブル名	表示される関連証拠のタイプ
各種法令・基準等	この各種法令・基準等にマッピングされた証拠要求タスク。
信頼できるソースコンテンツ	引用に関連付けられたコントロール目標に対して作成された証拠要求タスク。
コントロール	コントロールテストで作成された証拠要求タスクとコントロールに対して作成された問題。
コントロール目標	コントロール目標に関連付けられたコントロールに対して作成された証拠要求タスク。
コントロールテスト	コントロールテストに関連付けられたコントロールに対して作成された証拠要求タスク。
エンゲージメント	エンティティで作成された証拠要求タスク、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、およびエンゲージメントにマッピングされた問題が表示されます。
エンティティ	エンティティ、そのエンティティで作成された問題に関連付けられたコントロールで作成された証拠要求タスク。
ポリシー	ポリシーに関連付けられたコントロール目標に対して作成された証拠要求タスク。

自動翻訳

手順

1. [証拠要求] 関連リストを表示するフォームに移動します。
2. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > 関連リスト.
3. [利用可能] ボックスで [関連する証拠] アイテムを検索し、それを [選択済み] ボックスに移動します。
4. [保存] をクリックします。

従業員センター から GRC タスクを管理

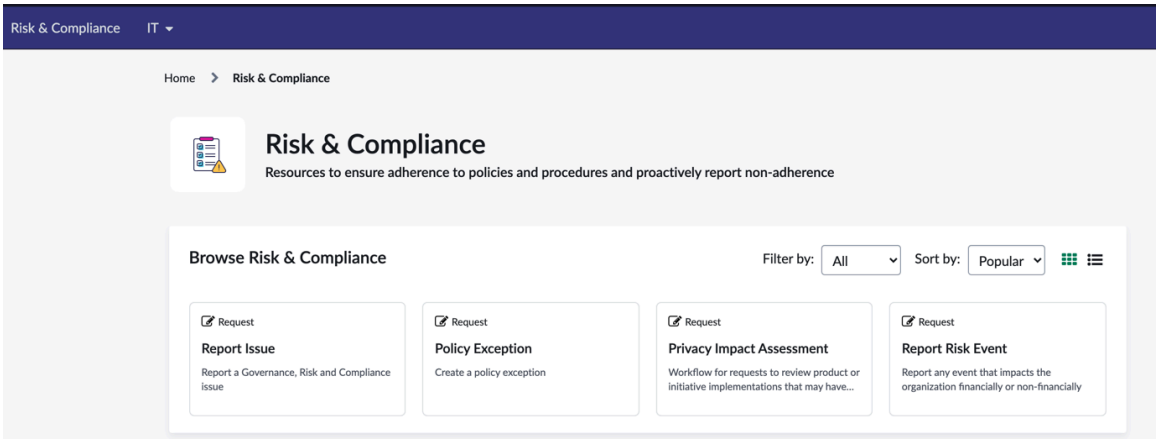
従業員センター は、従業員のニーズに基づくエンタープライズサービス向けに設計されています。Employee Center は、ビジネスユーザーサービスポータルとも呼ばれます。これは、このポータルが、問題のトリアージを要求したり、ポリシーの例外を生成したりするための GRC ビジネスユーザー専用のポータルであるためです。

従業員センター の [リスクとコンプライアンス] セクションを使用して、問題のトリアージ、ポリシー例外の発生、GRC アセスメントなどの一般的なコンプライアンスタスクを管理できます。

GRC ビジネスユーザーロールを持つユーザーとしてログインすると、自分に割り当てられているすべてのタスクを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員センター からの **GRC** コンプライアンスタスク



関連情報

- 従業員センター から GRC の問題を報告
- 従業員センター からポリシー例外を作成
- 従業員センター ポータルからコントロールアセスメントを完了する
- 従業員センター ポータルのポリシーナレッジベースとクイックリンク
- 従業員センター での類似のアセスメントに関するグループアセスメント

従業員センター から **GRC** の問題を報告

従業員ポータルを使用して、監査対象者または問題オーナーとして修正が必要な問題として確認された観察事項に関連するアクションプランをレビューし、作業します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

> **注:**
> GRC: Advanced Core をインストールしている場合、*sn_grc_advanced.enable_my_issues_hide_my_reported_issues* システムプロパティの値も **[true]** に設定されます。従業員センター で問題のトリアージフォームを表示するには、これら 2 つの条件を満たしている必要があります。満たしていない場合は、[問題] フォームのみを表示できます。

このタスクについて

[問題を報告] フォームを使用して、コントロールのブレークダウン、欠落しているポリシー、またはポリシー、標準、指針、規制に準拠していないイベントを報告します。このフォームを使用して、改善を提案したり、リスクイベントを報告したりすることもできます。

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [すべてのリスクとコンプライアンスを参照**(Browse all Risk & Compliance)**] セクションを選択します。
3. [問題を報告] カタログアイテムを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題を報告フォーム

フィールド	説明
問題は何ですか？	問題の簡潔な説明。
詳細に説明してください	問題の詳細な説明。
問題を発見したのはいつですか？	問題が特定された日付。
この問題は何に関連していますか？	問題と関連のあるエンティティ。
何が影響を受けましたか？	選択したエンティティのレコード詳細。 このフィールドのオプションは、前のフィールドで選択したエンティティによって異なります。
これはどのタイプの問題ですか？	問題の種類。
その他	問題に関連するエンティティの正しいカテゴリが見つからない場合に選択するオプション。 [その他] オプションを選択すると、次の 4 つのフィールドが表示されます。
インシデントは既に発生していますか？	インシデントが以前に発生したかどうかを示します。
金銭的損失はありましたか？	問題に関連する金銭的損失。
通貨	損失が推定される通貨。 金銭的な損失があった場合、このフィールドが表示されます。
予想される金銭的損失はどのくらいですか？	問題の結果としての損失の推定金額。
影響度評価を選択	問題の金銭以外の影響。選択肢は次のとおりです。 ○ 低 ○ 中 ○ 高
イベントはどのようにして検出されましたか？	問題が特定されたソース。
問題を抑制または修正するために、これまでにどのようなアクションをとっていますか？	問題を修正するために実行されたアクションの簡潔な説明。
この問題の根本原因は何だと思いますか？	問題の根本原因の分析。

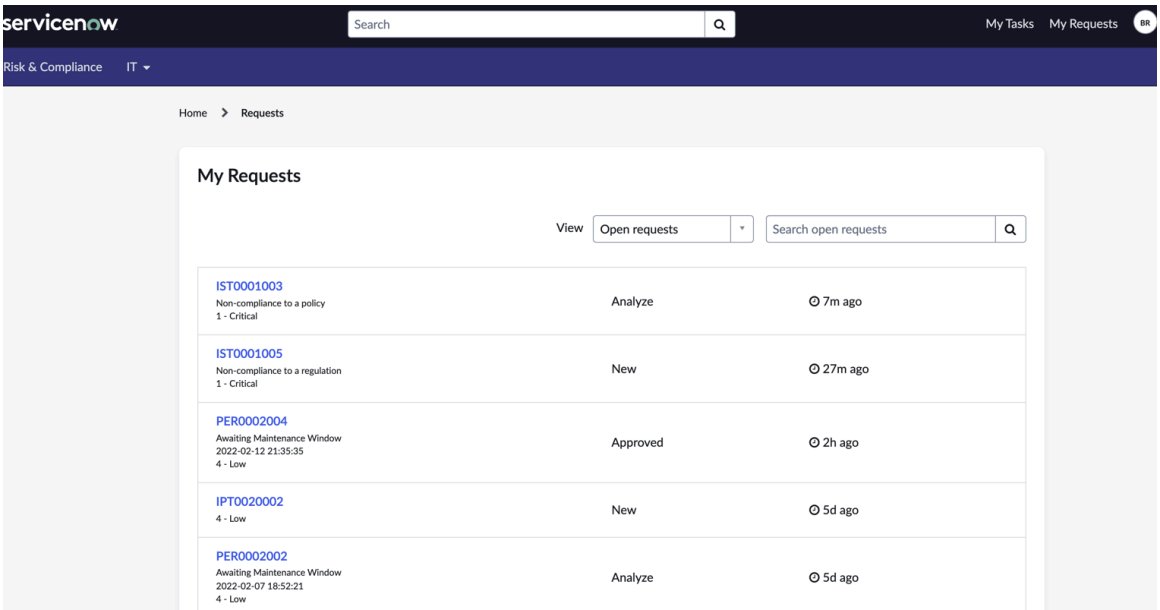
5. [送信] を選択します。
   問題トリアージ要求番号を表示できる [自分の要求] サマリーページが表示されます。このページは読み取り専用であり、ビジネスユーザーとして作成したすべての要求を表示できます。
6. [アクティビティ] フィールドにメッセージを投稿して、トリアージの際に問題に優先順位を付けます。
7. [添付ファイル] タブを選択して、問題に関連するドキュメントを添付します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 右上隅の [自分の要求] リンクをクリックすると、問題と問題のトリアージを含むすべての要求が表示されます。

自分の要求ページ



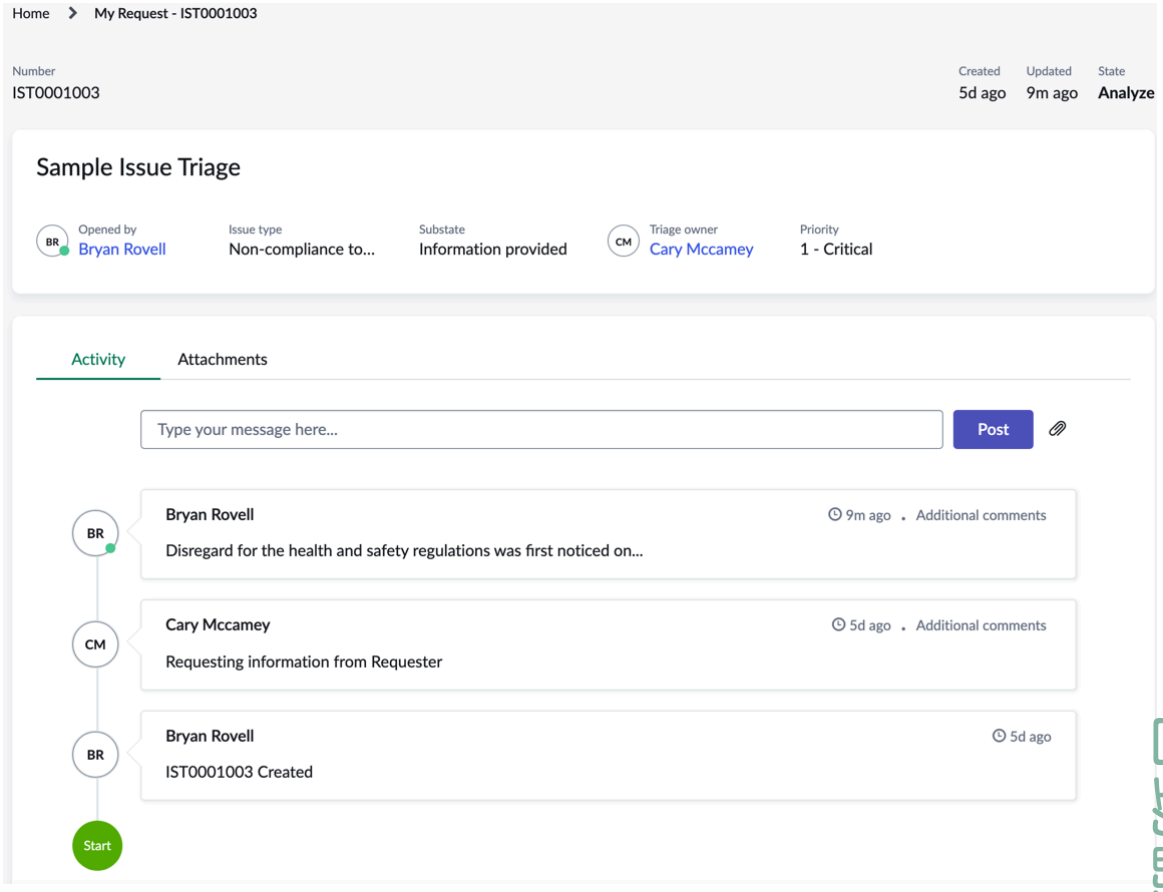
9. IST のプリフィックスが付いた問題トリアージ要求番号をクリックすると、承認者からのメッセージがあれば表示されます。
問題トリアージリストビューのヘッダーには、問題トリアージを開いたユーザーの名前、問題タイプ、サブステート、トリアージオーナー、およびその優先度が表示されます。
10. 問題トリアージに関する追加情報をトリアージオーナーに送信するには、[アクション] リストをクリックします。
11. [追加情報を送信] ポップアップの [コメント] フィールドに情報を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. [送信] ボタンをクリックします。

問題トリアージページのリストビュー



従業員センター からポリシー例外を作成

従業員センター を使用して、例外が適用されるシステム、アプリケーション、ネットワーク、またはエンティティの特定のリストで例外の理由を指定することで、ポリシー、コントロール目標、コントロール、または問題の例外を要求します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [すべてのリスクとコンプライアンスを参照**(Browse all Risk & Compliance)**] セクションを選択します。
3. [ポリシー例外] カタログアイテムを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

ポリシー例外フォーム

フィールド	説明
例外は何ですか？	作成するポリシー例外のタイプ。オプションは次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	○ ポリシー：ポリシーに基づいてポリシー例外を作成します。 ○ コントロール目標：デフォルトは、ポリシー例外が作成される単一のコントロール目標です。 ○ コントロール：複数のコントロールでポリシー例外を作成するオプション。 ○ 問題：問題に関するポリシー例外を作成するオプション。
ポリシー	このポリシー例外に関連付けられているポリシー。
コントロール目標	このポリシー例外に関連付けられたコントロール目標。 コントロール目標を選択すると、[影響を受けるコントロール] フィールドが表示されます。
コントロール	異なるコントロール目標から複数のコントロールを関連付けるには、[コントロール] を選択します。このオプションは、複数のコントロールに適用される複数のポリシー例外を作成するのではなく、ポリシー例外の複数のコントロール目標をサポートします。
問題	このポリシー例外に関連する問題。
影響を受けるコントロール	コントロール目標に関連付けられたコントロール。
簡単な説明	ポリシー例外要求の簡潔な説明。
説明	ポリシー例外要求の詳細な説明。
理由	例外の理由
正当性	ポリシー例外の証拠または根拠。
リスク詳細	リスクアセスメント中にリスクマネージャーによって実行されたリスクの説明。
有効期限開始	ポリシー例外が開始される日。
有効期限	ポリシー例外が終了する日。
優先度	このポリシー例外の承認優先度。
ウォッチリスト	要求が更新されたときに通知されるユーザー。

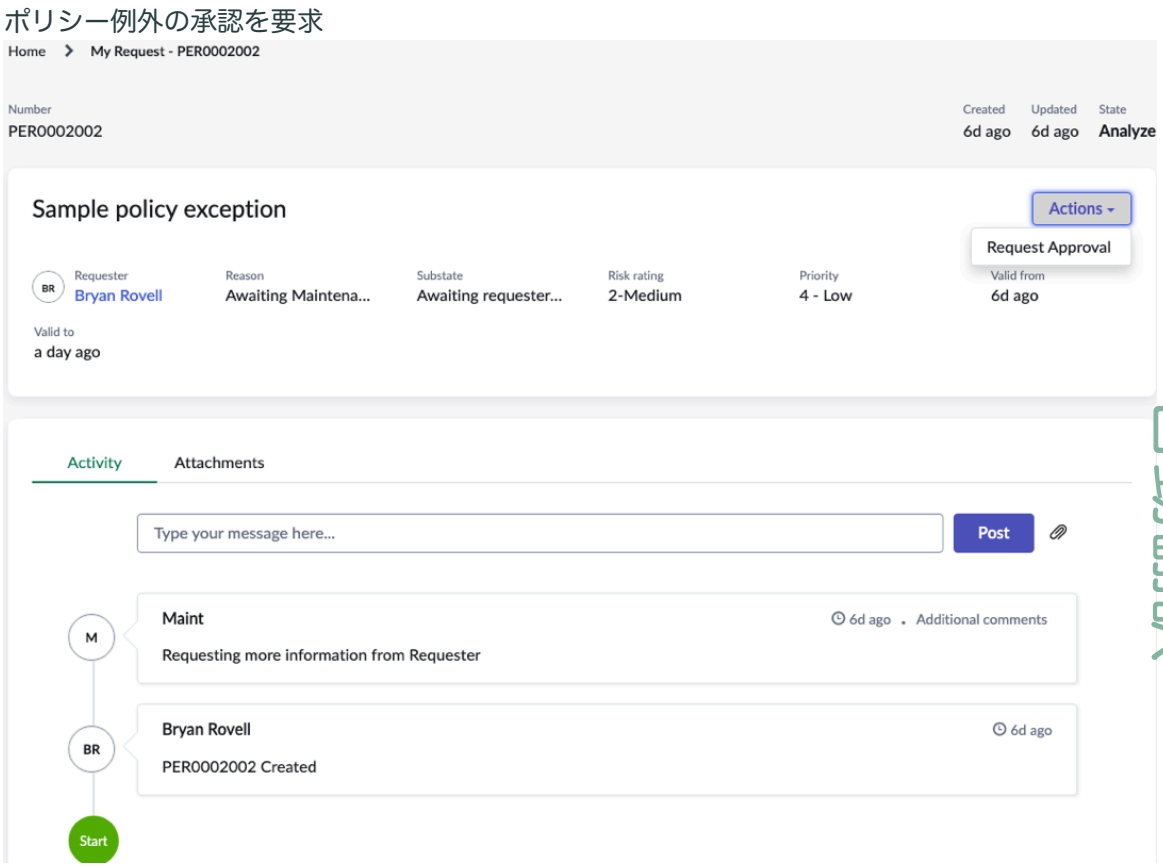
5. [送信] をクリックします。
   [自分の要求] ページに移動し、送信されたポリシー例外要求のポリシー例外番号を確認できます。このページは読み取り専用であり、ビジネスユーザーとして作成したすべての要求を表示できます。
6. [アクティビティ] フィールドでポリシー例外をサポートするメッセージを投稿します。
7. ポリシー例外に関連するドキュメントを添付するには、[添付ファイル] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 右上隅の [自分の要求] リンクをクリックすると、問題とポリシー例外を含むすべての要求のリストが表示されます。
   リストには一度に 15 件の要求が表示されます。要求をさらに表示するには、[その他の要求を表示] をクリックします。
9. 要求が [分析] ステータスの場合は、[アクション] リストから [承認を要求] を選択します。

   従業員センター からポリシー例外が発生し、検証ルールが設定されていない場合、ポリシー例外は [分析] ステータスに移行します。ただし、ポリシー例外に対して検証ルールが設定されている場合は、ポリシー例外が [新規] ステータスに移行し、検証承認プロセスがトリガーされます。検証ルールが設定されると、承認者はポリシー例外を検証して承認する必要があります。その後、ポリシー例外は [分析] ステータスに移行します。



10. ポリシーの例外が承認された後、ポリシーの例外の延長を要求できます。[アクション] リストから [延長を要求] を選択します。

    a. 現在の [有効期限] より後の新しい延長日を入力します。
       デフォルトでは、[有効期限開始] から 30 日を超えてポリシーを延長することはできません。ただし、ポリシーの最大例外期間に基づいて、延長を緩和できます。

    b. [延長理由] フィールドのリストから延長の理由を選択します。

    c. 延長の理由を入力します。

    d. [要求] をクリックします。
       要求に利用できる残りの延長数が [残りの延長] として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

従業員センター ポータルからコントロールアセスメントを完了する

従業員センター ホームページを使用して、すべての要求を表示し、問題の要求とポリシーの例外を生成し、すべての GRC アセスメントを完了します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

GRC タスクリンクを選択すると、オープンになっているすべての処理待ちのタスクを管理できます。デフォルトでは、自分にアサインされている、ステータスがオープンのすべてのインジケータータスクが表示されます。他のステータスのインジケータータスクを表示するには、[ステータス] 列の横にあるフィルターアイコンを選択します。

このページから移動して、コントロール証明書、リスクアセスメント、リスク識別アンケート、プライバシーアセスメントなどのすべての GRC アセスメントを含むすべてのアクティブなアイテムを管理できます。

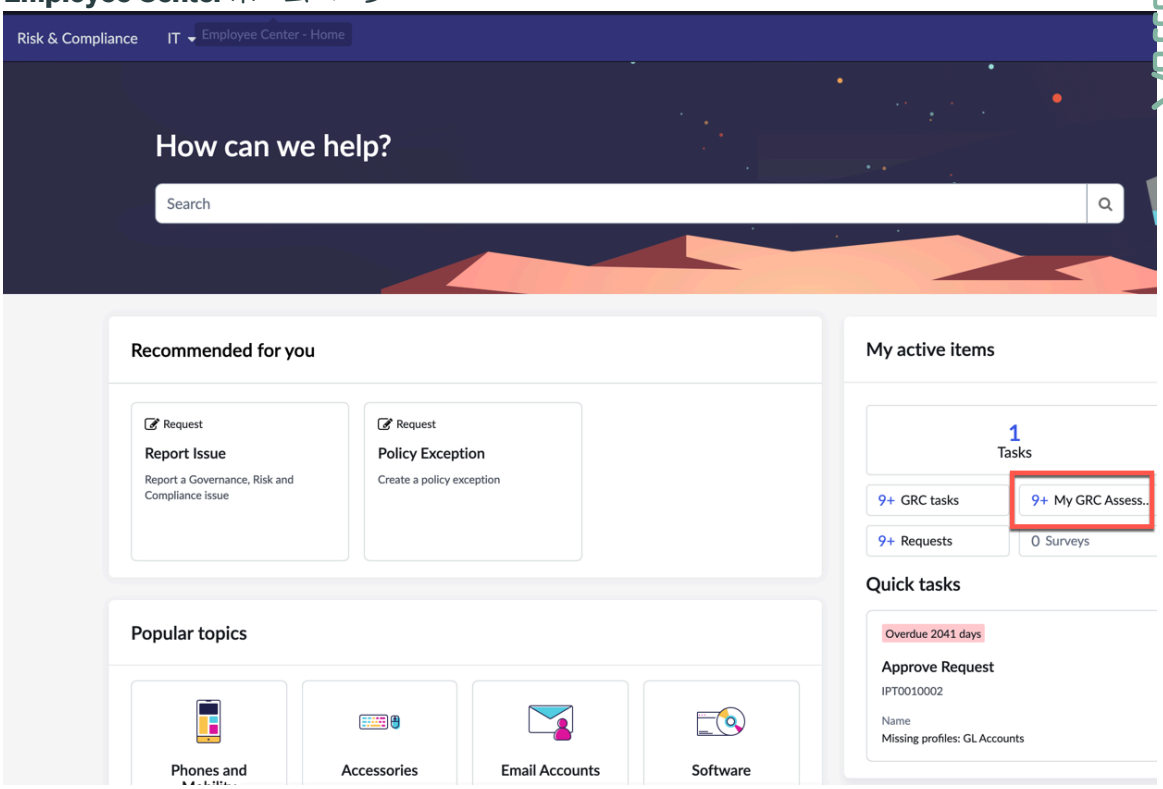
注:

[リスク識別アンケート] タイルは、GRC: Advanced Core プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. ホームページの [自分のアクティブなアイテム] ペインで [自分の **GRC** アセスメント] を選択します。

Employee Center ホームページ

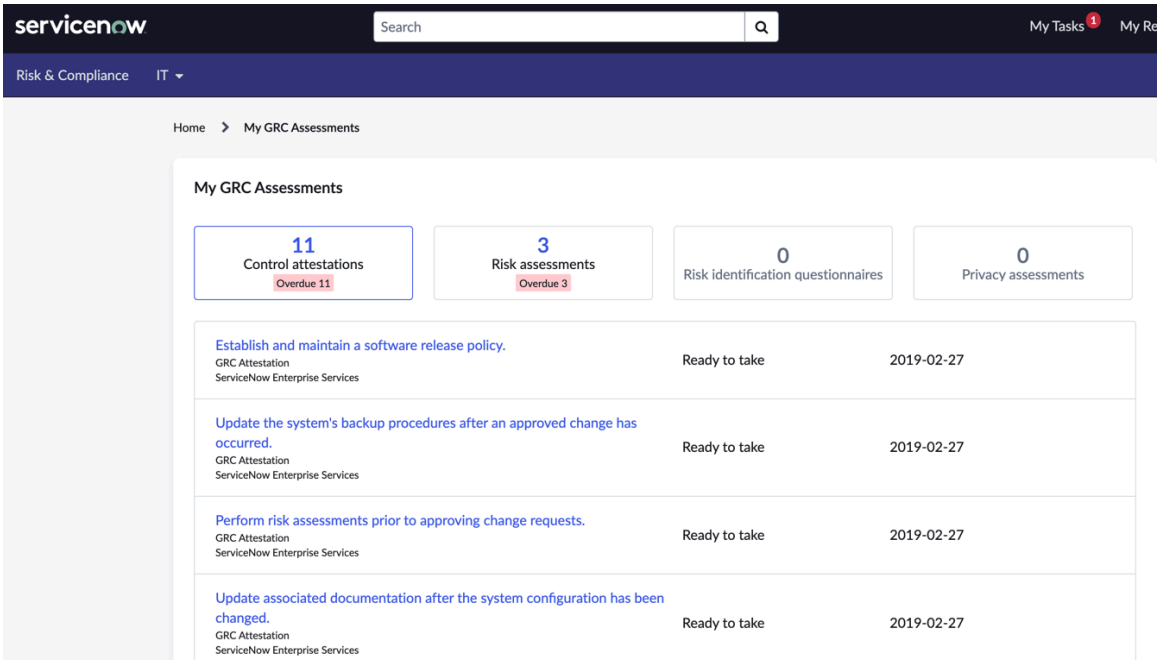


[コントロール証明書] タイルがハイライト表示され、有効で期限切れのすべての証明書が一覧表示されます。また、期限切れでリストの最初に登録されているコントロール証明書の数も表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

従業員センター での自分の **GRC** アセスメント



一度に 15 個のアイテムのみを表示するというページネーションの制限があります。

3. 要求をさらに表示するには、[その他の要求を表示] を選択します。
4. 証明するリスト内のコントロール証明書アイテムを選択します。
   ヘッダーには、コントロール目標、コントロール証明書が属するエンティティ、およびその説明が表示されます。
5. [開始 **(Get Started)]** ボタンを選択します。
6. 添付ファイルと説明を入力して証明書を完成させ、[送信] を選択します。

従業員センター ポータルのポリシーナレッジベースとクイックリンク

従業員センター で公開されたポリシーに関連するすべてのナレッジベース (KB) 記事を表示できます。

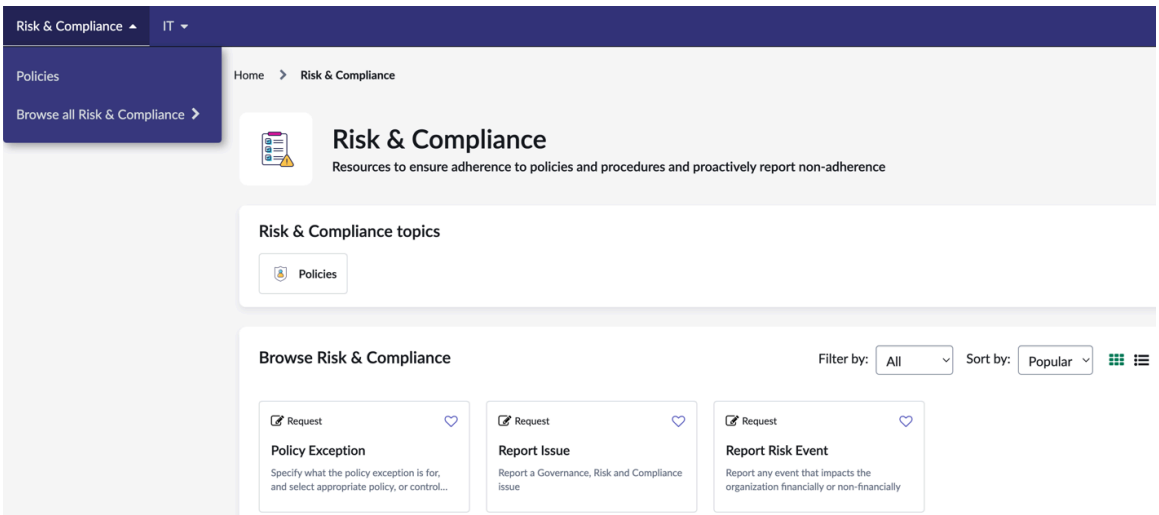
[リスクとコンプライアンス] セクションで [ポリシー] オプションを選択すると、[ポリシー] ページが表示され、まだ有効期限が切れていないすべてのナレッジベース (KB) 記事を表示できます。

注:
[有効期限] の日付が過ぎている場合でも、すべての KB を表示できます。ただし、ポリシーが廃止されると、対応する KB も廃止され、廃止された KB は表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

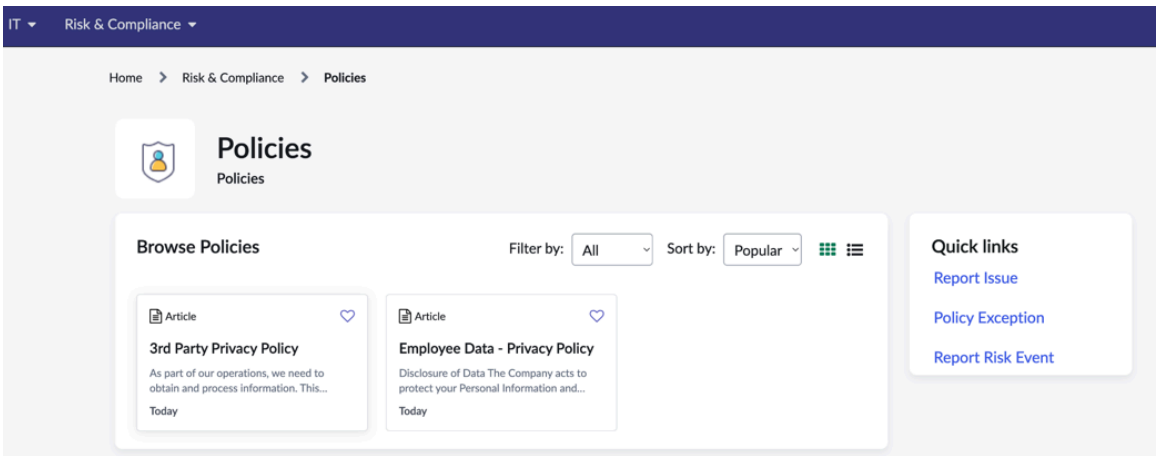
従業員センター のポリシートピック



管理者は、スケジュール設定済みジョブ、*Pull the knowledge base articles related to policies*、をオンデマンドで実行し、公開されたポリシーのすべての KB 記事をプルし、それらを [ポリシー] トピックにリストします。公開されたポリシーの KB は、スケジュール設定済みジョブが実行された場合にのみポリシーページに一覧表示されます。ビジネスユーザーまたはビジネスユーザーの Lite ロールを持つユーザーには、公開された KB の読み取りアクセス権があります。

それぞれのフォームへの [クイックリンク] にアクセスして、それぞれのタスクを作成して実行します。たとえば、問題を作成するには、[問題を報告] リンクを選択し、問題の詳細を入力して送信します。レポートイベントにすばやくアクセスし、[リスク] および [Policy and Compliance] に関するポリシーの例外を発生させるために、同様のリンクがそれぞれリストされています。

従業員センター で **KB** を表示



従業員センター での類似のアセスメントに関するグループアセスメント

同じエンティティまたはコントロール目標があるアセスメントを測定基準タイプに基づいてグループ化し、さらに同じエンティティ、コントロール目標、またはカテゴリをグループ化することで、類似のアセスメントへの応答を提供します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて

構成可能ワークスペース では、コントロール証明書のみをグループ化できます。リスクアセスメント、ベンダーアセスメント、またはプライバシーアセスメントはグループ化できません。このようなアセスメントと、選択した[グループ分け基準] 基準でグループ化できないアセスメントは無効として

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マークされ、[グループアセスメント] ポップアップの [グループプレビュー] に、そのようなアセスメントを表示するためのリンクとともに表示されます。

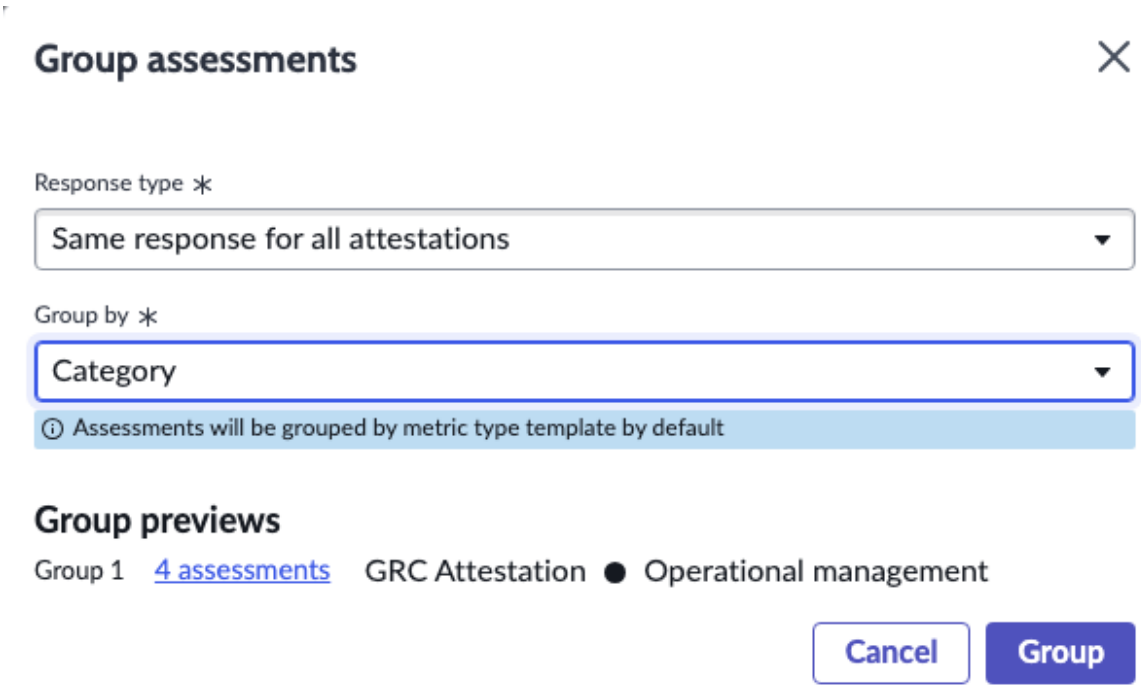
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. ホームページの [自分のアクティブなアイテム] ペインで **[GRC** タスク] を選択します。
3. 左ペインで [タスク] アイコンを選択します。
4. [タスク] ページのリストビューで、グループ化する証明書レコードを選択します。

   注:
   レコードは少なくとも 2 つ選択する必要があります。グループ化には最大 13 のアセスメントレコードを選択できます。

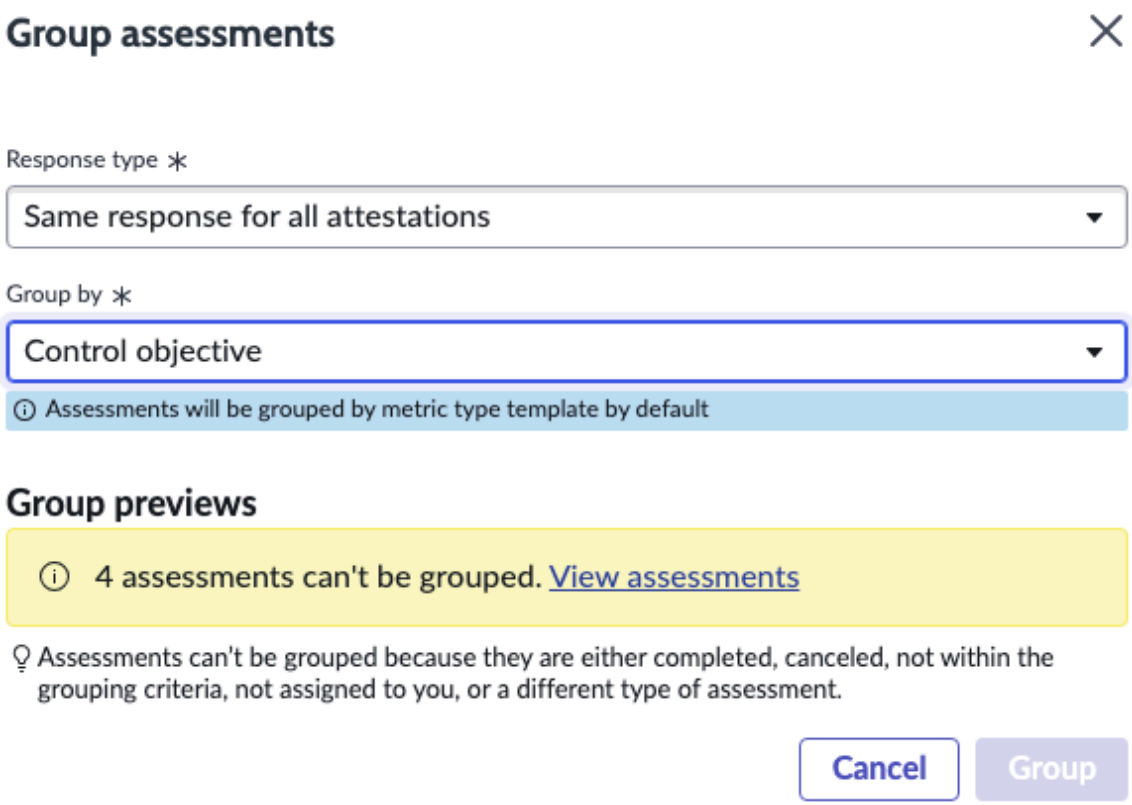
5. [グループアセスメント] ボタンを選択します。
6. [グループアセスメント] ポップアップで [応答タイプ] を選択します。
   応答タイプの詳細については、「同じ応答機能を使用してコントロール証明書を統合する」を参照してください。
7. [グループ分け基準] リストで、アセスメントをグループ化する基準を選択します。
   デフォルトでは、アセスメントは測定基準タイプテンプレート別にグループ化されます。アセスメントは、カテゴリ、エンティティ、またはコントロール目標別にグループ化できます。選択したアセスメントに共通のカテゴリ、エンティティ、またはコントロール目標がある場合、これらは自身の選択に基づいてグループ化されます。ただし、選択したアセスメントにグループ化に使用できる共通の基準がない場合、アセスメントは一切グループ化されません。

   [グループプレビュー] セクションには、グループ化の詳細、リンク付きのアセスメント、および適切なメッセージ情報 (グループ化されているか、または [グループ分け基準] 条件や、ステータス、アサイニー、測定基準タイプの評価方法に基づいてグループ化できないか) が表示されます。



自動翻訳

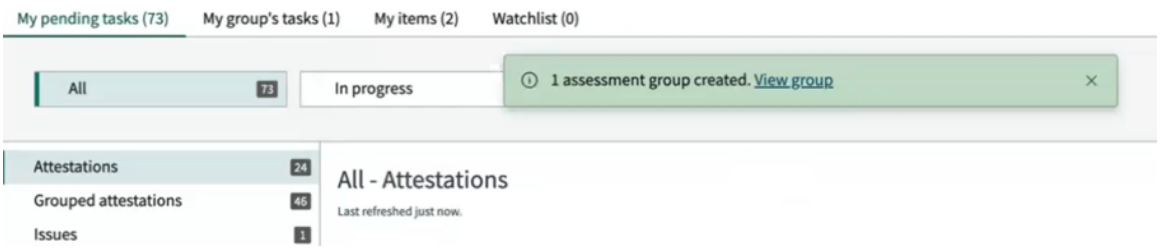
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. [グループ] ボタンを選択します。
   アセスメントのグループ化に成功すると、アセスメントグループが作成されたことを示すメッセージと、グループ化されたアセスメントへのリンクが表示されます。

   選択したアセスメントのうち、いくつかのアセスメントが選択した条件でグループ化できなかった場合、[グループプレビュー] ペインにはグループ化できなかったアセスメントの数が表示されます。ただし、選択した [グループ分け基準] 条件でグループ化できた他のアセスメントが選択にあるため、グループ化が成功した残りの部分を選択してグループ化するための [グループ] ボタンがアクティブになります。

   一方、リスクアセスメントやプライバシーアセスメントなど、選択したすべてのアセスメントが無効である場合、そのようなアセスメントはグループ化できないため、[グループ] ボタンは無効になります。

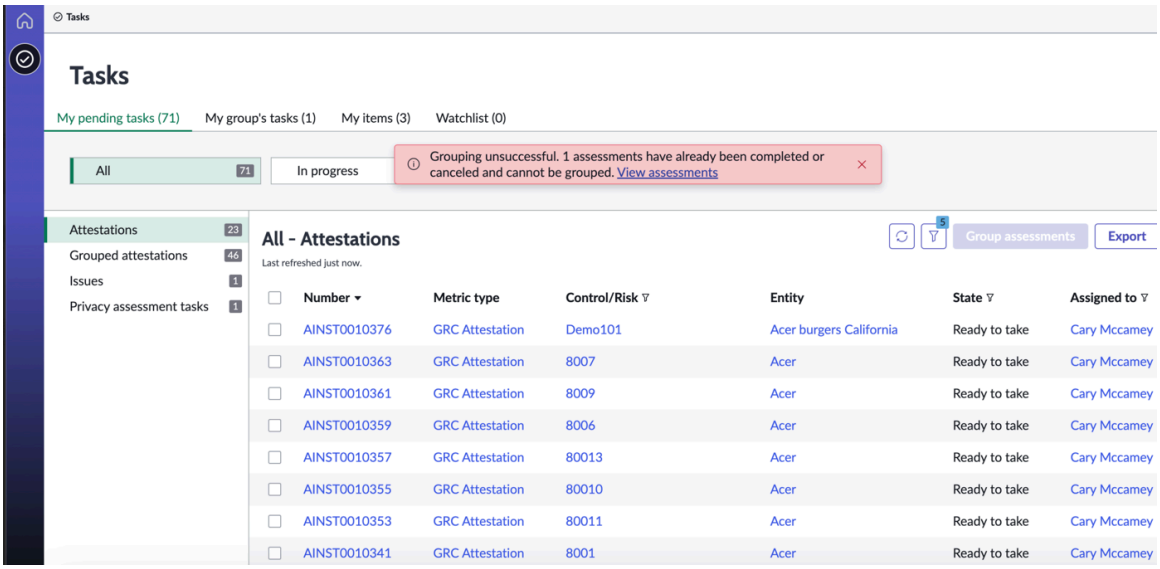


   注:
   [取得可能] または [進行中] ステータスのアセスメントはグループ化できますが、[完了] または [キャンセル済み] ステータスのアセスメントはグループ化できません。

   グループ化するために選択したレコードのステータスが変更され、[グループ] ボタンを選択してアセスメントをグループ化する前にアセスメントが行われている場合、そのようなレコードはグループ化できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. グループ化されたアセスメントへのリンクを UI メッセージ内で選択します。
   リンクをクリックすると、グループ化されたアセスメントのリストビューに移動します。または、左ペインで [グループ化された証明書] を選択する方法もあります。[アセスメントのインスタンス] ページが開き、アセスメントを取得できます。

コンプライアンスワークスペース でコンプライアンスタスクを実行

バージョン 13.0.0 以降、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに新しいワークスペースが導入されています。新しいワークスペースは、改善されたユーザーエクスペリエンス (UX) と簡素化されたユーザージャーニーを提供します。

注:

コンプライアンスワークスペース は GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに依存しており、このアプリケーションはワークスペースプラグインがインストールされると自動的にインストールされます。

GRC コンプライアンスワークスペース

コンプライアンスワークスペース は、ポリシー、コントロール目標、コントロール、問題、およびポリシー例外に関連するすべてのタスクを管理できる統一されたインターフェイスです。

コンプライアンスワークスペースの概要

コンプライアンスワークスペース のハイライトは次のとおりです。

再構築されたユーザーエクスペリエンス

コンプライアンスワークスペース ホームページに移動するとすぐ、ワークスペースで実行できるすべてのタスクは、ビジネス目標を達成するために簡素化されます。

さまざまなコンプライアンスユーザーロール向けに設計されたワークスペース

企業コンプライアンスマネージャーと企業コンプライアンスアナリストの個別ページビュー。

さまざまなセクションがあるホームページ

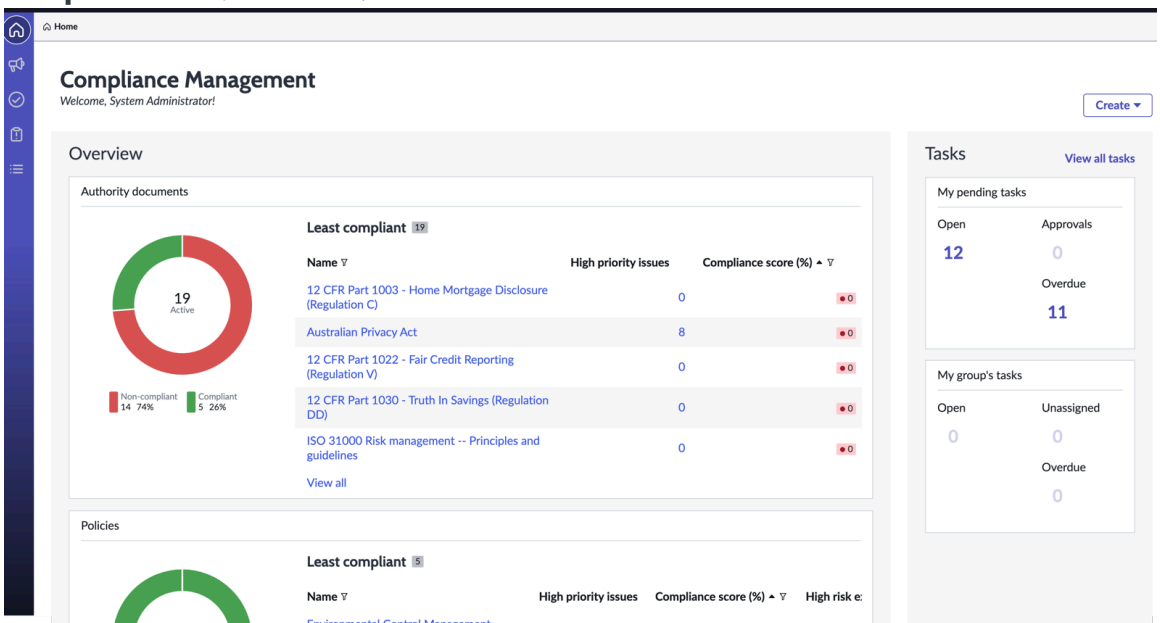
概要

ドーナツグラフには、準拠および非準拠の各種法令・基準等、ポリシー、エンティティが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Compliance ワークスペースホームページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール保証

ドーナツグラフ、ステータス別グループインジケーター、およびステータス別の証明書を表示します。コントロールによってグループ化されたコントロールテストの水平バーとコントロールの有効性により積み重ねられた分類です。

追跡中

ステータス別にグループ化され、分類別に積み重ねられたコントロールウィジェットを表示します。ステータスごとにグループ化され、優先度別に積み重ねられた問題の水平バーです。

注:
コントロールテストウィジェットは、Audit プラグインがアクティブ化されている場合にのみ表示されます。

問題をフィルタリングするための基本条件は、[分類] が [コンプライアンス] または [空] である必要があり、また、問題にエンゲージメントとの m2m 関連付けがある場合は、ログインしているユーザーは、監査人、エンゲージメントリードまたは承認者などの 3 種類のユーザーのいずれかである必要があります。ベースフィルター条件は コンプライアンスワークスペース に適用され、コンプライアンスの問題を定義します。

タスク

処理待ちのタスクとグループのタスクを表示します。[すべてのタスクを表示] リンクをクリックすると、統一されたタスクページに移動できます。

統一されたタスクページ

単一のインターフェイスから自分のタスクとチームのタスクを追跡します。タスクをカテゴリ別に表示し、さまざまなパラメーターでフィルターして、開始したタスクを監視し、ウォッチリストで追跡します。

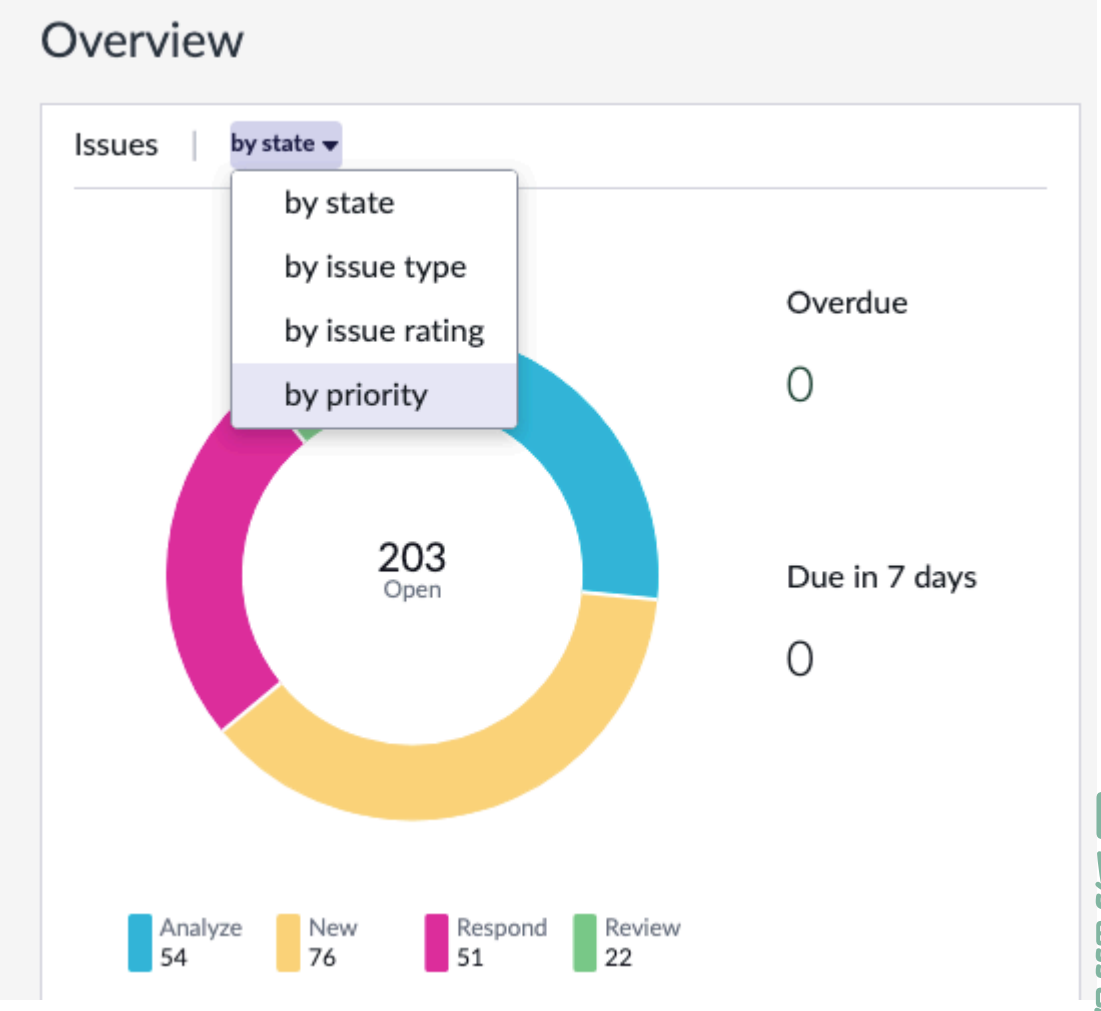
問題の概要

問題に関するすべての情報を表示するための専用ページ。

問題の概要ページには、オープン、期限切れ、期限が 7 日以内の問題の概要が表示されます。ステータス、問題タイプ、問題評価、または優先度に基づいて問題をグループ化できます。追跡セクションを使用して、修正タスクと例外のステータスを取得します。[パフォーマンス] セクションで、時間の経過とともにオープンおよびクローズされた問題の傾向を取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の概要



Lists

すべてのコンプライアンス関連レコードのリストビュー。レコードの概要が単一のビューに表示され、分析と情報に基づいた意思決定に役立ちます。

注:
Audit プラグイン、Regulatory Change Management プラグイン、および Privacy Management プラグインがインストールされると、それぞれ [コントロールテスト] ウィジェット、[規制の変更] ウィジェット、および [ドメインコンプライアンスステータス] セクションが表示されます。詳細については、「全体を表示するためのその他の GRC プラグイン」を参照してください。

コンプライアンスワークスペース のロール

コンプライアンスワークスペース のターゲットユーザーは、企業コンプライアンスマネージャーと企業コンプライアンスアナリストです。コンプライアンスワークスペースでユーザーが実行できるロール、責任、およびタスクの詳細については、以下を参照してください。

- コンプライアンスマネージャーのコンプライアンスホームページ
- コンプライアンスアナリストのコンプライアンスホームページ
- IT コンプライアンスマネージャーのコンプライアンスホームページ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスマネージャーのコンプライアンスホームページ

コンプライアンスワークスペースのコンプライアンスマネージャーのホームページには、組織のコンプライアンス体制の完全な概要が表示されます。ワークスペースは、コンプライアンスマネージャーが外部の規制基準に一致する社内の標準、ポリシー、および制御プロセスを一元管理するのに役立ちます。

コンプライアンスマネージャーは、ほとんどの場合、コンプライアンスディレクターの直属であり、会社が組織および業界の規制および標準に準拠していることを確認します。

ユーザーペルソナは組織によって異なる場合がありますが、組織構造に応じて、企業コンプライアンスマネージャー、IT コンプライアンスマネージャー、コンプライアンスマネージャー、またはコンプライアンスアナリストが、組織がポリシーと規制に準拠していることを確認するタスクを担当します。

コンプライアンスマネージャーの責任

コンプライアンスマネージャーには以下を行う必要があります。

- すべてのポリシーと規制が遵守されていることを確認します。
- コントロールを定義および適用するレベルまでのポリシーを作成して維持します。
- ポリシーの例外と問題を承認および追跡します。
- チームを適切に管理します。

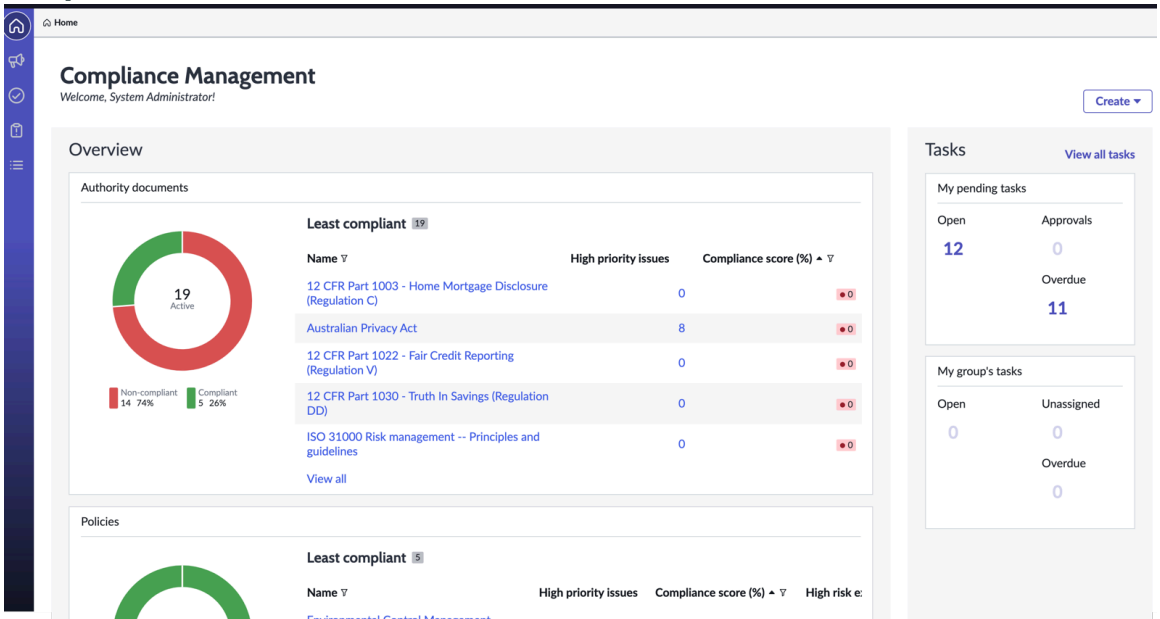
コンプライアンスマネージャーのタスクの コンプライアンスワークスペース

上記の責任を果たすために、コンプライアンスマネージャーには、コンプライアンスワークスペースで実行できる特定の日次および週次の機能タスクがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Compliance マネージャーワークスペース



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [概要] セクションを使用して、各種法令・基準等、ポリシー、およびエンティティを確認し、それらの準拠ステータスを確認します。準拠度が最も低い各種法令・基準等、ポリシー、およびエンティティのリスト、作成された問題の優先度、およびそれらのコンプライアンススコアを取得します。
- [コントロール保証] セクションで、コントロール、コントロール証明書、インジケータータスク、進行中のコントロールテスト数および期限切れのコントロールテスト数を確認します。
- 新しい主要なコントロールを監視および分析し、既存のコントロールのパフォーマンスを追跡します。
- 期限切れのタスク、繰り返し発生する問題、不適切な修正戦略を特定します。
- すべてのコンプライアンスタスク (処理待ちのタスクとグループのタスク) の概要を取得します。
- 各種法令・基準等、規制、ポリシーに加えられた変更を追跡します。

コンプライアンスマネージャーは、各種法令・基準等、引用、ポリシー、コントロール目標、コントロール、インジケータータスク、確認応答キャンペーン、問題、ポリシー例外、およびエンゲージメントを作成できます。

コンプライアンスマネージャーがすぐに対応する必要のあるタスクに対応できるように、[概要] セクションのコンプライアンスレコードは、準拠度が最も低いものから順に一覧表示されます。[コントロール保証] セクションのコントロールテスト、インジケーター、および証明書について表示されるデータは、コンプライアンスマネージャーがタスクに優先順位を付けるうえでも役立ちます。問題の追跡、確認応答キャンペーン、およびポリシーの例外を効果的に管理できます。

全体を表示するためのその他の **GRC** プラグイン

コンプライアンスマネージャーは、すべてのコンプライアンスタスクの全体像を把握する必要があるため、コンプライアンスマネージャーのホームページで Privacy Management および Regulatory Change Management のアプリケーションドメインも表示できます。ただし、特定のウィジェットをホームページに表示するには、次のプラグインをインストールする必要があります。

- コントロール保証セクションのコントロールテストウィジェットの GRC: Audit Management。
- [追跡] セクションの規制変更ウィジェットの GRC: Regulatory Change Management。ログインユーザーに、RCM マネージャーロール (sn_grc_reg_change.manager) も必要です。
- ドメインコンプライアンスステータスセクションの GRC: Privacy Management。ログインユーザーに、プライバシーマネージャーロール (sn_privacy.manager) も必要です。

コンプライアンスアナリストのコンプライアンスホームページ

コンプライアンスワークスペースのコンプライアンスアナリストホームページを使用すると、コンプライアンスアナリストはコンプライアンスアクティビティを追跡でき、コンプライアンスマネージャーは組織がさまざまな規制やポリシーに準拠していることを確認できます。

コンプライアンスアナリストの責任

コンプライアンスアナリストは、特定のポリシー、規制、関連するコンプライアンスアクティビティなど、特定のコンプライアンス領域を監督します。そのため、フィルターオプションが、必要な基準に基づいてコンプライアンスレコードをフィルターするのに役立ちます。コンプライアンスアナリストはアサインされたタスクを表示して、次の作業を行うことができます。

- 既存のポリシーと関連ドキュメントを分析して更新する。
- アサインされたときにポリシーとコントロールを実装する。
- コントロールのパフォーマンスを監視する。
- スケジュールして証明書をフォローアップする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

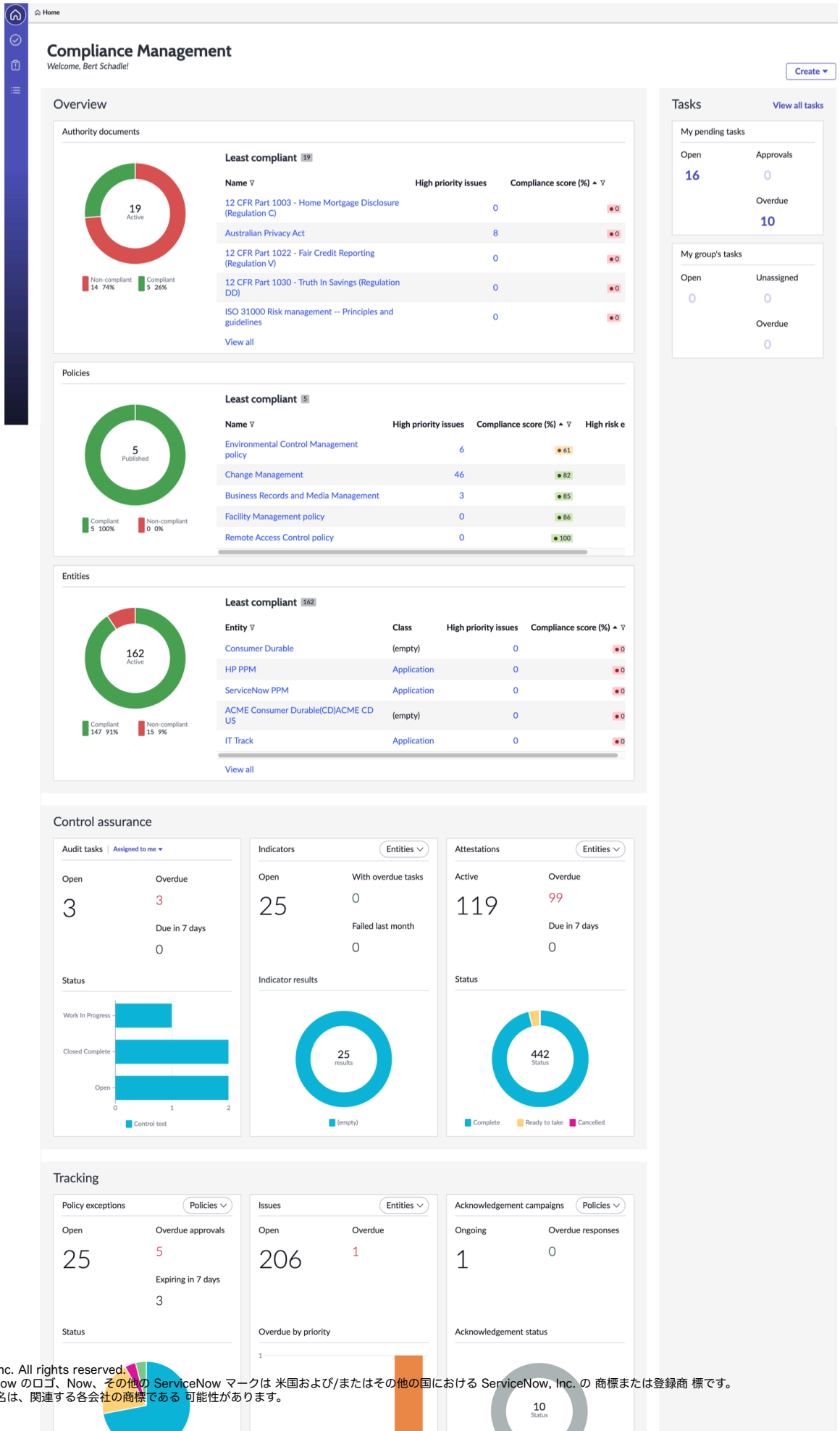
コンプライアンスアナリストのタスクの コンプライアンスワークスペース

コンプライアンスアナリストのホームページは、アナリストの上記のタスクを実行するように設計されています。このホームページはコンプライアンスマネージャーのホームページに似ていますが、アナリストのタスク実行に役立つ独自の機能があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスアナリストのホームページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスアナリストのホームページは、企業のコンプライアンスアナリストが作業を管理するためのカスタマイズされたエクスペリエンスを提供します。

概要

組織の全体的なコンプライアンスのスタンスの概要を示します。

各種法令・基準等

ウィジェットは、準拠および非準拠の各種法令・基準等の数を合計して、各種法令・基準等の総数を表示します。このセクションには、優先度の高い問題の詳細とコンプライアンススコア (%) も表示されます。各種法令・基準等の名前をクリックすると、そのドキュメントのコンプライアンスステータスと追跡の詳細が表示されます。

ポリシー

このセクションには、準拠しているポリシーと準拠していないポリシーの数、および優先度が高い問題とコンプライアンススコアの最も低いポリシーのリストに加えて、リストされた各ポリシーの高リスクの例外の数も表示されます。

エンティティ

アクティブなエンティティの総数と、それらのエンティティクラスとともに準拠度が最も低いエンティティのリストを提供します。エンティティの名前をクリックすると、そのコンプライアンスステータスと追跡の詳細が表示されます。

コントロール保証

コントロールのテストと監視の概要を示します。デフォルトでは、監査タスクは、ログインユーザーの [自分にアサイン済み] 条件に基づいてフィルターされた状態で表示されます。一方、アナリストは、管理するエンティティに基づいてインジケーターと証明書をフィルターできます。

追跡中

重要な未解決の問題、タスク、および例外の概要を提供し、アナリストがポリシーの例外と問題を管理するうえで役立ちます。アナリストは、割り当てられたポリシーに対して作成されたポリシーの例外と問題を理解する必要があるため、必要なポリシーにフィルターを適用して、これらのポリシーに対して作成された例外と問題を表示できます。同様に、アナリストは特定のポリシーを選択してキャンペーンの詳細を表示できます。

タスク

[自分の処理待ちのタスク] と [自分のグループ] のタスクの概要を示します。ジョブキューは、日々のアクティビティを管理します。

クイックリンク

アナリストがコントロール目標、コントロール、確認応答キャンペーン、問題、ポリシー例外などの新しいレコードを作成できるようにします。

IT コンプライアンスマネージャーのコンプライアンスホームページ

コンプライアンスワークスペースは、IT コンプライアンスマネージャーが IT 関連のリスクおよびコンプライアンスデータを表示するための専用のホームページを提供します。ワークスペースは、IT コンプライアンスマネージャーが外部の規制基準に準拠するために IT 関連専用の社内の標準、ポリシー、および制御プロセスを一元管理するうえで役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT コンプライアンスワークスペースの構成

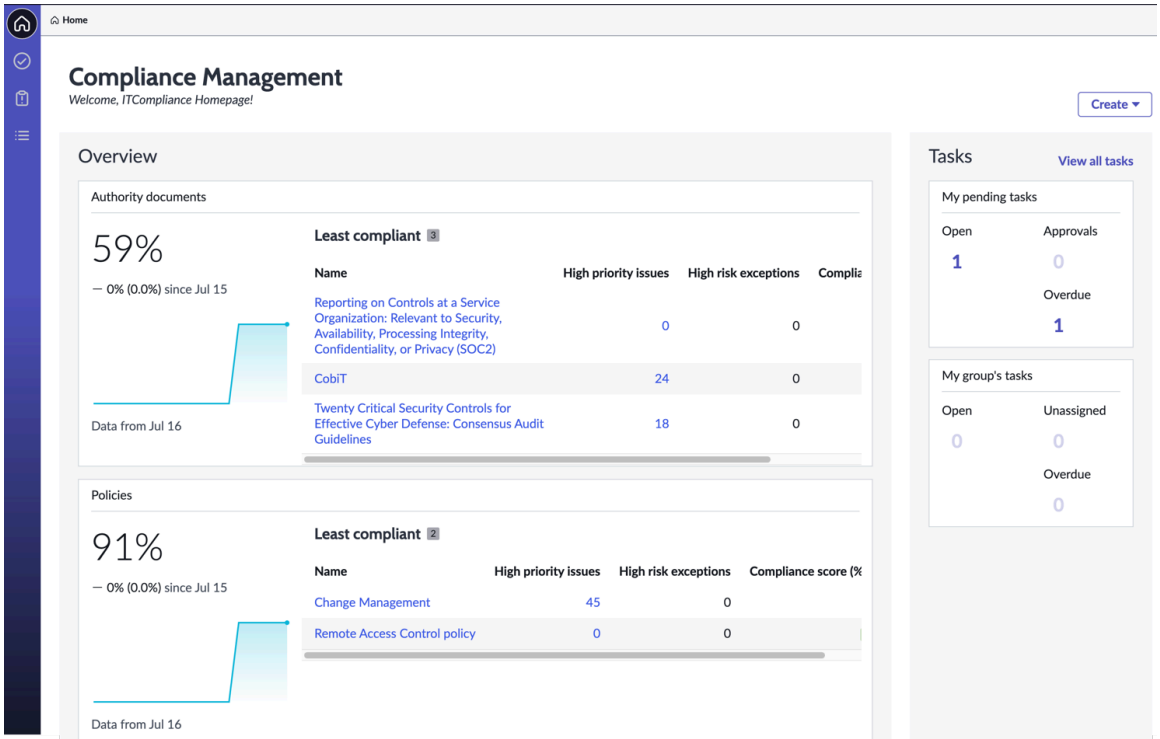
- IT コンプライアンスのホームページを設定するには、「IT コンプライアンスワークスペースの構成」を参照してください。
- IT コンプライアンスワークスペースとユーザーロールをサポートするテーブルの詳細については、次を参照してください 次とともにインストールされるコンポーネント： ポリシーとコンプライアンス管理.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT コンプライアンスホームページ

IT コンプライアンスマネージャーのホームページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要

IT 関連の各種法令・基準等、IT 関連のポリシー、および IT 関連エンティティの準拠率は、PA インジケーターウィジェットによって示されます。

コントロール有効性

このセクションでは、IT 関連のコントロール、IT 関連のコントロールで実行されるインジケーター、およびそれらのコントロールに関連付けられている証明書に関するリアルタイム情報を収集します。

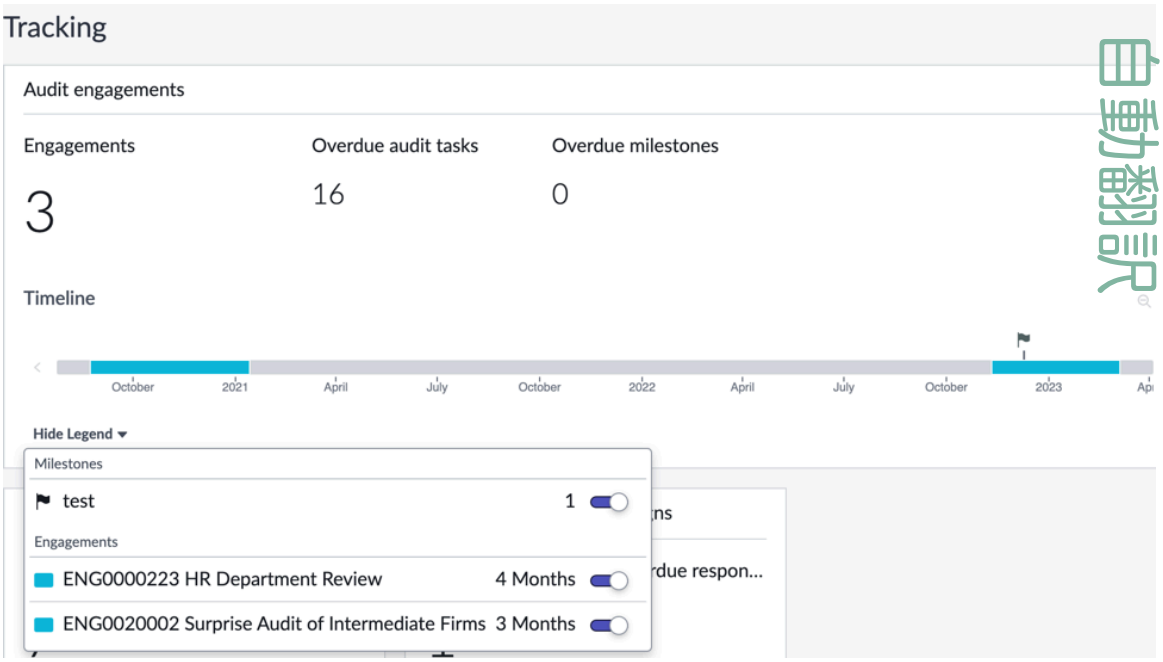
問題

特定の機能ドメイン内の IT コンプライアンスマネージャーに対してオープンなすべての問題 (オープン、承認済みの問題、例外の数、期限切れの例外の数) を提供します。[問題の概要を表示] リンクをクリックすると、[問題] ページに移動し、[すべての機能ドメイン] から **[IT** リスクとコンプライアンス] データをフィルターできます。

追跡中

IT コンプライアンスマネージャーのアクションのためにキューにあるすべての IT 関連ポリシーを追跡します。タイムラインには、今後のエンゲージメントと各エンゲージメントに関連付けられたマイルストーンが表示されます。また、アクティブで、7 日以内に期限切れになる、高リスクの例外に関する同様のレポートも表示されます。アクティブな確認応答キャンペーンと期限切れの応答の数に関する同様のレポートも表示されます。

IT コンプライアンスワークスペースの [追跡] セクション

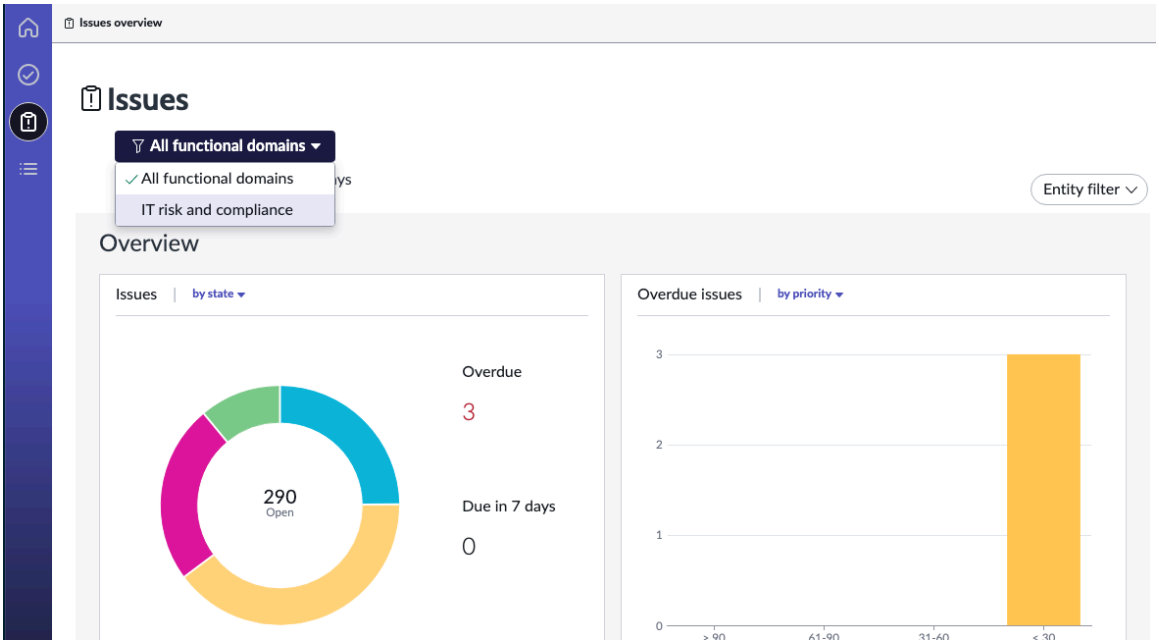


IT コンプライアンスの問題ページ

IT コンプライアンスワークスペースでは、残りの GRC 監査およびコンプライアンスデータからすべての IT リスクとコンプライアンスデータをフィルタリングするために、新しい機能ドメインフィルターが追加されています。デフォルトでは、フィルターにはすべての機能ドメインが表示されます。ウィジェットをフィルタリングして IT 関連データを表示するには、[IT リスクとコンプライアンス] を選択する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能ドメインフィルター

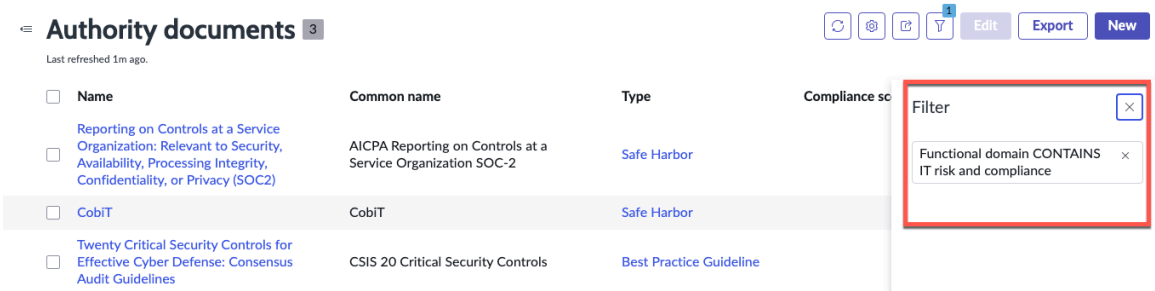


問題をフィルタリングするための基本条件は、[分類] が [コンプライアンス] または [空] である必要があり、また、問題にエンゲージメントとの m2m 関連付けがある場合は、ログインしているユーザーは、監査人、エンゲージメントリードまたは承認者などの 3 種類のユーザーのいずれかである必要があります。

IT コンプライアンスリスト概要

IT コンプライアンスマネージャーとしてログインすると、コンプライアンスワークスペース のリストビュー内のすべてのデータがフィルターされ、IT リスクおよびコンプライアンス機能ドメイン内に該当するレコードが表示されます。そのため、ユーザーロールに関連するレコードを表示し、それらを手動でフィルタリングすることなく IT 関連のタスクを完了することができます。

リストビューの **IT** 関連レコード



注:
管理者、または企業コンプライアンスマネージャーと IT コンプライアンスマネージャーの両方のロールを持つユーザーは、同じ名前の 2 つのリストモジュールを表示できます。

GRC コンプライアンスワークスペース の構成

コンプライアンスワークスペース を構成するには、特定の前提条件の手順を設定する必要があります。

ワークスペースを使用するさまざまなユーザーのコンプライアンスワークスペースを設定するには、次の構成が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- IT コンプライアンスのホームページを設定するには、「IT コンプライアンスワークスペースの構成」を参照してください。
- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 とともにインストールされるさまざまなコンポーネントについては、「Policy and Compliance Management とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。
- ユーザーロールとアクセス制御の制限については、「GRC ビジネスユーザーロール」および「ユーザーへのポリシーおよびコンプライアンス管理ロールの割り当て」を参照してください。
- ポリシーとコンプライアンスで必要なシステムプロパティを設定するには、「Set Policy and Compliance Management properties (Policy and Compliance Management プロパティの設定)」を参照してください。
- 必須のセットアップ手順については、「Policy and Compliance の必須手順」を参照してください。
- その他のプロパティ、ルール、テンプレート、およびその他の統合を定義するには、「Policy and Compliance enhancement steps (Policy and Compliance の拡張手順)」を参照してください。

IT コンプライアンスホームページの IT 関連データをフィルターするための構成手順

IT コンプライアンスマネージャーが IT コンプライアンスのホームページで表示するために IT 関連データを分離、関連付け、表示するには、3 つの異なる手順に従う必要があります。

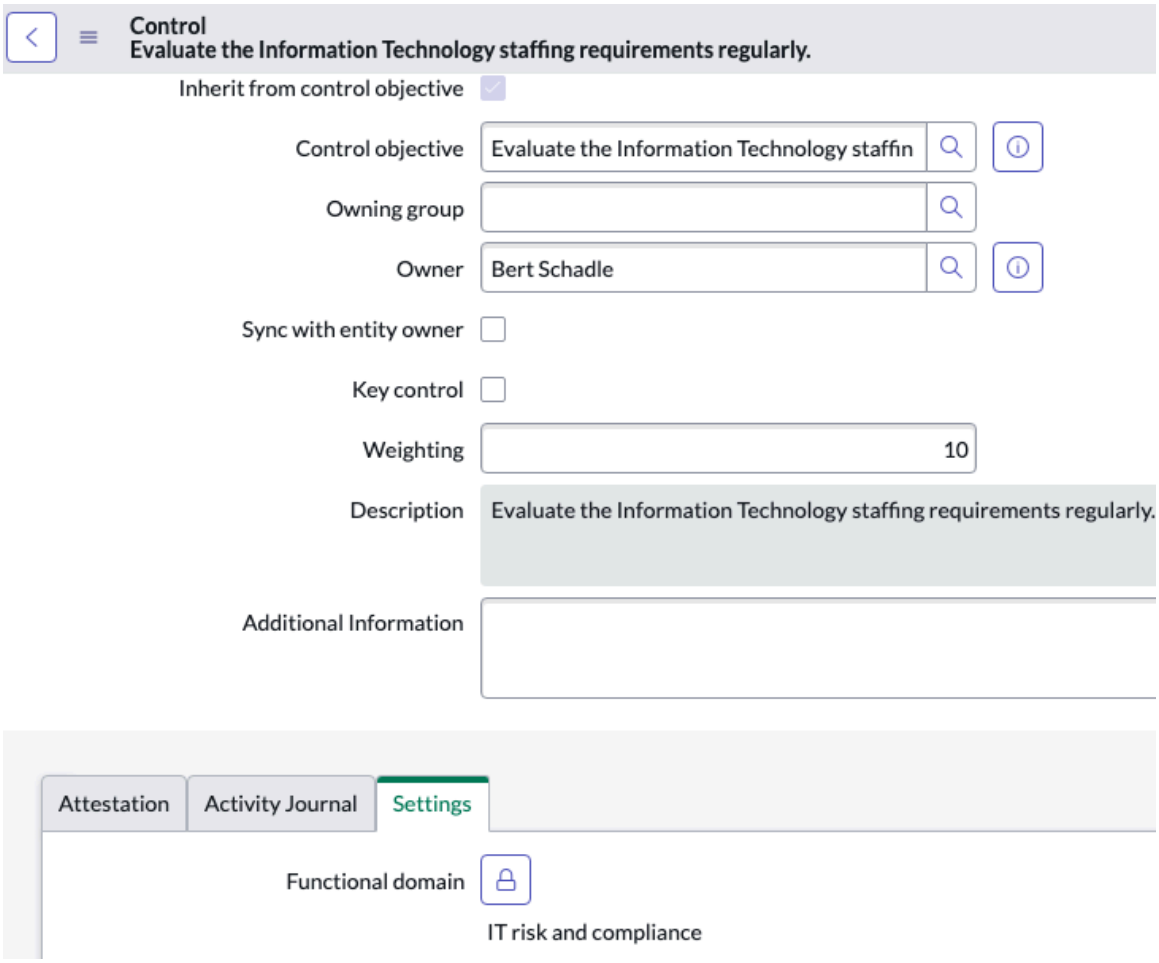
GRC データ分離

すべての コンプライアンスワークスペース関連フォームでは、特定のデータを分離して IT 関連データとして分類するために、[設定] タブに [機能ドメイン] フィールドが追加されています。ユーザーは、**[IT** リスクとコンプライアンス] を機能ドメインとして追加する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能ドメインフィールド



[機能ドメイン] フィールドは、エンティティ、コントロール、コントロール目標、ポリシー、各種法令・基準等、引用、エンティティタイプ、エンティティクラス、問題、インジケーター、インジケーターテンプレート、確認応答キャンペーン、ポリシー例外、エンゲージメント、テストテンプレート、テスト計画、問題のトリアージ、観察事項、計画、監査タスク、マイルストーン、証拠の要求、証拠など、すべての GRC コンプライアンスおよび監査ワークスペースに関連のフォームで使用できます。

分離されたデータの自動関連付け

監査またはコンプライアンスオブジェクトが IT 関連として識別された場合、このオブジェクトに関連付けられたすべての関連アイテムも IT 関連として識別されます。機能ドメイン構成 [sn_grc_function_domain_configuration] テーブルには、IT リスクおよびコンプライアンス機能ドメイン内の親オブジェクトと関連する子オブジェクト間のデータレジストリ関係が格納されます。

たとえば、エンティティが IT 関連エンティティとして分類されている場合、このエンティティに関連付けられているすべてのコントロールは IT 関連コントロールとして自動的に関連付けられます。関連する子オブジェクトには、親テーブル、子テーブル、およびその二者間の関係など、定義されたすべての構成があります。

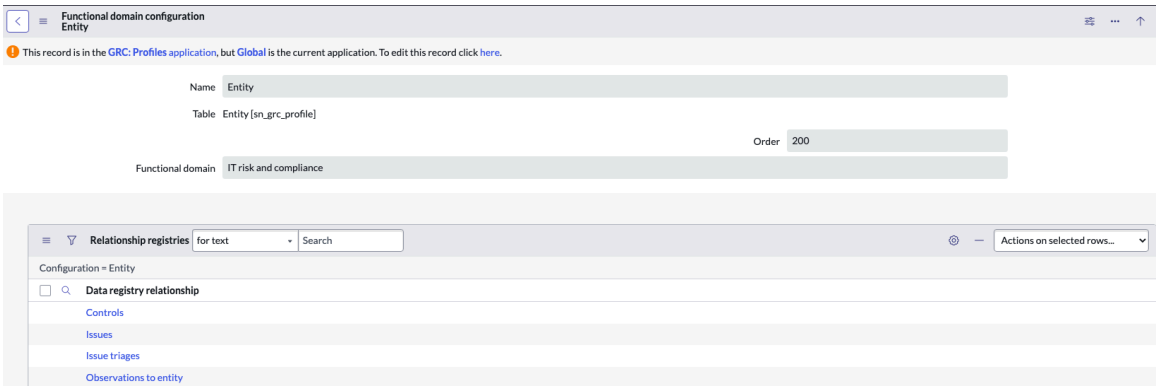
システム管理者は、次の場所に移動してこの構成を定義できます **GRC Administration** > 機能ドメイン > ドメイン継承. ユーザーは、子レコードに自動タグ付けするために、ポリシー、各種法令・基準等、エンティティタイプ、エンティティクラス、エンティティ、計画、エンゲージメントなどの基本フォームで、タグ、機能ドメインを手動で追加する必要があります。親テーブルが特定の機能ドメインでタグ付けされている場合、ユーザーがその子レコードの 1 つからタグを削除すると、削除されたタグは自動関連付け中に追加されません。同様に、ユーザーが手動でタグを追加した場合、追加されたタグは自動関連付け中に削除されません。GRC 機能ドメインユーザーアクション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[sn_grc_function_domain_user_action] テーブルは、それぞれの機能ドメイン内の特定のテーブルに属するレコードの [機能ドメイン] フィールドのユーザーのすべての手動アクションをキャプチャして保存します。

自動タグ付けの設定の詳細については、Now Support ナレッジベースの「IT コンプライアンスワークスペース - 自動タグ付けのセットアップと構成 [KB1124058]」を参照してください。

機能ドメイン構成



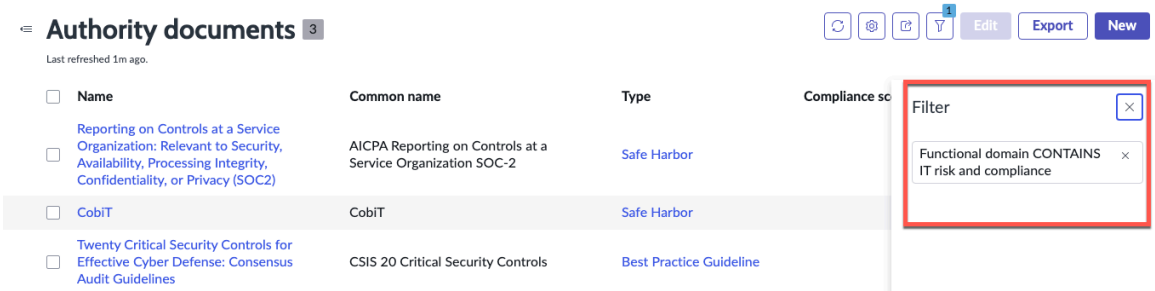
スケジュールされた日次ジョブ (GRCObjectsFunctionalDomainChanges) が実行され、テーブルに記録されたユーザーの手動アクションが収集されて、これらの関係が読み取られ、子オブジェクトが IT リスクおよびコンプライアンス機能ドメインに自動的に関連付けられ、親テーブルの関連アイテムにレコードが自動入力されます。

IT コンプライアンスワークスペースに使用されるテーブルの詳細については、「Policy and Compliance Management とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

IT コンプライアンスホームページで分離されたデータを IT コンプライアンスマネージャーに表示する

IT コンプライアンスマネージャーは、コンプライアンスワークスペース の IT リスクおよびコンプライアンスデータにアクセスできるユーザーです。コンプライアンスワークスペースのリストビューには、すべての監査およびコンプライアンスデータの表示を制限するが、IT リスクとコンプライアンスデータのみを表示するように絞り込むフィルターがあります。フィルターは、すべての監査およびコンプライアンス関連のベースフォームの [機能ドメイン] フィールドを使用して、コンプライアンスワークスペースリストモジュール内の IT 関連データをフィルターして表示します。

IT リスクとコンプライアンスデータフィルター



注:
管理者、または企業コンプライアンスマネージャーと IT コンプライアンスマネージャーの両方のロールを持つユーザーは、同じ名前の 2 つのリストモジュールを表示できます。

コンプライアンスワークスペース を使用する

コンプライアンスワークスペース には統一されたタスクページがあります。ユーザーロールに基づいて、ページ内のすべてのタスクとチームのタスクを履行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスワークスペース に表示されるタスクは、ログインユーザーに固有であるため、割り当てられたすべてのタスクを完了できます。

- タスクページを使用してタスクをカテゴリ別に表示し、さまざまなパラメーターでフィルターして、開始したタスクを追跡します。
- [問題] ページを使用して、問題に関するすべての情報を把握します。
- レコードの概要ページには、各レコードの概要が 1 つのビューに表示されます。
- 概要ページのコンテキストペインには、レコードのコンテキスト情報が表示されます。利用可能な場合は、添付ファイルを含む階層内のレコードの重要な情報を提供します。
- 360 度ビューを使用して、企業内のレコードのデータ関係、そのスコア、および評価を視覚化し、より詳細な情報を表示します。

コンプライアンスワークスペース を使用してコントロール目標とポリシーを管理

コンプライアンスワークスペースを使用して、ポリシー承認、ポリシー、およびコントロール目標に関連する情報を管理できます。

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシーを作成

ポリシーは、プロセスが従う必要のある組織内のプラクティスを定義します。コンプライアンスワークスペースをポリシー、手順、標準、計画、チェックリスト、フレームワーク、およびテンプレートとして使用してポリシーを定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst または sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [作成] リストを選択し、ホーム ページから [ポリシー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいポリシーを作成

フィールド	説明
名前	ポリシーの名前。
タイプ	オプションのリスト： ○ ポリシー ○ 手順 ○ 標準 ○ プラン ○ チェックリスト ○ フレームワーク ○ テンプレート
親	このポリシーを含むポリシー。ポリシー内からコントロール目標を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ポリシーのカテゴリ	ロックアイコンを選択し、フィルタリングポリシーのカテゴリを 1 つ以上選択します。たとえば、[Vulnerability Response] を選択して、そのアプリケーションに関連付けられたポリシーを表示します。
説明	ポリシーの一般的な説明。
ポリシーテキスト	ポリシーの詳細な説明。
ステータス	ステータスは読み取り専用フィールドです。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ ドラフト このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがポリシーとコントロール目標を変更できます。すべてのコンプライアンス ユーザーは レビューを要求] ボタンを選択できます。[レビューを要求] ポップアップにメッセージを入力し、[要求] を選択すると、ステータスが [レビュー] に設定されます。 ○ [レビュー] このステータスでは、オーナー、所有グループ、およびレビュー担当者がポリシーとコントロール目標を変更できます。所有者、所有グループ、およびレビュー担当者が [承認を要求] を選択し、[承認者] リストのユーザーに承認を送信してワークフローを開始します。所有者、所有グループ、およびレビュー担当者は、同様に [ドラフトに戻る] を選択して、ポリシーを [ドラフト] に戻します。 ○ [承認待ち] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。承認者は、ポリシーフォームの [承認] 関連リストで承認ステータスを更新するか、[自分の承認] を表示してポリシーを承認できます。ポリシーが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスになります。それ以外の場合は、[レビュー] ステータスに戻ります。 ○ [公開] このステータスでは、ポリシーとコントロール目標はすべて読み取り専用です。管理者は [廃止] を選択して、ポリシーの状態を [廃止] に設定できます ○ [廃止済み] このステータスでは、ポリシーはすべてに対して読み取り専用です。
コンプライアンススコア (%)	このポリシーにアサインされたコンプライアンススコア (%)。
アサイン	
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。
承認者	承認プロセスに含めるユーザー。
承認方法	動的承認構成の承認方法。使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ 承認者を手動で選択 ○ 承認ルールを使用
承認者	ポリシーに対して選択される承認者。
レビュー担当者	レビュープロセスに含めるユーザーを選択します。
貢献者	ポリシーに対して選択された貢献者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
スケジュール	
有効期限開始	ポリシーが有効になる日時。
有効期限	ポリシーが無効になる日時。
ナレッジベース	
ポリシーテンプレート	このポリシーの公開に使用する記事テンプレート。
ポリシーナレッジベース	このポリシーに関連するナレッジベース記事。
公開済みポリシー	ポリシーが公開されている KB 記事番号とリンク。
確認応答のセットアップ	
対象者	このポリシーの確認を担当するデフォルトの対象者を選択します。
参照資料 URL	ロックアイコンを選択して、認定やトレーニング資料などの必要な参照資料の URL を追加します。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	ポリシーの確認を拒否するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
ユーザーに例外を要求することを許可	ポリシーの確認応答の例外を要求するオプションをユーザーに提供するには、このチェックボックスをオンにします。
例外セットアップ	
最大例外期間 (日数)	指定されたポリシーに対してポリシー例外を要求できる最大期間を入力します。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
ポリシーのレポートの概要ページでは、ポリシーの説明、そのステータス、および全体的なコンプライアンス、エンティティ、コントロール目標、およびコントロールのステータスを確認できます。また、ポリシーの確認、ポリシーの例外、および問題の追跡情報も提供します。非準拠エンティティウィジェットには、すべての非準拠の依存エンティティも、それぞれのコンプライアンススコアとともにリストされます。詳細については、を参照してください。 概要ページからポリシーのコンプライアンスを管理する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 関連リストのいずれかを選択して、ポリシーの詳細を提供します。
6. [概要] ページで、[問題] タブを選択します。
   作成したポリシーに 1 つ以上の関連する既存の問題を追加できます。既存の問題をポリシーにマッピングすることで、未解決の問題の数を減らすことができます。

   a. [追加] ボタンを選択します。

   b. [問題] ポップアップから関連する問題を選択します。

   c. [追加] を選択します。
      選択した問題は、関連する問題としてポリシーに追加され、問題からドキュメント [sn_grc_m2m_issue_document] テーブル内のポリシーと問題の間に m2m 関係が作成されます。[新規] ボタンを選択してポリシーの問題を作成することもできます。これにより、 [新しい問題の作成] フォームに移動します。

   d. ポリシーにマップされている問題を削除するには、問題を選択し、 [削除] を選択します。
      削除アクションでは、m2m テーブル内のポリシーと問題の間のマッピングまたは関連付けのみが削除され、問題レコードは削除されません。

      注:
      ポリシーが [ドラフト] または [廃止] ステータスの場合、[新規]、[追加]、[削除]などの UI アクションボタンは使用できません。ドラフトステータスのポリシーは非アクティブと見なされ、[レビュー] ステータスに移行するとアクティブになります。

7. ポリシーをレビューの準備ができているとマークするには、] を選択し、 [レビューを要求] を選択します。

概要ページからポリシーのコンプライアンスを管理する

ポリシーモジュールは、すべてのポリシーを作成して文書化するのに役立ちます。ポリシーとは、ビジネスで何をすべきか、また何をすべきでないかを高レベルで定義するステートメントです。

ポリシーの概要

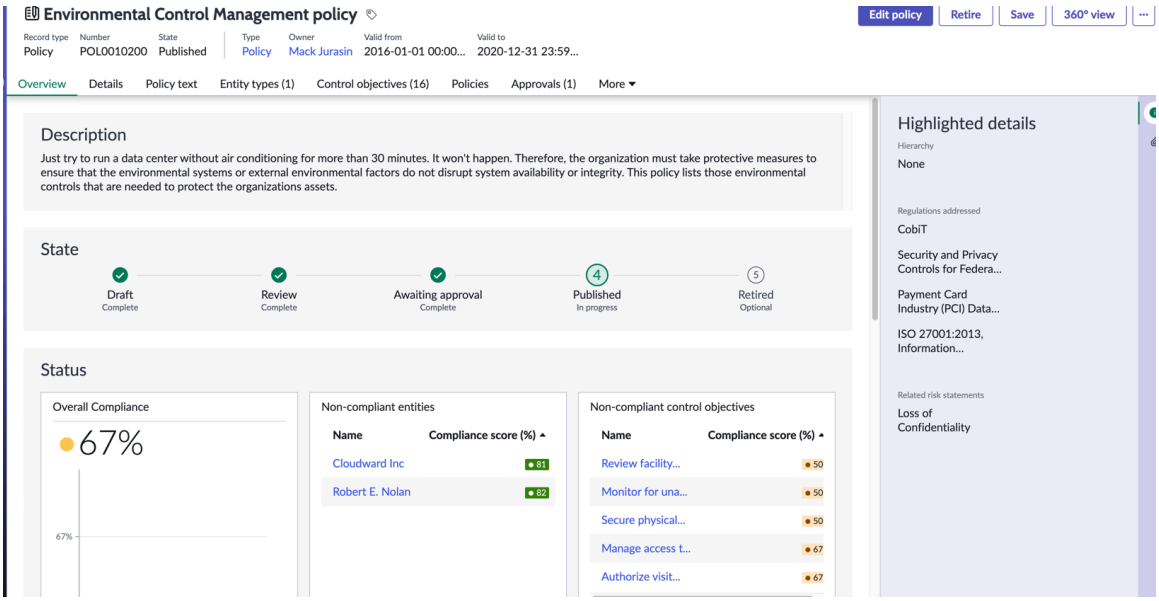
ポリシーレコードの概要ページには、組織の資産に関するポリシーの必要性が記載されています。また、ポリシーのステータス、全体的なコンプライアンスの割合、非準拠エンティティ、およびコントロール目標も表示されます。また、未解決で期限切れのポリシー確認応答、ポリシー例外、および問題も追跡します。

アイコンを選択して、ポリシーが対処した規制と関連するリスクステートメントを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーレコードの概要ページ



コンプライアンスワークスペースを使用してポリシーを承認および公開

ポリシーが承認されると、自動的に公開されます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst または sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager

このタスクについて
GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのバージョン 11.0.2 より前では、ポリシーを変更するたびに、新しいナレッジベース記事が以前のバージョンを上書きしていました。バージョン 11.0.2 以降では、ポリシーを再度承認すると、新しいバージョンの KB 記事が作成され、以前のバージョンの履歴とともに [ポリシーバージョン] タブに一覧表示されます。

この機能では、Knowledge Management Advanced Installer [com.snc.knowledge_advanced.installer] プラグインを手動でインストールしてアクティブ化する必要があります。詳細については、「プラグインをアクティブ化する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. ポリシーの詳細をレビューします。
4. [承認を要求] ボタンをクリックします。
   レビュー担当者はポリシーの承認を要求できません。ただし、ポリシーの所有者と企業コンプライアンスマネージャーロールを持つユーザーは、ポリシーの承認を要求できます。承認が付与されると、ポリシーが公開され、ポリシーの詳細を含むナレッジベース (KB) 記事が自動的に作成されます。
5. ポリシーを変更する必要がある場合は、[ポリシーを編集] をクリックして、ポップアップにメッセージを入力して、[承認を要求] をクリックします。ポップアップにコメントを追加します。承認が付与されると、ナレッジベース記事の新しいバージョンが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 上記のように、Knowledge Management Advanced Installer [com.snc.knowledge_advanced.installer] プラグインをアクティブ化すると、KB 記事の新しいバージョンが作成され、[ポリシーバージョン] タブに表示されます。

そのため、Service Portal または他の場所からこのポリシーへのリンクを作成すると、KB 記事の最新バージョンが常に表示されます。

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシーを確認

ポリシーが公開された後、コンプライアンスワークスペースで確認応答キャンペーンを作成して、特定のポリシーが準拠している確認応答を提供する必要がある従業員のグループを定義できます。キャンペーンが定義されたら、対象者に要求を送信できます。

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー確認応答キャンペーンを設定

ポリシーキャンペーンは、ポリシー確認要求の準備に使用されるレコードです。特定のポリシーが準拠していることを確認する必要がある対象者を定義します。ポリシーキャンペーンは、コンプライアンスユーザーが必要と判断した場合にのみ コンプライアンスワークスペースで要求されます。

始める前に

必要なロール：コンプライアンスユーザー

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. 確認する [公開] ステータスのポリシーレコードを開きます。
3. 下にスクロールして、[確認応答のセットアップ] 関連リストをクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
対象者	ポリシーの確認を担当する従業員を選択します。対象者は、対象者モジュールを使用して定義します。
参照資料 URL	ロックアイコンをクリックし、対象者がレビューできるポリシーの参照資料への URL を追加します。入力が完了したら、[ロック] アイコンをもう一度クリックします。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	対象者のメンバーがポリシーを拒否できるようにする場合に選択します。
ユーザーに例外を要求することを許可	対象者のメンバーがポリシー例外を要求できるようにする場合に選択します。

5. レコードを保存します。
6. 下にスクロールして、[確認応答キャンペーン] 関連リストをクリックします。
7. [新規] をクリックします。

> **注:**
> ほとんどのフィールドには、ポリシーレコードのデータが事前に入力されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. フォームのフィールドに入力します。

   注:
   以前に説明されていなかったフィールドの説明のみがここに表示されます。

フィールド	説明
数値	確認応答に対して自動生成された確認応答レコード番号です。
ステータス	確認応答キャンペーンの現在のステータス。デフォルトのステータスは [新規] です。
有効期限開始/有効期限	確認応答が有効な期間を選択します。確認応答は、[有効期限開始] の日付の開始から [有効期限] の日付の終了まで有効です。 注: [有効期限開始] を現在の日付より前にすることはできません。[有効期限] の日付は、ポリシーで定義された [有効期限] の日付を超えることはできません。
応答する日数	対象者のメンバーが応答しなければならない日数。
簡単な説明	ポリシーの簡潔な説明。
[確認応答の詳細] タブ	このタブには、ポリシーの詳細と要件、および確認応答のセットアップ中に定義された [参照資料 **URL]** が表示されます。

9. [送信] をクリックします。
   これで、確認応答要求を定義された対象者に送信する準備ができました。

コンプライアンスワークスペース を使用して対象者を作成

コンプライアンスワークスペースでポリシーの確認応答要求を設定するときは、確認応答の提供を担当する対象者を特定する必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 対象者.
2. [新規] をクリックします。
3. 新しい対象者の名前と説明を入力し、レコードを保存します。
4. 3 つのタブを使用して、この対象者のメンバーを特定します。

オプション	説明
ユーザー	[編集] をクリックし、1 人以上の個々のユーザーを対象者に追加します。
グループ	[編集] をクリックし、ユーザーの 1 つ以上の事前定義されたグループを対象者に追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
フィルターを使用	[新規] をクリックして、対象者メンバーを含めるための新しいフィルターを定義します。[編集] をクリックして、既存のユーザーフィルターを変更します。後で使用するためにフィルターを保存できます。

5. 対象者が定義されたら、ユーザー、グループ、またはユーザーフィルターを確認応答要求に追加できます。

コンプライアンスワークスペースを使用して確認応答要求を送信

コンプライアンスワークスペースを使用して確認応答キャンペーンを作成したら、定義された対象者に確認応答要求を送信できます。

始める前に
必要なロール： sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 ポリシーの確認応答 > すべてのキャンペーン.
4. 定義された対象者に送信するポリシー確認応答キャンペーン (PAC) レコードを開きます。
5. 下にスクロールして、[確認応答のセットアップ] 関連リストをクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
対象者	ポリシーの確認を担当する従業員を選択します。対象者は、対象者モジュールを使用して定義します。
参照資料 URL	ロックアイコンをクリックし、対象者がレビューできるポリシーの参照資料への URL を追加します。入力が完了したら、[ロック] アイコンをもう一度クリックします。
ポリシーの拒否をユーザーに許可	対象者のメンバーがポリシーを拒否できるようにする場合に選択します。
ユーザーに例外を要求することを許可	対象者のメンバーがポリシー例外を要求できるようにする場合に選択します。

7. レコードを保存します。
8. 下にスクロールして、[確認応答キャンペーン] 関連リストをクリックします。
9. [新規] をクリックします。

> **注:**
> ほとんどのフィールドには、ポリシーレコードのデータが事前に入力されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

10. フォームのフィールドに入力します。

    注:
    以前に説明されていなかったフィールドの説明のみがここに表示されます。

フィールド	説明
数値	確認応答に対して自動生成された確認応答レコード番号です。
ステータス	
有効期限開始/有効期限	確認応答が有効な期間を選択します。確認応答は、[有効期限開始] の日付の開始から [有効期限] の日付の終了まで有効です。 注: [有効期限] の日付は、ポリシーで定義された [有効期限] の日付を超えることはできません。
応答する日数	対象者のメンバーが応答しなければならない日数。
簡単な説明	ポリシーの簡潔な説明。
[確認応答の詳細] タブ	このタブには、ポリシーの詳細と要件、および確認応答のセットアップ中に定義された [参照資料 **URL]** が表示されます。

11. [送信] をクリックします。
12. [確認応答を要求] をクリックします。

    次の変更が発生することに注意してください。

    - 確認応答キャンペーンのステータスが [確認応答処理待ち] に変更されます。
    - 対象者の各メンバーの確認応答 (ACK) レコードが画面の下部に表示されます。
    - [確認応答結果] タブには、確認応答プロセスの進捗状況が表示されます。つまり、送信された確認応答の合計数を報告し、受信した応答の数とタイプ (たとえば、承認済み、拒否済み、除外など) の集計を保持します。

    注:
    [アクティビティ] タブには、発生した確認応答アクティビティが表示されます。コンプライアンスユーザーは [作業メモ] チェックボックスをクリックし、作業メモを投稿して変更を追跡できます。[追加コメント] ボックスを使用して、対象者とコミュニケーションを取ることができます。

    また、対象者の各メンバーは、次の例のようなメール通知を受け取ります。

13. 確認期間が経過したら、次の場所に移動して応答の進捗状況を監視できます **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 確認応答処理待ち.
14. 次に移動して、確認応答のタイムラインを超えた対象者を特定することもできます **Policy and Compliance** > ポリシーの確認応答 > 期限切れの確認応答.

コンプライアンスワークスペースを使用して確認応答要求に応答

ポリシー確認応答を提供する対象者のメンバーとして識別された後、コンプライアンスワークスペースでレコードを開いて確認し、それを確認応答する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール： sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

手順

1. ポリシーを確認する必要があるという通知を受信したら、次に移動します。 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. 確認応答を提供するには、タスクページの [自分の処理待ちのタスク] セクションでレコードを開き、次のいずれかのアクションを実行します。
   使用可能なオプションは、確認応答要求の構成方法によって異なります。
   - ポリシーの確認応答のデフォルトステータスは [新規] です。
   - ポリシーの確認応答は、次の場合に [確認応答待ち] に設定されます。
     - ポリシーの確認応答が 頻度として設定された時間に達しました。
     - アドホック確認の場合、ポリシーの確認応答は有効開始日に達しました
     - ステータスを手動で移動するには、[確認応答待ち] ボタンをクリックします。
   - 次の場合、ポリシーの確認応答は [クローズ済み] ステータスになります。
     - 手動で [クローズ済み] ステータスに移行します
     - 有効期限の日付に達します
   - 次の場合、ステータスは [キャンセル] に移行します。
     - 手動で [キャンセル] ボタンをクリックします
     - ポリシー例外が却下され、確認応答がキャンセルにリセットされる

   ポリシー確認応答インスタンスが異なるステータスに設定されている場合は、次のオプションを使用できます。

   承認

   ポリシーが準拠している場合は、[承認] をクリックします。

   拒否

   ポリシーがコンプライアンスを遵守しておらず、要求を拒否できるように要求が構成されている場合は、[拒否] をクリックします。

   例外を要求

   何らかの理由で応答を希望せず、オプトアウトできるように要求が設定されている場合は、[例外を要求] をクリックします。

   免除

   ポリシーが承認された場合

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシーを廃止

ポリシーの廃止は、ポリシー管理プロセスの一部です。承認されて KB に公開された後は、コンプライアンスワークスペースを使用していつでも廃止できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 右上隅の [廃止] をクリックします。
   このオプションは、公開済みステータスのポリシーでのみ使用できます。

GRC 記事テンプレートを作成

Policy and Compliance マネージャーは、コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー記事を公開するためのテンプレートを作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_audit.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > 記事テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

各種法令・基準等

フィールド	説明
名前	記事テンプレートの名前。
タイプ	○ スクリプト ○ HTML ○ XML
スクリプト	スクリプトコード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
HTML	HTML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
XML	XML コード。このフィールドは [タイプ] フィールドに依存します。
デフォルトである	このテンプレートがすべての KB 記事のデフォルトテンプレートとして使用されることを示すオプション。

4. [送信] をクリックします。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロール目標を作成

コントロール目標は、会社のインタラクションと運用のガイダンスとして機能する目標、指示、または標準です。コントロール目標は、コンプライアンスワークスペースを使用してカテゴリ化、分類、およびポリシーへの関連付けが可能です。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [作成] リストをクリックし、[コントロール目標] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいコントロール目標を作成フォーム

フィールド	説明
名前	コントロール目標の名前。
ソース	ポリシーのソース。たとえば、ステートメントがサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	一意の数値識別子。
親	現在のコントロール目標の子ではないコントロール目標。これは、循環する親子関係を避けるためです。
コンプライアンススコア (%)	このコントロール目標に対して計算されたコンプライアンススコアの割合とそのカラーコード： ○ 緑：80 以上 ○ 黄：80 ～ 50 ○ 赤：50 未満
有効	ポリシーがアクティブかどうかを示すオプション。
コントロールを自動的に作成	コントロールがコントロール目標から自動的に作成されることを示すオプション。 **注:** コントロール目標がコントロールとしても機能する場合は、このオプションを選択します。
カテゴリ	オプションのリスト： ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護 ○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ ルート ○ 不使用
分類	オプションのリスト： ○ 予防 ○ 是正 ○ 探知
タイプ	オプションのリスト： ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定 ○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理 ○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理 ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ テスト ○ トレーニング
証明書	オプションリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ デフォルトで **GRC** 証明書 が選択されている ○ 注: ユーザーがコントロール証明書を変更すると、関連するコントロール目標証明書タイプも変更されます。
問題グループルール	このコントロール目標にアサインされたグループルール。
説明	コントロール目標の説明。

4. [保存] をクリックします。
作成したコントロール目標の詳細を表示および管理するには、「概要ページからのコントロール目標の管理」を参照してください。
コントロール目標が作成され、すべての関連リストが表示されます。
   - ポリシーがエンティティに関連付けられている場合、コントロールはすべてのコントロール目標に対して作成されます。
   - コントロール属性は、関連するコントロール目標と同じ属性にデフォルト設定されます。
5. [概要] ページで、[その他] タブをクリックし、[問題] タブを選択します。
作成したコントロール目標に 1 つ以上の関連する既存の問題を追加できます。既存の問題をコントロール目標にマッピングすることで、コントロール目標のオープンな問題の数を減らすことができます。

   a. [追加] ボタンをクリックします。

   b. [問題] ポップアップから関連する問題を選択します。

   c. [追加] をクリックします。
   選択した問題は、関連する問題としてコントロール目標に追加され、コントロール目標に対する問題 [sn_grc_m2m_issue_engagement] テーブル内のコントロール目標と問題の間に m2m 関係が作成されます。[新規] ボタンをクリックして、コントロール目標の問題を作成することもできます。

   d. コントロール目標にマッピングされている問題を削除するには、問題を選択して [削除] をクリックします。
   削除アクションは、コントロール目標と問題の間のマッピングのみを削除します。アクションは問題レコードを削除しません。

   注:
   コントロール目標が [廃止] ステータスの場合、[新規]、[追加]、[削除] などの UI アクションボタンは使用できません。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

概要ページからのコントロール目標の管理

コントロール目標レコードの [概要] ページには、コンプライアンスステータス全体の詳細が表示されます。

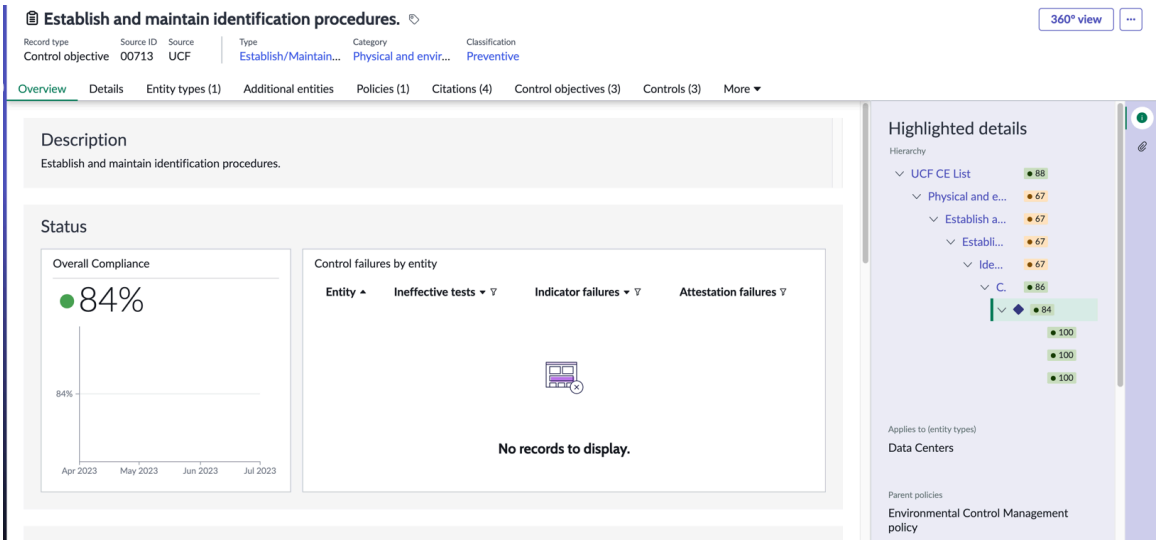
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール目標レコードの概要ページ

コントロール保証セクションは、さまざまな証明書が適切に配置されている、すなわちコントロールが正しく実装されているかどうかを知るために役立ちます。コントロール証明書に加えて、インジケーターは、コントロールを評価したりコンプライアンスを継続的に監視したりするために役立ちます。コントロールに対して実施されたテストの進行中と期限切れのステータスは、ポリシーと権限ドキュメントが遵守されているかどうかを組織が判断するための重要な決定要因です。

コントロール目標レコードの概要ページ



コントロール目標に関する詳細なコンテキスト情報を見るには、サイドバー ([ ]) アイコンを選択します。特定のコントロール目標レコードについて、コントロール目標に示されているアクションを実行する理由を示す権限ドキュメントとポリシーへのマッピングの階層を表示できます。

コントロール目標レコードには、Advanced Risk、GRC Metric、PaCE といったさまざまなアプリケーションから取得された関連リストが多数あり、[概要] の横に一覧表示されます。利用可能なこれらの関連リストアイテムはコントロール目標にマッピングしたり関連付けたりすることができます。たとえば、コントロール目標にエンティティタイプを追加する場合は、[エンティティタイプ] 関連リストに移動し、[追加] ボタンを選択して、必要なエンティティタイプをマッピングします。

コンプライアンスワークスペース を使用してコントロール目標を非アクティブ化

コンプライアンスワークスペース を使用して、引用または親コントロール目標との関連がなくなったコントロール目標を非アクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
2. コントロール目標を開きます。
3. コントロール目標で、[有効]とマークされたチェックボックスをオフにします。
4. [更新] をクリックします。

コンプライアンスワークスペース を使用してコントロール目標をポリシーに関連付け

ポリシーが [レビュー] または [ドラフト] ステータスの場合は、コントロール目標をポリシーに個別に関連付けることができます。コンプライアンスワークスペースを使用すると、コントロール目標のドキュメントフィールドでポリシーを選択するか、コントロール目標関連リストを編集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager、sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開きます。
3. [コントロール目標] 関連リストで [編集] をクリックします。
   スラッシュバケットには、関連付けられているポリシーが選択されていないアクティブなコントロール目標が含まれています。
4. コントロール目標を選択します。
5. [保存] をクリックします。
   これらのコントロール目標は、[コントロール目標] 関連リストに一覧表示されます。

次のタスク
実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェア、に戻ります ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、次のステップに進みます。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロール目標を引用に関連付け

コンプライアンスワークスペースを使用して、単一のコントロール目標を、さまざまな各種法令・基準等の多くの引用にマッピングすることができます。この機能を使用すると、さまざまな引用に準拠しながらコントロール目標を 1 回テストできます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 引用.
4. 引用レコードを開きます。
5. [コントロール目標] 関連リストで [新規] をクリックします。
6. [コントロール目標] ポップアップからコントロール目標を選択します。
7. [追加] をクリックします。
   追加されたコントロール目標は引用に関連付けられます。

コンプライアンスワークスペースを使用した引用の作成

各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標は、通常、サードパーティのプロバイダーからダウンロードされます。ただし、引用は コンプライアンスワークスペースを使用して各種法令・基準等から手動で作成できます。引用の [アクティブ] オプションは、引用がアクティブか非アクティブかを示します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin または sn_compliance_manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. リストアイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [コンプライアンスライブラリ] リストで [各種法令・基準等] を選択します。
4. 各種法令・基準等を選択して開きます。
5. [引用] 関連リストで、[新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

引用フォーム

フィールド	説明
名前	この引用を識別するユーザー定義の名前。
ソース	ポリシーのソース。たとえば、ステートメントがサードパーティプロバイダーからのものである場合は、どのプロバイダーかを示します。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
参照	コンテンツ参照。
タイプ	作成された引用のタイプ。処理に使用されないオプションのフィールド。レポートでこのフィールドの値を使用するか、特定のタイプのレコードをクエリします。 ○ コアトピック ○ プロセス ○ コントロール目標 ○ コントロール ○ サポート情報
各種法令・基準等	この引用の親である各種法令・基準等の名前。各種法令・基準等フォームから引用を作成すると、このフィールドは自動的に入力されます。
有効	ポリシーがアクティブかどうかを示すオプション。[ドラフト] または [廃止] ステータスでない場合、ポリシーはアクティブとマークされます。引用を無効にするには、[有効]とマークされたチェックボックスをオフにします。
親	親コンテンツを参照します。
説明	引用の説明。

7. [保存] を選択します。
   デフォルトの [概要] ページの [ステータス] ペインのさまざまなウィジェットで、引用の説明を表示し、全体的なコンプライアンスやそのブレークダウン、および非準拠のエンティティを監視できます。すべての引用レコードの詳細をハイライト表示するサイドバーもあります。

コンプライアンスワークスペースを使用して各種法令・基準等を作成

各種法令・基準等はプロセスを管理し、その中でプロセスの要点を管理する引用が作成されます。たとえば、建物のセキュリティと呼ばれるプロセスには、エントリコントロールの引用が含まれています。

始める前に

必要なロール：
sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager、sn_

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [作成] リストを選択し、[各種法令・基準等] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[新しい各種法令・基準等を作成] フォーム

フィールド	値
名前	ドキュメントの名前。
数値	一意の識別番号が自動的に入力される読み取り専用フィールド。
ソース	ポリシーのソースを含む編集不可能なフィールド。たとえば、ステートメントが UCF インポートからのものである場合、ソースは UCF です。
ソース ID	この各種法令・基準等をカタログ化するためにソースによって使用される一意の識別番号。
バージョン	この各種法令・基準等を識別するためにソースによって使用される一意のバージョン番号。
共通名	[名前] フィールドの省略形。
カテゴリ	この各種法令・基準等のカテゴリ。
タイプ	ドキュメントタイプ： ○ 監査の指針 ○ ベストプラクティスの指針 ○ 法案または法令 ○ 契約上の義務 ○ 国際標準または国内標準 ○ 未設定 ○ 組織指針 ○ 法令の規制 ○ セーフハーバー ○ 自主規制機関の要件 ○ ベンダードキュメント
有効期限開始	ポリシーが有効になる日時。
有効期限	ポリシーが無効になる日時。
Url	保存されている各種法令・基準等の URL。
説明	各種法令・基準等に関する詳細情報。

4. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各種法令・基準等が作成され、それに関連するすべての関連リストが表示されます。デフォルトでは、[概要] ページが開いて各種法令・基準等レコードの [説明] が表示され、ページのサイドバーでレコードの詳細がハイライト表示されます。

5. [概要] ページで、[問題] を選択します。
作成した各種法令・基準等に 1 つ以上の関連する既存の問題を追加できます。既存の問題を各種法令・基準等にマッピングすることで、ドキュメントのオープンな問題の数を減らすことができます。

   a. [追加] ボタンを選択します。

   b. [問題] ポップアップから関連する問題を選択します。

   c. [追加] を選択します。
   選択した問題が関連する問題として各種法令・基準等に追加されます。[新規] ボタンを選択して、各種法令・基準等の問題を作成することもできます。

   d. 各種法令・基準等にマッピングされている問題を削除するには、問題を選択して [削除] をクリックします。
   削除アクションでは、各種法令・基準等と問題の間のマッピングのみが削除され、問題レコードは削除されません。

      注:
      各種法令・基準等が [廃止] ステータスの場合、[新規]、[追加]、[削除] などの UI アクションボタンは使用できません。

コンプライアンスワークスペースを使用して各種法令・基準等を非アクティブ化

各種法令・基準等の [有効] オプションは、各種法令・基準等が廃止されたかどうかを示します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.admin または sn_compliance.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > コンプライアンス > 信頼できるソース.
2. 各種法令・基準等を開きます。
3. 各種法令・基準等で、[有効] とマークされたチェックボックスをオフにします。

   UCF からインポートされた各種法令・基準等は読み取り専用のフォームであるため、[アクティブ] チェックボックスをオフにすることはできません。

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー例外と延長を管理

ポリシーの例外と延長により、非準拠コントロールが一時的に緩和されます。ポリシー例外は、ポリシー例外要求の受け入れまたは却下をサポートする根拠、コメント、および証拠をキャプチャします。

また、ポリシー例外有効期間の前に承認されたポリシー例外の延長を要求できます。コントロールオーナー、コンプライアンスマネージャー、およびリスクマネージャーが、ポリシー例外と延長ワークフローに関与する場合があります。

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー例外を要求

コンプライアンスワークスペースを使用して、例外が適用されるシステム、アプリケーション、ネットワーク、またはエンティティの特定のリストで例外の理由を指定することで、ポリシー、コントロール目標、または問題の例外を要求します。例外が必要な期間も指定する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール： sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて
例外は、特別な状況のためにコンプライアンス要件を満たすことができない場合に一時的に保護します。たとえば、OS ベンダーがパッチをリリースしてから 48 時間以内にすべての重要な OS サーバーにパッチを適用する必要があるという規定を満たすことができない場合です。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [作成] リストで [ポリシー例外] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいポリシー例外を作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	ポリシー例外の名前。
要求者	ポリシー例外を要求するユーザー (通常はコントロールオーナー)。
理由	ポリシー例外を要求する理由。要求者は、ポリシーの例外が承認されるまで理由を変更できます。
簡単な説明	ポリシー例外要求の説明。
ステータス	承認ワークフロー内のポリシー例外のステータス。
サブステート	承認ワークフロー内のポリシー例外の承認サブステート。
優先度	このポリシー例外の承認優先度
正当性	ポリシー例外の証拠または根拠。
ソース	
ソースタイプ	作成するポリシー例外のタイプ。オプションは次のとおりです。 ○ ポリシー：ポリシーに基づいてポリシー例外を作成します。 ○ コントロール目標：デフォルトは、ポリシー例外が作成される単一のコントロール目標です。 コントロール目標を選択すると、[影響を受けるコントロール] タブが表示され、コントロール目標に関連付けられたコントロールを選択できます。 ○ コントロール：複数のコントロールでポリシー例外を作成するオプション。 異なるコントロール目標から複数のコントロールを関連付けるには、[コントロール] を選択します。このオプションは、複数のコントロールに適用される複数のポリシー例外を作成するのではなく、ポリシー例外の複数のコントロール目標をサポートします。 ○ 問題：このポリシー例外に関連する問題。
ポリシー	例外が作成されるポリシー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コントロール目標	このポリシー例外に関連付けられたコントロール目標。
問題	このポリシー例外に関連する問題。
ターゲットレコード	ポリシー例外が適用されるターゲットレコードテーブル。このテーブルは、[ポリシー例外統合レジストリ] フォームの [ポリシー例外ターゲットテーブル] フィールドでも参照されます。
スケジュール	
有効期限開始	ポリシー例外が開始される日。
有効期限	ポリシー例外が終了する日。[有効期限] の日付は [有効期限開始] よりも後である必要があり、過去の日付にすることはできません。
期間	[有効期限開始] と [有効期限] の間の日数。
承認された延長	これまでに要求され、承認された延長の回数。
残りの延長	将来的に延長を要求できる回数。残りの延長 = *`Number of extensions allowed for a policy exception`* プロパティの値 – 承認された延長の数。
作成済み	ポリシー例外が要求された日付。
承認日	例外が承認された日付。
延長日	要求された延長日。[有効期限] より後の日付です。
延長理由	延長の理由。
元の有効期限	ポリシー例外が最初に要求され、承認された日付。元の [有効期限] の日付は、延長が承認された場合にのみ入力されます。
アサイン	
ウォッチリスト	要求が更新されたときに通知されるユーザー。
承認グループ	コンプライアンスマネージャーロールを持つグループ。ポリシー例外がレビューステータスに達した場合、承認グループを編集できません。 承認グループを指定しない場合、フィールドはデフォルトでコンプライアンスマネージャーに設定されます。コンプライアンスマネージャーは、ポリシー例外が GRC と統合されたアップストリームアプリケーションから発生した場合のデフォルトのロールです。たとえば、インシデントに関連する問題に対してポリシー例外を生成し、その問題が GRC に関連しているとします。
承認者	承認グループのユーザー。例外ポリシーが [分析] ステータスに移行した場合は、承認者を選択する必要があります。
リスクアセスメント	
方法 (Method)	リスクを評価する方法：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ リスク評価を選択：このポリシー例外に関連付けられたリスク評価を選択します。 ○ タスクリスクアセスメント：リスクアセスメントを実施してリスク評価を計算します。 **注:** このオプションは、GRC: Advanced Risk プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。 リスクアセスメントは、フォームの [リスクを評価] ボタンをクリックしてトリガーできます。このボタンは、[タスクリスクアセスメント] が選択されている場合にのみ使用できます。
リスク評価	ポリシー例外で実行されるリスクアセスメントで定義されるリスク評価。 [方法 **(Method)]** フィールドで [リスク評価を選択] オプションを選択した場合は、リストから値を選択できます。[方法 **(Method)]** フィールドで [タスクリスクアセスメント] オプションを選択すると、このフィールドにはリスクアセスメントで指定された応答が自動的に入力されます。
上書き	リスクアセスメントに提供された応答に基づいて自動入力された [リスク評価] を上書きするオプション。このフィールドは、[方法 **(Method)]** が [タスクリスクアセスメント] オプションの場合に表示されます。
リスク詳細	リスクアセスメント中にリスクマネージャーによって実行されたリスクの説明。
リスクと影響度の分析	このリスクが発生する可能性と、このリスクがポリシーの例外に及ぼす残存影響度の詳細。
リスク軽減計画	このポリシー例外のリスク軽減計画。
コメント	
作業メモ	例外のレビュー担当者と承認者は、作業メモを使用して例外に関する情報を共有できます。
追加コメント	これらのコメントは、レビュー担当者が例外要求者に追加情報を伝えるために使用します。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 10.1 より前のバージョンでは、[リスクアセスメント] 関連リストは [ビジネスインパクト分析] と呼ばれ、GRC: リスク管理 アプリケーションをアクティブ化する必要がありました。バージョン 10.1 以降、リスク管理 への依存関係が削除され、関連するフィールド名が変更されました。

[承認済みの延長]、[残りの延長]、[承認日]、[延長日]、[延長の理由]、[元の有効期限] フィールドは、ポリシー例外の延長を要求し、承認者によって承認された場合にのみ表示されます。

問題とポリシー例外の m2m 関連付けに関しては、[問題] フィールド、[コントロール目標] フィールド、および [影響を受けるコントロール] タブに入力する値について把握しておく必要のある特定の考慮事項があります。

a. [ソースタイプ] フィールドで問題を選択すると、1 つ以上のアクティブなコントロールが関連付けられている問題が [問題] 参照フィールドに一覧表示されます。アクティブコントロールは、[証明]、[レビュー]、または [監視] ステータスのコントロールであり、[ドラフト] または [廃止] ステータスではありません。[影響を受けるコントロール] タブに移動して、問題に関連するコントロールを表示できます。

b. 問題が 1 つのコントロール目標にのみリンクされている場合、リンクされているコントロール目標が [コントロール目標] 参照フィールドに入力されます。問題が複数のコントロール目標にリンクされている場合、[コントロール目標] フィールドに入力される値はありません。[コントロール目標] 参照フィールドをクリックして、コントロール目標を選択します。

c. [問題] フィールドで問題を選択していなくても、[コントロール目標] 参照フィールドにコントロール目標が入力されている場合、[問題参照] フィールドには、このコントロール目標にリンクされている問題のみが一覧表示されます。

d. [問題] フィールドに問題を追加すると、その問題にリンクされているすべてのコントロールが [影響を受けるコントロール] タブに追加されます。ただし、[コントロール目標] 参照フィールドでコントロール目標を選択すると、[影響を受けるコントロール] タブにリストされているすべてのコントロールは、選択したコントロール目標と問題にリンクされているコントロールのみに置き換えられます。コントロールは任意のステータスにすることができますが、[ドラフト] または [廃止] ステータスにすることはできません。

e. ポリシー例外の 1 つの問題にリンクされている影響を受けるコントロールは、最初のポリシー例外の [影響を受けるコントロール] タブに既にリストされているため、別のポリシー例外で追加するためにリストされることはありません。後で問題にコントロールを追加し、問題を 2 番目のポリシー例外にリンクすると、新しく追加されたすべてのコントロールが影響を受けるコントロールとして追加されますが、最初のポリシー例外の影響を受けるコントロールとして追加されたコントロールは含まれません。

4. ポリシー例外を保存します。
ポリシー例外のステータスは [新規] です。

5. [承認を要求] ボタンをクリックします。
検証ルールが設定されている場合は、検証承認がトリガーされます。検証の承認が承認されると、ポリシー例外は [分析] ステータスに移行します。

ポリシー例外が承認され、[有効期限] の日付に達すると、ステータスは [クローズ済み] に移行し、サブステートは [期限切れ] に移行します。

ポリシー例外が承認される前であれば、不要になった場合は [新規] ステータスからいつでもポリシー例外を取り消すことができます。

6. ポリシーの例外を取り消すには、[要求のキャンセル] ボタンをクリックします。
ステータスは [クローズ済み] に、サブステートは [キャンセル] に移行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
要求者は、承認済みステータスのポリシー例外の延長を複数回要求できます。ポリシーの延長を複数回要求するには、*Number of extensions allowed for a policy exception* プロパティを設定します。

プロパティを設定するには、「Configure the number of extensions allowed for a policy exception (ポリシー例外に対して許可されている延長の数を設定する)」を参照してください。

延長を要求するには、[延長を要求] ボタンをクリックし、[延長を要求] ポップアップに詳細を入力します。

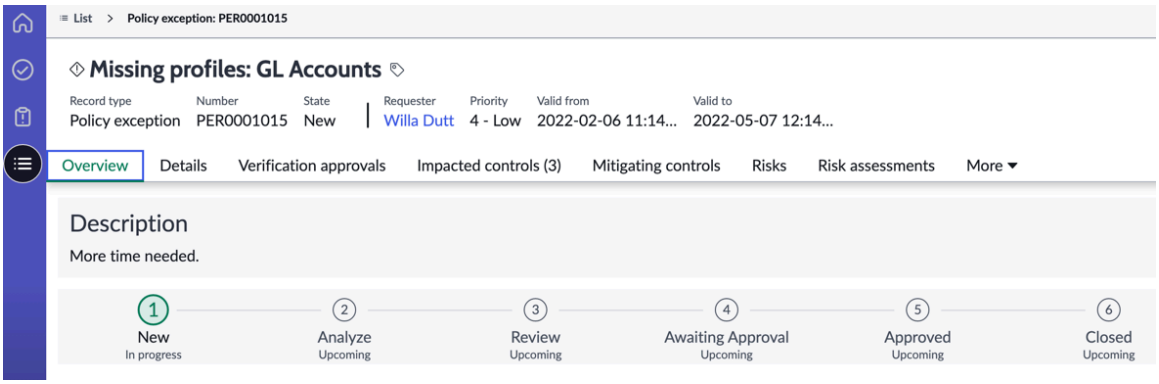
[要求] をクリックします。要求者が延長を要求し、承認者によってポリシーの延長が承認された後、ポリシー例外フォームの [スケジュール] タブでポリシー延長の詳細を確認できます。

概要ページからポリシー例外を管理する

ポリシー例外の概要ページには、ポリシー例外の基本的な詳細が全体的に表示されます。

ポリシー例外を保存して送信するとすぐに、デフォルトで [概要] ページが開き、ポリシー例外の基本的な詳細がすべて表示されます。ヘッダーにはポリシー例外の名前が表示され、説明にはポリシー例外の理由が示されます。また、ステッパーには、ポリシー例外が最終的に承認されるまでに通過するさまざまなステータスが表示され、デフォルトは [新規] ステータスです。

ポリシー例外の概要ページ



コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー例外と延長要求を確認

コンプライアンスワークスペースを使用してポリシー例外要求をレビューした後、コンプライアンスマネージャーはその要求を承認または却下できます。ただし、コンプライアンスマネージャーが決定するのに十分な情報を持っていない場合は、リスクマネージャーによるリスクアセスメントを要求できます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [ポリシーの例外] リストで [すべてのポリシーの例外] をクリックします。
4. [名前] 列のポリシー例外レコードへのリンクをクリックします。
5. 次のいずれかのアクションを実行します。

6. 次のいずれかのアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [更新] をクリックします。

高度なリスクアセスメントを使用したポリシー例外のリスクを評価

高度なリスクアセスメントを行って、ポリシーの例外に関連するリスクを評価します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.manager

GRC: Advanced Risk は、Advanced Risk アセスメント機能を使用してリスクを評価するための Advanced Risk アセスメントとの統合に必要なプラグインです。

このタスクについて

ポリシー例外が送信された後、コンプライアンスマネージャーはポリシー例外に対してリスク分析を行い、そのリスクステータスを評価し、ポリシーに対するリスクの影響度に基づいてその承認を決定できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. [ポリシーの例外] リストで [すべてのポリシーの例外] をクリックします。
4. [名前] 列で、リスクを評価する、ポリシー例外レコードへのリンクをクリックします。
5. [リスクアセスメント] セクションの [方法 **(Method)]** フィールドで [タスクリスクアセスメント] オプションを選択します。
   リスクアセスメントオプションの詳細については、「リスクアセスメント」セクションを参照してください。
6. [保存] をクリックします。
7. [リスクを評価] ボタンをクリックします。
   ポリシー例外のリスクは、そのステータスが [分析] の場合にのみ評価できます。
8. [リスク査定人と承認者を指定] ポップアップでリスク評価担当者と承認者を選択します。
   コンプライアンスユーザーロールまたはリスクユーザーロールを持つユーザーは、リスク査定人または承認者になることができます。
9. [アセスメント送信] ボタンをクリックします。
   ポップアップで選択したユーザーにアセスメントが送信されます。詳細については、「Assess risks and objects on an assessment instance (アセスメントインスタンスのリスクとオブジェクトの評価)」を参照してください。

   アセスメントが完了すると、ポリシー例外フォームの [リスク評価] フィールドに、ポリシー例外リスク評価マッピングテーブルで構成された値が自動的に入力されます。
10. [詳細] タブをクリックします。
    指定したリスクアセスメント応答に基づいて計算されたスコアが、[リスク評価] フィールドの値にマッピングされます。

ポリシー例外に高度なリスクアセスメントを設定

リスクアセスメントの各質問の値を作成して、リスクアセスメント方法をカスタマイズし、リスク評価スコアを計算します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ベースシステムによって提供されるリスクアセスメント方法を変更する場合、またはポリシー例外の新しい方法を作成する場合は、ポリシー例外のリスクアセスメント方法を作成または更新した後に次の手順に従う必要があります。

リスクアセスメント方法の定性的評価基準を、最終的なリスク評価スコアのポリシー例外リスク評価マッピング (sn_compliance_policy_exception_risk_rating_mapping) テーブルにマッピングします。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > ポリシー例外リスク評価マッピング.
2. リスクアセスメント評価ごとに対応するポリシー例外リスク評価値を入力します。

   注:
   ポリシー例外テーブルの公開済みリスクアセスメント方法からの残存アセスメントの定性的評価基準は、このフィールドで利用可能なオプションです。

3. [保存] をクリックします。
   リスクアセスメントのスコアは、ポリシー例外リスク評価列の対応する値に変換されます。

   注:
   新しく構成されたすべての定性的評価基準には、ポリシー例外リスク評価と同等のマッピングが必要です。ポリシー例外リスク評価マッピングテーブルのリスクアセスメント評価とポリシー例外リスク評価のマッピングが正しくない場合、[リスク評価] フィールドには結果 [なし] がメッセージとともに表示されます。この場合、[タスクリスクアセスメント] 方法のリスク評価結果を上書きし、[上書き] チェックボックスをオンにして [リスク評価] フィールドの値を選択するオプションがあります。

   ベースシステムによって提供されるアセスメント方法とは異なるアセスメント方法を作成する場合は、*sn_risk_advanced.rams_with_extension_points* システムプロパティの値フィールドに新しい方法の sys_ID を追加する必要があります。

自動翻訳

コンプライアンスワークスペース を使用して問題を管理

コンプライアンスワークスペース を使用して、会社のリスク管理プログラムの有効性は、リスクとコンプライアンスの問題をどれほど迅速に識別し完全に反応するかにより測定できます。

コンプライアンスワークスペースを使用して **GRC** の問題を手動で作成

コンプライアンスワークスペース、GRC を使用して、手動で問題を作成し、ポリシー、リスク、または監査の観察事項を文書化したり、GRC の問題を受け入れることができます。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に
必要なロール：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 問題 > すべての問題.
   リストにすべての問題が表示されています。ただし、問題をフィルタリングするための基本条件は、[分類] が [コンプライアンス] または [空] である必要があり、また、問題にエンゲージメントとの m2m 関連付けがある場合は、ログインしているユーザーは、監査人、エンゲージメントリードまたは承認者などの 3 種類のユーザーのいずれかである必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [新規] をクリックします。

   [新規問題の作成] フォームのフィールドの説明については、「Compliance workspace issue form (Compliance ワークスペースの問題フォーム)」を参照してください。

   > **注:**
   > ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのバージョン 12.0.1 以降では、[問題] フォームの [アサイン先] ユーザーの最小ロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

5. 問題レコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブを使用すると、問題を修正するための各種タスクを実行できます。ポリシー例外を追加し、修正タスクを作成できます。また、他の問題、インジケーターの結果、および問題に関連するタスク SLA を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 12.0.1 以降、[タスク **SLA]** タブは [期日] に基づいて SLA を作成して表示します。問題の [期日] が 50% に達し、次に 75% に達して、違反した場合、問題オーナーと問題マネージャーに通知が送信されます。[アサイン先] および [期日] フィールドが空でなく、問題が [新規] ステータスでない場合、その問題に対して SLA が作成されます。

SLA の期日が変更されると、新しい SLA が作成されます。問題が [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に移行すると、SLA は完了です。また、[期日] または [アサイン先] フィールドが空であるか、ステータスが [新規] の場合、SLA はキャンセルされます。

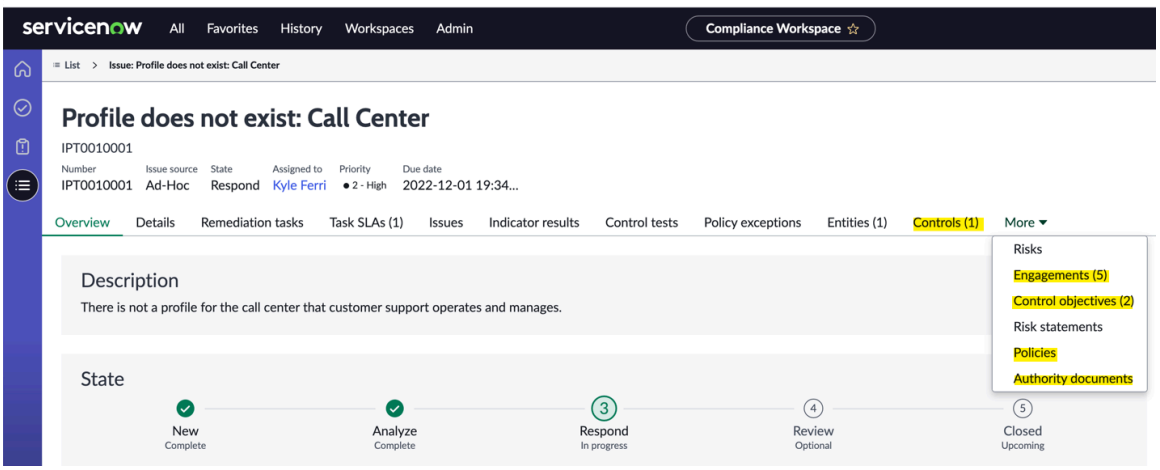
また、バージョン 12.0.1 以降では、[アサイン先] ユーザーおよび問題マネージャー、および GRC ビジネスユーザーロールを持つユーザーを使用して修正タスクを作成できます。

作成した問題レコードに移動し、関連リストを使用できます。

- 問題をコントロールなどの同じオブジェクトタイプの複数のレコードにリンクします。たとえば、Google Cloud、Microsoft Azure クラウド、および AWS クラウドを監視する 3 つのコントロールがあり、それらが停止していることから 3 つの異なる問題が発生した場合、3 つのコントロールすべてをクラウドサービスの停止という 1 つの問題にリンクすることができます。
- 問題をコントロール、コントロール目標、ポリシー、エンゲージメントなどのさまざまなオブジェクトにリンクします。
- 問題をさまざまなタイプのオブジェクトに関連付けます。

注:
問題がクローズされている場合、問題フォームからオブジェクトを作成、追加、または削除することはできません。[問題の概要] ページでは、コントロール、コントロール目標、各種法令・基準等、ポリシー、エンゲージメントの関連リストを表示できます。ただし、これらの各関連リスト内の [新規]、[追加]、[削除] などの UI アクションボタンは非アクティブです。

問題フォームの関連リスト



問題をリンクさせることができる各タイプのオブジェクトの問題フォームの関連リストは、次のことに役立ちます。

- 組織内にある未解決の関連問題の数を減らします。
- 問題の根本原因を特定し、同様の問題をグループ化します。
- 1 つの問題を解決すると、関連する問題が解決します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスワークスペース 問題フォームの詳細

コンプライアンスワークスペース の新しい問題フォームに入力するフィールドの説明。

新規問題を作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前 **注:** バージョン 12.0.1 までは、このラベルは [簡単な説明] でした。	問題の名前。
問題ソース	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 • インジケーター失敗：問題はインジケーターの失敗によって作成されます • リスクアセスメント：問題はリスクで作成されます • リスクイベント：問題はリスクイベントで作成されます • コントロール証明書失敗：問題は非準拠コントロールが原因で作成されます • コントロールテスト失敗：問題は、コントロールが無効で、コントロールテストが完了してクローズとしてマークされたときに作成されます • アドホック：問題は手動で作成されます
問題タイプ	問題の種類。選択肢は次のとおりです。 • コントロール設計有効性の問題 • コントロール運用有効性の問題 • コントロールは要件を満たしていません • コントロールが存在しません • 規制への非準拠 • ポリシーへの非準拠 • 既存のポリシーに対する改善または提案 • 新しいポリシーの推奨事項 • プロセスの最適化または改善 • 観察事項 • データ漏洩 • 詐欺 • 虚偽

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• トレーニング • ドキュメント • リスク問題 • その他
分類	問題タイプに基づく、リスク、コンプライアンス、または監査としての問題の分類。
場所	問題が発生した場所。
ステータス	• 新規 • 分析 • 応答 • 評価 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ
サブステート	サブステートとサブステートに適用される詳細。
優先度	影響度と緊急度に基づいた、問題を解決すべき順序： • **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中
問題評価	バージョン 12.0.1 以降、問題マネージャーは問題に問題評価をアサインすることができます。問題評価に基づいて、[日付] タブの下にある [期日] が次のように計算されて表示されます。 • 非常に高い (2 日) • 高 (4 日) • 中 (8 日) • 低 (10 日) • 非常に低い (15 日) [期日] は手動で上書きできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	注: sn_grc.manager および sn_grc_advanced.issue_triage_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > 管理 > 問題評価 追加の問題評価を定義します。 問題が [対応] ステータスに移行すると、[問題評価] フィールドは読み取り専用になります。
説明	問題の包括的説明。
アサイン	
アサイン先グループ	この問題がアサインされているグループ。この問題でアクティビティが発生すると、各メンバーは通知を受信します。
アサイン先	問題を解決するためにアサインされたグループのメンバー。 バージョン 12.0.1 以降、ユーザーには少なくとも sn_grc.business_user ロールが必要です。 注: 問題のアサイン先にする必要があるユーザーについての提案を得るには、電球アイコンを使用します。電球アイコンは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションが有効になっており、フォームが保存され、[アサイン先] フィールドが有効で、GRC プロパティが類似性分析として選択されている場合にのみ表示されます。詳細については、「GRC のプロパティ」を参照してください。 バージョン 12.0.1 以降では、問題マネージャーがより詳細な情報を要求すると、アサイン先ユーザーにメール通知が送信されます。 バージョン 12.0.1 以降、問題が [対応] ステータスに移行する場合、[アサイン先] フィールドへの入力は必須です。
問題マネージャーグループ	問題の管理とレビューを担当するグループ。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明

	• 問題マネージャーグループのメンバーは、次のいずれかのロールが必要です。
	  ○ sn_audit.manager
	  ○ sn_audit.user
	  ○ sn_compliance.manager
	  ○ sn_compliance.user
	  ○ sn_grc.manager
	  ○ sn_grc.user
	  ○ sn_risk.manager
	  ○ sn_risk.user
	• 問題が [分析] ステータスに移行するときは、[問題マネージャーグループ] または [問題マネージャー] フィールドのいずれかへの入力が必須です。
	• 問題がグループにアサインされると、メンバーはメール通知を受信します。さらに、問題が [レビュー] ステータスに移行すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。

問題マネージャー	問題の管理とレビューを担当するユーザー。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 • 問題マネージャーには、少なくとも sn_grc.user ロールが必要です。 • アサイン先ユーザーがより詳細な情報を要求すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。 • 問題が [分析] ステータスに移行する場合、このフィールドまたは [問題マネージャー] のいずれかへの入力が必須です。 • 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
ウォッチリスト	問題のウォッチリストに含まれるユーザー。
スケジュール	
期日	(バージョン 12.0.1 以降) この日付は、GRC プロパティに基づいて自動入力されます。移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ.[問題の評価に基づいて期日を自動入力] プロパティが [はい] に設定されている場合、問題のリスク評価に対して事前定義された修復期間に基づいてこのフィールドが自動入力されます。それ以外の場合は、期日を手動で入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
確認日	(バージョン 12.0.1 以降) 問題が確認された日付。このフィールドは読み取り専用で、問題が [新規] から次のいずれかのステータスに移行すると、当日の日付が表示されます。 • 分析 • レビュー • 対応 **注:** トリアージ問題が実際の問題に変換された場合、このフィールドには変換された日付が表示されます。
開始予定日	問題の作業の開始予定日時。
終了予定日	問題の作業の終了予定日時。
期間	作業時間の見積もり。[開始予定日] と [終了予定日] を使用して計算されます。
作成済み	問題が作成された日時。
クローズ済み	問題がクローズされた日時。
実開始日	この問題の作業が開始された時間。
実終了日	この問題の作業が完了した時間。
実際の期間	作業時間。[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
問題のグループ化	
親問題	この問題が属する親問題。
問題グループルール	この問題にアサインされたグループルール。問題グループルールは、ルールで定義された条件に基づいて類似した問題を親問題にまとめてグループ化するために使用されます。これにより、同様の問題を同時に処理し、すべての問題が解決された後に親問題をクローズすることができます。それにより、すべての子問題がクローズされます。
アクションプラン	
推奨事項	リスク、コンプライアンス、または監査チームによって推奨される解決アクション。
アクションプラン	問題を修正するための計画。
機密性	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	[作業メモ] チェックボックスをクリックして、[作業メモ] フィールドを表示します。問題の解決方法に関する情報、または既に採った解決手順 (該当する場合)。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。[投稿] をクリックして、問題に作業メモを追加します。
追加コメント (顧客に表示)	問題に関する公開情報。[投稿] をクリックして、問題にコメントを追加します。
設定	
機能ドメイン	問題の機能ドメイン。
詳細	
コントロール/リスク	この問題に関連付けられたコントロールまたはリスク。 コントロールが関連付けられると、コントロールの対応するエンティティが [エンティティ] フィールドに追加され、対応するコントロール目標が [コントロール目標/リスクステートメント] フィールドに追加されます。これらのコントロール目標とエンティティは、このコントロールにリンクされているものです。 コントロールが問題フォームに関連付けられると、m2m レコードがソース [sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。レコードがソーステーブルに追加されるたびに、対応するレコード [問題からエンティティ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_to_entity] テーブルに追加され、コントロールの関連付けられたエンティティとコントロール目標の別のレコード [問題からコンテンツ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_content] テーブルに追加されます。
エンティティ	関連エンティティ。
ポリシー	問題に関連付けられたポリシー。
各種法令・基準等	問題に関連付けられた各種法令・基準等。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
コントロール目標/リスクステートメント	この問題に関連するコントロール目標またはリスクステートメント。
処理アクティビティ	
エンゲージメント	
エンゲージメント	関連するエンゲージメント。
リスクイベント	
リスクイベント	関連リスクイベント。

コンプライアンスワークスペースを使用して類似の問題を新しい親問題にグループ化

コンプライアンスワークスペースを使用して問題を作成するときは、問題を他の同様の問題とグループ化することができます。

始める前に

必要なロール：(製品ごと)

- ポリシーとコンプライアンス管理 の場合：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user
- リスク管理 の場合：risk_admin、risk_manager、または sn_risk.user
- Audit Management の場合：audit_admin、audit_manager、audit_admin、または sn_audit.user

このタスクについて

問題を親の下にグループ化することで、貴重な時間を節約できます。たとえば、Windows サーバーのパッチ適用に関連する問題があるとします。各サーバーは個別のエンティティであるため、「毎週火曜日にパッチを適用する必要がある Windows サーバー」に関連付けられているすべてのコントロールに同じ問題が発生します。したがって、関連するパッチを 1 回適用することで、すべての Windows サーバーに対して 1 回で問題を解決できます。したがって、この機能を使用すると、類似の問題をグループ化し、それらをすべて親レベルで解決できます。

手順

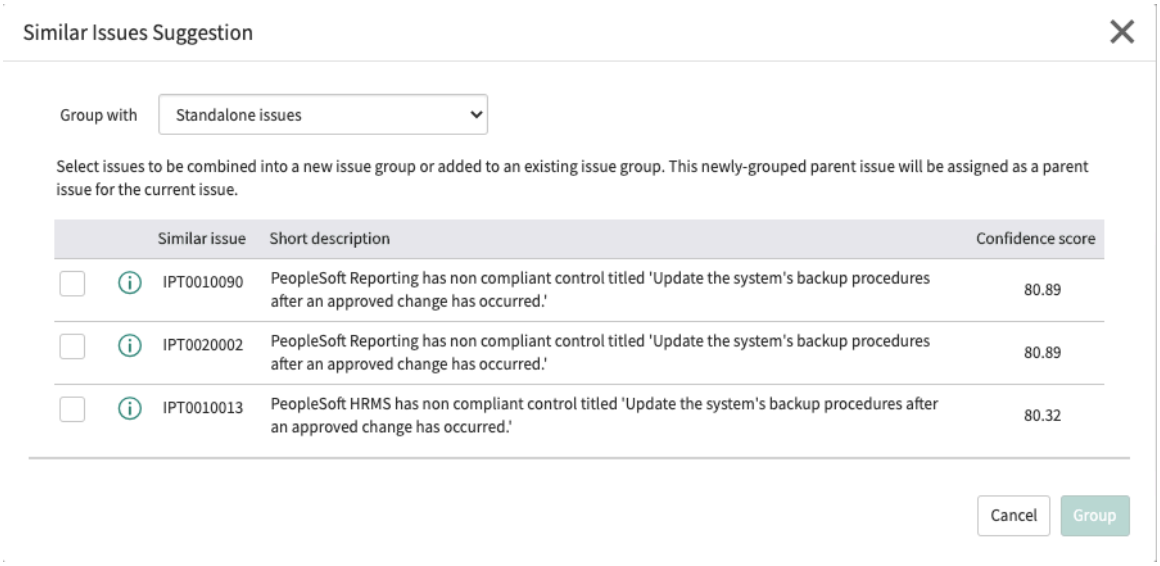
1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.
2. フォームで、[ペアレントレコード] フィールドを見つけます。



3. 電球アイコン ( ) をクリックすると、この親問題にアサインできる類似の問題が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

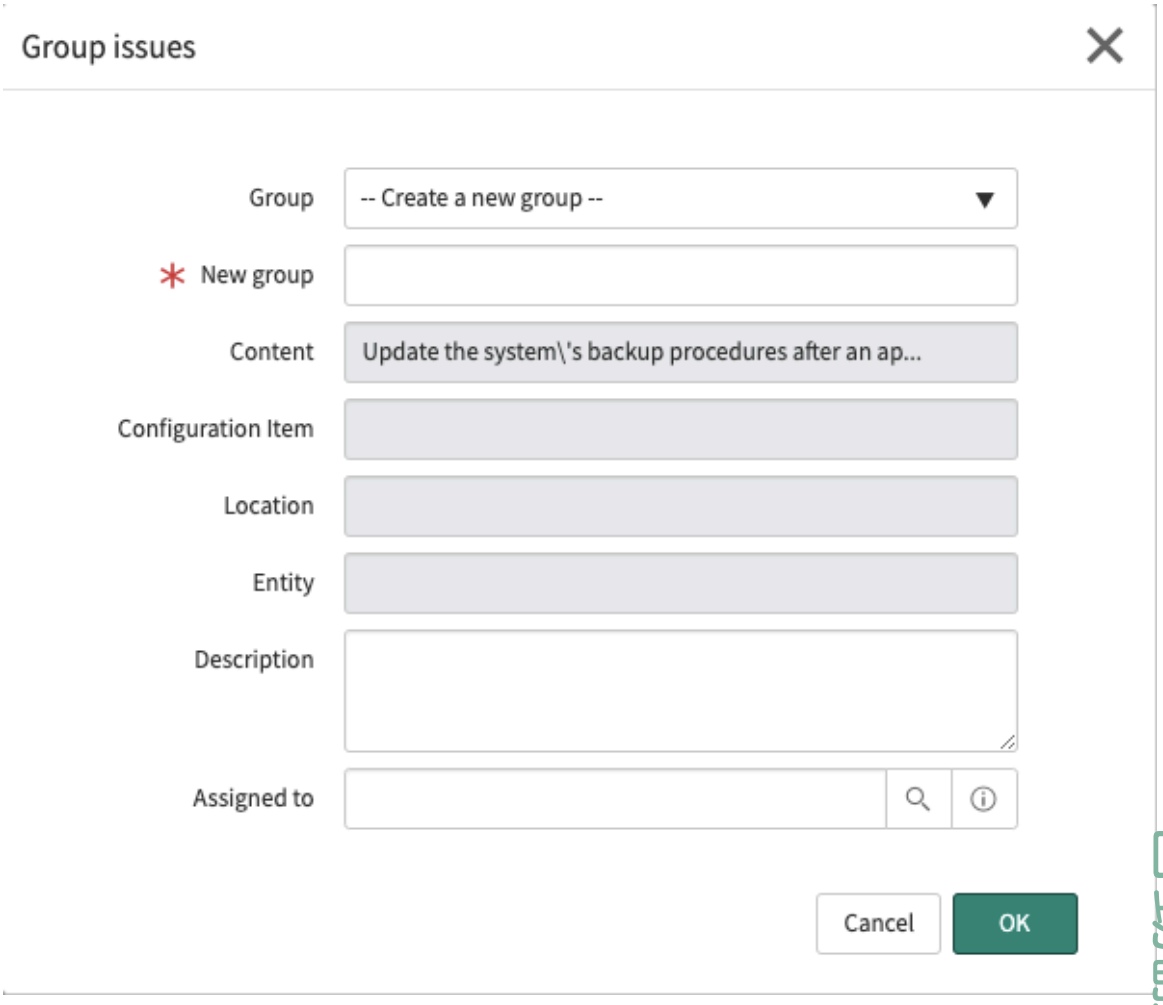


注:
スタンドアロンの問題は、現在の問題に似ていますが、親の問題グループにアサインされていません。信頼スコアは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションベースシステムに含まれる類似性定義を使用して計算されます。

4. 情報アイコンをクリックすると、類似の問題の詳細が表示され、現在の問題とグループ化する必要があるかどうかを判断できます。
5. 現在の問題とグループ化する類似の問題を選択し、[グループ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

6. フォームのフィールドに入力します。

問題フォーム

フィールド	説明
グループ	選択した問題をグループ化して新しいグループにアサインするには、[新しいグループを作成] を選択します。 選択した問題を既存のグループに追加するには、グループを選択します。
新規グループ	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。新しいグループの名前を入力します。
説明	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。グループの説明を入力します。
アサイン先	このフィールドは、[新規グループを作成] を選択した場合にのみ表示されます。グループがアサインされているユーザーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [**OK**] をクリックします。
   選択した問題が新規または既存のグループに追加されます。
8. [問題] タブをクリックすると、グループ内の問題を表示できます。

コンプライアンスワークスペースを使用して類似の問題を既存の親問題にグループ化

コンプライアンスワークスペースを使用して問題を作成するときは、問題を他の同様の問題と既存の親問題グループの一部としてグループ化することができます。

始める前に

必要なロール：(製品ごと)

- ポリシーとコンプライアンス管理 の場合：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user
- リスク管理 の場合：risk_admin、risk_manager、または sn_risk.user
- Audit Management の場合：audit_admin、audit_manager、audit_admin、または sn_audit.user

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.
2. フォームで、[親] フィールドを見つけます。
3. 電球アイコン ( ) をクリックし、[グループ化] ドロップダウンリストから [既存の親の問題] を選択します。
4. 現在の問題でグループ化する [類似の問題] をクリックします。
   選択した問題の親問題が現在の問題の親問題になります。
5. [問題] タブをクリックすると、グループ内の問題を表示できます。

多対多テーブル関係を使用した複数のオブジェクトへの問題のリンク

リスク、エンティティ、コントロール、コントロール目標、エンゲージメント、ポリシー、各種法令・基準等などのさまざまなタイプのオブジェクトに問題をリンクさせることで、問題の影響度を特定できます。各オブジェクトに多対多の関係テーブルを使用して、類似の問題をオブジェクトにリンクさせます。

> **注:**
> 問題レコードには、コントロール、コントロール目標、各種法令・基準等、ポリシーがあり、関連レコードに関連アイテムとして関連付けることができます。ただし、対応する m2m テーブルに格納される対応する m2m レコードとして、問題と各オブジェクトを関連付ける必要があります。

たとえば、問題は [コントロール] フォームの関連リストとして構成され、問題をコントロールの親オブジェクトにリンクさせることができます。コントロールに問題を追加すると、コントロールであるアイテムを問題に関連付けるレコードが、コントロールに対する問題 [sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。

コントロールに関連する問題の表示は主に参照のみを目的としていました。ただし、コントロールフォーム内のコントロールに関連する多くの問題をリンクさせることもできます。この機能拡張により、次のことが可能になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 表示の可視性、コントロールで発生したすべての関連問題の統合
- 関連するすべての問題の影響分析の決定
- 重複する問題の処理および問題の影響分析の管理に費やす労力の削減

sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager、sn_c
または sn_compliance.admin ロールを持つユーザーは、多対多テーブルのレコードを作成および削除できます。ただし、これらのロールを持つユーザーは、m2m テーブルの既存のレコードを更新できません。レコードを更新するには、GRC 管理者 (sn_grc.admin) ロールが必要です。

問題とオブジェクトの関係を作成および削除するために コンプライアンスワークスペースで使用される多対多テーブルは次のとおりです。

- sn_grc_m2m_issue_item – コントロールの問題
- sn_grc_m2m_issue_content – コントロール目標の問題
- sn_grc_m2m_issue_engagement – エンゲージメントの問題
- sn_grc_m2m_issue_document – ポリシーの問題および各種法令・基準等の問題

詳細については、以下を参照してください。

- m2m テーブルの説明については、「インストールされるテーブル」。
- 問題にリンクされている各種コンプライアンスオブジェクトについては、「GRC：問題の作成」。
- 問題をコントロールにリンクさせる方法については、「コンプライアンスワークスペースを使用してコントロールを作成」。
- 単一のコントールにリンクされている複数の問題を自動生成または手動作成として分類する方法については、「自動的に生成された問題を多対多の関係で関連付け」。
- 問題を各種法令・基準等にリンクさせる方法については、「コンプライアンスワークスペースを使用して各種法令・基準等を作成」。
- 問題をコントロール目標にリンクさせる方法については、「コンプライアンスワークスペースを使用してコントロール目標を作成」。
- 問題をエンゲージメントにリンクさせる方法については、「Audit Workspaceを使用して監査エンゲージメントを作成」。
- 問題をポリシーにリンクさせる方法については、「コンプライアンスワークスペースを使用してポリシーを作成」。
- 問題が多対多の関係でリンクされているすべてのオブジェクトデータの包括的かつ詳細な概要については、「360° view of compliance objects and issues (コンプライアンスオブジェクトと問題の 360 度ビュー)」。

コンプライアンスワークスペースを使用して自己識別された問題をトリアージ

問題が特定され、サービスポータル を介して従業員またはビジネスユーザーによって送信されると、問題のトリアージプロセスが開始されます。実際の問題が特定され、コンプライアンスワークスペースでの優先順位付けと解決のために適切なオーナーにアサインされます。

始める前に

必要なロール：

- sn_compliance.manager
- sn_compliance.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_grc_advanced.issue_triage_manager
- sn_grc_advanced.issue_triage_user

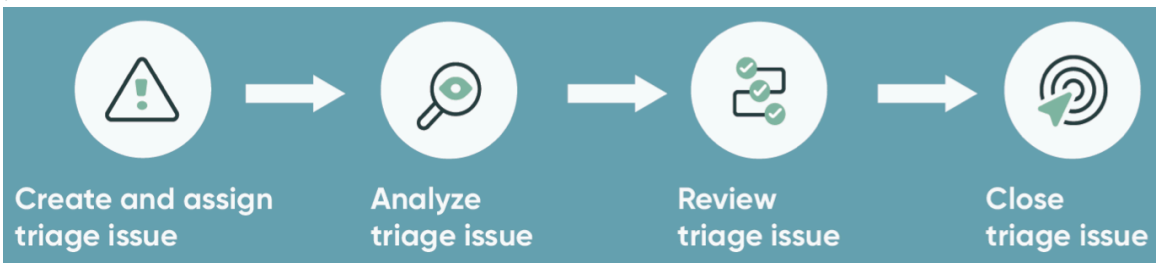
このタスクについて
従業員および社内のビジネスユーザーは問題を自己識別して、ServiceNow® サービスポータル 経由で送信できます。送信に続いて、トリアージ問題が自動的に作成されます。詳細については、「Service Portal を介して自己識別した問題を報告」を参照してください。

アサインされたトリアージチームは、自己識別された問題が実際に報告された問題、リスクイベント、または追跡対象の観測事象であるかどうかを識別します。

注:
初期リリースでは、自己識別された問題のみがトリアージプロセスによって処理されます。以降のリリースでは、インジケーターや証明書の失敗などによって生成された問題もトリアージされます。

ここでは、問題のトリアージライフサイクルのエンドツーエンドフローを図で説明します。

問題のトリアージライフサイクル



ステージ	説明
トリアージ問題を作成してアサイン	従業員は、エンティティ、コントロール、ポリシー、各種法令・基準等、プロセス、またはリスクに関連する問題を特定し、ServiceNow サービスポータルでトリアージ要求を送信します。 送信された問題のタイプと問題アサインルールに基づいて、問題はトリアージチームとトリアージオーナーにアサインされます。
トリアージ問題を分析	トリアージチームは、問題を実際の問題またはリスクイベントとして分析するか、ポリシーまたはプロセスの最適化のために追跡するかを決定します。 分析中、トリアージチームは、問題作成者から詳細情報を要求できます。チームは、必要に応じて、コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージの結果があるトリアージマネージャーに問題を送信することもできます。 考えられる結果は次のとおりです。 • 新しい問題として確認済み • 既存の問題として確認済み

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステージ	説明
	• リスクイベントとして確認済み • 推奨事項として追跡 • 問題以外としてクローズ/アクションは不要
トリアージ問題を確認	レビューステータスはオプションです。チームは、オプションとして、コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージの結果があるトリアージマネージャーに問題を送信することもできます。トリアージオーナー詳細情報を要求することもできます。 コンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、またはトリアージマネージャーは、問題を問題またはリスクイベントとして確認するか、推奨事項として追跡するか、問題ではないとしてクローズするかを決定します。
トリアージ問題をクローズ	問題が実際の問題またはリスクイベントであると判断された場合は、それらのレコードが作成されるか、既存の問題にトリアージが追加されます。 トリアージプロセスが完了すると、トリアージの問題は自動的にクローズされます。問題は、マネージャーとトリアージチームが手動でクローズすることもできます。

問題のトリアージプロセスには、次のユーザーロールが含まれます。

問題のトリアージペルソナ

ペルソナ/ロール	説明
ビジネスユーザー/従業員	問題を報告する機能。
• コンプライアンスユーザー/マネージャー • リスクユーザー/マネージャー • トリアージユーザー/マネージャー	問題をトリアージおよびレビューする機能
問題マネージャー	レポート可能な問題を管理およびレビューする機能
問題オーナー	担当者に割り当てられたレポート可能な問題を解決する機能

注:
トリアージユーザー/マネージャーおよび問題マネージャーのロールは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 バージョン 11.1.0 で導入されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 問題のトリアージ > 自分のトリアージ問題 または リスク > 問題のトリアージ > 自分のトリアージ問題.
   リストには、以前に作成されアサインされた問題のトリアージが表示されます。
2. トリアージする問題の番号をクリックします。

   注:
   [分類] フィールドは、選択した [問題タイプ] に基づいて自動的に事前入力されます。同様に、sn_grc_advanced_issue_triage と呼ばれるアサインルールが実行され、[トリアージグループ] に事前入力されます。このルールは、[ソース] と [分類] を使用して、トリアージが割り当てられるグループを決定します。アサインルールは、リスク管理の問題のトリアージ、および [分類] が [その他] に設定されている (つまり、分類が当初は不明である) トリアージも処理します。2 番目のユースケースでは、[トリアージグループ] を [リスク] または [コンプライアンス] に手動で設定する必要があります。

3. この問題のトリアージを開始する準備ができたら、[トリアージオーナー] を選択し、[分析] をクリックします。
   アサインされたトリアージオーナーは、問題をオープンして分析を開始できます。
4. 分析中、トリアージオーナーはいくつかのタスクを実行できます。

   Example
   オーナーは、たとえば、問題が誤って分類されていると判断し、[問題タイプ] を変更できます。このアクションにより、トリアージグループとトリアージオーナーが変更される可能性があります。この例では、アサインルールがバックグラウンドで実行され、現在のオーナーのキューから問題が削除されます。
5. トリアージオーナーは、次のアクションも実行できます。
   - [情報を要求] をクリックして、問題の送信者に追加情報を要求します。
   - [レビューを要求] をクリックして、[レビュー担当者] フィールドで指定されたユーザーからのレビューを要求します。そのユーザーは、次に移動して問題を開いてレビューできます。 **Policy and Compliance** > 問題のトリアージ > 自分の処理待ちのレビュー.
   - [詳細] 関連リストを選択して、問題をさらに拡張します。
6. 問題に対して実行するアクション (該当する場合) が決定された後、トリアージオーナーは [結果] 関連リストから分析の結果を選択できます。

   注:
   [結果] フィールドで使用可能なオプションは、この問題に対して識別された [問題タイプ] によって異なります。たとえば、[問題タイプ] として [コントロール設計有効性の問題] を選択した場合、次の結果が選択される可能性があります。

   [新しいコンプライアンスの問題として確認済み] など、単純な観察よりも多くのアクションが必要な結果を選択した場合は、追加の分析フィールドが表示されます。

   結果が [既存のコンプライアンスの問題として確認済み] の場合、参照している既存の問題を特定する必要がある [既存の問題] フィールドが表示されます。

7. 問題のトリアージが完了すると、トリアージオーナーは [トリアージを完了] をクリックできます。

   注:
   問題がレビュー対象外の場合、レビュー担当者は [トリアージを完了] をクリックしてトリアージを完了し、実際の問題を作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題のトリアージが [クローズ済み] ステータスに移行し、問題へのリンクが画面の上部に表示されます。

8. 問題は、通常の問題管理手順を使用して分析できます。
[問題] フォームの重要な変更の 1 つは、[問題トリアージ] 関連リストの追加です。トリアージレコードを開くと、この問題の作成の原因となったトリアージの詳細がアナリストに提供されます。

コンプライアンスワークスペースを使用して問題を修復

問題が特定されて、トリアージされ、コンプライアンスワークスペースを使用して調査された後、その問題を修正することができます。

始める前に

必要なロール：(製品ごと)

- ポリシーとコンプライアンス管理 の場合：compliance_admin、compliance_manager、または sn_compliance.user
- リスク管理 の場合：risk_admin、risk_manager、または sn_risk.user
- Audit Management の場合：audit_admin、audit_manager、audit_admin、または sn_audit.user

このタスクについて

問題を修正することで、コントロールエラーやリスクエクスポージャーを引き起こしている根本的な問題を修正する意図があることをマークします。問題を受け入れて、既知のコントロールエラーやリスクの例外を作成する意図があることをマークします。[受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

手順

1. 修正する問題を開きます。
2. [修正タスク] タブをクリックします。

   注:
   修正タスクを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。
   - このタスクを作成するための基礎として既存のタスクを使用するには、[提案された修正タスク] をクリックし、[コピー] をクリックします。選択した修正タスクのコピーが作成され、そのタスクの特定の情報が新しいタスクにコピーされます。他のフィールドは手動で入力できます。
   - [新規] をクリックして手動でタスクを作成します。

3. フォームのフィールドで、値を入力したり変更したりします。

問題フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
アサイン先	このタスクの作業を担当するユーザーを選択します。
問題	このタスクが作成された問題。
ステータス	タスクの現在のステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
優先度	影響度と緊急度に基づいて、このタスクを解決する必要がある優先度または順序を選択します。
ウォッチリスト	変更が発生したときに通知を受け取るユーザーを選択します。
作成/更新	タスクが作成および更新された日時を表示します。
簡単な説明	タスクの簡潔な説明を入力します。これはタスクのリストに表示されます。
説明	タスクの詳細な説明を入力します。
メモとコメント	
追加コメント	必要に応じて、このタスクに関連する顧客向けのコメントを入力します。
作業メモ	問題の修正に関連する、顧客向け以外のメモを入力します。
タスク スケジュール	
計画された期間	作業時間の見積もり。[開始予定日] と [終了予定日] を使用して計算されます。
開始予定日	タスクの作業の開始予定日時。
終了予定日	タスクの作業の終了予定日時。
実際の期間	実際の作業時間。[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
実開始日	このタスクの作業が開始された時間。
実終了日	このタスクの作業が完了した時間。

4. [送信] をクリックします。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロールを管理

コントロールは、コントロール目標の特定の実装です。廃止されたコントロールはリストに表示されません。 コントロールを定義する前に、時間をかけて組織内の重要なコントロールを合理化し、統合し、定義します。

コントロールを合理化

すべてのコントロールを一括でアップロードすると、コントロールセットを改善して、簡素化する機会が失われます。

- このコントロールは事業達成目標にどのように影響するか。
- このコントロールは実際にリスクを防止または検出しているか。
- ビジネスをより適切に保護する別のコントロールはあるか。
- リスクを軽減しながら、プロセスのオーバーヘッドを削減し、IT パフォーマンスを向上させることができるコントロールはあるか。
- 複雑なコントロールをよりシンプルで効果的なコントロールに置き換えることはできるか。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

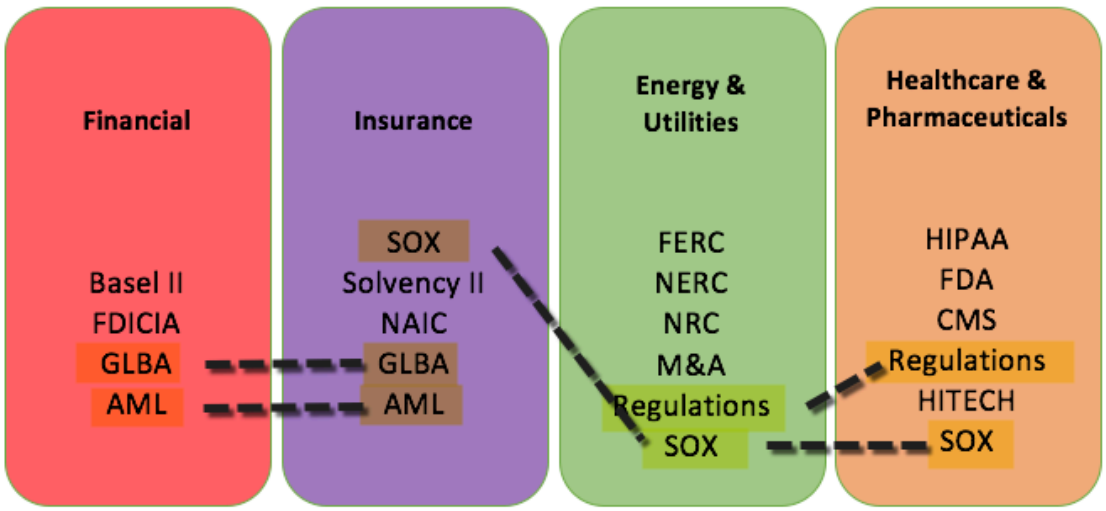
ビジネスの変化や、IT データ、プロセス、およびテクノロジーの向上に伴い、古いコントロールや手順は置き換えます。

注:
コントロールを手動で定義するか、Unified Compliance Framework (UCF) からインポートすると、エンティティがコントロールに関連付けられます。これはコントロールフォームの必須フィールドです。ただし、UCF 以外のソースからコントロールをインポートする場合は、エンティティが関連付けられていない可能性があります。コントロールフォームに戻り、コントロールにエンティティを追加することが重要です。エンティティが欠落していると、信頼性の低い結果が生じる可能性があります。また、無効になっているエンティティを含むコントロールを検出した場合は、そのコントロールを廃止する必要があります。

コントロールを統合

コントロールを統合する機会を探します。フレームワークの複数の規制当局間で繰り返される共通のコントロール (SOX、GLBA、AML など) を探します。コントロールを相互にマッピングし、冗長なコントロールを排除することで、規制ごとに 1 つのコントロールを複数回操作することを避けます。このプロセスは、コントロールの単一の統合セット = コントロールフレームワークを確立します。コントロールのクロスマッピングの実行と保存は監査にとって重要です。

業界の規制と要件の重複



コントロールとビジネスルールの定義

事前に定義したビジネスルールは、後で GRC 構成設定を確立します。次の準備をしてください。

- コントロールとコントロールオーナーを識別する
- コントロールテストと予期される結果の定義
- テストおよびコントロール頻度を確立
- リスクを識別：影響度と可能性
- 証明書、アセスメント、アンケート、および必要な証拠を準備する
- 想定されるユースケースを作成する (GRC システムのコンテンツを操作または表示する必要があるユーザーおよび目的)
- 信頼できるソースをポリシー、手順、コントロール、リスクにマップする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロールを作成

ポリシーをエンティティタイプに関連付けるか、エンティティタイプをコントロール目標に関連付けるか、またはエンティティをコントロール目標に追加すると、コントロールが自動的に生成されます。コントロールは、コントロール目標のエンティティタイプにリストされている各エンティティに対して作成されます。コントロールは コンプライアンスワークスペースを使用して手動で作成することもできます。

始める前に

必要なロール：
sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager、sn_

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. [作成] リストをクリックし、[コントロール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいコントロールを作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	コントロールの名前。
エンティティ	関連エンティティ。 **注:** エンティティのステータスを [廃止] ステータスから [アクティブ] に変更すると、エンティティに対して手動で作成されたコントロールも [ドラフト] ステータスに移行します。
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ 準拠 ○ 非準拠 ○ 適用外
コントロール目標から継承	アイテム生成プロセスを通じてコントロールを作成するかどうかを示すオプション。詳細については、「一意のエンティティとコントロール目標の組み合わせに対する複数のコントロール」を参照してください。
ステータス	コントロールステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ [ドラフト] このステータスでは、すべてのコンプライアンスユーザーがコントロールを変更できます。ワンオフコントロールを作成する場合のみ利用できます。ワンオフコントロールは可能ですが、推奨されません。 ○ [証明] コントロールがコントロール目標から作成された場合、コントロールはこのステータスになります。 **注:** コントロールをドラフトに戻すと、証明書はキャンセルされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [レビュー] コントロールは、証明書フェーズからレビューに自動的に移行されます。 ○ [監視] このステータスでは、すべてのコンプライアンスマネージャーがコントロールをレビューから監視に移動できます。 ○ [廃止] コンプライアンスマネージャーまたは管理者は、コントロールを [監視] から [廃止] に移動できます。 **注:** コントロールが廃止された場合： ▪ 関連するインジケーターが実行されない ▪ 関連付けられている証明書がキャンセルされる ▪ 関連付けられているコントロール目標を変更してもコントロールが更新されない
キーコントロール	コントロールがキーコントロールであることを示すインジケーター。
免除	コントロールを免除としてマークします。
コントロール目標	関連コントロール目標。 共通コントロールを作成する場合は、コントロール目標を選択する必要があります。
サブスクリプションの適用	オプションのリスト： ○ 必須 ○ 任意
関数	読み取り専用関数フィールド。作成されたすべてのコントロールは、デフォルトでは [標準コントロール] です。コントロールを共通コントロールに変換すると、値が [共通コントロール] に変わります。
重み	リスクのコントロール失敗要因を計算するために使用される重み付け。重み付けは 1 ～ 10 で設定します。
周期	オプションのリスト： ○ イベント駆動型 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年次 **注:** コントロールの [頻度] フィールドとエンティティの [証明書頻度] フィールドの違いについては、KB0694607 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カテゴリ	オプションのリスト： ○ 施設、技術、サービスの取得または販売 ○ 監査およびリスク管理 ○ コンプライアンスおよびガバナンスのスタイルマニュアル ○ 人事管理 ○ リーダーシップおよび高いレベルの達成目標 ○ モニタリングおよび測定 ○ 運用管理 ○ 物理的保護および環境保護 ○ 情報およびデータのプライバシー保護 ○ レコード管理 ○ 構成管理によるシステムのハードニング ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ サードパーティおよびサプライチェーンの監督 ○ ルート ○ 不使用
タイプ	オプションのリスト： ○ 資産またはサービスの取得/販売 ○ アクション可能なレポートまたは測定 ○ 監査およびリスク管理 ○ 動作 ○ ビジネスプロセス ○ 連絡 ○ 設定 (Configuration) ○ データおよび情報管理 ○ 複製 ○ ロールの設定 ○ ドキュメントの作成/維持管理 ○ 人事管理 ○ 調査 ○ IT インパクトゾーン ○ ログ管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ メンテナンス ○ 発生の監視および評価 ○ 物理的保護および環境保護 ○ プロセスまたはアクティビティ ○ レコード管理 ○ システム継続性 ○ システム設計、構築、および実装 ○ テクニカルセキュリティ ○ テスト ○ トレーニング
分類	オプションのリスト： ○ 予防 ○ 是正 ○ 探知 ○ IT インパクトゾーン
説明	コントロールの説明。
追加情報	コントロールに関する追加情報。
アサイン	
所有グループ	ポリシーを所有するグループ。
所有者	ポリシーを所有するユーザー。 **注:** オーナーは常に回答者として追加されます。選択したコントロールオーナーは、所有グループに属しています。
証明書	
証明書	オプションのリストから選択します。 ○ 他の証明書タイプを構成できます。 ○ このフィールドに値が入力されると、[証明書の回答者] フィールドが自動的に必須になり、オーナーが回答者になります。 **注:** ユーザーがコントロール目標で証明書タイプを変更すると、関連するすべてのコントロールも変更されます。
証明書の回答者	○ このコントロールの証明書にアサインされたユーザー。 ○ sn_grc.user ロールを持つユーザーのみを応答者として追加できます。

自動翻訳

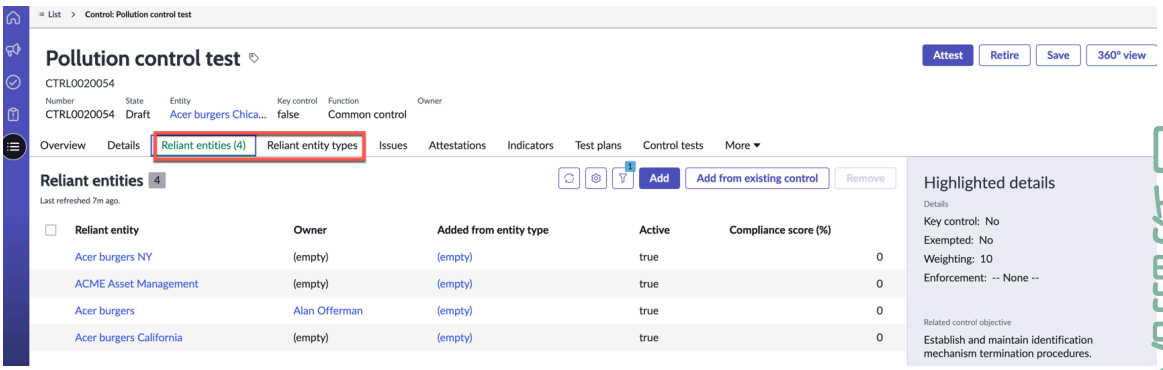
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [証明書] と [証明書回答者] の両方のフィールドが設定されている場合、[証明書] をクリックすると証明書が作成されます。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	コントロールに関する公開情報。

4. [保存] をクリックします。
コントロールが作成され、すべての関連リストが表示されます。

共通コントロールを作成した場合は、コントロールの他の関連リストとともに、[依存エンティティ] および [依存エンティティタイプ] 関連リストがあります。[依存エンティティ] 関連リストを使用して、エンティティを共通コントロールに関連付けます。または、[依存エンティティタイプ] 関連リストを使用して、エンティティタイプのエンティティを 1 つずつ関連付ける代わりにエンティティのグループを追加することもできます。

共通コントロールの関連リスト



注:
共通コントロールと依存エンティティの関連付けの詳細については、「標準コントロールを共通コントロールに変換 して、依存エンティティを追加」を参照してください。

5. [概要] ページで、[問題] をクリックします。
作成したコントロールに 1 つ以上の関連する既存の問題を追加できます。既存の問題をコントロールにマッピングすることで、ドキュメントの未解決の問題の数を減らすことができます。

コントロールに問題を追加すると、コントロールであるアイテムを問題に関連付けるレコードが、コントロールに対する問題 [sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。

a. コントロールに問題を追加するには、[追加] ボタンをクリックします。

b. [問題] ポップアップからコントロールに関連する問題を選択します。

c. [追加] ボタンをクリックします。
選択した問題が、関連する問題としてコントロールに追加されます。[新規] ボタンをクリックして、コントロールの問題を作成することもできます。

d. コントロールに既に追加されている問題を削除するには、問題を選択して [削除] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題とコントロール間の関連レコードマッピングが、問題からアイテムテーブルから削除されます。

> **注:**
> コントロールが [廃止] ステータスの場合、[新規]、[追加]、[削除] などの UI アクションボタンは使用できません。

自動的に生成された問題を多対多の関係で関連付け

別のコントロールに属する自動的に生成された問題を関連する問題としてコントロールに関連付けることができます。[オリジネータ] フラグは、手動で作成されたコントロールと自動的に生成されたコントロールの問題を区別するのに役立ちます。

手動で作成された問題と自動的に生成された問題

> **注:**
> 問題の発生元は、コントロールフォームでのみ、あるコントロールから別のコントロールにリンクさせた後に自動的に生成されたか手動で作成されたかを特定できます。

コントロールフォームの [問題] 関連リストで [新規] ボタンをクリックすると、コントロールに対して手動で問題を作成できます。手動で作成した問題については、「Manually create GRC issues (GRC の問題を手動で作成)」を参照してください。

ただし、問題は次の場合にも自動的に生成されます。

コントロールテスト失敗

: コントロールにリンクされているコントロールテストがあり、そのテストの 1 つが「無効」とマークされてクローズされた場合、そのコントロールは非準拠になります。その結果、自動的に問題が生成されます。コントロールテストは、無効とマークすることができる設計テストまたは運用テストにすることができ、テストはすべてのコントロールで共通にすることができます。

コントロール証明書失敗

: コントロールの証明書応答者であるユーザーがコントロールを却下すると、コントロールのステータスが非準拠になり、問題が自動的に生成されます。

コントロールインジケーター障害

: 同様に、コントロールインジケーターが失敗すると、コントロールは非準拠になり、自動的に問題が生成されます。

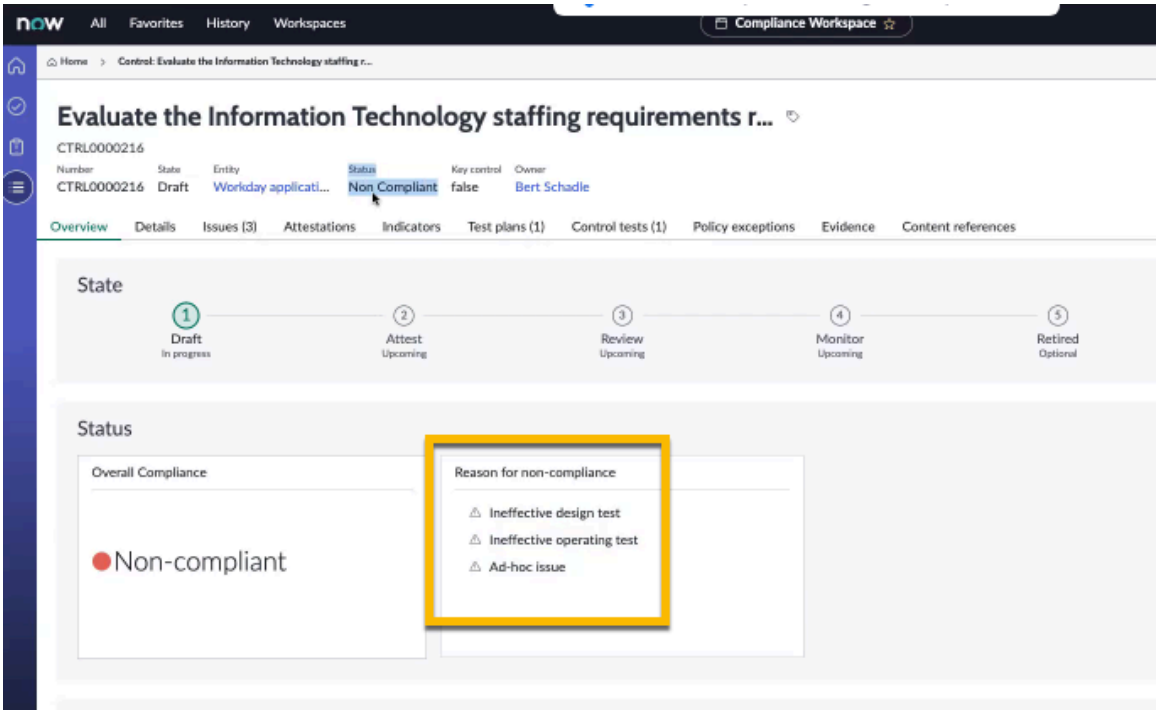
3 つの障害のうち 1 つ以上の問題生成のソースは、問題の詳細の [問題ソース] フィールドのタグを使用して追跡できます。コントロールテストに失敗した場合、[問題ソース] フィールドは [コントロールテスト失敗] のタグで更新されます。問題が手動で作成された場合、問題のソースタグは [アドホック]です。

コントロールのステータスが非準拠に移行すると、非準拠のすべての理由が [問題ソース] フィールドからプルされ、コントロールの [概要] ページのステータスウィジェットに [非準拠の理由] として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

非準拠の理由



コントロールへのリンク中に自動的に生成された複数の問題の処理

[追加] ボタンを使用して、別のコントロールに属する自動的に生成された問題を m2m 関係のコントロールに追加できます。ただし、別のコントロールから自動的に生成された問題を既存の自動生成された問題のコントロールに追加すると、問題の生成元と競合します。問題の生成元を追跡するには、バックエンドフラグである [オリジネータ] を使用します。これは、true または false のフラグで、デフォルトは false です。次の場合、オリジネータに true または false のフラグが付けられます。

- 別のコントロールの自動化された問題が現在のコントロールに関連付けられている場合、[オリジネータ] は false です。
- これは、現在のコントロールの手動の問題であり、[オリジネータ] は false です。
- これは、現在のコントロールの自動化された問題であり、[オリジネータ] は true です。

1. オリジネータが true である問題がある場合、コントロールエラーが発生すると、[問題のソース] フィールドが問題のソースで更新されます。たとえば、オリジネータが true である問題が既に存在し、問題のソースがコントロールテスト失敗である場合です。コントロール証明書の失敗など、別のコントロールの失敗が発生した場合、[問題ソース] は 2 つのタグ、すなわち [コントロールテスト失敗] と [コントロール証明書失敗] で更新されます。
2. オリジネータが true である問題がなく、3 つのコントロール失敗の 1 つが発生すると、オリジネータが true である新しい自動化された問題が作成されます。たとえば、オリジネータが true であるコントロールにリンクされている問題がない特定のコントロールにコントロール証明書の失敗がある場合、問題ソースがコントロール証明書の失敗である新しい自動化された問題が作成され、オリジネータが true になります。

データ移行

[オリジネータ] フラグで問題を自動生成または手動生成とフラグ付けするロジックは、最新のプラグインをインストールすると、自動的に処理されます。既存のコントロールにリンクされているすべての自動化された問題について、コントロールと問題の間の m2m レコードでオリジネータフラグが true になります。

自動翻訳

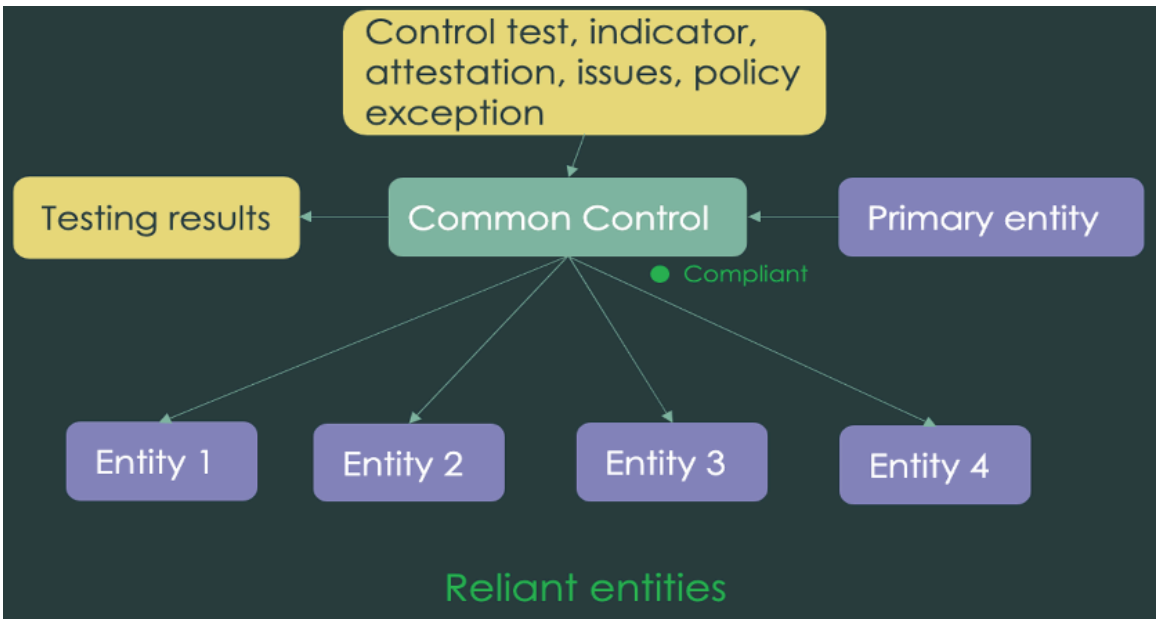
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通コントロールのテスト、および複数の依存エンティティでの結果の実装

個々のエンティティのコントロールを生成し、個々のコントロールで各エンティティを個別にテストする代わりに、共通コントロールを使用してそれにプライマリエンティティを関連付けることができます。

コントロールテスト、インジケーター、証明書、問題、およびポリシー例外の共通コントロールをテストします。継承可能なテスト結果を使用し、共通コントロールに関連付けられているすべての依存エンティティにテスト結果を実装します。

共通コントロールにリンクされた複数のエンティティ



共通コントロールを使用すると、次のことができます。

- コントロールを共通としてマークし、依存エンティティをそれに関連付けます。
- 既存のコントロールのエンティティを依存エンティティとして共通コントロールに関連付けます。
- テストの時間と労力を節約します。共通コントロールテストの結果は、特に新しいシステムが展開され、組織または環境内で検証前の監査が実施される場合に、他の依存エンティティによって継承可能です。
- テスト結果を文書化する人員の冗長性を削減します。

要件とユースケース：

- コントロールを作成するか、コントロールを共通に変換します。
- 依存エンティティを共通コントロールに関連付けて、テスト結果を継承します。
- エンティティタイプを共通コントロールに関連付けます。
- 共通コントロールを 1 回テストし、結果を複数のエンティティに適用します。
- 共通コントロールを標準に戻すことができます。
- コントロールの量が大幅に増加することを避けます。

詳細については、以下を参照してください。

- m2m テーブルの共通アイテムの説明については、「インストールされるテーブル」。
- 共通コントロールについては、「Control form changes (コントロールフォームを変更)」。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 依存エンティティを追加する方法については、「標準コントロールを共通コントロールに変換して、依存エンティティを追加」。
- 共通コントロールについては、「アクションハンドラーコンポーネント」。
- 共通コントロールのアイテム生成における操作の変更。
- 「コンプライアンススコア計算に対する共通コントロールの影響」。

標準コントロールを共通コントロールに変換して、依存エンティティを追加

コントロールを共通としてマークし、依存エンティティをそれに関連付けます。プライマリエンティティに関連付けられた共通コントロールをテストします。依存エンティティは、共通コントロールの結果を継承します。

始める前に

必要なロール：
sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager、sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

既存のコントロールはすべて標準コントロールと呼ばれます。必要に応じて、標準コントロールを共通に変換し、その機能を標準に戻すことができます。ただし、デフォルトでは、既存でも作成されたものでも、すべてのコントロールが標準です。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > すべてのコントロール.
   [新規] ボタンをクリックしてコントロールを作成するか、[すべてのコントロール] リストから既存の標準コントロールの 1 つを選択して共通コントロールに変換することができます。いずれの場合も、デフォルトではコントロールは標準です。そのため、依存エンティティを追加するにはコントロールを共通に変換する必要があります。

   注:
   コントロールを標準から共通に変換する前に、必ず [コントロール目標] フィールドで値を選択し、フォームの詳細を保存してください。共通コントロールにはコントロール目標が必要です。これは、共通コントロールが他のコントロールと同じ名前、エンティティ (プライマリまたは依存)、およびコントロール目標の組み合わせを持たないことを確認するための検証があるためです。

4. 右上にある [その他のアクション] ( ) をクリックします。
5. [共通に変換] リスト UI アクションを選択します。
   [共通に変換] UI アクションは、コントロールが [ドラフト] や [証明] などの初期状態にある場合にのみ表示されます。コントロールがこれらのステータスを超えて進行すると、共通コントロールに変換することも、標準コントロールとして戻すこともできません。[標準に変換] UI アクションは、コントロールが共通で [レビュー] ステータスの場合は表示されません。

   コントロールが共通の場合、その [ソース] フィールドは [エンティティ] です。コントロールが変換で標準に戻されると、コントロールが共通に変換されたときにエンティティソースが追加された場合、エンティティソースは削除されます。共通コントロールが標準コントロールに変換されると、エンティティタイプと依存エンティティタイプの関連付けが削除されます。

6. [**Okay**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> [機能] フィールドが標準コントロールから共通コントロールに変わります。また、依存エンティティと依存エンティティタイプの関連リストがコントロールフォームに表示され、依存エンティティを追加できます。

7. 依存エンティティを追加するには、[依存エンティティ] 関連リストを選択します。

   a. [追加] ボタンをクリックします。

   b. [エンティティ] ポップアップでエンティティを選択し、[追加] をクリックします。
   このメッセージは、依存エンティティが共通コントロールに正常に追加されたことを確認します。共通コントロールに依存するエンティティの関連付けにより、アイテムからエンティティ [sn_grc_m2m_item_entity] テーブルにレコードが作成されます。

   複数のエンティティを含むエンティティタイプがある場合は、エンティティを 1 つずつ選択するのではなく、エンティティタイプを選択してエンティティを一括で追加できます。

   c. プライマリエンティティを選択して依存エンティティとして関連付けるには、[既存のコントロールから追加] ボタンをクリックします。
   このアクションでは、次のことができます。

   - 既存のコントロールを廃止する
   - そのコントロールのエンティティを依存エンティティとして関連付ける

   このオプションでは、一度に最大 15 個のエンティティを追加できます。エンティティを選択して [追加] をクリックしても、既存のすべてのエンティティが追加されるとは限りません。すべてのエンティティが追加されることもあれば、一部が追加されることも、まったく追加されないこともあります。エンティティの追加がスキップされ、そのコントロールが廃止されない理由については、Now Support ナレッジベースの記事「GRC Common control incident [KB1221601]」(GRC 共通コントロールインシデント [KB1221601])」を参照してください。

   > **注:**
   > 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

   ポップアップで [続行して追加] ボタンを選択すると、既存のコントロールは廃止され、その関連付けられたエンティティが依存エンティティとして追加されます。コントロールは手動で廃止されたコントロールとして処理されます。

   d. 依存エンティティを削除するには、依存エンティティを選択して [削除] をクリックします。

8. エンティティタイプを追加するには、[依存エンティティタイプ] 関連リストを選択します。

   a. [追加] ボタンをクリックします。

   b. [依存エンティティタイプ] ポップアップでエンティティタイプを選択し、[追加] をクリックします。

   エンティティタイプを共通コントロールに関連付けるダウンストリームアクションは、エンティティを共通コントロールに関連付けるアップストリームアクションを作成します。エンティティタイプの一部として追加されたすべてのエンティティは、[関連エンティティ] 関連リストにもリストされます。[エンティティタイプから追加済み] 列には、エンティティタイプのソースがリストされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通コントロールに依存するエンティティの関連付けにより、アイテムからエンティティタイプ [sn_grc_m2m_item_entity_type] テーブルにレコードが作成されます。

> **注:**
> エンティティと共通コントロールの関連付けのレコードを格納する m2m テーブルの詳細については、「Policy and Compliance Management とともにインストールされるテーブル」を参照してください。

依存エンティティタイプを使用する利点は、共通コントロールに関連付けられた後、エンティティタイプを後で追加して更新した場合でも、追加されたエンティティが依存エンティティとして自動的に関連付けられることです。

c. 依存エンティティタイプを削除するには、レコードを選択して [削除] をクリックします。

9. コントロールにリスクを追加するには、[リスク] 関連リストを選択し、[依存エンティティから追加 **(Add from reliant entities)]** ボタンをクリックします。
依存エンティティとリスクの関連付けに基づいて、共通コントロールをリスクに関連付けることができます。詳細については、「Common controls in Risk Management (Risk Management の共通コントロール)」を参照してください。
10. コントロールに関連付けられた依存エンティティを表示するには、コントロールレコードから **[360** 度ビュー **(360° view)]** ボタンをクリックします。
プライマリエンティティとすべての依存エンティティのリストが特徴的なビジュアル化で表示されます。

タスクの結果

依存エンティティを共通コントロールに関連付けると、コンプライアンスの採点に影響します。

コンプライアンススコア計算に対する共通コントロールの影響

エンティティが共通コントロールに関連付けられ、依存エンティティと呼ばれる場合は、常に共通コントロールのテスト結果がエンティティのコンプライアンススコアに影響します。

すべてのアクティブな関連付けられている共通コントロールは、存在する他のコントロールと同様にコンプライアンススコアに寄与します。

コントロールのコンプライアンスステータスまたは重み付けが変更されるたびに、エンティティのコンプライアンススコアが再計算されます。同様に、共通コントロールの場合は、依存エンティティのコンプライアンススコアも再計算されます。

すべてのプライマリアクションがコンプライアンススコアの再計算をトリガーします。[依存エンティティ] 関連リストの [追加] または [削除] UI アクションをアップストリームのアクションとして使用して、依存エンティティが追加または削除されると、その特定の依存エンティティのコンプライアンススコアが再計算されます。また、共通コントロールを廃止するか、共通コントロールを標準コントロールに変換する場合にも再計算されます。準拠または非準拠のコントロールは、エンティティのコンプライアンススコアの計算に寄与します。

詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Compliance score calculations in GRC (GRC でのコンプライアンススコア計算) [KB1222566]」を参照してください。

> **注:**
> 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

共通コントロールをサポートするエンティティの拡張

GRC アプリケーションのダウンストリームの継承されたコントロールのエンティティ拡張について説明します。たとえば、エンティティレコードページを確認することで、ダウンストリームの継承さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れたコントロールに関する情報を確認できます。エンティティの概要ページで利用可能なウィジェットを使用して、ダウンストリームの継承されたコントロールの概要を表示することもできます。

概要

エンティティフォームでは、現在のエンティティまたはそのダウンストリームのエンティティが依存している共通コントロールを表示できます。[ダウンストリームの継承コントロール] 関連リストで、[追加] および [削除] ボタンを使用して共通コントロールの関連付けを更新します。

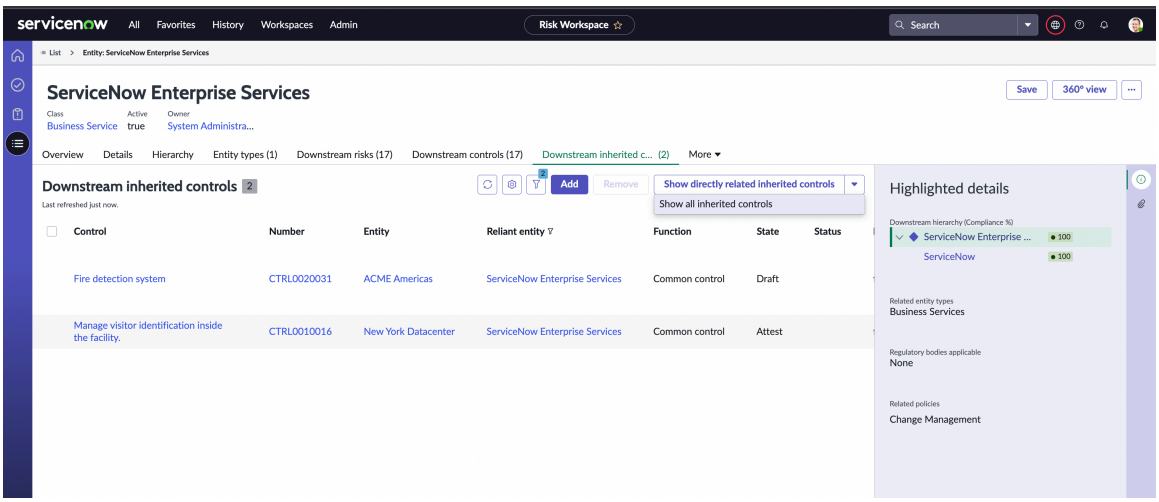
[直接関連する継承コントロールを表示] ボタンと [すべての継承コントロールを表示] ボタンを使用して、現在のエンティティが依存している共通コントロールを確認することもできます。これらのボタンには、ダウンストリームのエンティティが依存している共通コントロールが表示されます。

共通コントロールの詳細については、「Common controls in Risk Management (Risk Management の共通コントロール)」を参照してください。

[下流のコントロール] 関連リストには、現在のエンティティまたはその下流エンティティが共通コントロールを実装するために使用する共通コントロールも表示されます。フォームの [関数] 列を使用して、標準コントロールと共通コントロールを区別できます。次の例は、下流の継承されたコントロールを示しています。

注:
ワークスペースでのみ共通コントロールとの依存エンティティの関連付けを追加または削除できます。

ダウンストリームの継承コントロール



[ダウンストリームの継承されたコントロール] 関連リストでは、コントロール、エンティティ、およびその依存エンティティに関する情報を表示できます。コントロールは、リストされているエンティティによって実装されます。依存エンティティによって同じコントロールが継承されます。

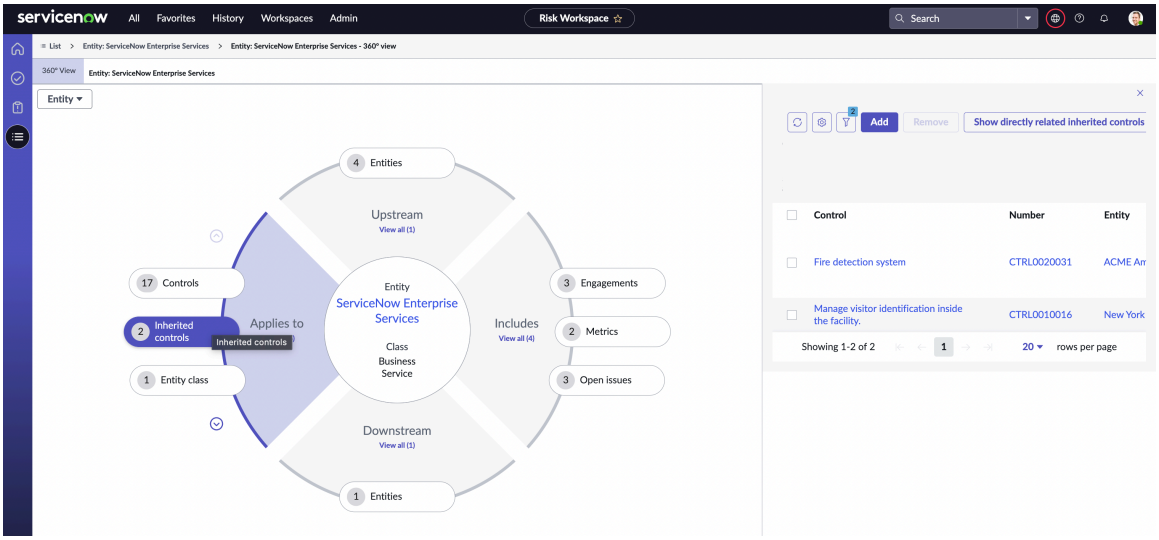
360 度ビュー

エンティティの 360 度ビューには、コントロールと継承されたコントロールが表示されます。

次の例は、Enterprise Services エンティティの 360 度ビューに 2 つの継承されたコントロールがあることを示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度ビューでの継承されたコントロール



[タスク] ページでの類似のアセスメントに関するグループアセスメント

コンプライアンスワークスペース の [タスク] ページで、測定基準タイプに基づいてアセスメントをグループ化し、さらに同じエンティティ、コントロール目標、またはカテゴリをグループ化することで、類似のアセスメントへの応答を提供します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager または sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst

このタスクについて

構成可能ワークスペース では、コントロール証明書のみをグループ化できます。リスクアセスメント、ベンダーアセスメント、またはプライバシーアセスメントはグループ化できません。このようなアセスメントと、選択した [グループ分け基準] 基準でグループ化できないアセスメントは無効としてマークされ、[グループアセスメント] ポップアップの [グループプレビュー] に、そのようなアセスメントを表示するためのリンクとともに表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. 左ペインで [タスク] アイコンを選択します。
3. [自分の保留中タスク] タブで、グループ化する証明書レコードを選択します。

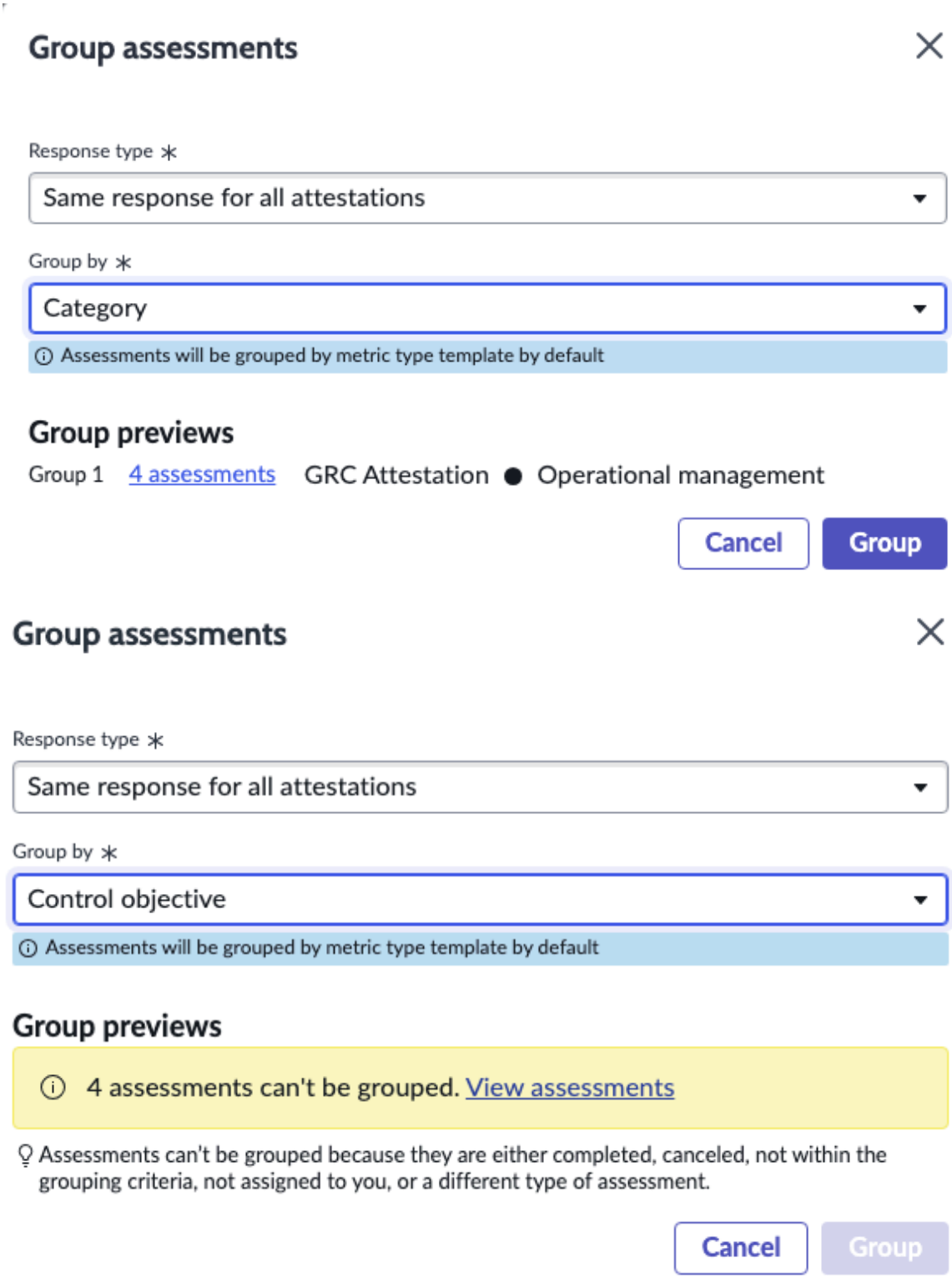
   注:
   レコードは少なくとも 2 つ選択する必要があります。グループ化には最大 13 のアセスメントレコードを選択できます。

4. [グループアセスメント] ボタンを選択します。
5. [グループアセスメント] ポップアップで [応答タイプ] を選択します。
   応答タイプの詳細については、「同じ応答機能を使用してコントロール証明書を統合する」を参照してください。
6. [グループ分け基準] リストで、アセスメントをグループ化する基準を選択します。
   デフォルトでは、アセスメントは測定基準タイプテンプレート別にグループ化されます。アセスメントは、カテゴリ、エンティティ、またはコントロール目標別にグループ化できます。選択したアセスメントに共通のカテゴリ、エンティティ、またはコントロール目標がある場合、これらは自身の選択に基づいてグループ化されます。ただし、選択したアセスメントにグループ化に使用できる共通の基準がない場合、アセスメントはグループ化されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[グループプレビュー] セクションには、グループ化の詳細、リンク付きのアセスメント、および適切なメッセージ情報 (グループ化されているか、または [グループ分け基準] 条件や、ステータス、アサイニー、測定基準タイプの評価方法に基づいてグループ化できないか) が表示されます。

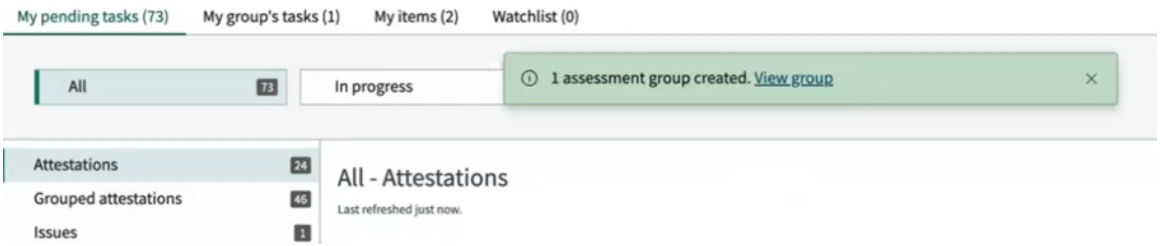


7. [グループ] ボタンを選択します。
アセスメントのグループ化に成功すると、アセスメントグループが作成されたことを示すメッセージと、グループ化されたアセスメントへのリンクが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

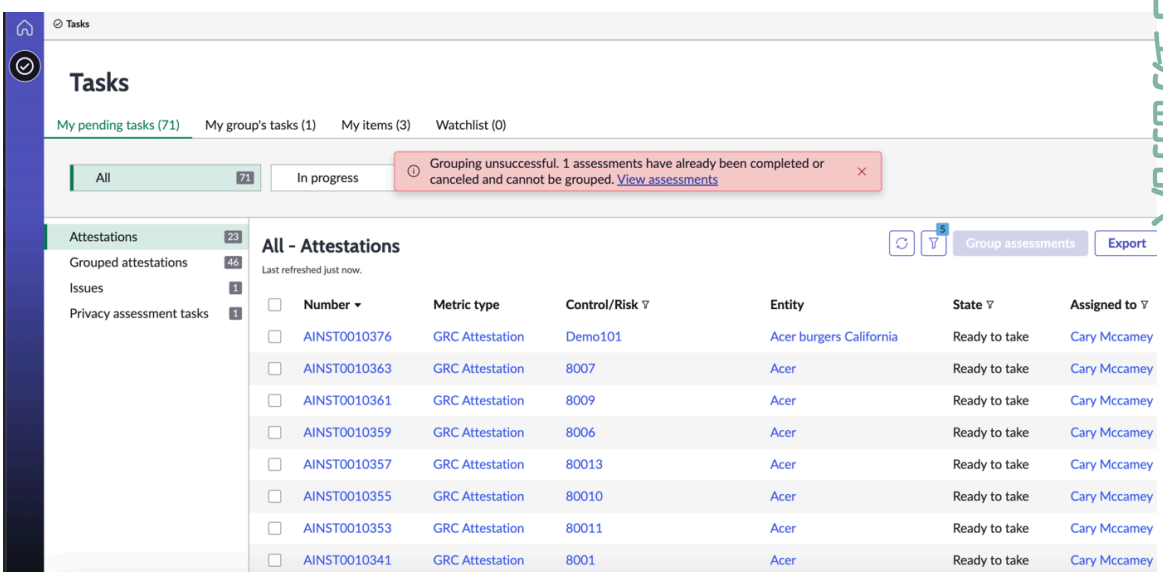
選択したアセスメントのうち、いくつかのアセスメントが選択した条件でグループ化できなかった場合、[グループプレビュー] にはグループ化できなかったアセスメントの数が表示されます。ただし、選択した [グループ分け基準] 条件でグループ化できた他のアセスメントが選択にあるため、グループ化が成功した残りの部分を選択してグループ化するための [グループ] ボタンがアクティブになります。

一方、リスクアセスメントやプライバシーアセスメントなど、選択したすべてのアセスメントが無効である場合、そのようなアセスメントはグループ化できないため、[グループ] ボタンは無効になります。



注:
[取得可能] または [進行中] ステータスのアセスメントはグループ化できますが、[完了] または [キャンセル済み] ステータスのアセスメントはグループ化できません。

グループ化するために選択したレコードのステータスが変更され、[グループ] ボタンを選択してアセスメントをグループ化する前にアセスメントが行われている場合、そのようなレコードはグループ化できません。



8. グループ化されたアセスメントへのリンクを UI メッセージ内で選択します。
リンクをクリックすると、グループ化されたアセスメントのリストビューに移動します。[store-future: BEGIN review]または、左ペインで [グループ化された証明書] を選択する方法もあります。[End][アセスメントのインスタンス] ページが開き、アセスメントを取得できます。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロールインジケーターを管理

継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成に関連するアクティビティが含まれます。コンプライアンスの概要は、コンプライアンス管理者とコンプライアンスマネージャーが利用でき、コンプライアンス要件、全体的なコンプライアンス、およびコンプライアンスのブレークダウンを提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、コントロールの問題を作成し、リスクスコアを更新し、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。

インジケーター

インジケーターは、コントロールとリスクを監視するためにデータを収集し、監査証拠を収集します。インジケーターは単一のコントロールまたはリスクを監視します。

インジケーターテンプレート

インジケーターテンプレートを使用すると、類似するコントロールまたはリスクに複数のインジケーターを作成できます。

コンプライアンスの概要

ベースシステムのコンプライアンスの概要レポート

名前	ビジュアル	説明
コンプライアンス要件	ドーナツグラフ	特定のコンプライアンス領域にフォーカスするウェッジを選択します。
全体的なコンプライアンス	ドーナツグラフ	システム内のすべてのコントロール要件の全体的なコンプライアンスを表示します。前のウィジェットで特定のウェッジを選択すると、その領域にフォーカスが移動します。
エンティティ	ドロップダウンリスト	1 つ以上のエンティティを選択して、複数のアイテムのコンプライアンスを表示します。
コントロールステータス	チェックリスト	チェックボックスをオンまたはオフにして、コントロールのステータス別にフィルターレポートを表示します。
各種法令・基準等別のコンプライアンス	棒グラフ	選択したエンティティや各種法令・基準等に応じて、コンプライアンスのレベルを比較します。
コンプライアンスのブレークダウン	マルチレベルピボット	関連する各種法令・基準等別のコントロールコンプライアンスのブレークダウンを表示します。
非準拠のエンティティ	縦棒グラフ	エンティティ別にグループ化された非準拠コントロール要件の数。

各種法令・基準等

各種法令・基準等は、法令・基準に確実に準拠するためのポリシー、リスク、コントロール、監査、およびその他のプロセスを定義します。

各種法令・基準等はそれぞれレコードで定義され、そのレコードの関連リストには各種法令・基準等の個々の条件が含まれています。

これらの各種法令・基準等関連リストアイテムの関係は、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションの GRC ワークベンチに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
各種法令・基準等にコンテンツ参照タグを追加できます。コンテンツ参照タグを使用すると、レコードをフィルタリングして、各種法令・基準等に関連付けられたコンテンツパック、統合、およびユースケースアクセラレータをより簡単に識別できます。

信頼できるソースコンテンツ

各種法令・基準内項目には、相互に関連する可能性のある各種法令・基準等の規定が含まれています。各種法令・基準内項目は、各種法令・基準等を管理可能なテーマに分類します。

引用を作成するか、UCF 各種法令・基準等からインポートして、引用間に必要な関係を作成できます。

注:
引用にコンテンツ参照タグを追加できます。コンテンツ参照タグを使用すると、レコードをフィルタリングして、引用に関連付けられたコンテンツパック、統合、およびユースケースアクセラレータをより簡単に識別できます。

コンプライアンスワークスペースを使用してコントロールインジケーターを作成

制御、リスク、監査の証拠のインジケーターデータは、GRC アプリケーションによって測定方法が異なります。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_admin、sn_compliance_manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース > コントロール監視 > すべてのインジケーター.
   - リスク > コントロール監視 > すべてのインジケーター.
   - 監査 > コントロール監視 > すべてのインジケーター.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	作成されているインジケーターのタイプ。コントロールインジケーターの場合は [コンプライアンスインジケーター] を、リスクインジケーターの場合は [リスクインジケーター] を選択します。
テンプレートから継承	選択したテンプレートを使用してフォームに入力します。
テンプレート	[テンプレートから継承] チェックボックスをオンにした場合は、フォームの入力に使用するテンプレートを選択します。テンプレートを選択すると、[新規インジケーターを作成 (Create New Indicator)] 画面の残りのフィールドが事前に入力され、読み取り専用に設定されます。詳細については、「コンプライアンスワークス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ペースを使用して GRC インジケーターテンプレートを作成」を参照してください。
テンプレートを上書き	[テンプレートから継承] チェックボックスをオンにして、フォームのエントリをカスタマイズする場合は、このチェックボックスをオンにします。その後、フォームの一部またはすべてのフィールドを編集できます。
名前	インジケーターの名前。
説明	このインジケーターの説明。
エンティティ	このインジケーターに関連付けられたエンティティ。
コントロール	このインジケーターに関連付けられたコントロール。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターオーナー。
方法 (Method)	
タイプ	結果は、タスクのアサインにより手動で、または基本フィルター条件、Performance Analytics、またはスクリプトを使用して自動的に収集できます。 ○ マニュアル ○ 基本 ○ スクリプト
適用先	[アイテム] に関連するエンティティ。
最終結果 - 成功	前回の結果が成功したかどうかを示すオプション。
簡単な説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。問題の簡潔な説明。
説明	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。インジケーターの結果の収集のための指示。
必須の値	このフィールドは、[タイプ] が [手動] の場合に存在します。
成功/失敗	このフィールドは、[タイプ] が [基本] の場合に存在します。インジケーターが成功または失敗します。
PA しきい値	このフィールドは、[タイプ] が **[PA** インジケーター] の場合に存在します。関連する PA しきい値。
スクリプト	このフィールドは、[タイプ] が [スクリプト] の場合に存在します。必要なシステム情報を取得するスクリプト。
スケジュール	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
次回実行日	インジケーターの結果の次回の収集時刻。
提出データ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
テーブル	サポートデータを使用して、他のアプリケーションから裏付け証拠を収集します。
サポートデータフィールド	選択したテーブルに基づくサポートデータフィールド。

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。

次のタスク

実装している場合 ポリシーとコンプライアンス管理 ソフトウェアで、必須のセットアップ手順を完了しました。戻る ポリシーとコンプライアンス管理 セットアップチェックリスト をクリックし、必要に応じてオプションの手順に進みます。

コンプライアンスワークスペースを使用して **GRC** インジケーターテンプレートを作成

コンプライアンスマネージャーまたはリスクマネージャーは、コンプライアンスワークスペースで多くのインジケーターを作成できるインジケーターテンプレートを作成します。

始める前に

必要なロール：

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager
- sn_grc.user

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース > インジケーター > インジケーターテンプレート.
   - リスク > インジケーター > インジケーターテンプレート.
   - 監査 > インジケーター > インジケーターテンプレート.
2. [作成] リストをクリックし、[インジケーター] を選択します。
3. **[New** (新規)] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	インジケーターの名前。
説明	インジケーターの説明。
カテゴリ	インジケータテンプレートを作成しているカテゴリ。たとえば、[リスク指標テンプレート] を選択して、リスク指標テンプレートを作成します。
有効	インジケーターテンプレートがアクティブかどうかを判断するオプション。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターテンプレートのタイプを判断するために使用する方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [手動]：手動インジケーターは、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データがサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。 ○ [基本]：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。 ○ [スクリプト]：スクリプト化したインジケーターはカスタムスクリプトを使用してデータを収集します。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
値がターゲット値以上の場合の結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗 たとえば、このフィールドに 100 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 100

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは合格または失敗になります。
ターゲット	インジケーターが合格か失敗かを決定する値。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にするかどうかを決定するオプション。 **注:** このオプションは、[タイプ] フィールドで [手動] が選択されている場合にのみ表示されます。このオプションは、[ターゲットタイプ] フィールドから [カウント] または [パーセンテージ] が選択されている場合に自動的に選択されます。
説明	テンプレートの追加説明。
サポートデータ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
提出データを含む	インジケーターを実行するたびにサポートデータまたは証拠の収集を有効にするオプション。
テーブル	サポートデータの収集に使用されるテーブル。
サポートデータフィールド	サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールド。
サンプル サイズ	サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数。 たとえば、基本インジケーターが大きなテーブルをクエリし、インジケーターの実行ごとに数千のレコードを返すことができます。すべてを保存する必要はありません。それらのレコードのサンプルのみで十分です。サンプルサイズに 100 を入力すると、クエリが数千を返しても 100 レコードのみが保存されます。
基本基準	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。
参照フィールドを使用	[参照フィールド] の使用を有効にするオプション。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
追加の基準	
ターゲットを持つインジケーターを作成するには、詳細フィルター基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドで [基本] を選択している場合にのみ表示されます。このセクションは、さらにフィルター基準を提供するために使用されます。	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パーセンテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
期日の期間 (日数)	インジケータータスクの作成から期日までの結果の生成までの期日期間。 作成日に追加された期日期間は、インジケータータスクの 期日 として反映されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [手動] を選択した場合にのみ表示されます。 詳細については、「インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化」を参照してください。
最初の開始日	インジケーターの結果の初回収集時刻。このフィールドは、インジケーターまたはインジケーターテンプレートが初めて実行されるときに基づいて自動的に設定されます。このフィールドの値は変更できません。
次回実行日	次回実行時間:このインジケーターテンプレートのすべてのダウンストリームインジケーターのインジケーター結果を収集します。

5. これらのエントリを完了すると、次の関連リストの情報も表示することができます。
   - コントロール目標/リスクステートメント
   - コンテンツ参照

   注:
   [コントロール目標/リスクステートメント] タブを使用すると、同じテンプレートを複数のコントロール目標および / またはリスクステートメントに再利用できます。

6. [送信] をクリックします。

インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化

並列処理機能をサポートするために、インジケーターを処理するためのインジケーターデータキューと、コントロール、リスク、および問題の更新に関連するイベントを処理し、サポートデータを収集するためのサポートデータキューなどの 2 つの追加のカスタムキューが導入されました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーターの効果的な処理のための新しいアーキテクチャ

指標の実行は、効率的な処理のために2つのカスタムキューを利用する3段階のプロセスを実装することによって最適化されています。

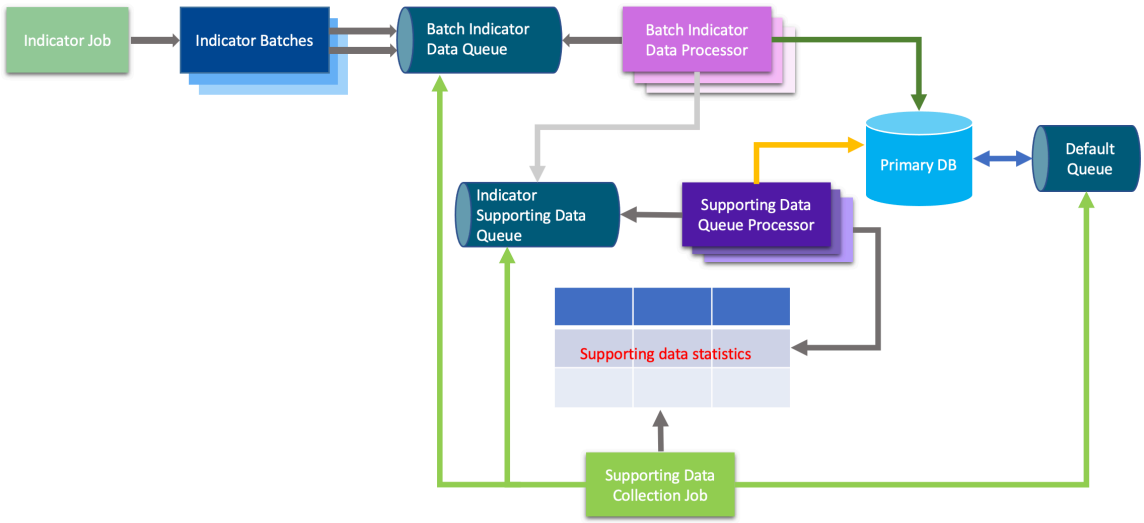
最初のステップでは、処理が必要なインジケーターのセットがバッチインジケーターデータキューのキューに入れられます。次に、バッチインジケーターデータプロセッサは、インジケーターを実行し、ステータスを設定し、インジケーターの結果またはタスクを作成します。インジケーターは、データ収集をサポートし、コントロール、リスク、問題などの依存オブジェクトを更新するために、別のカスタムキューに移動されます。

2 番目のステップでは、インジケーターサポートデータプロセッサーがインジケーターサポートデータキューからインジケーターレコードを取得し、コントロールまたはリスクステータスを更新します。これも構成に基づいて問題を作成または更新します。この後、指標はサポートデータ収集のために指標統計テーブルにプッシュされます。

最後に、サポートデータコレクションジョブは、サポートデータ統計テーブルからインジケーターレコードを取得し、インジケーターのサポートデータの収集を開始し、デフォルトキューと追加のカスタムキューの両方を利用して効率的な処理を行います。

注:
インジケーター結果のビジネスルールは、インジケータージョブの実行中は実行されません。ただし、インジケータータスクの完了時には、同じビジネスルールが使用されます。インジケータービジネスルールは、実行中のパフォーマンスを向上させるためにインジケータージョブに移動されます。

追加のキューを使用したインジケータージョブの処理



このアーキテクチャは、かなりの時間で多数のインジケーターの実行をサポートします。サポートデータを収集するために導入されたサポートデータ収集ジョブにより、データ処理プロセスが大幅に改善されます。さらに、データの実行にかかる時間が大幅に短縮されます。

注:
サポートデータ収集ジョブは、最初に、サポートデータ収集のためにインジケーターレコードのバッチをデフォルトキューにアサインします。バッチ処理キューおよびサポートデータ待ち行列の可用性に応じて、スケジュール設定済みジョブは、標識レコードの後続のバッチをラウンドロビン方式で (つまり、これらのキューで自由に処理できる場合にのみ) これらのキューに割り当てます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ モデルの変更

[インジケーターテンプレート] フォームに追加された [サンプル収集タイプ] フィールドには、[カウント] または [パーセンテージ] のオプションがあります。デフォルト値は [カウント] です。[パーセンテージ] を選択した場合は、サポート データを収集するためのパーセンテージ値を指定できます。

インジケータタスクの期日をキャプチャするために、インジケーターテンプレートおよびインジケーターフォームの手動インジケーターに [期日期間 (日数)] フィールドが追加されました。この期日に基づいて、リマインダーメールがインジケータタスク所有者に送信されます。

インジケーターサポートデータテーブルに導入された新しいフィールド (JSON タイプ) は、効率的なデータ管理に役立ちます。

- テーブルの変更に関連する詳細については、を参照してください GRC とともにインストールされるテーブル。
- 追加のシステム・プロパティの詳細については、を参照してください GRC のプロパティ。
- インジケーターフォームの変更については、「」を参照してください GRC インジケーターを作成する。
- の コンプライアンスワークスペースインジケーターテンプレートフォームの変更については、「」を参照してください コンプライアンスワークスペースを使用して GRC インジケーターテンプレートを作成。
- UI の クラシック インジケーターテンプレートフォームの変更については、「」を参照してください GRC インジケーターテンプレートを作成する。

コンプライアンスワークスペースを使用して証拠要求を管理

証拠要求は、監査中にサポートドキュメントを要求するために監査およびコンプライアンスチームによって使用されます。監査人およびコンプライアンスチームは、防御の第一線にこれらのドキュメントを要求します。

証拠要求：証拠とは、監査人が監査意見を決定する際に使用するすべての情報です。証拠には、財務ステートメントの基礎となる会計レコードに含まれる情報やその他の情報が含まれます。証拠は本質的に累積的です。これには、監査中に実行された監査手順から取得された証拠が含まれます。証拠には、以前の監査などの他のソースから取得された監査証拠も含まれる場合があります。

証拠要求は、監査の準備中または監査の告知後の計画フェーズ中に頻繁に導入されます。要求されたドキュメントは、監査チームが、スコープ内のコントロールとプロセスを理解し、フィールドワークテストを開始するために使用されます。監査はさまざまなステージを経て進行するため、監査チームは頻繁に新しい要求をリストに追加します。コンプライアンスチームは、収集された証拠をコントロールテストに使用します。

バージョン 11.0.2 リリース以降、予定されていない証拠要求は Audit Management および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションによって次のようにサポートされています。

- 証拠は、エンゲージメントおよびすべての監査テーブルから要求できます。証拠を要求する方法を理解するには、「監査の証拠を要求する」を参照してください。
- コンプライアンスチームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、およびプロセスオーナーに証拠を要求できます。
- 監査チームは、コントロールオーナー、ビジネスステークホルダー、プロセスオーナー、およびコンプライアンスチームに証拠を要求できます。
- アサインされたユーザーは、サービスポータル から直接証拠を提供できます。
- マネージャーは、機密性や重要度などのさまざまな基準に基づいて、証拠要求を承認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 要求者とアサイニー間のコミュニケーションチャネルが改善され、承認プロセスが簡素化されています。
- 改善された機密性の制約は、権限のないユーザーが要求情報を表示することを防止します。

コンプライアンスワークスペースを使用して監査中に証拠を要求

コンプライアンスワークスペースを使用して監査中の任意のステージで証拠を要求します。証拠が要求されたアイテムの詳細は、証拠の提供責任者にも提供されます。

始める前に

必要なロール：sn_audit.user

このタスクについて

証拠は、次の 3 通りの方法で要求できます。

自分の証拠

[自分の証拠 **(My Evidence)]** モジュールから証拠レコードを作成します。

証拠を要求

エンゲージメントレコード内のエンティティ、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、およびその他の問題から作成します。これらのソースから証拠を要求するには、次に移動します。 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース. ワークスペースのリストビューで、[コントロールテスト] リストの [エンゲージメント] を選択します。エンゲージメントレコードを開き、証拠を要求する関連リストを選択します。[証拠を要求] ボタンを選択します。ここでは、証拠要求を作成するか、既存の証拠要求に要求を追加できます。証拠要求は作成されますが、証拠要求タスクは作成されません。

再利用可能な、エンゲージメントの関連アイテムテーブルのいずれかに既に存在する証拠レコードをユーザーに通知できます。

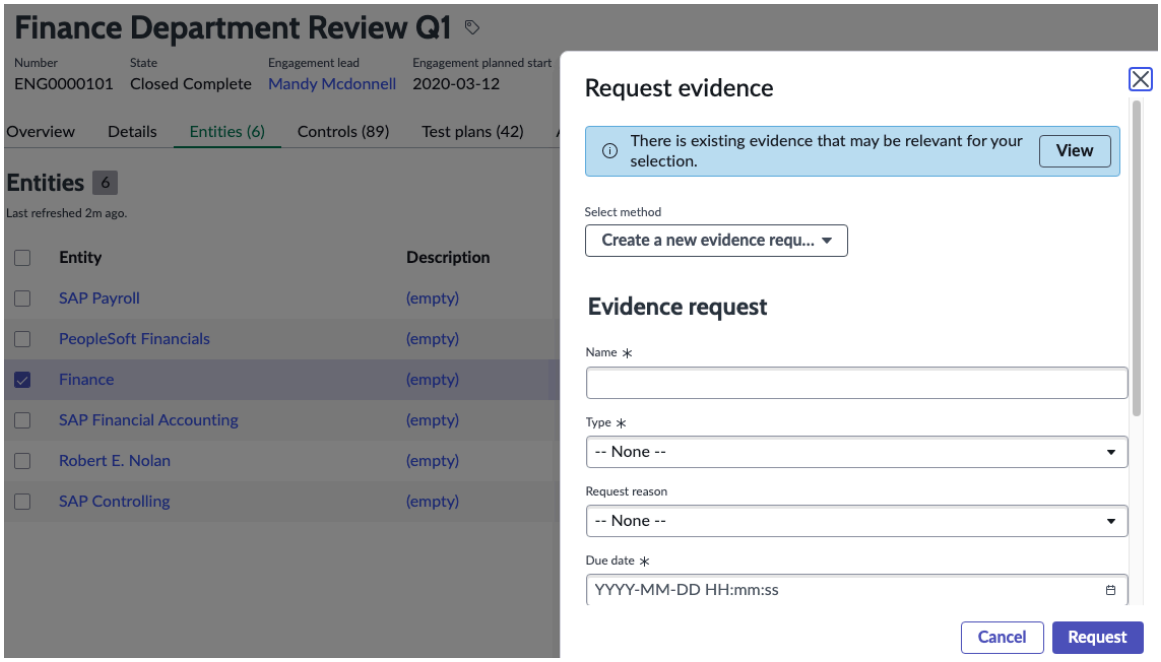
1. 新しい証拠要求を作成するには、[証拠を要求] ポップアップの [方法を選択] リストで [新しい証拠要求を作成] を選択します。詳細を入力し、[要求] ボタンを選択します。
2. 既存の関連証拠に関する情報を表示するには、[証拠を要求] ポップアップの [表示] リンクを選択します。

   注:
   既存の証拠がない場合、メッセージは [証拠を要求] ポップアップに表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

証拠を要求ポップアップのリンクを表示



3. 関連アイテムで作成された既存のすべての証拠を表示するには、[証拠] 関連リストを選択します。

   証拠が [完了してクローズ] ステータスの場合、[新規]、[既存の証拠を追加]、[削除]、[削除] などの UI アクションボタンは無効になります。これらの UI アクションは、エンゲージメントまたはその他の監査およびコンプライアンスオブジェクトがアクティブステータスである場合にのみ実行できます。

4. 既存の証拠を追加するには、[既存の証拠を追加] ボタンを選択し、証拠を選択します。

   注:
   [既存の証拠を追加] ボタンは、コンプライアンスワークスペース内のすべてのコンプライアンスおよび監査オブジェクトの証拠関連アイテム (エンゲージメント、監査タスク、問題、ポリシー、エンティティ、コントロール、コントロール目標、各種法令・基準等、引用、証拠要求など) で使用できます。

5. エンゲージメントにリンクされた証拠の関連付けを削除するには、[証拠] 関連リストで証拠を選択し、[削除] ボタンを選択します。

   注:
   このアクションは、既存の証拠レコードの関連付けをエンゲージメントから削除するだけで、データベースからは証拠レコードを削除しません。

注:
ログインユーザーは、証拠レコードが存在するエンゲージメントへのアクセス権を持っているか、それらを表示して追加するレコードへのアクセス権を持っている必要があります。ログインしているユーザーがこれらのレコードにアクセスできない場合、これらの関連アイテムに証拠が存在しても、ユーザーが追加できるようには表示されません。

エンティティ、コントロール、コントロール目標、コントロールテスト、エンゲージメント、問題テーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティ、コントロール、コントロール目標、コントロールテスト、エンゲージメント、問題などのテーブルから作成します。ただし、ユーザーがこれらのテーブルから証拠を要求すると、実際の証拠要求タスクではなく証拠要求が作成されます。ユーザーは、生成された証拠要求レコードに移動し、証拠要求タスクを追加する必要があります。

この手順では、[自分の証拠 **(My Evidence)]** モジュールから証拠を要求する方法について説明します。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 証拠要求 > 自分の要求.
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

証拠要求フォーム

フィールド	説明
数値	証拠要求の一意の番号。
名前	この要求の名前。
要求者	証拠を要求するユーザー。このフィールドは、自動的に入力されます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。
タイプ	作成される証拠のタイプ。[監査] または [コンプライアンス] のいずれかです。
要求理由	証拠を要求する理由。
ステータス	要求のステータス。デフォルトのステータスは [ドラフト] です。
サブステート	要求の追加ステータス。
説明	証拠要求の詳細な説明。
アサイン	
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。ユーザーがウォッチリストに追加された場合、そのユーザーは次の場所に移動できます。 監査 > 証拠要求 > 証拠要求ウォッチリスト 要求を表示します。
スケジュール	
期日	証拠の送信予定日。
オープン	要求がオープンされた日付。この日付は自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
クローズ済み	要求がクローズされた日付。この日付は自動的に更新されます。
アクティビティ	
作業メモ	必要な可能性があるメモを入力します。
アクティビティ	要求のアクティビティログ。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。

6. フォームを保存します。
[概要] ページのステッパーで証拠のステータスを監視します。証拠を受け入れ、証拠のリビジョンを要求し、情報を要求すると、レコードは一連の論理ステップを進行します。

   [証拠収集の詳細] 関連リストが表示されます。この関連リストは、証拠が要求されているアイテムを一覧表示するために使用されます。

7. [新規] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

証拠収集の詳細フォーム

フィールド	説明
数値	証拠収集の詳細の一意の番号。
名前	この要求の名前。
証拠収集タイプ	証拠が要求されているレコード。 要求がコンプライアンスユーザーロールを持つユーザーによって入力された場合、使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ 各種法令・基準等 ○ 信頼できるソースコンテンツ ○ コントロール ○ コントロール目標 ○ コントロールテスト ○ エンティティ ○ 問題 ○ ポリシー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	要求が監査ユーザーロールを持つユーザーによって入力された場合、使用可能なオプションは次のとおりです。 ○ 監査タスク ○ コントロール ○ コントロール目標 ○ コントロールテスト ○ エンゲージメント ○ エンティティ ○ 問題
証拠対象	証拠が適用されるすべてのテーブルを一覧表示します。
証拠要求	証拠要求タスクの一意の番号。
アサイン	
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。
説明	
証拠収集手順	証拠を提供するための指示。たとえば、サポートドキュメント、ファイルなどのリストです。

9. [保存] を選択します。
10. [証拠要求を選択] を選択します。
    証拠要求が既に [対応中] ステータスであり、新しい証拠収集の詳細が追加された場合、証拠要求タスクはすぐにアサイニーに送信されます。
    [証拠] 関連リストに証拠のリストが表示され、要求をアサインされたユーザーは、要求された証拠を提供するためのメール通知を受信します。また、要求のステータスが [対応中] に変更されます。証拠要求プロセスフローを通じて進行するため、説明を表示し、また概要ページのステッパーで証拠要求のステータスを監視できます。

コンプライアンスワークスペースを使用して要求された証拠を提供

コンプライアンスワークスペースを使用して、要求されたときに証拠を提供できます。証拠が要求されると、証拠を提供する必要があるユーザーはメールを受信します。証拠を提供するプロセスが開始されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて
アサイニーは、要求された証拠を提供するためのメールを受信すると、要求された証拠を提供するか、別のユーザーに要求を再アサインすることができます。アサイニーは、要求された証拠を送信する前に承認者を追加して、証拠のセキュリティを強化することもできます。アサイニーが要求を他の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーに再アサインした場合、元のアサイニーは要求を表示できなくなります。提供された証拠が承認者を必要としない場合、アサイニーは証拠のレビューを直接要求でき、要求者は証拠をレビューするための通知を受け取ります。

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の証拠要求タスク.
2. 証拠を提供するレコードを開きます。
3. [作業を承認] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

証拠フォーム

フィールド	説明
番号	証拠要求の番号。この値はデフォルトで生成されます。
要求者	証拠を要求するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。 [アサイン先] フィールドの承認者、要求者、ウォッチリストのメンバー、またはユーザーである場合、証拠が [新規] または [対応中] ステータスであれば、[ウォッチリスト]、[名前]、および [説明] フィールドの詳細を編集できます。
代理で要求済み	証拠を要求されているユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
アサイン先グループ	証拠を提供するためにアサインされたグループ。このグループのユーザーには、sn_grc.business_user ロールが必要です。
アサイン先	証拠の提供を担当するユーザー。この値はデフォルトで生成されます。
ステータス	要求のステータス。
サブステート	なし。この値はデフォルトで生成されます。
要求理由	証拠を要求する理由。
承認者	レビューのために要求者に返される前に証拠を承認するユーザー。通常、承認者は証拠を提供するユーザーのマネージャーです。
ウォッチリスト	収集された証拠の表示に関心があるユーザー。
名前	証拠要求の名前。名前はデフォルトで [証拠収集の詳細] の名前になります。
説明	証拠要求の詳細な説明。説明は、デフォルトで証拠要求フォームに指定された説明になります。
要求の詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
証拠要求	タスクに関連付けられた証拠要求の一意の ID。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠対象	証拠が要求されているレコード。
証拠対象の説明	証拠が要求されているレコードの説明。この値はデフォルトで生成され、証拠を要求するために作成されたレコードからフェッチされます。
証拠収集手順	証拠を収集するための指示。 マネージャーまたは要求者は、証拠要求タスクが対応中ステータスのときにこのフィールドを編集できます。

5. 添付された証拠の承認を要求するには、[承認要求] をクリックします。
6. 承認者が必要ない場合は、[レビューを要求] をクリックします。

コンプライアンスワークスペースを使用して証拠レビュー前に証拠を承認

コンプライアンスワークスペースを使用して、要求者が証拠を表示する前に、提供されている証拠を承認します。証拠要求に応じて証拠が提供される場合、証拠を要求者に送り返す前に、その証拠を承認する必要があります。この機能により、証拠のセキュリティと機密性が保証されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user、sn_grc.business_user_lite

このタスクについて
承認者は、証拠を承認する要求を受信した後、次のいずれかを実行できます。

- 問題や懸念がない場合は、要求を承認する。
- 添付された証拠が正しくないか、修正が必要な場合は、その証拠のリビジョンを要求する。
- 承認者が添付された証拠に関する詳細を必要とする場合は、情報を要求する。

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の承認.
2. 証拠を承認するレコードを開きます。
3. フォームで添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
承認	添付された証拠を承認します。要求者は、提供された証拠を取得します。
リビジョンを要求	添付された証拠のレビューを要求します。リビジョンを要求するときにコメントを入力しま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	す。アサイニーは、添付された証拠をレビューするための通知を受け取ります。
情報を要求	添付された証拠に関する詳細情報を求めます。アサイニーは、添付された証拠に関する詳細を提供するための通知を受け取ります。

コンプライアンスワークスペースを使用して証拠要求を承認、却下、またはキャンセル

要求した証拠を受信したら、証拠要求を承認、却下、またはキャンセルする。コンプライアンスワークスペースを使用して証拠要求を要求した後、要求者が証拠を受け取ると、その証拠要求を承認、却下、またはキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.user

手順

1. 移動先 監査 > 証拠要求 > 自分の処理待ちのレビュー.
2. 証拠フォームで、添付された証拠をレビューし、次のいずれかのオプションをクリックします。

オプション	説明
証拠を承認	提供された証拠を承認します。
リビジョンを要求	証拠のレビューを要求します。適切でない場合は、変更を要求します。
キャンセル	証拠要求タスクをキャンセルします。
削除	証拠要求タスクを削除します。

コンプライアンスワークスペースを使用して関連する証拠を確認

証拠要求機能には、関連する証拠と呼ばれる関連リストが含まれていますが、これはデフォルトでは表示されません。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この関連リストは、現在のレコードに対して直接要求されていないが、関連レコードに関連付けられている証拠のリストを提供します。たとえば、コントロール目標フォームの関連証拠リストには、関連するコントロールに対して要求された証拠が表示されます。
関連証拠関連リストは、証拠要求機能全体でさまざまなフォームで使用できます。ただし、ベースシステムには表示されません。利用可能な任意のフォームをカスタマイズできますが、この関連リストを有効にするとシステムのパフォーマンスに影響を与える可能性があることに注意してください。

関連証拠関連リストを表示できるテーブル

テーブル名	表示される関連証拠のタイプ
各種法令・基準等	この各種法令・基準等にマッピングされた証拠要求タスク。
信頼できるソースコンテンツ	引用に関連付けられたコントロール目標に対して作成された証拠要求タスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連証拠関連リストを表示できるテーブル (続く)

テーブル名	表示される関連証拠のタイプ
コントロール	コントロールテストで作成された証拠要求タスクとコントロールに対して作成された問題。
コントロール目標	コントロール目標に関連付けられたコントロールに対して作成された証拠要求タスク。
コントロールテスト	コントロールテストに関連付けられたコントロールに対して作成された証拠要求タスク。
エンゲージメント	エンティティで作成された証拠要求タスク、コントロール、監査タスク、コントロールテストの問題、およびエンゲージメントにマッピングされた問題が表示されます。
エンティティ	エンティティ、そのエンティティで作成された問題に関連付けられたコントロールで作成された証拠要求タスク。
ポリシー	ポリシーに関連付けられたコントロール目標に対して作成された証拠要求タスク。

手順

1. [証拠要求] 関連リストを表示するフォームに移動します。
2. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > 関連リスト.
3. [利用可能] ボックスで [関連する証拠] アイテムを検索し、それを [選択済み] ボックスに移動します。
4. [保存] をクリックします。

自動翻訳

コンプライアンスワークスペースでのポリシーの作成とレッドライン

ポリシーは、注意深く監視し、定期的に改訂することで有効性を保ちます。定期的にレビューおよび更新することで、組織は更新されたポリシーを維持し、監査およびコンプライアンスのリスクを回避できます。

組織のポリシーは、組織の成長や組織構造の変化によって、時間の経過とともに古くなる傾向があります。これらの理由から、ポリシーを注意深く監視し、常に改訂する必要があります。

ポリシーオーナー、協力者、レビュー担当者、および承認者がポリシーの作成とレッドラインを行うことができます。監査目的で維持する必要のある複数のバージョンのポリシー結果をレビューして再作成します。

ポリシーレッドラインの主なメリット

以下を有効にすることで、全体的なポリシーの作成とレッドラインのエクスペリエンスが向上します。

- ポリシー所有者、協力者、レビュー担当者、および承認者が O365 または Google ドライブ.
- レッドラインおよびレビュー機能。

主な機能

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ポリシー所有者と協力者が O365 または Google ドライブを使用してコラボレーションしてポリシーをドラフトできるようにします。
2. ポリシーレビュー担当者がポリシーを共同作業、レビュー、およびレッドラインを行うことができるようにします。
3. 承認者がポリシーをレビューおよび承認できるようにします。
4. さまざまなバージョンのポリシーを維持し、その履歴を保持する機能。
5. 形式を保持したまま、ドキュメントから HTML のポリシーテキストフィールドにポリシーテキストをコピーする機能。
6. ポリシーを PDF 形式に変換する機能。
7. ポリシーの作成、レッドライン、および公開を通じてユーザーをガイドすることで、ユーザーエクスペリエンスを簡素化します。

レッドライン用のポリシーテキストのインポート

文言の編集を実行できない場合は、ポリシーテキストを添付ファイルとしてインポートします。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

このタスクについて

コンテンツをインポートできるのは、自分がポリシーオーナーであり、ポリシーも [ドラフト] ステータスである必要がある場合です。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン () を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
   新しいポリシーを作成する か、レコードを開いてレッドライン機能を有効にすることができます。
4. 開くポリシーを選択します。
5. [ポリシーテキスト] 関連リストを選択して、ポリシーテキストの内容を表示します。
   Microsoft OneDrive 統合Google ドライブされていない場合は、ポリシーテキストを添付ファイルとしてインポートできます。コンテンツをインポートできるのは、自分がポリシーオーナーであり、ポリシーも [ドラフト] ステータスである必要がある場合です。
6. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** のプロパティ.
7. *`Select a file sharing service to host documents and attachments`* システムプロパティリストで [なし] オプションを選択します。

   a. [ポリシーテキストをインポート] ボタンを選択します。

   b. [インポートポリシー] テキストポップアップで [ファイルを追加] を選択します。

   c. [インポート] を選択します。
   ファイルのコンテンツが [ポリシーテキスト] フィールドにダウンロードされます。

ポリシーのレッドライン機能を有効にするための前提条件

ポリシー協力者が コンプライアンスワークスペースでポリシーのレッドライン機能を使用するには、特定の構成が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシー作成 - O365 との統合には、次のスポークが必要です

- Microsoft OneDrive スポークバージョン 2.1.1
- Microsoft OneDrive ドキュメントサービスフレームワーク用スポークバージョン 1.0.5

ポリシー作成 - との統合 Google ドライブには、次のスポークが必要です。

- スポーク用 Google ドライブ ドキュメントサービスフレームワーク:1.0.1
- Google ドライブ スポーク – 1.4.1

注:
コンプライアンスワークスペース に含まれる IntegrationHub エンタイトルメントは、ポリシー作成 - O365 との統合による使用にのみ制限されています。その他のすべての使用には、適用可能な追加の IntegrationHub エンタイトルメントを購入する必要があります。

でポリシーのレッドライン機能 コンプライアンスワークスペースを使用するポリシー協力者の場合は、次の構成を設定する必要があります。

[store-future: BEGIN review]注:
次のクラウドホスティングサービスのいずれか 1 つとのみ接続を確立できます:次のいずれか (または Microsoft OneDrive) Google ドライブ
[End]

クラウドホスティングサービスとの接続を確立する

接続: Microsoft OneDrive

1. Microsoft OneDrive で ServiceNow からのアクションを実行するには、まず Microsoft OneDrive および Microsoft Azure AD の接続を設定する必要があります。詳細については、「」を参照してください。
2. 次に、協力者を同期スケジュールジョブを実行します。ジョブを実行するには、「協力者を同期」を参照してください。

[store-future: BEGIN review]接続: Google ドライブ[End]

[store-future: BEGIN review]クラウドホスティングサービスとしてセットアップ Google ドライブ し、 にある Google ドライブポリシーテキストドキュメントを作成または更新するには、次のことを行う必要があります。

1. Set up Google Drive spoke アカウント
2. ドキュメントサービスを Google ドライブと統合します。詳細については、「」を参照してください。

[End]

コンプライアンスワークスペースでポリシーのレッドラインを使用するためにシステムのプロパティを有効化する

1. 移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** のプロパティ.
   a. クラウドホスティングサービスとしてオプトイン Microsoft OneDrive するには、システムプロパティリストで **[1**つのドライブ] *`Select a file sharing service to host documents and attachments`* を選択します。

      `Select a file sharing service to host documents and attachments` システムプロパティリストで [なし] を選択すると、ポリシーテキ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストをインポートできます。詳細については、「レッドライン用のポリシーテキストのインポート」を参照してください。

b. [store-future: BEGIN review]クラウドホスティングサービスとしてオプトインGoogle ドライブするには、システムプロパティリストで**Google**ドライブ*`Select a file sharing service to host documents and attachments`*を選択します。[End]

2. *`Default folder path where documents and attachments will be located. You can organize files in sub-folders within this path`* システムのプロパティリストで Microsoft OneDrive に作成するフォルダーパスを設定します。

mp_document_user ロールを指定する

ポリシーレッドラインドキュメント関連テーブルにアクセスするには、mp_document_user ロールが必要です。このロールは、ポリシーのレッドライン機能を使用して関連ドキュメントを作成、更新、および削除するために必要です。

システム管理者は、クラウドホスティング接続を確立し、システムのプロパティを有効にして、ポリシーのレッドラインユーザーにmp_document_userロールを提供できます。

ポリシーのレッドライン用のポリシーテキストドキュメントを作成して関連付ける

レッドライン機能を備えるポリシーを作成して有効にします。このようなポリシーを作成すると、ポリシーのバージョン履歴を記録する別のレコードが内部テーブルに作成されます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

このタスクについて

注:
ポリシーのレッドラインは、Now Platform ではなく コンプライアンスワークスペース のポリシー作成に対してのみ有効です。

ポリシーのレッドライン機能は Now Platform では利用できませんが、Now Platform でポリシーにアクセスすると、コンプライアンスワークスペースでポリシーのレッドラインを有効にするために行われた次の変更もポリシーフォームに表示されます。

- [オーナー] フィールドは必須です。
- 承認を要求する前に承認者が必要です。以前は、承認者がいなくてもポリシーを自動公開できました。
- [貢献者] フィールドは追加されたのみです。
- ポリシー履歴関連リストが利用可能です。
- アクティビティフィールドが新しく導入されました。

ただし、これらの変更は コンプライアンスワークスペースのポリシーのレッドライン機能をサポートしており、Now Platform のポリシー関連のアクティビティはサポートしていません。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
   新しいポリシーを作成する か、レコードを開いてレッドライン機能を有効にすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 開くポリシーを選択します。
5. [ポリシーテキスト] 関連リストを選択して、ポリシーテキストの内容を表示します。

   a. [ドキュメント編集を有効にする] ボタンを選択します。
   ポリシーが [ドラフト] ステータスの場合、ポリシーオーナーは単独でドキュメントを作成したり、ドキュメントをMicrosoft OneDrive 関連付けたり、Google ドライブ承認者、レビュー担当者、および貢献者がポリシーテキストを編集できるようにしたりすることができます。

   b. ポリシー所有者としてドキュメントを作成するには、[**Word** の編集を有効にする] ボックスの一覧で [新しいドキュメントの作成] を選択します。

   c. [を作成] ポップアップの [フォルダーリンク] フィールドに、フォルダー名を含むフォルダーへのパスを入力します。

   d. [ドキュメント名] フィールドにドキュメントの名前を入力します。

   e. [作成] を選択します。
   [store-future: BEGIN review]と統合 Google ドライブしている場合は、ファイルを作成するフォルダリンクを入力してから、ファイル名を入力できます。ただし、無効なフォルダリンクの場合はエラーメッセージが表示されます。[作成] をクリックすると、指定したアカウントのフォルダー Google ドライブ にドキュメントが作成されます。

   共有フォルダーへのリンクを指定する場合、そのフォルダー内にファイルを作成するには編集アクセス権が必要です。

   [End]

   f. 作成されたドキュメントを表示するには、[**Google** ドキュメントで開く] ボタンを選択します。

6. Word ドキュメントへの読み取りまたは書き込みアクセス権を持つユーザーを表示するには、[アクセス] 関連リストに移動します。
7. 別の Word ドキュメント ドキュメントを作成するか、レッドラインが有効なポリシーの別の Word ドキュメント ドキュメントに接続するには、[ドキュメントの変更] ボタンを選択します。
   - 別の Word ドキュメント ドキュメントを作成するには、[新しいドキュメントの作成] を選択して ドキュメント ドキュメントの作成] ポップアップを開きます。
   - 別の Word ドキュメント ドキュメントに接続するには、[既存のドキュメントを接続] を選択して [既存の ドキュメントを接続] ポップアップを開きます。

   a. [フォルダーの場所] フィールドに、ドキュメントが存在するフォルダーのパスを入力します。

   b. [ドキュメント名] フィールドにドキュメントの名前を入力します。

   c. [作成] を選択します。

   d. [ポリシー] テキスト フィールドで ドキュメント ドキュメントの内容を更新するには、ドキュメント リンクの下にある [更新**]** リンクを選択します。

8. ポリシーのドラフトが作成され、完了すると、ポリシーオーナーは [レビューを要求] を選択してレビューを要求できます。
9. [レビューを要求] ポップアップでレビュー担当者へのメッセージを入力します。
10. [要求] を選択します。
    レビュー担当者は、[タスク] ビューの [自分の保留中タスク] にログインすると、レビューの準備ができていればポリシーを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. [レビューを送信] ボタンを選択します。
ポリシーテキストを確認し、[レビューを送信] ポップアップでコメントを追加して送信することができます。
12. ドキュメントをプレビューし、共同作業者が編集した後に最新の更新プログラムを取得するには、[ポリシー テキスト] タブの [更新] リンクを選択します。
ポリシーオーナーは、 Microsoft OneDrive [store-future: BEGIN review]OR Google ドライブ[End] のいずれかでドキュメントのコンテンツを編集して、ポリシーの [OR] フィールドと Microsoft OneDrive [store-future: BEGIN review][Google ドライブ[End] ポリシーテキスト] フィールド間の同期を維持できます。

    ポリシーオーナーとレビュー担当者間のすべてのアクティビティは、[詳細] 関連リストの [アクティビティ] タブに取り込まれます。すべてのレビュー担当者がレビューを完了している場合、ポリシーオーナーは公開チェックリストを完了することができます。
13. [公開チェックリストを完了する] ボタンを選択します。
すべてのレビューが完了したら、ポリシーオーナーは公開プロセスを完了できます。このアクションにより、Playbook が作成されます。ポリシーオーナーは、承認を要求する前に公開チェックリストを確認する必要があります。「Complete publishing checklist for the policy and request approval (ポリシーの公開チェックリストを完了し、承認を要求する)」を参照してください。
14. ポリシーの履歴を表示するには、[ポリシー履歴] 関連リストを選択します。
詳細については、「レッドラインが有効なポリシーの履歴を表示」を参照してください。

から既存のドキュメントを **Microsoft OneDrive** ポリシーに接続

でドキュメントを作成する代わりに、 に存在する Microsoft OneDrive ポリシードキュメントで Microsoft OneDriveレッドリネンを有効にします。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
4. ポリシーを選択します。
5. [ポリシーテキスト] 関連リストを選択して、ポリシーの内容を表示します。
ポリシーに関連付けるコンテンツを含むドキュメントが Microsoft OneDrive に既にある場合は、そのドキュメントを関連付けることができます。
6. [ドキュメント編集を有効にする] リストを選択します。
ポリシーが [ドラフト] ステータスの場合、ポリシー所有者のみが ドキュメントをMicrosoft OneDrive関連付けて、承認者、レビュー担当者、および貢献者がポリシーテキストを編集できるようになります。
7. レッドラインが有効になっているポリシーに既存のドキュメントをリンクするには、[ドキュメント編集を有効にする] ボックスの一覧で [既存のドキュメントを接続] を選択します。
    a. [フォルダーの場所] フィールドにフォルダーの場所を入力します。
    b. [ドキュメント名] フィールドにドキュメントの名前を入力します。
    c. [接続] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. ドキュメントを開くには、リンクを選択します。

e. [ポリシー] テキスト フィールドで ドキュメント ドキュメントの内容を更新するには、ドキュメント リンクの下にある [更新] リンクを選択します。

別の Word ドキュメントドキュメントを作成したり、既にレッドラインが有効になっているポリシーの別の ドキュメントに接続したりすることはできます。

8. 別の Word ドキュメント ドキュメントを作成するか、レッドラインが有効なポリシーの別の Word ドキュメント ドキュメントに接続するには、[ドキュメントの変更] ボタンを選択します。

- 別の Word ドキュメント ドキュメントを作成するには、[新しいドキュメントの作成] を選択して ドキュメント ドキュメントの作成] ポップアップを開きます。
- 別の Word ドキュメント ドキュメントに接続するには、[既存のドキュメントを接続] を選択して [既存の ドキュメントを接続] ポップアップを開きます。

a. [フォルダーの場所] フィールドに、ドキュメントが存在するフォルダーのパスを入力します。

b. [ドキュメント名] フィールドにドキュメントの名前を入力します。

c. [作成] を選択します。

d. [ポリシー] テキスト フィールドで ドキュメント ドキュメントの内容を更新するには、ドキュメント リンクの下にある [更新] リンクを選択します。

から既存のドキュメントを **Google** ドライブ ポリシーに接続

フォルダーに存在する Google ドライブ ドキュメントを、作成したポリシーに接続します。ドキュメントを作成する代わりに、この既存のドキュメントを使用して、ポリシーテキストでレッドラインを有効にします。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.

2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。

3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.

4. ポリシーを選択します。

5. [ポリシーテキスト] 関連リストを選択して、ポリシーの内容を表示します。
ポリシーに関連付けるコンテンツを含むドキュメント Google ドライブ が既にある場合は、そのドキュメントを関連付けることができます。

6. フォルダー内の Google ドライブ ドキュメントを接続するには

a. の [マイドライブ] に移動します。 https://drive.google.com/

b. ポリシーに接続するドキュメントを選択します。

c. 接続するドキュメントで [その他のアクション] アイコン (⋮) をクリックします。

d. [共有] リストから [リンクをコピー] オプションを選択します

7. ポリシーレコードの [ポリシーテキスト] 関連リストに戻ります。

8. [ドキュメント編集を有効にする] リストを選択します。
ポリシーは [ドラフト] ステータスである必要があります。その後、ポリシーオーナーはドキュメントを Google ドライブ 関連付けて、承認者、レビュー担当者、および貢献者がポリシーテキストを編集できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. コピー Google ドライブ したものを [既存ドキュメントを接続] ポップアップの [ファイルリンク] フィールドに貼り付けます。
10. **[Connect** (接続)] をクリックします。
    から Google ドライブ ポリシーレコードにドキュメントを接続できる必要があります。
11. [更新] をクリックします。
    [ポリシーテキスト] フィールドには、ポリシーレコード内のServiceNowドキュメントのテキストGoogle ドライブが表示されます。

    注:
    ポリシーの作成とレッドラインのための統合の詳細については Google ドライブ 、次を参照してください。 Google ドライブ ポリシー作成とレッドラインの統合 – 一般的なガイドラインと既知の制限事項 [KB1587198] 記事をナレッジ Now Support ベースに

ドキュメントの同期とポリシーテキストの表示

ドキュメントを更新し、[ポリシー] テキストフィールドの内容を表示します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
4. 開くポリシーを選択します。
5. [ポリシーテキスト] タブを選択して、ポリシーの内容を表示します。
6. [更新] を選択します。
   [ポリシーテキスト] フィールドが、 ドキュメントの最新のコンテンツで更新されます。

   ポリシーには多くの協力者が含まれているため、コンテンツを更新して最新の更新を取得する必要があります。前回の同期情報は、ドキュメントが最後に同期された日時を把握するのに役立ちます。

7. または でコンテンツMicrosoft Wordを直接開くには、[Microsoft OneDrive Google ドライブポリシー] テキスト フィールドの [同期] の横にあるドキュメント リンクを選択するか、[**Google** ドキュメントで開く] ボタンを選択します。
   - [同期] を有効にすると、[Microsoft OneDrive ORGoogle ドライブ] フィールドと [ポリシーテキスト] フィールドの両方でドキュメントを同時に編集することはできません。コンテンツは、[ポリシー] テキストフィールドで更新Microsoft OneDrive したりGoogle ドライブ、プルしたりすることができます。
   - [同期] を無効にすると、ポリシーテキストドキュメントのコンテンツが Microsoft OneDrive OR Google ドライブ ドキュメントから切断され、コンテンツを個別に編集できます。[保存] ボタンを選択すると、このコンテンツを保存できます。

     [切断] ステータスで、レビュー担当者の 1 人がポリシーテキストを更新して、ポリシーオーナーとしてログインし、[公開チェックリストを完了する] を選択した場合、[ポリシーを **PDF** として添付します] が PDF を添付するための必須ステップになります。

     以前のポリシー添付ファイルがある場合は手動で削除し、現在のポリシーを PDF として添付する前にプレイブックで確認する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] 関連リストのポリシーテキストを表示することもできます。[詳細] 関連リストでポリシーテキストを更新すると、[ポリシーテキスト] 関連リストの **[** ポリシーテキスト] フィールドでポリシー テキストが自動的に更新されます。

レッドラインが有効または無効なポリシーの場合

- コンプライアンスユーザーであり、ポリシーがドラフトステータスである場合は、ポリシーテキストを編集できます。
- オーナーまたはレビュー担当者であり、ポリシーが [レビュー] ステータスである場合は、ポリシーテキストを編集できます。

レッドラインが有効なポリシーの場合

前記の条件に加えて、チェックリストの公開を完了した後、承認と公開を要求する前に、最終レビューと修正のためにポリシーテキストを編集することもできます。

その後、公開チェックリストを完了し、承認を要求して、ポリシーを公開できます。これらのプロセスは、 Microsoft OneDrive OR Google ドライブ ドキュメントの作成方法と同じです。

ポリシーユーザーにドキュメントアクセス権を提供

レッドラインが有効になっているポリシーで共同作業を行うためのロールを割り当てられたユーザーにアクセス権を付与します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
4. 開くポリシーを選択します。
5. このポリシーのすべてのユーザーとドキュメントにアクセス可能な各ユーザーのロールを表示するには、[ドキュメントアクセス権] 関連リストを選択します。
   [ドキュメントアクセス権] 関連リストは、ポリシーのレッドラインが有効になっている場合にのみ表示されます。ドキュメントのアクセス権 [sn_irm_shared_cmn_document_access] テーブルには、レッドラインが有効になっているポリシーにアクセスできる承認者、貢献者、レビュー担当者、所有者などのユーザーロールに対応する変更があるたびに、ポリシーレコードの作成および更新された情報が格納されます。

   [詳細] 関連リストの [ポリシーのアサイン] セクションで [所有者]、[承認者]、[レビュー担当者]、および [貢献者] として識別されるユーザーは、レッドラインが有効になっているポリシーの [ドキュメントのアクセス権] 関連リストにリストされているユーザーです。1 人のユーザーが複数のロールを持つこともできます。

   [ステータス] 列には、各ユーザーがポリシーに対して持つアクセスステータスが表示されます。

   入力された オブジェクト **ID** が有効な場合、ドキュメントへのアクセスが許可されます。ポリシーオーナーは、各ユーザーを選択し、[送信 ID] ポップアップのそれぞれのフィールドで一意の [オブジェクト **ID]** を送信することもできます。

   [store-future: BEGIN review]統合の場合 Google ドライブ 、sys_userテーブルで設定されたユーザーのメールを使用して、ユーザーの信頼性を検証し、クラウドでホストされているドキュメントへのアクセス権を付与します。[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ユーザーとして Microsoft OneDrive のドキュメントにアクセスするには、必要に応じて [協力者を同期] スケジュール設定済みジョブを実行します。
ジョブを実行するには、「協力者を同期」を参照してください。このジョブを実行することは、この機能を使用するための前提条件です。

> **注:**
> Microsoft OneDrive のユーザーには編集アクセス権が付与されますが、すべてのユーザーがドキュメントを編集できるわけではありません。編集アクセス権は、ポリシーのステータスによって異なります。
>
> - ポリシーが [ドラフト] ステータスの場合、オーナーと貢献者には編集アクセス権があります。承認者とレビュー担当者には読み取りアクセス権のみを取得します。
> - ポリシーが [レビュー] ステータスの場合、オーナーとレビュー担当者にはドキュメントへの編集アクセス権があります。このステータスの寄稿者はポリシーに寄稿せず、ドキュメントの読み取りのみを行うことができます。承認者も読み取りアクセス権のみを持ちます。
> - ポリシーが [承認待ち]、[公開]、または [廃止] ステータスの場合、すべてのユーザーは読み取りアクセス権のみを持ちます。

ポリシーの公開チェックリストを完了し、承認を要求する

コンプライアンスワークスペース で利用可能な Playbook を使用して、承認を要求する前に公開チェックリストを完了します。承認が完了すると、ポリシーが自動的に公開されます。

始める前に

必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
4. 右側のパネルで公開されているチェックリストアイコン ( ) を選択します。
Playbook チェックリストが作成されます。
5. Playbook でポリシーオーナーとしてアクティビティを完了します。

ポリシー **Playbook** アクティビティの公開

アクティビティ	説明
ドキュメントの確定	追跡の変更を承認または却下し、未対処のコメントを削除するタスクを完了します。公開されたポリシーおよびその後にナレッジベース記事に内部コメントが含まれないようにするには、ドキュメントをクリーンアップする必要があります。 **a.** [ドキュメントを開く] を選択してドキュメントを開き、コメントを削除します。 **b.** ドキュメントが自動保存されたら、[完了としてマーク] を選択してステップを完了としてマークし、更新されたコンテンツをこのセ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティ	説明
	クションから Microsoft OneDrive 、または Google ドライブ アカウントからプルします。
書式設定をレビューしてください	ナレッジベース記事として公開される前に [ポリシーテキスト] フィールドのテキストの書式を確認し、[完了としてマーク] を選択します。
添付ファイルのレビュー	既存のポリシーの添付ファイルを確認し、期限切れのドキュメントを削除します。この段階で、新しい添付ファイルをポリシーに追加することもできます。
ポリシーを PDF として添付します	ポリシードキュメントを PDF としてナレッジベース記事に添付します。Microsoft OneDrive OR Google ドライブ ドキュメントと [ポリシー] テキストフィールドが一致しない場合は、PDF を添付することをお勧めします。 **a.** [添付] を選択して、PDF をポリシーに追加します。 **b.** [完了としてマーク] を選択します。
公開されている設定をレビューします	このステップを完了したらブラウザーを更新します。必要に応じて、ポリシーの [ナレッジベース] および [ポリシーテンプレート] フィールドを更新し、ステップを完了としてマークします。

[公開チェックリストを完了する] ボタンは使用できなくなりました。

6. 添付ファイルを表示するには、右側のパネルで を選択します。
7. [承認を要求] ボタンを選択して、ポリシーの承認を要求します。
8. [承認を要求] ポップアップで [承認者] を選択します。
9. [要求] を選択します。
   ポリシーが [承認待ち] ステータスに移行します。

   ポリシー承認者は、ポリシーの [承認] 関連リストに移動してポリシーを表示できます。承認者のアクションに基づいて、ポリシーは承認または却下されます。却下された場合、ポリシーは [ドラフト] ステータスに戻ります。
10. 公開済みポリシーを編集するには、[ポリシーを編集] ボタンを選択します。

レッドラインが有効なポリシーの履歴を表示

[ポリシー履歴] 関連リストを使用して、ポリシードキュメントに加えられた変更を追跡します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、mp_document_user

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、リストアイコン ( ) を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー.
   新しいポリシーを作成する か、レコードを開いてレッドライン機能を有効にすることができます。
4. 開くポリシーを選択します。
   ポリシーが既に公開されており、レビューが必要な場合は、レビューおよび承認プロセスのためにポリシーを再度開くことができます。
5. 公開済みポリシーを更新するには、[ポリシーを編集] ボタンを選択します。

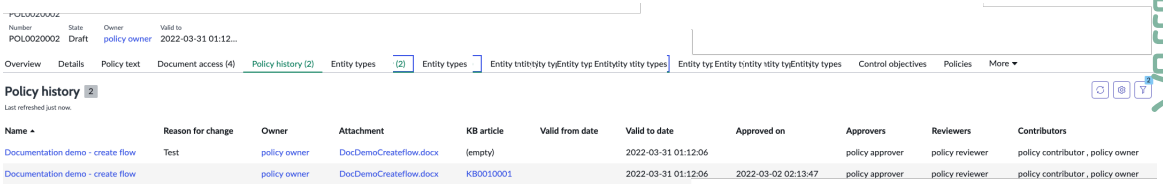
   a. [ポリシーを編集] ポップアップの [編集の理由] フィールドにポリシーを更新する理由を入力します。

   b. [編集] ボタンを選択します。
      ポリシーを編集アクションにより、ポリシーは [ドラフト] ステータスに戻り、別のレビューおよび承認プロセスで開きます。このサイクルが完了してポリシーが公開されると、ポリシー履歴に別のレコードが作成されます。

6. [ポリシー履歴] 関連リストを選択します。
   ポリシーの名前、変更の理由、ポリシーオーナー、添付ファイルとしてのポリシーテキストの最新バージョン、ドキュメントの有効期間、ドキュメントの承認者、レビュー担当者、貢献者などの基本情報を含むポリシードキュメントの履歴が、ポリシーの作成時に追加されます。ただし、ナレッジベース記事はポリシーが公開された後にのみ作成されます。承認者が承認し、ポリシーが公開されると、[承認日] フィールドも更新されます。

   ポリシーが変更され、レビュー、承認、および再公開されるたびに、レコードが追加されてポリシー履歴リストに維持されます。

   [ポリシー履歴] 関連リスト

   ポリシードキュメントの作成以降に行われた修正および変更の履歴全体を表示できます。ポリシードキュメントを定期的に更新して、変化するビジネスプロセスに合わせてポリシーを最新の状態に保ちます。ポリシードキュメントの履歴を維持することで、組織は変化するビジネスニーズに応じて次のレビューサイクルを追跡できます。

ポリシーレコードに動的承認構成を設定する

ポリシーは、業務を管理するためにビジネス組織によって確立された一連のガイドラインとルールです。ポリシーの承認構成レコードを作成すると、さまざまな動的条件に基づいて 1 つ以上の承認レベルと承認ルールを定義できます。

リリース以降 Washington DC 、ポリシーレコードに動的承認構成を設定できます。ポリシーテーブルは、ポリシーのステータスを規制するポリシーレコードで構成されます。ポリシーを実装する前に、レビューと承認のプロセスを経ます。

ポリシーレコードに動的承認構成を設定すると、ポリシーフィールドに関連するポリシータイプ、ステータス、所有者などのさまざまな動的条件に基づいて、複数のレベルの承認を定義できます。ポリシーレコードで動的承認構成を設定すると、ポリシーの承認者がポリシーレコードに動的に追加されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認者を手動で追加する場合の制限事項

既存の承認構成プロセスでは、次の制限がある手動アプローチを使用しています。

- 承認構成プロセスでは、単一レベルの承認が使用されます。複数のレベルの承認を使用しないと、承認プロセスでエラーや見落としが発生する可能性が高くなります。
- ポリシーの承認者は、承認プロセスの動的な条件または変化する条件に基づいて変更することはできません。
- 承認者は手動でレコードに追加されます。このプロセスは、特に大規模な組織や複雑な意思決定構造では、時間がかかる場合があります。
- 承認者を手動で追加すると、大幅な遅延が発生する可能性があります。すべての承認を受け取るまで待つと、意思決定プロセスの速度が低下し、生産性が低下する可能性があります。

動的承認構成のメリット

ポリシーレコードで動的承認構成を設定すると、次のメリットがあります。

- 組織は、動的で変化する環境に遭遇することがよくあります。承認者を柔軟に変更できるため、状況の変化に承認プロセスで適応できます。これにより、常に最も適切な個人が承認プロセスに関与するようになります。
- 複雑な意思決定や重要な意思決定の場合は、複数レベルの承認を構成することで、レビュー担当者は関連する要素を包括的にレビューできます。これにより、決定が急がず、さまざまなシナリオに対して潜在的な影響が慎重に評価されます。
- 承認者を動的に変更すると、承認プロセスが合理化され、管理オーバーヘッドが削減されるため、時間とリソースを節約できます。

複数レベルの承認を要求するユースケース

承認構成は、各ポリシーの承認者を手動で追加することなく、複雑な承認レベルを作成するのに役立ちます。場合によっては、ポリシーオーナーがポリシーに対して複数レベルの承認を実施したいことがあります。たとえば、ポリシーが HR ドメインに関連しているとします。コンプライアンスチーム、法務チーム、HR チームがレビューして承認したいと考えています。ポリシーオーナーは、HR チームをポリシーのレベル 1 承認者としてアサインできます。

HR チームがポリシーを承認すると、レベル 2 の承認のためにコンプライアンスチームにアサインされます。その後、ポリシーのレベル 3 承認のために法務部門にアサインされます。また、ポリシーオーナーは、ポリシーに一致する特定のルールに基づいて承認者を動的に選択することもできます。

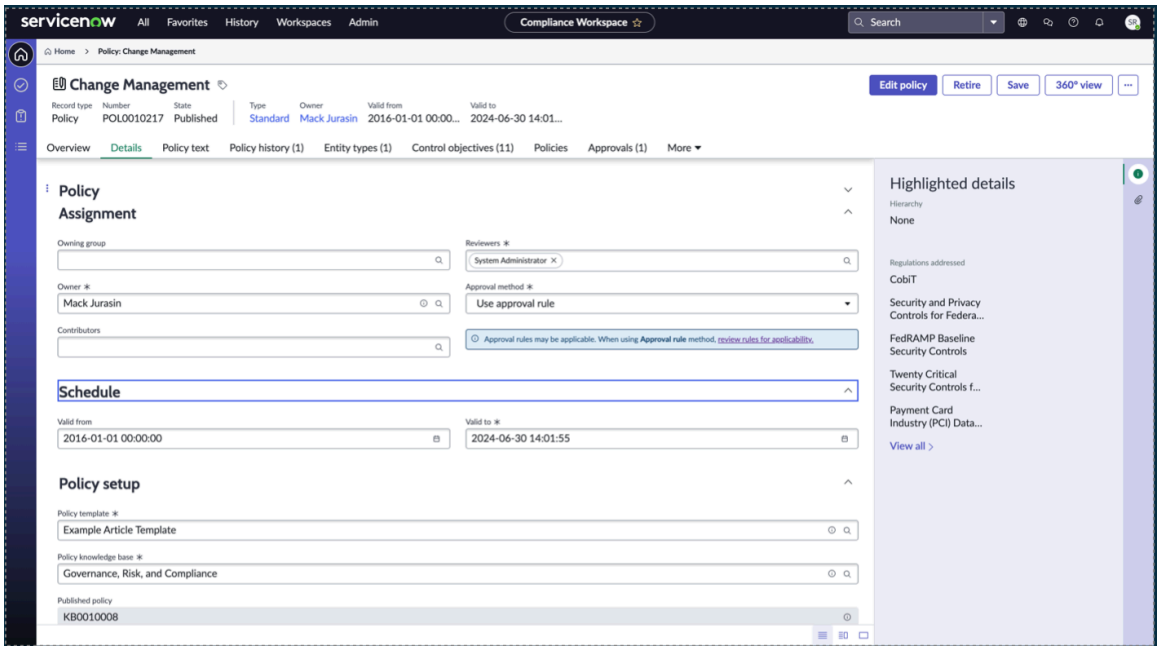
このユースケースでは、動的承認構成をポリシーと統合し、承認コンフィギュレーターを使用してポリシー承認ルールを構成することの重要性を強調しています。

承認構成担当者

承認構成を使用するには、次の例に示すように、ポリシーの承認方法を [承認ルールを使用] として選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ポリシーの承認構成を作成し、ユーザーに対して有効な承認ルールを構成する必要があります。

ではコンプライアンスワークスペース、[Policy and Compliance]**>** [Policy **and** Procedures]>**[Policy Approval Rules]** に移動して、承認ルールを構成できます。

承認コンフィギュレーターを使用したポリシー承認ルールの構成

承認コンフィギュレーターを使用して、さまざまな承認ルールを設定できます。

- 動的条件に基づいてマルチレベルの承認ルールを設定します。
- ソースレコードのフィールドから選択されたユーザーまたはユーザーのグループに承認を送信するか、ユーザーまたはグループを手動で選択します。
- 1 つの承認のみ、またはすべての承認を必須の承認として設定します。

レコードの承認構成を設定するには、次のセクションを参照してください。

1. 承認設定レコードを設定するには、「」を参照してください 承認設定レコードの設定。
2. 承認設定レコードの承認レベルを割り当てるには、「」を参照してください 承認設定レコードの承認レベルをアサインする。
3. 承認設定レコードの承認レベルの承認ルールを設定するには、「」を参照してください 承認レベルの承認ルールの設定。

注:

GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。

ポリシー承認ルールの作成に必要なロール

ポリシー承認ルールを作成するには、次のロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_compliance.manager ロールを持つユーザーは、sn_grc_appr.admin ロールでポリシー承認ルールを作成できます。
- sn_grc.business_user および sn_grc.business_user_lite 以上のロールを持つユーザーは、ポリシーを表示できます。
- レッドラインが有効になっている場合にドキュメントにアクセスするには、ユーザーは sn_grc.business_user または sn_grc.business_user_lite ロールのいずれかの mp_document_userを持っている必要があります。

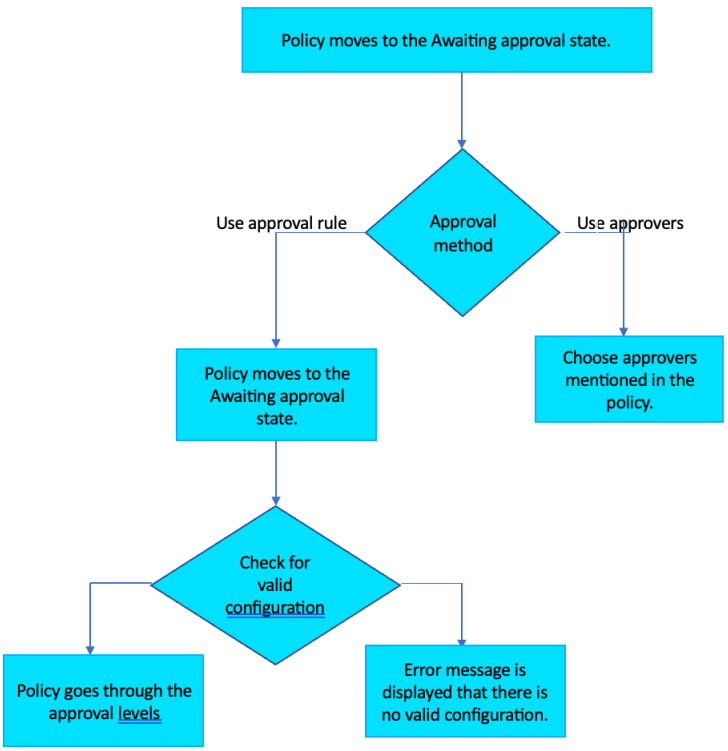
承認構成を設定するためのワークフロー

ポリシーレコードの承認構成を設定する場合、ワークフローには次の手順が含まれます。

1. ポリシーレコードの承認が要求されると、ポリシーのステータスが [承認待ち] ステータスに変更されます。
2. 承認方法が [承認者を使用] として選択されている場合、ポリシーレコードに記載されている承認者が使用されます。
3. 承認方法が [承認ルールを使用] として選択されている場合、ポリシーレコードに適した有効な構成がチェックされます。動的承認構成では、ポリシーに関連する承認構成レコードが検索されます。
4. 動的承認構成では、各承認レベルレコードから承認者を取得し、各レベルの承認要求を送信します。
5. 有効な構成が見つからない場合は、ポリシーに有効な構成がないことを示すエラーメッセージが表示されます。

ワークフローのステップを次の例に示します。

Workflow for setting up approval configuration



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

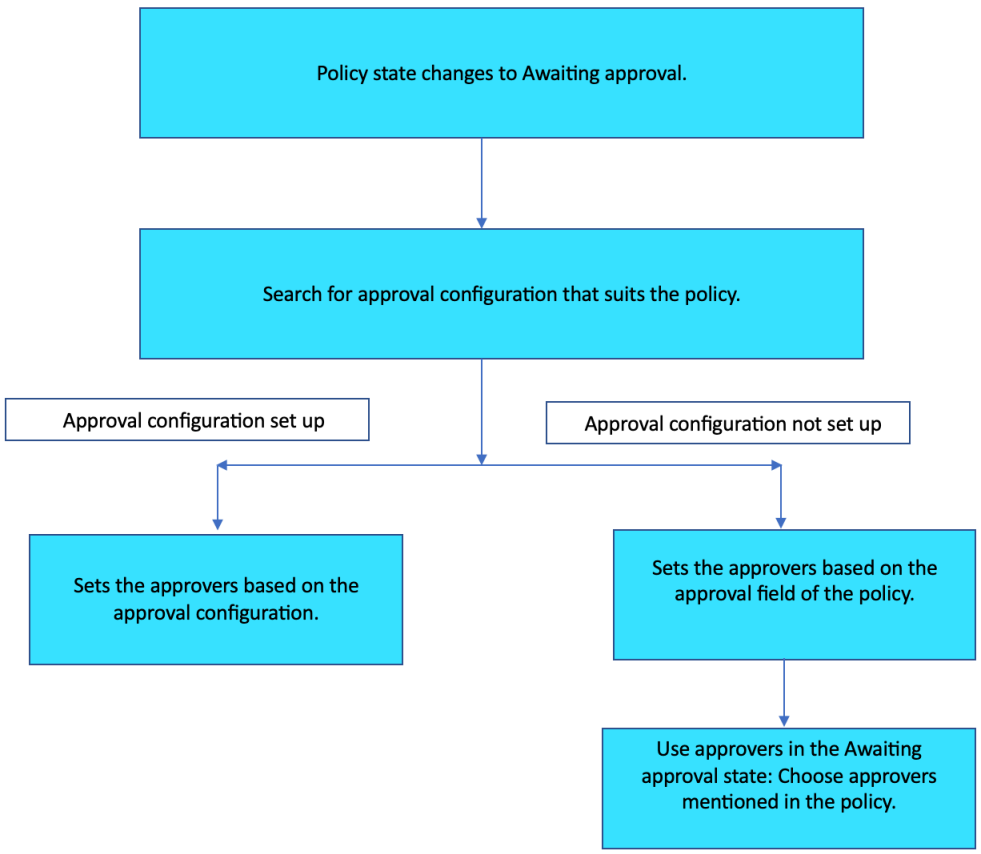
ポリシーオーナーは、[ポリシー] フォームの [承認者] フィールドでポリシーの 承認者 を選択できます。承認者は通常、コンプライアンスユーザーロールを持つユーザーです。適切なアクセス権がない場合は、ポリシーレコードにアクセスできません。ポリシーレコードへのアクセスを要求するには、コンプライアンス管理者に連絡する必要があります。

動的承認構成とポリシーの統合

動的承認構成をポリシーレコードと統合するために、複数の承認レベルを設定し、レベルごとに承認ルールを設定できます。承認レベルとルールの設定に基づいて、承認が自動的にトリガーされます。1 つのレベルが承認されると、次のレベルの承認のためにポリシーレコードが送信されます。

動的承認構成をポリシーと統合するためのワークフローを次の例と手順に示します。

Integrating dynamic approval configuration with a policy

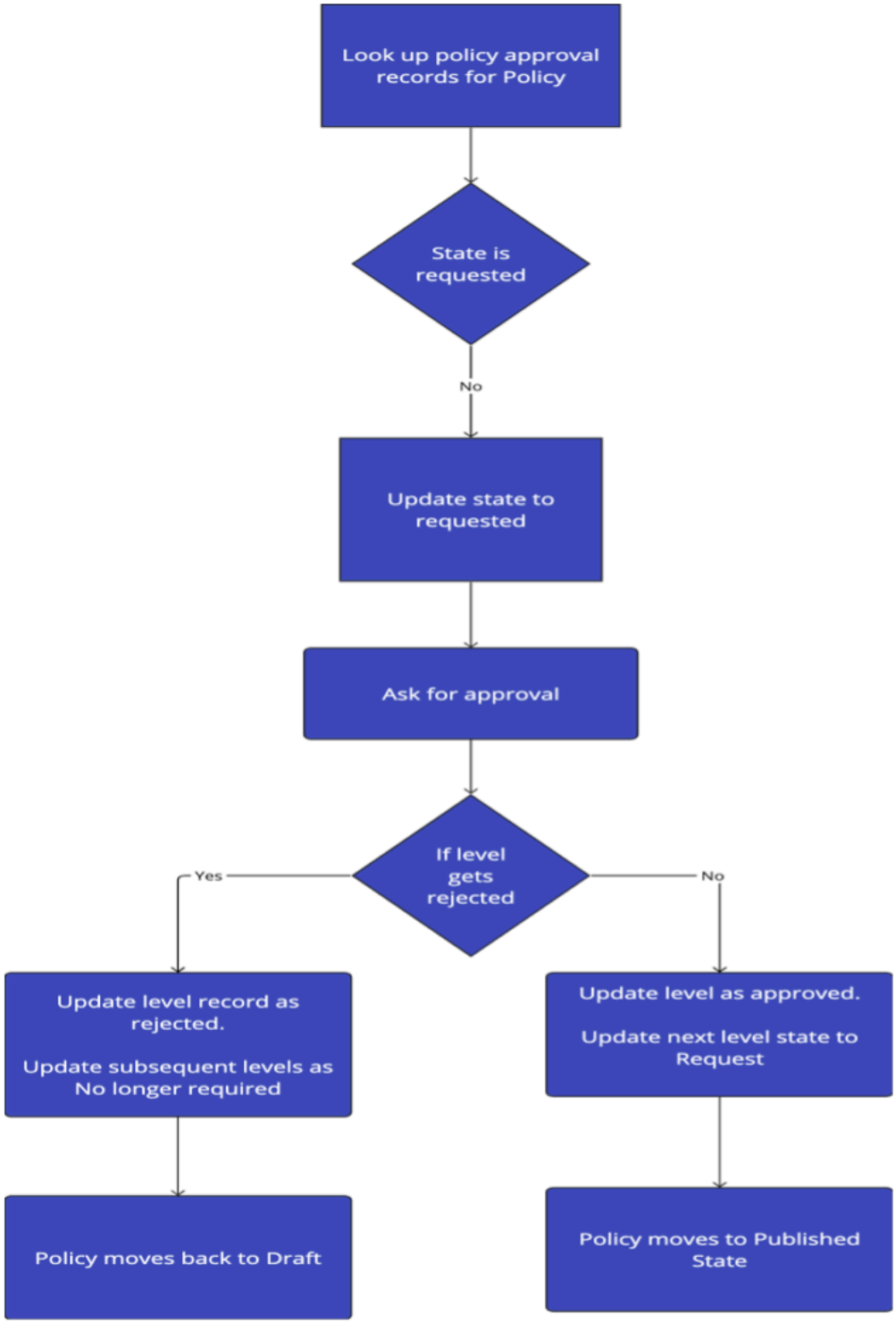


- ポリシーの承認が要求されると、ポリシーのステータスが [承認待ち] ステータスに変更されます。
- 動的承認構成では、現在のポリシーに適した承認構成レコードが検索されます。
- 動的承認構成がポリシーレコードに設定されていない場合、または動的承認構成が設定されていてもその特定のポリシーレコードに適用できない場合は、ポリシーレコードに有効な構成が見つからないというエラーメッセージが表示され、レコードは中止されます。ユーザーは、ポリシーレコードに戻って承認者を選択するか、ポリシーレコードの有効な構成を作成する必要があります。
- 動的承認構成が設定されている場合、承認者、承認レベル、およびルールは、承認構成レコードの構成に基づいて追加されます。

完全なワークフローを次の例に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

動的承認構成に使用されるコンポーネント

次のコンポーネントは、ポリシーの動的承認構成を設定するために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ポリシー承認ルールモジュールは、ソーステーブルをポリシーとする承認構成を作成または確認します。
- ポリシー承認テーブルには、承認構成の各レベルの承認者が格納されます。承認レベルのステータスを追跡するために使用できます。
- 現在のレベルの決定に基づいて、ポリシーは次の承認レベルに転送されるか、却下された場合は [ドラフト] ステータスにリセットされます。すべてのレベルが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスに移行します。

ポリシーでの動的承認構成の構成

ポリシーに動的承認構成を設定します。設定された承認レベルに基づいて、 ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションはポリシーレコードに 1 つ以上の承認ルールを設定します。

始める前に

必要なロール:sn_compliance.manager、sn_compliance.user

このタスクについて

sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager ロールを持つユーザーは動的承認構成を作成でき、sn_compliance_ws.corporate_compliance_user ロールを持つユーザーはポリシーレコードの読み取り権限を持ちます。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペースで、[リスト] アイコンを選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー をクリックし、[新規] を選択します。
4. ポリシーの名前を入力します。
5. [ポリシーの割り当て] パネルで、[所有者] フィールドと [レビュー担当者**]** フィールドを更新します。
6. [承認方法] フィールドで承認方法を選択します。

   での コンプライアンスワークスペースポリシーの作成の詳細については、「 新しいポリシーを作成する」を参照してください。

   > **注:**
   > ポリシーレコードで動的承認構成が設定されていない場合、承認者はポリシーの [承認] フィールドに追加されます。

7. [スケジュール] パネルで、[有効期限] フィールドのレコードの日付を更新します。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. [承認を要求] を選択します。

   ポリシーオーナーは、ポリシーレコードの承認を要求し、ワークフローを完了することができます。ポリシーレコードの特定の承認構成に対して、構成された承認ルールが各承認レベルで動的に適用されます。承認 待ち ステータスがトリガーされ、承認方法として [承認ルールを使用] オプションが選択されると、承認者に設定されている構成などの詳細がフィールドに入力されます。

   ポリシーがいずれかのレベルで却下された場合、[ドラフト] ステータスにリセットされます。すべてのレベルが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レッドラインが有効になっているポリシーで動的承認構成を構成する

レッドラインが有効になっているポリシーに対して動的承認構成を設定します。

始める前に

必要なロール:sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager、sn_compliance_ws.corporate_compliance_user

このタスクについて

sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager ロールを持つユーザーは動的承認構成を作成でき、sn_compliance_ws.corporate_compliance_user ロールを持つユーザーはポリシーレコードの読み取り権限を持ちます。

ポリシーのレッドラインに動的承認を使用するには、レッドラインのセットアップが完了し、承認者ルールのユーザーがドキュメントアクセスに必要なロールを持っていることを確認します。レッドラインが有効になっている場合、ドキュメントにアクセスするには、ユーザーが sn_grc.business_user または sn_grc.business_user_lite ロールのいずれかを持つ mp_document_user ロールを持っている必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペースで、[リスト] アイコンを選択します。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > 自分のポリシー をクリックし、ポリシーレコードを開きます。
   新しいポリシー を作成する か、ポリシーレコードを開いてレッドライン機能を有効にすることができます。
4. [ポリシーテキスト] 関連リストを選択して、ポリシーテキストの内容を表示します。
   a. **[Word** の編集を有効にする] ボタンを選択します。
   b. ポリシー所有者としてドキュメントを作成するには、[**Word** の編集を有効にする] ボックスの一覧で [新しいドキュメントの作成] を選択します。
   c. [ドキュメントを作成] ポップアップの [フォルダーリンク] フィールドに、フォルダー名を含むフォルダー へのパスを入力します。
   d. [ドキュメント名] フィールドにドキュメントの名前を入力します。
   e. [作成] を選択します。
5. [レビューを要求] ボタンを選択します。
6. [要求] を選択します。
7. [公開チェックリストを完了する] ボタンを選択します。
   公開チェックリストのタスクを完了できます。レッドラインの詳細については、「」を参照してください コンプライアンスワークスペースでのポリシーの作成とレッドライン。
8. **[Save** (保存)] を選択します。
9. [承認を要求] を選択します。

   アクティブな動的承認構成にユーザーが関連付けられていない場合、有効な構成とは見なされません。このような場合、[承認を要求] を選択すると、「一致する承認ルールが見つからなかったため、承認を要求できませんでした」というエラーメッセージ が返されます。ここで、このポリシーの適切な承認ルールを構成してください。エラーを修正するには、構成を編集して承認を再度要求します。

   次の例に示すように、[ドキュメントアクセス権] タブには、ポリシーにアクセスできるユーザーの改訂されたリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ポリシーが最初に [承認待ち] ステータスに移行すると、承認構成がポリシーレコードに適用されます。ポリシーに 2 つの承認レベルがある場合、デフォルトではレベル 1 のユーザーにのみドキュメントアクセス権が付与されます。レベル 1 のグループユーザーは、[ドキュメントアクセスを要求] UI アクションを使用してアクセスできます。

b. レベル 1 のユーザーがポリシーを承認すると、レベル 2 のユーザーにドキュメントアクセス権が追加されます。ユーザーがレベル 1 でポリシーを拒否すると、そのポリシーは [ドラフト] ステータスに移行します。

c. ポリシーが再び [承認待ち] ステータスに移行すると、次のレベルの承認構成 (承認構成 2 など) がポリシーレコードに適用されます。この場合、2 つのレベル間で共通であり、ドキュメントにアクセスできるすべてのユーザーはポリシーにアクセスでき、残りのユーザーのドキュメントアクセス権は削除されます。

[ドキュメントアクセス権の要求 **(Request document access)**] UI アクションは、ビジネスユーザーロールとビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーに表示されます。これらのユーザーロールを持たないユーザーグループがある場合は、ドキュメントにアクセスできません。承認者には、承認ステータスの表示アクセス権またはコメントアクセス権があります。

> **注:**
> 承認ルールでは、アクセス権は個々のユーザーにのみ付与され、グループユーザーには付与されません。グループ内の多数のユーザーにアクセス権を付与すると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

グループユーザーの場合は、[ドキュメントアクセス権の要求] を選択する必要があります。グループユーザーは、グループ内のユーザーの 1 人としてログインし、[ドキュメントアクセス権の要求] を選択できます。グループユーザーにドキュメントアクセス権が付与され、「ドキュメントアクセス要求が発生しました。数分後に更新するか、ドキュメントへのアクセスを試みてください」というメッセージが表示されます。

承認構成ワークフローでは、承認者がいずれかのレベルでポリシーを却下すると、[ドラフト] ステータスに移行します。フォームの [ドキュメントアクセス] タブには、ポリシーにアクセスできるユーザーのリストが表示され、ロールとステータスが表示されます。レベル 1 ユーザーのみがレコードにアクセスしてレビューできます。レベル 1 のユーザーがレコードを承認すると、レベル 2 のユーザーにドキュメントアクセス権が付与され、以下同様に続きます。

すべてのレベルが承認されると、ポリシーは [公開] ステータスに移行します。

10. [ポリシー テキスト] タブで、[**Word** で開く] を選択します。

Word ドキュメントがタブで開きます。ドキュメントの [アクセス管理] タブでは、ドキュメントを表示する権限を持つユーザーを表示することもできます。構成されたポリシー承認ルールが [承認ルール] フィールドに表示されます。[承認レベル] 関連リストには、ポリシーレコードの承認レベル、ユーザー、および承認ステータスに関する情報が表示されます。

いずれかのステータスでポリシーが却下されると、[ドラフト] ステータスにリセットされます。承認者がポリシーを承認すると、[公開] ステータスに移行します。

ポリシーとコンプライアンス管理 用 360° Relationship Visualization

特定のコンプライアンスレコードから 360 度ビューを起動すると、選択したレコードとそのすべての関連付けられているオブジェクトとの関係を特徴的なビジュアル化で即座に探索できます。

360 度ビュー

ポリシーとコンプライアンス管理 では、次のワークスペースフォームで [360 度のリレーションシップビュー] ボタンが有効になっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 各種法令・基準等 [sn_compliance_authority_document]
- ポリシー [sn_compliance_policy]
- 引用文献 [sn_compliance_citation]
- コントロール [sn_compliance_control]
- コントロール目標 [sn_compliance_policy_statement]

360 度ビューを探索し、ビューを起動する手順については、「Exploring the 360° view (360 度ビューの探索)」を参照してください。

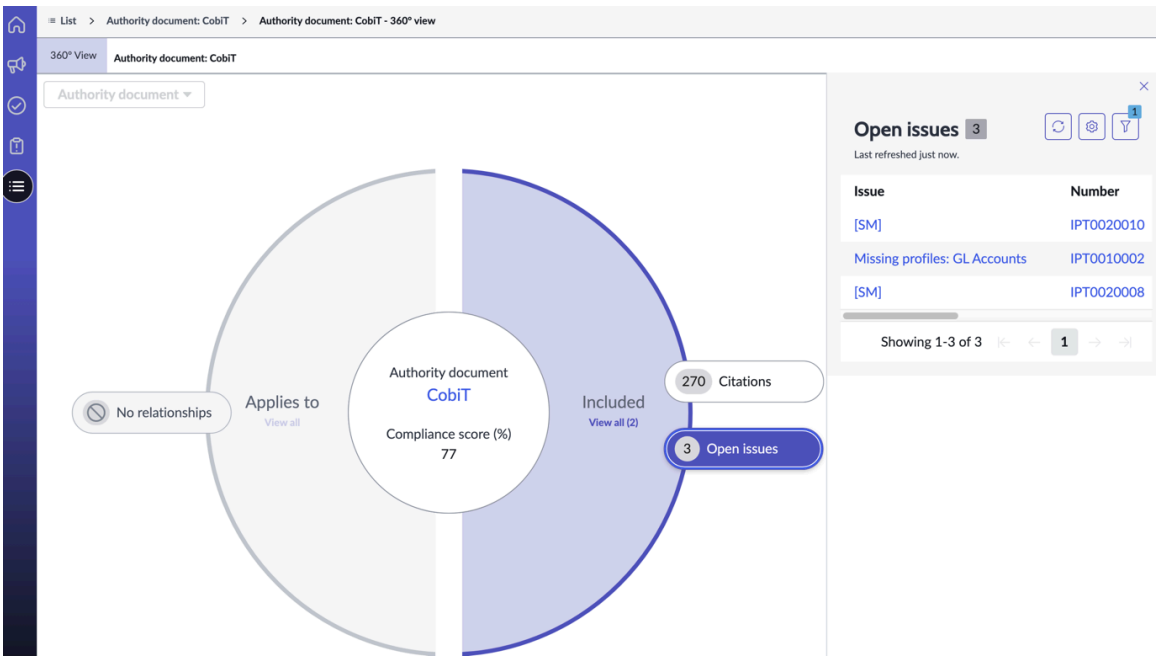
360° Relationship Visualizationを使用できるユーザー、そのロール、および責任の詳細については、「360° relationship visualization (360 度の関係のビジュアル化)」を参照してください。

m2m 関係の問題と統合するコンプライアンスオブジェクトの **360** 度ビュー

コンプライアンスワークスペース内の各種法令・基準等、コントロール、コントロール目標、エンゲージメントなどのコンプライアンスオブジェクトからの 360 度ビューにより、これらのオブジェクトに多対多 (m2m) の関係でリンクされている問題の包括的かつ詳細な概要が得られます。

たとえば、問題にリンクされている各種法令・基準等から **[360** 度ビュー] ボタンをクリックすると、360 度ビューが起動し、各種法令・基準等の未解決の問題を表示できます。[未解決の問題] リンクをクリックすると、問題の詳細を取得できます。

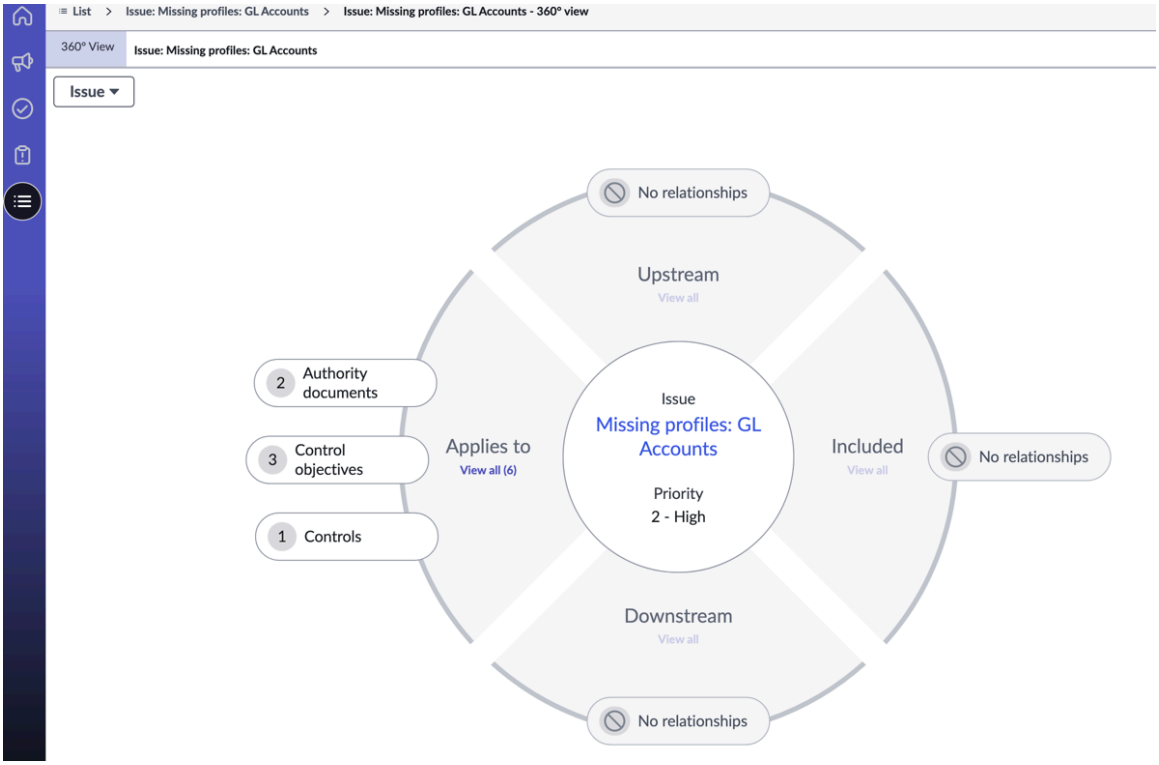
各種法令・基準等の **360** 度ビュー



同様に、[問題の概要] ページに移動し、**[360** 度ビュー] ボタンをクリックします。問題がいずれかのオブジェクトに適用される場合、または m2m 関係のオブジェクトにリンクされている場合、ビューに包括的な統合の詳細が表示されます。

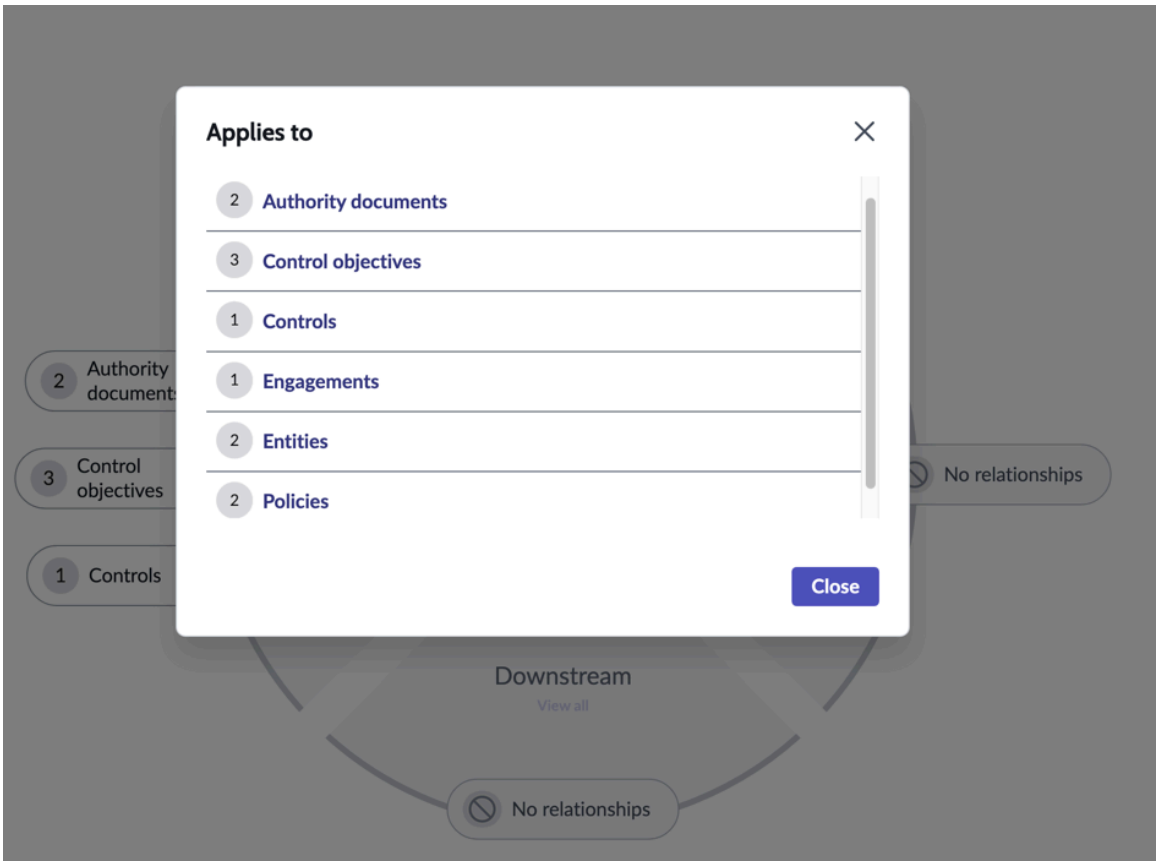
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスオブジェクトにリンクされた問題



[すべてを表示] リンクをクリックすると、問題が適用されるすべてのコンプライアンスオブジェクトを表示できます。

問題が適用されるオブジェクト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予防コンプライアンス管理のための **Policy as Code Engine**

コンプライアンスマネージャーは、コントロール目標を Policy as Code Engine (PaCE) でマッピングできます。PaCE は、ドキュメント参照と、例外を決定する必要がある PaCE ポリシーを渡す GRC を呼び出します。コントロールオーナーは PaCE ログを表示して、準拠または非準拠のインスタンスを把握できます。

組織が遵守しなければならない規制の数が増加し、同様に技術的リスクが増加しているため、組織はデジタルワークフローに予防コントロールを統合する必要があります。たとえば、DevOps プロセスで新しいソフトウェアアプリケーションを開発する場合、技術リスクを軽減するために実装および検証する必要のある IT ポリシーとコントロールがいくつかあります。

Policy as Code Engine を使用すると、独自のカスタムコードロジックを記述して、ポリシーを検証し、展開可能なインスタンスに統合できます。PaCE ポリシーは、展開可能なインスタンスにコミットされる前にコードを検証し、そのコンプライアンスをチェックします。非準拠がある場合、展開は停止します。GRC と統合するには、コンプライアンスデータソースレジストリ機能を使用して、ポリシーとして PaCE をコントロール目標に追加します。

PaCE との統合による予防コンプライアンス管理により、コンプライアンスチーム、運用チーム、DevOps エンジニアが日準拠のアクティビティを実行できなくなります。一方、この統合は、事前に例外を発生させるうえで役立ちます。

この統合の主な機能は次のとおりです。

- コンプライアンスが、従業員の全体的なエクスペリエンスを向上させるために従業員ワークフローに組み込まれます。
- 顧客はコントロールをコード化でき、実行ステータスに基づいて、ワークフロー内のアクションによって非準拠が判断されるかどうかを従業員に通知できます。
- 非準拠の場合、従業員はビジネス要件に基づいて例外を要求し、デジタルワークフローを続行できます。

この統合による主なメリットは次のとおりです。

- 従業員トレーニングへの依存度の削減：コントロールがワークフローに組み込まれているため、従業員が受ける必要があるトレーニングの数が大幅に削減されます。
- 自動化されたレビューとコンプライアンスの監視：自動化されたチェックにより、コントロールに違反していないことが確認されるため、手動でのレビューのタスクが削減されます。
- 自動監査ログ：監査チームとコンプライアンスチームは自動監査ログにアクセスできるため、手動での監査と証拠収集のタスクを削減できます。
- リスクの低下と違反の減少：コントロールを継続的に監視することで、違反の可能性を最小限に抑えます。
- 可視性：ビジネス、リスク、コンプライアンスチームなどのステークホルダーに、コンプライアンスをリアルタイムで可視化します。
- 速度：ワークフローの完了を妨げることなくビジネスニーズがある場合に従業員が例外を要求できるため、ワークフローの速度が向上します。

コンプライアンスデータソースレジストリを構成

他の ServiceNow 製品のポリシーを Policy and Compliance のコントロール目標に関連付けて、組織の全体的なコンプライアンスステータスを通知し、必要に応じてポリシー例外を実行する機能を提供するコンプライアンスデータソースレジストリ (CDSR) を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
関連付けに基づいて、関連する評価済みオブジェクトのエンティティがターゲットアプリケーションテーブルから生成され、コントロールが自動的に生成されます。CDSR は、GRC と、DevOps、HR、SecOps などの他の ServiceNow 製品との統合を容易にし、企業全体の顧客のコンプライアンスの検証と管理のニーズに対応します。

評価済みオブジェクトテーブルにリンクされているアプリケーションテーブルを選択します。アプリケーションテーブルのアイテムとターゲットテーブルのコントロール目標の間に関係を確立します。これを行うには、まずアイテムを構成し、コントロール目標にマッピングする必要があります。第 2 に、ターゲットテーブルとエンティティテーブルのエンティティ間の関係を確立します。

ちなみに、エンティティとは、コントロール目標に対するコンプライアンスを測定する必要がある人、プロセス、部門、アプリケーション、またはオブジェクトです。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 管理 > コンプライアンスデータソースレジストリ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

コンプライアンスデータソースレジストリフォーム

フィールド	説明
名前	アイテムレジストリの名前。
アプリケーション テーブル	コントロール目標に関連付けられたレコードのテーブル。
関連エンティティの識別	
評価済みオブジェクトテーブル	コントロールが作成されるテーブル。
アプリケーションテーブルの関係	アイテムテーブルとターゲットテーブルの間の関係。以下から選択可能です。 ○ 1 対多：アプリケーションテーブルの 1 つのレコードが評価済みオブジェクトテーブルの複数のレコードにリンクされており、評価済みオブジェクトテーブルの 1 つのレコードがアプリケーションテーブルの 1 つのレコードにのみリンクされている場合。 ○ 多対多：アプリケーションテーブルの 1 つのレコードが評価済みオブジェクトテーブルの複数のレコードにリンクされており、評価済みオブジェクトテーブルの 1 つのレコードがアプリケーションテーブルの複数のレコードにリンクされている場合。
評価済みオブジェクトテーブルのアプリケーションフィールド	ターゲットテーブルを指すフィールド名。
m2m テーブルのアプリケーションフィールド	アイテムテーブルを指すマッピングテーブル内のフィールド名。
m2m テーブルの評価済みオブジェクトフィールド	ターゲットテーブルを指すマッピングテーブル内のフィールドの名前。
評価済みオブジェクトテーブルはエンティティに相当しますか？	ターゲットテーブルにエンティティを作成するためのフラグ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
評価済みオブジェクトテーブルへのエンティティ関係	エンティティテーブルとターゲットテーブルの間の関係。以下から選択可能です。 ○ 1 対 1：評価済みオブジェクトテーブルの 1 つのレコードがエンティティテーブルの 1 つのレコードにのみリンクされている場合。 ○ 多対多：エンティティテーブルの 1 つのレコードが評価済みオブジェクトテーブルの複数のレコードにリンクされており、評価済みオブジェクトテーブルの 1 つのレコードがエンティティテーブルの複数のレコードにリンクされている場合。
多対多テーブル	アイテムテーブルとターゲットテーブルの間の関係を確立するテーブル。
評価済みオブジェクトテーブルのエンティティフィールド	エンティティテーブルを指すフィールドの名前。
m2m テーブルのエンティティフィールド	エンティティテーブルを指すマッピングテーブル内のフィールドの名前。
エンティティオーナーフィールド	エンティティテーブル内のエンティティの所有者。

汎用フレームワークコンプライアンスデータソースレジストリのセットアップの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Set up of generic framework compliance data source registry (汎用フレームワークコンプライアンスデータソースレジストリのセットアップ)」[KB1112478] を参照してください。

注:
記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

自動翻訳

4. [送信] をクリックします。

アプリケーションテーブルのアイテムをコントロール目標に関連付ける

コンプライアンスワークスペースで Policy as Code Engine (PaCE) のポリシー関連リストを使用して、コントロール目標を PaCE ポリシーにマッピングします。コンプライアンスマネージャーは、PaCE ポリシーを使用してコントロール目標をマッピングできます。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.manager

このタスクについて
PaCE ポリシーが展開可能インスタンスにマッピングされており、PaCE ポリシーが既にコントロール目標に関連付けられている場合、展開可能インスタンスへのポリシーの関連付けが発生すると、エンティティとコントロールを作成するために Configuration Data Management (CDM) からトリガーが開始されます。

PaCE ポリシーが展開可能インスタンスにマッピングされており、ポリシーがコントロール目標に関連付けられていない場合、PaCE ポリシーがコントロール目標にマッピングされていると、展開可能インスタンスが既にポリシーにマッピングされているため、エンティティとコントロールが自動生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
2. コンプライアンスワークスペース で、[リスト] アイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 コンプライアンスライブラリ > コントロール目標.
4. コントロール目標をクリックするか、コントロール目標を作成します。
5. [詳細] 関連リストをクリックします。
6. コントロール目標のコントロールを自動的に生成するには、[コントロールを自動的に作成] オプションを選択します。
   [コントロールを自動的に作成] オプションが選択されている場合、エンティティタイプがコントロール目標に追加されたときには常に、コントロールが自動的に生成されます。
7. [保存] ボタンをクリックします。
8. コントロール目標に対して生成されたコントロールを表示するには、[コントロール] 関連リストをクリックします。
9. [詳細] 関連リストで [アクティブ] オプションを選択します。

   注:
   コントロール目標に PaCE ポリシーを追加するには、コントロール目標をアクティブにする必要があります。また、PaCE ポリシー関連リストの [追加] および [削除] ボタンは、コントロール目標がアクティブな場合にのみ使用できます。

10. コントロール目標に PaCE ポリシーを追加するには、[PaCE ポリシー] 関連リストをクリックします。
11. [追加] ボタンをクリックします。
12. [PaCE ポリシー] ポップアップの展開可能インスタンスにマッピングされているポリシーのリストから、PaCE ポリシーを選択します。

    注:
    非アクティブな PaCE ポリシーがポップアップに表示されます。

    この関連付けの時点で PaCE ポリシーに展開可能なインスタンスがマップされていない場合、展開可能なインスタンスが PaCE ポリシーに関連付けられるたびに、エンティティとコントロールが生成されます。

13. [追加] をクリックします。
    [コントロールを自動的に作成] オプションが選択されている場合、PaCE ポリシーに関連付けられた構成アイテムの対応するエンティティとコントロールが作成されます。既存の廃止されたコントロールは、手動で廃止されていない場合はアクティブ化されます。

    エンティティが追加のエンティティとしてコントロール目標に既に追加されている場合、コントロールは作成されませんが、別のステータスで更新されます。これは、エンティティごとに 1 つのコントロールのみが存在できるという条件を満たすためです。アイテム生成プロセスによってコントロールが生成された場合、コントロールのソースが更新されます。コントロールに複数のソースがある場合、そのコントロールは廃止されません。

14. 展開可能インスタンスから PaCE ポリシーを削除するには、[PaCE ポリシー] 関連リストをクリックします。
15. [削除] ボタンをクリックします。
    PaCE ポリシーが展開可能インスタンスから関連付けを解除されるか、コントロール目標に関連する PaCE ポリシーが削除されると、この関連付けからそれ以前に生成されたすべてのエンティ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ティとコントロールが [廃止] ステータスに移行します。これらは削除されませんが、廃止ステータスで引き続き存在します。

16. コントロールとエンゲージメントに関する PaCE ポリシーの実行結果を表示するには、コントロールレコードに移動して [DevOps Config の結果] 関連アイテムをクリックします。

GRC: Policy and Compliance integrator

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションは、コンテンツプロバイダーが GRC アプリケーションにコンテンツをプッシュできるように、共通のフレームワークを提供します。また、アプリケーションを使用すると、データをレビュー、承認して、ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにインポートできます。

Washington DC 以降、GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションをGRC: サードパーティコンテンツとの統合アプリケーションとともに使用できます。

データインポートプロセスを完了する方法の詳細については、「GRC: Policy and Compliance integrator のワークフロー」および「GRC: Policy and Compliance integrator を使用してバッチレコードを表示し、タスクをインポート」を参照してください。

GRC: Policy and Compliance integrator のワークフロー

ServiceNow Store から GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションをインストールし、ワークフローを実行してデータインポートプロセスを完了することができます。

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションワークフローは、次のステップで構成されています。

1. GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードします。GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションをダウンロードすると、GRC: サードパーティコンテンツとの統合 および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションはインスタンスに自動的にダウンロードされます。
2. sn_compliance.admin ロールでインスタンスにログインし、sn_grc_cim.admin ロールをユーザーに割り当てます。
3. アプリケーションでサポートされている API とステージングテーブルを使用し、ステージングテーブルから GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションにデータを移動します。

   GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを使用してバッチレコードを統合し、ライブラリインポートタスクを割り当てる方法の詳細については、「GRC: Policy and Compliance integrator を使用してバッチレコードを表示し、タスクをインポート」、「コンテンツ統合バッチテーブルのバッチレコードへのアクセス」、および「承認のためのライブラリインポートタスクをアサイン」を参照してください。

GRC: Policy and Compliance integrator を使用してバッチレコードを表示し、タスクをインポート

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションモジュールを使用して、バッチレコードの詳細を表示したり、タスクをインポートしたりできます。たとえば、コンテンツ統合バッチレコード、ライブラリインポートタスク、ステージングレコード、レコードの推奨事項を表示できます。

GRC: Policy and Compliance integrator モジュールにアクセスするには、アプリケーション UI で [すべて] > **[Policy and Compliance integrator]** > [コンテンツインテグレーター] に移動します。モジュールには、次の図に示す詳細が表示されます。

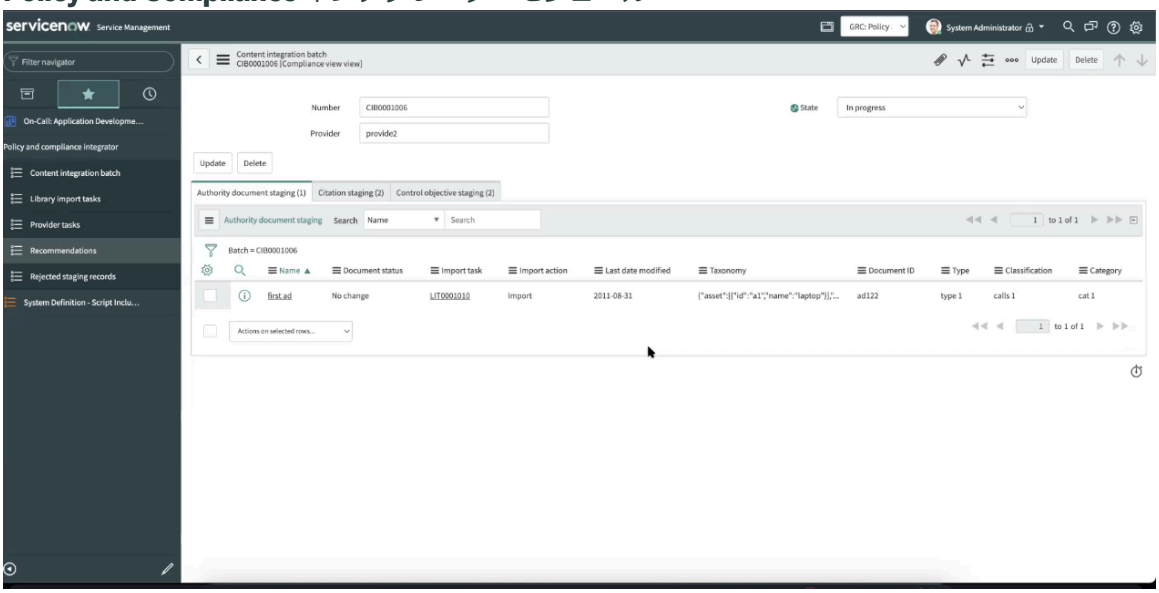
- コンテンツ統合バッチ
- ライブラリインポートタスク

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロバイダータスク
- 推奨事項
- 却下されたコンテンツ

Policy and Compliance インテグレーターモジュール



サードパーティのコンテンツプロバイダーから ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション テーブルにコンテンツをインポートする方法については、「コンテンツ統合バッチテーブルのバッチレコードへのアクセス」および「承認のためのライブラリインポートタスクをアサイン」を参照してください。

コンテンツ統合バッチテーブルのバッチレコードへのアクセス

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーション UI に表示されるコンテンツ統合バッチテーブルのバッチレコードにアクセスできます。これらのレコードにアクセスすることで、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションにデータをインポートできます。

概要

sn_compliance.admin ロールを持つユーザーは、コンテンツ統合バッチテーブルのバッチレコードにアクセスし、各レコードのライブラリインポートタスクを作成できます。コンプライアンスマネージャーのアサイン先グループは、ライブラリインポートタスクをレビューし、ステージングレコードを ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにインポートします。

コンテンツ統合バッチテーブルの詳細

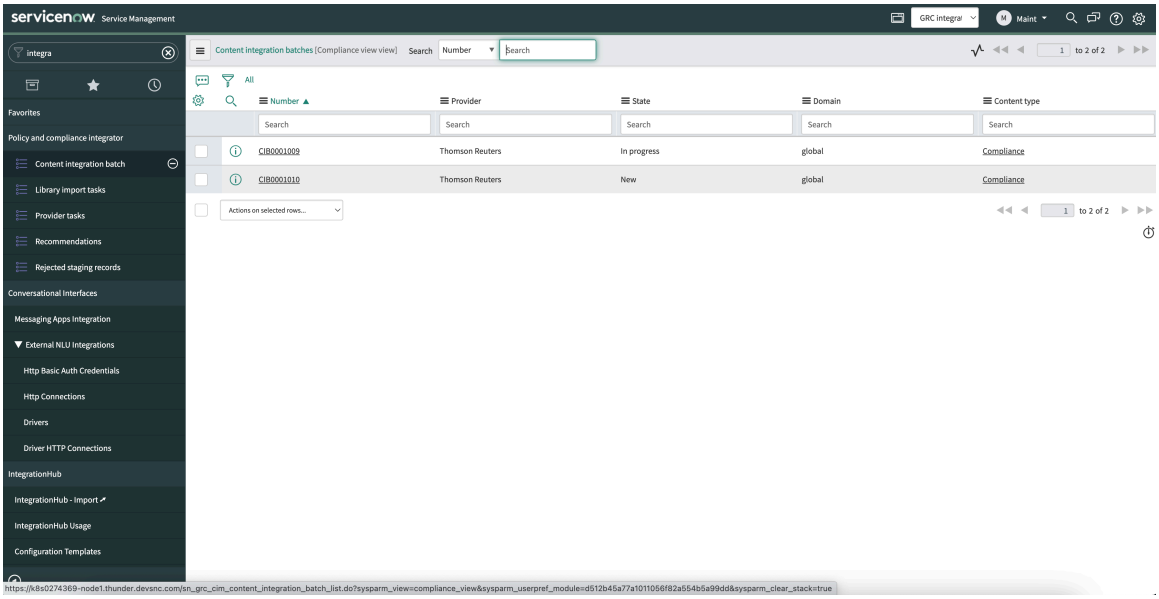
コンテンツ統合バッチテーブルには、次の例に示す詳細が表示されます。

- コンテンツ統合バッチレコードの番号。この例では、CIB0001006 がレコード番号です。
- コンテンツ統合バッチのプロバイダー。この例では、Thomson Reuters がプロバイダーです。
- コンテンツ統合バッチのステータス。この例では、ステータスは [新規] です。
- コンテンツ統合バッチのドメイン。この例では、ドメインはグローバルです。
- コンテンツ統合バッチのコンテンツタイプ。この例では、タイプは [コンプライアンス] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツ統合バッチレコードテーブル

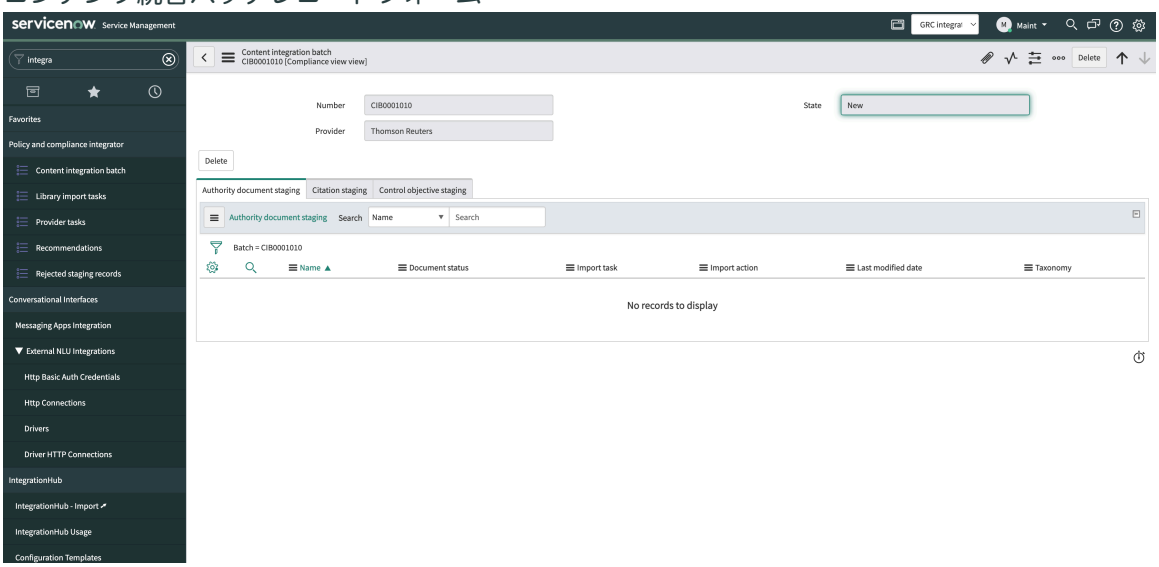


ユーザーロールを使用して API とバッチレコードにアクセスする方法については、「統合プロセスのユーザーロール」を参照してください。

テーブル内のレコードを選択して、コンテンツ統合バッチレコードフォームとその関連リストを表示します。以下の例を参照してください。

注:
フォームのフィールドと関連リストは自動的に入力されます。

コンテンツ統合バッチレコードフォーム

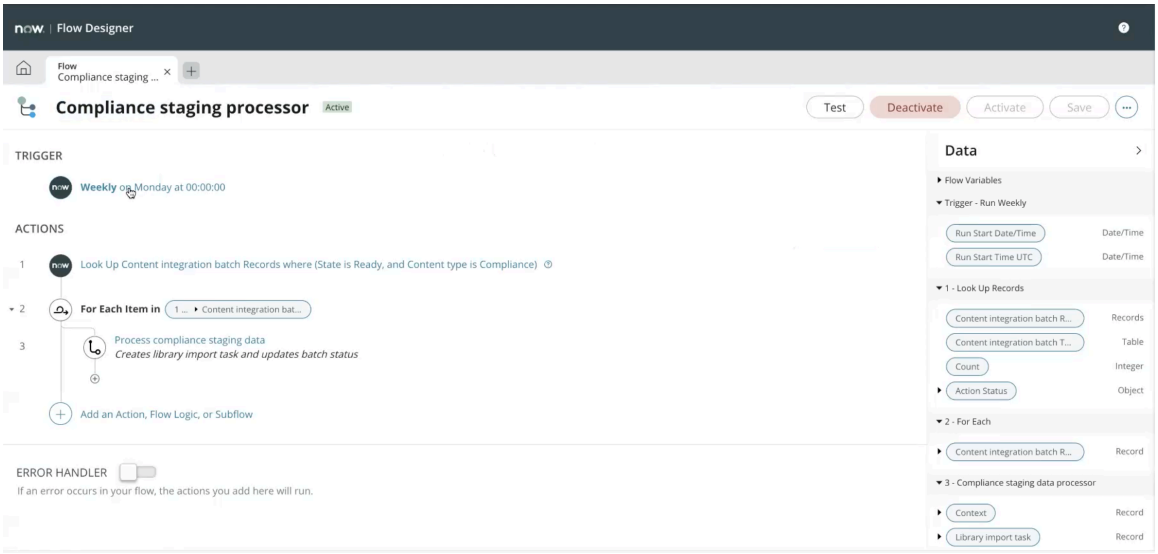


コンプライアンスステージングプロセッサーフローの使用

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションで提供される新しいコンプライアンスステージングプロセッサーフローを使用できます。以下の例を参照してください。このフローはコンプライアンスのステージングデータを処理するために使用され、バックグラウンドで毎週実行されます。ステータスが [準備完了] で、コンテンツタイプが [コンプライアンス] であるコンテンツ統合バッチレコードを検索します。コンテンツ統合バッチ内のレコードごとに、ライブラリインポートタスクを作成し、コンテンツ統合バッチステータスを自動的に更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスステージングプロセッサーフロー



注:
フローを更新して設定を変更できます。たとえば、フローの開始時間を更新できます。

REST APIs の使用

REST APIs を使用して GRC: サードパーティコンテンツとの統合 にレコードを挿入し、GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションを使用して後で ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにレコードを移動できます。GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションと GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションには、次の内部 API が用意されています。

- バッチを作成する
- ポリシーステージングレコードを挿入する
- バッチステータスを準備完了に更新する
- バッチを取得する
- バッチをキャンセルする

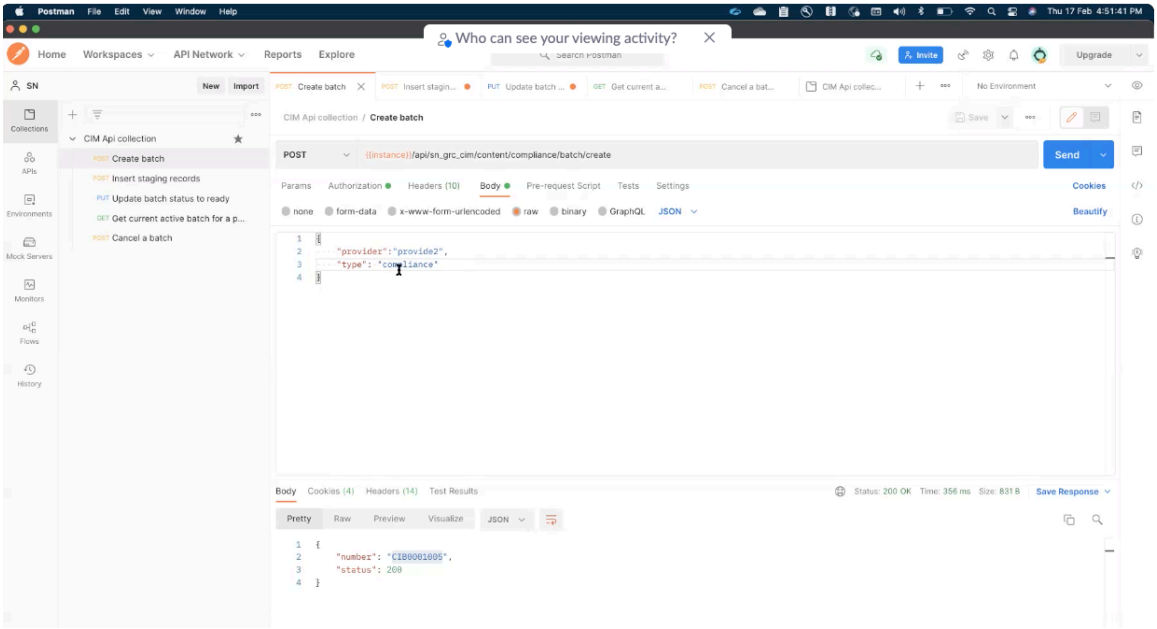
注:
Postman API プラットフォームなどのサードパーティツールを使用して API を実行できます。

次の例に示すように Postman API プラットフォームで API を実行すると、ステージングレコードが ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにインポートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Postman API プラットフォームを使用してバッチを作成

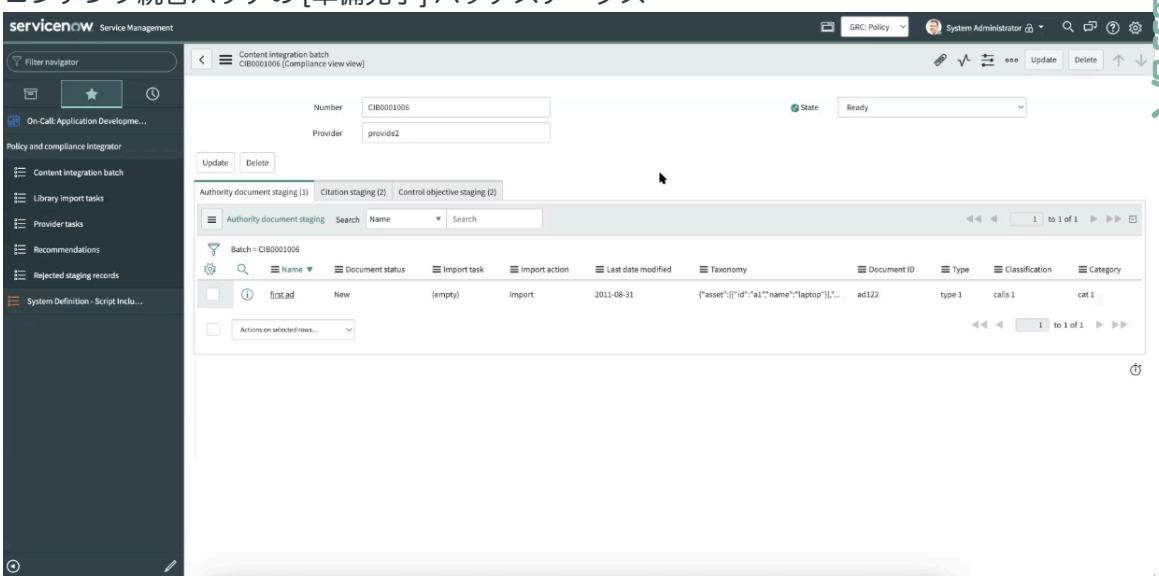


バッチレコードの処理

[バッチステータスを準備完了に更新 (Update batch status to ready)] API および [コンプライアンス] ステージングプロセッサーフローは、バッチレコードを次のように処理します。

1. [バッチステータスを準備完了に更新 (Update batch status to ready)] API は、図に示すように、コンテンツ統合バッチステータスを [準備完了] に更新します。

コンテンツ統合バッチの [準備完了] バッチステータス



2. [コンプライアンス] ステージングプロセッサーフローは、コンテンツ統合バッチとそのレコードを取得します。[バッチステータスを準備完了に更新 (Update batch status to ready)] API でコンテンツ統合バッチステータスが [準備完了] に設定されると、コンプライアンスのステージングプロセッサーフローがコンテンツ統合バッチを確認します。

3. コンテンツ統合バッチのステータスが [準備完了] に更新されると、コンプライアンスのステージングプロセッサーフローがステージングから GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションへのレコードのインポートを開始します。

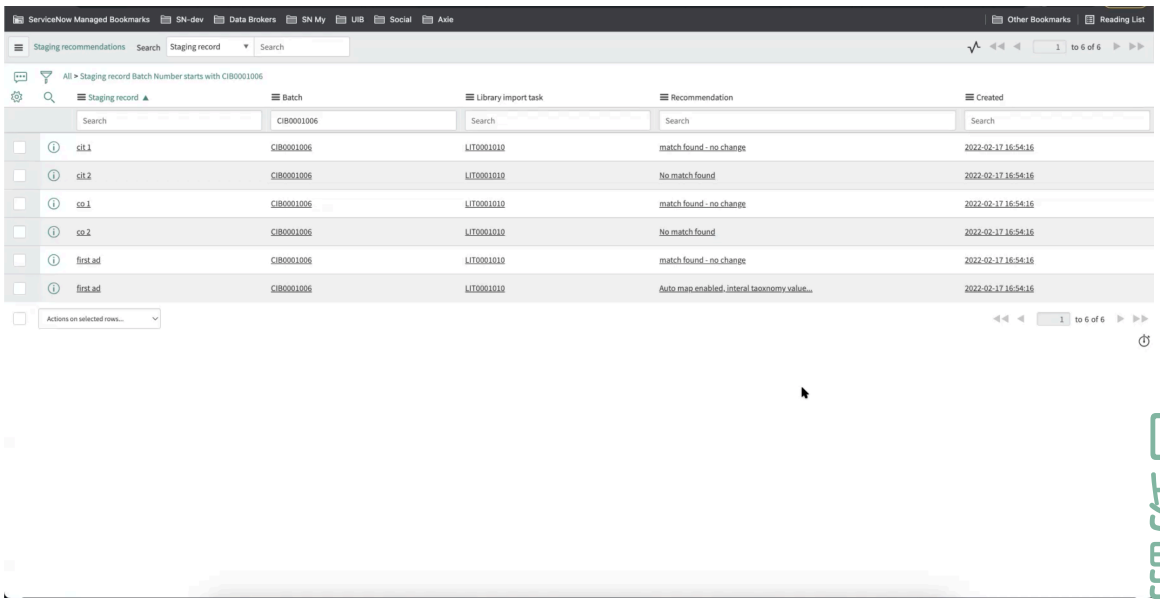
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートプロセスを追跡するライブラリインポートタスクが自動的に作成されます。

4. ライブラリインポートタスクが作成されると、コンプライアンスステージングプロセッサーフローによってバッチステータスが自動的に [進行中] に更新されます。
5. ライブラリインポートタスクが作成され、コンテンツ統合バッチで指定されているプロバイダーが見つからない場合、タスクのステータスは [プロバイダーのオンボーディング] に更新されます。プロバイダーインポートタスクは、ライブラリインポートタスクのコンテンツオンボーディングタスク関連リストに作成されます。
6. ライブラリインポートタスクが作成されると、次の例に示すように、各レコードのステージングに関する推奨事項がコンテンツ統合バッチに対して生成されます。

ステージングに関する推奨事項



ライブラリインポートタスクは、ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルのステージングレコードをインポートするために使用されます。各レコードのライブラリインポートタスクとステージングに関する推奨事項が、GRC: Policy and Compliance integrator モジュールのコンテンツ統合バッチに表示されます。sn_compliance.admin ロールを持つユーザーは、ライブラリインポートタスクをコンプライアンスマネージャーのアサイン先グループにアサインできます。ライブラリインポートタスクを割り当てる方法については、「承認のためのライブラリインポートタスクをアサイン」を参照してください。

承認のためのライブラリインポートタスクをアサイン

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションのライブラリインポートタスクフォームを使用して、ライブラリインポートタスクをコンプライアンスマネージャーアサイン先グループにアサインします。

始める前に

この手順では、まず sn_compliance.admin ロールでログインし、ライブラリインポートタスクを送信して承認する必要があります。

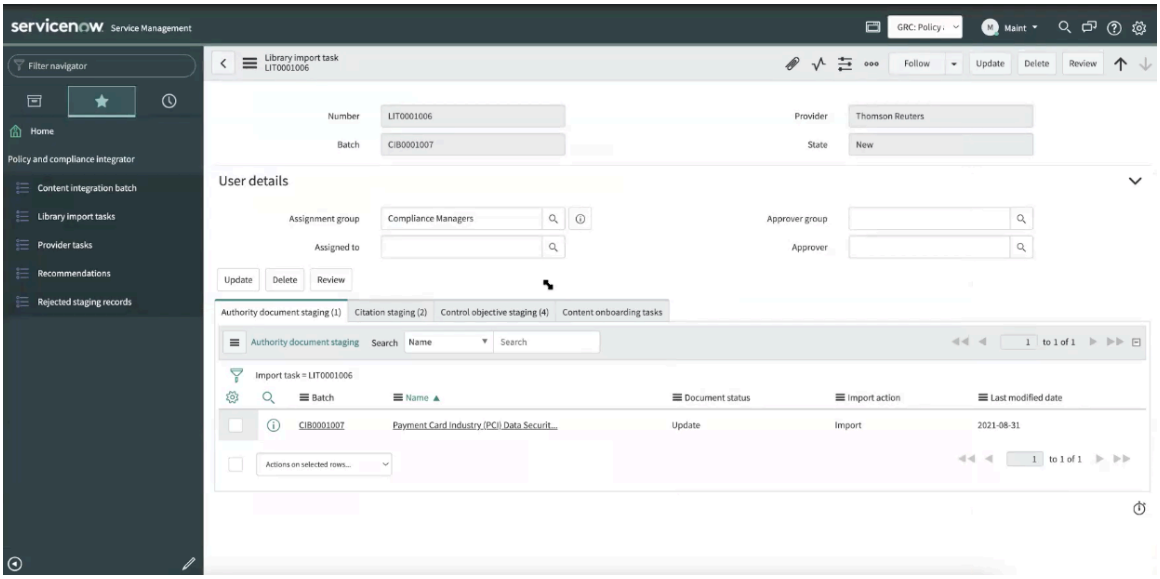
必要なロール：sn_compliance.admin

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** インテグレーター > コンテンツインテグレーター > ライブラリインポートタスク.
   次の例に示すように、ライブラリインポートタスクが [新規] ステータスで表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規] ステータスのライブラリインポートタスク



2. フォームのフィールドに入力します。

ライブラリインポートタスクフォーム

フィールド	説明
数値	ライブラリインポートタスクの番号。この例では、番号は LIT0001001 です。このフィールドは自動入力されます。
プロバイダー	プロバイダーの名前。このフィールドは自動入力されます。
バッチ	コンテンツ統合バッチ番号。この例では、番号は CIB0001001 です。このフィールドは自動入力されます。
ステータス	ライブラリインポートタスクのステータス。このフィールドは自動入力されます。
アサイン先グループ	ライブラリインポートタスクがアサインされているアサイン先グループ。[コンプライアンスマネージャー] グループを選択します。
承認者	ライブラリインポートタスクの承認者。
アサイン先	タスクがアサインされているアサイン先グループ。
承認者グループ	ライブラリインポートタスクの承認者グループ。
関連リスト	
各種法令・基準等のステージング	ライブラリインポートタスクに関連する各種法令・基準等のステージングレコード。
引用のステージング	ライブラリインポートタスクに関連する引用のステージングレコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コントロール目標のステージング	ライブラリインポートタスクに関連するコントロール目標のステージングレコード。
コンテンツオンボーディングタスク	ライブラリインポートタスクに関連するプロバイダーインポートタスク。このタスクは、コンテンツ統合バッチで指定されているプロバイダーがプロバイダー (sn_grc_provider) テーブルに見つからない場合に作成されます。 プロバイダーインポートタスクが作成されると、ライブラリインポートタスクのステータスが [プロバイダーのオンボーディング]に更新されます。プロバイダーインポートタスクが完了すると、ライブラリインポートタスクのステータスが [新規]に更新されます。

3. [更新] をクリックします。

次のタスク
コンプライアンスマネージャーのアサイン先グループに割り当てられたライブラリインポートタスクを承認する方法については、「ライブラリインポートタスクを承認」を参照してください。

ライブラリインポートタスクを承認

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションのライブラリインポートタスクフォームを使用して、ライブラリインポートタスクを承認します。

始める前に
必要なロール：sn_compliance.manager

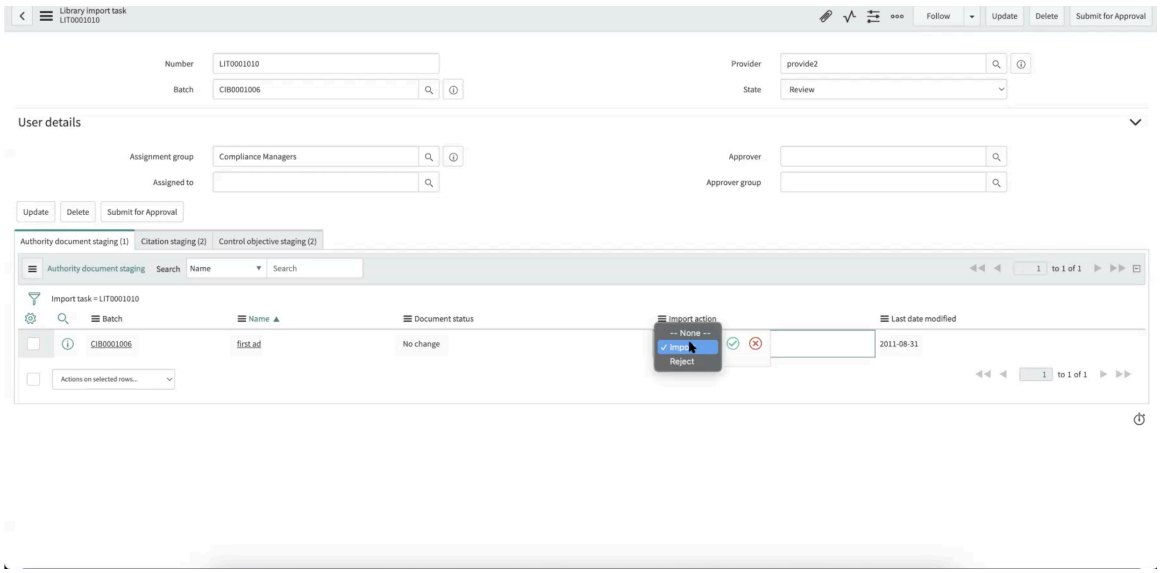
手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** インテグレーター > コンテンツインテグレーター > ライブラリインポートタスク.
2. ライブラリインポートタスクと、各種法令・基準等のステージングレコード、引用ステージングレコード、コントロール目標ステージングレコード、およびコンテンツのオンボーディングタスクの関連リストを確認します。
3. アプリケーションナビゲーターで、[推奨事項] に移動し、アプリケーションによってタスクに提供される推奨事項を確認します。
4. フォームで、[インポート] または [却下] をクリックします。
次の例に示すように、ライブラリインポートタスクの詳細を確認し、レコードをインポートまたは却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライブラリインポートタスクをインポートまたは却下

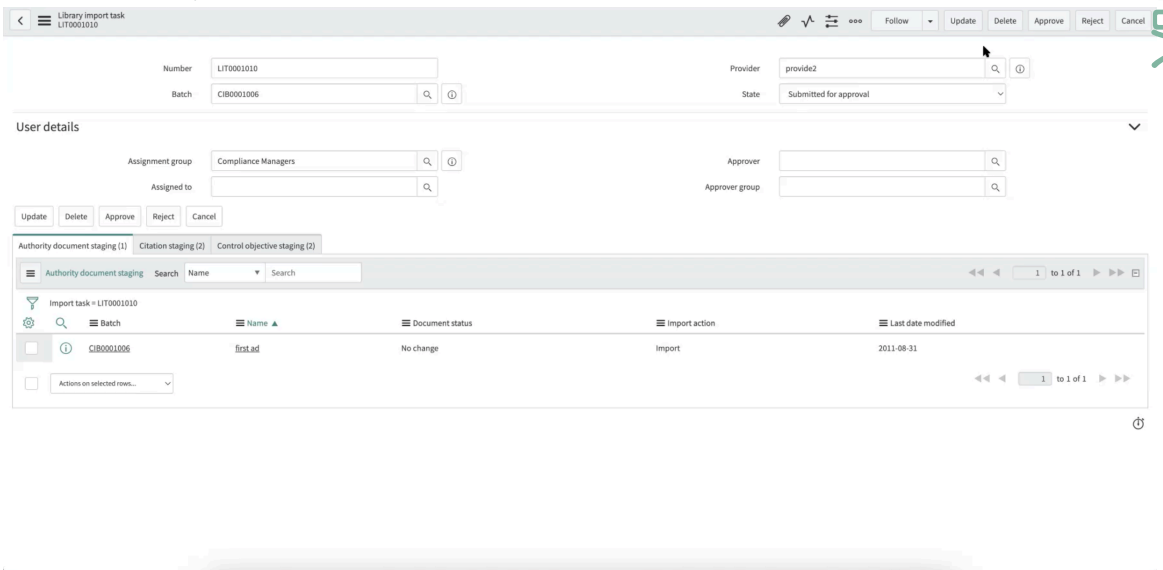


[インポート] をクリックすると、ライブラリインポートタスクに関連付けられているレコードが GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 ステージングテーブルにインポートされます。

[却下] をクリックすると、ライブラリインポートタスクに関連付けられているレコードが却下されます。その結果、データは GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 ステージングテーブルにインポートされません。

5. [承認のために送信済み] をクリックします。
タスクが承認のためにコンプライアンスマネージャーグループに送信されます。次の例に示すように、ライブラリインポートタスクのステータスが [承認のために送信済み] に更新されます。

承認のために送信されたタスク



6. ライブラリインポートタスクを確認し、[承認] をクリックします。

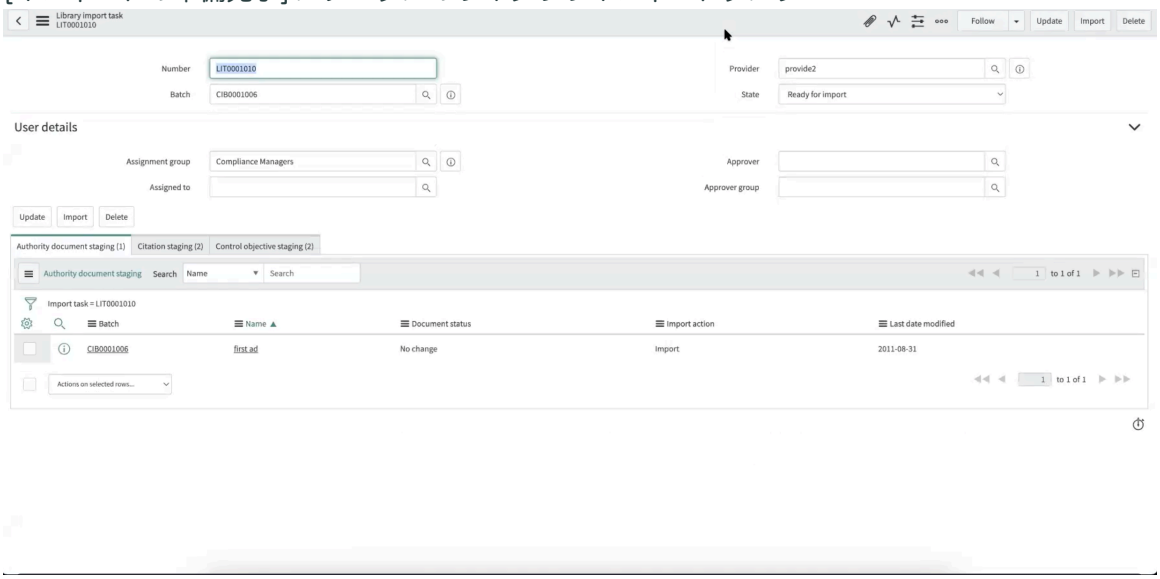
このアクションにより、ライブラリインポートタスクが [インポートの準備完了] ステータスに移行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

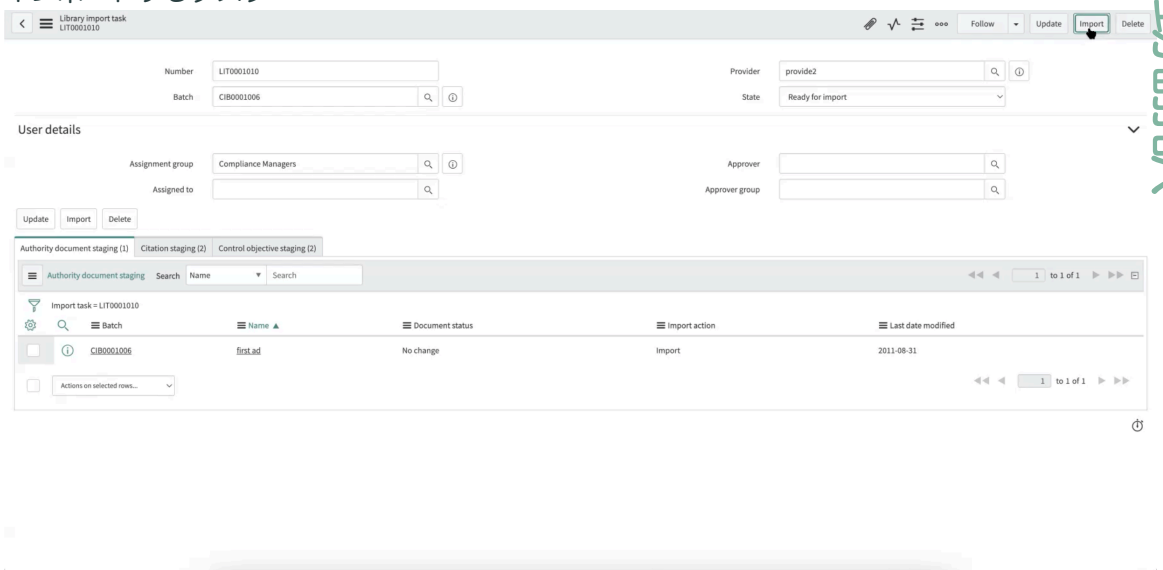
注:
[却下] をクリックすると、次の例に示すように、ライブラリインポートタスクが却下され、再度 [新規] ステータスに移行します。

[インポートの準備完了] ステータスのライブラリインポートタスク



タスクが [インポートの準備完了] ステータスの場合、次の例に示すように [インポート] アクションが表示されます。

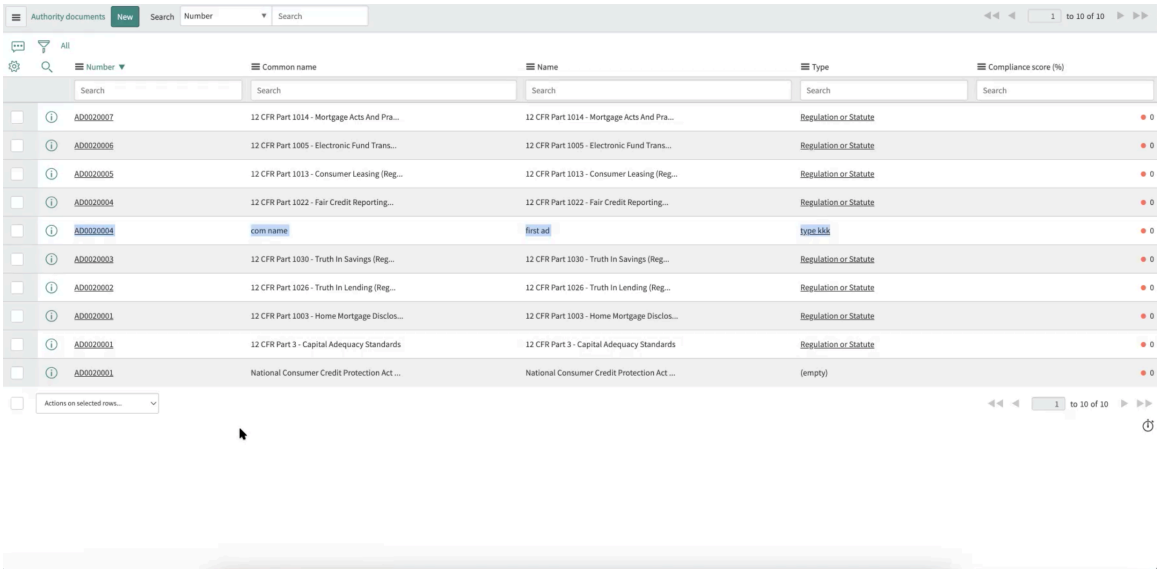
インポートするタスク



7. [インポート] をクリックします。
このアクションにより、[ライブラリインポートタスク] のステージングレコードが GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにインポートされます。テーブルを表示するには、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションの各種法令・基準等テーブル、引用テーブル、またはコントロール目標テーブルに移動します。次の例に示す、サンプルの各種法令・基準等テーブルを参照してください。

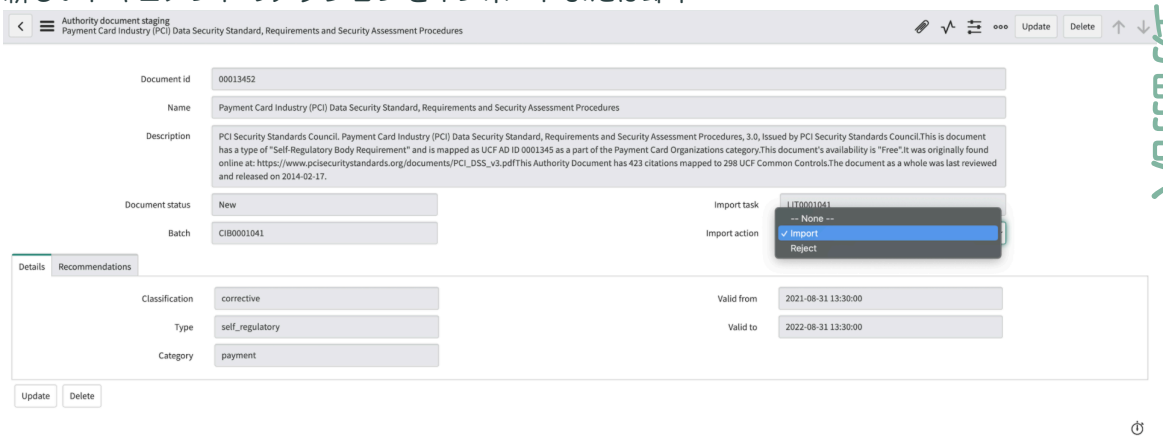
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各種法令・基準等テーブル



テーブルに表示されている AD0020004 などの各種法令・基準等をクリックすると、各種法令・基準等のステージングレコードの詳細が表示されます。ステージングレコードでは、フォームの [ドキュメントステータス] フィールドに現在のドキュメントステータスに関する情報が表示されます。[ドキュメントステータス] フィールドの値が [新規] または [更新] の場合、レコードに対して [インポート] または [却下] アクションを使用でき、次の例に示すように、インポートタスクをインポートまたは却下できます。

新しいドキュメントのアクションをインポートまたは却下

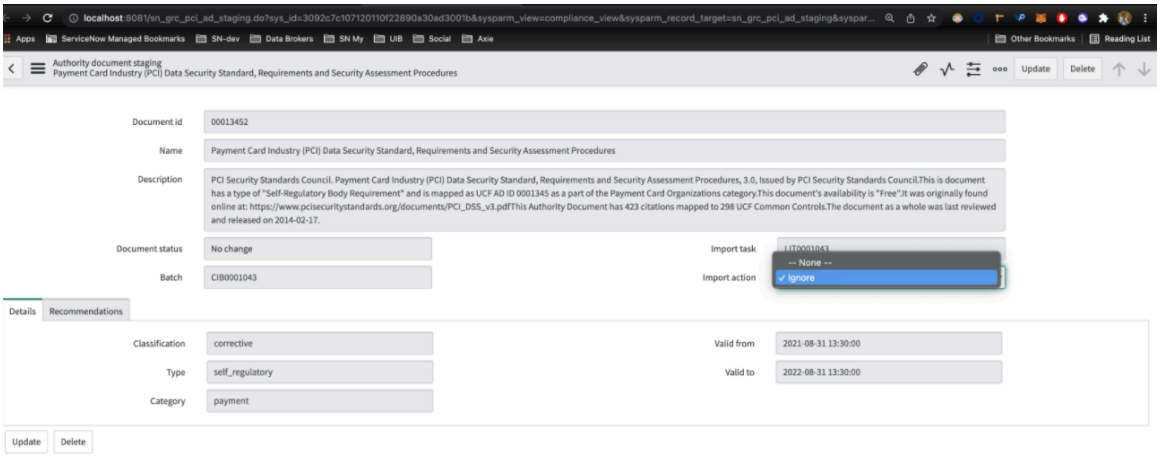


[ドキュメントステータス] フィールドの値が [変更なし] の場合は、レコードのインポートアクションで [無視] オプションのみを使用できます。次の例に示すように、インポートタスクは無視できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ドキュメントステータス] が [変更なし] の場合にアクションを無視



[ドキュメントステータス] フィールドの値の基準については、次のテーブルを参照してください。

[ドキュメントステータス] フィールド値とその基準

フィールド	説明
ドキュメントステータス = 新規	GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルに存在しないレコード。
ドキュメントステータス = 変更なし	GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 テーブル内の既存レコードで、ソースの最終変更日が受信するステージングレコードの日付より後であるレコード。ドキュメントのステータスは変更されません。
ドキュメントステータス = 更新	GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 テーブル内の既存レコードで、ソース最終変更日が受信するステージングレコードの日付より前であるレコード。ドキュメントステータスが更新されます。

ワークフローが完了した後、コンプライアンスステージングプロセッサーフローによってライブラリインポートタスクのステータスが自動的に [完了] に更新されます。

注:

フローの処理でエラーが発生した場合、コンプライアンスステージングプロセッサーフローは、ライブラリインポートタスクのステータスを [完了 (エラーあり)] に更新します。このエラーは、次のいずれかの理由で発生する可能性があります。

- レコードの分類値マッピングが見つからず、プロバイダー分類構成の自動マップ値が false である。
- レコードの親が無視される。

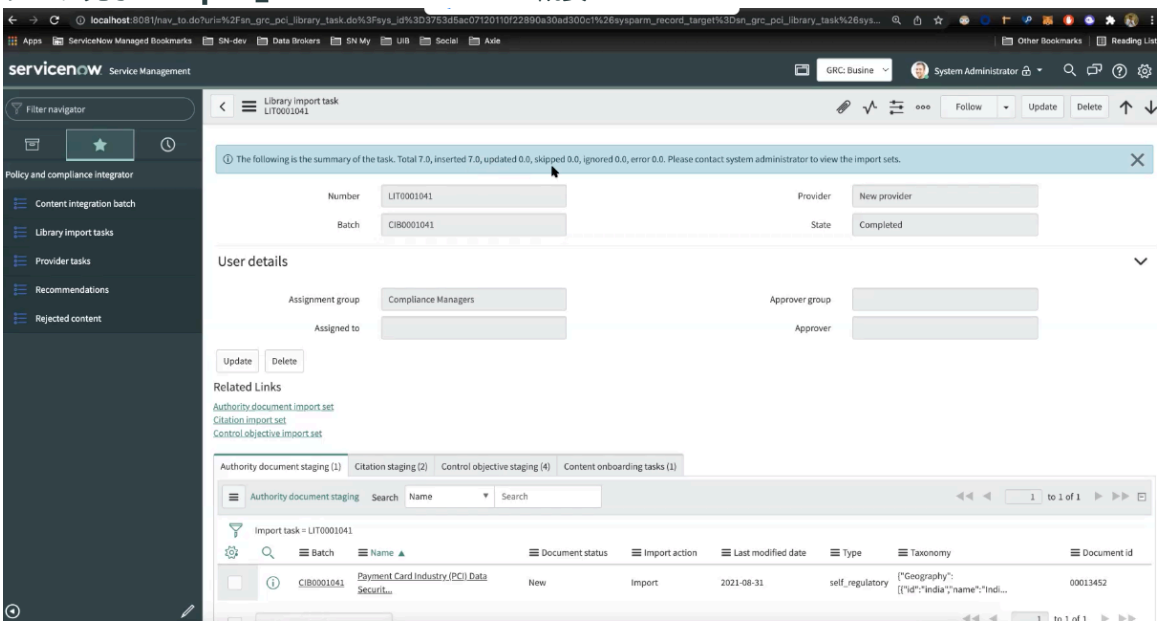
エラーのあるレコードは、コンプライアンスのステージングプロセッサーフローによって却下されます。

ライブラリインポートタスクのステータスが [完了] の場合、次の例に示すように、インポートタスクサマリーとインポートセットの関連リンクが、import_transformer ロールを持つユーザーにのみ表示されます。import_transformer ロールはグローバルロールです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク完了と **import_transformer** ロールの概要



import_transformer ロールビューサマリーは、GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションの他のユーザーは使用できません。

タスクの結果
ライブラリインポートタスクが [完了] ステータスになり、コンテンツが ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションにインポートされます。

[store-future: BEGIN review]

Cloud Security Compliance Accelerator によるクラウドコントロールの監視

Cloud Security Compliance Accelerator により、組織がクラウドの標準とベンチマークに準拠することが可能になります。このアクセラレーターは、クラウドでホストされている組織のアプリケーションとデータを監視し、業界のガイドラインで設定された規制基準、および国内法および国際法に準拠するために役立ちます。

Cloud Security Compliance Accelerator は、Cloud Security Posture Management (CSPM) と統合することで、クラウドセキュリティのコンプライアンスを簡素化します。Cloud Security Compliance Accelerator は Critical Security Controls (CIS) バージョン 8 をサポートしています。CIS は、システムやネットワークに対する最も一般的なサイバー攻撃を軽減するための優先的な一連の安全策です。CIS は、NIST 800-53、NIST 800-171、PCI DSS 4.0、ISO 27002 などの他のセキュリティ標準にマッピングされます。Cloud Security Compliance Accelerator は、CIS バージョン 8 のクラウドコントロール、NIST 800-53、NIST 800-171、PCI DSS 4.0、および ISO 27002 の関連コントロール、および Azure と AWS の CIS ベンチマークに基づく CSPM ポリシーとの間のマッピングを提供することで、クラウドコントロールの継続的な監視を可能にします。

このアプリケーションを管理できるユーザーは、コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager) とコンプライアンス管理者 (sn_compliance.admin) です。

Cloud Security Compliance Accelerator の前提条件

異なるソースと構成テストから得られたコントロール目標間でマッピングされたデータをインポートするために必要なプラグインアプリケーションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Cloud Security Compliance Accelerator プラグイン

このプラグインは、コントロール目標と構成テストの間のマッピングを有効にすることで、クラウドコントロールの監視を可能にします。GRC: Cloud Security Accelerator Config テストレコードも、メタデータ情報とステージングロジック用のアプリケーションに付属しています。

GRC: Policy and Compliance integrator プラグイン

GRC: Cloud Security Compliance Accelerator プラグインは、GRC: Policy and Compliance integrator プラグインに依存して、マッピングされたテーブルの基礎となる基本構造情報と、マッピングされたデータをインポートするジョブスケジュールを取得します。

注:
GRC: Cloud Security Compliance Accelerator プラグインはインストールされていますが、マッピングされたデータを送信するには、次の依存アプリケーションのうち少なくとも 1 つをインストールする必要があります。

- 継続的な承認と監視 (CAM) から得られるコントロール目標については、CAM をインストールする必要があります。
- CIS から得られるコントロール目標については、CyberSecurity Controls Monitoring アプリケーションをインストールする必要があります。
- UCF から得られるコントロール目標の場合、CIS V8、NIST 800-53、NIST 800-171、ISO 27002、または PCI DSS 4.0 の各種法令・基準等および関連の信頼できるソースコンテンツ、およびコントロール目標を、UCF からダウンロードする必要があります。

Cloud Security Compliance Accelerator アプリケーションで顧客に送付されるテーブル

顧客に送付されるテーブルは次のとおりです。

コントロール目標からオブジェクトステージングテーブル [sn_grc_pci_control_objective_object_staging]

コントロール目標と構成テストのマッピング用のステージング済みテーブル。

コントロール目標マッピングのインポート構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_configuration]

ステージングテーブルからターゲットテーブルにレコードを配送するために必要な構成情報を格納するメタデータテーブル。

コントロール目標マッピングのインポート追加フィールド構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_additional_fields_configuration]

ターゲット m2m テーブルの追加列に関連するキーと値のペアを格納するメタデータテーブル。

これらのテーブルの詳細については、「コントロール目標と構成テストのマッピングのテーブル」を参照してください。Cloud Security Compliance Accelerator で使用されるテーブルについては、「GRC とともにインストールされるテーブル」を参照してください。

ステージングからターゲットテーブルにデータを移動するジョブスケジュール

ジョブスケジュール (コントロール目標マッピングをメインテーブルにインポート) は、オンデマンドで実行するために利用でき、コントロール目標からオブジェクトステージングテーブルへ [保留中] ステータスのマッピング済みレコードを取得できます。ユーザーはいつでも共有リストをインポートできるため、ジョブはオンデマンドで実行されるようにスケジュールされます。あるいは、マッピングで生成されたコントロール目標があるか、新しい構成テストがある場合も同様です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このジョブは、レコードの詳細情報をコントロール目標マッピングのインポート構成ターゲットテーブルの適切な列に移動し、コントロール目標からオブジェクトへのステージングテーブルでレコードを [処理済み] としてマークします。

コンプライアンス管理者は、コントロール目標と構成テストの間でレコードをマッピングしない場合、それを [非アクティブ] としてマークできます。

レコードが処理されたら、ターゲットテーブルの [コントロール目標] から構成コントロール [sn_compliance_m2m_policy_statement_configuration_control] に移動してレコードを表示できます。

UCF 関連のマッピングされたデータのインポート

Unified Compliance Framework (UCF) の共有リストデータを Policy and Compliance Management テーブルにインポートするには、GRC: Compliance UCF を使用します。

UCF 関連の共有リストからコントロール目標をインポートできます。UCF をインストールして、UCF 共有リストから作成されたコントロール目標がある場合、または新しい共有リストをインポートした場合は、[コントロール目標マッピングをメインテーブルにインポート] スケジュール設定済みジョブを実行して、新しいコントロール目標を取得します。

新しい共有リストをインポートするたびに、オンデマンドでスケジュール設定済みジョブを実行できます。ジョブが実行された後、コントロール目標と、[コントロール目標からオブジェクトステージング] テーブルで [処理待ち] ステータスであった構成テスト間のすべての UCF 関連マッピングが処理されます。マッピングされたデータは、マッピングテーブル、つまり [構成コントロールに対するコントロール目標] テーブルに移動されます。

注:
コントロール目標を構成テストに関連付けた後にコントロールが生成されるのは次の場合のみです。

- `sn_compliance.auto_create_profile_and_control` プロパティが有効になっている。
- [コントロールを自動的に作成] オプションを [コントロール目標] フォームで有効にする必要があります。

NIST 800-53、NIST 800-171、ISO 27002、PCI DSS 4.0、CIS Controls V8 の各権限ドキュメントで構成される UCF 共有リストをインポートすると、対応するコントロール目標がインポートされます。

同様の方法で、Azure および AWS CIS ベンチマークに関連するコントロール目標と構成テストの間でマッピングされたデータも、スケジュール設定済みジョブの実行時にステージング済みテーブルからターゲットテーブルにインポートされます。

GRC: Cybersecurity Controls Accelerator への新しい CIS v8 コンテンツ

CIS Controls バージョン 8 は、Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションに追加された新しい各種法令・基準等です。この信頼できるソースには、171 件の引用、171 件のコントロール目標、および新しいコンテンツ参照が含まれています。コンテンツ参照は、各種法令・基準等、引用、コントロール目標にマッピングされます。

[テクノロジーコントロール監視] に移動し、ソースを [CIS コントロール] としてレコードをフィルタリングすると、コンテンツ参照にマッピングされた各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標が表示されます。[各種法令・基準等へのコンテンツ参照] テーブルには、コンテンツ参照と各種法令・基準等の間でマッピングされたデータが入っています。[引用へのコンテンツ参照] テーブルには、新しい引用とコンテンツ参照の間でマッピングされたデータが格納されます。同様に、[コントロール目標へのコンテンツ参照] テーブルには、コンテンツ参照とコントロール目標の間でマッピン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グされたデータが入っています。詳細については、「Cybersecurity Controls Accelerator」を参照してください。

[End]

コントロール目標と構成テストのマッピングのテーブル

コントロール目標と構成テストの間のマッピングデータの顧客への送付を支援するテーブルが 3 つあります。

コントロール目標と構成テストのマッピング用のステージングテーブル。

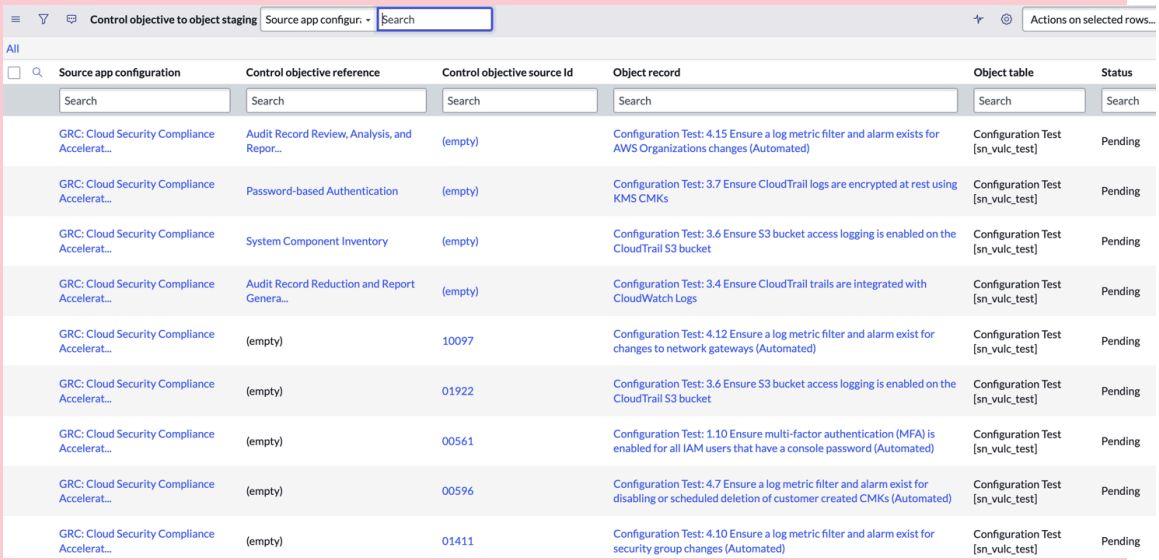
コントロール目標からオブジェクトステージングテーブル [sn_grc_pci_control_objective_object_staging] には、コントロール目標と任意のオブジェクトレコードのマッピングデータが保持されます。ただし、この場合、オブジェクトレコードは構成テストオブジェクトテーブルからの構成テストです。

コントロール目標は、さまざまなソースから取得できます。これらは、コントロール目標からオブジェクトステージングテーブルの列でキャプチャされます。

1. コントロール目標参照：この列は、CAM または CIS に由来し、その目標の sys ID を参照として利用可能なコントロール目標を示すものです。コントロール目標からオブジェクトステージングテーブルに移動し、検索フィールドの [コントロール目標参照] でレコードをフィルタリングします。検索を実行すると、GRC: Cloud Security Compliance Accelerator に送られる CAM および CIS コントロール目標と構成テストに関連するすべてのレコードマッピングが表示されます。
2. コントロール目標ソース **ID**：この列は、コントロール目標が Unified Compliance Framework (UCF) に由来し、その目標の sys ID をすぐに利用できないコントロール目標を示します。ソース ID は、ユーザーが [共有リスト] からコントロール目標をインポートしたときに生成され、ソース ID に基づいて sys ID が生成されます。[コントロール目標ソース ID] でレコードをフィルタリングすれば、UCF のコントロール目標とソース ID を参照する構成テストの間のすべてのマッピングレコードが一覧で取得できます。

[ステータス] フィールドには、レコードのステータスとして、[保留中]、[処理済み]、または [非アクティブ] ステータスが表示されます。

コントロール目標と構成テストのステージングテーブル



Source app configuration	Control objective reference	Control objective source Id	Object record	Object table	Status
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	Audit Record Review, Analysis, and Repor...	(empty)	Configuration Test: 4.15 Ensure a log metric filter and alarm exists for AWS Organizations changes (Automated)	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	Password-based Authentication	(empty)	Configuration Test: 3.7 Ensure CloudTrail logs are encrypted at rest using KMS CMKs	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	System Component Inventory	(empty)	Configuration Test: 3.6 Ensure S3 bucket access logging is enabled on the CloudTrail S3 bucket	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	Audit Record Reduction and Report Genera...	(empty)	Configuration Test: 3.4 Ensure CloudTrail trails are integrated with CloudWatch Logs	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	(empty)	10097	Configuration Test: 4.12 Ensure a log metric filter and alarm exist for changes to network gateways (Automated)	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	(empty)	01922	Configuration Test: 3.6 Ensure S3 bucket access logging is enabled on the CloudTrail S3 bucket	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	(empty)	00561	Configuration Test: 1.10 Ensure multi-factor authentication (MFA) is enabled for all IAM users that have a console password (Automated)	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	(empty)	00596	Configuration Test: 4.7 Ensure a log metric filter and alarm exist for disabling or scheduled deletion of customer created CMKs (Automated)	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending
GRC: Cloud Security Compliance Accelerat...	(empty)	01411	Configuration Test: 4.10 Ensure a log metric filter and alarm exist for security group changes (Automated)	Configuration Test [sn_vulc_test]	Pending

ステージング構成情報のターゲットテーブル

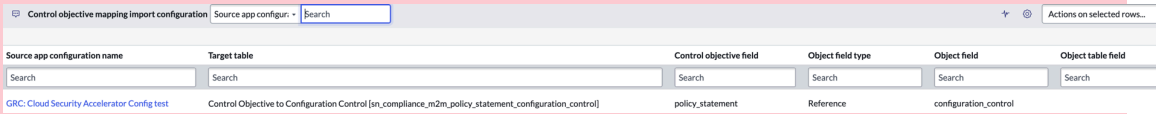
コントロール目標マッピングインポート構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_configuration] は、ターゲット m2m メタデー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タテーブルで、レコードは更新できません。このテーブルのフィールド (ソースアプリ構成名、コントロール目標フィールド、オブジェクトフィールド、オブジェクトフィールドタイプ、オブジェクトテーブルフィールド値) は静的で、表示専用です。静的構成はステージングテーブルの構成と一致するため、ステージングレコードの処理中にデータはターゲットテーブルの対応する列に移動します。ただし、コンプライアンス管理者はレコードを表示して、フィールド値がメインターゲットテーブルの列のどこに入っているかを把握できます。たとえば、ターゲットテーブルのソースアプリ構成名の参照は、ステージングテーブルのソースアプリ構成から取得されます。オブジェクトフィールドタイプは、[ドキュメント **ID**] または [参照]です。ジョブスケジュールが実行されると、ステージングレコード情報がターゲットテーブルの適切な列に保存されます。

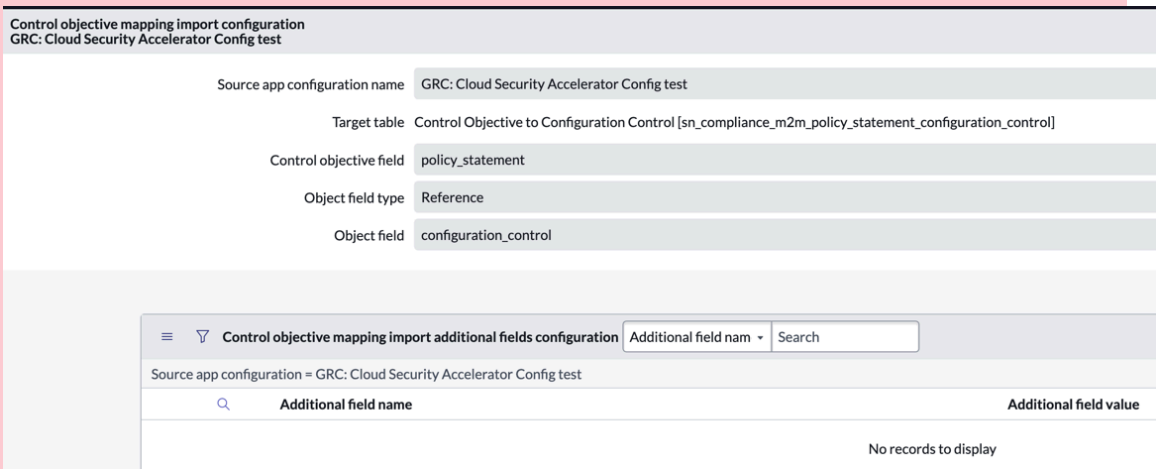
ステージング構成情報のターゲットテーブル



追加の **m2m** テーブル情報の関連リスト

コントロール目標マッピングのインポート追加フィールド構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_additional_fields_configuration] テーブルは、追加参照列を含む関連リストです。コントロールが生成されるかエンティティが作成されると、構成に固有な追加の列値が追加され、これを m2m テーブルに収容しなければならない場合があります。このようなダウンストリームプロセスでは、追加フィールド名に、ソースアプリ構成のターゲットテーブルからの追加の列名情報が保持されます。同様に、追加フィールド値は、追加フィールド名の列値をキャプチャします。したがって、このテーブルには、ターゲット m2m テーブルの追加列に関するキーと値のペアが格納されます。

追加情報の関連リスト



コントロールコンプライアンス、PaCE 実行、および例外管理のための **DevOps Accelerator**

GRC: DevOps Accelerator は、顧客が DevOps ポリシーおよび GRC コントロール目標と Policy as a Code Engine (PaCE) とのコンプライアンスを評価できるようにするアプリケーションです。

GRC: DevOps Accelerator (com.sn_grc_devops) プラグインは、CIS コントロール、NIST 800-53、ISO 27002、PCI DSS などの規制、標準、フレームワークから導出されたコントロール目標を、DevOps Policy as a Code Engine (PaCE) にマッピングします。DevOps ポリシーは、DevOps Config Policy Content Pack によって提供されます。

この統合を使用すると、コンプライアンスステータスを評価できます。また、統合により、DevOps マネージャーはコントロールのコンプライアンスを監視し、PaCE 実行の証拠を可視化し、例外を管理できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

DevOps Accelerator の前提条件

1. PaCE 関連プラグインおよび CDM 関連プラグインの階層。
2. PaCE が提供する DevOps Config Policy Content Pack。
3. GRC プラグイン：GRC: Cybersecurity Controls Accelerator、GRC: Compliance UCF、GRC: Continuous Authorization and Monitoring

> **注:**
> GRC: DevOps Accelerator (com.sn_grc_devops) は、DevOps Config Policy Content Pack および GRC: Policy and Compliance Management に依存しています。ただし、GRC: Cybersecurity Controls Accelerator (CIS)、GRC: Unified Compliance Framework (UCF)、および GRC: Continuous Authorization and Monitoring (CAM) プラグインがインスタンスにインストールされていない場合、GRC: DevOps Accelerator のインストール時には、これらのプラグインからコントロール目標に関連するステージングデータは利用できません。

GRC: DevOps Accelerator プラグインは、PaCE ポリシーとコントロール目標の関係をマッピングします。

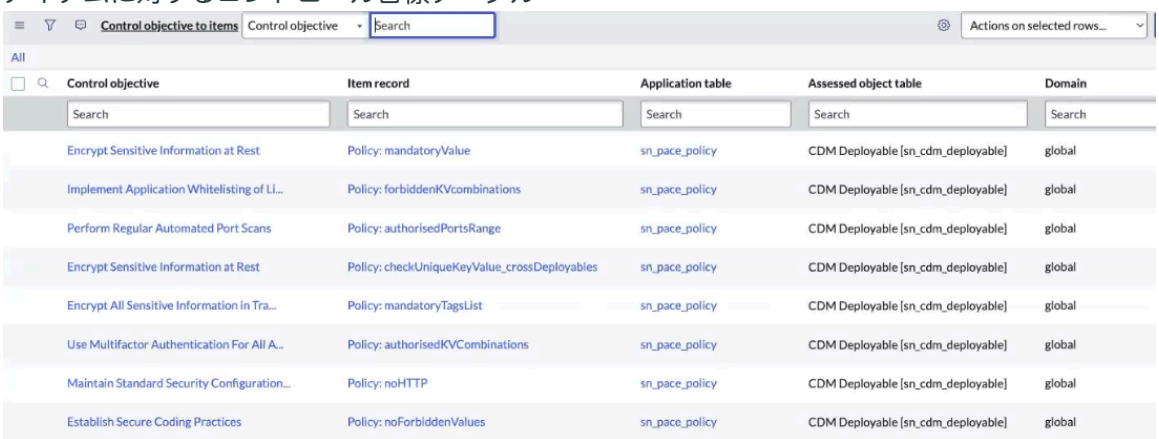
> **注:**
> すべての GRC コントロール目標がすべての PaCE ポリシーと関係があるわけではありません。

インスタンスからステージングテーブルへのコントロール目標と PaCE マッピングデータの入力

アイテムに対するコントロール目標マッピングテーブル

DevOps Accelerator の一部として、コントロール目標と PaCE ポリシーのマッピングが顧客に提供されます。関係は、アイテムに対するコントロール目標 [sn_compliance_control_objective_item] テーブルで取得されます。ここでは、[コントロール目標] 列と、PaCE ポリシーである、[アイテムレコード] 列にデータが一覧表示されます。

アイテムに対するコントロール目標テーブル



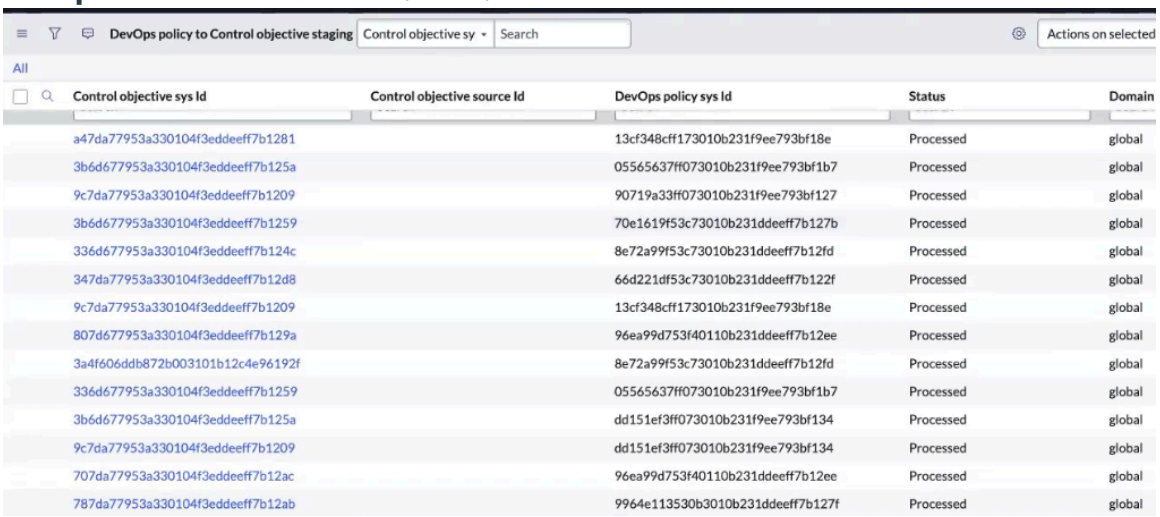
Control objective	Item record	Application table	Assessed object table	Domain
Search	Search	Search	Search	Search
Encrypt Sensitive Information at Rest	Policy: mandatoryValue	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Implement Application Whitelisting of Li...	Policy: forbiddenKVcombinations	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Perform Regular Automated Port Scans	Policy: authorisedPortsRange	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Encrypt Sensitive Information at Rest	Policy: checkUniqueKeyValue_crossDeployables	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Encrypt All Sensitive Information in Tra...	Policy: mandatoryTagsList	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Use Multifactor Authentication For All A...	Policy: authorisedKVCombinations	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Maintain Standard Security Configuration...	Policy: noHTTP	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global
Establish Secure Coding Practices	Policy: noForbiddenValues	sn_pace_policy	CDM Deployable [sn_cdm_deployable]	global

コントロール目標のステージングに対する DevOps ポリシーテーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DevOps Accelerator ステージングテーブル



DevOps Accelerator の一部としてステージングテーブルがあります。これは、コントロール目標のステージングに対する DevOps ポリシー [sn_grc_devops_policy_control_objective_staging] テーブルです。コンプライアンス管理者ロールを持つユーザーがテーブルを表示できます。

CAM および CIS の場合、コントロール目標のシステム ID は DevOps ポリシーのシステム ID にマッピングされます。ただし、UCF の場合、共有リストからインポートされたコントロール目標のソース ID は、DevOps ポリシーのシステム ID にマッピングされます。

コントロール目標のステージングに対する DevOps ポリシー [sn_grc_devops_policy_control_objective_staging] テーブルのデータは [処理待ち] ステータスで出荷されます。データは、インスタンスにインストールされているアプリケーションに基づいてステージングテーブルに入力されます。コントロール目標と PaCE ポリシーがインスタンスに存在しない場合、データは処理されません。

ステージングからメインテーブルにデータを移動するジョブスケジュール

日次ジョブ (ステージングからのコントロール目標に対する DevOps ポリシーのマッピングのインポート) は、アプリケーションと DevOps Accelerator がインストールされた後で実行され、アイテムに対するコントロール目標 (sn_compliance_control_objective_item) テーブルにレコードが追加されます。レコードがマッピングテーブルに正常に追加されると、ステージングテーブルのレコードのステータスが [処理済み (Processed)] に移行します。アプリケーションでコントロール目標が設定されていないか、存在しない場合、レコードは処理されず、[処理待ち] ステータスになります。

コンフィグレーションコンプライアンス と ポリシーとコンプライアンス管理 の間のコントロールの継続的な監視を管理

コントロールの継続的な監視は、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 製品と Security Operations コンフィグレーションコンプライアンス 製品間の機能統合です。この機能は、Qualys などのサードパーティアプリケーションからのスキャン結果を統合して、関連する各コントロールのコンプライアンスステータスを判断します。

継続的な監視は、積極的なセキュリティ管理アプローチです。顧客はコンプライアンスを監視して検証し、各種法令・基準等に照らしてリスクを管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

継続的な監視ワークフロー

1. システム管理者は、コンフィグレーションコンプライアンス および ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインを有効にします。
2. コンプライアンスマネージャーは、コントロール目標またはコントロールを構成テストにマッピングして、それらの構成テストに関連するコントロール、エンティティ、およびインジケーターを生成します。
3. 統合は、定義された間隔でサードパーティの構成テストスキャンの結果を取り込みます。
4. 構成テストの構成テストスキャンの結果が失敗を示した場合、コントロールは非準拠であり、問題が自動的に生成されます。
5. 構成テストの次のスキャン結果がエラーが修正されたことを示している場合、コントロールは準拠しており、問題は自動的にクローズされます。

コントロール目標またはコントロールを構成テストにマッピング

コンプライアンスマネージャーは、コントロール目標またはコントロールを構成テストにマッピングして、Configuration Compliance に関連付けられているコントロール、エンティティ、およびインジケーターを生成します。

始める前に

必要なロール：コンプライアンスマネージャー

この機能にアクセスするには コンフィグレーションコンプライアンス プラグインを有効にする必要があり、**sn_compliance.auto_create_profile_and_control** プロパティを true に設定する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
2. ポリシーレコードを開き、[コントロール目標] 関連リストをクリックして、[編集] をクリックします。

   注:
   この例では、[パスワード] ポリシーを使用します。

3. ポリシーに関連付ける各コントロール目標を選択します。
4. コントロール目標を開き、[引用] 関連リストをクリックして、このコントロール目標に関連付けられている各種法令・基準等の引用を表示します。

   注:
   この例では、[パスワードの有効期間を設定 **(Configure the maximum password age)]** コントロール目標を使用します。

5. [構成テスト] 関連リストをクリックし、次のいずれかの追加オプションを選択します。
   - [追加] をクリックします。
   - [ポリシーから追加] をクリック
   - [信頼できるソースから追加] をクリック

   注:
   各構成テストの [ソース] フィールドは、情報のサードパーティプロバイダーを識別します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 選択後、[追加] をクリックします。
   すべての構成アイテム (コントロール、エンティティ、およびインジケーター) がマッピングされ、[構成テスト] 関連リストに表示されます。結果の生成には数分かかる場合があります。

構成コンプライアンススキャン結果を解釈する

コントロールの構成テストスキャンの結果がエラーを示す場合、コントロールは非準拠とマークされます。スキャンの結果が合格を示す場合、すべての構成テスト、コントロールの順に準拠とマークされます。

始める前に
必要なロール：コンプライアンスマネージャー

この機能にアクセスするには コンフィグレーションコンプライアンス プラグインをアクティブ化する必要があり、*sn_compliance.auto_create_profile_and_control* プロパティを true に設定する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.

   注:
   この例では、[パスワードの有効期間を設定 **(Configure the maximum password age)**] ポリシーステートメントを使用します。

2. コントロール目標レコードを開き、[コントロール] 関連リストをクリックします。
   構成コンプライアンステストスキャンから 11 個のコントロールが生成されました。各コントロールには関連付けられた [プロファイル] があり、すべてのコントロールで [非準拠] の [ステータス] が表示されるため、同じ数の問題が自動的に生成されます。
3. コントロールレコードを開き、[インジケーター] 関連リストをクリックします。
4. インジケーターレコードを開いてインジケーターの結果を確認します。
   構成テストスキャンの結果は定期的に更新されます。スキャン結果がエラーが修正されたことを示している場合、コントロールは準拠とマークされ、問題は自動的にクローズされます。

GRC Policy and Compliance のモバイルエクスペリエンス

ポリシーおよびコンプライアンスマネージャーは、Android または iOS モバイルデバイスを使用して作業を管理します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

概要

Now Platform® コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager) ロールを持つユーザーは、デスクトップに依存することなく作業を管理します。現在のアラートだけではなく、重要な資産、ベンダー、影響を受ける中核のビジネスサービスのリスクとコンプライアンスステータスの通知をすべてモバイルデバイスで適時に受信します。

GRC Mobile アプリケーションを使用すると、デスクトップに関連付けられずに次の ポリシーとコンプライアンス管理 アクティビティを実行できます。

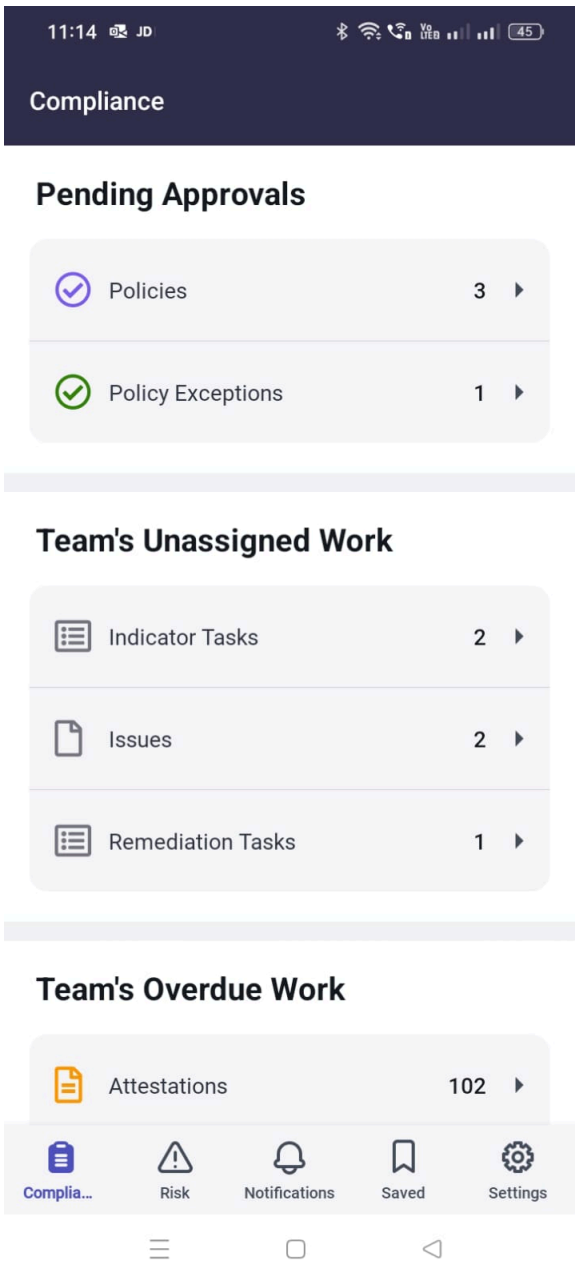
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 割り当てられた処理待ちのポリシーおよびポリシー例外要求を承認または却下します。
- インジケータータスク、問題、および修復タスクアプレットを使用して、未アサインのタスクと問題をチームにアサインします。
- 証明書および期限切れの問題アプレットを使用して、チームの期限切れタスクを管理および再アサインします。

次の図は、モバイルデバイスから Now Platform インスタンスにログインする方法と、ログイン後に表示されるランディング画面を示しています。

GRC Mobile アプリケーション

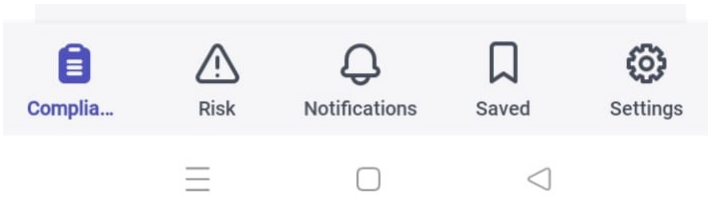


Now Platform インスタンスを設定し、GRC Mobile アプリケーションをインストールする方法の詳細な手順については、「GRC Mobile アプリケーションのセットアップチェックリスト」を参照してください。ログイン方法については、「GRC Mobile アプリケーション へのログイン」を参照してください。

アプリケーション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションとは、Now Platform インスタンス内で特定の機能を提供する、ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、Audit Management などの ServiceNow ソフトウェアコンポーネントです。これらのコアアプリケーションと GRC Mobile アプリを Now Platform インスタンスにインストールすると、ログイン後に Android または iOS モバイルデバイスの下部にこれらのアプリケーションがアイコンとして表示されます。



フォルダー

各 ServiceNow Mobile アプリケーションには、カテゴリ別にアプレットを分離するフォルダーが含まれています。前の画像では、[承認待ち]、[チームのアサインされていない作業]、および [チームの期限切れ作業] が アプリポリシーとコンプライアンスモバイルアプリのフォルダーです。

アプレット

アプレットは、アプリケーション内のさまざまなオプションです。前の画像では、[承認待ち]、[チームのアサインされていない作業]、および [チームの期限切れ作業] の下にあるアイコンが アプリポリシーとコンプライアンスモバイルアプリの利用可能なアプレットです。

GRC Mobile アプリケーションのセットアップチェックリスト

次のチェックリストには、Now Platform インスタンスおよびモバイルデバイスで GRC Mobile アプリケーションを使用する前に完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。GRC Mobile アプリケーション を使用してモバイルデバイスで ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを表示する前に、これらの設定タスクを完了してください。

始める前に

オプションとして、このチェックリストを印刷し、GRC Mobile アプリケーションに必要な設定タスクのガイドとして使用します。

このタスクの完了までの推定時間は 15 ～ 20 分です。

必要なロール：admin、sn_compliance.manager

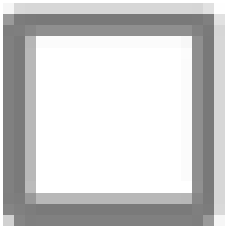
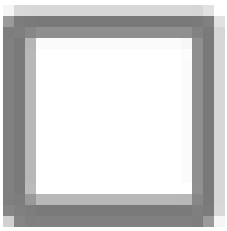
手順

GRC Mobile アプリケーション にログインして Now Platform インスタンスを追加できるように、リストの各アイテムが完了していることを確認します。

自動翻訳

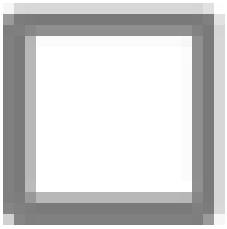
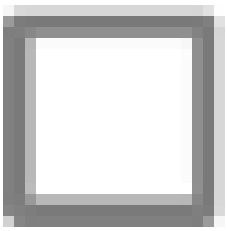
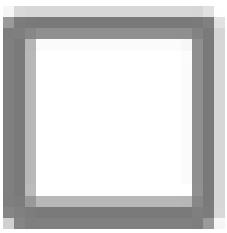
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション チェックリスト

アイテム	説明
	admin ロールを持つユーザーは、GRC コアアプリケーションが Now Platform インスタンスにインストールされていることを確認します。これは、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスです。 **注:** GRC コアアプリケーションと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 **a.** GRC: GRC Profile 依存関係コアアプリケーションがインスタンスにインストールされていることを検証するには、[プラグイン] に移動して、GRC Profile を検索します。 **b.** GRC Profile コアアプリケーションがまだインストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、インストールします。 **c.** GRC Profile アプリケーションをインストールした後、ポリシーとコンプライアンス管理 コアアプリケーション、または リスク管理 コアアプリケーション、または ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションをインストールします。これらは、GRC Mobile アプリケーション で表示できる 2 つの GRC アプリケーションです。 インスタンスに表示されていない場合は、すべての GRC コアアプリケーションを ServiceNow Store から入手できます。 GRC コアアプリケーションのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。 GRC コアアプリケーションをインストールすると、GRC Mobile アプリケーション の依存関係プラグイン (com.glide.sg および com.glide.sg.agent_native_client) も自動的にインストールされます。 これらの依存関係プラグインがインストールされ、有効化されていることを確認するには： **a.** [プラグイン] に移動します。 **b.** プラグイン ID (com.glide.sg および com.glide.sg.agent_native_client) を検索します。 **c.** 有効化されていない場合は、これらのプラグインを有効化します。
	管理者ロールを持つユーザーとして、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスに GRC モバイルアプリがインストールされていることを確認します。 **注:** GRCモバイルアプリと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 GRC Mobile アプリケーション でのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
	管理者ロールを持つユーザーは、Now Platform インスタンスで、モバイルユーザーに必要な Now Platform ロールをアサインしたことを確認します。 **a.** ユーザーにアサインされているロールを表示するには、次の場所に移動します ユーザーとグループ > ユーザー. **b.** ユーザー名、続いてロール関連リストを選択します。このユーザーにアサインされているすべてのロールが表示されます。 **c.** ユーザーがアサインされていることを確認するか、IT インフラストラクチャライブラリーロール (itil) を持つユーザーをアサインします。itil ロールを持つユーザーは、レコードを作成し、開き、更新できます。itil ロールを持つユーザーのみにタスクをアサインすることができます。 **d.** ユーザーがアサインされていることを確認するか、コンプライアンスマネージャーロール (sn_compliance.manager) を持つユーザーをアサインします。このロールは、itil ロールをアサインすると自動的に追加されます。 **e.** 必要なアサイン先グループを作成し、これらのグループにモバイルユーザーをアサインしたことを確認します。 **注:** モバイルアプリケーションに複数のユーザーがいる場合は、sn_compliance.manager ロールをグループに割り当てることもできます。グループに追加する各ユーザーは、このロールを継承します。 ユーザーおよびユーザーとグループへのロールのアサインの詳細については、「ユーザーの作成」、「ロールをユーザーにアサイン」、「グループへのロールのアサイン」を参照してください。
	sn_compliance.manager ロールを持つモバイルユーザーは、モバイルデバイスで最新の ServiceNow エージェントアプリケーションをダウンロードしてインストールします。 最新の Agent アプリは、Apple iOS App Store と Google Play ストアで入手できます。
	sn_compliance.manager ロールを持つユーザーとして、モバイルデバイスと Now Platform インスタンスで通知が有効になっていることを確認します。 重要な処理待ちの承認要求が自分または自分のアサイン先グループにアサインされたときに通知されます。タイムリーな修正を支援するには、通知を有効にした後、GRC Mobile アプリケーション 内の通知をクリックしてレコードに直接移動します。 Now Platform インスタンスで通知を有効にしてモバイルデバイスに表示されるようにするには、次の手順を実行します。 **a.** GRC Mobile アプリケーション を Now Platform インスタンスにダウンロードしてインストールしたことを確認します。 **b.** Now Platform インスタンスの [システムの設定] の [通知] で、**ServiceNow Mobile** アプリケーションが有効になっていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アイテム	説明
	Now Platform の通知は、モバイルデバイスのメッセージ画面にも表示されます。モバイルデバイスの設定でも通知が有効になっていることを確認します。

モバイルデバイスと、GRC Mobile アプリケーション 用の Now Platform が正常に設定されました。次のステップでは、モバイルデバイスで ServiceNow エージェントアプリを使用して Now Platform インスタンスにログインします。

GRC Mobile アプリケーション へのログイン

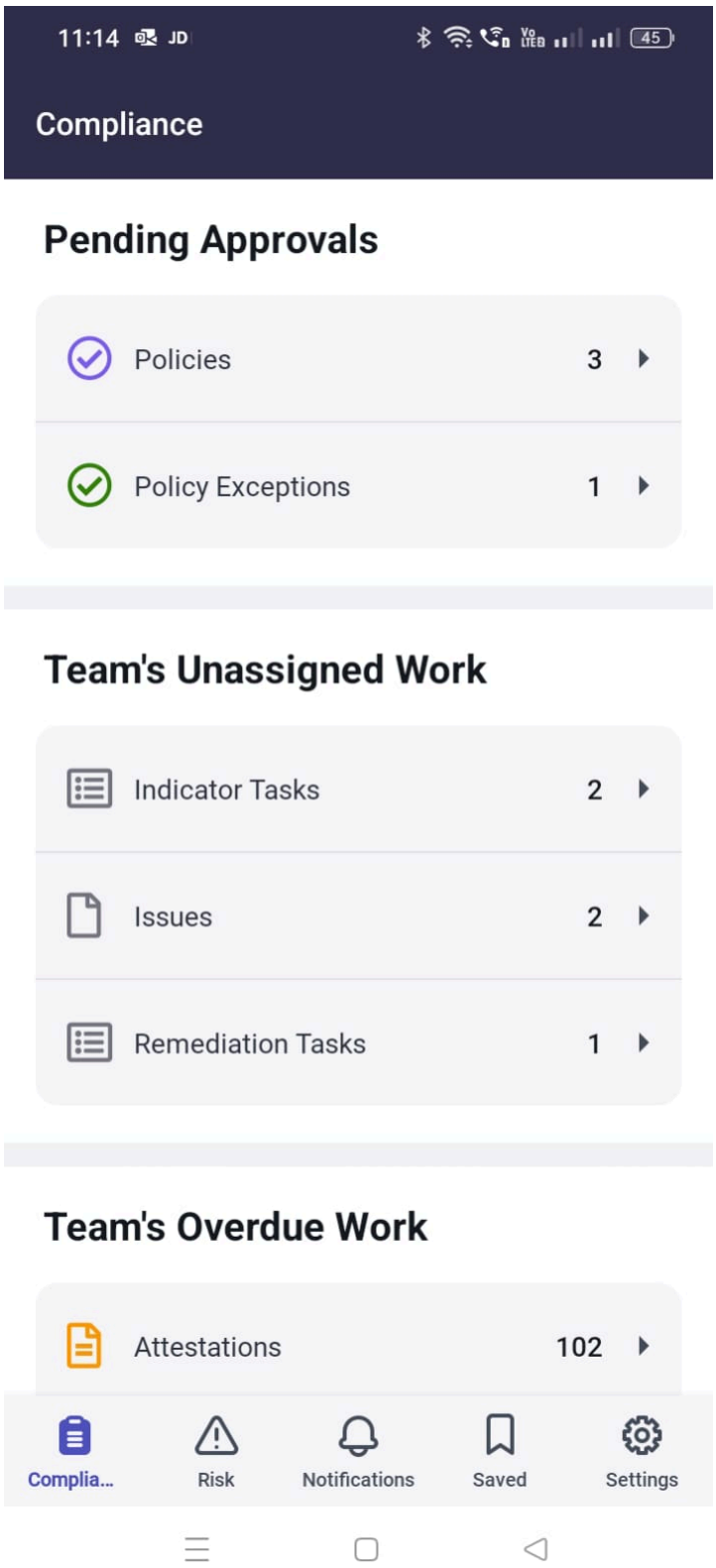
GRC Mobile アプリケーション を開き、Now Platform® インスタンスを ポリシーとコンプライアンス管理 でモバイルデバイスに追加します。

始める前に
「GRC Mobile アプリケーションのセットアップチェックリスト」で説明されているセットアップ手順を完了していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション



必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
このタスクの完了にかかる時間：5 ～ 7 分。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスで、**ServiceNow** エージェントアプリをタップします。

   Now Platform インスタンスにまだログインしていない場合は、[インスタンス] 画面が表示されます。

2. ポリシーとコンプライアンス管理 コアアプリケーションを含む Now Platform インスタンスがまだモバイルデバイスに追加されていない場合は、次の手順に従って追加します。

   a. 表示される [インスタンス] 画面で、プラスアイコン ( ) をタップします。
   Now Platform インスタンスのアドレスを入力して保存するように求める画面が表示されます。

   b. フィールドに入力します。

フィールド名	説明
インスタンスアドレスを入力するか、QR コードをスキャンしてください。	1 つ選択して続行します。 ▪ フィールドの .service-now.com の前に、Now Platform インスタンスの名前 (例：grcmobile) を入力します。 ▪ アドレスを入力します。これは、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスの URL のアドレスです。 ▪ QR コードをスキャンします。 モバイルアプリの詳細については、ServiceNow 製品ドキュメント Web サイト の「モバイルアプリを使用してインスタンスにログインする」を参照してください。
(オプション) ニックネームを入力	このインスタンスのニックネームを入力します。デバイスに複数のインスタンスが存在する場合、ニックネームを使用することで、Now Platform インスタンスをすばやく見つけることができます。

   c. [保存してログイン **(Save and Login)]** をタップします。

3. 表示される ServiceNow ログイン画面で、追加する Now Platform インスタンスの [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
   [Policy and Compliance] ランディング画面が表示されます。GRC Mobile アプリケーション に正常にログインしました。
4. ログイン後、GRC Mobile アプリケーション で通知が有効になっていることを確認します。

   a. 下部のランディング画面で、[その他] をタップし ます。

   b. [その他] 画面で、[通知] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [通知] 画面で、[通知を有効にします] をタップします。
Now Platform からの通知は、GRC Mobile アプリケーション の [通知] 画面に表示されます。

5. モバイルデバイスでインスタンスにログインすると、そのインスタンスがデバイスのデフォルトの Now Platform インスタンスになります。
デバイス上の別の Now Platform インスタンスを表示するには、デフォルトのインスタンスからログアウトする必要があります。ログアウトするには：

a. 画面の下部にある [その他] をタップします。
[その他] 画面が表示されます。

b. [設定] をタップします。

c. 表示される画面で、[ログアウト] をタップします。
[インスタンス] 画面に、モバイルデバイスに追加した Now Platform インスタンスが表示されます。

d. オプション: 別のインスタンスをタップしてログインするか、前の手順に従って別のインスタンスを追加します。

Trouble?

デバイスで **[ServiceNow** エージェント] アプリをタップした後に GRC Mobile アプリケーションのインスタンス画面が表示されない場合は、デバイスで **[ServiceNow** エージェント] アプリが信頼できるアプリとして許可されていることを確認してください。信頼できるアプリとしてのアクセスを許可するには、デバイスの [設定] および [一般的なデバイス管理] に移動し、オプション ([アプリを信頼 **(Trust app)]** など) をタップしてアクセスを許可します。

ログイン画面に資格情報を入力した後にエラーメッセージが表示された場合は、Now Platform インスタンスのユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

ランディング画面の表示に問題がある場合は、ネットワーク接続を確認してください。

ServiceNow エージェントアプリをタップしても [インスタンス] 画面を表示できない場合は、デバイスからアンインストールしてください。Apple iOS App Store または Google Play ストアから最新バージョンのアプリを入手して、再インストールしてみてください。

次のタスク
各アプレットの詳細については、次のいずれかのトピックを選択してください。

処理待ちの ポリシーとコンプライアンス管理 承認要求を **GRC Mobile** アプリケーションで処理

自分に送信された処理待ちのポリシー承認要求を承認または却下します。

始める前に
必要なロール：コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
レコードのリストから処理待ちの ポリシーとコンプライアンス管理 要求を承認または却下します。または、要求を処理する前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

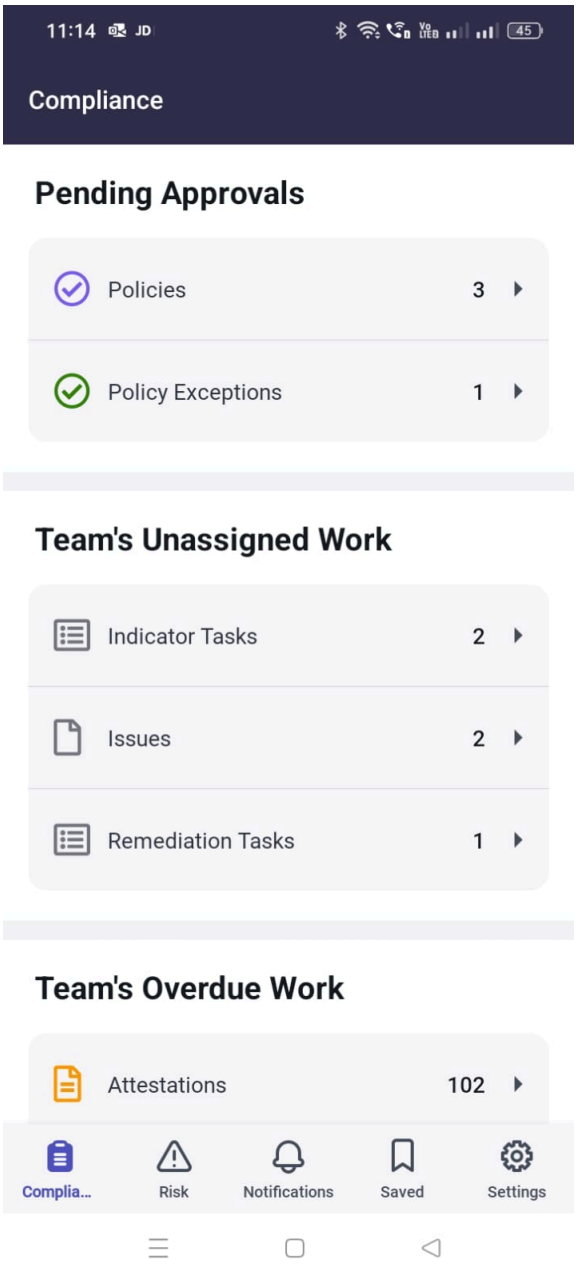
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示されたら、[ポリシー] をタップします。

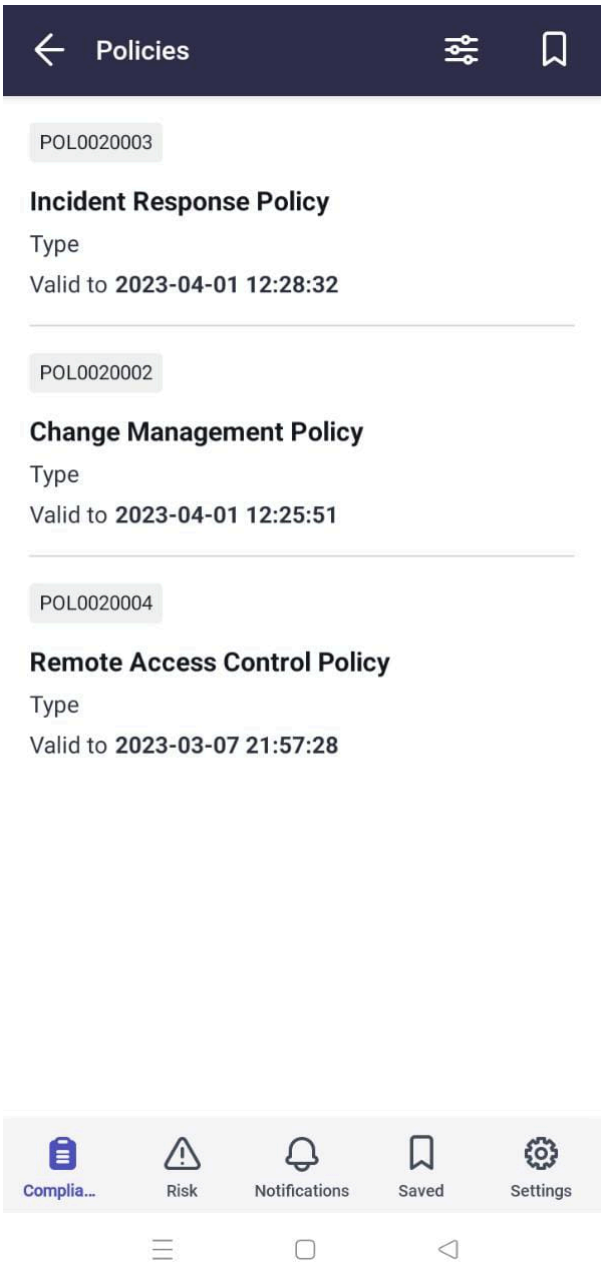
   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。



[ポリシー] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

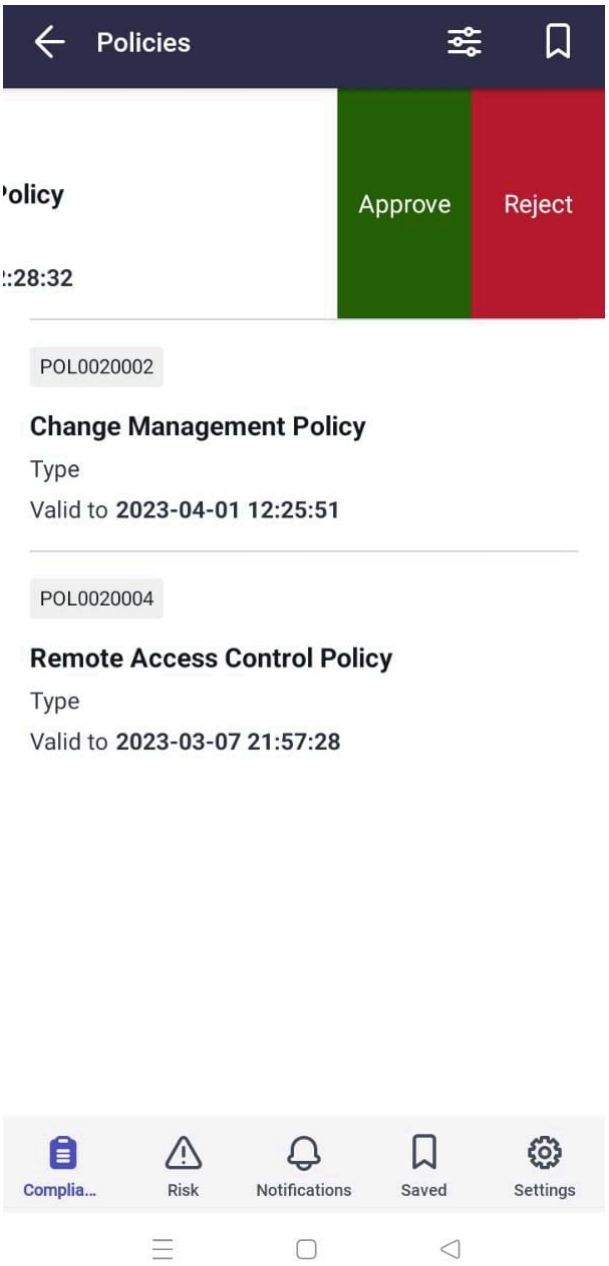


3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

4. レコードのリストが表示された [ポリシー] 画面で、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



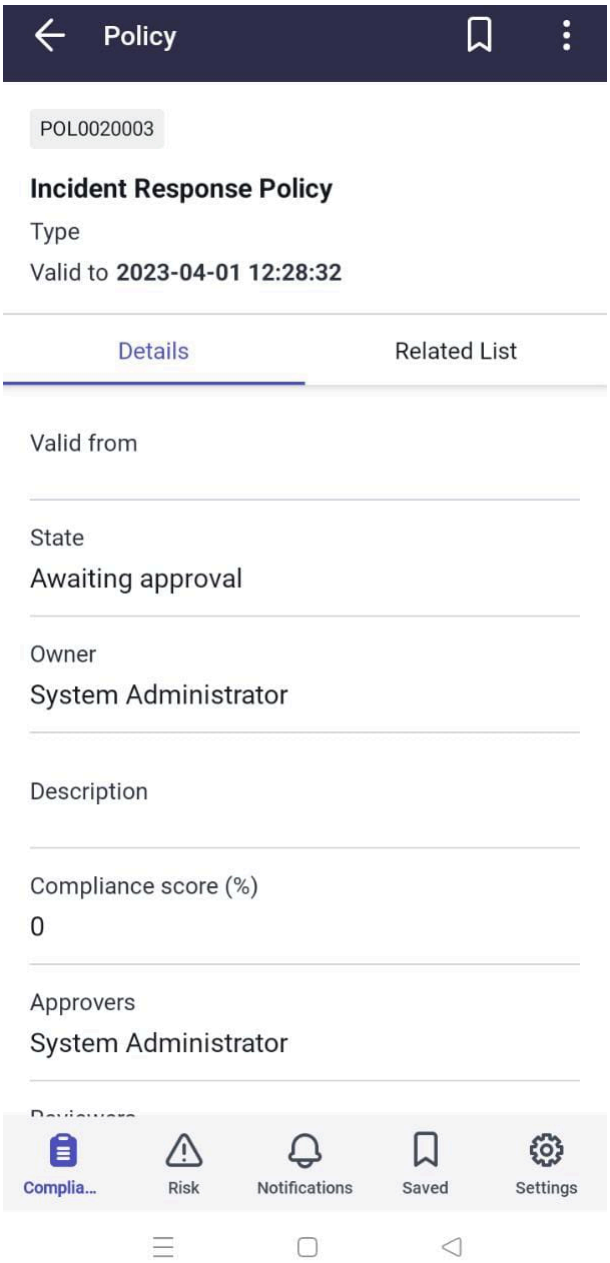
5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して要求を処理します。

6. または、[ポリシー] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。

次の図に示すようにポリシーレコードのフィールドが表示されたら、テーブルでフィールドを 1 つ選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



GRC Mobile アプリケーションでポリシー例外の承認待ちを処理

自分にアサインされた処理待ちのポリシー例外およびポリシー例外延長要求を承認または却下します。

始める前に

必要なロール：コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて

このアプレットを使用すると、ポリシー例外レコードのリストに対して次のタスクを実行できます。

- 編集
- 追加情報の要求
- 処理待ちのポリシー例外または延長要求を承認または却下
- 要求を処理する前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加

自動翻訳

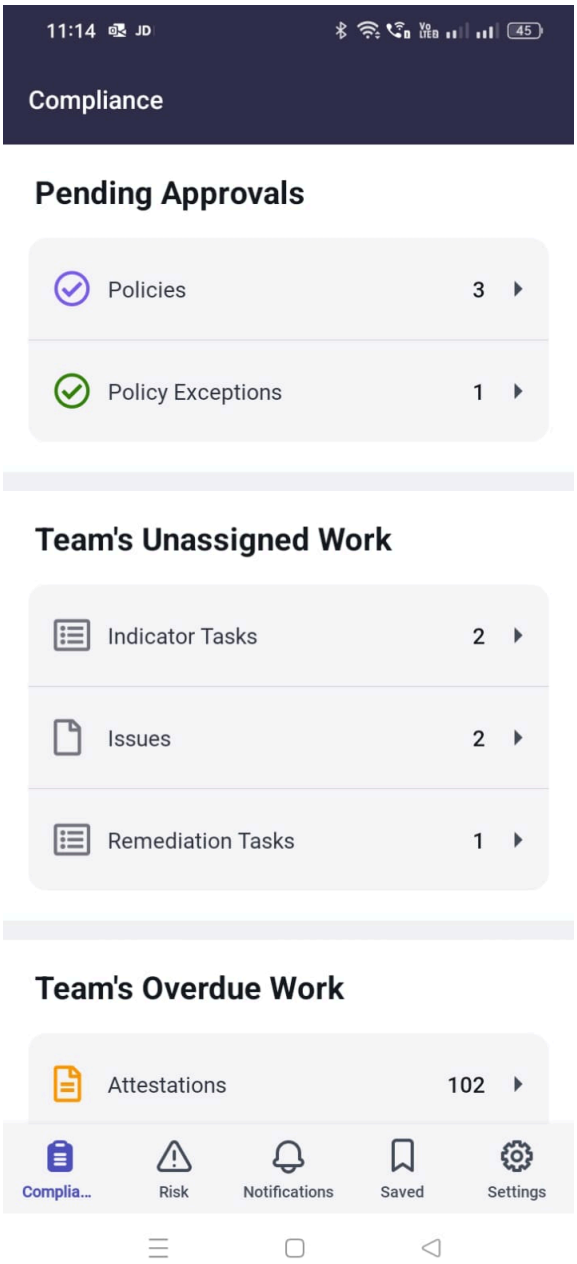
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示されたら、[ポリシー例外] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。



[ポリシー例外] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 画面に表示されているレコードのリストから直接、ポリシー例外を編集、承認、却下、または詳細を要求するには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

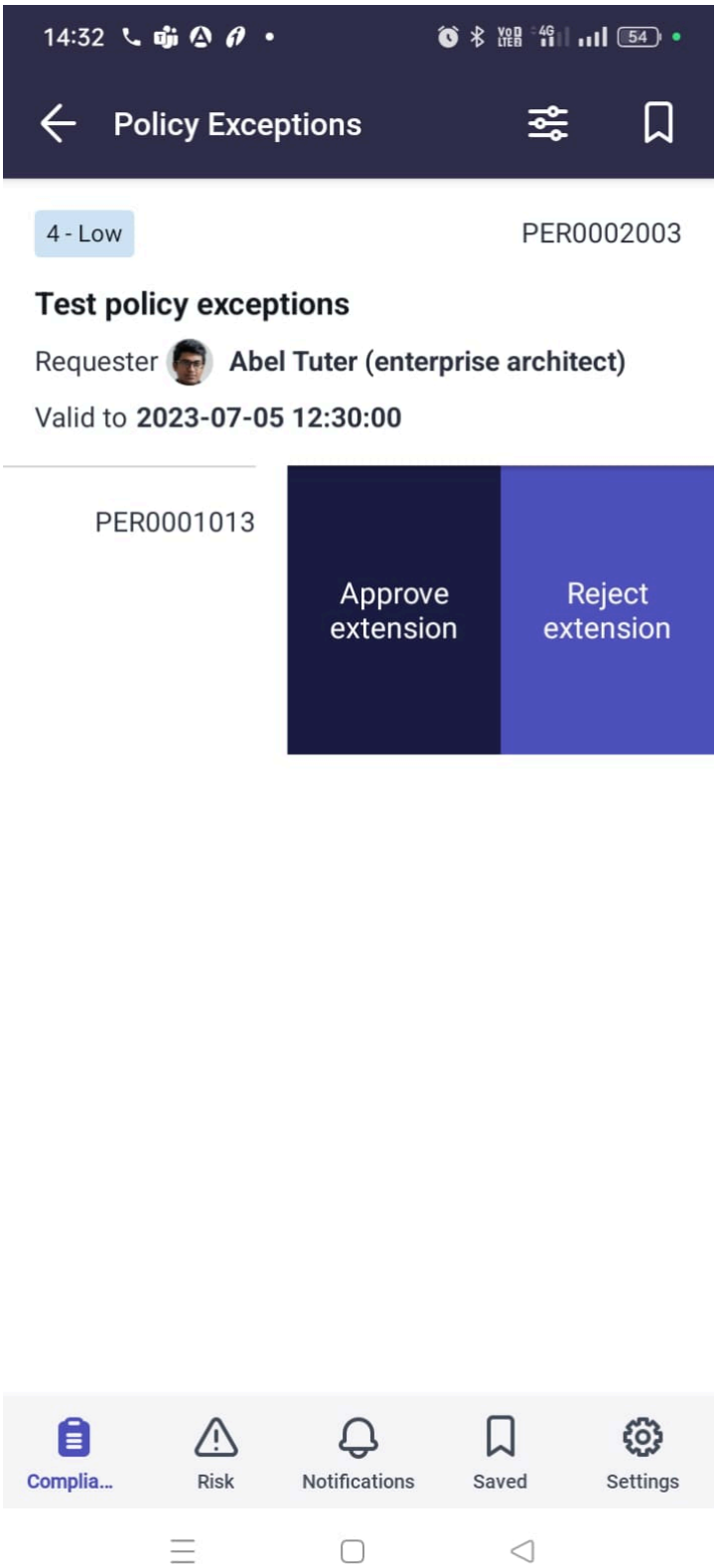


5. 表示されるメニューで、次の表からいずれかを選択して続行します。

6. 詳細情報を要求した後に [ポリシー例外] 画面に表示されるレコードのリストから直接、ポリシー例外延長要求を承認または却下するには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



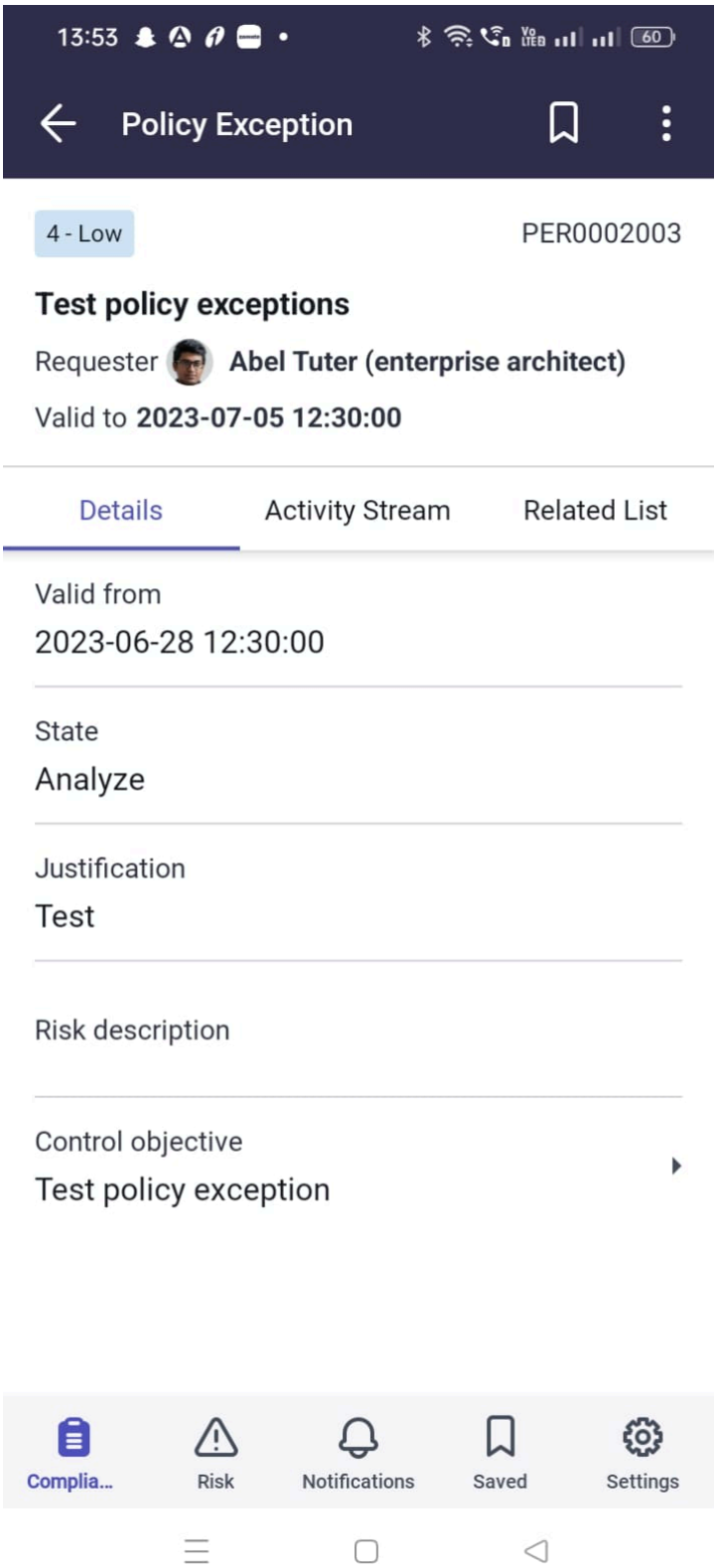
自動翻訳

7. 表示されるポリシー延長のメニューで、いずれかを選択して続行します。

8. または、[ポリシー例外] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を確認します。

   レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ポリシーとコンプライアンス管理 インジケータータスクを **GRC Mobile** アプリケーション でアサイン

アサインされていない ポリシーとコンプライアンス管理 インジケータータスクをアサイン先グループのメンバーにアサインします。インジケータータスクは、コンプライアンスグループにアサインされたコントロールレコードに関連しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
レコードのリストからタスクをアサインします。または、アサインの前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

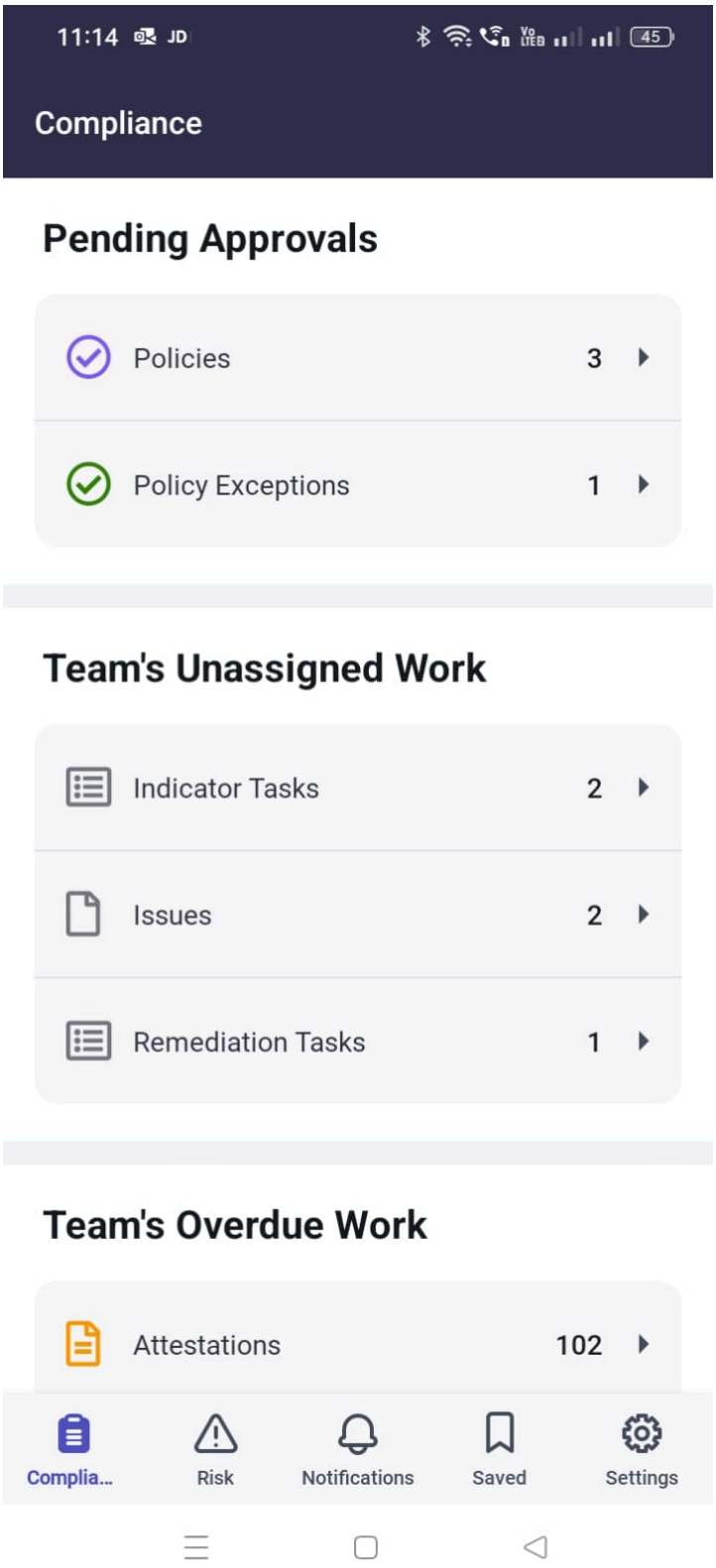
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] 画面が表示された状態で、[チームのアサインされていない作業] セクションにある [インジケータータスク] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

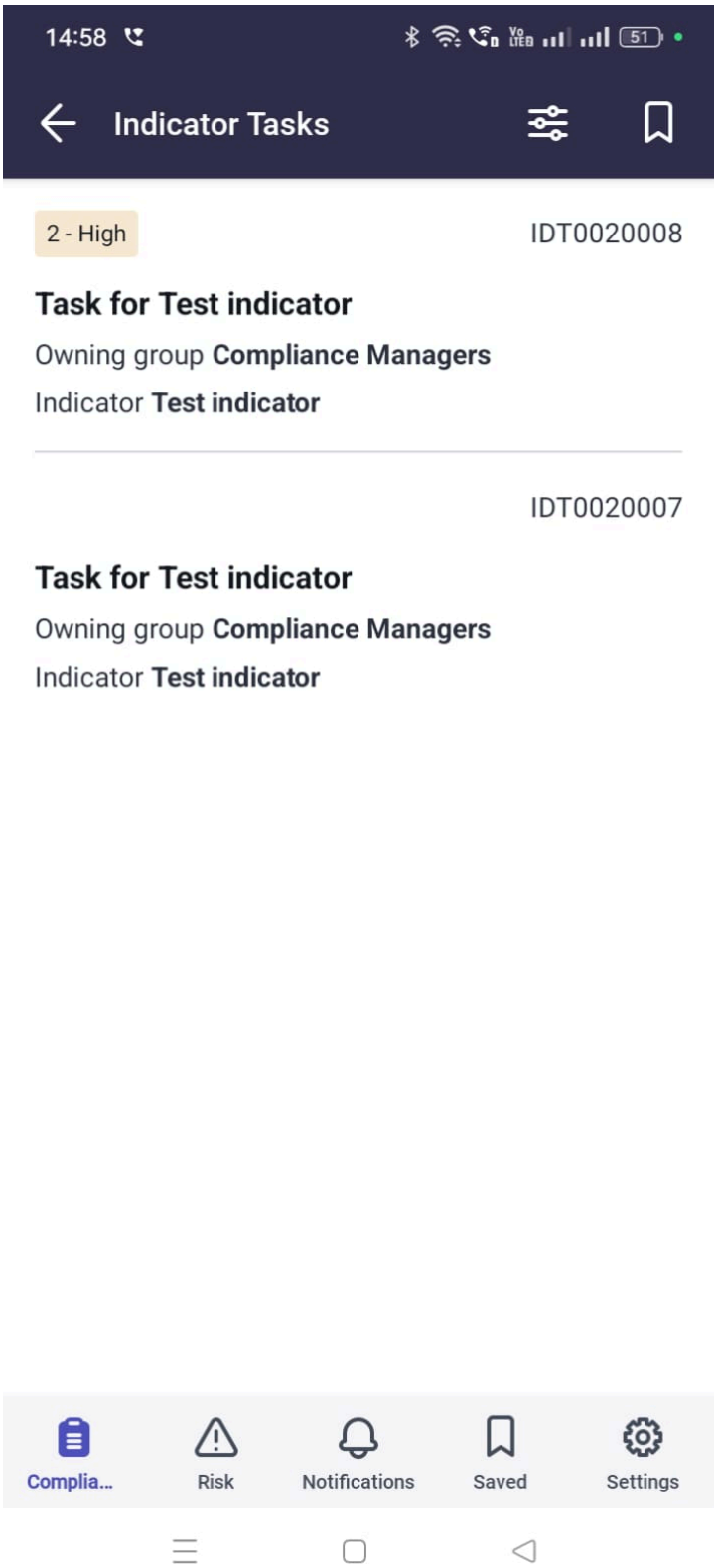
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[インジケータータスク] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



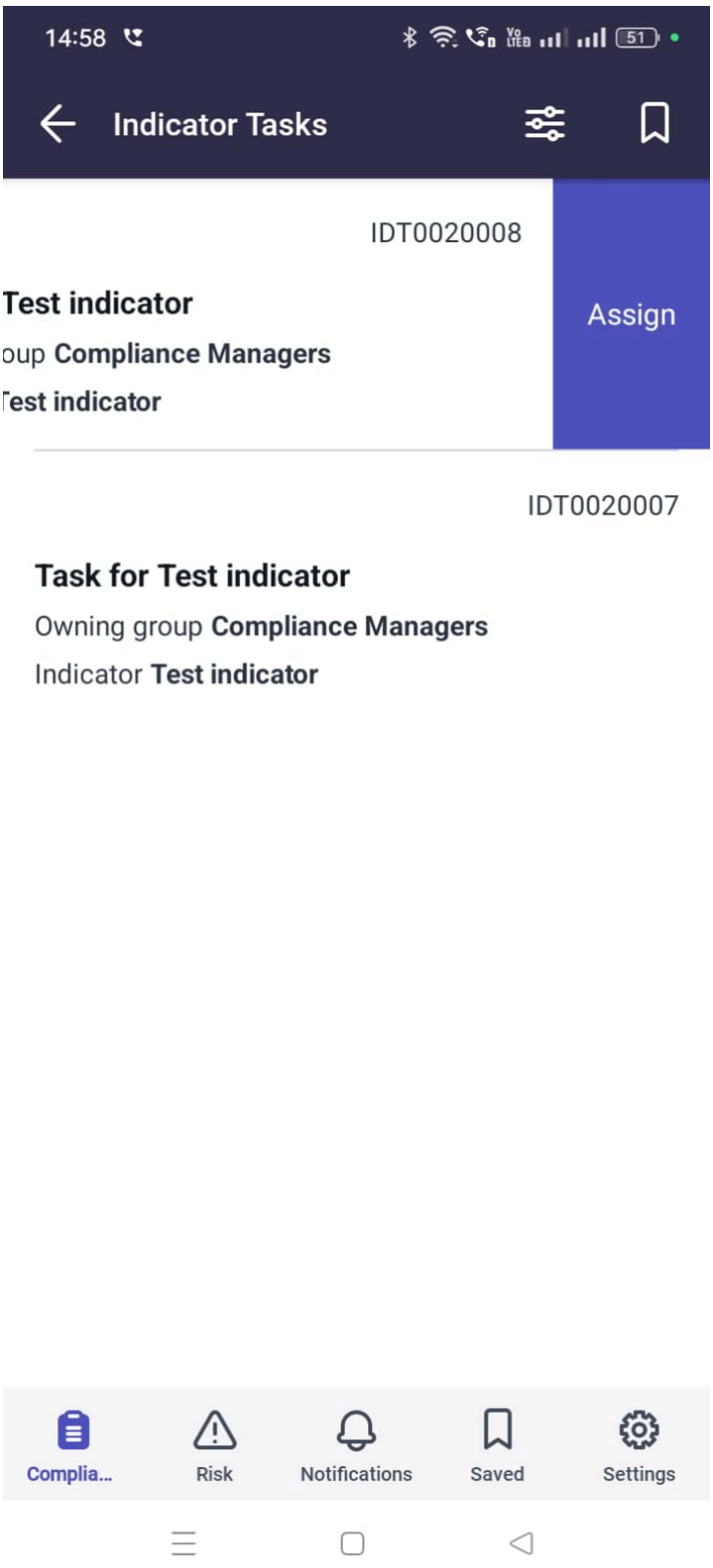
3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [インジケータータスク] 画面に表示されているレコードのリストから直接タスクをアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。



5. [アサイン] をタップします。
6. [アサイン先] をタップし、表示される画面でユーザーをタップします。
または、検索フィールドにテキストを入力します。

自動翻訳

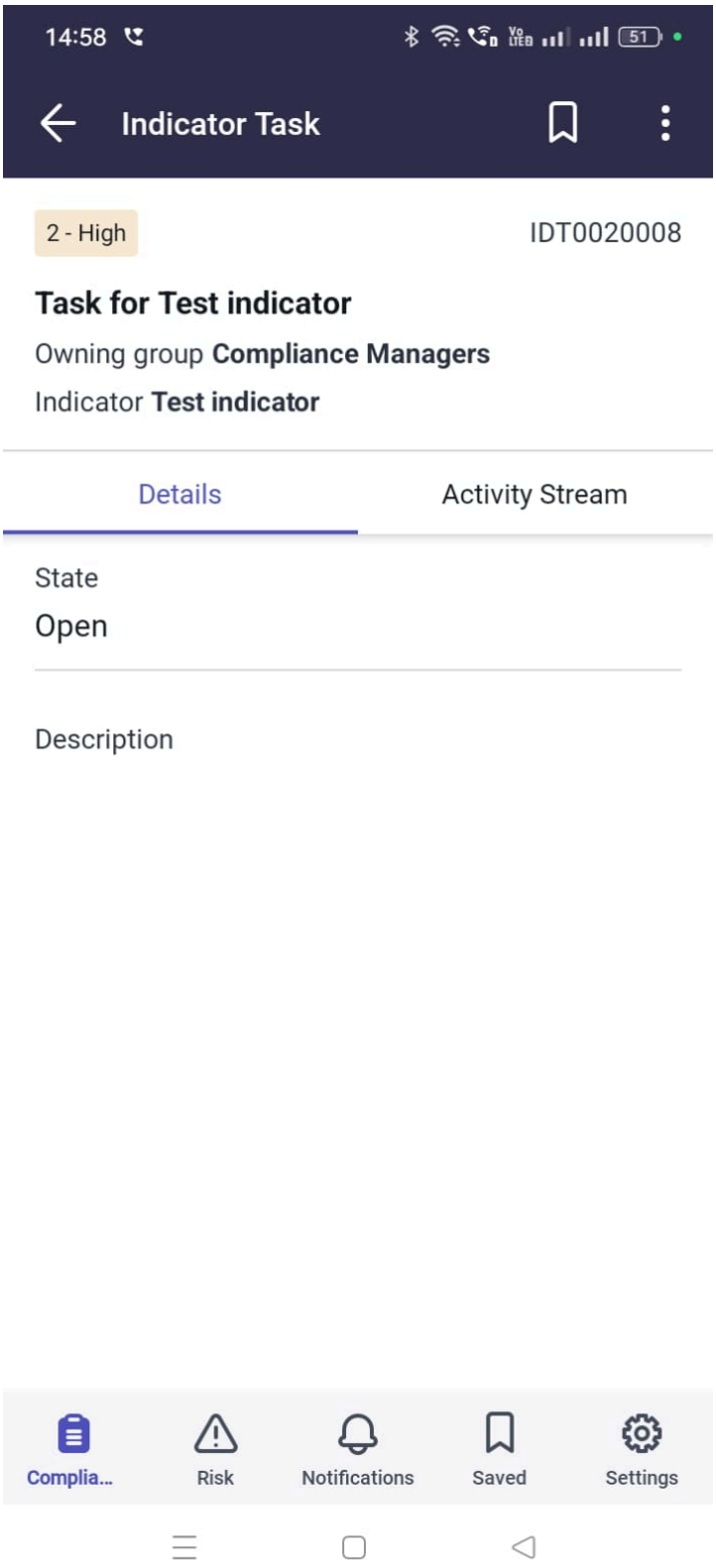
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーの名前が [インジケータータスクをアサイン] 画面に表示されます。インジケータータスクを任意のユーザーにアサインすることができます。

7. 送信アイコン ( ) または [送信] をタップして、変更を保存し、送信します。
タスクをユーザーにアサインすると、そのレコードは [インジケータータスク] リストに表示されなくなります。
8. または、詳細を確認するには、[インジケータータスクをアサイン] 画面を表示して、リスト内のレコードをタップして開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーとコンプライアンス管理 問題を GRC Mobile アプリケーションでアサイン

アサインされていない ポリシーとコンプライアンス管理 問題をアサイン先グループのメンバーにアサインします。レコード内を移動して、問題に関連付けられているコントロール目標、コントロールレコード、および修復タスクの詳細を表示します。

始める前に

必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて

このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

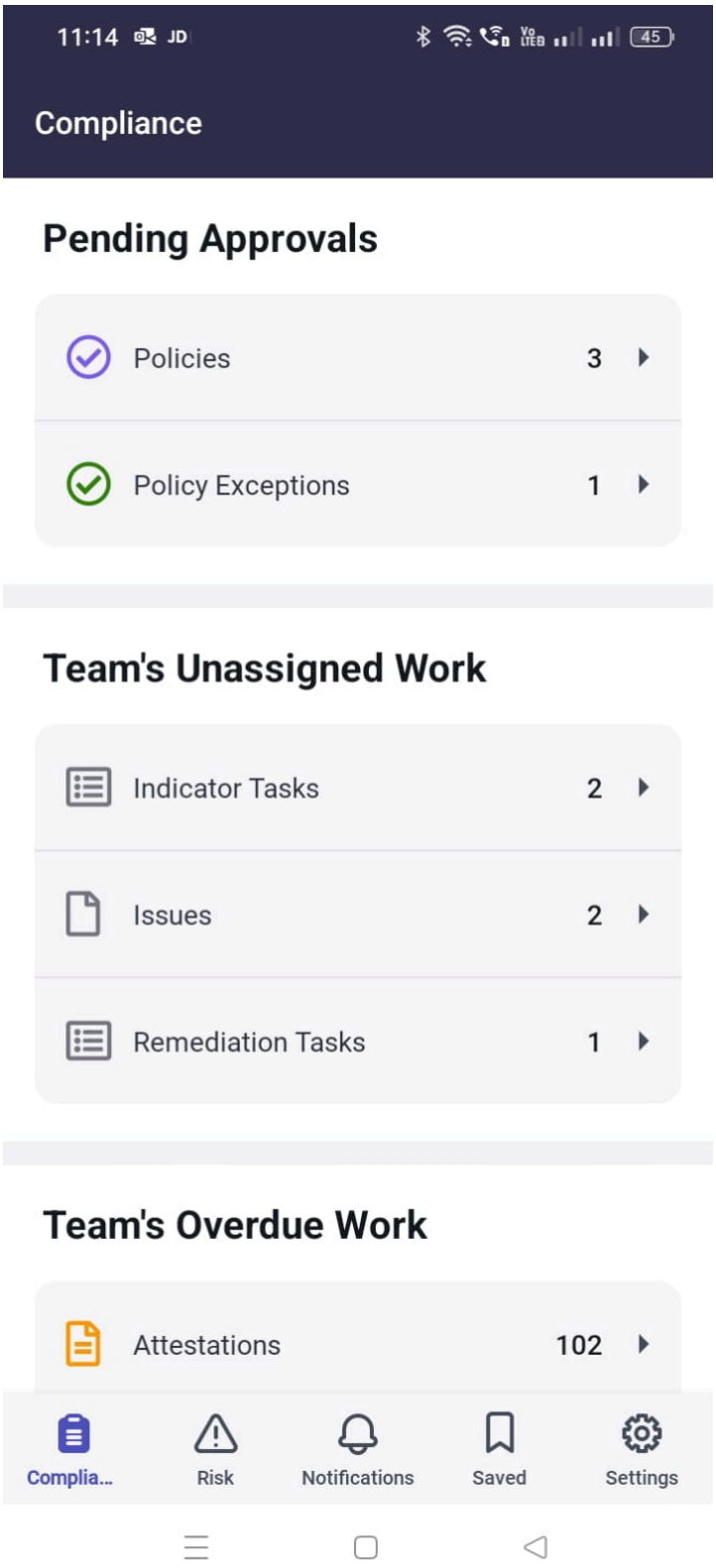
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示された状態で、[チームのアサインされていない作業] セクションにある [問題] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[問題] 画面にレコードのリストが表示されます。

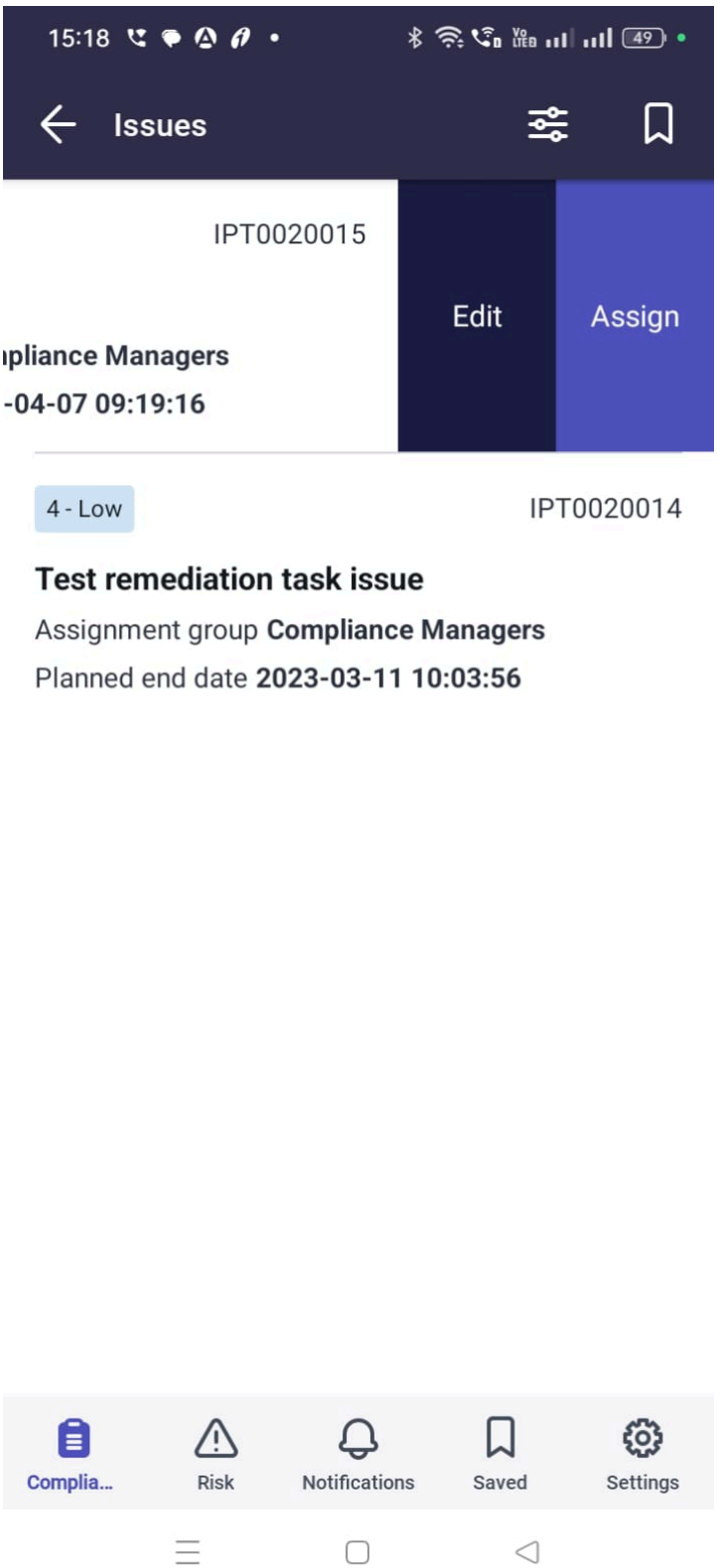
3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

4. [問題] 画面に表示されるレコードのリストから直接、問題を編集またはアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。



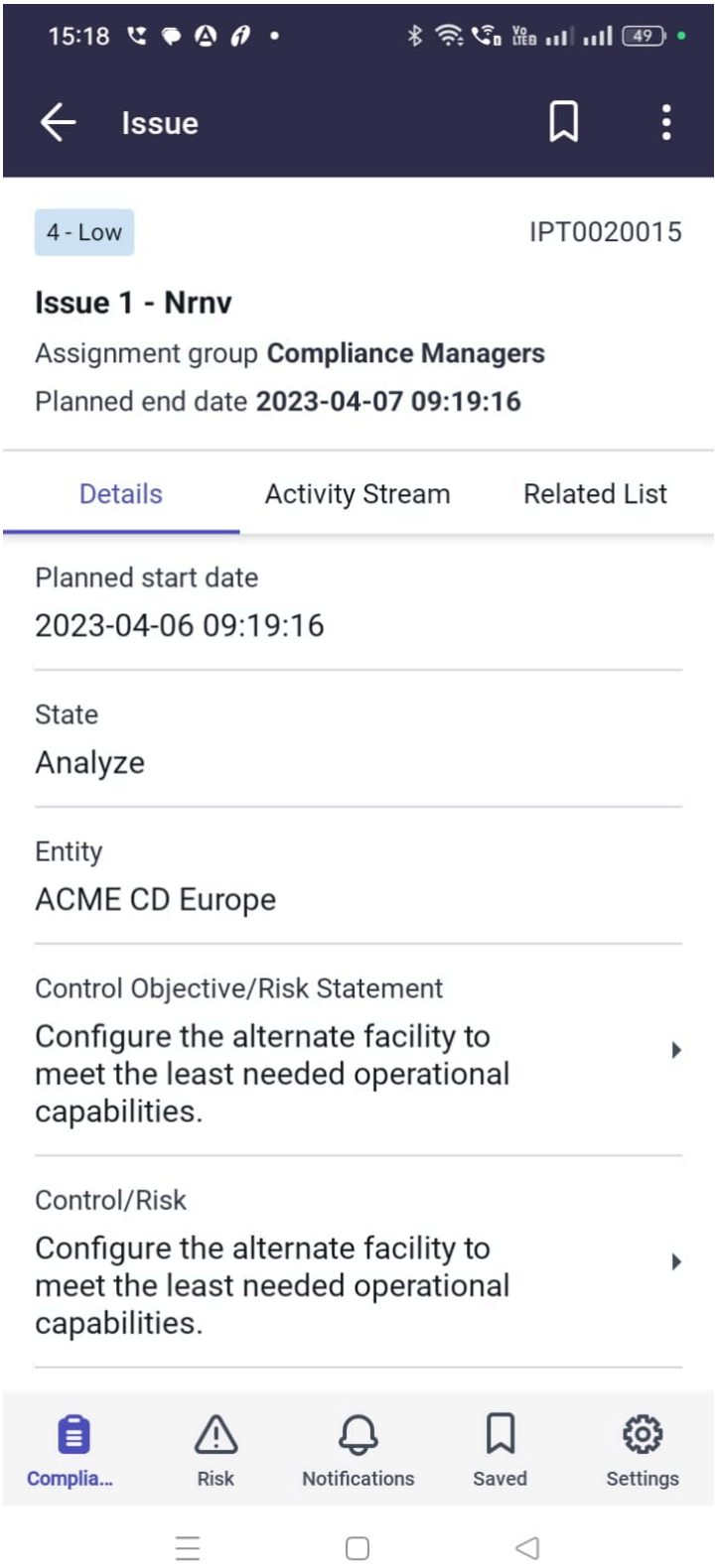
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

6. または、[問題] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。

問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーとコンプライアンス管理 修正タスクを GRC Mobile アプリケーションでアサイン

未アサインの修正タスクをグループのメンバーにアサインします。[日単位で延長] フィールドを含むフィールドを編集します。レコード内を移動して、修正タスクに関連付けられているコントロール目標、コントロールレコード、および問題の詳細を表示します。

始める前に

必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて

レコードのリストから直接、未アサインの修正タスクを編集またはアサインします。または、アサインの前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

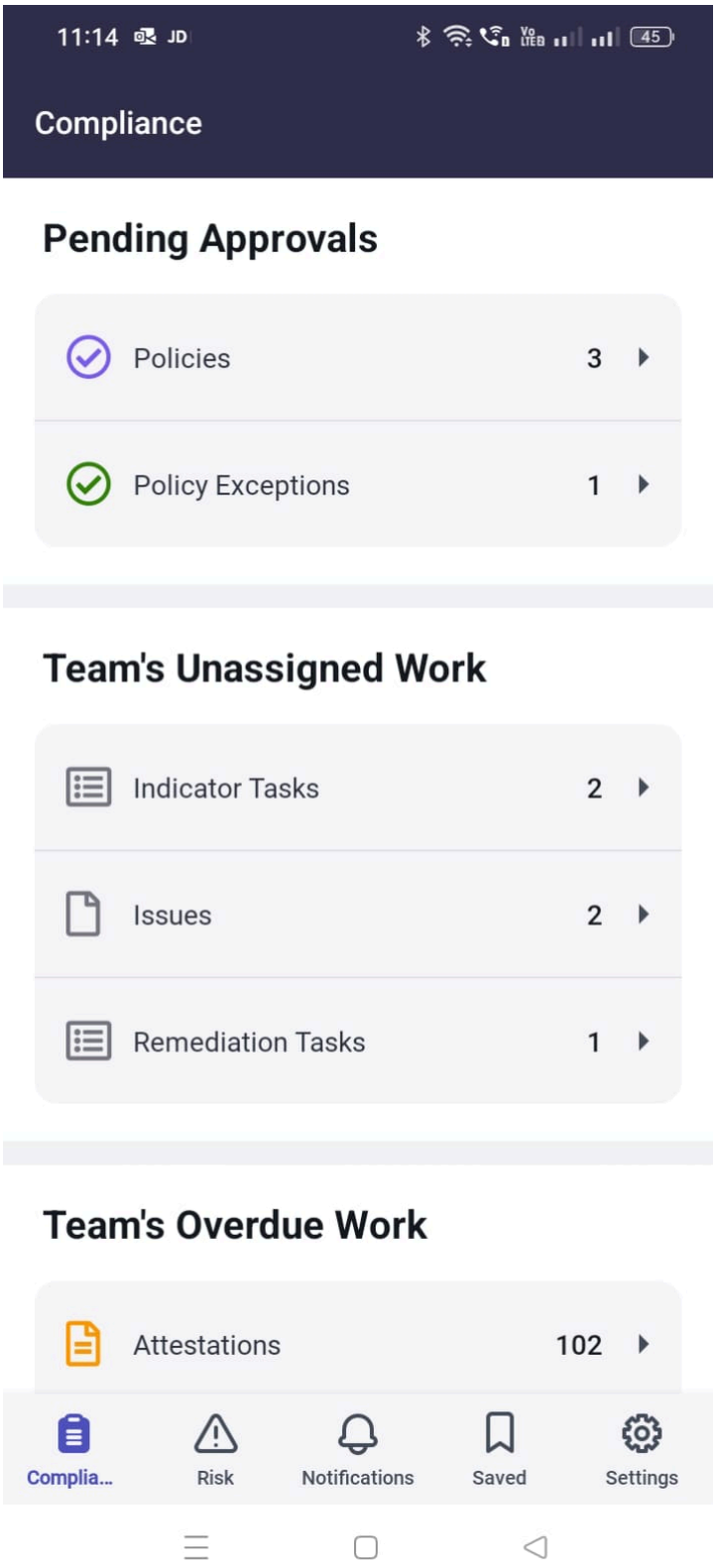
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示された状態で、[チームのアサインされていない作業] セクションにある [修正タスク] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[修正タスク] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



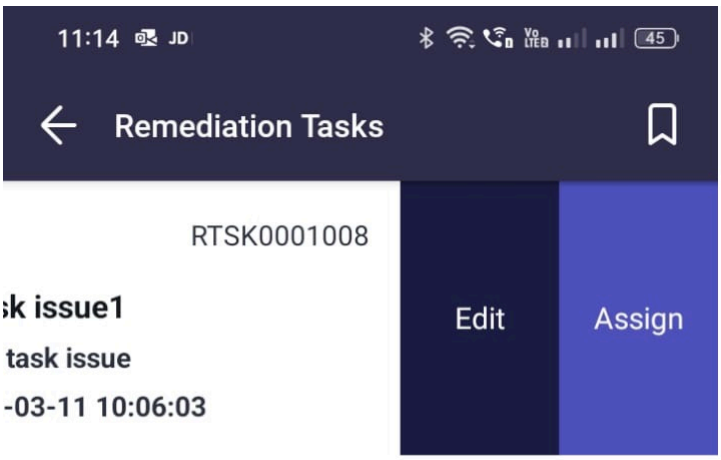
3. オプション: 特定の検索条件に一致するレコードを検索するには、GRC Mobile アプリケーションでのレコードのフィルタリング を参照してください。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [修正タスク] 画面に表示されているレコードのリストから直接タスクを編集またはアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

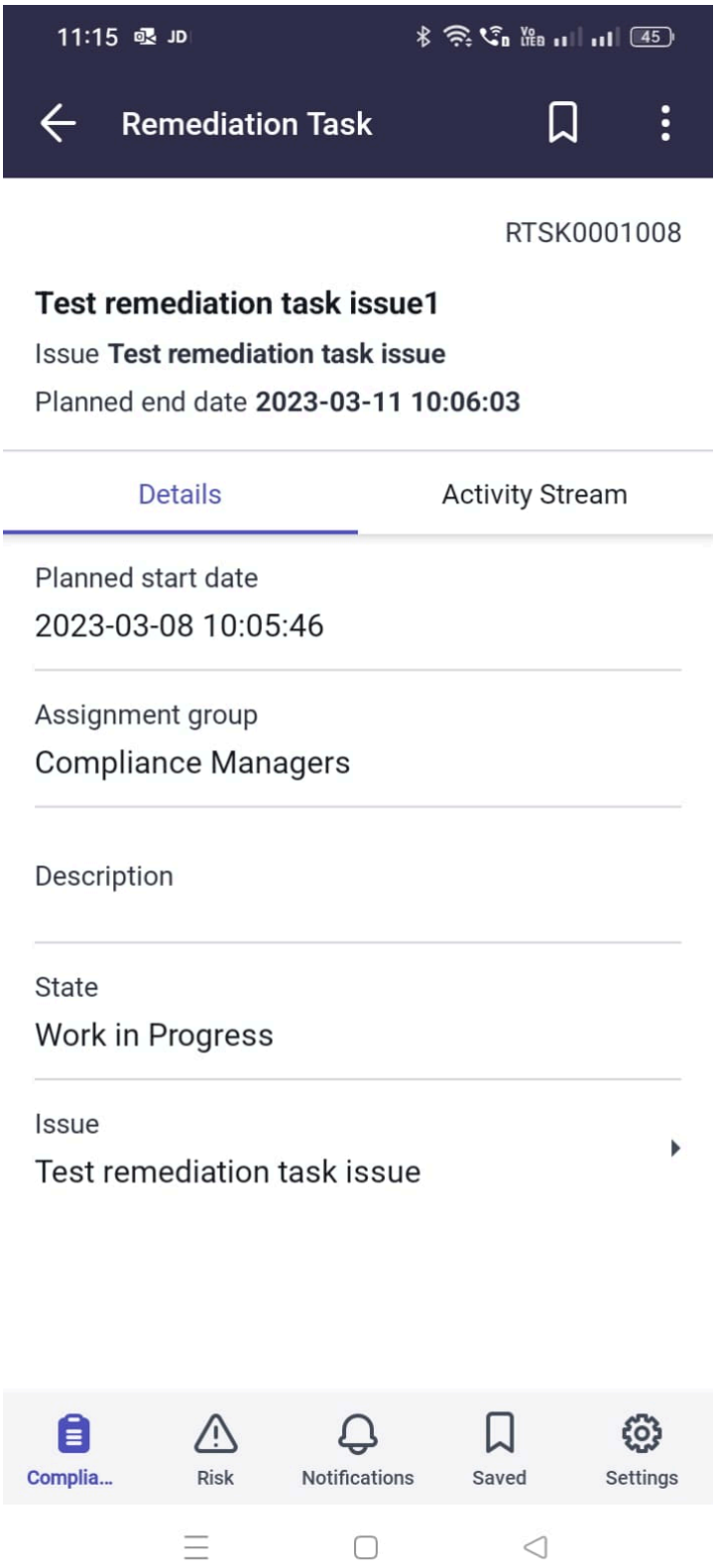


5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

6. または、[修正タスク] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を確認します。
7. 問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

期限切れの ポリシーとコンプライアンス管理 証明書を **GRC Mobile** アプリケーションで再アサイン

期限切れの証明書をアサイン先グループのメンバーに再アサインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
リストからレコードを再アサインします。または、再アサインの前にレコードの詳細を表示します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

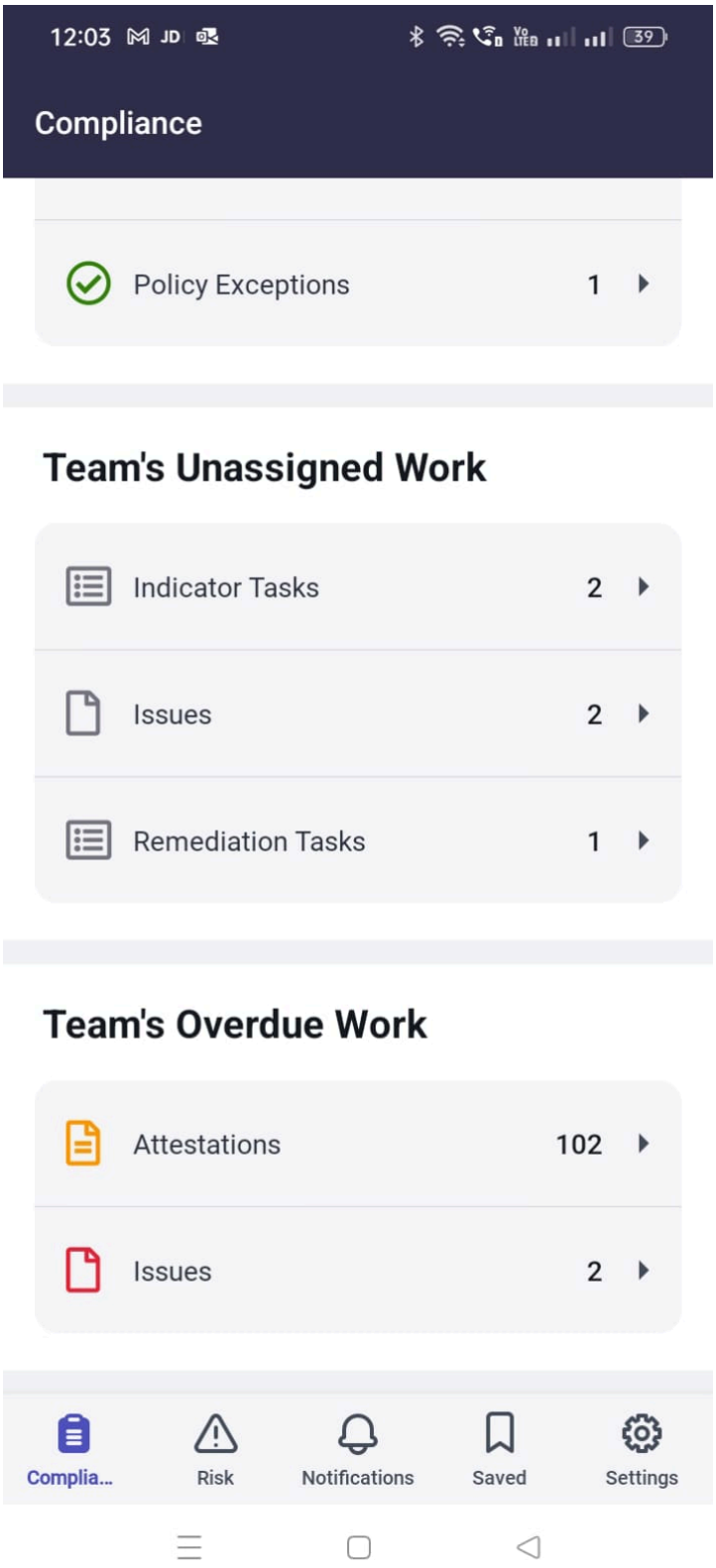
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示された状態で、［チームの期限切れ作業］セクションにある [証明書] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

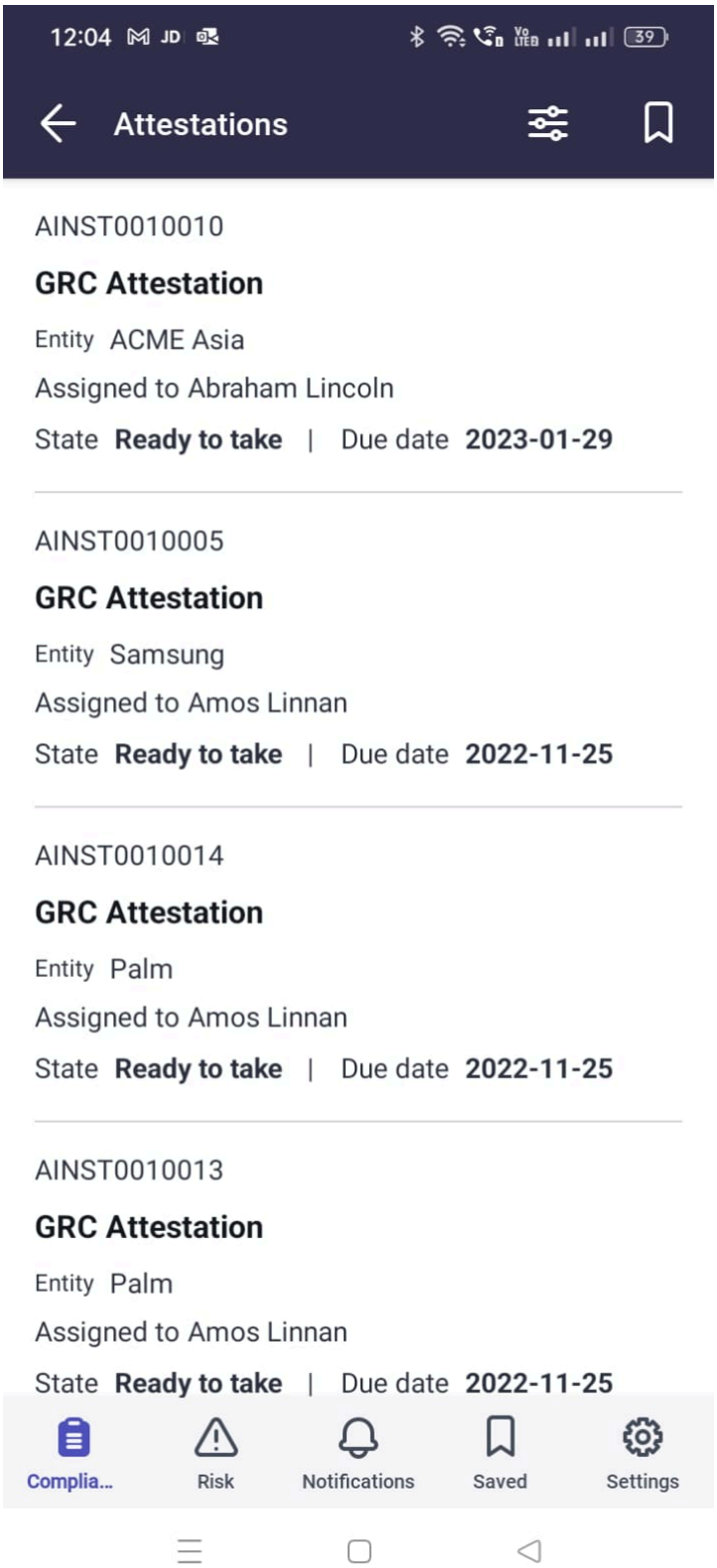
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[証明書] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



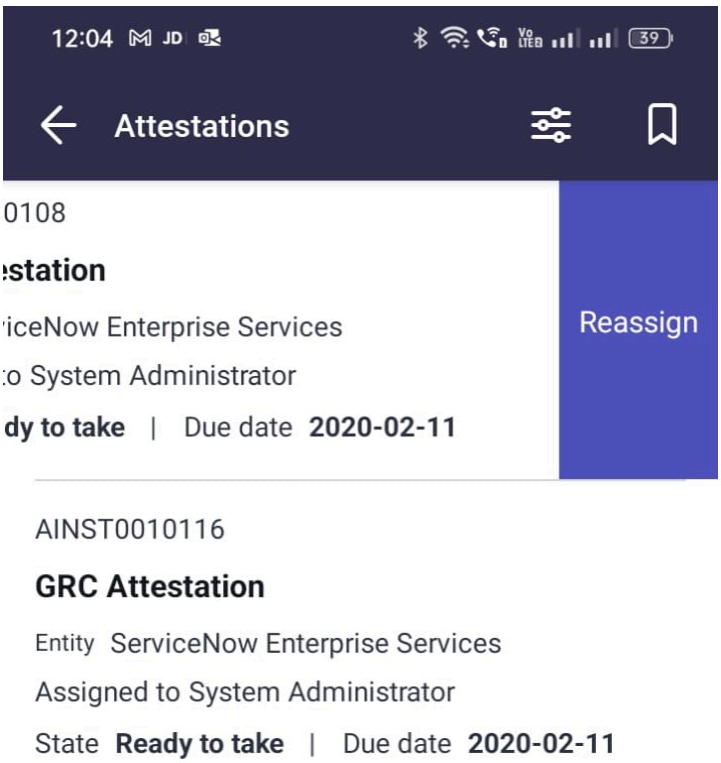
3. オプション: 特定の検索条件に一致するレコードを検索するには、GRC Mobile アプリケーションでのレコードのフィルタリング を参照してください。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

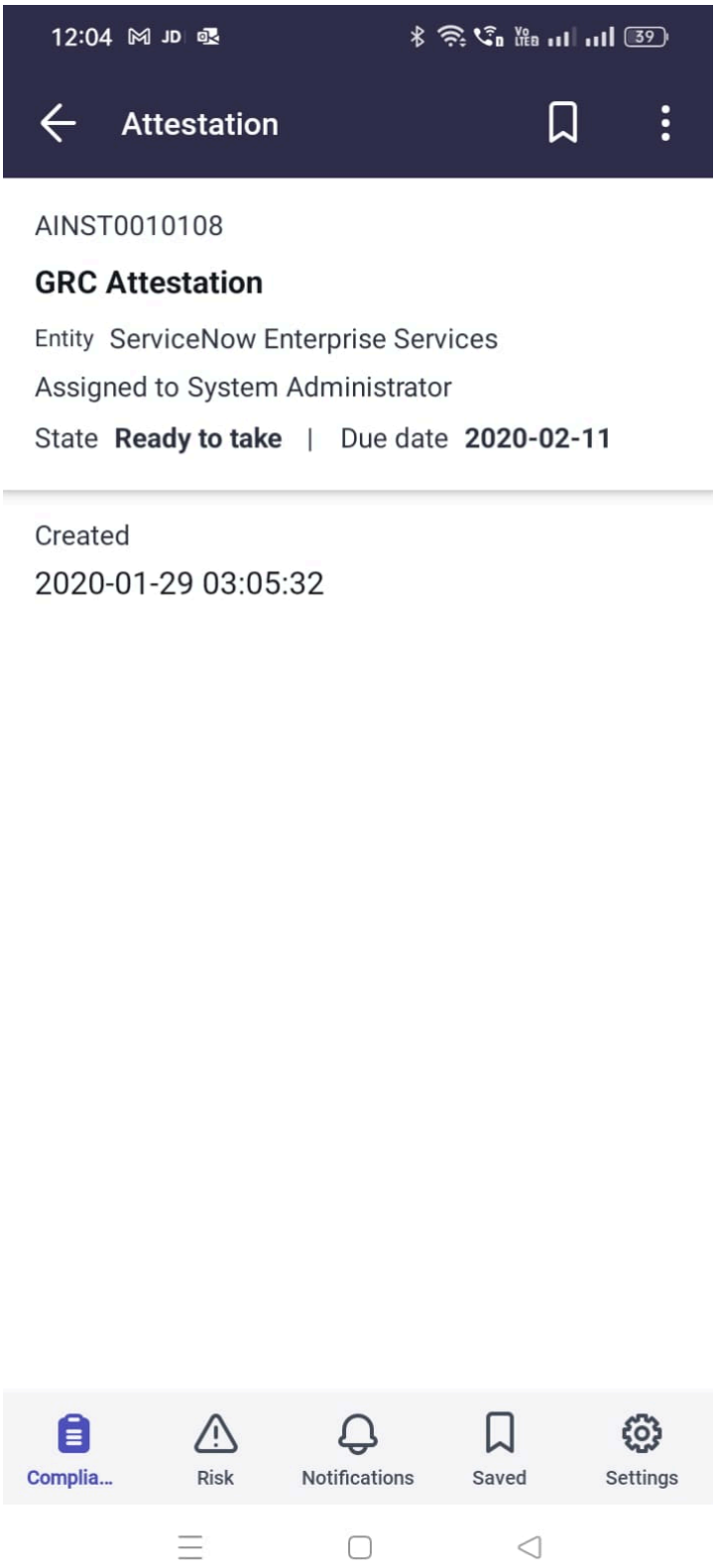
4. [証明書] 画面に表示されるレコードのリストから直接証明書を再アサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。



5. [再アサイン] をタップし、次に [アサイン先] フィールドをタップします。
6. ユーザー名をタップするか、検索フィールドに名前を入力します。
7. 送信アイコン ( ) または [送信] をタップして、変更を保存して送信します。
8. または、[証明書] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。
9. 次のテーブルからいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

期限切れの ポリシーとコンプライアンス管理 問題を **GRC Mobile** アプリケーションで再アサイン

アサイン先グループにアサインされた、期限切れの問題を再アサインします。レコード内を移動して、期限切れの問題に関連付けられているコントロール目標、コントロールレコード、および修正タスクの詳細を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：GRC コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
レコードのリストから直接、問題を編集または再アサインします。または、再アサインの前に作業メモを追加するか、レコード内を移動してレコードの詳細を表示します。問題がアサイン先グループにアサインされていない場合、このリストには表示されません。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

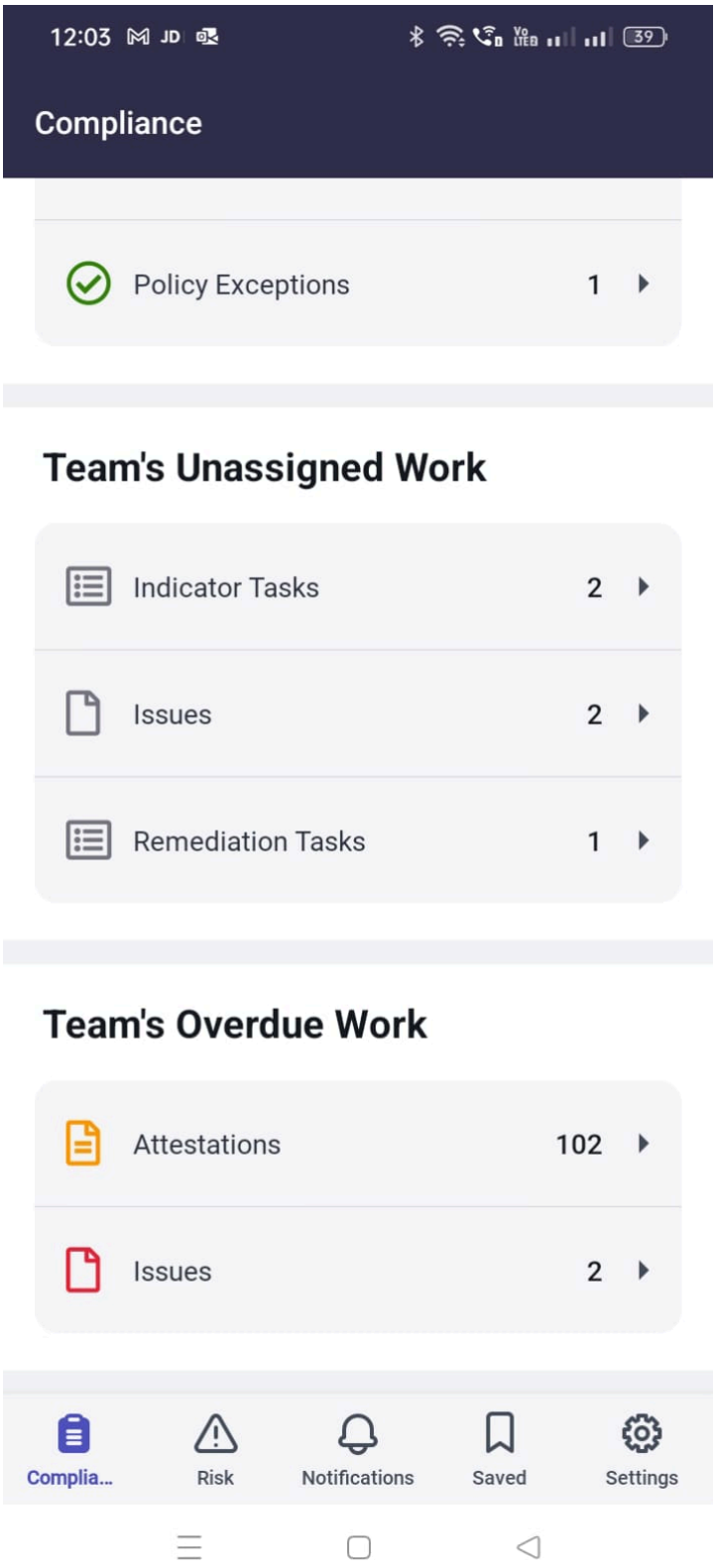
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [Policy and Compliance] ランディング画面が表示された状態で、[チームの期限切れ作業] セクションにある [問題] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

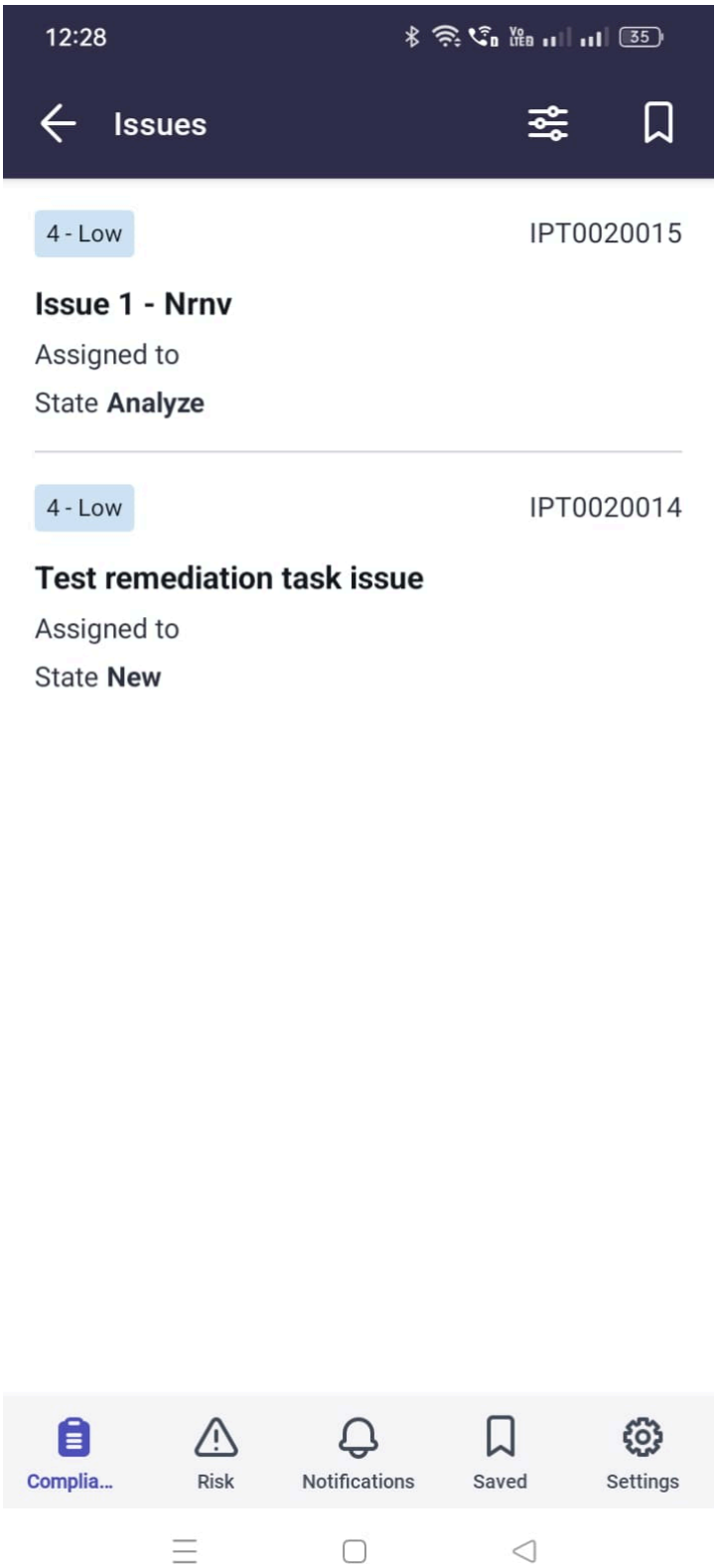
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[問題] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



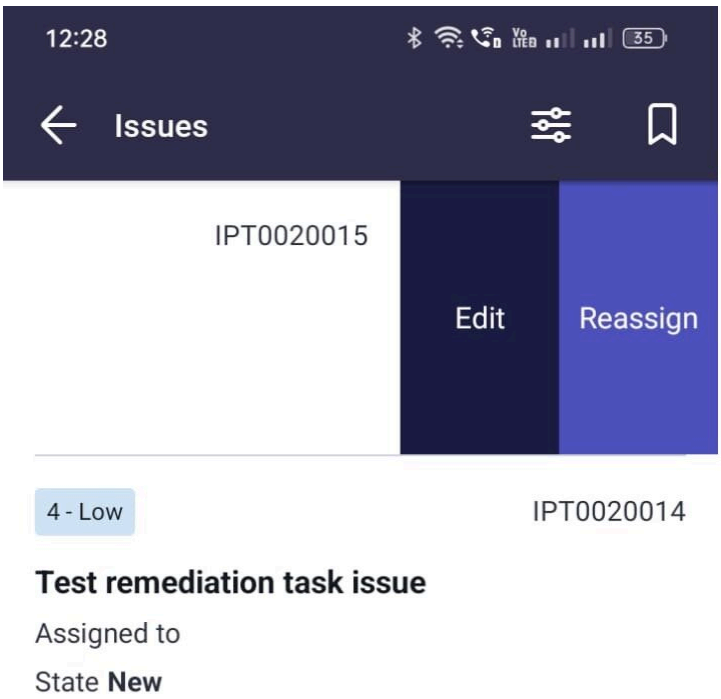
自動翻訳

3. オプション: 特定の検索条件に一致するレコードを検索するには、GRC Mobile アプリケーションでのレコードのフィルタリング を参照してください。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [問題] 画面に表示されるレコードのリストから直接、問題を編集または再アサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

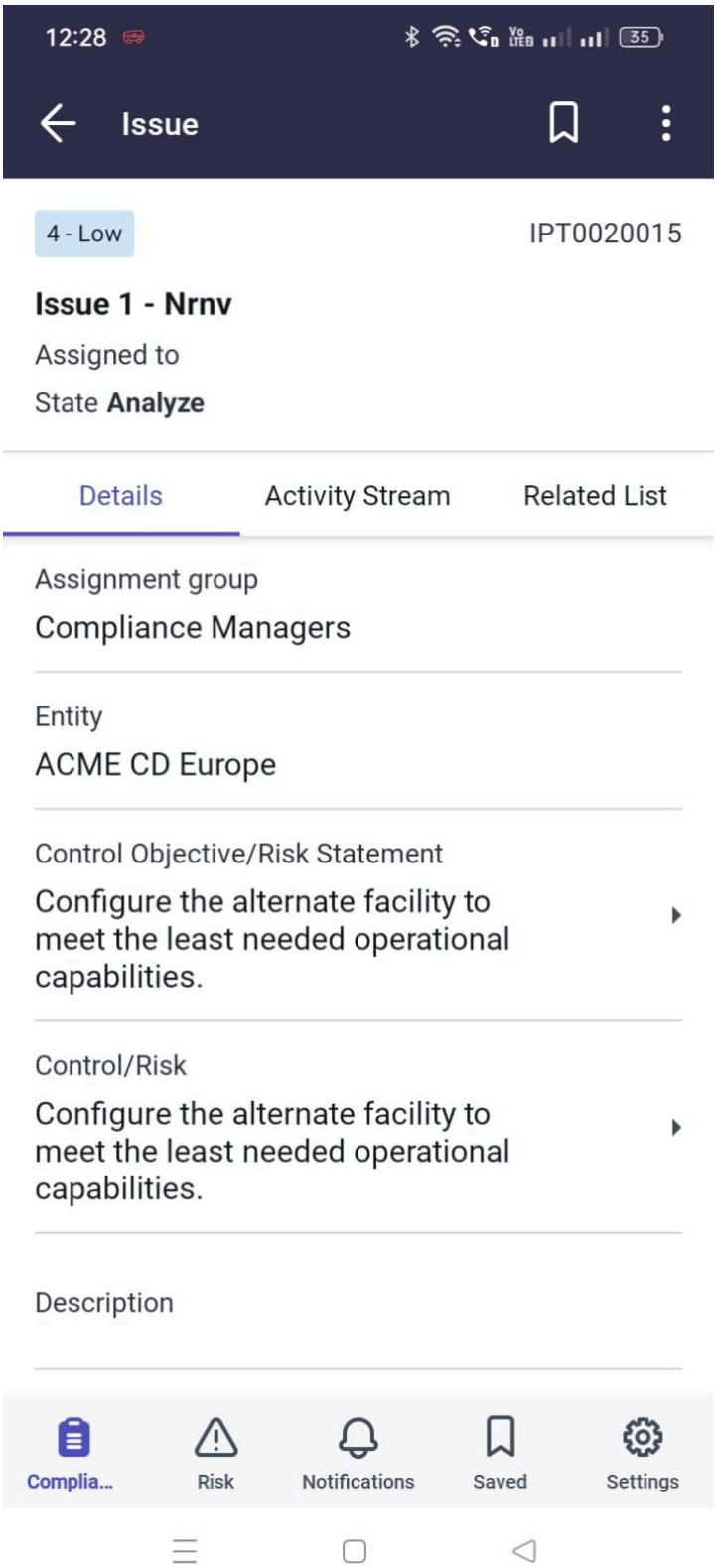


5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

6. または、[問題] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。
7. 問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング

追加のフィルターを設定して、画面に表示されるレコードの数を制限します。モバイルアプリでのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager)

このタスクについて
このタスクの完了にかかる時間は 5 分です。

手順

1. 検索結果をさらに絞り込む場合、または表示されるレコードリストに追加のフィルター基準を入力する場合は、フィルターアイコン () をタップします。
2. [フィルター] 画面を表示して、フィールドをタップして展開します。
3. 表示されるオプションから、チェックボックスをタップするか、フィルターのオプションをタップします。
   フィルターの多くでは、複数のオプションを選択できます。
4. 戻るアイコン () をタップするか、[完了] をタップして、フィールドに加えた変更を保存します。
   選択した条件が [フィルター] 画面に表示されます。基準と一致するレコードの数も画面の上部に表示されます。[クリア] または [リセット] をタップして、すべてのフィルターを削除し、デフォルト設定に戻します。
5. オプション: フィルター条件の設定を続行するには、[フィルター] 画面で手順 1 ～ 4 を繰り返します。
6. すべての条件を設定した後、共通部分アイコンをタップして AND 条件を作成します。 )。
   または、和集合アイコン () をタップして、OR 条件を作成します。
7. 必要なすべての条件を追加したら、表示された [フィルター] 画面で [完了] をタップします。
   フィルター基準に一致するレコードのみが画面に表示されます。

次のタスク
詳細については、検索後に表示されるレコードを参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理 の参照

参照トピックには、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティに関する情報が記載されています。

ポリシーとコンプライアンス管理 とともにインストールされるコンポーネント

参照トピックには、ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインのアクティブ化とともにインストールされるコンポーネントに関する追加情報が記載されています。これらのコンポーネントには、テーブル、ユーザーロール、およびプロパティが含まれます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

ポリシーとコンプライアンス管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 のアクティブ化とともに追加されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インストールされるテーブル

テーブル	説明
各種法令・基準等 [sn_compliance_authority_document]	ドキュメント [sn_grc_document] テーブルを拡張し、すべての各種法令・基準等を保存します。
コントロール [sn_compliance_control]	アイテム [sn_grc_item] テーブルを拡張し、すべてのコントロールを保存します。
ポリシー [sn_compliance_policy]	ドキュメント [sn_grc_document] テーブルを拡張し、すべてのポリシーを保存します。
記事テンプレート [sn_compliance_article_template]	ポリシーをナレッジベース (KB) に公開するときに、ポリシーレコードに含まれるポリシーテキストをフォーマットするために使用されます。
信頼できるソースコンテンツ [sn_compliance_citation]	コンテンツ [sn_grc_content] テーブルを拡張し、すべての信頼できるソースコンテンツを保存します。
ポリシー例外リスク評価マッピング [sn_compliance_policy_exception_risk_rating_mapping]	リスクアセスメント評価のマッピングの詳細をポリシー例外リスク評価とともに保存します。
ポリシーからエンティティタイプ [sn_compliance_m2m_policy_profile_type]	ドキュメントをエンティティタイプ [sn_grc_m2m_document_profile_type] に拡張し、ポリシーとエンティティタイプ間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブルです。
引用するコントロール目標 [sn_compliance_m2m_statement_citation]	コントロール目標と関連する引用の間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
エンティティタイプに対するコントロール目標 [sn_compliance_m2m_statement_profile_type]	コンテンツからエンティティタイプ [sn_grc_m2m_content_profile_type] を拡張します。これは、コントロール目標とエンティティタイプ間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブルです。
コントロール目標 [sn_compliance_policy_statement]	コンテンツ [sn_grc_content] テーブルを拡張し、すべてのコントロール目標を保存します。
コントロール目標の要件 [sn_compliance_policy_stmt_requirement]	コントロール目標要件の要件番号と要件の説明を保存します。
コントロール目標要件に対するコントロール目標 [sn_compliance_m2m_policy_stmt_policy_stmt_rqmt]	コントロール目標とコントロール目標要件の間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
コントロール要件	コントロールの要件番号を保存します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
[sn_compliance_control_requirement]	
コントロール間要件 [sn_compliance_m2m_control_control_requirement]	コントロールとコントロール要件の詳細を格納する多対多の関係テーブル。[実装ステータス] フィールドには、要件が継承されたものか自己実装されたものかについての情報が表示されます。
要件の選択 [sn_compliance_hybrid_selection]	選択したコントロール要件を保存します。これには、コントロール要件、コントロール目標、エンティティ、および認証パッケージの詳細が含まれています。
ポリシー例外 [sn_compliance_policy_exception]	すべてのポリシー例外を保存します。
ポリシーからポリシーステートメント [sn_compliance_m2m_policy_policy_statement]	ポリシーとコントロール目標の間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
エンティティへのコントロール [sn_compliance_m2m_control_entity]	アイテムからエンティティ [sn_grc_m2m_entity_item] テーブルを拡張します。

注:
依存プラグインによってインストールされるすべての追加のテーブルは ポリシーとコンプライアンス管理 にも必要です。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 と一緒にインストールされるロール

ロールは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされているロール

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
コンプライアンス管理者 [sn_compliance.admin]	リーダー、ユーザー、マネージャー、管理者ロールが sn_grc スコープに含まれ、リーダー、ユーザー、マネージャーロールが ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションに含まれます。コンプライアンス管理者は、継承された権限に加えて、各種法令・基準等、引用、ポリシー、コントロール目標、およびコントロールを削除できます。	• sn_compliance.manager • sn_grc.admin
証明書作成者 sn_compliance.attestation_creator	GRC 証明書測定基準タイプと例外アンケートの作成に使用されるロール。	assessment_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
コンプライアンス開発者 [sn_compliance.developer]	sn_grc スコープのリーダー、ユーザー、マネージャー、管理者、開発者ロール、および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのリーダー、ユーザー、マネージャー、管理者ロールを含みます。コンプライアンス開発者は、継承された権限に加えて、記事テンプレートを作成し、スクリプトを編集できます。	• sn_compliance.admin • sn_grc.developer
コンプライアンスマネージャー [sn_compliance.manager]	sn_grc スコープのリーダー、ユーザー、マネージャーロール、および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのリーダーおよびユーザーロールを含みます。コンプライアンスマネージャーは、継承された権限に加えて、各種法令・基準等、引用、コントロール目標、およびコントロールを作成できます。	• sn_compliance.user • sn_grc.manager • sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_revie
コンプライアンスリーダー [sn_compliance.reader]	sn_grc スコープのリーダーロールが含まれています。コンプライアンスリーダーは、継承された権限に加えて、インジケーターテンプレート、インジケーター、および問題に割り当てることができます。	• sn_grc.reader • survey_reader
コンプライアンスユーザー [sn_compliance.user]	sn_grc スコープのリーダーとユーザーロール、および ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのリーダーロールを含みます。コンプライアンスユーザーは、継承された権限に加えて、コントロールをアサインされ、ポリシーを作成することができ、リスク管理 アプリケーションとモジュールへの読み取り専用アクセス権を持ちます。	• sn_compliance.reader • sn_grc.user • sn_risk.reader • survey_reader • vendor_reader
企業コンプライアンスアナリスト [sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst]	リーダーとユーザーロールが sn_grc スコープに含まれ、Compliance が コンプライアンスワークスペース に含まれます。	• sn_compliance.user • sn_audit.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
企業コンプライアンスマネージャー [sn_compliance_ws.corporate_compliance_manager]	リーダー、ユーザー、マネージャーロールが sn_grc スコープ (コンプライアンス) ユーザーロールが コンプライアンスワークスペース に含まれます。	• sn_compliance.manager • sn_compliance_ws.corporate_compliance_a • sn_audit.manager
IT コンプライアンスマネージャー [sn_compliance_ws.it_compliance_manager]	リーダー、ユーザー、マネージャーロールが sn_grc スコープ (コンプライアンス) ユーザーロールが コンプライアンスワークスペース に含まれます。	• sn_compliance.manager • sn_audit.manager

コンプライアンステーブルのアクセスを制御する GRC ビジネスユーザーロール

snc_internal ロールでのアクセス制御制限 (ACL) またはロール条件なし (またはロールなし) は、コンプライアンステーブルに対するさまざまなユーザーのアクセスレベルを制御し、ユーザーの使用状況を追跡する sn_grc.business_user ロールに置き換えられます。

GRC ビジネスユーザー (sn_grc.business_user) ロール

GRC ビジネスユーザーロールは、GRC 操作を実行できるユーザーに付与されます。また、ポリシーの例外や問題の作成、証明書への応答、確認応答などのすべての操作を実行した snc_internal ロールを持つユーザーにも付与されます。このロールは、GRC Profiles プラグインのインストールで付与されます。

GRC ビジネスユーザー – Lite (sn_grc.business_user_lite) ロール

snc_internal ロールで制限された操作を実行できるユーザーは、Lite オペレーターと見なされます。このようなユーザーには、GRC ビジネスユーザー – Lite (sn_grc.business_user_lite) ロールが付与され、このロールを使用してコンプライアンステーブルの Lite 使用状況を追跡します。このロールは、明示的なロールプラグイン GRC: Business User – Lite によって付与されます。このプラグインは、メンテナンスアクセス権を持つユーザーまたは ServiceNow サポートチームがインストールできます。

インストール、アップグレード、およびロールのアサインの詳細については、Now Support ナレッジベースの「GRC ビジネスユーザーロール」[KB0864247] の記事を参照してください。

注:
記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

さまざまなコンプライアンステーブルおよびその他の関連テーブルに対する GRC ビジネスユーザーロールおよびその他のロールを持つユーザーのアクセス制限がここにリストされています。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Security tightenings for GRC: Policy and Compliance Management(GRC: Policy and Compliance Management のセキュリティの強化) [KB1112315]」を参照してください。

コントロール目標

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、すべてのコントロール目標を読み取ることができます。
- GRC: Audit Management アプリケーションがインストールされており、コントロール目標に公開されたポリシーが関連付けられている場合、外部監査人ロールを持つユーザーはそのようなコントロール目標を読み取ることができます。
- ビジネスユーザー Lite を持つユーザーには、問題またはポリシー例外を報告するための読み取りアクセス権があります。

ポリシー

- GRC Business User または Business User Lite ロールを持つユーザーは、すべてのポリシーを読み取ることができます。
- GRC: Audit Management アプリケーションがインストールされている場合、外部監査人ロールを持つユーザーはすべての公開済みポリシーを読み取ることができます。
- ビジネスユーザー Lite を持つユーザーには、ポリシー例外を作成するための読み取りアクセス権があります。

コントロール目標 M2M に対するポリシー

- GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、コントロール目標 M2M レコードに対するポリシーを読み取ることができます。
- GRC: Audit Management アプリケーションがインストールされている場合、外部監査人ロールを持つユーザーは、ポリシーがの公開済みであれば、コントロール目標 M2M レコードに対するポリシーを読み取ることができます。

コントロール [sn_compliance_control]

- GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーはコントロールを表示できます。
- GRC: Audit Management アプリケーションがインストールされている場合、外部監査人ロールを持つユーザーはコントロールを読み取ることができます。

アセスメントのインスタンス [asmt_assessment_instance]

- GRC ビジネスユーザー およびビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、自分に割り当てられている証明書を表示できます。
- GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つ ServiceNow ユーザーはアセスメントを実施できます。
- GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、[自分のグループ化された証明書] モジュールを表示できます。
- GRC ビジネスユーザーおよびビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、グループアセスメント UI およびグループ解除 UI アクションを表示できます。
- GRC ビジネスユーザーおよびビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは、GRC アプリケーションメニューで [自分の証明書] を表示できます。

アセスメント測定基準タイプ [asmt_metric_type]

評価が証明書で、テーブルがポリシー例外で、ロールが空の場合、ユーザーロールは GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite に設定されます。

コントロールの概要レポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC リーダーロールを持つユーザーは、コントロールの概要レポートを表示できます。

問題 [sn_grc_issue]

Service Portal で問題を報告および表示

GRC Business User または Business User Lite ロールを持つユーザーは、サービスポータル で問題を報告し、報告された問題を表示できます。GRC Business User または Business User Lite ロールは、サービスポータル で [自分の問題] を表示するための必要最小限のロールです。

読み込み

次のロールを持つユーザーが問題を表示できます。

- GRC ユーザー (sn_grc.user) ロール
- GRC ビジネスユーザーロールまたは GRC ビジネスユーザー Lite ロールさらに、ユーザーは次のいずれかの条件を満たす必要があります。
  - 問題の [アサイン先] フィールドがユーザーである。
  - 親問題の [アサイン先] がユーザーであるか、親問題の [アサイン先グループ] がユーザーのグループの 1 つである。
  - [アサイン先グループ] が、ユーザーのグループの 1 つである。さらに、ユーザーは GRC ビジネスユーザーロールも持っている必要があります。
  - [問題マネージャー] がユーザーです。
  - [問題マネージャーグループ] は、ログインユーザーに属するグループの 1 つです。
  - 問題の [コントロール/リスク] には所有者があり、所有者はユーザーです。
  - 問題はログインユーザーによって作成されます。
  - 問題は、ユーザーがオープンした問題のトリアージから作成されます。
  - ログインユーザーは、問題の修正タスクのアサイニーまたはウォッチリストユーザーです。
  - GRC: Audit Management がインストールされている場合は、外部監査人のみとなり、コントロールテストの問題またはその他の問題があるクローズ済みエンゲージメントの監査人は、それらの問題のみを表示できます。

書き込み/更新

ビジネスユーザーロールを持つユーザーが [担当者] フィールドで指定されたユーザーでもある場合、ユーザーは以下を編集できます。

- 名前
- 説明
- 問題マネージャー
- 問題マネージャーグループ
- アクションプラン
- ステータス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ペアレントレコード
- 追加コメント
- 作業メモ
- 応答
- 説明

ビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーが [担当者] フィールドで指定されたユーザーでもある場合、ユーザーは以下を編集できます。

- 問題マネージャー
- 問題マネージャーグループ
- ステータス
- ペアレントレコード
- 追加コメント
- 作業メモ
- 応答
- 説明

注:
ビジネスユーザーロールやビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーが問題を報告した場合は、その問題にコメントを追加できます。ただし、GRC ユーザーはすべての問題を編集できます。

自分の未解決の問題を表示

少なくとも GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは未解決の問題を表示できます。

問題のグループ化

問題のグループ化は、GRC ユーザーロールを持つユーザーのみが利用できます。

情報を送信

問題の情報を送信するには、少なくとも GRC ビジネスユーザー または ビジネスユーザー Lite ロールが必要です。

問題ソース [sn_grc_issue_source]

問題ソーステーブルを表示および編集するには、少なくとも GRC ビジネスユーザーロールが必要です。

修正タスク [sn_grc_task]

- 修正タスクテーブルの [アサイン先] フィールドのユーザーには、少なくとも GRC ビジネスユーザー または ビジネスユーザー Lite ロールが必要です。
- 読み取りアクセスの場合、修正タスクがアサインされているユーザーまたは修正タスクのウォッチリストユーザーは、GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持っている必要があります。問題の [アサイン先] ユーザー、問題の問題マネージャー、または GRC マネージャー (sn_grc.manager) ロールを持つユーザーが修正タスクを表示できます。
- [自分のオープンな修復タスク] は、GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite の最小ロールを持つユーザーに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自分のインジケータータスク [sn_grc_indicator_task]

GRC ビジネスユーザーまたはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは自分のインジケータータスクにアクセスできます。

ポリシーの確認応答

GRC ビジネスユーザー またはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは次のことができます。

- Now Platform UI と サービスポータル からポリシーを確認します。
- サービスポータル の [自分の確認応答] メニューオプションを表示します。
- 割り当てられている確認応答インスタンス [sn_compliance_policy_acknowledgement_instance] を表示します。

ポリシー例外 [sn_compliance_policy_exception]

GRC ビジネスユーザー またはビジネスユーザー Lite ロールを持つユーザーは次のことができます。

- Now Platform および サービスポータル からポリシー例外を発生させます。
- ポリシー例外を表示します。読み取りアクセス権を持つユーザーには、ポリシー例外を要求したユーザー、ウォッチリストに存在するユーザー、検証承認者、最終承認者、影響を受けるコントロールオーナー、およびコンプライアンスマネージャーであるユーザーが含まれます。

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理でインストールされるプロパティ

プロパティは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 のアクティブ化とともに追加されます。

名前	説明
コントロールがアクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトのアクティブステータス) sn_compliance.active_states	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：draft、assess、review、monitor • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
コントロールが非アクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトの非アクティブステータス) sn_compliance.closed_states	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：retired • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
証明書に使用されるアセスメント評価指標タイプの名前 sn_compliance.default_attestation	システム管理者はこの設定を変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• タイプ：文字列 • デフォルト値：GRC 証明書 • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
sn_compliance.glide.script.block.client.globals	• タイプ：true または false • デフォルト値：false • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ
ポリシー記事を公開するために使用されるナレッジベースの名前 sn_compliance.knowledge_base	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：Governance、Risk、および Compliance • 居住地： **Policy and Compliance** > 管理 > プロパティ

GRC: ポリシーとコンプライアンス管理のドメイン分離

ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

Domain Separation は、以下の顧客にとって最適です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ビジネスエンティティ間で絶対的なデータ分離を適用する必要がある (データ分離)。
- 各ドメインのビジネスプロセス定義とユーザーインターフェイスをカスタマイズする (委任管理)。
- 単一のインスタンスでグローバルなプロセスとグローバルなレポートを維持します。

これらのユーザーは、ドメインスコープを展開するか折りたたんで、他のドメインからのデータを表示または非表示にすることができます。

注:
ユーザーは、ドメインの可視性によって明示的に付与されたドメインのデータに常にアクセスできます。

GRC でのドメイン分離の処理方法

GRC はデータの分離をサポートしていますが、ロジックおよびプロセスの分離を完全にはサポートしていません。

- GRC アプリケーション内のタイプのレコードの多くは、ユーザープロセスによって自動的に生成されます。エンティティ、コントロール、リスク、インジケーター、およびコントロールテストはすべて、自動的に生成できるレコードです。自動で生成されたレコード (および手動で生成された GRC レコード) の場合、レコードのドメインは、レコードの作成または生成を担当するユーザーのドメインと同じです。
- ドメイン分離された GRC 実装で作業する場合は、自動生成を念頭に置いておく必要があります。ユーザーは、適切なドメインレベルでレコードを作成および生成して、それらが適切なユーザーセットに表示されるようにする必要があります。

  たとえば、次のようなドメインがあるとします。

  Domain Separation

  - Global
    - Top
      - Domain A
      - Domain B

- ドメイン A および B のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、リスクまたはコントロールをグローバルレベルで生成するか、手動で作成する必要があります。リスクまたはコントロールがドメイン B で作成された場合、インデックス作成が原因で、ドメイン A でリスクまたはコントロールを再作成することはできません。
- トップおよびドメイン A のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、ドメイン A でリスクまたはコントロールを作成できます。

リスクとコントロールがグローバルドメイン内にない限り、ユーザーは上位のドメイン内にあるリスクまたはコントロールケースを、下位のドメインのユーザーにアサインできません。上記の例では、トップドメインにコントロールがある場合、証明書のために、そのコントロールをドメイン A または B のユーザーにアサインしないでください。これらのユーザーはコントロールにアクセスできないため、証明書またはアセスメントのアンケートは生成されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同様に、ユーザーは、上位ドメインのコントロール目標とリスクステートメントを下位ドメインの証明書とアセスメントにアサインしないでください。アサインすると、証明書またはアセスメントアンケートが生成されません。

ユースケース

IT 用の GRC データを他の部門の GRC データから分離できます。GRC アプリケーションを使用している各ビジネスエリアは、他の部門と共有できない分離データを保有できます。そのため、各部門には独自のエンティティ、ポリシー、コントロール、リスクなどがあります。

IT ドメインからのコントロールを調べる場合、ユーザーはドメインスコープを展開して財務ドメインの値を表示するか、ドメインスコープを折りたたんで IT ドメインに一致するコントロールのみを表示するかを選択できます。

デフォルトでは、ドメイン分離は、タスク [task] および構成アイテム [cmdb_ci] テーブルとその拡張に、ドメインフィールドを追加します。

sys_domain フィールドをテーブルの辞書定義に追加することで、作成する任意の新しいテーブルにドメイン分離を拡張することができます。デフォルトでは、システム専用ドメインは、適切な場合に、プラットフォームとベースラインアプリケーションテーブルを分離します。

> ⚠ **警告:**
> ServiceNow では、予期しない結果が生じる可能性があるため、ドメイン分離プラットフォームテーブル (辞書エントリ [sys_dictionary] や辞書エントリオーバーライド [sys_dictionary_override] テーブルなどの sys_prefix を持つテーブル) は推奨されません。

このユースケースでは、クライアントスクリプト、ビジネスルール、ワークフロー、プロセスなどをドメイン分離できます。

ドメイン分離での動作がマルチテナントのサポートを提供している間は、マルチテナントはまだ単一のインスタンス内に含まれています。つまり、一部のグローバルプロパティ、グローバルデータ、およびグローバルプロセスは、すべてのドメインで共有されます。たとえば、ログインページのシステムの [記憶する] オプションはグローバルであり、ドメインごとに指定できません。

すべてのシステムのプロパティを完全に分離する必要があり、グローバルレポートまたはグローバルプロセスを必要としない場合、インスタンスの分離が最適なオプションです。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

GRC: Policy and Compliance Management の Analytics and Reporting のソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

GRC: Policy and Compliance Management の Analytics and Reporting ソリューションは ServiceNow Store で入手可能です。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

GRC: Policy and Compliance Management の Analytics and Reporting ソリューションを有効にするには、次の手順を実行します。

1. ServiceNow Store にアクセスし、パフォーマンスアナリティクス - GRC: Policy and Compliance Management アプリケーションおよび関連アプリケーションのエンタイトルメントを取得します。「」を参照してください。 をインストールする ServiceNow 製品 の ServiceNow Store.
2. インスタンスで、次に移動します。 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション > すべて.
3. パフォーマンスアナリティクス - GRC: Policy and Compliance Management アプリケーションを見つけてインストールします。

GRC コンプライアンス概要ダッシュボード

コンプライアンス概要ダッシュボードは、コンプライアンス要件、全体的なコンプライアンス、およびコンプライアンスのブレークダウンを表示するので、問題のある領域をすばやく特定できます。

エンドユーザー

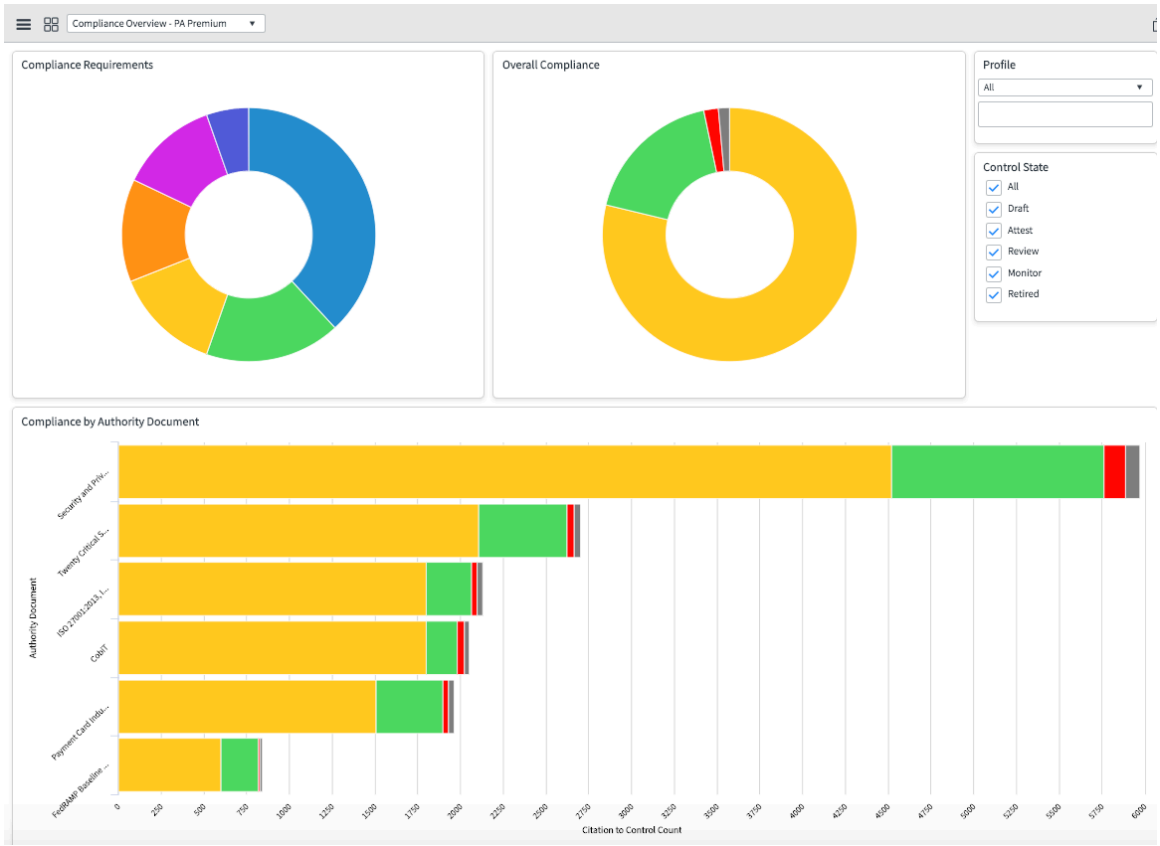
エンドユーザーと目標	必要なロール
監査マネージャー：組織内の脆弱性の全体的なステータスと量に対する明確な可視性が必要です。	sn_compliance.manager
監査管理者：懸案分野をすばやく特定する必要があります	sn_compliance.admin
監査アナリスト：組織にとっての重要度に基づいて、どのリスク/タスクに焦点を当てるかを迅速に優先順位付けする必要があります。	sn_compliance.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンス概要ダッシュボード - PA プレミアム版

コンプライアンスの概要ダッシュボードは、コンプライアンス要件のソース、コンプライアンスのレベル、および傾向を表示します。



データの可視化

コンプライアンス概要ダッシュボードでは以下の情報が可視化されています。

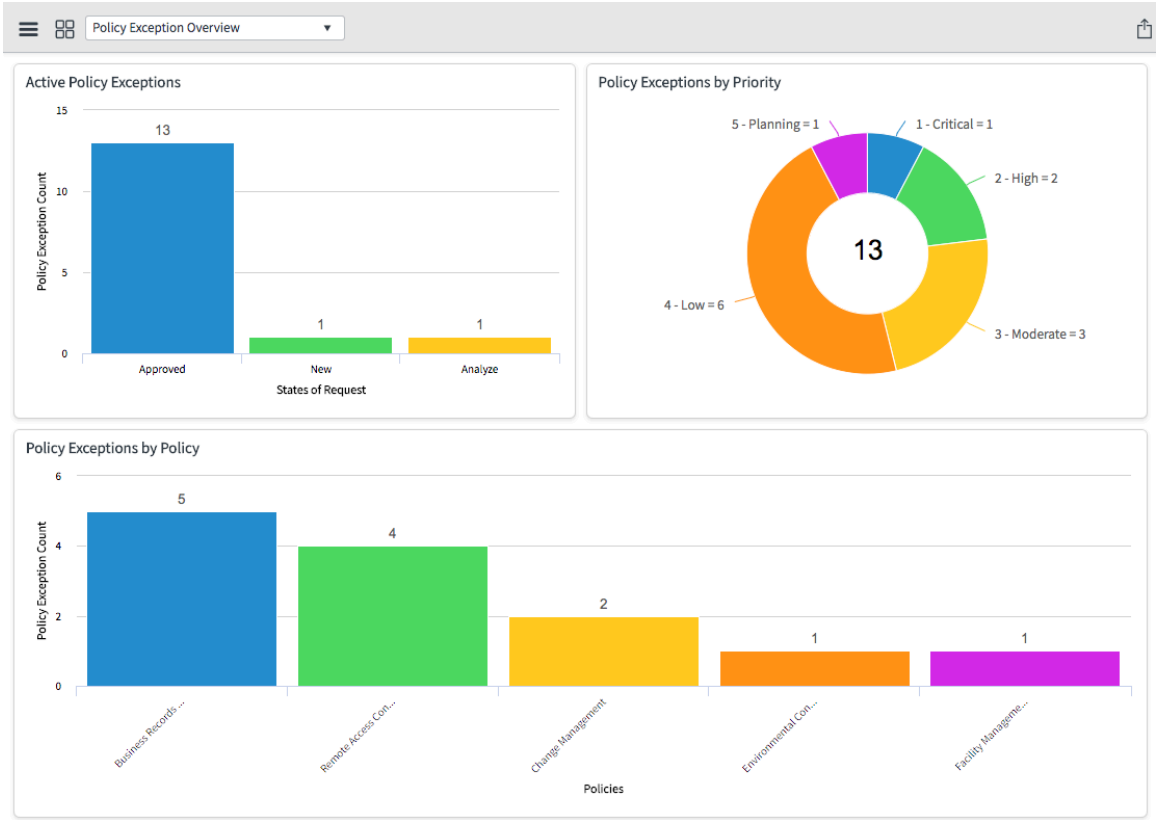
名前	タイプ	説明
コンプライアンスのブレークダウン	マルチレベルピボット	引用は、各種法令・基準等により引用される特定の要件が記載されているレコードです。
各種法令・基準等別のコンプライアンス	水平バー	規制、認定、フレームワーク、標準および規制に対するコンプライアンスのために組織が選択する、または要求されるベストプラクティス。
コンプライアンス要件	ドーナツグラフ	各種法令・基準等別のオープン要件の数
部門別のコンプライアンススコア	棒グラフ	アサイン先グループ/部門別の全体的な (平均) コンプライアンススコア
コンプライアンススコア傾向	ボックス	各種法令・基準等別の全体的なコンプライアンス
全体的なコンプライアンス	ドーナツグラフ	引用各種法令・基準等の全体的コンプライアンスの割合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC ポリシー例外の概要ダッシュボード

ポリシー例外の概要ダッシュボード は、ポリシー例外の数、重大度、およびソースに対するビューを提供します。また、免除されたコントロールも表示されます。



エンドユーザー

エンドユーザーと目標	必要なロール
監査マネージャー：組織内の脆弱性の全体的なステータスと量に対する明確な可視性が必要です。	sn_policy.manager
監査管理者：懸案分野をすばやく特定する必要があります	sn_policy.admin
監査アナリスト：組織にとっての重要度に基づいて、どのリスク/タスクに焦点を当てるかを迅速に優先順位付けする必要があります。	sn_policy.user

データの可視化

ポリシー例外の概要ダッシュボード には、以下の可視化が含まれています。

名前	タイプ	説明
有効なポリシー例外	棒グラフ	オープンポリシーに対するアクティブな例外の数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	タイプ	説明
承認済みのポリシー例外	リスト	承認済みのポリシー例外の合計数
免除されたコントロール	リスト	免除ステータスを持つコントロールのリスト
免除されたコントロールリスク	リスト	免除ステータスを持つコントロールリスクのリスト
ポリシー例外	リスト	ポリシーは、各種法令・基準等とテストレコードに関連しています。ポリシーの公開とバージョン管理は、Now Platform のドキュメントおよびナレッジ管理機能を使用して管理します。カスタムワークフローは、すべてのポリシー変更が最終承認のために適切な作業オーナーにルーティングされるようにします。承認された組織のポリシーはすべてナレッジベースに公開されます。
部門別のポリシー例外	棒グラフ	部門別のポリシー例外の合計数
ポリシー別のポリシー例外	棒グラフ	ポリシー別のポリシー例外の合計数
コントロール目標別のポリシー例外	水平バー	コントロール目標別のポリシー例外の合計数
優先度別のポリシー例外	ドーナツグラフ	優先度別のポリシー例外の合計数
エンティティ別のポリシー例外	水平バー	エンティティ別のポリシー例外の合計数

自動翻訳

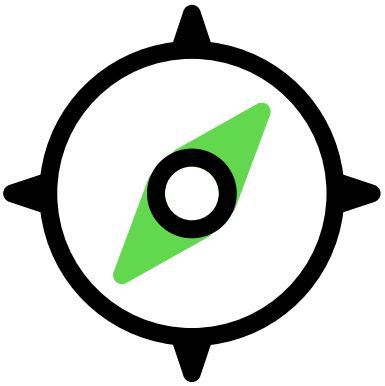
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: プライバシー管理 アプリケーションを使用すると、統合されたデータプライバシーリスクとコンプライアンス管理ソリューション、およびプライバシーバイデザインの概念により、顧客、従業員、サプライヤーを保護できます。

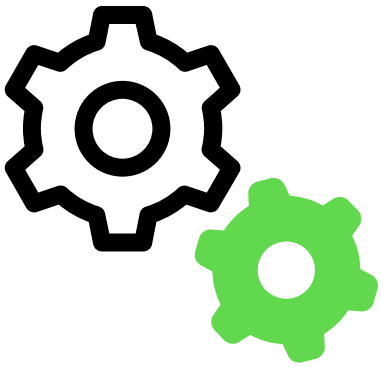
プライバシー管理 アプリケーションは、一般データ保護規則 (GDPR)、カリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA)、オーストラリアプライバシー法などの複数のプライバシー規制を管理するのに役立ちます。また、米国国立標準技術研究所 (NIST) や ISO 27001 などのフレームワークの管理にも役立ちます。プライバシー管理 ソリューションを使用すると、顧客と従業員の個人データを処理するためのプライバシーポリシーと確認応答を実装できます。

探索



プライバシーマネージャー、プライバシーユーザー、およびプライバシー管理者がアプリケーションを使用する プライバシー管理 方法について説明します。

構成



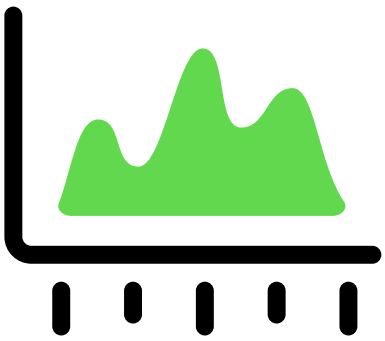
アプリケーション プライバシー管理 を構成します。

使用方法



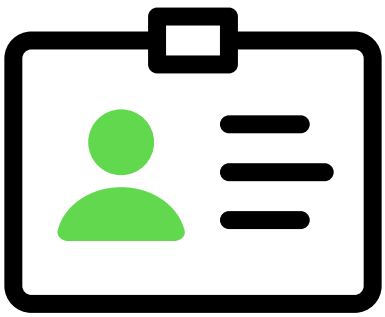
プライバシーアセスメント、処理アクティビティなどを作成します。

分析およびレポート



ダッシュボードとレポートでプライバシーレコードを強調表示します。

参照



テーブルやロールなどのコンポーネントに関する詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理 の詳細

ServiceNow® プライバシー管理 アプリケーションを使用すると、会社のプライバシープログラムを管理できます。プライバシープログラムの例としては、プライバシー規制コンプライアンスプログラム、プライバシー影響度評価、プライバシーポリシー管理などがあります。

すべての組織は、何らかの形で顧客、従業員、第三者の個人データを収集します。個人データの例は次のとおりです。

- 自宅住所
- 場所データ
- ID カード番号
- 生体認証データ

組織が個人データを収集すると、所有者の同意を得ずに組織の目的のために個人データを使用したり、不注意でデータが漏洩したりするなど、複数のリスクにさらされます。これらのイベントはコンプライアンス違反につながります。データプライバシー法を遵守しない場合、多額の罰金が科され、顧客と従業員の信頼が失われる可能性があります。このデータ保護の失敗は、ブランドの評判にも影響を与えます。

プライバシー管理 アプリケーションは、一般データ保護規則 (GDPR)、カリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA)、オーストラリアプライバシー法などの複数のプライバシー規制を管理するのに役立ちます。また、米国国立標準技術研究所 (NIST) や ISO 27001 などのフレームワークの管理にも役立ちます。プライバシー管理 ソリューションを使用すると、顧客と従業員の個人データを処理するためのプライバシーポリシーと確認応答を実装できます。

次に、組織のプライバシープログラムを効果的に管理するのに役立つ主要な機能を示します。

- プライバシーアセスメントのための重要なビジネスプロセス、アプリケーション、およびベンダーのインベントリを作成します。
- 各種法令・基準等、引用、コントロール目標、リスクステートメント、ポリシーなどのプライバシーライブラリのコンテンツを設定します。
- プライバシー影響度評価を管理します。
- プライバシーリスク評価を管理します。
- 個人情報を処理する処理アクティビティを検出します。
- 継続的な監視と問題管理機能を使用して、リスクとコンプライアンス体制を追跡する処理アクティビティを管理します。
- さまざまなダッシュボードとレポートを使用して、組織の全体的なプライバシー体制を理解して分析します。

プライバシー管理 アプリケーションは Privacy ワークスペース から入手可能です。このワークスペースには、ホームページ、[タスク] ページ、[問題の概要] ページ、およびリストビューが表示されます。これらのページとリスト内およびリスト内のすべてのアイテムは、 プライバシー管理 アプリケーションにのみ固有です。つまり、たとえば、引用文献や各種法令・基準等を表示する場合、それらは に固有のものです プライバシー管理。

プライバシー管理 ソリューションは、Integrated Risk Management (IRM) スイートのアドオンとして利用できます。

処理アクティビティ

処理アクティビティは、個人データを処理するレコードです。このようなレコードの例としては、個人情報を含む組織のビジネスプロセスやビジネスアプリケーションがあります。処理アクティビティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

により、プライバシー管理チームは個人情報がどのように処理または使用されているかを把握できます。

プライバシープログラムを管理するには、構成管理データベース (CMDB) のインベントリまたはレコードとして利用可能なビジネスプロセスまたはビジネスアプリケーションを使用して、処理アクティビティレコードを作成します。各ビジネスプロセスまたはアプリケーションは個別の処理アクティビティです。プライバシーチームは、個人データがどのように使用されているかを理解した後、処理アクティビティを所有するビジネスオーナーと協力して、必要なプライバシー規制に準拠することができます。

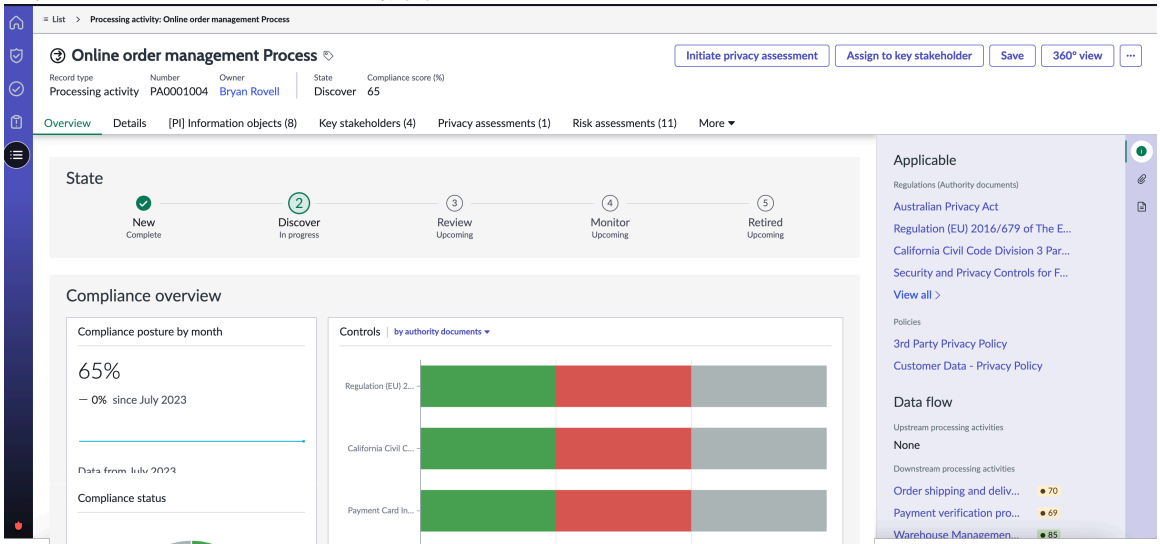
処理アクティビティには、次のタイプの情報が格納されます。

- データコントローラーとデータプロセッサーの名前と連絡先情報。
- 処理アクティビティが個人データを処理する目的。たとえば、法的根拠、法的義務などです。
- 処理中のデータ主体のカテゴリと個人データのカテゴリ。データ主体の例として、顧客や従業員があります。
- 個人データを共有する受信者。たとえば、ベンダー、サードパーティ、内部システムなどです。
- 個人データを受け取る他国の第三者および国際組織。
- 各処理アクティビティに関連するプライバシー規制、ポリシー、リスク、コントロール、および問題。
- エンティティオーナーや処理アクティビティに関与する他のユーザーなど、処理アクティビティの主要なステークホルダー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の画像は、処理アクティビティの概要を示していま



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
処理アクティビティの [概要] ページに表示されるポリシーとコントロールは プライバシー管理 に固有です。

プライバシーアセスメント

プライバシーアセスメントは、ビジネスオーナーから情報を収集するために使用されます。この情報は、プライバシーチームが処理アクティビティで個人情報 (PI) がどのように使用または保存されているかを理解するのに役立ちます。

プライバシーアセスメント機能を使用すると、さまざまなタイプのアセスメントを構成し、それらのアセスメントをビジネスプロセスまたはビジネスアプリケーションオーナーに送信して応答を収集できます。構成できるアセスメントの例は次のとおりです。

- プライバシースクリーニング初期アセスメント
- プライバシー影響度評価 (PIA)
- プライバシー準備状況アセスメント

プライバシーアセスメントが開始されると、ビジネスオーナーはアセスメントの質問に回答します。この回答により、システム内に処理アクティビティが自動的に作成されます。必要なコントロールと情報オブジェクトが処理アクティビティに自動的にマッピングされます。

プライバシーアセスメント機能には、次のような複数の構成オプションがあります。

- シンプルなユーザーインターフェイスを使用してさまざまなタイプの質問を設定します。
- アセスメントの回答を使用して処理アクティビティの作成を設定します。
- 質問の回答にコントロールをマッピングして、コントロールを処理アクティビティに自動的にマップする回答を決定します。
- 応答の [PI] 情報オブジェクトを構成して、情報オブジェクトを処理アクティビティに自動的にマッピングします。詳細については、「プライバシー管理 の情報オブジェクト」を参照してください。
- 質問の回答を処理アクティビティフィールドにマッピングして、処理アクティビティに必要なデータを自動的に入力します。

プライバシー管理 の情報オブジェクト

情報オブジェクトを使用すると、個人情報を処理するビジネスプロセス、アプリケーション、およびサードパーティを自動的に検出できます。

情報オブジェクトの目的は、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータのタイプを論理的に記述することです。個人データを処理する情報オブジェクトを決定するには、情報オブジェクトに個人情報タグを付けます。情報オブジェクトにタグを付ける方法の詳細については、「情報オブジェクトに個人情報をタグ付けする」を参照してください。

情報オブジェクトが作成されると、ビジネスアプリケーションまたはビジネスプロセスにマッピングされます。このアクティビティは、プライバシー管理チームが個人データを処理する情報オブジェクトを検出するのに役立ちます。プライバシー管理 の [PI] 情報オブジェクトの例をいくつか示します。

- 顧客のメールアドレス
- 顧客の銀行口座番号
- 従業員の教育の詳細
- 従業員の個人メールアドレス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトの作成

情報オブジェクトは手動で作成できますが、BigID Data Exchange アプリケーションを使用して、データベースに格納されている個人情報を自動的に識別して情報オブジェクトを作成することもできます。ServiceNow Store から BigID Data Exchange アプリケーションをダウンロードできます。

プライバシーマネージャー向けの**Privacy** ワークスペース

プライバシーマネージャーは、会社のポリシーと規制を作成し、維持します。

プライバシーマネージャーには、sn_privacy.manager ロールがあります。プライバシーマネージャーは次のことを行います。

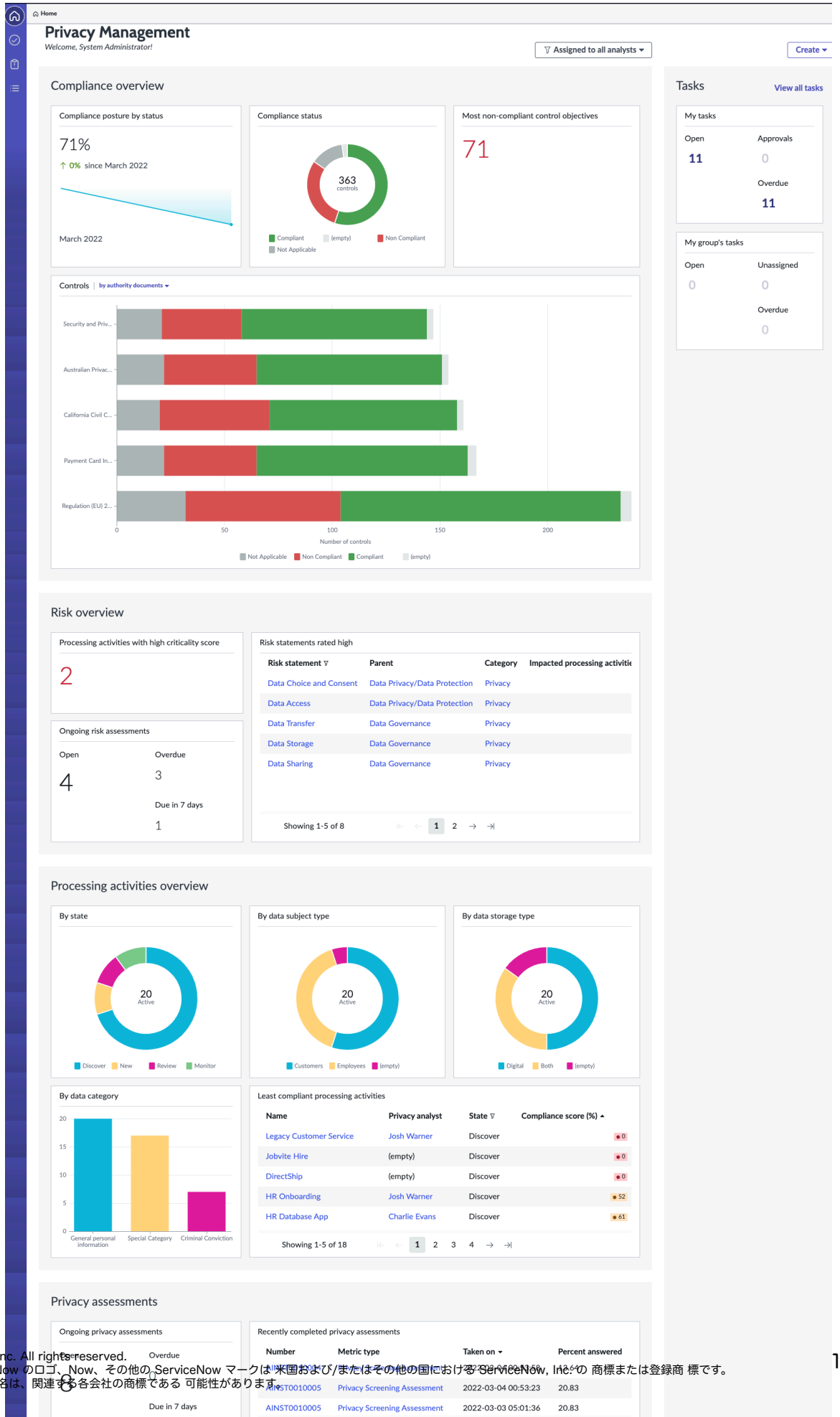
- 組織レベルの全体的なプライバシーリスクとコンプライアンス体制を管理および監視します。図スクとコンプライアンスの体制とは、さまざまな規制に関するコントロールのリスクスコア、準拠および非準拠の状況に基づいて、ビジネスプロセスやビジネスアプリケーションにわたる組織の全体的なリスクとコンプライアンスのステータスを指します。
- プライバシー規制、各種法令・基準等、ポリシー、プライバシーリスクステートメントを作成して実装します。
- プライバシーの規制要件とポリシーを確認します。
- プライバシー規制および内部ポリシーの違反に対処するためのリスクとコントロールを設計および監視します。
- プライバシープログラムとスコープエンティティを計画します。
- プライバシー影響度評価テンプレートを作成します。
- プライバシーリスクアセスメントを実行して、処理アクティビティの重要度を理解します。
- コントロールの有効性を継続的に監視し、効果的な改善を推奨します。
- プライバシーコンプライアンスチームを監督します。
- コンプライアンス体制を管理者と取締役会に報告します。

次の画像は、プライバシーマネージャーのホームページを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシーマネージャーのホームページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc.の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシーアナリスト向けの**Privacy** ワークスペース

プライバシーアナリストは、自分が所有する処理アクティビティのプライバシーコンプライアンス体制を管理します。コンプライアンス体制とは、さまざまな規制に関するコントロールの準拠および非準拠の状況に基づいた組織、ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーションの全体的なコンプライアンスのステータスを指します。

プライバシーアナリストには sn_privacy.analyst ロールがあります。プライバシーアナリストの主なタスクは次のとおりです。

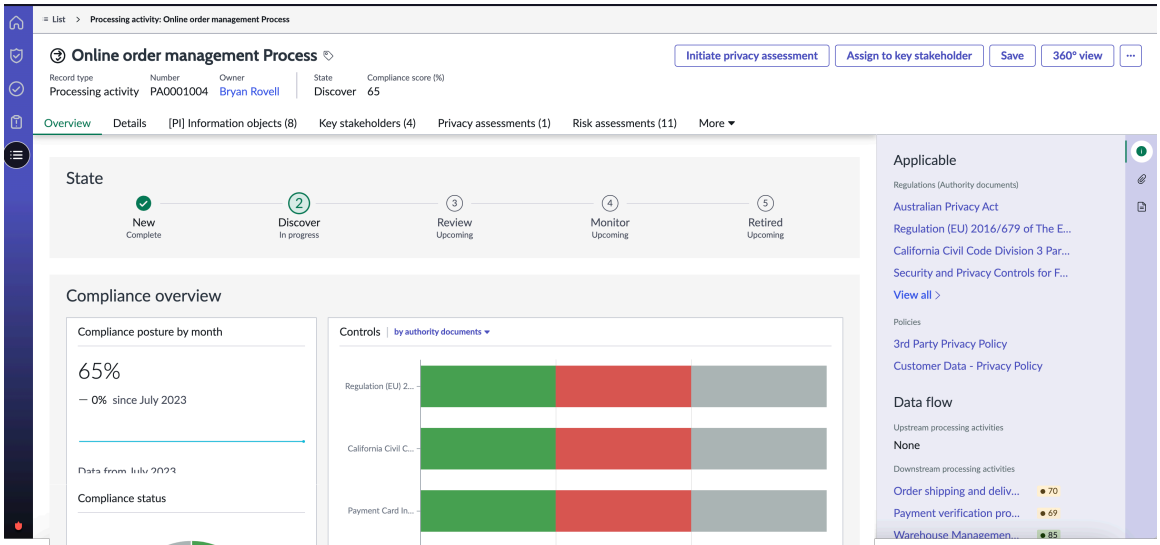
- プライバシー影響度評価を送信してレビューすることで、処理アクティビティを定期的に評価します。
- 管理者およびビジネスユーザーと協力して、処理アクティビティに関連するコントロールを識別および管理します。
- コンプライアンス関連の問題やポリシーの例外に関するビジネスユーザーの懸念を管理および解決します。
- コントロール有効性をテストおよび監視します。

次の画像は、プライバシーアナリストの処理アクティビティの概要ページを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

処理アクティビティの概要ページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

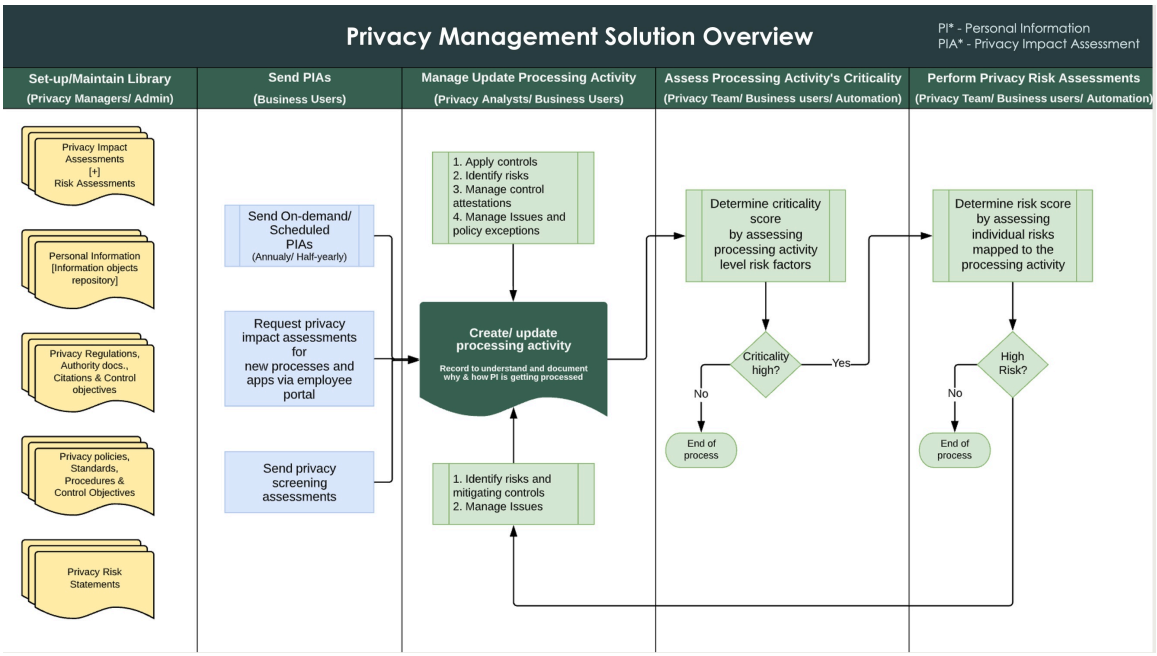
プライバシー管理 ソリューションの概要

プライバシー管理 ソリューションは、引用、ポリシー、コントロール目標、リスクステートメント、プライバシー影響度評価、プライバシーリスクアセスメントなどのプライバシー固有のライブラリを管理するためのフレームワークを提供します。また、関連するリスクとコントロールを適用して監視することで、ビジネスアプリケーションまたはビジネスプロセスのプライバシーリスクとコンプライアンス体制を追跡する処理アクティビティレコードも提供します。

プライバシープログラムを計画する前に、実装する予定のプライバシー規制に従ってプライバシーライブラリを設定してください。ライブラリセットアップの詳細については、「プライバシー管理 ライブラリの管理」を参照してください。

次の図は、プライバシー管理 ソリューションを示しています。

プライバシー管理ソリューションの概要



プライバシー管理 ソリューションは次のように説明されています。

ライブラリの作成

sn_privacy.manager ロールを持つプライバシーマネージャー、または sn_privacy.admin ロールを持つプライバシー管理者は、以下を使用してライブラリを設定する必要があります。

- プライバシー影響度評価
- 個人情報オブジェクト
- プライバシー規制、各種法令・基準等、引用、コントロール目標。
- プライバシーポリシーおよび手順
- プライバシーリスクステートメント

プライバシー影響度評価

1. インベントリの検出：sn_privacy.manager ロールを持つプライバシーマネージャーは、個人データを処理するビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、ベンダー、ビジネスサービスなどのインベントリを特定または検出します。このようなインベントリはすべて、それぞれの 構成管理データベース (CMDB) テーブルに格納されます。それぞれのビジネスオーナーがインベントリを管理します。プライバシーマネージャーは、エンティティタイプ機能を使用して、各インベントリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードのエンティティを作成します。エンティティタイプの詳細については、「エンティティを探索する」を参照してください。この段階では、検出方法に基づいて、次のいずれかのアプローチを使用して処理アクティビティを作成できます。

a. 個人データを処理するビジネスプロセスまたはアプリケーションの検索：ビジネスプロセス、アプリケーション、サービス、またはベンダーが情報オブジェクトに関連付けられている場合は、このアプローチを使用します。エンティティタイプ機能を使用して、[PI] 情報オブジェクトを処理するエンティティを検索します。検索結果に基づいて、処理アクティビティレコードを直接作成します。このアプローチは、ビジネスオーナーがインベントリを情報オブジェクトに関連付ける場合にのみ使用されます。詳細については、「プライバシープログラムを計画するためのエンティティスコーピング」を参照してください。

b. プライバシースクリーニングアセスメントの送信：情報オブジェクトがビジネスアプリケーションやプロセスなどのインベントリに関連付けられていない場合は、このアプローチを使用します。このアプローチでは、プライバシースクリーニングアセスメントをそれぞれのビジネスオーナーに送信します。これらのスクリーニングアセスメントには基本的な質問が含まれています。質問の例は次のとおりです。

- 所有しているビジネスプロセスまたはアプリケーションの一部として個人情報を処理していますか？
- どのような種類の個人情報を処理していますか？たとえば、メール、電話番号、住所などです。

アセスメント応答で個人データがあると判断された場合、処理アクティビティが自動的に作成されます。

2. ビジネスユーザーは、従業員センター から新しいアプリケーションとプロセスのプライバシー影響度評価をプロアクティブに送信できます。

処理アクティビティの管理と更新

1. 処理アクティビティの作成または更新：sn_privacy.analyst ロールを持つプライバシーアナリストは、処理アクティビティが作成された後に、プライバシー影響度評価 (PIA) を処理アクティビティまたはビジネスオーナーに送信します。プライバシー影響度評価は、処理アクティビティが個人情報を処理する理由と方法を理解するのに役立ちます。アセスメントでは、PI データの保存の理由、他のシステムとの PI データの交換、PI データのセキュリティなどの情報を収集します。

2. PIA を送信または自動的に開始：プライバシーアナリストは、より多くの情報を収集する必要がある場合は常に、処理アクティビティからプライバシー影響度評価 (PIA) を送信します。または、プライバシーマネージャーとプライバシー管理者によって定義されたプライバシープログラムの頻度に基づいて、アセスメントを自動的に開始することもできます。自動開始スケジュールは、Now Platform 機能を使用して作成できます。

3. 処理アクティビティに関連するリスクとコントロールの適用：プライバシーアナリストとして、処理アクティビティで個人情報がどのように使用されるかを把握した後、必要なリスクステートメント、コントロール、ポリシー、および各種法令・基準等がアセスメントの応答に基づいて処理アクティビティに自動的に適用されます。アセスメントの設定方法の詳細については、「アセスメントテンプレートの作成」を参照してください。コントロールが追加された後、プライバシーアナリストはコントロールを確認し、必要に応じてコントロールを追加または削除できます。

4. コントロール証明書の送信：コントロールの最終セットが処理アクティビティに関連付けられた後、コントロール証明書がビジネスプロセスオーナーまたはアプリケーションオーナーに送信され、適用されるすべてのコントロールの証拠が収集されます。ビジネスオーナーが各コントロールの証拠を使用してコントロール証明書に応答すると、準拠しているコントロールと非準拠のコントロールが特定されます。この識別により、処理アクティビティのコンプライアンス体制が判断されます。

5. 問題の報告および監視：非準拠のコントロールについて問題が自動的に作成され、それぞれのビジネスオーナーにアサインされます。プライバシーアナリストが問題を監視します。

6. 問題の管理：問題を管理するために、ビジネスオーナーは次のいずれかを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 問題の解決：問題を解決すると、コントロールは準拠した状態になります。
- ポリシー例外の提示：すぐに解決できない問題に対して例外を提示します。プライバシーアナリストは、ポリシーの例外を確認し、問題の重要度に基づいて例外を承認または却下できます。

7. 継続的なコントロール監視：プライバシーアナリストは、インジケーター機能を使用して処理アクティビティのコントロールを継続的に監視します。インジケーターの詳細については、「リスクインジケーター、コントロールインジケーター、およびインジケーターテンプレート」を参照してください。

処理アクティビティの重要度の評価

重要度スコアは、処理アクティビティレベルで要素を評価することによって、処理アクティビティレベルでリスク体制を提供します。処理アクティビティが作成または更新されると、高レベルのリスクスコアまたは重要度スコアを理解するために、処理アクティビティに対して重要度アセスメントが実行されます。

プライバシーリスクアセスメントの実行

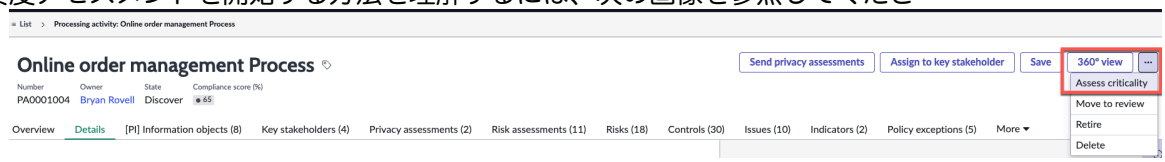
プライバシーリスクアセスメントは、重要度スコアが高い場合に実施される詳細なアセスメントです。処理アクティビティに関連付けられている各リスクを評価し、処理アクティビティの集計リスクスコアを把握します。プライバシーリスクを評価した後、[概要] セクションのリスクヒートマップでプライバシーリスク体制を表示できます。ヒートマップは、固有のリスクと残存リスクに関する詳細な情報を提供します。

プライバシー管理 でのリスクアセスメント

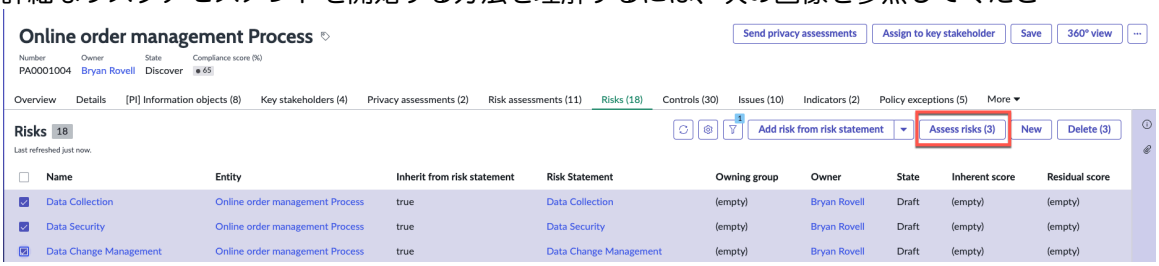
処理アクティビティに対してリスクアセスメントを実行して、リスクスコアを確認し、組織のプライバシーリスク体制を調べることができます。

リスク体制を理解するために、次のアセスメントが実行されます。

- 重要度アセスメント：処理アクティビティレベルで要素を評価することによって、処理アクティビティレベルでリスク体制を提供します。処理アクティビティが作成または更新されると、高レベルのリスクスコアまたは重要度スコアを理解するために、処理アクティビティに対して重要度アセスメントが実行されます。重要度アセスメントを開始する方法を理解するには、次の画像を参照してください。



- プライバシーリスクアセスメント：プライバシーリスクアセスメントは、重要度スコアが高い場合に実施される詳細なアセスメントです。処理アクティビティに関連付けられている各リスクを評価し、処理アクティビティの集計リスクスコアを把握します。プライバシーリスクを評価した後、[概要] セクションのリスクヒートマップでプライバシーリスク体制を表示できます。ヒートマップは、固有のリスクと残存リスクに関する詳細な情報を提供します。詳細なリスクアセスメントを開始する方法を理解するには、次の画像を参照してください。

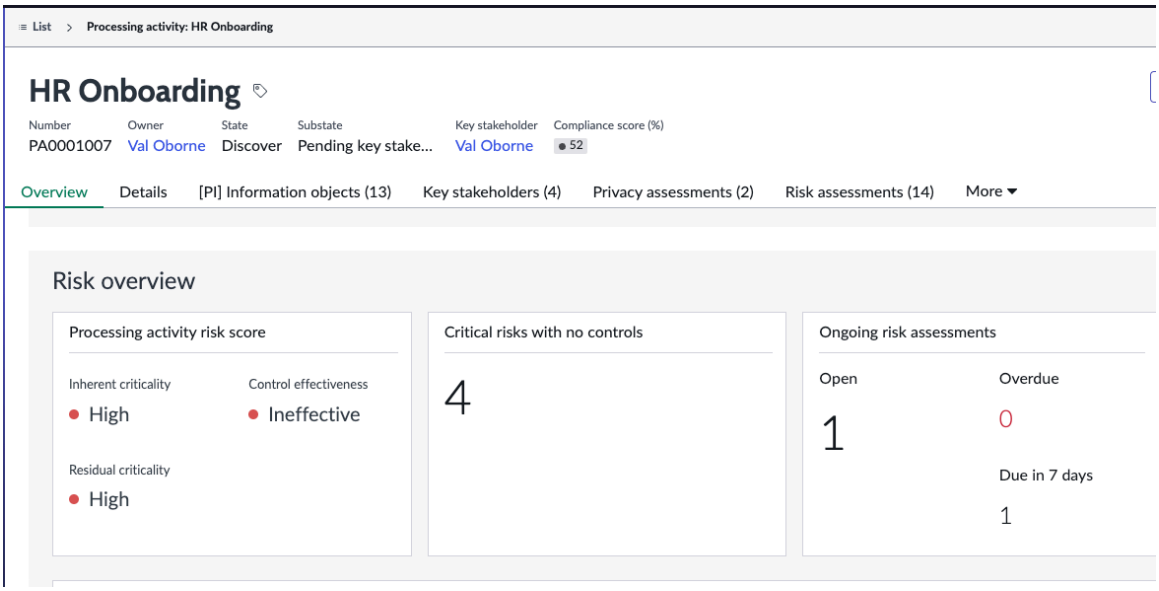


自動翻訳

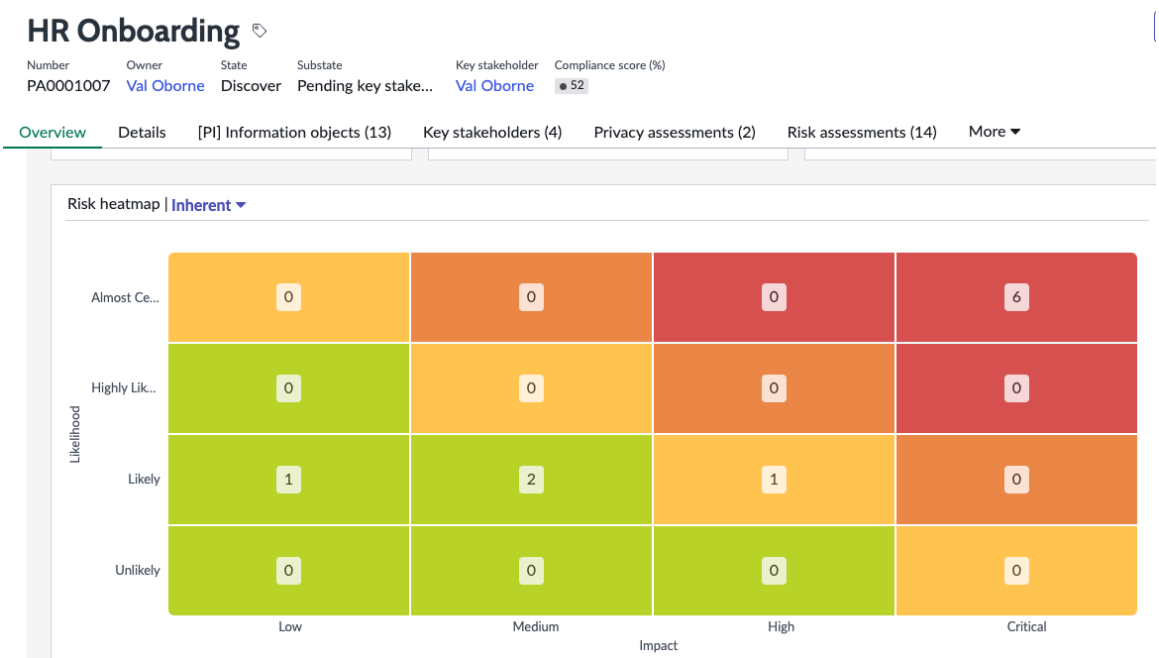
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメントの結果とリスクヒートマップは、次の画像に示すように、処理アクティビティのホームページに表示されます。

処理アクティビティのリスクスコア



処理アクティビティのリスクヒートマップ



リスクアセスメントの実行方法の詳細については、「プライバシーアセスメントの構成」を参照してください。

プライバシーアセスメントの構成

処理アクティビティの重要度とプライバシーリスクアセスメントを実行するために、デフォルトで 2 つのリスクアセスメント方法論 (RAM) が提供されます。

RAM は、リスクアセスメントエンジンの構成またはレコードです。これは 高度なリスク アプリケーションの一部です。RAM は、組織内のリスクまたはオブジェクトを評価するために使用されます。構成された RAM は、要素が関連付けられたアセスメントタイプを関連付けられたオブジェクトです。これにより、組織はリスクを評価するためのさまざまな方法を使用できます。アセスメントで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用される要素または質問の詳細については、「Advanced Risk アセスメントの要素」を参照してください。

プライバシー固有の RAM レコードでは、[ドメイン] フィールドが [プライバシー] に設定されています。プライバシー管理者は、デフォルトの RAM のコピーを作成して変更できます。RAM 構成の詳細については、「リスクアセスメント方法論を構成」を参照してください。RAM のコピーを作成する方法を理解するには、「リスクアセスメント方法論をコピー」を参照してください。

リスクアセスメントを実行するときは、次の点を考慮することが重要です。

- [プライバシー] ドメインでは、RAM のみを変更できます。RAM の作成は許可されていません。
- アクティブな RAM は 2 つだけ許可されます。2 つを超える RAM をコピーまたは変更する必要がある場合は、1 つを廃止する必要があります。
- RAM は構成可能であり、その順序は要件に応じて変更できます。
- 次のロールを持つユーザーは、プライバシー関連の重要度アセスメントと詳細なプライバシーリスクアセスメントを実行できます。
  - プライバシービジネスユーザー (sn_privacy.business_user)
  - 処理アクティビティを所有するプライバシーアナリスト
  - プライバシーアセスメントレスポンダー (sn_privacy.assessment_responder)
  - プライバシーマネージャー (sn_privacy.manager)

プライバシー管理 の構成

ここに示すタスクの順序に従って プライバシー管理 を構成します。これらのタスクは、プライバシープログラムを効果的に管理するのに役立ちます。

プライバシー管理 のダウンロード

インスタンスで GRC: プライバシー管理 (sn_privacy) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

プライバシー管理 ライブラリの管理

プライバシー管理 ライブラリは、プライバシーコンテンツの管理に役立つ各種法令・基準等、引用、コントロール目標、ポリシー、および [PI] 情報オブジェクトで構成されています。

各種法令・基準等

各種法令・基準等は、組織が準拠する必要がある原則、ガイドライン、規制、標準、およびフレームワークです。各種法令・基準等の例は次のとおりです。

- 法令 (法案または法律)
- 規制
- 監査ガイドライン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

組織は、各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標を作成するか、Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) などのサードパーティプロバイダーからダウンロードしてインポートすることができます。

信頼できるソースコンテンツ

引用は、各種法令・基準等により引用される特定の要件が記載されているレコードです。引用は、各種法令・基準等を該当するコントロールに関連付けます。各引用にはコントロール目標があります。

ポリシー

ポリシーにはコントロール目標が含まれています。ポリシーは、各種法令・基準等に関連付けることもできます。ポリシーは公開され、バージョンアップで定期的に更新されます。ポリシーの詳細については、「Policy and Compliance Management」を参照してください。

リスクステートメント

リスクステートメントを使用すると、組織内のいずれかの場所と時間で発生する可能性のある潜在的なプライバシーリスクを管理できます。

プライバシーアセスメント

プライバシーアセスメントは、ビジネスオーナーから情報を収集するために使用されます。この情報は、プライバシーチームが処理アクティビティで個人情報 (PI) がどのように使用または保存されているかを理解するのに役立ちます。

リスクアセスメント

リスクアセスメント機能により、重要度とプライバシーリスクアセスメントを使用して組織のプライバシーリスク体制を判断できます。

PI 情報オブジェクト

[PI] 情報オブジェクトは、個人情報タイプの情報オブジェクトを参照します。プライバシー管理 ソリューションで情報オブジェクトを使用するメリットを理解するには、「プライバシー管理 の情報オブジェクト」を参照してください。[PI] 情報オブジェクトのライブラリを管理し、それらを処理アクティビティに関連付けることで、プライバシーチームが処理アクティビティによって処理されている個人情報 (PI) を理解するのに役立ちます。

個人情報タグが付けられた情報オブジェクトのみを処理アクティビティに追加できます。情報オブジェクトにタグを付ける方法の詳細については、「情報オブジェクトに個人情報をタグ付けする」を参照してください。

情報オブジェクトに個人情報をタグ付けする

個人情報タグを使用して、プライバシー管理 ソリューションで使用する情報オブジェクトを分類します。処理アクティビティに関連付けることができるのは、タグ付けされた情報オブジェクトのみです。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.manager

このタスクについて
個人情報でタグ付けされた情報オブジェクトは、プライバシーアセスメントと処理アクティビティで使用できます。
[PI] 情報オブジェクトリストビューから新しい情報オブジェクトを作成する場合でも、それらに個人情報タグを追加する必要があります。[PI] 情報オブジェクトリストで情報オブジェクトを作成しているからといって、その情報オブジェクトが自動的にタグ付けされるとは限りません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. Privacy ワークスペース で、リストアイコン ( ) をクリックします。
3. 移動先 情報オブジェクト > すべての情報オブジェクト.
4. タグ付けする情報オブジェクトを選択して開きます。
5. タグアイコン ( ) を選択します。
6. [タグ] ウィンドウで、「個人情報」と入力し、表示されるオプションを選択します。
7. [保存] をクリックします。

タスクの結果
個人情報でタグ付けした情報オブジェクトが [PI] 情報オブジェクトリストに表示されます。

プライバシーアセスメントの作成

さまざまなタイプのアセスメントを作成し、それらのアセスメントをビジネスプロセスまたはビジネスアプリケーションオーナーに送信して応答を収集します。応答は、処理アクティビティで個人情報 (PI) がどのように使用または保存されているかを理解するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.admin および sn_privacy.manager

このタスクについて
プライバシーアセスメント機能を使用すると、プライバシースクリーニングの初期アセスメント、プライバシー影響度評価 (PIA)、プライバシー準備状況アセスメントなどのさまざまなタイプのアセスメントを作成できます。
アセスメントを構成するために、次の機能が提供されています。

- コントロール目標を質問の回答にマッピングします。
- 情報オブジェクトを質問の回答にマッピングします。
- 処理アクティビティフィールドを質問の回答にマッピングします。

アセスメントを設定するときは、次の用語を考慮してください。

- 測定基準タイプはアセスメントテンプレートを参照します。
- 測定基準カテゴリは、アセスメントのセクションラベルを参照します。
- 測定基準は質問を参照します。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > 新規アセスメントテンプレート.
2. フォームのフィールドに入力します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントテンプレートの名前。
アセスメント期間	アセスメントが生成されてから、アセスメントを完了するまでに許容される時間。
テーブル	レコードを含むテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プライバシーアセスメントタスクの自動承認	プライバシーアセスメントタスクをレビューなしで自動的に承認する必要があることを示すオプション。このオプションを選択すると、アセスメントタスクが送信された後、自動的にアセスメントタスクが承認され、コントロール、リスク、および情報のオブジェクトが処理アクティビティで作成され、タスクがクローズされます。
ステータス	アセスメントの状態。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
ロール	このテンプレートへの読み取りアクセス権を持つロール。
分類	アセスメント測定基準タイプの分類選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 最初のアセスメント ○ **PIA** アセスメント
説明	アセスメントテンプレートの目的と作成理由。
前書き	アセスメントに回答するビジネスユーザー向けのガイダンステキスト。

3. [デザイナーを保存して開く] をクリックします。
デザイナーには次の要素が含まれています。

要素	説明
コントロール	サポートされている質問データのタイプは [コントロール] パレットで利用可能です。
質問	さまざまなカテゴリの質問のライブラリ
カテゴリ	[デザイン] ビューで新しいアセスメントが開きます。アンケートの [名前] フィールドが、キャンバスの最初のカテゴリの上に表示されます。空白の質問フィールドが、カテゴリコンテナーに表示されます。

4. コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。

キャンバスには、次のタイプの質問コントロールが含まれています。

質問コントロール

データタイプ	説明
添付ファイル	ユーザーが回答として 1 つ以上のファイルを添付できるようにする質問。
ブーリアン	次の値タイプを持つ質問： ○ オンまたはオフにするチェックボックス。 ○ [はい] または [いいえ] の回答
選択肢	事前定義済みオプションのリストを含む質問。
日付	[日付] フィールド。回答者が入力した日付情報を収集できます。
日付/時刻	[日付/時刻] フィールド。回答者が入力した日付と時刻の情報を収集できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	説明
数値	事前定義された最小値と最大値を持つ数値フィールド。デフォルトの範囲は 1 ～ 10 です。
パーセンテージ	範囲が指定されている [パーセンテージ] フィールド。
スケール	事前定義されたリッカート尺度。回答オプションはラジオ ボタンとして表示されます。
数値スケール	数値または数値スケール。回答者は数値で回答する必要があります。
文字列	1 行または複数行のテキスト フィールド。
テンプレート	オプションの事前定義済みスケールを示すテンプレートのリスト。
参照	指定された参照テーブルからのフィールドのリスト。
画像スケール	画像の質問質問に対する回答として画像をクリックできます。
複数選択	複数のオプション。回答として複数のオプションを選択できます。
ランキング	回答としてのオプションがある質問タイプ。オプションはランク付けする必要があります。

5. [保存] をポイントし、[保存して公開] をクリックします。
   テンプレートのステータスが [公開済み] に変更されます。

タスクの結果
質問を含むアセスメントテンプレートをエンティティオーナーに送信する準備ができました。

次のタスク
アセスメント応答を処理アクティビティにマッピングします。詳細については、「処理アクティビティフィールドの質問の回答へのマッピング」を参照してください。

処理アクティビティスクリプトの記述

アセスメントテンプレートにカスタムスクリプトを記述し、スクリプトを使用して処理アクティビティフィールドを更新します。アセスメントの応答が完了すると、スクリプトが実行されます。スクリーニングアセスメントと影響度評価の両方に対して複数のスクリプトを記述することができます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.developer

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメント > すべてのアセスメントテンプレート.
2. スクリプトを作成するアセスメントテンプレートを開きます。
3. [処理アクティビティスクリプトの構成] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

処理アクティビティスクリプトの構成フォーム

フィールド	説明
名前	スクリプトの名前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
アセスメントテンプレート	使用するアセスメントテンプレートこのフィールドは自動的に設定されます。
有効	スクリプトがアクティブかどうかを示すオプション。アセスメントの応答が送信され、処理アクティビティが作成されると、アクティブなスクリプトが実行されます。 注: 一度に 1 つのスクリプトのみをアクティブとしてマークできます。
説明	スクリプトの説明。
スクリプト	処理アクティビティを更新するために使用されるスクリプト。

6. [送信] を選択します。

コントロール目標を質問の回答にマッピングする

コントロール目標をアセスメント質問の回答にマッピングし、処理アクティビティでそれぞれのコントロールを自動的に作成して適用します。

始める前に

アクティブなコントロールと非アクティブなコントロールをアセスメントの応答に適用できます。ただし、ビジネスユーザーによってアセスメントが送信されるときは、[アクティブ] ステータスのマッピングされたコントロール目標のみが、処理アクティビティでコントロールを作成して適用すると見なされます。

必要なロール：sn_privacy.admin および sn_privacy.manager

このタスクについて

質問が次のタイプの場合にのみ、コントロール目標をアセスメント質問に関連付けることができます。

- 選択肢
- 画像スケール
- 数値スケール
- ランキング
- ブーリアン
- テンプレート

注:
ブーリアン型の質問では、「はい」または「いいえ」で回答するか、オン/オフ操作が必要なチェックボックスを使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメントテンプレート.
2. 必要なアセスメントテンプレートをクリックして開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [更新] をクリックします。

タスクの結果
コントロール目標は処理アクティビティに関連付けられます。

情報オブジェクトの質問の応答へのマッピング

[PI] 情報オブジェクトを、処理アクティビティに関連付ける必要があるアセスメント質問の回答にマッピングします。この関連付けは、プライバシーチームが処理アクティビティによってどの個人情報が処理されているかを理解するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.admin および sn_privacy.manager

このタスクについて
質問が次のタイプの場合にのみ、情報オブジェクトをアセスメント質問に関連付けることができます。

- 選択肢
- 画像スケール
- 数値スケール
- ランキング

情報オブジェクトとその使用方法の詳細については、「情報オブジェクト」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメントテンプレート.
2. 必要なアセスメントテンプレートをクリックして開きます。
3. [測定基準カテゴリ] 関連リストで、必要な測定基準をクリックします。
   測定基準カテゴリが展開されます。
4. [アセスメント測定基準] 関連リストで、必須の質問をクリックします。
5. [アセスメント測定基準の定義] 関連リストで、情報オブジェクトをマッピングする値を選択します。
6. [情報オブジェクト] 関連リストで、[編集] をクリックします。
7. [コレクション] リストで必要な情報オブジェクトをダブルクリックします。
   ダブルクリックすると、オブジェクトが [情報オブジェクト] リストに自動的に移動します。
8. [保存] をクリックします。
9. [更新] をクリックします。

タスクの結果
情報オブジェクトは処理アクティビティに関連付けられます。

リスクステートメントの質問の回答へのマッピング

リスクステートメントをアセスメント質問の回答にマッピングし、処理アクティビティでそれぞれのリスクを自動的に作成して適用します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.admin および sn_privacy.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ユーザーが回答に基づいて質問に回答すると、対応するリスクステートメントが処理アクティビティにマッピングされます。
質問が次のタイプの場合にのみ、リスクステートメントをアセスメント質問に関連付けることができます。

- 選択肢
- 画像スケール
- 数値スケール
- ランキング
- ブーリアン
- テンプレート

> **注:**
> ブーリアン型の質問では、「はい」または「いいえ」で回答するか、オン/オフ操作が必要なチェックボックスを使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメントテンプレート.
2. 必要なアセスメントテンプレートをクリックして開きます。
3. リスクステートメントを追加する質問を開きます。
4. [更新] をクリックします。

処理アクティビティフィールドの質問の回答へのマッピング

処理アクティビティフィールドの一部をアセスメント質問の回答とマッピングし、アセスメント応答に基づいて処理アクティビティの詳細を更新します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.admin

このタスクについて
処理アクティビティフォームには複数のフィールドがあります。処理アクティビティレコードのさまざまなフィールドにコピーする必要があるアセスメント質問の回答を選択できます。たとえば、特定の質問の回答が [はい] の場合に、その質問の簡単な説明を処理アクティビティフォームの [名前] フィールドで使用する必要があるように設定できます。

次のテーブルは、処理アクティビティフォームのフィールドとアセスメントテンプレートの構成の間のマッピングを示しています。

アセスメントの構成のフィールドタイプ	アセスメントテンプレート構成のフィールドラベル	処理アクティビティフォームのフィールドラベル
文字列	名前	名前
文字列	説明	処理アクティビティの目的
文字列	データの保持期間 (日数)	データの保持期間 (日数)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメント > すべてのアセスメントテンプレート.
2. 必要なアセスメントテンプレートをクリックして開きます。
3. [測定基準カテゴリ] 関連リストで、必要な測定基準をクリックします。
   測定基準カテゴリが展開されます。
4. フィールドを処理アクティビティにコピーする元の質問をクリックします。
5. [処理アクティビティの構成] セクションをクリックします。
6. [処理アクティビティフィールド] フィールドから、処理アクティビティフォームへの入力が必要なフィールドを選択します。
7. [更新] をクリックします。

アセスメント構成の作成と検証

アセスメント構成を作成して、処理アクティビティを自動的に作成する必要があるタイミングを決定します。

始める前に

必要なロール：sn_privacy.admin または sn_privacy.manager

このタスクについて

プライバシースクリーニングアセスメントがエンティティオーナーに送信されると、その応答によって処理アクティビティの作成が決定されます。プライバシースクリーニングアセスメントのデフォルト構成を変更して、処理アクティビティを自動的に作成することもできます。
独自のプライバシースクリーニングアセスメントの新しい処理アクティビティ作成条件を作成することもできます。

構成を作成したら、定義された条件に従って応答が処理アクティビティを作成するかどうかを検証できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > アセスメント > 処理アクティビティ作成ルール.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

[処理アクティビティ作成ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	アセスメント構成の名前。
説明	構成の簡単な説明。
アセスメントテンプレート	構成の作成対象のテンプレート。
有効	構成を有効にするオプション。
詳細	3 件を超える条件を追加するオプション。

4. [条件] 関連リストで、[測定基準] を選択し、条件ビルダーを使用してフィルターを作成します。
5. [詳細] 関連リストで、3 件を超える条件を追加するためのスクリプトを指定します。
   [詳細] 関連リストは、[詳細] オプションを選択した場合にのみ表示されます。
6. [検証] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [アセスメントインスタンス] フィールドで、この構成を使用する必要があるインスタンスを選択します。

b. [検証] をクリックします。

処理アクティビティのテーブルへのマッピング

エンティティフィールドを処理アクティビティとマッピングすることで、処理アクティビティを最新の状態に保ち、ServiceNow のテーブルと同期します。

始める前に

必要なロール：sn_privacy.analyst

このタスクについて

処理アクティビティは、ビジネスプロセスレコードやビジネスアプリケーションレコードなどの CMDB テーブルレコードに関連付けられています。CMDB レコードが更新されるたびに、プライバシーチームが処理アクティビティの更新に基づいてコントロールを適用できるように、それぞれの処理アクティビティも更新する必要があります。処理アクティビティフォームの [フィールドを同期 **(Sync fields)]** ボタンを使用すると、プライバシーマネージャーやアナリストが処理アクティビティを更新できます。処理アクティビティは、処理アクティビティマッピングで利用可能な構成に基づいて更新されます。

[同期フィールド] ボタンを選択したときには、処理アクティビティにマッピングされているフィールドのみが更新されます。

[処理アクティビティ] フィールドを [マッピング] フィールドにマッピングする場合は、次のマッピングの組み合わせがサポートされていることに注意してください。

- 文字列から文字列
- 参照タイプから同じ参照タイプ
- True または False
- 整数から整数および文字列

また、両方のフィールドに有効なデータがあることを確認してください。たとえば、[処理アクティビティ] フィールドにフィルター条件が適用されている場合は、 [マッピング] フィールドのフィルター条件と一致する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > **Privacy Management** を構成 > 処理アクティビティマッピング.
2. [新規] をクリックします。
3. [マッピングテーブル] フィールドで、[ビジネスアプリケーション] を選択します。
4. [説明] フィールドに、テーブルの簡単な説明を入力します。
5. [保存] をクリックします。
   [処理アクティビティフィールドのマッピング] 関連リストが表示されます。
6. [処理アクティビティフィールドのマッピング] 関連リストをクリックします。
   a. [新規] をクリックします。
   b. [処理アクティビティ] フィールドで、ビジネスアプリケーションテーブルフィールドにマッピングする処理アクティビティフォームのフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [マッピング] フィールドで、処理アクティビティフィールドにマッピングするビジネスアプリケーションテーブルのフィールドを選択します。

d. [保存] をクリックします。

タスクの結果
マッピングが正常に作成されました。マッピングされるフィールドは、処理アクティビティフォームで入力されます。

プライバシー管理 の使用

プライバシーアナリストまたはプライバシーマネージャーは、どのビジネスアプリケーションまたはプロセスが個人情報を保存して使用しているかを特定できます。

プライバシープログラムを計画するためのエンティティスコーピング

プライバシーマネージャーが組織のプライバシープログラムを計画する場合、最初のステップは、個人データを含むビジネスアプリケーションまたはプロセスのスコープを設定することです。ガバナンス、リスク、コンプライアンス では、これらのビジネスアプリケーションまたはビジネスプロセスはエンティティと呼ばれます。個人データを処理するエンティティを特定すると、処理アクティビティが自動的に作成されます。

sn_privacy_manager ロールを持つプライバシーマネージャーは、さまざまなプライバシープログラムを計画します。プライバシープログラムの例を次に示します。

- 顧客の個人データを処理するすべてのビジネスプロセスとベンダーを特定します。
- 従業員の個人データを処理するビジネスアプリケーションを特定します。

ビジネスプロセス、アプリケーション、ベンダー、またはビジネスサービスに関連するすべてのインベントリは、それぞれの 構成管理データベース (CMDB) テーブルに格納されます。それぞれのビジネスオーナーがこのインベントリを管理します。

次のいずれかの方法を使用して、個人データを処理するエンティティを識別または検出できます。

- 個人情報の使用によって処理アクティビティを検出することで、エンティティをフィルタリングします。
- 初期プライバシーアセスメントの送信

これらの両方の方法については、次のセクションで説明します。

個人情報の使用によって処理アクティビティを検出する

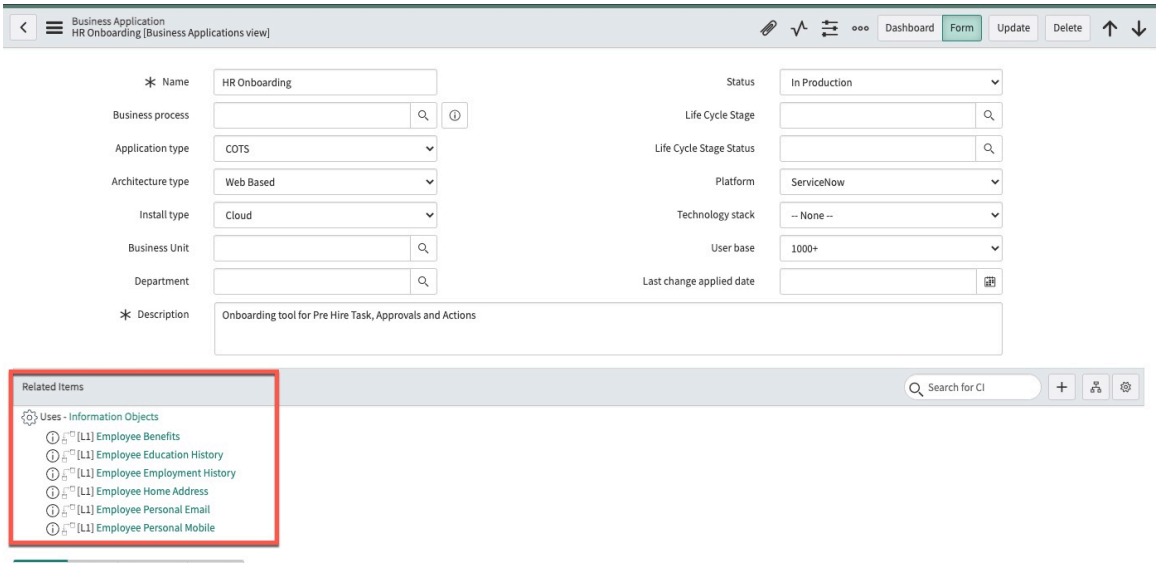
インベントリレベルでは、ビジネスプロセス、ビジネスアプリケーション、およびその他のインベントリレコードが個人情報 (PI) タイプの情報オブジェクトにマッピングされている場合、プライバシーマネージャーは特定の PI 情報を処理するそれらのレコードを検出できます。プライバシー管理 の情報オブジェクトとそのロールの詳細については、「プライバシー管理 の情報オブジェクト」を参照してください。

次の画像は、情報オブジェクトが関連付けられたビジネスプロセスを示しています。情報オブジェクトに関連付けられたビジネスアプリケーションまたはプロセスを識別するには、エンティティスコーピング機能の拡張エンティティフィルター機能を使用します。詳細については、「個人情報を含む処理アクティビティを検出するスコープエンティティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報オブジェクトが関連付けられたビジネスプロセス



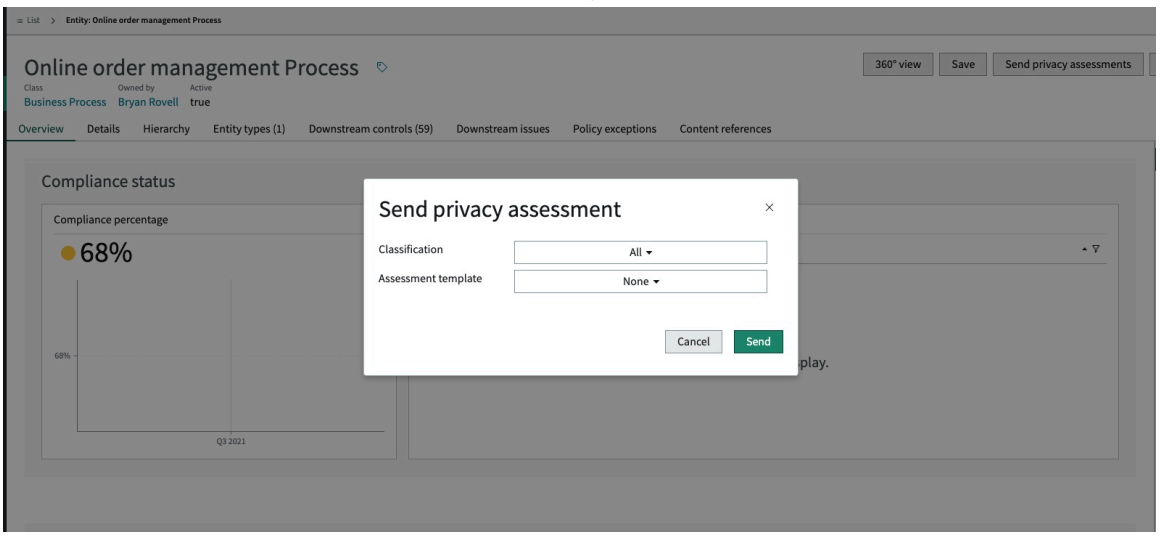
潜在的なエンティティを特定し、初期プライバシーアセスメントを送信する

情報オブジェクトがビジネスアプリケーションまたはプロセスにマッピングされていない場合は、初期プライバシーアセスメントをすべてのエンティティに送信し、その応答を使用して個人データが処理されているかどうかを判断できます。アセスメントを送信する手順は次のとおりです。

1. エンティティタイプの作成たとえば、顧客の個人情報を処理するビジネスプロセスや従業員情報を保存するビジネスアプリケーションなどです。
2. 作成したエンティティタイプを使用してエンティティを識別します。
3. 関連するエンティティを選択し、それぞれのエンティティオーナーにプライバシースクリーニングアセスメントを送信します。
4. 関連する質問が回答されたときに、回答に基づいて処理アクティビティが自動的に作成されます。

自動翻訳

エンティティへのプライバシーアセスメントの送信



エンティティのスコープが指定されると、アプリケーションでは個人情報を含むエンティティのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

個人情報を含む処理アクティビティを検出するスコープエンティティ

ServiceNow® 構成管理データベース (CMDB) アプリケーションを使用して、どのエンティティが個人情報を保持および処理しているかを判断します。

始める前に

CMDB クエリーを作成したことを確認します。CMDB クエリーの詳細については、「CMDB のクエリー」を参照してください。

必要なロール：sn_privacy.manager

このタスクについて

構成管理データベース (CMDB) では、次のいずれかの方法を使用して、個人データを処理するエンティティをデータベースで検索できます。

- 事前定義されたクエリーを使用し、情報オブジェクトが関連付けられているアプリケーションとプロセスのみを選択します。プライバシー管理 の情報オブジェクトとそのロールの詳細については、「プライバシー管理 の情報オブジェクト」を参照してください。個人情報を含むエンティティのスコープを設定する方法については、「個人情報を含む処理アクティビティを検出するスコープエンティティ」を参照してください。
- 独自のクエリーを作成します。CMDB クエリーの作成方法の詳細については、「CMDB のクエリー」を参照してください。

個人データを含むエンティティをフィルタリングするには、適切なクエリーを使用してエンティティをフィルタリングする必要があります。ServiceNow には、個人データを含むエンティティをフィルタリングするために使用する 2 つのデフォルトのクエリーが用意されています。デフォルトのクエリーは次のテーブルに対して提供されます。

- ビジネスプロセス
- ビジネスアプリケーション

独自のクエリーを作成することもできます。この手順では、デフォルトのクエリーを使用する方法を示します。

手順

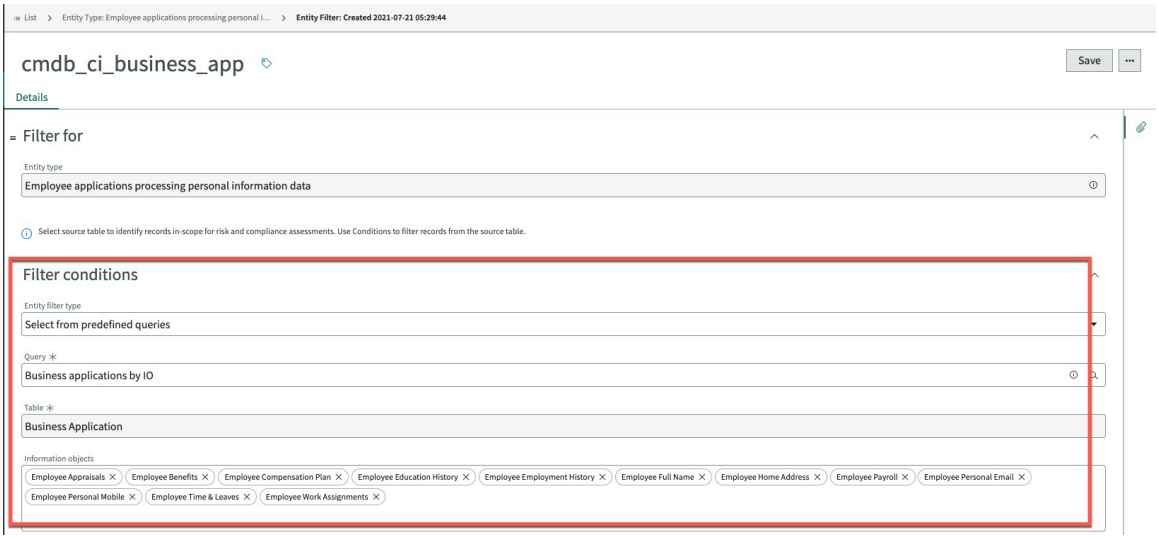
1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > スコーピング > エンティティタイプ.
2. 個人情報をフィルタリングするエンティティを開きます。
3. [エンティティフィルター] 関連リストをクリックします
4. [新規] をクリックします。
   [エンティティフィルター] フォームが表示されます。
5. [フィルター条件] セクションの [エンティティフィルタータイプ] フィールドで、[事前定義されたクエリから選択] を選択します。
6. [クエリー] フィールドで、**[IO** 別のビジネスアプリケーション **(Business applications by IO)]** を選択します。
   [テーブル] フィールドが自動的に設定されます。
7. オプション: メールアドレスなどの個人情報を含む情報オブジェクトを追加するには、[情報オブジェクト] をクリックし、「メール」と入力します。
8. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example:

事前定義されたクエリーの使用



プライバシーアセスメントのタイプ

プライバシーアセスメントは、エンティティ、エンティティタイプ、処理アクティビティなどのさまざまな方法を使用して送信できます。

プライバシースクリーニングアセスメント、プライバシー影響度評価、転送影響度評価など、複数のタイプのプライバシーアセスメントを要件に応じて構成できます。

エンティティまたは処理アクティビティのプライバシーアセスメントの開始

ビジネスプロセスまたはアプリケーションが個人データを処理しているかどうかを検出するために、プライバシースクリーニングアセスメントを使用できます。処理アクティビティが個人データをどのように処理しているかを定期的に評価するには、プライバシー影響度評価 (PIA) などのプライバシーアセスメントを使用できます。

プライバシースクリーニングアセスメント

プライバシースクリーニングアセスメントを実施すると、エンティティが個人情報を処理しているかどうかがわかります。

プライバシースクリーニングアセスメントは、次の方法で送信できます。

- 処理アクティビティが利用できない場合にのみ、エンティティレコードから。
- エンティティタイプのエンティティ関連リストから

エンティティのプライバシー審査アセスメントを開始すると、エンティティオーナーによって送信された応答に基づいて処理アクティビティが作成されます。

注:
処理アクティビティ作成ルールは、スクリーニングアセスメント応答に基づいて構成できます。

処理アクティビティが作成された後、アセスメント構成に基づいて、次のイベントが発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 必要な情報オブジェクトが処理アクティビティレコードにマッピングされます。情報オブジェクトとその使用方法の詳細については、「情報オブジェクト」を参照してください。
2. 必要なコントロールが処理アクティビティレコードにマッピングされます。
3. 処理アクティビティの目的、データ主体タイプなどの重要なアセスメント応答は、処理アクティビティレコードにコピーされます。

> **注:**
> 誤ってアセスメントを送信し、アセスメントが完了していない場合は、アセスメントをキャンセルできます。

プライバシーアセスメント

処理アクティビティレコードが識別されると、処理アクティビティがどのように個人情報を処理しているかを理解するために、プライバシー影響度評価 (PIA) や 転送の影響度評価 (TIA) などのさまざまなプライバシーアセスメントが送信されます。単一の処理アクティビティレコードから PIA をトリガーできます。詳細については、「処理アクティビティからのプライバシーアセスメントの送信」を参照してください。または、エンティティタイプ機能を使用して、または処理アクティビティリストビューから、プライバシー影響度評価を複数の処理アクティビティに送信することもできます。複数のエンティティにアセスメントを送信する方法の詳細については、「複数のエンティティへのプライバシーアセスメントの送信」を参照してください。

関連情報

複数のエンティティへのプライバシーアセスメントの送信

エンティティからのプライバシーアセスメントの送信

プライバシーアセスメントをエンティティオーナーに送信して、処理アクティビティに個人データが含まれているかどうかを判断します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.manager または sn_privacy.analyst

このタスクについて
エンティティに対して作成された処理アクティビティがない場合は、そのエンティティからプライバシースクリーニングアセスメントを送信できます。エンティティの処理アクティビティが作成された後は、処理アクティビティを介してのみ追加のアセスメントを送信できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > スコーピング > 自分のエンティティ.
2. エンティティオーナーへのアセスメントの送信元になるエンティティを選択して開きます。
3. [プライバシーアセスメントを開始] を選択します。
   [新しいプライバシーアセスメントを作成 **(Create new privacy assessment)]** フォームにリダイレクトされます。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの説明については、「[新しいプライバシーアセスメントの作成(New privacy assessment creation)] フォーム」を参照してください。
5. [ステータスの更新] を選択します。
   a. [ステータス] フィールドで、[アサイン済み] を選択します。
   b. [追加コメント] フィールドに、アセスメントを受けるユーザーへのコメントを入力します。
   c. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいプライバシーアセスメントの作成**(New privacy assessment creation)**] フォーム

[新しいプライバシーアセスメントの作成(New privacy assessment creation)] フォームの各フィールドを使用して、新しいプライバシーアセスメントを作成します。

[新しいプライバシーアセスメントの作成**(New privacy assessment creation)**] フォームのフィールド

[新しいプライバシーアセスメントの作成**(New privacy assessment creation)**] フォーム

フィールド	説明
プライバシーアセスメント	
番号	プライバシーアセスメントの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
タイトル	プライバシーアセスメントの名前。
要求者	アセスメントを要求しているユーザーの名前。
アセスメントテンプレート	アセスメントに使用するテンプレート。
ステータス	アセスメントの状態。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
優先度	アセスメントの優先度。
説明	アセスメントの説明。
アサイン	
アサイニー	アサインを受けるユーザーの名前。
レビュー担当者	アセスメントをレビューするユーザーの名前。このフィールドでは複数のレビュー担当者を選択できます。
スケジュール	
期日	アセスメントが完了する予定の日付。
受諾日 (Accepted date)	アセスメントが受諾された日付。このフィールドは読み取り専用で、タスクが受諾された日付のみが表示されます。
作成済み	アセスメントが作成された日付。このフィールドは読み取り専用です。
タスクのクローズ日 (Task closure date)	アセスメントタスクがクローズされた日付。このフィールドは読み取り専用で、タスクがクローズされた日付のみが表示されます。
サマリ	
観察事項	アセスメントに関する所見。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	アセスメントに関する作業メモ。
追加コメント (顧客に表示)	このアセスメントを更新する際のコメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のエンティティへのプライバシーアセスメントの送信

プライバシースクリーニングアセスメントまたはプライバシー影響度評価 (PIA) アセスメントを複数のエンティティに送信して、個人データが処理される理由と方法を理解します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.manager

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > リスト > スコーピング > エンティティタイプ.
2. アセスメントを送信する対象のエンティティを含むエンティティタイプを選択します。
3. [エンティティ] 関連リストを選択します。
4. 必要なエンティティを選択するには、選択アイコン (☐) を選択します。
5. [プライバシーアセスメントの送信] をクリックします。
6. [分類] フィールドから、アセスメントのタイプを選択します。
7. [アセスメントテンプレート] フィールドで、使用するテンプレートを選択します。
8. [期日] フィールドで、アセスメントを完了する期日を選択します。
9. [送信] をクリックします。

タスクの結果
アセスメントはエンティティオーナーに送信されます。

処理アクティビティからのプライバシーアセスメントの送信

処理アクティビティレコードから処理アクティビティのオーナーにプライバシーアセスメントを送信して、処理アクティビティが個人情報を使用する理由と方法に関する詳細情報を収集します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.manager または sn_privacy.analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. プライバシーアセスメントの送信元になる処理アクティビティを選択して開きます。
3. [プライバシーアセスメントを開始] をクリックします。
   [新しいプライバシーアセスメントを作成 **(Create new privacy assessment)]** フォームにリダイレクトされます。
4. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの説明については、「[新しいプライバシーアセスメントの作成(New privacy assessment creation)] フォーム」を参照してください。
5. [ステータスの更新] を選択します。
   a. [ステータス] フィールドで、[アサイン済み] を選択します。
   b. [追加コメント] フィールドに、アセスメントを受けるユーザーへのコメントを入力します。
   c. [送信] を選択します。

タスクの結果
アセスメントはエンティティオーナーに送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の処理アクティビティからプライバシーアセスメントを送信

複数の処理アクティビティから複数のプライバシーアセスメントを送信します。この機能を使用すると、事業部門、場所、データ主体、およびデータタイプ別に処理アクティビティをフィルタリングできます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.manager または sn_privacy.analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. アセスメントの送信元になる処理アクティビティを選択します。
3. [プライバシーアセスメントの送信] を選択します。
4. [分類] フィールドから、アセスメントのタイプを選択します。
5. [アセスメントテンプレート] フィールドで、使用するテンプレートを選択します。
6. [期日] フィールドで、アセスメントを完了する期日を選択します。
7. [送信] をクリックします。

プライバシーアセスメントに応答

エンティティオーナーまたは処理アクティビティの主要なステークホルダーは、プライバシーリードによって開始されたプライバシーアセスメントに応答します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.assessment_responder、sn_privacy.business_user

このタスクについて
アセスメントに応答している間、自分がアセスメントを開始していても、アセスメントを別のユーザーに再アサインできます。部分的に完了したプライバシーアセスメントを別のユーザーに再アサインすると、提供済みのデータもコピーされ、新しいアサイニーがアセスメントを受けるときに使用できます。このデータは、新しいアサイニーにより変更できます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center** > 自分のアクティブなアイテム > **GRC** タスク > 自分の **To Do**.
2. アサインされたアセスメントを開きます。
3. 次のアクションのいずれかを実行します。

タスクの結果
回答は、それぞれのエンティティと処理アクティビティでキャプチャされます。回答はプライバシーチームによってレビューされます。

プライバシーアセスメントをレビュー

プライバシーアナリストは、レスポンダーがアセスメントを送信した後にプライバシーアセスメントをレビューします。レビュー後にアセスメントをクローズすることも、アセスメントにさらに情報が必要であると判断した場合は、リビジョンを要求することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
レビュー担当者は、該当するリスクステートメント、情報オブジェクト、およびコントロール目標を含むアセスメントをプレビューすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > タスク.
2. レビューするプライバシーアセスメントを選択して開きます。
3. [応答を表示] を選択します。
4. アセスメント応答をレビュー
5. レスポンダーに詳細情報を要求するには、[リビジョンの要求 **(Request for revision)]** を選択します。
6. アセスメントを完了としてマークするには、[ステータスの更新] を選択します。
   a. [ステータス] フィールドで、[完了してクローズ] を選択します。
   b. 追加情報がある場合は、[追加コメント] フィールドに入力します。
   c. [送信] を選択します。

処理アクティビティの作成または更新

処理アクティビティを手動で作成するか、プライバシースクリーニングアセスメントから自動的に作成された処理アクティビティを更新します。エンティティレコードから作成された処理アクティビティを更新することもできます。処理アクティビティを更新するときに、処理中の個人データに関する詳細を入力できます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.analyst (処理アクティビティを所有しているユーザー) または sn_privacy.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。

2. フォームのフィールドに入力します。

[新しい処理アクティビティ **(New processing activity)]** フォーム

フィールド	説明
名前	処理アクティビティの名前。
処理アクティビティの目的	個人データを保存するアプリケーションまたはプロセスを使用するビジネス上の根拠または理由。
番号	処理アクティビティの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
プライバシーアナリスト	処理アクティビティを担当するアナリスト。
事業部門	処理アクティビティの事業部門。
部門	処理アクティビティの部門。
処理アクティビティタイプ	ビジネスアプリケーションやビジネスプロセスなどの処理アクティビティのコンテキスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
エンティティ	処理アクティビティのエンティティ。
適用するレコード	処理アクティビティレコードの作成に使用される参照レコード。
オーナー	処理アクティビティのオーナー。
データ処理ロール	処理アクティビティがデータコントローラーかデータプロセッサーかを定義します。
処理アクティビティステータス	処理アクティビティのステータス。選択肢は次のとおりです。 ○ 実装中 ○ 稼働中 ○ パイロット ○ 廃止 **(Retired)** ○ 評価中
処理アクティビティカテゴリ	処理アクティビティが属するカテゴリ (カスタマーケア、財務など)。
コンプライアンススコア	この処理アクティビティにマッピングされたすべてのコントロールに基づいて計算されたプライバシーコンプライアンススコア。
プロセスオーナー	処理アクティビティの編集権限を持ち、主要なステークホルダーのリストに登録されている sn_privacy.business_user ロールを持つユーザー。 **注:** このフィールドで選択されたユーザーは、このフィールドを更新して新しいプロセスオーナーを選択できます。このフィールドを更新できるのは、処理アクティビティが [検出] または [レビュー] ステータスの場合のみです。
データ主体	
データストレージタイプ	個人情報が保存される形式。選択肢は次のとおりです。 ○ デジタル ○ 用紙 ○ 両方
データストレージの場所	個人情報が保存されている物理的な場所。
データの保持期間 (日数)	個人情報を保持する必要がある日数。
データ主体タイプ	使用および処理されている個人情報に関連付けられたユーザータイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ 顧客 ○ 従業員 ○ その他
データ主体の範囲	個人情報が処理されるユーザーの範囲。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
特殊なカテゴリデータが含まれていますか？	このフィールドは自動的に [はい] または [いいえ] に設定されます。処理アクティビティに関連付けられた情報オブジェクトが特別なカテゴリデータとして分類された場合、このフィールドは自動的に [はい]に設定されます。
特殊なカテゴリデータを取得しますか？	この処理アクティビティは、人種、民族、政治情報などの特別なカテゴリデータを処理しますか？選択肢は次のとおりです。 ○ はい ○ いいえ
アクティビティ	
追加コメント	処理アクティビティに関する追加情報。
作業メモ	内部メモは外部ユーザーには表示されません。

3. [保存] をクリックします。

処理アクティビティに関する情報オブジェクトの作成または管理

処理アクティビティが作成された後に、処理アクティビティに情報オブジェクトを追加します。情報オブジェクトを追加すると、処理されている個人情報のタイプとその処理方法を理解するのに役立ちます。このタスクは、処理アクティビティに適切なコントロールを適用するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy.analyst (処理アクティビティを所有しているユーザー) または sn_privacy.manager

このタスクについて

個人情報タグが付けられた情報オブジェクトのみを処理アクティビティに追加できることに注意してください。情報オブジェクトにタグを付ける方法の詳細については、「情報オブジェクトに個人情報をタグ付けする」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. コントロールを追加する処理アクティビティを選択して開きます。
3. [[PI]情報オブジェクト] 関連リストをクリックします。
4. [追加] をクリックします。
5. 追加する情報オブジェクトを選択します。
6. [追加] をクリックします。

関連情報

処理アクティビティに関する情報オブジェクトの変更

処理アクティビティに関する情報オブジェクトの変更

処理アクティビティに情報オブジェクトを追加した後、情報オブジェクトにデータを格納する理由などの詳細を追加します。詳細を追加すると、個人データの処理方法を定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.analyst (処理アクティビティを所有しているユーザー) または sn_privacy.manager

このタスクについて
プライバシーアナリストは、特定の処理アクティビティで個人データがどのように使用されているかの詳細を提供する必要があります。情報オブジェクトに関連する詳細を追加すると、この目標を達成するために役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. 変更する情報オブジェクトを含む処理アクティビティを選択して開きます。
3. [[PI]情報オブジェクト] 関連リストをクリックします。
4. 変更する情報オブジェクトを開きます。
5. 処理アクティビティに対する情報オブジェクトのフォームでフィールドに入力します。

フィールド	説明
情報オブジェクト	情報オブジェクトの名前。このフィールドは自動的に設定されます。
処理アクティビティ	情報オブジェクトが含まれている処理アクティビティの名前。このフィールドは自動的に設定されます。
データ分類	データクラスのカテゴリ。たとえば、[極秘] です。このフィールドは自動的に設定されます。このフィールドは 、情報オブジェクトライブラリを設定するときに定義されます。
データのタイプ	個人データのタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ 一般的な個人情報：たとえば、名前、電話番号、住所などです。 ○ 特別なカテゴリ：たとえば、政治的意見、宗教的信条などです。 **注:** 処理アクティビティに関連付けられた情報オブジェクトが特別なカテゴリとして分類された場合、処理アクティビティフォームの [特殊なカテゴリデータが含まれていますか？] フィールドが自動的に [はい] に設定されます。 ○ 刑事上の有罪判決：たとえば、裁判所の判断、法的手続きに関する情報などです。
処理の法的根拠	個人データを処理する理由。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ なし ○ 法的義務 ○ 正当な利益
CRUD 操作	処理アクティビティで実行できる操作。選択肢は次のとおりです。 ○ 作成 ○ 読み取り ○ 更新 ○ 削除
アップストリーム処理アクティビティ	処理アクティビティの継承データのソース。たとえば、この処理アクティビティのデータの提供元のアプリケーションを選択できます。
ダウンストリーム処理アクティビティ	データの送信先を指定します。
このデータを保存する理由	個人データを保存および使用する理由。

6. [保存] をクリックします。

主要なステークホルダーの追加とプライバシーアセスメントの送信

主要なステークホルダーを処理アクティビティに追加して、処理アクティビティ内の個人データの処理を担当する主要なメンバーを特定します。その後、責任に基づいてそれぞれのプライバシーアセスメントをステークホルダーに送信できます。たとえば、エンティティオーナーは処理アクティビティの主要なステークホルダーです。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.analyst

このタスクについて
処理アクティビティには複数の主要なステークホルダーを指定できます。必要な数の主要なステークホルダーを追加または削除できますが、デフォルトでは、エンティティオーナーは主要なステークホルダーの 1 人です。ステークホルダーは全員プライバシーアセスメントに回答でき、一部のステークホルダーは自分の権限に基づいて処理アクティビティを編集することもできます。sn_privacy.assessment_responder と sn_privacy.business_user を持つユーザーのみをステークホルダーとして追加できます。処理アクティビティが [検出] または [レビュー] ステータスの場合にのみ、主要なステークホルダーを追加できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.

2. 主要なステークホルダーを追加する処理アクティビティを開きます。

3. [主要なステークホルダー] 関連リストをクリックします。

4. [追加] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 追加するステークホルダーを選択します。

b. [追加] をクリックします。
主要なステークホルダーが追加されます。

5. ステークホルダーの権限と責任を変更するには、ステークホルダーの名前を選択します。
6. [責任] フィールドに、ステークホルダーの責任を入力します。
7. [処理アクティビティ権限] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。

8. [保存] をクリックします。
9. ブレッドクラムナビゲーションを使用して、処理アクティビティに戻ります。
10. プライバシーアセスメントをステークホルダーに送信するには、[プライバシーアセスメントを送信] をクリックします

a. [分類] フィールドから、アセスメントのタイプを選択します。

b. [アセスメントテンプレート] フィールドで、使用するテンプレートを選択します。

c. [ユーザー] フィールドから、アセスメントを送信するユーザーを選択します。

d. [送信] をクリックします。

処理アクティビティに関するコントロールの作成または管理

新しいコントロールを追加するか、アセスメント応答から処理アクティビティに自動的に追加されるコントロールを管理します。コントロールを追加すると、処理アクティビティに適切な規制が適用されます。

始める前に

必要なロール：処理アクティビティを所有している sn_privacy.analyst または sn_privacy.manager

このタスクについて

次の方法で処理アクティビティにコントロールを追加または管理できます。

- コントロール目標の選択：既存のコントロール目標を処理アクティビティに追加できます。処理アクティビティにコントロール目標を追加すると、その特定のコントロール目標に関連付けられたコントロールが処理アクティビティに追加されます。
- コントロールの作成：コントロールを作成して処理アクティビティに追加できます。
- 推奨コントロールから選択：このオプションを使用すると、処理アクティビティにマッピングされている情報オブジェクトに基づいて、推奨されるコントロールのリストから選択できます。情報オブジェクトが 1 つ以上のコントロール目標にマッピングされ、同じ情報オブジェクトが処理アクティビティにマッピングされている場合、対応するコントロール目標が推奨されます。
- 自動的に追加されたコントロールの管理：アセスメント応答に基づいて自動的に作成されたコントロールを管理できます。
- エンティティからのコントロールの適用：処理アクティビティに関連エンティティからプライバシー関連のコントロールを適用できます。
- 共通コントロールの追加：共通コントロールを処理アクティビティに追加して、プライバシーチームにコントロールの失敗を通知し、共通コントロールの証明書プロセスの重複を避けることができます。共通コントロールの詳細については、「共通コントロールのテスト、および複数の依存エンティティでの結果の実装」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. コントロールを追加する処理アクティビティを選択して開きます。
3. [コントロール] 関連リストをクリックします。
4. 処理アクティビティにコントロールを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

タスクの結果
軽減コントロールが処理アクティビティに追加されます。

処理アクティビティからのコントロールの削除

処理アクティビティで不要になったコントロールを削除します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.admin

このタスクについて
これらのコントロールに関連付けられたコントロール目標が誤って追加された場合は、コントロールを削除できます。新しいコントロールを追加する場合は、既存のコントロールを削除することができます。

注:
コントロールが他のエンティティまたはエンティティタイプに関連付けられている場合、そのコントロールは削除できません。コントロールを削除することによって、そのコントロールと処理アクティビティの関連付けのみを削除できます。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. コントロールを削除する処理アクティビティを選択して開きます。
3. [コントロール] 関連リストをクリックします。
4. 削除するコントロールを選択します。
5. [削除] をクリックします。

タスクの結果
選択したコントロールが処理アクティビティから削除されます。

処理アクティビティに関するリスクの作成または管理

新しいリスクを追加するか、アセスメント応答から処理アクティビティに自動的に追加されるリスクを管理します。リスクを追加すると、リスクベースのアプローチを使用して処理アクティビティを管理するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：処理アクティビティを所有している sn_privacy.analyst または sn_privacy.manager

このタスクについて
次の方法で処理アクティビティにリスクを追加または管理できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスクステートメントの選択：既存のリスクステートメントを処理アクティビティに追加できます。処理アクティビティにリスクステートメントを追加すると、その特定のリスクステートメントに関連付けられたリスクが処理アクティビティに追加されます。
- 推奨リスクから選択：このオプションを使用すると、処理アクティビティにマッピングされている情報オブジェクトに基づいて、推奨されるリスクのリストから選択できます。情報オブジェクトが 1 つ以上のリスクステートメントにマッピングされ、同じ情報オブジェクトが処理アクティビティにマッピングされている場合、対応するリスクステートメントが推奨されます。
- リスクの作成：リスクを作成して処理アクティビティに追加できます。
- エンティティからのリスクの適用：処理アクティビティに関連エンティティからプライバシー関連のリスクを適用できます。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. コントロールを追加する処理アクティビティを選択して開きます。
3. [リスク] 関連リストをクリックします。
4. 処理アクティビティにリスクを追加するには、次のいずれかの操作を行います。

タスクの結果

軽減コントロールが処理アクティビティに追加されます。

処理アクティビティに関する問題の作成または追加

処理アクティビティの問題を作成するか、既存の問題を追加します。問題を処理アクティビティに関連付けると、修正アクションを特定して優先順位を付けることができます。問題を関連付けると、顧客が管理する必要がある問題の数が減るため、これらの問題の管理に関する組織全体の効率が向上します。

始める前に

必要なロール：sn_privacy.analyst (処理アクティビティを所有しているユーザー) または sn_privacy.manager

このタスクについて

コントロール証明書の失敗が発生すると、問題が作成されます。処理アクティビティの複数の問題を手動で追加または作成することもできます。1 つの問題を複数の処理アクティビティにマップすることもできます。Privacy ワークスペース から処理アクティビティの問題を作成した場合、[問題ソース] フィールドは [アドホック] に設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース > 処理アクティビティ > すべての処理アクティビティ.
2. 問題を追加する処理アクティビティを選択して開きます。
3. [その他] 関連リストをクリックします。
4. [問題] をクリックします。
5. [追加] をクリックします。
   a. 追加する問題を選択します。
   b. [追加] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: 問題を作成するには、問題作成フォームを参照してください。
7. [保存] をクリックします。

処理アクティビティの主要なステークホルダーへのアサイン

ステークホルダーが処理アクティビティの作業を開始できるように、定義された主要なステークホルダーに処理アクティビティをアサインします。

始める前に
必要なロール：sn_privacy.analyst

このタスクについて
処理アクティビティが [検出] ステータスにあるときに、処理アクティビティを主要なステークホルダーにアサインすることができます。主要なステークホルダーが処理アクティビティを更新した後、その処理アクティビティをプライバシーチームにアサインすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > リスト > 処理アクティビティ > 未アサインの処理アクティビティ.
2. 主要なステークホルダーをアサインする処理アクティビティを選択します。
3. [主要なステークホルダーにアサイン] を選択します。
4. [主要なステークホルダーにアサイン] ウィンドウで、ステークホルダーを選択します。
5. [アサイン] を選択します。

タスクの結果
処理アクティビティが主要なステークホルダーにアサインされます。処理アクティビティは、**GRC** タスクの下で従業員センター確認および更新できます。

関連情報

従業員センター とリスクポータルを プライバシー管理 と統合

従業員センター とリスクポータルを プライバシー管理 と統合

とのデータ連携 従業員センター により、新しい実装のプライバシー影響度評価の送信、コントロール証明書への対応、処理アクティビティとプライバシー影響度評価へのアクセスなどのタスクを実行するための簡素化されたユーザーエクスペリエンスをすべての従業員と プライバシー管理 ユーザーに提供します。

Employee Center

従業員センター ポータルは、企業全体のシステムを 1 つの宛先サイトに接続するために役立つ統合ポータルであり、簡単に構成できるオプションによるシンプルで一元化されたエクスペリエンスを従業員に提供します。従業員センター の詳細については、「Employee Center の探索」を参照してください。

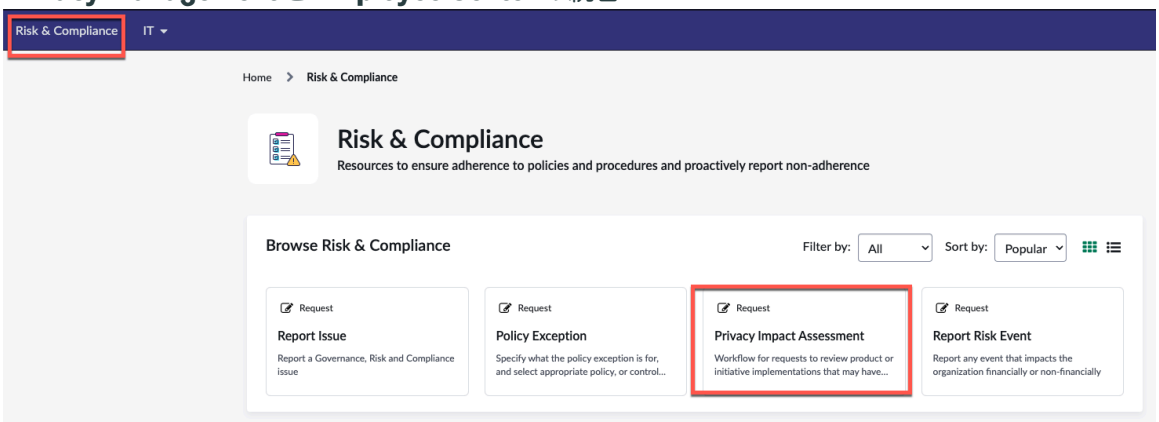
と統合プライバシー管理従業員センターすると、処理アクティビティの作成につながるプライバシー影響度評価を作成するためのインターフェイスをすべての従業員に提供できます。sn_privacy.assessment_responder および sn_privacy.business_user ロールを持つユーザーのみが、プライバシー影響度評価を作成するオプションを表示できます。次の画像は、新しい実装要求を送信できるページを示しています。たとえば、ビジネスで新しい実装を計画している場合、チームは 従業員センター を使用できます。ビジネスアプリケーションレコードを作成する前に、チームは新しい実装要求のプライバシー影響度評価に応答することで、プライバシーチームに連絡できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。これは、新しい実装の初期フェーズまたは開始フェーズでプライバシーチームのガイダンスを取得するのに役立ちます。

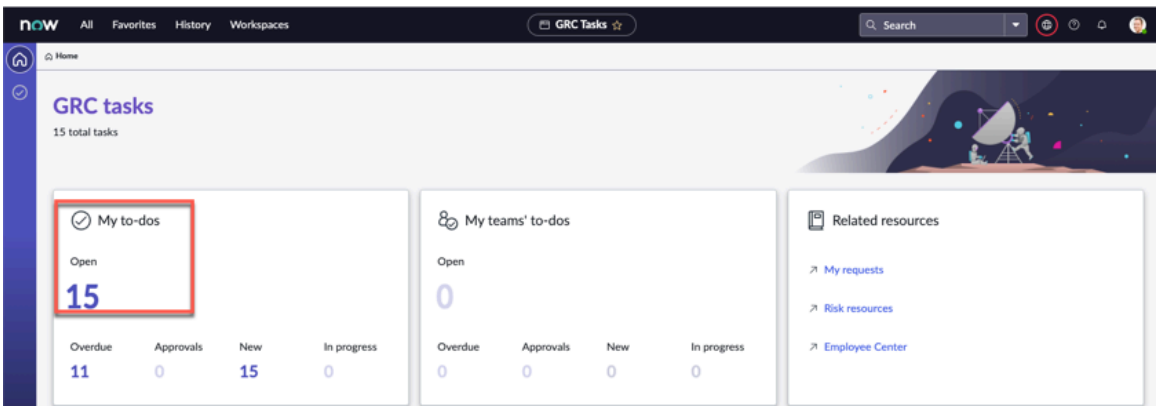
Privacy Management と **Employee Center** の統合



リスクポータル

プライバシーアナリストが処理アクティビティの詳細を取得するためにビジネスユーザーに処理アクティビティをアサインした場合、ビジネスユーザーはリスクポータルからアサインされた処理アクティビティにアクセスできます。

リスクポータルでの **GRC** タスクへのアクセス



プライバシーケース管理

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: プライバシーケース管理 アプリケーションを使用すると、プライバシー違反や苦情をレポートおよび管理できます。このソリューションは、サポートされた違反の根本原因と主な詳細の調査を支援するさまざまなチームとのコラボレーションを通じて、プライバシー侵害や苦情の迅速かつ効率的な管理を可能にします。

他のシステムと統合し、影響を受ける領域を記録する機能により、このアプリケーションは、ケースに関連付けられた主要なステークホルダーと情報オブジェクトを特定するために役立ちます。これは、プライバシーチームが違反とその影響を管理するための適切な予防措置と修正手順を実行するために役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索	構成	使用方法
		
プライバシーマネージャー、プライバシーユーザー、およびプライバシー管理者がアプリケーションを使用する プライバシーケース管理 方法について説明します。	アプリケーション プライバシーケース管理 を構成します。	プライバシーアセスメント、処理アクティビティなどを作成します。
参照		
		
アプリケーションとともにインストール プライバシーケース管理 されるテーブルとロールについて説明します。		

自動翻訳

プライバシーケース管理 の詳細

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: プライバシーケース管理 アプリケーションを使用すると、プライバシー侵害と苦情をレポートし、主要なステークホルダーと協力して、侵害調査を実行し、侵害の原因と結果を分析できます。

次にプライバシーケースが発生するタイミングの例をいくつか示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- IT 資産の損失
- 顧客データの公開
- メールの配信先グループの誤り
- 書類とドキュメントの紛失

プライバシーケース管理 アプリケーションは、プライバシーチームがプライバシー違反または侵害を含むケースを管理するために役立ちます。プライバシーケースは、ユーザーが 従業員センターを使用してレポートすることもできれば、プライバシーチームが Privacy ワークスペース を使用して作成することもできます。アプリケーションは、API を介した、さまざまなソースからの (他の ServiceNow ソリューション、たとえば、セキュリティインシデントレスポンス、IT インシデント、HR ケース、サードパーティ統合など) プライバシーケースの作成を促進します。

プライバシーケース管理 アプリケーションは、組織に次のメリットをもたらします。

- プライバシーチームの注意が必要なプライバシー侵害や苦情をビジネスユーザーが報告できるようにします。
- 複数のチームとのコラボレーションにより、調査、評価、証拠の収集、将来のレビューのための応答を確実に行います。
- ポリシーや規制、IT 資産、影響を受ける事業部門など、影響を受ける領域と対処する必要がある関連領域を記録します。
- ケースに関連付けられた主要なステークホルダーと情報オブジェクトを特定するために役立ちます。
- 修正、予防措置を開始し、根本原因を分析してケースの原因を取り除くための機能を提供します。
- プライバシーケースから発生する問題を特定および管理するために役立ちます。

プライバシーケース管理 ホームページ

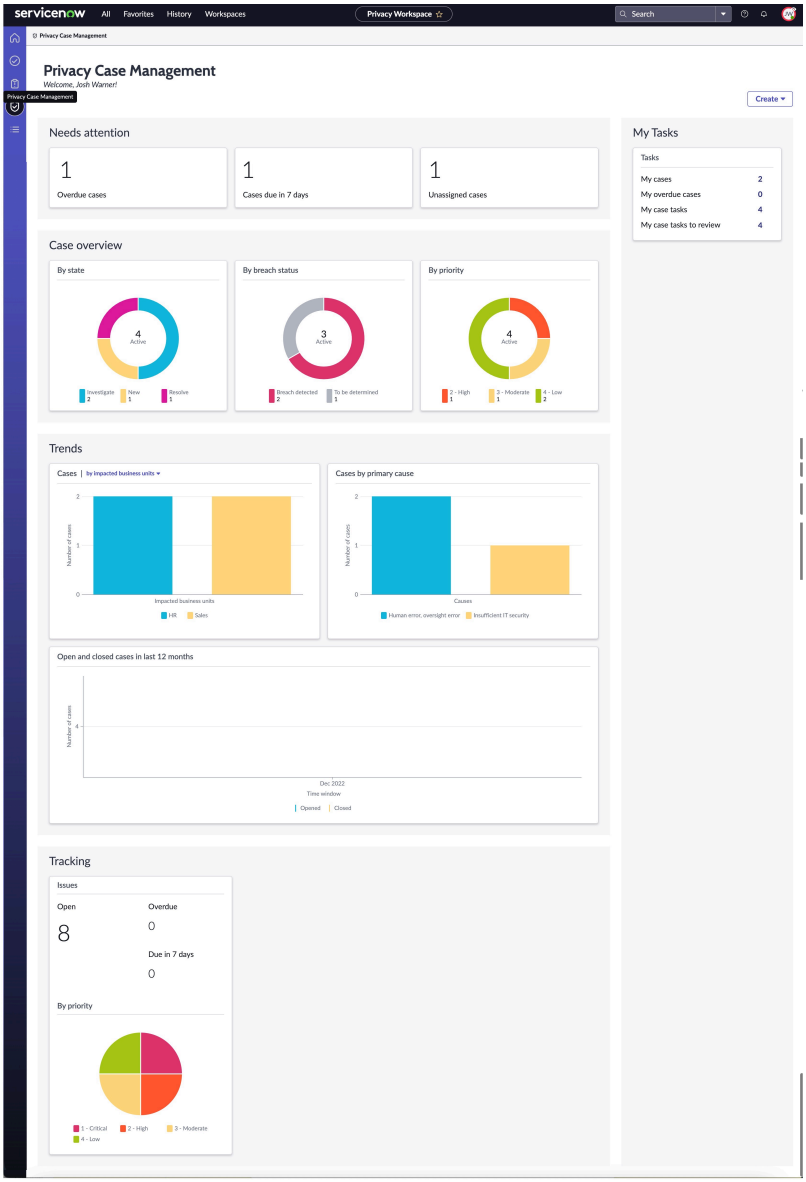
プライバシーケース管理 アプリケーションのホームページには、プライバシーケースマネージャー向けに、緊急の対応が必要なケース、ステータス、違反ステータス、優先度などに応じてケースを表示するためのグラフィカルなダッシュボードなど、すべてのプライバシーケース関連情報の概要が表示されます。

プライバシーマネージャーは sn_privacy_case.privacy_case_manager ロールを持ち、Privacy ワークスペース からランチャー () アイコンを使用して プライバシーケース管理 ランディングページを起動できます。ランディングページには、プライバシーマネージャーにアサインされたケースとケースタスク、および期限切れのケースが表示され ます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシーケース管理 のランディングページ



プライバシーケース管理 ランディングページには、プライバシーケースマネージャー向けに次のセクションが表示されます。

- 要注意
- ケース概要
- 傾向
- 追跡中
- 自分のタスク

要注意

[要注意] セクションには、即時の対応が必要なイベントまたはケースの概要が表示されます。このセクションには、次の情報が含まれています。

- 期限切れのケース：クローズ日を過ぎているケース。
- 期限が **7** 日以内のケース：クローズ日が今後 7 日以内であるケース。
- 未アサインのケース：まだケースアナリストにアサインされていないケース。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケース概要

[ケースの概要] セクションには、ステータス、違反ステータス、および優先度に基づいて、すべてのアクティブなケースがグラフィカルに表示されます。

- ステータス別：アクティブなケースの数を、それらの現在のワークフローステータスに基づいて表示します。たとえば、プライバシーケースマネージャーは、調査ステータスのアクティブなケースの数を表示できます。表示されるステータスは次のとおりです。
  - 新規
  - トリアージ
  - 調査
  - 解決
  - ケースの事後レビュー
- 違反ステータス別：アクティブなケースの数を次のステータス別に表示します。
  - 違反検出 **(Breach detected)**
  - 未定 **(To be determined)**
  - 将来の可能性 **(Future potential)**
- 優先度別：ケースレベルで定義された優先度に基づいて、アクティブなケースの数を表示します。優先度は次のとおりです。
  - 高
  - 中
  - 低
  - 重大
  - 計画

傾向

[傾向] セクションは、次のものを視覚化するのに役立ちます。

- 影響を受ける事業部門と地理的な場所に基づく報告済みプライバシー違反と苦情の数。
- 主な原因別の報告されたプライバシーケースの数。
- 過去 365 日間にオープンおよびクローズされたプライバシー違反および苦情ケースの数。
- 影響を受ける事業部門別および場所別のケース。
- 主な原因別のケース
- 過去 12 か月間のオープンケースとクローズケース。

追跡中

[追跡中] セクションには次の情報が表示されます。

- プライバシーケースのオープンな問題の数。
- 期限切れの問題の数。
- 今後 7 日間で期限切れになる問題の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プライバシーチームは、ランディングページからプライバシーケースとプライバシー関連の問題を作成することもできます。

自分のタスク

[自分のタスク] セクションは、自分にアサインされたすべてのケースとタスクにアクセスするのに役立ちます。このセクションには、次の情報が含まれています。

- ケース：自分にアサインされたすべてのケース。
- 期限切れのケース：自分にアサインされている期限切れのケース。
- ケースタスク：作業するために自分にアサインされたすべてのケースタスク。
- レビューするケースタスク：レビュー待ちのケースタスク。たとえば、ケースアナリストがケースタスクを作成し、それを作業するためにケースタスクオーナーにアサインしたとします。ケースタスクオーナーがケースタスクを完了し、レビューのためにアナリストに送信しました。このようなケースはすべてこのセクションで利用できます。

[プライバシーケース概要] ページ

[プライバシーケース概要] ページには、プライバシーケース管理 アプリケーションのケースに関連する説明、ステータス、スケジュールとマイルストーン、ケースタスク、問題などの詳細が表示されます。

[プライバシーケース管理 概要] 関連リストには、次のセクションが含まれています。

- 説明
- ステータス
- ケーススケジュールとマイルストーン
- ケースタスク概要
- 追跡中
- 添付ファイル

[説明] セクション

[説明] セクションには、コプライバシーケースの作成時に入力できる詳細情報が含まれています。たとえば、目的、実行するアクション、タイムライン、適用可能なルールと規制、および関連する証拠またはドキュメントを追加できます。このセクションを使用すると、ケースのコンテキストを理解し、解決に必要な手順を実行できます。

[ステータス] セクション

[ステータス] セクションには、プライバシーケースのワークフローステータスが含まれています。たとえば、このセクションには、新規、トリアージ、調査、解決、ケースの事後レビュー、クローズなど、プライバシーケースのさまざまなステージが表示されます。これらのステータスによって、ケースのステータスが決まります。プライバシーケース管理者は、プライバシーケース管理 アプリケーションでこれらのステータスを設定できます。詳細については、「プライバシーケースのワークフローステータスの定義」を参照してください。

[ケーススケジュールとマイルストーン] セクション

[ケーススケジュールとマイルストーン] セクションには、タイムライン範囲のケースライフサイクル中のすべてのマイルストーンまたはイベントの詳細が含まれています。このセクションには、ケースがレポート、発生、検出、クローズされた日付など、主要なイベントの概要が表示されます。[イ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ベントを表示] オプションを選択した後、イベントをフィルターして、タイムライン範囲に次のオプションを表示することもできます。

ケース作成日
: ケースが作成された日付。

検出日
: ケースが検出された日付。

発生日
: ケースが発生した日付。

マイルストーン
: 調査と修正のマイルストーンに関連する日付。

違反
: 違反分析に関連する日付。

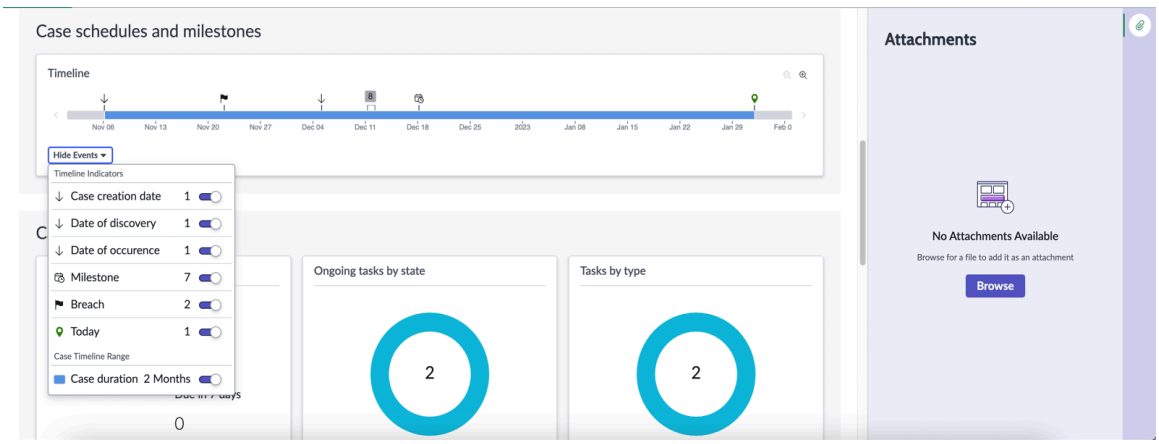
今日
: タイムライン上の現在の日付。

ケースクローズ
: ケースがクローズされた日付、またはケースクローズのサービスレベルアグリーメント (SLA) が満たされた日付。

ケース期間
: ケースが作成された日付から最後のマイルストーンの日付まで。

次の例は、[イベントを表示] オプションを選択した後に使用できるオプションを示しています。

ケーススケジュールとマイルストーン



注:
[イベントを表示] オプションを選択した後に表示されるオプションは、ケースで利用可能なイベントとマイルストーンに限定されます。

[ケースタスク概要] セクション

[ケースタスク概要] セクションには、次のサブセクションが含まれています。

タスク
: ケースタスクの合計数、期限切れのケースタスク、および 7 日以内に期限切れになるケースタスクを表示します。

ステータス別の進行中のタスク
: ステータス別のアクティブなケースタスクの数。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイプ別のタスク

ケースタイプ別のアクティブなケースタスクの数。

[追跡中] セクション

[追跡中] セクションには、次の情報が表示されます。

- プライバシーケースのオープンな問題の数
- 期限切れの問題の数
- 今後 7 日間で期限切れになる問題の数

[添付ファイル] セクション

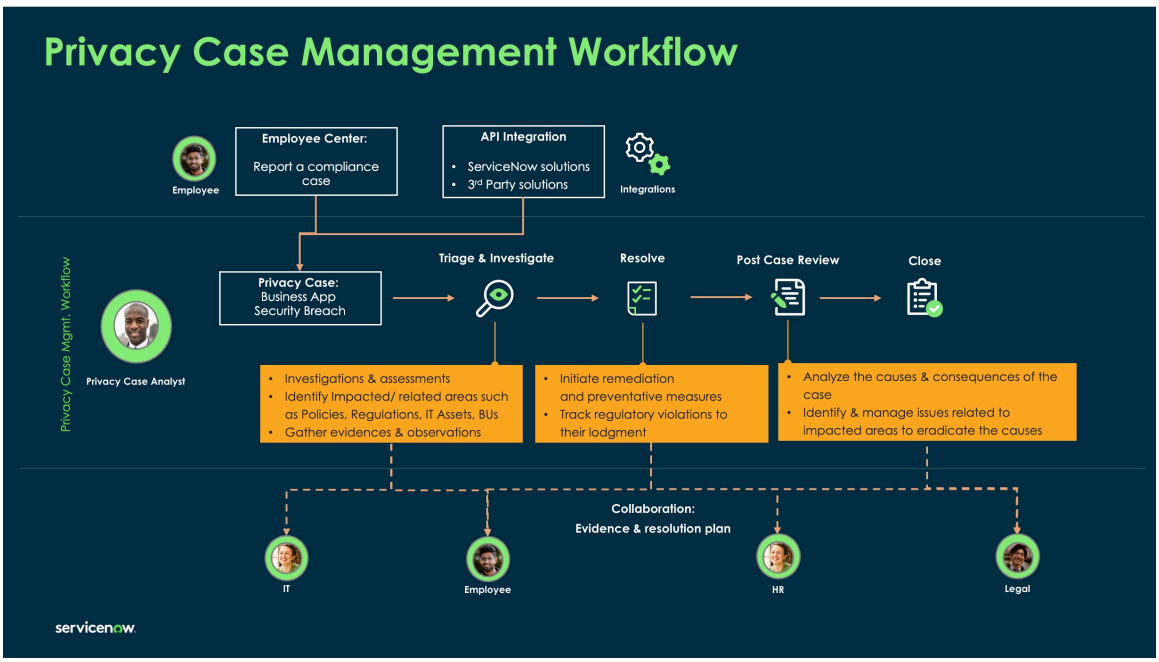
[添付ファイル] セクションでは、ファイルを添付ファイルとしてケースにアップロードできます。このセクションでは、追加されたすべての添付ファイルを検索できます。

プライバシーケース管理 のワークフロー

プライバシーケース管理 ソリューションは、ユーザーによってレポートされたプライバシー侵害を管理するためのフレームワークを提供します。このソリューションは、プライバシーチームが報告された違反をトリアージし、必要な調査と分析を実行して、証拠を収集し、主要なステークホルダー、影響を受ける領域、および規制違反を記録するためのエンドツーエンドのワークフローを提供します。

次の画像は、プライバシーケース管理 アプリケーションのワークフローを示しています。

プライバシーケース管理 のワークフロー



次にプライバシーケースのライフサイクルについて説明します。

1. ビジネスユーザーは 従業員センター からケースを報告できます。また、ユーザーは電話やメールなどの他のモードを使用してプライバシーチームに連絡することもできます。その後、プライバシーチームは Privacy ワークスペース からユーザーの代わりにケースを作成し、関連する詳細を添付できます。
2. プライバシーケースチームは、ケースにケースアナリストをアサインします。
3. ケースアナリストはケースをトリアージして調査し、ケースタスクワークフロー タスクを作成します。各タスクは、ケースタスク所有者にアサインされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ケースタスク所有者は、関連する詳細をタスクに追加し、レビューのためにケースアナリストに送信します。
5. ケースアナリストは、次のタスクを実行します。
   a. タスク所有者によって送信された応答をレビューします。
   b. レコード [PI] 情報オブジェクト、主要なステークホルダー、影響を受ける領域、および関連する領域。
   c. 規制違反とその適切な提出を追跡します。
   d. 予防措置を開始し、原因とその結果を追跡します。
   e. 影響を受ける領域から発生する問題を管理します。
6. ケースアナリストがすべての詳細をレビューし、ケースをクローズします。

プライバシー侵害アセスメント

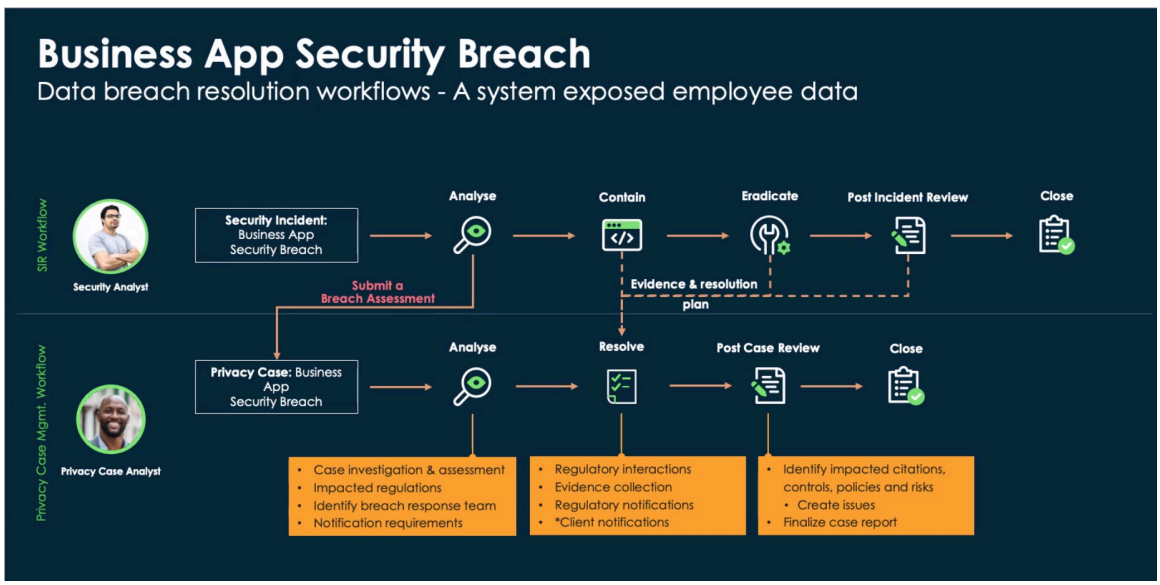
プライバシー侵害評価は、個人のプライバシーを脅かすインシデントが発生するたびに重要な役割を果たします。これらのアセスメントは、違反があるかどうかを判断し、違反の範囲と影響を測定するための尺度として機能します。

違反アセスメントをトリガーするには、プライバシーケースから直接開始する方法と、スタンドアロンのアセスメントとして違反アセスメントを開始する方法の 2 つの方法があります。アセスメントがスタンドアロンアセスメントとして開始されると、結果が分析され、必要に応じてプライバシーケースが作成されます。この柔軟性により、組織は潜在的な侵害に迅速に対応できます。プライバシーケースごとに実行できる違反アセスメントは 1 つだけです。

侵害が発生した場合、特定の基準 (サーバーが個人データで侵害されているなど) により、プライバシーケースを作成する前に違反アセスメントの開始が促される場合があります。この評価の主な目的は、侵害されたデータの性質を迅速に判断することです。たとえば、インシデントがセキュリティインシデントに関連している場合、セキュリティアナリストは、違反アセスメントの入力、インシデントタイプ、影響を受ける場所、および暗号化などの既存の緩和策に関する詳細を提供する役割を担います。続いて、プライバシーアナリストがアセスメントをレビューし、インシデントの詳細を掘り下げます。この分析に基づいて、今後の発生を防止し、違反に関連する法的義務を管理するために、プライバシーケースを作成できます。

次の画像は、セキュリティインシデントの例を使用した違反アセスメントワークフローを示しています。

プライバシー侵害アセスメントワークフロー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシーケース管理 の構成

ここに示すタスクの順序に従って プライバシーケース管理 アプリケーションを構成します。これらのタスクは、コンプライアンスケースを効果的に管理するのに役立ちます。

プライバシーケース管理 のインストール

admin ロールを持っている場合は、プライバシーケース管理 アプリケーション (sn_privacy_case) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

必要なロール：admin

このタスクについて

プライバシーケース管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、プライバシーケース管理 アプリケーション (sn_privacy_case) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

表示ルールの作成

Privacy ワークスペース のプライバシーケースのフォームビューを定義する表示ルールを作成します。ルールを指定すると、プライバシーケースフォームの表示方法を制御するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > ケースタイプ.
2. ケースタイプフォームで [表示ルール] 関連リストを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. [表示ルール] フォームのフィールドに入力します。
   [表示ルール] フォームのフィールドの説明については、「[表示ルール] フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

[表示ルール] フォーム

[表示ルール] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プライバシーケース管理 アプリケーションのワークスペースとデフォルトの表示ルールを定義します。

[表示ルール] フォームのフィールドに入力します。

[表示ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	ルールを識別する一意の名前。
テーブル	この表示ルールが適用されるテーブル。このフィールドは、 プライバシーケース **[sn_privacy_case_privacy_case]** に自動的に設定されます。
表示	ルールを作成するビュー。選択肢は次のとおりです。 • デフォルトビュー：コア UI でフォームビューを定義するには、このオプションを選択します。 • ワークスペース：Privacy ワークスペースでフォームビューを定義するには、このオプションを選択します。
制限されたエクスペリエンス	ルールを 1 つのワークスペースに制限するか、複数のワークスペースに制限するかを決定するオプション。
アプリケーション	この表示ルールが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Advanced Risk]** に設定されます。
実行順序	複数のルールがある場合に、この表示ルールが実行される順序。
アクティブ	表示ルールをアクティブ化するためのオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アサインルールを作成

アサインルールを作成して、プライバシーケースを特定のユーザーまたはグループにアサインするための条件を指定します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

このタスクについて
プライバシーケースを処理する適切なユーザーまたはグループを決定するには、必要な基準の概要を示すアサインルールを確立します。たとえば、ケースがデータ保護と情報セキュリティに関連する場合は、適切な個人またはチームにアサインする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > ケースタイプ.
2. アサインルールフォームで [アサインルール] 関連リストを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. [アサインルール] フォームのフィールドに入力します。
   [アサインルール] フォームのフィールド値の説明については、「[アサインルール] フォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。

[アサインルール] フォーム

[アサインルール] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プライバシーケース管理 アプリケーションでケースアサインルールを定義します。

[アサインルール] フォーム

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[アサインルール] フォーム

フィールド	説明
名前	アサインルールの名前。
アプリケーション	このアサインルールが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
アクティブ	アサインルールを有効にするオプション。
適用先	
テーブル	このアサインルールが適用されるテーブル。このフィールドは、 プライバシーケース **[sn_privacy_case_privacy_case]** に自動的に設定されます。
条件	ケースタイプのアサインルールに定義する条件。
アサイン先	
ユーザー	ケースがアサインされるユーザー。
グループ	ケースがアサインされるグループ。
スクリプト	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アサインルール] フォーム (続く)

フィールド	説明
スクリプト	高度なアサインルールを定義するスクリプト。

ステータスモデル移行の作成

ステータスと移行条件を定義して、プライバシーケースのワークフローをコントロールするステータスモデルを作成します。

始める前に
GRC: プライバシーケース管理 アプリケーションを使用していることを確認します。

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > ステータスモデル.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[ステータスモデル] フォーム

フィールド	説明
名前	ステータスモデルの名前。例：違反ケース。
アプリケーション	アプリケーションのスコープ。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
アクティブ	ステータスモデルがアクティブか非アクティブかを示すオプション。
テーブル名	このステータスモデルが適用されるテーブル。
ステータスモデルのフィールド	このステータスモデルが適用されるテーブル内のステータスモデル値を保持するフィールド。
ステータスフィールド	このステータスモデルが適用されるテーブル内のステータス値を保持するフィールド。このフィールドは自動的に [ステータス **[state]]** に設定されます。

4. [送信] を選択します。

プライバシーケースのワークフローステータスの定義

ケースのライブサイクルを制御するプライバシーケースのワークフローステータスの定義

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

このタスクについて
プライバシーケースは、通常、プライバシーケース管理 アプリケーションで設定できる次のワークフローステータスを遷移します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 新規：ケースがオープンされ、レビューの初期段階にあります。
- トリアージ：ケースは適切な対処措置を決定するために評価されています。
- 調査：ケースは情報と証拠を収集するために積極的に調査されています。
- 解決：ケースの解決策を見つけるために作業されています。
- ケースの事後レビュー：解決後にケースのレビューが行われています。
- クローズ：ケースはクローズされ、アクティブではなくなりました。
- キャンセル：ケースがキャンセルされ、追跡されなくなりました。

これらのステータスは、組織のプライバシーケース管理プロセスによって異なる場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > ステータスモデル.
2. ワークフローを追加する作成したステータスモデルを開きます。
3. GRC ワークフローステータスのコンテキストメニューで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[ワークフローステータス] フォーム

フィールド	説明
ステータス	ワークフローステータスの名前。選択肢は次のとおりです。 ○ 新規 ○ トリアージ ○ 調査 ○ 解決 ○ ケースの事後レビュー ○ クローズ ○ キャンセル
モデル	このワークフローステータスを使用するステータスモデル。このフィールドは自動的にステータスモデル名に設定されます。
アプリケーション	このステータスモデルが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
表示タイプ	ワークフローステータスの表示タイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ノードとして **(As node)**：親ステータスとして表示されます。 ○ サブレベルとして **(As sub-level)**：親ステータスのサブステータスとして表示されます。
ステッパーラベル	ステータスのステッパーコンポーネントに表示されるラベル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親モデルのステータス	サブレベルステータスの親ステータス。このフィールドは、[表示タイプ] で [サブレベルとして **(As sub-level)]** を選択した場合のみ表示されます。
オプション	ステータスをオプションとして選択するオプション。このフィールドは、[表示タイプ] で [ノードとして **(As node)]** を選択した場合のみ表示されます。

5. 他のステータスも同様に作成します。
6. [送信] を選択します。

プライバシーケースのモデルステータス移行を定義する

プライバシーケース管理 アプリケーションを使用して、移行条件を定義し、コンプライアンスケースがさまざまなワークフローステータスを遷移する方法を制御します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

このタスクについて
ステータス移行は、テーブルに定義された各ステータスを開始または終了するための条件のリストです。ステータス移行テーブルで、条件ビルダーを使用して、各ステータスの開始または終了に必要な条件のリストを作成します。

手順
1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > ステータスモデル.
2. モデルステータス移行を定義するステータスモデルを開きます。
3. モデルステータス移行を定義するには、必要なワークフローステータスを選択します。
4. [モデルステータス移行] コンテキストメニューで、[新規] を選択します。
5. 選択したステータスから移行するステータスを選択します。
6. オプション: ワークフローステータスの自動移行を有効にするには、[自動移行] オプションを選択します。
7. フォームのコンテキストメニューを開いて [保存] を選択します。
   [GRC モデルステータス移行条件] 関連リストが表示されます。
8. [GRC モデルステータス移行条件] コンテキストメニューで、[新規] を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

   GRC モデルステータス移行フォームのフィールド値の説明については、「GRC モデルステータス移行条件フォーム」を参照してください。
10. [送信] を選択します。

GRC モデルステータス移行条件フォーム

プライバシーケース管理 アプリケーションで GRC モデルステータス移行条件フォームを使用して、移行条件を定義し、コンプライアンスケースがさまざまなワークフローステータスを遷移する方法を制御します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC モデルステータス移行条件

フィールド	説明
名前	条件の名前。
ステータス移行	ステータスの移行。このフィールドは自動的にモデルステータス移行の値に設定されます。
アクティブ	モデルステータス移行条件を有効にするオプション。
説明	このステータス移行の説明。たとえば、新規ステータスの [説明] フィールドに、「新しいステータスは分析ステータスにのみ移行可能」などと入力できます。
エラーメッセージ	条件が満たされない場合に表示されるエラーメッセージ。
必要	移行条件： • タスクは承認を実施済み：関連するタスクに受入済みまたは却下済みの承認がある場合、条件を満たします。 • タスクは承認されました：タスクが承認されたときに、条件を満たします。 • タスクが却下される：タスクが却下されたときに、条件を満たします。 • 移行条件：このステータス移行の条件。 • 移行スクリプト：このステータス移行の高度な条件。
条件	このステータス移行に定義する条件。このフィールドは、[必須] から [移行条件] が選択されている場合にのみ表示されます。
スクリプト	このステータス移行に定義するスクリプト。このフィールドは、[必要] から [移行スクリプト] が選択されている場合にのみ表示されます。

プライバシーケースアセスメントテンプレートを作成する

アセスメントを作成し、それらのアセスメントをプライバシーケースタスク所有者に送信して、応答を収集します。応答は、プライバシーケースアナリストがプライバシーケースが原因で発生した違反を判別するために役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

このタスクについて

デフォルトのテンプレートを使用する代わりに、プライバシーケースを評価するためのアンケートテンプレートを作成できます。アセスメントテンプレートを設定すると、[アセスメント] ケースタイプのケースタスクセクションで使用できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > アセスメントテンプレート.
2. [新規] を選択します。
3. アセスメント測定基準タイプフォームのフィールドに入力します。
   アセスメント測定基準タイプフォームのフィールド値の説明については、「アセスメント測定基準タイプフォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

デフォルトのテンプレートを使用する代わりに、アセスメント測定基準タイプフォームを使用してアセスメントアンケートテンプレートを作成します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールドの説明については、次の表を参照してください。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントテンプレートの名前。
アセスメント期間	アセスメントが生成されてから、アセスメントを完了するまでに許容される時間。
テーブル	このアセスメントテンプレートを適用するテーブル。
ステータス	アセスメントのステータスこのフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
ロール	このテンプレートへの読み取りアクセス権を持つロール。
説明	アセスメントテンプレートの目的と作成理由。
前書き	アセスメントに回答するビジネスユーザー向けのガイダンステキスト。

プライバシー侵害アセスメントの構成

違反要因タイプ、違反要因、PI データ要素タイプ、PI データ要素の作成などの手順に従って、プライバシー違反アセスメントを構成します。

違反要因タイプの作成

対応者が特定のカテゴリ内の違反要因を識別するのに役立つカテゴリを作成します。たとえば、インシデントの性質は、その下に [意図的で悪意がある]、[意図的で悪意がない]、[意図的で不注意] などの要素がある違反要因タイプです。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > 侵害要因タイプ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

違反要因タイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	要素タイプが属するカテゴリ。たとえば、インシデントの性質、受信者などです。
名前	違反要因の要素。
アクティブ	要素をアクティブ化するオプション。
アプリケーション	この要素が適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
説明	違反要因タイプの簡単な説明。

4. [送信] を選択します。

違反要因を作成

プライバシーチームが違反の特性を理解し、関連するリスクを評価するのに役立つ違反要因を作成します。デフォルトの違反要因を使用するか、新しい違反要因を生成する柔軟性を発揮します。さらに、違反要因を特定のリージョンにリンクするか、複数のリージョンまたは選択したリージョンに普遍的に実装します。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > 侵害要因.
2. フォームのフィールドに入力します。

違反要因フォーム

フィールド	説明
ラベル	要素が属するカテゴリ。たとえば、電子、紙などです。
名前	要素を識別する一意の名前。
Type (タイプ)	要素を関連付ける必要がある事前設定された違反要因のタイプ。
アプリケーション	この要素が適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
アクティブ	要素をアクティブ化するオプション。
適用先	要素が適用される場所。オプションは次のとおりです。 ○ 全地域 ○ ある地域に固有
説明	要素の簡単な説明。

3. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

PI データ要素タイプの作成

対応者が特定のカテゴリ内の個人データ要素を識別できるように、カテゴリを作成します。たとえば、個人情報などの PI データ要素タイプの場合、PI データ要素は、名前、年齢、雇用主 ID、婚姻区分、メールなどです。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > **PI** データ要素タイプ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

PI データ要素タイプフォーム

フィールド	説明
ラベル	PI データエレメントタイプが属するカテゴリ。たとえば、 財務情報タイプの場合、データエレメントは銀行口座番号、クレジットカード番号などです。
名前	PI データ要素タイプの名前。通常、この名前はラベルと同じです。
順番	アセスメントフォームに表示される要素タイプの順番。
アプリケーション	この要素タイプが適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
アクティブ	データ要素タイプを有効にするオプション。
説明	PI データ要素タイプの簡単な説明。

4. [送信] を選択します。

PI データ要素の作成

電話番号やメール ID など、ビジネスプロセス中に収集された居住者の個人情報に基づいて、PI データ要素を作成します。事前設定された要素を使用するか、新しい要素を作成します。特定の地域のデータ要素に合わせてカスタマイズするか、単一の PI データ要素を複数の地域にマッピングします。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > **PI** データ要素.
2. フォームのフィールドに入力します。

PI データ要素フォーム

フィールド	説明
ラベル	データ要素が属するカテゴリ。たとえば、電話番号、メールアドレスなどです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
名前	データ要素を識別する一意の名前。
Type (タイプ)	データ要素を関連付ける必要がある事前構成済みの PI データ要素タイプのタイプ。
アプリケーション	このデータ要素が適用されるアプリケーションの名前。このフィールドは自動的に **[GRC: Privacy Case Management]** に設定されます。
アクティブ	PI データ要素を有効化するオプション。
適用先	データ要素が適用される場所。オプションは次のとおりです。 ○ 全地域 ○ ある地域に固有
説明	データ要素の簡単な説明。

3. [送信] を選択します。

リージョンの作成

事業運営の一環として収集された住民のデータに基づいて、地理的リージョンを作成します。リージョンの例としては、アメリカ、ヨーロッパ、アジア太平洋などがあります。

始める前に
必要なロール:sn_privacy_case.privacy_case_admin。このロールには、user_adminロールが含まれている必要があります。

このタスクについて
リージョンを作成するときは、[親] フィールドを空に設定する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > 地域.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [送信] を選択します。

地域の管轄の作成

データ侵害通知義務のリージョンの管轄を作成します。各義務は管轄区域ごとに分類されます。管轄は、地域の 2 レベル下に作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_privacy_case.privacy_case_admin。このロールには、user_adminロールが含まれている必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Case Management** > 侵害アセスメント構成 > 地域.
2. 管轄を追加する地域を開きます。
3. [場所] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. フォームのフィールドに入力します。
6. [送信] を選択します。

プライバシーケース管理 の使用

プライバシーケース管理 アプリケーションを使用して、プライバシーケースを報告し、プライバシーケースのライフサイクルを管理できます。

プライバシーケースのレポート

どのユーザーも、プライバシーチームの注意が必要なプライバシーケースまたはイベントを報告できます。

ビジネスユーザーは、次のいずれかのオプションを使用してケースを報告できます。

- 従業員センター
- Privacy ワークスペース

従業員センター からのプライバシーケースの報告

従業員センター を使用して、プライバシー侵害や苦情をプライバシーチームに直接報告します。これらのケースのレポートは、損失の削減と回避に役立ちます。

始める前に

必要なロール:sn_privacy.business_user

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. [リスクとコンプライアンス] タブを選択します。
3. [プライバシーケースの報告] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの説明については、「従業員センター プライバシーケース作成フォーム」を参照してください。
5. サポート資料または証拠を提供するには、[添付ファイルを追加] を選択します。
6. [送信] を選択します。

従業員センター プライバシーケース作成フォーム

従業員センター の新規プライバシーケースフォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

[プライバシーケースの報告] フォーム

フィールド	説明
タイトル	ケースの名前。たとえば、顧客レコードが保護されていないバックアップデータベースによって侵害されている。
説明	ケースの簡単な説明。
ケースタイプ	ケースの性質またはタイプ。このフィールドは自動的にプライバシーケースに設定されます。
ケースサブタイプ。	ケースのサブタイプ。たとえば、ドキュメントの損失。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プライバシーケースの報告] フォーム (続く)

フィールド	説明
発生日	ケースが発生した日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生した可能性があります。
検出日	ケースが検出された日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生しても、2022 年 3 月 12 日に検出される場合があります。
個人情報	
影響を受けるデータ主体/個人のカテゴリ	ケースの影響を受けるユーザー。以下から選択可能です。 • 顧客 • 従業員
影響を受けた個人の数	ケースの影響を受けるユーザーの数。
関連する個人情報の属性を選択	ケース内の侵害された個人情報の属性。
追加の個人情報を入力	違反によって影響を受けるその他の個人情報の詳細。
このアプリケーションを所有する主要なステークホルダーの選択 (Select the key stakeholders who own this application)	アプリケーションの主要なステークホルダー。
ケース発生元	
影響を受ける事業部門	違反の影響を受ける事業部門。
影響を受ける部門	違反によって影響を受ける部門。
ケースが発生した場所 (場所)	ケースの発生場所。たとえば、場所は日本です。
ケースが発生した場所 (サブ場所)	ケースが発生したサブ場所。たとえば、サブ場所は東京です。

Privacy ワークスペースでのプライバシーケースの作成

プライバシー侵害や苦情を報告し、損失を削減して回避します。

始める前に

必要なロール：sn_privacy.analyst

このタスクについて

場合によっては、ユーザーが電話やメールなどのオフラインモードを使用して、プライバシーチームにケースを報告することもできます。プライバシーチームはPrivacy ワークスペースでこれらのケースを作成し、関連する詳細をケースに添付します。

手順

1. 移動先 すべて > プライバシーワークスペース.
2. プライバシーケース管理 アイコン () を選択します。
3. [作成] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [ケース] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの説明については、「[新規プライバシーケース] フォーム」を参照してください。
6. [保存] を選択します。

新規プライバシーケースフォーム

新規プライバシーケースフォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

[新規プライバシーケース] フォーム

フィールド	説明
番号	ケースの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
タイトル	ケースの名前。たとえば、顧客レコードが保護されていないバックアップデータベースによって侵害されている。
タイプ	ケースの性質またはタイプ。このフィールドは自動的にプライバシーケースに設定されます。
ステータス	ケースのワークフローステータス。このフィールドは自動的に [新規] に設定されます。
要求者	ケースを報告したユーザー。
主エンティティ	ケースの影響を受けるエンティティ。影響を受ける領域で識別されたエンティティのみをプライマリエンティティとして選択できます。
サブタイプ	ケースのサブタイプ。たとえば、ドキュメントの損失。
優先度	ケースの優先度。選択肢は次のとおりです。 • **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中 **注:** このフィールドはデフォルト値の [計画中] に設定されています。
代理で要求済み	代理でケースを作成したユーザーの名前。
エンティティオーナー	エンティティのオーナーになっているユーザー。このフィールドは、[影響領域] 関連リストで選択されたエンティティに基づいて自動的に設定されます。
説明	ケースの簡単な説明。
個人情報	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規プライバシーケース] フォーム (続く)

フィールド	説明
個人情報を含む (Contains personal information)	違反に個人情報が含まれているかどうかを判断するフィールド。選択肢は次のとおりです。 • 未決定 **(To be decided)**：違反に個人情報が含まれているかどうかわからない場合は、このオプションを選択します。 • はい：違反に個人情報が含まれている場合は、このオプションを選択します。 • いいえ：違反に個人情報が含まれていない場合は、このオプションを選択します。
影響を受けた個人の数	ケースの影響を受けるユーザーの数。
影響を受けるデータ主体/個人のカテゴリ	ケースによって影響を受けるユーザーを定義します。選択肢は次のとおりです。 • 顧客 • 従業員
アサイン	
アサイン先グループ	ケースがアサインされるグループ。 **注:** アサイン先グループは、構成セットアップ中にケースタイプに事前に構成されます。
ケースアナリスト	ケースを分析して処理するアナリスト。ケースアナリストはアサイン先グループに含まれています。
ウォッチリスト	ケースを認識する必要があるユーザー。
アカウントエグゼクティブ	ケースの責任者。
プライマリ作成元 (Primary origin)	
場所	ケースが発生した場所。たとえば、場所は日本です。
影響を受ける事業部門	違反の影響を受ける事業部門。
ソース	ケース作成のソース。ケースが手動で作成された場合、このフィールドは自動的に [手動] に設定されます。ケースが 従業員センター から報告された場合、フィールドにはソースが **[Employee Center]** として表示されます。
追加のソース (Additional source)	ケースが手動で作成された場合のケースの報告方法。このフィールドは、[ソース] フィールドで [手動] が選択され、レコードが保存されている場合にのみ使用できます。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規プライバシーケース] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• メール • 電話
サブ場所	ケースが発生したサブ場所。たとえば、サブ場所は東京です。
影響を受ける部門	ケースによって影響を受ける部門。選択肢は次のとおりです。 • 財務 • **HR** • **IT** 部門 • マーケティング • セールス
ソースレコード	ケースの作成元のソースオブジェクトのソースレコード。たとえば、ケースがリスクイベントから報告された場合、このフィールドにはケースの報告元のリスクイベントの名前が表示されます。
スケジュール	
発生日	ケースが発生した日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生した可能性があります。
検出日	ケースが検出された日付。たとえば、ケースは 2022 年 2 月 18 日に発生しても、2022 年 3 月 12 日に検出される場合があります。
報告日	ケースが報告された日付。
ケースクローズ SLA (Case closure SLA)	ケースのクローズ予定日。
調査開始予定 (Investigation planned start)	ケース調査の開始予定日。
調査の実際の開始 (Investigation actual start)	ケース調査の実際の開始日。
修正開始予定 (Remediation planned start)	ケースの修正の開始予定日。
修正の実際の開始 (Remediation actual start)	ケースの修正の実際の開始日。
調査終了予定 (Investigation planned end)	ケース調査の終了予定日。
調査の実際の終了 (Investigation actual end)	ケース調査の実際の終了日。
修正終了予定 (Remediation planned end)	ケース修正の終了予定日。
修正の実際の終了 (Remediation actual end)	ケースの修正の実際の終了日。
違反分析	
違反ステータス	違反が発生したかどうかを示すステータス。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規プライバシーケース] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 未定 **(To be determined)**：これがデフォルト値です。 • 違反検出 **(Breach detected)**：違反が確認された場合。 • 将来の可能性 **(Future potential)**：違反が発生していないが、将来発生する可能性がある場合。 • 違反ではない **(Not a breach)**：違反が検出されない場合。
違反開始 (Breach start)	違反が開始された日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
レポートステータス	規制機関に報告されているケースのステータス。このフィールドは、ケースに関連付けられた規制のレポートステータスに基づいて自動的に設定されます。ケースに多くの規制があり、1つの規制が報告可能と識別された場合でも、ケースの報告ステータスは [レポート可能] に設定されます。このフィールドのデフォルト値は [未定 **(To be determined)]**です。
違反終了 (Breach end)	違反が終了した日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
特定された違反の重大性 (Breach significance identified)	ユーザーが重大な違反を特定した日付。このフィールドは、[違反ステータス] フィールドで [違反検出 **(Breach detected)]** または [将来の可能性 **(Future potential)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
根本原因分析	
主な原因 (Primary cause)	ケース発生の主な原因です。このフィールドは、[原因と結果 (Cause and consequences)] 関連リストで選択されている主な原因に自動的に設定されます。
関連する結果 (Related consequences)	ケースの主な原因の結果。
すべての観測事象	ケースに関する観察事項。
実施された修正 (Remediation taken)	ケースに対処するために修正処置が行われたかどうかを示すフィールド。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規プライバシーケース] フォーム (続く)

フィールド	説明
	• はい • いいえ
全体的な予防措置 (Overall preventive measures)	ケースのために行われる予防措置。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	ケースに関するメモまたは情報。
追加コメント (顧客に表示)	顧客のケースに関する追加情報。

ケースタスクワークフロー

ケースタスクを使用し、複数のチームと協力して調査を行い、影響アセスメントを実行してケースの重大度を確立し、証拠を収集して詳細と応答を取得してさらにレビューすることができます。

プライバシーケースが報告された後に、プライバシーアナリストはケースタスクを作成し、それらの各タスクをさまざまなケースタスクオーナーにアサインできます。ケースタスクオーナーは、その後でタスクを処理し、レビューのためにケースアナリストに送信します。ケースタスクには次の 3 つのタイプがあります。

- アセスメント：このタイプのケースタスクでは、ケースタスクオーナーがアセスメントを受け、応答を提供する必要があります。このタイプに属するケースタスクは、再アサインのみできます。
- 調査：このタイプのケースタスクでは、ケースタスクオーナーが観測事象を提供する必要があります。
- その他：調査と同様に、このタイプのケースタスクでも、ケースタスクオーナーが観測事象を提供する必要があります。

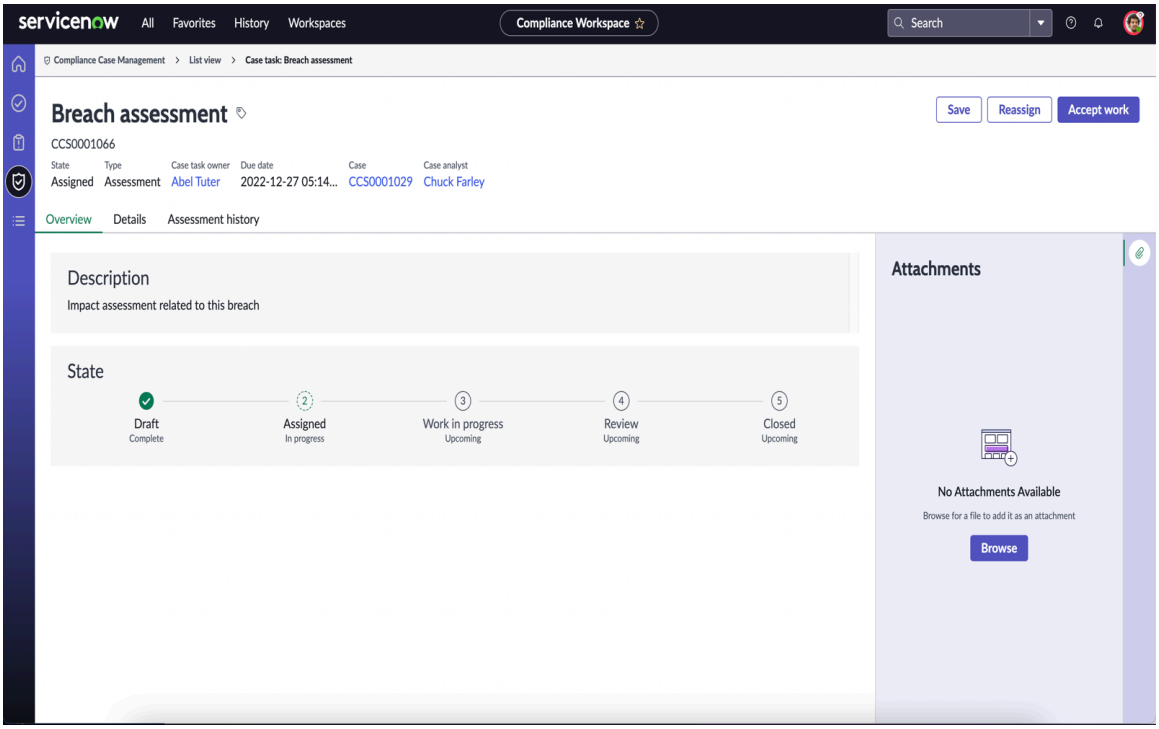
ケースタスクオーナーは、タスクを処理し、レビューのためにケースアナリストにタスクを送信します。

次の画像は、ケースタスクのライフサイクルを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタスクワークフロー



ケースタスクの作成

報告されたケースを分析および作業するために必要な調査、アセスメント、照会、証拠の収集などのさまざまなタスクを実行するためのケースタスクを作成します。各ケースには、さまざまなチームの異なるオーナーにアサインできる複数のケースタスクを含めることができます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

このタスクについて

ケースがプライバシーチームに報告された後、プライバシーケースアナリストはケースタスクを作成し、それらのタスクを関連するオーナーにアサインして作業し、必要な入力と応答を提供できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース > リスト > ケース > すべてのケース.
2. ケースタスクを作成するケースを開きます。
3. [ケースタスク] 関連リストを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   各フィールドの説明については、新規プライバシーケースタスクフォームを参照してください。
5. [保存] を選択します。
6. ケースタスク所有者にタスクをアサインするには、[タスクをアサイン]を選択します。
7. オプション: 確認ダイアログボックスで、メモを入力します。
8. [アサイン済みに移動 **(Move to assigned)**] 選択します。
   レコードのステータスが [アサイン済み] に変更され、ケースタスクオーナーにアサインされます。
9. オプション: 指定したケースタスクオーナーがケースタスクを承認する前にケースタスクを別のユーザーに再アサインするには、[再アサイン]を選択します。
   タイプが [アセスメント]であるケースタスクのみを再アサインできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [アサイン先グループ] フィールドで、関連するグループを選択します。

b. [ケースタスクオーナー **(Case task owner)**] フィールドで、新しいオーナーを選択します。

c. [再アサイン] を選択します。

ケースタスクフォーム

ケースタスクフォームのフィールドに入力します。

ケースタスクフォーム

フィールド	説明
番号	ケースタスクの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
タイトル	ケースに対して作成されるタスクの名前。たとえば、「データの損失の調査」です。
タイプ	タスクのタイプです。選択肢は次のとおりです。 • アセスメント：ケースに関してユーザーからの応答を収集するアセスメントを実行する場合は、このオプションを使用します。 **注:** 必要に応じて、タイプが [アセスメント] のケースタスクのみを別のタスクオーナーに再アサインできます。 • 調査：報告されたケースの調査を実行するケースタスクを作成する場合は、このオプションを使用します。たとえば、失われたデータのタイプを特定したい場合があります。 • その他：その他のタイプのタスクを設定するには、このオプションを使用します。
アセスメントテンプレート	ケースを評価するためのアセスメントテンプレート。このフィールドは、[タイプ] フィールドで [アセスメント] が選択された場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタスクフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 各ケースタイプは、構成時に特定のアセスメントテンプレートにマッピングできます。ケースにマッピングされたテンプレートのみを選択できます。たとえば、ケースタイプが財務の場合、財務タイプに固有のアセスメントテンプレートを選択できます。選択したアセスメントテンプレートを使用して作業されているオープンアセスメントが既に存在する場合、同じアセスメントテンプレートを選択することはできません。
ステータス	ケースタスクのワークフローステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
説明	タスクの短い説明。この説明は、タスクを処理するユーザーに役立ちます。
アサイン	
アサイン先グループ	ケースタスクを処理するグループ。ケースタスクオーナーが指定されていない場合、選択したグループに属するすべてのユーザーがケースタスクを処理できます。
ケースタスク所有者	ケースタスクを所有するユーザー。このフィールドで選択するユーザーは、アサイン先グループのメンバーである必要があります。
ウォッチリスト	ケースタスクを表示するためのアクセス権が必要なユーザー。
スケジュール	
期日	ケースタスクを完了する必要がある日付期日は、ケースフォームの [ケースクローズ **SLA]** フィールドで指定された日付より前である必要があります。
受諾日 (Accepted date)	ケースが受諾された日付。
作成済み	ケースが作成され、ケースタスクオーナーにアサインされた日付。
タスクのクローズ日 (Task closure date)	タスクのクローズ日。
サマリー	
観察事項	ケースタスクの処理中にケースについて行った観測事象。
アクティビティ	
作業メモ (プライベート)	ケースタスクの作業メモ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースタスクフォーム (続く)

フィールド	説明
追加コメント (顧客に表示)	ケースタスクに関連するコメント (存在する場合)。

ケースタスクの処理

ケースタスクオーナーは、タスクを承認し、ケースアナリストから要求された詳細を入力して、レビューのために送信します。ケースタスクが、特定のユーザーではなくアサイン先グループにアサインされると、アサイン先グループのすべてのユーザーがケースタスクを承認して作業を開始できます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_business_user

このタスクについて
ケースタスクのタイプが [アセスメント] の場合、ケースから発生した損失を判断するためにケースタスクオーナーがアセスメントを受ける必要があります。この場合、タスクオーナーは作業を承認してからアセスメントを受けることができます。ケースタスクのタイプが [調査] または [その他] の場合、ケースタスクオーナーはタスクを承認し、観測事象を提供し、レビューのためにケースアナリストにケースを送信できます。

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [自分のタスク] モジュールからタスクにアクセスします。
3. 自分にアサインされたタスクを開きます。
4. [作業を承認] を選択します。
5. 確認ダイアログボックスで [作業を承認] を選択します。
6. ケースタスクタイプに応じて、次の手順を実行します。

次のタスク

1. 処理アクティビティに関する情報オブジェクトの作成または管理。
2. 主要なステークホルダーの追加とプライバシーアセスメントの送信。
3. 影響を受ける領域をケースに追加します。
4. 関連する領域をケースに追加します。
5. 原因と結果をケースに追加します。
6. 規制をケースに追加します。
7. 問題をケースに追加します。

アセスメントタイプのケースタスクの再アサイン

アセスメントタイプのケースタスクを別のユーザーに再アサインします。ケースアナリストまたはケースタスクオーナーは、必要に応じてタスクを別のケースタスクオーナーに再アサインできます。

始める前に
必要なロール:sn_privacy_case.privacy_case_analyst、sn_privacy_case.privacy_case_business_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ケースタスクには次の 3 つのタイプがあり、以下にそれらについて説明します。

- アセスメント：このタイプのケースタスクでは、ケースタスクオーナーがアセスメントを受け、応答を提供する必要があります。
- 調査：このタイプのケースタスクでは、ケースタスクオーナーが観測事象を提供する必要があります。
- その他：調査と同様に、このタイプのケースタスクでも、ケースタスクオーナーが観測事象を提供する必要があります。

ケースアナリストは、タスクがケースタスク所有者にアサインされた後、別のプライバシービジネスユーザーにタスクを再アサインできます。再アサインの理由として考えられるのは、ケースタスクが誤ってアサインされている場合や、ケースタスクオーナーによって承認されていない場合などです。プライバシービジネスユーザーにタスクを再割り当てできます。

ケースタスク所有者は、タスクを承認して作業を開始し、部分的に完了したタスクを別のユーザーに再アサインすることもできます。部分的に完了したケースタスクを別のユーザーに再アサインすると、提供したデータもコピーされ、新しいケースタスクオーナーがアセスメントを受けるときに使用できます。このデータは、新しいタスクオーナーが変更できます。

注:
再アサインできるのは、タイプが [アセスメント]であるケースタスクのみです。

手順

1. 移動先 セルフサービス > **Employee Center**.
2. [自分のタスク] モジュールからタスクにアクセスします。
3. 作業するタスクを開きます。
4. [再アサイン] を選択します。
   [ケースタスクを再アサイン] ダイアログボックスが表示されます。
5. [アサイン先グループ] フィールドでアサイン先グループを選択します。
6. [ケースタスクオーナー **(Case task owner)]** フィールドで、オーナーを選択します。
7. [再アサイン] を選択します。

ケースタスクのレビューとクローズ

ケースタスクオーナーがケースの応答と観測事象を提供した後、ケースタスクをレビューします。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. [タスク] モジュールから、レビューするタスクを開きます。
3. ケースタスクを確認し、次のいずれかを実行します。

プライバシーケースへの影響領域の追加

プライバシーケース管理 アプリケーションでプライバシーケースまたはイベントの影響を受ける影響領域またはオブジェクトを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. 影響領域を追加するケースを開きます。
5. [新規] を選択します。
6. [影響領域] フォームのフィールドに入力します。

[影響領域] フォーム

フィールド	説明
ケース	影響領域を追加するケース。このフィールドは自動的にケース名に設定されます。
影響領域タイプ	影響領域のタイプ。たとえば、イベントまたはケースの場所などです。選択肢は次のとおりです。 ○ コントロール ○ エンティティ ○ ロケーション ○ ユーザー ○ 会社 ○ 処理アクティビティ **注:** 独自の影響領域タイプを設定することもできます。
影響領域	ケースまたはイベントの影響を受ける領域またはオブジェクト。このフィールドは、[影響領域タイプ]から値が選択されている場合にのみ使用できます。例： **10065 East Harvard Aveve, Denver,CO**
タイトル	影響領域のタイトル。
説明	影響を受ける領域またはオブジェクトの簡単な説明。

7. [保存] を選択します。

プライバシーケースへの関連領域の追加

プライバシーケース管理 アプリケーションで報告されたプライバシーケースまたはイベントに関連する関連領域を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

このタスクについて
報告されたプライバシーケースまたはイベントに関連するポリシー、引用、コントロール目標、リスクイベントなどの関連領域を指定できます。プライバシー管理者は、アプリケーションセットアップに関連する領域のオプションを設定することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. 関連領域を追加するケースを開きます。
5. [新規] を選択します。
6. [関連領域 **(Related area)]** フォームのフィールドに記入します。

[関連領域 **(Related area)]** フォーム

フィールド	説明
ケース	関連領域を追加するケース。このフィールドは自動的にケース名に設定されます。
関連領域タイプ (Related area type)	影響領域のタイプ。例：関連するリスクイベント選択肢は次のとおりです。 ○ 引用文献 ○ ポリシー ○ コントロール目標 ○ リスクイベント
関連領域 (Related area)	報告されたプライバシーケースまたはイベントに関連する領域。このフィールドは、[関連領域タイプ **(Related area type)]** から値が選択されている場合にのみ使用できます。例：従業員教育データ損失。
タイトル	関連領域のタイトル。
説明	関連領域の簡単な説明。

7. [保存] を選択します。

プライバシーケースへの原因と結果の追加

プライバシーケース管理 アプリケーションを使用して、報告されたプライバシーケースまたはイベントの根本原因と、組織への影響を定義します。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
プライバシーケースに複数の原因を追加し、主な原因を定義することができます。プライバシーケースの主な原因は 1 つのみです。疑わしくても確認されていない原因を追加することもできます。主な原因を指定することとは別に、ケースに対処するために実行する結果と修正措置を指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. 原因と結果を追加するケースを開きます。
5. [新規] を選択します。
6. [原因と結果 **(Cause and consequence)**] フォームのフィールドに入力します。
   [原因と結果 **(Cause and consequence)**] フォームのフィールド値の説明については、「[原因と結果 (Cause and consequence)] フォーム」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

[原因と結果 **(Cause and consequence)**] フォーム

[原因と結果 (Cause and consequence)] フォームのフィールドについて説明します。このフォームを使用して、プライバシーケース管理 アプリケーションで原因と結果を定義します。

[表示ルール] フォームのフィールドに入力します。

[原因と結果 **(Cause and consequence)**] フォーム

フィールド	説明
原因	ケースまたはイベントの原因。
原因ステータス (Cause status)	原因のステータス。選択肢は次のとおりです。 • 疑わしい **(Suspected)**：原因がまだ確認されていない場合は、このオプションを選択します。 • 確認済み：原因が確認されている場合は、このオプションを選択します。
主な原因 (Primary cause)	原因を主な原因として選択するオプション。
原因の説明	原因の簡単な説明。
結果とアクション	
結果	ケースまたはイベントの結果。報告されたケースに対して複数の結果を選択できます。
実行されたアクション	ケースに対処するために実行されたアクションまたは対策。
サマリー	
観察事項	全体的な観察事項 (ある場合)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケースに関連するプライバシー規制の追加

報告されたケースによって影響を受ける、または影響を受ける可能性のある必要な規制を追加します。ServiceNow プラットフォームでは、規制は各種法令・基準等として取り込まれます。ケースに規制を追加すると、違反している規制を特定し、ペナルティや罰金を防ぐことができます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

このタスクについて

規制を追加した後、ケースを分析して、違反している規制を特定できます。その後、規制の報告ステータスを [レポート可能]、[レポート不可能 (Non-reportable)]、または [レポートの可能性あり (Potentially reportable)] としてマークできます。デフォルトでは、システムに存在するすべての規制が表示され、規制のステータスは [未定 **(To be determined)]** に設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. タスクアイコン ( ) を選択します。
3. [ケース] を選択します。
4. 規制を追加するケースを開きます。
5. [規制] 関連リストを選択します。
   a. [追加] を選択します。
   b. 追加する規制を選択します。
   c. [追加] を選択します。
6. 規制のレポートステータスを設定するには、規制を選択して開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

規制フォーム

フィールド	説明
ケース	規制を追加するケース。このフィールドは自動的にケース名に設定されます。
レポートステータス	規制をすぐに報告する必要があるか、将来報告する必要があるか、まったく報告する必要がないかを判断するステータス。選択肢は次のとおりです。 ○ 指定予定：違反を報告する必要があるかどうかわからない場合は、このオプションを選択します。 ○ レポート可能：違反を報告する必要がある場合は、このオプションを選択します。 ○ レポート不可能 **(Non-reportable)**：違反を報告する必要がない場合は、このオプションを選択します。 ○ レポートの可能性あり **(Potentially reportable)**：今後、ケースの調査に基づいて違反が報告される可能性があると思われる場合は、このオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
各種法令・基準等	規制を形成する各種法令・基準等。
報告日 (Lodgement date)	規制が規制機関に報告された日付。
説明	分析に基づく規制違反の簡単な説明。

8. [保存] を選択します。

プライバシーケースの問題の追加または作成

報告されたプライバシーケースの影響領域に関連する問題を特定して管理します。プライバシーケース管理 ランディングページから問題を作成することもできます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. 問題を追加するケースを開きます。
5. [問題] 関連リストを選択し、次のいずれかを実行します。
6. [保存] を選択します。

プライバシーケースを **PDF** としてエクスポート

プライバシーケースを PDF としてエクスポートして、さまざまなステークホルダーと簡単に共有できます。

始める前に

必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. PDF としてエクスポートするケースを開きます。
5. 右上隅にある [その他のアクション] アイコンを選択します。
6. [**PDF** のエクスポート] を選択します。
7. 適切な PDF テンプレートを選択します。
8. [エクスポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシーケースからのメールの送信

プライバシーケースからメールを送信して、さまざまなステークホルダーや規制機関とシームレスにコミュニケーションを取り、ケースに関する詳細情報を収集します。送受信されたすべての電子メールはアプリケーション プライバシーケース管理 に保存されます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. メールの送信元のケースを開きます。
5. 右上隅にある [その他のアクション] アイコンを選択します。
6. [メールの作成] を選択します。
7. メールの下書きを作成します。
8. [メール送信] を選択します。

ケースからの違反アセスメントの開始

プライバシーケースから違反アセスメントを開始して、違反の詳細、影響を受けるデータのタイプなどをキャプチャします。これらの詳細は、プライバシーアナリストが違反を規制機関に通知する必要があるかどうかを識別するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_privacy_case.privacy_case_analyst

手順

1. 移動先 すべて > **Privacy Management** > プライバシーワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. [すべてのケース] を選択します。
4. 違反アセスメントを開始するケースを開きます。
5. [違反評価の開始] を選択します。

プライバシーケース管理 の統合: **RadarFirst**

RadarFirst プライバシーおよびインシデント対応ソリューション (特にデータ侵害インシデントのコンテキスト) を専門としています。 RadarFirst は、組織がデータ侵害とプライバシーインシデントを効果的に管理して対応するのに役立ちます。

RadarFirst インシデント応答計画、リスクアセスメント、およびデータ侵害通知法への準拠のためのツールを提供します。

プライバシー侵害が発生した場合、sn_privacy_rfプラグインを有効にして統合RadarFirstし、アカウントを持っている場合は、違反の詳細を送信できます。 次に、関係するすべての場所の関連するすべてのプライバシー規制に従って違反を分析し、違反について規制当局に通知する必要があるかどうかを判断します。 RadarFirstこの通知は、プライバシーチームがアクション可能なアイテムを取得し、必要に応じて行動するのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の統合RadarFirstを構成するプライバシーケース管理には、ガイド付き設定手順に従って、次に移動します。 **Privacy Case Management** > **RadarFirst** 統合 > **RadarFirst** 統合ガイド付き設定.

プライバシーケース管理 の参照情報

参照トピックには、テーブルを含め、プライバシーケース管理 アプリケーションに関する追加情報が記載されています。

プライバシーケース管理 とともにインストールされるコンポーネント

プライバシーケース管理 アプリケーションのインストール時点で、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) がインストールされます。

インストールされるロール

プライバシーケース管理 ロール。

ロール	説明	含んでいるロール
プライバシーケースビジネスユーザー [sn_privacy_case.privacy_case_business_user]	Employee Center からプライバシーケースを作成します。	sn_grc_case_mgmt.grc_case_business_user
プライバシーケースアナリスト [sn_privacy_case.privacy_case_analyst]	自分にアサインされたプライバシーケースで作業します。プライバシーケースの調査の一環として、違反アセスメントをレビューし、情報オブジェクト、主要なステークホルダー、影響を受ける領域、関連する領域、原因と結果、規制および問題を関連付けることができます。	sn_privacy_case.privacy_case_analyst、sn_gr
プライバシーケースマネージャー [sn_privacy_case.privacy_case_manager]	プライバシーケースは複数のグループに分類でき、すべてのグループにマネージャーを指定できます。プライバシーケースマネージャーは、同じグループに属するプライバシーアナリストにプライバシーケースをアサインまたは再アサインできます。プライバシーケースマネージャーには、プライバシーアナリストと同じアクセス権があります。	sn_privacy_case.privacy_case_analyst、sn_gr
プライバシーケース管理者 [sn_privacy_case.privacy_case_admin]	プライバシーワークフロー構成、アサインルール、サブタイプ、アセスメントテンプレートなどの構成を持つプライバシーケースタイプを構成します。また、違反アセスメントの構成を構成することもできます。	sn_grc_case_mgmt.grc_case_admin、sn_priva

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

プライバシーケース管理 アプリケーションテーブル

テーブル	説明	アプリケーション
GRC ケース (sn_grc_case_mgmt_case)	すべてのケースの詳細を保存します。	GRC: Core Case Management
ケース分類 (sn_grc_case_mgmt_case_classification)	ケースの分類を保存します。	GRC: Core Case Management
ケースタスク (sn_grc_case_mgmt_case_task)	プライバシーケースに対して作成されたすべてのケースタスクを保存します。	GRC: Core Case Management
ケースタイプ (sn_grc_case_mgmt_case_type)	ケースタイプとケースサブタイプの詳細を保存します。	GRC: Core Case Management
原因 sn_grc_case_mgmt_cause	ライブラリに追加され、ケースレベルでマッピングされた原因を保存します。	GRC: Core Case Management
原因と結果 sn_grc_case_mgmt_cause_consequence	ケースレベルでマッピングされた原因と結果を保存します。	GRC: Core Case Management
結果 sn_grc_case_mgmt_consequence	ライブラリに追加され、ケースレベルでマッピングされた結果を保存します。	GRC: Core Case Management
GRC コアケース sn_grc_case_mgmt_core_case	ケースのコア機能の詳細を保存します。	GRC: Core Case Management
影響領域 sn_grc_case_mgmt_impacted_area	ケースレベルでマッピングされた影響領域を保存します。	GRC: Core Case Management
アセスメントインスタンスへのケースタスク sn_grc_case_mgmt_m2m_case_task_assessment_instance	タイプがアセスメントタイプのケースタスクのアセスメントの詳細を保存します。	GRC: Core Case Management
ケースへの問題 sn_grc_case_mgmt_m2m_issue_case	ケースレコードにマッピングされた問題を保存します。	GRC: Core Case Management
規制 sn_grc_case_mgmt_regulation	ケースレベルでマッピングされた規制を保存します。	GRC: Core Case Management
関連する領域 sn_grc_case_mgmt_related_area	ケースに関連付けられた関連する領域を保存します。	GRC: Core Case Management
プライバシーケース sn_privacy_case_privacy_case	プライバシーケースレコードを保存します。	プライバシーケース管理
プライバシーケースへの情報オブジェクト sn_privacy_case_m2m_information_object_to_case	ケースレベルでマッピングされた情報オブジェクトレコードを保存します。	プライバシーケース管理
ケースの主要なステークホルダー sn_privacy_case_m2m_key_stakeholder_to_case	ケースレベルでマッピングされた主要なステークホルダーレコードを保存します。	プライバシーケース管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理 の参照

参照トピックには、プライバシー管理 アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロールなどの追加の情報が記載されています。これらのトピックでは、サポート情報も提供しています。

プライバシー管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: プライバシー管理 のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
アセスメントの構成 [sn_privacy_assessment_configuration]	プライバシーマネージャーまたは管理者は、アセスメント応答で処理アクティビティを自動作成するためのルールを構成できます。このテーブルには、アセスメントテンプレートのアセスメント構成ルールが格納されます。
処理アクティビティに対するコントロール目標 [sn_privacy_m2m_policy_statement_processing_activity]	各処理アクティビティは、適用可能なコントロール目標に関連付けることができます。このテーブルにより、処理アクティビティと CO の関係を追跡できます。
処理アクティビティに対するコントロール [sn_privacy_m2m_control_processing_activity]	コントロールと処理アクティビティの間の多対多の関係を保存します。
インスタンスのアセスメントに対するエンティティタイプ [sn_privacy_m2m_profile_type_assessment_instance]	プライバシーユーザーは、エンティティタイプについて複数のプライバシーアセスメントを送信できます。このテーブルにより、プライバシーアセスメントと処理アクティビティの関係が有効になります。
処理アクティビティに対する情報オブジェクト [sn_privacy_m2m_information_object_processing_activity]	各処理アクティビティは、適用可能な情報オブジェクトに関連付けることができます。このテーブルにより、処理アクティビティと IO の関係を追跡できます。
プライバシーに関する一意のユーザー使用率 [sn_privacy_unique_user_usage]	GRC プライバシー管理 テーブルを使用しているユニークユーザー数を収集します。
処理アクティビティ [sn_privacy_processing_activity]	タスクテーブル [sn_grc_item] を拡張し、処理アクティビティを格納します。
処理アクティビティ階層 [sn_privacy_m2m_pa_pa]	個人データは、1 つの処理アクティビティから別の処理アクティビティに移動できます。このテーブルには、各処理アクティビティのアップストリームおよびダウンストリームの処理アクティビティ情報が格納されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理 と一緒にインストールされるロール

GRC: プライバシー管理 アプリケーションは、プライバシーアナリスト、プライバシーマネージャー、およびプライバシー管理者がそれぞれのタスクを実行するためのロールをインストールします。

ロールと説明

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
プライバシーアナリスト (sn_privacy.analyst)	プライバシーアナリストは、自分が所有する処理アクティビティのプライバシーコンプライアンス体制を管理する責任があります。次のタスクを実行します。 • プライバシー影響度評価を送信してレビューすることで、処理アクティビティを定期的に評価します。 • 管理者およびビジネスユーザーと協力して、処理アクティビティに関連するコントロールを識別および管理します。 • コンプライアンス関連の問題やポリシーの例外に関するビジネスユーザーの懸念を管理および解決します。 • コントロール有効性をテストおよび監視します。	• sn_grc_workspace.task_reader • sn_risk_advanced.ara_approver • sn_risk_advanced.ara_assessor • sn_risk.user • sn_compliance.user • sn_privacy_case.privacy_case_analyst
プライバシーマネージャー (sn_privacy.manager)	プライバシーマネージャーは、組織レベルのプライバシーコンプライアンス体制を管理する責任があります。 次のタスクを実行します。 • プライバシー規制、各種法令・基準等、ポリシーを作成して実装します。 • プライバシーの規制要件とポリシーを確認します。 • プライバシー規制および内部ポリシーの違反に対処するためのコントロールを設計および監視します。 • プライバシープログラムとスコープエンティティを計画します。 • プライバシー影響度評価テンプレートを作成します。	• sn_compliance.manager • sn_privacy.analyst • sn_risk.manager • sn_grc_workspace.task_admin • sn_compliance.attestation_creator • sn_grc_reg_change.manager • sn_privacy_case.privacy_case_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールと説明 (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	• コントロールの有効性を継続的に監視し、効果的な改善を推奨します。 • プライバシーコンプライアンスチームを監督します。 • コンプライアンス体制を管理者と取締役会に報告します。 • 組織に初めてプライバシー規制を実装するユーザーを特定します。	
プライバシー管理者 (sn_privacy.admin)	プライバシー管理者は、プライバシーポリシーおよびコンプライアンスマネジメントを管理します。このロールを割り当てられたユーザーは、プライバシーチームの要件に従ってプライバシー管理ソリューションを構成する責任を負います。 次のタスクを実行します。 • プライバシー影響度評価と自動フローを構成してアセスメントをトリガーします。 • プライバシースクリーニングアセスメントから処理アクティビティを自動作成するルールを設定します。 • 他のアプリケーションおよびモジュールとの Now Platform プラットフォームの依存関係を監視します。 • [処理アクティビティスクリプトの構成] 関連リストでスクリプトを読み込むことができます。	• sn_privacy.manager • sn_risk_advanced.ara_admin • sn_compliance.admin • sn_privacy_case.privacy_case_admin
プライバシーアセスメントレスポンダー sn_privacy.assessment_responder	プライバシーアセスメントレスポンダーは、主要なステークホルダーとしてプライバシーアセスメントに応答することができます。ポータルからプライバシー要求を出すこともできます。	• sn_grc_workspace.task_reader • canvas_user
プライバシービジネスユーザー sn_privacy.business_user	プライバシービジネスユーザーは、割り当てられた処理アクティビティを [検出] ステータ	• sn_grc_workspace.task_reader • canvas_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールと説明 (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	スで編集でき、またアセスメントに応答することもできます。	• sn_privacy_case.privacy_case_business_use • sn_grc.business_user
プライバシー開発者 sn_privacy.developer	プライバシー開発者はカスタムスクリプトを記述できます。	sn_privacy.admin

プライバシー管理 のメール通知

リマインダーを使用すると、関連するユーザーはアセスメントを実行し、それらに関連するタスクを完了できます。

デフォルトでは、プライバシー管理 アプリケーションには次のタイプのメール通知が含まれています。

- プライバシースクリーニングアセスメントのためのエンティティオーナーへのメール通知。
- プライバシー影響度評価のためのエンティティオーナーへのメール通知。
- アセスメントが [オープン] ステータスのときに、プライバシーアセスメントがキャンセルされた場合にエンティティオーナーが受信するメール通知。
- アセスメントが [対応中] ステータスのときに、プライバシーアセスメントがキャンセルされた場合にエンティティオーナーが受信するメール通知。

次のテーブルに、通知の受信者リストと、通知が送信されるときの関連条件を示します。

プライバシー管理 アプリケーションで送信される通知

通知	条件	受信者
プライバシーアセスメントの通知：プライバシースクリーニングアセスメントの新しいアセスメント	新しいプライバシースクリーニングアセスメントが開始されたとき。	エンティティオーナー
プライバシー影響度評価のためにエンティティオーナーに送信されるメール通知。	エンティティオーナーがプライバシー影響度評価を受け取ったとき。	プライバシーマネージャー
アセスメントが [オープン] ステータスのときに、プライバシーアセスメントがキャンセルされた場合にエンティティオーナーに送信されるメール通知。	プライバシーアセスメントがキャンセルされ、アセスメントが [取得可能] ステータスだったとき	エンティティオーナー
アセスメントが [対応中] ステータスのときに、プライバシーアセスメントがキャンセルされた場合にエンティティオーナーに送信されるメール通知。	プライバシーアセスメントがキャンセルされ、アセスメントが [対応中] ステータスだったとき	エンティティオーナー
プライバシーアセスメントが期日になった時点でエンティティオーナーに送信されるリマインダーメール通知。	アセスメントの期日に関するリマインダーメール。	エンティティオーナー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライバシー管理 アプリケーションで送信される通知 (続く)

通知	条件	受信者
プライバシーアセスメントが期限切れになった時点でエンティティオーナーに送信される、期限切れに関するメール通知。	期限切れに関するメール	エンティティオーナー

プライバシー管理 での処理アクティビティの使用

処理アクティビティは、個人データを処理するレコードです。このようなレコードの例としては、組織のビジネスプロセスやビジネスアプリケーションがあります。処理アクティビティにより、プライバシー管理チームは個人情報がどのように処理または使用されているかを把握できます。

処理アクティビティの詳細については、「処理アクティビティ」を参照してください。処理アクティビティは、プライバシーチームが次の詳細を記録するのに役立ちます。

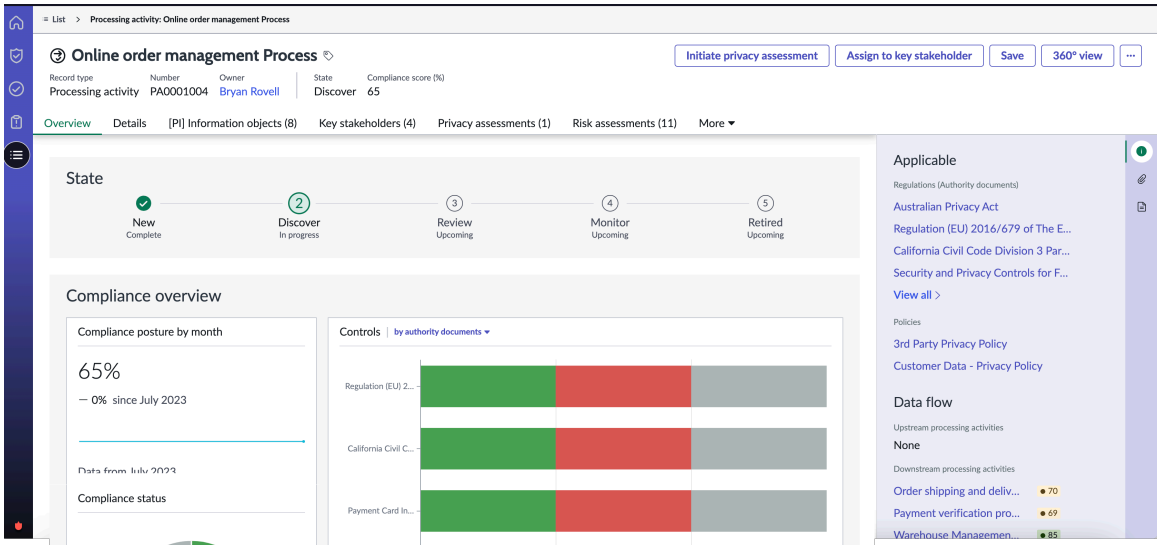
- 処理アクティビティの詳細 (所属する事業部門、データ主体タイプ、データストレージの場所など)。
- この処理アクティビティの一部として処理されている [PI] 情報オブジェクト。
- 過去のプライバシーアセスメントおよび進行中のプライバシーアセスメント
- 処理アクティビティとそれぞれのコントロール証明書応答に適用されるコントロール。
- この処理アクティビティに関連付けられている問題とポリシー例外。

次の画像は、処理アクティビティの [概要] タブを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

処理アクティビティレコード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

処理アクティビティのワークフロー

処理アクティビティワークフローは、プライバシーアナリストが処理アクティビティのライフサイクルを管理するのに役立ちます。

次のセクションでは、処理アクティビティワークフローのさまざまなステージについて説明します。

> **注:**
> 処理アクティビティを所有していないプライバシーアナリストは、処理アクティビティの表示のみ実行できます。編集することはできません。

新規

これは、プライバシーコンプライアンスを判断するために、ビジネスアプリケーション、ビジネスプロセス、ベンダー、またはビジネスサービスを考慮する必要があるかどうかを確認するためのステータスです。処理アクティビティは、手動で作成された場合にのみこのステータスになります。プライバシーマネージャーまたはプライバシーアナリストは、処理アクティビティを手動で作成し、その分析に基づいて処理アクティビティとして確認できます。このステージでは、処理アクティビティの次のフィールドを変更できます。

- 名前
- 正当な理由
- プライバシーアナリスト
- エンティティ：このフィールドが入力され、処理アクティビティフォームが保存されている場合のみ。フォームを保存した後、プライバシーマネージャーまたはプライバシーアナリストは、処理アクティビティを [検出] ステータスに移行できます。

検出

このステータスでは、処理アクティビティを所有するプライバシーマネージャーまたはプライバシーアナリストは、処理アクティビティが個人情報を処理する理由と方法などの詳細を把握できます。これらの詳細は、プライバシーアセスメントを送信することによって収集されます。応答に基づいて、適切なコントロールセットが適用されます。このステータスの処理アクティビティフォームで実行できるアクティビティのリストを、次に示します。

- プライバシーアセスメントを送信します。
- アセスメントへの応答に基づいて、処理アクティビティの [詳細] セクションを更新します。
- 主要なステークホルダーの 1 人に処理アクティビティをアサインして、主要なステークホルダーが、詳細、PI タグ付き情報オブジェクト、および主要なステークホルダーを更新します。

  > **注:**
  > sn_privacy.business_user ロールを持つユーザーに処理アクティビティを割り当てることができます。

- プライバシーアセスメントの応答に基づいて適用されたコントロールを確認します。
- 必要に応じて他のコントロールを追加または削除します。

その後、処理アクティビティは [レビュー] ステータスに移行します。

評価

このステータスでは、処理アクティビティを所有するプライバシーマネージャーまたはプライバシーアナリストがコントロール証明書を送信し、証明書の応答と非準拠コントロールが原因で作成された問題に基づいてコンプライアンス体制をレビューします。処理アクティビティを所有するプライバ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シーマネージャーまたはプライバシーアナリストによって処理アクティビティフォームで実行されるアクティビティのリストは次のとおりです。

- アセスメントへの応答に基づいて、処理アクティビティの [詳細] セクションを更新します。
- 情報オブジェクトを関連付け、アセスメントの応答に基づいて情報オブジェクトに関連する追加の詳細をキャプチャします。
- プライバシーアセスメントの応答に基づいて自動的に適用されるコントロールを確認し、必要に応じて他のコントロールを追加または削除します。
- コントロール証明書を送信し、問題とポリシーの例外を追跡します。

監視

これは、継続的な監視のために処理アクティビティを追跡するためのステータスです。インジケーター機能は、継続的な監視に使用されます。処理アクティビティがこのステータスにある場合、プライバシーアナリストは、プライバシーアナリストまたはプライバシーマネージャーが評価する必要がある処理アクティビティの更新に基づいて、処理アクティビティを [検出] または [レビュー] ステータスに戻すことができます。処理アクティビティを所有するプライバシーマネージャーまたはプライバシーアナリストが処理アクティビティフォームで実行できるアクティビティのリストは次のとおりです。

- 処理アクティビティに関連するコントロールを継続的に監視するインジケーター機能の自動実行。
- 問題を作成、管理、および追跡します。

注:
[監視] ステータスになっている処理アクティビティに対して新しいプライバシーアセスメントが送信されると、その処理アクティビティは自動的に [検出] ステータスに移行します。

廃止

これは、それぞれのビジネスアプリケーションまたはビジネスプロセスが組織で使用されなくなったときに、処理アクティビティを廃止するステータスです。このステータスに移行すると、処理アクティビティに関連付けられたすべてのコントロールが廃止されます。プライバシーチームは、廃止ステータスの処理アクティビティを更新できません。エンティティが非アクティブ化されると、関連する処理アクティビティも自動的に [廃止] ステータスに移行します。

プライバシー管理のドメイン分離

このページはドメイン分離と ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーション プライバシー管理 の概要です。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

Domain Separation は、以下の顧客にとって最適です。

- ビジネスエンティティ間で絶対的なデータ分離を適用する必要がある (データ分離)。
- 各ドメインのビジネスプロセス定義とユーザーインターフェイスをカスタマイズする (委任管理)。
- 単一のインスタンスでグローバルなプロセスとグローバルなレポートを維持します。

これらのユーザーは、ドメインスコープを展開するか折りたたんで、他のドメインからのデータを表示または非表示にすることができます。

注:
ユーザーは、ドメインの可視性によって明示的に付与されたドメインのデータに常にアクセスできます。

GRC におけるドメイン分離の仕組み

- GRC はデータの分離をサポートしていますが、ロジックおよびプロセスの分離を完全にはサポートしていません。

- GRC アプリケーション内のタイプのレコードの多くは、ユーザープロセスによって自動的に生成されます。エンティティ、コントロール、リスク、インジケーター、コントロールテスト、処理アクティビティはすべて、自動的に生成できるフィールドです。自動で生成されたレコード (および手動で生成された GRC レコード) の場合、レコードのドメインは、レコードの作成または生成を担当するユーザーのドメインと同じです。

  ドメイン分離された GRC 実装で作業する場合は、自動生成を念頭に置いておく必要があります。ユーザーは、適切なドメインレベルでレコードを作成および生成して、それらが適切なユーザーセットに表示されるようにする必要があります。

  たとえば、トップレベルがグローバルで、その後にトップドメインが続くドメイン階層があるとします。トップドメインには、ドメイン A とドメイン B の 2 つのサブドメインがあります。

- ドメイン A および B のユーザーによって評価される必要があるプライバシーアセスメントを送信するエンティティがある場合は、エンティティをグローバルレベルで生成するか、手動で作成する必要があります。エンティティがドメイン B で作成された場合、インデックス作成のためにドメイン A でエンティティを再作成することはできません。
- トップおよびドメイン A のユーザーによって評価されるエンティティがある場合は、ドメイン A でエンティティを作成できます。

エンティティがグローバルドメイン内にない場合に限り、ユーザーは上位のドメイン内にあるエンティティを、下位のドメインのユーザーにアサインできません。上記の例では、TOP ドメインにエンティティがある場合、そのエンティティをプライバシーアセスメントのためにドメイン A または B のユーザーにアサインしないでください。これらのユーザーはアセスメントにアクセスできません。したがって、アセスメントのアンケートは生成されません。

同様に、ユーザーは、上位ドメインのコントロール目標とリスクステートメントを下位ドメインの証明書とアセスメントにアサインしないでください。アサインすると、証明書またはアセスメントアンケートが生成されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユースケース

IT 用の GRC データを他の部門の GRC データから分離できます。GRC アプリケーションを使用している各ビジネスエリアは、他の部門と共有できない分離データを保有できます。そのため、各部門には独自のエンティティ、ポリシー、コントロール、リスクなどがあります。

IT ドメインからのコントロールを調べる場合、ユーザーはドメインスコープを展開して財務ドメインの値を表示するか、ドメインスコープを折りたたんで IT ドメインに一致するコントロールのみを表示するかを選択できます。

デフォルトでは、ドメイン分離は、タスク [task] および構成アイテム [cmdb_ci] テーブルとその拡張に、ドメインフィールドを追加します。

sys_domain フィールドをテーブルの辞書定義に追加することで、作成する任意の新しいテーブルにドメイン分離を拡張することができます。デフォルトでは、システム専用ドメインは、適切な場合に、プラットフォームとベースラインアプリケーションテーブルを分離します。

> ⚠ **警告:**
> ServiceNow では、予期しない結果が生じる可能性があるため、ドメイン分離プラットフォームテーブル (辞書エントリ [sys_dictionary] や辞書エントリの上書き [sys_dictionary_override] テーブルなど、sys_prefix を持つテーブル) は推奨されません。

このユースケースでは、クライアントスクリプト、ビジネスルール、ワークフロー、プロセスなどをドメイン分離できます。

ドメイン分離での動作がマルチテナントのサポートを提供している間は、マルチテナントはまだ単一のインスタンス内に含まれています。つまり、一部のグローバルプロパティ、グローバルデータ、およびグローバルプロセスは、すべてのドメインで共有されます。たとえば、ログインページのシステムの [記憶する] オプションはグローバルであり、ドメインごとに指定できません。

すべてのシステムのプロパティを完全に分離する必要があり、グローバルレポートまたはグローバルプロセスを必要としない場合、インスタンスの分離が最適なオプションです。

プライバシー管理 のレポート

プライバシー管理 レポートは、さまざまなレコードの概要ページとして使用できます。

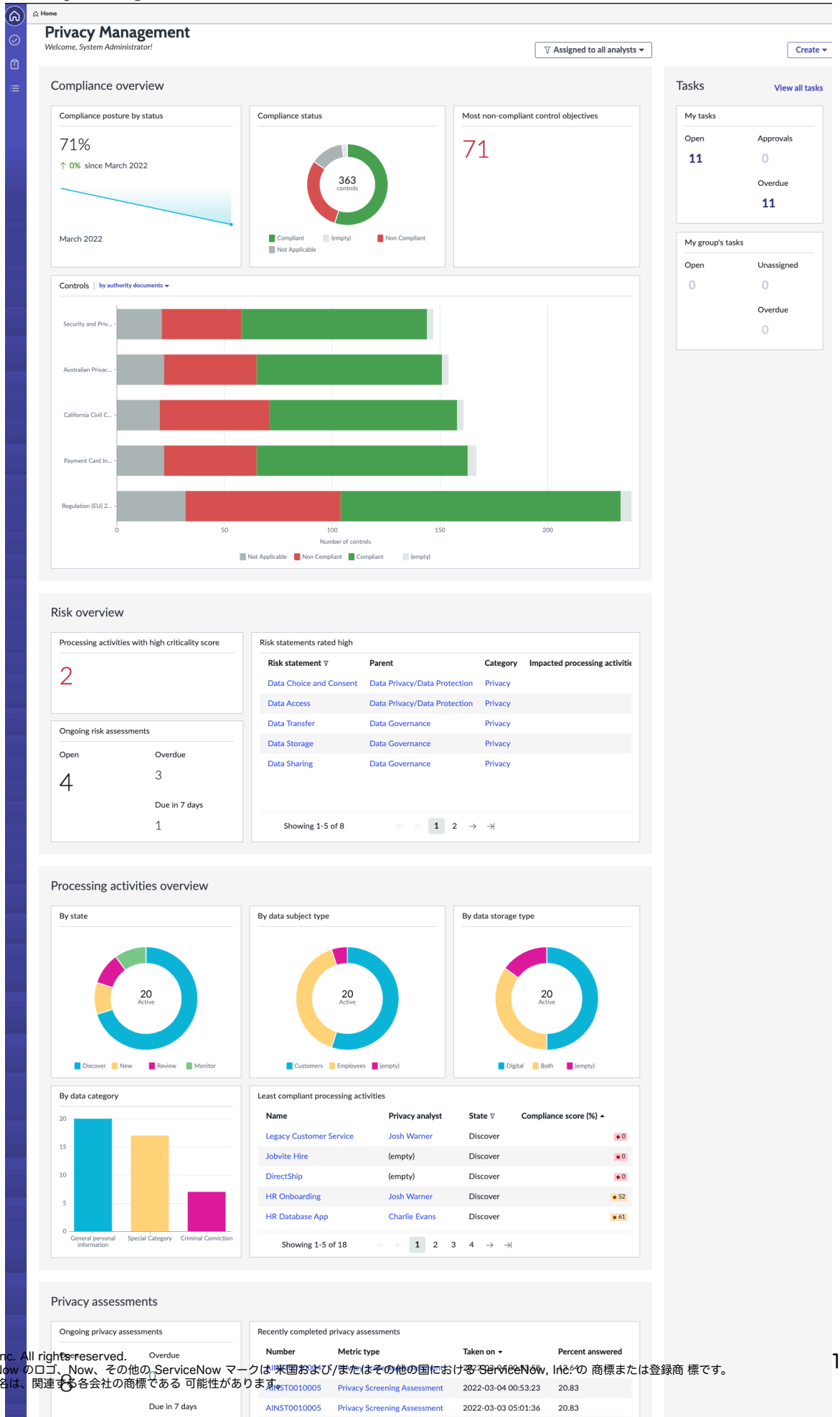
プライバシー管理 ホームページ

プライバシー管理 ホームページには、全体的なコンプライアンススコアと傾向、プライバシーリスクアセスメントステータス、プライバシー影響度評価ステータス、コントロール証明書、問題固有のステータス、プライバシー固有の規制変更タスクなどの詳細を含む、完全なプライバシーリスクとコンプライアンス体制の概要が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Privacy Management ホームページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc.の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール

ホームページを表示するには、sn_privacy.manager と sn_privacy.analyst のロールが必要です。

ユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのホームページをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
プライバシーマネージャー	プライバシーマネージャーは、すべての処理アクティビティとプライバシーアセスメントを考慮して、プライバシーコンプライアンスの体制を表示して把握できます。プライバシーチームのタスクを表示することもできます。
プライバシーアナリスト	プライバシーアナリストは、プライバシーアナリストにアサインされた処理アクティビティのみを考慮して、プライバシーコンプライアンスの体制を表示して把握できます。また、注意が必要なタスクにアクセスすることもできます。

インジケーター

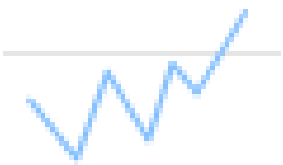
処理アクティビティのコンプライアンススコア (%) インジケーターは、処理アクティビティのコンプライアンススコア (%) を示します。

ブレークダウン

- 処理アクティビティ
- プライバシーアナリスト

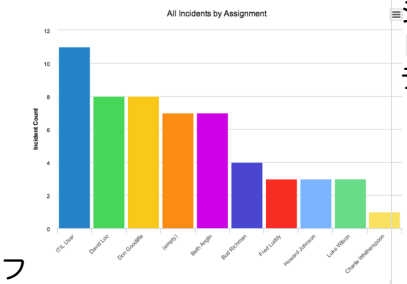
レポート

このダッシュボードには、次のレポートが表示されます。

タイトル	タイプ	説明
月別のコンプライアンス体制	傾向図 	月別のコンプライアンス体制は、すべての処理アクティビティの全体的なコンプライアンススコアを参照してプロットされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
コンプライアンスのステータス	ドーナツ 	すべての処理アクティビティにわたるすべてのコントロールのコンプライアンスステータスを提供します。
コントロール (各種法令・基準等別またはポリシー別)	棒グラフ 	各種法令・基準等またはポリシーに関連付けられているコントロールのコンプライアンスステータスを提供します。
ステータス別処理アクティビティ	ドーナツ 	アクティブな処理アクティビティの分割を次のステータス別に表示します。 • 新規 • 検出 • レビュー • 監視
準拠度が最も低い処理アクティビティ	リストレポート 	準拠度が最も低い処理アクティビティのリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
プライバシーアセスメントステータス	単一スコア  	未解決、期限切れ、期限間近のアセスメントの数を表示します。
最近完了したプライバシーアセスメント	リストレポート 	最近完了したプライバシーアセスメントのリストを表示します。
問題	単一スコア  	未解決、期限切れ、期限間近の問題の数を表示します。
優先度別の問題	ドーナツ 	優先度別に問題を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
ポリシー例外	単一スコ  ア	アクティブ、期限切れ、および要求済みのポリシー例外の数を表示します。
リスク評価別	ドーナ  ツ	リスク評価別にポリシーの例外を表示します。
インジケーター	単一スコ  ア	未解決で失敗したインジケーターの数を表示します。
証明書	単一スコ  ア	未解決、期限切れ、期限間近の証明書の数を表示します。

処理アクティビティの概要ページ

処理アクティビティの概要ページには、処理アクティビティのプライバシーリスクとコンプライアンス体制が表示されます。このページには、全体的なコンプライアンススコア、傾向、プライバシー重要度アセスメントスコア、プライバシーリスクアセスメントに基づくリスクヒートマップ、プライバ

自動翻訳

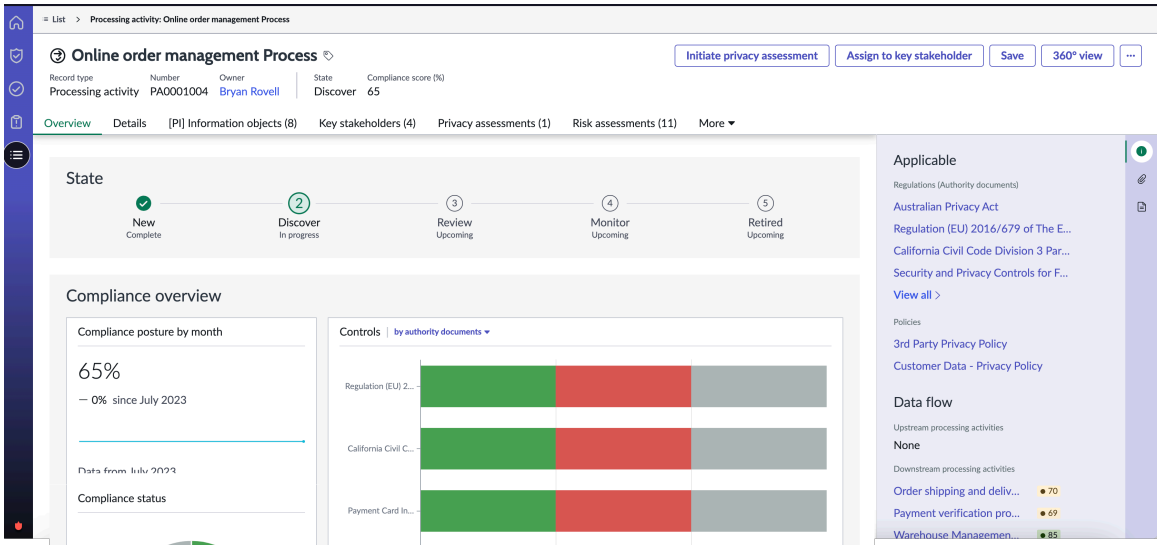
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

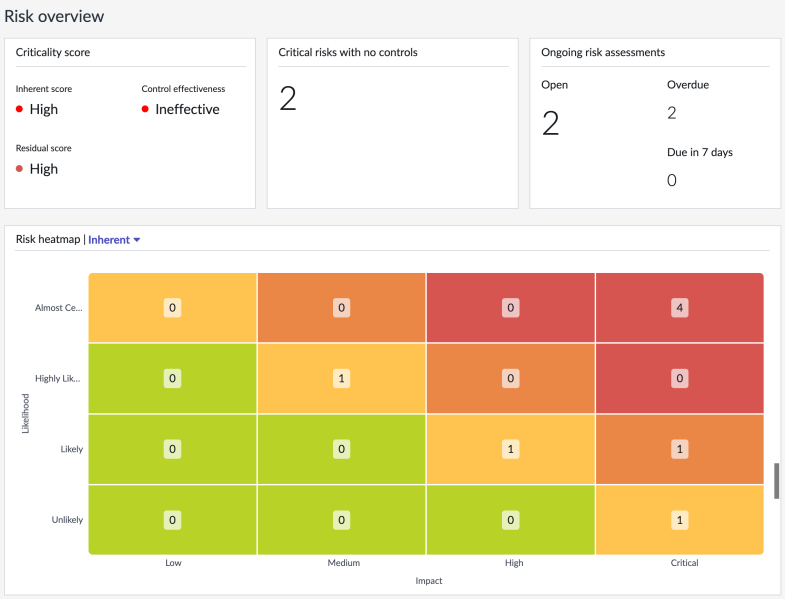
シーアセスメントステータス、コントロール証明書、および問題固有のステータスなどの詳細が含まれています。

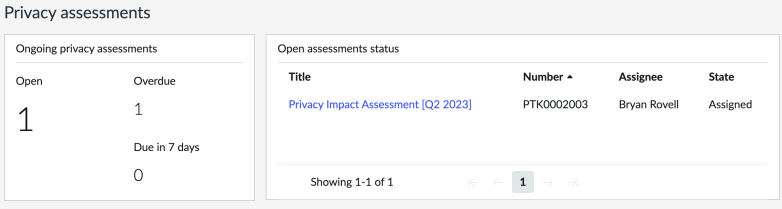
自動翻訳

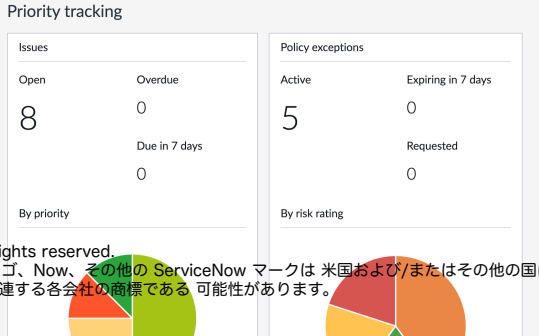
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

処理アクティビティの概要ページ









© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール

ホームページを表示するには、sn_privacy.manager と sn_privacy.analyst のロールが必要です。

ユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのホームページをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
プライバシーマネージャーおよびプライバシーアナリスト	プライバシーマネージャーとプライバシーアナリストは、特定の処理アクティビティのプライバシーコンプライアンス体制を表示して把握できます。

インジケーター

処理アクティビティのコンプライアンススコア **(%)**：処理アクティビティのコンプライアンススコア (%)。

ブレークダウン

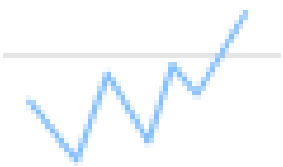
- 処理アクティビティ
- プライバシーアナリスト

リスクの概要

[リスクの概要] セクションには、処理アクティビティの重要度スコア、コントロールのない高リスクの数、進行中のリスクアセスメントの詳細、およびリスクヒートマップが表示されます。

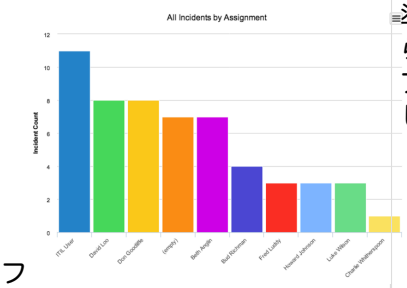
レポート

このダッシュボードには、次のレポートが表示されます。

タイトル	タイプ	説明
月別のコンプライアンス体制	傾向図 	月別のコンプライアンス体制は、処理アクティビティのコンプライアンススコアを参照してプロットされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
コンプライアンスのステータス	ドーナツ 	このレポートは、処理アクティビティのすべてのコントロールのコンプライアンスステータスを提供します。
コントロール (各種法令・基準等別またはポリシー別)	棒グラフ 	このレポートは、各種法令・基準等またはポリシーに関連付けられているコントロールのコンプライアンスステータスを提供します。
プライバシーアセスメントステータス	単一スコア 	未解決、期限切れ、期限間近のアセスメントの数を表示します。
最近完了したプライバシーアセスメント	リストレポート 	最近完了したプライバシーアセスメントのリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
問題	単一スコ  ア	未解決、期限切れ、期限間近の問題の数を表示します。
優先度別の問題	ドーナ  ツ	優先度別に問題を表示します。
ポリシー例外	単一スコ  ア	アクティブ、期限切れ、および要求済みのポリシー例外の数を表示します。
リスク評価別	ドーナ  ツ	リスク評価別にポリシーの例外を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更管理

ServiceNow® 規制変更管理 アプリケーションを使用することで、今後の規制変更を確認し、その影響を評価し、リスクおよびコンプライアンス関連の変更を実装することができます。アプリケーションは、全体的な規制コンプライアンスを保証します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

詳細 • 規制変更管理 アプリケーションの詳細 • 規制変更管理 のワークフロー	設定 規制変更管理 のダウンロードとインストール	構成 • 規制アラート • 規制イベントアラートの影響度評価 • 規制変更タスクの管理 • ソースドキュメントのインポートタスクの管理 • アクションタスクの作成 • 規制タスクに関連付けられる問題の作成 • RSS フィードの設定 • 管理モジュール • 分類のマッピング
開発 • 開発者トレーニング • 開発者ドキュメント	トラブルシューティング • コミュニティで質問や回答をする • Known Error Portal で既知のエラー記事を検索 • 担当者 カスタマーサービス & サポート	

規制変更管理 アプリケーションの詳細

規制変更管理 アプリケーションは、サードパーティの規制インテリジェンスプロバイダーと統合するためのフレームワークとガイドラインを提供します。規制の変更を管理するための一元化されたプロセスを提供し、外部規制へのコンプライアンスを確保します。

規制変更管理 アプリケーション

規制の世界では、さまざまな規制アクション、裁定、およびガイダンスドキュメントが発行されます。規制変更情報を追跡し、それが組織に与える影響を把握することが重要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更管理 アプリケーションを使用すると、今後の規制の変更を効率的に管理できます。アプリケーションは、規制変更の適用性を評価し、その影響を評価し、リスクとコンプライアンス関連の変更を実装する構造化されたワークフローを提供します。

規制変更管理 アプリケーションは、次のタイプのコンポーネントとともに動作します。

- 統合コンポーネント：通常、規制インテリジェンスパートナーが統合コンポーネントを提供します。この統合により、規制アラートを ServiceNow インスタンスに取り込むことができます。
- アプリケーションフレームワークコンポーネント：規制変更管理 アプリケーションにはアプリケーションフレームワークコンポーネントがあります。このコンポーネントは、規制アラートテーブルで受信した規制アラートを分析および処理できるように、構造化されたワークフローを提供します。

規制変更管理 アプリケーションは、次の主要な機能で構成されています。

1. 規制分類の管理：ServiceNow プラットフォームに固有の内部規制分類を作成します。標準化のために、サードパーティの規制インテリジェンスプロバイダーによって提供される外部分類に分類をマッピングします。内部分類には次の設計要素が含まれています。
   - コンテンツタイプ
   - 管轄
   - 規制機関
   - セクター
   - テーマ

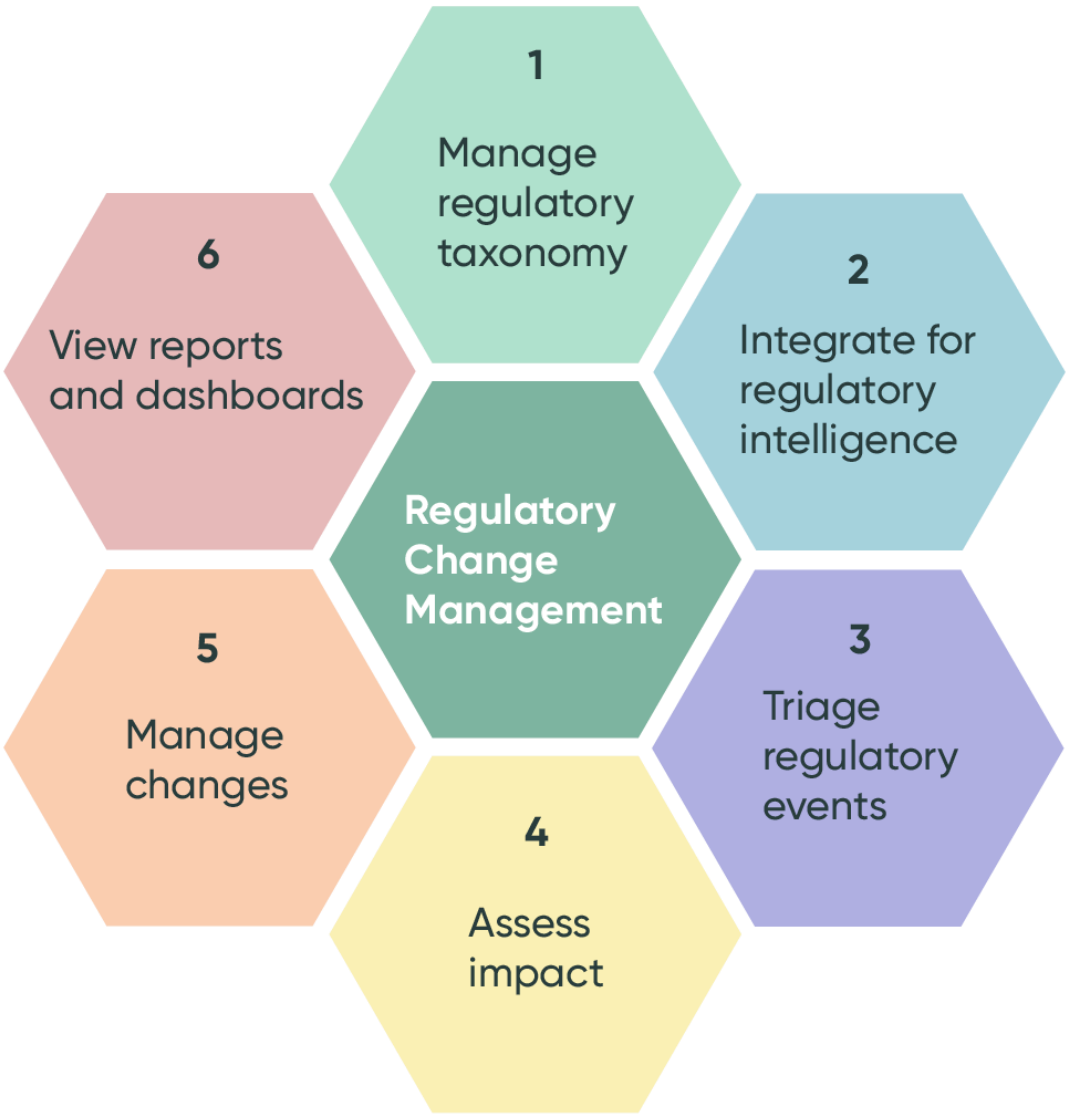
   これらの要素は、セットアッププロセス中に作成され、外部分類にマッピングされます。
2. 規制インテリジェンスのための統合：サードパーティの規制インテリジェンスプロバイダーと統合し、定期的に ServiceNow インスタンスにアラートを取り込みます。急速かつ複雑に変化する環境で規制データを監視します。
3. 規制イベントのトリアージ：規制アラートを分析し、組織に関連する規制イベントを特定します。
4. 影響度の評価：構成可能な影響度アセスメント方法を使用して、規制イベントの影響を評価します。
5. 変更の管理：実行する必要がある変更を特定します。これらの変更は、次のアクションタスクによって実装されます。
   - 規制ライブラリ内の基盤となる GRC オブジェクト (ポリシー、プロセス、リスク、コントロールなど) を更新します。
   - 既存の引用を更新するか、プロバイダーから新しい引用を規制ライブラリにインポートします。
6. レポートとダッシュボードの表示：レポートとダッシュボードを使用して、規制コンプライアンスのステータスを評価します。コンプライアンスアクティビティの監査記録を維持します。

これらのコンポーネント機能を次の図に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更管理 アプリケーションの主要な機能



規制変更管理 のユーザーロール

規制変更管理 アプリケーションのステークホルダーにはさまざまなロールと責任があります。

規制変更管理 アプリケーションのロールは、GRC: Regulatory Change Management アプリケーションの有効化と同時にインストールされます。アプリケーションには、次のタイプのロールが含まれます。

ロールのタイトルと名前	説明	利用可能なロール
RCM Admin [sn_grc_reg_change.admin]	RCM 管理者は、規制変更管理アプリケーションのすべての側面にアクセスできます。	• sn_grc_reg_change.it_admin • sn_grc_reg_change.manager
RCM IT 管理者 [sn_grc_reg_change.it_admin]	RCM IT 管理者は、サードパーティの規制インテリジェンスプロバイダーとの統合を設定します。RCM IT 管理者が問題のト	• connection_admin • action_designer • import_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールのタイトルと名前	説明	利用可能なロール
	ラブルシューティングを行います (存在する場合)。	• credential_admin • flow_designer • oauth_admin • sn_grc.developer **注:** GRC ユーザーロール (sn_grc.user) には、GRC ビジネスユーザーロール (sn_grc.business_user) が含まれています。詳細については、「ガバナンス、リスク、コンプライアンス の共通のロール」を参照してください。
RCM マネージャー [sn_grc_reg_change.manager]	RCM マネージャーは、規制アラートをアサインし、規制変更タスクとアクションタスクを監視します。 **注:** 規制変更管理 アプリケーションの [ユーザー管理] パネルの [グループ] に **[RCM** マネージャー] というタイトルのグループが追加されます。RCM マネージャーグループは、規制タスクのワークフローをレビューし、規制コンプライアンスを確保します。このグループに属するユーザーには、sn_grc_reg_change.manager ロールが必要です。	sn_grc_reg_change.user
RCM ユーザー [sn_grc_reg_change.user]	RCM ユーザーは、アラートの適用性を評価し、影響度評価を開始して、割り当てられた規制変更タスクとアクションタスクを完了します。	• sn_compliance.reader • sn_risk.reader

規制変更管理 のダウンロードとインストール

ServiceNow Store から GRC: Regulatory Change Management アプリケーションをダウンロードして ServiceNow インスタンスで実行します。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.it_admin、または sn_grc_reg_change.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. GRC: Regulatory Change Management アプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードします。
   初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。規制変更管理 アプリケーションをダウンロードすると、次の必要なアプリケーションが自動的にインストールされます。
   - GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
   - GRC：高度なリスク
2. インスタンスで、[システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて] に移動します。
3. GRC: Regulatory Change Management を見つけます。
4. リストで、適切なリリースを選択します。
5. [**Install**] をクリックします。
   新しい [アプリケーションのインストール] ウィンドウが表示されます。
6. アプリケーションの詳細を確認し、[インストール] をクリックします。

タスクの結果
GRC: Regulatory Change Management アプリケーションが使用している ServiceNow インスタンスにインストールされます。

規制変更管理 のワークフロー

規制変更管理 アプリケーションのワークフローには、インストール、セットアップ、および管理の個別のステージが含まれます。

規制変更管理 アプリケーションのワークフローは、次のステージを通過します。次のステージは、規制の変更を管理するのに役立ちます。

1. 前提条件：次のアプリケーションがインストールされていることを確認します。
   - ServiceNow® GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション
   - ServiceNow® 高度なリスク アプリケーション
2. GRC: Regulatory Change Management アプリケーションを ServiceNow Store からダウンロードしてインストールします。詳細については、「規制変更管理 のダウンロードとインストール」を参照してください。
3. 必要に応じてユーザーにロールを割り当てます。詳細については、「規制変更管理 のユーザーロール」を参照してください。
4. 規制変更管理 アプリケーションを設定するには、次の手順を実行します。
   - 接続と資格情報を作成して検証します。詳細については、「SFTP または REST API 接続を確立する」を参照してください。
   - 統合フローを有効にします。詳細については、「GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence」および「RSS フィードの設定」を参照してください。
   - 内部規制分類を作成してマッピングします。詳細については、「分類のマッピング」を参照してください。
5. ワークフローを管理するには、次の手順を実行します。
   - 規制アラートをアサインします。詳細については、「規制イベントアラートの管理とアサイン」を参照してください。
   - アラートの影響度を評価し、規制変更タスクを作成します。詳細については、「規制変更タスクの管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アクションタスクを評価します。詳細については、「規制変更管理 のアクションタスク」を参照してください。
- 変更を実装し、アクションタスクを作成します。詳細については、「アクションタスクの作成」を参照してください。
- 規制タスクに関連付けられる問題を作成および表示します。詳細については、「規制タスクに関連付けられる問題の作成」を参照してください。

6. ダッシュボードとレポートを介して規制変更の概要を提供します。詳細については、「規制変更管理 ダッシュボード」を参照してください。
7. 組織の全体的な規制コンプライアンスを確認します。

さまざまなユーザーによって実行されるプロセスフローとタスク

規制変更管理 プロセスフローは、規制変更へのコンプライアンスのためにさまざまなユーザーロールによって実行されるタスクで構成されています。

規制アラートは、規制アラートの形式でデータを提供する外部プロバイダーから提供されます。アラートは、RSS フィードの形式で、または Thomson Reuters などの外部プロバイダーから受信できます。規制変更管理 アプリケーションは、組織に適用される新しい規制変更を受け取ります。

ほとんどの IRM アプリケーションと同様に、RCM アプリケーションには次のユーザーロールがあります。

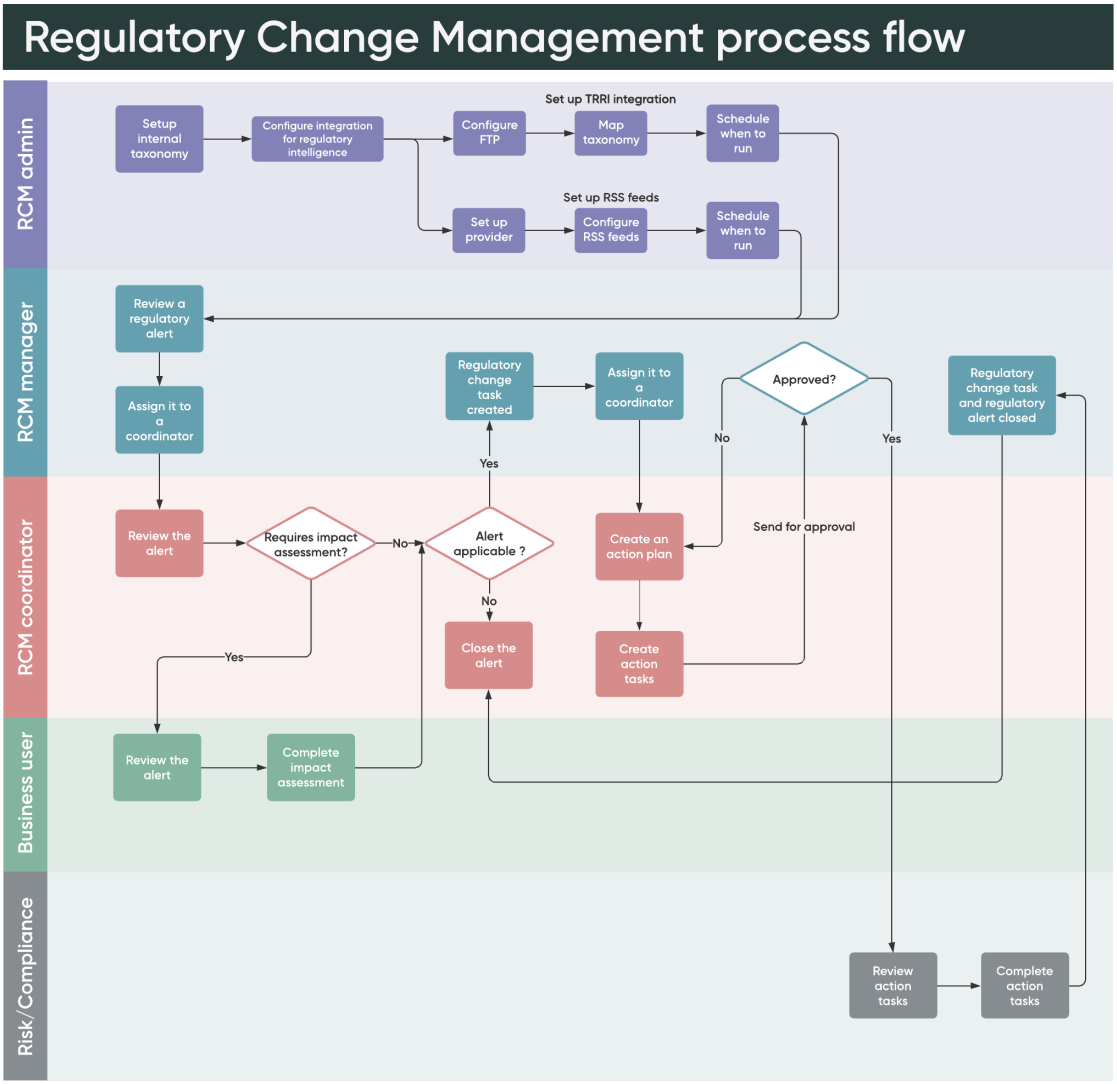
- RCM 管理者：sn_grc_reg_change.admin ユーザーロールを持つ管理者。
- RCM マネージャー：sn_grc_reg_change.manager ユーザーロールを持つアプリケーションマネージャー。
- RCM ユーザーまたはコーディネーター：sn_grc_reg_change.user ユーザーロールを持つユーザー。規制変更が適切なチームにアサインされ、時間内に完了することを確認する責任を負うユーザー。
- ビジネスユーザーロール：sn_grc.business_user ロールを持つユーザー。
- リスクマネージャーまたはコンプライアンスマネージャー： sn_risk.manager または sn_compliance.manager ロールを持ち、規制変更管理 アプリケーションの一部として変更を実行するユーザー。

参照については、規制変更管理 プロセスフローを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなユーザーによって実行される 規制変更管理 プロセスフローとタスク



このセクションには、規制変更管理 プロセスフローを完了するためのステップが一覧表示されています。

1. 統合の設定：顧客は規制機関の公開 RSS フィードに登録することも、キュレーションされたインテリジェンスプロバイダーである Thomson Reuters Regulatory Intelligence (TRRI) などのサブスクリプションプロバイダーに登録することもできます。Thomson Reuters Regulatory Intelligence (TRRI) などのプロバイダーは、さまざまなソースからの規制変更を集計し、フィードの形式で収集した変更を提供します。
2. 分類の設定：分類要素は、組織が登録コンテンツに適用して分類できるさまざまな分類子です。分類要素は、組織の規制コンテンツを設定するためのさまざまな分類の階層構造を作成するために使用されます。これは、内部分類を設定するプロセスです。
3. 規制アラートのレビュー：sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザー (RCM マネージャー) が規制アラートをレビューし、それをコーディネーターまたは sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザー (RCM ユーザー) にアサインします。sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーがアラートをレビューします。規制変更に影響度評価が必要な場合、RCM ユーザーはビジネスユーザーロールを持つ該当分野のエキスパート (SME) にそれを送信します。
4. 影響度の評価：ビジネスユーザーロールを持つ該当分野のエキスパート (SME) は、規制変更の影響を評価し、影響度評価のスコアを 規制変更管理 アプリケーションに送信します。アラートが組織に適用されない場合、RCM ユーザーがアラートをクローズします。アラートが組織に適用され

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

る場合、RCM ユーザーは新しい規制変更タスクを作成し、それを同じコーディネーターまたは新しいコーディネーターにアサインします。

5. アクションプランの立案：コーディネーターは、規制の変更に準拠するための手順を特定し、アクションプランを立案して、さまざまなチームが特定されたアクションアイテムを完了するためのアクションタスクを作成します。コーディネーターは、さらに規制変更タスクに関連付けられたアクションタスクを作成します。アクションプランが作成されると、承認のために RCM マネージャーに送信されます。マネージャーはアクションプランをレビューし、作成されたすべてのアクションタスクで十分かどうか、または一部のアクションタスクが不要かどうかを確認します。
6. アクションタスクの完了：アクションプランが却下された場合、同じコーディネーターが再度アクションプランを確認し、実際のタスクを更新してから、アクションプランを承認のために送り返します。すべてのコンプライアンスベースのアクションタスクはコンプライアンスマネージャーに表示され、リスクマネージャーはリスクベースのアクションタスクを表示できます。タスクがリスクユーザーおよびコンプライアンスユーザーにアサインされると、アクションタスクは完了まで追跡されます。アクションタスクの期日がマークされ、追跡されます。実際のタスクが完了すると、規制アラートと親規制変更タスクがクローズされます。

   このステップは、規制変更プロセスフローの完了を示します。

規制変更管理 のセットアップチェックリスト

規制変更管理 アプリケーションの設定に必要なタスクを完了します。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。規制変更管理 アプリケーションの機能を拡張するためのオプションのセットアップ手順も含まれています。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。PDF を生成するには、トピックの上部にある **PDF** として保存アイコン ( ) をクリックし、[選択したトピック] をクリックします。

手順

1. ストアから 規制変更管理 (RCM) アプリケーションをインストールします。
   詳細については、「規制変更管理 のダウンロードとインストール」を参照してください。
2. ユーザーに RCM ロールを割り当てます。
   詳細については、「規制変更管理 のユーザーロール」を参照してください。
3. フィードを設定するには、次のいずれかのオプションを選択します。

4. 接続と資格情報を作成して検証します。
   詳細については、「SFTP または REST API 接続を確立する」を参照してください。
5. 統合フローを有効にします。
   詳細については、「GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence」および「RSS フィードの設定」を参照してください。
6. 内部規制分類を作成して分類をマッピングします。
   詳細については、「分類のマッピング」を参照してください。
7. 規制フィードをアサインします。
   詳細については、「規制イベントアラートの管理とアサイン」を参照してください。
8. 影響度を評価し、関連する規制タスクをアサインします。
   詳細については、「規制変更タスクの管理」を参照してください。
9. 実行する必要がある変更を特定するアクションプランを準備します。
   詳細については、「規制変更管理 のアクションタスク」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. 特定された変更を実装するアクションタスクを作成し、完了します。
詳細については、「アクションタスクの作成」を参照してください。
11. ダッシュボードとレポートを介して規制変更の概要を提供します。
詳細については、「規制変更管理 ダッシュボード」を参照してください。

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーション

GRC: Regulatory Change Management バージョン 13.0.1 以降、規制変更管理 アプリケーションを コンプライアンスワークスペース で利用できます。

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションのハイライト

ワークスペース は、単一ペインのビューで、パーソナライズされたエクスペリエンスと簡素化されたユーザージャーニーを提供します。

- 規制変更管理 マネージャーのデフォルトのホームページには、アクション可能なインサイトとクイックリンクが表示されます。
- コンテキストサイドパネルには、各規制アラートレコードの規制分類が表示されます。
- レコードページには、全体的なビューと、表示されている内容に固有のクイックサマリーとインサイトが表示されます。
- フォームレイアウト、フィールドラベル、メッセージ、およびブレッドクラムナビゲーションは、ServiceNow プラットフォーム全体でユーザーに一貫したエクスペリエンスを提供します。
- 360 度ビューは、企業全体のレコードのデータ関係の概要を示します。

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションビュー

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションには、次のユーザー向けのビューが含まれています。

ホームページビュー
: 組織のコンプライアンス体制の概要を示します。

規制変更管理 アプリケーションランディングページビュー
: 組織全体の規制アクティビティの概要、傾向、および追跡ステータスを提供します。

タスクビュー
: ユーザー、ユーザーグループ、報告されたアイテム、およびウォッチリストにアサインされたタスクの概要を示します。

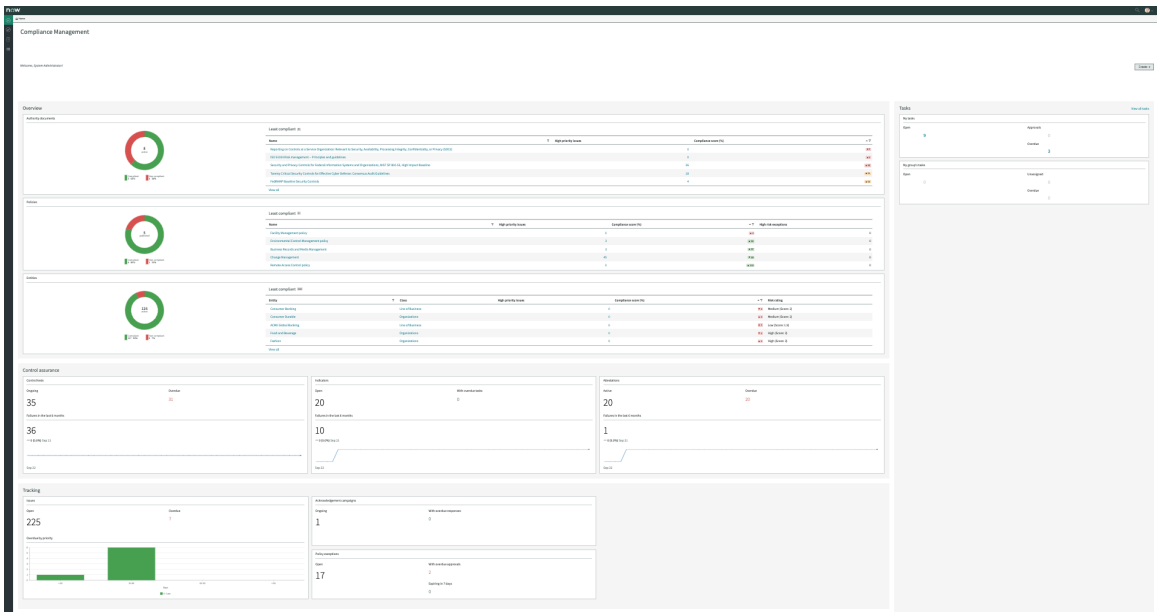
問題の概要ランディングページビュー
: 問題の概要、追跡ステータス、およびパフォーマンスの傾向を提供します。

リストビュー
: コンプライアンスワークスペース 内の GRC オブジェクトのリストを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスワークスペース のホームページビュー



注:
GRC 管理者は、クラシックユーザーインターフェイスのランディングページ構成モジュールでタスクと問題を構成します。これらのタスクと問題は、さまざまなワークスペースのランディングページでエンドユーザーに表示されます。詳細については、「ランディングページ構成モジュール」を参照してください。

規制変更管理 アプリケーションランディングページ

規制変更管理 アプリケーションランディングページビューには、組織内の規制アクティビティの概要が表示されます。sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーは、コンプライアンスワークスペース のプライマリナビゲーションで 規制変更管理 ランディングページのみを表示できます。

コンプライアンスワークスペース に 規制変更管理 ランディングページを表示するための前提条件は次のとおりです。

- ServiceNow Store から GRC: Regulatory Change Management アプリケーションをインスタンスにダウンロードします。
- sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーとして 規制変更管理 アプリケーションにログインします。

sn_grc_reg_change.manager ユーザーロールを持つ 規制変更管理 アプリケーションマネージャーは、規制アラートをアサインし、関連する規制変更タスク、インポートドキュメントタスク、およびアクションタスクを監視します。

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションは、次のロールを持つユーザー向けに設計されています。

- sn_grc_reg_change.manager ロールを持つ 規制変更管理 アプリケーションマネージャー：sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーのみが、コンプライアンスワークスペースで 規制変更管理 アプリケーションのホームページを表示できます。
- sn_grc_reg_change.user ロールを持つ 規制変更管理 アプリケーションユーザー：sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、規制変更管理 アプリケーションで自分にアサインされたタスクを表示できますが、コンプライアンスワークスペース で 規制変更管理 アプリケーションランディングページを表示することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

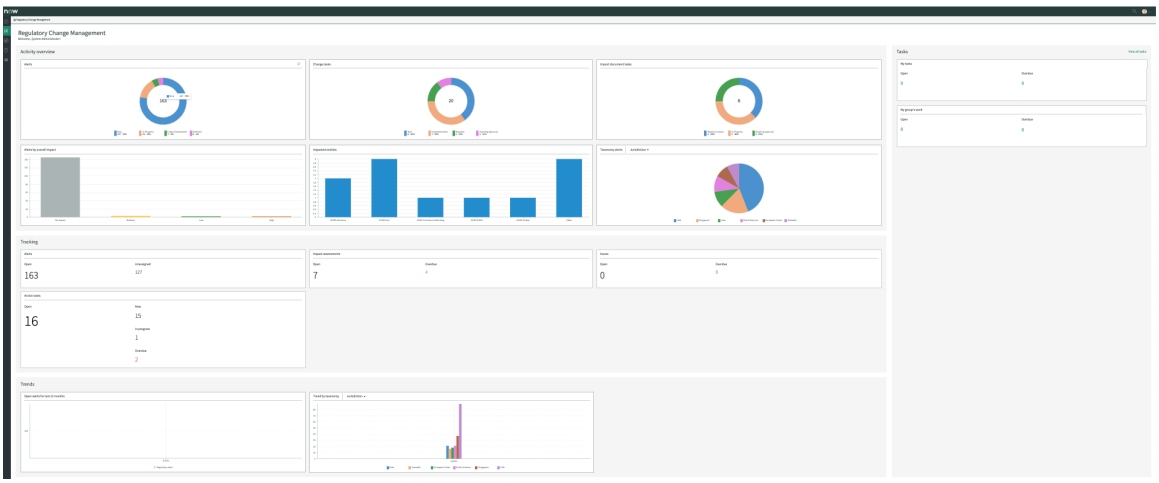
ランディングページビュー

ランディングページビューは、組織全体の規制アクティビティを表示するデータ視覚化ウィジェットで構成されています。データ視覚化ウィジェットは、アラートとタスクのステータスを区別できるように色分けされたクリック可能なウィジェットです。各ウィジェットをクリックすると、関連するすべての規制アラートまたはタスクを表示できます。各サブセクションには、各ドーナツグラフまたは棒グラフのカラースキームが表示されます。

GRC: Regulatory Change Management ランディングページには、次のセクションが表示されます。

- アクティビティの概要
- 傾向
- 追跡中
- タスク

GRC: Regulatory Change Management アプリケーションのランディングページビュー



- アクティビティの概要：このセクションには、規制アラートおよび組織全体の規制アラートに関連するタスクの概要が含まれています。

アクティビティの概要

セクション	説明
アラート	新規、進行中、保留中のアクティブな規制アラートの数と割合がドーナツグラフに表示されます。アラートに関連付けられた影響度評価タスクも表示されます。
変更タスク	新規、実装、応答、および承認待ちステータスのアクティブな変更タスクがドーナツグラフで表示されます。タスクは数とパーセンテージで表示されます。
インポートドキュメントタスク	インポート準備完了、処理中、応答、および承認待ちステータスのアクティブなインポートドキュメントタスクがドーナツグラフで表示されます。タスクは数とパーセンテージで表示されます。
全体的な影響度別のアラート	影響なし、低、中、高の影響度アラートなど、規制アラートの全体的な影響度が棒グラフで表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セクション	説明
影響を受けるエンティティ/影響を受ける事業部門	影響を受けるエンティティに基づく影響度評価レポートのグループの棒グラフ。棒グラフには、見やすくするために最大 5 つのエンティティが表示されます。
分類アラート	コンテンツタイプ、管轄、規制機関、セクター、テーマなどの分類要素ごとの分類アラート。

- 傾向：このセクションには、オープンアラートの傾向または傾向が分類要素別に表示されます。

傾向

セクション	説明
過去 12 か月間のオープンアラート	アクティブで 12 か月以上クローズされていない受信規制アラートのタイムライン。たとえば、毎月 10 件のレコードを受信した場合、それらは四半期ごとにグループ化され、四半期ごとに合計 30 件のレコードが線グラフに表示されます。X 軸に 4 つのプロットが表示され、各プロットに 30 のレコードが表示されます。
分類別の傾向	コンテンツタイプ、管轄、規制機関、セクター、テーマなどの分類要素ごとに記載された傾向。

- 追跡：このセクションには、規制アラートおよび関連付けられた規制タスクの追跡ステータスが表示されます。

追跡中

セクション	説明
アラート	オープンアラートや未アサインアラートなどの規制アラートの追跡ステータス。
影響度評価	オープンで未アサインの影響度評価などの影響度評価のステータス。
問題	オープンな問題や期限切れの問題など、問題のステータス。
アクションタスク	新規、処理中、および期限切れのステータスのアクションタスクを含む、オープンなアクティブアクションタスク。

- タスク：このセクションには、ユーザーのタスクとユーザーグループのタスクの概要が含まれています。

タスク

セクション	説明
自分のタスク	オープンなタスクや期限切れのタスクなどの、ユーザーに割り当てられたタスク。
自分のグループの作業	オープンなタスクや期限切れのタスクなどの、ユーザーグループに割り当てられたタスク。
すべてのタスクを表示	ホームページの [タスク] ビューへのリンク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制アラート

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションのリストビューには、 メニューの [規制アラート] オプションで受信したすべての規制アラートが表示されます。[アサインされていないアラート] リストには、すべての新規およびアサインされていない規制アラートが表示されます。[アサインされていないアラート] リストの [タイプ] 列に、規制アラートのタイプが表示されます。

規制アラートには次の 2 つのタイプがあります。

- 規制イベントアラート
- ソースドキュメントアラート

リストビューで規制イベントアラートまたはソースドキュメントアラートのタイトルをクリックすると、新しいページにアラートの詳細が表示されます。

規制イベントアラートページには、デフォルトで次のタブと関連リストが表示されます。

- [概要] タブ
- [詳細] タブ
- 関連ドキュメントリスト
- 影響度評価リスト

ソースドキュメントアラートページには、デフォルトで次のタブが表示されます。

- [概要] タブ
- [詳細] タブ

規制イベントアラートビュー

コンプライアンスワークスペース のリストビューで規制イベントアラートをクリックすると、新しいページにアラートの詳細が表示されます。詳細には、アラートのタイトル、アラートのプロバイダー、そのステータス、および [概要] タブと [詳細] タブのその他の重要な情報が含まれます。

規制イベントアラートページには、アラートに関連する次のタブと関連リストも表示されます。

- [概要] タブ
- [詳細] タブ
- 関連ドキュメントリスト
- 影響度評価リスト

次のセクションでは、アラートに関連するタブと関連リストについて詳しく説明します。

[概要] タブ

フィールド	説明
説明	規制イベントアラートの詳細な説明。
ステージ：規制イベントアラートのステッパーコンポーネント	次のステージを表示する規制イベントアラートのステッパーコンポーネント： • 新規：規制イベントアラートが適用可能としてマークされると、ステッパーコンポーネントでアラートのステータスが自動的に [処理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ (続く)

フィールド	説明
	中] に更新され、規制変更タスクが自動的に作成されます。 • 影響度評価：規制イベントアラートで影響度評価が開始されると、ステッパーコンポーネントのステージが自動的に [影響度評価] に更新されます。 • 処理中：規制イベントアラートのステータスが [処理中] に更新されると、ステッパーコンポーネントのハイライト表示されたステージが [処理中] として表示されます。 • クローズ済み：規制イベントアラートのステータスが [クローズ済み] の場合、ステッパーコンポーネントのハイライト表示されたステージが [クローズ済み] として表示されます。

[詳細] タブ

フィールド	説明
規制アラート	アラートのタイトル、アラートに関連付けられた引用、プロバイダーの URL、規制機関の URL、プロバイダーの名前、アラートのタイプ、アラートのコーディネーターなどのアラートの詳細。
日付	ソース公開日、コメントの日付、有効日、コンプライアンス日付、有効期限など、アラートに関連付けられた重要な日付の詳細。
追加コメントの作成 (Compose additional comments)	アクティビティに関連する追加のコメントを入力するためのテキストボックス。

関連ドキュメントリスト

フィールド	説明
関連ドキュメント	引用、引用参照、タイトル、タイプなど、アラートに関連付けられた関連ドキュメントの詳細。

影響度評価関連リスト

フィールド	説明
影響度評価	エンティティ、リスクアセスメント、査定人、固有リスク、ステータスなどのアラートの影響度評価に関する詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分類サイドパネル：分類サイドパネルには、規制イベントアラートの次の分類クラスが表示されます。

- 規制機関
- コンテンツタイプ
- 管轄
- テーマ
- セクター

注:
分類クラスは、レコードに値が関連付けられている場合にのみ表示されます。たとえば、規制アラートに [管轄] 分類クラスの値がない場合、分類カテゴリ [管轄] は分類サイドパネルに表示されません。

ソースドキュメントアラートビュー

コンプライアンスワークスペース のリストビューでソースドキュメントアラートをクリックすると、新しいページにアラートの詳細が表示されます。詳細には、アラートのタイトル、アラートのプロバイダー、そのステータス、および [概要] タブと [詳細] タブのその他の重要な情報が含まれます。

ソースドキュメントアラートページには、次のタブも表示されます。

- [概要] タブ
- [詳細] タブ

タブの詳細を参照してください。

[概要] タブ

フィールド	説明
引用	ソースドキュメントアラートに関連付けられた引用。
ステッパーコンポーネント	次のステージを表示するソースドキュメントアラートのプロセスフローステッパーコンポーネント： • 新規：ソースドキュメントタイプアラートが [新規] ステータスの場合、ステッパーコンポーネントのハイライト表示されたステージは [新規] として表示されます。 • 処理中：ソースドキュメントタイプアラートのステータスが [処理中] に更新されると、ステッパーコンポーネントのハイライト表示されたステージが [処理中] として表示されます。 • クローズ済み：ソースドキュメントタイプアラートのステータスが [クローズ済み] の場合、ステッパーコンポーネントのハイライト表示されたステージが [クローズ済み] として表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブ

フィールド	説明
規制アラート	アラートのタイトル、アラートに関連付けられた引用、プロバイダーの URL、規制機関の URL、プロバイダーの名前、アラートのタイプ、アラートのコーディネーターなどのアラートの詳細。
日付	ソース公開日、コメントの日付、有効日、コンプライアンス日付、有効期限など、アラートに関連付けられた重要な日付の詳細。
アクティビティジャーナル	アラートに関連する追加のコメントを入力するためのテキストボックス。
追加コメントの作成 (Compose additional comments)	アクティビティに関連する追加のコメントを入力するためのテキストボックス。

分類サイドパネル：分類サイドパネルには、ソースドキュメントタイプアラートの次の分類の詳細が表示されます。

- 規制機関
- コンテンツタイプ
- 管轄
- テーマ
- セクター

注:
分類クラスは、レコードに値がある場合にのみ表示されます。たとえば、規制アラートに [管轄] 分類クラスの値がない場合、分類カテゴリ [管轄] は分類サイドパネルに表示されません。

コンプライアンスワークスペース の規制タスク

コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションでさまざまな規制タスクを実行し、データビジュアル化ウィジェットを使用してタスクとアラートに関する詳細な情報を受け取ることができます。

規制変更管理 ワークフローと 規制変更管理 プロセスフローは、規制変更管理 アプリケーションユーザーが規制の変更に準拠するために実行する規制タスクに関する情報を提供します。詳細については、「規制変更管理 のワークフロー」と「さまざまなユーザーによって実行されるプロセスフローとタスク」を参照してください。

コンプライアンスワークスペース では次の GRC: Regulatory Change Management 構成タスクを実行できます。

- 規制イベントアラートをコーディネーターにアサインします。詳細については、「規制イベントアラートをコーディネーターにアサインする」を参照してください。
- 規制イベントアラートの影響度を評価し、アセスメントを完了して、アラートに関連付けられている規制変更タスクを管理します。詳細については、「規制フィードの影響度の評価」と「規制変更タスクの管理」を参照してください。
- ソースドキュメントアラートをコーディネーターにアサインします。詳細については、「ソースドキュメントアラートをコーディネーターにアサインする」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソースドキュメントアラートに関連付けられているソースドキュメントのインポートタスクを管理します。詳細については、「ソースドキュメントのインポートタスクの管理」を参照してください。
- 規制イベントアラートとソースドキュメントアラートに関連付けられているアクションタスクを管理します。詳細については、「アラートの新しいアクションタスクの作成」と「アラートに関連付けられたアクションタスクの完了」を参照してください。
- 規制タスクに関連付けられる問題を作成します。詳細については、「規制タスクに関連付けられる問題の作成または追加」を参照してください。
- 分類をマッピングします。詳細については、「分類の管理」を参照してください。

規制イベントアラートをコーディネーターにアサインする

GRC: Regulatory Change Management アプリケーションにログインし、規制イベントアラートを確認して詳細を更新し、それをコーディネーターにアサインします。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
次の手順の手順 4 以降では、sn_grc_reg_change.manager ロールまたは sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーが実行できるさまざまなアクションについて説明しています。

手順

1. sn_grc_reg_change.manager ユーザーロールを使用してログインします。
2. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
3. 移動先 リスト > アサインされた規制アラート 探します
4. [アサイン済みアラート (Assigned Alerts)] リストで、規制イベントアラートを選択します。
   選択した規制イベントアラートの詳細ビューが表示されます。
5. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
タイトル	プロバイダーから受信したアラートのタイトル。このフィールドは、タイトルを表示するように自動的に設定されます。
説明	イベントの説明とサマリー。このフィールドは、説明を表示するように自動的に設定されます。
プロバイダー URL	プロバイダーから受信したアラートの URL。このフィールドは、プロバイダーの URL を表示するように自動的に設定されます。
規制機関 URL	アラートに関連付けられている規制機関の URL。このフィールドは、規制機関の URL を表示するように自動的に設定されます。
プロバイダー	アラートプロバイダーの名前。このフィールドは、アラートプロバイダーの名前を表示するように自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	規制アラートのタイプ。このフィールドは、アラートのタイプを表示するように自動的に設定されます。
コーディネーター	アラートがアサインされているユーザー。
全体的な影響度	アラートの全体的な影響度。
日付	
ソース公開日	規制イベントが規制機関によって公開された日付。このフィールドは、ソース公開日を表示するように自動的に設定されます。
コメントの日付	規制イベントのコメントを指定できる期限。このフィールドは、コメントの日付を表示するように自動的に設定されます。
有効日	規制イベントが適用可能になる日付。このフィールドは、有効日を表示するように自動的に設定されます。
コンプライアンス日付	規制イベントが準拠する日付。このフィールドは、コンプライアンス日付を表示するように自動的に設定されます。
有効期限	規制イベントの有効期限。このフィールドは、有効期限を表示するように自動的に設定されます。
系列データ	
シリーズ名	アラートのシリーズ名。このフィールドは、プロバイダーからのシリーズ名を表示するように自動的に設定されます。
順序番号	アラートの順序番号。このフィールドは、プロバイダーからの順序番号を表示するように自動的に設定されます。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	アラートに関連する追加コメント。
作成	
[作成] セクション	アラートに関連する追加コメント。
アクティビティ	アラートに関連するアクティビティのログ。
ハイライト表示された詳細	
分類	アラートに関連付けられた分類の詳細。このフィールドは、アラートの分類の詳細を表示するように自動的に設定されます。

注: ®
ServiceNow Washington DC リリース以降、フォームの分類セクションは新規インストールでは使用できません。

6. [コーディネーター] フィールドで、sn_grc_reg_change.user ユーザーロールを持つコーディネーターに規制イベントアラートをアサインし、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
規制イベントアラートが選択したコーディネーターにアサインされます。

次のタスク
規制フィードの影響度の評価

規制イベントアラートの手動作成

規制の変更または更新の手動エントリを作成して、適切な対象分野の専門家にルーティングしてさらに分析できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager

このタスクについて
sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーは、規制アラートを手動で作成できます。規制アラートを手動で作成すると、次のメリットがあります。

- 人間の本能的なエラーを正確に認識して修正します。
- アドホックまたは送信された規制イベントアラートを該当分野のエキスパートにアサインして、さらにレビューおよび分析することで、説明責任を確保します。
- システムにマニュアルで入力されたデータが高品質で整合性が高いことを確認してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース > リスト > 未アサインの規制アラート.

   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。

2. [新規] を選択します。
   [新規規制アラートの作成 (Create New Regulatory Alert)] フォームが表示されます。
3. [詳細] タブで、フォームに入力します。

[新しい規制アラートの作成**(Create New Regulatory Alert)]** フォーム

フィールド	説明
タイトル	プロバイダーから受信したアラートのタイトル。
ソース	規制イベントレコードを作成するために識別されたデータソースタイプを表示します。入力ソースタイプのデフォルトのオプションは [手動] です。 **注:** このフィールドは、内部レポートおよびビジネス構成管理の目的で編集できるようにロックされています。
説明	イベントの説明とサマリー。
プロバイダー URL	プロバイダーから受信したアラートの URL。
規制機関 URL	アラートに関連付けられている規制機関の URL。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロバイダー	アラートプロバイダーの名前。 注: このフィールドは、内部レポートおよびビジネス構成管理の目的で編集できるようにロックされています。
タイプ	規制アラートのタイプ。
コーディネーター	アラートがアサインされているユーザー。
全体的な影響度	アラートの全体的な影響度。
日付	
ソース公開日	規制イベントが規制機関によって公開された日付。
コメントの日付	規制イベントのコメントを指定できる期限。
有効日	規制イベントが適用可能になる日付。
コンプライアンス日付	規制イベントが準拠する日付。
有効期限	規制イベントの有効期限。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	アラートに関連する追加コメント。

注:
リリース以降 Washington DC 、フォームの分類セクションは新規インストールでは使用できません。

4. コーディネーター フィールドで、規制イベント アラートを sn_grc_reg_change.user ロールを持つコーディネーターに割り当て、保存 を選択します。

タスクの結果
規制イベントアラートが選択したコーディネーターにアサインされます。

次のタスク
規制イベントアラートの一括インポート および規制フィードの影響度の評価

規制イベントアラートの一括インポート

ワークスペースに独自の規制イベントアラートを設定します。その後、 規制変更管理 複数のアラートをアプリケーションにインポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_grc_reg_change.admin、sn_grc_reg_change.it_admin、sn_grc_reg_change.manager

このタスクについて
データをインポートする前に、次のチェックリストを確認する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アラートをインポートするためのアクセス権と権限があることを確認してください。適切なアクセス許可がない場合、[データのインポート] リンクは UI で非表示になります。
- サポートされているファイル形式は .xls と .xlsx です。すべての添付ファイルはデータから分離する必要があります。.xlsファイルと.xlsxファイルに、組み合わせフィルターや埋め込み画像などの特別なコントロールが含まれている場合、予期しないエラーが発生することがあります。
- インポートするファイルのデータは、 <script> </script> タグで囲まないでください。
- 各必須 (必須) フィールドには値が含まれている必要があります。インポートファイルの必須フィールドを空白のままにしないようにしてください。たとえば、情報をインポートする場合は、各レコードに名前を含める必要があります。必須フィールドをマッピングせずに次のステップに進むことはできません。
- ドロップダウンリストに表示されるすべてのデータ値は、対応するフィールドに存在する必要があります。
- ソース ファイル内のデータ (レコード) の最初の行に、実際のデータ値ではなく、列見出しまたはフィールド名が含まれていることを確認します。これらの列見出しまたはフィールド名は、アプリケーションの既存のフィールドに新しいデータをマッピングするときに、データを識別するのに役立ちます。

規制アラートを一括でインポートすると、次のメリットがあります。

- 時間と労力の節約。
- データを手動で入力する必要がなくなるため、エラーが削減されます。
- サイズに関係なくデータをすぐに利用できるようにすることで、スケーラビリティとデータの可視性が向上します。
- インサイトを得るための強化されたデータ分析とレポート。

手順

1. sn_grc_reg_change.manager ロールでログインし、 すべて > **Regulatory** 変更管理 > 規制アラート リストビュー。
2. [テンプレートをダウンロード] を選択します。
   既に書式設定、整理され、データ値が入力されている構築済みのスプレッドシートまたはワークブックをダウンロードします。ファイルのデータ入力シートには、[タイトル]や[タイプ]などの入力する必須列が表示されます。テンプレートの [フィールドの説明] シートには、これらの各フィールド属性に関する詳細情報が表示されます。

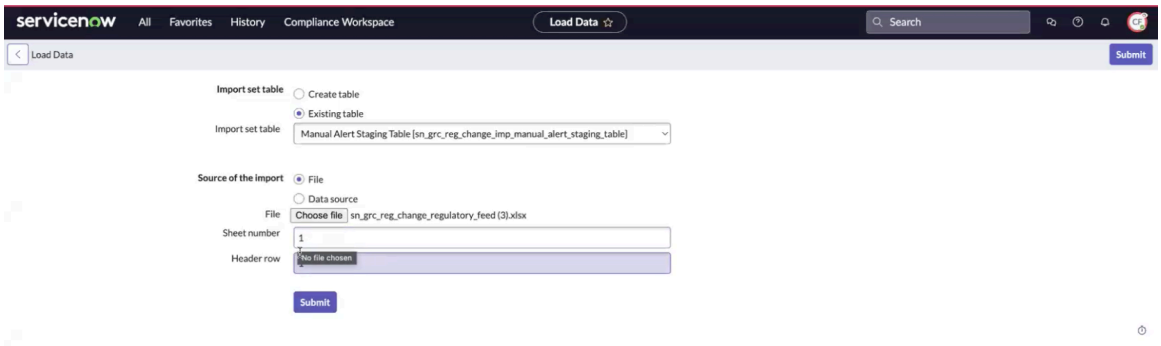
   注:
   規制アラートをインポートする前に、必須情報を入力してダウンロードしたファイルを準備する必要があります。

3. ダウンロードしたテンプレートを開き、[タイトル] 列と [タイプ] 列にタイトルと タイプ を入力します。
   すべてのデータを入力すると、ファイルをアプリケーションにインポートする準備が整います。データをインポートする外部データファイルを準備したら、インポートプロセスを開始できます。
4. [規制アラート] リストビューに移動し、[アラートを インポート] を選択してデータのインポートを処理します。

   例に示すように、アラートをインポートする方法をガイドする [データのロード] フォームが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [インポートセットテーブル] フィールドで、[既存のテーブル] を選択します。
   データファイルを選択し、インポートオプションを設定し、インポートデータをアプリケーションフィールドにマップできます。データの処理と検証には、既存のテーブル (手動アラートステージングテーブル) を使用する必要があります。
6. [インポートのソース] フィールドで、[ファイル] を選択します。
   データをインポートするための保存済みテンプレートを選択できます。
7. [送信] を選択します。

   データインポート要求が処理されます。次の例に示すように、インポートステータスを表示できます。



タスクの結果
インポートされた規制イベントアラートは、コーディネーターにアサインされます。

次のタスク
規制フィードの影響度の評価

規制フィードの影響度の評価

規制イベントアラートのアセスメントを作成して、規制イベントアラートの影響を評価します。アラートの影響を受けるビジネスエンティティのオーナーに影響度評価をアサインします。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、規制イベントアラートを確認し、アラートの影響度評価を開始できます。

手順

1. sn_grc_reg_change.user ロールを使用してログインします。
2. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 移動先 リスト > アサインされた規制アラート 探します
4. アラートのコーディネーターとしてアサインされている規制イベントタイプのアラートを選択します。
5. [影響度評価を開始] をクリックします。
6. 影響度評価の [エンティティ] リストから任意のエンティティを選択し、[アセスメントを作成] をクリックします。

   注:
   フォームはまだワークスペースに移行されていないため、クラシックユーザーインターフェイスで規制イベントアラートの影響度評価を実行します。詳細については、「規制変更の影響度の評価」を参照してください。

   エンティティが設定されていない場合は、新しいエンティティを設定できます。詳細については、「エンティティクラスの構成」を参照してください。

タスクの結果
[影響度評価] 関連リストに、新しい影響度評価が一覧表示され、エンティティオーナーに自動的にアサインされます。エンティティオーナーがそれをレビューし、アセスメントに関するフィードバックを送信します。アセスメントが完了すると、計算された固有リスクが [アセスメントのサマリー] タブに表示されます。エンティティオーナーが影響度評価で [完了としてマーク] をクリックすると、アセスメントの詳細が保存され、完了としてマークされます。

次のタスク
アラートを適用可能としてマークし、規制変更タスクを管理する方法については、「規制変更タスクの管理」を参照してください。

規制変更タスクの管理

規制イベントアラートに関連付けられている規制変更タスクを管理します。ビジネスエンティティオーナーが規制イベントアラートの影響度評価を完了すると、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーが、アセスメントサマリーをレビューし、アラートを適用可能としてマークします。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
規制イベントアラートのコーディネーターは、規制変更に準拠するための手順を特定し、規制変更タスクを管理します。

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory Change Management** アプリケーション > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
2. 移動先 リスト > 規制アラート 探します
3. ビジネスエンティティオーナーがアセスメントを完了した規制イベントアラートを選択します。
4. 影響度評価を確認し、次のいずれかのオプションを使用してアラートをマークします。

5. 該当するアラートの [規制タスク] 関連リストをクリックし、そのアラートに対して作成された規制変更タスクをクリックします。
6. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更タスクフォーム

フィールド	説明
規制変更タスク	
規制アラート	ソースドキュメントのインポートタスクに関連付けられた規制アラートのタイトル。このフィールドは、アラートのタイトルを表示するように自動的に設定されます。
説明	ソースドキュメントのインポートタスクに関連する説明。
アサイン	
アサイン先グループ	レコードのアサイン先グループ。グループは [グループ階層] テーブルから選択されます。
承認者タイプ	タスクの承認者タイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ユーザー ○ グループ
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
[承認者] または [承認者グループ]	承認者タイプがグループの場合、[承認者グループ] フィールドが表示されます。 承認者タイプがユーザーの場合、[承認者] フィールドが表示されます。
スケジュール	
期日	ソースドキュメントのインポートタスクの期日。
承認日	ソースドキュメントのインポートタスクが承認された日付。このフィールドは、承認の日付を表示するように自動的に設定されます。
アクティビティジャーナル	
ウォッチリスト	このタスクのウォッチリストに含まれているユーザー。
作業メモリスト	このタスクの作業メモに含まれているユーザー。
作業メモ (プライベート)	タスクに関連する作業メモ。
作成	
作業メモ	ユーザーが入力した作業メモ。これらの作業メモは参照用に投稿できます。
アクティビティ	
アクティビティ	タスクのアクティビティとステータス。
添付ファイル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
添付ファイル	タスクに関連する添付ファイル。

7. [承認者]、[アサイン先]、[期日] などの必須フィールドが更新されていることを確認します。
8. [応答] をクリックします。
   [応答] アクションは、バックグラウンドで影響半径の計算をトリガーします。影響半径の計算の詳細については、「影響半径の計算と承認」を参照してください。規制変更タスクが [応答済み] ステータスに更新されます。
9. 必要に応じてアクションタスクを追加します。
   アクションタスクの作成については、「アラートの新しいアクションタスクの作成」を参照してください。
10. 必要に応じて問題を追加します。
    詳細については、「規制タスクに関連付けられる問題の作成または追加」を参照してください。
11. 必要なアクションタスクと問題を作成したら、[承認を要求] をクリックします。
    承認のステータスに応じて、アクションタスクが有効になります。アクションタスクがクローズされると、関連付けられているソースドキュメントのインポートタスクが自動的にクローズされます。

タスクの結果
規制変更タスクが [応答済み] ステータスに更新され、規制イベントアラートの [アクションタスク] 関連リストが表示されていることを確認します。

次のタスク
アラートの新しいアクションタスクの作成

ソースドキュメントアラートをコーディネーターにアサインする

GRC: Regulatory Change Management アプリケーションにログインし、ソースドキュメントアラートを確認して、それをコーディネーターにアサインします。コーディネーターは、アラートの適用性を評価し、関連する規制タスクを完了します。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
マネージャーは、ソースドキュメントアラートを表示し、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーにアサインすることができます。その後、ユーザーはソースドキュメントアラートに対してアクションを実行できます。

手順
1. sn_grc_reg_change.manager ユーザーロールを使用してログインします。
2. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
3. 移動先 リスト > アサインされた規制アラート 探します
4. リストでソースドキュメントタイプアラートを選択します。
5. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソースドキュメントアラートフォームの [詳細] タブ

フィールド	説明
タイトル	プロバイダーから受信したソースドキュメントタイプのアラートのタイトル。このフィールドは、タイトルを表示するように自動的に設定されます。
引用	プロバイダーから受信したソースドキュメントの引用番号。このフィールドは、引用を表示するように自動的に設定されます。
プロバイダー URL	アラートプロバイダーの URL。このフィールドは、プロバイダーの URL を表示するように自動的に設定されます。
規制機関 URL	アラートに関連付けられている規制機関の URL。このフィールドは、規制機関の URL を表示するように自動的に設定されます。
プロバイダー	アラートプロバイダーの名前。このフィールドは、プロバイダーの名前を表示するように自動的に設定されます。
タイプ	規制アラートのタイプ。ソースドキュメントアラートなどです。このフィールドは、アラートのタイプを表示するように自動的に設定されます。
コーディネーター	アラートがアサインされているユーザー。
日付	
ソース公開日	アラートが規制機関によって公開された日付。自動入力フィールド。このフィールドは、ソース公開日を表示するように自動的に設定されます。
コメントの日付	アラートのコメントを指定できる期限。自動入力フィールド。このフィールドは、コメントの日付を表示するように自動的に設定されます。
有効日	アラートが適用可能になる日付。このフィールドは、有効日を表示するように自動的に設定されます。
コンプライアンス日付	アラートが準拠する日付。このフィールドは、コンプライアンス日付を表示するように自動的に設定されます。
有効期限	アラートの有効期限。このフィールドは、有効期限を表示するように自動的に設定されます。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	アラートに関連する追加コメント。
作成	
追加コメント	[作成] セクションで追加されたアラートに関連する追加コメント。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティビティのログ	アラートに関連するアクティビティのログ。システムによって生成された変更と追加のコメントを表示します。
ハイライト表示された詳細	
分類	アラートに関連付けられた分類の詳細。このフィールドは、アラートの分類の詳細を表示するように自動的に設定されます。

6. [コーディネーター] フィールドで、 sn_grc_reg_change.user ユーザーロールを持つユーザーにアサインします。
7. sn_grc_reg_change.manager ロールでログインし、選択したソースドキュメントアラートを開き、次のいずれかのオプションを使用してアラートをマークします。

タスクの結果
ソースドキュメントアラートを [適用可能] としてマークすると、[インポートドキュメントタスク] 関連リストに新しいソースドキュメントのインポートタスクが作成されます。

次のタスク
ソースドキュメントのインポートタスクの管理

ソースドキュメントのインポートタスクの管理

ソースドキュメントアラートに関連付けられているソースドキュメントのインポートタスクを管理します。ソースドキュメントアラートが適用可能としてマークされると、ソースドキュメントのインポートタスクが自動的に作成されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
ソースドキュメントのインポートタスクは、プロバイダーから受信した特定のソースドキュメントを規制ライブラリに取り込むために使用されます。

手順
1. 移動先 すべて > **Regulatory Change Management** アプリケーション > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
2. 移動先 リスト > 規制アラート 探します
3. 以前に評価したソースドキュメントアラートを選択し、[インポートドキュメントタスク] をクリックします。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

ソースドキュメントのインポートタスクフォーム

フィールド	説明
インポートドキュメントタスク	
規制アラート	インポートドキュメントタスクに関連付けられた規制アラートのタイトル。このフィールド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、アラートタイトルを表示するように自動的に設定されます。
説明	インポートドキュメントタスクに関連する説明。
アサイン	
アサイン先グループ	レコードのアサイン先グループ。グループは [グループ階層] テーブルから選択されます。
承認者タイプ	タスクの承認者タイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ユーザー ○ グループ
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。
[承認者] または [承認者グループ]	承認者タイプがグループの場合、[承認者グループ] フィールドが表示されます。 承認者タイプがユーザーの場合、[承認者] フィールドが表示されます。
スケジュール	
期日	ソースドキュメントのインポートタスクの期日。
承認日	ソースドキュメントのインポートタスクが承認された日付。このフィールドは、承認の日付を表示するように自動的に設定されます。
アクティビティジャーナル	
ウォッチリスト	このタスクのウォッチリストに含まれているユーザー。
作業メモリスト	このタスクの作業メモに含まれているユーザー。
作業メモ (プライベート)	タスクに関連する作業メモ。
作成	
作業メモ	ユーザーが入力した作業メモ。これらの作業メモは参照用に投稿できます。
アクティビティ	
アクティビティ	タスクのアクティビティとステータスを表示します。自動入力フィールド。
添付ファイル	
添付ファイル	タスクに関連する添付ファイル。

5. [アサイン先]、[承認者]、[期日] のフィールドが更新されていることを確認します。
6. 変更を保存するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 選択したソースドキュメントのインポートタスクを更新するには、[対応中] をクリックします。
8. [アクションタスク] 関連リストに移動し、必要に応じてアクションタスクを追加します。
   新規アクションタスクの作成については、「アラートの新しいアクションタスクの作成」を参照してください。
9. [問題] 関連リストに移動し、必要に応じて問題を追加します。
   問題の追加については、「規制タスクに関連付けられる問題の作成または追加」を参照してください。
10. [インポートタスク] セクションで、新しい引用を挿入するか、表の説明に従って既存の引用を更新します。
11. [承認を要求] をクリックします。

タスクの結果

ソースドキュメントのインポートタスクのステータスが [承認待ち] に更新されます。承認のステータスに応じて、アクションタスクが有効になります。

次のタスク

新しいアクションタスクの作成と、アラートに関連付けられたアクションタスクの完了については、「アラートの新しいアクションタスクの作成」および「アラートに関連付けられたアクションタスクの完了」を参照してください。

アラートの新しいアクションタスクの作成

アラートの新しいアクションタスクを作成して、アクションタスクをコンプライアンスユーザーとリスクユーザーにアサインし、アクションタスクの期日をマークできるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.user

このタスクについて

sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、コンプライアンスやリスクなどのアラートのアクション領域に応じて、選択したアクションタスクを sn_compliance.manager および sn_risk.manager ロールを持つユーザーにアサインします。コンプライアンスユーザーとリスクユーザーがアラートに関連付けられたアクションタスクを完了すると、アラートと親の規制変更タスクが自動的にクローズされます。

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
2. リストビューで、次の場所に移動します。 リスト > 規制アラート > アサイン済みアラート 探します
3. アラートのタイプに応じて、次のいずれかのタスクを完了します。
4. [アクションタスク] 関連リストに移動し、[新規] をクリックします。

   注:
   規制タスクが [応答] ステータスの場合にのみ、新しいアクションタスクを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションタスクフォーム

フィールド	説明
規制タスク	規制タスクの一意の識別番号。このフィールドは、規制タスクの識別番号を表示するように自動的に設定されます。
期日	アクションタスクの期日。このフィールドは、期日を表示するように自動的に設定されます。
カテゴリ：コンプライアンス	
コンプライアンスアクションターゲット	アクションタスクのカテゴリタイプ。選択したカテゴリが [コンプライアンス] の場合は、利用可能なオプションから [コンプライアンスアクションターゲット] を選択します。各種法令・基準等、リストメニューからの引用、関連ドキュメントなど、コンプライアンスに関連して選択される特定の GRC オブジェクト。
カテゴリ：リスク	
リスクアクションターゲット	選択したカテゴリが [リスク] の場合は、利用可能なオプションから [リスクアクションターゲット] を選択します。リスクステートメントなどのリスクに関連して選択される特定の GRC オブジェクト。
アサイン	
アサイン先グループ	アクションタスクにアサインされたグループ。このフィールドは、アサイン先グループを表示するように自動的に設定されます。
アサイン先	タスクにアサインされたユーザー。このフィールドは、タスクのアサイン先を表示するように自動的に設定されます。
優先度	計画中、低、中、高、重大などのアクションタスクの優先度。このフィールドは、タスクの優先度を表示するように自動的に設定されます。
簡単な説明	アクションタスクの簡単な説明。
説明	アクションタスクに関連する説明。
アクティビティジャーナル	
ウォッチリスト	更新に関する通知を受け取るユーザーのリスト。
作業メモ	作業メモのログ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取るユーザーのリスト。
添付ファイル	
添付ファイル	タスクに関連する添付ファイル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アクションタスクフォームで、[カテゴリ]、[コンプライアンスアクションターゲット]、[簡単な説明]、[説明] などの必須フィールドが更新されていることを確認します。
   アクションタスクは、sn_compliance.manager または sn_risk.manager のユーザーに対してマークされます。
6. 変更を保存するには、[保存] をクリックします。

タスクの結果
アクションタスクは、sn_compliance.manager または sn_risk.manager ロールを持つユーザーに対してマークされます。

次のタスク
アラートに関連付けられたアクションタスクの完了

アラートに関連付けられたアクションタスクの完了

規制イベントアラートとソースドキュメントアラートに関連付けられているアクションタスクを完了します。コンプライアンスユーザーとリスクユーザーは、自分にアサインされたアクションタスクを完了します。コンプライアンスマネージャーとリスクマネージャーは、アクションタスクの進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：
sn_compliance.manager、sn_risk.manager、sn_compliance.user、sn_risk.user、sn_grc_reg_change.manage

このタスクについて
アクションタスクは、規制変更タスクおよびソースドキュメントのインポートタスクの一部として識別された変更を完了するためのフォローアップとして作成されます。
次の手順で説明するアクション
は、sn_compliance.manager、sn_risk.manager、sn_compliance.user、sn_risk.user、および sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーによって実行されます。

手順

1. sn_compliance.manager または sn_risk.manager ユーザーロールでログインします。
2. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   規制変更管理 アプリケーションに コンプライアンスワークスペースが表示されます。
3. リストビューで、次の場所に移動します。 リスト > 規制アラート > アサイン済みアラート 探します
4. マークされたアクションタスクに移動します。
5. テーブルの説明に従って、アクションタスクをアサインします。
6. テーブルの説明に従って、アクションタスクを完了します。
7. テーブルの説明に従って、アクションタスクのステータスを確認します。

タスクの結果
sn_compliance.user ロールまたは sn_risk.user ロールを持つユーザーがアクションタスクを完了すると、規制イベントアラートと親の規制変更タスクが自動的にクローズされます。同様に、関連するアクションタスクが完了すると、ソースドキュメントアラートと親ソースドキュメントのインポートタスクがクローズされます。これは、規制タスクワークフローの最後のステップです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制タスクに関連付けられる問題の作成または追加

規制タスクに関連する問題を作成または追加して、観察事象、引用の変更、不一致を文書化したり、問題を通知したりします。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory Change Management** アプリケーション > **Compliance** ワークスペース > 規制アラート.
   コンプライアンスワークスペース の 規制変更管理 アプリケーションが表示されます。
2. 規制変更タスクフォームで、[問題] タブに移動します。

   既存の問題を規制タスクに追加するか、規制タスクに関連付ける問題を作成できます。

3. [保存] をクリックします。

[新規問題を作成] フォーム

コンプライアンスワークスペース の [新規問題の作成] フォームを使用して、問題を作成するか、既存の問題を規制タスクに追加します。

新規問題を作成フォーム
フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

新規問題を作成フォーム

フィールド	説明
問題	
数値	問題の番号。このフィールドは自動入力されます。
名前	問題の名前。
問題ソース	問題のソース (ビジネスサービスやシナリオ分析など)。このフィールドは自動入力されます。
問題タイプ	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 • コントロール設計有効性の問題 • コントロール運用有効性の問題 • コントロールは要件を満たしていません • コントロールが存在しません • 規制への非準拠 • ポリシーへの非準拠 • 既存のポリシーに対する改善または提案 • 新しいポリシーの推奨事項 • プロセスの最適化または改善 • 観測事象

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• データ漏洩 • 詐欺 • 虚偽 • トレーニング • ドキュメント
分類	問題の分類。このフィールドには、次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 • 監査 • Compliance • Operational Resilience • リスク • ベンダー
場所	問題の場所。
ステータス	問題のステータス。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 新規 • 分析 • 応答 • 評価 • 完了してクローズ • 未完了でクローズ
サブステート	問題のサブステート。このフィールドは自動入力されます。
優先度	問題の優先度。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 重大 • 高 • 中 • 低 • 計画
問題評価	問題の評価。使用可能なオプションは次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 低 • 超低
説明	シナリオ分析計画の承認者。
アサイン	
アサイン先グループ	問題のアサイン先グループ。例：アプリケーション開発グループ
アサイン先	問題がアサインされるユーザー。
問題マネージャーグループ	問題がアサインされるマネージャーグループ。使用可能なオプションは次のとおりです。 • コンプライアンスマネージャー • IT リスクマネージャー • リスクマネージャー
問題マネージャー	問題がアサインされるマネージャー。
ウォッチリスト	問題のウォッチリストに含まれているユーザー。
スケジュール	
期日	問題の期日。
確認日	問題の確認日。このフィールドは自動入力されます。
開始予定日	問題の開始予定日。
終了予定日	問題の終了予定日。
期間	日、時、分、秒単位での問題の期間。
作成済み	問題が作成された日付。このフィールドは自動入力されます。
クローズ済み	問題がクローズされた日付。
実開始日	問題の実際の開始日。
実終了日	問題の実際の終了日。
実際の期間	日、時、分、秒単位での問題の実際の期間。
問題のグループ化	
ペアレントレコード	問題に関連付けられている親問題。
問題グループルール	問題のグループルール。このフィールドは自動入力されます。
アクションプラン	
推奨事項	問題の推奨事項。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規問題を作成フォーム (続く)

フィールド	説明
アクションプラン	問題のアクションプラン。
アクティビティ	
作業メモ	問題の作業メモ。
追加コメント	問題の追加コメント。
設定	
機能ドメイン	問題の機能ドメイン。

分類の管理

コンプライアンスワークスペース で 規制変更管理 アプリケーションを設定するときに分類を管理します。内部分類を作成して、その内部分類を外部分類にマッピングし、規制変更管理 アプリケーションが 1 つの分類のみを参照するようにします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory Change Management** アプリケーション > **Compliance** ワークスペース.
   新しい [Compliance Management] タブが表示されます。
2. リストビューで、次の場所に移動します。 リスト > 分類 ページ
3. 次のいずれかのモジュールに移動します。
   - 規制機関
   - コンテンツタイプ
   - 管轄
   - テーマ
   - セクター

   選択した分類カテゴリの名前と親本文が表示されます。
4. [名前] リストで、分類要素をクリックします。
   選択した分類要素の詳細が、[詳細] タブおよび [内部分類] 関連リストとともに別のページに表示されます。
5. 選択した分類クラスの新しい内部分類を作成するには、[新規] をクリックします。

新規内部分類の作成フォーム

フィールド	説明
名前	内部分類の名前。
分類クラス	選択したカテゴリに対してデフォルトで入力される分類クラス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親	新しい内部分類が作成される親レコード。

6. 分類を保存するには、[保存] をクリックします。

規制変更管理 クラシック ユーザーインターフェイス

ServiceNow® 規制変更管理 アプリケーションを使用することで、今後の規制変更を確認し、その影響を評価し、リスクおよびコンプライアンス関連の変更を実装することができます。アプリケーションは、全体的な規制コンプライアンスを保証します。

規制アラートの設定、影響度評価の実行、規制変更タスクの作成、アクションプランの作成、アクションタスクの管理、規制変更タスクのクローズなど、規制変更管理 アプリケーションユーザーインターフェイスの機能を使用して、組織全体の規制変更を管理します。

規制アラート

規制アラートは、複数の規制インテリジェンスプロバイダーから提供されるさまざまな規制イベントとドキュメントを集約したものです。Web フィードと同様に、規制アラートはこれらの規制変更の記録です。このような変更は頻繁に更新され、アラートは規制の状況に関する情報を常に得るために役立ちます。

規制変更管理 アプリケーションは、アラートを変換してマッピングします。このアプリケーションは、規制アラートテーブルの情報を提供します。

規制変更管理 ライフサイクルは、規制アラートレコードから始まります。各規制アラートレコードには、ステークホルダーが変更を変換し、アクションプランを作成し、規制の変更に準拠するためのアクションを実装するのに役立つメタデータが含まれています。

規制変更管理 アプリケーションでは、規制アラートを使用して規制の更新についてユーザーに通知できます。

アラートのタイプと関連付けられる規制タスク

規制変更管理 アプリケーションの [規制アラート] モジュールに、さまざまなタイプのアラートが表示されます。

次のタイプの規制アラートを使用できます。

- 規制イベントアラート：アラートを示し、ニュースに更新を提供し、規制の変更に関するインサイトを提供します。アラートは、デフォルトでは規制イベントアラートです。
- ソースドキュメントアラート：引用の変更を示します。引用は、各種法令・基準等のさまざまなセクションのようなものです。ServiceNow® GRC は、Network Frontiers Unified Compliance Framework (UCF) 統合を提供します。この統合により、インポート後に各種法令・基準等が作成され、それぞれの各種法令・基準等の下に対応する引用が作成されます。

規制イベントアラートとソースドキュメントアラートの主な違いは、スコープに関するものです。規制イベントアラートは、一般的な変更および今後の規制変更に関する一般的なアラートを示します。これに対し、ソースドキュメントアラートは、引用に固有の変更を示します。既存の引用が更新されるか、新しい引用が挿入されたときに、ソースドキュメントの変更を示します。

さまざまなタイプのアラートには、個別の規制タスクのセットが含まれます。これらのタスクは、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーがアラートを受け取り、それを適用可能としてマークするたびに作成されます。これらのタスクは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 規制変更タスク：このタスクは、規制イベントアラート用に作成されます。このタスクは、変更を評価し、ライブラリ内のポリシー、コントロール、リスクステートメントなどの GRC オブジェクトを更新するために使用されます。
- ソースドキュメントのインポートタスク：このタスクはソースドキュメントアラート用に作成されます。このタスクは、既存の引用を更新するか、プロバイダーから受信した新しい引用を規制ライブラリに挿入するために使用されます。

アラートとユーザーロール

アラートにはさまざまなステータスがあります。アラートの主なプロパティは、アサイン済みであるか、未アサインであるかです。アサイン済みのアラートの場合、[コーディネーター] フィールドに値が入力されます。アラートは、sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーまたは sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーにアサインできます。これに対し、未アサインのアラートは誰にもアサインされません。

未アサインのアラートに対してさまざまなアクションを実行できます。これらのアクションは次のとおりです。

- 更新
- 適用可能
- 保留
- 影響度評価を開始
- 適用外
- 規制アラートをキャンセル
- 削除

未アサインの規制イベントアラートが適用可能としてマークされると、規制変更タスクが作成されます。未アサインのソースドキュメントアラートが適用可能としてマークされると、ソースドキュメントのインポートタスクが作成されます。

未アサインのアラートが、期限のコメントとともに適用外としてマークされると、規制アラートフォームでそのステータスは [クローズ済み] に更新されます。

アサイン済みのアラートにはさまざまなステータスがあります。これらのステータスは次のとおりです。

- 新規
- 保留
- 影響度評価
- 処理中
- クローズ済み

ユーザーロールに関しては、sn_grc_reg_change.admin ロールまたは sn_grc_reg_change.manager ロールを持つユーザーがすべてのアラートにアクセスできます。sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、自分にアサインされているアサイン済みアラートを表示できますが、未アサインのアラートや他のユーザーにアサインされているアラートは表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制アラートのテーブルクリーナー

適用外とマークされたアラートレコードは、定期的にクリーニングする必要があります。規制変更管理 アプリケーションは、アラートレコードを自動的にクリーニングするためのテーブルクリーナーを提供します。ユーザーがクリーニングアクティビティの時間と頻度を指定します。

同様に、処理されたレジストリファイルレコードは指定された間隔でクリーニングできます。

アラートのタイプ、ユーザーロール、および規制アラートのステータス

アラートのタイプに基づいて、さまざまなユーザーがアラートレコードに対してさまざまなアクションを実行します。

[規制アラート] モジュールで、次のタイプのアラートを表示できます。

- すべてのアサインされているアラート：[コーディネーター] フィールドで適切なユーザーにアサインされているインスタンス内のすべてのアサイン済みアラートを表示します。
- アサインされていないアラート：[コーディネーター] フィールドが空白になっているインスタンス内の未アサインのアラートを表示します。全体的な影響度を [影響なし]、[低]、[中]、[高]、または [重大] としてマークします。
- 新規アラート：[コーディネーター] フィールドが空白になっているインスタンス内の新しいアラートを表示します。
- 保留アラート：[コーディネーター] フィールドで適切なユーザーにアサインされ、ステータスが [保留] で、保留後のアクションを実行するためのリマインダー日が表示されている、保留アラートを表示します。
- 影響度評価アラート：影響度評価ステータスの規制イベントのアラートを表示します。
- 処理中のアラート：処理中ステータスのアラートを表示します。
- クローズ済みアラート：クローズ済みステータスのアラートを表示します。

次の表に、ユーザーロール、これらのユーザーが実行できるアクション、およびこれらのアクションの説明を示します。

ユーザーロール、アクション、および説明

ユーザーロール	アクション	説明
• sn_grc_reg_change.manager • sn_grc_reg_change.user • sn_grc_reg_change.admin	更新	アラートの詳細を更新します。
	再アサイン	アラートの詳細を再アサインします。
	保留	規制アラートを将来の日付まで保留します。
	適用可能	アラートを適用可能としてマークします。
	影響度評価を開始	アラートの影響度評価を開始します。
	適用外	アラートを適用外としてマークします。
	キャンセル	アラートをキャンセルします。

マネージャーはすべてのアラートを表示できます。sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、自分にアサインされているアサイン済みアラートを表示できますが、未アサインのアラートや他のユーザーにアサインされているアラートは表示できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制アラートのステータスについては、次の表を参照してください。

アラートのステータスとその説明

ステータス	説明
新規	受信した各規制アラートは、デフォルトで新しいステータスに割り当てられます。sn_grc_reg_change.admin または sn_grc_reg_change.manager のみがアラートレコードをアサインできます。
保留	一部のアラートは即時アクションを必要としないため、 [保留] ステータスになり、後日にアサインされます。
影響度評価	規制イベントタイプのアラートレコードの適用性が評価され、影響度評価の対象としてマークされます。影響度評価後、アラートは適用可能または適用外としてマークされます。
処理中	[処理中] ステータスのアラートが処理されています。sn_grc_reg_change.user が各アラートにアサインされます。
クローズ済み	組織に関係のないアラートは [クローズ済み] ステータスになります。完了した関連タスクを含むアラートも [クローズ済み] ステータスになります。
キャンセル	[キャンセル] ステータスのアラート。

注:
アラートレコードの属性は、サードパーティの規制インテリジェンスプロバイダーによって提供されるメタデータの一部です。これらの属性は、組織へのアラートの適用性を判断するのに役立ちます。これらのレコードは 規制変更管理 アプリケーションでは編集できません。

規制アラートに対するアクションの実行

未アサインおよびその他のタイプの規制アラートに対してさまざまなアクションを実行します。たとえば、未アサインのアラートのアサイン、アラートの影響度評価の開始、アラートの適用可能としてのマークなどのアクションを実行できます。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.manager または sn_grc_reg_change.user

このタスクについて

規制アラートは、規制イベントアラートまたはソースドキュメントアラートのどちらかです。一部のアクションはどちらのタイプのアラートでも実行できますが、規制イベントアラートでのみ実行できるアクションもあります。ユーザーとマネージャーは多くの同じアクションを実行できますが、マネージャーのみが実行できるアクションもあります。

マネージャーは、フィールドを適切なユーザーにアサインすることができます。その後で適切なユーザーが、アラートの適用性を評価し、影響度評価を開始して、アサインされた規制タスクを完了することができます。

次の手順の手順 3 以降では、マネージャーまたはユーザーとして実行できるさまざまなアクションについて説明しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 規制アラート.
2. 未アサインのアラートをアサインするには、 [アサインされていないアラート] モジュールでアラートをクリックします。
   sn_grc_reg_change.manager ロールを使用すると、[コーディネーター] フィールドを、sn_grc_reg_change.user ロールを持つ適切なユーザーに設定できます。
   このアクションにより、アラートが [すべてのアサインされているアラート] モジュールに移動します。
3. アラートレコードへの変更を保存して更新するには、[更新] をクリックします。
4. アラートを後の日付まで保留するには、次の操作を行います。
   a. [保留] をクリックします。
   b. 将来のリマインダー日を選択し、保留の理由を追加します。
   c. [送信] をクリックします。
   アプリケーションでアラートが [保留] ステータスに移行します。アサインされたユーザーは、選択した保留日に、アラートに対する作業のリマインダーとしてメールを受信します。ユーザーはアラートをキャンセルすることもできます。
5. アラート影響度評価を開始するには、[影響度評価を開始] をクリックします。
   このアクションは、規制イベントアラートのマネージャーとユーザーのみが使用できます。このアクションは、ソースドキュメントアラートでは使用できません。
6. アラートの影響度が組織に適用されない場合は、[適用外] をクリックします。
   フィールドを適用外としてマークする理由を指定します。
   アラートが [クローズ済み] ステータスに移行します。
7. アラートをキャンセルするには、[規制アラートをキャンセル] をクリックします。
   このアクションは、規制イベントアラートのマネージャーとユーザー、およびソースドキュメントアラートのマネージャーが使用できますが、ソースドキュメントアラートのユーザーは使用できません。
   このアクションにより、アラートが [キャンセル] ステータスに移行します。アラートは [クローズ済みアラート] モジュールに移動します。
8. アサイン済みのアラートを sn_grc_reg_change.user ロールを持つ別のユーザーにを再アサインするには、[再アサイン] をクリックします。
9. アラートを削除するには、[削除] をクリックします。

規制イベントアラートの管理とアサイン

規制インテリジェンスプロバイダーから受信した規制イベントアラートを適切なユーザーにアサインします。規制イベントアラートの他のプロパティを確認できます。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.manager

このタスクについて

規制変更管理 アプリケーションの [規制アラート] モジュールに、規制アラートが表示されます。

マネージャーは、規制イベントアラートを表示し、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーにアサインすることができます。その後、ユーザーは規制イベントアラートに対してアクションを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 規制アラート > アサインされていないアラート.
   インスタンス内のすべての規制アラートが表示されます。未アサインのアラートを表示して、特定のユーザーに割り当てることができます。受信アラートは自動的に [新規] ステータスにアサインされます。
2. 規制アラートリストで、 [タイプ] 列を使用して規制イベントアラートを選択します。
   規制イベントアラートのアラートレコードが表示されます。
3. アラートをアサインするには、[コーディネーター] フィールドを適切なユーザーに設定します。
   アラートの他のプロパティを確認すると、アサイン先の適切なユーザーを決定するのに役立ちます。

規制アラートフォーム

フィールド	説明
タイトル	プロバイダーから受信したアラートのタイトル。
説明	イベントの説明と簡単なサマリー。
プロバイダー URL	プロバイダーから受信したアラートの URL。
規制機関 URL	アラートに関連付けられている規制機関の URL。
プロバイダー	アラートプロバイダーの名前。
コーディネーター	アラートがアサインされたユーザー。
ステータス	アラートのステータス。
タイプ	規制アラートのタイプ。
全体的な影響度	フィールドの全体的な影響度。
分類	
規制機関	政府機関などの規制機能を行使する組織。
セクター	銀行や保険など、組織のさまざまなビジネスセグメント。
テーマ	規制コンテンツを分類するために使用できる広範なトピック。プライバシー、Operational Resilience、および規制申請などのテーマが該当します。
管轄	規制機関または法的機関が法的権限を拡張できる場所。
コンテンツタイプ	法的資料、規制、ルールなど、規制機関が発行できるコンテンツのさまざまなカテゴリ。
日付	
ソース公開日	特定の規制イベントが規制機関によって実際に公開された日付。
有効日	特定の規制イベントが適用可能になる日付。
有効期限	特定の規制イベントが期限切れになる日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コメントの日付	規制イベントのコメントを指定できる期限。
コンプライアンス日付	規制イベントが準拠する日付。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	アラートに関連する追加コメント。
アクティビティ	アラートに関連するアクティビティのログ。
関連リスト	
規制タスク	アラートの関連タスク。このフィールドは、アラートがコーディネーターにアサインされていて、かつ [処理中] ステータスである場合にのみ使用できます。
関連ドキュメント	引用、タイトル、タイプなど、アラートに関連するドキュメントの詳細。
影響度評価	規制イベントアラートに関連付けられている影響度評価の詳細。

4. [更新] をクリックします。

タスクの結果
規制イベントアラートが選択したユーザーにアサインされ、アプリケーションの [すべてのアサインされているアラート] モジュールに一覧表示されます。

ソースドキュメントアラートの管理とアサイン

規制インテリジェンスプロバイダーから受信したソースドキュメントアラートを適切なユーザーにアサインします。ソースドキュメントアラートの他のプロパティを確認できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager

このタスクについて
マネージャーは、ソースドキュメントアラートを表示し、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーにアサインすることができます。その後、ユーザーはソースドキュメントアラートに対してアクションを実行できます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 規制アラート > アサインされていないアラート.
   インスタンス内のすべての規制アラートが表示されます。未アサインのアラートを表示して、特定のユーザーに割り当てることができます。受信アラートは自動的に [新規] ステータスにアサインされます。
2. 規制アラートリストで、 [タイプ] 列を使用してソースドキュメントアラートを選択します。
   ソースドキュメントアラートのアラートレコードが表示されます。
3. アラートをアサインするには、[コーディネーター] フィールドを適切なユーザーに設定します。
   アラートの他のプロパティを確認すると、アサイン先の適切なユーザーを決定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制アラートフォーム

フィールド	説明
タイトル	プロバイダーから受信したソースドキュメントタイプのアラートのタイトル。
引用	アラートプロバイダーから受信したソースドキュメントの引用番号。
プロバイダー URL	アラートのプロバイダー URL。
規制機関 URL	アラートに関連付けられている規制機関の URL。
プロバイダー	アラートプロバイダーの名前。
コーディネーター	アラートがアサインされたユーザー。
ステータス	アラートのステータス。
タイプ	規制アラートのタイプ。ソースドキュメントなど。
分類	
規制機関	政府機関などの規制機能を行使する組織。
セクター	銀行や保険など、組織のさまざまなビジネスセグメント。
テーマ	規制コンテンツを分類するために使用できる広範なトピック。プライバシー、Operational Resilience、および規制申請などのテーマが該当します。
管轄	規制機関または法的機関が法的権限を拡張できる場所。
コンテンツタイプ	法的資料、規制、ルールなど、規制機関が発行できるコンテンツのさまざまなカテゴリ。
日付	
ソース公開日	特定の規制イベントが規制機関によって実際に公開された日付。
有効日	特定の規制イベントが適用可能になる日付。
有効期限	特定の規制イベントが期限切れになる日付。
コメントの日付	規制イベントのコメントを指定できる期限。
コンプライアンス日付	規制イベントが準拠する日付。
アクティビティジャーナル	
追加コメント	アラートに関連する追加コメント。
アクティビティ	アラートに関連するアクティビティのログ。

4. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ソースドキュメントアラートが選択したユーザーにアサインされ、アプリケーションの [すべてのアサインされているアラート] モジュールに一覧表示されます。

規制イベントアラートの影響度評価

規制イベントアラートにより、組織の規制が変更される場合があります。影響度評価を実行することで、ビジネスエンティティに対する規制変更の影響を評価できます。

影響度評価プロセスは、提案された規制変更の影響を評価するためのレポートツールとして使用されます。指定された規制イベントアラートについて、アサインされたユーザーは、特定の規制領域の専門家である該当分野のエキスパートに対して影響度評価をトリガーします。次に、エキスパートは規制イベントアラートの影響度評価を実行します。

規制イベントアラートに影響がある場合、影響半径が計算され、規制イベントに関連する関連コントロール目標が見つけられます。計算に基づいて、規制イベントによって影響を受ける GRC オブジェクトに関する提案が表示されます。

影響度評価タスクが承認のために送信されるときに、影響度評価には次のような一般的なイベントシーケンスがあります。

1. アサイン：sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーは、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーに規制イベントアラートをアサインします。ユーザーは、アプリケーションの [新規アラート] モジュールに一覧表示されているアサイン済みアラートを表示します。
2. アセスメントの開始：アラートに記載されているイベントまたは規制の変更によって、組織に影響が及ぶ可能性があります。ユーザーは、さまざまなステークホルダーが所有するエンティティへの変更の影響を理解するために、影響度評価を開始できます。ユーザーは、影響度評価を開始せずにアラートを適用可能としてマークできます。
3. アセスメントのアサイン：アセスメントタスクが作成されるビジネスエンティティのオーナーなど、エンティティのオーナーにアセスメントタスクが自動的にアサインされます。アラートが [影響度評価] ステータスに移行します。

   注:
   GRC ビジネスユーザーロールを持つエンティティオーナーは、影響度評価を実行できます。GRC ビジネスユーザーロールの詳細については、「ガバナンス、リスク、コンプライアンス の共通のロール」を参照してください。

4. アセスメントの作成：エンティティオーナーは、規制イベント、提案された規制変更、および影響の重大度に関する詳細を収集します。規制イベントは、1 つ以上のビジネスエンティティに影響を与える可能性があります。エンティティオーナーごとにアセスメントが作成されます。エンティティクラスの構成の詳細については、「エンティティクラスの構成」を参照してください。
5. アセスメントの送信：エンティティオーナーは規制変更の影響を評価し、影響度評価を送信します。
6. 意思決定：エンティティオーナーから受け取ったアセスメントに基づいて、マネージャーまたはユーザーが全体的な影響度評価を決定します。マネージャーは、アラートを適用可能または適用外としてマークします。

エンティティオーナーのみが影響度評価タスクを更新できます。ユーザーは、影響度評価タスクとその詳細を読み取りモードでのみ表示できます。

影響度評価のためにアラートレコードが送信され、応答を待っている場合、そのアラートは [影響度評価] ステータスになります。

注:
影響度評価アクションは、規制イベントアラートにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更の影響度の評価

規制変更の影響度を評価して影響度評価を送信することで、影響半径を計算して影響を受けるコントロール目標を見つけることができるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user

このタスクについて

規制イベントアラートに影響がある場合、影響半径が計算され、規制イベントに関連する関連コントロール目標が見つけられます。計算に基づいて、規制イベントによって影響を受ける GRC オブジェクトに関する提案が自動的に表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 規制アラート.
2. 評価する規制アラートを選択します。
3. [影響度評価を開始] をクリックします。
4. [エンティティ] リストから、影響度評価が必要なエンティティを選択します。
5. [アセスメントを作成] をクリックします。
   規制アラートレコードの [影響度評価] 関連リストに、新しい影響度評価が表示されます。
6. [自分のタスク] モジュールで査定人としてログインし、[影響度評価タスク] をクリックします。
   査定人は、 アプリケーションで影響度評価タスクを検索できます。
7. 査定人は、[自分のタスク] でアサインされているリスクアセスメントタスクを選択し、[評価] をクリックします。
   リスクアセスメントのステータスが [固有のアセスメント] に更新されます。[固有のアセスメント] タブが表示されます。次のリスクアセスメントの詳細が、[固有のアセスメント] タブに表示されます。
   - 規制イベント影響コンテキスト
   - 期日
   - アセスメントのサマリー
   - 固有のアセスメント
   - アクティビティジャーナル
   - 結果

   規制イベント影響コンテキストレコードで、[規制アラート] をクリックして、この影響度評価タスクに関連付けられた規制アラートを表示できます。
8. 固有のアセスメントフォームを開き、フィールドに入力します。

固有のアセスメントフォーム

フィールド	説明
係数	影響度の係数。係数は、ビジネスにもたらされるリスクのタイプを示します。選択肢は次のとおりです。 ○ 法的影響 ○ 風評の影響

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 財務の影響 ○ ビジネスへの影響度
応答	影響度に対する応答。選択肢は次のとおりです。 ○ 低 ○ 中 ○ 高 ○ 重大
定性的重み付け	各係数の定性的重み付け。各係数に対して 25% などです。
定性的スコア	各係数の定性的スコア。
定量的スコア	各係数の定量的スコア。
コメント	影響度のコメントと追加情報。[コメントを追加] をクリックして、各係数のコメントを入力します。
結果	
計算済み固有リスク	リスクアセスメントタスクの計算済み固有リスク。
コメント	アセスメントに関連する追加コメント。

注:
リスクアセスメントでは、高度なリスク アセスメントエンジンが使用されます。管理者は、リスクアセスメント方法論 (RAM) を更新し、固有のアセスメント要素を手動で更新することができます。

9. アセスメントを保存するには、[保存して計算] をクリックします。
このアクションによりリスクが計算され、計算された固有リスクが [結果] タブに表示されます。このアクションにより計算は保存されますが、アセスメントは送信されません。
10. [完了としてマーク] をクリックします。
このアクションによりフォームが保存されます。計算された固有リスクが [アセスメントのサマリー] タブに表示されます。
11. ユーザーは、[適用可能] をクリックして影響度評価タスクを適用可能としてマークします。

タスクの結果
アラートの規制変更タスクが作成されます。そのタスクがアラートの [規制タスク] 関連リストに表示されます。

影響半径の計算と承認

規制変更の影響度を計算し、影響半径の計算を使用して関連タスクを推奨します。影響半径は、規制変更タスクとソースドキュメントのインポートタスクの両方のタイプについて計算されます。

規制変更管理 アプリケーションは、影響半径の計算プロセスをサポートしています。影響半径の計算は、アクションタスクをユーザーに推奨する方法です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

組織のコンプライアンスまたはリスク体制に影響を与える可能性のある規制イベントを評価する必要があります。影響半径の計算は、GRC オブジェクトに対する規制イベントの影響を評価し、影響度のアセスメントに基づいてアクションタスクを提案するための方法です。

影響半径の計算と自動タスク推奨には、次の手順が使用されます。

1. 既存の規制ライブラリで、一致する引用名、プロバイダーの名前、およびソースフィールドが検索されます。

   規制イベントアラートの場合、アラートに関連付けられている引用が [関連ドキュメント] リストに一覧表示されます。ソースドキュメントアラートの場合、アラートに関連付けられている引用が [引用] フィールドに表示されます。

2. 一致する引用が同じプロバイダーからのものである場合、またはプロバイダーのソースフィールドが空の場合は、新しいアクションタスクがユーザーに推奨されます。
3. アプリケーションによって推奨されるアクションタスクは、コントロール目標をアクションターゲットとして自動的に作成されます。タスクが [アクションタスク] 関連リストに表示されます。

   作成されたアクションタスクの適用性は、デフォルトでは **[False]** に設定されています。

4. sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーがアクションタスクをレビューします。タスクが適用可能な場合、ユーザーは [適用可能] フィールドを **[True]** に設定し、親の規制タスクの承認を要求します。
5. 承認者は、親の規制タスクを承認または却下したり、タスクに関する詳細情報を要求したりすることができます。

   親の規制タスクが承認されると、適用可能な子アクションタスクが [準備完了] ステータスに移行します。適用不可の子アクションタスクの場合、これらのタスクはキャンセルされます。

6. アクションタスクが完了すると、関連付けられた規制タスクがクローズされます。

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つビジネスユーザーとマネージャーは、アクションタスクをレビューできます。アプリケーションからアクションタスクの提案が表示されない場合は、アクションタスクを手動で追加できます。承認者とコンプライアンスユーザーの両方が、各オブジェクトのコメントを読んで、関連付けられたアクションタスクに関する詳細情報を取得できます。

規制変更タスク

マネージャーまたはユーザーが未アサインのアラートを適用可能としてマークすると、規制変更タスクが作成されます。規制変更タスクは、ステークホルダーが、アラートに対して実行する必要がある変更を分析および特定するために使用されます。その後、ステークホルダーはアクションタスクを作成できます。

規制変更タスクは、識別された変更を完了するために作成されたすべてのアクションタスクの親として機能します。たとえば、アクションタスクには、規制ライブラリ内のポリシー、コントロール、およびリスクステートメントの更新が含まれる可能性があります。

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーは、システム内の sn_grc_reg_change.user ロールを持つ識別されたユーザーに規制変更タスクをアサインします。規制変更タスクには、アサイン先グループ、承認者、アサイニー、その他の関連情報などのタスクの詳細が表示されます。

規制変更タスクが完了したら、関連する規制アラートをクローズできます。

規制変更タスクのユーザーと関連アクション

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーと sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、規制変更タスクモジュールで特定のタスクを表示および実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

マネージャーが利用できるビューとアクション

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーは、規制変更タスクモジュールで次のタスクを表示できます。

- すべてのアサイン済みタスク
- 未アサインタスク
- 新規タスク
- 対応タスク
- 承認待ちタスク
- 実装タスク
- クローズ済みタスク
- 自分の承認

マネージャーは、規制変更タスクで次のアクションを実行できます。

- 規制変更タスクを sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーにアサインする。
- タスクのアサイニー向けの説明を追加する。
- ウォッチリストに追加する。
- 作業メモを追加する。
- 将来の期日を追加して、規制変更タスクの作業を完了する。
- 承認者 (通常は別のマネージャー) を追加して、規制変更タスクを承認する。
- 作業メモを更新する。

他のユーザーが利用できるビューとアクション

sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、規制変更タスクモジュールで次のタスクを表示できます。

- 新規タスク
- 対応タスク
- 承認待ちタスク
- 実装タスク
- クローズ済みタスク

ユーザーに規制変更タスクがアサインされている場合、ユーザーはログインして規制変更タスクで次のアクションを実行できます。

- [新規タスク] にある規制変更タスクを表示する。
- 作業メモを更新する。
- [応答] をクリックして、タスクを [応答] ステータスに移行する。
- 規制変更タスクに対してアクションタスクを作成する必要があるかどうかを確認する。
- 受信アラートが現在のシステムの GRC ライブラリに影響を与えるかどうかを評価する。
- エンティティオーナーによって実行された影響度評価の詳細を表示する。
- GRC ライブラリのコンプライアンスおよびリスク領域に関連する必要なアクションタスクを作成し、適切なグループにアサインする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制変更タスクの管理

規制変更タスクモジュールで規制アクションタスクを管理し、これらのタスクを使用して規制の変更を特定して準拠できるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.manager または sn_grc_reg_change.user

このタスクについて

規制イベントアラートが適用性アセスメント後に適用可能としてマークされるたびに、規制変更タスクが自動的に作成されます。規制コンプライアンスチームのメンバーは、組織が規制の変更に準拠するために実装する必要がある変更を特定するアクションプランを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 規制変更タスク.
2. 規制変更タスクを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

規制変更タスクフォーム

フィールド	説明
アサイン先グループ	タスクのアサイン先グループ。グループは [グループ階層] テーブルから選択されます。
承認者タイプ	タスクを承認するユーザーまたはグループ。
期日	規制変更タスクの期日。
規制アラート	規制アラートの名前。
説明	タスクの説明。
アサイン先	タスクにアサインされたユーザーの名前。
承認者	規制変更タスクの承認者。承認者タイプが [グループ] の場合、要求はグループメンバーに送信されます。
承認日	規制変更タスクが承認された日付。
ウォッチリスト	関心のあるユーザーを追加するウォッチリスト。
作業メモリスト	作業メモを確認したいユーザー。
作業メモ	作業メモのログ。
アクティビティ	アクティビティのログ。
関連リスト	
アクションタスク	規制変更タスクに関連付けられたアクションタスク。[新規] をクリックして、規制変更タスクに対応するアクションタスクを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 親規制タスクが手動でクローズされたときに処理中のアクションタスクがある場合、関連するすべてのアクションタスクが [キャンセル] ステータスに移行し、次の警告メッセージが表示されます。この規制変更タスク/ドキュメントインポートタスクのアクションタスクが進行中です。(Action tasks for this Regulatory Change Task/Document Import Task are in-progress.) [OK] をクリックするとキャンセルされます。(Clicking OK will cancel them.) 続行しますか？(Do you want to proceed?) アクションタスクが関連付けられていない場合、またはアクションタスクがクローズされている場合は、次のメッセージが表示されます。このタスクをクローズしてもよろしいですか？タスクをクローズするには、[OK] をクリックしてください。(Click OK to close the task.)
問題	規制変更ワークフローまたはソースドキュメントワークフロー中に確認された問題。
承認者	承認が要求されたときに作成される承認レコード。

4. [更新] をクリックします。
5. 規制変更タスクに関連する新しいアクションタスクを追加する場合は、 [アクションタスク] 関連リストで [新規] をクリックします。
6. 規制変更タスクの承認を要求するには、承認者としてログインし、[承認を要求] をクリックして承認を要求します。
   規制変更タスクのステータスが [承認待ち] ステータスに更新されます。規制変更タスクの [承認者] 関連リストで、承認のステータスが [要求済み] に更新されます。sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャー、sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザー、または sn_grc_reg_change.admin ロールを持つ管理者ユーザーは、[規制変更タスク] > [自分の承認] で要求を表示できます。
7. [承認] ボタンをクリックして要求を承認します。

タスクの結果

要求は承認されています。規制変更タスクが [実装] ステータスに移行します。規制変更タスクに関連付けられたアクションタスクが完了すると、規制変更タスクはクローズされます。

ソースドキュメントのインポートタスク

規制変更管理 アプリケーションは、外部から調達されたアラートを処理します。ソースドキュメントアラートレコードが適用可能としてマークされるたびに、ソースドキュメントのインポートタスクが自動的に作成されます。ソースドキュメントは、法的資料および規制資料を参照できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制アラートのソースドキュメントタイプを受信したときに、引用のタイトルと引用の番号が提供されます。引用は、既に GRC ライブラリで利用可能である場合もあれば、新しく作成された引用である場合もあります。各アラートレコードには、主要なステークホルダーがレコードを規制ライブラリにインポートするのに役立つソースドキュメントに関するメタデータが含まれています。メタデータには、引用名およびその他の情報が含まれます。

ソースドキュメントアラートは、ソースドキュメントのインポートタスクを作成するために使用されます。ソースドキュメントのインポートタスクは、プロバイダーから受信した特定のソースドキュメントを規制ライブラリに取り込むために使用されます。このタスクは、コンプライアンスチームのメンバーによって実行されます。ServiceNow の規制ライブラリにソースドキュメントを引用オブジェクトとしてインポートします。

ソースドキュメントのインポートタスクは、規制アラートレコードから作成されます。タスクは、ソースドキュメントのインポートワークフローまたはライフサイクルを経過します。

1. ソースドキュメントタイプのすべての未アサインアラートレコードの適用性が評価されます。
2. ソースドキュメントアラートが適用可能としてマークされた場合、ソースドキュメントのインポートタスクが自動的に作成されます。

ソースドキュメントのインポートライフサイクルは、規制アラートレコードから始まります。sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーが、未アサインのソースドキュメントアラートを適用可能としてマークすると、ソースドキュメントのインポートタスクが作成されます。

ユーザーは、[インポート準備完了] ステータスのドキュメントのインポートタスクを表示し、アラートに関連付けられた引用を評価して、ドキュメントのインポートタスクの今後の対処措置を決定できます。

ソースドキュメントのインポートタスクのユーザー、関連するアクション、およびステータス

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーと sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、ソースドキュメントのインポートタスクで特定のアクションを表示および実行できます。

マネージャーが利用できるビューとアクション

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーは、次のタイプのソースドキュメントのインポートタスクを表示およびソートできます。

- すべてのタスク
- 未アサインタスク
- すべてのアサイン済みタスク
- インポート準備完了タスク
- 対応中のタスク
- 実装タスク
- 承認待ちタスク
- クローズ済みタスク
- 自分の承認

マネージャーは、[自分の承認] モジュールでドキュメントのインポートタスクを表示できます。

マネージャーは、ソースドキュメントアラートについて次のアクションを実行できます。

- ユーザーにアラートをアサインします。
- 追加の詳細でアラートを更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アセスメントを別のユーザーに再割り当てます。
- 理由とコメントを追加して、アラートを後日まで保留します。
- 初期アセスメントを実行した後、アラートを適用可能または適用外としてマークします。このアクションにより、アラートのステータスが [処理中] に変わります。

他のユーザーが利用できるビューとアクション

sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、[実装タスク] にドキュメントのインポートタスクを表示できます。

ユーザーは、[新規アラート] モジュールに新しいソースドキュメントアラートを表示できます。

注:
アラートのソースドキュメントタイプの場合、影響度評価は必要ありません。

ユーザーは、新しいアラートに対して次のアクションを実行できます。

- アラートの詳細を更新します。
- アラートを適用可能としてマークします。
- アラートを適用外としてマークします。

ソースドキュメントのインポートタスクのステータス

ソースドキュメントのインポートタスクのステータスは次のとおりです。

- インポート準備完了
- 対応中
- 承認待ち
- 実装
- 保留
- クローズ済み

アラートが適用可能としてマークされている場合、プロセスの一部として作成されたソースドキュメントタスクが [クローズ済み] ステータスに移行すると、規制アラートレコードが自動的に [クローズ済み] ステータスに移行します。

ソースドキュメントのインポートタスクの管理

ソースドキュメントタスク、関連するソースドキュメントアラート、およびその他の関連する詳細を規制変更タスクモジュールで管理します。これらのタスクを使用して、ソースドキュメントの変更を特定して準拠します。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager または sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
ソースドキュメントのインポートタスクは、プロバイダーから受信した特定のソースドキュメントを規制ライブラリに取り込むために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > ソースドキュメントのインポートタスク.
2. [ソースドキュメントのインポートタスク] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ソースドキュメントのインポートタスクフォーム

フィールド	説明
アサイン先グループ	レコードのアサイン先グループ。グループは [グループ階層] テーブルから選択されます。
承認者タイプ	タスクの承認者タイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ユーザー ○ グループ
期日	ソースドキュメントのインポートタスクの期日。
規制アラート	規制アラートの名前。
説明	タスクの説明。
アサイン先	タスクにアサインされたユーザーの名前。
承認者	ソースドキュメントのインポートタスクの承認者。[承認者タイプ] フィールドが [グループ] に設定されている場合、要求はグループメンバーに送信されます。
承認日	ソースドキュメントのインポートタスクが承認された日付。
アクティビティジャーナル	sn_grc_reg_change.user がコメントを追加できるアクティビティログ。
関連リスト	
類似のソースドキュメント	類似のソースドキュメントのレコード。
アクションタスク	インポートドキュメントタスクに関連するアクションタスク。[新規] をクリックして新しいアクションタスクを追加します。
問題	規制変更ワークフローまたはソースドキュメントワークフロー中に確認された問題。
承認者	ドキュメントのインポートタスクの承認者。このリストには、承認が要求されたときに作成された承認レコードが表示されます。

4. 変更を適用するには、次のいずれかを実行します。
   - 選択したソースドキュメントのインポートタスクを更新するには、[更新] をクリックします。
   - 変更を保存するには、 [対応中] をクリックします。
5. ソースドキュメントのインポートタスクの承認を要求するには、[承認を要求] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
新しい引用が挿入されるか、既存の引用が更新されます。

規制変更管理 のアクションタスク

コンプライアンスチームとリスクチームがアクションタスクをアサインして実行します。これらのタスクは、アクションプランで特定された変更を追跡して完了するために使用されます。

アクションタスクは、規制変更タスクとソースドキュメントのインポートタスクに関連付けられます。sn_grc_reg_change.manager または sn_grc_reg_change.user ロールを持つユーザーは、規制変更タスクおよびソースドキュメントのインポートタスクに対応するアクションタスクを作成します。これらのタスクは、GRC ライブラリのコンプライアンスおよびリスク領域に関連しています。コンプライアンスマネージャーとリスクマネージャーは、適切なリスクグループまたはコンプライアンスグループにタスクをアサインします。

規制変更管理 アプリケーションのアクションタスクには 2 つのカテゴリがあります。

- コンプライアンス：すべてのコンプライアンス関連のアクションタスクが含まれます。コンプライアンスユーザーは、GRC ライブラリ内の特定のコンプライアンスオブジェクト (ポリシーやコントロールなど) を選択できます。
- リスク：すべてのリスク関連アクションタスクが含まれます。リスクユーザーは、GRC ライブラリ内の特定のリスクオブジェクト (リスクステートメントなど) を選択できます。

アクションタスクの自動作成は、GRC: Regulatory Change Management バージョン 11.0.3 リリースのコントロール目標に対してのみ有効でした。GRC: Regulatory Change Management バージョン 12.0.2 リリース以降、影響を受ける可能性があるリスクステートメントとポリシーに対してもアクションタスクが自動的に作成されます。

sn_grc_reg_change.manager ロールを持つマネージャーは、次のタブを使用してアクションタスクを表示およびソートできます。

- すべてのアサイン済みタスク
- 未アサインのコンプライアンスタスク
- 未アサインのリスクタスク
- 準備完了タスク
- 処理中のタスク
- クローズ済みタスク

アクションタスクの作成

規制変更タスクとソースドキュメントのインポートタスクに関連するアクションタスクを作成し、規制タスクを完了できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager または sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
規制アクションタスクは、規制変更タスクの影響度評価の一部として識別された変更を完了するためのフォローアップとして作成されます。これらの特定の変更が識別されたら、マネージャーまたはユーザーとしてこれらのアクションタスクを作成および管理できます。

手順

1. 移動先 アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > アクションタスク.
2. アクションタスクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

アクションタスクフォーム

フィールド	説明
規制タスク	規制タスクの番号。
カテゴリ	コンプライアンスやリスクなどのアクションタスクのカテゴリタイプ。
アサイン先グループ	アクションタスクにアサインされたグループ。
優先度	アクションタスクの優先度。
期日	アクションタスクの期日。
コンプライアンスアクションターゲット	選択する特定の GRC オブジェクト。たとえば、リストメニューの [各種法令・基準等]、[引用] や、関連ドキュメントなどです。
アサイン先	タスクにアサインされたユーザー。
簡単な説明	アクションタスクの簡単な説明。
説明	アクションタスクの説明。
アクティビティジャーナル	
ウォッチリスト	更新に関する通知を受け取るユーザーのリスト。
作業メモ	作業メモのログ。
作業メモリスト	作業メモに関する通知を受け取るユーザー。

以下のフィールドを更新できます。

- カテゴリ
- アクションターゲット
- 簡単な説明
- 説明
- 作業メモ
- 作業メモリスト
- ウォッチリスト

4. [保存] をクリックします。
アクションタスクが保存され、[規制変更タスク] ページの [アクションタスク] タブに表示されます。

分類のマッピング

規制変更管理 アプリケーションを設定するときに内部分類を作成します。外部分類を内部分類にマッピングし、規制変更管理 アプリケーションが 1 つの分類のみを参照するようにします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
規制変更管理 アプリケーションは、分類を保存し、UI コンポーネントを使用して分類をマッピングする方法を提供します。

手順

1. 移動先 アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 分類 > 分類クラス.
   すぐに利用可能な状態に設定されている分類クラスが表示されます。
   - 規制機関
   - コンテンツ タイプ
   - 管轄
   - テーマ
   - セクター
2. 分類クラス名を表示または更新する場合は、次の分類テーブルに移動します。
   - 規制機関
   - コンテンツタイプ
   - 管轄
   - テーマ
   - セクター

   たとえば、[管轄] をクリックすると、[クラス名] フィールドに分類クラスとして [管轄] が表示されます。

   注:
   sn_grc_reg_change.admin ロールを持つユーザーのみが分類テーブルを更新できます。
3. [更新] をクリックしてクラス名を更新します。
4. [分類クラス] 関連リストで [新規] をクリックします。
   新しい分類クラスレコードが別のページに表示されます。

   分類クラスレコード

フィールド	説明
名前	分類クラスの名前。

   新しい分類クラスが [分類クラス] ページに表示されます。
5. [分類クラス] ページを開いて、新しい分類クラスマッピングレコードを作成します。
6. フォームのフィールドに入力します。
   どの規制テーブルを選択したかに応じて、フォームのタイトルは異なります。

   分類クラスマッピングレコード

フィールド	説明
プロバイダー	アラートのプロバイダー。
外部分類クラス	内部分類クラスとマッピングされた外部分類クラス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
分類クラス	管轄やコンテンツタイプなど、すぐに利用可能な状態で提供される分類クラス。

7. [送信] をクリックして、外部分類クラスを内部分類クラスにマッピングします。
   外部分類クラスは、内部分類クラスにマッピングされます。

規制タスクに関連付けられる問題の作成

規制変更タスクおよびソースドキュメントタスクのワークフローの一部として問題を作成し、ワークフロー中に発生した問題や例外をキャプチャします。[問題] 関連リストを使用して、規制タスクに関連する問題を作成および表示できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて
問題というタイトルの新しいモジュールが 規制変更管理 アプリケーションに導入されます。

手順

1. 移動先 アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 問題 問題関連リストを使用して規制タスクに関連する問題を作成および表示します。
2. 問題のフィルター済みリストを取得するには、次のモジュールを使用します。

規制タスクに関連付けられる問題の作成および表示

フィールド	説明
自分のオープンな問題	ユーザーにアサインされた未解決の問題を表示します。
すべてのオープンな問題	ユーザーにアサインされたすべての未解決の問題を表示します。
すべての未アサインの問題	ユーザーにアサインされたすべての未アサインの問題を表示します。
すべてのグループ化された問題	ユーザーにアサインされたすべてのグループ化された問題を表示します。
すべての問題	規制タスクに関連付けられたすべての問題を表示します。

タスクの結果
それぞれのモジュールで規制タスクに関連する問題を表示できます。

管理モジュール

管理モジュールを使用して、サードパーティのプロバイダーとエンティティクラスの構成を管理します。

規制インテリジェンスプロバイダーは、さまざまな規制の変更を含む規制アラートを提供します。各規制アラートレコードには、アラートに関連付けられた規制分類の分類セクションが含まれています。この分類は、アラートの分類に役立ちます。内部分類設計には次の 5 つの要素が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 規制機関
- セクター
- テーマ
- コンテンツタイプ
- 管轄

規制変更管理 アプリケーションを設定するときは、標準化のために外部分類を独自の内部分類にマッピングする必要があります。これらの設計要素は、セットアッププロセス中に作成され、プロバイダーの外部分類からマッピングされます。

内部分類を設定したら、次のステップでは、プロバイダーの名前と説明でプロバイダー設定レコードを更新します。汎用プロバイダー設定を維持するために、プロバイダーレコードが使用されます。プロバイダーは、単一のファイルや API など、複数の組み合わせを介してデータを送信できます。詳細については、「分類のマッピング」を参照してください。

管理モジュールを使用して、さまざまなレコードを設定できます。次の操作を実行できます。

- プロバイダー設定レコードを更新して、プロバイダーからデータを定義して受信する。
- 規制の変更によって影響を受ける可能性があるエンティティクラスを設定する。

プロバイダー分類設定レコードの設定

プロバイダー分類設定レコードを設定して、外部分類を定義し、内部分類クラスにマッピングします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

手順

1. 移動先 アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 管理 > プロバイダー分類構成.
2. ページで [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

プロバイダー分類設定レコードフォーム

フィールド	説明
プロバイダー	分類設定レコードのプロバイダー。
デフォルトの分類構成	デフォルトの分類設定を使用するためのチェックボックスオプション。デフォルトの分類設定オプションをクリアして、分類ローダー構成を表示します。
分類	外部分類をマッピングする内部分類。リストのロックを解除して分類を追加します。
分類ローダー	デフォルトの分類設定オプションをクリアしたときの、分類ローダー構成フィールド。分類データをインポートするためのインポートモードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ データソース：ServiceNow プラットフォームデータソースを介して分類をインポートできる場合は、データソースを使用します。 ○ カスタムスクリプト：分類のインポートにカスタム ロジックが必要な場合は、カスタムスクリプトを使用します。 データソースの場合：次のフィールドを更新します。 ○ データソース：Azure AD、Auth0 など、定義するデータソース。 ○ 予定されているデータインポート：データソースを頻繁に実行するインポートジョブ。 カスタムスクリプトの場合：次のフィールドを更新します。 ○ 分類ファイルが必要：選択したモードでインポートするデータにファイルを添付する必要がある場合は、このチェックボックスをオンにします。 ○ 変数：スクリプトで定義された変数を使用します。 ○ スクリプト：入力するスクリプト。これは必須の手順です。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
新しいプロバイダー分類設定レコードが [プロバイダー分類構成] ページに一覧表示されます。

エンティティクラスの構成

影響度評価が実行されるエンティティクラスを構成します。影響度評価で選択する必要があるエンティティのクラスを追加できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

このタスクについて
管理者は、構成を設定するときにエンティティクラスを設定できます。ビジネスエンティティは、影響度評価によって評価されます。エンティティオーナーが影響度評価またはリスクアセスメントを実行する前に、これらのエンティティクラスを構成する必要があります。
これらのエンティティクラスは、デフォルトで GRC アプリケーションによって出荷されます。顧客の構成に基づいて、さらに多くのエンティティクラスがアプリケーションに追加されます。ユーザーがさらにクラスを作成すると、それらもリストに表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > 管理 > エンティティクラス構成.

2. [利用可能] 列で、1 つ以上のエンティティクラスを選択します。

3. 選択したエンティティクラスを [選択済み] 列に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

選択したエンティティクラスが [選択済み] 列に表示されます。

4. **[OK]** をクリックします。

次のタスク

エンティティクラスが構成された後、エンティティオーナーは、自身が所有するエンティティについて提案された規制変更の影響を評価できます。その後、リスクアセスメントを実行できます。マネージャーまたはユーザーは、エンティティオーナーから受け取ったアセスメントに基づいて、全体的な影響度を決定し、アラートを適用可能または適用外としてマークします。

RSS フィードの設定

インスタンスにインストールされている 規制変更管理 アプリケーションで RSS フィードデータを設定します。規制変更管理 アプリケーションで RSS フィードデータを有効にするための RSS フィードプラグインをインストールします。

始める前に

GRC: Regulatory Change Management の RSS Feeds との統合 プラグインを有効にするための前提条件：規制変更管理 アプリケーションを最初にインスタンスにインストールする必要があります。

必要なロール：
sn_grc_reg_change.it_admin、sn_grc_reg_change.manager、sn_grc_reg_change.user

このタスクについて

RSS (RDF Site Summary または Really Simple Syndication) フィードは、ユーザーとアプリケーションが標準化されたコンピューターが読み取り可能な形式で Web サイトの更新にアクセスできるようにする Web フィードです。Web サイトでは、RSS フィードを使用して、ブログのエントリー、ニュースの見出し、オーディオおよびビデオシリーズのエピソードなど、頻繁に更新される情報を公開しています。

手順

1. 移動先 アプリケーション > **Regulatory** 変更管理 > **RSS** フィード アプリケーション内の RSS フィードデータをフェッチします 規制変更管理 。
2. ストアから GRC: Regulatory Change Management の RSS Feeds との統合 プラグインをダウンロードしてインストールします。
   GRC: Regulatory Change Management の RSS Feeds との統合 プラグインがインストールされると、RSS フィードモジュールが UI の 規制変更管理 アプリケーションモジュールに表示されます。RSS フィードに次のサブモジュールが表示されます。

RSS フィードのサブモジュール

フィールド	説明
フィードのセットアップ	RSS フィードをプルするフローを設定するモジュール。
接続および資格情報エイリアス	特定の RSS データを取得する URL を設定するエイリアス。
プロバイダー分類構成	プロバイダー分類構成をセットアップするモジュール。
フィードソース	新しいフィードソースレコード。
応答のフィード要求	RSS フィードソースからの応答を含むモジュール。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フィードセットアップモジュールから、次の手順を実行します。
   a. Flow Designer UI ページで **[RCM RSS フロー (RCM RSS Flow)]** を選択します。
   b. [完了] をクリックし、[アクティブ化] をクリックして、フローをアクティブにします。
   RCM IT 管理者は、RCM RSS フローを日次、週次、または月次で実行するようにスケジュールし、フローの時間を設定します。
4. [接続 **&** 資格情報エイリアス] モジュールをクリックし、[関連リンク] の [新しい接続 **&** 資格情報の作成] をクリックします。
5. 次の表に示すように、[接続および資格情報レコードを作成] フォームに接続情報を入力し、[作成] をクリックします。

接続および資格情報エイリアスモジュール

フィールド	説明
名前	テキスト形式の接続名 (例：連邦準備銀行、FDA (食品医薬品局))。
接続 URL	フィードの取得元の接続 URL (例：https://www.rbi.org.in/pressreleases_rss.xml)。

新しい接続が作成され、[接続および資格情報エイリアス] 関連リストに表示されます。

6. [プロバイダー分類構成] に情報を入力して、プロバイダー分類構成を設定します。
詳細については、「プロバイダー分類設定レコードの設定」を参照してください。
7. 次の表に示すように、フィードソースの新規レコードフォームに情報を入力します。

フィードソースの新規レコード

フィールド	説明
名前	新規レコードのテキスト形式の名前。
接続	[接続および資格情報エイリアス] モジュールで新しく作成した接続。フィードのプロバイダー URL を入力します。 **注:** 現時点では、パブリック URL のみがサポートされています。
有効	フィードソースをアクティブとしてマークするチェックボックス
プロバイダー	新規プロバイダーレコード。 ○ 名前 ○ 説明 ○ 分類ソース：単一、複数、またはデフォルト。[デフォルト] オプションを選択して分類をマッピングし、分類の設計要素 (管轄、規制機関、セクター、テーマ、コンテンツタイプなど) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[送信] をクリックして、新しいプロバイダーを追加します。

a. [フィードソース] レコードフォームで [送信] をクリックして、新しいフィードソースレコードを作成します。

8. [応答のフィード要求] モジュールで、RSS フィードソースからの応答を表示するか、[新規] をクリックして新しい応答のフィード要求を作成します。

a. フォームのフィールドに入力します。

応答のフィード要求フォーム

フィールド	説明
RSS フィードソース	フィードを受信するための RSS フィードソース。
応答	RSS フィードへの応答。

b. [送信] をクリックします。
新しい応答のフィード要求レコードが作成されます。

タスクの結果

フィードソースが設定され、RCM RSS フローがスケジュールされた時刻に実行されると、RSS フィードデータが応答のフィード要求テーブルで受信されます。応答のフィード要求テーブルから解析された RSS フィードデータが規制フィードテーブルに表示されます。

規制変更管理 ダッシュボード

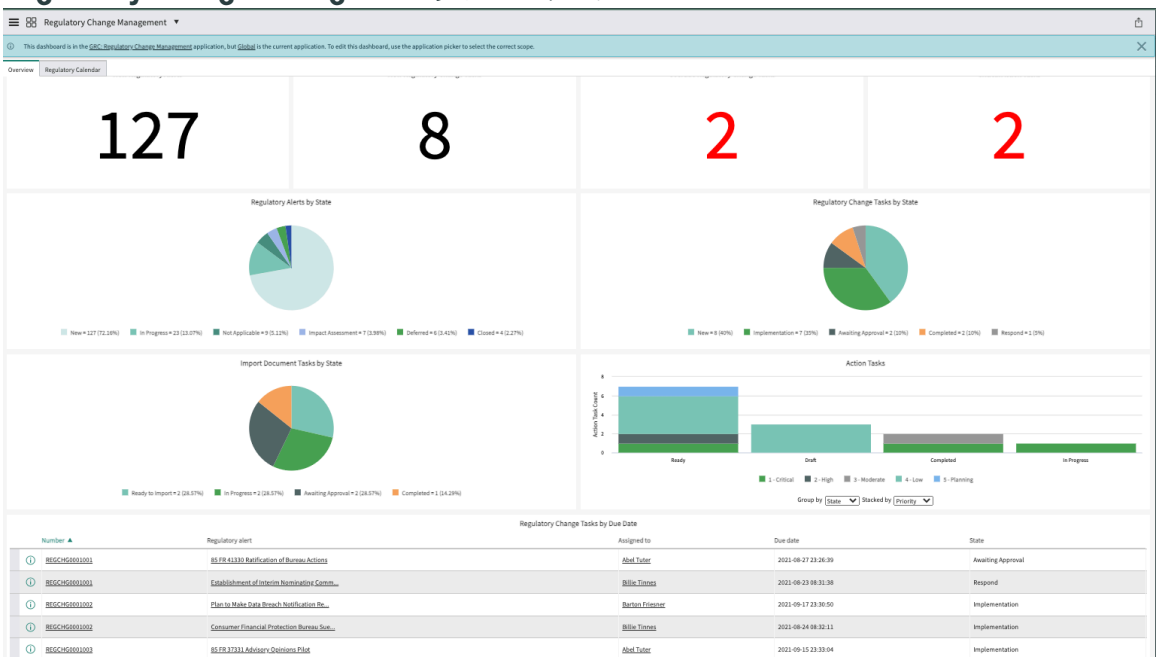
規制変更管理 ダッシュボードは、規制状況の現在のビューを提供します。

規制変更管理 ダッシュボードを表示するには、**[Regulatory Change Management]** > [概要] に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Regulatory Change Management ダッシュボード



規制変更の概要

組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ダッシュボードユースケース

ユーザー	ダッシュボードの使用法
sn_grc_reg_change.manager	RCM マネージャーは、新しい規制アラートを表示し、アラートのステータスとさまざまな規制タスクを理解できます。また、規制タスクとその期日のカレンダービューも提供します。

[概要] ページには、次のような規制イベントとタスクの概要が表示されます。

- 新規規制アラート
- 新規規制変更タスク
- 期限切れの規制変更タスク
- 最重要アクションタスク
- ステータス別の規制アラート：ステータス、数、および割合別にグループ化されたアラートを表示します
- ステータス別の規制変更タスク：ステータス、数、および割合別にグループ化されたタスクを表示します
- ステータス別のインポートドキュメントタスク：ステータス、数、および割合別にグループ化されたタスクを表示します
- アクションタスク：アクションタスクを [ステータス] および [優先度] フィールド別にグループ化して積み重ねます
- 期日別の規制変更タスク：規制変更タスクのレポートを表示します

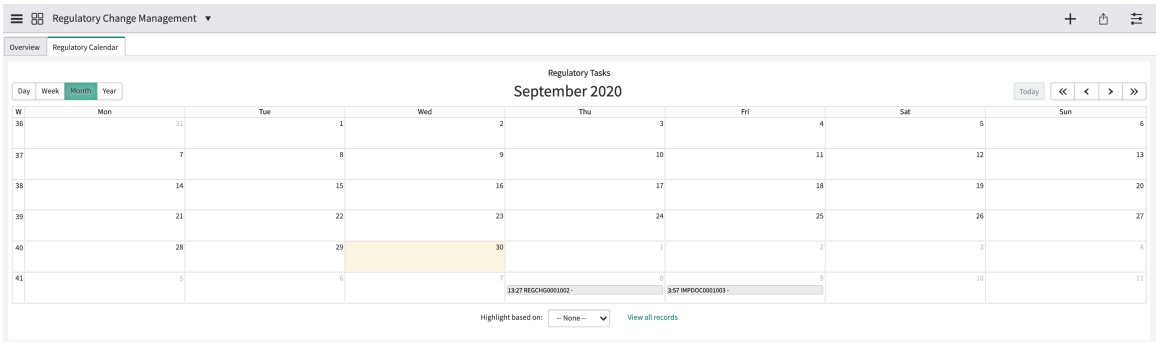
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

規制カレンダー

規制カレンダーは、規制タスクの概要を示します。カレンダーは、これらのタスクの計画と管理に役立ちます。

規制カレンダー



カレンダーの左上にあるオプションを使用して、カレンダーを日次、週次、または月次ビューで表示します。特定のタスクをクリックすると、詳細が表示されます。

次の詳細に基づいて、規制タスクをフィルタリングしてハイライト表示できます。

- 承認
- エスカレーション
- なし
- 優先度
- 作業メモ

[すべてのレコードを表示] をクリックすると、すべての規制タスクが別のタブにリスト形式で表示されます。

リスク管理

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: リスク管理 アプリケーションを使用して、影響度の高いリスクを継続的に監視して特定し、リスクベースの意思決定を改善し、対応時間を効果的に短縮します。アプリケーションは、リスクアセスメント、リスクインジケーター、およびリスク問題を管理するための構造化されたワークフローも提供します。

リスクワークスペース

バージョン 13.0.5 以降、リスク管理 ユーザーに リスクワークスペースが追加されました。リスクワークスペースは、毎日のタスクとアクティビティを実行するためのシンプルなユーザーエクスペリエンスを提供します。新しいワークスペースの詳細については、「GRC リスクワークスペース」を参照してください。

リスク管理 のメリット

リスク管理 のメリットは次のとおりです。

- リスクベースの意思決定の迅速化：自動化されたリスクスコアに基づいてアクティビティに優先順位を付け、最も重大なリスクを最初に処理します。
- パフォーマンスの向上：自動化された部門横断型アクティビティに組み込まれたリスク管理により、作業の中断が解消されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスクを効果的に伝達：リアルタイムインサイトとロールベースのダッシュボードにより、すべてのレベルで簡単かつ迅速にレポートを作成できます。
- リスクを常に把握：モバイルインターフェイスで、いつでもどこでも作業に必要な情報を入手できます。

探索



リスクマネージャー、リスクユーザー、およびリスク管理者の リスク管理 アプリケーションの使用方法について説明します。

リスク管理 の構成



リスク管理 アプリケーションを設定します。

Risk Management を統合



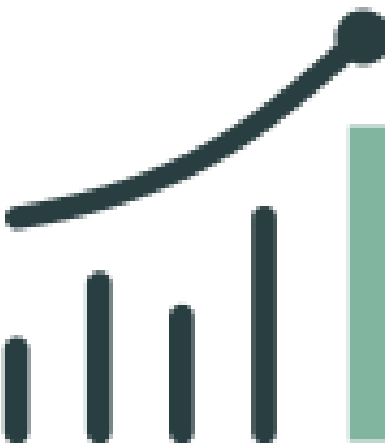
他のアプリケーションとの統合により リスク管理 機能を拡張します。

リスク管理 の使用



リスクアセスメント、リスクイベントなどの作業を行います。

Risk Management の分析およびレポートのソリューション



ダッシュボードとレポートを使用して重大なリスクをハイライト表示します。

リスク管理 の参照



フィールド、テーブル、プロパティなどのコンポーネントの詳細情報を取得します。

Risk Management を実装

リスク管理 の実装を使用して、GRC リスク管理 および 高度なリスク アプリケーションをすばやく実装します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

その他のリソース

- GRC コミュニティで質問や回答をする
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索
- 担当者 カスタマーサービス & サポート
- 開発者トレーニング
- 開発者ドキュメント

リスク管理 の詳細

リスク管理製品では、一元的なプロセスにより、事業運営に悪影響を与える可能性のあるエンタープライズと IT のリスクを特定、評価、対応、および継続的に監視することができます。アプリケーションは、リスクアセスメント、リスクインジケーター、およびリスク問題を管理するための構造化されたワークフローも提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

リスク管理 のユーザー

完全なリスクプロセスには、組織のすべての領域の連携が含まれます。

- 監査委員会
- IT 運営委員会
- リスク責任者 (リスクアセスメントを実施し、ビジネスで失敗する可能性のあるものをすべて特定する)
- すべてのレベルの管理者 (リスク責任者がプロセスで発生する可能性のある問題を特定するのを支援する)

リスク管理 の主要なアクティビティ

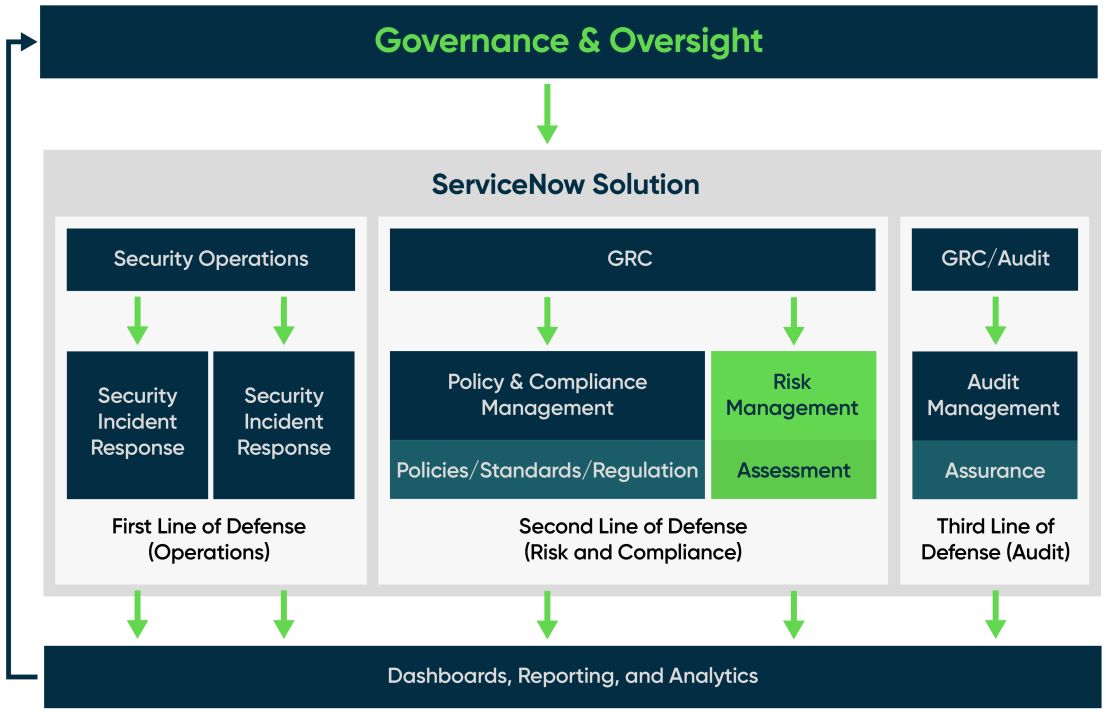
主要なロールを特定したら、次のアイテムを特定します。

- 組織が受け入れられるリスクのレベルを決定します。所定の場所にリスクデータを取得し、許容できる内容を判断します。
- リスクフレームワークとリスクステートメントを使用して、リスク管理ポリシーを作成します。
- リスクアセスメントと対応の手順を策定します。
- 組織のリスクへのエクスポージャーを減らすためのコントロールを実装します。定期的に繰り返します。
- リスクのエクスポージャーと改善を測定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 および **Now Platform**



リスク管理 と 高度なリスク アプリケーションでは、次のことができます。

- リスク、リスクステートメント、リスクフレームワークを管理する：リスクライブラリには、すべてのリスクフレームワークとリスクステートメントが含まれています。リスクフレームワークは、リスクステートメントを管理可能なカテゴリにグループ化するために使用され、リスクステートメントは個々のリスクをグループ化します。リスク登録は、いつでも組織内のあらゆる場所で発生する可能性のあるすべての潜在的なリスクの中央リポジトリです。
- リスクイベントを管理：リスクイベントは、組織内で発生する潜在的または実際の財務的および財務以外の損失、ニアミス、および利益です。
- リスク階層と採点：New York 以降、リスクマネージャーはさまざまなタイプのリスク (オペレーショナルリスク、IT リスク、または戦略的リスク) を含む階層を作成できます。根底にあるリスクが評価されると、リスクスコアがリスクステートメント階層全体で自動的にロールアップされるため、戦術的および戦略的な意思決定が向上します。
- クラシック版リスクアセスメントを管理：リスクアセスメントは、リスクを判断するための証拠を収集するサーベイです。リスクアセスメントデザイナーは、ユーザーが証明書を作成および編集したり、採点パラメーターを変更したりするために使用できる単一のインターフェイスを提供します。質問集にはさまざまなカテゴリの質問のライブラリが用意されているため、各アンケートを最初から構築する必要はありません。リスクは [ドラフト] 状態から始まり、[評価] に移行し、アセスメント回答者に通知が送信されます。
- Advanced Risk アセスメントを管理：Advanced Risk アセスメントを使用して、統合されたリスクプラットフォームを作成します。この統合プラットフォームは、さまざまな種類のリスクアセスメント方法論をサポートし、リスクアセスメントを意思決定プロセス全体の一部として統合することができます。
- ポリシーの例外と延長を管理：ポリシーの例外と拡張により、非準拠コントロールが一時的に緩和されます。ポリシー例外は、ポリシー例外要求の受け入れまたは却下をサポートする根拠、コメント、および証拠をキャプチャします。また、承認されたポリシー例外の延長は、ポリシー例外の有効期間の前に要求できます。コントロールオーナー、コンプライアンスマネージャー、およびリスクマネージャーが、ポリシー例外と延長ワークフローに関与する場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- GRC: ワークベンチを使用してエンティティとリスクの依存関係を使用：GRC：ワークベンチは、CMDB 情報を利用して、すべてのアプリケーションのアップストリームとダウンストリームの関係を表示します。これらの関係により、企業全体で一貫したリスクのマッピングとモデリングが可能になります。
- リスクインジケーター、コントロールインジケーター、およびインジケーターテンプレート：継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成に関連するアクティビティが含まれます。これらのインジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、コントロールの問題を作成し、リスクスコアを更新し、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。
- リスクの問題と修正を管理：問題を手動で作成して、監査の所見や修正を文書化したり、問題を受け入れたりすることができます。インジケーターの結果、証明書の結果、またはコントロールテストの有効性から自動的に生成されます。
- リスク管理 と 脆弱性対応 の間のリスクの継続的な監視を管理：リスクの継続的な監視は、GRC: Risk Management と Security Operations Vulnerability Response 製品間の機能統合であり、インジケーターを使用して、ビジネスへの影響度に基づいて影響度の高い脆弱性を特定します。
- リスク管理 の分析およびレポート作成ソリューション：Performance Analytics ソリューションには、事前設定されたダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ可視化が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

GRC リスクワークスペース

バージョン 13.0.5 以降、GRC リスクワークスペースは単一ペインのビューで新しく簡素化されたユーザーエクスペリエンスを提供します。ワークスペースでは、クラシック環境と同じ機能を実行できますが、より直感的な機能を使用できます。これらの機能には、リスクアセスメント、リスクイベント処理などが含まれます。

リスクワークスペース は詳細な構成が可能で、ロール主導型です。ロール主導型であるとは、リスクワークスペース が組織内のユーザーまたはロールごとにカスタマイズされているか、一意であることを意味します。ワークスペースでは、特定のロールを持つさまざまなユーザーがさまざまな機能を実行でき、互いに異なるビューを使用できます。ワークスペースでは、ユーザーが リスク管理 アプリケーションを使用するためにインストールする必要があるアプリの数も削減されます。たとえば、IT リスクを管理する場合は、1 つのアプリケーションのみをインストールする必要があります。ワークスペースを使用すると、アプリの管理とインストールが簡単になります。リスクワークスペースを使用するには、**GRC: Risk Management Workspace** (com.sn_risk_workspace) プラグインをインストールして有効にする必要があります。

リスクワークスペース 内の開始点はホームページです。

ホームページには、組織全体のリスクステータスが表示されます。表示できる主要なアイテムには、主なリスクインジケーター (KRI) 違反、リスクヒートマップ、リスク分類とブレークダウン、リスクが最も高いエンティティなどがあります。

ホームページには次のメリットがあります。

- ロールごとに異なるビューを提供します。
- 各ロールの特定の責任のために設計されています。
- ユーザーに応じて、各ロールの日常のタスクを表示します。たとえば、オペレーショナルリスクマネージャーのホームページは、IT リスクマネージャーのホームページとは異なります。
- 自分と自分のグループにアサインされた重要なタスクを表示します。これにより、実行可能なタスクを簡単に把握できます。Advanced Risk アセスメントの新しいユーザーエクスペリエンスの詳細については、「リスクワークスペース の Advanced Risk アセスメント」を参照してください。

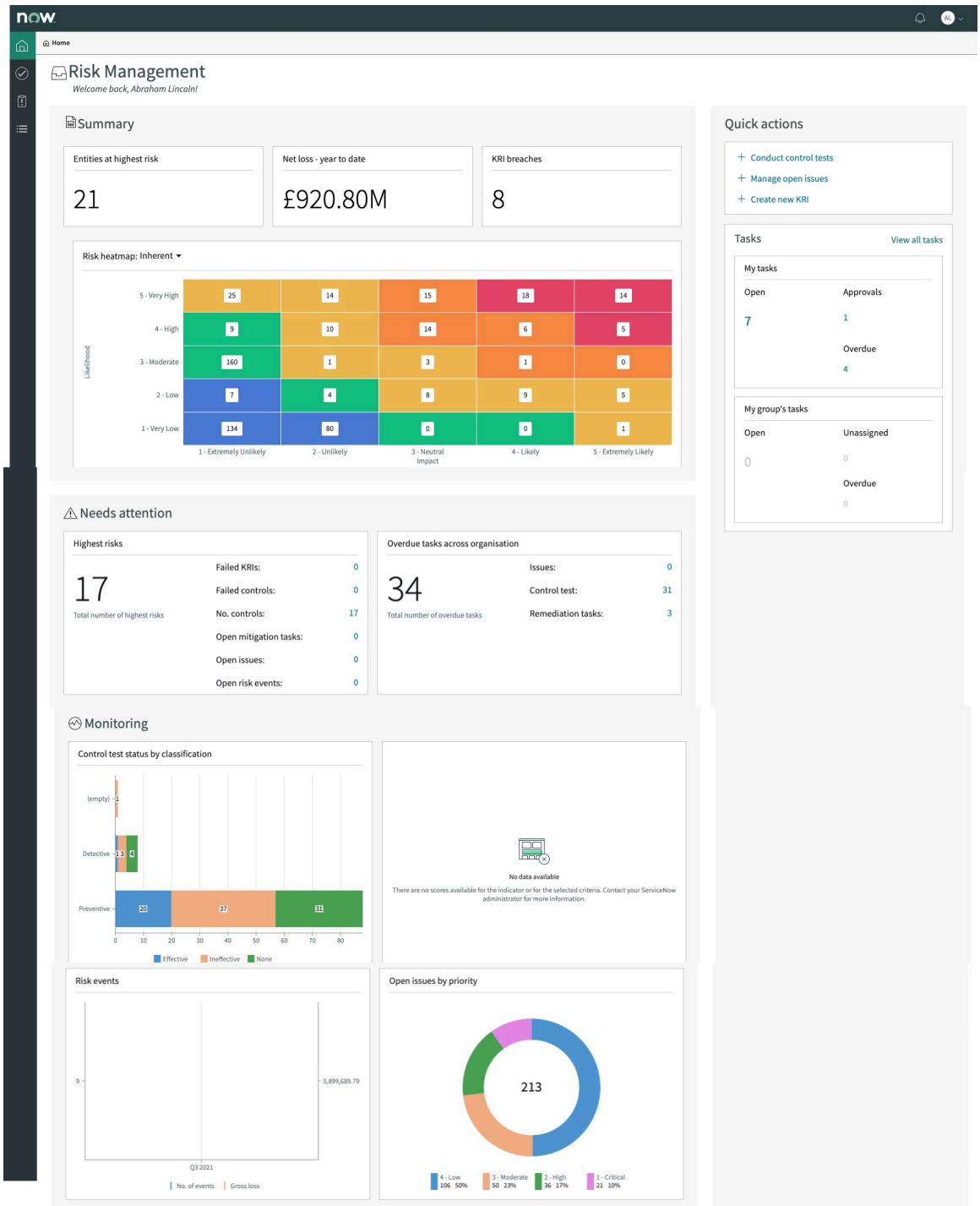
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 最上位エンティティのリスクプロファイルを表示します。この統合ビューにより、レポートが容易になります。
- ニーズに合わせてカスタマイズできます。たとえば、ヒートマップとレポートに独自の色分けを設定できます。詳細については、「リスクワークスペースの Advanced Risk アセスメントのオペレーショナルリスクヒートマップ」を参照してください。
- リスクアセスメントのスケジュール設定、新しい主要なリスク指標の作成などの主要なタスクを実行するためのクイックリンクを利用できます。
- クリックして詳細を表示できる方法でデータを提供します。
- 高度なリスク アプリケーションが有効になっていない場合は、クラシック版リスクアセスメントスコアを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Advanced Risk が有効になっていないリスクワークスペースのホームページ



リスクワークスペースのロールとユーザーの拡張

リスクワークスペースのロールは、オペレーショナルリスクマネージャーと IT リスクマネージャーです。各ロール、その責任、およびタスクについては、次のセクションを参照してください。

注:
組織内のロールはここに示されているものとは異なる可能性があるため、これらのロールを参照またはモデルとして使用してください。

リスクワークスペースのユーザーエクスペリエンスにも複数の拡張が行われています。各拡張については、後続のセクションで詳しく説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オペレーショナルリスクマネージャーの リスクワークスペース

オペレーショナルリスクマネージャーは、人、内部プロセス、システム、または外部イベントによって発生するエラー、違反、または損害などのオペレーショナルリスクを管理します。オペレーショナルリスクは、軽微な人的ミスによる損失リスクなどの小さなものから、重大な不正行為による倒産リスクなどの大きなものまでさまざまです。

オペレーショナルリスクマネージャー

オペレーショナルリスクマネージャーは、組織のリスク体制を管理するオペレーショナルリスクチームの一員です。リスク体制は、会社の現在のリスクプロファイルです。オペレーショナルリスクマネージャーは、次のタスクを実行する必要があります。

オペレーショナルリスクフレームワークを定義

堅牢なリスク管理フレームワークを定義することで、組織のオペレーショナルリスクを効果的に管理します。このフレームワークは、リスクを特定し、それらのリスクを軽減するためのコントロールフレームワークを定義するのに役立ちます。リスク管理フレームワークは、次のコンポーネントで構成されています。

- リスク識別
- リスク測定または採点
- リスク軽減
- リスクのレポートおよび監視

ライブラリを設定

次を実行して、包括的なライブラリを設定します。

- リスクステートメントの作成：リスクステートメントは、重大度または相対的な優先度について全員が合意に達することができる方法でリスクを記録するために使用されます。
- コントロール目標の作成：コントロール目標は、リスク軽減コントロールの目標または目的を定義します。これらのコントロールには継続的な監視が必要です。
- エンティティクラス、エンティティタイプ、およびエンティティの定義：エンティティの詳細については、「Understanding entities (エンティティについて)」を参照してください。
- アップストリームおよびダウンストリームエンティティの定義。

最初のステップは、チームがリスクについて具体的に理解できるようにリスクステートメントを設定することです。たとえば、リスクを単にサイバーセキュリティリスクと呼ぶのは具体的ではありません。サイバーセキュリティリスクは、人によって意味が異なります。そのため、サイバーセキュリティを定義する一般的なステートメントがリスクステートメントとして作成されます。リスクステートメントとその階層を作成するには、リスクの影響度、リスクのある資産、およびリスクのソースを明確に定義します。リスクステートメントを定義し、その階層を作成することで、リスクスコアが集計され、完全なリスクステータスを得ることができます。

定期的にリスクアセスメントを実施

組織のポリシーに従って年次リスクアセスメントを実行します。また、リスク登録が更新され、正確であることを確認します。リスクアセスメントスコープを作成し、アセスメントをスケジュールします。リスク登録の詳細については、「リスクワークスペースでのリスク登録」を参照してください。

リスクイベントを記録および監視

リスクイベントは、組織内で発生する潜在的または実際の財務的および財務以外の損失、ニアミス、および利益です。リスクを効果的に管理するには、リスクイベントを監

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

視し、根本原因を分析し、修正タスクを追跡することが不可欠です。組織は、リスクイベントを使用して損失を把握し、改善領域を分析してそれ以上の損失を削減します。完全なイベント情報をキャプチャし、将来のリスクを軽減するための追加のコントロールを提案するために、損失イベント登録を維持する必要があります。

主なリスクインジケーターを定義

企業のリスク体制を継続的に監視します。リスクとコントロールの継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成が含まれます。これらのインジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、コントロールの問題を作成し、リスク体制の変化を知らせ、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。インジケーターのしきい値に違反している場合は、それぞれのステークホルダーにエスカレートする必要があります。

問題とインシデントを管理

脅威となる環境、プロセス、またはシステムに変更があると、問題が作成されます。問題には、インシデントまたは損失を防ぐためのアクションが必要です。インシデントは、成功した結果であるか、負の影響を及ぼすイベントです。オペレーショナルリスクマネージャーは、問題とインシデントを表示、作成、および管理できます。問題とインシデントの追跡、適切なクローズ、修正、および監視を確実に行います。

オペレーショナルリスク体制を通知

データを効果的かつ正確にレポートするためのダッシュボードを定義します。エグゼクティブおよびオペレーショナルリスクチームの責任者と共有できる必要なレポートを作成する必要があります。レポートとダッシュボードは、組織全体の集計されたアセスメント結果が企業の上位のオペレーショナルリスクの特定に確実に役立つようにします。

次の表に、オペレーショナルリスクマネージャーのロールで実行する主要なタスクを示します。

オペレーショナルリスクマネージャーのタスク

アクティビティ	タスク
オペレーショナルリスクフレームワークを定義	• リスクステートメントを作成 • リスクワークスペースでリスクフレームワークを作成 • リスクワークスペースでリスクステートメントをコントロール目標に関連付ける
オペレーショナルリスク体制を通知	• リスクワークスペースの Advanced Risk アセスメントのオペレーショナルリスクヒートマップ • クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ
重大なインシデントと問題を監視	問題を表示、作成、管理
主なリスクインジケーターを定義	リスクインジケーター、コントロールインジケーター、およびインジケーターテンプレート
年次リスクアセスメントプロセスを実施	• リスクアセスメント方法論を構成 • 要素を作成 • リスクアセスメントスコープを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オペレーショナルリスクマネージャーのタスク (続く)

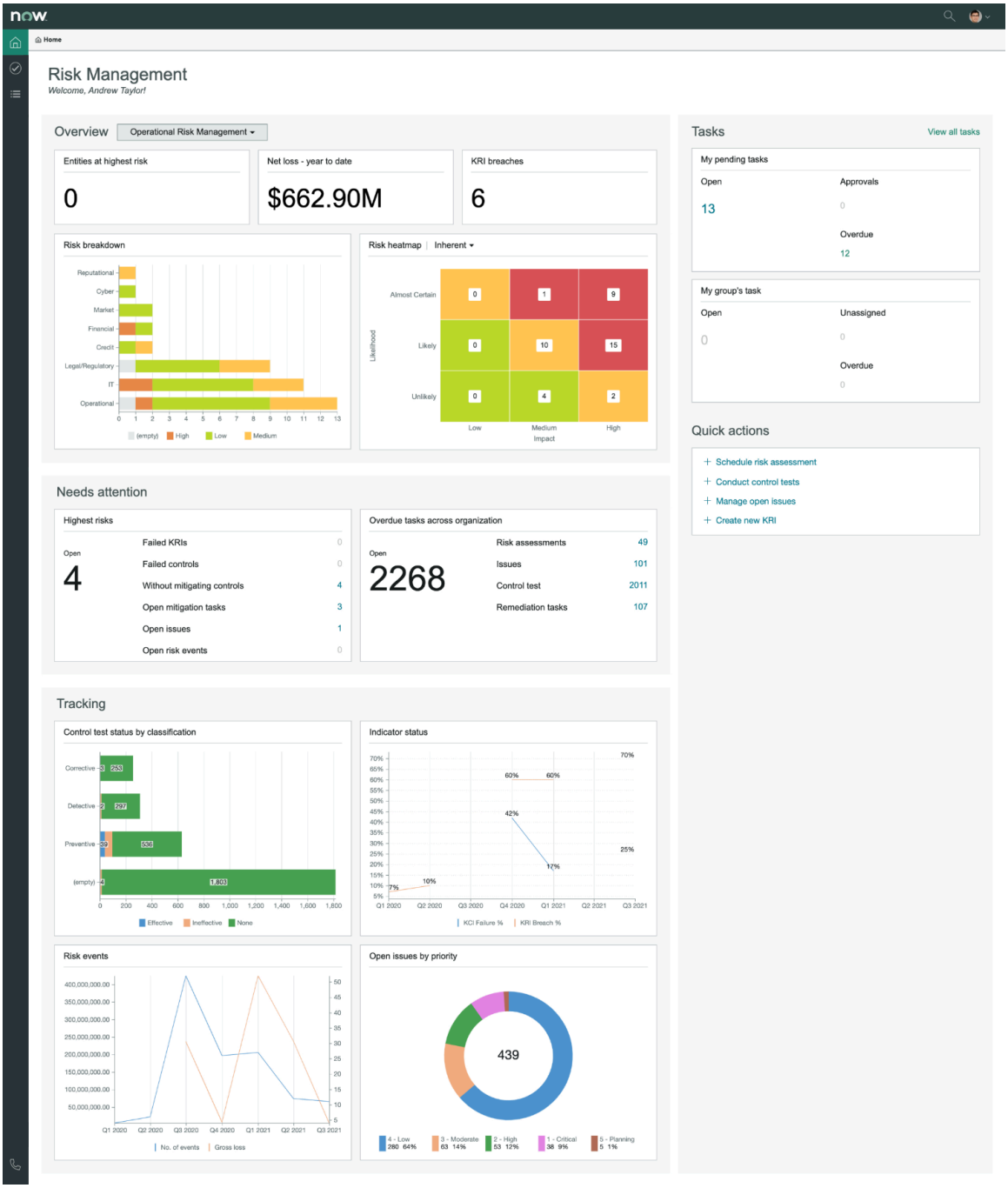
アクティビティ	タスク
	• リスクワークスペースでリスクアセスメントをスケジュール • リスクワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行
損失イベントの記録とそこからの学習を促進	• リスクイベントを管理 • リスクワークスペースでリスクイベントを作成 • リスクワークスペースでリスクイベントを分析 • リスクワークスペースでリスクイベントエントリを作成
集計されたリスクレポートを作成	Risk Management アプリケーションにおけるレポート

次の画像は、オペレーショナルリスクマネージャーのビューを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オペレーショナルリスクマネージャーのホームページ



関連情報

GRC リスクワークスペース と一緒にインストールされるロール

ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーの リスクワークスペース

ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーは、個々の LOB (基幹業務) の防御の第一線を担います。特定の事業部門のリスク体制を管理する責任があります。

ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーには、sn_risk_workspace.business_op_risk_manager ロールがあります。ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーは、ワークスペースで次のことを実行できます。

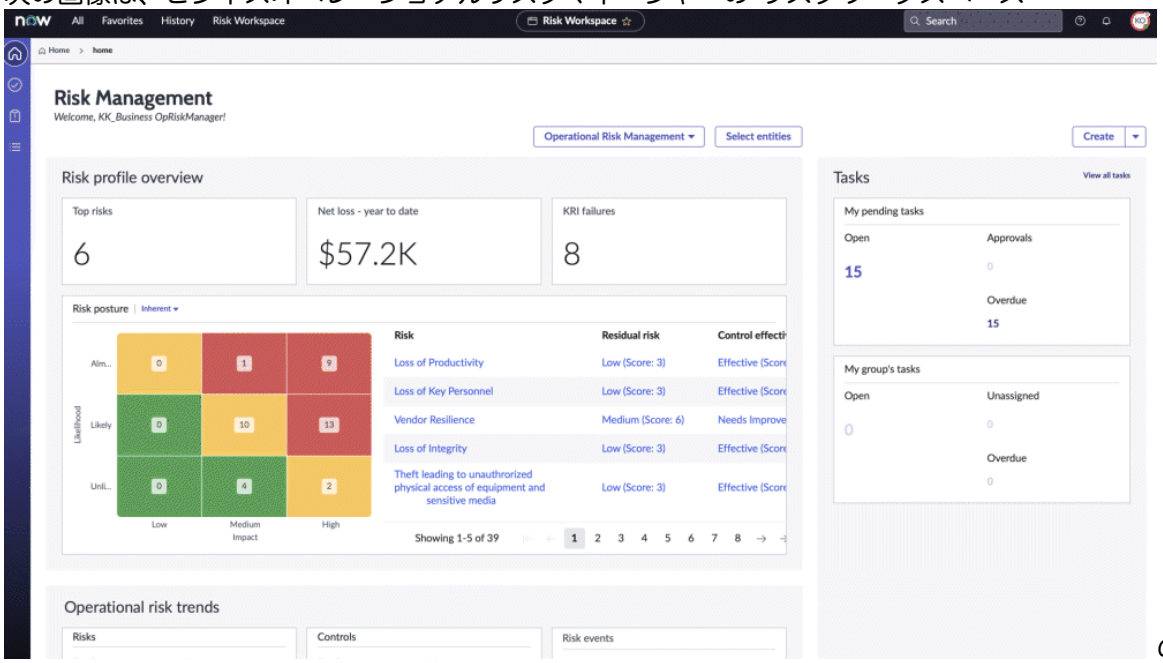
- 適切なリスクアセスメント方法論をフィルターして、関連するデータを表示します。
- 上位リスクの数を表示して、エンティティのパフォーマンスを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 失敗した重要なリスクインジケーターの数を表示します。
- 現在の暦年または会計年度の初日から現在の日付までの正味損失。
- リスク、リスクイベント、およびインジケーターを作成します。
- 過去 30 日間に特定された未評価のリスクや新しいリスクなどのオペレーショナルリスクの傾向を表示します。
- カテゴリ別にリスクを表示します。
- コントロールのステータス、新しいコントロールの数、および証明されていないコントロールの数を表示します。
- 期限切れの問題の数と新規の問題の数を表示します。

次の画像は、ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーの リスクワークスペース



のビューを示しています。

エンティティの上位リスクのリスクアセスメントを表示するには、[上位のリスク] カードをクリックします。

ワークスペースのヒートマップは、ヒートマップの各タイルを選択すると、リスクに関する重要なインサイトを提供します。ヒートマップ上のフィルターを使用して、固有のリスク体制または残存リスク体制のいずれかを表示できます。詳細については、「リスクヒートマップワークベンチ」を参照してください。

IT リスクマネージャーの リスクワークスペース

情報テクノロジー、すなわち IT リスクは、ビジネスデータと重要なシステムに対する脅威です。これは、組織内での IT の使用および運用に関連するリスクです。IT リスクマネージャーは、組織全体の IT リスク管理プログラムの確立と維持を担当する主要な人物です。

IT リスクの性質はさまざまです。ビジネスに影響を与える可能性のあるさまざまなタイプの IT リスクを認識することが重要です。IT リスクマネージャーは、さまざまなステークホルダーと協力して、IT リスクが組織のリスク選好度の範囲内で管理されるようにします。IT リスクマネージャーのリスクアセスメントを容易にするために、事前設定されたリスクアセスメント方法論 (RAM) もデフォルトで提供されます。IT リスクマネージャーは、この RAM を使用することも、要件に応じて変更することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT リスクマネージャーのタスク

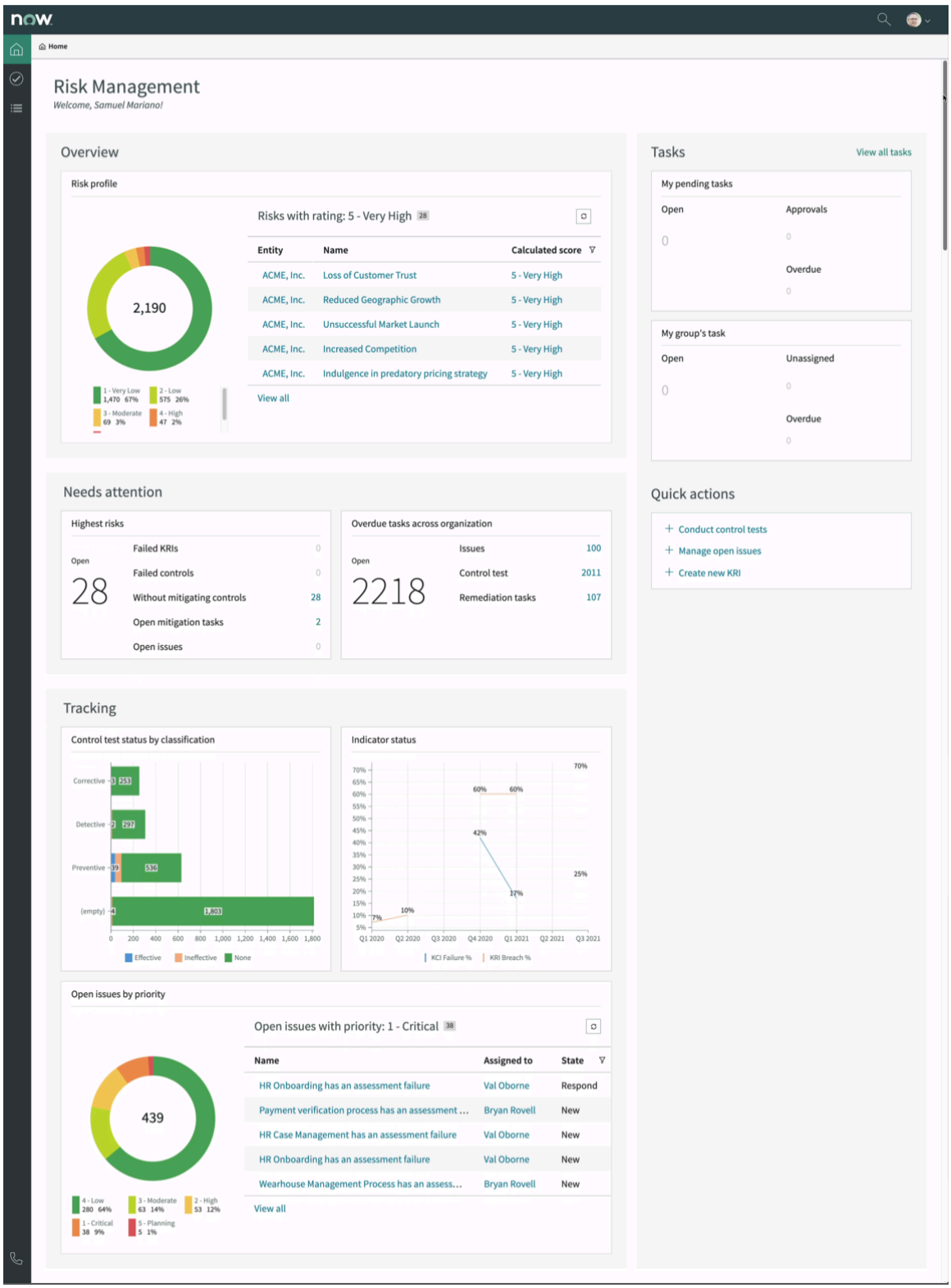
アクティビティ	タスク
ワークフローを使用してリスクを特定します。	リスクワークスペースでのリスク識別のワークフロー。
すべての IT リスクを特定、評価、緩和、および監視します。	• リスクワークスペースでリスクアセスメントスコープを作成。 • リスクワークスペースでリスクアセスメントをスケジュール。
IT リスクの修復アクションを管理し、アクションプランを定義します。	リスク応答の管理。
IT リスク体制を通知します。	クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ。
主なリスクおよびコントロールインジケーターを定義します。	リスクインジケーター、コントロールインジケーター、およびインジケーターテンプレート
コントロールテスト計画を作成します。	リスクワークスペース でテスト計画を作成する

次の画像は、IT リスクマネージャーのビューを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT リスクマネージャーのホームページ



リスクワークスペースのユーザーエクスペリエンスの拡張

新しいワークスペースでは、日常のタスクを簡単に実行できるようにいくつかの機能拡張が行われています。ユーザーエクスペリエンスの拡張は、新しい GRC ユーザーまたは GRC の完全なエクスペリエンスを持たないユーザーに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクワークスペースのビュー

新しいワークスペースでは、ユーザーに次のビューが提供されます。

リストビュー

リストビューには、すべてのモジュールの簡易リストが表示されます。リストビューにアクセスするには、リストアイコン ( ) をクリックします。

レコードビュー

レコードビューには、レコードに関する詳細情報が表示されます。たとえば、リスクステートメントフォームでは、リスクステートメントの親と子を含む完全な階層を表示できます。このビューには、未解決のインジケーター違反、未解決の問題、未解決のリスクイベントなどの詳細が表示されます。

その他のユーザーエクスペリエンスの改善

レコードの概要ページ

各レコードの [概要] タブには、必要なすべての情報の概要が単一のビューで表示されます。たとえば、リスクレコードについては、KRI 違反、コントロールの失敗、未解決の問題の数、オープンインジケータータスク、評価されたリスクの数などを確認できます。

レコードのコンテキストサイドパネル

レコードのコンテキストサイドパネルには、レコードの詳細な関連情報が表示されます。たとえば、リスクの場合、親と子の階層を表示できます。参照アイコン ( ) をクリックすると、コンテキストサイドパネルを表示したり閉じたりできます。

タスク

タスクは、自分のタスクとグループのタスクを表示する一元化されたタスク受信ボックスです。タスクにアクセスするには、タスクのアイコン ( ) をクリックします。

360 度のリレーションシップビュー

360 度ビュー機能を使用すると、選択したレコードと、コントロール、リスク、エンティティタイプなどの関連オブジェクトの間の関係を表示できます。360 度ビューでは、表示されているすべてのレコードを操作することもできます。詳細については、「360° Relationship Visualization」を参照してください。

ブレッドクラムナビゲーション

ブレッドクラムスタイルナビゲーションでは、関連するコンテンツを含むリンクされたページの階層を移動するための、ブラウザーパスを利用できます。ブレッドクラムスタイルナビゲーションでは、ユーザーの開始点から現在のコンテンツまで、各リンクに移動する機能により、デジタル記録を提供します。詳細については、「ブレッドクラムナビゲーション」を参照してください

統合された問題ページ

包括的な問題管理ページには、問題の詳細なステータスが表示されます。たとえば、期限切れの問題、期限切れ間近の問題、優先度別の問題などを表示できます。自分と自分のグループにアサインされた問題を表示することもできます。この機能により、問題の追跡が簡単になります。[問題のランディングページ] アイコン ( ) をクリックすると、問題にアクセスできます。詳細については、「リスクワークスペースでの問題管理」を参照してください。

GRC リスクポータル

GRC リスクポータルは、GRC ビジネスユーザーが自分のタスクとそのグループのタスクを表示できるようにする簡素化されたインターフェイスです。リスクポータルでは、ユーザーがリスクイベントを報告することもできます。

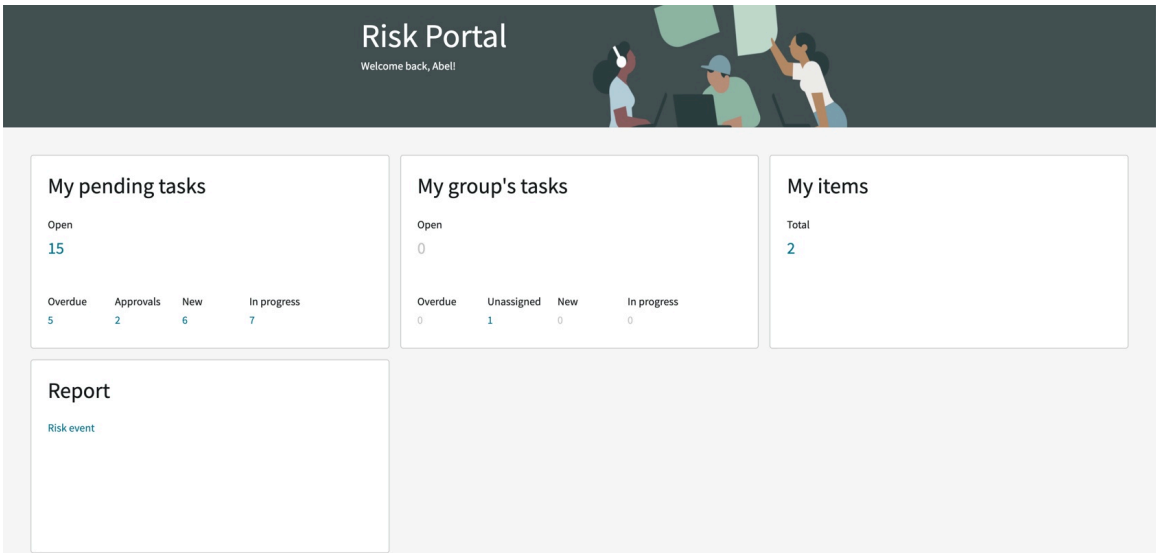
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクポータルにアクセスするには、次の場所に移動します。 リスク > リスクポータル. このポータルを使用するには、sn_grc.business_user ロールが必要です。リスクポータルでは、次のことができます。

- [自分の処理待ちのタスク]：自分にアサインされた処理待ちのタスクを表示します。たとえば、リスクアセスメントが自分にアサインされている場合は、リスクポータルから起動できます。
- [自分のグループのタスク]：グループにアサインされたタスクを表示します。
- [自分のアイテム **(My items)**]：提出した要求を表示します。たとえば、問題、ポリシー例外、修正タスクなどです。
- [レポート]：リスクイベントを報告します。リスクポータルからリスクイベントを報告する方法については、「リスクポータルからリスクイベントを報告」を参照してください。

リスクポータル



自動翻訳

リスクワークスペースの **Advanced Risk** アセスメント

リスクワークスペース は、ユーザーが Advanced Risk アセスメントを実行するための拡張および簡素化されたユーザーエクスペリエンスを提供します。自分または自分のグループに割り当てられたリスクアセスメントには、GRC リスクポータルまたは リスクワークスペースから簡単にアクセスできます。

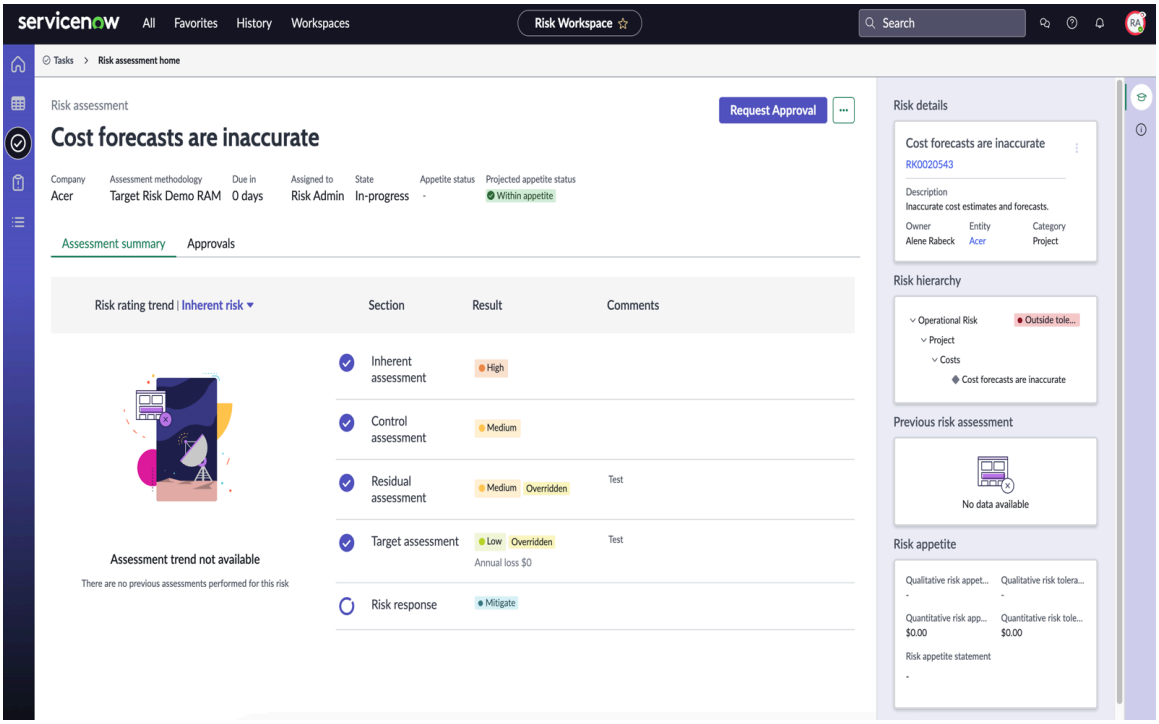
新しい リスクワークスペースを使用すると、リスクアセスメントインスタンスで実行するすべてのアセスメントについて、より多くのデータをすぐに参照できるため、リスクアセスメントをより直感的に行うことができます。オペレーショナルリスクマネージャーは、Advanced Risk アセスメントを使用するとき、ホームページの [リスクサマリー] フィールドで、リスクアセスメント方法を選択するためのフィルターを使用できます。たとえば、評価されたオペレーショナルリスクを示すリスクアセスメント方法を選択できます。リスクアセスメント方法の詳細については、「Advanced Risk アセスメント」を参照してください。

新しいユーザーがリスクアセスメントを理解できるように、アセスメントセクションに関する説明を含むコンテキストサイドパネルが提供されます。デフォルトの説明と簡単なトレーニングが提供されていますが、リスクアセスメントに関連するトレーニングコンテンツを表示するようにシステムを構成することもできます。サイドパネルのトレーニング情報を開いたままにしたくない場合は、情報アイコンを使用して閉じることもできます。

リスクアセスメントのホームページでは、アセスメント対象のエンティティ、アセスメントの期日、アセスメントのアサイン先、承認者、およびリスクの説明を一目で確認できます。ホームページには、リスクアセスメントの結果と選択されたリスク応答戦略も表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメントホームページ



リスクワークスペースの Advanced Risk アセスメントの主な機能拡張は次のとおりです。

関連するリスクとコントロールの参照情報を表示

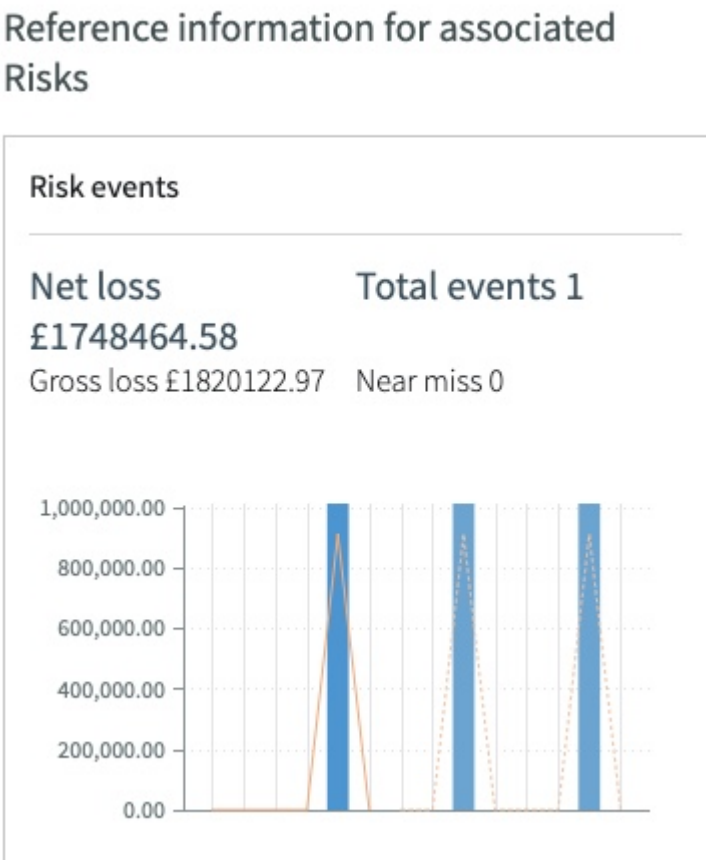
コンテキストサイドパネルには、関連するリスクとコントロールの参照情報が表示されます。グラフ表示をクリックすると、リスクイベント、問題、インジケーター違反などに関する詳細情報を取得できます。参照情報には以下が表示されます。

- 特定のリスクについて集計されたリスクイベントの総損失と正味損失を表示するリスクイベントグラフ。このグラフには、損失の予測も表示されます。
- 四半期ごとの主要なインジケーター違反の割合。
- 失敗したコントロールインジケーターの割合のグラフ。コントロールアセスメントを実行するときに、コントロールテストの結果、インジケーターの失敗などを参照できます
- 未解決の問題の数とその重大度。プラスアイコンをクリックして問題を作成することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Advanced Risk アセスメントの参照情報

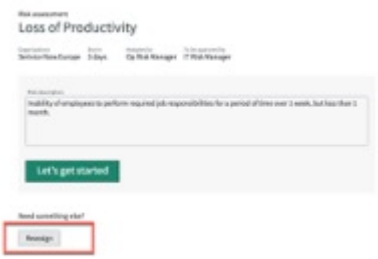


要素ガイダンスを表示

ワークスペースで要素に応答しているときに、[ガイダンスを表示] アイコン ( ) をクリックすると、ガイダンスをすばやく表示できます。この機能により、応答中にガイダンスを表示して要素を理解できるため、時間を節約できます。

アセスメントを再アサイン

他のユーザーが評価する必要があるリスクアセスメントがアサインされている場合は、リスクアセスメントのホームページからアセスメントを再アサインできます。同じ名前のユーザーが 2 人いる場合は、アセスメントを再アサインするときにユーザーのメールアドレスを表示できます。この機能により、ユーザーが間違ったユーザーにアセスメントをアサインすることを防止できま



す。

要素の重み付け情報を表示

第一線のリスク査定人は、要素の定性的重み付け、定性的スコア、および定量的スコアを表示する必要がある場合があります。[総合評価] をクリックすると、この情報に簡単にアクセスできます。

関連情報

- リスクワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Advanced Risk® アセスメント

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) Advanced Risk アセスメント機能を使用して統合リスクプラットフォームを作成します。この統合プラットフォームは、さまざまな種類のリスクアセスメント方法をサポートしています。これにより、リスクアセスメントを総合的な意思決定プロセスの一部として統合できます。

Advanced Risk アセスメントには次のメリットがあります。

- リスク識別、リスク分析、リスク評価、リスク処理、および監視を含む完全なリスク管理ライフサイクルをデジタル化します。
- 組織固有のニーズに基づいてリスクアセスメントプロセスをカスタマイズします。このカスタマイズには、アセスメント基準、コンテキスト、および全体的なリスク採点ロジックの構成が含まれます。
- 定性的および定量的両方のリスクアセスメント方法をサポートします。
- リスク全体のボトムアップリスクアセスメントスコアを自動的に集計します。
- 第一線のユーザーのワークスペースにリスクアセスメントプロセスを埋め込みます。この埋め込みは、ユーザーがアクションに関連するリスクに基づいて情報に基づいた意思決定を行うのに役立ちます。

注:
現在のライセンスが Advanced Risk アセスメントを受ける資格があるかどうかを確認するには、ServiceNow にお問い合わせください。

リスクアセスメントのステップ

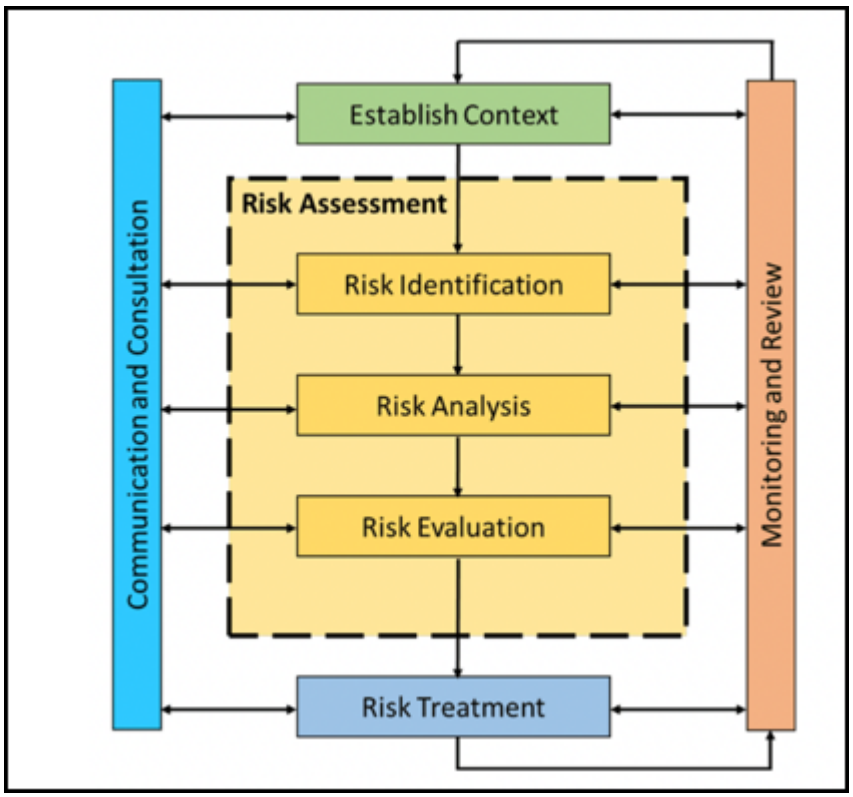
Advanced Risk アセスメントを理解する前に、リスク管理の主要なステップを理解することが重要です。

1. リスクの特定：組織の目標達成を妨げる可能性のある不確実性やリスクを見つけます。
2. リスク分析：リスクの原因と結果を理解します。
3. リスク評価：追加のアクションが必要かどうかを判断するために、リスク分析の結果を確立されたリスク基準と比較します。
4. リスクの処理：リスクに対処するためのアクションプランを定義します。
5. リスク監視：組織のリスク体制を追跡し、関連するステークホルダーに伝達します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理のステップ



リスクアセスメントは、リスクの特定、リスク分析、およびリスク評価で構成されます。高度なリスクアセスメントは、要素または質問とその回答に基づいて実行されます。組織などのエンティティに対して実行できます。高度なリスクアセスメントを使用するには、[管理] モジュールの下にある **[Advanced Risk** アセスメントに移行] プロパティを有効にする必要があります。リスクアセスメントの査定人と承認者には、sn_grc.business_user ロールが必要です。高度なリスクアセスメントを使用すると、固有のリスク、軽減コントロール、および残存リスクを評価するリスクの詳細なアセスメントを行うことができます。エンティティ、リスクステートメント、コントロールなどの完全な GRC セットアップがない場合でも、任意の ServiceNow レコードまたはオブジェクトのリスクを評価できます。オブジェクトアセスメントの例は、変更管理の評価です。リスクアセスメントでは、以下のリスクが評価されます。

- 固有リスク：固有リスクは、コントロールを持たないリスクです。たとえば、ハイウェイでの高速走行は、中程度の速度での走行よりも本質的にリスクが高くなります。この固有リスクのスコアは、リスクの影響度とリスクの可能性を乗算することによって導出されます。
- コントロールの有効性：コントロールにより、リスクの影響または可能性を軽減できます。たとえば、ハイウェイには制限速度モニターがあります。リスクが具体化した場合、コントロールによって影響が緩和されます。コントロールには、予防コントロール、発見的コントロール、または是正コントロールがあります。
  - 予防コントロールは、これらの問題が発生する前にエラー、不正確、または詐欺を防ぐように設計されています。
  - 発見的コントロールは、エラー、不正確、または詐欺の存在を発見することを目的としています。
  - 是正コントロールは、検出されたエラーや不規則性を修正するように設計されています。
- 残存リスク：残存リスクは、コントロールの実装後に残るリスクです。たとえば、安全対策が講じられていても、事故が発生している場合、事故による損害が残存リスクです。残存リスクスコアは、次のいずれかの方法を使用して計算できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 固有有効性と残存有効性の間のマトリクス。
- 固有スコアからコントロールスコアを引く、などの数式。
- 要素に対する回答。

- ターゲットリスク：ターゲットリスクは、組織が今後の達成を望んでいるリスクです。特定されたリスクの可能性のレベルと影響を評価することで、各リスクに対するターゲットリスクのレベルを確立できます。たとえば、リスクを評価するときは、固有リスク、コントロールの有効性、残存リスクなどのさまざまな側面を考慮します。ただし、リスク対応が実装された後に達成される望ましいリスクレベルをキャプチャすることも同様に重要です。ターゲットリスクは、アクションプランが正常に実行された後に達成を目指す最適なリスクレベルを表します。これらのアクションを実装するコストとの関連で、組織が得る利益を測定できます。

Advanced Risk アセスメントのワークフロー

Advanced Risk アセスメントを使用するには、リスクアセスメント方法論 (RAM) を設定し、アセスメントスコープを定義して、アセスメントを実行する必要があります。

Advanced Risk アセスメントを使用する前に、ユーザーごとに異なるセットアップタスクを実行する必要があります。これらのステップは、アセスメントのワークフローを定義します。

1. リスクアセスメント方法論 (RAM) を設定：sn_risk.admin ロールを持つリスク管理者がシステムを設定します。管理者は次のことを行います。
   - 識別：リスクまたはオブジェクトが評価されているかどうかを識別します。
   - アセスメント：アセスメント基準、リスクの採点、レポート設定などを使用して問題を評価する方法を決定します。
2. リスクアセスメントスコープを定義：RAM が定義された後、エンティティオーナーは以下を定義して識別します。
   - エンティティの関連リスク。
   - これらのアセスメントの査定人と承認者。
   - リスクアセスメントの周期性。
3. リスクアセスメントを実行：sn_grc.business_user ロールを持つリスク査定人は、次のアセスメントタスクを実行します。
   - 固有リスクと軽減コントロールの有効性を評価します。
   - 残存リスクをレビューし、リスク処理計画を定義します。
   - ターゲットリスクアセスメントを実行して、望ましい今後のリスクレベルを定義します。
   - レビューおよび承認ワークフローをトリガーします。
4. アセスメントを監視：リスクアセスメントが承認されると、アセスメントは [監視] ステータスに移行します。リスクアセスメントで評価されたリスクは、特に自動要素が含まれている場合は監視する必要があります。任意のデータソースから自動的にデータを取得する自動要素または質問のリスク評価は常に変化します。したがって、現在評価が低いリスクの評価が後で高くなる可能性があります。このため、完了したアセスメントを監視して組織への脅威を減らすことが不可欠です。

Advanced Risk アセスメントの要素

要素は、リスクの分析に使用できる質問です。リスクアセスメントインスタンスに要素が表示されます。

要素は、リスクアセスメント中に表示される質問です。Advanced Risk アセスメントを使用するには、最初にこれらの要素を定義し、リスクアセスメント方法論 (RAM) を設定する必要があります。RAM の詳細については、「リスクアセスメント方法論を構成」を参照してください。各要素または質問には応答があります。要素には次のようなタイプがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 手動要素：人間の入力が必要な要素。応答は手動応答です。たとえば、自分の名前です。
- 自動要素：応答が自動的に計算される要素。例：今日の都市の気温。情報は外部ソースから取得されます。
- スクリプト化された自動要素：スクリプトを記述するために使用される要素。
- グループ要素：論理的にグループ化された一連の要素。

これらの機能については、次のセクションで説明します。要素を定義して公開した後、RAM を設定し、RAM 内のアセスメントタイプに要素を関連付けることができます。RAM はリスクアセスメントの基礎を形成します。選択した各アセスメントタイプを公開してから、RAM を公開します。sn_risk.user ロールを持つユーザーは、アセスメントを実行する必要があるアセスメントタイプを選択できます。

リスクアセスメントインスタンスが作成されます。そのプロパティは、RAM に対して選択したアセスメントのタイプとオプションによって異なります。リスクアセスメントインスタンスでは、リスク査定人がリスクの評価を行います。質問として、要素は複数のアセスメントタイプで使用できます。たとえば、「建物が浸水する可能性はどのくらいですか？」などの質問を、固有のアセスメントまたはコントロール有効性アセスメント後の残存アセスメントに含めることができます。

注:
要素は複数のアセスメントタイプで使用できますが、使用できるのは 1 つの RAM のみです。1 つの RAM で作成され、使用された要素を他の RAM で再利用することはできません。

要素の貢献度のタイプ

査定人が要素に応答します。リスク査定人は、次の方法で要素に貢献できます。

- 定性的：損失は、高、中、低などの主観的な用語の形式です。損失は、評価に変換される数値スコアの形式にすることもできます。
- 定量的：損失は数値形式です。これらは、金銭的なリスクから発生する可能性があります。固有年次損失予測 (ALE) に寄与します。
- 両方：損失には、定性的なリスク評価と定量的な金額 (ドル) の両方があります。これらの評価は、半定量的とも呼ばれます。

定性的、定量的、および半定量的評価の詳細については、「リスク評価方法のタイプ」を参照してください

手動要素

リスクアセスメントでは、回答者からの人間による回答が必要な質問は手動要素と呼ばれます。手動要素では、応答は主観的で分類が困難です。一部の質問では、人間のインテリジェンスとアセスメントが必要です。したがって、手動要素は個人の見解によるアセスメントです。手動要素の例としては、評判への影響度、予想される発現速度などがあります。手動要素では、ユーザーは次のタイプの応答を提供できます。

- テキスト：説明的な回答。たとえば、フィードバックです。この選択肢は、リスクスコアの計算に寄与しません。
- 選択肢：アセスメントの質問に対するユーザー定義の選択肢。たとえば、ユーザーは低、中、高からリスク評価を選択できます。
- 数字：数値。たとえば、未解決の問題の数です。
- 通貨：ユーザーの現地通貨での金額。たとえば、特定のリスクの財務の影響です。
- パーセンテージ：アセスメントの質問のパーセンテージ値。たとえば、組織の戦略に満足している従業員の割合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ要素

要素が論理的にグループ化されると、グループ要素と呼ばれます。グループ要素のスコアは、対応する手動要素の応答に依存します。たとえば、組織は財務リスクと非財務リスクの影響を受けます。財務リスクのいくつかの要素と、非財務リスクの他の要素を作成できます。これらの 2 つの要素セットを組み合わせて、全体的な影響度と呼ばれる 1 つのグループ要素を作成できます。手動要素と同様に、グループ要素は、定性的貢献に変換される数値リスクスコア、または定量的貢献として ALE 値に貢献できます。

自動要素

自動要素は、アセスメント中にテーブルやデータベースビューなどのデータソースから最新のデータを自動的にフェッチします。自動要素は、リスクアセスメントプロセスを自動化するのに役立ちます。手動入力に依存しないため、主観性が減少します。たとえば、リスク査定人がさまざまな場所に対してアセスメントを実行する必要があるとします。自動要素の 1 つは国の政治状況であり、この情報は Web サイトで公開されます。このデータは ServiceNow 内に存在しないため、査定人は自動要素を使用してデータをフェッチできます。自動要素の他の例を次に示します。

- プロジェクトに参加している従業員数。
- 事業部門の収益。
- プロセスの事業上の重要度。

スクリプト化済み自動要素

自動スクリプト化済み要素は、スクリプトを記述するために使用されます。スクリプトは、ServiceNow レコードまたは外部ソースからデータをフェッチします。スクリプト化された自動要素は、リスクアセスメント中に要素に対する応答を自動的に提供します。

次のユースケースは、スクリプト化された要素をモデル化する方法の例を示しています。たとえば、コンプライアンス機能の結果を使用してコントロールの緩和の有効性を評価する場合、コントロールを評価する方法には次の 2 つがあります。

- コントロールの個々のアセスメント
- コントロール環境のアセスメント。

コントロールの個々のアセスメントでは、各コントロールが個別に評価されます。スクリプト化された要素のコンテキストでコントロールアセスメントを理解するために、リスクとしてのマネーロンダリングの例を検討してください。この例では、コントロールの有効性は失敗したコントロールの割合に基づいて評価されます。失敗したコントロールの値は、そのコントロールのコントロール有効性を計算するための評価に変換されます。たとえば、マネーロンダリングのリスクには次の 3 つの軽減コントロールがあります。

- 従業員トレーニング
- 従業員に関する内部監査
- 顧客デューデリジェンス

次の方法でコントロール有効性基準を定義しているものとします。

ここで、3 つのコントロールのうち、1 つのコントロールが合格し、2 つのコントロールが不合格であると仮定します。2 つのコントロールが失敗した場合、失敗率は 66.67% になります。変換に基づき、また前のテーブルに基づくと、コントロール有効性評価は無効です。この定義済みスクリプトを使用して、マネーロンダリングのリスクを評価する要素への応答を自動化できます。

コントロール環境アセスメントの場合は、各コントロールを個別に評価する代わりに、完全なコントロール環境を評価できます。コントロール環境アセスメントを理解するために、次の例を考えてみましょう。設計有効性と運用有効性の 2 つの側面に基づいてコントロール環境を評価すると仮定

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。設計有効性を計算するために、マネーロンダリングのリスクに関連する関連コントロールをフェッチできます。その後、テスト結果を確認して、不合格になったコントロールの数を把握できます。次の方法でコントロール有効性基準を定義しているものとします。

ここで、2 つのコントロールが不合格で、1 つのコントロールが合格したと仮定します。このように、コントロール設計有効性の失敗率は 33.33% です。前のテーブルに基づくと、この値が 33.33% と低い場合は、コントロール設計に改善が必要であることを意味します。この応答は、人間の計算や介入を必要としないため、自動スクリプト化された要素で自動的にスクリプト化できます。

リスク評価方法のタイプ

アセスメント中にリスクが採点され、評価が導出されます。評価には、定性的、半定量的、定量的の 3 種類があります。

定性的評価

定性的リスクアセスメントは、リスクの可能性と影響に関する査定人の認識に依存します。方法が純粋に定性的である場合、評価は高、中、低などのリスト値に基づいています。この場合、リスクスコアはロールアップされません。この方法には数学的依存関係が最小限であるため、定性的リスクアセスメントは簡単かつ迅速に実行できます。この方法では、評価対象のプロセスまたは資産に関する査定人の経験豊富な知識を活用することもできます。リスクアセスメントを初めて使用するユーザーは、通常、このタイプの評価を使用します。

次の図は、定性的評価の例を示しています。

定性的リスクアセスメント

		Impact		
		Low	Medium	High
Probability	Low	Low Risk	Low Risk	Medium Risk
	Medium	Low Risk	Medium Risk	High Risk
	High	Medium Risk	High Risk	High Risk

半定量的評価

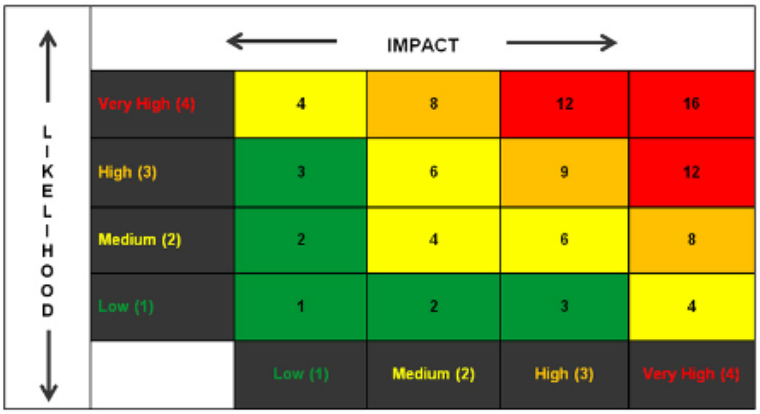
半定量的評価では、定性的評価にも対応する数値スケールがあります。たとえば、定量的リスクスコアが 0 ～ 10 の場合、定性的評価は低です。このタイプの評価を使用するユーザーは、リスクアセスメントを初めて使用するユーザーではありません。ほとんどのユーザーがこのカテゴリに属します。このカテゴリでは、リスクスコアがロールアップされ、リスク選好度の性質は定性的です。

次の図は、半定量的評価の例を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

半定量的リスク評価



Risk Score	Rating
0 – 3	Low
4 – 6	Medium
6 – 9	High
10 – 16	Very High

定量的評価

定量的リスクアセスメントは、ファクトベースで測定可能な高度に数学的なデータに焦点を当てています。高度なシミュレーション技術を使用する定量的リスク評価では、リスクは純粋に数値で定量化されます。このカテゴリでは、リスク選好度の性質は定性的です。

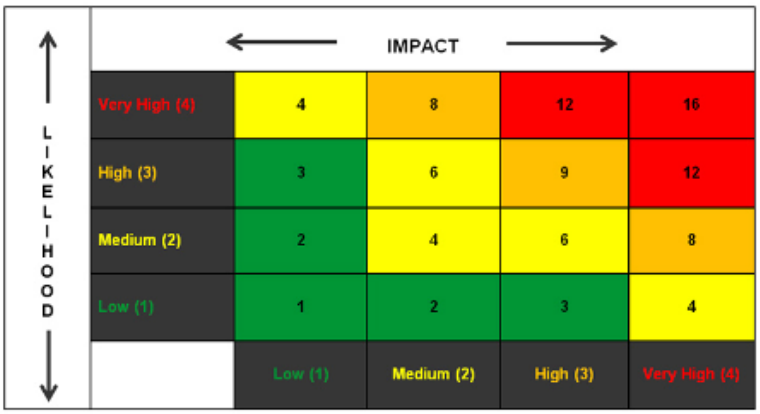
変換基準

リスクスコアが計算された後、スコアを評価に変換し、その評価を上級管理者や他のステークホルダーに簡単に報告できます。

スコアは評価に変換されます。これは評価がスコアの明確な意味と解釈を提供するためです。リスクスコアの変換は、変換基準を使用して行われます。要件に基づいて変換基準を定義できます。たとえば、80 ～ 100 のリスクスコアを高リスクと定義できます。

次の図は、評価変換基準の例を示しています。

評価変換基準



Risk Score	Rating
0 – 3	Low
4 – 6	Medium
6 – 9	High
10 – 16	Very High

Advanced Risk アセスメントを使用した任意のオブジェクトアセスメント

エンティティ、リスクステートメント、コントロールなどの完全な GRC セットアップがない場合、任意の ServiceNow レコードまたはオブジェクトのリスクを評価できます。オブジェクトアセスメントの例は、変更管理の評価または引用の評価です。

任意のオブジェクトアセスメントを使用して、任意の ServiceNow レコードのリスクアセスメントを実行します。リスクアセスメントを実行するために、リスクの予備知識は必要ありません。リスクマネージャーは、アセスメント結果を使用して、プロジェクトまたはアプリケーションに関連するリスクを迅速に分析できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オブジェクトアセスメントは次の方法で実行できます。

- アドホック：アドホックベースのリスクアセスメントでは、ユーザーは UI アクションを介してアセスメントを実行できます。
- イベント駆動型：イベント駆動型のリスクアセスメントでは、ユーザーは何らかのイベントに基づいてリスクアセスメントを実行できます。

オブジェクトアセスメントを実行するには、[オブジェクト] を使用してリスクアセスメント方法を作成し、関連するテーブルを選択する必要があります。

注:
オブジェクトのリスクアセスメントを実行する場合、コントロールを評価することはできません。この制限の理由は、コントロールがエンティティまたはリスクのいずれかに関連付けられているためです。また、リスク応答ワークフローはオブジェクトのアセスメントには使用できません。

アセスメントを生成した後、アセスメントのリストを表示できるオブジェクトに関連リストを追加できます。オブジェクトのオブジェクトアセスメントを構成し、[リスク評価] ボタンを作成する方法の詳細については、Now Support ナレッジベースの「Perform any object assessment (オブジェクトアセスメントの実行) [KB0826429]」の記事を参照してください。

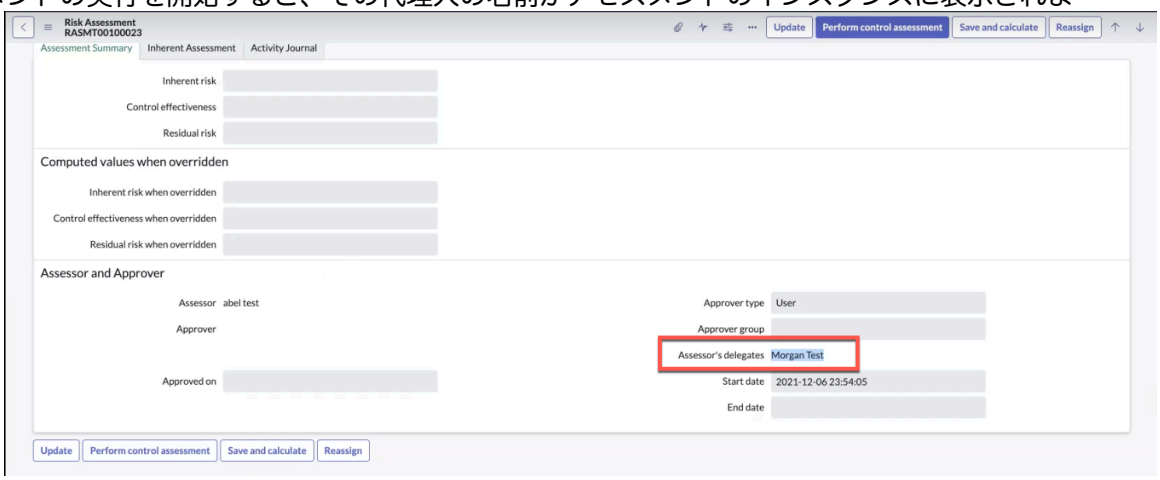
リスクワークスペースでオブジェクトアセスメントを設定する方法については、Now Support ナレッジベースの「Any object integration in workspace (ワークスペースでの任意のオブジェクトの統合) [KB0961251]」の記事を参照してください。

注:
記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

リスクアセスメントの委任

リスク査定人がリスクアセスメントを実行できない場合、査定人は指定された期間リスクアセスメントを実行する代理人を指名することができます。Now Platform を使用すると、代理人を指名できます。

委任とは、特定のアクティビティを実行する権限を他のユーザーにアサインすることです。これは他の人に作業を委任するプロセスです。リスクアセスメントのコンテキストでは、アサインされたリスクアセスメントの査定人がリスクアセスメントを実行できない場合があります。このようなシナリオでは、査定人は別のユーザーを代理人としてアサインすることができ、代理人は指定された期間、元の査定人に代わってリスクアセスメントを実行できます。代理人は、リスクワークスペースおよびリスクポータルからリスクアセスメントを実行できます。代理人は、元の査定人に送信されるすべてのシステム通知のコピーも受け取ります。代理人がアセスメントの実行を開始すると、その代理人の名前がアセスメントのインスタンスに表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク査定人が代理人をアサインする方法については、「Configure a delegate for your tasks (タスクの委任を構成する)」を参照してください。

タスクを他のユーザーに委任するには、[代理人] 関連リストを表示するように自分のユーザープロファイルフォームを設定します。詳細については、「[代理人を追加] 関連リスト」を参照してください。

代理人をアサインするときは、次の点に注意してください。

- 代理人をアサインする機能は、アセスメントを実行する場合にのみ使用できます。リスクアセスメントを承認するための代理人をアサインすることはできません。
- 代理人にアセスメントがアサインされると、アセスメントには元の査定人の名前と代理人が表示されます。
- 個々のユーザーは代理人としてのみアサインでき、グループとしてアサインすることはできません。
- リスクベースのアセスメントを実行するには、sn_risk_advanced.ara_assessor ロールが必要です。
- オブジェクトアセスメントを実行するには、代理人に sn_risk_advanced.ara_assessor が必要です。
- すべての代理人はライセンス付与されたユーザーと見なされ、使用状況 GRC が追跡されます。
- 代理人が査定人に代わってリスクアセスメントを実行する際は、元の査定人の名前が [査定人] フィールドに保持されます。新しいフィールド [査定人の代理人] に代理人の名前が表示されます。
- 代理人は、タスクを別のユーザーに再アサインできます。
- 代理人は、ワークスペースの [タスク] で元の査定人の進行中のアセスメントを表示できます。
- 代理人は問題を作成できます。
- 代理人は、リスク応答タスクを作成し、承認を要求できます。
- 代理人によって実行されるすべてのアクティビティは、アクティビティストリームにキャプチャされます。

リスクアセスメントインスタンスについて

リスクアセスメントインスタンスでは、リスク査定人が質問や要素に回答することでリスクとオブジェクトを評価することができます。

リスクアセスメント方法論 (RAM) が作成され、リスクアセスメントスコープが定義された後、リスク管理者によってアセスメントが開始されます。査定人は、リスクを評価するための通知を受け取ります。リスクアセスメントを実行するには、査定人に sn_grc.business_user ロールが必要です。アセスメントは、エンティティのリスクスコアに到達するために使用されます。

> **注:**
> 高度なリスクアセスメントロールを sn_grc.business_user ロールに手動でアサインする必要があります。ロールおよびグループの付与を調整する方法については、Now Support ナレッジベースの「How to adjust granting of roles and groups to use background jobs (バックグラウンドジョブを使用するためのロールとグループの付与を調整する方法) [KB0963693]」を参照してください。

リスク査定人が回答する質問は、RAM 内で構成されます。アセスメントには、手動要素と自動要素を含めることができます。手動要素には、応答として人間の入力が必要です。自動要素では、応答が自動的に計算されます。自動要素は、構成で定義されたスケジュールに基づいて自動的に実行されます。

アセスメントが完了すると、定義された再アセスメント頻度に基づいて再アセスメントが自動的にトリガーされます。再アセスメントは、既存のリスクアセスメントインスタンスが監視ステータスであ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

る場合にのみトリガーされます。アセスメントが監視ステータスにある場合、自動要素がスケジュールに従って実行されるたびに、アセスメントスコアが変更され、要素がロールアップに新しいスコアを提供します。

リスク査定人がアセスメントを別の関連する査定人に再アサインする必要があると判断した場合、査定人はアセスメントを再アサインできます。査定人は、要素に応答した後に応答を変更することもできます。

アセスメントが複数回行われ、以前のアセスメントの応答をコピーするオプションが RAM で有効になっている場合、以前のアセスメントからの応答が現在のアセスメントに自動的にコピーされます。

注:
自動要素応答と上書きされたスコアは、以前のアセスメントからコピーされません。

リスクアセスメントインスタンスのコンポーネント

RAM の構成に基づいて、リスクアセスメントインスタンスフォームには次の関連リストも表示されます。

- 以前のアセスメント：現在評価中のリスクの過去 5 回のアセスメント。
- リスクイベント：リスクに関連付けられているリスクイベントの数。
- リスクインジケーター：このリスクについて合格および不合格になったリスクインジケーターの数。
- オープンな問題：リスクとそのステータスおよび所有者のオープンな問題の数。
- リスク応答タスク：アセスメントに対して作成されたリスク応答タスクの数。
- 関連コントロール：リスクに関連するコントロール。この関連リストは、コントロール環境が評価されている場合にのみ表示されます。

注:
以前のリリースを使用している場合、合格および不合格のインジケーターの更新数を表示できないことがあります。この問題を解決するには、`Update indicator and Controls Count` 修正スクリプトを実行してください。

査定人には、軽減コントロールを評価しないというオプションがあります。コントロールをオプトアウトするオプションには、リスクがありますが、それを軽減するコントロールがない場合に役立ちます。たとえば、パンデミックがリスクであるが、それを制御するワクチンがないシナリオについて考えてみましょう。このような場合、リスクは評価されますが、コントロールはアセスメントから除外できます。査定人がコントロールと残存リスクの評価をオプトアウトすることを決定した場合、スコアは [適用外] に設定されます。

コントロールアセスメントが個々のコントロールを評価するように設定されており、コントロールが評価対象のリスクに関連付けられている場合、コントロールをオプトアウトするオプションは表示されません。これは、コントロールがデフォルトに設定されているために発生します。

残存アセスメントが固有のリスクおよびコントロールに対するものであり、リスク査定人がコントロールアセスメントをオプトアウトする場合、残存リスクは適用されません。この条件が作成されるのは、コントロールがない場合、自動的に固有リスクのみが存在し、残存リスクがないことになるためです。

リスクアセスメントのステージ

リスクアセスメントのライフサイクルは、次のステータスを辿ります。

1. 評価の準備完了：新しいアセスメントのインスタンスが作成されます。
2. 固有のアセスメント：固有のリスクアセスメントが実行されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. コントロールアセスメント：コントロールアセスメントが実行されます。
4. 残存アセスメント：残存リスクアセスメントが実行されます。
5. ターゲットアセスメント：ターゲットリスクアセスメントが実行されます。
6. 対応：リスクに対応します。
7. 承認待ち：特定されている場合、リスクアセスメントは承認者からの承認を待機します。
8. 監視：リスクアセスメントが完了し、監視されています。

リスク応答の管理

リスク応答は、リスクが評価された後にリスクに対処するために使用される戦略です。

リスクが評価された後、査定人はそれらのリスクへのアプローチを決定します。リスクに対処するために、査定人は次のタイプのリスク応答または戦略から選択できます。

- 承認：リスクをそのまま受け入れます。
- 軽減：リスクを軽減するための追加のコントロールを特定して実装します。
- 回避：リスクを完全に回避するために計画を変更します。
- 転送：リスクを第三者に転送または共有します。

査定人が最適な戦略を特定すると、査定人はリスク応答タスクを作成し、sn_risk.user ロールを持つリスクユーザーにアサインします。各戦略の説明は次のとおりです。

リスク受容

リスクユーザーはリスクを受け入れる際に、リスクを受け入れる方法についての計画を提供し、リスクを受け入れる理由を提供し、リスクオーナーから追加の承認を求めます。受け入れタスクのクローズは、その期間のリスクを受け入れていることを意味します。その後、リスクは [監視] ステータスに移行します。指定された期間が終了すると、ワークフローを再開してリスクを評価し、リスクに再度対応することができます。リスクオーナーは、次のいずれかのオプションで対応できます。

- 承認
- 却下
- キャンセル
- 追加情報の要求
- 不要になったと判断する

リスク軽減

リスクユーザーがリスクを軽減することを選択すると、リスク軽減タスクが作成されます。リスクユーザーは、リスクを軽減する方法についての計画を提供し、リスクマネージャーからのレビューを要求する必要があります。リスク軽減タスクが [ドラフト] または [対応中] ステータスの場合は、リスクのリスク軽減コントロールを作成するか、ライブラリから既存のコントロールを追加できます。sn_risk.manager ロールを持つレビュー担当者がその後で計画をレビューし、次のいずれかのオプションを選択します。

- クローズ
- ドラフトステータスに戻り、追加のコメントを入力
- キャンセル
- 削除

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク回避

リスクユーザーがリスクを回避することを選択すると、リスクを回避する方法についての計画を提供し、リスクマネージャーからのレビューを要求します。その後でレビュー担当者が計画をレビューし、次のいずれかのオプションを選択できます。

- クローズ
- ドラフトステータスに戻り、追加のコメントを入力
- キャンセル
- 削除

リスク移転

リスクユーザーがリスクの転送を選択すると、リスクを転送する方法についての計画を提供し、リスクマネージャーからのレビューを要求します。その後でレビュー担当者が計画をレビューし、次のいずれかのオプションを選択できます。

- クローズ
- ドラフトステータスに戻り、追加のコメントを入力
- キャンセル
- 削除

注:
リスク応答ワークフローはオブジェクトアセスメントには使用できません。

Advanced Risk アセスメントのリスクスコアロールアップ

Advanced Risk アセスメントでは、リスクステートメント階層、エンティティ階層、またはその両方の組み合わせでリスクスコアが計算されます。これらの方法により、ステークホルダーはリスク体制を監視し、全体的な集計リスクスコアを表示できます。

ロールアップ機能を理解する前に、次の点を考慮してください。

- 各エンティティは、さまざまなリスクアセスメント方法に基づいて複数のスコアを持つ場合があります。
- [監視] ステータスのリスクアセスメントのみがリスクスコアに寄与します。
- 各リスクアセスメント方法には、ロールアップ定性的スコアとロールアップ定量的スコアを計算するための異なる計算式がある場合があります。式は、リスクアセスメント方法論フォームの [ロールアップ構成]セクションで指定されます。
- プラグインが有効 高度なリスク になるたびに、リスクスコアがロールアップされます。

リスクステートメント階層

アセスメントに基づいて、選択された方法のリスクステートメント階層全体で、固有リスクスコア、年次損失予測 (ALE)、コントロール有効性スコア、残存リスクスコア、および ALE が自動的にロールアップされます。このロールアップにより、リスクマネージャーはエンタープライズリスク体制を監視できます。

エンティティ階層

リスクステートメント階層と同様に、リスクアセスメント方法論のエンティティ階層全体でリスクスコアと ALE 値が自動的にロールアップされます。このロールアップにより、エンティティオーナーはエンティティのリスク体制を監視できます。ロールアップは、次の式を使用して行われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 合計
- 平均
- 最大
- 最小

エンティティ階層とリスクステートメント

顧客は、[集計されたリスクレポートの管理] を使用して、エンティティのリスク体制を監視する追加のレポートディメンションを定義できます。たとえば、小売銀行の内部不正関連リスクを理解する必要がある場合は、そのレポートディメンションを定義してリスクを監視できます。

Advanced Risk アセスメントに移行した後のレポートとリスクロールアップ方法の変更

新しいロールアップスコア計算を利用するには、sn_risk.admin ロールを持つリスク管理者が最初に次の場所に移動してプロパティを有効にする *`Migrate to Advanced Risk Assessments`* 必要があります。 **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ. このプロパティはデフォルトで有効になってはいません。

注:
上記のプロパティを有効にすると、リスク概要ダッシュボードのカスタマイズがすべて非表示になることに注意してください。ServiceNowにサポートを依頼してください。また、リスクの次のプロパティは、高度なリスクロールアップに移行するときに非表示になりません。

- 次に基づいてリスク許容範囲を比較
- 計算されたリスクスコアを次と比較

顧客が 高度なリスク に移行すると、次のレポートがユーザーのビューで非表示になります。

- 集計されたリスクレポート
- エンティティ別のエクスポージャー
- リスクステートメント別のエクスポージャー

リスク概要ダッシュボードでは、次のタブが非表示になります。

- エンティティ許容範囲ステータス
- リスク許容範囲ステータス
- 集計されたエンティティ情報
- 集計されたリスク情報

集計されたリスクレポートには、ロールアップされたリスクスコアを示す次のモジュールが表示されます。

- リスクステートメント別集計
- エンティティ別の集計
- リスクステートメントごとのエンティティ

Advanced Risk アセスメントに移行すると、個々のリスクスコア値は、リスクスコアを取得するためにがロールアップされません。代わりに、高度なリスクアセスメントの値が考慮されます。たとえば、エンティティの場合、エンティティフォームの [リスクロールアップおよび許容範囲] セクションは表示されません。同じことがすべてのリスクステートメントに該当します。代わりに、[集計さ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

れたリスク] と呼ばれる関連リストが表示されます。[集計されたリスク] 関連リストには、さまざまなリスクアセスメントから導出された次の値が含まれています。

- リスクアセスメント方法
- 残存評価
- 固有の評価
- コントロール有効性
- 残存 ALE
- 固有 ALE
- 貢献リスクアセスメント
- リスクロールアップステータス

プライバシーリスク管理

プライバシー管理 のユーザーは、Integrated Risk Management の完全なライセンスを持っていなくても、限定された機能セットを使用して高度なリスクアセスメントを実行できます。

注意が必要な領域を優先するために、リスクアセスメントはさまざまなステークホルダーによって実行され、組織内のさまざまなワークフローの一部として組み込まれています。たとえば、プライバシー管理 内で、ユーザーは最も高いリスクをもたらす資産を特定し、それらのリスクを軽減するために適切なレベルのコントロールを確実に実装できる必要があります。他の事業部門におけるこのリスクアセスメントのニーズに対処するために、プライバシー管理 のユーザーがリスク管理のニーズに合わせて Integrated Risk Management ライセンスを購入することなく、高度なリスクアセスメント機能を使用できるようにするソリューションが実装されています。

ユーザーがリスクアセスメントに制限付きの高度なリスクアセスメントを使用する場合は、次の点を考慮する必要があります。

- 他の事業部門の Lite ユーザーは、2 つの公開されたリスクアセスメント方法論のみを使用できます。
- 自動要素を使用できます。
- リスクイベントの管理とリスク識別ワークフローの使用は、制限付きリスクアセスメントでは使用できません。

プライバシー管理 でのリスクスコアロールアップ

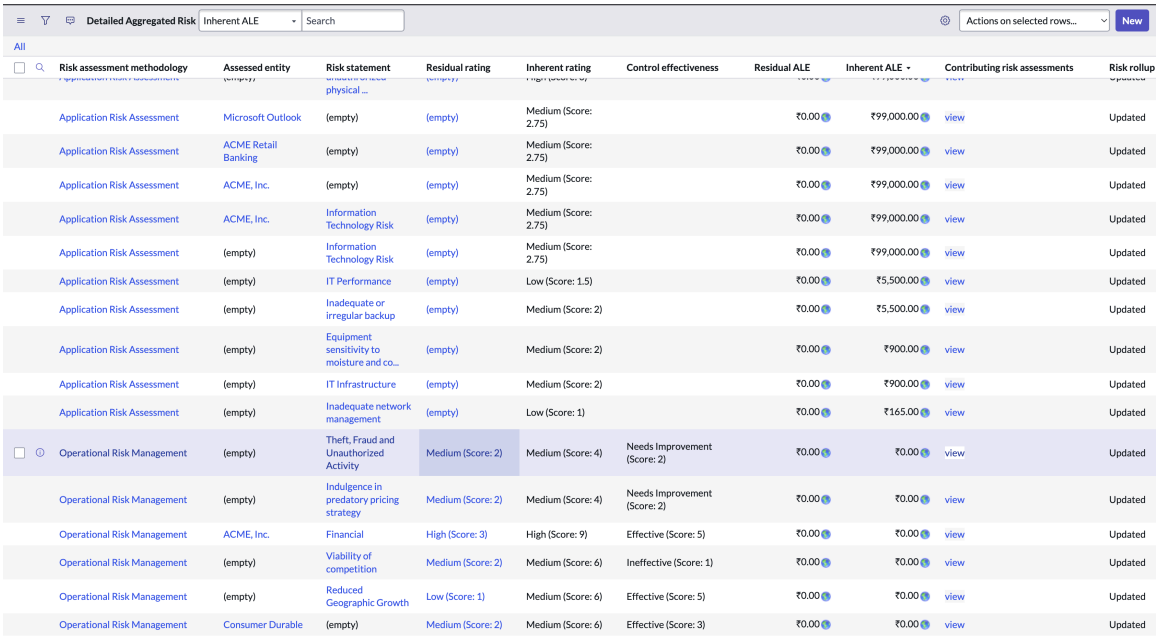
プライバシー管理 のユーザーが高度なリスクアセスメントを実行すると、リスクスコアが自動的にロールアップされます。

バージョン 14.0 以降、プライバシー管理 のユーザーは高度なリスクアセスメントを実行できます。リスクスコアは、高度なリスクアセスメントを実行するとロールアップされます。ロールアップされたスコアは、集計されたリスク結果を示します。ロールアップされた集計スコアは、次の図に示すようにテーブルに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクスコアのロールアップ表示



Detailed Aggregated Risk | Inherent ALE | Search | Actions on selected rows... | New

All

Risk assessment methodology	Assessed entity	Risk statement	Residual rating	Inherent rating	Control effectiveness	Residual ALE	Inherent ALE	Contributing risk assessments	Risk rollup
Application Risk Assessment	Microsoft Outlook	(empty)	(empty)	Medium (Score: 2.75)		₹0.00	₹99,000.00	view	Updated
Application Risk Assessment	ACME Retail Banking	(empty)	(empty)	Medium (Score: 2.75)		₹0.00	₹99,000.00	view	Updated
Application Risk Assessment	ACME, Inc.	(empty)	(empty)	Medium (Score: 2.75)		₹0.00	₹99,000.00	view	Updated
Application Risk Assessment	ACME, Inc.	Information Technology Risk	(empty)	Medium (Score: 2.75)		₹0.00	₹99,000.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	Information Technology Risk	(empty)	Medium (Score: 2.75)		₹0.00	₹99,000.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	IT Performance	(empty)	Low (Score: 1.5)		₹0.00	₹5,500.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	Inadequate or irregular backup	(empty)	Medium (Score: 2)		₹0.00	₹5,500.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	Equipment sensitivity to moisture and co...	(empty)	Medium (Score: 2)		₹0.00	₹900.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	IT Infrastructure	(empty)	Medium (Score: 2)		₹0.00	₹900.00	view	Updated
Application Risk Assessment	(empty)	Inadequate network management	(empty)	Low (Score: 1)		₹0.00	₹165.00	view	Updated
Operational Risk Management	(empty)	Theft, Fraud and Unauthorized Activity	Medium (Score: 2)	Medium (Score: 4)	Needs Improvement (Score: 2)	₹0.00	₹0.00	view	Updated
Operational Risk Management	(empty)	Indulgence in predatory pricing strategy	Medium (Score: 2)	Medium (Score: 4)	Needs Improvement (Score: 2)	₹0.00	₹0.00	view	Updated
Operational Risk Management	ACME, Inc.	Financial	High (Score: 3)	High (Score: 9)	Effective (Score: 5)	₹0.00	₹0.00	view	Updated
Operational Risk Management	(empty)	Viability of competition	Medium (Score: 2)	Medium (Score: 6)	Ineffective (Score: 1)	₹0.00	₹0.00	view	Updated
Operational Risk Management	(empty)	Reduced Geographic Growth	Low (Score: 1)	Medium (Score: 6)	Effective (Score: 5)	₹0.00	₹0.00	view	Updated
Operational Risk Management	Consumer Durable	(empty)	Medium (Score: 2)	Medium (Score: 6)	Effective (Score: 3)	₹0.00	₹0.00	view	Updated

スコアのロールアップを理解するための詳細については、「Advanced Risk アセスメントのリスクスコアロールアップ」を参照してください。

リスクアセスメントスケジューラーを管理

リスクアセスメントスケジューラーを作成し、リスクマネージャーにアサインします。リスクマネージャーは、リスクアセスメントの一括開始のためにエンティティとエンティティ内のリスクを特定できます。

ほとんどの組織では、第二線のリスクマネージャーがリスクアセスメントを調整します。この第二線のリスクマネージャーは、リスクアセスメントのためにエンティティとそれらのエンティティ内のリスクを識別します。また、特定されたリスクを評価する必要のあるユーザーを特定します。このプロセスは、第一線のリスクマネージャーにこれが不要になり、第一線のリスクマネージャーがこれらのリスクを自己評価して報告できるようになる成熟度のレベルに達するまで管理する必要があるリスクアセスメントキャンペーンに似ています。このリスクアセスメントのサイクルのため、リスクマネージャーは個々のリスクアセスメントスコープを作成し、リスクアセスメントを開始することが期待されています。この反復的なアクティビティは、リスクマネージャーの時間のロスにつながります。この問題に対処するために、リスクアセスメントスケジューラーという新しいフォームが Quebec リリースで導入されました。リスクアセスメントスケジューラーを使用すると、リスクマネージャーは以下を選択できます。

- リスクアセスメント方法
- 評価が必要なエンティティ
- アセスメントの査定人
- リスクの再評価を行う必要がある頻度。

この情報に基づいて、リスクアセスメントスコープが自動的に作成され、定義された頻度でこれらのエンティティのリスクアセスメントが開始されます。エンティティにマッピングされているすべてのリスクがアセスメントのスコープ内にあると見なされます。

次の図は、リスクスケジューラーフォームの各アクションのステータス、説明、および予想される結果を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

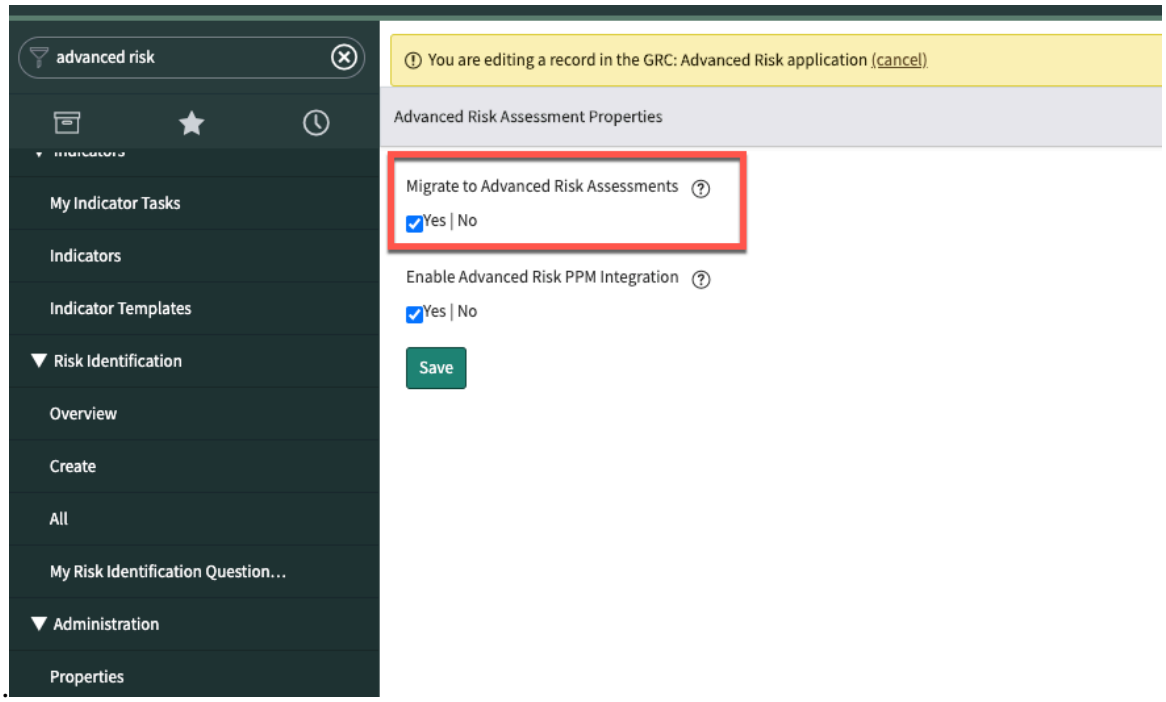
リスクアセスメントスケジューラーのワークフローとアクション

State	New	Scope Definition	Complete
Description	This is the state of the record when a new risk scheduler record is created.	This is the state when the risk manager defines the scope of the risk assessments which includes the entities, when they should be assessed, and who should assess it.	This is the state when the system bulk initiates the risk assessments for the selected entities to the respective assessors.
Expected Outcome	The user selects the risk assessment methodology for which they need to bulk initiate assessments.	The user selects the entities that must be assessed, the assessor who should assess these risks, and the frequency of reassessment, if applicable.	The system automatically creates the risk assessment scopes for those entities and bulk initiates risk assessment tasks for the respective risks in those entities.
Available Actions	**Define assessment scope –** This is the only action that the user can take in this state. Once this action is taken, the record moves into scope definition state. The entities selected in the next state are filtered based on the risk assessment methodology selected	**Add –** Using this action, the risk manager can add entities that must perform the risk assessment. The list is filtered based on risk assessment methodology. **Change methodology –** This action takes the record back into the new state where the user can change the risk assessment methodology, if required. **Finalize –** After the entities are selected, the assessors are defined. The user can use this action to initiate the risk assessments.	

高度なリスクアセスメントのリスクおよびコントロールとの統合

Advanced Risk アセスメントに移行すると、従来のリスクライフサイクルが置き換えられ、リスクフォームに [アセスメントサマリー] と呼ばれる新しいセクションが表示されます。このセクションは、アセスメント結果の全体的な可視性を提供するため、リスクマネージャーに役立ちます。

高度なリスクアセスメントへの移行は、すぐに対応する必要があるリスクを表示できるため、リスクマネージャーに役立ちます。高度なリスクアセスメントに移行するため、*`Migrate to Advanced Risk Assessments`* という新しいプロパティが Quebec リリースで導入されました。ユーザーは、このプロパティを **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ.



ユーザーがこのプロパティを有効にすると、高度なリスクアセスメントに完全に移行され、古いリスク管理は使用されません。この移行は次のフォームに影響します。

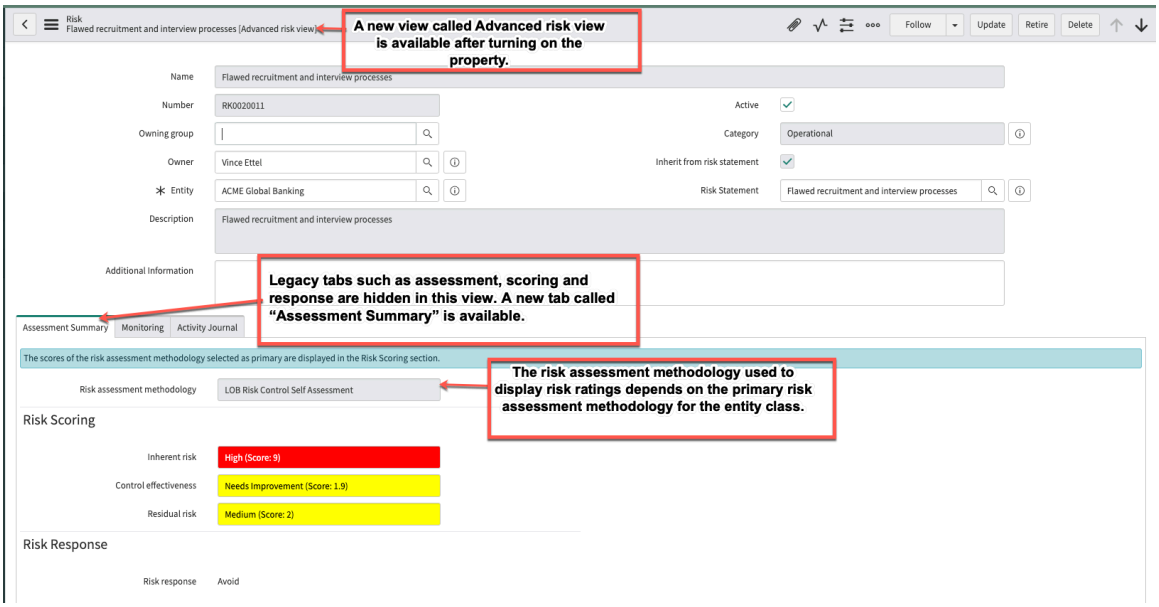
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

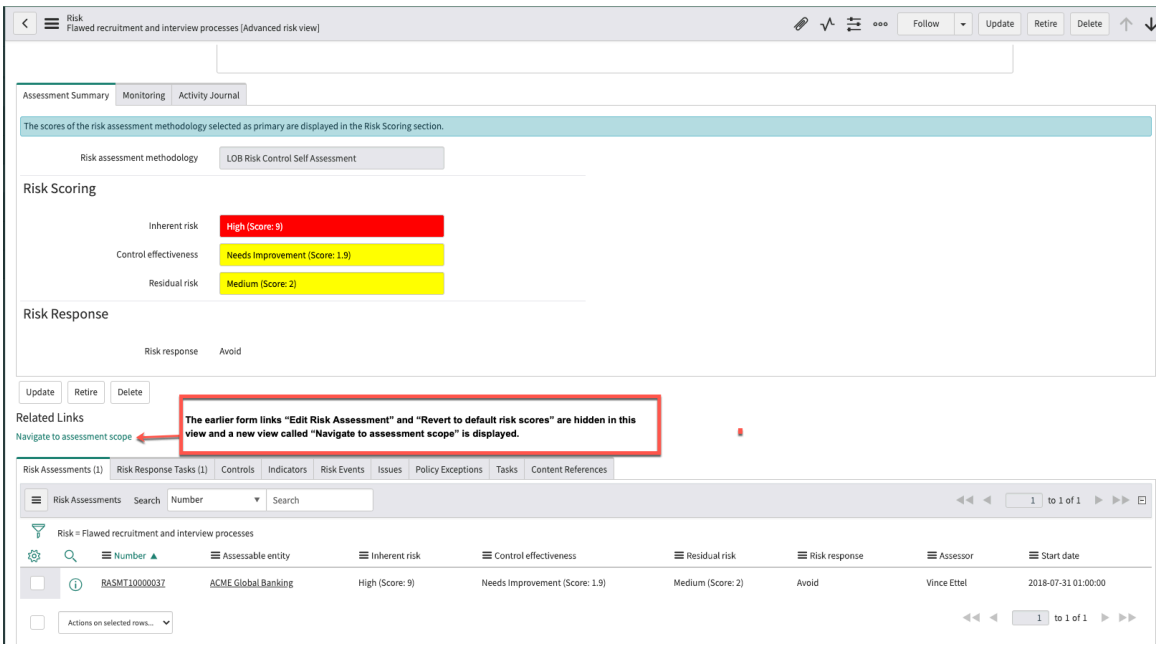
- リスク
- エンティティ
- リスクステートメント

ユーザーが移行すると、リスクフォームの従来のリスクライフサイクル、採点、アセスメント、および応答のセクションが削除されます。代わりに、リスクアセスメントスコアがリスク応答とともに表示される [アセスメントのサマリー] という新しいセクションが使用可能になります。リスクアセスメントに複数の方法が使用されている場合、システムは選択されたエンティティクラスのデフォルトの方法を検出し、それらのスコアをこのフィールドに表示します。プライマリリスクアセスメント方法論は、リスクアセスメント方法論フォームで定義できます。

高度なリスクアセスメントに移行した後のリスクフォーム



リスクアセスメントスコープへの移動



同様に、コントロールの場合、コントロールの個別のアセスメントが実行されると、コントロール有効性の値が更新されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームでは、プライマリリスクアセスメント方法論から集計されたリスクスコアが表示されます。従来のリスクスコアを表示する古いタブは、ユーザーのビューから非表示になります。

リスクステートメントフォームでは、アセスメント、フレームワーク、採点などのフィールドは非表示になっています。リスクスコアなどをプッシュするための対応する古いリンクも、ユーザーのビューで表示されなくなります。

高度なリスク のリスク選好度と許容度

高度なリスク アプリケーションを使用して、組織内のリスク選好度と許容範囲を定義できます。リスク選好度と許容度を使用すると、組織は許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を定義できます。

リスク選好度の概要

リスク選好度とは、組織が戦略的目標を達成するために積極的に許容するリスクの量です。

リスク選好度は、定性的 (数値スケールと評価) および定量的 (ドルの絶対額) 条件で定義できます。たとえば、貸出機関が小規模な業界にローンを提供しているとします。貸出機関は、現在の会計年度のターゲット不良資産 (NPA) として 5% を定義しています。

> **注:**
> 不良資産 (NPA) は、元本または利息の支払いが期限切れになっているローンまたは前払いです。

したがって、機関のリスク選好度は 5% です。

リスク選好度を使用するメリット

組織にリスク選好度を使用するメリットは次のとおりです。

- ビジネスの特定領域でリスク管理を実装するために、第一線の従業員により良いガイダンスを提供します。
- 組織の想定内でリスクを負い、違反が発生した場合のアクションを定義して管理します。
- 定義されたリスク選好度に基づいてリスクステータスを評価し、注意が必要なリスクに優先順位を付けます。
- 考えられるすべてのリスクを評価し、許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を定義します。
- リスクエクスポージャーを監視し、リスク選好度と一致していることを確認します。許容できないリスクを追跡することもできます。
- リスク選好度ステータスに基づいてリスク軽減計画を開始します。

リスク許容度の概要

リスク許容度は、組織の目的および目標をリスクにさらすことなく組織が許容できる、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。

リスク選好度と許容度の設定

リスク管理者は、高度なリスク アプリケーションで組織のリスク選好度を構成および設定できます。詳細については、「リスク選好度のセットアップ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスク のターゲットリスクアセスメント

高度なリスク アプリケーションを使用して、ターゲットリスクアセスメントを実行し、望ましい今後のリスクレベルを定義できます。ターゲットリスクアセスメントを使用すると、ターゲットリスク体制を評価し、その達成に向けた進捗状況を監視できます。

ターゲットリスクアセスメントの概要

ターゲットリスクアセスメントは、組織が将来達成したい望ましいリスクレベルを定義するアセスメントタイプです。特定されたリスクの可能性のレベルと影響を評価することで、各リスクに対するターゲットリスクのレベルを確立できます。

たとえば、リスクを評価するとき、組織は、固有リスク、コントロールの有効性、残存リスクなどのさまざまな側面を考慮します。ただし、リスク対応が実装された後に達成される望ましいリスクレベルをキャプチャすることも同様に重要です。ターゲットリスクは、アクションプランが正常に実行された後に達成を目指す最適なリスクレベルを表します。これらのアクションを実装するコストとの関連で、組織が得る利益を測定できます。

ターゲットアセスメントの設定

リスク管理者は、高度なリスク アプリケーションで組織のターゲットリスクアセスメントを構成および設定できます。リスク管理者は、リスクアセスメント方法論 (RAM) フォームでターゲットリスクを評価するためのオプションを有効にできます。詳細については、「ターゲットアセスメントの構成」を参照してください。

重要:
既存の公開済み RAM のターゲットリスクアセスメントを有効にすることができます。ただし、有効にした後でオフにすることはできません。さらに、ターゲットリスクアセスメントは新しいアセスメントに対してのみ実行でき、既に進行中のアセスメントに対しては実行できません。

ターゲットリスクの評価

査定人は、RAM フォームで定義された要素、採点ロジック、および評価基準に基づいて、リスクの将来の状態を分析できます。リスクの将来の状態の評価は、固有、コントロール、および残存アセスメントタイプとの類似点を共有する構造化されたプロセスです。ターゲットリスクプロファイルに基づいて、将来のリスク選好度ステータスも計算されます。これにより、査定人は、ターゲットリスクプロファイルがリスク選好度に沿っているかどうかを分析できます。リスク承認者は、ターゲットリスク評価と将来の選好度ステータスをレビューして承認できます。ターゲットリスクアセスメントは、リスクベースのアセスメントとオブジェクトベースのアセスメントの両方に対して実行できます。ただし、オブジェクトベースの場合、将来の選好度ステータスは計算されず、表示されません。詳細については、「リスクワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行」を参照してください。

重要:
方法論に対してターゲットリスクアセスメントが有効になっている場合、リスクまたはオブジェクトは次のエクスペリエンスでのみ評価できます。

ターゲットリスクのレポート

ヒートマップでは、ターゲットリスクプロファイルを表示でき、リスクの固有、残存、およびターゲットのステータスを包括的に把握できます。リスクアセスメント基準が共有されている場合は、固有の状態から残存状態、さらにそのターゲット状態へのリスクの動きを分析できます。リスク傾向機能を使用すると、過去 5 期間のリスクの変化を評価して、望ましい方向に進んでいるかどうかを判断できます。詳細については、「リスクヒートマップワークベンチ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクイベントを管理

リスクイベントは、組織内で発生する潜在的または実際の財務的および財務以外の損失、ニアミス、および利益です。リスクイベントは、損失イベントまたは損失エントリとも呼ばれます。

リスクを効果的に管理するには、リスクイベントを監視することが不可欠です。それらを既存のリスクに関連付け、根本原因分析を実行し、修復タスクを追跡する必要があります。組織は、リスクイベントを使用して損失を理解し、リスクをより効率的に管理します。リスクイベントは損失につながるだけではありません。リスクイベントは、組織に利益をもたらす場合もあります。たとえば、銀行業界では、取引アルゴリズムにエラーがあると、組織に利益がもたらされる可能性があります。

どの従業員もリスクイベントを報告できます。リスクイベントが報告されると、リスクマネージャーがリスクイベントを分析します。

リスクイベントには、次の 2 つのタイプがあります。

内部リスクイベント

組織内で発生するイベント。

外部リスクイベント

他の組織で発生するが、他の組織が回避できるように業界で共有されるイベント。

サービスポータル または ServiceNow のいずれかのインスタンスを使用してリスクイベントを作成できます。リスクイベントは以下を提供します。

- 既存のリスクをより適切に定量化して検証できるようにする具体的なデータ。
- リスクイベントが頻繁に発生するため、新しいリスクに関する可視性。

リスクイベントダッシュボードを表示するには、次の場所に移動します。 リスクイベント > 概要.

リスクワークスペースでリスクイベント統合を構成する方法については、Now Support ナレッジベースの「Risk event integration in workspace (ワークスペースでのリスクイベント統合) [KB0966898]」の記事を参照してください。

関連情報

リスクイベントのライフサイクル

リスクイベントのライフサイクル

リスクイベントが作成されると、リスクマネージャーがそれを分析して承認のために送信するライフサイクルが実行されます。

リスクイベントのライフサイクルは、次のステージを辿ります。

1. リスクイベントの作成：新しいイベントがビジネスユーザーによって報告されます。イベントでは、sn_risk.manager ロールを持つイベントオーナーまたはリスクマネージャーによる検証処理待ちです。
2. リスクイベントの分析：リスクマネージャーは、イベントが正当であるかどうかを分析し、イベントの損失エントリ、承認者、イベントの根本原因、イベントの予防および修復アクションなどのすべての重要な情報を追加します。このステータスでは、イベント作成者に追加情報を要求できます。その後、同様のイベントが今後発生しないように問題を作成できます。問題はそれぞれの問題オーナーにアサインされ、オーナーは問題をそのまま受け入れるか、修正タスクを作成できます。
3. リスクイベントの承認待ち：すべてのデータが入力されて検証された後、リスクマネージャーはイベントの承認を要求できます。承認の必要性は、組織によって定義された損失しきい値によって決定されます。たとえば、リスクイベントが $100000 の損失につながる場合は、上級リスク管理チームによる承認が必要と組織が判断する場合があります。各イベントは複数回の承認を経る場合があります。

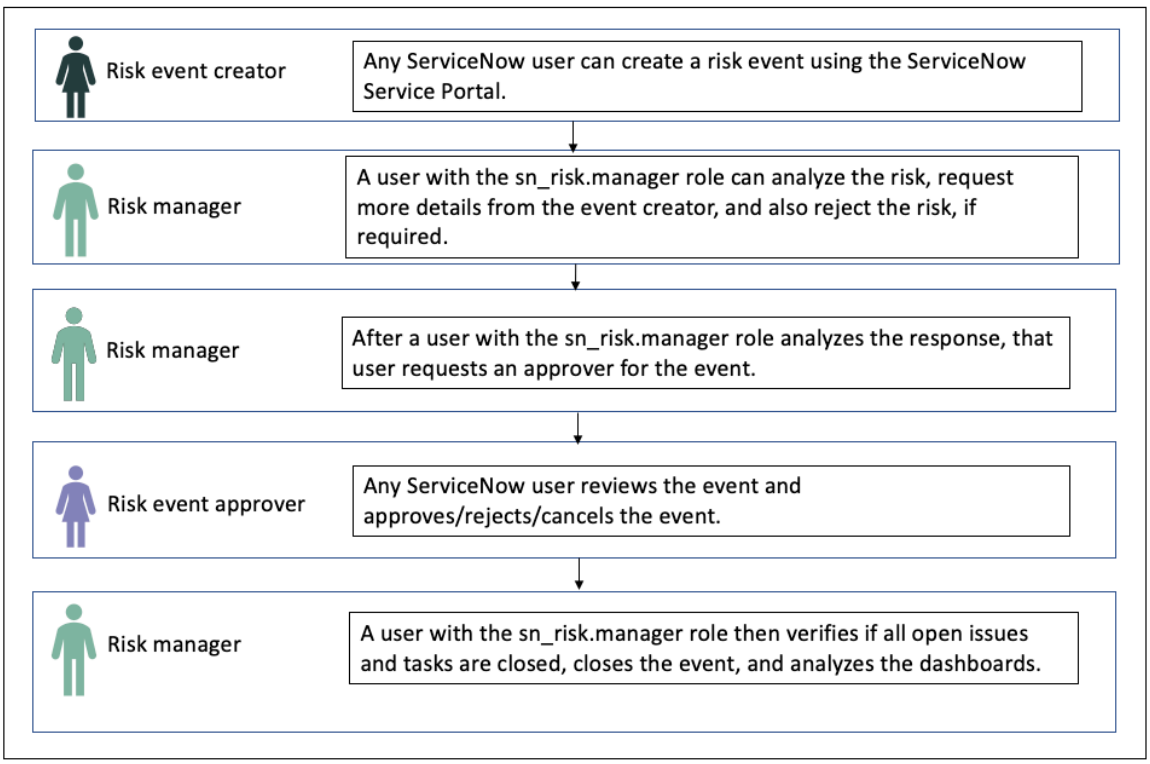
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. リスクイベントの承認、却下、またはキャンセル：リスクマネージャーは、イベントがクローズされる前に、リスクイベントに対して作成された問題がクローズされ、根本原因分析 (RCA) が完了していることを確認します。この段階で、承認者は適切な理由でイベントを却下するかキャンセルするかを選択できます。
5. リスクイベントのクローズ：sn_risk.manager ロールを持つユーザーが、イベントがキャプチャされ、RCA が完了したことを確認すると、イベントコーディネーターがリスクイベントをクローズできます。リスクイベントに未解決の問題とタスクがある場合、関連する問題とタスクがクローズされるまでリスクイベントをクローズすることはできません。

次の図に、リスクイベントワークフローの要約を示します。

リスクイベントワークフロー



関連情報

リスクワークスペースでリスクイベントを作成

リスク、リスクイベント、およびリスクステートメント間の関係

リスクイベントをリスクに関連付け、リスクステートメントをリスクに関連付けることは、リスク管理 アプリケーションを使用するすべての組織にとって重要です。これらの関係を有効にするプロパティは、*Risk Event Properties* および リスク管理 プロパティで提供されます。

リスクに対するリスクイベントの関係

リスク管理 アプリケーションを使用する場合は、リスクイベントをリスクに関連付けることを検討してください。この関係は、将来のリスクアセスメントのためのデータを提供し、正確なレポートにも役立ちます。たとえば、組織の管理者が内部不正行為によって発生した損失の合計を把握したい場合は、すべてのリスクが内部不正行為リスクイベントに関連している場合にのみ報告できます。リスクイベントをリスクに関連付けるには、*Make risk event to risk relationship mandatory* プロパティを [はい] に設定します。デフォルトでは、このプロパティはオンになっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクに対するリスクステートメントの関係

各リスクステートメントをリスクに関連付けることを検討してください。この関係を確立することで、孤立リスクの作成を回避します。孤立リスクは、対応するリスクステートメントが関連付けられていないリスクです。たとえば、組織内のすべての事業部門がさまざまな用語で従業員の離職リスクを理解している場合、組織が離職のリスクに関する包括的なデータを維持することは困難です。従業員離職のリスクステートメントが、このリスクに関連するすべてのイベントに起因する場合は、このような包括的なデータの維持が簡単になります。リスクステートメントとリスクの関係を確立することは、正しいレポートと防止のために不可欠です。リスクをリスクステートメントに関連付けるには、*sn_risk.risk_statement_mandatory* を True に設定します。

リスクステートメントに **Basel** カテゴリを追加

Basel カテゴリ化は銀行業界に固有のものです。このカテゴリ化により、損失イベントのレポートを自動化することで、顧客が Basel 規制に準拠することができます。この特定の設定により、ユーザーは Basel ダッシュボードを表示できます。Basel ダッシュボードには、Basel の事業部門とカテゴリに基づいて、損失イベントの数と正味損失が表示されます。この設定を有効にすると、ユーザーは [Basel カテゴリ化] タブを表示できます。ユーザーはここで、適用する次のいずれかの Basel カテゴリを選択できます。

- 内部詐欺
- 外部詐欺
- 雇用慣行と職場の安全
- クライアント、製品、ビジネス慣行
- 物理資産への損害
- 業務の中断とシステム障害
- 実行、配信、およびプロセス管理

詳細については、「高度なリスクでインストールされるプロパティ」と「リスク管理でインストールされるプロパティ」を参照してください。

Basel カテゴリ化を有効にするには、*Show Basel attributes and reports* を [はい] に設定します。

リスクイベント応答テンプレート

リスクイベント応答テンプレートは、承認者、問題、および所有者をリスクイベントに追加するプロセスを自動化します。この自動化は、テンプレートで定義された条件に基づいています。

リスクイベント応答テンプレートには、次の主なメリットがあります。

- リスクイベントの作成時に人間がリスクイベントを処理する必要性を軽減します。
- リスクイベントのライフサイクルと、ユーザーがそのリスクイベントに対応する方法を自動的に定義します。
- 事前定義されたテンプレートで時間を節約します。

たとえば、健康と安全のリスクイベントが発生したとします。テンプレートが定義されている場合は、そのテンプレートを使用して、健康と安全の担当者にイベントをアサインできます。テンプレートを使用すると、イベントタイプ、エンティティ、カテゴリなどを選択できるため、リスクイベントの自動アサインが容易になります。

ユーザーは、リスクイベント承認者のしきい値を定義できます。しきい値は、顧客のリスク選好度に基づいて定義されます。たとえば、組織が $1000 の損失をもたらすリスクイベントには承認者が必要ないと判断したとします。この $1000 のしきい値はテンプレートで定義できます。$1000 を超

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

える金額の承認が必要であると組織が判断した場合、テンプレートで自動的に承認者をアサインできます。

任意のエンティティのテンプレートを定義できます。親エンティティのすべての子エンティティは、リスクイベント応答テンプレートで定義されたルールを継承します。テンプレートを定義すると、各エンティティのルールを個別に定義するのに必要な時間と労力を節約できます。

リスクイベントの取り込みを設定する方法の詳細については、Now Support ナレッジベースの記事 KB0780985 を参照してください。

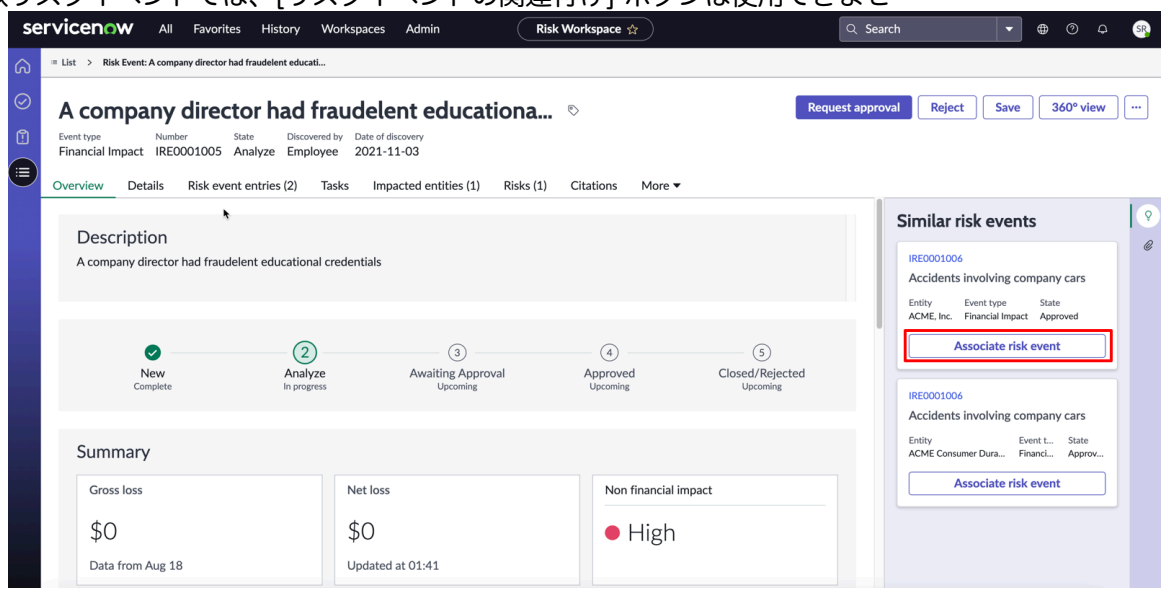
類似のリスクイベントを関連付け

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインをアクティブ化して、機械学習を使用する類似性ソリューション定義をトレーニングします。このソリューションにより、類似のリスクイベントを自動的に表示できます。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインは、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) を使用してリスクイベントをより効率的に管理します。類似のリスクイベントを特定し、それらをグループ化して、リスクイベントの実際の影響をキャプチャして分析できます。

たとえば、複数の場所で事業展開している組織では、さまざまな場所にまたがるリスクイベントチームが類似のタイプのリスクイベントに取り組んでいる可能性があります。この課題により、組織内でリスクイベントを管理する作業が重複します。この機能により、類似のリスクイベントを管理する際の手動による労力が削減され、組織全体の効率が向上します。

類似のリスクイベントは、メインのリスクイベントが [分析] ステータスの場合にのみ関連付けることができます。また、[新規] または [却下] ステータスの類似リスクイベントでは、[リスクイベントの関連付け] ボタンは使用できません。



プラットフォーム機械学習管理者 (ml_admin) は、ソリューション定義を作成し、既存の定義を変更できます。次の場所に移動できます。 リスクイベント > 管理 > プロパティ リスクイベントプロパティを新しいソリューション定義名で更新します。

ビジネスプロセス管理

ビジネスプロセスは、特定の組織目標を達成できる 1 つまたは複数のアクティビティです。

ビジネスプロセスとは、組織内で発生し、開始と終了が明確に定義されているプロセスのことです。銀行業界でのビジネスプロセスの例として、顧客のオンボーディングプロセスや信用調査プロセスがあります。各ビジネスプロセスは一意であるため、重要度や影響度はさまざまです。ビジネスプロセスは、包括的なライフサイクルで管理する必要があります。また、特定する必要のあるさまざまなリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクやコントロールがある場合もあります。Quebec リリースでは、ビジネスプロセスの作成が拡張されています。エンタープライズアーキテクトまたはサービスオーナーは、次のことを実行できます。

- 新しいビジネスプロセスを定義します。
- プロセスのライフサイクルを管理します。
- プロセスのオーナーを定義します。
- 新しいプロセスが親プロセスであるか子プロセスであるかなど、新しいプロセスと特定のプロセスの関係を定義します。
- プロセスのビジネスへの影響度と重要度を定義します。
- 効率を改善するために、プロセスを定期的にレビューします。

ビジネスプロセスのライフサイクル

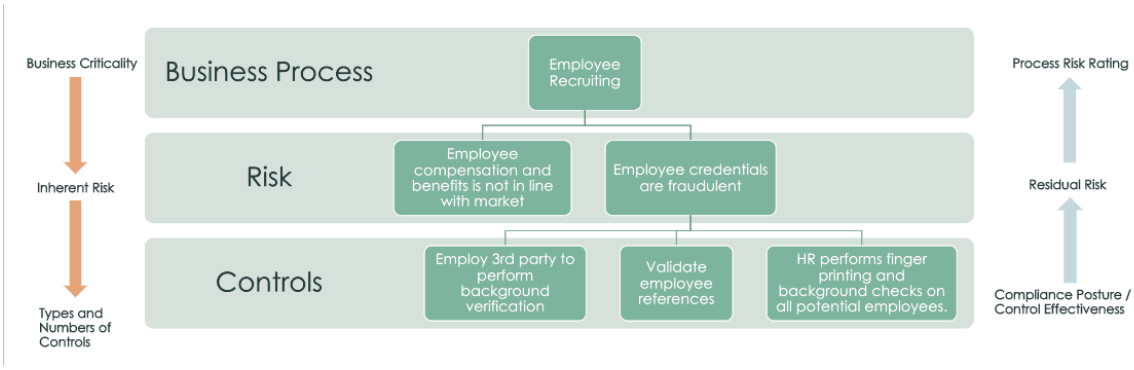
ビジネスプロセスのライフサイクルステータスは次のとおりです。

1. [ドラフト]：このステータスは、ビジネスプロセスが作成され、さまざまなリスクおよびコントロールとの関係が定義されている場合のデフォルトのステータスです。プロセスをレビューするレビュー担当者が選択されていない場合、プロセスは直接公開されます。
2. [レビュー]：レビュー担当者が選択されている場合、プロセスは公開される前にレビュー担当者に送信されます。
3. [公開]：レビューが完了すると、プロセスが公開されます。
4. [廃止]：プロセスは不要です。

> **注:**
> プロセスが廃止された場合でも、監査目的でシステムで保持されます。

次の画像は、従業員の採用などのビジネスプロセスを定義する方法の例を示しています。プロセスと関連するリスクおよびコントロールの関係を定義できます。リスクとコントロールを関連付けることで、プロセスのリスク評価を導出する方法を決定することもできます。

従業員採用ビジネスプロセス



関連情報

ビジネスプロセスを作成

エンティティを探索する

エンティティは、ガバナンス、リスク、コンプライアンスを使用するための最も基本的で重要な要素の 1 つです。エンティティは、リスクに関して調査する人、プロセス、部門、アプリケーションまたはオブジェクトである可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

組織のリスク領域を効果的に維持するために、エンティティタイプ、エンティティクラス、エンティティ層を定義することをお勧めします。リスク領域は、組織が直面する、または将来直面する可能性のあるリスクのリストです。リストには、各リスクの重要度と頻度の説明が含まれています。エンティティは、GRC のすべてのオファリング (GRC: ポリシーとコンプライアンス管理、Audit Management、GRC: Regulatory Change Management など) 内で使用されます。

GRC のエンティティ

ガバナンス、リスク、コンプライアンス では、エンティティは、エクスポージャーを管理する必要がある、人、プロセス、部門、アプリケーションまたはオブジェクトである可能性があります。これらのエンティティには、ステータスを表示するためのコントロールが定義されています。

エンティティを理解するために、次の例を考えてみましょう。新規 GRC ユーザーで、すべての重要な財務システムに変更管理プロセスを実装するとします。すべてのシステムは個別のエンティティと見なすことができます。すべてのシステムを Financial というエンティティクラスにマッピングします。重要と識別されたシステムを決定するために、重要な財務システムのエンティティタイプフィルターを設定します。

エンティティを作成する主なメリットは、各エンティティに所有者が存在するため、説明責任を維持できることです。このメリットを理解するために、すべてのサーバーを新しい方法で構成するとします。構成が完了した後、監査を実行したところ、1 つのサーバーのみが新しい構成に準拠していないことがわかりました。すべてのエンティティを定義していない場合、監査結果全体が不合格と見なされます。ただし、エンティティが定義されているため、すべてのサーバーではなく、非準拠のサーバーエンティティとその識別された所有者のみが説明責任を負います。

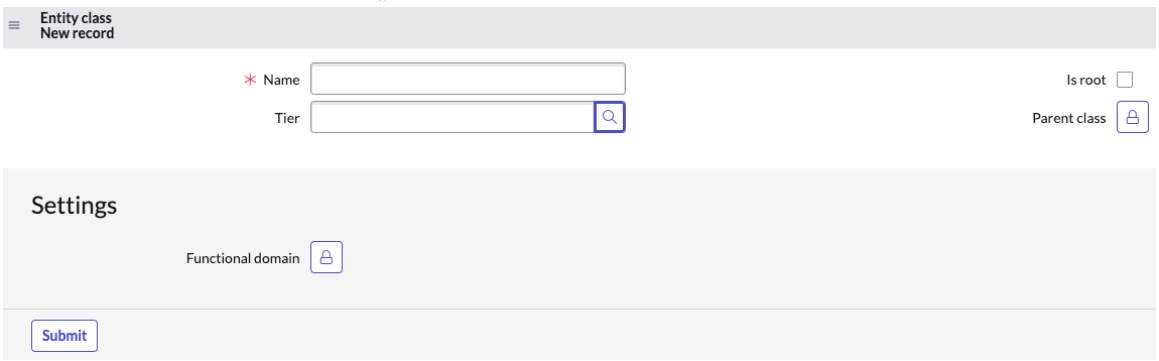
エンティティを定義すると、エンティティオーナーを特定し、それらのエンティティに適切なコントロールを適用できます。また、非準拠エンティティの追跡にも役立ちます。子エンティティを持つエンティティは、ダウンストリームエンティティを持つと言うことができます。親エンティティを持つエンティティは、アップストリームエンティティを持つと言うことができます。

エンティティを作成した後、個別にエンティティクラスを定義するか、既存のエンティティクラスにリンクさせることによって、類似のエンティティにタグを付けることができます。

エンティティクラス

エンティティクラスは、エンティティに関する概念情報を追加したりエンティティにタグを付けたりするために使用されます。エンティティクラスの概念を理解するために、例を考えてみましょう。ある会社が 3 つの都市に支店を持っているとします。オフィススペースはエンティティと見なされ、これらのエンティティのエンティティクラスはロケーションになります。エンティティクラスを作成するには、次の例に示すようにエンティティ層に関連付けます。

エンティティクラスのサンプル構成



エンティティクラスルール

エンティティクラスルールは、テーブルレベルでエンティティにクラスをアサインするために役立ちます。テーブルに作成された新しいエンティティは、そのエンティティクラスを自動的に取得します。エンティティクラスは、エンティティにタグ付けするために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

特定のテーブルでエンティティを作成する場合は、そのテーブルに関連付けられているクラスは自動的にそのエンティティにアサインされます。テーブルの新しいエンティティクラスルールを設定できます。

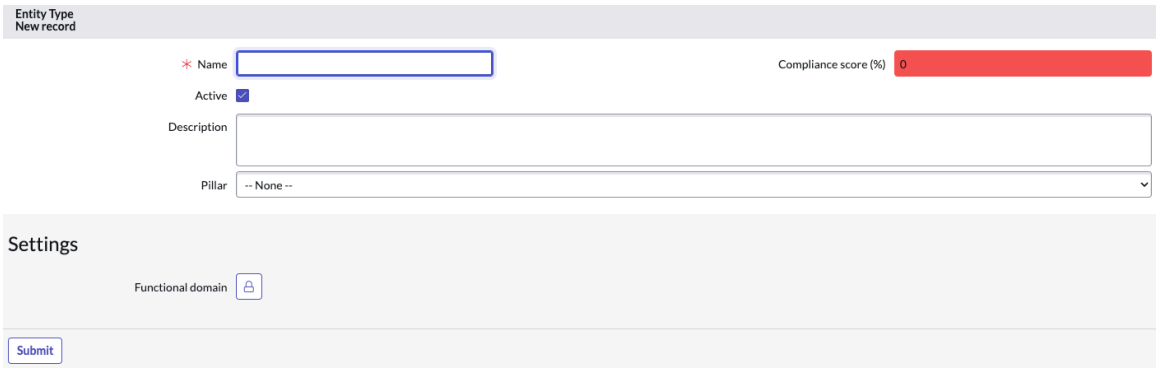
エンティティタイプ

エンティティタイプは、フィルタリングに基づいてエンティティをグループ化したものです。エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および作成できます。エンティティクラス内に階層を作成できます。

エンティティタイプを使用すると、あまり時間をかけずに各エンティティのリスクとコントロールを作成できます。たとえば、組織は、経理、HR、IT などの複数の部門を持つことができます。これらの部門はすべてエンティティと見なすことができ、部門と呼ばれるエンティティタイプの下にグループ化できます。

エンティティタイプを作成するには、次の例に示すように、テクノロジーや施設などのコアビジネスのピラーに関連付けます。

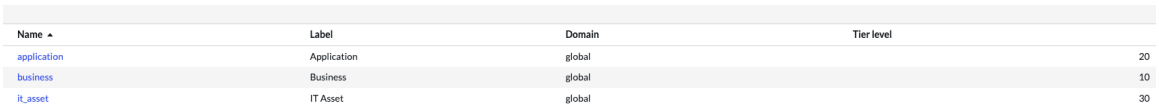
エンティティタイプのサンプル構成



エンティティ層

エンティティ層を作成する場合、エンティティクラスにレベルまたは階層を適用します。このレベルは、そのエンティティクラスにあるすべてのエンティティに適用されます。次の例に示すように、エンティティ層では、ビジネスでの最重要項目のステータスを選択して、表示できます。

エンティティ層のリストビュー



Name ▲	Label	Domain	Tier level
application	Application	global	20
business	Business	global	10
it_asset	IT Asset	global	30

GRCのエンティティタイプ

エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および作成できます。エンティティタイプを使用すると、あまり時間をかけずに各エンティティのリスクとコントロールを作成できます。

組織は複数のエンティティを持つことができます。これらの各エンティティには、複数のリスクとコントロールが関連付けられていることがあります。各リスクを各エンティティにマッピングする従来の方法は、複数のスプレッドシートを使用していました。リスクとコントロールがサイロ化されており、標準的なリスク分類が作成されていないため、この方法は正確性や信頼性が最も高い方法ではありません。リスク分類は、組織内で使用される包括的で共通の安定した一連のリスクカテゴリです。エンティティタイプを作成して、リスクステートメントをそれに関連付ける場合、すべてのエンティティにリスクが自動的に作成されます。関連付けはリスク分類を介して行われます。エンティティタイプを作成するメリットは、各エンティティに関連付けられたリスクとコントロールを含む複数のスプレッドシートを維持する必要がなくなることです。エンティティタイプを適用すると、エンティティタイプ内に存在するエンティティフィルターを使用してエンティティをすばやく作成できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。エンティティタイプには、さまざまなクラスに関連付けられたエンティティを含めることができます。

たとえば、組織は、経理、HR、IT などの複数の部門を持つことができます。これらの部門はすべてエンティティと見なすことができ、部門と呼ばれるエンティティタイプの下にグループ化できます。

エンティティのグループ化は、リスクアセスメントが実行された後にリスクスコアをロールアップおよび集計するためにも役立ちます。グループ化エンティティがリスクスコアのロールアップにどのように寄与するかを理解するために、次の例を考えてみましょう。Acer Finance という銀行組織があるとします。Acer Finance には、銀行と小売業の 2 つの事業部門があります。銀行部門には、商業銀行やプライベートバンキングなどのサブ部門があります。リスクアセスメントは通常、最下位のレベルで実行されます。この例では、アセスメントは商業銀行およびプライベートバンキングのレベルで実行されます。ただし、レポートは最上位レベルで行われます。これは、商業銀行とプライベートバンキングのリスクアセスメントスコアがロールアップし、バンキングレベルで集計されるということです。同様に、バンキングと投資のスコアは、Acer Finance の組織レベルまでロールアップされます。

関連情報

GRC のエンティティクラス

GRC のエンティティクラス

エンティティクラスは、エンティティにタグを付け、組織内のリスクステータスの完全なビューを提供するために使用されます。

エンティティクラスはタグです。エンティティにタグ付けした後、エンティティのタグに基づいてデータを収集できます。エンティティクラスのコンセプトを理解するために、次の例について考えてみましょう。組織の最高リスク責任者 (CRO) が、ビジネスのすべての部門のすべてのビジネスアプリケーションのリスクステータスを確認する必要があるとします。リスクアナリストは、CRO に [ビジネスアプリケーション] エンティティクラスのダッシュボードを表示できます。

エンティティクラスの作成方法の詳細については、「GRC: ワークベンチを使用してエンティティクラスを作成」を参照してください。

関連情報

GRC のエンティティ層

GRC のエンティティ層

エンティティ層を作成することで、エンティティクラスに優先順位を付けることができます。

エンティティ層を作成する場合、エンティティクラスにレベルまたは階層を適用します。このレベルは、そのエンティティクラスにあるすべてのエンティティに適用されます。エンティティ層では、ビジネスでの最重要項目のリスクステータスを選択して、表示できます。次の例を考えてみましょう。組織の最高リスク責任者 (CRO) が、最重要の財務ビジネスアプリケーションのみのリスクステータスを確認する必要があるとします。エンティティの階層または一連の層を作成した場合は、層 1 のエンティティをフィルターして、必要なデータを表示できます。各エンティティクラスは 1 つの層にのみ属することができます。

エンティティ層を作成することで、下位層のエンティティが上位層のエンティティにどのように影響するかをより適確に把握できます。たとえば、ビジネスが層 1、アプリケーションが層 2、IT 資産が層 3 であるエンティティ階層を作成したとします。そのため、層 3 のエンティティのリスクは層 2 のエンティティに影響し、さらに層 1 に影響します。このロールアップまたは集計により、正確なリスクスコアが得られます。

リスク、リスクステートメント、リスクフレームワークを管理する

リスクライブラリには、すべてのリスクフレームワークとリスクステートメントが含まれています。リスクフレームワークは、リスクステートメントを管理可能なカテゴリにグループ化するために使用

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

され、リスクステートメントは個々のリスクをグループ化します。リスク登録は、いつでも組織内のあらゆる場所で発生する可能性のあるすべての潜在的なリスクの中央リポジトリです。

リスクを評価し、リスクステートメントを作成する

リスクを評価することは、組織の事業達成目標に悪影響を与える可能性のある脅威と脆弱性を特定して分析することを意味します。リスクは、特定の脅威が特定の潜在的な脆弱性を行使する可能性と、その有害事象が組織に及ぼす影響の関数です。リスクと、それらのリスクが発生する可能性を特定することで、組織はコントロールのテストと修復アクティビティを優先順位付けできます。また、コントロールが失敗した場合のビジネスへの真の影響度を理解するうえでも役立ちます。

適切なリスクステートメントは次の質問に答える必要があります。

- どのようなことが起こる可能性があるか？
- それはどのように起こる可能性があるか？
- 気にかかるのはなぜか？

を使用したリスクのワークフロー 高度なリスク

高度なリスクアセスメントに移行すると、必要なアクションを実行するリスクのさまざまなステータスを表示できます。この機能により、リスクフォームの表示が簡素化されます。

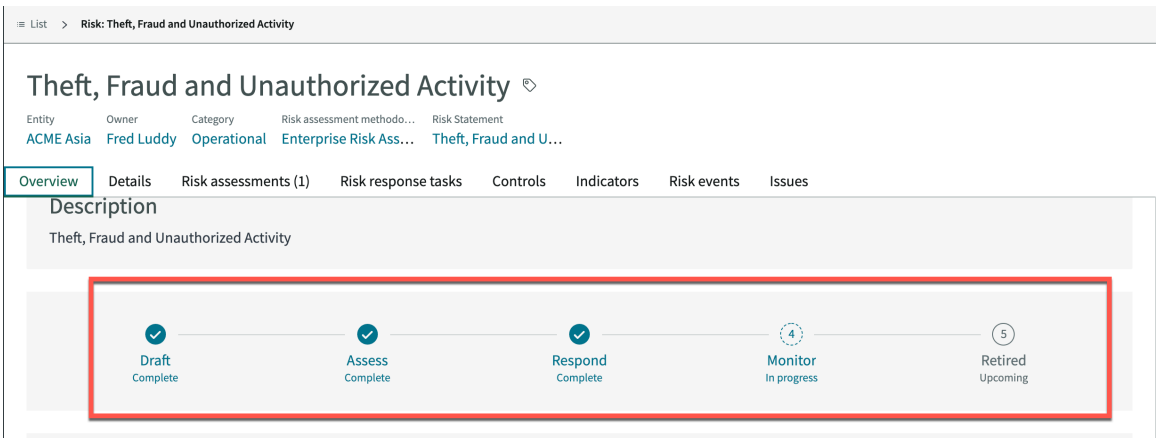
リスク管理者が以下のプロパティを有効に *`Migrate to Advanced Risk Assessments`* した場合 **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティの場合、クラシックリスクまたはレガシーリスクのライフサイクルが変更されます。リスクフォームから直接リスクアセスメントを開始することもできます。

> **注:**
> このプロパティは、一度有効にすると無効にできません。

バージョン 14.0 以前では、*`Migrate to Advanced Risk Assessments`* プロパティが有効になっている場合、リスクはアクティブまたは非アクティブとしてのみ分類されます。バージョン 14.0 以降では、リスクオーナーは、を有効にすると、 高度なリスクリスクの次のステータスを表示できます。

1. ドラフト
2. 評価
3. 応答
4. 監視
5. 廃止

高度なリスクアセスメントによるリスクのステータス



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表で、すべてのステータスと各ステータスで使用可能なアクションについて説明します。

ステータス	説明	利用可能なアクション
ドラフト	これは、リスクが第二線の防御によって作成された場合、または 第一線の防御によって特定された場合のリスクの状態です。 このステータスの目的は、組織に関連するリスクをマッピングして特定することです。リスクのエンティティまたはプライマリリスクアセスメント方法論 (RAM) を変更すると、リスクのステータスはプライマリ RAM の最新のアセスメントに基づいて更新されます。	• 保存 • [評価]：ワークフローをプッシュし、リスクアセスメントを開始します。 • [監視]：リスクを評価するのではなく、リスクを監視する場合。 • [廃止]：リスクが、基盤となるすべてのリスクアセスメントとリスク応答とともに廃止されます。 • [アセスメントスコープに移動]：リスクアセスメントスコープへのショートカット。プライマリリスクアセスメント方法論は渡されます。 • **[360** 度]：リスクの 360 度の関係を完全に表示します。
評価	これは、高度なリスクアセスメントが開始および実行されているときのリスクのステータスです。対応戦略がある場合、リスクは [対応] ステータスに移行し、それ以外の場合はアセスメントが完了すると [監視] ステータスに移行します。	• 保存 • [アセスメントを表示]：実際のリスクアセスメントフォームに移動します。 • [アセスメントをキャンセル]：現在のアセスメントをキャンセルします。キャンセルされたアセスメントについて、それぞれのリスク査定人に通知されます。 • [ドラフトに戻る]：現在のアセスメントをキャンセルし、リスクを前のステータスに戻します。 • 廃止 • アセスメントスコープに移動 • **360** 度
応答	これは、リスク応答タスクが進行中のリスクのステータスです。 リスク応答タスクがクローズされると、リスクは自動的に監視ステータスに移行します。	• 保存 • [評価]：ワークフローを戻します。進行中のリスク応答タスクがキャンセルされます。 • 廃止

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明	利用可能なアクション
		• アセスメントスコープに移動 • **360** 度 • ドラフトに戻る
監視	これは、リスクが評価され応答タスクがクローズされたリスクのステータスです。 KRI が (測定基準によって) 定義されている場合は、リスクを監視するために実行されます。	• 保存 • [評価]：リスクを [評価] ステータスに戻し、リスクアセスメントを開始します。 • 廃止 • アセスメントスコープに移動 • **360** 度 • ドラフトに戻る
廃止	これは、リスクが無効になっているものの、監査のために記録システムを保持する場合のリスクのステータスです。	• **360** 度 • [アクティブ化]：リスクを再アクティブ化し、[ドラフト] ステータスに戻します。 • アセスメントスコープに移動

同じリスクステートメントにリンクされたリスクを管理する

複数のリスクを作成して、同じリスクステートメントとエンティティの組み合わせに関連付けることができます。この関連付けは、リスクマネージャーとエンティティオーナーにメリットがあります。

最新リリースより前のリリースでは、ユーザーは単一のエンティティとリスクステートメントの組み合わせに対して 1 つのリスクしか関連付けることができませんでした。この機能は、明確に定義され標準化されたリスク分類を備えた成熟したリスクプログラムを使用している顧客に有用でした。ただし、標準化されたリスク分類がない顧客の要件には適合しませんでした。通常、このような顧客のリスクステートメント階層は 2 つまたは 3 つしかなく、実際のリスクは各事業部門または LOB (基幹業務) に対してローカルです。また、第一線で新しいリスクが識別されると、それらのリスクがエンタープライズリスク階層に関連付けられます。これにより、新しいリスクスコアを集計して、リスク階層全体に影響を与えることができます。現在のリリースでは、[リスクステートメントから継承] と呼ばれる新しいオプションがリスクフォームに導入されています。このオプションが選択されている場合、リスクの作成は以前の方法で行われます。これは、リスクステートメントとエンティティの組み合わせのインスタンスが 1 つしかないことを意味します。ただし、このオプションが選択されていない場合、リスクステートメント階層をカテゴリ化およびサブカテゴリ化階層として使用し、複数のリスクを同じリスクステートメントとエンティティの組み合わせに関連付けることができます。このオプションを使用すると、第一線で新しく特定されたリスクを必要なレベルのリスク階層に関連付けることもできます。この新しいオプションが選択されていない場合、システムはリスクの名前と説明が上書きされると想定するため、リスクステートメントの名前と説明と同じにすることはできません。

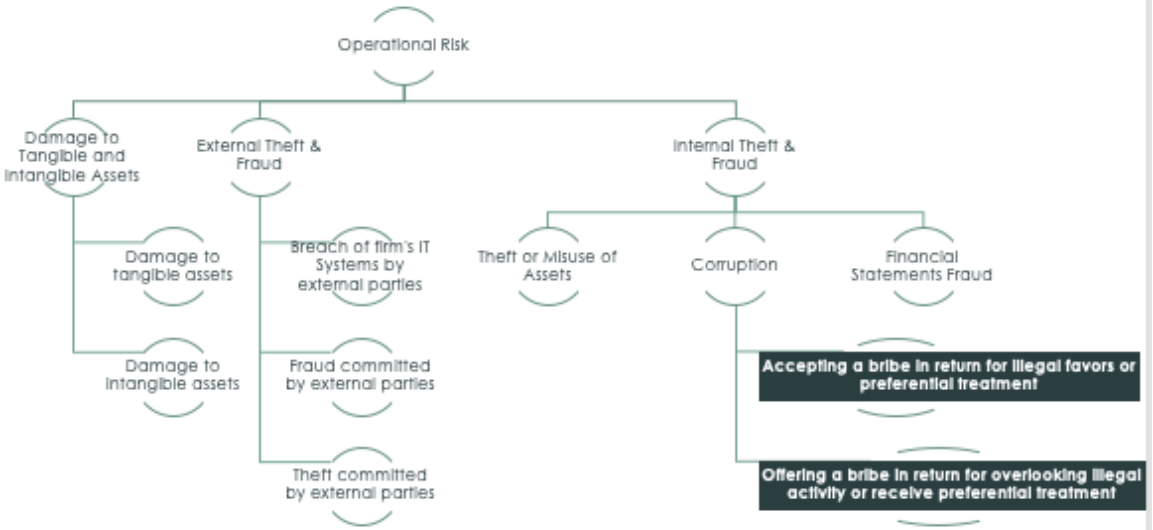
この機能により、リスクマネージャーは組織のニーズに応じてリスク分類を定義できます。また、エンティティオーナーがエンティティのリスクを特定し、それらをエンタープライズリスク分類にリンクすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この機能を理解するには、次の画像を参照して例を検討してください。ほとんどの顧客には、腐敗まで定義されたリスクステートメントがあります。賄賂の受領など、腐敗よりも低いものは、組織全体でこれらのリスクを調和させることが難しいため、リスクと定義されます。複数のリスクを同じリスクステートメントとエンティティにリンクするこの機能により、顧客は、誰も対処しない孤立したリスクが作成されるのを防ぐことができます。

新しいリスクリスクステートメント階層



リスク階層と採点

New York 以降、リスクマネージャーはさまざまなタイプのリスク (オペレーショナルリスク、IT リスク、または戦略的リスク) を含む階層を作成できます。根底にあるリスクが評価されると、リスクスコアがリスクステートメント階層全体で自動的にロールアップされるため、戦術的および戦略的な意思決定が向上します。

リスク階層

リスクマネージャーと管理者は、リスクステートメントフォームで次のように階層を作成および表示します。

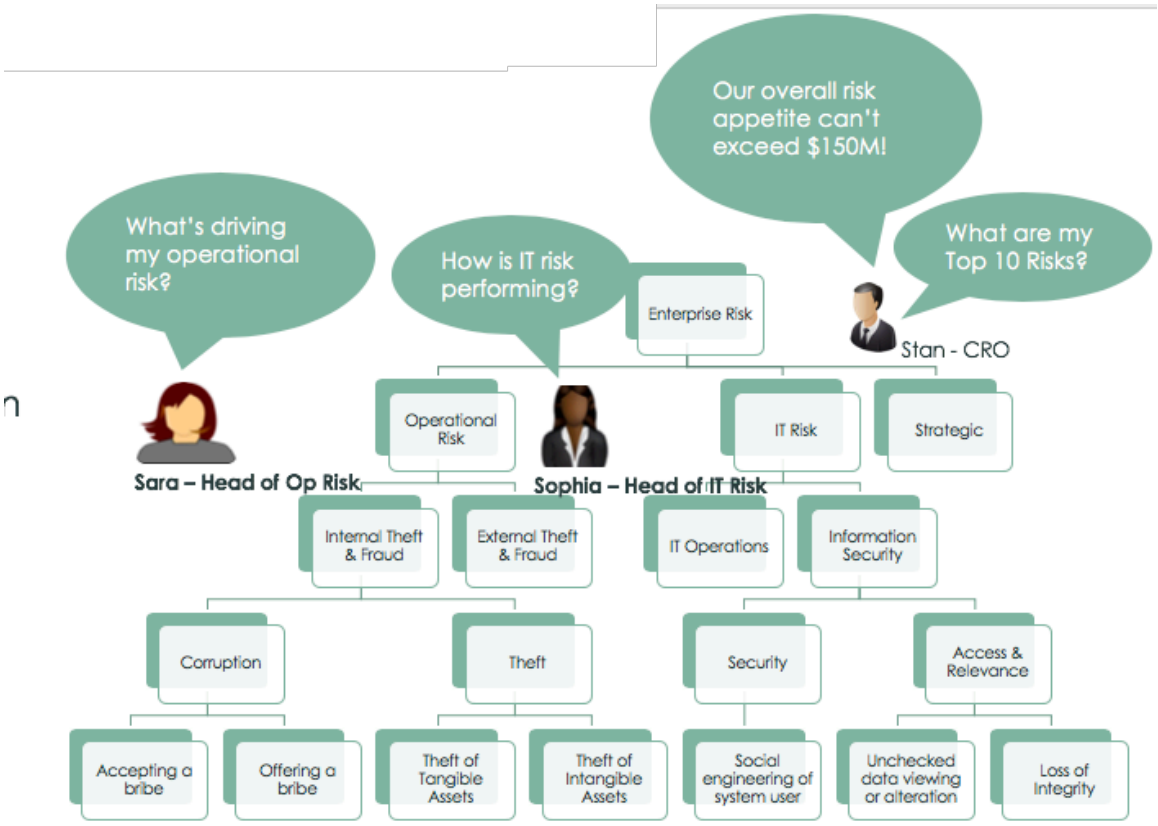
- [親] フィールドを使用して親リスクステートメントを定義する
- [リスクステートメント] 関連リストを使用して子のリスクステートメントを追加する

注:
リスクユーザーは、マネージャーと管理者によって確立された階層を表示できます。

リスク領域に応じて、組織内のさまざまなユーザーがリスクを所有し、管理します。ただし、最上位のリスクスコアでは、その下のすべてのリスクのスコアが考慮されます。そのため、すべてのさまざまなリスク領域を中央の一箇所で管理することで、組織全体のリスク体制を総合的に把握できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクの統合ビューを示す階層的なリスク分類



定量的リスクスコアを定性的値に変換

[許容範囲ステータス] と [計算済みスコア] は、根底にあるリスクの計算済み年次損失予測 (ALE) に基づいています。

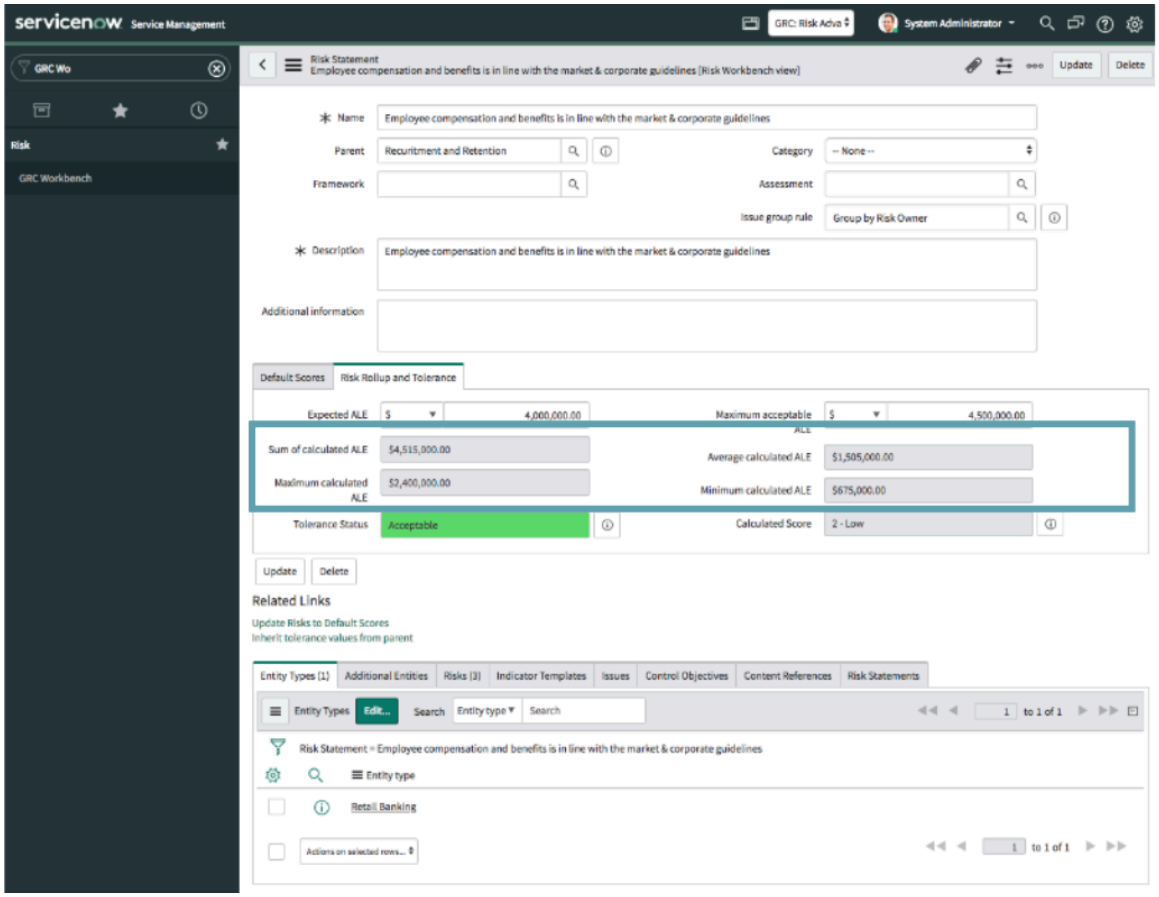
- 計算済み ALE の合計
- 計算済み平均 ALE
- 計算済み最大 ALE
- 計算済み最小 ALE

注:
[監視] ステータスのリスクのみがリスクステートメントスコアに寄与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リスクロールアップおよび許容範囲] タブ



リスクステートメントの任意のレベルでのエンティティの関連付け

エンティティ、エンティティタイプ、およびインジケーターテンプレートを、リスクステートメント階層の任意のレベルで関連付けることができます。この関連付けを作成すると、リスクを評価する際のリスクマネージャーに役立ちます。

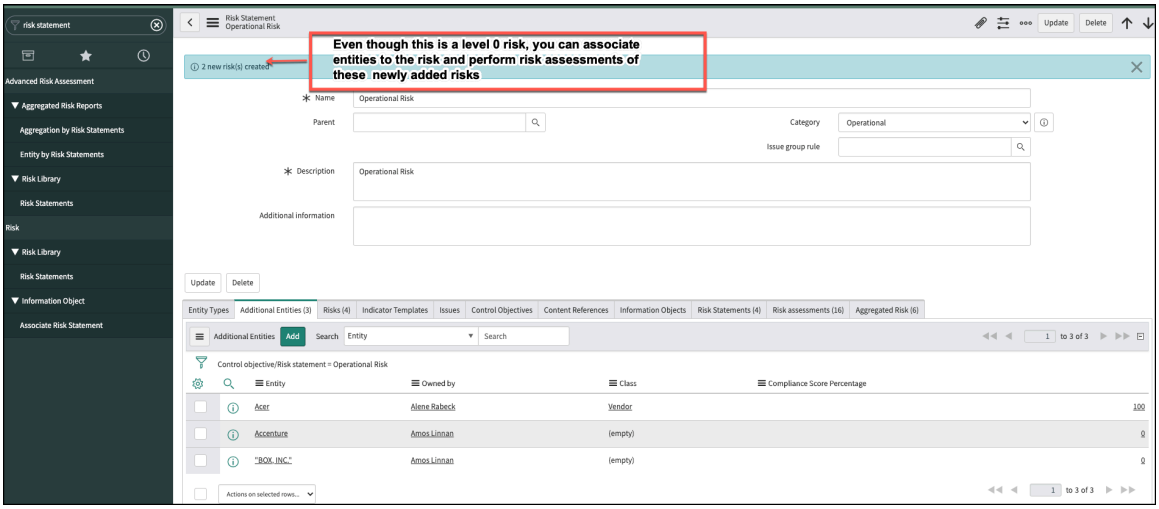
すべての組織は、標準化されたリスク分類を維持します。この分類は、適切なステークホルダーへの適切なレベルのリスクレポートを可能にする階層とサブ階層に編成されています。また、リスクを評価するユーザーによって、リスクが評価されるレベルが異なります。たとえば、エンタープライズリスクは最上位レベルで評価され、詳細なリスクとコントロールのアセスメントはリスク階層の最下位レベルで行われます。最新リリースでは、エンティティタイプまたはエンティティを、リスクステートメント階層の任意のレベルでインジケーターテンプレートに関連付けることができるようになりました。そのため、顧客がトップダウンのリスクアセスメントを実行する場合は、会社をトップレベルのリスクステートメント階層にマッピングすることで実行できます。また、事業部門または LOB (基幹業務) に最低のリスクステートメントを適用することで、従来のボトムアップのリスクアセスメントを実行することもできます。最下位または最低レベルは、リーフレベルとも呼ばれます。エンティティを任意のレベルのリスクに関連付けるこの柔軟性は、トップダウンのリスクアセスメントを実行するうえで役立つため、エンタープライズリスクマネージャーにとって便利です。

次の図は、ユーザーがエンティティを関連付けてリスクを作成できるリスクステートメントフォームを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

任意のレベルでエンティティをリスクステートメントに関連付け



クラシック版リスクアセスメントを管理

リスクアセスメントは、リスクを判断するためのサーベイです。リスクアセスメントデザイナーは、ユーザーが証明書を作成および編集したり、採点パラメーターを変更したりするために使用できる単一のインターフェイスを提供します。

質問集にはさまざまなカテゴリの質問のライブラリが用意されているため、各アンケートを最初から構築する必要はありません。リスクは [ドラフト] 状態から始まり、[評価] に移行し、アセスメント回答者に通知が送信されます。

[自分のアセスメント] は [リスク登録] モジュールに含まれており、自分が回答者であるアクティブなアセスメントが含まれています。アセスメントは、リスクごとに 1 つのアセスメントレコードを含むリストに表示されます。

[すべてのアセスメント] は [リスク登録] モジュールに含まれており、すべてのアクティブなアセスメントが含まれています。アセスメントは、リスクごとに 1 つのアセスメントレコードを含むリストに表示されます。

リスクマネージャーは、リスクステートメントごとに新しい質問セットを作成できます。

クラシック版リスクアセスメントでは、スコアは自動的にロールアップされません。リスクステートメントが作成されるたびに、リスク管理者はデフォルトのスコアを手動で入力します。リスクステートメントから作成されたすべてのリスクは、リスクステートメントで定義されたスコアを継承します。

リスクインジケーター、コントロールインジケーター、およびインジケーターテンプレート

インジケーターは、組織のリスクを管理するために使用される重要なツールです。インジケーターは、コントロールとリスクを監視するためにデータを収集し、監査証拠を収集します。インジケーターは単一のコントロールまたはリスクを監視します。これらは、リスクの監視、緩和、およびレポートを強化および促進するために使用されます。

インジケーター

インジケーターは、監査を行う前に組織が準拠しているかどうかを把握したい場合に便利です。特定のコントロールが準拠していない場合、インジケータはそれらを識別して修正するのに役立ちます。継続的な監視には、主要なリスクおよびコントロールインジケーターの特定と作成に関連するアクティビティが含まれます。インジケーターのタイプは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [手動]：手動インジケーターは、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データがサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。
- 基本：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。
- スクリプト化：スクリプト化されたインジケーターは、カスタムスクリプトを使用してデータを収集します。

GRC indicator nightly run ジョブはインジケーターを実行します。インジケーターが実行されると、サポートデータを収集することができます。サポートデータは、インジケーターの実行時に収集される証拠を参照します。これらのインジケーターのサポートデータまたは情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。

インジケーターは、インジケータータスクがクローズされたときに結果を生成します。その結果は、コントロールの問題を作成し、リスクスコアを更新し、監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供するために使用されます。バージョン 10.1 以降、システムにインジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。さまざまなタイプのインジケーターを作成する方法の詳細については、以下を参照してください。

- リスクワークスペースで手動リスクインジケーターを作成して実行
- リスクワークスペースで基本リスクインジケーターを作成して実行
- リスクワークスペースでスクリプト化済みリスクインジケーターを作成して実行

インジケーターテンプレート

インジケーターテンプレートを使用すると、類似のコントロールまたはリスクに対して複数のインジケーターを作成できます。インジケーターテンプレートを使用してインジケーターを作成するか、独立したインジケーターを作成することができます。インジケーターテンプレートを使用してインジケーターを作成する場合でも、インジケーターの詳細を変更または上書きすることができます。

リスクの問題と修正を管理

問題を手動で作成して、監査の観察事項または修正を文書化したり、問題を受け入れたりすることができます。インジケーターの結果、証明書の結果、またはコントロールテストの有効性から自動的に生成されます。

さまざまなタイプの問題は、次の条件で作成されます。

問題
: インジケーターが失敗したときに作成されます。

コントロールの問題
: コントロールが実装されていないことを示すコントロール証明書が完了されたときに作成されます。

コントロールテストの問題
: コントロール有効性が無効に設定された状態でコントロールテストが完了してクローズしたときに作成されます。

その他の問題
: ユーザーが手動で作成します。

コントロールエラーやリスクエクスポージャーの原因となっている根本的な問題を解決する意思を示す印をつける問題を修正します。問題を受け入れて、既知のコントロールエラーやリスクの例外を作成する意図があることをマークします。[受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価され

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス の機械学習ソリューション

GRC の機械学習ソリューションは、組織の事業運営を改善し、GRC をよりスマートに使用するのに役立ちます。

機械学習は、そのアルゴリズムが履歴データを使用して構築されているため、さまざまなビジネス上の複雑性の解決策として機能します。これにより、企業は人間の介入なしで情報の計算と処理を行うことができます。

リスク管理 の構成

組織の完全なリスク管理のために提供される機能を使用するように リスク管理 アプリケーションを構成します。

リスク管理 の実装

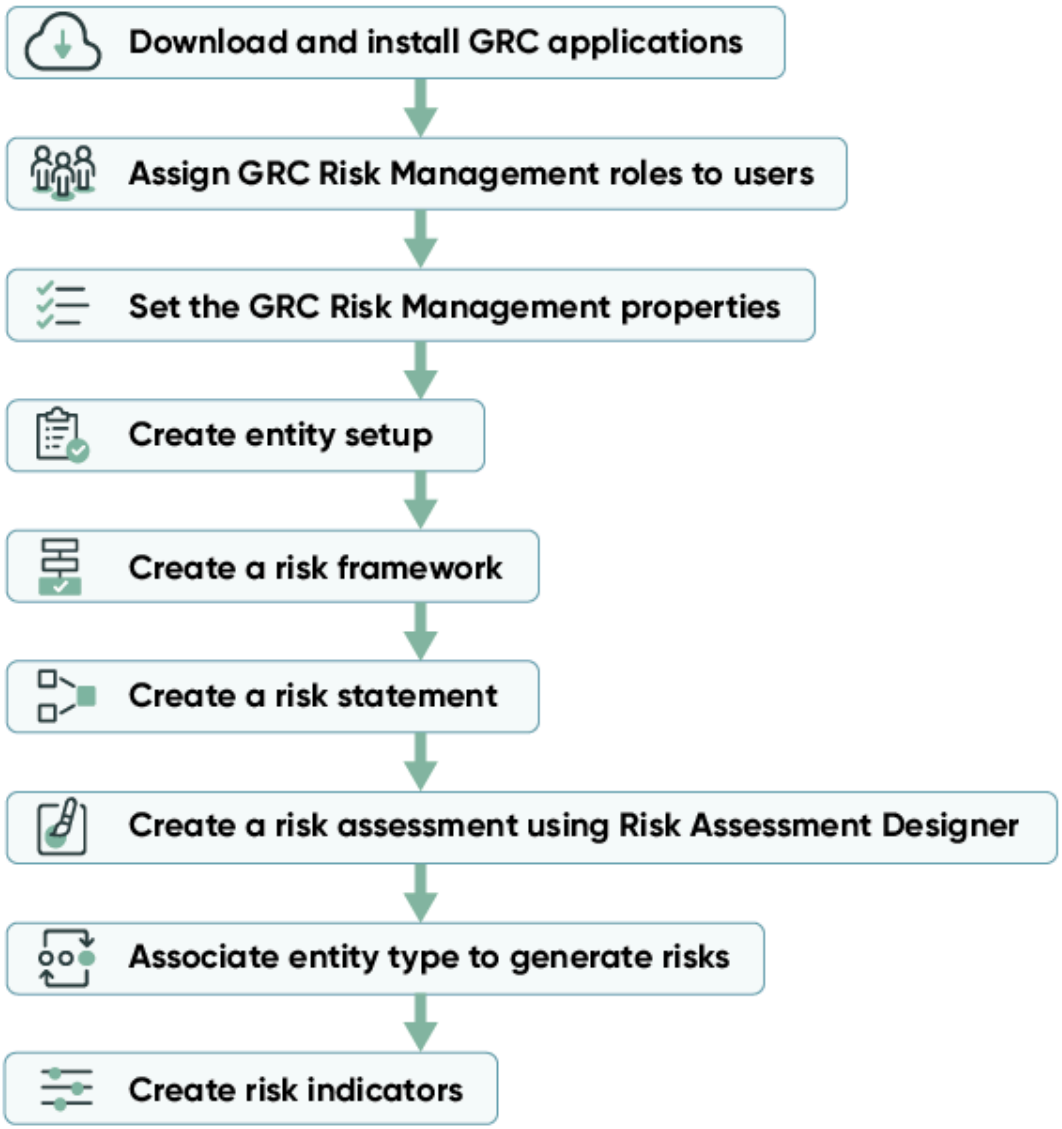
リスク管理 アプリケーションチェックリストの手順に従って ServiceNow Store から リスク管理 をダウンロードし、操作の準備をします。必須およびオプションのセットアップ手順のほか、実装チェックリストが、セットアップを簡略化するために用意されています。

チェックリストの必須ステップのフローを次に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理実装チェックリスト



自動翻訳

リスク管理 をダウンロード

インスタンスで GRC: リスク管理 (sn_risk) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

リスク管理 のインストール

管理者ロールがある場合は、 リスク管理 アプリケーション (com.sn_risk) をインストールできます。 このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.
- リスク管理 には次のプラグインが必要です。 リスク管理 をインストールする前に、これらのプラグインがアクティブ化されていることを確認します。

  必須の ServiceNow プラグイン

  GRC リスク管理 の依存関係

  GRC Risk Management アプリケーションをサポートするために必要なすべての依存プラグインをインストールします。

- リスク管理 には次の ServiceNow Store アプリケーションが必要です。 リスク管理 をインストールする前に、このアプリケーションがインストールされていることを確認します。

  必要な ServiceNow Store アプリケーション

  GRC プロファイル

  GRC: Profiles アプリケーションは、GRC アプリケーションスイートで共有される共通コンポーネントのセットです。このアプリケーションには、一般的なアーキテクチャ、問題管理、およびインジケーターが含まれています。

必要なロール：admin

このタスクについて
リスク管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- ジョブスケジュール
- テーブル

詳細については、「リスク管理 とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、 リスク管理 アプリケーション (com.sn_risk) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 をインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

> **重要:**
> インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

リスク管理 アプリケーションのセットアップチェックリスト

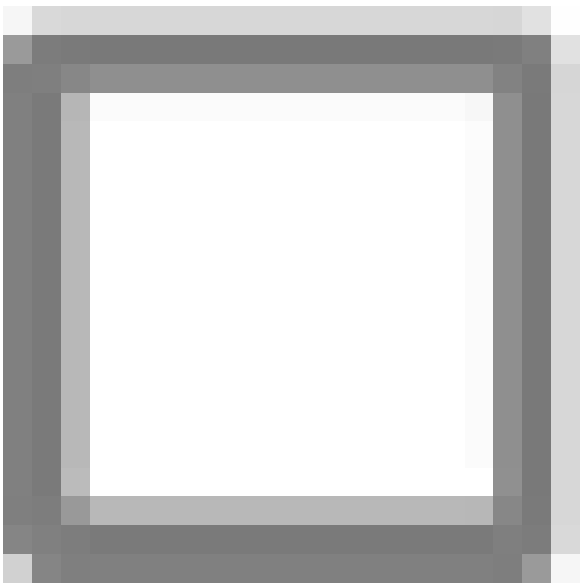
このチェックリストには、Now Platform® インスタンスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。これらのタスクを完了すると、ベースシステムの運用準備が整います。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。PDF を生成するには、トピックの上部にある **[PDF として保存]** アイコンをクリックし、[選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

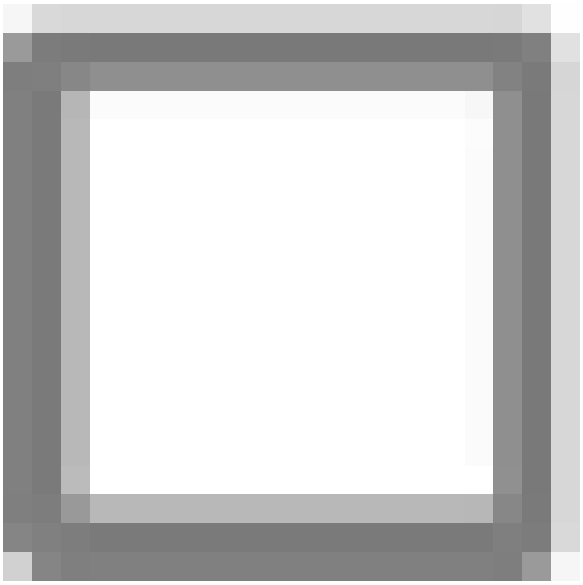
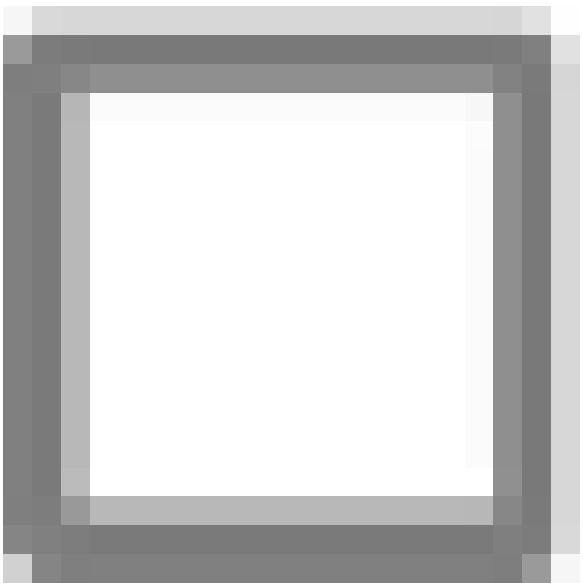
リスク管理 アプリケーションのチェックリスト

アイテム	チェックリスト
	sn_risk.admin ロールを持つユーザーは、以下を実行できます。 • リスク基準を定義および変更する • リスクプロパティを設定する • アセスメントを作成する • 既存のアセスメントを変更する • ロールをアサインする 詳細については、「リスク管理 管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

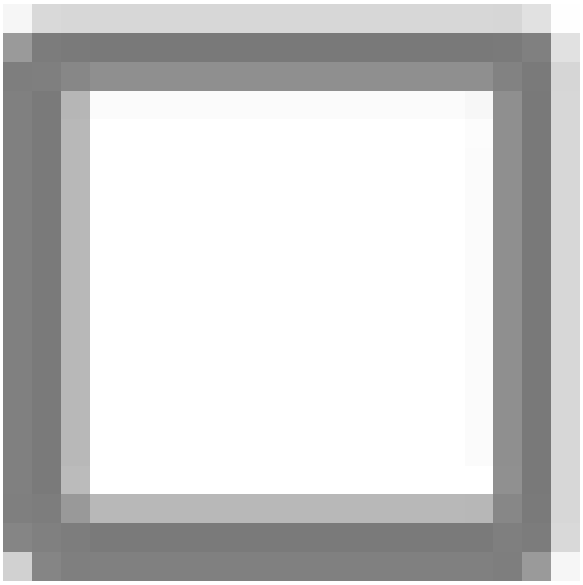
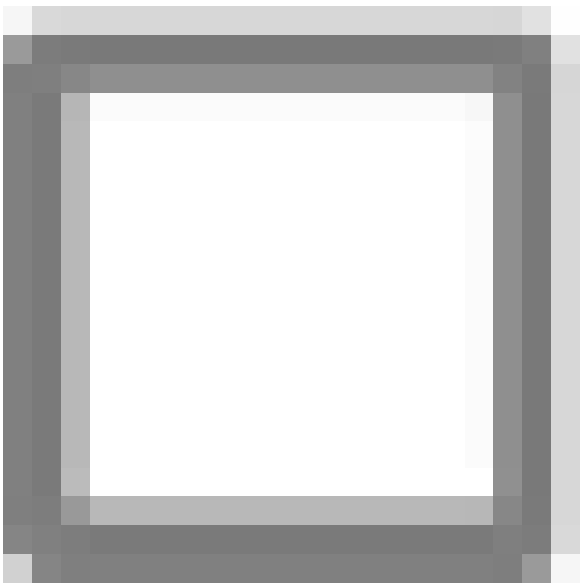
リスク管理 アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	sn_risk.admin ロールを持つユーザーは、ロールのアサインもできます。詳細については、「リスク管理 と一緒にインストールされるロール」を参照してください。
	sn_risk.manager ロールを持つリスクマネージャーは、多数のリスクステートメントを管理する必要があります。この目標を達成するには、リスクフレームワークを定義する必要があります。詳細については、「リスクフレームワークを作成してリスクステートメントを関連付ける」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

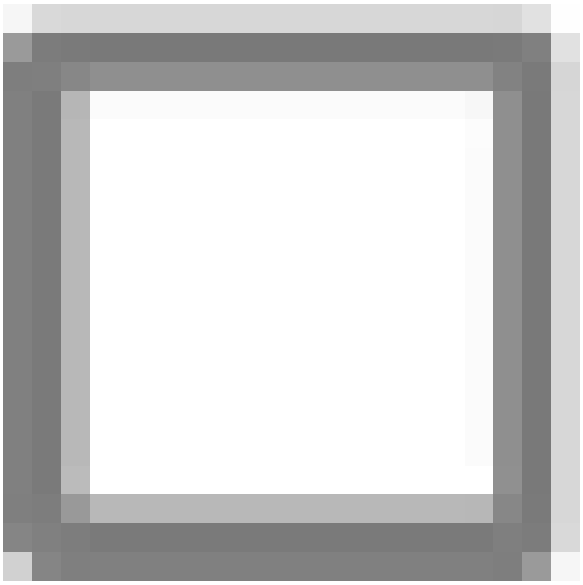
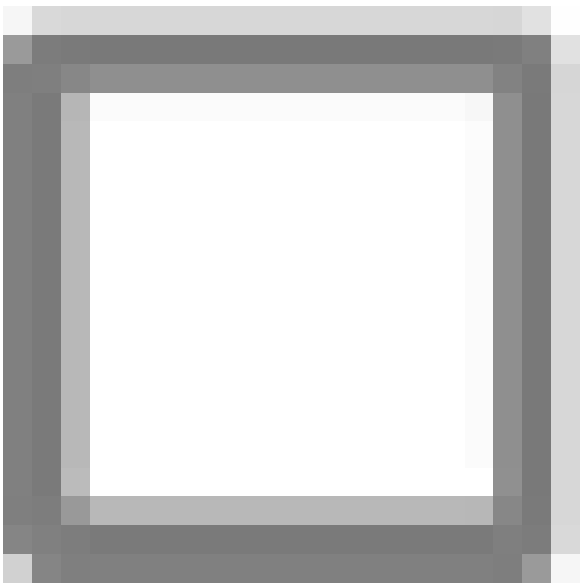
リスク管理 アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	sn_risk.manager ロールを持つリスクマネージャーは、リスクを論理的にグループ化するためのリスクステートメントを作成する必要があります。詳細については、「リスクステートメントを作成」を参照してください。
	リスク管理者またはリスクマネージャーは、リスクアセスメントデザイナーを使用してリスクアセスメントを作成できます。詳細については、「リスクアセスメントデザイナーを使用してリスクアセスメントを作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

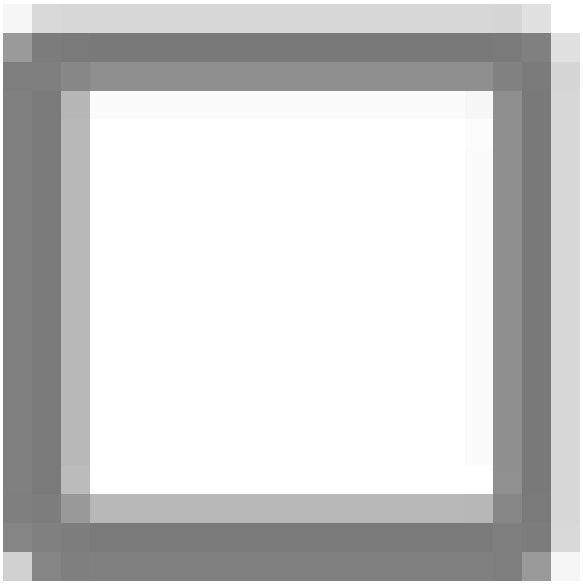
リスク管理 アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	リスク管理者とリスクマネージャーはリスクインジケーターを作成できます。リスクインジケーターは、リスクエクスポージャーのレベルの変化を監視し、組織がリスクを報告し、危機を回避し、それらを時間内に緩和できるようにします。詳細については、「リスクインジケーターを作成」を参照してください。
	リスク管理者とリスクマネージャーは、エンティティタイプから生成するのではなく、エンティティを手動で作成できます。詳細については、「独立したエンティティを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	リスク管理者とリスクマネージャーは、エンティティタイプを作成および編集し、コンプライアンスを追跡する必要がある既存の ServiceNow テーブルにマッピングする必要があります。エンティティは、すべてのエンティティタイプのコントロールとリスクを生成するコントロール目標とリスクステートメントにアサインされます。詳細については、「エンティティタイプからリスクとコントロールを生成する」を参照してください。

GRC 高度なリスク のセットアップチェックリスト

高度なリスク アプリケーションで利用可能な基本構成の概要を把握するには、次のチェックリストを使用します。

始める前に

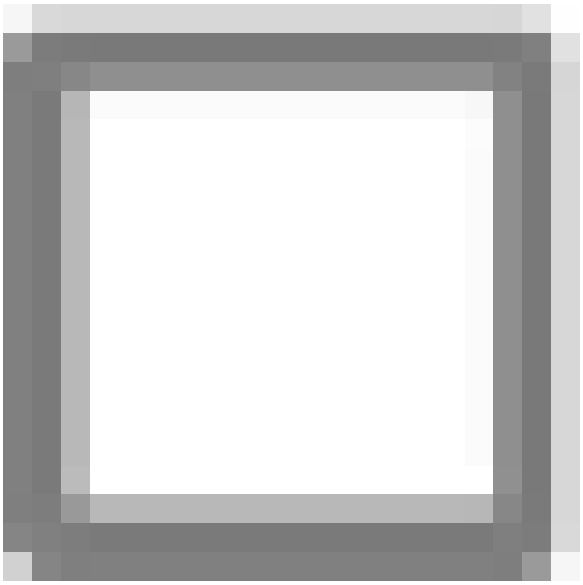
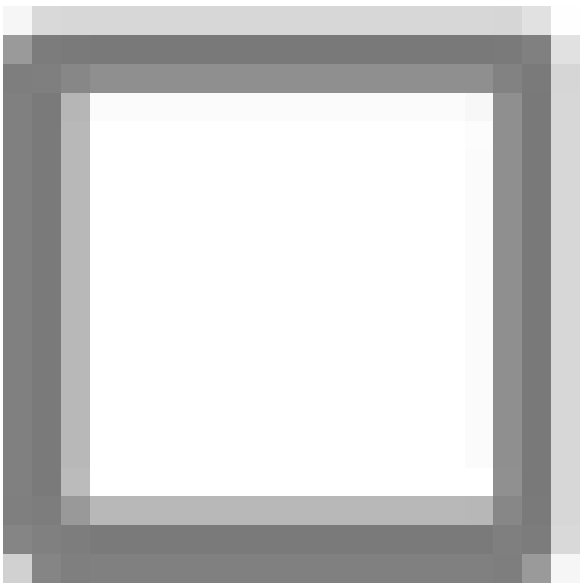
必要なロール：sn_risk.admin

このチェックリストトピックの PDF を作成し印刷することをお勧めします。そうすれば、完了したタスクにチェックを付けることができます。PDF を生成するには、トピックの上部にある **[PDF として保存]** アイコンをクリックし、[選択したトピック **(Selected topic)]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

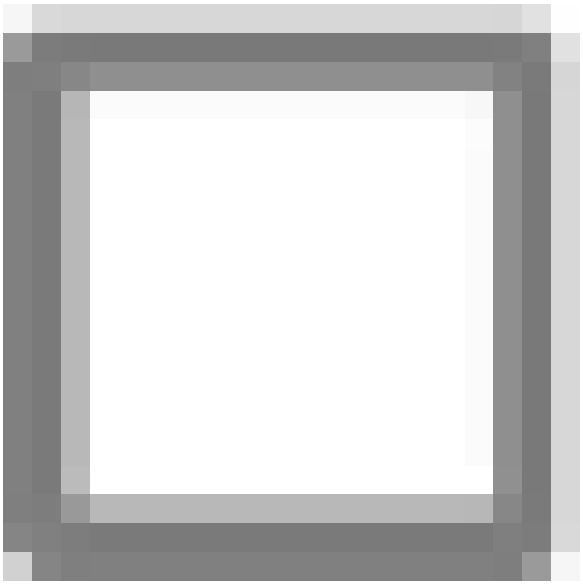
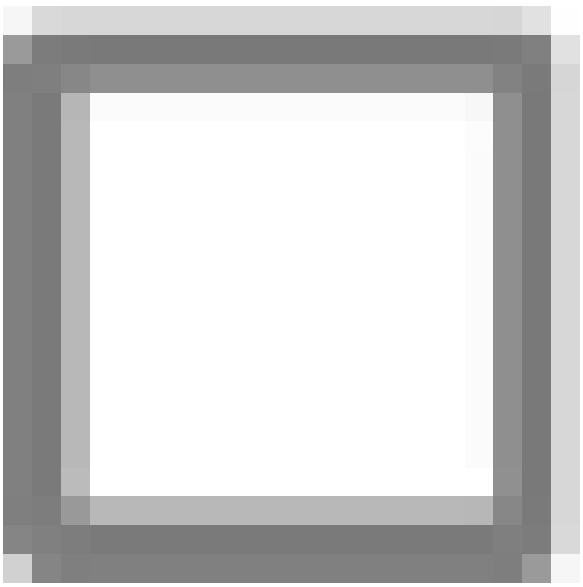
高度なリスク アプリケーションのチェックリスト

アイテム	チェックリスト
	リスクマネージャーはさまざまなタイプのリスク (オペレーショナルリスク、IT リスク、または戦略的リスク) を含む階層を作成できます。根底にあるリスクが評価されると、リスクスコアがリスクステートメント階層全体で自動的にロールアップされるため、戦術的および戦略的な意思決定が向上します。詳細については、「リスク階層と採点」を参照してください。
	リスクマネージャーは、リスクステートメント階層を定義し、子リスクステートメントを親に関連付けてリスク階層を作成する必要があります。詳細については、「リスクステートメント階層を定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

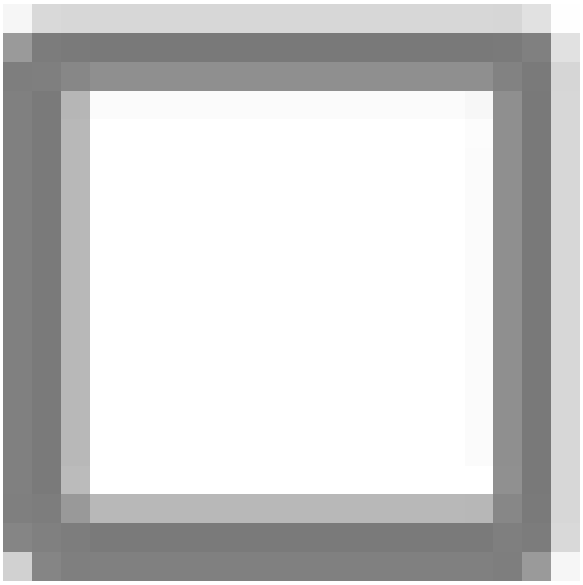
高度なリスク アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	リスクロールアップは、正確なリスク評価を表示するために重要です。リスク管理者はロールアップと階層を定義できます。詳細については、「Advanced Risk アセスメントのリスクスコアロールアップ」を参照してください。
	リスクイベントは、組織内で発生する潜在的または実際の財務的および財務以外の損失、ニアミス、および利益です。リスク管理者は、リスクイベントを他のアプリケーションと統合して、リスクイベントのレポートを容易にすることができます。詳細については、「リスクイベントを管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスク アプリケーションのチェックリスト (続く)

アイテム	チェックリスト
	GRC Advanced Risk アセスメントを使用して統合リスクプラットフォームを作成します。リスク管理者は、詳細なリスクアセスメントオプションを設定できます。詳細については、「Advanced Risk アセスメント」を参照してください。

高度なリスク をダウンロード

インスタンスで 高度なリスク を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
GRC Risk Advanced は、次の機能へのアクセスを提供します。

- リスクイベントを管理
- リスク階層と採点

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

リスク管理 の詳細セットアップ

リスク管理 を設定して、GRC リスク管理 アプリケーションのリスクアセスメント、リスクイベント、その他の機能を使用できるようにします。

リスク管理 をセットアップするには：

1. リスク管理 をダウンロード：インスタンスで GRC: Risk Management (com.sn_risk) を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。
2. 高度なリスク をダウンロード：インスタンスで Advanced Risk を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。
3. GRC リスク管理 のモバイルエクスペリエンス：リスクマネージャーは、Android または iOS モバイルデバイスを使用して作業を管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. リスク管理のクイックスタートテスト：アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、Risk Management が引き続き正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

GRC 高度なリスク のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、高度なリスク が引き続き正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

GRC 高度なリスク

GRC：高度なリスク クイックスタートテストでは 高度なリスク プラグイン (com.sn_risk_advanced) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: 高度なリスク テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：リスクイベントの作成	リスクイベントの作成を検証します。	New York
GRC：リスクステートメント階層の作成	リスクステートメントに親フィールドが含まれ、リスクステートメント間で階層を維持できるようになっているかどうかを検証します	New York
GRC：リスクイベントの却下	リスクイベントの却下機能を検証します	New York
GRC：詳細情報の要求 - リスクイベント	リスクイベントを承認する前に詳細情報を要求する機能を検証します	New York
GRC：リスクアセスメントスコープを作成	手動ファクタ、クエリーファクター、自動スクリプトファクタなど、さまざまなタイプの要素を作成します。リスクアセスメント方法論を作成し、リスクアセスメント方法論のさまざまなアセスメントタイプに因子を関連付けます。これにより、リスクアセスメント方法論のリスクアセスメントスコープが作成されます。設定されています。 **注:** ATF テストを実行しているときは、テストランナーのプロパティでテストランナーのタイムアウトを 120 秒から約 240 秒に増やすことをお勧めします。	Orlando

高度なリスク の詳細については、「高度なリスクのダウンロード」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 の構成

グローバルドメインの管理者は、プロパティを設定して、システムが リスク管理 アプリケーションを定義する方法を決定できます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

> **注:**
> グローバルドメインよりも低いドメイン内の管理者の場合、プロパティ画面の表示はできますが、設定を変更することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > 管理 > プロパティ.
2. リスク管理 プロパティフォームのフィールドに入力します。
   「」を参照してください。 でインストールされるプロパティ リスク管理 プロパティの説明。
3. [保存] をクリックします。

関連情報

リスク管理でインストールされるプロパティ

リスク管理 管理

リスク管理 アプリケーションを使用すると、管理者はリスクカテゴリ、リスク基準、リスク管理プロパティ、およびリスクアセスメントタイプをカスタマイズできます。

リスク基準

リスク基準は、リスクが発生する可能性と、リスクが発生した場合の組織への影響度に起因するスコア値です。

リスク基準のしきい値は、次のように可能性が高いまたは可能性が低いスコアを定義します。

リスク基準しきい値

可能性	影響	スコア
1 = 可能性は非常に低い	1 = 非常に低い	0 ～ 5 = 非常に低い
2 = 可能性は低い	2 = 低	6 ～ 10 = 低
3 = どちらでもない	3 = 普通	11 ～ 15 = 中
4 = 可能性がある	4 = 高	16 ～ 20 = 高
5 = 可能性が非常に高い	5 = 非常に高い	21 ～ 25 = 非常に高い

リスクプロパティ

名前	説明
フォームの [適用先] フィールドで利用可能なテーブルのリスト	このフィールドが空白の場合、エンティティタイプ、エンティティ、およびリスクのさまざまなフォームですべてのテーブルを使用できます。エンティティタイプ、エンティティ、およびリスクフォームの [適用先] フィールドで利用可能なテーブルのカンマ区切りリストを定義します。すべての拡張テーブルを含めるには、テーブル名の後に *.extended* を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントタイプ

リスクマネージャーは、リスクアセスメントごとに新しい質問セットを作成できます。「アセスメントタイプを作成」を参照してください。

リスク管理のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、リスク管理 が引き続き正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

GRC：リスク管理 クイックスタートテストでは リスク管理 プラグイン (com.sn_risk) をアクティブ化して、デモデータをロードする必要があります。

GRC: リスク管理 クイックスタートテストテストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：プロファイルの作成	プロファイルの作成を検証します。	Madrid
GRC：リスクの作成	リスクの作成を検証します。	Madrid
GRC：コントロールの作成	コントロールの作成を検証します。	New York
GRC：コントロール目標の作成とコントロールの生成	コントロール目標の作成を検証し、プロファイルを関連付けてコントロールを生成します。	New York
GRC：問題の作成	問題の作成を検証	New York
GRC：問題を承認	問題の受け入れによってクローズされるまで、問題のすべてのステータスを検証します。	New York
GRC：問題を修復	未解決の修正タスクを使用して、検証の問題をクローズすることはできません。	New York
GRC：インジケーター向け ATF フロー (マニュアル)：	Type manual を使用してインジケーターテンプレートを作成し、コントロール目標をそれに関連付けます。インジケーターの 1 つを実行して、形成します。クローズ済みとして作成されたインジケータータスクのステータスをマークし、失敗として結果を示します。関連コントロールは非適合となり、問題が発生します。	New York
GRC：インジケーター向け ATF フロー (ベーシック)	タイプが「基本」で、結果が「失敗」であるインジケーターテンプレートを作成します。コントロール目標をそれに関連付け、サポートデータを提供します。インジケーターの 1 つを実行して、形成します。関連コントロールは非適合となり、問題が発生します。	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: リスク管理 クイックスタートテストテストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
GRC：インジケーター向け ATF フロー (スクリプト)	タイプスクリプトを使用してインジケーターテンプレートを作成し、スクリプトを入力し、結果の値を設定します。渡します。結果の値。コントロール目標を関連付けます。インジケーターの 1 つを実行します。関連コントロールは非適合となり、問題が生成されます。	New York

関連情報

クイックスタートテスト

GRC Mobile アプリケーション のセットアップチェックリスト

次のチェックリストには、Now Platform® インスタンスおよびモバイルデバイスで完了する必要があるセットアップタスクが含まれています。GRC Mobile アプリケーション を使用してモバイルデバイスで リスク管理 アプリケーションを表示する前に、これらの設定タスクを完了してください。

始める前に

オプションとして、このチェックリストを印刷し、GRC Mobile アプリケーションに必要な設定タスクのガイドとして使用します。GRC Mobile アプリケーション にログインして Now Platform インスタンスを追加できるように、リストの各アイテムが完了していることを確認します。

このタスクの完了にかかる時間は 15 ～ 20 分です。

必要なロール：admin、sn_risk.manager

GRC Mobile アプリケーション チェックリスト

アイテム	説明
☐	admin ロールを持つユーザーは、GRC コアアプリケーションが Now Platform インスタンスにインストールされていることを確認します。これは、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスです。 **注:** GRC コアアプリケーションと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 1. GRC: GRC Profile 依存関係コアアプリケーションがインスタンスにインストールされていることを検証するには、[プラグイン] に移動して、GRC Profile を検索します。 2. GRC Profile コアアプリケーションがまだインストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、インストールします。 3. GRC Profile アプリケーションをインストールした後、ポリシーとコンプライアンス管理 コアアプリケーション、または リスク管理 コアアプリケーション、または ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションをインストールします。これらは、GRC Mobile アプリケーション で表示できる 2 つの GRC アプリケーションです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション チェックリスト (続く)

アイテム	説明
	インスタンスに表示されていない場合は、すべての GRC コアアプリケーションを ServiceNow Store から入手できます。 GRC コアアプリケーションのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。 GRC コアアプリケーションをインストールすると、GRC Mobile アプリケーション の依存関係プラグイン (com.glide.sg および com.glide.sg.agent_native_client) も自動的にインストールされます。 これらの依存関係プラグインがインストールされ、有効化されていることを確認するには： **1.** [プラグイン] に移動します。 **2.** プラグイン ID (com.glide.sg および com.glide.sg.agent_native_client) を検索します。 **3.** 有効になっていない場合は、これらのプラグインを有効にします。
	管理者ロールを持つユーザーとして、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスに GRC モバイルアプリがインストールされていることを確認します。 **注:** GRCモバイルアプリと Now Platform インスタンスは、ファミリーリリースが同じである必要があります。 GRC Mobile アプリケーション でのエンタイトルメントの取得、ダウンロード、およびインストールの詳細については、「GRC と ServiceNow Store」を参照してください。
	管理者ロールを持つユーザーは、Now Platform インスタンスで、モバイルユーザーに必要な Now Platform ロールをアサインしたことを確認します。 **1.** ユーザーにアサインされているロールを表示するには、次の場所に移動します ユーザーとグループ > ユーザー. **2.** ユーザー名、続いてロール関連リストを選択します。このユーザーにアサインされているすべてのロールが表示されます。 **3.** ユーザーがアサインされていることを確認するか、IT インフラストラクチャライブラリーロール (itil) を持つユーザーをアサインします。itil ロールを持つユーザーは、レコードを作成し、開き、更新できます。itil ロールを持つユーザーのみにタスクをアサインすることができます。 **4.** ユーザーがアサインされていることを確認するか、リスクマネージャーロール (sn_risk.manager) を持つユーザーをアサインします。このロールは、itil ロールをアサインすると自動的に追加されます。 **5.** 必要なアサイン先グループを作成し、これらのグループにモバイルユーザーをアサインしたことを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション チェックリスト (続く)

アイテム	説明
	注: モバイルアプリケーションに複数のユーザーがいる場合は、sn_risk.manager ロールをグループに割り当てることもできます。グループに追加する各ユーザーは、このロールを継承します。 ユーザーおよびユーザーとグループへのロールのアサインの詳細については、「Create a user (ユーザーを作成)」を参照してください。
	sn_risk.manager ロールを持つモバイルユーザーは、モバイルデバイスに最新の ServiceNow エージェントアプリケーションがインストールされていることを確認します。 エージェントモバイルアプリ 最新の Agent アプリは、Apple iOS App Store と Google Play ストアで入手できます。
	sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、モバイルデバイスと Now Platform インスタンスで通知が有効になっていることを確認します。 重要な処理待ちの承認要求が自分または自分のアサイン先グループにアサインされたときに通知されます。タイムリーな修正を支援するには、通知を有効にした後、GRC Mobile アプリケーション 内の通知をクリックしてレコードに直接移動します。 Now Platform インスタンスで通知を有効にしてモバイルデバイスに表示されるようにするには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション チェックリスト (続く)

アイテム	説明
	1. GRC Mobile アプリケーション を Now Platform インスタンスにダウンロードしてインストールしたことを確認します。 2. Now Platform インスタンスの [システムの設定] の [通知] で、**ServiceNow Mobile** アプリケーションが有効になっていることを確認します。 通知の設定の詳細については、「Core UI での通知設定の設定」の「User notification preferences in コア UI (ユーザー通知設定)」を参照してください。 Now Platform の通知は、モバイルデバイスのメッセージ画面にも表示されます。モバイルデバイスの設定でも通知が有効になっていることを確認します。

モバイルデバイスと、GRC Mobile アプリケーション 用の Now Platform が正常に設定されました。次のステップでは、モバイルデバイスで ServiceNow エージェントアプリを使用して Now Platform インスタンスにログインします。

リスク選好度のセットアップ

高度なリスク アプリケーションでリスク選好度機能を設定できます。

タスクの順序に従って 高度なリスク アプリケーションでリスク選好度機能を構成します。

高度なリスク のリスク選好度と許容度を構成

高度なリスク アプリケーションでリスク選好度と許容度を構成およびカスタマイズできるように、高度なリスクアセスメントプロパティを設定します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ.
2. 次の表に記載されているプロパティ値を設定します。

高度なリスクアセスメントのプロパティ

プロパティ	説明
Advanced Risk アセスメントに移行 sn_risk_advanced.hide_risk_legacy_lifecycle	高度なリスクアセスメントに移動するためのオプション。リスク選好度機能を使用する場合は、[はい] を選択します。
リスク選好度の定義 (Define risk appetite as) sn_risk_advanced.risk_appetite_scale	リスク選好度タイプを選択するオプション： ○ [リスク選好度のみ **(1** ポイントスケール) **(Risk appetite only (1-point scale))]**：リスク選好度のみを使用します。[リスク選好度] フィールドは、リスクステートメント、リスク、およびエンティティフォームで使用できます。リスク選好度ステータスは、このプロパティの選択に基づいて計算されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	○ [リスク選好度とリスク許容度 **(2** ポイントスケール) **(Risk appetite and risk tolerance (2-point scale))]**：リスク選好度とリスク許容度の両方を使用します。[リスク選好度] と [リスク許容度] フィールドは、リスクステートメント、リスク、およびエンティティフォームで使用できます。リスク選好度ステータスは、このプロパティの選択に基づいて計算されます。 ○ [なし]：リスク選好度を使用しません。 **注:** 一度に設定できるのは、[リスク選好度の定義 **(Define risk appetite as)]** と [リスク選好度を表す**(Express risk appetite in)]** の間の 1 つのプロパティのみです。最初に 1 つのプロパティを設定し、保存してから、他のプロパティを設定します。
リスク選好度を表す(Express risk appetite in) sn_risk_advanced.risk_appetite_analysis	リスク選好度スケールを選択するオプション： ○ [定性的条件のみ **(Qualitative terms only)]**：定性的条件のみでリスク選好度を定義します。リスク選好度は、低、中、高などの選好度スケールに基づいています。リスク評価は、定性的選好度および許容範囲と比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。 ○ [定量的条件のみ **(Quantitative terms only)]**：定量的条件のみでリスク選好度を定義します。定量的リスク選好度は、数値を使用して測定および表すことができます。たとえば、組織が今年のターゲット不良資産 (NPA) を 1,000 ドル (USD) にすると決定します。組織は、定量的リスク選好度として 1,000 米ドルを定義できます。年間損失予測値は、定量的選好度および許容範囲と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 ○ [両方]：定性的および定量的の両方でリスク選好度を定義します。 **注:** 一度に設定できるのは、[リスク選好度の定義 **(Define risk appetite as)]** と [リスク選好度を表す **(Express risk appetite in)]** の間の 1 つのプロパティのみです。最初に 1 つのプロパティを設定し、保存してから、他のプロパティを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
リスク選好度を確認するためにメールを送信するまでの日数 (Number of days before which an email should be sent to review risk appetite) sn_risk_advanced.risk_appetite_review_notifcation	次のレビュー日の前にリスクステートメント所有者に自動メール通知を送信する通知メールスケジューラー。

3. [保存] を選択します。

リスク選好度スケールの設定

高度なリスク アプリケーションでリスク選好度スケールを設定して、組織内の定性的なリスク選好度を定義します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
リスク選好度スケールを使用して、リスクステートメント、エンティティ、およびリスクレコードの定性的なリスク選好度を定義します。デフォルトで出荷されるリスク選好度スケールは次のとおりです。

- **1-** 反対
- **2 -** ミニマリスト
- **3 -** 慎重
- **4-** オープン
- **5-** 意欲的

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスク選好度スケール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスク選好度スケールフォーム

フィールド	説明
名前	リスク選好度スケールの名前。例：意欲的。
有効	選好度スケールを有効にするオプション。リスク選好度スケールは削除できません。代わりに、非アクティブにします。このオプションは自動的に選択されます。 **注:** リスク選好度スケールをアクティブまたは非アクティブにすると、関連するリスクアセスメント、エンティティ、リスクステートメント、リスクなどの複数のレコードに影響します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	選好度スケールに関する簡潔な説明。
値	リスク選好度スケールの値。このフィールドは、リスク選好度スケールの数値を定義します。 注: リスク選好度値に変更を加えると、関連するリスクアセスメント、エンティティ、リスクステートメント、リスクなどの複数のレコードに影響します。
表示順序	リスク選好度スケールの順序。このフィールドでは、リスク選好度スケールが表示される順序を設定できます。

4. [送信] を選択します。

リスク選好度ステータスを変更

高度なリスク アプリケーションのリスク選好度ステータスに表示されるデフォルトの名前、色、およびアイコンを変更します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
リスク選好度ステータスを使用して、定義されたリスク選好度に基づくエンティティ、リスク、およびリスクステートメントの最終的なリスクステータスを定義します。選好度ステータスは、リスクを監視し、リスクを選好度の範囲内に収めるためのアクションを定義するうえで役立ちます。

デフォルトで出荷されるリスク選好度ステータスは次のとおりです。

- [選好度の範囲外]
- [選好度が許容範囲外]
- [選好度の範囲内]

注:
リスク選好度ステータスは削除できませんが、廃止または作成することはできます。リスク選好度ステータスを作成する場合は、ステータスを計算できるようにアプリケーションをカスタマイズする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスク選好度ステータス.
2. 変更するリスク選好度ステータスを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスク選好度ステータスフォーム

フィールド	説明
名前	リスク選好度ステータスの名前。たとえば、[選好度の範囲外] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスク選好度ステータスの色。	リスク選好度ステータスに表示される色。 **注:** リスク、エンティティ、およびリスクステートメントのワークスペースビューでこの変更を行うには、いくつかの追加の手順を実行する必要があります。これらの追加手順の詳細については、KB0867184 を参照してください。ナレッジベース の記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。
アイコン	リスク選好度ステータスに表示されるアイコン。 **注:** リスク、エンティティ、およびリスクステートメントのワークスペースビューでこの変更を行うには、いくつかの追加の手順を実行する必要があります。これらの追加手順の詳細については、KB0867184 を参照してください。ナレッジベース の記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

4. [送信] を選択します。

高度なリスク メッセージの変更

高度なリスク アプリケーションを使用して、リスクアセスメントフォームに表示されるメッセージを変更します。システムメッセージを変更すると、ユーザーの好みや特定の要件に合わせて、カスタマイズされた一貫性のあるメッセージングをユーザーに送信することが可能になります。

始める前に

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > システム **UI** > メッセージ.
2. すべての高度なリスクアセスメントメッセージをフィルタリングするには、[キー] 列を選択し、advanced_risk_assessment_component を検索します。
   高度なリスクアセスメントに関連するメッセージが表示されます。
3. 変更するメッセージを選択します。
4. **注:**
   [キー] フィールドを変更していないことを確認します。

   [メッセージ] フィールドでメッセージのテキストを変更します。
5. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での関連リストのグループ化の作成 高度なリスク

レコードページ上の関連リストのグループ化を簡素化し、特定のニーズに合わせてカスタマイズして、プロセスで意味のある名前を割り当てます。この構成により、フォームを操作する際の読みやすさとユーザーエクスペリエンスが向上します。

始める前に

必要なロール:admin または sn_grc_workspace.record_view_admin

このタスクについて

フォームには多数の関連リストがあり、ビューが乱雑になることがあります。表示を簡素化するために、フォームに表示する関連リストを選択して設定するオプションがあります。デフォルトでは、次のテーブルに関連リストを設定する機能が提供されます。

- 計算済み測定基準の定義のテーブル
- 測定基準の定義テーブル

任意のテーブルを選択してそのテーブルの関連リストを設定できますが、この手順では、例として、測定基準の定義テーブルのグループ化を作成する方法について説明します。関連リストとは別に、グループの下に表示する UX ページを指定することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > レコードビュー構成.
2. [リスク ワークスペースの構成] を選択します。
3. [テーブル構成] 関連リストで、[測定基準の定義] を選択します。
4. [グループ構成] 関連リストで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

グループ構成フォーム

フィールド	説明
テーブル構成	関連リストを構成するテーブルの名前。このフィールドは自動的に設定されます。
名前	フォームの関連リストに表示されるグループの名前。たとえば、リスクやリスクステートメントなどのリスク関連オブジェクトをグループ化するために、「 リスク 」などの名前を指定できます。
アクティブ	構成がアクティブかどうかを示すオプション。
順番	フォーム上のグループの順序番号。 **注:** [詳細] タブの前に注文を表示する場合は、注文番号を 100 以下にする必要があります。
条件	フォームに表示するために満たす必要のある条件。たとえば、レコードがアクティブである場合にのみフォームに表示するように指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [送信] を選択します。
7. [グループ構成] 関連リストで、作成したエントリを選択します。
   a. [グループエントリー] 関連リストで、[新規] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

グループエントリフォーム

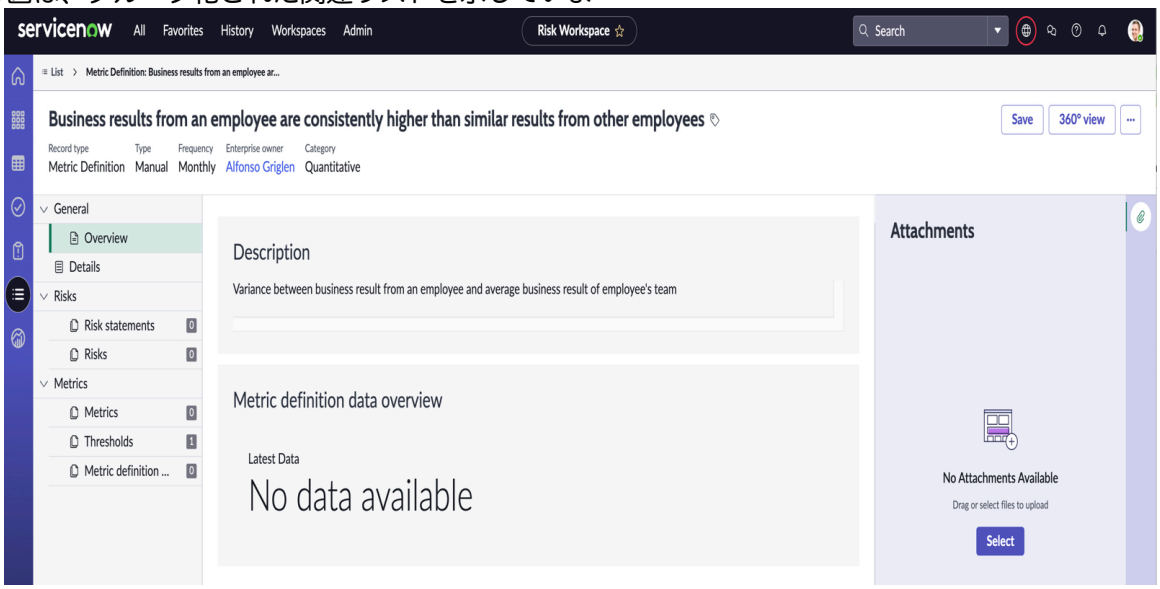
フィールド	説明
グループ構成	関連リストが作成されるグループ。たとえば、この手順では、エントリを構成するグループは リスクです。
順番	UI ページでのエントリの順序。
アプリケーション	関連リストが作成されているアプリケーション。このフィールドは自動的に **[GRC: Risk Management** ワークスペース] に設定されます。
アクティブ	エントリがアクティブかどうかを示すオプション。
Type (タイプ)	グループに含まれるアイテムのタイプを示す選択肢。選択肢は次のとおりです。 ▪ ユーザーエクスペリエンスページ ▪ 関連リスト
関連リスト	必要な関連リストがグループの下に表示されている必要があります。このオプションは、[タイプ] フィールドに [関連リスト] が含まれている場合にのみ表示されます。
スクリーニング	ページの特定のバリエーションまたはバージョン。このオプションは、[タイプ] フィールドに **UX** ページが含まれている場合にのみ表示されます。
ルーティング	UX 画面のパス。このオプションは、[タイプ] フィールドに **UX** ページが含まれている場合にのみ表示されます。

   c. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
次の図は、グループ化された関連リストを示していま



す。

他のアプリケーションとの リスク管理 の統合

Advanced Risk アセスメントなどの リスク管理 の機能を拡張し、他のアプリケーションでリスクの特定とリスクアセスメントを支援します。

Advanced Risk アセスメントは、ガバナンス、リスク、コンプライアンス 外で APM や プロジェクトポートフォリオ管理 などの他のアプリケーションがリスクを特定して評価し、ライフサイクルを管理するために役立ちます。

プロジェクトリスクアセスメント機能を使用してプロジェクトのリスクを管理します。この機能により、リスク管理者、プロジェクトマネージャー、およびリスクオーナーは、プロジェクトリスクの特定、プロジェクトリスクアセスメント、プロジェクトリスクの軽減、プロジェクトリスクの監視など、プロジェクトリスクのライフサイクル全体を管理できます。この機能により、集計されたプロジェクトリスク評価とヒートマップなどの手段を使用して、プロジェクトのリスク体制の効果的な可視性とレポートが提供されます。この統合により、プロジェクトリスクが企業に影響を与える可能性がある場合に、必要な軽減措置を定義できるように、企業のリスクチームにそのリスクを簡単に報告できます。この機能を使用するには、プロジェクトポートフォリオ管理 アプリケーションがインストールされていることを確認します。また、[Advanced Risk アセスメント] [管理] [プロパティ] で [Advanced Risk PPM 統合を有効にする] プロパティを有効にする必要があります。このプロパティのデフォルト設定は [いいえ] です。it_pps_admin または risk_admin ロールを持つユーザーのみがこのプロパティを有効にできます。

アプリケーションリスク管理機能を使用して、ビジネスアプリケーションでデジタルリスクを管理します。この機能により、アプリケーションに関する一般的なデータ収集、アプリケーション固有のリスクアセスメント、適切なポリシー、規制、およびコントロールの適用可能性、コントロールの実装および監視など、ビジネスアプリケーションの完全なリスクライフサイクルを管理できます。GRC ワークフローをビジネスアプリケーションと統合することで、コミュニケーションの障壁を減らし、2 つの組織内の情報サイロ化を解消します。この障壁の削減により、ビジネスアプリケーションの管理における全体的な労力が軽減されます。この機能を使用するには、アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) アプリケーション、ポリシーとコンプライアンス管理 との アプリケーションポートフォリオ管理 統合および リスク管理 との アプリケーションポートフォリオ管理 統合がインストールされていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Advanced Risk アセスメントを使用したプロジェクトリスクアセスメント

プロジェクトリスクアセスメント機能を使用してプロジェクトのリスクを管理します。リスク管理者、プロジェクトマネージャー、およびリスクオーナーは、プロジェクトリスクアセスメント機能を使用して、プロジェクトリスクのライフサイクル全体を管理できます。

組織が成長するにつれて、プロジェクトのリスクアセスメントを実行することが重要になります。プロジェクトはそれぞれ異なるため、プロジェクト固有の要件に従ってプロジェクトリスク管理プロセスをカスタマイズすることが重要です。適切なレベルのプロジェクトリスク管理プロセスを決定することが、リスク管理計画を構成します。プロジェクトリスクのライフサイクルは、プロジェクトリスクの特定、プロジェクトリスクアセスメント、プロジェクトリスクの軽減、プロジェクトリスクの監視などのフェーズで構成されています。

バージョン 11.0.1 では、ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) Advanced Risk アセスメントを使用してプロジェクトリスクを評価できます。この機能は、プロジェクトポートフォリオ管理のリスク管理機能を拡張します。この機能は、強力なプロジェクトリスク管理要件で使用できる強力なリスクアセスメントエンジンと統合されています。また、この機能により、集計されたプロジェクトリスク評価とヒートマップなどのツールを使用して、プロジェクトのリスク体制の効果的な可視性とレポートが提供されます。この統合により、プロジェクトリスクが企業に影響を及ぼす恐れがある場合に、企業のリスクチームにそのリスクを簡単に報告できます。エンタープライズリスクチームは、必要な軽減措置を定義できます。

マネージャーにとっての GRC と プロジェクトポートフォリオ管理 の統合のメリット

この統合を使用すると、プロジェクトマネージャーは次のアクティビティを実行できます。

- 標準的なリスク分類からリスクを特定します。
- プロジェクトフォーム内でプロジェクトのリスクを表示します。
- プロジェクトフォーム自体からリスクを特定して評価します。
- 固有リスクと残存リスクを評価します。
- リスクが企業に影響を与える場合は、プロジェクトリスクをエンタープライズリスクに昇格させます。
- ステークホルダーがこの情報を表示できるように、プロジェクト、プログラム、およびポートフォリオ全体のロールアップリスクスコアを計算します。
- リスク集計を通じてプロジェクトのリスク体制を監視します。

  注:
  評価されたプロジェクトリスクのみが最終リスクスコアに寄与します。

- リスクのヒートマップを表示し、軽減措置を理解します。
- プロジェクトリスクの概要ダッシュボードを表示して、全体的なリスク体制を把握します。

エンタープライズリスクマネージャーにも統合のメリットがあります。次のアクティビティを実行できます。

- 企業に影響を与えるプロジェクトリスクを表示し、必要なアクションを実行します。
- エンタープライズレベルのリスクとその性質をすべてのレベルで全体的に把握します。

GRC と プロジェクトポートフォリオ管理 の統合のユースケース

この統合のユースケースを理解するために、次のシナリオについて検討してください。組織は複数のプロジェクトを持つことができます。複雑なプロジェクトもあれば、それほど複雑でないプロジェクトもあります。複雑なプロジェクトのリスク管理は、ISO 31000 リスクアセスメント標準に沿っている場合があります。複雑なプロジェクトには、リスクの特定、アセスメント、対応、監視など

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のさまざまなアクティビティが必要です。それほど複雑でないプロジェクトやシンプルなプロジェクトでは、簡単なアセスメントのみが必要な場合があります。プロジェクトポートフォリオ管理 と Advanced Risk アセスメントの統合により、プロジェクトリスクのリスクアセスメントがサポートされます。

関連情報

Project Portfolio Management について

プロジェクトリスクアセスメントのワークフロー

プロジェクトポートフォリオ管理 および ガバナンス、リスク、コンプライアンス のリスク管理機能の統合を理解するには、プロジェクトリスクアセスメントのワークフローを理解することが重要です。

プロジェクトリスクアセスメントは一連のステップに従います。リスクが評価された後、リスクがエンタープライズリスクに昇格する場合があります。エンタープライズリスクとは、金銭的または評判の損失を引き起こす恐れのあるリスクです。ビジネスを継続する能力が危険にさらされる可能性があります。

プロジェクトリスクアセスメントのワークフローは次のとおりです。

1. プロジェクトマネージャーは、リスクを特定し、それらのリスクをプロジェクトに追加します。マネージャーは、リスクを作成することも、ライブラリからリスクを追加することもできます。プロジェクトマネージャーには、it_project_manager ロールと sn_grc.business_user ロールがあります。詳細については、「プロジェクトのリスクの追加」を参照してください。
2. プロジェクトマネージャーは、新しく追加されたリスクのリスクアセスメントを開始します。プロジェクト統合構成フォームで、アセスメントの査定人と承認者を定義します。査定人と承認者はリスクを評価するためのメール通知を受け取ります。

   注:
   [処理待ち]、[オープン]、または [対応中] ステータスのリスクのみを評価できます。

3. プロジェクト統合構成フォームで査定人として選択されたステークホルダーがいる場合、プロジェクトマネージャーは関連するステークホルダーに手動でリスクをアサインする必要があります。
4. リスクスペシャリストとして、リスク査定人は、アセスメント対象の新しいリスクについて通知を受けます。

   リスク査定人は、メール通知のリンクを使用してアセスメントを開始できます。または、リスク査定人は次の場所に移動できます。 **Advanced Risk** アセスメント > リスクアセスメントタスク > 自分のタスク Advanced Risk アセスメントを実行します。「Advanced Risk アセスメント」を参照してください。

5. プロジェクトリスクフォームで、プロジェクトマネージャーは [リスクアセスメントのサマリー] セクションをレビューしてリスクアセスメントスコアを表示します。
6. プロジェクトリスクが企業に影響を与えるとプロジェクトマネージャーが判断した場合、プロジェクトマネージャーはそのリスクをエンタープライズリスクに昇格させることができます。

   注:
   プロジェクトリスクがエンタープライズリスクに昇格すると、プロジェクトリスクがプロジェクトリスク登録からエンタープライズリスク登録にコピーされます。

7. リスクがエンタープライズリスクに昇格した場合、エンタープライズリスクマネージャーはリスクを評価するように要求されます。
8. プロジェクトマネージャーは、[リスクアセスメントのサマリー] でエンタープライズ固有リスクスコアとエンタープライズ残存リスクスコアを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. プロジェクトポートフォリオ管理 ワークフローの一部として、リスクが発生し、このリスクに対してアクションを実行する必要がある場合、プロジェクトマネージャーはリスクを問題に変換できます。詳細については、「プロジェクトの RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、および変更要求) レコードエントリー」を参照してください。
10. プロジェクトマネージャーは、プロジェクトフォームの [リスクの概要] セクションでヒートマップを使用してプロジェクトのリスク体制を表示することもできます。ヒートマップには、影響度が高いリスクと可能性の高いリスクが表示されます。ヒートマップを使用すると、すぐに対応する必要のあるリスクを優先することができます。評価されたリスクが集計されたリスクスコアに寄与します。集計されたリスクスコアは、すべてのステークホルダーにレポートできる単一のスコアです。詳細については、「プロジェクトを作成する」を参照してください。
11. プロジェクトリスクの概要ダッシュボードを表示して、プロジェクトリスクとエンタープライズリスクの全体的なリスク体制を把握します。詳細については、「プロジェクトリスク概要ダッシュボード」を参照してください。

注:
査定人と承認者は、必要なタスクを実行するためのリスクビジネスユーザーロール (sn_grc.business_user) を持っている必要があります。何らかの理由でプロジェクトリスクが再評価され、スコアが変更された場合、エンタープライズリスク査定人は、エンタープライズリスクを再評価するオプションを含むメール通知を受け取ります。

キーユーザーとユーザージャーニーを次の図に示します。

プロジェクトポートフォリオ管理 とリスク統合の主要なユーザー



Project Managers
- Own the overall project risk and need visibility into project risks
- Use the aggregated risk to understand the overall project risk posture as well as visualize their distribution on the heatmap
- Can elevate risks to enterprise risk register if they have materialistic impact to the enterprise



Project Risk Owners
- Own the specific risk and assess and mitigate it to contain it from materializing
- Use the ARA to assess the inherent risk, define actions to mitigate those risks and assess the leftover (risidual) risk to decide if further mitigating actions are required

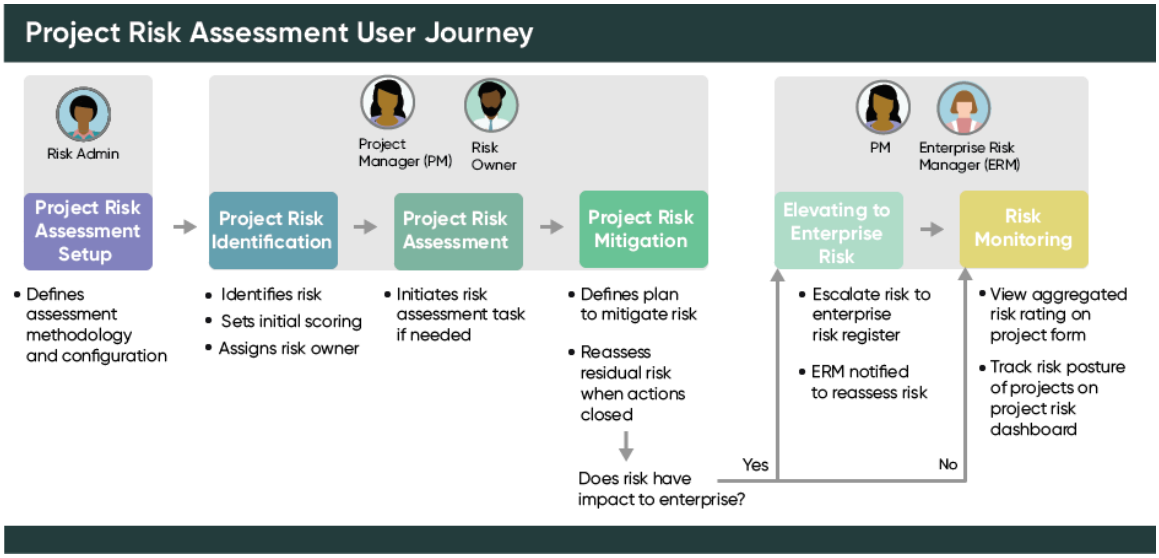


Enterprise Risk Managers
- Need visibility into risks from the projects and understanding of which risks may impact the overall organization risk posture
- Can reassess project risk which may have an enterprise impact to analyze such risks and take appropriate action on them

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトポートフォリオ管理 とリスク統合のユーザージャーニー



プロジェクトポートフォリオ管理 および 高度なリスク 統合を設定

プロジェクト統合構成フォームを使用して、リスクアセスメントを設定します。リスクアセスメント方法、適切な査定人と承認者、およびリスクスコアをロールアップしてプロジェクトレベルでスコアを表示する式を選択する必要があります。

始める前に

プロジェクト管理 (PM) の Advanced Risk アセスメントを使用するには、次の操作を行います。

- プロジェクトポートフォリオ管理 プラグインをアクティブ化します。
- 高度なリスク プラグインをアクティブ化します。
- でプロパティを有効にする*Enable Advanced Risk PPM Integration* **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ. このプロパティはデフォルトで自動的に [いいえ] に設定されます。it_pps_admin または sn_ risk.admin ロールを持つユーザーのみが、このプロパティを有効にできます。

注:
現在、プロジェクトポートフォリオ管理 スイートでは、プロジェクト管理 (PM) アプリケーションでのみ高度なリスクアセスメントがサポートされています。

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

リスク管理者は、プロジェクト統合構成フォームで次を選択できます。

- リスクアセスメント方法論 (RAM)。
- エンタープライズリスクアセスメントとプロジェクトリスクアセスメントの両方の承認者と査定人。

エンタープライズリスクアセスメントとプロジェクトリスクアセスメント用に、2 つの事前定義された RAM が提供されます。デフォルトの方法論を変更するか、方法論を作成できます。独自のリスクアセスメント方法を選択する場合、その方法のエンティティクラスは Project である必要があります。プロジェクトリスクとエンタープライズリスクを評価する場合は、選択した承認者と査定人を追加できます。プロジェクトリスクのリスクアセスメント方法論は、プロジェクトポートフォリオ管理 リスクテーブルに関連付けられた方法として自動的に選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロジェクト統合構成.
2. 情報 アイコンをクリックし、プロジェクトリスク統合構成レコードを表示します。
3. [レコードを開く] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

プロジェクトリスク統合構成フォーム

フィールド	説明
プロジェクトリスクアセスメント	
アセスメント方法論	プロジェクトリスクアセスメントのアセスメント方法論。このフィールドは自動的に [プロジェクトのエンタープライズアセスメント] に設定されます。
査定人タイプ	プロジェクトリスクアセスメントの査定人。選択肢は次のとおりです。 ○ プロジェクトマネージャー：プロジェクトのプロジェクトマネージャーにアサインされたユーザー。 ○ リスクオーナー：リスクの [アサイン先] フィールドで識別されるユーザー。 ○ ステークホルダー：プロジェクトのステークホルダー。 **注:** [ステークホルダー] が選択されている場合、プロジェクトマネージャーが査定人をアサインすると、プロジェクトの [ステークホルダー] 関連リストに追加されたすべてのユーザーが表示されます。プロジェクトマネージャーは、必要なステークホルダーを選択できます。
リスクロールアップ式	プロジェクトリスクスコアをロールアップするために使用される式。選択肢は次のとおりです。 ○ 平均 ○ 最大 ○ 最小

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: Advanced Risk アセスメントを使用して評価されたリスクのみが集計され、スコアがロールアップされます。リスクが廃止された場合、廃止されたリスクのスコアは集計されません。詳細については、「Advanced Risk アセスメントのリスクスコアロールアップ」を参照してください。
承認者タイプ	プロジェクトリスクの承認者。承認者はリスクアセスメントを承認する必要があります。選択肢は次のとおりです。 ○ なし：承認者は必要ありません。 ○ プロジェクトマネージャー：プロジェクトマネージャーが承認者です。 ○ ステークホルダー：プロジェクトのステークホルダー。
エンタープライズリスクアセスメント	
査定人タイプ	エンタープライズリスクの査定人。選択肢は次のとおりです。 ○ プロジェクトマネージャー：プロジェクトのプロジェクトマネージャーにアサインされたユーザー。 ○ リスクオーナー：リスクの [アサイン先] フィールドで識別されるユーザー。 ○ グループ：リスクがアサインされているグループ。 注: このユーザーには sn_risk.manager ロールが必要です。
承認者タイプ	エンタープライズリスクの承認者。選択肢は次のとおりです。 ○ なし：承認者は必要ありません。 ○ プロジェクトマネージャー：プロジェクトのプロジェクトマネージャーにアサインされたユーザー。 ○ グループ：リスクがアサインされているグループ。
期限切れまでの日数	開始日からアセスメントが期限切れと見なされるまでの日数。このフィールドは自動的に **5** に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 査定人は、期日が近づくと、リマインダー通知を受け取ります。査定人および査定人のマネージャーは、期日が過ぎた後に通知を受け取ります。
査定人グループ	[査定人タイプ] フィールドに [グループ] がある場合にエンタープライズリスクを評価するグループ。

5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
査定人と承認者の詳細が設定されます。

アセスメントのためにプロジェクトリスクをステークホルダーにアサインする

アセスメントのためにプロジェクトリスクを関連するステークホルダーにアサインします。リスクをステークホルダーに手動でアサインする必要があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager

このタスクについて
プロジェクトリスク統合構成フォームに査定人として選択されたステークホルダーがいる場合、プロジェクトマネージャーはプロジェクトのいずれかのステークホルダーに手動でアセスメントをアサインする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リスクアセスメントのプロジェクトを選択します。
   このプロジェクトのリスクが存在することを確認します。「プロジェクトのリスクの追加」を参照してください。
3. [リスク] 関連リストをクリックします。
4. 評価するリスクを選択します。
5. [リスクを評価] をクリックします。
   値は統合構成に基づいて表示されます。
6. [承認者] フィールドで、プロジェクトリスクの査定人を選択します。
7. [送信] をクリックします。

タスクの結果
リスクはリスク査定人のワークフローに移動します。

関連情報

プロジェクトポートフォリオ管理 および 高度なリスク 統合を設定

Advanced Risk アセスメントを使用してプロジェクトリスクを評価

事前定義された要素または質問に回答して、プロジェクトのリスクを評価します。プロジェクトのリスクスコアに到達します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager および sn_grc.business_user

このタスクについて
リスクは、固有リスクと残存リスクについて評価されます。固有リスクは、軽減コントロールがないリスクです。残存リスクは、コントロールが考慮された後に残るリスクです。リスクアセスメントのワークフローは、リスクアセスメント方法論の構成についてリスク管理者が決定します。プロジェクトマネージャーがアセスメントの承認を有効にする場合、プロジェクトマネージャーはプロジェクト統合構成フォームで承認フローを構成できます。リスクのアセスメントが以前に実施された場合、以前のアセスメントの結果が [以前のアセスメント] 関連リストに表示されます。
リスク査定人は次のことを実行できます。

- プロジェクトに追加されたリスクを評価します。
- リスクをエンタープライズリスクに昇格させる必要があるかどうかを決定します。

リスクアセスメントインスタンスのリスクを評価する方法と質問への回答方法については、「リスクアセスメントインスタンスについて」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 自分のタスク > モジュール.
2. 評価するアセスメントを選択します。
3. [**Assess**] をクリックします。
4. [固有のアセスメント] セクションで、必要に応じて要素に回答し、[保存して計算] をクリックします。
5. [結果] セクションでは、計算されたスコアを上書きできます。

   a. 計算されたリスクスコアが正しくないと思われる場合は、[計算済みスコアを上書き] チェックボックスをオンにして、計算されたリスクスコアを上書きします。

   b. [固有リスクを上書き] フィールドで、計算済みリスク評価を上書きする値を選択します。
   このフィールドは、[計算済みスコアを上書き] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

   c. [コメント] フィールドに、計算されたリスク評価を上書きする理由を入力します。

6. [残りのアセスメントの実行] をクリックします。
   a. [残存アセスメント] セクションで、必要に応じて要素に応答します。
   b. [保存して計算] をクリックします。
7. [完了としてマーク] をクリックします。
8. [承認を要求] をクリックします。
   承認を要求するオプションは、[プロジェクト統合構成] フォームで承認者が特定されている場合にのみ表示されます。その場合、ワークフローは [承認待ち] ステータスに移行します。ただし、承認を要求するオプションが選択されていない場合、ワークフローは監視ステータスに移行します。

次のタスク
プロジェクトリスクをエンタープライズリスクに昇格。

プロジェクトリスクをエンタープライズリスクに昇格

プロジェクトリスクがエンタープライズに影響する場合は、プロジェクトリスクをエンタープライズリスクに昇格させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：it_project_manager または sn_grc.business_user

このタスクについて
プロジェクトリスクがエンタープライズに影響することがわかった場合は、プロジェクトリスクをエンタープライズリスクに昇格させることができます。リスクが昇格すると、プロジェクトリスクが自動的にエンタープライズリスク登録にコピーされます。昇格したリスクには、企業への影響度のアセスメントが必要です。エンタープライズリスクは常にプロジェクトリスクに接続されます。プロジェクトリスクが廃止されると、エンタープライズリスクも廃止されます。

手順

1. 移動先 すべて > プロジェクト > プロジェクト > すべて.
2. リスクアセスメントのプロジェクトを選択します。
3. 昇格する評価済みリスクを選択します。
4. 関連リンクで、[エンタープライズリスクに昇格] をクリックします。

   注:
   査定人は [査定人] フィールドで事前定義されています。このフィールドの値は、[プロジェクト統合構成] フォームから取得されます。

5. [承認者] フィールドで、承認者を選択します。
6. [送信] をクリックします。

タスクの結果
エンタープライズリスクアセスメントの新しいリスクアセスメントが生成されます。アセスメントがエンタープライズリスク査定人に送信されます。

次のタスク
プロジェクト統合構成フォームでエンタープライズ査定人として識別された査定人に基づいて、エンタープライズリスクマネージャーは、エンタープライズリスクの観点からリスクを評価するための通知を受け取ります。リスクアセスメントを実行する手順は、Advanced Risk アセスメントを使用してプロジェクトリスクを評価 で説明されている手順と同じです。

Advanced Risk アセスメントを使用したアプリケーションリスクアセスメント

GRC をビジネスアプリケーションと統合することで、ビジネスアプリケーションのデジタルリスクを簡単に管理します。統合によって、ビジネスアプリケーションのデジタルリスク体制に関するリアルタイムインサイトを取得することで、アプリケーションオーナーと IT リスクマネージャー間のコミュニケーションを改善し、作業負荷を軽減できます。

企業は アプリケーションポートフォリオ管理 (APM) を使用してビジネスアプリケーションの在庫を管理します。ビジネスアプリケーションの例としては、Zoom、Workday、Jobvite などがあります。それぞれのビジネスアプリケーションには次の 2 人のオーナーがいます。

- IT アプリケーションオーナー：IT チームのアプリケーションを所有し、主要な連絡先です。IT アプリケーションオーナーは、アプリケーション製品オーナーまたはアプリケーションオーナーとも呼ばれます。
- ビジネスオーナー：ビジネス使用のアプリケーションを所有します。ビジネスオーナーは、ビジネスアプリケーションのエグゼクティブスポンサーです。オーナーは通常、アプリケーションをスポンサー支援する企業に属しています。たとえば、財務アプリケーションは通常、財務責任者がスポンサーになっています。

自動翻訳

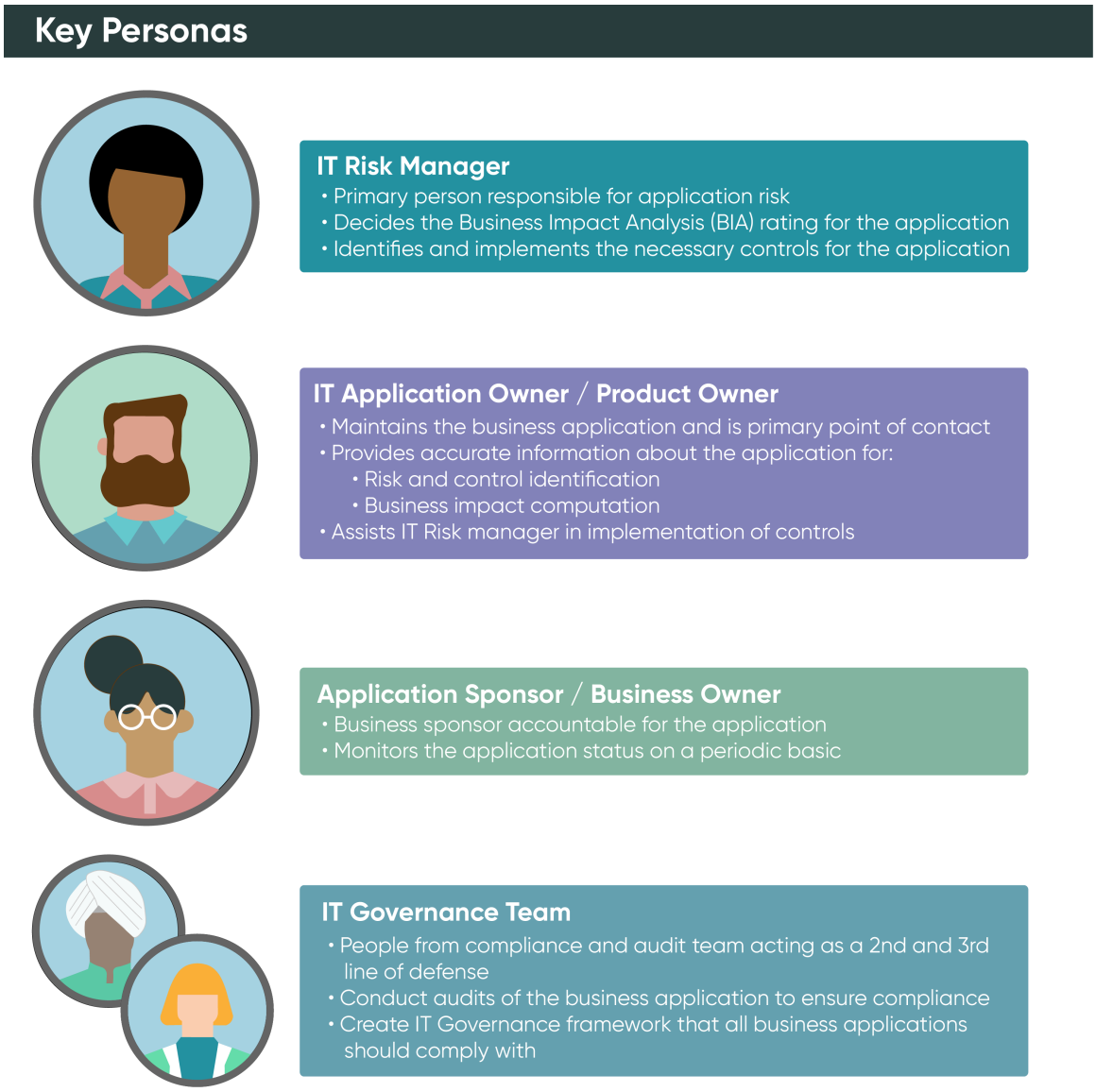
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC を APM と統合すると、リスクと必要なコントロールを特定して、IT リスクマネージャーの作業を簡素化できます。ビジネスアプリケーションのデジタルリスクを軽減できます。コントロールが有効であることを確認することもできます。この統合のメリットは次のとおりです。

- リスクマネージャーとデジタルリスクのアプリケーションオーナーが費やす時間を削減します。
- アプリケーションオーナーとリスクマネージャーとの間に、より迅速で効率的なコミュニケーションを提供します。
- ビジネスアプリケーションのデジタルリスク体制の概要を示します。
- アプリケーションの継続的な監視を実現します。

この統合のメリットを享受するユーザーを次の図に示します。

APM とリスク統合のメリットを得るユーザー



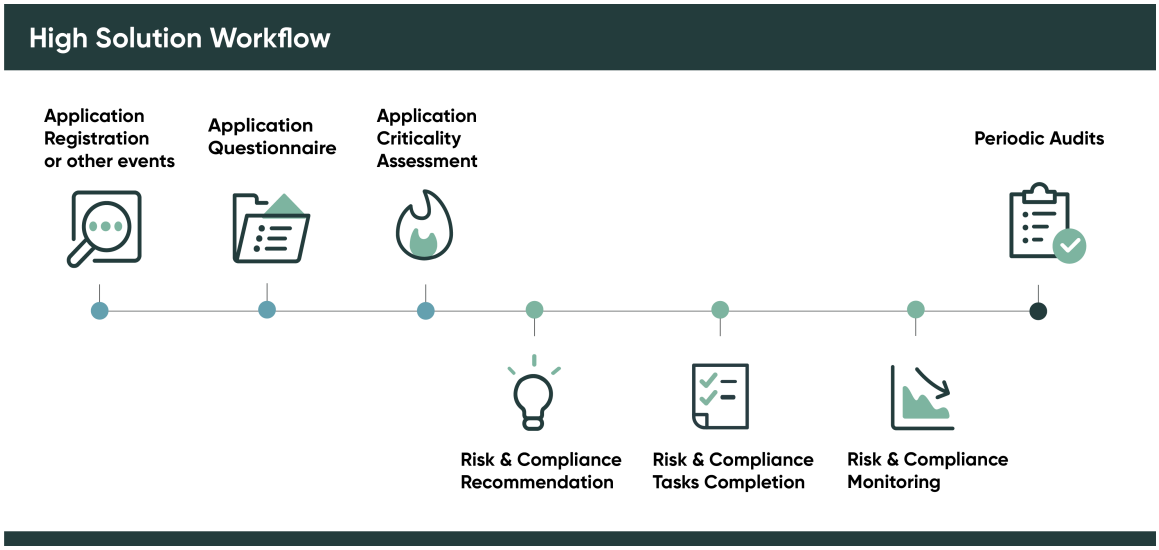
Application Risk アセスメント機能は、Advanced Risk プラグインを有効にすると利用可能になります。ただし、APM リスク識別レコードのデフォルト構成は、リスク管理 プラグイン (com.snc.apm_risk_assessment) との APM 統合を有効にしている場合にのみ使用できます。

次の画像は、統合のワークフローの概要を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

APM と **Advanced Risk** アセスメントの統合の概要



関連情報

ビジネスアプリケーションのリスク特定のワークフロー

ビジネスアプリケーションのリスク特定のワークフロー

アプリケーションのリスクを評価する際、アプリケーションはさまざまな段階のリスク識別およびアセスメントを経ます。要件に基づいて識別およびアセスメントのワークフローを定義できます。

アプリケーションのリスクを評価する前に、アプリケーションをビジネスアプリケーションテーブルで作成し、GRC に取り込む必要があります。アプリケーションが GRC に取り込まれると、リスク識別レコードが作成されます。アプリケーションオーナーは、アプリケーションに関する情報を IT リスクマネージャーに提供します。IT リスクマネージャーは、推奨されるリスク、引用、およびポリシーをマッピングします。

ビジネスアプリケーションのリスクの特定とアセスメントのワークフローを理解するために、次の例について検討してください。新しいビジネスアプリケーションが組織に導入されました。この新しいアプリケーションはビジネスアプリケーションテーブルの一部です。新しいアプリケーションには次の 2 人のオーナーがいます。

- IT アプリケーションオーナー
- ビジネスオーナー：このユーザーには sn_grc.business_user ロールが必要です。

注:
組織はさまざまなロールを使用できます。

この時点では、アプリケーションは GRC の一部ではありません。リスクを評価する前に、アプリケーションをエンティティとして GRC に取り込む必要があります。新しいアプリケーションには、情報オブジェクトも関連付けられている必要があります。

アプリケーションリスクアセスメントのワークフローと承認者は、リスク識別構成フォームの設定によって決定されます。ワークフローを定義するプロセスについては、「リスク識別統合の設定」を参照してください。リスクの特定を再開するために、フローデザイナーアクションが提供されています。

新しいビジネスアプリケーションを評価する際のリスク識別のワークフローは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ビジネスアプリケーションは、自動的に、またはアプリケーションオーナーによってビジネスアプリケーションテーブルに作成されます。
2. GRC が新しいビジネスアプリケーションを検出します。新しいアプリケーションの GRC エンティティが作成されます。検出は、バックグラウンドで実行される GRC プロファイル生成スケジュール設定済みジョブによって処理されます。
3. アプリケーションの新しいリスク識別レコードが作成されます。

   注:
   リスクマネージャーは、設定レコードを変更し、アセスメントのワークフローを決定できます。リスク識別構成が公開された後、リスクマネージャーは設定レコードの一部のフィールドのみを変更できます。

4. アプリケーションの詳細を収集するために、アンケートが開始され、アプリケーションオーナーに送信されます。
5. アプリケーションオーナーがアンケートに回答します。
6. IT リスクマネージャーが応答をレビューします。応答が不十分な場合、マネージャーはアンケートをアプリケーションオーナーに返送します。

   注:
   アンケートが返送されると、新しい応答が元のフォームに戻ります。

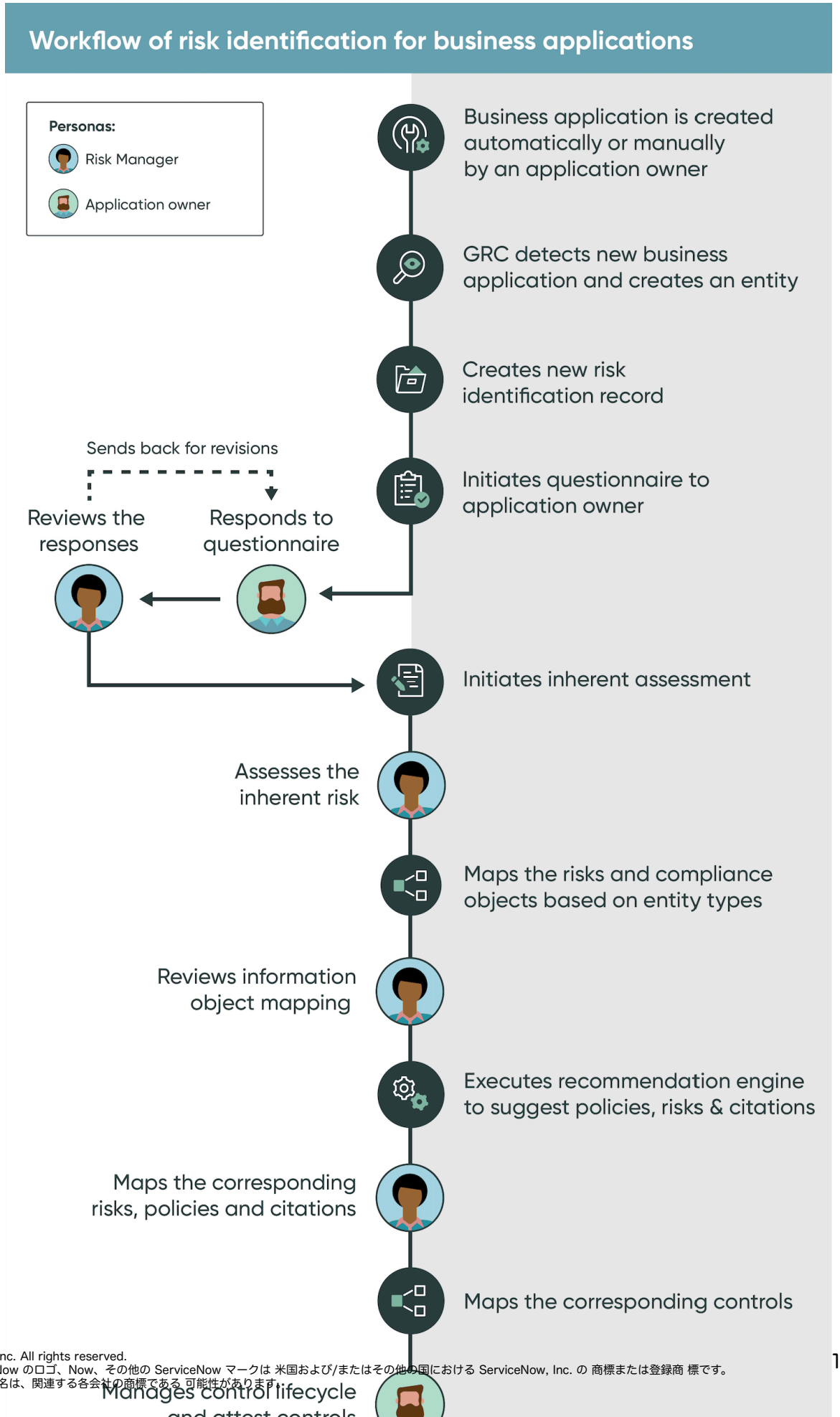
7. 構成に基づいて、IT リスクマネージャーが応答に満足すると、システムは固有のアセスメントを開始します。
8. GRC は、エンティティタイプに基づいてリスクとコンプライアンスオブジェクトをマッピングします。
9. IT リスクマネージャーは、情報オブジェクトマッピングをレビューします。
10. システムは、構成で選択されているアルゴリズムに基づいて、推奨エンジンを実行します。
11. IT リスクマネージャーは、関連付けられた情報オブジェクトに基づいて、推奨されるリスク、ポリシー、および引用をレビューしてマッピングします。
12. IT リスクマネージャーは、関連付けられた引用、ポリシー、およびリスクに基づいて、推奨コントロールをマッピングします。
13. アプリケーションオーナーは、コントロールのライフサイクルを管理し、コントロールを証明します。

次の図は、ソリューションのワークフローを表しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC と **APM** 統合のソリューションワークフロー



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク識別レコードのステータス

リスク識別構成が [公開] ステータスに移行すると、関連エンティティのリスク識別レコードが作成されます。

リスク識別レコードは、次のステータスに移行します。

- 新規：新しいレコードが作成されます。
- 情報収集：アプリケーションに関する情報が収集されます。
- レビュー：リスクマネージャーが、情報をレビューします。
- 固有のアセスメント：リスクマネージャーが固有のリスクアセスメントを実行します。
- リスクマッピング：リスクマネージャーは、必要なリスク、引用、およびポリシーをマッピングします。
- 監視：リスクが監視されます。
- 廃止：リスクは必要に応じて廃止されます。

リスク識別構成が [廃止] ステータスに移行すると、構成が無効になり、関連エンティティのリスク識別レコードが作成されません。

ライフサイクルの観点では、リスク識別レコードは、次のステータスを辿ります。

1. 新規
2. 情報収集
3. レビュー
4. 固有のアセスメント
5. リスクマッピング
6. 監視
7. 廃止

自動翻訳

リスク識別統合の設定

アプリケーションを評価する前に、リスクの特定を開始する必要のあるターゲットアプリケーションを指定します。

始める前に

次のアプリケーションがあることを確認します。

- 推奨エンジンを有効にし、統合を使用する場合は、アプリケーションポートフォリオ管理 をインストールする必要があります。
- Risk Management (com.snc.apm_risk_assessment) との アプリケーションポートフォリオ管理 統合をインストールする必要があります。このアプリケーションは、統合を使用する場合にのみ必要です。

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

リスク識別構成フォームには、ビジネスアプリケーションテーブルのエンティティタイプとデフォルトの識別レコードが含まれています。リスク管理者は、デフォルトのレコードを変更することも、独自の構成を作成することもできます。この手順のステップは、レコードを作成するためのものです。リスク識別構成フォームは、次の操作に使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アンケートを使用してアプリケーションに関する情報を収集します。
- アプリケーションの重要度を特定します。
- アプリケーション固有のアセスメントが必要かどうかを判断します。
- リスクを特定し、関連するコントロールをマッピングします。
- リスクとコントロールに関する推奨事項を受け取ることを選択します。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスク識別構成.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスク識別構成フォーム

フィールド	説明
名前	構成の名前。例として、ビジネスアプリケーションのリスク識別があります。
構成レベル	構成が行われるレベル。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティクラス ○ テーブル
ターゲットエンティティクラス	リスク識別アンケートが開始されるエンティティクラス。このエンティティクラスのエンティティごとに、リスク識別レコードが自動的に作成されます。このフィールドは、[エンティティクラス] が [構成レベル] から選択されている場合にのみ表示されます。
ターゲットテーブル	アプリケーションレコードを含むテーブル。このテーブルのエンティティごとに、リスク識別レコードが自動的に作成されます。このフィールドは、[構成レベル] で [テーブル] が選択されている場合にのみ表示されます。
State (ステータス)	構成のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
リスクマネージャーグループ	リスク識別ワークフローをレビューするグループ。このグループに属するユーザーには、sn_risk.manager ロールと sn_compliance.manager ロールが必要です。
識別アンケート	アプリケーションに関する情報を収集するためのアンケートを開始するオプション。
固有のアセスメント	固有のアセスメントまたはビジネスインパクト分析 (BIA) アセスメントを実行するオプション。
推奨エンジン	リスクとコントロールを推奨するオプション。このオプションは、[ターゲットテーブル]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フィールドに [ビジネスアプリケーション] がある場合にのみ使用できます。
識別アンケート	
アンケート	情報収集に使用するアンケート。
回答者タイプ	アンケートの回答者。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティオーナー ○ ターゲットレコードのユーザー
アンケートレビューが必要	レビュー担当者によるアンケートのレビューを要求するオプション。
回答者フィールド	アンケートの回答者を含むターゲットテーブルのフィールド。このフィールドは、[回答者タイプ] フィールドに [ターゲットレコードのユーザー] がある場合に表示されます。
固有のアセスメント	
固有のアセスメントが必要かどうかのレビュー	固有のアセスメントをレビューする必要があるかどうかを選択するオプション。
リスクアセスメント方法	固有のアセスメントを実行するリスクアセスメント方法論 (RAM) を選択するオプション。選択したターゲットテーブルに関連付けられている RAM のリストが表示されます。 **注:** 固有のアセスメントオプションが有効になっている公開済みのオブジェクトベースの RAM のみが選択可能です。
承認者タイプ	固有アセスメントの承認者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ターゲットレコードのユーザー ○ グループ **注:** このフィールドは、[固有のアセスメントが必要かどうかをレビューする] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
承認者	固有アセスメントの承認者。ビジネスアプリケーションの場合、承認者はアプリケーションのビジネスオーナーです。 **注:** このフィールドは、[承認者タイプ] から [ターゲットレコードのユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
承認者グループ	固有アセスメントの承認者グループ。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドに [グループ] がある場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、[承認者タイプ] から [グループ] が選択されている場合にのみ表示されます。
推奨エンジン	
[推奨エンジン] セクションは、[ターゲットテーブル] フィールドに [ビジネスアプリケーション] がある場合にのみ表示されます。	
推奨エンジンアルゴリズム	推奨エンジンを指定します。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 情報オブジェクトマッピングに基づく 情報オブジェクトの詳細については、「情報オブジェクト」を参照してください。
周期	
周期	ワークフロー再開の頻度。 **注:** ワークフローの再開の次回実行日は、リスク統合設定レコードで定義された頻度に基づいて計算されます。この頻度により、アプリケーションの継続的な評価が保証されます。
月次	ジョブを実行する必要がある月。
月の特定日	ジョブを実行する必要がある日。

4. [送信] を選択します。
5. リスク識別構成の RAM マッピングを定義するには、次のアクションを実行します。

   a. RAM マッピングに対するリスク識別構成 セクションで、 新規 を選択します。
   [RAM マッピングへのリスク識別構成] セクションは、エンティティ クラス が [構成レベル] から選択されている場合にのみ表示されます。

   b. フォームのフィールドに入力します。

リスク識別構成から **RAM** へのマッピングフォーム

フィールド	説明
リスク識別構成	RAM マッピングのリスク識別構成。このフィールドは、リスク識別構成番号に自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	RAM マッピングを定義するテーブル。
リスクアセスメント方法	固有のアセスメントを実行する RAM を選択するオプション。選択したテーブルに関連付けられている RAM のリストが表示されます。 **注:** 固有のアセスメントオプションが有効になっている公開済みのオブジェクトベースの RAM のみが選択可能です。

c. [送信] を選択します。

6. [公開] を選択してレコードを公開します。

関連情報

ビジネスアプリケーションのリスク特定のワークフロー

アプリケーションアンケートへの応答

リスクアセスメントのアプリケーションに関するアンケートに回答します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user、または sn_grc.businesss_user_lite

このタスクについて

リスク識別フォームには、ワークフローの複数のステージが含まれています。GRC でアプリケーションがエンティティとして作成されると、IT アプリケーションオーナーにアンケートが送信されます。アンケートは、リスクマネージャーが脅威を特定し、コントロールを軽減するのに役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ.
   または、[自分のリスク識別アンケート] に移動してアンケートにアクセスすることもできます。
2. 応答する必要があるアセスメントのレコードを開きます。
3. 回答を入力します。
4. [送信] をクリックします。

タスクの結果

リスク識別レコードのステータスが [情報収集] ステータスから [レビュー] ステータスに移行します。

次のタスク

IT リスクマネージャーは回答をレビューし、アンケートを返送するか、回答を受け入れることができます。

応答の確認と固有リスクアセスメントの実行

高度なリスクアセスメントを実行して、アプリケーションの全体的なリスクスコアを計算します。IT アプリケーションオーナーがアンケートに回答した後、リスクマネージャーがその回答をレビューし、固有のアセスメントを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

このタスクについて
リスク査定人がアセスメントアンケートを返した後、リスクマネージャーとしてアンケートをレビューできます。レビューに基づいて、アプリケーションのリスクアセスメントを開始できます。リスクアセスメントタスクは、アセスメントの実行を担当するグループに対して開始されます。タスクは [自分のグループタスク] で利用できます。グループに属するすべてのリスクマネージャーがアセスメントを実行できます。通常、査定人は変わりません。

手動要素または自動要素のいずれかを使用することを選択できます。デフォルトでは、リスクアセスメント方法に関連付けられている 3 つの手動要素があります。どのリスクアセスメント方法にも関連付けられていない自動要素も 3 つあります。要素の名前は次のとおりです。

- 機密性に及ぼす影響度
- 完全性に及ぼす影響度
- 可用性に及ぼす影響度

リスクアセスメントインスタンスの一部の要素または質問には、既に回答または応答がある場合があります。これらの値は、アプリケーションオーナーの応答から導出されます。値の計算方法を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > リスク識別 > すべて.
2. レビューする必要があるアセスメントのレコードを開きます。
3. [アンケート] 関連リストで、必要なアセスメントの [応答を表示] をクリックします。

   a. アンケートの回答に満足できない場合は、[アンケートを却下] をクリックします。
   回答者はメールを受信し、アンケートを再送信するように求められます。

   b. アプリケーションオーナーから提供された応答に満足している場合は、[固有のアセスメントを実行] をクリックして固有のアセスメントを実行します。
   リスクアセスメントインスタンスのリンクが作成されます。

   リスクアセスメントプロセスと質問への回答方法については、「リスクアセスメントインスタンスについて」を参照してください。
4. 生成されるリスクアセスメントのインスタンスリンクをクリックします。
5. 質問または手動要素に回答します。
6. フォームを右クリックして保存します。
7. [承認を要求] をクリックします。

タスクの結果
リスク識別構成フォームで選択された承認者は、固有のアセスメントをレビューできます。リスク識別フォームのステータスが [リスクマッピング] ステータスに移行します。

次のタスク
リスク、引用、ポリシー、およびコントロールをリスク識別レコードに関連付ける。

リスク、引用、ポリシー、およびコントロールをリスク識別レコードに関連付ける

固有のアセスメントが完了した後、リスク、引用、ポリシー、およびコントロールをリスク識別レコードに関連付けることができます。リスクを軽減するために使用する方法を特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager および sn_compliance.manager

このタスクについて
リスク、引用、およびポリシーは、手動で、または推奨エンジンを使用して関連付けることができます。推奨エンジンは、リスク、引用、およびポリシーの自動提案を提供します。推奨エンジンを有効にする選択は、リスク識別設定レコードで行われます。この選択肢は、ビジネスアプリケーションテーブルでのみ使用できます。推奨事項を有効にするには、リスクステートメント、引用、およびポリシーに情報オブジェクトが含まれている必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > リスク識別 > すべて.
2. リスク、引用、およびポリシーを関連付けるレコードを開きます。
   これは、固有のアセスメントを実行したレコードです。
3. [リスクの関連付け] をクリックします。
   [情報オブジェクトマッピング] 関連リストと [リスク] 関連リストが表示されます。このステージでは、手動でリスクを追加するか、推奨エンジンがリスクを推奨できるようにすることができます。
4. 手動でリスクを追加するには、[ライブラリーから追加] をクリックします。
5. 推奨エンジンを使用するには、次の操作を実行します。
   a. [リスクを推奨] をクリックして、推奨エンジンを使用します。
   b. 適切なリスクステートメントを選択し、[リスクを追加] をクリックします。
6. 引用とポリシーを追加するために、[引用とポリシーを関連付ける] をクリックします。
   [引用] 関連リストと [ポリシー] 関連リストが表示されます。
7. ライブラリから手動で、または推奨されるポリシーと引用を使用して、必要な引用とポリシーを追加します。
8. コントロールを関連付けるために、[コントロールの関連付け] をクリックします。
9. ライブラリから手動で、または [推奨コントロール] をクリックして、必要なコントロールを追加します。
   コントロールは、コントロール目標に基づいて作成されます。
10. コントロールを [証明] ステータスに移行するには、コントロールを選択し、[証明書を開始] をクリックします。
11. [監視] をクリックして、レコードを監視ステータスに移動します。

関連情報

リスクとコンプライアンスのマッピングの推奨エンジン

リスクとコンプライアンスのマッピングの推奨エンジン

推奨エンジンは、データ分析に基づいて製品、サービス、および情報を提案するシステムです。推奨エンジンは、収益やその他の重要な測定基準を強化します。

推奨事項は、ユーザーの履歴や類似のユーザーの行動など、さまざまな要素から導出されます。推奨エンジンの例は、ビデオ共有 Web サイトです。閲覧履歴と設定に基づいて、Web サイトがビデオを推奨します。一部の推奨エンジンはルールベースです。GRC のリスクとコンプライアンスマッピングは、ルールベースの推奨エンジンを使用します。

推奨エンジンを使用する場合、リスクマネージャーは情報オブジェクトをリスクステートメント、引用、およびポリシーにマッピングする必要があります。推奨エンジンの主な機能は次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 情報オブジェクトの概念を使用して、リスクとコンプライアンスを推奨します。
- ライブラリの情報オブジェクトを比較して、ビジネスアプリケーションをリスクおよびコンプライアンスライブラリと照合します。
- IT リスクマネージャーは、アプリケーション内に含まれている情報に基づいて、リスクとコンプライアンスのライブラリを定義してマッピングできます。
- リスクとコンプライアンスのライブラリのマッピングにかかる時間が短縮されます。
- 特定のタイプの監査で監査する必要がある適切なアプリケーションと資産を特定するのにかかる全体的な時間を改善します。

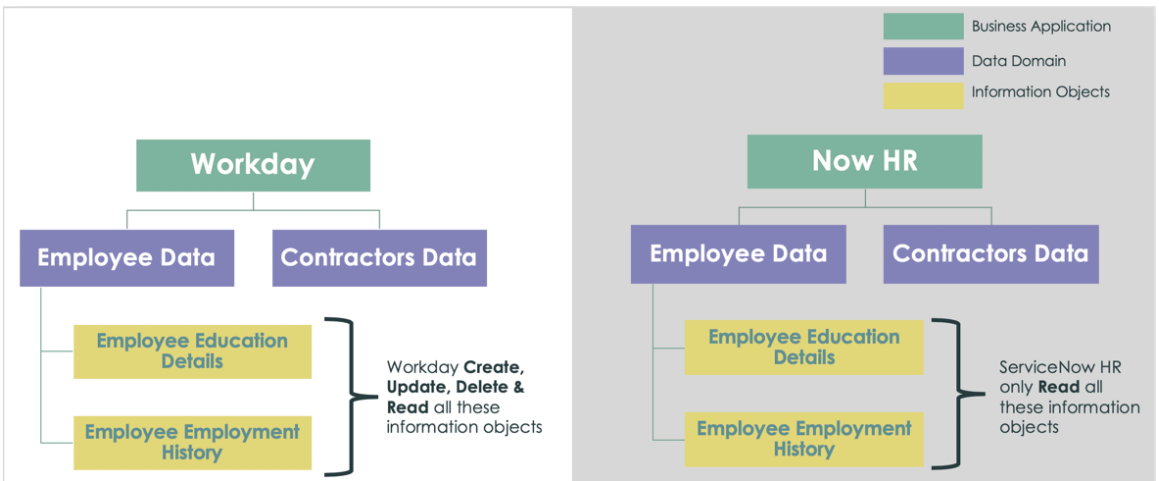
情報オブジェクト

情報オブジェクトは、アプリケーションポートフォリオ管理 アプリケーションの情報ポートフォリオ管理機能の一部です。

情報オブジェクトは、情報を整理された形式で表示する構成アイテムです。情報オブジェクトの目的は、アプリケーションとデータベースの間で交換されるデータのタイプを論理的に記述することです。情報オブジェクトが作成されると、ビジネスアプリケーションにマッピングされます。特定のビジネスアプリケーションについて、そのビジネスアプリケーションで情報を作成、更新、削除、または読み取ることができるかどうかは、情報オブジェクトによって決まります。この機能により、アプリケーションオーナーは情報を効率的に管理できます。情報セキュリティ管理の観点から、この機能により、リスクおよびコンプライアンス機能は、適用する必要があるコントロールの適切なレベルを定義できます。

次の図は、情報オブジェクトの例を示しています。Workday と Now HR の 2 つのアプリケーションがあります。どちらのアプリケーションも従業員情報を保存します。従業員情報は情報オブジェクトです。Now HR アプリケーションは従業員情報のみを読み取ることができますが、Workday アプリケーションにはそれ以上の権限があります。アプリケーションに適用されるリスクとコントロールは類似しています。ただし、Workday は従業員情報の読み取りだけでなく、作成、更新、削除も行います。これは、Workday に関連付けられたリスクが高いため、Workday に適用されるコントロールがより厳格であることを意味します。

情報オブジェクトの例



Advanced Risk アセスメントとその他のアプリケーションの統合

管理者は、他のワークフロー内にリスクアセスメントを埋め込み、リスクアセスメントをいつ開始する必要があるかについてのルールを定義できます。リスクアセスメントを埋め込む主なメリットは、ワークフローのデジタル化により、アセスメントが手動の作業なしで自動的に開始されることです。

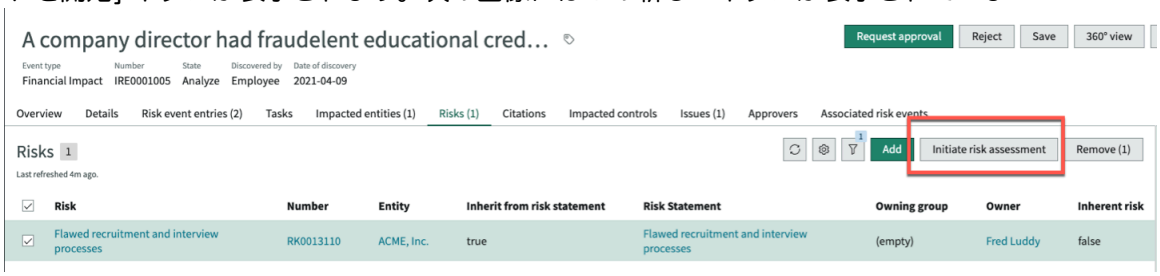
San Diego リリース以前は、周期的にリスクアセスメントを実行できました。これは、以前のリスクアセスメントが年に数回しか実行されなかったため、リスク体制のレポートが正確でない可能性が

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

あることを意味します。この問題に対処するために、イベント駆動型のリスクアセスメントを実行できるようになりました。イベント駆動型のリスクアセスメントは、イベントが発生したときにリスクアセスメントを実行できることを意味します。イベント駆動型のリスクアセスメントを実行すると、実際のリスク体制をすばやく把握し、必要な是正処置を行うことができます。高度なリスクアセスメントを任意のアプリケーションと統合し、ワークスペースでリスクベースのアセスメントを実行できます。デフォルトでは、ServiceNow は リスクワークスペース のリスクイベントと高度なリスクアセスメントを統合します。

ワークスペースのアプリケーションにリスクアセスメントを統合するには、Now Support ナレッジベースの記事「Risk assessment integration in workspace (ワークスペースでのリスクアセスメントの統合) [KB0999135]」に記載されている構成手順を実行する必要があります。構成手順を実行すると、ユーザーインターフェイスに [リスクアセスメントを開始] ボタンが表示されます。次の画像にはこの新しいボタンが表示されています。



リスクアセスメントの開始機能はワークスペース内の任意のアプリケーションに統合できますが、この記事では例としてリスクイベントを使用します。リスクイベントを分析し、関連するリスクを特定すると、高度なリスクアセスメントワークフローをリスクイベントに統合することで、それらのリスクのリスクアセスメントを簡単に開始できます。この統合により、リスクアセスメントスコープを作成するプロセス全体を経ることなく、リスクアセスメントを実行できます。San Diego リリース以前は、リスク査定人がリスクアセスメントを実行するために、リスクユーザーがエンティティ、査定人、および承認者を定義する必要がありました。

リスクイベントに対して作成されたリスクのアセスメントを開始すると、リスクアセスメント方法論 (RAM) がエンティティクラスのプライマリ RAM に設定されますが、関連する別のリスクアセスメント方法論を選択できます。選択したリスクのエンティティクラスに関連付けられているリスクアセスメント方法のみを選択できます。その後、リスクアセスメントの査定人と承認者を指定できます。sn_risk_advanced.ara_assessor ロールを持つユーザーのみが査定人になり、sn_risk_advanced.ara_approver ロールを持つユーザーが承認者になることができます。これらのロールに関する詳細については、「高度なリスクアセスメントを実行するためのロール」を参照してください。以前は、リスク管理者がリスクアセスメントスコープを作成したときに承認者が定義されていました。ただし、アプリケーションからリスクアセスメントを開始する場合は、アセスメントの作成時に承認者を指定できます。一度指定した承認者は変更できません。承認者が [査定人のマネージャーと同じ] に設定されている場合、承認者は査定人に応じて自動的に設定されます。アセスメントが期限切れと見なされるまでの日数を定義することもできます。

API を使用してアプリケーションからリスクアセスメントを開始する場合でも、これらのリスクをいつでもリスクアセスメントスコープに追加できます。リスクがリスクアセスメントスコープに追加された後、アセスメントの頻度はリスクアセスメントスコープで定義された頻度に基づきます。

アプリケーションからリスクアセスメントを開始できない場合があります。このような場合のシナリオは次のとおりです。

- 複数のリスクを選択し、一度にアセスメントを開始しようとした場合。この理由は、異なるリスクには異なるエンティティがあり、異なるリスクアセスメント方法論が存在する可能性があるためです。
- 進行中のリスクアセスメントが存在する場合。
- リスクが存在するエンティティに対してリスクアセスメント方法が定義されていない場合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

との統合従業員センターGRC

タスクを GRC と 従業員センター 統合することで、従業員はタスクを簡単かつ効果的に完了しやすくなります GRC 。この統合により、リスクイベントの報告や、ポリシー例外の要求が可能になり、GRC の組織内での有用性が向上します。

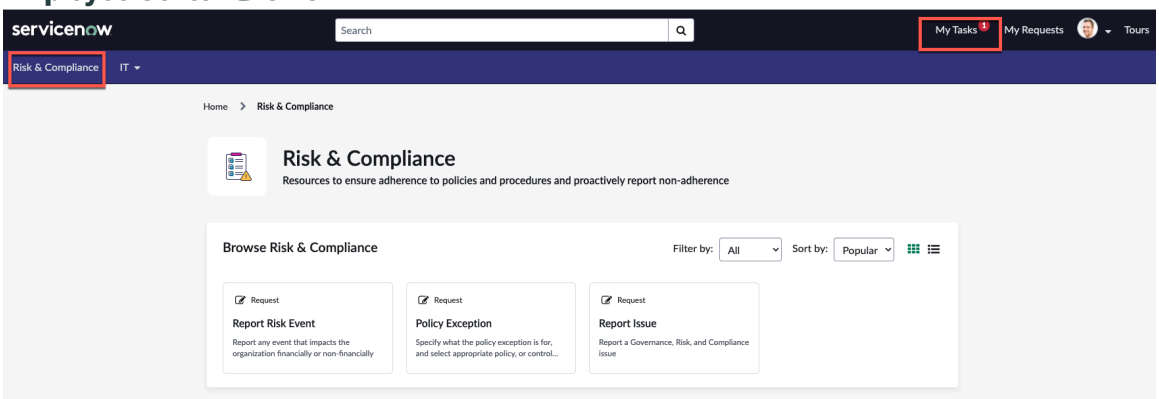
従業員センター ポータルは、企業全体のシステムを 1 つの宛先サイトに接続するための統合ポータルであり、簡単に構成できるオプションによるシンプルで一元化されたエクスペリエンスを従業員に提供します。従業員センター の詳細については、「Employee Center の探索」を参照してください。

GRC を 従業員センター と統合すると、次のタスクを実行するためのインターフェイスをすべての従業員に提供できます。

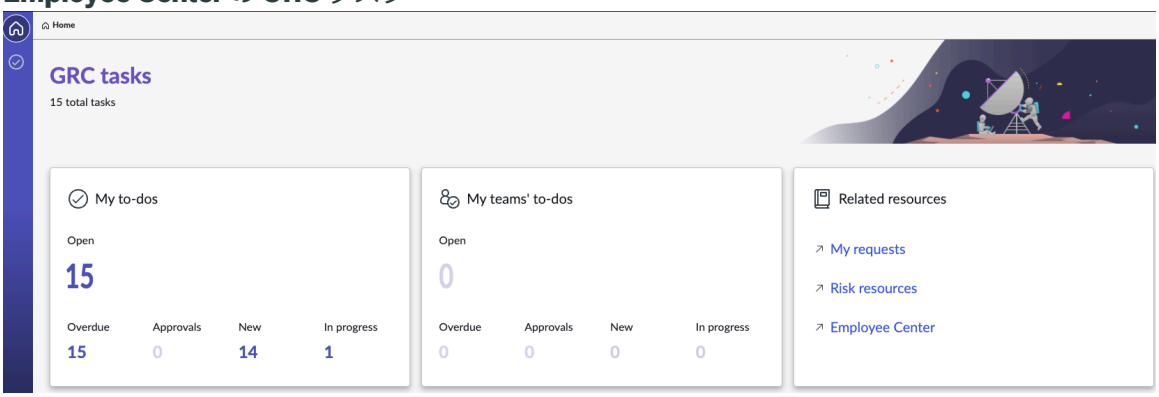
- 迅速にリスクイベントを報告します。
- 問題を報告します。
- ポリシー例外を要求します。
- [自分のタスク] を使用して、すべてのタスクの統合ビューを取得し、それらのタスクをすぐに実行します。
- リスク識別アンケートに応答します。
- コントロール証明書アンケート、クラシック版リスクアセスメントなどの他の GRC タスクを完了します。

次の画像は、従業員センター のユーザーインターフェイスを示しています。

Employee Center と GRC



Employee Center の GRC タスク



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 と 脆弱性対応 の間のリスクの継続的な監視を管理

リスクの継続的な監視は、GRC: リスク管理 と Security Operations 脆弱性対応 製品間の機能統合であり、インジケーターを使用して、ビジネスへの影響度に基づいて影響度の高い脆弱性を特定します。

リスク管理者、マネージャー、またはユーザーは、リスク体制への直接的な影響を表示することにより重大な脆弱性を監視できます。新しいビジネスサービスエンティティタイプとインジケーターテンプレートは、重要で、可用性の損失を表し、2 週間以上経過した影響を受けるサービスを自動的に識別します。これらの高リスクの脆弱性は、侵害や知的財産の損失につながる恐れがあります。

注:
[重要なビジネスサービス (Critical Business Services)] というエンティティタイプは、デフォルトで非アクティブに設定されており、オンにする必要があります。

リスクワークフローの継続的な監視

1. システム管理者は、リスク管理 および 脆弱性対応 プラグインを有効にします。
2. リスク管理者は、リスクステートメントとインジケーターテンプレートを作成します。
3. リスクマネージャーは、[重要なビジネスサービス **(Critical Business Services)]** エンティティタイプをリスクステートメントとインジケーターテンプレートに関連付けます。
4. 脆弱性対応 アプリケーションは、影響を受けるサービスに関連するスキャナーから脆弱性データを取り込みます。
5. リスクが特定されると、問題が生成され、適切なビジネスサービスオーナーにアサインされます。
6. ダッシュボードは、リスクが特定されて修正されると、ビジネスのステークホルダーに最新のビューを提供します。

リスクの管理レポートとの統合**Microsoft 365**

リスク管理レポート (sn_grc_mgmt_report) 統合により、リスクレポートマネージャーにレポート機能が提供され、 を使用してシステムデータ、リストレポート、チャート、ピボット、およびマルチピボットレポートをレポートServiceNow リスク管理Microsoft Wordできます。

リスクマネージャーは、で入手可能 ServiceNowな情報に基づいてリスクプロファイルの更新を提供するために、取締役会メンバーまたは経営幹部向けのレポートを定期的に作成します。

この統合により、リスクレポートマネージャーは、レポート上のデータリンクの ServiceNow リスク管理 インベントリを表示し、挿入されたデータを最新のデータと同期 ServiceNow リスク管理するように更新できます。インポートされたデータと ServiceNow インスタンスの間にも監査記録が作成されます。監査記録により、監査人はドキュメント内のリンクを選択し、インスタンス内の ServiceNow データのソースにアクセスできます。

注:
この統合は、デスクトップバージョン 16.71 (23031200) および Web バージョン 16.0.16412.41005 と互換性があります Microsoft Word。ただし、グラフは Web バージョンではインタラクティブではありません。つまり、グラフの色や書式などを変更することはできません。サポートされている Windows Office のバージョンは 2303 (ビルド 16130.20394) です。

インポートされたデータの形式、スタイル、色を変更することもできます。次のグラフ スタイルがサポートされています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているグラフのスタイル

グラフのタイプ	サポートされているスタイル
円グラフ	• チャートの色 • データラベルを表示 • チャートタイトル • 凡例を表示
棒グラフ	• チャートの色 • データラベルを表示 • チャートタイトル • X 軸と Y 軸 ○ タイトル ○ タイトル太字 ○ グリッドを表示 ○ ラベル太字
水平棒グラフ	• チャートの色 • データラベルを表示 • チャートタイトル • X-Axis (X 軸) ○ タイトル ○ タイトル太字 ○ グリッドを表示 ○ ラベル太字 • Y 軸 ○ グリッドを表示 ○ ラベル太字

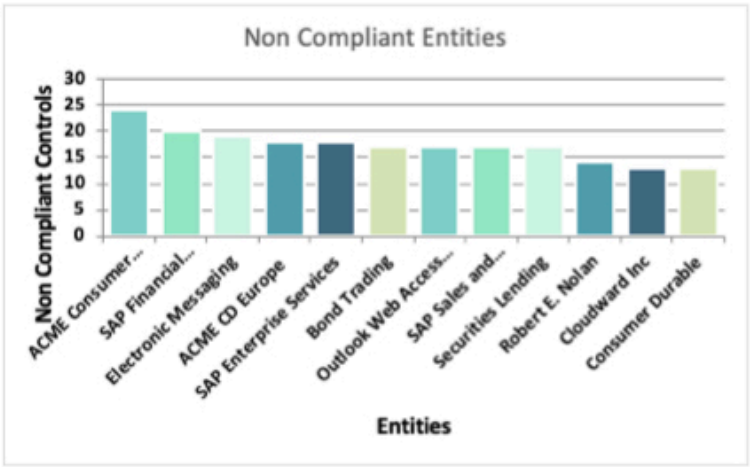
次の画像は、インポートされたデータがドキュメントでどのように表示されるかを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートされたさまざまな種類のデータをドキュメントに表示する方法

The data that is imported from an instance into a Word document.





Control	Classification	Control effectiveness	Design effectiveness	Operating effectiveness	Actual start	Status
Establish and maintain electronic storage media management procedures.	Preventive	Ineffective	Effective	Ineffective	2027-07-02 22:17:48	Green
Manage changes.	Preventive	Ineffective	Ineffective	None	2023-10-23 08:15:01	Green

リスク管理報告のワークフロー

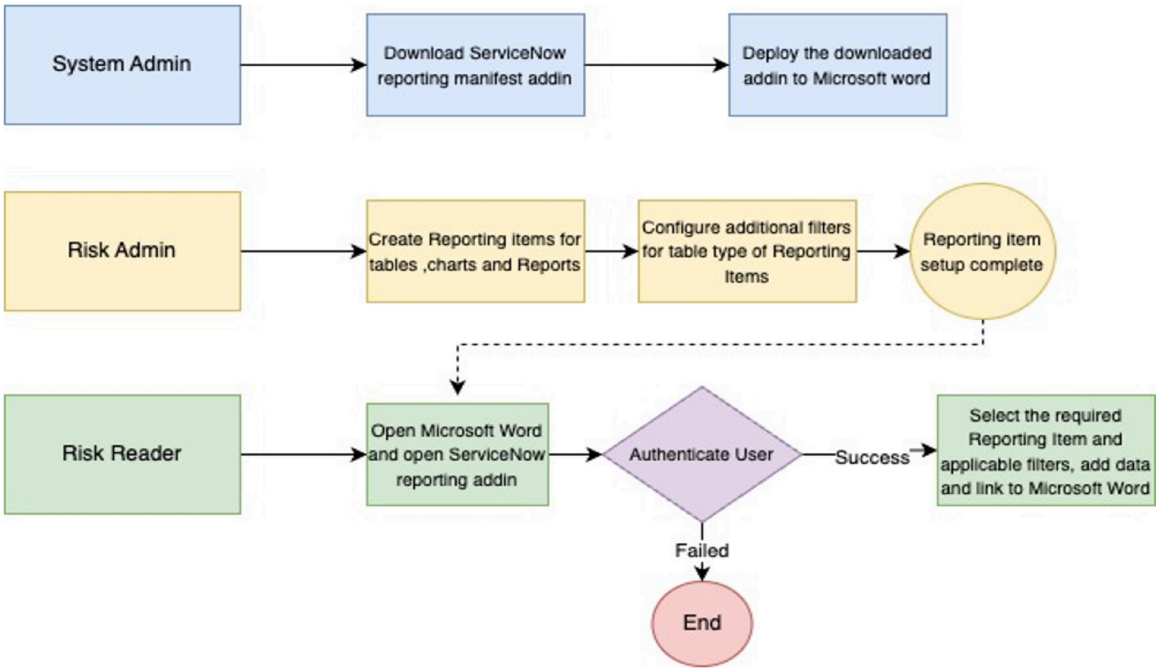
リスク管理レポート統合では、システム管理者、リスク管理者、リスクマネージャーなどの複数のユーザーロールの参加が必要なワークフローを利用します。明確なワークフローを定義することで、個人とチームは自分の役割と責任をよりよく理解し、必要なレポートを生成できます。

次の図は、リスク管理レポート統合を使用してドキュメントで Microsoft Word レポートを生成する完全なワークフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク統合の管理レポートのプロセスフロー



レポートを生成する Microsoft Word には:

1. アドインのダウンロード ServiceNow Reporting :システム管理者として、リスクマニフェストファイルをダウンロードしてインストールします。マニフェストファイルには、ソフトウェアアプリケーションまたはパッケージに含まれるファイルに関する情報が含まれています。これは、必要なすべてのファイルが正しい場所にインストールされるようにするために、ソフトウェアインストーラーによって使用されます。この段階で、管理者と協力して Microsoft 365 マニフェストファイルを Microsoft Word アプリケーションにアップロードする必要もあります。管理者には Microsoft 365 必要なアクセス権があります。
2. リスク管理者は、レポート構成レコードを設定して Microsoft 365 、インスタンスの ServiceNow どのテーブル、レポート、およびチャートを使用してデータを Microsoft Wordインポートする必要があるかを指定します。データのインポート元のテーブルの列を指定することもできます。
3. リスク管理者は、追加のレポートフィルターを設定できます。これらのフィルターは、テーブルから開示レポートにインポートする必要があるデータを詳細なレベルで指定します。
4. リスクマネージャーは、ドキュメントに移動し Microsoft Word 、資格情報を使用して ServiceNow 自分自身を認証し、インスタンスからドキュメントにデータをインポートします。必要に応じて、データの書式設定を変更できます。

ServiceNow Reportingリスクレポート用アドインをインストールする

ServiceNow ReportingアドインをドキュメントにインストールしますMicrosoft Word。このアドインは、インスタンスから ServiceNow ドキュメントに Microsoft Word レポートとデータをインポートしてリスクレポートを作成するために必要です。

始める前に
次のプラグインがアクティブ化されていることを確認します。

- sn_esg_msoff_intg
- sn_outlook_addin
- sn_grc_mgmt_report

必要なロール：sys_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Office** 用 **ServiceNow** アドイン > **Office** アドインマニフェスト.
2. [Office マニフェスト] リストから、[**ServiceNow** レポート] を選択します。
3. [マニフェストをダウンロード] を選択します。
4. アドインを有効にするには、ステップ 3 でダウンロードしたマニフェストファイルを使用できるアカウントマネージャーにお問い合わせください Microsoft 365 。

次のタスク
マニフェスト ファイルをデプロイする方法の詳細については、ナレッジ ベースの「 Microsoft 365 管理センター [KB1307378] でアドインを展開する 」の記事 Now Support を参照してください。

ブラウザーでアドイン Microsoft Word の HTTP 応答ヘッダーを構成するには、ナレッジ ベースの 応答ヘッダー解決 [KB1434453] 記事 Now Support を参照してください。

Microsoft 365リスクのレポート構成を設定する

Microsoft 365レポート設定レコードを設定して、リスクレポート目的でドキュメントにMicrosoft Wordインポートするデータポイントとレポートを指定します。

始める前に
必要なロール：sn_risk_advanced.ara_admin

このタスクについて
データはリスクレポート作成のためにドキュメントに Microsoft Word インポートされます。インスタンスの ServiceNow どのテーブルとレポートを使用してデータを Microsoft Wordにインポートするかを指定する必要があります。データのインポート元のテーブルの列を指定することもできます。リスク管理者によって作成されたレポートまたはリスク管理者と共有されているレポートのみが選択可能です。

手順

1. 移動先 すべて > リスクのマネジメントレポート > **Microsoft 365** レポート統合 > レポート構成.
2. Microsoft 365 レポート構成の一覧から、 新規 を選択します。
3. Microsoft 365 レポート構成フォームで、フィールドに入力します。

Microsoft 365 レポート構成フォーム

フィールド	説明
ビジネスドメイン	構成の作成元のドメイン。このフィールドは自動的に [リスク] に設定されます。
レポートアイテム	構成の名前。たとえば、Word ドキュメント内のリスクステートメントに関するデータを取得する場合は、「 リスクステートメント」などの名前を指定できます。
ソースタイプ	データをフェッチするソース。選択肢は次のとおりです。 ○ テーブル:テーブルからデータをインポートする場合は、このオプションを選択します。 ○ **[**レポート]:定義済みのレポートまたはグラフからデータをインポートする場合は、このオ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	プションを選択します。レポートの作成方法の詳細については、「」を参照してください Create a report with Analytics Q&A 。 注: リスト レポート、ピボット レポート、マルチレベル ピボット レポート、水平および垂直棒グラフ、および円グラフのみを選択できます。積み上げ棒グラフとグループ化された棒グラフはサポートされていません。
ソーステーブル	データをフェッチするソーステーブル。このフィールドは、[ソースタイプ] フィールドで [テーブル] が選択されている場合にのみ表示されます。
フィルター	レコードをフィルタリングするためのフィルター条件。このフィールドは、[ソースタイプ] フィールドで [テーブル] が選択されている場合にのみ表示されます。
列	値を挿入するテーブルの列。このフィールドは、[ソースタイプ] フィールドで [テーブル] が選択されている場合にのみ表示されます。
ソースレポート	開示レポートに挿入する利用可能なレポート。このフィールドは、[ソースタイプ] フィールドで [レポート] が選択されている場合にのみ表示されます。
アクティブ	レコードがアクティブかどうかを示すオプション。ドキュメントではアクティブなレコードのみを選択できます。

4. [送信] を選択します。

次のタスク

追加のレポート構成フィルターをレポート構成に追加します。これらのフィルターは、データを開示レポートにフェッチするのに役立ちます Microsoft Word 。詳細については、「リスクの設定レコードに対する Microsoft 365 レポート構成フィルターを追加する」を参照してください。

リスク管理レポートでビジネスドメインロールを構成する

特定のドメインのユーザーがデータをインポートするドメインを選択できるように、ビジネスドメインロールを構成します。設定中に追加されたユーザーのみが、ドキュメントのドメイン Microsoft Word を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_risk_advanced.ara_admin

手順

1. 移動先 すべて > リスクのマネジメントレポート > **Microsoft 365** レポート統合 > ビジネスドメイン.
2. デフォルトのリスクドメイン名レコードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. **[Roles]** フィールドを選択します。
4. 必要に応じてロールを追加または削除します。
5. [更新] を選択します。

リスクの設定レコードに対する **Microsoft 365** レポート構成フィルターを追加する

レポートフィルターを追加して、Management Reporting of Risk アプリケーションを使用してテーブルからレポートにインポートする必要があるデータを詳細なレベルで指定します。

始める前に

必要なロール：sn_risk_advanced.ara_admin

このタスクについて

特定のテーブルからデータをインポートするように指定する場合は、データが必要なテーブルの正確なレコードも指定する必要があります。たとえば、sn_risk_risk テーブルからデータをフェッチするように指定したとします。このテーブルには複数のレコードが含まれる場合があります。したがって、データをフェッチする正確なレコードを指定する必要があります。必要な数のフィルターを指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > リスクのマネジメントレポート > **Microsoft 365** レポート統合 > レポート構成.
2. 追加のレポート構成フィルターを追加するレコードを開きます。
3. Microsoft 365 レポート構成フィルター 関連リストで、 新規 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Microsoft 365 レポート構成フィルター フォーム

フィールド	説明
レポート構成	フィルターを追加する構成の名前。このフィールドは自動的に設定されます。
フィールド名	データをフェッチする必要があるフィールドの名前。たとえば、リスクテーブルでは、[名前] フィールドを指定できます。名前を選択すると、データのインポート中にリスクのすべての名前を選択できます。
順番	ドキュメントのアドインペインに表示されるフィールドの順序。
時間ディメンションに基づく集計	選択した時間ディメンションに基づいてレポート構成ソーステーブルデータを集計するオプション。このオプションの詳細については、手順の例を参照してください。このフィールドは、 フィールド名 に 時間ディメンションがある場合にのみ表示されます。
時間次元	データを集計する必要がある時間ディメンション。時間ディメンションのリストは次のとおりです。 ○ 年 ○ 半年ごと ○ 四半期

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 月 ○ 週 ○ 日付 要件に応じてディメンションを選択し、それらを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。 **注:** このフィールドは、[時間ディメンションの集計] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果
構成データをアドインにインポートする準備ができました。

ServiceNow Reporting アドインを **Microsoft Word** に追加する

Microsoft Word 文書にデータをインポートして開示レポートを作成する前に、ServiceNow Reporting アドインを Microsoft Word に追加する必要があります。

始める前に
必要なロール：Microsoft Word ドキュメントのすべてのユーザー。

手順

1. Microsoft Word アプリケーションを開きます。
2. メニューバーで [挿入] を選択します。
3. [アドイン] を選択します。
4. [管理者管理 **(ADMIN MANAGED)]** を選択します。
5. **ServiceNow Reporting** アドインを選択します。
6. [追加] を選択します。

タスクの結果
Microsoft 365 for ServiceNow Reporting の統合がアクティブになり、**ServiceNow Reporting** アドインの Microsoft Word ドキュメントで次のボタンを使用できるようになります。

- リンクを挿入
- リンクを管理

へのリスクデータのインポート **Microsoft Word**

リスクデータポイントやレポートなどのデータをインスタンスからServiceNowインポートしてレポートドキュメントに挿入しMicrosoft Wordます。レポート構成で構成されているデータのみをインポートおよび挿入できます。

始める前に
必要なロール:sn_risk_advanced.ara_reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. データを挿入するドキュメントに移動します Microsoft Word 。
2. リボンで、[リンクの挿入] を選択します。
   右側のペイン ServiceNow にログイン画面が表示されます。
3. インスタンスにログイン ServiceNow するには、[ログイン] を選択します。
   a. ServiceNow レポートが新しいウィンドウに表示されることを示すメッセージが表示されたら、[許可] を選択
   b. ServiceNowログイン画面で、資格情報を入力します。
   c. [許可] を選択します。
4. テーブルからドキュメントにリスクデータポイントを挿入するには、データを挿入するポイントにカーソルを移動します。
   a. 右側のペインにある [データ] タブを選択します。
   b. [ビジネス ドメイン] フィールドが [リスク] に設定されている。
   c. [レポート アイテム] フィールドで、挿入するレポート構成を選択します。
      追加のフィルターは、選択した設定レコードに基づいて動的に表示されます。
   d. [名前] フィールドで、設定レコードの名前を選択します。
   e. [挿入する値] フィールドで、データを挿入する列を選択します。
   f. [追加] を選択します。
5. レポートにテーブルを挿入するには、データを挿入する位置にカーソルを移動します。
   a. 右側のペインで [テーブル] タブを選択します。
   b. [ビジネス ドメイン] フィールドが [リスク] に設定されている。
   c. [レポート アイテム] フィールドで、挿入するレポート コンフィギュレーションを選択します。
   d. [追加] を選択します。
      データがレポート文書に挿入されます。挿入されるテキストには、ドキュメントの書式が使用されます。必要に応じて書式設定を変更できます。
6. グラフを挿入するには、グラフを挿入する位置にカーソルを移動します。
   a. 右側のペインにある [チャート] タブを選択します。
   b. [ビジネス ドメイン] フィールドが [リスク] に設定されている。
   c. [レポート アイテム] フィールドで、挿入するレポート コンフィギュレーションを選択します。
   d. [追加] を選択します。
      グラフがレポート ドキュメントに挿入されます。挿入されたチャートは、好みに応じて変更できます。たとえば、色やグラフの種類などを変更できます。
7. ドキュメントに挿入されているレコードの詳細を表示するには、コンテンツ コントロールを選択し、[リンクを開く] を選択します。
   ServiceNow インスタンスに移動し、そこでデータにアクセスできます。
8. レポートに挿入したすべての ServiceNow リンクの一覧を表示し、ドキュメントの最新のデータを取得するには、[リンクの管理] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 更新するリンクのチェックボックスをオンにします。

b. リフレッシュ を選択します。 アイコンをクリックします。
データは、更新時刻を表示し、ドキュメントの書式を保持したまま更新されます。

9. レポートで選択されているコンテンツコントロールを識別して強調表示するには、縦に並んだ 3 つのドットまたはその他のアクションアイコンを選択します。
コンテンツ コントロールが右側のペインで強調表示されます。

リスク管理 の使用

リスク管理 アプリケーションの機能を使用して、問題の作成、リスクイベントのレポート、リスクアセスメントの実行などのさまざまなアクティビティを実行できます。

GRC リスク管理 のモバイルエクスペリエンス

リスクマネージャーは、Android または iOS モバイルデバイスを使用して作業を管理します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

概要

Now Platform® リスクマネージャー (sn_risk.manager) ロールを持つユーザーは、タスク、アサイン、要求、承認、およびその他のフォローアップアクションをすべてモバイルデバイスから管理します。現在のアラートだけではなく、すべての重要な資産、ベンダー、影響を受ける必要不可欠なビジネスサービスのリスクとコンプライアンスステータスの通知を適時に受信します。

GRC Mobile アプリケーションを使用すると、デスクトップに関連付けられずに次の リスク管理 アクティビティを実行できます。

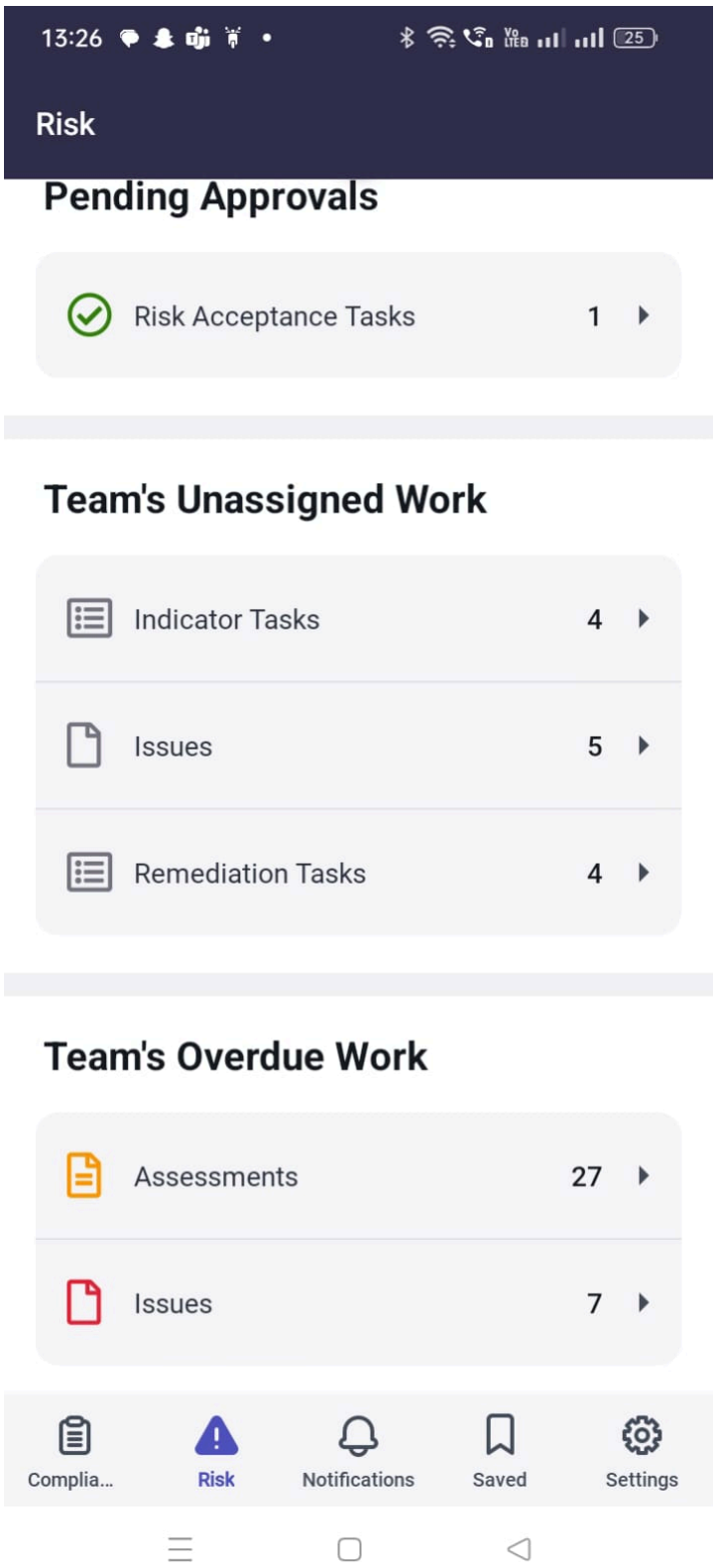
- リスク受容タスクアプレットを使用して、自分にアサインされた処理待ちのタスクを承認または却下します。
- インジケータータスク、問題、および修復タスクアプレットを使用して、未アサインのタスクをチームにアサインします。
- アセスメントおよび期限切れの問題アプレットを使用して、チームの期限切れタスクを管理および再アサインします。

次の図は、モバイルデバイスから Now Platform インスタンスにログインする方法と、ログイン後に表示されるランディング画面を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Risk Mobile アプリのランディングページ



Now Platform インスタンスを設定し、GRC Mobile アプリケーションをインストールする方法の詳細な手順については、「GRC Mobile アプリケーション のセットアップチェックリスト」を参照してください。ログイン方法については、「GRC Mobile アプリケーション へのログイン」を参照してください。

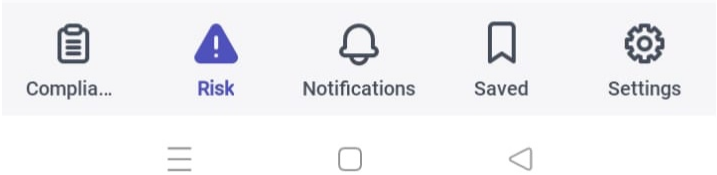
アプリケーション

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションとは、Now Platform インスタンス内で特定の機能を提供する、ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、Audit Management などの ServiceNow ソフトウェアコンポーネントです。これらのコアアプリケーションと GRC Mobile アプリを Now Platform インスタンスにインストールすると、ログイン後に Android または iOS モバイルデバイスの下部にこれらのアプリケーションがアイコンとして表示されます。

デバイス画面の下部にあるアイコン



フォルダー

各 ServiceNow Mobile アプリケーションには、カテゴリ別にアプレットを分離するフォルダーが含まれています。前の画像では、[承認待ち]、[チームのアサインされていない作業]、および [チームの期限切れ作業] が Risk Mobile アプリのフォルダーです。

アプレット

アプレットは、アプリケーション内のさまざまなオプションです。前の画像では、[承認待ち]、[チームのアサインされていない作業]、および [チームの期限切れ作業] の各セクションの下にあるアイコンが Risk Mobile アプリの利用可能なアプレットです。

GRC Mobile アプリケーション へのログイン

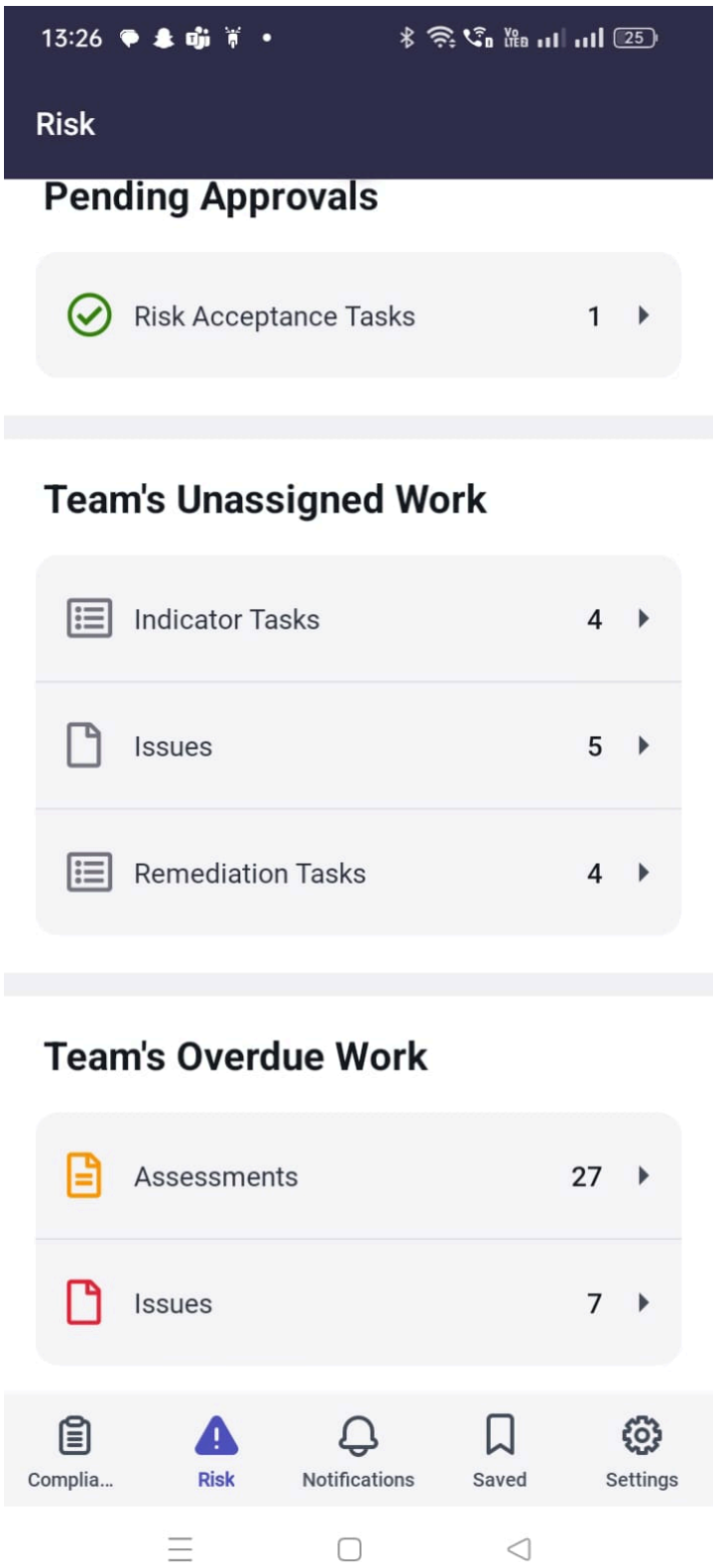
GRC Mobile アプリケーション を開き、Now Platform インスタンスを リスク管理 でモバイルデバイスに追加します。

始める前に
「GRC Mobile アプリケーション のセットアップチェックリスト」で説明されているセットアップ手順を完了していることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC Mobile アプリケーション



必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて
このタスクの完了にかかる時間：5 ～ 7 分。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスで、**ServiceNow** エージェントアプリをタップします。

   Now Platform インスタンスにまだログインしていない場合は、[インスタンス] 画面が表示されます。

2. リスク管理 コアアプリケーションを含む Now Platform インスタンスがまだモバイルデバイスに追加されていない場合は、次の手順に従って追加します。

   a. 表示される [インスタンス] 画面で、プラスアイコン ( ) をタップします。
   Now Platform インスタンスのアドレスを入力して保存するように求める画面が表示されます。

   b. フィールドに入力します。

フィールド	説明
インスタンスアドレスを入力するか、QR コードをスキャンしてください。	1 つ選択して続行します。 ▪ .service-now.com の前に、Now Platform インスタンスの名前 (例：grcmobile) を入力します。 ▪ このフィールドにアドレスを入力します。このアドレスは、モバイルデバイスで表示する Now Platform インスタンスの URL です (例：https://grcprkny.service-now.com)。 ▪ QR コードをスキャンします。 モバイルアプリの詳細については、「モバイルアプリ を使用したインスタンスへのログイン」を参照してください。
(オプション) ニックネームを入力	このインスタンスのニックネームを入力します。デバイスに複数のインスタンスが存在する場合、ニックネームを使用することで、Now Platform インスタンスをすばやく見つけることができます。

   c. [保存してログイン **(Save and Login)**] をタップします。

3. 表示される ServiceNow ログイン画面で、追加する Now Platform インスタンスの [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をタップします。
   [リスク] ランディング画面が表示されます。GRC Mobile アプリケーション に正常にログインしました。
4. ログイン後、GRC Mobile アプリケーション で通知が有効になっていることを確認します。

   a. 下部のランディング画面で、[その他] をタップし ます。

   b. [その他] 画面で、[通知] をタップします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [通知] 画面で、[通知を有効にします] をタップします。
Now Platform からの通知は、GRC Mobile アプリケーション の [通知] 画面に表示されます。

5. モバイルデバイスでインスタンスにログインすると、そのインスタンスがデバイスのデフォルトの Now Platform インスタンスになります。
デバイス上の別の Now Platform インスタンスを表示するには、デフォルトのインスタンスからログアウトする必要があります。ログアウトするには：

a. [その他] をタップします。
[その他] 画面が表示されます。

b. [設定] をタップします。

c. 表示される画面で、[ログアウト] をタップします。
[インスタンス] 画面に、モバイルデバイスに追加した Now Platform インスタンスが表示されます。

d. オプション: 別のインスタンスをタップしてログインするか、前の手順に従って別のインスタンスを追加します。

Trouble?

デバイスで **[ServiceNow** エージェント] アプリをタップした後に GRC Mobile アプリケーションのインスタンス画面が表示されない場合は、デバイスで **[ServiceNow** エージェント] が信頼できるアプリとして許可されていることを確認してください。信頼できるアプリとしてのアクセスを許可するには、モバイルデバイスの設定領域または一般的なデバイス管理領域に移動し、オプション ([アプリを信頼 **(Trust app)]** など) をタップしてアクセスを許可します。

ログイン画面に資格情報を入力した後にエラーメッセージが表示された場合は、Now Platform インスタンスのユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。

ランディング画面の表示に問題がある場合は、ネットワーク接続を確認してください。

ServiceNow エージェントアプリをタップしても [インスタンス] 画面を表示できない場合は、デバイスからアンインストールしてください。Apple iOS App Store または Google Play ストアから最新バージョンのアプリを入手して、再インストールしてみてください。

次のタスク

各アプレットの詳細については、次のいずれかのトピックを選択してください。

GRC Mobile アプリケーションで処理待ちのリスク受容タスクを処理する

自分に送信された リスク管理 の受け入れタスクの処理待ちの承認要求を処理します。

始める前に

必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて

レコードのリストから処理待ちの要求を承認または却下します。または、要求を処理する前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

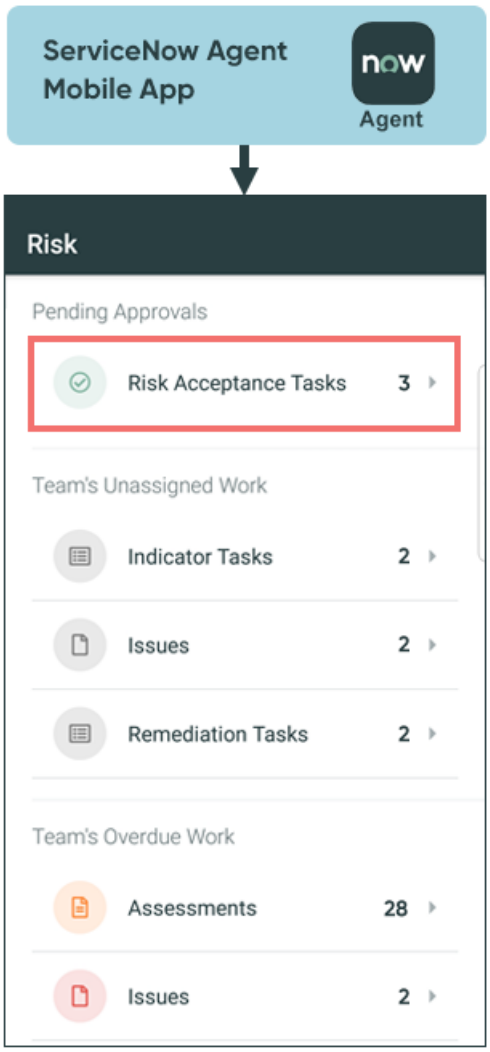
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[リスク受容タスク]をタップします。

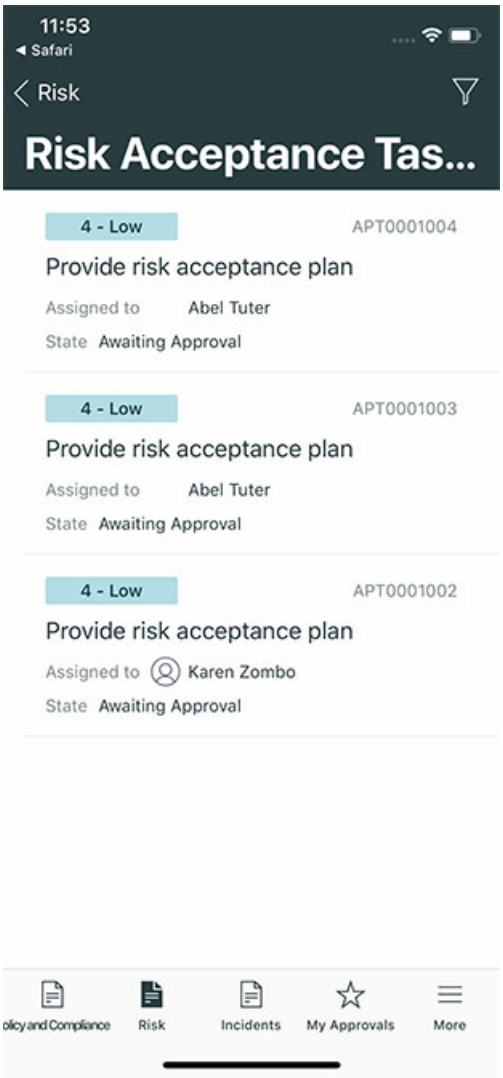
   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。



[リスク受容タスク] 画面が表示され、レコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



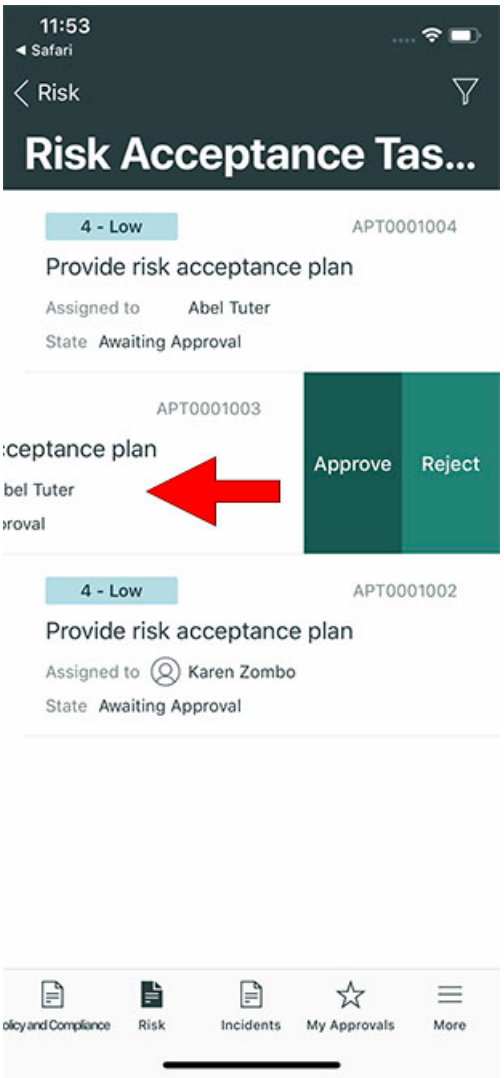
自動翻訳

3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

4. リストから要求を直接承認または却下するには、[リスク受容タスク] 画面を表示して、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



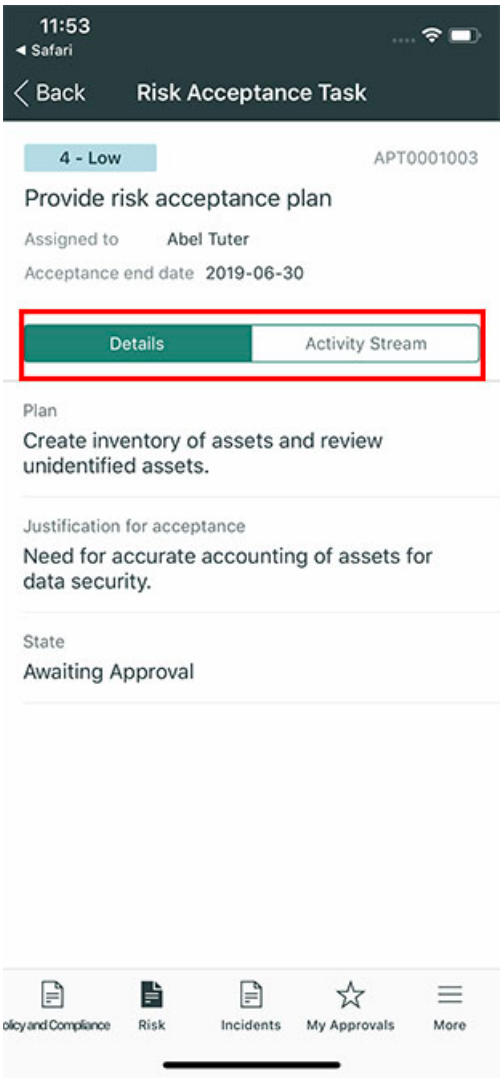
5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

6. または、[リスク受容タスク] 画面を表示して、次の手順に従って詳細を表示するか、リストのレコードに作業メモを追加します。
7. [リスク受容タスク] 画面を表示して、レコードをタップして開きます。
8. 詳細を表示するには、表示されるレコードで [承認対象] をタップし、リスク受容タスクを表示します。
9. 表示されているタスクレコードをタップして開きます。

   表示されるレコードで、次のテーブルからいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

リスク管理 インジケータータスクを **GRC Mobile** アプリケーション でアサイン

アサインされていないインジケータータスクをアサイン先グループのメンバーにアサインします。インジケータータスクは、コンプライアンスグループにアサインされたリスクレコードに関連しています。

始める前に

必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて

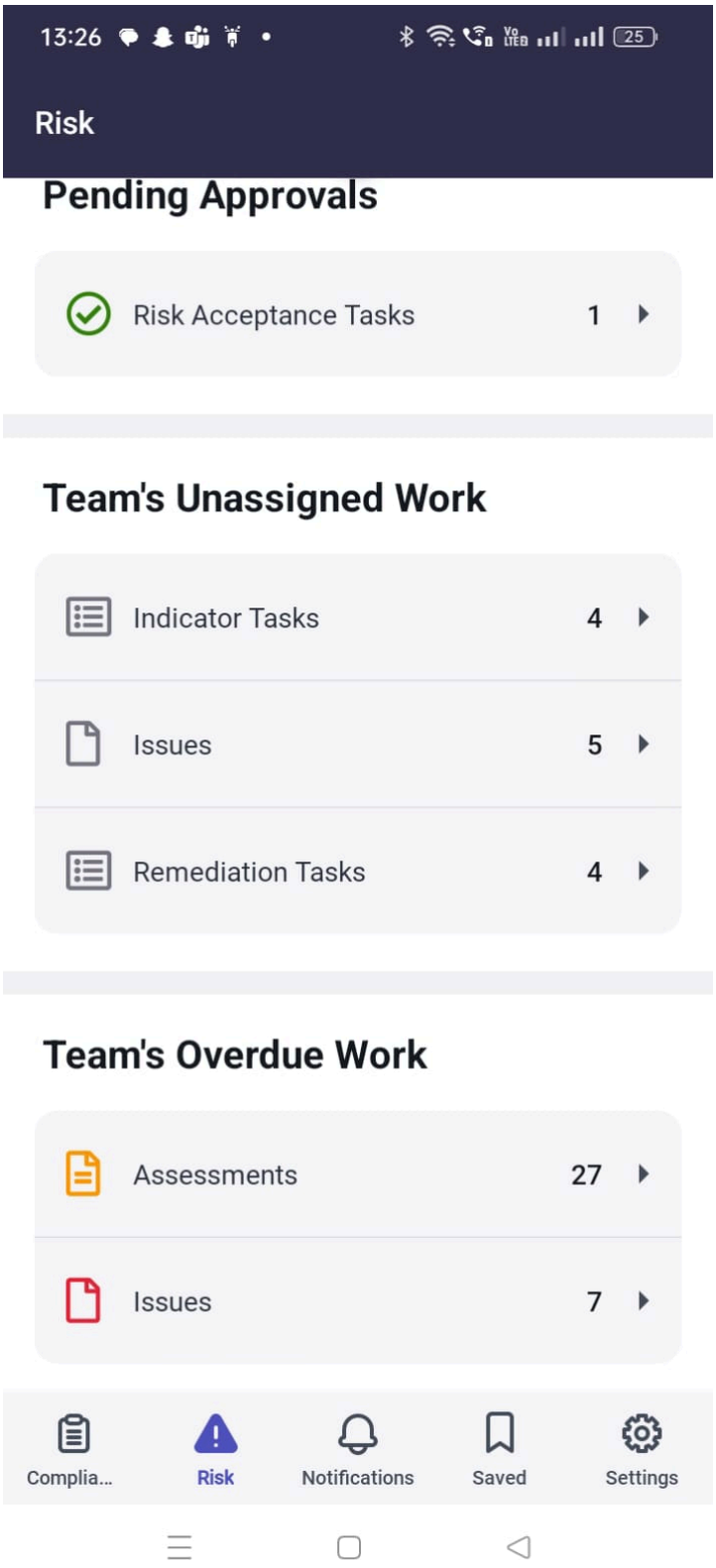
レコードのリストからインジケータータスクをアサインします。または、アサインの前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[チームのアサインされていない作業] セクションで [インジケータータスク] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

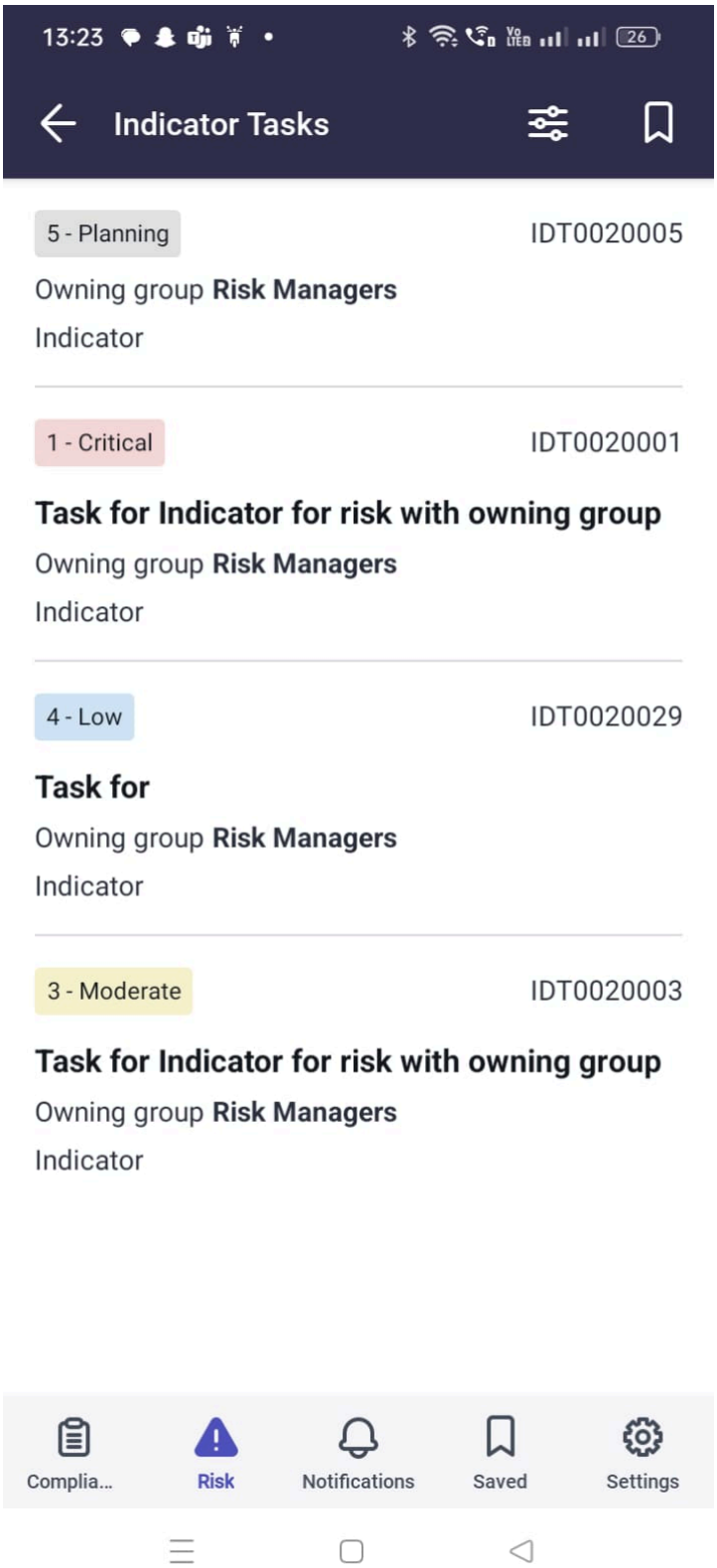
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[インジケータータスク] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



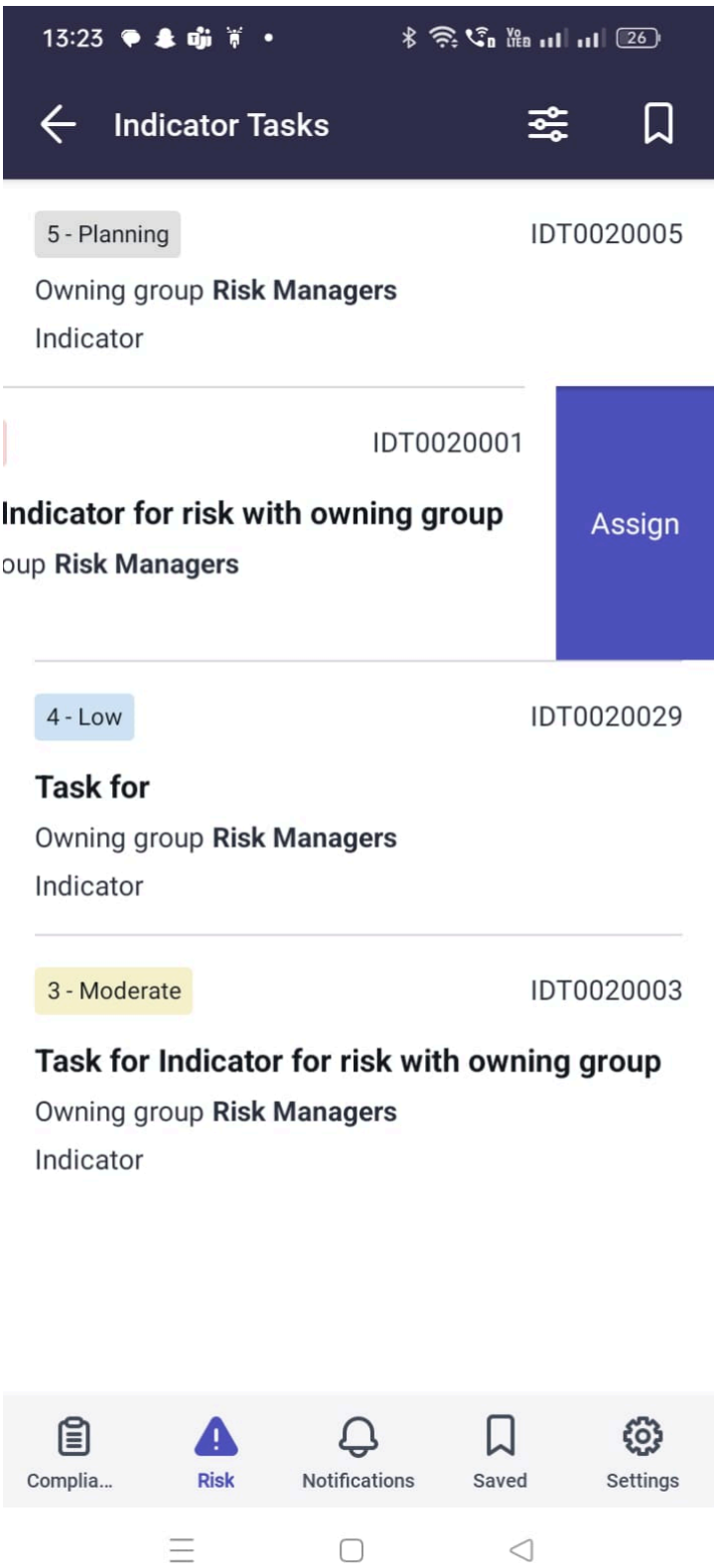
3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [インジケータータスク] 画面に表示されているレコードのリストから直接タスクをアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。



5. [アサイン] をタップします。
6. [アサイン先] をタップし、表示される画面でユーザーをタップします。
または、検索フィールドにテキストを入力します。

自動翻訳

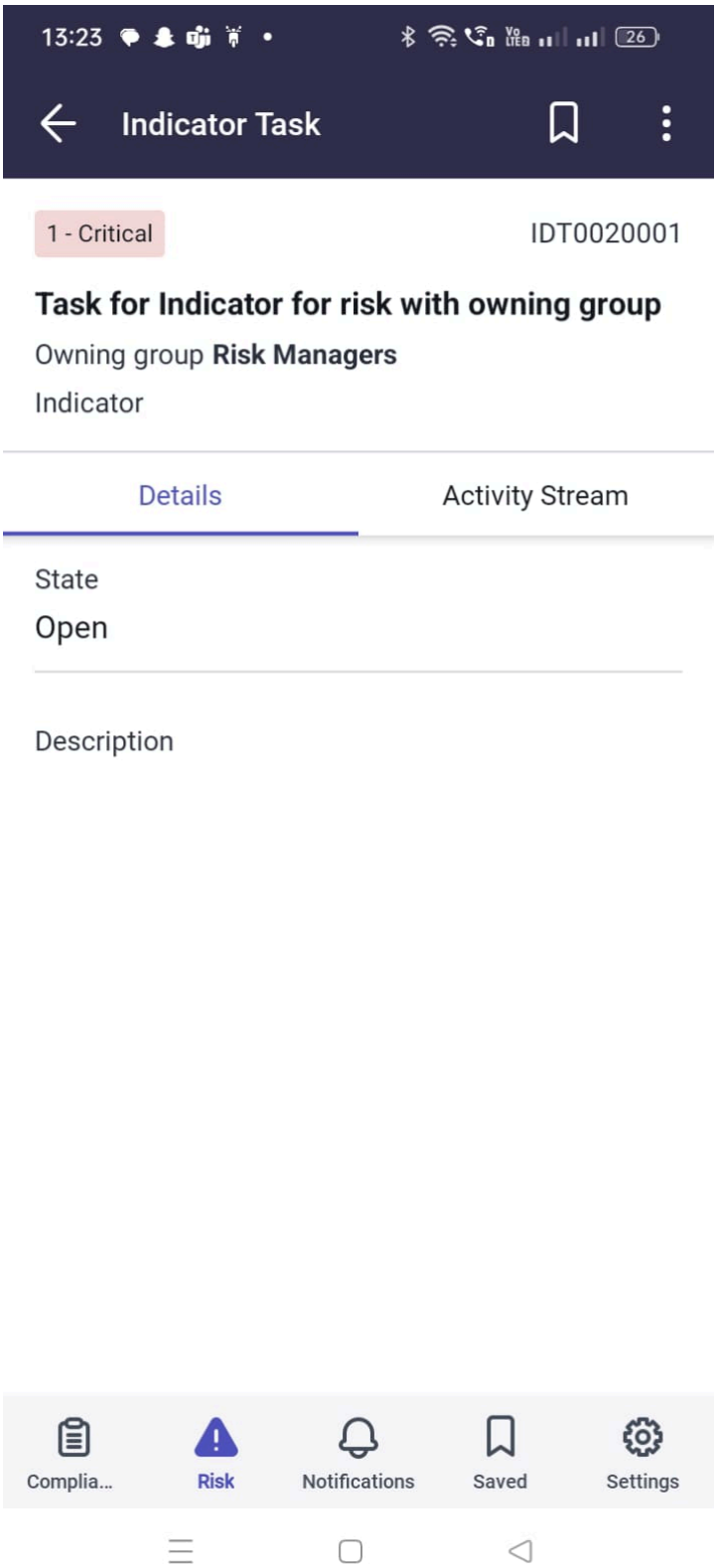
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーの名前が [インジケータータスクをアサイン] 画面に表示されます。インジケータータスクを任意のユーザーにアサインすることができます。

7. 送信アイコン ( ) または [送信] をタップして、変更を保存し、送信します。
タスクをユーザーにアサインすると、そのレコードは [インジケータータスク] リストに表示されなくなります。
8. または、詳細を確認したり、作業メモを追加したりするには、[インジケータータスクをアサイン] 画面を表示して、リスト内のレコードをタップして開きます。
9. レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

リスク管理 問題を **GRC Mobile** アプリケーションでアサイン

アサインされていない問題をアサイン先グループのメンバーにアサインします。レコード内を移動して、問題に関連するリスクステートメント、リスクレコード、および修正タスクの詳細を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて
レコードのリストから問題を編集またはアサインします。または、アサインの前に作業メモを追加するか、レコードの詳細と関連リストを表示します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

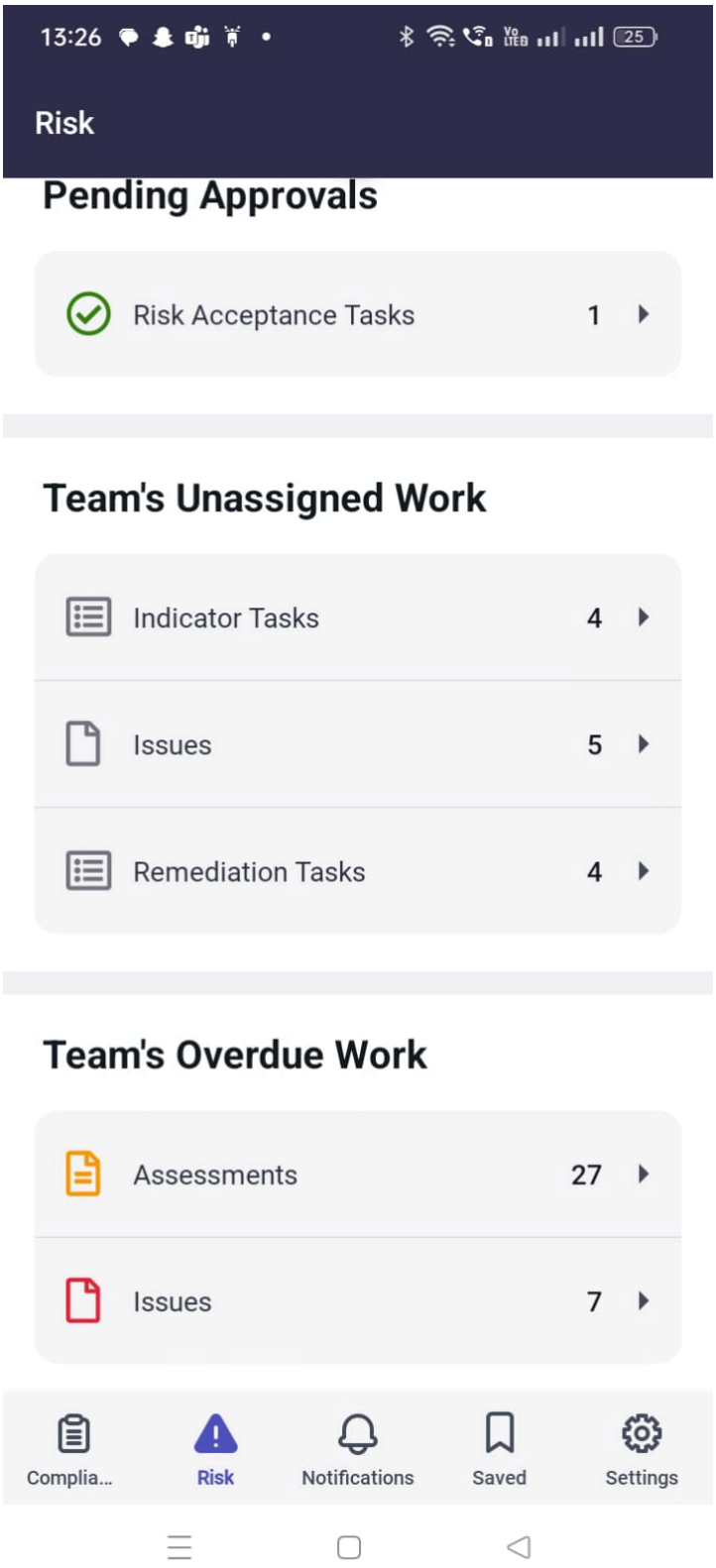
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[チームのアサインされていない作業] セクションで [問題] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

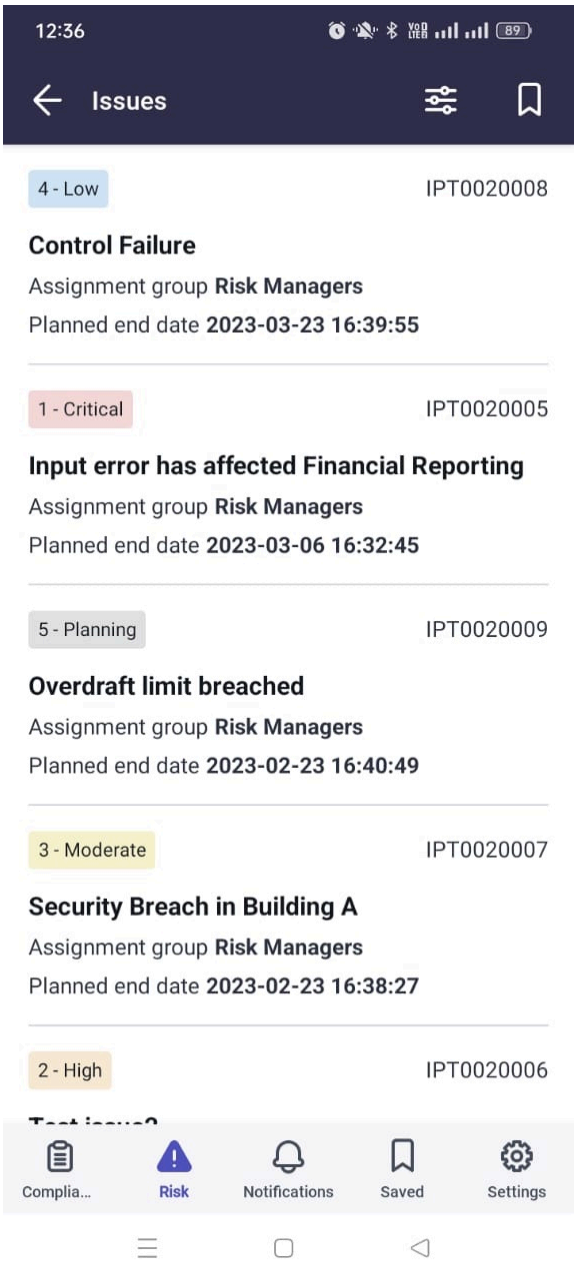
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[問題] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



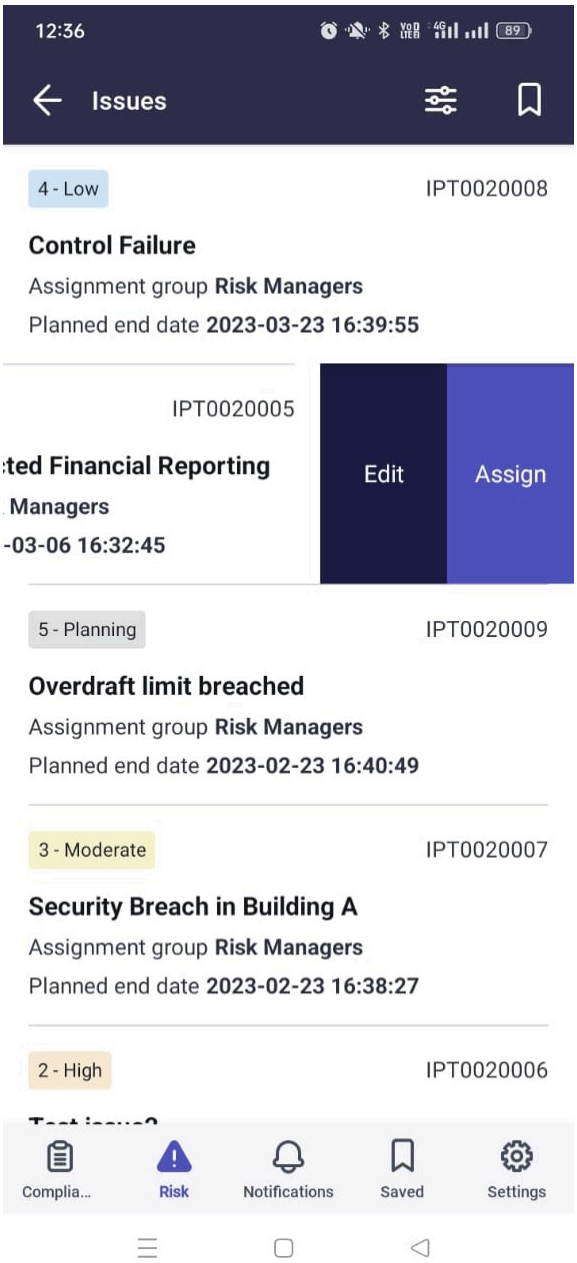
3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

4. [問題] 画面に表示されるレコードのリストから直接、問題を編集またはアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



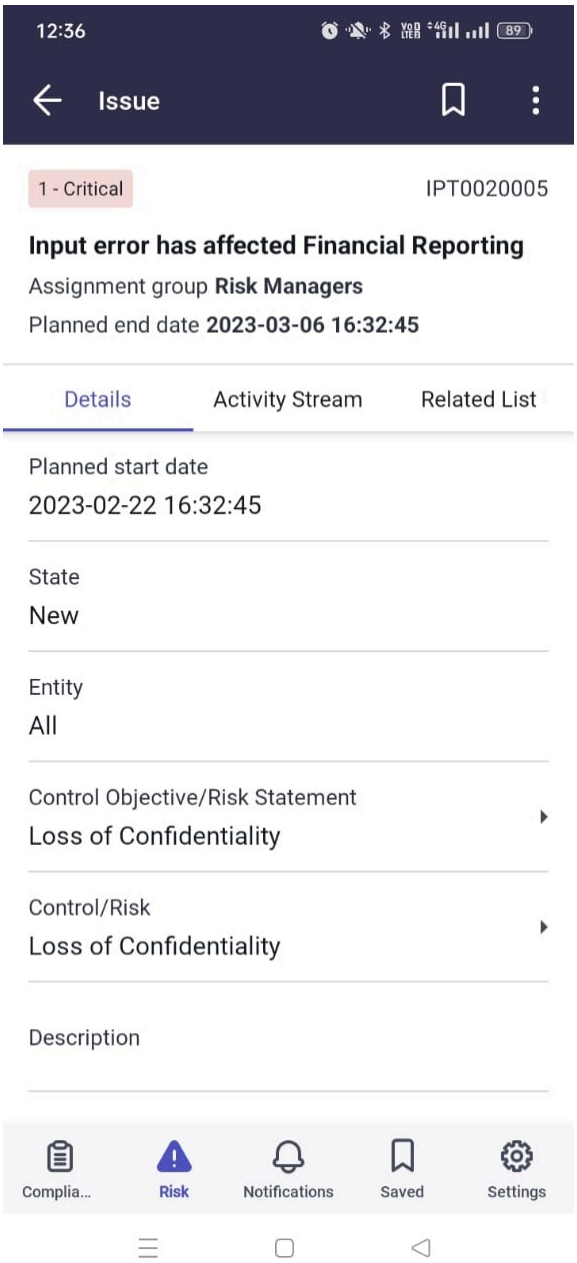
5. 表示されるメニューで、次の表からいずれかを選択して続行します。

6. または、[問題] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。

7. 問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

リスク管理 修正タスクを **GRC Mobile** アプリケーションでアサイン

アサインされていない修正タスクをグループのユーザーにアサインします。[日単位で延長] フィールドを含むフィールドを編集します。レコード内を移動して、リスクステートメント、リスクレコード、修正タスクに関連付けられている問題を表示します。

始める前に

必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて

レコードのリストから直接、未アサインの修正タスクを編集またはアサインします。または、アサインの前にレコードの詳細を表示するか、作業メモを追加します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

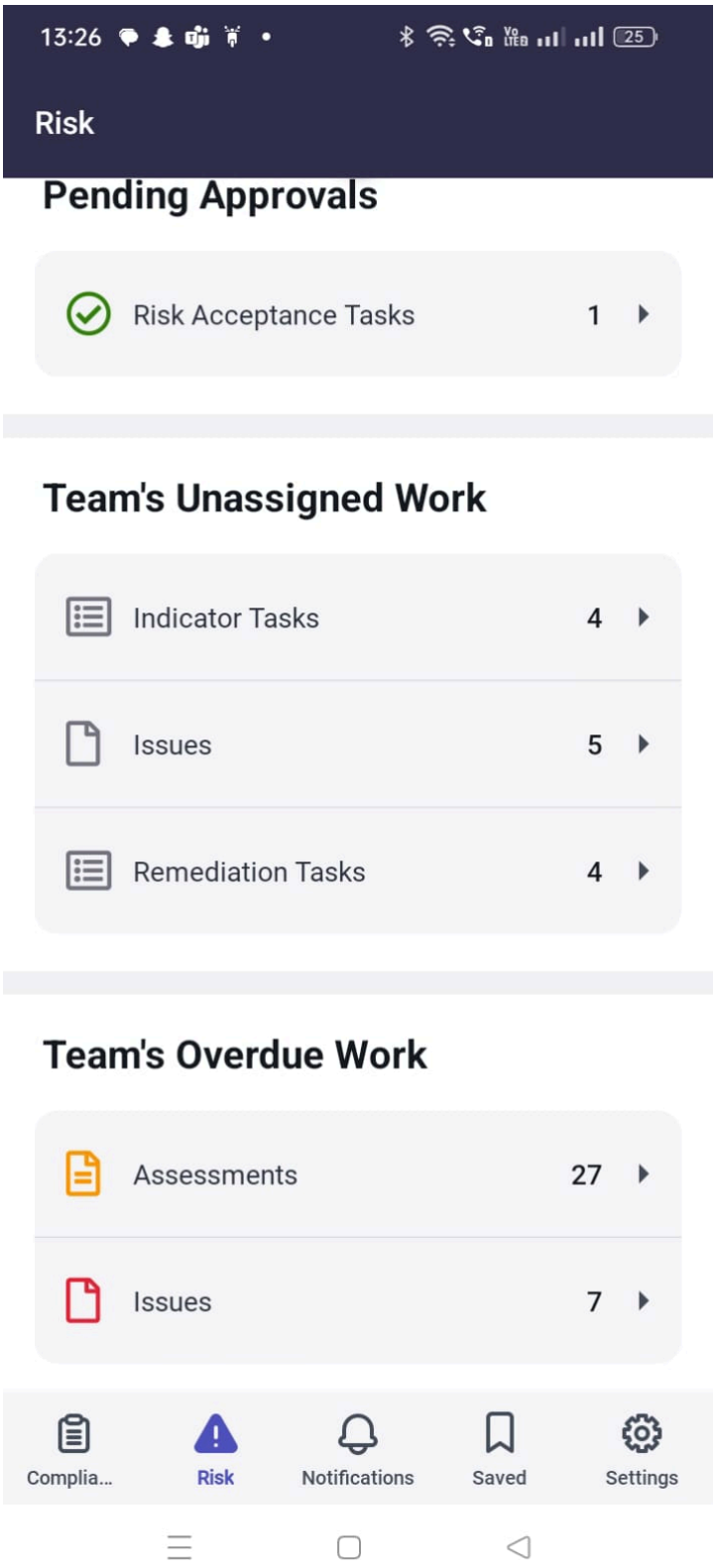
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[チームのアサインされていない作業] セクションで [修正タスク] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

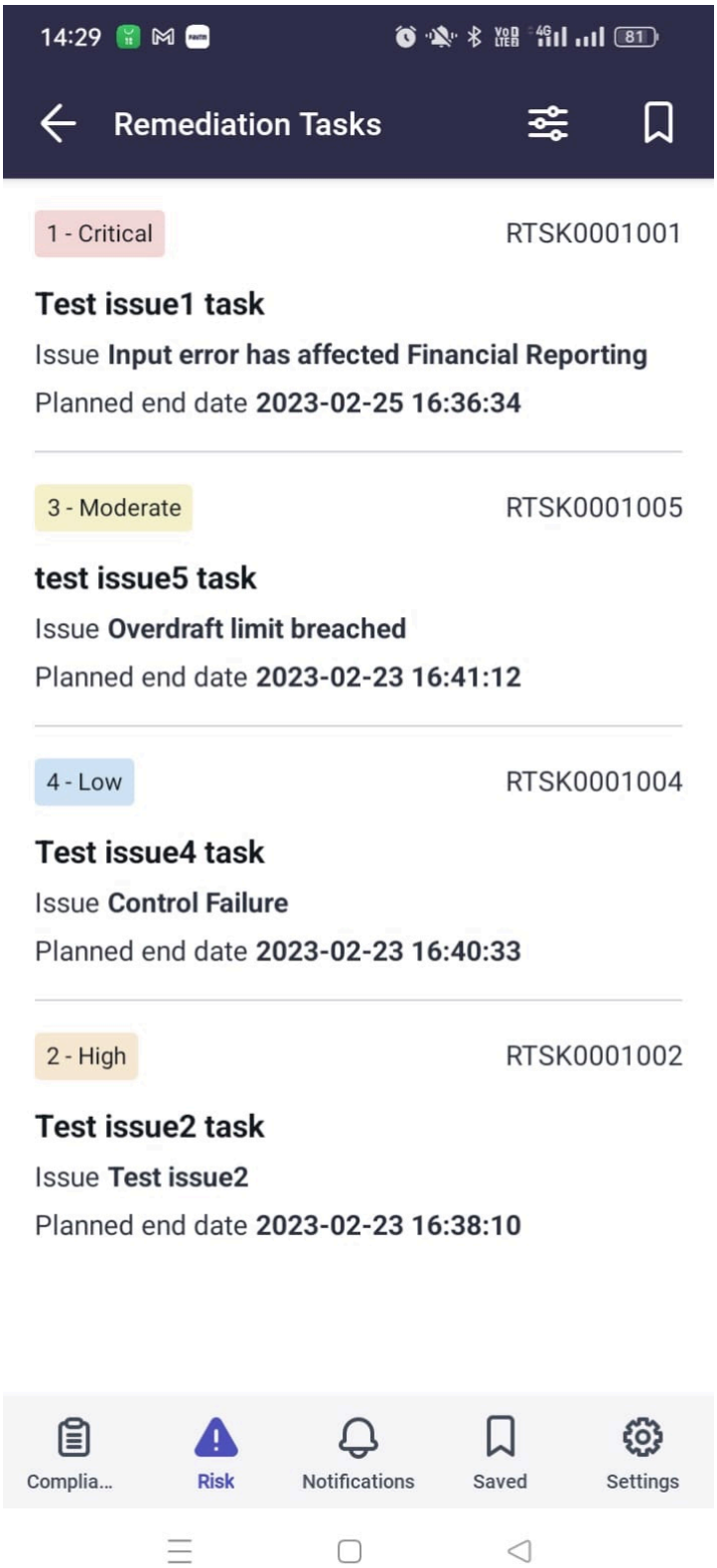
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[修正タスク] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



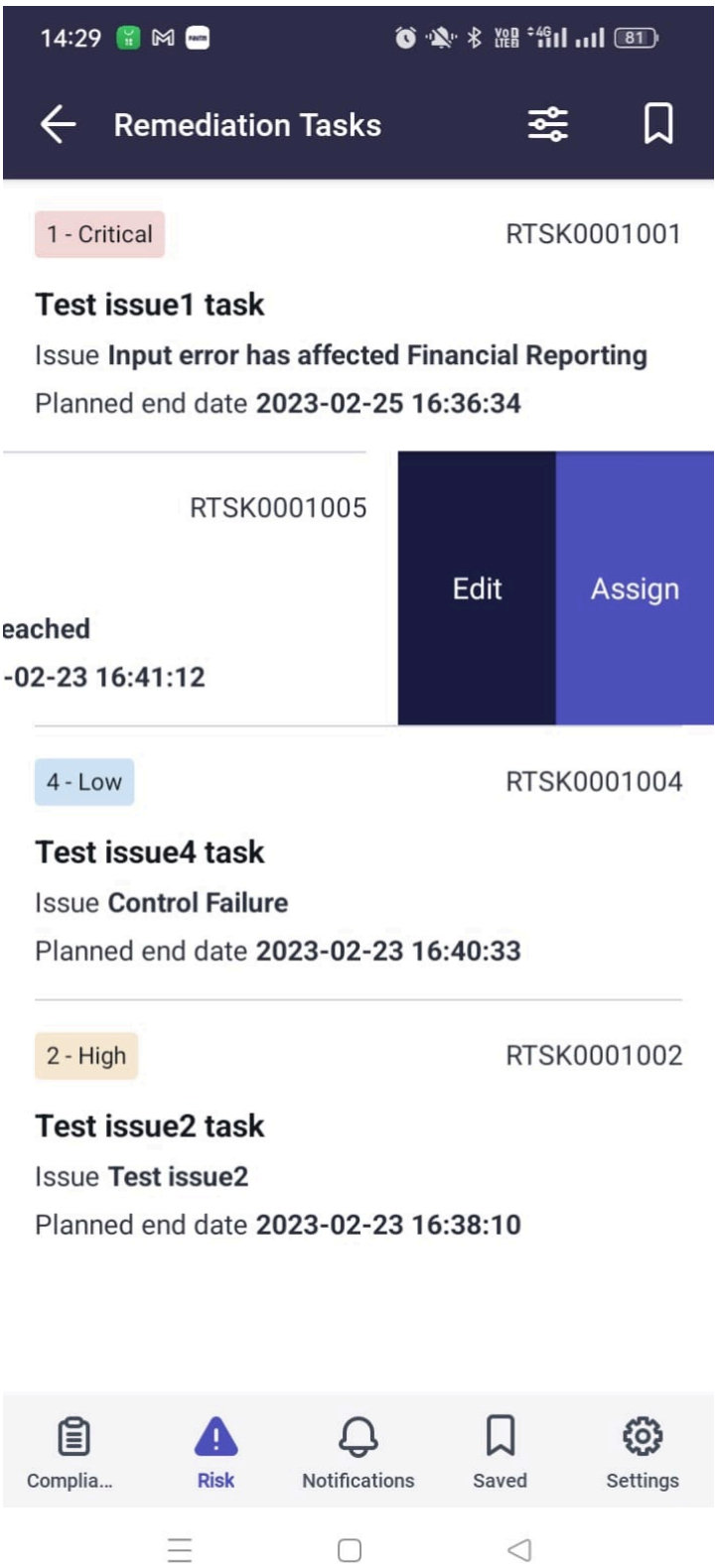
3. オプション: 画面に表示されるレコード数を減らすには、GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング を参照して、特定の検索条件に一致するレコードを検索します。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [修正タスク] 画面に表示されているレコードのリストから直接タスクを編集またはアサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

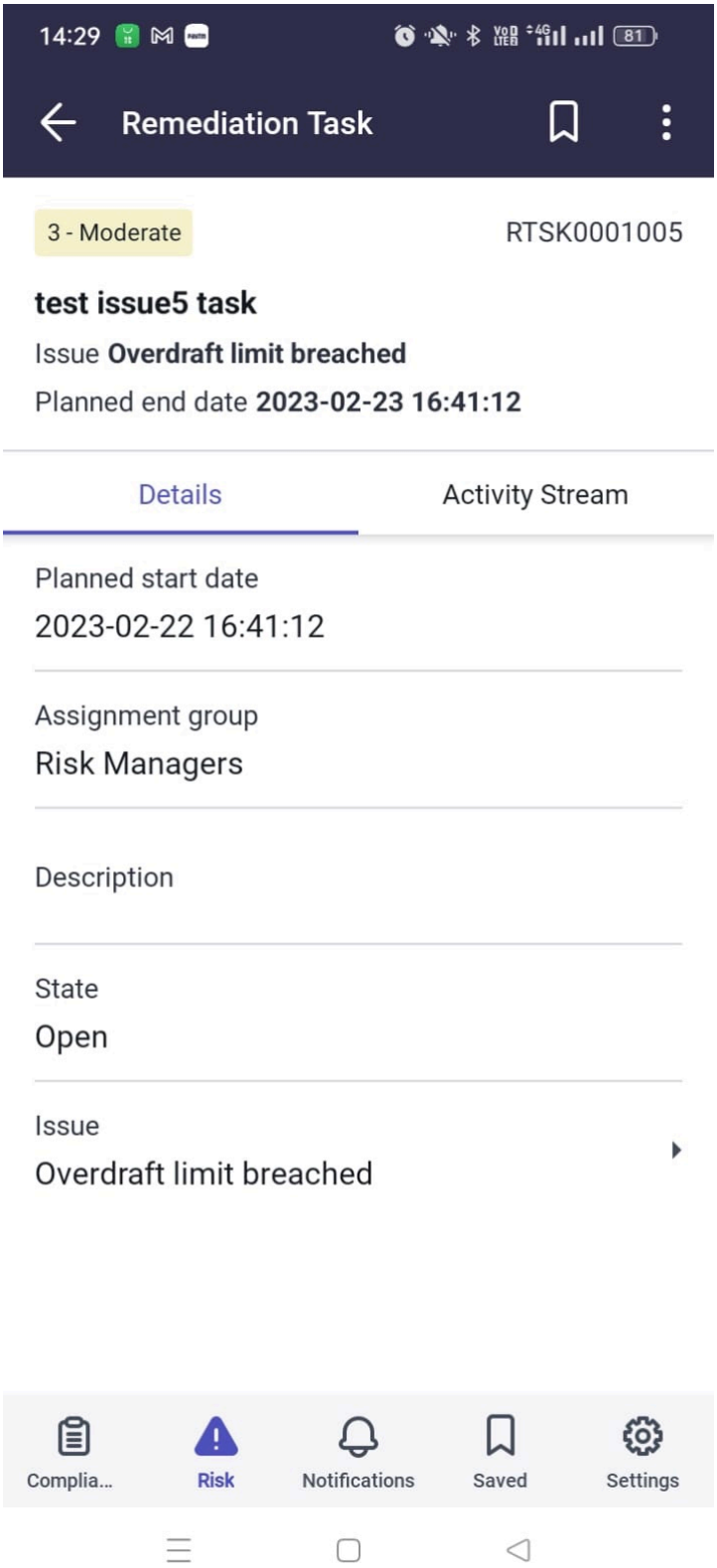


5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. または、[修正タスク] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を確認します。
7. 問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

期限切れ リスク管理 アセスメントを **GRC Mobile** アプリケーションで再アサイン

期限切れのリスクアセスメントをアサイン先グループの別のメンバーに再アサインします。

始める前に

必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて

期日を過ぎたリスクアセスメントをレコードのリストから直接再アサインします。または、再アサインの前にレコードの詳細を表示します。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

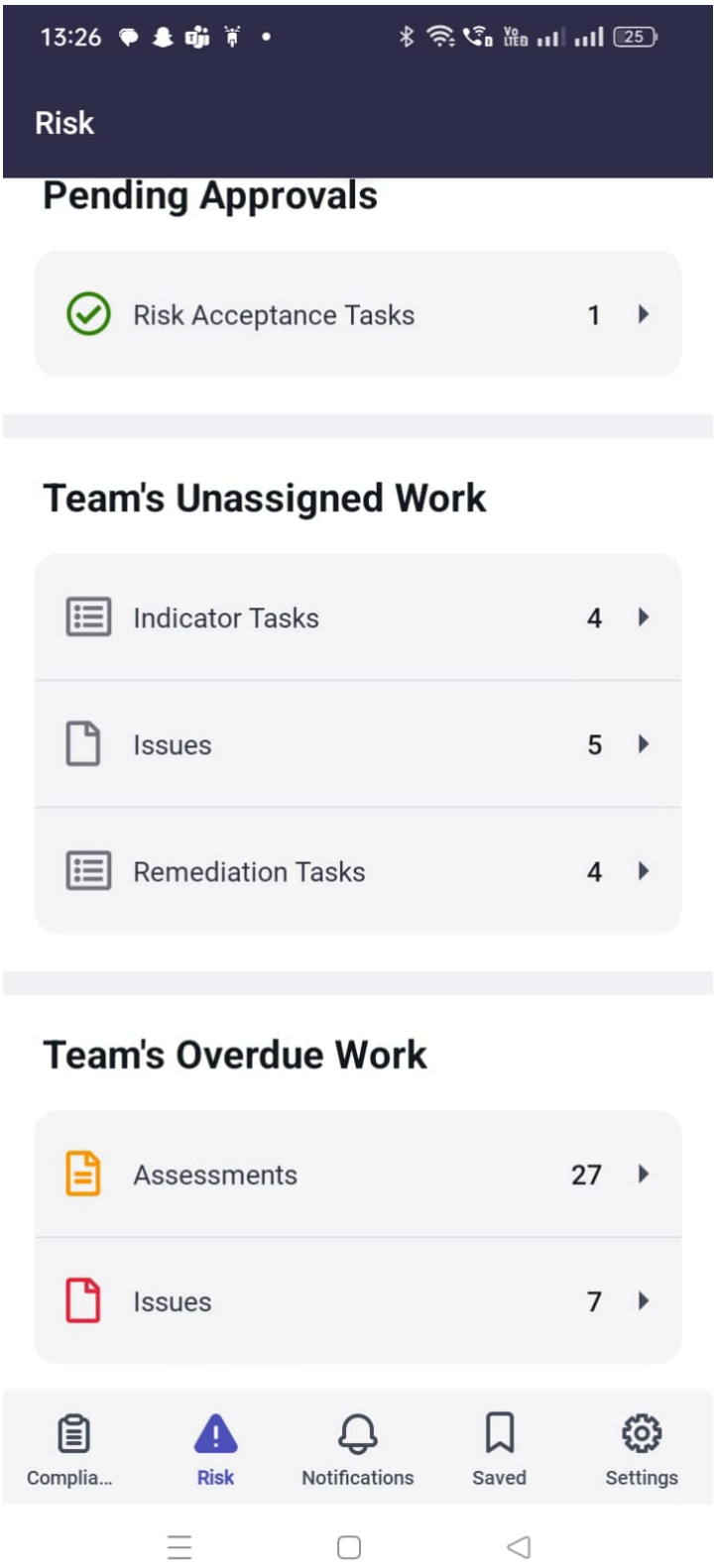
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[チームの期限切れ作業] セクションで [アセスメント] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

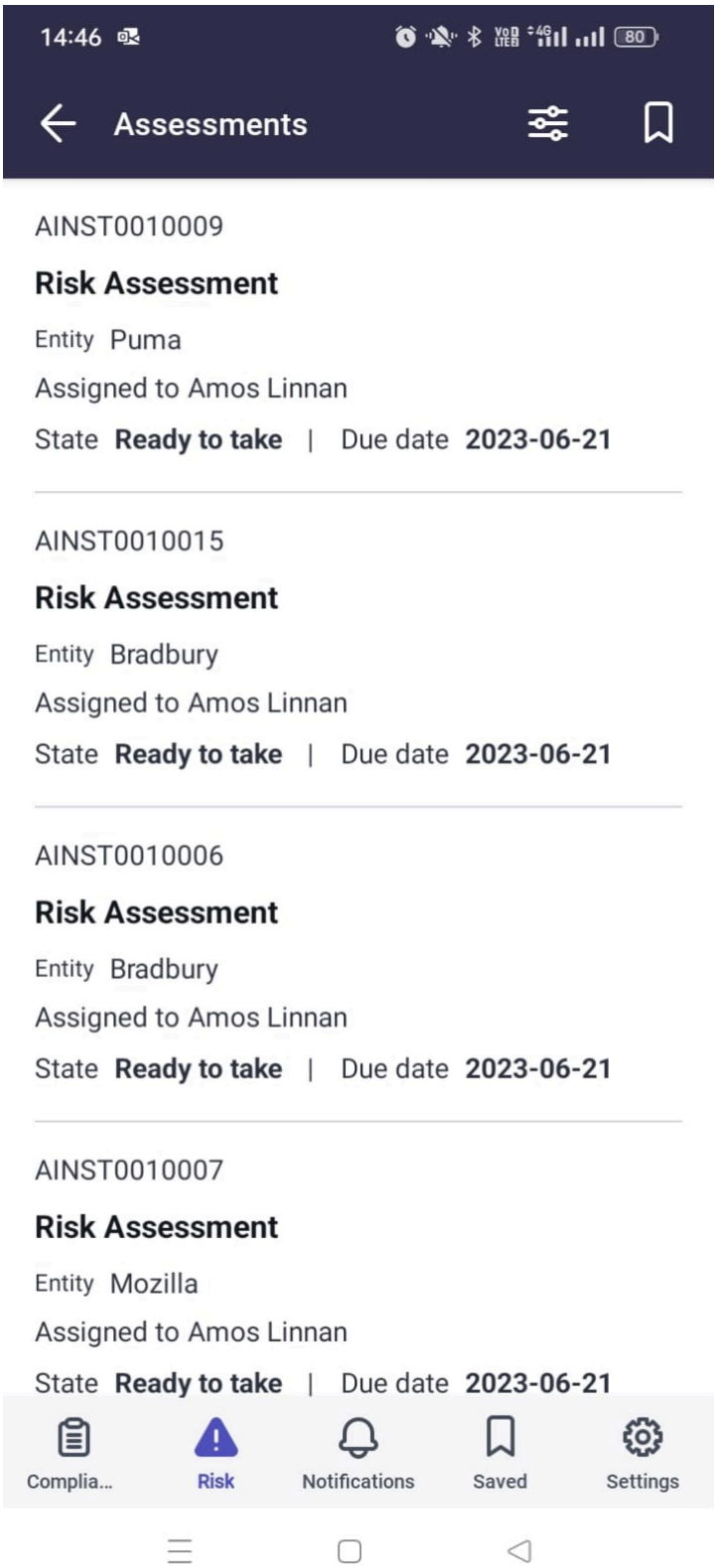
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[アセスメント] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



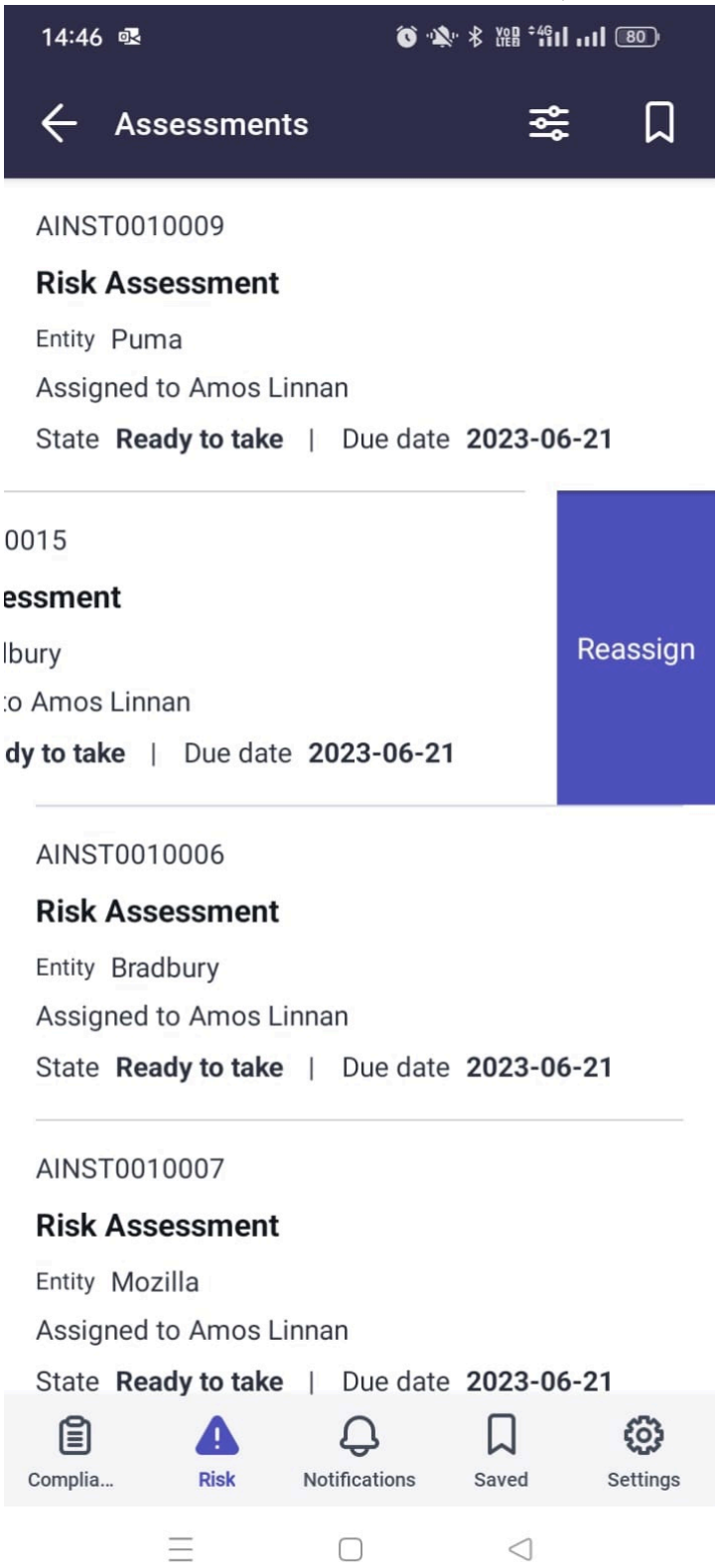
3. オプション: 特定の検索条件に一致するレコードを検索するには、GRC Mobile アプリケーションでのレコードのフィルタリング を参照してください。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. レコードのリストからリスクアセスメントを直接再アサインするには、[アセスメント] 画面を表示して、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

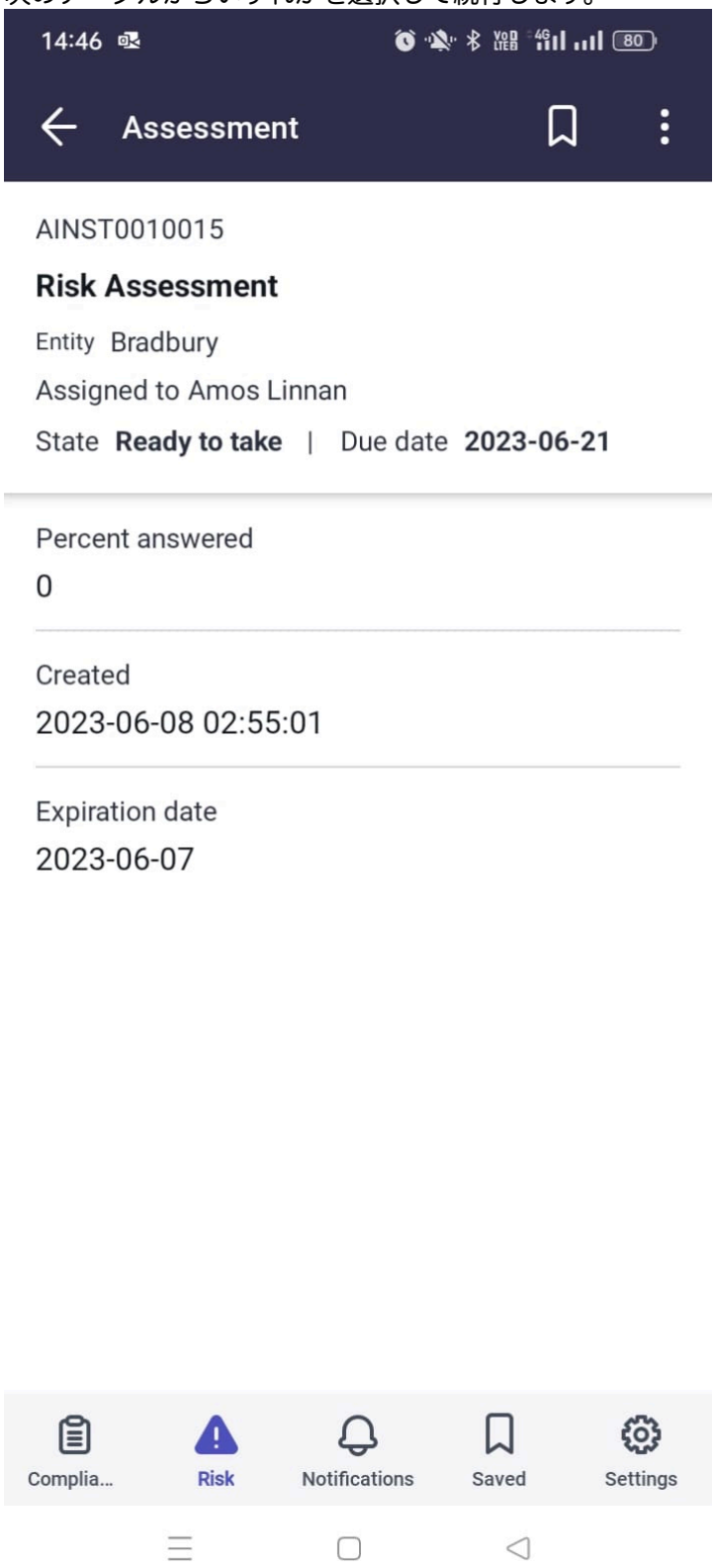


5. [再アサイン] をタップし、[アサイン先] フィールドをタップします。
6. ユーザー名をタップするか、検索フィールドに名前を入力します。
7. 送信アイコン ( ) または [送信] をタップして、変更を保存し、送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. または、[アセスメント] 画面を表示して、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。
9. 次のテーブルからいずれかを選択して続行します。



期限切れの リスク管理 問題を **GRC Mobile** アプリケーションで再アサイン

アサイン先グループにアサインされた期限切れ リスク管理 の問題を再アサインします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：GRC リスクマネージャー (sn_risk.manager)

このタスクについて
レコードのリストから直接、タスクを編集または再アサインします。または、作業メモを追加するかレコード内を移動して、再アサインの前に、リスクステートメント、リスクレコード、および関連付けられている修正タスクの詳細を表示します。問題がアサイン先グループにアサインされていない場合、このリストには表示されません。このタスクの完了にかかる時間は 5 ～ 10 分です。

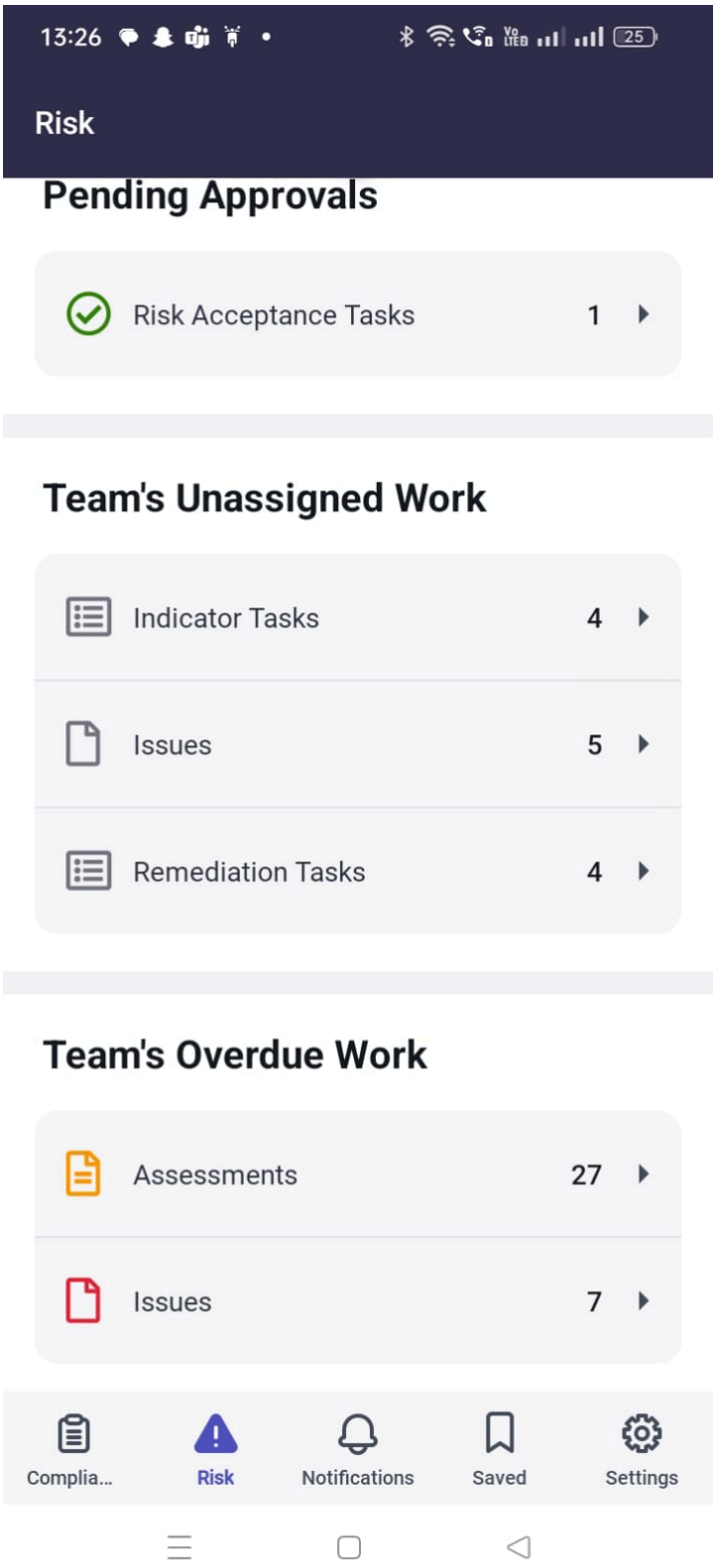
手順

1. モバイルデバイスで Now Platform インスタンスにログインしていない場合、詳細については、GRC Mobile アプリケーション へのログイン を参照してください。
2. [リスク] ランディング画面を表示して、[チームの期限切れ作業] セクションで [問題] をタップします。

   ログイン後に GRC Mobile アプリケーション から移動した場合は、Now Agent アプリをタップすると、いつでも最後に表示していた画面に戻ります。

自動翻訳

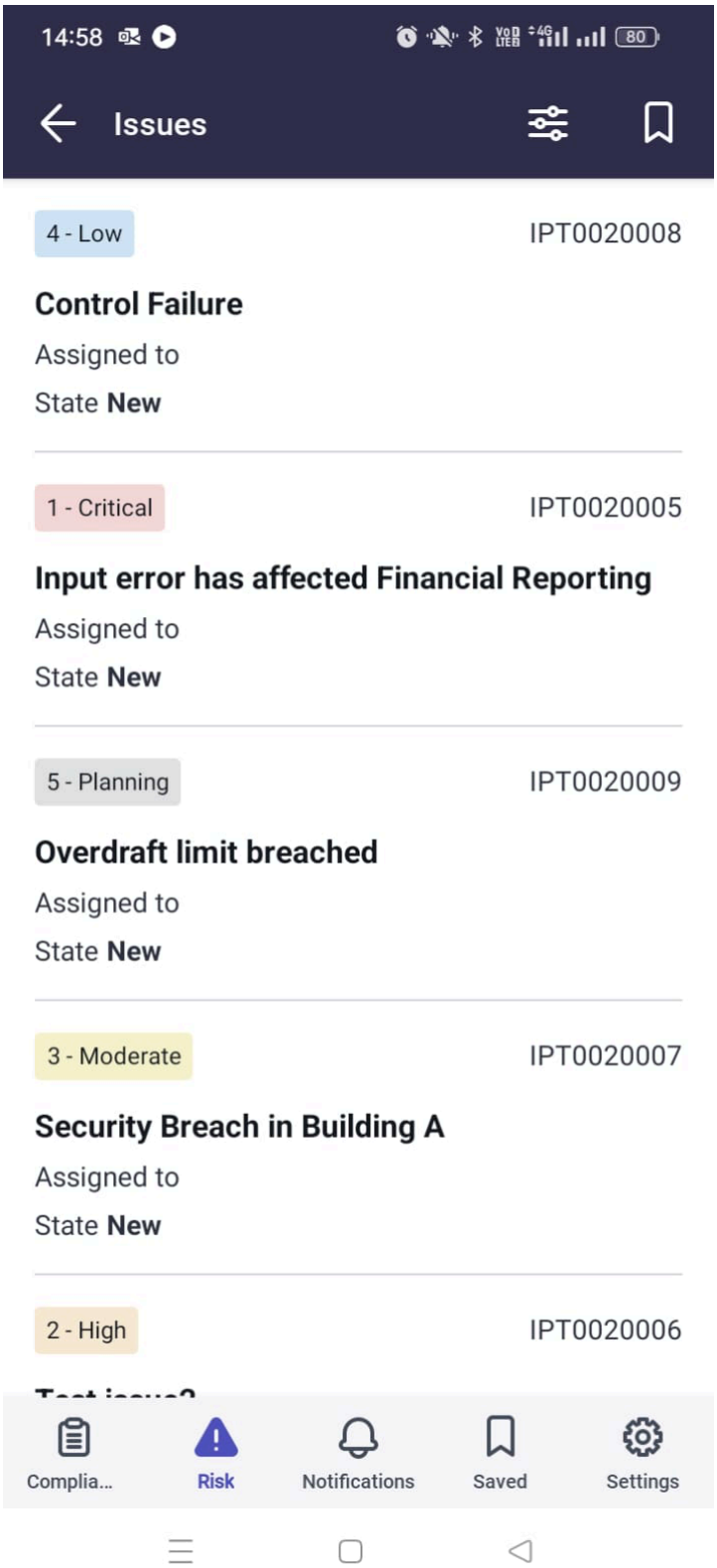
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[問題] 画面にレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



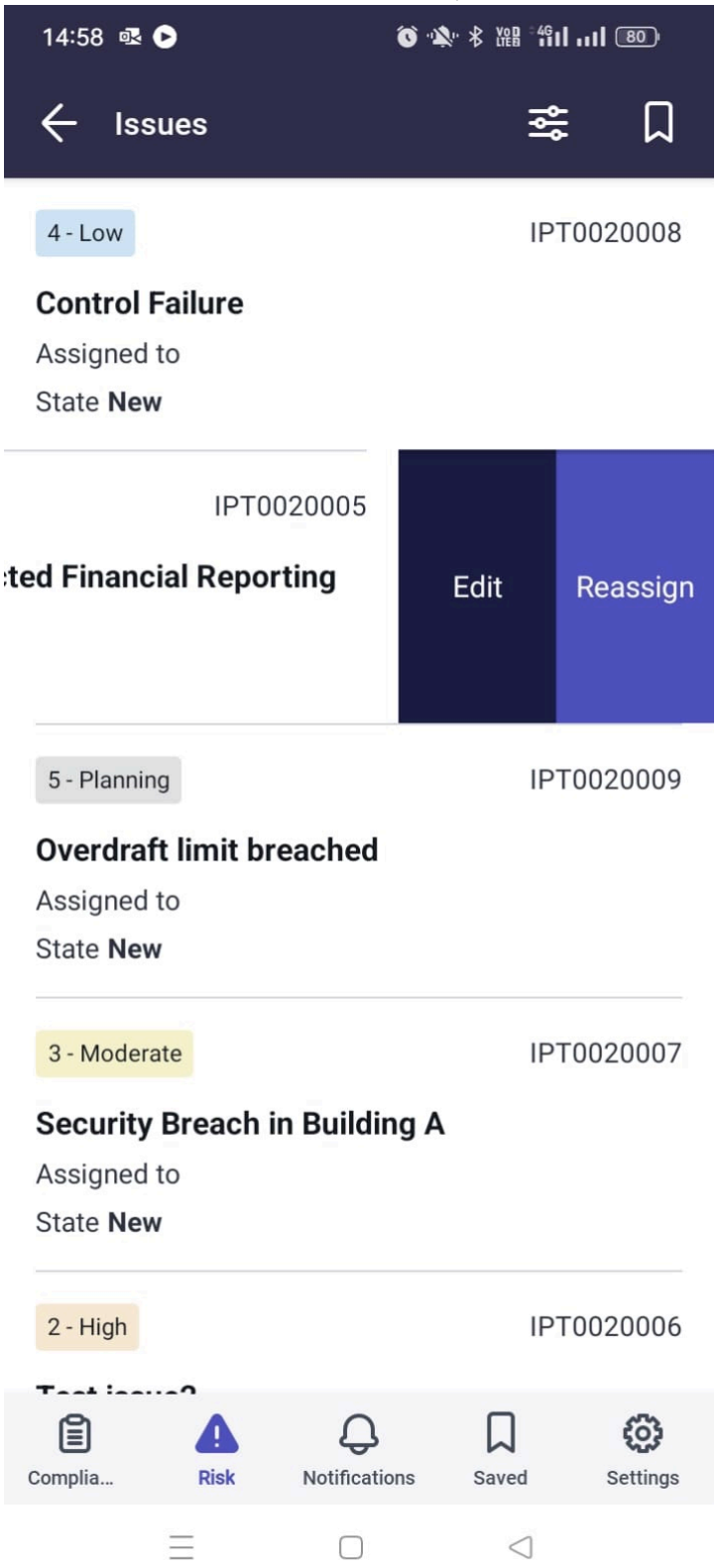
3. オプション: 特定の検索条件に一致するレコードを検索するには、GRC Mobile アプリケーションでのレコードのフィルタリング を参照してください。

   (Optional) モバイルアプリの画面でのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。フィルターを設定すると、画面に表示されるレコードの数を減らすことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [問題] 画面に表示されるレコードのリストから直接、タスクを編集または再アサインするには、レコードを左にスワイプしてメニューを開きます。

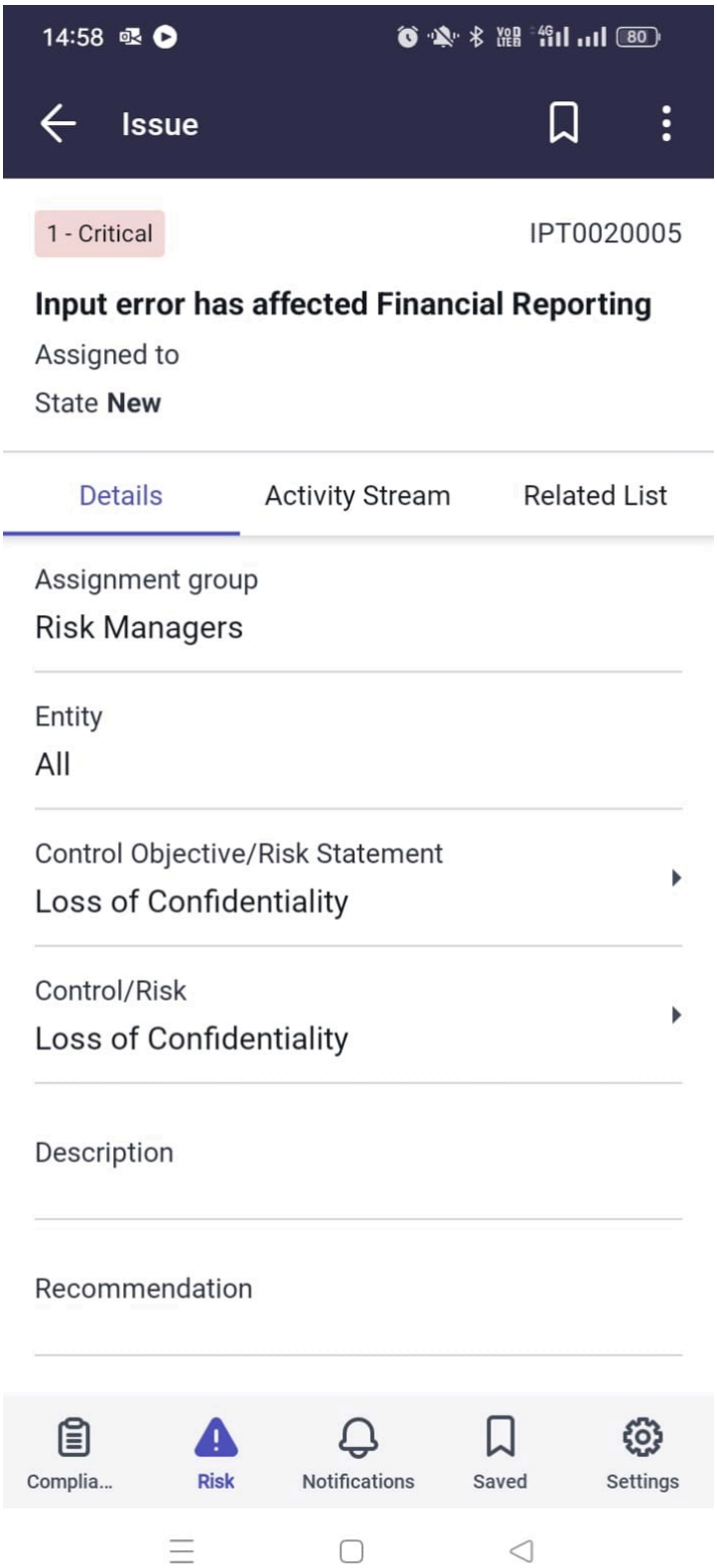


5. 表示されるメニューで、いずれかを選択して続行します。

6. または、[問題] 画面が表示されたら、リストでレコードをタップして開き、詳細を表示します。
7. 問題レコードのフィールドが表示されたら、テーブルでいずれかを選択して続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

GRC Mobile アプリケーション でのレコードのフィルタリング

追加のフィルターを設定して、画面に表示されるレコードの数を制限します。モバイルアプリでのレコードのフィルタリングは、Now Platform で条件ビルダーを使用したフィルタリングと同様に機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクの所要時間：5 分

手順

1. 検索結果をさらに絞り込む場合、または表示されるレコードリストに追加のフィルター基準を入力する場合は、フィルターアイコン () をタップします。
2. [フィルター] 画面を表示した状態で、フィールドをタップして展開します。
3. 表示されるオプションから、チェックボックスをタップするか、フィルターのアイテムをタップします。
   フィルターの多くでは、複数のオプションを選択できます。
4. 戻るアイコン () をタップするか、[完了] をタップして、フィールドに加えた変更を保存します。
   選択した条件が [フィルター] 画面に表示されます。基準と一致するレコードの数も画面の上部に表示されます。[クリア] または [リセット] をタップして、すべてのフィルターを削除し、デフォルト設定に戻します。
5. オプション: フィルター条件の設定を続行するには、[フィルター] 画面で手順 1 ～ 4 を繰り返します。
6. すべての条件を設定した後、共通集合アイコンをタップして AND 条件を作成します )。
   または、和集合アイコン () をタップして、OR 条件を作成します。
7. 必要なすべての条件を追加したら、表示された [フィルター] 画面で [完了] をタップします。
   フィルター基準に一致するレコードのみが画面に表示されます。

次のタスク
詳細については、検索後に表示されるレコードを参照してください。

リスクイベントを使用

リスクイベントを報告し、ワークフローを監視して組織内の損失を防止します。

リスクイベント統合を設定

他のアップストリーム ServiceNow アプリケーションとのリスクイベント統合を構成します。この統合により、組織内のすべてのユーザーがリスクイベントを報告および追跡できるようになります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin および user_admin

このタスクについて
別のアップストリームアプリケーションとのリスクイベント統合を構成すると、そのアプリケーションのユーザーはアプリケーションからリスクイベントを直接報告できます。たとえば、ServiceNow IT Service Management (ITSM アプリケーション) でリスクイベント統合を構成すると、ITSM のすべてのユーザーが ITSM アプリケーションからリスクイベントを報告できます。デフォルトでは、この構成は IT Incidents アプリケーションと Security incidents アプリケーションに提供されます。

リスクイベントの作成を可能にする 2 つのモードは、[簡易] と [詳細]です。[簡易] モードでは、アプリケーションテーブルのフィルター条件を定義して、Incidents アプリケーションのユーザーがリスクイベントを報告できるようにすることができます。たとえば、影響度の高い財務イベントをリスクイベントとして報告する必要があると定義できます。対照的に、[詳細] モードでは、GRC 開発者ロールを持つユーザーがスクリプトを記述できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

incident_manager ロールを持つインシデントマネージャーは、インシデントの [リスクイベントを報告] オプションを表示できますが、sn_si.manager ロールを持つセキュリティマネージャーは、セキュリティインシデントの [リスクイベントを報告] オプションを表示できます。

手順

1. 移動先 リスクイベント > 管理 > 統合設定.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスクイベント統合構成フォーム

フィールド	説明
数値	構成番号。このフィールドは自動的に設定されます。
有効	アプリケーションテーブルからのリスクイベントの作成を有効にするオプション。
統合名	統合の簡潔な一意のタイトル。たとえば、インシデントテーブルからリスクイベントを報告するには、Incident-risk-event-integration と入力します。
アプリケーションテーブル	リスクイベントのレポートに使用されるアプリケーションテーブル。テーブルは、リスクイベントのレポートに使用されるアップストリームアプリケーションを決定します。
名前のソース	リスクイベントの名前の設定方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [フォームフィールド]：選択した特定のフィールドの値をリスクイベント名として使用する場合は、このオプションを選択します。 ○ [デフォルト値]：カスタム値を入力します。リスクイベントは、ここに入力した名前で作成されます。
説明のソース	リスクイベントの説明の設定方法。
エンティティのソース	リスクイベントのエンティティの設定方法。
検出日のソース	リスクイベントの検出日の設定方法。
名前	リスクイベントの名前を設定するために使用されるアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[名前のソース] フィールドから [フォームフィールド] が選択されている場合にのみ表示されます。
デフォルト名	リスクイベントのデフォルト名。このフィールドは、[名前のソース] フィールドから [デフォルト値] が選択されている場合にのみ表示されます。
説明	リスクイベントの説明を設定するために使用されるアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[説明のソース] フィールドから [フォームフィールド]が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの説明	リスクイベントのデフォルトの説明。このフィールドは、[説明のソース] フィールドから [デフォルト値]が選択されている場合にのみ表示されます。
エンティティ	GRC エンティティまたは GRC エンティティのレコードを参照するアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[エンティティのソース] フィールドから [フォームフィールド]が選択されている場合にのみ表示されます。
デフォルトエンティティ	リスクイベントのデフォルトエンティティ。デフォルトエンティティは、[アプリケーションテーブル] フィールドのテーブルから作成されます。このフィールドは、[エンティティのソース] フィールドから [デフォルト値]が選択されている場合にのみ表示されます。
検出日	リスクイベントの検出日を設定するために使用されるアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[検出日のソース] フィールドから [フォームフィールド]が選択されている場合にのみ表示されます。
デフォルトの検出日	リスクイベントのデフォルトの検出日。
デフォルトイベントタイプ	リスクイベントのデフォルトのイベントタイプ。たとえば、イベントが財務または財務以外である場合などです。
イベントサブタイプ	リスクイベントのサブタイプ。たとえば、イベントが実際のものであるか、潜在的なものであるかなどです。
非財務的影響度のソース	リスクイベントの財務以外の影響を設定する方法。
財務以外の影響	リスクイベントの財務以外の影響を設定するために使用されるアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[非財務的影響度のソース] フィールドから [フォームフィールド]が選択されている場合にのみ表示されます。
デフォルトの非財務的影響度	リスクイベントのデフォルトの重大度。選択肢は、[低]、[中]、または [高]です。
予想損失のソース	リスクイベントの予想損失の設定方法。
予想損失	リスクイベントの予想損失を設定するために使用されるアプリケーションテーブルのフィールド。このフィールドは、[デフォルトのイベントタイプ] フィールドで [財務の影響] が選択され、[予想損失のソース] フィールドから [フォームフィールド] が選択されている場合にのみ表示されます。
デフォルトの予想損失	損失のデフォルト金額。このフィールドは、[デフォルトのイベントタイプ] フィールドで [財務の影響] が選択され、[予想損失のソース] フィールドから [デフォルト値] が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
UI アクションの表示基準	
モード	UI アクションの作成に使用されるモード。選択肢は次のとおりです。 ○ [簡易]：簡易フィルター条件を設定するモード。たとえば、インシデントの影響度が [高] の場合、[リスクイベントを報告] UI アクションを作成する必要があります。 ○ [詳細]：[アプリケーションテーブル] フィールドのテーブルを含む、テーブルをクエリーするスクリプトを記述するモード。
ロールの条件	アップストリームアプリケーションからリスクイベントを報告できるロール。
フィルター条件	要件に従ってフィルターを作成します。
スクリプト	任意のテーブルをクエリーするためのカスタムスクリプトを記述するフィールド。 **注:** スクリプトを記述するオプションは、sn_grc.developer ロールも持つユーザーのみが使用できます。このフィールドは、[モード] フィールドで [詳細] を選択すると表示されます。

4. [送信] をクリックします。
タスクテーブルを拡張する他のアプリケーションテーブルで、この統合を設定できます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「Risk Event Ingestion (リスクイベントの取り込み) [KB0780985]」を参照してください。記事を表示するにはログインする必要があります。

タスクの結果
リスクイベントを報告するように設定されたアプリケーションに [リスクイベントを作成] ボタンが表示されます。

リスクイベント応答テンプレートを作成

リスクイベント応答テンプレートで定義された条件に基づいて、承認者、問題、および所有者をリスクイベントに自動的に追加します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager および sn_risk.admin

手順
1. 移動先 すべて > リスクイベント > 管理 > 応答テンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスクイベント応答テンプレートフォーム

フィールド	説明
番号	テンプレート番号。この番号は自動的に設定されます。
エンティティ	テンプレートが作成されるエンティティ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カテゴリ	発生した場合にリスクイベントが適用されるカテゴリ。カテゴリを編集して、次のいずれかのオプションを適用できます。 ○ [個人]：従業員に発生した物理的な損害など。 ○ [法務]：従業員が利益相反のビジネスを行っているなど。 ○ [情報セキュリティ]：盗難、強盗、システムクラッシュなど。 ○ [人事]：従業員による他の従業員に対する機密性の高い訴訟など。 ○ [すべて]：報告されたすべてのリスクイベント。
承認ルール基準：	イベントの割り当て時に使用されるルール。 ○ 総損失 ○ 正味損失 ○ 予想損失 このフィールドは、[イベントタイプ] フィールドと [サブタイプ] フィールドの値に依存します。たとえば、イベントタイプが [財務] で、サブタイプが [実績] の場合、承認ルールは総損失、正味損失、または予想損失に基づきます。[サブタイプ] が [潜在] の場合、承認ルールはデフォルトで予想損失です。[イベントタイプ] が [財務以外の影響] の場合、承認ルールはデフォルトで [財務以外] です。
イベントタイプ	イベントタイプ。 ○ [財務の影響]：イベントに関連付けられている財務的損失があることを示します。金額を入力します。通貨を選択できます。 ○ [財務以外の影響]：イベントによる財務上の損失はありませんが、組織に財務以外の影響があることを示します。たとえば、財務以外の影響は、否定的な市場のニュースや従業員の士気低下である可能性があります。
サブタイプ	イベントサブタイプ。次のいずれかを選択します。 ○ 実績 ○ 潜在
イベント承認時に自動クローズ	承認後にイベントをクローズする必要があるかどうかを選択するオプション。このオプションを選択すると、問題と根本原因がクローズされた後にイベントがクローズされます。リスクイベントに未解決の問題またはタスクがある場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	合、リスクイベントは承認後もクローズされません。

4. [リスクイベントオーナーのアサイン] セクションで、アサインタイプとオーナーまたは所有グループを選択します。
5. 問題を自動的に作成するには、[問題の作成とアサイン] セクションで [問題を自動的に作成] チェックボックスをオンにします。
6. [根本原因分析タスク] セクションで、フィールドに入力します。

リスクイベント応答テンプレートフォーム

フィールド	説明
RCA タスクを自動的に作成	根本原因分析 (RCA) のためのタスクの作成。[タスク作成のしきい値] フィールドに入力された数値に基づいて、根本原因分析 (RCA) タスクを自動的に作成します。
アサイン先	RCA タスクをアサインされた担当者。
タスク作成のしきい値	RCA タスクが作成されるしきい値を指定するオプション。たとえば、イベントが $1000 の損失を超えた後に RCA タスクを作成する必要があると指定できます。
優先度	イベントの優先度。次から選択します。 ○ 重大 ○ 高 ○ 中 ○ 低 ○ マイナー

7. [送信] をクリックします。
新しいリスクイベント応答テンプレートが作成されます。

リスクイベント応答テンプレートのしきい値を定義

リスクイベント承認者をアサインするためのしきい値制限を定義します。しきい値制限は、リスクイベントに承認者が必要かどうかを決定するために定義されます。

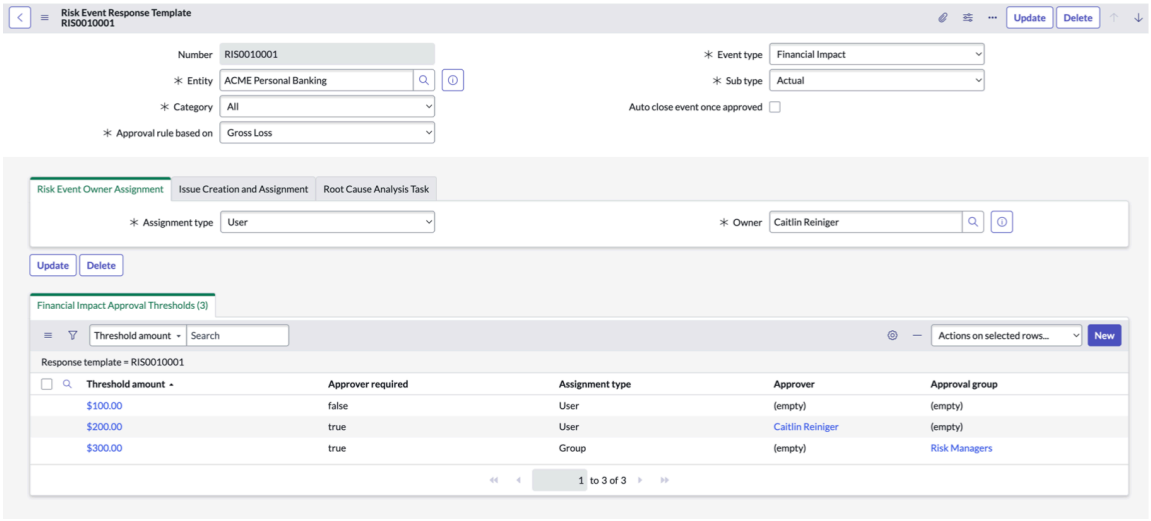
始める前に
必要なロール：sn_risk.manager および sn_risk.admin

このタスクについて
リスク損失額に基づいて、リスクイベント損失に承認者が必要かどうかを決定できます。たとえば、損失が $1000 以下のリスクイベントの場合、承認者は必要ありません。ただし、$1000 を超える金額については、リスクイベントを評価する必要があり、承認者が自動的にアサインされます。定義されたしきい値に応じ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

て、複数のレベルの承認があります。詳細については、次の画像を参照してくださ



い。

この例では、次のルールが適用されます。

- 損失が $0 ～ $100 の場合、承認は必要ありません。
- 損失が $101 ～ $200 の場合は承認が必要であり、承認は Caitlin に送信されます。
- 損失が $201 を超える場合は、Caitlin とリスクマネージャーの両方からの承認が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > リスクイベント > 管理 > 応答テンプレート.
2. 財務しきい値制限を追加するリスクイベント応答テンプレートを選択して開きます。
3. [財務的影響度の承認しきい値] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [しきい値] リストから通貨タイプを選択し、承認が必要な金額を入力します。
5. [承認者が必要] チェックボックスをオンにします。
6. [アサインタイプ] リストから、[ユーザー] または [グループ] を選択します。
7. [承認者] フィールドで、しきい値の金額を超えた場合にリスクイベントを承認する承認者を選択します。
8. [送信] をクリックします。

タスクの結果

応答テンプレートがしきい値制限と承認者の詳細で更新されます。

サービスポータル からリスクイベントを報告

組織に財務的または非財務的な影響を与える可能性のあるイベントを特定した場合は、ServiceNow, Inc. サービスポータル から報告します。既に発生した、財務的または非財務的影響のあるイベントを報告することもできます。

始める前に

必要なロール：ServiceNow ユーザー

このタスクについて

次のいずれかのイベントタイプでリスクイベントを記録できます。

- 財務の影響があるリスクイベント
- 財務以外の影響があるリスクイベント

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. サービスポータルで、 カタログ > カテゴリ別参照.
2. **[Governance Risk and Compliance]** をクリックし、[リスクイベントを報告] をクリックします。
3. フォームで、次のフィールドを入力します。

リスクイベントを報告

フィールド	説明
タイトル	報告されたリスクイベントのタイトルを入力します。
説明	報告されたリスクイベントの説明を入力します。
自分のエンティティのみを表示	選択すると、自分が所有するエンティティのみが表示されます。この値は、[エンティティ] フォームの [オーナー] フィールドから取得されます。デフォルトでは、このオプションが選択されています。
イベントが発生したエンティティ	損失を負担または報告するエンティティを選択します。リストからエンティティを 1 つのみ選択します。
影響を受けるその他のエンティティ	イベントの影響を受ける他の関連エンティティを選択します。 **注:** 複数のエンティティを選択できます。
イベントタイプ	次のいずれかを選択します。 ○ 財務の影響 - イベントに関連する財務的損失があることを示します。現地通貨で金額を入力します。 ○ 財務以外の影響 - イベントによる財務上の損失はありませんが、組織に財務以外の影響があることを示します。たとえば、財務以外の影響は、否定的な市場のニュースや従業員の士気低下である可能性があります。
通貨	損失の通貨を選択します。このフィールドは、イベントタイプが [財務] の場合にのみ表示されます。
検出日	リスクイベントが検出された日付を選択します。
イベントはどのようにして検出されましたか	イベントが検出された方法を選択します。たとえば、リスクイベントが顧客によって報告された場合は、[顧客フィードバック/苦情] を選択します。
根本原因	イベントの原因の分析を入力します。たとえば、サーバールームで火災が発生した場合、根本原因は温度の上昇または電気的ショートである可能性があります。
実行されたアクション	このリスクイベントの影響を軽減するために行った内容を入力します。たとえば、サーバールームの火災が電気的ショートによって発生した場合、実行されるアクションは欠陥のある機器の交換です。

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。
5. 報告したすべてのリスクイベントを表示するには、次に移動します **GRC >**自分のリスクイベント.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
システムでリスクイベントが作成され、リスクマネージャーが分析する準備ができました。イベントに対してアクションが実行されると、ステータスに関する通知が送信されます。クエリに応答したり、ライフサイクル中にイベントのステータスを追跡したりすることができます。

従業員センター からリスクイベントを報告

組織に財務的または非財務的な影響を与える可能性のあるイベントを特定した場合は、ServiceNow, Inc. 従業員センター から報告します。既に発生した、財務的または非財務的影響のあるイベントを報告することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user、または sn_grc.business_user_lite

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center**.
2. [リスクとコンプライアンス] を選択します。
3. [リスクイベントを報告] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

リスクイベント報告フォーム

フィールド	説明
イベントは何ですか？	イベントの簡潔な説明。
何が起こったのか詳細に説明してください	イベントの詳細な説明。
自分のエンティティのみを表示	選択すると、自分が所有するエンティティのみが表示されます。この値は、[エンティティ] フォームの [オーナー] フィールドから取得されます。デフォルトでは、このオプションが選択されています。
このイベントの影響を受けるエンティティ	損失を負担または報告するエンティティ。
影響を受けるその他のエンティティ	イベントの影響を受ける他の関連エンティティを選択します。 **注:** 複数のエンティティを選択できます。
このイベントはどのような影響がありますか？	影響のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ 財務の影響 - イベントに関連する財務的損失があることを示します。 ○ 財務以外の影響 - イベントによる財務上の損失はありませんが、組織に財務以外の影響があることを示します。たとえば、財務以外の影響は、否定的な市場のニュースや従業員の士気低下である可能性があります。
通貨	損失の通貨。このフィールドは、イベントタイプが [財務の影響] に設定されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このイベントはどの程度の財務的損失をもたらす可能性がありますか？	イベントによる損失額。このフィールドは、イベントタイプが [財務の影響] に設定されている場合にのみ表示されます。
このイベントの非財務的影響度をどのように評価しますか？	イベントの非金銭的影響。選択肢は次のとおりです。 ○ 低 ○ 中 ○ 高
いつこのイベントを検出しましたか？	イベントが検出された日付。
イベントはどのようにして検出されましたか？	イベントが検出された方法。たとえば、リスクイベントが顧客によって報告された場合は、[顧客フィードバック/苦情] を選択します。
このイベントの原因は何だと思いますか？	イベントの原因の分析を入力します。たとえば、サーバールームで火災が発生した場合、根本原因は温度の上昇または電気的ショートである可能性があります。
このイベントを封じ込めるために、これまでにどのようなアクションが取られましたか？	このリスクイベントの影響を軽減するために実行するアクションを入力します。たとえば、サーバールームの火災が電気的ショートによって発生した場合、実行されるアクションは欠陥のある機器の交換です。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果
リスクイベントがレビューのために送信されます。

インシデントからリスクイベントを報告

リスクイベント統合が構成されている場合、ユーザーは IT インシデントなどのアップストリームアプリケーションからリスクイベントを報告できます。リスクイベントを迅速に報告するこの機能により、ユーザーの時間を節約し、組織の損失を防ぐことができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.user

手順

1. 移動先 すべて > インシデント > すべて.

2. リスクイベントを報告するインシデントを開きます。

3. フォームのフィールドに入力します。

リスクイベント報告フォーム

フィールド	説明
名前	インシデントの名前。
検出日	インシデントが作成された日付。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
エンティティ	インシデントが属するエンティティ。
イベントタイプ	イベントのタイプ。以下から選択可能です。 ○ 財務の影響 ○ 非財務的影響
通貨	損失額が報告されている通貨。このフィールドは、[イベントタイプ] で [財務の影響] が選択されている場合に表示されます。
予想損失	予想される金銭的損失額。このフィールドは、[イベントタイプ] で [財務の影響] が選択されている場合に表示されます。
非財務的影響	インシデントの影響度。以下から選択可能です。 ○ 低 ○ 中程度 ○ 高
説明	インシデントの簡潔な説明。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
リスクイベントが作成されます。

リスクイベントタスクを作成

リスクイベントには関連付けられているタスクが必要な場合があります。これらのタスクを作成して最終的にクローズしない限り、リスクイベントはクローズできません。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスクイベント > すべてのイベント.

2. タスクを作成する必要があるレコードを選択します。

3. [タスク] 関連リストを選択し、[新規] を選択します。

4. フォームの各フィールドに入力します。

リスクイベントタスクフォーム

フィールド	説明
アサイン先	タスクをアサインされた担当者。
優先度	タスクに付与された重要度。タスクまたはアサインをどの程度遅延させることができるかを示します。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	参照用の関連情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
追加コメント	必要になる可能性がある追加情報。

5. [送信] を選択します。

次のタスク
リスクイベントの関連付けられている問題をレビューするか、承認中に新しい問題を作成します。詳細については、「GRC の問題を手動で作成する」を参照してください。

リスクイベントを分析

ユーザーが送信したリスクイベントを分析して、リスクイベントが有効であり、さらに処理する必要があるかどうかを判断します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

このタスクについて
リスクイベントを分析するときは、送信されるリスクイベントにより関連性の高い詳細を追加します。分析中に、リスクイベントが実際のリスクイベントでないように思える場合はイベントを却下するか、情報が不十分な場合はより多くの情報を要求できます。

手順
1. 移動先 すべて > リスクイベント > すべてのイベント をクリックし、分析するリスクイベントを開きます。
   または、次の場所に移動することもできます。 リスクイベント > 新しいイベント.
2. フォームで、フィールドを確認し、必要に応じて編集します。

リスクイベントフォーム

フィールド	説明
名前	リスクイベントの名前。必要に応じてリスクの名前を編集して、よりわかりやすい名前を指定します。
番号	リスクイベントの番号。このフィールドは自動的に設定されます。
検出者	リスクイベントを検出したユーザー。必要に応じて [検出者] フィールドを編集します。
開始者	イベントを作成したユーザー。
主エンティティ	損失を負担するエンティティ。このエンティティは、レポートのために管理者に表示されます。
所有グループ	クローズするイベントの監視を担当するグループ。
所有者	リスクイベントを所有するユーザー。リスクマネージャーはイベントオーナーになることができます。所有グループが指定されている場合、所有者は所有グループからフィルタリングされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	リスクイベントのステータス。このフィールドは自動的に設定されます。
サブステート	イベントのサブステート。このフィールドは自動的に設定されます。
イベントタイプ	イベントのタイプ。必要に応じて、イベントタイプを編集できます。たとえば、分析中にイベントタイプが財務の影響でないことが判明した場合は、そのエントリを編集できます。
サブタイプ	イベントサブタイプ。必要に応じて、サブタイプを編集できます。たとえば、分析中にイベントタイプが実際のイベントでなく、潜在的なイベントであることが判明した場合は、そのエントリを編集できます。
カテゴリ	イベントカテゴリ。カテゴリを編集して、次のいずれかのオプションを適用できます。 ○ [個人]：従業員に発生した物理的な損害など。 ○ [法務]：従業員が利益相反のビジネスを行っていることがわかった場合など。 ○ [情報セキュリティ]：盗難、強盗、システムクラッシュなど。 ○ [人事]：従業員による他の従業員に対する機密性の高い訴訟など。
承認者	リスクイベントを承認するユーザー。sn_risk.user ロールを持つすべてのユーザーがリスクイベントを承認できます。
コストセンター	エンティティに対応するアカウント番号。
説明	このフィールドのイベントの詳細な説明。
日付	
発生日	イベントが発生した正確な日、月、年。たとえば、2019 年 8 月 12 日に建築規制に準拠していない不動産物件に対して住宅ローンが貸与されました。
検出日	イベントが最初に検出または通知された日付。たとえば、住宅ローンが 2019 年 8 月 24 日に検出されました。
最初の認識日	イベントが最初に認識され、帳簿に入力された日付。たとえば、2019 年 8 月 26 日に損失エントリが会社の帳簿に入力されました。
損失/利益の推定	
予想損失	予想される損失額。予想損失は、考えられるすべての損失の確率加重平均です。この金額は、組織が失う可能性のある予想金額のユーザーの判断に基づきます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
潜在的な損失	リスクイベントによる潜在的な損失であると予想される金額。この金額は、リスクイベントの損失によってエンティティが被る可能性のある最大損失です。
イベント分析	
原因	リスクイベントが発生した主な理由。
原因の説明	リスクイベントが発生した理由に関する簡潔な説明。
結果	リスクイベントの結果。例：リスクイベントの結果として規制上の罰金が課せられる可能性があります。
実行されたアクション	問題に対処するために実行された修復アクション。これはイベントの最初のレコードです。
クレジット/市場リスク	
境界イベント	境界イベントのオプション。境界イベントは、別のリスクカテゴリの財務的損失などの結果につながるオペレーショナルリスクイベントです。
外部リスクタイプ	○ [クレジット]：クレジットリスクとは、借り手がローンの返済や契約上の義務を履行しないことによって生じる損失の可能性です。たとえば、貸し手がクレジットカードやローンを提供している場合、借り手がローンを返済しない可能性があります。 ○ [市場]：市場リスクは、投資家が関与する金融市場のパフォーマンスに影響を与える要素によって投資家が損失を被る可能性です。たとえば、景気後退は市場全体に影響を与える可能性があります。
外部リスク参照	帳簿内の調整用の ID。調整用の ID を指定します。クレジットと市場のリスクシステムは異なります。
追加の分類	
モデリングで使用	これらのリスクイベントレコードを、モンテカルロシミュレーションなどのシミュレーション技術を使用して高度な分析を実行する外部システムと共有するオプション。
完全な高速復旧	回復した合計損失。全体的な損失が短期間で回復し、組織に影響を与えない場合に選択します。 **注:** 一般に、短い期間は 5 営業日を指しますが、この値は要件に応じて設定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
財務利益	このオプションは、リスクイベントが次のいずれかの条件を満たす場合に自動的に選択されます。 ○ リスクイベントが潜在的なイベントであり、利益のために [予想損失] フィールドまたは [潜在的な損失] フィールドが負の値になっている。 ○ リスクイベントが実際のイベントであり、[正味損失] フィールドが負の値である。
ニアミス	このオプションは、変更することも、イベントタイプに基づいて自動的に設定することもできます。イベントサブタイプが [実績] で、[完全な高速復旧] オプションが選択されている場合、[ニアミス] オプションが自動的に選択されます。
ニアミスの理由	リスクイベントで損失が発生するのを防止した理由。イベントタイプが [潜在] の場合は、[ニアミス] オプションを選択し、[ニアミスの理由] フィールドに、イベントがニアミスであった理由を入力します
機密性	
注: このセクションは、次の場合にのみ表示されます。 ○ GRC プロパティの下で *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効になっている。 ○ リスクイベントが [新規] または [分析] ステータスである。	
機密	リスクイベントレコードを機密としてマークするオプション。
許可されたユーザー	リスクイベントを表示できるユーザー。 注: デフォルトで、リスクイベントオーナーとログインしているユーザーは機密ユーザーのリストに追加されます。
許可されたグループ	リスクイベントを表示できるグループ。
サマリー	
このセクションの値がどのように表示されるかについては、このステップの後にある例を参照してください。	
直接金額	すべての直接的な損失の集計された合計。このフィールドは自動的に設定されます。
追加コスト	すべての追加コストの集計された合計。このフィールドは自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
総損失	すべての直接的損失、間接的金額、および追加コストの合計。このフィールドは自動的に設定されます。
正味損失	損失の正味金額。このフィールドは自動的に設定されます。
間接金額	すべての間接的な損失の集計された合計。このフィールドは自動的に設定されます。
迅速な回収金額	迅速に回収された金額の集計。このフィールドは自動的に設定されます。
回収金額	リスクイベントの回収金額。このフィールドは自動的に設定されます。
非財務的影響	金銭的損失がない場合のイベントの影響度。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 低 ○ 中 ○ 高
アクティビティ	
追加コメント	リスクイベントに関する追加コメントを入力します。
作業メモ	参照用の作業メモを提供するオプション。作業メモはリスクイベント作成者には表示されません。

自動翻訳

Example

[サマリー] セクションの値は、[イベントの影響度 (Event Impacts)] 関連リストで計算されます。たとえば、会社で火災が発生したとします。このイベントは、情報やビジネスの損失など、複数の直接的および間接的な影響を与える可能性があります。

直接影響度の値を **$2000** と入力すると、[直接金額] フィールドに同じ値が反映されます。2 つの間接金額を入力し、それぞれの値が **$300** と **$500** の場合、[間接金額] フィールドには **$800** が反映されます。

火災発生の根本原因に対処するために外部機関に仕事を依頼した場合、発生するコストには追加コストが反映されます。

会社が 5 営業日でイベントの費用の一部を回収できた場合、[迅速な回収金額] フィールドには同じ金額が反映されます。

[総損失] フィールドには、イベントによって発生した合計損失が反映されます。

通貨換算レートは、[サマリー] 関連リストに表示される値に影響します。たとえば、回収金額として日本円の **300** 円を入力すると、[サマリー] 関連リストにはこの金額の米ドルの同時実行額である **2756** が表示されます。この変換は、通貨換算レートが為替レートテーブルから適用されるため

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に発生します。為替レートテーブルの値の計算方法の詳細については、「独自の通貨換算レートを使用する」を参照してください。

3. 承認のためにリスクイベントを送信するには、[承認を要求] をクリックします。

リスクイベントエントリを作成

リスクイベントエントリを作成して、リスクイベントの金銭的または金銭以外の影響を判断します。リスクイベントには複数のリスクイベントエントリを含めることができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

このタスクについて
リスクイベントエントリは、リスクイベントのために報告された直接的および間接的な損失をキャプチャします。

手順

1. 移動先 すべて > リスクイベント > すべてのイベント をクリックし、分析するイベントを選択します。
2. [リスクイベントエントリ] 関連リストをクリックします。
3. [新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

イベントエントリフォーム

フィールド	説明
番号	イベントエントリの番号。このフィールド値は自動的に設定されます。
リスクイベント	リスクイベントのタイトル。このフィールド値は自動的に設定されます。
影響の日付	影響が記録された日付。 **注:** 検出日と最初の認識日は異なる場合があります。この日付を将来の日付にすることはできません。
総計	影響により発生する金額。入力した金額は [サマリー] 関連リストに反映されます。
迅速な復旧	短時間 (通常は 5 営業日) で復旧した場合のこのエントリの損失額。
影響タイプ	イベントの財務の影響のタイプ。次のタイプから選択します。 ○ [直接的/間接的な影響]：エンティティに対するイベントの直接的または間接的な財務の影響。 ○ [復旧]：合計財務的影響から回収される金額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [追加コスト]：影響のために発生した追加コスト。 ○ [財務以外の影響]：イベントによる財務への影響はありません。
カテゴリ	[直接] または [間接]。たとえば、影響が直接的である場合、その影響は外部のものであるかなどです。
サブカテゴリ	イベントの影響度のサブカテゴリ。次のいずれかのカテゴリを選択できます。 ○ [外部コスト]：外部機関に発生するコスト。たとえば、誤った会計が原因で損失が発生し、イベントを評価するために外部監査人が雇用された場合、監査人の採用で発生するコストは外部コストです。 ○ [総勘定元帳]：このイベントが入力されるアカウントの帳簿。 ○ [予約済みプロビジョン]：将来のイベントをカバーするためにアカウントで確保している金額を表します。たとえば、会社が将来発生する可能性のあるリスクイベントをカバーする金額を確保している場合などです。 ○ [収益の反転/タイミングの損失]：収益を取り消すと、元のエントリを取り消すエントリが作成されます。システムに新しい会計情報を入力しないでください。
GL アカウント参照	ERP システムでこのエントリがキャプチャされるアカウント番号。
簡単な説明	影響の簡潔な説明。

5. [送信] をクリックします。

次のタスク

新しいリスクを作成または編集する

イベントの新しいリスクを作成または編集すると、将来的なリスクの予測に役立ちます。リスクから取得された情報は、採点とレポートに役立ちます。詳細については、「リスクを手動で作成」を参照してください。

新しいコントロールをリスクにリンク

コントロールは、リスクの発生を防ぐために使用されます。コントロールをリスクにリンクすることで、ユーザーはどのコントロールが失敗したか、およびリスクイベントが発生した理由を把握することができます。この情報は、将来の予測とレポートに使用できます。

> **注:**
> 影響を受けるエンティティにタグ付けされたリスクとコントロールのみをこのリスクイベントに関連付けることができます。

詳細については、「コントロールを作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リスクイベントを承認

sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、有効なリスクイベントを承認する必要があります。リスク承認者がイベントを却下すると、リスクイベントのステータスが [却下] に変更されます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > 自分の承認.
2. リスト内で、自分の名前が承認者になっているレコードをクリックします。
3. [承認] をクリックします。

リスクイベントをクローズ

リスクイベントをクローズして、リスクイベントのライフサイクルを完了します。sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、関連付けられているすべての未解決の問題と修正タスクがクローズされたことを確認した後、リスクイベントをクローズする必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスクイベント > 自分にアサイン済み.
2. クローズするレコードを開き、関連付けられているすべてのタスクと問題がクローズされているかどうかを確認します。
3. [クローズ] をクリックします。

リスクイベント原因を原因ライブラリに追加

原因ライブラリは、リスクイベントにつながる可能性のある原因の一元化されたライブラリです。原因を追加すると、リスクイベントの理由を特定し、将来のイベントを防ぐことができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager および sn_risk.admin

このタスクについて
リスクイベント原因を原因ライブラリに追加して、リスク分析、リスク予測、およびリスク防止に役立てます。

手順

1. 移動先 すべて > リスクイベント > 管理 > 原因.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

原因フォーム

フィールド	説明
名前	原因の名前。たとえば、不適切な IT セキュリティなどです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親	原因の親。親は、原因が分類されるグループを参照します。たとえば、不適切な IT セキュリティの場合、親原因はプロセスになります。
説明	原因の簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
リスクイベントの原因がライブラリに追加されます。

関連情報
リスクイベントの結果を結果ライブラリに追加する

リスクイベントの結果を結果ライブラリに追加する
結果ライブラリは、リスクイベントの考えられる結果の一元化されたライブラリです。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager および sn_risk.admin

このタスクについて
リスクイベントの結果を結果ライブラリに追加すると、リスク分析、リスク予測、およびリスク防止に役立ちます。

手順
1. 移動先 すべて > リスクイベント > 管理 > 結果.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

結果フォーム

フィールド	説明
名前	結果名。たとえば、資産の損失 です。
親	結果の親。親は、結果が分類されるグループを参照します。たとえば、資産の損失の場合、親結果は物理資産に対する損害になります。
説明	結果の簡単な説明。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
リスクイベントの結果がライブラリに追加されます。

関連情報
リスクイベント原因を原因ライブラリに追加

リスクイベントを報告する GRC 仮想エージェントを設定
仮想エージェントチャットボットを使用して、サービスポータルからリスクイベントを報告します。仮想エージェントチャットボットは、顧客がリスクイベントを迅速に報告するのに役立ちます。チャットボットは時間を節約することで顧客を支援します。会話の流れ (ユーザー入力とチャット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボット応答) の中で情報を交換することにより、チャットボットはユーザー要求を実行したり、ユーザーによるタスクの完了を支援したりできます。

始める前に
顧客は、を設定するには次のプラグインをアクティブ化する必要があります GRC 仮想エージェント

- 有効なライセンスでアクティブ化された Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot)。
- GRC 高度なリスク。

必要なロール：sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > サービスポータル > **Service Portal** 設定.
2. [ページ編集者] をクリックします。
3. 検索フィールドに Index と入力します。
4. [サービスポータルインデックス] をクリックします。
5. ページの上部で、[デザイナーのサービスポータル (インデックス) ページを編集 **(Edit Service Portal (index) page in Designer)]** をクリックします。
6. [フィルターウィジェット] 検索フィールドに「仮想エージェントサービスポータルウィジェット」と入力し、ウィジェットをドラッグして画面上の任意の場所にドロップします。

   画面の右下にチャットアイコンが表示されます。

Advanced Risk® アセスメントを実行

ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) Advanced Risk アセスメント機能を使用して統合リスクプラットフォームを作成します。

アセスメントの実行と承認に必要なロールを確認するには、「高度なリスクアセスメントを実行するためのロール」を参照してください。

手動要素を作成

リスクアセスメントインスタンスでリスクを評価するための手動要素を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
手動要素には、人間の応答が必要です。手動要素を作成し、固有のアセスメント、コントロールアセスメント、または残存アセスメントなどのさまざまなアセスメントタイプに関連付けることができます。

> **注:**
> リスクアセスメント方法論 (RAM) が要素に関連付けられていない場合にのみ、要素を削除できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > 手動要素.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手動要素フォーム

フィールド	説明
名前	風評の影響などの要素の名前。
ステータス	要素のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
要素の貢献度	要素の貢献度のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [定性的]：数値スコアを入力し、スコアを評価に変換します。 ○ [定量的]：発生する可能性のある損失を金額で示します。この損失は、年間損失予測 (ALE) に寄与します。 ○ [両方]：アセスメントタイプは定性的および定量的の両方です。
表示順序	アセスメントフォームにおける質問の順番。このフィールドでは、質問が表示される特定の順序を設定できます。
ユーザー応答	ユーザーが要素に応答するためのオプション。選択肢は次のとおりです。 ○ [選択肢]：ユーザーは、それぞれのスコアとともに低、中、高などの選択肢を作成できます。 **注:** このオプションを選択すると、[選択肢] 関連リストが表示されます。フォームを保存して [選択肢] 関連リストを表示します。 ○ [番号]：ユーザーは要素に応じて番号を入力できます。 ○ [テキスト]：ユーザーは要素に応じてテキストを入力できます。このオプションはスコアに寄与せず、ガイダンスまたはデータ収集方法として使用されます。 ○ [通貨]：ユーザーは要素に応じて通貨を入力できます。 ○ [パーセンテージ]：ユーザーは要素に応じてパーセンテージを入力できます。
コントロールタイプ	リスクアセスメントフォームの要素選択肢のレイアウトを変更するオプション。選択肢は次のとおりです。 ○ ラジオ: ラジオボタンに係数の選択肢を表示します。 ○ ドロップダウン: ドロップダウンリストに要素の選択肢を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[ユーザー応答] フィールドで [選択肢] が選択されている場合にのみ表示されます。
コントロールレイアウト	要素の選択肢を垂直レイアウトまたは水平レイアウトで表示するオプション。 このフィールドは、[**Control type**] フィールドから **[Radio]** が選択されている場合にのみ表示されます。
定性的スコアを変換	間隔スケールに基づいてグループ全体の定性的スコアを変換するオプション。 たとえば、[ユーザー応答] フィールドが [パーセンテージ] に設定されているとします。管理者は、0% ～ 30% が低、30% ～ 60% が中、60% 以上が高のように、パーセンテージ値を定性的スコアに変換できます。この場合、評価 1、2、3 を低、中、高に割り当てることができます。 このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
定性的重み付け (%)	要素に与えられる貢献度または定性的な重み付けを採点します。この値は、この要素の最終スコアに対する実際の貢献度を決定します。この値はパーセンテージです。このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
必須の応答	応答を必須にするためのオプション。
説明	要素の目的と使用場所に関する簡潔な説明。この説明は、管理者が要素を理解するためのものです。
ガイダンステキスト	要素への応答方法に関するガイダンス。リスク査定人が要素の質問を理解していない場合、このフィールドが質問の説明に役立ちます。たとえば、高い価値の資産を失うことの財務への影響に関する質問を査定人が理解したい場合、査定人はこのフィールドからガイダンスを得ることができます。

4. [保存] をクリックします。
5. [定性的変換基準] 関連リストをクリックします。

   注:
   この関連リストは、[定性的スコアを変換] オプションを選択した場合にのみ表示されます。

6. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

定性的変換基準フォーム

フィールド	説明
範囲の下限	値の範囲の下限である値。たとえば、0 ～ 30 % の最初の範囲の下限は 0 です。31 ～ 60 % の 2 番目の範囲の下限は 31 です。
スコア	値が [範囲の下限] フィールドで定義された範囲内にある場合にスコアとして使用する必要がある値。たとえば、下限が 0 の場合、スコアは 1 になります。下限が 31 の場合、スコアは 2 になります。

7. [送信] をクリックします。
8. 作成した要素を開きます。
9. [公開] をクリックします。

タスクの結果
要素が公開され、リスクアセスメント方法で使用できるようになります。

グループ要素を作成

リスクアセスメントインスタンスでリスクを評価するためのグループ要素を作成します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
グループ要素は、数値リスクスコアまたは年次損失予測 (ALE) のいずれかに寄与します。複数の要素応答をレポートに使用できる 1 つのグループ要素にグループ化できます。グループ要素のスコアは、関連付けられている要素のスコアに基づいて計算されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > グループ要素.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

グループ要素フォーム

フィールド	説明
名前	組織的影響などの要素の名前。
要素の貢献度	要素の貢献度のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [定性的]：数値スコアを入力し、スコアを評価に変換します。 ○ [定量的]：金銭的なリスクから発生する損失を指定します。この損失は、ALE に寄与します。 ○ [両方]：アセスメントタイプは定性的および定量的の両方です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示順序	アセスメントフォームにおける質問の順番。このフィールドでは、質問が表示される特定の順序を設定できます。
ステータス	要素のステータス。このフィールドは自動的に [デフォルト] に設定されます。
定性的重み付け (%)	要素に与えられる貢献度または定性的な重み付けを採点します。この値は、この要素の最終スコアに対する実際の貢献度を決定します。この値はパーセンテージです。このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
説明	要素の目的と使用場所に関する簡潔な説明。この説明は、管理者が要素を理解するためのものです。
定性的スコア	
このセクションは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。	
定性的スコアの計算式	全体的な定性的リスクスコアを計算するための式。選択肢は次のとおりです。 ○ [合計]：要素応答の合計。 ○ [最小]：要素応答の最小値。 ○ [最大]：要素応答の最大値。 ○ [平均]：要素応答の平均値。 ○ [積]：要素応答を乗算して導出された値。 ○ [加重平均]：要素の重み付けの平均値。 ○ [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
定性的スコアを変換	間隔スケールに基づいてグループ全体の定性的スコアを変換するオプション。 たとえば、[ユーザー応答] フィールドが [パーセンテージ] に設定されているとします。管理者は、0% ～ 30% が低、30% ～ 60% が中、60% 以上が高のように、パーセンテージ値を定性的スコアに変換できます。この場合、評価 1、2、3 を低、中、高に割り当てることができます。 このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
定量的スコア	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このセクションは、[要素の貢献度] フィールドで [定量的] を選択した場合にのみ表示されます。	
定量的スコアの計算式	全体的な定性的リスクスコアを計算するための式。選択肢は次のとおりです。 ○ [合計]：要素応答の合計。 ○ [最小]：要素応答の最小値。 ○ [最大]：要素応答の最大値。 ○ [平均]：要素応答の平均値。 ○ [積]：要素応答を乗算して導出された値。 ○ [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。

4. **[Save** (保存)] を選択します。
5. [要素] 関連リストで、[編集] をクリックし、必要な要素を追加します。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
7. [定性的変換基準] 関連リストを選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

定性的変換基準フォーム

フィールド	説明
範囲の下限	値の範囲の下限である値。たとえば、0 ～ 30 % の最初の範囲の下限は 0 です。31 ～ 60 % の 2 番目の範囲の下限は 31 です。
スコア	値が [範囲の下限] フィールドで定義された範囲内にある場合にスコアとして使用する必要がある値。たとえば、下限が 0 の場合、スコアは 1 になります。下限が 31 の場合、スコアは 2 になります。

9. [送信] を選択します。
10. 作成した要素を開きます。
11. [公開] を選択します。

タスクの結果
要素が公開され、リスクアセスメント方法で使用できるようになります。

グループ要素に事前定義された式の採点ロジック

グループ要素には複数の事前定義された式があり、それぞれが採点ロジックに特定の貢献度を持っています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

事前定義された式の採点ロジック

ユーザーは、次の事前定義された式のいずれかを選択して、グループ要素のスコアを計算できます。スコアには、グループ要素を構成し、定性的または定量的、またはその両方としての要素貢献度を持つ手動要素のスコアが寄与します。

グループ要素で [定性的スコアを変換] オプションが選択されている場合、事前定義された式を使用して計算された定性的スコアが変換されます。

変換後に計算される定性的スコアは、グループ要素の定性的重み付けを使用して導出されます。たとえば、計算されたスコアが 10 で、定性的重み付けが 50% の場合、グループ要素の最終スコアは 10 x 0.5 = 5 として計算されます。

合計

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアを合計します。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ手動要素のスコアが寄与します。

定量的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定量的スコアを合計します。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ手動要素のスコアが寄与します。

最小

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアの最小値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ手動要素のスコアが寄与します。

定量的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定量的スコアの最小値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

最大

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアの最大値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定性的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

定量的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定量的スコアの最大値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

平均

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアの平均値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定性的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

定量的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定量的スコアの平均値を取ります。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

積

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアを乗算します。スコアには、グループ要素を構成し、定性的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

定量的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定量的スコアを乗算します。スコアには、グループ要素を構成し、定量的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

加重平均

定性的な場合、この式はアセスメントインスタンスの定性的スコアの合計を重み付けの合計で除算します。スコアには、グループ要素を構成し、定性的または両方としての要素貢献度を持つ要素に対応するスコアが寄与します。

自動要素を作成

自動要素を作成して、テーブルやデータベースビューなどのその他のデータソースからデータを自動的にフェッチします。

始める前に

ガバナンス、リスク、コンプライアンス エンタープライズライセンスが必要です。

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

自動要素は、リスクアセスメントプロセスを自動化するのに役立ちます。手動入力に依存しないため、主観性が減少します。自動要素に対するすべての応答は、アセスメント中に自動的に計算されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > 自動要素.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動クエリーファクターフォーム

フィールド	説明
名前	規制上の影響などの要素の名前。
要素の貢献度	要素の貢献度のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [定性的]：数値スコアを入力し、スコアを評価に変換します。 ○ [定量的]：発生する可能性のある損失を金額で示します。この損失は、年間損失予測 (ALE) に寄与します。 ○ [両方]：アセスメントタイプは定性的および定量的の両方です。
表示順序	アセスメントフォームにおける質問の順番。このフィールドでは、質問が表示される特定の順序を設定できます。
応答タイプ	ユーザーが要素に応答するためのオプション。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [数値]：自動計算後の要素応答は数値になります。 ○ [通貨]：自動計算後の要素応答は通貨になります。 ○ [パーセンテージ]：自動計算後の要素応答はパーセンテージになります。
アセスメントコンテキスト	アセスメントを実行する必要のあるコンテキスト。選択肢は次のとおりです。 ○ [リスク]：エンティティおよび関連付けられているリスクのアセスメントを実行するには、このオプションを選択します。 ○ [オブジェクト]：任意の ServiceNow レコードでアセスメントを実行するには、このオプションを選択します。たとえば、ユーザーはオブジェクトに対して直接例外リスクアセスメントまたは変更リスクアセスメントを実行できます。
ステータス	要素のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
定性的重み付け (%)	要素に与えられる貢献度または定性的な重み付けを採点します。この値は、この要素の最終スコアに対する実際の貢献度を決定します。このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
定性的スコアを変換	間隔スケールに基づいてグループ全体の定性的スコアを変換するオプション。 たとえば、[ユーザー応答] フィールドが [パーセンテージ] に設定されているとします。管理者は、0% ～ 30% が低、30% ～ 60% が中、60% 以上が高のように、パーセンテージ値を定性的スコアに変換できます。この場合、評価 1、2、3 を低、中、高に割り当てることができます。 このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
提出データを含む	サポートデータを収集するためのオプション。このオプションを選択すると、[サポートデータ] セクションが表示されます。
説明	要素の目的と使用場所に関する簡潔な説明。この説明は、管理者が要素を理解するためのものです。
データソース	
ソース	要素のソースとして使用されるテーブルまたはビュー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フィルター基準	
エンティティでフィルター	リスクアセスメントインスタンスエンティティでソースをフィルターするためのオプション。
エンティティマッピングフィールド	エンティティテーブルを参照するフィールド。このフィールドは、[エンティティでフィルター] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
リスクでフィルター	リスクアセスメントインスタンスのリスクでソースをフィルターするためのオプション。
リスクマッピングフィールド	リスクテーブルを参照するフィールド。このフィールドは、[リスクでフィルター] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
コントロールでフィルター	リスクアセスメントインスタンスコントロールでソースをフィルターするためのオプション。このオプションは、コントロールアセスメントにあるコントロールの個々のアセスメントにのみ適用されます。
コントロールマッピングフィールド	コントロールテーブルを参照するフィールド。このフィールドは、[コントロールでフィルター] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
オブジェクトでフィルター	リスクアセスメントインスタンスのオブジェクトでソースをフィルターするためのオプション。このフィールドは、オブジェクトでリスクアセスメントを実行している場合にのみ表示されます。
オブジェクトマッピングフィールド	アセスメントインスタンス内のオブジェクトを参照するフィールド。このフィールドは、[アセスメントコンテキスト] フィールドで [オブジェクト] が選択され、[オブジェクトでフィルター] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
集計。	
集計タイプ	[ソース] フィールドのテーブルから選択されたレコードを集計するための式。選択肢は次のとおりです。 ○ [合計]：集計列の合計。 ○ [平均]：集計列の平均値。 ○ [最大]：集計列の最大値。 ○ [最小]：集計列の最小値。 ○ [カウント]：集計列のレコード数のカウント。 ○ [個別のカウント]：集計列の一意のレコード数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計列	[ソース] フィールドで選択されたテーブルに基づく集計に使用される列。
スケジュール	
周期	要素が実行される頻度。
曜日	要素が実行される曜日。このフィールドは、[頻度] で [週次] が選択されている場合のみ表示されます。
月の特定日	要素が実行される日付。このフィールドは、[頻度] で [月次] が選択されている場合のみ表示されます。
月次	要素が実行される月。このフィールドは、[頻度] フィールドの値が [四半期ごと **(Quarterly)]**、[半年ごと **(Semi-annually)]**、または [年次 **(Annually)]** の場合にのみ表示されます。
次回実行日	要素が再度実行される日。このフィールドは、フォームで行なった選択に基づいて自動的に設定されます。

4. [サポートデータ] セクションをクリックします。
5. 収集するデータで、対応するフィールドを [使用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。
6. [送信] をクリックします。
7. 作成した要素を開きます。
8. [公開] をクリックします。

タスクの結果
要素が公開され、リスクアセスメント方法で使用できるようになります。

関連情報
スクリプト化された自動要素を作成

スクリプト化された自動要素を作成®
スクリプトを使用して ServiceNow レコードまたは外部ソースからデータをフェッチするスクリプト化された自動要素を作成します。スクリプト化された自動要素は、リスクアセスメント中に要素に対する応答を自動的に計算して提供します。

始める前に
必要なロール：sn_grc.developer および sn_risk.admin

手順
1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > 自動スクリプト化済み要素.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動スクリプト化済み要素フォーム

フィールド	説明
名前	規制上の影響などの要素の名前。
要素の貢献度	要素の貢献度のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [定性的]：数値スコアを入力し、スコアを評価に変換します。 ○ [定量的]：金銭的なリスクから発生する可能性のある損失を示します。この損失は、年間損失予測 (ALE) に寄与します。 ○ [両方]：アセスメントタイプは定性的および定量的の両方です。
表示順序	アセスメントフォームにおける質問の順番。このフィールドでは、質問が表示される特定の順序を設定できます。
応答タイプ	ユーザーが要素に応答するためのオプション。選択肢は次のとおりです。 ○ [数値]：自動計算後の要素応答は数値になります。 ○ [通貨]：自動計算後の要素応答は通貨になります。 ○ [パーセンテージ]：自動計算後の要素応答はパーセンテージ単位になります。
定性的スコアを変換	間隔スケールに基づいてグループ全体の定性的スコアを変換するオプション。 たとえば、[ユーザー応答] フィールドが [パーセンテージ] に設定されているとします。管理者は、0% ～ 30% が低、30% ～ 60% が中、60% 以上が高のように、パーセンテージ値を定性的スコアに変換できます。この場合、評価 1、2、3 を低、中、高に割り当てることができます。 このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
ステータス	要素のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
定性的重み付け (%)	要素に与えられる貢献度または定性的な重み付けをスコアします。この値は、この要素の最終スコアに対する実際の貢献度を決定します。このフィールドは、[要素の貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。
アセスメントコンテキスト	アセスメントを実行する必要のあるコンテキスト。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [リスク]：エンティティおよびその関連付けられているリスクのアセスメントを実行するには、このオプションを選択します。 ○ [オブジェクト]：任意の ServiceNow レコードでアセスメントを実行するには、このオプションを選択します。たとえば、ユーザーはオブジェクトに対して直接例外リスクアセスメントまたは変更リスクアセスメントを実行できます。
説明	要素の目的と使用場所に関する簡潔な説明。この説明は、管理者が要素を理解するためのものです。
スクリプト	
変数	[スクリプト] フィールドで使用する事前定義された変数。
スクリプト	カスタムスクリプト。
スケジュール	
周期	要素が実行される頻度。
曜日	要素が実行される曜日。このフィールドは、[頻度] フィールドで [週次] が選択されている場合のみ表示されます。
月の特定日	要素が実行される日付。このフィールドは、[頻度] フィールドで [月次] が選択されている場合のみ表示されます。
月次	要素が実行される月。このフィールドは、[頻度] フィールドが [四半期ごと **(Quarterly)**]、または [半年ごと **(Semi-annually)**]、[年次 **(Annually)**] の場合にのみ表示されます。
次回実行日	要素が再度実行される日。このフィールドは、フォームで行なった選択に基づいて自動的に設定されます。

4. [送信] をクリックします。
5. 作成した要素を開きます。
6. [公開] をクリックします。

タスクの結果

要素が公開され、リスクアセスメント方法で使用できるようになります。

関連情報

自動要素を作成

要素をコピー

公開された要素のコピーを作成して軽微な変更を行い、要素を再利用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理
2. コピーする要素を開きます。
3. [コピー] をクリックします。

タスクの結果
要素のコピーが作成されます。

リスクアセスメント方法論を構成

高度なリスク アプリケーションでリスクアセスメント方法論 (RAM) を構成して、組織内のリスクまたはオブジェクトを評価できるようにします。

始める前に
必要なロール：sn_risk_advanced.ara_admin

このタスクについて
RAM は、高度なリスク アプリケーションの新しいリスクアセスメントエンジンの構成またはレコードです。

RAM を使用して、組織内のリスクまたはオブジェクトを評価できます。たとえば、RAM を構成して、リスクアセスメントのタイプとリスクアセスメントが実行されるエンティティを指定できます。RAM を使用することで、組織はさまざまな方法でリスクを評価できます。

RAM を [廃止] ステータスに移動した後、後で変更を加えたい場合は [ドラフト] ステータスに戻すこともできます。[監視] ステータスまたは [クローズ済み] ステータスのアセスメントがない場合にのみ、RAM を [ドラフト] ステータスに移動できます。RAM を [ドラフト]に戻すと、進行中のアセスメントおよび関連付けられているスコープが削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスクアセスメント方法論.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   リスクアセスメント方法論フォームのフィールド値については、「リスクアセスメント方法論フォーム」を参照してください。
4. フォームを右クリックして保存します。
5. さまざまなアセスメントを設定するには、次のいずれかのオプションを選択します。

6. [公開] を選択します。

   注:
   同じリスクに対して新しいアセスメントが作成され、そのアセスメントが [監視] ステータスになると、他のアセスメントは自動的に [完了] ステータスに移行します。アセスメントインスタンスが [監視] ステータスの場合、RAM を [ドラフト] ステータスに戻すことはできません。アセスメントのインスタンスがない場合にのみ、RAM を [ドラフト] ステータスに戻すことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメント方法論フォーム

高度なリスク アプリケーションの [リスクアセスメント方法論] フォームを使用して、リスクアセスメントのタイプとリスクアセスメントを実行するエンティティを指定します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

リスクアセスメント方法論フォーム

フィールド	説明
名前	リスクアセスメント方法論 (RAM) の名前。組織のリスクアセスメントなどです。
ドメイン領域	RAM のドメイン領域。このフィールドは自動的に **[IRM]** に設定されます。
ステータス	RAM のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
アセスメントコンテキスト	
評価	次のアセスメントコンテキストを選択できます。 • [リスク]：エンティティとそれに関連するリスクステートメントのアセスメントを実行します。 • [オブジェクト]：任意の ServiceNow レコードでアセスメントを実行します。たとえば、ユーザーは各テーブルに対して直接例外リスクアセスメントまたは変更リスクアセスメントを実行できます。
適用可能なエンティティクラス	ビジネスサービス、資産、ビジネスアプリケーションなど、RAM が適用されるすべてのエンティティクラス。このフィールドは、[アセスメント] から [リスク] が選択されている場合にのみ表示されます。
適用可能なレコードタイプ	アセスメントを実行するテーブル。複数のテーブルを選択して RAM に関連付けることができます。このフィールドは、[評価] から [オブジェクト] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** 公開された RAM に複数のオブジェクトまたはテーブルを追加できますが、RAM の公開後に削除することはできません。
ワークフロー	
固有リスク	固有リスクを評価するためのオプション。
コントロール有効性	コントロール有効性を評価するためのオプション。
リスク応答を有効にする	リスクアセスメントの [リスク応答] タブを有効にするオプション。このオプションは、[評価]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメント方法論フォーム (続く)

フィールド	説明
	から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。
残存リスク	残存リスクを評価するためのオプション。
ターゲットリスク	ターゲットリスクを評価するためのオプション。
ロールアップ構成	
このセクションは、[評価] から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。	
ALE 計算の基準	年次損失予測 (ALE) を計算するために選択できる式： • 合計 • 平均 • 最大 • 最小
スコア計算の基準	スコアを計算するために選択できる式： • 平均 • 最大 • 最小
リスク応答構成	
このセクションは、[評価] から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。	
単一リスク応答を許可	リスクアセスメントフォームでリスク応答の選択を単一の選択にするオプション。たとえば、[受容 (Accept)]、[回避 (Avoid)]、[緩和]、[移転 (Transfer)] などのオプションがあります。単一の選択では、査定人はこれらのオプションのうち 1 つのみを選択してリスク対応戦略を示すことができます。 **注:** このオプションは、進行中のアセスメントがない場合にのみ有効にできます。
リスク応答は必須です	必要に応じてリスク応答を行うオプション： • [なし]：リスク応答は不要です。 • [常時]：常にリスク応答を義務化します。 • [特定の条件]：条件ビルダーを使用して、特定の条件に基づいてリスク応答を強制します。 • [スクリプトを使用して定義された特定の条件 **(On specific conditions defined using**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメント方法論フォーム (続く)

フィールド	説明
	script)]：事前定義されたスクリプトまたは一連の指示を使用して、特定の条件下でリスク応答を強制します。
ビジネスルールと検証	
最終コメントは必須です	必要に応じて最終コメントを作成するオプション。最終コメントにより、透明性が向上し、リスクオーナーは、選好度または許容度の違反がある場合にアクションプランを伝えることができます。オプションは次のとおりです。 • [なし]：最終コメントは不要です。 • [常時]：常に最終コメントを義務化します。 • [選好度違反時 **(On breach of appetite)]**：選好度の違反に関する最終コメントを義務化します。 • [許容度違反時 **(On breach of tolerance)]**：許容度の違反に関する最終コメントを義務化します。 このフィールドは、[評価] から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。
問題を自動的に作成	問題を自動的に作成するオプション。このフィールドは、[評価] から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。 • [なし]：問題を自動的に作成しません。 • [選好度違反時 **(On breach of appetite)]**：選好度違反があった場合に自動的に問題を作成します。 • [許容度違反時 **(On breach of tolerance)]**：許容度違反があった場合に自動的に問題を作成します。 **注:** 問題は、リスクアセスメントが承認されて公開ステータスに移行した後にのみ作成されます。
残存スコアは固有スコアより低い	定性的な残存スコアが固有のスコアよりも低いことを検証するオプション。 **注:** このオプションは、残存リスクアセスメントが有効になっている場合にのみ表示されます。
参照情報	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメント方法論フォーム (続く)

フィールド	説明
このセクションは、[評価] から [リスク] が選択された場合にのみ表示されます。これらのオプションを有効にすると、リスクアセスメントインスタンスに参照情報が表示されます。	
関連リスクイベントを表示	リスクアセスメントに関連するリスクイベントを表示するためのオプション。
関連リスク指標を表示	リスクアセスメントに関連するリスクインジケーターを表示するためのオプション。
オープンな問題を表示	リスクアセスメントに未解決の問題を表示するためのオプション。
以前のアセスメントを表示	リスクアセスメントに以前のアセスメントを表示するためのオプション。このオプションは、リスク査定人が以前のアセスメントを参照し、そのアセスメントの詳細を分析してから別のアセスメントを実施するのに役立ちます。
その他の構成	
詳細リマインダー (日数)	リスクアセスメントの期限日に基づいて、このフィールドは査定人に通知が送信されるまでの日数が表示されます。たとえば、このフィールドに 3 を入力すると、査定人は期日の 3 日前にリマインダー通知を受け取ります。
期限切れのリマインダー (日数)	このフィールドは、リスクアセスメントの期日に基づいて、この日付から何日後にリマインダーメールが送信されるかを指定します。たとえば、このフィールドに 5 を入力したとします。期日が過ぎてから 5 日間、査定人は期日が過ぎたことを知らせるリマインダーメールを受け取り続けます。6 日目に、査定人と査定人のマネージャーにメール通知が送信されます。
リスク識別	リスクアセスメントスコープでリスクを特定する方法： • なし • [ライブラリーから]：リスクアセスメントでライブラリからのリスクを特定します。 • [アドホック]：ライブラリにないリスクを特定します。 • [ライブラリーおよびアドホックから]：ライブラリからリスクを作成し、リスクを追加します。
グループ要素コメント	リスクアセスメントフォームでグループ要素コメントを有効にするオプション。
以前の応答をコピー	再アセスメントが実行されるたびに要素の応答とコメントをコピーするオプション。
結果の上書きを許可	リスクアセスメント中に計算されたスコアと ALE を上書きするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメント方法論フォーム (続く)

フィールド	説明
セクション用語を構成	固有、コントロール、残存、およびターゲットアセスメントのセクションラベルを構成するオプション。このオプションを選択すると、各アセスメントタイプのタイトル、スコアラベル、および年次損失予測ラベルを構成できます。 **注:** セクションラベルの名前変更は、Advanced Risk アセスメントインターフェイスにのみ適用されますが、レポート、ダッシュボード、ヒートマップ、およびその他の領域で使用される用語は変更されません。
ソースレコードに対してアセスメント結果を更新	アセスメントが実行されたソースレコードにアセスメント結果をコピーするためのオプション。個々のアセスメントタイプで、該当するレコードタイプのアセスメント結果マッピングを定義できます。このフィールドは、[評価] から [オブジェクト] が選択された場合にのみ表示されます。
スケジュール	
このセクションは、[評価] から [オブジェクト] が選択された場合にのみ表示されます。	
アセスメント頻度	再アセスメントの実行頻度のオプション： • なし • 週次 • 毎月 • 四半期ごと • 半年ごと • 年次
期限切れまでの日数	リスクアセスメントの期日に基づき、このフィールドには、アセスメントが期限切れと見なされるまでの日数が表示されます。

リスクアセスメント方法論をコピー

レコードのコピーを作成して、リスクアセスメント方法論 (RAM) と要素を変更します。コピーするオプションを使用すると、すべての関連リストを含む基礎となるレコードのコピーを作成できます。このアクションにより、毎回最初からレコードを作成する必要がないため、リスク管理者の時間を節約できます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスクアセスメント方法論
2. コピーする RAM を開きます。
3. コピー を選択します。

リスクアセスメント方法論を廃止

使用されなくなったリスクアセスメント方法論 (RAM) を廃止します。未使用の RAM を廃止することで、リスク管理者はアクティブな RAM の管理が容易になります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
リスクアセスメント方法論を廃止する場合、廃止した RAM を再度アクティブにすることはできないことに注意してください。次の点にも注意してください。

- この方法論に関連するすべての要素が廃止されます。
- リスクアセスメントスコープが廃止されます。
- 関連付けられているすべてのオープンアセスメントが廃止されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスクアセスメント方法論.
2. 廃止するリスクアセスメント方法論を選択して開きます。
3. [廃止] をクリックします。
   ステータスが [廃止] に変更されます。

固有のアセスメントを構成

高度なリスク アプリケーションで固有のアセスメントを構成して公開し、組織内の固有リスクを評価します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
固有のアセスメントフォームに要素、採点ロジック、および評価基準を追加して、固有のリスクアセスメントの基準を設定します。各リスクアセスメント方法論 (RAM) には、固有のアセスメント基準があります。たとえば、財務の影響、規制の影響、クライアントへの影響などの要素に対する固有のリスクを評価できます。固有のアセスメントスコアを取得するには、これらの要素の影響度をリスクが発生する可能性で乗算します。

手順

1. アセスメントタイプとして固有リスクを持つ RAM フォームに移動します。
2. [アセスメントタイプ] 関連リストで、[固有のアセスメント] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   固有のアセスメントフォームのフィールド値については、「固有のアセスメントフォーム」を参照してください。

4. 要素を追加するには、[要素] 関連リストを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この関連リストは、[計算基準] フィールドで [要素応答] が選択されている場合にのみ使用できます。

5. [編集] を選択し、要素を追加します。
6. [保存] を選択します。
7. [定性的評価基準] 関連リストを選択し、[新規] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

定性的評価基準フォーム

フィールド	説明
低評価間隔	定性的リスク評価の範囲。たとえば、0 ～ 10 の範囲の場合、下限として 0 を入力できます。11 ～ 20 の範囲の場合、下限の値は 11 にすることができます。
評価	リスクの重大度。高、中、低などの評価を入力できます。たとえば、低評価の低評価間隔が 0 で、中評価の低評価間隔が 11 であるとします。リスクスコアが 15 の場合、15 は 11 ～ 20 の範囲であるため、評価基準は [中] です。
優先スコア	査定人がリスク評価を上書きするときに使用されるスコア。
リスクの色のスタイル	リスク評価値の背景色とリスクアセスメントインスタンスのテキストの色のカラーコードスタイル。たとえば、高リスクの場合は、赤色のスタイルを選択し、背景色を赤にします。
リスク選好度スケール	リスク評価基準のリスク選好度スケール。選好度スケールは、リスクアセスメント方法論の定性的リスク評価基準にマッピングする必要があります。最新のアセスメントまたは集計された評価に基づいて定性的選好度ステータスを計算し、定性的選好度ステータスを提供できます。たとえば、[非常に高い] のリスク評価に対して [意欲的] のリスク選好度スケールを選択できます。このフィールドは、高度なリスクアセスメントのプロパティでリスク選好度機能が設定されている場合にのみ表示されます。 **重要:** 定性的リスクアセスメントでは、リスク選好度スケールを最終アセスメントタイプのリスク評価基準にマッピングします。たとえば、残存アセスメントと固有アセスメントの両方がある場合は、リスク選好度スケールを残存アセスメントのリスク評価基準にマッピングします。

注:
[定性的評価基準] フォームに負の値を入力しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. オプション: [ヒートマップを有効化] オプションを選択した場合は、次のアクションを実行します。
   a. [ヒートマップカラー] 関連リストを選択します。
   b. [リスクの色のスタイル] 列で、リスクの色のスタイルを指定します。
10. 該当するレコードタイプのアセスメント結果のマッピングを定義するには、次のアクションを実行します。

    これらの手順は、オブジェクトに対して固有のアセスメントを実行する場合に適用されます。

    a. [アセスメント結果のマッピング] 関連リストを選択します。
    [アセスメント結果のマッピング] 関連リストは、RAM で [アセスメント結果をソースレコードに更新] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

    b. レコードタイプを選択します。

    c. フォームのフィールドに入力します。

適用可能なレコードタイプフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
レコードタイプ	該当するレコードタイプの名前。このフィールドは、選択したレコードタイプに基づいて自動的に設定されます。
固有リスク評価	固有リスク評価値がソースレコードに格納されている列。アセスメントの後、固有リスク評価結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定性的] または [両方] である場合にのみ表示されます。
固有 ALE	固有年次損失予測 (ALE) 値がソースレコードに保存されている列。アセスメントの後、固有 ALE 結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定量的] または [両方] に設定されている場合にのみ表示されます。

> **注:**
> 別のリスクアセスメント方法で同じレコードタイプが使用されている場合、ソースレコードは最新の高度なリスクアセスメントの RAM で定義されたフィールドに基づいて更新されます。

    d. [更新] を選択します。

11. [送信] を選択します。
12. [公開] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
アセスメントタイプが公開されます。

固有のアセスメントフォーム

高度なリスク アプリケーションで固有のアセスメントフォームを使用して、組織内の固有リスクを評価します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

固有のアセスメントフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	選択された RAM。このフィールドは RAM に基づいて自動的に設定されます。
ステータス	RAM のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
計算基準	要素応答に基づくアセスメントスコアを計算するためのオプション。
アセスメントの貢献度	要素の貢献度のタイプ： • [定性的]：数値スコアを入力し、スコアを評価に変換します。このオプションを選択すると、追加できるのは定性的要素のみです。 • [定量的]：発生する可能性のある損失を金額で示します。この損失は、年間損失予測 (ALE) に寄与します。このオプションを選択すると、追加できるのは定量的要素のみです。 • [両方]：定性的および定量的の両方のアセスメントタイプを提供します。
ヒートマップを有効化	Advanced Risk ダッシュボードのヒートマップレポートを有効にするオプション。 **注:** このオプションは、最低 2 つの要素がアセスメントタイプに追加されている場合にのみ選択できます。このオプションを選択すると、[ヒートマップ構成] セクションと [ヒートマップカラー] 関連リストがフォームに表示されます。
定性的スコア	
このセクションは、[アセスメントの貢献度] フィールドで [定性的] を選択した場合にのみ表示されます。	
定性的採点ロジック	採点ロジックを計算するために使用できる式： • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

固有のアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [加重平均]：要素の重み付けの平均値。この値は、低、中、または高として分類されます。 • [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
定量的スコア	
このセクションは、[アセスメントの貢献度] フィールドで [定量的] を選択した場合にのみ表示されます。	
定量的採点ロジック	採点ロジックを計算するために使用できる式： • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
セクションラベル	
このセクションは、RAM フォームで [セクション用語を構成] が選択されている場合のみ表示されます。 **注:** セクションラベルの名前変更は、Advanced Risk アセスメントインターフェイスにのみ適用されますが、レポート、ダッシュボード、ヒートマップ、およびその他の領域で使用される用語は変更されません。	
タイトル	アセスメントタイプのセクションタイトルの名前を変更するオプション。たとえば、固有のアセスメントの名前を「グロスアセスメント (Gross assessment)」に変更すると、以前に固有のアセスメントが参照されていたすべてのセクションに新しいタイトルが表示されます。
スコアラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定性的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、固有のリスクの名前を

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

固有のアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	「グロスリスク (Gross risk)」に変更すると、以前に固有のリスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
年間損失予測ラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定量的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、固有の ALE の名前を「グロス ALE (Gross ALE)」に変更すると、以前に固有のリスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
ヒートマップ構成	
このセクションは、[ヒートマップを有効化] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。	
X 軸の係数	ヒートマップの X 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のある要素のみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。
Y 軸の係数	ヒートマップの Y 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のあるもののみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。

コントロール有効性アセスメントを構成

コントロール有効性アセスメントを設定して公開し、リスクを軽減するコントロールの有効性を評価します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

要素、採点ロジック、評価基準などの詳細を使用してコントロールアセスメント基準を構成します。コントロール環境全体を評価するか、コントロールを個別に評価するかを指定することもできます。これらの詳細は、リスクアセスメントが実行される側面です。アセスメント中に既存のコントロールまたは新しいコントロールを追加するオプションを有効にすることもできます。各リスクアセスメント方法論 (RAM) には、独自のアセスメント基準があります。

手順

1. アセスメントタイプとして固有リスクを持つ RAM フォームに移動します。
2. [アセスメントタイプ] 関連リストで、[コントロールアセスメント] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。

   コントロールアセスメントフォームのフィールド値の説明については、「コントロールアセスメントフォーム」を参照してください。

4. [要素] セクションを選択し、[編集] を選択します。
   [要素] 関連リストは、[計算基準] フィールドから [コントロール環境アセスメント] が選択されている場合にのみ表示されます。
5. [コレクション] リストから必要な要素を [要素] リストに追加し、[保存] を選択します。
6. [定性的評価基準] 関連リストを選択し、[新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

   定性的評価基準フォーム

フィールド	説明
低評価間隔	定性的リスク評価の範囲。たとえば、0 ～ 10 の範囲の場合、下限として 0 を入力できます。11 ～ 20 の範囲の場合、下限の値は 11 にすることができます。
リスク評価	リスクの重大度。高、中、低などの評価を入力できます。たとえば、低評価の低評価間隔が 0 で、中評価の低評価間隔が 11 であるとします。リスクスコアが 15 の場合、15 は 11 ～ 20 の範囲であるため、評価基準は [中] です。
優先スコア	計算済みスコアを上書きするためにリスク査定人が使用できるスコア。
リスクの色のスタイル	リスク評価値の背景色とリスクアセスメントインスタンスのテキストの色のカラーコードスタイル。たとえば、高リスクの場合は、赤色のスタイルを選択し、背景色を赤にします。

   注:
   [定性的評価基準] フォームに負の値を入力しないでください。

8. 該当するレコードタイプのアセスメント結果のマッピングを定義するには、次のアクションを実行します。

   これらの手順は、オブジェクトのコントロールアセスメントを実施するときに適用されます。

   a. [アセスメント結果のマッピング] 関連リストを選択します。
      [アセスメント結果のマッピング] 関連リストは、RAM で [アセスメント結果をソースレコードに更新] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

   b. レコードタイプを選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

適用可能なレコードタイプフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
レコードタイプ	該当するレコードタイプの名前。このフィールドは、選択したレコードタイプに基づいて自動的に設定されます。
コントロール有効性	コントロール有効性評価値がソースレコードに格納されている列。アセスメントの後、コントロール有効性結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。

注:
別のリスクアセスメント方法で同じレコードタイプが使用されている場合、ソースレコードは最新の高度なリスクアセスメントの RAM で定義されたフィールドに基づいて更新されます。

d. [更新] を選択します。

9. [送信] を選択します。

10. [公開] を選択します。

タスクの結果
コントロールアセスメントタイプが公開されます。

コントロールアセスメントフォーム

高度なリスク アプリケーションの [コントロールアセスメント] フォームを使用して、リスクを軽減する上でのコントロールの有効性を評価します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

コントロールアセスメントフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	コントロールアセスメントに使用されるリスクアセスメント方法論の名前。このフィールドは RAM に基づいて自動的に設定されます。
ステータス	RAM のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
アセスメントの貢献度	要素の貢献度のタイプ。このフィールドは自動的に [定性的貢献 **(Qualitative contribution)]** に設定されます。
計算基準	コントロールのタイプを評価するオプション。選択肢は次のとおりです。 • [コントロール環境アセスメント]：個々のコントロールを評価するのではなく、コントロール環境の全体的な有効性を評価する場合は、このオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [コントロールの個々のアセスメント]：個々のコントロールのアセスメントを実行する場合は、このオプションを選択します。たとえば、従業員が賄賂を受け取るリスクを選択し、既存の各コントロールを評価して贈賄のリスクを軽減できます。このオプションは、ポリシーとコンプライアンス管理 (com.sn_compliance) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。
コントロール ID	リスクアセスメントインスタンスでコントロールを識別する方法を決定するオプション。選択肢は次のとおりです。 • なし • [ライブラリーから]：リスクアセスメントインスタンスのライブラリからコントロールを識別する場合は、このオプションを使用します。 • [アドホック]：リスクアセスメントインスタンスで新しいコントロールを識別する場合は、このオプションを使用します。 • [ライブラリーおよびアドホックから]：このオプションは、ライブラリからコントロールを識別し、新しいコントロールを識別する場合に使用します。 このフィールドは、[計算基準] フィールドの値が [コントロールの個々のアセスメント] である場合にのみ表示されます。
全体的な有効性の要素	コントロールを評価するための手動、自動、またはグループ要素。このフィールドは、[計算基準] フィールドから [コントロールの個々のアセスメント] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。このフィールドには、定性的要素または定性的スコアを変換するオプションがある要素のみが表示されます。
定性的採点ロジック	採点ロジックを計算するための式。選択肢は次のとおりです。 • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロールアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [加重平均]：要素の重み付けの平均値。この値は、低、中、または高として分類されます。このオプションを選択すると、コントロールの重み付けがコントロールフォームから取得されます。 • [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
定性的スクリプト変数	スクリプトで使用されるスクリプトと変数の形式。このフィールドは、[定性的採点ロジック] フィールドで [スクリプト] が選択されている場合にのみ使用できます。
定性的スクリプト	採点ロジックを計算するユーザー定義のスクリプト。このフィールドを使用すると、スコア計算をより詳細に制御できます。
セクションラベル	
このセクションは、RAM フォームで [セクション用語を構成] が選択されている場合のみ表示されます。 **注:** セクションラベルの名前変更は、Advanced Risk アセスメントインターフェイスにのみ適用されますが、レポート、ダッシュボード、ヒートマップ、およびその他の領域で使用される用語は変更されません。	
タイトル	アセスメントタイプのセクションタイトルの名前を変更するオプション。たとえば、コントロールアセスメントの名前を「予防的アセスメント」に変更すると、以前にコントロールアセスメントが参照されていたすべてのセクションに新しいタイトルが表示されます。
スコアラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定性的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、コントロールリスクの名前を「予防的リスク」に変更すると、以前にコントロールリスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。

残存アセスメントを構成

高度なリスク アプリケーションで残存アセスメントを構成して公開し、組織内の残存リスクを評価します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
残存アセスメントを使用して、コントロールの実装後に存在するリスクを特定し、評価します。コントロールが特定されない場合、残存リスクは固有リスクと同じです。固有アセスメントの要素が残存アセスメントとして使用されている場合は、固有アセスメントからアセスメントの貢献度、定性的採点ロジック、要素、および定性的評価基準をコピーできます。残存アセスメントのスコアを導出する方法を選択することもできます。

手順

1. アセスメントタイプとして残存リスクを持つリスクアセスメント方法論 (RAM) フォームに移動します。
2. [アセスメントタイプ] 関連リストで、[残存アセスメント] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   残存アセスメントフォームのフィールド値については、「残存アセスメントフォーム」を参照してください。

4. オプション: [計算基準] フィールドで [要素応答] を選択した場合は、残存アセスメントに要素を追加できるように [要素] 関連リストを選択します。
5. [編集]を選択し、必要な要素を追加して、[保存]を選択します。
6. オプション: [計算基準] フィールドに [固有リスクとコントロール有効性] があり、[定性的採点ロジック] フィールドに [固有のアセスメントとコントロール有効性の間のルックアップマトリクス] がある場合は、次のアクションを実行します。
   a. [マトリクス] 関連リストを選択します。
   b. それぞれの列に、スコア、リスク評価、リスクの色のスタイル、および上書きされたスコアを入力します。
7. [定性的評価基準] 関連リストを選択し、[新規] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

定性的評価基準フォーム

フィールド	説明
低評価間隔	定性的リスク評価の範囲。たとえば、0 ～ 10 の範囲の場合、下限として 0 を入力できます。11 ～ 20 の範囲の場合、下限の値は 11 にすることができます。
リスク評価	リスクの重大度。高、中、低などの評価を入力できます。たとえば、低評価の低評価間隔が 0 で、中評価の低評価間隔が 11 であるとします。リスクスコアが 15 の場合、15 は 11 ～ 20 の範囲であるため、評価基準は [中] です。
優先スコア	計算済みスコアを上書きするためにリスク査定人が使用できるスコア。
リスクの色のスタイル	リスク評価値の背景色とリスクアセスメントインスタンスのテキストの色のカラーコードスタイル。たとえば、高リスクの場合は、赤色のスタイルを選択し、背景色を赤にします。
リスク選好度スケール	リスク評価基準のリスク選好度スケール。選好度スケールは、リスクアセスメント方法論の定性的リスク評価基準にマッピングする必要があ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ります。最新のアセスメントまたは集計された評価に基づいて定性的選好度ステータスを計算し、定性的選好度ステータスを提供します。たとえば、[非常に高い] のリスク評価に対して [意欲的] のリスク選好度スケールを選択できます。このフィールドは、高度なリスクアセスメントのプロパティでリスク選好度機能が設定されている場合にのみ表示されます。 **重要:** 定性的リスクアセスメントでは、リスク選好度スケールを最終アセスメントタイプのリスク評価基準にマッピングします。たとえば、残存アセスメントと固有アセスメントの両方がある場合は、リスク選好度スケールを残存アセスメントのリスク評価基準にマッピングします。

注:
[定性的評価基準] フォームに負の値を入力しないでください。

9. [ヒートマップカラー] 関連リストを選択します。
この関連リストは、次のすべての条件が true である場合にのみ表示されます。
   - [ヒートマップを有効化] オプションが選択されている。
   - [計算基準] フィールドに、[要素応答]がある。
   - 残存アセスメントが、固有のアセスメントとコントロール有効性の間のマトリクスに基づいている。
10. [リスクの色のスタイル] 列で、背景色とテキストの色の組み合わせを選択します。
11. 該当するレコードタイプのアセスメント結果のマッピングを定義するには、次のアクションを実行します。

    これらの手順は、オブジェクトの残存アセスメントを実行する場合に適用されます。

    a. [アセスメント結果のマッピング] 関連リストを選択します。
    [アセスメント結果のマッピング] 関連リストは、RAM で [アセスメント結果をソースレコードに更新] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

    b. レコードタイプを選択します。

    c. フォームのフィールドに入力します。

適用可能なレコードタイプフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
レコードタイプ	該当するレコードタイプの名前。このフィールドは、選択したレコードタイプに基づいて自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
残存リスク評価	残存リスク評価値がソースレコードに格納されている列。アセスメントの後、残存リスク評価結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定性的] または [両方] である場合にのみ表示されます。
残存 ALE	残存年次損失予測 (ALE) 値がソースレコードに保存されている列。アセスメントの後、残存 ALE 結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定量的] または [両方] に設定されている場合にのみ表示されます。

注:
別のリスクアセスメント方法で同じレコードタイプが使用されている場合、ソースレコードは最新の高度なリスクアセスメントの RAM で定義されたフィールドに基づいて更新されます。

d. [更新] を選択します。

12. [送信] を選択し、[公開] を選択します。

タスクの結果
アセスメントタイプが公開されます。

残存アセスメントフォーム

高度なリスク アプリケーションで残存アセスメントフォームを使用して、組織内の残存リスクを評価します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

残存アセスメントフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
計算基準	アセスメントスコアを計算するためのオプション： • [固有リスクとコントロール有効性]：アセスメントを定性的にします。固有の有効性とコントロールの有効性の比較は常に定性的です。 • [要素応答]：残存要素の計算は手動要素への応答に基づいています。
アセスメントの貢献度	要素の貢献度のタイプ：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

残存アセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 定量的 • 定性的 • 両方 [計算基準] フィールドで [固有リスクとコントロール有効性] が選択されている場合、このフィールドは自動的に [定性的] に設定されます。このフィールドは変更できません。
固有と同じ要素	固有のアセスメントからアセスメントの貢献度、定性的採点ロジック、要素、および定性的評価基準を自動的にコピーするオプション。 **注:** このオプションは、[計算基準] フィールドに [要素応答] の値がある場合にのみ表示されます。
ヒートマップを有効化	Advanced Risk ダッシュボードのヒートマップレポートの表示を有効にするオプション。 **注:** このオプションは、2 つ以上の要素がアセスメントタイプに追加されている場合にのみ選択できます。
定性的スコア	
定性的採点ロジック	使用する採点ロジック。このフィールドのオプションは、[計算基準] フィールドで選択されているオプションに基づいて変更されます。 [計算基準] フィールドに [固有リスクとコントロール有効性] がある場合、オプションは次のようになります。 • [固有のアセスメントとコントロール有効性の間のルックアップマトリクス]：固有のアセスメントとコントロール有効性アセスメント間のマトリクスを生成します。デカルト積を実行してスコアを生成します。[マトリクス] 関連リストでマトリクスを表示できます。たとえば、固有リスクが高く、コントロール有効性が低い場合は、残存リスクも高くなります。 • [固有スコア：コントロール有効性スコア]：固有スコアとコントロール有効性スコアの差が得られます。 • [固有スコア/コントロール有効性スコア]：固有スコアをコントロール有効性スコアで除算して求められる値が得られます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

残存アセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [スクリプト]：カスタムスクリプトを使用して定性的スコアを計算します。[スクリプト] オプションを使用すると、組織固有の要件とリスクアセスメントアプローチに合わせてカスタマイズされた計算方法を作成できます。 **注:** 公開されていないアセスメントタイプに対してのみ、スクリプトを記述または変更できます。 [計算基準] フィールドには、[要素応答]がある場合、オプションは次のとおりです。 • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [加重平均]：要素の重み付けの平均値。この値は、低、中、または高として分類されます。 • [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
定量的スコア	
このセクションは、[要素の貢献度] フィールドで [定量的] 値を選択した場合にのみ表示されます。	
定量的採点ロジック	使用する採点ロジック： • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [スクリプト]：スコアを計算するためのユーザー定義の計算式。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。
セクションラベル	
このセクションは、RAM フォームで [セクション用語を構成] が選択されている場合のみ表示されます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

残存アセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
注: セクションラベルの名前変更は、Advanced Risk アセスメントインターフェイスにのみ適用されますが、レポート、ダッシュボード、ヒートマップ、およびその他の領域で使用される用語は変更されません。	
タイトル	アセスメントタイプのセクションタイトルの名前を変更するオプション。たとえば、残存アセスメントの名前を「正味アセスメント (Net assessment)」に変更すると、以前に残存アセスメントが参照されていたすべてのセクションに新しいタイトルが表示されます。
スコアラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定性的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、残存リスクの名前を「正味リスク (Net risk)」に変更すると、以前に残存リスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
年間損失予測ラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定量的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、残存 ALE の名前を「正味 ALE (Net ALE)」に変更すると、以前に残存 ALE が参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
ヒートマップ構成	
このセクションは、[ヒートマップを有効化] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。	
X 軸の係数	ヒートマップの X 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のある要素のみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。
Y 軸の係数	ヒートマップの Y 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のあるもののみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。

ターゲットアセスメントの構成

高度なリスク アプリケーションでターゲットアセスメントを構成して公開し、今後の望ましいリスクレベルを評価します。ターゲットアセスメントを構成することで、査定人と承認者が Next Experience でターゲットリスクアセスメントを実行できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
今後のリスクレベルを評価するためのターゲットアセスメントを構成します。固有のアセスメントや残存アセスメントと同様に、ターゲットアセスメントを実施するための基準を定義できます。構成作業では、要素、採点ロジック、評価基準、およびヒートマップ構成の指定を行います。

手順

1. アセスメントタイプとしてターゲットリスクを持つリスクアセスメント方法論 (RAM) フォームに移動します。
2. [アセスメントタイプ] 関連リストで、[ターゲットアセスメント] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   ターゲットアセスメントフォームのフィールド値については、「ターゲットアセスメントフォーム」を参照してください。

4. 注:
   [計算基準] フィールドで [係数応答] を選択した場合は、手作業でアセスメントに要素を追加する必要があります。

   要素を追加するには、[要素] 関連リストを選択し、次の手順を実行します。

   a. [編集] を選択します。
   b. 要素を選択し、要素リストに追加します。
   c. [保存] を選択します。
5. オプション: 定性的評価基準を追加するには、[定性的評価基準] 関連リストを選択し、[新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

定性的評価基準フォーム

フィールド	説明
低評価間隔	定性的リスク評価の範囲。たとえば、0 ～ 10 の範囲の場合、下限として 0 を入力できます。11 ～ 20 の範囲の場合、下限の値は 11 にすることができます。
リスク評価	リスクの重大度。高、中、低などの評価を入力できます。たとえば、低評価の低評価間隔が 0 で、中評価の低評価間隔が 11 であるとします。リスクスコアが 15 の場合、15 は 11 ～ 20 の範囲であるため、評価基準は [中] です。
優先スコア	計算済みスコアを上書きするためにリスク査定人が使用できるスコア。評価が上書きされると、このスコアがリスクに関連付けられます。
リスクの色のスタイル	リスク評価値の背景色とリスクアセスメントインスタンスのテキストの色のカラーコードスタイル。たとえば、高リスクの場合は、赤色のスタイルを選択し、背景色を赤にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスク選好度スケール	リスク評価基準のリスク選好度スケール。選好度スケールは、RAM フォーム内の [ターゲットアセスメント] に対する定性的リスク評価基準に個別にマッピングする必要があります。たとえば、[非常に高い] のリスク評価に対して [意欲的] のリスク選好度スケールを選択できます。このフィールドは、高度なリスクアセスメントのプロパティでリスク選好度機能が設定されている場合にのみ表示されます。将来の選好度ステータスは、定義されたリスク選好度とターゲットリスクプロファイルに基づいて計算されます。 **注:** 将来の選好度ステータスを集計したり、特定のエンティティ、リスクステートメント、または個々のリスクにロールアップしたりすることはできません。

注:
[定性的評価基準] フォームに負の値を入力しないでください。

7. [送信] を選択します。
8. オプション: [ヒートマップを有効化] オプションを選択した場合は、次のアクションを実行できます。
   a. リスクの色スタイルを指定するには、[ヒートマップの色] 関連リストを選択します。
   b. [リスクの色のスタイル] 列で、リスクの色のスタイルを指定します。
   c. [送信] を選択します。
9. 該当するレコードタイプのアセスメント結果のマッピングを定義するには、次のアクションを実行します。

   これらの手順は、オブジェクトでターゲットアセスメントを実施する場合に適用されます。

   a. [アセスメント結果のマッピング] 関連リストを選択します。
   [アセスメント結果のマッピング] 関連リストは、RAM で [アセスメント結果をソースレコードに更新] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

   b. レコードタイプを選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

適用可能なレコードタイプフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
レコードタイプ	該当するレコードタイプの名前。このフィールドは、選択したレコードタイプに基づいて自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ターゲットリスク評価	ターゲットリスク評価値がソースレコードに格納されている列。アセスメントの後、ターゲットリスク評価結果がこのフィールドで選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定性的] または [両方] である場合にのみ表示されます。
ターゲット ALE	ターゲット年次損失予測 (ALE) 値がソースレコードに保存されている列。評価の後、ターゲット ALE の結果がこの項目で選択された列にコピーされます。このフィールドは、[アセスメントの貢献度] フィールドが [定量的] または [両方] に設定されている場合にのみ表示されます。

注:
別のリスクアセスメント方法で同じレコードタイプが使用されている場合、ソースレコードは最新の高度なリスクアセスメントの RAM で定義されたフィールドに基づいて更新されます。

d. [更新] を選択します。

10. [**Publish**] を選択します。

ターゲットアセスメントフォーム

高度なリスク アプリケーションでターゲットアセスメントフォームを使用して、組織内の望ましい今後のリスクレベルを評価します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

ターゲットアセスメントフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	このターゲットアセスメントが属する RAM の名前。このフィールドは選択した RAM に基づいて自動的に設定されます。
ステータス	アセスメントタイプの現在のステータス。このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
計算基準	アセスメントスコアを計算するためのオプション： • 係数応答：ターゲットアセスメントの個々の要素を選択するオプション。 • 固有と同じ要素：固有アセスメントからアセスメントの貢献度、採点ロジック、および要素をコピーするオプション。 • 残存と同じ要素：残存アセスメントからアセスメントの貢献度、採点ロジック、および要素をコピーするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 全体的なアセスメント：要素を選択せずに続行するオプション。査定人は、アセスメントの評価または年次損失予測 (ALE) を直接提供できます。
アセスメントの貢献度	要素の貢献度のタイプ： • 定量的 • 定性的 • 両方 **注:** [計算基準] フィールドで [固有と同じ要素] または [残存と同じ要素] が選択されている場合、[アセスメントの貢献度] フィールドは、固有および残存アセスメントタイプで定義された値に自動的に設定されます。このフィールドは変更できません。
ヒートマップを有効化	Advanced Risk ダッシュボードのヒートマップレポートの表示を有効にするオプション。 **注:** このオプションは、2 つ以上の要素がアセスメントタイプに追加されている場合にのみ選択できます。
固有の評価基準をコピー	固有のアセスメントから定性的評価基準をコピーするオプション。このオプションは、[計算基準] フィールドから [固有と同じ要素] が選択されている場合にのみ表示されます。
残存の評価基準をコピー	残存アセスメントから定性的評価基準をコピーするオプション。このオプションは、[計算基準] フィールドから [残存と同じ要素] が選択されている場合にのみ表示されます。
定性的スコア	
このセクションは、[アセスメントの貢献度] フィールドで [定性的] または [両方] を選択した場合にのみ表示されます。	
定性的採点ロジック	定性的スコアを計算するための計算式。 [定性的採点ロジック] フィールドを変更できるのは、[計算基準] フィールドで値 [要素応答] が選択されている場合のみです。オプションは次のとおりです。 • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [加重平均]：要素の重み付けの平均値。この値は、低、中、または高として分類されます。 • [スクリプト]：カスタムスクリプトを使用して定性的スコアを計算します。[スクリプト] オプションを使用すると、組織固有の要件とリスクアセスメントアプローチに合わせてカスタマイズされた計算方法を作成できます。このオプションは、sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが使用できます。 **注:** sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが、公開されていないアセスメントタイプに対してスクリプトを記述または変更できます。
定量的スコア	
このセクションは、[アセスメントの貢献度] フィールドで [定量的] または [両方] を選択した場合にのみ表示されます。	
定量的採点ロジック	定量的スコアを計算するための計算式。 [定量的採点ロジック] フィールドを変更できるのは、[計算基準] フィールドで値 [要素応答] が選択されている場合のみです。オプションは次のとおりです。 • [合計]：要素応答の合計。 • [最小]：要素応答の最小値。 • [最大]：要素応答の最大値。 • [平均]：要素応答の平均値。 • [積]：要素応答を乗算して導出された値。 • [スクリプト]：カスタムスクリプトを使用して定量的スコアを計算します。[スクリプト] オプションを使用すると、組織固有の要件とリスクアセスメントアプローチに合わせてカスタマイズされた計算方法を作成できます。 **注:** sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみが、公開されていないアセスメントタイプに対してスクリプトを記述または変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
セクションラベル	
このセクションは、RAM フォームで [セクション用語を構成] オプションが選択されている場合のみ表示されます。 **注:** セクションラベルの名前変更は、Advanced Risk アセスメントインターフェイスにのみ適用されますが、レポート、ダッシュボード、ヒートマップ、およびその他の領域で使用される用語は変更されません。	
タイトル	アセスメントタイプのセクションタイトルの名前を変更するオプション。たとえば、ターゲットアセスメントの名前を「将来のアセスメント (Future assessment)」に変更すると、以前にターゲットアセスメントが参照されていたすべてのセクションに新しいタイトルが表示されます。
スコアラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定性的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、ターゲットリスクの名前を「将来のリスク (Future risk)」に変更すると、以前にターゲットリスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
年間損失予測ラベル	アセスメントフォームの [スコアリング] セクションで定量的スコアラベルの名前を変更するオプション。たとえば、ターゲット ALE の名前を「将来の ALE (Future ALE)」に変更すると、以前に ALE リスクが参照されていたスコアリングセクションに新しいタイトルが表示されます。
その他の構成	
アセスメントが必要	ターゲットアセスメントを常に必須にするか、特定の条件に基づいて条件付きで必須にするかのオプション。オプションは次のとおりです。 • [常時]：特定の条件に関係なく、ターゲットアセスメントを必須にするオプション。 • [特定の条件]：条件ビルダーを使用して、特定の条件に基づいてターゲットアセスメントを必須にするオプション。 • [スクリプトによって指定された特定の条件]：事前定義されたスクリプトまたは一連の指示を使用して、ターゲットアセスメントを必須にするオプション。[スクリプト] オプションを使用すると、組織固有の要件とリスクアセスメン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットアセスメントフォーム (続く)

フィールド	説明
	トアプローチに合わせてカスタマイズされた条件を作成できます。 **注:** sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみがスクリプトを記述または変更できます。
ヒートマップ構成	
このセクションは、[ヒートマップを有効化] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。	
X 軸の係数	ヒートマップの X 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のある要素のみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。
Y 軸の係数	ヒートマップの Y 軸に表示される要素。 **注:** [選択肢] タイプの定性的要素または変換基準のあるもののみを選択できます。詳細については、「変換基準」を参照してください。

自動翻訳

リスクの色のスタイルを作成

さまざまなアセスメントタイプとマトリクスに使用するリスクの色のスタイルのライブラリを作成します。リスクの色のスタイルは、背景色とテキストの色の組み合わせです。色のスタイルは、リスクアセスメントを構成するときに一貫性を維持するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

ServiceNow　は、事前設定された色のスタイルを提供します。事前設定された色を変更するか、独自の色スタイルを作成することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスクの色のスタイル.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクの色のスタイルフォーム

フィールド	説明
色のスタイル	テキストと色コードの組み合わせの名前。たとえば、高リスクなどです。
背景色	背景色として表示される色。
テキストの色	テキストの色として表示される色。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
リスクの色のスタイルを使用する準備ができました。

リスクヒートマップを構成

リスクアセスメント方法論 (RAM) 内で、固有および残存アセスメントのヒートマップのビジュアル化を構成します。異なるリスクアセスメント方法論に対して異なるヒートマップを使用します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
事前パッケージ済みのヒートマップウィジェットを使用してヒートマップを構成します。構成されたヒートマップをダッシュボードにマッピングして、RAM のリスク体制を監視します。

手順
1. ヒートマップを追加するダッシュボードに移動します。
2. 右上隅で、選択したアプリケーションを [グローバル] から GRC: 高度なリスク に変更します。
3. ウィジェットを追加するには、右上のプラスアイコン + をクリックします。
4. [ウィジェットを追加] リストから、次のいずれかを選択します。
   - 高度な固有のヒートマップ。
   - 固有ヒートマップまたは残存ヒートマップをそれぞれ設定する場合は、[高度な残存ヒートマップ]。
5. RAM の既存のフィルターを再利用する場合は、次の手順を実行します。
   a. [ウィジェットを追加] リストから [インタラクティブフィルター] を選択します。
   b. [参照] を選択します。
   c. [リスクアセスメント方法論] を選択します。
   または、RAM テーブルに独自のフィルターを作成し、ダッシュボードタブに追加することもできます。

タスクの結果
選択したヒートマップがダッシュボードに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメントスコープを作成し、アセスメントを開始します。

エンティティのリスクを定義および特定するためのリスクアセスメントスコープを作成します。アセスメントの査定人と承認者を特定し、アセスメントの頻度を定義します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて

スコープを作成すると、アセスメントを開始できます。このプロセスは、管理チームに可視性と正確なレポートを提供します。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > リスクアセスメントスコープ > 作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

リスクアセスメントスコープフォーム

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	リスクを評価するために使用するリスクアセスメント方法論 (RAM)。
アセスメント可能なエンティティ	RAM の [適用可能なエンティティクラス] フィールドで選択されたエンティティクラスに関連するエンティティ。このフィールドの値は、選択した RAM で指定されたエンティティクラスに基づいて変更されます。選択したクラスに属するエンティティのみがこのフィールドに表示されます。
所有者	エンティティのオーナー。このフィールドはエンティティオーナーに基づいて自動的に設定されます。

3. フォームを右クリックして保存します。
4. オプション: アセスメントのサマリーを表示するには、[サマリー] セクションをクリックします。[サマリー] セクションには次のフィールドがあります。次のフィールドは、アセスメントスコープにリスクを追加するとき、およびアセスメントを開始するときにのみ入力されます。
   - クローズされたリスクアセスメントの数
   - 未評価リスクの数
   - 継続的なリスクアセスメントの数
5. フォームを右クリックして保存します。
6. 既存のリスクを追加する場合は、次の手順を実行します。
   a. [リスク] 関連リストで、[追加] をクリックして既存のリスクを追加します。
   b. [リスクを選択 (Choose Risks)] ウィンドウで、追加するリスクを選択します。
   c. [リスクを追加 **(Add Risks)**] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. エンティティのコントロールを持たないコントロール目標を選択するには、[ライブラリーから作成] をクリックします。

e. [リスクステートメントを選択 (Choose Risk Statements)] ウィンドウで、適用するリスクステートメントを選択し、[ライブラリーから作成] をクリックします。

f. すべてのリスクレコードまたは選択したリスクレコードの [アセスメントを開始] をクリックします。
選択したレコードが [ドラフト] または [クローズ済み] ステータスであることを確認します。

g. 新しいリスクを追加するには、[新規] をクリックし、詳細を入力して [送信] をクリックします。
新しく追加されたリスクが [リスク] 関連リストに表示されます。

7. 新しい設定を適用するには、[設定]をクリックします。
8. フォームのフィールドに入力します。

査定人、承認者、および頻度フォーム

フィールド	説明
査定人タイプ	リスクの評価を担当するグループまたはユーザー。選択肢は次のとおりです。 ○ リスクオーナーと同じ ○ ユーザーの指定 ○ グループの指定 ○ エンティティオーナーと同じ
査定人	リスクの評価を担当するユーザー。このフィールドは、[査定人タイプ] フィールドから [ユーザーを指定] が選択された場合のみ表示されます。
査定人グループ	リスクの評価を担当するグループ。このフィールドは、[査定人タイプ] フィールドから [グループの指定] が選択された場合のみ表示されます。
アセスメント頻度	アセスメントの頻度。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 週次 ○ 毎月 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 次の再評価日までに予定されていないリスクアセスメントを実行する必要がある場合、次のアセスメント日は前回のアセスメントで設定された頻度に基づきます。たとえば、頻度が月次に設定されていて、1 月 1 日に最初のアセスメントを実行し、1 月 15 日に予定されていないアセスメントを実行した場合、次のアセスメントは引き続き前のアセスメント日に基づきます。
期限切れまでの日数	アセスメントが開始された日からのアセスメントの期日を計算するために使用される数字。たとえば、このフィールドの値が 10 の場合、アセスメントの期日はアセスメントが開始された日から 10 日後になります。デフォルト値は 5 です。
承認者タイプ	リスクの承認を担当するユーザーまたはグループ。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティオーナーと同じ ○ 査定人のマネージャーと同じ ○ ユーザーの指定 ○ グループの指定 ○ なし
承認者	アセスメントの承認を担当するユーザー。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドから [ユーザーを指定] が選択された場合のみ表示されます。
承認者グループ	アセスメントの承認を担当するグループ。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドから [グループの指定] が選択された場合のみ表示されます。

このステップで選択した設定は、このスコープに追加されるすべての新しいリスクに適用されます。

9. フォームを保存するには、[送信] をクリックします。
10. アセスメントを生成するには、[すべてのアセスメントの開始] をクリックします。
アセスメントを生成すると、査定人は、アセスメントが査定人または査定人のグループにアサインされたことを示すメール通知を受け取ります。

次のタスク

評価する必要がなくなったリスクのアセスメントをキャンセルする場合は、アセスメントを選択し、[アセスメントをキャンセル] をクリックします。

注:
リスクアセスメントがキャンセルされると、リスク査定人にキャンセルが通知され、タスクがキューから削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクアセスメントをシミュレート

リスクアセスメントをシミュレートし、ドラフトステータスにある、関連付けられているリスクアセスメント方法論 (RAM) の構成を検証します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

このタスクについて
公開された RAM の構成を変更するには、そのすべてのアセスメントを手動で削除し、RAM ステータスを [ドラフト] に変更する必要があります。リスクアセスメントのシミュレーションでは、RAM がドラフトステータスのときに RAM 構成を検証できます。この機能は、RAM を公開する前に要素、採点ロジック、およびワークフローを検証し、RAM に必要な変更を加えるのに役立ちます。シミュレートされたリスクアセスメントはリスク集計には使用されず、RAM が変更または公開された後に削除されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > リスクアセスメント方法論.
2. 構成を検証する RAM を選択して開きます。

   重要:
   ドラフトステータスの RAM を選択する必要があります。

3. [シミュレート] をクリックします。

   重要:
   このボタンは、選択した RAM のすべてのアセスメントタイプが公開されている場合にのみ表示されます。

   リスクまたはオブジェクトを選択するためのダイアログボックスが表示されます。

4. シミュレートするリスクまたはオブジェクトを選択します。

   重要:
   RAM で指定されたエンティティクラスとテーブルに属するリスクとオブジェクトを選択できます。

5. [送信] をクリックします。
   シミュレートされたリスクアセスメントが作成され、リスクアセスメント番号とともに成功メッセージが表示されます。リスクアセスメント番号をクリックして開くと、アセスメントを実行できます。
6. オプション: 選択した RAM のすべてのシミュレートされたアセスメントを表示するには、[シミュレートされたアセスメントを表示] をクリックします。

アセスメントのインスタンスでリスクとオブジェクトを評価

設定したリスクを評価し、関連する承認者にリスクを再アサインします。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
高度なリスクアセスメントロールを sn_grc.business_user ロールに手動でアサインする必要があります。ロールとグループの付与を調整する方法については、Now Support ナレッジベースの「How to adjust granting of roles and groups to use background jobs (バックグラウンドジョブを使用するためのロールとグループの付与を調整する方法) [KB0963693]」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > リスクアセスメントタスク > 自分のタスク.
   アセスメントは [評価の準備完了] ステータスにあります。
2. アセスメントを開始するには、[評価] をクリックします。
   ワークフローは最初のリスクアセスメントタイプに移行します。特定のアセスメントタイプが設定されていない場合、そのセクションはフォームに表示されません。
3. オプション: アセスメントを再割り当てするには、[再割り当て] をクリックし、アセスメントを再割り当てするユーザーの名前を入力します。
4. [固有のアセスメント] セクションをクリックし、フォームの質問に回答します。

   a. フォームを右クリックして保存します。

   b. 次のアセスメントに移動するには、[固有のアセスメント] をクリックし、フィールドに入力します。

[固有のアセスメント] セクション

フィールド	説明
結果	
計算済み固有リスク	固有のリスクスコア。
計算済みスコアを上書き	計算された固有スコアを上書きするオプション。
計算済み固有 ALE	リスクの計算済み固有 ALE。ALE は、固有のアセスメント要素に基づいて計算されます。
固有リスクを上書き	計算済み固有リスクスコアを上書きするために RAM フォームで構成された値。このフィールドは、[計算済みスコアを上書き] オプションが選択されている場合にのみ利用できます。
固有の ALE を上書き	計算済み固有リスクスコアを上書きする値。値はロールアップに使用されます。
コメント	リスクアセスメント承認者の詳細を提供する追加情報。ユーザーは、計算されたスコアを上書きする理由を入力する必要があります。このフィールドは、[計算済みスコアを上書き] オプションが選択されている場合にのみ必要です。

   c. 必要に応じて、[コメント] 列にコメントを追加します。

   d. [保存して計算] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. コントロールアセスメントを実行するには、[コントロールアセスメントの実行] をクリックし、次の操作を行います。

   a. フォームのフィールドに入力します。

   [コントロールアセスメント] セクション

フィールド	説明
結果	
計算済みのコントロール有効性	コントロール有効性スコア。
計算済みスコアを上書き	計算されたコントロール有効性スコアを上書きするためのオプション。
コメント	リスクアセスメント承認者の詳細を提供する追加情報。このフィールドは、[計算済みスコアを上書き] オプションが選択されている場合にのみ必要です。

   注:
   [コントロールアセスメント] フォームの [計算基準] フィールドで [コントロールの個々のアセスメント] を選択した場合は、ライブラリからのコントロールの作成、既存のコントロールの追加、新しいコントロールの追加、または既存のコントロールの削除を行うことができます。要素に回答するためのガイダンステキストを使用します。コントロールが準拠しているかどうかを判断するには、[ステータス] 列を参照してください。

   b. コントロールを作成、追加、または削除するには、次のいずれかのアクションを実行します。

選択肢	アクション
ライブラリからコントロールを作成する	i. [コントロールを選択 (Choose Controls)] ウィンドウで [ライブラリーから作成] をクリックします。 ii. 必要なコントロール目標を選択します。 iii. [コントロールを追加] をクリックします。
既存のコントロールを追加する	i. [追加] をクリックします。 ii. コントロールを選択します。 iii. [コントロールを追加] をクリックします。
新しいコントロールを作成する	i. [新しいコントロール] ウィンドウのフィールドに入力します。 ii. [送信] をクリックします。
コントロールを削除する	i. [コントロールを選択 (Choose Controls)] ウィンドウで [削除] をクリックします。 ii. 削除するコントロールを選択します。 iii. [コントロールを削除] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクにデフォルトのコントロールがある場合、それらのコントロールは自動的にコントロールアセスメントに追加されます。

c. 評価する必要があるリスクまたはオブジェクトに関連付けられているコントロールがない場合は、[評価するコントロールの緩和はありません] オプションを選択します。
軽減コントロールを評価しない場合、残存リスクはデフォルトで残存アセスメントステージで適用外とマークされます。ただし、リスクに関連する軽減コントロールがある場合、[評価するコントロールの緩和はありません] オプションは表示されません。

d. コントロールの評価をオプトアウトする場合は、[コメント] フィールドに理由を入力します。

e. [保存して計算] をクリックします。

6. 次のアセスメントに移動するには、[残りのアセスメントを実行] をクリックし、次の操作を行います。

a. フォームのフィールドに入力します。

[残存アセスメント] セクション

フィールド	説明
結果	
計算済み残存リスク	残存リスクスコア。
コメント	リスクアセスメント承認者の詳細を提供する追加情報。このフィールドは、[計算済みスコアを上書き] オプションが選択されている場合にのみ必要です。

注:
このステージでは、既存のコントロールと新しいコントロールを追加できます。誤って追加したコントロールを削除することもできます。残存アセスメントに表示される要素は、要素フォームで構成した要素です。これらの要素に対する回答によって、コントロールアセスメントスコアが決まります。スコアは、定性的重み付け、定性的スコア、および定量的スコアに基づいています。

b. 残存リスクを評価するが、軽減コントロールを評価しない場合は、[残存リスクは適用されません] フィールドをクリアします。
残存リスクを評価しない場合は、フィールドは変更しません。

c. フォームを右クリックして保存します。

7. 次のステータスに移動して、評価したリスクに対応するには、[応答] をクリックします。

a. [リスク応答] タブで [リスク応答] をクリックし、次のオプションから 1 つ以上のリスク応答を選択します。

- [なし]：リスクに対する応答を選択しません。
- [承認]：リスクを受け入れて確認します。
- [回避]：リスクまたはその影響を排除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [軽減]：リスクの影響または可能性を減らします。
- [転送]：責任をサードパーティに転送します。

b. フォームを右クリックして保存します。

複数のリスク応答が選択されている場合は、リスク応答タスクが作成されます。

8. [リスク対応タスク] 関連リストをクリックし、タスクを適切なユーザーにアサインし、右クリックしてフォームを保存します。
この関連リストは、RAM 構成中にリスク管理者が [リスク対応を有効にする] オプションを選択した場合にのみ表示されます。

9. [コメント] フィールドにコメントを入力します。

10. このアセスメントのアクティビティを表示するには、[アクティビティジャーナル] をクリックします。

11. アセスメントを終了して承認のために送信するには、[保存] をクリックし、[承認を要求] をクリックします。
リスクアセスメントスコープで選択した承認者は、リスクアセスメントインスタンスを承認または再アサインするためのメール通知を受け取ります。承認者がいない場合、リスクアセスメントインスタンスは [監視] ステータスに移行します。

次のタスク

アセスメントのサマリーを表示するには、[アセスメントのサマリー] をクリックします。

リスク評価

クラシック版リスクアセスメントを使用して、組織内のリスクを評価します。

リスクアセスメントデザイナーを使用してリスクアセスメントを作成

リスクアセスメントデザイナーを使用して、測定基準タイプの作成と編集、リスクごとに異なる測定基準タイプの使用、リスクアセスメントに対する複数の回答者の選択、採点パラメーターの変更を行います。質問集にはさまざまなカテゴリの質問のライブラリが用意されているため、各アンケートを最初から構築する必要はありません。

始める前に

必要なロール：sn_risk.asmt_creator、sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > 管理 > アセスメントタイプ.

2. [リスクアセスメントデザイナー] をクリックします。
デザイナーには次の要素が含まれています。

要素	説明
コントロール	サポートされている質問データのタイプは [Controls] パレットで利用可能です。コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。
質問	さまざまなカテゴリの質問のライブラリで、各アンケートを最初から構築する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	説明
カテゴリ	[デザイン] ビューで開いた新しいアセスメント。アンケートの [名前] フィールドが、キャンバスの最初のカテゴリの上に表示されます。空白の質問フィールドがカテゴリコンテナに表示されます。

3. [名前] フィールドに名前を入力します。
4. コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。

質問コントロール

データタイプ	説明	採点済み
添付ファイル	ユーザーが 1 つまたは複数のファイルを添付できる、[添付ファイルを管理] アイコンがある質問。	Y
ブーリアン	ユーザー応答のためにチェック ボックスまたは [はい/いいえ] リストがある質問。	
選択肢	事前定義済みオプションのリスト。詳細については、[選択肢] の定義を参照してください。	Y
日付	[日付] フィールド。	N
日付/時刻	[日付/時刻] フィールド。	N
番号	事前定義された最小値と最大値を持つ数値フィールド。デフォルトは 1 ～ 10 です。	N
パーセンテージ	範囲が指定されている [パーセンテージ] フィールド。	N
スケール	事前定義されたリッカート尺度。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
数値スケール	選択可能な数値スケール。デフォルトは 1 ～ 5 です。回答オプションはラジオ ボタンとして表示されます。	Y
文字列	1 行または複数行のテキスト フィールド。	N
テンプレート	オプションの事前定義済みスケールを示すテンプレートの選択リスト。	Y
参照	指定された参照テーブルからのフィールドの選択リスト。このデータタイプは参照修飾子をサポートしていません。	

注:
採点する測定基準の正しい答えを設定します。採点済み測定基準は、リスクのコンプライアンスステータスを決定します。

5. キャンバス内のビューを変更するには、次のいずれかのタブをクリックします。

オプション	説明
デザイン	カテゴリーと質問を追加し、それぞれのプロパティを設定します。これは、デザイナーを開

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	いたときのキャンバスのデフォルトのビューです。
設定 (Configuration)	証明書の前書き & 後書きを作成して、署名を選択します。
Availability	証明書の各カテゴリの受信者を選択します。

6. デザイナーの右上にあるメニューアイコンをポイントして、次のいずれかのオプションを選択します。

   注:
   各オプションの可用性は、デザイナーで開いているアセスメントのステータスに依存します。

オプション	説明
保存	現在のアセスメントを保存します。
プレビュー	選択した受信者にプレビューを表示します。
公開	選択した受信者にアセスメントを配布します。
保存して公開	ワンステップでアセスメントを保存して配布します。
新しい証明書	新しいアセスメントの新しいキャンバスを開きます。
証明書をロード	選択して編集できる既存のアセスメントのリストを開きます。

   他のタイプのアセスメントとは異なり、リスクアセスメントは セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ 数百のコントロール証明書が一度に生成される可能性があるためです。代わりに、リスクアセスメントは リスク > リスク登録 > 自分のアセスメント および リスク > リスク登録 > すべてのアセスメント 移動します

アセスメントタイプを作成

リスクマネージャーは、リスクアセスメントごとに新しい質問セットを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.asmt_creator、sn_risk.manager、または sn_risk.administrator

手順

1. 移動先 すべて > リスク > 管理 > アセスメントタイプ.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントタイプの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アセスメント期間	アセスメントが生成された時点から、査定人が割り当てられたアンケートを完了するのに必要な時間の数です。
テーブル	評価するレコードを含むテーブル。指定した条件があれば、このテーブルで条件を満たすレコードに対するアセスメント可能なレコードが作成されます。一致するレコードの数は、[条件] フィールドにリンクとして表示されます。テーブルの選択を変更すると、リンクが動的に更新されます。リンクをクリックすると、一致するレコードリストが新しいタブまたはウィンドウで開きます。 **注:** 特定のテーブルのレコードを表示するには、さらにロールが必要です。アクセス権のないテーブルを選択すると、一致するレコードの数があるはずの [条件] フィールドによって警告メッセージが表示されます。十分なロールがないテーブルに対しては、アセスメント可能なレコードを生成することはできません。
尺度値	アセスメント結果の最高スコアを表す数。このタイプのアセスメントのすべての結果は、この数値にスケールされます。10 は一般的には良い尺度値です。 **注:** このフィールドは値を含むと読み込み専用になり、測定基準タイプを保存します。測定基準タイプを保存する前に、満足している尺度値を選択します。
条件	選択されたテーブルから評価する特定のレコードを定義する条件ビルダー。条件をまったく指定しないと、選択したテーブルのすべてのレコードに対してアセスメント可能なレコードが作成されます。リフレッシュ アイコンをクリックすると、隣接するレコード数が更新されます。 **注:** テーブルまたは条件を変更する場合は、[アセスメント可能なレコードを生成] をクリックして、新しいアセスメント可能なレコードを作成する必要があります。
説明	このタイプに関する有用な情報。タイプとその目的の明確な説明を入力します。
ステータス	アセスメントのステータス：[ドラフト] または [公開]
条件を強制	選択したテーブルまたは条件を変更したときにアセスメント可能なレコードに何が起こるかを決定するオプション。
ロール	このタイプに関連付けられた結果とアクセス レコードを表示できる追加のユーザー ロール。指定されたロールを持つユーザーは、このタイプのレコード、ならびに関連付けられているカテゴリ、測定基準、アセスメント可能なレコードとスコアカード、カテゴリユーザー、ステークホルダー、および意思決定マトリクスへの読み取りアクセス権を持ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: これらのロールを持つユーザーは、同時にアセスメント管理者でなければ、アセスメント モジュールにアクセスできません。これらのロールを持つユーザーは、アセスメントのインスタンスの参照フィールドからなど、他の手段でレコードに移動できます。このフィールドには、特別な場合に特定のユーザーに特定のアセスメント データへのアクセス権を簡単に付与するオプションがあります。たとえば、ベンダー測定基準タイプは、vendor_manager ロールを持つユーザーにアクセス権を提供するため、これらのユーザーは Vendor Performance アプリケーションでスコアカードや意思決定マトリクスを開いたとき、結果を表示し、アセスメント可能なレコードを比較することができます。

4. [送信] をクリックします。

ポリシー例外のリスクを評価

ポリシー例外要求のレビュー後、要求の承認または却下を決定する前に、コンプライアンスマネージャーはリスクマネージャーによるリスクアセスメントの要求を選択できます。

始める前に
必要なロール：コンプライアンスマネージャー

このタスクについて
詳細については、「ポリシーの例外と延長を管理」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > 自分のポリシー例外.
2. ポリシー例外を選択します。
3. 必要に応じてフォームの詳細を確認します。
4. [ビジネスインパクト分析] タブをクリックし、次のフィールドを更新します。

[ポリシー例外要求ビジネスインパクト分析] タブ

フィールド	値
リスク詳細	リスクの説明。
残りの可能性	リスクが発生する可能性。[なし] 以外の場合は、このリスクが発生する可能性を選択します。 ○ **5 –** 可能性が非常に高い ○ **4 –** 可能性がある ○ **3 –** どちらでもない ○ **2 –** 可能性は低い ○ **1 –** 可能性は非常に低い
残存影響度	リスクの残存影響度。[なし] 以外の場合は、このリスクの残存影響度を選択します。 ○ **5 –** 非常に高い ○ **4 –** 高

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	○ **3 -** 中 ○ **2 –** 低 ○ **1 –** 非常に低い
残存スコア	残存の可能性と残存の影響度評価を選択した後に計算される値： ○ **5 –** 非常に高い ○ **4 –** 高 ○ **3 -** 中 ○ **2 –** 低 ○ **1 –** 非常に低い

5. 次のいずれかのアクションを実行します。

6. [更新] をクリックします。

リスクを評価

リスクは [ドラフト] ステータスから開始し、[評価] ステータスに移行します。

始める前に
必要なロール：sn_grc.user

このタスクについて
リスクアセスメントが セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ 数百件の GRC アセスメントレコードが一度に生成される可能性があるためです代わりに、リスクアセスメントは個別のリストビューに表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > 自分のアセスメント.

2. アセスメントを開き、詳細を確認します。

オプション	説明
質問に回答できない場合	**a.** [アサイン先] フィールドで別のユーザーにアセスメントを再アサインします。 **b.** [更新] をクリックして、プロジェクトレコードを保存して閉じます。 **注:** sn_grc.user ロールを持つユーザーにのみアセスメントを再アサインできます。 アセスメントを別のユーザーに再アサインすると、アセスメントのリストが更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
質問に回答できる場合	**a.** [アセスメントを実施] をクリックします。 **b.** 質問に回答し、必要に応じて情報を添付します。 **c.** [送信] をクリックします。 [アセスメントを実施] ポップアップウィンドウを閉じると、アセスメントのリストが更新されます。

ビジネスプロセスを管理

組織内でビジネスプロセスを作成および管理します。

ビジネスプロセスを作成

ビジネスプロセスを作成し、オーナー、承認者、事業上の重要度、およびプロセスのレビュー頻度を定義します。

始める前に

必要なロール：business_process_admin

手順

1. 移動先 すべて > **CSDM** > デザイン > ビジネスプロセス.

2. [新規] をクリックします。

3. フォームのフィールドに入力します。

ビジネスプロセスフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスプロセスの名前。
親	親ビジネスプロセス。 **注:** 親プロセスが存在する場合は、ビジネスプロセスの階層が作成されます。
ライフサイクルステージ	ビジネスライフサイクルにおけるビジネスプロセスのステージ。ステージによってステータスが決定され、アクションが表示されます。 **注:** [ドラフト] ステータスのプロセスのフォームを保存すると、このフィールドは自動的に [観念化] に設定されます。
レビュー頻度	ビジネスプロセスをレビューする頻度。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージでのビジネスプロセスのステータス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [ドラフト] ステータスのプロセスのフォームを保存すると、このフィールドは自動的に [評価中] に設定されます。
次のレビュー日時	ビジネスプロセスを確認する必要がある予定日。このフィールドの値は、ビジネスプロセスが承認された後にのみ自動的に設定されます。
説明	ビジネスプロセスの簡単な説明。説明には、背景、実際のステップ、ビジネスプロセスのインタラクションを含めることができます。
所有権	
管理担当者グループ	このビジネスプロセスを維持するグループ。
承認グループ	ビジネスプロセスをレビューおよび承認する必要があるグループ。
所有者	ビジネスプロセスを担当するユーザー。このユーザーは、[管理担当者] グループのメンバーです。
ビジネスへの影響度	
宣言された事業上の重要度	主観的アセスメントに基づくビジネスプロセスの重要性。以下から選択可能です。 ○ **1-** 最重要 ○ **2-** ある程度重要 ○ **3-** やや重要 ○ **4-** 重要ではない
機密性への影響度	機密性の損失のリスクのリスク評価。機密性の損失は機密情報の漏洩につながります。選択肢は次のとおりです。 ○ 高 ○ 中 ○ 低
可用性への影響度	可用性の損失のリスクのリスク評価。システムが使用できない場合、意思決定の遅延、ビジネスの中断、収益の損失、および顧客の不満の原因になる可能性があります。選択肢は次のとおりです。 ○ 高 ○ 中 ○ 低
決定された事業上の重要度	サブプロセスのアセスメントに基づいた、このビジネスプロセスの計算された重要度。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ **1-** 最重要 ○ **2-** ある程度重要 ○ **3-** やや重要 ○ **4-** 重要ではない
完全性への影響度	完全性への影響度のリスクのリスク評価。完全性への影響度は、ブランド、評判、および人に対する罰金や損害など、ビジネスと従業員に影響を与えます。選択肢は次のとおりです。 ○ 高 ○ 中 ○ 低

4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   レコードが [ドラフト] ステータスに移行します。
5. レビューおよび承認のためにレコードを送信するには、[レビュー] をクリックします。
   [ライフサイクルステージ] フィールドおよび [ライフサイクルステージステータス] フィールドの値が変更されます。[承認] 関連リストが表示され、承認リストのメンバーが承認リストを表示できます。

ビジネスプロセスを承認、却下、または削除

新しいビジネスプロセスが承認者を特定した場合、公開する前に承認者はプロセスをレビューして承認する必要があります。承認者は、必要に応じてプロセスを却下または削除することもできます。

始める前に

必要なロール：business_process_manager

手順

1. 移動先 サービスデスク > 自分の承認.
2. 承認するレコードを開きます。
3. [ステータス] フィールドで、次のいずれかのオプションを選択します。
   - 未要求
   - 要求済み
   - 承認済み
   - 却下
   - キャンセル
   - 不要
4. [コメント] フィールドに必要に応じてコメントを入力します。
   レビュー担当者がレコードを却下する場合、レビュー担当者はコメントを入力する必要があります。
5. 次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフレームワークを作成してリスクステートメントを関連付ける

リスクマネージャーは、リスクステートメントを管理可能なカテゴリにグループ化するリスクフレームワークを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスクライブラリー > フレームワーク.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスクフレームワークフォーム

フィールド	説明
番号	一意の識別番号が自動的に入力される読み取り専用フィールド。
有効	リスクフレームワークがアクティブかどうかを示すオプション。
名前	リスクフレームワークの名前。
説明	リスクフレームワークの説明。
追加情報	このリスクフレームワークの追加情報。

4. [送信] をクリックします。
5. リストからリスクフレームワークを選択して再度開きます。
6. [リスクステートメント] 関連リストで、[編集] を選択してリスクステートメントをリスクフレームワークに追加します。
7. [保存] をクリックします。

リスクステートメント階層を定義

リスクマネージャーは、リスクステートメントフォームで親と子の関係を確立します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> ステートメントフィールド ([名前]、[説明]、[参照]、[カテゴリ]、[タイプ]、[分類]、および [証明書]) のいずれかが変更されると、関連付けられているすべてのコントロールとリスクが更新され、そのステータスが [ドラフト] に戻されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクステートメントフォーム

フィールド	説明
名前	リスクステートメントの名前。
親* このフィールドは、高度なリスク がダウンロードされている場合にのみ表示されます。	このリスクステートメントの親リスクステートメント。 ○ ユーザーは分類構造から適切な親を選択します。 ○ 親が指定されていない場合、リスクステートメントはツリーのルートになります。 ○ 組織内にこれらのルートタイプのリスクステートメントが複数存在する可能性があります。 ○ リスクステートメントを別のリスクステートメントの親と子の両方にすることはできません。
フレームワーク	このリスクステートメントが関連付けられているフレームワーク。
カテゴリ	カテゴリを選択します。 ○ 法務 ○ 財務 ○ 稼働 ○ 評判 ○ 法務/規制 ○ クレジット ○ 市場 ○ IT
アセスメント	リスクステートメントに関連付けられたアセスメント。
問題グループルール	レポートおよびダッシュボードのためにこのリスクステートメントに割り当てられた問題グループルール。
説明	リスクステートメントの説明。
追加情報	このリスクステートメントの追加情報。
デフォルトスコア	
固有 SLE	緩和戦略が実施される前に発生したリスクの金銭的価値。
残存 SLE	すべての緩和戦略が実施された後に発生するリスクの金銭的価値。
固有 ARO	緩和戦略が実施される前の特定の年にリスクが発生する可能性。
残存 ARO	すべての緩和戦略が実施された後、特定の年にリスクが発生する可能性。

自動翻訳

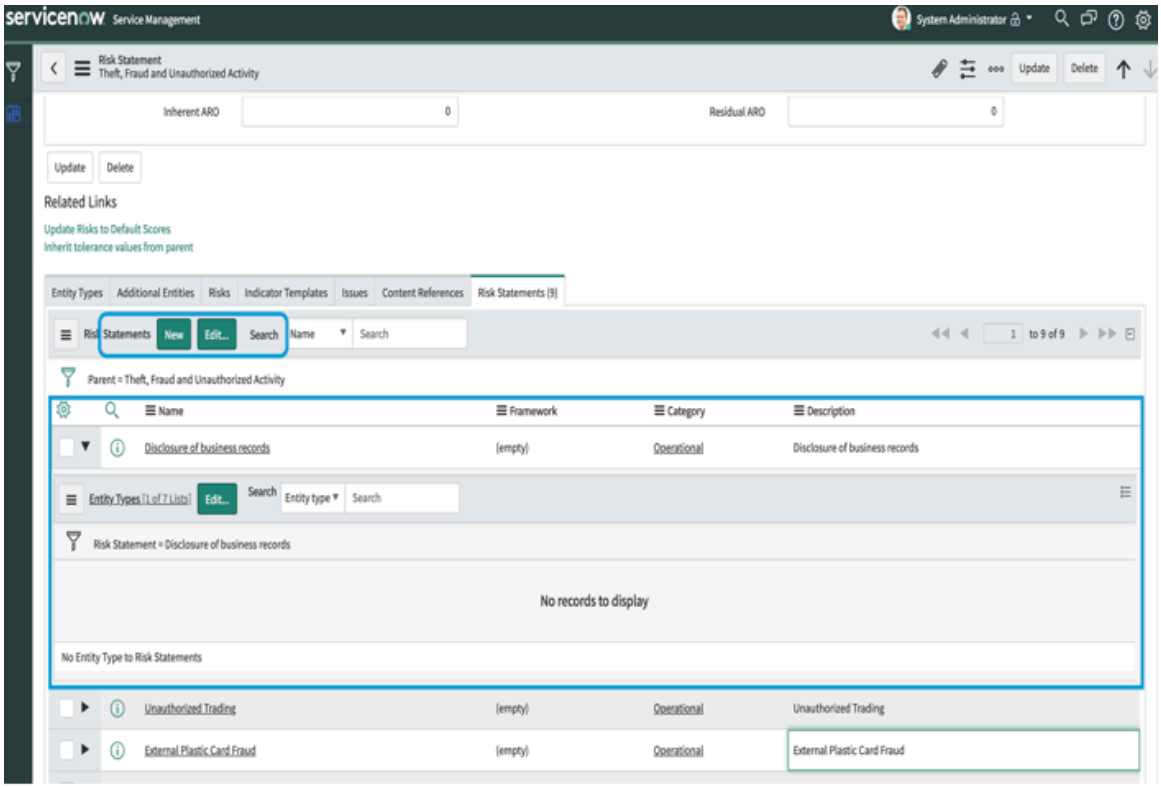
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスクロールアップと許容範囲* このタブは、高度なリスク がダウンロードされている場合にのみ表示されます。	
予想 ALE	予想 ALE の通貨と金額を入力します。 注: この値は、[許容可能な最大 **ALE]** 以下である必要があります。
許容可能な最大 ALE	許容可能な最大 ALE の通貨と金額を入力します。 注: この値は、[予想 **ALE]** 以上である必要があります。
計算済み ALE の合計	これは、根底にあるすべてのリスクまたはリスクステートメントに基づく計算です。
計算済み平均 ALE	これは、根底にあるすべてのリスクまたはリスクステートメントに基づく計算です。
計算済み最大 ALE	これは、根底にあるすべてのリスクまたはリスクステートメントに基づく計算です。
計算済み最小 ALE	これは、根底にあるすべてのリスクまたはリスクステートメントに基づく計算です。
許容範囲ステータス	許容値に基づいて自動的に計算されます。 ○ [計算済み **ALE]** が [予想 **ALE]** 以下の場合 = 緑色の [許容範囲内] ○ [計算済み **ALE]** が [予想 **ALE]** より大きいものの、[許容可能な最大 **ALE]** 以下の場合 = オレンジの [要注意] ○ [計算済み **ALE]** が [許容可能な最大 **ALE]** より大きい場合 = 赤の [許容できない]
計算済みスコア	計算済み ALE に対応するスコア： ○ 低 ○ 中 ○ 高

4. [送信] をクリックします。
5. 子リスクステートメントを追加するには、[リスクステートメント] 関連リストをクリックして、[新規] をクリックします。
6. フォームで適宜フィールドに入力し、[送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. このリスクステートメントに関連するすべての子リスクステートメントを追加するまで繰り返します。

リスクステートメントを作成

リスクマネージャーは、リスクを管理可能なカテゴリにグループ化するリスクステートメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:**
> ステートメントフィールド ([名前]、[説明]、[参照]、[カテゴリ]、[タイプ]、[分類]、および [証明書]) のいずれかが変更されると、関連付けられているすべてのコントロールとリスクが更新され、そのステータスが [ドラフト] に戻されます。

リスクステートメントフォーム

フィールド	説明
名前	リスクステートメントの名前。
親	親リスクステートメント。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フレームワーク	このリスクステートメントが関連付けられているフレームワーク。
カテゴリ	カテゴリを選択します。 ○ 法務 ○ 財務 ○ 稼働 ○ 評判 ○ 法務/規制 ○ クレジット ○ 市場 ○ IT
アセスメント	このリスクステートメントにアサインされるリスクアセスメントテンプレート。アセスメントテンプレートは、リスクを評価するために使用されるアンケートです。
説明	リスクステートメントの説明。
追加情報	このリスクステートメントの追加情報。

注:
正確なデフォルトスコアリングの選択は、組織全体でリスクを正規化するために重要です。

4. [リスク選好度] セクションのフィールドに入力するには、「リスクステートメントのリスク選好度を定義」を参照してください。
5. [デフォルトスコア] 関連リストをクリックし、必要に応じてフォームのフィールドに入力します。

デフォルトスコアフォーム

フィールド	説明
固有 SLE	イベントをチェックするコントロールがない場合に、イベントが組織に与える影響。
残存 SLE	イベントをチェックするコントロールがある場合に、イベントが組織に与える影響。
固有 ARO	イベントをチェックするコントロールがない場合にイベントが発生する可能性。
残存 ARO	イベントをチェックするコントロールがある場合にイベントが発生する可能性。

6. [リスクロールアップおよび許容範囲] 関連リストをクリックして、フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクロールアップおよび許容範囲フォーム

フィールド	説明
予想 ALE	年次損失予測 (ALE) は、年次発生率 (ARO) と単一損失予測 (SLE) の積を指します。予想 ALE は、リスクステートメントの ALE の予想値です。予想 ALE の通貨と金額を入力します。 **注:** この値は、[許容可能な最大 **ALE]** 以下である必要があります。
計算済み ALE の合計	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の合計に基づいています。
計算済み最大 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最大値に基づいています。
許容可能な最大 ALE	リスクステートメントの ALE のしきい値。 **注:** この値は、[予想 **ALE]** 以上である必要があります。この値は、[許容範囲ステータス] フィールドに影響します。
計算済み平均 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の平均に基づいています。
計算済み最小 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最小値に基づいています。
計算済みスコア	計算済み ALE に対応するスコア： ○ 低 ○ 中 ○ 高

7. **[Basel** カテゴリ化] 関連リストをクリックし、[Basel カテゴリ化階層] を選択します。
   Basel のカテゴリは次のとおりです。
   - 内部詐欺：資産の不正流用、脱税、意図的な誤ったポジション、贈賄。
   - 外部詐欺：情報の盗難、ハッキングによる損害、第三者による盗難および偽造。
   - 雇用慣行と職場の安全：差別、労働者の報酬、従業員の健康と安全。
   - クライアント、製品、およびビジネスプラクティス：市場操作、反トラスト、不適切な取引、製品の欠陥、違反、アカウントの解約。
   - 物理資産への損害：自然災害、テロ、破壊行為。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビジネス中断とシステム障害：ユーティリティの中断、ソフトウェア障害、ハードウェア障害。
- 実行、配送、およびプロセス管理：データ入力エラー、会計エラー、失敗した必須レポート、クライアント資産の不注意による損失。

8. [送信] をクリックします。

GRC: ワークベンチ を使用してリスク階層を可視化

リスクユーザーは、GRC: ワークベンチを使用してリスクステートメントの階層を表示できます。

始める前に

GRC: Workbench (app-grc-workbench) プラグインをアクティブ化します。

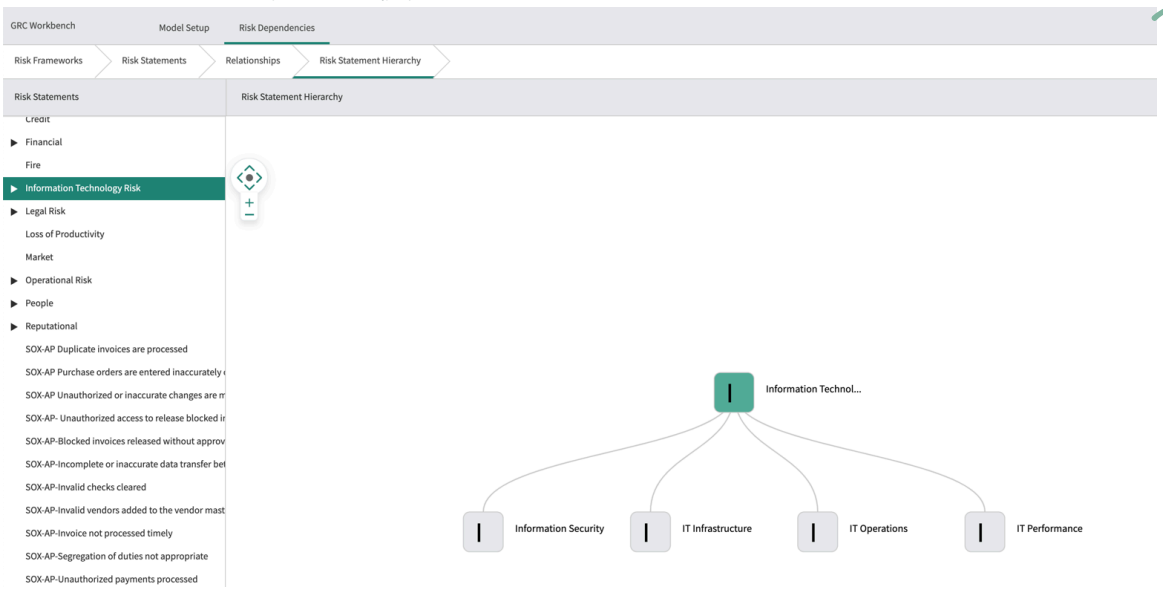
必要なロール：sn_risk.reader

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **GRC** ワークベンチ.
2. [リスクの依存関係] をクリックします。
3. [リスクステートメント階層] をクリックします。
4. 左側のペインで、リスクステートメント階層を可視化するリスクステートメントをクリックします。

Example
たとえば、情報技術リスクステートメントの階層を確認する場合は、[情報技術リスク (Information Technology Risk)] をクリックすると、情報セキュリティ、IT インフラストラクチャ、IT 運用、IT パフォーマンスなどの親リスクステートメントと子リスクステートメントを表示できます。
リスクステートメント階層が表示されます。

リスクステートメント階層を可視化する



リスクフレームワークからリスクを生成

リスクフレームワークと関連付けると、自動的にリスクが作成されます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.admin および sn_risk.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクフレームワーク.
2. リスクフレームワークレコードを開きます。
3. [エンティティタイプ] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. リスクフレームワークに関連付けるエンティティタイプを選択し、[保存] をクリックします。
   すべてのリスクステートメントがエンティティタイプに関連付けられ、エンティティタイプ内のすべてのエンティティに対してすべてのリスクステートメントにリスクが作成されます。

リスクステートメントからリスクを生成

リスクステートメントと関連付けると、自動的にリスクが作成されます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin および sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. リスクステートメントレコードを開きます。
3. [エンティティタイプ] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. リスクステートメントに関連付けるエンティティタイプを選択し、[保存] をクリックします。
   リスクステートメントに基づいて、エンティティタイプ内のエンティティごとに 1 つのリスクが生成されます。

リスクを相互に関連付ける

リスク間の関係性を作成して、リスクがどのように相互に影響するか、またどのように企業に影響を与えるかについて理解を深めます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager または sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リスクを開きます。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
現在のリスクが別のリスクのダウンストリームであることを指定する	[アップストリームリスク **(Upstream Risks)**] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。
現在のリスクが別のリスクのアップストリームであることを指定する	[ダウンストリームリスク] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。

4. 現在のリスクに関連付ける目標のリスクを選択して、[関係性を作成] をクリックします。
5. ポップアップウィンドウで、現在のリスクに関連付けるすべての目標のリスクを選択して、[関係性を作成] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクを手動で作成

リスク管理者は、価値の利益または損失の可能性を確認したときにリスクレコードを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.user

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > 新規作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

リスクフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
リスクステートメントから継承	リスクステートメントに依存しないリスクを作成するオプション。
有効	リスクがアクティブかどうかを示すオプション。
名前	リスクの名前。リスクがリスクステートメントから生成された場合、フィールドは自動的に入力されますが、リスクとリスクステートメントの関係に影響を与えることなく変更できます。
説明	リスクとそれが組織にとってどのように脅威であるかの説明。
リスクステートメント	このリスクが関連付けられているリスクステートメント。
カテゴリ	プロファイルに適用されるリスクのカテゴリ。 ○ 法務 ○ 財務 ○ 稼働 ○ 評判 ○ 法務/規制 ○ クレジット ○ 市場 ○ IT リスクがリスクステートメントから生成される場合、フィールドは自動的に入力されます。
エンティティ	リスクに関連するエンティティ。 **注:** アクティブなエンティティのみが表示されます。
所有グループ	リスクの所有グループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスクの関連性	このリスクがどのように適用されるかの説明。 注: このフィールドは、[リスクステートメントから継承] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
所有者	リスクのオーナー。 注: オーナーは常に回答者として追加されます。

3. [アセスメントのサマリー] タブをクリックします。
このタブは、プラグインがアクティブ化されている 高度なリスク 場合にのみ表示されます。プライマリとして選択されたリスクアセスメント方法論のスコアが、リスク採点セクションに表示されます。高度なリスクプラグインが有効になっていない場合は、クラシック版リスクの次のセクションが表示されます。
4. [リスク選好度] セクションのフィールドに入力するには、「リスクのリスク選好度を定義」を参照してください。
5. フォームのフィールドに入力します。

リスクスコアリングフォーム

フィールド	説明
注: これらのフィールドは、従来のリスクに対して表示されます。	
アセスメント	このリスクに添付するアセスメント。 注: データ保護影響度評価 (DPIA) に対してこのリスクを定義する場合は、[GDPR DPIA アセスメント (GDPR DPIA Assessment)]を選択します。
アセスメント回答者	このリスクのアセスメントにアサインされたユーザー。 注: sn_grc.user ロールを持つユーザーのみを応答者として追加できます。

[アセスメント] と [アセスメント回答者] フィールドの両方が設定されている場合、[評価] をクリックするとアセスメントが作成されます。

6. [採点] タブをクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクスコアリングフォーム

フィールド	説明
注: これらのフィールドは、従来のリスクに対して表示されます。	
固有 SLE	緩和戦略が実施される前に発生したリスクの金銭的価値。
残存 SLE	すべての緩和戦略が実施された後に発生するリスクの金銭的価値。
固有 ARO	緩和戦略が実施される前の特定の年にリスクが発生する可能性。
残存 ARO	すべての緩和戦略が実施された後、特定の年にリスクが発生する可能性。
固有 ALE	軽減戦略を実施する前の年間損失予測 ALE = SLE x ARO。
残存 ALE	すべての軽減戦略を実施した後の年間損失予測 ALE = SLE x ARO。
固有スコア	いずれかの緩和戦略が実施される前のリスクのスコア。
残存スコア	すべての緩和戦略が実施された後のリスクのスコア。
計算済み ALE	すべての計算に基づく年次損失予測。
計算済みスコア	計算済み ALE の対応するスコア。

8. [応答] タブをクリックします。
9. フォームのフィールドに入力します。

リスク応答フォーム

フィールド	説明
応答	○ 受け入れ ○ 回避 ○ 軽減 ○ 譲渡
正当性	選択した応答の合理的な理由を入力します。

10. [監視] タブをクリックします。

リスク監視フォーム

フィールド	説明
コントロール準拠の割合	コントロール準拠率

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コントロール非準拠の割合	コントロール非準拠率
コントロール失敗ファクタ	コントロールの重み付けの合計で除算した失敗したコントロールの重み付けの合計
インジケータ失敗ファクタ	関連付けられている各インジケーターの前回の結果を使用します。関連付けられているインジケーターの合計数で除算した前回の失敗した結果の数。
計算済みリスク要因	この値は、(インジケーター失敗要因 + コントロール失敗要因) / 2 で計算されます。

11. [アクティビティジャーナル] タブをクリックします。
12. 必要に応じて、追加のコメントを入力します。
13. [送信] をクリックします。

リスクをフォロー

Connect は リスク管理 と統合され、標準インターフェイスへのオーバーレイを提供します。これにより、ユーザーはリスクレコードで作業、共同作業を行うことができます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.user
Connect の詳細については、「Connect」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リストからリスクレコードを開きます。
3. [フォロー] タブをクリックして、次のいずれかのアクションを実行します。

コントロールをリスクに追加

プロセスの継続的なレビューのためリスクにコントロールを追加します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager および sn_compliance.manager

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > リスク > リスク登録 > すべてのリスク
2. リストからリスクレコードを開きます。
3. 次のオプションのいずれかで続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コントロール目標とリスクステートメントが関連付けられており、コントロールエンティティがリスクエンティティに一致する場合、リスクコントロールの関連付けが作成されます。
- コントロール目標をリスクステートメントに関連付けた後に作成されたリスクとコントロールは、すぐにはリスクステートメントに関連付けられません。これらは、*GRC Profile Generation* ジョブスケジュールが実行されると、関連付けられます。
- コントロールを手動でリスクから削除した場合、そのコントロールはジョブスケジュールによって再作成されません。必要に応じて、手動で再作成する必要があります。

関連情報

リスクワークスペースでリスクステートメントをコントロール目標に関連付ける

GRC の問題を手動で作成する

GRC ユーザーは、手動で問題を作成して、ポリシー、リスク、または監査観察事項を文書化するか、GRC の問題を受け入れることができます。問題のソースを特定して、問題の分析と分類を行うこともできます。

始める前に
必要なロール：(製品ごと)

- In ポリシーとコンプライアンス管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- In リスク管理: sn_grc.business_user, sn_grc.business_user_lite
- : Audit Managementsn_grc.business_user sn_grc.business_user_lite

注:
上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

問題に対するアクセス制御の制限の詳細については、「GRC business user role to control access and track usage of compliance tables (コンプライアンステーブルのアクセスを制御し、使用状況を追跡するための GRC ビジネスユーザーロール)」を参照してください。

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > 問題 > 新規作成.
   - リスク > 問題 > 新規作成.
   - 監査 > 問題 > 新規作成.

   注:
   上記の製品のバージョン 12.0.1 以降では、問題フォームの [アサイン先] ユーザーの最低限のロールは GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user] です。[問題マネージャー] の最低限のロールは GRC ユーザー [sn_grc._user] です。

2. フォームのフィールドに入力します。

問題フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	この問題がアサインされているグループ。この問題でアクティビティが発生すると、各メンバーは通知を受信します。
アサイン先	問題を解決するためにアサインされたグループのメンバー。 バージョン 12.0.1 以降、ユーザーには少なくとも sn_grc.business_user ロールが必要です。 **注:** 問題のアサイン先にする必要があるユーザーについての提案を得るには、電球アイコンを使用します。電球アイコンは、GRC: Predictive Intelligence アプリケーションが有効になっており、フォームが保存され、[アサイン先] フィールドが非アクティブになっており、GRC プロパティが類似性分析として選択されている場合にのみ表示されます。詳細については、「GRC のプロパティ」を参照してください。 問題レコードにアクセスするユーザーの階層を構成できます。詳細については、「User hierarchy access control for issue and remediation task records (問題および修正タスクレコードのユーザー階層のアクセス制御)」を参照してください。 バージョン 12.0.1 以降では、問題マネージャーがより多くの情報を要求すると、アサイン先ユーザーにメール通知が送信されます。 バージョン 12.0.1 以降、問題が [対応] ステータスに移行する場合、[アサイン先] フィールドへの入力は必須です。
問題ソース	問題が作成されたソース。このフィールドには、問題の作成方法に基づいて次のいずれかのオプションが自動的に入力されます。 ○ インジケーター失敗：問題はインジケーターの失敗によって作成されます ○ リスクアセスメント：問題はリスクで作成されます ○ リスクイベント：問題はリスクイベントで作成されます ○ コントロール証明書失敗：問題は非準拠コントロールが原因で作成されます ○ コントロールテスト失敗：問題は、コントロールが無効で、コントロールテストが完了

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	してクローズとしてマークされたときに作成されます ○ アドホック：問題は手動で作成されます
問題タイプ	問題の種類。選択肢は次のとおりです。 ○ コントロール設計有効性の問題 ○ コントロール運用有効性の問題 ○ コントロールは要件を満たしていません ○ コントロールが存在しません ○ 規制への非準拠 ○ ポリシーへの非準拠 ○ 既存のポリシーに対する改善または提案 ○ 新しいポリシーの推奨事項 ○ プロセスの最適化または改善 ○ 観察事項 ○ データ漏洩 ○ 詐欺 ○ 虚偽 ○ トレーニング ○ ドキュメント ○ リスク問題 ○ その他
分類	問題タイプに基づく、リスク、コンプライアンス、または監査としての問題の分類。
問題マネージャーグループ	問題の管理とレビューを担当するグループ。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 ○ 問題マネージャーグループのメンバーは、次のいずれかのロールが必要です。 ▪ sn_audit.manager ▪ sn_audit.user ▪ sn_compliance.manager ▪ sn_compliance.user ▪ sn_grc.manager ▪ sn_grc.user ▪ sn_risk.manager ▪ sn_risk.user ○ 問題が [分析] ステータスに移行するときは、[問題マネージャーグループ] または [問

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	題マネージャー] フィールドのいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題がグループにアサインされると、メンバーはメール通知を受信します。さらに、問題が [レビュー] ステータスに移行すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。
問題マネージャー	問題の管理とレビューを担当するユーザー。 バージョン 12.0.1 以降、次の機能拡張と要件が導入されました。 ○ 問題マネージャーには、少なくとも sn_grc.user ロールが必要です。 ○ アサイン先ユーザーが要求された情報を提供すると、問題マネージャーはメール通知を受信します。 ○ 問題が [分析] ステータスに移行する場合、このフィールドまたは [問題マネージャー] のいずれかへの入力が必須です。 ○ 問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
ステータス	○ 新規 ○ 分析 ○ 応答 ○ 評価 ○ 完了してクローズ ○ 未完了でクローズ
サブステート	サブステートとサブステートに適用される詳細。
優先度	問題を解決すべき順序 (影響度と緊急度に基づく) : ○ **1 -** 重大 ○ **2 -** 高 ○ **3 -** 中 ○ **4 -** 低 ○ **5 -** 計画中
問題評価	バージョン 12.0.1 以降、問題マネージャーは問題に問題評価をアサインすることができます。問題評価に基づいて、[日付] タブの下にある [期日] が次のように計算されて表示されます。 ○ 非常に高い (2 日) ○ 高 (4 日)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 中 (8 日) ○ 低 (10 日) ○ 非常に低い (15 日) [期日] は手動で上書きできます。 **注:** sn_grc.manager および sn_grc_advanced.issue_triage_manager ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 **Policy and Compliance** > 管理 > 問題評価 追加の問題評価を定義します。 問題が [対応] ステータスに移行すると、[問題評価] フィールドは読み取り専用になります。
問題グループルール	この問題にアサインされたグループルール。問題グループルールは、ルールで定義された条件に基づいて類似した問題を親問題にまとめてグループ化するために使用されます。このルールにより、同様の問題を同時に処理し、すべての問題が解決された後に親問題をクローズすることができます。それにより、すべての子問題がクローズされます。
親問題	この問題が属する親問題。
構成アイテム	この問題に関連付けられているアイテム。すべての子問題に同じ構成アイテムがある場合、親問題にコピーされます
場所	問題が発生した場所。
簡単な説明 バージョン 12.0.1 以降、このラベルは [名前] に変更されました。	問題の名前。
説明	問題のより包括的な説明。
詳細	
コントロール/リスク	この問題に関連付けられたコントロールまたはリスク。 コントロールが関連付けられると、コントロールの対応するエンティティが [エンティティ] フィールドに追加され、コントロール目標が [コントロール目標/リスクステートメント] フィールドに追加されます。これらのコントロール目標とエンティティは、このコントロールにリンクされているものです。 コントロールが問題フォームに関連付けられると、m2m レコードがソース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[sn_grc_m2m_issue_item] テーブルに作成されます。レコードがソーステーブルに追加されるたびに、対応するレコード [問題からエンティティ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_to_entity] テーブルに追加され、コントロールの関連付けられたエンティティとコントロール目標の別のレコード [問題からコンテンツ] が宛先 [sn_grc_m2m_issue_content] テーブルに追加されます。
エンティティ	関連エンティティ。
ポリシー	問題に関連付けられたポリシー。
各種法令・基準等	問題に関連付けられた各種法令・基準等。
コントロール目標/リスクステートメント	この問題に関連するコントロール目標またはリスクステートメント。
推奨事項	リスク、コンプライアンス、または監査チームによって推奨される解決アクション。
アクションプラン	問題を修正するための計画。
日付	
開始予定日	問題の作業の開始予定日時。
終了予定日	問題の作業の終了予定日時。
計画された期間	問題に対する作業時間の見積もり。
確認日	(バージョン 12.0.1 以降) 問題が確認された日付。このフィールドは読み取り専用で、問題が [新規] から次のいずれかのステータスに移行すると、当日の日付が表示されます。 ○ 分析 ○ レビュー ○ 対応 **注:** トリアージ問題が実際の問題に変換された場合、このフィールドには変換された日付が表示されます。
期日	(バージョン 12.0.1 以降) この日付は、GRC プロパティに基づいて自動入力されます。移動先 **Policy and Compliance** > 管理 > **GRC** プロパティ.[問題の評価に基づいて期日を自動入力] プロパティが [はい] に設定されている場合、問題のリスク評価に対して事前定義された修復期間に基づいてこのフィールドが自動入力されます。それ以外の場合は、期日を手動で入力できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	問題が [応答] ステータスに移行する場合、このフィールドへの入力は必須です。
実開始日	この問題の作業が開始された時間。
実終了日	[実際の期間] 入力フィールドによって決定される読み取り専用の値。
実際の期間	作業時間。
作成日時	問題が作成された日時。
クローズ済み	問題がクローズされた日時。
エンゲージメント	
エンゲージメント	関連するエンゲージメント。
アクティビティ	
追加コメント (顧客に表示)	問題に関する公開情報。[投稿] をクリックして、問題にコメントを追加します。
作業メモ	[作業メモ] チェックボックスをクリックして、[作業メモ] フィールドを表示します。問題の解決方法に関する情報、または既に採った解決手順 (該当する場合)。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。[投稿] をクリックして、問題に作業メモを追加します。
機密性	
機密	レコードの機密性を有効にするオプション。アサインされた機密ユーザーまたはユーザーの機密グループのみがレコードにアクセスできます。 機密オプションの詳細については、「監査およびコンプライアンスレコードの機密性フラグ」を参照してください。
リスクイベント	
リスクイベント	関連リスクイベント。

3. 問題レコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

画面の下部にあるタブを使用すると、問題を修正するためのさまざまなタスクを実行できます。ポリシー例外を追加し、修正タスクを作成できます。さらに、他の問題、インジケーターの結果、および問題に関連するタスク SLA を表示できます。

> **注:**
> バージョン 12.0.1 以降、[タスク **SLA]** タブは [期日] に基づいて SLA を作成して表示します。問題の [期日] までの 50% に達したとき、次に 75% に達したとき、その後、期日に達したときに、問題オーナーと問題マネージャーに通知が送信されます。[アサイン先] および [期日] フィールドが空でなく、問題が [新規] ステータスでない場合、その問題に対して SLA が作成されます。
>
> SLA の期日が変更されると、新しい SLA が作成されます。問題が [完了してクローズ] または [未完了でクローズ] に移行すると、SLA は完了です。また、[期日] または [アサイン先] フィールドが空であるか、ステータスが [新規] の場合、SLA はキャンセルされます。
>
> さらに、バージョン 12.0.1 以降では、アサイン先ユーザーおよび問題マネージャーのユーザーロール、および GRC ビジネスユーザーロールを持つユーザーを使用して修正タスクを作成できます。

サービスポータル から問題を報告

組織のポリシーで実施できるコントロールまたは改善の欠陥を特定した場合は、ServiceNow, Inc. サービスポータル から問題を報告します。

始める前に
必要なロール：ServiceNow ユーザー

手順

1. サービスポータルで、 カタログ > カテゴリ別参照.
2. **[Governance Risk and Compliance]** をクリックし、[問題を報告] をクリックします。
3. フォームで、次のフィールドを入力します。

問題を報告フォーム

フィールド	説明
問題の要約説明を入力します。	問題の簡潔な説明。
問題の詳細な説明を入力します。	問題の詳細な説明。
問題に対処するための考えられる提案を入力します。	問題に対処するための見込みのある提案。
問題はどのエンティティに関連しますか？	問題に関連するエンティティ。
問題はどのコントロール目標に関連しますか？	問題に関連するコントロール目標。 **注:** このフィールドは、ポリシーとコンプライアンス管理 がインストールされている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
問題はどのコントロールに関連しますか？	アイテム生成プロセスから継承されたコントロール。コントロール目標は読み取り専用フィールドです。コントロールを選択すると、コントロール目標が自動的に入力されます。

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。
5. 報告したすべての問題を表示するには、次に移動します **GRC >** 自分の報告された問題.

ガバナンス、リスク、コンプライアンス 予測インテリジェンス プラグインを使用して問題をアサイン

機械学習を使用する類似性ソリューションモデルをトレーニングして、問題を適切なアサイニーにルーティングする方法をシステムが自動的に提案できるようにします。自動ルーティング提案により、問題の担当者の決定にかかる時間が短縮されます。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインは、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) を利用して、GRC の問題管理をよりスマートにします。GRC 問題フォームでは、適切な候補に問題をアサインするための提案が表示されます。これらの提案は、プラットフォーム類似性ソリューションモデルに基づいています。

ユーザーは、GRC: 予測インテリジェンス プラグインとその依存関係をインストールした後、ソリューション定義をトレーニングする必要があります。プラットフォーム機械学習管理者 (ml_admin) は、ソリューション定義をカスタマイズすることもできます。この変更は、テーブルのデータに基づいています。変更すると、UI での予測結果の表示方法に影響を与える可能性があるため、フィルター条件 [アサイン先 [次の条件に一致] [空ではない]]などの一部の重要なフィールドは変更しないでください。

問題アサインの予測のため類似ソリューション定義をトレーニングおよび使用

ガバナンス、リスク、コンプライアンス 予測インテリジェンス プラグインを有効にして、機械学習ソリューションをトレーニングして使用します。このソリューションにより、システムは問題をルーティングする正しいアサイニーを自動的に提案できます。これらの提案により、問題の担当者の決定にかかる時間が短縮されます。

始める前に

次のプラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

- ポリシーとコンプライアンス管理 プラグイン
- リスク管理 プラグイン
- GRC Profiles プラグインをアクティブ化する必要があります。
- 予測インテリジェンス プラグイン

sn_grc.admin ロールで以下GRC のプロパティを変更します。

- [問題アサイニーの提案の基準] プロパティ (*`Similarity Analysis`*)。
- [問題アサイニーの予測の機械学習ソリューション] プロパティ (*`ml_sn_global_global_similarity_solution_definition_for_assigned_to_for_issue`*)。

必要なロール：ml_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. [問題のアサイン先の類似性ソリューション定義 **(Similarity Solution Definition for Assigned To for Issue)]** ソリューションをクリックします。

類似性定義フォーム

フィールド	値
ラベル	類似性ソリューションの一意の名前。
名前	類似性ソリューションの名前。このフィールドは、[ラベル] フィールドの値に最も類似したシステムアサインの名前に自動的に設定されます。
ワードコーパス	ソリューションに関連する既存のワードコーパス。このユースケースでは、[問題アサインのワードコーパス **(Word Corpus for Issue Assignment)]** を選択します。 **注:** 類似性ソリューションのワードコーパスでは、テーブルごとのレコード数は 30 万件に制限されています。
テーブル	トレーニング対象および予測対象のレコードを含むテーブル。テーブル値をアサインすると、フォームにリンクが表示されます。リンクには、現在の条件に一致するレコードの数が表示されます。 このユースケースでは、フィールドは自動的に問題 [sn_grc_issue] テーブルに設定されます。このソリューション定義のこのフィールドは変更しないでください。
フィールド	オーナーの特定に役立つ可能性があるフィールドタイプ。[テーブル] フィールドのテーブルから列を選択すると、列のデータにより問題をさらに正確に予測できます。このユースケースでは、[簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドが選択されています。これらのフィールドは、所有者を特定しようとしている問題レコードのテキストを含むフィールドタイプです。 **注:** データベースの問題レコードに他の空でない重要なフィールドがある場合は、ここで選択したフィールドを変更でき、これらのフィールドは、問題オーナーを予測するための類似の問題を見つけることができます。
テストテーブル	予測対象のレコードを含むテーブル。このユースケースでは、フィールドは自動的に問題 [sn_grc_issue] テーブルに設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: [類似] ウィンドウで取得できるレコードの数は 10 までに制限されています。このソリューション定義では、このフィールドは変更しないでください。
テストフィールド	予測中に入力として使用されるフィールド。このユースケースでは、[簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドを選択します。 注: データベースの問題レコードに他の空でない重要なフィールドがある場合は、ここで選択したフィールドを変更でき、これらのフィールド は、問題オーナーを予測するための類似の問題を見つけることができます。
フィルター	類似結果を取得するためのベースとして使用しているフィールドレコードに条件を適用するフィルター。たとえば、このユースケースでは、フィールドを空のままにすると提案が表示されないため、[アサイン先 [次の条件に一致] [空ではない]] 条件を設定できます。
処理言語	ソリューション定義でトレーニングしているデータセットの主要言語。データセット言語が英語である場合は、[英語] を選択してください。 デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。たとえば、[イタリア語] を選択した場合、システムは英語とイタリア語の両方でデータを処理します。 注: 処理という用語は、ソリューションのトレーニングの一環として使用される言語固有の手順を示します。これらの手順には、単語のトークン化、ストップワードの削除、語幹の解釈などが含まれます。
ストップワード	ストップワードのリスト。処理言語を選択した場合、システムは同じ言語を使用しているストップワードリストを自動的に追加します。たとえば、処理言語が英語の場合、[デフォルトの英語のストップワード **(Default English Stopwords)]** リストが表示されます。選択すると、[デフォルトの英語のストップワード (Default English Stopwords)] リストも表示されます。ストップワードの独自のカスタムリストを追加できます。
トレーニング頻度	トレーニングの頻度。再トレーニングオプションの範囲は、1 日 1 回から 30 日に 1 回まで、3 か月単位で増分でき、最大 180 日です。
更新頻度	類似性結果の取得に使用するデータをリフレッシュする頻度。 たとえば、新しい問題は通常、1 日を通じて頻繁に発生します。未解決の問題レコードがある場合は、**[15** 分ご

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	と] の更新頻度を選択することもできます。この頻度により、新しく開かれたレコードがリフレッシュに含まれる可能性を高めることができます。

3. ソリューション定義に該当するボタンをクリックします。

GRC: ワークベンチを使用してエンティティとリスクの依存関係を使用

GRC: ワークベンチは、CMDB 情報を利用して、すべてのアプリケーションのアップストリームとダウンストリームの関係を表示します。これらの関係により、企業全体で一貫したリスクのマッピングとモデリングが可能になります。

GRC マネージャー [sn_grc.manager] は、GRC ワークベンチを使用して次のことを行います。

- エンティティクラスを作成します。
- エンティティクラス間のアップストリーム/ダウンストリームの関係を定義します。これらの関係によって依存関係モデルが構成され、企業全体でリスクが一貫して定義され、評価されます。
- エンティティタイプを作成して、エンティティを作成し、エンティティを分類します。

注:
マネージャーGRC: ワークベンチはGRC リスク > **GRC** ワークベンチ.GRC マネージャー [sn_grc.manager] は、GRC: ワークベンチにアクセスするために、URL のインスタンス名の後に /$grc_workbench.do を入力します。

リスクマネージャー [sn_risk.manager] は GRC: ワークベンチを使用して次のことを行います。

- GRC マネージャーと同じタスクをすべて実行する
- リスクフレームワーク、リスクステートメント、リスクを作成する
- リスク関係性を定義する

[モデルのセットアップ] タブ

[モデルのセットアップ] タブには、次のタスクを実行するためのリンクが含まれています。

Link	アクション
依存関係モデル	エンティティクラスを作成し、組織の関係モデルを開発します。
エンティティタイプ	エンティティタイプを作成して編集します。
依存関係マップ	エンティティ関係を作成して可視化します。

[リスクの依存関係] タブ

[リスクの依存関係] タブには、次のタスクを実行するためのリンクが含まれています。

Link	アクション
リスクフレームワーク	リスクフレームワークを作成して編集します。
リスクステートメント	リスクステートメントを作成して編集します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Link	アクション
リレーションシップ	リスク関係を作成して可視化します。

GRC: ワークベンチ をアクティブ化

GRC: ワークベンチ プラグインはデフォルトではアクティブ化されていません。GRC Suite 内で個別のサブスクリプションとして使用できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
エンティティクラス、エンティティ依存関係、およびリスク依存関係を作成するには、GRC: ワークベンチ、および GRC: リスク管理 プラグイン [com.sn_risk] をアクティブ化します。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報
プラグインのリスト

GRC: ワークベンチを使用してエンティティクラスを作成

GRC マネージャーは、依存関係モデルの一部であるもののタイプを表すエンティティクラスを作成します。レポートをフィルタリングして、さまざまなエンティティクラス間の関係を定義できます。エンティティクラスは、エンティティが実際には何であるかを定義します。

始める前に
必要なロール：sn_grc_manager

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 左側の [エンティティクラス] セクションで、[クラスを追加] をクリックします。
3. エンティティクラス名を入力し、プラス (+) アイコンをクリックします。

   新しく作成されたエンティティクラスが左側のリストに追加されます。

次のタスク
GRC: ワークベンチ を使用してエンティティクラス間の関係を作成。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: ワークベンチ を使用してエンティティクラス間の関係を作成

マネージャーは、GRC: ワークベンチ を使用してエンティティクラス間の関係を作成し、依存関係マップを構築して、エンティティが互いにどのように関連しているかをよりよく理解できます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager

を使用してプロファイルクラスを作成 GRC: ワークベンチ、エンティティクラス間の関係を作成する前に参照してください。

エンティティクラスは相互にロールアップでき、依存関係モデルの開発につながります。

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [モデルのセットアップ] タブを選択し、[依存関係モデル] タブを選択します。
3. 必要に応じて、エンティティクラスを作成します。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
エンティティクラス間に関係がない場合	エンティティクラスを左から中央にドラッグアンドドロップします。
エンティティクラス間に関係がある場合	追加のエンティティクラスを左側のリストからドラッグし、ツリー内の任意のエンティティクラスの上部または下部にドロップします。 **注:** エンティティクラスの上部にドラッグすると、ドロップされたクラスにターゲットエンティティクラスがロールアップされます。エンティティクラスの下部にドラッグすると、ドロップされているクラスがターゲットクラスにロールアップします。

注: GRC: ワークベンチに留まっている限り、エンティティクラス間の関係を作成した後に [元に戻す] をクリックして変更をロールバックします。GRC: ワークベンチを離れると、元に戻す履歴が失われます。

次のタスク

エンティティをモデル化したら、組織内のリスクを定義します。

- リスクフレームワークからリスクを生成
- リスクステートメントからリスクを生成
- リスクフレームワークまたはリスクステートメントをエンティティタイプに関連付けてリスクを生成

リスクを生成したら、リスクを相互に関連付ける。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフレームワークまたはリスクステートメントをエンティティタイプに関連付けてリスクを生成

リスクフレームワークまたはリスクステートメントをエンティティタイプに関連付けると、リスクが自動的に生成されます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin および sn_risk.manager

手順

1. 移動先 リスク > スコーピング > エンティティタイプ.
2. エンティティタイプレコードを開きます。
3. [リスクフレームワーク] または [リスクステートメント] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. エンティティに関連付けるリスクフレームワークまたはリスクステートメントからを選択し、[保存] をクリックします。
   すべてのリスクフレームワークまたはステートメントがエンティティタイプに関連付けられ、エンティティタイプ内のすべてのエンティティに対してすべてのリスクステートメントにリスクが作成されます。

GRC: ワークベンチを使用してエンティティの依存関係を可視化して編集

GRC: ワークベンチは、GRC 管理者にエンティティの依存関係を作成するためのグラフィカルインターフェイスを提供します。これらの関係により、企業全体で一貫したエンティティとリスクのマッピングとモデリングが可能になります。

始める前に
必要なロール：sn_grc.manager

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [モデルのセットアップ] タブを選択し、その下にある [依存関係] タブを選択します。
3. 左側のリストからエンティティを検索して選択します。
   エンティティは、エンティティクラス、次にエンティティタイプ別に階層的に編成されます。
4. 左からエンティティを選択すると、エンティティがその直接のアップストリームおよびダウンストリームの依存関係とともに中央に表示されます。
   右側には、アップストリームまたはダウンストリームの依存関係として追加できる対象エンティティが一覧表示されます。
5. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
アップストリームエンティティ依存関係を追加する	右側の適格なエンティティのリストから適格なアップストリームエンティティをドラッグし、ページの中央にあるエンティティの上半分にドロップします。
ダウンストリームエンティティ依存関係を追加する	右側の適格なエンティティのリストから適格なダウンストリームエンティティをドラッグし、ページの中央にあるエンティティの下半分にドロップします。

エンティティは、ページの中央に移動されると右側のメニューから削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: ワークベンチを使用してエンティティの依存関係を削除

エンティティの依存関係を削除すると、エンティティ間の関係のみが削除されます。エンティティ自体は変更されません。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [モデルのセットアップ] タブを選択し、その下にある [依存関係マップ] タブを選択します。
3. 左側のリストから目的のエンティティを検索して選択します。
   左からエンティティを選択すると、エンティティがその直接のアップストリームおよびダウンストリームの依存関係とともに中央に表示されます。
4. センターツリーで、選択したセンターリスクからの関連付けを解除する必要があるアップストリームまたはダウンストリームのリスクをポイントします。
   リスクをポイントして、削除アイコンが表示されたら、削除アイコンをクリックします。
5. 確認ダイアログで [削除] をクリックして、関係の削除を確認します。

> **注:**
> エンティティ間の関係のみが削除されます。エンティティ自体は変更されません。

GRC: ワークベンチを使用してエンティティクラスを削除

エンティティクラスを削除すると、その下のすべての関係が削除されます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [モデルのセットアップ] タブを選択し、[依存関係モデル] タブを選択します。
3. 左側のリストから目的のエンティティクラスを選択します。
   左からエンティティを選択すると、エンティティがその直接のアップストリームおよびダウンストリームの依存関係とともに中央に表示されます。
4. エンティティクラス名の右側にある削除アイコンをクリックします。
5. [削除を確定] ポップアップで、[削除] をクリックします。
   エンティティクラスを削除すると、その下のすべての関係が削除されます。

GRC: ワークベンチを使用してリスクを作成

リスクマネージャーは、GRC: ワークベンチから直接リスクを作成できます。

始める前に
必要なロール：sn._risk.admin または sn.risk.manager

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [リスクの依存関係] タブを選択し、その下にある [関係性] タブを選択します。
3. 左側の [リスク] セクションで、[リスクを作成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. フォームのフィールドに入力します。

リスクフォーム

フィールド	説明
名前	リスクの名前。リスクがリスクステートメントから生成された場合、フィールドは自動的に入力されますが、リスクとリスクステートメントの関係に影響を与えることなく変更できます。
番号	一意の識別番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	リスクステータス。利用可能な選択肢は次のとおりです。 ○ [ドラフト] このステータスでは、すべてのリスクユーザーがリスクを変更できます。ワンオフコントロールを作成する場合のみ利用できます。ワンオフコントロールは可能ですが、推奨されません。 ○ [証明] リスクがリスクステートメントから作成されると、コントロールはこのステータスになります。 **注:** リスクが [ドラフト] に戻ると、アセスメントはキャンセルされます。 ○ [レビュー] リスクは、アセスメントフェーズからレビューに自動的に移行します。 ○ [監視] このステータスでは、すべてのリスクマネージャーがリスクを [レビュー] から [監視] に移行できます。 ○ [廃止] リスクマネージャーまたは管理者は、リスクを [監視] から [廃止] に移行できます。リスクがこのステータスの場合、インジケーターは実行されません。 **注:** リスクが廃止されると、それに関連付けられているすべてのアセスメントがキャンセルされます。
所有グループ	リスクの所有グループ。
カテゴリ	プロファイルに適用されるリスクのカテゴリ。 ○ 法務 ○ 財務 ○ 稼働 ○ 評判 ○ 法務/規制 ○ クレジット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 市場 ○ IT リスクがリスクステートメントから生成される場合、フィールドは自動的に入力されます。
所有者	リスクのオーナー。 **注:** オーナーは常に回答者として追加されます。
ステートメント	このリスクが関連付けられているステートメント。
エンティティ	リスクに関連するエンティティ。 **注:** アクティブなエンティティのみが表示されます。
説明	リスクとそれが組織にとってどのように脅威であるかの説明。
追加情報	他のユーザーがリスクレコードを理解するのに役立つ詳細。

5. [アセスメント] タブをクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

リスクスコアリングフォーム

フィールド	説明
アセスメント	このリスクに添付するアセスメント。
アセスメント回答者	このリスクのアセスメントにアサインされたユーザー。 **注:** sn_grc.user ロールを持つユーザーのみを応答者として追加できます。

[アセスメント] と [アセスメント回答者] フィールドの両方が設定されている場合、[評価] をクリックするとアセスメントが作成されます。

7. [採点] タブをクリックします。
8. フォームのフィールドに入力します。

リスクスコアリングフォーム

フィールド	説明
固有 SLE	緩和戦略が実施される前に発生したリスクの金銭的価値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
残存 SLE	すべての緩和戦略が実施された後に発生するリスクの金銭的価値。
固有 ARO	緩和戦略が実施される前の特定の年にリスクが発生する可能性。
残存 ARO	すべての緩和戦略が実施された後、特定の年にリスクが発生する可能性。
固有 ALE	軽減戦略を実施する前の年間損失予測 ALE = SLE x ARO。
残存 ALE	すべての軽減戦略を実施した後の年間損失予測 ALE = SLE x ARO。
固有スコア	いずれかの緩和戦略が実施される前のリスクのスコア。
残存スコア	すべての緩和戦略が実施された後のリスクのスコア。
計算済み ALE	すべての計算に基づく年次損失予測。
計算済みスコア	計算済み ALE の対応するスコア。

9. [応答] タブをクリックします。
10. フォームのフィールドに入力します。

リスク応答フォーム

フィールド	説明
応答	○ 受け入れ ○ 回避 ○ 軽減 ○ 譲渡
正当性	選択した応答の合理的な理由を入力します。

11. [監視] タブをクリックします。

リスク監視フォーム

フィールド	説明
コンプライアンスのコントロール	コントロール準拠率
コントロール非準拠	コントロール非準拠率
コントロール失敗ファクタ	コントロールの重み付けの合計で除算した失敗したコントロールの重み付けの合計
インジケータ失敗ファクタ	関連付けられている各インジケーターの前回の結果を使用します。関連付けられているインジケーターの合計数で除算した前回の失敗した結果の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計算済みリスク要因	この値は、(インジケーター失敗要因 + コントロール失敗要因) / 2 で計算されます。

12. [アクティビティジャーナル] タブをクリックします。
13. 必要に応じて、追加のコメントを入力します。
14. [送信] をクリックします。
    リスクが作成され、ページの中央に配置されます。また、右側でリスクが選択されます。

GRC: ワークベンチを使用してリスクの依存関係を可視化して編集

GRC: ワークベンチは、GRC 管理者にリスクの依存関係を作成するためのグラフィカルインターフェイスを提供します。これらの関係により、企業全体で一貫したエンティティとリスクのマッピングとモデリングが可能になります。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [リスクの依存関係] タブを選択し、その下にある [関係性] タブを選択します。
3. 左側のリストからリスクを検索して選択します。
   リスクは、エンティティクラス、次にエンティティ別に階層的に編成されます。
4. 左からリスクを選択すると、リスクがその直接のアップストリームおよびダウンストリームの依存関係とともに中央に表示されます。
   右側には、アップストリームまたはダウンストリームの依存関係として追加できる対象リスクが一覧表示されます。
5. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
アップストリームリスクの依存関係を追加する	右側の適格なリスクのリストから適格なアップストリームリスクをドラッグし、ページの中央にあるリスクの上半分にドロップします。
ダウンストリームリスクの依存関係を追加する	右側の適格なリスクのリストから適格なダウンストリームリスクをドラッグし、ページの中央にあるリスクの下半分にドロップします。

GRC: ワークベンチを使用してリスクの依存関係を削除

リスクの依存関係を削除すると、リスク間の関係のみが削除されます。リスク自体は変更されません。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. https://myCompany.service-now.com/$grc_workbench.do に移動します。
2. 上部の [リスクの依存関係] タブを選択し、その下にある [関係性] タブを選択します。
3. 左側のリストからリスクを検索して選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクは、エンティティクラス、次にエンティティ別に階層的に編成されます。

4. センターツリーで、選択したセンターリスクからの関連付けを解除する必要があるアップストリームまたはダウンストリームのリスクをポイントします。
   リスクをポイントして、削除アイコンが表示されたら、削除アイコンをクリックします。
5. 確認ダイアログで [削除] をクリックして、関係の削除を確認します。

> **注:**
> リスク間の関係のみが削除されます。リスク自体は変更されません。

GRC Performance Analytics インジケーターを使用してリスクを監視

リスク管理 リスクステートメントとリスクを Performance Analytics のインジケーター、ブレークダウン、およびしきい値にリンクできます。Performance Analytics インジケーターをリスクステートメントおよびリスクに関連付けて、スコアカードと傾向を表示し、現在の条件と傾向を分析できます。

PA インジケーターまたは PA ブレークダウン/要素に関連付けられたリスクとコントロールは、同じ PA インジケーターまたは PA インジケーター、ブレークダウン、または要素の関係を持つ PA しきい値を自動的に監視します。PA しきい値違反は、違反カウンタ内のリスクまたはコントロールと Performance Analytics インジケーターの関係レベルで報告されます。

PA しきい値違反の影響

リスクまたはコントロールと Performance Analytics インジケーターの関係違反カウンタがゼロでない場合 (たとえば、同じ PA インジケーターまたは PA インジケーター、ブレークダウン、または要素の関係を持つ PA しきい値が違反している)、かつオープンされた問題が存在しない場合は、リスクまたはコントロールに関連付けられている問題が作成されます。また、リスクの場合、[インジケーター失敗ファクタ] は、リスクの数とゼロ以外の違反カウンタとの Performance Analytics インジケーターの関係を表します。

すべての PA インジケーター違反カウンタをリセット

[すべての **PA** インジケーター違反カウンタをリセット] をクリックするか、特定の関係を開いて [違反カウンタをリセット] をクリックして、リスクまたはコントロールに関連付けられた違反カウンタをリセットします。

GRC PA インジケーター違反レポート

違反の報告には、次の 2 つのレポートがあります。

- リスク PA インジケーター違反
- コントロール PA インジケーター違反

GRC: Performance Analytics Integration をアクティブ化

GRC: Performance Analytics Integration プラグインは、Performance Analytics と リスク管理 アプリケーションおよび ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションを統合します。このプラグインは、組織のリスクとコンプライアンスのパフォーマンスに関する詳細情報を提供します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このプラグインにはデモデータが含まれ、関連プラグインがまだ有効になっていない場合はアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

次のタスク
コンテンツ (リスクまたはコントロール目標) またはアイテム (リスクまたはコントロール) のカスタマイズされた関連リストを持つインスタンスで GRC: Performance Analytics Integration プラグインをアクティブ化した後、PA インジケーターをコンテンツ関係におよび/または PA インジケーターをアイテム関係に手動で追加する必要がある場合があります。

関連情報

プラグインのリスト

PA インジケーターをリスクステートメントまたはコントロール目標に関連付ける

パフォーマンス分析インジケーターをリスクステートメントおよびポリシーステートメントに関連付けて、リスクまたはポリシーに関連する傾向を分析できます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
   - すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. リスクステートメントまたはコントロール目標を開きます。
3. **[PA** インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

PA インジケーターフォーム

フィールド	説明
PA インジケーター	リスクステートメントまたはコントロール目標を関連付けるパフォーマンス分析インジケーター。

5. [送信] をクリックします。
   リスクステートメントまたはコントロール目標フォームの **[PA** インジケーター] 関連リストに、関連するインジケーターが表示されます。必要に応じて、目的のインジケーターの [インジケーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

を表示] をクリックして、インジケーターのパフォーマンス分析スコアカードを表示できます。PA インジケーターの関連付けは、元のリスクステートメントまたはコントロール目標に関連付けられたすべてのリスクまたはコントロールに引き継がれます。また、インジケーターにコントロールのリスクまたはエンティティと一致するブレークダウンがある場合 (ビジネスサービスブレークダウンなど)、関係の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドが自動的に入力されます。

PA インジケーターをリスクおよびコントロールに関連付ける

Performance Analytics インジケーターをリスクおよびコントロールに関連付けて、リスクまたはコントロールが属するエンティティに関連する傾向を分析できます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > コントロール > すべてのコントロール.
   - リスク > リスク登録 > すべてのリスク.
2. リスクまたはコントロールを開きます。
3. **[PA** インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

PA インジケーターフォーム

フィールド	説明
PA インジケーター	リスクまたはコントロールを関連付ける Performance Analytics インジケーター。
ブレークダウン	ブレークダウンして、ブレークダウン要素に基づいて特定の傾向を表示します。
要素	特定の傾向とスコアカードを表示するブレークダウン要素。 **注:** このフィールドは、入力される [ブレークダウン] フィールドによって異なります。表示されている場合は必須です。

5. [送信] をクリックします。
   リスクまたはコントロールフォームの **[PA** インジケーター] 関連リストに、関連付けられているインジケーターが表示されます。必要に応じて、目的のインジケーターの [インジケーターを表示] をクリックして、インジケーターのパフォーマンス分析スコアカードを表示できます。

一連のアイテムの関連付けられている **GRC** インジケーターを更新する

GRC コンテンツレコードに属するすべてのアイテムを更新して、各アイテムを個別に PA インジケーターに関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > コントロール目標.
   - すべて > リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
2. 関連付けられた Performance Analytics インジケーターがある、リスクステートメントまたはコントロール目標を開きます。
3. **[PA** リレーションシップを更新] 関連リンクをクリックします。
   リスクステートメントまたはポリシーステートメントに関連するすべてのリスクまたはコントロールは、ステートメントのすべてのリスクステートメントまたはポリシーインジケーターに自動的に関連付けられます。また、インジケーターにコントロールのリスクまたはエンティティと一致するブレークダウンがある場合 (ビジネスサービスブレークダウンなど)、関係の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドが自動的に入力されます。

GRC インジケーターテンプレートを作成する

コンプライアンスマネージャーまたはリスクマネージャーは、多数のインジケーターを作成できるインジケーターテンプレートを作成します。

始める前に
必要なロール：

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager
- sn_grc.user

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - すべて > **Policy and Compliance** > インジケーター > インジケーターテンプレート.
   - すべて > リスク > インジケーター > インジケーターテンプレート.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	インジケーターの名前。
説明	インジケーターの説明。
カテゴリ	インジケータテンプレートを作成しているカテゴリ。たとえば、[リスク指標テンプレート] を選択して、リスク指標テンプレートを作成します。
有効	インジケーターテンプレートがアクティブかどうかを判断するオプション。
方法 (Method)	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	インジケーターテンプレートのタイプを判断するために使用する方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [手動]：手動インジケーターは、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データがサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。 ○ [基本]：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。 ○ [スクリプト]：スクリプト化したインジケーターはカスタムスクリプトを使用してデータを収集します。
値がターゲット値以上の場合の結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗 たとえば、このフィールドに 100 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 100 を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは合格または失敗になります。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
ターゲット	インジケーターが合格か失敗かを決定する値。
説明	テンプレートの追加説明。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にするかどうかを決定するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このオプションは、[タイプ] フィールドで [手動] が選択されている場合にのみ表示されます。このオプションは、[ターゲットタイプ] フィールドから [カウント] または [パーセンテージ] が選択されている場合に自動的に選択されます。
サポートデータ	
注: バージョン 10.1 以降、インジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前は、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。	
提出データを含む	インジケーターを実行するたびにサポートデータまたは証拠の収集を有効にするオプション。
テーブル	サポートデータの収集に使用されるテーブル。
サポートデータフィールド	サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールド。
サンプルのコレクションタイプ	カウントやパーセンテージなど、サポートデータ収集のタイプ。
サンプルサイズ	サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数。 たとえば、基本インジケーターが大きなテーブルをクエリし、インジケーターの実行ごとに数千のレコードを返すことができます。すべてを保存する必要はありません。それらのレコードのサンプルのみで十分です。サンプルサイズに 100 を入力すると、クエリが数千を返しても 100 レコードのみが保存されます。
基本基準	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。
参照フィールドを使用	[参照フィールド] の使用を有効にするオプション。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。
追加の基準	
ターゲットを持つインジケーターを作成するには、詳細フィルター基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドで [基本] を選択している場合にのみ表示されます。このセクションは、さらにフィルター基準を提供するために使用されます。	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	センテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターの結果の初回収集時刻。このフィールドは、インジケーターまたはインジケーターテンプレートが初めて実行されるときに基づいて自動的に設定されます。このフィールドの値は変更できません。
次回実行日	次回実行時間:このインジケーターテンプレートのすべてのダウンストリームインジケーターのインジケーター結果を収集します。
期日の期間 (日数)	インジケータータスクの作成から期日までの結果の生成までの期日期間。 作成日に追加された期日期間は、インジケータータスクの 期日 として反映されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドで [手動] を選択した場合にのみ表示されます。 詳細については、「インジケーターの夜間ジョブのパフォーマンスの強化」を参照してください。

4. これらのエントリを完了すると、次の関連リストの情報も表示することができます。
   - コントロール目標/リスクステートメント
   - コンテンツ参照

   注:
   [コントロール目標/リスクステートメント] タブを使用すると、同じテンプレートを複数のコントロール目標および / またはリスクステートメントに再利用できます。

5. [送信] をクリックします。

リスクインジケーターを作成

リスクインジケーターを作成して、組織に対する将来の悪影響の可能性を特定します。インジケーターは早期警告システムであり、リスクに対して予防措置を講じることができます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_risk.admin

このタスクについて

一般に、インジケーターはインジケーターテンプレートの通常のプロセスを使用して自動的に作成されます。新しいインジケーターを手動で作成することもできます。インジケーターテンプレートを使用してインジケーターを作成することもできます。インジケーターテンプレートをリスクステートメントに関連付けると、リスクインジケーターが自動的に生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > リスク > インジケーター > インジケーター.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	インジケーターのカテゴリ。たとえば、リスクインジケーターを作成するには、[リスクインジケーター] を選択します。
テンプレートから継承	既存のテンプレートからインジケーターを作成するオプション。
テンプレート	インジケーターの作成に使用されるテンプレート。このフィールドは、[テンプレートから継承] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
テンプレートを上書き	インジケーターの名前などのテンプレートのプロパティを上書きするオプション。
名前	インジケーターの名前。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的にテンプレート名に設定されます。
説明	インジケーターの簡潔な説明。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的に設定されます。
エンティティ	リスクをフィルタリングするために使用されるエンティティ。
適用するレコード	エンティティが適用されるレコード。
リスク	インジケーターに関連するフィルター済みリスク。 **注:** インジケーターテンプレートを選択した場合、リスクもテンプレートに基づいてフィルタリングされます。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターのオーナー。このフィールドはリスクに基づいて自動的にオーナーの名前に設定されます。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターのタイプを決定するために使用される方法。選択肢は次のとおりです。 ○ [手動]：手動インジケーター は、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。これは、データ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	がサードパーティの営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。 ○ [基本]：基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。インジケータソースは、このテーブルのスコアが保存されるテーブルと頻度を指定します。 ○ [スクリプト]：スクリプト化したインジケーターはカスタムスクリプトを使用してデータを収集します。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にするかどうかを決定するオプション。 **注:** このオプションは、[タイプ] フィールドで [手動] が選択されている場合にのみ表示されます。[ターゲットタイプ] フィールドで [カウント] または [パーセンテージ] を選択すると、このオプションが自動的に選択されます。
ターゲット	インジケーターが合格か失敗かを決定する値。
ターゲット値に基づく結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗 たとえば、このフィールドに 100 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 100 を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは合格または失敗になります。
データ収集の手順	データの収集方法の詳細。
提出データ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: バージョン 10.1 以降、システムにインジケーターの結果またはインジケータータスクから得られるサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。	
提出データを含む	インジケーターを実行するたびにサポートデータまたは証拠の収集を有効にするオプション。
ソーステーブル	サポートデータの収集に使用されるテーブル。
サポートデータフィールド	サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールド。
サンプル サイズ	サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数。
基本基準	
ソーステーブルのデータをフィルタリングするには、基本基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドから [手動] または [基本] を選択している場合にのみ表示されます。	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。
参照フィールドを使用	[参照フィールド] の使用を有効にするオプション。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。
追加の基準	
ターゲットを持つインジケーターを作成するには、詳細フィルター基準を使用します。このセクションは、[タイプ] フィールドで [基本] を選択している場合にのみ表示されます。このセクションは、さらにフィルター基準を提供するために使用されます。	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パーセンテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
次回実行時間	インジケーターの結果の次回の収集時刻。このフィールドは [収集頻度] フィールドの値に基づいて自動的に設定されます。
結果	
ステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターのステータス。
前のステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターの以前のステータス。

4. [送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
リスクインジケーターが作成され、実行する準備が整いました。

リスクの概要を表示

リスクの概要は リスク管理 アプリケーションに含まれており、エグゼクティブビューを提供します。これにより、リスクマネージャーは、既知の高リスクのあるエンティティを特定することで、懸念のある領域をすばやく特定できます。

リスクの概要には、ベースシステムの次のレポートが含まれています。

リスク概要

名前	ビジュアル	説明
固有リスク		
残存リスク		
固有年次損失エクスポージャー		
残存年次損失エクスポージャー		
フレームワーク別のリスク問題 (オープン日)		
対応ごとのリスク		
リスク予測		
プロフィール	ドロップダウンリスト	リスクを表示して比較する 1 つまたは複数のプロファイルを選択します。
GRC - リスクステータス	チェック ボックス	表示して比較する 1 つまたは複数のリスクステータスを選択します。
カテゴリ別のリスク (Risks by Category)		
非常に高いリスク	単一スコア	非常に高いリスクの数を表示します。
高リスク	単一スコア	高リスクの数を表示します。
中リスク	単一スコア	中リスクの数を表示します。
低リスク	単一スコア	低リスクの数を表示します。
非常に低いリスク	単一スコア	非常に低いリスクの数を表示します。
固有リスクヒートマップ		
残存リスクヒートマップ		

リスクワークスペースを使用する

バージョン 13.0.5 以降、リスク管理 アプリケーションに新しいワークスペースが導入されています。新しいワークスペースは、改善されたユーザーエクスペリエンス (UX) と簡素化されたユーザージャーニーを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクワークスペースでリスクフレームワークを作成

リスクフレームワークを作成して、リスクステートメントを管理可能なカテゴリにグループ化し、リスクを生成します。リスクが生成されたら、それらを軽減する方法を特定できます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > ライブラリ > リスクフレームワーク.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスクフレームワークフォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
有効	リスクフレームワークがアクティブかどうかを示すオプション。 注: リスクフレームワークが非アクティブまたは廃止されると、関連付けられているすべてのリスクステートメントとリスクレコードも非アクティブになります。
名前	リスクフレームワークの名前。
説明	リスクフレームワークの説明。
追加情報	このリスクフレームワークの追加情報。

4. [保存] をクリックします。
5. エンティティタイプからエンティティを追加するには、[エンティティタイプ] 関連リストをクリックします。
   a. [追加] をクリックします。
   b. エンティティタイプを選択します。
   c. [追加] をクリックします。
6. リスクステートメントを追加するには、[リスクステートメント] 関連リストをクリックして、以下のいずれかを実行します。

タスクの結果
新しいリスクフレームワークが作成されます。

リスクワークスペースでリスクステートメントを作成

リスクを管理可能なカテゴリにグループ化するリスクステートメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sn_risk.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
リスクステートメントを作成すると、エンティティタイプを関連付けたり、さらにエンティティを追加してリスクを生成したりすることができます。

注:
リスクステートメントフィールド ([名前]、[説明]、[参照]、[カテゴリ]、[タイプ]、[分類]、および [証明書]) のいずれかが変更されると、関連付けられているすべてのコントロールとリスクが更新され、そのステータスが [ドラフト] に戻されます。関連付けられているすべてのリスクアセスメントもキャンセルされます。

手順

1. 移動先 すべて > **Risk** ワークスペース > ライブラリ > リスクステートメント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

リスクステートメントフォーム

フィールド	説明
名前	リスクステートメントの名前。
説明	リスクステートメントの説明。
親	親リスクステートメント。このフィールドを使用して階層を定義できます。
フレームワーク	このリスクステートメントが関連付けられているフレームワーク。 **注:** このフィールドは、[*Migrate to Advanced Risk Assessment*] プロパティが有効になっている場合にのみ表示されます。詳細については、「Advanced Risk アセスメントのリスクスコアロールアップ」を参照してください。
カテゴリ	リスクステートメントのカテゴリ。選択肢は次のとおりです。 ○ 法務 ○ 財務 ○ 稼働 ○ 評判 ○ 法務/規制 ○ クレジット ○ 市場 ○ IT ○ プロジェクト
レベル	リスクステートメントが作成されるレベル。たとえば、リスクステートメントに親と祖父母がある場合、この新しいリスクステートメントのレベルは 3 になります。
アセスメント	このリスクステートメントにアサインされるリスクアセスメントテンプレート。アセスメントテンプレートは、リスクを評価するために使用されるアンケートです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、高度なリスクプロパティを有効にしてクラシック版リスクを使用すると表示されます。
問題グループルール	レポートのためにこのリスクステートメントに割り当てられた問題グループルール。問題グループルールの目的は、ルールで定義された条件に基づいて類似の問題を親問題にグループ化することです。この機能を使用すると、類似の問題を一度に処理し、解決後に親問題をクローズすることができ、これにより、すべての子問題がクローズされます。
追加情報	このリスクステートメントの追加情報。

4. [リスク選好度] セクションのフィールドに入力するには、「リスクステートメントのリスク選好度を定義」を参照してください。
5. クラシック版リスクを使用している場合は、[デフォルトスコア] セクションでフィールドに入力します。

フィールド	説明
固有 SLE	単一損失予測 (SLE) は、イベントをチェックするコントロールがない場合に資産でのリスクの発生から予想される金銭的価値です。
残存 SLE	イベントをチェックするコントロールがない場合に資産でのリスクの発生から予想される金銭的価値。
固有 ARO	年次発生率 (ARO) は、1 年間に発生する脅威の推定頻度です。ARO は、年次損失予測 (ALE) を計算するために使用されます。このフィールドの値は、イベントをチェックするコントロールがない場合にイベントが発生する可能性を示します。
残存 ARO	このフィールドの値は、イベントをチェックするコントロールがある場合にイベントが発生する可能性を示します。

6. Advanced Risk プラグインをアクティブ化してクラシック版リスクを使用している場合は、[リスクロールアップおよび許容範囲] セクションでフィールドに入力します。

フィールド	説明
予想 ALE	ALE は、ARO と SLE の製品を指します。予想 ALE は、リスクステートメントの ALE の予想値です。予想 ALE の通貨と金額を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: この値は、[許容可能な最大 **ALE]** 以下である必要があります。
計算済み ALE の合計	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の合計に基づいています。
計算済み最大 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最大値に基づいています。
許容可能な最大 ALE	リスクステートメントの ALE のしきい値。 注: この値は、[予想 **ALE]** 以上でなければなりません。この値は、[許容範囲ステータス] フィールドに影響します。
計算済み平均 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の平均に基づいています。
計算済み最小 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最小値に基づいています。
許容範囲ステータス	全体的なリスクステータス。このフィールドは、他の ALE フィールドが入力されると表示されます。
計算済みスコア	計算済み ALE に対応するスコア： ○ 低 ○ 中 ○ 高

7. [Basel カテゴリ化] セクションで、[Basel カテゴリ化階層] を選択します。
Basel のカテゴリは次のとおりです。
   - 内部詐欺：資産の不正流用、脱税、意図的な誤ったポジション、贈賄。
   - 外部詐欺：情報の盗難、ハッキングによる損害、第三者による盗難および偽造。
   - 雇用慣行と職場の安全：差別、労働者の報酬、従業員の健康と安全。
   - クライアント、製品、およびビジネスプラクティス：市場操作、反トラスト、不適切な取引、製品の欠陥、違反、アカウントの解約。
   - 物理資産への損害：自然災害、テロ、破壊行為。
   - ビジネス中断とシステム障害：ユーティリティの中断、ソフトウェア障害、ハードウェア障害。
   - 実行、配送、およびプロセス管理：データ入力エラー、会計エラー、失敗した必須レポート、クライアント資産の不注意による損失。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [保存] をクリックします。
9. エンティティタイプを追加するには、[エンティティタイプ] 関連リストをクリックします。
   a. [追加] をクリックします。
   b. 追加するエンティティタイプを選択します。
   c. [追加] をクリックします。
10. さらにエンティティを追加するには、[追加エンティティ] 関連リストをクリックします。
    a. [追加] をクリックします。
    b. 追加するエンティティを選択します。
    c. [追加] をクリックします。
11. [保存] をクリックします。

タスクの結果
リスクステートメントが作成されます。

次のタスク
引き続き、コントロール目標、インジケーターテンプレート、および情報オブジェクトをリスクステートメントに追加できます。[リスク] タブで生成されたリスクを評価することもできます。リスクステートメントサイドバーでリスクステートメントの階層を表示することもできます。完全なリスクプロファイルを一目で確認するには、[概要] タブをクリックします。

リスクワークスペースでリスクステートメントをコントロール目標に関連付ける

リスクワークスペースでリスクステートメントにコントロール目標を関連付けます。この関連付けは、リスクに軽減コントロールを設定することで、リスクを管理するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager または sn_compliance.manager

このタスクについて
コントロール目標とリスクステートメントが関連付けられており、コントロールエンティティがリスクエンティティに一致する場合、リスクコントロールの関連付けが作成されます。この関連付けは、リスクと脅威を軽減するために役立ちます。

手順
1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. リスクワークスペース で、リスト アイコンを選択します。
3. 移動先 ライブラリ > コントロール目標.
4. 必要なコントロール目標を選択して開きます。
5. [リスクステートメント] 関連リストを選択します。
   a. [追加] を選択します。
   b. 追加するリスクステートメントを選択します。
   c. [追加] を選択します。
   d. [保存] を選択します。

タスクの結果
リスクステートメントに関連付けられたリスクは、一致するエンティティとコントロール目標に関連付けられたコントロールを自動的に継承します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 の共通コントロール

リスク管理 アプリケーションの共通コントロールにリスクをリンクすることで、これらの一元化されたコントロールを管理し、依存エンティティに適用するために必要な時間と労力を削減できます。たとえば、消火スプリンクラーシステムは、財務、セキュリティ、人事 (HR) などの複数の事業部門 (BU) の共通コントロールになる可能性があります。

共通コントロールの概要

すべての組織には、情報技術 (IT)、HR、経理などの複数の (BU) と共有機能があります。これらの共有機能は、BU が規制要件を満たすか、BU でリスクを管理するために使用できるポリシーとコントロールを定義します。複数の BU で、異なる部門またはチームが所有および管理する共通コントロールを使用できます。このプロセスにより、組織が特定のプロセスの一元管理を維持する一方、各 BU がこれらの共通コントロールを利用できます。共通コントロールの詳細については、「共通コントロール」を参照してください。

依存エンティティのリスクを軽減するために、リスクオーナーはリスクを共通コントロールにリンクできます。リスクをリンクすることで、リスクオーナーは、依存エンティティに対してこれらの共通コントロールを証明およびテストするために必要な労力を減らすことができます。

共通コントロールのメリット

共通コントロールには次のメリットがあります。

- 共通コントロールをテストしてすべての依存エンティティに適用できるため、共通コントロールの管理にかかる時間と労力を削減できます。
- アクティブなコントロールのみを管理する必要があるため、コントロールの全体的なレポートが改善されます。

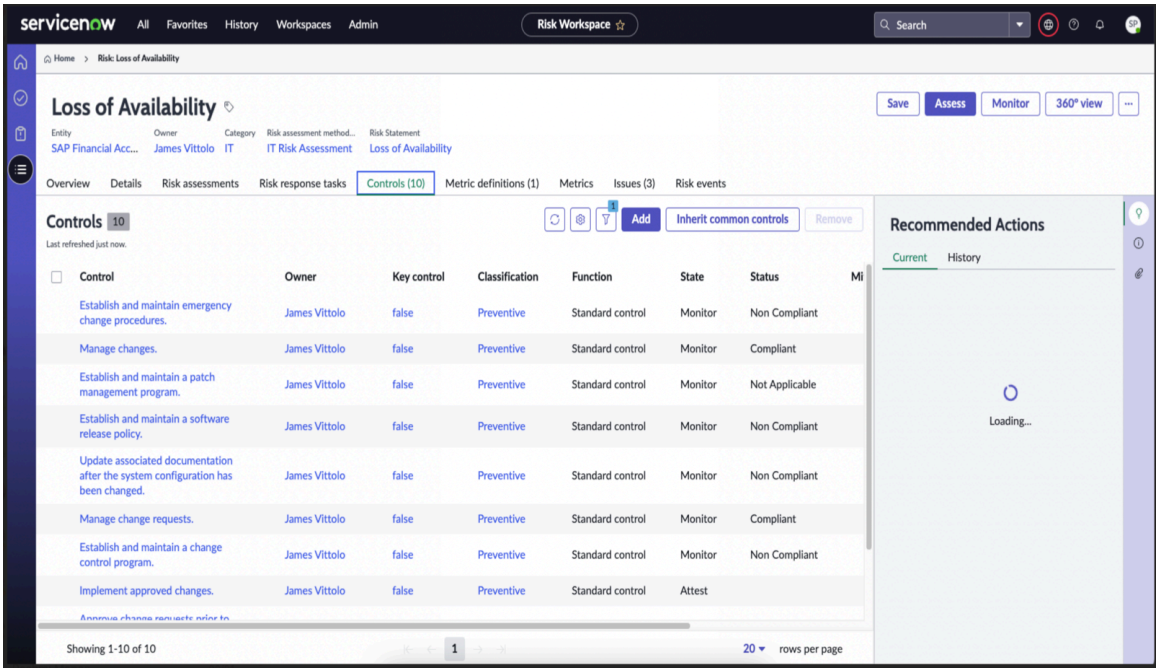
リスクの共通コントロール

コントロール目標とリスクステートメントが関連付けられており、コントロールの依存エンティティがリスクエンティティに一致する場合、リスクコントロールの関連付けが自動的に確立されます。共通コントロールでリスクエンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、共通コントロールをリスクに継承することもできます。リスクステートメントとコントロールの目標関係に対する変更は、リスクとコントロールの関連付けにも影響を与えます。次の例は、リスクフォームの [共通コントロールを継承] オプションを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通コントロールを継承

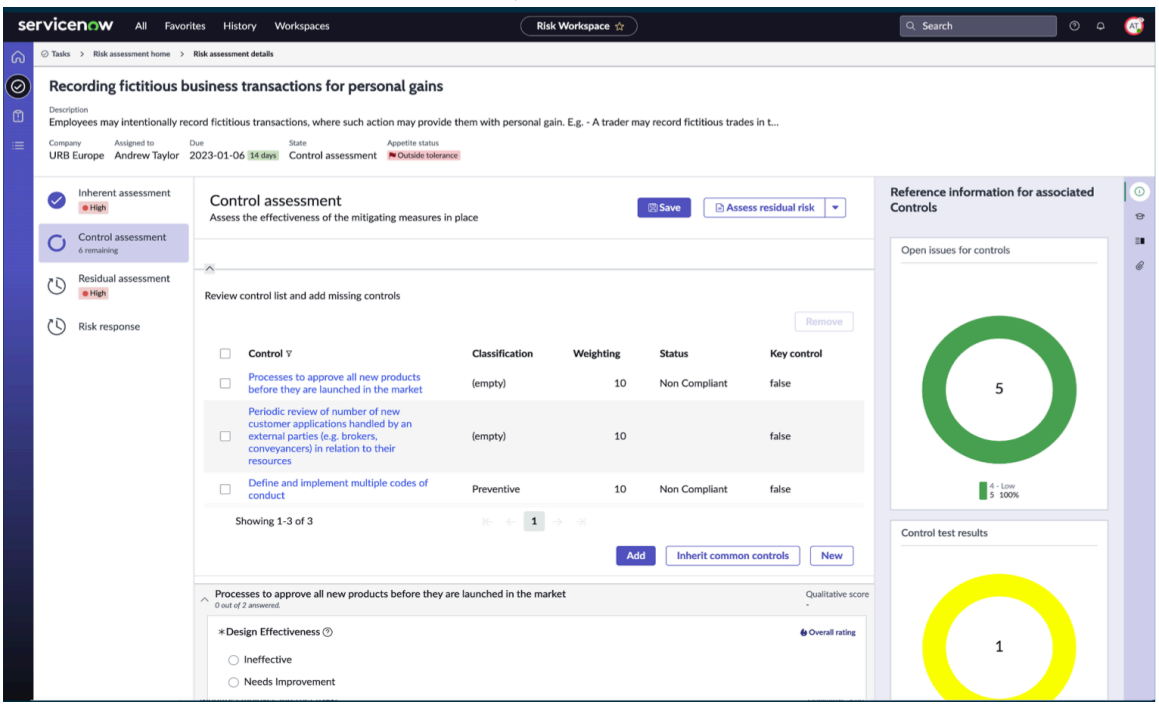


注:
リスクとコントロール間のアクティブな関係のみが維持され、履歴関係は自動的に削除されます。

リスクアセスメントの共通コントロール

共通コントロールでエンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、共通コントロールをリスクアセスメントに継承することもできます。次の例は、リスクアセスメントフォームの [共通コントロールを継承] オプションを示しています。

リスクアセスメントに共通コントロールを継承



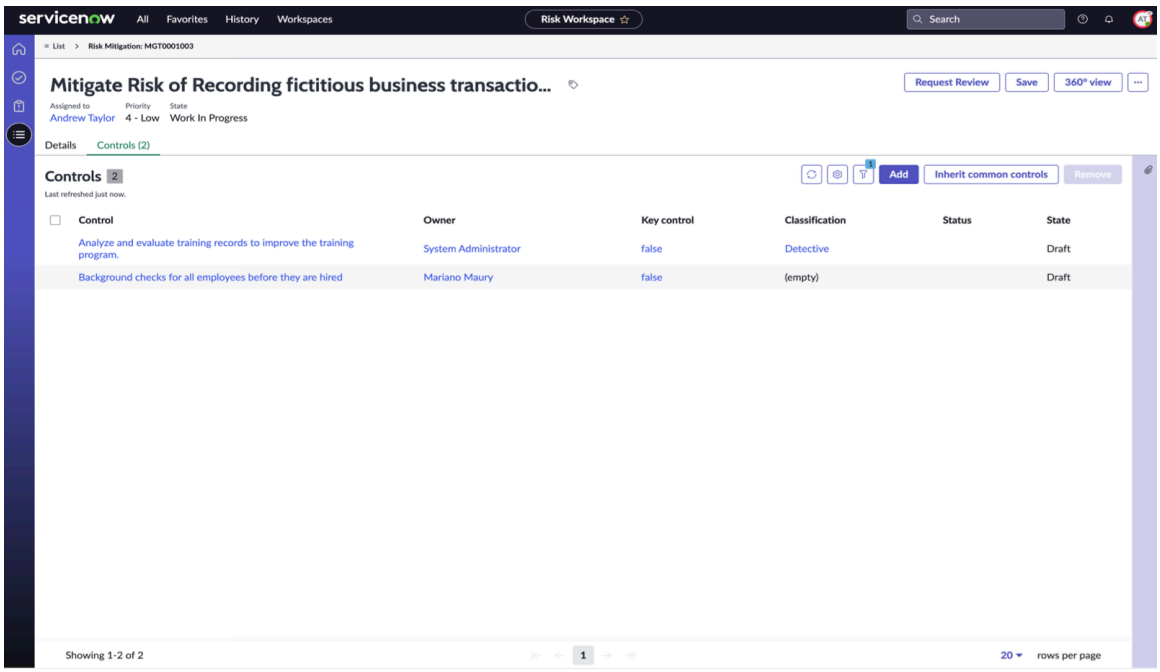
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク軽減タスクの共通コントロール

共通コントロールでエンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、共通コントロールをリスク軽減タスクに継承することもできます。[ドラフト] または [対応中] ステータスの場合、共通コントロールをリスク軽減タスクに継承できます。次の例は、リスク軽減タスクフォームの [共通コントロールを継承] オプションを示しています。

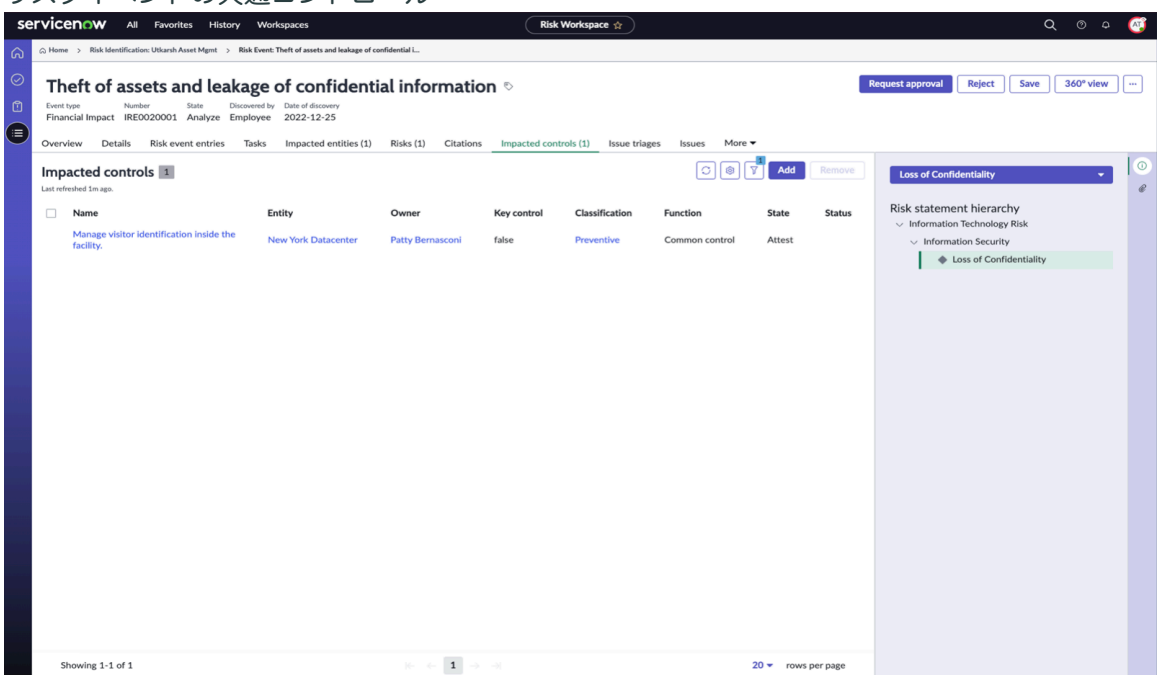
リスク軽減タスクに共通コントロールを継承



リスクイベントの共通コントロール

リスクイベントで基礎となるリスクが実体化すると、共通コントロールは自動的にリスクイベントにリンクされます。これにより、コントロールオーナーは、共通コントロールに障害が発生した場合を特定でき、共通コントロールに障害が発生した場合には即時アクションを実行できます。次の例は、リスクイベントフォームの [共通コントロールを継承] オプションを示しています。

リスクイベントの共通コントロール



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクワークスペースで手動リスクインジケーターを作成して実行

手動リスクインジケーターを作成して実行し、組織に対する将来の悪影響の可能性を特定します。インジケーターは早期警告システムであり、リスクに対して予防措置を講じることができます。手動インジケーターでは、結果はタスクアサインを使用して手動で収集されます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > インジケーター > リスクインジケーター.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	インジケーターのカテゴリ。たとえば、リスクインジケーターを作成するには、[リスクインジケーター] を選択します。
テンプレートから継承	既存のテンプレートからインジケーターを作成するオプション。
テンプレート	インジケーターの作成に使用されるテンプレート。このフィールドは、[テンプレートから継承] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
テンプレートを上書き	インジケーターの名前などのテンプレートのプロパティを上書きするオプション。
名前	インジケーターの名前。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的にテンプレート名に設定されます。
説明	インジケーターの簡潔な説明。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的に設定されます。
エンティティ	リスクをフィルタリングするために使用されるエンティティ。
適用するレコード	エンティティが適用されるレコード。このフィールドは自動的に設定されます。
リスク	インジケーターに関連するフィルター済みリスク。 **注:** インジケーターテンプレートを選択した場合、リスクもテンプレートに基づいてフィルタリングされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。このフィールドはリスクの所有グループに基づいて自動的に設定されます。
所有者	インジケーターのオーナー。このフィールドはリスクに基づいて自動的にオーナーの名前に設定されます。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターのタイプを決定するために使用される方法。[手動] を選択します。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
必須の値	手動インジケーターのインジケータータスクで値を必須にする必要があるかどうかを決定するオプション。 **注:** [ターゲットタイプ] フィールドで [カウント] または [パーセンテージ] を選択すると、このオプションが自動的に選択されます。
ターゲット	インジケーターの目標である数値。この値は、インジケーターが成功 (合格) したか失敗したかを決定します。たとえば、従業員定着率の目標が 80% の場合は、値としてその目標を入力できます。結果が 80% 未満の場合は、インジケーターが失敗したことを意味します。
値がターゲット値以上の場合の結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗 たとえば、[ターゲット] フィールドに 80 を入力するとします。インジケーターの結果の出力が 80 を超えると、[インジケーターステータス] フィールドは、[ターゲット値に基づく結果 **(Result based on target value)]** フィールドに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	設定された値に基づいて、[合格] または [失敗] になります。
データ収集の手順	データの収集方法の詳細。
参照フィールド	サポートデータテーブルとエンティティの [適用するレコード] フィールド間の接続。
基本基準	
注: このセクションは、サポートデータを指定した後にのみ表示されます。	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。フィールド内の [条件を設定] をクリックし、条件のフィルターを作成します。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターが最初に実行された日付。
次回実行日	インジケーターの結果の次回の収集時刻。このフィールドは [収集頻度] フィールドの値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドを編集して日付を変更することもできます。 注: このフィールドは、スケジュールされた実行に基づいてのみ更新され、インジケータが手動で実行されたときは更新されません。
結果	
ステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターのステータス。
前のステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターの以前のステータス。

4. [保存] をクリックします。
5. サポートデータを収集するには、[サポートデータの指定] をクリックし、次の操作を行います。
   a. [ソーステーブル] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるテーブルを選択します。
   b. [サポートデータフィールド] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールドを選択します。
   サポートデータフィールドを指定するときに、リスクワークスペース内でドット連結することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [サンプルサイズ] フィールドで、サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数を指定します。

d. [保存] をクリックしてフォームを再ロードします。

6. [実行] をクリックします。
インジケータータスクが作成され、リスクオーナーにアサインされます。リスクオーナーがインジケータータスクをクローズすると、[インジケーター結果] 関連リストが表示されます。
7. インジケータータスクの結果を表示するには、[インジケーター結果] 関連リストをクリックし、次の操作を行います。

a. 表示する結果をクリックします。

b. サポートデータのスナップショットを表示するには、[サポートデータを表示する] をクリックします。

c. 特定のライブ レコードを表示するには、そのレコードの [表示] をクリックします。
ライブレコードは、リスクワークスペースユーザーインターフェイスではなく、常にクラシックユーザーインターフェイスで開きます。

リスクワークスペースで基本リスクインジケーターを作成して実行

基本リスクインジケーターを作成して実行し、組織に対する将来の悪影響の可能性を特定します。インジケーターは早期警告システムであり、リスクに対して予防措置を講じることができます。基本インジケーターは、インジケーターソースに基づく自動化されたインジケーターです。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_risk.admin

このタスクについて

基本インジケーターでは、データは指定したソースから自動的に収集されます。データをフィルターする基準を追加する前に、サポートデータを指定する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > インジケーター > リスクインジケーター.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	インジケーターのカテゴリ。たとえば、リスクインジケーターを作成するには、[リスクインジケーター] を選択します。
テンプレートから継承	既存のテンプレートからインジケーターを作成するオプション。
テンプレート	インジケーターの作成に使用されるテンプレート。このフィールドは、[テンプレートから継承] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テンプレートを上書き	インジケーターの名前などのテンプレートのプロパティを上書きするオプション。
名前	インジケーターの名前。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的にテンプレート名に設定されます。
説明	インジケーターの簡潔な説明。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的に設定されます。
エンティティ	リスクをフィルタリングするために使用されるエンティティ。
適用するレコード	エンティティが適用されるレコード。
リスク	インジケーターに関連するフィルター済みリスク。 **注:** インジケーターテンプレートを選択した場合、リスクもテンプレートに基づいてフィルタリングされます。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターのオーナー。このフィールドはリスクに基づいて自動的にオーナーの名前に設定されます。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターのタイプを決定するために使用される方法。[基本] を選択します。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。
ターゲット	インジケーターが成功 (合格) したか失敗したかを決定する値。
ターゲット値に基づく結果	結果構成フィールド。選択肢は次のとおりです。 ○ 合格 ○ 失敗

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、[ターゲット] フィールドに 100 と入力したとします。インジケーターの結果の出力が 100 を超えると、このフィールドに設定された値に基づいて、インジケーターのステータスは [合格] または [失敗] になります。
基本基準	
注: このセクションは、サポートデータを指定した後にのみ表示されます。	
基準	ソーステーブルからデータをフィルターする基準。フィールド内の [条件を設定] をクリックし、条件のフィルターを作成します。
追加の基準	
追加の基準	ターゲット値を計算するためのデータをフィルタリングするための追加の基準。このセクションは、[ターゲットタイプ] フィールドで [パーセンテージ] が選択されている場合にのみ表示されます。フィールド内の [条件を設定] をクリックし、条件のフィルターを作成します。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターが最初に実行された日付。
次回実行日	インジケーターの結果の次回の収集時刻。このフィールドは [収集頻度] フィールドの値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドを編集して日付を変更することもできます。 注: このフィールドは、スケジュールされた実行に基づいてのみ更新され、インジケータが手動で実行されたときは更新されません。
結果	
ステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターのステータス。
前のステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターの以前のステータス。

4. [保存] をクリックします。
5. サポートデータを収集するには、[サポートデータの指定] をクリックし、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ソーステーブル] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるテーブルを選択します。

b. [サポートデータフィールド] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールドを選択します。
サポートデータフィールドを指定するときに、リスクワークスペース内でドット連結することはできません。

c. [サンプルサイズ] フィールドで、サポートデータの収集に使用する必要があるレコードの最小数を指定します。

d. [保存] をクリックしてフォームを再ロードします。

6. [実行] をクリックします。
[インジケーターの結果] 関連リストが表示されます。
7. インジケーターの結果を表示するには、[インジケーター結果] 関連リストをクリックし、次の操作を行います。

a. 表示する結果をクリックします。

b. サポートデータのスナップショットを表示するには、[サポートデータを表示する] をクリックします。

c. 特定のライブ レコードを表示するには、そのレコードの [表示] をクリックします。
ライブレコードは、リスクワークスペースユーザーインターフェイスではなく、常にクラシックユーザーインターフェイスで開きます。

リスクワークスペースでスクリプト化済みリスクインジケーターを作成して実行

スクリプト化済みリスクインジケーターを作成して実行し、組織に対する将来の悪影響の可能性を特定します。スクリプト化済みインジケーターを使用すると、インジケーターを実行する独自のスクリプトを記述できます。インジケーターは早期警告システムであり、リスクに対して予防措置を講じることができます。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager または sn_risk.admin

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > インジケーター > リスクインジケーター.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

インジケーターフォーム

フィールド	説明
カテゴリ	インジケーターのカテゴリ。たとえば、リスクインジケーターを作成するには、[リスクインジケーター] を選択します。
テンプレートから継承	既存のテンプレートからインジケーターを作成するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テンプレート	インジケーターの作成に使用されるテンプレート。このフィールドは、[テンプレートから継承] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
テンプレートを上書き	インジケーターの名前などのテンプレートのプロパティを上書きするオプション。
名前	インジケーターの名前。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的にテンプレート名に設定されます。
説明	インジケーターの簡潔な説明。[テンプレート] フィールドでテンプレートを選択すると、このフィールドは自動的に設定されます。
エンティティ	リスクをフィルタリングするために使用されるエンティティ。
適用するレコード	エンティティが適用されるレコード。
リスク	インジケーターに関連するフィルター済みリスク。 **注:** インジケーターテンプレートを選択した場合、リスクもテンプレートに基づいてフィルタリングされます。
所有グループ	インジケーターを所有するグループ。
所有者	インジケーターのオーナー。このフィールドはリスクに基づいて自動的にオーナーの名前に設定されます。
方法 (Method)	
タイプ	インジケーターのタイプを決定するために使用される方法。[スクリプト] を選択します。 **a.** スクリプトを追加するには、フォームを保存し、[スクリプトを追加] をクリックします。 **b.** [保存] をクリックします。
ターゲットタイプ	ターゲット値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [なし]：インジケーターのターゲットまたはしきい値を設定しない場合は、このオプションを使用します。 ○ [パーセンテージ]：このオプションを使用して、パーセンテージ値でインジケーターの結果を決定します。 ○ [カウント]：このオプションを使用して、カウント値または合計数でインジケーターの結果を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ターゲット	インジケーターが成功 (合格) したか失敗したかを決定する値。
スケジュール	
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。
最初の開始日	インジケーターが最初に実行された日付。
次回実行日	インジケーターの結果の次回の収集時刻。このフィールドは [収集頻度] フィールドの値に基づいて自動的に設定されます。このフィールドを編集して日付を変更することもできます。 **注:** このフィールドは、スケジュールされた実行に基づいてのみ更新され、インジケータが手動で実行されたときは更新されません。
結果	
ステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターのステータス。
前のステータス	インジケーターが合格か不合格かを示すインジケーターの以前のステータス。

4. サポートデータを収集するには、フォームを保存し、[サポートデータの指定] をクリックし、次の操作を行います。

   a. [ソーステーブル] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるテーブルを選択します。

   b. [サポートデータフィールド] フィールドで、サポートデータの収集に使用されるソーステーブルのフィールドを選択します。
   サポートデータフィールドを指定するときに、リスクワークスペース内でドット連結することはできません。

   c. [保存] をクリックしてフォームを再ロードします。

5. [実行] をクリックします。
   [インジケーターの結果] 関連リストが表示されます。
6. インジケーターの結果を表示するには、[インジケーター結果] 関連リストをクリックし、次の操作を行います。

   a. 表示する結果をクリックします。

   b. サポートデータのスナップショットを表示するには、[サポートデータを表示する] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 特定のライブ レコードを表示するには、そのレコードの [表示] をクリックします。
ライブレコードは、リスクワークスペースユーザーインターフェイスではなく、常にクラシックユーザーインターフェイスで開きます。

リスクワークスペースでの問題管理

リスクワークスペースの問題ランディングページでは、ログインしているマネージャーとユーザーに、問題を管理するために必要なすべての情報を 1 つのページで提供します。ランディングページには、実用的なインサイト、クイックアクションボタン、フィルターがあり、オープンな問題のトリアージにアクセスできます。

[問題] ランディングページは、以下のワークスペースで使用できます。

- コンプライアンスワークスペース
- Audit Workspace
- Privacy ワークスペース
- リスクワークスペース

[問題の概要] ランディングページを開く

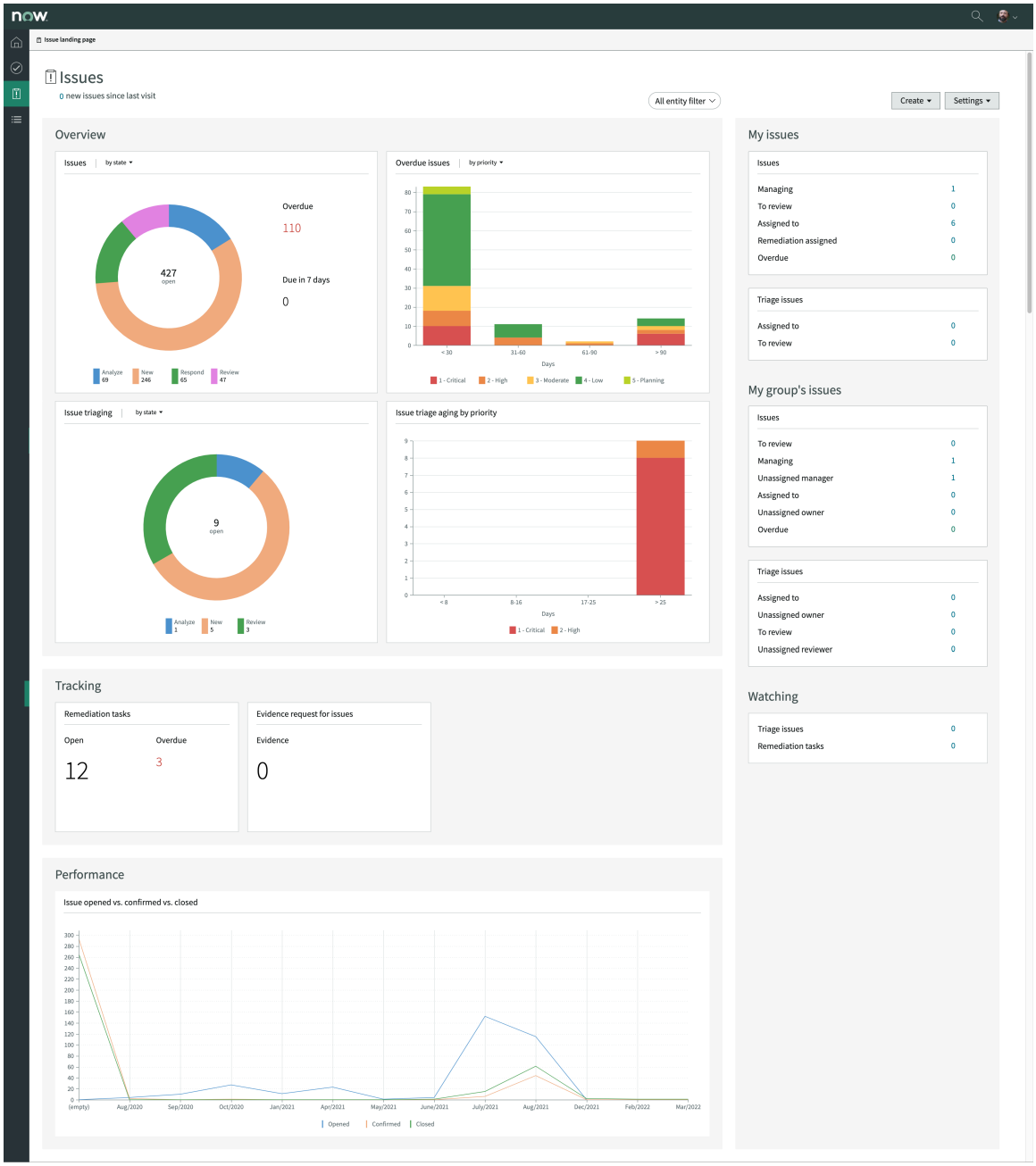
リストされている各ワークスペースで、[問題の概要] アイコン ( ) をクリックして問題にアクセスできます。

このアイコンをクリックして、[問題の概要] ランディングページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の概要ランディングページ



[問題の概要] ランディングページのセクション

[問題の概要] ランディングページのチャートとグラフ

概要	
問題	このチャートには、ステータス、問題タイプ、問題評価、または優先度別に分類された問題が表示されます。期限切れの問題と 7 日後に期限切れになる問題の数も表示されます。
期限切れの問題	この経過時間グラフには、さまざまな時間範囲で期限切れの問題が表示されます。たとえば、61 ～ 90 日間過ぎた問題を一目で特定できます。グラフは、優先度と問題の評価でフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[問題の概要] ランディングページのチャートとグラフ (続く)

問題のトリアージ	このグラフには、ステータス、問題タイプ、または優先度別に分類された問題トリアージが表示されます。問題マネージャーが、問題をトリアージし、優先順位付けする方法を識別するのに役立ちます。
優先度別のエイジングの問題のトリアージ	この経過時間グラフは、問題が未解決である期間の概要を示します。
追跡中	
修正タスク	このウィジェットは、問題に関連付けられている未解決で期限切れの修正タスクのステータスを表示します。
問題の証拠要求	このウィジェットには、問題に対してオープンされた証拠要求数が表示されます。
パフォーマンス	
オープン、確認済み、クローズ済みの問題	このグラフには、オープン、確認済み、およびクローズ済みの問題の傾向データが経時的に表示されます。
自分の問題	
問題	このセクションには、ログインしているユーザーに割り当てられたレビューできる問題、再アサインできる問題、修正にアサインされた問題、期限切れの問題が表示されます。
トリアージ問題	このセクションには、再アサインされレビューできる、ログインしているユーザーに割り当てられたトリアージ問題が表示されます。
自分のグループの問題	
問題	このセクションには、ログインしているユーザーのグループのメンバーにアサインされた問題が表示されます。
トリアージ問題	このセクションには、ログインしているユーザーのグループにアサインされたトリアージ問題が表示されます。
監視対象	
トリアージ問題	このセクションには、ログインしているユーザーのウォッチリストに含まれている問題のトリアージ数が表示されます。
修正タスク	このセクションには、ログインしているユーザーがウォッチリストに含まれている修正タスクの数が表示されます。

リスクワークスペースでリスクアセスメントスコープを作成

リスク管理 アプリケーションを使用して、エンティティのリスクの特定や、査定人と承認者の定義、アセスメント頻度の設定、およびアセスメントの開始のためのリスクアセスメントスコープを作成します。

始める前に

必要なロール：
sn_risk_workspace.IT_risk_manager、sn_risk_workspace.operational_risk_manager または sn_risk_workspace.business_op_risk_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
リスクアセスメントスコープを作成すると、アセスメントが効果的に実行され、その結果としてリスク管理チームに貴重なインサイトがもたらされ、情報に基づいた意思決定が可能になります。Playbook を使用すれば、ガイドに従って操作しながらリスクアセスメントスコープを作成できます。Playbook 内の各ステージには、完了する必要がある 1 つ以上のアクティビティが含まれており、リスクアセスメントスコープに対する構造化されたアプローチを提供します。Playbook では各ステージについて説明し、必要なアクティビティを推奨し、ワークフローの包括的な対応を可能にします。ステージには、アセスメント開始時の査定人へのメールの自動送信など、自動化されたアクティビティを含めることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. リスト  アイコンを選択します。
3. リストから、[リスクアセスメント計画] に移動し、[スコープ対象エンティティ]を選択します。
4. [新規] を選択します。
   リスクアセスメントスコープの Playbook が開き、リスクアセスメント方法 (RAM) とアセスメント可能なエンティティを定義するための最初のアクティビティ (スコープ定義ステージ) が開始されます。
5. [スコープ定義] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

   [スコープ定義] カード

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	リスクを評価するために使用するリスクアセスメント方法論 (RAM)。
アセスメント可能なエンティティ	RAM の [適用可能なエンティティクラス] フィールドで選択されたエンティティクラスに関連するエンティティ。このフィールドの値は、選択した RAM で指定されたエンティティクラスに基づいて変更されます。選択したクラスに属するエンティティのみがこのフィールドに表示されます。
所有者	エンティティのオーナー。このフィールドはアセスメント可能なエンティティに基づいて自動的に設定されます。

6. [続行] を選択します。
   [リスク選択(Risks selection)] アクティビティカードが開きます。選択した RAM を使用して、エンティティに関連するリスクを選択して評価できます。
7. 既存のリスクを追加するには、[追加] を選択し、次の操作を行います。
   a. 追加するリスクを選択します。
   b. [追加] を選択します。
8. オプション: リスクを作成するには、[リスクの作成] を選択し、次の操作を行います。
   a. 新しいリスクの詳細を入力します。
   b. **[Save** (保存)] を選択します。
9. オプション: リスク分類からリスクを作成するには、[リスクの作成] ボタンの横にある下矢印アイコンを選択し、[リスクステートメントから作成] を選択して、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 追加するリスクステートメントを選択します。

b. [追加] を選択します。

10. [完了としてマーク] を選択します。
リスクアセスメントスコープの Playbook でアサインステージが開きます。

11. [アサイン] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

アサインカード

フィールド	説明
査定人タイプ	リスクの評価を担当するグループまたはユーザー。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティオーナーと同じ ○ リスクオーナーと同じ ○ ユーザーの指定 ○ グループの指定
査定人	リスクの評価を担当するユーザー。このフィールドは、[査定人タイプ] フィールドから [ユーザーを指定] が選択された場合のみ表示されます。
査定人グループ	リスクの評価を担当するグループ。このフィールドは、[査定人タイプ] フィールドから [グループの指定] が選択された場合のみ表示されます。
承認者タイプ	リスクの承認を担当するユーザーまたはグループ。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティオーナーと同じ ○ 査定人のマネージャーと同じ ○ ユーザーの指定 ○ グループの指定 ○ なし
承認者	アセスメントの承認を担当するユーザー。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドから [ユーザーを指定] が選択された場合のみ表示されます。
承認者グループ	アセスメントの承認を担当するグループ。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドから [グループの指定] が選択された場合のみ表示されます。

12. [完了としてマーク] を選択します。
リスクアセスメントスコープの Playbook で、アセスメント頻度ステージが開きます。

13. [アセスメント頻度] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

[アセスメント頻度] カード

フィールド	説明
アセスメント頻度	リスクを評価する頻度。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 週次

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 月次 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年の月と日 **注:** 次回の再アセスメント日より前に予定されていないリスクアセスメントを実施した場合、後続のアセスメント日は前回のアセスメントで設定された頻度によって決定されます。たとえば、頻度が月次に設定されていて、1 月 1 日に最初のアセスメントを実行したとします。そして、1 月 15 日に予定されていないアセスメントを実行した場合、次のアセスメントは引き続きこの最終アセスメント日に基づいて決定されます。
期限切れまでの日数	アセスメントを開始してから完了を要求されている日数。たとえば、このフィールドの値が 10 の場合、アセスメントの期日はアセスメントが開始された日から 10 日後に設定されます。デフォルト値は 5 です。

14. [完了としてマーク] を選択します。
リスクアセスメントスコープの Playbook の [アセスメントを開始] ステージが開きます。
15. アセスメントを開始するには、[すべてのアセスメントの開始] を選択します。
アセスメントを生成すると、査定人または査定人のグループに、アセスメントが査定人または査定人のグループにアサインされたことを示すメール通知が届きます。
16. オプション: ワークフローに戻ってスコープ、アサイン、または頻度を変更するには、⋮ を選択して、[スコープの再定義] を選択します。

リスクワークスペースでリスクアセスメントをスケジュール

複数のエンティティのリスクアセスメントを自動的にスケジュールします。リスクアセスメントスケジューラーは、希望する頻度に基づいてアセスメントを自動的に開始することで、リスク管理者の時間を節約します。

始める前に

必要なロール：sn_risk_workspace.IT_risk_manager および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

このタスクについて

ほとんどの組織では、第二線のリスクマネージャーがリスクアセスメントの調整を担当します。このグループは、アセスメントが必要なエンティティと関連リスクを識別します。また、これらのリスクの評価担当者も決定します。ただし、この継続的なリスクアセスメントサイクルでは、リスクマネージャーが個々のリスクアセスメントスコープを作成してアセスメントを開始する必要があるため、大幅に時間が失われます。この問題に対処するには、リスクアセスメントスケジューラーを活用できます。スケジューラーを利用することで、アセスメントをスケジュールし、その頻度を指定することができます。定義された頻度に基づいて、アセスメントが自動的に開始されます。また、各アセスメントの査定人と承認者を指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. アセスメントスケジューラープレイブックにアクセスするには、次のいずれかを実行します。
   - Risk ワークスペースホームページの [クイックアクション] で、[リスクアセスメントのスケジュール] を選択します。
   - リスト  アイコンを選択し、[リスクアセスメント計画] に移動し、[スケジュール設定済みアセスメント] を選択して、[新規] を選択します。

   アセスメントスケジューラーのプレイブックが開き、リスクアセスメント方法 (RAM) とアセスメント可能なエンティティを定義するための最初のアクティビティ (スコープ定義ステージ) が開始されます。
3. [スコープ定義] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

[スコープ定義] カード

フィールド	説明
リスクアセスメント方法	リスクを評価するために使用するリスクアセスメント方法論 (RAM)。
適用可能なエンティティクラス	選択した RAM に関連するエンティティクラス。このフィールドの値は、選択した RAM で指定されたエンティティクラスに基づいて変更されます。このフィールドは選択した RAM の該当するエンティティクラスに基づいて自動的に設定されます。

4. [続行] を選択します。
   エンティティ選択アクティビティカードが開き、該当するエンティティクラスに属するアセスメント可能なエンティティを追加できます。
5. エンティティを追加するには、[追加] を選択して、次の操作を行います。
   a. 追加するエンティティを選択します。
   b. [追加] を選択します。
6. [完了としてマーク] を選択します。
   アセスメントスケジューラー Playbook でアサインステージが開きます。
7. [アサイン] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

アサインカード

フィールド	説明
査定人タイプ	リスクの評価を担当するグループまたはユーザー。選択肢は次のとおりです。 ○ エンティティオーナー ○ リスクオーナー ○ グループ
査定人グループ	リスクの評価を担当するグループ。このフィールドは、[査定人タイプ] フィールドから [グループ] が選択された場合のみ表示されます。
承認者タイプ	リスクの承認を担当するユーザーまたはグループ。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ エンティティオーナー ○ 査定人のマネージャー ○ グループ ○ なし
承認者グループ	アセスメントの承認を担当するグループ。このフィールドは、[承認者タイプ] フィールドから [グループ] が選択された場合のみ表示されます。

8. [完了としてマーク] を選択します。
アセスメントスケジューラープレイブックでアセスメント頻度ステージが開きます。
9. [アセスメント頻度] アクティビティカードで、フィールドに入力します。

[アセスメント頻度] カード

フィールド	説明
後で開始	将来の日付でアセスメントを開始するオプション。
アセスメント開始日	アセスメントをスケジュールする日付。このフィールドは、[後で開始] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
アセスメント頻度	リスクを評価する頻度。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ 週次 ○ 月次 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年の月と日 **注:** 次回の再アセスメント日より前に予定されていないリスクアセスメントを実施した場合、後続のアセスメント日は前回のアセスメントで設定された頻度によって決定されます。たとえば、頻度が月次に設定されていて、1 月 1 日に最初のアセスメントを実行したとします。そして、1 月 15 日に予定されていないアセスメントを実行した場合、次のアセスメントは引き続きこの最終アセスメント日に基づいて決定されます。
期限切れまでの日数	アセスメントを開始してから完了を要求されている日数。たとえば、このフィールドの値が 10 の場合、アセスメントの期日はアセスメントが開始された日から 10 日後に設定されます。デフォルト値は 30 です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [完了としてマーク] を選択します。
    アセスメントスケジューラープレイブックでレビューおよび開始ステージが開きます。
11. アセスメントを開始するには、[アセスメントを開始] を選択します。
    アセスメントを生成すると、査定人または査定人のグループに、アセスメントが査定人または査定人のグループにアサインされたことを示すメール通知が届きます。
12. オプション: ワークフローに戻ってスコープ、アサイン、または頻度を変更するには、⋮ を選択して、[スコープの再定義] を選択します。

タスクの結果
アセスメントが開始されます。スケジュール設定済みのすべてのアセスメントは、 リスクアセスメント計画 > スケジュール設定済みアセスメント.

リスクワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行

リスクアセスメントを実施して、リスクワークスペース アプリケーションの固有リスク、コントロールの有効性、残存リスク、およびターゲットリスクを評価します。リスクアセスメントプロセス中に特定されたリスクを管理および軽減できるようにするリスク応答を定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.business_user

> **注:**
> 高度なリスクアセスメントロールを sn_grc.business_user ロールに手動でアサインする必要があります。ロールとグループの付与を調整する方法については、Now Support ナレッジベースの「How to adjust granting of roles and groups to use background jobs (バックグラウンドジョブを使用するためのロールとグループの付与を調整する方法) [KB0963693]」を参照してください。記事を表示するには Now Support にログインする必要があります。

このタスクについて
リスクアセスメントは以下に対して実行されます。

- 固有リスク
- コントロールの有効性。
- 残存リスク
- ターゲットリスク

リスクアセスメントは、リスクアセスメント方法論 (RAM) の構成に基づいて自動的に計算されるリスクスコアを生成します。自動的に計算されたスコアを変更する場合は、計算されたスコアを上書きして理由を入力できます。評価するコントロールがない場合、残存リスクスコアは固有のリスクスコアと同じになります。

アセスメントを実行した後、リスク応答を定義できます。リスク応答とは、特定されたリスクを管理するプロセスのことです。これは、リスクマネージャーが各リスクの処理方法を決定する計画および意思決定プロセスです。アセスメントの実行中は、コンテキストサイドパネルで詳細な参照情報を確認できます。このパネルには、リスクイベント、未解決の問題、主要なインジケーター違反、コントロールテスト結果、およびコントロールインジケーターの失敗に関する情報が表示されます。

査定人の委任によってリスクアセスメントが実行されている場合、[査定人の代理人] フィールドには代理人の名前が表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 自分のタスク.
2. 評価するリスクアセスメントを開き、次のいずれかを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アセスメントを開始する場合は、[始めましょう] を選択します。
- リスクアセスメントを他のユーザーにアサインする必要があると思われる場合は、[再アサイン] を選択して必要な詳細を入力してください。
- このリスクが以前に評価された場合、以前のアセスメントを表示するには、 [前回のアセスメントのレビュー] を選択します。

3. 固有のアセスメントを実行するには、すべての固有のアセスメントの質問に回答します。
   a. オプション: 要素のガイダンスを表示するには、疑問符アイコン ( ) を選択します。
   b. オプション: 定性的および定量的重み付けを表示するには、overall評価 アイコンを選択します。

   アプリケーションは回答を自動的に保存し、全体的なリスクスコアを計算します。
4. オプション: 計算された固有リスクの結果を変更するには、次の操作を行います。
   a. [計算されたスコアを変更したい] オプションを選択します。
   b. [固有リスクを上書き] リストから、適切な値を選択します。
   c. 計算されたスコアの変更の理由を説明するコメントを入力します。
5. [コントロールアセスメントに移動 **(Move to control assessment)]** を選択します。
6. コントロールアセスメントで、次のいずれかを実行します。
   - コントロールの有効性を評価するには、すべてのコントロールアセスメント要素に応答します。
   - 軽減コントロールを評価せずに続行するには、[コントロールアセスメントが適用されない] オプションを選択します。
   - コントロールを追加せずにコントロール環境を評価するには、[計算されたスコアを変更する] オプションを選択し、手順 8 を参照してください。

   スコアを変更する理由を入力することで、計算されたコントロール有効性の結果を変更することもできます。
7. コントロールアセスメントのコントロールを追加または作成するには、次のいずれかを実行します。
   - 既存のコントロールを追加するには、 [追加] を選択します。
   - 共通コントロールを継承するには、[共通コントロールを継承] を選択します。
   - コントロールを作成するには、[コモン コントロールの継承] ボタンの横にある下向き矢印を選択し、[コントロールの作成] を選択します。
   - コントロール分類からコントロールを追加するには、共通コントロールの 継承 ボタンの横にある下矢印を選択し、 コントロール目標から作成 を選択します。
8. オプション: コントロールを追加せずにコントロール環境を評価するには、次の手順を実行します。
   a. [計算されたスコアを変更したい] オプションを選択します。
   b. [コントロール有効性を上書き] リストから、適切な値を選択します。
   c. 計算されたスコアの変更の理由を説明するコメントを入力します。
9. 軽減コントロールの実装後に残っているリスクを評価するには、[残存アセスメントに移動 **(Move to residual assessment)]** をクリックし、要素に対応します。

   スコアを変更する理由を入力することで、計算された残存スコアを変更することもできます。

10. 注:
    アセスメントフォームでターゲットリスクアセスメントを使用できるかどうかは、RAM で概説されている条件によって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

将来達成する必要があるリスクレベルを評価するには、**[** ターゲットアセスメントに移動 **(Move to target assessment)]** を選択し、要素に対応します。
スコアを変更する理由を入力することで、計算されたターゲットスコアを変更することもできます。

11. 適切な戦略を選択し、評価されたリスクに対するアクション計画を定義するには、次の手順を実行します。

    a. [リスク応答を定義] を選択します。

    b. 適切なリスク対応を選択します。

    c. オプション: リスク対応タスクを作成するには、[タスクの作成] ボタンを選択し、適切な値を選択します。

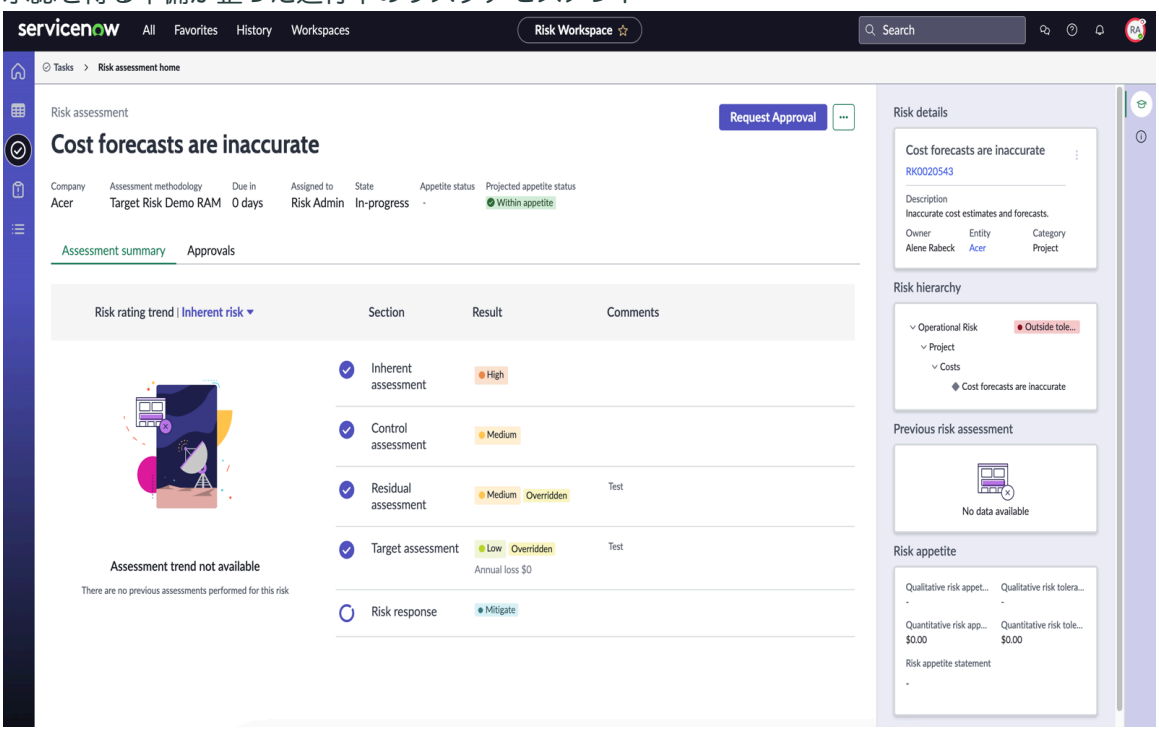
    d. [応答を確認して送信 し、レビューする] を選択します。
    リスク応答タスクが作成され、アサイニーにアサインされます。タスクを編集し、所有者を変更することができます。

12. オプション: 評価を変更する場合は、 [編集] を選択します。
13. オプション: アセスメントのための実行されているアクティビティを表示するには、[アクティビティログ] アイコン を選択します。
14. 承認者を定義した場合は、[送信] を選択します。
    アセスメントホームページが表示されます。アセスメントの概要を確認できます。
15. 承認を要求、アサインを編集、または再アサインするには、次のいずれかを選択します。

タスクの結果
アセスメントが承認者に送信され、承認ワークフローが開始されます。

Example:

承認を得る準備が整った進行中のリスクアセスメント



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクワークスペースでオブジェクトアセスメントを実行

ServiceNow® でオブジェクトまたはレコードのリスクを評価します。オブジェクトアセスメントの例は、変更管理の評価または引用の評価です。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user

このタスクについて

オブジェクトリスクアセスメントを実行するために、リスクの予備知識は必要ありません。リスクワークスペースでオブジェクトアセスメントを実行する場合、リスクのコンテキスト全体が必要ではないため、リスクの説明と参照情報は表示されません。オブジェクトレコードのリスクアセスメントボタンを設定して、アセスメントを開始できます。詳細については、「Advanced Risk アセスメントを使用した任意のオブジェクトアセスメント」を参照してください。

手順

1. 自分の場所に移動します すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. 作業キュー () をクリックします。
3. [自分の処理待ちのタスク] の [Advanced Risk アセスメント] で、自分にアサインされたオブジェクトリスクアセスメントを開きます。
4. [アセスメントを開始]を選択した場合は、アセスメントの質問に回答します。
   詳細については、「リスクワークスペースで高度なリスクアセスメントを実行」を参照してください。
5. [保存] をクリックします。
6. リスクアセスメント方法論でリスク応答を構成した場合は、適切なリスク応答戦略を選択し、[リスク応答を定義] をクリックします。
7. レビューのためにアセスメントを送信するには、[レビューと送信] をクリックします。
   アセスメントホームページが表示されます。アセスメントの概要を確認できます。
8. 承認を要求、アサインを編集、または再アサインするには、次のいずれかを選択します。承認を要求します。

リスクワークスペースでのリスク識別のワークフロー

ワークフローでは、GRC リスクワークスペースでリスク識別プロセスを完了するためのステップバイステップガイダンスを提供します。

リスクワークスペースでは、リスクマネージャーはリスク識別ワークフローを使用してリスクを識別できます。ワークフローには複数のステージがあります。アクティビティが完了すると、ステージの進捗状況が更新されます。リスク識別ワークフローは複数のレーンに分割されます。ワークフローの各レーンには、タスクオーナーが完了する 1 つ以上のアクティビティが含まれています。

リスク識別ワークフローを使用するメリットは、単一のインターフェイスで詳細を表示できることです。また、任意のステージに戻ってアクティビティを再開することもできます。

リスク識別では、リスク識別レコードが作成された後、情報収集アンケートがアサインされたユーザーに送信されます。アンケートに回答するためのメールのリマインダーをユーザーに送信することもできます。回答を受信した後、リスクマネージャーは次のアクティビティを実行できます。

1. 回答を表示します。
2. 回答を承認または却下します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> 却下する回答がある場合、リスクマネージャーは却下の理由を入力してアンケートを再送信できます。

3. 固有のアセスメントを開始します。
4. リスクアセスメントを実行します。
5. アセスメントスコアを表示します。
6. 推奨リスクを関連付けるか、ライブラリから関連付けます。または、リスクマネージャーがリスクを作成することもできます。

> **注:**
> 推奨リスクは、情報オブジェクトから生成されたリスクです。

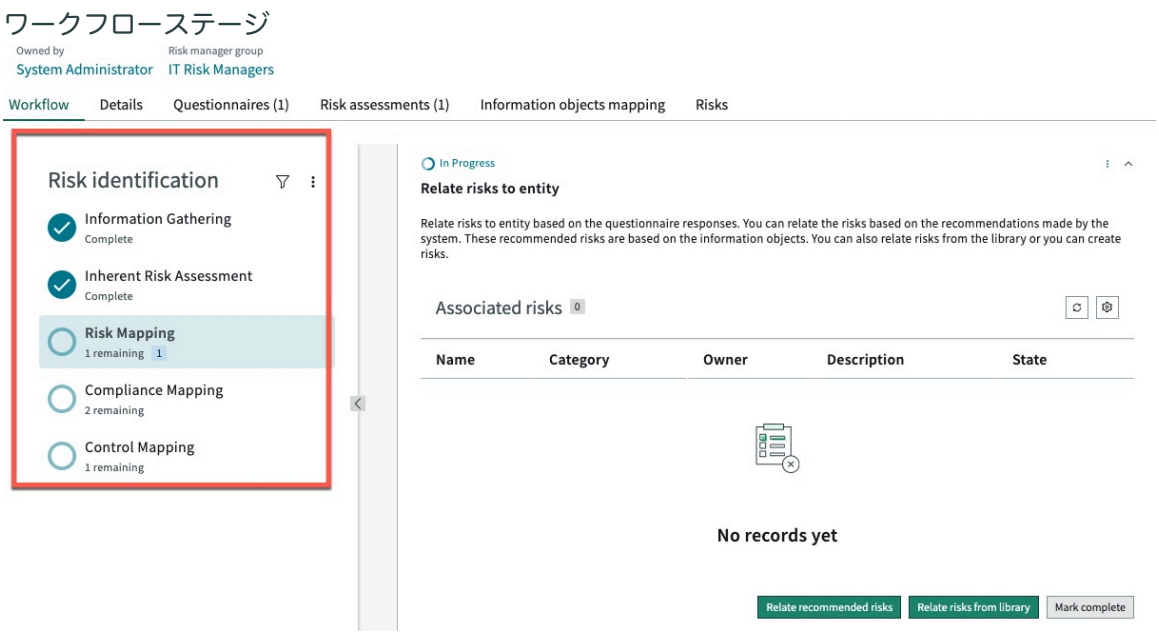
7. アクティビティを完了としてマークします。
8. 推奨ポリシーを関連付けるか、ライブラリから関連付けます。
9. さまざまなリスクとポリシーのコントロールが自動的に生成された後に、追加のコントロールを関連付けるか、作成します。
10. すべてのコントロールまたは選択的なコントロールの証明書を要求します。

以下の点に留意することが重要です。

- ワークフローでは、ステージの進行は自動的に行われますが、完了後にアクティビティを再開する場合は、手動で次のステージに移動する必要があります。
- コントロールの関連付けを終了してから再度リスクマッピングに移行すると、コントロールマッピングステージが処理待ちステータスに移行します。
- ワークフローを再開すると、新しいワークフローインスタンスが作成されます。

詳細については、「Advanced Risk アセスメントを使用したアプリケーションリスクアセスメント」を参照してください。

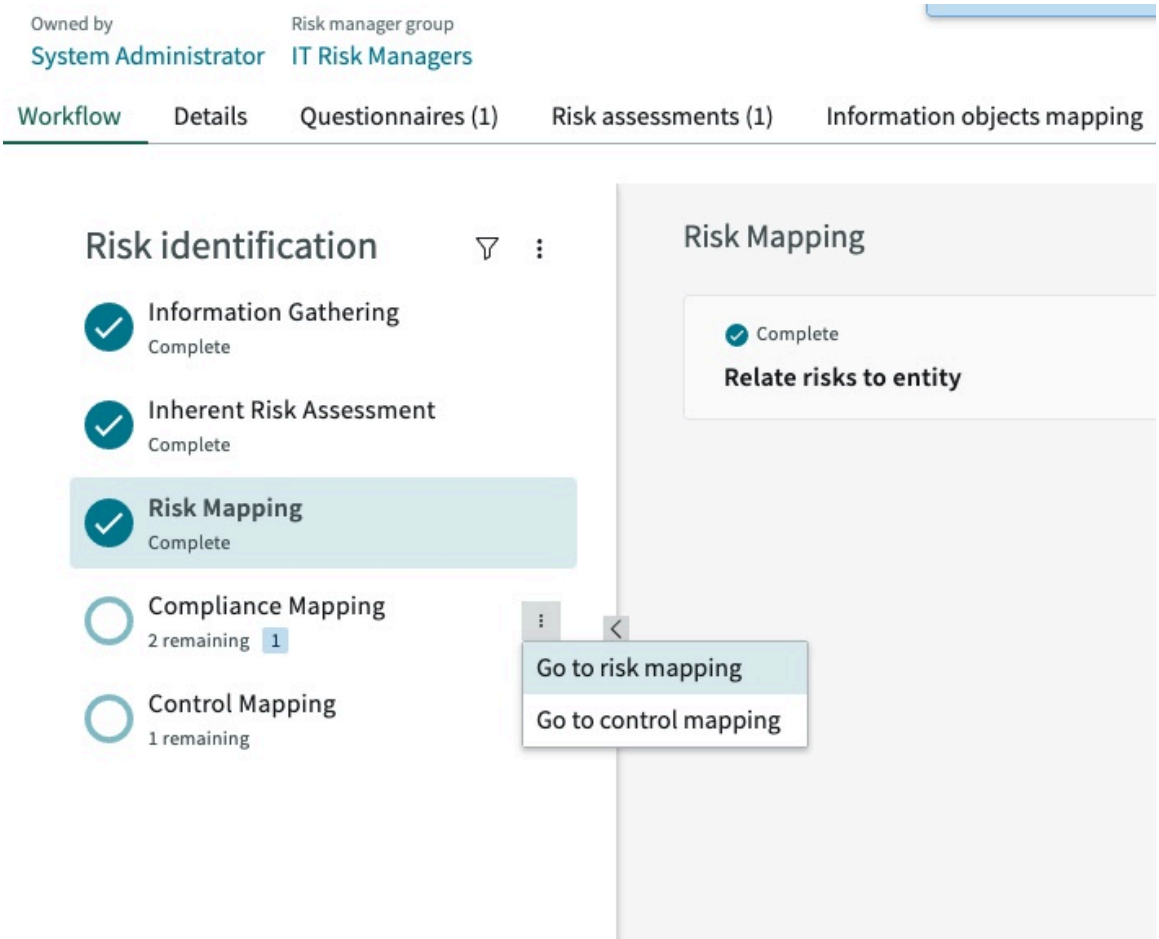
次の図は、ワークフローのステージとアクションを示しています。



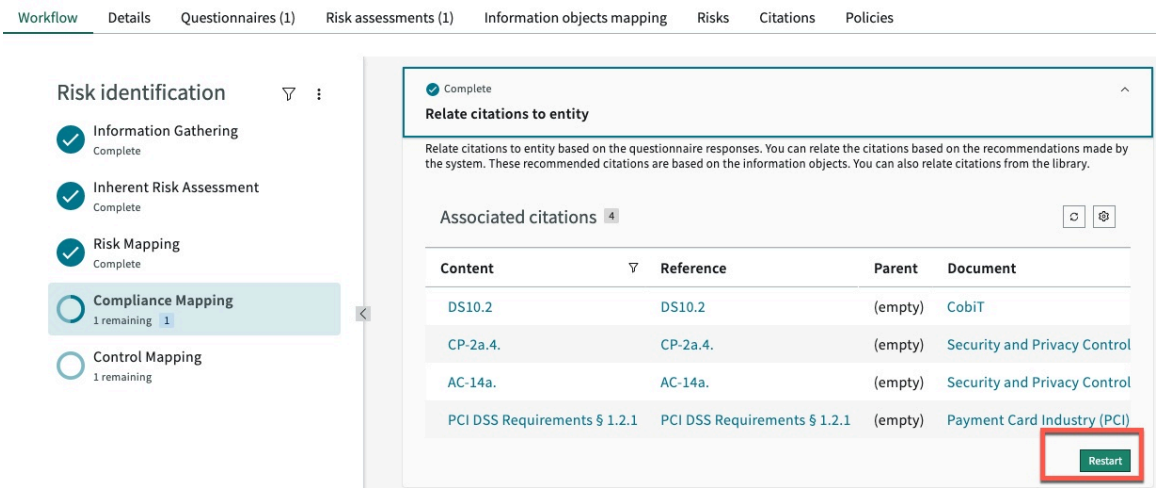
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ステージに戻る



アクティビティの再開



リスクワークスペースでリスクイベントを作成

リスクワークスペースでリスクイベントを作成します。リスクイベントは、組織内で発生する潜在的または実際の財務的および財務以外の損失、ニアミス、および利益です。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
リスクイベントを作成すると、リスクイベントは分析、承認、およびクローズの定義されたライフサイクルを辿ります。リスクイベントを作成または記録することで、組織で同様のイベントの発生を防ぐことができます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスクイベント > すべてのイベント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームで、次のフィールドを入力します。

[新規リスクイベントを作成 **(Create New Risk Event)]** フォーム

フィールド	説明
名前	ATM 盗難などのリスクイベントの名前。
説明	報告されたリスクイベントの説明。
分類	
イベントタイプ	イベントのタイプ。オプションは次のとおりです。 ○ [財務の影響]：イベントが金銭的損失につながる場合は、このオプションを選択します。 ○ [財務以外の影響]：イベントに金銭的損失がない場合は、このオプションを選択します。
カテゴリ	イベントカテゴリ。カテゴリを編集して、次のいずれかのオプションを適用できます。 ○ [個人]：従業員に発生した物理的な損害など。 ○ [法務]：従業員が利益相反のビジネスを行っていることがわかった場合など。 ○ [情報セキュリティ]：盗難、強盗、システムクラッシュなど。 ○ [人事]：従業員による他の従業員に対する機密性の高い訴訟など。
サブタイプ	イベントサブタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ [実績]：イベントが実際に発生した場合は、このオプションを選択します。 ○ [潜在]：イベントが発生する可能性がある場合は、このオプションを選択します。
検出者	リスクイベントを検出したユーザー。
オープン	リスクイベントの作成日。
開始者	リスクイベントを作成するユーザー。
ニアミス	リスクイベントが損失を被る可能性があったが、損失にはならなかったかどうかを指定するオプション。このフィールドは、[サブタイプ] フィールドから [潜在] が選択されている場合にのみ使用できます。
財務利益	リスクイベントの結果が損失ではなく利益であったかどうかを示すオプション。このオプションは、リスクイベントが次のいずれかの条件を満たす場合に自動的に選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [サブタイプ] フィールドから [潜在] を選択し、利益のために [予想損失] フィールドまたは [潜在的損失] フィールドが負の値になっている。 ○ [サブタイプ] フィールドで [実績] が選択され、[正味損失] フィールドが負の値になっている場合。
モデリングで使用	リスクイベントレコードを、モンテカルロシミュレーションなどのシミュレーション技術を使用して高度な分析を実行する外部システムと共有するオプション。モンテカルロシミュレーションは、不確実なイベントの考えられる結果を推定するために使用される数学的手法です。
所有権	
主エンティティ	損失を負担するエンティティ。このエンティティは、レポートのために管理者に表示されます。
所有グループ	クローズするイベントの監視を担当するグループ。
コストセンター	エンティティのアカウント番号。
所有者	リスクイベントを所有するユーザー。リスクマネージャーはイベントオーナーになることができます。所有グループが指定されている場合、所有者は所有グループからフィルタリングされます。
キー日付	
発生日	イベントが発生した日付。
検出日	イベントが最初に検出または通知された日付。
損失/利益の推定	
予想損失	予想される損失額。予想損失は、考えられるすべての損失の確率加重平均です。この金額は、組織が失う可能性のある予想金額のユーザーの判断に基づきます。
非財務的影響	イベントに関連付けられる非財務的影響の評価。
潜在的な損失	リスクイベントによる潜在的な損失であると予想される金額。この金額は、リスクイベントの損失によってエンティティが被る可能性のある最大損失です。
クレジット/市場リスクの重複	
境界イベント	イベントを境界イベントとしてマークするオプション。境界イベントは、別のリスクカテゴリの財務的損失などの結果につながるオペレーショナルリスクイベントです。
外部リス	リスクイベントが持つ可能性がある外部リスクのタイプ。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
クタイプ	○ [クレジット]：クレジットリスクとは、借り手がローンの返済や契約上の義務を履行しないことによって生じる損失の可能性です。たとえば、貸し手がクレジットカードやローンを提供している場合、借り手がローンを返済しない可能性があります。 ○ [市場]：市場リスクは、投資家が関与する金融市場のパフォーマンスに影響を与える要素によって投資家が損失を被る可能性です。たとえば、景気後退は市場全体に影響を与える可能性があります。 このオプションは、[境界イベント] が選択されている場合に表示されます。
外部リスク参照	帳簿内の調整用の ID。この値は自動的に設定されます。 このオプションは、[境界イベント] が選択されている場合に表示されます。
根本原因分析	
原因	リスクイベントが発生した主な理由。
原因の説明	リスクイベントが発生した理由に関する簡潔な説明。
結果	リスクイベントの結果。例：リスクイベントの結果として規制上の罰金が課せられる可能性があります。
実行されたアクション	問題に対処するために実行された修復アクション。これはイベントの最初のレコードです。
アクティビティ	
作業メモ	リスクイベントに関するメモ。これらのメモは外部ユーザーには表示されません。
追加コメント	リスクイベントに関する追加コメント。これらのメモは外部ユーザーに表示されます。

4. [保存] をクリックします。

類似のリスクイベントを関連付け

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインをアクティブ化して、機械学習を使用する類似性ソリューション定義をトレーニングします。このソリューションにより、類似のリスクイベントを自動的に表示できます。

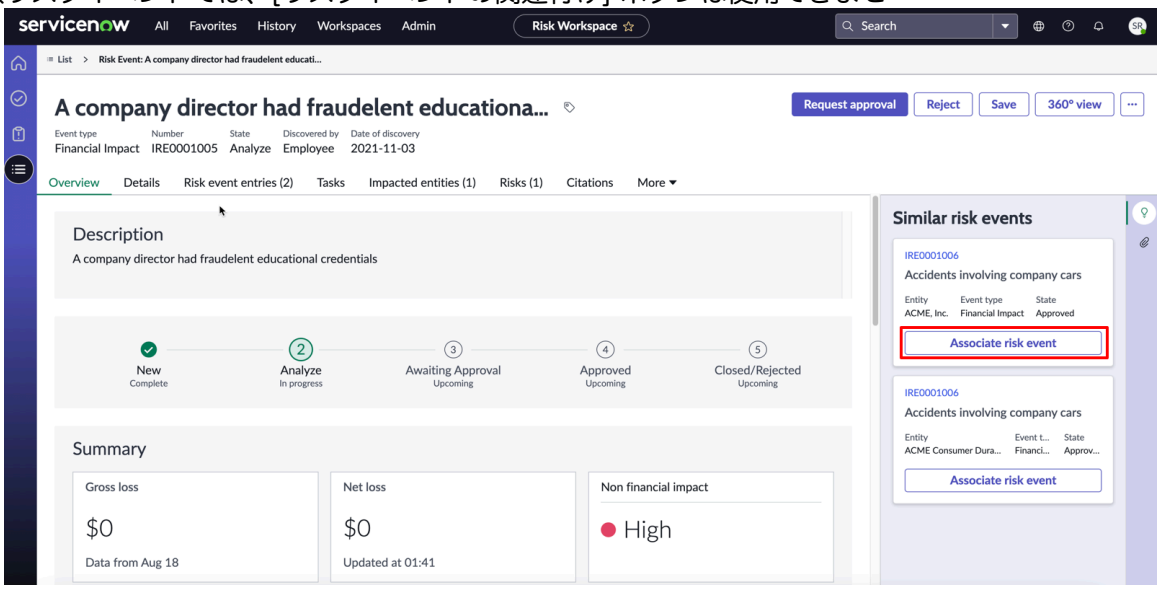
ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインは、人工知能 (AI) と機械学習 (ML) を使用してリスクイベントをより効率的に管理します。類似のリスクイベントを特定し、それらをグループ化して、リスクイベントの実際の影響をキャプチャして分析できます。

たとえば、複数の場所で事業展開している組織では、さまざまな場所にまたがるリスクイベントチームが類似のタイプのリスクイベントに取り組んでいる可能性があります。この課題により、組織内でリスクイベントを管理する作業が重複します。この機能により、類似のリスクイベントを管理する際の手動による労力が削減され、組織全体の効率が向上します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

類似のリスクイベントは、メインのリスクイベントが [分析] ステータスの場合にのみ関連付けることができます。また、[新規] または [却下] ステータスの類似リスクイベントでは、[リスクイベントの関連付け] ボタンは使用できませ



ん。

プラットフォーム機械学習管理者 (ml_admin) は、ソリューション定義を作成し、既存の定義を変更できます。次の場所に移動できます。 リスクイベント > 管理 > プロパティ リスクイベントプロパティを新しいソリューション定義名で更新します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインによるリスクの分類

ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインを使用すると、組織のリスクレコードにある孤立リスク (リスクステートメントを持たないリスク) のリスクステートメントを予測できます。その後、リスクの正しいリスクステートメントを特定し、それらを管理可能なカテゴリに集計できます。

概要

通常、第一線の従業員または組織内のリスクチャンピオンがビジネスのリスクを特定します。

> **注:**
> リスクチャンピオンは、組織内のリスクの識別とレポートを担当するエグゼクティブです。

リスクチャンピオンはこれらのリスクを特定したら、リスクを正しいリスクステートメントに手動で関連付けます。これらのオペレーショナルリスクはエンタープライズリスクに集約されるため、組織の上級管理者は組織のリスクプロファイルを可視化できます。

ただし、リスクチャンピオンは、完全なリスクライブラリを手動で検索して、識別されたリスクの正しいリスクステートメントを識別する必要があります。このアクティビティは時間がかかるため、リソースの非効率的な使用です。リスクチャンピオンがリスクステートメントを手動で検索する場合、ライブラリ全体を検索するのではなく、最も早い一致を選択する傾向があるため、リスクステートメントを含むリスクが正しく分類されません。

リスクレコードにあるリスクステートメントの予測

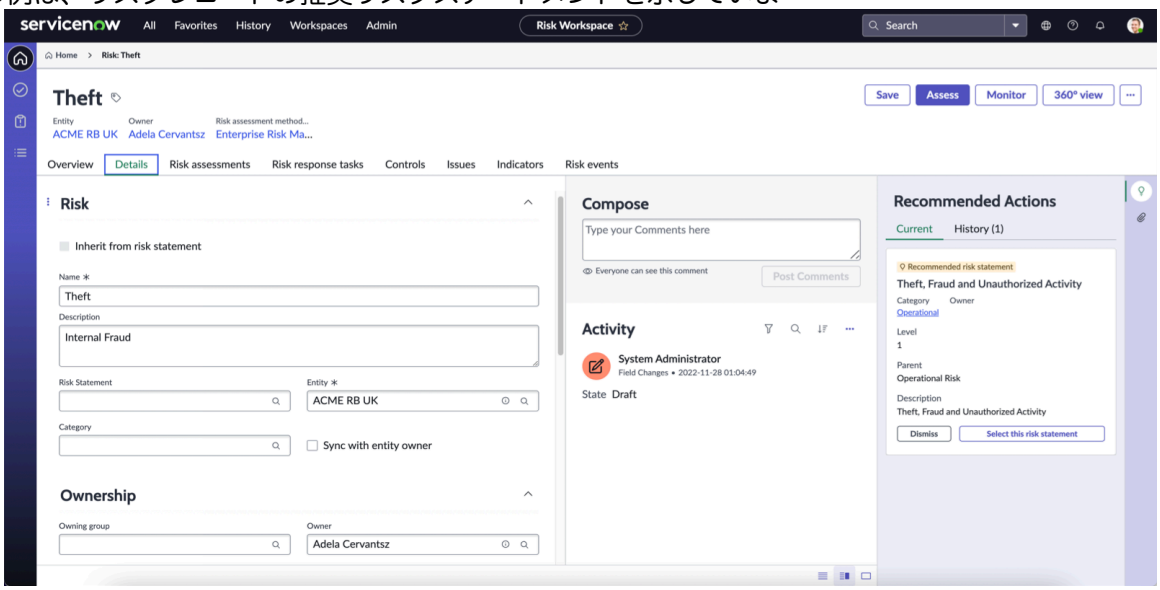
ガバナンス、リスク、コンプライアンス: 予測インテリジェンス プラグインは、人工知能 (AI) および機械学習 (ML) 機能を使用して、リスクレコードの関連リスクステートメントを予測します。予測インテリジェンス プラグインは、予測インテリジェンス エンジンの類似性機能を使用して、リスクの名前と説明をリスクステートメントと比較します。このプラグインを使用すると、組織では、識別

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

されたリスクに関連付けるリスクステートメントを検索して識別するために必要な労力を減らすことができます。また、組織のリスクプロファイルの集計とレポートの精度および可視性が向上します。

次の例は、リスクレコードの推奨リスクステートメントを示していま



す。

注:
リスクユーザー (sn_risk.user) は、リスクレコードでリスクステートメントが定義されていない場合に、リスクステートメントの推奨事項のみを表示できます。推奨事項に基づいて、リスクユーザーはリスクを関連するリスクステートメントに関連付けることができます。

リスクステートメントによるリスク分類のメリット

リスクステートメントを使用して組織のリスクを分類することで、さまざまなユーザーに以下のメリットがもたらされます。

- リスクオーナー：孤立リスクの正しいリスクステートメントを識別して、リスクを管理可能なカテゴリにグループ化します。
- リスクマネージャー：第一線の従業員またはリスクチャンピオンによって作成された孤立リスクの数を減らします。リスクマネージャーは、組織のリスクプロファイルの可視性を取得して、同様のタイプのリスクによる影響を分析できます。
- リスク管理者：組織のニーズに基づいてリスクステートメントを予測するようにソリューション定義を設定します。

機能の設定

ml_admin ロールを持つリスク管理者は、リスクワークスペース アプリケーションでリスクの分類を設定できます。組織でこの機能を使用する前に、リスク管理者は以下のアプリケーションとプラグインをインストールしてアクティブ化する必要があります。

- リスク管理
- リスクワークスペース
- 予測インテリジェンス
- Recommended Actions - Advanced

リスク管理者は、予測インテリジェンス プラグインを使用して、組織内のリスクのデフォルトの類似性ソリューションをトレーニングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
類似性ソリューションは、既存のレコードを収集して新しい類似のレコードと比較する機械学習ソリューションです。

詳細については、「類似性ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

注:
類似性アルゴリズムを機能させるには、少なくとも 1000 件のリスクレコードが必要です。

ml_admin ロールを持つリスク管理者は、リスクのデフォルトの類似性ソリューション定義を確認し、組織のニーズに基づいて変更できます。

リスクワークスペースでリスクイベントを分析

ユーザーが送信したリスクイベントを分析します。リスクイベントに詳細を追加したり、送信者からの情報を要求したり、イベントが有効でない場合はリスクイベントを却下したりすることができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

このタスクについて
リスクイベントが送信されると、基本的な情報が含まれいるか、またはほとんど情報が含まれていません。リスクマネージャーは、イベントが [分析] ステータスのときにリスクに詳細を追加する必要があります。これらの追加の詳細は次のとおりです。

- リスクイベントの承認者。
- イベントの根本原因。
- イベントの予防および修復アクション。
- イベントの損失を分割するためのイベントの追加エントリ。
- 信頼できるソースコンテンツ
- タスク
- 影響を受けるコントロール
- 問題

リスクイベントに関する詳細情報が必要な場合は、送信者に追加情報の提供を依頼することができます。イベントが注意に値しない、または無効であると思われる場合は、イベントを却下できます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスクイベント > すべてのイベント.
2. 分析するイベントを開き、[分析] をクリックします。
3. [詳細] 関連リストをクリックし、必要な情報を変更します。
   リスクイベントが発生したが、損失が迅速に回復した場合は、[完全な高速復旧] オプションが選択されます。リスクイベントが損失ではなく利益になった場合は、[財務利益] オプションが選択されます。リスクイベントがどのように利益をもたらすかについては、「リスクイベントを管理」を参照してください
4. [保存] をクリックします。
5. このステージでは、次のいずれかを実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. リスクイベントに情報を追加するには、適切な関連リストをクリックして必要な詳細を追加します。

次のタスク
リスクイベントのサブタイプが [実績]の場合は、リスクイベントエントリを作成します。詳細については、「リスクワークスペースでリスクイベントエントリを作成」を参照してください。

リスクワークスペースでリスクイベントエントリを作成

リスクイベントエントリを作成して、リスクイベントの金銭的または金銭以外の影響を判断します。リスクイベントには複数のリスクイベントエントリを含めることができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk.manager

このタスクについて
リスクイベントエントリは、リスクイベントのために報告された直接的および間接的な損失をキャプチャします。たとえば、組織で発生した火災のリスクイベントが報告された場合、それに関連する直接的および間接的な損失は、家具の交換、ハードウェアの交換、重要なデータの損失などになる可能性があります。これらすべての関連する損失は個別に取得する必要があります。実際のイベントに対してのみリスクイベントエントリを追加できます。潜在的なリスクイベントエントリにリスクイベントエントリを追加することはできません。損失をレポートするときに任意の通貨を選択すると、通貨換算システムによって通貨が USD に変換されます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスクイベント > すべてのイベント.
2. リスクイベントエントリを追加するイベントを開きます。
3. [リスクイベントエントリ] 関連リストをクリックします。
4. 直接的および間接的な損失、新しい損失復旧、新しい追加コスト、または新しい財務以外の影響を作成するには、必要に応じて次のアクションを実行します。

5. [保存] をクリックして、ページを更新します。
   ページで損失金額が更新されます。

ORX 外部イベントを作成

Operational Riskdata eXchange (ORX) 外部リスクイベントを作成して、会社のリスクイベントを他の組織と共有します。このリスクイベント情報の交換は、業界の他の組織の学習として機能し、同じエラーの発生を防ぐことができます。

始める前に
必要なロール：sn_risk_workspace.operational_risk_manager

このタスクについて
ORX 関連付けにより、運用および財務以外のリスクの専門家は、業界と一貫性のある効果的な方法でデータを収集、測定、および分析できます。ORX イベントを表示および作成するには、[*Show ORX External Events*] プロパティを有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 外部リスクイベント > **ORX** イベント.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい **ORX** 外部イベントフォーム

フィールド	説明
名前	リスクイベントの名前
説明	イベントの簡潔な説明。
会社の詳細	
会社	イベントが発生した会社。
地域	イベントが発生した地域。
会社のロール	トランザクションに関連して会社が保有していたロール。
事業部門レベル 2	イベントの事業部門。
国	イベントが発生した国。
カウンターパーティ	イベントに関与するカウンターパーティまたは請求者のタイプ。
ORX メンバー	会社が既存の ORX メンバーであるかどうかを示すオプション。
損失の詳細	
損失イベント ID	損失イベントの ID。
損失カテゴリ	損失のカテゴリ。
イベントタイプレベル 2	企業財務、マーチャントバンキングなど、レベル 2 のイベント。
プロセスコード	プロセスのコード。
製品コード	製品のコード。
オープン	リスクイベントがオープンかどうかを示すオプション。
ソース	イベントのソース。
分類	
境界リスク	別のリスクカテゴリの財務的損失など、結果をトリガーするオペレーショナルリスクイベント。
AMA ステータス	高度な測定アプローチ (AMA) は、銀行またはその他の金融機関が Basel II で使用できる 3 つの可能なオペレーショナルリスク手法の 1 つです。
財務金額	
総損失額	総損失額。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
直接復旧	会社が受領した間接的な回収以外の、損失を埋め合わせた支払い。
間接復旧	保険により行われた復旧。
正味損失 (現地通貨)	現地通貨での正味損失。
正味損失 (ユーロ)	発生した正味損失はユーロに変換されます。
キー日付	
検出日	イベントが検出された日付。
イベント開始日	イベントが開始された日付
決済日	イベントが解決された日付。
公開日	イベントが公開された日付。
イベント終了日	イベントが終了した日付。
原因	
原因レベル 3	イベントの 3 番目の原因レベル。
その他詳細	
管轄	イベントの管轄。
シナリオカテゴリ	行為、外部の詐欺、テクノロジーなどのシナリオのカテゴリ。
環境変動	イベント時に銀行が稼働していた環境または状況の側面。
アクティビティ	
作業メモ	このイベントのレスポンダー、マネージャー、または管理者に表示されるメモ。
追加コメント	このイベントに関する追加コメント。

自動翻訳

リスクポータルからリスクイベントを報告

リスクポータルからリスクイベントを報告します。リスクポータルは、リスクイベントを迅速に報告するための方法を提供します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.business_user role

手順

1. 移動先 リスクポータル.
2. [レポート] で、[リスクイベント] をクリックします。
   [リスクイベントを報告] フォームが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. [レビューのため送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
リスクイベントが作成され、リスクチームのレビューのために送信されます。

リスクデータのチャートの色

リスクデータをさまざまな色で可視化して、リスクの概要をすばやく確認できます。

さまざまなリスクレポートが Risk ホームページに表示されます。これらのレポートの例としては、円グラフや棒グラフなどがあります。®これらのレポートでは、リスク評価がさまざまな色で表示されます。デフォルトでは、ServiceNow　は Advanced Risk アセスメントに以下のリスク評価に対するチャートの色を提供します。

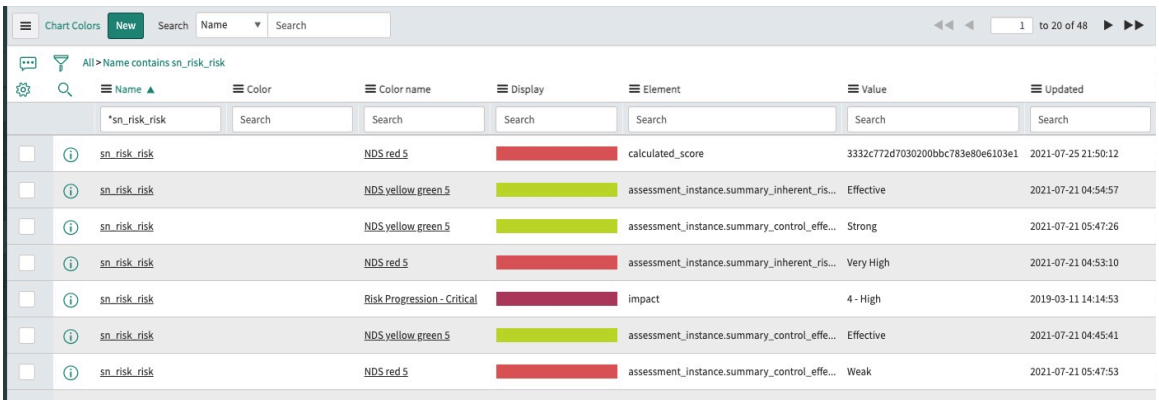
- 超高
- 重大
- 無効
- 高
- 中
- 中
- 改善が必要
- 低
- 有効
- 非常に低い

クラシック版リスクの場合、次のリスク基準がそれぞれの色で定義されます。

- 非常に低い
- 低
- 中
- 高
- 超高

リスク基準またはリスク評価を追加または変更する場合は、report_admin ロールを持つレポート管理者がチャートの色を構成できます。チャートの色の設定の詳細については、「チャートの色を使用する」を参照してください。

チャートの色



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクワークスペースでビジネスプロセスを作成

リスクワークスペースでビジネスプロセスを作成し、オーナー、承認者、事業上の重要度、およびプロセスのレビュー頻度を定義します。

始める前に

必要なロール：エンタープライズアーキテクトまたはサービスオーナーまたは itil

このタスクについて

ビジネスプロセスを作成するときは、CIA のトライアドを確認することが重要です。CIA のトライアドは、機密性、完全性、可用性を指します。CIA トライアドは、セキュリティシステムとポリシーの開発の基礎を形成する一般的なモデルです。これらは、脆弱性と問題に対処する方法を特定し、ソリューションを作成するために使用されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Risk** ワークスペース > リスト > ビジネスプロセス.
2. [新規作成] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ビジネスプロセスフォーム

フィールド	説明
名前	ビジネスプロセスの名前。
説明	ビジネスプロセスの説明。
親	存在する場合、ビジネスプロセスの階層を作成する親プロセス。
レビュー頻度	ビジネスプロセスをレビューする頻度。
所有権	
ライフサイクルステージ	ビジネスライフサイクルにおけるレコードのステージ。ステージによってステータスが決定され、アクションが表示されます。[ドラフト] ステータスのプロセスのフォームを保存すると、このフィールドは自動的に [観念化] に設定されます。
管理担当者グループ	このビジネスプロセスを維持するグループ。
承認グループ	ビジネスプロセスをレビューおよび承認する必要があるグループ。
所有者	ビジネスプロセスを担当するユーザー。このユーザーは、[管理担当者] グループのメンバーです。
ライフサイクルステージステータス	ライフサイクルステージ内のビジネスプロセスのステータス。[ドラフト] ステータスのプロセスのフォームを保存すると、このフィールドは自動的に [評価中] に設定されます。
次のレビュー日時	ビジネスプロセスを確認する必要がある予定日。このフィールドの値は、ビジネスプロセスが承認された後にのみ自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	ビジネスプロセスの簡単な説明。説明には、背景、実際のステップ、ビジネスプロセスのインタラクションを含めることができます。
ビジネスへの影響度	
宣言された事業上の重要度	主観的アセスメントに基づくビジネスプロセスの重要性。以下から選択可能です。 ○ **1-** 最重要 ○ **2-** ある程度重要 ○ **3-** やや重要 ○ **4-** 重要ではない
決定された事業上の重要度	サブプロセスのアセスメントに基づいた、このビジネスプロセスの計算された重要度。以下から選択可能です。 ○ **1-** 最重要 ○ **2-** ある程度重要 ○ **3-** やや重要 ○ **4-** 重要ではない
CIA トライアド	
機密性への影響度	プロセスの機密性損失のリスクに対するリスク評価。以下から選択可能です。 ○ 高 ○ 中 ○ 低
完全性への影響度	プロセスの完全性への影響度のリスクに対するリスク評価。以下から選択可能です。 ○ 高 ○ 中 ○ 低
可用性への影響度	プロセスの可用性損失のリスクに対するリスク評価。以下から選択可能です。 ○ 高 ○ 中 ○ 低

4. フォームを右クリックして保存します。
   レコードが [ドラフト] ステータスに移行します。

関連情報

関連資産をビジネスプロセスに追加

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連資産をビジネスプロセスに追加

関連するビジネス資産をビジネスプロセスに追加して、IT 資産とそのパフォーマンスを可視化します。

始める前に
必要なロール：エンタープライズアーキテクトまたはサービスオーナーまたは itil

このタスクについて
ビジネスプロセスは、ビジネスアプリケーション、ネットワークサーバー、アプリケーションサーバー、およびそれらのサービスなどのさまざまな資産によってサポートされています。プロセスオーナーがその関係を確立し、これらの IT 資産とそのパフォーマンスの可視性が得られることが重要です。たとえば、従業員の休暇管理がビジネスプロセスであるとします。このビジネスプロセスは、アプリケーションに依存して自動化されます。また、アプリケーションは、サーバーに依存して実行されます。したがって、資産をプロセスに関連付けると、プロセスの全体的なパフォーマンスを追跡できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Risk** ワークスペース > リスト > ビジネスプロセス.
2. 資産を追加するビジネスプロセスを開き、[関連資産] 関連リストをクリックします。
3. [追加] をクリックします。
   [関連資産] ポップアップが表示されます。
4. ビジネスプロセスに追加する関連資産を選択します。
5. [追加] をクリックします。
6. [保存] をクリックします。

リスクワークスペース でテスト計画を作成する

コントロールテスト手順を文書化するテスト計画を作成します。テスト計画は、最初から作成することも、テストテンプレートを基に作成して、機能をどのようにテストするかを示すこともできます。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > コントロールテスト > コントロールテスト計画.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しいテスト計画の作成フォーム

フィールド	説明
数値	一意の識別番号。
名前	テスト計画の名前。
コントロール	このテスト計画がカバーするコントロール。
エンティティ	エンティティは、[コントロール] フィールドで選択された値に基づいて自動入力されます。
テストテンプレート	関連テストテンプレート。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	テストテンプレートを選択すると、[設計テスト] セクションと [運用テスト] セクションのすべてのフィールドにテストテンプレートの値が入力されます。
期間	テストの予定期間。
設計テスト	
想定設計	コントロールが効果的であるために適合する必要がある基本要件。
設計評価手順	コントロールの設計が、コントロール目標を達成するために効果的かどうかを判断するために従う必要がある手順またはステップ。これは、想定設計に基づいています。
運用テスト	
想定運用	コントロール目標を達成するためにコントロールが効果的に動作していることを確認するために適合する必要がある想定。
運用評価手順	コントロールが正常に動作していると判断するために実行する必要がある、想定運用を遂行するための詳細なステップ。

4. [保存] をクリックします。
5. ビジネスに影響する異なるタイプの重大な監査データ間の関係を視覚的に調べるには、**[360** 度ビュー] ボタンをクリックします。

リスクヒートマップワークベンチでデータをフィルター

リスクユーザーは、リスクヒートマップワークベンチでデータをフィルターして、リスクを詳細に表示します。

始める前に

必要なロール：
sn_risk_workspace.operational_risk_manager、sn_risk_workspace.business_op_risk_manager

このタスクについて

リスクヒートマップワークベンチでは、条件ビルダー機能を使用して、注意が必要なリスクをさらにフィルターできます。たとえば、高評価のリスクをフィルターできます。頻繁に使用する重要なフィルターがある場合は、そのフィルターを保存することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク管理 > **Risk** ワークスペース.
2. ホームページで、ワークベンチ起動アイコン ( ) を選択します。
3. フィルターフィルターアイコンを選択します アイコンをクリックします。
4. [詳細ビュー] ダイアログボックスで、フィールド、演算子、および値を入力します。
5. [送信] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ヒートマップは、フィルタリングされた結果で更新されます。

6. 作成して適用したフィルター条件を表示するには、[フィルターの概要]を選択します。
7. フィルター条件の結果をクリアするには、[結果をクリア] を選択します。
8. フィルターを保存するには、コンテキストサイドパネルでフィルターを保存ボタン ( ) を選択します。
   a. [タイトル] フィールドに、フィルターのタイトルを入力します。
   b. [保存] を選択します。
   保存されたフィルターが [自分の保存したフィルター] 関連リストに表示されます。
9. 作成したフィルター条件を削除するには、[フィルター] ダイアログボックスを開き、条件の削除ボタン ( ) を選択して [送信] をクリックします。

エンティティのリスク選好度を定義

リスク管理 アプリケーションのエンティティレコードのリスク選好度を定義して、考えられるすべてのリスクを評価し、ビジネスに許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.user

このタスクについて

エンティティオーナーは、リスク選好度と許容度を定義し、定性的なリスク選好度をダウンストリームエンティティにコピーできます。このタスクを実行することで、違反が発生した場合にアクションプランを定義して管理できます。定性的 (数値スケールと評価) と定量的 (金銭的価値) の選好度を定義することで、リスクユーザーはリスク選好度を理解して意思決定を行うことができます。リスク選好度と許容範囲の詳細については、「高度なリスク のリスク選好度と許容度」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. リストアイコン を選択してエンティティに移動します。
3. 新しいエンティティまたは既存のエンティティのリスク選好度を次のように定義します。
   - 新しいエンティティのリスク選好度を定義するには、[新規] を選択します。
   - 既存のエンティティのリスク選好度を定義するには、必要なエンティティレコードを選択して開きます。
4. エンティティフォームで、[リスク選好度] セクションを選択し、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「エンティティフォームの [リスク選好] フィールド」を参照して ください。

5. [保存] を選択します。
6. オプション: 定性的選好度をダウンストリームエンティティにコピーするには、フォームでその他のアクションアイコン を選択し、[定性的選好度をコピー **(Copy qualitative appetite)]** を選択します。

> **重要:**
> ダウンストリームエンティティのリスク選好度が上書きされていない場合にのみ、定性的選好度と許容度をダウンストリームエンティティにコピーできます。階層内の各レベルの定量的選好度と許容度を定義する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームの [リスク選好] フィールド

エンティティフォームの [リスク選好度] フィールドについて説明します。これらのフィールドを使用してリスク選好度を定義し、考えられるすべてのリスクを評価して、リスク管理 アプリケーションで許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

注:
エンティティフォームに表示されるリスク選好度フィールドは、リスク管理者によって設定された高度なリスクアセスメントプロパティに応じて異なります。

エンティティフォームの [リスク選好] フィールド

フィールド	説明
定性的リスク選好度を上書き	親エンティティの定性的リスク選好度を上書きするオプション。デフォルトでは、すべてのエンティティがエンティティフォームでのアップストリームエンティティのリスク選好度を継承します。このオプションを選択すると、現在のエンティティのリスク選好度値を個別に定義できます。 **注:** このフィールドは、現在のエンティティで利用可能なアップストリームエンティティがある場合にのみ表示されます。
定性的選好度	数値スケールおよび評価用語でのリスク選好度。定性的選好度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的選好度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。 定性的要求を定義したら、それをダウンストリームエンティティにコピーできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームの [リスク選好] フィールド (続く)

フィールド	説明
	注: sn_risk_advanced.qualitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクユーザーとリスクリーダーは、フォームおよびその他の場所で定性的選好度と定性的許容度値のみを表示できます。
定量的選好度	定量的条件におけるリスク選好度。定量的リスク選好度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。定量的選好度は、組織がリスクを負うことを許容する損失額です。たとえば、組織が今年のターゲット不履行資産 (NPA) を 10,000 ドル (USD) にすると決定した場合、これは、その組織が定量的リスク選好度として 10,000 ドル (USD) を定義することを意味します。 定量的選好度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 注: sn_risk_advanced.quantitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクユーザーとリスクリーダーは、フォームおよびその他の場所で定量的選好度と定量的許容度値のみを表示できます。
定性的許容度	数値スケールおよび評価用語でのリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。定性的許容度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的許容度は、定義された定性的選好度よりも大きくなければなりません。定性的許容度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。
定量的許容度	定量的条件におけるリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームの [リスク選好] フィールド (続く)

フィールド	説明
	差です。定量的リスク許容度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。たとえば、組織が今年のターゲット不履行資産 (NPA) を 15,000 ドル (USD) にすると決定した場合、これは、その組織が定量的リスク許容度として 15,000 ドルを定義することを意味します。 定量的許容度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 **注:** 定量的許容度は、定義された定量的選好度よりも大きくなければなりません。
リスク選好度ステータス	
定性的選好度ステータス	エンティティの定性的選好度ステータス。定性的選好度ステータスは、定義された定性的選好度を最終的リスク評価にマッピングされている定性的選好度と比較して計算されます。リスク管理者は、リスク選好度スケールをリスクアセスメント方法論 (RAM) の最終アセスメントタイプのリスク評価基準にマッピングできます。 **注:** エンティティクラスに関連付けられているプライマリ RAM がステータス計算で考慮されます。 たとえば、定性的選好度を [2 - ミニマリスト] として定義し、[定性的許容度] を [4 - オープン] として定義すると、次のステータスが表示されます。 • 定性的リスク評価が [1- 反対] または [2- ミニマリスト] の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • 定性的リスク評価が [3-慎重] または [4-オープン] の場合は、選好度ステータスは選好度外です。 • 定性的リスク評価が [5-意欲的] の場合は、選好度ステータスは許容度外です。
定量的選好度ステータス	エンティティの定量的選好度ステータス。年間損失予測 (ALE) 値は、定義された定量的選好度と比較され、この選好度ステータスが計算されます。 **注:** エンティティクラスに関連付けられているプライマリ RAM から集計された ALE 値がステータス計算で考慮されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームの [リスク選好] フィールド (続く)

フィールド	説明
	たとえば、定量的リスク選好度を 1,000 ドル (USD) として定義し、定量的許容度を 1500 ドルとして定義すると、次のステータスが表示されます。 • ALE が 1000 ドル以下の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • ALE の範囲が 1001 ドルから 1500 ドルの場合、選好度ステータスは選好度外です。 • 1500 ドルを超える ALE の場合、選好度ステータスは許容範囲外です。
選好度ステータス	全体的選好度ステータス。全体的な選好度ステータスでは、定性的ステータスと定量的ステータスの間の最悪のシナリオが考慮されます。たとえば、定性的選好度ステータスが選好度内であり、定量的選好度ステータスが選好度外である場合、全体的な選好度ステータスは選好度外です。

リスクのリスク選好度を定義

リスク管理 アプリケーションのリスクレコードのリスク選好度を定義して、考えられるすべてのリスクを評価し、許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.user

このタスクについて

リスクは、関連付けられたリスクステートメントから選好度値を継承します。リスクオーナーは、親の値を上書きするビジネス要件がある場合、リスクフォームでリスク選好度と許容度を定義することもできます。リスク選好度と許容範囲の詳細については、「高度なリスク のリスク選好度と許容度」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. リストアイコンを選択してリスクに移動します。
3. 新しいリスクまたは既存のリスクのリスク選好度を次のように定義します。
   - 新しいリスクのリスク選好度を定義するには、[新規] を選択します。
   - 既存のリスクのリスク選好度を定義するには、必要なリスクレコードを選択して開きます。
4. リスクフォームで、[リスク選好度] セクションを選択し、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「リスクフォームのリスク選好フィールド」を参照して ください。
5. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォームのリスク選好フィールド

リスクフォームのリスク選好度フィールドについて説明します。これらのフィールドを使用してリスク選好度を定義し、考えられるすべてのリスクを評価して、リスク管理 アプリケーションで許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

注:
エンティティフォームに表示されるリスク選好度フィールドは、リスク管理者によって設定された高度なリスクアセスメントプロパティに応じて異なります。

リスクフォームのリスク選好フィールド

フィールド	説明
定性的リスク選好度を上書き	リスクステートメントの定性的リスク選好度を上書きするオプション。デフォルトでは、すべてのリスクがリスクフォームのリスクステートメントのリスク選好度を継承します。このオプションを選択すると、現在のリスクのリスク選好度値を個別に定義できます。 **注:** このフィールドは、現在のリスクで利用可能なリスクステートメントがある場合にのみ表示されます。
上書きの理由 (Justification for override)	現在のリスクにおけるリスクステートメントの定性的リスク選好度を上書きする理由。この情報は、リスクマネージャーが上書きのビジネスニーズを理解するのに役立ちます。 **注:** このフィールドは、[定性的リスク選好度を上書き **(Override qualitative risk appetite)]** オプションを選択したときのみ表示されます。
定性的選好度	数値スケールおよび評価用語でのリスク選好度。定性的選好度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的選好度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。 注: sn_risk_advanced.qualitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクユーザーとリスクリーダーは、フォームおよびその他の場所で定性的選好度と定性的許容度値のみを表示できます。
定量的選好度	定量的条件におけるリスク選好度。定量的リスク選好度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。定量的選好度は、組織がリスクを負うことを許容する損失額です。たとえば、組織が今年のターゲット不履行資産 (NPA) を 10,000 ドル (USD) にすると決定した場合、これは、その組織が定量的リスク選好度として 10,000 ドル (USD) を定義することを意味します。 定量的選好度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 注: sn_risk_advanced.quantitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクユーザーとリスクリーダーは、フォームおよびその他の場所で定量的選好度と定量的許容度値のみを表示できます。
定性的許容度	数値スケールおよび評価用語でのリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。定性的許容度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的許容度は、定義された定性的選好度よりも大きくなければなりません。定性的許容度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
定量的許容度	定量的条件におけるリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。定量的リスク許容度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。たとえば、組織が今年のターゲット不履行資産 (NPA) を 15,000 ドル (USD) にすると決定した場合、これは、その組織が定量的リスク許容度として 15,000 ドル (USD) を定義することを意味します。 定量的許容度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 **注:** 定量的許容度は、定義された定量的選好度よりも大きくなければなりません。
リスク選好度ステートメント	組織が目標を達成するために積極的に許容するリスクの量とタイプを定義するリスク選好度ステートメント。組織が脅威と見なすものとその対応戦略を文書化します。これらのステートメントは、リスク選好度を理解するための追加のコンテキストを提供し、ビジネスがリスクに基づいた意思決定を行うのに役立ちます。たとえば、「ACME Inc. には、システムや機密データへの不正アクセスに対する選好度がないため、自社の技術インフラストラクチャに対する外部の脅威を軽減するために強力なコントロールを維持します。ACME Inc. は、信頼性の低い電気通信やシステムの可用性が原因で事業運営の継続性が失われることに対する低い選好度を備えています。ビジネスの弾力性の計画と実行は、戦略的目標に沿っている必要があります。ACME Inc. は、急速に変化する環境でユーザーのニーズを満たす革新的なテクノロジーソリューションに対する中程度の選好度を備えています。機関は新しい技術を検討し採用する際に、適切なガバナンスと規律を行使します。」
リスク選好度ステータス	
定性的選好度ステータス	リスクの定性的選好度ステータス。定性的選好度ステータスは、定義された定性的選好度を最終的リスク評価にマッピングされている定性的選好度と比較して計算されます。リスク管理者は、リスク選好度スケールをリスクアセスメント方法論 (RAM) の最終アセスメントタイプのリスク評価基準にマッピングできます。 **注:** 関連付けられているエンティティで定義されたプライマリ RAM は、ステータス計算で考慮されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	たとえば、定性的選好度を [2 - ミニマリスト] として定義し、[定性的許容度] を [4 - オープン] として定義すると、次のステータスが表示されます。 • 定性的リスク評価が [1- 反対] または [2- ミニマリスト] の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • 定性的リスク評価が [3-慎重] または [4-オープン] の場合は、選好度ステータスは選好度外です。 • 定性的リスク評価が [5-意欲的] の場合は、選好度ステータスは許容度外です。
定量的選好度ステータス	リスクの定量的選好度ステータス。年間損失予測 (ALE) 値は、定義された定量的選好度と比較され、この選好度ステータスが計算されます。 **注:** 関連付けられているエンティティで定義されたプライマリ RAM からのリスクアセスメント ALE 値は、ステータス計算で考慮されます。 たとえば、定量的リスク選好度を 1,000 ドル (USD) として定義し、定量的許容度を 1500 ドル (USD) として定義すると、次のステータスが表示されます。 • ALE が 1000 ドル (USD) 以下の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • ALE の範囲が 1001 ドルから 1500 ドル (USD) の場合、選好度ステータスは選好度外です。 • 1500 ドル (USD) を超える ALE の場合、選好度ステータスは許容範囲外です。
選好度ステータス	全体的選好度ステータス。全体的な選好度ステータスでは、定性的ステータスと定量的ステータスの間の最悪のシナリオが考慮されます。たとえば、定性的選好度ステータスが選好度内であり、定量的選好度ステータスが選好度外である場合、全体的な選好度ステータスは選好度外です。

リスクステートメントのリスク選好度を定義

リスク管理 アプリケーションのリスクステートメントレコードのリスク選好度を定義して、考えられるすべてのリスクを評価し、許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

始める前に

必要なロール：sn_risk.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
リスクマネージャーは、リスクステートメントのリスク選好度と許容度を定義し、定性的なリスク選好度をダウンストリームのリスクステートメントとリスクにコピーできます。これは、企業が組織の機能内でリスクを負い、違反が発生したときにアクションプランを定義および管理するのに役立ちます。定性的 (数値スケールと評価) と定量的 (金銭的価値) の選好度を定義することで、リスクユーザーはリスク選好度を理解して意思決定を行うことができます。リスク選好度と許容範囲の詳細については、「高度なリスク のリスク選好度と許容度」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. リストアイコン を選択してリスクステートメントに移動します。
3. 新しいリスクステートメントまたは既存のリスクステートメントのリスク選好度を次のように定義します。
   - 新しいリスクステートメントのリスク選好度を定義するには、[新規] を選択します。
   - 既存のリスクステートメントのリスク選好度を定義するには、必要なリスクステートメントレコードを選択して開きます。
4. フォームで、[リスク選好度] セクションを選択し、フィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド」を参照して ください。
5. [保存] を選択します。
6. オプション: 定性的選好度をダウンストリームのリスクステートメントとリスクにコピーするには、フォームでその他のアクションアイコン を選択し、[定性的選考度をコピー **(Copy qualitative appetite)]** を選択します。

> **重要:**
> リスク選好度が上書きされていない場合にのみ、定性的選好度と許容度をダウンストリームのリスクとリスクステートメントにコピーできます。階層内の各レベルの定量的選好度と許容度を定義する必要があります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド

リスクステートメントフォームのリスク選好度フィールドについて説明します。これらのフィールドを使用してリスク選好度を定義し、考えられるすべてのリスクを評価して、リスク管理 アプリケーションで許容可能なリスクと許容できないリスクの境界を設定します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

> **注:**
> エンティティフォームに表示されるリスク選好度フィールドは、リスク管理者によって設定された高度なリスクアセスメントプロパティに応じて異なります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド

フィールド	説明
定性的リスク選好度を上書き	親リスクステートメントの定性的リスク選好度を上書きするオプション。デフォルトでは、すべてのリスクステートメントが親リスクステートメントのリスク選好度を継承します。このオプションを選択すると、現在のリスクステー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	トメントのリスク選好度値を個別に定義できます。 **注:** このフィールドは、現在のリスクステートメントで利用可能な親リスクステートメントがある場合にのみ表示されます。
定性的選好度	数値スケールおよび評価用語でのリスク選好度。定性的選好度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的選好度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。 定性的選好度を定義したら、それをダウンストリームのリスクとリスクステートメントにコピーできます。 **注:** sn_risk_advanced.qualitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクマネージャーは、フォームおよびその他の場所で定性的選好度と定性的許容度値のみを表示できます。
定量的選好度	定量的条件におけるリスク選好度。定量的リスク選好度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。定量的選好度は、組織がリスクを負うことを許容する損失額です。たとえば、組織が今年のターゲット不履行資産 (NPA) を 10,000 ドル (USD) にすると決定した場合、これは、その組織が定量的リスク選好度として 10,000 ドル (USD) を定義することを意味します。 定量的選好度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	注: sn_risk_advanced.quantitative_risk_appetite_reader ロールを持つリスクマネージャーは、フォームおよびその他の場所で定量的選好度と定量的許容度値のみを表示できます。
定性的許容度	数値スケールおよび評価用語でのリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。定性的許容度は、定性的リスクと比較され、定性的選好度ステータスが計算されます。定性的許容度は、定義された定性的選好度よりも大きくなければなりません。定性的許容度は、リスク管理者によって設定された選好度スケールに基づいて定義できます。デフォルトのオプションは次のとおりです。 • 1 - 反対 • 2 - ミニマリスト • 3 - 慎重 • 4 - オープン • 5 - 意欲的 リスク管理者は、組織の要件に基づいてリスク選好度スケールを変更または作成できます。詳細については、「リスク選好度スケールの設定」を参照してください。
定量的許容度	定量的条件におけるリスク許容度。リスク許容度は、定義されたリスク選好度からの標準偏差です。定量的リスク許容度は、金額の値を使用して測定および表すことができます。たとえば、組織が今年のターゲット不良資産 (NPA) を 15,000 ドル (USD) にすると決定します。これは、組織が 15000 ドル (USD) を定量的リスク許容度として定義することを意味します。 定量的許容度は、年間損失予測 (ALE) と比較され、定量的選好度ステータスが計算されます。 注: 定量的許容度は、定義された定量的選好度よりも大きくなければなりません。
リスク選好度ステートメント	組織が目標を達成するために積極的に許容するリスクの量とタイプを定義するリスク選好度ステートメント。組織が脅威と見なすものとその対応戦略を文書化します。これらのステートメントは、リスク選好度を理解するための追加のコンテキストを提供し、ビジネスがリスクに基づいた意思決定を行うのに役立ちます。たとえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	ば、「ACME Inc. には、システムや機密データへの不正アクセスに対する選好度がないため、自社の技術インフラストラクチャに対する外部の脅威を軽減するために強力なコントロールを維持します。ACME Inc. は、信頼性の低い電気通信やシステムの可用性が原因で事業運営の継続性が失われることに対する低い選好度を備えています。ビジネスの弾力性の計画と実行は、戦略的目標に沿っている必要があります。ACME Inc. は、急速に変化する環境でユーザーのニーズを満たす革新的なテクノロジーソリューションに対する中程度の選好度を備えています。機関は新しい技術を検討し採用する際に、適切なガバナンスと規律を行使します。」
次のレビュー日時	リスク選好度フィールドを更新し、リスク選好度ステートメントを確認する日付。次のレビュー日の前にリスクステートメント所有者にメール通知を送信されます。リスク管理者は、高度なリスクアセスメントプロパティでメール通知をスケジュール設定できます。詳細については、「高度なリスク のリスク選好度と許容度を構成」を参照してください。
リスク選好度ステータス	
ステータス計算の方法論	集計結果がリスクステートメントのリスク選好度ステータスを計算するために使用されるリスクアセスメント方法論 (RAM)。
定性的選好度ステータス	リスクステートメントの定性的選好度ステータス。定性的選好度ステータスは、定義された定性的選好度を最終的リスク評価にマッピングされている定性的選好度と比較して計算されます。リスク管理者は、リスク選好度スケールを RAM の最終アセスメントタイプのリスク評価基準にマッピングできます。 **注:** [ステータス計算の方法論 **(Methodology for status calculation)**] フィールドで選択した RAM がステータス計算で考慮されます。 たとえば、定性的選好度を [2 - ミニマリスト] として定義し、[定性的許容度] を [4 - オープン] として定義すると、次のステータスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクステートメントフォームのリスク選好フィールド (続く)

フィールド	説明
	• 定性的リスク評価が [1- 反対] または [2- ミニマリスト] の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • 定性的リスク評価が [3-慎重] または [4-オープン] の場合は、選好度ステータスは選好度外です。 • 定性的リスク評価が [5-意欲的] の場合は、選好度ステータスは許容度外です。
定量的選好度ステータス	リスクステートメントの定量的選好度ステータス。年間損失予測 (ALE) 値は、定義された定量的選好度と比較され、この選好度ステータスが計算されます。 **注:** [ステータス計算の方法論 **(Methodology for status calculation)]** フィールドで選択した RAM から集計された ALE 値がステータス計算で考慮されます。 たとえば、定量的リスク選好度を 1,000 ドル (USD) として定義し、定量的許容度を 1500 ドル (USD) として定義すると、次のステータスが表示されます。 • ALE が 1000 ドル以下の場合、選好度ステータスは選好度内です。 • ALE の範囲が 1001 ドルから 1500 ドルの場合、選好度ステータスは選好度外です。 • 1500 ドルを超える ALE の場合、選好度ステータスは許容範囲外です。
選好度ステータス	全体的選好度ステータス。全体的な選好度ステータスでは、定性的ステータスと定量的ステータスの間の最悪のシナリオが考慮されます。たとえば、定性的選好度ステータスが選好度内であり、定量的選好度ステータスが選好度外である場合、全体的な選好度ステータスは選好度外です。

での並行レビューとフィードバック 高度なリスク

レビューとフィードバックのワークフローを使用して、2 番目と 3 番目のラインのマネージャーがレコードをレビューし、フィードバックをキャプチャし、フィードバックのクローズを追跡できるようにする方法について説明します。

概要

アプリケーションの並行レビューとフィードバック 高度なリスク は、組織内のさまざまな管理部門間でのコラボレーションとエンゲージメントに役立ちます。ワークフローを使用すると、運用、IT、ビジネスのリスクマネージャーなどの 2 次および 3 次線のマネージャーは、レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを提供できます。たとえば、リスクマネージャーは、リス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クイベントのフィールドレベルで根本原因分析を要求することでフィードバックを提供できます。または、リスクイベントオーナーに、同じリスクイベントのレコードレベルで追加の損失エントリの詳細を提供するように要求することもできます。リスクマネージャーは、テーブルで ServiceNow 利用可能なレコードおよび外部レコードに関するフィードバックを作成できます。

並列レビューとフィードバックのメリット

並列レビューおよびフィードバックアプリケーションを使用すると、次のことができます。

- ワークフローの任意のステージでフィードバックを提供します。
- サイドパネル機能を使用して、フィードバック応答をソースレコードから直接更新します。
- 一元化されたダッシュボードから、レコードに対して発生するフィードバックワークフローを表示および管理します。
- 変更履歴を表示します。これにより、事前フィードバックと事後フィードバックをすばやく比較できます。
- 応答が不十分であると判断された場合は、フィードバックを再度開きます。
- 直感的なダッシュボードを使用してフィードバックを監視し、レコード所有者をフォローアップします。
- Sidebar ディスカッションチャットを通じて、レビュー担当者、回答者、およびその他のステークホルダーと効果的にコラボレーションします。
- フィードバックの結果として、問題の作成や既存の問題へのリンクなどのアクションを開始してリンクします。
- フィードバックの作成元のテーブルまたはレコードタイプを定義できるカスタムテーブルを含む、任意のレコードタイプのフィードバック統合セットアップを構成します。

レビューおよびフィードバックのワークフロー

レビューおよびフィードバックワークフローは、レコードまたはレコード内の特定のフィールドに関するフィードバックの送信をソリューションが円滑にする体系的なプロセスの概要を示します。フィードバックは、データの完全性、コンプライアンス、運用手順など、レコードレベルでの改善や推奨事項に関連している可能性があります。

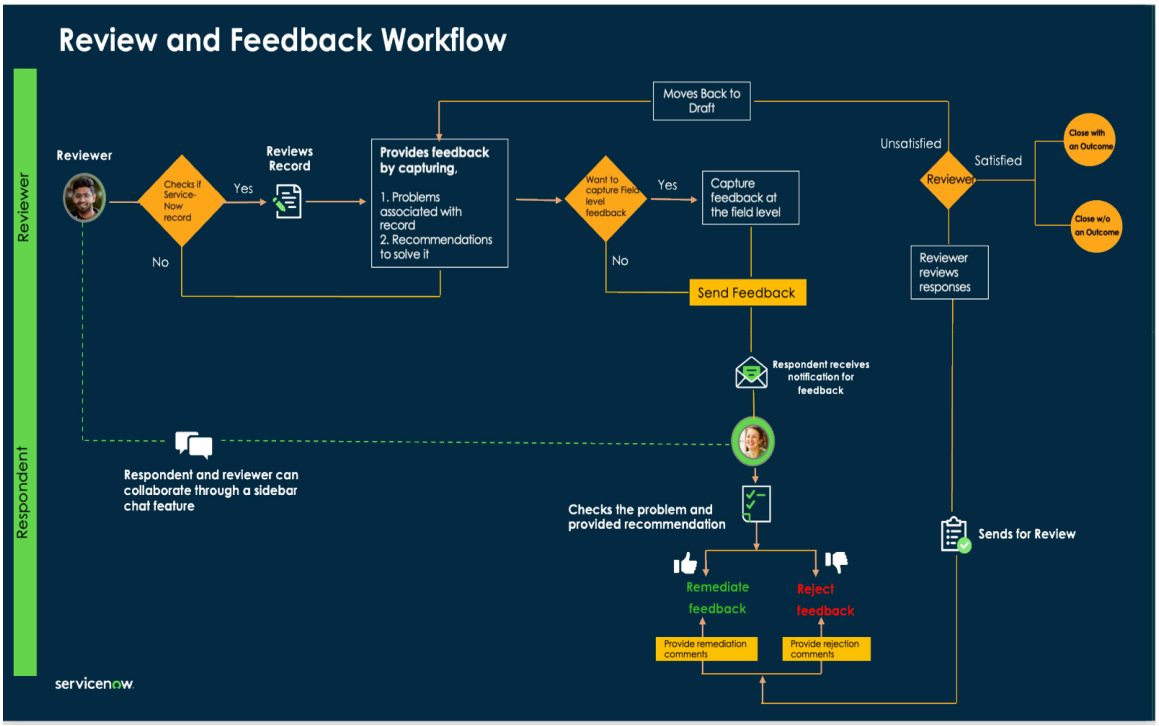
レビューとフィードバックのユーザー体験の探索

次の図は、レビューとフィードバックのワークフローを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューおよびフィードバックのワークフロー



組織の要件に従って各ユーザーがレビューおよびフィードバック アプリケーションを使用する方法の手順を、以下で説明します。

フィードバック統合の構成

アプリケーションでフィードバック統合セットアップ 高度なリスク を構成して、並列レビューとフィードバックを使用するテーブルを定義します。この設定では、テーブルレコードに関するフィードバックを作成するためのワークスペース、レビュー担当者、および回答者を定義できます。sn_rvw_feedback.admin ロールを持つユーザーは、フィードバック統合を構成できます。詳細については、フィードバック統合の構成を参照してください。

フィードバックの作成

sn_rvw_feedback.reviewer ロールを持つユーザーは、レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを作成して、® レコードまたは特定のフィールドに関連する問題を特定できます。外部 ServiceNow　レコードおよび外部レコードの両方でフィードバックを作成できます。詳細については、「でのフィードバックの作成 リスク ワークスペース」と「レコードサイドパネルからフィードバックを作成」を参照してください。

フィードバックに返信する

sn_rvw_feedback.respondent ロールを持つユーザーは、必要なアクションを実行し、送信されたフィードバックに関してコメントや説明を提供できます。回答者は、適切な理由がある場合に限り、フィードバックを修正または拒否できます。未解決のアイテムをすべてクローズした後、回答者はレビュー担当者にフィードバックを送信できます。詳細については、「フィードバックに返信する」を参照してください。

Sidebar チャット機能によるコラボレーション

サイドバー 1 次線と 2 次線のリスクユーザーがリアルタイムでフィードバックについて話し合うことができるチャット機能。チャット機能を使用すると、さまざまなステークホルダー間のコラボレーションが向上し、ソリューションのブレインストーミング、詳細の明確化、または受け取ったフィードバックに関するアクションの調整が可能になります。詳細については、「[レビューとフィードバック] から サイドバー チャットを開始する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックを確認してクローズする

レビュー担当者が回答者のコメントに満足している場合、いくつかのオプションがあります。アクションの有無にかかわらず、フィードバックをクローズすることを選択できます。アクションが選択された場合、受け取ったフィードバックに基づいてさらにアクションを実行できます。これには、フォローアップと解決を促進するために、問題の作成や既存のレコードへのリンクなどの新しいアクションまたはタスクの開始が含まれます。たとえば、組織は不正関連リスクに関する RCSA (リスクとコントロールの自己評価) を実施し、3 つのコントロールを導入することを提案しました。その後、2 番目の防衛線は評価をレビューしてフィードバックを作成し、そのリスクを軽減するためのグローバルなベストプラクティスに沿って新しいコントロールを追加することを推奨しました。この新しいコントロールを実装するには、予算の割り当てと 1 年から 2 年の推定タイムラインが必要です。組織は、進捗状況を追跡および管理するための問題を作成することで、フィードバックをクローズすることができます。

レビュー担当者が回答者のコメントに満足できない場合、レビュー担当者はフィードバックを [ドラフト] ステータスに移行してワークフローを再開できます。詳細については、「フィードバックを確認してクローズする」を参照してください。

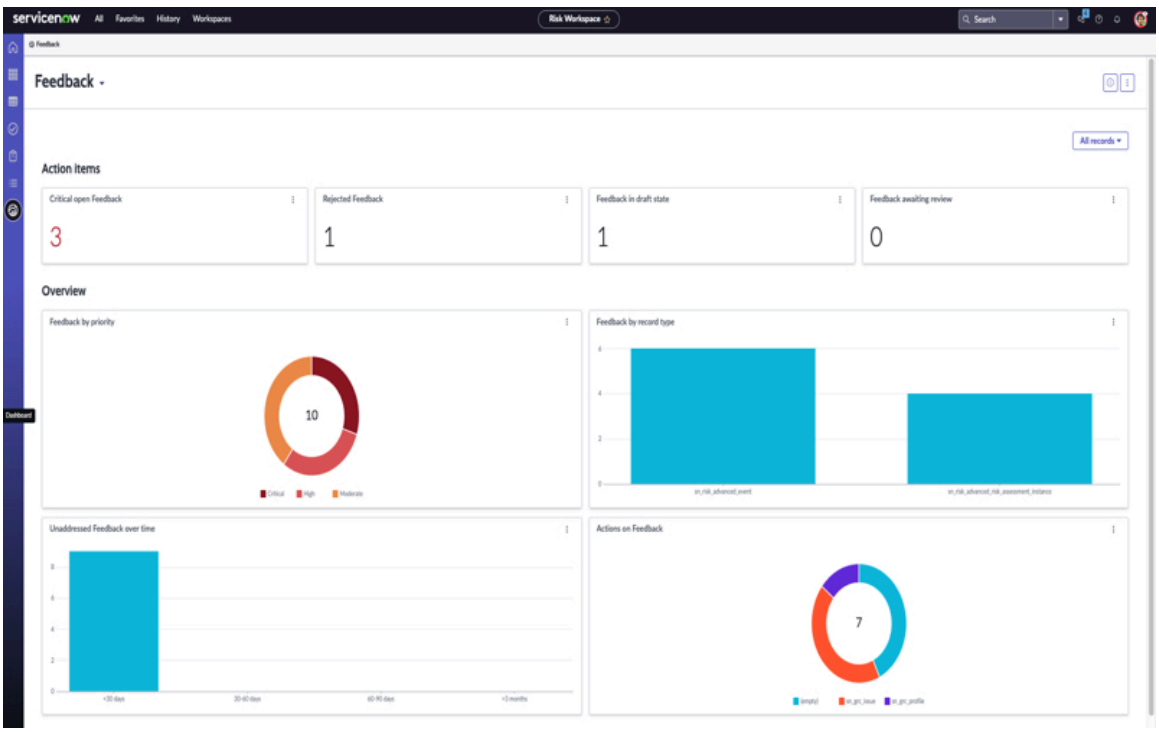
フィードバックダッシュボード

フィードバック ダッシュボードで、を使用して リスクワークスペースフィードバックを追跡および管理します。フィードバックダッシュボードは、フィードバックをそのステータス、重要度、タイプ、およびその他の特定の要因に従って整理します。

概要

ランチャーのフィードバックアイコンアイコンを使用して、 ダッシュボードを起動できます。次の例は、フィードバックダッシュボードで利用可能なカードを示しています。

フィードバックダッシュボードページ



さまざまなレコードタイプに基づいてダッシュボードをフィルタリングすることで、関連情報のみを分析および監視できます。[すべてのレコード] に移動し、それぞれのレコードタイプを選択して、関連情報をダッシュボードに表示できます。使用可能なレコードタイプは、アクティブフィードバック構成に基づいています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表で、フィードバックダッシュボードのランディングページで利用可能なカードについて説明します。

フィードバックダッシュボード

セクション	カード	説明
アクションアイテム	重要な未解決のフィードバック	優先度が 「重大」のフィードバックを表示します。
	却下されたフィードバック	応答を含むフィードバックを 却下済みとして表示します。
	ドラフトステータスのフィードバック	回答者にまだ送信されていないフィードバックを表示します。
	レビュー待ちのフィードバック	回答者のコメントに続いて、レビュー担当者によってまだレビューされていないフィードバックを表示します。
概要	優先度別のフィードバック	割り当てられた優先度に基づいてアクティブなフィードバックを表示します。これは、緊急度レベル別に分類されたフィードバックの割合を理解するのに役立ちます。
	レコードタイプ別のフィードバック	レコードタイプに基づいてフィードバックを表示します。これは、ソースレコードによって分類されたフィードバックの割合を理解するのに役立ちます。
	時間を経過しても未対応のフィードバック	未対応のフィードバックを経時的に表示します。棒グラフには未解決のフィードバックの傾向が表示され、チームは応答性と作業負荷の分散を測定できます。
	フィードバックに対するアクション	開始されたアクションを含むクローズ済みフィードバックと、アクションが実行されていないフィードバックを表示します。これにより、フィードバックの結果として一般的にどのようなアクションが取られるかの分析が容易になります。

フィードバック統合の構成

アプリケーションでフィードバック統合セットアップ 高度なリスク を構成して、並列レビューとフィードバックを使用するテーブルを定義します。この設定では、テーブルレコードに関するフィードバックを作成するためのワークスペース、レビュー担当者、および回答者を定義できます。

始める前に

必要なロール:sn_rvw_feedback.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 並行レビューとフィードバック > フィードバック > 管理 > フィードバック統合設定.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   [フィードバック統合構成] フォームのフィールド値の説明については、「」を参照してください フィードバック統合構成フォーム。
4. [送信] を選択します。

フィードバック統合構成フォーム

[フィードバック統合構成] フォームを使用して、レビューとフィードバックのセットアップを定義します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

フィードバック統合構成フォーム

フィールド	説明
テーブル	レビューとフィードバックを統合するテーブルの名前。たとえば、リスクイベントレコードに関するフィードバックを提供する場合は、sn_risk_advanced_eventテーブルを選択する必要があります。
レビュー担当者グループ	選択したテーブルレコードについてフィードバックを提供できるレビュー担当者グループ。
アクティブ	フィードバック統合構成のステータス。選択したテーブルレコードに関するフィードバックを提供するには、アクティブな構成のみが考えられます。
ワークスペース URL パス	フィードバック関連の通知を特定のワークスペースに送信するためのワークスペース URL パス。たとえば、リスク リスクワークスペース/リスクを使用するには、リスク `/リスク`を選択します。
回答者	
回答者タイプ	選択したテーブルレコードに関して提起されたフィードバックに応答できる回答者。オプションは次のとおりです。 • ターゲットレコードのユーザー:フィードバックに応答できる個人。 • ターゲットレコードのグループ:フィードバックに応答できるユーザーのグループ。
回答者フィールド	ターゲットレコードのユーザーまたはグループフィールド。たとえば、レコード所有者が提起されたフィードバックに応答するようにする場合は、このフィールドで [所有者] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのフィードバックの作成 高度なリスク

アプリケーションのレコードまたはレコード 高度なリスク 内のフィールドに関するフィードバックを作成します。フィードバックにより、データの完全性、コンプライアンス、運用手順、およびその他の関連領域に関連する改善を推奨できます。

次のいずれかのオプションを使用してフィードバックを作成できます。

- でのフィードバックの作成 リスクワークスペース
- レコードサイドパネルからフィードバックを作成

でのフィードバックの作成 リスクワークスペース

レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを作成し、データの完全性、コンプライアンス、運用手順、およびその他の関連領域 (処分や説明責任など) に関連する改善を推奨します。

始める前に

必要なロール:sn_rvw_feedback.reviewer

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. [リスト
3. リストから 、[並列レビューとフィードバック] に移動し、[フィードバック] を選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

   [新規フィードバックの作成] フォームのフィールド値の説明については、「」を参照してください [新しいフィードバックの作成] フォーム。
6. **[Save** (保存)] を選択します。
   フィードバックが [ドラフト] ステータスに移行します。
7. フィードバックアイテムを追加するには、[アイテム] 関連リストを選択します。
8. [新規] を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

[新しいフィードバック項目の作成] フォーム

フィールド	説明
State (ステータス)	フィードバックアイテムのステータス。このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
コンテキスト	フィードバックを提供するレコードのフィールド。
レビュー担当者のコメント	選択したコンテキストに関する観察事項またはフィードバック。
回答者のコメント	回答者がフィードバックに対して提供したコメントまたは説明。これはレビュー担当者の読み取り専用フィールドです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. **[Save** (保存)] を選択します。
11. [フィードバックの送信] を選択します。
    フィードバックが生成され、回答者に割り当てられます。フィードバックが [アサイン済み] ステータスに移行します。

[新しいフィードバックの作成] フォーム

[新しいフィードバックの作成] フォームを使用して、レコードまたはレコード内のフィールドにフィードバックを提供します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

[新しいフィードバックの作成] フォーム

フィールド	説明
名前	フィードバックの名前。
説明	フィードバックの簡単な説明。
レコードを参照ServiceNow	フィードバックを提供するテーブルレコードを選択する ServiceNow オプション。外部レコードを選択するには、このオプションをオフにします。
レコード タイプ	フィードバックを提供するフィードバック統合構成。これにより、構成で定義されたテーブルを選択できます。 **注:** このフィールドは、[**ServiceNow** レコードを参照] オプションが選択されている場合にのみ表示されます。
Priority (優先度)	フィードバックの優先度。
レコード	フィードバックを提供するレコード。これにより、構成で定義されたテーブルに関連付けられたレコードを選択できます。
ウォッチリスト	フィードバックに関して通知される個人。
レビュー担当者	
レビュー担当者グループ	フィードバックを提供しているグループ。
レビュー担当者	フィードバックを提供する個人。このフィールドは自動的に自分の名前に設定されます。他のユーザーの代わりにフィードバックを提供することもできます。
回答者	
回答者グループ	フィードバックに応答しているグループ。
回答者	フィードバックに応答する個人。
応答	
応答	応答のステータス。これはレビュー担当者の読み取り専用フィールドです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいフィードバックの作成] フォーム (続く)

フィールド	説明
回答者のコメント	回答者がフィードバックに対して提供したコメントまたは説明。これはレビュー担当者の読み取り専用フィールドです。
アクティビティ	
作業メモ	フィードバックに関するメモまたは情報。たとえば、レコードとその考えられる解決策に関連する問題などです。
追加コメント (顧客に表示)	顧客と共有するフィードバックに関する追加情報。

レコードサイドパネルからフィードバックを作成

アプリケーションを使用して、レコードサイドパネルからレコードまたはレコード内のフィールドに関する 高度なリスク フィードバックを作成します。フィードバックにより、データの完全性、コンプライアンス、運用手順、およびその他の関連領域に関連する改善を推奨できます。

始める前に

必要なロール:sn_rvw_feedback.reviewer

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. [リスト
3. フィードバックを作成するレコードを開きます。
4. サイドパネルで、[リスト をクリックします。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

   [新規フィードバックの作成] フォームのフィールド値の説明については、「」を参照してください フィードバックの詳細フォーム。

7. **[Save** (保存)] を選択します。
   フィードバックが [ドラフト] ステータスに移行します。
8. オプション: Sidebar ディスカッションを開始するには、[その他のアクション]] アイコンを選択します。 アイコンをクリックし、[ディスカッション] を選択します。
9. フィードバック項目を追加するには、[項目の追加] を選択します。
10. フォームのフィールドに入力します。

フィードバックアイテムフォーム

フィールド	説明
レコードコンテキスト	フィードバックを提供するレコードのフィールド。
コメント	選択したコンテキストに関する観察事項またはフィードバック。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. **[Save** (保存)] を選択します。
12. [フィードバックの送信] を選択します。
    フィードバックが生成され、回答者に割り当てられます。フィードバックが [アサイン済み] ステータスに移行します。

フィードバックの詳細フォーム

[フィードバックの詳細] フォームを使用して、レコードサイドパネルからレコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを提供します。

フィールド値の説明については、次の表を参照してください。

フィードバックの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	フィードバックの名前。
説明	フィードバックの簡単な説明。
レビュー担当者グループ	フィードバックを提供しているグループ。
レビュー担当者	フィードバックを提供する個人。このフィールドは自動的に自分の名前に設定されます。他のユーザーの代わりにフィードバックを提供することもできます。
回答者グループ	フィードバックに応答しているグループ。
回答者	フィードバックに応答する個人。
Priority (優先度)	フィードバックの優先度。

[レビューとフィードバック] から サイドバー チャットを開始する

チャットを開始 サイドバー して、さまざまなステークホルダー間で共同作業を行い、解決策のブレインストーミング、詳細の明確化、または受け取ったフィードバックに関するアクションの調整を行います。

始める前に
必要なロール:sn_rvw_feedback.reader

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. [リスト
3. リストから 、[並列レビューとフィードバック] に移動し、[フィードバック] を選択します。
4. 検討するフィードバックを開きます。
5. [ディスカッション] を選択します。
   [Sidebar ディスカッションを開始] ダイアログボックスが表示されます。
6. レコードサイドパネルから Sidebar ディスカッションを開始するには、ディスカッションするレコードを開き、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. サイドパネルで、[リスト  をクリックします。

b. フィードバックを選択します。

c. [その他のアクション] を選択します。 アイコンをクリックし、[ディスカッション] を選択します。

7. [Sidebar ディスカッションを開始] ダイアログボックスで、必要に応じてフィールドに入力します。

Sidebar ディスカッションを開始

フィールド	説明
件名	Sidebar ディスカッションのタイトルを指定するオプション。
参加者の追加	Sidebar ディスカッションの参加者を追加するオプション。 **注:** このディスカッションには、このレコードへのアクセス権を持つ任意のユーザーを含めることができます。
参加者への簡単なメッセージの包含	Sidebar ディスカッションで議論されるフィードバックについての簡単な要約。

8. [ディスカッションを開始] を選択します。

フィードバックに返信する

アプリケーションを使用して 高度なリスク 、送信されたフィードバックに関するコメントや説明を入力します。正当な理由がある場合は、フィードバックを修正または却下することができます。

始める前に

必要なロール:sn_rvw_feedback.respondent

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 自分のタスク.
2. 応答するフィードバックを開きます。
3. レコードサイドパネルからのフィードバックに応答するには、リスト  を選択します。 アイコンをクリックし、次の操作を行います。

   a. 送信されたフィードバックに関するコメントまたは説明を [応答] フィールドに入力します。フィードバック項目を却下するには、[応答] フィールドが必要です。

   b. [修復] または [却下] を選択します。

4. レコードのフィードバックに応答するには、[応答] セクションに移動し、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [応答] フィールドで応答を選択します。

b. 回答者のコメントで送信されたフィードバックに関するコメントまたは説明を入力します。
回答を [却下] として選択すると、[回答者コメント] フィールドが必須になります。

c. [保存] を選択します。

5. フィードバックアイテムに応答するには、[アイテム] 関連リストを選択し、次の操作を行います。
[アイテム] 関連リストは、レビュー担当者がフィードバックの提供中にフィードバックアイテムを追加した場合にのみ表示されます。

a. フィードバック項目を選択します。

b. [ステータス] フィールドで応答を選択します。

c. 回答者のコメントで送信されたフィードバックに関するコメントまたは説明を入力します。
回答を [却下] として選択すると、[回答者コメント] フィールドが必須になります。

d. [保存] を選択します。

6. [レビュー用に送信] を選択します。
レビュー担当者にフィードバックを送信するには、開いているすべてのアイテムを閉じる必要があります。

フィードバックを確認してクローズする

フィードバックの応答を確認し、アプリケーションを使用してさらにアクションを実行します 高度なリスク 。

始める前に
必要なロール:sn_rvw_feedback.reviewer

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 自分のタスク.

2. レビューするフィードバックを開き、回答者のコメントと応答を評価します。

3. 応答に問題がない場合は、次の選択肢があります。

- フィードバックを閉じるには、 [閉じる] を選択します。
- アクションでフィードバックを閉じるには、 [閉じる] を選択してアクションを開始します。

> **注:**
> 問題を作成したり、フィードバックを既存のレコードにリンクして、フォローアップと解決を容易にすることができます。

4. オプション: 応答に満足できない場合は、[その他のアクション] *** を選択し、次の操作を行います。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [下書きに移動] を選択します。
このアクションにより、回答者から以前の回答がクリアされます。

b. OK を選択します。

Integrated Risk Management の GRC: Metrics

リスク測定基準は、特定のリスクのステータスを追跡および評価するために使用される定量化可能な測定基準として定義されます。測定基準は、リスクのエクスポージャーを経時的に追跡するのに役立ちます。

リスクインジケーターは、オペレーショナルリスク管理内の重要なツールです。インジケーターは、リスクの監視とコントロールを容易にします。したがって、リスク識別、リスクおよびコントロールのアセスメント、効果的なリスク選好度の実装、リスク管理とガバナンスのフレームワークなど、さまざまなオペレーショナルリスク管理アクティビティとプロセスをサポートするために使用できます。インジケーターは、合格または不合格と呼ばれる 1 つのタイプの結果のみをサポートし、数値、パーセンテージ、金額などのデータタイプはサポートしていません。測定基準は、インジケーターのエスカレーションと通知のメカニズムを改善し、データ所有者の特定の定義とインジケーターの分類を可能にします。

測定基準の主なメリットは次のとおりです。

- リスクとコントロールのパフォーマンスを継続的に可視化します。
- リスクとコントロールパフォーマンスの変更についてそれぞれのオーナーにアラートを送信します。
- 測定基準データ収集タスクを自動化して、組織の時間を節約します。
- 組織全体のリスク情報を効率的に監視して共有します。

ESG Management および IRM 内での GRC: Metrics の使用

GRC: Metrics アプリケーションは、Integrated Risk Management や ESG Managementなどのさまざまなアプリケーションで使用されます。

リスク管理と ESG (Environmental, Social, and Governance) はいくつかの点で交差する概念であり、ESG は投資家が企業の持続可能性を評価するために使用する基準を指します。ESG 要素では、気候変動、人権、多様性と包含、コーポレートガバナンス、サプライチェーン管理などの問題が考慮されます。リスク管理では、財務、運用、評判のリスクなど、組織の目標達成能力に影響を与える可能性のあるリスクの特定、評価、および緩和を行います。管理が不十分な ESG 要素は企業に重大なリスクをもたらす可能性があるため、リスク管理と ESG の関係は強力です。たとえば、環境慣行が不十分な会社は、法務および規制、評判、および運用上のリスクに直面する可能性があります。同様に、ガバナンス慣行が不十分な会社は、法務および評判のリスクに加えて、利益相反や不適切な意思決定に関連するリスクに直面する可能性があります。ESG 要素をリスク管理プロセスに統合することで、企業はこれらのリスクを特定して軽減し、より持続可能で弾力性のあるビジネスモデルにつながることができます。たとえば、環境リスクを特定して軽減する企業は、将来の環境規制へのエクスポージャーを減らすことができますが、ガバナンスプラクティスを改善する企業は、評判および法務リスクへのエクスポージャーを減らすことができます。したがって、ESG リスクを効果的に管理する企業は、全体的なリスク管理機能を向上させ、長期的な価値を生み出し、ビジネスモデルの持続可能性を確保できます。

測定基準のタイプ

測定基準のタイプは次のとおりです。

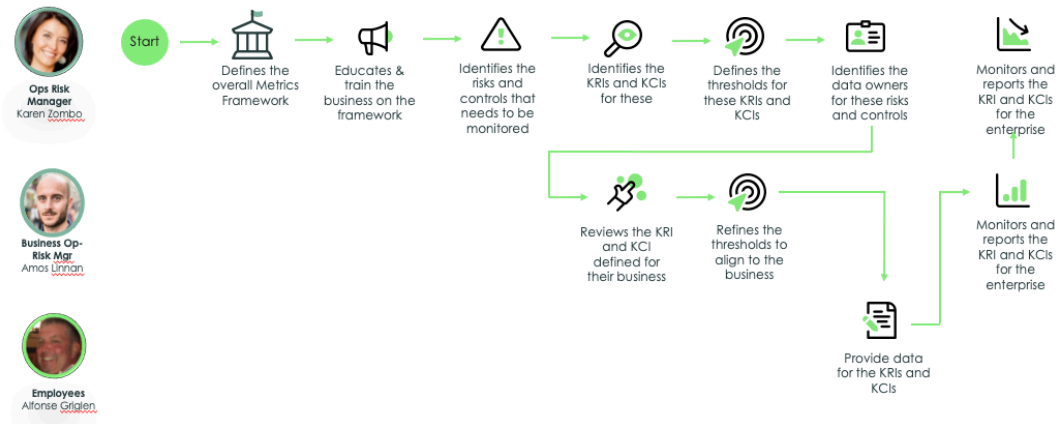
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 重要なリスクインジケーター (KRI)：これらのインジケーターは、特定のリスクまたは一連のリスクに対するエクスポージャーの量を特定します。KRI の例としては、従業員サーベイによって決定されたスタッフの士気、IT に対して試行されたハッキングの数、損失イベント後の否定的なソーシャルメディア投稿の数などがあります。
- キーコントロールインジケーター (KCI)：これらのインジケーターは、特定のリスクエクスポージャーを削減または緩和するために実装されたコントロールの有効性を特定します。
- 重要業績評価指標 (KPI)：これらのインジケーターは、リスクエクスポージャーがどの程度効果的に管理されているかを示します。これらのインジケーターは、目標に対する達成度を示します。

次の画像は、測定基準のワークフローを示しています。

測定基準のワークフロー



インジケーターと測定基準の差

インジケーターは自動化されたコントロールテストまたはアセスメントとして使用され、測定基準は KRI および KCI モニタリングツールとして使用されます。次の表に、インジケーターと測定基準の違いを列挙します。

インジケーターと測定基準

GRC インジケーター	測定基準
リスクとコントロールの継続的な監視、およびサポートデータの収集に使用されます。	システム、コンポーネント、またはプロセスが特定の属性をどの程度持っているかを測定するために使用されます。☒
リスクまたはコントロールを監視するために使用できます。	あらゆる GRC 物体の測定に使用できます。
合格や不合格などのバイナリ値のみを指定できます。	定量的 (数値) または定性的 (テキスト) の任意の値を設定できます。

GRC: Metrics の探索

測定基準は、組織のプロセスの有効性を測定および評価するために使用します。1 つの測定基準または組み合わせた測定基準により、システム、コンポーネント、またはプロセスに関するインサイトが得られます。GRC: Metrics アプリケーションは、他のアプリケーションでプロセスのパフォーマンスを評価、比較、追跡することを可能にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

測定基準

GRC: Metrics アプリケーションは、ServiceNow® Store から ESG Management アプリケーションとともに自動的にインストールされます。測定基準の定義と測定基準の読み取り、作成、更新の責任を担うユーザーロールは、ESG Management 測定基準マネージャー (sn_esg.metrics_manager) です。

GRC: Metrics アプリケーションでは、[測定基準] フォームを使用して測定基準を定義できます。測定基準は、測定基準の定義とエンティティの組み合わせです。測定基準の定義をエンティティに適用すると、測定基準が作成されます。測定基準が定義されると、プロセスの有効性とパフォーマンスを追跡するためのデータが収集されます。たとえば、インシデントの解決にかかる時間を計算することでインシデント解決プロセスの有効性を測定する測定基準を考えてみます。

すべての組織には、独自の測定基準分析を構築および構造化するためのさまざまなデータソースがあります。有用な測定基準を確立するために、測定基準マネージャーは最初に目標を評価して設定する必要があります。次に、マネージャーは、ビジネス上の意思決定と統合される測定基準のターゲットを設定します。

定性的測定基準と定量的測定基準

測定基準は、定性的測定と定量的測定に分類できます。

ESG Management の定性的測定基準は、他の情報に基づいて作成した主観的な意見から得られます。ESG Management セクターの定性的測定基準の例には、ブランドの信頼性、企業価値などがあります。

ESG Management 内の定量的測定基準は、特定の式で具体的な値として測定できる測定基準です。組織の定量的測定基準の例には、レポートされるエネルギーの総使用量、地域別のエネルギー使用量などがあります。

測定基準の例

組織内のビジネスエンティティの温室効果ガス排出量を測定する例を考えてみましょう。温室効果ガス排出は、国際的な温室効果ガス (GHG) プロトコルによりスコープと呼ばれている 3 つのグループに分類されます。

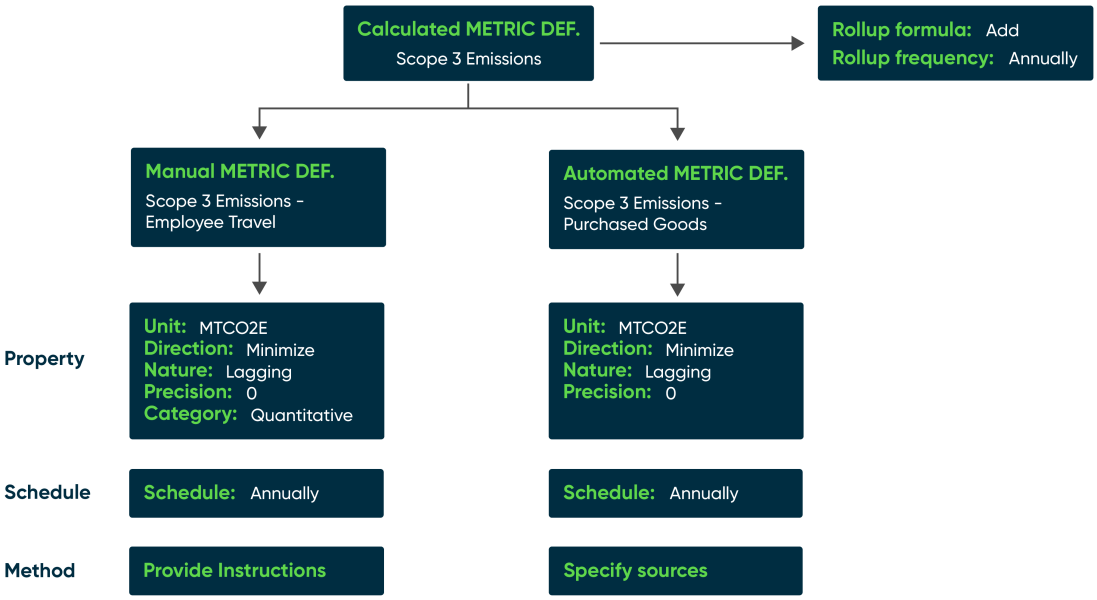
従業員の出張と購入品というカテゴリに対して、スコープ 3 の排出の測定基準を測定するとします。従業員の出張ポリシーは、組織内のすべての従業員に適用されます。測定基準の定義で手順を指定することで、従業員の出張ポリシーの測定基準を手動で収集できます。

一方、購入品の測定基準は、測定基準の定義で指定された条件、メソッド、スケジュール、およびコアプロパティに基づいて自動的に収集されます。測定基準の収集プロセスを次の図に示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

測定基準の定義



エンティティ別の測定基準データ

エンティティ別の測定基準データテーブル (sn_grc_metric_data_by_entity) には、エンティティの測定基準の定義データと測定基準データ、およびエンティティ階層で定義された親エンティティの集計データが入っています。たとえば、ESG レポート開示マネージャーが特定の場所での年間総排出量を把握する必要があり、その場所に複数のサブ場所がある場合は、データを集計してレポート目的に使用することもできます。たとえば、組織の場所が日本であるとします。そして日本には東京と京都の 2 つのサブ場所があるとします。日本での 2022 年のスコープ 1 の年間総排出量を求める必要があるとします。時間次元機能を使用すれば、データを集計すると年間総排出量を出すことができます。レポート要件に応じて、四半期、週、または月のデータを集計することもできます。

GRC: Metrics のコンポーネント

測定基準は、測定基準の定義、測定基準データ、測定基準の定義データ、測定基準のデータタスクといった複数のコンポーネントで構成されています。これらの要素やパーツはすべて、さまざまな方法で測定基準の収集プロセスに貢献します。

測定基準の定義

測定基準の定義は、測定基準のコアプロパティの設定に役立つテンプレートレベルのレコードです。これらのプロパティには、測定基準の単位、方向、性質、精度、データ収集の頻度、およびカテゴリが含まれます。測定基準自体がスコアを収集して、定義された測定基準テンプレートにそのスコアが集計されます。測定基準の定義を作成して使用することのメリットは、このような測定基準の定義テンプレートを使用することで、測定基準を作成するプロセスを簡素化できることにあります。たとえば、複数の事業部門があり、それぞれの収益データを収集する必要があるとします。測定基準の定義がないと、事業部門ごとに個別のテンプレートを作成し、測定基準のプロパティを繰り返し指定する必要があります。しかし、測定基準の定義を使用すると、このタスクを簡素化できます。測定基準の定義を作成すれば、エンティティ (この場合は事業部門) を簡単に添付し、同じ作業を何度も行うことなく測定基準を収集できます。

GRC: Metrics アプリケーションには、次のタイプの測定基準の定義が入っています。

- 自動測定基準の定義：データは自動的に収集されます。
- 手動測定基準の定義：データは手動で収集されます。
- 計算済み測定基準の定義：データは、他の子測定基準からデータを集計することによって収集されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

測定基準データ

測定基準を実行すると、測定基準データが作成されます。手動測定基準の場合は、測定基準データタスクがクローズされると、測定基準データの値が測定基準データタスクからコピーされます。スクリプト化された自動測定基準の定義の場合は、スクリプトを実行すると値が更新されます。基本的な自動測定基準の定義の場合は、選択したテーブルから値が更新されます。[不一致 **(%)]** フィールドには、現在の期間と前の期間の測定基準データの差異が表示されます。値はパーセンテージで表示されます。[前回の期間データ] フィールドは、前の期間の測定基準データを参照します。

測定基準の定義データ

測定基準の定義が実行されて集計されると、測定基準の定義データが自動的に作成されます。測定基準の定義データのページの [不一致 **(%)]** フィールドに、現在の期間と前の期間の測定基準の定義データの差異が表示されます。値はパーセンテージで表示されます。[前回の期間データ] フィールドは、前の期間の測定基準の定義データを参照します。

測定基準のデータタスク

測定基準のデータタスクは、手動測定基準の定義にのみ適用されます。このタスクは、手動測定基準の定義が実行され、データ所有者がこれらのタスクに対する応答を手動で入力するたびに生成されます。測定基準データテーブルを使用すると、複数の測定基準データタスクに応答を入力できます。詳細については、「測定基準データテーブル」を参照してください。

測定基準の定義のタイプ

測定基準マネージャーは、測定基準の定義を作成することで、測定基準を定義します。測定基準の定義はテンプレートレベルのレコードです。測定基準の定義では、単位、方向、性質、精度、カテゴリなどの測定基準のコアプロパティを設定します。測定基準はスコアを収集し、これらのスコアは測定基準の定義にロールアップされます。

GRC: Metrics アプリケーションは、次のタイプの測定基準の定義を提供します。

- 自動測定基準の定義：データは自動的に収集されます。
- 手動測定基準の定義：データは手動で収集されます。
- 計算済み測定基準の定義：データは、他の子測定基準からスコアを集計することによって収集されます。

これらのタイプの測定基準の定義については、以降のセクションで詳しく説明します。

自動測定基準の定義

自動測定基準の定義では、測定基準のプロパティ、メソッド、スケジュールなど、測定基準の定義で定義された条件に基づいて、データが自動的に収集されます。このメソッドの場合、測定基準マネージャーは、測定基準データの収集に使用するソーステーブルまたはスクリプトと、測定基準データをフィルタリングするためのフィルタリング基準を指定します。詳細については、「自動測定基準の定義の作成」を参照してください。

手動測定基準の定義

手動測定基準の定義では、データ収集のモードは手動です。特定の測定基準のデータ所有者は、手順に従って測定基準データを提供します。測定基準マネージャーは、測定基準の定義に対し測定基準のプロパティ、メソッド、およびスケジュールを定義する必要があります。このメソッドの場合、測定基準マネージャーとして測定基準の定義の手順を指定します。また、データ所有者タイプ、データ所有者、承認の詳細などのデータ収集の詳細を指定します。

手動測定基準の定義では、測定基準の定義で定義されている頻度に応じて、測定基準データタスクが生成されます。測定基準マネージャーは、タスクのデータを提供するデータ所有者にタスクをアサイ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンできます。詳細については、「手動測定基準の定義の作成」を参照してください。測定基準データタスクが作成されると、システムで生成されたメール通知がタスク所有者に送信されます。測定基準データの所有者は、測定基準タスクモジュール ( ) を使用して複数の測定基準のデータを提供できます。詳細については、「複数の測定基準のデータの入力」を参照してください。

測定基準データタスクにはそれぞれ、手動測定基準の定義フォームで定義された期日があります。デフォルトでは、期日は 8 時 ～ 5 時のスケジュールに従って決まります。ただし、リスク管理者がスケジュールを変更することもできます。詳細については、「Create a new schedule」を参照してください。リスク管理者がスケジュールを上書きしたい場合は、`sn_grc_metric.metric_data_task_schedule` プロパティを変更できます。

測定基準の定量的カテゴリと定性的のカテゴリはいずれも、手動測定基準の定義を使用して作成できます。

手動測定基準の定義を自動測定基準の定義に、自動測定基準の定義を手動測定基準の定義に変換することができます。手動測定基準の定義にオープンタスクがある場合は、手動測定基準の定義を変換する前に、まずそのタスクをクローズする必要があります。

計算済み測定基準の定義

計算済み測定基準の定義は、その子からスコアを計算します。これには、自動および手動の測定基準の定義、測定基準 (定量的)、および同じ頻度のその他の計算済み測定基準の定義を含めることができます。測定基準マネージャーは、測定基準の定義スコアの計算方法と計算頻度を指定する必要があります。

計算済み測定基準の定義は、その子からスコアをロールアップします。計算済み測定基準の定義で定義されるロールアッププロパティは、ロールアップ式とロールアップ頻度のスケジュールから構成されています。計算済み測定基準の定義には、自動および手動の測定基準の定義と、その子として、親の計算済み測定基準の定義と同じ頻度の測定基準を含めることができます。詳細については、「計算済み測定基準の作成」を参照してください。

エンティティへの測定基準の定義の適用

測定基準の定義を組織内のエンティティに適用できます。各エンティティに測定基準を定義する代わりに、測定基準の定義を一旦定義してから、その測定基準の定義を複数のエンティティに適用することができます。

たとえば、組織内のエンティティの温室効果ガス排出量を測定するとします。各エンティティの測定基準を定義するのは時間がかかるプロセスです。測定基準の定義を作成することで、測定基準を一旦定義してから、その測定基準の定義をエンティティに適用することができます。

次の図は、測定基準データ定義をエンティティに適用する方法を示しています。購入品の測定基準カテゴリに対する自動測定基準の定義がある場合は、その測定基準を組織内の製品エンティティと IT エンティティに適用できます。従業員の出張などの手動測定基準の定義がある場合は、出張ポリシーが企業全体の全員に適用されるため、組織内の Enterprise エンティティに測定基準を適用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティへの測定基準データ定義の適用



Integrated Risk Management のしきい値

測定基準のコンテキストでは、しきい値は、測定基準のパフォーマンスを評価するために使用される事前定義された値または制限を参照します。これらのしきい値は通常、特定の基準または目標に基づいて定義され、測定値またはパフォーマンスが目的のレベルを満たしているか、超えているか、下回るかを判断するための参照ポイントとして機能します。

しきい値の 3 色 (赤、オレンジ、緑) は、パフォーマンスまたはステータスのさまざまなレベルを示すために一般的に使用されます。これらの色はステータスを示します。緑色は測定基準が期待どおりに良好に実行されていることを示し、オレンジは注意または警告を示し、赤色は重大な状況を示します。たとえば、測定基準の方向を [最小化] に設定して、信用リスクの軽減を目的とした測定基準の定義を確立したシナリオを考えてみましょう。この場合、測定基準値は指定されたしきい値よりも低くなければなりません。この要件は、汚染の増加を防ぎ、代わりにその削減を促進するという意図から発生します。測定基準値が定義された制限よりも高い場合、値は赤またはオレンジで表示されます。しきい値は、定量的測定基準の定義にのみ適用されます。

しきい値のタイプ

測定基準のしきい値には 2 つのタイプがあります。

- 静的：測定基準または測定基準の定義の静的しきい値は、測定基準を追跡するための制限として使用される固定値を参照します。
- 動的：動的しきい値はパーセンテージで指定されます。つまり、パーセンテージの差異は、方向と前のデータの 2 つの要素に基づいて計算されます。

  たとえば、2023 年 6 月の離職率は業界平均に基づいて 12% であり、リスクレベルが比較的低いことを示しています。その目的は、離職リスクを最小限に抑えることであるため、測定基準値の増加は望ましくないと見なされます。2023 年 7 月に新しい測定基準データが収集され、離職リスク測定基準が 5% 逸脱していることが示されています。この増加の重要性を評価するために、さまざまなレベルの変更を表すさまざまなしきい値を定義できます。これらのしきい値は、前の期間のデータ (この場合は 2023 年 6 月から) との差異パーセンテージとして表されます。たとえば、組織が 5% ~ 10% のしきい値範囲を設定しているとします。6 月から 7 月までの離職リスク測定基準の変化率がこの範囲内にある場合、しきい値ステータスは「オレンジ」に分類されます。これは中程度のレベルの変化を示し、測定基準が目的のターゲット値から逸脱しているが、まだ重大ではないことを示しています。ただし、離職リスク測定基準の変化率が 15% を超えるか、15% に達すると、しきい値ステータスは「赤」に分類されます。これは、目的のターゲット値から大きく逸脱しているため、即時の注意または是正処置が必要な重大な変更を意味します。これらのしきい値レベルを監視することで、組織は増加する離職リスクを迅速に特定して対処し、効果的なリスク管理を実現できます。

詳細については、「測定基準の定義のしきい値を作成」を参照してください。

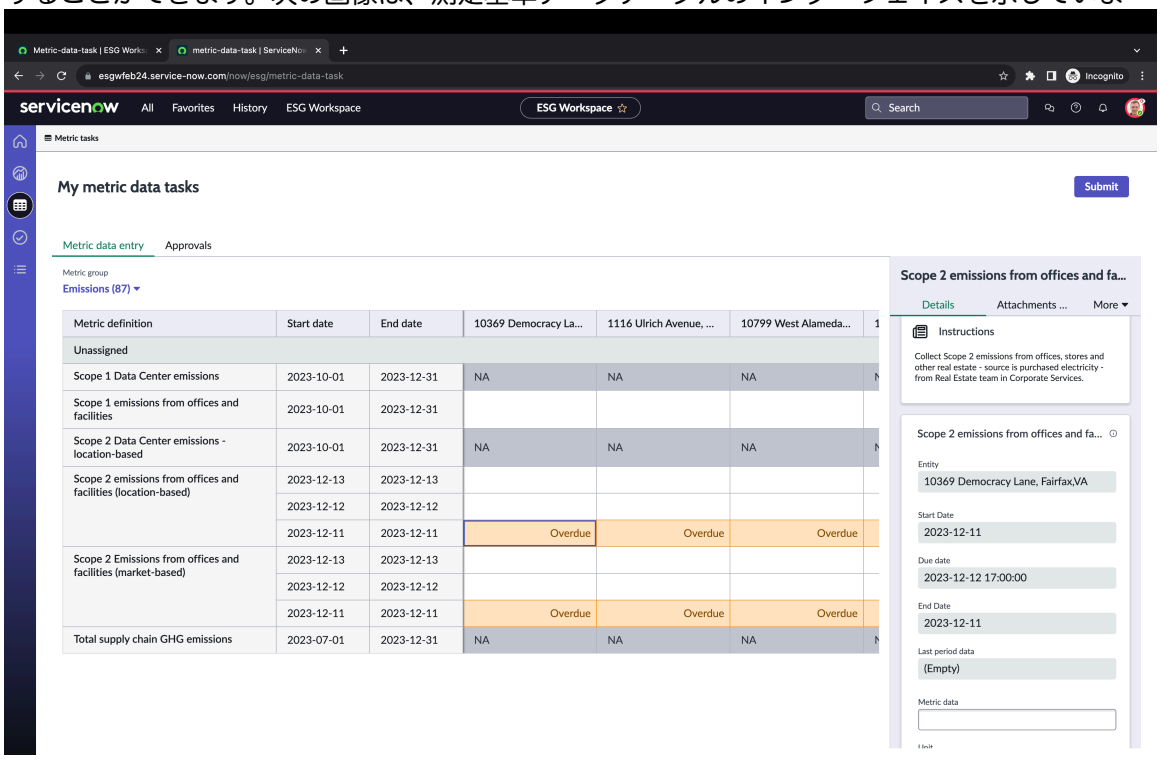
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

測定基準データテーブル

測定基準データテーブルを使用すると、タスク管理ワークフローを備えたスプレッドシートのような使いやすいインターフェイスを使用して、組織全体の測定基準のデータを収集できます。

データ所有者は、測定基準データテーブル ( ) にアクセスして、自分にアサインされたタスクを完了することができます。次の画像は、測定基準データテーブルのインターフェイスを示しています。



測定基準データテーブルには次のメリットがあります。

- 組織全体のデータ収集が簡素化されます。
- 複数のタスク間を移動しなくても、データ所有者が対応すべきすべての測定基準を 1 か所で表示できます。
- データに対するすべての変更と変更を行ったユーザーの監査記録を維持します。
- 測定基準をエンティティごとに分けて表示できます。
- データを入力する際に従うべき指示など、追加情報が参照用にデータ所有者に提供されます。
- ユーザーがコンテキストサイドパネルでファイルを添付し、関連するドキュメントとリンクを添付できるようになります。
- ESG プログラムマネージャーと測定基準マネージャーが、データ所有者から送信されたデータを確認し、コメント付きでデータを承認または却下できるようになります。
- データ所有者が [アクティビティ] タブで却下コメントを表示できるようになります。
- 定量的測定基準の過去 3 つのデータの傾向を確認できるようになります。
- オープンタスクがある測定基準グループを表示するためのフィルターが提供され、オープンタスクの数が括弧内に表示されます。
- タスクの承認者と承認ステータスを確認できます。
- 前の期間のデータと比較したときのデータの差異の割合が表示されます。
- 測定基準がしきい値を超えた場合に、しきい値ステータスが表示されます。
- 最後の期間のデータを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

測定基準の構成

GRC: Metrics を構成して、組織のニーズを満たすことができます。

測定基準管理者は、次のことを実行できます。

- 手動測定基準の定義の作成
- 計算済み測定基準の作成
- 自動測定基準の定義の作成
- 測定基準の更新
- 測定基準単位の作成
- 測定基準の作成
- 測定基準の定義のしきい値を作成

手動測定基準の定義の作成

測定基準のデータを収集するための手動測定基準の定義を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

このタスクについて

手動測定基準の定義では、データ収集のモードは手動です。定性的および定量的測定基準を設定するためのオプションがあります。

注:
自動測定基準の定義または手動測定基準の定義を作成するためのフォームは、同じ sn_grc_metric_definition テーブルを指します。2 つのフォームの違いは収集のメソッドです。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 手動測定基準の定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「[手動測定基準の定義] のフィールド」を参照してください。
4. [保存] をクリックします。

タスクの結果

測定基準の定義は [測定基準の定義] リストに保存されます。

次のタスク

エンティティタイプを関連付けて、測定基準を作成し、測定基準の定義に信頼できるソースコンテンツを追加することができます。詳細については、「測定基準の定義の更新」を参照してください。

[手動測定基準の定義] のフィールド

[手動測定基準の定義] フォームのフィールドについて詳しく説明します。

新しい手動測定基準の定義のフォーム

フィールド	説明
基本的な詳細	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい手動測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
名前	手動測定基準の定義の名前。たとえば、「インシデントの数」。
アクティブ	手動測定基準の定義をアクティブとしてマークするオプション。
説明	手動測定基準の定義の簡潔な説明。
カテゴリ	測定基準データのカテゴリ。選択肢は次のとおりです。 • 定性的：定性的データは本質的に無形であり数値ではありません。プロセスまたはビジネスアクティビティの特性によって定義されます。 • 定量的：定量的データは本質的に有形であり数値で表されます。数値または重要業績評価指標によって定義されます。 **注:** [性質]、[方向]、[精度]、および [単位] の各フィールドは、手動測定基準の定義のカテゴリが [定量的] の場合にのみ表示されます。
集計方法	すべてのエンティティの測定基準データを計算するために使用される方法。たとえば、人員、部門、地域など、複数のエンティティについて測定する際の測定基準がある場合、各エンティティのスコアをどのように計算すれば、全体的なパフォーマンスを表す単一のスコアを算出できるかを知りたい場合があります。集計方法の選択は、測定基準の収集の目標によって異なります。たとえば、全体的なパフォーマンスに関心があり、エンティティ間での規模やサイズの違いを考慮する必要がある場合は、合計または平均がより適切であると思われます。最高のパフォーマンスを発揮するエンティティを特定するには最大値が適切であり、最もパフォーマンスの低いエンティティを特定するには最小値が適切であると思われます。集計は、測定基準の定義で指定された頻度に基づいて、期間全体で行われます。頻度が月次の場合、計算は毎月行われます。集計方法の 4 つの選択肢は次のとおりです。 • 合計：すべてのエンティティの測定基準データの合計によって、単一のスコアが作成されます。 • 平均：すべてのエンティティの測定基準データの平均によって、単一のスコアが作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい手動測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 最大：すべてのエンティティの中で最も高い測定基準データが単一スコアとして使用されます。 • 最小：すべてのエンティティの中で最も低い測定基準データが単一スコアとして使用されます。
単位	手動測定基準の定義の単位。
精度	スコアの小数点以下の桁数。このフィールドは自動的に **0** に設定されます。 精度が 0 に設定されている場合、結果は最も近い整数に丸められます。たとえば、精度が 0 の測定基準の定義で値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。 精度が 0 より大きな値に設定されている場合、結果は、指定された精度に最も近い小数点に丸められます。たとえば、精度が 1 の場合、4.45 の結果は 4.5 に丸められます。
頻度	測定基準の定義でスコアを収集する必要がある頻度。選択肢は次のとおりです。 • 日次 • 週次 • 毎月 • 四半期ごと • 半年ごと • 年次
最初の開始日	頻度に応じたデータ収集の測定基準定義の実行開始日。このフィールドは、[カテゴリ] フィールドが [定量的] に設定されている場合に表示されます。
データコレクション	
データ所有者タイプ	手動測定基準の定義を担当するデータ所有者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 • ユーザー • ユーザーグループ
データ所有者	手動測定基準の定義を担当するデータ所有者。リストからデータ所有者を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい手動測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
説明	データ所有者向けの説明。手動測定基準の定義の収集方法。
承認が必要	手動測定基準の定義に承認が必要かどうかを示すオプション。 注: [承認が必要] オプションを有効にすると、[承認者タイプ] フィールドと [承認者] フィールドが表示されます。
承認者タイプ	測定基準の定義の承認者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 • ユーザー • ユーザーグループ
承認者	測定基準の定義を承認する承認者ユーザーまたは承認者グループ。選択肢は次のとおりです。 • 承認者：[ユーザー] オプションが選択されている場合に表示されます。 • 承認者グループ：[ユーザー] オプションが選択されている場合に表示されます。
測定基準のプロパティ	
タイプ	スコアが手動で収集されるか、自動で収集されるかを決定するために使用される方法。選択肢は次のとおりです。 • 自動 • 手動 [手動] を選択します。
エンタープライズ所有者タイプ	手動測定基準の定義を担当するエンタープライズ所有者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 • ユーザー • ユーザーグループ
方向	測定基準を表示する方向。選択肢は次のとおりです。 • なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 • 最小化：目的の測定基準の方向が下向きである場合は、このオプションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい手動測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 最大化：目的の測定基準の方向が上向きである場合は、このオプションを選択します。 • マイルストーン：測定基準の方向が適用されないが、測定基準がマイルストーンに対して追跡される場合は、このオプションを選択します。
グループ	測定基準が関連する領域。
レポート分類	測定基準をカテゴリ分けする際に使用するタグ。
期日オフセット	測定基準データタスクが期限切れになるスケジュール最終日からの経過日数。たとえば、測定基準の定義の頻度が月次で、このフィールドに 15 を入力した場合、測定基準データタスクの期日はその月の終了から 15 日後になります。
Enterprise 所有者	手動測定基準の定義のエンタープライズ所有者。
性質	手動測定基準の定義の性質。選択肢は次のとおりです。 • なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 • 先行 (予測型) 測定基準：予測型であり、将来の結果を予測するために役立ちます。この場合、企業は、生産単位あたりのエネルギー消費量など、GHG 排出量に関連する主要な測定基準を使用できます。エネルギー消費を追跡することで、使用するエネルギー源と生産プロセスの効率に基づいて、将来の GHG 排出量を予測できます。この主要な測定基準により、企業は改善が必要な領域を事前に特定し、情報に基づいた意思決定を行うことで、排出量を削減できます。 • 遅行 (影響度を測定する) 測定基準：過去のアクションまたはイベントの影響度を測定します。この例では、GHG 排出量に関連する遅行測定基準は、特定の年に会社が出した総排出量である可能性があります。この測定基準により、会社の過去の環境に対する影響のアセスメントが行われます。この測定基準を経時的に監視することで、会社は排出削減への取り組みの有効性を評価し、さらに改善が必要な領域を特定できます。遅行測定基準は、過去のアクションの結果を測定し、将来の戦略に対して情報を提供するために役立ちます。 • 現在の測定基準：進行中のプロセスを監視し、リアルタイムの改善領域を特定します。GHG 排出量の場合、現在の測定基準は、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい手動測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
	生産単位あたりの排出量を測定する排出原単位である可能性があります。排出原単位を追跡することで、企業は、排出量の増加に寄与している事業内の特定の領域を特定できます。この測定基準は、エネルギー使用の最適化、エネルギー効率の高いテクノロジーの導入、再生可能エネルギー源の採用など、企業がリアルタイムでの改善の機会を特定するために役立ちます。
サブグループ	測定基準が関連するサブグループ。
主要測定基準	ビジネスの重要な測定基準であるかどうかを示すオプション。
機密性	
注: このセクションは、次の場合にのみ表示されます。 • GRC プロパティの下で *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効になっている。 • レコードが [ドラフト] ステータスである。	
機密	レコードを機密としてマークするオプション。
許可されたユーザー	レコードを表示できるユーザー。 **注:** デフォルトで、ログインしたユーザーは機密ユーザーのリストに追加されます。
許可されたグループ	レコードを表示できるグループ。

自動翻訳

自動測定基準の定義の作成

測定基準のデータを収集するための自動測定基準の定義を作成します。測定基準の定義では、測定基準の方法と主要なプロパティ (測定基準の単位、方向、性質など) を指定します。

始める前に

必要なロール：sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

このタスクについて

自動測定基準の定義では、測定基準の定義で定義された条件に基づいて、データが自動的に収集されます。条件内に、測定基準データの収集に使用するテーブルを指定します。たとえば、特定の月に記録されたすべてのインシデントのデータを取得する場合は、インシデントテーブルをデータ収集のソースとして指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 自動測定基準の定義.

2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細な説明については、「自動測定基準の定義のフィールド」を参照してください。
4. [保存] をクリックします。

> **注:**
> 新しい自動測定基準の定義フォームには、[詳細] タブのみが表示されます。新しい自動測定基準の定義が作成されると、追加の関連リストが [詳細] タブとともにフォームに表示されます。

タスクの結果
自動測定基準の定義は [測定基準の定義] リストに保存されます。

次のタスク
エンティティタイプを関連付けて、測定基準を作成し、測定基準の定義に信頼できるソースコンテンツを追加することができます。詳細については、「測定基準の定義の更新」を参照してください。

自動測定基準の定義のフィールド

このトピックでは、[自動測定基準の定義] フォームのフィールドについて説明します。

新しい自動測定基準の定義フォーム

フィールド	説明
基本的な詳細	
名前	自動測定基準の定義の名前たとえば、「インシデントの数」。
アクティブ	自動測定基準の定義をアクティブとしてマークするオプション。
説明	自動測定基準の定義の簡潔な説明。
単位	自動測定基準の定義の単位。データを表示する際の単位を定義できます。
集計方法	集計方法とは、すべてのエンティティの測定基準データを計算するために使用される方法を指します。たとえば、人、部門、地域など、複数のエンティティについて測定する際の測定基準がある場合、各エンティティのデータをどのように計算すれば、全体的なパフォーマンスを表す単一のスコアを算出できるかを知りたい場合があります。集計方法の選択は、測定基準の収集の目標によって異なります。たとえば、全体的なパフォーマンスに関心があり、エンティティ間での規模やサイズの違いを考慮する必要がある場合は、合計または平均がより適切であると思われます。最高のパフォーマンスを発揮するエンティティを特定するには最大値が適切であり、最もパフォーマンスの低いエンティティを特定するには最小値が適切であると思われます。集計は、測定基準の定義で指定された頻度に基づいて、期間全体で行われます。頻度が月次の場合、計算は毎月行われます。集計方法の 4 つの選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 合計：すべてのエンティティの測定基準データの合計によって、単一のスコアが作成されます。 • 平均：すべてのエンティティの測定基準データの平均によって、単一のスコアが作成されます。 • 最大：すべてのエンティティの中で最も高い測定基準データが単一スコアとして使用されます。 • 最小：すべてのエンティティの中で最も低い測定基準データが単一スコアとして使用されます。
クラス	測定基準の定義が属するクラス。選択肢は次のとおりです。 • **KPI**：目標に対してリスクエクスポージャーがどの程度管理されているかを示します。このオプションを使用して、エンティティと追加エンティティを測定基準の定義に追加します。 • **KRI**：指定されたリスクまたは一連のリスクに対するエクスポージャーの量を示します。このオプションを使用して、測定基準の定義にリスクとリスクステートメントを追加します。このオプションは、高度なリスク プラグインがアクティブ化されている場合に使用できます。 • **KCI**：特定のリスクエクスポージャーを削減または緩和するために実装されたコントロールの有効性を示します。このオプションを使用して、コントロールとコントロール目標を測定基準の定義に追加します。このオプションは、ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインがアクティブ化されている場合に使用できます。 **重要:** このフィールドは、IRM アプリケーションスイートから測定基準の定義が作成された場合にのみ表示されます。環境、社会、ガバナンス管理 では表示されません。
精度	スコアの小数点以下の桁数。 インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケータが値 7 +

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	(5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。 インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。
頻度	測定基準が実行される収集頻度。測定基準の定義でデータを収集する頻度を示します。選択肢は次のとおりです。 • 日次 • 週次 • 毎月 • 四半期ごと • 半年ごと • 年次
最初の開始日	自動測定基準の定義の収集頻度スケジュールの開始日。
データコレクション	
メソッドタイプ	自動測定基準のタイプ。選択肢は次のとおりです。 • 基本：合計、平均、最大、最小、個別のカウントなどの集計方法を使用することを示します。 • スクリプト：カスタムスクリプトを使用してデータを収集することを示します。複数のテーブルからデータを収集する場合などにこのオプションを使用できます。 • 外部ソース：データが外部ソースから収集されることを示します。たとえば、組織内の従業員数とその性別比に関するデータを入手したい場合は、人事データを格納するアプリケーションである Workday などの外部ソースから情報を取得できます。 **注:** [スクリプト化] を選択した場合は、フォームを保存し、[スクリプトを追加] を選択してスクリプトを追加する必要があります。sn_grc_metric.developer ロールを持つユーザーのみがスクリプトを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
テーブル	測定基準に対するデータの取得元のテーブル。このフィールドは、[メソッドタイプ] フィールドが [基本] に設定されている場合にのみ表示されます。
基準	データの収集元となるレコードの条件。フィールド、演算子、および値を含む条件を追加することでフィルターを作成し、[設定] をクリックします。たとえば、期日が当月にあるインシデントのみのデータを収集するという条件を作成できます。 **注:** このフィールドを変更する前に、[テーブル] フィールドの値を選択します。
集計	選択したテーブルからデータを集計するために使用される方法または計算。[集計] フィールドでオプションを選択すると、[集計] フィールドの横に新しい [集計フィールド] が表示されます。[集計フィールド] には、選択したレコードが表示されます。[集計] フィールドの選択肢は次のとおりです。 • カウント：選択したテーブルから取得されたレコードの数。たとえば、インシデントの数が必要な場合は、このオプションを選択します。 **注:** [カウント] が選択されている場合、[集計フィールド] は表示されません。 • 合計：[集計フィールド] で選択されている列の合計。 • 平均：[集計フィールド] で選択された列の値の平均。 • 最大：[集計フィールド] で選択された列の最大値。 • 最小：[集計フィールド] で選択された列の最小値。 • 個別のカウント：[集計フィールド] でグループ化された結果セット内のグループの数。
テーブルフィールド	[テーブル] フィールドで選択されているテーブルの列またはフィールド。たとえば、インシデントテーブルの [問い合わせユーザー] 列を選択できます。この選択により、インシデント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	テーブルに関連付けられている問い合わせユーザーを把握し、自身のエンティティの問い合わせユーザーと比較できます。 **注:** このフィールドを変更する前に、テーブルを選択します。
集計フィールド	集計を実行する必要がある [テーブル] フィールドで選択されているテーブルの列またはフィールド。 **注:** [集計] フィールドで [カウント] が選択されている場合、このフィールドは表示されません。
エンティティフィールド	エンティティテーブルの列またはフィールド。エンティティは、[テーブルフィールド] で選択されたフィールドと [エンティティフィールド] で選択されたフィールドに基づいて照合されます。このフィールドは自動的に [適用するレコード] に設定されます。この手順のインシデントテーブルのコンテキストでは、このフィールドを使用して、たとえば、どのインシデントがどの発信者によってログに記録されたかを比較できます。
測定基準のプロパティ	
タイプ	データが手動で収集されるか、自動で収集されるかを決定するために使用される方法。選択肢は次のとおりです。 • 自動 • 手動 自動測定基準の定義を作成する手順であるため、[自動] を選択します。
エンタープライズ所有者タイプ	自動測定基準の定義を担当するエンタープライズ所有者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 • ユーザー • ユーザーグループ
方向	測定基準を表示する方向。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	• なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 • 最小化：目的の測定基準の方向が下向きまたは降順である場合は、このオプションを選択します。たとえば、燃料消費量を最小限に抑える場合です。 • 最大化：目的の測定基準の方向が上向きまたは昇順である場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織内で天然資源の使用を最大化する場合です。 • マイルストーン：測定基準の方向が適用されないが、測定基準がマイルストーンに対して追跡される場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織が新しい再生可能エネルギー製品を市場に投入する場合、今後の発売日がマイルストーンと見なされます。
グループ	測定基準が関連する領域。たとえば、測定基準は、性別の多様性、エネルギー、水の消費量などの領域に関連している場合があります。
レポート分類	測定基準をカテゴリ分けする際に使用するタグ。
Enterprise 所有者	測定基準の所有者であり、測定基準を担当するユーザー。たとえば、収益の収集などの測定基準の場合、事業部門の副社長またはゼネラルマネージャーがエンタープライズ所有者になる可能性があります。
性質	自動測定基準の定義の性質。選択肢は次のとおりです。 • なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 • 先行 (予測型) 測定基準：予測型であり、将来の結果を予測するために役立ちます。この場合、企業は、生産単位あたりのエネルギー消費量など、GHG 排出量に関連する主要な測定基準を使用できます。エネルギー消費を追跡することで、使用するエネルギー源と生産プロセスの効率に基づいて、将来の GHG 排出量を予測できます。この主要な測定基準により、企業は改善が必要な領域を事前に特定し、情報に基づいた意思決定を行うことで、排出量を削減できます。 • 遅行 (影響度を測定する) 測定基準：過去のアクションまたはイベントの影響度を測定します。この例では、GHG 排出量に関連する遅行測定基準は、特定の年に会社が出した総排出量である可能性があります。この測定基準に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい自動測定基準の定義フォーム (続く)

フィールド	説明
	より、会社の過去の環境に対する影響のアセスメントが行われます。この測定基準を経時的に監視することで、会社は排出削減への取り組みの有効性を評価し、さらに改善が必要な領域を特定できます。遅行測定基準は、過去のアクションの結果を測定し、将来の戦略に対して情報を提供するために役立ちます。 • 現在の測定基準：進行中のプロセスを監視し、リアルタイムの改善領域を特定します。GHG 排出量の場合、現在の測定基準は、生産単位あたりの排出量を測定する排出原単位である可能性があります。排出原単位を追跡することで、企業は、排出量の増加に寄与している事業内の特定の領域を特定できます。この測定基準は、エネルギー使用の最適化、エネルギー効率の高いテクノロジーの導入、再生可能エネルギー源の採用など、企業がリアルタイムでの改善の機会を特定するために役立ちます。
サブグループ	測定基準が関連するサブグループ。
主要測定基準	測定基準がビジネスの重要な測定基準であるかどうかを示すオプション。
機密性	
注: このセクションは、次の場合にのみ表示されます。 • GRC プロパティの下で *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効になっている。 • レコードが [ドラフト] ステータスである。	
機密	レコードを機密としてマークするオプション。
許可されたユーザー	レコードを表示できるユーザー。 **注:** デフォルトで、ログインしたユーザーは機密ユーザーのリストに追加されます。
許可されたグループ	レコードを表示できるグループ。

計算済み測定基準の作成

自動測定基準の定義および手動測定基準の定義を集計して、計算済み測定基準の定義を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
自動測定基準の定義および手動測定基準の定義を子として、親の計算済み測定基準の定義に追加します。この 2 つの測定基準の定義を集計する頻度とメソッドを指定します。

手順
1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 計算済み測定基準の定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「計算済み測定基準の定義のフォーム」を参照してください。
4. [保存] をクリックします。

タスクの結果
測定基準の定義は [測定基準の定義] リストに保存されます。

次のタスク
エンティティタイプを関連付けて、測定基準を作成し、測定基準の定義に信頼できるソースコンテンツを追加することができます。詳細については、「測定基準の定義の更新」を参照してください。

計算済み測定基準の定義のフォーム
計算済み測定基準の定義のフォームのフィールドについて説明します。

新しい計算済み測定基準の定義のフォーム

フィールド	説明
基本的な詳細	
名前	計算済み測定基準の定義の名前。たとえば、「従業員の数」。
アクティブ	計算済み測定基準の定義をアクティブとしてマークするオプション。
説明	計算済み測定基準の定義の簡潔な説明。
単位	測定基準の定義の単位。スコアの表示単位を定義できます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。
精度	スコアの小数点以下の桁数。このフィールドは自動的に **0** に設定されます。 精度が 0 に設定されている場合、結果は最も近い整数に丸められます。たとえば、精度が 0 の測定基準の定義で値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。 精度が 0 より大きな値に設定されている場合、結果は、指定された精度に最も近い小数点に丸められます。たとえば、精度が 1 の場合、4.45 の結果は 4.5 に丸められます。
頻度	計算済み測定基準の定義の頻度。このフィールドは、測定基準の定義でスコアをロールアップする頻度を示します。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい計算済み測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 日次 • 週次 • 毎月 • 四半期ごと • 半年ごと • 年次
計算	
計算レベル	計算が実行されるレベル。選択肢は次のとおりです。 • 測定基準の定義：測定基準の定義レベルでデータを計算する場合、すべての子測定基準の定義または子測定基準にわたるデータが計算に使用されます。 • エンティティ：エンティティレベルでデータを計算し、式ビルダーを使用して計算方法を指定すると、すべての子測定基準の定義にわたる共通エンティティが照合され、エンティティごとにデータが計算されます。データを集計して測定基準の定義レベルで全体的なスコアを取得するには、[エンティティ] を選択します。
集計方法	エンティティレベルで測定基準スコアを集計する方法。選択肢は次のとおりです。 • なし • 合計 • 平均 • 最大 • 最小 このフィールドは、[計算レベル] フィールドが [エンティティ] に設定されている場合にのみ表示されます。
測定基準のプロパティ	
エンタープライズ所有者タイプ	計算済み測定基準の定義を担当するエンタープライズ所有者。選択肢は次のとおりです。 • ユーザー • ユーザーグループ
Enterprise 所有者	測定基準の定義の Enterprise 所有者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい計算済み測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
方向	測定基準を表示する方向。選択肢は次のとおりです。 • なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 • 最小化：目的の測定基準の方向が下向きである場合は、このオプションを選択します。たとえば、データセンターからの炭素排出量を最小限に抑える場合です。 • 最大化：目的の測定基準の方向が上向きである場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織内でエネルギー効率の高いリソースの使用を最大化する場合です。 • マイルストーン：測定基準の方向が適用されず、測定基準がマイルストーンに対して追跡される場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織が 2029 年末までに 100% 再生可能エネルギーを使用することを目標としている場合、その目標の日付がマイルストーンと見なされます。
性質	計算済み測定基準の定義の性質。選択肢は次のとおりです。 • なし： • 先行 (予測型) 測定基準：予測型であり、将来の結果を予測するために役立ちます。この場合、企業は、生産単位あたりのエネルギー消費量など、GHG 排出量に関連する主要な測定基準を使用できます。エネルギー消費を追跡することで、使用するエネルギー源と生産プロセスの効率に基づいて、将来の GHG 排出量を予測できます。この主要な測定基準により、企業は改善が必要な領域を事前に特定し、情報に基づいた意思決定を行うことで、排出量を削減できます。 • 遅行 (影響度を測定する) 測定基準：過去のアクションまたはイベントの影響度を測定します。この例では、GHG 排出量に関連する遅行測定基準は、特定の年に会社が出した総排出量である可能性があります。この測定基準により、会社の過去の環境に対する影響のアセスメントが行われます。この測定基準を経時的に監視することで、会社は排出削減への取り組みの有効性を評価し、さらに改善が必要な領域を特定できます。遅行測定基準は、過去のアクションの結果を測定し、将来の戦略に対して情報を提供するために役立ちます。 • 現在の測定基準：進行中のプロセスを監視し、リアルタイムの改善領域を特定しま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい計算済み測定基準の定義のフォーム (続く)

フィールド	説明
	す。GHG 排出量の場合、現在の測定基準は、生産単位あたりの排出量を測定する排出原単位である可能性があります。排出原単位を追跡することで、企業は、排出量の増加に寄与している事業内の特定の領域を特定できます。この測定基準は、エネルギー使用の最適化、エネルギー効率の高いテクノロジーの導入、再生可能エネルギー源の採用など、企業がリアルタイムでの改善の機会を特定するために役立ちます。
グループ	測定基準が関連する領域。たとえば、測定基準は、エネルギーや水の排出量などの領域に関連している場合があります。
レポート分類	測定基準をカテゴリ分けする際に使用するタグ。
サブグループ	測定基準が関連するサブグループ。
主要測定基準	ビジネスの重要な測定基準であるかどうかを示すオプション。
機密性 注: このセクションは、次の状況が当てはまる場合にのみ表示されます。 • GRC プロパティの下で *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効になっている。 • レコードが [ドラフト] ステータスである。	
機密	レコードを機密としてマークするオプション。
許可されたユーザー	レコードを表示できるユーザー。 注: デフォルトで、ログインしたユーザーは機密ユーザーのリストに追加されます。
許可されたグループ	レコードを表示できるグループ。

計算済み測定基準の定義で計算式を構築する

計算済み測定基準の定義では、必要に応じて計算を実行する式を作成できます。

計算式は、オペランド、演算子、および関数で構成されます。たとえば、2 つの測定基準定義 (男性従業員数と女性従業員数) から合計従業員数を計算する場合、選択された測定基準定義がオペランドであり、演算子はオペランドに対して特定の演算を実行して結果を取得する記号または関数です。演算子の例としては、加算 (+)、減算 (-)、乗算 (*)、除算 (/) などがあります。

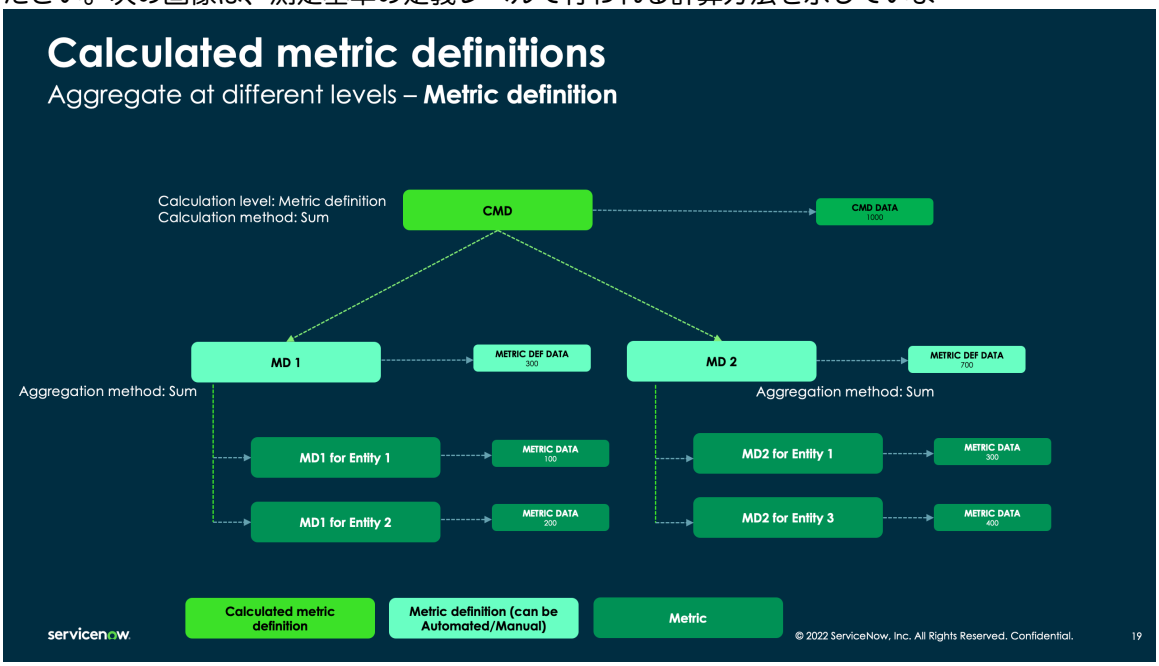
計算済み測定基準の定義で式を作成するときは、測定基準の定義レベルまたはエンティティレベルのいずれかで構築することができます。計算済み測定基準の定義フォームを保存し、測定基準の定義ス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

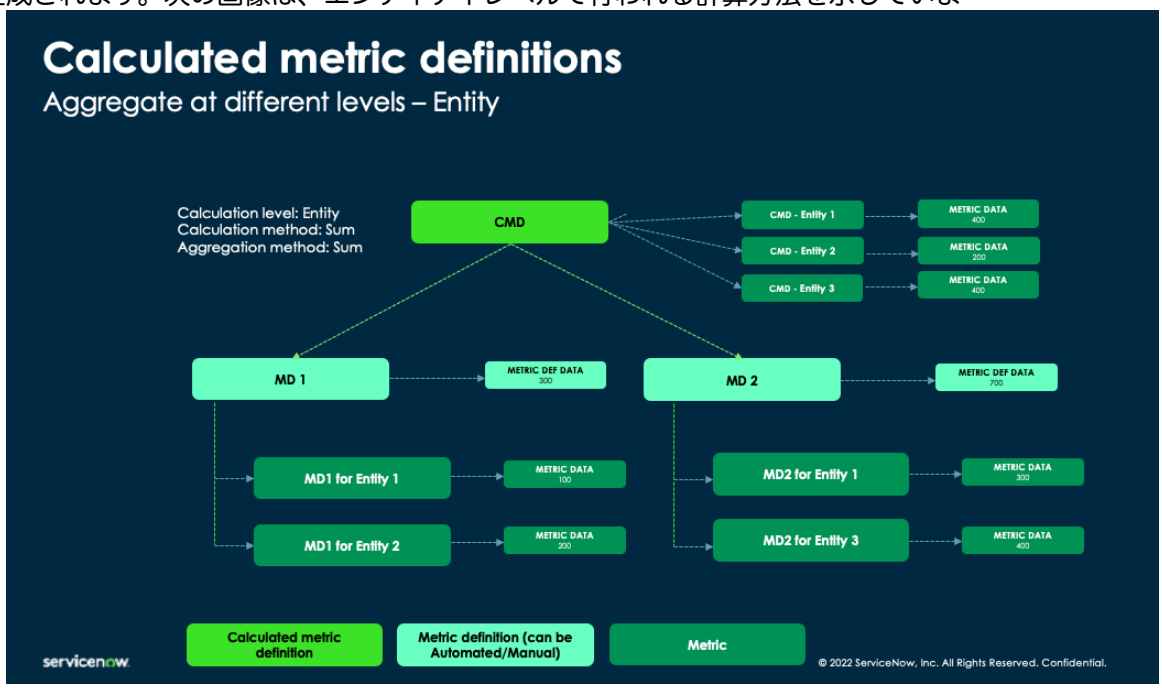
コア計算の式を構築する前に、計算済み測定基準の定義フォームで計算レベルを指定する必要があります。2 つのレベルは次のとおりです。

- 測定基準の定義：[計算レベル **(Calculation level)]** フィールドで [測定基準の定義] を選択した場合、すべての子測定基準の定義または子測定基準にわたるデータが計算に使用されます。[実行]を選択すると、式が適用され、計算された測定基準の定義データが生成されます。詳細については、「計算式ビルダーの構成」を参照してください。次の画像は、測定基準の定義レベルで行われる計算方法を示していま



す：

- エンティティ：[計算レベル **(Calculation level)]** フィールドで [エンティティ] を選択し、式ビルダーを使用して計算方法を指定すると、計算済み測定基準の定義に対して子測定基準が作成されます。これらの測定基準は、式でオペランドとして使用されている測定基準の定義に関連付けられている個別のエンティティごとに作成されます。測定基準の定義を実行すると、式が適用され、測定基準データが生成されます。測定基準の定義を集計すると、測定基準データが集計され、計算された測定基準データが生成されます。次の画像は、エンティティレベルで行われる計算方法を示していま



す：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算式ビルダーの構成

計算式を作成する前に、式のコンテキスト、テーブル、および識別子を指定します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

計算済みメトリックの定義で計算式を作成する前に、計算式ビルダーを構成する必要があります。構成時に、計算式コンテキスト、使用するテーブル、およびそれらの条件を指定できます。ESG Management のコンテキストで、測定基準の定義レベルで計算式を構築する場合は、構成時に測定基準の定義テーブルと測定基準テーブルを選択する必要があります。エンティティレベルで計算式を作成するには、測定基準の定義と排出係数テーブルを選択する必要があります。他のアプリケーションは、使用に必要なテーブルを使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > 計算式ビルダー > 構成.
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

計算式ビルダーの構成フォーム

フィールド	説明
式のコンテキスト	特定のオプションの計算式を作成するために使用できる構成。ESG に使用できる選択肢は次のとおりです。 ○ 計算レベル：エンティティ ○ 計算レベル：測定基準の定義 **注:** 他のアプリケーションのユーザーは、さまざまなコンテキストオプションを選択できます。
アプリケーション	アプリケーションのスコープ。このフィールドは自動的に設定されます。
テーブル	計算式を構築する際に使用するテーブル。
条件	式を構築するときに、選択したテーブルからレコードをフィルタリングするために使用する基準。たとえば「ドメインが **ESG** である」という条件を作成できます。
表示フィールド	[名前] フィールドや **[ID]** フィールドなどのオペランドで一意に表示される名前。
識別子	特定のテーブル名に関連付けられている小文字の 2 文字の短縮形の組み合わせ。たとえば、テーブル名が「ハードウェアアクセサリ (Hardware accessories)」の場合、識別子は `ha` になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: fnは関数を参照するため、識別子として fn を使用することはできません。

4. [送信] を選択します。

計算式の作成

エンティティまたは測定基準の定義を使用して独自の計算式を作成します。

始める前に

必要なロール：sn_esg.program_manager

sn_risk.user (リスクユーザーの場合)

このタスクについて

計算式の作成では、最大、最小、平均などの関数と、+、-、/、* などの演算子を使用して計算方法を定義できます。計算式を正常に作成するには、少なくとも 1 つのメトリック定義オペランドまたはエンティティオペランドが存在することが重要です。

注:
この計算式は、Safari を除くすべてのブラウザーを使用して作成できます。

手順

1. 計算式の作成に使用しているアプリケーションに応じて、次のいずれかの場所に移動します。
   - すべて > **Environmental, Social, and Governance** > **ESG** ワークスペース > メトリクス > 計算済み測定基準の定義.
   - すべて > リスク管理 > リスクワークスペース > メトリクス > 計算済み測定基準の定義.
2. 式を構築する測定基準の定義を開き、 計算式をビルド > 計算式ビルダー.
3. 計算式のテキストフィールドに「\」と入力して、計算式の作成を開始します。
4. 測定基準の定義レベルまたはエンティティレベルで式を作成するには、次の手順を実行します。
   a. 測定基準の定義レベルで計算式を作成するには、測定基準の定義または測定基準を 2 つ選択し、その間の演算子を選択します。

      Example
      たとえば、従業員の通勤による GHG 排出量 + データセンター排出量 (市場ベース) を選択して合計を計算できます。

   b. エンティティレベルで計算式を作成するには、測定基準の定義または排出係数を 2 つ選択し、その間の演算子を選択します。
5. 数式をコピー、リセット、またはプレビューするには、次の手順を実行します。
   a. 計算式をコピーするには、[コピー] を選択します。
   b. 計算式を初期状態にリセットするには、リセット を選択します。
   c. 識別子のない数式をきちんとした形式で表示するには、[プレビュー] を選択します。
6. 数式を保存するには、[計算式を保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 数式を実行するには、[実行] を選択します。
   数式を実行する前に保存することが重要です。
8. 計算式ビルダーページで、[サポートが必要な場合] を選択すると、計算式の作成に必要な手順に関するガイダンスが表示されます。

測定基準の定義の更新

新しい測定基準を収集するために、既存の測定基準の定義を更新します。新しい目標、ターゲット、およびエンティティを測定基準の定義に関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.metric_manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

このタスクについて

同じフォームを使用して、自動測定基準の定義、手動測定基準の定義、および複合測定基準の定義を更新できます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 測定基準.
2. リストから測定基準の定義を選択します。
3. フォームで、必要に応じてフィールドを更新します。

測定基準の定義のタブと関連リストを更新する

フィールド	説明
タブと関連リスト	
[詳細] タブ	自動測定基準の定義における測定基準の定義、測定基準のプロパティ、メソッド、スケジュールなどの測定基準の詳細。 手動測定基準の定義における収集方法、スケジュール、データ収集の詳細、承認などの測定基準の詳細。 計算済み測定基準の定義における測定基準、測定基準のプロパティ、およびロールアッププロパティの詳細。[詳細] タブのフィールドについては、[測定基準の定義] フォームで説明されています。
エンティティタイプ	測定基準に関連付けるエンティティタイプの詳細。たとえば、名前、説明、および条件 (アクティブ、更新が必要、処理中のエンティティなど) が表示されます。新しいエンティティタイプを追加するには、[追加] をクリックします。 **注:** [エンティティタイプ] 関連リストは、自動測定基準の定義と手動測定基準の定義に対してのみ表示されます。計算済み測定基準の定義に対しては表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
追加エンティティ	測定基準の定義に関連付けることができる追加のエンティティ。名前、所有者、クラス、コンプライアンススコア (%) などの詳細を表示します。新しいエンティティを追加するには、[追加] をクリックします。 **注:** この関連リストは、自動測定基準の定義と手動測定基準の定義に対してのみ表示されます。計算済み測定基準の定義に対しては表示されません。
子測定基準の定義	親測定基準の定義に関連付けられた子測定基準の定義。子測定基準の定義の名前、頻度、説明などの詳細を表示します。新しい子測定基準の定義を追加するには、[追加] をクリックします。 **注:** この関連リストは計算済み測定基準の定義に対してのみ表示されます。自動測定基準の定義と手動測定基準の定義に対しては表示されません。
測定基準	測定基準の名前、関連エンティティ、アクティブステータスなどの測定基準の詳細。新しい測定基準を追加するには、[新規] をクリックします。
信頼できるソースコンテンツ	参照、名前、各種法令・基準等、説明、コンプライアンススコア (%) などの信頼できるソースコンテンツの詳細。新しい信頼できるソースコンテンツを追加するには、[追加] をクリックします。
目標	名前、状態、カテゴリ、開始日、終了日、所有者、ステータスなどの目標の詳細。新しい目標を追加するには、[追加] をクリックします。
ターゲット	名前、所有者、状態、ステータス、進捗状況、実際の値、ターゲット値、終了日などのターゲットの詳細。新しいターゲットを追加するには、[追加] をクリックします。
測定基準の定義データ	収集頻度、収集定義、間隔終了日、値、状態などの測定基準の定義データの詳細。 **注:** この関連リストは、自動測定基準の定義と手動測定基準の定義に対してのみ表示されます。計算済み測定基準の定義に対しては表示されません。
計算済み測定基準データ	間隔終了日、ロールアップ頻度、値など、計算済み測定基準データの詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: この関連リストは計算済み測定基準の定義に対してのみ表示されます。自動測定基準の定義と手動測定基準の定義に対しては表示されません。

4. 測定基準の定義を保存するには、[保存] をクリックします。
5. 複合測定基準の定義の複合測定基準データを計算するには、[集計] をクリックします。
[集計] アクションは、現在の間隔終了日とその親測定基準の定義へのロールアップ頻度について、複合測定基準データを計算します。複合測定基準データレコードは、[複合測定基準データ] 関連リストに表示されます。現在の間隔に存在しない場合は、複合測定基準の定義スコアが作成されます。
6. 測定基準の定義を削除するには、[削除] をクリックします。
7. 測定基準の定義の 360 度の関係ビューを視覚的に探索するには、**[360 度ビュー (360° view)]** をクリックします。

測定基準の作成

データに対して計算を実行するための測定基準を作成します。

始める前に
必要なロール：
sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、sn_compliance.user。

このタスクについて
測定基準を作成するには、測定基準の定義とエンティティが必要です。測定基準の定義により、エンティティのスコアを収集する方法が定義されます。測定基準の定義がエンティティに関連付けられると、測定基準が作成されます。

手順
1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 測定基準.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい自動測定基準の定義フォーム

フィールド	説明
名前	自動測定基準の定義の名前たとえば、「インシデントの数」。
説明	自動測定基準の定義の簡潔な説明。
アクティブ	自動測定基準の定義をアクティブとしてマークするオプション。
クラス	測定基準の定義が属するクラス。選択肢は次のとおりです。 ○ **KPI**：目標に対してリスクエクスポージャーがどの程度管理されているかを示します。このオプションを使用して、エンティティと追

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	加エンティティを測定基準の定義に追加します。 ○ **KRI**：指定されたリスクまたは一連のリスクに対するエクスポージャーの量を示します。このオプションを使用して、測定基準の定義にリスクとリスクステートメントを追加します。このオプションは、高度なリスク プラグインがアクティブ化されている場合に使用できます。 ○ **KCI**：特定のリスクエクスポージャーを削減または緩和するために実装されたコントロールの有効性を示します。このオプションを使用して、コントロールとコントロール目標を測定基準の定義に追加します。このオプションは、ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインがアクティブ化されている場合に使用できます。
タイプ	スコアが手動で収集されるか、自動で収集されるかを決定するために使用される方法。選択肢は次のとおりです。 ○ 自動 ○ 手動 [自動] を選択します。
主要測定基準	測定基準がビジネスの重要な測定基準であるかどうかを示すオプション。
ドメイン領域	測定基準の定義の作成元ワークスペース。このフィールドは自動的に設定されます。たとえば、リスクワークスペース から測定基準の定義を作成すると、このフィールドは [リスク] に設定されます。
エンタープライズ所有者タイプ	自動測定基準の定義を担当するエンタープライズ所有者のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ ユーザー ○ ユーザーグループ
測定基準スコアの集計 (Metric Score Aggregation)	測定基準の定義レベルでスコアを要約するために使用される方法。選択肢は次のとおりです。 ○ 合計：すべてのアクティブな測定基準の合計。 ○ 平均：すべてのアクティブな測定基準の平均。 ○ 最大：すべてのアクティブな測定基準の最大値。 ○ 最小：すべてのアクティブな測定基準の最小値。
値	測定基準が実行された後に取得された値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Enterprise 所有者	自動測定基準の定義のエンタープライズ所有者。
測定基準のプロパティ	
方向	自動測定基準の定義の方向選択肢は次のとおりです。 ○ なし：測定基準の方向を変更しない場合は、このオプションを選択します。 ○ 最小化：目的の測定基準の方向が下向きまたは降順である場合は、このオプションを選択します。たとえば、燃料消費量を最小限に抑える場合です。 ○ 最大化：目的の測定基準の方向が上向きまたは昇順である場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織内で天然資源の使用を最大化する場合です。 ○ マイルストーン：測定基準の方向が適用されないが、測定基準がマイルストーンに対して追跡される場合は、このオプションを選択します。たとえば、組織が新しい再生可能エネルギー製品を市場に投入する場合、今後の発売日がマイルストーンと見なされます。
精度	スコアの小数点以下の桁数。 インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い偶数の整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケータが値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。ただし、式が 2 + (5 / 2) を計算した場合、インジケーターは結果を 4 に丸めます。 インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。
単位	自動測定基準の定義の単位。スコアの表示単位を定義できます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。
性質	自動測定基準の定義の性質。選択肢は次のとおりです。 ○ なし ○ [先頭]：測定基準が将来のイベントの場合は、このオプションを選択します。たとえば、ある店舗での新しいソーラーバッテリの販売数を考えてみましょう。この数は、この店舗が将来受け取る可能性のあるサポート要求の先行インジケーターです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [遅行]：測定基準が過去のイベントの場合は、このオプションを選択します。たとえば、店舗で前年に行った販売数を考えてみましょう。この数は、この店舗が過去受け取ったサポート要求の遅行インジケーターです。 ○ [現在]：測定基準がイベントの現在のステータスである場合は、このオプションを選択します。たとえば、店舗での今年の販売数を考えてみましょう。この数は、店舗が受けている現在のサポート要求のインジケーターです。
方法 (Method)	
メソッドタイプ	自動測定基準のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ 基本 ○ スクリプト化 **注:** [スクリプト化] を選択した場合は、フォームを保存し、[スクリプトを追加] を選択してスクリプトを追加する必要があります。sn_grc.developer ロールを持つユーザーのみがスクリプトを追加できます。
テーブル	自動測定基準の定義を作成するためにクエリされるテーブル。
基準	スコアを取得するレコードの条件。フィールド、演算子、および値を含む条件を追加することでフィルターを作成し、[設定] をクリックします。 **注:** このフィールドを変更する前に、[テーブル] フィールドの値を選択します。
集計	自動測定基準の定義のスコアを集計するメソッド。[集計] フィールドでオプションを選択すると、[集計] フィールドの横に新しい [集計フィールド] が表示されます。[集計フィールド] には、選択したレコードが表示されます。[集計] フィールドの選択肢は次のとおりです。 ○ カウント：フィルター基準に設定されているテーブルクエリによってレンダリングされるレコードの数。 ○ 合計：[集計フィールド] の選択された値に基づくパラメーターの値の合計。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 平均：[集計フィールド] の選択された値に基づくパラメーターの値の平均。 ○ 最大：[集計フィールド] の選択された値に基づくパラメーターの値の最大値。 ○ 最小：[集計フィールド] の選択された値に基づくパラメーターの値の最小値。 ○ 個別のカウント：[集計フィールド] でグループ化された結果セット内のグループの数。 **注:** [集計フィールド] は、[カウント] を除くすべてのオプションに対して表示されます。
参照フィールド	測定基準データを分離するときに基づくフィールド。このフィールドは、選択したスコアリングテーブルにエンティティを接続し、エンティティに固有のスコアを計算します。 **注:** 参照フィールドが指しているテーブルが、関連付けられているエンティティが指すレコードのテーブルと一致していることを、エンティティフォームの [適用先] フィールドで確認します。 **注:** メモに記載されている基準はシステムで検証されないため、検証するのはユーザーの責任です。このフィールドを変更する前に、テーブルを選択します。
スケジュール	
収集頻度	測定基準が実行される収集頻度。測定基準の定義でスコアを収集する頻度を示します。選択肢は次のとおりです。 ○ 日次 ○ 週次 ○ 毎月 ○ 四半期ごと ○ 半年ごと ○ 年次
開始	自動測定基準の定義の収集頻度スケジュールの開始日。
分類	
グループ	測定基準が関連する領域。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ラベル	測定基準をカテゴリ分けする際に使用するタグ。
サブグループ	測定基準が関連するサブグループ。
機密性	
注: このセクションは、次の場合にのみ表示されます。 ◦ GRC プロパティの下で *sn_grc.enable_record_confidentiality* プロパティが有効になっている。 ◦ レコードが [ドラフト] ステータスである。	
機密	レコードを機密としてマークするオプション。
許可されたユーザー	レコードを表示できるユーザー。 注: デフォルトで、ログインしたユーザーは機密ユーザーのリストに追加されます。
許可されたグループ	レコードを表示できるグループ。

4. [保存] をクリックします。

   注:
   新しい測定基準が作成されると、関連リストが [詳細] タブとともにフォームに表示されます。[概要] タブで測定基準データの概要を確認できます。測定基準を実行すると、[測定基準の概要 (Metrics overview)] ページに、測定基準データの詳細が、データの収集期間とともに表示されます。

タスクの結果
測定基準は [測定基準] リストに保存されます。

測定基準単位の作成

測定基準スコアを表示するときの単位を定義します。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他の任意の単位にすることができます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。

始める前に
必要なロール:sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 測定基準 > 単位.
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい測定基準単位フォーム

フィールド	説明
名前	単位の名前。例：$。
フォーマット	単位の形式。たとえば、{0} MWh とすると、略語 MWh でメガワット時数が表現されます。

4. 測定基準単位を保存するには、[保存] をクリックします。

タスクの結果
測定基準単位は [測定基準] リストに保存されます。

単位ファミリーの作成

単位ファミリーを作成して、類似の単位をグループ化します。たとえば、マイルやキロメートルなどのさまざまな距離単位をグループ化できます。単位ファミリーは、単位変換の際に単位を整理するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
単位ファミリーの作成では、単位の変換もサポートされます。測定基準データ入力時の単位が、測定基準の定義のレポート単位と異なる場合があります。このような場合は、単位を変換する必要があります。たとえば、測定基準データが米国ガロンで入力され、測定基準の定義のレポート単位がリッターであるとします。ガロンとリッターが体積などの同じ単位ファミリーに属していれば、単位を変換できます。

さまざまな単位の変換に、さまざまな式が使用されます。測定基準の定義のレポート単位が、[計算済み] の変換係数を持つ単位ファミリーに属する場合、その測定基準の測定基準データタスクは、測定基準の定義と同じ単位で指定する必要があります。たとえば、測定基準の定義における温度のレポート単位が摂氏であり、温度の変換係数が [計算済み] に設定されている場合、その測定基準の定義のすべての測定基準データタスクは摂氏でのみ指定できます。このような場合、ユーザーは変換に使用する必要がある式を指定できます。詳細については、「計算済み測定基準の定義で計算式を構築する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > 管理 > 単位ファミリー
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[単位ファミリー **(Unit family)**] フォーム

フィールド	説明
名前	単位ファミリーの名前。たとえば、「温度」。
変換係数	ファミリーから単位を変換するときに適用する必要がある変換係数。選択肢は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 直接：ファミリー内での単位の変換を直接実行できる場合に、このオプションを使用します。たとえば、直接変換を使用してキロメートルをマイルに変換できます。 ○ 計算済み：変換式が複雑な場合に、このオプションを使用します。たとえば、摂氏の温度を華氏に変換する場合、式は °F = °C × (9/5) + 32 になります。

4. [送信] を選択します。

測定基準データの別の単位への変換

測定基準データを優先レポート単位に変換します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
データの優先レポート単位は、測定基準の定義で指定されます。ユーザーが測定基準データタスクにデータを入力するときに、測定基準の定義で設定されている単位とは異なる単位で入力する可能性があります。たとえば、ユーザーは水使用量に関するデータをリッターで入力しても、組織は米国ガロンでのレポートを必要としていることがあります。したがって、測定基準の定義もガロンに設定されています。この場合、リッターはガロンに変換する必要があります。

注:
測定基準データタスクでは、同じ単位ファミリーに属する単位のみをこのデータに使用できます。単位変換は、単位ファミリー変換係数が [直接] に設定されている単位にのみ適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > 管理 > 単位変換.

2. [新規] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

[単位変換] フォーム

フィールド	説明
名前	単位変換の名前。たとえば、`リッターからガロン`。
変換前の単位	変換元の単位。
変換後の単位	変換先の単位。
単位ファミリー	単位が属する単位ファミリー。たとえば、「体積」。
値	変換値。たとえば、リッターからガロンへの変換値は 0.264172 です。

4. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

測定基準の更新

測定基準を更新して、目標、測定基準データ、およびターゲットを追加します。信頼できるソースコンテンツを測定基準に関連付けます。

始める前に

必要なロール：sn_grc_metric.manager、sn_risk.user、および sn_compliance.user

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 測定基準.
2. リストから測定基準を選択します。
3. フォームで、必要に応じてフィールドを更新します。

測定基準のタブと関連リストの更新

フィールド	説明
タブ	
名前	測定基準の名前。たとえば、「インシデントの数 - ACME アジア」。
説明	測定基準の簡潔な説明。
測定基準の定義	測定基準に関連付けられた測定基準の定義。
エンティティ	測定基準に関連付けられたエンティティ。
エンタープライズ所有者タイプ	測定基準を担当するエンタープライズ所有者のタイプ。このフィールドは、エンタープライズ所有者タイプを表示するように自動的に設定されます。
タイプ	自動測定基準の定義のタイプ。このフィールドは自動的に設定されます。
アクティブ	測定基準の定義をアクティブとしてマークするオプション。
主要測定基準	測定基準の定義を主要測定基準としてマークするオプション。
エンタープライズ所有者	測定基準の定義のエンタープライズ所有者。このフィールドは自動的に設定されます。
測定基準のプロパティ	
方向	測定基準の定義の方向。このフィールドは自動的に設定されます。
精度	測定基準の定義の精度。このフィールドは自動的に設定されます。
単位	測定基準の定義の単位。このフィールドは自動的に設定されます。
性質	測定基準の定義の性質。このフィールドは自動的に設定されます。
方法 (Method)	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	測定基準の定義を作成するためにクエリされるテーブル。このフィールドは自動的に設定されます。
基準	テーブルをクエリするための条件。このフィールドは自動的に設定されます。
集計	測定基準の定義を集計する方法。このフィールドは自動的に設定されます。
参照フィールド	測定基準の定義方法の参照フィールド。このフィールドは自動的に設定されます。
スケジュール	
スケジュール	測定基準の定義の収集頻度。このフィールドは自動的に設定されます。
初回ランタイム	初回実行時間の日付。このフィールドは自動的に設定されます。
次回実行時間	次回実行時間の日付。このフィールドは自動的に設定されます。
データ収集の詳細	
データ所有者タイプ	データ所有者タイプ (ユーザーなど)。
データ所有者	データ所有者であるユーザーの名前。
承認	
承認が必要	測定基準で承認が必要な場合に有効にするオプション。
[測定基準のデータタスク] タブ	名前、番号、担当者、優先度、状態などの測定基準データタスクに関する情報。
関連リスト	
目標	名前、状態、カテゴリ、開始日、終了日、所有者、ステータスなどの測定基準に関連付けられた目標の詳細。新しい目標を追加するには、[追加] をクリックします。
測定基準データ	開始日、終了日、値、コレクター測定基準のデータ、収集頻度、タイプなどの測定基準データの詳細。 開始日：この開始日は、データ収集の開始日です。 終了日：この終了日は、スコアが計算される間隔が決まる、期間の終了日です。終了日は、測定基準の定義の頻度によって異なります。終了日はスコアの追跡に使用されます。すべてのスコアは時間に依存しており、間隔終了日への参照があります。 収集頻度：[収集頻度] フィールドのオプションは次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 日次：毎日作成されるスコア。 ○ 週次：週の終わりの日付 (日曜日) までに作成されるスコア。月曜日が週の始まりで、日曜日が週の終わりです。 ○ 月次：月末までに作成されるスコア。 ○ 四半期ごと：四半期末までに作成されるスコア。たとえば、Q1 は 3 月 31 日に終了し、Q2 は 6 月 30 日に終了し、Q3 は 9 月 30 日に終了し、Q4 は 12 月 31 日に終了します。 ○ 半年ごと：6 か月期間の末日までに作成されるスコア。半年の終了日は 6 月 30 日と 12 月 31 日です。 ○ 年ごと：年末までに作成されるスコア。年の終了日は 12 月 31 日です。
ターゲット	名前、状態、所有者、開始日、終了日、タイプ、測定などの測定基準に関連付けられたターゲットの詳細。新しいターゲットを追加するには、[追加] をクリックします。
信頼できるソースコンテンツ	参照、名前、各種法令・基準等、説明、コンプライアンススコア (%) などの信頼できるソースコンテンツの詳細。新しい信頼できるソースコンテンツを追加するには、[追加] をクリックします。

4. 測定基準を保存するには、[保存] をクリックします。
5. 測定基準の定義を削除するには、[削除] をクリックします。
6. 測定基準を実行するには、[実行] をクリックします。
   現在の間隔に存在しない場合は、測定基準データスコアが作成されます。現在の間隔の測定基準または測定基準の定義を再実行すると、スコアのみが更新されます。
7. 測定基準の定義の 360 度の関係ビューを視覚的に探索するには、**[360 度ビュー (360° view)]** をクリックします。

測定基準の定義のしきい値を作成

測定基準の定義のしきい値を定義して、定量的測定基準定義のパフォーマンスを評価します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

測定基準の定義を作成した後、測定基準のしきい値制限と測定基準の定義を定義して、測定基準のパフォーマンスを決定できます。しきい値に違反するか、しきい値を超えると、システムは関連するオーナーに通知されます。たとえば、測定基準の定義を作成して従業員の離職を監視し、指定された期間の測定基準のターゲット値、オレンジのしきい値、および赤色のしきい値を定義できます。ここで、しきい値を 5、オレンジの値を 8、赤色の値を 10 として定義したとします。これは、8 人離職した場合は、システムが測定基準のパフォーマンスをオレンジとして通知することを意味します。離職が 10 人に達すると、測定基準のパフォーマンスを赤として通知します。この通知により、適切なアクションを実行できます。測定基準に対して複数のしきい値を作成できます。測定基準が作成され

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

る前にしきい値が定義されている場合、測定基準はしきい値のルールを継承します。すべてのタイプの測定基準の定義に対してしきい値を作成できます。この手順では、自動測定基準の定義を例として使用します。

測定基準定義が作成された後にしきい値が作成された場合は、しきい値を測定基準にコピーできます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 測定基準 > 測定基準.
2. しきい値を定義する測定基準を選択して開きます。
3. [しきい値] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

測定基準定義のしきい値フォーム

フィールド	説明
しきい値タイプ	しきい値のタイプ。選択肢は次のとおりです。 ○ 静的：測定基準または測定基準の定義の静的しきい値は、測定基準を追跡するための制限として使用される固定値を参照します。 ○ 動的：動的しきい値はパーセンテージで指定されます。つまり、パーセンテージの差異は、方向と前のデータの 2 つの要素に基づいて計算されます。 詳細については、「Thresholds for metrics」を参照してください。
オレンジのしきい値	ターゲット値の分散の中程度の変化を示すパーセンテージ値。
有効期限開始	データが有効になる日付。
ターゲット値	パーセンテージの差異の比較対象である前のデータ。
赤色のしきい値	ターゲット値の分散の重大な変化を示すパーセンテージ値。
有効期限	データの有効期限。

6. [送信] を選択します。
7. しきい値を測定基準にコピーするには、[しきい値のコピー] を選択します。

GRC: Metrics を使用したデータ提供

GRC: Metrics アプリケーションを使用すると、ビジネス目標を追跡し、主なリスクインジケーター (KRI) と重要業績評価指標 (KPI) を定義して、管理者に進捗状況に関するインサイトを提供するレポートを生成できます。

測定基準データタスクのデータ入力

測定基準データタスクを使用して、手動測定基準のデータを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_grc_metric.user、sn_risk.reader および sn_compliance.reader

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 測定基準 > 自分の測定基準データタスク.
2. データを提供するタスクを開きます。
3. [対応中に移動] をクリックします。
4. 測定基準情報フォームの [測定基準の入力] セクションで、次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
測定基準データ	測定基準の値。このフィールドは、測定基準フォームの [カテゴリ] フィールドで [定量的] が選択されている場合にのみ表示されます。
単位	データの単位。たとえば、米国ガロン。 **注:** データは任意の単位で入力でき、測定基準の定義で指定されたレポート単位に変換されます。
応答	測定基準の応答。このフィールドは、測定基準フォームの [カテゴリ] フィールドで [定性的] が選択されている場合にのみ表示されます。
送信した応答が正確であることを認定して承認します。 (I certify and acknowledge that the response I have submitted is accurate.)	データの正確性を認定するオプション。
追加コメント (顧客に表示)	測定基準データの追加情報。

5. [保存] を選択します。
6. 証拠またはサポート情報を提供するには、[関連ドキュメント] 関連リストで [新規] を選択します。
7. 関連ドキュメントフォームのフィールドに入力します。

関連ドキュメントフォーム

フィールド	説明
名前	サポート情報の名前を提供します。
URL	サポート URL を追加するには、ロックアイコンを選択します。
測定基準のデータタスク	このフィールドには、情報を提供している測定基準データタスクの名前が自動的に設定されます。

8. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の測定基準の応答の提供

測定基準タスクモジュールを使用すると、複数の測定基準の応答を使いやすい形式で提供できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
データ所有者は、複数の測定基準データタスクのデータまたは応答を提供する必要があります。提供するデータは、複数のソースからもたらされるため、複数のデータ所有者が存在する場合があります。このようなシナリオでは、データ入力の監査記録を維持することは困難です。測定基準タスクモジュールを使用すると、複数の測定基準データタスクのデータを入力できます。フィルターを使用して、データを提供する測定基準グループを選択します。入力および送信した応答、およびデータまたは応答の送信の日付が過ぎているかどうかを確認できます。クローズ済みステータスでないタスクに対してのみ、測定基準データ応答を提供できます。

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
2. 測定基準データテーブルアイコン () を選択します。
3. [測定基準グループ] リストから、データを提供する測定基準グループを選択します。

   オープンな測定基準データタスクがあるグループのみがフィルターに表示されます。
4. データを入力するエンティティのセルをダブルクリックします。
5. [送信した応答が正確であることを認定して承認します **(I certify and acknowledge that the response I have submitted is accurate)]** オプションを選択します。
6. [保存] を選択します。
   データを入力するセルごとにこの手順を実行します。セルをスクロールして、すべてのタスクに対して応答を入力できます。
7. 応答を送信するタスクを選択します。
8. 入力したデータの証拠を提供するには、コンテキストサイドパネルの [添付ファイルおよびリンク] タブを選択し、必要に応じてリンクと添付ファイルを追加します。
9. [送信] を選択します。

測定基準データタスク応答のオーバーライド

測定基準マネージャーが、定量的測定基準に対して提供された応答を変更する必要があると考える場合、データを編集して変更の理由を入力できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_metric.admin、sn_risk.admin、および sn_compliance.admin

手順

1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > 測定基準 > 測定基準のデータタスク.
2. データを編集するタスクを開きます。
3. [測定基準の入力] セクションで、[応答をオーバーライド **(Override Response)]** オプションを選択します。
4. [オーバーライドされた応答 **(Overridden response)]** フィールドに新しい応答を入力します。
5. [理由 **(Justification)]** フィールドに、前のデータを上書きするための妥当な理由を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 追加のコメントがある場合は、[追加コメント] フィールドに入力します。
7. [保存] を選択します。

測定基準データのオーバーライド

データ所有者に提供された測定基準データが不正確な場合は、データ所有者に提供された測定基準データを変更または上書きできます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_metric.admin、sn_risk.admin、および sn_compliance.admin

このタスクについて
測定基準データタスクがクローズされた後で、リスク管理者は必要に応じて測定基準データを変更できます。リスク管理者は、データを変更するための妥当な理由を提供する必要があります。

手順
1. 移動先 すべて > リスク > **Risk** ワークスペース > リスト > 測定基準 > 自分の測定基準データタスク.
2. 変更するレコードを開きます。
3. [測定基準情報] フォームの [測定基準の入力] セクションで、[測定基準データのオーバーライド **(Override Metric Data)]** オプションを選択します。
4. [測定基準データのオーバーライド **(Override Metric Data)]** フィールドに新しい値を入力します。
5. [理由 **(Justification)]** フィールドに、データを上書きするための妥当な理由を入力します。
6. 追加のコメントがある場合は、[追加コメント] フィールドに入力します。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
測定基準データタスクの値がオーバーライドされ、測定基準データで同じ値が更新されます。

GRC: Metrics の参照

複数のプロパティ、テーブル、およびロールが GRC: Metrics アプリケーションとともにインストールされます。

GRC: Metrics アプリケーションとともにインストールされるコンポーネント

リスク管理 アプリケーションがアクティブになると、GRC: Metrics アプリケーションが自動的にインストールされます。GRC: Metrics アプリケーションによって、ここにリストされているロールが追加されます。

インストールされるロール

次のロールが GRC: Metrics アプリケーションとともにインストールされます。

GRC: Metrics アプリケーションとともにインストールされるロール

ロール	説明	内容
sn_grc_metric.admin	このロールは、アプリケーション内で管理者として機能し、測定基準マネージャーロールの責任を含みます。このロールには、測定基準データタスクで	sn_grc_metric.manager、schedule_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC: Metrics アプリケーションとともにインストールされるロール (続く)

ロール	説明	内容
	測定基準データの結果を上書きする機能と、測定基準の定義と測定基準を削除する権限があります。通常、このロールは、プロダクトオーナーまたはアプリケーション管理者としての役職を持つ個人にアサインされます。	
sn_grc_metric.manager	このロールでは、測定基準の定義と測定基準の読み取り、作成、更新を行うことができます。これは主に、それぞれの責任領域内で測定基準を定義する権限を必要とするリスクマネージャー、コンプライアンスマネージャー、またはビジネスマネージャーに割り当てられます。	sn_grc_metric.user
sn_grc_metric.reader	このロールは読み取り専用アクセスに制限されています。測定基準の定義または測定基準を作成、編集、または更新する権限はありません。ただし、測定基準リーダーとして、このロールには、承認者として指定されている測定基準データタスクをレビューおよび承認する権限があります。このロールは、測定基準データを使用してダッシュボードにアクセスして測定基準のパフォーマンスを監視する場合に、マネージャーとエグゼクティブにアサインできます。	なし
sn_grc_metric.user	このロールは主にデータ所有者に割り当てられ、手動測定基準データ入力タスクに対応できるようにします。通常、これらのユーザーはビジネスから選ばれ、組織内で所有権を持ちます。	sn_grc.reader、sn_grc_metric.reader
sn_grc_metric.developer	このロールを持つユーザーは、データ収集自動測定基準定義のスクリプトを作成および編集する権限を持ちます。	なし

リスク管理 の分析およびレポート作成ソリューション

プラットフォームアナリティクスソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この プラットフォームアナリティクスソリューション は ServiceNow Store で利用できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

GRC: Risk Management の分析およびレポートソリューションを有効にするには、次の手順を実行します。

1. ServiceNow Store にアクセスし、パフォーマンスアナリティクス - GRC: Risk Management アプリケーションおよび関連アプリケーションのエンタイトルメントを取得します。「」を参照してください。 をインストールする ServiceNow 製品 の ServiceNow Store.
2. インスタンスで、次に移動します。 システムアプリケーション > すべてのアプリケーション > すべて.
3. パフォーマンスアナリティクス - GRC: Risk Management アプリケーションを見つけてインストールします。

リスク管理 アプリケーションでは、次のレポートとダッシュボードを使用できます。

リスクワークスペースの **Advanced Risk** アセスメントのオペレーショナルリスクヒートマップ

オペレーショナルリスクマネージャーは、リスクワークスペースでリスクヒートマップを構成および管理できます。

リスクヒートマップは、組織を脅かす特定のリスクを伝えるために使用されるデータ可視化ツールです。ヒートマップは、より注意が必要なリスクを特定するのに役立つため、Enterprise Risk Management の重要なコンポーネントと見なされています。リスクワークスペースでは、UI Builder を使用して Advanced Risk アセスメントヒートマップを構成できます。ヒートマップは、固有のリスクと残存リスクに関する詳細な情報を提供します。ヒートマップの軸は、固有リスクと残存リスクの構成で設定できます。ヒートマップの軸の詳細を設定する方法については、「固有のアセスメントを構成」および「残存アセスメントを構成」を参照してください。

オペレーショナルリスクヒートマップを表示するには、次のことを確認してください。

- **GRC: Risk Management Workspace** (com.sn_risk_workspace) プラグインをアクティブ化します。
- **GRC: Advanced Risk** (com.sn_risk_advanced) プラグインをアクティブ化します。
- `Migrate to Advanced Risk Assessments` プロパティを有効にします。

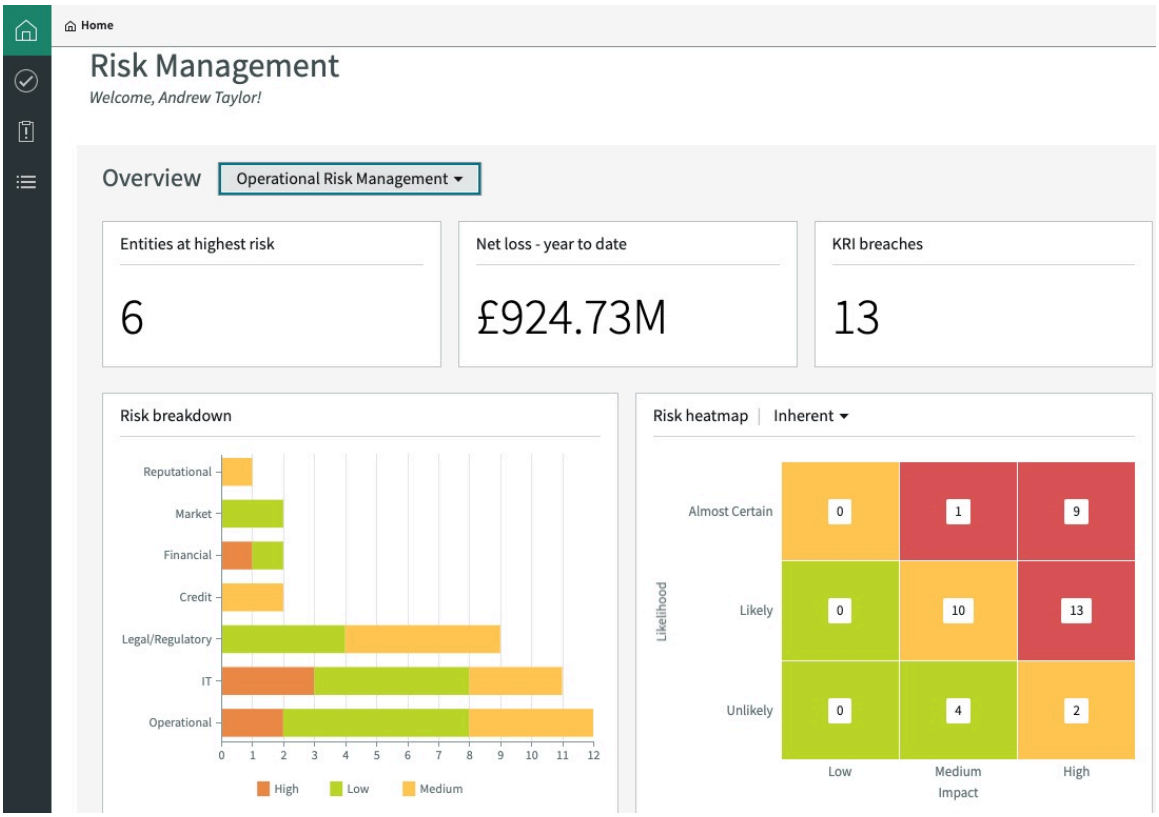
[サマリー] フィールドで、ヒートマップを表示するリスクアセスメント方法論を選択できます。ヒートマップの任意のタイルをクリックすると、その特定のリスクアセスメント方法論で評価されたすべてのリスクとそのスコアを表示できます。これらのリスクに対して選択されたリスク対応戦略を表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

できます。ヒートマップの色を定義する場合は、設定に従って色を定義できます。詳細については、「リスクの色のスタイルを作成」を参照してください。

オペレーショナルリスクヒートマップ



他のページまたはワークスペースでヒートマップを追加または設定するには、Now Support ナレッジベースの記事「Risk Heatmap Documentation (リスクヒートマップドキュメント) [KB0994328]」を参照してください

クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ

オペレーショナルリスクマネージャーが、クラシック版リスクアセスメントを使用して組織内のリスクを評価することを選択した場合、リスクヒートマップを表示して組織のリスク体制の概要を把握できます。

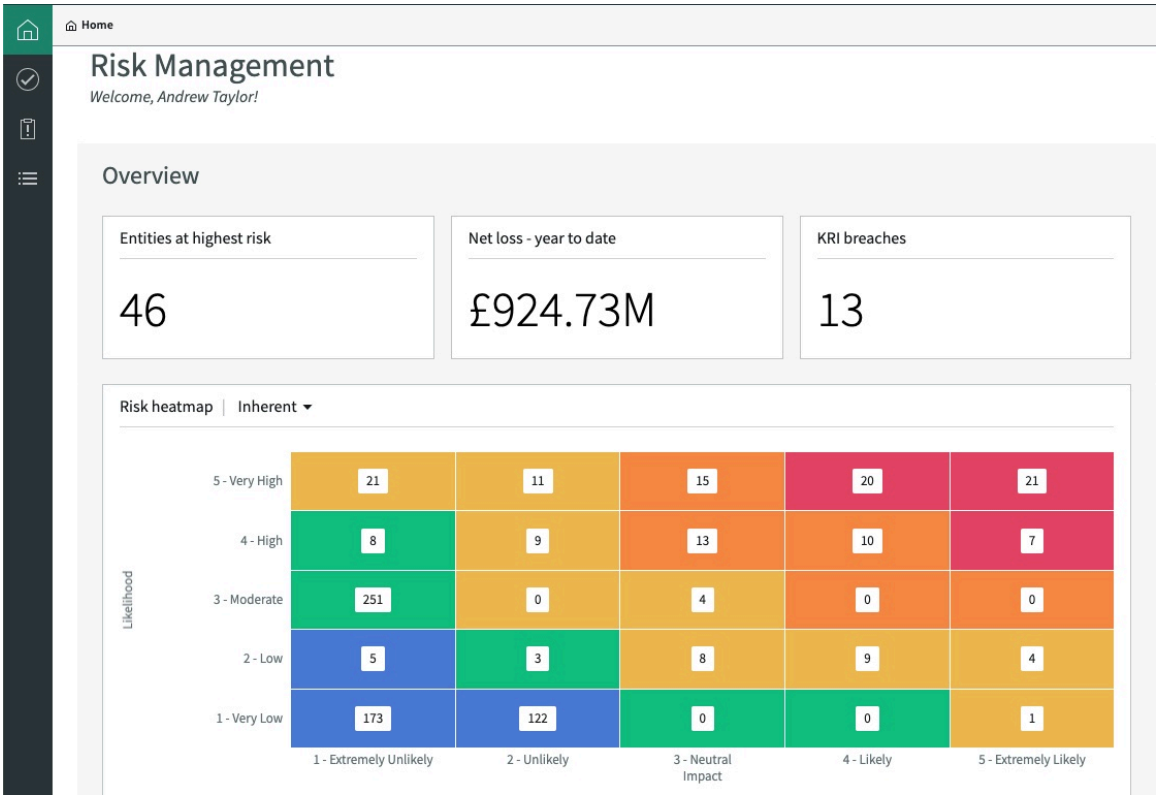
リスクヒートマップは、組織を脅かす特定のリスクを伝えるために使用されるデータ可視化ツールです。リスクヒートマップは、より注意が必要なリスクを特定するのに役立つため、Enterprise Risk Management の重要なコンポーネントと見なされています。

オペレーショナルリスクヒートマップを表示するには、GRC Risk Management (sn_risk) プラグインをアクティブ化していることを確認してください。ヒートマップの任意のタイルをクリックすると、リスクレコードが表示され、エンティティ、リスクステートメント、所有グループ、所有者、および計算済みスコアを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラシック版リスクアセスメントヒートマップ



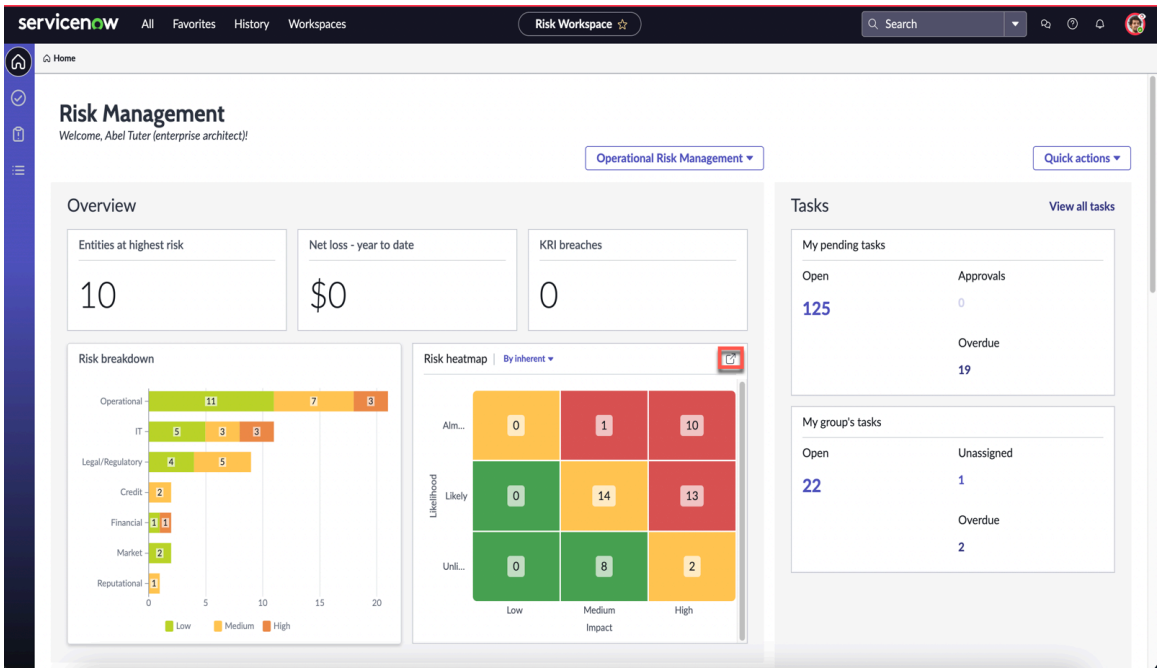
リスクヒートマップワークベンチ

オペレーショナルリスクマネージャーは、高度なリスク アプリケーションのリスクヒートマップワークベンチを使用して、リスクの詳細を可視化し、エンティティのリスク体制の理解を深めることができます。

ヒートマップワークベンチの概要

リスクヒートマップは、リスクデータを図で表したもので、マトリクスに含まれる個々の値が、意味を示す色で表されます。リスクヒートマップを使用すると、リスクアセスメント結果を便利で、視覚的に魅力的な簡潔な形式で確認できます。バージョン 14.0 以降、ワークベンチ起動アイコン ( ) を使用してリスクヒートマップワークベンチを起動できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



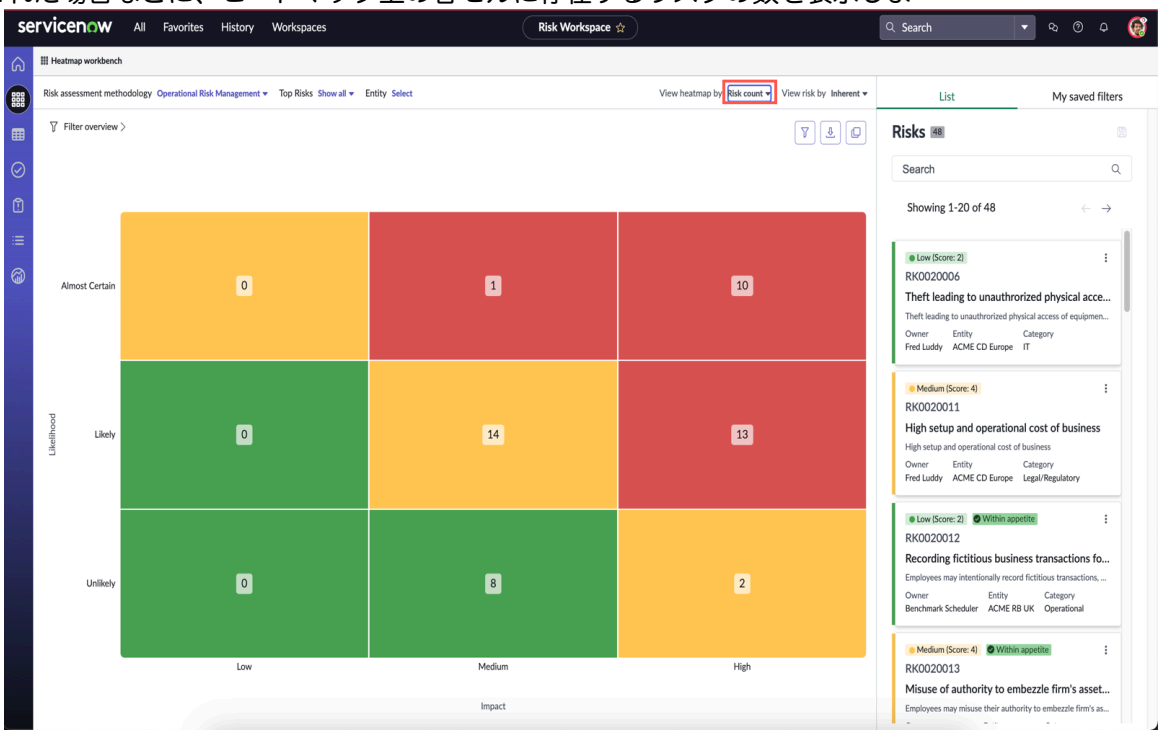
ヒートマップワークベンチの機能

リスクヒートマップワークベンチを使用すると、リスクの次の側面を表示できます。

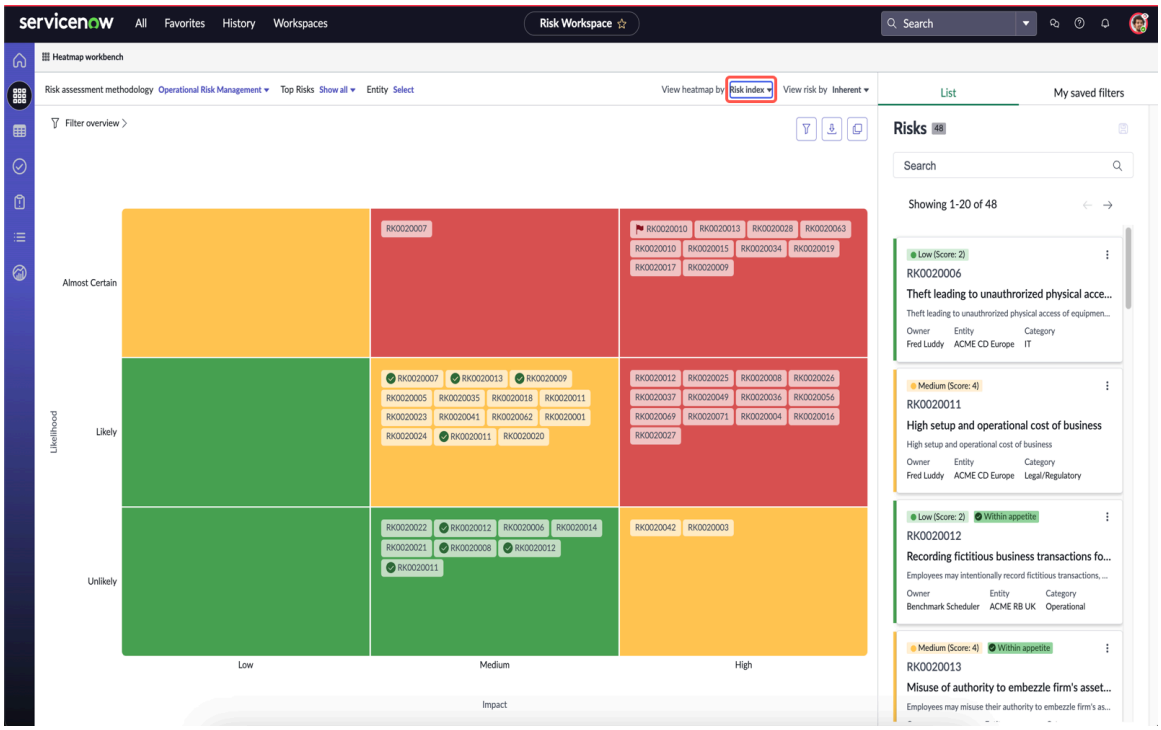
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスクカウント：影響度などの X 軸の要素が可能性などの Y 軸の要素と組み合わされた場合などに、ヒートマップ上の各セルに存在するリスクの数を表示します。



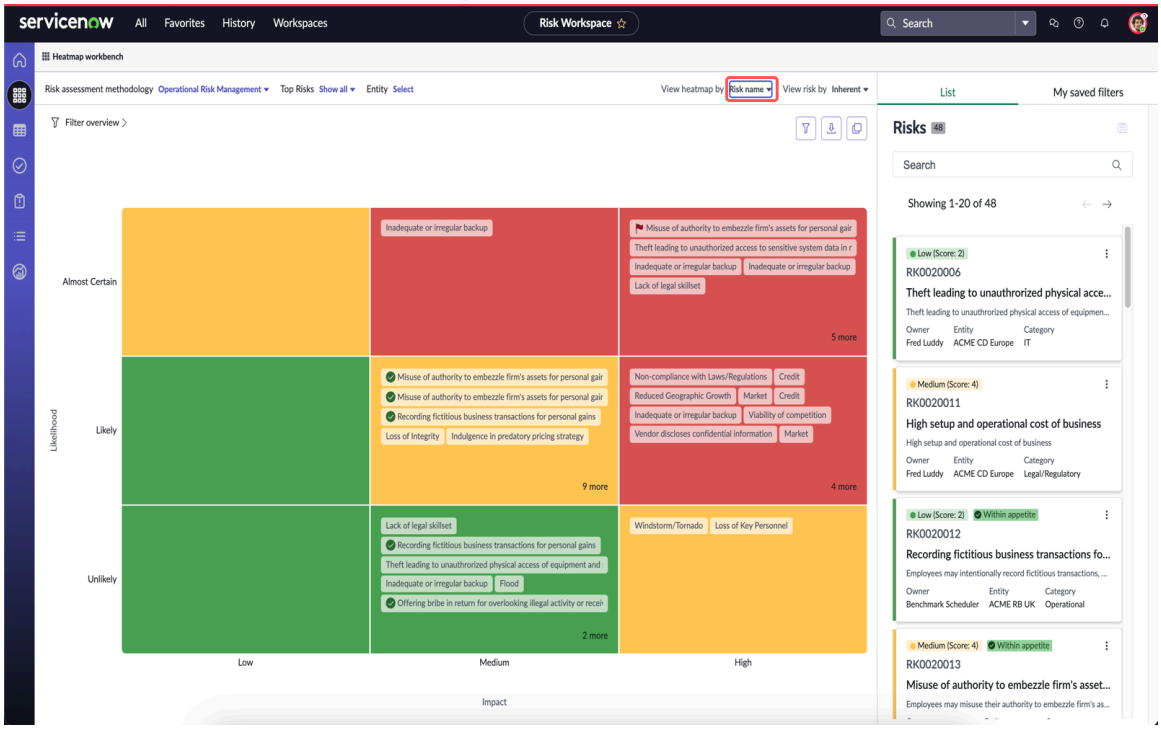
- リスクインデックス：各セルのリスク ID と各リスクの詳細をコンテキストサイドパネルに表示します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスク名：各セル内のすべてのリスクの名前を表示しま



す。

- 上位リスク：ヒートマップワークベンチの上位リスクを表示します。たとえば、[上位リスク] フィルター選択リストから [10] を選択すると、ヒートマップで選択したリスクアセスメント方法論 (RAM) に関連付けられている上位 10 件のリスクが表示されます。
- エンティティ：ヒートマップワークベンチの特定のエンティティとそのダウンストリームエンティティに関連付けられているリスクを表示します。RAM で定義されている特定のエンティティに関連付けられているリスクをフィルターできます。

各リスクをポイントすることで、リスクの詳細をすばやく取得できます。たとえば、リスクオーナーが誰であるか、リスクが属するエンティティ、リスクのカテゴリを確認できます。コンテキストサイドパネルには、1 ページに一度に 20 件のエントリが表示されます。表示するエントリの合計数を設定できます。すべてのリスクをカードとして表示するか、1 つのリスクを選択してその詳細を表示できます。ヒートマップセルからリスクを選択すると、そのリスクの詳細がサイドパネルに表示されます。たとえば、リスク評価、リスク応答、リスク追跡、およびリスク階層を表示できます。アクティビティログは、リスクに対して実行されるすべてのアクティビティをキャプチャします。その他のアクションアイコン ⋮ をクリックすると、次のオプションが表示されます。

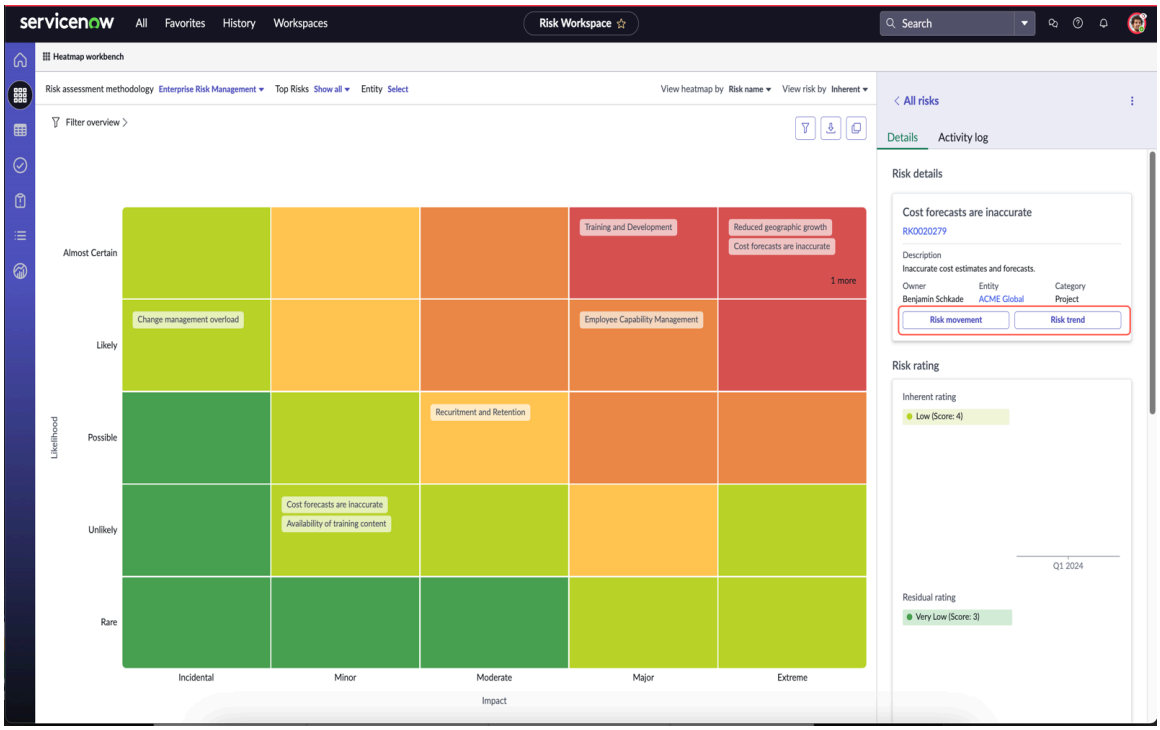
- [オープン]：リスクレコードを提供します。
- **[360** 度ビュー]：関連付けられているエンティティ、コントロール、リスクステートメント、リスクアセスメント、およびリスク応答タスクの概要を提供します。
- [アセスメントを表示]：リスクのアセスメントサマリーを表示します。

ヒートマップワークベンチでのレポート

ヒートマップワークベンチは、リスクのレポートと分析に使用する主要なツールです。リスクの動きとリスクの傾向を確認することで、組織のリスクプロファイルを可視化し、その情報をステークホルダーと共有できます。

自動翻訳

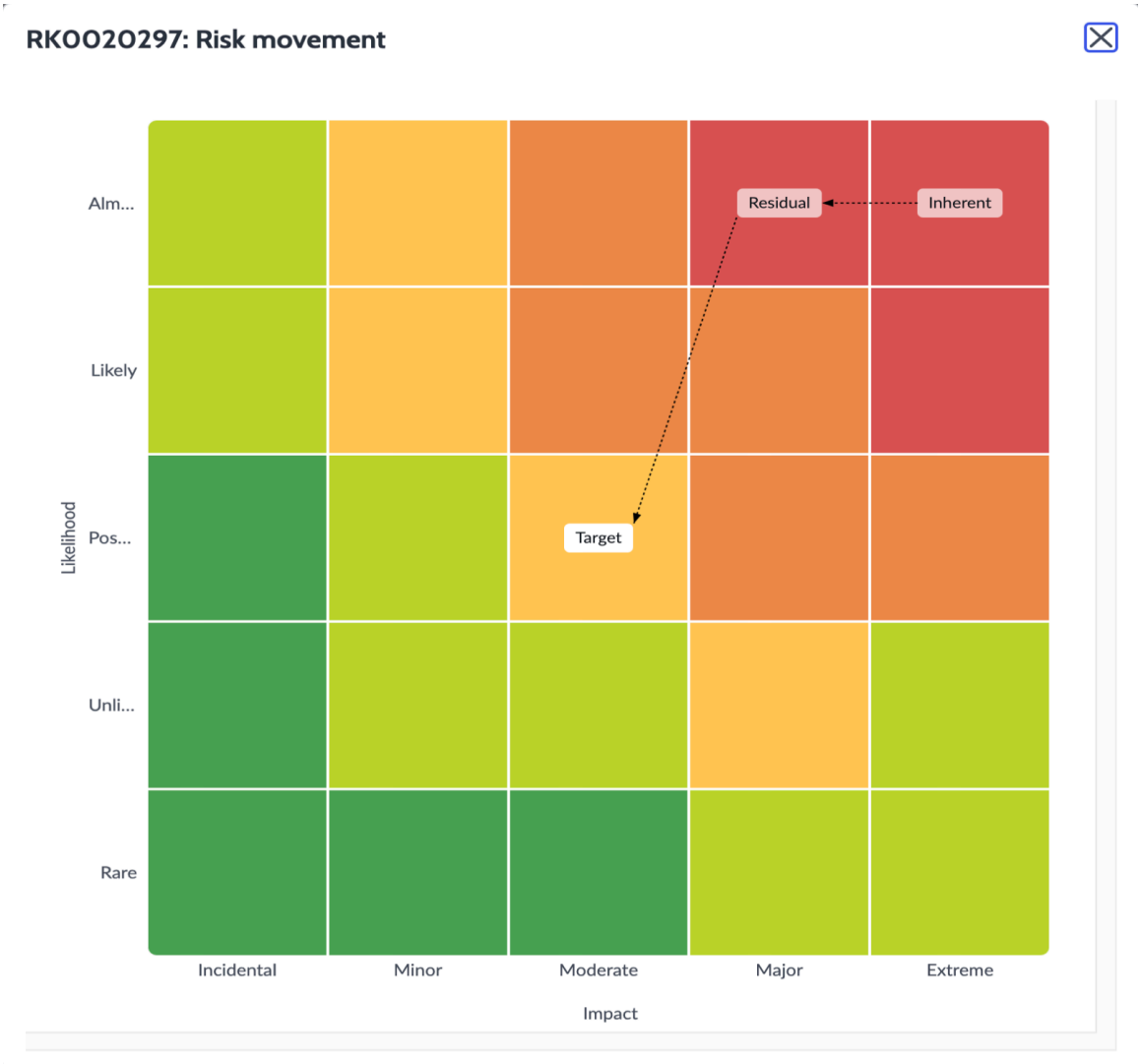
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒートマップワークベンチでは、固有リスク (コントロールまたは軽減アクションのないリスクレベル) から残存リスク (コントロールの実装後に残るリスク)、最後にターゲットリスク (将来的に達成したいリスクレベル) へのリスクの移動を表示できます。この情報は、リスクを軽減するためにアサインされたコントロールが有効かどうかを分析するのに役立ちます。リスク移動は、残存リスクが固有リスクと同じ要素を持つ RAM でのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ヒートマップワークベンチでは、複数のアセスメントでのリスクスコアの移動を表示できます。リスク傾向は、リスクがどのように変化したかを示し、リスクをどのように管理しているかを分析します。リスク傾向は、過去 5 回のリスクアセスメントで利用できます。ヒートマップ上の傾向ラインを無効にして、明確で整理されたビューを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



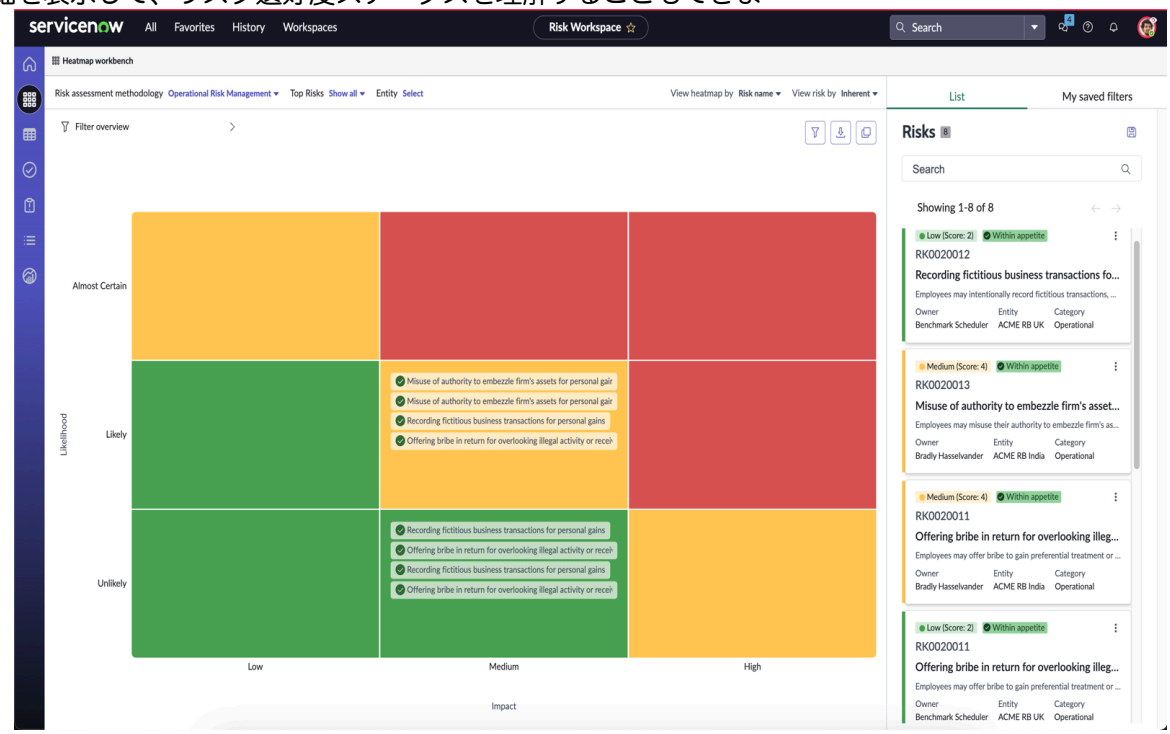
ヒートマップワークベンチでのリスク選好度

ヒートマップワークベンチでリスク選好度のステータスを表示できます。リスク選好度の傾向もヒートマップで確認できます。リスクの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細を表示して、リスク選好度ステータスを理解することもできま



す。

ヒートマップワークベンチでのフィルタリング

ヒートマップワークベンチに表示されるデータをフィルターできます。たとえば、ヒートマップに 40 のエントリがあり、エンティティが ACME Global であるリスクをフィルターするとします。条件ビルダーを使用してフィルターを適用できます。フィルターが適用されると、ヒートマップが更新され、適用したフィルター条件に基づいてデータが表示されます。データをフィルターする方法の詳細については「リスクヒートマップワークベンチでデータをフィルター」を参照してください。フィルター機能は、ワークベンチビューでのみ使用できます。[自分の保存したフィルター] セクションで、頻繁に使用するフィルターを保存できます。

ヒートマップワークベンチでのダウンロードとコピー

必要に応じて、リスクヒートマップ情報をダウンロードまたはコピーしてレポートに含めたり、関連するステークホルダーと共有したりすることができます。アイコン。 アイコンを使用すると、ヒートマップを画像としてダウンロードできます。[ ] アイコン。 アイコンを使用すると、ヒートマップ情報をクリップボードにコピーできます。その後、電子メール、レポート、プレゼンテーション、またはその他のドキュメントに貼り付けて、必要に応じてビジュアルデータ表現を共有できます。

ヒートマップワークベンチでの検索

リスクユーザーは、特定のリスクを探しているときに、名前、所有者、またはカードに表示されているその他の情報でリスクをすばやく検索できます。リスクを検索してデータをフィルターすることもできます。コンテキストサイドパネルで、検索フィールドにキーワードを入力すると、フィルターされた結果が表示されます。

注:
検索機能では、カードに表示されるリスク名、リスクの説明、およびフィールドが考慮されます。たとえば、「オペレーショナル」という単語を検索すると、「オペレーショナル」という単語を含むすべてのリスクが検索結果に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

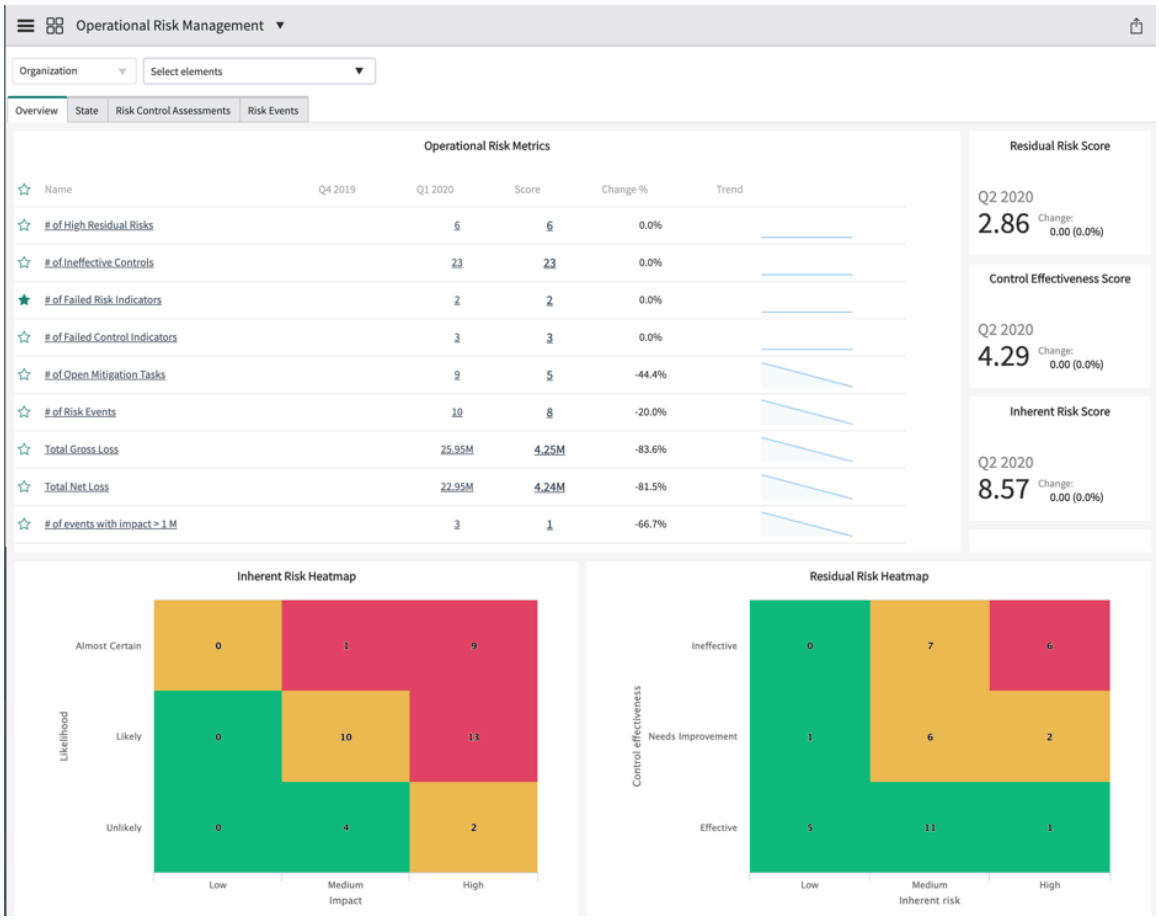
ヒートマップワークベンチの没入型ビュー

ヒートマップの没入型ビューでは、X 軸と Y 軸の値がハイライト表示された展開形式のヒートマップを表示できます。このビューの利点は、1 つのゾーンに情報が多すぎる場合に、そのゾーンに焦点を当てて各リスクを分析できることです。ページネーションを使用すると、すべてのレコードを表示できます。リスクを指し示すことで、リスクの詳細をすばやく把握できます。値をクリックして、両方の軸の異なる値を表示することもできます。たとえば、ヒートマップで X 軸の値が「低」、「中」、「高」で、Y 軸の値が「可能性が低い」、「可能性が高い」、「ほぼ確実」であるとします。両方の軸の値をクリックすると、その組み合わせのリスクが表示されます。

オペレーショナルリスク管理ダッシュボード

sn_risk.user ロールを持つエンティティオーナーは、オペレーショナルリスク管理ダッシュボードを使用して、企業の完全なリスク体制を単一の統合レポートで表示できます。このダッシュボードを使用すると、リスク体制を効率的に分析し、損失がないことを確認するために必要な是正措置を講じることができます。

オペレーショナルリスクダッシュボード



エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
リスクユーザー：オペレーショナルリスクは、事業継続性計画、環境リスク、プロセスシステム、オペレーショナルリスク、およびユーザー関連リスクをキャプチャします。	sn_risk.user	• 事業運営の信頼性を向上させます。 • リスク管理操作の有効性を向上させます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール	利点
		• 意思決定プロセスを強化します。 • 特定されていない、または十分に特定されていないリスクによって発生する損失を削減します。 • 違法なアクティビティを早期に検出します。 • コンプライアンスコストを削減します。 • 将来のリスクによる潜在的な損害を軽減します。

オペレーショナルリスクは、不適切または非効率的な内部プロセス、人員、およびシステムによって、または外部イベントによって発生する損失のリスクです。オペレーショナルリスクは、組織の完全なリスク体制を提供するために次のものをキャプチャします。

- リスク識別とアセスメント
- リスクイベントデータ
- 内部コントロールの識別と評価
- リスクのモニタリングとレポート

インジケーター

インジケーターは、定期的な間隔で実行されるビジネスサービス、アクティビティ、または組織行動のパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定値では、時間とともに一連のインジケータースコアを得られます。このダッシュボードを表示するには、高度なリスク および ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインをアクティブ化する必要があります。

関連付けられているすべてのプラグインのすべてのインジケーターのリストを表示するには、以下を参照してください。

- GRC 高度なリスク プラグインインジケーター
- GRC ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインインジケーター
- GRC Audit Management プラグインインジケーター
- GRC リスク管理 プラグイン パフォーマンスアナリティクス インジケーター
- GRC Profiles プラグインインジケーター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

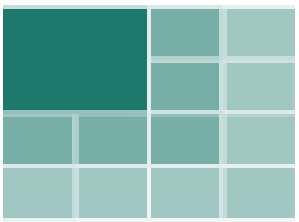
注:
このダッシュボードのデータを収集するには、2 つのジョブを実行する必要があります。

- [日次データコレクタージョブ **(Daily Data Collector job)**]：このジョブは、インジケーターのデータを収集するために使用されます。このジョブは毎日実行されます。このジョブを実行するには、[実行方法] フィールドに適切な値を入力する必要があります。このジョブは事前構成されています。
- [履歴データコレクタージョブ **(Historical Data Collector job)**]：このジョブは、一定期間データを収集するために使用されます。通常、このジョブはデモデータで事前設定されています。そのため、プラグインをアクティブ化しているときにデモデータを有効にすると、このジョブを表示できます。このジョブを実行するには、[実行方法] フィールドに適切な値を入力する必要があります。

ブレークダウン

組織 (エンティティ)

データの可視化

タイトル	タイプ	説明
残存リスク評価によるリスク応答	ヒートマップ 	残存リスクごとに異なるリスク応答タスクの数を示すヒートマップ。
オーナー別コントロール	水平バー	所有者に基づいて分布するコントロール。
オーナー別リスク	水平バー	所有者に基づいて分散されるリスク。
カテゴリ別固有リスク	水平バー	クレジット、市場などのリスクステートメントカテゴリ別にグループ化された、さまざまな固有リスクレベルを持つリスクアセスメントの数。
カテゴリ別残存リスク	水平バー	クレジット、市場などのリスクステートメントカテゴリ別にグループ化された、さまざまな残存リスクレベルを持つリスクアセスメントの数。
コントロールテスト	リスト	すべてのコントロールの一覧。
コントロールインジケーター	リスト	各コントロールに関連付けられたインジケーター。
リスクインジケーター	リスト	各リスクに関連付けられたインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
分類別のコントロール	円グラフ	予防や発見などの分類に基づくコントロールの分布。
証明頻度別のコントロール	円グラフ	証明書の頻度に基づいて分布するコントロール。
カテゴリ別リスク	円グラフ	カテゴリに基づくリスク分布。
期限切れの問題	単一スコア	終了予定日を過ぎても未解決の問題の数。
アクティブリスクイベント	単一スコア	アクティブなリスクイベントの数。
処理待ちの証明書	単一スコア	証明書を待機しているコントロールの数。
期限切れのアセスメントタスク	単一スコア	サブステートが [期限切れ] のリスクアセスメントの数。
予定されている受け入れ期限	単一スコア	今後 10 日間の受け入れ終了日を含むリスク受容タスクの数。
オープンな軽減タスク	単一スコア	オープンな軽減タスクの数。
オープンインジケータータスク	単一スコア	開かれているインジケータータスクの数。
期限切れのコントロールテスト	単一スコア	終了予定日を過ぎても未解決のコントロールテストの数。

GRC 高度なリスク プラグインインジケーター

GRC 高度なリスク プラグインにはさまざまなインジケーターが含まれています。

高度なリスク プラグインには、次のインジケーターが含まれています。

高残存リスクの数
: 四半期あたりの高残存リスクの数。

無効なコントロールの数
: 四半期ごとの非効率的なコントロールの数。

この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値
: この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値。

この四半期の許容可能な最大損失予測の最大値
: 現在の四半期で更新されたすべてのアクティブなリスクステートメント。また、maximum_acceptable_loss_expectancy の平均を計算します。

オープンな軽減タスクの数
: この四半期のオープンステータスのリスク軽減タスクの数。

リスクイベントの数
: この四半期に報告されたリスクイベントの数。

合計総損失
: 四半期ごとの財務リスクイベントからの合計総損失。

合計正味損失
: 四半期ごとの財務リスクイベントからの合計正味損失。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティブイベント
四半期ごとのアクティブなリスクイベントの数。
影響度 > 1 M のイベント数
100 万米ドルを超える財務の影響があるリスクイベントの数。
平均残存リスク
四半期ごとの平均残存リスクスコア。
平均コントロール有効性
四半期あたりの平均コントロール有効性。
平均固有リスク
四半期ごとの平均固有リスクスコア。
リスクアセスメント (オープン)
オープンリスクアセスメント。
問題 (今四半期作成)
四半期に作成された問題。
インジケータータスク (今四半期作成)
四半期ごとのインジケータータスク。
コントロールテスト (今四半期作成)
四半期ごとのコントロールテスト。
監視ステータスのリスクアセスメント
監視ステータスのリスクアセスメント。
非財務リスクイベント
四半期ごとの財務以外のリスクイベントの数。
合計潜在的損失
四半期ごとの財務リスクイベントからの合計潜在的損失。
合計予想損失
四半期ごとの財務リスクイベントからの合計予想損失。
財務以外の影響度が高いイベント数
四半期ごとの財務以外の影響度が高いリスクイベントの数。
イベントあたりの平均総損失
アクティブなリスクイベントごとに発生した総損失の平均。
イベントあたりの平均正味損失
イベントあたりの平均正味損失。正味損失 = 総損失 - 回収損失。
損失イベントあたりの平均復旧数
四半期ごとの損失イベントあたりの平均復旧数。
イベントあたりの平均追加コスト
四半期ごとの財務リスクイベントあたりの平均追加コスト。
年間損失予測
月次平均 ALE は、月単位で測定されます。
エンティティ数
アクティブステータスで、この四半期中またはこの四半期以前に更新されたエンティティの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ニアミス

四半期ごとのニアミスリスクイベントの数。

リスクステートメントの数

アクティブステータスで、この四半期中またはこの四半期以前に更新されたリスクステートメントの数。

合計コントロールインジケーター

四半期ごとに実行されているコントロールインジケーターの数

失敗したインジケーターのある高リスク

四半期で評価が高く、失敗したインジケーターが存在するリスクの数。

期限切れのインジケータータスク

四半期で期限切れになるインジケータータスクの数。

失敗したリスクインジケーターの割合

失敗したリスクインジケーターの割合。

四半期ごとの合計失敗インジケーター

四半期で失敗したインジケーターの数。

失敗したコントロールのある高リスク

失敗したコントロールテストのある高リスクの数

合計リスクインジケーター

四半期ごとに実行されているリスクインジケーターの数。

無効なコントロールの数

四半期ごとの非効率的なコントロールの数。

失敗したリスクインジケーターの数。

四半期ごとの失敗したリスクインジケーターの数。

失敗したコントロールテストの数

四半期ごとの失敗したコントロールテストの数。

失敗したコントロールテスト (四半期ごと)

失敗したコントロールテストの数 (四半期ごと)。

今四半期

今四半期で完了する必要がある修正タスクの合計数。

失敗したインジケーターのあるキーコントロール

失敗したインジケーターのあるキーコントロールは四半期ごとに測定されます

GRC Audit Management プラグインインジケーター

GRC Audit Management プラグインにはさまざまなインジケーターが含まれています。

Audit Management プラグインには、次のインジケーターが含まれています。

テストされていないキーコントロール

テストされていないキーコントロールの数。

失敗したコントロール

コントロールテストが無効になっているコントロールの数。

オープンな監査問題

オープンな監査問題の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成功したコントロール

コントロールテストが有効になっているコントロールの数。

進行中のコントロールテスト

進行中のコントロールテストの数。

失敗したコントロールテスト (四半期ごと)

四半期に失敗したコントロールテストの数。

新しいコントロール

新しいコントロールの数。

GRC ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインインジケーター

GRC ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインにはさまざまなインジケーターが含まれています。

ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインには、次のインジケーターが含まれています。

失敗したコントロールインジケーターの数

四半期ごとの失敗したコントロールインジケーターの数。

コントロール (廃止されていない)

廃止されていないコントロールの数。

証明されていないコントロール

ステータスがドラフトまたは証明であるコントロールの数。

孤立コントロール

コントロール目標のないコントロールの数。

必須コントロール

適用が必須であるコントロールの数。

キーコントロール

キーコントロールの数

テスト計画のないコントロール

テスト計画のないコントロールの数。

免除されたコントロール

免除されたコントロールの数。

KCI のないコントロール

インジケーターのないコントロールの数。

アクティブコントロール

アクティブなコントロールの数。

GRC リスク管理 プラグイン パフォーマンスアナリティクス インジケーター

GRC リスク管理 プラグインにはさまざまな パフォーマンスアナリティクス インジケーターが含まれています。

GRC: リスク管理 プラグインには、次の パフォーマンスアナリティクス インジケーターが含まれています。

コントロールを軽減しないリスク

コントロールを軽減しないリスクの数。

アクティブなリスク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクティブなリスクの数

新しいリスク

ドラフトステータスのリスクの数。

KRI のないリスク

KRI のないリスクの数。

孤立リスク

リスクステートメントのないリスクの数。

未評価リスク

評価されていないリスクの数。

GRC Profiles プラグインインジケーター

GRC Profiles プラグインにはさまざまなインジケーターが含まれています。

GRC: Profiles プラグインには、次のインジケーターが含まれています。

オープンな修正タスク

オープンな修正タスクの数。

今日

今日クローズされた問題の数。

今日

今日作成された問題の数。

今年

今年までに解決する必要がある問題の合計数。

今四半期

今四半期で解決する必要がある問題の合計数。

今月

今月までに解決する必要がある問題の合計数。

すべての未解決の問題

オープンな問題の数

すべての未アサインの問題

未アサインの問題の数。

修復タスクの経過時間インジケーター

ステータスに基づく修正タスク経過時間分布。

すべてのオープンな問題 (前四半期比)

四半期ごとのすべてのオープンな問題

経過時間インジケーターの問題

ステータスに基づく問題の経過時間分布。

今週

今週までに解決する必要がある問題の合計数。

今四半期

今四半期にクローズされた問題の数。

新しい問題

新しい問題の数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

今月
: 今月作成された問題の数。

今日
: 今日で完了する必要がある修正タスクの合計数。

今週
: 今週クローズされた問題の数。

今週
: 今週作成された問題の数。

今日
: 今日までに解決する必要がある問題の合計数。

今四半期
: 今四半期に作成された問題の数。

今年
: 今年で完了する必要がある修正タスクの合計数。

今月
: 今月完了する必要がある修正タスクの合計数。

今週
: 今週で完了する必要がある修正タスクの合計数。

今月
: 今月クローズされた問題の数。

リスクワークスペース でのリスク登録

リスク登録には、識別されたリスク、リスク分析の結果 (リスクスコアなど)、およびリスク応答計画が含まれています。リスク登録を使用すると、組織のリスクを監視および制御できます。

リスク登録は、企業のリスク管理で使用される重要なリスク分析ツールです。識別されたリスクの情報のレコードです。リスク登録は、規制コンプライアンスに使用され、リスクマネージャーをエンタープライズリスクについて最新の状態に保ちます。リスクと応答を定期的に監視することが重要です。リスク登録を使用すると、次のことが一目でわかるため、タスクを簡素化できます。

- どのリスクが存在するか？
- 最も脅威的なリスクはどれか？
- 企業はこれらのリスクにどのように対処する必要があるか？
- 一部のリスクを受け入れる必要があるか？
- 軽減計画の内容はどのようなものか？

リスク登録を表示するには、次に移動します。 **Risk** ワークスペース > リスクアセスメント > リスク登録

リスク登録のコンポーネントは次のとおりです。

- リスクについて評価されるエンティティ。
- リスクアセスメントに使用されるリスクアセスメント方法論。
- リスクアセスメントの査定人
- 次のリスクアセスメントスコア：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

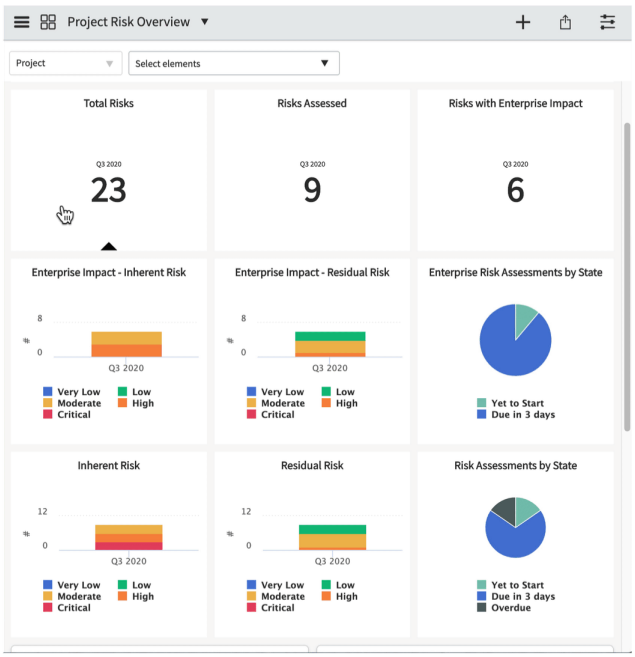
- 固有リスク
- コントロール有効性
- 残存リスク

- 各リスクのリスク応答。

プロジェクトリスク概要ダッシュボード

プロジェクトリスクダッシュボードは、プロジェクトマネージャーとエンタープライズリスクマネージャーに役立ちます。このダッシュボードを使用すると、プロジェクトマネージャーとエンタープライズリスクマネージャーは、リスクパフォーマンスと全体的なリスク体制を表示できます。このダッシュボードは、リスクマネージャーが組織内の全体的なリスクを軽減するのに役立ちます。

プロジェクトリスク概要ダッシュボード



必要なロール

- ダッシュボードを編集するには、it_pps_admin ロールまたは sn_risk.admin ロールが必要です。
- ダッシュボードを表示するには、sn_risk.reader ロール、it_project_manager ロール、または sn_ppm.read ロールが必要です。
- レコードの詳細を表示するには、sn_grc.business_user ロールが必要です。

ユースケース

組織内のさまざまなユーザーがこのダッシュボードをどのように使用するかの例については、次のユースケースを参照してください。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
エンタープライズリスクマネージャー	エンタープライズリスクマネージャーは、さまざまなエンタープライズリスクを表示し、重大、高、中、低、および超低のリスクの数を把握できます。このダッシュボードは、企業の全体的なリスク体制を理解するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー	ダッシュボードの使用法
プロジェクトマネージャー	プロジェクトマネージャーは、リスクを表示するプロジェクトを選択できます。四半期ごとのリスクの傾向、評価されたリスクの数、企業に影響を与えるリスクの数などを表示できます。ヒートマップは、評価されたすべてのプロジェクトリスクを集計します。悪いリスクを追跡し、それらを管理するのに役立ちます。これにより、組織の全体的なリスクが減少します。

インジケーター

PPM - 合計リスク

親プロジェクトのあるすべてのリスクの数。

PPM - エンタープライズリスクアセスメント

リスクアセスメント方法論がプロジェクトのエンタープライズアセスメントであり、エンティティクラスがプロジェクトであるすべてのリスクアセスメントの数。

PPM - プロジェクトリスクエンタープライズ

リスクアセスメント方法論がプロジェクトリスクアセスメントであり、テーブルがリスクであるすべてのリスクアセスメントの数。

PPM - 評価されたリスク

プロジェクトリスクアセスメントが監視ステータスにあるすべてのリスクの数。

PPM - 企業に影響を与えるリスク

エンタープライズリスクアセスメントが監視ステータスにあるすべてのリスクの数。

ブレークダウン

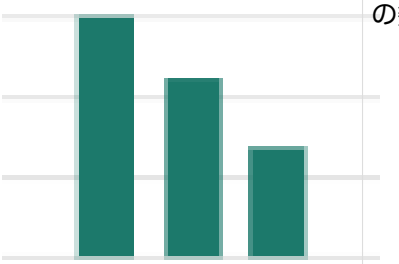
- プロジェクト
- プロジェクトおよびエンタープライズリスクアセスメントのステータス
- 定性的評価基準：企業固有アセスメント
- 定性的評価基準：企業残存アセスメント
- 定性的評価基準：プロジェクト固有アセスメント
- 定性的評価基準：プロジェクト残存アセスメント

データの可視化

このダッシュボードには以下の可視化が含まれます。

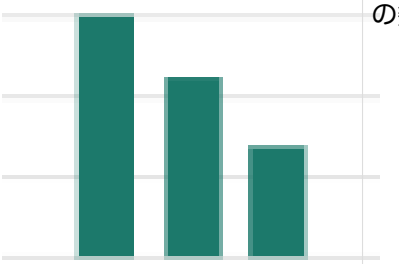
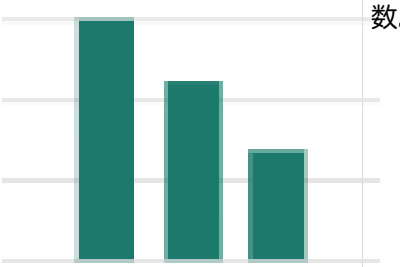
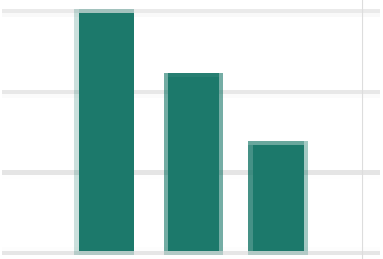
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
合計リスク	単一スコ  ア	特定されたプロジェクトリスクの合計数。
評価されたリスク	単一スコ  ア	評価されたプロジェクトリスクの合計数。
企業に影響を与えるリスク	単一スコ  ア	企業に影響を与えるリスクの合計数。
企業への影響度 - 固有リスク	棒グラ  フ	企業に影響を与える固有リスクの数。

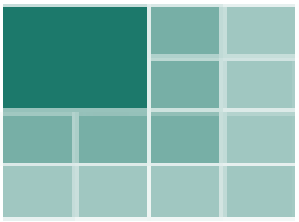
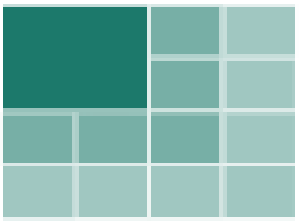
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
企業への影響度 - 残存リスク	棒グラ  フ	企業に影響を与える残存リスクの数。
ステータス別のエンタープライズリスクアセスメント	円グラ  フ	ステータス別のエンタープライズリスクアセスメントの数。
固有リスク	棒グラ  フ	固有のプロジェクトリスクの数。
残存リスク	棒グラ  フ	残存プロジェクトリスクの数。
ステータス別のリスクアセスメント	円グラ  フ	ステータス別のプロジェクトリスクアセスメントの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

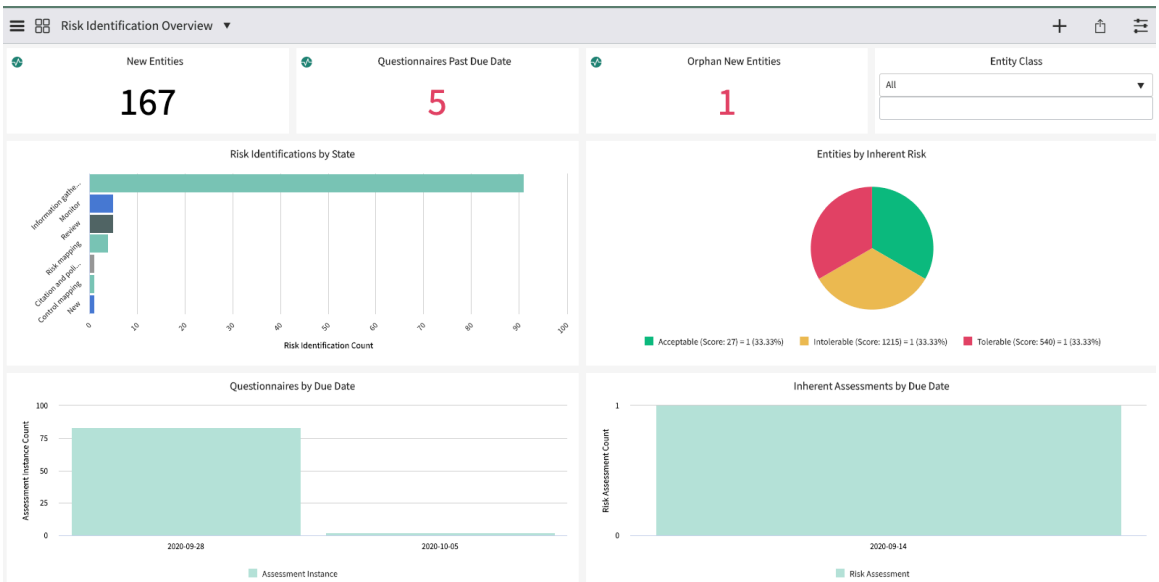
タイトル	タイプ	説明
可能性と影響度別の固有リスク	ヒートマップ 	すべての固有のプロジェクトリスクとその影響度の集計。
可能性と影響度別の残存リスク	ヒートマップ 	すべての残存プロジェクトリスクとその影響度の集計。

リスク識別の概要ダッシュボード

リスク識別ダッシュボードは、リスクマネージャーに役立ちます。リスク識別ワークフローで移行中のさまざまなレコードまたはオブジェクトを追跡するのに役立ちます。

このダッシュボードは、ユーザーにさまざまなインサイトを提供します。これらのインサイトにより、リスクマネージャーは必要なアクションを決定し、注意が必要なリスク識別レコードに優先順位を付けることができます。たとえば、期日を過ぎたアンケートがある場合、リスクマネージャーはアンケートを割り当てられているユーザーをフォローアップすることができます。

リスク識別の概要

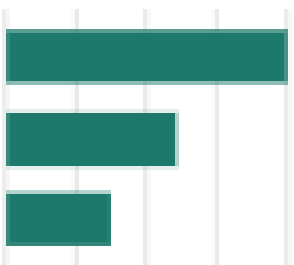


レポート

このダッシュボードには、次のレポートが表示されます。

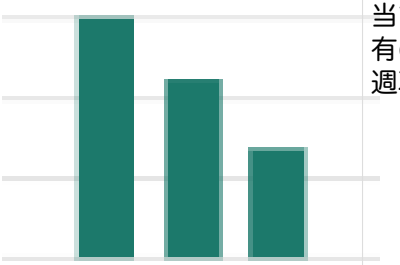
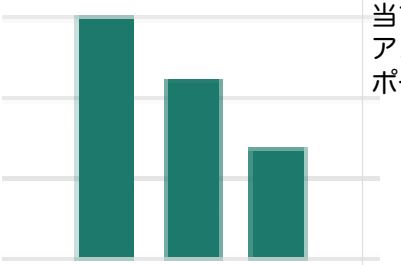
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タイトル	タイプ	説明
新しいエンティティ	単一スコア  ア	GRC で先週作成された新しいエンティティの数。このレポートは、新しいエンティティをリスクマネージャーに通知します。リスクマネージャーは、新しいエンティティのリスクとコントロールをマッピングし、リスク識別ワークフローが開始されているかどうかを確認できます。
アンケートの期日超過 (Questionnaires Past Due Date)	単一スコア  ア	期日を過ぎたアンケートの数。これにより、リスクマネージャーは期限切れのアンケートの数を追跡し、必要な措置を講じることができます。
孤立した新しいエンティティ (Orphan New Entities)	単一スコア  ア	週ごとに作成された、オーナーのない新しいエンティティの数。孤立エンティティにはリスクとコントロールがあり、誰もそれらのリスクに対処していません。このレポートにより、リスクマネージャーは、所有者がいないエンティティを追跡し、サーベイに回答する所有者を特定できます。
ステータス別のリスク識別 (Risk Identifications by State)	水平バー  バー	次のような、ステータス別にグループ化されたリスク識別レコードの数。 • 新規 • 情報収集 • コントロールマッピング • 引用とポリシー • リスクマッピング • レビュー • 監視

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイトル	タイプ	説明
固有リスク別のエンティティ (Entities by Inherent Risk)	円グラ  フ	固有リスク評価別にグループ化されたリスク識別の数。このレポートにより、リスクマネージャーは固有リスク評価に基づいてリスク識別を追跡し、すぐに対応する必要がある重要なエンティティをハイライト表示できます。
期日別の固有のアセスメント (Inherent Assessments by Due Date)	棒グラ  フ	期日に基づく、ユーザーに割り当てられた、予定されている固有のアセスメントの数。これは週次レポートです。
期日別のアンケート (Questionnaires by Due Date)	棒グラ  フ	期日に基づく、ユーザーに割り当てられた、予定されているアンケートの数。これは週次レポートです。

自動翻訳

Basel ダッシュボード

Basel ダッシュボードは、Basel レポートを外部の Basel 規制機関と共有するための手段です。このダッシュボードは、Basel レポートを共有することが義務付けられている銀行および財務ドメインに役立ちます。

ビジネスユーザーは、*Risk Event Properties* で *Show Basel attributes and properties* プロパティを設定することで、このダッシュボードの表示を有効または無効にすることができます。

このダッシュボードには次の 2 つのタブがあります。

- LOB からカテゴリへのマッピングレポート：
  - 事業部門 & カテゴリ別の正味損失 (YTD)
  - 事業部門 & カテゴリ別の正味損失 (QTD)
  - 事業部門 & カテゴリ別のイベントの数 (YTD)
  - 事業部門 & カテゴリ別のイベントの数 (QTD)
- オープン & クローズ済み状態別のリスクイベントレポート：

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

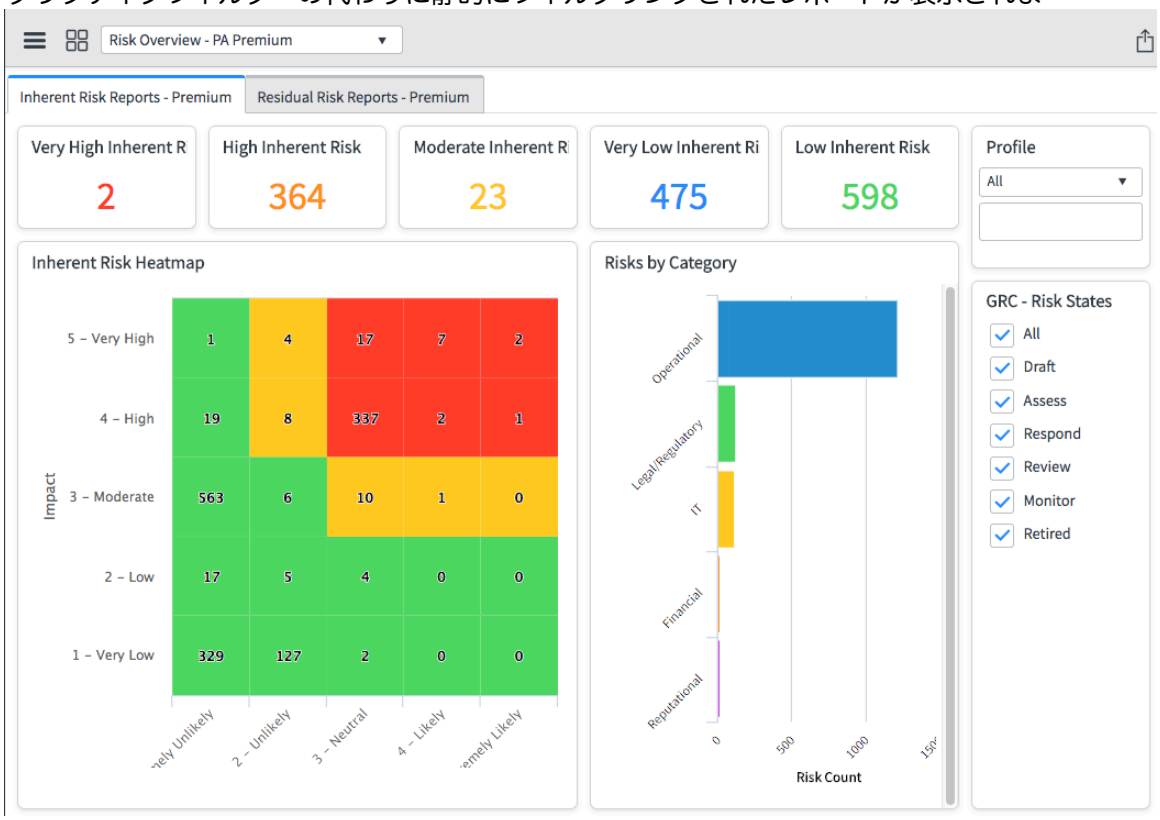
- Basel カテゴリ別のオープンリスクイベント
- Basel カテゴリ別のクローズ済みリスクイベント
- LOB (基幹業務) 別のオープンリスクイベント
- LOB (基幹業務) 別のクローズ済みリスクイベント

GRC リスク概要ダッシュボード

リスク概要ダッシュボード は、固有および残存のエンタープライズおよび IT リスクのステータスとワークフローに対するエグゼクティブビューを提供します。ユーザーは、フレームワーク、応答、および例外別にリスクをドリルダウンできます。

このダッシュボードには 2 つのバージョンがあります。プレミアムバージョンではインタラクティブフィルターが使用され、ライセンスされたバージョンの パフォーマンスアナリティクス が必要です。

リスク概要ダッシュボード には 2 つのビューがあり、1 つは固有リスクレポートで、もう 1 つは残存リスクレポートです。インタラクティブフィルターを使用する、ダッシュボードのプレミアムバージョンが表示されます。ダッシュボードのもう 1 つのバージョンには、インタラクティブフィルターの代わりに静的にフィルタリングされたレポートが表示されます。



エンドユーザー

エンドユーザーと目標	必要なロール
監査マネージャー：組織内の脆弱性の全体的なステータスと量に対する明確な可視性が必要です。	sn_risk.manager
監査管理者：懸案分野をすばやく特定する必要があります	sn_risk.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンドユーザーと目標	必要なロール
監査アナリスト：組織にとっての重要度に基づいて、どのリスク/タスクに焦点を当てるかを迅速に優先順位付けする必要があります。	sn_risk.user

データの可視化

リスク概要ダッシュボード には、以下の可視化が含まれています。

名前	タイプ	説明
高固有リスク (High Inherent Risk)	単一スコア	高固有リスクステータスのリスクの数
高残存リスク	単一スコア	高残存リスクステータスのリスクの数。
固有年次損失エクスポージャー	ボックス	固有年次損失予測 (ALE) の計算。
固有リスク	バブル	リスクの可能性と重大性からの固有リスクスコアの計算。
固有リスクヒートマップ	ヒートマップ	超高リスク、高リスク、中リスク、低リスク、および超低リスク別のリスクの合計数を提供する固有リスクヒートマップ。
低固有リスク (Low Inherent Risk)	単一スコア	低固有リスクの数 (カウント) を表示します。
低残存リスク (Low Residual Risk)	単一スコア	低残存リスクの数 (カウント) を表示します。
中固有リスク (Moderate Inherent Risk)	単一スコア	中固有リスクの数 (カウント) を表示します。
中残存リスク (Moderate Residual Risk)	単一スコア	中残存リスクの数 (カウント) を表示します。
残存年次損失エクスポージャー	ボックス	残存年次損失予測 (ALE) の計算。
残存リスク	バブル	リスクの可能性と重大性からの残存リスクスコアの計算。
残存リスクヒートマップ	ヒートマップ	超高リスク、高リスク、中リスク、低リスク、および超低リスク別の残存リスクの合計数。
エンティティ別のリスク (Risk by Entity)	棒グラフ	プロファイル別のアクティブなリスクの合計数。
リスク例外	リスト	すべてのリスクの例外のリスト。
フレームワーク別のリスク問題 (オープン日)	線グラフ	フレームワーク別の経時的なオープンリスクの合計数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	タイプ	説明
カテゴリ別のリスク (Risks by Category)	水平バー	カテゴリ別のオープンリスクの合計数。
対応ごとのリスク	水平バー	応答別のオープンリスクの合計数。
超高固有リスク (Very High Inherent Risk)	単一スコア	超高固有リスクの数 (カウント) を表示します。
超高残存リスク (Very High Residual Risk)	単一スコア	超高残存リスクの数 (カウント) を表示します。
超低固有リスク (Very Low Inherent Risk)	単一スコア	超低固有リスクの数 (カウント) を表示します。
超低残存リスク (Very Low Residual Risk)	単一スコア	非常に低い残存リスクの数を表示します。

詳細 ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションリスクダッシュボード

GRC アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要ダッシュボードは、企業で使用されているビジネスアプリケーションのリスクとコンプライアンスの側面の最新のビューを提供します。

アプリケーションリスクダッシュボードは、最高情報責任者 (CIO) とアプリケーションオーナーに役立ちます。これらの両方のユーザーは、ダッシュボードを表示するために、sn_compliance.reader、sn_risk.reader、および sn_audit.user ロールが必要です。移動先 詳細 **GRC** ダッシュボード > アプリケーションリスクダッシュボード.[アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要ダッシュボード] が表示されます。

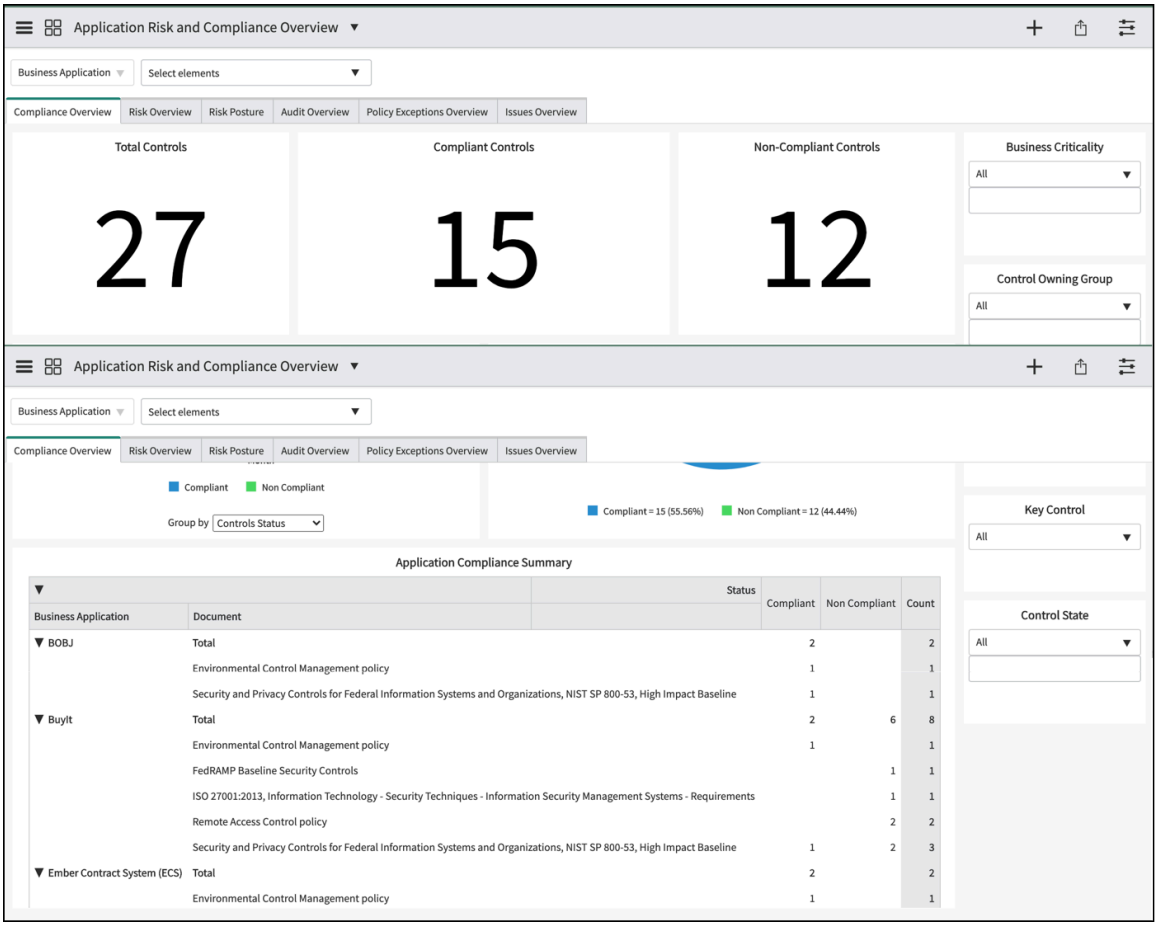
> **注:**
> このダッシュボードを表示できるようにするには、GRC: Advanced Dashboards (com.sn_grc_pa_advanced) プラグインと GRC: Policy and Compliance Management (sn_compliance) プラグインをアクティブ化する必要があります。

[アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要] ダッシュボードは、組織内のすべてのビジネスアプリケーションのリスクとコンプライアンス体制の詳細なレポートを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションリスクとコンプライアンスダッシュボード



このダッシュボードは、次の点をハイライト表示します。

- 使用中のアプリケーションのコンプライアンスへの影響。
- アプリケーションのリスク体制。
- 問題の修正および例外アクティビティのステータス。
- アプリケーションとステータスに関する監査アクティビティ。

このダッシュボードは、CIO とアプリケーションオーナーが関心を持つ、次の質問に対する回答を提供します。

1. 主要なアプリケーションは何であり、それらはすべて運用され、必要なサービスを最適に提供しているか？
2. アプリケーションが準拠する必要があるポリシーと各種法令・基準等は何か？アプリケーションはそれらに準拠しているか？
3. アプリケーションが直面するリスクは何か？それらのいずれかは懸念を提起する可能性が高いか？十分な軽減策が実施されているか？適切なコントロールがあり、効果的に機能しているか？
4. 修正が必要なアプリケーションについて、修正はサービスレベルアグリーメント (SLA) に従って適宜実施されているか？最大数の問題を生成するアプリケーションはどれか？
5. アプリケーションで例外が頻繁に求められているか？また、その理由は何か？管理可能な範囲内か？
6. アプリケーションの監査は随時可能か？アプリケーションはこれらの監査でどのような実績であったか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードは、棒グラフ、ドーナツグラフ、トレンドチャートなどのさまざまな表現を提供します。アプリケーションオーナーは、ダッシュボードでさまざまなフィルターを使用して、重要なビジネスアプリケーション、特定のビジネスアプリケーションに関連する必須コントロール、または優先度の高い問題など、所有するビジネスアプリケーションに関連するレポートを表示できます。

コンプライアンスの概要

Policy and Compliance プラグインをアクティブ化すると、[コンプライアンスの概要] タブが表示されます。[コンプライアンスの概要] タブには、ビジネスアプリケーションのコンプライアンス体制の概要が表示され、次のレポートが表示されます。

- コントロール合計：このレポートには、アクティブなコントロールの合計数が表示されます。
- 準拠コントロール：このレポートには、ドラフトまたは廃止ステータスではない準拠コントロールの合計数が表示されます。
- 非準拠コントロール：このレポートには、ドラフトまたは廃止ステータスではない非準拠コントロールの合計数が表示されます。
- 月別のコンプライアンスステータス：このレポートには、月別のアクティブなコントロールの数が表示されます。

  注:
  この棒グラフは、当月のコンプライアンスステータスを示し、コントロールステータスまたはビジネスアプリケーションのいずれかでグループ化できます。

- コンプライアンス %：このレポートは、準拠、非準拠、適用外などのアクティブなコントロールのさまざまなステータスの割合を示します。
- アプリケーションコンプライアンスのサマリー：このレポートには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているポリシー、各種法令・基準等、およびコントロールのサマリーが表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 事業上の重要度
- エンティティオーナー
- 強制または任意のコントロールなどの適用
- キーコントロール
- コントロールステータス
- コントロール所有グループ

リスク概要

Advanced Risk プラグインをアクティブ化すると、[リスク概要] タブが表示されます。[リスク概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているリスクの概要が表示され、次のレポートが表示されます。

- アプリケーション重要度別のリスクヒートマップ：このレポートには、アプリケーションの重要度とアプリケーションのリスク評価を比較したアプリケーションリスクのヒートマップが表示されます。
- リスク応答タスクの概要：このレポートには、リスクに対して作成された対応タスクと、それらのタスクのさまざまなステータスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> この棒グラフは、リスク応答、リスク応答ステータス、リスク計算済みスコア、リスク応答のアサイン先、またはビジネスアプリケーション別にグループ化およびスタックできます。

- アプリケーションリスクサマリー：このレポートには、アプリケーションの全体的なリスク評価に寄与する、アプリケーションに直接関連付けられたリスクのサマリーが表示されます。アプリケーションリスク評価に寄与する他のダウンストリームリスクは、このレポートには表示されません。このレポートで考慮されるリスクは、非常に高い、高、中です。
- アプリケーションリスク軽減コントロールのステータス：このレポートには、アプリケーションのリスクと関連付けられているコントロールに関する情報が表示されます。このレポートで考慮されるリスクは、非常に高い、高、中です。コントロールのステータスがドラフトまたは廃止である必要があります。1 年間のリスクのみが表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 重要度
- リスク評価
- アプリケーションオーナー
- 事業主

リスク体制

Risk プラグインをアクティブ化すると、[リスク体制] タブが表示されます。[リスク体制] タブは、ビジネスアプリケーションのリスクエクスポージャーに関する情報を提供します。このタブのレポートは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングすることもできます。[リスク体制] タブには以下が表示されます。

- 超高リスク：このレポートには、アプリケーションの超高リスクが表示されます。
- 高リスク：このレポートには、アプリケーションの高リスクが表示されます。
- 中リスク：このレポートには、アプリケーションの中リスクが表示されます。
- 受け入れタスクの有効期限：このレポートには、現在の日、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に有効期限があるリスク応答受け入れタスクが表示されます。
- 貢献リスクの傾向：このレポートには、ビジネスアプリケーションに直接関連付けられているリスクの傾向と、一定期間のリスクのパフォーマンスが表示されます。アプリケーションリスク評価に寄与する他のダウンストリームリスクは、このレポートには表示されません。

監査の概要

Audit プラグインをアクティブ化すると、[監査の概要] タブが表示されます。[監査の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連する監査と監査アクティビティの概要が示され、次のレポートが表示されます。

- オープン監査エンゲージメント：このレポートには、オープンステータスの監査エンゲージメントの数が表示されます。
- 無効なコントロール：このレポートには、監査エンゲージメントに対して無効なコントロールの数が表示されます。
- オープンな問題：このレポートには、監査エンゲージメントのオープンな問題の数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、アプリケーションの期限切れの監査の問題の数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 今後の監査エンゲージメント：このレポートには、今後の監査エンゲージメントの月次カウントが表示されます。
- 監査エンゲージメント別のオープンな問題：このレポートには、オープンな監査問題の月次カウントが表示されます。
- 監査エンゲージメント別の期限切れの問題：このレポートには、一定期間の期限切れの監査の問題が表示されます。
- 監査エンゲージメント別の無効なコントロール：このレポートには、監査エンゲージメントと関連付けられている無効なコントロールに関する情報が表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 監査エンゲージメント
- 重要度

ポリシー例外の概要

Policy and Compliance プラグインをアクティブ化すると、[ポリシー例外の概要] タブが表示されます。[ポリシー例外の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに対して要求されたポリシー例外に関する情報が表示されます。[ポリシー例外の概要] タブに表示されるデータは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングできます。このタブには次のレポートが表示されます。

- 新しい例外：このレポートは、要求された新しい例外に関する情報を提供します。
- 承認済み例外：このレポートは、承認済み例外の数に関する情報を提供します。
- 却下された例外：このレポートは、却下された例外の数に関する情報を提供します。
- 期限切れの例外：このレポートは、期限切れの例外の数に関する情報を提供します。
- 承認待ちの例外：このレポートは、現在の日付、現在の週、現在の月、および現在の四半期に期限が来る、承認待ちの例外に関する情報を提供します。
- 承認待ちの延長：このレポートは、現在の日付、現在の週、現在の月、および現在の四半期に期限が来る、承認待ちの延長に関する情報を提供します。
- 予定されている例外の有効期限：このレポートは、現在の日付、現在の日付の翌日、現在の週、現在の週の次の週、および現在の月に期限切れになる予定の例外に関する情報を提供します。
- 例外要求数と承認数：このレポートは、月ごとの要求された例外と承認された例外の数に関する情報を提供します。

問題の概要

リスク管理 プラグインまたは ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインをアクティブ化すると、[問題の概要] タブが表示されます。[問題の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているさまざまなコンプライアンスとリスクの問題に関する情報が表示されます。[問題の概要] タブに表示されるデータは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングできます。このタブには次のレポートが表示されます。

- オープンな問題：このレポートには、オープンステータスの問題の数が表示されます。
- 重要な優先度の問題：このレポートには、重要な優先度の問題の数が表示されます。
- 最優先の問題：このレポートには、最優先の問題の数が表示されます。
- 承認された問題：このレポートには、承認された問題の数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、期限切れの問題の数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 解決する問題：このレポートには、現在の日付、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に解決する必要がある問題の数が表示されます。
- 完了する修正タスク：このレポートには、現在の日付、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に完了する必要がある修正タスクの数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、一定期間の期限切れの問題の数が表示されます。
- 期限切れの修正タスク：このレポートには、一定期間の期限切れの修正タスクの数が表示されます。
- 問題作成の傾向：このレポートには、一定期間の問題の作成方法の傾向が表示されます。
- 問題クローズの傾向：このレポートには、一定期間の問題のクローズ方法の傾向が表示されます。
- 修正タスク作成の傾向：このレポートには、一定期間の修正タスクの作成方法の傾向が表示されます。
- 修正タスククローズの傾向：このレポートには、一定期間の修正タスクのクローズ方法の傾向が表示されます。

リスクイベントとリスク階層の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス (PA) ダッシュボードを使用して、リスクイベントとリスク階層の包括的なデータを表示します。任意の期間のデータを表示するには、 アナリティクスハブ を使用します。

デフォルトでは、sn_risk.manager ロールを持つユーザーは 6 か月間のデータを表示 できます。さまざまな期間のデータを表示するには、パフォーマンスアナリティクス Premium プラグインを購入してアクティブ化します。sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) *`Entity and risk statement historical data collection`*ジョブを実行して 1 年間の履歴データを照合できます。

注:
履歴データ収集 ジョブは 1 回のみ実行してください。この ジョブを複数回実行すると、一貫性のないデータ収集が発生し、前のデータが失われる可能性があります。

リスクイベントダッシュボード

リスクイベントダッシュボードには、次のデータが表示されます。

- 概要：このダッシュボードには、次の傾向が表示されます。
  - 総損失
  - 正味損失
  - イベント
  - アクティブイベント
  - ニアミス
  - タイプ別イベント
  - ステータス別イベント
  - 上位 10 件の正味損失エンティティ
  - 上位 10 件の財務以外の影響エンティティ
  - 上位 10 件の損失数が最も多いエンティティ
- エンティティ別のリスクイベント ダッシュボード：sn.risk_user ロールを持つエンティティオーナーは、月次の総損失、正味損失、およびイベント数の集計情報を表示できます。ダッシュボードには、イベントあたりの平均総損失、イベントあたりの平均正味損失、イベントあたりの平均追

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

加コストも表示されます。sn.risk_user ロール を持つエンティティオーナーは、特定のエンティティの次のリスクイベントの傾向も表示できます。sn.risk_admin ロールを持つ管理者は、このダッシュボードを編集できます。

- 総損失
- 正味損失
- イベント
- アクティブイベント
- ニアミス
- リスクイベント
- 財務以外の影響別のリスクイベント
- 年次損失予測と正味損失
- リスクイベント測定基準

- リスククラス別の概要ダッシュボード：sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、レベル 1 のリスクイベントの傾向を表示できます。 ユーザーは、集計された総損失、正味損失、作成されたイベントの数、アクティブなイベントの数、およびニアミスイベントの合計数を把握することができます。また、このダッシュボードには、次の傾向が表示されます。
  - 総損失
  - 正味損失
  - イベント
  - アクティブイベント
  - ニアミス
  - 上位 10 件の正味損失リスクイベント
  - 年次損失予測と正味損失

自動翻訳

リスクステートメント別のエクスポージャーダッシュボード

リスクステートメント別のエクスポージャーダッシュボードを表示するには、次に移動します。 リスク > リスクステートメント別のエクスポージャー. このダッシュボードは、sn_risk.manager ロールを持つユーザーに役立ちます。このダッシュボードは、ダッシュボードにリスクステートメント別のリスクも表示される点を除いて、エンティティ別のエクスポージャーダッシュボードに似ています。このダッシュボードは、許容範囲ステータスと計算されたスコア、および年次損失予測傾向に基づいてエンティティの分布を提供します。許容範囲ステータス別のリスク評価のヒートマップが含まれています。リスクステートメント別のエクスポージャーダッシュボードには、次の傾向が表示されます。

- 許容範囲ステータスあたりのリスクステートメント
- 評価あたりのリスクステートメント
- 年間損失予測
- 許容範囲ステータス別のリスク評価

エンティティ別のエクスポージャーダッシュボード

リスクステートメント別のエクスポージャーダッシュボードを表示するには、次に移動します。 リスク > エンティティ別のエクスポージャー. このダッシュボードは、特定のエンティティクラスを担当するエンティティオーナーに役立ちます。ダッシュボードには、[許容できない]、[要注意]、および [許容] のステータスを表示することで、エンティティの健全性も表示されます。このダッシュボードを使用して、年次損失予測 (ALE) に基づいて四半期間の傾向を比較します。このダッシュボード

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、許容範囲ステータス別のリスク評価をヒートマップ形式で表示します。ヒートマップは、注意が必要なエンティティを識別するのに役立ちます。年次損失予測の傾向と、許容範囲ステータス別のリスク評価のヒートマップも表示されます。リスクステートメント別のエクスポージャーダッシュボードには、次の傾向が表示されます。

- 許容範囲ステータスあたりのエンティティ
- 評価あたりのエンティティ
- エンティティ年次損失予測
- 許容範囲ステータス別のリスク評価

Advanced Risk アセスメントダッシュボード

リスクアセスメントのインスタンスに基づくリスクアセスメント方法のパフォーマンスの概要については、Advanced Risk アセスメントの概要ダッシュボードを使用します。

Advanced Risk アセスメント概要

移動先 **Advanced Risk** アセスメント > 概要. Advanced Risk アセスメントの概要ダッシュボードには、以下が表示されます。

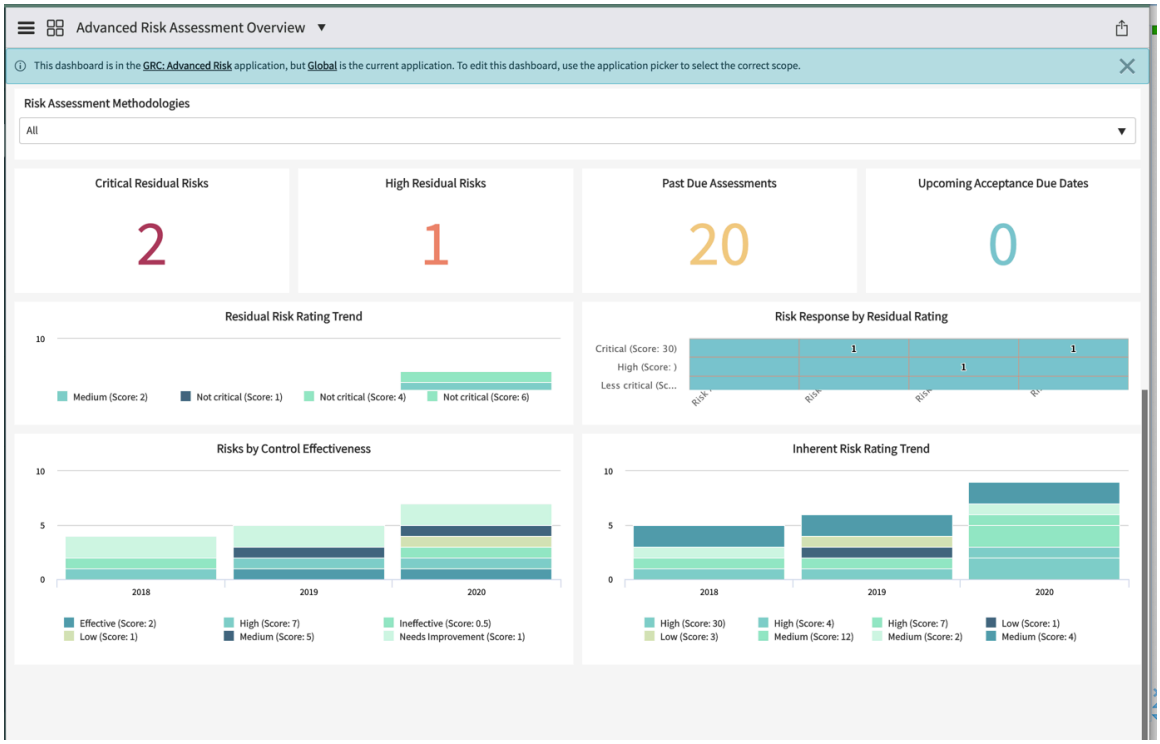
- 重大な残存リスク (Critical Residual Risks)：
- 高残存リスク
- 期限切れのアセスメント (Past Due Assessments)
- 予定されている受け入れ期日 (Upcoming Acceptance Due Dates)
- 残存リスク評価の傾向
- 残存評価別のリスク応答 (Risk Response by Residual Rating)
- コントロール有効性別のリスク (Risks by Control Effectiveness)
- 固有リスク評価の傾向 (Inherent Risk Rating Trend)
- 予定されている受け入れ期日 (Upcoming Acceptance Due Dates)：この数値は、受け入れ期日が次の 30 日以内にあるタスクの数を示します。

このダッシュボードは、sn_risk.manager ロールを持つユーザーにのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Advanced Risk ダッシュボード

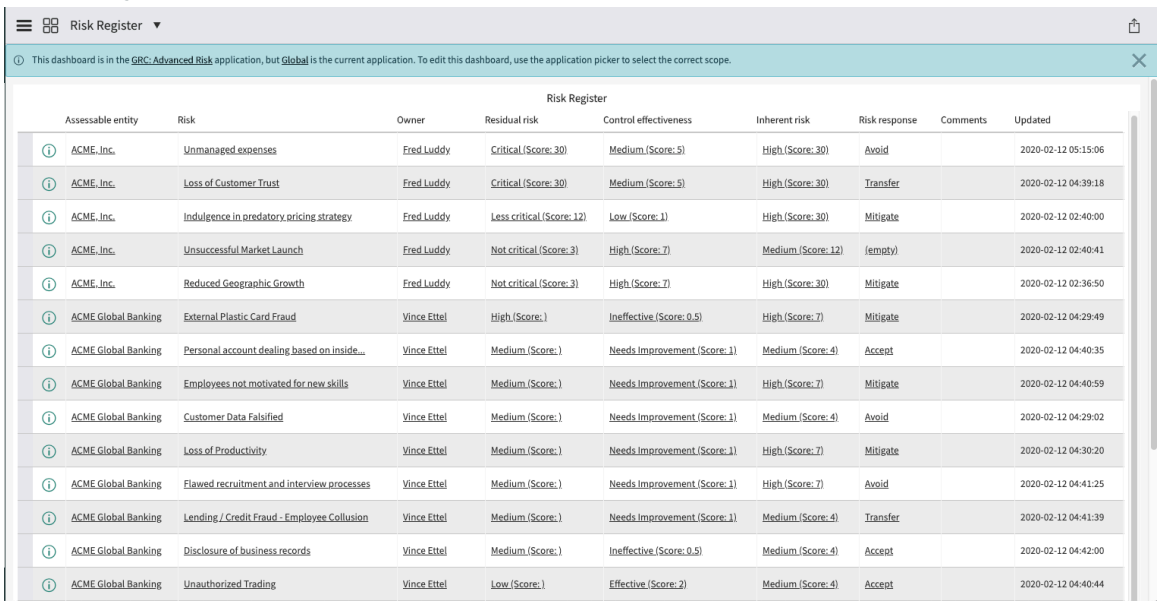


Advanced Risk アセスメントリスク登録

リスク登録ダッシュボードは、残存リスク別にソートされたリストビューのリスクアセスメントインスタンスを表示します。

このダッシュボードは、sn_risk.user ロールを持つユーザーに表示されます。

リスク登録ダッシュボード



リスク管理 の参照

参照トピックには、リスク管理 アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティなどの追加の情報が記載されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク管理 とともにインストールされるコンポーネント

リスク管理 プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

リスク管理 と一緒にインストールされるロール

ロールは、GRC: リスク管理 のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされているロール

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
リスクリーダー [sn_risk.reader]	継承された権限に加えて、リスクリーダーにはリスクアプリケーションとモジュールへの読み取り専用アクセス権があります。リスクリーダーは、GRC スコープで次のことを実行できます。 • 自分に割り当てられた問題に対処します。 • すべてのインジケーターテンプレートへの読み取りアクセス権があります。 • 自分にアサインされたインジケータータスクを処理できます。 • インジケーターへの読み取りアクセス権があります。 • エンティティへの読み取りアクセス権があります。 リスクリーダーは、Risk Management アプリケーションで次の操作を実行できます。 • 自分にアサインされた修正タスクに対処します。 • リスクに対する読み取りアクセス権があり、リスクのオーナーになることができます。 • 古いリスクアセスメントを取得します。 • リスクステートメントおよびリスクフレームワークに対す	• sn_grc.reader • survey_reader • sn_rvw_feedback.reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	る読み取りアクセス権があります。 • Advanced Risk アセスメントを実行します。 • リスクイベントを作成します。 • リスクイベントのタスクと問題を処理します。 • すべてのリスクイベントとリスクダッシュボードにアクセスします。 • フィードバックへの読み取りアクセス権があります。	
リスクユーザー [sn_risk.user]	sn_grc スコープのリーダーとビジネスユーザーロール、および sn_grc スコープの リスク管理 アプリケーションのリーダーロールとビジネスユーザーロールが含まれています。継承された権限に加えて、リスクユーザーは以下を表示できます。 • エンティティタイプ • エンティティ • リスク • 修正タスク • コントロール • コントロール目標 • ポリシー例外 リスクユーザーはリスクを作成することもできます。リスクユーザーにはリスクをアサインすることができ、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションとモジュールへの読み取り専用アクセス権があります。リスクユーザーは、リスクリーダーが実行できるすべてのことを実行できます。リスクリーダーは、Risk Management アプリケーションで次の操作を実行できます。	• sn_grc.user • sn_compliance.reader • sn_risk.reader • survey_reader • sn_grc.business_user • sn_risk_advanced.ara_creator

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	• リスク受容タスクと修正タスクを処理します。 • リスクを作成します。 • Advanced Risk 関連のダッシュボードにアクセスします。 • Advanced Risk のリスク識別機能への読み取りアクセス権があり、リスク識別に関連するアセスメントを実行できます。 • アセスメントスコープを作成します。	
リスクマネージャー [sn_risk.manager]	sn_grc スコープのリーダー、ユーザー、マネージャーロール、および リスク管理 アプリケーションのリーダーおよびユーザーロールを含みます。継承された権限に加えて、リスクマネージャーは GRC スコープで次のことができます • 問題と問題評価を作成します。 • エンティティ、エンティティタイプ、エンティティクラス、およびクラスルールを作成します。 • コンテンツ参照を作成します。 • インジケータとインジケーターテンプレートを作成します。 • エンティティ層に対する読み取りアクセス権があります。 Risk Management アプリケーションでは、リスクマネージャーは次のことができます。 • リスクフレームワークを作成します。 • リスクステートメントを作成します。 • リスクを作成します。	• sn_grc.manager • sn_risk.user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	• リスクイベント応答テンプレートを作成します。 • リスク識別を作成し、リスク識別に関連するダッシュボードを表示できます。 • 修正タスクを作成します。 • アセスメントスケジューラーを作成します。 • [リスクステートメントの関連付け (Associate risk statements)] モジュールを使用して、リスクステートメントを情報オブジェクトに関連付けます。	
リスク管理者 [sn_risk.admin]	リーダー、ユーザー、マネージャー、管理者ロールが sn_grc スコープに含まれ、リーダー、ユーザー、マネージャーロールが リスク管理 アプリケーションに含まれます。継承された権限に加えて、リスク管理者は GRC スコープでエンティティ層を作成できます。Risk Management アプリケーションでは、リスク管理者は次のことができます。 • リスクフレームワークを削除する。 • エンティティ、テーブル、インジケーター、リスク、問題、タスクを削除します。 • リスクステートメントおよびリスクを作成します。 • 管理者プロパティを変更します。 • リスク基準を変更します。 • リスクイベントの原因と結果を作成します。 • リスク、高度なリスク関連プロパティにアクセスします。 • リスク識別構成を作成します。 • リスクアセスメント方法論、すべてのタイプの要素を作成します。	• sn_grc.admin • sn_risk.user • sn_risk.manager • sn_grc_appr.admin • sn_rvw_feedback.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	• 管理アクティビティを実行します。 • 任意のレコードタイプのフィードバック統合セットアップを構成します。	
アセスメント作成者 [sn_risk.asmt_creator]	アセスメント作成者は、GRC リスクアセスメント測定基準タイプを作成するために使用されます。	assessment_admin
GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user]	このロールを持つユーザーは、次のタスクを実行できます。 • リスクアセスメントを行います。 • リスク応答タスクを作成します。 • リスクステートメントを表示します。 • リスクアセスメントスコープを表示します。 • リスクイベントを表示および報告します。 • アサインされたリスクイベントタスクを実行します。 • インジケーターサポートデータを表示します。 • インジケータータスクに応答します。 • リスク識別アンケートに応答します。 • 測定基準データタスクに応答します。 • 問題を報告します。 • 問題のトリアージ要求を送信します。 • アサイン済み修正タスクを実行します。 • アサインされた問題を実行します。 • プロジェクトポートフォリオ管理 との統合がある場合は、以下を行うことができます。	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	○ プロジェクトリスク概要ダッシュボードを表示します。 ○ ライブラリからリスクを作成します。 ○ エンタープライズリスクを昇格します。 ○ オブジェクトアセスメントを開始します。	

GRC リスクワークスペース と一緒にインストールされるロール

GRC: リスクワークスペース アプリケーションは、ユーザーがそれぞれのタスクを実行するために、オペレーショナルリスクマネージャーと IT リスクマネージャーのロールをインストールします。

ロールと説明

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
オペレーショナルリスクマネージャー (sn_risk_workspace.operational_risk_manager)	オペレーショナルリスクマネージャーは、組織のリスク体制を管理するオペレーショナルリスクチームの一員です。次のタスクを実行できます。 • リスクアセスメントを実行します。 • リスクイベント関連データを表示します。 • リスクアセスメントのヒートマップを表示します。 • レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを作成する **注:** オペレーショナルリスクマネージャーロールは、リスクワークスペース と 高度なリスク の両方のアプリケーションがインストールされている場合にのみ使用できます。	• sn_risk.manager • sn_compliance.manager • sn_audit.manager • sn_rvw_feedback.レビュアー
IT リスクマネージャー (sn_risk_workspace.IT_risk_manager)	IT リスクマネージャーは、さまざまなステークホルダーと協力して、IT リスクが組織のリスク選好度の範囲内で管理されるよ	• sn_risk.manager • sn_compliance.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールと説明 (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	うにします。次のタスクを実行できます。 • 評価するリスクを識別します。 • リスク応答を管理します。 • 主なリスクインジケーターを作成します。 • レコードまたはレコード内のフィールドに関するフィードバックを作成する	• sn_audit.manager • sn_rvw_feedback.レビュアー
ビジネスオペレーショナルリスクマネージャー (sn_risk_workspace.business_operational_risk_manager) マネージャー	ビジネスオペレーショナルリスクマネージャーは、個々のLOB (基幹業務) の防御の第一線を担います。特定の事業部門のリスク体制を管理する責任があります。	• sn_risk.user • sn_compliance.user • sn_audit.user • sn_rvw_feedback.回答者

リスク管理でインストールされるプロパティ

プロパティは、GRC: リスク管理 のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされるプロパティ

名前	説明
リスクがアクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトのアクティブステータス) sn_risk.active_states	• タイプ：文字列 • デフォルト値： draft、assess、review、monitor • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
リスクが非アクティブであるステータス (最初のステータスはデフォルトの非アクティブステータス) sn_risk.closed_states	• タイプ：文字列 • デフォルト値：retired • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
リスクアセスメントに使用されるアセスメント評価指標タイプの名前 sn_risk.default_assessment	• タイプ：文字列 • デフォルト値：Risk Assessment • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
定性的な影響度を示すスコアを入力として使用します sn_risk.qualitative_impact	• タイプ：true または false • デフォルト値：false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるプロパティ (続く)

名前	説明
	注: Geneva (以前) または Helsinki (以降) からアップグレードし、値が以前に true に設定されていた場合、この値はアップグレード後に true に設定されます。 • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
定性的な可能性を示すスコアを入力として使用します sn_risk.qualitative_likelihood	• タイプ：true または false • デフォルト値：false • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
リスクでリスクステートメントを必須にする sn_risk.risk_statement_mandatory	• タイプ：true または false • デフォルト値：**false**。 注: false の場合、関連付けられたリスクステートメントなしでリスクの作成を許可します。true の場合、リスクステートメントはリスクの作成に必須です
次に基づいてリスク許容範囲を比較 sn_risk_advanced.risk_tolerance	• タイプ：選択リスト • デフォルト値：Sum • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ 注: このプロパティは、高度なリスク プラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。
計算されたリスクスコアを次と比較 sn_risk_advanced.risk_rating_config	• タイプ：選択リスト • デフォルト値：計算済み平均 ALE • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ 注: このプロパティは、高度なリスク プラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるプロパティ (続く)

名前	説明
アップストリームおよびダウンストリームのリスクを非表示 sn_risk.hide_upstream_downstream_risks	• タイプ：true または false • デフォルト値： true。 • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ 注: このプロパティは、高度なリスク プラグインをアクティブ化した場合にのみ使用できます。
インジケーターによって作成された問題を自動クローズ sn_grc.auto_indicator_issue_closure	• タイプ：yes または no • デフォルト値：いいえ。 • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ
リスクフォームの [適用先] フィールドで利用可能なテーブルのリスト。 sn_risk.risk_applies_to_tables	• タイプ：文字列 • デフォルト値：Risk Assessment • 居住地： リスク > 管理 > プロパティ

リスク管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: リスク管理 のアクティブ化とともに追加されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
リスク [sn_risk_risk]	アイテムテーブル [sn_grc_item] を拡張し、エンティティに関連付けられた特定のリスクを格納します。
リスクステートメント [sn_risk_definition]	コンテンツテーブル [sn_grc_content] を拡張し、リスクの定義を格納します。
リスクフレームワーク [sn_risk_framework]	ドキュメントテーブル [sn_grc_document] を拡張し、すべてのリスクフレームワーク (リスクステートメントのコレクション) を格納します
リスクフレームワークからエンティティタイプ [sn_risk_m2m_framework_profile_type]	ドキュメントをエンティティタイプテーブル [sn_grc_m2m_document_profile_type] に拡張します。これは、リスクフレームワークとエンティティタイプ間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブルです。
リスクステートメントに対するエンティティタイプ [sn_risk_m2m_risk_definition_profile_type]	コンテンツからエンティティタイプテーブル [sn_grc_m2m_content_profile_type] を拡張します。これは、エンティティタイプとリスクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
	テートメント間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブルです。
リスクタスク [sn_risk_m2m_risk_task]	リスクとタスク間の多対多の関係を保存します。
リスク移転 [sn_risk_transfer_task]	リスクを分析する場合、それに対応する方法は 4 つあります。このテーブルは、リスクマネージャーがリスクを転送する方法を提供します。
色の設定 [sn_risk_color_setting]	このテーブルは、影響度/可能性をパレットの色と関連付けるために使用されます。
リスク回避 [sn_risk_avoidance_task]	リスクを分析する場合、それに対応する方法は 4 つあります。このテーブルは、リスクマネージャーがリスクを回避する方法を提供します。たとえば、カリフォルニアで建物を所有すると、地震のリスクにさらされます。カリフォルニアに建物を持たないことを選択することで、このリスクを回避できます。
リスク受容 [sn_risk_acceptance_task]	リスクを分析する場合、それに対応する方法は 4 つあります。このテーブルは、リスクマネージャーがリスクを承認 (受容) または却下できるようにする承認プロセスを提供します。
リスク軽減 [sn_risk_mitigation_task]	リスクを分析する場合、それに対応する方法は 4 つあります。このテーブルは、リスクマネージャーがリスクを軽減する方法を提供します。
リスクからコントロール sn_risk_m2m_risk_control	リスクとコントロールの関係が含まれています。
コントロール目標に対するリスクステートメント sn_risk_m2m_risk_definition_policy_statement	コントロール目標に対するリスクステートメントの関係が含まれています。これにエントリを追加すると、コントロールに対する関連リスクの関係が一致するエンティティによりリスクからコントロールテーブルに作成されます。
コントロールに対するリスク軽減 sn_risk_m2m_risk_mitigation_control	リスクを軽減するためにタスクのフローの一部としてリスク軽減タスクに追加されたコントロールがこのテーブルに追加されます。
リスク関係性 sn_risk_m2m_risk_risk	2 つのリスク間のアップストリーム-ダウンストリーム/親-子関係が含まれます。
リスク応答タスク sn_risk_response_task	ベーステーブルからリスク受け入れ、リスク回避、リスク軽減、リスク移転タスク。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
依存プラグインによってインストールされる追加のテーブルはすべて GRC: リスク管理 にも必要です。

高度なリスク とともにインストールされるコンポーネント

GRC: 高度なリスク (sn_risk_advanced) プラグインをアクティブ化すると、複数のテーブル、ユーザーロール、およびその他のコンポーネントが追加または変更されます。高度なリスク プラグインを使用すると、高度なリスクアセスメントを実行し、リスクイベントを管理できます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

注:
この機能ではデモデータを利用できます。

高度なリスク とともにインストールされるテーブル

テーブルは、GRC: 高度なリスク のアクティブ化とともに追加されます。

テーブル	説明
リスクイベントタスク [sn_risk_advanced_mitigation]	報告されたリスクイベントに関連付けられた軽減タスクを追跡します。
集計されたリスクレポート [sn_risk_advanced_risk_report_definition]	顧客がエンティティを選択し、これらのエンティティにいくつかのリスクステートメントを関連付けて、集計されたリスクスコアをレポートできる、この定義を作成します。
リスクレポート [sn_risk_advanced_risk_report]	集計されたリスクレポートの定義に基づいて、エンティティとリスクステートメントの各組み合わせのレコードが作成されます。許容範囲ステータスと計算されたスコアも表示されます。
イベントエントリ [sn_risk_advanced_event_impact]	分析ステータス中にリスクマネージャーによって追加されるリスクイベントの影響度エントリ。
リスクに対するリスクイベント [sn_risk_advanced_m2m_event_risk]	各リスクイベントは、該当するリスクに関連付けることができます。このテーブルにより、リスクに対するリスクイベントの関係を追跡できます。
リスクイベント [sn_risk_advanced_event]	さまざまなユーザーによって報告された損失または利益イベントを追跡します。
関連リスクイベント [sn_risk_advanced_m2m_event_event]	リスクイベントは、他の複数のリスクイベントにリンクできます。このテーブルには、これらの関連付けが含まれています。
エンティティに対するリスクイベント [sn_risk_advanced_m2m_event_profile]	リスクマネージャーは、リスクイベントによって影響を受ける複数のエンティティを関連付けることができます。このテーブルは、リスクイベントにリンクされた影響を受けるエンティティを追跡します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
コントロールするリスクイベント [sn_risk_advanced_m2m_event_control]	リスクマネージャーは、リスクイベントにリンクされているエンティティに関連する複数のコントロールを関連付けることができます。このテーブルは、リスクイベントにリンクされた影響を受けるエンティティを追跡します。
引用に対するリスクイベント [sn_risk_advanced_m2m_event_citation]	リスクマネージャーは、リスクイベントを規制上の義務と引用に関連付けることができます。この関連付けにより、違反のレポートと規制への準拠が容易になります。

注:
依存プラグインによってインストールされる追加のテーブルはすべて GRC: 高度なリスク にも必要です。

高度なリスクアセスメントを実行するためのロール

高度なリスクアセスメントを他のアプリケーションと統合する場合は、ユーザーがアセスメントを実行して承認するために必要なロールを持っていることを確認する必要があります。

バージョン 14.1.2 以降、他のアプリケーションのユーザーが高度なリスクアセスメント機能を正常に使用できるように、いくつかの新しいロールが導入されています。これらの独立したロールは、リスク管理者、GRC ビジネスユーザーなど Integrated Risk Management の特定のロールを必要とせずに高度なリスクアセスメントを実行するために必要な機能をユーザーに提供するために作成されました。

注:
高度なリスクアセスメントロールを sn_grc.business_user ロールに手動でアサインする必要があります。ロールとグループの付与を調整する方法については、Now Support ナレッジベースの「How to adjust granting of roles and groups to use background jobs (バックグラウンドジョブを使用するためのロールとグループの付与を調整する方法) [KB0963693]」を参照してください。GRC ビジネスユーザーロールの詳細については、Now Support ナレッジベースの Now Support ナレッジベース記事「GRC ビジネスユーザー [KB0864247]」を参照してください。記事を表示するには Now Support にログインする必要があります。

インストールされるロール

ロールタイトル [名前]	含まれる場所	説明	含んでいるロール
sn_risk_advanced.ara_admin	sn_risk.admin	このロールを持つユーザーは、次のことができます。 • リスクアセスメント方法論を作成します。 • 要素を作成して管理します。	• sn_risk_advanced.ara_creator • sn_risk_advanced.ara_assessor • sn_risk_advanced.ara_approver • sn_risk_advanced.ara_reader
sn_risk_advanced.ara_creator	sn_risk.user	このロールを持つユーザーは、オブジェクトアセスメントを作成できます。	sn_risk_advanced.ara_reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるロール (続く)

ロールタイトル [名前]	含まれる場所	説明	含んでいるロール
sn_risk_advanced.ara_assessor	sn_grc.business.user	このロールを持つユーザーは、次のことができます。 • アセスメントを取得します。 • アセスメントの実施、アセスメントへの対応または再アサインなどのアセスメント関連アクションを実行します。	sn_risk_advanced.ara_reader
sn_risk_advanced.ara_approver	sn_grc.business.user	このロールを持つユーザーは、アセスメントの承認などのアセスメント関連のアクションを実行できます。	sn_risk_advanced.ara_reader
sn_risk_advanced.ara_reader	sn_risk.reader	このロールを持つユーザーは、リスクアセスメントインスタンスのすべての情報を読み取ることができます。このロールを持つユーザーには、高度なリスクアセスメント内のすべてのテーブルに対する読み取りアクセス権があります。レポートに対するアクセスのみが必要なユーザーがいる場合は、このロールを使用できます。	
sn_risk_advanced.qualitative_risk_appetite_reader	sn_risk.user sn_risk.reader	ユーザーは、定性的リスク選好度フィールドを表示できます。	
sn_risk_advanced.quantitative_risk_appetite_reader	sn_risk.user	ユーザーは、定量的リスク選好度フィールドを表示できます。	

高度なリスクでインストールされるプロパティ

プロパティは、GRC: 高度なリスク のアクティブ化とともに追加されます。リスクイベントや高度なリスクアセスメントなどのさまざまな機能に使用できるプロパティもあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

高度なリスク のプロパティ

高度なリスク のすべてのプロパティが [システムのプロパティ] ページに一覧表示されます。[システムのプロパティ] ページにアクセスするには、フィルターナビゲーターで「*sys_properties.list*」と入力します。

Advanced risk プラグインのプロパティ

プロパティ	説明
リスク階層の最大レベル数 sn_risk_advanced.risk_hierarchy_max_levels	リスク階層の最大レベル数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5
リスク評価を設定 sn_risk_advanced.risk_rating_config	計算されたリスクスコアを、計算された最大 ALE、計算された最小 ALE、計算された平均 ALE のいずれかと比較します。 • タイプ：選択リスト • デフォルト値：avg **注:** このプロパティは、クラシック版リスクスコアリングで機能します。
リスク許容範囲を比較 sn_risk_advanced.risk_tolerance	[平均]、[最大]、[最小]、[合計] のいずれかの選択肢に基づいてリスク許容度を比較します。 • タイプ：選択リスト • デフォルト値：sum
GRC エンタープライズリスクライセンス機能を有効にする sn_risk_advanced.enable_irm_advanced_risk_enterprise	このプロパティは、 GRC エンタープライズリスクライセンス機能を有効にします。 • タイプ：true または false • デフォルト値：false

リスクイベントのプロパティ

リスクイベントプロパティにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > リスクイベント > 管理 > プロパティ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクイベントプロパティ

プロパティ	説明
Basel の属性とレポートを表示 sn_risk_advanced.show_basel_attr_reports	リスクイベントの Basel 分類を有効にする場合は、このプロパティを true に設定します。このプロパティは、バンキングドメインの顧客に役立ちます。 • タイプ：true または false • デフォルト値：false
リスクイベントとリスクの関係を必須にする sn_risk_advanced.make_riskevent_to_risk_relation_mandatory	各リスクイベントに対応するリスクがあることを確認する場合は、このプロパティを true に設定します。 • タイプ：true または false • デフォルト値：false
迅速な復旧分類の日数 sn_risk_advanced.no_of_days_for_rapid_recovery_classification	ユーザーが迅速な復旧のしきい値として設定できる日数をカスタマイズします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5
ORX 外部イベントを表示 sn_risk_advanced.show_orx_events	ユーザーは、ORX 外部イベントを表示することを選択できます。ORX は、世界中の高品質のオペレーショナルリスク損失データを安全に交換するためのプラットフォームを提供します。このプロパティは、バンキングドメインの顧客に役立ちます。 顧客は、ORX 組織で共有されている ORX 情報をインポートします。この情報は、リスクステートメントまたはコントロール目標に関連付けることができます。この情報はユーザーが変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクイベントプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：true または false • デフォルト値：false
レポートに表示するリスクイベントデータの年数。sn_risk_advanced.number_of_years_report_data	レポートに表示するリスクイベントデータの年数を選択します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 **注:** このプロパティは [システムのプロパティ] ページに表示されます。

高度なリスクアセスメントのプロパティ

高度なリスクアセスメントのプロパティにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > **Advanced Risk** アセスメント > 管理 > プロパティ.

高度なリスクアセスメントのプロパティ

プロパティ	説明
Advanced Risk アセスメントに移行 sn_risk_advanced.hide_risk_legacy_lifecycle	Advanced Risk アセスメントに移行します。 • タイプ：yes または no • デフォルト値：no
Advanced Risk PPM 統合を有効化 sn_risk_advanced.enable_advanced_risk_ppm_integration	プロジェクトリスクアセスメントを実行します。it_pps_admin または sn_ risk.admin ロールを持つユーザーのみが、このプロパティを有効にできます。 • タイプ：yes または no • デフォルト値：no 詳細については、「プロジェクトポートフォリオ管理 および 高度なリスク 統合を設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスクアセスメントのプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	注: このプロパティは、プロジェクトポートフォリオ管理 がインストールされている場合にのみ使用できます。

ビジネスプロセスロール

ビジネスプロセスユーザーとマネージャーは、さまざまなロールを使用できます。

次の表に、ビジネスプロセスの管理に使用する必要があるロールを示します。

ビジネスプロセスの管理に使用されるロール

ロールタイトル	説明
ビジネスプロセス管理者 business_process_admin	このロールは、ビジネスプロセス内のすべてのレコードへのアクセス権とその関係を作成、読み取り、更新、および削除 (CRUD) できます。このロールは、管理者であり、ビジネスプロセスに関する十分な情報を持ち、トレーニングを受けたユーザーに割り当てられます。の GRCコンテキストでは、GRC アプリケーションとそのセットアップを管理する sn_grc.admin ロールを持つユーザーは、自動的にこのロールにアクセスできるようになります。このアクセス権により、 GRC 管理者は他の GRC テーブルと同様にビジネスプロセスとそのレコードを管理できます。
ビジネスプロセスマネージャー business_process_manager	このロールは通常、専門家であり、組織内の複数のビジネスプロセスを管理するビジネスプロセスマネージャーに割り当てられます。ビジネスプロセスを作成、読み取り、更新し、ビジネスプロセスと他のレコードとの関係を管理できます。このようなユーザーは通常、ビジネスプロセスで他の従業員とともに作業する、ビジネスプロセスのエキスパートです。GRC のコンテキストでは、sn_grc.manager ロールを持つユーザーは、組織全体のビジネスプロセスを管理できるようになるこのロールを自動的に継承します。
ビジネスプロセスユーザー business_process_user	このロールは、所有するビジネスプロセスを管理するそれぞれのプロセスオーナーに割り当てる必要があります。このロールでは、所有するビジネスプロセスを更新できます。また、任意のビジネスプロセスを読み取ることもできます。このロールは、組織内のビジネスプロセスを表示してよりよく理解する必要があるユーザーにも提供できます。GRC のコンテキストでは、sn_risk.user ロールを持つユーザーは、所有するビジネスプロセスを管理してすべての

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスプロセスの管理に使用されるロール (続く)

ロールタイトル	説明
	ビジネスプロセスを読み取ることができるこのロールが自動的に割り当てられます。

サードパーティリスク管理

ServiceNow® GRC: サードパーティリスク管理 (TPRM) アプリケーションを使用すると、サードパーティ関係に関連するリスクを積極的に特定、評価、および軽減できます。 は、サードパーティのポートフォリオを管理し、リスクを評価して採点し、修復を実行するための一元化されたプロセスを提供します。 TPRM

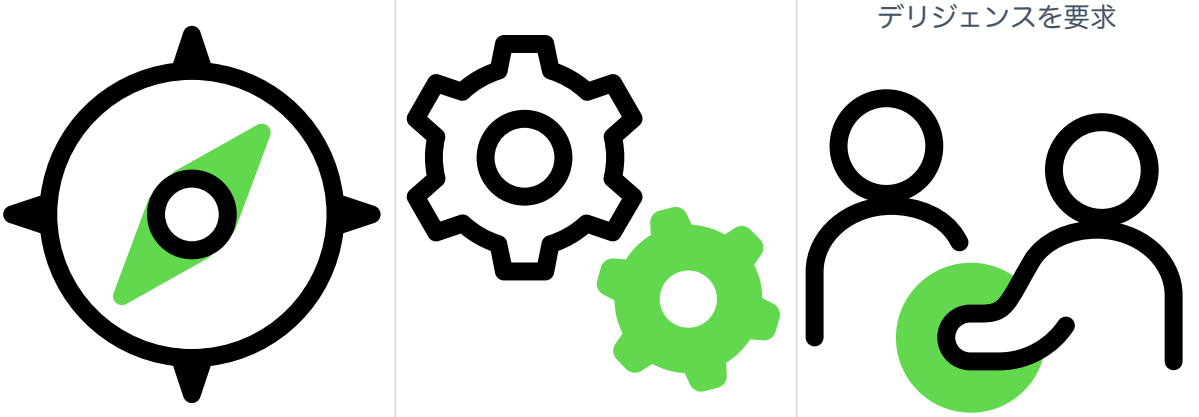
概要

サードパーティリスク管理 の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

を説明する サードパーティリスク管理ビデオ。

開始するには

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースメモ情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。



サードパーティリスクマネージャー、サードパーティリスクユーザー、およびサードパーティリスク管理者によるアプリケーションの使用 サードパーティリスク管理 方法について説明します。

からServiceNow Storeアプリケーションをダウンロードし、ニーズに合わせて設定を構成することで、アクティブ化またはアップグレードTPRMできます。

サードパーティリスクデューデリジェンスを要求して、サードパーティとのやり取りとそのエンゲージメントのリスクレベルを判断します。

自動翻訳

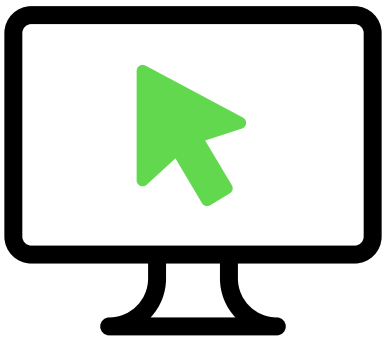
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティリスクを評価



サードパーティとの関係に関連付けられている潜在的なリスクを特定および評価するために使用します サードパーティリスク管理 。内部アンケート、外部アンケート、およびドキュメント要求から収集された情報は、サードパーティのリスクプロファイルを理解し、適切なリスク軽減戦略を決定し、サードパーティまたはエンゲージメントが必要なすべてのコンプライアンス要件を満たしているかどうかを判断するのに役立ちます。

サードパーティリスクの監視



サードパーティとの関係に関連する潜在的なリスクを監視するために使用します サードパーティリスク管理 。継続的な監視プロセスは、サードパーティのパフォーマンスと合意された条件の遵守を定期的に評価するのに役立ちます。

デューデリジェンスの要求を承認または却下します



アンケートの サードパーティリスク管理 回答とデューデリジェンスプロセスの結果を確認した後、アプリケーションを使用してデューデリジェンスの新規要求を承認または却下します。

契約リスクプロセスを管理する



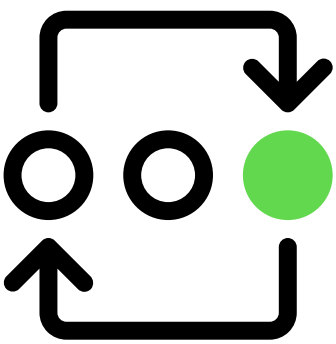
アプリケーションを使用して サードパーティリスク管理 特定されたリスクに対処できるように、特定の契約条項を組み込むことに

クラシックユーザーインターフェイスでの VRM 作業



従来のユーザーインターフェイスを使用して、す

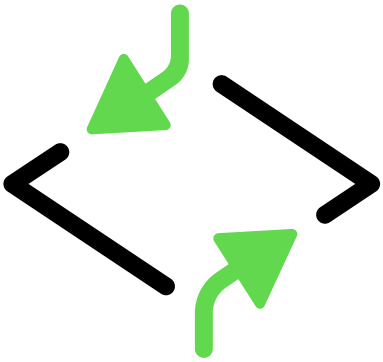
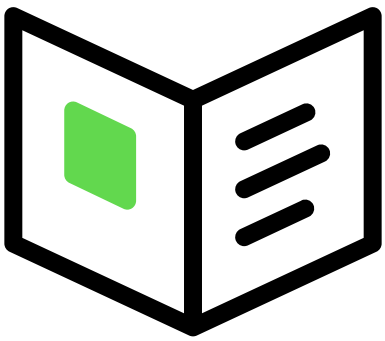
リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合



リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアを統合します。組織は、個人のクレジットスコアに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

より、サードパーティリスク契約の交渉担当者 (多くの場合は企業顧問) として組織の利益を保護します。	べての ベンダーリスク管理 タスクを実行します。	類似したデータを返すプロバイダーからサービスを購入できます。スコアは、特定のサードパーティの信頼性と安全性に関するインサイトを提供します。
サードパーティのポータルを使用する  サードパーティのポータルを使用して、アンケート、ドキュメントの要求、タスク、および問題に応答します。ポータルは、サードパーティの連絡先とリスク査定人の間のやり取りのポイントです。	参照  参照トピックでは、アプリケーションとともに サードパーティリスク管理 インストールされるテーブル、プロパティ、フォーム、およびロールについて詳しく説明します。	

自動翻訳

トラブルシューティングとヘルプの取得

- GRC コミュニティで質問や回答をする。
- Known Error Portal で既知のエラー記事を検索します。
- 開発者サイトでアプリを構築する方法については、こちらをご覧ください。
- 担当者 カスタマーサービス & サポート.

サードパーティリスク管理 の詳細

この サードパーティリスク管理 アプリケーションは、サードパーティのリスク管理プログラムのプロセス、ソース資料、責任者、および方法を一元化および標準化します。サードパーティのポートフォリオを管理し、サードパーティで発生する問題を特定、追跡、および軽減することで、運用を改善できます。

サードパーティリスク管理 の概要

組織の資産、評判、および運用を保護するために、サードパーティのリスク管理プログラムは、外部関係者に関連するリスクを特定、評価、および軽減する必要があります。この TPRM アプリケーションは、アウトソーシングプロバイダー、パートナー、およびサプライヤーがビジネスの中断やビジネスパフォーマンスへの悪影響を発生させるのを防ぐのに役立ちます。アプリケーションを使用す

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ると TPRM 、自動化によってリスクアセスメントプロセスの手作業による負担とコストを削減できます。

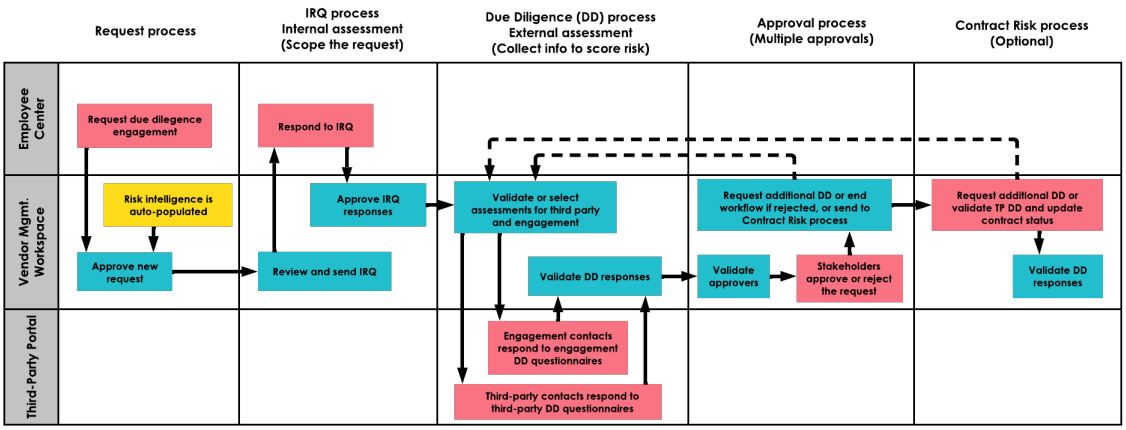
TPRM は、すべてのサードパーティリスク情報を 1 つの環境にまとめます。

次の主要な機能は、リスクをより効果的に評価するのに役立ちます。

- オンボーディング、オフボーディング、更新、および追加のデューデリジェンスワークフロー
- アセスメント管理
- 継続的なリスク監視
- リスクパフォーマンス管理

サードパーティリスク管理 のワークフロー

次のインフォグラフィックは、リスク管理に使用できる最も重要なプロセスのワークフローを示しています。



高レベルのワークフローステップ

1. 内部従業員が新しいサードパーティまたはエンゲージメントのデューデリジェンスを要求します。詳細については、「用語」を参照してください。
2. 要求を行った後、サードパーティリスク (TPR) マネージャーは固有のリスクアンケート (IRQ) の要求を承認します。IRQ は、サードパーティまたはエンゲージメントに対して必要なデューデリジェンスをスコアリングして範囲を設定する一連の質問です。
3. アサインされた査定人が IRQ を完了すると、TPR マネージャーが IRQ をレビューして承認します。
4. TPR マネージャーが選択した外部のサードパーティアンケートは、すべて自動的に送信されます。統合されたリスクインテリジェンスがある場合は、この時点で関連情報がプルされます。
5. 情報は採点され、デューデリジェンスプロセスの 1 つのビューに結合されて、すべてのスコア、完了したアンケート、問題、承認、およびコメントが表示されます。
6. すべての承認者は、承認前にデューデリジェンスを確認し、詳細情報を確認できます。
7. すべての承認者がデューデリジェンス要求を承認した後、契約を交渉しているユーザーがすべてのデューデリジェンス情報を利用できるようになります。契約リスクプロセスは、契約が必要な場合にのみ適用されます。
8. 契約交渉担当者は、すべてのスコアとアンケートの詳細情報を表示できます。追加のデューデリジェンスが必要な場合は、要求できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. 契約交渉担当者がサードパーティとの契約を正常に履行した場合、契約をアップロードして契約が実行されることを指定できます。このアクションにより、すべての主要なステークホルダーに契約のステータスが自動的に通知されます。
10. 契約交渉担当者は、契約が実行されていないこと、およびサードパーティがビジネスに関与していないことを指定することもできます。

デューデリジェンスワークフローの詳細については TPRM 、「」を参照してください デューデリジェンスワークフローのプロセス。

サードパーティリスク管理 のメリット

次の表に、このアプリケーションのメリット サードパーティリスク管理 を示します。

メリット	機能	ユーザー
重要なリスク情報を表示し、アクションにすばやくアクセスします。	TPRM ホームページへ。	TPRM 人の全ユーザー
デューデリジェンス管理レポートを使用して、責任を追跡、優先順位付け、および管理します。	TPRM デューデリジェンス管理レポート	TPRM 人の全ユーザー
サードパーティとの関係に関連付けられている潜在的なリスクを特定して評価します。	TPRM リスクアクティビティページ	TPRM 人の全ユーザー
アクティブなサードパーティとエンゲージメントの地理的な場所を特定します。フィルターを設定して、特定のリスク評価とエンゲージメントタイプを表示できます。	TPRM リスク集中マップ	TPRM 人の全ユーザー
注意が必要なアセスメント、問題、およびタスクに優先順位を付けます。	TPRM リスクアクティビティページ	TPRM 人の全ユーザー
自分とグループのメンバーにアサインされているタスクにアクセスする。	TPRM タスクページ	TPRM 人の全ユーザー
で TPRM表示または操作できるすべてのアイテムにアクセスします。	TPRM リストページ	TPRM 人の全ユーザー
エンゲージメントページを使用して、サードパーティまたはエンゲージメントに関する現在のすべての情報やステータスにアクセスします。	サードパーティまたはエンゲージメントの概要を取得する	すべての内部ユーザー
他のシステム (Aravo プラットフォーム、プラットフォーム ProcessUnity など) から既存のデータ (サードパーティ、エンゲージメント、アセスメント、アンケート、問題など) をインポートします。データのインポートに対して課金されることはありません。	他のシステムからの既存データのインポート	TPR マネージャーと TPR 管理者
デューデリジェンス要求のワークフロー内のすべてのプロセス (IRQ、外部デューデリジェンス、承認、契約リスク、およびクローズ済み要求) を処理します。	デューデリジェンス要求プロセスの監視	TPR マネージャーと TPR 管理者
サードパーティとリスク査定人の主要なインタラクションポイントとして、サードパーティポータルを使用します。	サードパーティポータルの管理	TPR マネージャー、TPR 査定人、およびサードパーティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクプロファイル

リスク プロファイル は、特定のサードパーティに関連付けられている潜在的なリスクの包括的なアセスメントです。リスクプロファイルを生成するには、サードパーティの運用、プラクティス、および関係のいくつかの側面を評価して文書化します。目的は、それらが組織にもたらす可能性のあるリスクのレベルを理解することです。

リスクプロファイルを使用すると、サードパーティに関連するリスクの関与、監視、および軽減について、情報に基づいた意思決定を行うことができます。これにより、懸念事項領域を特定し、リスク軽減戦略を実装し、継続的な監視プロセスを確立することで、サードパーティとの関係をリスク許容度および戦略的目標に合わせることができます。

リスクの優先順位付けと効果的な管理を可能にするには、多くのリスク要因にスコアまたは評価を割り当て、それらを集計してサードパーティの全体的なリスクアセスメントを生成します。 TPRM ホームページにリスクプロファイル情報を表示します。

サードパーティのリスクプロファイルのコンポーネント

サードパーティ情報

名前、場所、連絡先情報、サイズ、所有権構造などの基本的な詳細。

複合リスク評価

- IRQ 結果
- 外部リスクアセスメント評価
- エンゲージメント評価
- リスクインテリジェンス評価

リスクドメイン

- 財務の安定性:契約上の義務を履行する能力を評価するための、サードパーティの財務健全性のアセスメント。収益、収益性、負債レベルなどの要素が含まれます。
- オペレーショナルリスク:製品またはサービスを一貫して確実に提供する能力を含む、サードパーティの事業運営およびプロセスの評価。
- コンプライアンスおよび法務リスク:関連する法律、規制、および業界標準に対するサードパーティのコンプライアンスのレビュー。これには、データ保護、セキュリティ、および倫理基準への準拠の評価が含まれる場合があります。
- サイバーセキュリティリスク:機密情報を保護する能力を判断するための、サードパーティのサイバーセキュリティ対策とデータ保護プラクティスの評価。
- 地政学的リスク:自国の政治的安定性や規制の変更など、サードパーティの事業に影響を与える可能性のある地政学的要因の分析。
- 評判リスク:組織のブランドに影響を与える可能性のある過去のインシデントや論争を含む、業界におけるサードパーティの評判の考慮。
- 事業継続性リスク:中断または災害が発生した場合に運用を維持するためのサードパーティの計画と機能の評価。

リスクインテリジェンス

リスクインテリジェンスプロバイダーは、さまざまなサードパーティリスクドメインのリスクスコアを生成します。組織は、個人のクレジットスコアに類似したデータを返すプロバイダーからサービスを購入できます。スコアは、特定のサードパーティの信頼性と安全性に関するインサイトを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デューデリジェンスを実施する理由

サードパーティに対してデューデリジェンスを実施することは、包括的なサードパーティリスクプログラムの重要なコンポーネントです。デューデリジェンスを実施してサードパーティに関連するリスクを認識し、関係を形成する方法を安心して決定できるようにします。

サードパーティリスク管理は、外部関係者によって導入されたリスクの評価と管理に重点を置いています。これには、サイバーセキュリティリスク、データプライバシーコンプライアンス、財務の安定性、規制コンプライアンス、エンゲージメントに関連する運用のレジリエンスなどの要素の評価が含まれます。デューデリジェンスを実施 (つまり、リスクを完全に理解して対処するように行動) することで、情報に基づいた意思決定を行い、適切なコントロールを確立し、サードパーティとの関与による潜在的な悪影響を軽減できます。

デューデリジェンスの目標

規制への準拠

企業は多くの場合、サードパーティに対してデューデリジェンスの実施を義務付けるさまざまな規制や法的要件の対象となっています。これらの規制は、マネーロンダリング、汚職、詐欺、その他の形態の財務上の不正行為などの違法行為を防止することを目的としています。デューデリジェンスを実行することで、コンプライアンスとリスク軽減へのコミットメントを実証できます。「サードパーティリスクに影響する規制」を参照してください。

評判を保護する

サードパーティとの関わりは、会社の評判に直接影響を与える可能性があります。デューデリジェンスを実施することで、ブランドイメージや一般の認識を損なう可能性のある否定的な関連性やアクティビティを明らかにすることができます。これにより、エンゲージメントを続行するか、適切な緩和アクションを実行するかについて、情報に基づいた意思決定を行うことができます。

運用中断に対する保護

サプライヤー、サービスプロバイダーなどのサードパーティまたはパートナーは、組織の運用において重要な役割を果たします。パフォーマンスの低下、財務の不安定性、またはサードパーティとのその他の問題は、運用やサプライチェーンを混乱させ、遅延、品質の問題やその他の問題につながる可能性があります。デューデリジェンスは、サードパーティの信頼性と機能を評価し、運用中断のリスクを軽減するのに役立ちます。

機密情報を保護する

顧客データ、知的財産、企業秘密などの機密情報をサードパーティと共有する可能性があります。デューデリジェンスは、サードパーティのデータセキュリティ対策、プライバシー慣行、および機密情報を保護するための全体的なコミットメントを評価するのに役立ちます。これは、データの整合性を維持し、侵害や不正な開示を防ぐために重要です。

財務リスクを軽減

財務的に不安定なサードパーティと関わることは、重大な財務リスクをもたらす可能性があります。デューデリジェンスは、潜在的なパートナーまたはサードパーティの財務健全性、信用力、および支払履歴を評価するのに役立ちます。サードパーティに関連する財務リスクを評価し、財務の安定性と実績に基づいて情報に基づいた意思決定を行うことができます。

内部ポリシーに準拠

サードパーティと関与するための基準を決定する内部ポリシーと標準がある場合があります。デューデリジェンスは、潜在的なサードパーティが、持続可能性プラクティス、多様性と包含の要件、倫理的ガイドラインなどのポリシーに準拠していることを確認するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

デューデリジェンスのタイプ

デューデリジェンスのタイプ

デューデリジェンスプロセスでは、通常、いくつかのタイプのデューデリジェンスを実施して、関連情報を収集し、サードパーティのさまざまな側面を評価します。実施する特定のタイプのデューデリジェンスは、エンゲージメントの性質と重要度、および関連するリスクによって異なります。

情報セキュリティデューデリジェンス

情報セキュリティデューデリジェンスは重要です。これには、サードパーティのデータ保護プラクティス、サイバーセキュリティ対策、および情報処理プロセスの評価が含まれます。これには、データセキュリティポリシー、インシデント応答機能、暗号化プラクティス、およびデータ保護に関する従業員トレーニングの評価が含まれます。目的は、機密情報を保護し、データ違反や不正アクセスのリスクを軽減することです。

財務デューデリジェンス

財務デューデリジェンスでは、サードパーティの財務健全性と安定性を評価します。これには、財務諸表のレビュー、収益性、流動性、負債レベル、キャッシュフロー、およびその他の財務インジケーターの分析が含まれます。目標は、サードパーティの財務的な実行可能性を理解し、義務を履行する能力があることを確認することです。

法的デューデリジェンス

法務デューデリジェンスでは、サードパーティの法務および規制コンプライアンスを調査します。これには、契約、合意、ライセンス、許可、および法務ドキュメントのレビューが含まれます。目的は、組織の利益に影響を与える可能性のある法的リスク、法的責任、進行中の訴訟、または規制違反を特定することです。

運用デューデリジェンス

運用デューデリジェンスは、サードパーティの運用機能とプロセスの評価に重点を置いています。これには、組織の要件を満たすためのインフラストラクチャ、施設、サプライチェーン、生産プロセス、品質コントロール、およびキャパシティの評価が含まれます。目標は、サードパーティが目的の製品またはサービスを効果的に提供できるようにすることです。

コンプライアンスデューデリジェンス

コンプライアンスデューデリジェンスでは、サードパーティが適用される法律、規制、および業界標準を遵守していることを確認します。これには、腐敗防止、データプライバシー、情報セキュリティ、環境慣行、労働基準などの分野に関連するコンプライアンスプログラム、ポリシー、および手順の評価が含まれます。目的は、組織の法務または評判の問題につながる可能性のあるコンプライアンスのギャップまたはリスクを特定することです。

評判デューデリジェンス

評判デューデリジェンスは、サードパーティの評判、完全性、および過去のパフォーマンスの評価に重点を置いています。これには、経歴チェックの実施、参考文献のレビュー、ニュースやメディア報道の検索、過去の論争や倫理的問題の評価が含まれます。その目的は、サードパーティの評判が高く、組織の価値観と期待に沿っていることを確認することです。

単一のサードパーティと複数のエンゲージメントを行う可能性がある理由

特定のサードパーティのオンボーディング中に、サードパーティとの異なるタイプの関係ごとに個別のエンゲージメントを実施する場合があります。1 つのエンゲージメントは、サードパーティによる組織のソフトウェア開発に関連するリスクを評価することであり、別のエンゲージメントはサードパーティが提供する施設管理サービスに関するものです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同じサードパーティのさまざまなエンゲージメントでは、さまざまなレベルのリスクアセスメントが必要になる場合があります

注:
エンゲージメント要求が承認された後の最初の内部ステップでは、IRQ プロセスを開始し、サードパーティのリスクスコアを決定することでリスクの範囲を設定します。 エンゲージメントは [非アクティブ] ステータスで開始されます。契約が締結されている場合、またはサードパーティとのアクティブな関係に参加している場合、エンゲージメントは [アクティブ] ステータスに移行します。

提供されるサービスの性質、機密データや重要なシステムへのアクセスレベル、および組織のインフラストラクチャへの潜在的な影響が異なるため、同じサードパーティのさまざまなエンゲージメントに対して異なるレベルのリスクアセスメントが必要になる場合があります。エンゲージメントごとに個別のリスクアセスメントを実施することで、リスク管理戦略とコントロールを調整して、各エンゲージメントに関連するリスクに効果的に対処できます。

例：サードパーティが **2** つの異なるサービスを提供します

この例では、組織は次の 2 つの異なるサービスについてサードパーティと連携します。

サービス：ソフトウェア開発エンゲージメント

サードパーティは、金融機関向けのカスタムソフトウェアアプリケーションの開発を担当します。このエンゲージメントでは、サードパーティが顧客の機密データにアクセスして処理し、重要なシステムと統合し、組織のインフラストラクチャに変更を導入する可能性があります。

サービス：施設管理

このサードパーティは、金融機関のオフィスビルの物理的なセキュリティとメンテナンスの管理も担当します。このエンゲージメントには、セキュリティ担当者の提供、アクセス制御システムの管理、施設の全体的な安全性とメンテナンスの確保が含まれます。

サービスにはさまざまなリスクプロファイルがあり、個別のリスクアセスメントエンゲージメントが必要です。

ソフトウェア開発サービスのエンゲージメント

このエンゲージメントには、次の要因により、より高いレベルのリスクが関係しています。

- 機密データへのアクセス:サードパーティは顧客データにアクセスできます。これには、不正アクセスやデータ侵害を防ぐために、厳格なデータ保護とプライバシー制御が必要です。
- システム統合:サードパーティのソフトウェアは重要なシステムと統合する必要があり、それらのシステムの安定性、可用性、またはセキュリティに影響を与える可能性があります。システム障害や脆弱性のリスクを最小限に抑えるには、適切なテストと品質保証の手順が重要です。
- 変更管理：新しいソフトウェアを導入したり、既存のシステムを変更したりすると、互換性の問題、システムの中断、ソフトウェアの脆弱性などのリスクが発生する可能性があります。これらのリスクを軽減するには、強力な変更管理手法とコードレビュープロセスが必要です。

施設管理サービスのエンゲージメント

このエンゲージメントにも同じサードパーティが関与していますが、ソフトウェア開発エンゲージメントと比較すると、リスクプロファイルは低くなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 物理的セキュリティ：ここでは、アクセス制御や監視システムなどの物理的なセキュリティ対策の管理に重点を置いています。物理セキュリティに関連するリスクは依然として重要ですが、通常、サイバーセキュリティリスクと比較してより単純で管理が容易です。
- メンテナンスと安全性：サードパーティの責任は、主に一般的なメンテナンスと安全な作業環境の確保に関連しています。建物のメンテナンスに関連するリスク (安全上の問題など) はまだありますが、ソフトウェア開発エンゲージメントにおける複雑なサイバーセキュリティリスクと比較すると、予測可能で管理しやすい可能性があります。

サードパーティとのエンゲージメントのタイプ

特定のサードパーティエンゲージメントは、業界、規模、および運用要件によって異なります。各エンゲージメントには独自のリスクセットがあり、利益を守るために適切なリスク管理手段 (デューデリジェンス) が必要です。

エンゲージメントのタイプ

サードパーティのタイプ	説明	エンゲージメントの考えられるタイプ
広告代理店	組織に代わって広告キャンペーンを作成および実行する会社。	マーケティング戦略の開発、広告キャンペーンの作成、メディアプレースメントの管理。
関連会社/子会社	組織の企業構造の一部である関連会社または子会社。	組織の種類によって異なります
監査人	財務監査を実施し、財務諸表の正確性を検証するための保証サービスを提供する独立企業。	財務監査を実施し、内部コントロールアセスメントを提供し、リスク管理に関するアドバイスを提供します。
ビジネスパートナー	合弁事業、パートナーシップ、または戦略的提携において組織と協力する会社または組織。	共同マーケティングイニシアチブ、製品の共同開発、リソースの共有。
ビジネスプロセスアウトソーサー (BPO)	特定のビジネスプロセスまたは機能を担当するサードパーティプロバイダー。	カスタマーサポート、給与処理、IT ヘルプデスクサポート。
コールセンター	顧客の問い合わせ、サポート、テレマーケティングアクティビティを処理するサービスプロバイダー。	カスタマーサービスホットライン、テクニカルサポート、営業電話。
クライアント	組織のサービスを利用したり、製品を購入したりするエンティティまたは個人。	クライアントサービス
クラウドサービスプロバイダー (CSP)	クラウドベースのインフラストラクチャ、プラットフォーム、またはソフトウェアソリューションを提供する企業。	データストレージとバックアップ、クラウドコンピューティング、サービスとしてのソフトウェア (SaaS) ソリューション。
取立代行業者	組織に代わって未払いの負債または延滞金を回収するために関与するサードパーティ。	債権回収サービス、借金の取り立て、債務者との交渉。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのタイプ	説明	エンゲージメントの考えられるタイプ
コンサルタント	特定の分野で専門家のアドバイス、ガイダンス、およびソリューションを提供する個人または企業。	経営コンサルティング、IT コンサルティング、プロセス改善、戦略開発。
請負業者	特定のタスク、サービス、またはプロジェクトを実行するために雇用された個人または会社。	建設プロジェクト、ソフトウェア開発、マーケティングキャンペーン、イベント計画。
カウンターパーティ	組織が契約上の合意またはビジネス関係を結んでいるエンティティまたは個人。	サプライヤー契約、パートナーシップ契約、ライセンス契約。
クレジットカード処理業者	支払処理を容易にし、クレジットカードトランザクションを管理するエンティティ。	クレジットカード支払処理、不正防止、マーチャントサービス。
顧客	組織から物品またはサービスを購入する個人またはエンティティ。	製品販売、サービスサブスクリプション、クライアント契約。
データセンター	デジタルデータと IT インフラストラクチャの安全なホスティング、ストレージ、および管理を提供する施設。	サーバーのコロケーション、データのバックアップと復旧、ネットワーク管理。
データプロセッサー	組織に代わって機密データを処理または処理するサードパーティ	クラウドストレージプロバイダー。
デジタルマーケティングエージェンシー	デジタルマーケティングの戦略と戦術を専門とする機関。	検索エンジン最適化 (SEO)、ソーシャルメディアマーケティング、コンテンツ作成、オンライン広告。
ディストリビューター	メーカーまたはサプライヤーに代わって製品またはサービスを配布または販売する責任を負うサードパーティ。	製品流通契約、サプライチェーン管理、販売パートナーシップ。
e コマースプラットフォーム	企業がインターネットを介して製品やサービスを顧客に直接販売できるようにするオンラインプラットフォーム。	オンラインストアのセットアップ、支払処理の統合、受注処理。
従業員福利厚生サービスプロバイダー	従業員福利厚生管理サービスを提供する会社。	健康保険の適用範囲、退職金制度、従業員ウェルネスプログラム。
エネルギープロバイダー	組織の運営に必要な電気、ガス、またはその他の形態のエネルギーを供給するエンティティ。	エネルギー供給契約、ユーティリティサービス、エネルギー管理コンサルティング。
環境コンサルタント	環境への影響、コンプライアンス、および持続可能性の問題を評価してガイダンスを提供する専門家。	環境影響度評価、規制コンプライアンスコンサルティング、持続可能性計画。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのタイプ	説明	エンゲージメントの考えられるタイプ
イベント管理会社	企業イベント、会議、見本市、または販促活動を計画、組織、および実施するサービスプロバイダー。	イベントの計画、会場の調整、ロジスティクス管理。
施設管理会社	物理的な施設の管理と維持を担当するサードパーティ。	セキュリティサービス、クリーニングとメンテナンス、修理とリノベーション。
ファイナンシャルアドバイザー	財務計画、投資戦略、および資産管理に関するアドバイスとガイダンスを提供するプロフェッショナル。	財務計画、投資ポートフォリオ管理、退職金制度。
貨物フォワーダー	物品の輸送を管理および調整するエンティティ。	貨物ロジスティクス、通関手続き、サプライチェーン管理。
フランチャイズ	組織のブランドおよびビジネスモデルの下でビジネスを運営する権限を付与されたエンティティまたは個人。	フランチャイズ契約、ブランドライセンス、フランチャイズサポートサービス。
政府機関	組織がやり取りする政府機関またはエンティティ。	規制コンプライアンス、許可とライセンス、政府との契約。
人事アウトソーサー	さまざまな人事機能を処理するサービスプロバイダー。	給与処理、従業員福利厚生管理、採用アウトソーシング。
保険プロバイダー/ブローカー	保険補償またはリスク管理サービスを提供する会社またはブローカー。	保険証券、リスクアセスメント、請求管理。
合弁事業パートナー	組織との合弁事業を締結する会社または組織。	共同事業開発、共有マーケティングキャンペーン、共同制作契約。
法務サービスプロバイダー	法務に関する事項に対処するために従事する法律事務所または法務サービスプロバイダー。	契約書の作成、訴訟支援、規制コンプライアンスに関するアドバイス。
マーケティングおよび広告代理店	マーケティング、広告、または広報活動に携わる外部機関またはコンサルタント。	マーケティング戦略の開発、広告キャンペーンの実施、ブランドポジショニング。
アウトソーシングプロバイダー	特定のビジネス機能またはプロセスを処理するサードパーティ。	IT アウトソーシング、財務および会計サービス、製造アウトソーシング。
規制/コンプライアンスエンティティ	政府機関、規制機関、またはコンプライアンスコンサルタント。	コンプライアンス監査、規制報告、業界認定。
リセラー/ディストリビューター	組織の製品またはサービスを配布または再販するサードパーティ。	小売パートナーシップ、流通契約、リセラーネットワーク。
研究開発パートナー	大学、研究機関、または専門の研究開発会社。	共同研究プロジェクト、テクノロジーライセンス、イノベーションパートナーシップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのタイプ	説明	エンゲージメントの考えられるタイプ
サービスプロバイダー	組織の運用をサポートするさまざまなサービスを提供する外部エンティティ。	IT サポート、施設メンテナンス、コンサルティングサービス。
ソフトウェアプロバイダー	組織の運用をサポートするソフトウェアソリューションを提供する会社。	エンタープライズソフトウェアライセンス、ソフトウェアメンテナンスおよびサポート、カスタマイズされたソフトウェアの開発。
協力会社	特定のタスクを実行するために請負会社またはベンダーが関与するサードパーティ。	下請けの建設作業、特殊なサービスの下請け、プロジェクト固有のアウトソーシング。
サプライヤー	組織の運用に必要な物品または資材を提供する外部エンティティ。	調達契約、供給契約、およびサードパーティパートナーシップ。
テクノロジープロバイダー	テクノロジーソリューション、ソフトウェア、またはハードウェアを提供する会社。	IT インフラストラクチャの展開、ソフトウェアの統合、ネットワークのセットアップと管理。
電気通信プロバイダー	音声、データ、インターネット接続などの通信サービスを提供する会社。	電話およびインターネットサービス、仮想プライベートネットワーク (VPN)、ネットワークセキュリティソリューション。
テストおよび品質保証プロバイダー	ソフトウェアのテストおよび品質保証サービスを提供する会社。	ソフトウェアのテスト、品質保証アセスメント、ユーザーエクスペリエンステスト。
トレーニングおよび開発プロバイダー	トレーニングおよび開発プログラム、コース、またはワークショップを提供するエンティティ。	従業員トレーニング、リーダーシップ開発、スキルワークショップ。
輸送プロバイダー	物品または人の輸送サービスを提供するエンティティ。	貨物輸送、乗客輸送、ロジスティクスの調整。
旅行代理店	旅行の手配、予約、旅程計画を支援する会社。	企業出張管理、旅行予約サービス、グループ旅行調整。
ユーティリティプロバイダー	水道、ガス、電気などの重要なユーティリティを供給する会社。	水道、ガスサービス、配電。
ベンダー	組織の運用に必要な物品またはサービスを提供する外部エンティティ。	サプライチェーンマネジメント、調達契約、およびサードパーティパートナーシップ。
倉庫およびロジスティクスプロバイダー	倉庫、保管、およびロジスティクスサービスを提供する会社。	在庫管理、受注処理、配送ネットワーク管理
Web 開発およびデザインエージェンシー	Web 開発、デザイン、およびデジタルエクスペリエンスを専門とするエージェンシー。	Web サイト開発、ユーザーインターフェイス設計、e コマースプラットフォームの統合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのタイプ	説明	エンゲージメントの考えられるタイプ
卸売業	物品を一括購入し、小売業者またはディストリビューターに再販するエンティティ。	卸売販売契約、サプライチェーン管理、一括購入。
人材派遣会社	一時的または派遣労働力ソリューションを提供する会社。	派遣社員、契約社員、オンデマンド労働。

サードパーティリスクに影響する規制

サードパーティのリスク管理プログラムを実装するときは、規制を慎重に検討する必要があります。適用される規制は、業界、地理的な場所、管轄、および業務の性質によって異なります。

一般的にサードパーティのリスク管理プログラムに影響を与える規制

サードパーティとの関係に関連する特定の規制状況を判断するには、法務およびコンプライアンスの専門家に相談する必要があります。サードパーティリスクを評価するときに通常考慮される規制のリストは次のとおりです。

マネーロンダリング防止 (AML) およびテロ資金供与対策 (CTF) 規制

これらの規制は、マネーロンダリング、テロ資金供与、およびその他の不正な財務活動を防止することを目的としています。企業は、サードパーティの本人確認、資金源の評価、適用される AML および CTF の法律へのコンプライアンスの確認が求められます。

腐敗防止および贈賄防止法

米国の海外不正行為防止法 (FCPA) や英国の贈賄防止法などの規制では、贈賄や汚職を防止するための厳格な要件が企業に課されています。デューデリジェンスは、サードパーティの業務および関係における贈賄や汚職に関連する潜在的なリスクを特定するのに役立ちます。

データ保護およびプライバシー規制

データ保護とプライバシーへの関心が高まる中、欧州連合の一般データ保護規則 (GDPR) やカリフォルニア州消費者プライバシー法 (CCPA) などの規制により、企業は個人データを保護する必要があります。デューデリジェンスには、これらの規制に確実に準拠するために、サードパーティのデータ保護およびプライバシー慣行を評価することが含まれます。

制裁と通商禁止

政府は、貿易を制限し、違法行為の支援を防止するために、特定の国、個人、または団体に制裁および通商禁止を課します。企業は、サードパーティが制裁や通商禁止の対象ではなく、これらの制限に違反する活動に関与していないことを確認する必要があります。

財務規制

業界に応じて、企業は、株式公開会社向けの米国企業改革法 (SOX) などの財務規制や、金融機関向けの Dodd-Frank 法などのセクター固有の規制を考慮する必要があります。これらの規制では、多くの場合、企業は財務の安定性、レポートの正確性、およびサードパーティの内部コントロールを評価する必要があります。

労働法と雇用法

企業は、最低賃金、労働時間、健康と安全、雇用機会均等に関連する規制を含め、サードパーティが労働法および雇用法に準拠していることを確認する必要があります。これにより、労働法違反や風評被害の可能性に関連するリスクを軽減できます。

環境規制

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

企業は、特にサードパーティが環境に影響を与えるアクティビティに関与している場合、サードパーティの環境規制へのコンプライアンスを評価する必要があります。これには、環境慣行、廃棄物管理、公害防止対策、および持続可能性基準への準拠の評価が含まれます。

サードパーティのリスク管理プログラムのメリット

サードパーティのリスク管理プログラムは、サードパーティとの関係に関連するリスクを積極的に特定、評価、および軽減するのに役立ちます。サードパーティのリスクを効果的に管理することで、全体的なレジリエンスを強化し、利益を保護して、持続可能で信頼できるビジネス関係を構築できます。

堅牢なサードパーティリスク管理プログラムを実装する主なメリットと価値提案を以下に示します。

リスク低減および緩和

サードパーティのリスク管理プログラムを使用すると、サードパーティとの関係に関連する潜在的なリスクを特定して評価できます。デューデリジェンスを実施し、アクティビティを監視して、リスク軽減戦略を実装することで、コンプライアンス違反、財務的不安定、データ侵害、風評被害、運用の中断、法的責任などのリスクの可能性と影響を軽減できます。

コンプライアンスおよび規制への準拠

包括的なサードパーティのリスク管理プログラムは、適用される法律、規制、および業界標準に準拠するのに役立ちます。サードパーティがさまざまな規制要件に準拠していることを確認することで、コンプライアンス違反に起因する法的ペナルティ、風評被害、およびビジネスの中断を回避できます。

評判とブランド保護の強化

サードパーティと関わることは、評判とブランドにリスクをもたらします。サードパーティのリスク管理プログラムを通じてこれらのリスクを積極的に管理することで、評判を保護し、ステークホルダーの信頼を維持し、倫理的なビジネス慣行と責任あるサプライチェーン管理へのコミットメントを示すことができます。

運用効率と継続性

サプライヤー、ベンダー、サービスプロバイダーなどのサードパーティは、運用において重要な役割を果たします。サードパーティのリスクを効果的に管理することで、サプライチェーンの信頼性、パフォーマンス、および継続性を検証できます。これにより、運用効率と顧客満足度に影響を与える可能性がある中断、遅延、または品質の問題の可能性が低減されます。

コスト削減と財務保護

サードパーティのリスク管理プログラムを実装すると、コスト削減と財務保護につながる可能性があります。サードパーティの財務の安定性を評価することで、支払いの不履行や商品やサービスの提供の失敗の可能性がある財務的に脆弱なエンティティとの関与を回避できます。さらに、法務および規制非準拠の問題を防ぐことで、多額の罰金、ペナルティ、訴訟、および関連経費を回避できます。

意思決定と情報に基づくパートナーシップの強化

適切に構成されたサードパーティリスク管理プログラムは、サードパーティに関する包括的な情報とインサイトを提供します。これにより、サードパーティを選択して関与する際の意思決定が向上し、価値、基準、およびビジネス目標に沿ったパートナーを選択できるようになります。また、信頼と共有されたリスク認識に基づいて、より強力で信頼性の高い関係を育成するのにも役立ちます。

サイバーセキュリティとデータ保護の強化

サードパーティとの関係は、重大なサイバーセキュリティおよびデータ保護リスクをもたらす可能性があります。サードパーティのリスク管理プログラムは、サードパーティのサイバーセキュリティプラクティスとデータ保護対策を評価し、データ侵害、不正ア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クセス、またはデータ漏洩の可能性を減らすのに役立ちます。これは、機密情報を保護し、データ保護規制へのコンプライアンスを維持するのに役立ちます。

例 - サードパーティのオンボーディング

大規模な製造会社である Acme は、生産ラインに要なコンポーネントを供給するために、新しいサードパーティをオンボーディングしています。サードパーティの信頼性を確保し、潜在的なリスクを軽減するために、Acme は徹底したサードパーティリスク管理オンボーディングプロセスを開始します。

例 - サードパーティのオンボーディング

要求プロセス

従業員 (通常、サードパーティと取引を行うユーザー) は、リスクアセスメントのデューデリジェンスプロセスを開始するビジネスケースを作成します。

TPR マネージャーは、エンゲージメントのデューデリジェンスの要求をレビューして承認します。

IRQ プロセス

要求が承認された後、TPR 査定人は IRQ に応答して内部リスクアセスメントを完了します。

収集された情報に基づいて、Acme はサードパーティに関連する潜在的なリスクを評価します。財務の安定性、運用キャパシティ、品質基準への準拠、規制へのコンプライアンス、サードパーティのデリバリタイムラインを満たす能力などの要素を評価します。このアセスメントは、Acme がサードパーティのリスクプロファイルを理解し、適切なリスク軽減戦略を決定するのに役立ちます。

デューデリジェンスプロセス：コンプライアンス検証、データセキュリティ、プライバシーアセスメント

IRQ プロセスが完了すると、Acme の TPRM アプリケーションはアンケートとドキュメントの要求をサードパーティに送信します。アセスメントの一環として、複数のアンケートと文書要求を送信する場合があります。Acme は、サードパーティの認定、ライセンス、またはコンプライアンスを検証するための監査レポートなどのドキュメントを要求する場合があります。

注:
このタイプのサードパーティにどのアンケートと文書要求を送信するかを決定するプロセスを簡素化および自動化するために、Acme のスタッフは アセスメントテンプレートを開発しました。アンケートテンプレートや文書要求テンプレートを定義し、アセスメントテンプレートにグループ化しました。Acme はテンプレートを再利用して、今後のアセスメントで適切なアンケートやドキュメント要求を類似のサードパーティに送信できます。

Acme は、サードパーティの回答と内部分析を使用して、サードパーティが必要なすべてのコンプライアンス要件を満たしているかどうかを判断します。これには、環境規制、労働法、腐敗防止ポリシーなど、適用される法律および規制に対するサードパーティのコンプライアンスの検証が含まれます。

関連するコンポーネントの機密性を考慮して、Acme はサードパーティのデータセキュリティとプライバシー慣行を評価します。サードパーティの情報セキュリティ対策、データ保護ポリシー、アクセス制御、および脆弱性管理プロセスを評価します。サードパーティが Acme の専有情報または顧客データにアクセスできる場合、サードパーティに対してサイバーセキュリティ監査を受けるか、データ保護対策の証拠を提供するように要求する場合があります。

契約上の合意とリスク軽減

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相手の利益を保護するために、Acme の TPR 契約交渉担当者 (多くの場合、企業顧問) は、特定されたリスクに対処するための特定の契約規定を組み込んでいます。契約交渉担当者は、IRQ およびデューデリジェンスプロセスで得られた情報を使用して、コンプライアンス、品質基準、機密性、データ保護、事業継続性、および紛争解決メカニズムに関連する条項を含めます。契約では、パフォーマンス測定基準、期待、および非準拠または違反が発生した場合の終了条項の概要を説明することもできます。

継続的な監視とレビュー

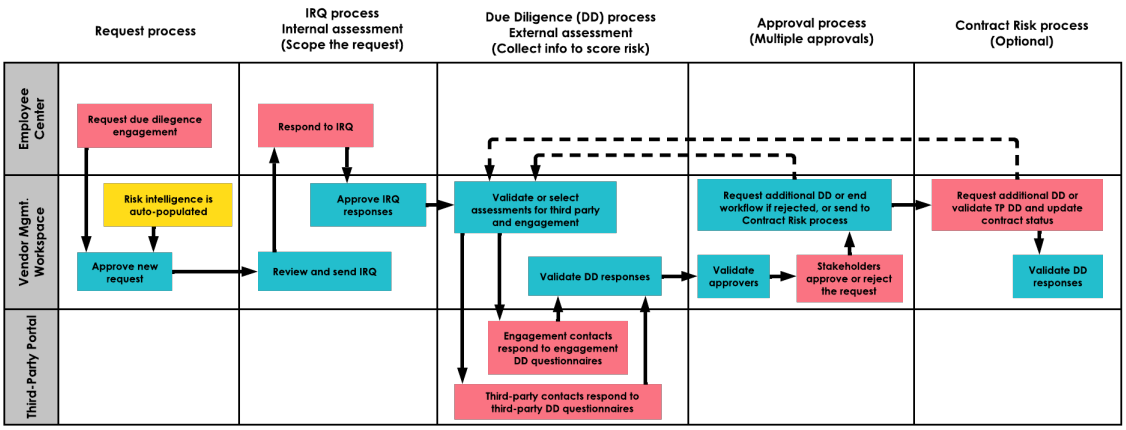
Acme は、サードパーティのパフォーマンスと合意された条件の遵守を定期的に評価するために、継続的な監視プロセスを確立します。組織の担当者が、定期的な財務レビュー、品質監査、サイト訪問、またはサーベイを手動で実行する場合があります。また、サードパーティのリスクプロファイルの懸念事項や変更に対処するためのコミュニケーションチャネルも確立します。

デューデリジェンスワークフローのプロセス

TPRM プロセスでは、サードパーティリスク管理プログラムに一貫したフレームワークを提供します。ニーズに合わせてワークフロープロセスをカスタマイズできます。

デューデリジェンスワークフローのプロセスとチェックポイント

プロセス内の各タスクは、次のタスクを開始する前に完了する必要があります。さまざまなタスクを実行するユーザーのロールについては、「サードパーティリスク管理 でのロール」で説明されています。



要求プロセス (新しいエンゲージメントの開始を依頼するか、既存のエンゲージメントを再評価またはオフボーディング)

1. 組織のどの従業員もサードパーティエンゲージメントのデューデリジェンスを要求します。
   a. 従業員は、インスタンスの Employee Center にログインします。デューデリジェンス要求フォームを開き、サードパーティの名前と要求の理由を指定します。
      - 新しいエンゲージメントのオンボーディング
      - 既存エンゲージメントのリスクを再評価
      - 契約更新の準備のために既存のエンゲージメントを再評価
      - エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスあり)
      - エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスなし)
   b. 従業員は、製品またはサービスを提供するサードパーティのエンティティ (このエンゲージメントでの評価対象) に関する詳細情報を提供します。また、IRQ に回答する必要がある組織のユーザー (TPR 査定人) と、外部アンケートに回答するサー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドパーティ組織の連絡先 (「サードパーティ連絡先」および「エンゲージメント連絡先」) も指定します。

c. サードパーティのリスクデータは、外部のリスクインテリジェンスプロバイダーによって、随時非同期に更新される可能性があります(以前は、TPRM アプリの構成中に、サードパーティリスクマネージャー (TPR マネージャー) がリスクインテリジェンスプロバイダーのサービスを統合している可能性がありました)。

d. 従業員がフォームを送信します。これにより、TPR マネージャーのタスクがトリガーされます。

2. TPR マネージャーは、要求のスコープを設定し、必要に応じて更新してから、承認または却下します。

a. TPR マネージャーは、 ベンダー管理ワークスペースにログインします。

b. [デューデリジェンス管理] ページで、TPR マネージャーは要求をレビューして更新します。

- TPR マネージャーは、TPR 査定人として提案された人物をレビューし、場合によっては別の人物を指定します。
- 必要に応じて、TPR マネージャーは要求者とのディスカッションを開始します。「会社の規模に関する詳細情報が必要です」または 「当社はこのサードパーティに年間どれくらいの費用を費やすのだろうか」などの項目です。 [ディスカッション] を選択して、他のユーザーにメッセージを送信します。メッセージは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。

c. TPR マネージャーは、要求を却下または承認します。承認されると、IRQ プロセスが開始されます。

注:
従業員がデューデリジェンスを要求する一般的なプロセスに加えて、TPR 査定人は定期的なサードパーティアセスメントを作成して、定期的なスケジュールでリスクを再評価できます。「スケジュールで繰り返すようにリスクアセスメントを構成する」を参照してください。

IRQ プロセス (リスクをスコープ)

1. TPR マネージャーは、IRQ をレビューして承認します。

a. では ベンダー管理ワークスペース、TPR マネージャーが使用する IRQ をレビューして承認します。ビジネスルールによってアンケートが自動選択されたか、TPR マネージャーがシステムに表示されるリストから手動で選択したかのいずれかです。

組織のカスタム IRQ を作成します。各 IRQ のコンテンツは、通常、ビジネスエリア、地域、または質問の対象となるサードパーティのタイプを担当するユーザーによって作成および管理されます。IRQ を定義するには、サンプル質問をアンケートテンプレートに追加し、必要に応じて質問を変更します。サンプルの質問は ベースシステムで提供されています。IRQ の定義はコード不要のプロセスです。エンゲージメントに使用する IRQ を自動選択するビジネスルールを定義できます。

ヒント:
IRQ の質問に対する回答を利用して、評価するサードパーティに送信するアンケートを決定できます。 この機能は、Third-Party Risk Management アプリをアクティブ化している場合にのみ使用できます。

「外部アンケートの作成と構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. TPR マネージャーは、デューデリジェンス要求を却下または承認します。要求が承認されると、システムは IRQ を TPR 査定人 (組織の「内部ステークホルダー」) に送信します。

c. TPR 査定人には、メールとキュー内の新しいタスクの両方で IRQ が通知されます。

> **注:**
> また、リスクスコアの変更に基づいて、サードパーティのリスクアセスメントを自動送信することもできます。

2. 内部ユーザーが IRQ に回答します。

a. Employee Center では、エンゲージメントに関心のあるすべてのユーザーが IRQ を開き、IRQ に応答します。

いくつかの回答から、さらに明確な質問が生成されます。回答によって、どの外部アンケートが自動生成され、サードパーティの連絡先に送られるセットに追加されるかを決定できます。

たとえば、TPR 査定人から、サードパーティがエンゲージメントの一環として政府関係者とやり取りする予定であると回答された場合、サードパーティの国 (米国では ABAC、EU では FCBA など) に適した贈賄防止アンケートが外部アンケートに含まれます。

b. TPR 査定人は、記入済みの IRQ を送信します。これにより、TPR マネージャーのタスクがトリガーされます。

3. 内部ステークホルダー (サードパーティアセスメントのレビュー担当者、TPR 査定人、TPR マネージャー、または TPR 管理者) が IRQ 応答をレビューします。

a. で ベンダー管理ワークスペース、ユーザーは IRQ 応答を確認します。

b. TPR マネージャーは、TPR 査定人に説明を求め、IRQ 応答を却下または承認する場合があります。

c. 内部ステークホルダーユーザーが承認すると、エンゲージメント要求をクローズしてデューデリジェンスプロセスを開始します。

デューデリジェンスプロセス (情報を収集してリスクスコアを生成)

1. 次のいずれかのプロセスにより、外部デューデリジェンスアンケートが選択されます。

- ベンダー管理ワークスペースで、TPR マネージャーは、サードパーティ連絡先が回答するアンケートを選択します。
- アンケートはシステムにより自動選択されます(選択を行うビジネスルールを定義します)。

2. 選択方法に関係なく、次の 2 つの外部デューデリジェンスアンケートが選択されます。

- 1 つのセットは、サードパーティ組織に関する情報を収集します。サードパーティの連絡先がそのアンケートに回答します。
- もう 1 つのセットは、エンゲージメントの対象であるサードパーティ組織内の事業部門に関する情報を収集します。エンゲージメント連絡先 (デューデリジェンス要求で指定) がそのアンケートに回答します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ベンダー管理ワークスペースで、TPR マネージャーは、サードパーティ連絡先が回答する自動選択されたアンケートを確認します。TPR マネージャーは、選択内容を検証または変更してから、一連のアンケートを承認します。
4. システムは、サードパーティの人たちにメールを自動送信します。メッセージは、外部アンケートに回答するようにサードパーティ連絡先とエンゲージメント連絡先に通知します。
5. サードパーティポータルでは、サードパーティの連絡先がアンケートに直接回答するか、サードパーティ組織の他の連絡先にタスクをアサインします。

   注:
   サードパーティポータルは、組織のインスタンスから完全に分離されています。

   反復プロセスでは、TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、TPR マネージャーが非準拠の問題とタスクを (通常は、TPR マネージャーが所見を生成するときに) 生成できます。TPR マネージャーは、コメントを使用して TP 連絡先とやり取りし、問題とタスクをクローズします。TPR マネージャーは、必要に応じてさまざまな TP 連絡先をアサインすることもできます。「問題を管理する」を参照してください。
6. TP 連絡先とエンゲージメント連絡先は、完了したアンケートを返します。
7. 要求のステータスが **[TPM 承認準備完了 (Ready for TPM approval)]** に変更され、TPR マネージャーにアラートが送信されます。
8. で ベンダー管理ワークスペース、TPR マネージャーは、アンケートが受領され、完了し、必要に応じて署名されていることを検証し、アセスメントフェーズを閉じて承認プロセスを開始します。

承認プロセス (リスクの各側面が適切な内部ステークホルダーによって分析される)

すべての内部ステークホルダー (承認者) が、サードパーティ連絡先からのアンケート回答と補足ドキュメントをレビューします。応答に問題がなければ、1 人以上の承認者が DD 要求を承認してクローズします。契約が準備されると、承認された要求は 契約リスクプロセスに移ります。

- 承認者は、要求を承認または却下してクローズできます。また、必要に応じて修復の問題を作成します。
  - 問題の修正とは、コントロールの失敗またはリスクへの暴露の原因となっている根本的な問題が修正されることを意味します。質問に対して問題が作成されると、サードパーティポータルでその質問の横にビジュアルインジケーターが表示されます。
  - 問題の受け入れとは、既知のコントロールの失敗またはリスクに対する例外を作成することを意味します。
  - [受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。
- 要求をクローズすると、契約リスクプロセスに移るか、または契約が関与しない場合は、エンゲージメントが開始されます。

契約リスクプロセス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

承認されると、すべてのデューデリジェンス情報を契約交渉担当者が利用できるようになります。ベンダー管理ワークスペースを使用して、契約交渉担当者は、契約を設計および決済するために、前のプロセスで生成されたすべてのデータにアクセスします。

- 契約交渉担当者は、必要に応じて追加のデューデリジェンスを要求できます。
- 契約交渉担当者がサードパーティとの契約を正常に履行した場合、契約をアップロードし、契約が実行されることを指定して、すべての主要な利害関係者に自動的に通知することができます。
- 契約交渉担当者は、契約が実行されず、サードパーティがビジネスに従事しないことを指定することもできます。
- 契約交渉担当者は、契約が終了し、サードパーティがビジネスに従事しないことを指定することもできます。

サードパーティリスク管理 の構成

からServiceNow Storeアプリケーションをダウンロードし、ニーズに合わせて設定を構成することで、アクティブ化またはアップグレードTPRMできます。

構成の概要

チェックリストのセットアップタスク TPRM のタスクを実行することで、アプリケーションをアップグレードまたはインストール TPRM できます。タスクを完了したら、「」の説明 進行中の構成に従って追加の構成を実行できます。

TPRM の初期セットアップとアップグレードのチェックリスト

完了したらタスクをチェックできるように、次のチェックリストを印刷することを検討してください。PDF を生成するには、[PDF として保存] (**PDF** として保存アイコン) を選択し、[選択したトピック] を選択します。

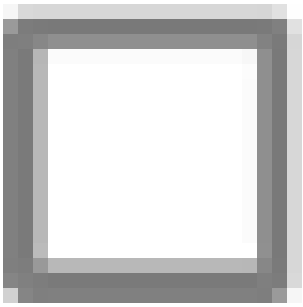
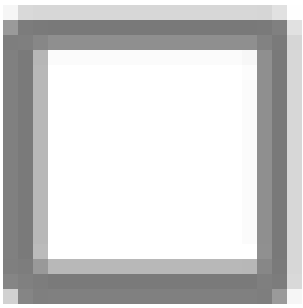
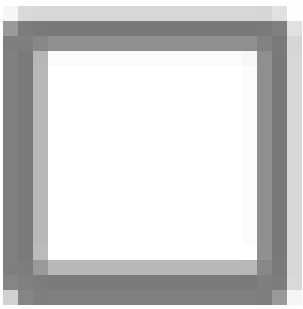
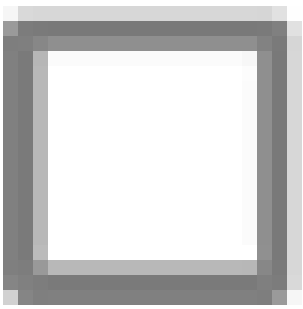
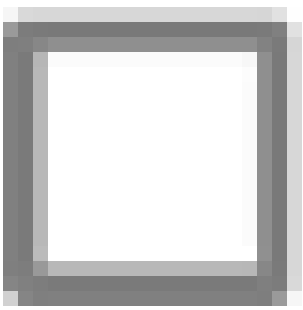
TPRM のセットアップタスク

タスク	説明
	アプリ [com.sn_vdr_risk_asmt] を有効にします。サードパーティリスク管理 。から GRC アプリケーション ServiceNow Storeをダウンロードする手順については、「」を参照してください 初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする。 **重要:** ベースシステムには、質問集で使用できる多くの質問例が含まれています。サンプル アンケートを含めるには、アプリのインストール中に デモ データの読み込み を選択します。 必要なロール：admin
	デューデリジェンス要求ワークフローアプリケーション [com.sn_tprm_dd] を有効にします。から GRC アプリケーション ServiceNow Storeをダウンロードする手順については、「」を参照してください 初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする。 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

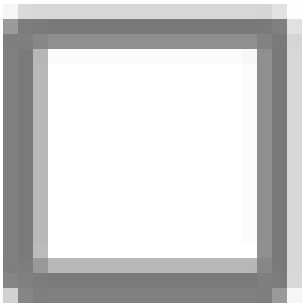
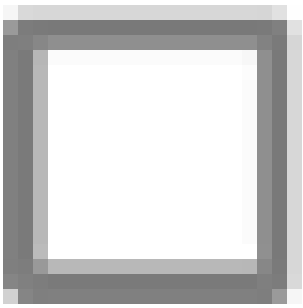
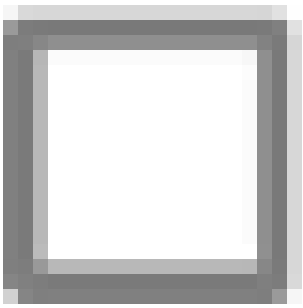
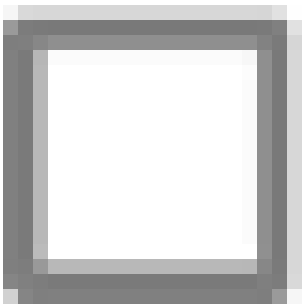
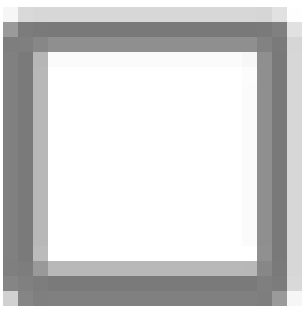
TPRM のセットアップタスク (続く)

タスク	説明
	Vendor Risk Management Workspace アプリケーション [sn_vrm_ws] を有効にします。から GRC アプリケーション ServiceNow Storeをダウンロードする手順については、「」を参照してください 初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする。 必要なロール：admin
	認証ポリシーを追加して、外部サードパーティの安全なアクセスを有効にします。詳細については、「認証ポリシーを追加して、外部のサードパーティの安全なアクセスを有効にする」を参照してください。 必要なロール：admin プラットフォームの認証後ポリシーを使用して、サードパーティがインスタンスへのアクセスを保護できるようにします。この機能の背景情報については、を参照してください Post-authentication context。
	TPRM ロールをユーザーとユーザーグループにアサインします。詳細については、「ユーザーとユーザーグループにロールをアサイン TPRM する」を参照してください。 必要なロール：admin アプリケーションを実装または使用する前に、 サードパーティリスク管理 ユーザーにロールを割り当てます。適切に整理された方法でロールを割り当てることで、プロセス管理が簡素化および改善され、責任範囲のタスクがユーザーに迅速に通知されます。
	責任に基づいてユーザーをグループに追加します。詳細については、「責任に基づくグループへのユーザーの追加」を参照してください。 必要なロール：admin アプリケーションを実装または使用する前に、 サードパーティリスク管理 ユーザーをグループにアサインします。各グループには、特定のロールを持つユーザーが含まれています。適切に編成されたユーザーグループは、プロセス管理を簡素化および改善し、ユーザーに各自の責任範囲のタスクを迅速に通知するのに役立ちます。
	リスク層アセスメントを IRQ アセスメントに変換します。詳細については、「リスク層アセスメントを IRQ アセスメントに変換する」を参照してください。 必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor ワークスペース操作を最適に使用する TPRM には、既存の階層アセスメントデータを IRQ データに変換します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

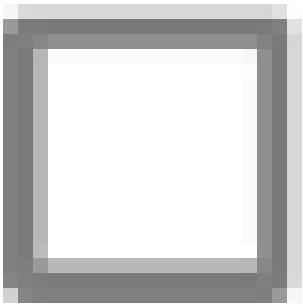
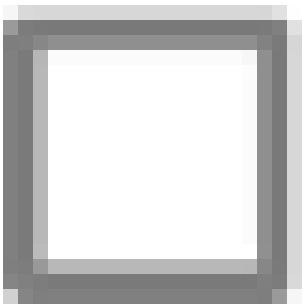
TPRM のセットアップタスク (続く)

タスク	説明
	TPRM プロパティを構成します。詳細については、「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。 必要なロール：admin さまざまな TPRM 操作のプロパティ設定を構成します。
	オプション:TPRM リスク集中マップを有効にします。詳細については、「リスク集中マップの TPRM 有効化」を参照してください。 必要なロール：admin リスク集中マップ機能をインストールした後、ライセンスをインストールして Google 機能を有効にする必要があります。
	サードパーティの連絡先とのメールを有効にします。詳細については、「サードパーティの連絡先とのメールを有効にする」を参照してください。 必要なロール：admin サードパーティの連絡先とのメール通信を構成して、アセスメントと問題のメール通知を有効にします。
	オプション: 他のシステムから既存のデータをインポートします。詳細については、「他のシステムからの既存データのインポート」を参照してください。 必要なロール：admin 他のシステム (Aravo プラットフォーム、プラットフォーム ProcessUnity など) から既存のデータ (サードパーティ、エンゲージメント、アセスメント、アンケート、問題など) をインポートします。データのインポートに対して課金されることはありません。
	サードパーティの連絡先を設定します。詳細については、「サードパーティの連絡先を設定」を参照してください。 必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager サードパーティ連絡先は、サードパーティ組織にいる外部ユーザーです。サードパーティポータルを使用して、アセスメントのアンケートへの回答、タスクの実行、問題に関するリスクアセスメントスタッフとのコミュニケーションなどのタスクを安全に編成、優先順位付け、および実行します。サードパーティポータルへのアクセス権を付与し、サードパーティの連絡先の権限を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TPRM のセットアップタスク (続く)

タスク	説明
	オプション: 言語を有効にします。詳細については、「Activate a language」を参照してください。 必要なロール：admin デフォルトでは Now Platform はアメリカ英語を使用します。別の言語を使用するように TPRM を構成することもできます。
	オプション:サードパーティリスク管理のクイックスタートテストを実行します。詳細については、「のクイックスタートテストの実行 サードパーティリスク管理」を参照してください。 アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、TPRM が変わらず正常に動作することを検証します。クイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンス固有のデータを使用する際に渡します。

関連情報

進行中の構成

ユーザーとユーザーグループにロールをアサイン **TPRM** する

アプリケーションを実装または使用する前に、 サードパーティリスク管理 ユーザーにロールを割り当てます。適切に整理された方法でロールを割り当てることで、プロセス管理が簡素化および改善され、責任範囲のタスクがユーザーに迅速に通知されます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

この手順で説明するロールについては、「サードパーティリスク管理 でのロール」で説明しています。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 管理 > グループ.
2. [ロール] 関連リストを選択して、グループにロールをアサインします。

   a. [コレクション] リストの検索フィールドに「vendor」または「sn_vdr」と入力して、TPRM アプリケーションに関連するロールのリストを表示します。

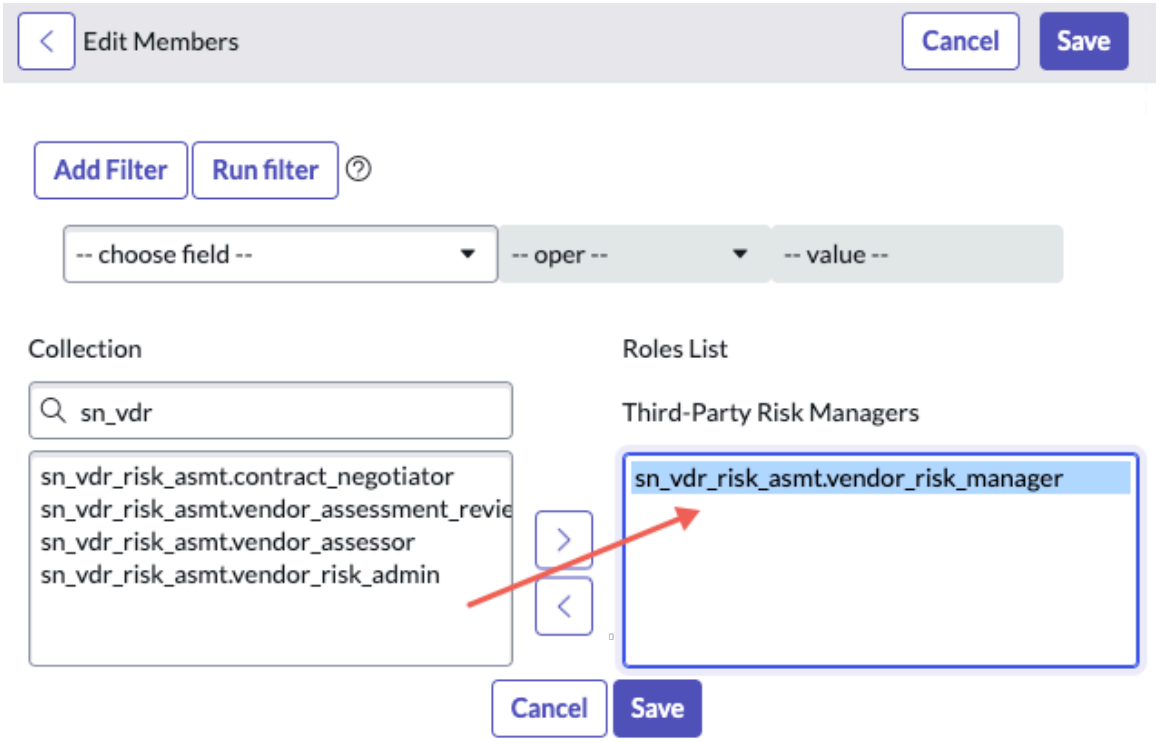
      TPRM ロールについては、「サードパーティリスク管理 でのロール」で説明されています。

   b. グループに適したロールを [コレクション] リストから [ロール] リストに移動し、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、**sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager** ロールは、ユーザーが「サードパーティリスクマネージャー」という名前を付けたグループにアサインされています。



3. [グループメンバー] 関連リストで、[編集] を選択します。
4. 適切なユーザー全員を [コレクション] リストから [グループメンバーリスト] に移動し、[保存] を選択します。
5. オプション: [グループ] 関連リストを使用して、定義しているグループにサブグループを追加します。

関連情報

サードパーティリスク管理 でのロール

TPRM と Explicit Roles プラグイン

責任に基づくグループへのユーザーの追加

アプリケーションを実装または使用する前に、 サードパーティリスク管理 ユーザーをグループにアサインします。各グループには、特定のロールを持つユーザーが含まれています。適切に編成されたユーザーグループは、プロセス管理を簡素化および改善し、ユーザーに各自の責任範囲のタスクを迅速に通知するのに役立ちます。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

アプリをアクティブ化 TPRM すると、複数のユーザーグループが作成されます。この手順では、各グループにユーザーを追加します。この手順で説明するロールについては、「」を参照してください サードパーティリスク管理 でのロール。

特定のロールを持つすべてのユーザーをグループに含めることには、実際的重要な結果があります。たとえば、休暇のためにグループの 1 人以上のメンバーが対応できない場合でも、リスク管理プロセスは影響を受けません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
これは継続的なプロセスであり、グループ マネージャーとして割り当てられたユーザーがグループ メンバーシップの継続的な更新を担当するプロセスと考えてください。

デューデリジェンス要求アサイナ

グループのメンバーは、TPR 査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] ロールを持っています。

各メンバーは、デューデリジェンスに関する新しい要求のメール通知を受け取ります。[新規] または [未アサイン] ステータスの要求の場合、所有者はまだ指定されていません。どのグループメンバーでも所有者を割り当てることができます。

所有者は、監査目的でアセスメントを所有し、アセスメント プロセス全体を監視および管理するユーザーです。所有者は、サードパーティによってアセスメントが適時に完了していることを確認し、回答をレビューし、問題を作成して解決する責任があります。アセスメントを完了するために、アセスメントが特定のマイルストーンに達すると所有者に通知されます。オーナーには、TPR マネージャーまたは TPR 査定人ロールが必要です。

サードパーティのリスクマネージャー

グループメンバーには、TPR 承認者ロール [sn_vdr_risk_asmt.approver] と TPR マネージャーロール [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager] の両方があります。

メンバーは、デューデリジェンスプロセス全体を監視および管理し、デューデリジェンスの新しい要求を承認できます。

サードパーティリスクレビュー担当者 (外部アセスメントレビュー担当者)

グループのメンバーは、サードパーティアセスメントレビュー担当者ロール [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer] を持っています。

メンバーは、外部デューデリジェンスプロセス中にサードパーティの連絡先とのやり取りを監視および管理できます。

契約リスク交渉担当者

グループメンバーは、契約リスクネゴシエーター [sn_vdr_risk_asmt.contract_negotiator] ロールを持っています。

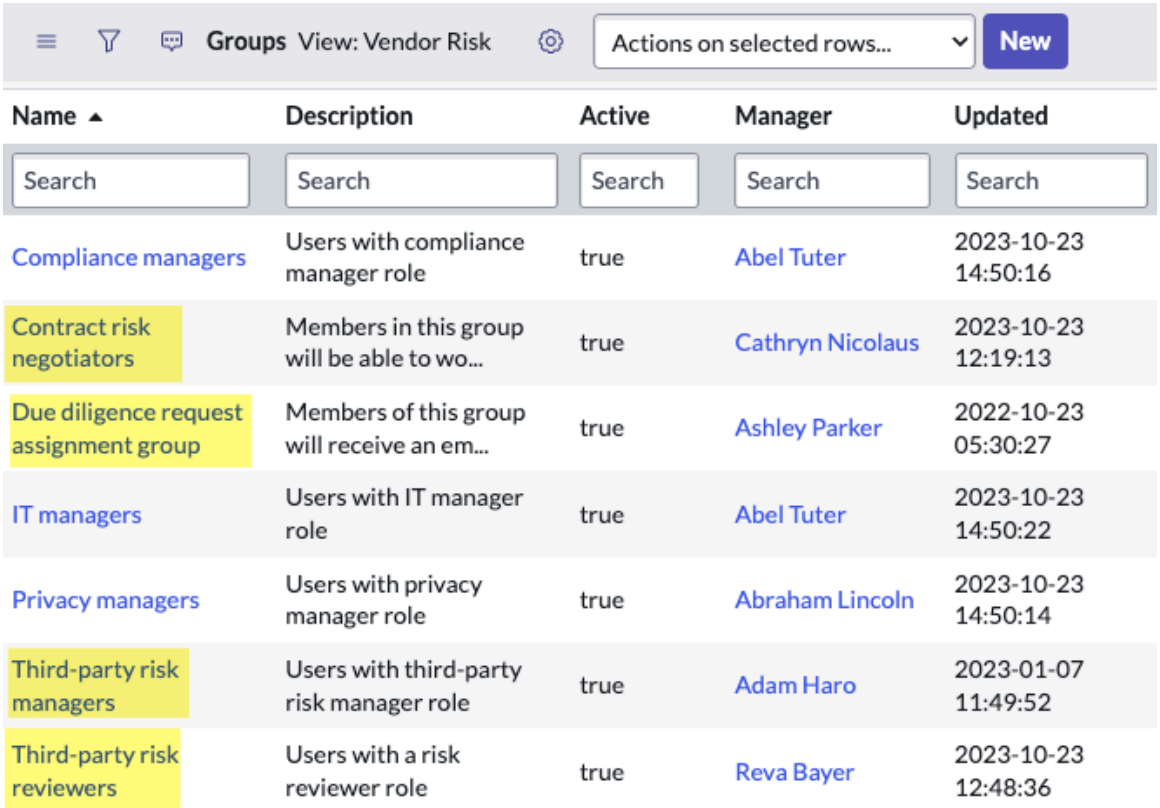
メンバーは契約リスクプロセスで作業します。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 管理 > グループ.
   ユーザーグループのリストが表示されます。この画像では、 TPRM グループが強調表示されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Name ▲	Description	Active	Manager	Updated
Search	Search	Search	Search	Search
Compliance managers	Users with compliance manager role	true	Abel Tuter	2023-10-23 14:50:16
Contract risk negotiators	Members in this group will be able to wo...	true	Cathryn Nicolaus	2023-10-23 12:19:13
Due diligence request assignment group	Members of this group will receive an em...	true	Ashley Parker	2022-10-23 05:30:27
IT managers	Users with IT manager role	true	Abel Tuter	2023-10-23 14:50:22
Privacy managers	Users with privacy manager role	true	Abraham Lincoln	2023-10-23 14:50:14
Third-party risk managers	Users with third-party risk manager role	true	Adam Haro	2023-01-07 11:49:52
Third-party risk reviewers	Users with a risk reviewer role	true	Reva Bayer	2023-10-23 12:48:36

2. 更新するグループの名前を選択します。
3. オプション: グループのマネージャーを指定します。
   グループ マネージャーは、グループ メンバーシップを継続的に更新する責任があります。グループマネージャーは通常、メンバーと同じ (またはそれ以上) のロールを持ちます。
4. オプション: グループのメール エイリアスを指定します。
   - エイリアスを指定しない場合、各メンバーに個別のメール通知が送信されます。
   - エイリアスを指定すると、[宛先:] リスト内のすべてのメンバーを含む単一のメール通知が送信されます。
5. [グループメンバー] 関連リストで、[編集] を選択します。
6. 適切なすべてのユーザーを [コレクション] リストから [グループ メンバー] リストに移動し、[保存] を選択します。
7. オプション: [グループ] 関連リストを使用して、定義しているグループにサブグループを追加します。
   このオプションを使用すると、ユーザーを実用的なサブセットに整理できます。
8. グループごとにこのプロセスを繰り返します。

関連情報

サードパーティリスク管理 でのロール

TPRM と Explicit Roles プラグイン

[store-future: BEGIN review]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク層アセスメントを **IRQ** アセスメントに変換する

ワークスペース操作を最適に使用する TPRM には、既存の階層アセスメントデータを IRQ データに変換します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて

注:
ここで説明する手順では、 TPRM ユーザーインターフェイスを使用して変更を行います。変更を実行するスクリプトを作成することもできます。

IRQ テーブルと従来の階層アセスメントテーブルとの関係

IRQ レコードを保持するテーブルは、従来の階層アセスメントレコードを保持するテーブルを拡張します。

- 既存のテーブル sn_vdr_risk_asmt_vdr_tiering_assessment は、従来の階層化アセスメントデータにのみ使用されます。
- すべての TPRM IRQ プロセスのレコードは、子テーブル sn_vdr_risk_asmt_internal_assessmentにあります。

2 つのテーブルの違い

- IRQ テーブルは階層化テーブルの子であるため、テーブルの sys_class_name 値は異なります。
- IRQ テーブルには、さらに 2 つのビジネスルールがあります。
- IRQ テーブルは、 分類が **IRQ** のアンケートテンプレートのみを取ります。

  注:
  階層化アセスメントテンプレートのリスク採点ルールは、IRQ のルールとは異なる場合があります。多くの場合、階層評価テンプレートを使用し、テンプレートの分類を **IRQ** に変更することで、良い結果を得ることができます。

- [状態] フィールドはコード内の元の値を保持しますが、階層割り当てラベルは [応答を受信しました] に置き換えられます。[ドラフト]、[応答待ち]、および [クローズ済み] ステータスのラベルは変更されません。

手順の概要

1. タスクタイプ = 階層アセスメントのすべてのアセスメントの場合: [タスクタイプ] の値を [内部アセスメント] に変更します。
2. 階層のアサインから受信した応答へのステータス値が自動更新されます

その結果、データは IRQ として保存され、ワークスペース操作で TPRM データを使用できます。

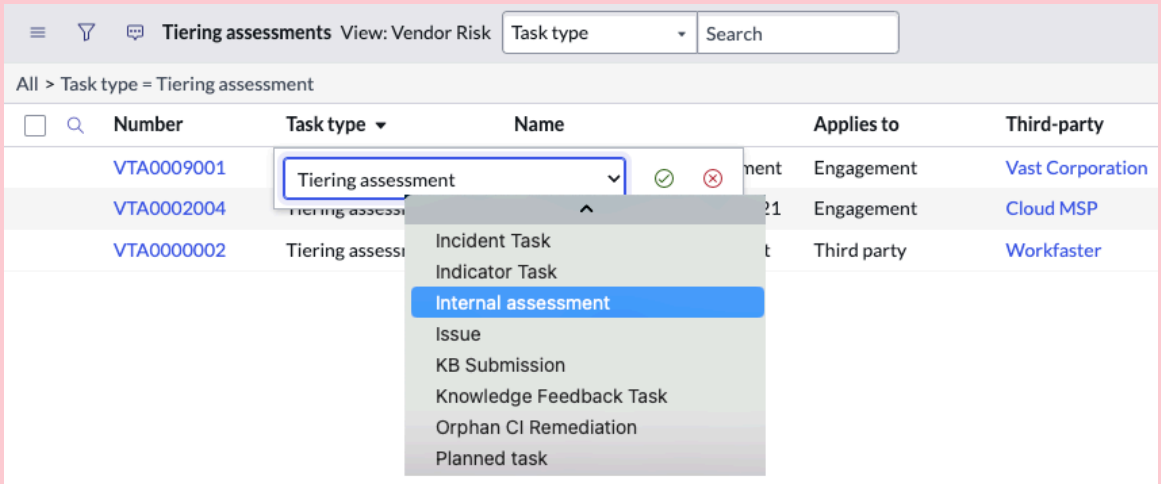
重要:
リスク階層アセスメントごとに、テキスト **VTA** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。 VTA 番号は、[タスクタイプ] の値を変更した後も変更されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 階層アセスメント > すべての階層アセスメント.
2. [タスクタイプ] 列をリストに追加します。
3. [タスクタイプ] の値が [階層アセスメント] であるアセスメントごとに、フィールドをダブルクリックし、値を [内部アセスメント] に変更します。



[End]

TPRM のプロパティの構成

さまざまな TPRM 操作のプロパティ設定を構成します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
次のプロパティ設定を指定できます。

組織の名前 [sn_vdr_risk_asmt.company.name]

サードパーティの連絡先には、サードパーティポータルのすべての参照でこの名前が表示されます。

スプレッドシートのテキスト区切り文字 [sn_vdr_risk_asmt.excel_choice_delimiter]

タイプが「選択肢」と「複数選択」の質問の回答テキストを区切る文字列。

一般的な区切り文字:\r、\n、\t、\r\n、およびカンマ文字。

スプレッドシートファイルの最大サイズ [sn_vdr_risk_asmt.excel_file_max_size]

インポートできる最大ファイルサイズ (MB)。

TPR 査定人がサードパーティアンケートの回答を変更することを許可 [sn_svdp.allow_assessor_edit]

次のオプションを設定できます。

- TPR 査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] が質問に回答したり、回答を変更したりできるようにする (デフォルト)
- TPR 査定人が応答を変更できるようにする
- TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできないようにする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

回答を再利用するための最大経過時間 [sn_tprm_dd.max_age_for_questionnaire_reuse]

新しいアンケートに回答を事前入力するために使用されるアンケートの最大経過日数。最後にクローズされたアセスメントのアンケートが使用されます。この設定は、ユーザーがアンケートまたはアンケートテンプレートを構成するときに [以前の回答を含める] オプションを選択したときに適用されます。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 管理 > プロパティ
2. プロパティごとに、ニーズを満たす値を入力します。
   - 各プロパティエントリは、入力する値を説明しています。
   - プロパティの名前を表示するには、情報アイコン ( ) を選択します。

リスク集中マップの TPRM 有効化

リスク集中マップ機能をインストールした後、ライセンスをインストールして Google 機能を有効にする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

の Set up Google Maps API 指示に従います。

Geo-map コンポーネントの Maps API の詳細については Google 、KB 記事「 KB1588661

サードパーティの連絡先とのメールを有効にする

サードパーティの連絡先とのメール通信を構成して、アセスメントと問題のメール通知を有効にします。

始める前に
必要なロール：管理者

このタスクについて

注:
サードパーティの連絡先には、サードパーティポータルのすべての参照で組織の名前が表示されます。名前は sn_vdr_risk_asmt.company.name プロパティの設定で指定します。「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > メールプロパティ.
2. [電子メールの送信を有効にする] チェック ボックスと [電子メール受信を有効にする] チェック ボックスの両方を選択し、[保存] を選択します。



他のシステムからの既存データのインポート

他のシステム (Aravo プラットフォーム、プラットフォーム ProcessUnity など) から既存のデータ (サードパーティ、エンゲージメント、アセスメント、アンケート、問題など) をインポートします。データのインポートに対して課金されることはありません。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インスタンスにデータをインポートするプロセス全体については、「https://docs.servicenow.com/bundle/sandiego-platform-administration/page/administer/import-sets/reference/import-sets-landing-page.html」を参照してください。

データのインポートプロセスを順を追って説明する学習モジュールは、https://developer.servicenow.com/dev.do#!/learn/courses/sandiego/app_store_learnv2_importingdata_sandiego_importing_data_into_servicenow にあります。

変換マップの実行に関する学習モジュールは、https://developer.servicenow.com/dev.do#!/learn/courses/sandiego/app_store_learnv2_importingdata_sandiego_importing_data_into_servicenow にあります。

重要:
課金されずにデータをインポートするには、変換マップを実行してデータをインポートする前に、「[ビジネスルールを実行] オプションをオフにする」必要があります。ビジネスルールをオフにしない場合、インポートされたデータレコードはアクティビティとしてマークされ、ライセンスの課金が発生します。

手順

1. 変換マップを作成します。
   手順については、「https://docs.servicenow.com/bundle/sandiego-platform-administration/page/script/server-scripting/task/t_CreateATransformMap.html」を参照してください。

   重要:
   変換マップを実行する前に、[ビジネスルールを実行] チェックボックスをオフにします。

2. 変換マップを実行し、データセットごとにこのプロセスを繰り返します。

関連情報

スプレッドシートからアンケートをインポートする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクイックスタートテストの実行 サードパーティリスク管理

アップグレードの適用やアプリケーションの開発などの構成変更を行った後も、TPRM が変わらず正常に動作することを検証します。クイックスタートテストをコピーしてカスタマイズし、インスタンス固有のデータを使用する際に渡します。

GRC: ベンダー管理ワークスペース および サードパーティリスク管理 クイックスタートテストでは、 ベンダー管理ワークスペース AND サードパーティリスク管理 プラグイン (com.sn_vdr_risk_asmt) をアクティブ化してデモデータをロードする必要があります。

GRC: ベンダーリスク管理 および サードパーティリスク管理 クイックスタートテスト

テスト	説明
GRC:エンゲージメントリスクアセスメントの作成	エンゲージメントリスクアセスメントを作成し、エンゲージメントに送信します。
GRC: ベンダーリスクスコアリング - エンゲージメントのアセスメントをキャンセル	エンゲージメントの 1 つのアセスメントがキャンセルされた後、リスク評価の再計算要求がエンゲージメントとサードパーティで自動的に作成されることを確認します。
GRC:ベンダー問題 ATF	サードパーティリスクの問題フォームとサードパーティリスクタスクフォームを作成して送信します。
GRC:ベンダーリスクアセスメントの作成	ベンダーリスクアセスメントを作成し、ベンダーに送信します。
GRC: Vendor Portal - アセスメントの回答および返送	ベンダー連絡先が Service Vendor Portal でアセスメントに回答し、送信します。
GRC：ベンダー階層アセスメント	期間を変更した後、アセスメントを選択して各査定人に送信します。

関連情報

クイックスタートテスト

イベント駆動型管理 – 外部評価プロセスの自動化

イベント駆動型管理機能を使用して、アンケートとドキュメント要求を自動生成してエンゲージメントおよびサードパーティに送信するルールを構成します。定義した基準を満たすエンゲージメントとサードパーティの場合は、スケジュールとアセスメントテンプレートを指定します。オンボーディングを除くすべてのアセスメントタイプを自動化できます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ワークスペース:選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. [リスク] タブで、リストアイコン [イベント ドリブン管理ルール] ボックスの一覧で、任意のオプション ([アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて]) を選択します。
- 従来:移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > イベント駆動型管理 をクリックし、[アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて] のいずれかのオプションを選択します。

2. 新規 を選択し、フォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の設定は、ワークスペースページのセクション、および従来のフォームの関連リストとして表示されます。

イベント駆動型管理ルールフォーム

フィールド	説明
名前	他のユーザーがその意図と運用を理解するのに役立つ、ルールのわかりやすい名前。
Number (数値)	イベント駆動型管理ルールごとに、テキスト **EMR** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。ルール実行 (実行) の履歴テーブルでは、テキスト 「EMH」で始まる実行ごとに一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
ビジネスの根拠	自動化プロセスを定義するビジネス上の理由。
技術的な説明	実行をトリガーする条件と、影響を受けるサードパーティの種類。
スコープ:生成するアセスメントの種類と使用するテンプレートを指定します。	
カテゴリ	○ 外部アセスメント:アンケートとドキュメント要求を送信します。[適用先] フィールドで、資料をサードパーティに送信するか、エンゲージメントに送信するかを指定します。 ○ エンゲージメントの再評価: 条件が変化したときに既存のエンゲージメントを再評価します。たとえば、不利なニュースを聞いたり、サードパーティの供給ラインに変更があった場合は、追加のデューデリジェンスを実施してリスクを再評価することができます。 ○ 契約更新のエンゲージメントの再評価: 組織がデューデリジェンスを実施して、現在のサードパーティとの契約またはエンゲージメントを更新する前にリスクを再評価します。 ○ エンゲージメントのオフボーディングとデューデリジェンス: デューデリジェンスを実施して、エンゲージメントを伴う退職 (関係の終了) が最適なアクションであるかどうかを判断します。たとえば、現在のパフォーマンスが期待を満たしていない場合でも、サードパーティやエンゲージメントを切り替えるのはリスクが高すぎる可能性があります。 ○ エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスなし): エンゲージメントが終了した場合、または他の理由で別のサードパーティに切り替える場合は、エンゲージ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	メントを完全に終了するように要求します。この場合、通常、追加のデューデリジェンスを実施する必要はありません。ただし、このプロセスには、エンゲージメントによって提供されるサービスが継続しなくなることを確認するための通常の固有リスクアンケート (IRQ) プロセスが含まれています。 重要な詳細については、「」を参照してください デューデリジェンスを実施せずにエンゲージメントをオフボーディングする。
適用先	このフィールドは、カテゴリを [外部アセスメント] として設定した場合にのみ編集できます。 アンケートとドキュメント要求をサードパーティに送信するかエンゲージメントに送信するかを指定します。
IRQ テンプレート	このフィールドは、 [外部アセスメント] 以外のカテゴリを選択した場合に表示されます。 IRQ の内容を指定するテンプレート。
アセスメントテンプレート	このフィールドは、カテゴリを [外部アセスメント] として設定した場合にのみ表示されます。 送信するアンケートとドキュメント要求を指定するテンプレート。
実行オプション:アセスメントを生成するためのトリガーとスケジュールを定義します。	
実行タイプ	ルールのトリガー方法を指定します。 ○ **1**回限り:[開始日] フィールドで指定した日付にサードパーティリスクアセスメントを送信します。 ○ 繰り返し:[頻度] 設定で指定したスケジュールでサードパーティリスクアセスメントを送信します。 ○ オンデマンド: ユーザーが [今すぐ実行] をクリックした場合にのみ、ルールが実行されます。

自動翻訳

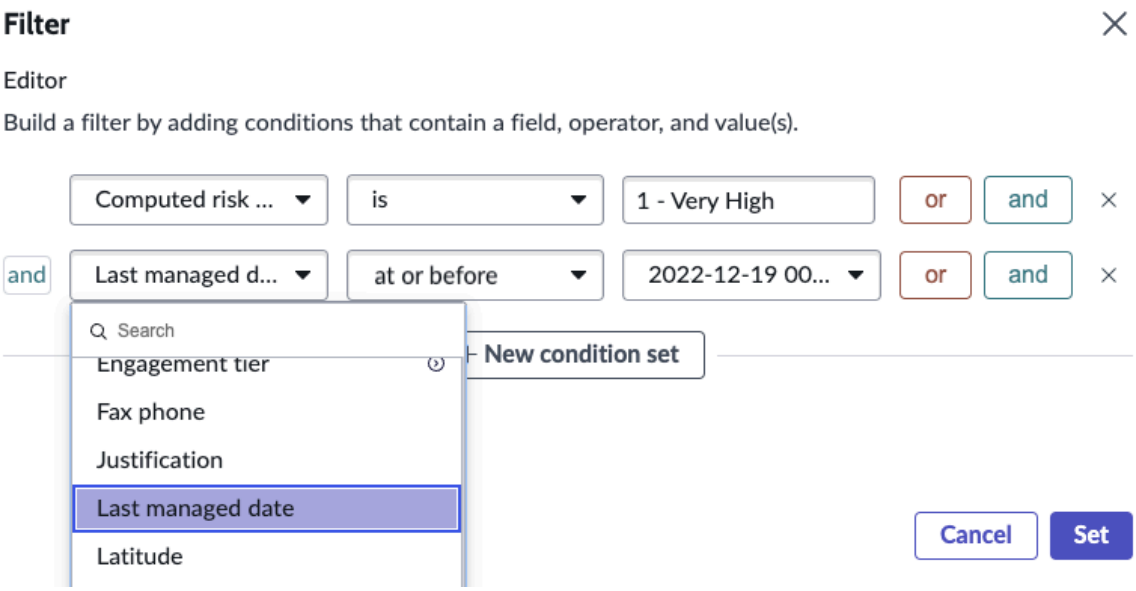
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [実行の種類] の設定に関係なく、[今すぐ実行] をクリックすると、いつでもルールをすぐに実行できます。このようなオンデマンド実行は、今後のスケジュールされた実行には影響しません。実行履歴では、実行の トリガーアクション は [手動] として記録されます。
周期	このフィールドは、[繰り返し] 実行タイプを選択した場合にのみ表示されます。 ルールを実行する頻度を指定します。
開始日	このフィールドは、実行タイプが [繰り返し] または **[1** 回限り] を選択した場合にのみ表示されます。 アクティブなルールを実行できる最初の日付 (指定したフィルター条件による)。1 回限りのルールは開始日に実行されます。
終了日	このフィールドは、[繰り返し] 実行タイプを選択した場合にのみ表示されます。 アクティブなルールを実行できる最後の日付 (指定されたフィルター条件による)。ルールは、終了日後に非アクティブになります。 終了日を指定しない場合、ルールは削除または更新するまで続行されます。

3. フィルター条件を指定します。
フィルターエディターを使用して、アンケートとドキュメント要求を受け取るサードパーティまたはエンゲージメントを決定する条件を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[設定] をクリックすると、フィルターが適用され、フィルター条件に一致するエンゲージメントまたはサードパーティのリストを表示できるリンクが表示されます。

4. フィルター条件に一致するエンゲージメントまたはサードパーティに対して、IRQ 査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor]、オーナー、および契約リスクネゴシエーター [sn_vdr_risk_asmt.contract_negotiator] を選択する方法を指定します。

オプション	説明
最後に使用	エンゲージメントの機能を最後に実行したユーザーをアサインします。
オンボーディングの利用	エンゲージメントのオンボーディング中に最後に機能を実行したユーザーをアサインします。
今すぐ指定	このオプションを選択すると、ユーザーを指定するための選択ボックスが開きます。
後で指定	このオプションを選択すると、ルールが保存された後に、自分または別のユーザーが、後でワークフロー中に適切な IRQ 査定人または契約リスク交渉担当者を指定できます。このオプションは、所有者の選択には表示されません。

5. ワークスペースで [保存] をクリックするか、フォームで [送信] をクリックします。
   - ルールが保存されます。
   - [実行の種類] の設定に関係なく、[今すぐ実行] をクリックすると、いつでもルールをすぐに実行できます。このようなオンデマンド実行は、今後のスケジュールされた実行には影響しません。実行履歴では、実行の トリガーアクション は [手動] として記録されます。
   - ワークスペースの [詳細] タブとフォームには、以下の追加の読み取り専用値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

追加の値

フィールド	説明
アクティブ	ルールをアクティブ化するためのオプションデフォルトでは、新しく定義されたルールはアクティブではありません。 ○ 指定した条件が満たされると、[実行ステータス] の値が [準備完了] のアクティブなルールのみを実行できます。 ○ ただし、 オンデマンド として設定されたルールは、アクティブかどうかに関係なく実行できます。
実行ステータス	○ 準備完了:ルールが定義され、フィルター条件とスケジュールの決定に従って実行できます。 **注:** 指定した条件が満たされると、[実行ステータス] の値が [準備完了] のアクティブなルールのみを実行できます。 ○ 実行中:ルールは現在実行中です (アンケートと文書要求の送信中)。 現在実行中のルールの場合: 実行開始 タイムスタンプと現在時刻の間の期間は、ルールが実行されている時間を示します。 **注:** [実行の種類] の設定に関係なく、[今すぐ実行] をクリックすると、いつでもルールをすぐに実行できます。このようなオンデマンド実行は、今後のスケジュールされた実行には影響しません。実行履歴では、実行の トリガーアクション は [手動] として記録されます。 ルールの実行が長時間停止していると思われる場合: **a.** 検索項目 プロセス自動化 > フロー管理 > イベントキュー. **b.** エラー状態の `sn_vdr` または `sn_tprm` で始まる名前のプラットフォーム バックグラウンド タスクを検索します。
次回実行予定	繰り返し 実行タイプのルールの場合、次回実行予定の読み取り専用日は、指定されたフィル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ター条件と [頻度] 設定に基づいて計算されます。
前回成功した実行	[成功] ステータスになっている最新の実行のタイムスタンプ。

関連情報

イベント駆動型管理ルールの実行履歴を表示する

イベント駆動型管理ルールの実行履歴を表示する

イベント駆動型管理ルールが実行されると、アンケートとドキュメント要求が自動生成され、サードパーティに送信されます。すべての実行のルールの現在の状態 (実行中、成功、または取り消し済み) を表示できます。レコード番号を選択して詳細を表示し、ルールによって生成された一連のアセスメントを表示します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - ワークスペース:選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. [リスク] タブで、リストアイコン [イベント ドリブン管理ルール] ボックスの一覧で、任意のオプション ([アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて]) を選択します。
   - 従来:移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > イベント駆動型管理 をクリックし、[アクティブ]、**[**非アクティブ]、または [すべて] のいずれかのオプションを選択します。
2. ワークスペースで [イベント駆動型管理履歴] タブを選択するか、フォームで [イベント駆動型管理履歴] 関連リストを表示します。

   実行の各レコードには、次の読み取り専用値が含まれます。

イベント駆動型管理履歴

フィールド	説明
Number (数値)	数値を選択すると、実行の [詳細] タブが表示されます。 イベント駆動型管理ルールごとに、テキスト **EMR** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。ルール実行 (実行) の履歴テーブルでは、テキスト 「EMH」で始まる実行ごとに一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクションをトリガー	○ ジョブスケジュール: [頻度] 設定で指定されたスケジュールでルールが実行されました。 ○ 手動: ユーザーが [今すぐ実行] をクリックしたときにルールが実行されました。
実行開始	ルールの実行が開始された日時。 現在実行中のルールの場合: 実行開始 タイムスタンプと現在時刻の間の期間は、ルールが実行されている時間を示します。
実行完了	ルールの実行が終了した日時。
ステータス	○ 実行中:ルールは現在実行中です (アンケートと文書要求の送信中)。 現在実行中のルールの場合: 実行開始 タイムスタンプと現在時刻の間の期間は、ルールが実行されている時間を示します。 ○ 成功:ルールが完了し、すべてのアンケートとドキュメント要求がサードパーティに送信されました。 ○ 取り消し中:ルールが取り消され、現在、サードパーティポータルからアンケートと文書要求を削除しています。 ○ 取り消し済み:ルールの実行が完了した後、ユーザーがサードパーティのリスクアセスメントを取り消しました。「イベント駆動型のアンケートとドキュメント要求の取り消し」を参照してください。

自動翻訳

イベント駆動型管理ルールによって生成されたアセスメントを表示する

イベント駆動型管理ルールが実行されると、アンケートとドキュメント要求が自動生成され、サードパーティに送信されます。すべての実行のルールの現在の状態 (実行中、成功、または取り消し済み) を表示できます。レコード番号を選択して詳細を表示し、ルールによって生成された一連のアセスメントを表示します。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

手順

1. ベンダー管理ワークスペースで、次のいずれかの方法を使用してプロセスを開始します。

   ○
   - 特定のルールのすべての DD 要求とアセスメントを表示するには:

     a. リストアイコン 

     b. [イベント ドリブン管理ルール] ボックスの一覧で、任意のオプション ([アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて]) を選択します。

     c. ルールを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [イベント ドリブン管理履歴] タブで、実行を選択します。

e. 適切なタブを選択して、ルールから送信された DD 要求またはアセスメントを表示します。

- ルールの特定の実行に関する DD 要求とアセスメントを表示するには、次のようにします。

- **a.** リストアイコン

b. [イベント ドリブン管理履歴] ボックスの一覧で、[成功した実行] または [取り消しされた実行] のいずれかのオプションを選択します。

c. 実行を選択します。

d. 適切なタブを選択して、ルールから送信された DD 要求またはアセスメントを表示します。

2. 従来のインターフェイスで、ルールの特定の実行に対する DD 要求とアセスメントを表示します。

- **a.** 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > イベント駆動型管理履歴 をクリックし、[成功した実行]、**[**取り消しされた実行] のいずれかのオプションを選択します。

b. 実行を選択します。

c. 適切なタブを選択して、ルールから送信された DD 要求またはアセスメントを表示します。

3. [詳細] タブを選択して、実行の記録を表示します。

各レコードには、次の読み取り専用の値が含まれています。

イベント駆動型管理履歴

フィールド	説明
Number (数値)	イベント駆動型管理ルールごとに、テキスト **EMR** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。ルール実行 (実行) の履歴テーブルでは、テキスト 「EMH」で始まる実行ごとに一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
アクションをトリガー	○ ジョブスケジュール: [頻度] 設定で指定されたスケジュールでルールが実行されました。 ○ 手動: ユーザーが [今すぐ実行] をクリックしたときにルールが実行されました。
実行開始	ルールの実行が開始された日時。 現在実行中のルールの場合: 実行開始 タイムスタンプと現在時刻の間の期間は、ルールが実行されている時間を示します。 ルールの実行が長時間停止していると思われる場合:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	a. 検索項目 プロセス自動化 > フロー管理 > イベントキュー. **b.** エラー状態の sn_vdr または sn_tprm で始まる名前のプラットフォーム バックグラウンドタスクを検索します。
実行完了	ルールの実行が終了した日時。
ステータス	○ 実行中:ルールは現在実行中です (アンケートと文書要求の送信中)。 現在実行中のルールの場合: 実行開始 タイムスタンプと現在時刻の間の期間は、ルールが実行されている時間を示します。 ○ 成功:ルールが完了し、すべてのアンケートとドキュメント要求がサードパーティに送信されました。 ○ 取り消し済み:ルールの実行が完了した後、ユーザーがアンケートと文書要求を取り消しました。「イベント駆動型のアンケートとドキュメント要求の取り消し」を参照してください。

イベント駆動型のアンケートとドキュメント要求の取り消し

イベント駆動型管理ルールによって送信されたサードパーティのリスクアセスメント (アンケートと文書要求) を取り消すことができます。アイテムは、まだ応答していないすべてのサードパーティまたはエンゲージメントのサードパーティポータルから削除されます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

重要:
アンケートと文書要求は、アイテムがまだ返されていないサードパーティの場合にのみサードパーティポータルから削除されます。

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - ワークスペース:選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. [リスク] タブで、リストアイコン [イベント ドリブン管理ルール] ボックスの一覧で、任意のオプション ([アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて]) を選択します。
   - 従来:移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > イベント駆動型管理 をクリックし、[アクティブ]、[非アクティブ]、または [すべて] のいずれかのオプションを選択します。
2. [取り消しの理由] フィールドに品目を取り消す理由を説明するテキストを入力し、[取り消し] をクリックします。

   影響を受けるサードパーティポータルからサードパーティリスクアセスメントが削除され、ルールの [ステータス] 値が [取り消し済み] に設定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

進行中の構成

TPR マネージャーロールと TPR 管理者ロールには、さまざまな責任があります。TPRM ベースシステムを設定した後、日常のリスクアセスメントタスクを有効にして強化する追加設定を構成します。

TPR 管理プロセス

サードパーティの連絡先を設定

サードパーティ連絡先は、サードパーティ組織にいる外部ユーザーです。サードパーティポータルを使用して、アセスメントのアンケートへの回答、タスクの実行、問題に関するリスクアセスメントスタッフとのコミュニケーションなどのタスクを安全に編成、優先順位付け、および実行します。サードパーティポータルへのアクセス権を付与し、サードパーティの連絡先の権限を指定します。

必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

サードパーティリスクドメインを定義する

リスクドメインは、サードパーティのために評価するリスクのタイプを定義します。たとえば、セキュリティリスクの観点からデータ管理サードパーティを評価し、財務リスクの観点から銀行を評価することができます。セキュリティリスクと財務リスクはリスクドメインです。一部のプラットフォームアプリケーションでは、リスクドメインを「リスク領域」と呼びます。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

サードパーティリスク領域基準を定義

サードパーティリスク 領域基準 は、特定のタイプのサードパーティに適用される リスクドメイン (他のプラットフォーム機能では リスク領域 と呼ばれることもあります) のグループです。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

コンポーネント基準を定義する

コンポーネントは、リスクを評価できるエンティティです。ベースシステム には、エンゲージメント、外部モニタリング、子会社、およびサードパーティリスクアセスメントのコンポーネントが含まれています。コンポーネントごとにリスクが計算されてから、リスクが集計され、ロールアップされてサードパーティリスク評価が計算されます。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

リスク評価スケールとスコアリングを設定する

リスク評価スケールは、ビジネスユーザーがリスクアセスメント結果をよりよく理解するのに役立ちます。たとえば、デフォルト設定では、20 ~ 39 のリスクスコアは高リスクを示し、60 ~ 79 の範囲のスコアは低リスクを示します。

> **注:**
> 多くの組織では、デフォルト設定がニーズを適切に表しており、設定を変更しません。

必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

外部アンケートの作成と構成

デューデリジェンスプロセスの一環として、複数のアンケートを送信し、場合によってはドキュメント要求をサードパーティの連絡先に送信します。この進行中のタスクを簡

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

素化するために、アンケートテンプレートとドキュメント要求テンプレートを定義し、再利用可能なアセスメントテンプレートにグループ化します。

必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

TPR 管理プロセスを構成

- デューデリジェンスの要求に対して適切な IRQ を自動選択するビジネスルールを設定します。
- デューデリジェンスの要求の承認選択を設定するビジネスルールを設定します。

サードパーティの連絡先を設定

サードパーティ連絡先は、サードパーティ組織にいる外部ユーザーです。サードパーティポータルを使用して、アセスメントのアンケートへの回答、タスクの実行、問題に関するリスクアセスメントスタッフとのコミュニケーションなどのタスクを安全に編成、優先順位付け、および実行します。サードパーティポータルへのアクセス権を付与し、サードパーティの連絡先の権限を指定します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

重要:
サードパーティ連絡先ロールは、外部連絡先にのみ使用する必要があります。このロールは、インスタンスへのアクセス Now Platform を禁止し、サードパーティポータルへのアクセスのみを許可します。

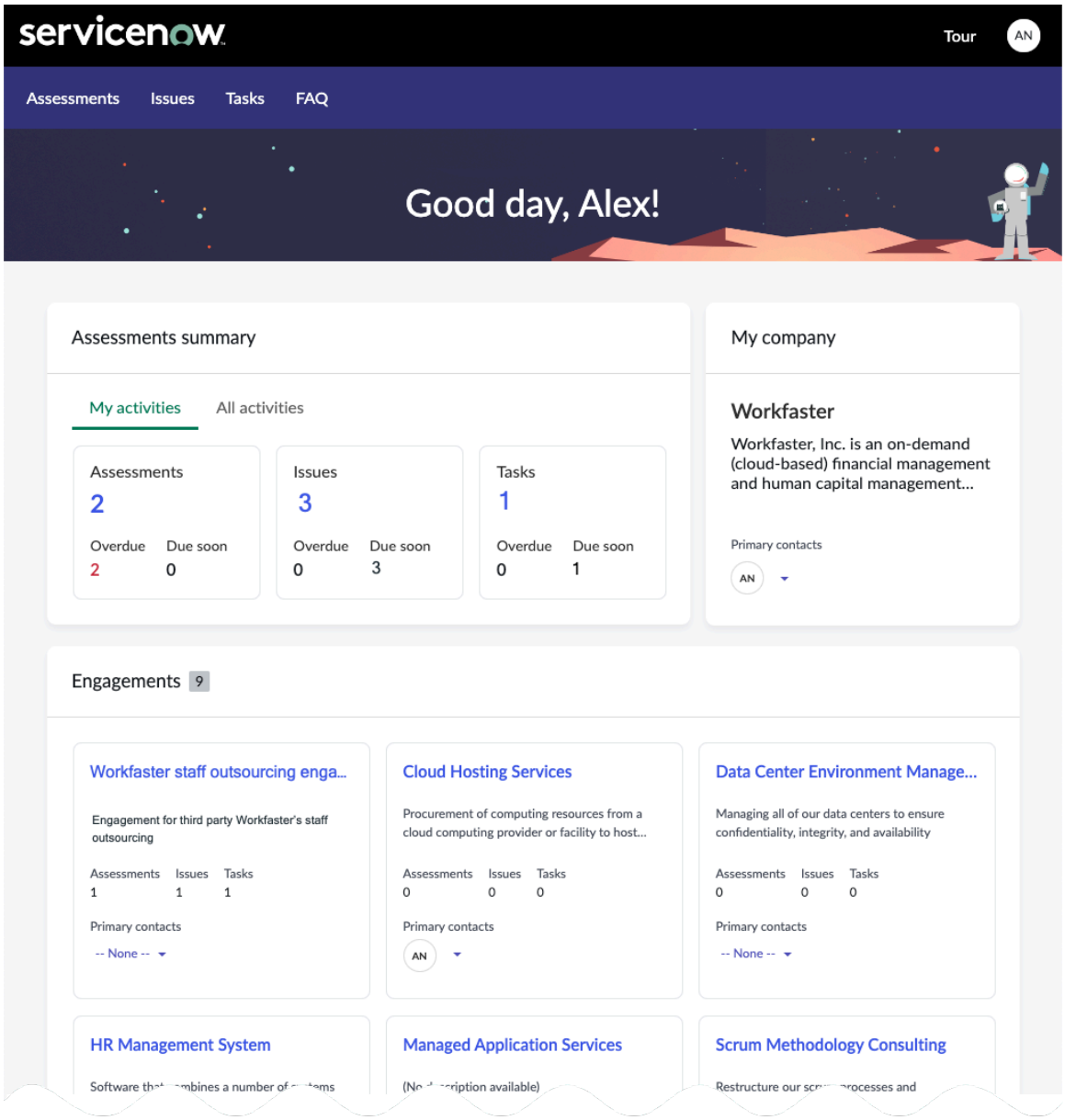
リスクが評価対象のサードパーティ組織のユーザーに、サードパーティ連絡先ロールをアサインします。サードパーティの連絡先には、サードパーティポータルのリソースとアクションへのアクセス権を付与するsnc_externalロールがアサインされます。

主要連絡先の責任を、アセスメントの質問に直接回答できるサードパーティの連絡先にアサインするか、または質問に回答するサードパーティの別の 連絡先 をアサインします。主要連絡先は、サードパーティの他の連絡先を管理できます。

注:
サードパーティの連絡先には、サードパーティポータルのすべての参照で組織の名前が表示されます。名前は sn_vdr_risk_asmt.company.name プロパティの設定で指定します。「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

手順

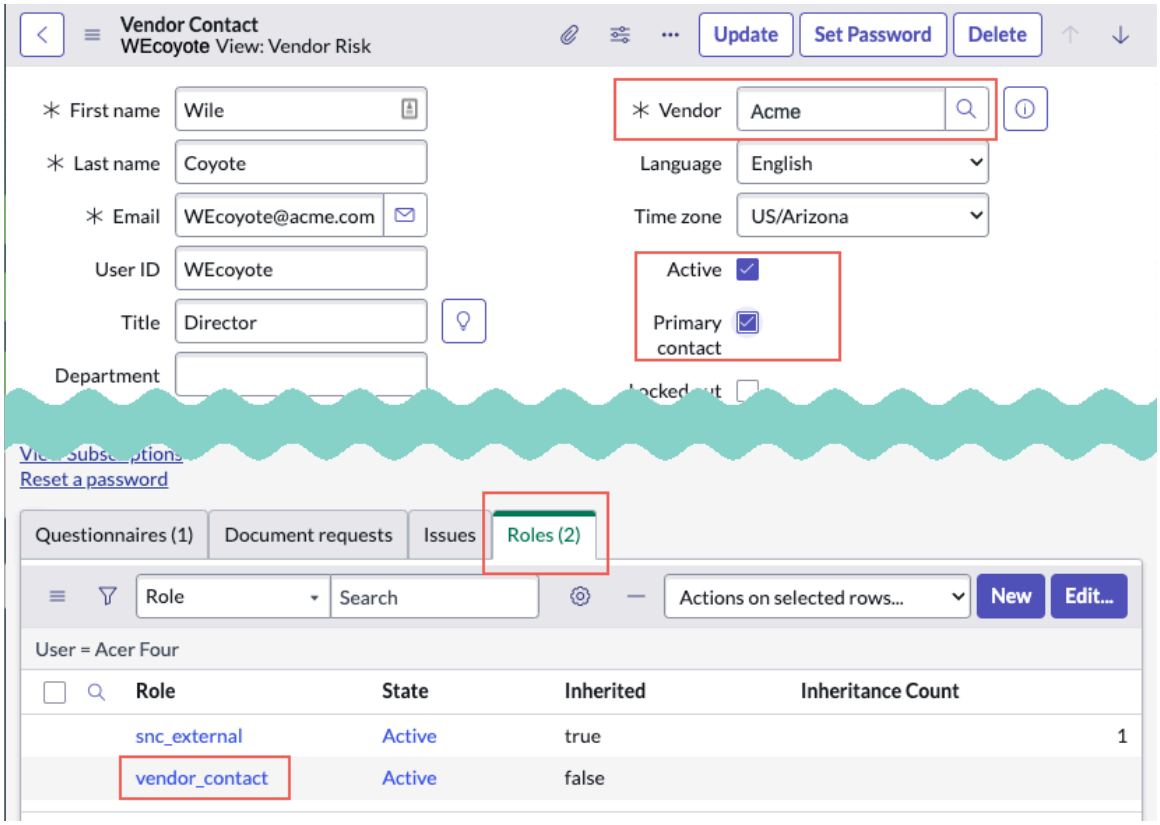
1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > サードパーティ > サードパーティ連絡先 を使用して、サードパーティ連絡先が既にアサインされているかどうかを判断します。

   連絡先の数は、サードパーティごとに一覧表示されます。

2. [サードパーティの連絡先] ページで、関連付けられた連絡先のリストを表示するサードパーティを選択します。
   - 既存の連絡先を管理するには:
     - 各連絡先を順番に選択して、連絡先が適切なサードパーティに関連付けられ、アクティブであり、該当する場合は主要連絡先として指定されていることを確認します。
     - 連絡先に現在アサインされているアンケート、文書要求、および問題が、関連付けられたタブに一覧表示されます。
     - [ロール] 関連リストで、ユーザーの **vendor_contact** ロールが表示されることを確認します。
   - 連絡先を追加するには、 新規 を選択し、次の手順に進みます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [サードパーティの連絡先] フォームに入力します。



サードパーティの連絡先フォーム

フィールド	説明
名、姓、メール、役職、部門	サードパーティ組織のユーザーの標準的な連絡先情報。
ユーザー ID	サードパーティポータルインスタンスへのログインに使用される ID。
サードパーティ	連絡先のサードパーティ組織。
言語、タイムゾーン	サードパーティ組織のユーザーの優先言語とタイムゾーン。
アクティブ	サードパーティポータルで作業する資格を得るために連絡先を有効にするオプション。
主連絡先	主要連絡先の責任を、アセスメントの質問に直接回答できるサードパーティの連絡先にアサインするか、または質問に回答するサードパーティの別の 連絡先 をアサインします。主要連絡先は、サードパーティの他の連絡先を管理できます。

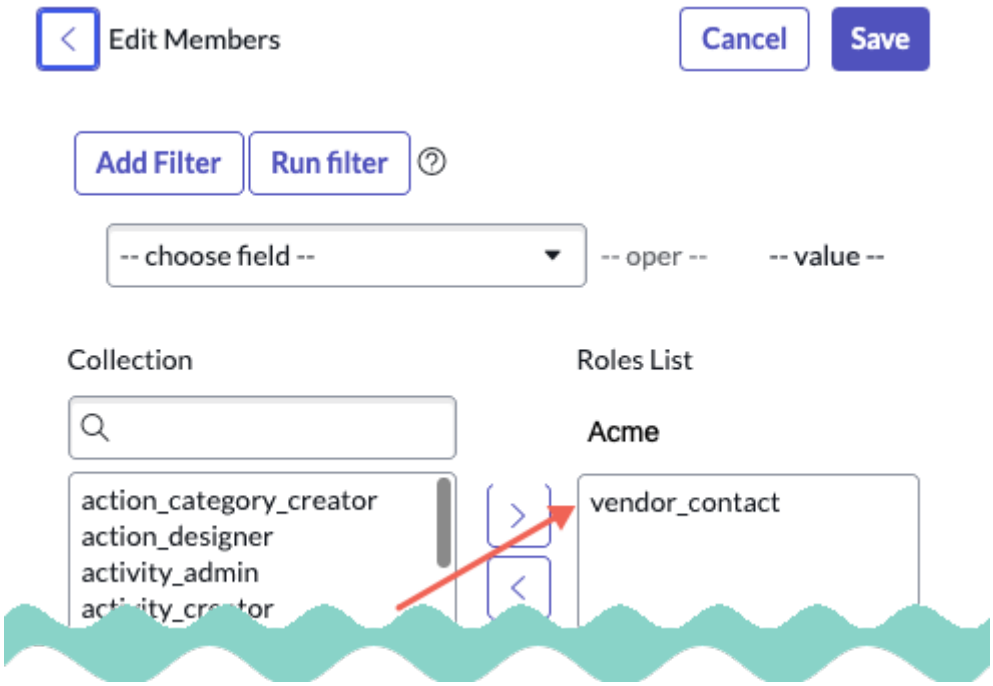
4. [ロール] 関連リストで、ユーザーの **vendor_contact** ロールが表示されることを確認します。

注:
通常、vendor_contactロールには連絡先に**snc_external**ロールが含まれているため、そのロールが割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーに **vendor_contact** ロールが表示されない場合は、[編集] を選択して [ロール] リストに追加します。



警告:
ユーザーに、**snc_internal** などの他のロールがある場合、そのユーザーは、プラットフォームにログインでき、重要なレコードを表示できる可能性があります。

自動翻訳

サードパーティリスクドメインを定義する

リスクドメインは、サードパーティのために評価するリスクのタイプを定義します。たとえば、セキュリティリスクの観点からデータ管理サードパーティを評価し、財務リスクの観点から銀行を評価することができます。セキュリティリスクと財務リスクはリスクドメインです。一部のプラットフォームアプリケーションでは、リスクドメインを「リスク領域」と呼びます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

注:
リスクドメインは、一部のプラットフォームアプリケーションでは「リスク領域」と呼ばれます。

リスクを評価するビジネスのドメインを特定し、各ドメインの重要性 (重み付け) を定量化することで、サードパーティが組織にもたらすリスクをよりよく理解して軽減できます。

- セキュリティリスクドメイン：インフラストラクチャで機密性の高い個人データを扱うサードパーティは、セキュリティ体制を評価する必要がある場合があります。
- 風評被害のリスクドメイン：その個人データが侵害された場合、メディアの批判的な注目を集めて評判が低下する可能性があります。
- 財務リスクドメイン：サードパーティが予定どおりに配送しなかった場合、罰金を支払うまたはや清算を行う必要があり、結果として財務的損失が発生する可能性があります。

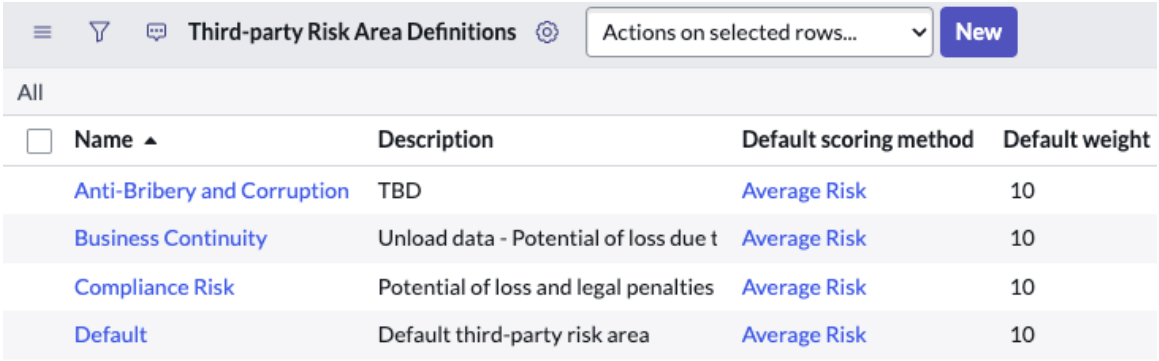
この手順では、 リスクドメイン定義を作成します。各定義では、特定のタイプのリスクについて評価する必要がある組織を決定する基準を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
リスクドメイン定義は、フォームでは リスク領域定義 と呼ばれます。

手順

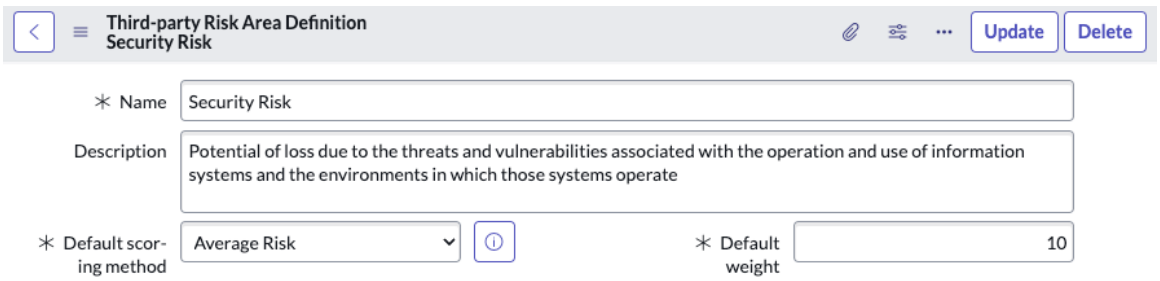
1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > リスク領域定義.



2. [新規] をクリックしてフォームに入力し、[送信] をクリックします。

サードパーティリスク領域定義フォーム

フィールド	説明
名前	リスクドメインの名前。
説明	同僚が定義の意図を理解するのに役立つリスクドメインの説明。例を参照してください。
デフォルトの採点方法	このリスクドメインにおけるサードパーティのデフォルトの採点方法。採点方法は、サードパーティの連絡先が 100 の質問にどれだけ答えるかによって決まります。 ○ 平均リスク：評価の丸め平均により、サードパーティの平均リスク (中) が得られます。 ○ 最大リスク：スコアが 0 の場合は、すべての質問への回答が間違っていて、そのサードパーティのリスクが最大リスク (重大) であることを示します。 ○ 最小リスク：スコアが 100 の場合は、すべての質問への回答が正しく、そのサードパーティのリスクが最小リスク (マイナー) であることを示します。 **注:** 特定のリスクドメイン内の各組織は、リスク領域定義の採点方法と重み付けを継承します。TPR マネージャーは、必要に応じて値を上書きできます。
デフォルトの重み付け	このリスクドメインにおけるサードパーティのデフォルトの重み付け。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
必要なセットアップ手順のチェックリストに進みます。

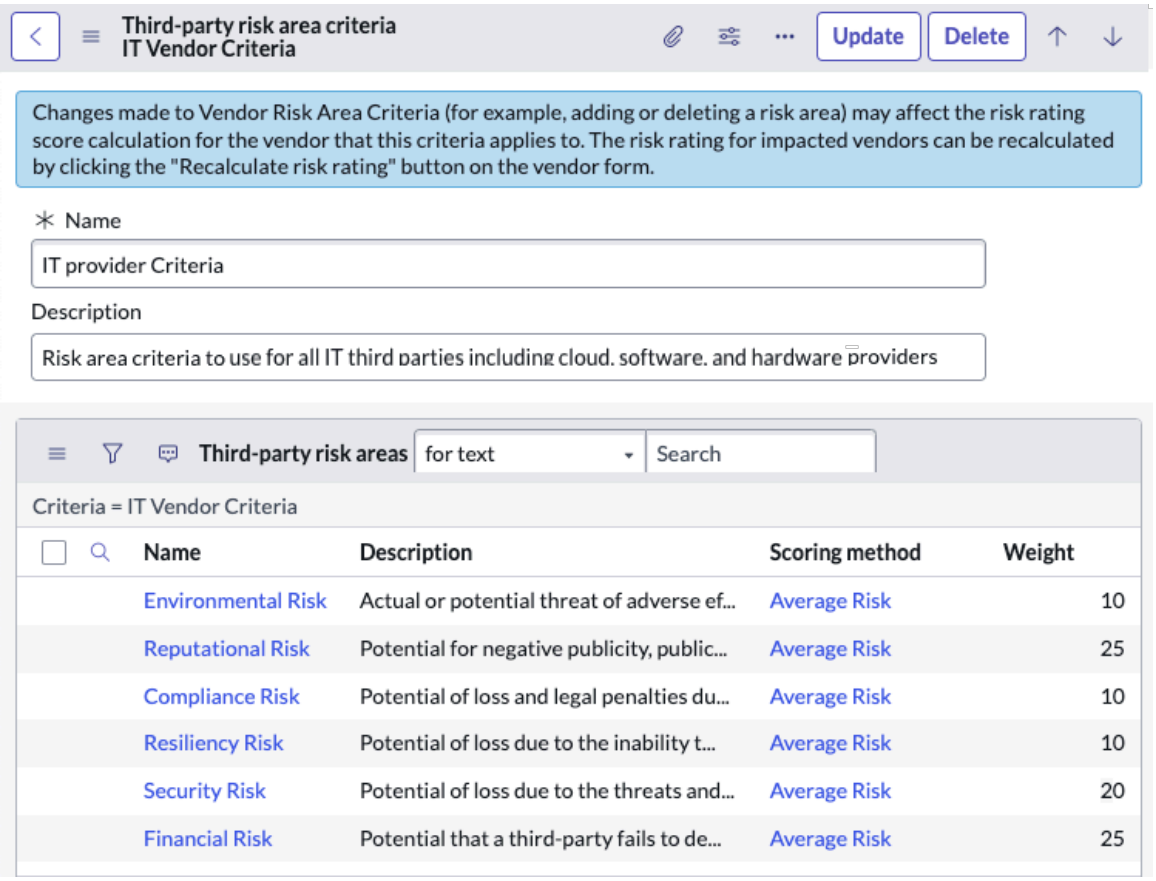
サードパーティリスク領域基準を定義

サードパーティリスク 領域基準 は、特定のタイプのサードパーティに適用される リスクドメイン (他のプラットフォーム機能では リスク領域 と呼ばれることもあります) のグループです。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて
これは、IT サービスプロバイダーに適用できるリスク領域基準に含めるリスクドメインのグループの例です。

注:
リスクドメインは、一部のプラットフォームアプリケーションでは「リスク領域」と呼ばれます。



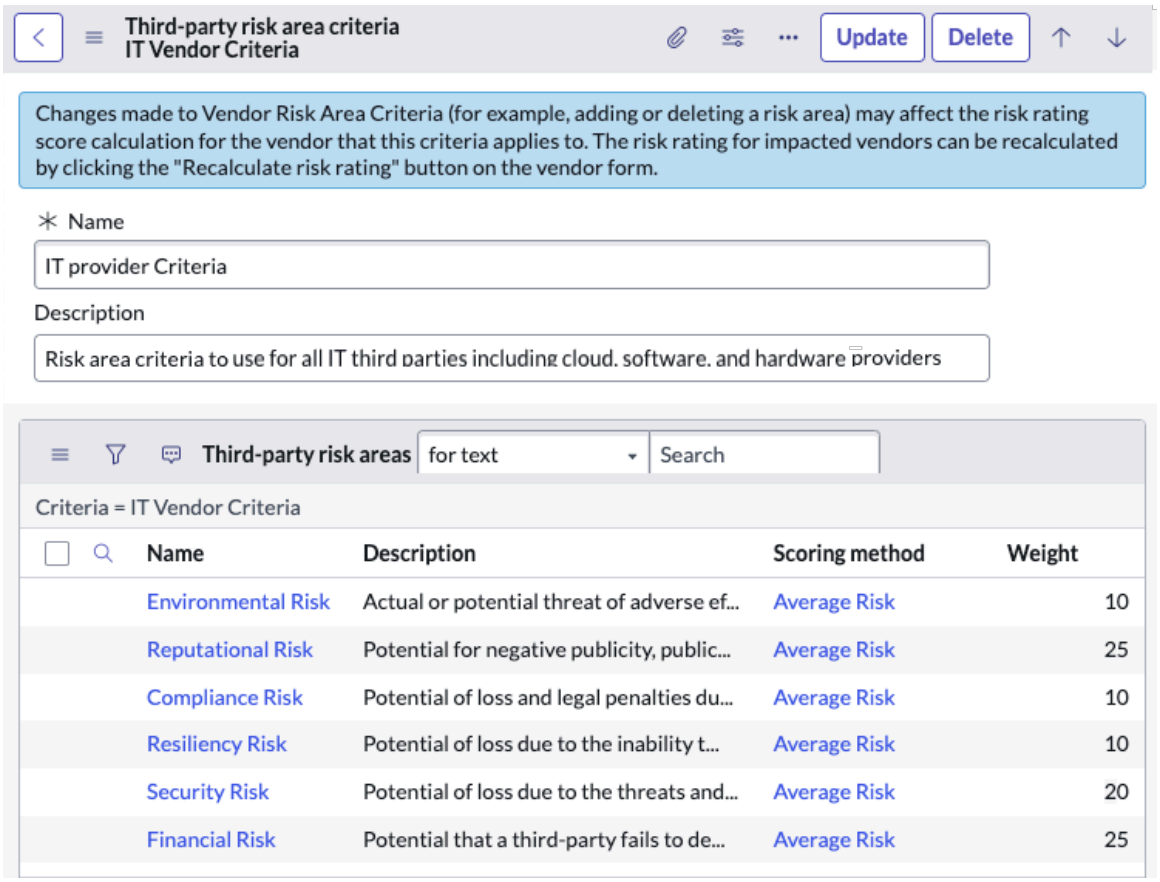
手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > リスク領域基準.
2. [新規] をクリックし、[名前] と [説明] を入力して、レコードを保存します。
   [サードパーティリスク領域] 関連リストが表示されます。次の手順では、リスク領域基準に含めるリスク領域を指定します。
3. [サードパーティリスク領域] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [メンバーの編集] ページで、サードパーティリスク領域基準レコードに追加するサードパーティリスク領域を選択し、[保存] をクリックします。

自動翻訳

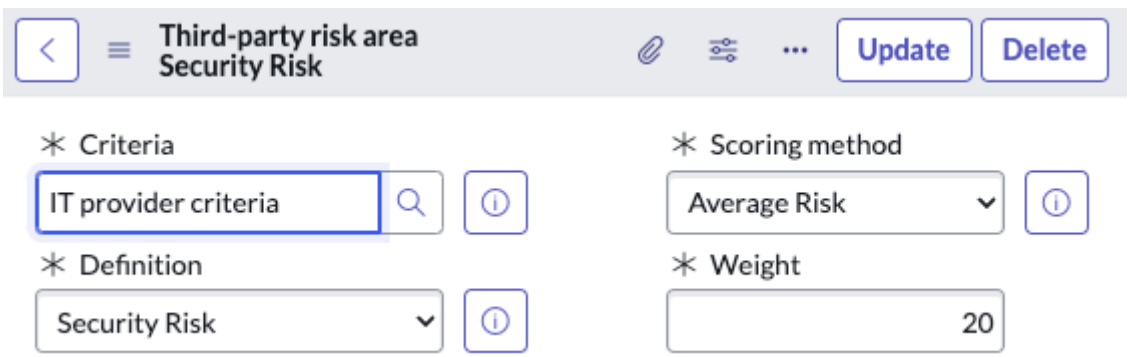
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 選択したサードパーティリスク領域が、[サードパーティリスク領域] 関連リストに表示されます。
- 採点方法と重み付けがリスク領域からコピーされます。
- 基準定義内で、各リスク領域の重み付けを調整できます。
- 必要に応じて値を上書きできます。



5. オプション: [採点方法] と [重み付け] を編集するには、サードパーティリスク領域の名前をクリックします。

重要:
採点方法と重み付けに加えた変更は、サードパーティリスク領域基準レコードに使用されますが、個々のリスク領域定義レコードには保存されません。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example:
財務とセキュリティの 2 つのリスク領域を持つサードパーティリスク領域基準を作成しているとします。財務の採点方法は [最小リスク] で、重み付けは 10 です。

- 会社はセキュリティ関連の基準を重視しているため、セキュリティリスク領域の採点方法は [平均リスク] で、重み付けは 20 です。
- 両方のリスク領域の重み付けは合計 30 です。したがって、重み付けが 10 のリスク領域は 10/30、つまり約 33% と計算されます。
- 重み付けが 20 のリスク領域は 20/30、つまり約 66% と計算されます。
- 両方のリスク領域の重み付けが 10 の場合、それぞれ 50% の重み付けが適用されます。

次のタスク
必要なセットアップ手順のチェックリストに進みます。

コンポーネント基準を定義する

コンポーネント は、リスクを評価できるエンティティ (子会社やエンゲージメントなど) です。コンポーネント基準は、特定のタイプのサードパーティに適用する必要があるコンポーネントのグループです。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて
コンポーネントは、リスクを評価できるエンティティです。ベースシステム には、次の 3 つのコンポーネントが付属しています。

- サードパーティのリスクアセスメント (外部リスクアセスメント)
- 子会社
- エンゲージメント

コンポーネントを表示するには、次の場所に移動します。 サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > コンポーネントの定義.

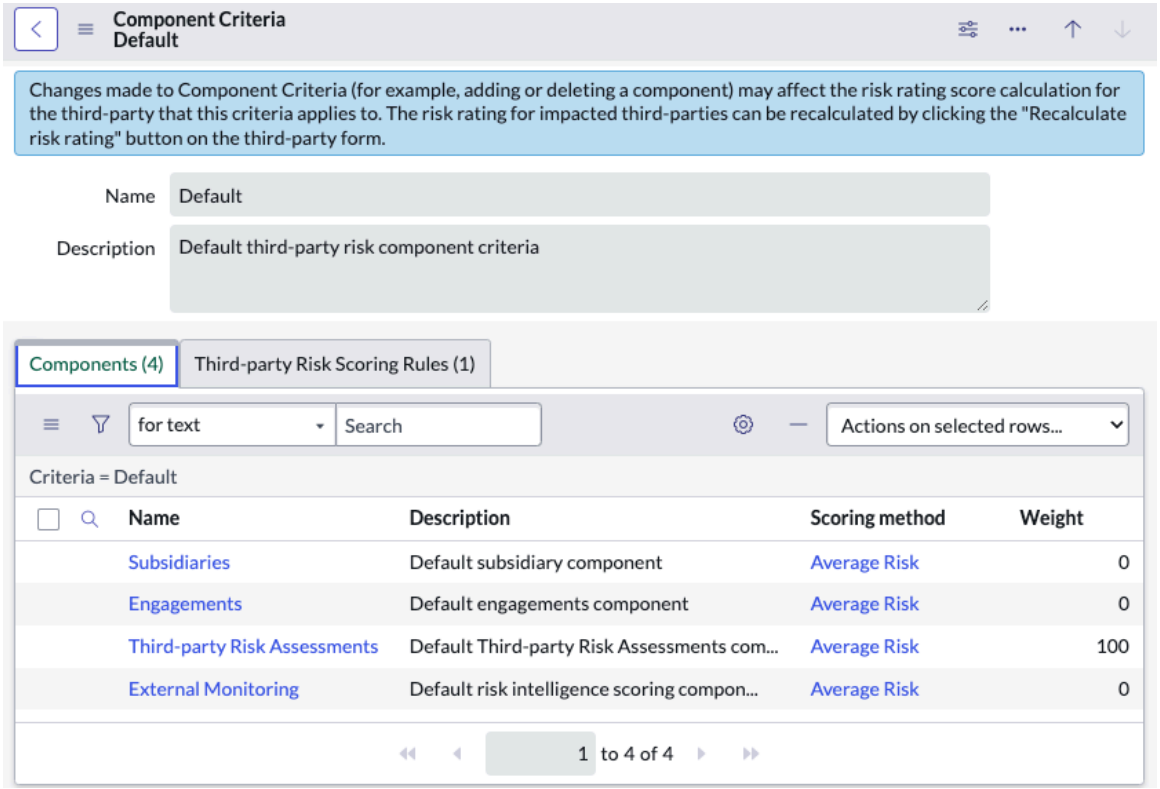
> **注:**
> 新しいコンポーネントを追加したり、既存のコンポーネントを変更したりすることはできません。ただし、コンポーネントの評価に使用する基準 (採点方法と重み付け) を定義することはできます。[デフォルトの採点方法] を更新して、各リスク領域の複数のスコアを計算する方法を指定できます。[デフォルトの重み付け] を使用して、サードパーティの総合リスク評価におけるサードパーティプロバイダースコアの重み付けを調整できます。

手順

1. 移動先 サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > コンポーネント基準.
2. [デフォルト] エントリをクリックしてデフォルトの基準を開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 会社が各コンポーネントタイプをどの程度重視しているかに基づいて、各コンポーネントを開き、重み付けを割り当てます。

   たとえば、次のように、すべての IT サードパーティのコンポーネント基準を作成し、サードパーティリスクアセスメントを重視することができます。

   例：**IT** サードパーティのコンポーネントへの重み付け

コンポーネント	重み付け
子ベンダー	5
エンゲージメント	5
外部リスクアセスメント	90

4. 重み付けの割り当てが完了したら、[更新] をクリックします。

次のタスク
必要なセットアップ手順のチェックリストに進みます。

リスク評価スケールとスコアリングを設定する

リスク評価スケールは、ビジネスユーザーがリスクアセスメント結果をよりよく理解するのに役立ちます。たとえば、デフォルト設定では、20 ~ 39 のリスクスコアは高リスクを示し、60 ~ 79 の範囲のスコアは低リスクを示します。。

始める前に
必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

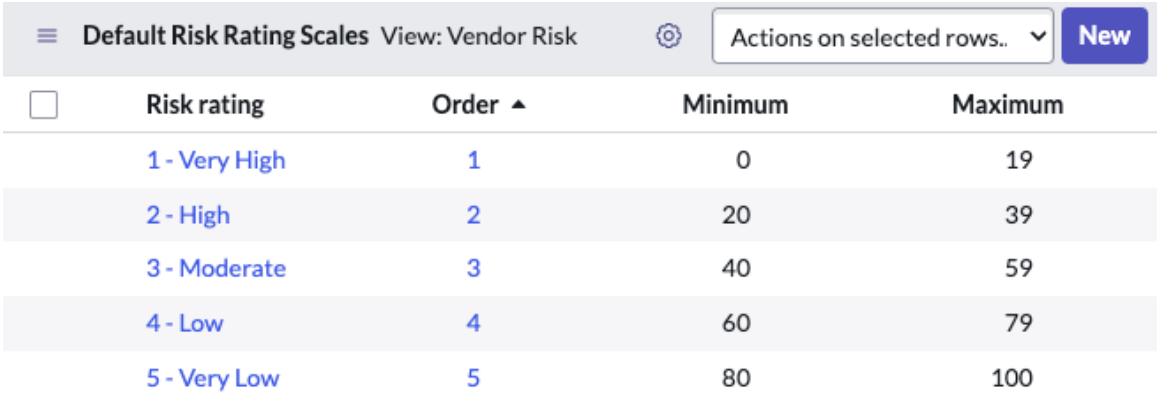
注:
多くの組織では、デフォルト設定がニーズを適切に表しており、設定を変更しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

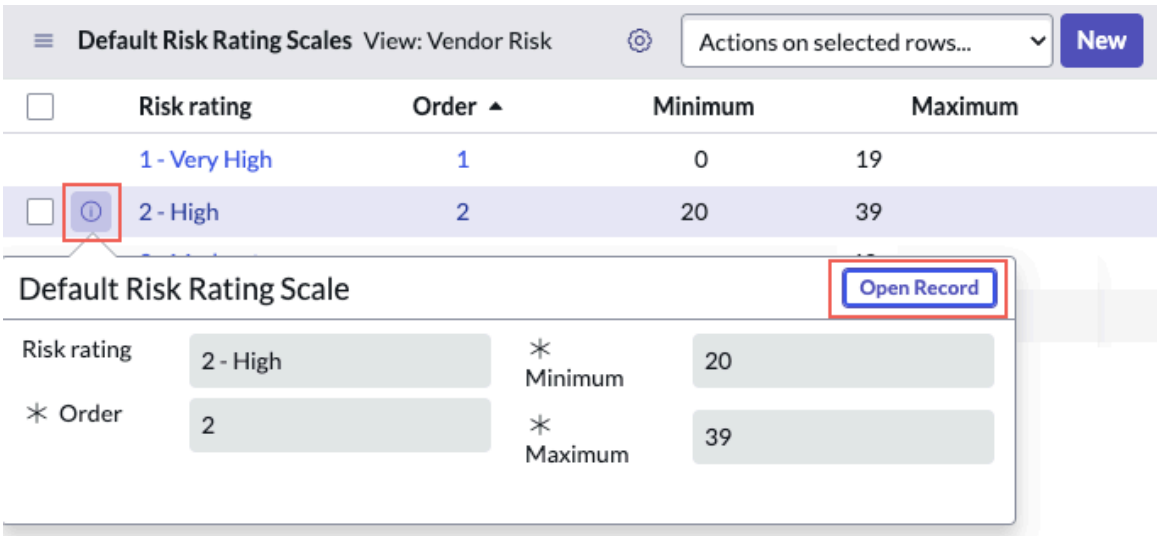
手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > デフォルトのリスク評価スケール リスク評価スケールを変更または調整します。

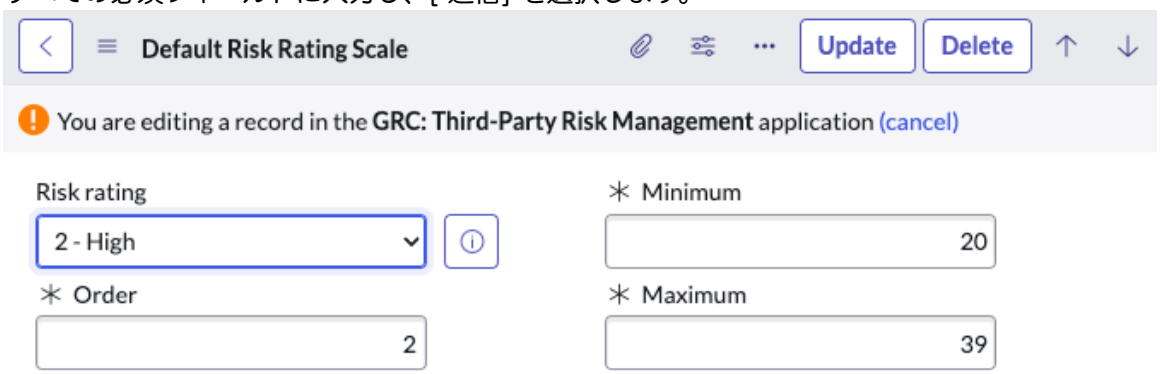
   5 ベースシステム つの評価が含まれています。最大値と最小値をカスタマイズできます。



2. 値を絞り込みます。
   情報アイコンを選択して、リスク評価スケールの値をプレビューします。ポップアップで [レコードを開く] を選択します。



3. すべての必須フィールドに入力し、[送信] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティリスク採点ルールを定義

リスクスコアに基づいて、アセスメントが必要なサードパーティを決定する基準を定義します。サードパーティリスク採点ルールは、子会社とエンゲージメント、およびサードパーティリスク領域に適用されます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > サードパーティリスクスコアリングルール.
2. [新規] をクリックしてフォームに入力し、[送信] をクリックします。

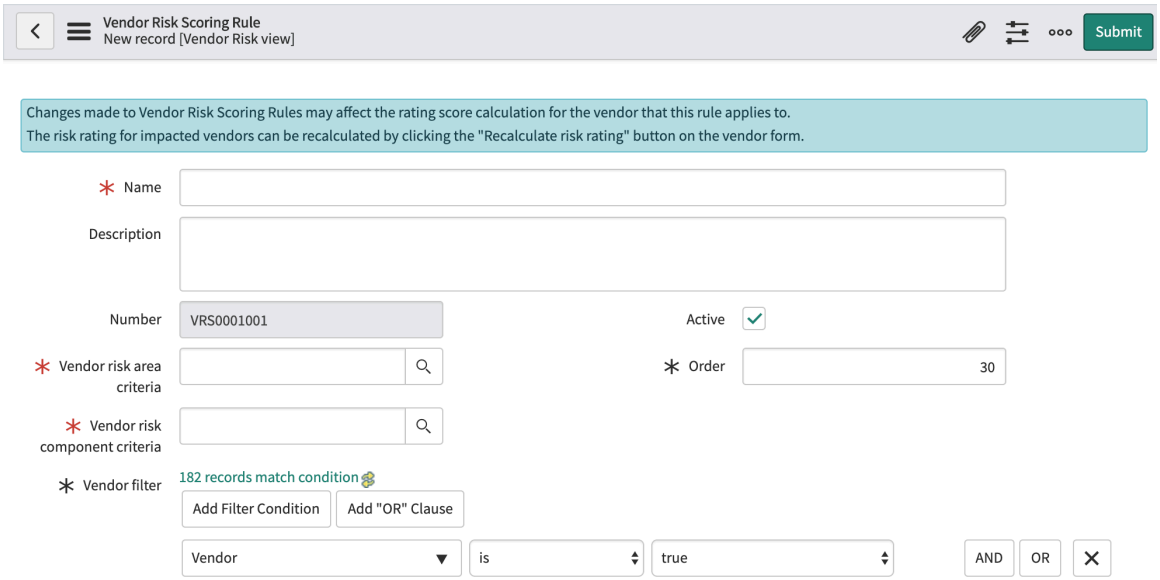
[サードパーティリスク採点ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	採点ルールの名前。
説明	他のユーザーがその意図を理解するのに役立つ採点ルールの説明。
番号	サードパーティリスク採点ルールごとに、テキスト **VRS** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
サードパーティリスク領域基準	このエンゲージメントリスク採点ルールに適用されるリスク領域基準。 サードパーティリスク 領域基準 は、特定のタイプのサードパーティに適用されるリスクドメイン (他のプラットフォーム機能では リスク領域 と呼ばれることもあります) のグループです。基準の定義方法の詳細については、「サードパーティリスク領域基準を定義」を参照してください。
サードパーティリスクコンポーネント基準	このリスク採点ルールに適用されるサードパーティのリスクアセスメント、エンゲージメント、および子会社の基準。 コンポーネント は、リスクを評価できるエンティティ (子会社やエンゲージメントなど) です。コンポーネント基準は、特定のタイプのサードパーティに適用する必要があるコンポーネントのグループです。 「コンポーネント基準を定義する」を参照してください。
アクティブ	ルールをアクティブ化するためのオプションアクティブなルールのみが適用されます。
順序	ルールの優先順位を示す順序を選択します。同じサードパーティリスク領域、エンゲージメント、または子会社に複数のルールが適用される場合は、順序の値が高いルールが適用されます。
ベンダーフィルター	条件ビルダー を使用して、サードパーティを選択するためのルールを定義します。たとえば、取引が多いサードパーティ (サイズが 1,000,000 ドル) や特定の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	カテゴリ内のサードパーティ (カテゴリがソフトウェア) をフィルタリングできます。



次のタスク
必要なセットアップ手順のチェックリストに進みます。

エンゲージメントリスク採点ルールを定義する

エンゲージメントリスク採点ルールは、アセスメントのために選択されるエンゲージメントを決定するコンポーネント基準を指定します。たとえば、ルールにより、年間 40,000 ドルを超えるビジネスに関連するエンゲージメントのアセスメントを有効にすることができます。エンゲージメント採点ルールはエンゲージメントにのみ適用されます。

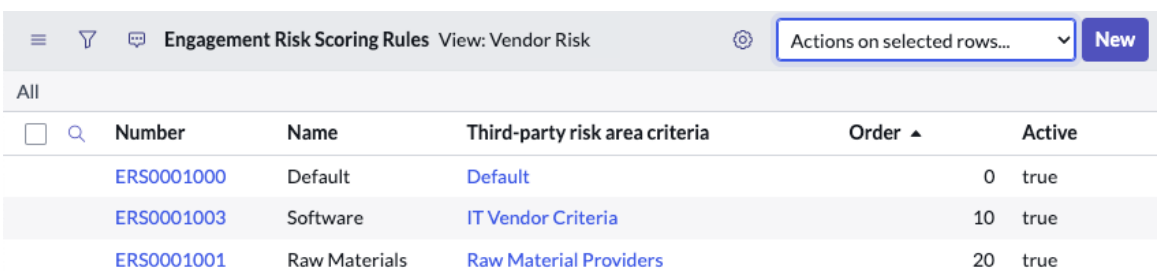
始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

重要:
エンゲージメントリスク採点ルールはエンゲージメントにのみ適用され、親サードパーティには適用されません。したがって、エンゲージメントリスク評価スコアは、エンゲージメントのリスクアセスメントにのみ適用されます。

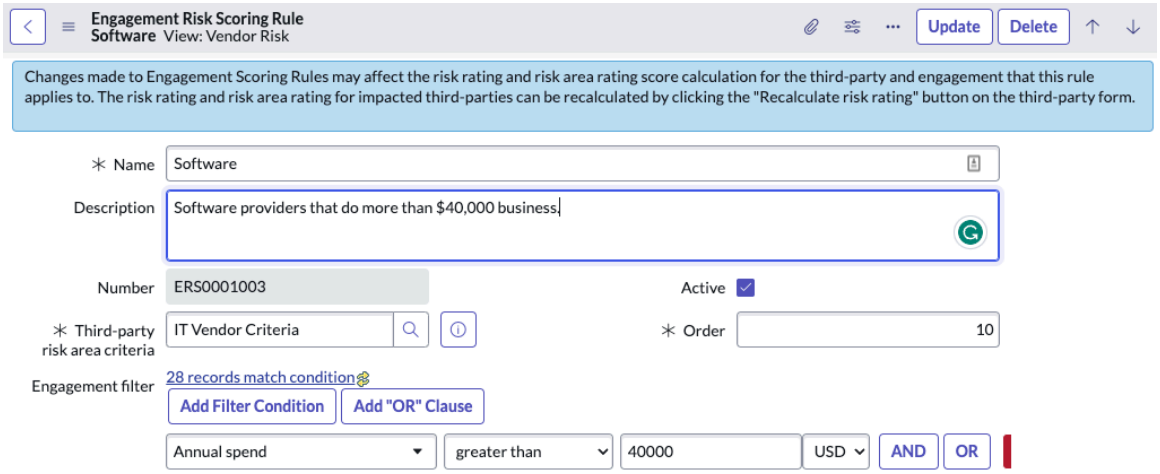
手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > スコアリングセットアップ > エンゲージメントリスクスコアリングルール.



2. [新規] をクリックしてフォームに入力し、[送信] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エンゲージメントリスクスコアリングルールフォーム

フィールド	説明
名前	採点ルールの名前。
説明	採点ルールの説明。
番号	エンゲージメントリスク採点ルールごとに、テキスト **ERS** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
ベンダーリスク領域基準	このエンゲージメントリスク採点ルールに適用されるリスク領域基準。 サードパーティリスク 領域基準 は、特定のタイプのサードパーティに適用されるリスクドメイン (他のプラットフォーム機能では リスク領域 と呼ばれることもあります) のグループです。基準の定義方法の詳細については、「サードパーティリスク領域基準を定義」を参照してください。
アクティブ	ルールをアクティブ化するためのオプションアクティブなルールのみがエンゲージメントに適用されます。
順序	ルールの優先順位を示す順序を指定します。同じエンゲージメントに複数のルールが適用される場合は、順序の値が高いルールが適用されます。
エンゲージメントフィルター	エンゲージメントを選択するための基準。 条件ビルダー を使用して、基準を定義します。 たとえば、多くの取引を行っているサードパーティ (年間支出額が $40,000 を超える)、または特定のカテゴリ内のサードパーティ (カテゴリがソフトウェア) に対してアセスメントを実行できます。

次のタスク
必要なセットアップ手順のチェックリストに進みます。

外部アンケートの作成と構成

デューデリジェンスプロセスの一環として、複数のアンケートを送信し、場合によってはドキュメント要求をサードパーティの連絡先に送信します。この進行中のタスクを簡素化するために、アンケー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トテンプレートとドキュメント要求テンプレートを定義し、再利用可能なアセスメントテンプレートにグループ化します。

始める前に
必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて
アセスメントの一環として、アセスメントテンプレートを使用して複数のアンケートと文書要求を送信できます。最初にアンケートテンプレートまたはドキュメント要求テンプレートを定義し、アセスメントテンプレートにグループ化します。その後、テンプレートを使用して、今後のアセスメントで適切なアンケートや文書要求を送信できます。

外部リスクアセスメントをサードパーティに送信して、リスクを判断するために使用するデータを収集します。調達プロセスの初期段階でのアセスメントは、候補のプールから最適な認定済みサードパーティを選択するのに役立ちます。

たとえば、SOC1 レポートと SOC2 レポートの両方を必要とする重要なサードパーティに対してアセスメントテンプレートを生成し、SOC1 のみを必要とする中リスクのサードパーティに対しては別のアセスメントテンプレートを生成するということができます。どちらの場合も、既存の SOC1 ドキュメント要求テンプレートを利用できます。

進行中のプロセスとして、既存のサードパーティにアセスメントを送信して、リスクレベルを更新することもできます。

の用語 **TPRM**

用語	説明
測定基準またはアセスメント測定基準	アンケートテンプレート内の単一の質問。
測定基準タイプまたはアセスメント測定基準タイプ	アンケートテンプレート。
カテゴリまたはアセスメントカテゴリ	アンケートテンプレート内の関連する質問のセット。 **注:** 1 つの測定基準タイプ内に複数のカテゴリが存在する場合があります。

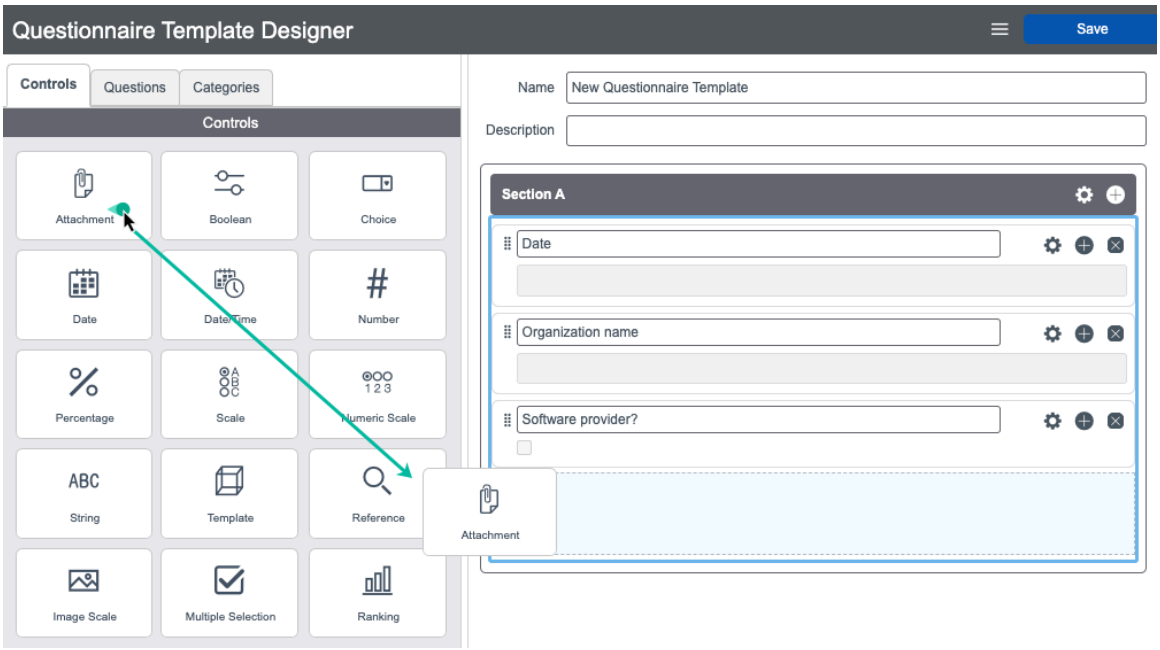
手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート をクリックし、 新規 (デザイナー) を選択します。
2. コントロールをフォームにドラッグしてカテゴリを適用し、オプションとして各質問に正しい回答を割り当てます。

   詳細については、プラットフォームビューに移動して、カテゴリと質問の両方のレベルで重み付けなどを変更することもできます。

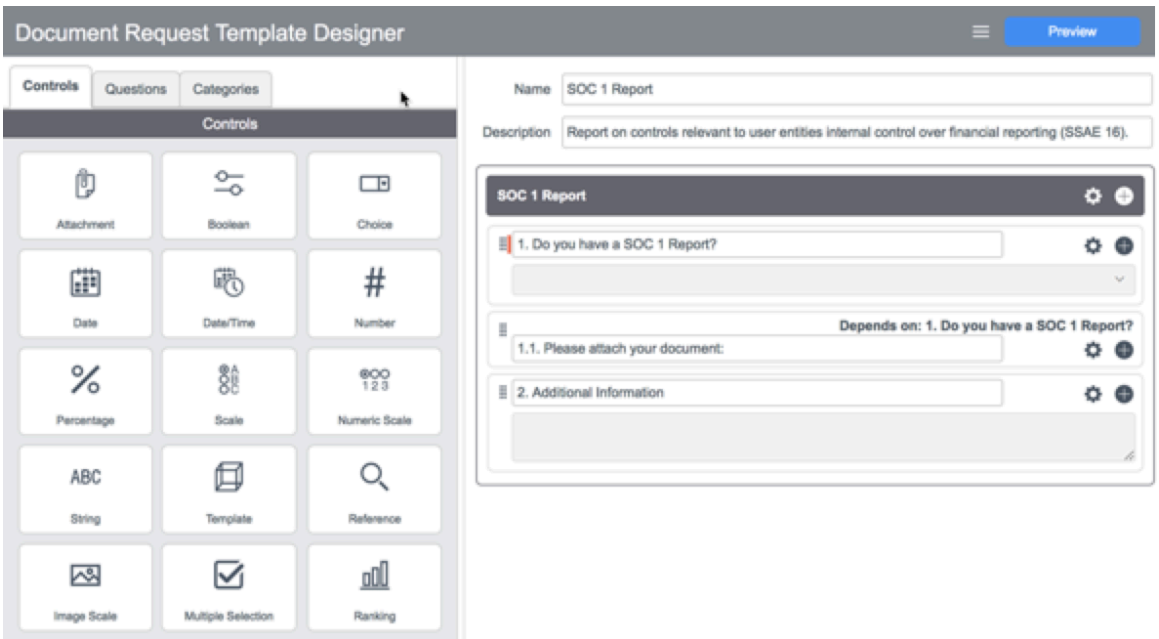
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 移動先 サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > 文書要求テンプレート をクリックし、 新規 (デザイナー) を選択します。
4. コントロールをフォームにドラッグして、特に証拠または文書を要求するアセスメントを作成します。

   この例は、SOC1 証拠の要求です。

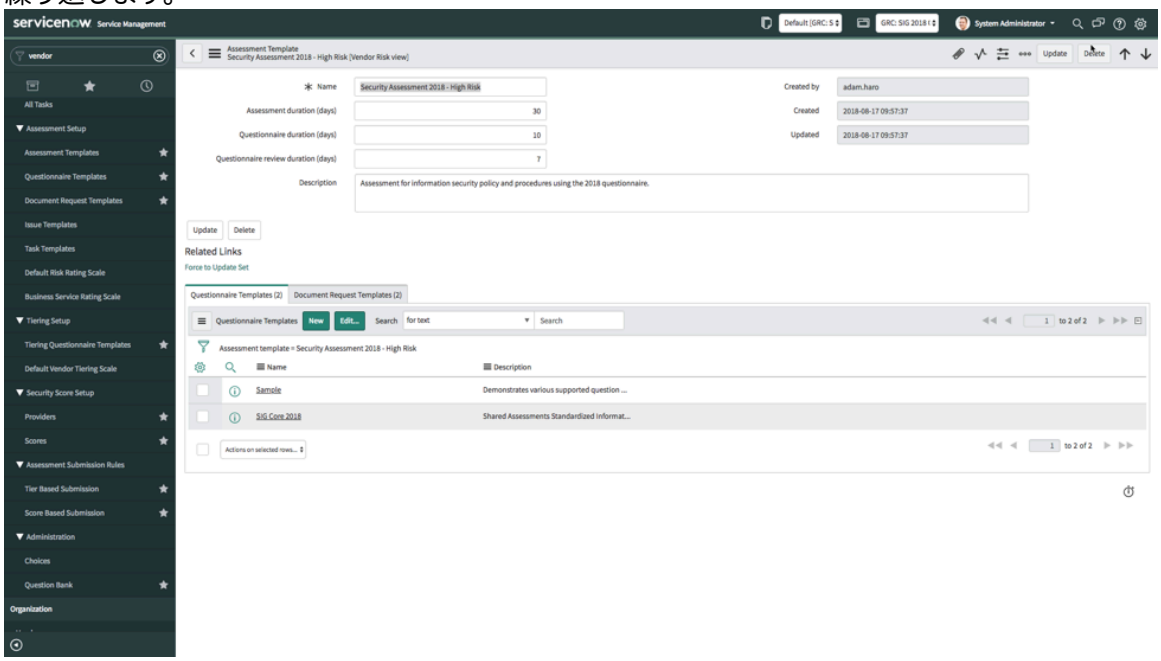


5. 移動先 サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アセスメントテンプレート をクリックし、[新規] を選択します。
6. 必須フィールドに入力し、[送信] を選択します。
7. 新しく作成されたアセスメントテンプレートに戻り、[アンケートテンプレート] 関連リストで [編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 必要なアンケートテンプレートを追加し、[文書要求テンプレート] 関連リストに対して同じ手順を繰り返します。



質問集の設定と維持

質問集に質問を追加した後は、質問をアセスメントにドロップすることで、任意のアセスメントで再利用できます。カスタム質問を作成したり、既存の質問を追加したり、ベースシステム に含まれているサンプルの質問を追加してカスタマイズしたりすることができます。

始める前に

必要なロール:admin または sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

手順

1. アセスメントカテゴリを定義します。
   移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 管理 > 質問バンクをクリックし、 新規 を選択します。
2. アセスメントカテゴリのわかりやすい名前と説明を入力し、レコードを保存します。
3. 次のいずれかの方法を使用して、アセスメント測定基準 (質問) をカテゴリに追加します。
   - 「質問の定義」の説明に従って質問を作成します。
   - 既存のアンケートまたはアンケートテンプレートから質問を追加します。
4. [更新] を選択して、現在のアセスメントカテゴリの質問バンクに質問を保存します。

質問の定義

質問集に質問を追加した後は、質問をアセスメントにドロップすることで、任意のアセスメントで再利用できます。カスタム質問を作成したり、既存の質問を追加したり、ベースシステム に含まれているサンプルの質問を追加してカスタマイズしたりすることができます。

始める前に

必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

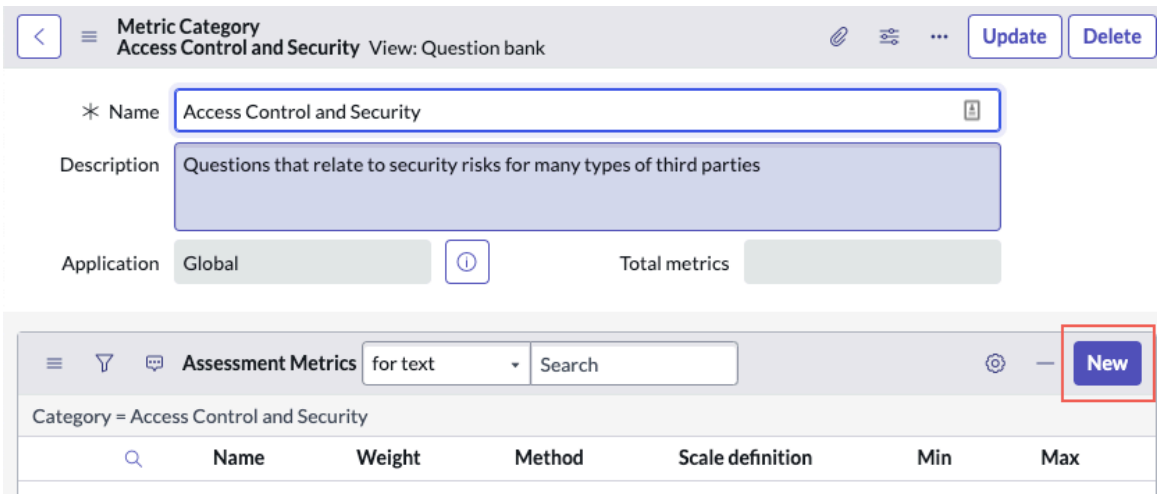
の用語 **TPRM**

用語	説明
測定基準またはアセスメント測定基準	アンケートテンプレート内の単一の質問。
測定基準タイプまたはアセスメント測定基準タイプ	アンケートテンプレート。
カテゴリまたはアセスメントカテゴリ	アンケートテンプレート内の関連する質問のセット。 **注:** 1 つの測定基準タイプ内に複数のカテゴリが存在する場合があります。

手順

1. 追加する予定の質問に適したアセスメントカテゴリを定義または選択します。
   - 既存のアセスメントカテゴリを選択するには、次に移動します すべて > サードパーティリスク管理 > 管理 > 質問バンクをクリックし、一覧で選択します。
   - アセスメント カテゴリを定義する手順については、「」を参照してください 質問集の設定と維持。
2. アセスメント測定基準 (質問) を作成します。

   アセスメント カテゴリの [アセスメント測定基準] 関連リストで、[新規] を選択し、フォームに入力します。



アセスメント測定基準フォーム

フィールド	説明
名前	アセスメント測定基準の名前。
必須	質問に回答する必要があるかどうかを示します。
重み付け	この測定基準の重要性を他の測定基準と比較するために使用される数値。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カテゴリ	測定基準が関連付けられているカテゴリ。
質問	質問はアンケートに表示されます。
説明	サードパーティの連絡先が質問を理解しやすくなるためのツールヒントのテキスト。
詳細	アセスメントの受験者に表示される質問の詳細な説明。詳細には、テキスト、画像、ビデオ、および外部 Web サイトまたはその他のコンテンツへのリンクを含めることができます。 **注:** アセスメントレベルまたはカテゴリレベルで詳細を定義できます。

3. [全般] タブを選択し、値を入力します。

アセスメント測定基準フォーム - [全般] タブ

フィールド	説明
メソッド	測定基準のために使用されるデータを収集する手法。 ○ アセスメント ○ デフォルトの回答元フィールド ○ デフォルトの回答元スクリプト ○ スクリプト
順序	質問がアンケートに表示される順番。[順番] の値が小さい質問は、アンケートの前半に表示されます。
アクティブ	アセスメントおよび結果の計算のための測定基準をアクティブ化します。
依存する作業指示タスク	個別の測定基準 (質問) の識別子。このフィールドで指定されている質問に対する回答によって、現在定義している質問をユーザーに表示するかどうかが決まります。 フィールドは、[方法] フィールドで [アセスメント] を選択した場合にのみ表示されます。
デフォルトの回答	質問に対するデフォルトの回答を指定するフィールド。 このフィールドは、[方法] フィールドで [デフォルトの回答元フィールド] を選択した場合にのみ表示されます。
質問する	デフォルト値が指定されている場合に質問に回答が必要かどうかを指定します。 このフィールドは、[方法] フィールドで [デフォルトの回答元フィールド] または [デフォルトの回答元スクリプト] を選択した場合にのみ表示されます。
スクリプト	アセスメントの生成時に関連付けられている測定基準のパフォーマンスインジケーターを作成するために使用されるスクリプト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[方法] フィールドで [デフォルトの回答元フィールド] または [スクリプト] を選択した場合にのみ表示されます。 注: スクリプトにタブ文字を入力するには、**Tab** キーを使用します。タブアクションでは、タブ間で進む場合は **Esc** を、戻る場合は **Shift+Esc** を押します。

4. [質問タイプ] タブを選択し、フォームに入力します。

注:
表示されるフィールドは、選択する [データタイプ] に依存します。

アセスメント測定基準質問フォーム - [質問タイプ] タブ

データタイプ	[説明] と追加フィールド
添付ファイル	アンケートで、ユーザーは質問に 1 つまたは複数のファイルを添付します。
チェックボックス	アンケートでは、ステートメントのチェックボックスをオンにするか、オフのままにします。 データタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。選択したチェックボックスが良スコアに等しい場合、このフィールドを [高] に設定します。小さな数値を正のスコアとして解釈する必要がある場合は、このフィールドを [低] に設定します。
選択肢	アンケートで、ユーザーはカスタム回答オプションのリストから値を選択します。各回答オプションの測定基準定義を作成します。 [選択肢のランダム表示] チェックボックスをオンにすると、質問の回答オプションの順序がランダムになります。 参照データタイプの質問に使用する [参照テーブル] を選択します。 条件を定義して、選択基準を満たすものに選択肢を制限します。 データタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して正しい回答を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] の値を設定します。 ○ 選択したチェックボックスが良スコアである場合は、このフィールドを [高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	[説明] と追加フィールド
	[最大正規化入力] チェックボックスをオンにすれば、正規化入力値を使用して質問のアセスメントスコアを計算できます。詳細については、「測定基準のスコアの正規化」を参照してください。
日付	アンケートで、ユーザーは日付を選択します。
日付/時刻	アンケートで、ユーザーは日付と時刻を選択します。
期間	アンケートで、ユーザーが [最小/最大] の範囲内の回答を指定します。 期間が依存する [依存プラグイン] を選択します。 ○ Asset Management ○ CMDB ○ コア ○ コスト管理 ○ 調達 ○ Software Asset Management データタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、このフィールドを [高] に設定します。 ○ 小さな数値が肯定的なスコアである場合は、このフィールドを [低] に設定します。
画像スケール	アンケートで、ユーザーは画像スケールを選択します。 データタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。変更するには、[正しい回答] フィールドのロックを解除する必要があります。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。
リッカートスケール	アンケートで、ユーザーは回答オプションのカスタムスケールから値を選択します。スケールの選択ボタンで表される各回答オプションの測定基準定義を作成します。アプリケーションの使いやすさを評価するリッカート尺度測定基準には、[簡単]、[平均]、および [困難] という測定基準定義が存在する場合があります。 [選択肢のランダム表示] を選択すると、質問の回答オプションの順序がランダムになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	[説明] と追加フィールド
	データタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。変更するには、[正しい回答] フィールドのロックを解除する必要があります。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。
複数選択	アンケートで、カスタム回答オプションのリストから 1 つ以上の値を選択します。[複数選択] データ タイプでは、テーブルのどの値を一覧に表示するかをフィルター処理する [参照] テーブルと条件を指定するオプションがあります。 たとえば、[国 **[core_country]]** を参照テーブルとして選択し、条件を [名前] + [次の値で始まる] + **B** に設定すると、クエリは 231 か国のリスト全体ではなく、文字 B で始まる 19 か国のみを返します。 このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。変更するには、[正しい回答] フィールドのロックを解除する必要があります。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。 [最大正規化入力] チェックボックスをオンにすれば、正規化入力値を使用して質問のアセスメントスコアを計算できます。詳細については、「測定基準のスコアの正規化」を参照してください。
番号	アンケートで、ユーザーが 最小/最大 の範囲内の数値を入力します。 このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。
数値スケール	アンケートで、ユーザーが 最小/最大 の範囲内の数値を入力します。 このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	[説明] と追加フィールド
パーセンテージ	アンケートで、ユーザーが 最小/最大 の範囲内のパーセンテージを入力します。 このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。
ランキング	アンケートで、オプションごとに異なる順番の番号をユーザーが選択してランク付けできます。ユーザーは、番号を入力するか、オプションをドラッグできます。 [選択肢のランダム表示] を選択すると、質問の回答オプションの順序がランダムになります。 [スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアに等しい場合、この値を [高] に設定します。 ○ 小さな数値を正のスコアとして解釈する必要がある場合は、このフィールドを [低] に設定します。
参照	アンケートで、指定された [参照テーブル] から生成されているリストからユーザーが値を選択します。たとえば、参照テーブルとしてユーザー [sys_user] を指定する場合、ユーザーは質問に回答してユーザー名を選択できます。 参照テーブルから取得する情報を管理可能なチャンクに制限するための条件を定義するオプションもあります。
文字列	アンケートで、ユーザーがテキストを入力します。[文字列] フィールドのサイズは、選択した [文字列オプション] によって異なります。 ○ 1 行 ○ 1 行幅 ○ 複数行
テンプレート	アンケートで、事前定義された一連の回答オプションからユーザーが値を選択します。このデータタイプを使用するために定義された少なくとも 1 つのテンプレートが存在する必要があります。テンプレートの場合は、回答オプションごとにテンプレート定義があり、ラジオボタンで表されます。 このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。変更するには、[正解] フィールドのロックを解除する必要があります。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ 大きな数値が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ 小さな数値が良スコアである場合は、[低] に設定します。
はい/いいえ	アンケートで、リストからユーザーが [はい] または [いいえ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ	[説明] と追加フィールド
	このデータタイプに対して採点される単一の測定基準を定義するには、[採点済み] を選択し、質問に対して [正しい回答] を選択します。 [採点済み] チェック ボックスをオンにしなかった場合は、[スケール定義] を設定します。 ○ [はい] の回答が良スコアである場合は、[高] に設定します。 ○ [いいえ] の回答が良スコアの場合は、[低] に設定します。

5. [更新] を選択して、質問を質問集に保存します。

ベースシステムのサンプル質問の表示

TPRM には、組織のアンケートテンプレートを定義するために使用できるサンプルアンケートが含まれています。

始める前に

サンプルアンケートを含めるには、 のインストールTPRM中にデモデータのロードを選択します。インストール手順を参照してください サードパーティリスク管理 の構成 。

必要なロール：admin

このタスクについて

- サンプル質問には、採点や正解/不正解は含まれません。ユーザーがこれらの属性を定義します。
- サンプルの質問は、規制の変更をサポートするために更新されるのではなく、変更を管理します。

手順

移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート.

の用語 **TPRM**

用語	説明
測定基準またはアセスメント測定基準	アンケートテンプレート内の単一の質問。
測定基準タイプまたはアセスメント測定基準タイプ	アンケートテンプレート。
カテゴリまたはアセスメントカテゴリ	アンケートテンプレート内の関連する質問のセット。 **注:** 1 つの測定基準タイプ内に複数のカテゴリが存在する場合があります。

[アセスメント測定基準タイプ] リストには、測定基準タイプのリストが表示されます。各測定基準タイプには、1 つ以上の測定基準カテゴリが含まれています。各測定基準カテゴリには、複数のサンプル質問が含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

リスクアセスメントに SIG Questionnaire を使用する

測定基準のスコアの正規化

[最大正規化入力] 設定を使用して、正規化値を使用して質問 (測定基準) のアセスメントスコアを計算できます。

「最大正規化入力」が適用される場合

[最大正規化入力] フィールドは、次の場合にのみ表示されます。

- 質問のデータ タイプは [選択肢] または [複数選択] です。
- [採点済み] チェック ボックスはオフになっています。

正規化スコアを使用するには、各測定基準 (質問) の各測定基準定義 (考えられる回答) に割り当てられた値が一意である必要があります。

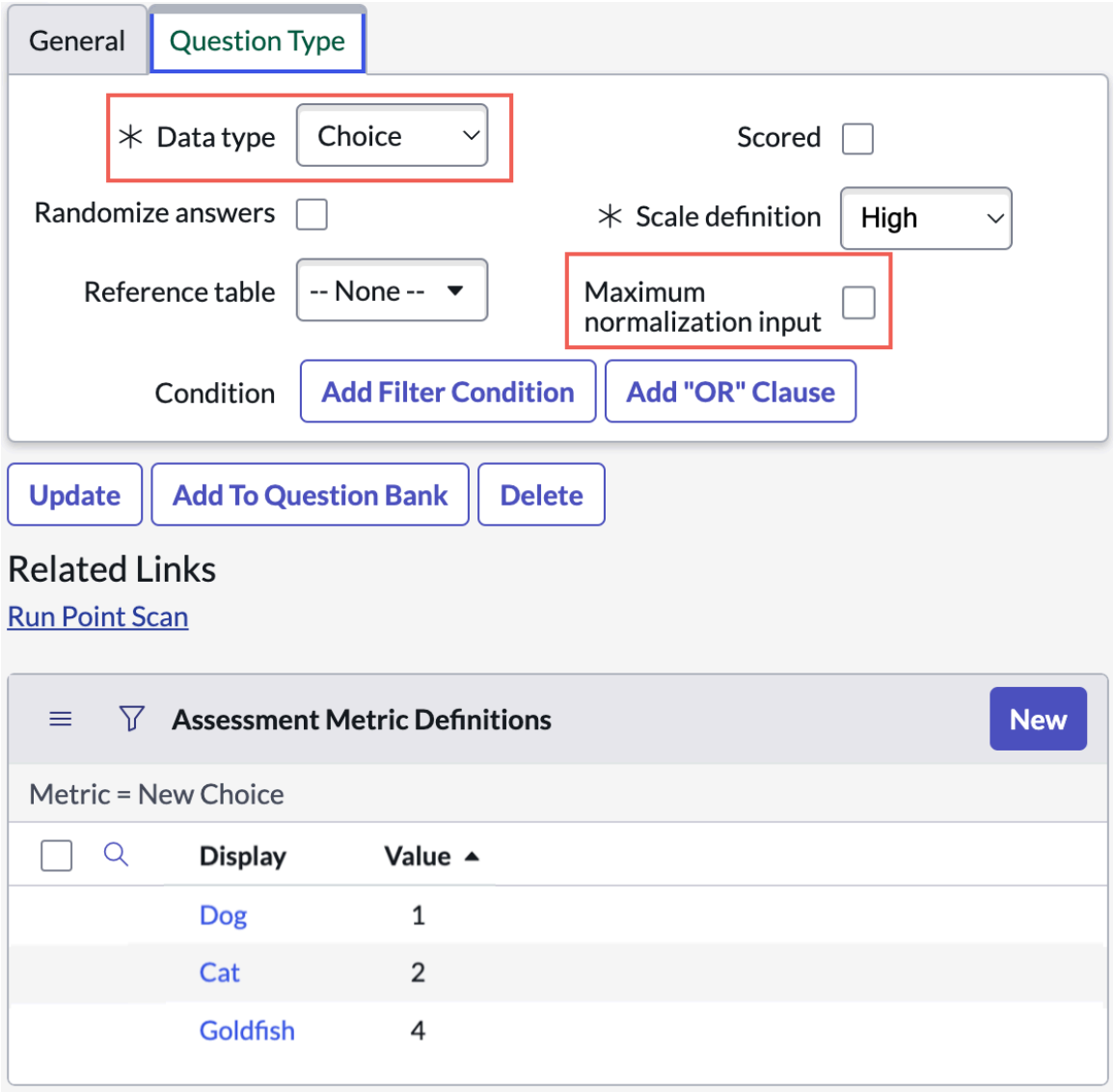
次の例では、[スケール定義] は [高] です (数値が大きいほど適切です)。

「選択肢」タイプの質問

「最大正規化入力」が選択されていない場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



計算式: ([応答の値] – [最小値]) / ([最高値] – [最小値]) * 100。
この例では、質問では、 値が 1、 2、 および 4 の回答から選択できます。

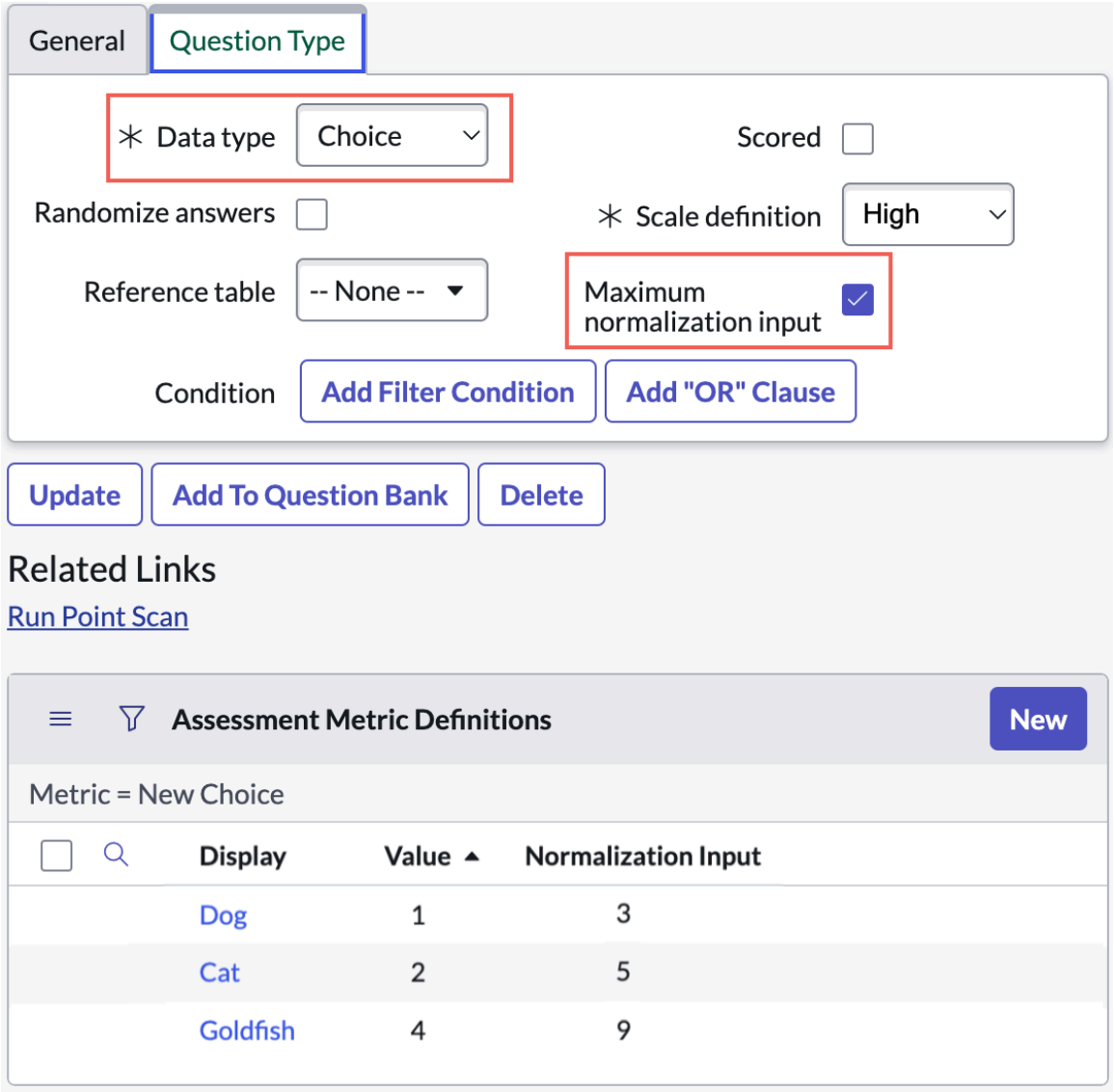
スコア

応答	計算	スコア
犬	[(1-1)/(4-1)] * 100	0
猫	[(2-1)/(4-1)] * 100	33
金魚	[(4-1)/(4-1)] * 100	100

「最大正規化入力」が選択されている場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



計算式: ([応答の値]/ [最高値]) * 100。

この例では、質問では、値がそれぞれ 1、 2、 4 の回答と、正規化入力値が それぞれ 3、 5、 および 9 の回答から選択できます。

スコア

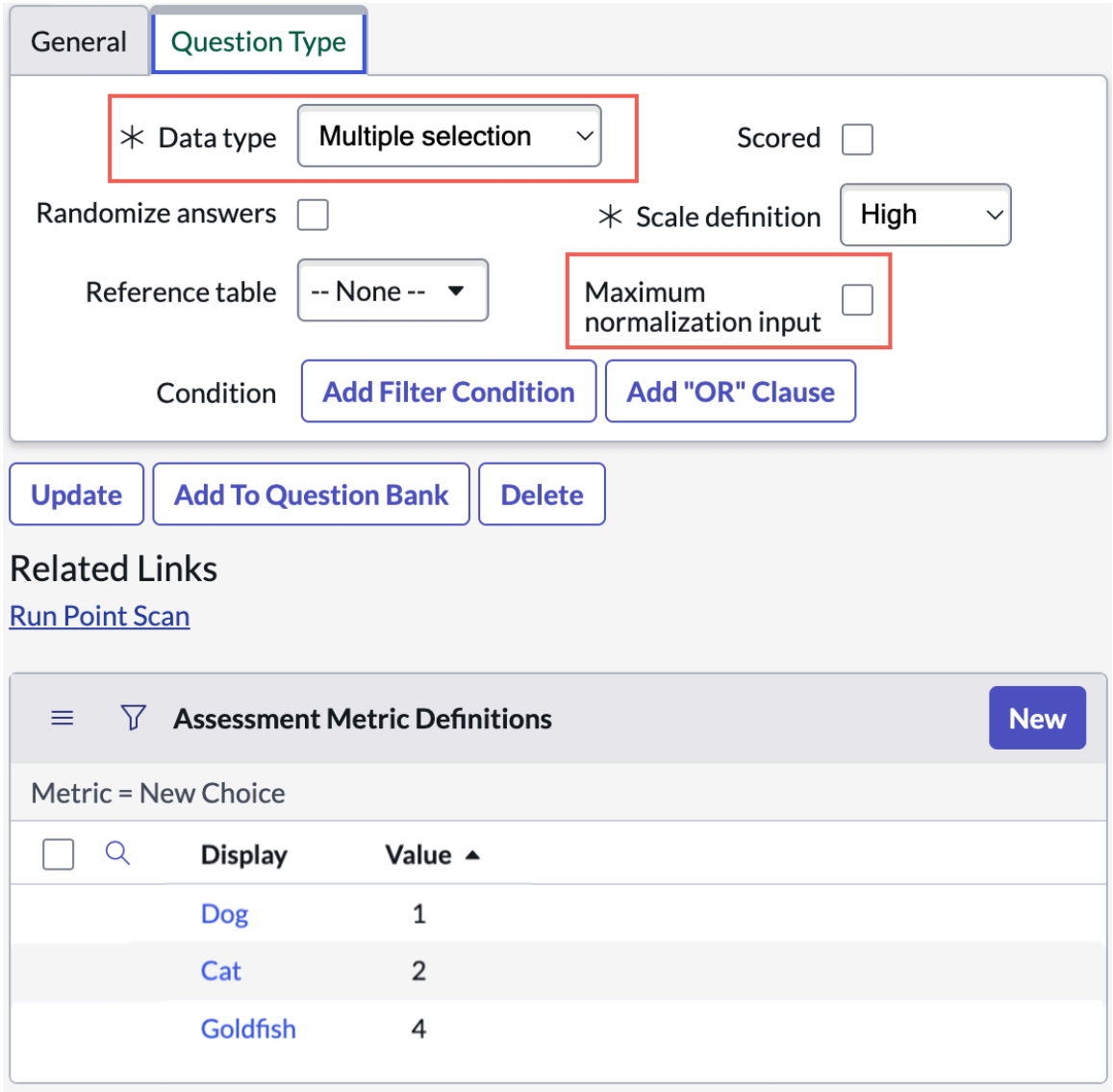
応答	計算	スコア
犬	(1 / 4) * 100	25
猫	(2 / 4) * 100	50
金魚	(4 / 4) * 100	100

「複数選択」タイプの質問

「最大正規化入力」が選択されていない場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



計算式: ([選択した値の合計]/ [正規化入力値の合計]) * 100

この例では、質問では、値が 1、 2、 および 4 の回答から複数選択できます。

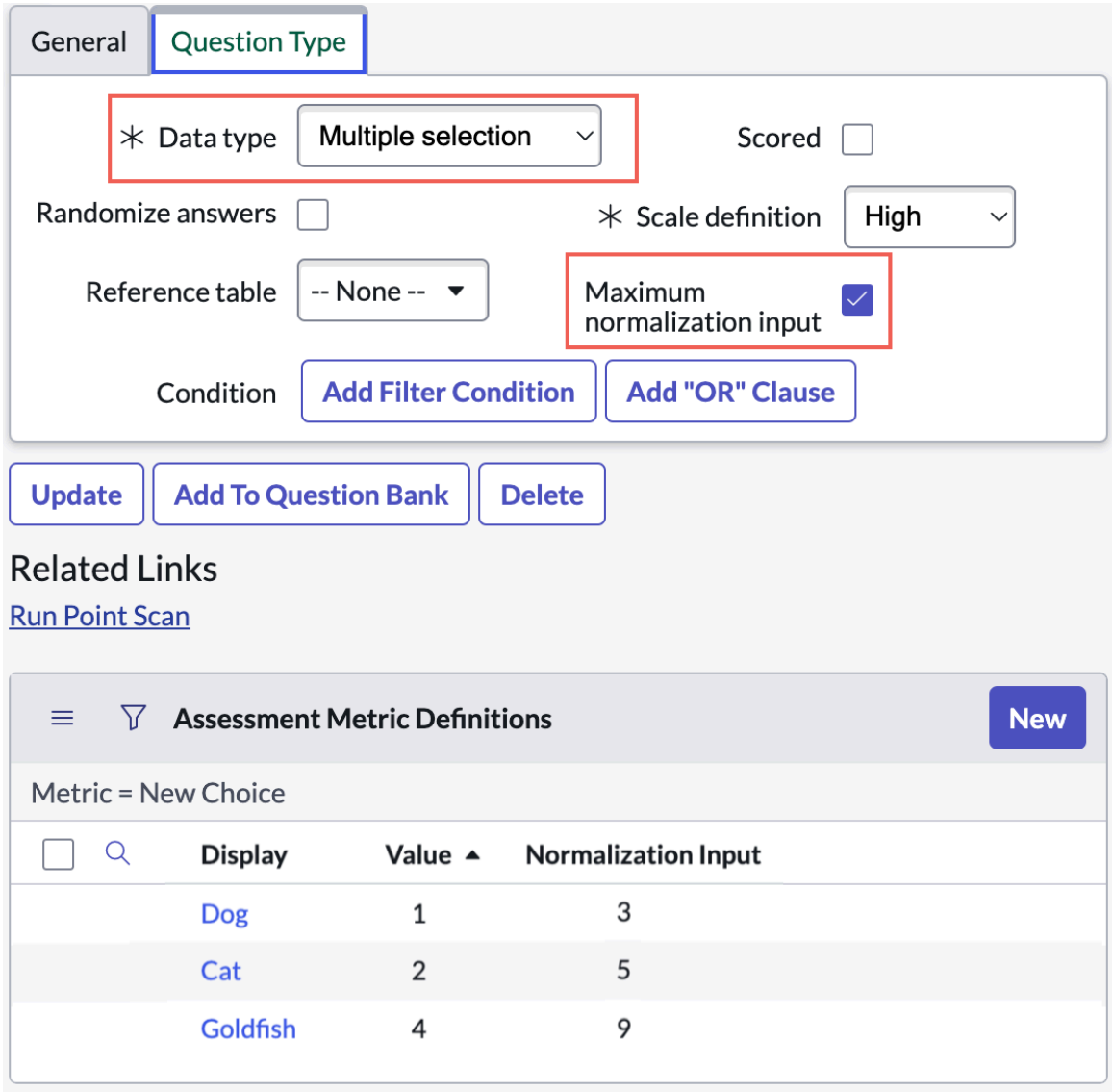
スコア

応答	計算	スコア
犬と猫	([1+2] / 17) * 100	47
猫	(2 / 17) * 100	11.8
猫と金魚	([2+4] / 17) * 100	50
金魚	(4 / 17) * 100	100

「最大正規化入力」が選択されている場合

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- システムは、最小値を持つ応答に値 0 を使用します。この例では、 **Dog** 応答に値 0 が割り当てられます。
- 各選択の式:([応答の正規化入力値]/[正規化入力値の最大値]) * 100。
- 測定基準 (質問) のスコアは、すべての回答の中で計算された最大スコアです。

この例では、ユーザーは [犬] と [猫] を選択します。

- 犬の応答のスコアは、(0 / 9) * 100 = 0です。
- **Cat**応答のスコアは(5 / 9) * 100 = 55.5です。
- 測定基準全体のスコアは 55.5 です。

計算式: ([選択した値の合計]/ [正規化入力値の合計]) * 100

この例では、質問では、値が 1、 2、 および 4 の回答から複数選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア

応答	計算	スコア
犬と猫	([1+2] / 17) * 100	47
猫	(2 / 17) * 100	11.8
猫と金魚	([2+4] / 17) * 100	50
金魚	(4 / 17) * 100	100

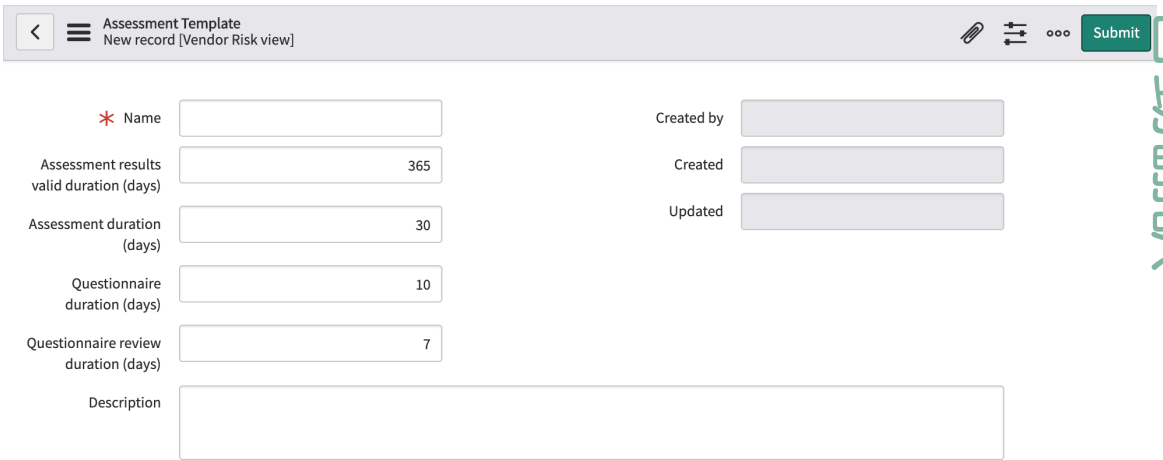
アセスメントテンプレートを作成する

アセスメントテンプレートを定義するときに、サードパーティリスクマネージャーはサードパーティリスクアセスメントのスケジュール情報を提供します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アセスメントテンプレート.
2. [新規] を選択します。



3. フォームのフィールドに入力します。

アセスメントテンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	アセスメントテンプレートの名前。
アセスメント結果有効期間 (日数)	デフォルトのアセスメントが有効になる日数。
アセスメント期間 (日数)	外部リスクアセスメント全体を完了するために設定された時間。
アンケート期間 (日数)	査定人がアセスメントのアンケート部分を完了するために割り当てられた時間。
アンケートレビュー期間 (日数)	サードパーティリスク管理者がアンケートに提供された回答をレビューするために割り当てられた時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作成者	テンプレートを作成したユーザー。
作成済み	テンプレートが作成された時刻。
更新日時	テンプレートが最後に更新された時刻。
説明	アセスメントの説明。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
このアセスメントテンプレートに関連付けられている他のテンプレートは、関連リンクまたはタブとして表示されます。

アンケートテンプレートや文書要求テンプレートを作成する

アンケートテンプレートと文書要求テンプレートを再利用することで、新しいアンケートと文書要求の作成を短時間で行うことができます。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて
テンプレートを定義するときに、組織のルールまたは連邦規制で義務付けられているとおりに、アンケートまたは文書要求でサードパーティやレビュー担当者の電子署名を必要とするかどうかを指定します。

手順
1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート または サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > 文書要求テンプレート.
2. 新規 を選択し、フィールドに入力して、送信 を選択します。
   アセスメント測定基準タイプフォームが開きます。

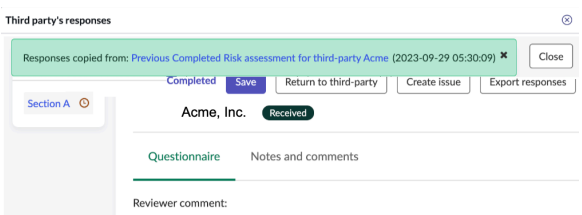
の用語 **TPRM**

用語	説明
測定基準またはアセスメント測定基準	アンケートテンプレート内の単一の質問。
測定基準タイプまたはアセスメント測定基準タイプ	アンケートテンプレート。
カテゴリまたはアセスメントカテゴリ	アンケートテンプレート内の関連する質問のセット。 **注:** 1 つの測定基準タイプ内に複数のカテゴリが存在する場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの名前。
ベンダーリスク領域	アンケートや文書要求を受け取るサードパーティのタイプに適用されるサードパーティリスクドメインを選択します。たとえば、セキュリティリスクドメインを選択した場合、そのリスクドメインに割り当てられたサードパーティのみがアンケートまたは文書要求を受け取ることができます。 詳細については、「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。
サードパーティ署名が必要	サードパーティポータルで電子署名を提供するようサードパーティの主要連絡先に要求するオプション。 **注:** 電子署名を使用して、サードパーティの連絡先がアンケート回答または文書要求を正常にレビューして承認したことを証明できます。
レビュー担当者の署名が必要	アセスメント応答の有効性を確認し、最終承認として電子署名を提供するようレビュー担当者に要求するオプション。
説明	テンプレートの説明。
以前の応答を含む	以前にクローズしたアセスメントで完了したアンケート (ステータスが 完了) からの回答をアンケートに事前入力するオプション。TPR 管理者 [vendor_risk_admin] ロールが必要です。 **重要:** アンケートの編集中に、アンケートテンプレートで指定されたオプションを上書きできます。 サードパーティポータルのエントリは、応答がコピーされたことをサードパーティの連絡先に通知します。例に示すように、通知には、応答を提供したアセスメントへのリンクとそのクローズ日が含まれています。  ○ 新しいアンケートがサードパーティの連絡先に送信されると、応答が入力されます。 ○ ソースアンケートは、現在のアンケートと同じテンプレートに基づいている必要があります。 ○ 複数のソースアンケートが利用可能な場合は、最後にクローズされたアセスメントのアンケートが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ エンゲージメントの場合、エンゲージメントで使用されたアンケートのみが使用されます。 ○ サードパーティのオンボーディングでは、サードパーティのオンボーディングで使用されたアンケートのみが使用されます。 ○ 添付ファイルはコピーされません。 ○ [期間]、[日付]、および [日付/時刻] タイプの回答はコピーされません。 ○ アンケートがサードパーティに送信された後の設定は変更できません。 ソースアンケートの最大経過時間を指定するには、[回答を再利用するための最大経過時間 sn_vdr_risk_asmt.max_age_for_questionnaire_reuse] システムプロパティを設定します。TPRM のプロパティの構成 を参照してください。

このテンプレートに関連付けられている他のテンプレートは、関連リンクまたはタブとして表示されます。

関連情報

外部リスクアセスメントの作成 - 従来のプロセス

文書要求テンプレートの作成

文書要求テンプレートデザイナーを使用して、他のテンプレートの基盤として使用できるアンケートテンプレートを作成および編集します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

注:
新しい文書要求テンプレートごとに、3 つのデフォルトの質問が作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > 文書要求テンプレート.
2. 新規 (デザイナー) を選択します。

デザイナーのタブ

タブ	説明
コントロール	サポートされている質問データのタイプは [Controls] パレットで利用可能です。コントロールをデザイナーキャンバスにドラッグして、そのタイプの質問を作成します。
質問	さまざまなカテゴリの質問のライブラリであるため、各アンケートを最初から作成する必要はありません。
カテゴリ	[デザイン] ビューで開いたアセスメント。アンケートの [名前] フィールドが、キャンバスの最初のカテゴリの上に表示されます。空の質問

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
	フィールドがカテゴリコンテナーに表示されます。

3. 名前を入力し、コントロールをデザインキャンバスにドラッグアンドドロップして、そのタイプの質問を作成します。

   注:
   採点対象の各測定基準について、正しい回答を指定します。採点された測定基準によって、リスクのコンプライアンスステータスが決定されます。

   質問コントロール

データタイプ	説明	採点済み
添付ファイル	ユーザーが 1 つまたは複数のファイルを添付できる、[添付ファイルを管理] アイコンがある質問。	Y
ブーリアン	ユーザー応答のためのチェックボックスまたは [はい/いいえ] リストがある質問。	N
選択肢	事前定義済みオプションのリスト。詳細については、[選択肢] の定義を参照してください。	Y
日付	[日付] フィールド。	N
日付/時刻	[日付/時刻] フィールド。	N
番号	事前定義された最小値と最大値を持つ数値フィールド。デフォルトは 1 ～ 10 です。	N
パーセンテージ	範囲が指定されている [パーセンテージ] フィールド。	N
スケール	事前定義されたリッカート尺度。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
数値スケール	選択可能な数値スケール。デフォルトは 1 ～ 5 です。回答オプションはラジオボタンとして表示されます。	Y
文字列	1 行または複数行のテキスト フィールド。	N
テンプレート	オプションの事前定義済みスケールを示すテンプレートの選択リスト。	Y
参照	指定された参照テーブルからのフィールドの選択リスト。このデータタイプは参照修飾子をサポートしていません。	N
画像スケール	スケールに使用できる画像の選択リスト。	N
複数選択	選択可能な選択肢のリスト。複数の選択肢を指定できます。	N
ランキング	ランク付けの選択肢の選択可能なスケール。	N

4. メニューアイコンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します：

   注:
   各オプションの可用性は、オープン状態のアンケートのステータスに依存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
保存	現在の文書要求を保存します。
プレビュー	文書要求のプレビューを表示します。
新しい文書要求	文書要求の新しいキャンバスを開きます。
文書要求を開く	選択して編集できる既存の文書要求のリストを開きます。
文書要求をコピー	文書要求をコピーして編集します。

デザイナーを使用したアンケートテンプレートの作成

アンケートテンプレートデザイナーを使用して、他のテンプレートの基盤として使用できるアンケートテンプレートを作成および編集します。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

の用語 **TPRM**

用語	説明
測定基準またはアセスメント測定基準	アンケートテンプレート内の単一の質問。
測定基準タイプまたはアセスメント測定基準タイプ	アンケートテンプレート。
カテゴリまたはアセスメントカテゴリ	アンケートテンプレート内の関連する質問のセット。 **注:** 1 つの測定基準タイプ内に複数のカテゴリが存在する場合があります。

注:
アンケートテンプレートには少なくとも 1 つのカテゴリが必要です。各カテゴリには、少なくとも 1 つの質問が含まれている必要があります。

手順

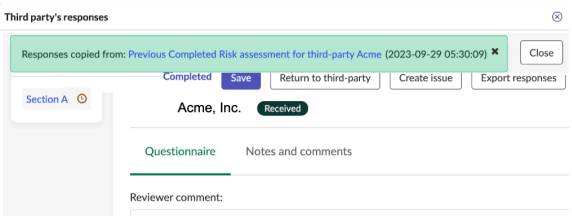
1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート.
2. 新規 を選択し、フォームに入力します。

アセスメント測定基準タイプフォーム

フィールド	説明
名前	
サードパーティリスク領域	アンケートや文書要求を受け取るサードパーティのタイプに適用されるサードパーティリスクドメインを選択します。たとえば、セキュリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ティリスクドメインを選択した場合、そのリスクドメインに割り当てられたサードパーティのみがアンケートまたは文書要求を受け取ることができます。 詳細については、「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。
分類	[アンケートテンプレート] を選択します。
ステータス	システムによって自動アサインされる値。
説明	他のユーザーがその意図を理解するのに役立つ、アンケートを説明するテキスト。
サードパーティ署名が必要	送信前に、サードパーティの連絡先によるアンケートへのデジタル署名を要求するオプション。
レビュー担当者の署名が必要	デューデリジェンスの要求が承認される前に、いずれかの査定人によるアンケートへのデジタル署名を要求するオプション。
以前の応答を含む	以前にクローズしたアセスメントで完了したアンケート (ステータスが 完了) からの回答をアンケートに事前入力するオプション。TPR 管理者 [vendor_risk_admin] ロールが必要です。 **重要:** アンケートの編集中に、アンケートテンプレートで指定されたオプションを上書きできます。 サードパーティポータルのエントリは、応答がコピーされたことをサードパーティの連絡先に通知します。例に示すように、通知には、応答を提供したアセスメントへのリンクとそのクローズ日が含まれています。  ○ 新しいアンケートがサードパーティの連絡先に送信されると、応答が入力されます。 ○ ソースアンケートは、現在のアンケートと同じテンプレートに基づいている必要があります。 ○ 複数のソースアンケートが利用可能な場合は、最後にクローズされたアセスメントのアンケートが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ エンゲージメントの場合、エンゲージメントで使用されたアンケートのみが使用されます。 ○ サードパーティのオンボーディングでは、サードパーティのオンボーディングで使用されたアンケートのみが使用されます。 ○ 添付ファイルはコピーされません。 ○ [期間]、[日付]、および [日付/時刻] タイプの回答はコピーされません。 ○ アンケートがサードパーティに送信された後の設定は変更できません。 ソースアンケートの最大経過時間を指定するには、[回答を再利用するための最大経過時間 `sn_vdr_risk_asmt.max_age_for_questionnaire_reuse`] システムプロパティを設定します。TPRM のプロパティの構成 を参照してください。

3. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   2 つの関連リストが生成され、[デザイナーで編集] リンクが追加されます。
4. [デザイナーで編集] リンクを選択します。
5. メニューアイコンを選択し、次のいずれかのオプションを選択します：

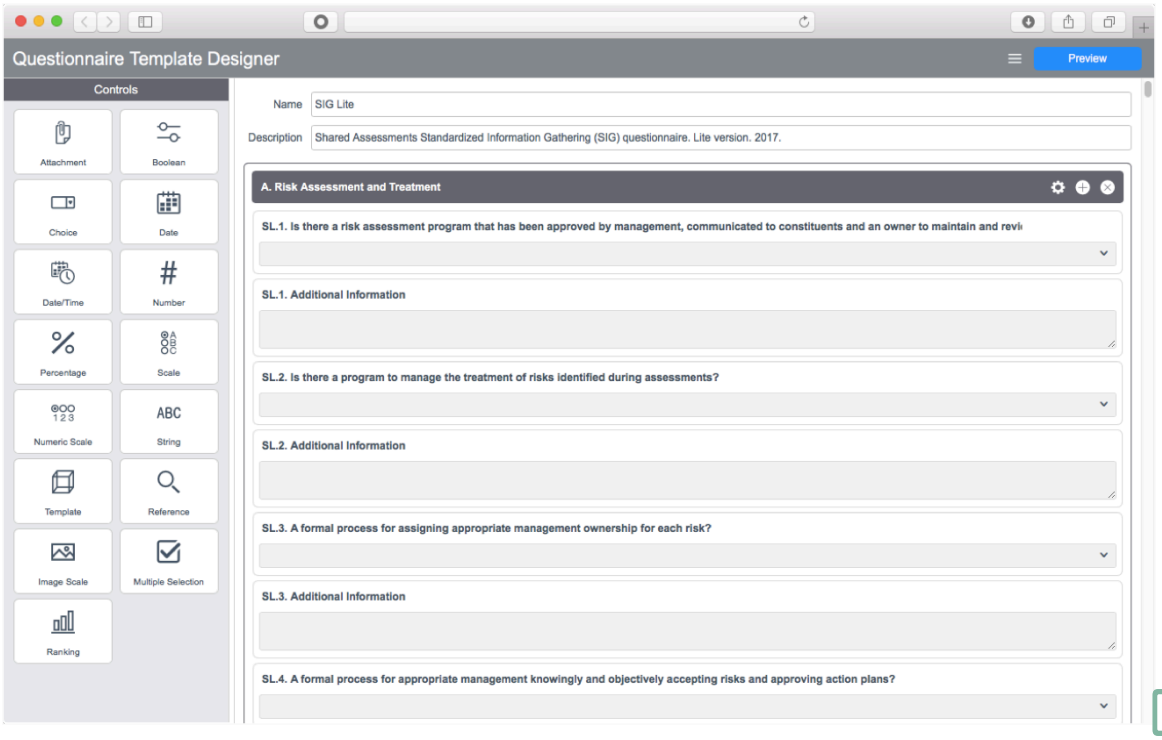
   注:
   各オプションの可用性は、オープン状態のアンケートのステータスに依存します。

オプション	説明
保存	現在のアンケートを保存します。
プレビュー	アンケートのプレビューを、現在の設定とともに表示します。
新しいアンケート	新しいアンケートの新しいキャンバスを開きます。
アンケートを開く	既存のアンケートのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
アンケートをコピー	編集可能なアンケートのコピーを作成します。



スプレッドシートからアンケートをインポートする

Microsoft Excel スプレッドシートを使用してアンケートを管理している場合は、スプレッドシートのデータを TPRM テーブルに直接インポートすると、時間と労力を節約できます。そうすることで、テンプレートから自動的にアンケートを作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて

アンケートをインポートする前に、スプレッドシートのデータが特定の要件を満たしていることを検証する必要があります。スプレッドシートのインポート前の作業をしやすくするため、フォーマット要件を確認し、サンプルのスプレッドシートを表示またはダウンロードしてガイドとして使用できます。「スプレッドシートデータをインポートするためのガイドライン」を参照してください。

次のプロパティ設定を指定できます。

スプレッドシートのテキスト区切り文字 [sn_vdr_risk_asmt.excel_choice_delimiter]

タイプが「選択肢」と「複数選択」の質問の回答テキストを区切る文字列。

一般的な区切り文字:\r、\n、\t、\r\n、およびカンマ文字。

スプレッドシートファイルの最大サイズ [sn_vdr_risk_asmt.excel_file_max_size]

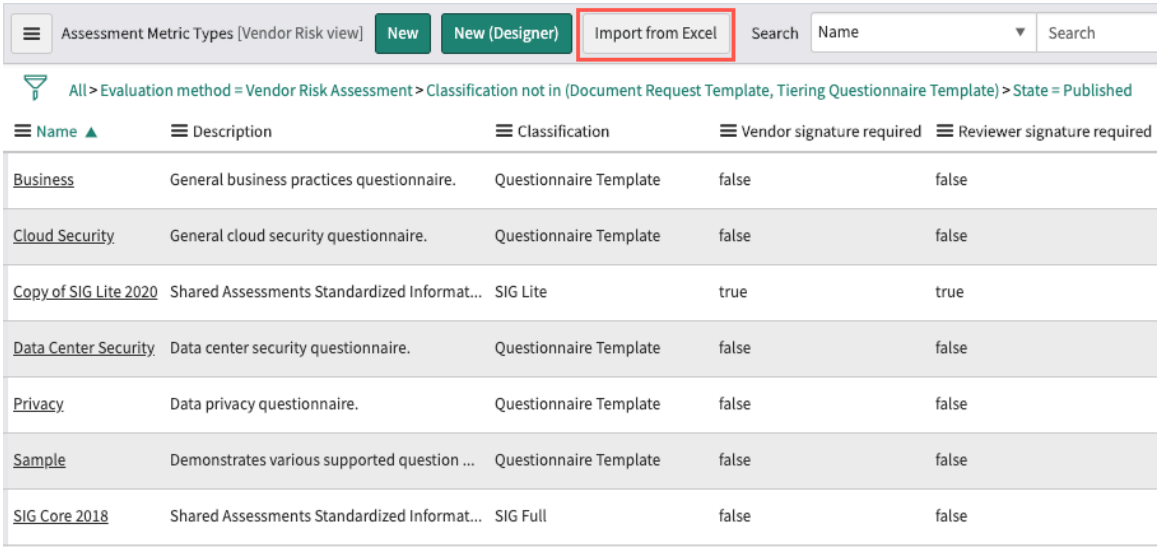
インポートできる最大ファイルサイズ (MB)。

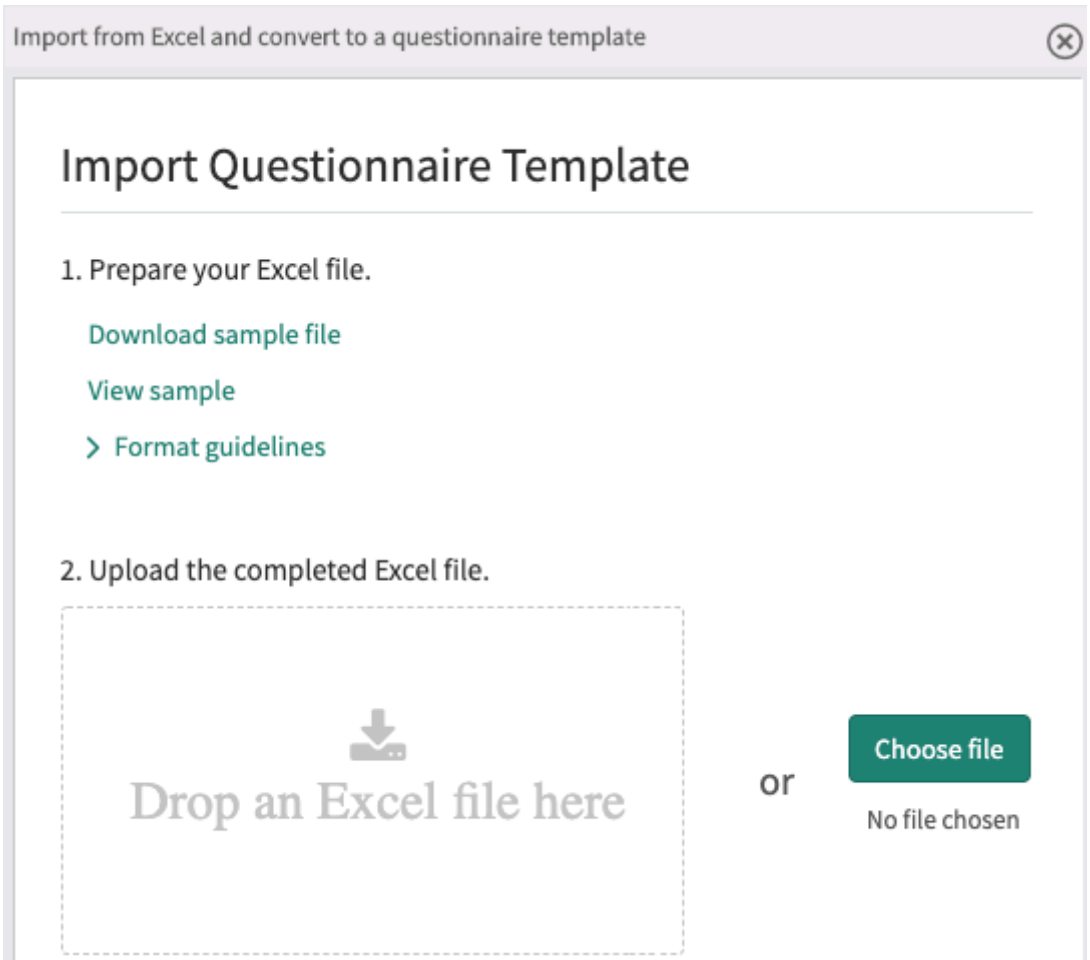
「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート または サードパーティリスク管理 > 階層のセットアップ > 階層アンケートのテンプレート.
2. **[Excel** からインポート] をクリックして、[アンケートテンプレートのインポート] フォームを開きます。





3. **[Excel** ファイルを準備します。] セクションで、次の手順のいずれかまたはすべてを実行します。

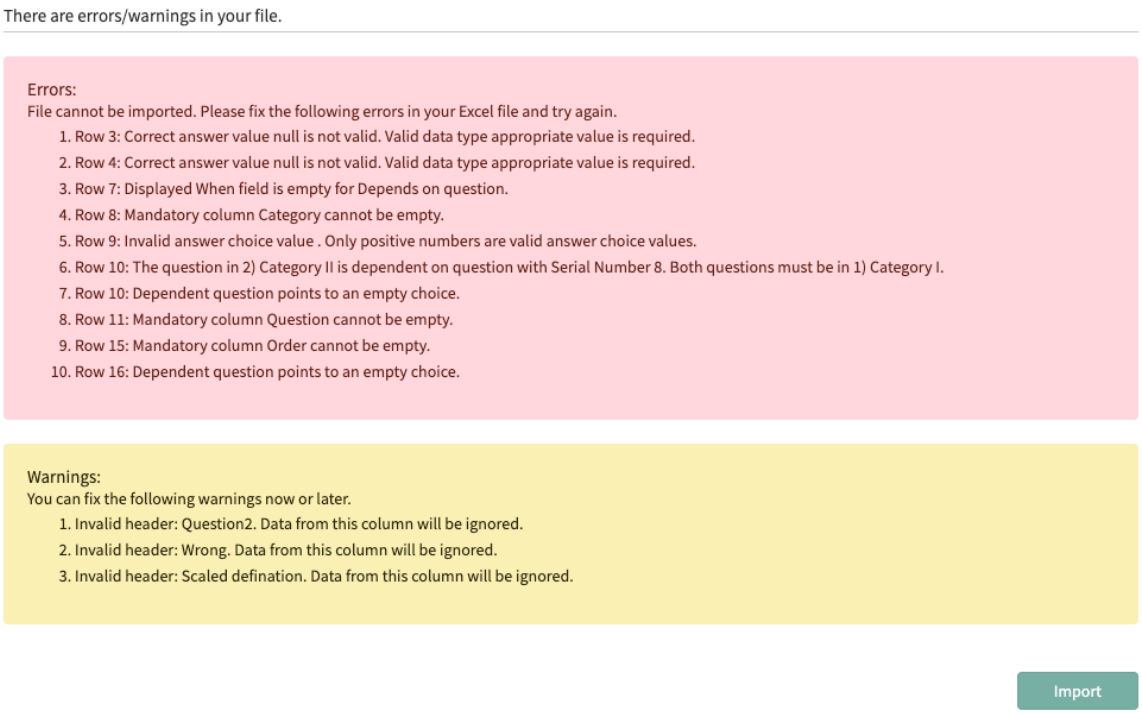
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [サンプルファイルをダウンロードします] をクリックして、サードパーティリスク管理 にインポートできるよう適切なフォーマットのアクティブなワークシートをダウンロードします。このサンプルをガイドとして使用して、独自のスプレッドシートを再フォーマットすることや、スプレッドシートからサンプルにデータをコピーすることができます。
- [サンプルを表示します] をクリックして、適切なフォーマットのワークシートの画像を開きます。これを既存のワークシートと比較して、同じ列と質問形式が含まれていることを検証できます。
- [書式設定のガイドライン] をクリックして スプレッドシートデータをインポートするためのガイドラインを表示します。

4. スプレッドシートをインポートする準備ができたら、[ここに **Excel** ファイルをドロップします] ボックスにドラッグするか、[ファイルを選択] をクリックして Excel ファイルに移動し、[開く] をクリックします。

   ファイルの形式が正しくない場合、エラーと警告が表示されます。アンケートをインポートする前に、すべてのエラーを修正する必要があります。警告のみのファイルはインポート可能ですが、結果の質問データに問題が発生する可能性があります。



> **注:**
> 警告が表示されている場合はインポートを続行できますが、問題が発生する可能性があります。すべてのエラーと警告を修正してからアンケートをインポートすることを検討してください。

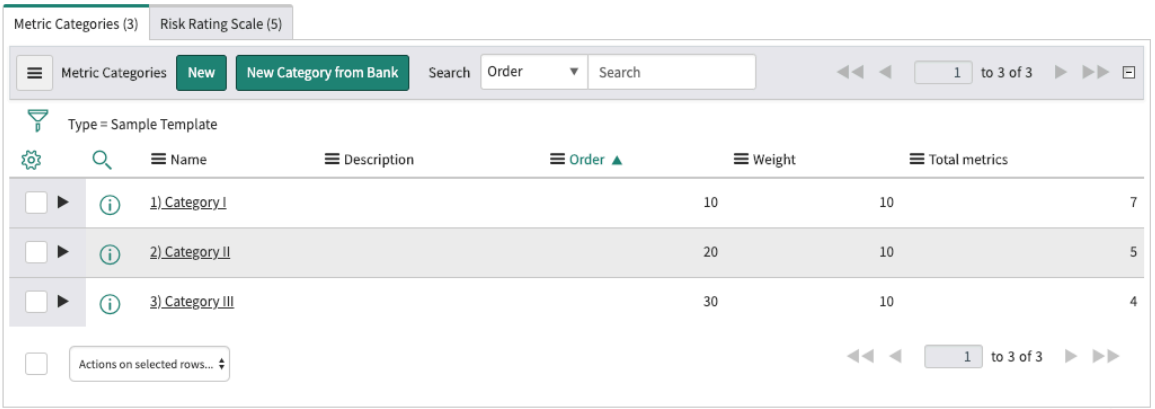
5. エラーと警告を修正したら、テンプレートの名前を入力し、[インポート] をクリックします。

   名前は一意である必要があります。名前のデフォルトは、スプレッドシートのワークシート名です。

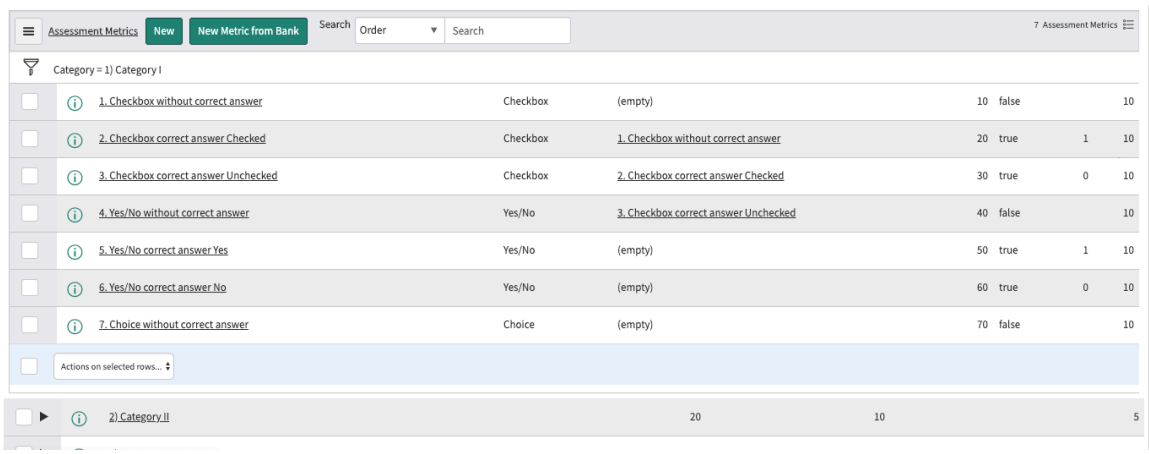
   確認ポップアップに、インポートされたアンケートが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. カテゴリを展開すると、各カテゴリの質問が表示されます。



関連情報

スプレッドシートデータをインポートするためのガイドライン

他のシステムからの既存データのインポート

[store-future: BEGIN review]

構築 中 デューデリジェンス要求の承認レベルの設定

デューデリジェンス XYZ の要求の承認レベルの設定

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > 承認者コンフィグレーター > 承認構成.

2. サードパーティのデューデリジェンスのデフォルト構成を選択します。

3. 新規 を選択して承認レベルを作成します。

関連情報

DD 要求の承認プロセスの管理

[End]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティデューデリジェンスの要求

を使用してサードパーティ、エンゲージメント、または第 4 の関係者 サードパーティリスク管理とのインタラクションのリスクレベルを判断するために、サードパーティリスクデューデリジェンスを要求します。デューデリジェンスを実施して関連するリスクを認識することで、情報に基づいた意思決定を行い、適切なコントロールを確立し、外部関係者と協力する際の潜在的な悪影響を軽減できます。

組織のすべての従業員は、エンゲージメントのデューデリジェンス (事業関係リスクの調査または調査) を要求できます。

- エンゲージメントは、組織をリスクにさらす可能性があるサードパーティと形成する予定の非公式または契約上の関係です。エンゲージメントでは、サードパーティによって提供されるサービスまたは製品、および関係のその他の詳細について説明します。
- サードパーティとは、ユーザーがやり取りしたり、ビジネス関係を結んだりした組織または個人のことです。サードパーティは子会社を持つことができ、第 4 の関係者と契約することができます。たとえば、部門は子会社です。
- 第 *4* の当事者は、他の当事者と契約することができます。すべてのダウンストリームパーティ(第4からn番目のパーティ)は、サードパーティと同じ方法でリスクを負います。

サードパーティリスク (TPR) マネージャーは、エンゲージメントのデューデリジェンスの要求をレビューして承認します。IRQ プロセスは、TPR マネージャーが承認した後に開始されます。詳細については、「デューデリジェンスワークフローのプロセス」と「サードパーティリスクの評価」を参照してください。

詳細については、「用語」と「デューデリジェンスを実施する理由」を参照してください。

デューデリジェンス要求を作成するには、次に移動します。 すべて > セルフサービス > **Employee Center** Employee Center を開き、 リスクとコンプライアンス > すべて参照. [サードパーティリスクのデューデリジェンスを要求] ボックスを選択し、次のいずれかのオプションを選択して要求の目的を指定します。

- 新しいエンゲージメントのオンボーディング 既存のサードパーティとの新しいエンゲージメントのオンボーディングプロセスを開始します。 このタイプのオンボーディングの詳細については、「」を参照してください 例 - サードパーティのオンボーディング。
- 既存エンゲージメントの再評価 条件が変化したときに既存のエンゲージメントを再評価します。たとえば、不利なニュースを聞いたり、サードパーティの供給ラインに変更があった場合は、追加のデューデリジェンスを実施してリスクを再評価することができます。
- 契約更新の既存のエンゲージメントの再評価 組織がデューデリジェンスを実施して、現在のサードパーティとの契約またはエンゲージメントを更新する前にリスクを再評価します。
- エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスあり) デューデリジェンスを実施して、エンゲージメントを伴う退職 (関係の終了) が最適なアクションであるかどうかを判断します。たとえば、現在のパフォーマンスが期待を満たしていない場合でも、サードパーティやエンゲージメントを切り替えるのはリスクが高すぎる可能性があります。
- デューデリジェンスなしでエンゲージメントをオフボーディング エンゲージメントが終了した場合、または他の理由で別のサードパーティに切り替える場合は、エンゲージメントを完全に終了するように要求します。この場合、通常、追加のデューデリジェンスを実施する必要はありません。ただし、このプロセスには、エンゲージメントによって提供されるサービスが継続しなくなることを確認するための通常の固有リスクアンケート (IRQ) プロセスが含まれています。 このタイプの退職の詳細については、「」を参照してください デューデリジェンスを実施せずにエンゲージメントをオフボーディングする。

サードパーティのデューデリジェンスの詳細については、「」を参照してください サードパーティエンゲージメントのデューデリジェンス要求。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティエンゲージメントのデューデリジェンス要求

組織はサードパーティとのビジネスに関連するリスクを評価するため、サードパーティとのエンゲージメントに対してデューデリジェンスを実行します。デューデリジェンスを要求することで、リスクを評価するプロセスを開始します。組織のすべてのユーザーがリスクアセスメントのデューデリジェンスを要求できます。

始める前に

必要なロール:snc_internal

このタスクについて

デューデリジェンスを要求するときは、サードパーティの名前と要求の理由を指定します (たとえば、既にエンゲージメントしたサードパーティとの新しいエンゲージメントを開始する、または契約更新の準備としてデューデリジェンスを実行する)。次に、組織の TPR マネージャーと TPR 査定人がデューデリジェンスプロセスを進めるのに役立つ詳細を指定します。要求が受け入れられると、2 つのサードパーティリスクアセスメントが開始されます。1 つはサードパーティ用で、もう 1 つはエンゲージメント用です。

> **注:**
> この機能は、Third-Party Risk Management アプリをアクティブ化している場合にのみ使用できます。 リスク集中マップ機能をインストールした後、ライセンスをインストールして Google 機能を有効にする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center** Employee Center を開き、 リスクとコンプライアンス > すべて参照.
2. [サードパーティリスクのデューデリジェンスを要求] ボックスを選択します。
3. 要求フォームで、要求の目的を指定します。
   - 新しいエンゲージメントのオンボーディング 既存のサードパーティとの新しいエンゲージメントのオンボーディングプロセスを開始します。
   - 既存エンゲージメントの再評価 条件が変化したときに既存のエンゲージメントを再評価します。たとえば、不利なニュースを聞いたり、サードパーティの供給ラインに変更があった場合は、追加のデューデリジェンスを実施してリスクを再評価することができます。
   - 契約更新の既存のエンゲージメントの再評価 組織がデューデリジェンスを実施して、現在のサードパーティとの契約またはエンゲージメントを更新する前にリスクを再評価します。
   - エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスあり) デューデリジェンスを実施して、エンゲージメントを伴う退職 (関係の終了) が最適なアクションであるかどうかを判断します。たとえば、現在のパフォーマンスが期待を満たしていない場合でも、サードパーティやエンゲージメントを切り替えるのはリスクが高すぎる可能性があります。

     酌量すべき状況が決定に寄与する可能性があります。たとえば、サードパーティが入手困難な資料を調達している場合、プロバイダーの切り替えにはコストがかかり、追加のリスクが発生する可能性があります。このような場合、中断の可能性とより高いリスクを軽減するために、長期的な関係が存在する既存のサードパーティとの契約を継続することが望ましい場合があります。

   - デューデリジェンスなしでエンゲージメントをオフボーディング エンゲージメントが終了した場合、または他の理由で別のサードパーティに切り替える場合は、エンゲージメントを完全に終了するように要求します。この場合、通常、追加のデューデリジェンスを実施する必要はありません。ただし、このプロセスには、エンゲージメントによって提供されるサービスが継続しなくなることを確認するための通常の固有リスクアンケート (IRQ) プロセスが含まれています。 重要な詳細については、「」を参照してください デューデリジェンスを実施せずにエンゲージメントをオフボーディングする。
4. オプション: [添付ファイルの追加] を選択して、要求にドキュメントを含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. エンゲージメントのサードパーティを指定します。

   既に連携しているサードパーティとのエンゲージメント、または新しいサードパーティとのエンゲージメントのいずれかに対して、デューデリジェンスを要求できます。

   > **注:**
   > 「終了」ステータスのサードパーティを再有効化できます。終了したサードパーティは、[オンボード] の新しいエンゲージメント タイプの要求のリストに表示されます。このような要求が受け入れられてクローズされると、サードパーティのステータスは 「アクティブ」に変更されます。

   - 既存のサードパーティ、またはサードパーティの部門、パートナー、子会社、または第 4 の関係者とのエンゲージメントの場合：
     a. リストからサードパーティを選択します。
     b. フォームが展開され、住所や連絡先の詳細など、サードパーティの重要な情報が自動的に入力されます。
     c. 次のステップでは、エンゲージメントの住所や連絡先の詳細などの重要な情報を入力します。
   - 新しいサードパーティの場合：
     a. [サードパーティがリストされていません] チェックボックスをオンにします。
     b. 新しいサードパーティの名前を入力します。
     c. フォームが展開されます。次のステップでは、サードパーティとエンゲージメントの住所や連絡先の詳細などの重要な情報を入力します。

6. フィールドに入力し、[送信] を選択します。
   既存のサードパーティを選択した場合は、情報の多くが事前に入力されています。

[サードパーティ情報] セクション

フィールド	説明
[サードパーティ情報] セクション	
名前、DUNS 番号、電話、業種、Web サイト、ファックス	親組織の標準的な情報。 DUNS番号は、ビジネスに法的に義務付けられていません。 **注:** ここで特定するサードパーティは、エンゲージメント要求のターゲットである場合もあれば、エンゲージメントする組織の親である場合もあります。次の [エンゲージメント情報] セクションにエンゲージメント組織に関する情報を追加します。
[エンゲージメント情報] セクション	
名前	すべてのフォームとリストでこのエンゲージメントを識別する名前。
タイプ	関与した組織が提供する製品またはサービスの種類。
電話/ファックス	エンゲージメントが関連する部門または子会社組織の電話番号とファックス番号。この番号は、親サードパーティの番号とは異なる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

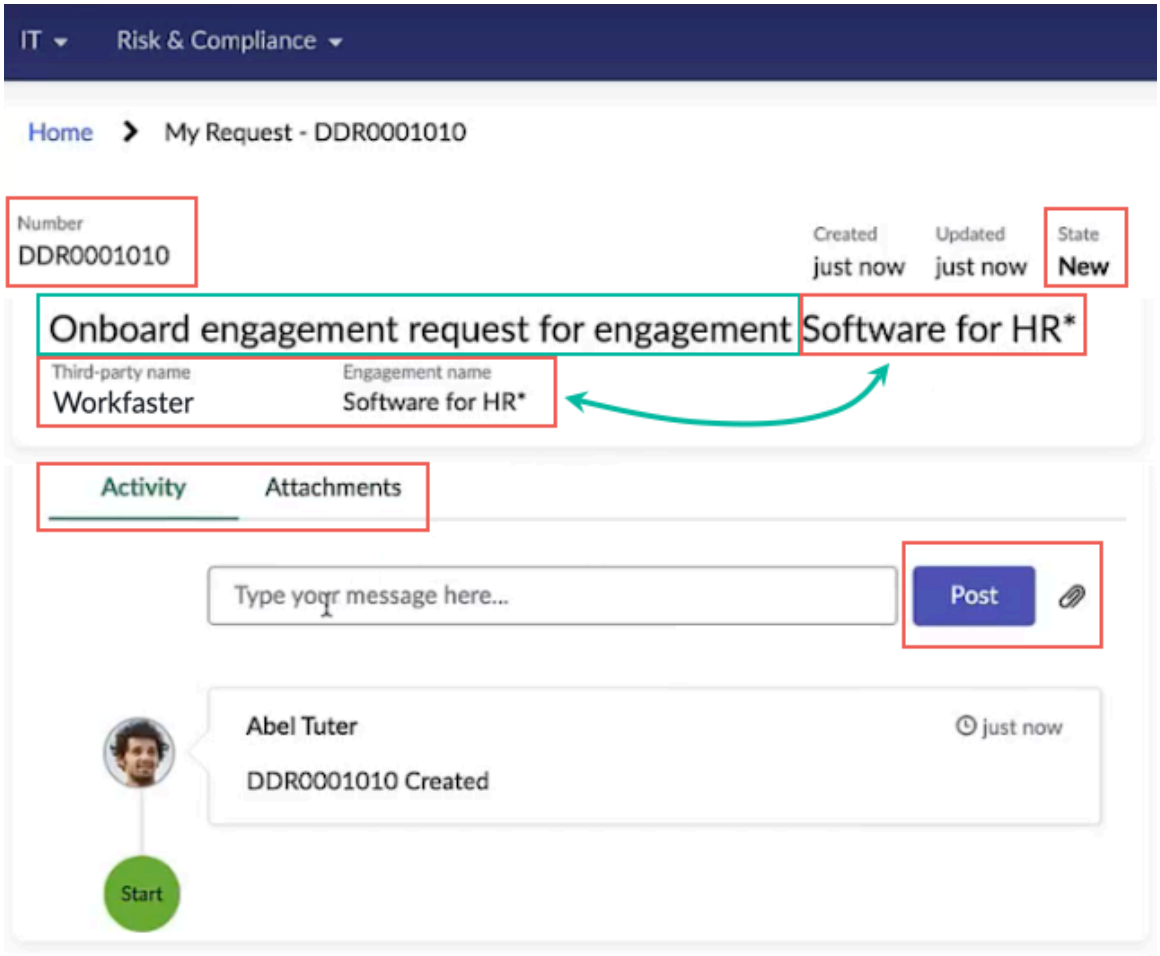
フィールド	説明
要求開始日	サードパーティとのエンゲージメントを可能にするためにエンゲージメントをアクティブにする必要がある日付。この情報は、TPR マネージャーが要求に優先順位を付けるのに役立ちます。
要求終了日	エンゲージメントの終了予定日。
初期 IRQ に応答するユーザー	IRQ に応答する必要がある IRQ 査定人または TPR マネージャーロールを持つ人物。 **注:** このデューデリジェンスの要求を確認する際に、TPR マネージャーまたは所有者は別のユーザーを指定できます。
[サードパーティの住所] セクション	
番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国	親組織の標準的な住所情報。 **注:** ここで特定するサードパーティは、エンゲージメント要求のターゲットである場合もあれば、エンゲージメントする組織の親である場合もあります。次の [エンゲージメントの住所] セクションにエンゲージメント組織に関する情報を追加します。
[エンゲージメントの住所] セクション	
番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国	エンゲージメント組織の標準的な住所情報。 エンゲージメント要求のターゲットが親サードパーティ組織である場合は、[サードパーティの住所と同じ] を選択します。
[サードパーティの主連絡先] セクション	
名、姓、役職、メール、電話	サードパーティの主要連絡先となる人物の、サードパーティ組織での標準的な連絡先情報。 サードパーティ連絡先ロールの責任の説明については、「サードパーティリスク管理 でのロール」を参照してください。
[エンゲージメントの主連絡先] セクション	
名、姓、役職、メール、電話	サードパーティの主要連絡先となる人物の、エンゲージメント組織での標準的な連絡先情報。 エンゲージメント要求のターゲットが親サードパーティ組織である場合は、[サードパーティの主連絡先と同じ] を選択します。 サードパーティ連絡先ロールの責任の説明については、「サードパーティリスク管理 でのロール」を参照してください。

7. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [自分の要求] ページの [アクティビティ] タブが開きます。デューデリジェンス要求ごとに、テキスト **DDR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 この ID を使用して要求を追跡します。レビュー担当者にメッセージを投稿し、ページから添付ファイルを追加できます。



- 要求が送信されたことを知らせる確認メールが送信されます。このメッセージには、アプリケーションの要求の詳細へのリンク サードパーティリスク管理 が含まれています。
- アサイン先グループで指定された グループ内のすべてのユーザーにメール通知が送信されます。このメッセージは、要求が受信され、[新規] ステータスであることを示しています。このメッセージには、要求の詳細ページへのリンクも含まれています。

> **注:**
> 新しいデューデリジェンス要求の場合、アサイン先グループはデューデリジェンス要求アサイナーに設定されます。TPR マネージャーまたはオーナーは、デューデリジェンス要求の [詳細] タブで、どのグループがアサイン先グループであるかを指定できます。詳細については、「デューデリジェンス要求プロセス管理」と「責任に基づくグループへのユーザーの追加」を参照してください。

関連情報

デューデリジェンスを実施せずにエンゲージメントをオフボーディングする

デューデリジェンスを実施せずにエンゲージメントをオフボーディングする

エンゲージメントが終了した場合、または他の理由で別のサードパーティに切り替える場合は、エンゲージメントを完全に終了するように要求します。この場合、通常、追加のデューデリジェンスを実

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

施する必要はありません。ただし、このプロセスには、エンゲージメントによって提供されるサービスが継続しなくなることを確認するための通常の固有リスクアンケート (IRQ) プロセスが含まれています。

IRQ 査定人としてアサインされたユーザーは、エンゲージメントが不要になった理由を指定するアンケートに回答する責任があります。IRQ が完了すると、承認プロセスによってエンゲージメントが正式にオフボードされ、非アクティブステータスに設定されます。

エンゲージメントが非アクティブに設定されている場合、今後自動スケジュールされたデューデリジェンスまたは情報要求はエンゲージメント連絡先に送信されません。

サードパーティリスクの評価

サードパーティとの関係に関連付けられている潜在的なリスクを特定および評価するために使用します サードパーティリスク管理 。内部アンケート、外部アンケート、およびドキュメント要求から収集された情報は、サードパーティのリスクプロファイルを理解し、適切なリスク軽減戦略を決定し、サードパーティまたはエンゲージメントが必要なすべてのコンプライアンス要件を満たしているかどうかを判断するのに役立ちます。

アンケートへの回答

次のプロセスは、内部および外部のアンケートに回答するタイミングと方法の概要を示しています。

固有リスクアンケート (IRQ) プロセス

デューデリジェンス要求がサードパーティリスク (TPR) マネージャー [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager] によって承認された後、IRQ 査定人 [snc_internal] は IRQ に応答して内部リスクアセスメントを完了します。

収集された情報に基づいて、TPR マネージャーとそのチームは、エンゲージメントに関連付けられている潜在的なリスクを評価します。財務の安定性、運用キャパシティ、品質基準への準拠、規制へのコンプライアンス、サードパーティのデリバリタイムラインを満たす能力などの要素を評価します。このアセスメントは、チームがサードパーティのリスクプロファイルを理解し、適切なリスク軽減戦略を決定するのに役立ちます。

IRQ の詳細については、次を参照してください 固有リスクアンケート (IRQ) への回答。

デューデリジェンスプロセス:コンプライアンス検証

IRQ プロセスが完了すると、 TPRM アプリケーションはアンケートとドキュメントの要求をサードパーティとエンゲージメントに送信します。アセスメントの一環として、複数のアンケートと文書要求を送信する場合があります。たとえば、コンプライアンスを検証するために、サードパーティの認定、ライセンス、または監査レポートを要求する場合があります。

> **注:**
> アセスメントテンプレートを開発して、このタイプのサードパーティに送信するアンケートと文書要求を決定するプロセスを簡素化および自動化できます。アンケートテンプレート、文書要求テンプレートを定義して、アセスメントテンプレートにグループ化することができます。テンプレートを再利用して、今後のアセスメントで類似するサードパーティにアンケートと文書要求を送信できます。テンプレートの詳細については、および文書要求テンプレートの作成を参照してくださいアンケートテンプレートや文書要求テンプレートを作成する。

TPR マネージャーとそのチームは、サードパーティの回答と内部分析を使用して、サードパーティが必要なすべてのコンプライアンス要件を満たしているかどうかを判断します。これらの要件には、環境規制、労働法、腐敗防止ポリシーなど、適用される法

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

律および規制に対するサードパーティのコンプライアンスの検証が含まれる場合があります。

関連するアイテムは機密性が高いため、TPR マネージャーとそのチームは、サードパーティのデータセキュリティとプライバシー慣行を評価します。サードパーティの情報セキュリティ対策、データ保護ポリシー、アクセス制御、および脆弱性管理プロセスを評価します。サードパーティが機密情報または顧客データにアクセスできる場合、サードパーティにサイバーセキュリティ監査を受けるか、データ保護対策の証拠を提供するように要求する場合があります。

回答のレビューの詳細については、「」を参照してください 外部アンケートの応答を確認する。

> **注:**
> 受領または返却されたアンケートを Excel スプレッドシートに Microsoft エクスポートできます。このオプションを使用すると、スプレッドシート環境を使用して質問と回答を確認できます。アンケート回答のエクスポートの詳細については、「」を参照してください アンケート回答をスプレッドシートにエクスポートする。

問題とタスク

タスクと問題の両方を作成および管理するには、TPR マネージャー [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager] または TPR 査定人 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] のロールが必要です。

TPR マネージャーまたは査定人は、チームメンバーまたはサードパーティ連絡先がアンケートの回答または要求されたドキュメントに関する懸念に確実に応答できるようにするためのタスクを作成できます。既存のタスクを管理して、アサインされたチームメンバーまたはサードパーティの連絡先がタスクに応答し、必要に応じてタスクを更新することを確認できます。問題の作成と管理の詳細については、「」およびサードパーティまたはエンゲージメントのタスク管理を参照してくださいサードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成。

TPR マネージャーまたは査定人は、問題を作成して、サードパーティまたはエンゲージメントに関するチームの懸念を確実に修正できます。また、既存の問題を管理して、それらが理解され、適切な担当者と共有され、必要に応じて対処されていることを確認することもできます。タスクの作成と管理の詳細については、「」および問題を管理するを参照してくださいサードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成。

固有リスクアンケート (IRQ) への回答

キューにアサインされた IRQ に応答します。アンケートへの回答は、プロセスが進行するかどうかを決定するのに役立ち、サードパーティまたはエンゲージメントに送信されるアンケートに影響を与える可能性があります。

始める前に

必要なロール:snc_internal

このタスクについて

組織内の誰かがデューデリジェンス要求を作成すると、デューデリジェンスプロセス全体の所有者は、その最初の IRQ に誰が応答するかを指定します。IRQ 査定人は、アサインされたアンケートへのリンク、関連するアセスメントの名前、および期限が記載されたメールを受信します。この情報は、「」のアンケート 従業員センターの一部としても提供されます。詳細については、「サードパーティデューデリジェンスの要求」と「デューデリジェンスワークフローのプロセス」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
要求が作成されると、システムは最初のデューデリジェンス要求者とデューデリジェンス要求アサイン先グループのすべてのユーザーにアラートを送信します。グループのメンバーは、サードパーティリスク (TPR) マネージャーまたは TPR 査定人を要求の所有者としてアサインできます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Employee Center** をクリックして、 従業員センター.
2. 自分のアクティブなアイテム ウィンドウで、 調査 を選択します。
3. アンケートで関連するすべての質問に回答し、[送信] を選択します。

関連情報

デューデリジェンスを実施する理由

外部アンケートの応答を確認する

サードパーティの連絡先は、サードパーティポータルを使用してアセスメントを完了し、各質問のコメントセクションで TPR マネージャーと共同作業を行います。アセスメントでギャップが明らかになった場合、TPR マネージャーまたは TPR 査定人は問題またはタスクを作成できます。さらに、ベンダー管理ワークスペース アプリケーションは問題を自動生成できます。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて
TPR マネージャーまたは TPR 査定人は、アセスメントの応答が不十分であると判断した場合、アセスメントの質問または文書要求の一部を差し戻すことができます。質問に対する回答が不適切な場合に自動的に問題を生成することや、質問から手動で問題を生成することができます。コメントは、サードパーティの連絡先に対する問題を特定します。

TPR 査定人が回答を変更できるようにするには、[**TPR** 査定人がサードパーティアンケートの回答を変更することを許可] [sn_svdp.allow_assessor_edit] システムプロパティを設定します。次のオプションを設定できます。

- TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできるようにする (デフォルト)
- TPR 査定人が応答を変更できるようにする
- TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできないようにする

TPRM のプロパティの構成 を参照してください。

手順

1. ベンダー管理ワークスペースで、リストアイコン (。) をクリックし、次に移動します。 ベンダーリスクアセスメント > 自分にアサインされた未完了.
2. [応答を受信済み] ステータスのアセスメントを開きます。
3. [アンケート] または [文書要求] タブで、[応答を表示] をクリックし、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンダーの応答フォーム

フィールド	説明
レビュー担当者のコメント	応答のステータスに関する内部情報を提供するテキスト。
フォローアップを表示	チェックボックスをオンにすると、フォローアップが必要としてフラグが付けられた質問のみが表示されます (更新のためにアセスメントがサードパーティに返されたとき、[フォローアップ] チェックボックスはオンになっています)。
不適切な、採点されていない回答を表示	誤った回答または回答のない質問のみを表示するには、これを選択します。
コメントを非表示	すべてのコメントテキストボックスを非表示にするチェックボックスをオンにします。
問題の作成時にこの質問を含める	この質問を扱う問題を作成することを示すには、チェックボックスをオンにします。[内部コメント] を追加できます。 **注:** 質問に対して既に問題を作成している場合、その質問に対して追加の問題を作成できないように、このフィールドは無効になります。
フォローアップ日時	外部コメントをベンダーに表示するには、これを選択します。
ベンダーへのコメント	[外部コメント] をサードパーティに追加するチェックボックスを選択します。

4. アセスメントを確認してコメントを追加した後、次のいずれかの手順を実行します。

サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成

問題を作成して、サードパーティまたはエンゲージメントに関する懸念が確実に修正されるようにします。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

このタスクについて

反復プロセスでは、TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、TPR マネージャーが非準拠の問題とタスクを (通常は、TPR マネージャーが所見を生成するときに) 生成できます。TPR マネージャーは、コメントを使用して TP 連絡先とやり取りし、問題とタスクをクローズします。TPR マネージャーは、必要に応じてさまざまな TP 連絡先をアサインすることもできます。

手順

1. ホームページの [クイックアクション] ボックス TPRM ( ) で、[問題の作成] を選択します。
2. オプション: フォームの複数のフィールドに入力するテンプレートを選択します。
   テンプレートリストをフィルタリングし、カスタムの [自分のテンプレート] リストにテンプレートを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームに入力し、[保存] を選択します。

サードパーティリスクの問題フォーム

フィールド	説明
名前	テンプレートの役に立つタグ。フィールドはテンプレートによって入力される場合があります。
説明	他のユーザーが問題を理解するのに役立つテキスト。
番号	問題ごとに、テキスト **VRI** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
適用先	○ [サードパーティ]：問題は親サードパーティの組織に適用されます。 ○ [エンゲージメント]：問題はエンゲージメントに適用されます。
サードパーティ	問題が関連付けられているサードパーティ。
アセスメント	問題が関連付けられているアセスメント。
ステータス	問題に関連付けられているアクションを実行すると、問題のステータスが更新されます。[リスクの概要] タブの上部にあるワークフローチェーンは、問題の現在のステータスを示します。「問題を管理する」を参照してください。
優先度	優先度を指定します。値は、問題を含むすべてのレポートに表示されます。
アサイン先グループ	
アサイン先	問題の管理とレビューを担当するユーザー。
サードパーティの連絡先	問題が関連付けられているサードパーティの連絡先。
ウォッチリスト	他のユーザーを追加して、問題のステータスとその他の値の更新が表示されるようにします。
Vendor Portal に表示	サードパーティポータルでベンダー連絡先に問題を表示するオプション。
推奨セクション	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
推奨事項	○ 修復するサードパーティ:TP 連絡先が問題を修正し、問題をクローズできるようにすることを想定しています。 ○ 問題を承認：問題に関連するリスクが許容可能であり、それ以上のアクションは必要ないと判断します。 ○ 追加情報の要求：TP 連絡先に追加情報を要求します。 フィールドはテンプレートによって入力される場合があります。
説明	フィールドはテンプレートによって入力される場合があります。

[ベンダーポータルに表示] が選択されている場合、サードパーティの連絡先に問題のアラートが送信されます。

タスクの結果
最も優先度の高い問題は、ホームページの [優先度別の問題] セクションに一覧表示されます。[アサイン先] ユーザーは、[問題管理] ページのタブで問題を管理できます。「問題を管理する」を参照してください。

関連情報
TPRM ホームページへ。

問題を管理する

リスクアセスメントに関連する問題が理解され、適切な担当者に伝達され、必要に応じて対処されていることを確認します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または
sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

手順
1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。

- TPRM ホームページ ( ) で、最も優先度の高い問題は、[優先度別の問題] セクションに一覧表示されます。問題名を選択すると、[問題] ページの [リスクの概要] タブが表示されます。
- [リスト] ページ ( ) で、[問題] セクションのいずれかのリストから問題名を選択して、問題ページの [リスクの概要] タブを表示します。

> **注:**
> 問題ごとに、テキスト **VRI** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。

2. オプション: アクションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ディスカッション] を選択して、他のユーザーにメッセージを送信します。メッセージは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。
- [タスクの作成] を選択してタスクを作成します。「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」を参照してください。
- [保存] を選択して、任意のタブの値に加えた変更を保存します。
- [削除] を選択して、問題レコードを削除します。

3. 適切なタブを開きます。

各タブの [サードパーティの概要] セクションには、サードパーティの一般的な詳細が表示されます。

問題の [リスク概要] タブ

- 上部にあるワークフローチェーンは、問題の現在のステータスを示します。問題に関連付けられているアクションを実行すると、ステータスが更新されます。
- [タスク] セクション：関連するタスクをリストし、タスクの数とステータスを表示します。 問題ごとに、テキスト **VRI** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
- [終了予定日別タスク] セクション：緊急に注意が必要なタスクを特定するのに役立ちます。
- [サードパーティの概要] セクション：サードパーティの一般的な詳細。

問題の [詳細] タブ

- [サードパーティリスクの問題] セクション：サードパーティに関する一般的な情報と、問題に対する推奨アクション。
- [詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。
  - [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。
  - コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。

問題の [タスク] タブ

タブには、問題に関連付けられているタブの情報が表示されます。タスク番号を選択すると、タスク管理ページでタスクが開きます。[新規] をクリックしてタスクを作成します。「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」を参照してください。

問題の [質問] タブ

タブには、問題に関連付けられている質問のリストが表示されます。質問を選択すると、質問の定義と現在の応答が表示されます。

サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成

デューデリジェンスプロセス中に、組織のユーザーまたはサードパーティ連絡先がアンケートの回答または要求されたドキュメントに関する懸念に確実に応答できるようにするためのタスクを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または
sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

このタスクについて
反復プロセスでは、TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、TPR マネージャーが非準拠の問題とタスクを (通常は、TPR マネージャーが所見を生成するときに) 生成できます。TPR マネージャーは、コメントを使用して TP 連絡先とやり取りし、問題とタスクをクローズします。TPR マネージャーは、必要に応じてさまざまな TP 連絡先をアサインすることもできます。

手順

TPRM ホームページの [クイックアクション] ボックス () で、[タスクを作成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Create New Third-party risk task

Details

Third-party risk task

Short description *

Description

Number: VRT0003002

State: Open

Applies to: Third-party

Priority: 4 - Low

Third-party

Assigned to: (Empty)

Assessment

Third-party contact

Issue

Watch list

Visible in vendor portal

Task schedule

Planned duration

Days	Hours	Minutes	Seconds
1	0	0	0

Actual duration

Days	Hours	Minutes	Seconds
0	0	0	0

Planned start date: 2023-07-19 20:06:55

Actual start date: YYYY-MM-DD HH:mm:ss

Planned end date: 2023-07-19 20:06:55

Actual end date: YYYY-MM-DD HH:mm:ss

Closed by

Created: —

Updated: —

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティリスクのタスクフォーム

フィールド	説明
簡単な説明/説明	解決する必要がある問題とその解決方法に関する概要レベルの詳細情報。
番号	タスクごとに、テキスト **VRT** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
適用先	• [サードパーティ]：タスクはサードパーティの組織に適用されます。 • [エンゲージメント]：タスクはエンゲージメントに適用されます。
サードパーティ	タスクが関連付けられているサードパーティ。
アセスメント	タスクが関連付けられているアセスメント。
問題	タスクが関連付けられている問題。
ステータス	
優先度	優先度を指定します。値は、タスクを含むすべてのレポートに表示されます。
アサイン先	タスクの管理とクローズを担当するユーザー。
サードパーティの連絡先	タスクが関連付けられているサードパーティの連絡先。
ウォッチリスト	他のユーザーを追加して、タスクのステータスとその他の値の更新が表示されるようにします。
Vendor Portal に表示	サードパーティポータルでベンダー連絡先にタスクを表示するオプション。
タスクスケジュールセクション	
計画された期間/実際の期間	タスクに必要と予想される期間と、実開始日と実終了日から計算された実期間。
開始予定日/終了予定日	タスクの予定開始日と終了日。
実際の開始日/実際の終了日	最初のアクションとタスクがクローズされた日付に基づく、タスクの実際の開始日と終了日。
クローズ担当者	タスクをクローズしたユーザー (通常は、所有者が [アサイン先] ユーザー)。
作成済み/更新済み	タスクが保存された日付と最新の変更の日付。

サードパーティまたはエンゲージメントのタスク管理

組織の アサイン先 ユーザーまたはサードパーティ連絡先がタスクに応答することを確認し、必要に応じてタスクのステータスを更新します。

自動翻訳

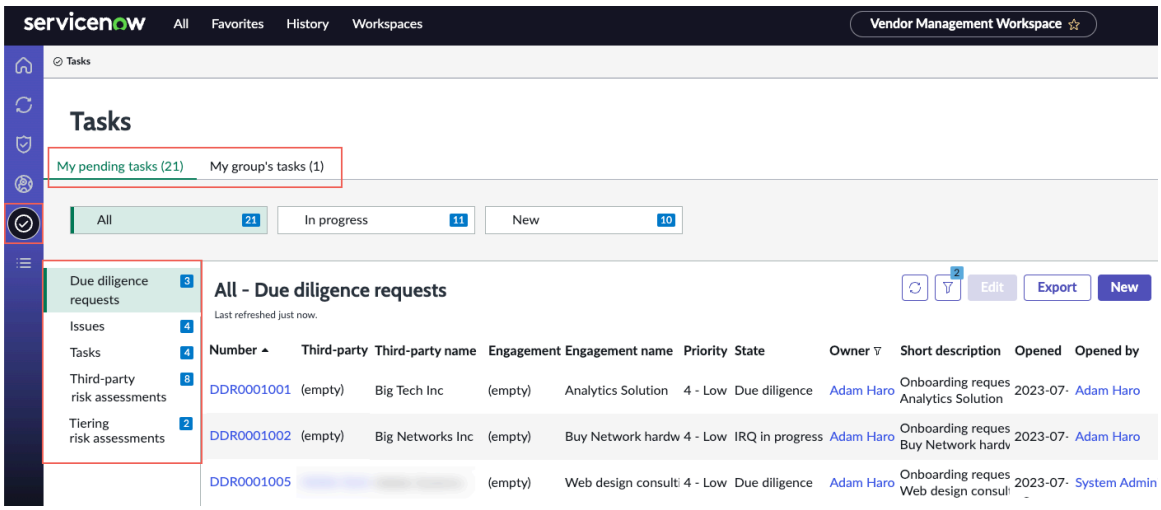
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または
sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

手順

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace** をクリックし、[リスク] タブを選択してワークスペースをホーム ページに開き、[タスク] アイコン ( ) を選択します。
2. [自分の保留中タスク] または [自分のグループのタスク] タブで、[タスク] を選択し、タスク番号を選択します。

> **注:**
> リスト内の他のオプション ([デューデリジェンス要求]、[問題] など) を使用して、作業するタスクを選択することもできます。



サードパーティリスクのタスクフォーム

フィールド	説明
簡単な説明/説明	ユーザーに対してタスクの意図を説明し、明確にするテキスト。
番号	タスクごとに、テキスト **VRT** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
適用先	○ [サードパーティ]：タスクはサードパーティの組織に適用されます。 ○ [エンゲージメント]：タスクはエンゲージメントに適用されます。
サードパーティ	タスクが関連付けられているサードパーティ。
アセスメント	タスクが関連付けられているアセスメント。
問題	タスクが関連付けられている問題。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	
優先度	優先度を指定します。値は、タスクを含むすべてのレポートに表示されます。
アサイン先	タスクの管理とクローズを担当するユーザー。
サードパーティの連絡先	タスクが関連付けられているサードパーティの連絡先。
ウォッチリスト	他のユーザーを追加して、タスクのステータスとその他の値の更新が表示されるようにします。
Vendor Portal に表示	サードパーティポータルでベンダー連絡先にタスクを表示するオプション。
タスクスケジュールセクション	
計画された期間/実際の期間	タスクに必要と予想される期間と、実際の開始日と終了日から計算された実際の期間。
開始予定日/終了予定日	タスクの予定開始日と終了日。
実際の開始日/実際の終了日	最初のアクションとタスクがクローズされた日付に基づく、タスクの予定開始日と終了日。
クローズ担当者	タスクをクローズしたユーザー (通常は [アサイン先] ユーザー)。
作成済み/更新済み	タスクが保存された日付と最新の変更の日付。

アンケート回答をスプレッドシートにエクスポートする

受領または返却されたアンケートを Excel スプレッドシートにエクスポートします Microsoft 。このオプションを使用すると、スプレッドシート環境を使用して質問と回答を確認できます。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて

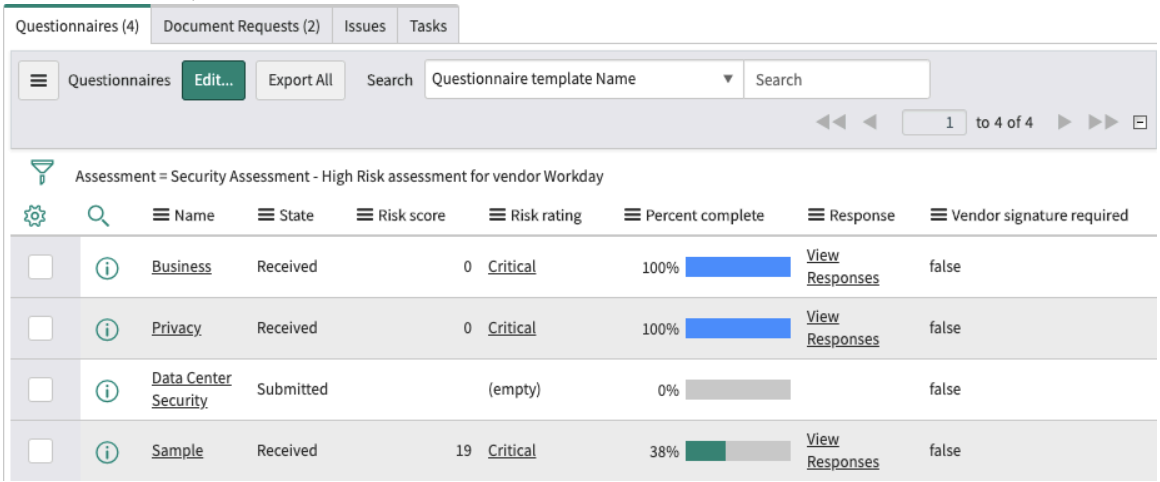
エクスポートできるのは、[受信済み] または [戻り] ステータスのアンケートのみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アセスメントを開きます。



2. [アンケート] 関連リストまでスクロールし、次のいずれかの方法を使用してアンケートをエクスポートします。

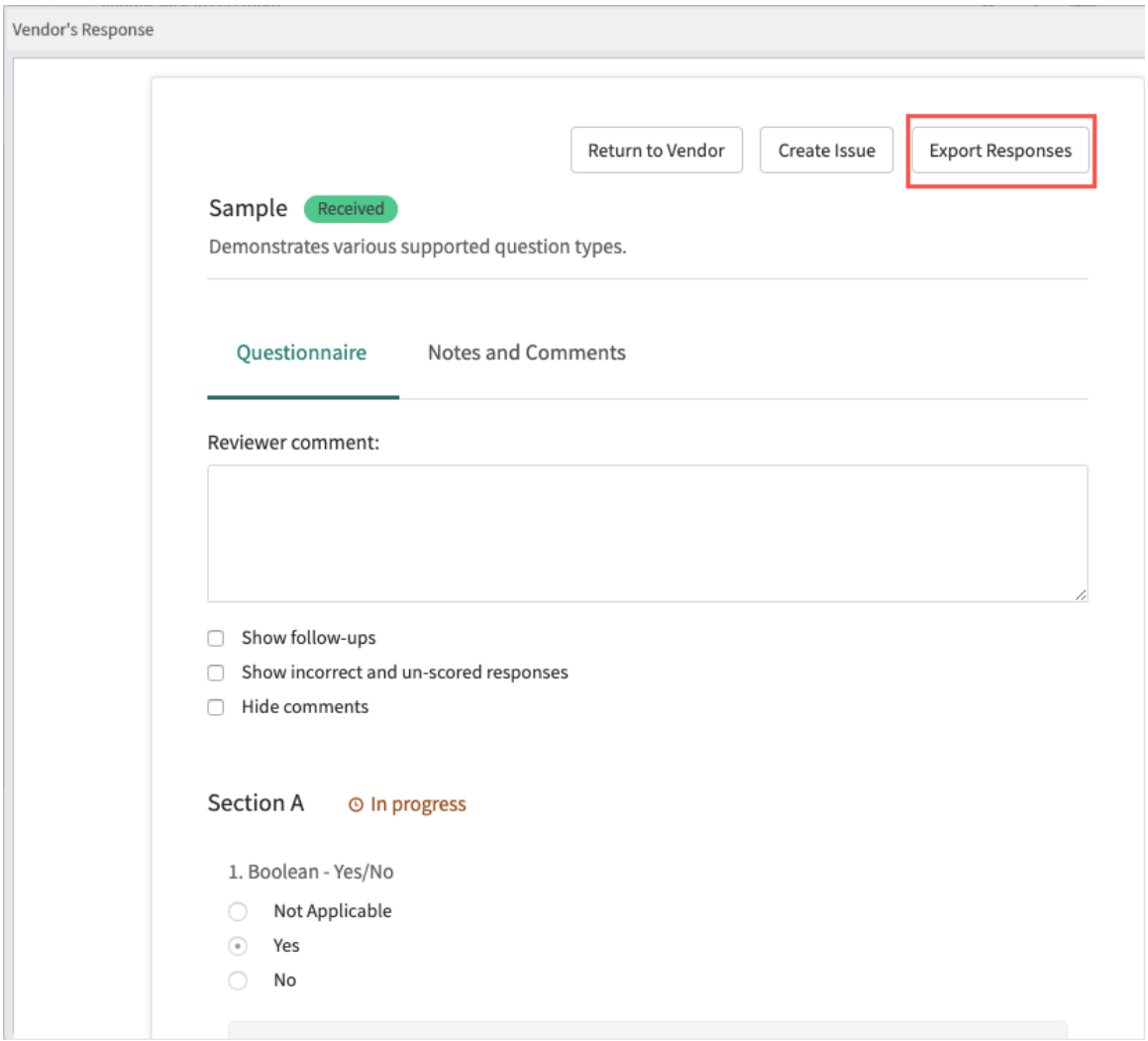
   ○ 単一のアンケートをエクスポートするには、次の手順を実行します。

   a. [応答を表示] をクリックし、[回答をエクスポート] をクリックします。

   b. [エクスポート] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

- 複数のアンケートをエクスポートするには、次の手順を実行します。

  a. アンケートのチェックボックスをオンにして、[選択した行のアクション] リストから [アンケートのエクスポート] を選択します。

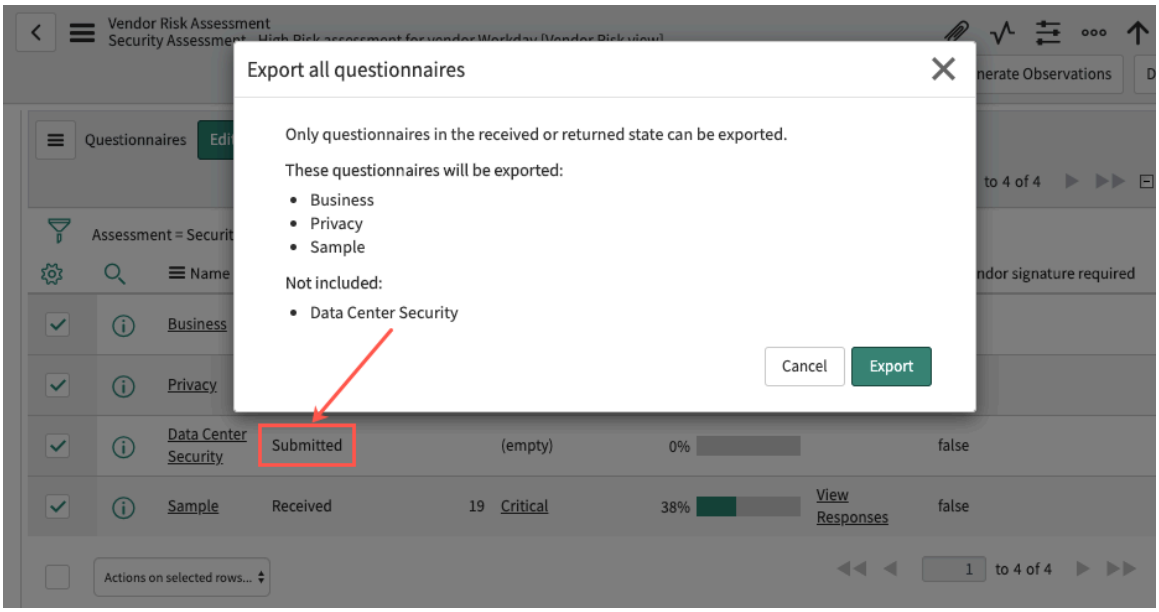
  b. [エクスポート] をクリックします。

- リストされているすべてのアンケートをエクスポートするには、次の手順を実行します。

  a. [すべてエクスポート] をクリックします。

  b. エクスポートするアンケートがポップアップに一覧表示されます。この例では、[データセンターセキュリティ] アンケートはステータスが受領済みでも返品済みでもないためエクスポートされません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. [エクスポート] をクリックします。

アンケートごとに個別の Excel ファイルが入った圧縮ファイルが生成されます。エクスポートされるファイルでは「<アセスメント名> -<アンケート名>.xlsx」という命名規則が使用されます。

スプレッドシートの [アセスメントの詳細] タブに、アセスメントの名前とステータス、予定日と完了日、署名者の詳細が表示されます。各 [セクション] タブには、アセスメントカテゴリの質問データが表示されます。

	A	B	C	D	E	F
1	Serial number	Question	Data type	Answer choices	Correct answers	Actual answers
2	1	1. Boolean - Yes/No	Yes/No	Yes No	Yes	Yes
3	2	1.1. Dependent Question	Yes/No	Yes No	Yes	No
4	3	1.2. Dependent Question	Yes/No	Yes No	Yes	Yes
5	4	1.3 Dependent Question - Mandatory	Yes/No	Yes No	Yes	Yes
6	5	2. Boolean	Checkbox	Checked Unchecked	Checked	Unchecked
7	6	3. Attachment	Attachment			
8	7	4. Choice	Choice	Choice 1 Choice 2 Choice	Choice 4	Choice 1
9	8	5. Date	Date			
10	9	6. Date and Time	Date/Time			

Assessment details | Section A | Section B | Section C | Section D

サードパーティリスクの監視

サードパーティとの関係に関連する潜在的なリスクを監視するために使用します サードパーティリスク管理 。継続的な監視プロセスは、サードパーティのパフォーマンスと合意された条件の遵守を定期的に評価するのに役立ちます。

継続的な監視とレビュー

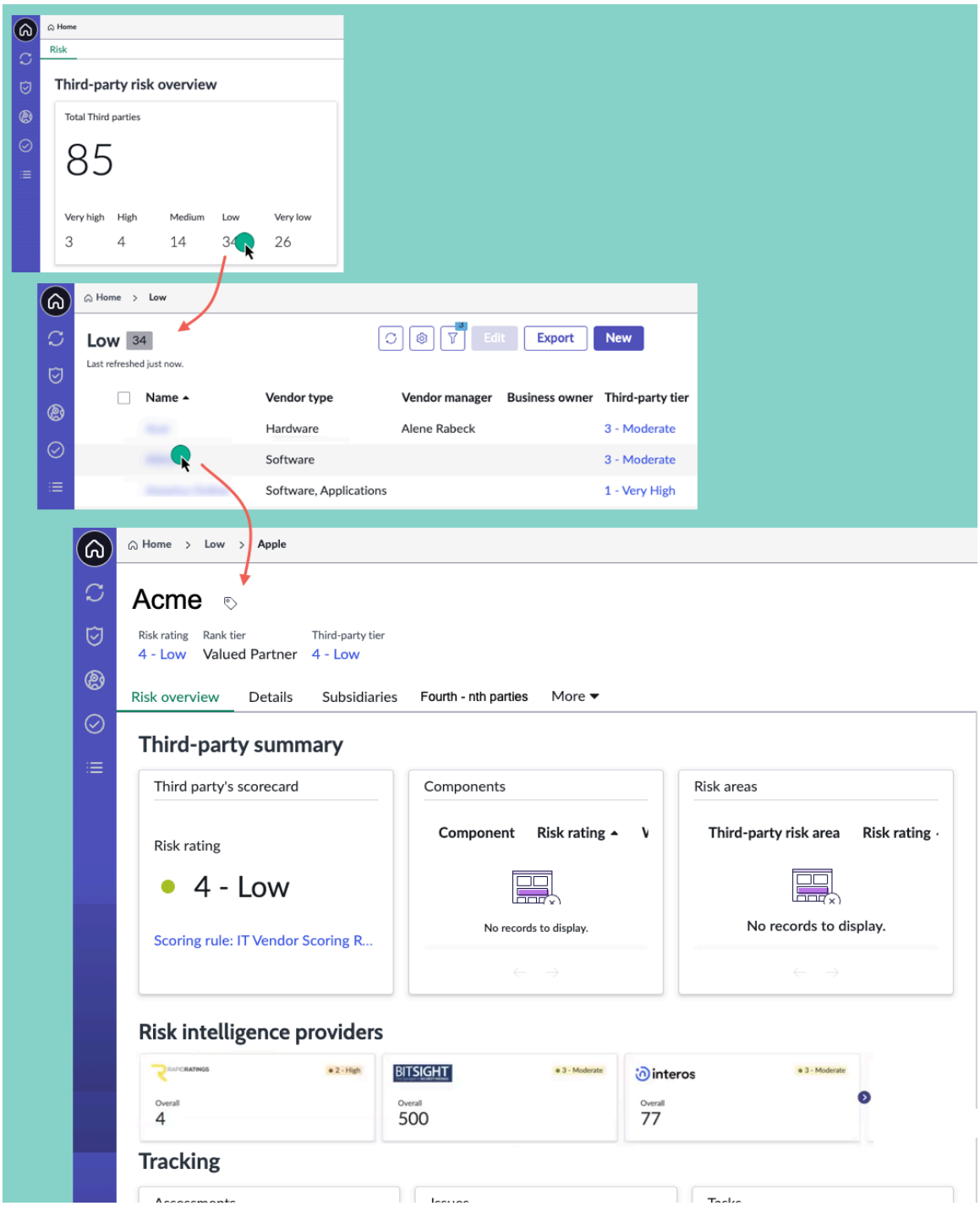
ベンダー管理ワークスペースを使用すると、サードパーティリスク (TPR) マネージャー [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager] は、サードパーティのパフォーマンスと合意された条件の遵守を定期的に評価できます。

ワークスペースのホームページに移動して、すべてのサードパーティとエンゲージメントのリスクレポートを表示します。移動先 ワークスペース > **Vendor Management Workspace** をクリックし、[リスク] タブを選択して、ワークスペースのホーム ページを開きます。詳細については、「サードパーティリスクレポートの表示」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティまたはエンゲージメントのページに移動して、サードパーティまたはエンゲージメントのステータスと現在のすべての情報を表示します。移動先 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.[リスク] タブで、 を選択します。[サードパーティリスクの概要] セクションで、任意の番号を選択してその値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開き、サードパーティまたはエンゲージメントを選択します。

サードパーティまたはエンゲージメントページを開く方法



詳細については、「サードパーティまたはエンゲージメントの概要を取得する」を参照してください。

デューデリジェンス要求レコードページから、次のデューデリジェンスプロセスのステータスを表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 要求プロセス
- 固有リスクアンケート (IRQ) プロセス
- サードパーティのリスクアセスメントプロセス
- 承認プロセス
- 契約リスクプロセス

デューデリジェンス要求の **DDR** 番号を選択すると、[デューデリジェンス要求] レコードページにアクセスできます。ページが開き、 [詳細] タブが表示されます。通常は、TPRM ホームページへ。 から開始します。詳細については、「デューデリジェンス要求プロセスの監視」を参照してください。

これは ベンダー管理ワークスペース 、TPR マネージャー (サードパーティリスクマネージャー) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager]、TPR 査定人 (サードパーティリスク査定人) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor]、およびサードパーティアセスメントレビュー担当者 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer] ロールを持つユーザー向けに設計されています。

ライセンス可能なアクティビティ

検証のために、すべてのライセンス可能なアクティビティを表示します。利用状況分析アクティビティ [sn_vdr_risk_asmt_ua_activity] テーブルには、ライセンス可能なアクティビティが発生するたびにレコードが格納されます。このテーブルは読み取り専用です。このテーブルを表示するには、サードパーティアセスメントレビュー担当者 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer] ロールが必要です。利用状況分析アクティビティテーブルにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > 第三者リスク管理 > 管理 > 管理対象アクティビティ分析. 詳細については、「ライセンス可能なアクティビティの追跡」を参照してください。

注:
利用状況分析アクティビティ [sn_vdr_risk_asmt_ua_activity] テーブルは、アプリケーションを購入 サードパーティリスク管理 し、デューデリジェンス管理アプリケーションにアクセスできるユーザーのみが使用できます。から GRC アプリケーション ServiceNow Storeをダウンロードする手順については、「」を参照してください 初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする。

サードパーティまたはエンゲージメントの概要を取得する

エンゲージメントページを使用して、サードパーティまたはエンゲージメントに関する現在のすべての情報やステータスにアクセスします。

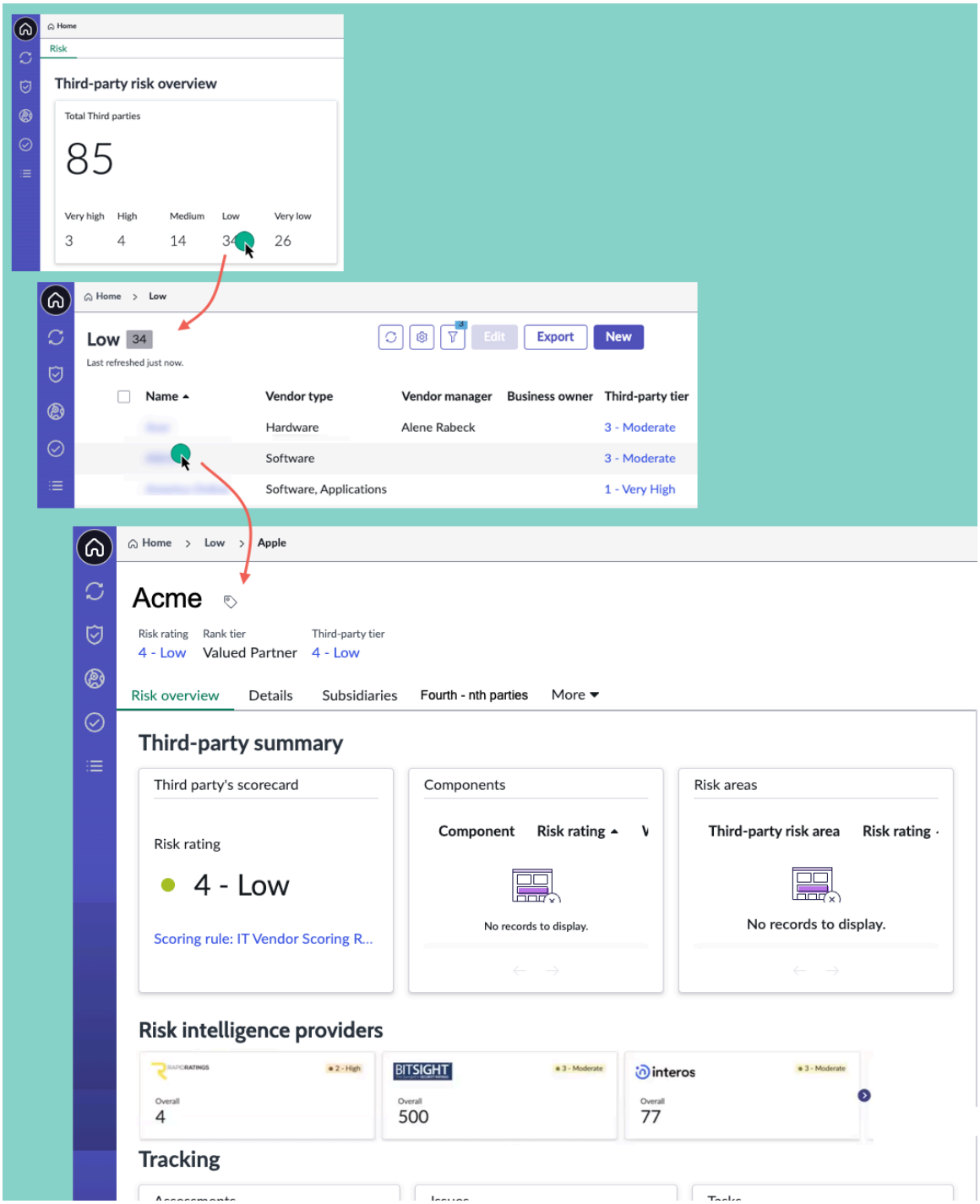
サードパーティまたはエンゲージメント情報へのアクセス

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、 を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. サードパーティ名またはエンゲージメント名を選択し、適切なタブを選択します。



サードパーティまたはエンゲージメントのタブの情報

ほとんどのレポートでは、アイテムを選択して基になるデータを表示できます。

サードパーティまたはエンゲージメントの [リスク概要] タブ

[リスク概要] タブには、サードパーティの名前とプロセス情報、サマリーレポート、リスクインテリジェンススコア、および問題とタスクの追跡データが表示されます。「サードパーティまたはエンゲージメントに関するリスク情報概要の表示」を参照してください。

サードパーティまたはエンゲージメントの [詳細] タブ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[詳細] タブには、概要とプロセス追跡の情報が表示され、サードパーティまたはエンゲージメントを管理するためのアクションが提供されます。 「サードパーティまたはエンゲージメントに関する一般情報の表示」を参照

サードパーティまたはエンゲージメントの [子会社] タブ

[子会社] タブには、サードパーティの子会社に関する概要情報が表示されます。「サードパーティ子会社に関する情報の表示」を参照

サードパーティまたはエンゲージメントの [ダウンストリームサプライヤー] タブ

[ダウンストリームサプライヤー **(Downstream suppliers)]** タブには、サードパーティが関与する第 4 の関係者の概要情報が表示されます。 「第 4 の関係者に関する情報の表示」を参照してください。

[リスクインテリジェンススコア] タブ

DD 要求の場合、リスクインテリジェンススコアがリストに表示されます。個々のサードパーティの場合は、最新のスコアまたは評価、および各リスクインテリジェンスレポートのリンクがカードに表示されます。「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。

サードパーティまたはエンゲージメントに関するリスク情報概要の表示

[リスク概要] タブには、サードパーティの名前とプロセス情報、サマリーレポート、リスクインテリジェンススコア、および問題とタスクの追跡データが表示されます。 ほとんどのレポートでは、アイテムを選択して基になるデータを表示できます。

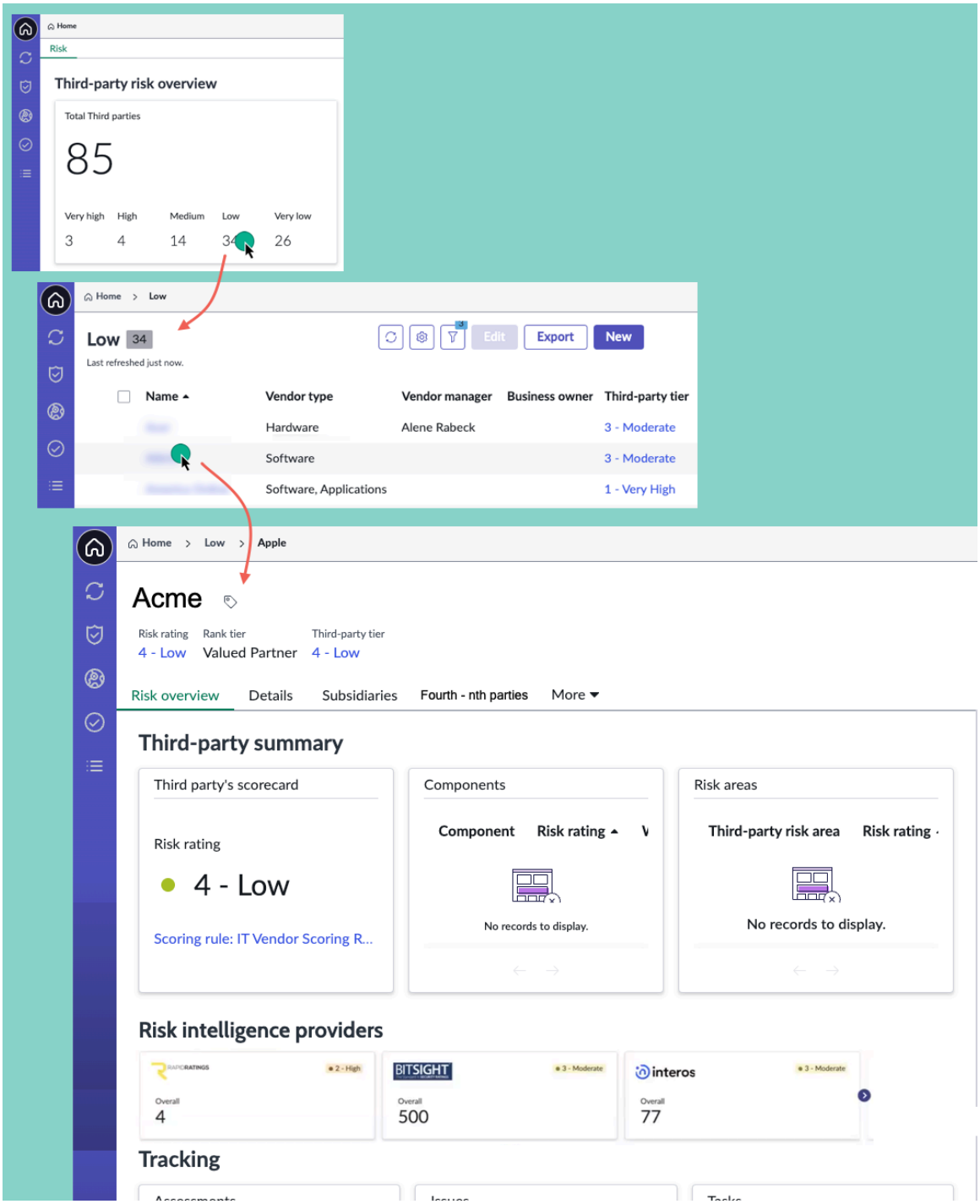
[リスク概要] タブへのアクセス

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、  を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

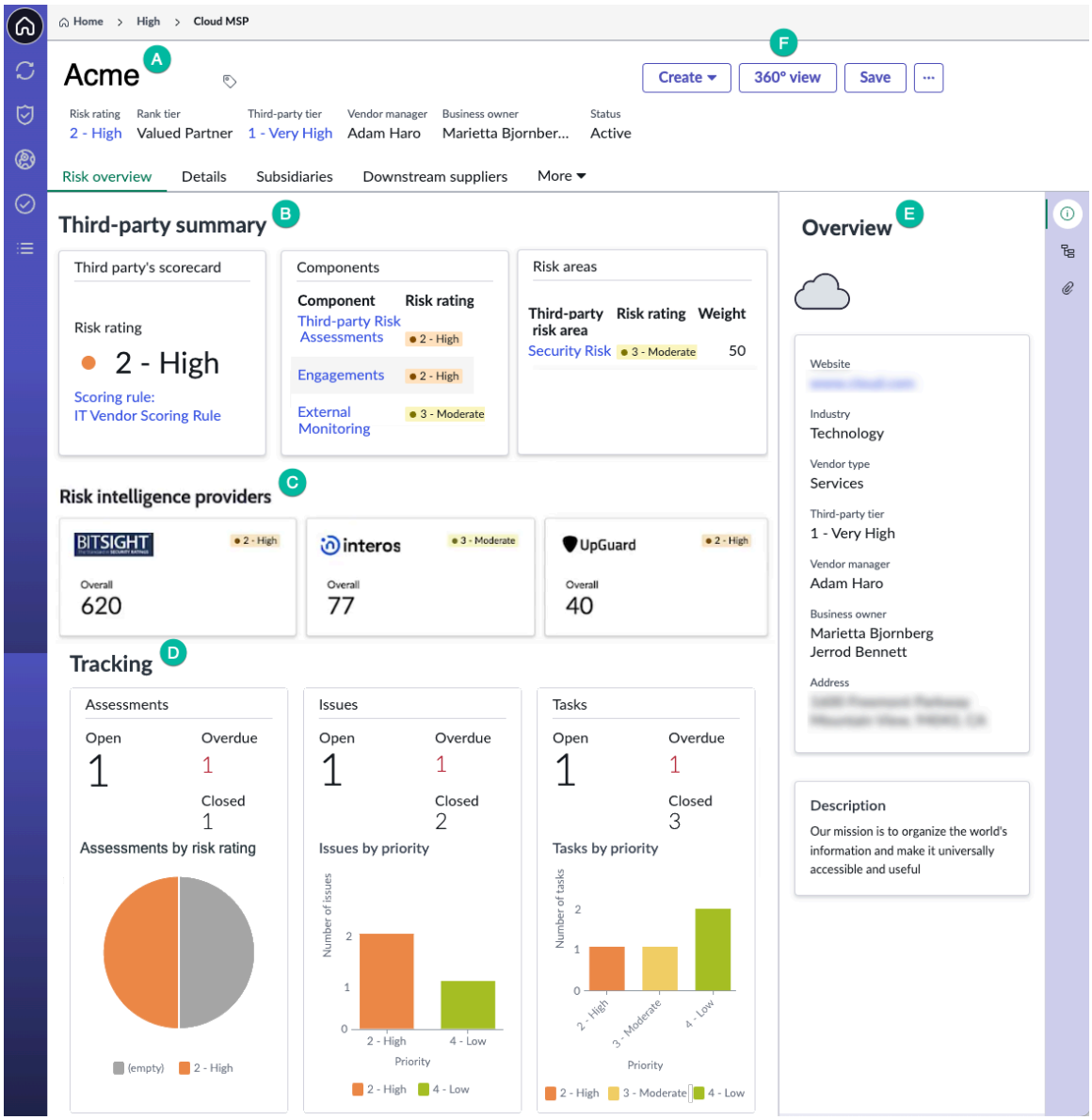
4. サードパーティ名またはエンゲージメント名を選択し、適切なタブを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リスク概要] タブに関する情報



A：名前とプロセス情報

このセクションでは、階層と連絡先情報にすばやくアクセスできます。リスク階層については、「サードパーティのリスク階層アセスメント - 従来のプロセス」を参照してください。

B：サードパーティサマリー

リスク評価と採点ルールについては、「リスク評価スケールとスコアリングを設定する」を参照してください。サードパーティリスクコンポーネントは、外部アセスメント、エンゲージメント、および子会社です。コンポーネントのリスク評価が集計され、サードパーティのスコアカードにリスク評価値として表示されます。

C：リスクインテリジェンスプロバイダー

リスクインテリジェンススコアについては、「リスク評価スケールとスコアリングを設定する」および「リスクインテリジェンススコアの表示」で説明されています。

D：追跡

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アセスメント:さまざまなプロセスステータスのアセスメントの数。詳細を表示する番号を選択します。
- 問題：問題については、「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」および「問題を管理する」で説明されています。
- タスク：タスクについては、「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」および「サードパーティまたはエンゲージメントのタスク管理」で説明されています。

E：概要

このセクションから、サードパーティに関する基本情報にすばやくアクセスできます。

F：アクション

- ディスカッション: [ディスカッション] を選択して、他のユーザーにメッセージを送信します。メッセージは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。
- 作成:問題またはタスクを生成します。「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」および「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」を参照してください。
- **360** 度ビュー:選択したサードパーティに影響を与える既存のアセスメント、問題、タスク、製品モデル、アップストリーム、およびダウンストリームの連絡先間の関係を視覚的に探索します。360˚ Relationship Visualization を参照してください。
- 保存:ページに加えた変更を保存します。

サードパーティまたはエンゲージメントに関する一般情報の表示

[詳細] タブには、概要とプロセス追跡の情報が表示され、サードパーティまたはエンゲージメントを管理するためのアクションが提供されます。 ほとんどのレポートでは、アイテムを選択して基になるデータを表示できます。

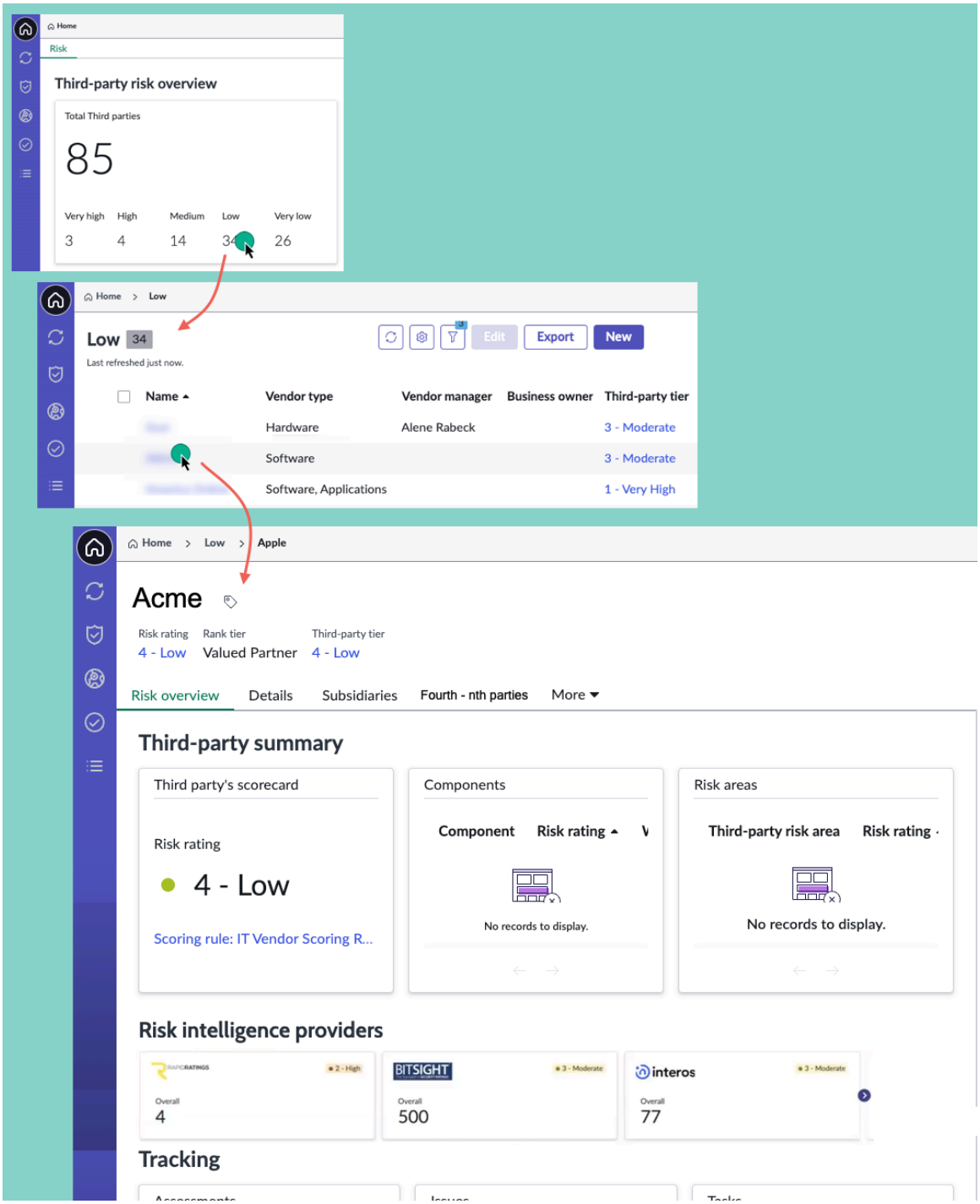
[詳細] タブへの移動

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、  を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. サードパーティ名またはエンゲージメント名を選択し、適切なタブを選択します。



詳細については、「デューデリジェンス要求プロセス管理」を参照してください。

サードパーティ子会社に関する情報の表示

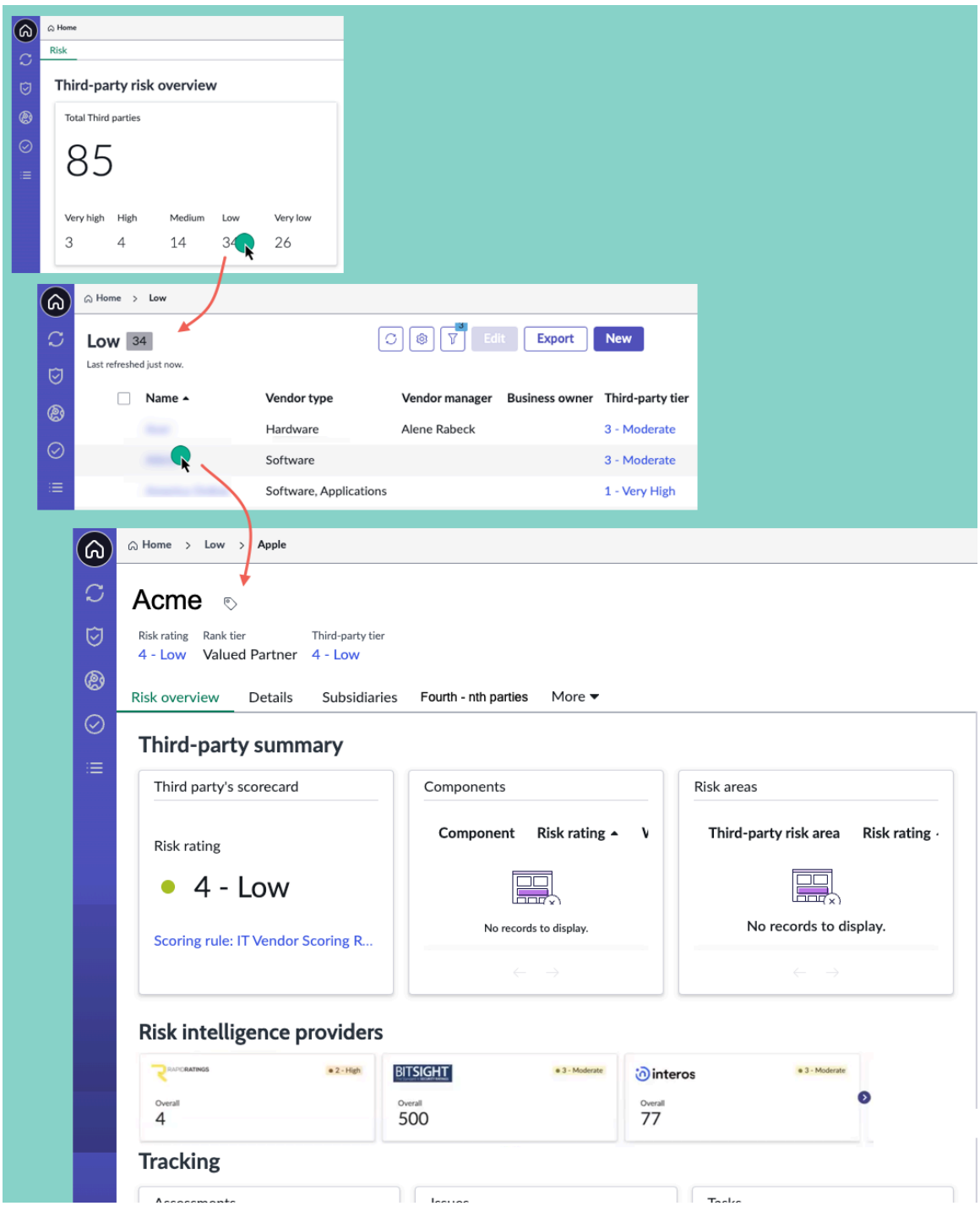
[子会社] タブには、サードパーティの子会社に関する概要情報が表示されます。 ほとんどのレポートでは、アイテムを選択して基になるデータを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[子会社] タブへのアクセス

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、 を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。
4. サードパーティ名またはエンゲージメント名を選択し、適切なタブを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

第 4 の関係者に関する情報の表示

[ダウンストリームサプライヤー **(Downstream suppliers)]** タブには、サードパーティが関与する第 4 の関係者の概要情報が表示されます。 ほとんどのレポートでは、アイテムを選択して基になるデータを表示できます。

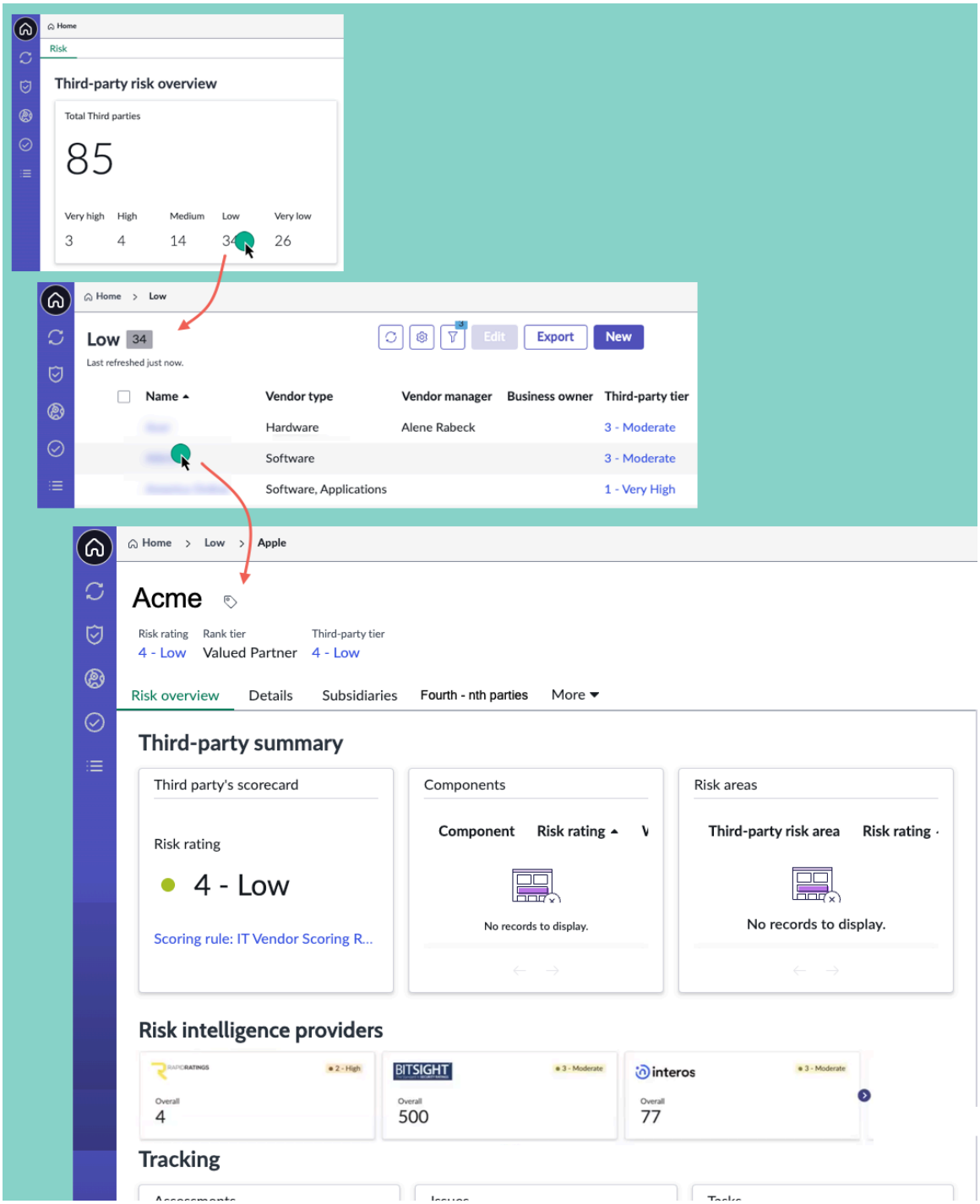
[ダウンストリームサプライヤー] タブへの移動

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、  を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. サードパーティ名またはエンゲージメント名を選択し、適切なタブを選択します。



[ダウンストリームサプライヤー] タブの情報

4 番目のパーティの名前、Web サイト、および DUNS 番号が一覧表示されます。

リスクインテリジェンススコアの表示

DD 要求の場合、リスクインテリジェンススコアがリストに表示されます。個々のサードパーティの場合は、最新のスコアまたは評価、および各リスクインテリジェンスレポートのリンクがカードに表示されます。

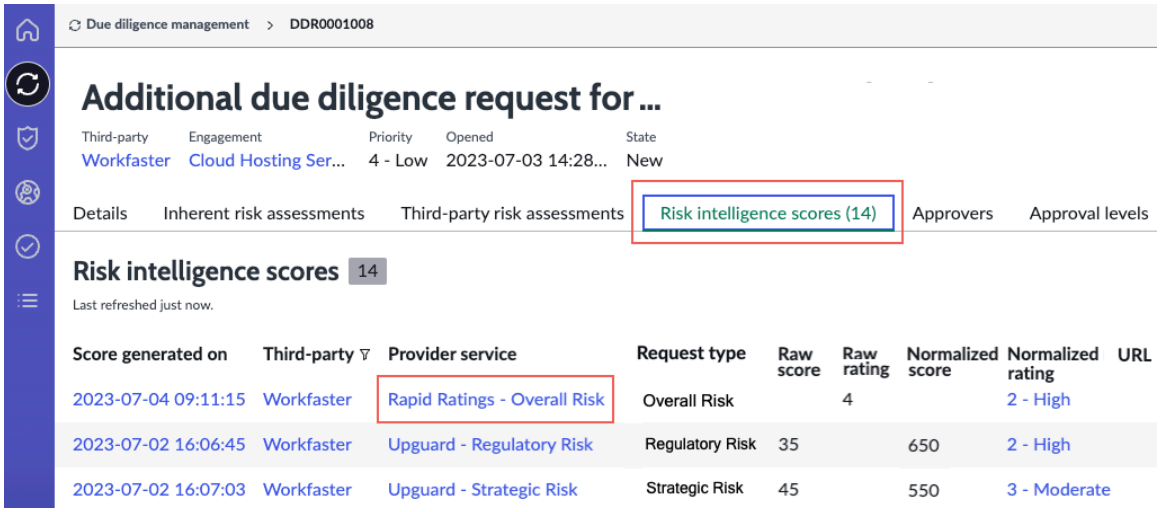
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクインテリジェンススコアは リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合、 リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定および サードパーティのリスクデータにリスクインテリジェンススコアを追加するで説明されています。

DD 要求のリスクインテリジェンススコア

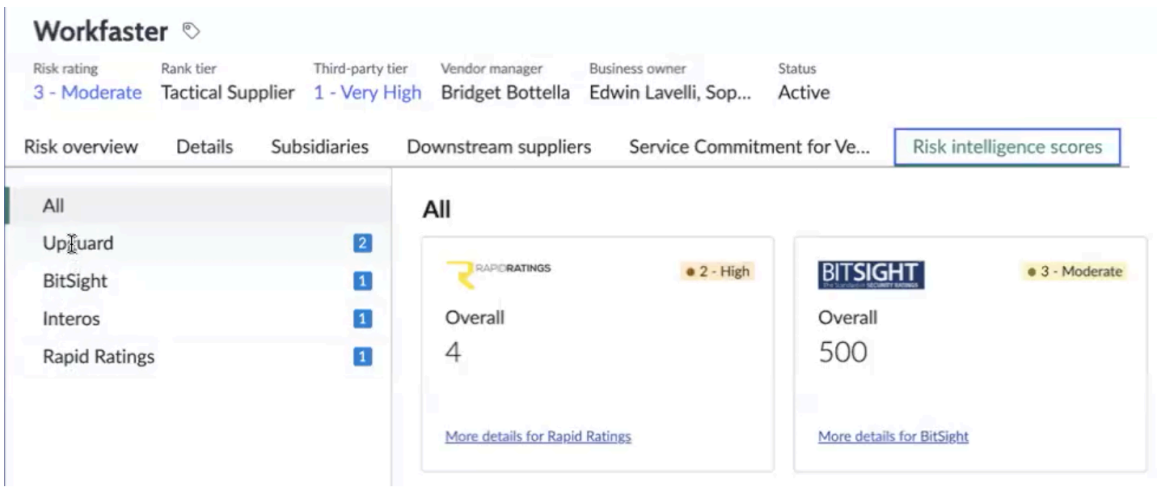
DD 要求のデータを表示しているときに、[リスクインテリジェンススコア] タブを選択して、リスクインテリジェンスプロバイダーが返したレポートのリストを表示します。



サードパーティのリスクインテリジェンススコア

サードパーティのデータを表示しているときに、[リスクインテリジェンススコア] タブを選択します。

サードパーティのデータを返したリスクインテリジェンスプロバイダーのリストには、サードパーティに関連付けられたスコアの数が含まれています。番号をクリックすると、レポートの詳細が表示されます。



各カードには、次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- A. 総合値:プロバイダーから最後に追加された全体的な生のスコアまたは生の評価。
- B. 正規化されたリスク評価。プロバイダーからの生のスコアまたは生の評価を数値で入力した場合、これは計算された正規化された TPRM 評価です。プロバイダーサービスの構成時に、プロバイダーの値から評価への TPRM マッピングを指定しました。
- C. リスクインテリジェンススコアの要求に対してプロバイダーから返されたレポートへのリンク。

関連情報

サードパーティのリスクデータにリスクインテリジェンススコアを追加する

リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定

サードパーティリスクレポートの表示

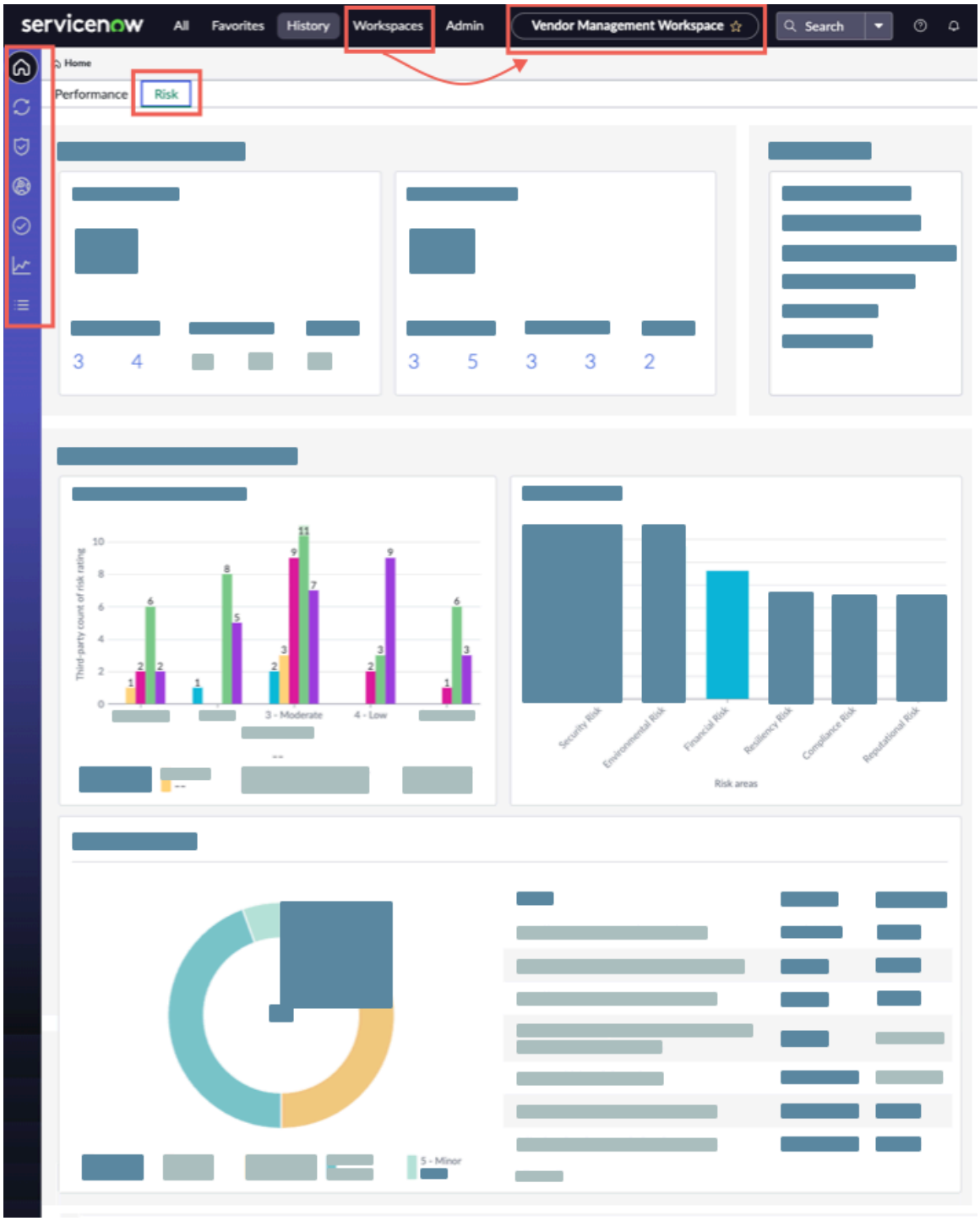
ベンダー管理ワークスペース で [リスク] タブを使用して、サードパーティのポートフォリオの管理、サードパーティのリスクの評価、修復ライフサイクルの完了などのアクティビティにアクセスして優先順位を付けます。ワークスペースを使用すると、自動化が可能になり、リスクアセスメントの手動の負担とコストが削減されます。

ベンダー管理ワークスペース の移動

選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace** をクリックし、[リスク] タブを選択して、ワークスペースのホーム ページを開きます。ナビゲーションパネルの各アイコンは、専用のページを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ホームページ

ホームページには、重要なリスク情報のレポートが表示され、TPR マネージャーと TPR 査定人がアクションにすばやくアクセスできます。「TPRM ホームページへ。」を参照してください。

デューデリジェンス管理ページ

TPR マネージャーと査定人は、デューデリジェンス管理レポートを使用して、責任の追跡、優先順位付け、および管理を行います。「TPRM デューデリジェンス管理レポート」を参照してください。

リスクアクティビティページ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リスクアクティビティ] ページを使用すると、注意が必要なアセスメント、問題、およびタスクをすばやく特定できます。「TPRM リスクアクティビティページ」を参照してください。

 リスク集中マップページ

[リスク集中マップ] ページには、アクティブなサードパーティとエンゲージメントの地理的な場所が正確に示されます。フィルターを設定して、特定のリスク評価とエンゲージメントタイプを表示できます。「TPRM リスク集中マップ」を参照してください。

 タスクページ

タスクページでは、自分とグループのメンバーにアサインされているタスクにアクセスできます。デューデリジェンス要求、サードパーティアクションのタイプ、およびリスクまたは階層アセスメントによって、タスクのリストをさらにフィルタリングできます。「TPRM タスクページ」を参照してください。

 リストページ

リストページは、TPRM で表示または操作できるすべてのアイテムにアクセスできる汎用ページです。「TPRM リストページ」を参照してください。

ベンダー管理ワークスペース を使用できるユーザー

ベンダー管理ワークスペース は、次のロールを持つユーザー向けに設計されています。

- TPR マネージャー (サードパーティリスクマネージャー) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager]
- TPR 査定人 (サードパーティリスク査定人) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor]
- サードパーティアセスメント レビュー担当者 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer]

TPRM ホームページへ。

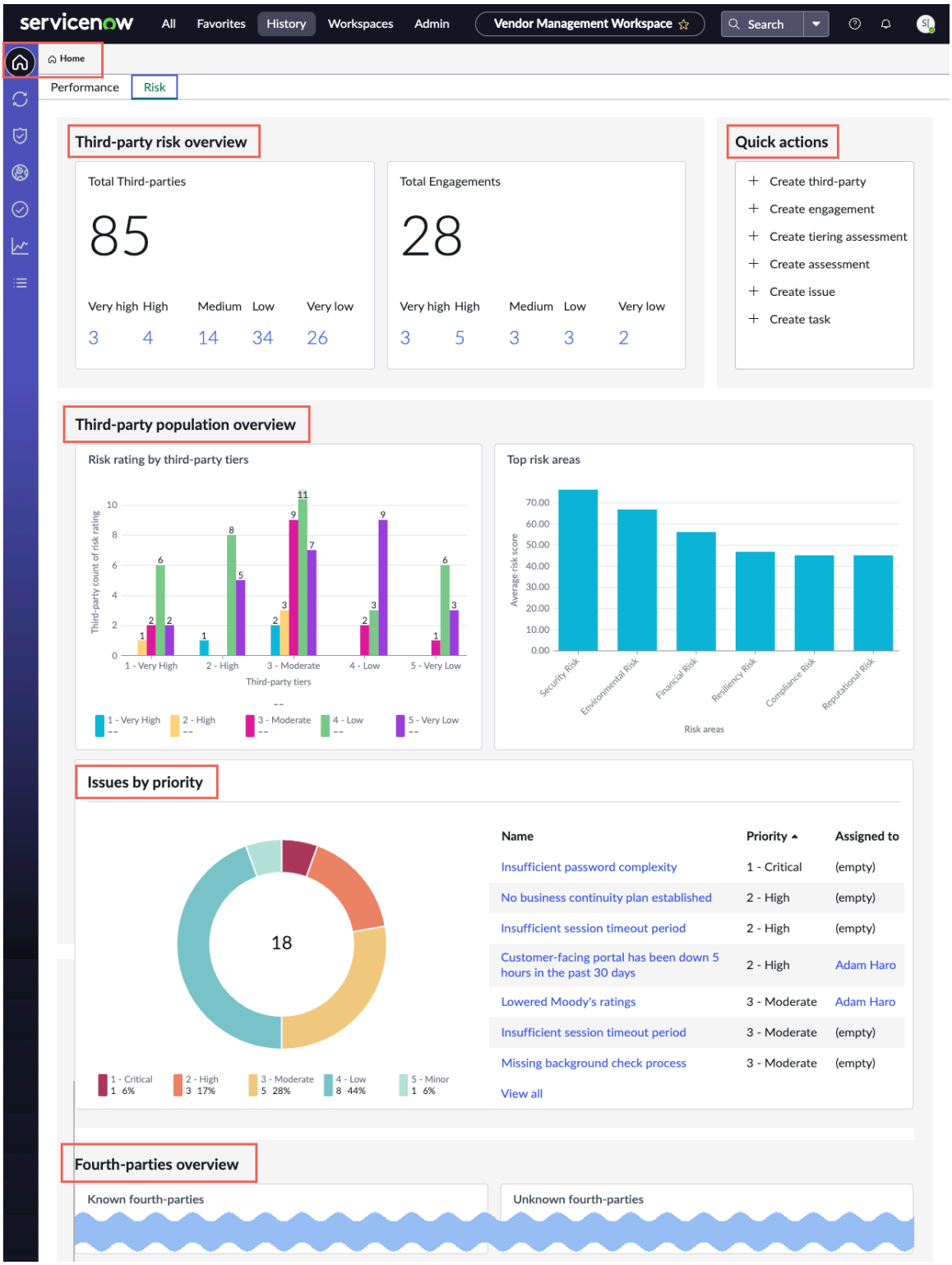
ホームページには、重要なリスク情報のレポートが表示され、TPR マネージャーと TPR 査定人がアクションにすばやくアクセスできます。

ページへのアクセス

Vendor Management ワークスペースでホームページを開くには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. [ を選択し、[リスク] タブを選択します。

自動翻訳

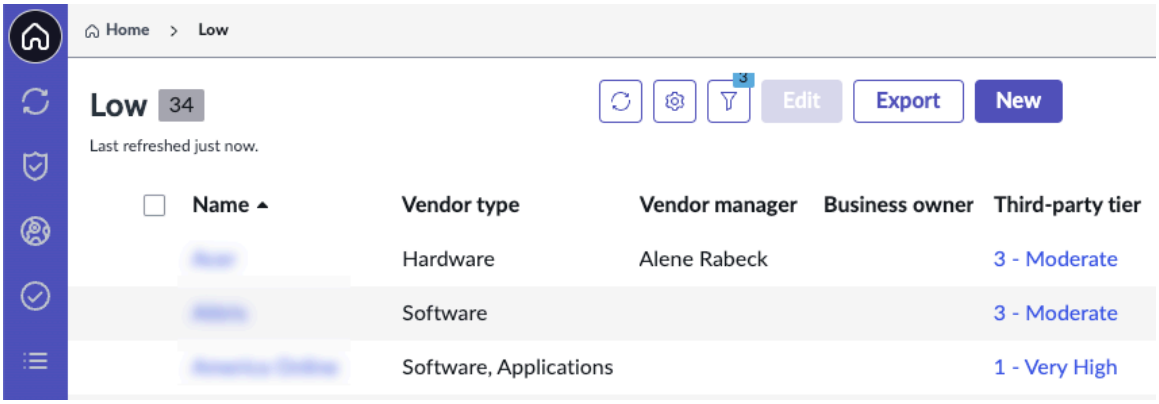
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



サードパーティリスクの概要

ボックス内の任意の番号を選択すると、サードパーティまたはエンゲージメントの関連リストが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リストを開いた後、 エクスポート を選択してデータをエクスポートするか、 新規 を選択して新しいエンゲージメント要求を作成できます。

クイックアクション

- サードパーティレコードを作成します。組織が関与する可能性があるサードパーティの主要なデータと連絡先情報を設定します。「サードパーティレコードの作成 - 従来のプロセス」を参照してください。
- エンゲージメントを定義します。エンゲージメントを定義して、サードパーティが提供するサービスまたは製品に関連するリスクを評価できるようにします。エンゲージメントは、直接的に、またはリスクを評価できる部門、パートナー、または子会社から、親サードパーティに提供される製品またはサービスを表すこともあります。 エンゲージメントの定義 - 従来のプロセス。
- 階層アセスメントを作成します。組織はリスク階層を使用して、オンボーディング時に発生する潜在的なリスクのカテゴリにサードパーティを分類します。標準の事前定義されたリスク階層は、[なし]、[低]、[マイナー]、[中]、[高]、および [重大] です。各リスク階層には、関連付けられたアセスメント質問と文書要求があります。「サードパーティのリスク階層アセスメント - 従来のプロセス」を参照してください。
- アセスメントを作成し、サードパーティリスクアセスメントライフサイクルを開始します。「外部リスクアセスメントの作成 - 従来のプロセス」を参照してください。
- 問題を作成して、サードパーティまたはエンゲージメントに関する懸念が確実に修正されるようにします。「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」を参照してください。
- デューデリジェンスプロセス中に、組織のユーザーまたはサードパーティ連絡先がアンケートの回答または要求されたドキュメントに関する懸念に確実に応答できるようにするためのタスクを作成します。「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」を参照してください。

サードパーティ設定の概要

- リスク階層別のリスク評価:各サードパーティリスク階層の各リスク評価でのエンゲージメントの数。「リスク評価スケールとスコアリングを設定する」を参照してください。
- 上位リスク領域:

  定義した各リスクドメインに関連付けられているエンゲージメントの平均リスクスコア。

  注:
  リスクドメインは、一部のプラットフォームアプリケーションでは「リスク領域」と呼ばれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクドメインは、サードパーティのために評価するリスクのタイプを定義します。たとえば、セキュリティリスクの観点からデータ管理サードパーティを評価し、財務リスクの観点から銀行を評価することができます。セキュリティリスクと財務リスクはリスクドメインです。一部のプラットフォームアプリケーションでは、リスクドメインを「リスク領域」と呼びます。「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。

優先度別の問題

優先度が最も高い未解決の問題の数と優先度。問題名を選択すると、問題ページの [リスクの概要] タブが表示されます。「問題を管理する」を参照してください。

第 4 - N の関係者の概要

サードパーティまたはエンゲージメントに関連付けられている第 4 の関係者とそのサブ関係者、および不明な第 4 の関係者の数。

TPRM デューデリジェンス管理レポート

TPR マネージャーと査定人は、デューデリジェンス管理レポートを使用して、責任の追跡、優先順位付け、および管理を行います。

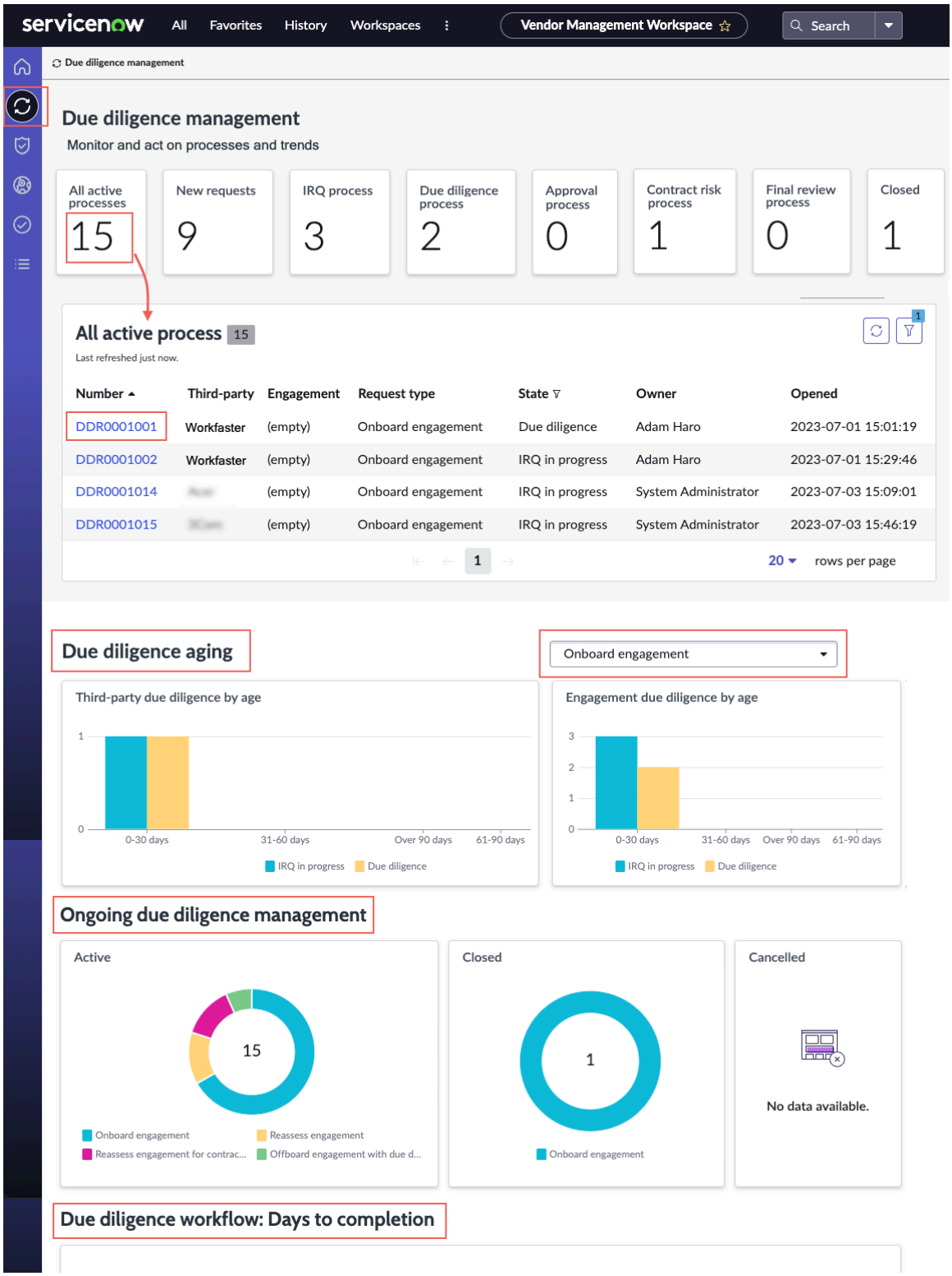
レポートへのアクセス

デューデリジェンス管理レポートを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.[リスク] タブで、  を選択します。

ヒント:
TPR マネージャーと TPR 管理者は、デューデリジェンス管理ダッシュボードからさまざまなタスクを実行できます。デューデリジェンス要求のワークフロー内のすべてのプロセス (IRQ、外部デューデリジェンス、承認、契約リスク、およびクローズ済み要求) で作業できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エンゲージメント要求の作業をするアイテムをリストビューで選択

デフォルトでは、ページにはすべてのアクティブなプロセス (IRQ、デューデリジェンス、承認、契約リスク、クローズ済みプロセス) が一覧表示されます。任意のカードの番号を選択すると、プロセスのアクション可能なアイテムのリストが表示されます。

- [すべてのアクティブなプロセス] カードの番号を選択すると、アクティブなプロセスのリストが表示されます。
- [新しい要求] カードの番号を選択すると、新しい要求のリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **IRQ** プロセスカードの番号を選択すると、アクティブな IRQ のリストが表示されます。詳細は、「IRQ プロセス管理」を参照してください。
- デューデリジェンスプロセスカードの番号を選択すると、アクティブなサードパーティリスクアセスメントのリストが表示されます。詳細は、「サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理」を参照してください。
- [承認プロセス] カードの番号を選択すると、承認プロセスの要求のリストが表示されます。詳細は、「DD 要求の承認プロセスの管理」を参照してください。
- 契約リスクプロセスカードの番号を選択すると、契約プロセスの要求のリストが表示されます。詳細は、「契約リスクプロセスの管理」を参照してください。
- [最終レビュープロセス] カードの番号を選択すると、最終レビュープロセスの要求のリストが表示されます。
- [クローズ済み] カードの番号を選択して、デューデリジェンスのクローズ済み要求のリストを表示します。

デューデリジェンス要求ごとに、テキスト **DDR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 任意のリストで、DDR 番号を選択して要求を表示します。

[デューデリジェンスエージング] セクション

[デューデリジェンスエージング] セクションには、サードパーティエンゲージメントのデューデリジェンス要求 (サードパーティおよびエンゲージメントのデューデリジェンス) の現在の期間が表示されます。リストボックスを使用して、チャートに表示するデューデリジェンス要求のタイプを指定します。

進行中のデューデリジェンス管理

[継続的なデューデリジェンス管理] セクションには、デューデリジェンスに対する アクティブ、 クローズ済み、および キャンセル 済みの要求の現在のブレークダウンが表示されます。

デューデリジェンスワークフロー：完了までの日数

[デューデリジェンスワークフロー:完了までの日数] セクションには、各ワークフローの平均完了時間が経時的に表示されます。

関連情報

IRQ プロセス管理

サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理

契約リスクプロセスの管理

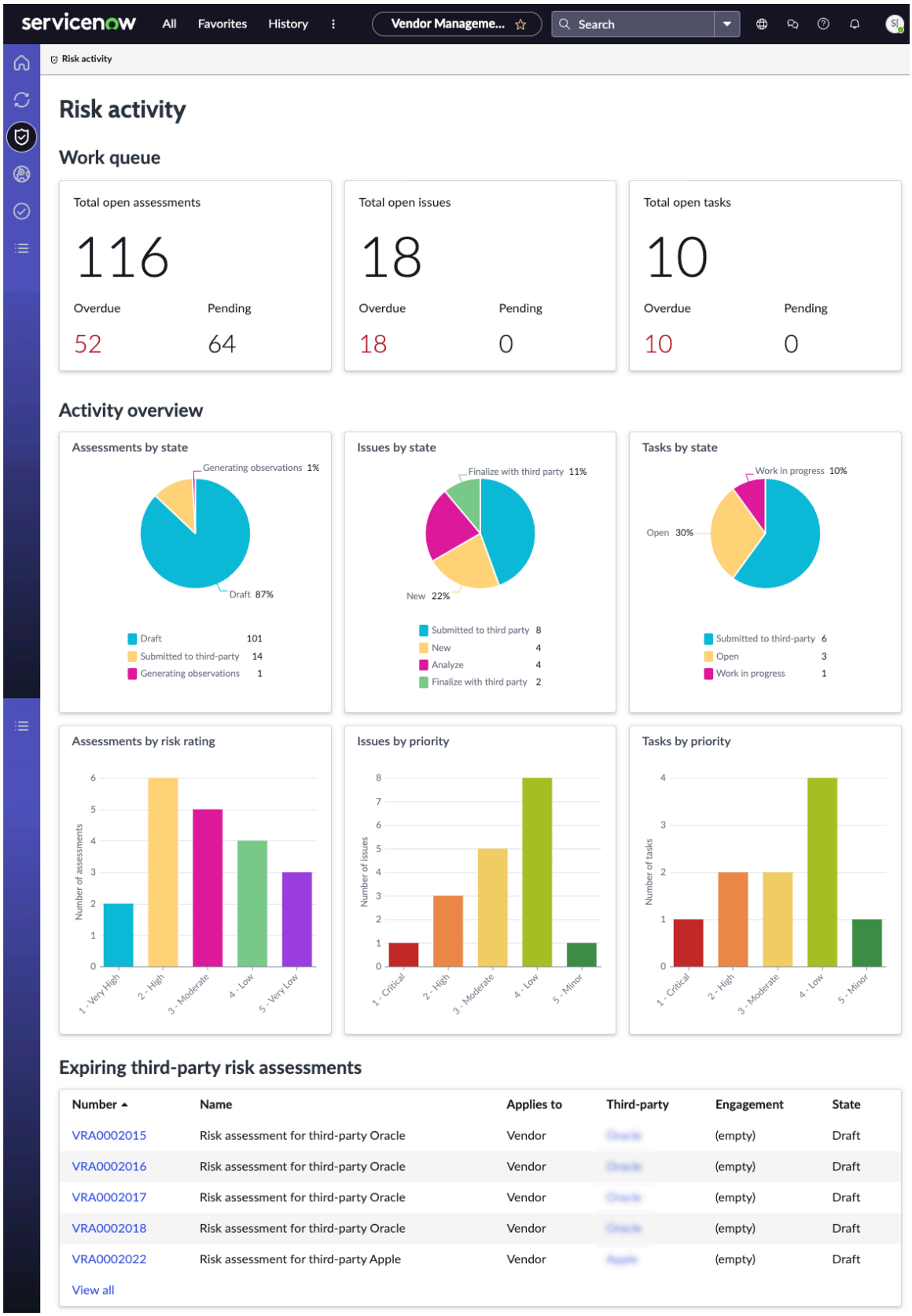
DD 要求の承認プロセスの管理

TPRM リスクアクティビティページ

[リスクアクティビティ] ページを使用すると、注意が必要なアセスメント、問題、およびタスクをすばやく特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ページへのアクセス

[リスクアクティビティ] ページを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.[リスク] タブで、 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ページでの作業

作業キュー

ボックス内の任意の番号を選択すると、アセスメント、問題、またはタスクの関連リストが開きます。

アクティビティの概要

グラフ上の任意の棒を選択すると、アセスメント、問題、またはタスクの関連リストが開きます。

有効期限が近いサードパーティのリスクアセスメント。

このセクションには、まもなく期限切れになるリスクアセスメントのデューデリジェンス要求が一覧表示されます。

外部リスクアセスメントごとに、テキスト **VRA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 [サードパーティのリスクアセスメント] タブで、リスクアセスメントで作業する VRA 番号を選択します。

TPRM リスク集中マップ

[リスク集中マップ] ページには、アクティブなサードパーティとエンゲージメントの地理的な場所が正確に示されます。フィルターを設定して、特定のリスク評価とエンゲージメントタイプを表示できます。

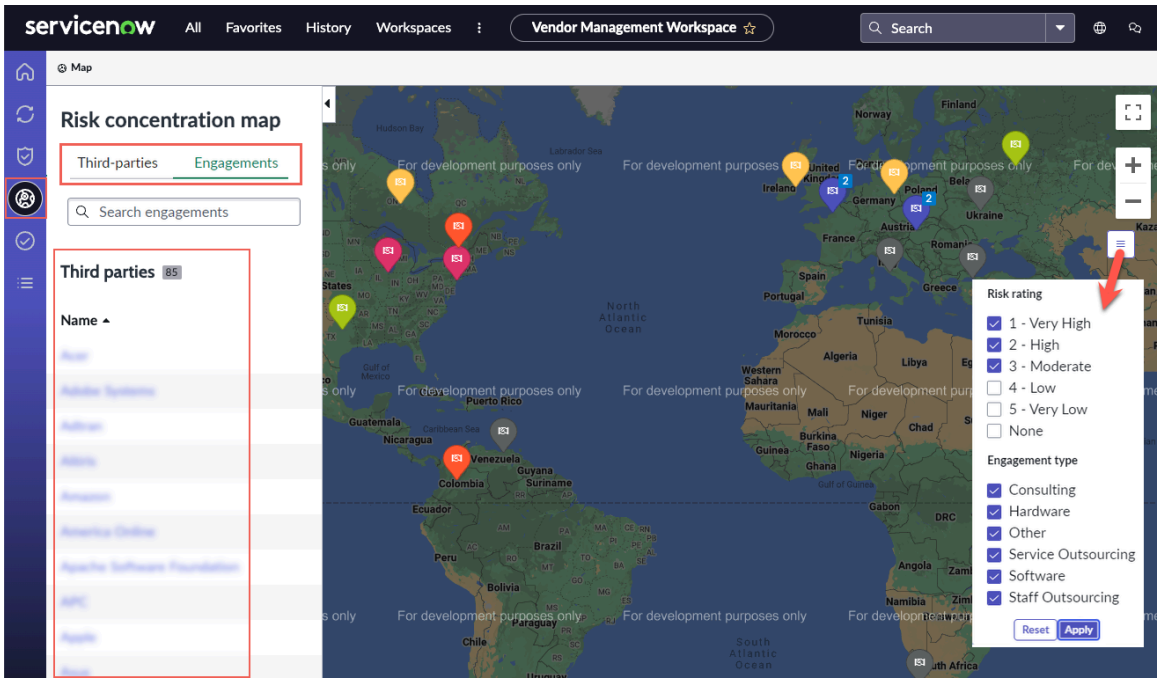
ページへのアクセス

注:
この機能は、Third-Party Risk Management アプリをアクティブ化している場合にのみ使用できます。 リスク集中マップ機能をインストールした後、ライセンスをインストールして Google 機能を有効にする必要があります。

- リスク集中マップを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.[リスク] タブで、 を選択します。
- サードパーティの場所はエンゲージメントの場所と異なる場合があるため、マップではサードパーティの場所をエンゲージメントの場所とは別に表示できます。フォーカスを切り替えるタブを選択します。
- メニューアイコンを選択して、マップに適用できるフィルターのリストを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

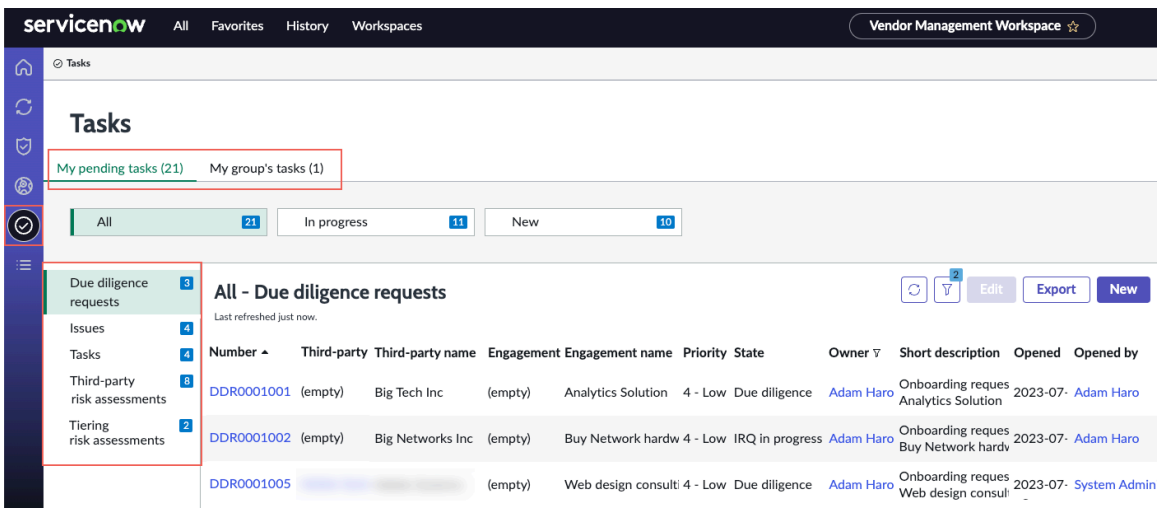


TPRM タスクページ

タスクページでは、自分とグループのメンバーにアサインされているタスクにアクセスできます。デューデリジェンス要求、サードパーティアクションのタイプ、およびリスクまたは階層アセスメントによって、タスクのリストをさらにフィルタリングできます。

ページへのアクセス

[タスク] ページを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.[リスク] タブで、 を選択します。



TPRM リストページ

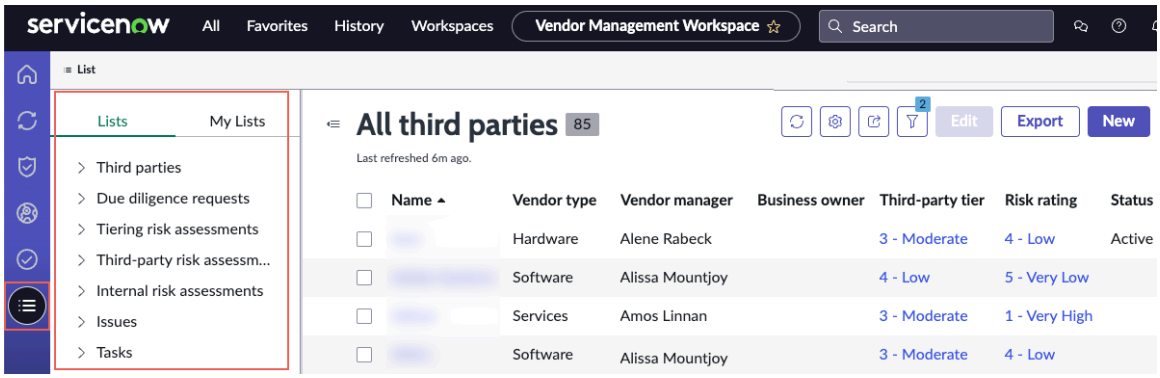
リストページは、TPRM で表示または操作できるすべてのアイテムにアクセスできる汎用ページです。

ページへのアクセス

[リスト] ページを開くには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. [リスク] タブで、[リスト] アイコン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

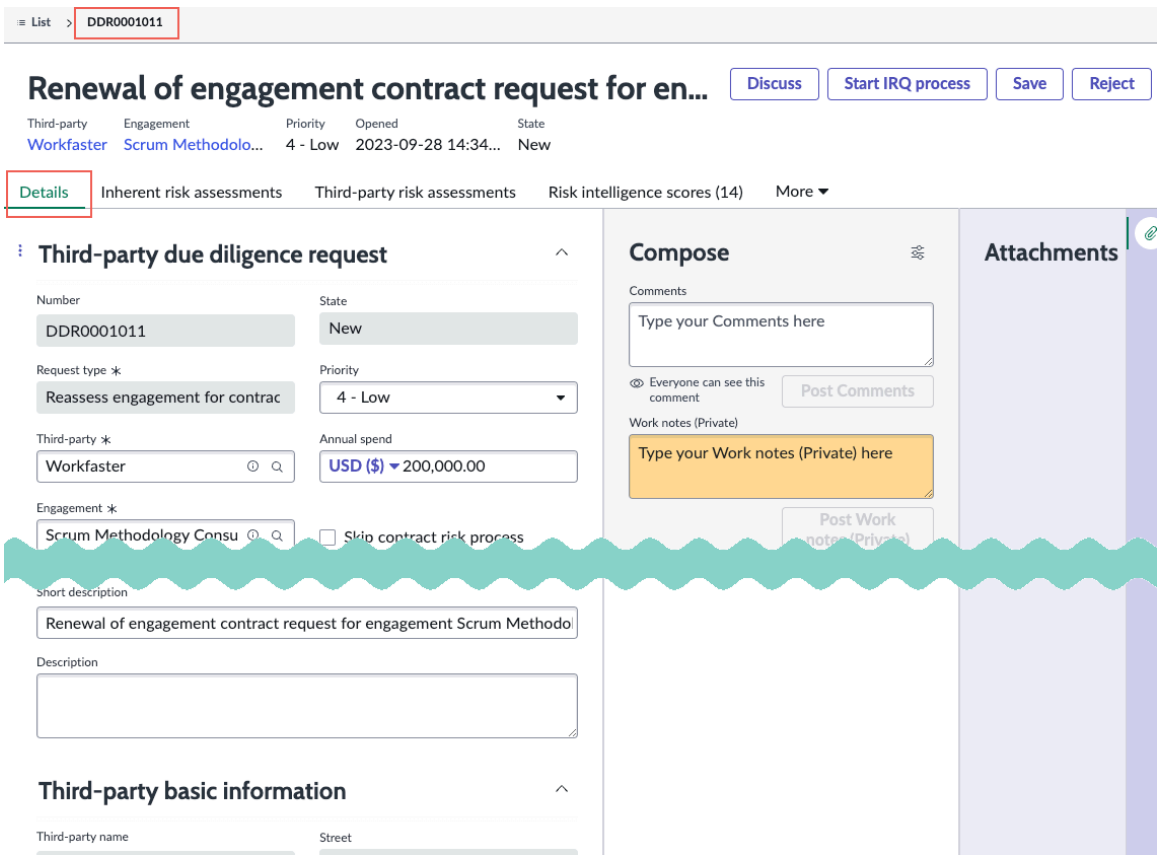


各リストには、日常のタスクのリスク情報とアクションページへのリンクがあります。

デューデリジェンス要求プロセスの監視

TPR マネージャーと TPR 管理者は、デューデリジェンス管理ダッシュボードからさまざまなタスクを実行できます。デューデリジェンス要求のワークフロー内のすべてのプロセス (IRQ、外部デューデリジェンス、承認、契約リスク、およびクローズ済み要求) で作業できます。

デューデリジェンス要求ごとに、テキスト **DDR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 デューデリジェンス要求の **DDR** 番号を選択すると、多くの場所から [デューデリジェンス管理] ページにアクセスできます。ページが開き、 [詳細] タブが表示されます。通常は、TPRM ホームページへ。 から開始します。



Request Management ページからのプロセスの監視

[詳細] タブでの要求に関する基本情報の表示

[詳細] タブでは、デューデリジェンス要求情報を表示および調整できます。アクティビティストリームで、外部向けコメントやプライベート作業メモを記録したり、ファイル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を添付したり、要求の更新を追跡したりすることもできます。「デューデリジェンス要求プロセス管理」を参照してください。

IRQ プロセスの監視

エンゲージメント要求が承認された後の最初の内部ステップでは、IRQ プロセスを開始し、サードパーティのリスクスコアを決定することでリスクの範囲を設定します。デューデリジェンス要求の **DDR** 番号を選択すると、多くの場所から [デューデリジェンス管理] ページにアクセスできます。「IRQ プロセス管理」を参照してください。

外部デューデリジェンスプロセス (サードパーティリスクアセスメントプロセス) の監視

VRA 番号 を選択して、[デューデリジェンス管理] ページの [サードパーティのリスクアセスメント] ページを開きます。「サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理」を参照してください。

承認プロセスの監視

DD 要求を承認または却下できるユーザーのリストを表示し、承認アクションの詳細を表示することもできます。さらに、要求の承認レベルを表示できます。「DD 要求の承認プロセスの管理」を参照してください。

サードパーティのリスクインテリジェンススコアの表示

[リスクインテリジェンススコア] タブの情報は、リスクインテリジェンスプロバイダーサービスから取得されます。任意のリンクを選択して、設定とスコアにドリルダウンします。「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。

契約リスクプロセスの監視

アプリケーションを使用して サードパーティリスク管理 特定されたリスクに対処できるように、特定の契約条項を組み込むことにより、サードパーティリスク契約の交渉担当者 (多くの場合は企業顧問) として組織の利益を保護します。「契約リスク・プロセスにある DD 要求へのアクセス」を参照してください。

[デューデリジェンス管理] ページのアクション

ヒント:
新しいレコード、たとえばデューデリジェンスまたはタスクの要求を作成 (またはシステムが生成) すると、レコード内のデータのタイプを識別するのに役立つ一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。この ID 番号を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。「TPRM レコードの一意の ID 番号」を参照してください。

アクション

アクション	説明
オンボーディングの開始	[新規] ステータスの要求の場合、このボタンにより、TPR マネージャーはプロセスを開始できます。
ディスカッション	[ディスカッション] を選択して、他のユーザーにメッセージを送信します。メッセージは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。
保存	[保存] を選択して、任意のタブの値に加えた変更を保存します。
… 削除	[削除] を選択して、エンゲージメント要求のレコードを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクション (続く)

アクション	説明
[作成] セクションでの操作	[詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。 • [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。 • コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。
添付ファイルの追加	[添付ファイル] セクションで [参照] を選択し、添付ファイルを選択して追加します。

ライセンス可能なアクティビティの追跡

の追跡 サードパーティリスク管理と検証のために、利用状況分析アクティビティ テーブル内のすべての請求可能なアクティビティ (ライセンス可能なアクティビティとも呼ばれます) を表示します。

利用状況分析アクティビティ [sn_vdr_risk_asmt_ua_activity] テーブルで、すべてのライセンス可能なアクティビティを追跡および検証できます。

次のアクティビティのいずれかが初回オンボーディングデューデリジェンス要求に関連していない場合、それらはライセンス可能です。サードパーティのリスクアセスメントまたはデューデリジェンス要求がイベント駆動型管理ルールによって自動的に作成され、後で取り消された場合、その要求はライセンスできません。詳細については、「イベント駆動型管理 — 外部評価プロセスの自動化」を参照してください。

- ステータスが [応答待ち] である送信済みアンケートを含む階層アセスメント。詳細については、「階層アセスメントの作成および開始 — 従来のプロセス」を参照してください。
- ステータスが [サードパーティに送信済み] である送信済みアンケートを含むサードパーティリスクアセスメント。詳細については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス」を参照してください。
- サードパーティリスクアセスメントのタスクまたは問題の作成。詳細については、「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」と「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」を参照してください。

このテーブルには、ライセンス可能なアクティビティが発生するたびにレコードが保存されます。このテーブルは読み取り専用です。2 年以上経過したレコードは自動的にアーカイブされます。このテーブルを表示するには、サードパーティアセスメントレビュー担当者 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer] ロールが必要です。

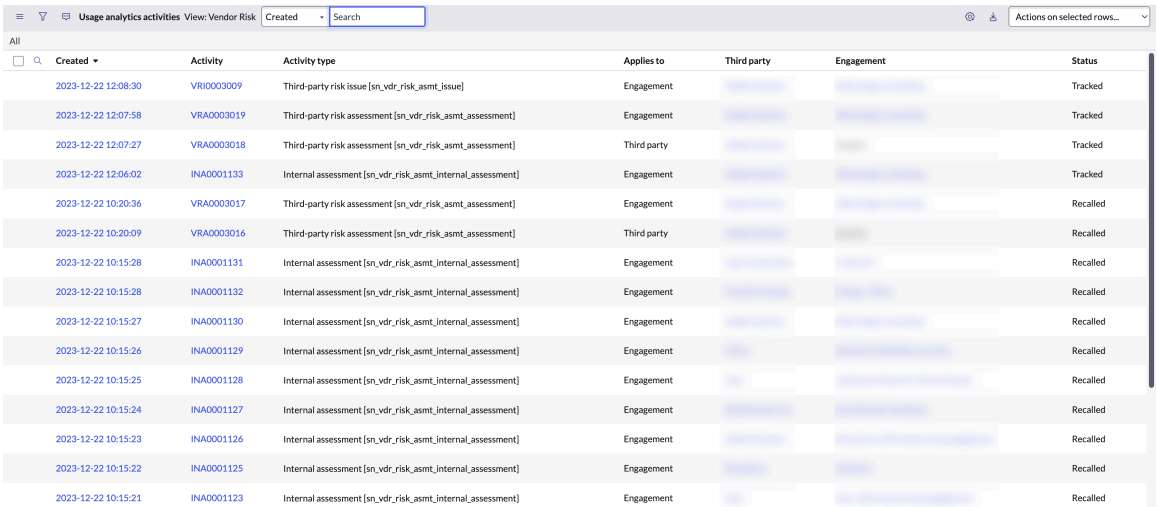
利用状況分析アクティビティテーブルにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > 第三者リスク管理 > 管理 > 管理対象アクティビティ分析.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例と表は、利用状況分析アクティビティ [sn_vdr_risk_asmt_ua_activity] テーブルを示しています。

利用状況分析アクティビティテーブル



利用状況分析アクティビティ

フィールド	説明
作成日時	アクティビティが発生した日時。
アクティビティ	アクティビティに関連するレコード。
アクティビティタイプ	階層アセスメント、内部アセスメント、サードパーティリスクアセスメント (TPRA)、問題、およびタスクに関連付けることができるライセンス可能なアクティビティ。
サードパーティ	アクティビティに関連するサードパーティ。
エンゲージメント	アクティビティに関連するエンゲージメント。
ステータス	アクティビティのステータス: • 追跡:アクティビティがログに記録されます。 • 取り消し済み:アクティビティが発生した後にユーザーによって取り消されました。

デューデリジェンスの要求の承認または却下

アンケートの サードパーティリスク管理 回答とデューデリジェンスプロセスの結果を確認した後、アプリケーションを使用してデューデリジェンスの新規要求を承認または却下します。

デューデリジェンス要求の承認

すべての内部ステークホルダー (承認者) が、サードパーティ連絡先から提供された外部アンケートの回答と補足ドキュメントをレビューします。承認を行うには、サードパーティリスク (TPR) マネージャーユーザーグループ [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager] に属している必要があります。承認者は、 ベンダー管理ワークスペース または VRM クラシックユーザーインターフェイスを使用してすべてのアクションを実行します。承認者は、[タスク] ページに移動して、自分の処理待ちの [自分の承認]、[タスク]、および [問題] をすべて表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で ベンダー管理ワークスペース[タスク] ページを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**. 次に、[タスク] 

アサインされた承認を表示するには、[自分の承認] を選択します。

クラシックユーザーインターフェイスで VRM[自分の承認] を表示するには、 すべて > セルフサービス > サードパーティリスク管理 > デューデリジェンス要求 > 自分の承認

このビューから、次のタスクを実行できます。

- 内部アンケートの回答をレビューします。

  DDR 番号を選択し、[固有リスクアセスメント] タブで **INA** 番号を選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。詳細については、「IRQ プロセス管理」を参照してください。

- リスクインテリジェンススコアを確認します。

  DDR 番号を選択し、[リスクインテリジェンススコア] タブを選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。詳細については、「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。

- 外部アンケートの回答と補足ドキュメントをレビューします。

  DDR 番号を選択し、[サードパーティリスクアセスメント] タブで **VRA** 番号を選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。詳細については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理」を参照してください。

- 承認要求レコードページにアクセスします。

  リストから 要求 済みステータスのいずれかを選択して、承認要求レコードページを開きます。このページから、[承認] または [却下] を選択できます。詳細については、「DD 要求の承認プロセスの管理」を参照してください。

応答が要件を満たしている場合、1 人以上の承認者が要求を承認し、所有者 (TPR マネージャーまたは TPR 査定人) がデューデリジェンス要求とエンゲージメントをクローズします。サードパーティまたはエンゲージメントのステータスが アクティブになりました。契約が準備される場合、承認されたデューデリジェンス要求のステータスは [契約リスクプロセス] ステータスに更新されます。

詳細については、「契約リスクプロセスの管理」を参照してください。

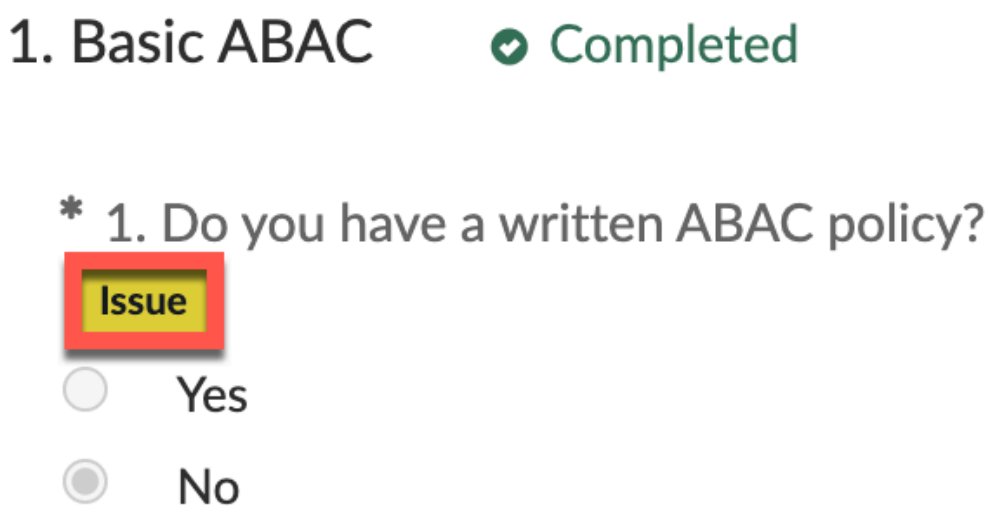
是正処置

デューデリジェンス要求を承認する前に、承認者はサードパーティ連絡先に解決してもらう 問題 を作成できます。詳細については、「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題インジケーターの例



- 問題の 修正とは、コントロールの失敗またはリスクへの暴露の原因となっている根本的な問題が修正されることを意味します。外部アンケート内の質問に対して問題が作成されると、サードパーティポータルの質問の横にビジュアルインジケーターが表示されます。
- 問題の受け入れとは、既知のコントロールの失敗またはリスクに対する例外を作成することを意味します。
- [受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまでは、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

デューデリジェンス要求の却下

問題を解決できない場合、またはデューデリジェンス要求がキャンセルされた場合、承認者はコメントを入力してデューデリジェンス要求を却下できます。[自分の承認] を表示するには、タスクページに移動して [自分の承認] を選択し、リストから [要求済み] ステータスを選択して承認要求レコードページを開きます。このページから、[拒否] を選択して要求を却下できます。

デューデリジェンス要求が却下された後、次のアクションが発生します。

1. デューデリジェンス要求のステータスが [承認待ち] から [却下] に更新されます。
2. [コメント] フィールドにデューデリジェンス要求を却下する理由を入力する必要があります。
3. デューデリジェンスプロセスのステータスが [却下] に更新され、エンゲージメントが却下されたことがすべてのステークホルダーに通知されます。

> **注:**
> 所有者は、[すべての要求] リストからデューデリジェンス要求を選択することで、承認プロセスを再開できます。所有者 は、 承認プロセスを再開する理由を入力する必要があります。

DD 要求の承認プロセスの管理

DD 要求を承認または却下できるユーザーのリストを表示し、承認アクションの詳細を表示することもできます。さらに、要求の承認レベルを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認プロセス

承認プロセスでは、リスクの各側面が適切な社内ステークホルダーによって分析されます。 すべての内部ステークホルダー (承認者) が、サードパーティ連絡先からのアンケート回答と補足ドキュメントをレビューします。応答に問題がなければ、1 人以上の承認者が DD 要求を承認してクローズします。契約が準備されると、承認された要求は 契約リスクプロセスに移ります。

承認者は、DD 要求を承認する前に、サードパーティの連絡先が対応する必要がある 問題 を作成できます。問題の修正とは、コントロールの失敗またはリスクへの暴露の原因となっている根本的な問題が修正されることを意味します。質問に対して問題が作成されると、サードパーティポータルでその質問の横にビジュアルインジケーターが表示されます。

デューデリジェンス管理ページへのアクセス

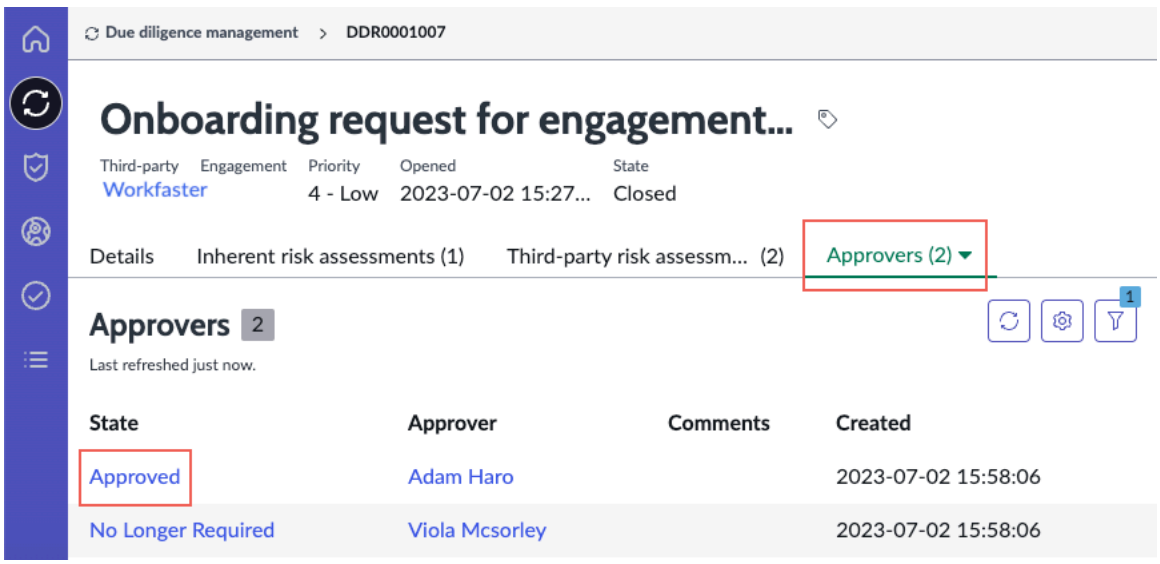
DD 要求の **DDR** 番号を選択すると、多くの場所から [デューデリジェンス管理] ページにアクセスできます。[承認者] タブまたは [承認レベル] タブのいずれかを選択します。

[承認者] タブ

このタブには、エンゲージメント要求に応答した TPR 承認者ロール [sn_vdr_risk_asmt.approver] を持つユーザーが一覧表示されます。[ステータス] 値を選択すると、承認者が実行した承認アクションの詳細が表示されます。

承認のステータスは、次のいずれかの値になります。

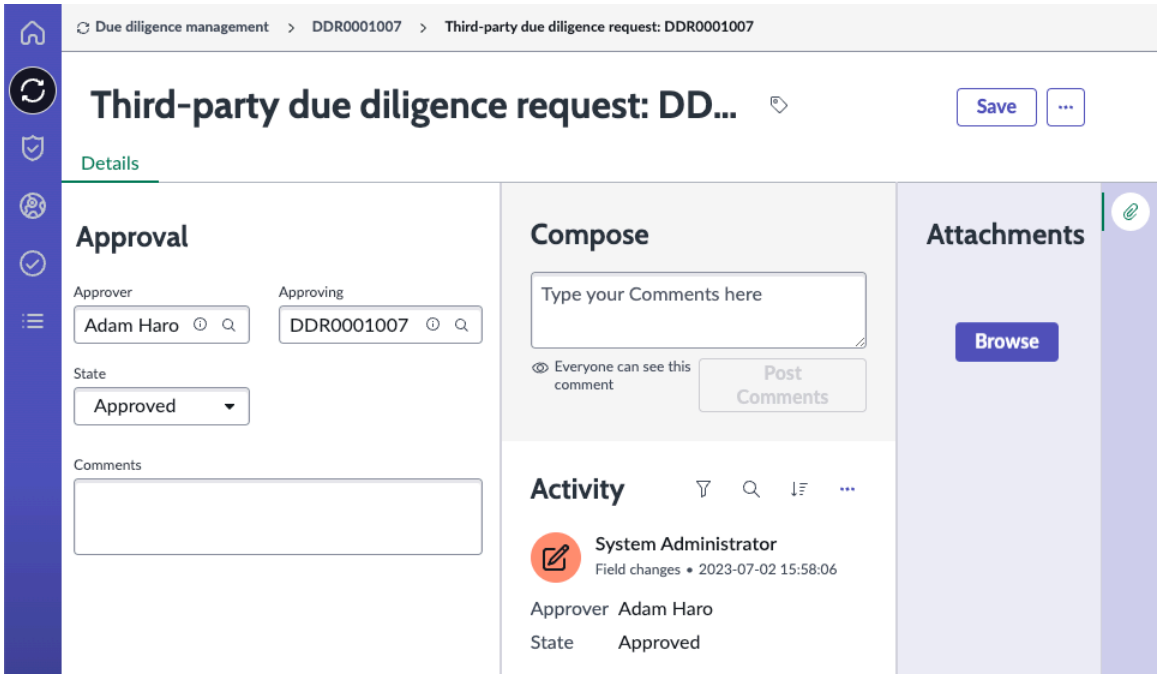
- 未要求
- 要求済み
- 承認済み
- 却下
- キャンセル
- 不要



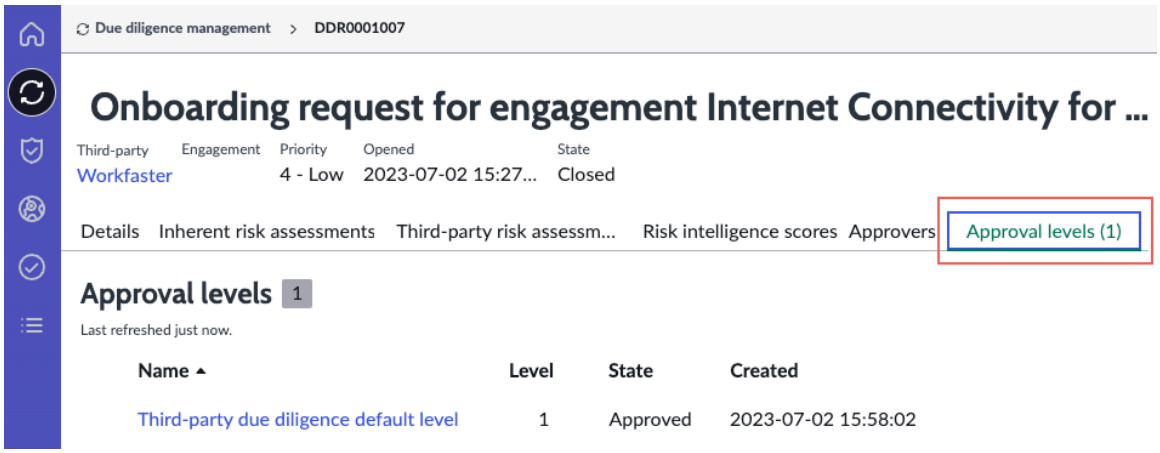
要求の [状態] 値を選択して、要求の [詳細] タブを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[承認レベル] タブ



関連情報

- サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成
- サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成

契約リスクプロセスの管理

アプリケーションを使用して サードパーティリスク管理 特定されたリスクに対処できるように、特定の契約条項を組み込むことにより、サードパーティリスク契約の交渉担当者 (多くの場合は企業顧問) として組織の利益を保護します。

契約がエンゲージメントまたはサードパーティと交渉されている場合、すべての承認が処理された後、デューデリジェンス要求は [契約] リスクプロセスステータスになります。アサインされた契約交渉担当者には、すべての承認が処理されると、自動メールで通知されます。

注:
[sn_vdr_risk_asmt.contract_negotiator] ロールが必要であり、契約交渉担当者は、 ベンダー管理ワークスペース または VRM クラシックユーザーインターフェイスを使用してすべてのアクションを実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[タスク] ページに移動すると、交渉担当者、タスク、および問題の保留中のすべてのデューデリジェンス要求を表示できます。

[タスク] ページを表示するには、 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**をクリックし、タスク アイコンの 

アサインされた要求を表示するには、 交渉担当者の [デューデリジェンス要求] を選択します。

クラシックユーザーインターフェイスでVRM交渉担当者のデューデリジェンス要求を表示するには、 すべて > セルフサービス > サードパーティリスク管理 > デューデリジェンス要求 > 契約プロセス中の自分の要求

このビューから、次のタスクを実行できます。

- 内部アンケートの回答をレビューします。

  DDR 番号を選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。関連する内部アンケートの回答を表示するには、[固有リスクアセスメント] タブで **INA** 番号を選択します。詳細については、「IRQ プロセス管理」を参照してください。

- リスクインテリジェンススコアを確認します。

  DDR 番号を選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。[リスクインテリジェンススコア] タブを選択すると、関連するリスクインテリジェンススコアを表示できます。詳細については、「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。

- 外部アンケートの回答と補足ドキュメントをレビューします。

  DDR 番号を選択して、[デューデリジェンス要求] レコードページに移動します。[サードパーティのリスクアセスメント] タブで **VRA** 番号を選択して、関連する外部アンケートの回答とサポートドキュメントを表示します。詳細については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理」を参照してください。

注:
デューデリジェンスワークフローのプロセスの詳細については、「詳細」を参照してください デューデリジェンスワークフローのプロセス 。

契約リスクプロセス (エンゲージメントが契約されている場合のみ)

エンゲージメントに契約が含まれている場合は、契約交渉者として契約を準備し、次のアクションを実行します。

1. 要求、IRQ、デューデリジェンス、および承認プロセス中に生成されたすべてのデータにアクセスして、契約を設計および決済し、次のアイテムを評価します。
   - サードパーティリスク査定人による初期固有リスクアンケート (IRQ) の回答とコメント。詳細については、「IRQ プロセス管理」を参照してください。
   - リスクインテリジェンスプロバイダーからのリスクデータ。詳細については、「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。
   - サードパーティのアンケートとエンゲージメントアンケートへの回答。詳細については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理」を参照してください。
   - サードパーティリスクマネージャーによってアサインされたサードパーティ連絡先の問題とタスク。アサインされた問題とタスクは、タスク ページに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 契約がすべての関係者によって完全に署名された (実行された) ら、契約を添付し、 [契約が実行されました] を選択してエンゲージメントをアクティブ化し、デューデリジェンス要求レコードページの [詳細] タブから次のアクションを完了します。
   a. エンゲージメントの 契約開始日 を設定します。この日付は読み取り専用です。
   b. サードパーティの 契約開始日 をまだ設定していない場合は、設定します。この日付は読み取り専用です。
   c. エンゲージメントの 契約有効期限 を要求された終了日に設定します。この日付は読み取り専用です。
   d. デューデリジェンス要求のステータスを [契約リスクプロセス] から [エンゲージメント契約が実行されました] に更新します。

   注:
   割り当てられたタスクを開いた後、[添付ファイル] セクションの [参照] を選択し、契約を選択して追加します。

ステップ 2 と同じプロセスに従って、デューデリジェンス要求のエンゲージメントをアクティブ化し、エンゲージメントをオンボーディングし、契約更新のエンゲージメントを再評価します。

契約リスクプロセス (契約をスキップ)

エンゲージメントに契約が必要ない場合は、デューデリジェンス要求レコードページの [詳細] タブから [契約をスキップ] を選択して契約をスキップできます。

次の変更が行われます。

1. 契約開始日がエンゲージメント開始日に変更されます。
2. 契約終了日がエンゲージメントの有効期限に変更されます。
3. 必須 の [理由] フィールドが表示されます。契約をスキップする理由を入力します。
4. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [契約リスクプロセスがスキップされました] に更新されます。
5. 所有者が要求をクローズすると、エンゲージメントは アクティブになります。

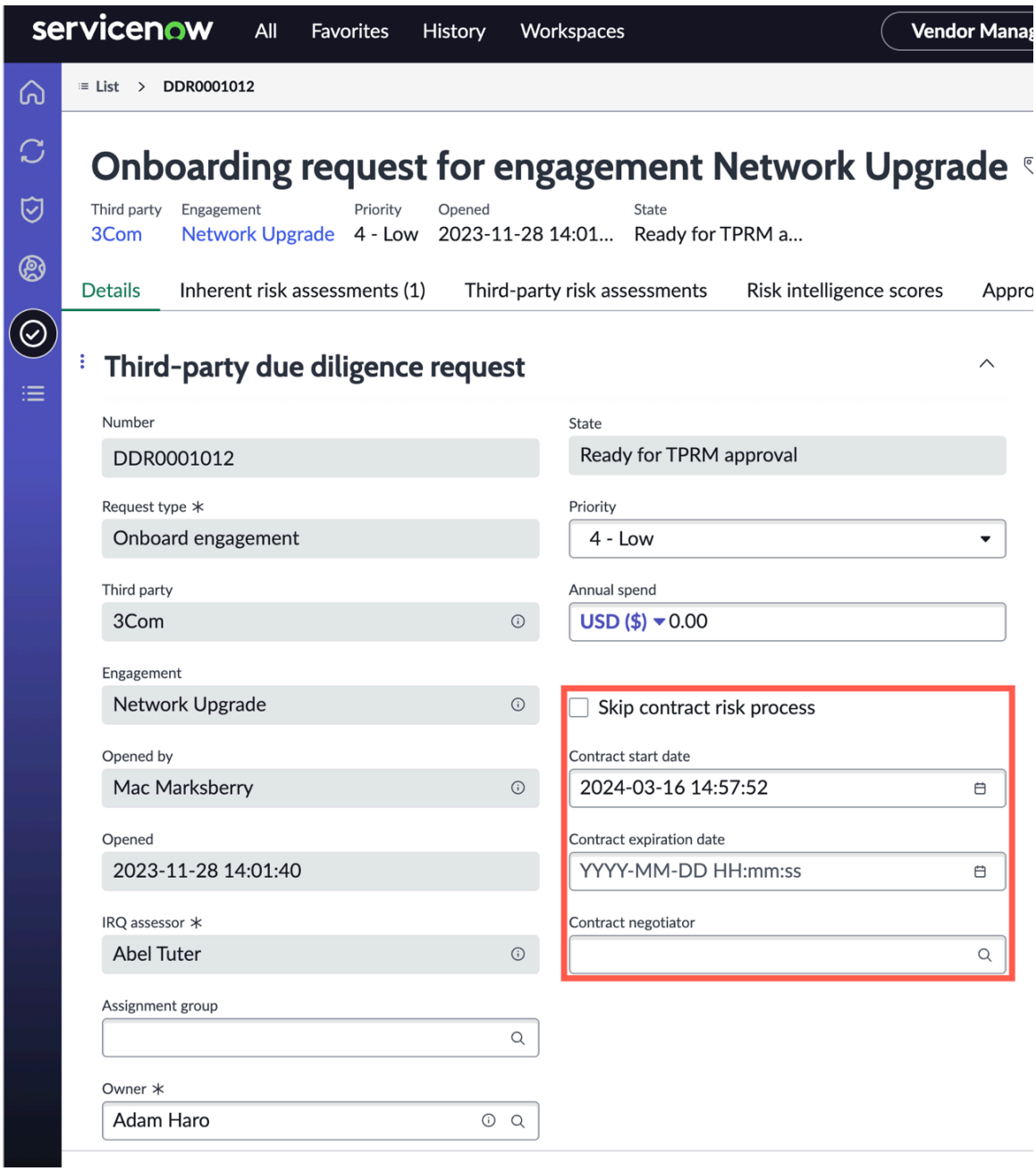
注:
このコンテキストでのスキップは、最初にスケジュールまたは予期された契約リスクプロセスに意図的に参加しない方法です。

次の例は、[契約リスクをスキップ] プロセスを選択した前後の契約の開始日と有効期限を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

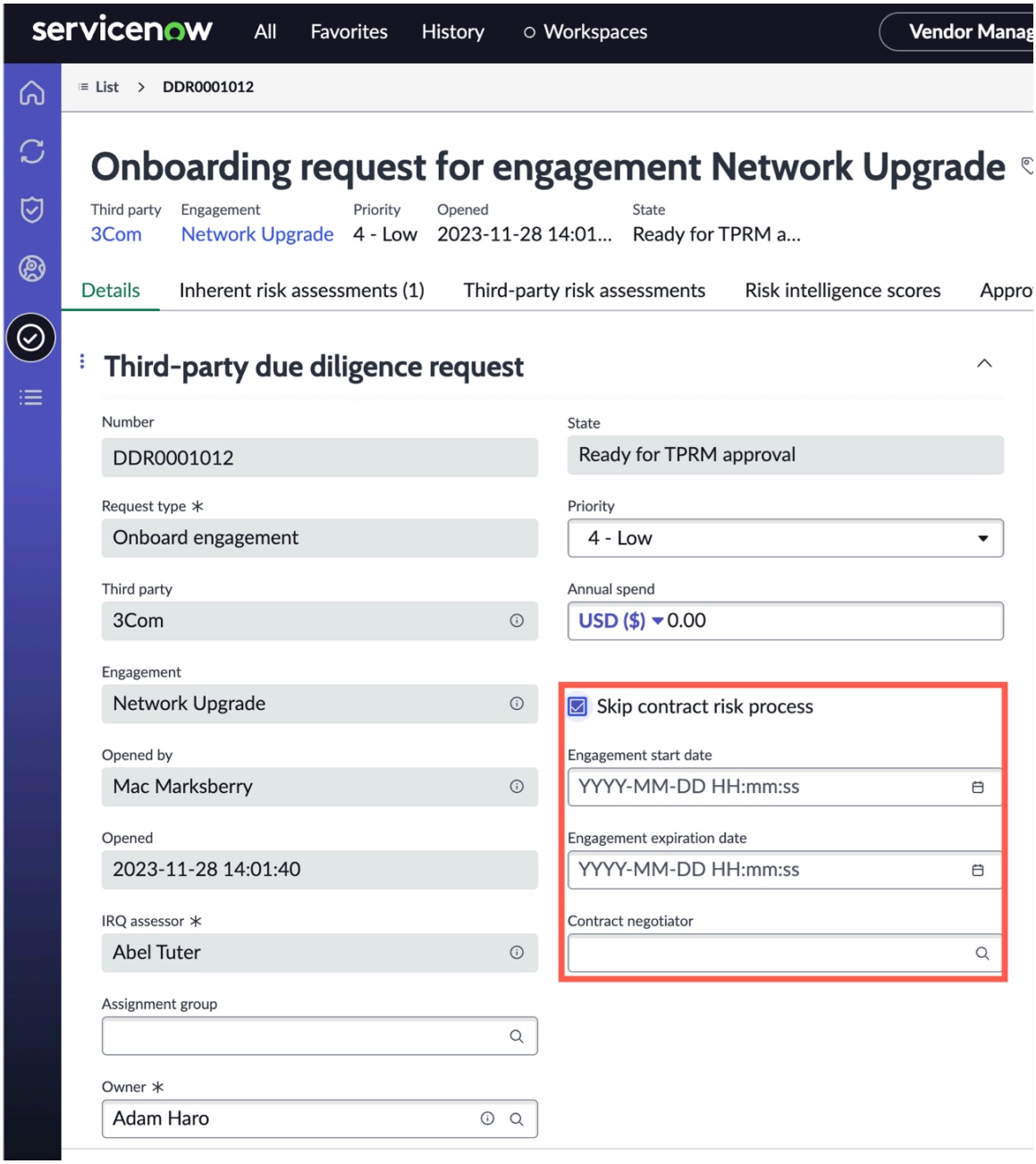
契約リスクプロセスをスキップする前のビューの例



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約リスクプロセスをスキップした後のビューの例



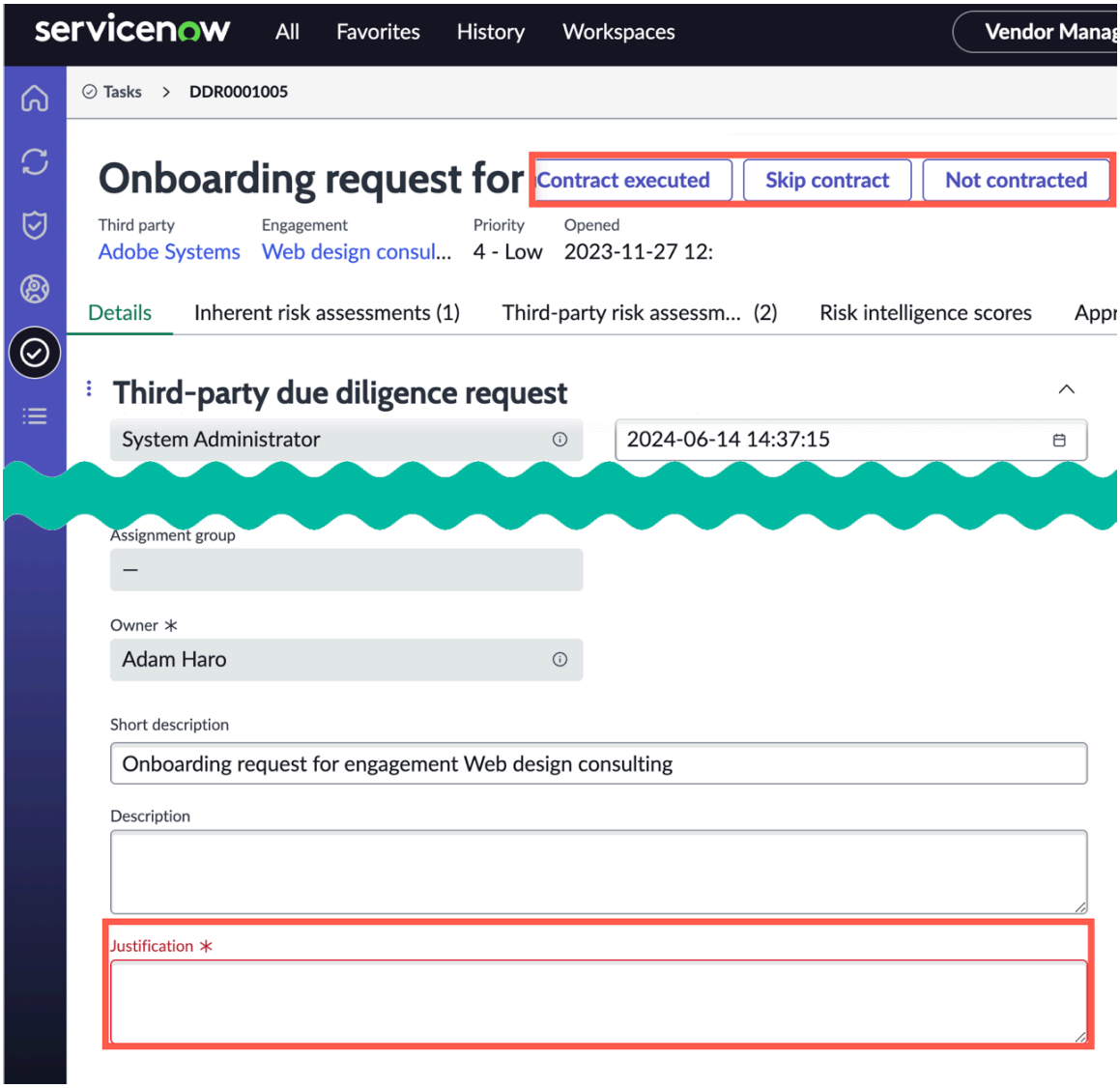
注:
サードパーティのリスクマネージャーまたはオーナーがデューデリジェンスプロセス中に [契約リスクプロセスをスキップ] オプションを選択した場合、アサインされた契約交渉担当者には通知されず、 契約リスクプロセス ステータスがスキップされます。承認者とオーナーは、承認プロセスが完了するまで [契約リスクプロセスをスキップ] の選択を更新できます。このプロセスの詳細については、「デューデリジェンス要求プロセス管理」を参照してください。

次の例は、利用可能な選択肢と、必要な位置揃えボックスが表示される場所を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な選択と必要な理由の例



契約リスクプロセス (未契約、オンボーディングエンゲージメントは拒否されます)

問題を解決できない場合、またはデューデリジェンス要求がキャンセルされた場合は、デューデリジェンス要求レコードページの [詳細] タブから [未契約] を選択してエンゲージメントを却下できます。

次のアクションが実行されます。

1. 必須 の [理由] フィールドが表示されます。エンゲージメントを却下する理由を入力する必要があります。
2. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [未契約] に更新されます。
3. オーナーが要求をクローズすると、デューデリジェンス要求が [未契約] から [却下] に変更されます。
4. エンゲージメントが契約されておらず、オンボーディングが拒否されていることがすべての利害関係者に通知されます。

所有者は要求を再オープンでき、デューデリジェンス要求のステータスが **[TPRM** 承認準備完了] ステータスに更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約リスクプロセス (契約終了)

エンゲージメントがオフボーディングされ、契約が不要になった場合は、契約終了 を選択して 契約の終了を承認できます。その後、次のアクションが実行されます。

1. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [契約終了] に更新されます。
2. 終了日が現在の日付に更新されます。

契約リスクプロセス (契約解除なし)

エンゲージメントがオフボーディング中 (関係終了) で契約を終了できない場合は、デューデリジェンス要求レコードページの [詳細] タブから [契約が終了していません] を選択して要求を却下できます。

その後、次のアクションが実行されます。

1. 必須 の [理由] フィールドが表示されます。要求を却下する理由を入力する必要があります。
2. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [契約解除されていない] に更新されます。
3. 所有者が要求をクローズすると、エンゲージメントは 却下 され、すべての利害関係者に契約が終了しないことが通知されます。

契約リスクプロセス (契約更新なし)

エンゲージメントが更新のためにレビューされており、契約を更新できない場合は、[契約は更新されていません] を選択してエンゲージメントを却下できます。

その後、次のアクションが実行されます。

1. 必須 の [理由] フィールドが表示されます。エンゲージメントを却下する理由を入力します。
2. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [契約未更新] に更新されます。
3. 所有者が要求をクローズすると、エンゲージメントは 却下 され、契約が更新されないことがすべての利害関係者に通知されます。

契約リスクプロセス (追加のデューデリジェンスの要求)

追加のデューデリジェンスが必要な場合は、デューデリジェンス要求レコードページの [詳細] タブから [追加のデューデリジェンスの要求] を選択して、エンゲージメントを却下できます。

その後、次のアクションが実行されます。

1. 必須 の [理由] フィールドが表示されます。追加のデューデリジェンスを要求するための説明を入力する必要があります。
2. デューデリジェンス要求のステータスが [契約リスクプロセス] から [デューデリジェンス] に更新されます。
3. 所有者が要求をクローズすると、要求はデューデリジェンスプロセスステータスに更新され、エンゲージメントに追加の デューデリジェンス が必要であることがすべての利害関係者に通知されます。
4. 契約交渉担当者またはオーナーは、アセスメントを再オープンし、新しいアンケートを添付してプロセスを再開できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

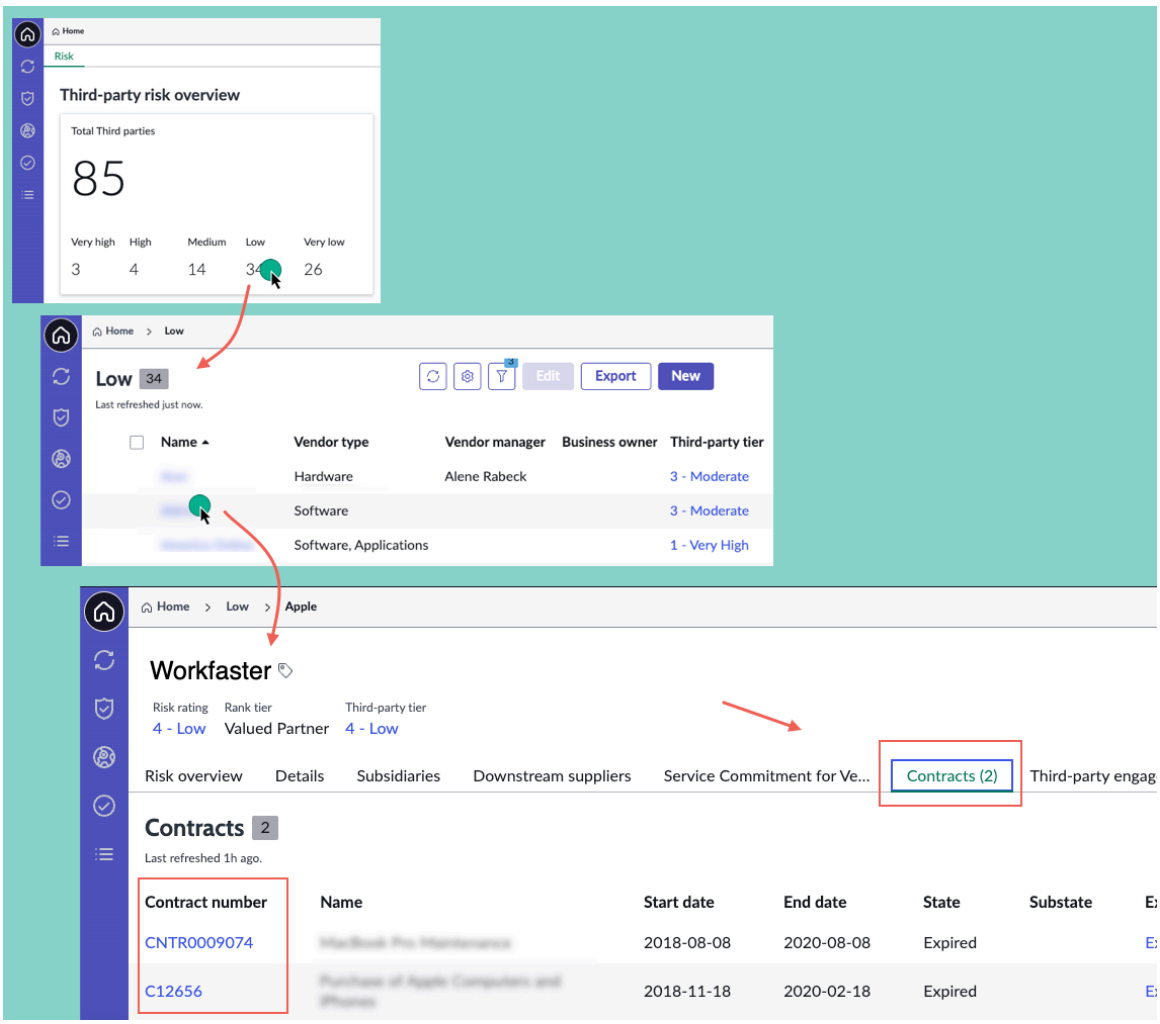
契約リスクプロセスが完了すると、オーナーはメール通知を受信します。デューデリジェンス要求をクローズできるのは、サードパーティのリスクマネージャーまたはオーナーのみです。

契約リスク・プロセスにある DD 要求へのアクセス

各エンゲージメントまたはサードパーティに関連付けられた契約を、有効期限、開始日、終了日、ステータスなどの詳細情報とともに表示できます。契約プロセスを管理および更新することもできます。

契約情報へのアクセス

1. 選択 ワークスペース > **Vendor Management Workspace**.
2. [リスク] タブで、[ホームページ] アイコン ( ) を選択します。
3. [サードパーティリスクの概要] セクションで、ボックス内の任意の番号を選択して、その値を持つサードパーティまたはエンゲージメントのリストを開きます。
4. サードパーティまたはエンゲージメントの名前を選択してアイテムのすべてのタブを開き、[契約] タブを選択します。



5. 詳細情報を表示するには、 契約番号 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約リストを表示する

[契約] タブ

列	説明
契約番号	契約に割り当てられた ID。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
名前	契約目的の簡単な説明。
開始日、終了日	エンゲージメントとのインタラクションの開始日と終了日。
ステータス	契約の現在の状態:[ドラフト]、[アクティブ]、[期限切れ]、または [キャンセル]
サブステート	契約の現在のサブステート:拡張アクティブ、更新アクティブ、レビュー待ち、レビュー中、承認済み、承認された更新、却下された更新、承認された延長、却下された延長。
有効期限	有効期限の現在のステータス:(空)、期限切れ、30 日以内。

[契約] タブのアクション

アクション

アクション	説明
新規	新規 を選択して契約を作成します。
保存	[保存] を選択して、任意のタブの値に加えた変更を保存します。
… 削除	[削除] を選択して契約のレコードを削除します。
添付ファイルの追加	[添付ファイル] セクションで [参照] を選択し、添付ファイルを選択して追加します。

契約ページからプロセスを管理する

[詳細] タブで契約に関する基本情報を表示する

[詳細] タブでは、契約情報を表示および調整できます。ファイルを添付することもできます。

子契約の表示

現在の契約を親として持つすべての契約を表示します。CNTR 番号 を選択して、子契約ページを開きます。

契約の管理

「Contract Management」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VRM Classic ユーザーインターフェイスでの作業

従来のユーザー インターフェイスを ベンダーリスク管理 引き続き使用してタスクを実行できますが、には ベンダー管理ワークスペース 拡張機能 TPRM とより便利なレポートが用意されています。

スケジュールで繰り返すようにリスクアセスメントを構成する

サードパーティまたはエンゲージメントのリスク結果を定期的に更新するために、サードパーティリスクアセスメントをスケジュールで繰り返すように構成します。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

サードパーティレコードの作成 - 従来のプロセス

サードパーティまたはエンゲージメントのリスク結果を定期的に更新するために、サードパーティリスクアセスメントをスケジュールで繰り返すように構成します。

必要なロール：admin or sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager。

サードパーティの階層とエンゲージメントの設定 - 従来のプロセス

親サードパーティとそのすべての子会社の間の親子関係を定義して、サードパーティ階層を作成します。このタスクを実行するのは、一部の組織が、ビジネスに潜在的なリスクをもたらす可能性のある子会社 (または子会社の子会社) を持つサードパーティと連携しているためです。個々の子会社組織でアセスメントを実行し、結果をロールアップして親サードパーティの全体的なリスクスコアを計算できます。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor。

エンゲージメントの定義 - 従来のプロセス

エンゲージメントを定義して、サードパーティが提供するサービスまたは製品に関連するリスクを評価できるようにします。エンゲージメントは、直接的に、またはリスクを評価できる部門、パートナー、または子会社から、親サードパーティに提供される製品またはサービスを表すこともあります。

> **ヒント:**
> 組織のインスタンスへのアクセス権を持つすべてのユーザーがエンゲージメントを要求できます。このプロセスは通常、ここで説明するプロセス (サードパーティリスク (TPR) マネージャーまたは TPR 査定人がエンゲージメントを定義するプロセスよりも簡素化され、効果的です。詳細については、「サードパーティエンゲージメントのデューデリジェンス要求」を参照してください。

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor。

サードパーティのリスク階層アセスメント - 従来のプロセス

組織はリスク階層を使用して、オンボーディング時に発生する潜在的なリスクのカテゴリにサードパーティを分類します。標準の事前定義されたリスク階層は、[なし]、[低]、[マイナー]、[中]、[高]、および [重大] です。各リスク階層には、関連付けられたアセスメント質問と文書要求があります。

より完全な IRQ プロセスが階層化に取って代わります

TPRM アプリでは、IRQ は内部アンケートであり、元の階層アセスメントプロセスを改善するものです。IRQ は、柔軟性、制御、およびスケーラビリティを向上させて内部リスクアセスメントを強化します。階層化は IRQ の重要な側面ですが、IRQ の機能の 1 つにすぎません。外部アンケートがリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

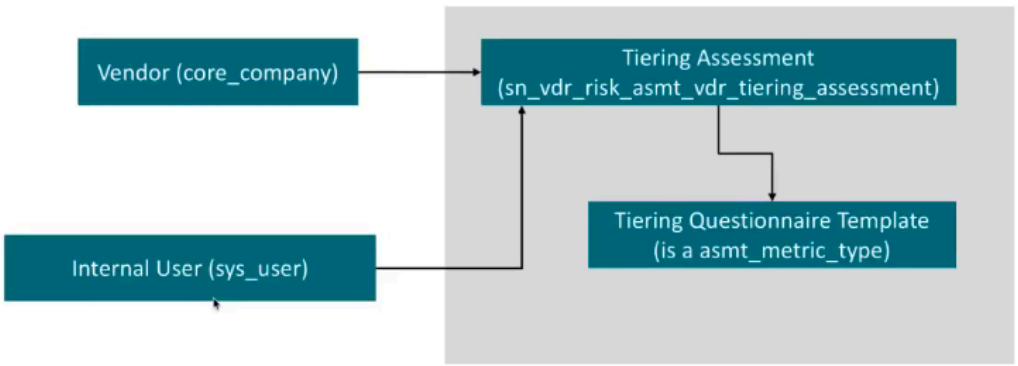
スク階層のみによって決定される階層アセスメントとは異なり、IRQ は回答者の回答に基づいて外部アンケートを動的にトリガーできます。

TPRM へのシームレスな移行を可能にするために、既存の階層アセスメントを複製して IRQ 内部アセスメントとして指定することを選択できます。リスクの階層化は不変の従来のプロセスとしてサポートされ、IRQ は強化および改善されます。

従来の操作

1. ほとんどの組織は、スプレッドシートその他のオンボーディングソリューションとの統合を通じてサードパーティポートフォリオをインポートします。TPR マネージャーは、リスクセキュリティスコアやリスク階層などのサードパーティ情報を継続的に更新します。
2. TPR マネージャーまたは TPR 査定人は、サードパーティのリスクエクスポージャーのリスク階層またはカテゴリを決定します。
3. TPR マネージャーは、サードパーティを選択し、階層アンケートテンプレートをアサインし、アセスメントを完了するために必要な社内の査定人をアサインします。サードパーティリスクマネージャーは、アンケートの特定のセクションに特定の査定人をアサインできます。

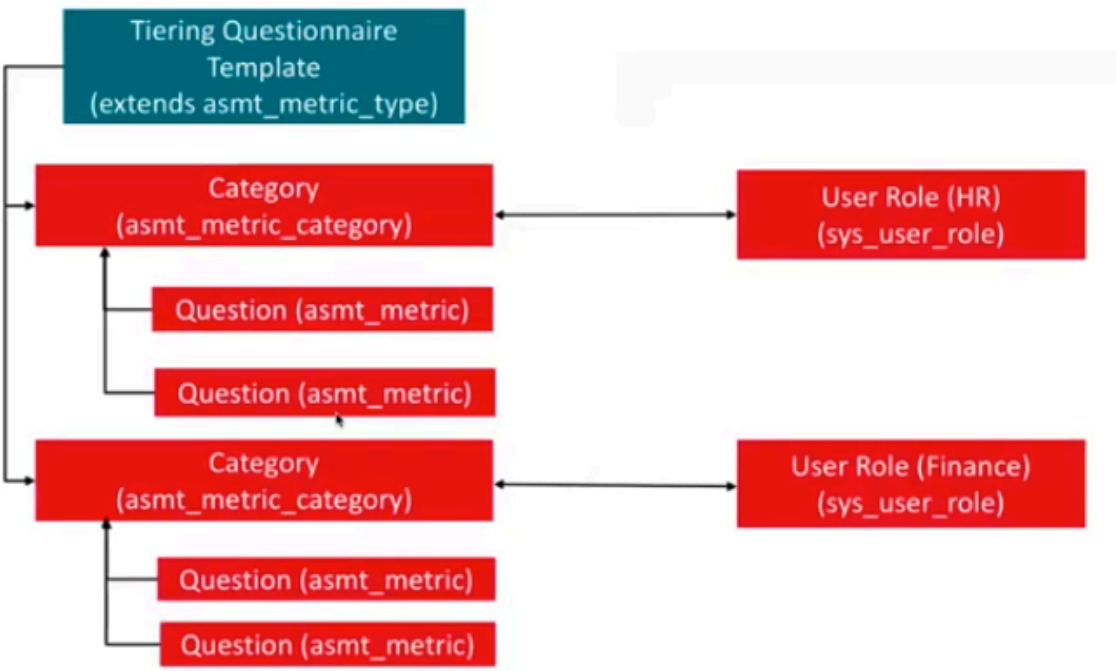
リスク階層アセスメントテーブルの関係



自動翻訳

注:

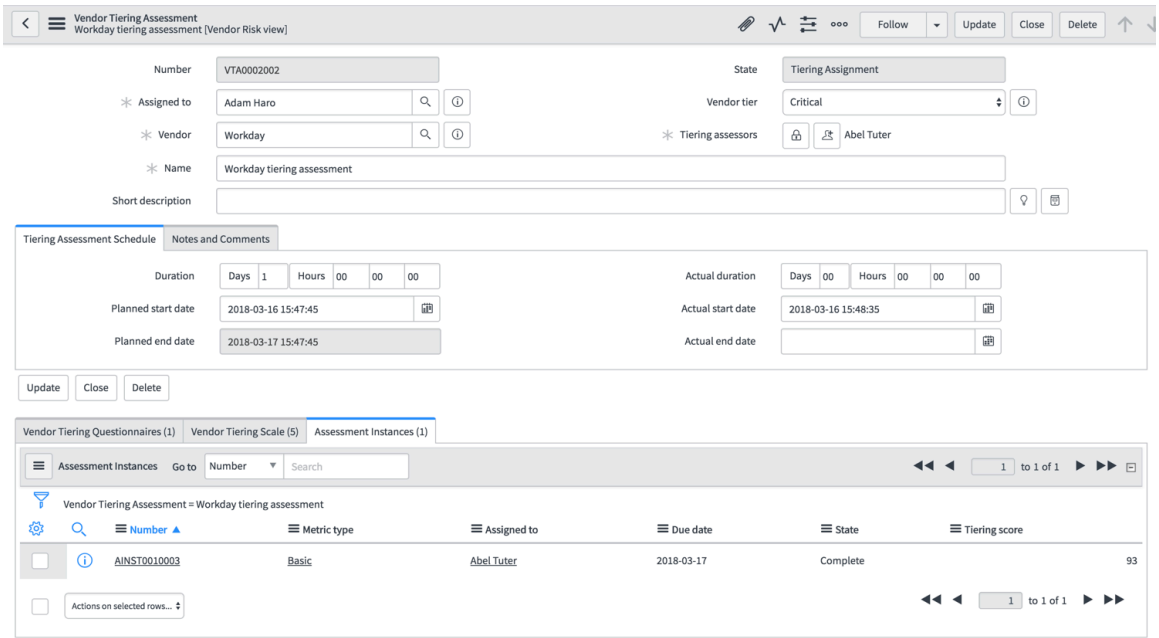
指定された査定人のリスク階層アンケートテンプレートテーブルの関係



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

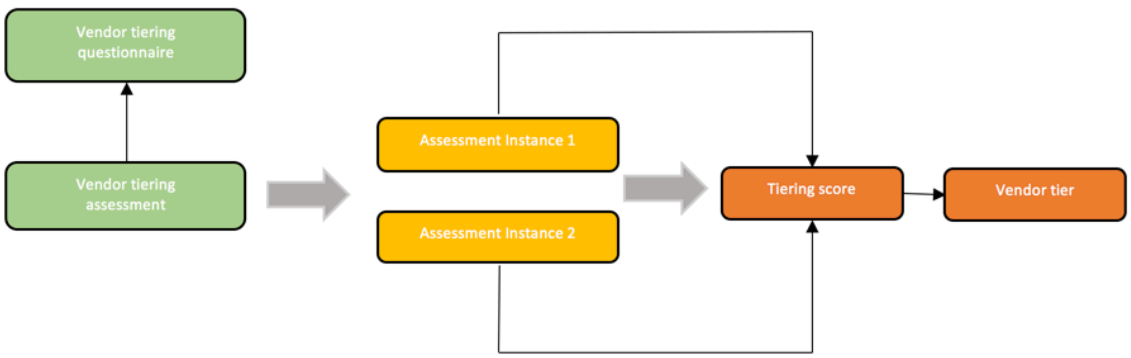
4. 内部ステークホルダーの移動先 セルフサービス > 自分のアセスメントとサーベイ > アセスメントを完了して送信します。
5. 査定人がアンケートに回答した後、すべてのスコアの平均から階層スコアが計算されます。TPR マネージャーがリスクアセスメントを開始することも、設定されたビジネスルールによって自動的にリスクアセスメントを送信することもできます。アセスメントがクローズされると、階層スコアに基づいてリスク層がサードパーティにアサインされます。

応答に基づくリスク層の計算



リスク階層スケールと採点の計算

リスク階層化プロセス



1. 階層アセスメントは、アサインされた査定人ごとに 1 つのアセスメントインスタンスを開始します。査定人には、ロールに基づいてアサインされたセクションのみが表示されます。
2. すべてのアセスメントインスタンスからの応答スコアが平均化され、階層スコアが生成されます。
3. 階層スコアはリスク階層にマッピングされます。
4. リスク層は、階層アセスメントがクローズされるとサードパーティにアサインされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層アセスメントの作成および開始 – 従来のプロセス

TPR 査定人はベンダーレコードから階層アセスメントを作成し、サードパーティリスク階層アセスメントのライフサイクルを開始します。また、サードパーティリスクマネージャーは、一度に複数のサードパーティを選択して、複数のサードパーティリスク階層アセスメントをトリガーできます。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて
より完全な IRQ プロセスが階層化に置き換わります。

重要:

TPRM アプリでは、IRQ は内部アンケートであり、元の階層アセスメントプロセスを改善するものです。IRQ は、柔軟性、制御、およびスケーラビリティを向上させて内部リスクアセスメントを強化します。階層化は IRQ の重要な側面ですが、IRQ の機能の 1 つにすぎません。外部アンケートがリスク階層のみによって決定される階層アセスメントとは異なり、IRQ は回答者の回答に基づいて外部アンケートを動的にトリガーできます。

TPRM へのシームレスな移行を可能にするために、既存の階層アセスメントを複製して IRQ 内部アセスメントとして指定することを選択できます。リスクの階層化は不変の従来のプロセスとしてサポートされ、IRQ は強化および改善されます。

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - の ベンダー管理ワークスペース[リスク] タブで、[クイックアクション] ボックスの [階層アセスメントの作成] を選択します。
   - 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメント送信ルール > 階層ベースの送信.
2. [詳細] タブのフィールドに入力し、[保存] をクリックします。

階層アセスメントセクション

フィールド	説明
名前	階層アセスメントの名前。
簡単な説明	階層アセスメントの説明。
番号	リスク階層アセスメントごとに、テキスト **VTA** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
適用先	アセスメントが適用されるエンティティ： ○ [サードパーティ]：親組織。 ○ [エンゲージメント]：製品またはサービスを提供するサードパーティ内の組織。
サードパーティ	評価対象のベンダー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	○ ドラフト：アセスメントが定義中のときのデフォルト値。 ○ 応答待ち ○ 階層のアサイン ○ クローズ済み
アサイン先	階層アセスメントプロセスを管理するためにアサインされた TPR マネージャー。
層レベル	サードパーティのリスク階層。 ○ 重大 ○ 高 ○ 中 ○ 低 ○ マイナー ベンダー階層アセスメントとベンダーリスクアセスメントの結果は、この値を決定するのに役立ちます。TPR マネージャーは値を上書きできます。
階層査定人	階層アセスメントの完了を担当する内部査定人。

階層アセスメントスケジュール

フィールド	説明
階層アセスメントスケジュール	
計画された期間	アセスメントの予定期間。
開始予定日/終了予定日	階層アセスメントの作業の開始および終了予定日時。
実際の期間	階層アセスメントの完了に要した時間。この値は、[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
実際の開始日/実際の終了日	階層アセスメントの作業を開始および終了した日時
メモとコメント	
作業メモ	アセスメント プロセスに関する情報。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。
追加コメント (顧客に表示)	ベンダーリスクアセスメントに関する公開情報。

3. [保存] をクリックします。

[詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。
- コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。

4. [階層アンケート] タブを選択し、階層アセスメントに使用するアンケートを選択し、[追加] をクリックし、[追加] をクリックします。

   注:
   これには ベースシステム 、「 基本」と呼ばれる階層化アンケートのサンプルが含まれています。ニーズに合わせてアンケートを変更して保存します。

5. [保存] をクリックします。
6. すべての設定が正しければ、[アセスメントを送信] をクリックします。

階層アセスメント応答のレビュー - 従来のプロセス

GRC: TPRM バージョン 15.0.0 以降、リスク階層化は実行する必要のない従来のプロセスです。代わりに、ベンダー管理ワークスペース で IRQ プロセスを使用します。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて
より完全な IRQ プロセスが階層化に置き換わります。

重要:

TPRM アプリでは、IRQ は内部アンケートであり、元の階層アセスメントプロセスを改善するものです。IRQ は、柔軟性、制御、およびスケーラビリティを向上させて内部リスクアセスメントを強化します。階層化は IRQ の重要な側面ですが、IRQ の機能の 1 つにすぎません。外部アンケートがリスク階層のみによって決定される階層アセスメントとは異なり、IRQ は回答者の回答に基づいて外部アンケートを動的にトリガーできます。

TPRM へのシームレスな移行を可能にするために、既存の階層アセスメントを複製して IRQ 内部アセスメントとして指定することを選択できます。リスクの階層化は不変の従来のプロセスとしてサポートされ、IRQ は強化および改善されます。

TPR 査定人は、内部のステークホルダーがアセスメントを送信した後にリスク階層アセスメントの応答を表示し、スコアリングを適切に調整できます。

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - ベンダー管理ワークスペースで、[リスト] アイコン ([]) をクリックし、次に移動します。 階層リスクアセスメント > 自分にアサインされた未完了.
   - 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > 階層アセスメント > 自分のオープンアセスメント.
2. 必要に応じて、回答をレビュー、追加、または変更します。

アサインされたリスク層に基づいて自動リスクアセスメントを作成する - 従来のプロセス

階層ベースのアセスメント送信ルールを使用して、サードパーティのリスク階層が変更されたときにリスクアセスメントをトリガーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager

このタスクについて
より完全な IRQ プロセスが階層化に置き換わります。

重要:

TPRM アプリでは、IRQ は内部アンケートであり、元の階層アセスメントプロセスを改善するものです。IRQ は、柔軟性、制御、およびスケーラビリティを向上させて内部リスクアセスメントを強化します。階層化は IRQ の重要な側面ですが、IRQ の機能の 1 つにすぎません。外部アンケートがリスク階層のみによって決定される階層アセスメントとは異なり、IRQ は回答者の回答に基づいて外部アンケートを動的にトリガーできます。

TPRM へのシームレスな移行を可能にするために、既存の階層アセスメントを複製して IRQ 内部アセスメントとして指定することを選択できます。リスクの階層化は不変の従来のプロセスとしてサポートされ、IRQ は強化および改善されます。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメント送信ルール > 階層ベースの送信.

2. ルールレコードを選択するか、[新規] を選択してフォームに入力します。

セキュリティスコアプロバイダーフォーム

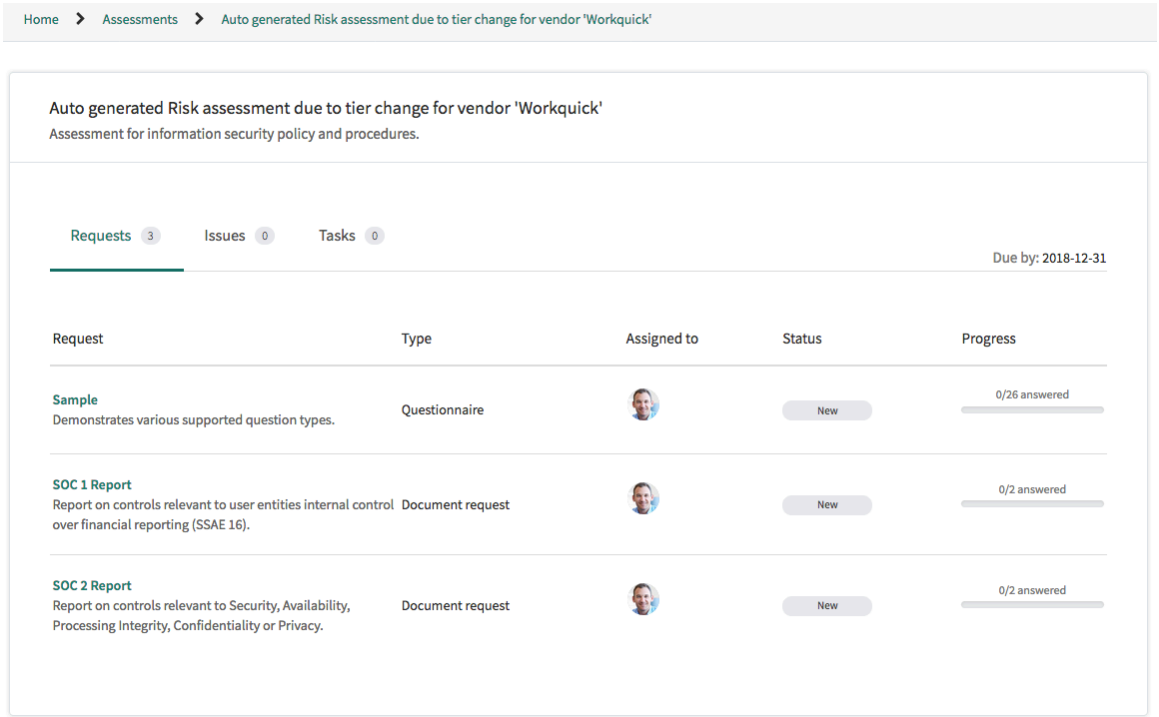
フィールド	説明
ベンダー	ルールを適用するサードパーティの名前。 **注:** すべてのサードパーティにルールを適用するには、このフィールドを空のままにします。
階層	外部リスクアセスメントを自動的に生成する必要があるリスク階層を選択します。 ○ なし ○ 重大 ○ 高 ○ 中 ○ 低 ○ マイナー
アセスメントテンプレート	リスク階層スケールがルールで指定された階層に変更されたときに送信するテンプレート。
ベンダーに自動送信	外部リスクアセスメントが生成されたら、サードパーティに自動送信します。このオプションが選択されていない場合、外部アセスメントは作成後も [ドラフト] ステータスのままになります。

3. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層の変更によりルールがアクティブ化されると、外部リスクアセスメントが生成されてサードパーティに送信されます。



サードパーティレコードの作成 - 従来のプロセス

組織が関与するサードパーティの主要なデータと連絡先情報を設定します。

始める前に

サードパーティのポートフォリオを更新する前にシステム管理者にお問い合わせください。
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin

このタスクについて

TPR マネージャーは、新しいレコードの追加に加えて、リスクセキュリティスコア、リスク階層、重要なサードパーティの連絡先、サードパーティが実施するビジネスサービスなどのサードパーティ情報を継続的に更新します。

スプレッドシートからサードパーティデータをインポートしたり、オンボーディングシステムからデータを統合したり、ベンダーテーブルからデータをインポートしたりすることができます。

手順

1. プロセスを開始するには、次のいずれかの方法を使用します。
   - ベンダー管理ワークスペースで、[リスト] アイコン ([☰]) をクリックし、次に移動します。サードパーティ > すべてのサードパーティ.
   - 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > すべてのサードパーティ.
2. [新規] をクリックして、各フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[サードパーティ] フォーム

フィールド	説明
名前	サードパーティの名前。
Web サイト	サードパーティの URL。
DUNS 番号	単一のビジネスエンティティの一意の数値識別子。DUNS番号は、ビジネスに法的に義務付けられていません。
業界	業界のタイプ。
ベンダータイプ	サードパーティが提供する製品やサービスのタイプを指定します。
親	サードパーティ階層を設定し、このサードパーティが子会社である場合は、親サードパーティを選択します。
合計年間消費量	このサードパーティに毎年費やすと予想される金額。
セキュリティスコア	リスクインテリジェンスプロバイダーに提供されるセキュリティスコア。
スコアプロバイダー	正規化されたセキュリティスコアを提供したリスクインテリジェンスプロバイダー。
ステータス	サードパーティのステータス。
契約開始日	契約したエンゲージメントを開始する日付。
リスク評価	サードパーティリスクアセスメント応答を受信すると、コンポーネント (つまり、アセスメント、エンゲージメント、および子会社のリスク評価) の加重平均が計算されます。詳細については、「サードパーティの階層とエンゲージメントの設定 - 従来のプロセス」を参照してください。
ランク	サプライヤーのタイプ。
サードパーティ階層	階層スコアをリスク層にマッピングすることによって計算された、サードパーティのリスク層。
ベンダーマネージャー	このサードパーティを管理するためにアサインされた従業員。
事業主	日常業務でこのサードパーティを使用する従業員。
メモ	追加情報。
[連絡先] タブ	
番地	サードパーティの所在地の番地。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
市区町村	サードパーティの所在地の市区町村。
都道府県	サードパーティの所在地の都道府県。
郵便番号	サードパーティの所在地の郵便番号。
国	サードパーティの国。
電話	サードパーティの電話番号。
FAX	サードパーティのファックス番号。
[プロファイル] タブ	
株式公開	サードパーティが株式公開されているかどうか。
在庫記号	サードパーティの銘柄記号。
1 年あたりの収益	サードパーティの年間収益。
従業員数	サードパーティの従業員数。
バナーイメージ	サードパーティのバナー画像。
バナーテキスト	サードパーティのバナーテキスト。
[リスクスコアリング] タブ	
計算済みリスク評価	サードパーティリスク領域のリスク評価の平均。
リスク評価を上書き	サードパーティの計算されたリスク評価を上書きできます。
アセスメントリスク評価	計算されたリスクアセスメント評価。 リスク評価スケールは、ビジネスユーザーがリスクアセスメント結果をよりよく理解するのに役立ちます。たとえば、デフォルト設定では、20 ~ 39 のリスクスコアは高リスクを示し、60 ~ 79 の範囲のスコアは低リスクを示します。
エンゲージメントリスク評価	計算されたエンゲージメント評価。 リスク評価スケールは、ビジネスユーザーがリスクアセスメント結果をよりよく理解するのに役立ちます。たとえば、デフォルト設定では、20 ~ 39 のリスクスコアは高リスクを示し、60 ~ 79 の範囲のスコアは低リスクを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
子会社のリスク評価 子サードパーティのリスク評価	子会社の計算済みリスク評価。 リスク評価スケールは、ビジネスユーザーがリスクアセスメント結果をよりよく理解するのに役立ちます。たとえば、デフォルト設定では、20 ~ 39 のリスクスコアは高リスクを示し、60 ~ 79 の範囲のスコアは低リスクを示します。
リスクインテリジェンス評価	「リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合」を参照してください。
優先リスク評価	[リスク評価を上書き] を選択した場合、新しいリスク評価を入力します。
上書き日	[リスク評価を上書き] を選択した場合は、上書きが発生した日付。
正当性	[リスク評価を上書き] を選択した場合、上書きの理由を入力する必要があります。

3. が他のGRCアプリケーションと統合されている場合サードパーティリスク管理、またはベンダー階層 (サードパーティリスクドメイン、コンポーネント基準、リスク採点ルール) を設定している場合は、フォームに以下の関連リストの一部またはすべてを含めることができます。

   詳細については、「サードパーティの階層とエンゲージメントの設定 - 従来のプロセス」を参照してください。

   注:
   リスクドメインは、一部のプラットフォームアプリケーションでは「リスク領域」と呼ばれます。

   - 子ベンダー: このテーブルには、子会社のすべての情報が格納されます。子会社のリスク評価は自動的に集計され、[サードパーティ] フォームの [リスク評価] タブに表示されます。
   - ベンダー連絡先：このテーブルには、すべてのサードパーティステークホルダーの情報が保存されます。通常、顧客はサードパーティの主要連絡先 1 つとセカンダリ連絡先 1 つ以上を作成します。プライマリ連絡先が、他の連絡先をリストに追加します。
   - [ビジネスサービス]：サービステーブルは CMDB の一部です。サードパーティを、そのサードパーティが提供するサービスに関連付けます。たとえば、IT チームが「ビデオ会議サービス」と呼ばれるサービスを所有しており、これを社内の従業員が社内および顧客と通信するために使用するとします。そのビジネスサービスには、自社で構築するのではなく、Zoom から提供されるサービスを使用すると決定しました。
   - ベンダーエンゲージメント：このテーブルには、サードパーティのすべてのエンゲージメント情報が保存されます。エンゲージメントのリスク評価は、[サードパーティ] フォームの [リスク評価] タブに表示されるとおりに自動的に集計されます。
   - 階層アセスメント: このテーブルには、階層アセスメントの履歴が保存されます。
   - 繰り返しアセスメント: このテーブルには、繰り返しアセスメントの履歴が保存されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 評価： このテーブルには、アセスメントの履歴が保存されます。アセスメントリスク評価は自動的に集計され、[サードパーティ] フォームの [リスク評価] タブに表示されます。
- ベンダーリスクコンポーネント：このテーブルには、すべてのサードパーティリスクコンポーネントが格納されます。サードパーティリスクコンポーネント (つまり、アセスメント、エンゲージメント、または子会社) が存在する場合、そのリスク評価が自動的に集計され、[サードパーティ] フォームの [リスク評価] タブに表示されます。
- 問題： このテーブルには、問題の履歴が保存されます。
- タスク： このテーブルには、タスクの履歴が保存されます。

エンゲージメントの定義 - 従来のプロセス

エンゲージメントを定義して、サードパーティが提供するサービスまたは製品に関連するリスクを評価できるようにします。エンゲージメントは、直接的に、またはリスクを評価できる部門、パートナー、または子会社から、親サードパーティに提供される製品またはサービスを表すこともあります。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

手順

1. の ベンダー管理ワークスペース[リスク] タブで、[クイック アクション] ボックスで [エンゲージメントの作成] を選択します。
   [サードパーティエンゲージメントの作成] フォームが [詳細] タブで開きます。
2. オプション: 添付ファイルを選択して追加するには、[参照] をクリックします。
3. フォームに入力して [保存] をクリックします。

[サードパーティエンゲージメントの作成] フォーム

フィールド	説明
サードパーティエンゲージメントセクション	
名前	エンゲージメントの一意の名前。理想的には、エンゲージメントの対象である製品またはサービスについて言及します。
サードパーティ (ベンダー)	このエンゲージメントレコードを作成するサードパーティ。
タイプ	エンゲージメント組織によって提供される製品またはサービスのタイプ。
開始/終了日	開始日と終了日を入力して、エンゲージメントの有効期間を定義します。
契約開始日/終了日	サードパーティとのやり取りの開始と終了の希望日。
契約の有効期限	エンゲージメントが正式かつ合法的に終了する日付。
ステータス	エンゲージメントの現在のステータスを選択します。 ○ アクティブ ○ オンボーディング ○ 見込み客

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 無許可のアクティブ ○ 終了 ○ オンボーディングが却下されました **注:** エンゲージメントは [非アクティブ] ステータスで開始されます。契約が締結されている場合、またはサードパーティとのアクティブな関係に参加している場合、エンゲージメントは [アクティブ] ステータスに移行します。
リスク評価	アセスメントが実行された後にエンゲージメントに割り当てられたリスク評価を表示します。
エンゲージメント階層	このエンゲージメントに使用される階層。階層の決定方法の詳細については、「サードパーティのリスク階層アセスメント - 従来のプロセス」を参照してください。
年間消費量/値	このエンゲージメントのサービスに関連付けられた年間支出額。
エンゲージメントマネージャー	外部のアンケート、問題、およびタスクに対する回答を監視し、優先順位を付け、対応するユーザーを指定します。ロックアイコンをクリックして、フィールドをロックまたはロック解除します。
事業主	エンゲージメント組織と、エンゲージメントする製品またはサービスに精通している人物を指定します。ロックアイコンをクリックして、フィールドをロックまたはロック解除します。
メモ	他のユーザーにエンゲージメントを説明するテキストを入力します。
連絡先セクション	
番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国、電話番号、ファックス	エンゲージメント組織の標準的な連絡先情報。
緯度と経度	[緯度] と [経度] の値は、リスク集中マップ上の場所をマークするために使用されます。「TPRM リスク集中マップ」を参照してください。
[リスク評価] セクション	
計算済みリスク評価	計算された計算済みリスク評価。 値は、第三者の全体的なリスク評価であり、アセスメント後にすべての TPR 査定人のリスク評価をロールアップして計算されます。
リスク評価を上書き	計算された評価を上書きするオプション。 チェックボックスをオンにする場合は、次の値を指定します。 ○ 優先リスク評価。新しいリスク評価を選択します。 ○ 上書き日：上書きが発生した日付が自動入力されます。 ○ 理由：値を上書きした理由を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部リスクアセスメントの作成 - 従来のプロセス

アセスメントを作成し、サードパーティリスクアセスメントライフサイクルを開始します。 外部リスクアセスメントは、サードパーティまたはエンゲージメントの詳細を指定し、アセスメントを完了するための計画を定義します。

始める前に

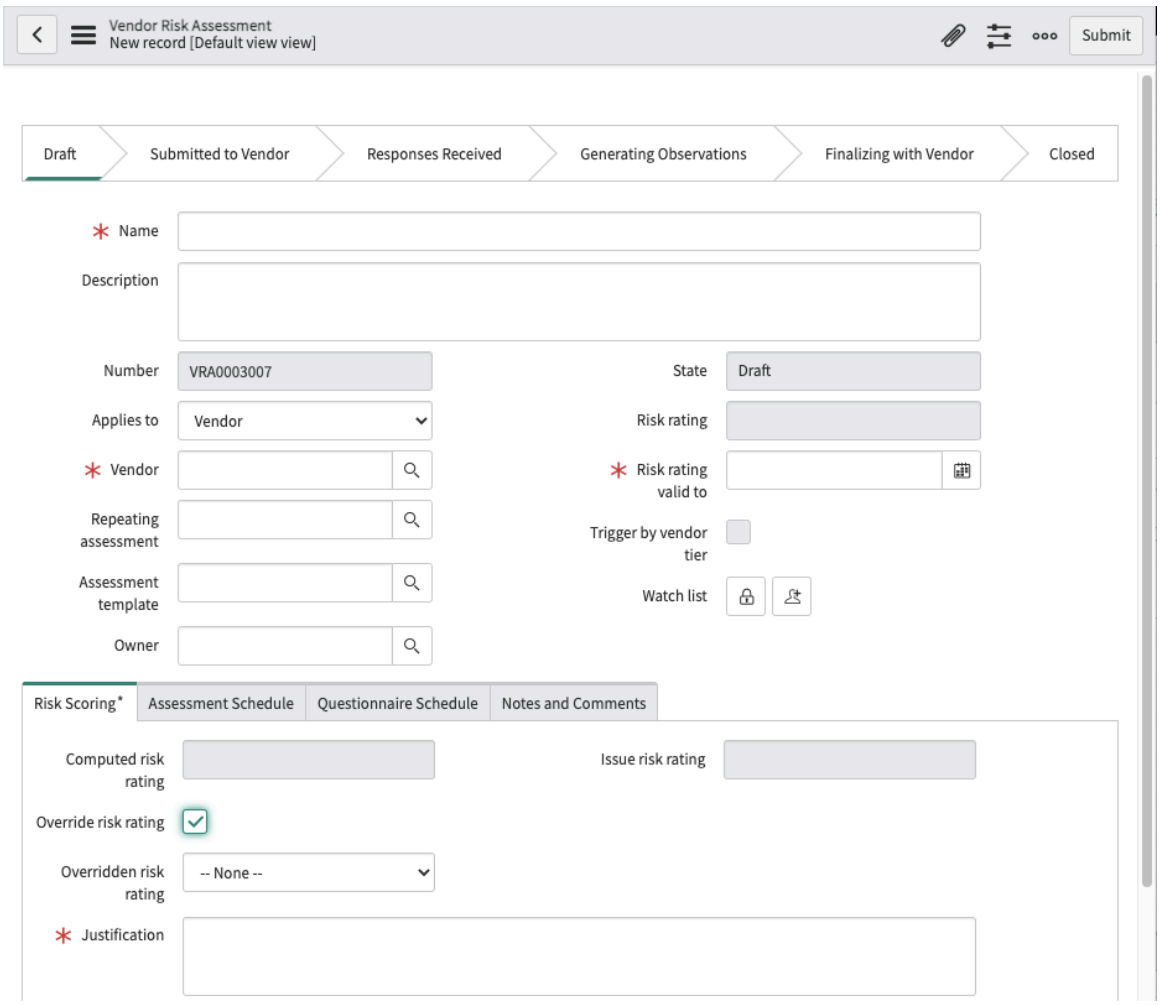
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて

アセスメントは、オンデマンドで作成することも、指定されたスケジュールで繰り返すこともできます。オンデマンドの外部リスクアセスメントを作成するときは、TPR マネージャーが、アンケートテンプレートまたは文書要求テンプレート、およびサードパーティを選択します。TPR マネージャーは、一度に複数のサードパーティを選択してアセスメントをトリガーすることができます。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメント > すべてのアセスメント.
2. 新規 を選択し、フィールドに入力します。



[ベンダーリスクアセスメント] フォーム

フィールド	説明
名前	すべてのフォームとリストでサードパーティのリスクアセスメントを識別する名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	問題のより詳細な説明。
番号	外部リスクアセスメントごとに、テキスト **VRA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
適用先	アセスメントが適用されるエンティティ: サードパーティ または エンゲージメント。
ベンダー	評価済みのサードパーティ。 **注:** 「終了」ステータスのサードパーティを再有効化できます。このような要求が受け入れられてクローズされると、サードパーティのステータスは 「アクティブ」に変更されます。
エンゲージメント	評価するエンゲージメントを選択します。このフィールドは、[適用先] フィールドで [エンゲージメント] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返しアセスメント	現在のアセスメントを作成するために使用するアセスメント。
アセスメントテンプレート	このアセスメントのアンケートまたは文書要求を作成する際のアセスメントテンプレートを選択します。 複数のテンプレートを使用してアセスメントに対して複数のアンケートまたは文書要求を作成するには、フィールドを空のままにします。
所有者	所有者は、監査目的でアセスメントを所有し、アセスメント プロセス全体を監視および管理するユーザーです。所有者は、サードパーティによってアセスメントが適時に完了していることを確認し、回答をレビューし、問題を作成して解決する責任があります。アセスメントを完了するために、アセスメントが特定のマイルストーンに達すると所有者に通知されます。オーナーには、TPR マネージャーまたは TPR 査定人ロールが必要です。 新しい要求で [所有者] フィールドが空の場合、次のアクションが発生します。「」を参照してください責任に基づくグループへのユーザーの追加。 アサイン先グループで指定された グループ内のすべてのユーザーにメール通知が送信されます。このメッセージは、要求が受信され、[新規] ステータスであることを示しています。このメッセージには、要求の詳細ページへのリンクも含まれています。 **注:** 「所有者」フィールドが空で、「IRQ プロセスの開始」を選択すると、そのユーザーが所有者になります。
アサイン先グループ	新しい要求の場合、ア サイン先グループは[デューデリジェンス要求アサイナー] に設定されます。 アサイン先グループで指定された グループ内のすべてのユーザーにメール通知が送信されます。このメッセージは、要求が受信され、[新規] ステータスであるこ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	とを示しています。このメッセージには、要求の詳細ページへのリンクも含まれています。 デューデリジェンス要求フォームで、次の操作を行います。 ○ グループのすべてのメンバーは、[自分に割り当て] を選択するか、[所有者] フィールドをグループの他のメンバーに設定できます。 ○ TPR マネージャーまたは TPR 査定人は、[アサイン先グループ] フィールドをクリアするか、[所有者] 選択リストで別の TPR 査定人から選択する値を変更できます。
State (ステータス)	サードパーティからアセスメントデータを収集するプロセスは、ステータスが何度か変わります。詳細については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス」を参照してください。
リスク評価	サードパーティの全体的なリスク評価。 ○ 重大 ○ 高 ○ 中 ○ 低 ○ マイナー **注:** [リスク評価] は、リスクスコアが該当するリスク評価スケール範囲を見つけることによって決定されます。アセスメントスコアの最小範囲と最大範囲を定性的リスクスコアにマッピングする方法を定義します。
リスク評価の有効期限	リスク評価の有効期限が切れる日付。この日付は、関連付けられているアンケートまたは文書要求の [リスク評価の有効期限] よりも後でなければなりません。
リスク層によってトリガー	サードパーティのリスク層が変更されたときにアセスメントを開始するには、このチェックボックスをオンにします。
ウォッチリスト	このレコードが変更されたときに通知するユーザーを追加します。
リスクスコアリング **注:** リスク評価は、アセスメント応答が受信された後に計算され、表示されます。	
計算済みリスク評価	サードパーティリスク領域のリスク評価の平均。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスク評価を上書き	サードパーティの計算されたリスク評価を上書きするには、チェックボックスをオンにします。選択すると、アセスメントリスク評価に対する将来の変更が、リスク評価ではなく、計算されたリスク評価にのみ影響するようになります。 **注:** オンになっていたチェックボックスをオフにすると、計算されたリスク評価がアセスメントにコピーされます。
優先リスク評価	[リスク評価を上書き] を選択した場合、新しいリスク評価を入力します。
正当性	[リスク評価を上書き] を選択した場合、上書きの理由を入力する必要があります。
問題リスク評価	評価対象のサードパーティに関連付けられている問題のリスク評価。問題のリスク評価は、クローズ済みの問題の優先度とその解決方法に基づいています。 ○ 問題が [完了してクローズ] の場合は、問題が解決されたことを示します。 ○ 問題が [未完了でクローズ] の場合は、サードパーティが関連付けられている質問を完了しなかったことを示します。 ○ 問題が [キャンセルしてクローズ] の場合は、問題を解決する必要がないことを示します。 問題がクローズ済みで、 アセスメントのステータスが クローズまたはキャンセルされていない場合、 問題のリスク評価 が再計算されて表示されます。 **注:** 計算 済みリスク評価 は、この計算の影響を受けません。
リスク評価を上書き	サードパーティの計算されたリスク評価を上書きするオプション。選択すると、アセスメントリスク評価に加えられた将来の変更は、リスク評価ではなく、計算されたリスク評価にのみ影響します。 **注:** チェックボックスをオンにしてからオフにすると、計算されたリスク評価が使用されます。
優先リスク評価	[リスク評価を上書き] を選択した場合、新しいリスク評価を入力します。
正当性	[リスク評価を上書き] を選択した場合、上書きの理由を入力する必要があります。
アセスメントスケジュール	
計画された期間 (日数)	アセスメントの予定期間
開始予定日/終了予定日	アセスメントの作業の開始予定日時と完了予定日時。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

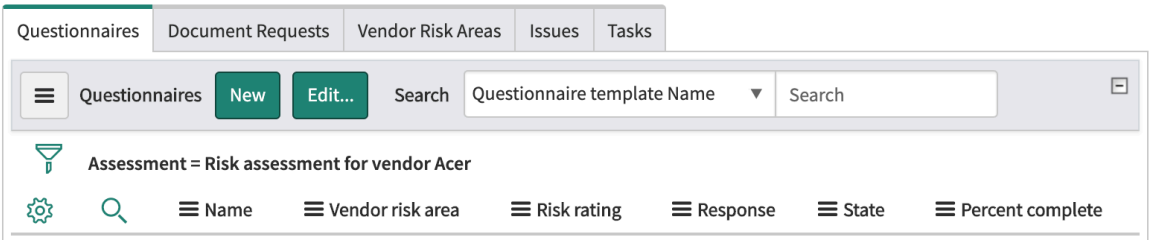
フィールド	説明
作成者	このレコードを作成したユーザー。
作成済み	レコードが作成された日時。
実際の期間	サードパーティリスクアセスメントの完了に要した時間。このフィールドは、[実開始日] と [実終了日] を使用して計算されます。
開始実績日時	アセスメントの作業が開始された日時。
終了実績日	アセスメントの作業が完了した日時。
更新日時	レコードの最終更新日時。
アンケートのスケジュール	
計画された期間 (日数)	サードパーティがアセスメントを完了するために与えられた時間。この値フィールドは [開始予定日] と [終了予定日] を使用して計算されます。
レビュー期間 (日数)	顧客がすべてのアンケートを確認するために割り当てられた時間。
期日	サードパーティがすべてのアンケートに回答して返却する期限。
完了日	サードパーティがすべてのアンケートを完了した実際の日付。
ベンダーに送信済み	サードパーティアンケートの配送日。
ベンダーに再送信	アンケートがサードパーティに再送信された日付。
応答期限	サードパーティの連絡先から応答が返されると組織が想定している日付。
メモとコメント	
作業メモ	アセスメントに関する情報。作業メモは、問題にアサインされているユーザーに表示されます。
追加コメント (顧客に表示)	アセスメントに関する公開情報。

3. レコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

追加の関連リストが表示されます。[アセスメントテンプレート] フィールドを空のままにして、アセスメントテンプレートを使用して複数のアンケートや文書要求をこのアセスメントに関連付ける場合は、[アンケート] または [文書の要求] 関連リストを使用します。



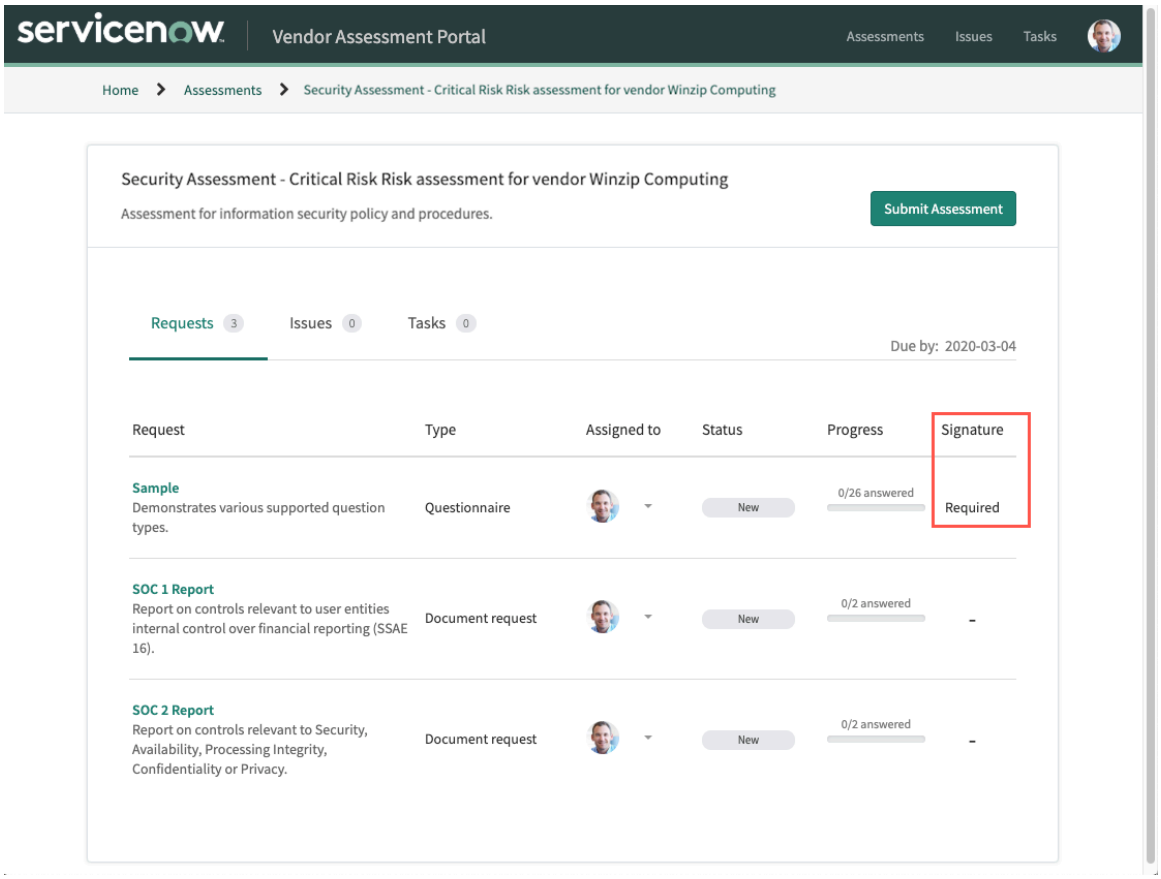
4. 既存のアンケートや文書要求をアセスメントに関連付けるには、次の手順を実行します。
   a. [アンケート] または [文書要求] 関連リストを開きます。
   b. 編集 を選択し、使用するアンケートまたはドキュメント要求を選択して、保存 を選択します。
   c. 必要に応じて、他のタイプの質問について繰り返します。
5. 新しいアンケートや文書要求テンプレートを作成してアセスメントに関連付けるには、「アンケートテンプレートや文書要求テンプレートを作成する」を参照してください。

> **重要:**
> 次のステップで、アンケートをサードパーティに送信することを選択できます。最後にクローズされたアセスメントからの回答をアンケートに事前入力するには、サードパーティに送信する前に [以前の回答を含める] オプションを選択する必要があります。アンケートがサードパーティに送信された後の設定は変更できません。「アンケートテンプレートや文書要求テンプレートを作成する」を参照してください。

6. [サードパーティに送信] を選択します。
   - アセスメントのステータスが [サードパーティに送信済み] に変わります。
   - 選択したテンプレートによって、アンケートや文書要求が生成されます。
   - アンケートの [以前の回答を含める] オプションが選択されている場合、以前の回答がコピーされ、送信アンケートに追加されます。サードパーティポータルの通知には、応答を提供したアセスメントの番号、名前、およびクローズ日が含まれています。通知には、アセスメントへのリンクも含まれています。
   - サードパーティの主要連絡先に、サードパーティポータルのアセスメントへのリンクを含むメール通知が届きます。
7. サードパーティの連絡先がアセスメントに回答する準備ができると、サードパーティポータルでアセスメントを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
この例では、アンケートのうちいずれか 1 つに署名が必要です。サードパーティまたはレビュー担当者は、送信する前にアンケートまたは文書要求を保存して電子署名する必要があります。詳細については、「アンケートまたは文書要求の電子署名」を参照してください。

8. TPR 査定人は、アセスメントのステータスを [所見を生成中] に移行します。

この間に、TPR 査定人は、文書の [文書要求] または [アンケート] 関連リストにある [応答を表示] リンクを選択して応答を表示し、必要に応じてコメントを入力したり、応答を変更したりできます。

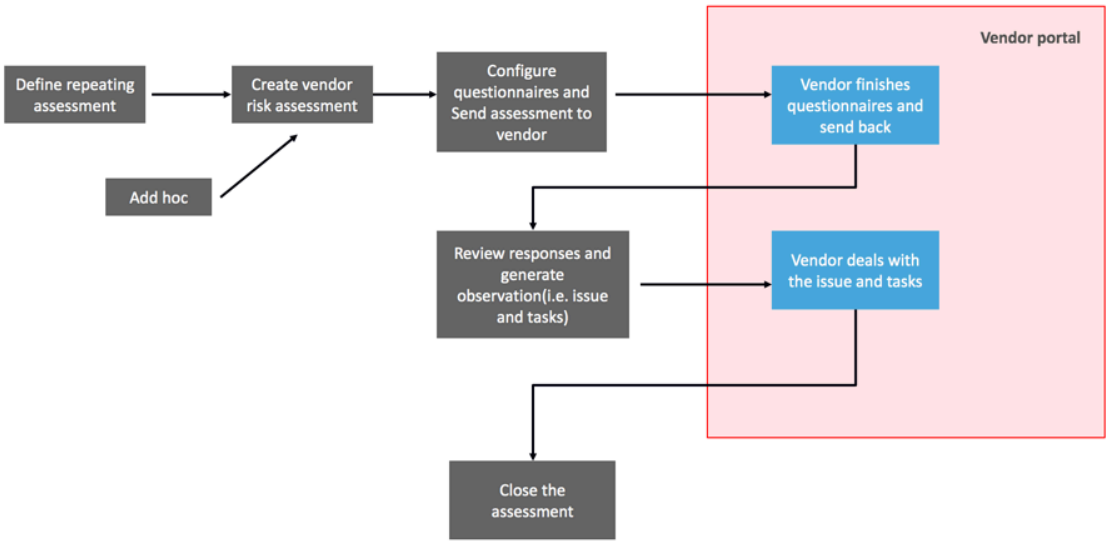
問題が発生した場合は、TPR 査定人が問題を作成して修正プロセスを追跡します (サードパーティとの最終処理)。

9. TPR 査定人がアセスメントを [クローズ済み] ステータスに移行します。

次のタスク
TPR 査定人は、サードパーティポータルを通じて、サードパーティと連携してアセスメントをクローズします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



外部リスクアセスメントの管理 - 従来のプロセス

TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、通常は [所見を生成中] ステータスの間に、ステークホルダーが問題とタスクを作成します。TPR のアセスメント担当者が必要に応じてサードパーティをアサインし、コメントストリームを使用してやり取りし、非準拠を解決します。サードパーティの主連絡先が、サードパーティポータルを使用してすべてのアセスメントを表示します。

外部リスクアセスメントのワークフロー

1. TPR マネージャーが、内部リスクアセスメントと外部リスクアセスメントのテンプレート、アンケートテンプレート、および文書要求テンプレートを作成し、ワークフローに関連する通知も作成します。
2. TPR マネージャーが、IRQ を準備して、社内のステークホルダーに送信します。
3. 社内のステークホルダーがアセスメントを完了し、送信します。
4. 完了したリスク階層アセスメントを受け取った後、TPR 査定人は階層アセスメントを更新してクローズします。
5. TPR マネージャーが、アセスメントをサードパーティの主要連絡先に送信します。外部リスクアセスメントは、リスクスコアまたはリスク階層の変更に基づいて自動的に送信されます。
6. サードパーティの連絡先が、サードパーティポータルにサインインしてリスクアセスメントを完了します。

   サードパーティポータルに、アセスメントのリストとそれぞれのステータスが表示されます。ポータルから、主要連絡先はアセスメントの一部を完了するために他のサードパーティの協力者を招待できます。他の協力者が特定されると、主連絡先がアセスメントを送信します。

7. TPR アセスメント担当者は、アセスメントの結果をレビューして各サードパーティアセスメントをクローズし、必要に応じて修正が必要な問題を作成します。特定の質問に対して問題が作成されると、その質問に対するビジュアルインジケーターがサードパーティポータルに表示されます。

   修正

   問題の修正とは、コントロールの失敗またはリスクへの暴露の原因となっている根本的な問題が修正されることを意味します。

   受け入れ

   問題の受け入れとは、既知のコントロールの失敗またはリスクに対する例外を作成することを意味します。[受入れ済み] のコントロールは、コントロールが再評価されるまで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は、非準拠ステータスのままになります。これにより、監査中に所見を文書化するために問題を使用することができます。

関連情報

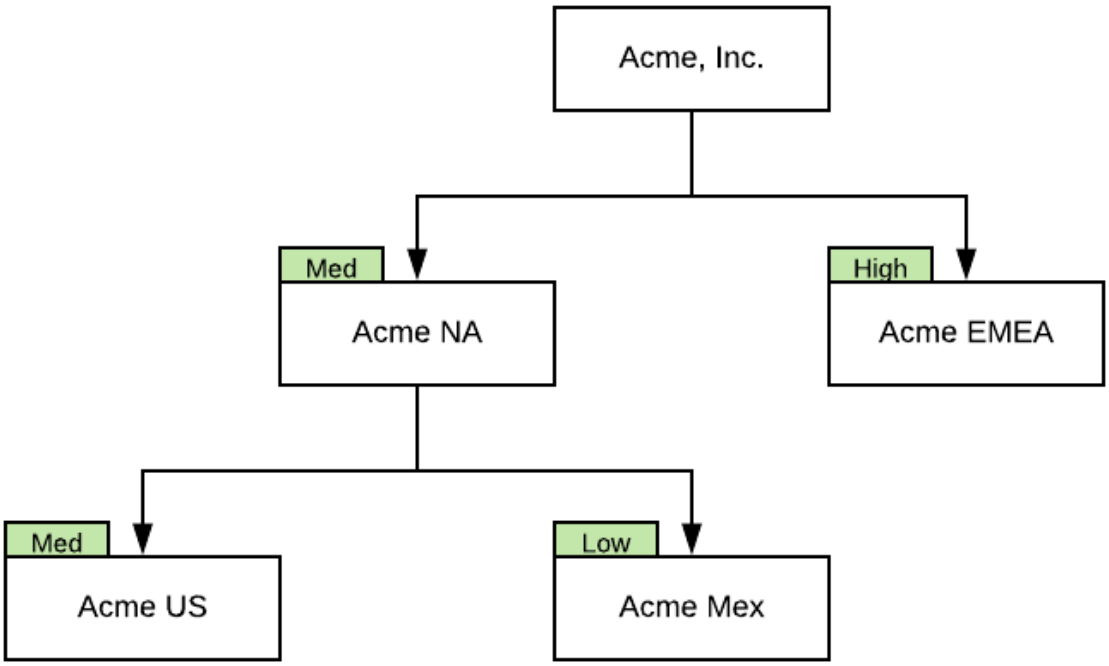
サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス

サードパーティの階層とエンゲージメントの設定 - 従来のプロセス

親サードパーティとそのすべての子会社の間の親子関係を定義して、サードパーティ階層を作成します。このタスクを実行するのは、一部の組織が、ビジネスに潜在的なリスクをもたらす可能性のある子会社 (または子会社の子会社) を持つサードパーティと連携しているためです。個々の子会社組織でアセスメントを実行し、結果をロールアップして親サードパーティの全体的なリスクスコアを計算できます。

サードパーティ階層

この図では、親会社である Acme に 2 つの子会社があり、Acme NA に 2 つの子会社があります。この階層では、親のサードパーティとすべての子会社のリスクアセスメントを実行し、各エンティティのリスクスコアを計算します。その後、リスクスコアを集計 (ロールアップ) して、Acme のリスクスコアを計算できます。



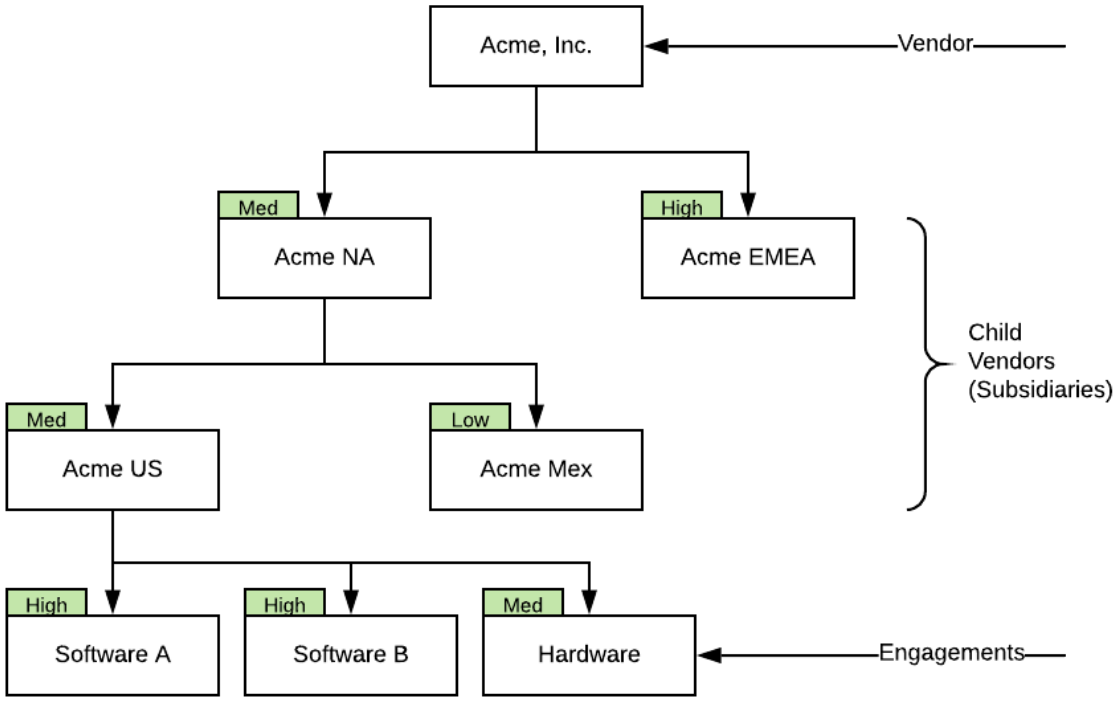
子会社とエンゲージメントを含むサードパーティ階層

エンゲージメントは、直接または子会社から親組織に提供され、リスクを評価できる製品またはサービスを表します。子会社がエンゲージメントを提供している場合、エンゲージメントにアサインされたリスクスコアは、子会社のリスクスコアを計算するためにロールアップされた後、親組織にロールアップされます。

この例では、子会社 Acme US には 3 つのエンゲージメントがあります。前の例と同様に、親会社、そのすべての子会社、およびそのすべてのエンゲージメントについてリスクが評価されます。リスクスコアは、親のリスクスコアを計算するためにロールアップされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エンゲージメントの定義 - 従来のプロセス を参照してください。

概要：サードパーティ階層の設定

注:
このセクションのセットアップ手順は、マルチレイヤーのサードパーティと連携する場合にのみ適用されます。つまり、子会社を運営するサードパーティです。また、子会社が提供するエンゲージメントのセットアップについても説明します。これらが取引先サードパーティのタイプではなく、サードパーティ階層を設定しない場合、これらの手順はオプションです。

サードパーティ階層のセットアップ手順

セットアップ手順	説明
サードパーティリスク領域を定義します。	リスクドメインは、サードパーティのために評価するリスクのタイプを定義します。たとえば、セキュリティリスクの観点からデータ管理サードパーティを評価し、財務リスクの観点から銀行を評価することができます。セキュリティリスクと財務リスクはリスクドメインです。一部のプラットフォームアプリケーションでは、リスクドメインを「リスク領域」と呼びます。 「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。
サードパーティリスク領域基準を定義します。	サードパーティリスク 領域基準 は、特定のタイプのサードパーティに適用される リスクドメイン (他のプラットフォーム機能では リスク領域 と呼ばれることもあります) のグループです。 「サードパーティリスク領域基準を定義」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティ階層のセットアップ手順 (続く)

セットアップ手順	説明
コンポーネント基準を定義します。	コンポーネントは、リスクを評価できるエンティティです。ベースシステム には、エンゲージメント、外部モニタリング、子会社、およびサードパーティリスクアセスメントのコンポーネントが含まれています。コンポーネントごとにリスクが計算されてから、リスクが集計され、ロールアップされてサードパーティリスク評価が計算されます。 「コンポーネント基準を定義する」を参照してください。
サードパーティのエンゲージメントを定義します	エンゲージメントを定義して、サードパーティが提供するサービスまたは製品に関連するリスクを評価できるようにします。エンゲージメントは、直接的に、またはリスクを評価できる部門、パートナー、または子会社から、親サードパーティに提供される製品またはサービスを表すこともあります。 エンゲージメントを定義すると、サードパーティとエンゲージメントの両方で主連絡先とセカンダリ連絡先を指定できます。各タイプの連絡先は、サードパーティポータルで特定のアクティビティを実行できます。 エンゲージメントの定義 - 従来のプロセス を参照してください。
エンゲージメントリスク採点ルールを定義します。	エンゲージメントリスク採点ルールは、アセスメントのために選択されるエンゲージメントを決定するコンポーネント基準を指定します。たとえば、ルールにより、年間 40,000 ドルを超えるビジネスに関連するエンゲージメントのアセスメントを有効にすることができます。エンゲージメント採点ルールはエンゲージメントにのみ適用されます。 「エンゲージメントリスク採点ルールを定義する」を参照してください。
サードパーティリスク採点ルールを定義します。	リスクスコアに基づいて、アセスメントが必要なサードパーティを決定する基準を定義します。サードパーティリスク採点ルールは、子会社とエンゲージメント、およびサードパーティリスク領域に適用されます。 「サードパーティリスク採点ルールを定義」を参照してください。

スケジュールで繰り返すようにリスクアセスメントを構成する

サードパーティまたはエンゲージメントのリスク結果を定期的に更新するために、サードパーティリスクアセスメントをスケジュールで繰り返すように構成します。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

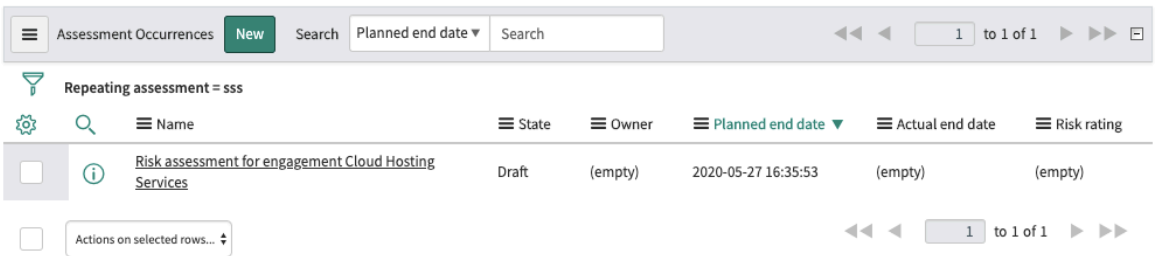
手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメント > 繰り返しアセスメント.
2. [新規] をクリックしてフォームに入力し、[送信] をクリックします。

繰り返しアセスメントフォーム

フィールド	説明
番号	外部リスクアセスメントごとに、テキスト **VRA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
説明	繰り返しアセスメントの詳細な説明。
名前	繰り返しアセスメントの名前。
アセスメントテンプレート	現在のアセスメントを作成するために使用するテンプレート。
適用先	アセスメントが適用されるエンティティ。ベンダーとエンゲージメントのいずれかです。
ベンダー	評価対象のベンダー。
エンゲージメント	評価対象のエンゲージメントを選択します。 このフィールドは、[適用先] フィールドで [エンゲージメント] を選択した場合にのみ表示されます。
アクティブ	現在の繰り返しアセスメントをスケジュールどおりに実行できるようにするオプション。
次回アセスメント作成 (月数)	次回アセスメントは、前回のアセスメントの終了後から指定された月数の経過後に作成されます。
次回アセスメント終了日 (月数)	前回のアセスメントがクローズされた後の新しいアセスメントの終了日。
アセスメント結果有効期間 (日数)	アセスメントの結果が有効である日数。

[アセスメントの発生] 関連リストには、アセスメントが行われた各回のステータスと、アセスメントの結果であるリスク評価が表示されます。



サードパーティポータルの管理

サードパーティの連絡先は、アンケート、ドキュメントの要求、タスク、およびサードパーティポータル上の問題に回答します。ポータルは、サードパーティとリスク査定人がやり取りするポイントで

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。アセスメントの結果である修復アクションは、サプライヤーセントラルポータルを介して調整されます。

サードパーティ連絡先のタスク

サードパーティ連絡先ロール [vendor_contact] を持つサードパーティ組織のユーザーは、ポータルを使用して次のタスクを実行します。

- 「自分にアサインされた」アセスメントを表示して応答する。
- パスワードの変更またはパスワードの変更要求を行う。

重要:
サードパーティ連絡先ロールは、外部連絡先にのみ使用する必要があります。このロールは、サードパーティポータルへのアクセスを禁止し、サードパーティポータルへのアクセス Now Platform のみを許可します。

サードパーティの主要連絡先は、次のタスクを実行できます。

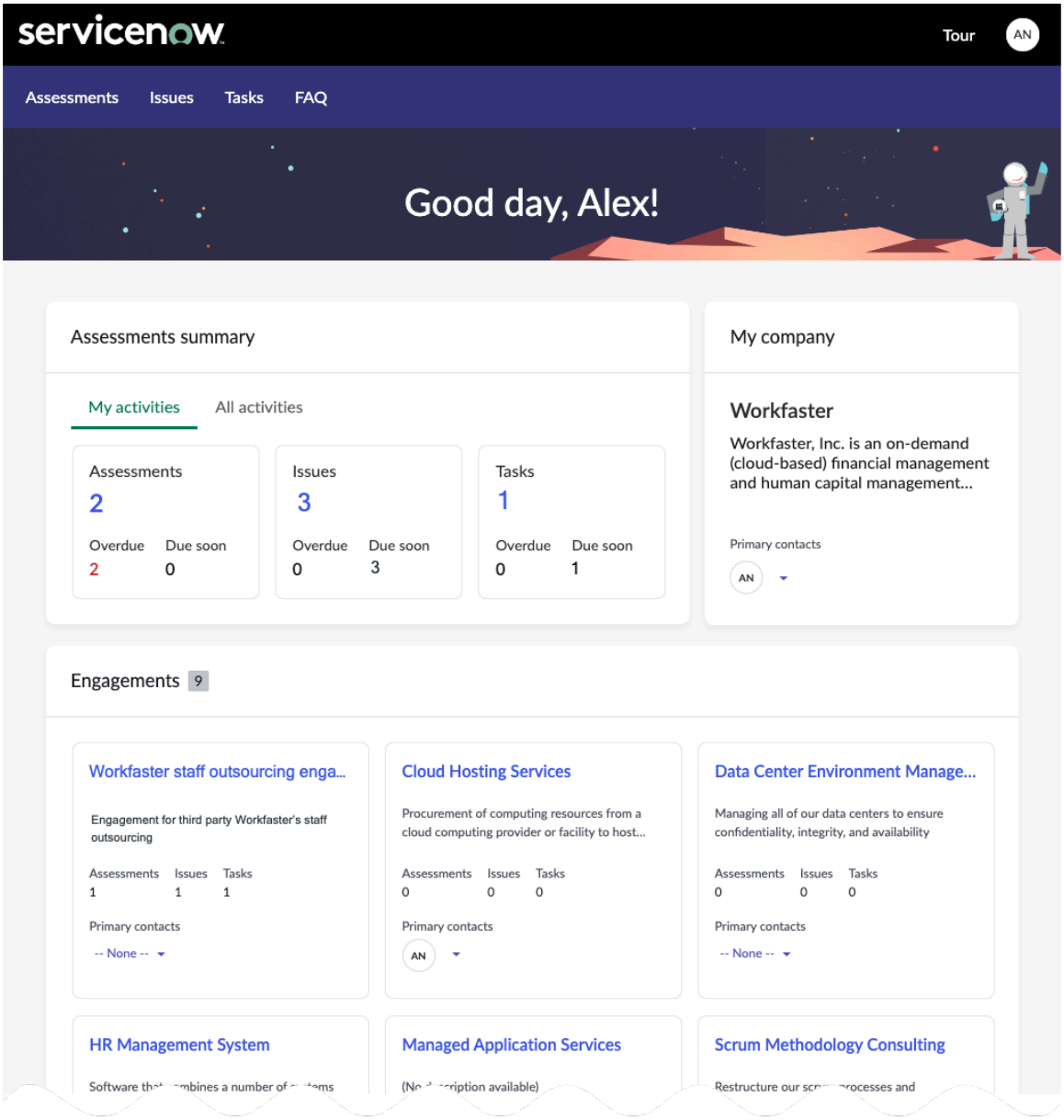
- アンケート、タスク、および問題を他のサードパーティの連絡先に委任する。
- サードパーティの連絡先情報を表示して更新します。
- 通知設定を更新します。

サードパーティの連絡先には、次の例に示すようにポータルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティポータルの例



ポータルの起動

サードパーティの連絡先は、[インスタンス URL]/svdp (インスタンスの **URL)/svdp** を使用してポータルを起動します。

ポータルの使用方法の学習 - **FAQ** ページ

サードパーティの連絡先は、[**FAQ**] を選択して、追加のユーザーをポータルに招待する方法や、主連絡先をサードパーティまたはエンゲージメントレコードに割り当てる方法など、一般的な質問に対する回答を表示できます。

サードパーティ連絡先の管理

サードパーティリスク査定人ロール [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor] を持つ組織内のユーザーは、次のサードパーティ連絡先アクティビティを管理するために使用します TPRM 。

- 新しいサードパーティ連絡先のログインを作成する。
- サードパーティ連絡先ログインを有効化または無効化する。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サードパーティ連絡先のパスワードをリセットする。
- サードパーティ連絡先にユーザーロールをアサインする。
- サードパーティ連絡先をアセスメントにアサインする。
- 顧客の連絡先情報を表示して更新します。
- 完了したアセスメントにアクセスします。

関連情報

サードパーティの連絡先を設定

アンケートまたは文書要求の電子署名

リスクアセスメントに SIG Questionnaire を使用する

アンケートまたは文書要求の電子署名

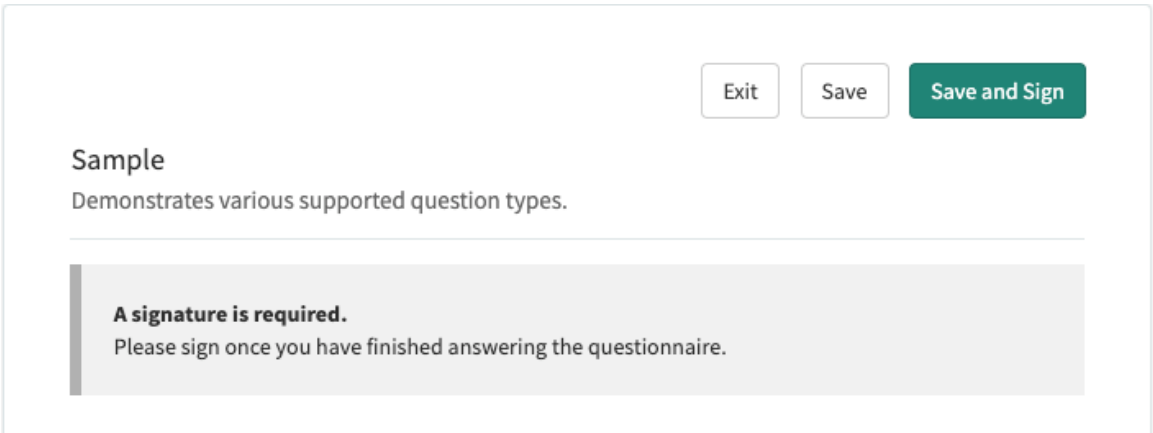
アンケートまたは文書要求では、サードパーティの連絡先やレビュー担当者の電子署名が必要になる場合があります。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager または sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor

このタスクについて
アンケートまたは文書要求がサードパーティに送信されると、サードパーティリスクマネージャーまたは TPR リスク査定人に、レコードへのリンクを含むメール通知が届きます。

手順

1. リンクをクリックしてアンケートまたは文書要求を開きます。

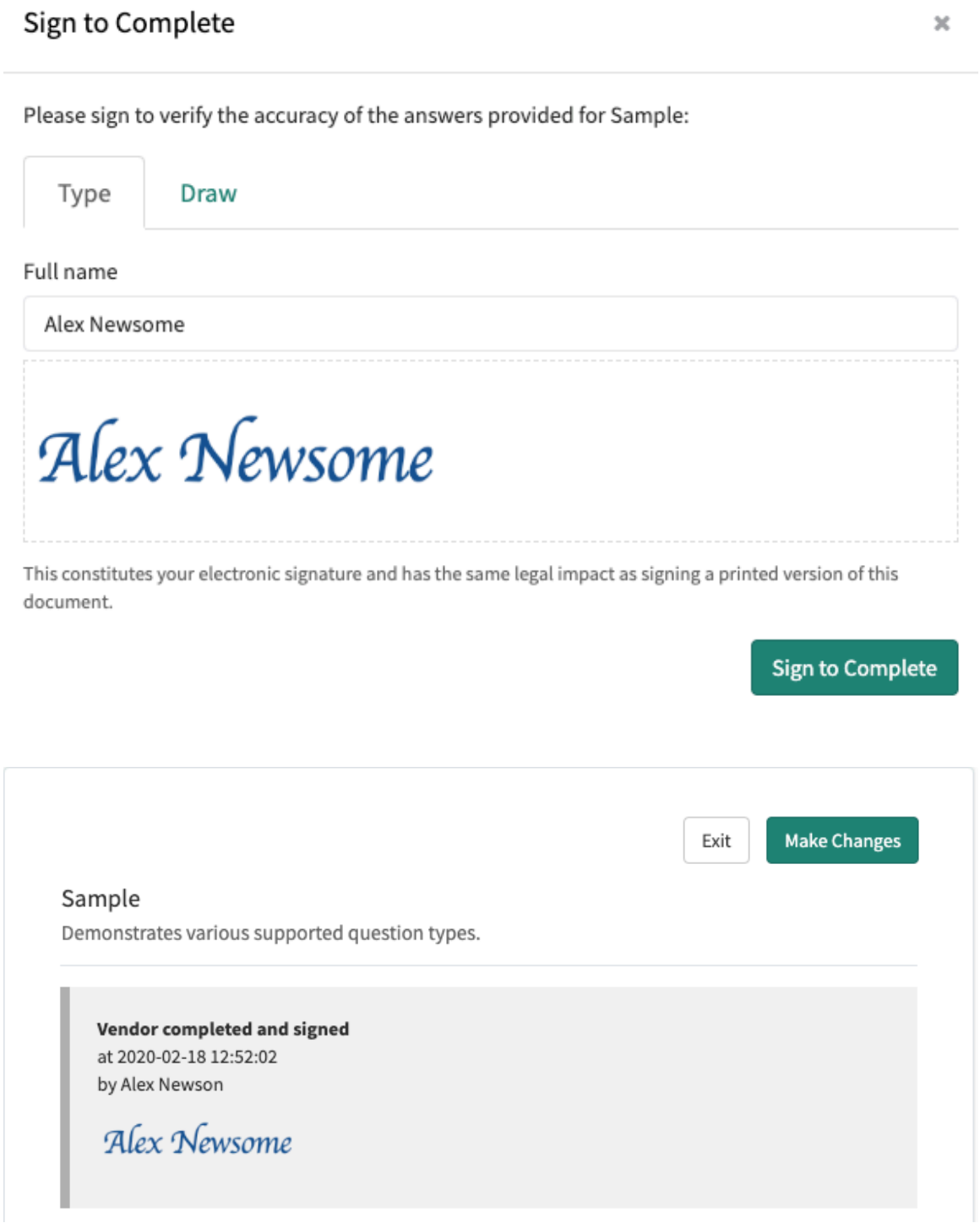


> **注:**
> サンプル のアンケートで署名が必要になっていることに注意してください。署名が必要なアンケートを開きます。

2. アンケートまたは文書の要求を完了し、質問に回答したら、[保存して署名] をクリックします。
3. [タイプ] タブを使用して名前を入力するか、[描画] タブを使用して自由形式の署名を入力して、[署名して完了] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

4. 何らかの方法でアンケートまたは文書要求の回答を更新するには、[変更を加える] をクリックします。
   変更を加えた後は、署名が削除されるため、再度署名する必要があります。
5. アセスメントを完了して署名したら、[終了] をクリックし、アセスメントの追加のアンケートまたは文書の要求に対してこのプロセスを繰り返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. アセスメントのすべてのアンケートと文書要求を完了したら、[アセスメントを送信] をクリックします。

   注:
   電子署名を必要とするすべてのアイテムが署名されるまで、アセスメントを送信することはできません。

タスクの結果
アセスメントのステータスが [応答を受信済み] に変更され、リスクスコアが計算されます。

リスクアセスメントに **SIG Questionnaire** を使用する

サードパーティは、共有アセスメントの Standardized Information Gathering (SIG) アンケートを使用してアセスメントドキュメントを提供できます。サードパーティ連絡先は、事前に入力された SIG スプレッドシートをアップロードするか、インスタンスにインポートされたフォームベースのアンケートに回答できます。

サポートされている **SIG** バージョン

TPRM は、現在の SIG バージョンから 2 つ前のバージョンまでをサポートしています。サポートされている SIG のバージョン：

- SIG Full 2023、2022、2021
- SIG Core 2023、2022、2021
- SIG Lite 2023、2022、2021

重要:

サンプルの ベースシステム SIG アンケートが含まれています。 正解は提供されません。ServiceNow共有アセスメントによって提供されるテンプレートにも、正解は含まれていません。何が正しい答えで、何が間違った答えかは自分で判断します。

サンプル SIG アンケートの「はい/いいえ」の質問に採点ロジックは含まれていません。デフォルトでは、サンプルのすべての「はい」の回答が正しいと評価されます。ニーズに合わせてロジックを構成する必要があります。

サードパーティが **SIG** を使用する方法

- サードパーティがサポートされている最も古い SIG より前のバージョンをアップロードした場合、一致する質問に対するすべての回答がインポートされ、一致しない質問は、サードパーティが後で回答できるように空の回答としてインポートされます。
- サードパーティが現在のバージョンよりも古いバージョンの SIG からデータをロードしようとすると、一部の質問が正しくマッピングまたは解析されない可能性があります (たとえば、SIG 2021 フルで SIG 2020 フルのデータをロードする場合)。
- 2021 より前のバージョンの SIG のロードはサポートされていません。

サードパーティの連絡先に送信する手順については、「」を参照してください サードパーティの連絡先 - SIG を使用した回答。

関連情報

サードパーティの連絡先 - SIG を使用した回答

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティの連絡先 - SIG を使用した回答

リスクアセスメントに応答する連絡先は、共有アセスメントの標準化された情報収集アンケート (SIG) を使用してアセスメントドキュメントを提供できます。事前に入力された SIG スプレッドシートをアップロードするか、フォームベースのアンケートをインポートします。

始める前に
必要なロール：vendor_contact

このタスクについて
TPRM は、現在の SIG バージョンから 2 つ前のバージョンまでをサポートしています。サポートされている SIG のバージョン：

- SIG Full 2023、2022、2021
- SIG Core 2023、2022、2021
- SIG Lite 2023、2022、2021

サポートされている最古の SIG より前のバージョンをアップロードした場合、一致する質問に対するすべての回答がインポートされ、一致しない質問は、後で回答できるように、空白の回答としてインポートされます。

重要:
現在のバージョンよりも古いバージョンの SIG からデータをロード (たとえば、SIG Full 2023 で SIG Full 2022 のデータをロード) しようとすると、一部の質問が正しくマッピングまたは解析されない場合があります。2021 より前のバージョンの SIG をロードすることはできません。

手順

1. サードパーティポータル (https://<myCompany>.service-now.com/ svdp) にログインします。
2. 次のいずれかの操作を実行します。
3. SIG アンケートを完了します。
4. サードパーティポータルで SIG アンケートを送信します。

リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合

リスクインテリジェンスプロバイダーは、さまざまなサードパーティリスクドメインのリスクスコアを生成します。組織は、個人のクレジットスコアに類似したデータを返すプロバイダーからサービスを購入できます。スコアは、特定のサードパーティの信頼性と安全性に関するインサイトを提供します。

リスクインテリジェンスプロバイダーからのデータの操作

注:
サードパーティのリスクデータを要求できますが、エンゲージメントのリスクデータを要求することはできません。

- リスクインテリジェンスプロバイダーを登録した後、使用するプロバイダーのスコアリングまたは評価サービスを指定します。また、スコアまたは評価を自分の評価に TPRM マッピングする方法も指定します。
- プロバイダーからの生のスコアを、サードパーティのプロバイダーサービスレコードに追加します。指定したマッピングを使用して、値が適切な TPRM 評価に正規化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロバイダーベースの送信ルールは、一連の条件とアクションです。ルールでは、リスクインテリジェンスプロバイダーからの評価の更新が、ルールで指定されたアクションをトリガーする条件であることを指定できます。アクションには、サードパーティのリスクアセスメント、問題、タスク、またはメールの作成や送信があります。

ServiceNow によりサポートされる統合

注:
統合アプリは ServiceNow Store にあります。

ServiceNow によりサポートされる統合

プロバイダー	製品名	コンテンツ	提供されるサービス	タイプ
標準アセスメント	標準情報収集 (SIG) アンケート	標準アセスメント	アセスメントで使用する業界標準のアンケート。	コンテンツ
Ecovadis	Ecovadis	持続可能性評価	評価と継続的な監視の裏付けとなる持続可能性スコア。	ISV、データ、ESG

ServiceNow パートナーによりサポートされる統合

注:
統合アプリは ServiceNow Store にあります。

パートナーによりサポートされる統合

プロバイダー	製品名	コンテンツ	ユースケース	タイプ
BitSight	BitSight	サイバーリスク評価	評価と継続的なサードパーティリスク監視の裏付けとなるサイバーリスクスコア。	ISV、データ
Security Scorecard	Security Scorecard	サイバーリスク評価	評価と継続的なサードパーティリスク監視の裏付けとなるサイバーリスクスコア。	ISV、データ
riskrecon	RiskRecon	サイバーリスク評価	評価と継続的なサードパーティリスク監視の裏付けとなるサイバーリスクスコア。	ISV、データ
UpGuard	UpGuard Vendor Risk	サイバーリスク	評価と継続的なサードパーティリスク監視の裏付けとなるサイバーリスクスコア。	ISV、データ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パートナーによりサポートされる統合 (続く)

プロバイダー	製品名	コンテンツ	ユースケース	タイプ
Recorded Future	Recorded Future Intelligence	サイバーリスク評価	評価と継続的なサードパーティリスク監視の裏付けとなるサイバーリスクスコア。	ISV、データ
Black Kite	Black Kite	サードパーティリスク管理	テクニカルセキュリティ、財務リスク、ランサムウェア感受性指数、コンプライアンススコアを加えた全体的なセキュリティ評価。	ISV
Interos	Interos	サプライチェーンと複数のドメインの評価	リスクアセスメントと監視をサポートするための、サイバー、財務、ESG、地政学、運用、制限の各評価。	ISV、コンテンツ
TruSight	TruSight	サードパーティリスクアセスメント	TruSight で検証されたサードパーティリスクアセスメントへのアクセス。	ISV
CyberGRX	CyberGRX	サードパーティリスクアセスメント	アセスメントの自動化を支援する CuberGRX のサードパーティリスク交換へのアクセス。	ISV

関連情報

リスクインテリジェンススコアの表示

リスクインテリジェンスプロバイダーを登録する

リスクインテリジェンスプロバイダーを登録する

レポートを要求するリスクインテリジェンスプロバイダーごとにレコードを作成します。リスクインテリジェンスプロバイダーが生成するリスクスコアと評価は、個人のクレジットスコアに似ています。スコアは、特定のサードパーティの信頼性と安全性に関するインサイトを提供します。

始める前に

必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > リスクインテリジェンスプロバイダーのセットアップ > プロバイダー.
2. [新規] をクリックしてフォームに入力し、[送信] をクリックします。

外部プロバイダー フォーム

フィールド	説明
名前	リスクインテリジェンスプロバイダーの一意の名前
Short description (簡単な説明)	プロバイダーの説明、および場合によっては提供されるサービスの説明。
マルチファクターである	プロバイダーが複数の異なるスコアタイプ (財務リスクやセキュリティリスクなど) を返すことができるように指定するオプション。
URL	プロバイダーの Web サイトの URL。これにより、同僚がプロバイダーにアクセスしてレビューできるようになります。
注意	利用可能な採点サービスの説明や、組織がプロバイダーを使用することを決めた理由など、同僚に追加情報を提供するテキストコメント。
プロバイダーロゴ	プロバイダーのロゴの画像。この画像はプロバイダーのレポートに表示されます TPRM 。

タスクの結果
これで、後でプロバイダーに要求する可能性のあるサービスとサービスのレベルを指定できます。

プロバイダーに関連付けたサービスが、[サードパーティプロバイダーサービス] 関連リストに表示されます。 サービスを追加するには、関連リストで [新規] をクリックし、「」 リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定の指示に従います。

リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定

リスクインテリジェンスプロバイダーを登録した後、使用するプロバイダーのスコアリングまたは評価サービスを指定します。また、スコアまたは評価を自分の評価に TPRM マッピングする方法も指定します。

始める前に
必要なロール:vendor_assessment_reviewer

手順

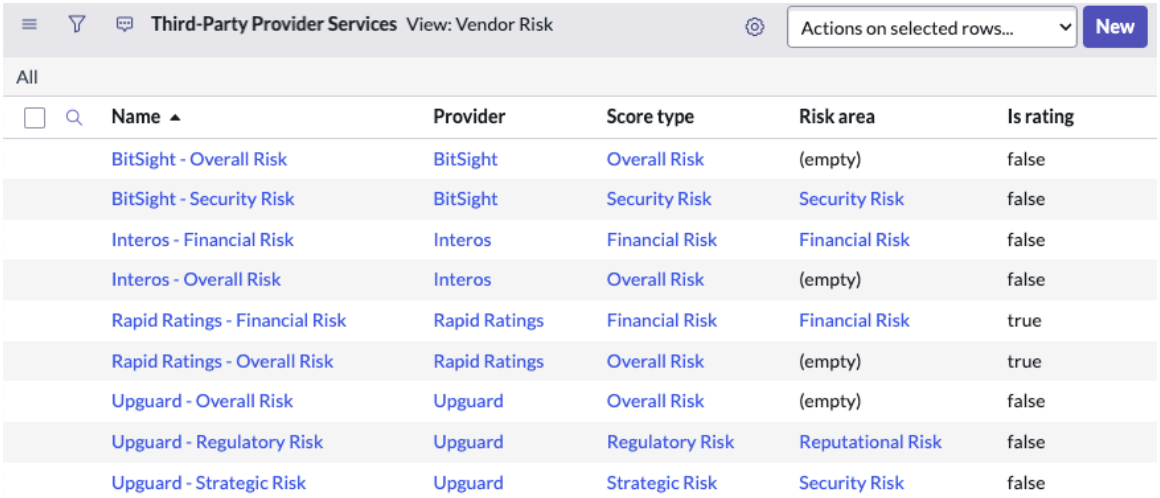
1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > リスクインテリジェンスプロバイダーのセットアップ > プロバイダーサービス.

   現在のリスクインテリジェンスプロバイダーサービスが、[サードパーティプロバイダーサービス] 関連リストに表示されます。

   注:
   プロバイダーサービスのリストは、プロバイダーの登録時にも関連リストとして表示されます。 プロバイダー名とスコアタイプを連結することで、サービスの一意の名前が自動生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Name	Provider	Score type	Risk area	Is rating
BitSight - Overall Risk	BitSight	Overall Risk	(empty)	false
BitSight - Security Risk	BitSight	Security Risk	Security Risk	false
Interos - Financial Risk	Interos	Financial Risk	Financial Risk	false
Interos - Overall Risk	Interos	Overall Risk	(empty)	false
Rapid Ratings - Financial Risk	Rapid Ratings	Financial Risk	Financial Risk	true
Rapid Ratings - Overall Risk	Rapid Ratings	Overall Risk	(empty)	true
Upguard - Overall Risk	Upguard	Overall Risk	(empty)	false
Upguard - Regulatory Risk	Upguard	Regulatory Risk	Reputational Risk	false
Upguard - Strategic Risk	Upguard	Strategic Risk	Security Risk	false

2. [新規] をクリックし、フォームのフィールドに入力します。

リスクインテリジェンスプロバイダーサービスフォーム

フィールド	説明
プロバイダー	この採点サービスのリスクインテリジェンスプロバイダーの名前。
スコアタイプ	プロバイダーが提供する各サービスは、財務リスクやセキュリティリスクなど、特定のタイプのリスク評価またはスコアを返します。 プロバイダーごとに、少なくとも 2 つのサービスを定義します。 ○ サードパーティの全体的なリスクスコアを返すサービスを定義します。 ○ プロバイダーが返すことができるスコアの追加タイプごとにサービスを定義します。 **重要:** ○ プロバイダーの [多要素] 設定は、プロバイダーが複数の異なるスコアタイプを返すことができることを示します。マルチファクターとして構成するプロバイダーの場合、プロバイダーの他のサービスを作成する前に、[スコアタイプ] = [スコア全体スコア] でサービスを定義する必要があります。プロバイダーから総合スコアが返されたら、データを追加します。正規化された値は、[リスクインテリジェンススコア] タブのプロバイダーのカードの「全体」値として表示されます。 ○ マルチファクター以外として設定するプロバイダーの場合は、スコアタイプを 1 つだけ指定します。プロバイダーによって返されるスコアまたは評価は、正規化されたスコアに変換されます TPRM 。正規化値は、[リスクインテリジェンススコア] タブのプロバイダーのカードの「全体」値としても表示されます。
名前	設定するプロバイダーサービスの名前。 プロバイダー名とスコアタイプを連結することで、サービスの一意の名前が自動生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

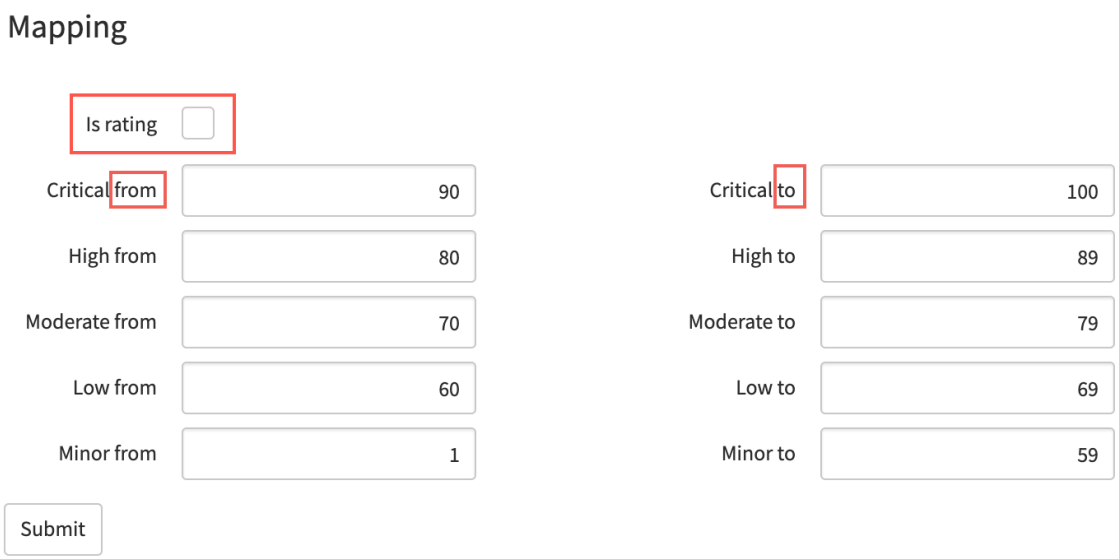
フィールド	説明
リスク領域	スコアタイプに関連付けられたサードパーティリスクドメインを選択します。 詳細については、「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。 **注:** リスクドメインは、一部のプラットフォームアプリケーションでは「リスク領域」と呼ばれます。
マッピングのコピー元：	該当する場合は、構成しているサービスと同じマッピングを使用する既存のサービスをこのプロバイダーで指定します。 ○ マッピングが現在のレコードにコピーされます。 ○ マッピングは読み取り専用になります。

3. [マッピング] エリアまでスクロールし、次のいずれかのアクションを実行します。

- プロバイダーの評価を で使用される評価にマップするには、[TPRM評価] チェック ボックスをオンにし、対応するプラットフォーム評価の横に各プロバイダーの評価を入力します。
- プロバイダースコアの範囲を各 TPRM 評価に関連付けるには、[評価] を選択しないでください。各行は、評価の最小値と最大値を識別します。[開始] 列に最小値を入力し、[終了] 列に最大値を入力します。

少なくとも 3 つの行を入力する必要があります。

- すべての行が評価または範囲である必要があります。2 つのタイプを混在させることはできません。
- 戻り値が行よりも多い場合は、適切な行の値をグループ化し、カンマで区切ります。



4. [送信] をクリックします。
次の手順では、利用可能な要求タイプを指定します。要求タイプは、サービスに対して指定したスコアタイプの 分析レベルです。 たとえば、プロバイダーが 財務リスク スコアタイプに対して、レベル 1、レベル 2、およびレベル 3 の 3 つの要求タイプを提供する場合があります。「レ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベル 3」レポートは、「レベル 1」レポートよりもはるかに詳細な情報を返す場合があり、コストが大幅にかかる可能性があります。

5. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > リスクインテリジェンスプロバイダーのセットアップ > 要求タイプ をクリックし、[新規] をクリックします。
6. プロバイダーを選択し、要求タイプを入力して [送信] をクリックし、要求タイプごとにプロセスを繰り返します。
7. プロセス全体を繰り返し、プロバイダーが返すことができる追加のスコアタイプごとにサービスを定義します。

タスクの結果
リスクインテリジェンスプロバイダーにリスクスコアを要求できるようになりました。

サードパーティのリスクデータにリスクインテリジェンススコアを追加する

プロバイダーからの生のスコアを、サードパーティのプロバイダーサービスレコードに追加します。指定したマッピングを使用して、値が適切な TPRM 評価に正規化されます。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer

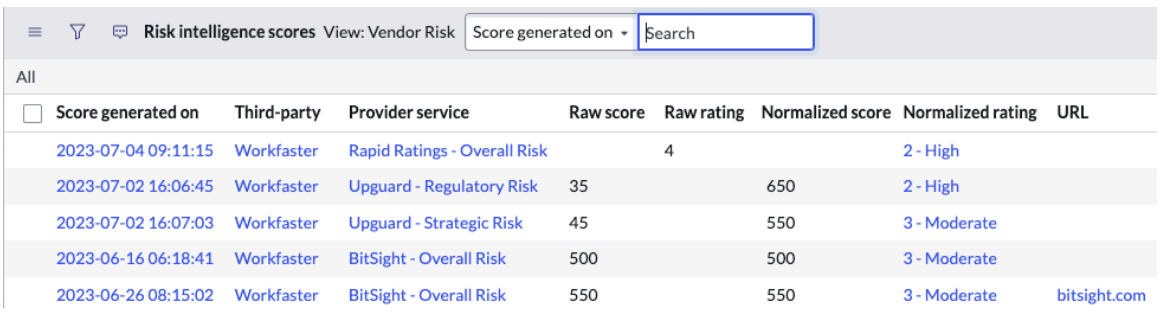
このタスクについて
通常、リスクインテリジェンススコアテーブルに入力するには、から ServiceNow Store作成またはインストールした統合を使用します。この手順では、リスクインテリジェンススコアを手動で更新するプロセスについて説明します。

サードパーティのリスクスコアを要求すると、リスクインテリジェンスプロバイダーは指定された URL でスコアを返します。サードパーティのリスクデータにスコアと URL を手動で追加するには、次の手順に従います。

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > リスクインテリジェンスプロバイダーのセットアップ > スコア.

   リスクインテリジェンススコア関連リストには、現在のプロバイダーサービスと関連するスコアのリストが表示されます。



Score generated on	Third-party	Provider service	Raw score	Raw rating	Normalized score	Normalized rating	URL
2023-07-04 09:11:15	Workfaster	Rapid Ratings - Overall Risk		4		2 - High	
2023-07-02 16:06:45	Workfaster	Upguard - Regulatory Risk	35		650	2 - High	
2023-07-02 16:07:03	Workfaster	Upguard - Strategic Risk	45		550	3 - Moderate	
2023-06-16 06:18:41	Workfaster	BitSight - Overall Risk	500		500	3 - Moderate	
2023-06-26 08:15:02	Workfaster	BitSight - Overall Risk	550		550	3 - Moderate	bitsight.com

2. [新規] をクリックし、リスクインテリジェンススコアフォームに入力して、[送信] をクリックします。

   この手順では、スコアと、プロバイダーがスコアを返した URL をサードパーティまたはエンゲージメントのデータに追加します。

   リスクインテリジェンスプロバイダーからの評価を入力すると、値が正規化されて適切な TPRM 評価に変換されます。リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアを入力すると、 TPRM 正規化された評価と正規化された数値スコアの両方が生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクインテリジェンススコアフォーム

フィールド	説明
プロバイダー	リスクインテリジェンスプロバイダーの一意の名前選択リストに、登録したプロバイダーが入力されます。
プロバイダーサービス	リスクインテリジェンスプロバイダー名とリスクデータを返した特定のサービスを連結した名前。で リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定指定したプロセスを使用してサービスを構成しました。
サードパーティ	プロバイダーによって採点されたサードパーティ。
要求タイプ	サービスに対して定義した スコアタイプの 分析レベル。 たとえば、プロバイダーが 財務リスク スコアタイプに対して、レベル 1、レベル 2、およびレベル 3 の 3 つの要求タイプを提供する場合があります。「レベル 3」レポートは、「レベル 1」レポートよりもはるかに詳細な情報を返す場合があり、コストが大幅にかかる可能性があります。
URL	プロバイダーが要求に対して返したサイトの URL。 このサイトでは、プロバイダーからの評価またはスコアと追加情報が提供されます。
生の評価/生のスコア	指定された URL でプロバイダーによって返された生の値。
正規化されたスコア	プロバイダーからの生のスコアを入力した場合は、計算済みの正規化 TPRM スコアになります。
正規化された評価	プロバイダーからの生のスコアまたは生の評価を数値で入力した場合、これは計算された正規化された TPRM 評価です。
スコア生成日	スコアがこのレコードに追加された日時。 **注:** これは、プロバイダーによってデータが生成された日時ではありません。

3. オプション: サードパーティのリスクデータにサブファクターデータを追加します。
サブファクターデータは検証されず、スコア/評価データに TPRM マッピングされませんが、入力すると直接保存されます。

   a. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > リスクインテリジェンスプロバイダーのセットアップ > サブファクター をクリックし、[新規] をクリックします。

   b. スコア/評価のデータを入力したときと同じ方法でフォームに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクインテリジェンスサブファクターフォーム

フィールド	説明
プロバイダー	リスクインテリジェンスプロバイダーの一意の名前選択リストに、登録したプロバイダーが入力されます。
プロバイダーサービス	リスクインテリジェンスプロバイダー名とリスクデータを返した特定のサービスを連結した名前。で リスクインテリジェンスプロバイダーサービスの設定指定したプロセスを使用してサービスを構成しました。
名前	サブファクターの名前。
サードパーティ	プロバイダーによって採点されたサードパーティ。
スコア	プロバイダーによって返される生の値。 **注:** このフィールドには、数値またはアルファベットのテキストを入力できます。値は検証されません。
作成日時	(Optional) スコアがこのレコードに追加された日時。 **注:** これは、プロバイダーによってデータが生成された日時ではありません。

タスクの結果
サードパーティに関連付けたデータがレポートに表示されます。詳細は、「リスクインテリジェンススコアの表示」を参照してください。データは次の場所に表示されます。

- この手順で説明されているリスクインテリジェンススコア関連リスト。
- ワークスペースの [リスクの概要] タブ。
- ワークスペースの [リスクインテリジェンススコア] タブ。

リスクインテリジェンス更新時のアクションを自動化する

プロバイダーベースの送信ルールは、一連の条件とアクションです。ルールでは、リスクインテリジェンスプロバイダーからの評価の更新が、ルールで指定されたアクションをトリガーする条件であることを指定できます。アクションには、サードパーティのリスクアセスメント、問題、タスク、またはメールの作成や送信があります。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer

このタスクについて
リスクインテリジェンスプロバイダーからの評価を入力すると、値が正規化されて適切な TPRM 評価に変換されます。リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアを入力すると、 TPRM 正規化された評価と正規化された数値スコアの両方が生成されます。

プロバイダーが更新された評価またはスコアを送信したときにアクションを実行するルールを定義するには、次の手順に従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > サードパーティリスク管理 > アセスメント送信ルール > プロバイダーベースの送信.
2. [新規] をクリックし、フォームに入力します。

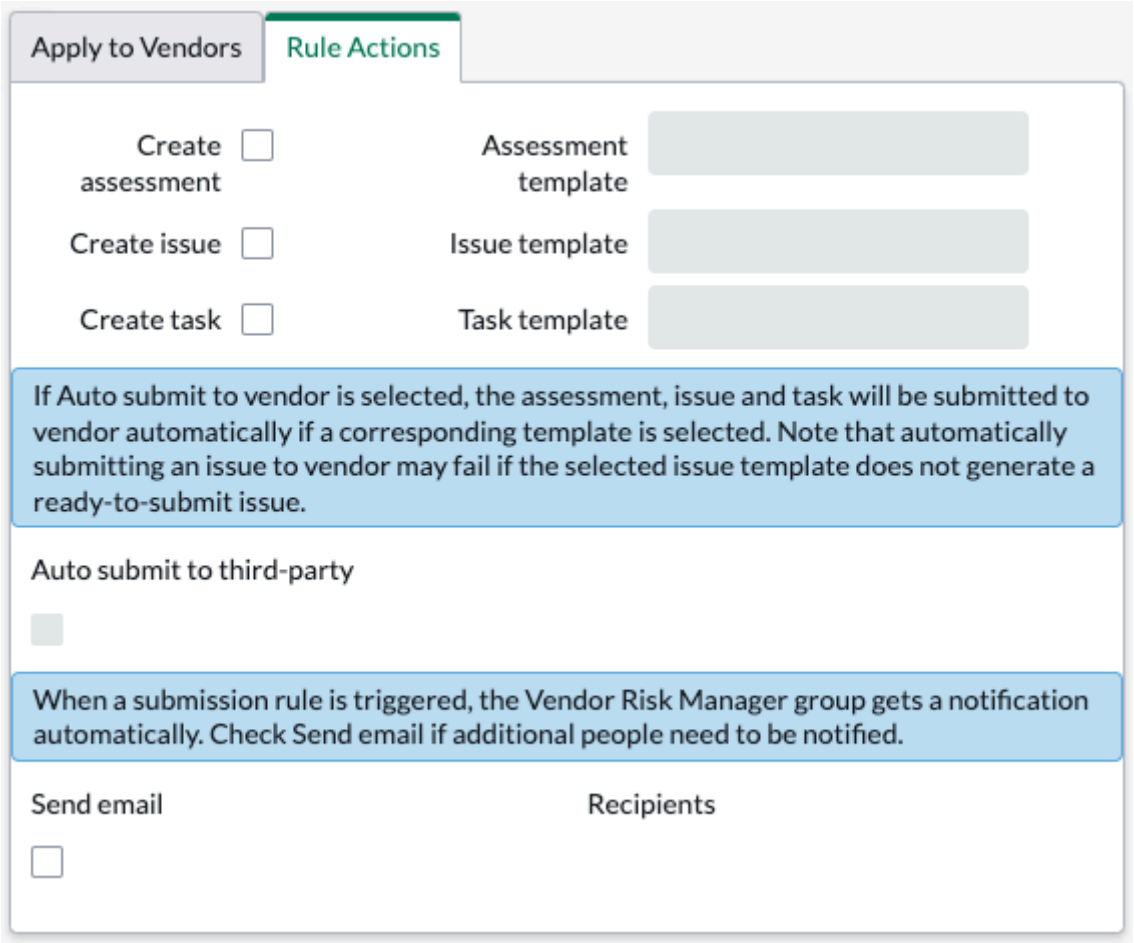
プロバイダーベースの送信ルールフォーム

フィールド	説明
プロバイダーサービス	ルールに関連付けられているリスクインテリジェンスプロバイダーから採点サービスを選択します。
順序	ルールの実行順序を入力します。同じリスクインテリジェンスプロバイダーに対して複数のルールが定義されている場合は、[順番] の値が最も小さいルールのみが実行されます。
名前	ルールの自動生成された名前。
○ 変更タイプ ○ 範囲の変更 ○ 正規化された割合/正規化スコア/正規化されたリスク評価	ルールをトリガーする外部スコア変更の基準と変更の範囲を次のように選択します。 ○ [変更タイプ] が [正規化された割合] の場合は、[リスク増加割合] または [リスク減少割合] を選択し、[正規化割合] フィールドで割合を選択します。 ○ [変更タイプ] が [正規化されたスコア] の場合は、[リスク増加割合]、[リスク減少割合]、または [しきい値] を選択し、[正規化スコア] フィールドでスコアを選択します。 ○ 変更タイプ = 正規化された評価の場合は、ルールをトリガーするリスク評価しきい値を [正規化されたリスク評価] フィールドに入力します。

3. [ベンダーに適用] タブを選択します。
   a. 条件ビルダーを使用して、ルールの影響を受けるサードパーティを識別するための 条件 を定義します。
   b. [送信] をクリックします。
4. [ルールアクション] タブを選択して、フィールドに入力し、[送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロバイダーベースの送信ルールフォーム – [ルールアクション] タブ

フィールド	説明
アセスメントを作成	[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティのアセスメントを作成するには、このチェックボックスをオンにします。[サードパーティに自動送信] チェックボックスもオンにすると、ルールがトリガーされたときにアセスメントが自動的にサードパーティに送信されます。
問題を作成	[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティの問題を作成するには、このチェックボックスをオンにします。[サードパーティに自動送信] チェックボックスもオンにして、[問題テンプレート] フィールドからテンプレートを選択した場合、ルールがトリガーされるとサードパーティに対して問題が自動生成されます。 **注:** 自動生成を有効にするには、問題の作成時に次の 3 つのフィールドが入力されていることを確認する必要があります。 ○ ベンダー ○ 推奨事項 ([推奨事項] タブ上) ○ 説明 ([推奨事項] タブ上)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タスクを作成	[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティのタスクを作成するには、このチェックボックスをオンにします。 [サードパーティに自動送信] チェックボックスもオンにして、[タスクテンプレート] フィールドからテンプレートを選択した場合、ルールがトリガーされるとサードパーティに対してタスクが自動的に作成されます。
アセスメントテンプレート	[アセスメントを作成] チェックボックスを選択した場合は、アセスメントの作成に使用するアセスメントテンプレートを選択します。
問題テンプレート	[問題を作成] チェックボックスをオンにした場合は、必要に応じて、[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティの問題を作成するために使用する問題テンプレートを選択できます。 [サードパーティに自動送信] チェックボックスもオンにした場合、ルールがトリガーされるときに問題が自動的に作成されるようにするには、問題テンプレートも選択する必要があります。
タスクテンプレート	[問題を作成] チェックボックスをオンにした場合は、必要に応じて、[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティのタスクを作成するために使用するタスクテンプレートを選択できます。 [サードパーティに自動送信] チェックボックスもオンにした場合、ルールがトリガーされるときにタスクが自動的に作成されるようにするには、タスクテンプレートも選択する必要があります。
サードパーティに自動送信	前のフィールドの説明に従って、[ベンダーに適用] タブで特定されたサードパーティにアセスメント、問題、またはタスクを自動的に送信します。
メールを送信/受信者	ルールがトリガーされると、TPR マネージャーロールを持つユーザーがメール通知を受信します。他の個人にメール通知を送信するには、[メールを送信] を選択して [受信者] を指定します。

サードパーティリスク管理 参照

参照トピックでは、アプリケーションとともに サードパーティリスク管理 インストールされるテーブル、プロパティ、フォーム、およびロールについて詳しく説明します。

用語

アプリケーションで使用される TPRM 主要な概念と用語の詳細について説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

デューデリジェンス要求プロセス管理

[詳細] タブでは、デューデリジェンス要求情報を表示および調整できます。アクティビティストリームで、外部向けコメントやプライベート作業メモを記録したり、ファイルを添付したり、要求の更新を追跡したりすることもできます。

IRQ プロセス管理

エンゲージメント要求が承認された後の最初の内部ステップでは、IRQ プロセスを開始し、サードパーティのリスクスコアを決定することでリスクの範囲を設定します。

サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理

IRQ プロセスが完了したら、アンケートとドキュメント要求をサードパーティの連絡先に送信します。連絡先と協力して応答が完全かつ正確であることを確認することで、サードパーティのリスクアセスメントを管理します。

ドメイン分離と サードパーティリスク管理

ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス

サードパーティからアセスメントデータを収集するプロセスは、いくつかの ステータス間を移動します。たとえば、「 サードパーティに送信済み 」ステータスでは、サードパーティはタスクや問題に応答し、アンケートの完了作業を行います。

サードパーティリスク評価と採点計算の理解

外部リスクアセスメント中に複数の評価とスコアが計算されます。

スプレッドシートデータをインポートするためのガイドライン

Excel スプレッドシートサードパーティリスク管理からMicrosoftテーブルにアンケート データをインポートする前に、その形式が特定のガイドラインを満たしていることを確認する必要があります。

TPRM レコードの一意の ID 番号

新しいレコード、たとえばデューデリジェンスまたはタスクの要求を作成 (またはシステムが生成) すると、レコード内のデータのタイプを識別するのに役立つ一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。この ID 番号を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。

サードパーティリスク管理 でのロール

ロールは、 の権限とアクセス権 TPRMを決定します。

プラットフォームテーブルを拡張する TPRM テーブル

TPRM は、同じプラットフォームでリスク情報と顧客情報にアクセスできます。

TPRM と Explicit Roles プラグイン

プラグインをアクティブ化すると サードパーティリスク管理 、Explicit Roles プラグインもインストールされます。管理者は、snc_internal ロールおよび snc_external ロールをアサインして、内部および外部のユーザーにインスタンスへのアクセスを提供します。

ベンダーリスクの概要レポート — 従来のビュー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ベンダーリスクの概要] ページは、サードパーティリスクレポートに置き換えられました。 ベンダー管理ワークスペース

用語

アプリケーションで使用される TPRM 主要な概念と用語の詳細について説明します。

サードパーティ、第 **4** の関係者、および **n** 番目の関係者

サードパーティとは、ユーザーがやり取りしたり、ビジネス関係を結んだりした組織または個人のことです。サードパーティは子会社を持つことができ、第 4 の関係者と契約することができます。たとえば、部門は子会社です。第 *4* の関係者は、他の関係者 (第 5、第 6 など) と契約できます。すべてのダウンストリームパーティ(第4からn番目のパーティ)は、サードパーティと同じ方法でリスクを負います。

ベンダーは、自社の商品またはサービスを生産または配送するために使用する商品またはサービスを提供します。すべてのベンダーはサードパーティですが、すべてのサードパーティがベンダーであるとは限りません。他の種類のサードパーティのリストは次のとおりです。

- サプライヤー
- 関連会社
- カウンターパーティ
- コンサルタント
- パートナー
- プロフェッショナルサービス
- アドバイザー
- フランチャイズ
- ディーラー
- リセラー
- ディストリビューター
- 顧客
- クライアント
- アウトソーシングスタッフ

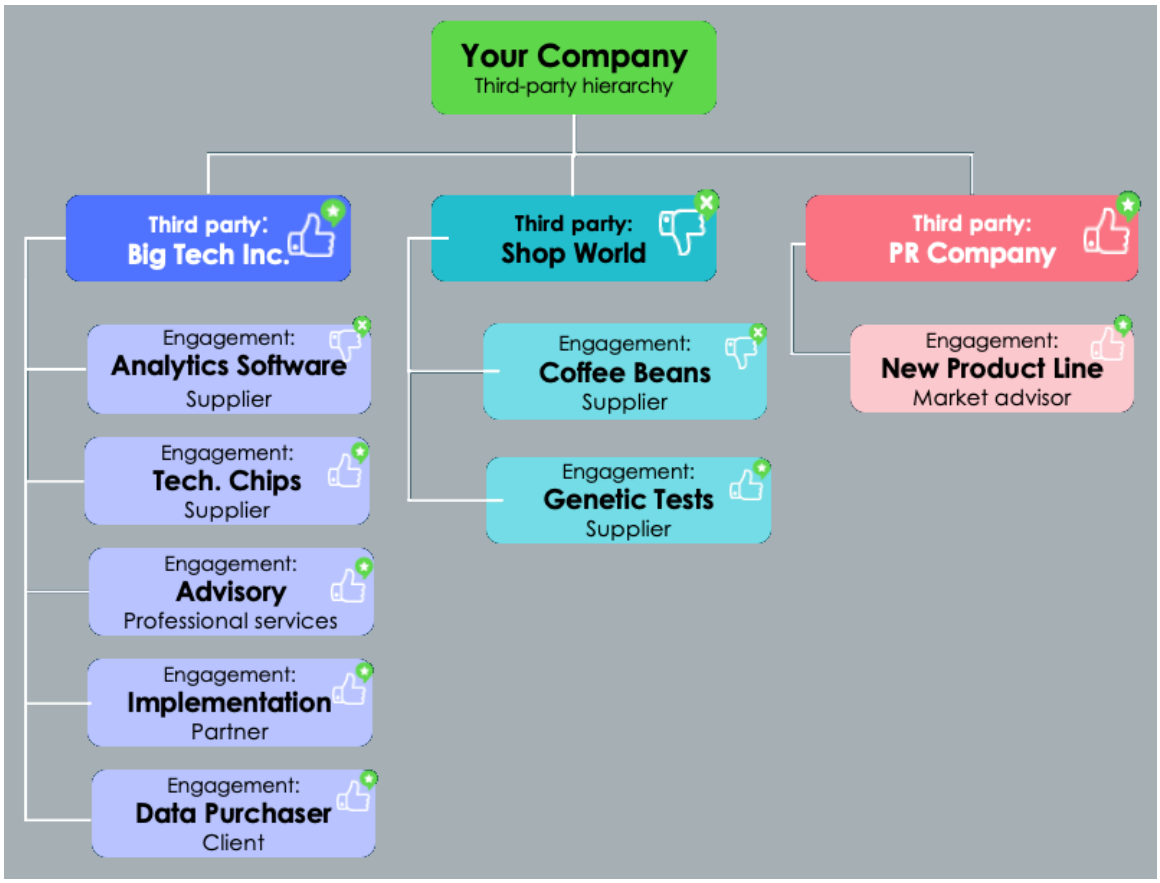
エンゲージメント

サードパーティは、システム、データ、またはプロセスとやり取りする外部エンティティです。エンゲージメントは、組織をリスクにさらす可能性があるサードパーティと形成する予定の非公式または契約上の関係です。エンゲージメントでは、サードパーティによって提供されるサービスまたは製品、および関係のその他の詳細について説明します。これらの詳細には、支払い条件、機密性要件、および関係の期間を含めることができます。

この例では、会社は 3 つのサードパーティとやり取りし、それらの間で複数のエンゲージメントを管理しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エンゲージメントプロセスの概要は次のとおりです。

- エンゲージメントの最初の内部ステップを実行すると、エンゲージメントは [非アクティブ] ステータスになります。1. 従業員が、サードパーティと関与するリスクを評価するプロセスを開始するビジネスケースを作成します (要求はサードパーティリスクデューデリジェンス要求と呼ばれます)。2. 内部リスク査定人がサードパーティの内部リスクスコアを決定します。3. サードパーティのリスクマネージャーが要求を承認します。承認により、デューデリジェンスプロセスが開始されます。
- プロセスの 2 番目のフェーズでは、組織がサードパーティに情報を要求します。つまり、デューデリジェンスを実施して、サードパーティの適合性、信頼性、およびサードパーティがビジネスにもたらす可能性のあるリスクを評価します。
- 契約が締結されている場合、またはサードパーティとのアクティブな関係に参加している場合、エンゲージメントは アクティブ ステータスに移行します。

特定のサードパーティエンゲージメントは、業界、規模、および運用要件によって異なります。各エンゲージメントには独自のリスクセットがあり、利益を守るために適切なリスク管理手段 (デューデリジェンス) が必要です。

- 詳細な説明と例については、を参照してください 単一のサードパーティと複数のエンゲージメントを行う可能性がある理由。
- 実行できるエンゲージメントの種類のリストについては、「サードパーティとのエンゲージメントのタイプ」を参照してください。

IRQ - 固有リスクアンケート

内部リスクアセスメントプロセスでは、組織内のユーザーが IRQ の質問に回答して、サードパーティとの関わりに関連する固有リスクを評価できるようにします。固有リスクとは、リスク軽減策を実装する前のリスクのレベルを指します。IRQ は、次のアクティビティをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

危険因子の決定

- 第三者が提供するサービスの性質。
- 関連するデータの機密性。
- サードパーティの地理的な場所。
- サードパーティの全体的なセキュリティ体制。

採点または評価の決定

アンケートへの回答は、サードパーティに関連する固有リスクを定量化するために、多くの場合スコア付けまたは評価されます。このスコアリングシステムは、リスク管理の取り組みの優先順位付けに役立ちます。

意思 決定

IRQ の結果は、意思決定プロセスで使用されます。TPR 管理者とマネージャーは、質問に対する特定の回答に基づいて、特定の外部アセスメント (デューデリジェンス) アンケートをサードパーティに送信するように IRQ を構成できます。

- サードパーティとやり取りする必要がありますか?
- どのレベルのデューデリジェンスが必要ですか?
- 具体的にどのようなリスク軽減策を実施すべきか?

継続的なデューデリジェンス

IRQ は、サードパーティの運用、セキュリティ慣行、またはその他の関連要因の変更を説明するために定期的に再評価される、継続的な管理の一部である場合もあります。

デューデリジェンス (DD)

デューデリジェンスは 、潜在的なビジネスパートナー、サプライヤー、またはベンダーの完全性、評判、財務の安定性、法令遵守、運用能力、サプライチェーン、およびその他の関連要因の徹底的な調査または調査を実施するプロセスです。 サードパーティに対してデューデリジェンスを実施することは、包括的なサードパーティリスクプログラムの重要なコンポーネントです。デューデリジェンスを実施してサードパーティに関連するリスクを認識し、関係を形成する方法を安心して決定できるようにします。

「デューデリジェンスを実施する理由」および「デューデリジェンスのタイプ」を参照してください。

リスクインテリジェンスプロバイダー

リスクインテリジェンスプロバイダーは、さまざまなサードパーティリスクドメインのリスクスコアを生成します。組織は、個人のクレジットスコアに類似したデータを返すプロバイダーからサービスを購入できます。スコアは、特定のサードパーティの信頼性と安全性に関するインサイトを提供します。

「リスクインテリジェンスプロバイダーからのスコアの統合」を参照してください。

デューデリジェンス要求プロセス管理

[詳細] タブでは、デューデリジェンス要求情報を表示および調整できます。アクティビティストリームで、外部向けコメントやプライベート作業メモを記録したり、ファイルを添付したり、要求の更新を追跡したりすることもできます。

デューデリジェンス要求の [詳細] タブには、次のセクションに情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのデューデリジェンス要求

サードパーティのデューデリジェンス要求

フィールド	説明
番号	デューデリジェンス要求ごとに、テキスト **DDR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
ステータス	デューデリジェンスプロセスの現在のステータス:IRQ、外部デューデリジェンス、承認、契約リスク、またはクローズ済み。
要求タイプ	• 新しいエンゲージメントのオンボーディング。 既存のサードパーティとの新しいエンゲージメントのオンボーディングプロセスを開始します。 • 既存エンゲージメントの再評価。 条件が変化したときに既存のエンゲージメントを再評価します。たとえば、不利なニュースを聞いたり、サードパーティの供給ラインに変更があった場合は、追加のデューデリジェンスを実施してリスクを再評価することができます。 • 契約更新の既存のエンゲージメントの再評価。 組織がデューデリジェンスを実施して、現在のサードパーティとの契約またはエンゲージメントを更新する前にリスクを再評価します。 • エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスあり)。 デューデリジェンスを実施して、エンゲージメントを伴う退職 (関係の終了) が最適なアクションであるかどうかを判断します。たとえば、現在のパフォーマンスが期待を満たしていない場合でも、サードパーティやエンゲージメントを切り替えるのはリスクが高すぎる可能性があります。 • エンゲージメントのオフボーディング (デューデリジェンスなし)。エンゲージメントが終了した場合、または他の理由で別のサードパーティに切り替える場合は、エンゲージメントを完全に終了するように要求します。この場合、通常、追加のデューデリジェンスを実施する必要はありません。ただし、このプロセスには、エンゲージメントによって提供されるサービスが継続しなくなることを確認するための通常の固有リスクアンケート (IRQ) プロセスが含まれています。
優先度	要求の優先度。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのデューデリジェンス要求 (続く)

フィールド	説明
	• **1** - 重大 • **2** - 高 • **3** - 中 • **4** - 低 • **5** - 計画中
サードパーティ	要求が関連付けられているサードパーティ。
年間消費量	サードパーティ組織で 1 年間に費やされた金額。
エンゲージメント	要求が関連付けられているエンゲージメント。
契約リスクプロセスをスキップ	契約リスクプロセスをスキップするオプション。 チェックボックスをオンにすると、 契約交渉 状態がバイパスされます。[契約開始日] フィールドと [契約有効期限] フィールドは、[エンゲージメント開始日] と [エンゲージメントの有効期限] に置き換えられます。「契約リスクプロセス」を参照してください。 **注:** サードパーティリスク (TPR) マネージャーが要求を承認すると、要求は契約交渉担当者に送信されず、要求はクローズされます。
開始者	要求の作成者。
オープン	要求がオープンされた日付。
契約開始日、有効期限	エンゲージメントとのインタラクションの開始と終了の希望日。
エンゲージメント開始日、エンゲージメント有効期限	エンゲージメントとのインタラクションの開始と終了の希望日。
IRQ 査定人	IRQ に応答する組織のユーザー。「IRQ プロセス管理」を参照してください。
契約交渉者	契約の準備、交渉、承認を行う組織のユーザー。
アサイン先グループ	要求の作業が可能な、適格な個人のグループ。 新しい要求の場合、ア サイン先グループは[デューデリジェンス要求アサイナー] に設定されます。 アサイン先グループで指定された グループ内のすべてのユーザーにメール通知が送信されます。このメッセージは、要求が受信され、[新規] ステータスであることを示していま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティのデューデリジェンス要求 (続く)

フィールド	説明
	す。このメッセージには、要求の詳細ページへのリンクも含まれています。 デューデリジェンス要求フォームで、次の操作を行います。 • グループのすべてのメンバーは、[自分に割り当て] を選択するか、[所有者] フィールドをグループの他のメンバーに設定できます。 • TPR マネージャーまたは TPR 査定人は、[アサイン先グループ] フィールドをクリアするか、[所有者] 選択リストで別の TPR 査定人から選択する値を変更できます。
所有者	所有者は、サードパーティによってアセスメントが適時に完了していることを確認し、回答をレビューし、問題を作成して解決する責任があります。アセスメントを完了するために、アセスメントが特定のマイルストーンに達すると所有者に通知されます。オーナーには、TPR マネージャーまたは TPR 査定人ロールが必要です。
簡単な説明、説明	他のユーザーが作成者の意図と要件を理解するのに役立つ要求の説明。

サードパーティ基本情報

サードパーティ基本情報

フィールド	説明
サードパーティ名	要求が関連付けられているサードパーティの名前。
DUNS 番号	単一のビジネスエンティティの一意の数値識別子。DUNS番号は、ビジネスには法的に義務付けられていません。
番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国、電話番号、ファックス	サードパーティ組織の標準的な連絡先情報。
Web サイト	サードパーティの URL。
タイプ	サードパーティのタイプ。
業界	サードパーティが関与する業界。
名、姓、役職、メール、電話番号	サードパーティ連絡先の標準連絡先情報。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンゲージメント基本情報

エンゲージメント基本情報

フィールド	説明
エンゲージメント名	要求が関連付けられているエンゲージメントの名前。
タイプ	このエンゲージメントの製品またはサービスのタイプ。
法人住所を使用	サードパーティと同じ法人住所を使用するオプション。 チェックボックスをオンにすると、関連フィールドにサードパーティ組織の連絡先情報が自動的に入力されます。
番地、市区町村、都道府県、郵便番号、国、電話番号、ファックス	エンゲージメント組織の標準的な連絡先情報。
同じ連絡先を使用	サードパーティと同じ連絡先情報を使用するオプション。 チェックボックスをオンにすると、関連するフィールドにサードパーティの連絡先情報が自動的に入力されます。
名、姓、役職、メール、電話番号	アンケートに回答するエンゲージメント連絡先の標準連絡先情報。

リスク評価

フィールドは、要求の IRQ プロセスの現在のステージによって自動入力されます。

フィールド	説明
固有のアセスメント評価	IRQ プロセスによって決定される評価。
リスクインテリジェンス評価	リスクインテリジェンスサービスプロバイダーからのデータによって決定される評価。
サードパーティアセスメント評価	外部アセスメントプロセス中の応答によって決定される評価。
エンゲージメント評価	エンゲージメントに対して決定された評価。

進行状況のサマリー

デューデリジェンスプロセスのステータス。フィールドは、要求の IRQ プロセスの現在のステージによって自動入力されます。

- 固有リスクアセスメント
- サードパーティのリスクアセスメント
- エンゲージメントリスクアセスメント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作成、アクティビティ、添付ファイル

[詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。

- [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。
- コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。

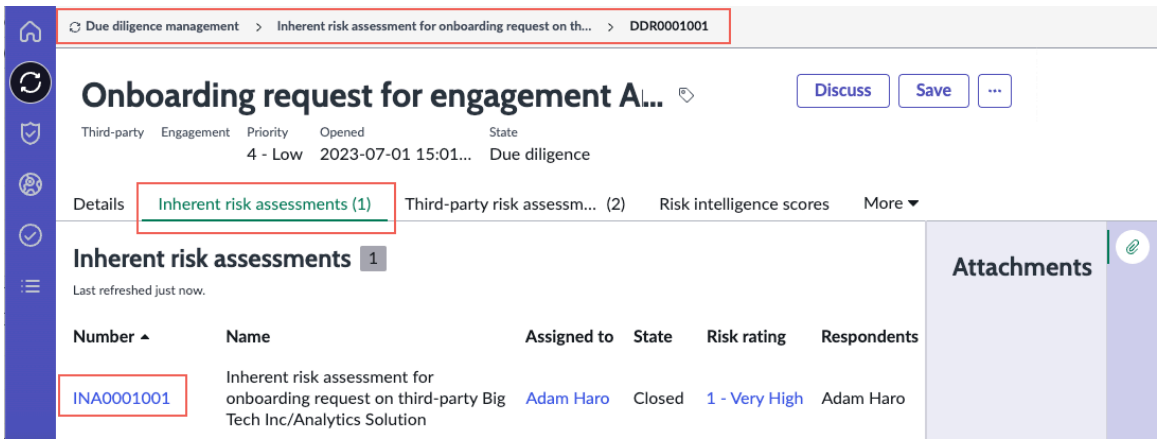
IRQ プロセス管理

エンゲージメント要求が承認された後の最初の内部ステップでは、IRQ プロセスを開始し、サードパーティのリスクスコアを決定することでリスクの範囲を設定します。

IRQ プロセスへのアクセス

[デューデリジェンス管理] ページで、デューデリジェンス要求の **DDR** 番号を選択し、[固有のリスクアセスメント] タブを選択します。

このタブには、エンゲージメント要求のすべての IRQ プロセスのリストが表示されます。 IRQ プロセスごとに、テキスト **INA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。



内部リスクアセスメントのリストの表示

[固有リスクアセスメント] タブ

[固有リスクアセスメント] タブ

列	説明
番号	IRQ プロセスごとに、テキスト **INA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 [リスク の概要] タブの [サードパーティのリスクアセスメント] ページで、作業する INA 番号を選択します。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

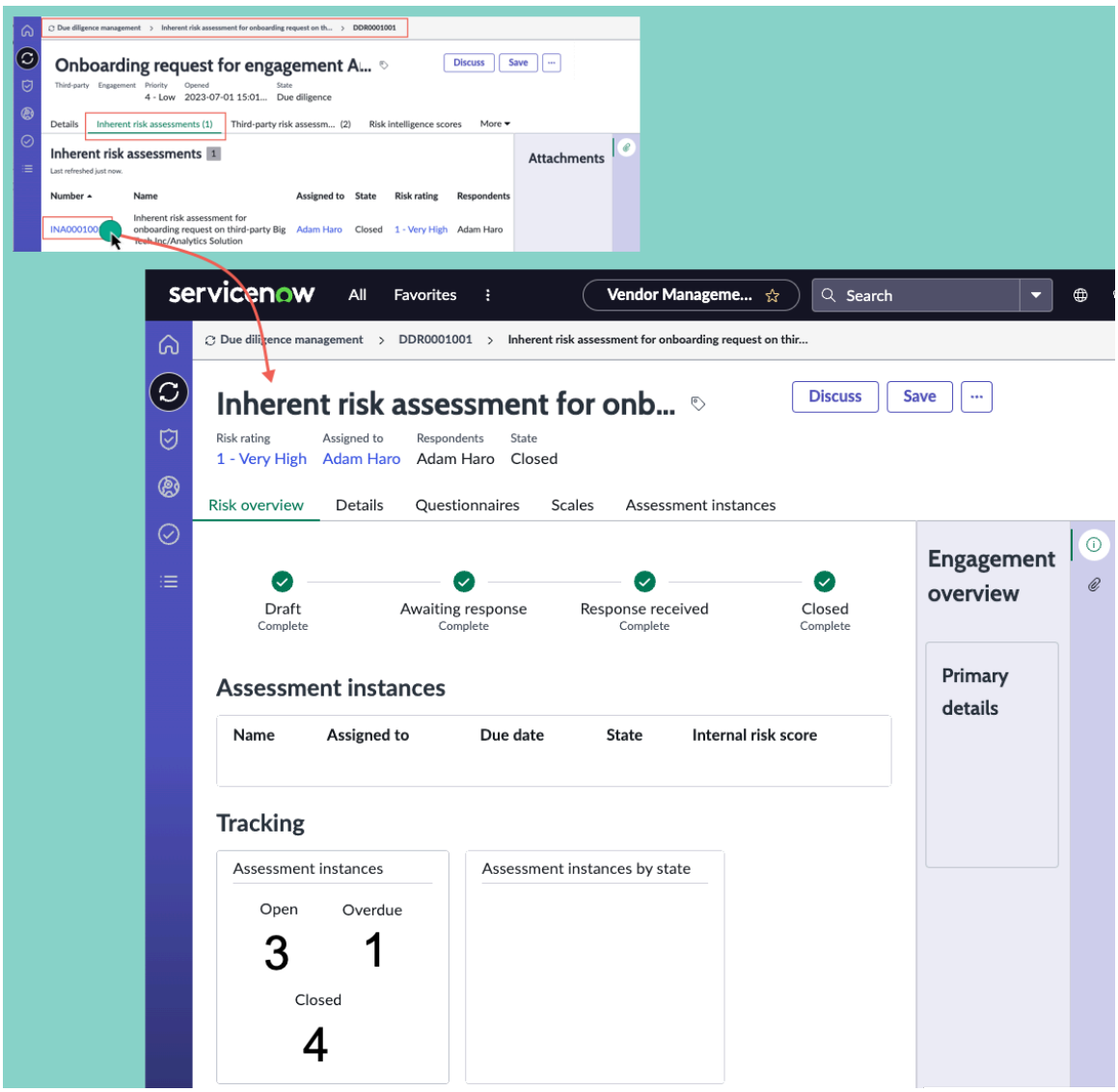
自動翻訳

[固有リスクアセスメント] タブ (続く)

列	説明
	業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
名前、アサイン先、リスク評価	エンゲージメント要求からのデータ。
ステータス	デューデリジェンスワークフローの現在のプロセス：IRQ、外部デューデリジェンス、承認、契約リスク、またはクローズ済み。
回答者	要求に応答したユーザー。

[固有リスクアセスメント] ページの [リスクの概要] タブ

IRQ プロセスごとに、テキスト **INA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 [固有リスクアセスメント] ページで、IRQ プロセスで作業する INA 番号を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 記号は、要求の IRQ プロセスの各ステージの状態を示します。



- [アセスメントインスタンス] セクション：サードパーティに関連付けられているアセスメントのリスト。
- [追跡] セクション：[オープン]、[期限切れ]、および [クローズ済み] ステータスにあるサードパーティに関連付けられたアセスメントの数。

[固有リスクアセスメント] ページの [詳細] タブ

- [内部アセスメント] セクション：サードパーティに関する一般情報と、エンゲージメントデューデリジェンス要求からの全体的なアセスメントのスケジュールとアンケートの期日。

- [詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。
  - [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。
  - コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。
- [サードパーティの概要] セクションには、エンゲージメント要求に関連付けられているサードパーティに関する重要な情報が表示されます。

[固有リスクアセスメント] ページの [アンケート] タブ

このタブには、開いているすべての IRQ が一覧表示されます。名前を選択すると詳細が表示されます。

[固有リスクアセスメント] ページの [スケール] タブ

このタブには、計算された評価と階層の値の定義が一覧表示されます。設定を定義する手順については、「リスク評価スケールとスコアリングを設定する」および「サードパーティのリスク階層アセスメント - 従来のプロセス」を参照してください。

[固有リスクアセスメント] ページの [アセスメントのインスタンス] タブ

タブのすべての値は、エンゲージメントの 3 番目のパートで実施された内部アセスメントから取得されます。

[アセスメントのインスタンス] タブ

列	説明
番号	IRQ プロセスごとに、テキスト **INA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 一意の ID は、アイテムへのすべての参照で使用されます。この ID を使用して、作

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アセスメントのインスタンス] タブ (続く)

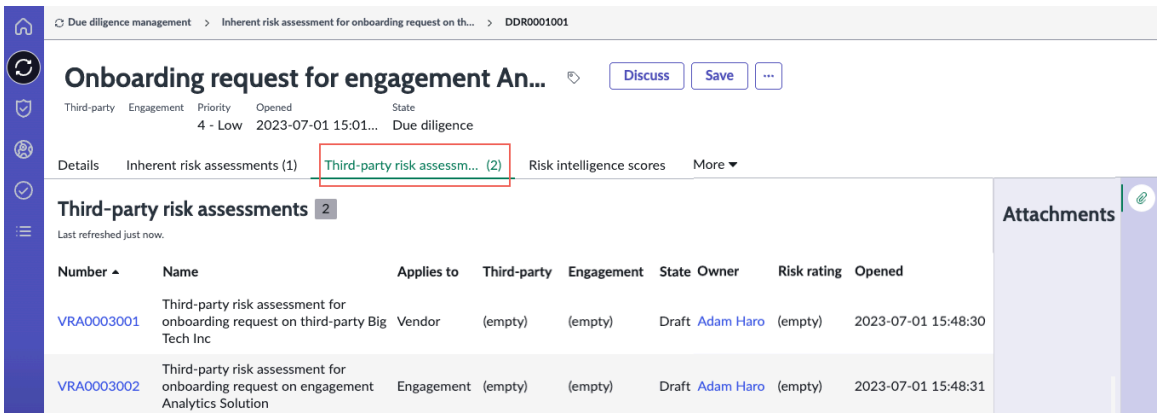
列	説明
	業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。
評価指標タイプ	アセスメントで使用されるアンケートを決定したアンケート。
アサイン先	IRQ の管理と応答を担当するユーザー。
期日	サードパーティがすべてのアンケートに回答して返却する期限。
ステータス	エンゲージメント要求の IRQ プロセスの現在のステージ。
内部リスクスコア	エンゲージメントリスク採点ルールは、アセスメントのために選択されるエンゲージメントを決定するコンポーネント基準を指定します。たとえば、ルールにより、年間 40,000 ドルを超えるビジネスに関連するエンゲージメントのアセスメントを有効にすることができます。エンゲージメント採点ルールはエンゲージメントにのみ適用されます。 「エンゲージメントリスク採点ルールを定義する」を参照してください。

サードパーティ (外部) リスクアセスメント管理

IRQ プロセスが完了したら、アンケートとドキュメント要求をサードパーティの連絡先に送信します。連絡先と協力して応答が完全かつ正確であることを確認することで、サードパーティのリスクアセスメントを管理します。

外部リスクアセスメントへのアクセス

[デューデリジェンス管理] ページで、エンゲージメントデューデリジェンス要求の **DDR** 番号を選択し、[サードパーティリスクアセスメント] タブを選択します。このタブには、選択したエンゲージメント要求のすべてのサードパーティリスクアセスメント (外部デューデリジェンスプロセス) のリストが表示されます。

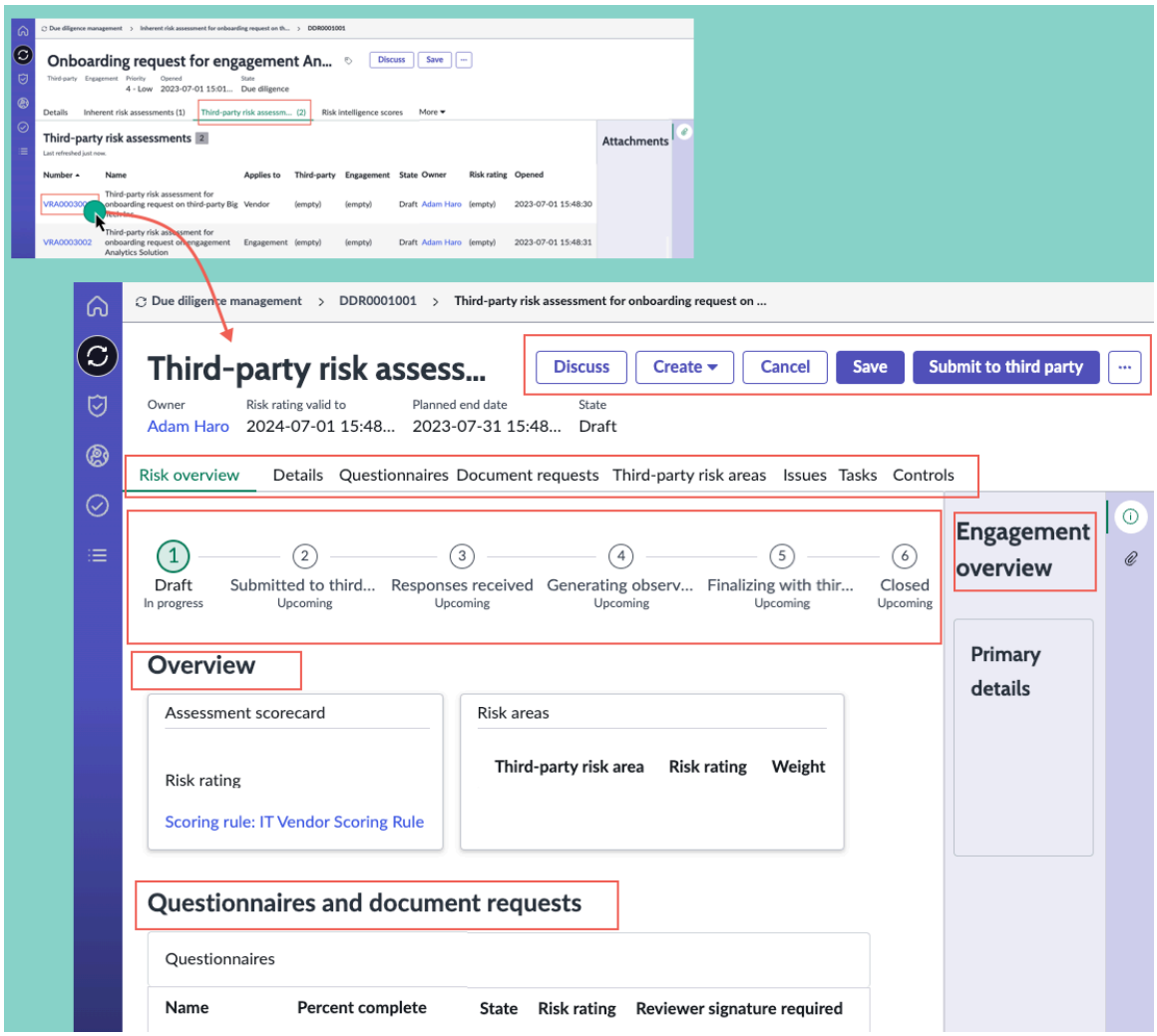


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サードパーティのリスクアセスメントでの作業

外部リスクアセスメントごとに、テキスト **VRA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。 リスクアセスメントは、サードパーティ組織のエンゲージメント要求または親組織内のグループのエンゲージメント要求の作業を表すことができます。[サードパーティのリスクアセスメント] タブで、リスクアセスメントで作業する VRA 番号を選択します。



任意のタブでのアクション

アクション

アクション	説明
ディスカッション	[ディスカッション] を選択して、他のユーザーにメッセージを送信します。メッセージは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。
作成	次のセクションの説明に従って、問題またはタスクを作成します。
保存	[保存] を選択して、任意のタブの値に加えた変更を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

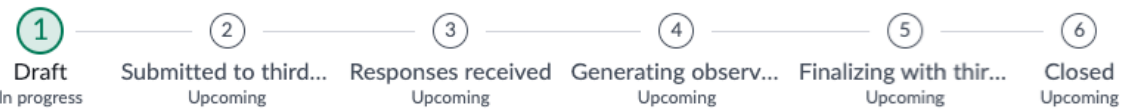
アクション (続く)

アクション	説明
サードパーティに送信	すべてのアンケートと文書要求を TP 連絡先に送信します。アクションは、[詳細] タブの [アクティビティ] セクションに記録されます。
… 削除	[削除] を選択して、エンゲージメント要求のレコードを削除します。
添付ファイルの追加	[添付ファイル] セクションで [参照] を選択するか、添付ファイルアイコンを選択して添付ファイルを選択します。

サードパーティのリスクアセスメントでの作業

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [リスクの概要] タブ

- 記号は、エンゲージメント要求に対する外部リスクアセスメントプロセスの現在のステータスを示します。ステータスの説明については、「サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス」を参照してください。



- [概要] セクション：エンゲージメントに関連付けられているアセスメントのリスト。
- [アンケートと文書要求] セクション：エンゲージメントのアンケートと文書要求のリスト。
- [第 **4** の関係者のアンケート] セクション:エンゲージメントに関連付けられている第 4 の関係者とそのサブ関係者向けのアンケートと文書要求のリスト。
- [追跡] セクション：[オープン]、[期限切れ]、および [クローズ済み] ステータスにあるサードパーティに関連付けられたアセスメントの数。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [詳細] タブ

- [サードパーティリスクアセスメント] セクション：サードパーティに関する一般情報と、エンゲージメントデューデリジェンス要求からの全体的なアセスメントのスケジュールとアンケートの期日。

- [詳細] タブの [作成] セクションでは、レコードに永続的にテキストを追加できます。[アクティビティ] セクションは、問題とタスクに対するアクション、TP 連絡先への送信、およびユーザーがレコードに追加する作業メモとコメントで更新されます。必要に応じて、次のフィールドにテキストを追加します。
  - [作業メモ (プライベート)]：サードパーティリスクアセスメントに関する情報。作業メモは、プロセスにアサインされている内部ユーザーにのみ表示されます。
  - コメント:サードパーティリスクアセスメントに関するコメントは、内部ユーザーとサードパーティの連絡先の両方に表示されます。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [アンケート] タブ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタブは、サードパーティの連絡先が応答するアンケートをリストします。名前を選択すると詳細が表示されます。「外部アンケートの作成と構成」を参照してください。

TPR 査定人が回答を変更できるようにするには、[**TPR** 査定人がサードパーティアンケートの回答を変更することを許可] [sn_svdp.allow_assessor_edit] システムプロパティを設定します。次のオプションを設定できます。

- TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできるようにする (デフォルト)
- TPR 査定人が応答を変更できるようにする
- TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできないようにする

TPRM のプロパティの構成 を参照してください。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [文書の要求] タブ

このタブには、サードパーティ連絡先が返す必要があるドキュメントの要求が一覧表示されます。列の情報は、サードパーティの連絡先をフォローアップする際に作業に優先順位を付けるのに役立ちます。特に、ステータスと完了率の値は重要なインジケーターです。名前を選択すると詳細が表示されます。「文書要求テンプレートの作成」を参照してください。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [サードパーティリスク領域] タブ

リスクドメインは、サードパーティのために評価するリスクのタイプを定義します。たとえば、セキュリティリスクの観点からデータ管理サードパーティを評価し、財務リスクの観点から銀行を評価することができます。セキュリティリスクと財務リスクはリスクドメインです。一部のプラットフォームアプリケーションでは、リスクドメインを「リスク領域」と呼びます。「サードパーティリスクドメインを定義する」を参照してください。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [問題] タブ

反復プロセスでは、TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、TPR マネージャーが非準拠の問題とタスクを (通常は、TPR マネージャーが所見を生成するときに) 生成できます。TPR マネージャーは、コメントを使用して TP 連絡先とやり取りし、問題とタスクをクローズします。TPR マネージャーは、必要に応じてさまざまな TP 連絡先をアサインすることもできます。「サードパーティまたはエンゲージメントに問題を作成」および「問題を管理する」を参照してください。

[サードパーティリスクアセスメント] ページの [タスク] タブ

反復プロセスでは、TPR マネージャーがアセスメントをクローズする前に、TPR マネージャーが非準拠の問題とタスクを (通常は、TPR マネージャーが所見を生成するときに) 生成できます。TPR マネージャーは、コメントを使用して TP 連絡先とやり取りし、問題とタスクをクローズします。TPR マネージャーは、必要に応じてさまざまな TP 連絡先をアサインすることもできます。「サードパーティまたはエンゲージメントにタスクを作成」および「サードパーティまたはエンゲージメントのタスク管理」を参照してください。

関連情報

サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス

サードパーティリスクドメインを定義する

問題を管理する

サードパーティまたはエンゲージメントのタスク管理

ドメイン分離と サードパーティリスク管理

TPRM ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

ServiceNow® GRC: サードパーティリスク管理 (TPRM) アプリケーションを使用すると、サードパーティ関係に関連するリスクを積極的に特定、評価、および軽減できます。 は、サードパーティのポートフォリオを管理し、リスクを評価して採点し、修復を実行するための一元化されたプロセスを提供します。 TPRM TPRMは、基本レベル (レベル 0 またはデータレベル) でのドメイン分離をサポートしています。マネージドサービスプロバイダーは、ドメイン分離のプロセスレベルで構成TPRMできます。

TPRMにおけるドメイン分離の仕組み

- すべての TPRM テーブルは、ドメイン分離のデータレベルをサポートしています。フォームビューまたはリストビューにドメイン関連の列を追加する以外に、特別なセットアップは必要ありません。
- がドメイン分離が有効になっているインスタンスに をインストールすると TPRM 、すべてのデータ TPRM が自動的にドメイン分離されます。詳細については、プラットフォームのドメイン分離に関するドキュメントを参照してください。

ユースケース

テナントドメインは、インスタンスでデータを管理するのと同じ方法で、独自のアプリケーションデータを管理します。

ドメイン分離テーブル

アプリケーションテーブルに ドメイン 列 TPRM がありません。

すべての TPRM テーブルは、sys_domain 列と sys_domain_path 列を使用したデータレベルのドメイン分離をサポートしています。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

自動翻訳

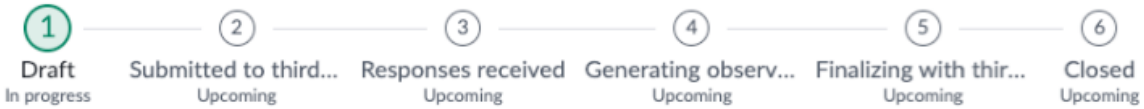
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サードパーティ (外部) リスクアセスメントのライフサイクルステータス

サードパーティからアセスメントデータを収集するプロセスは、いくつかの ステータス間を移動します。たとえば、「 サードパーティに送信済み 」ステータスでは、サードパーティはタスクや問題に応答し、アンケートの完了作業を行います。

サードパーティアセスメントのステータス

サードパーティアセスメントのステータス



ドラフト

外部アセスメントレコードが [ドラフト] ステータスで開かれます。

- アセスメントテンプレート：IRQ 応答に基づいて自動生成される一連の外部アンケートと文書要求。または、管理者がアンケートと文書要求を手動で指定することもできます。
- リスク評価：IRQ 応答に基づいて自動生成される全体的なリスク評価。
- 所有者： 所有者は、監査目的でアセスメントを所有し、アセスメント プロセス全体を監視および管理するユーザーです。所有者は、サードパーティによってアセスメントが適時に完了していることを確認し、回答をレビューし、問題を作成して解決する責任があります。アセスメントを完了するために、アセスメントが特定のマイルストーンに達すると所有者に通知されます。オーナーには、TPR マネージャーまたは TPR 査定人ロールが必要です。

サードパーティに送信済み

アセスメントのアンケートと文書要求がサードパーティの連絡先に送信されました。内部ステークホルダーが回答を待っています。

応答を受信済み

サードパーティの連絡先がすべてのアンケートと文書要求を完了すると、社内のサードパーティリスクチームが回答をレビューおよび分析します。チームは、フォローアップ、説明、または不足している回答を求めて特定の質問を返す場合があります。

所見を生成中

すべての回答が完了すると、誤った回答の問題を自動生成できます。

サードパーティの連絡先が問題に対応します。社内のサードパーティリスクチームが、回答を受け入れるか問題を修正するかを最終決定します。

サードパーティで確定

サードパーティリスクチームがすべてのアセスメントデータをレビューします。場合によっては、チームはアセスメントを [ドラフト] ステータスにリセットして、アセスメントのライフサイクルを再開します。

クローズ

すべてのデータが受け入れ可能である場合、アセスメントは完了し、チームのメンバーがアセスメントをクローズします。エンゲージメントが契約される場合、[クローズ済み] ステータスにより契約リスクプロセスが開始されます。

サードパーティリスク評価と採点計算の理解

外部リスクアセスメント中に複数の評価とスコアが計算されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク評価スケール

アンケートが作成されるたびに、デフォルトのリスク評価が適用されます。リスク評価スケール (カテゴリ、最小値、最大値) は構成可能であり、アセスメントごとに異なる可能性があります。

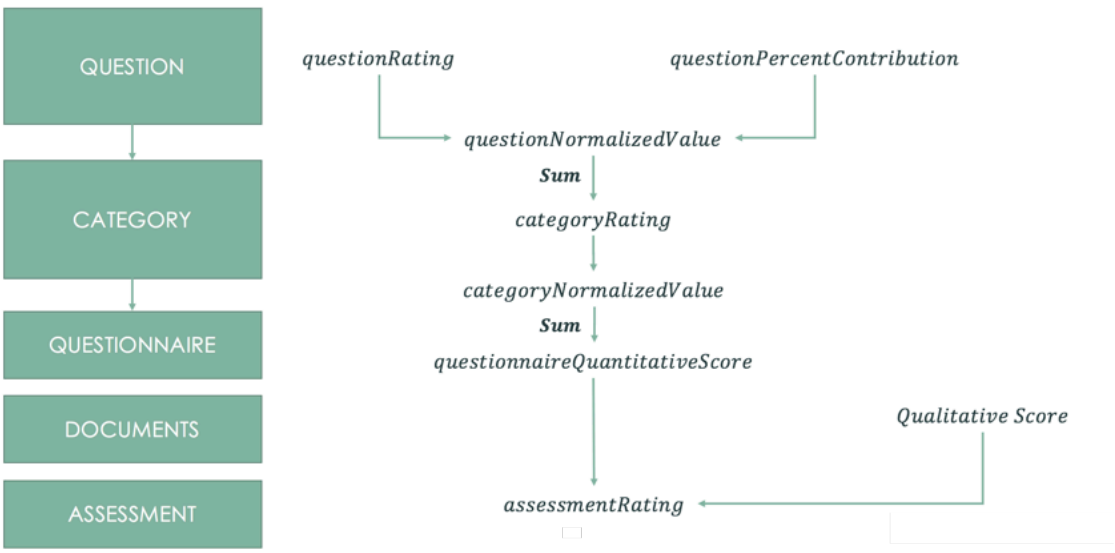
Default Risk Rating Scales View: Third-party risk New

Risk rating	Order ▲	Minimum	Maximum
1 - Very High	1	0	19
2 - High	2	20	39
3 - Moderate	3	40	59
4 - Low	4	60	79
5 - Very Low	5	80	100

スコア計算メカニズム

各外部リスクアセスメントのスコア計算メカニズムでは、プラットフォームアセスメントスコア計算エンジンが使用されます。計算は、動的に再計算される一連の関連する式を使用して実行されます。次のユーザー定義パラメーターが計算されたアセスメント評価に影響します。

- 質問 (測定基準)
- 測定基準スケールの定義
- カテゴリ
- 重み付け
- リスク評価スケール
- ビジネスサービス評価スケール



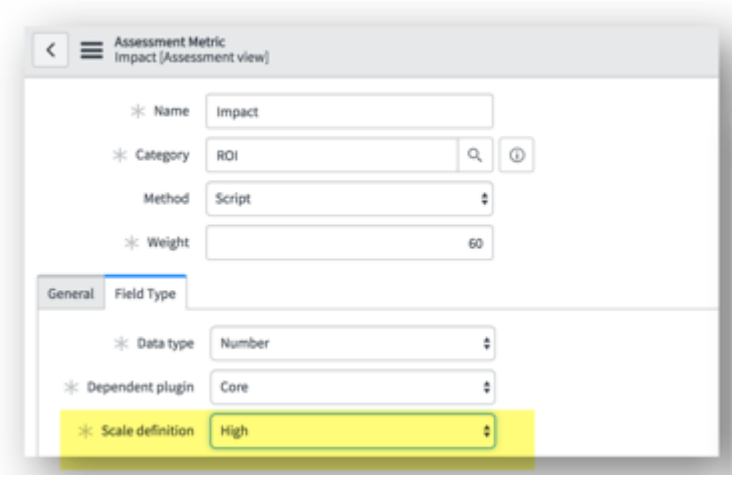
questionRating の計算

questionRating の計算では、他の測定基準と比較して、個別のアセスメント測定基準の相対的な重要度を定義します。これは、プロセスの後半で正規化値を計算する際の重要な変数です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[スケール定義] は、個々のアセスメント測定基準内に定義されています。



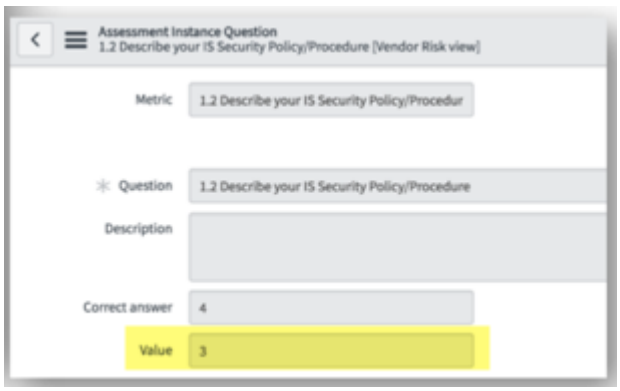
- [高] は、大きな数値が肯定的な結果を示していることを意味します。スケール定義が高い場合は、次の計算式が使用されます

$$questionRating = \frac{value - minValue}{maxValue - minValue}$$

- [低] は、小さな数値が肯定的な結果を示していることを意味します。スケール定義が低い場合は、次の式が使用されます:

$$questionRating = 1 - \left(\frac{value - minValue}{maxValue - minValue}\right)$$

式で使用される値は、質問に対する回答から取得されます。測定基準の設定では、正解 (値) と他の (不正解または望ましくない) 回答に関連付けられた値を定義します。



questionPercentContribution の計算

[questionPercentContribution] は、アセスメント測定基準が含まれているカテゴリ内の重要度を定義します。これは、プロセスの後半で正規化値を計算する際の重要な変数です。

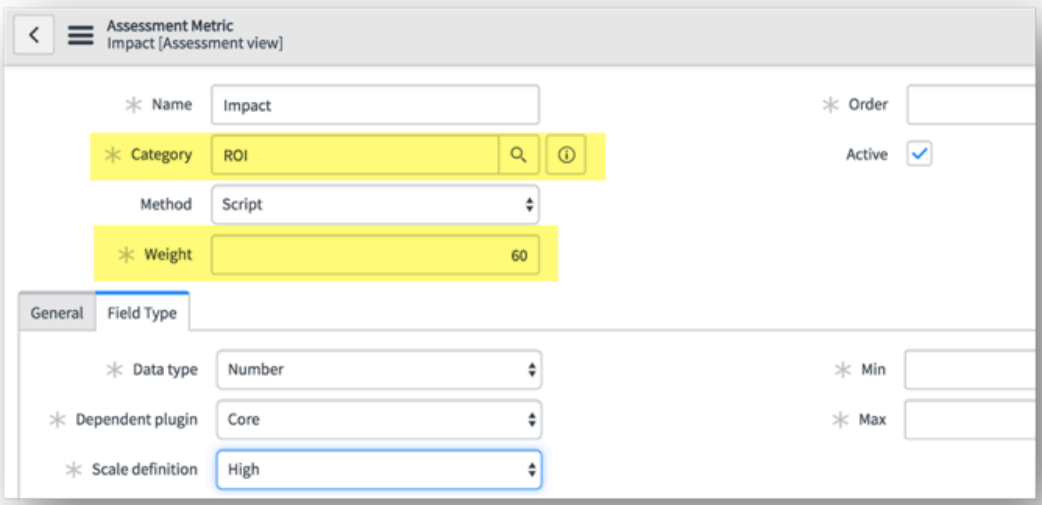
$$questionPercentContribution = \frac{questionWeight}{sumOfAllQuestionWeightsWithinCategory}$$

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[カテゴリ] は、与えられた測定基準タイプのアセスメント可能なレコードを評価するためのテーマを表します。カテゴリはユーザーが定義します。たとえば、ROI、リスク、パフォーマンス、セキュリティ、個人データなどです。

[重み付け] は、他の測定基準と比較して測定基準上の重要性を示す数値です。カテゴリの全体的な重み付けに比例して重み付けが大きいほど、最終スコアに強く影響します。



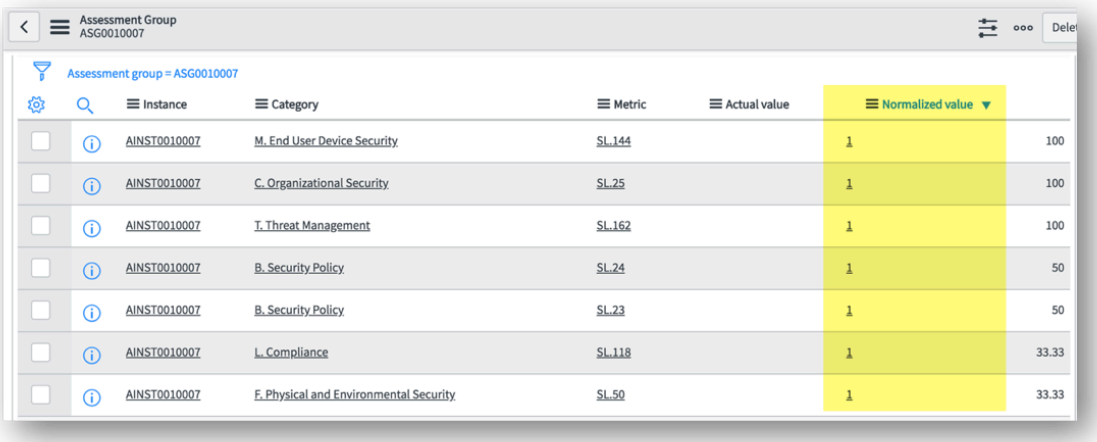
questionNormalizedValue の計算

questionNormalizedValue は、異なる重み付けと評価を持つ質問を同じスケールで同等に比較できるようにします。

questionNormalizedValue = 100 * questionRating * questionPercentContribution

$$questionNormalizedValue = 100 * questionRating * questionPercentContribution$$

すべての質問に対する回答 (アセスメント測定基準) には 正規化値があります。この正規化値は、後でカテゴリと全体的なアセスメント結果にロールアップされる、意味のある比較を行います。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

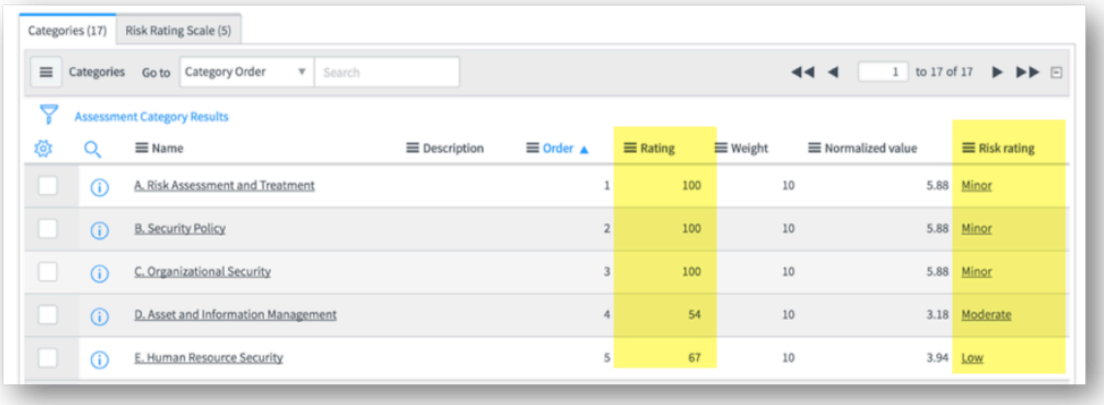
categoryRating の計算

カテゴリ内の測定基準ごとに正規化された値があるため、categoryRating は、カテゴリ間の比較を容易にするために、式 5 categoryNormalizedValue を使用して正規化できる、カテゴリ全体の値を計算します。

$$categoryRating = sumOfAllQuestionNormalizedValuesWithinCategory$$

カテゴリ [評価] は、カテゴリ内の測定基準のすべての正規化値の合計です。

各カテゴリの指定された [リスク評価] は、関連付けられているリスク評価スケールから導出されます。

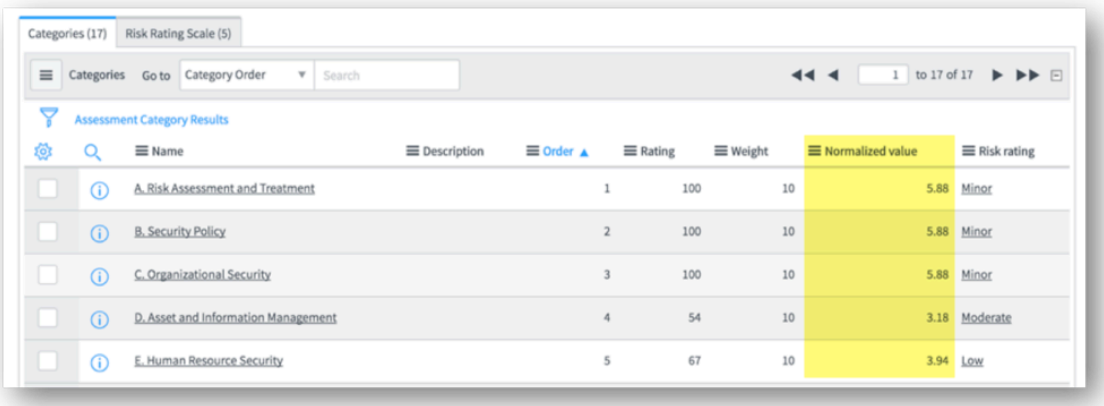


categoryNormalizedValue の計算

カテゴリ評価が確立されると、categoryNormalizedValue 式はこの評価とカテゴリの [重み付け] を使用して、すべてのカテゴリの結果を正規化します。

$$categoryNormalizedValue = categoryRating \times \frac{categoryWeight}{sumOfAllCategoryWeights}$$

この計算された正規化値は、後で全体的なアセスメント結果にロールアップされる、より意味のある比較を実行します。**categoryWeight** 値が大きいほど、カテゴリの正規化値が増加します。



自動翻訳

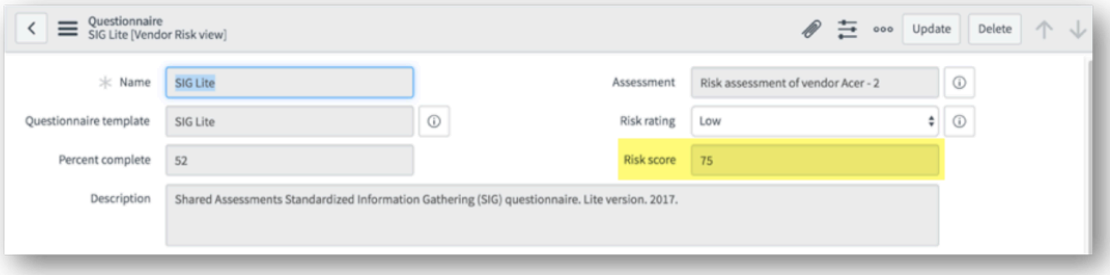
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

questionnaireQuantitativeScore の計算

すべてのカテゴリを正規化すると、アセスメントの全体的な定量的スコアが計算されます。

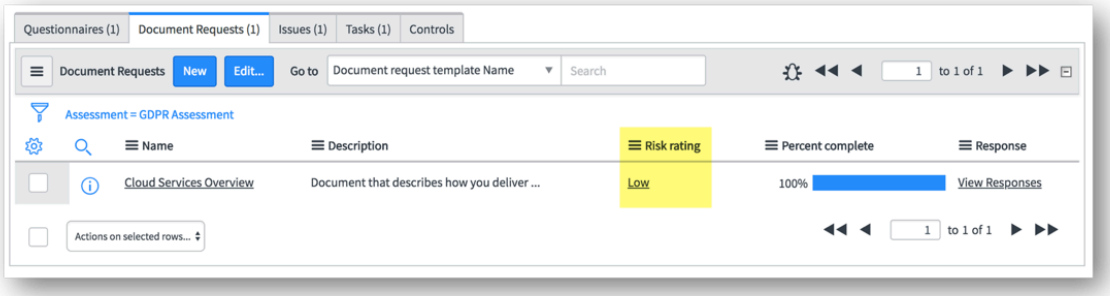
$$questionnaireQuantitativeScore = sumOfAllCategoryNormalizedValues$$

questionnaireQuantitativeScore 式の出力は、正規化されたカテゴリスコアの合計です。アンケートのレコードに [リスクスコア] として表示されます。



ドキュメントの定性的スコア

文書要求には、定性的スコアであるリスク評価があります。予備的なリスク評価は、「『文書名』という文書はありますか？」というデフォルトの質問に対する回答に基づいています。



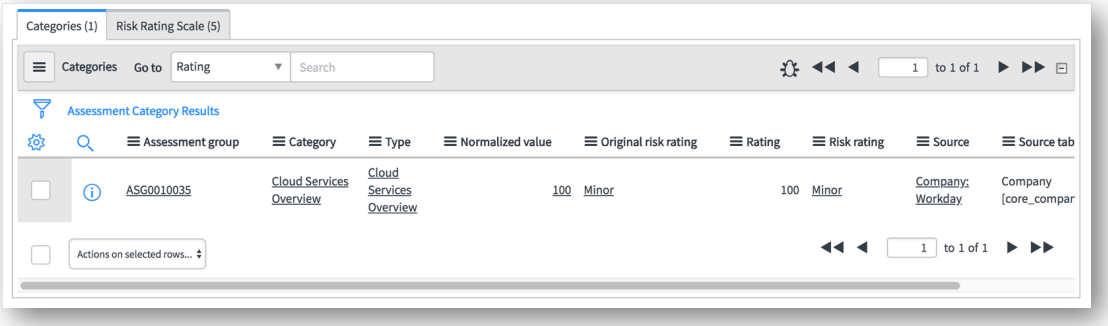
文書のリスク評価では、次のスケールを使用します。

応答	リスク評価
はい	低
いいえまたは未応答	高
適用外	中

ドキュメントをレビューすると、欠陥が判明する場合があるため、TPR の査定人はデフォルトの評価を変更できます。アセスメントは現在の [リスク評価] と [元のリスク評価] を保持します。各カテゴリの指定された [リスク評価] は、常に、関連するリスク評価スケールから導出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



「assessmentRating」の計算

外部リスクアセスメントの場合、アセスメントの最終評価は、各サードパーティリスク領域内のアンケートと文書要求の加重平均として計算されます。

*assessmentRating = AVG (Questionnaire + Document Request for a risk area) * weight assigned to that risk area + (Questionnaire + Document Request for another risk area) * weight assigned to that risk area / the sum of the weights*

- アンケート 1 = セキュリティリスク領域で定義
- アンケート 2 = 財務リスク領域で定義
- アンケート 3 = 財務リスク領域で定義
- 文書要求 1 = セキュリティリスク領域で定義

リスク領域基準は次のように設定されます。

リスク領域	採点方法	重み付け
セキュリティリスク	平均リスク	10
財務リスク	最大リスク	20

したがって、アセスメントの最終評価は次の式を使用して計算されます。

assessmentRating = AVG (アンケート 1 + 文書要求 1) * 10 + (アンケート 2 + アンケート 3) * 20/(10 + 20)。

スプレッドシートデータをインポートするためのガイドライン

Excel スプレッドシートサードパーティリスク管理からMicrosoftテーブルにアンケート データをインポートする前に、その形式が特定のガイドラインを満たしていることを確認する必要があります。

スプレッドシートのデータに影響するプロパティ設定

次のプロパティ設定を指定できます。

スプレッドシートのテキスト区切り文字 [sn_vdr_risk_asmt.excel_choice_delimiter]

タイプが「選択肢」と「複数選択」の質問の回答テキストを区切る文字列。

一般的な区切り文字:\r、\n、\t、\r\n、およびカンマ文字。

スプレッドシートファイルの最大サイズ [sn_vdr_risk_asmt.excel_file_max_size]

インポートできる最大ファイルサイズ (MB)。

「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされている列

必須列には * の印が付いています。列見出しはスプレッドシートの最初の行に表示する必要があります。

- シリアル番号*
- カテゴリ*
- 質問*
- 順序 *
- データタイプ*
- 説明
- 採点済み
- 正しい回答
- スケール定義
- 表示する評価基準
- 表示するタイミング
- 最小
- 最大
- 重み付け
- 必須
- 補足情報を許可
- 該当なしを許可
- アセスメント測定基準 [asmt_metric] テーブルの他のすべての列

サポートされている質問タイプ

- チェックボックス
- はい/いいえ
- 選択肢
- 添付ファイル
- 日付
- 日付/時刻
- パーセンテージ
- 文字列
- 複数選択
- 数値
- 数値スケール

サポートされている **Excel** 形式

要件：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 各ファイルには 1 つのワークシートのみを含めることができます。
- セル内の複数の選択肢は、改行 (Alt/Option + Enter) で区切ることができます。その他のオプションは [システムのプロパティ] で使用できます。

- .xlsx
- .xls
- .xlm
- .xltx
- .xlt
- .xlw
- .xlsb
- .csv

関連情報

TPRM のプロパティの構成

TPRM レコードの一意の ID 番号

新しいレコード、たとえばデューデリジェンスまたはタスクの要求を作成 (またはシステムが生成) すると、レコード内のデータのタイプを識別するのに役立つ一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。この ID 番号を使用して、作業するアイテムを検索またはフィルタリングできます。

レコードのタイプを識別する ID 番号の一意のテキストプリフィックス

- 契約：契約ごとに、テキスト **C** または **CNTR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- コントロール：コントロールごとに、テキスト **CTRL** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- デューデリジェンス要求：デューデリジェンス要求ごとに、テキスト **DDR** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- エンゲージメントリスクスコアリングルール：エンゲージメントリスク採点ルールごとに、テキスト **ERS** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- イベント駆動型管理ルール: イベント駆動型管理ルールごとに、テキスト **EMR** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。ルール実行 (実行) の履歴テーブルでは、テキスト 「EMH」で始まる実行ごとに一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。
- **IRQ**：IRQ プロセスごとに、テキスト **INA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- 問題：問題ごとに、テキスト **VRI** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- タスク：タスクごとに、テキスト **VRT** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- 外部リスクアセスメント (サードパーティの連絡先が情報の要求に対応する外部デューデリジェンスプロセス):外部リスクアセスメントごとに、テキスト **VRA** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サードパーティリスク採点ルール：サードパーティリスク採点ルールごとに、テキスト **VRS** で始まる一意の ID 番号がシステムによって自動的に割り当てられます。
- リスク階層アセスメント: リスク階層アセスメントごとに、テキスト **VTA** で始まる一意の ID 番号が自動的に割り当てられます。

サードパーティリスク管理 でのロール

ロールは、 の権限とアクセス権 TPRMを決定します。

TPRM ロール

分かりやすい名前 [ロール名]	説明	含んでいるロール
サードパーティリーダー [vendor_reader]	サードパーティの連絡先レコードに対する読み取りアクセス。	なし
サードパーティエディター [vendor_editor]	サードパーティの連絡先レコードを作成/更新/削除します。	なし
サードパーティアセスメントレビュー担当者 [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessment_reviewer]	アセスメントとアンケートデータを表示します。表示に加え、次のテーブルにコメントを残すことができます。 • 階層アセスメント • 内部アセスメント • 外部リスクアセスメント • サードパーティリスクの問題 • サードパーティリスクのタスク • サードパーティリスクのデューデリジェンス要求	次を含む： • compliance_reader • risk_reader • task_editor • vendor_reader
TPR 査定人 (サードパーティリスク査定人) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_assessor]	• サードパーティアセスメントレビュー担当者ロールのすべての権限に加えて、サードパーティ、サードパーティの連絡先、外部リスクアセスメント、および問題を管理します。 • *sn_svdp.allow_assessor_edit* プロパティには、次のオプションを設定できます。 ○ TPR 査定人がサードパーティのアンケートで質問に回答したり、回答を変更したりできるようにします (デフォルト)。 ○ TPR 査定人が回答を変更できるようにします。	次を含む： • compliance_reader • vendor_assessment_reviewer • vendor_editor • vendor_reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分かりやすい名前 [ロール名]	説明	含んでいるロール
	○ TPR 査定人が質問に回答したり、回答を変更したりできるようにしないでください。 「TPRM のプロパティの構成」を参照してください。	
TPR 承認者 [sn_vdr_risk_asmt.approver]	サードパーティアセスメントレビュー担当者ロールのすべての権限に加えて、IRQ を承認します。	vendor_assessment_reviewer を含む
TPR マネージャー (サードパーティリスクマネージャー) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager]	TPR 査定人ロールのすべての権限に加えて、次の権限が含まれます。 • サードパーティアセスメントテンプレートとスケジュール設定済みアセスメントを管理します。 • エンゲージメントとエンゲージメントの連絡先を管理します。 • サードパーティとエンゲージメントの両方の採点ルールを管理します。	vendor_assessorを含む
TPR 管理者 (サードパーティリスク管理者) [sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_admin]	TPR マネージャーロールのすべての権限に加えて、次の権限が含まれます。 次のアイテムを作成および編集します。 • サードパーティアセスメントテンプレート • リスク階層テンプレート • リスク層アンケートテンプレート • サードパーティアンケートテンプレート • 文書要求テンプレート • スケジュール設定済みアセスメント	包含 • vendor_risk_manager • assessment_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分かりやすい名前 [ロール名]	説明	含んでいるロール
契約リスク交渉担当者 [sn_vdr_risk_asmt.contract_negotiator]	TPR 査定人ロールのすべての権限に加えて、次の権限が含まれます。 法務部門のユーザーに、契約ステータス、開始日、有効期限を変更するためのアクセス権を付与します。 このロールを持つユーザーを 、契約リスク交渉担当者 ユーザーグループに追加できます。「責任に基づくグループへのユーザーの追加」を参照してください。	vendor_assessorを含む
[vendor_contact] • サードパーティの外部アンケート/タスク/問題に応答するときは「サードパーティの連絡先」と呼ばれます。 • エンゲージメントのアンケート/タスク/問題に応答するときは「エンゲージメント連絡先」と呼ばれます。	リスクが評価対象のサードパーティ組織のユーザーに、サードパーティ連絡先ロールをアサインします。サードパーティの連絡先には、サードパーティポータルのリソースとアクションへのアクセス権を付与するsnc_externalロールがアサインされます。 **重要:** サードパーティ連絡先ロールは、外部連絡先にのみ使用する必要があります。このロールは、インスタンスへのアクセス Now Platform を禁止し、サードパーティポータルへのアクセスのみを許可します。 主要連絡先の責任を、アセスメントの質問に直接回答できるサードパーティの連絡先にアサインするか、または質問に回答するサードパーティの別の 連絡先 をアサインします。主要連絡先は、サードパーティの他の連絡先を管理できます。	snc_external を含む

関連情報

ユーザーとユーザーグループにロールをアサイン TPRM する

プラットフォームテーブルを拡張する **TPRM** テーブル

TPRM は、同じプラットフォームでリスク情報と顧客情報にアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同じプラットフォームでのリスク情報と顧客情報へのアクセスは、新しい OCC ガイドラインをサポートします。

core_company を拡張するテーブル

core_company を拡張するテーブルは、拡張の下方階層数に関係なく、TPRM モデルで機能します。

- service_now_customer：Service-now Operations アプリケーション。
- sn_bom_financial_institution：Financial Services Operations アプリケーション。
- sn_customer_service_organization：Customer Service Management (CSM) アプリケーション
- customer_account：Customer Service Management (CSM)

sn_customer_service_organization から拡張されるテーブル

- sn_Customer Service Management (CSM)_business_location: Customer Service Management (CSM) アプリケーション。
- sn_outsourced_service_provider: Customer Service Management (CSM) アプリケーション。
- sn_hcls_organization: Healthcare service management (HSM) アプリケーション。

sn_Customer Service Management (CSM)_business_location から拡張されるテーブル

- sn_Customer Service Management (CSM)_business_location_internal: Customer Service Management (CSM) アプリケーション
- sn_Customer Service Management (CSM)_business_location_external: Customer Service Management (CSM) アプリケーション
- sn_hcls_location: Healthcare service management (HSM) アプリケーション

TPRM と Explicit Roles プラグイン

プラグインをアクティブ化すると サードパーティリスク管理 、Explicit Roles プラグインもインストールされます。管理者は、snc_internal ロールおよび snc_external ロールをアサインして、内部および外部のユーザーにインスタンスへのアクセスを提供します。

サードパーティの連絡先は、作成されると自動的に snc_external ロールがアサインされ、サードパーティポータルに関連するリソースへのアクセス権が付与されます。

さまざまなテーブルが、[ロール] フィールドを設定することで、レコードへのロールベースのアクセスを提供します。[ロール] フィールドが空の場合、すべてのユーザーがそのレコードにアクセスできます。たとえば、サービスカタログ アイテムの [ロール] フィールドの [ロール] フィールドが空の場合、すべてのユーザーがその サービスカタログ アイテムにアクセスできます。

ただし、Explicit Roles プラグインがインストールされている場合、[ロール] フィールドは **snc_internal** に更新されます。また、すべてのユーザーに snc_internal ロールが付与されます。前の例を続けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Explicit Roles プラグインをインストールする前は、サービスカタログ アイテムの [ロール] フィールドが空の場合、すべてのユーザーがアクセスできました。
- Explicit roles プラグインをインストールすると、サービスカタログ アイテムの [ロール] フィールドが snc_internal に更新され、既存のすべてのユーザーに snc_internal ロールが付与され、それらのユーザーがカタログアイテムにアクセスできるようになります。
- その後、すべての新しいユーザーに snc_internal ロールを割り当てる必要があります。これを行わないと、その サービスカタログ アイテムにアクセスできません。

次の表では、Explicit Roles プラグインによって影響を受けるテーブルの変更について説明します。

Explicit Roles プラグインの影響を受けるテーブル

テーブル	変更
アクセス制御 [sys_security_acl]	ロール要件のない既存および新規作成のすべての ACL には、snc_internal ロールが割り当てられます。
カタログアイテム [sc_cat_item]	[ロール] フィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal ロールが追加されます。glide.sc.use_user_criteria プロパティが false に設定されている場合、新しく作成されたカタログアイテムには snc_internal ロールが自動的に割り当てられます。プロパティが true に設定されている場合、SNC 外部ユーザー基準が新しく作成されたカタログアイテムに追加され、外部ユーザーはレコードを表示できません。
ページ [content_page]	[読み込みロール] フィールドが空のログインページを持つすべてのサイトに対して、snc_internal ロールが追加されます。ログインページがないサイトや、自動的にコンテンツページが作成されているサイトの場合は、パブリックロールが追加されます。
ナビゲーションメニュー [sys_app_application]	[ロール] フィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal ロールが追加されます。[ロール] フィールドが空の状態で新しく作成されたナビゲーションメニューにも、snc_internal ロールが自動的に割り当てられます。
概要ヘルプパネル [sys_ui_overview_help_panel]	[ロール] フィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal ロールが追加されます。[ロール] フィールドが空の状態で新しく作成された概要パネルにも、snc_internal ロールが割り当てられます。
ポータルページ [sys_portal_page]	[読み込み] ロールフィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal ロールが追加されます。[読み込みロール] フィールドが空の状態で新しく作成されたポータルページにも、snc_internal ロールが自動的に割り当てられます。
プロセッサー [sys_processor]	[ロール] フィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal ロールが追加されます。[ロール] フィールドが空の状態で新しく作成されたプロセッサーにも、snc_internal ロールが自動的に割り当てられます。
レポート [sys_report]	[ロール] フィールドが空のすべてのレコードに対して、snc_internal が追加されます。共有の際に、[ロール] フィールドが空の状態で新しく作成されたレコードにも、snc_internal ロールが自動的に割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンダーリスクの概要レポート – 従来のビュー

[ベンダーリスクの概要] ページは、ベンダー管理ワークスペース のサードパーティリスクレポートに置き換えられました。

レポートの表示

[ベンダーリスクの概要] を開くには、次の場所に移動します。 すべて > サードパーティリスク管理 > 概要. このページには、サードパーティのリスク管理プログラムに関するインサイトを提供するレポートが表示されます。-

より完全な **IRQ** プロセスが階層化に取って代わります

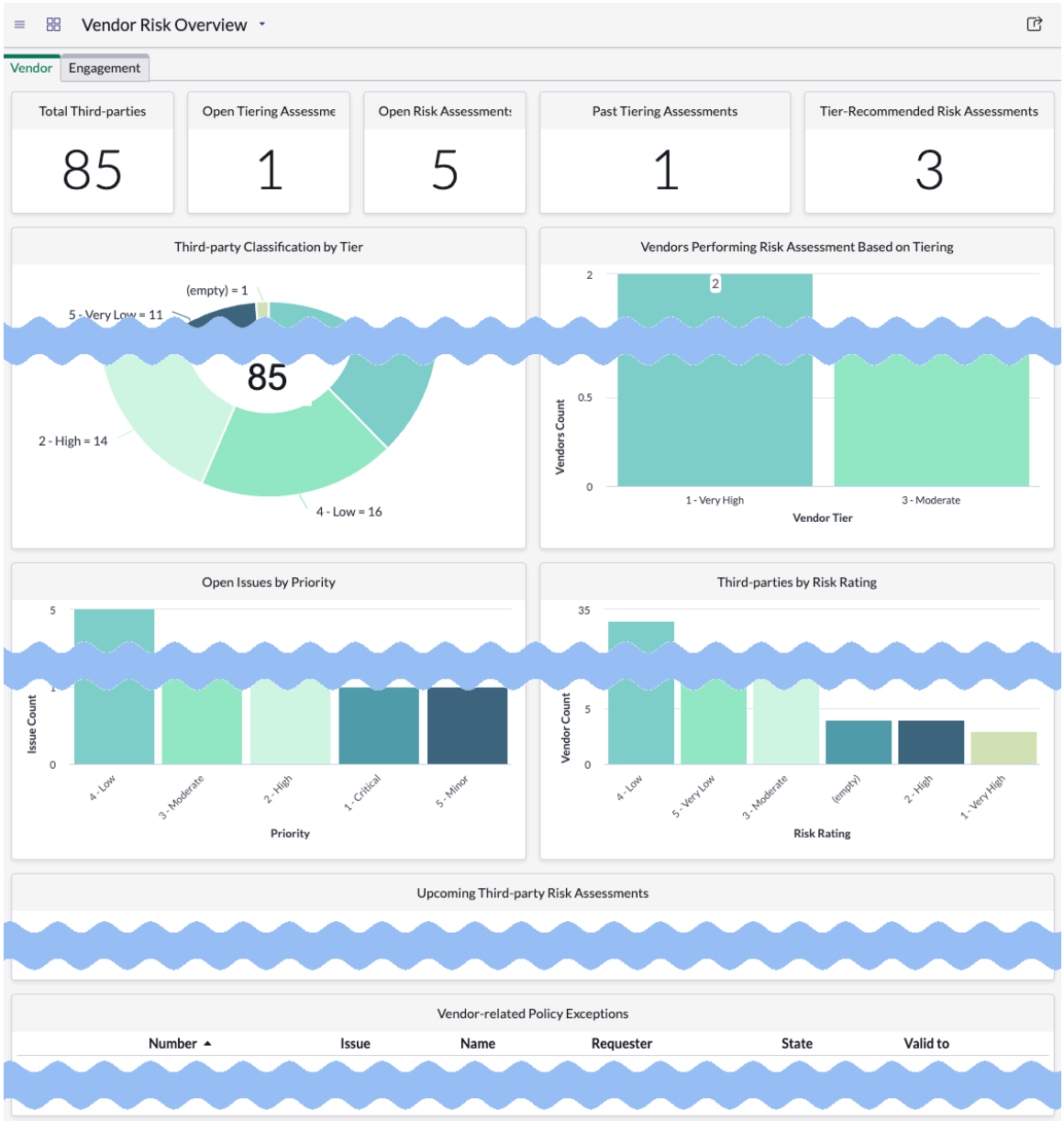
TPRM アプリでは、IRQ は内部アンケートであり、元の階層アセスメントプロセスを改善するものです。IRQ は、柔軟性、制御、およびスケーラビリティを向上させて内部リスクアセスメントを強化します。階層化は IRQ の重要な側面ですが、IRQ の機能の 1 つにすぎません。外部アンケートがリスク階層のみによって決定される階層アセスメントとは異なり、IRQ は回答者の回答に基づいて外部アンケートを動的にトリガーできます。

TPRM へのシームレスな移行を可能にするために、既存の階層アセスメントを複製して IRQ 内部アセスメントとして指定することを選択できます。リスクの階層化は不変の従来のプロセスとしてサポートされ、IRQ は強化および改善されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンダーリスクの概要 - [ベンダー] タブ



[ベンダー] タブのレポート

レポート	説明
ベンダー総数	サードパーティの合計数。
オープン階層アセスメント	アクティブな階層アセスメントが未完了なサードパーティの数。
オープンリスクアセスメント	アクティブなリスクアセスメントが未完了なサードパーティの数。
過去の階層アセスメント	アセスメント期間内に階層アセスメントを完了していないサードパーティの数。
階層推奨リスクアセスメント	階層に基づいてリスクアセスメントを実行するサードパーティの数。
階層別ベンダー分類	各リスク階層にアサインされたサードパーティの数を示すドーナツレポート。

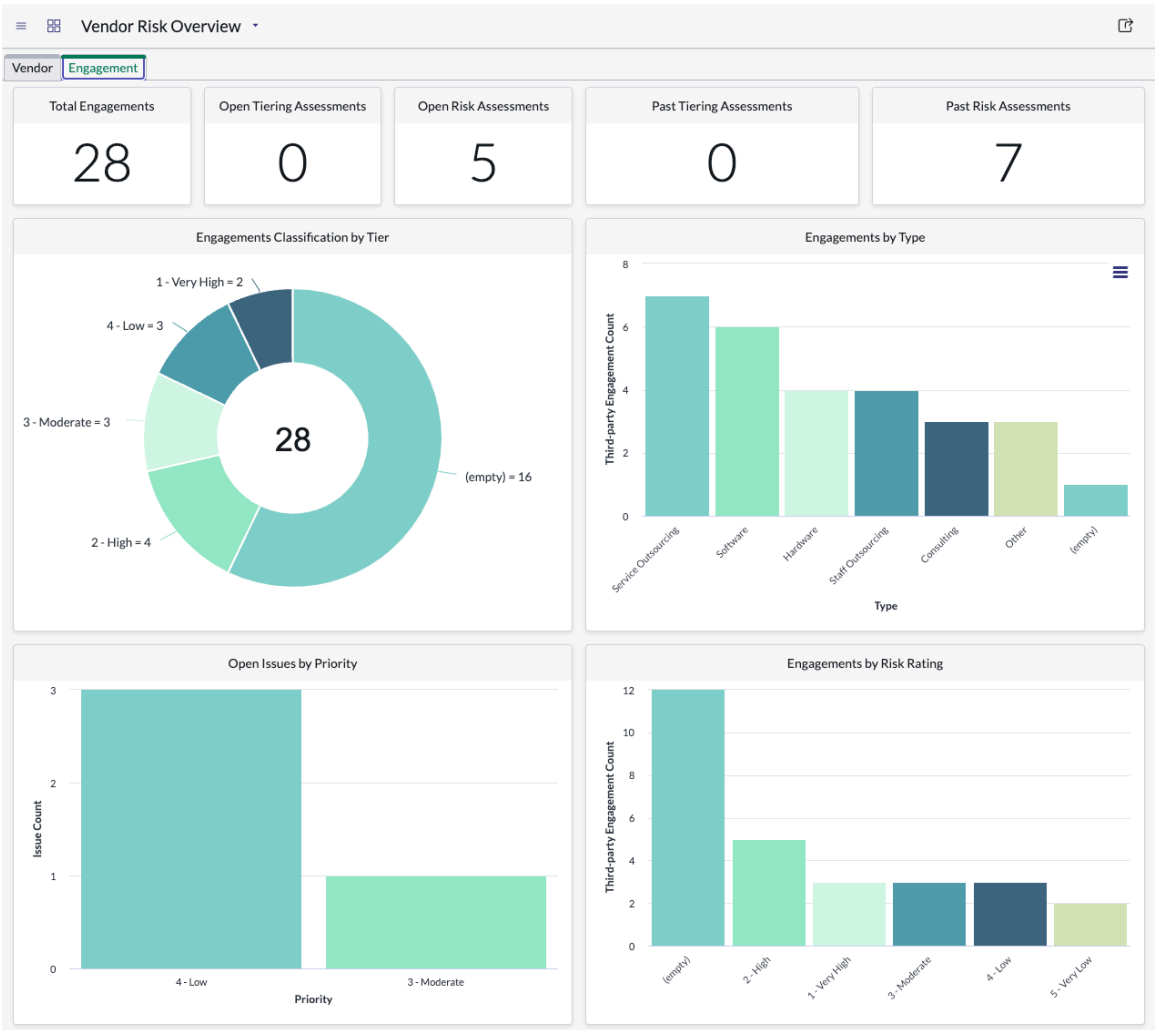
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ベンダー] タブのレポート (続く)

レポート	説明
階層に基づいてリスクアセスメントを実行するベンダー	サードパーティリスクでソートされた、アクティブな階層ベースのリスクアセスメントを持つサードパーティの数。
優先度別のオープンな問題	優先度でソートされたすべてのサードパーティリスクの未解決問題。
リスク評価別ベンダー	リスク評価でソートされたサードパーティの数。
今後のベンダーリスクアセスメント	スケジュール済みのサードパーティリスクアセスメントの数。
ベンダーに関連するポリシー例外	サードパーティリスクの問題から生成されたすべてのポリシー例外。

ベンダーリスクの概要 - [エンゲージメント] タブ



[エンゲージメント] タブのレポート

レポート	説明
合計エンゲージメント	エンゲージメントの合計。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[エンゲージメント] タブのレポート (続く)

レポート	説明
オープン階層アセスメント	アクティブな階層アセスメントが未完了なエンゲージメントの数。
オープンリスクアセスメント	アクティブなリスクアセスメントが未完了なエンゲージメントの数。
過去の階層アセスメント	アセスメント期間内に階層アセスメントを完了していないエンゲージメントの数。
過去のリスクアセスメント	アクティブな階層ベースのリスクアセスメントを持つエンゲージメントの数。
階層別エンゲージメント分類	各階層にアサインされたエンゲージメントの数を示すドーナツレポート。
タイプ別エンゲージメント	各タイプのエンゲージメントの数。
優先度別のオープンな問題	優先度別にソートされた、すべてのエンゲージメントの未解決の問題。
リスク評価別エンゲージメント	リスク評価でソートされたエンゲージメント数。

自動翻訳

共通の GRC 機能

4 つの主要な ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションにはそれぞれ独自の機能があります。さらに、すべての GRC アプリケーションに共通する機能が多数あります。

たとえば、ServiceNow® モバイルアプリケーションを使用して GRC アプリケーションを実行できます。コンテンツパックと統合は、複数の GRC アプリケーションから利用できます。ドメイン分離のサポートレベルなどの情報もここに含まれます。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス のモバイルエクスペリエンス

お使いのモバイルデバイスから、GRC アプリケーションの作業、タスクのアサイン、要求、承認、その他のフォローアップアクションを管理できます。現在のアラートだけではなく、重要な資産、ベンダー、影響を受ける中核のビジネスサービスのリスクとコンプライアンスステータスの通知を逐一受信します。

New York 以降、次のアプリケーションがモバイルアクセスを提供します。

- GRC Policy and Compliance のモバイルエクスペリエンス
- GRC リスク管理 のモバイルエクスペリエンス

GRC アプリケーションの用語の更新と業界の用語

次の用語は、GRC アプリケーション内または GRC 業界で使用されています。

GRC 用語の更新

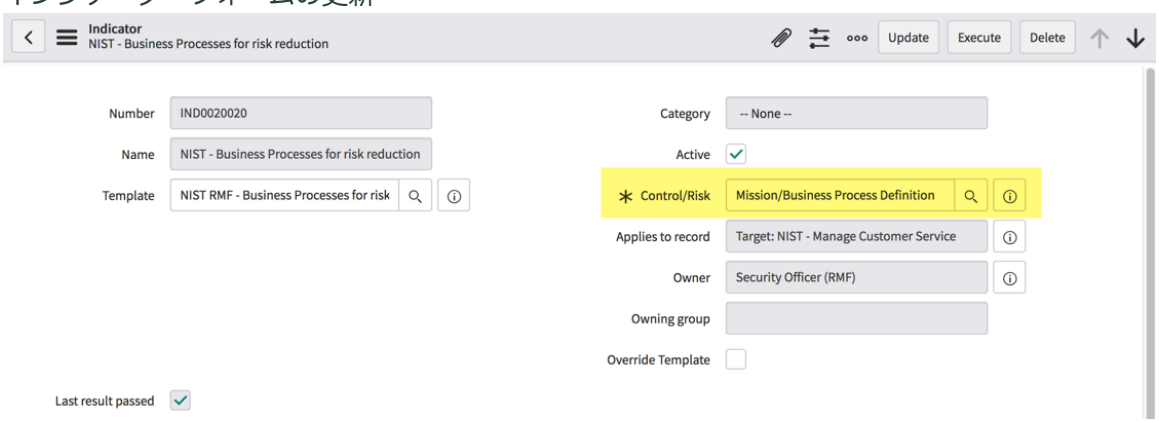
以前のリリースから、すべての GRC コアアプリケーション内の多くの用語が更新されました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
これらの用語の更新は、すべてのナビゲーション ラベル、ボタン、情報メッセージ、レポート タイトル、関連リンク、タブ、およびその他の UI 要素に適用されます。

GRC モジュール	前へ	現在
スコーピング	プロフィール	エンティティ
	プロファイルタイプ	エンティティタイプ
	プロファイルクラス	エンティティクラス
	自分のプロファイル	自分のエンティティ
	すべてのプロファイル	すべてのエンティティ
管理	プロファイル層	エンティティ層
	プロファイルクラスルール	エンティティクラスルール
インジケーター	インジケーター > アイテム フィールド	コントロール/リスクフィールド
		カテゴリフィールドはコンプライアンスインジケーターかリスクインジケーターかを示す
	インジケーターテンプレート > コンテンツ フィールド	コントロール目標/リスクステートメント
Issues (問題)	詳細 > コンテンツ フィールド	コントロール目標/リスクステートメント
	詳細 > アイテム フィールド	コントロール/リスク
Policy and Compliance	ポリシーステートメント	コントロール目標
リスク	すべてのリスク > ステートメント > フィールド	自分のリスク > リスクステートメント フィールド
	自分のリスク > ステートメント フィールド	自分のリスク > リスクステートメント フィールド

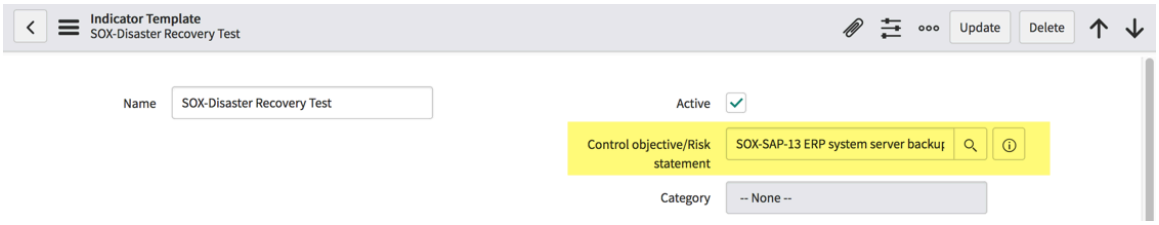
インジケーターフォームの更新



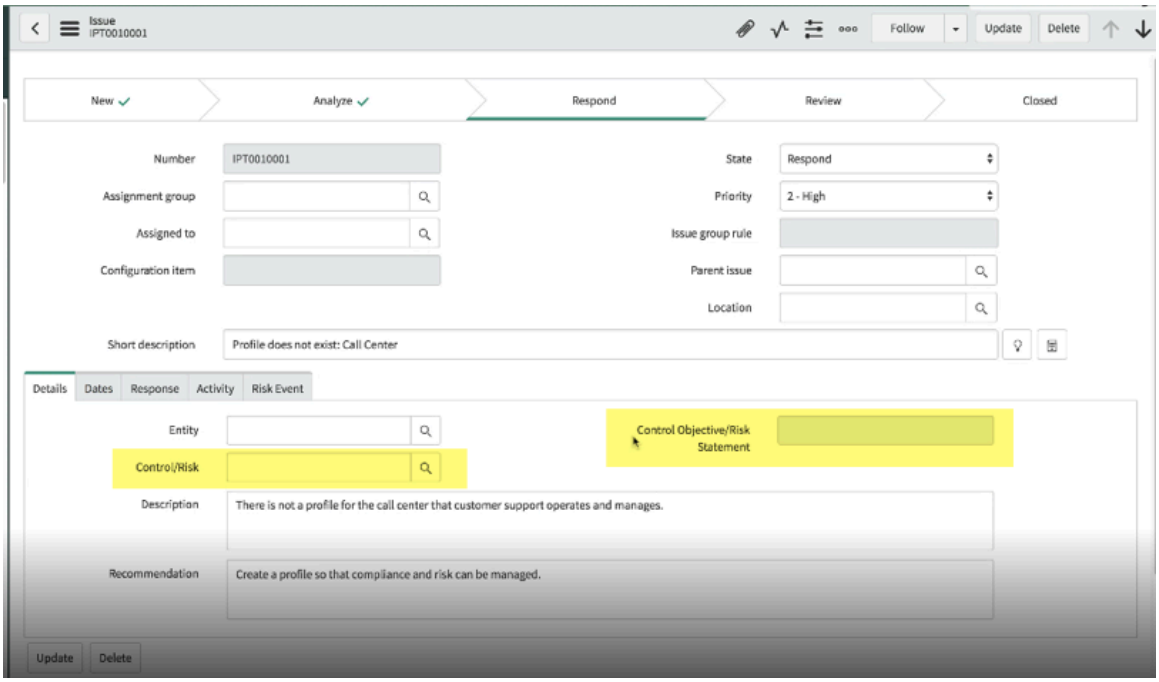
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

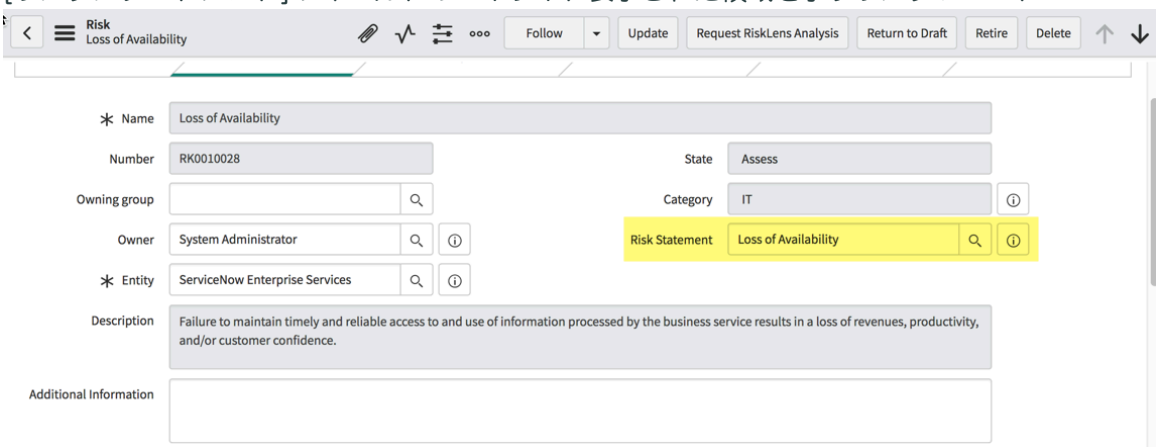
インジケーターテンプレートフォームの更新



問題フォームの更新



[リスクステートメント] フィールドのハイライト表示された領域を示すリスクレコード



業界基準

- ENISA 用語集
- ISACA 用語集
- ISO リスク用語集
- OCEG 用語集
- PCI コンプライアンスガイド

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界の略語

用語	定義
バーゼル III	銀行が潜在的なリスクをオフセットするために必要な資本の額について規制を行う際に規制当局が使用できる銀行の国際標準。銀行が持つリスクが大きいほど、支払能力を維持するためにより多くの資本を用意する必要があります。この規制は、バーゼル銀行監督委員会によって発行された 3 番目の基準であり、そのためバーゼル III という名前が付けられました。
CISA	Cybersecurity Information Sharing Act (サイバーセキュリティ情報共有法)
CISM	Certified Information Security Manager (認定情報セキュリティマネージャー)
COBIT	Control Objectives for Information and Related Technologies (情報および関連技術のコントロール目標) (COBIT) は、ベストプラクティスに基づいてリスクとコンプライアンスの問題を管理するための IT ガバナンスフレームワークを提供します。IT ガバナンス研究所および情報システム監査コントロール協会 (ISACA) によって公開されています。
COSO	Committee of Sponsoring Organizations of the Treadway Commission (トレッドウェイ委員会組織委員会) (COSO) は、不正財務レポートに関する国内委員会を支援するために 1985 年に形成されました。COSO は、不正な財務レポートにつながる可能性のある原因を調査し、公開企業、SEC、およびその他の規制機関や教育機関に対して推奨事項を作成した独立した民間セクターのイニシアチブです。
EDPA	European Data Privacy Act (欧州データプライバシー法)
ENISA	European Network & Information Security Agency (欧州ネットワーク情報セキュリティ機関)
EUP	Energy use in products (エネルギー使用製品) (EUP) は、企業にエネルギー使用量の少ない製品を設計するように義務付ける EU 指令です。
データ保護に関する欧州指令	特にインターネットのプライバシーに対処する、データプライバシー法の最初の最重要事項の 1 つ。
FCA	Financial Conduct Authority (金融行為監督機構)
GDPR	General Data Protection Regulation (一般データ保護規則) (GDPR) は、2018 年 5 月 25 日に発効した規制で、欧州連合市民のデータ保護権利を強化および調和させることを目的としたデータ保護指令 95/46/ec に代わるものです。
GRI	Global Reporting Initiative (グローバルレポートイニシアチブ) (GRI) は、持続可能性レポートの G3 フレームワークを作成した国際的なグループです。
ITGI	IT Governance Institute (IT ガバナンス研究所)
PII	Personal Identifying Information / Personally Identifiable Information (個人識別情報/個人識別可能情報) (PII) は、個人の身元を直接的または間接的に推測できる情報です。
PCI DSS	Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS) は、クレジットカード情報の受け入れ、処理、保存、または送信を行うすべての会社が安全な環境を確実に維持するために設計された一連のセキュリティ標準です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界の略語 (続く)

用語	定義
ソルベンシー II	ソルベンシー II
SOX	Sarbanes-Oxley Act (サーベンスオクスリー法) (SOX) により、公開会社会計監視委員会が設置され、株式公開会社、その役員、役員会、監査人に要件が追加されました。これにより、企業の財務詐欺に対するペナルティが増加しました。この米国の法律は、注目を浴びた Enron と WorldCom の財務スキャンダルに対応して制定されました。その目的は、企業内の会計上の誤りや詐欺行為から株主と一般市民を保護することです。SOX は米国で株式公開を行う企業に適用されます。

業界用語

用語	定義
ALE	年間予測損失額 (ALE) = 単一損失予想 (SLE) x 年間発生率 (ARO)。定量的リスクスコアリングで使用されます。
ARO	年間発生率。
受け入れ	経営陣は、特定のリスクが一定レベルの許容範囲にある場合、またはいっそうの軽減や制御を行うなら、リスクから生じる影響 (または重大性) よりも大きなコストがかかると見込まれる場合、それを受け入れて、より厳しい制御や高いレベルの軽減のための、さらなる投資を中止することがあります。
アサーション	経営陣によって行われた主題に関する正式な宣言または一連の宣言。
アセスメント	構造化保証イニシアチブの対象ではない要素を含む、会社または部門のさまざまな側面の広範なレビュー。
証明書	何かが真実であることを検証するプロセス。たとえば、コントロールの有効性やコンプライアンスは、履行者が電子的に署名するアンケートによって証明できます。
監査	標準や一連のガイドラインが守られているか、記録が正確か、効率および有効性の目標が達成されているかを確認するための正式な調査と検証。ServiceNow では、組織は一度にテストするすべてのコントロールを特定し、監査全体の責任を 1 人に割り当てます。単一のタスクですべてのコントロールのテストを管理します。
監査アクティビティ	監査を実行するために個人にアサインされる監査内のタスクの 1 つ。
監査委員会	多くの場合、取締役会のメンバーで構成され、財務レポートと内部管理を監督する責任を担う委員会。
監査ドキュメント (ワーキングペーパー)	適用された手順、実行されたテスト、取得された情報、およびエンゲージメントで到達した関連する結論についての監査人によって保持される記録。ドキュメントは、監査人のレポートの主要な根拠を提供します。
監査証拠	監査中の財務諸表に関する意見を形成するための合理的な基盤を提供する、監査手順中に収集された事実。
監査目標	財務諸表のアサーションを裏付ける証拠を取得する場合、監査人はそれらのアサーションに照らして特定の監査目標を策定します。たとえば、在庫残高の完全性アサーションに関連する目標は、在庫数量にすべての製品、資料、および消耗品が含まれていることです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
監査観察事項	内部監査人がコントロールギャップを特定したり、新しいリスクを特定したりするために使用します。
自動コントロール	コンピューターシステムによって自動的に実行される内部コントロール。手動コントロールは、そのタスクの担当者によって実行され、通常はトランザクションとデータのサブセットに対して実行されます。自動コントロールは、関連するすべてのトランザクションまたはデータ要素で実行できるため、少ない労力で高い精度を確保できます。
各種法令・基準等	組織が選択した、または規制に準拠するために必要な規制、認定、フレームワーク、標準、およびベストプラクティス。各種法令・基準等は、コントロール、リスク、およびポリシーに関連しています。
ビジネスリスク	エンティティが目標を達成し、戦略を実行する能力に悪影響を与える可能性のあるリスク。
計算済みスコア	計算済みスコアは、全体的な結果としての固有スコアと残存スコアから導出されます。実装されたコントロールシステムの品質に基づく実際のリスクのエクスポージャーを指します。
一連の管理	証拠の有効性と完全性に関する法的原則。法的手続きで証拠として使用されるものはすべて説明責任が必要です。これにより確実に、収集された時点から裁判所に提示する時点までを説明することができます。
最高コンプライアンス責任者 (CCO)	組織内のコンプライアンス問題の監督と管理を担当する企業の役員。この担当者は、会社が規制要件に準拠し、および会社が内部のポリシーと手順に準拠するように確保します。
最高執行責任者 (COO)	業務最高責任者とも呼ばれ、会社の日常業務を担当する役員。
最高リスク責任者 (CRO)	最高リスク管理責任者とも呼ばれ、企業のリスク管理とコンプライアンスの取り組みを担当する役員。
信頼できるソースコンテンツ	各種法令・基準等で引用された特定の要件を含むレコード。引用レコードは、各種法令・基準等を該当するコントロールに関連付けます。
コンプライアンス	法律、規制、またはポリシーに忠実に従い、その遵守を明確に示す行為。コンプライアンスは、財務、環境、国際貿易、従業員の安全性、プライバシーなど、多くの分野の規制に関連しています。
機密性	プライバシーと機密情報を保護する手段を含む、アクセスと開示に関する許可された制限の維持。
格納コントロール	リスクが発生した場合に、その影響 (または重大性) を制限するように設計されたコントロール。
コントロール	組織が実行する、実際のコントロールアクティビティ。コントロールレコードには、コントロールに関する基本的な必須情報 (オーナー、アクティビティ、頻度など) が含まれます。コントロールは、信頼できるソースコンテンツ、ポリシー、およびリスクに関連付けることができます。 リスクを管理するために経営陣、取締役会、およびその他の関係者が行ったアクション。経営陣は、目的と目標が達成されるという合理的な保証を提供するために十分なアクションのパフォーマンスを計画、整理、指示します。コントロールレコードには、コントロールに関する基本的な必須情報 (オーナー、アクティビティ、頻度など) が含まれます。コントロールは、信頼できるソースコンテンツ、ポリシー、およびリスクに関連付けることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
コントロールフレームワーク	財務的損失や情報の損失を防止するため、またはより一般的には企業内のリスクを防止するために、コントロールのクロスマッピングを実行および保持する基本的なコントロールのセット。
コントロールインスタンス	定期的またはオンデマンドでのコントロールテスト定義の実際の実行。結果データサンプル、証明書、またはテストアクティビティの手動結果を表示します。
コントロールテスト定義	コントロールテスト定義は、テストのステップ、期待される結果、テストを担当するグループまたは個人、テストスケジュールを含め、いつどのようにコントロールをテストするかを指定します。コントロールテストインスタンスは、テストスケジュールから自動的に生成されます。コントロールテストが失敗した場合、または監査の観察事項が記録された場合、修正が自動的に作成されます。
是正コントロール	問題が検出されると有効になる内部コントロール。たとえば、過剰な権限を持つユーザーからのアクセス権の削除や、物理的な災害が発生した後のバックアップおよび復旧計画の実行などです。
企業パフォーマンス管理	企業パフォーマンス管理 (CPM) は、戦略管理、計画立案、レポート作成、統合、および収益、コスト、収益性のモデル化を組み合わせたもので、企業がパフォーマンスを測定して改善できるようにします。
検出	目標に向けた進行中の進捗状況、および管理アクションとコントロールを使用した実際のおよび潜在的な望ましくない条件およびイベント。
発見的コントロール	意図しないイベントまたは結果を検出するように設計されたコントロール。また、特定のリスクが発生したかどうか、いつ発生したかを検出することもできます。
効果	何かに対するイベントの可能性、タイミング、および影響度の測定値。
有効な内部コントロール	運用目標が達成され、公開された財務諸表が確実に準備され、エンティティが適用可能な法律および規制に準拠しているという合理的な保証。
エンゲージメント	一連の目的または目標を達成する監査タスクを含むことがある監査プロジェクト。
イベント	観測可能なアクション、発生、または条件の変化。イベントには、条件が変更されていない場合でも、条件に関するナレッジの変更が含まれます。
エンティティ	GRC の基本的な概念。エンティティは、コントロールとリスクを関連付けることができる企業要素をモデル化するために使用されます。例：事業部門、サーバー、ラップトップ。
エンティティタイプ	複数の類似したエンティティを参照するために使用されます。例：アジア/太平洋事業部門、Linux サーバー、MacBook Pro。
評価	基準に対して何かを測定すること。
証拠 (証拠物件)	監査人が根拠に基づいて結論を下せる、書面および電子的な情報 (小切手、電子送金の記録、請求書、契約書、その他の情報など) が含まれます。
詐欺	偽り、隠蔽、または信頼の侵害を特徴とする不法行為。これらの行為は、暴力の脅威または物理的な力を伴うわけではありません。詐欺は、金銭、財産、またはサービスを入手し、支払いやサービスの損失を回避

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
	したり、個人的またはビジネス上の利益を確保したりするために関係者と組織によって行われるものです。
一般的なコントロール	ネットワーク運用、ソフトウェアの取得とメンテナンス、アクセスセキュリティの制御など、コンピューターシステムの適切な運用を保証するためのポリシーと手順。
ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC)	ガバナンス、リスク管理、および規制への準拠は、従来は個別の企業機能でした。GRC は、組織が不確実性に対処し、誠実に行動しながら、目標を確実に達成することを可能にするための機能の統合されたコレクションです。これには、ガバナンス、保証、管理パフォーマンス、リスク、およびコンプライアンスが含まれます。 GRC とは、組織がパフォーマンスを最適化するために、外部および内部の標準に準拠し続けながら、リスク管理を通じてどのように運用するかという業務です。GRC は、プロセス、コントロール、セキュリティ、および文化を統合して組織の完全性を確保する方法を採用しています。
影響	リスクの重大度を、その可能性とともに評価するために使用されます。特定のリスクが発生した場合に組織に及ぼす結果のレベルを評価します。
インジケーター	コントロールとリスクを監視するためのデータの収集と、監査証拠の収集のために使用される測定基準。
可能性	回答戦略が実装される前に識別済みリスクが発生する可能性。
固有リスク	関連する内部コントロールがなく、軽減アクションがまだ実施されていない場合の、可能性と影響度 (または重大性) に関するリスクエクスポージャーのレベル。
固有スコア	回答戦略が実装される前のリスクのスコア。
有意性	回答戦略が実装される前のリスクの重大性。
完全性	情報、情報システム、またはシステムのコンポーネントが不正な方法で変更または破壊されていないプロパティ。 情報がソースによって生成された時点から、送信、格納、および最終的に宛先で受信されるまで未変更のままの状態。
内部監査	価値を付加し、組織の運用を改善するために設計された、独立した客観的な保証およびコンサルティングサービスを提供する部門、部署、コンサルタントチーム、またはその他の施術者。内部監査アクティビティは、体系的で統制のとれたアプローチを採用して、ガバナンス、リスク管理、およびコントロールプロセスの有効性を評価して改善することで、組織の目標達成を支援します。
内部監査人	分析、評価、保証、推奨事項、およびその他の情報をエンティティの経営陣および取締役会に提供する責任を負うクライアントの従業員。内部監査人の重要な責任は、コントロールのパフォーマンスを監視することです。
内部コントロール	ビジネス目標が達成され、望ましくないイベントが防止または検出されて修正されるという合理的な保証を提供するように設計されたポリシー、手順、プラクティス、および組織構造。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
問題	エンドユーザーがコントロールとリスクの問題を文書化し、問題を修正または承認するための対応を追跡できるようにする GRC タスク。
IT ガバナンス	企業の IT が企業の戦略と目標を維持および拡張することを保証するリーダーシップ、組織構造、およびプロセス。経営幹部と取締役会の責任です。
IT GRC	確立されたベストプラクティスに基づいて、IT の観点からコンプライアンスとリスク管理の取り組みをサポートするために使用されるソフトウェアとハードウェア、および関連するポリシーと手順を含みます。
可能性	何かが発生する見込み。
管理	エンティティ、プロセス、またはリソースを内部的に指示、制御、および評価する行為。
手動コントロール	コンピューターではなく手動で実行されるコントロール。
重要 (重要性)	財務的影響度を計算できる場合、リスクは重要とされます。
軽減	ルールの特定の違反に関連付けられたリスクを減らすこと。リスクが発生する前に、関連する可能性のあるコントロールの失敗を解決したり、リスクのエクスポージャーを削減したりするために、適切な軽減アクションが実施されます。
目標	エンティティが到達または達成しようとしているもの。
運用監査	部署または部門のさまざまな内部コントロール、経済性、および効率性を評価するように設計された監査。
運用コントロール	すべての目標が達成されるように確保するための、会社または企業の日常業務に関連するコントロール。
運用リスク	組織のミッションと目標を達成するために必要な人、プロセス、およびシステムに関連するリスク。
客観性	先入観や偏見を持たずにクライアントレコードを評価する能力。
義務	義務についてのアサーションは、責任が特定の日付におけるエンティティの義務であるかどうかに関係しています。たとえば、経営陣は、貸借対照表のリースについて資産計上された金額がリース資産に対するエンティティの権利のコストを表し、対応するリース負債がエンティティの義務を表していると主張します。
オーナー	リスク、コントロール、または軽減/修正タスクのオーナーは、その説明責任を受け入れます。所有権に関連する一部のタスクは委任できますが、組織に対する責任は残ります。
ピアレビュー	ある CPA 事務所の監査文書が他の事務所の独立したパートナーによって定期的にレビューされ、専門職の基準に準拠していることを判断する実務モニタリングプログラム。
プラン	監査の計画立案では、監査の実施とスコープに関する全体的な戦略を策定します。計画立案の性質、範囲、およびタイミングは、エンティティのサイズと複雑さ、エンティティの経験、およびビジネスのナレッジによって異なります。監査人は、監査の計画立案時に、エンティティのビジネスとその業界、会計ポリシーと手順、会計情報の処理に使用される方法、コントロールリスクの予定評価レベル、および監査の重要性に関する監査人の予備的判断を検討します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
ポリシー	決定された高レベルの原則または一連のアクションを記録するドキュメント。意図された目的は、現在および将来の意思決定に影響を与え、企業の経営チームによって確立された理念、目標、および戦略的計画に沿ったものになるように導くことです。ポリシーには、ポリシーの内容に加えて、ポリシーに準拠しない場合の結果、例外の処理方法、およびポリシーへの準拠のチェックと測定の方法が記載されています。 ServiceNow® では、承認されたポリシーは ナレッジベース で公開されます。ポリシーは、各種法令・基準等とコントロールレコードに関連しています。ポリシーステートメントは、プロセスがポリシー内で従う特定の詳細を定義します。
予防コントロール	意図しないイベントを回避するように設計されたコントロール。
手順	監査プログラムの一部として、またはクライアントの内部コントロールの一部として実行されるステップなどのアクション。 ポリシーの「ハウツー」を提供し、その実装を導きます。手順は対象者固有で、所定のポリシーに確実に準拠するための正確な指示を提供します。ServiceNow® はポリシーと手順を同じように扱います。したがって、これらの用語は同じ意味で使用される場合があります。これは、ポリシーと手順を 2 つの別々のアイテムとして定義する COBIT 5.1 などのフレームワークとは異なる場合があります。
職業的懐疑心	常に疑問を抱きつつ監査に臨むこと。
定性的な影響度	影響度 (リスクの重大性を指す) と可能性 (リスクが発生する可能性を指す) の評価が含まれます。スコアは、影響度に可能性を乗算して計算されます。影響度は、通常、順序スケールまたは名義スケールを使用して表されます。
定量的な影響度	金融資産、有形資産、無形資産、事業継続性、および健康と安全に対するプラス/マイナスの影響。単一損失予測 (SLE) x 年間発生率 (ARO) = 年間予測損失額 (ALE) として算出します。定量的な影響度は数値で表されます。
アンケート	内部コントロールアンケートは、監査フィールドワーク中に回答される内部コントロールシステムに関する質問のリストです (「はい」、「いいえ」、「該当なし」などの回答を含む)。アンケートは、クライアントの内部コントロールに関する監査人の理解を示すドキュメントの一部です。
ランダムサンプル (乱数サンプリング)	母集団の各アイテムが選択される確率が同一であるようなサンプリング。乱数を使用して母集団からランダムにサンプルを選択することもできます。
合理的な保証 (内部コントロール)	内部コントロールは、どれほど適切に設計および運用されていても、すべての内部コントロールシステムに固有の制限があるため、エンティティの目標が満たされることを保証できません。
修正	障害が特定され評価された後、問題を軽減または排除するために適切な修正を行うことができます。 残りの可能性：回答戦略が実装された後に特定済みのリスクが発生する可能性。
要件	約束の結果としてエンティティが対処する必要があるもの。
残りの可能性	回答戦略が実装された後に特定済みのリスクが発生する可能性。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
残存リスク	関連する内部コントロールと軽減アクションが実施されて有効になった後の、可能性と影響度 (または重大性) に関するリスクエクスポージャーのレベル。
残存スコア	回答戦略が実装された後のリスクのスコア。
残りの重大性	回答戦略が実装された後のリスクの重大性。
リスク	リスクとは、組織のビジネス目標に悪影響を与える可能性のある脅威または脆弱性のことです。すべてのリスクは 1 つのリスクリポジトリに含まれます。リスクは、アイテム、ポリシー、コントロール、および修正タスクに関連している場合があります。即時または継続的な注意が必要なリスクは、定義されたコントロールと関連するコントロールテストを使用して軽減、防止、または制御できます。リスクステートメントは、脅威が脆弱性を利用した場合に発生する可能性がある定義済みの結果です。 リスクは、影響度 (または重大性) と可能性の観点から測定されます。リスクのタイプには、運用リスク (詐欺など)、非準拠のリスク (法律に準拠するための適切な文書を提出していない)、および戦略的リスク (ブランドの評判に影響を与えるインシデントなど) が含まれます。ビジネスリスクは、企業内の IT の使用、所有権、運用、関与、影響、および採用に関連付けられています。
リスク分析	指定されたイベントが発生する頻度とその結果の規模を判断するために利用可能な情報を体系的に調べること。
リスク選好度	組織がその目標を達成するために許容するリスクのレベル。
リスクアセスメント	エンティティ、資産、システムまたはネットワーク、組織の運用、個人、地理的領域、その他の組織、または社会が直面しているリスクの評価です。どの程度の不利な状況またはイベントが有害な結果を生じるかについての判断が含まれます。
リスク基準	リスクのレベルが評価される定量的または定性的な値です。
リスク管理	リスク管理の目的は、不確実性を減らすことです。これは、組織の目標達成を追求しながら、リスクに対処するプロセスとリソースを管理する行為です。リスクを特定、分析、評価、および伝達し、実行したアクションに関連するコストとメリットを考慮して、リスクを受け入れ、回避、転送、または許容可能なレベルに制御するプロセスです。
リスク管理フレームワーク	明示的にリスクを管理するための形式化されたプロセス。フレームワークはリスクアセスメント、応答、リスクの説明責任、およびリスクに関連した軽減アクティビティから構成されます。
リスク軽減	リスクを軽減する、ポリシー、フレームワーク、説明責任などの制御環境に組み込まれたプロセス。
リスク登録	潜在的および既知の IT リスクの問題の主要な属性のリポジトリ。属性には、名前、説明、オーナー、予想/実際の頻度、固有/残存レベル、潜在的/実際のビジネスへの影響度、および軽減/修正計画が含まれる場合があります。
リスク対応	リスクを受け入れるか、リスクを拒否するか、リスクを処理または軽減するか、または他の関係者とリスクを共有するかの決定。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業界用語 (続く)

用語	定義
リスクステートメント	組織のいずれかの場所で生じる可能性のある潜在的なリスクや脅威に関する全般的なステートメント。
リスク許容度	組織が目標を達成するために超えたくないリスクのレベル。特定のリスクカテゴリに対して組織内のさまざまな管理レベルに与えられたしきい値 (一般に財務) に関するリスク選好の表現。
サンプルサイズ	母集団からサンプルが抽出されたときに選択された母集団アイテムの数。
サンプリング	レコードの母集団全体を表せるように、少数だが適切な代表レコードを選択すること。
サンプリングリスク	サンプルから導き出された結論が母集団全体の正しい結論を表していない可能性。
職務の分離 (SoD)	トランザクションの承認、トランザクションの記録、および資産の保管の維持の責任をさまざまな人にアサインすること。職務の分離により、1 人の担当者がエラーや詐欺を実行したり、隠蔽したりする機会を減らすことができます。
重大性	リスクの重大度を、その可能性とともに評価するために使用されます。特定のリスクが発生した場合に組織に及ぼす結果のレベルを評価します。
SLE	単一損失予測 (SLE) = 単一損失予測 = 資産価値 x エクスポージャー係数。
ステークホルダー	組織のアクション、目標、およびポリシーに影響を与える、またはそれらによって影響を受ける可能性があるため、組織に直接的または間接的に出資している個人、グループ、または組織。
標準	幅広い内部監査アクティビティを実行し、内部監査のパフォーマンスを評価するための要件を説明する、内部監査標準委員会によって公示された専門的な意見書。
戦略的リスク	政治的要因、顧客の優先順位、ブランド、評判などの戦略的目標に関連するもの。
ターゲット	エンティティが達成しようとする測定可能な値。
テスト	母集団の特性を推定するための母集団からのサンプル。
テスト計画	単一のコントロールの設計と運用の有効性に関する特定の監査テスト。
脅威	目標の達成に、どちらかと言えば望ましくない影響を与えるイベント。
許容範囲	ターゲットからの逸脱の許容レベル。
Unified Compliance Framework (UCF)	Network Frontiers の Unified Compliance Framework (UCF) には、ServiceNow インスタンスにインポートできる各種法令・基準等が含まれています。詳細については、「Unified Compliance Framework」を参照してください。
不確実性	何かを完全に予測、決定、または定義できない状態。

GRC の参照

参照トピックには、GRC アプリケーションとともにインストールされるテーブル、ロール、およびプロパティに関する情報が記載されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GRC とともにインストールされるコンポーネント

参照トピックには、GRC プラグインのアクティブ化とともにインストールされるコンポーネントに関する追加情報が記載されています。これらのコンポーネントには、テーブル、ユーザーロール、およびプロパティが含まれます。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

GRC とともにインストールされるテーブル

GRC プラグインを有効にするとテーブルが追加されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
コントロール目標からオブジェクトステージングテーブル [sn_grc_pci_control_objective_object_staging]	コントロール目標と構成テストのマッピングのステージング済みデータを格納します。
コントロール目標マッピングのインポート構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_configuration]	ステージングテーブルからターゲットテーブルにレコードを配送するために必要な構成情報を格納します。
コントロール目標マッピングのインポート追加フィールド構成 [sn_grc_pci_control_objective_mapping_import_additional_fields_configuration]	ターゲット m2m テーブルの追加列に関連するキーと値のペアを格納します。
各種法令・基準等へのコンテンツ参照 sn_grc_m2m_cont_ref_auth_doc	コンテンツ参照と各種法令・基準等の間でマッピングされたデータを格納する多対多の関係テーブル。
引用へのコンテンツ参照 [sn_grc_m2m_cont_ref_citation]	コンテンツ参照と引用の間でマッピングされたデータを格納する多対多の関係テーブル。
コントロール目標へのコンテンツ参照 [sn_grc_m2m_cont_ref_ps]	コンテンツ参照とコントロール目標の間でマッピングされたデータを格納する多対多の関係テーブル。
機能ドメイン [sn_grc_functional_domain]	機能ドメインのリストのメタデータを格納します。
機能ドメイン構成 [sn_grc_functional_domain_configuration]	IT 関連として分類されているすべての監査およびコンプライアンスオブジェクトの構成情報を保存します。
機能ドメイン構成の m2m 関係レジストリ [sn_grc_functional_domain_config_m2m_relationship_registry]	親テーブル、子テーブル、および両者間の関係を決定する関係レジストリの m2m マッピングを格納します。
GRC 機能ドメインユーザーアクション [sn_grc_functional_domain_user_action]	オブジェクトを IT 関連として追加および削除する、手動でトリガーされたユーザーアクションを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
問題からコンテンツ [sn_grc_m2m_issue_content]	問題とコントロール目標の間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
問題からドキュメント [sn_grc_m2m_issue_document]	問題とポリシーテーブルの間、および問題と各種法令・基準等の間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
エンゲージメントの問題 [sn_grc_m2m_issue_engagement]	問題とエンゲージメントの間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
アイテムへの問題 [sn_grc_m2m_issue_item]	問題とコントロールの間の関係を管理するために使用される多対多の関係テーブル。
アイテムからエンティティ [sn_grc_m2m_item_entity]	共通コントロールを持つ関連付けられている依存エンティティを格納する多対多の関係テーブル。
アイテムからエンティティタイプ [sn_grc_m2m_item_entity_type]	エンティティタイプの関連付けのエンティティタイプ ID レコードを保存します。
インジケーター [sn_grc_indicator]	インジケーターの詳細を保存します。
提出データ [sn_grc_indicator_supporting_data]	インジケータージョブの実行 (GRC インジケーターの夜間実行) の後に収集されたサポートデータを保存します。
データ統計をサポートするインジケーター [sn_grc_indicator_supporting_data_statistics]	サポートデータ収集ジョブによって利用される、サポートデータを収集するためのインジケーターの統計情報を保存します。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス の共通のロール

特定の共通のロールが複数の GRC モジュールで使用されます。

共通のロール

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
GRC ビジネスユーザー [sn_grc.business_user]	このロールは GRC プロファイルアプリケーションの一部です。アサインされたタスクを実行するコンテキストで GRC アプリケーションへのアクセスのみを必要とするユーザーにアサインする必要があります。たとえば、証明書またはリスクアセスメントに応答する必要があるビジネスユーザー、または問題を修正する必要があるビジネスユーザーには、このロールが必要となる場合があります。このロールを持つユーザーは、アサインされたタスクに関連するデータおよび情報への限定されたアクセスが提供されます。	• sn_grc.user_hierarchy_reader • workspace_user • sn_grc_workspace.task_reader • canvas_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	14.x リリース以降、sn_grc.business_user ロールを持つユーザーは次の権限を使用できます。 Policy and Compliance Management • 新しい問題を作成し、その問題またはグループにアサインされたすべての問題を表示します。 • 作業を承認し、証拠の応答を承認します。 • 修正タスクをアサインします。 • ポリシーを確認します。 • ポリシーに寄稿します。 • 証明書をグループ化およびグループ解除します。 • ポリシーの例外を要求して承認します。 • 問題を報告します。 • 観察事項に応答します。 • 問題のトリアージを送信して要求します。 • 証明書を取得します。 リスク管理 • 新しい問題を作成し、その問題またはグループにアサインされたすべての問題を表示します。 • インジケータータスクをアサインします。 • 問題をアサインします。 • 修正タスクをアサインします。 • リスクイベントタスクをアサインします。 • リスク応答タスクをアサインします。 • Advanced Risk アセスメントを承認し、評価します。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	• インジケータータスクに応答します。 • リスク識別アンケートに応答します。 • 測定基準データタスクに応答します。 • 問題を報告します。 • 問題のトリアージ要求を送信します。 • リスクアセスメントを行います。 • リスクアセスメントスコープを表示します。 • リスクステートメントを表示します。 • リスクアセスメントスコープを表示します。 • リスクイベントを表示および報告します。 • インジケーターサポートデータを表示します。 Project Portfolio Management との統合 • ライブラリーからリスクを作成します。 • エンタープライズリスクを昇格します。 • オブジェクトアセスメントを開始します。 • プロジェクトリスク概要ダッシュボードを表示します。 GRC：プロファイルをバージョン 11.x またはバージョン 12.x にアップグレードする間、過去 90 日間に GRC 操作を実行したユーザーには、GRC ビジネスユーザーロールが自動的に割り当てられます。これは 1 回限りのイベントです。グループとロールは、 11.x または 12.x のアップグレード中に 1 回アサインされます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	GRC ビジネスユーザーロールの詳細については、「KB0864247」を参照してください。 **注:** ナレッジベース 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。 **注:** GRC ユーザーロールで GRC レコードにアクセスできるユーザーを管理します。以前は、snc_internal ロールを持つユーザーも GRC レコードにアクセスできました。セキュリティ更新の一環として、各 GRC アプリケーションは、アクセス制御リスト (ACL) を変更し、GRC レコードへのアクセスを GRC ロールを持つユーザーのみに制限しています。	
GRC Business User – Lite [sn_grc.business_user_lite]	このロールを持つユーザーは、sn_grc.business_user によって実行できるタスクのサブセットのみを実行できます。このロールは、「Risk Lite Operator」ライセンスを購入し、ServiceNow Store から GRC: Business User – Lite アプリケーションをインストールした顧客にのみ適用されます。Risk Lite Operator は、リストされている操作を 1 つ以上実行する権限を持つユーザーです。このロールを持つユーザーは、次のアクティビティを実行できます。 • ポリシーの確認、コントロール証明書、アサインされた問題、修正タスク、および証拠	• sn_grc_workspace.task_reader • canvas_user • sn_grc.user_hierarchy_reader

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
	要求を読み取り、更新します。 • 送信された問題、リスクイベント、ポリシー例外を報告および読み取ります。 リスク管理 • 新しい問題を作成し、その問題またはグループにアサインされたすべての問題を表示します。 • Advanced Risk アセスメントを承認します。 **注:** Lite オペレーターが高度なリスクアセスメントを承認できるようにするには、管理者が sn_risk_advanced.ara_approver ロールを GRC: Business User Lite に手動で追加する必要があります。 • リスク応答タスクに対応します。 • リスク対応タスクを承認します。 • リスクイベントをレビュー、承認、または却下します。 • リスク識別アンケートに応答します。 • アサインされたリスクイベントタスクを更新します。 • 測定基準データタスクをレビューして応答します。	
GRC 管理者 [sn_grc.admin]	アプリケーションとモジュールの GRC スイートへの管理アクセス権を付与します。	• business_process_admin • sn_grc.user_hierarchy_admin • sn_grc_workspace.task_admin • sn_grc.manager • sn_data_registry.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
GRC システム管理者 sn_grc.sn_grc_system_admin	このロールは、ジョブスケジュールを実行するためのシステムロールです。このロールは、システム管理者ロールと同等です。たとえば、ポリシーの確認のためにジョブスケジュールを実行する場合は、GRC 管理者としてジョブを実行するようにシステムを設定できます。 **注:** このロールはユーザーにアサインされません。ジョブスケジュールを実行するために使用される技術的バックエンドロールです。	• admin • import_admin • sn_grc.admin
GRC リーダー [sn_grc.reader]	アプリケーションとモジュールの GRC スイートへの読み取りアクセス権を付与します。	• pa_viewer • cmdb_read • sn_data_registry.reader
GRC マネージャー [sn_grc.manager]	アプリケーションとモジュールの GRC スイートへの管理アクセス権を付与します。	• sn_grc.user • business_process_manager • cmdb_query_builder_read
GRC ユーザー [sn_grc.user]	アプリケーションとモジュールの GRC スイートへの管理アクセス権を付与します。	• sn_grc.reader • business_process_user • sn_grc_pa.sn_grc_pa_viewer
GRC 開発者 [sn_grc.developer]	GRC で、スクリプト化された要素、高度なリスクアセスメント用のスクリプト化された式、スクリプト化されたインジケーターの記述など、スクリプトベースの作業を実行する機能を提供します。	sn_grc.admin
GRC 機密ユーザー [sn_grc.confidential_user]	GRC 機密レコードへのアクセスを付与します。	なし
GRC ユーザー階層リーダー [sn_grc.user_hierarchy_reader]	sn_grc_user_hierarchy テーブル内のレコードへの読み取りアクセス権を付与します。	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通のロール (続く)

ロールタイトル [名前]	説明	含んでいるロール
GRC ユーザー階層管理者 [sn_grc.user_hierarchy_admin]	このロールを持つユーザーは、sn_grc_user_hierarchy_configuration テーブルのレコードを作成および削除できます。	なし
ワークスペースタスクリーダー [sn_grc_workspace.task_reader]	このロールを持つユーザーは、タブ構成や適用可能なテーブルなどの構成テーブルのレコードを読み取ることができます。	なし

GRC のプロパティ

Policy and Compliance と Risk Management に共通の GRC プロパティは次のとおりです。

共通の GRC プロパティ

注:
移動先 **Policy and Compliance > Administration >**プロパティ. または、次の場所に移動することもできます。 リスク管理**>**プロパティ.

高度なリスク のプロパティ

プロパティ	説明
同じ応答アセスメントグループ化オプションを有効にします。sn_grc.enable_consolidate_asmt	このプロパティは、「証明書応答の統合」機能で使用されます。これを true に設定すると、[すべてのアセスメントに同じ回答を提供] オプションがグループ化の選択肢に追加されます。 • タイプ：[はい] または [いいえ] • デフォルト値：はい
異なる応答タイプのグループ化されたアセスメントで許可されている質問の合計数 = 1 つのアセスメントでの質問数 * 選択されたアセスメントの数。sn_grc.grouped_questions_limit	このプロパティは、証明書/リスクアセスメントのグループ (さまざまな応答タイプ) を作成するときに使用されます。式の合計数を超えると、グループ内の質問が過多になるのを防ぐために、グループの作成を制限するエラーがスローされます。顧客がこのプロパティを増やすと、パフォーマンスに影響する可能性があります。
アイテムのインジケーターを自動的に作成します。sn_grc.auto_create_indicator	このプロパティが true に設定されている場合、コンテンツ (リスクテートメント/コントロール目標) がインジケーターテンプレートにリンクされると、インジケーターが自動的に生成されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスク のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：[はい] または [いいえ] • デフォルト値：はい
許可されたインジケーターイベントの最大数。sn_grc.indicator_max_events	これらは、スケジュールされたインジケーターの実行中の発生が許可されたインジケーター実行関連のイベントの最大数です。通常、発生するイベントの数は、実行するインジケーターの合計数/インジケーターのバッチサイズによって決定されます。結果イベント数がインジケーターイベントの最大数を超えた場合、バッチサイズ ID はインジケーターの合計/許可されたインジケーターイベントの最大数に調整されます。
実行するインジケーターのバッチサイズ。sn_grc.indicator_min_batch_size	このプロパティは、バッチで実行する必要があるインジケーターの数を制御します。インジケーターは常にバッチで実行されます。バッチごとに、実行するインジケーターの sys_id を持つイベントが発生します。たとえば、インジケーターの合計数が 10000 でバッチサイズが 1000 の場合、10 個のイベントが発生し、各イベントには実行される 1000 個のインジケータのリストがあります。
同じ応答タイプのグループ化されたアセスメントで許可されている質問の合計数 = 1 つのアセスメントでの質問数 * 選択されたアセスメントの数。 sn_grc.consolidated_questions_limit	このプロパティは、証明書/リスクアセスメントのグループ (同じ応答タイプ) を作成するときに使用されます。式の合計数を超えると、グループ内の質問が過多になるのを防ぐために、グループの作成を制限するエラーがスローされます。顧客がこのプロパティを増やすと、パフォーマンスに影響する可能性があります。
開かれているインジケータータスクの最大数。sn_grc.max_open_indicator_tasks	実行される各インジケーターでは、sn_grc_indicator_task テーブルに関連付けられたタスクが作成されます。このプロパティは、任意の時点でアクティブなインジケータータスクの数を制御します。インジケーターがカウントを超えると、sn_grc.max_tasks_exceeded イベントが発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスク のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	詳細については、「KB0788099」を参照してください。
関連するすべての修正タスクがクローズされると、問題を自動的にクローズします。sn_grc.automatically_close_all_issues_when_all_tasks_closed	このプロパティが true に設定されている場合、すべての子タスクがクローズされたときに問題は自動的にクローズされます。それ以外の場合は、ユーザーが手動で問題をクローズする必要があります。 • タイプ：[はい] または [いいえ] • デフォルト値：はい
問題アサイニーの提案の基準。sn_grc_pred_intel.issue_assignee_suggest	このプロパティが None に設定されている場合、問題フォームの [アサイン先] フィールドの横に提案アイコンは表示されません。Similarity Analysis に設定されている場合、提案アイコンが利用可能になり、ユーザーが提案アイコンをクリックすると、 [問題アサイニーの予測の機械学習ソリューション] プロパティに指定された類似ソリューション定義名に基づいてアサインが予測されます。
問題のアサイニーを予測するための機械学習ソリューション。sn_grc_pred_intel.ml_solution_for_issue_assigned_to	このプロパティは、アサイン先の問題の予測に使用される類似ソリューション定義の名前を記述するために使用されます。このフィールドが空白のままであるか、類似ソリューション定義名が不適切または存在しない場合、[問題の担当者] フィールドの横にある提案アイコンをクリックするとエラーが発生します。ユーザーは、インスタンスに多数の既存の類似ソリューションがある場合があります。これにより、適切なソリューション定義名をある程度柔軟に指定できます。
インジケーターテンプレートとインジケーターのデフォルトのサンプルサイズ。sn_grc.indicator.default.sample_size	このプロパティは、インジケーターテンプレートとインジケーターのデフォルトのサンプルサイズを設定するために使用されます。
インジケーターをサポートするデータ収集ジョブによって処理されるレコードの最大数。sn_grc.max_supporting_data_records_to_process	このプロパティは、サポートデータ収集ジョブが実行されるたびに、サポートデータ統計テーブル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

高度なリスク のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	から構成済みの数のレコードを収集するために使用されます。デフォルト値は 500 です。
% ベースのサンプリングによるインジケーターのデータ制限をサポートします。sn_grc.supporting_data_percentage_max_records_limit	[インジケーターテンプレート] または [インジケーター] フォームの [サポートデータ] タブで [サンプル収集タイプ] として [パーセンテージ] を選択している場合に、収集するレコードの割合を設定している場合、このプロパティはサポートデータ収集の上限を設定するために使用されます。
インジケーターの実行後に保留中のアクションを非同期に実行します。sn_grc.execute_indicator_next_actions_async	プロパティが True に設定されている場合、2 つのカスタムキューが利用されて、インジケーターが高レベルで処理されます。プロパティが False に設定されている場合、インジケーターの処理はデフォルトのキュープロセッサーによって行われます。
収集ジョブを使用して、インジケーターのサポートデータを非同期に収集します。sn_grc.process_indicator_supporting_data_async	True の場合、サポートデータ収集ジョブはサポートデータをサポートデータ統計テーブルに収集します。False の場合、サポートデータはデフォルトキューから収集されます。この場合、サポートデータ収集ジョブは活用されません。
期限切れ通知を送信するインジケータータスクの期日からの経過日数。	このプロパティは、期日から経過した日数をユーザーに通知するために使用されます。
リマインダー通知を送信するインジケータータスクの期日までの日数。	このプロパティは、インジケータータスクの期日が近づいていることをユーザーに通知するために使用されます。

GRC コンテンツパック

コンテンツパックには、定義済みのスコープ、特定のポリシー、コントロール、リスク、監査、テスト計画、ダッシュボード、およびレポートなどが含まれており、顧客は、様々な規制やフレームワークを採用する際、運用面で有利なスタートを切ることができます。

ServiceNow Store での GRC コンテンツパックのインストール、検証、レポート機能については、次のドキュメントを参照してください。

特に示さない限り、各コンテンツパックでは、ServiceNow GRC 製品がインスタンスにインストールされ、有効化されている必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サーベンスオクスリー (SOX) コンテンツパック

サーベンスオクスリー法 (SOX) コンテンツパックは、ServiceNow® GRC アプリケーションを使用して運用上の SOX コンプライアンスの達成に向けたアクティビティを開始および管理するための組織向けの基本的な SOX コンテンツを提供します。コンテンツパックには、定義済みのスコープ、特定のポリシー、コントロール、リスク、監査、テスト計画、ダッシュボード、レポートなどが含まれており、ServiceNow® GRC のユーザーは、SOX コンプライアンス関連のアクティビティに向けたアプリケーションを使用する際に有利なスタートを切ることができます。

組織のコンプライアンス管理者 (sn.compliance.admin)、リスク管理者 (sn.risk.admin)、または監査管理者 (sn.audit.admin) の GRC 管理者ロールを持つユーザーは、組織の SOX 要件に適合するようにコンテンツを編集する責任を負います。SOX Content Pack は、ServiceNow® GRC の 3 つのコアアプリケーション、つまり ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、Audit Management を対象としており、これらのアプリケーションのさまざまなコンテンツ要素間の関係を確立します。

SOX Content Pack をインストールする

コア GRC アプリケーションで使用する SOX Content Pack をインストールします。

始める前に

必要なロール：sn_compliance.admin、sn_risk.admin、または sn_audit_admin、admin

インストールの前に、次のセットアップチェックリストを完了します。これらのセットアップタスクは、インストールをスムーズに行うために必要です。

セットアップタスク	説明
ServiceNow プラグインが有効化されていることを確認します。	次の GRC プラグインの 1 つを有効にします。 • GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 (com.sn_compliance) • GRC リスク管理 (com.sn_risk) • GRC: Audit Management (com.sn_audit) このプラグインがアクティブ化されていることを確認するには、次に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。

手順

1. 「info re: Legal Notice」と入力します。
2. アプリケーションをインストールしていない場合は、指示に従ってインストールします。
   a. アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。
   b. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
      インストール可能なアプリのリストが表示されます。
   c. アプリを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリがインスタンスに自動的にインストールされます。

アプリをアンインストールするときに、プロファイルタイプのプロファイルとインジケーターを保持するには、このチェックボックスをオンにします。

ポリシーとコンプライアンス管理で **SOX Content Pack** を確認する

SOX Content Pack をインポートした後、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション内でプロファイルタイプ、プロファイル、ポリシー、ポリシーステートメント、コントロール、インジケーターテンプレート、およびインジケーターを確認および編集します。

始める前に

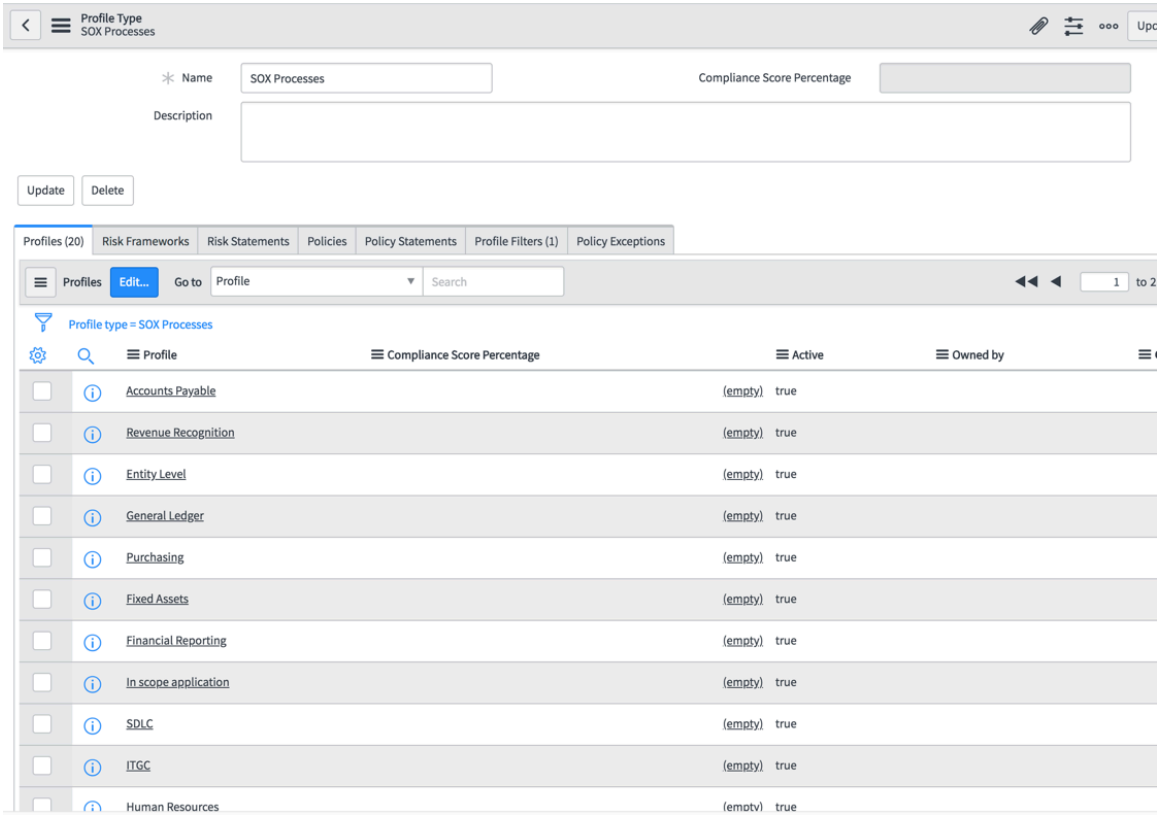
必要なロール：コンプライアンス管理者 (sn_compliance.admin)

手順

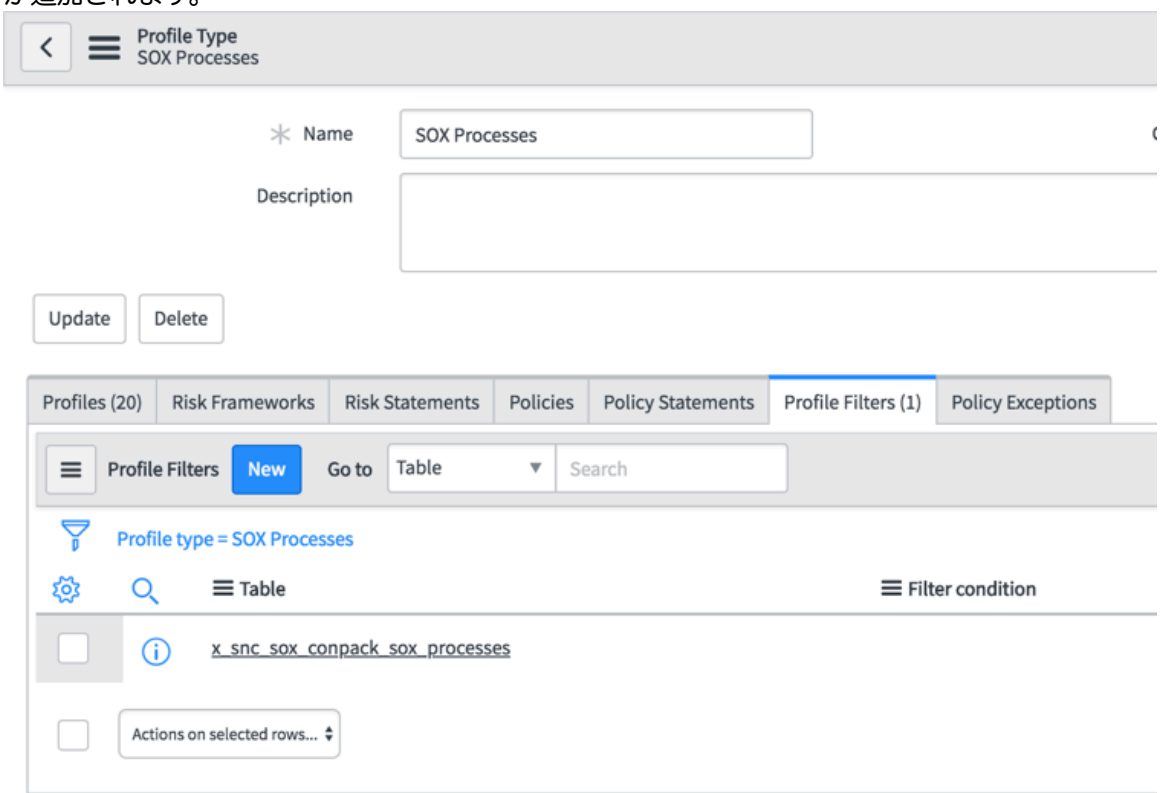
1. 移動先 すべて > **Policy and Compliance** > スコーピング > エンティティタイプ.
   [SOX プロセス] エンティティタイプが追加され、SOX プロファイルの生成に使用されます。
   - 売掛金
   - 買掛金
   - コミッション
   - 株式
   - エンティティレベル
   - 財務レポート
   - 固定資産
   - 総勘定元帳
   - Human Resources
   - スコープ内のアプリケーション
   - Inventory
   - ITGC
   - 給与
   - 購入
   - 収益認識
   - SAP
   - SDLC
   - 税
   - 出張費と経費
   - 財務省

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

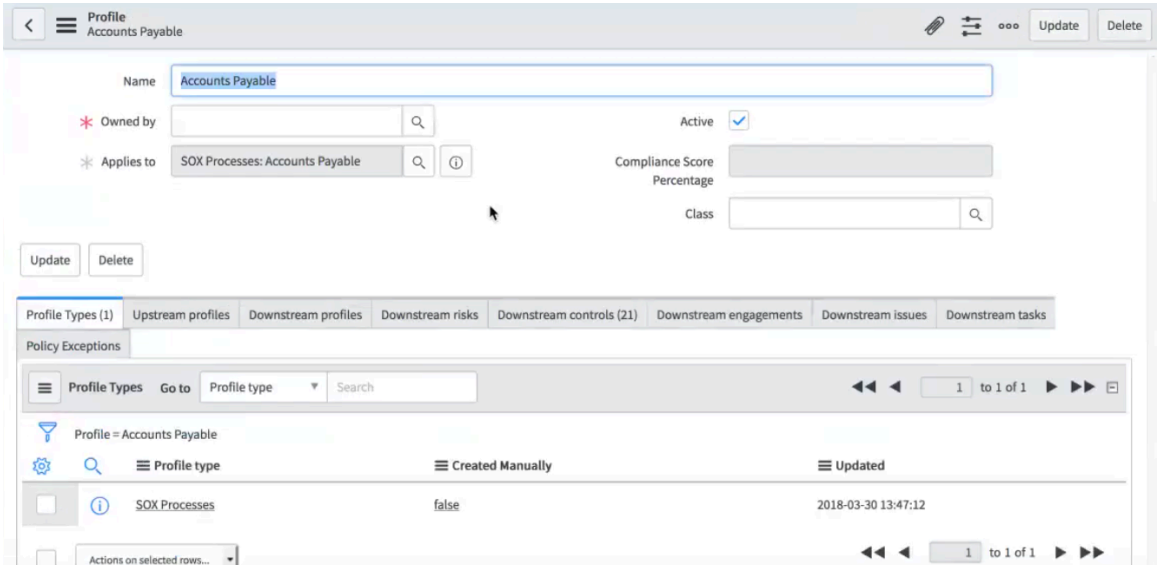


2. Kingston SOX コンテンツパックを使用している場合、[エンティティフィルター] 関連リストの下に、SOX エンティティの生成について SOX プロセステーブルをクエリーするためのフィルターが追加されます。



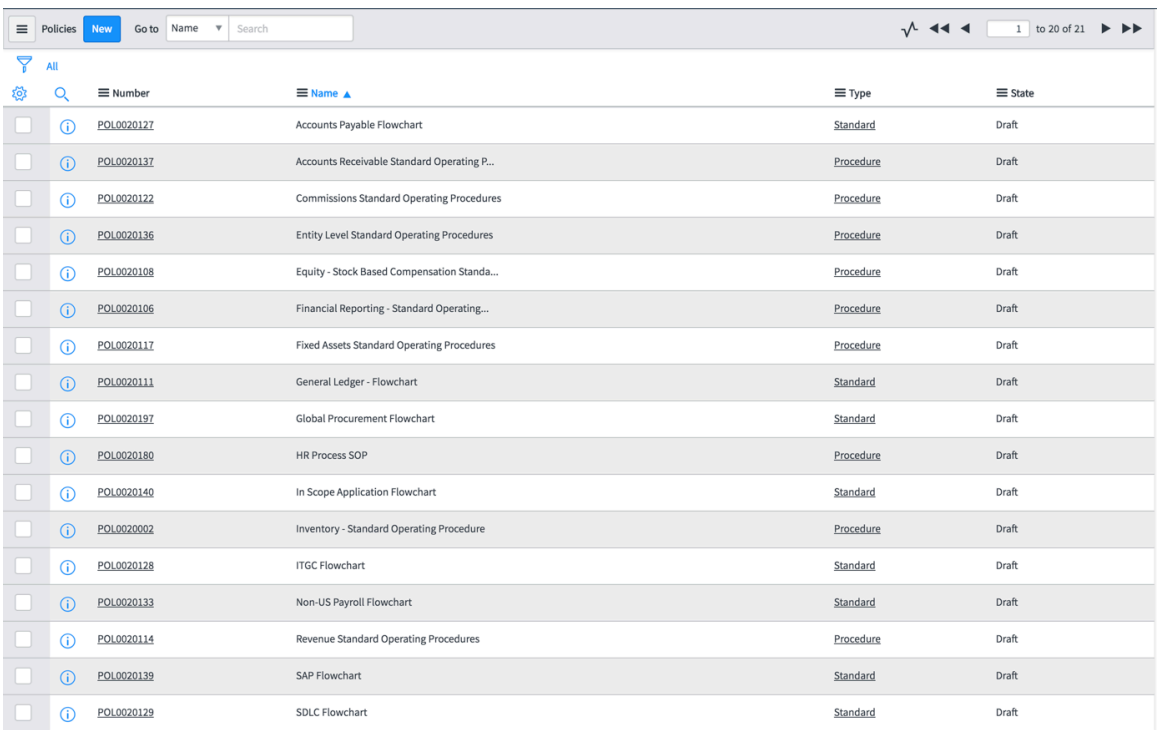
3. エンティティを開くと、下流のすべてのコントロールが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 移動先 **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > 方針.
   すべての SOX ポリシーが [ドラフト] ステータスで追加されています。
   - 買掛金フローチャート
   - 売掛金標準運用手順
   - コミッション標準運用手順
   - エンティティレベル標準運用手順
   - 株式 - 株式ベースの報酬標準運用手順
   - 財務レポート - 標準運用手順
   - 固定資産標準運用手順
   - 総勘定元帳 - フローチャート

自動翻訳

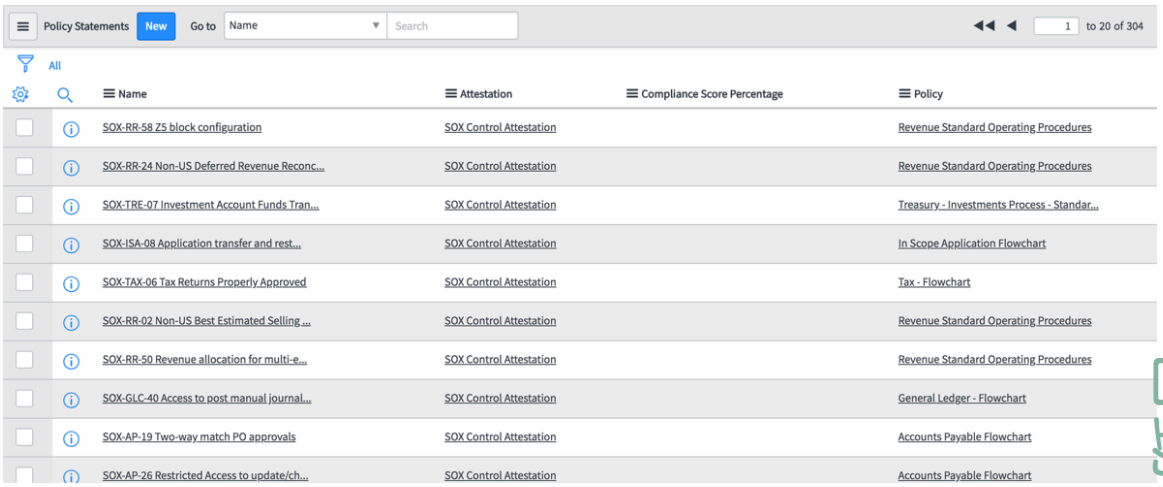


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. SOX ポリシーレコードを開きます。
   ポリシーにテキストがないことに注意してください。独自のポリシーを作成し、ポリシーのライフサイクルを開始します。
6. 移動先 **Policy and Compliance** > ポリシーおよび手順 > ポリシーステートメント.
7. 検索バーで、[名前] フィールドに「SOX」と入力します。

   注:
   SOX 関連のポリシーステートメントの名前はすべて、**SOX** で始まります。

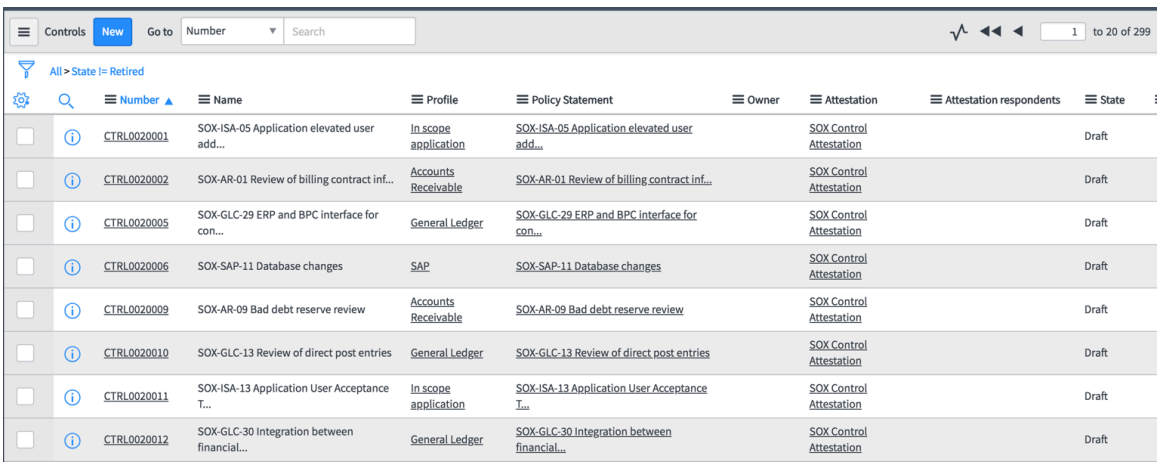
   - すべての SOX ポリシーステートメントが作成され、SOX ポリシーにアサインされます。
   - SOX コントロール証明書が作成され、ポリシーステートメントに追加されます。



8. 移動先 **Policy and Compliance** > コントロール.
9. 検索バーで、[名前] フィールドに「SOX」と入力します。

   注:
   SOX 関連のコントロールの名前はすべて、**SOX** で始まります。

   - すべての SOX コントロールはエンティティごとに作成されます。
   - SOX コントロール証明書は、証明書の回答者がいないすべてのコントロールに追加されます。

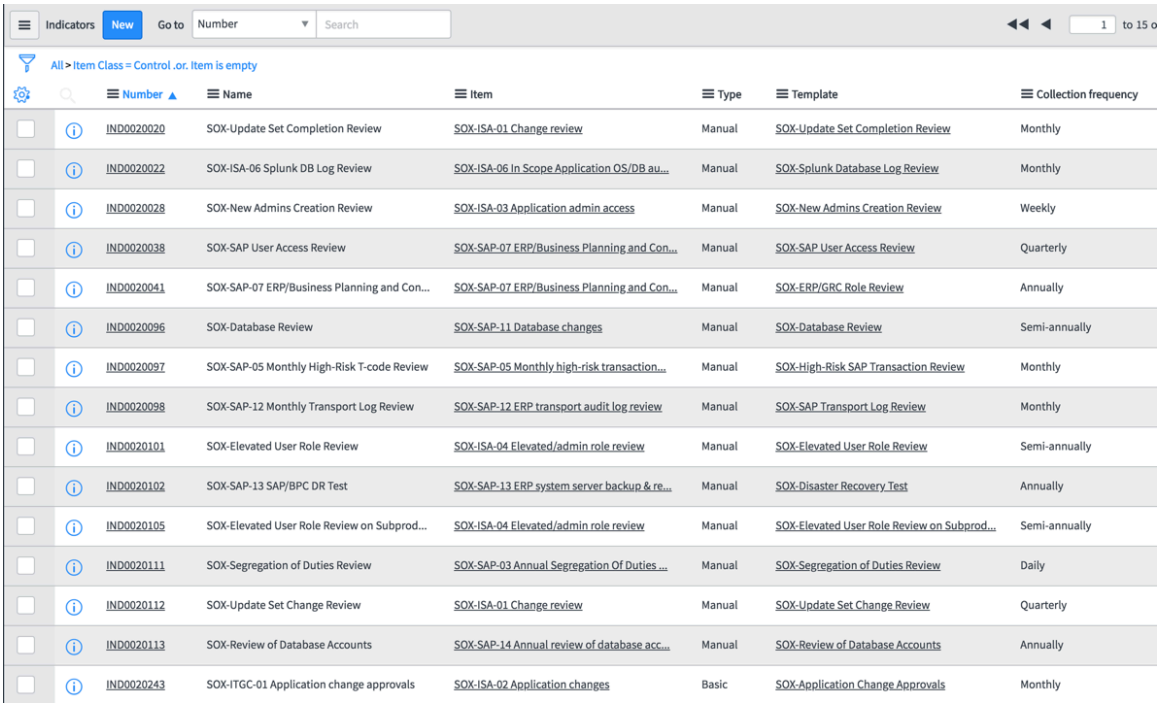


10. 移動先 **Policy and Compliance** > インジケーター.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOX コントロールインジケーターが追加され、インジケーターテンプレートがアサインされました。



Number ▲	Name	Item	Type	Template	Collection frequency
IND0020020	SOX-Update Set Completion Review	SOX-ISA-01 Change review	Manual	SOX-Update Set Completion Review	Monthly
IND0020022	SOX-ISA-06 Splunk DB Log Review	SOX-ISA-06 In Scope Application OS/DB au...	Manual	SOX-Splunk Database Log Review	Monthly
IND0020028	SOX-New Admins Creation Review	SOX-ISA-03 Application admin access	Manual	SOX-New Admins Creation Review	Weekly
IND0020038	SOX-SAP User Access Review	SOX-SAP-07 ERP/Business Planning and Con...	Manual	SOX-SAP User Access Review	Quarterly
IND0020041	SOX-SAP-07 ERP/Business Planning and Con...	SOX-SAP-07 ERP/Business Planning and Con...	Manual	SOX-ERP/GRC Role Review	Annually
IND0020096	SOX-Database Review	SOX-SAP-11 Database changes	Manual	SOX-Database Review	Semi-annually
IND0020097	SOX-SAP-05 Monthly High-Risk T-code Review	SOX-SAP-05 Monthly high-risk transaction...	Manual	SOX-High-Risk SAP Transaction Review	Monthly
IND0020098	SOX-SAP-12 Monthly Transport Log Review	SOX-SAP-12 ERP transport audit log review	Manual	SOX-SAP Transport Log Review	Monthly
IND0020101	SOX-Elevated User Role Review	SOX-ISA-04 Elevated/admin role review	Manual	SOX-Elevated User Role Review	Semi-annually
IND0020102	SOX-SAP-13 SAP/BPC DR Test	SOX-SAP-13 ERP system server backup & re...	Manual	SOX-Disaster Recovery Test	Annually
IND0020105	SOX-Elevated User Role Review on Subprod...	SOX-ISA-04 Elevated/admin role review	Manual	SOX-Elevated User Role Review on Subprod...	Semi-annually
IND0020111	SOX-Segregation of Duties Review	SOX-SAP-03 Annual Segregation Of Duties ...	Manual	SOX-Segregation of Duties Review	Daily
IND0020112	SOX-Update Set Change Review	SOX-ISA-01 Change review	Manual	SOX-Update Set Change Review	Quarterly
IND0020113	SOX-Review of Database Accounts	SOX-SAP-14 Annual review of database acc...	Manual	SOX-Review of Database Accounts	Annually
IND0020243	SOX-ITGC-01 Application change approvals	SOX-ISA-02 Application changes	Basic	SOX-Application Change Approvals	Monthly

タスクの結果
SOX コンプライアンスダッシュボードの詳細については、「SOX Content Pack のダッシュボードとレポート」を参照してください。

リスク管理 で **SOX Content Pack** を確認する

SOX Content Pack をインポートした後、リスク管理 アプリケーション内のエンティティタイプ、エンティティ、リスクステートメント、リスク、およびアセスメントを確認および編集します。

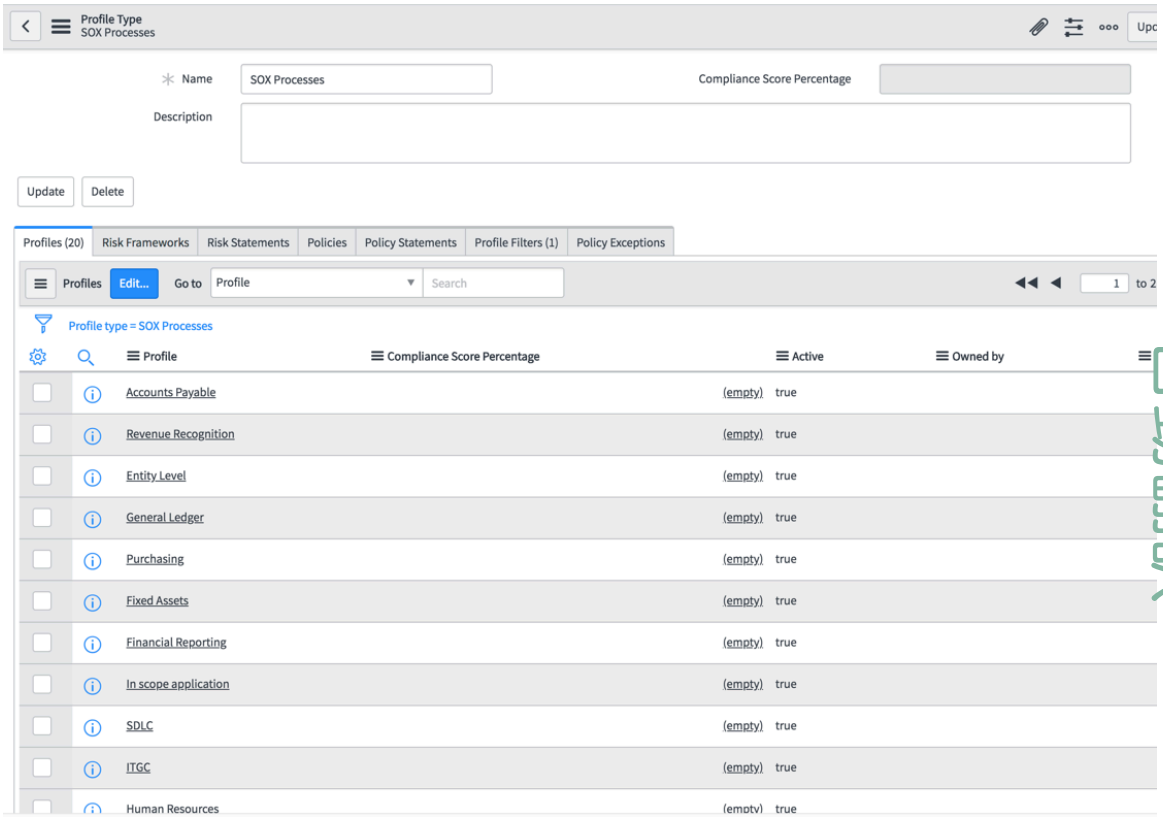
始める前に
必要なロール： リスク管理者 (sn_risk.admin)

手順

1. 移動先 すべて > リスク > スコーピング > プロファイルタイプ.
   [SOX プロセス] エンティティタイプが追加され、SOX エンティティの生成に使用されます。
   - 売掛金
   - 買掛金
   - コミッション
   - 株式
   - エンティティレベル
   - 財務レポート
   - 固定資産
   - 総勘定元帳
   - Human Resources
   - スコープ内のアプリケーション
   - Inventory

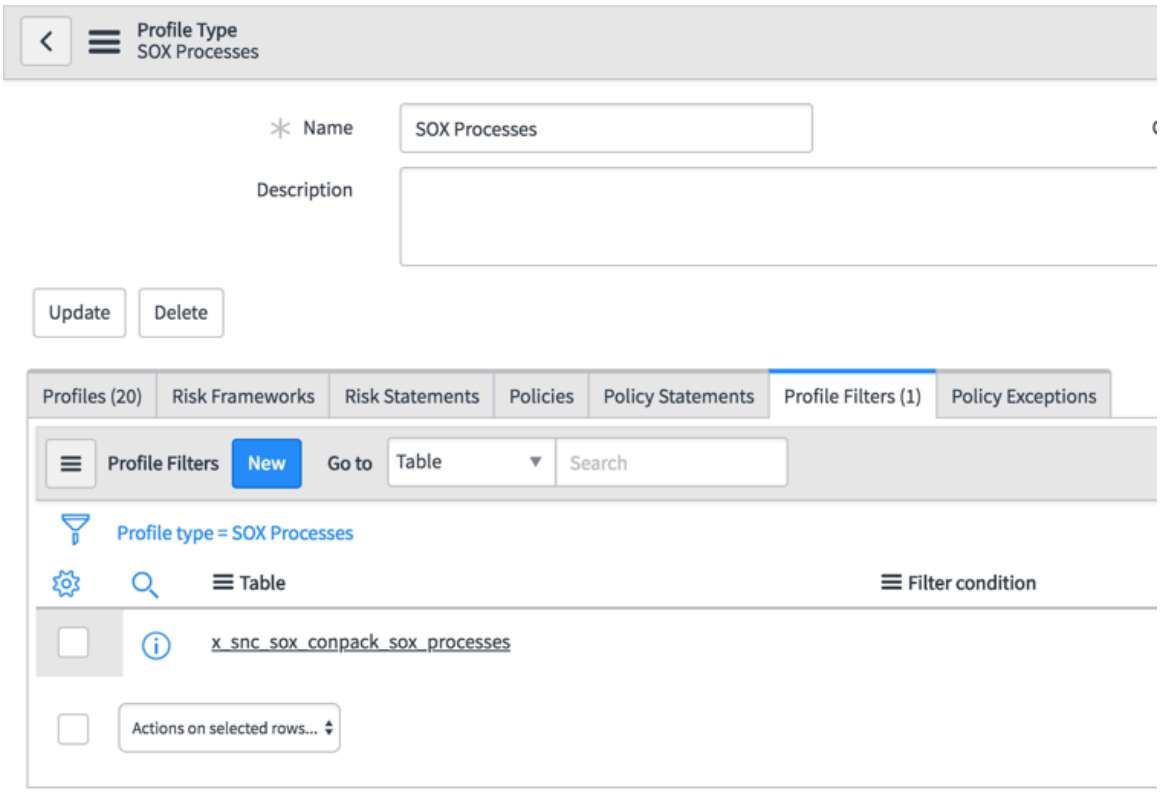
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ITGC
- 給与
- 購入
- 収益認識
- SAP
- SDLC
- 税
- 出張費と経費
- 財務省

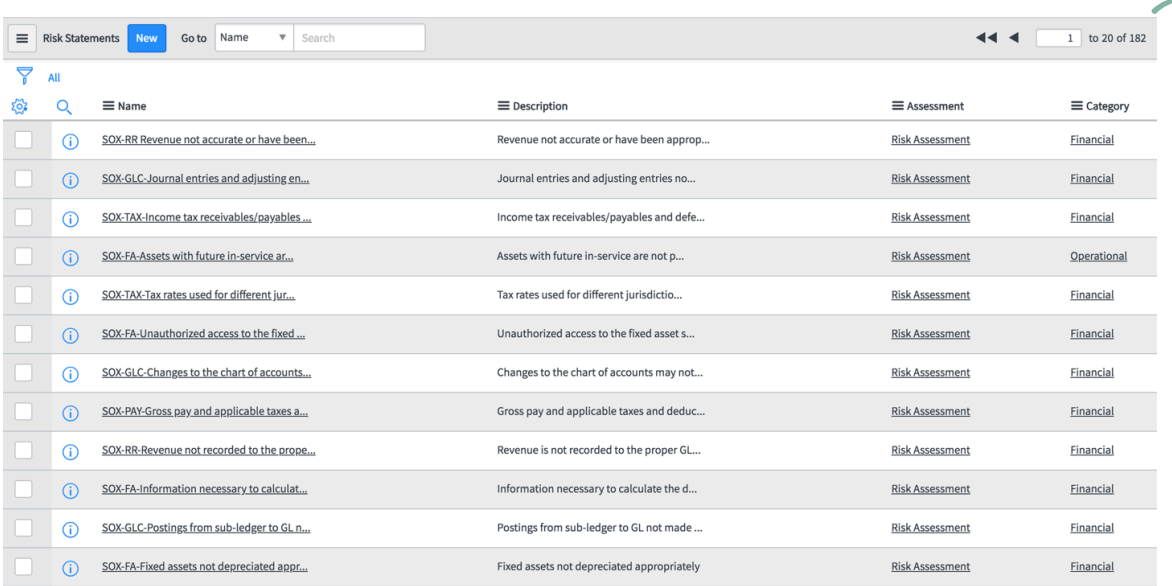


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [プロファイルフィルター] 関連リストの下に、SOX プロファイルの生成について SOX プロセステーブルをクエリーするためのフィルターが追加されます。



3. 移動先 リスク > リスクライブラリー > リスクステートメント.
すべての SOX リスクステートメントが [ドラフト] ステータスで追加されており、リスクアセスメントがアサインされます。

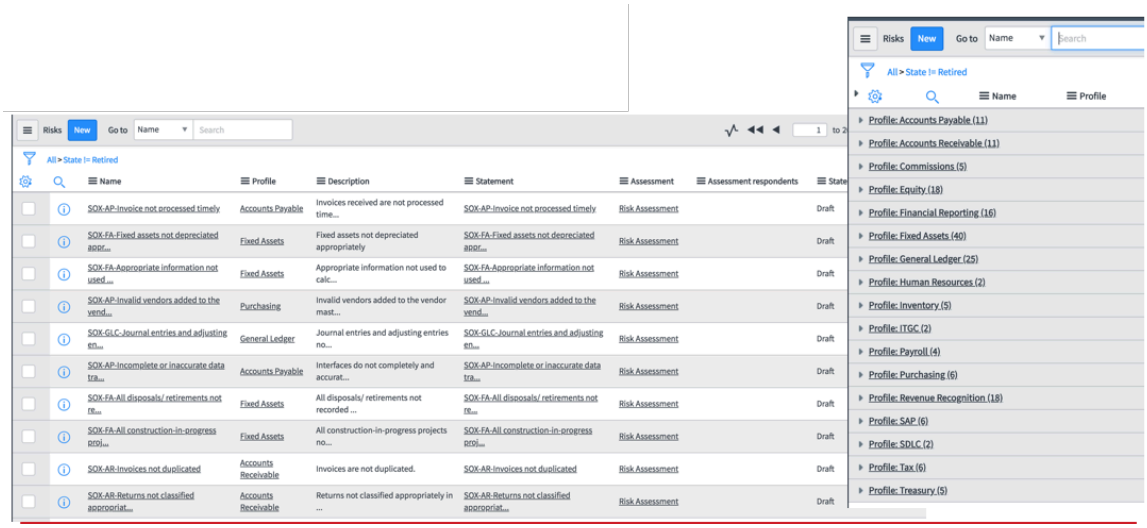


4. 移動先 リスク > リスク登録 > リスク.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての SOX リスクステートメントが [ドラフト] ステータスで追加されており、リスクアセスメントがアサインされます。



タスクの結果
SOX リスクダッシュボードの詳細については、「SOX Content Pack のダッシュボードとレポート」を参照してください。

Audit Management で SOX Content Pack を確認する

SOX Content Pack をインポートした後、Audit Management アプリケーション内のエンティティタイプ、エンティティ、監査エンゲージメント、監査タスク、テストテンプレート、およびテスト計画を確認および編集します。

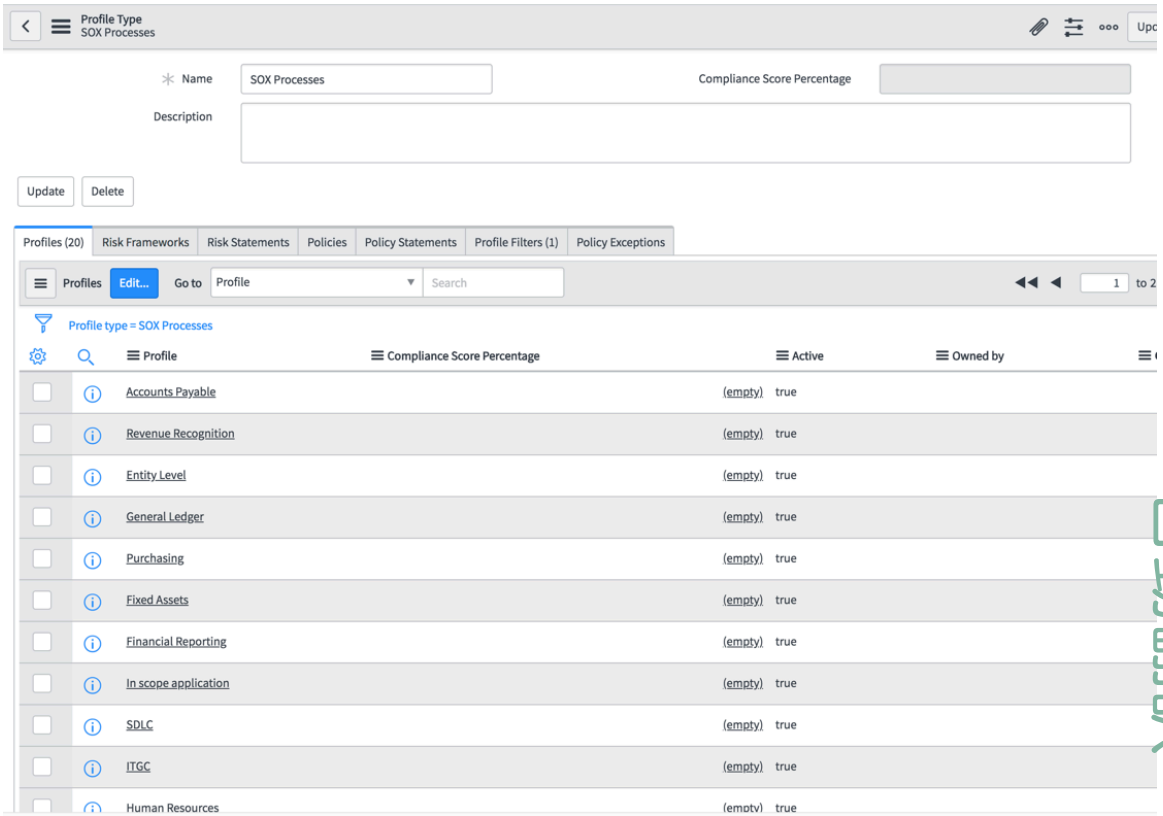
始める前に
必要なロール：監査管理者 (sn_audit.admin)

手順

1. 移動先 すべて > 監査 > エンティティタイプ.
   [SOX プロセス] エンティティタイプが追加され、SOX エンティティの生成に使用されます。
   - 売掛金
   - 買掛金
   - コミッション
   - 株式
   - エンティティレベル
   - 財務レポート
   - 固定資産
   - 総勘定元帳
   - Human Resources
   - スコープ内のアプリケーション
   - Inventory
   - ITGC
   - 給与
   - 購入

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

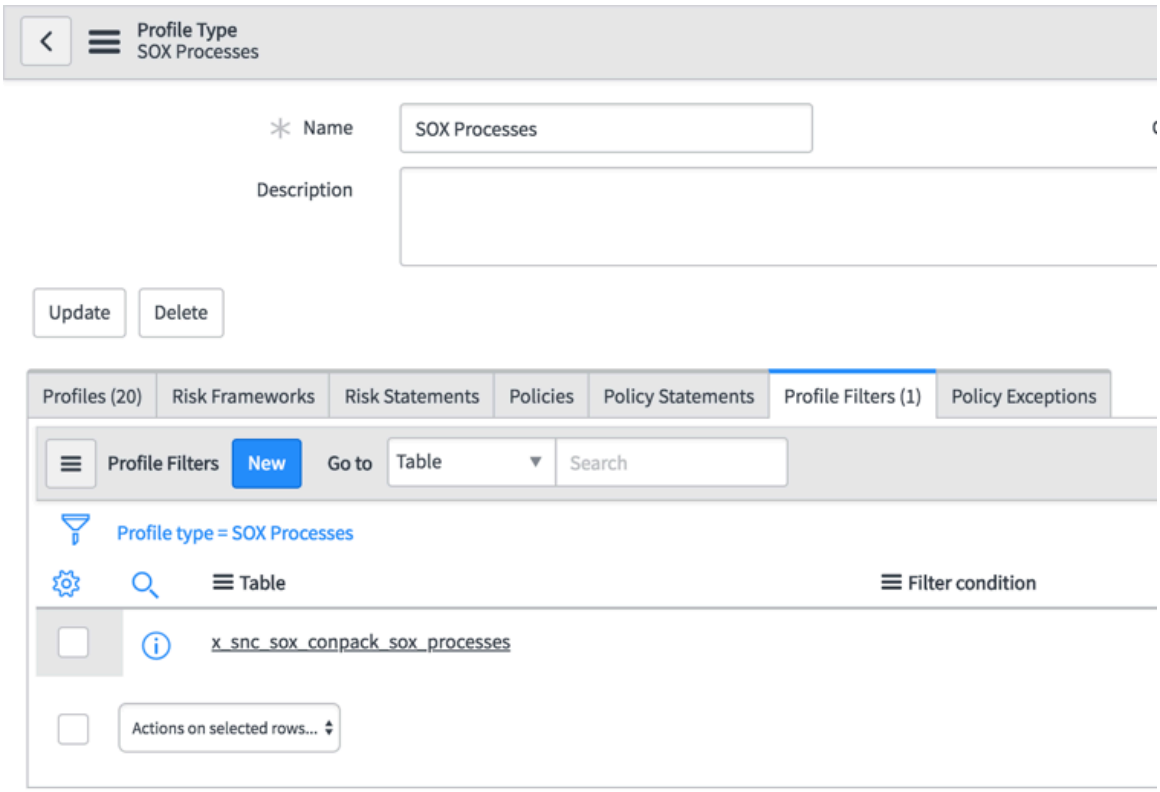
- 収益認識
- SAP
- SDLC
- 税
- 出張費と経費
- 財務省



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

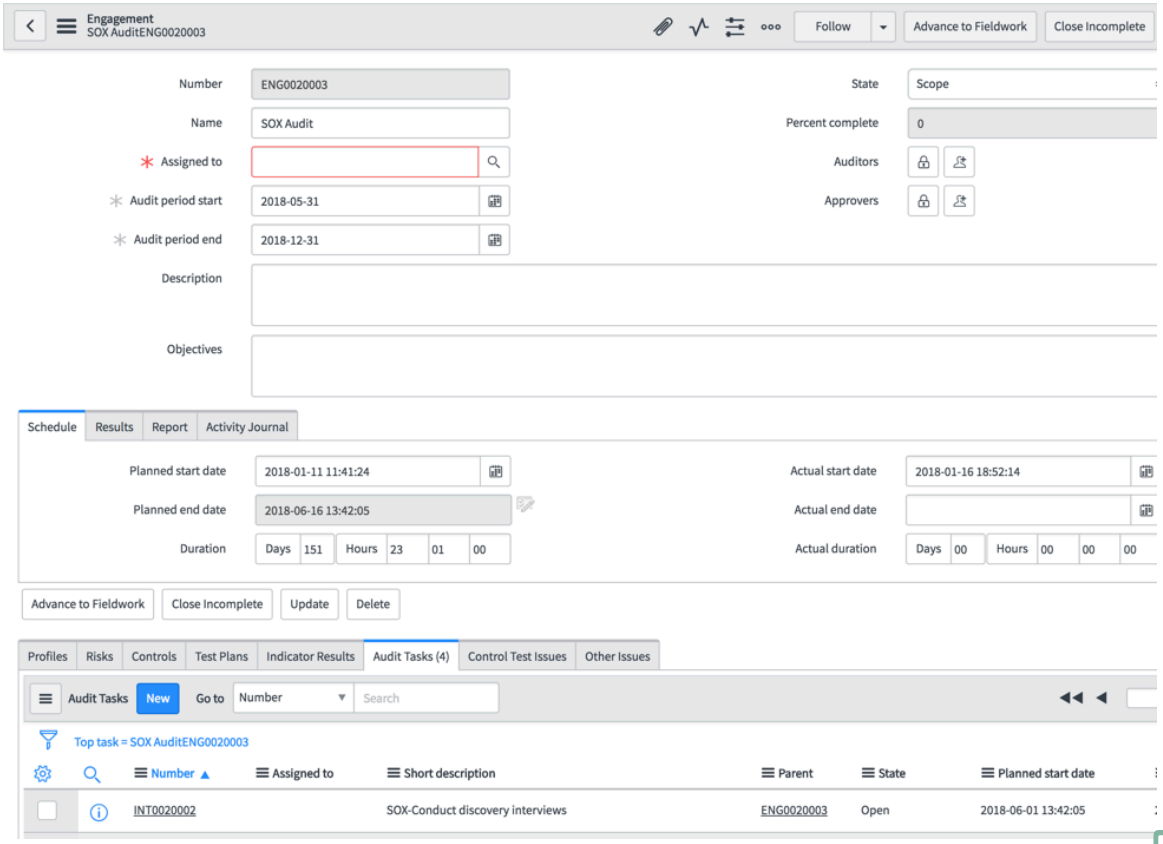
2. [プロファイルフィルター] 関連リストの下に、SOX プロファイルの生成について SOX プロセステーブルをクエリーするためのフィルターが追加されます。



3. 移動先 監査 > すべてのエンゲージメント.
[SOX 監査] エンゲージメントが [スコープ] ステータスに追加されます。次のフィールドは空に設定されます。
   - アサイン先
   - 監査ツール
   - 承認者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

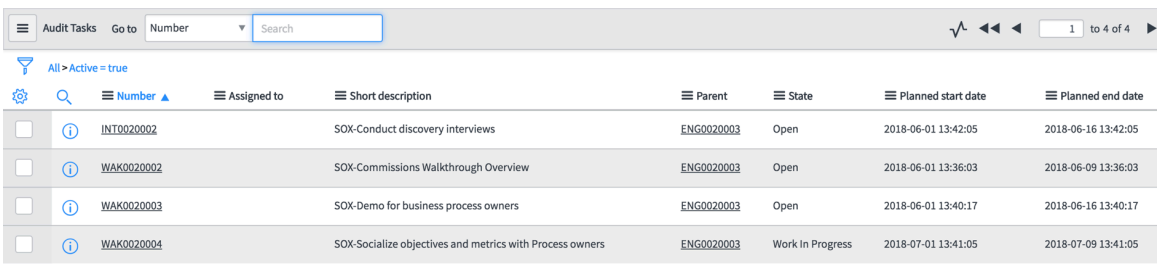


4. 移動先 監査 > すべての監査タスク.
5. 検索バーで、[名前] フィールドに「SOX」と入力します。

   注:
   SOX 関連の監査タスクの名前はすべて、**SOX** で始まります。

   SOX 監査タスクに次のフィールドが追加されています。

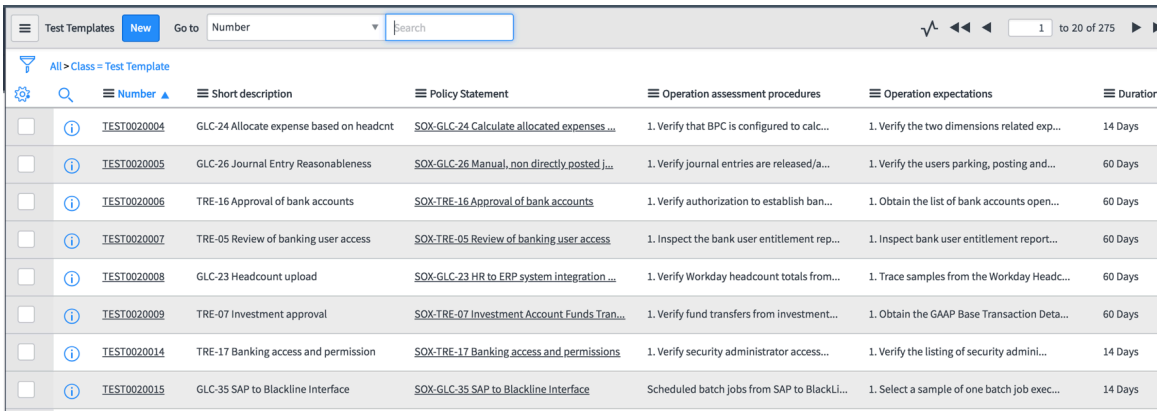
   - [タイプ] は面談またはウォークスルー
   - [アサイン先] は空
   - [アサインされた親 (エンゲージメント) **(Assigned parent (engagement))]** は SOX 監査



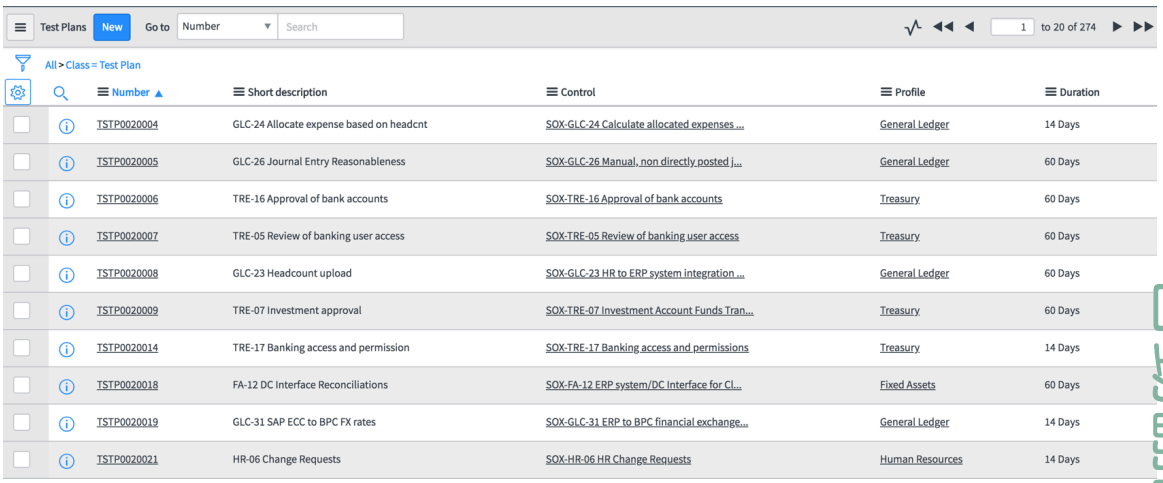
6. 移動先 監査 > 監査テスト > テストテンプレート.
   SOX テストテンプレートが追加され、ポリシーステートメントにアサインされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. 移動先 監査 > 監査テスト > テスト計画.
テストテンプレートに基づいてコントロールの SOX テスト計画が生成されています。



タスクの結果
SOX 監査ダッシュボードの詳細については、「SOX Content Pack のダッシュボードとレポート」を参照してください。

SOX Content Pack のダッシュボードとレポート

SOX Content Pack ダッシュボードは、1 つの画面に複数の SOX レポートを表示します。さまざまな GRC ロールには、これらのダッシュボードに対する読み取りまたは編集アクセス権があります。

SOX の ポリシーとコンプライアンス管理 ロール

- コンプライアンスリーダー (sn_compliance.reader) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボードと **SOX** プロセスを読み取ることができます
- コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボード、**SOX** リスクダッシュボードを読み取り、**SOX** プロセスを編集することができます
- コンプライアンス管理者 (sn_compliance.admin) は、**SOX** リスクダッシュボードを読み取り、**SOX** コンプライアンスダッシュボードと **SOX** プロセスを編集することができます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SOX のリスク管理ロール

- リスクリーダー (sn_risk.reader) は **SOX** リスクダッシュボードと **SOX** プロセスを読み取ることができます
- リスクマネージャー (sn_risk.manager) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボード、**SOX** リスクダッシュボードを読み取り、**SOX** プロセスを編集することができます
- リスク管理者 (sn_risk.admin) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボードを読み取り、**SOX** リスクダッシュボードと **SOX** プロセスを編集することができます

SOX の Audit Management ロール

- 監査ユーザー (sn_audit.user) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボード、**SOX** リスクダッシュボード、および **SOX** プロセスを読み取ることができます
- 監査管理者 (sn_audit.admin) は、**SOX** コンプライアンスダッシュボードと **SOX** リスクダッシュボードを読み取り、**SOX** 監査ダッシュボードと **SOX** プロセスを編集することができます。

SOX コンプライアンスダッシュボード

SOX コンプライアンスダッシュボードには、すべてのコントロール、証明書、およびコントロールの問題の概要が表示されます。移動先 **SOX** > **SOX** コンプライアンスダッシュボード. 次のレポートを利用できます。

コンプライアンスの概要

このダッシュボードには、SOX のポリシーとコントロールのコンプライアンスの概要、および SOX プロセスに関連するエンティティへの影響が表示されます。また、次の情報も表示されます。

- キーコントロール
- プロファイル別のコントロール
- コンプライアンスのコントロール
- タイプ別のコントロール
- 失敗したコントロール
- コントロール例外

証明書の概要

このダッシュボードは、SOX コントロールに関連するすべての証明書の概要を提供し、コンプライアンスチームが追跡する証明書のステータスと進捗状況を監視するのに役立ちます。次の情報が表示されます。

- 処理待ちの証明書
- 期限切れの証明書
- プロファイル別の証明書
- 自分の証明書

問題の概要

このダッシュボードには、SOX コントロールに関連するすべての問題の概要が表示されます。次の情報が表示されます。

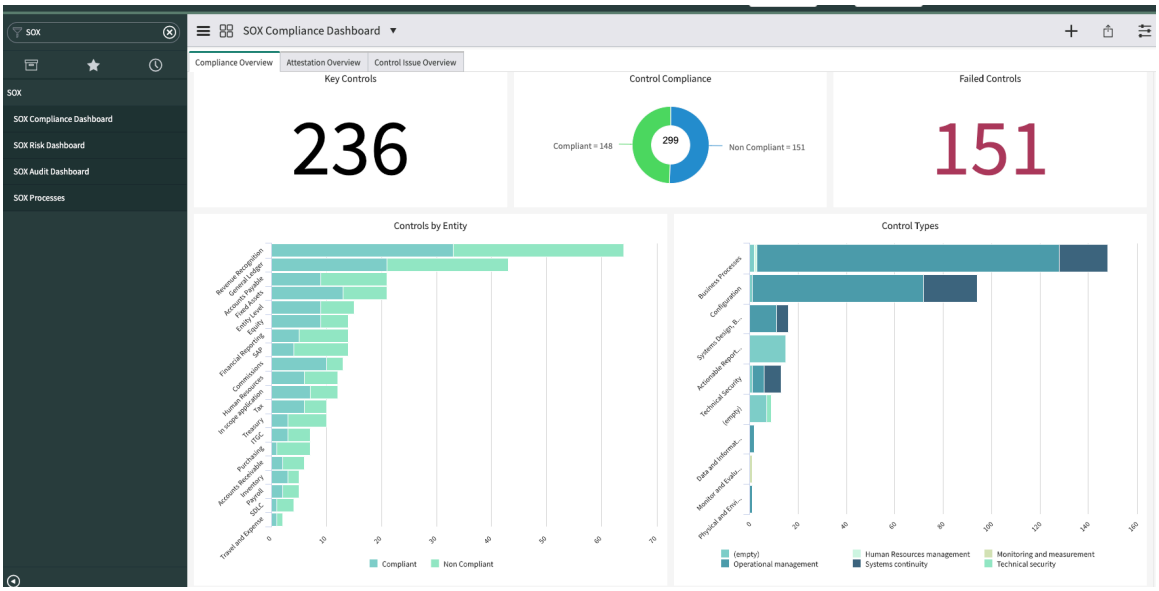
- 90 日経過した問題
- 処理待ちが 30 ～ 90 日の問題

自動翻訳

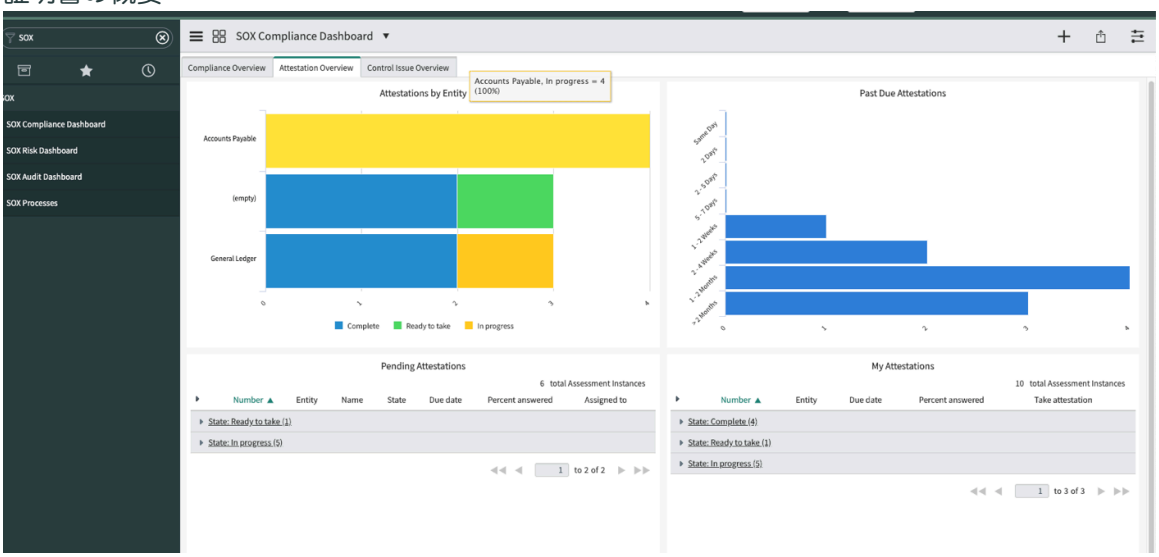
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 処理待ちが 30 日未満の問題
- 30 日以内に期限が切れる問題
- プロファイル別の問題
- オーナー別の処理待ちの問題
- 問題クローズ率
- ポリシー別のコントロール問題

コンプライアンスの概要



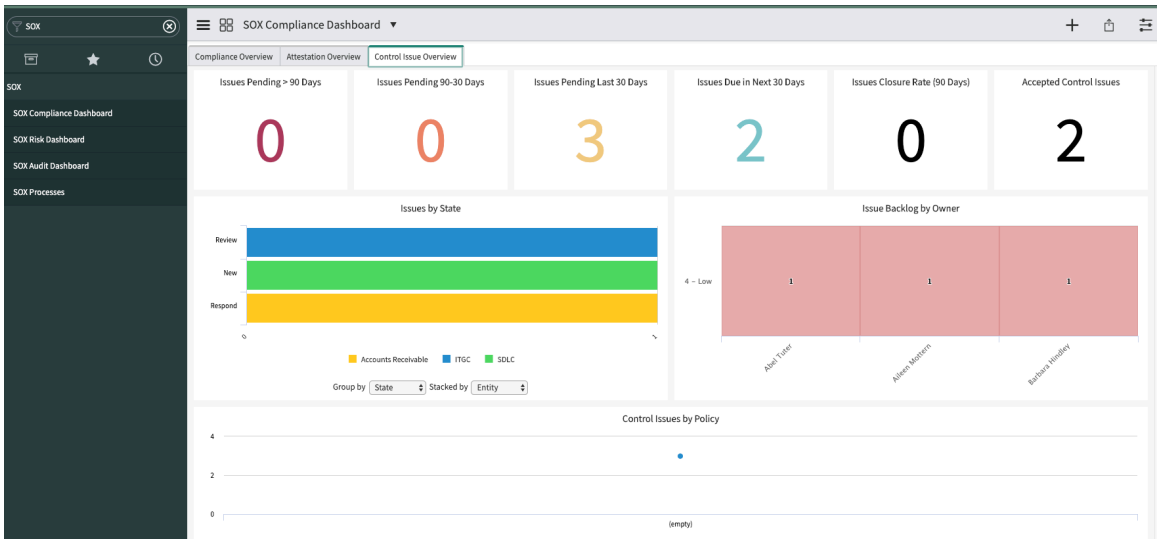
証明書の概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール問題の概要



SOX リスクダッシュボード

SOX リスクダッシュボードには、すべてのリスク、アセスメント、およびリスク問題の概要が表示されます。移動先 **SOX** > **SOX** リスクダッシュボード. 次のレポートを利用できます。

リスク概要

このダッシュボードには、SOX プロセスとコントロールに関連するリスクの概要が表示されます。次の情報が表示されます。

- 非常に高いリスク
- 高リスク
- 中リスク
- 低リスク
- 非常に低いリスク
- プロファイル別のリスク
- 対応ごとのリスク
- 固有リスクヒートマップ
- 残存リスクヒートマップ
- コンプライアンス別のリスク
- リスク例外

アセスメントの概要

このダッシュボードには、SOX プロセスとコントロールに関連するリスクのリスクアセスメントの概要が表示されます。次の情報が表示されます。

- 処理待ちのアセスメント
- 期限切れのアセスメント
- プロファイル別のアセスメント
- 自分のアセスメント

問題の概要

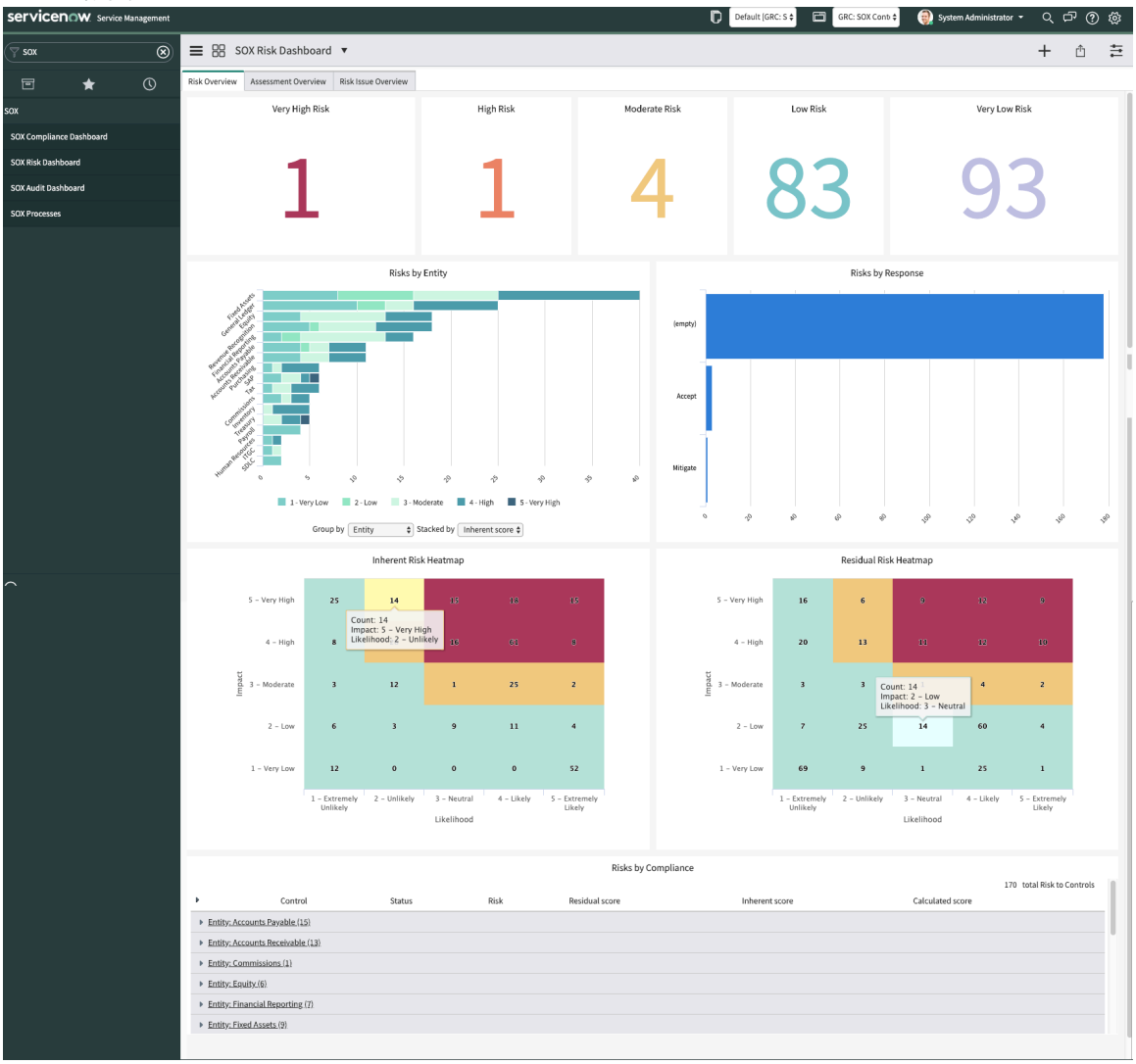
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このダッシュボードは、SOX のプロセスとコントロールに関連するリスク問題の概要を提供し、リスクチームがオーナーにアサインされているオープンな問題を監視するのに役立ちます。次の情報が表示されます。

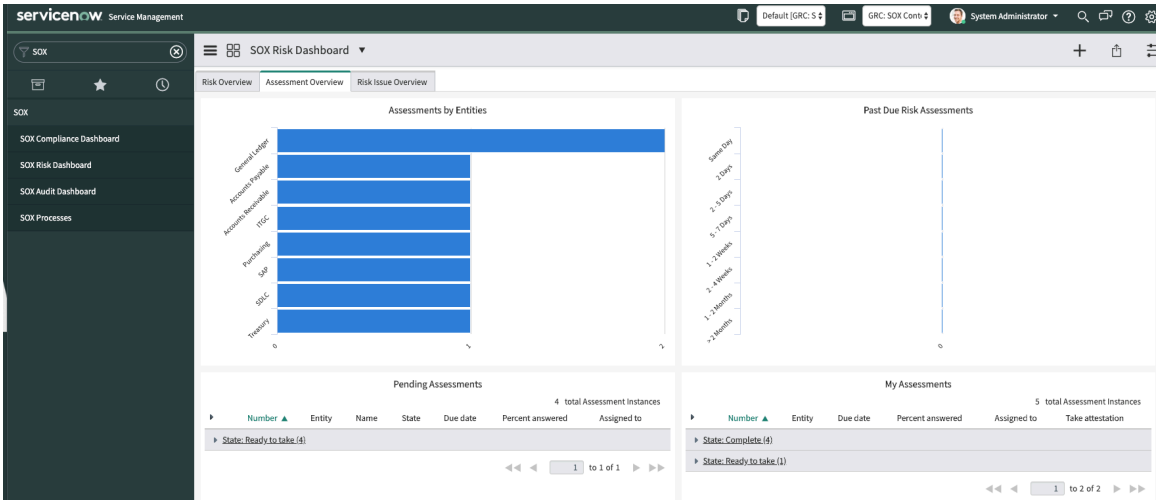
- 90 日経過した問題
- 処理待ちが 30 ～ 90 日の問題
- 処理待ちが 30 日未満の問題
- 30 日以内に期限が切れる問題
- プロファイル別の問題
- オーナー別の処理待ちの問題
- 問題クローズ率
- ポリシー別のリスク問題

リスク概要

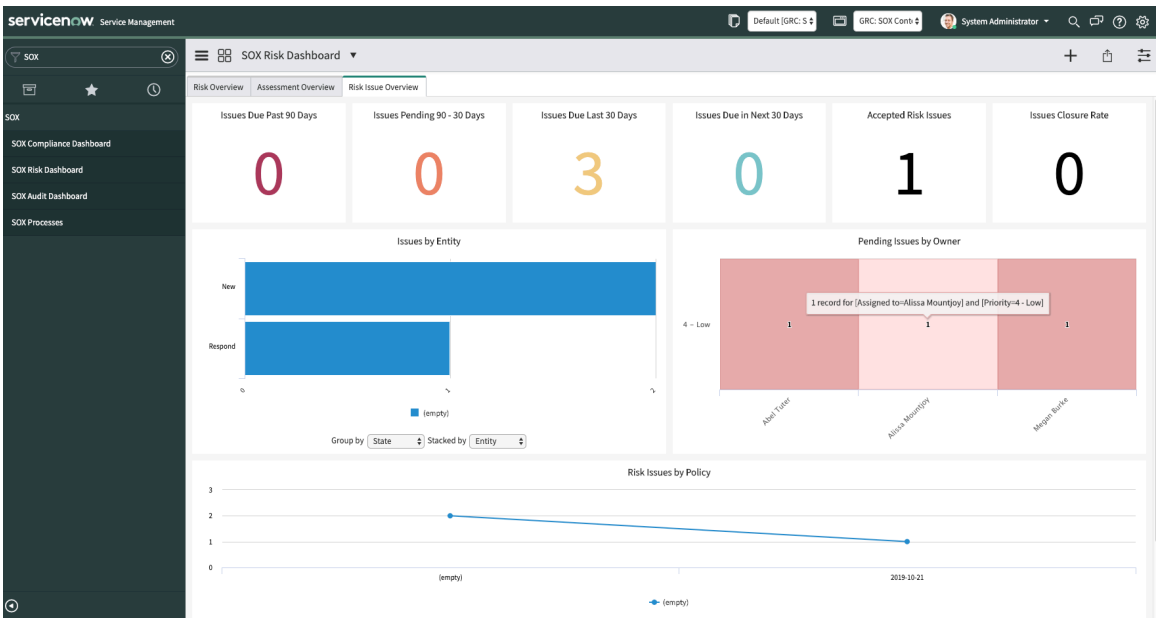


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセスメントの概要



リスク問題の概要



SOX 監査ダッシュボード

SOX 監査ダッシュボードには、すべての監査と監査の問題の概要が表示されます。移動先 **SOX** > **SOX** 監査ダッシュボード. 次のレポートを利用できます。

監査の概要

このダッシュボードでは、進行中の SOX 監査の進捗状況を確認し、さまざまな監査タスクを監視できます。これは監査マネージャーにとって役立ちます。次の情報が表示されます。

- 期限が切れて 90 日以上経過した監査タスク
- 期限が切れて 90 ～ 30 日経過した監査タスク
- 期限が切れて 30 日未満経過した監査タスク
- 30 日以内に期限が切れる監査タスク

問題の概要

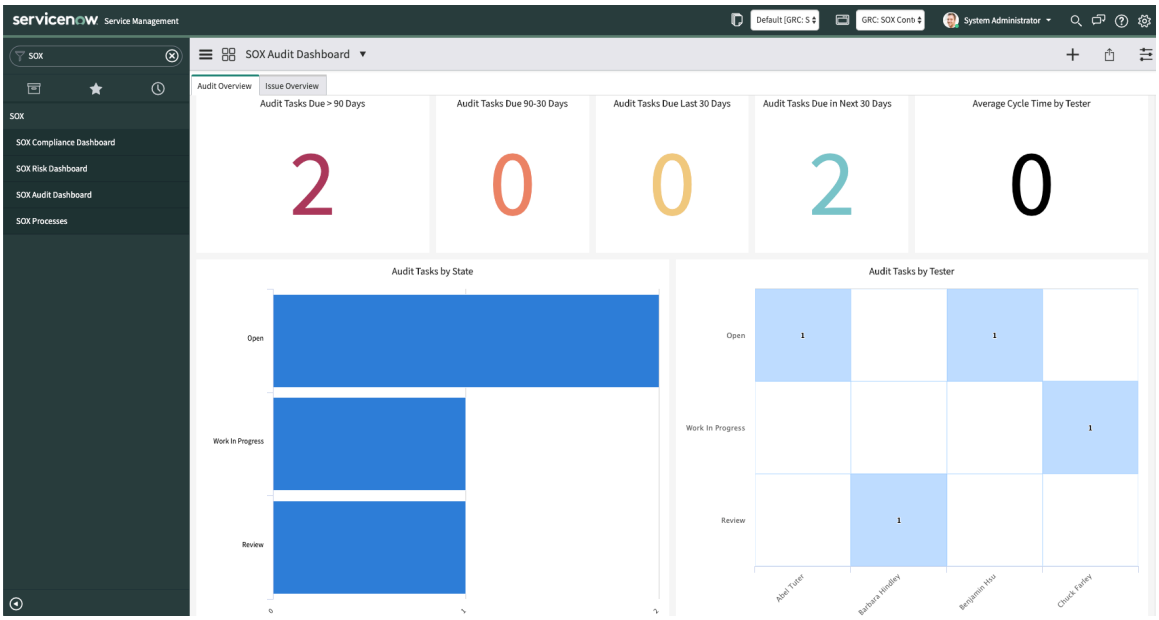
このダッシュボードは問題の進捗状況を示し、監査チームが処理待ちの問題を監視するために役立ちます。次の情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

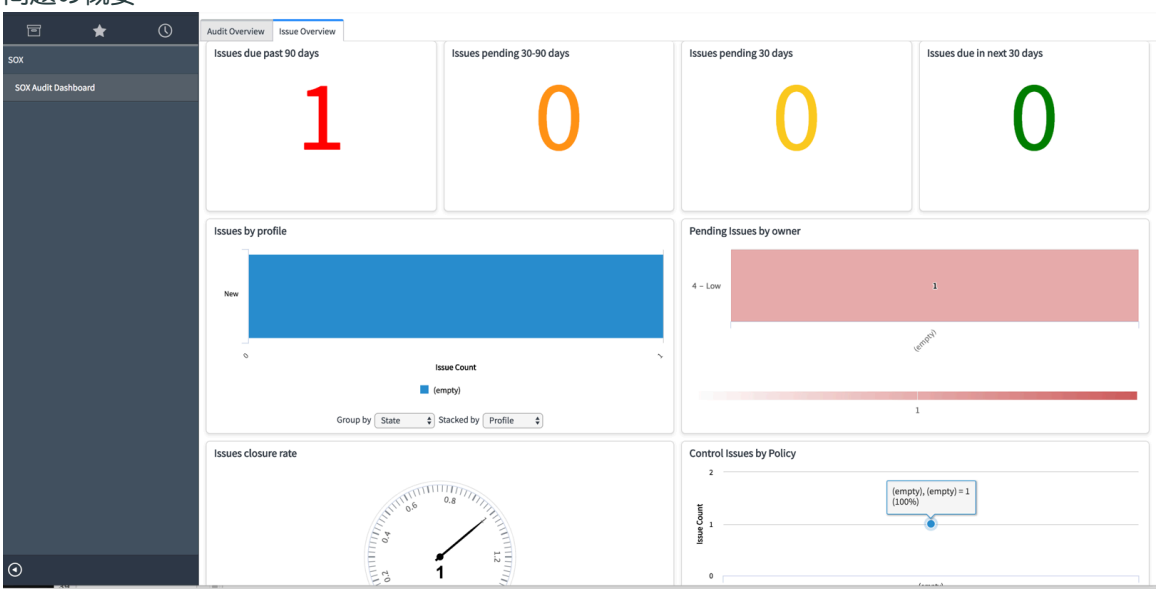
自動翻訳

- 期限が切れて 90 日以上経過した問題
- 期限が切れて 30～90 日経過した問題
- 期限が切れて 30 日未満経過した問題
- 30 日以内に期限が切れる問題
- プロファイル別の問題
- オーナー別の問題
- エンティティ別の処理待ちの問題

監査の概要



問題の概要



GRC の統合

統合により ServiceNow® GRC 製品オファリングが拡張され、ユーザーはサードパーティアプリケーションと統合できるようになります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow Store での GRC 統合のインストール、検証、レポート機能については、次のドキュメントを参照してください。

特に示さない限り、各統合では、ServiceNow GRC 製品がインスタンスにインストールされ、有効化されている必要があります。

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence

ServiceNow® 規制変更管理 アプリケーションは、規制データの収集、監視、分析を行い、複雑な規制環境下での動向を把握するのに役立ちます。

概要

ServiceNow® GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションを使用して、Thomson Reuters プラットフォームと統合し、Thomson Reuters Regulatory Intelligence (TRRI) フィードを ServiceNow インスタンスに取り込みます。

この統合は、急速に変化する複雑な規制環境下で、規制データの収集、監視、分析を行うのに役立ちます。リスクを効率的に管理および軽減することができます。

Thomson Reuters Regulatory Intelligence Integration (TRRI) は、さまざまな規制変更を含む規制フィードを提供します。規制変更管理 アプリケーションは、フィードを変換してマッピングします。規制変更管理 アプリケーションは、規制フィードテーブルの情報を提供します。

Thomson Reuters ガイド付き設定では、次のことを実行できます。

- 組織に関連する規制フィードを Thomson Reuters プラットフォームから取得します。
- 規制分類を Thomson Reuters プラットフォームから内部規制分類に変換してマッピングします。
- 変換されたデータを ServiceNow インスタンスにロードし、規制の変更を管理します。

ガイド付き設定では、複数のタスクとサブタスクを実行できます。

- 接続を作成：接続を作成して検証します。Thomson Reuters プラットフォームとの統合には接続が必要です。このステップのタスクは次のとおりです。
  - 接続を作成
  - 接続を検証
  - OAuth 資格情報を提供
- 統合フローを有効化：スケジュールを設定し、さまざまなタイミングでフローを有効にします。フロー間に 12 時間の間隔をあけるなど、時間差をつけてフローを実行します。このステップのタスクは次のとおりです。
  - フィードレジストリにフィードファイルを挿入するフローを設定します。
  - 処理済みフィードを宛先ディレクトリーに移動するフローを設定します。
- 内部分類を作成：分類を作成して、規制コンテンツを分類および区分けします。内部分類は、複数階層構造にできます。
- 外部分類を内部分類にマッピング：Thomson Reuters プラットフォームのソース分類を、作成した内部分類とマッピングします。

統合を設定するときは、次のステージを経由します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. フィード設定を構成：Thomson Reuters Regulatory Intelligence (TRRI) フィードプラットフォームで、フィードのコンテンツ、配信設定、および配信場所の構成と設定を行います。配信場所は、フィードが配信先です。
2. MID サーバー を設定：Thomson Reuters プラットフォームは、規制フィードファイルを Thomson Reuters ポータルに構成された SFTP サーバーに送信します。管理者は、GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションの SSH 機能を備えた MID サーバー を設定する必要があります。

   MID サーバー は、SFTP サーバーから ServiceNow インスタンスにフィードファイルデータを取り込みます。MID サーバー は、Windows サービスまたは UNIX デーモンとして動作し、インスタンスと外部アプリケーション間の通信を促進します。
3. SFTP 接続を設定：Thomson Reuters プラットフォームは、Thomson Reuters プラットフォームポータルに構成された SFTP の場所に規制フィードファイルを保管します。SFTP 接続を作成し、ServiceNow インスタンスにフィードファイルをインポートします。詳細については、「SFTP または REST API 接続を確立する」を参照してください。

Import Sets を使用すると、管理者はさまざまなデータソースからデータをインポートし、そのデータを ServiceNow テーブルにマッピングできます。

Thomson Reuters から 規制変更管理 アプリケーションに系列データを取り込む

[系列ドキュメント] 関連リストを使用すると、提案されたステージから最終ステージまでの規制変更の動向を追跡できます。関連するイベントを 1 つの場所で確認できます。[規制フィード] フォームには、系列名、および Thomson Reuters 系列の一部である規制イベントが表示されます。Thomson Reuters 系列データは、規制フィードフォームの [系列データ] セクションで表示できます。フィードの系列名とシーケンス番号が、規制フィードフォームの [系列データ] セクションの下に表示されます。このセクションは、規制イベントの詳細を把握し、イベントの適用性に関する意思決定を行うために役立ちます。

規制フィードテーブルが、規制フィードフォームの [系列データ] セクションに表示されます。Thomson Reuters 系列データの規制フィードテーブルに、次の新しい列が追加されます。

- シリーズ名：規制イベントの系列名を表示します。
- シーケンス番号：規制イベントのシーケンス番号を表示します。
- シリーズ ID：規制イベントの系列識別番号を表示します。リストビューからシリーズ ID を選択できます。シリーズ ID が表示されます。

[系列ドキュメント] 関連リストは、規制フィードフォームの一部です。フィードには次の詳細が表示されます。

- 番号：Thomson Reuters から受信した規制フィードの番号。例：REG0001023
- タイトル：Thomson Reuters から受信した規制フィードのタイトル。例： CFPB-2019-0021 住宅ローンの開示 (規制 C)。
- シーケンス番号：Thomson Reutersから受信した規制フィードのシーケンス番号。たとえば、シーケンス番号 7 で、すべてのデータがある場合、前の 6 つのイベントが関連リストに表示され、系列の 7 番目のイベントが表示されます。

> **注:**
> [系列データ] セクションと [系列ドキュメント] 関連リストは、フィードタイプが規制イベントで、規制フィードのソースが Thomson Reuters である場合にのみ、規制フィードフォームに表示されます。

Thomson Reuters プラットフォームから受信した規制データが処理され、ServiceNow インスタンスのステージングテーブルに取り込まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合タスクを自動化するアクション

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションは Thomson Reuters 統合タスクを自動化するための次のアクションを提供します。

- 規制イベントに関連するソースドキュメントを取得します。
- SFTP ソースパスからファイル名をフィードするため、Thomson Reuters プラットフォームを取得します。
- Thomson Reuters プラットフォームによる処理済みファイルを宛先パスに移動します。
- SFTP サーバーからファイル名を取得後、Thomson Reuters プラットフォームのインポートスケジュールジョブをトリガーします。
- 新しい SFTP 接続のパスと資格情報を検証します。

自動化の手順の詳細については、ソフトウェアとともに送信されるガイド付き設定ファイルを参照してください。

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションをインストールする

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーション (com.sn_grc_int_tr) をインストールします。アプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence には ServiceNow Store からの ServiceNow 規制変更管理 アプリケーションが必要です。GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションをインストールする前に、このアプリケーションがインストールされていることを確認してください。

必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

このタスクについて

次のアイテムは、GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションとともにインストールされます。

- ストアアプリケーション
- ジョブスケジュール
- テーブル

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーション (com.sn_grc_int_tr) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store にリクエストする必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligenceアプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

SFTP または REST API 接続を確立する

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションの SFTP または REST API 接続を確立します。Thomson Reuters プラットフォームに付属する接続および資格情報エイリアスを使用して、SFTP サーバーとの SFTP または REST API 接続を作成できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_reg_change.admin

このタスクについて
Thomson Reutersは、Thomson Reutersポータルに構成された SFTP の場所に規制フィードファイルを保管します。SFTP の場所から ServiceNow インスタンスにフィードファイルをインポートするために、この SFTP サーバーとの接続を作成できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Thomson Reuters** > 接続 **&** 資格情報エイリアス.
   出荷時には次の 2 つの接続および資格情報エイリアスが Thomson Reuters プラットフォームに含まれます。
   - Thomson Reuters プラットフォーム REST API
   - Thomson Reuters プラットフォーム SFTP
2. Thomson Reuters プラットフォーム REST API エイリアスまたは Thomson Reuters プラットフォーム SFTP エイリアスで、[新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
   REST エイリアスまたは SFTP エイリアスのいずれかを使用して接続を作成できますが、両方を使用することはできません。SFTP エイリアスと REST エイリアスでは互いに提供される詳細が異なります。
   接続および資格情報エイリアスを作成フォームに詳細を入力すると、新しい接続が作成されます。
3. フォームのフィールドに入力します。
   - 接続および資格情報 SFTP エイリアスを作成フォームを選択した場合は、次のフィールドに入力します。

接続および資格情報 **SFTP** エイリアスを作成フォーム

フィールド	説明
接続情報	
名前	SFTP 接続の名前。
ホスト	SFTP サーバーホストに関する情報。
ポート	SFTP サーバーのポート番号。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資格情報	
名前	SFTP サーバーへのアクセスに使用される資格情報名。
ユーザー名	SFTP サーバーへのアクセスに使用されるユーザー名。
パスワード	SFTP サーバーへのアクセスに使用されるパスワード。
後処理情報	
ソースパス	規制フィードファイルを含むディレクトリの場所。
宛先パス	正常にインポートされたファイルが配置されるディレクトリの場所。

- 接続および資格情報 REST エイリアスを作成フォームを選択した場合は、次のフィールドに入力します。

接続および資格情報 **REST** エイリアスを作成フォーム

フィールド	説明
資格情報	
OAuth クライアント ID	サードパーティの OAuth OIDC サーバーに登録されているアプリケーションのクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	サードパーティの OAuth OIDC サーバーに登録されているアプリケーションのクライアントシークレット ID。

4. 前のステップに応じて、SFTP エイリアスフォームの [作成]、または REST エイリアスフォームの **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
ファイル接続情報レコードが作成されます。

タスクの結果

新しい接続が確立されると、インスタンスでファイル接続情報レコードが作成されます。ファイル情報レコードが作成された後は、[接続] 関連リストの [新規] をクリックしてファイル接続情報レコードを作成することはできません。

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションのモジュール

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションには、さまざまなモジュールが含まれています。

GRC integration with Thomson Reuters Regulatory Intelligence アプリケーションの下に次のモジュールが表示されます。

アプリケーションのモジュール

モジュール	説明
Thomeson Reuters ガイド付き設定	アプリケーションを構成および設定するための手順。
接続および資格情報エイリアス	SFTP および OAuth に対応する接続および資格情報エイリアス。
接続	Thomson Reuters プラットフォームからのファイル接続情報レコード。[検証] をクリックして接続を検証します。接続の検証中に問題が発生した場合は、データ連携ログを使用してトリアージします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションのモジュール (続く)

モジュール	説明
	接続を使用しない場合は、[ドラフトに移動] をクリックして [ドラフト] ステータスに移動できます。統合では、システムはステータスが [検証済み] のファイル接続情報レコードのみを使用します。
OAuth レジストリエントリ	出荷時の接続および資格情報エイリアスを介して OAuth 接続と資格情報が作成されたときのレコード。
OAuth 資格情報	OAuth 資格情報が作成されたときのレコード。
フィードレジストリ	SFTP の場所のソースディレクトリにある各フィードファイルのレコード。
統合ログ	統合の詳細を含む統合ログ。ログには、接続の検証中に観測されたエラーなど、統合フローで発生したエラーが含まれています。
データソース	SFTP の場所からフィードファイルを取り込んで規制フィードテーブルにレコードを自動的に作成するデータソース。
インポートスケジュール	フィードレジストリ内の最も古いエントリをスキャンして検索するインポートスケジュール。
分類 XML 構成	Thomson Reuters プラットフォームの一部として出荷されるレコード。アップロードされた Thomson Reuters プラットフォーム分類ファイルを XML 形式で解析するために必要な XPath と属性が含まれます。
TR | 規制機関	Thomson Reuters プラットフォームの外部規制機関分類レコード。
TR | コンテンツタイプ	Thomson Reuters プラットフォームの外部コンテンツタイプ分類レコード。
TR | 管轄	Thomson Reuters プラットフォームの外部管轄分類レコード。
TR | テーマ	Thomson Reuters プラットフォームの外部テーマ分類レコード。
TR | セクター	Thomson Reuters プラットフォームの外部セクター分類レコードを表示します。
分類マッパー	Thomson Reuters プラットフォームの分類から内部分類へマッピングします。

次のテーブルに保存されているアプリケーションモジュールを介してアクセスされるデータ：

アプリケーションデータを保存するためのテーブル

テーブル	フィールド
sn_grc_reg_change_external_theme	外部規制テーマ
sn_grc_reg_change_external_regulatory_body	外部規制機関

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションデータを保存するためのテーブル (続く)

テーブル	フィールド
sn_grc_reg_change_external_sector	外部規制セクター
sn_grc_reg_change_external_content_type	外部規制コンテンツタイプ
sn_grc_reg_change_external_jurisdiction	外部規制管轄
sn_grc_reg_change_ theme	規制テーマ
sn_grc_reg_change_ regulatory_body	規制機関
sn_grc_reg_change_sector	規制セクター
sn_grc_reg_change_ content_type	規制コンテンツタイプ
sn_grc_reg_change_ jurisdiction	規制管轄

GRC: サードパーティコンテンツとの統合

GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションは、コンテンツプロバイダーに共通のフレームワークを提供することで、さまざまな GRC アプリケーション間でコンテンツ統合プロセスを標準化するために役立ちます。

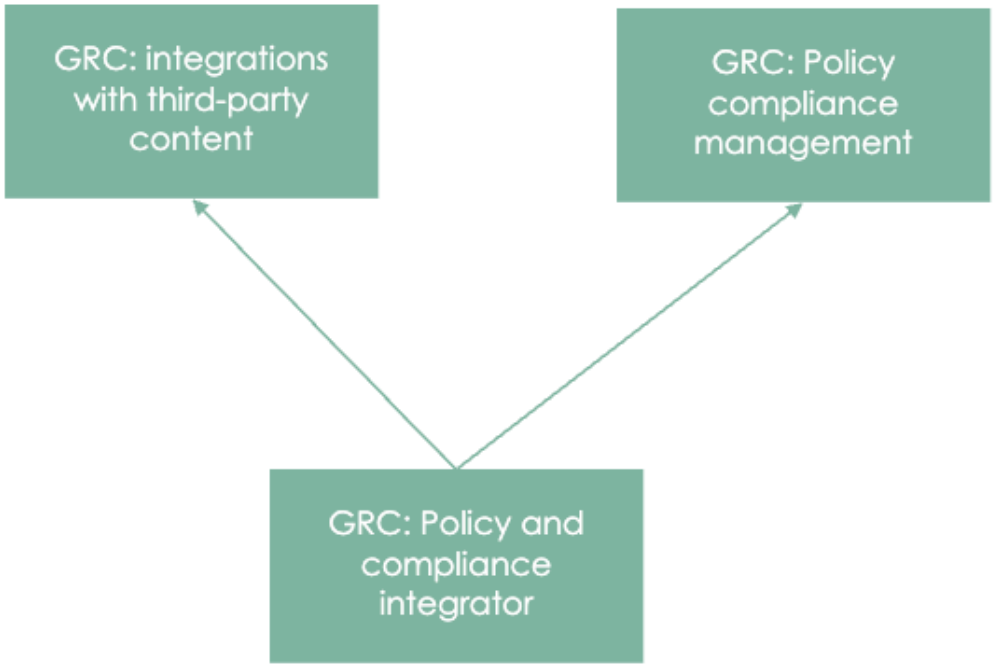
Washington DC では、GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションを GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションとともに使用できます。GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションは、データをレビュー、承認、および ポリシーとコンプライアンス管理 テーブルにインポートできるようにするためのオプションを提供します。

GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションは ServiceNow Store とは個別にインストールできます。ServiceNow Store から GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションをダウンロードすると、次の図に示すように、 GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションがインスタンスに自動的にダウンロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションのダウンロード構造



自動翻訳

注:
GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションは、 インスタンスのアプリケーションナビゲーターには表示されません。

GRC: サードパーティコンテンツとの統合 および GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションがインスタンスにダウンロードされると、sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーはアプリケーションワークフローに関連するタスクを実行できます。

ユーザーロールの詳細については、「統合プロセスのユーザーロール」および「sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーを作成する」を参照してください。

統合プロセスのユーザーロール

GRC: サードパーティコンテンツとの統合 および GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションに関連付けられている統合プロセス全体に必要なユーザーロールをアサインする必要があります。

GRC: サードパーティコンテンツとの統合 および GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションでは、次のロールをアサインすることができます。

ユーザーロール

ロールタイトル	説明
sn_grc_cim.admin	sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーは、GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションの API とテーブルにアクセスできます。
sn_grc_cim.manager	sn_grc_cim.manager ロールを持つユーザーは、GRC: サードパーティコンテンツとの統合

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーロール (続く)

ロールタイトル	説明
	アプリケーションのテーブルへの読み取りおよび書き込みアクセス権があります。
sn_compliance.manager	sn_compliance.manager ロールは sn_grc_cim.manager ロールを継承します。sn_compliance.manager ロールを持つユーザーは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのテーブルへの読み取りおよび書き込みアクセス権があります。
sn_compliance.admin	sn_compliance.admin ロールは sn_grc_cim.admin ロールを継承します。sn_compliance.admin ロールを持つユーザーは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションのテーブルにアクセスできます。

sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーを作成する

コンテンツ統合およびインポートプロセスに関連するタスクを実行するには、sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーを作成します。

始める前に

注:
インスタンスに GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションがインストールされていることを確認します。詳細については、「GRC: サードパーティコンテンツとの統合」を参照してください。

必要なロール：sn_grc_cim.admin、sn_compliance.admin

手順

1. sn_compliance.admin ロールでインスタンスにログインし、sn_grc_cim.admin ロールをユーザーにアサインします。

   注:
   sn_compliance.manager ロールは sn_grc_cim.manager ロールを継承します。同様に、sn_compliance.admin ロールは sn_grc_cim.admin ロールを継承します。

   sn_grc_cim.admin ロールを持つユーザーは、レコードを GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションに挿入するために必要な、すべての API にアクセスできます。sn_grc_cim.manager ロールを持つユーザーは、GRC: サードパーティコンテンツとの統合 アプリケーションのテーブルへの書き込みアクセス権があります。

2. インスタンス内の GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションに移動して、ワークフローを実行します。
   GRC: Policy and Compliance integrator アプリケーションワークフローで実行する必要がある次の手順については、「GRC: Policy and Compliance integrator のワークフロー」を参照してください。

SIG (標準化された情報収集) Questionnaire Integration

ベンダーから必要なアセスメントドキュメントを取得するには、Santa Fe グループの SIG (標準化された情報収集) Questionnaire を使用します。ベンダー連絡先は、事前に入力された SIG スプレッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドシートをアップロードするか、インスタンスにインポートされるフォームベースのアンケートによって取得できます。

バージョン 11.0.0 以降では、SIG バージョン 2018 以降のみがサポートされています。ベンダーが 2018 SIG より前のバージョンをアップロードした場合、一致する質問に対するすべての回答がインポートされ、一致しない質問に対する回答は、後でベンダーが回答できるように、ブランクの回答としてインポートされます。

注:
Washington DC リリース以降、SIG アセスメントは将来の廃止に備えて準備されます。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。廃止のプロセスの詳細については、「KB0867184」を参照してください。ナレッジベース の記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

バージョン 12.0.0 以降では、SIG バージョン 2019 ～ 2021 がサポートされ、SIG バージョン 2018 は制限付きでサポートされています。

GRC: SIG Questionnaire Integration をインストールします。

GRC: SIG Questionnaire プラグインは、SIG 2018 および SIG 2019 アンケートをインストールし、GRC: SIG Questionnaire Integration プラグインは、GRC: ベンダーリスク管理 アプリケーションで使用する SIG 2020 および SIG 2021 アンケートテンプレートをインストールします。

始める前に
必要なロール：sn_vdr_risk.admin、admin
インストールの前に、次のセットアップチェックリストを完了します。これらのセットアップタスクは、インストールをスムーズに行うために必要です。

セットアップタスク	説明
ServiceNow プラグインが有効化されていることを確認します。	ベンダーリスク管理 (com.sn_vdr_risk_asmt) プラグインを有効にします。 このプラグインがアクティブ化されていることを確認するには、次に移動します サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。 詳細については、「サードパーティリスク管理の構成」を参照してください。

手順

1. アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。
2. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
   インストール可能なアプリのリストが表示されます。
3. アプリを見つけて選択し、[インストール] をクリックします。
   アプリは GRC: ベンダーリスク管理 (com.sn_vdr_risk_asmt) プラグインと GRC: SIG アセスメントコア (com.snc.sig_asmt_core) プラグインをインストールします。

   注:
   アプリをアンインストールするときに、プロファイルタイプのプロファイルとインジケーターを保持するには、このチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

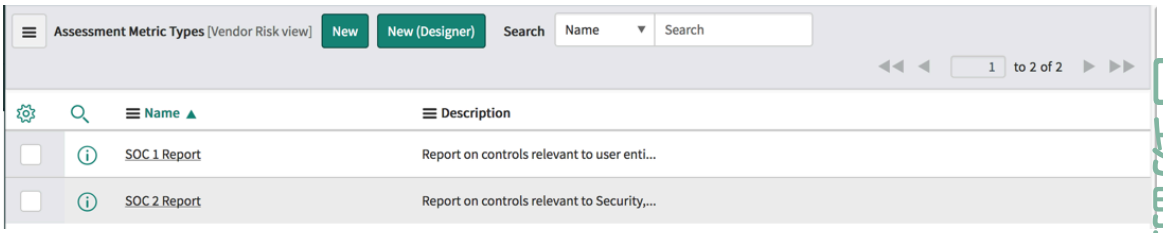
ベンダーリスク管理 で **SIG Questionnaire Integration** を検証する

SIG Questionnaire Integration をインストールした後、ベンダーリスク管理 アプリケーション内のアンケートテンプレート、文書要求テンプレート、およびアセスメントテンプレートを検証します。

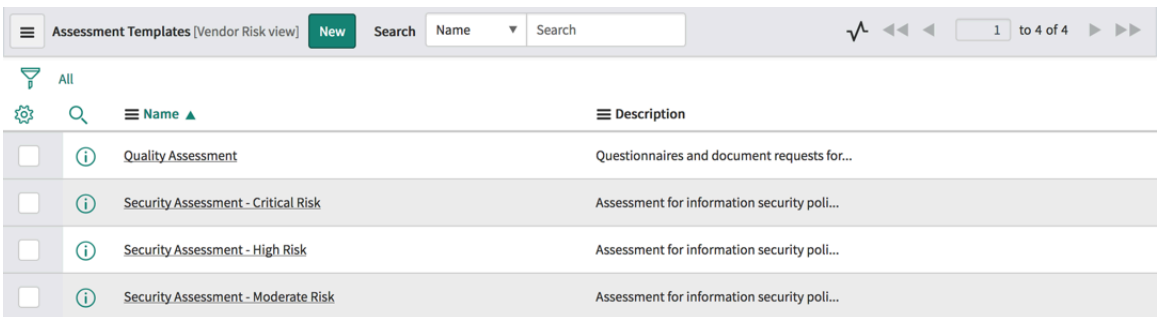
始める前に
必要なロール：ベンダーリスクマネージャー (sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager)

手順

1. 移動先 すべて > **Vendor Risk Management** > アセスメントのセットアップ > アンケートテンプレート.
   次のアンケートが追加されます。
   - SIG Full 2018
   - SIG Core 2018
   - SIG Lite 2018
2. 移動先 **Vendor Risk Management** > アセスメントのセットアップ > 文書要求テンプレート.
   次のアンケートが追加されます。
   - SOC 1 レポート
   - SOC 2 レポート



3. 移動先 **Vendor Risk Management** > アセスメントのセットアップ > アセスメントテンプレート.
   次のテンプレートが追加されます。
   - セキュリティアセスメント - 重大なリスク
   - セキュリティアセスメント - 高リスク
   - セキュリティアセスメント - 中リスク



GRC ユースケースアクセラレータ

ユースケースアクセラレータには、事前定義されたスコープ、特定のポリシー、コントロール、リスク、監査、テスト計画、ダッシュボード、およびレポートが含まれており、顧客は様々な規制やフレームワークを採用する際、運用面で有利なスタートを切ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow Store での GRC ユースケースアクセラレータのインストール、検証、およびレポート機能については、次のドキュメントを使用してください。

特に記載のない限り、各ユースケースアクセラレータでは、ServiceNow GRC 製品がインスタンスにインストールされ、有効化されている必要があります。

Cybersecurity Controls Accelerator™

Cybersecurity Controls Accelerator™ を使用すると、The Center for Internet Security™ の CIS Controls を簡単に導入して、全体的なセキュリティ準備とサイバー防御体制を強化できます。

主要なサイバーセキュリティ方法論の対象をユーザーの成熟度と準備レベルに合わせることで、CIS Control の採用がさらに強化されます。

Cybersecurity Controls Accelerator には、CIS Controls バージョン 7.1 の各種法令・基準等、191 の関連付けられた CIS 各種法令・基準内項目、およびその各種法令・基準内項目に関連する 191 の CIS Controls 目標が含まれています。

Cybersecurity Controls Accelerator を使用するためにダウンロードする必要がある Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーション (com.sn_grc_infosec) には、CIS Controls にマッピングされる 171 (基本 26) のインジケーターテンプレートが含まれています。これらのインジケーターテンプレートは、自動化されたコントロールの検証と継続的な監視を提供します。

CIS Controls™ v8 のサポート

リリース以降 Washington DC 、は、 Cybersecurity Controls Accelerator 引用に関連する CIS Controls™ v8 の各種法令・基準等、引用、およびコントロール目標をサポートしています。

CSA CCM v4.0 のコンテンツ

リリース以降 Washington DC 、は、各種法令・基準等、引用、 Cybersecurity Controls Accelerator コントロール目標などの Cloud Security Alliance Cloud Controls Matrix (CSA CCM v4.0) コンテンツをサポートしています。

Cybersecurity Controls Accelerator をダウンロードする

インスタンスで GRC: Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションを実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションを実行する前に、次の GRC アプリケーションをダウンロードして有効化する必要があります。

- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: Profiles
- GRC: Technology Controls Monitoring Accelerator

必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

サイバーセキュリティコントロールを監視する

にアクセスし Cybersecurity Controls Acceleratorた後、これらのモジュールを使用してコントロールを監視できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Cybersecurity Controls Accelerator モジュール

アプリケーション/モジュール	説明
CIS Controls	
各種法令・基準等	各種法令・基準等モジュールは、CIS Controls v7.1 および v8 の各種法令・基準等を含む各種法令・基準等のリストを提供します。各種法令・基準等には、引用とコントロール目標への参照が含まれています。 各種法令・基準等は、各種法令・基準等テーブル [sn_compliance_authority_document] に保存されます。
信頼できるソースコンテンツ	引用モジュールは、CIS Controls v7.1 および v8 の各種法令・基準等に含まれる引用のリストを提供します。各種法令・基準内項目のそれぞれには 1 つ以上のコントロール目標を含めることができ、以下を参照します。 • コンテンツ参照 • 情報オブジェクト 各種法令・基準内項目は、各種法令・基準内項目テーブル [sn_compliance_citation] に保存されます。
コントロール目標	コントロール目標モジュールは、CIS Controls v7.1 および v8 の各種法令・基準等の引用に関連付けられたコントロール目標のリストを提供します。各コントロール目標には、次のアイテムを 1 つ以上含めることができます。 • エンティティタイプ • 追加エンティティ • ポリシー • コントロール • インジケーターテンプレート • ポリシー例外 • 問題 • リスクステートメント • コンテンツ参照 コントロール目標は、 コントロール目標テーブル [sn_compliance_policy_statement] に保存されます
インジケーターテンプレート	インジケーターテンプレートモジュールは、 CIS Controls にマッピングされる事前定義されたインジケータ テンプレートのリストを提供します。インジケーターテンプレートは、コントロールの検証を自動化し、継続的な監視を提供します。 インジケーターテンプレート参照先コンテンツ [sn_grc_m2m_ind_temp_cont]

前述のとおり、Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーション (com.sn_grc_infosec) は、Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションをダウンロードするときの依存アプリケーションです。Technology Controls Monitoring Acceleratorアプリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ケーションは、CIS Controls にマッピングされる事前定義されたインジケータテンプレートを提供します。

> **注:**
> アプリケーションを実装し Cybersecurity Controls Accelerator ない場合でも、アプリケーション Technology Controls Monitoring Accelerator から Unified Compliance Framework (UCF) を介して CIS および ISO 27002 への準拠を検証する ポリシーとコンプライアンス管理 ために使用できます。詳細については、「Technology Controls Monitoring Accelerator」を参照してください。

インジケータテンプレートにマッピングされた **UCF** コントロール

UCF からインポートされた CIS または ISO 各種法令・基準等を使用する場合でも、285 (171 CIS および 114 ISO) の自動監視インジケーターテンプレートを使用してコンプライアンスアクティビティを管理できます。

171 のインジケータテンプレートは、Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションが提供する 171 の CIS コントロール目標にマッピングされます。

> **注:**
> 26 の基本インジケーターテンプレートの情報は、次の例に示すように、さまざまな ServiceNow ITx アプリケーションから取得されます。

CIS Controls の基本インジケーターテンプレート

CIS Control	説明	**ITx** ソースアプリケーション
CIS Control 1.1	アクティブな検出ツールを使用して、組織のネットワークに接続されているデバイスを特定し、ハードウェア資産の在庫を更新します。	Discovery
CIS Control 1.2	パッシブな検出ツールを使用して、組織のネットワークに接続されているデバイスを特定し、組織のハードウェア資産の在庫を自動的に更新します。	Discovery
CIS Controls 1.4	情報を保存または処理する可能性があるすべてのテクノロジー資産の正確かつ最新の在庫を維持します。この在庫には、組織のネットワークに接続されているかどうかにかかわらず、すべてのハードウェア資産が含まれます。	Discovery
CIS Control 1.5	ハードウェア資産在庫に、各資産のネットワークアドレス、ハードウェアアドレス、マシン名、データ資産オーナー、部門、およびハードウェア資産がネットワークへの接続が承認されているかどうかが記録されていることを確認します。	Discovery
CIS Control 1.6	許可されていない資産がネットワークから削除されるか、隔離されるか、または在庫が適切なタイミング適宜更新されるように確保します。	Discovery
CIS Control 1.7	802.1x 標準に従って、ポートレベルのアクセス制御を使用して、ネットワークに対して認証できるデバイスを制御します。認証システムをハードウェア資産在庫データに関連付けて、認可済みデバイスのみがネットワークに接続できるようにする必要があります。	Discovery
CIS Control 1.8	クライアント証明書を使用して、組織の信頼できるネットワークに接続するハードウェア資産を認証します。	Discovery

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

CIS Control	説明	ITx ソースアプリケーション
CIS Control 2.1	任意のビジネスシステムで、企業内のビジネス目的で必要なすべての認可済みソフトウェアの最新リストを維持します。	Software Asset Management
CIS Control 2.2	現在ソフトウェアのベンダーによってサポートされているソフトウェアアプリケーションまたはオペレーティングシステムのみが、組織の認可済みソフトウェア在庫に追加されていることを確認します。サポートされていないソフトウェアは、在庫システムでサポート対象外としてタグ付けする必要があります。	Software Asset Management
CIS Control 2.3	組織全体でソフトウェア在庫ツールを使用して、ビジネスシステム上のすべてのソフトウェアのドキュメントを自動化します。	Software Asset Management
CIS Control 2.4	ソフトウェア在庫システムは、組織によって認可されたオペレーティングシステムを含む、すべてのソフトウェアの名前、バージョン、公開者、およびインストール日を追跡する必要があります。	Software Asset Management
CIS Control 2.5	ソフトウェア在庫システムは、すべてのデバイスと関連付けられたソフトウェアを 1 つの場所から追跡できるように、ハードウェア資産在庫に関連付ける必要があります。	CMDB
CIS Control 3.1	最新の SCAP 準拠の脆弱性スキャンツールを使用して、ネットワーク上のすべてのシステムを毎週またはそれ以上の頻度で自動的にスキャンし、組織のシステムの潜在的な脆弱性をすべて特定します。	Vulnerability Response
CIS Control 3.2	各システムでローカルに実行されているエージェント、またはテスト対象のシステムで昇格された権利で設定されたリモートスキャナーを使用して、認証済み脆弱性スキャンを実行します。	Vulnerability Response
CIS Control 3.6	継続的な脆弱性スキャンの結果を定期的に比較して、脆弱性が適切なタイミングで修正されていることを確認します。	Vulnerability Response
CIS Control 3.7	リスク評価プロセスを使用して、検出された脆弱性の修正を優先します。	Vulnerability Response
CIS Control 15.1	有線ネットワークに接続されている認可済み無線アクセスポイントの在庫を管理します。	CMDB
CIS Control 16.1	オンサイトまたはリモートサービスプロバイダーにあるものを含む、組織の各認証システムの在庫を管理します。	CMDB
CIS Control 18.5	標準化され、広範囲にわたってレビューされた暗号化アルゴリズムのみを使用します。	Discovery
CIS Control 18.8	外部エンティティがセキュリティグループに連絡する手段を提供するなど、ソフトウェアの脆弱性のレポートを受け入れて対処するプロセスを確立します。	Vulnerability Response
CIS Control 19.1	担当者のロールとインシデントの処理/管理のフェーズを定義する、書面によるインシデント応答計画があることを確認します。	Security Incident Response

自動翻訳

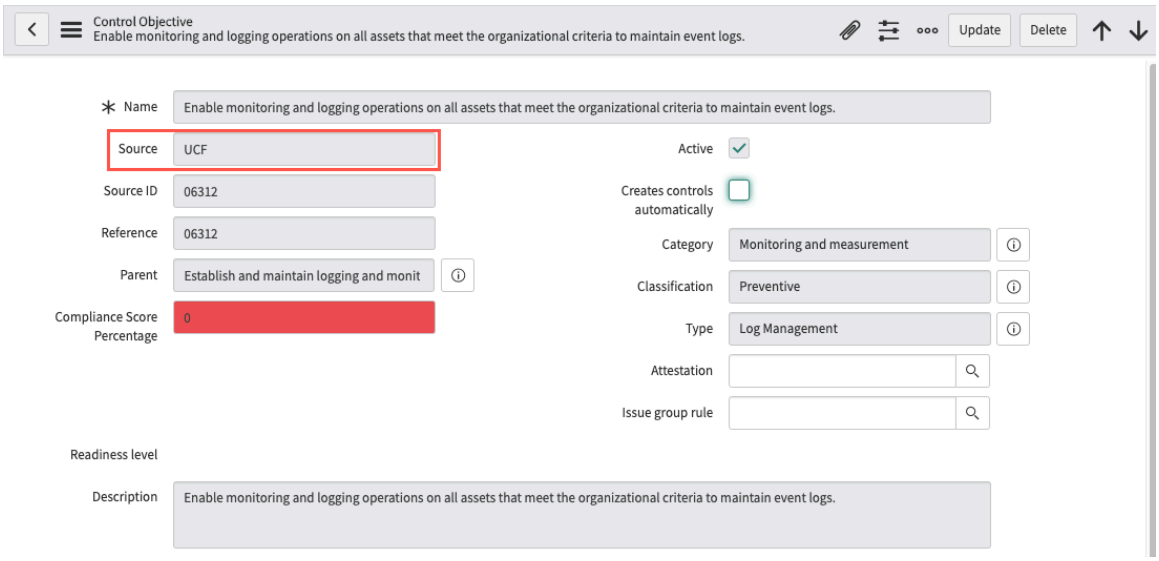
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

CIS Control	説明	ITx ソースアプリケーション
CIS Control 19.2	コンピューターとネットワークのインシデントを処理するための役職と職務を特定の個人にアサインし、解決までのインシデント全体の追跡と文書化を行います。	Security Incident Response
CIS Control 19.3	重要な意思決定のロールを担うことによってインシデント処理プロセスをサポートする管理担当者およびバックアップを指定します。	Security Incident Response
CIS Control 19.4	システム管理者および他の人員メンバーがインシデント処理チームに例外イベントをレポートするために必要な時間、そのようなレポートのメカニズム、およびインシデント通知に含める必要がある情報の種類について、組織全体の標準を策定します。	Security Incident Response
CIS Control 19.6	インシデント処理チームへのコンピューターの例外とインシデントのレポートに関する情報を、すべての従業員に公開します。このような情報は、定期的な従業員の認識向上アクティビティに含める必要があります。	Security Incident Response
CIS Control 19.8	組織への既知の影響または潜在的な影響に基づいて、インシデントのスコアリングと優先順位付けのスキーマを作成します。スコアを使用して、ステータスの更新頻度とエスカレーション手順を定義します。	Security Incident Response

次に示すように、UCF からダウンロードされるコントロール目標には、ソースとして UCF があります。

UCF コントロール目標

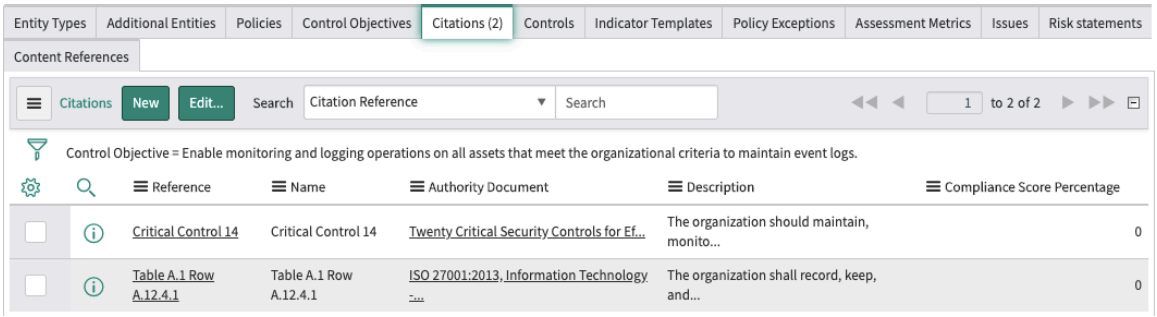


[各種法令・基準内項目] 関連リストをクリックすると、2 つの各種法令・基準内項目が存在することがわかります。1 つは CIS から取得され、もう 1 つは UCF から取得された ISO 27001 各種法令・基準等です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

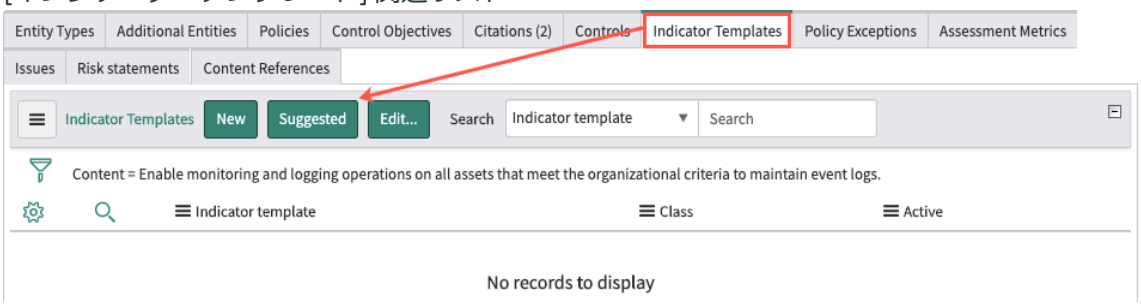
UCF コントロール目標に含まれる各種法令・基準内項目



これらの各種法令・基準内項目により、Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションに含まれる CIS Controls の代わりに、UCF からダウンロードした CIS コントロールを使用し、コントロールを提供されたインジケーターテンプレートに関連付けることができます。

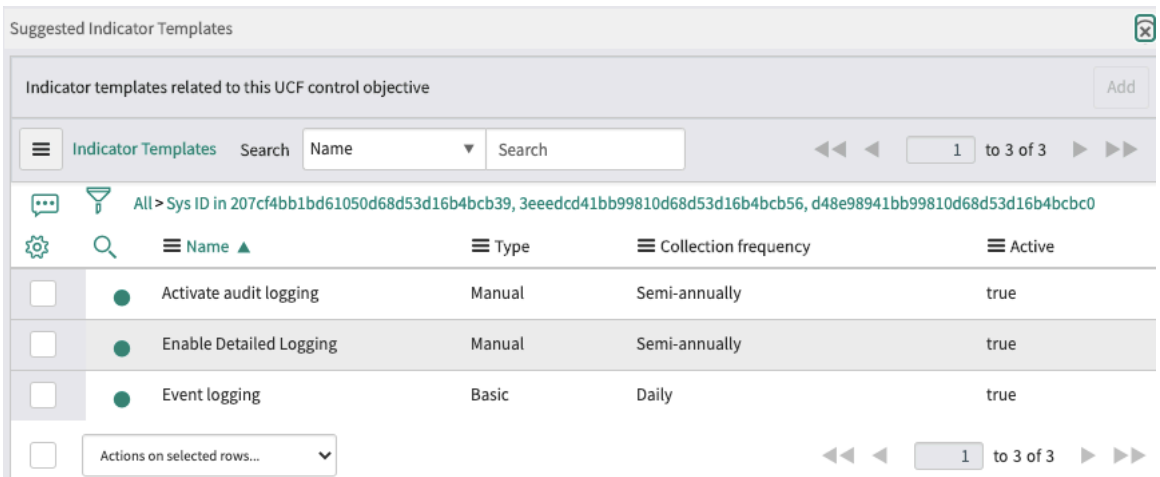
この UCF コントロール目標を類似のインジケーターテンプレートに関連付ける場合は、[インジケーターテンプレート] 関連リストをクリックし、[提案済み] ボタンをクリックします。

[インジケーターテンプレート] 関連リスト



選択したコントロール目標に適用できるインジケーターテンプレートのリストが表示されます。

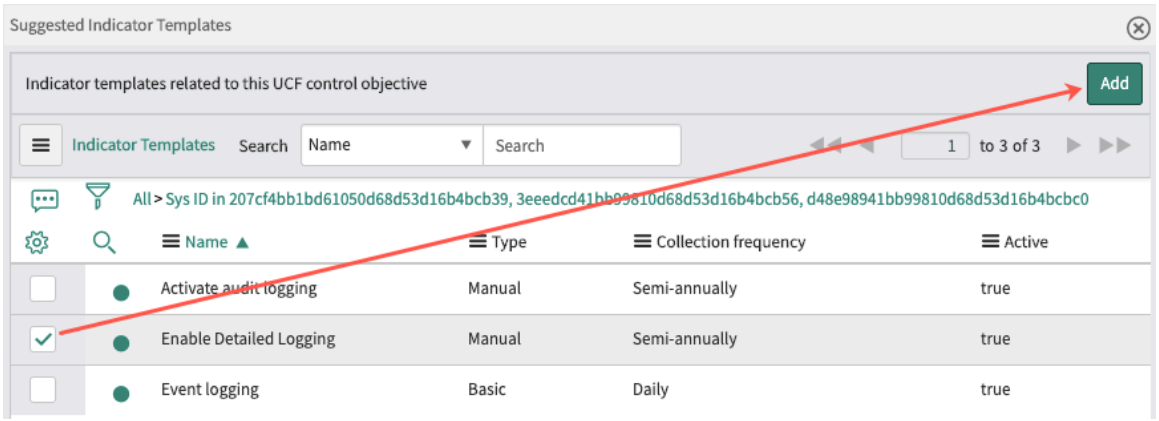
提案されたインジケーターテンプレート



UCF コントロール目標にマッピングするインジケーターテンプレートを選択し、[追加] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターテンプレートの **UCF** コントロール目標へのマッピング



GDPR DPIA Use Case Accelerator

一般データ保護規則 (GDPR) は、欧州連合 (EU) 内の個人のデータ保護を強化および統一することを意図した欧州委員会による規制です。

注:
現在、GRC: GDPR DPIA Accelerator は廃止され、サポート対象外となったか、新しいアクティベーションで利用できなくなりました。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

GDPR DPIA Use Case Accelerator の概要

ServiceNow® GDPR DPIA Use Case Accelerator を使用すると、EU 内外の各人の個人データを保護するためのデータ保護影響度評価 (DPIA) を実行できます。次の図と手順は、GDPR DPIA Use Case Accelerator システムのフローを示しています。



1. ターゲットは、エンティティとデータ処理アクティビティの間の関連付けを指しています。ターゲットは、手動で作成することも、エンティティ画面の [ターゲットを生成] チェックボックスをオンにして自動的に生成することもできます。
2. ターゲット上で予備アセスメントを実行して、高リスクの操作と見なされるかどうかを判定し、どのような軽減手順が必要かを判断できます。
3. 予備アセスメントの結果に基づいて、DPIA リスクを作成して GDPR DPIA アセスメントを実行できます。リスク担当役員とデータ処理責任者は、アセスメントの進捗状況と、個々のアセスメント実行者からの応答を表示できます。
4. アセスメント回答者がアセスメントで軽減対策を選択した場合、アセスメントの完了後にリスク軽減タスクが作成されます。
5. GDPR DPIA Use Case Accelerator の概要ダッシュボードは、リスク、アセスメント、リスク軽減対策などのさまざまなデータポイントに対するエグゼクティブビューを提供します。これらは、GDPR DPIA GDPR DPIA の担当役員や責任者が懸案分野をすばやく特定するために役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GDPR DPIA Use Case Accelerator を使用して実行されるアセスメント

予備アセスメントと GDPR DPIA アセスメントの 2 つのタイプのアセスメントを実行できます。

予備アセスメント **(GDPR DPIA** ターゲットアセスメントとも呼ばれます) : 予備アセスメントはデータ処理操作ターゲットで直接実行されます。ターゲットには、 ServiceNow ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションとユースケースアクセラレーターのアプリケーション (GDPR DPIA Use Case Acceleratorを含む) の間で共有される情報が含まれています。ターゲットは、目的、必要性、評価基準など、データ処理操作の特定の重要な特性を評価するのに役立ちます。予備アセスメントは、データ処理操作が高リスク操作であるとみなされる場合に、ユーザーが結論に達して軽減手順を決定するために役立ちます。

GDPR DPIA アセスメント : DPIA アセスメントは通常、高リスクのデータ処理操作、つまりターゲットに対して実行されます。ただし、DPIA アセスメントはターゲットで直接評価されません。代わりに、リスク管理 アプリケーションで提供されるリスクアセスメント機能を使用して評価されます。DPIA アセスメントは、GDPR DPIA Use Case Accelerator コンテキストでは DPIA リスクと呼ばれます。

予備アセスメントの結果として、リスク担当役員はリスクを作成できます。これらは、予備アセスメントのターゲットの評価から特定された実際のリスクです。リスク担当役員には、このようなリスクを記録するために リスク管理 アプリケーションを活用することをお勧めしますが、このセクションで説明するように、 GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションを使用してそれらを記録することもできます。

> **注:**
> GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションによって、コアコンテンツとデモコンテンツの 2 つのタイプのコンテンツが有効になります。コアコンテンツは、 で構成したモジュールから直接アクセスできます。 **GDPR DPIA** > コンテンツ. デモコンテンツは、GRC 製品スイート内のアプリケーションから間接的にアクセスできます。コアコンテンツとデモコンテンツはどちらも、ダッシュボードとレポートを使用して表示できます。

自動翻訳

GDPR DPIA Use Case Accelerator を使用するユーザー

ペルソナ	説明
データ保護責任者	組織が、各人の個人データを保護する法律を適用するよう確保します。組織内での DPO の指名、地位、タスクは、EU の一般データ保護規制第 37、38、39 条に記載されています。
リスク担当役員	組織全体でリスクが特定され、一貫して管理されるように確保します。組織の戦略に従い、データ保護影響分析が行われるように促進します。
ガバナンス、リスク、およびコンプライアンス管理者	下にあるすべてのアプリケーションへのアクセスを提供します。 **GDPR** > 管理.

GDPR DPIA Use Case Accelerator サポートの概念

GDPR DPIA ガイダンスから開発されたこれらの概念を理解してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
データ処理操作 (またはアクティビティ)	処理は、個人データに対して実行される広範な操作を対象としています。これには、個人データの収集、記録、整理、構造化、ストレージ、適応または変更、取得、参照、使用、送信による開示、使用可能にする流布またはその他の方法、配置または組み合わせ、制限、抹消、または破壊が含まれます。 GDPR は、自動化された手段による個人データの処理のすべてまたは一部に適用されます。また、構造化されたファイリングシステムの一部である場合は、自動化されていない処理にも適用されます。 GDPR DPIA アプリケーションのデータ処理操作 (またはアクティビティ) は、GDPR 規制に記載されている処理操作を表すために正確に定義されたターゲット (以下で説明) です。
データ保護影響度評価 (DPIA)	DPIA は、個人データの保護に対するデータ処理操作の影響度のアセスメントであり、特に、処理操作に起因する個人の権利と自由に対するリスクの可能性と重大度のアセスメントです。GDPR では、個人の権利と自由に対するリスクが高い可能性があるデータ処理操作を実行する前に、コントローラーが DPIA アセスメントを実行する必要があります。 DPIA は GDPR DPIA アプリケーションのリスクアセスメント®です。DPIA 登録モジュールは、ServiceNow　リスク管理 アプリケーションを使用した DPIA アセスメントの作成、実行、および追跡を容易にします。DPIA アセスメントは リスク管理 で開始され、そのベースシステムワークフローは、DPIA アセスメントを促進して標準リスクアセスメント機能を活用するために役立ちます。
一般データ保護規則 (GDPR)	この規制は、個人データの処理とそのようなデータの自由な移動に対してを自然人を保護します。これにより、ディレクティブ 95/46/EC (データ保護ディレクティブ) は廃止されます。 GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションは DPIA をサポートし、アセスメントを実施するための構造化されたアプローチを提供します。
高リスク処理操作 (またはアクティビティ)	これは、損害の可能性と重大度が高く、結果として自然人の権利と自由に対するリスクが高い可能性があると評価された処理操作です。通常、組織は、組織とそのサービスの性質に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
	固有のいくつかの要因に基づいてデータ処理操作が高リスクであるかどうかを事前に (つまり、DPIA アセスメントを実行する前に) 判別します。DPIA は通常、このような事前の判別の後に実施されます。 GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションのデータ処理操作 (またはアクティビティ) はターゲットと呼ばれます。ターゲットに「高リスク」のフラグを付けて、高リスクの処理操作であることを示すことができます。
リスク	GDPR は、リスク管理の明確に定義されたコンポーネントと重複する DPIA のさまざまなコンポーネントの概要を示します。リスク管理の用語では、DPIA は、次のプロセスを使用して、自然人の権利と自由に対する「リスクを管理する」ことを目的としています。 • コンテキストの確立：「処理の性質、スコープ、コンテキスト、目的、およびリスクのソースを考慮する」 • リスクの評価：「高リスクの特定の可能性と重大度を評価する」 • リスクの処理：「そのリスクの軽減」、「個人データの保護の確保」、および「この規制への準拠の実証」 DPIA アセスメントの結果としてのリスクのログ記録を容易にするために、GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションにはリスク登録モジュールとリスクアセスメントモジュールが用意されています。
ターゲット	ターゲットは、GDPR DPIA Use Case Accelerator および関連するすべての概念の基盤です。 ターゲットは、ServiceNow® GRC 製品といくつかのユースケースアクセラレーターの間で共有されるテーブルです。これらは、コア GRC アプリケーションのエンティティの概念に似ています。オプションでエンティティにリンクされますが、ユースケースアクセラレーターに固有の属性に使用されます。

GDPR DPIA Use Case Accelerator をダウンロードする

インスタンスで GRC: GDPR DPIA Use Case Accelerator を実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。その後、インストールを検証できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションを実行する前に、次の GRC アプリケーションをダウンロードして有効化する必要があります。

- Audit Management
- ポリシーとコンプライアンス管理
- リスク管理

必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

GRC: GDPR DPIA Use Case Accelerator とともにインストールされるコンポーネント

GRC: GDPR DPIA Use Case Accelerator が正常にダウンロードされると、テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど、いくつかのタイプのコンポーネントがインストールされます。

Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

この機能ではデモデータを利用できます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
データ処理責任者 [sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer]	組織が、各人の個人データを保護する法律を適用するよう確保します。組織内での DPO の指名、地位、タスクは、EU の一般データ保護規制第 37、38、39 条に記載されています。	• sn_risk.manager • sn_irm_gdpr_dpia_user
リスク担当役員 [sn_irm_gdpr_dpia.risk.executive]	組織全体でリスクが特定され、一貫して管理されるように確保します。組織の戦略に従い、データ保護影響分析が行われるように促進します。	• sn_risk.manager • sn_irm_gdpr_dpia_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	含んでいるロール
GDPR DPIA ユーザー [sn_irm_gdpr_dpia.user	sn_grc スコープのターゲットユーザーロールと リスク管理アプリケーションのユーザーロールが含まれています。	• sn_grc.target_user • sn_risk.user

インストールされるテーブル

テーブル	説明
GDPR 予備アセスメント [sn_irm_gdpr_dpia_m2m_assessment_i_target]	予備アセスメントを GDPR ターゲットに関連付ける関係テーブル。

インストールされるプロパティ

名前	説明
デフォルトの DPIA アセスメント sn_irm_gdpr_dpia_default_assessment	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：選択リスト • デフォルト値：GDPR DPIA アセスメント • 居住地： **GDPR DPIA** > 管理 > プロパティ
GRC の選択肢 - GDPR DPIA フレームワーク sn_irm_gdpr_dpia_default_framework	コンプライアンス管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：選択リスト • デフォルト値：GDPR DPIA • 居住地： **GDPR DPIA** > 管理 > プロパティ
GDPR DPIA ターゲットアセスメント sn_irm_gdpr_dpia.gdpr_dpia_targets_assessment	システム管理者はこの設定を変更できます。 • タイプ：選択リスト • デフォルト値：GDPR DPIA ターゲットアセスメント • 居住地： **GDPR DPIA** > 管理 > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GDPR DPIA Use Case Accelerator モジュールの概要

GDPR DPIA Use Case Accelerator にアクセスすると、アプリケーションは多くのモジュールを提供します。

> **注:**
> Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

GDPR DPIA Use Case Accelerator モジュール

アプリケーション/モジュール	説明
GDPR DPIA	GDPR DPIA Use Case Accelerator アプリケーションを有効にするアプリケーション
概要	GDPR DPIA 担当役員ダッシュボード
データ処理アクティビティ	
ターゲットを作成	GDPR ターゲットを作成します。
すべてのターゲット	データ処理操作 (またはアクティビティ) として簡単にフラグを設定できるカスタマイズされたビューを含むすべてのターゲットレコードのリスト
自分の承認	データ処理責任者 (DPO) のキャパシティでログに記録されたユーザーの承認を待っているターゲットの承認のリスト
自分のアセスメント	ログインしているユーザーがアクセスできる予備アセスメントのリスト。
すべてのアセスメント	予備アセスメントのリスト
DPIA 登録	
新規	モジュールは、新しい DPIA リスクを作成する機能を提供します
対応中	アクティブな DPIA リスクのリスト
廃止	非アクティブな DPIA リスクのリスト
DPIA アセスメント	
自分のアセスメント	ログインしているユーザーがアクセスできる GDPR DPIA アセスメントのリスト
すべてのアセスメント	GDPR DPIA アセスメントのリスト
リスク登録	
新規	モジュールは、新しいリスクを作成する機能を提供します
対応中	アクティブなリスクのリスト
廃止	非アクティブなリスクのリスト
リスクアセスメント	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GDPR DPIA Use Case Accelerator モジュール (続く)

アプリケーション/モジュール	説明
自分のアセスメント	ログインしているユーザーがアクセスできるリスクアセスメントのリスト
すべてのアセスメント	リスクアセスメントのリスト
DPIA 軽減タスク	
自分の DPIA 軽減タスク	ログインしているユーザーがアクセスできる DPIA リスクのリスク軽減タスクのリスト
すべての DPIA 軽減タスク	DPIA リスクのリスク軽減タスクのリスト
コンテンツ	
アセスメントタイプ	モジュールは、GDPR DPIA のすべてのアセスメントのリストへのアクセスを提供します
管理	
選択肢	すべての GRC 選択肢で、GDPR DPIA 用に構成されたものをレビューするために使用されるもののリスト
プロパティ	モジュールは、GDPR DPIA 用に構成されたシステムプロパティを表示します

データ処理アクティビティの操作

データ処理責任者は、データ処理アクティビティモジュールのオプションを使用してターゲットを作成し、それらをデータ処理アクティビティとして特定して、それらに対して GDPR DPIA ターゲットアセスメントを実行してターゲットが高リスクであるかどうかを判断できます。

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

ターゲットの作成

GDPR では、ターゲットはエンティティとデータ処理アクティビティの間の関連付けを指します。

始める前に

必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

このタスクについて

ターゲットアセスメントはターゲットで実行され、データ処理アクティビティであるかどうかが識別されます。アセスメントが戻ってきて、ターゲットが高リスクであると識別された場合は、DPIA リスクを作成して DPIA アセスメントを実行し、リスクを軽減する方法を決定します。ターゲットは、

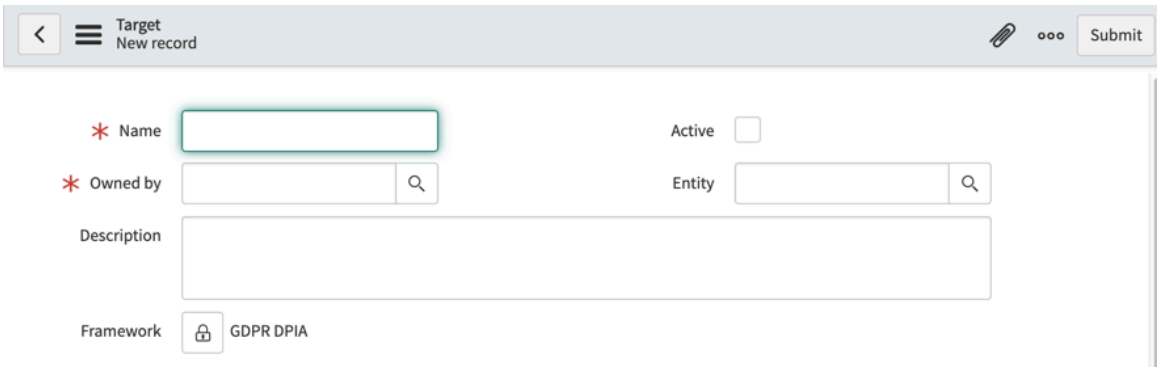
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手動で作成することも、[エンティティ] フォームまたは [エンティティタイプ] フォームの [ターゲットを生成] チェックボックスをオンにして自動的に生成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > データ処理アクティビティ > ターゲットを作成.



2. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ターゲットの名前を入力します。
オーナー	このターゲットのオーナーを選択します。
説明	ターゲットの説明を入力します。
有効	ターゲットを有効化するには、このチェックボックスをオンにします。
エンティティ	このターゲットに関連付けられたエンティティを選択します。エンティティには、1 つのターゲットのみを関連付けることができます。
フレームワーク	このフィールドのデフォルトは **GDPR DPIA** です。

3. 次のいずれかの操作を行います。
   - データを保存するには、[更新] をクリックします。
   - ターゲットレコードをデータ処理アクティビティとして特定するには、ここをクリックします。
   - アセスメント回答者のリストを変更するには、 [予備アセスメント] タブをクリックします。
   - ターゲットで予備アセスメントを実行するには、[アセスメント送信] をクリックします。
   - ターゲットで DPIA アセスメントを実行するには、**[DPIA を生成 (Generate DPIA)]** をクリックします。

データ処理アクティビティとしてターゲットを特定する

データ処理アクティビティとしてのターゲットの特定は、ターゲットに対してデータ処理アセスメントを実行すべきかどうかを判断するための最初のステップです。

始める前に
必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

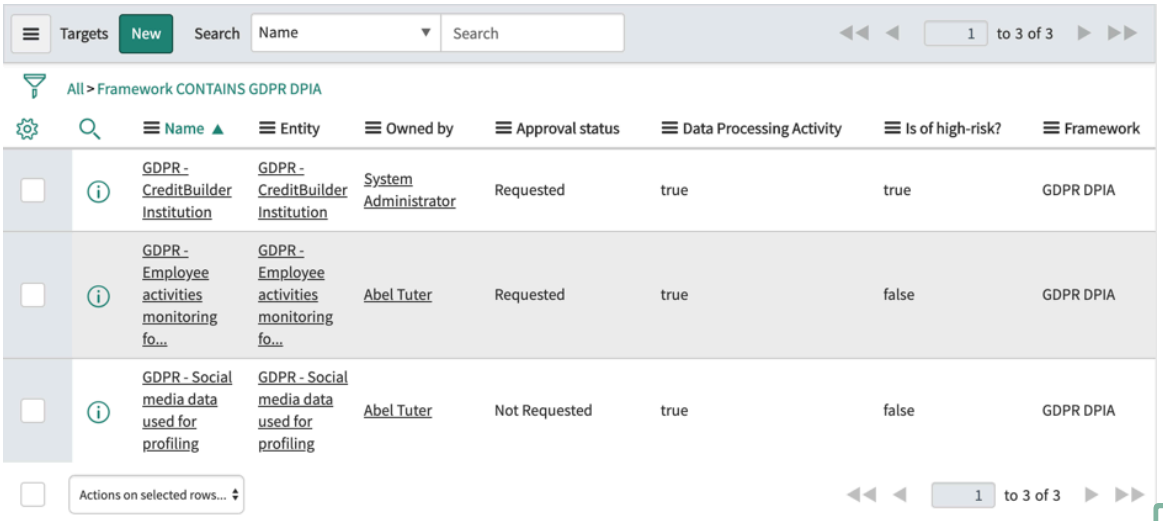
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

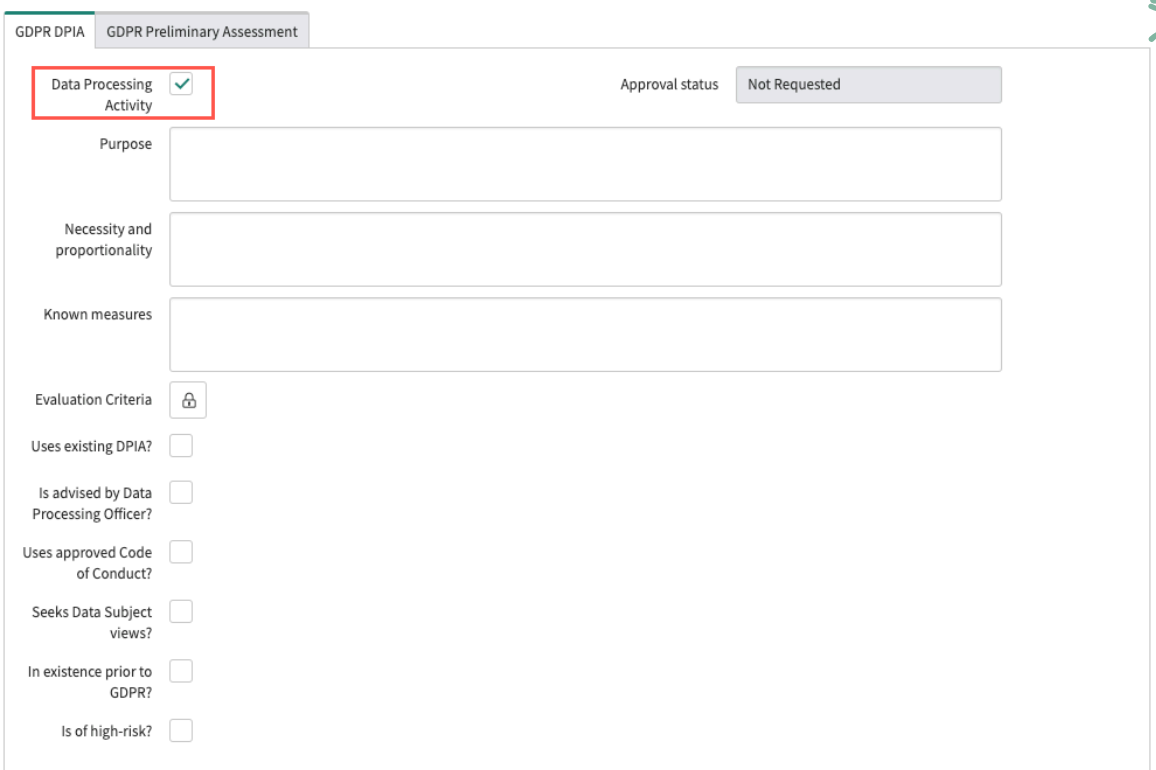
手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > データ処理アクティビティ > すべてのターゲット.



2. データ処理アクティビティとして特定するターゲットレコードを選択します。

3. [更新] をクリックします。
[GDPR DPIA] および **[GDPR** 予備アセスメント] の 2 つの関連リストが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[GDPR DPIA]** タブで、[データ処理アクティビティ **(Data Processing Activity)]** チェックボックスをオンにします。
5. 必要に応じて、フィールドに入力します。

フィールド	説明
承認ステータス	承認プロセスの現在のステータスを表示します。
目的	ターゲットの目的。アクティビティが適用可能な場所などの情報を含めます。
必要性と比例性 (Necessity and proportionality)	目的に関するターゲットの必要性と比例性のアセスメント。
既知の対策 (Known measures)	保護または個人データを確保するためのセーフガード、セキュリティ対策、およびメカニズムを含め、リスクに対処するための対策。
評価基準	ロックアイコンをクリックし、結果としてターゲットが高リスクになる可能性があるかどうかを評価するために考慮する基準を選択します。基準は次のとおりです。 ○ 評価または採点 ○ 法務または同様の重大な影響を与える自動化された意思決定 ○ 系統的なモニタリング ○ 機密データまたは非常に個人的な性質のデータ ○ 大規模に処理されたデータ ○ データセットの照合または組み合わせ ○ 脆弱なデータ主体に関するデータ ○ 革新的な使用、または新しい技術的あるいは組織的なソリューションの適用 ○ データ主体による権利行使やサービスまたは契約の使用の防止
既存の DPIA を使用しますか？ (Uses existing DPIA?)	ターゲットが既存の DPIA を使用する場合は、このチェックボックスをオンにし、ロックアイコンをクリックして、このターゲットに関連付けられている DPIA をリストから選択します。
データ処理責任者のアドバイスが必要ですか？ (Is advised by Data Processing Officer?)	ターゲットがデータ処理責任者の承認を必要とする場合は、このチェックボックスを選択し、ロックアイコンをクリックしてリストから適切なデータ処理責任者を選択します。
承認済みの倫理規範を使用しますか？ (Uses approved Code of Conduct?)	影響度の評価時にターゲットが倫理規範に準拠する必要がある場合は、このチェックボックスをオンにし、テキストボックスに倫理規範の名前を入力します。
データ主体のビューを求めますか？ (Seeks Data Subject views?)	ターゲットでデータ主体またはその担当者のビューをレビューする必要がある場合は、このチェックボックスを選択し、テキストボックスにデータ主体のビューを入力します。
GDPR の前に存在していましたか？ (In existence prior to GDPR?)	GDPR の作成前にターゲットが存在していた場合は、このチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: DPIA を実行するための要件は、リスクの変化があった自然人の権利と自由に対して結果として高リスクとなる可能性のあるすべての既存のデータ処理アクティビティに適用されます。
高リスクですか？ (Is of high-risk?)	これが高リスクのターゲットである場合は、このチェックボックスをオンにします。 注: リスクが高い可能性が示されない場合でも、個人データの使用を伴う主要なデータ処理アクティビティに対しては、DPIA アセスメントを実行することを検討してください。

注:
[GDPR DPIA] タブのフィールドに入力する方法は 2 通りあります。前述のように手動で入力するか、または質問に対する回答がわからない場合は、以下の説明に従って他のユーザーのアセスメントを生成し、その回答をアセスメントからターゲットフォームにコピーすることができます。

6. 他のユーザーのアセスメントを生成するには、次の手順を実行します。

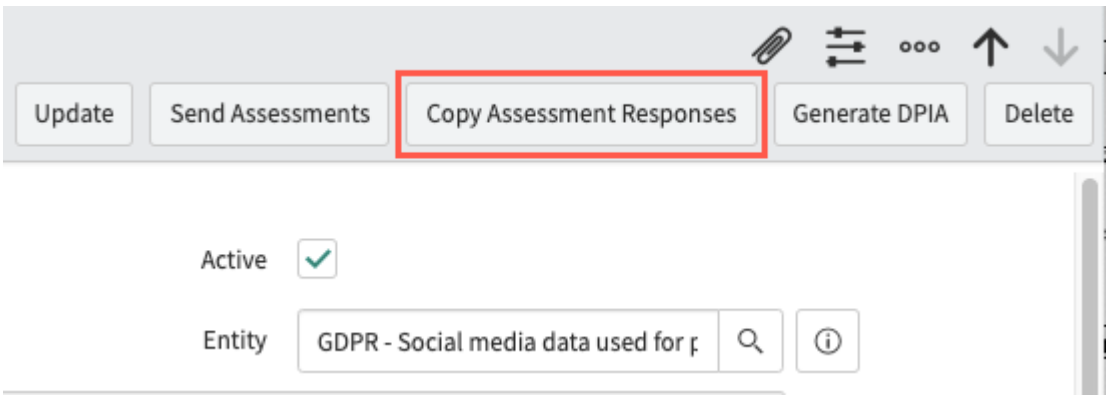
a. **[GDPR** 予備アセスメント] タブをクリックします。

b. [アセスメント回答者] フィールドで、ロックアイコンをクリックし、フォームに入力するユーザーを選択します。

c. 回答者を選択したら、[ロック] アイコンを再度クリックします。

d. [アセスメント送信] をクリックします。

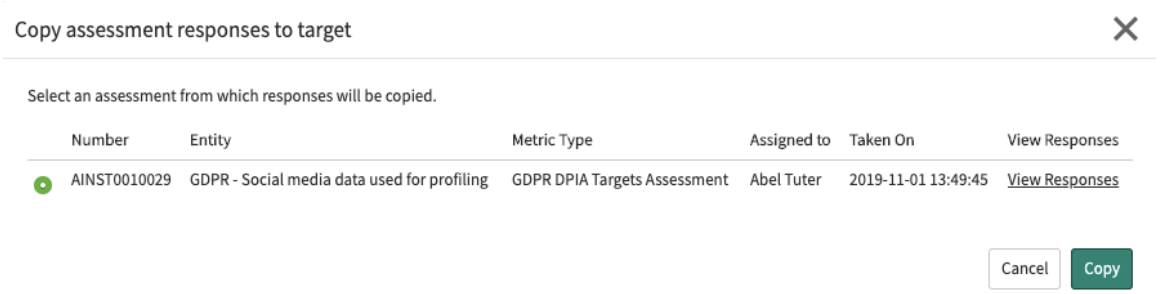
選択したユーザーがアセスメントを実施すると、[アセスメントの回答をコピー **(Copy Assessment Responses)]** ボタンが表示されます。



e. [アセスメントの回答をコピー **(Copy Assessment Responses)]** をクリックします。

完了したアセスメントレコードが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



f. [応答を表示] をクリックすると、アセスメントの回答を表示できます。

g. レコードを選択し、[コピー] をクリックします。
選択した回答者によって提供された回答が GDPR DPIA にコピーされます。

7. フィールドへの入力が完了したら、次のいずれかを実行します。
   - データを保存するには、[更新] をクリックします。
   - アセスメント回答者のリストを変更するには、[予備アセスメント] タブをクリックします。
   - ターゲットで予備アセスメントを実行するには、[アセスメント送信] をクリックします。
   - ターゲットで DPIA リスクを生成して DPIA アセスメントを開始するには、**[DPIA を生成 (Generate DPIA)]** をクリックします。
   - [データ処理責任者のアドバイスが必要ですか？ **(Is advised by Data Processing Officer?)]** チェックボックスをオンにして承認者を選択すると、 **[DPO の承認を要求 (Request DPO Approval)]** ボタンが表示されます。選択した承認者からの承認を要求するにはこのボタンをクリックします。[GDPR DPIA] タブのすべてのフィールドが読み取り専用になります。さらに変更が必要な場合は、[承認をリセット **(Reset Approval)]** をクリックします。

ターゲットの予備アセスメントを送信する

ターゲットの予備アセスメントを開始して、高リスク操作と見なされるかどうかを判断し、どのような軽減手順が必要かを決定できます。予備アセスメントが開始されると、選択されたアセスメント回答者がアセスメントを実施することができます。

始める前に
必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

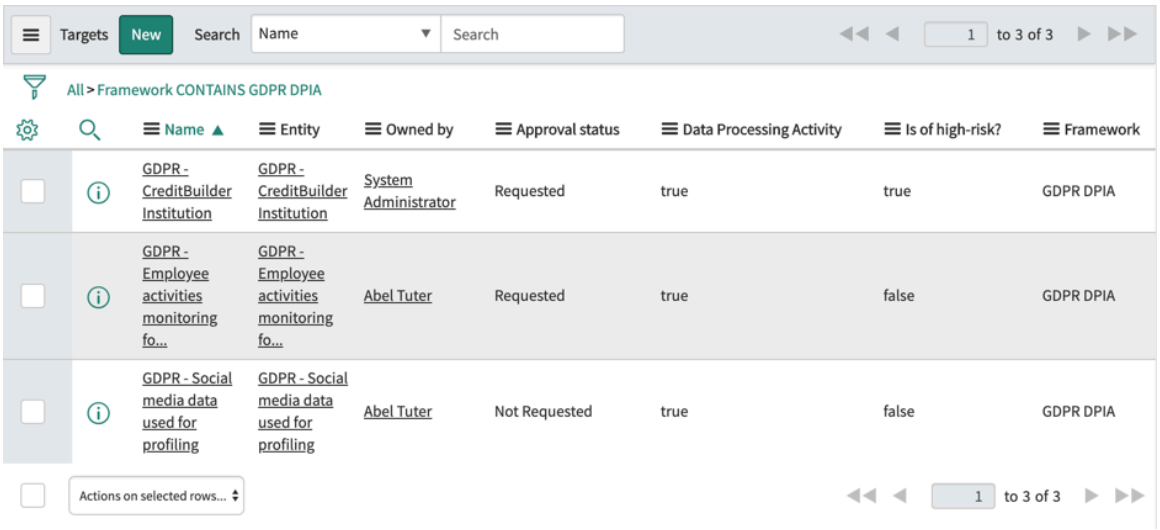
注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

自動翻訳

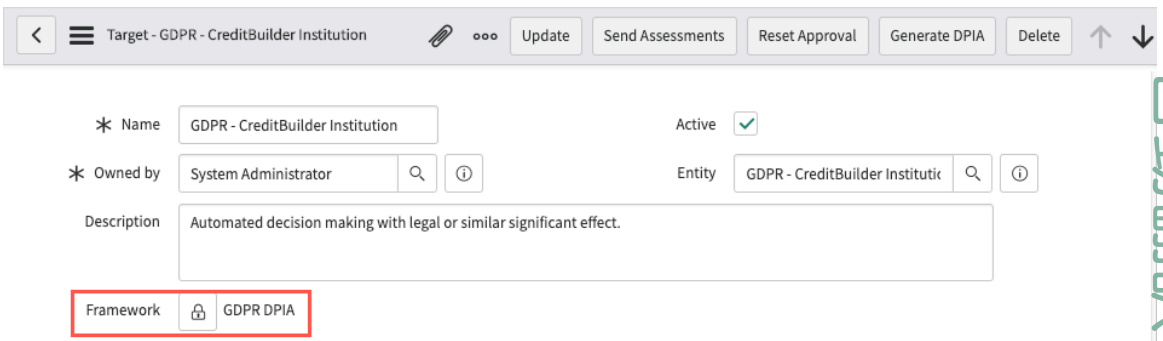
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

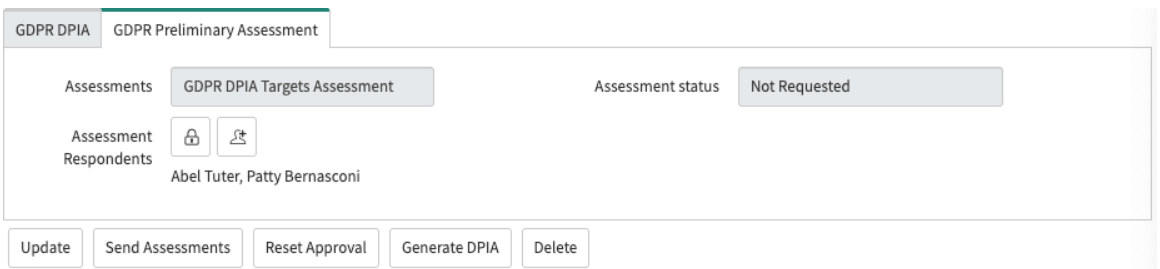
1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > データ処理アクティビティ > すべてのターゲット.



2. 予備アセスメントを実行するターゲットレコードを開きます。



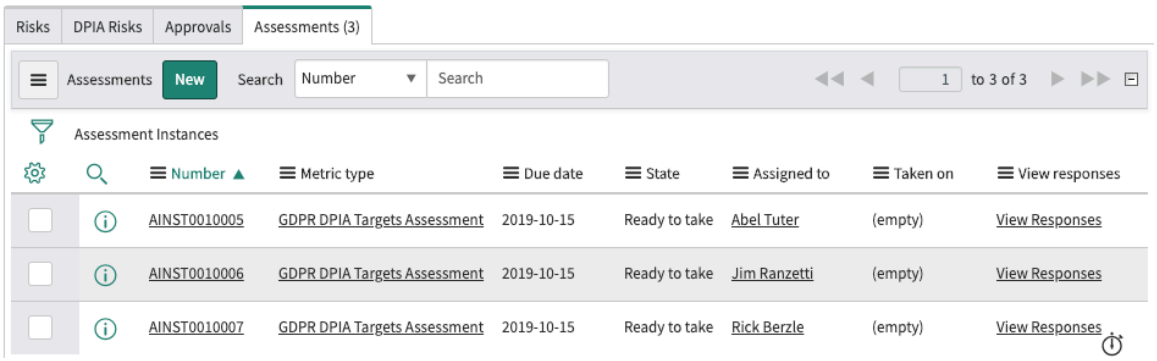
3. [フレームワーク] フィールドに **GDPR DPIA** が表示されていることを確認します。
4. **[GDPR** 予備アセスメント] タブをクリックします。



5. [アセスメント] フィールドに **GDPR DPIA** ターゲットアセスメントが表示されていることを確認します。
6. [アセスメント回答者] フィールドで、ロックアイコンをクリックし、ターゲットの予備アセスメントを実施するユーザーを選択します。
7. 回答者を選択したら、[ロック] アイコンを再度クリックします。
8. [アセスメント送信] をクリックします。
   選択した回答者にアセスメントが送信され、作成されたアセスメントの数がメッセージに表示されます。また、 [アセスメント] タブにはアセスメントレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. データ処理責任者の承認を要求するには、**[DPO の承認を要求 (Request DPO Approval)]** 関連リンクをクリックします。
10. 回答者が回答した後、[アセスメント] タブの [応答を表示] をクリックして回答を表示できます。

予備アセスメントを実施する

予備アセスメントの回答者として特定された場合は、アセスメントにアクセスして実施する必要があります。

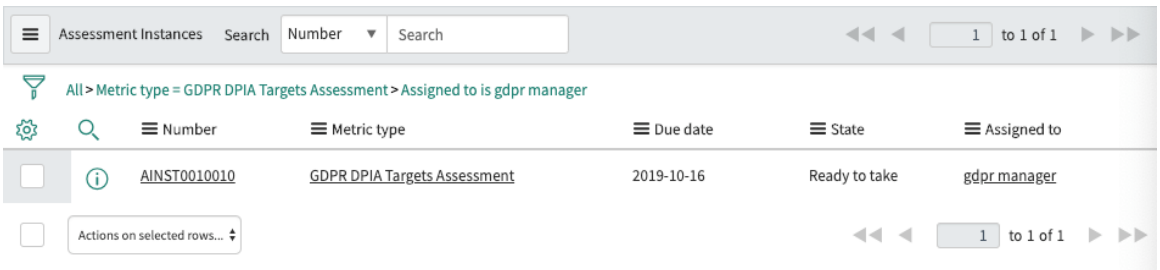
始める前に

必要なロール：なし

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > データ処理アクティビティ > 自分の予備アセスメント.
回答が要求されたすべてのアセスメントが表示されます。



2. 実施するアセスメントを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



以下は、フィールドの説明です。

フィールド	説明
番号	自動生成されたレコード番号。
測定基準タイプ	このアセスメントの測定基準タイプ。
期日	アセスメントを完了する必要がある日付。測定基準タイプの [アセスメント期間] フィールドにある値からシステムによって期日が入力されます。期日に関連するメール通知がシステムによって生成されます。 **注:** デフォルトでは、システムは *Cancel Expired Assessments* スクリプトを 30 日ごとに実行し、ステータスが [対応中] または [取得可能] である、期限切れのサーベイ、 アセスメント、およびクイズのインスタンスをキャンセルします。
有効期限	アサインされたユーザーがアセスメントを繰り返すことができる日付。
ステータス	アセスメントの状態。
アサイン先	このアセスメントが割り当てられているユーザー。このフィールドは、状態が [処理中]、[完了]、または [キャンセル] であるときは読み込み専用になります。
署名結果	署名が必要なときに対象者によって提供される検証。この値は、ユーザー [sys_user] テーブルからの対象者のフル ネーム、または対象者がチェック ボックスをオンにすることによってアサーションの読み込みを確認したことを示す [オン] のいずれかです。

3. [アセスメントを実施] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. できる限り質問に回答し、[送信] をクリックします。

すべての予備アセスメントを表示する

リスク担当役員とデータ処理責任者は、個々のアセスメント実施者からの応答を表示できます。

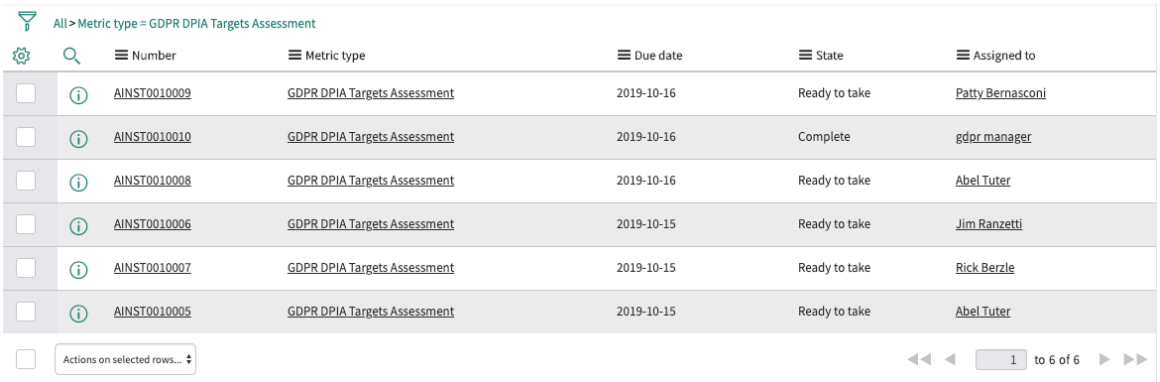
始める前に

必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

手順

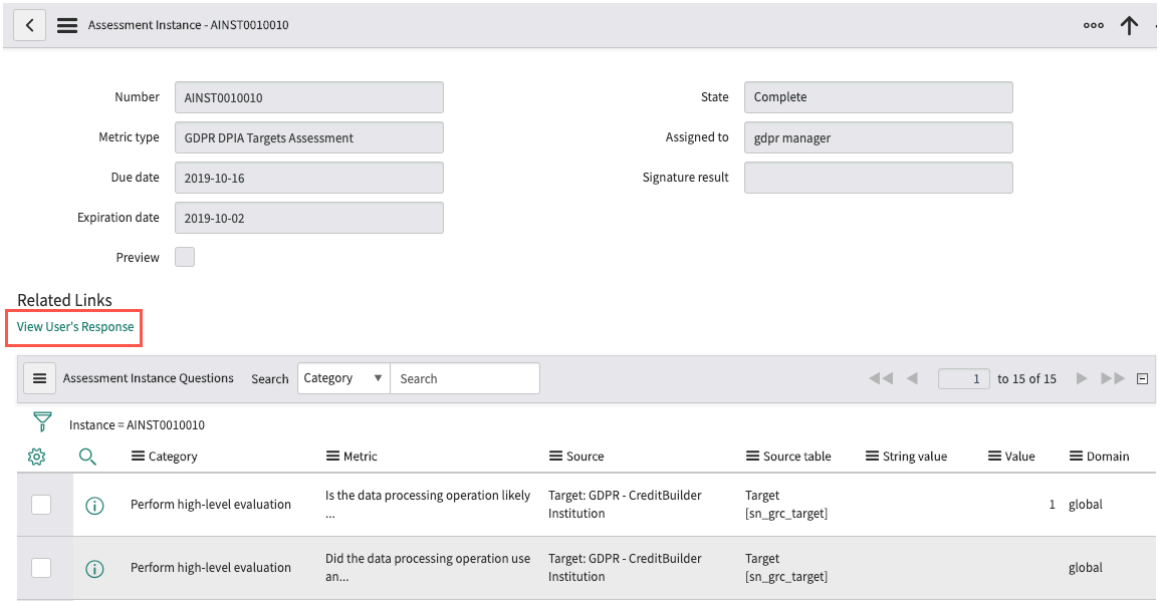
1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > データ処理アクティビティ > すべての予備アセスメント.



2. レビューするアセスメントのアセスメント番号をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [ユーザーの回答を表示] 関連リンクをクリックします。

DPIA リスクアセスメントの操作

予備アセスメントで高リスクのターゲットを特定すると、リスク担当役員とデータ処理責任者は、DPIA 登録モジュールを利用して DPIA リスクアセスメントを生成、実装、および監視できます。GDPR DPIA アセスメントで軽減策が選択された場合、完了したアセスメントから選択された対策に基づいて、対応するリスク軽減タスクが生成されます。

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの「Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184]」の記事を参照してください。

新しいリスクレコードを作成し DPIA アセスメントを開始する

DPIA 登録モジュールのオプションを使用して、リスクレコードを作成し、そのライフサイクルを追跡できます。DPIA アセスメントはリスクレコードに対して開始されます。

始める前に
必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

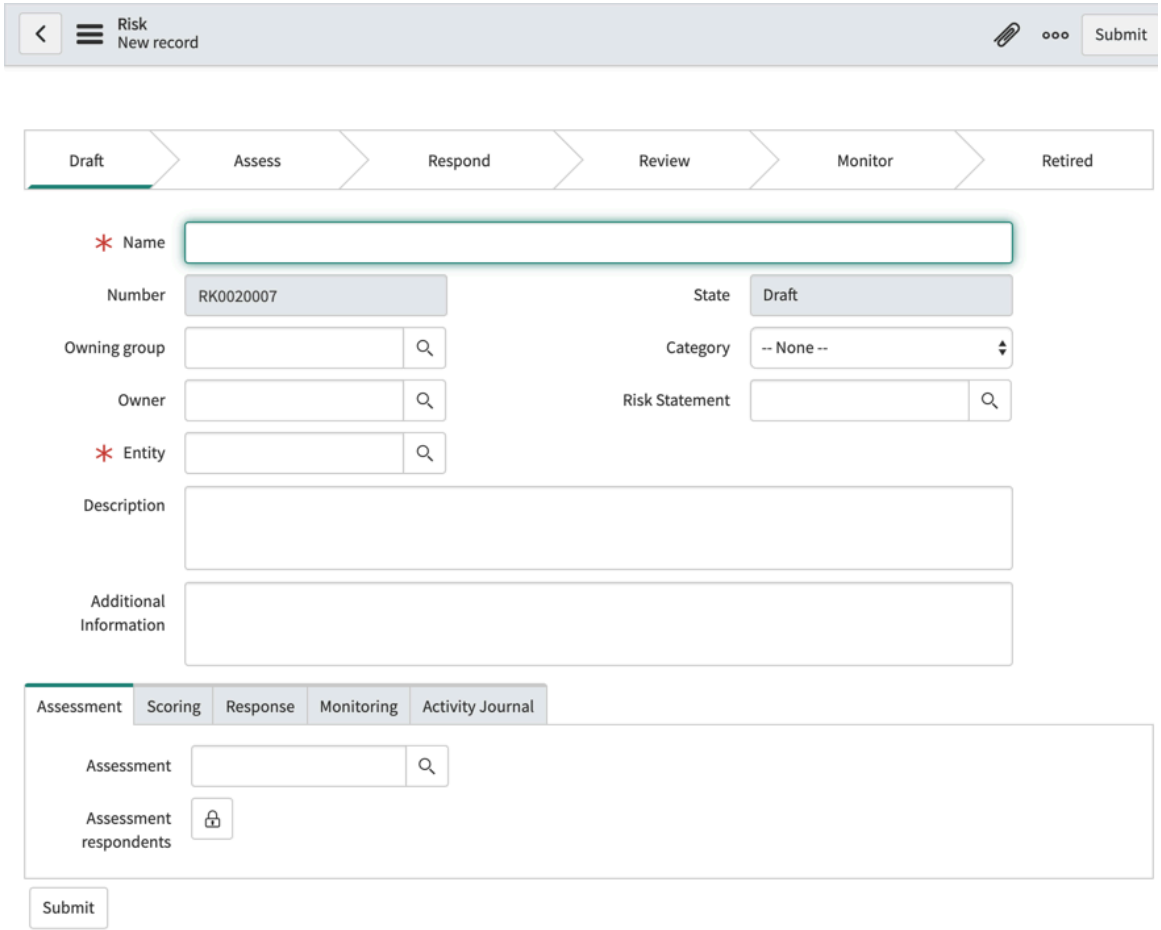
注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

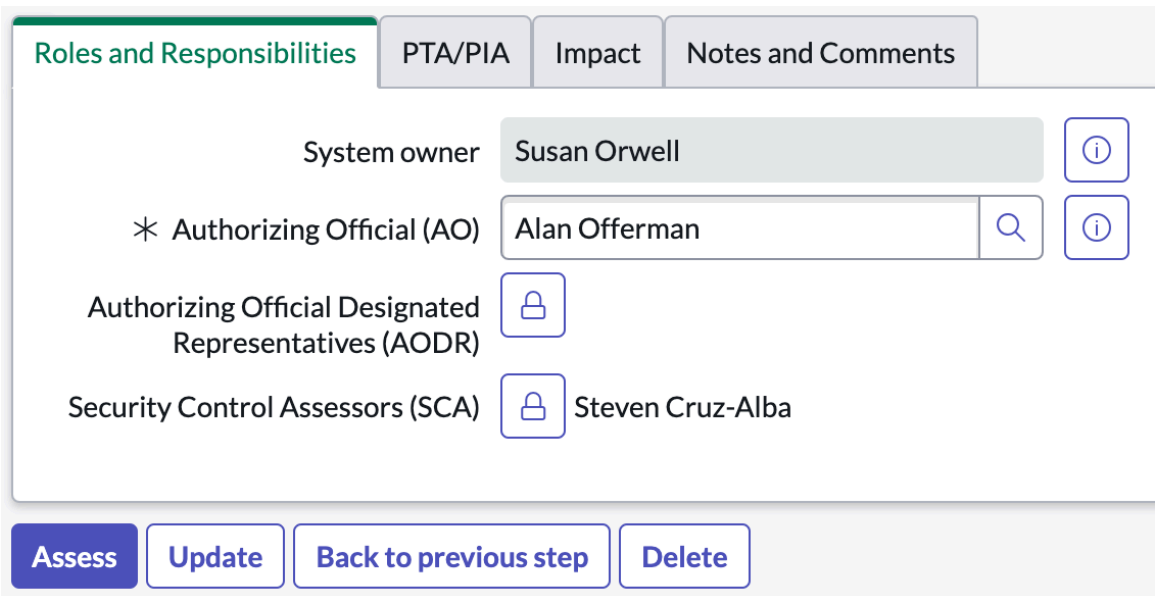
手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > リスク登録 > 新規.



2. ここで説明されているように、フィールドに入力します。
3. 入力が完了したら、レコードを保存します。

[評価] ボタンが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. アセスメントを開始するには、[評価] をクリックします。
   リスクレコードが [評価] 状態に移行し、送信されたアセスメントの数がメッセージに表示されます。

関連情報

個々の回答者のアセスメント応答を表示する

DPIA アセスメントを実施する

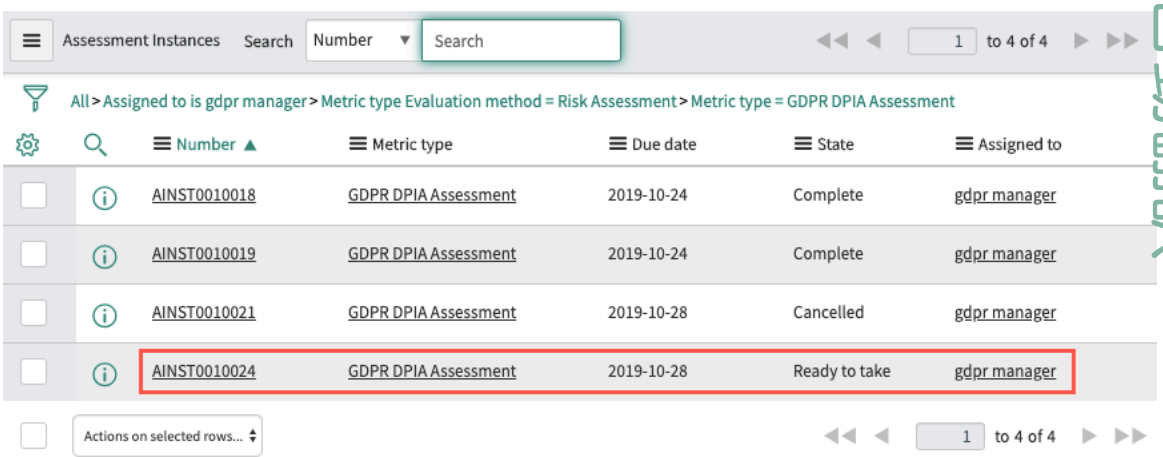
DPIA アセスメントの回答者として特定された場合は、アセスメントにアクセスして実施する必要があります。

始める前に
必要なロール：なし

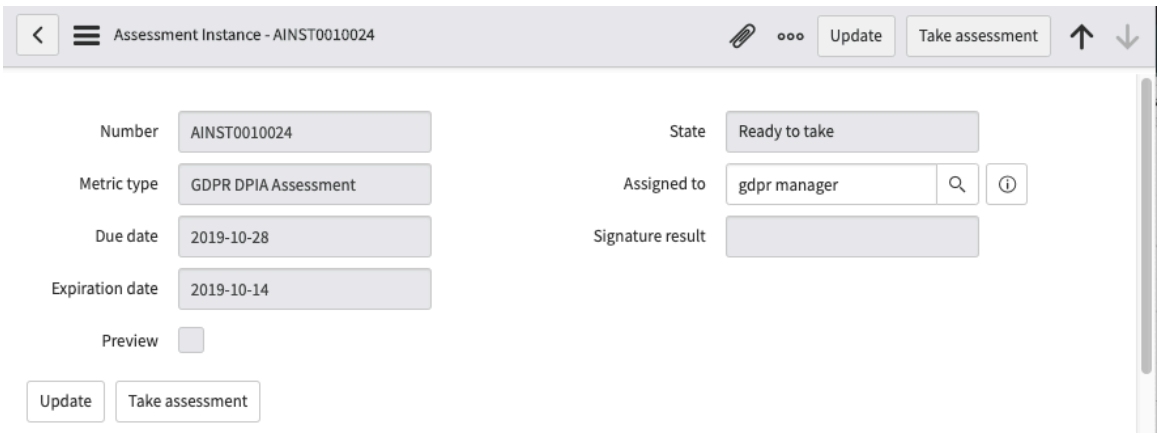
注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > **DPIA** アセスメント > 自分のアセスメント.
   自分が回答を要求されたすべての DPIA リスクアセスメントが表示されます。



2. 実施するアセスメントを開きます。



以下は、フィールドの説明です。

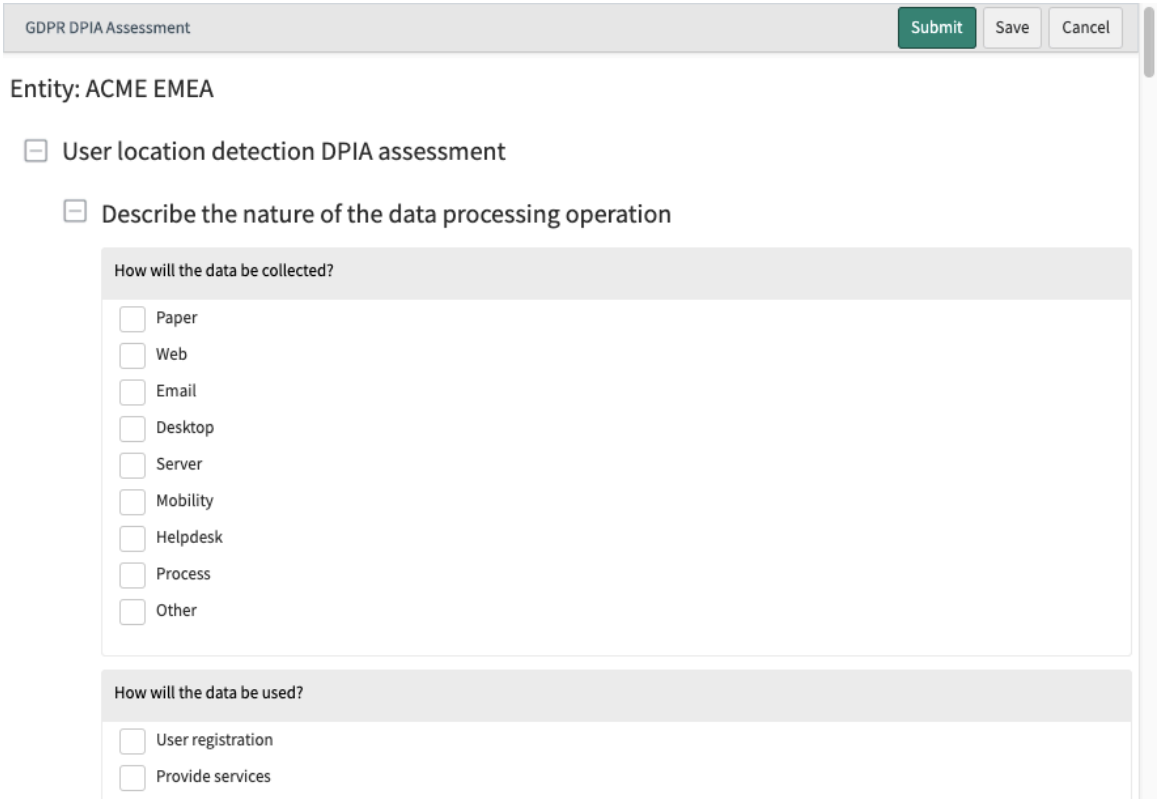
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
番号	自動生成されたレコード番号。
測定基準タイプ	このアセスメントの測定基準タイプ。
期日	アセスメントを完了する必要がある日付。測定基準タイプの [アセスメント期間] フィールドにある値からシステムによって期日が入力されます。期日に関連するメール通知がシステムによって生成されます。 **注:** デフォルトでは、システムは *Cancel Expired Assessments* スクリプトを 30 日ごとに実行し、ステータスが [対応中] または [取得可能] である、期限切れのサーベイ、 アセスメント、およびクイズのインスタンスをキャンセルします。
有効期限	アサインされたユーザーがアセスメントを繰り返すことができる日付。
ステータス	アセスメントの状態。
アサイン先	このアセスメントが割り当てられているユーザー。このフィールドは、状態が [処理中]、[完了]、または [キャンセル] であるときは読み込み専用になります。
署名結果	署名が必要なときに対象者によって提供される検証。この値は、ユーザー [sys_user] テーブルからの対象者のフル ネーム、または対象者がチェック ボックスをオンにすることによってアサーションの読み込みを確認したことを示す [オン] のいずれかです。

3. [アセスメントを実施] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. できる限り質問に回答し、[送信] をクリックします。

> **注:**
> アセスメントの最後の質問では、1 つ以上の軽減策を選択できます。1 つ以上の対策を選択した場合、リスク軽減タスクが自動的に作成され、 リスクの [応答] フィールドが [軽減] に設定されます。

自動翻訳

アセスメントの応答の進捗状況を表示する

リスク担当役員とデータ処理責任者は、アセスメントが進行している間、すべてのアセスメント実施者からの応答を表示できます。各回答者の完了率が表示されます。

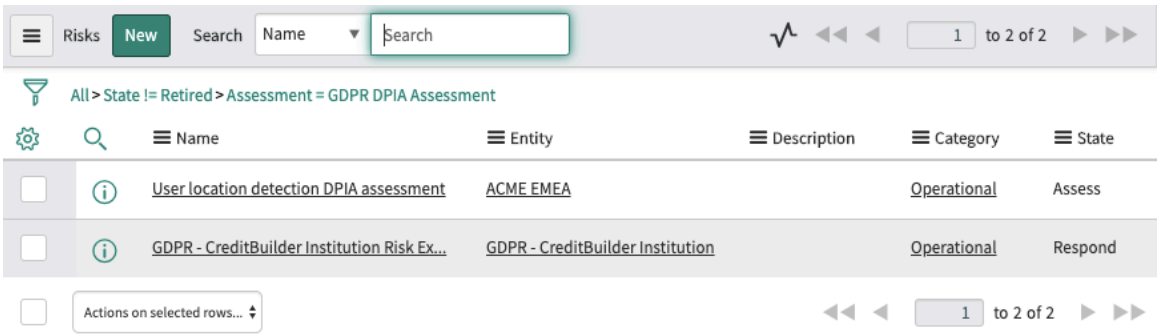
始める前に
必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

> **注:**
> Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

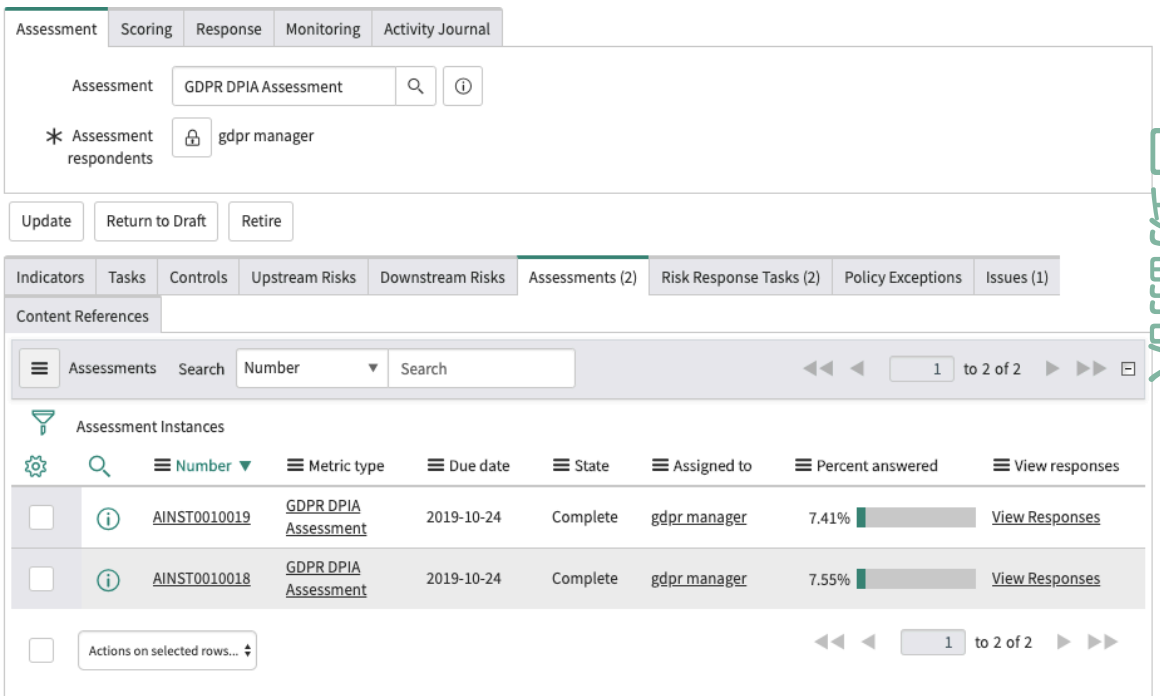
手順

1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > **DPIA** 登録 > 対応中.



2. 回答者の進捗状況を表示するアセスメントをクリックし、[アセスメント] タブまで下にスクロールします。

> **注:**
> アセスメントは [応答] ステータスである必要があります。



3. 個々の回答者の完了した回答を表示するには、[応答を表示] をクリックします。

個々の回答者のアセスメント応答を表示する

リスク担当役員とデータ処理責任者は、個々のアセスメント実施者からの応答を表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_irm_gdpr_dpia.risk_executive または
sn_irm_gdpr_dpia.data_processing_officer

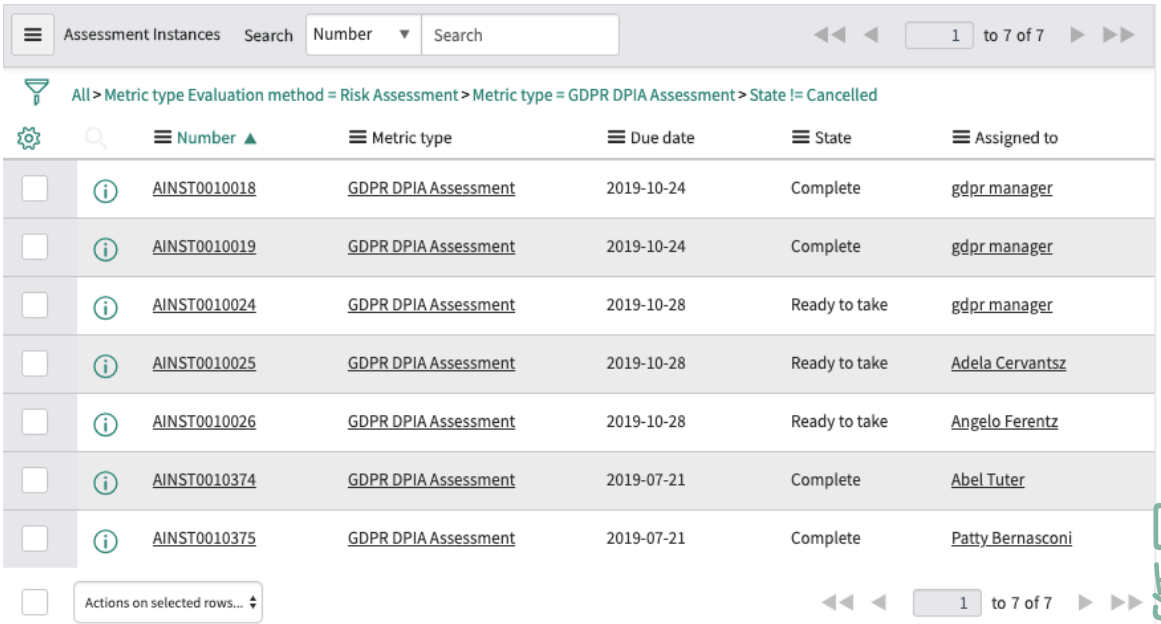
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

手順

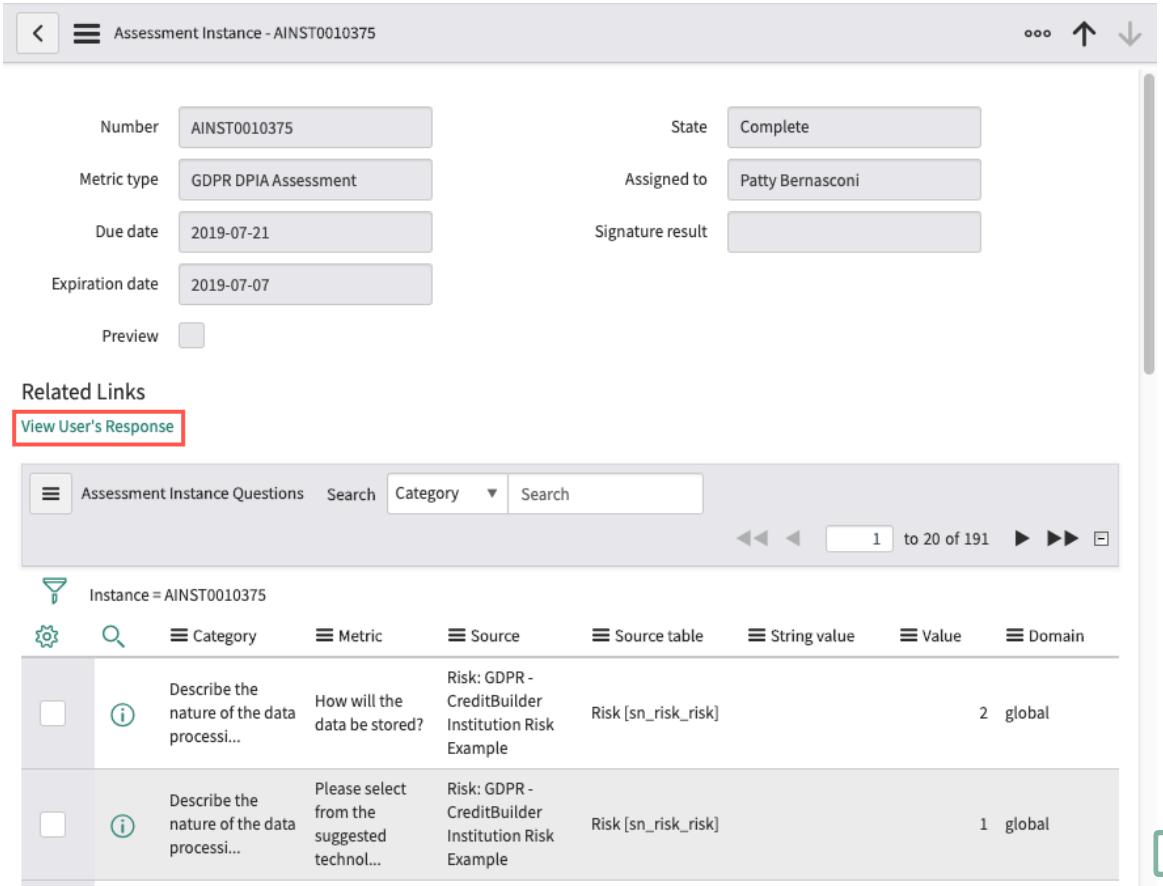
1. 移動先 すべて > **GDPR DPIA** > **DPIA** アセスメント > すべてのアセスメント.



2. レビューするアセスメントのアセスメント番号をクリックします。

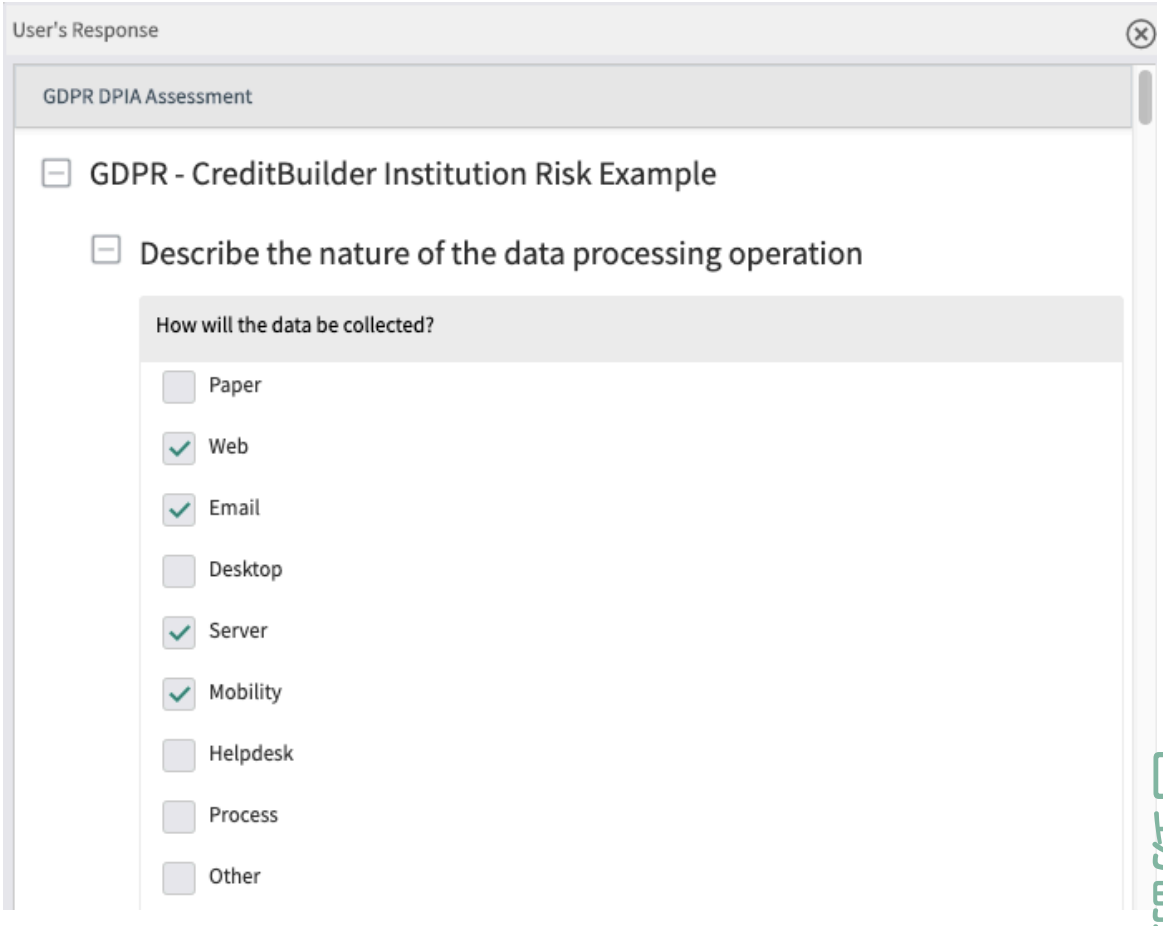
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ユーザーの回答を表示] 関連リンクをクリックします。



自動翻訳

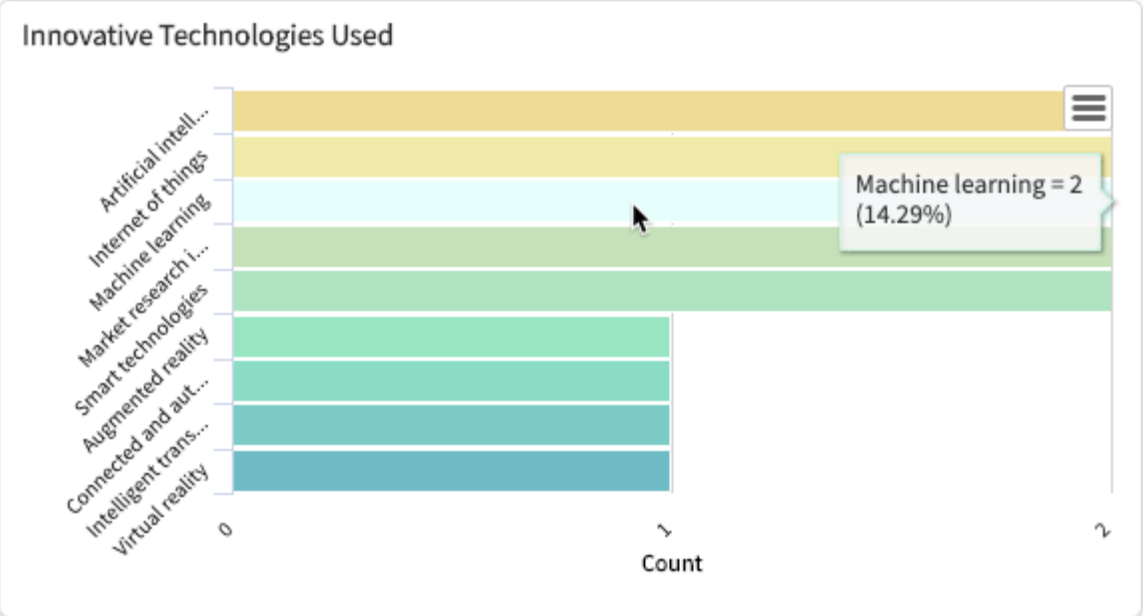
GDPR DPIA 概要ダッシュボードとレポートの操作

GDPR DPIA Use Case Accelerator の概要ダッシュボードは、リスク、アセスメント、リスク軽減対策などのさまざまなデータポイントに対するエグゼクティブビューを提供します。これらは、GDPR DPIA の担当役員や責任者が懸案分野をすばやく特定するために役立ちます。

注:
Rome リリース以降、GRC: GDPR DPIA Accelerator は、将来的に廃止される扱いになっています。これは非表示になり、新しいインスタンスでは有効化されなくなりますが、引き続きサポートされます。詳細については、Now Support ナレッジベースの Deprecation Process (廃止プロセス) [KB0867184] の記事を参照してください。

レポートを表示するには、次の場所に移動します。 **GDPR DPIA** > 概要. 各チャートで、チャートの任意の部分 (棒、円、データポイントなど) をポイントして、その部分に固有の一般的なデータを表示できます。レポートの任意の部分をクリックすると、詳細な情報を提供するリストが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:

ダッシュボードのカスタマイズが必要な場合、詳細については「Create and use dashboards (ダッシュボードを作成および使用する)」を参照してください。

[アクティビティの概要] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
高リスク	単一スコア	測定基準は、高リスクとして特定されたデータ処理操作の数を示します。
欠損 DPO レビュー (Missing DPO Review)	単一スコア	測定基準は、データ処理責任者 (DPO) によってレビューされていないデータ処理操作の数を示します。
欠損倫理規範 (Missing Code of Conduct)	単一スコア	測定基準は、承認された倫理規範を利用していないデータ処理操作の数を示します。
欠損データ主体ビュー (Missing Data Subject Views)	単一スコア	測定基準は、データ主体のビューを求めていないデータ処理操作の数を示します。
既存の GDPR (Preexisting GDPR)	単一スコア	測定基準は、GDPR 規制が有効になる前に存在していたデータ処理操作の数を示します。
既存の DPIA を使用 (Using Existing DPIA)	単一スコア	測定基準は、既存の DPIA アセスメントを使用しているデータ処理操作の数を示します。
アセスメントステータス	水平バー	予備アセスメントステータス別にデータ処理操作をレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティの概要] タブのレポート (続く)

名前	ビジュアル	説明
承認ステータス	水平バー 	承認ステータス別にデータ処理操作をレビューします。

[性質] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
データコレクション方法 (Data Collection Methods)	水平バー 	コレクション方法別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データコレクションソース (Data Collection Sources)	水平バー 	コレクションソース別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データストレージ方法 (Data Storage Methods)	水平バー 	ストレージ方法別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データの削除方法 (Data Deletion Methods)	水平バー 	削除方法別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データの使用状況 (Data Usage)	水平バー 	使用状況別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データ保持期間	水平バー 	保持期間別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
セキュリティ対策	水平バー 	セキュリティ懸念に対する対策別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
使用されている革新的なテクノロジー (Innovative Technologies Used)	水平バー 	使用されている革新的なテクノロジー別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

[スコープ] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
データコレクションのサイズ (Data Collection Size)	水平バー 	データコレクションのサイズ別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データコレクション頻度 (Data Collection Frequency)	水平バー 	コレクション頻度別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[スコープ] タブのレポート (続く)

名前	ビジュアル	説明
データの機密性 (Data Sensitivity)	水平バー 	データの機密性別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
影響を受ける個人 (Individuals Affected)	水平バー 	影響を受ける個人別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
対象の地理的領域 (Geographic Areas Covered)	水平バー 	対象の地理的領域別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

[コンテキスト] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
関係の性質 (Nature of Relationships)	水平バー 	個人との関係別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
提供されるコントロールのレベル (Level of Control Offered)	水平バー 	個人に提供されるコントロール別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データ処理の懸念 (Data Processing Concerns)	水平バー 	処理に関する懸念別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
テクノロジーの現在のステータス (Current State of Technology)	水平バー 	テクノロジーの現在のステータス別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
公共の懸念の問題 (Issues of Public Concern)	水平バー	公共の懸念の問題別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

[同意] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
同意方法 (Consent Methods)	水平バー 	同意方法別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[評価] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
処理の法的根拠	水平バー	処理の法的根拠別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
国際転送の安全策 (International Transfer Safeguards)	水平バー	国際転送の安全策別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
データ品質とデータ最小化の対策 (Data Quality and Data Minimization Measures)	水平バー	データ品質とデータの最小化別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
プロセッサコンプライアンス対策 (Processor Compliance Measures)	水平バー	コンプライアンスのためにプロセッサが用いる対策別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
個人の権利の対策 (Individual Rights Measures)	水平バー	ユーザーの権利をサポートするための対策別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

[軽減] タブのレポート

名前	ビジュアル	説明
損害の可能性 (Likelihood of Harm)	ヒートマップ	損害の可能性別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
損害の重大度 (Severity of Harm)	ヒートマップ	損害の重大度別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。
DPIA のオープンな問題 (DPIA Open Issues)	水平バー	優先度とステータス別にデータ処理操作の DPIA のオープンな問題をレビューします。
DPIA のオープンな応答タスク (DPIA Open Response Tasks)	水平バー	優先度とステータス別にデータ処理操作の DPIA 関連の応答タスクをレビューします。
提案された軽減策 (Suggested Mitigation Measures)	水平バー	軽減策別にデータ処理操作のアセスメント応答をレビューします。

NIST CSF Use Case Accelerator

NIST CSF Use Case Accelerator を使用すると、NIST CSF を採用することで運用を有利に開始できます。アクセラレータをダウンロードして GRC アプリケーションで有効にすると、事前設定されたポリシー、スコープ (プロファイル、プロファイルタイプの推奨事項)、インジケーター、リスク、およびその他の GRC 要素が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NIST CSF Use Case Accelerator の使用者

ペルソナ	説明
リスク担当役員	組織全体でリスクが特定され、一貫して管理されるように確保します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST CSF** > 概要 • **NIST CSF** > フレームワークコア • **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング • **NIST CSF** > コンテンツ
セキュリティ責任者	組織のサイバーセキュリティのギャップ、非準拠コントロール、リスク、問題、失敗したインジケーター、およびアクションプランに対応します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST CSF** > フレームワークコア • **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング
コントロールプロバイダー	組織のサイバーセキュリティコントロールのライブラリーの構築を促進します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST CSF** > フレームワークコア • **NIST CSF** > コンテンツ
システム管理者	次のセクションへアクセスできます。 **NIST CSF** > 管理
GRC 管理者	次のセクションへアクセスできます。 **NIST CSF** > 管理

NIST CSF Use Case Accelerator をインストールする

NIST Cybersecurity Framework (CSF) Use Case Accelerator は GRC コアアプリケーション (ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、および Audit Management アプリケーション) で使用されます。

始める前に
必要なロール：なし。インストールの前に、次のセットアップチェックリストを完了します。これらのセットアップタスクは、インストールをスムーズに行うために必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セットアップタスク	説明
次のアプリケーションがインストールされていることを確認します。 • ポリシーとコンプライアンス管理 • リスク管理 • Audit Management	これらのアプリケーションがアクティブ化されていることを確認するには、次の場所に移動します。 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。
必要なロールがあることを確認します。	システム管理者 (admin) は、次のロールをアサインします。 • ポリシーとコンプライアンス管理 ロール ○ 証明書作成者 (sn_compliance.attestation_creator) ○ コンプライアンス管理者 (sn_compliance.admin) ○ コンプライアンス開発者 (sn_compliance.developer) ○ コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager) ○ コンプライアンスリーダー (sn_compliance.reader) ○ コンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) • リスク管理 ロール ○ リスク管理者 (sn.risk.admin) ○ リスクリーダー (sn.risk.reader) ○ リスクマネージャー (sn.risk.manager) ○ リスクユーザー (sn.risk.user) • Audit Management ロール ○ 監査管理者 (sn_audit.admin) ○ 監査開発者 (sn_audit.developer) ○ 監査マネージャー (sn_audit.manager) ○ 監査ユーザー (sn_audit.user) ○ 外部監査人 (sn_audit.external_auditor)

手順

1. アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。

2. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.

3. **GRC: NIST CSF Accelerator** アプリケーションを検索します。

4. デモデータをロードする場合には、[デモデータ] チェックボックスをオンにします。

5. [インストール] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NIST CSF Use Case Accelerator を検証する

GRC: NIST Cybersecurity Framework (CSF) Use Case Accelerator をインストールした後、NIST CSF アプリケーション構造、コアコンテンツ、およびデモデータ (インストール中に選択した場合) をレビューします。

始める前に
必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ロール をクリックし、アプリケーションとともに NIST CSF インストールされているロールを確認します。

   これらのロールの名前には nist_csf が含まれています (例： sn_irm_nist_csf.security_officer)。ロールは NIST CSF アプリケーションモジュールに関連付けられ、ユーザーのロールに基づいてアクセス権が提供されます。

   > **注:**
   > アプリケーションにアクセスするには、基本的な NIST CSF ユーザーロールが必要です。このロールには、アプリケーションの ServiceNow GRC スイートのリーダーまたはユーザーのロールが含まれています。

2. アプリケーションナビゲーターで「**NIST CSF**」と入力し、アプリケーションのコアコンテンツを検証します。

移動先	検証
NIST CSF > コンテンツ > ポリシーステートメント	NIST CSF 用にインストールされたポリシーとポリシーステートメントをレビューします。
NIST CSF > コンテンツ > リスクステートメント	NIST CSF 用にインストールされたリスクフレームワークとリスクステートメントをレビューします。
NIST CSF > コンテンツ > テストテンプレート	NIST CSF 用にインストールされたテストテンプレートをレビューします。
NIST CSF > コンテンツ > インジケーターテンプレート	NIST CSF 用にインストールされたインジケーターテンプレートをレビューします。
NIST CSF > コンテンツ > 証明書タイプ	NIST CSF 用にインストールされたコントロール証明書タイプをレビューします。
NIST CSF > コンテンツ > アセスメントタイプ	NIST CSF 用にインストールされたリスクアセスメントタイプをレビューします。

3. アプリケーションのデモコンテンツを検証します (ロードされている場合)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動先	検証
NIST CSF > ターゲットを方向付ける	NIST CSF アプリケーションで使用するためにシステムにインストールされているサンプルターゲットをレビューします。
ユーザー管理 > ユーザー	NIST CSF アプリケーションで使用するためにシステムにインストールされているサンプルペルソナユーザーをレビューします。これらのユーザーのユーザー ID は .CSF で終わり、名前には CSF が含まれています。
Policy and Compliance > スコーピング > プロファイルクラス	[名前] フィールドに「**with NIST**」が含まれているプロファイルクラスを検索します。それぞれのプロファイルクラスのフィールドへのロールアップをレビューして、関係を確認します。
Policy and Compliance > スコーピング > エンティティタイプ	[名前] フィールドが「**NIST CSF**」で始まるエンティティタイプを検索します。
Policy and Compliance > ポリシーおよび手順 > すべてのコントロール	**Source = NIST CSF** であるコントロール目標を参照するすべてのコントロールを検索します。
リスク > リスク登録 > すべてのリスク	**Source = NIST CSF** であるリスクステートメントを参照するすべてのリスクを検索します。
監査 > 監査テスト > テスト計画	「**NIST CSF**」で始まるテストテンプレートを使用してテスト計画を検索します。
Policy and Compliance > インジケーター > インジケーター	**Item.Content.Source = NIST CSF** のすべてのインジケーターを検索します。
リスク > インジケーター > インジケーター	**Item.Content.Source = NIST CSF** のすべてのインジケーターを検索します。
Policy and Compliance > 問題 > すべての問題	**Item.Content.Source = NIST CSF** のすべての問題を検索します。
リスク > 問題 > すべての問題	**Item.Content.Source = NIST CSF** のすべての問題を検索します。
Policy and Compliance > 修復タスク > すべてのオープンな修正タスク	修復タスクで特定された問題に **Item.Content.Source = NIST CSF** があるすべての修復タスクを検索します。
リスク > 修復タスク > すべてのオープンな修正タスク	修復タスクで特定された問題に **Item.Content.Source = NIST CSF** がある場合は、すべての修復タスクを検索します。

NIST CSF サポートの概念

NIST CSF ガイダンスから開発されたこれらの概念を理解してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
ターゲット	ターゲットは、NIST Cybersecurity Framework (CSF) Use Case Accelerator および関連するすべての概念の基盤です。 ターゲットは、ServiceNow® GRC 製品といくつかのユースケースアクセラレーターの間で共有されるテーブルです。これらは、コア GRC アプリケーションのエンティティの概念に似ています。オプションでプロファイルにリンクされますが、ユースケースアクセラレーターに固有の属性に使用されます。
重要なインフラストラクチャ (または NIST CSF アプリケーションの使用で重要)	サイバーセキュリティ、国家経済の安全保障、および国民の健康または安全に重大な影響を与える重要な物理または仮想システムおよび資産。
実装階層	組織がサイバーセキュリティリスクとそれらのリスクを管理するために使用するプロセスを表示するために役立ちます。 階層は、サイバーセキュリティ目標を達成するために優先されます。NIST CSF アプリケーションを使用すると、組織はターゲットテーブルの階層属性を使用する実装階層ビューからターゲットを評価できます。
サイバーセキュリティアクティビティ	サイバーセキュリティのポリシーと要件は ServiceNow® GRC ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション内に存在します。アプリケーションは、サイバーセキュリティプラクティスを強化し、セキュリティコンプライアンスを向上させるために達成する必要がある、サイバーセキュリティの成果を理解するためのガイドラインを提供します。 NIST CSF アプリケーションのこれらのアクティビティは、ターゲット、機能、およびカテゴリの組み合わせです。NIST CSF アクティビティは、ギャップ、非準拠コントロール、リスク、問題、失敗したインジケーター、アクション計画、およびいつ対処するかについての詳細なインサイトを提供するターゲットのサイバーセキュリティ要件を評価します。また、組織がセキュリティコンプライアンスの状況を強化するためにも役立ちます。
機能	機能は、基本的なサイバーセキュリティアクティビティを最上位レベルで整理します。これらの機能は、識別、保護、検出、応答、および復旧です。情報を整理し、リスク管理の意思決定を可能にし、脅威に対処し、サイバーセキュリティリスクの管理を改善するためにそれ以前のアクティビティから学ぶことで、組織を支援します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
	NIST CSF では、機能がアクティビティに関連するサイバーセキュリティの成果を選択し、整理します。
カテゴリ	カテゴリは、サイバーセキュリティの成果をグループに分類する機能の下位区分です。カテゴリの例：資産管理、ID 管理とアクセス制御、および検出プロセス。 サブカテゴリは、カテゴリを技術的および管理アクティビティの特定の成果に分割するために使用されます。これらは、各カテゴリの成果の達成をサポートできるようにする一連の結果を提供します。サブカテゴリの例としては、「外部情報システムのカタログ化」、「保存データの保護」、「検出システムからの通知の調査」などがあります。 フレームワークコアは、各機能の基礎となるカテゴリとサブカテゴリをサイバーセキュリティポリシーとして、その詳細をポリシーステートメントとして特定します。NIST CSF カテゴリは、ターゲットのサイバーセキュリティアクティビティを定義し、関連付けられたサブカテゴリを使用してサイバーセキュリティ要件を評価して追加のインサイトを提供します。
実装ステータス	サイバーセキュリティアクティビティのステータス (実装済みか、将来に向けて計画済みか)。サイバーセキュリティアクティビティの実装ステータスは文書化することができます。
ギャップ	サイバーセキュリティアクティビティで識別されたターゲットのプロファイルに対しコントロールが設定されていない、サイバーセキュリティポリシーのコントロール目標。
非準拠コントロール	実装の問題のために非準拠と見なされ、ターゲットのエンティティに対して検出され、サイバーセキュリティアクティビティで特定されたサイバーセキュリティコントロール。
リスク	ターゲットエンティティに実装されたコントロールに関連付けられた、サイバーセキュリティアクティビティで特定されたリスク。
問題	ターゲットエンティティのコントロールとリスクに関連した、サイバーセキュリティアクティビティで特定された問題。
失敗したインジケーター	ターゲットエンティティに実装されたコントロールとリスクに関連した、サイバーセキュリティアクティビティで特定された、失敗したインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
アクションプラン	ターゲットのエンティティの問題に関連した、サイバーセキュリティアクティビティで特定されたアクションプラン。

NIST CSF Use Case Accelerator ダッシュボードおよびレポート

さまざまなレポートが含まれています。NIST Cybersecurity Framework (CSF) Use Case Accelerator には、さまざまなダッシュボードに表示されるさまざまなレポートが含まれており、NIST CSF プロセスの各セクションで利用できます：

概要レポート

で利用可能なレポート: **NIST CSF** > 概要.

レポート	目的
フレームワークコア	NIST CSF の機能別に整理されたサイバーセキュリティポリシーの概要を示します。
重要なターゲット	エンティティクラスまたは階層別の重要なターゲットの概要を示します。
サイバーセキュリティアクティビティのない重要なターゲット	サイバーセキュリティアクティビティのない、エンティティクラスまたは階層別の重要なターゲットの概要を示します。
現在のサイバーセキュリティアクティビティ	現在実行されているサイバーセキュリティアクティビティの概要をエンティティクラス、エンティティ、またはサイバーセキュリティ機能別に表示します。
望ましいサイバーセキュリティアクティビティ	望ましいサイバーセキュリティアクティビティの概要をエンティティクラス、エンティティ、またはサイバーセキュリティ機能別に表示します。
ギャップ分析サマリー	サイバーセキュリティ、サイバーセキュリティ機能、またはターゲット自体によってグループ化されたターゲットのギャップ、非準拠コントロール、リスク、問題、失敗したインジケーター、およびアクションプランのサマリーを提供します。

フレームワークプロファイリングレポート

で利用可能なレポート **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > 概要.

レポート	目的
ギャップ	サイバーセキュリティアクティビティに存在するギャップの概要を表示します。ギャップは、ポリシー、エンティティクラス、プロファイル、または機能別にグループ化されます。
リスク	サイバーセキュリティアクティビティに存在するリスクの概要を表示します。リスクは、ポリシー、プロファイルクラス、エンティティ、または機能別にグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フレームワークプロファイリングレポート

で利用可能なレポート **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > 概要.

(続く)

レポート	目的
非準拠コントロール	サイバーセキュリティアクティビティに存在する非準拠コントロールの概要を表示します。非準拠コントロールは、ポリシー、エンティティクラス、プロファイル、または機能別にグループ化されます。
失敗したインジケーター	サイバーセキュリティアクティビティの失敗したインジケーターの概要を表示します。インジケーターは、ポリシー、エンティティクラス、エンティティ、または機能別にグループ化されます。
問題	サイバーセキュリティアクティビティの問題の概要を表示します。問題は、ポリシー、エンティティクラス、エンティティ、または機能別にグループ化されます。
アクション プラン	サイバーセキュリティアクティビティに存在するアクションプランの概要を表示します。アクションプランは、ポリシー、エンティティクラス、エンティティ、または機能別にグループ化されます。

NIST CSF プロセスの概要

NIST CSF ナビゲーション構造は、NIST が特別に発行した「Framework for Improving Critical Infrastructure Cybersecurity」バージョン 1.1 で説明されているように、特定と優先順位付けのアクティビティを通じて NIST サイバーセキュリティの管理を容易にします。

NIST CSF プロセスの概要

1. リスク担当役員やセキュリティ責任者は、サイバーセキュリティポリシーとしてカテゴリとサブカテゴリを特定します。
2. リスク担当役員やセキュリティ責任者は、サイバーセキュリティアクティビティを優先順位付けします。
3. NIST CSF 概要ダッシュボードを監視します

フレームワークコアを特定する

NIST CSF アプリケーション内で、[フレームワークコア] セクションは、サイバーセキュリティポリシーおよびそのステートメントポリシーとしてカテゴリとサブカテゴリを特定するために使用されます。

アプリケーションは、カテゴリを使用してターゲットのサイバーセキュリティアクティビティを定義し、サブカテゴリを使用してサイバーセキュリティ要件を評価してコンプライアンスに関する追加の詳細を提供します。

NIST CSF ガイダンスを使用すると、アプリケーションはカテゴリとサブカテゴリを機能にグループ化し、それらをアクティビティとして表します。NIST CSF は、次の 5 つのモジュールを使用して個々の機能を指定します。

- 特定
- 保護
- 検知
- 応答
- 復旧

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各モジュールは、その機能に関連するポリシーとコントロール目標のグループ化を指します。

フレームワークコアをレビューする

NIST CSF アプリケーションで有効化されるフレームワークコアをレビューします。

始める前に

ポリシーとコンプライアンス管理 必要なロール：admin

NIST CSF の必要なロール：sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークコア をクリックし、次のいずれかのモジュールを選択します。
   - 特定
   - 保護
   - 検知
   - 応答
   - 復旧
2. コントロール目標に対するポリシーフォームで、いずれかのポリシーステートメントをクリックして情報をレビューします。

   注:
   ポリシーステートメントは、NIST CSF ガイドラインに基づいてポリシー別にグループ化されます。

3. 必要に応じて、追加情報でレコードを更新します。
4. [更新] をクリックします。

サイバーセキュリティアクティビティの調整と優先順位付け

NIST CSF アプリケーション内の [フレームワークプロファイリング] セクションは、組織がサイバーセキュリティアクティビティを要件、リスク許容度、およびリソースに合わせて調整し、優先順位付けするために役立ちます。

まず、エンティティまたはエンティティタイプからターゲットが作成されます。アプリケーションフローは [ターゲットを方向付ける] から始まります。ユーザーはターゲットを検索し、基本情報を提供する NIST CSF で使用するように設定します。次に、ユーザーはターゲットが重要かどうかを特定し、NIST ガイドラインに従ってターゲットの階層を確立します。

注:
NIST は、サイバーセキュリティリスクを優先順位付けするために重要なターゲットに重点を置くことを推奨しています。

次に、ユーザーはサイバーセキュリティアクティビティをログに記録します。アクティビティでは、ユーザーが関連付けられたターゲット、機能、およびカテゴリを識別する必要があります。

注:
これらのアクティビティは、同じターゲットに対して重複するアクティビティを作成しないように一意に作成されます。

アクティビティが作成されると、ユーザーはこれらのアクティビティの実装ステータスを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次に、ユーザーはサイバーセキュリティアクティビティのギャップ分析を実行します。分析により、セキュリティの状況に関する詳細なインサイトが得られ、特定のサイバーセキュリティアクティビティのターゲットが評価されます。

アプリケーションの ServiceNow® GRC スイートは、これらの測定基準を有効にするデータを追跡する上で重要なロールを担います。NIST CSF アプリケーションは、サイバーセキュリティフレームワークを提供するように設計されていますが、ServiceNow GRC 製品によって完全に有効になります。

エンティティのターゲットを生成する

エンティティのターゲットレコードを生成して、そのエンティティの NIST CSF 属性を追跡します。

始める前に
必要なロール：admin、sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

手順

1. エンティティのターゲットを生成します。
   a. 移動先 **Policy and Compliance** > スコーピング をクリックし、次のいずれかのモジュールを選択します。
      - エンティティタイプ
      - 自分のエンティティ
      - すべてのエンティティ
   b. いずれかのレコードを選択します。
   c. エンティティフォームで、**[** ターゲットを生成] をクリックします。

      注:
      [ターゲットを生成] をクリックすると、エンティティが GDPR DPIA などの他のフレームワークに使用されていない場合にのみターゲットが生成されます。

   d. [更新] をクリックします。
2. ターゲットを特定します。
   a. 移動先 **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > ターゲットを方向付ける.
   b. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
   c. ターゲットがリストに表示されていることを確認します。

NIST CSF フレームワークのターゲットを設定する

ターゲットを特定した後、NIST CSF フレームワークで使用するターゲットレコードを設定します。

始める前に
NIST CSF 必要なロール:なし。sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > ターゲットを方向付ける.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. ターゲットレコードを開きます。
4. [フレームワーク] フィールドをクリックし、**[NIST CSF]** を選択します。
5. [更新] をクリックします。
6. [ターゲット] リストで、レコードを再度開きます。
7. [ターゲット] フォームの情報を確認します。
8. [NIST CSF] セクションで、フィールドに入力します (フィールドの説明については表を参照)。

フィールド	説明
重要	サイバーリスク時にターゲットが重視されていることを示すチェックボックス。NIST CSF は、組織が重要なターゲットのサイバーセキュリティアクティビティを優先することを推奨しています
階層	サイバーリスクに対処する機能を説明するターゲットの階層。

9. [アクティビティ] 関連リストをクリックし、ターゲットに関連付けられているアクティビティを検証します。

ターゲットを方向付ける

ターゲットを特定した後、NIST CSF フレームワークで使用するターゲットを方向付けます。

始める前に
ポリシーとコンプライアンス管理 必要なロール:admin

NIST CSF の必要なロール：sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > ターゲットを方向付ける.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. レコードを開きます。
4. [フレームワーク] フィールドで **[NIST CSF]** が選択されていることを確認します。
5. NIST CSF フォームのフィールドが正確であることを確認します。
6. [更新] をクリックします。

アクティビティを作成する

ターゲットのサイバーセキュリティアクティビティを作成します。

始める前に
ポリシーとコンプライアンス管理 必要なロール：admin

NIST CSF sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > アクティビティを作成 新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

NIST CSF アクティビティフォーム

フィールド	説明
数値	アクティビティを特定する番号。
ターゲット	アクティビティが関連付けられているターゲットの名前。
関数	アクティビティをグループ化する機能のタイプ。
カテゴリ	ポリシーとして特定されるサイバーセキュリティアクティビティ。
実装ステータス	アクティビティのステータス (実行中または計画済みのアクティビティ)。

2. [送信] をクリックします。

> **注:**
> サイバーセキュリティアクティビティが作成されるたびに、システムはターゲット、機能、およびカテゴリの組み合わせの一意性を検証します。

ギャップ分析を実行する

サイバーセキュリティアクティビティのギャップ分析を実行します。

始める前に

ポリシーとコンプライアンス管理 必要なロール：admin

NIST CSF sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

このタスクについて

> **注:**
> ギャップ分析プロセスは 1 分以内に完了します。測定基準を最新の状態にするために、ユーザーのギャップ分析を実行する週ごとのジョブ。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > ギャップ分析.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. ターゲットレコードを開きます。
4. [アクティビティ] 関連リストをクリックし、アクティビティを選択します。
5. アクティビティをレビューし、[ギャップ分析] をクリックしてギャップ分析を開始します。
6. ターゲットのプロファイルに対しコントロールが設定されていないサイバーセキュリティポリシーのコントロール目標を表示するには、[ギャップ] 関連リストをクリックします。
7. 実装の問題により非準拠のサイバーセキュリティコントロールの問題を表示するには、[非準拠コントロール] 関連リストをクリックします。
8. ターゲットのプロファイルのコントロールとリスクの失敗したインジケーターを表示するには、[失敗したインジケーター] 関連リストをクリックします。
9. ターゲットのプロファイルのコントロールに関連付けられたリスクを表示するには、[リスク] 関連リストをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. ターゲットのプロファイルのコントロールとリスクに関連する問題を表示するには、[問題] 関連リストをクリックします。
11. ターゲットのプロファイルのアクションプランを表示するには、[アクションプラン] 関連リストをクリックします。
12. [保存] をクリックします。

アクションプランをレビューする

サイバーセキュリティアクティビティに関連付けられたコントロールまたはリスクに対して作成された修復タスクをレビューします。GRC スイートに対する十分な権限がある場合にのみ、アクションプランを編集または更新できます。

始める前に

ポリシーとコンプライアンス管理 必要なロール：admin

NIST CSF の必要なロール：sn_irm_nist_csf.risk_executive または sn_irm_nist_csf.security_officer

このタスクについて

アクションプランは通常、ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、または Audit Management アプリケーションを介して ServiceNow　GRC 製品で作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST CSF** > フレームワークプロファイリング > アクション プラン.
2. 関連付けられている問題、コントロール、リスクなどのパラメーターを使用して、アクションプランを検索します。
3. レコードを開きます。
4. アクションプランをレビューします。

NIST RMF Use Case Accelerator

NIST RMF Use Case Accelerator を使用すると、NIST RMF を採用することで運用を有利に開始できます。アクセラレータをダウンロードして GRC アプリケーションで有効にすると、事前設定されたポリシー、スコープ (プロファイル、プロファイルタイプの推奨事項)、インジケーター、リスク、およびその他の GRC 要素が表示されます。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

NIST RMF Use Case Accelerator の使用者

ペルソナ	説明
リスク担当役員	組織全体でリスクが特定され、一貫して管理されるように確保します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST RMF** > 概要 • **NIST RMF** > 分類

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ペルソナ	説明
	• **NIST RMF** > 選択 • **NIST RMF** > 実装 • **NIST RMF** > 評価 • **NIST RMF** > 認可 • **NIST RMF** > 監視 • **NIST RMF** > コンテンツ
認可担当者	ターゲットが許容可能なリスクレベル内で動作していることを確認します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • のすべてのモジュール **NIST RMF** > 概要 > • **NIST RMF** > 認可 > ターゲット • **NIST RMF** > 認可 > 自分の承認
セキュリティ責任者	ターゲットの現在のセキュリティ手順と機能についてのインサイトと理解を提供し、コントロールを実装し、問題を管理し、修復タスクを完了します 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST RMF** > 分類 • **NIST RMF** > 選択 > ターゲット • **NIST RMF** > 実装 • **NIST RMF** > 評価 > 概要 • **NIST RMF** > 評価 > コントロール証明書 • **NIST RMF** > 評価 > コントロール有効性 • **NIST RMF** > 評価 > 修復タスク • **NIST RMF** > 認可 • **NIST RMF** > 監視
コントロールプロバイダー	組織内のセキュリティコントロールの作成とカスタマイズを支援します。 次のセクションへのアクセスが定義されています。 • **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールのレビュー **(Review Baseline Controls)** • **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールをカスタマイズする • **NIST RMF** > コンテンツ
システム管理者	次のセクションへアクセスできます。 **NIST RMF** > 管理
GRC 管理者	次のセクションへアクセスできます。 **NIST RMF** > 管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NIST RMF Use Case Accelerator をインストールする

NIST RMF Use Case Accelerator は GRC コアアプリケーション (ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、および Audit Management アプリケーション) で使用されます。

始める前に
必要なロール：なし。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

インストールの前に、次のセットアップチェックリストを完了します。これらのセットアップタスクは、インストールをスムーズに行うために必要です。

セットアップタスク	説明
次のアプリケーションがインストールされていることを確認します。 • ポリシーとコンプライアンス管理 • リスク管理 • Audit Management	これらのアプリケーションがアクティブ化されていることを確認するには、次の場所に移動します。 サブスクリプション管理 > サブスクリプション すぐに利用できますリストには、組織で購入したサブスクリプションが表示されます。 リスク管理 プラグインのセットアップと有効化の詳細については、「Risk Management のインストール (Install Risk Management)」を参照してください。
必要なロールがあることを確認します。	システム管理者 (admin) は、次のロールをアサインします。 • ポリシーとコンプライアンス管理 ロール ◦ 証明書作成者 (sn_compliance.attestation_creator) ◦ コンプライアンス管理者 (sn_compliance.admin) ◦ コンプライアンス開発者 (sn_compliance.developer) ◦ コンプライアンスマネージャー (sn_compliance.manager) ◦ コンプライアンスリーダー (sn_compliance.reader) ◦ コンプライアンスユーザー (sn_compliance.user) • リスク管理 ロール ◦ リスク管理者 (sn.risk.admin) ◦ リスクリーダー (sn.risk.reader) ◦ リスクマネージャー (sn.risk.manager) ◦ リスクユーザー (sn.risk.user)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セットアップタスク	説明
	• Audit Management ロール ○ 監査管理者 (sn_audit.admin) ○ 監査開発者 (sn_audit.developer) ○ 監査マネージャー (sn_audit.manager) ○ 監査ユーザー (sn_audit.user) ○ 外部監査人 (sn_audit.external_auditor)

手順

1. アプリケーションをインストールするインスタンスにログインします。
2. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
3. **GRC: NIST RMF Accelerator** アプリケーションを検索します。
4. デモデータをロードする場合には、[デモデータ] チェックボックスをオンにします。
5. [インストール] をクリックします。

NIST RMF Use Case Accelerator を検証する

GRC: NIST RMF Use Case Accelerator をインストールした後、NIST RMF アプリケーション構造、コアコンテンツ、およびデモデータ (インストール中に選択した場合) をレビューします。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：管理者

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ロール をクリックし、アプリケーションとともに NIST RMF インストールされているロールを確認します。

   これらのロールの名前には nist_rmf が含まれています (例：sn_irm_nist_rmf.security_officer)。ロールは NIST RMF アプリケーションモジュールに関連付けられ、ユーザーのロールに基づいてアクセス権が提供されます。

   注:
   アプリケーションにアクセスするには、基本的な NIST RMF ユーザーロールが必要です。このロールには、アプリケーションの ServiceNow　GRC スイートのリーダーまたはユーザーのロールが含まれています。

2. アプリケーションナビゲーターで「**NIST RMF**」と入力し、アプリケーションのコアコンテンツを確認します。

移動先	検証
NIST RMF > コンテンツ > コントロール目標	NIST RMF 用にインストールされたポリシーおよびコントロール目標をレビューします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

移動先	検証
NIST RMF > コンテンツ > リスクステートメント	NIST RMF 用にインストールされたリスクフレームワークとリスクステートメントをレビューします。
NIST RMF > コンテンツ > テストテンプレート	NIST RMF 用にインストールされたテストテンプレートをレビューします。
NIST RMF > コンテンツ > インジケーターテンプレート	NIST RMF 用にインストールされたインジケーターテンプレートをレビューします。
NIST RMF > コンテンツ > 証明書タイプ	NIST RMF 用にインストールされたコントロール証明書タイプをレビューします。
NIST RMF > コンテンツ > アセスメントタイプ	NIST RMF 用にインストールされたリスクアセスメントタイプをレビューします。

3. アプリケーションのデモコンテンツを検証します (ロードされている場合)。

移動先	検証
NIST RMF > 影響分析	NIST RMF アプリケーションで使用するためにシステムにインストールされているサンプルターゲットをレビューします。
ユーザー管理 > ユーザー	NIST RMF アプリケーションで使用するためにシステムにインストールされているサンプルペルソナユーザーをレビューします。これらのユーザーのユーザー ID は .RMF で終わり、名前には RMF が含まれています。
Policy and Compliance > スコーピング > プロファイルクラス	[名前] フィールドに「**with NIST**」が含まれているプロファイルクラスを検索します。それぞれのプロファイルクラスのフィールドへのロールアップをレビューして、関係を確認します。
Policy and Compliance > スコーピング > プロファイルタイプ	[名前] フィールドが **NIST RMF** で始まるプロファイルタイプを検索します。
Policy and Compliance > ポリシーおよび手順 > すべてのコントロール	**Source = NIST 800-53-r4** であるコントロール目標を参照するすべてのコントロールを検索します。
リスク > リスク登録 > すべてのリスク	**Source = NIST 800-53-r4** であるリスクステートメントを参照するすべてのリスクを検索します。
監査 > 監査テスト > テスト計画	**NIST RMF** で始まるテストテンプレートを使用してテスト計画を検索します。
Policy and Compliance > インジケーター > インジケーター	**Item.Content.Source = NIST 800-53-r4** のすべてのインジケーターを検索します。
リスク > インジケーター > インジケーター	**Item.Content.Source = NIST RMF** のすべてのインジケーターを検索します。
Policy and Compliance > 問題 > すべての問題	**Item.Content.Source = NIST 800-53-r4** のすべての問題を検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動先	検証
リスク > 問題 > すべての問題	**Item.Content.Source = NIST 800-53-r4** のすべての問題を検索します。
Policy and Compliance > 修復タスク > すべてのオープンな修正タスク	修復タスクで特定された問題に **Item.Content.Source = NIST 800-53-r4** があるすべての修復タスクを検索します。
リスク > 修復タスク > すべてのオープンな修正タスク	修復タスクで特定された問題に **Item.Content.Source = NIST 800-53-r4** がある場合は、すべての修復タスクを検索します。

NIST RMF サポートの概念

NIST RMF ガイダンスから開発されたこれらの概念を理解してください。

> **注:**
> バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

概念	説明
ターゲット	ターゲットは、NIST RMF Use Case Accelerator および関連するすべての概念の基盤です。 ターゲットは、ServiceNow® GRC 製品といくつかのユースケースアクセラレーターの間で共有されるテーブルです。これらは、コア GRC アプリケーションのプロファイルの概念に似ています。オプションでプロファイルにリンクされますが、ユースケースアクセラレーターに固有の属性に使用されます。 **注:** 各 NIST RMF ターゲットは、その RMF ライフサイクルを通じて単一のプロファイルを一意に表します。
機密性 (C)	機密性は、ターゲットのセキュリティ目標であり、個人のプライバシーと機密情報を保護する手段を含む、情報のアクセスと開示に対する認可された制限を維持する行為として定義されます。機密性は、高、中、低の値で表されます。
完全性 (I)	完全性は、ターゲットのセキュリティ目標であり、不適切な情報の変更または破壊に対して保護する行為として定義され、情報の否認防止と信頼性の確保が含まれます。完全性は、高、中、低の値で表されます。
可用性 (A)	可用性は、ターゲットのセキュリティ目標であり、情報へのタイムリーかつ信頼性の高いアクセスと使用を保証する行為として定義されます。可用性は、高、中、低の値で表されます。
ベースラインコントロール	ベースラインコントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロールであり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。ベースラインコントロールには指定された影響度の値があり、これは高、中、または低の値の組み合わせとなります。
影響分析	影響分析は、ターゲットまたはその運用環境に対する提案された変更または実際の変更がターゲットのセキュリティステータスにどの程度影響を与える可能性があるか、または影響

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概念	説明
	を与えたかを判断します。3 つの CIA セキュリティ目標がすべて「低」と評価されたターゲットは、「低」影響と見なされ、「低」の影響度値としてタグ付けされたセキュリティコントロールのいずれかを使用します。3 つの CIA セキュリティ目標がのいずれかが「中」と評価されたターゲットは、「中」影響と見なされ、「中」の影響度値としてタグ付けされたセキュリティコントロールのいずれかを使用します。同様に、3 つの CIA セキュリティ目標のいずれかが「高」と評価されたターゲットは、「高」影響と見なされ、「高」の影響度値としてタグ付けされたセキュリティコントロールのいずれかを使用します。
保証	保証コントロールにより、ターゲットの機能が正しく、完全で、一貫しており、セキュリティリスクを軽減し、セキュリティ要件への準拠を支援するというセキュリティの強度と信頼度の両方が向上します
共通	共通コントロールは、1 つ以上のターゲットによって継承可能なコントロールです
補完	補完コントロールは、推奨されるベースラインセキュリティコントロールの代わりに使用できるコントロールであり、ターゲットに等価または同等の保護を提供します
補足	補足コントロールは、ターゲットのリスク管理のニーズを十分に満たす追加のセキュリティコントロールとして使用できるコントロールです。
調整	調整とは、以下に基づいてセキュリティコントロールのベースラインを変更するプロセスです：(i) ターゲットスコーピングガイダンス、(ii) セキュリティコントロールの仕様 (必要な場合の補完など)、(iii) 組織の仕様 - 明示的なアサインおよび選択ステートメントによるセキュリティコントロールの定義済みパラメーター

NIST RMF Use Case Accelerator ダッシュボードおよびレポート

NIST RMF Use Case Accelerator には、さまざまなダッシュボードに表示されるさまざまなレポートが含まれており、分類、選択、実装、評価、認可、監視といった、NIST RMF プロセスの各セクションで使用できます。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

概要レポート

下のレポート **NIST RMF** > 概要.

レポート	目的
セキュリティコンプライアンスの概要	セキュリティポリシーの全体的なコンプライアンスサマリーを提供します。
プロファイルコンプライアンスの概要	セキュリティコントロールを実装しているプロファイルの全体的なコンプライアンスサマリーを提供します。
セキュリティコンプライアンスの詳細	セキュリティポリシーの詳細なコンプライアンスサマリーを提供します。
固有のセキュリティリスクヒートマップ	リスクの固有の定性的結果に基づくセキュリティリスクのヒートマップ。
残存セキュリティリスクヒートマップ	リスクの残存する定性的結果に基づくセキュリティリスクのヒートマップ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要レポート

下のレポート **NIST RMF** > 概要.

(続く)

レポート	目的
固有セキュリティリスク	リスクの固有の定量的結果の平均に基づくセキュリティリスクのバブルチャート。
残存セキュリティリスク	リスクの固有の定量的結果の平均に基づくセキュリティリスクのバブルチャート。
固有の年次損失エクスポージャーセキュリティリスク	さまざまなセキュリティリスクの固有の年間損失予測 (ALE) に関するインサイトを提供します。
残存年次損失エクスポージャーセキュリティリスク	さまざまなセキュリティリスクの残存する年間損失予測 (ALE) に関するインサイトを提供します。
問題サマリー	週単位で 1 週間にセキュリティポリシーに関して記録された問題をプロットします。

レポートを分類する

下のレポート **NIST RMF** > 分類 > 概要.

ベースラインコントロールのないターゲット	ベースラインコントロールが生成されていないが、セキュリティ影響分析が完了したターゲット。ベースラインコントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロールであり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。実装するベースラインコントロールは、ターゲットの推奨ベースラインポリシーステートメントから決定できます。
影響分析処理待ちのターゲット	組織により実施された場合のセキュリティ影響分析では、ターゲットまたはその運用環境に対する提案された変更または実際の変更がターゲットのセキュリティステータスにどの程度影響を与えたかを判断します。ターゲットまたはその運用環境への変更は、現在配置されているセキュリティコントロール (システム固有、ハイブリッド、および共通コントロールを含む) に影響を与えたり、ターゲットに新しい脆弱性が生じたり、以前は必要なかった新しいセキュリティコントロールの要件が生成されたりする可能性があります。
ターゲットステータス	リスク管理プロセスの現在のステータス別に整理されたターゲット。リスク管理プロセスは、米国国立標準技術研究所 (NIST) によって提供されています。 Risk Management Framework (RMF) は、情報セキュリティとリスク管理アクティビティを統合する、統制の取れた構造化されたプロセスです。
機密性に及ぼす影響度	機密性評価値ごとにグループ化されたターゲット。米国国立標準技術研究所 (NIST) では、機密性を、個人のプライバシーと機密情報を保護する手段を含む、情報のアクセスと開示に対する認可された制限を維持する行為として定義しています。機密性は、高、中、低の値で表されます。
完全性に及ぼす影響度	完全性評価値ごとにグループ化されたターゲット。米国国立標準技術研究所 (NIST) は、完全性を、不適切な情報の変更または破壊に対して保護する行為として定義し、情報の否認防止と信頼性の確保を含めています。完全性は、高、中、低の値で表されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートを分類する

下のレポート **NIST RMF** > 分類 > 概要.

(続く)

可用性に及ぼす影響度	可用性評価値ごとにグループ化されたターゲット。米国国立標準技術研究所 (NIST) は、可用性を情報へのタイムリーで信頼性の高いアクセスと使用の確保として定義しています。可用性は、高、中、低の値で表されます。
影響	影響の評価値ごとにグループ化されたターゲット。米国国立標準技術研究所 (NIST) では、影響を、機密性、完全性、または可用性の損失であり、(i) 限定的な悪影響、(ii) 重大な悪影響、(iii) 組織の運用、組織の資産、または個人に対する重大または壊滅的な悪影響を及ぼすことが予測されるものとして定義しています。一方、セキュリティ影響分析は、セキュリティステータスがどの程度影響を受けるかを組織が判断するものとして定義されています。影響は、高、中、低の値で表されます。
ベースラインコントロールのレビュー (Review Baseline Controls)	ベースラインポリシーステートメントとコントロールのレビューを容易にするために、フレームワークの NIST Risk Management 選択ステップの概要を示します。[NIST RMF] > [選択] > [ベースラインコントロールのレビュー (Review Baseline Controls)] により、このダッシュボードが起動します。
ベースラインセキュリティポリシーステートメント	ベースラインセキュリティポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロール定義であり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。
ベースラインセキュリティコントロール	ベースラインセキュリティコントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロールであり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。

自動翻訳

ベースラインコントロールレポート

下のレポート **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールのレビュー **(Review Baseline Controls).**

レポート	目的
ベースラインセキュリティポリシーステートメント	ベースラインセキュリティポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロール定義であり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。
ベースラインセキュリティコントロール	ベースラインセキュリティコントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロールであり、実装され、有効であると判断された場合、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインコントロールをカスタマイズする

下のレポート **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールをカスタマイズする.

レポート	目的
ベースライン保証ポリシーステートメント	ベースラインセキュリティ保証ポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロール定義で、保証コントロール定義として指定されるものであり、実装された場合、セキュリティの強度と、機能の正しさ、完全さ、および一貫性に対する信頼度の両方を高め、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減します。
ベースライン保証コントロール	ベースラインセキュリティ保証コントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) が推奨する一連のセキュリティコントロール定義で、保証コントロールとして指定されるものであり、セキュリティの強度と、機能の正しさ、完全さ、および一貫性に対する信頼度の両方を高め、セキュリティ要件に準拠しながらセキュリティリスクを軽減することを目的として実装されます。
ベースライン共通ポリシーステートメント	ベースラインセキュリティ共通ポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、組織によって共通コントロール定義として指定された場合、1 つ以上の組織ターゲットによって継承可能であることが示されます。
ベースライン共通コントロール	ベースラインセキュリティ共通コントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、実装され、組織によって共通コントロールとして指定された場合、1 つ以上の組織ターゲットによって継承可能であることが示されます。
ベースライン補完ポリシーステートメント	ベースラインセキュリティ補完ポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、組織によって補完コントロール定義として指定された場合、他のセキュリティコントロールの代わりに採用することができ、組織ターゲットのための等価または同等な保護を提供します。
ベースライン補完コントロール	ベースラインセキュリティ補完コントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、実装され、組織によって補完コントロールとして指定された場合、他のセキュリティコントロールの代わりに採用することができ、組織ターゲットのための等価または同等な保護を提供します。
ベースライン補完ポリシーステートメント	ベースラインセキュリティ補完ポリシーステートメントは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、組織によって補完コントロール定義として指定された場合、組織ターゲットのリスク管理上のニーズを十分に満たすためにセキュリティコントロールに追加できることが示されます。
ベースライ	ベースラインセキュリティ補完コントロールは、米国国立標準技術研究所 (NIST) の一連のセキュリティコントロール定義であり、実装され、組織によって補完コントロール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベースラインコントロールをカスタマイズする

下のレポート **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールをカスタマイズする.

(続く)

レポート	目的
ン補完コントロール	として指定された場合、組織ターゲットのリスク管理上のニーズを十分に満たすためにセキュリティコントロールに追加できることが示されます。

証明書およびアセスメントレポート

下のレポート **NIST RMF** > 評価 > 概要.

レポート	目的
完了したコントロール証明書	完了した NIST Risk Management コントロール証明書の数を表示します。
期日の近いコントロール証明書	期日が 7 日以内の NIST Risk Management コントロール証明書の数を表示します。
期日が 7 日先以降のコントロール証明書	期日が 7 日先以降の NIST Risk Management コントロール証明書の数を表示します。
期日に間に合わないコントロール証明書	期日に間に合わない NIST Risk Management コントロール証明書の数を表示します。
プロファイル別のコントロール証明書	プロファイルごとにグループ化された NIST Risk Management コントロール証明書の概要を提供します。
期限切れのコントロール証明書	期日ごとにグループ化された NIST Risk Management コントロール証明書の概要を提供します。
完了したリスクアセスメント	完了した NIST Risk Management リスク証明書の数を表示します。
期日の近いリスクアセスメント	期日が 7 日以内の NIST Risk Management リスクアセスメントの数を表示します。
期日が 7 日先以降のリスクアセスメント	期日が 7 日先以降の NIST Risk Management リスクアセスメントの数を表示します。
期日に間に合わないリスクアセスメント	期日に間に合わない NIST Risk Management リスクアセスメントの数を表示します。
プロファイル別のリスクアセスメント	プロファイルごとにグループ化された NIST Risk Management リスクアセスメントの概要を提供します。
期限切れのリスクアセスメント	期日ごとにグループ化された NIST Risk Management リスクアセスメントの概要を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認レポート

下のレポート **NIST RMF** > 認可 > 概要.

レポート	目的
ターゲット承認ステータス	ターゲットの現在の承認ステータスの概要を提供します。
リスク担当役員の承認者	リスク担当役員の承認者にアサインされたターゲットの概要を提供します。
認定担当の承認者	認定担当の承認者にアサインされたターゲットの概要を提供します。

監視レポート

下のレポート **NIST RMF** > 監視 > 概要.

レポート	目的
無効なプロファイル	無効としてフラグが付けられたセキュリティコントロールのコントロールテストを少なくとも 1 つ含むプロファイルの合計数。
無効なコントロール	無効としてフラグが付けられたコントロールテストを少なくとも 1 つ含むセキュリティコントロールの合計数。
無効なテストプラン	無効としてフラグが付けられたセキュリティコントロールのコントロールテストを少なくとも 1 つ含むテストプランの合計数。
非準拠コントロール	ステータスが非準拠のセキュリティコントロールの合計数。
リスク	セキュリティコントロールに関連付けられているリスクの合計数。
問題	セキュリティコントロールとリスクに関連する問題の合計数。
コンプライアンスのコントロール	セキュリティコントロールのコンプライアンスの概要を提供します。
プロファイル有効性	関連付けられたコントロールテストの有効性に基づいて、セキュリティコントロールを持つプロファイルの有効性の概要を提供します。
コントロール有効性	関連付けられたコントロールテストの有効性に基づいて、セキュリティコントロールのコントロールの有効性の概要を提供します。
テスト計画の有効性	関連付けられたコントロールテストの有効性に基づいて、セキュリティコントロールのテストプランの有効性の概要を提供します。
リスク	プロファイル別にグループ化され、セキュリティコントロールに関連付けられているリスクのリスト。

NIST RMF プロセスの概要

NIST RMF ナビゲーション構造は、分類、選択、実装、アセスメント、認可、および監視のアクティビティを通じて NIST セキュリティコントロールの管理を容易にします。これらのセキュリティコントロールは、NIST 800-37.r1 特別出版物で説明されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

NIST RMF プロセスの概要

1. リスク担当役員および/またはセキュリティ責任者は、ターゲットを分類します。
2. リスク担当役員、セキュリティ責任者および/またはコントロールプロバイダーは、ベースラインコントロール定義を選択します。
3. リスク担当役員および/またはセキュリティ責任者は、ベースラインセキュリティコントロールを実装します。
4. セキュリティアクセサー、リスク担当役員、および/またはセキュリ責任者は、セキュリティコントロールを評価します。
   a. 問題を管理して対処します
   b. 修復タスクを管理して対処します
5. 認定担当者、リスク担当役員および/またはセキュリティ責任者は、ターゲットを認可します。
6. リスク担当役員および/またはセキュリティ責任者は、セキュリティコントロールを監視します。
   a. インジケーターをレビューして管理します
   b. NIST RMF 概要ダッシュボードを監視します

ターゲットを分類する

NIST RMF アプリケーション内の [分類] セクションは、予備的なリスクアセスメントと影響分析を通じてターゲットの分類を容易にします。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

まず、エンティティまたはエンティティタイプからターゲットが作成されます。アプリケーションフローは影響分析から始まります。ユーザーはターゲットを検索し、基本情報を提供する NIST RMF で使用するように設定します。次に、ユーザーは、[機密性] 、[完全性] 、および [可用性] の各パラメーターについて潜在的な影響度の値を決定する予備リスクアセスメントを実行します。これらの値の最も高い影響度評価によって影響度の値が決まります。

注:
ユーザーは、必要に応じて影響度の値を上書きできます。

影響度の値は、NIST 800-53.r4 特別出版カタログに基づいて、ターゲットに推奨されるベースラインセキュリティポリシーステートメントを特定するために使用されます。ユーザーは、ベースラインセキュリティポリシーステートメントをレビューし、そのターゲット (プロファイルなど) のセキュリティコントロールを実装します。標準的なアプローチは ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されています。

プロファイルまたはエンティティタイプからターゲットを生成する

NIST RMF 属性を追跡するプロファイルのターゲットレコードを生成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

ポリシーとコンプライアンス管理

NIST RMF の必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > プロファイルタイプ
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > プロファイル
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > すべてのプロファイル
2. プロファイルレコードの [プロファイルタイプ] を選択して開きます。
3. [ターゲットを生成] をオンにし、[更新] をクリックします。
4. ターゲットを特定します：
   a. 移動先 **NIST RMF** > 分類 > 影響分析.
   b. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
   c. ターゲットがリストに表示されていることを確認します。

NIST RMF で使用するターゲットを設定する

ターゲットを設定し、基本情報を入力します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 分類 > 影響分析.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. ターゲットレコードを開きます。
4. [フレームワーク] で、**[NIST RMF]** を選択し、[更新] をクリックします。
5. ターゲットレコードを再度開き、次のフィールドを更新します。

注:
これらのフィールドの詳細については、「NIST RMF サポートの概念」を確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **RMF** ステータス：ターゲットの現在の NIST RMF ステータスを特定します。
- スコーピングの考慮事項：実装するセキュリティコントロールの選択に関するガイダンスを提供します。

6. NIST RMF 関連リストが表示されていることを確認します。
   - ベースラインポリシーステートメント
   - ベースラインコントロール
   - リスク
   - 承認

予備的なリスクアセスメントと影響分析を実行する

ターゲットの予備的なリスクアセスメントと影響分析を実行します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 分類 > 影響分析.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. ターゲットレコードを選択して開きます。
4. ターゲットレコードを再度開き、[NIST RMF] セクションの次のフィールドを更新します。

注:
これらのフィールドの詳細については、「NIST RMF サポートの概念」を確認してください。

[NIST RMF] セクション

フィールド	説明
機密性	機密性に基づくターゲットカテゴリ。セキュリティ目標を「高」、「中」、または「低」として特定します。
完全性	完全性に基づくターゲットカテゴリ。セキュリティ目標を「高」、「中」、または「低」として特定します。
可用性	可用性に基づくターゲットカテゴリ。セキュリティ目標を「高」、「中」、または「低」として特定します。
影響	ターゲットの機密性、完全性、または可用性が失われた場合のビジネス機能への影響。影響度は自動的に決定され、上書きされる場合があります。
スコーピングの考慮事項	ターゲットの運用または環境スコーピングの考慮事項。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
リスク担当役員	確実なリスクの特定と管理を担当する人物の名前。
認定担当者	ターゲットが許容可能なレベルのリスクで動作していることを検証するユーザーの名前。
正当性	リスク担当役員、認定担当者、およびオーナーのセキュリティ体制の説明。
承認ステータス	ターゲットのセキュリティコンプライアンス体制のステータス。

5. NIST RMF 関連リストが表示されていることを確認します。
   - ベースラインポリシーステートメント
   - ベースラインコントロール
   - リスク
   - 承認
6. **[NIST RMF]** タブに移動し、[ベースラインポリシーステートメント] をレビューします。
7. ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、ターゲットのセキュリティコントロールを実装します。

NIST RMF 分類の概要を監視する

NIST RMF 分類アクティビティダッシュボードは、ターゲットの全体的なステータスに関するインサイトを提供します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 分類 > 概要
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ダッシュボードとレポートのセクションでレポートの詳細をレビューします。

ベースラインコントロール定義を選択する

NIST RMF アプリケーション内の [選択] セクションは、ベースラインコントロール定義の初期セットのレビューに重点を置いています。組織の要件に基づいてコントロール定義にタグ付けし、それらをカスタマイズすることもできます。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

影響分析を実行した後、ユーザーはそのターゲットのベースラインコントロールを選択してカスタマイズします。ダッシュボードには、実装されているベースラインコントロールのカタログとともに、カタログ内のベースラインポリシーステートメントの概要が表示されます。

次に、ユーザーはベースラインコントロールをカスタマイズします。別のダッシュボードには、保証、共通、補完、補足としてタグ付けされたベースラインコントロールとともに、ベースラインポリシーステートメントの詳細を示すいくつかのレポートが含まれています。

注:
[ベースラインコントロールのレビュー **(Review Baseline Controls)**] と [ベースラインコントロールのカスタマイズ **(Tailor Baseline Controls)**] の両方で、標準の ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション手順に従って必要なすべてのコントロールを実装する必要があります。これらのコントロールを選択してカスタマイズするため、これらのダッシュボードに戻ります。

ベースラインコントロールをレビューする

ベースラインポリシーステートメントとベースラインコントロールをレビューします。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

[ベースラインコントロールのレビュー **(Review Baseline Controls)**] では、標準の ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション手順に従って必要なすべてのコントロールを実装する必要があります。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive、sn_irm_nist_rmf.security_officer、または sn_irm_nist_rmf.control_provider

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールのレビュー **(Review Baseline Controls)**.
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、ベースラインポリシーステートメントとベースラインコントロールの変更を実装します。

ベースラインコントロールをカスタマイズする

ベースラインポリシーステートメントとベースラインコントロールをカスタマイズします。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

[ベースラインコントロールをカスタマイズ **(Tailor Baseline Controls)**] では、標準の ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション手順に従って必要なすべてのコントロールを実装する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive、sn_irm_nist_rmf.security_officer、または sn_irm_nist_rmf.control_provider

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 選択 > ベースラインコントロールをカスタマイズする.
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、ベースラインポリシーステートメントとベースラインコントロールの変更を実装します。

セキュリティコントロールを実装する

NIST RMF アプリケーション内の [実装] セクションは、ベースラインセキュリティコントロールの物理的な実装に重点を置いています。NIST RMF アプリケーションには、ターゲットまたはその運用環境で既に使用されている他の標準セキュリティコントロールが含まれている場合もあります。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

ユーザーは、NIST 800-53.r4 ポリシーステートメントに由来するすべてのコントロールのリストを表示し、実装の詳細を更新して、コントロールを更新できます。

注:
NIST RMF アプリケーションは、セキュリティコントロールへの読み取り専用アクセスを提供します。標準の ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーション手順に従って、これらのコントロールを更新します。

コントロール実装の重要な側面は、適切にテストすることです。ユーザーは、NIST 800-53 r4 のポリシーステートメントソースでセキュリティコントロールに対して作成されたすべてのコントロールテストのリストを表示できます。

注:
NIST RMF アプリケーションは、セキュリティコントロールテストへの読み取り専用アクセスを提供します。標準の Audit Management アプリケーション手順に従って、これらのテストを更新します。

コントロールを管理および実装する

NIST 800-53.r4 ポリシーステートメントに基づくセキュリティコントロールのリストから、コントロールをレビューし、実装の詳細を更新します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 実装 > アクティブコントロール.
2. ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、各コントロールをレビューし、物理的に実装します。

コントロールテストを管理および実装する

NIST 800-53.r4 ポリシーステートメントに基づくセキュリティコントロールのリストから、コントロールテストをレビューし、実装の詳細を更新します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 実装 > アクティブコントロールテスト.
2. Audit Management アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、各コントロールテストをレビューし、物理的に実装します。

コントロール、リスク、問題、および修復タスクを評価する

NIST RMF アプリケーション内の [評価] セクションでは、セキュリティコントロール証明書の実行、コントロールの有効性の評価、関連付けられたリスクと問題の管理、および修復タスクの実行を行います。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

大まかに言うと、アセスメントには、セキュリティコントロールの実装に起因するコントロール、リスク、問題、および修復タスクの管理も含まれます。

注:
NIST RMF アプリケーションは、コンテンツへの読み取り専用アクセスを提供します。ポリシーとコンプライアンス管理、リスク管理、および/または Audit Management アプリケーションで概説されている標準的な GRC 手順に従ってコンテンツを更新します。

ユーザーは次のことができます。

- 現在システム内にある NIST RMF セキュリティ証明書に関連するコントロール証明書をレビューして実行する
- すべてのコントロールテストを表示し、実施されている各コントロールテストのコントロールと現在の有効性をハイライト表示する
- コンテンツソースが NIST 800-53.r4 であるリスクステートメントに起因するリスクを管理および対処する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- リスクを特定して、アセスメントを実行する
- コンテンツソースが NIST 800-53 r4 のセキュリティコントロールおよび関連リスクの実装に起因する問題と修復タスクのリストを表示する

コントロール証明書をレビューして実行する

NIST RMF セキュリティ証明書に関連するコントロール証明書をレビューして実行します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_accessor、sn_irm_nist_rmf.risk_executive、または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > コントロール証明書.
2. 各コントロール証明書とその結果をレビューします。
3. ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、アサインされたコントロール証明書を実行します。

コントロール有効性をレビューして評価する

NIST-800.53.r4 に関連するコントロールテストを実行して、コントロールの有効性をレビューして評価します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_accessor、sn_irm_nist_rmf.risk_executive、または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > コントロール有効性.
2. 各コントロールテストと関連するセキュリティコントロールをレビューします。
3. システム内のコントロール有効性の結果をレビューします。
4. Audit Management アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、アサインされたコントロールテストを実行します。

リスクを管理して対処する

コンテンツソースが NIST 800-53.r4 であるリスクステートメントに起因するリスクをレビューして管理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_accessor または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > リスク.
2. 各リスクとそれに関連するリスクステートメントをレビューします。
3. リスク管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、リスクを管理して対処します。

リスクアセスメントをレビューして実行する

NIST RMF セキュリティアセスメントに関連するリスクアセスメントをレビューして実行します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_accessor または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > リスクアセスメント.
2. 各リスクアセスメントとその結果をレビューします。
3. リスク管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、アサインされたリスクアセスメントを実行します。

問題を管理して対処する

NIST 800-53.r4 をソースとしてコントロールとリスクに起因するすべての問題をレビューし、それらに対処します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_officer または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > 問題.
2. NIST 800-53.r4 をソースとして問題をレビューします。
3. リスク管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、リスクを管理して対処します。

修復タスクを管理して対処します

NIST 800-53.r4 をソースとしてコントロールとリスクに起因するすべての修復タスクをレビューし、それらに対処します。

始める前に
必要なロール：なし。

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

NIST RMF

sn_irm_nist_rmf.security_officer または sn_irm_nist_rmf.risk_executive。

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > 修復タスク.
2. NIST 800-53.r4 をソースとして問題をレビューします。
3. リスク管理 アプリケーションで概説されている標準的なアプローチに従って、リスクを管理して対処します。

NIST RMF 評価ダッシュボードを監視する

NIST RMF 評価ダッシュボードは、ターゲットの全体的なステータスに関するインサイトを提供します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_officer または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 評価 > 概要.
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ダッシュボードとレポートのセクションでレポートの詳細をレビューします。

ターゲットを認可する

NIST RMF アプリケーション内の [認可] セクションには、コンプライアンスとリスク体制に基づくターゲットの認可が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

ユーザーは、ターゲットフォームから直接、適切な関係者からの認証を要求します。

ターゲットを認可する

セキュリティ担当者が決定した全体的なセキュリティ体制に基づいて、ターゲットレコードを認可します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_official、sn_irm_nist_rmf.risk_executive、または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 認可 > ターゲット.
2. [名前] または [プロファイル] フィールドを使用してターゲットを検索します。
3. ターゲットレコードを選択して開きます。
4. [NIST RFM] セクションで、[承認ステータス] フィールドをレビューします。
5. [承認を要求] をクリックします。

タスクの結果

ターゲットに対して承認がトリガーされます。
承認者の場合は、[自分の承認] モジュールを使用して承認要求をレビューします。

NIST RMF 認可ダッシュボードを監視する

NIST RMF 認可ダッシュボードは、ターゲットの全体的なステータスに関するインサイトを提供します。

始める前に

注:
バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_officer または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 認可 > 概要.
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ダッシュボードとレポートのセクションでレポートの詳細をレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティコントロールを監視する

NIST RMF アプリケーション内の [監視] セクションでは、ターゲットのセキュリティコントロールを継続的に監視して、それらまたは運用環境の変更を文書化し、関連付けられた変更のセキュリティ影響分析を実施して、指定された担当者にセキュリティステータスをレポートします。

> **注:**
> バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

監視は RMF プロセスの重要なステップです。有効でないターゲット (プロファイル)、コントロール、およびテスト計画を継続的に監視し、それらの既知のリスクと問題に対処できます。可能な場合はインジケーターを使用してセキュリティコントロールを自動的に監視し、修復のためのアラートをトリガーする必要があります。

セキュリティコントロールを継続的に監視するには、アプリケーションに用意 NIST RMF Use Case Accelerator されているインジケーターテンプレートを使用して、次の場所に移動します。**NIST RMF** > コンテンツ > インジケーターテンプレート. サンプルのインジケーターテンプレートとインジケーターは **NIST** で始まります。ユーザーは、セキュリティコントロールを監視するために **NIST** で始まる新しいインジケーターを作成する必要があります。

インジケーターをレビューして管理します

NIST 用に設定されているすべてのインジケーターをレビューし、それらを管理して結果を追跡します。

始める前に

> **注:**
> バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.risk_executive または sn_irm_nist_rmf.security_officer

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 監視 > インジケーター.
2. NIST で始まるすべてのインジケーターをレビューします。
3. [名前] フィールドを使用してインジケーターを検索します。
4. インジケーターレコードを選択して開きます。
5. レコードをレビューし、[保存] をクリックします。

RMF モニターダッシュボードを監視する

NIST RMF モニターダッシュボードは、ターゲットの全体的なステータスに関するインサイトを提供します。

始める前に

> **注:**
> バージョン 10.1.0 以降、NIST RMF Use Case Accelerator は現在製品を使用している顧客に対してのみサポートされます。新規および既存のお客様は、GRC: Continuous Authorization Monitoring アプリケーションの使用を検討してください。詳細については、「Continuous Authorization and Monitoring」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：sn_irm_nist_rmf.security_officer または sn_irm_nist_rmf.risk_executive

手順

1. 移動先 すべて > **NIST RMF** > 監視 > 概要.
2. ダッシュボードのすべてのレポートをレビューします。
3. ダッシュボードとレポートのセクションでレポートの詳細をレビューします。

Technology Controls Monitoring Accelerator

Technology Controls Monitoring Accelerator は、データの収集を容易にし、テクノロジーコントロールの検証と継続的な監視を支援するように設計された、事前定義されたインジケーターテンプレートのコレクションです。このアプリケーションは、Cybersecurity Controls Accelerator とともに実行することも、スタンドアロンアプリケーションとして実行することもできます。

Technology Controls Monitoring Accelerator に含まれるインジケーターテンプレートは、次のような標準およびフレームワークのコンプライアンス検証を可能にする特定の ServiceNow アプリケーションにリンクされています。

- ISO/IEC 27001
- ISO/IEC 27002
- CIS Controls

これらのパッケージ化されたインジケーターテンプレートは、Unified Compliance Framework (UCF) の関連する共通コントロールにもマッピングされ、幅広い規制と業界標準に対してコントロールを検証できます。インジケーターテンプレートを使用して、カスタムポリシーの関連するコントロール目標へのコンプライアンスを検証できます。CIS Controls に登録していない場合でも、CIS Controls または CIS か ISO 27002 に共通のテクノロジーコントロールを介して取得したコントロールを監視できます。Technology Controls Monitoring Accelerator のインジケーターを使用して、UCF からのデータを監視することもできます。

CIS Controls™ v8 の継続的な監視

CIS Controls™ は、システムやネットワークに対するサイバー攻撃を軽減するための優先順位付けされた一連の安全策です。これらのコントロールは、複数の法務、規制、およびポリシーフレームワークにマッピングされ、参照されます。CIS Controls™ v8は、企業が作業モデルを完全なクラウドおよびハイブリッド環境に移行する際に、クラウドベースのコンピューティング、仮想化、モビリティ、アウトソーシングなどの最新のシステムとソフトウェアを引き続きサポートするように強化されています。

このリリース以降 Washington DC 、は事前に Technology Controls Monitoring Accelerator パッケージ化された CIS v8 コントロールとインジケーターテンプレートを提供し、それらを監視するために、さまざまな標準にマッピングされた共通コントロールとともに提供します。

CIS Controls™ v8 では、次の機能拡張がサポートされています。

- 事前定義されたインジケーターテンプレートを使用して、CIS Controls™ v8 の継続的な監視を有効にします。
- CIS V8 にマッピングされた ISO 27002、PCI DSS 4.0、NIST 800-53、NIST CSF、CSA CCM 4.0 からの共通コントロールの監視を有効にします。

Technology Controls Monitoring Accelerator をダウンロードする

インスタンスで Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーションを実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションをダウンロードした場合、このアプリケーションは Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションの依存関係としてインストールされているため、この手順をスキップできます。

Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーションを実行する前に、次の GRC アプリケーションをダウンロードして有効化する必要があります。

- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: Profiles

必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

適切なインジケーターテンプレートがすべて有効になっていることを確認する

GRC: Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーションをダウンロードすると、すべてのインジケーターテンプレートが利用可能になりますが、まだアクティブになっていません。それらを有効にする前に、必要なアプリケーションが有効になっており、インジケーターテンプレートにマッピングされているテーブルにアクセスできることを確認する必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーションのバージョン 12.0.1 以降、[手動] だったいくつかのインジケータが [基本] または [スクリプト化] に変換されました。この追加された自動化により、継続的な監視に関連付けられた多くのタスクがより容易になります。

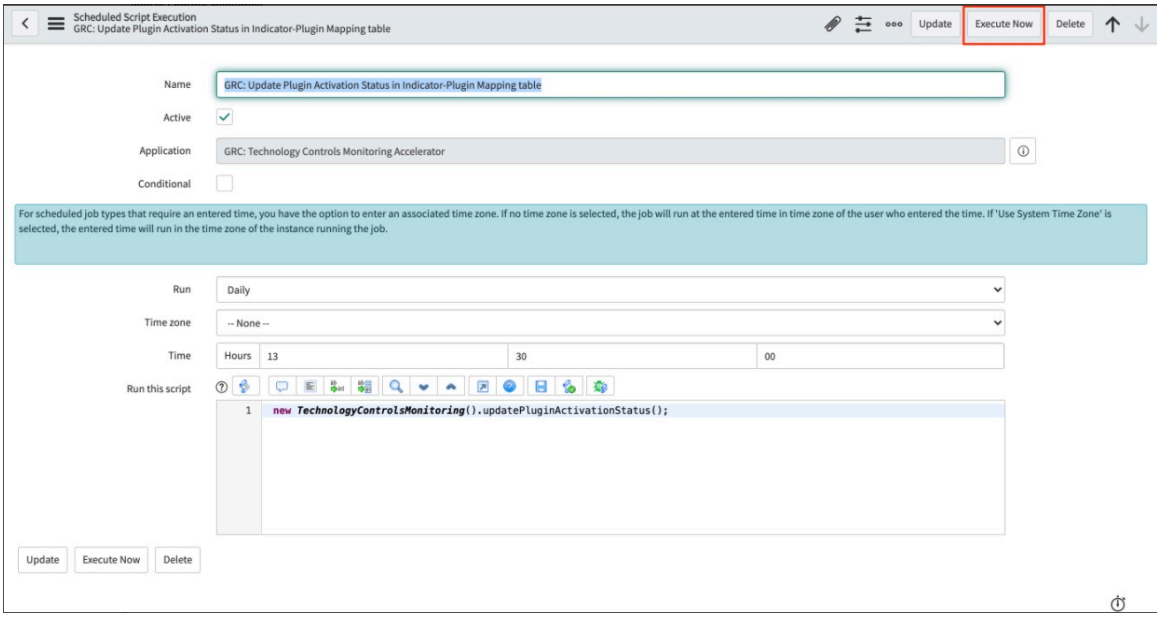
手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > スケジュール済みジョブ.
2. インジケーターとプラグインのマッピングテーブルで **GRC: Update Plugin Activation Status** を検索して開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの実行を予定



3. [今すぐ実行] をクリックします。
   このジョブは、インスタンスのインジケーターテンプレートとプラグインのマッピングテーブル [sn_grc_ind_template_plugin_mapping_details] をスキャンし、1) インジケーターテンプレートを監視するために Technology Controls Monitoring Accelerator を使用できるどのアプリケーションがインスタンスにインストールされているかを判別し、2) これらのアプリケーションのテーブルにマッピングされたインジケーターテンプレートを自動的に有効にします。

   注:
   このアプリケーションをアップグレードするたびに、このプロセスを繰り返す必要があります。

自動翻訳

運用ステータスを表示する

CIS Controls と Technology Controls のリストについては、運用ステータスモジュールを表示します。各コントロールには、コンプライアンスの検証に使用されるテクノロジー、利用可能なインジケーターテンプレートのタイプ、およびコントロールのソーステーブルも含まれています。

始める前に

必要なロール：admin または sn_compliance.reader

このタスクについて

バージョン 12.0.2 以降、運用ステータスモジュールは、特定の CIS/ISO コントロールにマッピングされたすべての CIS Controls および/または ISO 27002 ベースのインジケーターテンプレートのビューを提供します。この情報は、コントロールとシステムの健全性を監視するために役立ちます。アプリケーションは、各コントロールを検証してデータを保護するために利用可能なさまざまなテクノロジーとともに、インスタンスをスキャンして、どのコントロールが実装されているかを判別できます。

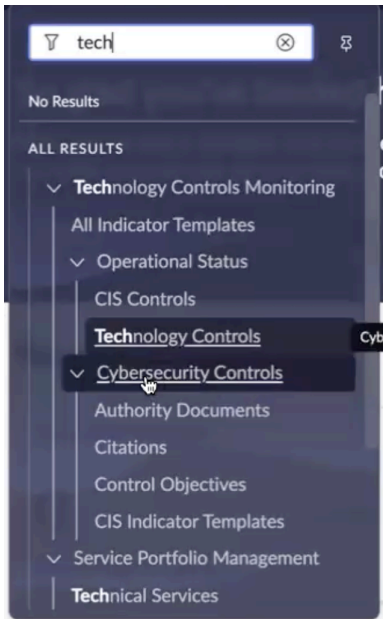
リリース以降 Washington DC 、 Technology Controls Monitoring Accelerator 事前にパッケージ化された CIS v8 コントロールとインジケーターテンプレートを提供します。

手順

1. 移動先 すべて > テクノロジーコントロール監視 > 運用ステータス.

   例に示すようにモジュールを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
CIS コントロールモジュールの名前が CIS Controls @Rから Cybersecurity Controls に変更されました。インジケーターテンプレートモジュールの名前が CIS インジケーターテンプレートに変更されました。

2. [**CIS Controls]** または [**Technology Controls]** を選択します。

注:
下に示す画面は、**[CIS Controls]** を選択すると表示されます。[テクノロジーコントロール] を選択した場合、デフォルトの列がわずかに異なります。ただし、必要に応じて歯車アイコンを選択して列を追加または削除できます。

インジケーターテンプレートの運用ステータス

Indicator templates operational status [CIS controls view] Search Control description Search 1 to 20 of 55

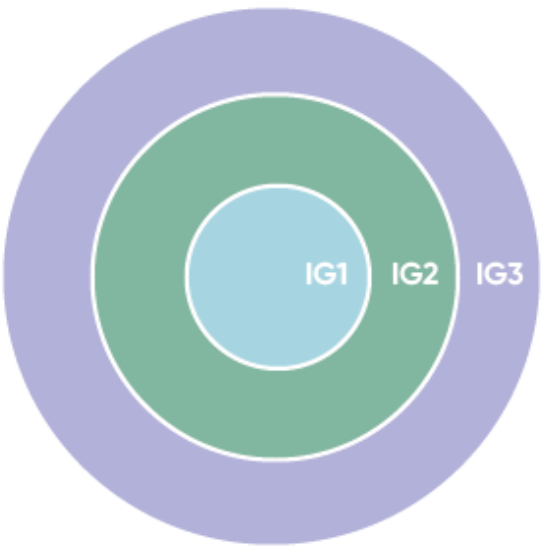
All > Control family starts with CIS > Indicator template type != Manual

Controls	Control family	Control description ▲	Domain	Implementation Group (IG)	Compliance validated by	Validating technology
CIS Control 6.2	CIS Control 6	Activate audit logging	Basic	IG1,IG2,IG3	Configuration Compliance	false
CIS Control 2.6	CIS Control 2	Address unapproved software	Basic	IG1,IG2,IG3	Software Asset Management Professional Core	false
CIS Control 1.6	CIS Control 1	Address Unauthorized Assets	Basic	IG1,IG2,IG3	Security Incident Response	false
CIS Control 16.13	CIS Control 16	Alert on Account Login Behavior Deviation	Organizational	IG3	Security Incident Response	false
CIS Control 19.2	CIS Control 19	Assign Job Titles and Duties for Inciden...	Organizational	IG2,IG3	Incident Management	true
CIS Control 4.2	CIS Control 4	Change Default Passwords	Basic	IG1,IG2,IG3	Configuration Compliance	false
CIS Control 3.6	CIS Control 3	Compare Back-to-back Vulnerability Scans	Basic	IG2,IG3	Vulnerability Response	false
CIS Control 8.4	CIS Control 8	Configure Anti-Malware Scanning of Remov...	Foundational	IG1,IG2,IG3	Configuration Compliance	false
CIS Control 8.5	CIS Control 8	Configure Devices Not To Auto-run Content	Foundational	IG1,IG2,IG3	Configuration Compliance	false
CIS Control 19.8	CIS Control 19	Create Incident Scoring and Prioritizati...	Organizational	IG3	Security Incident Response	false

各コントロールには次の情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

運用ステータス

フィールド	説明
コントロール	Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションをダウンロードして有効にしたときに含まれるコントロール。
コントロールファミリと説明	CIS Controlsで定義されているコントロールのファミリーと説明。
ドメイン	コントロールのドメイン： ○ 基本 ○ 基盤 ○ 組織
実装グループ (IG)	コントロールが含まれている実装グループ：IG1、IG2、または IG3。IG1 は、基盤として機能する重要なセキュリティコントロールのほとんどをカバーしています。その後、セキュリティ体制を改善するために、必要に応じて IG2 と IG3 を追加して、追加レベルのサポートを提供できます。 ここに示すように、IG2 には IG1 に含まれるすべてのコントロールが含まれ、IG3 には IG1 と IG2 のすべてのコントロールが含まれます。 
コンプライアンスの検証者	コントロールの検証を自動化するために使用できるインスタンスのテクノロジー。
テクノロジーの検証を有効化しましたか?	指定されたテクノロジーがインスタンスで有効になっているかどうかを特定します。
コントロールは実装され	コントロール目標を採用してシステムに展開したかどうかを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ていますか?	
インジケーターテンプレートタイプ	コントロールの検証と監視を開始できるように、インジケーターテンプレートタイプが定義されているかどうか特定します。利用可能なタイプは、 [基本]、 [手動]、および [スクリプト] です。
ソーステーブル	コントロールによって監視されているデータのソーステーブル。

サイバーセキュリティコントロールモジュールの表示

サイバーセキュリティコントロールモジュールを表示して、ドメイン、実装グループ、および ISO コントロール別に分類された特定の CIS コントロールにマッピングされた各種法令・基準等、コントロール、コントロール目標、および CIS インジケーターテンプレートのリストを確認します。

始める前に

必要なロール：admin または sn_compliance.reader

このタスクについて

注:
各種法令・基準等、コントロール、およびコントロール目標には、ソース CIS、CIS v8、および CSA CCM v4 に関連するデータが表示されます。モジュールフィルターでは、次のデータが表示されます。

- 各種法令・基準等:ソースが CIS または CIS v8 または CSA CCM v4 です。
- 引用:ソースは CIS または CIS v8 または CSA CCM v4 です。
- コントロール目標:ソースは CIS または CIS v8 または CSA CCM v4 です。
- インジケーターテンプレート:ソースは CIS または CIS v8 です。

リリース以降 Washington DC 、 Technology Controls Monitoring Accelerator 事前にパッケージ化された CIS v8 コントロールとインジケーターテンプレートを提供します。

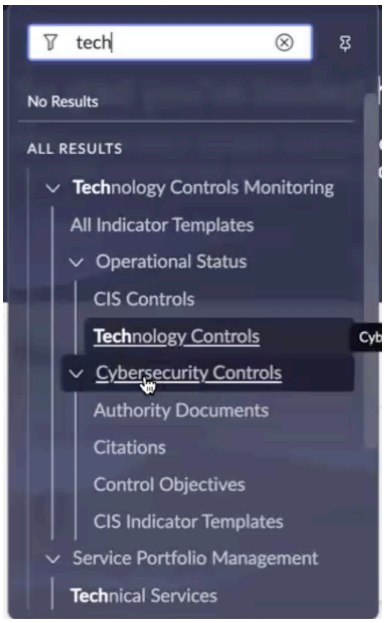
手順

1. 移動先 すべて > テクノロジーコントロール監視 > サイバーセキュリティコントロール.

   例に示すようにモジュールを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
CIS コントロールモジュールの名前が CIS Controls @Rから Cybersecurity Controls に変更されました。インジケーターテンプレートモジュールの名前が CIS インジケーターテンプレートに変更されました。

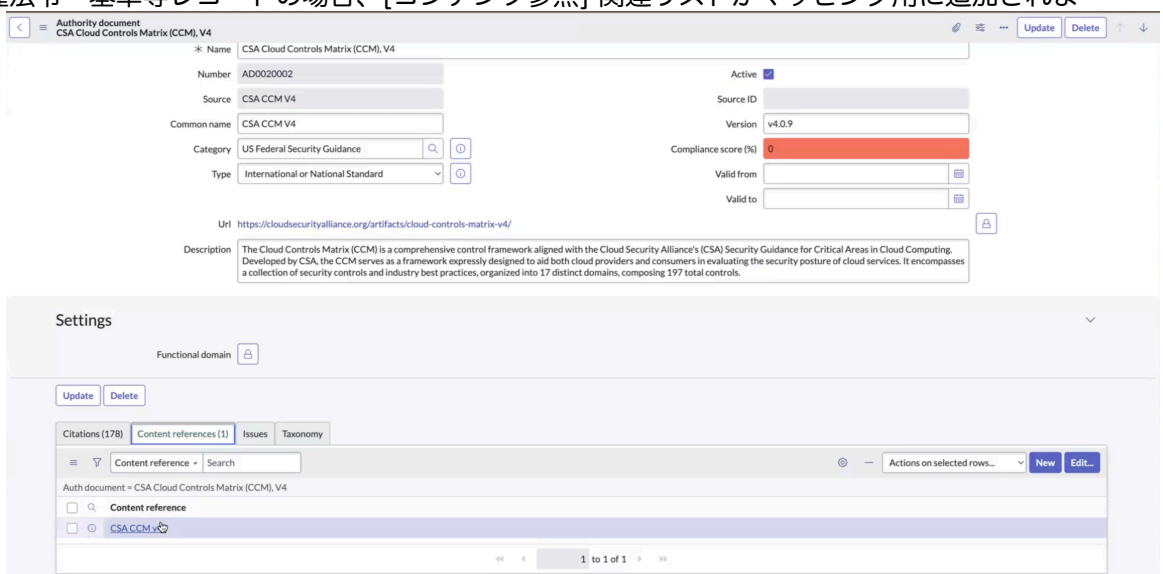
2. [各種法令・基準等] を選択します。

例に示すように、ソース CIS、CIS v8、および CSA CCM v4 の各種法令・基準等がリストされます。



各種法令・基準等ADCIS10002が CIS v8 に追加されます。同様に、CSACCMv4 にも AD0020002が追加されます。

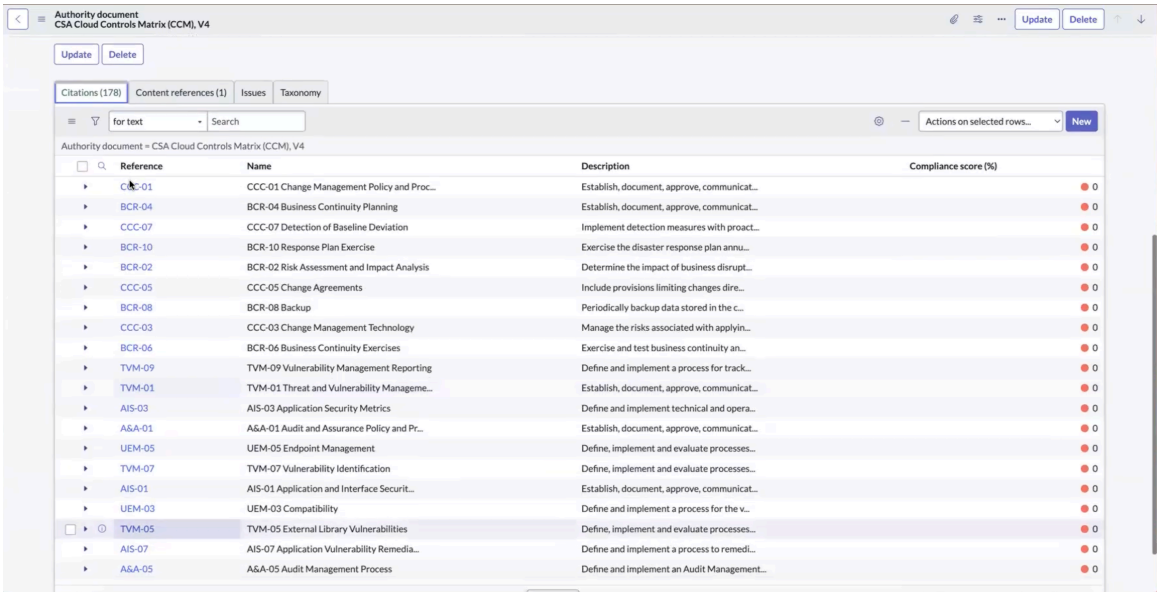
各種法令・基準等レコードの場合、[コンテンツ参照] 関連リストがマッピング用に追加されます。



自動翻訳

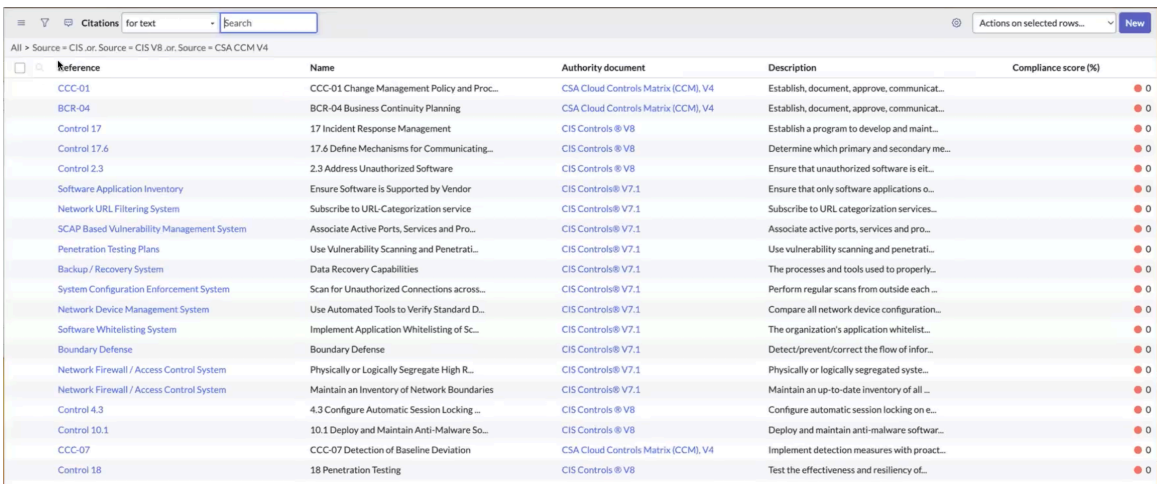
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例には、各種法令・基準等に関連付けられた引用が示されています。



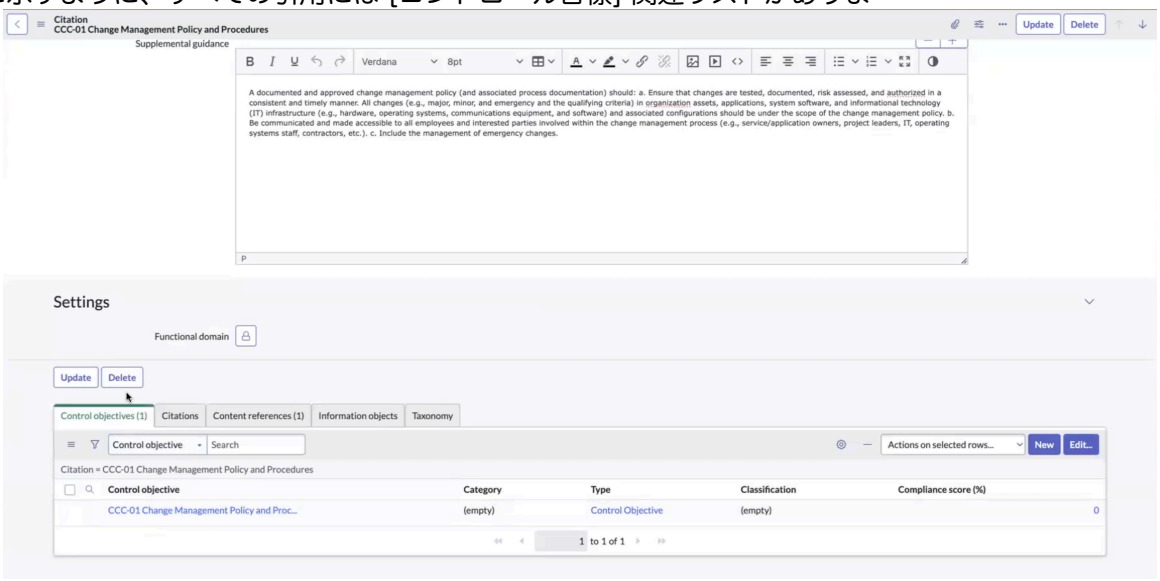
3. [引用] を選択します。

例に示すように、ソース CIS、CIS v8、および CSA CCM v4 の引用がリストされます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

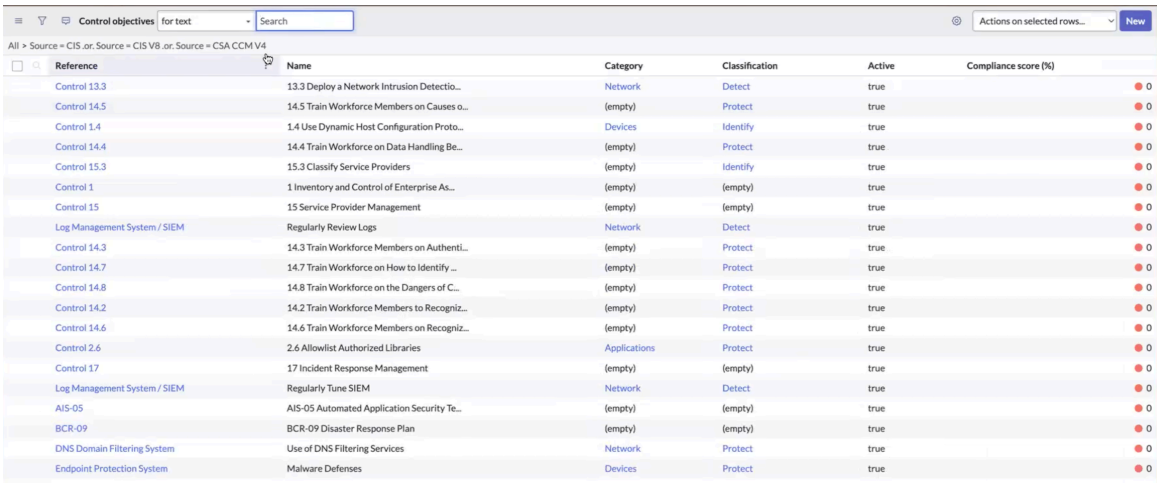
例に示すように、すべての引用には [コントロール目標] 関連リストがありま



す。

4. [コントロール目標] を選択します。

例に示すように、ソース CIS、CIS v8、および CSA CCM v4 のコントロール目標がリストされます。

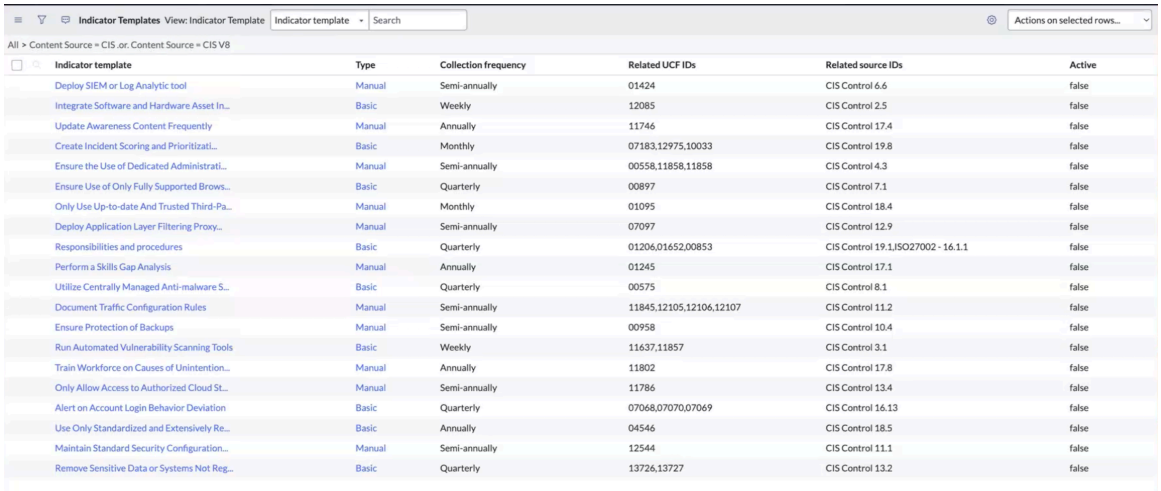


5. CIS インジケーターテンプレートを選択します。

ソース CIS、CIS v8、および CSA CCM v4 の CIS インジケーターテンプレートは、例に示すようにリストされます。

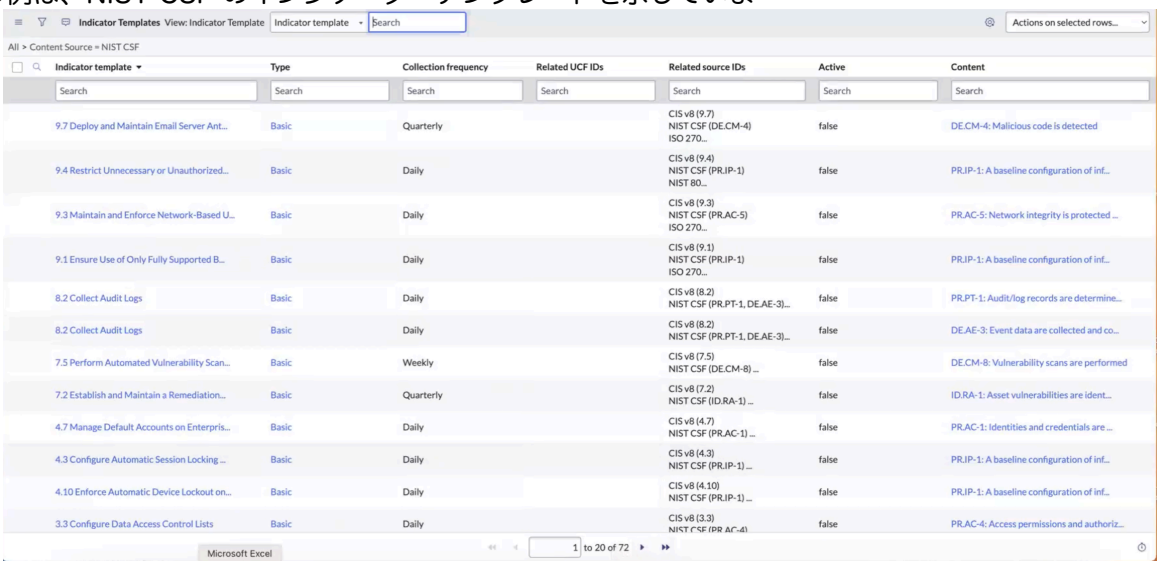
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Indicator template	Type	Collection frequency	Related UCF IDs	Related source IDs	Active
Deploy SIEM or Log Analytic tool	Manual	Semi-annually	01424	CIS Control 6.6	false
Integrate Software and Hardware Asset In...	Basic	Weekly	12085	CIS Control 2.5	false
Update Awareness Content Frequently	Manual	Annually	11746	CIS Control 17.4	false
Create Incident Scoring and Prioritizati...	Basic	Monthly	07183,12975,10033	CIS Control 19.8	false
Ensure the Use of Dedicated Administrati...	Manual	Semi-annually	00558,11858,11858	CIS Control 4.3	false
Ensure Use of Only Fully Supported Brows...	Basic	Quarterly	00897	CIS Control 7.1	false
Only Use Up-to-date And Trusted Third-Pa...	Manual	Monthly	01095	CIS Control 18.4	false
Deploy Application Layer Filtering Proxy...	Manual	Semi-annually	07097	CIS Control 12.9	false
Responsibilities and procedures	Basic	Quarterly	01206,01652,00853	CIS Control 19.1,ISO27002 - 16.1.1	false
Perform a Skills Gap Analysis	Manual	Annually	01245	CIS Control 17.1	false
Utilize Centrally Managed Anti-malware S...	Basic	Quarterly	00575	CIS Control 8.1	false
Document Traffic Configuration Rules	Manual	Semi-annually	11845,12105,12106,12107	CIS Control 11.2	false
Ensure Protection of Backups	Manual	Semi-annually	00958	CIS Control 10.4	false
Run Automated Vulnerability Scanning Tools	Basic	Weekly	11637,11857	CIS Control 3.1	false
Train Workforce on Causes of Unintention...	Manual	Annually	11802	CIS Control 17.8	false
Only Allow Access to Authorized Cloud St...	Manual	Semi-annually	11786	CIS Control 13.4	false
Alert on Account Login Behavior Deviation	Basic	Quarterly	07068,07070,07069	CIS Control 16.13	false
Use Only Standardized and Extensively Re...	Basic	Annually	04546	CIS Control 18.5	false
Maintain Standard Security Configuration...	Manual	Semi-annually	12544	CIS Control 11.1	false
Remove Sensitive Data or Systems Not Reg...	Basic	Quarterly	13726,13727	CIS Control 13.2	false

さまざまなソースのインジケーターテンプレートを表示できます。
次の例は、NIST CSF のインジケーターテンプレートを示していま



Indicator template	Type	Collection frequency	Related UCF IDs	Related source IDs	Active	Content
9.7 Deploy and Maintain Email Server Ant...	Basic	Quarterly		CIS v8 (9.7) NIST CSF (DE.CM-4) ISO 270...	false	DE.CM-4: Malicious code is detected
9.4 Restrict Unnecessary or Unauthorized...	Basic	Daily		CIS v8 (9.4) NIST CSF (PR.IP-1) NIST 80...	false	PR.IP-1: A baseline configuration of inf...
9.3 Maintain and Enforce Network-Based U...	Basic	Daily		CIS v8 (9.3) NIST CSF (PR.AC-5) ISO 270...	false	PR.AC-5: Network integrity is protected ...
9.1 Ensure Use of Only Fully Supported B...	Basic	Daily		CIS v8 (9.1) NIST CSF (PR.IP-1) ISO 270...	false	PR.IP-1: A baseline configuration of inf...
8.2 Collect Audit Logs	Basic	Daily		CIS v8 (8.2) NIST CSF (PR.PT-1, DE.AE-3)...	false	PR.PT-1: Audit/log records are determine...
8.2 Collect Audit Logs	Basic	Daily		CIS v8 (8.2) NIST CSF (PR.PT-1, DE.AE-3)...	false	DE.AE-3: Event data are collected and co...
7.5 Perform Automated Vulnerability Scan...	Basic	Weekly		CIS v8 (7.5) NIST CSF (DE.CM-8) ...	false	DE.CM-8: Vulnerability scans are performed
7.2 Establish and Maintain a Remediation...	Basic	Quarterly		CIS v8 (7.2) NIST CSF (ID.RA-1) ...	false	ID.RA-1: Asset vulnerabilities are ident...
4.7 Manage Default Accounts on Enterpris...	Basic	Daily		CIS v8 (4.7) NIST CSF (PR.AC-1) ...	false	PR.AC-1: Identities and credentials are ...
4.3 Configure Automatic Session Locking ...	Basic	Daily		CIS v8 (4.3) NIST CSF (PR.IP-1) ...	false	PR.IP-1: A baseline configuration of inf...
4.10 Enforce Automatic Device Lockout on...	Basic	Daily		CIS v8 (4.10) NIST CSF (PR.IP-1) ...	false	PR.IP-1: A baseline configuration of inf...
3.3 Configure Data Access Control Lists	Basic	Daily		CIS v8 (3.3) NIST CSF (PR.AC-4)	false	PR.AC-4: Access permissions and authoriz...

す。

[関連ソース ID] 列には、インジケーターテンプレートのソース ID が表示されま

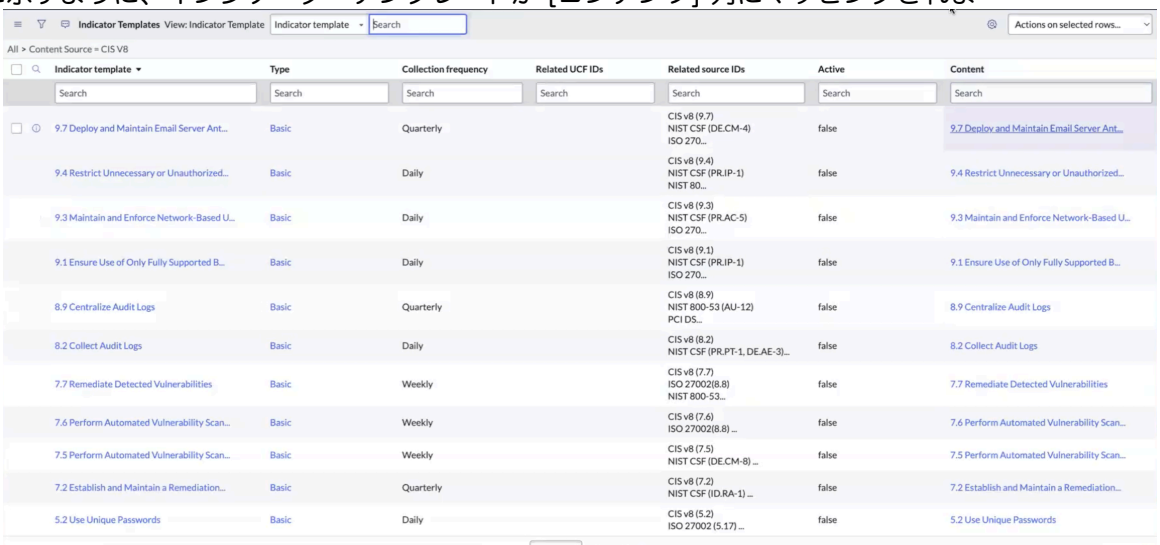


Indicator template	Type	Collection frequency	Related UCF IDs	Related source IDs	Active	Content
1.1						
1.1 Establish and Maintain Detailed Ente...	Basic	Weekly		CIS v8 (1.1) NIST CSF (ID.AM-1, PR.DS-3)...	false	PR.DS-3: Assets are formally managed thr...
1.1 Establish and Maintain Detailed Ente...	Basic	Weekly		CIS v8 (1.1) NIST CSF (ID.AM-1, PR.DS-3)...	false	ID.AM-1: Physical devices and systems wi...

す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例に示すように、インジケーターテンプレートが [コンテンツ] 列にマッピングされま


す。

6. **CIS** インジケーターテンプレートを選択します。
   CIS インジケーターテンプレートがインスタンスに表示されます。

インジケーターテンプレートを使用する

インジケーターは、単一のコントロールまたはリスクを監視するためのデータを収集します。インジケーターテンプレートを使用すると、類似のコントロールまたはリスクに対して複数のインジケーターを作成できます。Technology Controls Monitoring Accelerator アプリケーションには、サイバーセキュリティコントロールを監視するための 171 の事前定義済みのインジケーターテンプレートのコレクションが用意されています。

インジケーターとインジケーターテンプレート

インジケーターは、コントロールとリスクを監視し、監査証拠を収集するためのデータを収集します。インジケーターは単一のコントロールまたはリスクを監視します。

インジケーターテンプレートを使用すると、類似のコントロールまたはリスクに対して複数のインジケーターを作成できます。

アプリケーションで取得 Technology Controls Monitoring Accelerator されたインジケーターテンプレートには、次のセクションで説明するように、インジケーターを実行する必要があるという指示が記載されています。

インジケーターのサポート情報は、自動データ収集または手動タスクによって収集できます。インジケーターの結果は、次のタスクを実行するために使用されます。

- コントロールの問題を作成します。
- リスクスコアを更新します。
- 監査アクティビティとコントロールテストのサポート情報を提供します

次のタイプのインジケーターを使用できます。

1. 基本:証拠はソーステーブルから収集されます。
2. 手動:証拠は収集されません。このタイプのインジケーターには、サードパーティのデータソースが必要です。
3. スクリプト化:証拠は複数のソーステーブルから収集できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター処理の流れ

インジケータープロセスは、次のステップで構成されています。

- インジケーターテンプレートを設定します。
- インジケーターテンプレートをリスクステートメントまたはコントロールに適用します。コントロールまたはリスクステートメントのスコープがエンティティタイプまたは特定のエンティティである場合、そのコントロール目標またはリスクステートメントのすべてのコントロールまたはリスクに対してインジケーターが生成されます。

インジケーターは自動または手動にすることができます。インジケーターの最終状態を示すインジケータータスクが生成されます。

自動インジケーターと手動インジケーターの例

自動インジケーターの例として、 内のすべてのサーバーが CMDB 最新であることを確認することが挙げられます。別の例として、すべての LDAP パスワードが 3 か月未満である場合があります。

手動インジケーターの例としては、ネットワーク管理者に、毎年のネットワーク侵入テストを実施し、結果をタスクに添付するように依頼することが挙げられます。結果が失敗または合格していないことを示している場合は、問題の作成 GRC をトリガーするために使用されます。

インジケーターテンプレートの使用方法

インジケーターテンプレートをポリシーステートメントまたはリスクステートメントにリンクして、コントロールまたはリスクのインジケーターが自動的に作成されるようにすることができます。コントロールのステータスも、リンクされたインジケーターの結果によって自動的に計算され、リンクされたリスクに影響を与える可能性があります。たとえば、コントロールに関連付けられたインジケーターが失敗した場合、ユーザーが修復タスクをクローズしない限り、全体的なステータスを完了することはできません。

リスクの計算済みリスクスコアも、リスクのインジケーター結果によって自動的に調整されます。リスクテーブルの [インジケーター失敗ファクタ] フィールドに、失敗の影響度が表示されます。

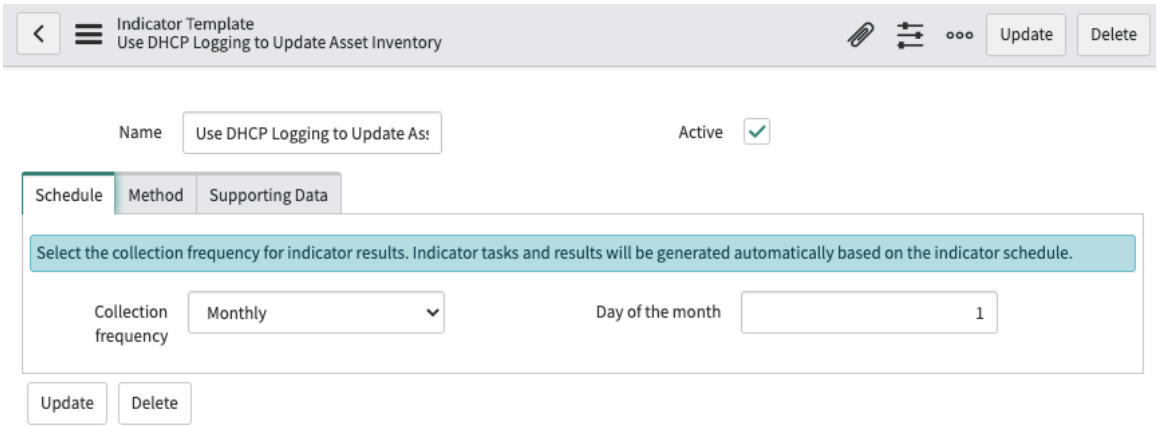
注:
インジケーターは重み付けされません。コントロールまたはリスクへの影響を比較検討すると、均等化と見なされます。リスクとコントロールが [廃止] ステータスの場合、インジケーターは実行されません。

インジケーターテンプレートの収集頻度

各インジケーターテンプレートには、次に示すように、データ収集の頻度を特定するためのスケジュールが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターテンプレートのスケジュール



[スケジュール] タブ

フィールド	説明
収集頻度	インジケーターの結果の収集頻度。インジケータータスクと結果は、インジケータースケジュールに基づいて自動的に生成されます。 • 日ごと • 週ごと：収集を実行する曜日。 • 月ごと：収集を実行する日付。 • 四半期ごと：最初の収集を実行する日付。 • 半年ごと：最初の収集を実行する日付。 • 年ごと：収集を実行する月と日付。

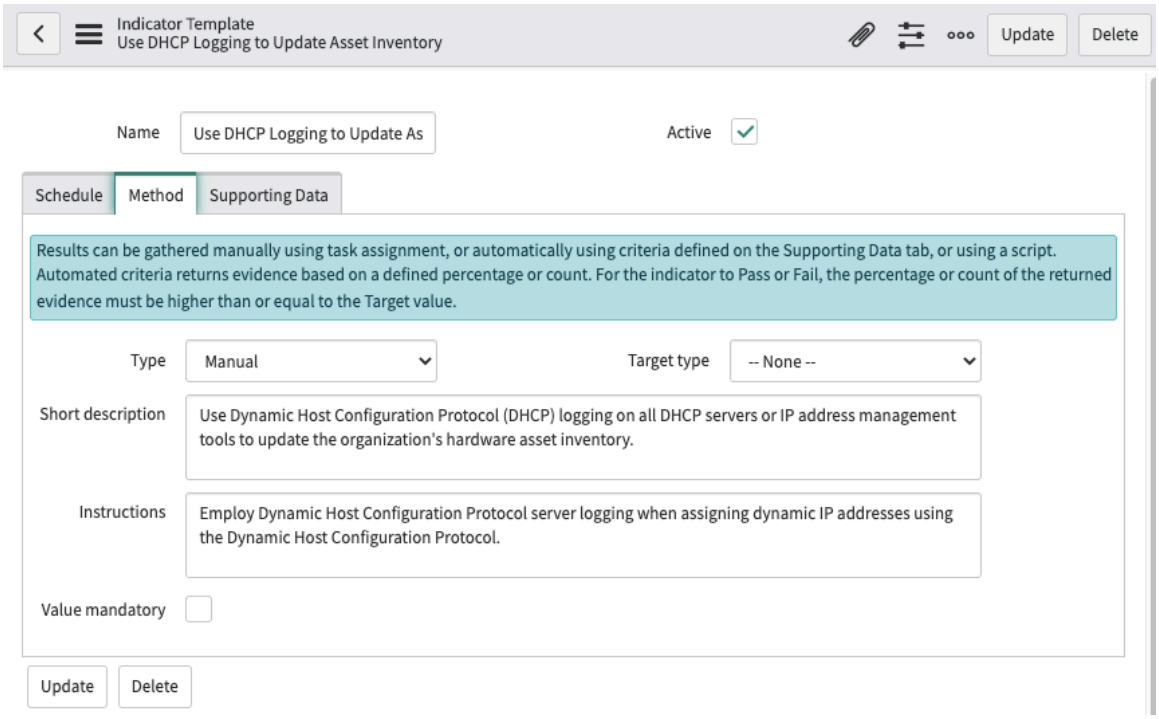
インジケーターテンプレートの収集方法

[メソッド] タブは、次に示すように、結果の収集方法を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターテンプレートの収集方法



[メソッド] タブ

フィールド	説明
タイプ	結果は、タスクのアサインにより手動で、または基本フィルター条件、Performance Analytics、またはスクリプトを使用して自動的に収集できます。
ターゲットタイプ	ターゲットが割合かカウントかを識別します。
簡単な説明	**Type = Manual** の場合、問題の簡単な説明。
説明	**Type = Manual** の場合、インジケーターの結果の収集に関する指示。
必須の値	**Type = Manual** の場合、このチェックボックスは、インジケータータスクに値が必須かどうかを示します。
成功/失敗	**Type = Basic** で、[サポートデータ] タブで定義された条件が満たされ、結果が [ターゲット] 値を超えた場合、インジケーターが成功か失敗かが示されます。
ターゲット	**Type = Basic** の場合、[サポートデータ] タブで定義された条件に基づいて結果が返されるしきい値によって、インジケーターテンプレートが成功か失敗かが示されます。
PA しきい値	**Type = PA Indicator** の場合、関連付けられた PA しきい値。
スクリプト	**Type = Script** の場合、必要なシステム情報を取得するスクリプト。

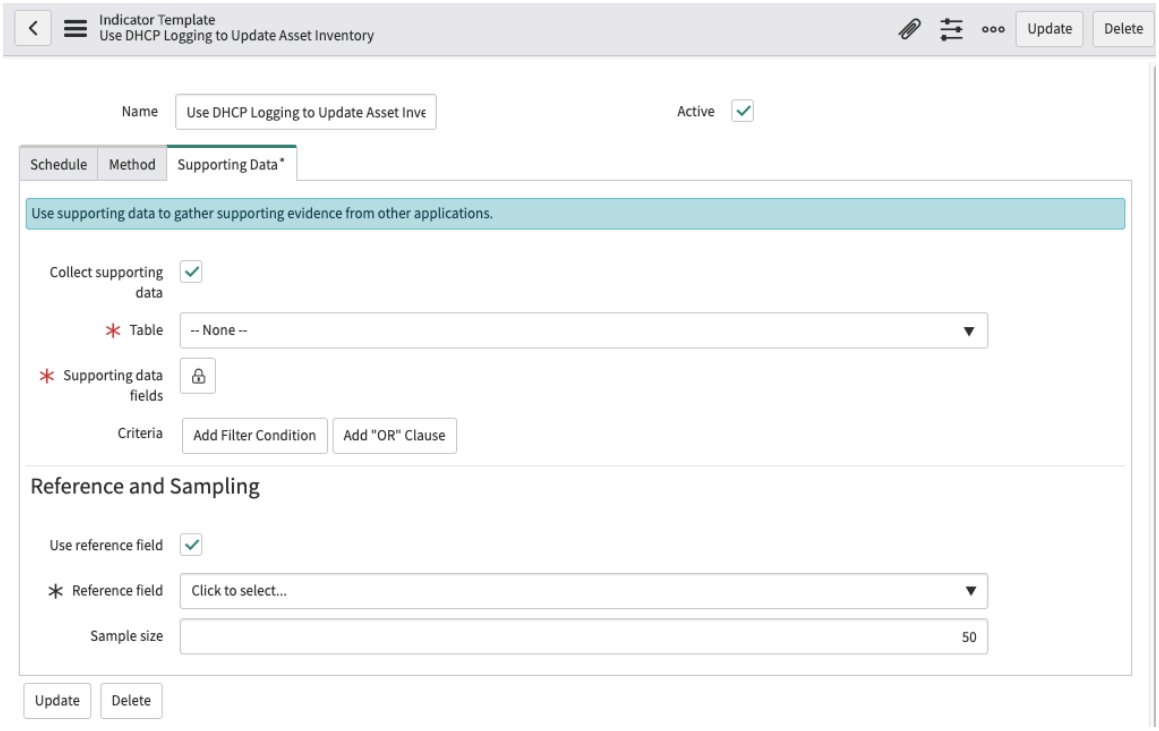
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターテンプレートのサポートデータ

バージョン 10.1 以降、[サポートデータ] タブには、インジケータ結果またはインジケータタスクからのサポートデータレコードの実際の履歴データが表示されます。以前のバージョンでは、収集されたレコードのリアルタイムステータスのみを表示できました。

インジケーターテンプレートのサポートデータ



インジケーターテンプレートのサポートデータ

フィールド	説明
提出データを含む	サポートデータを収集することを示します。次の 3 つのフィールドが表示されます。
テーブル	サポートデータテーブル。
サポートデータフィールド	考慮されるサポートデータテーブルのフィールド。
基準	フィルター条件。
参照フィールドを使用	参照フィールドを使用することを示します。次の 2 つのフィールドが表示されます。
参照フィールド	サンプリングに使用する参照フィールド。
サンプルサイズ	データサンプリングに使用するレコードの数。

次のタブでも情報を表示できます。

- インジケーター
- コントロール目標/リスクステートメント
- コンテンツ参照

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[コントロール目標/リスクステートメント] タブを使用すると、同じテンプレートを複数のコントロール目標またはリスクステートメントに再利用できます。

コントロールのインジケーターテンプレート

CIS Technology Controls Monitoring Accelerator v7 用の 273 個のインジケータ テンプレート (基本 94 個、手動 174 個、スクリプト付き 5 個) と、CIS v8 用の新しい 67 個のインジケータ テンプレート (基本 64 個、スクリプト付き 3 個) が含まれています。

Technology Controls Monitoring Accelerator を Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーションとともに使用すると、Cybersecurity Controls Accelerator アプリケーション内でインジケーターテンプレートを管理できます。

ただし、Technology Controls Monitoring Accelerator をスタンドアロンアプリケーションとして実行する場合でも、ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションと組み合わせて実行することができます。また、UCF コントロールをインジケーターテンプレートにマッピングすることもできます (ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションとの組み合わせから)。

注:
さまざまなタイプのインジケーターテンプレートの詳細については、「インジケーターテンプレートを使用する」を参照してください。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート

次の表に、CIS v8 コントロールのインジケータテンプレートを示します。

注:
現在、基本またはスクリプト化のインジケーターテンプレートのいずれかでカバーされていないコントロールには、コンプライアンス検証の目的で定義された手動インジケーターテンプレートがあります。CIS v8インジケータテンプレートの詳細については、 KB0555526 を参照してください。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
CIS Control V8 1.1	詳細なエンタープライズ資産インベントリの確立と維持: エンドユーザーデバイス(ポータブルおよびモバイルを含む)、ネットワークデバイス、非コンピューティング/IoTデバイス、サーバーなど、データを保存または処理する可能性のあるすべてのエンタープライズ資産の正確で詳細かつ最新のインベントリを確立して維持します。在庫に、ネットワークアドレス (静的な場合)、ハードウェアアドレス、マシン名、データ資産所有者、各資産の部門、および資産がネットワークへの接続が承認されているかどうかが記録されていることを確認します。モバイルエンドユーザーデバ	基本的な	HAM	cmdb_ci_hardware	CIS v8 (1.1) CSF (ID.AM-1, PR.DS-3) ISO 27002 (5.9, 8.8) PCI (9.5.1, 9.5.1.1, 11.2, 11.2.1, 11.2.2, 12.5, 12.5.1) CCM (UEM-04)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	イスの場合、MDMタイプのツールは、必要に応じてこのプロセスをサポートできます。このインベントリには、インフラストラクチャに物理的、仮想的、リモート的に接続された資産、およびクラウド環境内の資産が含まれます。さらに、企業の管理下にない場合でも、企業のネットワークインフラストラクチャに定期的に接続されている資産も含まれます。すべてのエンタープライズ資産の在庫を半年ごと、またはそれ以上の頻度で確認および更新します。				
CIS Control V8 1.2	許可されていない資産への対処: 承認されていない資産に毎週対処するプロセスが存在することを確認します。企業は、ネットワークから資産を削除するか、資産によるネットワークへのリモート接続を拒否するか、資産を隔離するかを選択できます。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (1.2) NIST (CM-8) PCI (11.2.1)
CIS Control V8 1.3	アクティブな検出ツールを使用: アクティブな検出ツールを使用して、企業のネットワークに接続されている資産を特定します。アクティブな検出ツールを毎日、またはそれ以上の頻度で実行するように構成します。	基本的な	Discovery	cmdb_discovery	CIS v8 (1.3) CSF (DE.CM-7) NIST (CM-8(1)) CCM (UEM-05)
CIS Control V8 1.4	動的ホスト構成プロトコル (DHCP) ログを使用してエンタープライズ資産インベントリを更新します。 すべての DHCP サーバーまたはインターネット プロトコル (IP) アドレス管理ツールで DHCP ログを使用して、企業の資産インベントリを更新します。ログを確認して使用し、企業の資産在庫を毎週またはそれ以上の頻度で更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 1.5	受動的資産検出ツールを使用:	基本的な	Discovery	discovery_network_track	CIS v8 (1.5) CSF (DE.CM-7)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	パッシブ検出ツールを使用して、企業のネットワークに接続されている資産を特定します。スキャンを確認して使用し、企業の資産在庫を少なくとも毎週、またはそれ以上の頻度で更新します。				NIST (CM-8(3))
CIS Control V8 2.1	ソフトウェア・インベントリーの確立と保守: エンタープライズ資産にインストールされているすべてのライセンス済みソフトウェアの詳細なインベントリを確立して維持します。ソフトウェア インベントリには、各エントリのタイトル、発行元、最初のインストール/使用日、およびビジネス目的を文書化する必要があります。必要に応じて、ユニフォーム リソース ロケーター (URL)、アプリ ストア、バージョン、デプロイ メカニズム、および使用停止の日付を含めます。ソフトウェア インベントリを半年に 1 回、またはそれ以上の頻度で確認および更新します。	基本的な	SAM	cmdb_ci_application	CIS v8 (2.1) CSF (ID.AM-2) ISO (5.9) NIST (SI-4) PCI (1.2.5、6.3.2) CCM (UEM-02)
CIS Control V8 2.2	認可済みソフトウェアが現在サポートされていることを確認する 現在サポートされているソフトウェアのみが、エンタープライズ資産のソフトウェア在庫で認可済みとして指定されていることを確認します。ソフトウェアがサポートされていないが、企業の使命を果たすために必要な場合は、制御の軽減と残存リスクの受容を詳述した例外を文書化します。例外のないサポート対象外のソフトウェアドキュメントについては、未許可として指定します。ソフトウェアリストを確認して、少なくとも毎月、またはそれ以上の頻度でソフトウェアサポートを確認します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 2.3	許可されていないソフトウェアへの対処:	スクリプト	SAM	cmdb_sam_sw_install	CIS v8 (2.3) CSF (DE.CM-7) ISO (8.7)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	許可されていないソフトウェアがエンタープライズ資産での使用から削除されるか、文書化された例外を受け取ることを確認します。毎月、またはそれ以上の頻度でレビューします。				NIST (CM-8(3)) PCI (12.3.4)
CIS Control V8 2.4	自動ソフトウェア在庫ツールを使用: 可能な場合は、企業全体でソフトウェア在庫ツールを使用して、インストールされているソフトウェアの検出と文書化を自動化します。	基本的な	SAM	cmdb_ci_application_software	CIS v8 (2.4) CSF (DE.CM-7) NIST (SI-4)
CIS Control V8 2.5	許可されたソフトウェアを許可リストに登録: アプリケーションの許可リストなどの技術的なコントロールを使用して、許可されたソフトウェアのみが実行またはアクセスできるようにします。半年ごと、またはそれ以上の頻度で再評価します。	スクリプト	SAM	cmdb_sam_sw_install	CIS v8 (2.5) CSF (DE.CM-7) ISO (8.7, 8.17) PCI (1.2.5, 2.2.4)
CIS Control V8 2.6	許可リスト認証ライブラリ: テクニカルコントロールを使用して、特定の .dll、.ocx、.so などのファイルなど、許可されたソフトウェアライブラリーのみをシステムプロセスにロードできるようにします。許可されていないライブラリがシステム プロセスに読み込まれるのをブロックします。半年ごと、またはそれ以上の頻度で再評価します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (2.6) CSF (DE.CM-7) ISO (8.19) PCI (1.2.5、2.2.4)
CIS Control V8 2.7	許可リスト承認スクリプト: デジタル署名やバージョン管理などの技術的な制御を使用して、特定の .ps1、.py などのファイルなどの承認されたスクリプトのみが実行できるようにします。許可されていないスクリプトの実行をブロックします。半年ごと、またはそれ以上の頻度で再評価します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (2.7) CSF (PR.IP-1, PR.PT-3) NIST (CM-8) PCI (1.2.5、2.2.4、6.4.3)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
CIS Control V8 3.1	データ管理プロセスの確立と維持: データ管理プロセスを確立し、維持します。このプロセスでは、企業の機密性と保持度の基準に基づいて、データの機密性、データ所有者、データの処理、データ保持の制限、および廃棄の要件に対処します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 3.10	転送中の機密データを暗号化: 転送中の機密データを暗号化します。実装例としては、Transport Layer Security (TLS) や Open Secure Shell (OpenSSH) などがあります。	基本的な	Discovery	sn_disco_cert_mgmt_cmdb_installed_c	CIS v8 (3.10) CSF (PR.IP-6, PR.DS-2) ISO (5.1, 5.9, 8.1, 5.14) NIST (CM-7(1), CM-10) PCI (9.4, 9.4.2, 2.2.7, 4.1.1, 4.2.1, 4.2.1.2, 4.2.2, 8.3.2) CCM (DSP-01, DSP-06, GRC-03, CEK-03)
CIS Control V8 3.11	保存中の機密データを暗号化: 機密データを含むサーバー、アプリケーション、およびデータベースに保存されている機密データを暗号化します。ストレージレイヤー暗号化は、サーバー側暗号化とも呼ばれ、このセーフガードの最小要件を満たしています。追加の暗号化方法には、クライアント側暗号化とも呼ばれるアプリケーション層の暗号化が	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (3.11) CSF (PR.DS-1) ISO (5.33) NIST (CM-7) PCI (3.1.1, 3.3.2,

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	含まれる場合がありますが、データストレージデバイスへのアクセスではプレーンテキストデータへのアクセスが許可されません。				3.3.3, 3.5.1, 3.5.1.2, 3.5.1.3, 8.3.2) CCM (DSP-10, CEK-03)
CIS Control V8 3.12	感度に基づくセグメントデータ処理とストレージ: データの機密性に基づいてデータ処理とストレージをセグメント化します。機密性の低いデータを対象としたエンタープライズ資産の機密データを処理しないでください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 3.13	データ損失防止ソリューションを展開します。 ホストベースのデータ損失防止 (DLP) ツールなどの自動化ツールを実装して、オンサイトまたはリモートサービスプロバイダーにあるものを含め、エンタープライズ資産を通じて保存、処理、または送信されるすべての機密データを特定し、企業の機密データインベントリを更新します。	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (3.13) CSF (PR.DS-5) ISO (5.13, 8.12) NIST (CM-7) CCM (DSP-10, UEM-11)
CIS Control V8 3.14	機密データアクセスをログ記録: 変更や破棄を含む機密データへのアクセスをログに記録します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (3.14) ISO (-8.15) NIST (CM-7(1)) PCI (10.2.1、10.2.1.1) CCM (DSP-17、IAM-12、LOG-
CIS Control V8 3.2	データインベントリの確立と管理: 企業のデータ管理プロセスに基づいて、データインベントリを確立して維持します。少なくとも機密データをインベントリします。少なくとも	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	年に 1 回、機密データを優先して在庫を確認および更新します。				
CIS Control V8 3.3	データアクセス制御リストを設定します。 ユーザーの知る必要性に基づいて、データアクセス制御リストを設定します。データ アクセス制御リスト (アクセス許可とも呼ばれます) を、ローカルおよびリモートのファイルシステム、データベース、およびアプリケーションに適用します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (3.3) CSF (PR.AC-4) ISO (5.1, 5.15, 8.3, 8.4) NIST (SA-22) PCI (1.3.1, 7.1) CCM (DSP-17, IAM-05)
CIS Control V8 3.4	データ保持を強制: 企業のデータ管理プロセスに従ってデータを保持します。データ保持には、最小タイムラインと最大タイムラインの両方を含める必要があります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 3.5	データの安全な廃棄: 企業のデータ管理プロセスで概説されているように、データを安全に廃棄します。廃棄のプロセスと方法がデータの機密性に見合ったものであることを確認してください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 3.6	エンドユーザーデバイスのデータを暗号化: 機密データを含むエンドユーザーデバイスのデータを暗号化します。実装例としては、Windows BitLocker™、Apple FileVault™、Linux dm-crypt などがあります。	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (3.6) ISO (6.7, 7.1, 8.1) NIST (CM-100) CCM (CEK-03, UEM-08)
CIS Control V8 3.7	データ分類スキームを確立して管理します。 企業の全体的なデータ分類スキームを確立し、維持します。企業は、「機密」、「機密」、「公開」などのラベルを使用し、それらのラベル	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	に従ってデータを分類できます。分類スキームを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生したときに更新します。				
CIS Control V8 3.8	ドキュメントデータフロー: ドキュメント データ フロー。データ フローのドキュメントには、サービス プロバイダーのデータ フローが含まれており、企業のデータ管理プロセスに基づいている必要があります。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 3.9	リムーバブルメディア上のデータを暗号化: リムーバブル メディア上のデータを暗号化します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.1	安全な構成プロセスを確立して維持します。 エンタープライズ資産 (ポータブルおよびモバイルを含むエンドユーザーデバイス、非コンピューティング/IoT デバイス、およびサーバー) とソフトウェア (オペレーティングシステムとアプリケーション) の安全な構成プロセスを確立し、維持します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.10	ポータブルエンドユーザーデバイスに自動デバイスロックアウトを適用します。 サポートされている場合は、ポータブルエンドユーザーデバイスでの	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (4.10) CSF (PR.IP-1) ISO (8.1, 8.5, 8.9) NIST

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ローカル認証試行失敗の事前定義されたしきい値に従って自動デバイスロックアウトを強制します。ラップトップの場合、認証試行の失敗は 20 回を超えないようにしてください。タブレットとスマートフォンの場合、認証試行の失敗は10回以下です。実装の例には、InTune デバイス ロックとApple構成プロファイル maxFailedAttempts が含まれますMicrosoft。				(SI-7, PM-5(1)) PCI (1.1.1, 1.2.1, 1.2.6, 1.5.1, 1.2.7, 2.1.1, 2.2.1, 8.3.4) CCM (CCC-01, GRC-03, IVS-04)
CIS Control V8 4.11	ポータブルエンドユーザーデバイスにリモートワイプ機能を適用する: デバイスの紛失や盗難など、適切と思われる場合、または個人が企業をサポートしなくなった場合に、企業所有のポータブルエンドユーザーデバイスから企業データをリモートでワイプします。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.12	モバイルエンドユーザーデバイス上の個別のエンタープライズワークスペース: サポートされている場合は、モバイルエンドユーザーデバイスで個別のエンタープライズワークスペースが使用されていることを確認します。実装例としては、構成プロファイルまたはAndroid仕事用プロファイルを使用して、Appleエンタープライズ アプリケーションとデータを個人用アプリケーションとデータから分離することが含まれます。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.2	ネットワーク インフラストラクチャの安全な構成プロセスを確立して維持します。 ネットワークデバイスの安全な設定プロセスを確立し、維持します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。				
CIS Control V8 4.3	エンタープライズ資産の自動セッションロックの設定: 定義された非アクティブ期間の経過後にエンタープライズ資産に自動セッションロックを構成します。汎用オペレーティング システムの場合、期間は 15 分を超えてはなりません。モバイルエンドユーザーデバイスの場合、期間は2分を超えてはなりません。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (4.3) CSF (PR.IP-1) ISO (8.5, 8.9) PCI (8.2.8) CCM (UEM-06)
CIS Control V8 4.4	サーバーにファイアウォールを実装および管理します。 サポートされている場合は、サーバーにファイアウォールを実装および管理します。実装例としては、仮想ファイアウォール、オペレーティングシステムのファイアウォール、サードパーティのファイアウォールエージェントなどがあります。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (4.4) PCI (1.2.1、1.4.1)
CIS Control V8 4.5	エンドユーザーデバイスへのファイアウォールの実装と管理: 明示的に許可されているサービスとポートを除くすべてのトラフィックをドロップするデフォルトの拒否ルールを使用して、エンドユーザーデバイスにホストベースのファイアウォールまたはポートフィルタリングツールを実装および管理します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.6	エンタープライズ資産とソフトウェアを安全に管理: エンタープライズ資産とソフトウェアを安全に管理します。実装例としては、バージョン管理されたコードとしてのインフラストラクチャを使用した構成の管理や、Secure Shell (SSH) やハイパーテキスト転送プロトコル セキュア (HTTPS)	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	などのセキュアなネットワークプロトコルを介した管理インターフェイスへのアクセスなどがあります。Telnet (テレタイプ ネットワーク) や HTTP などの安全でない管理プロトコルは、運用上必要でない限り使用しないでください。				
CIS Control V8 4.7	エンタープライズ資産およびソフトウェアのデフォルトアカウントの管理: ルート、管理者、その他の事前設定されたベンダーアカウントなど、エンタープライズ資産およびソフトウェアのデフォルトアカウントを管理します。実装例としては、既定のアカウントを無効にしたり、使用できないようにしたりすることなどがあります。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (4.7) CSF (PR.AC-1) ISO (8.2, 8.9) NIST (SI-12) PCI (2.2.2, 2.3.1)
CIS Control V8 4.8	エンタープライズ資産とソフトウェア上の不要なサービスをアンインストールまたは無効にします。 未使用のファイル共有サービス、Web アプリケーションモジュール、サービス機能など、エンタープライズ資産およびソフトウェア上の不要なサービスをアンインストールするか、無効にします。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 4.9	エンタープライズ資産で信頼できる DNS サーバーを構成します。 エンタープライズ資産で信頼できる DNS サーバーを構成します。実装例には、エンタープライズ制御のDNSサーバーや信頼できる外部からアクセス可能なDNSサーバーを使用するように資産を構成することが含まれます。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (4.9) NIST (PM-5(1))
CIS Control V8 5.1	アカウントのインベントリを確立して管理します。 企業で管理されているすべてのアカウントのインベントリを確立して維	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	持します。インベントリには、ユーザー アカウントと管理者アカウントの両方が含まれている必要があります。インベントリには、少なくとも、個人の名前、ユーザー名、開始日/終了日、および部門が含まれている必要があります。すべてのアクティブなアカウントが、少なくとも四半期ごと、またはそれ以上の頻度で繰り返されるスケジュールで承認されていることを確認します。				
CIS Control V8 5.2	一意のパスワードを使用: すべてのエンタープライズ資産に対して一意のパスワードを使用します。ベスト プラクティスの実装には、MFA を使用するアカウントの場合は少なくとも 8 文字のパスワードと、MFA を使用していないアカウントの場合は 14 文字のパスワードが含まれます。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (5.2) ISO (5.17) NIST (AC-5) PCI (2.2.2、8.3.5、8.5.6、8.6 CCM (IAM-02)
CIS Control V8 5.3	休眠アカウントの無効化: サポートされている場合は、非アクティブ状態が 45 日間続いた後に休眠アカウントを削除または無効にします。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 5.4	管理者権限を専用の管理者アカウントに制限します。 エンタープライズ資産の専用管理者アカウントに管理者権限を制限します。ユーザーのプライマリ特権のないアカウントから、インターネット閲覧、電子メール、生産性スイートの使用などの一般的なコンピューティング アクティビティを実行します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 5.5	サービスアカウントのインベントリを確立して管理します。 サービスアカウントのインベントリを確立して管理します。インベントリには、少なくとも部門オーナー、	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	レビュー日、および目的が含まれている必要があります。サービスアカウントレビューを実行して、すべてのアクティブなアカウントが、少なくとも四半期ごと、またはそれ以上の頻度で繰り返しスケジュールで承認されていることを確認します。				
CIS Control V8 5.6	アカウント管理の一元化: ディレクトリまたは ID サービスを通じてアカウント管理を一元化します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.1	アクセスを許可するプロセスを確立します。 新規雇用、権限の付与、またはユーザーのロールの変更時にエンタープライズ資産へのアクセスを許可するためのプロセスを確立し、それに従います (できれば自動化)。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.2	アクセス取り消しプロセスを確立します。 ユーザーの退職、権限の取り消し、またはロールの変更直後にアカウントを無効にするなど、エンタープライズ資産へのアクセスを取り消すプロセスを確立してそれに従います (できれば自動化)。監査証跡を保持するために、アカウントを削除する代わりにアカウントを無効にする必要がある場合があります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.3	外部に公開されたアプリケーションに MFA を要求: サポートされている場合は、外部に公開されているすべてのエンタープライズまたはサードパーティ製アプリケーションに MFA の適用を要求します。ディレクトリ サービスまたは SSO プロバイダーを通じて MFA を適用することは、このセーフガードの十分な実装です。	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
CIS Control V8 6.4	リモートネットワークアクセスに MFA を要求します。 リモート ネットワーク アクセスに MFA を要求します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.5	管理アクセスに MFA を要求: サポートされている場合は、オンサイトで管理されているか、サードパーティのプロバイダーを介して管理されているかに関係なく、すべてのエンタープライズ資産のすべての管理アクセスアカウントに対して MFA を要求します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.6	認証および承認システムのインベントリを確立して維持します。 オンサイトまたはリモートサービスプロバイダーでホストされているものを含む、企業の認証および承認システムのインベントリを確立して維持します。少なくとも、年に 1 回、またはそれ以上の頻度で、インベントリを確認および更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.7	アクセス制御の一元化: サポートされている場合は、ディレクトリサービスまたは SSO プロバイダーを使用して、すべてのエンタープライズ資産のアクセス制御を一元化します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 6.8	ロールベースのアクセス制御を定義および管理します。 企業内の各ロールが割り当てられた職務を正常に遂行するために必要なアクセス権を決定および文書化することにより、ロールベースのアクセス制御を定義および維持します。エンタープライズ資産のアクセス制御レビューを実行して、すべての特権が、少なくとも年に 1 回、またはそれ以上の頻度で繰り返しスケ	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ジュールで承認されていることを確認します。				
CIS Control V8 7.1	脆弱性管理プロセスを確立して維持します。 エンタープライズ資産の脆弱性管理プロセスを文書化して確立し、維持します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 7.2	修復プロセスを確立して維持します。 リスクベースの修復戦略を確立して維持し、毎月またはそれ以上の頻度でレビューを行い、修復プロセスで文書化します。	基本的な	VR	sn_vul_m2m_cis_v8	srv_status (7.2) CSF (ID.RA-1) ISO (8.8) NIST (IA-5) PCI (6.3.1、6.4.1) CCM (A&A-03、TVM-08、
CIS Control V8 7.3	オペレーティング システムの自動パッチ管理を実行します。 毎月またはそれ以上の頻度で、自動パッチ管理を通じてエンタープライズ資産のオペレーティングシステムの更新を実行します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 7.4	自動アプリケーションパッチ管理を実行: 毎月またはそれ以上の頻度で、自動パッチ管理を通じてエンタープライズ資産のアプリケーション更新を実行します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 7.5	社内のエンタープライズ資産の自動脆弱性スキャンを実行: 四半期ごとまたはそれ以上の頻度で、社内のエンタープライズ資産の自動脆弱性スキャンを実行する。SCAP 準拠の脆弱性スキャンツールを使用して、認証済みスキャ	基本的な	VR	sn_vul_ds_import_q	CIS v8 (7.5) CSF (DE.CM-8) ISO (8.8) NIST (SC-8(1)) PCI (11.3.1、11.3.1.1、11.3.1 CCM (TVM-07)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ンと非認証スキャンの両方を実行します。				
CIS Control V8 7.6	外部に公開されたエンタープライズ資産の自動脆弱性スキャンを実行: SCAP 準拠の脆弱性スキャンツールを使用して、外部に公開されたエンタープライズ資産の自動脆弱性スキャンを実行します。毎月、またはそれ以上の頻度でスキャンを実行します。	基本的な	VR	sn_vul_ds_import_q_entry	
CIS Control V8 7.7	検出された脆弱性を修正: 修復プロセスに基づいて、プロセスとツールを通じてソフトウェアで検出された脆弱性を月次またはそれ以上の頻度で修復します。	基本的な	VR	sn_vul_app_vulnerability	CIS v8 (7.7) ISO (8.8) NIST (SC-28) PCI (11.3.1、11.3.2、11.3.2.1) CCM (TVM-03)
CIS Control V8 8.1	監査ログ管理プロセスを確立して維持します。 企業のログ記録要件を定義する監査ログ管理プロセスを確立し、維持します。少なくとも、エンタープライズ資産の監査ログの収集、レビュー、および保持に対処します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.1	監査ログの保持: エンタープライズ資産全体の監査ログを最低 90 日間保持します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.11	監査ログレビューの実施: 監査ログのレビューを実施して、潜在的な脅威を示す可能性のある異常または異常なイベントを検出しま	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	す。毎週、またはそれ以上の頻度でレビューを実施します。				
CIS Control V8 8.12	サービスプロバイダーのログを収集: サポートされている場合は、サービス プロバイダーのログを収集します。実装例には、認証イベントと承認イベント、データの作成と破棄イベント、ユーザー管理イベントの収集などがあります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.2	監査ログの収集: 監査ログを収集します。企業の監査ログ管理プロセスに従って、エンタープライズ資産全体でログ記録が有効になっていることを確認します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (8.2) CSF (PR.PT-1, DE.AE-3) ISO (8.15, 8.2) PCI (5.3.4, 6.4.1, 6.4.2, 10.2.1, 10.2.1.1, 10.2.1.2, 10.2.1.3, 10.2.1.4, 10.2.1.5, 10.2.1.6, 10.2.1.7, 10.2.2) CCM (LOG-08)
CIS Control V8 8.3	適切な監査ログのストレージを確保する: ロギングの宛先が、企業の監査ログ管理プロセスに準拠するのに十分なストレージを維持していることを確認します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.4	時刻同期の標準化: 時刻同期を標準化します。サポートされている場合は、エンタープライズ資産全体で少なくとも 2 つの同	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	期されたタイム ソースを構成します。				
CIS Control V8 8.5	詳細な監査ログを収集します。 機密データを含むエンタープライズ資産の詳細な監査ログを構成します。イベントソース、日付、ユーザー名、タイムスタンプ、ソースアドレス、宛先アドレス、およびフォレンジック調査に役立つその他の有用な要素を含めます。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.6	DNS クエリ監査ログを収集します。 エンタープライズ資産の DNS クエリ監査ログを、適切でサポートされている場合に収集します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.7	URL 要求監査ログを収集: エンタープライズ資産の URL 要求監査ログ (適切でサポートされている場合) を収集します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.8	コマンド ライン監査ログを収集します。 コマンド ライン監査ログを収集します。実装例として ™ は、PowerShell 、BASH 、およびリモート管理端末からの監査ログの収集があります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 8.9	監査ログの一元化: 監査ログの収集と保持を企業資産全体で可能な限り一元化します。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (8.9) NIST (AU-12) PCI (10.3.3)
CIS Control V8 9.1	完全にサポートされているブラウザーとメールクライアントのみの使用を確保： 完全にサポートされているブラウザーとメールクライアントのみを企	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (9.1) CSF (PR.IP-1) ISO (8.1) NIST (CM-2)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	業で実行できるようにし、ベンダーを通じて提供されている最新バージョンのブラウザーとメールクライアントのみを使用します。				
CIS Control V8 9.2	DNS フィルタリング サービスを使用します。 すべてのエンタープライズ資産でDNSフィルタリングサービスを使用して、既知の悪意のあるドメインへのアクセスをブロックします。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 9.3	ネットワークベースの URL フィルタを維持および適用します。 ネットワークベースの URL フィルターを適用および更新して、エンタープライズ資産が悪意のある可能性がある Web サイトや未承認の Web サイトに接続するのを制限します。実装例としては、カテゴリベースのフィルタリング、レピュテーションベースのフィルタリング、またはブロックリストの使用などがあります。すべてのエンタープライズ資産にフィルターを適用します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (9.3) CSF (PR.AC-5) ISO (8.7, 8.23) NIST (CM-7) PCI (1.2.6, 1.4.2)
CIS Control V8 9.4	不要または許可されていないブラウザおよび電子メールクライアントの拡張機能を制限します。 承認されていない、または不要なブラウザーまたはメールクライアントのプラグイン、拡張機能、およびアドオンアプリケーションをアンインストールまたは無効化することによって制限します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (9.4) CSF (PR.IP-1) NIST (CM-7(1)) PCI (2.2.4)
CIS Control V8 9.5	DMARC の実装: 有効なドメインからのなりすましや改ざんされたメールの可能性を下げるには、送信者ポリシーフレームワーク(SPF)とドメインキー識別メール(DKIM)標準の実装から始め	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	て、DMARCポリシーと検証を実装します。				
CIS Control V8 9.6	不要なファイルタイプをブロックする: 企業の電子メールゲートウェイに入ろうとする不要なファイルタイプをブロックします。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 9.7	メールサーバーのマルウェア対策保護の展開と維持: 添付ファイルのスキャンやサンドボックス化など、電子メール サーバーのマルウェア対策保護を展開して維持します。	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (9.7) CSF (DE.CM-4) ISO (8.7) NIST (SA-80) PCI (5.2.1、5.4.1) CCM (TVM-02)
CIS Control V8 10.1	マルウェア対策ソフトウェアの展開と保守: マルウェア対策ソフトウェアをすべてのエンタープライズ資産に展開して維持します。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (10.1) CSF (DE.CM-4) ISO (8.1, 8.7) NIST (SA-10) PCI (5.1.1, 5.2.1, 5.2.2, 5.3.2) CCM (TVM-02, UEM-09)
CIS Control V8 10.2	マルウェア対策署名の自動更新の構成: すべてのエンタープライズ資産のマルウェア対策署名ファイルの自動更新を構成します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 10.3	リムーバブルメディアの自動実行と自動再生を無効にします。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (10.3) CSF (PR.PT-2) ISO (7.1)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	リムーバブルメディアの自動実行と自動再生の自動実行機能を無効にします。				NIST (AC-18(1))
CIS Control V8 10.4	リムーバブルメディアの自動マルウェア対策スキャンの設定: リムーバブル メディアを自動的にスキャンするようにマルウェア対策ソフトウェアを構成します。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (10.4) CSF (DE.CM-4) ISO (7.1, 8.7) NIST (AC-18(3)) PCI (5.3.3)
CIS Control V8 10.5	エクスプロイト対策機能を有効にします。 可能な場合は、データ実行防止 (DEP)、 Windows Defender Exploit Guard (WDEG)、システム整合性保護 (SIP)、Appleゲートキーパー などのMicrosoftエンタープライズ資産とソフトウェアのエクスプロイト対策機能を有効にします。	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (10.5) CSF (DE.CM-4) ISO (8.7) NIST (CM-2)
CIS Control V8 10.6	マルウェア対策ソフトウェアを一元管理: マルウェア対策ソフトウェアを一元管理します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 10.7	挙動ベースのマルウェア対策ソフトウェアを使用する: 動作ベースのマルウェア対策ソフトウェアを使用します。	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (10.7) CSF (DE.CM-4) ISO (8.1, 8.7) NIST (CM-7) PCI (5.3.2)
CIS Control V8 11.1	データ回復プロセスを確立して維持する: データ回復プロセスを確立して維持します。このプロセスでは、データ回復アクティビティの範囲、回復の優先順位付け、およびバックアップ データのセキュリティに対	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	処します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。				
CIS Control V8 11.2	自動バックアップの実行: スコープ内のエンタープライズ資産の自動バックアップを実行します。データの機密性に基づいて、毎週、またはそれ以上の頻度でバックアップを実行します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 11.3	リカバリデータの保護: 元のデータと同等の制御で回復データを保護します。要件に基づく参照暗号化またはデータ分離。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 11.4	リカバリデータの分離されたインスタンスを確立して維持する: 回復データの分離されたインスタンスを確立して維持します。実装例には、オフライン、クラウド、またはオフサイトのシステムまたはサービスを介したバックアップ先のバージョン管理が含まれます。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 11.5	テストデータ復旧: バックアップの復旧を四半期ごとに、またはより頻繁にテストして、スコープ内のエンタープライズ資産のサンプリングを確認します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.1	ネットワーク インフラストラクチャが最新であることの確認: ネットワーク インフラストラクチャが最新の状態に保たれていることを確認します。実装例としては、ソフトウェアの最新の安定版リリースの実行や、現在サポートされているサービスとしてのネットワーク (NaaS) オファリングの使用などがあります。毎月、またはそれ以上の	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	頻度でソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアのサポートを検証します。				
CIS Control V8 12.2	安全なネットワークアーキテクチャの確立と維持: 安全なネットワークアーキテクチャを確立し、維持します。セキュリティで保護されたネットワークアーキテクチャは、少なくともセグメンテーション、最小特権、および可用性に対処する必要があります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.3	ネットワークインフラストラクチャを安全に管理: ネットワーク インフラストラクチャを安全に管理します。実装の例には、バージョン管理されたコードとしてのインフラストラクチャ、SSH や HTTPS などのセキュリティで保護されたネットワーク プロトコルの使用などがあります。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.4	アーキテクチャ図の確立と維持: アーキテクチャ図やその他のネットワークシステムのドキュメントを確立し、維持します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.5	ネットワーク認証、許可、および監査(AAA)を一元化します。 ネットワーク AAA を一元化します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.6	安全なネットワーク管理および通信プロトコルの使用: 安全なネットワーク管理および通信プロトコル (802.1X、Wi-Fi Protected Access 2 (WPA2)	基本的な	VR	sn_vulc_result	CIS v8 (12.6) CSF (PR.AC-7, PR.DS-2) ISO (8.21)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	Enterprise 以降など) を使用します。				NIST (SC-7(5))
CIS Control V8 12.7	リモート デバイスが VPN を利用し、企業の AAA インフラストラクチャに接続していることを確認します。 エンドユーザーデバイスのエンタープライズリソースにアクセスする前に、エンタープライズ管理の VPN および認証サービスに対する認証をユーザーに要求します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 12.8	すべての管理作業のための専用のコンピューティングリソースを確立して維持します。 すべての管理タスクまたは管理アクセスを必要とするタスクのために、物理的または論理的に分離された専用のコンピューティングリソースを確立して維持します。コンピューティングリソースは、企業のプライマリネットワークからセグメント化する必要があり、インターネットアクセスを許可しないでください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 13.1	セキュリティイベントアラートの一元化: ログの相関付けと分析のために、エンタープライズ資産全体のセキュリティイベントアラートを一元化します。ベストプラクティスの実装では、ベンダー定義のイベント相関アラートを含むSIEMを使用する必要があります。セキュリティ関連の相関アラートで構成されたログ分析プラットフォームも、このセーフガードを満たしています。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 13.1	アプリケーション層のフィルタリングを実行します。 アプリケーション層のフィルタリングを実行します。実装例としては、フィルタリング プロキシ、アプリ	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ケーション層ファイアウォール、ゲートウェイなどがあります。				
CIS Control V8 13.11	セキュリティイベントアラートしきい値の調整: セキュリティイベントアラートしきい値を毎月、またはそれ以上の頻度で調整します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 13.2	ホストベースの侵入検知ソリューションを展開します。 ホストベースの侵入検知ソリューションをエンタープライズ資産に展開します (適切またはサポートされている場合)。	基本的な	CMDB	cmdb_rel_ci	CIS v8 (13.2) CSF (DE.CM-1) ISO (8.16) NIST (CM-6) PCI (6.4.2)
CIS Control V8 13.3	ネットワーク侵入検知ソリューションを展開します。 必要に応じて、ネットワーク侵入検知ソリューションをエンタープライズ資産に展開します。実装例としては、ネットワーク侵入検知システム (NIDS) または同等のクラウドサービスプロバイダー (CSP) サービスの使用などがあります。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (13.3) CSF (DE.CM-1) ISO (8.16, 8.21) NIST (CM-7) PCI (11.5.1, 12.10.5) CCM (IVS-09)
CIS Control V8 13.4	ネットワーク セグメント間でトラフィック フィルタリングを実行します。 必要に応じて、ネットワーク セグメント間でトラフィックのフィルタリングを実行します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 13.5	リモート資産のアクセス制御の管理: エンタープライズリソースにリモート接続する資産のアクセス制御を管理します。以下に基づいてエンター	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	プライズリソースへのアクセスの量を決定します:インストールされている最新のマルウェア対策ソフトウェア。企業の安全な構成プロセスへの構成コンプライアンス。オペレーティングシステムとアプリケーションが最新であることを確認します。				
CIS Control V8 13.6	ネットワーク トラフィック フローログを収集します。 ネットワーク トラフィック フローログやネットワーク トラフィックを収集して、ネットワーク デバイスから確認してアラートを生成します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 13.7	ホストベースの侵入防御ソリューションを展開します。 ホストベースの侵入防止ソリューションをエンタープライズ資産に展開します (適切またはサポートされている場合)。実装例には、Endpoint Detection and Response (EDR) クライアントまたはホストベースの IPS エージェントの使用が含まれます。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (13.7) CSF (DE.CM-1) ISO (8.8) NIST (AC-7)
CIS Control V8 13.8	ネットワーク侵入防止ソリューションを展開します。 必要に応じて、ネットワーク侵入防止ソリューションを展開します。実装例としては、ネットワーク侵入防止システム (NIPS) または同等の CSP サービスの使用が含まれます。	基本的な	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (13.8) CSF (DE.CM-1) ISO (8.8) NIST (AC-19) PCI (6.4.2、11.5.1、12.10.5) CCM (IVS-09)
CIS Control V8 13.9	ポートレベルのアクセス制御を展開します。 ポートレベルのアクセス制御を展開します。ポートレベルのアクセス制御は、802.1x、または証明書などの同様のネットワークアクセス制御	基本的な	CMDB	cmdb_ci_endpoint_acl	CIS v8 (13.9) CSF (PR.AC-1) ISO (8.8) NIST (AC-19) PCI

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	プロトコルを利用し、ユーザーやデバイスの認証を組み込むことができます。				(1.2.1, 1.2.5, 1.2.6, 2.2.4) CCM (IVS-03)
CIS Control V8 14.1	セキュリティ認識向上プログラムを確立して維持します。 セキュリティ認識向上プログラムを確立し、維持します。セキュリティ認識向上プログラムの目的は、企業の資産とデータを安全な方法で操作する方法について、企業の従業員を教育することです。雇用時、少なくとも毎年トレーニングを実施します。年に 1 回、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに、コンテンツを確認および更新します。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.1) CSF (ID.AM-6, ID.GV-1, PR.AT-1) ISO (6.3) NIST (SC-39) PCI (12.6, 12.6.1, 12.6.2, 12.6.3, 12.6.3.2) CCM (GRC-05, HRS-11, GRC-03)
CIS Control V8 14.2	ソーシャルエンジニアリング攻撃を認識するように従業員メンバーをトレーニングします。 フィッシング、プレテキストメッセージ、テールゲートなどのソーシャルエンジニアリング攻撃を認識するように従業員メンバーをトレーニングします。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.2) CSF (PR.AT-1) ISO (8.7) PCI (12.6.3.1) CCM (HRS-11)
CIS Control V8 14.3	認証のベストプラクティスについて従業員メンバーをトレーニングします。 認証のベストプラクティスについて従業員メンバーをトレーニングします。トピックの例には、MFA、パスワード構成、および資格情報管理が含まれます。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.3) CSF (PR.AT-1) ISO (6.3) PCI (8.3.8) CCM (GRC-05, HRS-11)
CIS Control V8 14.4	データ処理のベストプラクティスについて従業員をトレーニングします。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.4) CSF

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	機密データを特定し、適切に保存、転送、アーカイブ、破棄する方法について、従業員メンバーをトレーニングします。これには、エンタープライズ資産から離れたときに画面をロックする、会議の最後に物理および仮想のホワイトボードを消去する、データと資産を安全に保存するなど、明確な画面とデスクのベストプラクティスに関する従業員のトレーニングも含まれます。				(PR.AT-1) ISO (5.1) NIST (AC-2) CCM (DSP-17, GRC-01, HRS-03, HRS-12)
CIS Control V8 14.5	意図しないデータ漏えいの原因について従業員をトレーニングします。 意図しないデータ漏えいの原因を認識するように人員メンバーをトレーニングします。トピックの例としては、機密データの誤配信、ポータブルエンドユーザーデバイスの紛失、意図しない対象者へのデータの公開などがあります。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.5) CSF (PR.AT-1) ISO (6.3) NIST (IA-5(1)) CCM (GRC-01, HRS-11)
CIS Control V8 14.6	セキュリティインシデントの認識とレポートについて、人員メンバーをトレーニングします。 潜在的なインシデントを認識し、そのようなインシデントを報告できるように、人員メンバーをトレーニングします。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.6) CSF (PR.AT-1) ISO (6.8) NIST (AC-2(3)) CCM (HRS-11)
CIS Control V8 14.7	エンタープライズ資産にセキュリティ更新プログラムがない場合に識別して報告する方法について、従業員をトレーニングします。 古いソフトウェアパッチや、自動化されたプロセスやツールの障害を検証してレポートする方法を理解するよう、従業員をトレーニングします。このトレーニングの一部には、自動化されたプロセスとツールの障害をIT担当者に通知することを含める必要があります。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.7) CSF (PR.AT-1) ISO (6.3) NIST (AC-6(2)) CCM (HRS-11)
CIS Control V8 14.8	安全でないネットワークを介して企業データに接続して送信することの	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.8) CSF

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	危険性について、従業員をトレーニングします。 企業活動のために安全でないネットワークに接続し、データを送信する危険性について、従業員メンバーをトレーニングします。企業にリモートワーカーがいる場合、トレーニングには、すべてのユーザーがホームネットワークインフラストラクチャを安全に構成するためのガイダンスを含める必要があります。				(PR.AT-1) ISO (6.3) NIST (AC-6(5)) PCI (12.6.3.2) CCM (GRC-01, HRS-04)
CIS Control V8 14.9	ロール固有のセキュリティ認識とスキルのトレーニングを実施します。 ロール固有のセキュリティ認識とスキルのトレーニングを実施する。実装例としては、ITプロフェッショナル向けの安全なシステム管理コース(Webアプリケーション開発者向けのOWASP トップ10の脆弱性認識と防止トレーニング、および著名な役割向けの高度なソーシャルエンジニアリング認識トレーニング)が含まれます。	基本的な	Learning コア	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (14.9) CSF (PR.AT-1, PR.AT-2, R.AT-4, PR.AT-5) ISO (6.3) NIST (AC-2) PCI (9.5.1, 9.5.1.3, 12.10.40 CCM (HRS-09, HRS-12)
CIS Control V8 15.1	サービスプロバイダーのインベントリを確立して維持します。 サービスプロバイダーのインベントリを確立して維持します。インベントリは、すべての既知のサービスプロバイダーをリストし、分類を含めて、各サービスプロバイダーのエンタープライズ連絡先を指定するためのものです。在庫を年に 1 回確認して更新するか、この Safeguard に影響を与える可能性のある重要な企業変更が発生したときに更新します。	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.1) CSF (ID.SC-2) ISO (5.19) NIST (AC-2(1)) PCI (12.8.1) CCM (STA-07)
CIS Control V8 15.2	サービスプロバイダー管理ポリシーの確立と維持:	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	サービスプロバイダー管理ポリシーを確立して維持します。ポリシーがサービスプロバイダーの分類、インベントリ、アセスメント、監視、および廃止に対応していることを確認します。ポリシーを年に 1 回、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生したときに、確認および更新します。				
CIS Control V8 15.3	サービスプロバイダーの分類: サービスプロバイダーを分類します。分類の考慮事項には、データの機密性、データ量、可用性要件、適用される規制、固有リスク、軽減されたリスクなど、1 つ以上の特性が含まれる場合があります。分類を年に 1 回更新して見直すか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新およびレビューする。	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.3) CSF (ID.SC-2) ISO (5.19) PCI (12.8.5) CCM (GRC-02, STA-08)
CIS Control V8 15.4	サービスプロバイダー契約に次のセキュリティ要件が含まれていることを確認します。 サービスプロバイダーの契約にセキュリティ要件が含まれていることを確認します。要件の例には、最小セキュリティプログラム要件、セキュリティインシデントおよび/またはデータ侵害の通知と応答、データ暗号化要件、およびデータ廃棄コミットメントが含まれる場合があります。これらのセキュリティ要件は、企業のサービスプロバイダー管理ポリシーと一致する必要があります。サービスプロバイダーの契約を 1 年に 1 回レビューし、契約にセキュリティ要件が備わっていないことを確認します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 15.5	サービスプロバイダーの評価: 企業のサービスプロバイダー管理ポリシーに準拠したサービスプロバイ	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.5) CSF (ID.SC-4, ID.SC-2)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ダーを評価します。評価の範囲は分類によって異なる場合があり、サービス組織コントロール 2 (SOC 2) やペイメントカード業界 (PCI) コンプライアンス証明書 (AoC)、カスタマイズされたアンケート、またはその他の適切に厳格なプロセスなどの標準化された評価レポートのレビューが含まれる場合があります。サービスプロバイダーを年に 1 回、最低でも再評価するか、新規契約や更新契約で再評価します。				ISO (5.19) NIST (IA-5) PCI (12.8.3) CCM (STA-12, STA-13)
CIS Control V8 15.5	サービスプロバイダーの評価: 企業のサービスプロバイダー管理ポリシーに準拠したサービスプロバイダーを評価します。評価の範囲は分類によって異なる場合があり、サービス組織コントロール 2 (SOC 2) やペイメントカード業界 (PCI) コンプライアンス証明書 (AoC)、カスタマイズされたアンケート、またはその他の適切に厳格なプロセスなどの標準化された評価レポートのレビューが含まれる場合があります。サービスプロバイダーを年に 1 回、最低でも再評価するか、新規契約や更新契約で再評価します。	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.5) CSF (ID.SC-4, ID.SC-2) ISO (5.22, 5.23) NIST (IA-5) PCI (12.8.30) CCM (STA-12, STA-13)
CIS Control V8 15.6	サービスプロバイダーの監視: 企業のサービスプロバイダー管理ポリシーに準拠したサービスプロバイダーを監視します。監視には、サービスプロバイダーのコンプライアンスの定期的な再評価、サービスプロバイダーのリリースノートの監視、ダークウェブの監視が含まれる場合があります。	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.6) CSF (DE.CM-6) ISO (5.2, 5.19, 5.21, 5.22) NIST (AC-1) PCI (8.2.7, 12.4.2, 12.4.2.1, 12.8.4 CCM (STA-14)
CIS Control V8 15.7	サービスプロバイダーの安全なデコミッション:	基本的な	VRM	core_company	CIS v8 (15.7) CSF

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	サービスプロバイダーを安全にデコミッションします。考慮事項の例としては、ユーザー アカウントとサービス アカウントの非アクティブ化、データ フローの終了、サービス プロバイダー システム内のエンタープライズ データの安全な廃棄などがあります。				(PR.AC-1) ISO (5.19, 5.2) NIST (AC-2, AC-2(1))
CIS Control V8 16.1	安全なアプリケーション開発プロセスを確立して維持します。 安全なアプリケーション開発プロセスを確立し、維持します。このプロセスでは、安全なアプリケーション設計標準、安全なコーディングプラクティス、開発者トレーニング、脆弱性管理、サードパーティコードのセキュリティ、アプリケーションセキュリティテスト手順などの項目に対処します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.1	アプリケーションアーキテクチャに安全な設計原則を適用する: 安全な設計原則をアプリケーション アーキテクチャに適用します。セキュリティで保護された設計の原則には、最小特権の概念と、ユーザーが行うすべての操作を検証するためのメディエーションの適用が含まれ、"ユーザー入力を信頼しない" という概念が促進されます。たとえば、サイズ、データ型、許容範囲や形式など、すべての入力について明示的なエラーチェックが実行され、文書化されていることを確認します。セキュリティで保護された設計は、保護されていないポートとサービスのオフ、不要なプログラムとファイルの削除、既定のアカウントの名前変更や削除など、アプリケーション インフラストラクチャの攻撃対象領域を最小限に抑えることも意味します。	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
CIS Control V8 16.11	アプリケーションセキュリティコンポーネント用に検証済みのモジュールまたはサービスを活用します。 ID 管理、暗号化、監査、ログ記録などのアプリケーション セキュリティ コンポーネントに対して、検証済みのモジュールまたはサービスを活用します。重要なセキュリティ機能でプラットフォーム機能を使用すると、開発者の作業負荷が軽減され、設計エラーや実装エラーの可能性が最小限に抑えられます。最新のオペレーティング システムは、識別、認証、および承認のための効果的なメカニズムを提供し、それらのメカニズムをアプリケーションで使用できるようにします。標準化され、現在受け入れられ、広範囲にわたってレビューされている暗号化アルゴリズムのみを使用してください。オペレーティング システムには、セキュリティで保護された監査ログを作成および維持するためのメカニズムも用意されています。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.12	コード レベルのセキュリティ チェックを実装します。 アプリケーションのライフサイクル内で静的および動的分析ツールを適用して、安全なコーディングプラクティスに従っていることを確認します。	マニュアル	NA		
CIS Control V8 16.13	アプリケーションのペネトレーションテストを実施します。 アプリケーションのペネトレーションテストを実施します。重要なアプリケーションの場合、認証された侵入テストは、コードスキャンや自動セキュリティテストよりもビジネスロジックの脆弱性の検出に適しています。ペネトレーションテストは、認証済みユーザーと非認証ユーザーとしてアプリケーションを手動で操	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	作するテスターのスキルに依存しています。				
CIS Control V8 16.14	脅威モデルの実施: 脅威のモデル化を実行します。脅威モデリングは、コードを作成する前に、設計内のアプリケーション セキュリティ設計の欠陥を特定して対処するプロセスです。これは、アプリケーションの設計を評価し、各エントリポイントとアクセスレベルのセキュリティリスクを評価する特別な訓練を受けた個人を通じて実施されます。目標は、アプリケーション、アーキテクチャ、およびインフラストラクチャを構造化された方法でマッピングし、その弱点を理解することです。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.2	ソフトウェアの脆弱性を受け入れて対処するプロセスを確立および維持します。 外部エンティティが報告する手段を提供するなど、ソフトウェアの脆弱性の報告を受け入れて対処するプロセスを確立および維持します。このプロセスには、レポートプロセスを特定する脆弱性処理ポリシー、脆弱性レポートを処理する責任者、取り込み、アサイン、修復、修復テストのプロセスなどのアイテムを含めます。プロセスの一部として、重大度評価と、脆弱性の特定、分析、修復のタイミングを測定するための測定基準を含む脆弱性追跡システムを使用します。ドキュメントを年に 1 回確認して更新するか、またはこの Safeguard に影響を与える可能性のある企業における重大な変更が発生したときに更新します。	基本的な	VR	sn_vul_remediation_task	CIS v8 (16.2) CSF (RS.AN-5) ISO (8.8) NIST (AC-2) PCI (6.3.1) CCM (AIS-07, AIS-03)
CIS Control V8 16.3	セキュリティ脆弱性の根本原因分析を実行: セキュリティ脆弱性の根本原因分析を実行します。脆弱性を確認する場合、根本原因分析は、コードに脆	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	弱性を作成する根本的な問題を評価するタスクであり、開発チームは、個々の脆弱性が発生したときに修正するだけではありません。				
CIS Control V8 16.4	サードパーティ製ソフトウェアコンポーネントのインベントリを確立および管理します。 開発で使用されるサードパーティ製コンポーネント (「部品表」と呼ばれることが多い) と、将来使用する予定のコンポーネントの更新された在庫を確立して管理します。このインベントリには、各サードパーティコンポーネントがもたらす可能性のあるリスクを含めます。少なくとも月に 1 回はリストを評価して、これらのコンポーネントに対する変更や更新を特定し、コンポーネントがまだサポートされていることを検証します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.5	最新の信頼できるサードパーティ製ソフトウェアコンポーネントを使用する: 最新の信頼できるサードパーティ製ソフトウェアコンポーネントを使用します。可能であれば、適切なセキュリティを提供する確立され実績のあるフレームワークとライブラリを選択してください。使用前に、信頼できるソースからこれらのコンポーネントを入手するか、ソフトウェアの脆弱性を評価してください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.6	アプリケーションの脆弱性に対する深刻度評価システムとプロセスを確立し、維持します。 検出された脆弱性を修正する順序の優先順位付けを容易にする、アプリケーションの脆弱性の重大度評価システムとプロセスを確立して維持します。このプロセスには、コードまたはアプリケーションをリリースするためのセキュリティ受容性の最小	基本的な	VR	sn_vul_vulnerable_item	CIS L2 (16.6) CSF (RS.AN-1) ISO (8.8) NIST (AC-19) PCI (6.3.1) CCM (AIS-07, TVM-08)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	レベルの設定が含まれます。深刻度評価は、脆弱性をトリアージする体系的な方法をもたらし、リスク管理を改善し、最も重大なバグが最初に修正されるようにするのに役立ちます。システムとプロセスを毎年確認および更新します。				
CIS Control V8 16.7	アプリケーションインフラストラクチャの標準ハードニング構成テンプレートを使用します。 アプリケーションインフラストラクチャコンポーネントには、業界で推奨される標準のハードニング構成テンプレートを使用します。これには、基盤となるサーバー、データベース、および Web サーバーが含まれ、クラウド コンテナー、サービスとしてのプラットフォーム (PaaS) コンポーネント、および SaaS コンポーネントに適用されます。自社開発のソフトウェアで構成の強化を弱めないようにしてください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 16.8	本番システムと非本番システムを分離： 本番システムと非本番システムで別々の環境を維持します。	スクリプト	CMDB	cmdb_ci	CIS v8 (16.8) CSF (PR.DS-7) ISO (8.31) NIST (IA-2(2)) PCI (6.5.3) CCM (IVS-05)
CIS Control V8 16.9	アプリケーション・セキュリティの概念とセキュア・コーディングについて開発者をトレーニングします。 すべてのソフトウェア開発担当者が、特定の開発環境と責任に合わせて安全なコードを記述するためのトレーニングを受けられるようにします。トレーニングには、一般的なセキュリティ原則とアプリケーションセキュリティの標準プラクティスが	基本的なコア	Learning	sn_lc_user_course_activity	CIS v8 (16.9) CSF (PR.AT-1, PR.AT-2) ISO (8.28) NIST (IA-2(1)) PCI (6.2.2)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	含まれます。少なくとも年に 1 回トレーニングを実施し、開発チーム内のセキュリティを促進する方法で設計し、開発者の間でセキュリティの文化を構築します。				
CIS Control V8 17.1	インシデント処理を管理する担当者を指定します。 企業のインシデント処理プロセスを管理する 1 人のキーパーソンと少なくとも 1 人のバックアップを指定します。管理担当者は、インシデント応答と復旧作業の調整と文書化を担当し、企業内部の従業員、サードパーティベンダー、またはハイブリッドアプローチで構成できます。サードパーティベンダーを使用している場合は、サードパーティの作業を監督する社内の担当者を少なくとも 1 人指名します。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生した場合にレビューします。	基本的な	SIR	sys_user_has_role	CIS v8 (17.1) CSF (PR.IP-9, DE.DP-1) ISO (5.24) NIST (AC-5) PCI (12.10.3, 12.10.4) CCM (BCR-01, SEF-03)
CIS Control V8 17.2	セキュリティインシデントを報告するための連絡先情報を確立して管理します。 セキュリティインシデントを通知する必要がある関係者の連絡先情報を確立して管理します。連絡先には、社内スタッフ、サードパーティベンダー、法執行機関、サイバー保険会社、関連する政府機関、情報共有および分析センター (ISAC) パートナー、またはその他の利害関係者が含まれる場合があります。連絡先を毎年検証して、情報が最新であることを確認します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 17.3	インシデントを報告するためのエンタープライズプロセスを確立し、維持します。 人員がセキュリティインシデントを報告するためのエンタープライズプロセスを確立し、維持します。このプロセスには、報告の時間枠、報告	基本的な	SIR	kb_knowledge	CIS v8 (17.3) CSF (PR.IP-9, PR.AT-1) ISO (6.8) NIST (AC-6(1))

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	する担当者、報告のメカニズム、および報告する最小限の情報が含まれます。プロセスがすべての人員に公開されるように確保します。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生した場合にレビューします。				PCI (12.10)
CIS Control V8 17.4	インシデント応答プロセスを確立して維持します。 役割と責任、コンプライアンス要件、およびコミュニケーション計画に対応するインシデント応答プロセスを確立し、維持します。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生した場合にレビューします。	マニュアル	SIR	NA	
CIS Control V8 17.5	主なロールと責任の割り当て: 必要に応じて、法務、IT、情報セキュリティ、施設、広報、人事、インシデント対応者、アナリストのスタッフを含む、インシデント応答の主要なロールと責任をアサインします。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生した場合にレビューします。	基本的な	SIR	sys_user_has_role	CIS v8 (17.5) CSF (DE.DP-4, RS.CO-2, RS.CO-3、RS。CO-4) ISO (5.2, 5.24) NIST (AU-9(4)) PCI (12.10.3) CCM (SEF-03)
CIS Control V8 17.6	インシデント応答時の通信メカニズムを定義します。 セキュリティインシデント中の通信とレポートに使用するプライマリおよびセカンダリメカニズムを決定します。メカニズムには、電話、電子メール、または手紙を含めることができます。セキュリティインシデントの発生中は、メールなどの特定のメカニズムが影響を受ける可能性があることに注意してください。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	な変更が発生した場合にレビューします。				
CIS Control V8 17.7	日常的なインシデント対応訓練の実施: インシデント応答プロセスに関与する主要な担当者を対象に、定期的なインシデント応答の訓練とシナリオを計画および実施し、実際のインシデントへの対応に備えます。演習では、コミュニケーションチャネル、意思決定、およびワークフローをテストする必要があります。少なくとも毎年テストを実施してください。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 17.8	インシデント後のレビューの実施: インシデント後のレビューを実施する。インシデントの事後レビューは、学んだ教訓とフォローアップアクションを特定することで、インシデントの再発防止に役立ちます。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 17.9	セキュリティインシデントしきい値の確立と維持: 少なくともインシデントとイベントの区別を含む、セキュリティインシデントのしきい値を設定して維持する。例としては、異常なアクティビティ、セキュリティの脆弱性、セキュリティの脆弱性、データ侵害、プライバシーインシデントなどがあります。年に 1 回、またはこのセーフガードに影響を与える可能性のある企業の重大な変更が発生した場合にレビューします。	基本的な	SIR	sn_si_calculator	CIS v8 (17.9) CSF (RS.AN-5) ISO (5.24, 5.25) NIST (RA-5) PCI (12.10.5) CCM (SEF-05)
CIS Control V8 18.1	ペネトレーションテストプログラムを確立して維持します。 企業の規模、複雑さ、および成熟度に適したペネトレーションテストプログラムを確立し、維持します。侵入テストプログラムの特性には、ネットワーク、Webアプリケーション、アプリケーションプログラ	マニュアル	NA	NA	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v8 コントロールのインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	タイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連コントロール目標
	ミングインターフェイス(API)、ホステッドサービス、物理的構内制御などのスコープが含まれます。周波数;許容時間や除外された攻撃の種類などの制限。連絡先調査結果を内部でルーティングする方法などの修復。遡及要件です				
CIS Control V8 18.2	定期的な外部侵入テストを実行します。 プログラムの要件に基づいて、毎年以上の定期的な外部侵入テストを実行します。外部ペネトレーションテストには、悪用可能な情報を検出するために、エンタープライズおよび環境の偵察を含める必要があります。ペネトレーションテストには専門的なスキルと経験が必要であり、資格のある当事者を通じて実施する必要があります。テストは、クリアボックスまたは不透明なボックスである可能性があります。	基本的な	VR	sn_vul_remediation_task	CIS v8 (18.2) ISO (8.8) NIST (RA-7) PCI (11.4.3)
CIS Control V8 18.3	ペネトレーションテスト結果の修正: 修復の範囲と優先順位付けに関する企業のポリシーに基づいて、ペネトレーションテスト結果を修復します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 18.4	セキュリティ対策の検証: 各ペネトレーションテスト後にセキュリティ対策を検証します。必要に応じて、ルール・セットと機能を変更して、テスト中に使用された手法を検出します。	マニュアル	NA	NA	
CIS Control V8 18.5	定期的な内部侵入テストを実行します。 NA	基本的な	VR	sn_vul_remediation_task	CIS v8 (18.5) ISO (8.8) NIST (RA-5) PCI (11.4.2)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 コントロールのインジケーターテンプレート

次の表に、CIS v7 Controls の基本およびスクリプトインジケータテンプレートを示します。

注:
現在、基本またはスクリプト化のインジケーターテンプレートのいずれかでカバーされていないコントロールには、コンプライアンス検証の目的で定義された手動インジケーターテンプレートがあります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 UCF ID
CIS Control 1.1	アクティブな検出ツールを使用： アクティブな検出ツールを使用して、組織のネットワークに接続されているデバイスを特定し、ハードウェア資産の在庫を更新します。	構成管理 (CMDB)	CMDB 検出 [cmdb_discovery]	07054 00693
CIS Control 1.2	受動的資産検出ツールを使用： パッシブな検出ツールを使用して、組織のネットワークに接続されているデバイスを特定し、組織のハードウェア資産の在庫を自動的に更新します。	Discovery	ネットワーク検出トラッキング [discovery_network_track]	01472
CIS Controls 1.4	詳細な資産在庫を管理： 情報を保存または処理する可能性があるすべてのテクノロジー資産の正確かつ最新の在庫を維持します。この在庫には、組織のネットワークに接続されているかどうかにかかわらず、すべてのハードウェア資産が含まれます。	構成管理 (CMDB)	ハードウェア [cmdb_ci_hardware]	06631 00691

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 1.5	資産在庫情報を管理： ハードウェア資産在庫に、各資産のネットワークアドレス、ハードウェアアドレス、マシン名、データ資産オーナー、部門、およびハードウェア資産がネットワークへの接続が承認されているかどうかが記録されていることを確認します。	構成管理 (CMDB)	ベース構成アイテム [cmdb]	06638 06640 12084 06636 13721 13722
CIS Control 1.7	ポートレベルのアクセス制御を展開： 802.1x 標準に従って、ポートレベルのアクセス制御を使用して、ネットワークに対して認証できるデバイスを制御します。認証システムをハードウェア資産在庫データに関連付けて、認可済みデバイスのみがネットワークに接続できるようにする必要があります。	構成管理 (CMDB)	ACL エンドポイント [cmdb_ci_endpoint_acl]	11841 13718
CIS Control 1.8	クライアント証明書を使用してハードウェア資産を認証： クライアント証明書を使用して、組織の信頼できるネットワークに接続するハードウェア資産を認証します。	認定コア	監査 [cert_audit]	01429

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 2.1	認可済みソフトウェアの在庫を管理： 任意のビジネスシステムで、企業内のビジネス目的で必要なすべての認可済みソフトウェアの最新リストを維持します。	構成管理 (CMDB)	アプリケーションソフトウェア [cmdb_ci_application_software]	12093 13723
CIS Control 2.2	ソフトウェアがベンダーによってサポートされていることを確認： 現在ソフトウェアのベンダーによってサポートされているソフトウェアアプリケーションまたはオペレーティングシステムのみが、組織の認可済みソフトウェア在庫に追加されていることを確認します。サポートされていないソフトウェアは、在庫システムでサポート対象外としてタグ付けする必要があります。	Software Asset Management	ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	07054
CIS Control 2.3	ソフトウェア在庫ツールを使用： 組織全体でソフトウェア在庫ツールを使用して、ビジネスシステム上のすべてのソフトウェアのドキュメントを自動化します。	構成管理 (CMDB)	アプリケーションソフトウェア [cmdb_ci_application_software]	11736 12196 13720 13725
CIS Control 2.4	ソフトウェア在庫情報の追跡：	Software Asset Management Core	ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install]	12085

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	ソフトウェア在庫システムは、組織によって認可されたオペレーティングシステムを含む、すべてのソフトウェアの名前、バージョン、公開者、およびインストール日を追跡する必要があります。			
CIS Control 2.5	ソフトウェア資産とハードウェア資産の在庫を統合： ソフトウェア在庫システムは、すべてのデバイスと関連付けられたソフトウェアを 1 つの場所から追跡できるように、ハードウェア資産在庫に関連付ける必要があります。	構成管理 (CMDB)	アプリケーションソフトウェア [cmdb_ci_application_software]	11637 11857
CIS Control 3.1	自動脆弱性スキャンツールを実行： 最新の SCAP 準拠の脆弱性スキャンツールを使用して、ネットワーク上のすべてのシステムを毎週またはそれ以上の頻度で自動的にスキャンし、組織のシステムの潜在的な脆弱性をすべて特定します。	Vulnerability Response	脆弱性データソースインポートキューエントリ [sn_vul_ds_import_q_entry]	10635
CIS Control 3.2	認証された脆弱性スキャンを実行： 各システムでローカルに実行されているエージェント、またはテスト対象のシステムで	Security Operations	検出されたアイテム [sn_sec_cmn_src_ci]	00706

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	昇格された権利で設定されたリモートスキャナーを使用して、認証済み脆弱性スキャンを実行します。			
CIS Control 3.6	継続的な脆弱性スキャンの比較： 継続的な脆弱性スキャンの結果を定期的に比較して、脆弱性が適切なタイミングで修正されていることを確認します。	Vulnerability Response	脆弱性修復ステータス [sn_vul_m2m_ttr_status]	06080
CIS Control 4.2	デフォルトのパスワードを変更 新しい資産を展開する前に、すべてのデフォルトパスワードを管理レベルのアカウントと一致する値に変更します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	01698 12122
CIS Control 4.4	一意のパスワードを使用 マルチファクター認証がサポートされていない場合 (ローカル管理者、ルート、サービスアカウントなど)、アカウントはそのシステムに一意のパスワードを使用します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	01915 01337
CIS Control 4.8	管理グループメンバーシップの変更に関するログとアラート 管理権限がアサインされたグループに対してアカウントが追加または削除されたときに、	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	06312

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	ログエントリとアラートを発行するようにシステムを設定します。			
CIS Control 4.9	失敗した管理アカウントログイン時のログとアラート 管理アカウントへのログイン失敗時にログエントリーとアラートを発行するようにシステムを設定します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	06312 06331
CIS Control 6.2	監査ログを有効化： すべてのシステムとネットワークデバイスでローカルログ記録が有効になっているように確保します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	00897
CIS Control 6.3	詳細なログ記録を有効化： イベントソース、日付、ユーザー、タイムスタンプ、ソースアドレス、宛先アドレス、その他の有用な要素などの詳細情報を含むシステムログ記録を有効にします。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	00575
CIS Control 7.1	完全にサポートされているブラウザーとメールクライアントのみの使用を確保： 完全にサポートされている Web ブラウザーとメールクライアントのみが組織内での実行が許可されるように確保します。理	Vulnerability Response	アプリケーション脆弱性一致アイテム [sn_vul_app_vulnerable_item]	00575 00576

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	想的には、ベンダーが提供する最新バージョンのブラウザーとメールクライアントのみを使用します。			
CIS Control 8.1	一元管理されたマルウェア対策ソフトウェアを使用 エンタープライズクラスのすべての AV ソフトウェアにこの機能があります。一元管理された AV を使用することで、個々の要件を簡単に有効にすることができます。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	11861
CIS Control 8.2	マルウェア対策ソフトウェアと署名の更新を確保 AV の品質はその署名によって決まります。純粋な署名ベースの検出はもはや実行不可能ですが、例外ベースのエンジンでも定期的に更新する必要があります。更新が自動的にロールアウトされていることを確認し、ツールを使用して署名が実際に最新であることを検証します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	01790
CIS Control 8.3	オペレーティングシステムのエクスプロイト対策機能の有効化/エクスプロイト対策技術の展開 DISA ハードニングガイドでは、こ	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	11637 10678

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	れらの設定などを有効にする手順を詳しく説明しています。			
CIS Control 8.4	リムーバブルデバイスのマルウェア対策スキャンを設定 ほとんどの AV では、この機能がデフォルトでオンになっていますが、実際に引き続き有効になっていることを検証することが重要です。USB スティックを介して侵入するマルウェアは、ほぼすべての組織にとって実行可能な攻撃ベクトルです。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	11927 04824 06735 00561 00564 04546
CIS Control 8.5	コンテンツを自動実行しないようにデバイスを設定 スキャンを希望しないのと同じ理由で、マウントされている場合は実行しないようにします。これは簡単に有効にできる設定で、CIS と DISA の両方のハードニングガイドに、自動実行を無効にする詳細な手順が記載されています。一部の SCM ツールでは、環境内のすべてのエンドポイントをすばやくチェックして、この設定が無効になっていることを確認できます。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 9.3	定期的な自動ポートスキャンを実行： すべてのシステムに対して自動ポートスキャンを定期的に実行し、システムで許可されていないポートが検出された場合にアラートを発行します。	Vulnerability Response	脆弱性スキャナー [sn_vul_scanner]	適用外
CIS Control 11.3	自動ツールを使用して標準的なデバイス構成を検証し、変更を検出 すべてのネットワークデバイス構成を、使用中の各ネットワークデバイスに対して定義された承認済みセキュリティ構成と比較し、逸脱が検出された場合にアラートを発行します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	06428 07058
CIS Control 11.4	すべてのネットワークデバイスに最新の安定したバージョンのセキュリティ関連の更新をインストール： すべてのネットワークデバイスに最新の安定したバージョンのセキュリティ関連の更新をインストールします。	Vulnerability Response	脆弱性一致アイテム [sn_vul_vulnerable_item]	01696
CIS Control 12.6	ネットワークベースの IDS センサーを展開：	構成管理 (CMDB)	侵入検知システム [cmdb_ci_ids_network]	00581

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	ネットワークベースの侵入検知システム (IDS) センサーを展開して、異常な攻撃メカニズムを探し、組織の各ネットワーク境界でこれらのシステムの侵害を検出します。			
CIS Control 13.2	機密データまたは組織が定期的にアクセスしないシステムを削除： 機密データまたは組織が定期的にアクセスしないシステムをネットワークから削除します。これらのシステムは、時々システムを使用する必要がある事業部門により (ネットワークから切断されて) スタンドアロンシステムとしてのみ使用されるか、完全に仮想化されて、必要になるまではオフにされます。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	13726 13727
CIS Control 13.9	USB ストレージデバイスのデータを暗号化 従業員が USB ドライブ上のデータのリスクを認識できるように、トレーニングを提供します。次に、組織の重要なデータを保護するツールを提供します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	11927

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 14.4	転送中のすべての機密情報を暗号化： 転送中のすべての機密情報を暗号化します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	00564
CIS Control 15.1	認可済み無線アクセスポイントの在庫を管理： 有線ネットワークに接続されている認可済み無線アクセスポイントの在庫を管理します。	構成管理 (CMDB)	無線アクセスポイント [cmdb_ci_wap_network]	00693
CIS Control 16.1	認証システムの在庫を管理： オンサイトまたはリモートサービスプロバイダーにあるものを含む、組織の各認証システムの在庫を管理します。	構成管理 (CMDB)	Active Directory ドメインコントローラ [cmdb_ci_ad_controller]	13724
CIS Control 16.4	すべての認証資格情報を暗号化またはハッシュ： 保存されるときに、すべての認証資格情報をソルトで暗号化またはハッシュします。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	06735
CIS Control 16.5	ユーザー名と認証資格情報の送信を暗号化： すべてのアカウントのユーザー名と認証資格情報が、暗号化されたチャネルを使用してネットワーク経由で送信されるように確保します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	00564

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 16.11	非アクティビティの後のワークステーションセッションをロック： 標準的な非アクティビティ期間が経過すると、ワークステーションセッションを自動的にロックします。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	04490
CIS Control 16.13	アカウントログイン動作の逸脱に関するアラート： 時刻、ワークステーションの場所、期間など、ユーザーが通常のログイン動作から逸脱した場合にアラートを発行します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	07068 07070 07069
CIS Control 18.5	標準化され、広範囲にわたってレビューされた暗号化アルゴリズムのみを使用： 標準化され、広範囲にわたってレビューされた暗号化アルゴリズムのみを使用します。	CMDB CI Class Models	一意の証明書 [cmdb_ci_certificate]	00037
CIS Control 18.8	ソフトウェア脆弱性のレポートを受け入れて対処するプロセスを確立： 外部エンティティがセキュリティグループに連絡する手段を提供するなど、ソフトウェアの脆弱性のレポートを受け入れて対処するプロセスを確立します。	Vulnerability Response	検出モデルと脆弱なソフトウェアの照合 [sn_vul_discovery_model_software_match]	04810

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 19.2	インシデント応答の役職と職務のアサイン： コンピューターとネットワークのインシデントを処理するための役職と職務を特定の個人にアサインし、解決までのインシデント全体の追跡と文書化を行います。	Incident Management	ユーザーロール [sys_user_has_role]	07061 00691
CIS Control 19.3	インシデント処理をサポートする管理担当者を指定： 重要な意思決定のロールを担うことによってインシデント処理プロセスをサポートする管理担当者およびバックアップを指定します。	Incident Management	ユーザーロール [sys_user_has_role]	01211
CIS Control 19.6	コンピューターの例外とインシデントのレポートに関する情報を公開： インシデント処理チームへのコンピューターの例外とインシデントのレポートに関する情報を、すべての従業員に公開します。このような情報は、定期的な従業員の認識向上アクティビティに含める必要があります。	Security Incident Response	ナレッジ [kb_knowledge]	12093
CIS Control 19.8	インシデントの採点と優先順位付けのスキーマを作成します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント計算機 [sn_si_calculator]	12093 13723

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS v7 Controls の基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	本番システムと非本番システムで別々の環境を維持します。開発者は本番環境に監視なしでアクセスできません。			

CIS v7 コントロールのスクリプトインジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 18.9	本番システムと非本番システムを分離： 本番システムと非本番システムで別々の環境を維持します。開発者は本番環境に監視なしでアクセスできません。	構成管理 (CMDB)	構成アイテム [cmdb_ci]	00922

ISO コントロールのインジケーターテンプレート

次の表に、ISO コントロールの基本およびスクリプトインジケーターテンプレートを一覧します。

注:
現在、基本またはスクリプト化のインジケーターテンプレートのいずれかでカバーされていないコントロールには、コンプライアンス検証の目的で定義された手動インジケーターテンプレートがあります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
ISO27002 - 5.1.1	情報セキュリティのポリシー： 幹部によって承認され、情報セキュリティ目標を管理するための組織のアプローチを規定する「情報セキュリティポリシー」を定義します。情	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	報セキュリティポリシーはトピック固有のポリシーによってサポートされており、次を含む情報セキュリティコントロールの実装がさらに義務付けられています：アクセス制御、情報の分類(および処理)、物理的および環境的なセキュリティ、バックアップ、情報の転送、マルウェアからの保護、技術的な脆弱性の管理、暗号化コントロール、通信セキュリティ、プライバシーと個人識別可能な情報の保護、サプライヤーとの関係およびエンドユーザー向けのトピック (1) 資産の許容可能な使用、2) クリアデスクとクリアスクリーン、3) 情報の転送、4) モバイルデバイスと在宅勤務、5) ソフトウェアのインストールと使用に関する制限など)。			
ISO27002 - 6.1.1	情報セキュリティロールと責任： 個々の資産を保護する責任が資産在庫で特定されていることを確保します。情報セキュリティの開発と実装のためのロールと責任が明確に定義	GRC: Policy and Compliance Management	コントロール [sn_compliance_control]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	されていることを確認します。			
ISO27002 - 6.2.1	モバイルデバイスポリシー： 承認済みのディスク全体の暗号化ソフトウェアを使用して、すべてのモバイルデバイスのハードドライブを暗号化します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	07054 01472 12109 06631 00691 06638 06640 12084 06636 13721 13722 12093 11736 12196 13720 13725 00693 13724
ISO27002 - 6.2.2	在宅勤務： 従業員と請負業者にリモートアクセスポリシーを適用します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	適用外
ISO27002 - 7.1.1	スクリーニング： 会社の資産へのアクセス権を付与する前に、すべての従業員と請負業者に対してバックグラウンド検証チェックが実行さ	Human Resources: Core	HR 人材管理ケース [sn_hr_core_case_talent_management]	12001 00897 04490 12100 12099

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	れるように確保します。			04594 04476
ISO27002 - 7.1.2	雇用条件： すべての新規雇用の従業員または請負業者が、情報セキュリティに対する責任を含む雇用条件に署名および同意するように確保します。	Human Resources: Core	sn_hr_core_task	01429
ISO27002 - 8.1.1	資産の在庫： ハードウェア資産在庫に、各資産のネットワークアドレス、ハードウェアアドレス、マシン名、データ資産オーナー、部門、およびハードウェア資産がネットワークへの接続が承認されているかどうかが記録されていることを確認します。	構成管理 (CMDB)	ベース構成アイテム [cmdb]	00562 00561 01915 01337 01421 06440
ISO27002 - 8.1.2	資産の所有権： ハードウェア資産在庫に、各資産のネットワークアドレス、ハードウェアアドレス、マシン名、データ資産オーナー、部門、およびハードウェア資産がネットワークへの接続が承認されているかどうかが記録されていることを確認します。	構成管理 (CMDB)	ベース構成アイテム [cmdb]	06080 01273
ISO27002 - 8.1.3	資産の許容可能な使用：	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	12001 00897

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	従業員と請負業者が、情報および情報処理施設およびリソースに関連付けられた組織資産の情報セキュリティ要件を認識するように確保します。従業員と請負業者は、情報処理リソースの使用およびその責任の配下で実行される該当する使用について責任を負う必要があります。			04490 12100 12099 04594 04476
ISO27002 - 9.3.1	シークレット認証情報を使用： クライアント証明書を使用して、組織の信頼できるネットワークに接続するハードウェア資産を認証します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	01429
ISO27002 - 9.4.2	安全なログオン手順： 組織のネットワークへのすべてのリモートログインアクセスで、転送中のデータの暗号化と、マルチファクター認証の使用を義務付けます。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	00562 00561 01915 01337 01421 06440
ISO27002 - 9.4.3	パスワード管理システム： マルチファクター認証がサポートされていない場合 (ローカル管理者、ルート、サービスアカウントなど)、アカウントはそのシステムに	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	06080 01273

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	一意のパスワードを使用します。			
ISO27002 - 10.1.1	暗号化コントロールの使用に関するポリシー： 暗号化に関するポリシーが存在し、データ分類要件に従って適用、実装、および強制されているように確保します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	07058 06428
ISO27002 - 10.1.2	キー管理： 暗号化キーの管理は、キーのライフサイクル全体にわたって正式なポリシーと手順に従って行われるように確保します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	00897 00575 00576 11861 01790
ISO27002 - 11.2.9	クリアデスクとクリアスクリーンポリシー： 従業員と請負業者がクリアデスクポリシーに適合するように確保します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	06312 00577 12210
ISO27002 - 12.1.2	マルウェアに対するコントロール： 完全にサポートされている Web ブラウザーとメールクライアントのみが組織内での実行が許可されるように確保します。理想的には、ベンダーが提供する最新バージョンのブラウザーとメールクライアントのみを使用します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
ISO27002 - 12.2.1	マルウェアに対するコントロール： 完全にサポートされている Web ブラウザーとメールクライアントのみが組織内での実行が許可されるように確保します。理想的には、ベンダーが提供する最新バージョンのブラウザーとメールクライアントのみを使用します。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	適用外
ISO27002 - 12.4.1	イベントログ記録： すべてのシステムとネットワークデバイスでローカルログ記録が有効になっているように確保します。	Instance Security Center	セキュリティダッシュボードイベントログ [appsec_security_dashboard_event_logs]	適用外
ISO27002 - 12.4.2	ログ情報の保護： ログが不正アクセスから安全に保護されるように確保します。		アクセスロール [sys_security_acl_role]	適用外
ISO27002 - 12.4.3	管理者およびオペレーターのログ： 機密データへのアクセスまたは機密データの変更について詳細な監査ログ記録を強制します (ファイルの完全性監視またはセキュリティ情報およびイベント監視などのツールを使用)。	Configuration Compliance	構成テスト [sn_vulc_test]	適用外
ISO27002 - 13.2.1	情報転送のポリシーと手順：	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	あらゆる種類の通信設備を使用して情報の転送を保護するために、正式な転送ポリシー、手順、およびコントロールが設定されるように確保します。			
ISO27002 - 14.1.1	情報セキュリティ要件の分析と仕様： 情報セキュリティ関連の要件が、新しい情報システムの要件または既存の情報システムの拡張要件に含まれるように確保します。	GRC: Advanced Risk	リスクアセスメント [sn_risk_advanced_risk_assessment_instance]	適用外
ISO27002 - 14.2.2	オペレーティングプラットフォームの変更後のアプリケーションの技術的レビュー： 運用プラットフォームが変更された場合でも、組織の運用やセキュリティに悪影響がないように確保するため、ビジネスクリティカルなアプリケーションを確実にレビューおよびテストします。	変更要求	変更要求 [change_request]	適用外
ISO27002 - 14.2.3	ソフトウェアパッケージの変更に関する制限： ソフトウェアパッケージへの変更が抑制、または必要な変更に制限されており、すべての変更が厳密に管理	変更要求	変更要求 [change_request]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	されるように確保します。			
ISO27002 - 14.2.4	システムセキュリティテスト： 安全なコードレビューや脆弱性スキャンなどのセキュリティテストが開発ライフサイクル中に確実に実行されるように確保します。確実に、特定された脆弱性を文書化し、修復を実行します。	変更要求	変更要求 [change_request]	適用外
ISO27002 - 14.2.8	システム受け入れテスト： システム受け入れテストに、情報セキュリティ要件のテストと安全なシステム開発プラクティスの遵守が含まれるように確保します。	DevOps	ビルドテスト結果 [sn_devops_build_test_result]	適用外
ISO27002 - 14.2.9	システム受け入れテスト： システム受け入れテストに、情報セキュリティ要件のテストと安全なシステム開発プラクティスの遵守が含まれるように確保します。	DevOps	タスク実行 [sn_devops_task_execution]	適用外
ISO27002 - 15.1.1	サプライヤー関係の情報セキュリティポリシー： 取引を行ったり、資産へのアクセス権をベンダーに付与したりする前に、サプライヤーが情報セキュリ	GRC: Vendor Risk Management	ベンダーリスクアセスメント [sn_vdr_risk_asmt_assessmentsn_vdr_risk_asmt_as	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	ティコントロールに対処し、解決しているように確保します。			
ISO27002 - 15.1.3	情報および通信技術のサプライチェーン： ビジネスを行い、サプライヤーとベンダーに資産へのアクセス権を付与する前にリスクアセスメントを実行し、セキュリティコントロールと要件に同意を得て、それらをサプライヤー/ベンダー契約に文書化するように確保します。	GRC: Vendor Risk Management	ベンダーリスクアセスメント [sn_vdr_risk_asmt_assessment	適用外 sn_vdr_risk_asmt_as
ISO27002 - 15.2.1	サプライヤーサービスの監視とレビュー： サプライヤーが定期的に監視およびレビューを実行し、確実に、契約の情報セキュリティ条件を遵守し、情報セキュリティのインシデントと問題を適切に管理していることを確保します。	GRC: Vendor Risk Management	ベンダーリスクアセスメント [sn_vdr_risk_asmt_assessment	適用外 sn_vdr_risk_asmt_as
ISO27002 - 15.2.2	サプライヤーサービスの変更の管理： サービスのプロビジョニングに変更がある場合でも、サードパーティのリスクアセスメントを確実に実行します。既存の情報セキュリティポリシー、手順、お	GRC: Vendor Risk Management	繰り返しアセスメント [sn_vdr_risk_asmt_repeating_assessment]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	よびコントロールの維持と改善を含む、サプライヤーによるサービスのプロビジョニングに対する変更が管理されるように確保します。			
ISO27002 - 16.1.2	情報セキュリティイベントのレポート： 正式なインシデント管理プログラムがあり、すべての担当者とサードパーティがセキュリティインシデントを認識してレポートする方法についてトレーニングを受けるように確保します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	適用外
ISO27002 - 16.1.4	情報セキュリティイベントのアセスメントと決定： レポートとエスカレーションのために、合意されたセキュリティイベントとインシデント分類スケールを含める正式な情報セキュリティイベント管理が存在するように確保します。確実に、脅威とリスクの分類スキームを文書化します。インシデント応答通知が維持されるように確保します。確実に、インシデントの分類に使用される影響度しきい値を文書化します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
ISO27002 - 16.1.5	情報セキュリティインシデントへの対応： 情報セキュリティインシデントが文書化された手順に従って対応および管理されるように確保します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	適用外
ISO27002 - 16.1.6	情報セキュリティインシデントからの学習： インシデント監視手順が、インシデントを文書化するためのインシデント管理プログラムに含まれるように確保し、今後のインシデントを削減するためにセキュリティイベントを定期的に分析します。	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	適用外
ISO27002 - 17.1.1	情報セキュリティ継続性の計画： 情報セキュリティと情報セキュリティ管理の継続性が計画され、事業継続性計画または災害復旧計画に含まれるように確保します。	GRC: Business Impact Analysis	影響分析 [sn_bia_analysis]	適用外
ISO27002 - 17.1.2	情報セキュリティ継続性の実装： 事業継続性または災害復旧計画が正式に文書化されるように確保します。	GRC: Business Impact Analysis	影響分析 [sn_bia_analysis]	適用外
ISO27002 - 17.1.3	情報セキュリティ継続性の検証、レ	GRC: Business Impact Analysis	影響分析 [sn_bia_analysis]	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	ビュー、および評価： 事業継続性または災害復旧計画を年に 1 回実施して、困難な状況下適切なセキュリティコントロールが有効で実効性があることを検証します。			
ISO27002 - 17.2.1	情報処理施設の可用性： フェイルオーバーおよび復旧コンポーネントが意図したとおりに機能するように確保します。	GRC: Crisis Management	イベント [sn_recovery_event]	適用外
ISO27002 - 18.1.3	レコードの保護： レコードやデータが、立法者、規制、契約、およびビジネスの要件に従って、損失、破棄、改ざん、不正アクセス、および不正なリリースから保護されるように確保します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	適用外
ISO27002 - 18.1.4	プライバシーと個人識別可能情報の保護： プライバシーと個人識別可能情報が保護され、該当する場合は法律や規制に従って処理されるように確保します。	GRC: Policy and Compliance Management	コンプライアンスポリシー [sn_compliance_policy]	適用外
ISO27002 - 18.2.2	セキュリティポリシーおよび標準へのコンプライアンス：	Configuration Compliance	ポリシー [sn_vulc_policy]	01422 01355

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールの基本インジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	確実に、コンプライアンスおよび規制要件に対するスコープ内システム構成のテストを定期的に実行します。システムのベースライン構成標準が文書化され、業界のベストプラクティスに基づくように確保確認します。			
ISO27002 - 18.2.3	技術的コンプライアンスのレビュー： 定期的な脆弱性スキャンとペネトレーションテストが実行され、コンプライアンスおよび規制要件に対してスコープ内システム構成がテストされるように確保します。	Configuration Compliance	テスト結果 [sn_vulc_result]	適用外

ISO コントロールのスクリプトインジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
ISO27002 - 8.1.4	資産の返却： 組織が所有していた、または組織に委託されたすべての発行済みの物理的および電子的な資産の返却を含む、正式な終了プロセスを確保します。	Human Resources: Core Asset Management	• HR プロファイル [sn_hr_core_profile] • 資産 [alm_asset]	適用外
ISO27002 - 12.1.4	開発、テスト、運用の環境の分離： 本番システムと非本番システムで	構成管理 (CMDB)	構成アイテム [cmdb_ci]	01698 12122

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ISO コントロールのスクリプトインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	別々の環境を維持します。開発者は本番環境に監視なしでアクセスできません。			00644 00596

CIS および **ISO** コントロールに共通のインジケーターテンプレート

次の表に、CIS および ISO コントロールに共通の基本およびスクリプトインジケーターテンプレートを示します。

注:
現在、基本またはスクリプト化のインジケーターテンプレートのいずれかでカバーされていないコントロールには、コンプライアンス検証の目的で定義された手動インジケーターテンプレートがあります。

CIS および **ISO** コントロールに共通のインジケーターテンプレート

コントロール	名前/説明	インジケーターテンプレートタイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 2.6、ISO27002 - 12.5.1	未承認のソフトウェアへの対処： ソフトウェア資産を確実に管理し、定期的に更新します。	スクリプト	• Software Asset Management Core • Software Asset Management Professional Core	• ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] • ソフトウェアモデル [cmdb_software_product_model]	11637 00656 11624
CIS Control 3.7、ISO27002 - 12.6.1	リスク評価プロセスを使用： リスク評価プロセスを使用して、検出された脆弱性の修正を優先します。	基本	Vulnerability Response	脆弱性一致アイテム [sn_vul_vulnerable_item]	01273

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS および **ISO** コントロールに共通のインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	インジケーターテンプレートタイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
CIS Control 7.2、ISO27002 - 12.6.2	ソフトウェアインストールの制限： 許可されていないブラウザーまたはメールクライアントのプラグインまたはアドオンアプリケーションをアンインストールするか、無効にします。	スクリプト	• Software Asset Management Core • Software Asset Management Professional Core	• ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] • ソフトウェアモデル [cmdb_software_product_model]	00575 00574
CIS Controls 18.1、ISO27002 - 14.2.1	安全なコーディングプラクティスの確立： 使用しているプログラミング言語と開発環境に適した安全なコーディングプラクティスを確立します。	基本	GRC: Policy and Compliance Management	ポリシー [sn_compliance_policy]	11863
CIS Control 19.1、ISO27002 - 16.1.1	インシデント応答手順の文書化： 担当者のロールとインシデントの処理/管理のフェーズを定義する、書面によるインシデント応答計画があることを確認します。	基本	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	11780
CIS Control 19.4、ISO27002 - 16.1.3	情報セキュリティの弱点のレポート：	基本	Security Incident Response	セキュリティインシデント [sn_si_incident]	07183 12975

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CIS および **ISO** コントロールに共通のインジケーターテンプレート (続く)

コントロール	名前/説明	インジケーターテンプレートタイプ	コンプライアンスの検証者	ソーステーブル	関連 **UCF ID**
	システム管理者および他の人員メンバーがインシデント処理チームに例外イベントをレポートするために必要な時間、そのようなレポートのメカニズム、およびインシデント通知に含める必要がある情報の種類について、組織全体の標準を策定します。				10033

自動翻訳

360° Relationship Visualization

360˚ Relationship Visualization アプリケーションを使用すると、コントロール、リスク、問題など、ビジネスに影響するさまざまなタイプの重要なデータ間の関係を視覚的に探索できます。ビジュアル化により、関係の追加、問題のクローズ、ポリシー例外の承認など、情報に基づく迅速なアクションも容易になります。

360˚ Relationship Visualization アプリケーションを使用する前に、データレジストリを設定して、表示する関係の種類を定義し、360 度ビューに表示するデータのビューを構成する必要があります。

360° Relationship Visualization の使用者

360˚ Relationship Visualization は、コンプライアンスマネージャーとアナリスト、リスクマネージャーとアナリスト、監査人などの GRC 実務者によって使用されます。360˚ Relationship Visualization は、GRC 実務者がビジネスに影響する重要なデータを理解するために役立ちます。また、経営幹部やアプリケーションオーナーやビジネスサービスオーナーなどのビジネスユーザーに、関係とその影響を効果的に伝えるのにも役立ちます。

この表は、360º Relationship Visualization アプリケーションとデータレジストリに関わるすべてのステークホルダーの責任を示しています。

360° Relationship Visualization とデータレジストリのロールと責任

ロールタイトル	説明	含んでいるロール
データレジストリ管理者 [sn_data_registry.admin]	データレジストリ管理者は、360 度ビューのすべてのレコードに CRUD アクセスできます。	csn_data_registry.reader

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360° Relationship Visualization とデータレジストリのロールと責任 (続く)

ロールタイトル	説明	含んでいるロール
データレジストリリーダー [sn_data_registry.reader]	データレジストリのリーダーロールは、360° Relationship Visualization が有効な GRC フォームで作業しているすべての GRC ユーザー (コンプライアンスマネージャーとアナリスト、リスクマネージャーとアナリスト、監査人など) に付与される必要があります。	• canvas_user • workspace_user

GRC: 360° Relationship Visualization およびデータレジストリアプリケーションをダウンロードして有効化する

自分のインスタンスで GRC: 360° Relationship Visualization (com.servicenow_sn_grc_360_resolution_visualization) およびデータレジストリ (com.sn_app_grc_data_registry) アプリケーションを実行する前に、ServiceNow Store からダウンロードする必要があります。

始める前に
必要なロール：admin

手順

初めて ServiceNow Store から GRC アプリケーションをダウンロードする の指示に従います。

360 度ビューを設定する

360° Relationship Visualization アプリケーションを効果的に使用するには、表示するデータのタイプ間の既存の関係を登録し、360 度ビューでそのデータを表示する方法を設定する必要があります。

360 度の関係を登録する

データレジストリを設定する最初のステップは、360° Relationship Visualization に表示する関係を登録することです。

始める前に
必要なロール：データレジストリ管理者

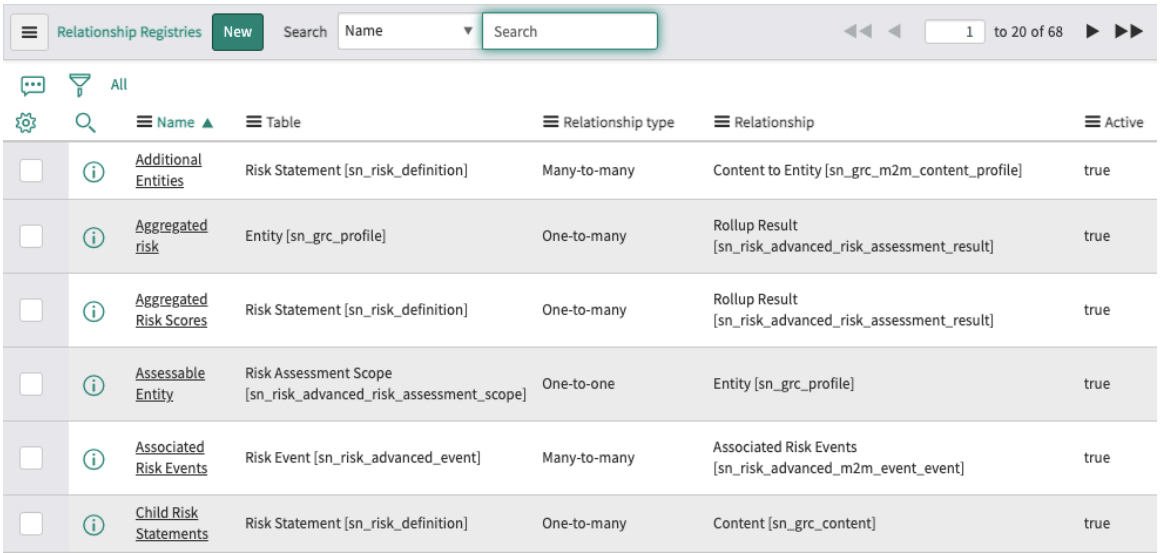
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **360** 度ビューの構成 > 関係のレジストリ.

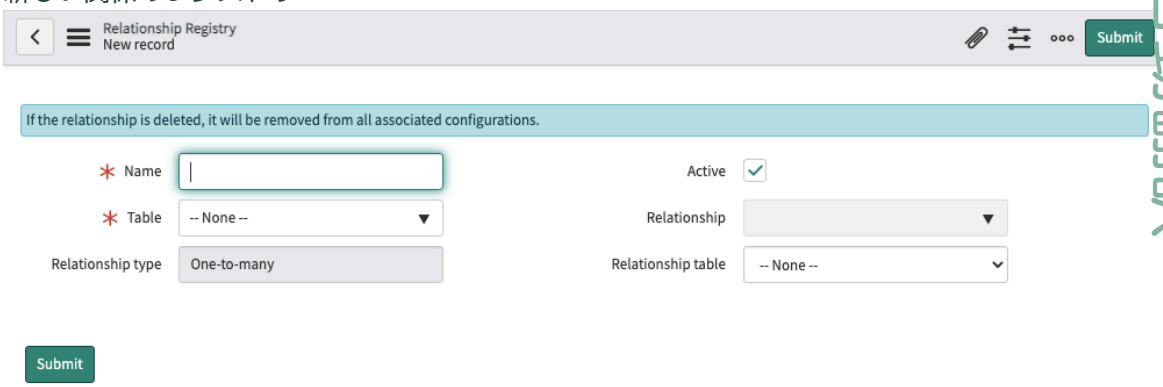
関係のレジストリ



Name	Table	Relationship type	Relationship	Active
Additional Entities	Risk Statement [sn_risk_definition]	Many-to-many	Content to Entity [sn_grc_m2m_content_profile]	true
Aggregated risk	Entity [sn_grc_profile]	One-to-many	Rollup Result [sn_risk_advanced_risk_assessment_result]	true
Aggregated Risk Scores	Risk Statement [sn_risk_definition]	One-to-many	Rollup Result [sn_risk_advanced_risk_assessment_result]	true
Assessable Entity	Risk Assessment Scope [sn_risk_advanced_risk_assessment_scope]	One-to-one	Entity [sn_grc_profile]	true
Associated Risk Events	Risk Event [sn_risk_advanced_event]	Many-to-many	Associated Risk Events [sn_risk_advanced_m2m_event_event]	true
Child Risk Statements	Risk Statement [sn_risk_definition]	One-to-many	Content [sn_grc_content]	true

2. [新規] をクリックします。

新しい関係のレジストリ



3. フォームのフィールドに入力します。

新しい関係のレジストリを作成する

フィールド	説明
名前	このレジストリのわかりやすい名前。
テーブル	関係を定義するテーブル。
関係性タイプ	定義する関係のタイプ： ○ 1 対多 ○ 多対多 ○ スクリプト化：Now Platform からのカスタム関係 ○ 1 対 1：選択したテーブルのフィールドとして利用可能な関係

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
有効	関係が有効な場合に選択します。
関係	選択した関係タイプの関係テーブル。たとえば、エンティティテーブルの関係を定義していて、多対多の関係タイプを選択した場合、関係テーブルのリストは、エンティティテーブルに適用されるすべての多対多の関係で構成されます。
関係テーブル	[関係] フィールドで選択したテーブル名。

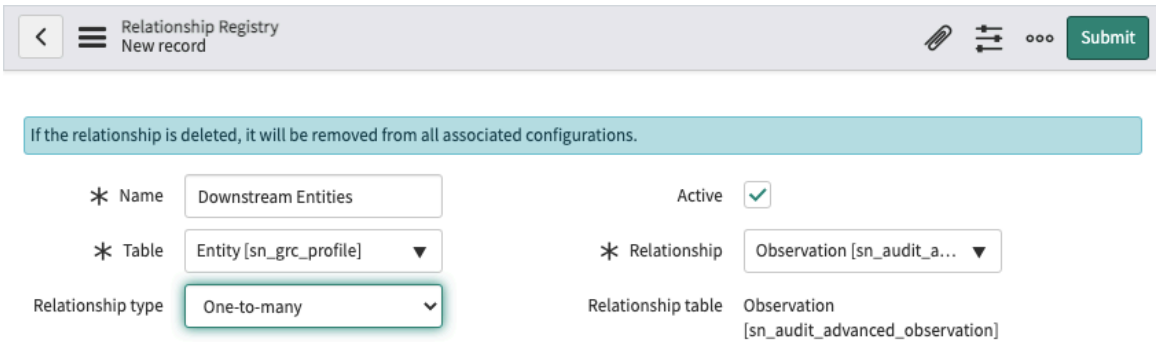
4. [送信] をクリックします。
5. 360° Relationship Visualization インターフェイスに表示するすべての関係について、このプロセスを繰り返します。

360 度の関係の例

これらのスクリーンショットは、登録できるさまざまな関係タイプを示しています。

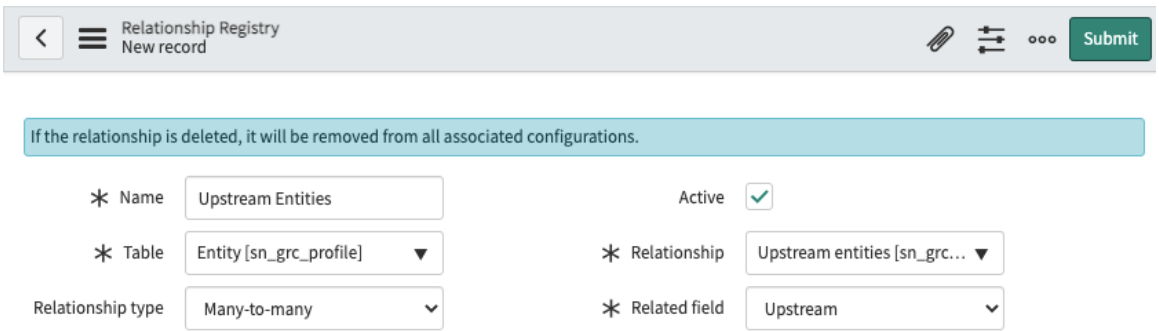
1 対多の関係

1 対多の関係



多対多の関係

多対多の関係

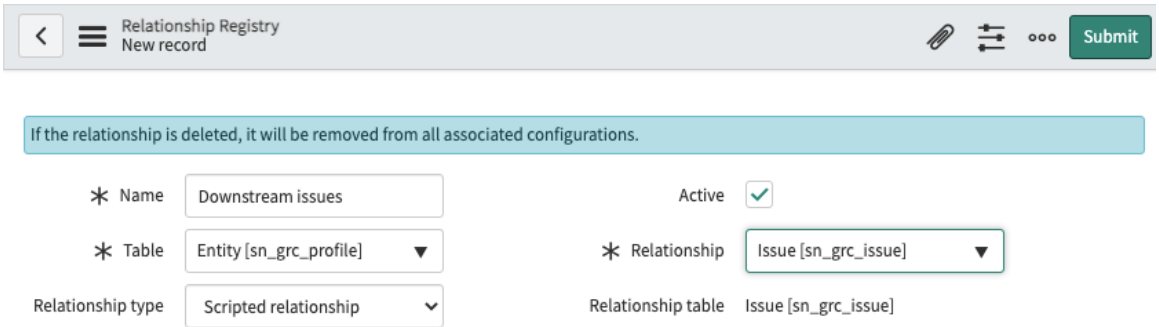


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

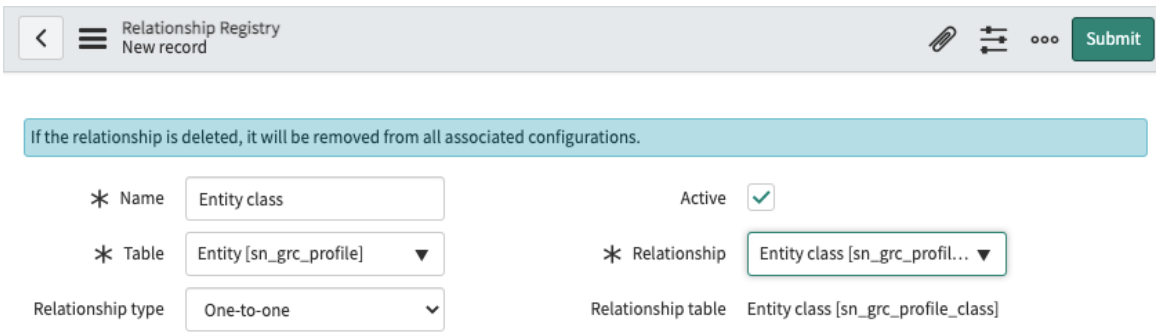
スクリプト化された関係

スクリプト化された関係



1 対 1 の関係

1 対 1 の関係



360 度ビューを構成する

データレジストリを定義したら、作成した関係を効果的に表示するために 360° Relationship Visualization を構成できます。

始める前に
必要なロール：データレジストリ管理者

このタスクについて
1 つのテーブルに複数の 360 度関係ビューを構成できます。たとえば、エンティティテーブルは、コンプライアンスビュー、リスクビュー、監査ビューなどの複数のビューで構成できます。

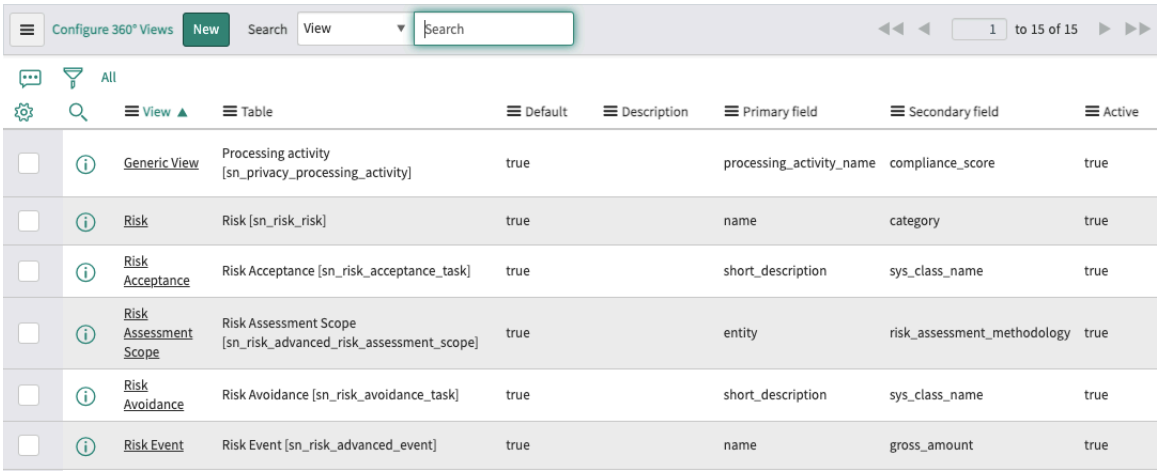
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **360** 度ビューの構成 > **360** 度ビューを構成する.

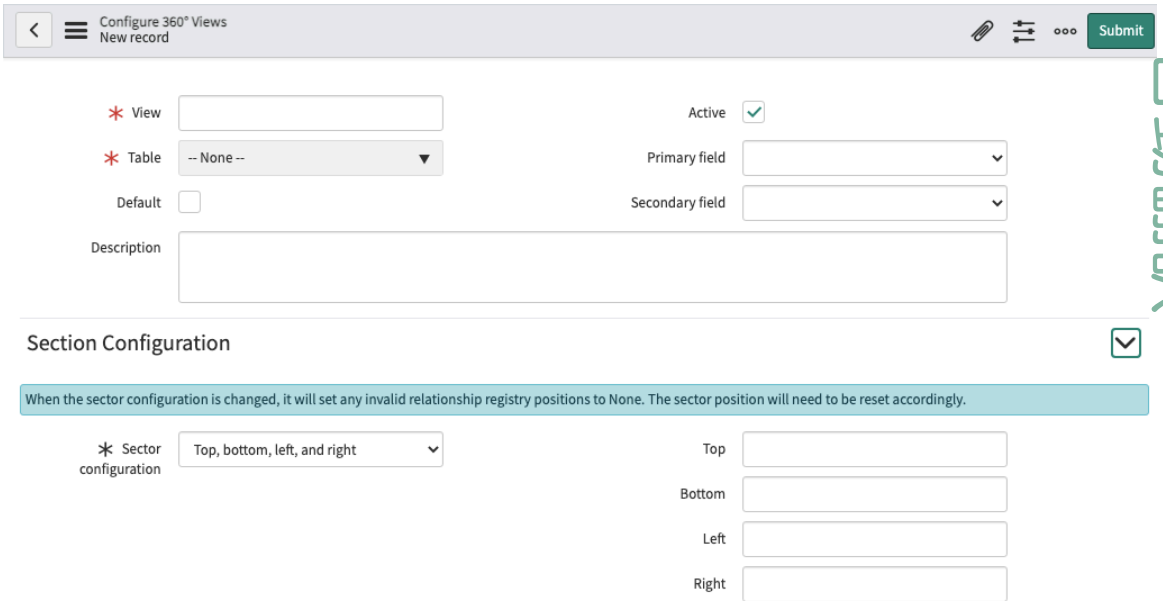
360 度ビューを構成する



View ▲	Table	Default	Description	Primary field	Secondary field	Active
Generic View	Processing activity [sn_privacy_processing_activity]	true		processing_activity_name	compliance_score	true
Risk	Risk [sn_risk_risk]	true		name	category	true
Risk Acceptance	Risk Acceptance [sn_risk_acceptance_task]	true		short_description	sys_class_name	true
Risk Assessment Scope	Risk Assessment Scope [sn_risk_advanced_risk_assessment_scope]	true		entity	risk_assessment_methodology	true
Risk Avoidance	Risk Avoidance [sn_risk_avoidance_task]	true		short_description	sys_class_name	true
Risk Event	Risk Event [sn_risk_advanced_event]	true		name	gross_amount	true

2. [新規] をクリックします。

新しい **360** 度ビューを構成する



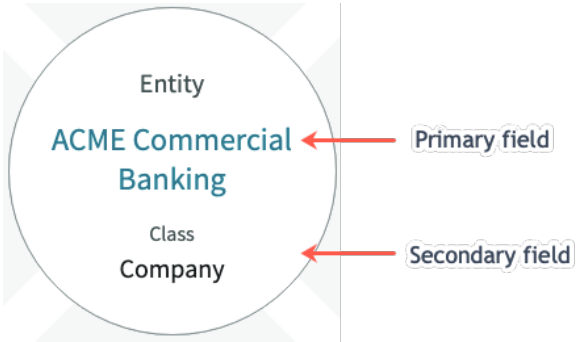
3. フォームのフィールドに入力します。

360 度ビューを作成する

フィールド	説明
ビュー	このビューのわかりやすい名前。
テーブル	ビューを定義するテーブル。
デフォルト	これが定義する最初のビューか、または唯一のビューの場合に選択します。
有効	この 360 度ビューが有効な場合に選択します。

自動翻訳

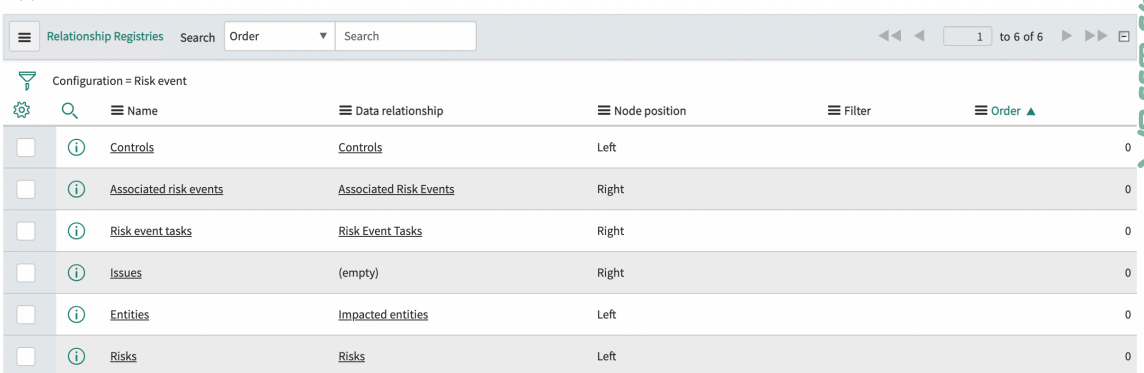
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プライマリフィールドとセカンダリフィールド	メインオブジェクトのタイトルとセカンダリタイトルを表示するために使用される、選択されたテーブルのプライマリフィールドとセカンダリフィールド  (図を参照)。
説明	360 度ビューの説明。
セクションの構成	
セクター構成	360 度ビューに表示するセクターの数を選択します。たとえば、[上、下、左、右] を選択して、4 つのセクターが必要であることを示します。
上、下、左、右	[セクター構成] の選択に基づいて、各セクターのラベルを入力します。

4. レコードを保存します。

   [関係のレジストリ] 関連リストが表示されます。

   関係のレジストリ



5. [関係の選択] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

   データの関係に対する **DataNav** 構成

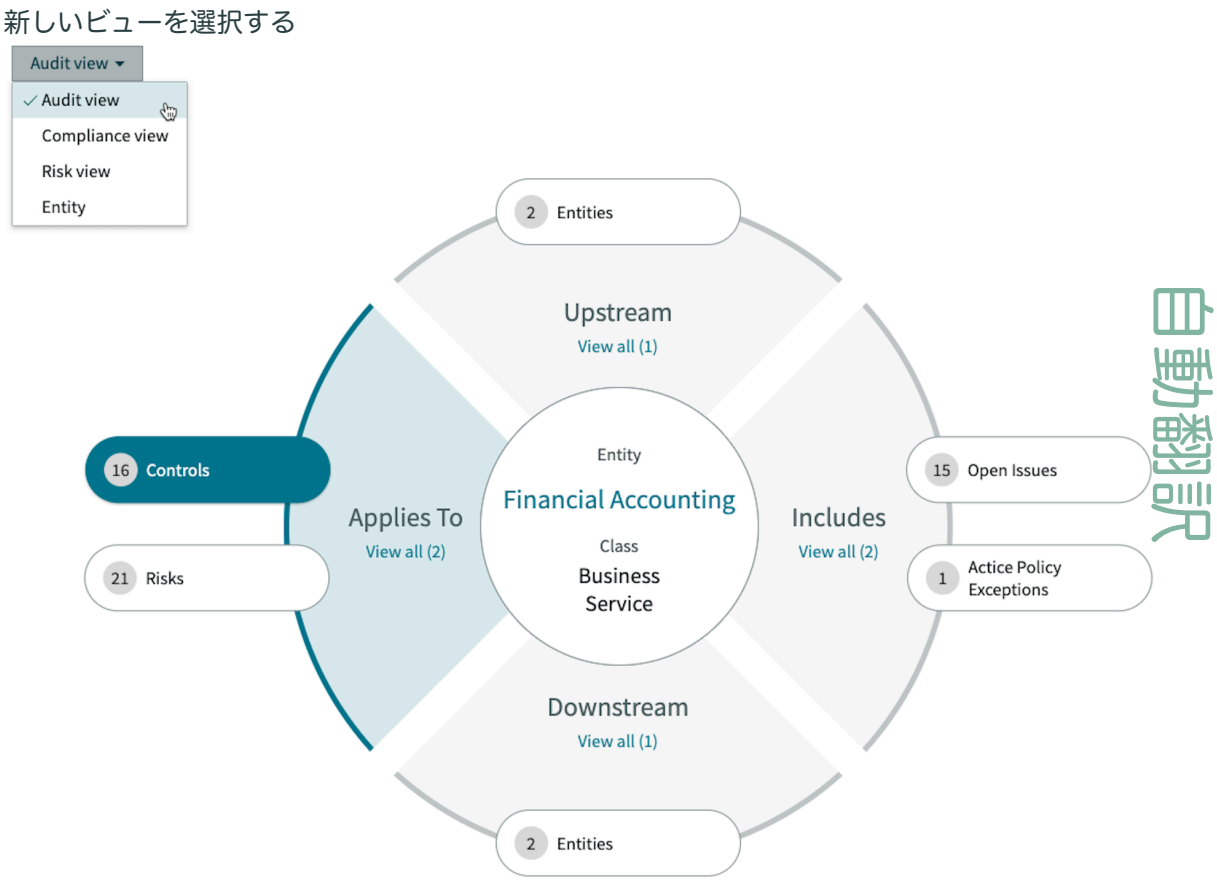
フィールド	説明
名前	この関係を特定する名前。
データの関係	以前に定義したデータの関係。
関係テーブル	選択したデータの関係に関連付けられたテーブル。
ノード位置	この関係の追加先に定義済みのセクター。
フィルター	表示する関係のタイプを定義する条件を入力します。たとえば、失敗したすべてのコントロールの条件を定義できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
設定 (Configuration)	関係に対して定義された構成。
テーブル	関係に対して定義されたテーブル。
順序	指定された [順序] の値に基づいて、360 度ビュー内の要素の位置が変更されます。 たとえば、要素の順序値を 0 から 1 に変更すると、360 度ビューでその位置が隣に移動します。

7. [送信] をクリックします。
これで、定義した新しいビューが 360 度ビューで利用できるようになります。



360 度ビューを探索する

使用するテーブルのデータレジストリを正常に設定すると、360 度ビュー機能を使用して、選択したレコードと関連オブジェクト (コントロール、リスク、エンティティタイプなど) との関係を表示できます。

特定のレコードから 360 度ビューを起動すると、選択したレコードと関連付けられたすべてのオブジェクトとの間の関係が特徴的にビジュアル化されて表示されるため、オブジェクトがどのように相互作用するかを即座に理解できます。関係はデータにリンクされているため、表示されたレコードに対して、ドリルダウンして追加の詳細を表示したり、新しいレコードを作成したりといったアクションを実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク：可用性損失エンティティの **360** 度ビュー



上の画面には、選択したメインオブジェクト (この場合は、リスク：可用性損失エンティティ) のデータレジストリで設定した関係が表示されます。お分かりのように、1 つのエンティティと 1 つのコントロールがメインオブジェクトに適用されます。メインオブジェクトには、リスク対応タスク、内部リスクイベント、およびリスクアセスメントに関連するさまざまな関係が含まれます。さらに、メインオブジェクトのアップストリームにリスクステートメント関係があります。メインオブジェクトに対するこれらの関係はすべて一目でわかります。

360 度ビューを起動する

データレジストリを設定すると、GRC ワークスペースアプリケーションの任意のレコード画面から 360 度ビューを起動して、選択したレコードに関連付けられたさまざまなタイプのデータ間の関係を表示できます。

始める前に

必要なロール：データレジストリリーダー

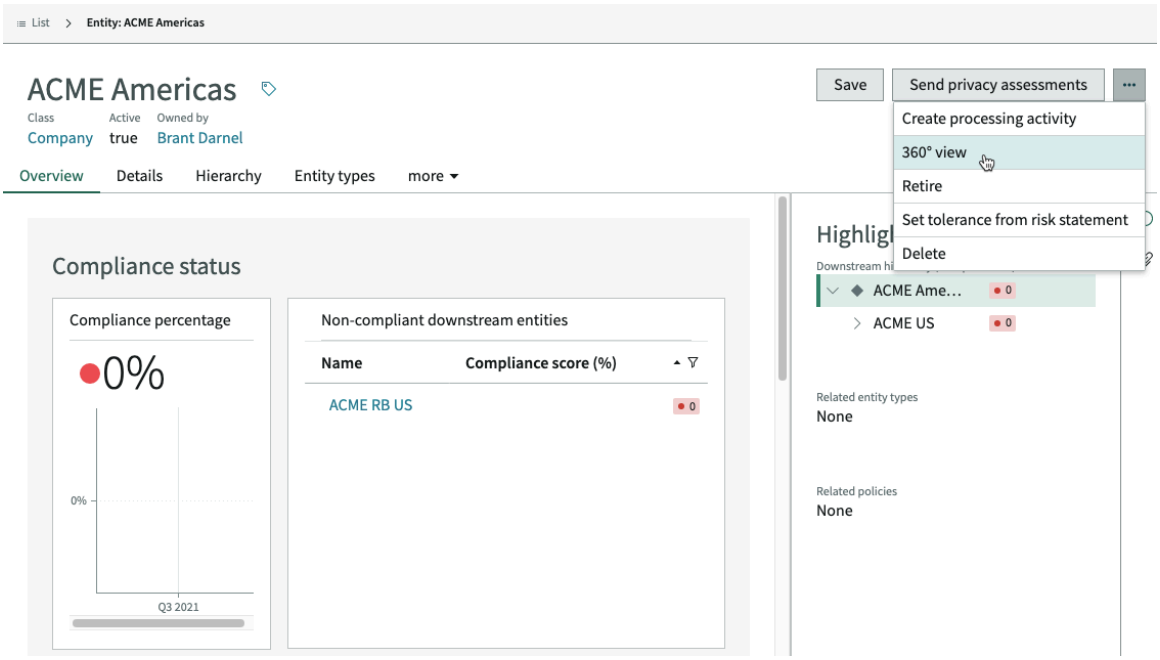
手順

1. 任意の GRC ワークスペース (Compliance ワークスペースなど) に移動します。
2. 360 度ビューで開くレコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースのレコード



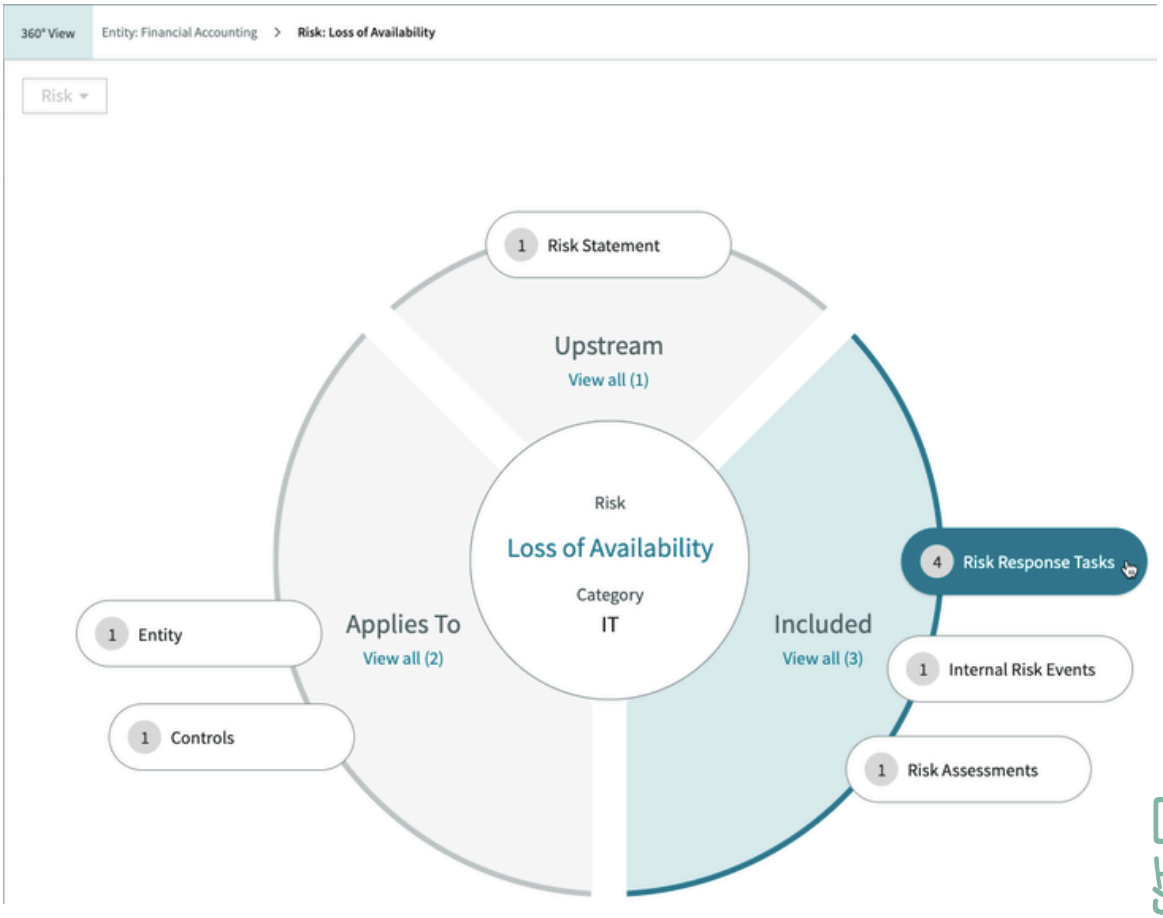
注:
レコード画面によっては、**[360 度ビュー (360° view)]** ボタンを表示するために省略記号アイコンをクリックする必要があります。

3. **[360 度ビュー (360° view)]** をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したレコードの **360** 度ビュー



注:
データレジストリを設定する前に 360 度ビューを起動した場合、または 360 度ビュー内で設定されていないオブジェクトをクリックした場合は、ビジュアル化画面が代替 (または、未構成) モードで開きます。オブジェクトのすべての 1 対多と多対多の関係が自動的に計算され、ビューに表示されます。

`sn_data_registry.max_count_of_fallback_relationships` というシステムプロパティを使用すると、360 度ビューに表示する関係の最大数を定義できます。デフォルト値は 25 です。

360 度の詳細をドリルダウンする

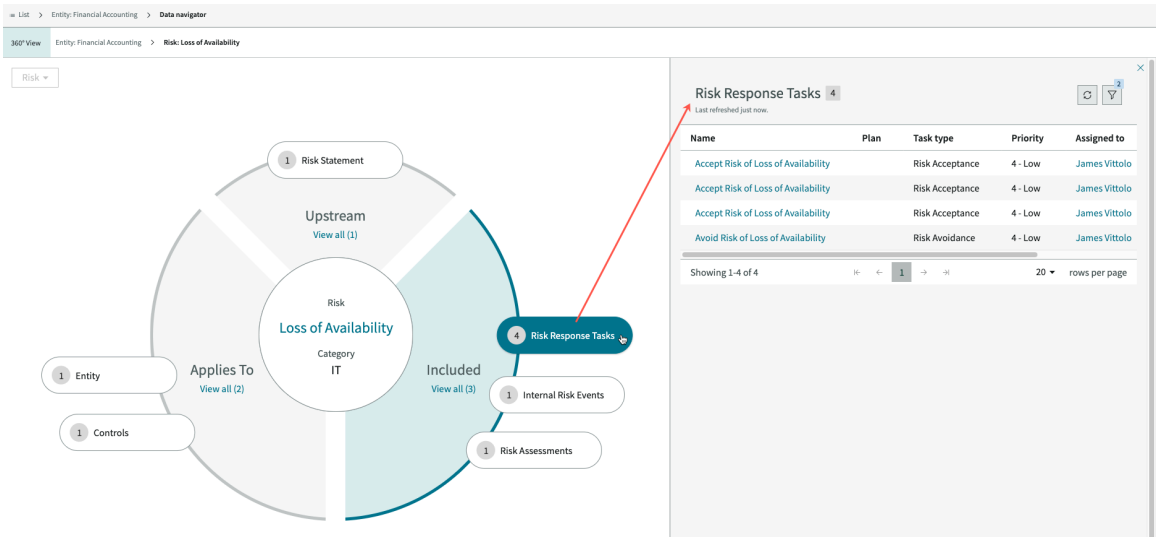
360 度ビューでは、任意の関係をクリックして詳細を表示できます。

たとえば、[リスク] 関係をクリックすると、4 つのリスクの詳細を表示できます。

自動翻訳

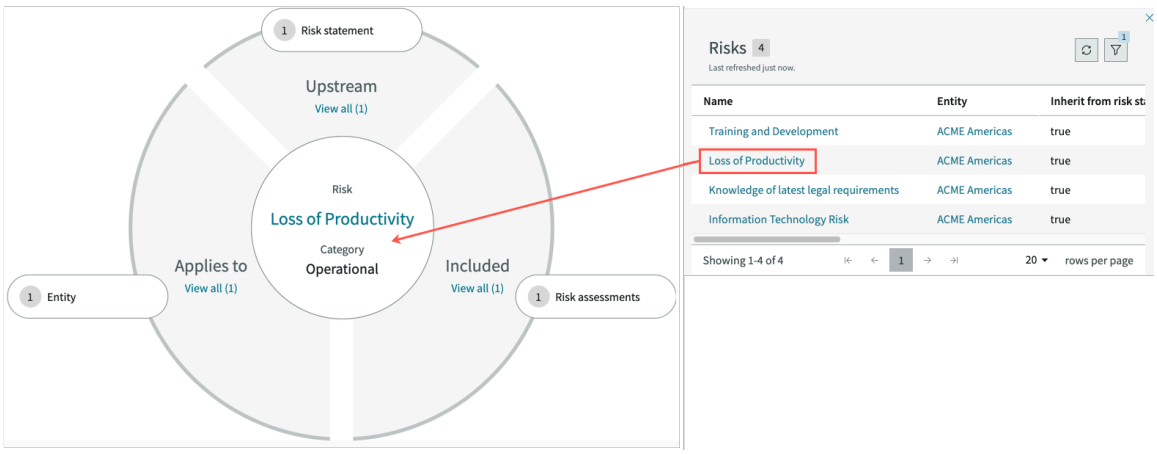
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスクをドリルダウンする



いずれかのリスクレコードを選択して、そのリスクレコードに固有の関係を表示できます。

選択したリスクの関係を表示する



ブレッドクラムを使用して **360** 度ビューを移動する

360 度ビューの関係ビジュアル化を移動すると、上端に沿ったブレッドクラムが移動した場所を追跡するため、以前に表示した情報に戻ることができます。

360 度ビューのブレッドクラム



[エンティティ：**ACME Americas]** ブレッドクラムをクリックすると、これらの関係のビジュアル化に戻ります。

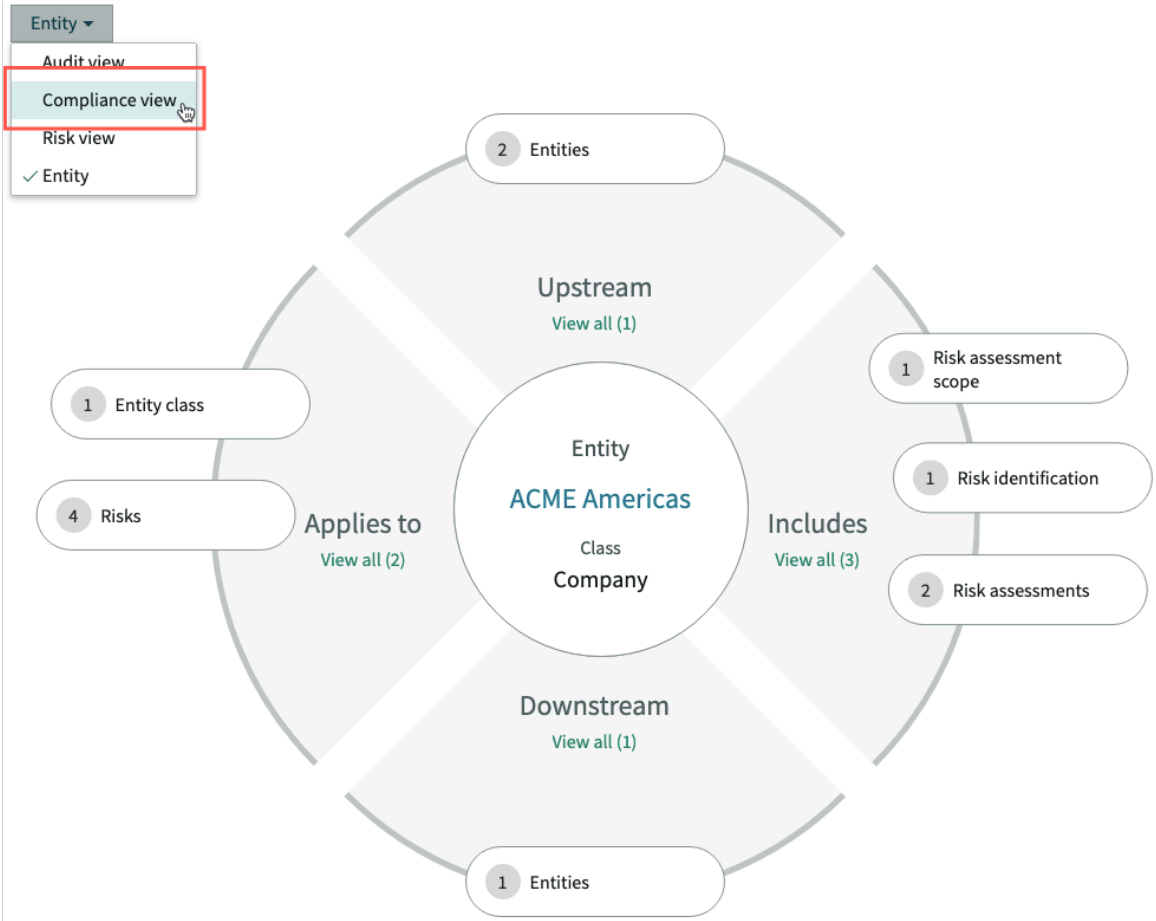
さまざまな **360** 度ビューを選択する

さまざまなビューを定義している場合は、どの 360 度ビューのビジュアル化からも選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さまざまなビューを選択する

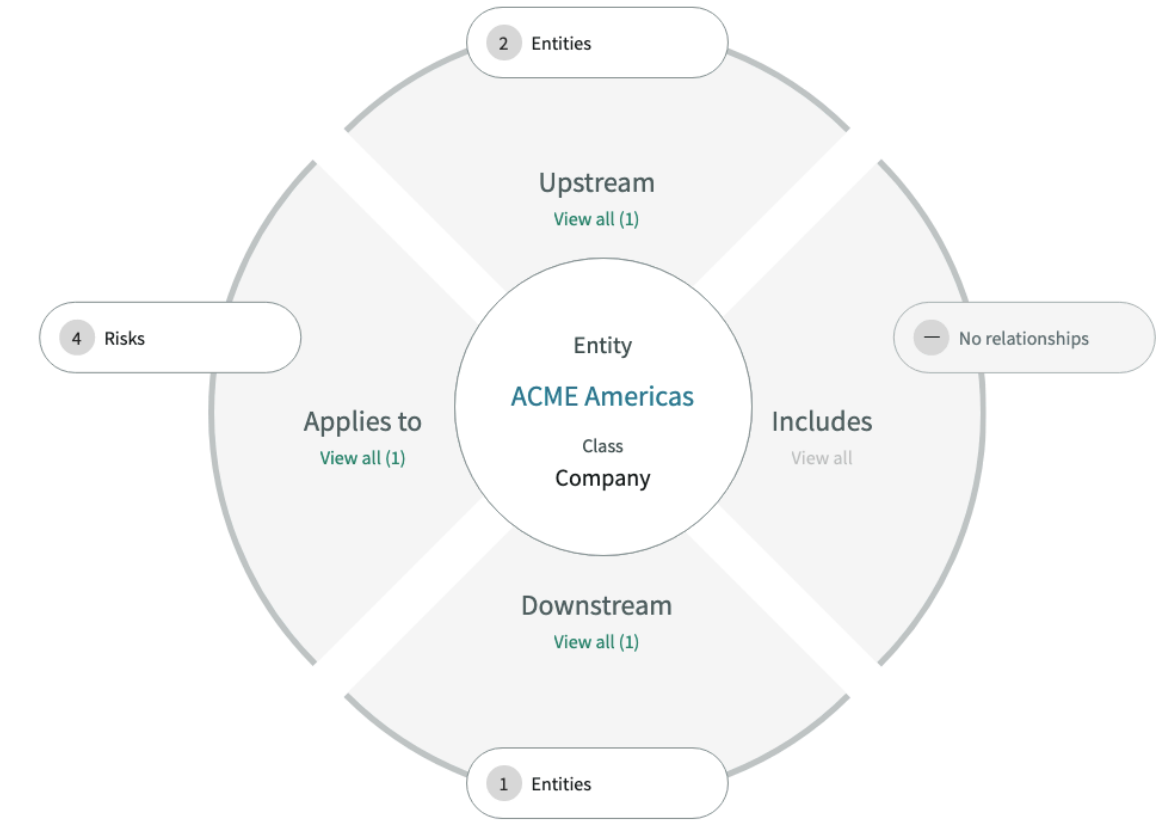


コンプライアンスビューには、コンプライアンスに固有のメインオブジェクトの関係が構成に従って表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスビュー



関連情報

360 度ビューを構成する

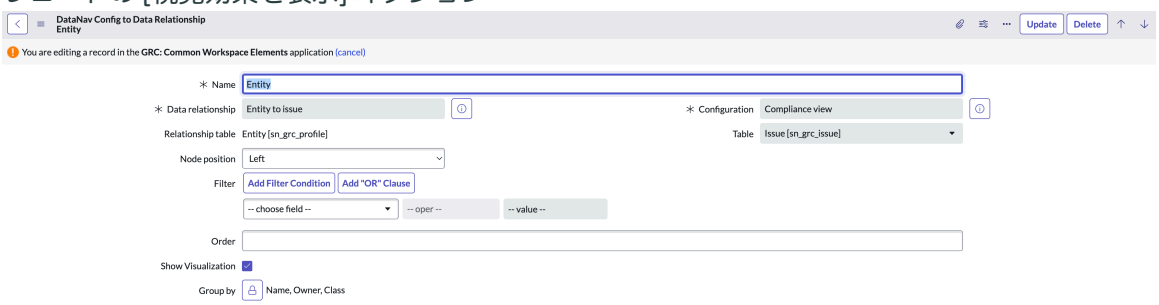
360 度ビューの機能拡張

GRC の更新の一部として、各レコードの 360 度ビューでいくつかの機能拡張を設定できます。

更新された 360 度ビューでは、次の機能拡張とバグ修正がサポートされています。

- インタラクティブなドーナツグラフの表示：各レコードの [視覚効果を表示] オプションを有効にし、[グループ] リストの表示列を選択できます。以下の例を参照してください。

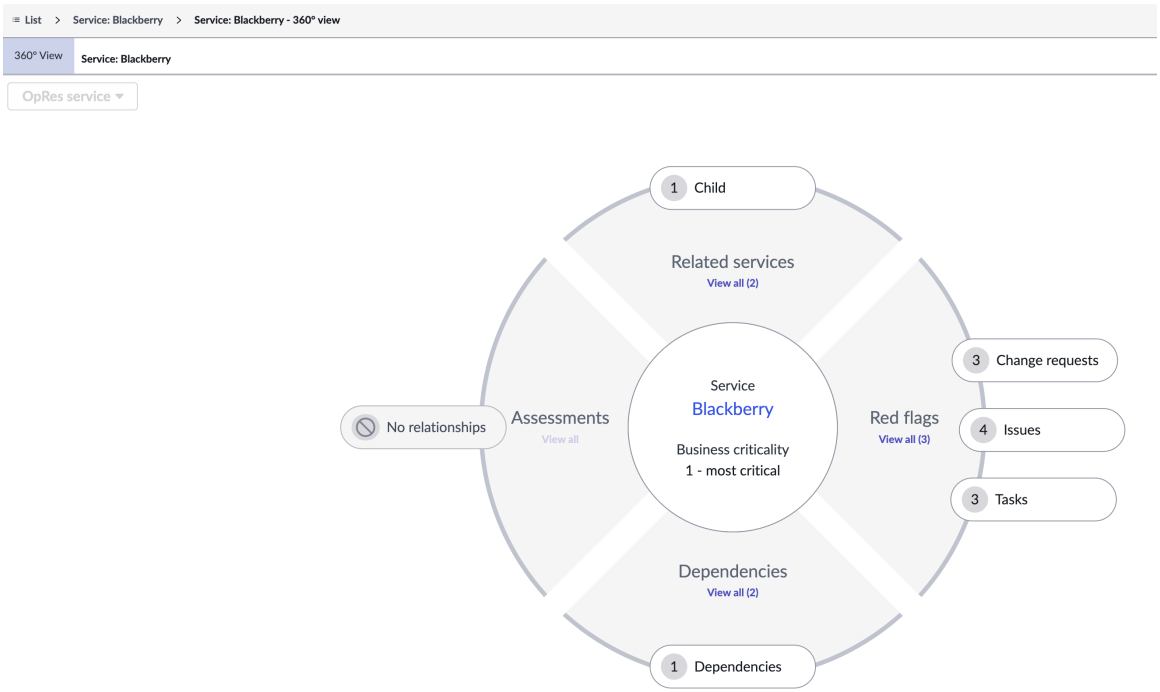
  レコードの [視覚効果を表示] オプション

  レコードの [視覚効果を表示] オプションを有効にすると、360 度ビューが表示されます。360 度ビューでは、次の例に示すように、レコードに関連付けられているすべてのオブジェクトを表示できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

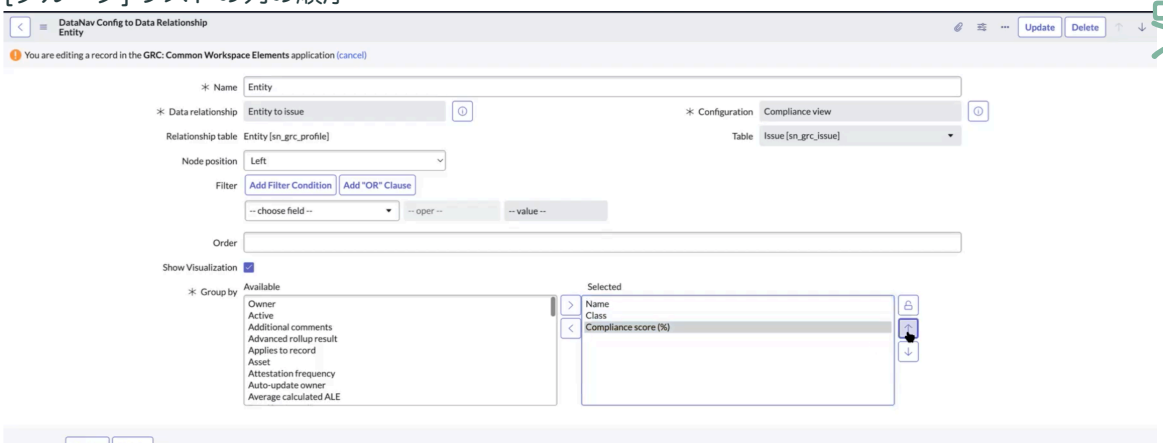
レコードの **360** 度ビュー



ドーナツグラフのいずれかのセクターをクリックすると、選択したオブジェクトに関連付けられている関連リストが更新されます。オブジェクトピルをクリックすると、選択したオブジェクトのドーナツグラフがサイドパネルに表示されます。

- [グループ] リストの設定： [グループ] リストの列の数と順序を設定できます。次の例に示すように [グループ] リストの列を更新すると、選択した列のドーナツグラフが更新されます。

  [グループ] リストの列の順序



[グループ] リストで列の特定の順序を選択すると、列の同じ順序が UI に反映されます。[選択済み] リストに表示される最初の列は、顧客に表示されるデフォルト値です。

- ピルの順序：[順序] フィールドで各セクションのピルの順序を設定できます。ピルの順序を設定しておらず、すべてのピルの順序値が同じ場合 (たとえば、各ピルの順序値が 1 の場合)、ピルはアルファベット順に表示されます。
- 欠陥の修正は次のとおりです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 関連リストの欠陥の修正：関連リストの欠陥が修正されました。同じテーブルを参照する関連リスト間の競合を回避するために、新しい sys_relationship フィールドがコードに追加されました。
- Apple iPad Pro デバイスの欠陥の修正：以前は、より小さな 12.9 インチ (0.328 メートル) の Apple iPad デバイスや、16 インチ (0.406 メートル) の Apple iPad Pro デバイスのデフォルトビューに、複数の垂直および水平スクロールが表示されていました。より小型の Apple iPad デバイスのビューに関連する欠陥が修正されました。Apple iPad デバイスでは、ビューをスクロールしなくても 360 度コンポーネント全体を表示できます。
- ナビゲーションパスの欠陥の修正：以前のリリースに存在していたキャッシュの問題に関連する欠陥が修正されました。レコードのナビゲーションパスを正しく表示できるようになりました。

アイテム生成プロセスを使用してコントロールとリスクを生成する

アプリケーションの ServiceNow® GRC スイートは、拡張されたアイテム生成プロセスを使用して、組織のコントロールとリスクを自動的に生成できます。バージョン 13.x.x の拡張アイテム生成プロセス (v2) は、バージョン 12.x.x およびそれ以前のリリースのアイテム生成プロセス (v1) からの停止とパフォーマンスの問題を修正します。

アイテム生成プロセスの概要

ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションを使用すると、アイテム生成プロセスを使用して組織のコントロールとリスクを生成できます。

コントロールは、組織が実行する実際のコントロールアクティビティです。たとえば、コントロールは、信頼できるソースコンテンツ (法務記事、規制、または公開レコード)、ポリシー、およびリスクに関連している場合があります。ポリシーをエンティティタイプ (一連のフィルター条件に一致するエンティティのグループ化) に関連付けるか、またはエンティティタイプをコントロール目標に関連付けると、コントロールが自動的に生成されます。コントロールの詳細については、「コントロールを管理」を参照してください。

リスクとは、組織のビジネス目標に悪影響を与える可能性のある脅威または脆弱性のことです。たとえば、リスクは、任意のアイテム、ポリシー、コントロール、または修正タスクに関連する場合があります。リスクフレームワークまたはリスクステートメントとエンティティタイプを関連付けると、リスクが自動的に生成されます。

注:
リスクステートメントは、組織で発生する可能性のある潜在的なリスクまたは脅威に関する一般的なステートメントです。リスクフレームワークは、リスクアセスメント、応答、およびそれに関連するリスクおよび軽減アクティビティの説明責任で構成されます。

リスクの詳細については、「Risk Management の使用」を参照してください。

バージョン 12.x.x およびそれ以前のリリースのアイテム生成プロセス (v1) では、アクションキュー内の停止したアクションが原因で非同期の更新が生成されていました。拡張アイテム生成プロセス (v2) により、停止する問題が解消され、コントロールとリスクの処理時間が大幅に改善されます。たとえば、従来のアイテム生成プロセス (v1) は約 13.7 分で 10,000 のリスクを生成しましたが、新しいアイテム生成プロセス (v2) では約 5.27 分で 10,000 のリスクを生成できます。

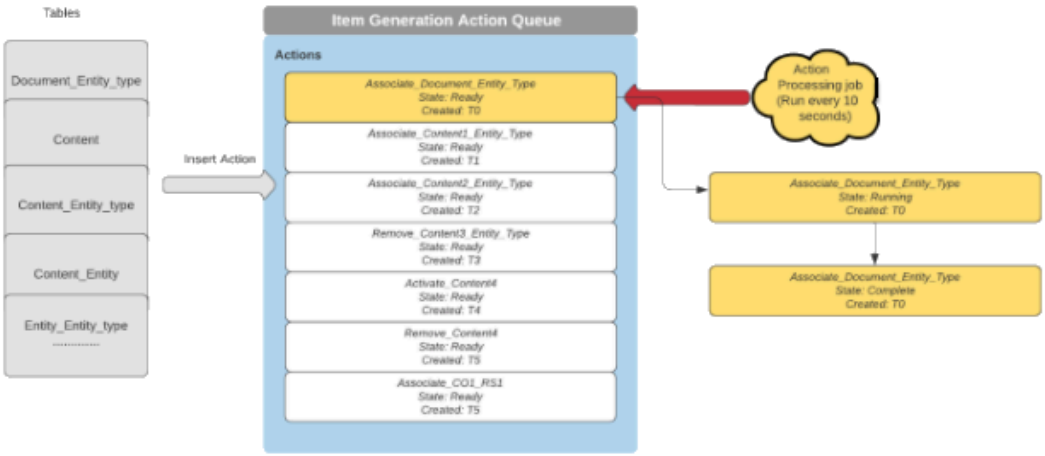
アイテム生成のプロセスフロー

アイテム生成プロセスは、アクションをアクションキューに挿入し、アクションを 1 つずつ順番に実行します。ジョブスケジュールが定期的に実行され、アクションキューがチェックされます。アクションがキューで実行されている場合、ジョブスケジュールはそれをスキップします。現在の実行中のアクションが完了し、他のアクションが進行中でない場合は、次の例に示すように、ジョブスケジュールはキュー内の [準備完了] ステータスのアクションを取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム生成のプロセスフロー



アイテム生成プロセスのメリット

新しいアイテム生成プロセスには、次の主なメリットがあります。

- アイテム生成アクションのイベントキューを使用して、コントロールとリスクを迅速に処理します。
- 不整合な更新を生成したキュー内の停止したアクションと競合状態を排除します。
- アイテム生成アクションの履歴とステータスをログに記録します。
- アイテム生成アクションのイベントキューのエラーに関する詳細情報を提供します。問題を迅速かつ効率的に追跡してトラブルシューティングするために役立ちます。
- コンプライアンスマネージャーとリスクマネージャーが、ほとんどメンテナンスを行わずにオートパイロットモードでコントロールとリスクを管理するために役立ちます。

アイテム生成プロセスで使用されるアプリケーション

次の GRC アプリケーションが、 アイテム生成プロセスで使用されます。

- GRC: ポリシーとコンプライアンス管理
- GRC: リスク管理
- GRC: Profiles

GRC: Profiles アプリケーションは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 または GRC: リスク管理 アプリケーションが有効化されると、自動的にインストールされます。

アップグレードシナリオと既存の実装へのそれらの影響

ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードする必要があります。ポリシーとコンプライアンス管理 および リスク管理 アプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードすると、新しいアイテム生成プロセス (v2) が従来のアイテム生成プロセス (v1) に置き換わります。

注:
ポリシーとコンプライアンス管理 および リスク管理 アプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードすると、GRC: Profiles アプリケーションがバージョン 13.x.x に自動的にアップグレードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なバージョンの ポリシーとコンプライアンス管理 および リスク管理 アプリケーションがインスタンスにインストールされていることを確認します。インストールされているアプリケーションに次のいずれかのシナリオが該当する場合、画面にエラーメッセージが表示されます。

- 以前に ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションがインスタンスにインストールされていて、そのうちの 1 つだけをバージョン 13.x.x にアップグレードする
- ポリシーとコンプライアンス管理 または リスク管理 のいずれかのアプリケーションのみがインスタンスにインストールされており、GRC: Profiles アプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードする
- インスタンスに ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションがインストールされており、GRC: Profiles アプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードする

エラーメッセージには、次の例に示すように、ポリシーとコンプライアンス管理 と リスク管理 の両方のアプリケーションをバージョン 13.x.x にアップグレードする必要があることが示されます。

アプリケーションをアップグレードするためのメッセージ



アップグレードしても、アイテム生成プロセスの既存の実装に目に見える影響はありません。

注:
バージョン 13.x.x にアップグレードしていない場合でも、従来のアイテム生成プロセスは引き続きサポートされます。

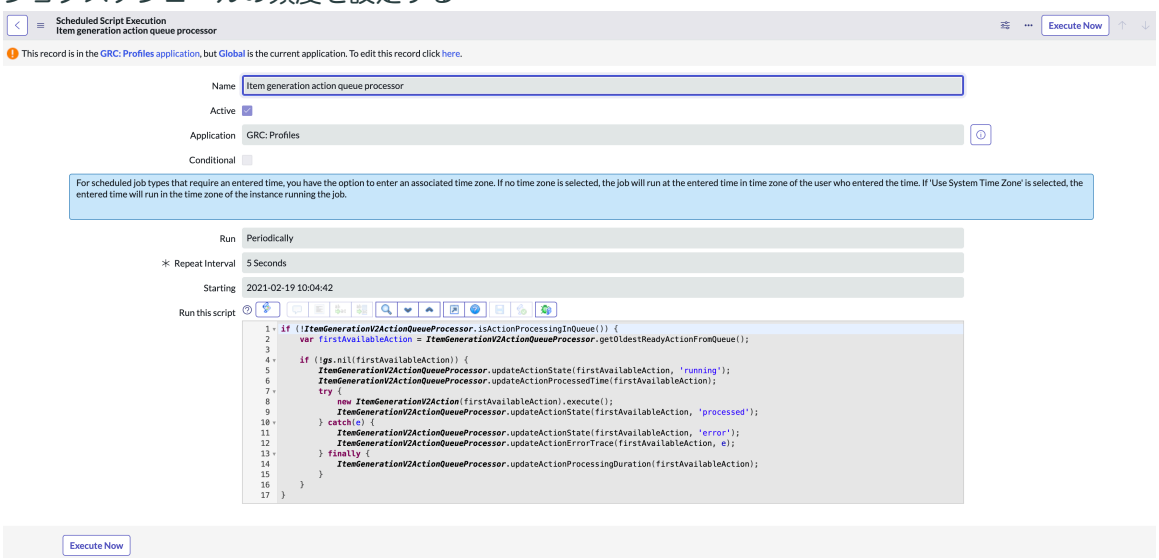
アイテム生成プロセスで使用されるコンポーネント

アイテム生成プロセスでは、テーブル、ジョブスケジュール、アクションハンドラーなどのいくつかのタイプの参照コンポーネントが使用されます。アイテム生成プロセスで使用されるコンポーネントの詳細については、「アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

ジョブスケジュールとアクションイベントキューを使用する

アイテム生成プロセスは、*Item generation action queue processor* ジョブスケジュールとアクションイベントキューをバックグラウンドで使用します。sn_grc.admin ロールを持つユーザーは、次の例に示すように、ジョブスケジュールの頻度を設定できます。

ジョブスケジュールの頻度を設定する

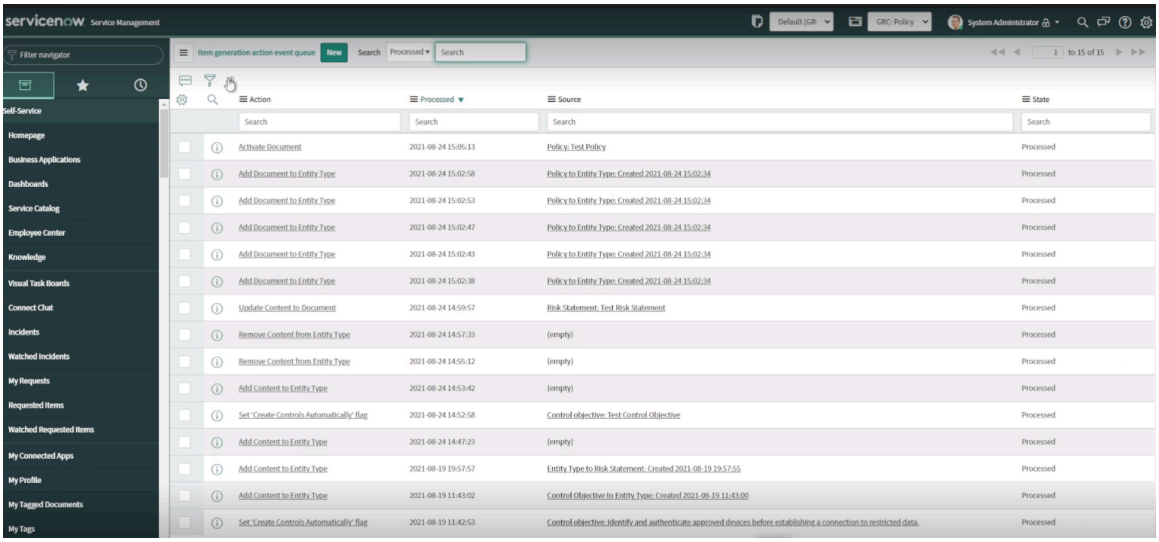


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

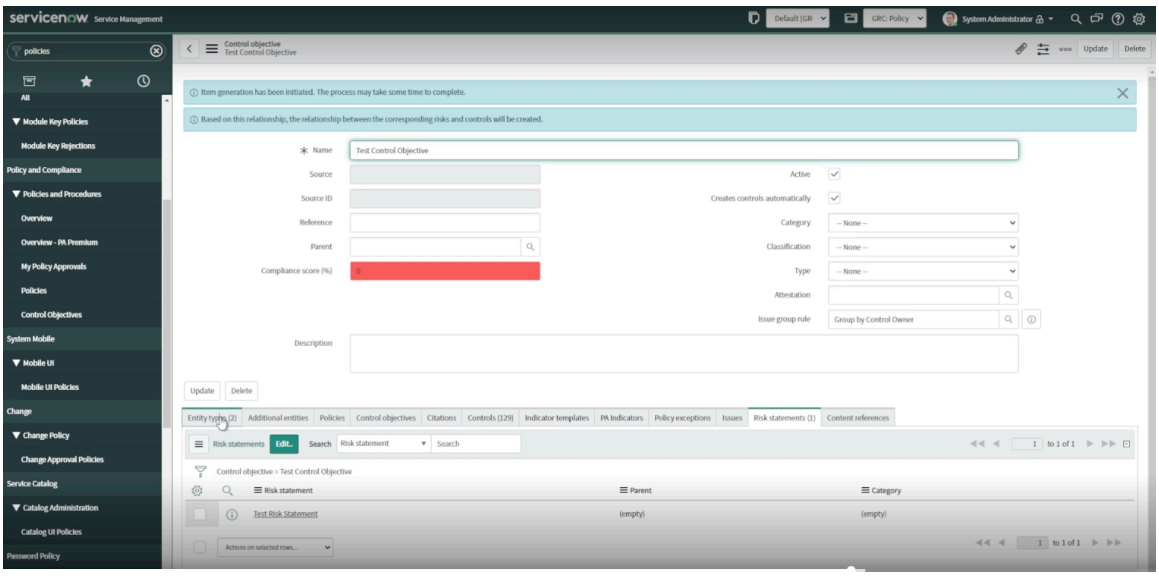
コントロールまたはリスクを生成、更新、または削除するアクションを開始すると、ジョブスケジュールによって sn_grc_item_generation_action_event_queue.list テーブルに各アクションのレコードが挿入されます。アイテム生成アクションのイベントキューを次の例に示します。

アイテム生成アクションのイベントキュー



アイテム生成プロセスを使用してアクションが生成されると、アイテム生成プロセスが開始されたというメッセージが表示されます。たとえば、コントロール目標にリスクステートメントを追加すると、次の例に示すメッセージが表示されます。

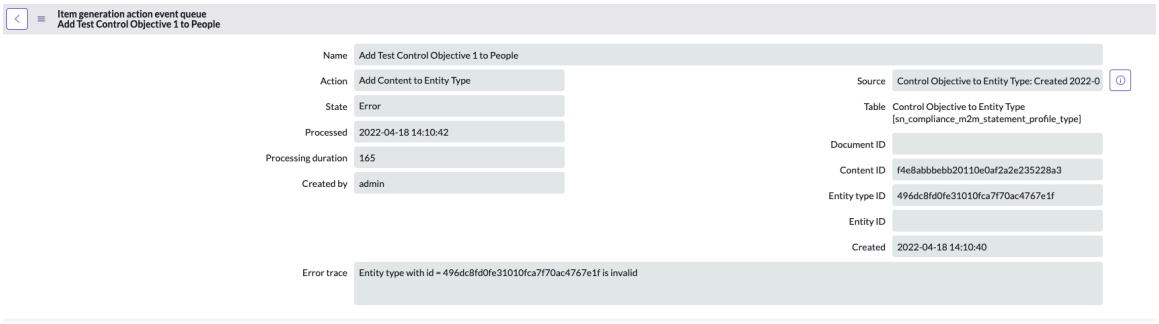
アイテム生成プロセスの開始



キュー内のアクションの処理中にエラーが発生した場合、アイテム生成プロセスはエラーに関する詳細情報を表示します。たとえば、次の例に示すように、オブジェクト ID を含むエラートレースが表示される場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エラートレース



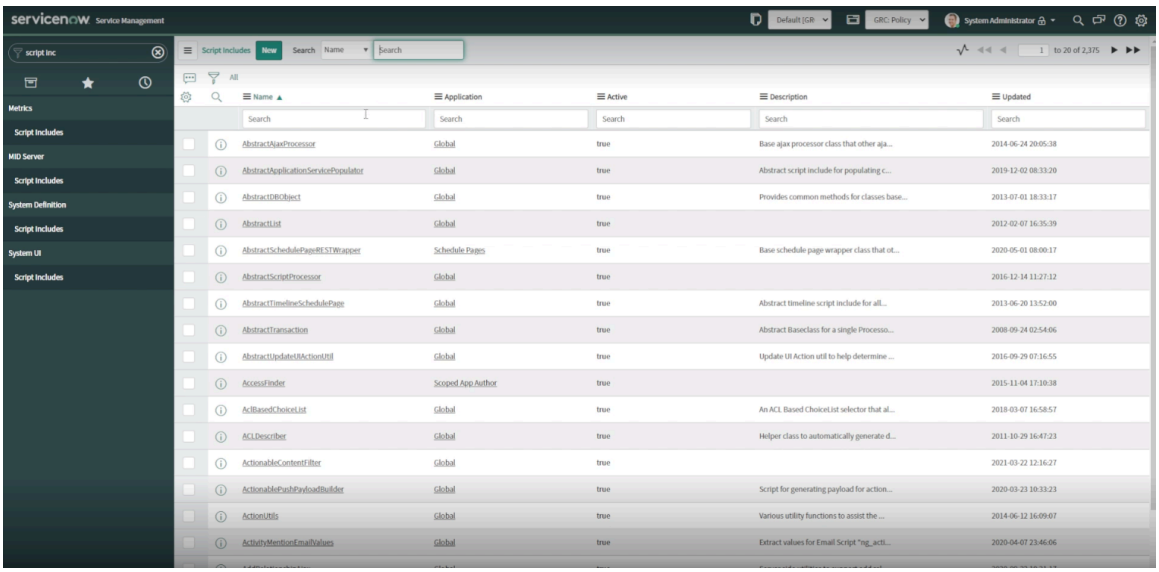
キュー内のエラートレースとその他の詳細を使用して、問題の追跡とトラブルシューティングを行うことができます。

スクリプトインクルードアクションハンドラー

アイテム生成プロセスは、ポリシーとコンプライアンス管理 および リスク管理 アプリケーションのアクションを処理するスクリプトインクルードアクションハンドラーを使用します。

サポートされているアクションハンドラーのリストを表示するには、次の例に示すように、アプリケーションナビゲーターの [スクリプトインクルード] に移動します。

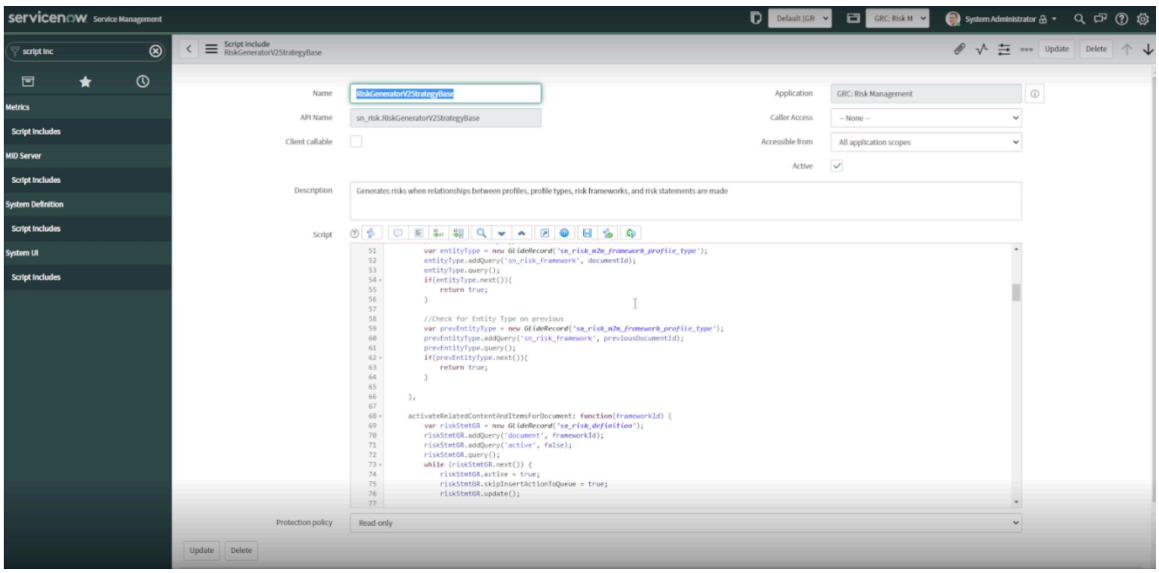
スクリプトインクルードアクションハンドラー



すべてのスクリプトインクルードアクションハンドラーには、基本バージョンと拡張バージョンが含まれています。アイテム生成プロセスでは、アクションを処理するために基本バージョンが使用されます。sn_grc.manager ロールを持つユーザーは、次の例に示すように、アクションハンドラーにリストされている基本機能を確認できます。

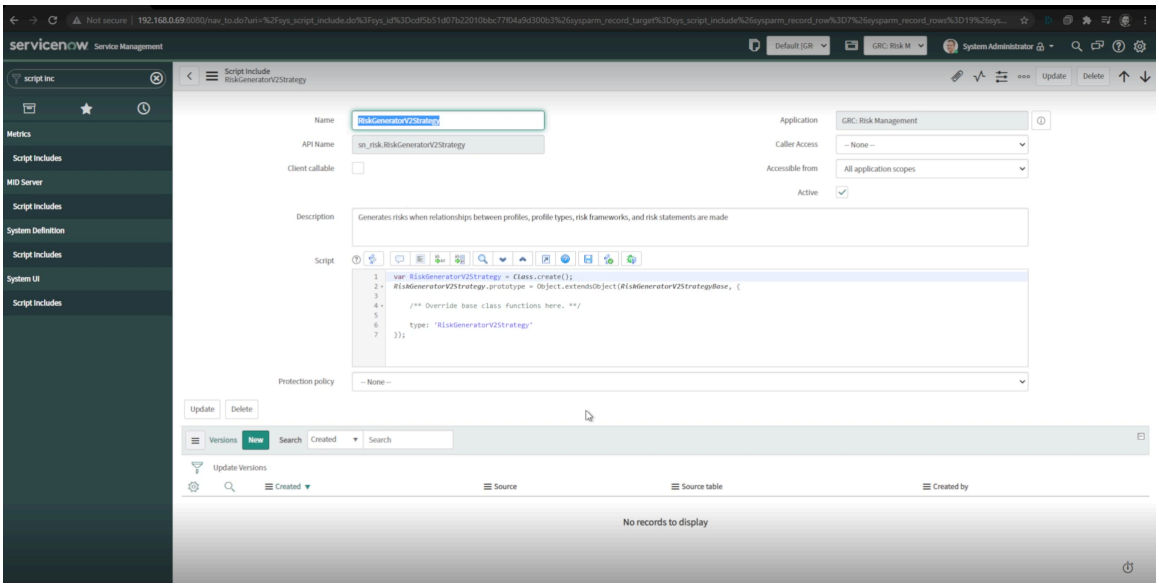
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

基本機能



script_include_admin ロールを持つユーザーは、次の例に示すように、基本機能を上書きすることでコントロールまたはリスクのアクション戦略を変更できます。

基本機能を上書きする



アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント

アイテム生成プロセスとともに、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ジョブスケジュール、アクションハンドラーなど) がインストールされます。

次のコンポーネントは、バージョン 13.x.x のアイテム生成プロセスとともにインストールされます。

アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント

コンポーネント	説明
テーブル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント (続く)

コンポーネント	説明
アイテム生成アクション のイベントキューテーブル (sn_grc_item_generation_action_event_queue)	アイテム生成プロセス中に生成されるアクションを一覧表示するテーブル。
ジョブスケジュール	
アイテム生成アクションのキュープロセッサ	アクションキューを処理するジョブスケジュール。デフォルトでは、ジョブは 5 秒ごとに実行されます。
アクションハンドラー	
ItemGenerationV2Action	アイテムの生成に使用されるすべてのアクションハンドラーの単一のビュー。
IGContentToEntityTypeActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • エンティティタイプにコントロール目標とリスクステートメントを追加する。 • エンティティタイプからコントロール目標とリスクステートメントを削除する。
IGDocumentToEntityTypeActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • エンティティタイプにポリシーとリスクフレームワークを追加する。 • エンティティタイプからポリシーとリスクフレームワークを削除する。
IGEntityTypeActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • エンティティタイプを有効化する。 • エンティティタイプを削除する。 • エンティティタイプを非アクティブ化する。
IGEntityToEntityTypeActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • エンティティタイプにエンティティを追加する。 • エンティティタイプからエンティティを削除する。
IGContentActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント (続く)

コンポーネント	説明
	• コントロール目標とリスクステートメントを有効化する。 • コントロール目標とリスクステートメントを非アクティブ化する。 • コントロール目標とリスクステートメントを作成する。 • 自動コントロール作成フラグを設定する。 • リスクステートメントにコントロール目標を追加する。 • リスクステートメントからコントロール目標を削除する。 • コントロール目標とリスクステートメントを削除する。
IGDocumentActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • ポリシーとリスクフレームワークを有効化する。 • ポリシーとリスクフレームワークを非アクティブ化する。 • コントロール目標とリスクステートメントをポリシーとリスクフレームワークに追加する。 • コントロール目標とリスクステートメントをポリシーとリスクフレームワークから削除する。
IGEntityActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • エンティティを有効化する。 • エンティティを非アクティブ化する。
IGContentToAddtlEntityActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • 追加のエンティティにコントロール目標とリスクステートメントを追加する。 • 追加のエンティティからコントロール目標とリスクステートメントを削除する。
IGItemActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム生成プロセスとともにインストールされるコンポーネント (続く)

コンポーネント	説明
	• アイテムを有効化する。 • アイテムを非アクティブ化する。 • アイテムを削除する。
IGItemToEntityActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • アイテムにエンティティを追加する。 • アイテムへのエンティティを有効化する。 • アイテムからエンティティを削除する。 • アイテムへのエンティティを非アクティブ化する。
IGItemToEntityTypeActionHandler	次のいずれかのアクションを実行したときに呼び出されるハンドラー。 • アイテムにエンティティタイプを追加する。 • アイテムからエンティティタイプを削除する。

注:
共通コントロールのアイテム生成プロセスの詳細については、「アイテムの生成における 新しいアクションタイプ」を参照してください。

新しいアイテム生成プロセスのロールとユーザー

sn_grc.admin または sn_risk.manager ロールを持つユーザーは、インスタンスの sn_grc_item_generation_action_event_queue.list テーブルにアクセスして、アイテム生成アクションキューを表示できます。

アイテム生成プロセスをトリガーするコンプライアンスおよびリスクのユーザーロールと、それらに関連付けられたタスクを次の表に示します。

注:
この表に記載されているコンプライアンスおよびリスクのユーザーロールは、バージョン 12.x.x およびそれ以前のリリースで利用可能です。

コンプライアンスおよびリスクのユーザーロールと関連タスク

コンプライアンスとリスクのユーザーロール	関連付けられたタスク
• sn_compliance.admin • sn_risk.admin	• ポリシーを削除する。 • リスクフレームワークを削除する。 • コントロール目標とリスクステートメントを削除する。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスおよびリスクのユーザーロールと関連タスク (続く)

コンプライアンスとリスクのユーザーロール	関連付けられたタスク
	• エンティティを削除する。 • エンティティタイプを削除する。
• sn_compliance.manager • sn_risk.manager	• ポリシーまたはリスクフレームワークをエンティティに関連付ける。 • ポリシーまたはリスクフレームワークをエンティティから削除する。 • ポリシーまたはリスクフレームワークをエンティティタイプに関連付ける。 • ポリシーまたはリスクフレームワークをエンティティタイプから削除する。 • エンティティタイプを有効化する。 • エンティティタイプを非アクティブ化する。 • エンティティタイプにエンティティを関連付ける。 • エンティティタイプからエンティティを削除する。 • リスクステートメントにコントロール目標を追加する。 • リスクステートメントからコントロール目標を削除する。
• sn_compliance.manager • sn_risk.manager • エンティティオーナー	• エンティティを有効化する。 • エンティティを非アクティブ化する。
• sn_compliance.user • sn_risk.user	• コントロール目標とリスクステートメントを作成する。 • [コントロールを自動的に作成] オプションを有効にする。
sn_risk.manager	• リスクフレームワークにリスクステートメントを追加する。 • リスクフレームワークに追加されたリスクステートメントを変更する。

共通コントロールのアイテム生成における操作の変更

アイテムの生成で操作上の変更が行われるのは、主にアイテムの生成によってコントロールが作成されるか、既存の標準コントロールが有効化されるためです。コントロールをエンティティに関連付け

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

る場合は、そのエンティティのコントロールを作成するよりも、依存エンティティを共通コントロールに関連付けることが優先されます。

コントロールの作成

システム内の既存のコントロールをエンティティのテストに使用できる場合は、既存のデータを利用してコントロールの作成を回避できます。多数のコントロールがあると、コントロールの急増につながる場合があります。それが実現不可能な場合は、プライマリエンティティを共通コントロールに関連付けて、共通コントロールをテストし、共通コントロールの依存エンティティにテスト結果を実装できます。これらのオプションが両方とも機能しない場合は、コントロールを作成できます。

共通コントロールを作成するには、コントロールフォームの [機能] フィールドで [共通] を選択します。[共通に変換] リスト UI アクションを選択します。共通コントロールは検証時に作成されます。標準コントロールを共通コントロールに変換する前に、コントロール目標を選択する必要があります。

依存エンティティを共通コントロールに関連付ける

1. コントロールフォームの [依存エンティティ] 関連リストを使用して、個々のエンティティを共通コントロールに追加します。[削除] ボタンを使用して依存エンティティを削除することもできます。
2. コントロールフォームの [依存エンティティタイプ] 関連リストを使用して、エンティティタイプを共通コントロールに追加します。[削除] ボタンを使用して依存エンティティタイプを削除することもできます。
3. リスクフォームの [コントロール] 関連リストの [共通コントロールを継承] UI アクションを使用して、コントロール目標別にグループ化された共通コントロールを選択します。

> **注:**
> 共通コントロールの依存エンティティの関連付けの詳細については、「Compliance ワークスペースを使用してコントロールを作成する」および「標準コントロールを共通コントロールに変換して依存エンティティを追加する」を参照してください。

アイテムの生成 - 仮定

- 共通コントロールの自動生成はありません。
- 共通コントロールの存在または依存エンティティの共通コントロールまたは標準コントロールへの関連付けがチェックされるときには、コントロールの名前、エンティティ、およびコントロール目標が一致する必要があります。
- 標準コントロールと共通コントロールの優先順位：
  - 依存関係と標準コントロールが存在しない場合は、アクションタイプに基づいて標準コントロールが作成されます。アクションタイプには、[エンティティタイプにコンテンツを追加]、[エンティティタイプにドキュメントを追加]、[コンテンツをアクティブ化]、[ドキュメントをアクティブ化] などがあります。
  - 依存関係と標準コントロールが存在しない場合は、アクションタイプに基づいて共通コントロールへの依存関係が作成されます。アクションタイプは、[共通コントロールにエンティティタイプを追加 (Add entity type to common control)] になります。
  - ユーザーの意図がアクションタイプから明確でなく、標準コントロールがまだ存在しない場合、競合するエンティティタイプでは、標準コントロールの作成より、共通コントロールへの依存エンティティの関連付けが優先されます。アクションタイプは、たとえば [エンティティタイプにエンティティを追加] になります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム生成の変更

アイテムの生成における新しいアクションタイプ

アイテム生成アクションタイプ	説明
共通コントロールにエンティティタイプを追加 (Add entity type to common control)	エンティティが共通アイテムに関連付けられていない場合、アプリケーションは 2 つの間で m2m 関連付けを作成してエンティティを共通アイテムに関連付けます。
共通コントロールからエンティティタイプを削除 (Remove entity type from common control)	エンティティが共通アイテムに関連付けられていて、 [エンティティタイプ] フィールドに他のエンティティタイプがあるか、m2m レコードで **Individly_added** が true の場合、アプリケーションはエンティティタイプ ID を [エンティティタイプ] 列から削除するか、共通アイテムの m2m レコードへのエンティティを削除します。
エンティティをアイテムに追加	リスク管理 がインストールされている場合、コントロール目標に関連付けられたリスクステートメントに基づいて、依存エンティティが考慮された後に、共通コントロール m2m レコードに対するリスクがエンティティへのコントロール m2m テーブルに追加されます。
アイテムからエンティティを削除	• リスク管理 がインストールされている場合、コントロール目標に関連付けられたリスクステートメントに基づいて、依存エンティティが考慮された後に、共通コントロール m2m レコードに対するリスクが削除されます。 • プライバシー管理 がインストールされている場合、依存エンティティに基づく共通コントロール m2m 関連付けに対する処理アクティビティと、コントロール目標 m2m 関連付けに対する処理アクティビティも削除されます。
アイテムへのエンティティをアクティブ化 (Activate entity to item)	リスク管理 がインストールされている場合、コントロール目標に関連付けられたリスクステートメントに基づいて、その依存エンティティが考慮された後に、共通コントロール m2m レコードに対するリスクがエンティティへのコントロール m2m テーブルに追加されます。
アイテムへのエンティティを非アクティブ化 (Deactivate entity to item)	• リスク管理 がインストールされている場合、コントロール目標に関連付けられたリスクステートメントに基づいて、コントロールの依存エンティティが考慮された後に、共通コントロール m2m レコードに対するリスクが削除されます。 • プライバシー管理 がインストールされていて、処理アクティビティが依存エンティティに対応している場合、共通コントロール m2m

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムの生成における新しいアクションタイプ (続く)

アイテム生成アクションタイプ	説明
	関連付けに対する処理アクティビティと、コントロール目標 m2m 関連付けに対する処理アクティビティも削除されます。
アイテムをアクティブ化	以下の場合、共通アイテムが追加されます。 **1.** 同じ名前、コンテンツ (コントロールとコントロール目標)、およびエンティティの組み合わせを持つ標準コントロールが存在しない場合。 **2.** エンティティが同じ名前、コンテンツ、およびエンティティを持つ他の共通アイテムに依存していない場合。 **3.** エンティティがアクティブな場合。 以下の場合、標準アイテムが追加されます。 **1.** リスク管理 および ポリシーとコンプライアンス管理 のプラグインがインストールされている場合 **2.** リスクステートメントとコントロール目標の関連付けに基づいて、リスクがコントロールに関連付けられている場合。
アイテムを非アクティブ化	• 共通アイテム：すべてのエンティティへのコントロール m2m レコードを非アクティブにします。 • 標準アイテム：リスクステートメントとコントロール目標の関連付けに基づいて、コントロールへのリスクの関連付けが削除されます。

承認構成

承認者構成アプリケーションには、ビジネスルール定義に基づいて複数レベルの承認を定義する機能があります。

アプリケーションで複数のレベルの承認を設定するには、次の設定手順を構成する必要があります。

- 承認構成レコードをセットアップします。詳細については、「承認設定レコードの設定」を参照してください。
- 承認レベルを設定します。詳細については、「承認設定レコードの承認レベルをアサインする」を参照してください。
- 承認ルールを設定します。詳細については、「承認レベルの承認ルールの設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。

承認設定レコードの設定

複数のレベルの承認を有効にするように承認設定レコードを設定し、承認ルールに基づいて各レベルの承認者を選択します。

始める前に

承認構成用の GRC: Approver Configurator (sn_grc_appr) アプリケーションがアプリケーションとともに GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 インストールされます。

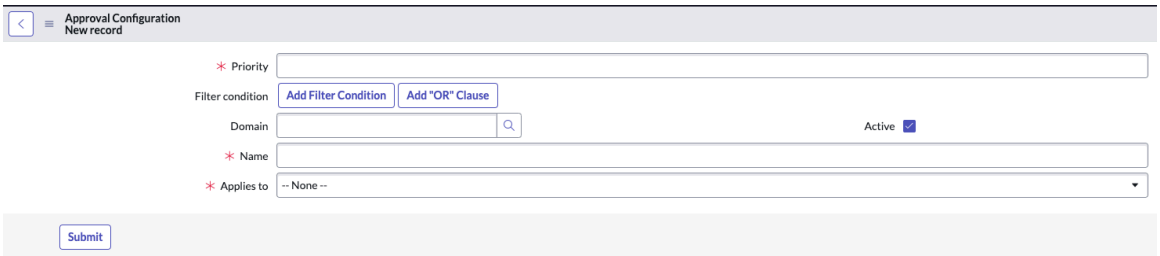
必要なロール

sn_grc_appr.admin、sn_compliance_ws.corporate_compliance_analyst、sn_compliance_ws.corporate_cor

手順

1. 移動先 すべて > 承認者コンフィグレーター > 承認構成.
2. [新規] を選択します。

   承認構成の新しいレコードが表示されます。



3. フォームのフィールドに入力します。
   フォーム内のフィールドの詳細については、「」を参照してください 承認構成の新規レコード。

   注:
   同じ優先度で複数の承認構成をテーブルに適用することはできません。

4. [送信] を選択します。

承認構成の新規レコード

承認構成の新規レコードフォームを使用して、承認構成レコードを作成します。

承認構成の新規レコード

[承認構成] フォーム

フィールド	説明
Priority (優先度)	承認構成の優先度。
フィルター条件	[適用先] フィールドを参照してテーブルに適用される条件。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[承認構成] フォーム (続く)

フィールド	説明
	承認者の評価用に、ビジネスドキュメントのフィルター条件に一致する優先度の高い承認構成が選択されます。
ドメイン	承認設定レコード用に選択されたドメイン。
アクティブ	承認構成を有効にするオプション。
名前	承認構成の名前。
適用先	承認のためのレコードの送信元となるテーブル。たとえば、リスクイベント、リスクイベントレポート、ビジネスインパクト分析、または任意のテーブルです。

承認設定レコードの承認レベルをアサインする

承認の各ステップをサポートするために、承認設定レコードに 1 つ以上の承認レベルをアサインします。

始める前に

必要なロール：sn_grc_appr.admin

手順

1. 移動先 すべて > 承認者コンフィグレーター > 承認構成.
2. リスト内の承認設定レコードをクリックして、承認レベルを設定します。
3. [承認レベル] セクションで [新規] をクリックします。
4. フォームのフィールドに入力します。

承認レベルフォーム

フィールド	説明
名前	承認レベルの名前。
レベル	承認のステージ。

注:
同じレベルで承認構成の複数の承認レベルを使用することはできません。

5. [送信] をクリックします。

承認レベルの新規レコードフォーム

承認レベルの新規レコードフォームを使用して、ポリシーレコードの承認構成を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認レベルの新規レコード

承認レベルの新規レコードフォーム

フィールド	説明
名前	承認レベルの名前。たとえば、レベル 1 などです。
レベル	ポリシーレコードの承認レベルの番号。たとえば、レベル 1 などです。ポリシーレコードには、最大 10 レベルの承認を設定できます。

承認レベルの承認ルールの設定

承認レベルの承認ルールを設定します。ソース、承認ルールが適用されるソーステーブルのフィルター条件、承認者タイプ、およびレコードの承認者を定義できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc_appr.admin

このタスクについて
特定の承認者、選択したソーステーブルからの承認者、動的承認者、またはビジネスドキュメントを承認するために選択した承認者を選択できます。たとえば、承認者には、リスク管理者、BIA オーナー、BCM 管理者、貢献者などが考えられます。

手順

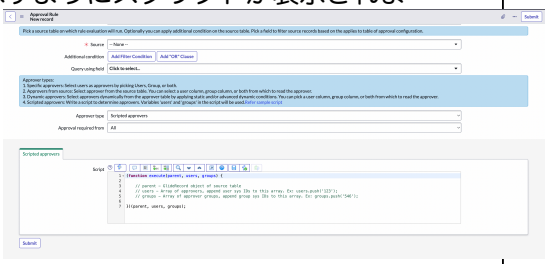
1. 移動先 すべて > 承認者コンフィグレーター > 承認構成.
2. リスト内の承認設定レコードをクリックします。
3. [承認レベル] セクションで [名前] 列の承認レベルレコードをクリックします。
4. [承認ルール] セクションで [新規] をクリックします。
5. フォームのフィールドに入力します。

承認ルールフォーム

フィールド	説明
名前	承認ルールの名前。
ソース	承認ルールが適用されるテーブル。
フィールドを使用するクエリー	承認テーブルとソーステーブルを接続するフィールド。
他の条件	ソーステーブルに適用されるフィルター条件。
承認者タイプ	承認者のタイプ。 ○ 特定の承認者：選択した承認者。 ○ ソースからの承認：ソーステーブルからのユーザーまたはグループ。 ○ 動的承認者：任意のテーブルから動的に選択された承認者。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ スクリプト化済み承認者：承認者を決定するためのスクリプト。下の例に示すようにスクリプトが表示されます。  **注:** セキュリティ上の理由から、BCM 管理者は、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの書き込みアクセス権がありません。Approver Configurator 開発者のみに、承認ルールフォームの [スクリプト] フィールドへの作成および書き込みアクセス権があります。 BCM admin ロールを持っている場合は、[承認者タイプ] リストから次のタイプの承認者のみを使用して承認ルールを設定できます。 ○ 特定の承認者 ○ ソースからの承認 GRC: Approver Configurator アプリケーションのロールの詳細については、「GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール」を参照してください。
次の承認が必要：	承認してもらう必要がある 1 人以上のステークホルダー。
説明	承認ルールに関する簡単なメモ。
承認者	
次からの承認者：	承認者テーブル。このフィールドは、承認者タイプが [ソースからの承認] または [動的承認者] である場合のみ使用できます。[ソースからの承認] の場合は、デフォルトでソーステーブルになります。
フィルター基準	承認者テーブルからのレコードをフィルターするための条件。 このフィールドは、承認者タイプが [動的承認者] である場合のみ使用できます。
詳細	スクリプト化された動的条件を設定するためのオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザーフィールド	承認者テーブルからのユーザー参照または承認者のリスト。
グループフィールド	承認者テーブルからの承認者としてのユーザーグループ参照。
動的条件	承認者テーブルに高度なフィルターを適用するためのスクリプトフィールド。
ユーザー	承認者として指定された 1 人以上のユーザー。
グループ	承認者のグループ。
スクリプト化済み承認者	
スクリプト	承認者を決定するためのスクリプト：スクリプト内のユーザーおよびグループが承認者として選択されます。

6. [送信] をクリックします。

[承認ルール新規レコード **(Approval Rule New Record)]** フォーム

承認ルール新規レコードフォームを使用して、ポリシーレコードの承認レベルの承認ルールを作成します。

承認ルールフォーム

フィールド	説明
名前	承認ルールの名前。例:承認ルール 1
説明	承認ルールに関する簡単な説明。
アクティブ	承認ルールレコードをアクティブとしてマークするオプション。
ソース	承認ルールが適用されるソーステーブル。必要に応じて、ソーステーブルに追加条件を適用できます。承認構成に入力するテーブルに適用に基づいてソースレコードをフィルタリングするフィールドを選択します。
他の条件	ソーステーブルに適用できる追加のフィルター条件。
フィールドを使用するクエリー	承認テーブルとソーステーブルを接続するフィールド。
承認者タイプ	ポリシーの承認者のタイプ。承認者タイプについては、次のオプションを参照してください。 • 特定の承認者: ユーザー、 グループ、またはその両方を選択して、ユーザーを承認者として選択します。 • ソースからの承認:ソーステーブルから承認者を選択します。承認者を読み取るユーザー列、グループ列、またはその両方を選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認ルールフォーム (続く)

フィールド	説明
	• 動的承認者:静的および/または高度な動的条件を適用して、承認者テーブルから承認者を動的に選択します。承認者を読み取るユーザー列、グループ列、またはその両方を選択できます。 • スクリプト化された承認者:承認者を決定するためのスクリプトを記述します。変数 、ユーザー 、および グループは スクリプトで使用されます。 **注:** セキュリティ上の理由から、 Approver Configurator 開発者は [承認ルール] フォームの [スクリプト] フィールドへの読み取りおよび書き込みアクセス権を持っています。承認ルールの設定の詳細については、「」を参照してください 承認レベルの承認ルールの設定。
次の承認が必要：	承認してもらう必要がある 1 人以上のステークホルダー。
承認者タイプ (レコードに対して選択された承認者)	
オプション 1: 特定の承認者	[承認者タイプ] が [特定の承認者] の場合、 承認者は次のようになります。 • ユーザー:承認者テーブルからのユーザー参照または承認者のリスト。 • グループ:承認者テーブルからの承認者としてのユーザーグループ参照。
オプション 2: ソースからの承認者	承認者タイプがソースからの承認者の場合、 承認者は次のようになります。 • [承認が必要] フィールドで使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ すべて ○ 任意の人 • [承認者] セクションで使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ 次からの承認者： ○ ユーザーフィールド ○ グループフィールド
オプション 3: 動的承認者	承認者タイプが動的承認者の場合、 承認者は次のようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

承認ルールフォーム (続く)

フィールド	説明
	• [承認が必要] フィールドで使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ すべて ○ 任意の人 • [承認者] セクションで使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ 次からの承認者： ○ フィルター基準 ○ 詳細 ○ ユーザーフィールド ○ グループフィールド
オプション 4: スクリプト化された承認者	承認者タイプが [スクリプト化済み承認者] の場合、承認者は次のようになります。 • [承認が必要] フィールドで使用可能なオプションは、次のとおりです。 ○ すべて ○ 任意の人 • [スクリプト化済み承認者] セクションに、承認構成のカスタムスクリプトが表示されます。 **注:** 開発者ロールを持つユーザーのみがカスタムスクリプトを変更できます。

GRC: Approver Configurator とともにインストールされるロール

さまざまなロールが、GRC: Approver Configurator アプリケーションのの有効化と同時にインストールされます。

GRC: Approver Configurator と一緒にインストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
Approver Configurator admin [sn_grc_appr.admin]	承認構成、承認レベル、および承認ルールテーブルに対してアクセスを作成、読み取り、更新、および削除します。	なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC: Approver Configurator と一緒にインストールされるロール (続く)

ロール タイトル [名前]	説明	ロールを含む
	注: Approver Configurator 管理者には、承認ルール フォームの [スクリプト] フィールドへの読み取り アクセス権があります。	
Approver Configurator 承認者 [sn_grc_appr.approver]	承認者テーブルに対する作成、読み取り、更新、および削除アクセス権。	なし
Approver Configurator 開発者 [sn_grc_appr.developer]	• 承認構成、承認レベル、および承認ルールテーブルに対してアクセスを作成、読み取り、更新、および削除します。 • スクリプトフィールドへのアクセス権を作成して書き込みます。 **注:** Approver Configurator 開発者には、承認ルール フォームの [スクリプト] フィールドへの作成および書き込みりアクセス権があります。	sn_grc_appr.admin

自動翻訳

機密レコード

機密 GRC レコードを機密としてマークできます。これにより、適切なユーザーにこれらのレコードへのアクセス権があることを確認できます。

概要

レコードの機密オプションを設定することで、機密 GRC レコードを機密としてマークできます。このアクションを実行することで、特定のユーザーまたは特定のユーザーグループのユーザーのみがこれらの機密レコードにアクセスできるように確保できます。

機密プロパティ

機密性を有効にするために、レコードレベルの GRC プロパティで新しいオプション *`Enable record level confidentiality`* を使用できます。

重要:
デフォルトでは、*`Enable record level confidentiality`* プロパティはオフになっています。有効にすると、再度オフにすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC の機密レコードは、GRC 機密モジュールの下に一覧表示されます。GRC 機密レコードモジュールは、*Enable record level confidentiality* プロパティを有効にした場合にのみアプリケーションナビゲーターに表示されます。

San Diego 以降、Audit Management、GRC コア、ポリシーとコンプライアンス管理、および リスク管理 アプリケーションで GRC 機密レコードモジュールを利用できます。

レコードの機密性をマーク解除する

レコードの機密性のマーク解除すると、そのレコードの許可されたユーザーとグループが削除され、すべてのユーザーが ACL に基づいてレコードにアクセスできるようになります。

機密レコードへのアクセスに必要なユーザーロール

GRC 機密ユーザー (sn_grc.confidential_user) ロールを持つユーザーは、機密レコードにアクセスできます。このロールは、GRC のユーザーではなく、GRC 機密レコードへのアクセスを希望するユーザーのためのものです。

アクセス権を持ち、レコードに指定されているユーザーは、既存の GRC ロールを持つレコードに引き続きアクセスできます。

さまざまなロールについて、次の例を検討してください。

- リスクユーザーであり、以前にリスクレコードへのアクセス権が付与されていました。現在は、同じレコードの [許可されたユーザー] リストに属しています。そのため、sn_grc.confidential_user ロールを持っていない場合でも、このレコードへのアクセス権があり、現在、自分の名前が [許可されたユーザー] リストに表示されています。
- 自分の名前はレコードにリストされているが、sn_grc.confidential_user ロールを持っていません。レコードにアクセスするには、まず sn_grc.confidential_user ロールが必要です。

レコードが機密としてマークされると、レコードにアクセスするために必要なアサインとロールについて通知するメール通知がユーザーとユーザーグループのメンバーに送信されます。[許可されたユーザー] および [許可されたグループ] リストに記載されているすべてのユーザーは、レコードのアサインに関するメール通知を受け取ります。

フォームの [機密性] タブ

フォームの [機密性] タブには、次のリストとオプションが表示されます。

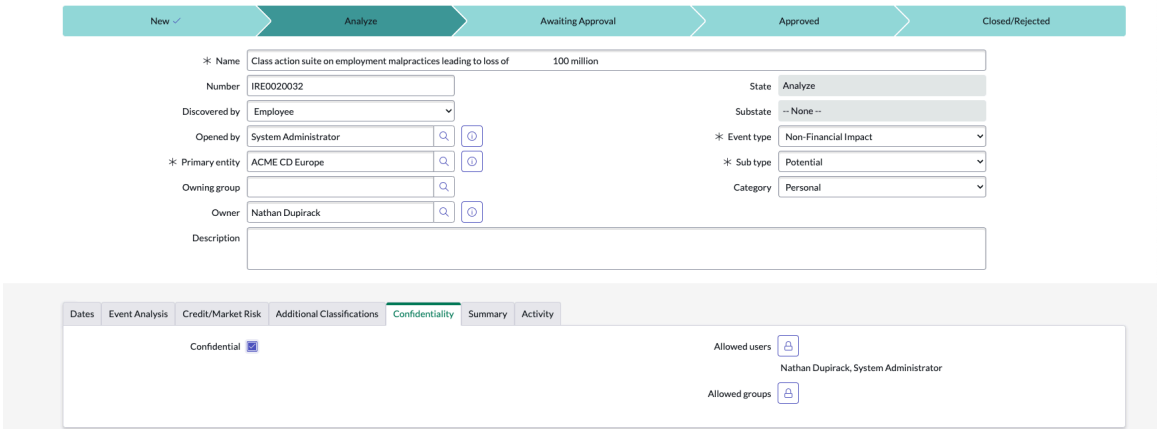
- [機密] オプション：[機密性] タブの [機密] オプションを有効にすると、次の図に示すように [許可されたユーザー] と [許可されたグループ] のリストが表示されます。

  注:
  レコードへの書き込みアクセス権を持つユーザーは、[機密性] タブの [機密] オプションを有効にできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの [機密性] タブ



- [許可されたユーザー] リスト：レコードが機密としてマークされている場合、[許可されたユーザー] リストのユーザーのみがレコードにアクセスできます。[許可されたユーザー] リストにリストされているユーザーは、レコードへの読み取りアクセス権を持っているか、機密レコードにアクセスするための sn_grc.confidential_user ロールを持っている必要があります。

  [機密] オプションを有効にしたログインユーザーは、[許可されたユーザー] リストに自動的に入力されます。タブの [機密] オプションを有効にしたユーザーは、[許可されたユーザー] リストにデフォルトで自動的に追加されます。レコードへの書き込みアクセス権を持つユーザーは、[許可されたユーザー] リストのロックを解除して更新できます。

  注:
  [許可されたユーザー] リストに追加できるユーザーに制限はありません。GRC ロールを持たないユーザーがレコードにアクセスするには、sn_grc.confidential_user ロールが必要です。ロール要件に関するメール通知もユーザーに送信されます。

- [許可されたグループ] リスト：レコードが機密としてマークされている場合、[許可されたグループ] リストに記載されているユーザーのみがレコードにアクセスできます。レコードへの書き込みアクセス権を持つユーザーは、[許可されたグループ] リストのロックを解除して更新できます。

  注:
  機密レコードは、[許可されたユーザー] または [許可されたグループ] リストに記載されているユーザーに表示されます。デフォルトでは、管理者も機密レコードを表示することができます。管理者に機密レコードを表示しない場合は、「KB1096093」で説明されている手順に従います。

GRC ユーザーロールを持っていないが、[許可されたユーザー] リストまたは [許可されたグループ] リストに記載されているユーザーには、機密レコードにアクセスするための sn_grc.confidential_user ロールをアサインできます。

機密性は次のテーブルでサポートされています。

機密性がサポートされているテーブル

テーブルラベル	テーブル名	アプリケーションスコープ	[許可されたユーザー] リストに自動入力されるユーザー	[許可されたグループ] リストに自動入力されるグループ
監査タスク	sn_audit_task	GRC：Audit Management	アサイン先、エンジニアリングリード、エンジニアリ	適用外

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性がサポートされているテーブル (続く)

テーブルラベル	テーブル名	アプリケーションスコープ	[許可されたユーザー] リストに自動入力されるユーザー	[許可されたグループ] リストに自動入力されるグループ
			ング監査人、エンジニアリング承認者	
エンゲージメント	sn_audit_engagement	GRC：Audit Management	監査人、承認者、エンゲージメントリード	適用外
証拠要求タスク	sn_grc_advanced_evidence_request	GRC：Advanced Core	要求者、アサイン先、承認者、ウォッチリスト、代理で要求済み	アサイン先グループ
問題	sn_grc_issue	GRC：Profiles	アサイン先、問題マネージャー、作成者	問題マネージャーグループ、アサイン先グループ
観察事項	sn_audit_advanced_observation	GRC：Advanced Audit	オーナー、回答者、ピアレビュー担当者、レビュー担当者、ウォッチリストユーザー、エンゲージメントリード、エンジニアリング監査人、エンジニアリング承認者	アサイン先グループ
ポリシー例外	sn_compliance_policy_exception	GRC：Policy and Compliance Management	要求者、承認者、ウォッチリスト	承認グループ
修復タスク	sn_grc_task	GRC：Profiles	アサイン先、ウォッチリスト、問題マネージャー、問題の担当者	適用外
リスクイベント	sn_risk_advanced_event	GRC：Advanced Risk	現在ログインしているユーザー、オーナー、承認者	所有グループ、承認グループ
開示	sn_esg_disclosure	ESG Management and Reporting	ログインユーザー、レビュー担当者、アサイン先	適用外
重要なトピック	sn_esg_material_topic	ESG Management and Reporting	ログインユーザー、レビュー担当者	適用外
測定基準	sn_grc_metric	ESG Management and Reporting	ログインユーザー、エンタープライズオーナー、データオーナー	エンタープライズオーナーグループ、データオーナーグループ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性がサポートされているテーブル (続く)

テーブルラベル	テーブル名	アプリケーションスコープ	[許可されたユーザー] リストに自動入力されるユーザー	[許可されたグループ] リストに自動入力されるグループ
測定基準の定義	sn_grc_metric_definition	ESG Management and Reporting	ログインユーザー、エンタープライズオーナー、データオーナー	エンタープライズオーナーグループ、データオーナーグループ
複合測定基準の定義	sn_grc_composite_metric_definition	ESG Management and Reporting	ログインユーザー、エンタープライズオーナー	エンタープライズオーナーグループ

Utah 以降、sn_esg_material_topic、sn_grc_metric、sn_grc_metric_definition、sn_grc_composite_metric_definition を除く、すぐに利用可能で機密性が有効なすべての GRC テーブルの機密構成が sn_grc_confidentiality_configuration テーブルに設定されて出荷されます。この構成から、レコードの許可されたユーザーとグループに自動入力されるユーザーとグループのフィールドを更新したり削除したりできます。

機密性機能の詳細については、「KB1218856」を参照してください。

GRC テーブルで機密性を設定する

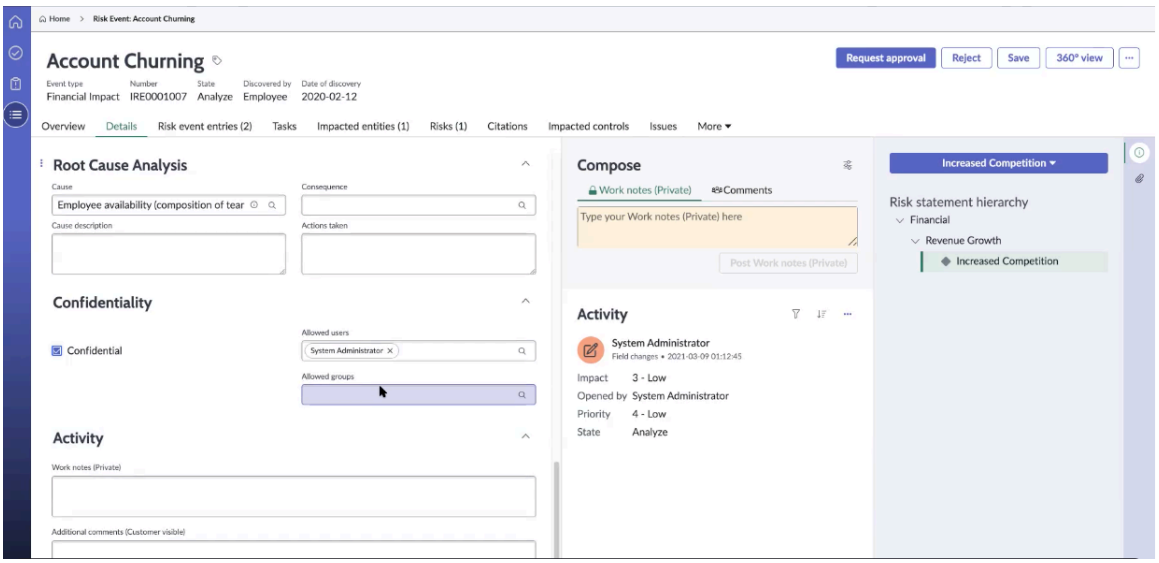
GRC テーブルの機密性を有効にするには、クライアントスクリプトの更新やアクセス制御リスト (ACL) の更新などの追加の構成を実行する必要があります。特定の ServiceNow プラットフォームテーブルの構成を更新すると、それらのテーブルのフォームで機密性機能を使用できます。

GRC テーブルで機密性を有効にする方法については、「KB1096093」を参照してください。

注:
ナレッジベース 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

次の図に示すように、ワークスペースビューのフォームで機密性を有効にすることもできます。

ワークスペースビューの機密性



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密レコードを作成する

特定のロールを持つユーザーのみがアクセスできるように確保するため、レコードを作成して機密としてマークします。

始める前に

必要なロール：sn_grc.admin、リスクイベントを開いた sn_grc.business_user、sn_audit.user、sn_compliance.user、sn_esg.user、sn_risk.user

手順

1. 移動先すべての **>** 管理**> GRC** のプロパティ.
2. [レコードレベルの機密性を有効にする] プロパティで [はい] を選択し、[保存] をクリックします。
   [必要なロール] セクションで定義されている sn_grc.business_user ロールまたはモジュール固有のロールでログインして、次の手順を実行します。
3. 機密としてマークする必要があるレコードに移動し、[機密性] タブをクリックします。
4. [機密性] タブで、[機密] オプションを選択します。
   [許可されたユーザー] と [許可されたグループ] のリストが表示されます。[機密] オプションを有効にしたユーザーは、[許可されたユーザー] リストにデフォルトで自動的に追加されます。
5. ユーザーを追加するには、[許可されたユーザー] リストを更新します。
6. グループを追加するには、[許可されたグループ] リストを更新します。
7. [更新] をクリックします。

タスクの結果

選択したレコードが機密としてマークされます。[許可されたユーザー] リストまたは [許可されたグループ] リストに属するユーザーのみが、この機密レコードにアクセスできます。

GRC テーブルで機密性を設定する

GRC テーブルで機密性設定レコードを作成できます。

始める前に

テーブルで機密性設定を開始する前に、機密性を有効にするテーブルに 3 つの新しい列を作成する必要があります。

必要なロール：sn_grc.admin

機密性を有効にするフィールド

タイプ	コメント	列の名前の例	説明
ブール	機密	u_confidential	フィールドが機密かどうかをマークまたはマーク解除するフラグ。
リスト、sys_user テーブルへの参照	許可されたユーザー	u_allowed_users	機密レコードにアクセスできるユーザーのリストを含むフィールド。
リスト、sys_user_group テーブルへの参照	許可されたグループ	u_allowed_groups	機密レコードにアクセスできるユーザーグ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性を有効にするフィールド (続く)

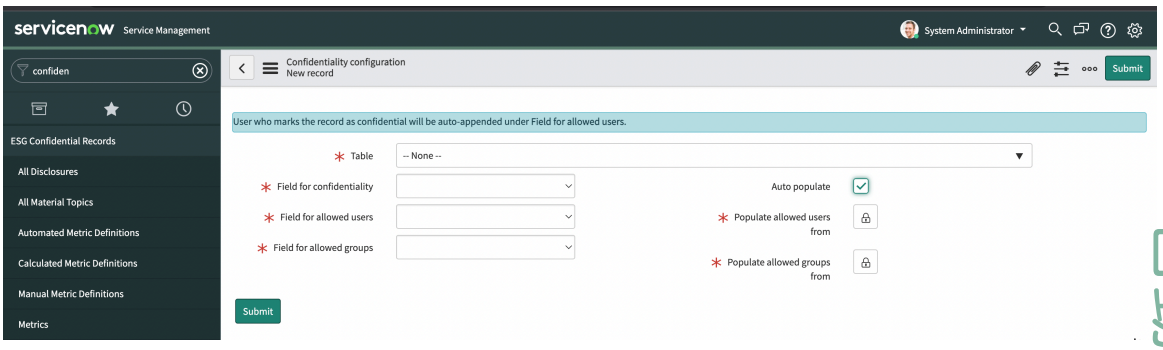
タイプ	コメント	列の名前の例	説明
			ループのリストを含むフィールド。

詳細については、「KB1497382」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > 機密性の設定 をクリックし、「 新規」をクリックします。
2. 新しい機密設定フォームで、GRC テーブルの機密性を有効にするために必要なフィールドに入力します。
   このフィールドの詳細については、「機密性設定フォーム」を参照してください。

機密性設定レコード



3. [送信] をクリックします。

タスクの結果
選択した GRC テーブルの機密性が有効になります。

機密性設定フォーム

機密性設定フォームは、GRC テーブルの機密レコードの構成に使用されます。

機密性設定フォーム

フィールド	説明
テーブル	機密性機能を追加するテーブル。
機密性のフィールド	機密性を有効にできるブール値フィールド。
許可されたユーザーのフィールド	機密レコードにアクセスできる許可されたユーザーを追加できるフィールド。
許可されたグループのフィールド	機密レコードにアクセスできる許可されたユーザーグループを追加できるフィールド。
許可されたユーザーを入力	GRC テーブルの列のリストに基づいて、許可されたユーザーが自動的に入力されるフィールド。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性設定フォーム (続く)

フィールド	説明
許可されたグループを入力	GRC テーブルの列のリストに基づいて、許可されたユーザーグループが自動的に入力されるフィールド。

注:
[許可されたユーザーを入力] および [許可されたグループを入力] フィールドは、[自動入力] フィールドが選択されている場合にのみ表示されます。

テーブルで機密継承を設定する

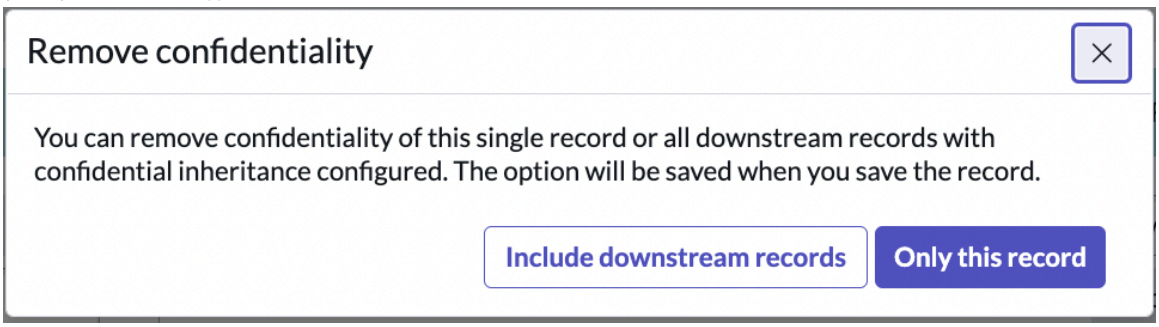
機密性設定モジュールで既に構成されているテーブルで機密性の継承を設定できます。GRC アプリケーションでは、親レコードが機密としてマークまたはマーク解除されると常に、その関連するテーブルレコードも機密としてマークまたはマーク解除されます。

概要

問題を機密としてマークすると、関連する修正タスクが自動的に機密としてマークされます。たとえば、問題 A を見てみましょう。問題 A には、P、Q、R の修正タスクがあります。問題 A が機密としてマークされると、修正タスク P、Q、R も機密としてマークされます。許可されたユーザーとグループは、修正タスクの機密性設定レコードに基づいて自動的に追加されます。問題 A の許可されたユーザーとグループは、継承されたレコード P、Q、R に自動的に追加されます。

問題の機密性がマーク解除されると、対応する修正タスクの機密性もマーク解除されます。問題 A をもう一度見てみましょう。問題 A には修正タスク P、Q、R があります。問題 A の機密性がマーク解除されると、関連タスク P、Q、R のすべての機密性をマーク解除してもよいか、問題 A のみの機密性をマーク解除するか確認するダイアログボックスが表示されます。次の例では、選択内容に基づいて、関連レコードの機密がマーク解除されます。

機密性のマーク解除



例のダイアログボックスに示すように、[ダウンストリームレコードを含める] が選択されている場合、すべてのダウンストリームレコードの機密性がマーク解除されます。[このレコードのみ] を選択した場合は、その単一のレコードの機密性のみがマーク解除されます。

関連する機密レコードへのアクセス権があり、親レコードの機密性を削除すると、関連レコードも機密ではなくなります。

注:
親テーブルと継承テーブルの間に継承構成が存在している必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性の継承の例

継承は、親レコードを機密としてマークする時点でのみ機能します。次の 2 つの例を見てみましょう。

1. 親レコードが機密としてマークされると、継承された構成により、関連する機密でないレコードも機密としてマークされます。ただし、関連レコードが後から追加された場合は、自動的に機密としてマークされません。
2. 親レコードで機密性がマークされ、継承が関連レコードに渡されない場合、親レコードの許可されたユーザーおよびグループに後から加えられた変更は関連レコードに継承されません。

機密性継承構成の詳細については、「KB1213404」を参照してください。ナレッジベース の記事を表示するには Now Support にログインする必要があります。

機密性継承を作成する

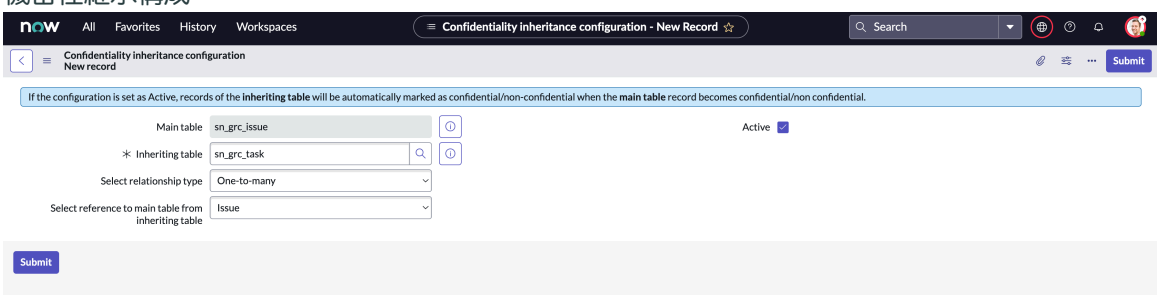
機密性設定モジュールで既に構成されているテーブルで機密性継承を作成できます。GRC アプリケーションでは、親レコードが機密としてマークまたはマーク解除されると常に、その関連するテーブルレコードも機密としてマークまたはマーク解除されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.admin

手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > 機密性の設定.
2. 継承を設定するテーブルを選択します。
3. [機密性継承構成] 関連リストで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。
   次の例は、機密性継承の構成方法を示しています。このフィールドの詳細については、「機密性継承構成フォーム」を参照してください。

機密性継承構成



5. [送信] を選択します。

> **注:**
>
> この構成は、親テーブルおよび継承テーブルのレコードの既存の機密性には影響しません。
>
> [有効] としてマークされたレコードのみが継承をサポートします。

タスクの結果
新しい継承設定レコードが機密性継承構成関連リスト下に作成されます。

機密性継承構成フォーム

GRC アプリケーションの機密性継承構成フォームを使用して、継承設定レコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機密性継承構成フォーム

フィールド	説明
有効	選択すると、メインテーブルの継承テーブルを機密としてマークするオプション。
メインテーブル	機密性の設定で選択されたテーブルを表示するメインテーブル。
継承テーブル	機密性がマークまたはマーク解除されているレコードを含むテーブル。
関係タイプを選択 (Select relation type)	メインテーブルと継承テーブルの間に存在する関係タイプ。
関連テーブルを選択	関連テーブルを選択するオプション。[関連テーブルを選択] フィールドは、関係タイプとして [多対多] または [スクリプト化された関係] を選択した場合にのみ表示されます。
関連/継承テーブルからメインテーブルへの参照を選択 (Select reference to main table from relationship/inheriting table)	メインテーブルと継承テーブルへの参照。

注:
フォームのメインテーブルと継承テーブルのフィールドの間に関係が 1 つしか存在しない場合、残りのフィールドは自動的に入力され、フォーム上で非表示になります。

自動翻訳

ユーザー階層

ユーザー階層を使用すると、マネージャーは自分の部下であるユーザーのレコードを表示できます。

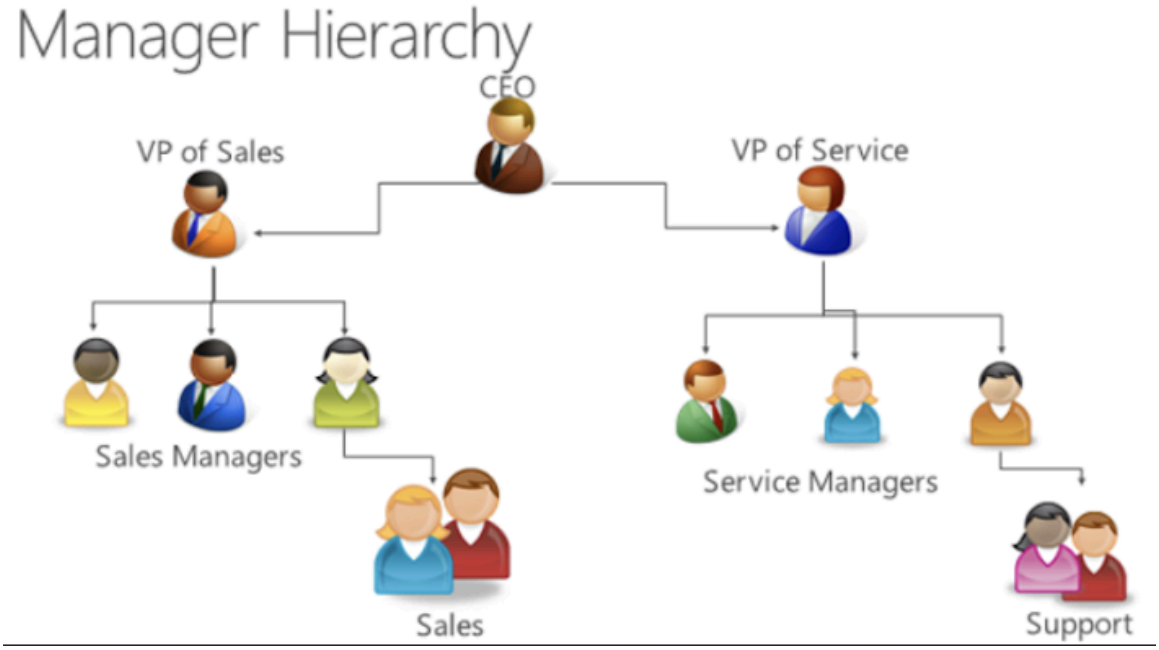
ユーザー階層は、sys_user テーブルの構成に基づいています。ユーザー階層は GRC テーブルに個別に保存されます。

ユーザー階層がどのように機能するかを理解するために、次の例を見てみましょう。ユーザーの Abel と Jack は、Adam の部下です。Adam の上司は Daniel です。ユーザー階層を使用して、Adam は Abel と Jack が実行した作業を表示できます。同様に、Daniel は、Adam、Abel、Jack によって実行された作業を表示できます。

マネージャーとユーザー階層の別の例を見てみましょう。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マネージャーとユーザー階層



この例では、営業マネージャーは営業チームが送信したデータを表示できます。営業担当 VP は、営業マネージャーと営業チームによって送信されたデータまたはレポートを表示できます。

サービス担当 VP は、サービスマネージャーとサポートチームによって送信されたデータを表示できます。組織の CEO は、営業チームとサービスチームの両方が行った作業を表示できます。

ユーザー階層機能のプロパティを有効にする

GRC 管理者は、インスタンスの GRC プロパティモジュールで次のプロパティを有効にできます。

ユーザー階層のプロパティ

プロパティ	アクション
Enable user hierarchy access control	*Enable user hierarchy access control* プロパティで [はい] オプションを選択して、ユーザー階層機能を有効にします。デフォルトでは、このプロパティはオフになっています。このプロパティを有効にした後、再度オフにすることもできます。
Frequency of user hierarchy recalculation	*Frequency of user hierarchy recalculation* プロパティを使用して、sn_grc_user_hierarchy_configuration テーブル内のすべてのレコードのユーザー階層を計算できます。デフォルトでは、このプロパティは [週次] に設定されています。 異なる間隔でレコードのユーザー階層を計算するには、*sn_grc.user_hierarchy_sync_frequency* を選択し、スケジュールを [週次] から [日次] または [月次] に変更します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー階層のプロパティ (続く)

プロパティ	アクション
Maximum batch size while recalculating hierarchy for user hierarchy records	レコードのユーザー階層を再計算できるように、*Maximum batch size while recalculating hierarchy for user hierarchy records* プロパティを使用して最大バッチサイズでレコードを処理します。デフォルトでは、このプロパティは 1000 に設定されています。 レコードのユーザー階層を再計算するには、プロパティを選択し、最大バッチサイズを整数値に更新します。

注:
ユーザー階層プロパティを有効にすると、ユーザー階層機能は特定のテーブルセットでのみサポートされます。これらのテーブルの詳細については、次のセクションを参照してください。

ユーザー階層機能をサポートするために使用されるテーブル

次のテーブルは、ユーザー階層機能をサポートするために使用されます。

ユーザー階層機能をサポートするために使用されるテーブル

テーブル	説明
sn_grc_hierarchy	ユーザーの階層を維持するテーブル。
sn_grc_user_hierarchy	ユーザーの名前、管理階層、および最後に同期された詳細を表示するテーブル。sn_grc.user_hierarchy_reader ロールを持つユーザーは、このテーブルのレコードを読み取ることができます。他のユーザーがこのテーブルのレコードを手動で作成、更新、または削除することはできません。
sn_grc_user_hierarchy_configuration	ユーザー階層アクセス制御が有効になっているテーブルごとに個別のレコードを含むテーブル。GRC 管理者は、このテーブルのレコードを手動で作成および削除できます。sn_grc.user_hierarchy_admin ロールを持つユーザーも、このテーブルのレコードを読み取り、または更新することができます。

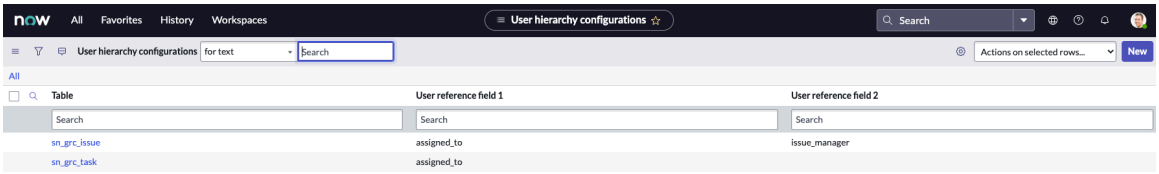
ユーザー階層の設定モジュール

ユーザー階層の設定モジュールは、ユーザー階層プロパティを有効にした後にのみインスタンスに表示されます。次の例に示すユーザー階層の設定モジュールは、ユーザー階層機能を有効にしたテーブルを一覧表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー階層の設定モジュール



アクセス制御リスト (ACL)：デフォルトでは、いくつかのアクセス制御リストが GRC アプリケーションに付属しており、sys_security_acl テーブルに保存されています。ユーザー階層のアクセス制御が有効になっているかどうかを確認するフィルター条件を定義できます。構成と要件に応じて、独自のアクセス制御リストを作成できます。

カスタムテーブルのユーザー階層アクセス制御を構成する方法については、「KB1095957」を参照してください。

注:
ナレッジベース 記事を表示するには、Now Support にログインする必要があります。

ユーザー階層の設定レコードを作成する

マネージャーが部下であるユーザーのレコードを表示できるように、テーブルのユーザー階層の設定レコードを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.admin

手順

1. 移動先 すべて > **GRC** ユーザー階層**>**ユーザー階層の設定.
   ユーザー階層のアクセス制御が有効になっているテーブルが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

ユーザー階層の設定フォーム

フィールド	説明
テーブル	ユーザー階層を設定するために使用できるテーブル。たとえば、問題 [sn_grc_issue] です。
有効	ユーザー階層を有効にするオプション。このオプションを有効にすると、テーブルレコードでユーザー階層機能が有効になります。
ユーザー参照フィールド 1	ユーザーテーブルのユーザー参照フィールド 1 に対応するフィールド。たとえば、ユーザー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	参照フィールド 1 の値を [アサイニー] または [アサイン先] として選択できます。
ユーザー参照フィールド 2	ユーザーテーブルのユーザー参照フィールド 1 に対応するフィールド。たとえば、ユーザー参照フィールド 2 の値を [承認者] または [問題マネージャー] として選択できます。
ユーザー階層フィールド 1	ユーザー参照フィールド 1 のユーザー階層を設定するフィールド。
ユーザー階層フィールド 2	ユーザー参照フィールド 2 のユーザー階層を設定するフィールド。
ユーザー階層ステータスフィールド	選択したテーブル内のユーザー階層の処理ステータスを表すフィールド。
トリガーされたイベント	ソーステーブルレコードのユーザー階層を再計算するために使用されるイベント。

テーブルのユーザー階層の設定については、「KB1095957」を参照してください。

4. [送信] をクリックします。

GRC テーブルでのユーザーグループベースのアクセス

GRC テーブルにユーザーグループを作成することで、一連のユーザーに特定のレコードのみへのアクセスを許可できます。ユーザーグループを作成すると、特定の基準に基づいてデータを分離し、ユーザーグループに属するユーザーのみにデータを表示できます。

注:
ユーザーグループベースのアクセスは、ベースシステムの一部としては、どの ServiceNow テーブルでも有効になっていません。機能を実装し、GRC フォームで [アクセスグループ] オプションを設定するには、「KB1514113」に記載されている手順に従います。

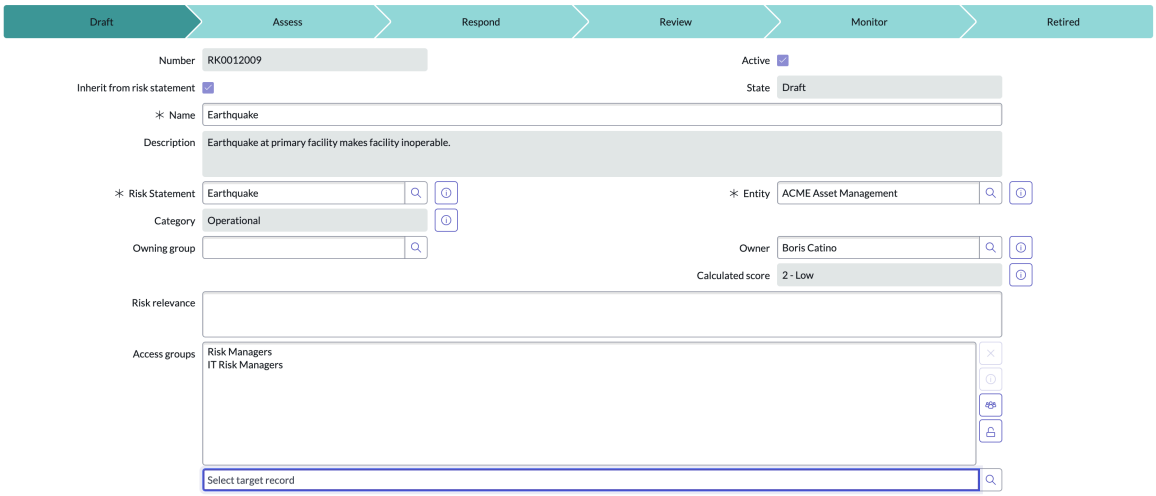
ユーザーグループベースのアクセスを設定したそれぞれのテーブルで [アクセスグループ] オプションを表示するには、GRC プロパティモジュールで *Enable access groups* プロパティを有効にする必要があります。

次の例は、ユーザーグループベースのアクセスを有効にしたときに表示されるフォームの [アクセスグループ] オプションを示しています。フォームのレイアウトは構成によって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォームの [アクセスグループ] オプション



[アクセスグループ] リストで値が選択されている場合、リストに記載されているグループのメンバーのみが同じロール内のデータにアクセスできます。

次の例を考えてみましょう。リスクマネージャーアクセスグループ内には、財務リスクを処理できる 2 人のマネージャーと、運用リスクを処理できる他のマネージャーがいます。このアクセスグループ内のすべてのマネージャーに同じリスクマネージャーロールを付与することで、最初の 2 人のマネージャーを財務グループにアサインし、他のマネージャーを運用リスクグループにアサインすることができます。

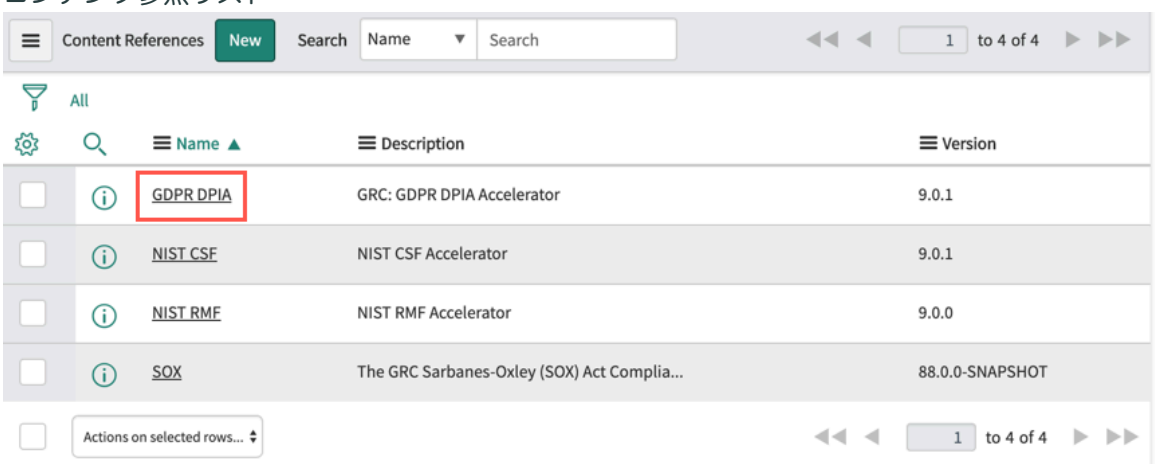
GRC でのコンテンツ参照

GRC コンテンツパック、統合、ユースケースアクセラレータ、またはそれらのレコードを使用する新しい規制を参照する GRC アプリケーションで定義されたほぼすべてのタイプのレコードにタグを追加できます。レコードにタグを付けた後、コンテンツ参照タグをフィルターして、各アプリケーション内で使用されているレコードを特定できます。

たとえば、NIST RMF 統合のスコープ対象であるすべての SOX コントロール目標にタグを付けることができます。特定の統合やユースケースアクセラレータなどのタグ付けされた関連レコードを表示するレポートを作成することもできます。

レコードにタグを付けた後、それぞれのコンテンツ参照モジュールを表示することで、特定の GRC アプリケーション内で使用されているすべてのコンテンツ参照にアクセスできます。たとえば、Policy and Compliance では、一連の関連リスト内の GDPR DPIA ユースケースアクセラレータのすべてのタグ付けされたレコードを表示できます。

コンテンツ参照リスト

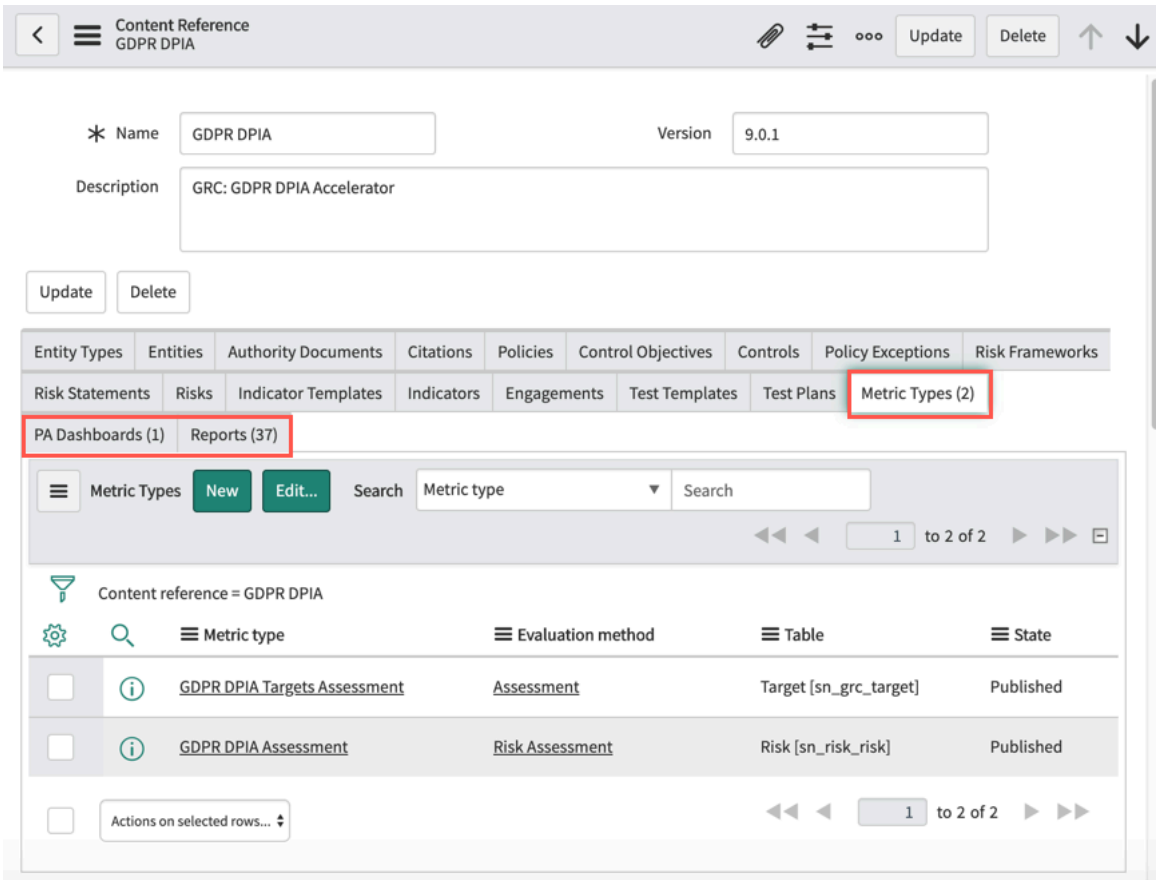


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

GDPR DPIA を選択すると、一連の関連リストに GDPR DPIA Use Case Accelerator へのコンテンツ参照でタグ付けされたすべてのレコードが表示されます。

GDPR DPIA のコンテンツ参照



コンテンツ参照でタグ付けできるレコード

GRC Audit Management、ポリシーとコンプライアンス管理、および リスク管理 アプリケーションでは、次のいずれかのタイプのレコードにタグを付けることができます。

注:
これらのレコードのすべてが、上記の各 GRC アプリケーションで使用できるわけではありません。ただし、各アプリケーションに表示される関連リストには、使用可能かどうかにかかわらず、すべてのレコードタイプが含まれます。

- 各種法令・基準等
- 信頼できるソースコンテンツ
- コントロール目標
- コントロール
- エンゲージメント
- エンティティタイプ
- エンティティ
- インジケーターテンプレート
- インジケーター
- 測定基準タイプ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ダッシュボード
- ポリシー
- ポリシー例外
- レポート
- リスクフレームワーク
- リスクステートメント
- リスク
- テスト計画
- テストテンプレート

レコードにコンテンツ参照タグを追加する

GRC アプリケーションで利用可能なさまざまなタイプのレコードのいずれかを分析する際に、レコードにコンテンツ参照タグを追加して、特定の統合、コンテンツパック、ユースケースアクセラレータなどに関連付けられたレコードの検索を実行するときにそのレコードを含めることができます。

始める前に

必要なロール：管理者

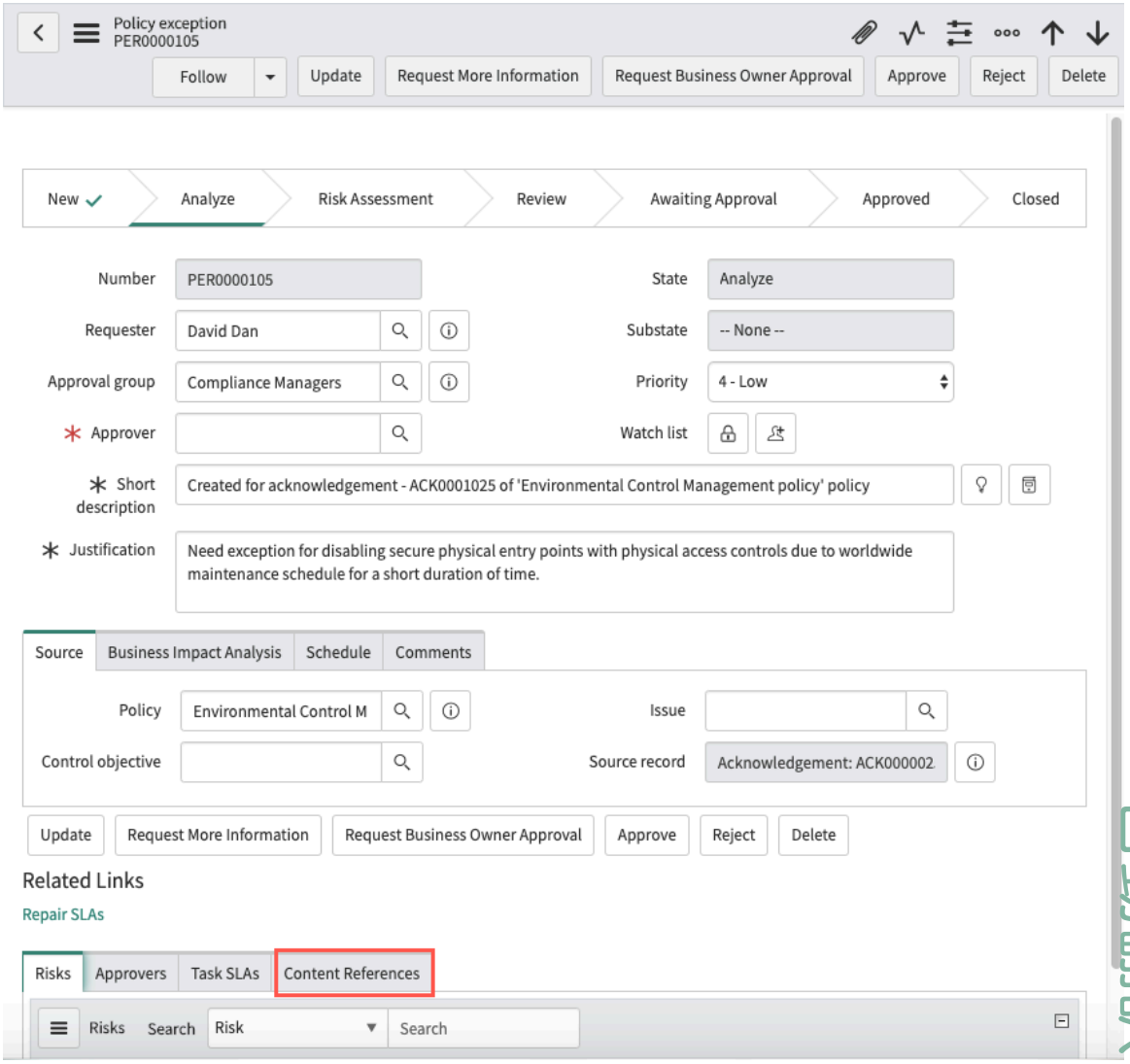
手順

1. 移動先 **Policy and Compliance** > ポリシー例外 > 自分のポリシー例外をクリックし、特定のポリシー例外レコードを開きます。
   特定の GRC アプリケーション内で既に作業している場合は、コンテンツ参照タグを追加するレコードを開きます。それ以外の場合は、レコードに移動します。

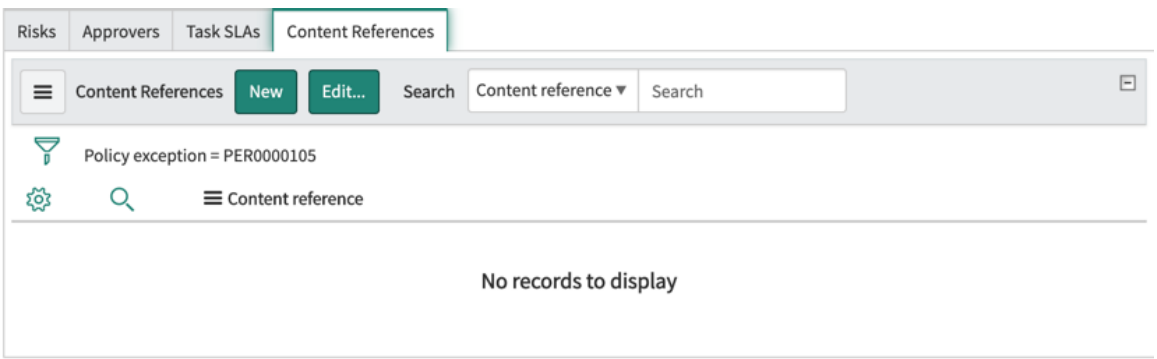
   注:
   例として、ポリシー例外レコードを使用して、GRC レコードにコンテンツ参照を追加する方法を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

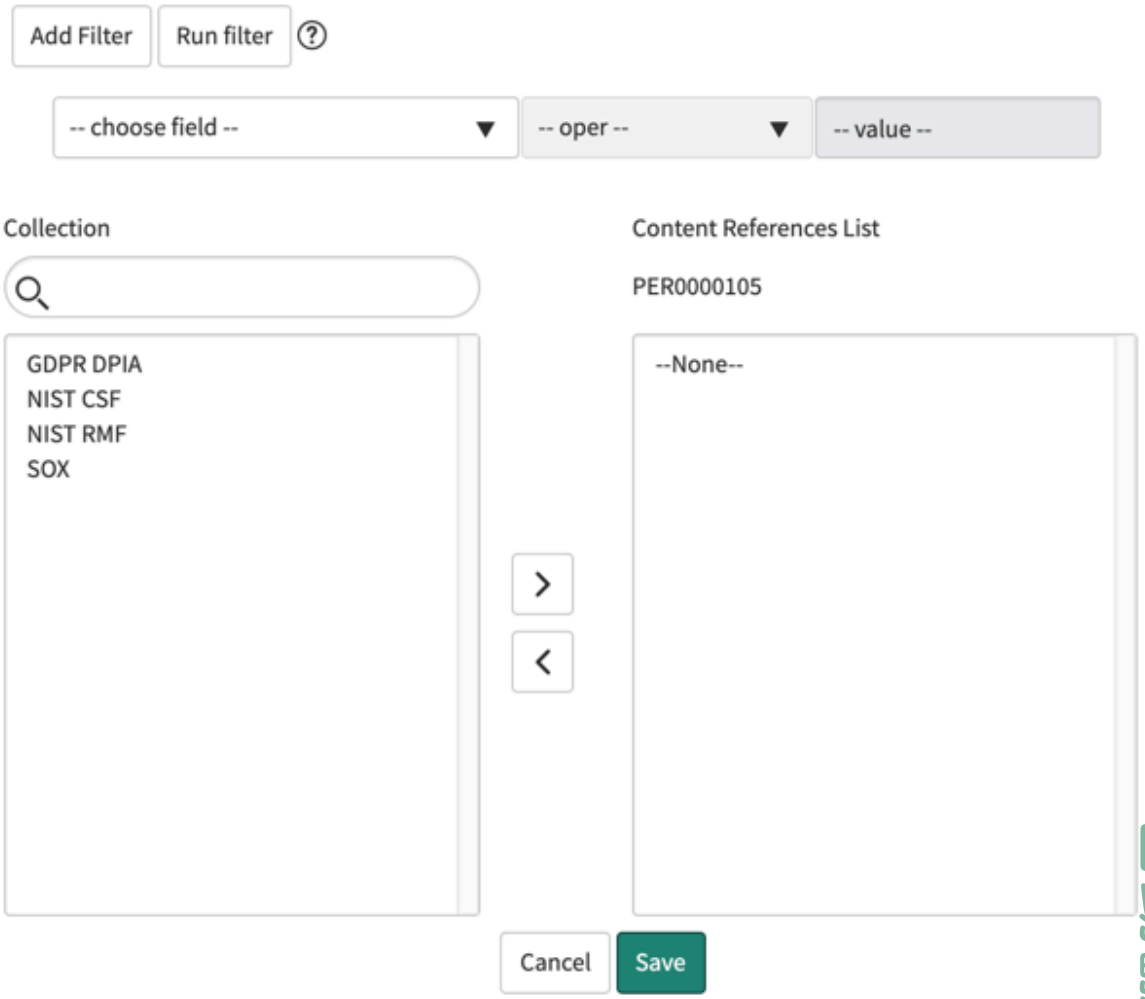


2. 下にスクロールして、[コンテンツ参照] 関連リストをクリックします。

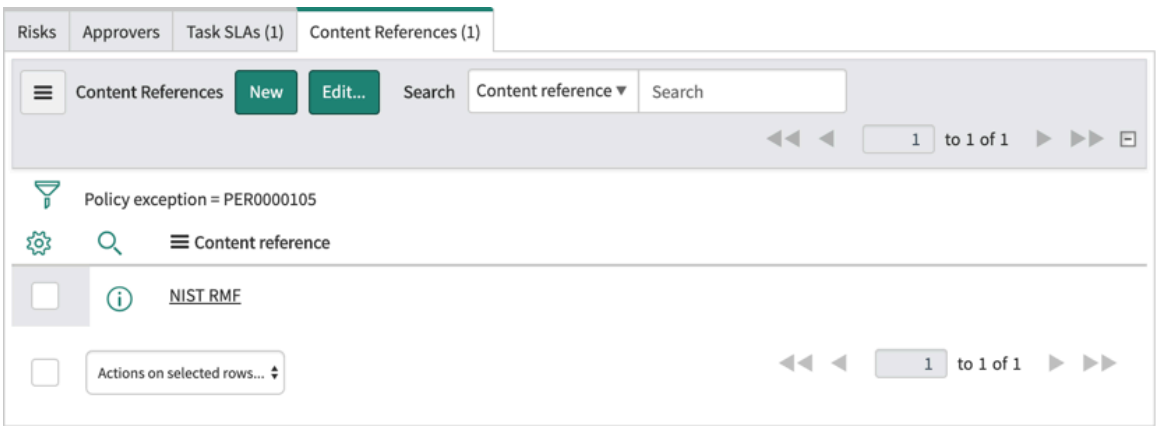


3. [編集] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [保存] をクリックします。
このポリシー例外レコードに関連付ける統合、ユースケースアクセラレータなどを [コレクション] ボックスから [コンテンツ参照リスト] に移動し、[保存] をクリックします。この例では、ポリシー例外レコード PER0000105 が NIST RMF Use Case Accelerator に関連付けられているものとしてとタグ付けされています。

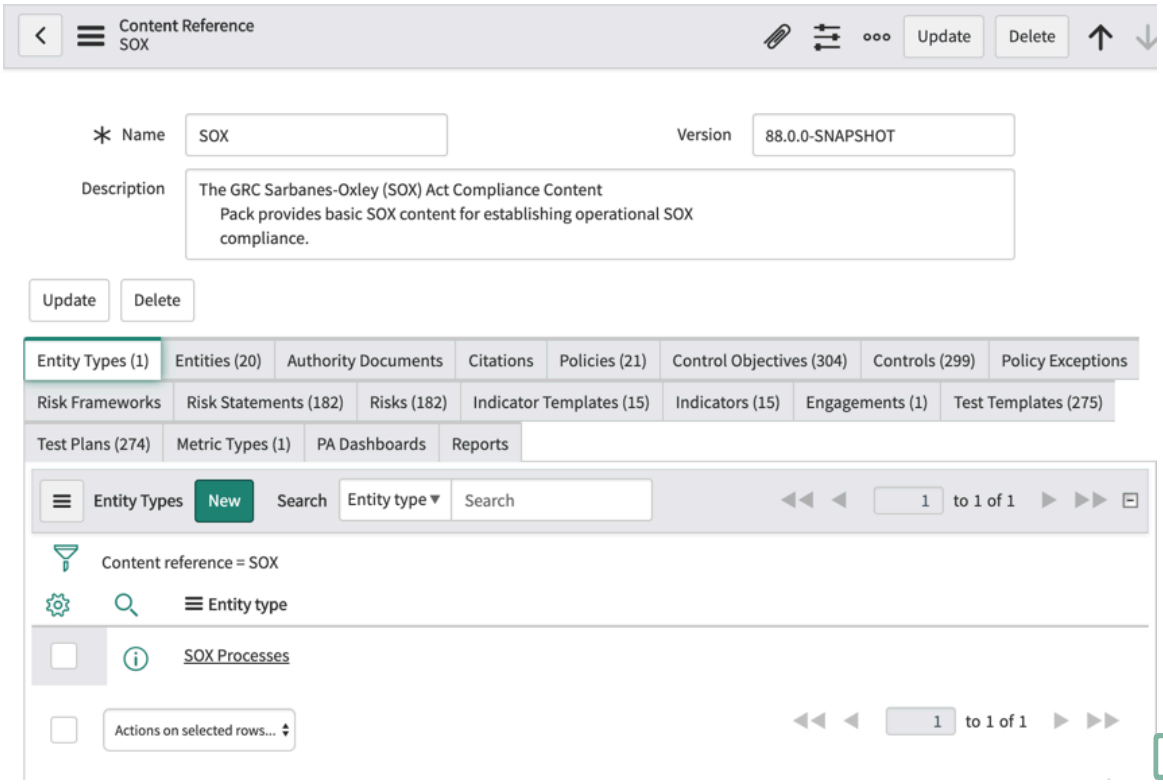


5. そのアプリケーションの [コンテンツ参照] モジュールに移動し、関連付けられたユースケースアクセラレータを選択します。
特定のアプリケーション内の特定の GRC ユースケース用にタグ付けされたすべてのレコードを表示するには (たとえば、SOX Content Pack のコンテンツ参照で リスク管理 タグ付けされたすべ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

てのレコードを表示するには)、次に移動します。 リスク > 管理 > コンテンツ参照をクリックし、[**SOX**] をクリックします。



6. 番号が表示されているいずれかの関連リストをクリックすると、SOX のコンテンツ参照としてタグ付けされたレコードが表示されます。

コンテンツ参照タグを作成する

必要に応じて、新しいコンテンツ参照タグを定義して、新たに生じた規制に適応できます。いずれかの GRC アプリケーションで新しいタグを定義すると、すべての GRC アプリケーションで利用可能になります。

始める前に

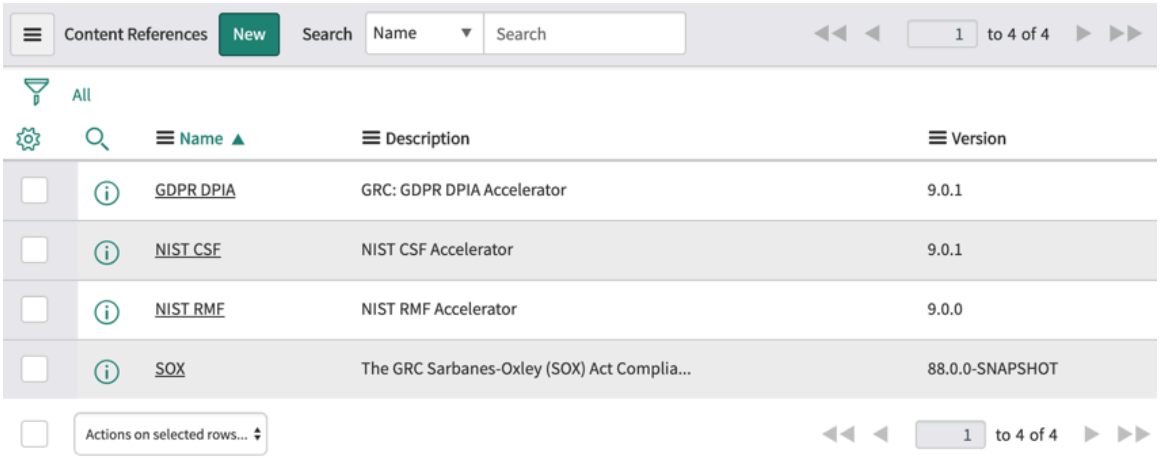
必要なロール：admin

手順

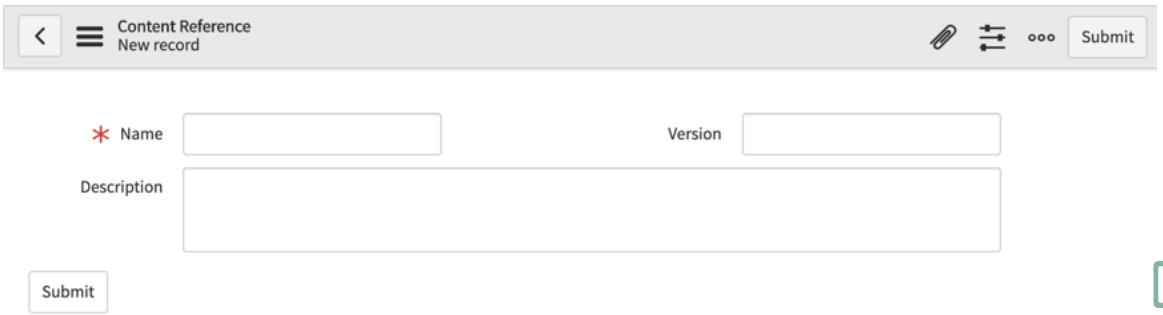
1. いずれかの GRC アプリケーションのコンテンツ参照モジュールに移動します。
   たとえば、次の場所に移動できます。 すべて > 監査 > 管理 > コンテンツ参照

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. [新規] をクリックします。



3. 新しいタグの [名前]、[バージョン番号]、および [説明] を入力します。

> **注:**
> バージョン番号は、からリリースされたソフトウェアバージョンにすることができます。ServiceNow Store

4. **[Submit** (送信)] をクリックします。
新しいコンテンツ参照タグがリストに追加され、GRC Audit Management、ポリシーとコンプライアンス管理、および リスク管理 アプリケーションのコンテンツ参照モジュールから利用できるようになります。

問題を管理する

会社のリスク管理プログラムの有効性は、リスクとコンプライアンスの問題をどのぐらい迅速かつ完全に特定して対処するかによって測定できます。

問題は、関連するユーザーのタイプに応じて 2 つの方法を使用して送信できます。

- 社内の従業員とビジネスユーザーは、次のことができます。 問題を自己識別し、 ServiceNow® サービスポータル. 送信後、トリアージ問題が自動的に作成され、問題のトリアージプロセスが開始されます。
- GRC ユーザーは、インスタンス内から手動で問題を作成し、監査の観察事項と修正、およびコンプライアンスとリスクの問題を文書化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
さまざまなタイプの問題も、次の条件下で自動的に生成されます (これらのタイプの問題はトリアージされません)。

- コントロールの問題：コントロールが実装されていないことを示すコントロール証明書が完了したとき、またはインジケーターが失敗したときに作成されます。
- コントロールテストの問題：コントロール有効性が無効に設定された状態でコントロールテストが完了してクローズしたときに作成されます。

問題管理の目標

問題管理の目標は、次のとおりです。

- ノイズを排除する。
- 重複する問題を統合する。
- 組織を最大のリスクにさらす問題に焦点を当てる。
- 修正アクションを特定し優先順位付けする。
- 事業運営全体にわたり新しい問題を特定する。
- ポリシー、プロセス、およびコントロールの運用上の脆弱性を分析する。

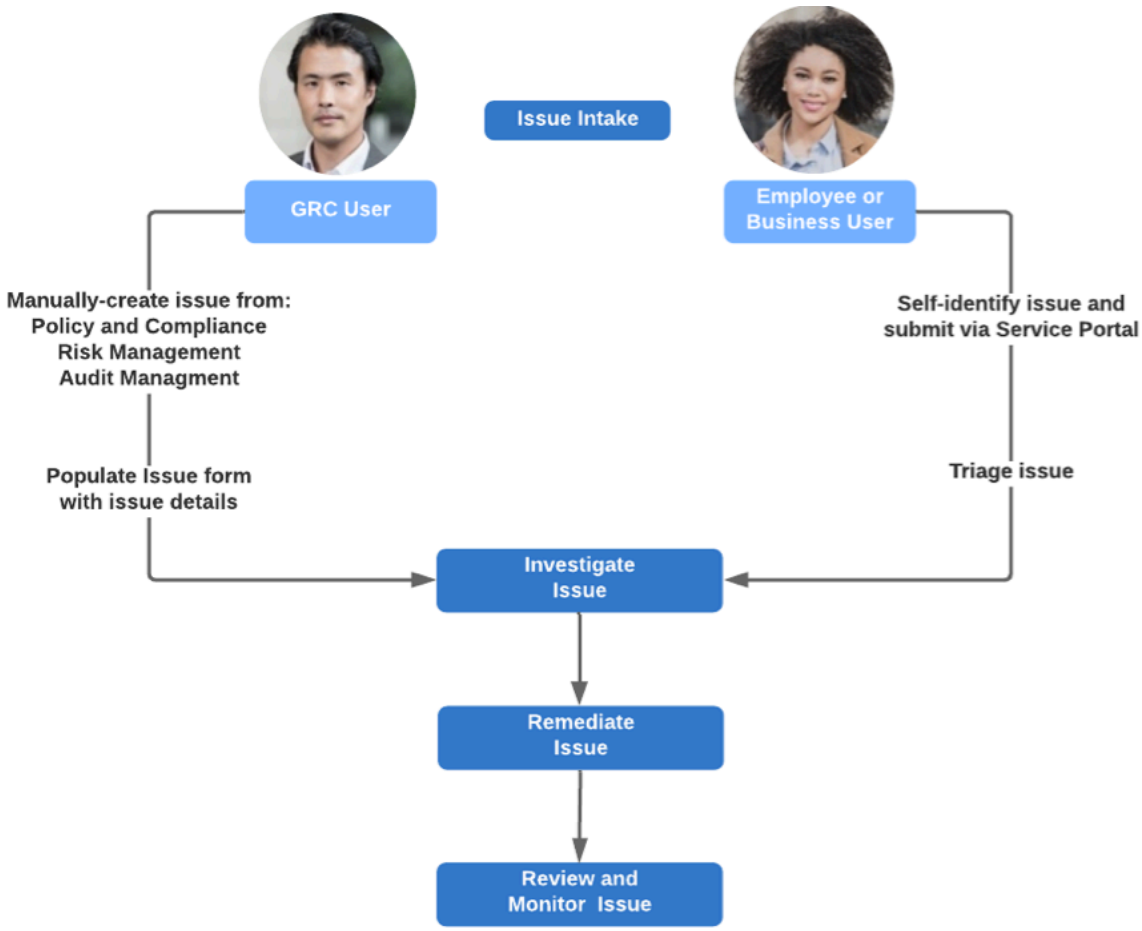
問題管理ワークフローとライフサイクル

問題を修正することで、コントロールのコンプライアンスを維持し、リスクを軽減できます。ここでは、問題管理のワークフローとライフサイクルについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題管理ワークフロー



問題管理ライフサイクル

ステージ	説明
問題の取り込み	前述のとおり、問題は、関連するユーザーのタイプに応じて 2 つの方法を使用して送信できます。 • 社内の従業員とビジネスユーザーは、問題を自己識別し、ServiceNow サービスポータルを介してそれを送信できます。送信後、トリアージ問題が自動的に作成され、問題のトリアージプロセスが開始されます。 • GRC ユーザーは、インスタンス内から手動で問題を作成できます。これらのタイプの問題はトリアージされません。
問題の調査	調査フェーズ中に、問題について追加の調査が必要かどうかが判断されます。トリアージが実行されている場合、トリアージ問題は分析のためにトリアージチームにアサインされます。トリアージチームは、問題の作成者に詳細情報を要求する場合があります。チームは、オプションで、トリアージ結果とともにコンプライアンスマネージャー、リスクマネージャー、または

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題管理ライフサイクル (続く)

ステージ	説明
	トリアージマネージャーに問題を送信することもできます。
問題の修正	チームが問題を確認した後、それを修正するために必要な手順が実行されます。トリアージが実行された場合、トリアージ問題は実際の問題またはリスクイベントに変換されます。チームは、問題を推奨事項として追跡するか、問題ではないとしてクローズすることもできます。
問題のレビューと監視	問題をクローズする前に、ポリシー所有者が問題をレビューして承認します。このレビューにより、組織は次のこともできます。 • 期限切れのタスクを追跡する • 問題のタイムラインのベンチマーク • 損失を軽減できた場所を特定する • 将来のギャップを削減する

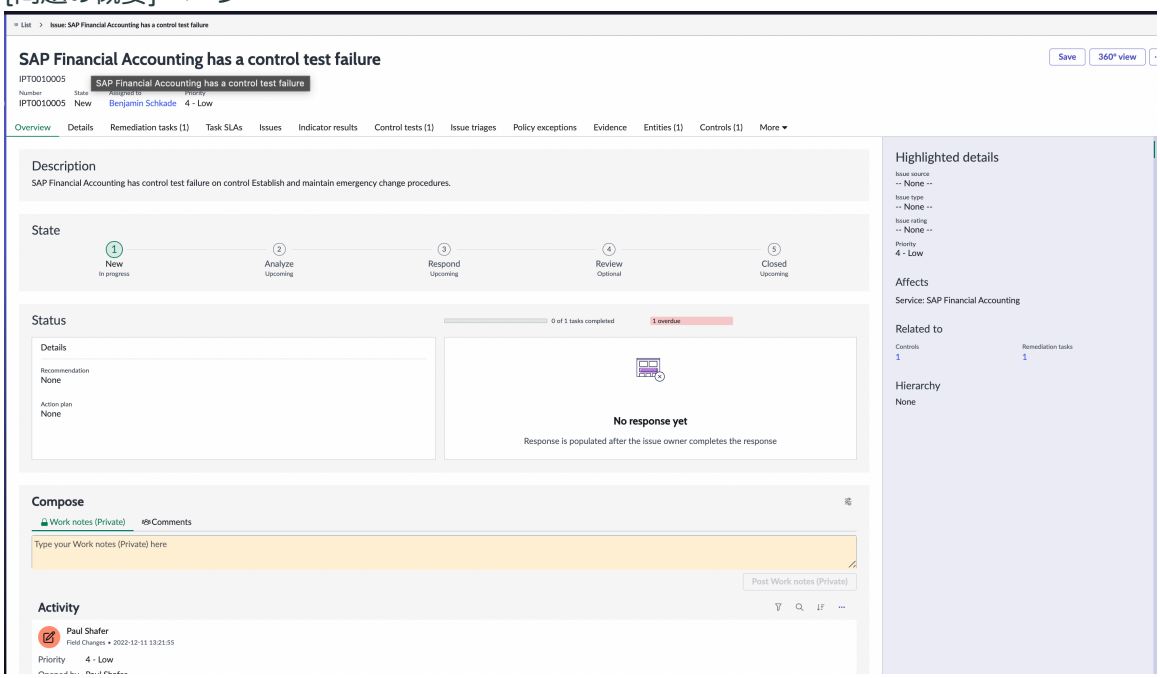
ワークスペースで問題を追跡する

ワークスペースで問題フォームを確認することで、すべての問題または 1 つの特定の問題を追跡できます。問題は、ワークスペースのリストビューの問題モジュールの下に一覧表示されます。

概要

問題フォームには、問題の詳細が表示されます。問題の説明、ステータス、作業メモ、これまでに発生したアクティビティに関する情報を確認できます。問題に関する情報は、次の例に示すように、[概要] タブや [詳細] タブなどのさまざまなタブに整理されています。

[問題の概要] ページ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細] タブでは、問題、アサイン、スケジュール、問題のグループ化、アクションプラン、機密性、およびアクティビティと設定に関する情報を確認できます。

注:
[詳細] セクションは [詳細] タブから削除されました。

問題に関連するオブジェクトを関連付ける

GRC 問題のユーザー、ビジネスユーザー、またはビジネスユーザー Lite のペルソナ は、コントロール、リスク、リスクイベント、エンティティ、エンゲージメント、コントロール目標、リスクステートメント、ポリシー、各種法令・基準等、処理アクティビティなどのオブジェクトを関連付けたり、問題に関連する既存のオブジェクトを削除したりできます。

たとえば、関連リストとして選択できるエンティティを考えてみましょう。エンティティフォームの [追加] または [削除] UI ボタンを使用して、他の関連エンティティを追加することも、既存のエンティティを削除することもできます。

問題フォームの関連リストには、問題に関連する依存関係が表示されます。次の表は、[問題] フォームのタブとサイドバーについて説明しています。

問題フォームのタブとサイドバー

タブ	説明
概要	説明、状態、ステータス、作業メモ、アクティビティなどの問題の概要。
詳細	アサイン、スケジュール、問題のグループ化、アクションプラン、機密性、アクティビティ、設定、作業メモなどの問題の詳細。
ハイライト表示された詳細	問題ソース、問題タイプ、問題評価、優先度、影響、関連先、階層などのハイライト表示された情報。
影響	この問題の影響を受けるエンティティ。
関連先	コントロール、リスク、ポリシー、各種法令・基準等、エンゲージメント、規制変更タスク、修正タスク、リスクイベントなど、この問題の影響を受けるさまざまなオブジェクトの数。
階層	問題の階層。

次の表に、 [問題] セクションの関連リストを示します。

[問題] セクションの関連リスト

関連リスト	説明
修正タスク	名前、番号、ステータス、アサイン先、優先度、終了予定日、実際の日付などの修正タスクの詳細。
SLA タスク	SLA 定義、タイプ、ターゲット、ステージ、対応残り時間、対応経過時間、対応経過時間の割合 (%)、開始時間、終了時間などのタスクの Service Level Agreement (SLA) の詳細。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[問題] セクションの関連リスト (続く)

関連リスト	説明
問題	名前、番号、問題ソース、問題タイプ、ステータス、問題マネージャー、アサイン先、優先度、期日などの関連する問題の詳細。
インジケーターの結果	名前、結果、インジケーター、データオーナーなどのインジケーター結果の詳細。
コントロールテスト	名前、番号、親、アサイン先、開始予定日、終了予定日などのコントロールテストの詳細。
問題のトリアージ	名前、番号、ソース、問題タイプ、ステータス、サブステート、トリアージオーナー、レビュー担当者などの問題のトリアージの詳細。
ポリシー例外	名前、番号、要求者、理由、ポリシー、コントロール目標、ステータス、サブステート、有効開始日、有効期限、リスク評価などのポリシー例外の詳細。
証拠	名前、番号、証拠対象、要求理由、ステータス、サブステート、要求者、アサイン先、期日などの証拠の詳細。
エンティティ	エンティティ、説明、クラス、オーナーなどのエンティティの詳細。
コントロール	名前、番号、エンティティ、機能、状態、ステータス、免除、オーナー、説明などのコントロールの詳細。
リスク	名前、番号、エンティティ、リスクステートメント、所有グループ、オーナー、ステータス、リスクアセスメント方法などのリスクの詳細。
エンゲージメント	名前、番号、タイプ、エンゲージメントリード、ステータス、エンゲージメントの開始予定日、エンゲージメント終了予定などのエンゲージメントの詳細。
コントロール目標	名前、ソース ID、ソース、親、カテゴリ、分類、タイプ、コンプライアンスなどのコントロール目標の詳細。
リスクステートメント	名前、フレームワーク、カテゴリ、説明、選好度ステータスなどのリスクステートメントの詳細。
ポリシー	名前、タイプ、オーナー、ステータス、有効開始日、有効終了日、コンプライアンススコアなどのポリシーの詳細。
各種法令・基準等	名前、共通名、タイプ、コンプライアンススコアなどの各種法令・基準等の詳細。
リスクイベント	リスクイベント、プライマリエンティティ、イベントタイプ、サブタイプ、ステータス、検出日、正味損失、予想損失、非財務的影響度などのリスクイベントの詳細。

自動翻訳

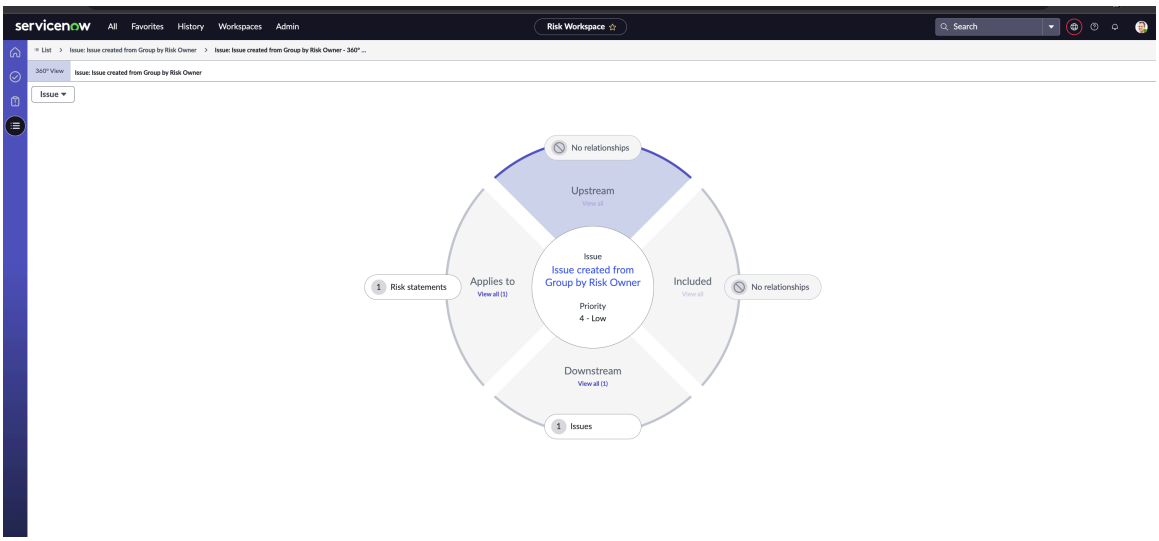
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[問題] セクションの関連リスト (続く)

関連リスト	説明
処理アクティビティ	処理アクティビティ、処理アクティビティカテゴリ、オーナー、プライバシーアナリストなどの処理アクティビティの詳細。

次の例は、問題に関連付けられているアップストリームの問題、ダウンストリームの問題、コントロール、修正タスクなど、選択した問題の関係全体の 360 度ビューを示しています。

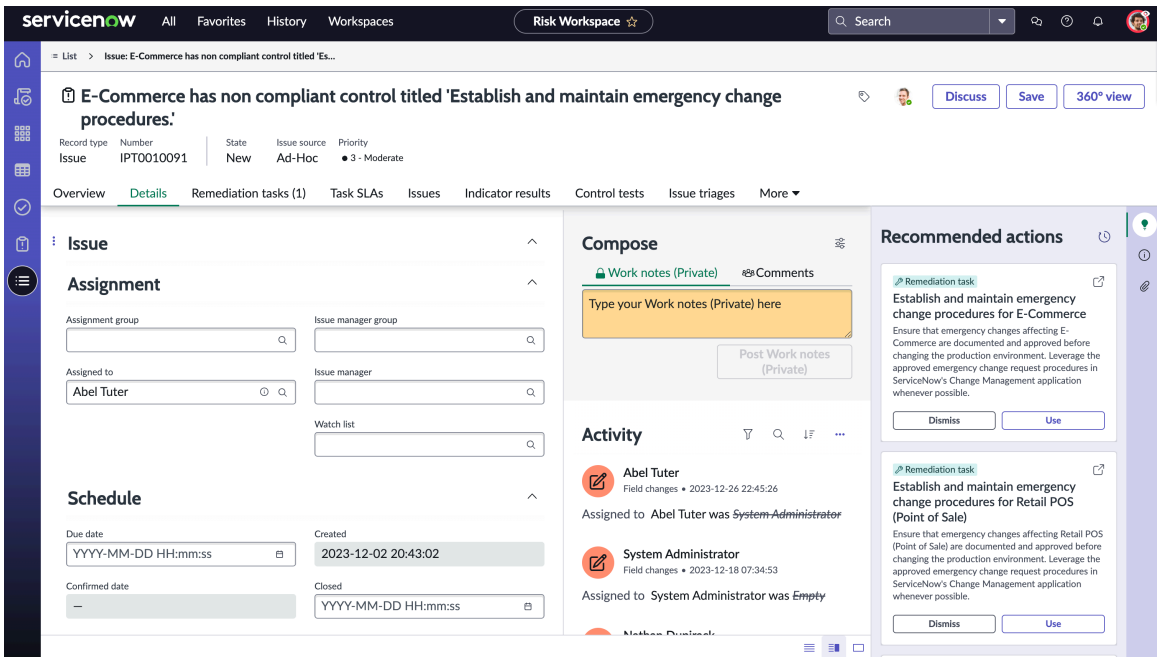
問題の **360** 度の関係



推奨された行動

Recommended Actions は、システムによって生成された提案で、修復タスクをすばやく選択したり、問題を適切な担当者にアサインしたりするのに役立ちます。

修復タスクの推奨アクション



自動翻訳

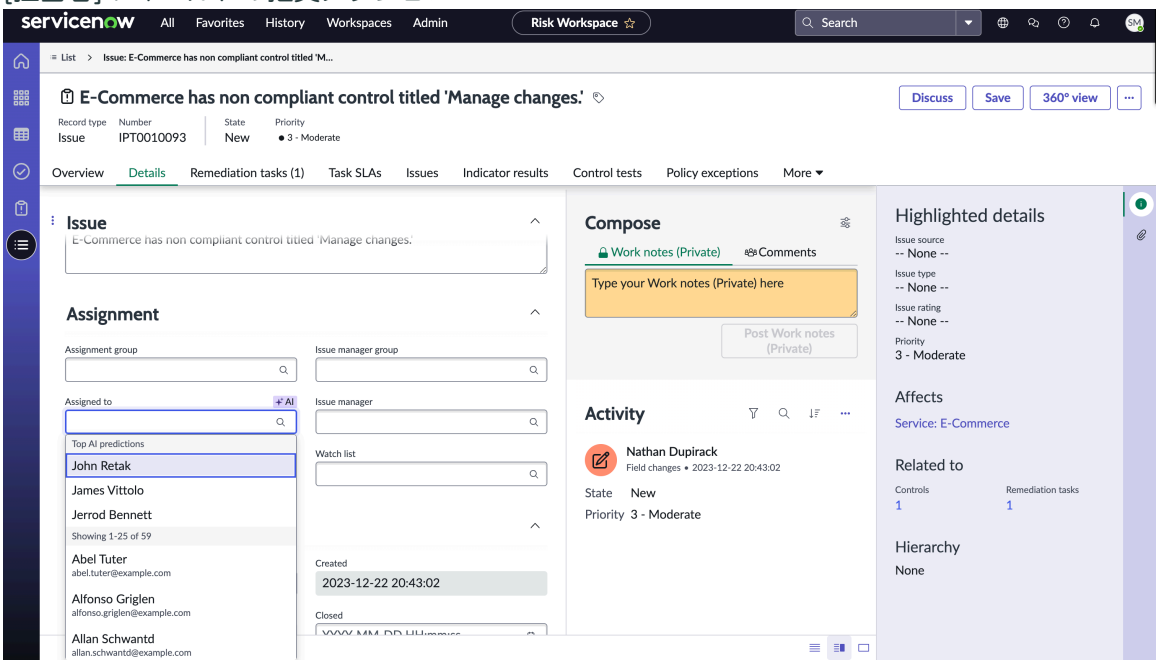
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

図に示すように、修復タスクの推奨アクションが右側のペインに表示されます。推奨アクションのリストを表示し、次の操作を実行できます。

- 使用: [使用] ボタンをクリックすると、事前入力されたデータを含むフォームが表示されます。[担当者] フィールドを使用して任意のユーザーに割り当て、[保存] を選択できます。このレコードは [修復タスク] タブで確認できます。
- 却下: 推奨されるアクションを使用しない場合は、[却下] を選択します。

重要:
推奨事項は、問題がアサインされているユーザーである場合に、GRCビジネスユーザーロールおよびGRCビジネスユーザー – Lite ロールにのみ表示されます。

[担当者] フィールドの推奨アクション



図に示すように、 システムによって生成された 推奨事項が [担当者] フィールドに表示されます。アルファベット順のユーザーのリストの上に、上位 3 つの予測 (John Retak、James Vittolo、Jerrod Bennett) が表示されます。

問題の関係を構成する

問題が再利用不可能で、さまざまなコントロール、リスクステートメント、またはコントロール目標に対して複数の類似した問題が作成されていることがわかっている場合でも、引き続き、GRC アプリケーションで問題を再利用するために問題の関係を構成できます。

同じ問題を再利用することで、問題の重複を避けることができます。さまざまなオブジェクトに追加する必要があるだけです。問題がコントロールまたはリスクにリンクされると、エンティティ、コントロール目標またはコントロールやリスクのリスクステートメントに自動的にリンクされます。

GRC 管理モジュールの [問題の関係の構成 **(Issue Relationship Configuration)]** タブを使用すると、さまざまなオブジェクトに問題を追加できます。

注:
このモジュールは、ワークスペースがインストールされている場合にのみ表示されます。

ワークスペースをインストールするには、「ワークスペースを追加する」を参照してください。

問題への関連オブジェクトの自動リンクを停止することで、問題の関係を無効にすることもできます。詳細については、「問題の関係を構成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の関係を構成する

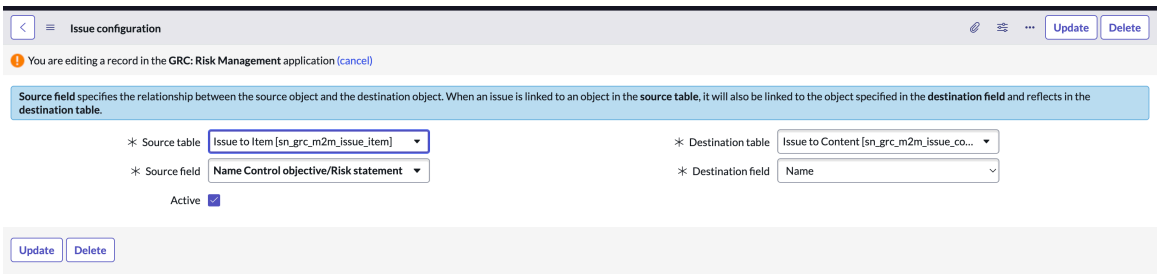
問題を GRC アプリケーションの関連オブジェクトに自動的にリンクできるように、問題の関係の設定レコードを有効または無効にします。

始める前に
必要なロール：sn_grc.admin

手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > 問題の関係の構成.
2. 問題の関係を設定するレコードを選択します。
3. [アクティブ] フィールドを選択または選択解除して、設定レコードを有効または無効にします。

問題の関係の構成フォーム



問題の関係の構成フォームのフィールドの詳細については、「問題の関係の構成フォーム」を参照してください。

問題の関係の構成フォーム

GRC アプリケーションの問題の関係の構成フォームを使用して、問題がソースレコードにリンクされている場合に、宛先レコードに問題を自動的にリンクします。

問題の関係の構成フォーム

フィールド	説明
ソーステーブル	問題をオブジェクトにリンクするときに元のレコードが作成される多対多 (MtoM) テーブル。 たとえば、問題がコントロールにリンクされている場合、関係レコードがこのテーブルに作成されます。
宛先テーブル	問題が宛先オブジェクトにリンクされている場合に、レコードが作成されるターゲットテーブル。 たとえば、[ソーステーブル] フィールドでコントロールにリンクする問題を選択したとします。[宛先テーブル] フィールドでエンティティ MtoM にリンクする問題を選択した場合、問題はコントロールのエンティティにリンクされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の関係の構成フォーム (続く)

フィールド	説明
ソースフィールド	ソースオブジェクトと宛先オブジェクトの関係を表示するソースフィールド。
宛先フィールド	[宛先テーブル] フィールドの問題にリンクされているオブジェクトを含む宛先フィールド。 たとえば、[宛先テーブル] フィールドでエンティティ関係にリンクする問題を選択した場合、宛先フィールドの値は [エンティティ] です。 **注:** ソースフィールドと宛先フィールドで選択するオブジェクトタイプは同じタイプである必要があります。

注:

- ソースオブジェクト：手動で問題にリンクされている元のオブジェクトです。
- 宛先オブジェクト：問題の関係の構成によって自動的に問題にリンクされるオブジェクトです。

GRC のドメイン分離

ここではドメイン分離と ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションの概要を示します。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

Domain Separation は、以下の顧客にとって最適です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ビジネスエンティティ間で絶対的なデータ分離を適用する必要がある (データ分離)。
- 各ドメインのビジネスプロセス定義とユーザーインターフェイスをカスタマイズする (委任管理)。
- 単一のインスタンスでグローバルなプロセスとグローバルなレポートを維持します。

これらのユーザーは、ドメインスコープを展開するか折りたたんで、他のドメインからのデータを表示または非表示にすることができます。

注:
ユーザーは、ドメインの可視性によって明示的に付与されたドメインのデータに常にアクセスできます。

GRC におけるドメイン分離の仕組み

- GRC はデータの分離をサポートしていますが、ロジックおよびプロセスの分離を完全にはサポートしていません。

- GRC アプリケーション内のタイプのレコードの多くは、ユーザープロセスによって自動的に生成されます。エンティティ、コントロール、リスク、インジケーター、およびコントロールテストはすべて、自動的に生成できるフィールドです。自動で生成されたレコード (および手動で生成された GRC レコード) の場合、レコードのドメインは、レコードの作成または生成を担当するユーザーのドメインと同じです。

  ドメイン分離された GRC 実装で作業する場合は、自動生成を念頭に置いておく必要があります。ユーザーは、適切なドメインレベルでレコードを作成および生成して、それらが適切なユーザーセットに表示されるようにする必要があります。

  たとえば、次のようなドメインがあるとします。

  - グローバル
  - トップ
    - ドメイン A
    - ドメイン B

- ドメイン A および B のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、リスクまたはコントロールをグローバルレベルで生成するか、手動で作成する必要があります。リスクまたはコントロールがドメイン B で作成された場合、インデックス作成が原因で、ドメイン A でリスクまたはコントロールを再作成することはできません。
- トップおよびドメイン A のユーザーによって評価されるリスクまたはコントロールがある場合は、ドメイン A でリスクまたはコントロールを作成できます。

リスクとコントロールがグローバルドメイン内にない限り、ユーザーは上位のドメイン内にあるリスクまたはコントロールケースを、下位のドメインのユーザーにアサインできません。上記の例では、トップドメインにコントロールがある場合、証明書のために、そのコントロールをドメイン A または B のユーザーにアサインしないでください。これらのユーザーはコントロールにアクセスできないため、証明書またはアセスメントのアンケートは生成されません。

同様に、ユーザーは、上位ドメインのコントロール目標とリスクステートメントを下位ドメインの証明書とアセスメントにアサインしないでください。アサインすると、証明書またはアセスメントアンケートが生成されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユースケース

IT 用の GRC データを他の部門の GRC データから分離できます。GRC アプリケーションを使用している各ビジネスエリアは、他の部門と共有できない分離データを保有できます。そのため、各部門には独自のエンティティ、ポリシー、コントロール、リスクなどがあります。

IT ドメインからのコントロールを調べる場合、ユーザーはドメインスコープを展開して財務ドメインの値を表示するか、ドメインスコープを折りたたんで IT ドメインに一致するコントロールのみを表示するかを選択できます。

デフォルトでは、ドメイン分離は、タスク [task] および構成アイテム [cmdb_ci] テーブルとその拡張に、ドメインフィールドを追加します。

sys_domain フィールドをテーブルの辞書定義に追加することで、作成する任意の新しいテーブルにドメイン分離を拡張することができます。デフォルトでは、システム専用ドメインは、適切な場合に、プラットフォームとベースラインアプリケーションテーブルを分離します。

⚠ 警告:
ServiceNow では、予期しない結果が生じる可能性があるため、ドメイン分離プラットフォームテーブル (辞書エントリ [sys_dictionary] や辞書エントリの上書き [sys_dictionary_override] テーブルなど、sys_prefix を持つテーブル) は推奨されません。

このユースケースでは、クライアントスクリプト、ビジネスルール、ワークフロー、プロセスなどをドメイン分離できます。

ドメイン分離での動作がマルチテナントのサポートを提供している間は、マルチテナントはまだ単一のインスタンス内に含まれています。つまり、一部のグローバルプロパティ、グローバルデータ、およびグローバルプロセスは、すべてのドメインで共有されます。たとえば、ログインページのシステムの [記憶する] オプションはグローバルであり、ドメインごとに指定できません。

すべてのシステムのプロパティを完全に分離する必要があり、グローバルレポートまたはグローバルプロセスを必要としない場合、インスタンスの分離が最適なオプションです。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

ブレッドクラムナビゲーション

ServiceNow® Washington DC リリースは、すべての GRC モジュールのブレッドクラムナビゲーションをサポートしています。ブレッドクラムは、関連するコンテンツを含むリンクされたページの階層を移動するための、ブラウザーパスを提供します。

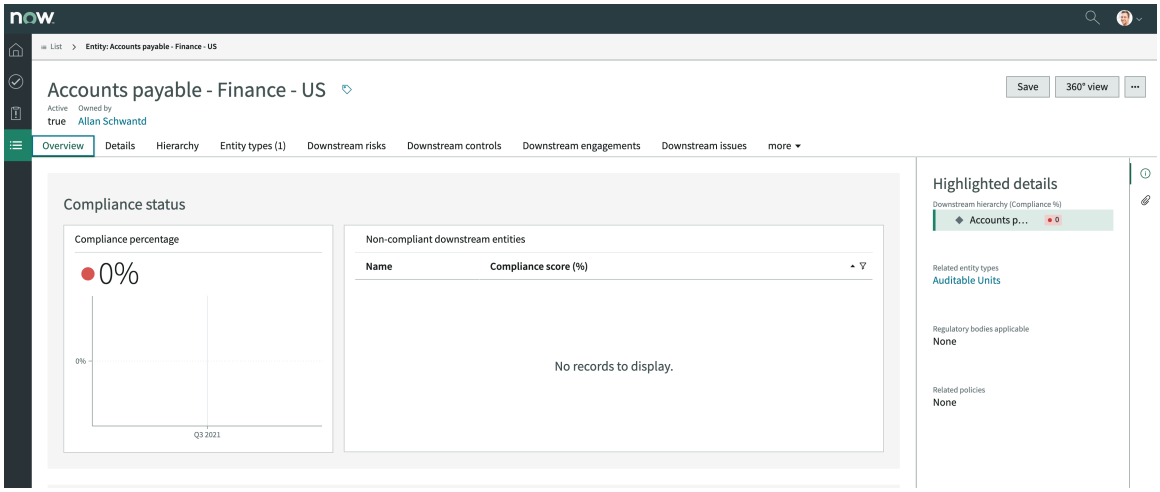
ブレッドクラムはコンテキストと一貫性を提供し、ユーザーはすぐに使い慣れることができます。ブレッドクラムスタイルのナビゲーションでは、ユーザーの開始点から現在のコンテンツまでのデジタル記録を提供し、各リンクに移動する機能を提供します。

ブラウザーパスを提供するブレッドクラムスタイルナビゲーションを使用して、関連するコンテンツを含むリンクされたページの階層を移動できます。ブレッドクラムは簡易形式のフィルターナビゲーションです。左から右に並べられています。左側の条件が最も一般的で、右側の条件が最も具体的です。たとえば、ワークスペースビューでエンティティのナビゲーションパスを確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティのブレッドクラムナビゲーション



ナビゲーションパス リスト > エンティティ: 買掛金 - 経理 - 米国 この例では、リスト ビューの エンティティ メニューから 買掛金 - 経理 - 米国 ページに移動できることを示しています。パス内のリンクをクリックすると、選択した画面に戻ります。

GRC のタクソノミ管理

分類 (タクソノミ) は、構造化されていないコンテンツの要素を整理、分類、およびラベル付けするために使用されます。コンテンツは、コンテンツのコンテキストに関する追加情報を提供する詳細な要素に整理されます。

新しい GRC：タクソノミー管理 アプリケーションを使用して、 分類モジュールを使用して GRC モジュール全体のコンテンツ分類のカテゴリを管理します。さらに、GRC：タクソノミー管理 アプリケーションを使用して分類を保存することもできます。GRC：タクソノミー管理 アプリケーションは、GRC: ポリシーとコンプライアンス管理 アプリケーションとともに自動的にインストールされます。

さまざまなセグメントや製品間でコンテンツを効率的に適応させて再利用するために役立ちます。GRC：タクソノミー管理 アプリケーションは分類を保存し、すべての GRC モジュールの UI コンポーネントを介して分類をマッピングする方法を提供します。

新しい GRC：タクソノミー管理 アプリケーションには次のメリットがあります。

- 規制との整合性が向上します。
- GRC モジュール内で規制コンテンツを簡単に分類できます。
- 内部分類を設定するか、外部プロバイダーから分類をマッピングして、各種法令・基準等および各種法令・基準内項目のさまざまなタイプのライブラリーオブジェクトを分類します。
- 次のすぐに利用可能な (OOTB) 分類要素が提供されます。
  - コンテンツタイプ
  - 管轄
  - 規制機関
  - セクター
  - テーマ
- すぐに利用可能な (OOTB) 分類カテゴリに加えて、新しい分類クラスレコードを使用して新しい分類カテゴリを柔軟に追加できます。
- 規制コンプライアンスの簡素化、規制要件の追跡、外部規制の更新に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
以前に 規制変更管理 アプリケーションをダウンロードし、Washington DC GA リリースにアップグレードする場合は、古い分類テーブルから新しい分類テーブルにデータをコピーしてください。

ランディングページ構成モジュール

GRC 管理者は、クラシックユーザーインターフェイスの GRC ランディングページ構成モジュールを使用して、ワークスペースの「タスクおよび問題の概要」ランディングページを構成できるようになりました。ランディングページ構成モジュールのタスク、問題、およびその他のアイテムを構成するために必要なロールは、sn_grc_workspace.task_admin ロールです。GRC 管理者には、デフォルトで sn_grc_workspace.task_admin ロールがアサインされます。

ランディングページ構成モジュール

GRC ランディングページ構成モジュールには、次のモジュールが表示されます。

- タスクページ構成
- 問題ページの構成

タスクページ構成モジュール

クラシックユーザーインターフェイスのタスクページ構成モジュールには、ワークスペースのランディングページの [タスク] セクションに関連する構成が表示されます。タスクページ構成モジュールの構成は、ユーザーがさまざまなワークスペースでデータを表示するために役立ちます。

sn_grc_workspace.task_admin ロールを持つユーザーのみが、クラシックユーザーインターフェイスのタスクページ構成モジュールを使用して、ワークスペースのタスクランディングページを構成できます。管理者には、デフォルトで sn_grc_workspace.task_admin ロールがアサインされています。

GRC 管理者は、このモジュールのワークスペース、タブ、およびフィルター構成を含むタスクページの構成を実行します。ユーザーは、テーブルレベルまたはステータスレベルで適用されるすべてのフィルター条件に基づいて、ワークスペースのタスクランディングページでデータを表示できます。

ワークスペースのホームページビューで、 [自分のタスク] や [自分のグループの作業] などのタスクについて表示されるウィジェットは、UI Builder を使用して構成されます。ホームページビューでこれらのウィジェットをクリックすると、ワークスペースのタスクページに移動します。

監査ワークスペース、Compliance ワークスペース、プライバシーワークスペース、および Risk ワークスペースには、次のタブがデフォルトで事前構成されています。

- 自分の処理待ちのタスク
- 自分のグループのタスク
- 自分のアイテム
- ウォッチリスト

GRC: Common Workspace Elements アプリケーションバージョン 14.x 以降、sn_grc_workspace.task_admin ロールを持つ管理者は、タスク設定レコードのタブを追加または削除できます。また、タブの優先順位付けや順序付けを行うこともできます。タスクページ構成モジュールのタスク設定レコードにタブが作成されると、ワークスペース UI に表示されます。

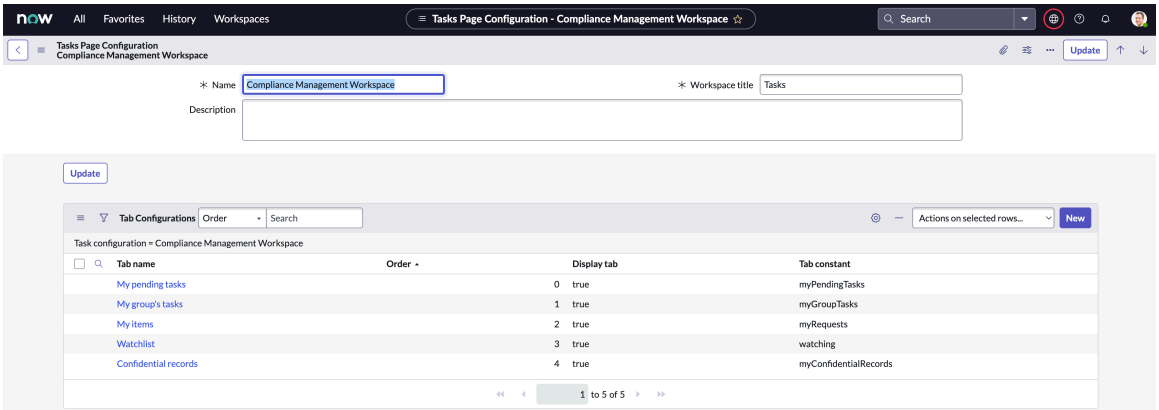
タスク管理者は、UI のタブの順序を変更できます。2 つのタブに同じ順序が設定されている場合、タブはアルファベット順に表示されます。

次の画像は、更新されたタスク設定レコードを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク設定レコード



GRC 管理者は、ランディングページに表示されるタスク設定レコードの名前を設定できます。管理者は次の操作を実行できます。

- クラシックユーザーインターフェイスでレコードの名前と説明を更新する。クラシックユーザーインターフェイスでこのデータを表示できるのは管理者のみです。エンドユーザーは、このデータをワークスペースビューで表示できません。
- ワークスペースのタスクランディングページに表示されるワークスペースのタイトルを更新する。エンドユーザーは、このデータをワークスペースビューで表示できます。
- 該当するテーブルのタイトル、フィルター条件、列名を更新する。
- タブのフィルター条件を更新する。
- 該当するテーブルのグループ選択に基づいてレコードをフィルターする。
- テーブルのステータスラベルを追加、更新、削除、または上書きする。
- グループタブや通常のタブなど、タブのタイプを更新する。

タスクページ設定レコードを更新する

クラシックユーザーインターフェイスでタスクページ設定レコードを更新して、さまざまなワークスペースにタスク構成を表示します。タスクページ設定レコードには、エンドユーザーが各ワークスペースの [自分のタスク] ランディングページで表示できる構成が表示されます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.admin、sn_grc_workspace.task_admin

このタスクについて

GRC 管理者は、ワークスペースユーザーがワークスペースで表示できるタスクを設定できます。次のタブを使用してタスクを設定します。これらのタブはデフォルトで各ワークスペースに提供されます。

- 自分の処理待ちのタスク
- 自分のグループのタスク
- 自分のアイテム
- ウォッチリスト

ワークスペースの選択に応じて、次の構成可能なタブがワークスペースに表示されます。GRC 管理者は、ランディングページ構成モジュールを使用してこれらのタブを変更できます。

ステータスフィルターまたは第 2 レベルフィルターは、 [自分の処理待ちのタスク]、 [自分のグループのタスク]、 [自分のアイテム]、および [ウォッチリスト] タブで使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **GRC** ランディングページ構成 > タスクページ構成.
   タスクページ設定レコードには、次の各ワークスペースの設定レコードが表示されます。
   - 監査ワークスペース
   - Compliance ワークスペース：[Policy and Compliance] モジュールの下に表示されます。
   - Operational Resilience ワークスペース
   - プライバシーワークスペース
   - Regulatory Change Management ワークスペース：[Policy and Compliance] モジュールの下に表示されます。
   - Risk ワークスペース
   - リスクポータル
   - Vendor Management Workspace
2. 作業しているワークスペースの設定レコードをクリックします。
3. 必要に応じて、フォームのフィールドを更新します。

   選択したワークスペースのタスクページ設定レコードには、次のフィールドが表示されます。

タスクページ設定レコード

フィールド	説明
名前	タスクページ設定レコードに表示されるタスク構成の名前。
説明	更新できるタスク構成の説明。
ワークスペースのタイトル	ワークスペースに表示される [自分のタスク] ページのタイトル。

[タブ構成] 関連リストには、タスク設定レコードの次のタブが表示されます。

- 自分の処理待ちのタスク
- 自分のグループのタスク
- 自分のアイテム
- ウォッチリスト
- 機密レコード

タスク設定レコードのすべてのタブには、次の設定レコードが表示されます。

タスク設定レコードのフィールド

フィールド	説明
タブ名	ワークスペースに表示されるタブの名前。
順序	ワークスペース内のタブの順序。
タブを表示	UI にタブを表示するオプション。このオプションを有効にすると、タブが UI に表示されます。同様に、このオプションを無効にすると、タブは UI に表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループ選択を有効にする	フィルター内のグループを選択するオプション。このオプションを有効にすると、管理者は該当するテーブルのグループ選択に基づいてレコードをフィルターできます。

各タブの関連リスト内には次の情報が表示されます。

タスク設定レコードの各タブの関連リスト

フィールド	説明
アプリケーションテーブル	ワークスペースに表示され、 リリースに付属するテーブルのリスト。これらのテーブルは、ユーザーが一致条件に基づいて操作できるレコードです。 新しい適用可能なテーブルを作成するか、リストから既存の適用可能なテーブルをクリックして、その設定レコードを更新できます。 ○ テーブル設定レコードには、選択した適用可能なテーブルに関連するフィールドが表示されます。 ○ [マップステータス] 関連リストには、選択した適用可能なテーブルに適用可能なステータスが表示されます。ワークスペースのタブに正しく表示されるように、ステータスを選択し、そのフィルター条件を更新できます。
適用可能なステータス	タブに適用可能なステータスのリスト。これらのステータスは、 [上書きされたラベル] 列とともにワークスペースに表示されます。[上書きされたラベル] 列に更新されたステータス名を追加することで、ステータスの名前を設定および更新できます。

4. 必要に応じて、 [適用可能なテーブル] 関連リストで、次の操作を行って既存のテーブルを更新します。

   a. テーブルをクリックしてその設定レコードを開きます。

   b. [タスクタイトル]、[テーブル]、[タブレベルフィルター]、および [表示される列] フィールドを設定し、[更新] をクリックします。
   選択したテーブルの更新されたフィールドが、ワークスペースでエンドユーザーに表示されます。

   c. [上書きされたラベル] 列に更新されたステータス名を追加してステータスの名前を設定します。

5. [自分の処理待ちのタスク] タブをクリックし、必要に応じて構成フィールドを更新します。

   [自分の処理待ちのタスク] タブの構成には、使用可能な構成とタブ内で構成されたタスクのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [自分のグループのタスク] タブをクリックし、必要に応じて構成フィールドを更新します。

   [自分のグループのタスク] タブ構成には、自分のグループにアサインされたタスクのリストが表示されます。

   注:
   [自分のグループのタスク] タブとその関連付けられたフィールドのタブ名は、[自分の処理待ちのタスク] タブと同様に設定できます。

7. [自分のアイテム] タブをクリックし、必要に応じてフィールドを更新します。

   [自分のアイテム] タブ構成には、自分が作成したアイテムまたは自分が開いたアイテムのリストが表示されます。

   注:
   [自分のアイテム] タブとその関連付けられたフィールドのタブ名は、[自分の処理待ちのタスク] タブと同様に設定できます。

8. [ウォッチリスト] をクリックし、必要に応じてフィールドを更新します。

   [自分のウォッチリスト] タブ構成には、自分が含まれるウォッチリストのタスクのリストが表示されます。

   注:
   [自分のウォッチリスト] タブとその関連付けられたフィールドのタブ名は、[自分の処理待ちのタスク] タブと同様に設定できます。

9. [機密レコード] をクリックし、必要に応じて構成フィールドを更新します。

   [機密レコード] タブ構成には、選択したテーブルの機密レコードが表示されます。

10. [タブ構成] 関連リストで [新規] をクリックして、タスク設定レコードに新しいタブを追加します。
    a. フォームのフィールドに入力します。
    b. [送信] をクリックします。
    選択したグループの情報を含む新しいタブが UI に表示されます。
11. [更新] をクリックしてタスク設定レコードを更新します。

問題ページの構成モジュール

問題ページの構成モジュールには、さまざまなワークスペースの問題の概要ランディングページに関連する構成が表示されます。問題の概要ランディングページに表示されるデータは、クラシックユーザーインターフェイスの問題ページの構成モジュールを使用して設定されます。問題の概要ランディングページには、問題、問題のトリアージ、問題の追跡ステータス、および監査観察事項のページが含まれています。

問題の概要ランディングページは、次のワークスペースで利用できます。

- 監査ワークスペース
- Compliance ワークスペース
- プライバシーワークスペース
- Risk ワークスペース

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC 管理者は、問題ページの構成モジュールを使用してステータス、フィルター条件、およびテーブルをマッピングすることで、アクティブなワークスペースの問題を設定、監視、およびレポートできます。

問題ページの構成モジュールで実行された構成に基づいて、ワークスペースユーザーは、ワークスペースの問題の概要ランディングページで自分にアサインされたデータを表示できます。

管理者は、問題ページの構成モジュールを使用して次のタスクを実行できます。

- ワークスペースの問題の概要ページに表示されるクラシックユーザーインターフェイスで、新しい問題ページ設定レコードを作成する。
- 選択したテーブルのテーブル、追跡、問題のトリアージ、および観察事項に関連する問題を構成し、ポリシー例外や証拠などを追跡する。

各ワークスペースのホームページには、次の情報を提供する [問題] セクションが表示されます。

- [自分の問題] セクションには、 [問題] および [トリアージ問題] セクションが番号形式で表示されます。[問題] サブセクションには、[アサイン先]、[管理]、[修復がアサインされました]、[レビューするには]、[期限切れ] などの詳細が表示されます。[トリアージ問題] サブセクションには、[アサイン先] や [レビューするには] などの詳細が表示されます。
- [自分のグループの問題] セクションには、 [問題] および [トリアージ問題] セクションが番号形式で表示されます。[問題] サブセクションには、[アサイン先]、[管理]、[未アサインのマネージャー]、[レビューするには]、[期限切れ] などの詳細が表示されます。[トリアージ問題] サブセクションには、[アサイン先]、[未アサインの所有者]、[レビューするには]、[未アサインのレビュー担当者] などの詳細が表示されます。
- [監視対象] セクションには、[トリアージ問題] や [修正タスク] などの詳細が番号形式で表示されます。

新しい問題ページの設定レコードを作成する

クラシックユーザーインターフェイスの問題ページの構成モジュールで、新しい問題ページの設定レコードを作成します。問題ページの構成モジュールには、ワークスペースのランディングページの [問題] セクションに関連する構成が表示されます。新しく作成された問題は、選択したワークスペースの問題の概要ランディングページに表示されます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.admin

手順

1. 移動先 ランディングページ構成 > 問題ページの構成.
2. [新規] をクリックします。
   問題ページの設定レコードが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。

問題ページの構成フォーム

フィールド	説明
名前	ワークスペースの設定可能な名前。これはワークスペースに表示されるタブの名前です。
[問題] タブ	
テーブル	ワークスペースに表示される問題の構成に使用されるテーブルの名前。[フィルター] フィール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ドには、一致するレコードを設定して表示できるフィルター条件が表示されます。
[追跡] タブ	
ポリシー例外	Compliance ワークスペースの [追跡] セクションにポリシー例外を表示するオプション。 **注:** Risk ワークスペースでは、ポリシー例外はデフォルトでは表示されません。
証拠要求	Compliance ワークスペースの [追跡] セクションに証拠要求を表示するオプション。このオプションは、Advanced Core プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。
[問題のトリアージ] タブ	
このタブは、Advanced Core プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。	
問題のトリアージを表示	ワークスペースで問題のトリアージを表示または非表示にするオプション。 **注:** 監査ワークスペースの場合、このオプションはデフォルトで非アクティブです。
テーブル	問題のトリアージを設定するために使用されるテーブルの名前。
フィルター	一致するレコードを設定して表示できるフィルター条件。
[観察事項] タブ	
このタブは、Advanced Audit プラグインがインスタンスにインストールされている場合にのみ使用できます。	
観察事項を表示	ワークスペースで監査観察事項を表示または非表示にするオプション。 **注:** 監査ワークスペースの場合、このオプションはデフォルトで選択されています。
テーブル	観察事項に使用されるテーブルの名前。
フィールド	一致するレコードを設定して表示できるフィルター条件。

4. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
新しい問題ページの設定レコードが作成されます。

新しい問題ページの設定レコードをワークスペースにリンクする

新しい問題ページの設定レコードを作成し、クラシックユーザーインターフェイスから目的のワークスペースにリンクします。問題ページの設定レコードをリンクした後、ワークスペースビューには問題の概要ランディングページの新しい設定が表示されます。

始める前に
新しい構成を目的のワークスペースにリンクするには、ワークスペースの *issuePageConfigId* プロパティを更新する必要があります。

必要なロール：sn_grc.admin

このタスクについて
新しい問題構成が作成されて問題ページの設定レコードに保存された場合、目的のワークスペースにリンクした後にのみ、ワークスペースに表示されます。

手順

1. 問題ページの設定レコードで、新しい問題構成を作成します。
   手順については、「新しい問題ページの設定レコードを作成する」を参照してください。
2. 新しい構成の sys_id をコピーし、メモしておきます。
   後で sys_id を使用して問題ページ設定レコードを更新します。
3. クラシックユーザーインターフェイスの [エクスペリエンス] リストに移動します。
4. [UX アプリケーション] リストから、変更を統合するワークスペースを選択します。
5. 選択したワークスペースで、*issuePageConfigId* プロパティを選択します。
6. issuePageConfigId プロパティページで、[値] フィールドを新しい構成の sys_id に設定し、[保存] をクリックします。

   注:
   ワークスペースでは複数の設定レコードを構成できます。ただし、*issuePageConfigId* プロパティで sys_id が構成されている設定レコードのみがワークスペースに表示されます。

タスクの結果
新しい問題ページの構成設定が目的のワークスペースビューに表示されます。

問題ページの設定レコードを更新する

ワークスペースの問題の概要ランディングページに表示される、問題ページの構成を更新するために、クラシックユーザーインターフェイスの既存の問題ページの設定レコードを更新します。問題ページの設定レコードの構成を変更すると、問題、問題のトリアージ、および問題の追跡ステータスが目的のワークスペースのユーザーに表示されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.admin

手順

1. 移動先 ランディングページ構成 > 問題ページの構成.
   利用可能なワークスペースの名前は、問題ページの設定レコードに一覧表示されます。
2. 更新するワークスペース設定レコードを選択します。

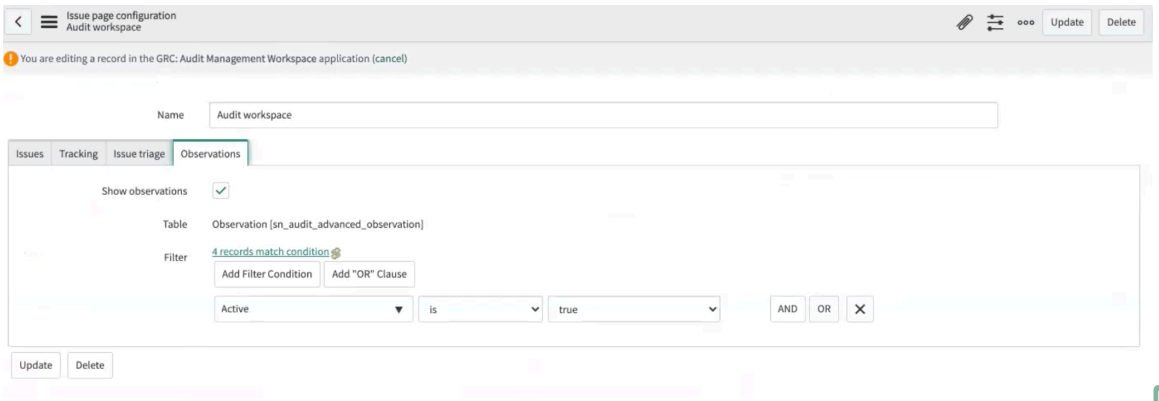
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したワークスペースの問題ページの設定レコードには、タブのリストが表示されます。各タブに表示されている選択したテーブルのフィルター条件を確認し、必要に応じてフィールドを更新できます。

- 名前：ワークスペースに表示されるタブの名前。
- 問題：ワークスペースに問題ウィジェットを表示するために実行する構成。
- 問題のトリアージ：ワークスペースに問題のトリアージウィジェットを表示するために実行する構成。
- 追跡：ワークスペースにポリシー例外と証拠要求を表示するために実行する構成。
- 観察事項：ワークスペースに監査観察事項を表示するために実行する構成。

問題ページの構成のタブ



3. [問題] タブでは、選択したテーブルのフィルター条件を確認し、必要に応じてフィールドを更新します。
4. [問題のトリアージ] タブでは、選択したテーブルのフィルター条件を確認します。
5. [追跡] タブで、[ポリシーの例外] および [証拠] オプションを選択します。
6. [観察事項] タブで、[監査ワークスペースに観察事項を表示 **(Show observations in the Audit workspace)]** オプションを選択し、フィルター条件を更新します。
   ページには、観察事項 (sn_audit_advanced_observation) のテーブルの名前と、**[Active is True]** などの選択されたフィルター条件が表示されます。

   注:
   観察事項ウィジェットは、監査ワークスペースにのみ表示されます。

7. 問題ページの設定レコードを更新するには、[更新] をクリックします。

ワークスペースの自分のタスク

GRC 管理者は、GRC ランディングページ構成モジュールで個々のユーザーおよびユーザーグループのタスクを構成できます。これらの構成に基づき、ワークスペースのユーザーは、ワークスペースビューの [タスク] ページで、個々のユーザータスク、ユーザーグループタスク、自分のアイテム、およびウォッチリストを表示できます。

ワークスペースの設定と表示に必要なロールを以下に示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースで [タスクページ構成] を構成し、[タスク] ページを表示するために必要なロール

ロール	ワークスペースのロールに関連付けられたアクション
sn_grc.admin、sn_grc_workspace.task_admin	すべてのワークスペースでタスクページ構成レコードを構成します。
sn_grc.business_user	リスクポータルワークスペースの [タスク] ページを表示します。
sn_audit_ws.supervisor、sn_audit_ws.auditor	監査ワークスペースの [タスク] ページを表示します。
sn_compliance.admin	コンプライアンスワークスペースの [タスク] ページを構成して表示します。
sn_oper_res.admin	Operational Resilience ワークスペースの [タスク] ページを構成して表示します。
sn_privacy.admin	プライバシーワークスペースの [タスク] ページを構成して表示します。
sn_grc_reg_change.it_admin	コンプライアンスワークスペースの [タスク] ページを表示します。
sn_risk_workspace.IT_risk_manager および sn_risk_workspace.operational_risk_manager	リスクワークスペースの [タスク] ページを表示します。
sn_vdr_risk_asmt.vendor_risk_manager	Vendor Management Workspace の [タスク] ページを表示します。

管理者によって設定されたタスクに基づいて、ワークスペースの構成レコードの次のタブにタスクが表示されます。

- 自分の処理待ちのタスク
- 自分のグループのタスク
- 自分のアイテム
- ウォッチリスト
- 機密レコード

次のワークスペースで [タスク] ページを表示できます。

- 監査ワークスペース
- Operational Resilience ワークスペース
- Policy and Compliance ワークスペース：Policy and Compliance モジュールの下に表示されます。
- プライバシーワークスペース
- Policy and Compliance ワークスペースの Regulatory Change Management ワークスペース
- Risk ワークスペース
- リスクポータル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Vendor Management Workspace

> **注:**
> 自分のアイテムとウォッチリストは Vendor Management Workspace には表示されません。

ワークスペースの [タスク] ページで自分のタスクを監視する

ワークスペースでアサインされたユーザーに関連するタスクを設定および監視します。ランディングページ構成モジュールを使用して、ワークスペースに表示されるランディングページとウィジェットを構成します。ランディングページの構成モジュールを使用して実行する構成は、さまざまなワークスペースに表示されるデータをフィルターするために役立ちます。

始める前に

必要なロール：
sn_grc.admin、sn_grc_workspace.task_admin、sn_grc_workspace.task_reader

このタスクについて

個々のワークスペースに移動して、個々のユーザーおよびユーザーグループのタスク、アイテム、およびウォッチリストを表示します。

手順

1. 次の方法のいずれかで適切なワークスペースに移動します。
   - すべて > 監査 > 監査ワークスペース.
   - すべて > **Operational Resilience** > **Operational Resilience** ワークスペース.
   - すべて > **Policy and Compliance** > **Compliance** ワークスペース.
   - すべて > プライバシー > プライバシーワークスペース.
   - すべて > **Regulatory** 変更管理 > **Compliance** ワークスペース.
   - すべて > リスク > **Risk** ワークスペース.
   - すべて > リスク > リスクポータル.
   - すべて > ベンダー管理 > ワークスペース.
2. [タスク] ページに移動するには、タスクアイコン () をクリックします。
3. 表示するタブに移動し、タスクを監視します。
   [タスク] ページには、ワークスペースの構成に基づいて次のタブが表示されます。
   - 自分の処理待ちのタスク：自分にアサインされた処理待ちのタスクを監視します。タスクページ構成モジュールの [自分の処理待ちのタスク] タブの下にある [適用可能なテーブル] タブに、タスクに適用可能なテーブルのリストが表示されます。データがユーザーに関連し、定義された条件に一致する場合、ワークスペース UI の [自分の処理待ちタスク] タブにデータが入力されます。

     関連するデータがない場合、またはアサインされたタスクがない場合は、[自分の処理待ちのタスク] タブにデータは表示されません。自分にアサインされたオープンで有効なタスクのみが [自分の処理待ちのタスク] タブに表示されます。
   - [自分のグループタスク]：自分が属するユーザーグループにアサインされたタスクを監視します。[自分のグループタスク] ページには、自分が属するユーザーグループにアサインされた処理待ちのタスクが表示されます。ユーザーグループに処理待ちのタスクがない場合は、 [すべてのタスクが完了しました] というメッセージが表示されます。タスクをフィルターするグループをリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [自分のアイテム] ：自分にアサインされたタスクと、自分が報告した問題を監視します。[自分のアイテム] タブには、自分が作成した、または自分が開いたアイテムのリストが表示されます。
- ウォッチリスト：自分が含まれるウォッチリストのタスクを監視します。[自分のウォッチリスト] タブ構成には、自分が含まれるウォッチリストのタスクのリストが表示されます。
- 機密レコード：機密レコードを機密としてマークし、適切なユーザーがこれらのレコードにアクセスするように確保します。[機密レコード] タブ構成には、選択したテーブルの機密レコードが表示されます。

注:
ユーザーまたはユーザーグループに処理待ちのタスクまたは関連付けられたタスクがない場合は、それぞれのタブに [すべてのタスクが完了しました] というメッセージが表示されます。

エンティティを探索する

エンティティは、ガバナンス、リスク、コンプライアンス を使用するための最も基本的で重要な要素の 1 つです。エンティティには、リスクに関して調査する人、プロセス、部門、アプリケーションまたはオブジェクトを指定できます。

組織のリスクとコンプライアンスの領域を効果的に維持するには、エンティティタイプ、エンティティクラス、およびエンティティ階層を定義する必要があります。リスク領域は、組織が直面する、または将来直面する可能性のあるリスクのリストです。リストには、各リスクの重要度と頻度の説明が含まれています。

エンティティは、GRC のすべてのオファリング (GRC: ポリシーとコンプライアンス管理、Audit Management、GRC: プライバシー管理、GRC: Regulatory Change Management など) 内で使用されます。

GRC のエンティティ

ガバナンス、リスク、コンプライアンス では、エンティティは、エクスポージャーを管理する必要がある、人、プロセス、部門、アプリケーションまたはオブジェクトである可能性があります。これらのエンティティには、ステータスを表示するためのコントロールが定義されています。

エンティティを理解するために、次の例を考えてみましょう。新規 GRC ユーザーで、すべての重要な財務システムに変更管理プロセスを実装するとします。すべてのシステムは個別のエンティティと見なすことができます。すべてのシステムを Financial というエンティティクラスにマッピングします。重要と識別されたシステムを決定するために、重要な財務システムのエンティティタイプフィルターを設定します。

エンティティを作成する主なメリットは、各エンティティに所有者が存在するため、説明責任を維持できることです。このメリットを理解するために、すべてのサーバーを新しい方法で構成するとします。構成が完了した後、監査を実行したところ、1 つのサーバーのみが新しい構成に準拠していないことがわかりました。すべてのエンティティを定義していない場合、監査結果全体が不合格と見なされます。ただし、エンティティが定義されているため、すべてのサーバーではなく、非準拠のサーバーエンティティとその識別された所有者のみが説明責任を負います。

エンティティを定義すると、エンティティオーナーを特定し、それらのエンティティに適切なコントロールを適用できます。また、非準拠エンティティの追跡にも役立ちます。子エンティティを持つエンティティは、ダウンストリームエンティティを持つと言うことができます。親エンティティを持つエンティティは、アップストリームエンティティを持つと言うことができます。

エンティティを作成した後、個別にエンティティクラスを定義するか、既存のエンティティクラスにリンクさせることによって、類似のエンティティにタグを付けることができます。

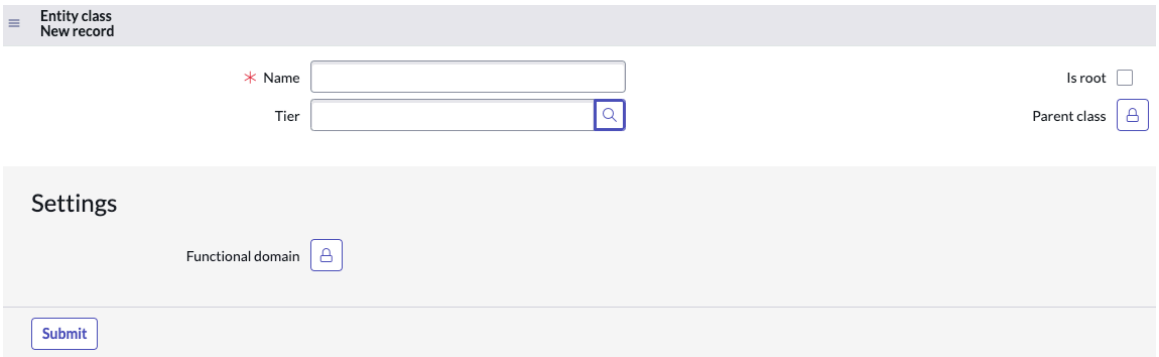
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティクラス

エンティティクラスは、エンティティに関する概念情報を追加したりエンティティにタグを付けたりするために使用されます。エンティティクラスの概念を理解するために、例を考えてみましょう。ある会社が 3 つの都市に支店を持っているとします。オフィススペースはエンティティと見なされ、これらのエンティティのエンティティクラスはロケーションになります。エンティティクラスを作成するには、次の例に示すようにエンティティ層に関連付けます。

エンティティクラスのサンプル構成



エンティティクラスルール

エンティティクラスルールは、テーブルレベルでエンティティにクラスをアサインするために役立ちます。テーブルに作成された新しいエンティティは、そのエンティティクラスを自動的に取得します。エンティティクラスは、エンティティにタグ付けするために使用されます。

特定のテーブルでエンティティを作成する場合は、そのテーブルに関連付けられているクラスは自動的にそのエンティティにアサインされます。テーブルの新しいエンティティクラスルールを設定できます。

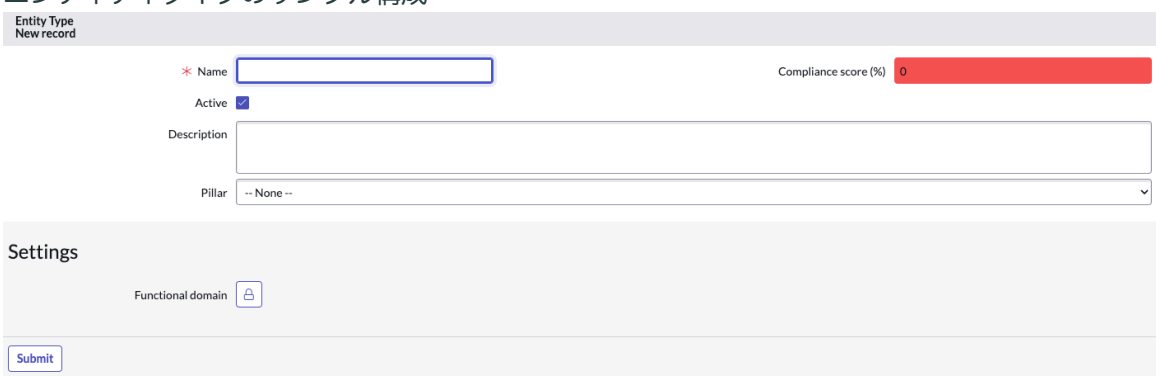
エンティティタイプ

エンティティタイプは、フィルタリングに基づいてエンティティをグループ化したものです。エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および作成できます。エンティティクラス内に階層を作成できます。

エンティティタイプを使用すると、あまり時間をかけずに各エンティティのリスクとコントロールを作成できます。たとえば、組織は、経理、HR、IT などの複数の部門を持つことができます。これらの部門はすべてエンティティと見なすことができ、部門と呼ばれるエンティティタイプの下にグループ化できます。

エンティティタイプを作成するには、次の例に示すように、テクノロジーや施設などのコアビジネスのピラーに関連付けます。

エンティティタイプのサンプル構成



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティ層

エンティティ層を作成する場合、エンティティクラスにレベルまたは階層を適用します。このレベルは、そのエンティティクラスにあるすべてのエンティティに適用されます。次の例に示すように、エンティティ層では、ビジネスでの最重要項目のステータスを選択して、表示できます。

エンティティ層のリストビュー

Name ▲	Label	Domain	Tier level
application	Application	global	20
business	Business	global	10
it_asset	IT Asset	global	30

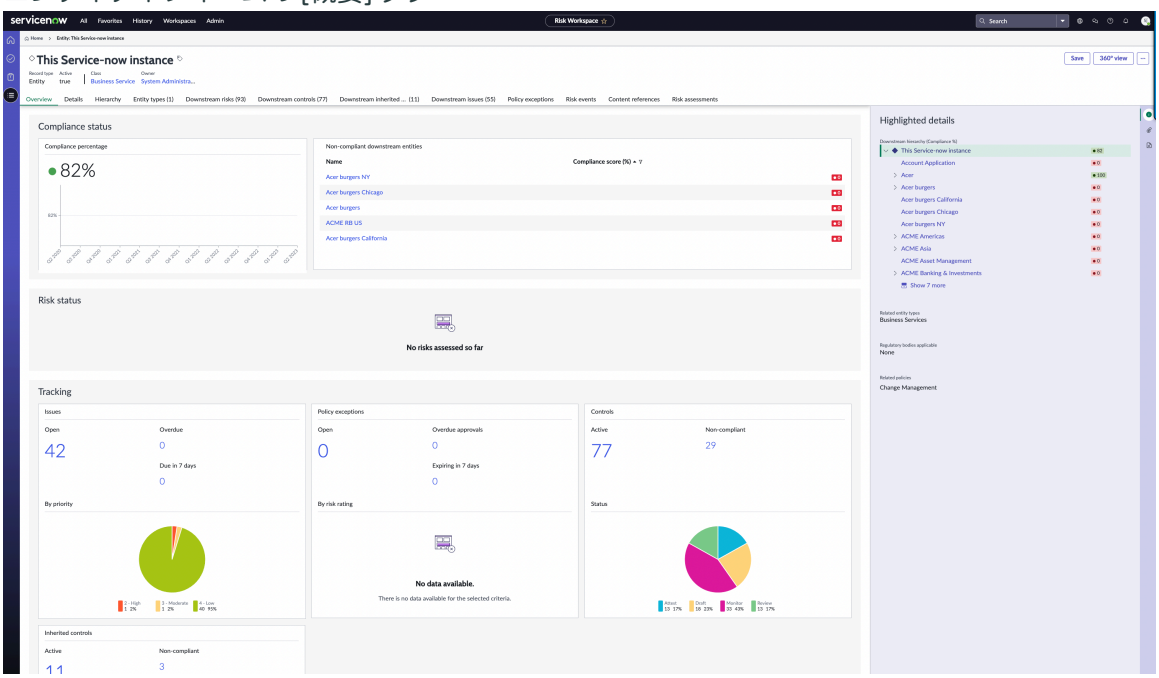
ワークスペースビュー内のエンティティ

ワークスペースのエンティティフォームは、組織全体のエンティティの完全なビューを提供します。エンティティフォームは、ワークスペースのリストビューの [ライブラリー] メニューにリストされます。リストビューでエンティティをクリックすると、その概要、詳細、階層、エンティティタイプ、またはダウンストリームのリスクを表示できます。

エンティティフォームの概要の詳細

エンティティフォームには、コンプライアンスステータス、リスクステータス、追跡などのエンティティの詳細が表示されます。エンティティに関する情報は、次の例に示すように、[概要]、[詳細]、[階層] などのさまざまなタブに整理されています。

エンティティフォームの [概要] タブ



エンティティフォームの関連リストには、次の表で説明されているエンティティに関連する依存関係が表示されます。

エンティティフォームのタブとハイライト表示される詳細

タブ	説明
[詳細] タブ	[エンティティ] セクションの名前、エンティティがアクティブかどうかを示すアクティブ条件、オーナー、クラス、説明、場所情報などのエンティティに関する情報。[コンプライアンス]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティフォームのタブとハイライト表示される詳細 (続く)

タブ	説明
	セクションには、 [年次] などの証明書の頻度が表示されます。
[階層] タブ	アップストリームのエンティティとダウンストリームのエンティティ、エンティティクラス、オーナー情報に関する情報。
ハイライト表示された詳細	選択したエンティティ、関連エンティティタイプ、エンティティに適用可能な規制機関、および関連ポリシーのダウンストリーム階層。

[エンティティ] セクションには、次の関連リストが表示されます。

[エンティティ] セクションの関連リスト

関連リスト	説明
エンティティタイプ	エンティティタイプ、説明、エンティティタイプが手動で作成された場合の条件、およびコンプライアンススコア (%) の詳細。
ダウンストリームリスク	番号、名前、エンティティ、クラス、リスクステートメント、リスクアセスメント方法、所有グループ、オーナーなど、選択したエンティティのダウンストリームリスクの詳細。
ダウンストリームのコントロール	名前、番号、エンティティ、コントロール目標、状態、ステータス、免除、オーナー、説明などのダウンストリームコントロールの詳細。
ダウンストリームの継承コントロール	コントロール、番号、エンティティ、依存エンティティ、機能、状態、ステータス、免除、オーナー、説明、コントロール目標などのダウンストリームの継承コントロールの詳細。
ダウンストリームエンゲージメント	名前、番号、タイプ、親計画、ステータス、エンゲージメントリード、残りの経費予算 (%)、残りのリソース予算 (%)、エンゲージメント開始予定などの、ダウンストリームエンゲージメントの詳細。
ダウンストリームの問題	の問題、番号、エンティティ、優先度、アサイン先、問題マネージャーなど、ダウンストリームの問題の詳細。 既存の問題を追加したり、新しい問題を作成したり、既存の問題を削除したりすることができます。
ダウンストリームタスク	名前、番号、親、ステータス、アサイン先、終了予定日などのダウンストリームタスクの詳細。
ポリシー例外	名前、番号、ステータス、サブステート、ポリシー、コントロール目標、問題、理由、要求者、有効開始日、有効終了日、リスク評価などのポリシー例外の詳細。

自動翻訳

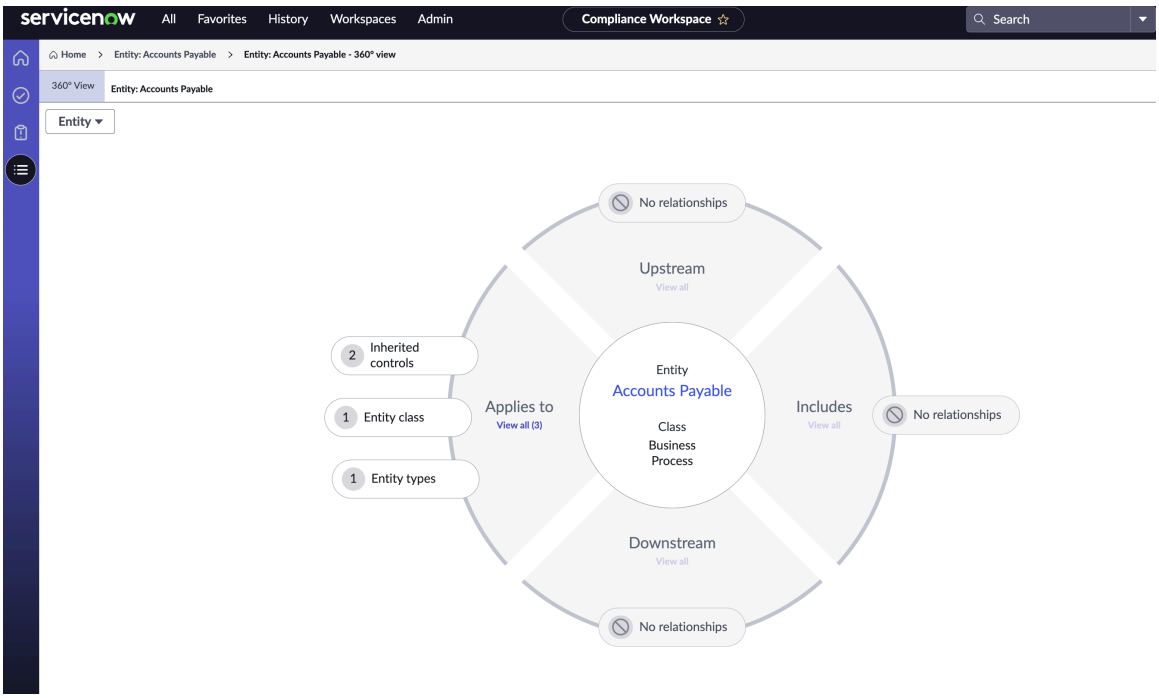
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンティティ] セクションの関連リスト (続く)

関連リスト	説明
リスクイベント	リスクイベント、プライマリエンティティ、イベントタイプ、サブタイプ、ステータス、検出日、正味損失、予想損失、非財務的影響度などのリスクイベントの詳細。
コンテンツ参照	コンテンツ参照、説明、バージョンなど、コンテンツ参照の詳細。[追加] をクリックすると、コンテンツ参照を追加できます。
リスクアセスメント	番号、リスクアセスメント方法、アセスメント可能なエンティティ、リスク、適用するレコード、固有のリスク、コントロールの有効性、残存リスク、応答、査定人、終了日などのリスクアセスメントの詳細。
集計されたリスク	リスクアセスメント方法、残存評価、固有の評価、コントロール有効性、残存 ALE、固有 ALE、貢献リスクアセスメント、リスクロールアップステータスなどの集計リスクの詳細。
プライバシーアセスメント	番号、測定基準タイプ、分類、期日、ステータス、アサイン先などのプライバシーアセスメントの詳細。

360 度ビューには、選択したエンティティの関係ビュー全体 (アップストリームエンティティ、ダウンストリームエンティティ、エンティティに関連付けられたエンティティクラスとエンティティタイプ、およびエンティティに含まれる関係) が表示されます。

エンティティの **360** 度ビュー



エンティティの作成

エンタープライズのエンティティを作成します。ガバナンス、リスク、コンプライアンス では、エンティティにはユーザー、プロセス、部門、アプリケーションまたはオブジェクトを指定できます。こ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

れらのエンティティには、エクスポージャーを軽減するように定義されたコントロールがあり、その監査を完了する必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

このタスクについて
エンティティはアクションのオブジェクトです。エンティティには、リスクエクスポージャーを軽減するためのコントロールがあります。組織の新しいエンティティを作成し、エンティティに関連するダウンストリーム階層、エンティティタイプ、ポリシーなどを表示するには、次の手順に従います。

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティ] をクリックします。
2. 新しいエンティティを作成するには、[新規] をクリックします。
3. [詳細] タブに移動し、フィールドに入力します。

エンティティレコードの [詳細] タブ

フィールド	説明
既存のレコードを参照	新しいエンティティを既存のレコードに対して参照するオプション。
名前	エンティティの名前。
有効	エンティティがアクティブかどうかを示すオプション。
オーナー	システム管理者などのエンティティのオーナーの詳細。
クラス	アプリケーションやビジネスエンティティなどのエンティティに関連付けられたクラスの名前。
場所	所番地、市区町村、都道府県、国などの詳細を含むエンティティのロケーションレコード。
説明	エンティティの説明。
コンプライアンス	
証明頻度	日次や週次などの証明書頻度のオプション。

4. [コンプライアンス] セクションには、[週次] や [年次] などの証明書の頻度が表示されます。
5. サイドパネルにエンティティの添付ファイルを表示します。
6. エンティティを保存するには、[保存] をクリックします。

> **注:**
> 新しいエンティティを作成するときには、[詳細] タブのみが表示されます。新しいエンティティの作成後に、[概要] タブ、[詳細] タブ、およびその他の関連リストが表示されます。

新しいエンティティの保存後に、新しいエンティティフォームが、[詳細] タブ、[階層] タブ、および以下の関連リストとともに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エンティティタイプ
- ダウンストリームリスク
- ダウンストリームのコントロール
- ダウンストリームエンゲージメント
- ダウンストリームの問題
- ダウンストリームタスク
- ポリシー例外
- プライバシーアセスメント

関連リストのフィールドについては、「ワークスペースビュー内のエンティティ」を参照してください。

7. エンティティに関連するダウンストリーム階層、エンティティタイプ、ポリシーなどの情報について、ハイライト表示された詳細サイドパネルを表示します。
8. エンティティへの更新を保存するには、[保存] をクリックします。

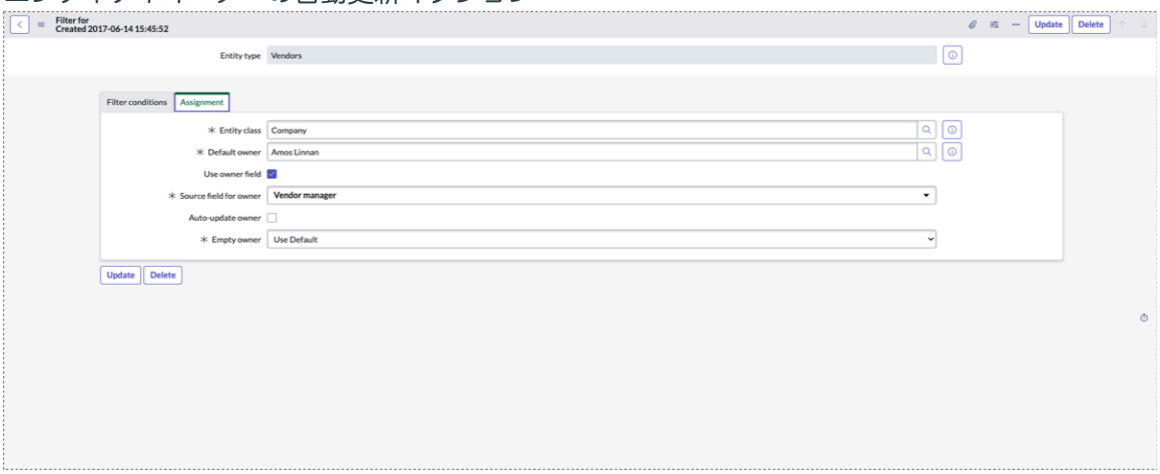
エンティティの機能拡張

GRC の更新の一部として、エンティティでいくつかの機能拡張を設定できます。

エンティティでは次の拡張機能を利用できます。

- メール通知：エンティティオーナーの値を更新するか、エンティティに新しいオーナーをアサインすると、エンティティのアサインに関するメール通知がエンティティオーナーに送信されます。
- エンティティオーナーの自動更新：[オーナーを自動更新] オプションを選択すると、エンティティオーナーとその参照 (ソース) フィールドの値との同期を維持できます。以下の例を参照してください。

エンティティオーナーの自動更新オプション



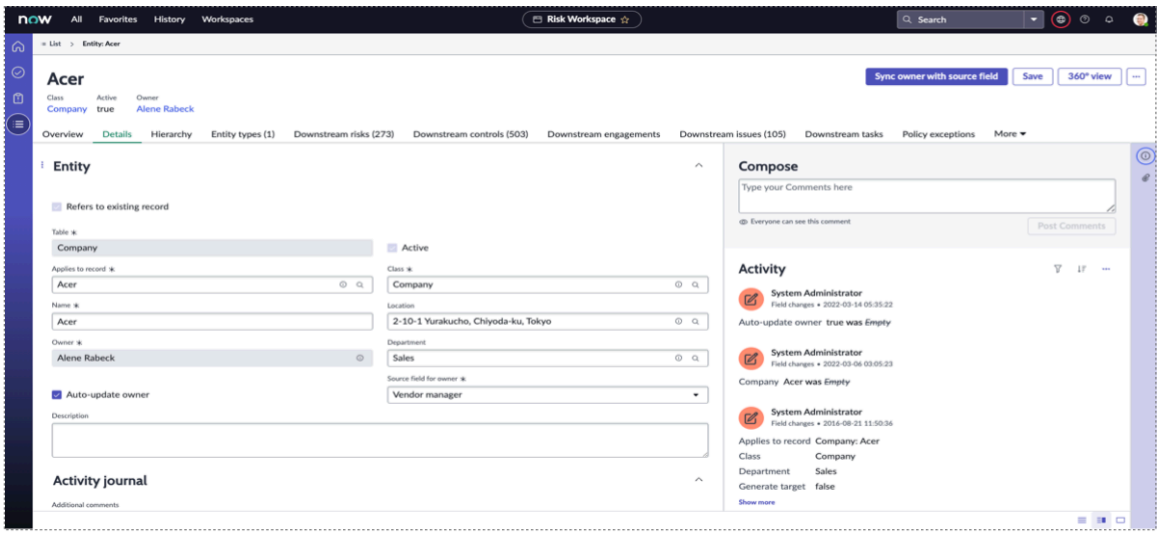
[オーナーを自動更新] オプションは、エンティティフィルターを使用して作成し、フィルターの [オーナーフィールドを使用] オプションを使用して有効にしたエンティティに対してのみ表示されます。

ワークスペースビューのエンティティフォームで [オーナーを自動更新] オプションを表示することもできます。以下の例を参照してください。

自動翻訳

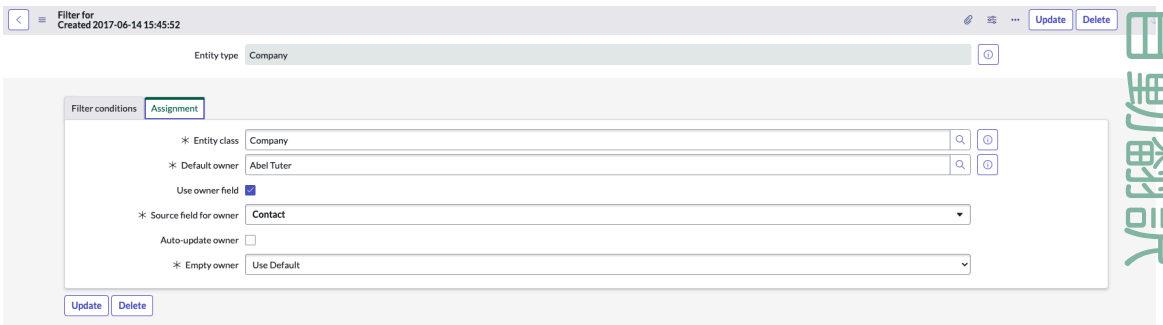
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースビュー内のエンティティフォーム



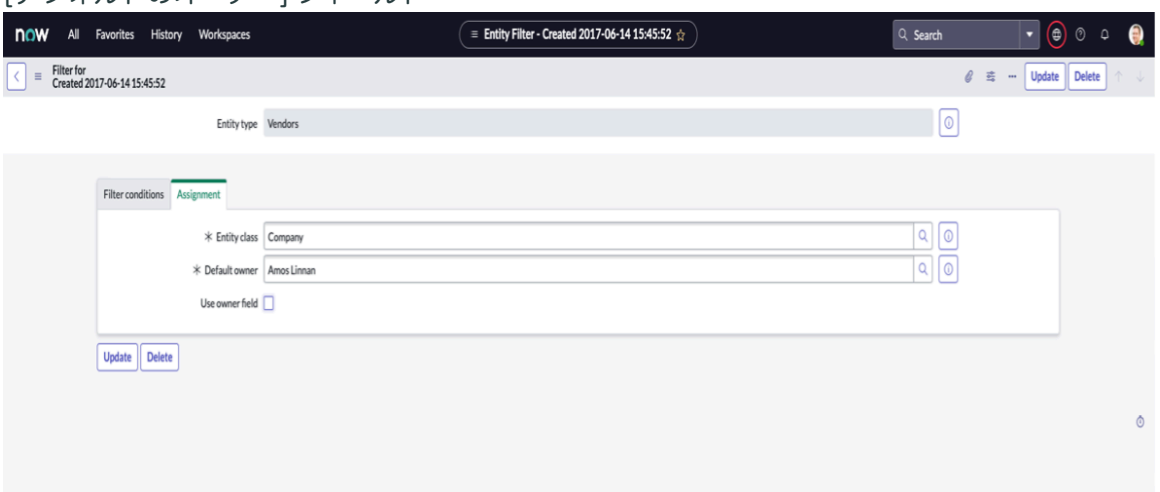
- フォームデザインの変更：次のフォームデザインの変更がエンティティフォームとエンティティフィルターフォームに導入されています。
  - 次の例に示すように、フォームの [エンティティクラス] フィールドと [デフォルトのオーナー] フィールドに入力する必要があります。

エンティティフォームのクラスフィールドとオーナーフィールド



  - 次の例に示すように、[オーナーフィールドを使用] をオフにした場合でも、[デフォルトのオーナー] フィールドに入力する必要があります。この更新により、作成されたすべてのエンティティにオーナーがアサインされます。

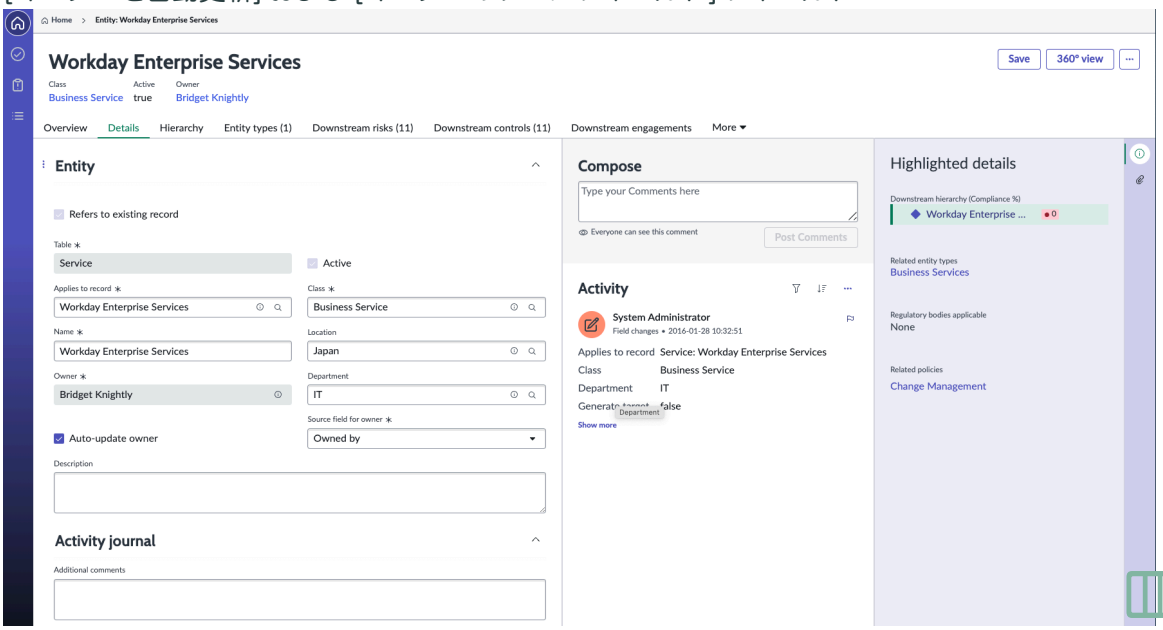
[デフォルトのオーナー] フィールド



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

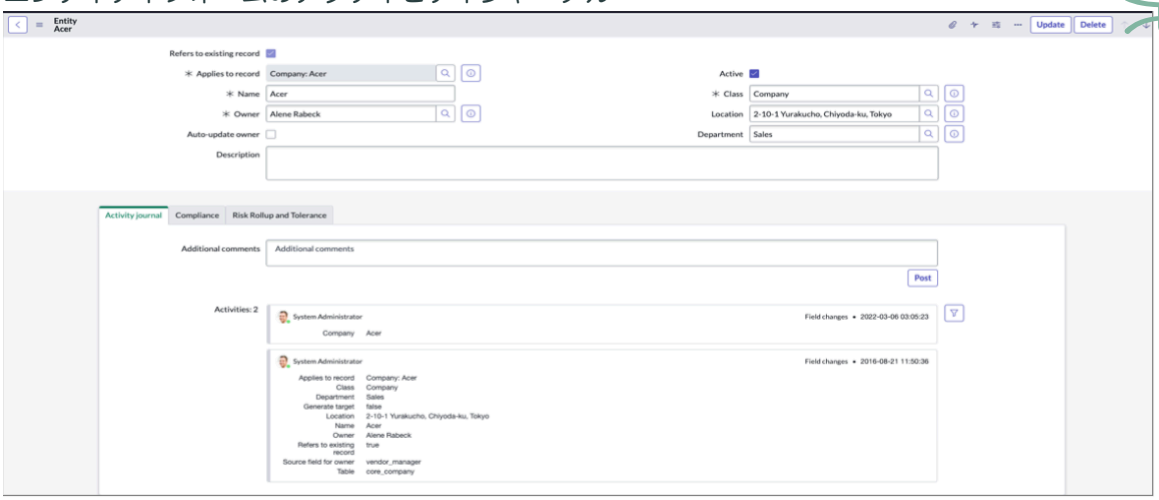
- [部門] フィールドがエンティティフォームに追加されます。部門、場所、およびクラスのフィールドを選択することで、エンティティにコンテキストを追加できます。
- [オーナーを自動更新] および [オーナーのソースフィールド] フィールドがフォームに表示されます。[オーナーのソースフィールド] は、次の例に示すように **[** オーナーを自動更新] フィールドを有効にしている場合にのみ表示されます。

[オーナーを自動更新] および [オーナーのソースフィールド] フィールド



- アクティビティジャーナルには、次の例に示すように、フィールドに加えられた変更のログが表示されます。

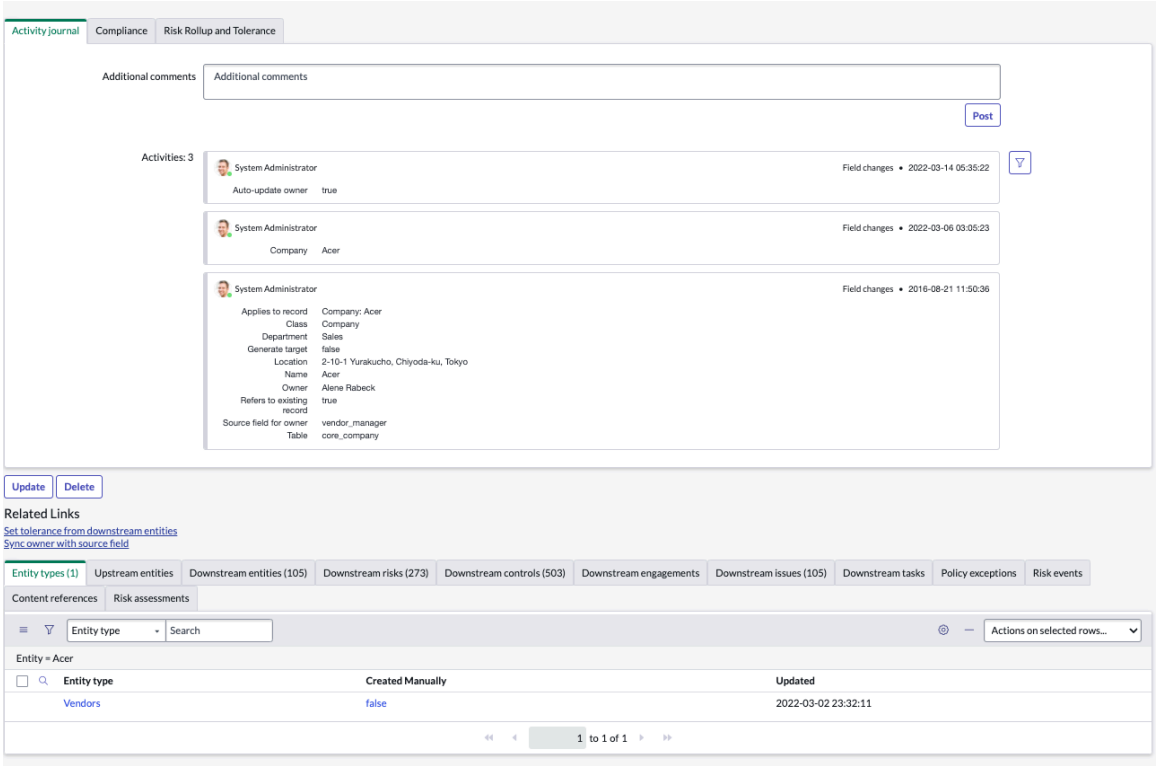
エンティティフォームのアクティビティジャーナル



- 次の例に示すように、新しい [オーナーをソースフィールドと同期] 関連リンクがエンティティフォームに表示されます。エンティティのオーナーをそのソースレコードのフィールド値と同期します。ソースフィールドの値とエンティティのオーナーが同期していない場合にのみ、フォームに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[オーナーをソースフィールドと同期] **UI** アクション



- GRC プロパティで [エンティティオーナーをソースレコードと同期する頻度] プロパティを有効にして、エンティティオーナーをそのソースレコードと日次、週次、または月次ベースで同期できます。

  GRC プロパティで [エンティティオーナーをソースレコードのオーナーと同期する際の最大バッチサイズ] プロパティを有効にして、最大バッチサイズを整数値に設定できます。このアクションを実行すると、エンティティオーナーがそのソースレコード値と同期されます。

GRC でのエンティティスコーピング

エンティティスコーピングは、各コア GRC アプリケーションで許可されています。スコーピングは、さまざまなレベルでリスクとコントロールを割り当てる方法を提供します。依存関係は、GRC ワークベンチの依存関係マップを使用して作成されます。

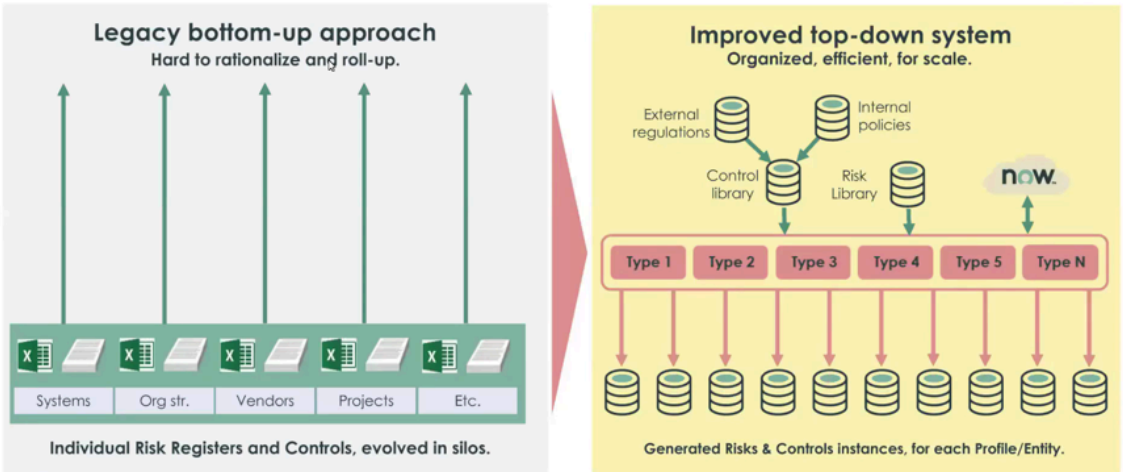
エンティティスコーピングの概要

注:
New York リリース以降、「プロファイル」という用語は「エンティティ」という用語に置き換えられました。更新されたすべての GRC アプリケーション用語の詳細については、「GRC アプリケーションの用語の更新と業界の用語」を参照してください。

組織には、さまざまなシステム、プロジェクト、組織などのコンプライアンスを追跡するための個々のファイルとスプレッドシートを管理するさまざまなコントロールオーナーがいます。この環境では、リスクマネージャーは、共有エンティティに作成されるリスクやコントロールの重複を防ぐことも、認識することもできません。エンティティスコーピングの全体的な目的は、リスクとコントロールの両方の階層ライブラリであるリスク領域を維持するためのトップダウンアプローチを提供することです。健全なリスク体制を持つ成熟した組織では、ほとんどのリスクが標準的で繰り返し発生していることがわかります。エンティティスコーピングは、関連エンティティのロールアップに基づいて、アップストリームおよびダウンストリームのリスクとコントロールをカタログ化および可視化するために役立ちます。

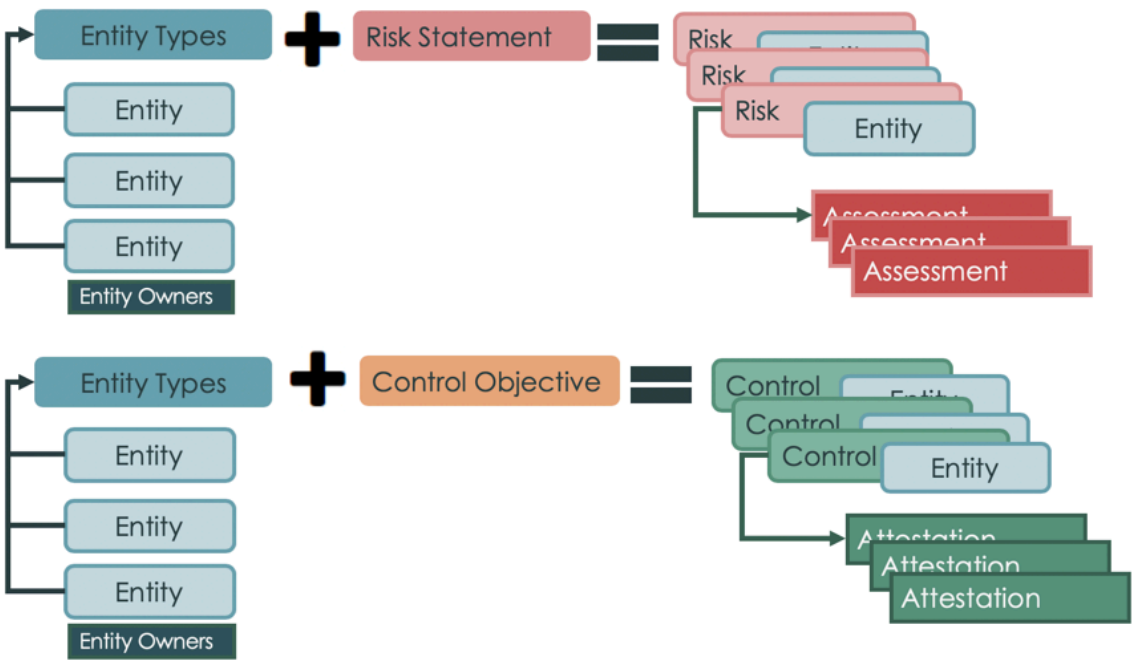
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

有機的なアプローチから構造化されたシステムへ



1. エンティティタイプを作成または編集し、エンティティフィルターを使用して既存の ServiceNow テーブルにマッピングします。
2. コントロール目標とリスクステートメントを使用して、これらのエンティティタイプを外部規制と内部ポリシーにマッピングします。
3. 関連エンティティのリスクとコントロールのインスタンスを生成します。
4. エンティティの集計計算と、リスクロールアップのリスクスコアのすべてのコンボによって、リスク選好度とスコアリング結果を維持します。

スコーピングプロセス



エンティティタイプからリスクとコントロールを生成する

エンティティタイプを作成および編集し、コンプライアンスを追跡する必要がある既存の ServiceNow テーブルにマッピングします (アプリケーション、部門、地域、プロセス、システムなど)。エンティティは、すべてのエンティティタイプのコントロールとリスクを生成するコントロール目標とリスクステートメントにアサインされます。

始める前に

必要なロール：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager

このタスクについて

エンティティタイプは、エンティティをグループ化する方法を提供します。エンティティタイプは、次の例で説明できます。 特定の地域内のすべてのデータセンターに対して地震のリスクを生成するものとします。「データセンター」と呼ばれるエンティティタイプを作成し、その地域のすべてのエンティティをリスクステートメントに基づいて地震のリスクに関連付けることができます。

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > エンティティタイプ.
   - リスク > スコーピング > エンティティタイプ.
   - 監査 > スコーピング > エンティティタイプ.
2. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
新しいエンティティタイプを作成するには	[新規] をクリックします。
エンティティタイプを編集するには	リストからエンティティタイプを開きます。
エンティティタイプを削除するには	リストからエンティティタイプを開いて、[削除] をクリックします。 アイテム生成プロセスは、これらのアクションをバックグラウンドで実行します。アイテム生成プロセスの従来の実装 (v1) では、削除対象としてマークされたエンティティタイプは即座に削除されます。 アイテム生成プロセス (v2) の実装では、削除対象としてマークされたエンティティタイプは、アイテム生成プロセスによって即座には削除されませんが、削除対象としてマークされます。夜間にジョブスケジュールが実行されると、エンティティタイプが削除されます。 アイテム生成プロセスの詳細については、「アイテム生成プロセスを使用してコントロールとリスクを生成する」を参照してください。

3. フォームでフィールドに入力し、必要に応じて、[送信] または [更新] をクリックします。

エンティティタイプ

名前	説明
名前	エンティティタイプの名前。
説明	エンティティタイプの説明と、ユーザーに役立つ追加情報。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. エンティティタイプを保存したら、[エンティティフィルター] タブをクリックし、フォームのフィールドに入力します。

エンティティフィルター

名前	説明
エンティティタイプ	フィルターが属するエンティティタイプを示します。
テーブル	クエリ対象のレコードを含むテーブル。
フィルター条件	エンティティを生成するためのソーステーブルのフィルター条件。
オーナーフィールド	エンティティタイプから生成された新しいエンティティの所有者。 ソーステーブルのユーザー参照フィールドを特定して、リスクおよびコントロールのオーナーを自動的に特定します。オーナーフィールドが空の場合、デフォルトオーナーを使用して単一のユーザーにリスクをアサインします。
空のオーナー	○ 作成 ○ 作成しない ○ デフォルトを使用

5. [送信] をクリックします。
6. [エンティティタイプ] フォームで、[フィルターからエンティティを更新] をクリックします。「このエンティティタイプのエンティティを更新しています」という情報メッセージが表示されます。

独立したエンティティを作成する

エンティティは、エンティティタイプから生成するのではなく、手動で作成できます。資産、アプリケーション、ビジネスサービス、プロセスなどの既存の ServiceNow テーブルを参照する必要なく、エンティティを作成することもできます。

始める前に

必要なロール：

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 次のいずれかに移動します。
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > すべてのエンティティ.
   - リスク > スコーピング > すべてのエンティティ.
   - 監査 > スコーピング > すべてのエンティティ.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 次のアクションのいずれかを実行します。

オプション	説明
新しいエンティティを作成するには	[新規] をクリックします。
エンティティを編集するには	リストからエンティティを開きます。

3. エンティティフォームで、必要に応じて、フィールドに入力します。

エンティティフォーム

名前	説明
既存のレコードを参照	エンティティが既に ServiceNow® テーブルレコードの一部である場合は、このチェックボックスをオンにします。スタンドアロンのエンティティを作成するには、このチェックボックスをオフにします。
適用するレコード	テーブル名と対応するドキュメントを選択します。このフィールドは、[既存のレコードを参照 **(Refer to existing record)]** チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
有効	エンティティをアクティブ化するチェックボックス。
名前	エンティティの名前。
コンプライアンススコア (%)	ダウンストリームコントロールから導出されたコンプライアンスのパーセンテージ。
オーナー	このエンティティのコントロールオーナーを選択します。違反が発生した場合、エンティティオーナーとリスクマネージャーに通知が自動的に送信されます。 **注:** コントロールオーナーは有効なアクティブなユーザーである必要があります。エンティティが非アクティブなユーザーにアサインされている場合、レポートで観察されない限り、そのエンティティは無視されます。
クラス	アプリケーションが属するエンティティクラス。
ターゲットを生成	ターゲットを作成する場合は、このチェックボックスをオンにします。 システムでエンティティが作成されるたびに、ターゲットレコードも作成されます。このフィールドは、ユースケースアクセラレータアプリケーションが少なくとも 1 つインストールされている場合にのみ表示されます。

4. [コンプライアンス] 関連リストの [証明頻度] フィールドで、適切なオプションを選択します。
このフィールドは、証明書が証明書の回答者に送信される頻度を示しています。ここでの値は、コントロール頻度のデフォルトです。コントロールオーナーがコントロールレベルで異なる頻度を希望する場合は、上書きできます。
5. [リスクロールアップおよび許容範囲] 関連リストをクリックし、必要に応じてフォームに入力します。
この関連リストは、高度なリスク がダウンロードされた場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[リスクロールアップおよび許容範囲] 関連リスト

フィールド	説明
予想 ALE	年次損失予測 (ALE) は、年次発生率 (ARO) と単一損失予測 (SLE) の積を指します。予想 ALE は、リスクステートメントの ALE の予想値です。予想 ALE の通貨と金額を入力します。 **注:** この値は、[許容可能な最大 **ALE]** 以下である必要があります。
許容可能な最大 ALE	リスクステートメントの ALE のしきい値。 **注:** この値は、[予想 **ALE]** 以上である必要があります。この値は、[許容範囲ステータス] フィールドに影響します。
計算済み ALE の合計	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の合計に基づいています。
計算済み平均 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の平均に基づいています。
計算済み最大 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最大値に基づいています。
計算済み最小 ALE	この計算は、リスクステートメントとその子リスクステートメントのすべての基礎となるリスクの計算済み ALE の最小値に基づいています。
許容範囲ステータス	許容値に基づいて自動的に計算されます。 ○ [計算済み **ALE]** が [予想 **ALE]** 以下の場合 = 緑色の [許容範囲内] ○ [計算済み **ALE]** が [予想 **ALE]** より大きいものの、[許容可能な最大 **ALE]** 以下の場合 = オレンジの [要注意] ○ [計算済み **ALE]** が [許容可能な最大 **ALE]** より大きい場合 = 赤の [許容できない] **注:** [許容範囲ステータス] が [要注意] または [許容できない] に変わると、調査のためにエンティティオーナーとリスクマネージャーにメールが自動的に送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
計算済みスコア	計算済み ALE に対応するスコア： ○ 低 ○ 中 ○ 高

6. [Basel 事業部門] 関連リストの **[Basel** 事業部門] フィールドで、エンティティを Basel 事業部門にマッピングします。
7. 選択した Basel 事業部門をすべてのダウンストリームエンティティに継承させる場合は、[ダウンストリームエンティティ事業部門の更新] をクリックします。
8. [送信] または [更新] をクリックします。

エンティティを相互に関連付ける

エンティティ間の関係を作成して、コントロールとリスクが互いにどのように影響し、それらが企業にどのように影響するかを理解します。

始める前に

必要なロール：

- sn_compliance.admin または sn_compliance.manager
- sn_risk.admin または sn_risk.manager
- sn_audit.admin または sn_audit.manager

手順

1. 以下のオプションのいずれかを使用して移動します。
   - **Policy and Compliance** > スコーピング > すべてのエンティティ.
   - リスク > スコーピング > すべてのエンティティ.
   - 監査 > スコーピング > すべてのエンティティ.
2. リストからエンティティレコードを開きます。
3. 次のアクションのいずれかを実行します。

オプション	説明
現在のエンティティが別のエンティティのダウンストリームにあることを指定するには	[アップストリームエンティティ] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。
現在のエンティティが別のエンティティのアップストリームにあることを指定するには	[ダウンストリームエンティティ] 関連リストの [追加] ボタンをクリックします。

4. 現在のエンティティを関連付ける目的のエンティティを選択し、[関係を作成] をクリックします。

タスクの結果

[アップストリームエンティティ] または [ダウンストリームエンティティ] 関連リストで [追加] をクリックした後に表示されるエンティティは、現在のエンティティのクラスとそれが属する階層に基づいて制限されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
現在のエンティティに関連付けることができる適格なエンティティがない場合、[追加] ボタンは [アップストリームエンティティ] または [ダウンストリームエンティティ] 関連リストに表示されません。

エンティティクラス

エンティティクラスは、エンティティに関する概念情報を追加したりエンティティにタグを付けたりするために使用されます。これらはエンティティを分類するために使用され、同じ属性を持つエンティティのコレクションを表します。

エンティティクラスの概念を理解するために、例を考えてみましょう。ある会社が 3 つの都市に支店を持っているとします。オフィススペースはエンティティと見なされ、これらのエンティティのエンティティクラスはロケーションになります。たとえば、エンティティとしてのリスクはプロセスの場合もあれば、組織内の部門の場合もあります。エンティティクラスは、この例でプロセスとして属するかクラスとして属するかを定義します。

エンティティクラスは、ワークスペースビューの [リスト] の下に一覧表示されます。リストビューでエンティティクラスをクリックすると、その詳細が表示されます。

エンティティクラスフォームの [詳細] タブには、次のフィールドが表示されます。

- 名前
- 階層
- 親クラス
- 説明
- [ルートである] チェックボックス条件

エンティティクラスページには、次の関連リストが表示されます。

エンティティクラスフォームの関連リスト

関連リスト	説明
エンティティ	エンティティに関する情報： • 名前 • オーナー • コンプライアンススコア (%)
子クラス	子クラスに関する情報： • 名前 • 階層 • [ルートである] チェックボックス

新しく作成されたエンティティクラス構成を保存するには、[保存] をクリックします。

エンティティクラスの作成

エンティティに関連付けられるエンティティクラスを作成します。エンティティクラスは、エンティティに関する概念情報を追加し、エンティティを分類するために使用されます。これらは、部門、事

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

業部門、ビジネスサービスなどの同じ属性を持つエンティティのコレクションを表します。エンティティクラスに基づいてエンティティに関するデータを収集できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

このタスクについて
エンティティクラスは、エンティティを分類してタグ付けするために使用されます。エンティティにタグを付けたら、エンティティクラスに基づいてエンティティに関するデータを収集できます。

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティクラス] をクリックします。
2. 新しいエンティティクラスを作成するには、[新規] をクリックします。
3. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

新しいエンティティクラスの作成フォーム

フィールド	説明
名前	エンティティクラスの名前。
ルートである	新しいエンティティクラスがルートであるかどうかを確認する条件。オプションは **[True]** または **[False]**です。
親クラス	新しいエンティティクラスに関連付けられている親クラス (会社や部門など)。
プライマリーリスクアセスメント方法	エンティティクラスのプライマリ方法として使用する必要があるリスクアセスメント方法。
階層	新しいエンティティクラスの階層 (アプリケーションやビジネスなど)。
添付ファイル	サイドパネルに表示されるエンティティクラスに関連付けられた添付ファイル。

4. [保存] をクリックします。
   保存後、新しいエンティティクラスがリストビューの [エンティティクラス] リストに表示されます。新しいエンティティクラスをクリックすると、次の追加の関連リストが表示されます。
   - エンティティ
   - 子クラス
5. [エンティティ] 関連リストに移動し、[エンティティクラス] セクションの下のフィールドに入力します。

[エンティティ] 関連リストのエンティティクラス情報

フィールド	説明
名前	エンティティの名前。
オーナー	エンティティのオーナー。
コンプライアンススコア (%)	エンティティのコンプライアンススコア (%)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [子クラス] 関連リストに移動し、[エンティティクラス] セクションの下のフィールドに入力します。

[子クラス] 関連リストのエンティティクラス情報

フィールド	説明
名前	エンティティクラスの名前。
階層	新しいエンティティクラスの階層。
ルートである	新しいエンティティクラスがルートであるかどうかを確認する条件。オプションは [True] または [False]です。

7. エンティティクラスを保存するには、[保存] をクリックします。

複数のエンティティのエンティティクラスを更新する

クラスフィールドが空の複数のエンティティのエンティティクラスを指定します。エンティティクラスは、エンティティに関する概念情報を追加し、エンティティを分類するために使用されます。管理者は、複数のエンティティのエンティティクラスを 1 回のクリックで更新できます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.admin

このタスクについて
クラスは、フィルター条件に一致し、エンティティクラスが関連付けられていないエンティティに対してのみ追加されます。クラシックユーザーインターフェイスの [エンティティクラスの一括更新] オプションを使用して、次のさまざまな方法でアクションを実行できます。

- クラスが空のすべてのエンティティ：フィルター基準に一致するすべてのテーブルで空のクラスフィールドを持つすべてのエンティティに共通のクラスを適用するには、このオプションを使用します。管理者は、フィルター条件を設定できます。
- テーブルを選択：選択したテーブルで空のクラスフィールドを持つすべてのエンティティに共通のクラスを適用するには、このオプションを使用します。

手順

1. クラシックユーザーインターフェイスで、 管理 > エンティティクラスの一括更新.
2. エンティティを選択するには、次のいずれかを実行します。
   - [レコード選択] フィールドで、[クラスが空のすべてのエンティティ] を選択します。

     該当する場合は、**ADD** または **OR** 句を使用してフィルター条件を追加します。
   - [レコード選択] フィールドで、[テーブルを選択] を選択してテーブルからエンティティを選択します。
3. レコードを選択した後、[リフレッシュ] をクリックします。
   フィルター条件に一致する更新されたレコードの数が表示されます。クラスは、フィルター条件に一致し、クラスが関連付けられていないエンティティに対してのみ追加されます。
4. 選択したレコードに適用するクラスを選択するには、[エンティティクラスを次に設定 **(Set the entity class as)]** フィールドを使用します。
5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
複数のエンティティのエンティティクラスが更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GRC のジョブスケジュール

ジョブスケジュールは、特定の時間または繰り返しスケジュールで実行できる自動化された作業です。GRC 管理者は、ジョブスケジュールをオンデマンドで実行し、エンティティクラスルールに応じてエンティティにエンティティクラスを設定するなどのタスクを自動化します。

Washington DC リリース以降、次のジョブスケジュールが GRCで提供されています。

- *GRC set entity class on entities based on entity class rule*：このジョブスケジュールを使用して、一度に複数のエンティティのエンティティクラスルールを入力します。ジョブスケジュールスクリプトは、すべてのエンティティクラスルールをチェックし、エンティティクラスフィールドが空のすべてのエンティティをチェックして、複数のエンティティのエンティティクラスを更新します。

- *GRC set entity class on entities same as pillar*：このジョブスケジュールは、GRC: Operational Resilience アプリケーションユーザーに提供されます。

  Operational Resilience ベースシステムは 5 つのピラーで構成されています。ピラーは、関連付けられたエンティティタイプからプルされたリスクデータを整理するために使用されるカテゴリです。GRC: Operational Resilience アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合、[ピラー] フィールドには、エンティティタイプがアサインされているアプリケーションのピラーが表示されます。エンティティクラスがエンティティタイプに対して定義されていない場合は、*GRC set entity class on entities same as pillar* ジョブを使用して [ピラー] フィールドに表示される値にマッピングされます。

エンティティクラスルール

エンティティクラスルールは、テーブルレベルでエンティティにクラスをアサインするために役立ちます。テーブルに作成された新しいエンティティは、そのエンティティクラスを自動的に取得します。エンティティクラスは、エンティティにタグ付けするために使用されます。

テーブルのエンティティを作成すると、そのテーブルに関連付けられたクラスが自動的にエンティティにアサインされます。エンティティクラスに新しいルールを設定できます。エンティティクラスルールは、クラスレベルでエンティティのカテゴリを提供します。[エンティティクラスルール] オプションが、ワークスペースビューの [リスト] の下に表示されます。[エンティティクラスルール] をクリックすると、その詳細が表示されます。

エンティティクラスルールフォームの [詳細] タブには、次の情報が表示されます。

エンティティクラスルールページの [詳細] タブ

フィールド	説明
テーブル	エンティティクラスルールの作成後にエンティティクラスが関連付けられるテーブルの名前。
クラス	新しいエンティティクラスルールを使用するテーブルに関連付けられるエンティティクラスの名前。

エンティティクラスルールのフィルター

[エンティティクラスルール] フィルターがエンティティクラスルールページに追加され、追加のフィルターが提供されます。以前は、テーブルのレコードに関連付けることできるのは 1 つのエンティティクラスのみでした。[エンティティクラスルール] フィルターを使用すると、同じテーブルのレコードに異なるクラスを関連付けることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[エンティティクラスルールのフィルター] テーブルには、次の情報が表示されます。

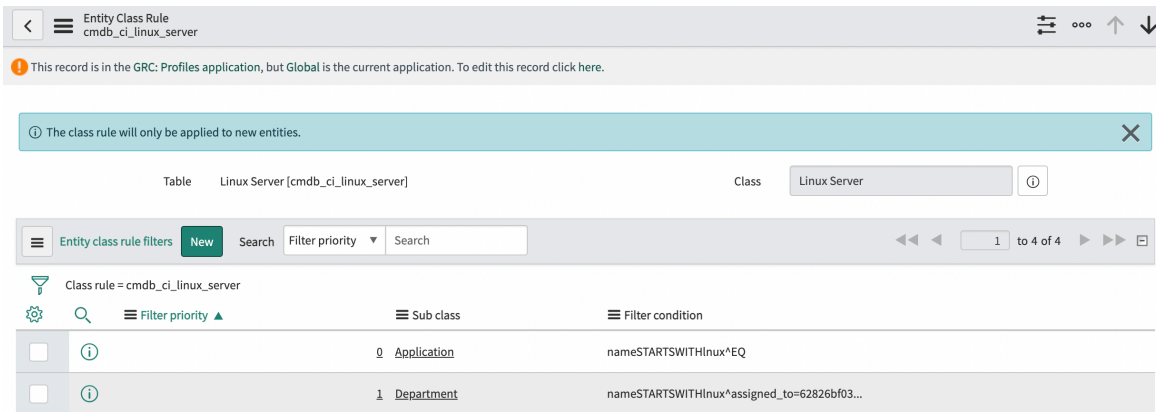
エンティティクラスルールのフィルター

フィールド	説明
フィルターの優先度	フィルターの優先度はサブクラスの範囲です。クラスは、指定された優先度に基づいてエンティティフォームに入力されます。
サブクラス	サブクラスは、エンティティクラスルールの [詳細] タブに表示される親クラスの子クラスです。
フィルター条件	フィルター条件は、エンティティクラスルールを定義するテーブルのレコードを除外するために使用されます。 たとえば、異なる条件を持つ 2 つのサブクラスがある場合、サブクラスの代わりに親クラスが入力されます。 **注:** サブクラスは、同じフィルター条件を満たす場合にのみエンティティフォームに表示されます。

エンティティクラスをアサインするためのロジック

cmdb_ci_linux_server テーブルにレコードがあり、このテーブルにエンティティクラスルールが関連付けられているとします。エンティティクラスルールには、次のクラスルールフィルターがあります。

エンティティクラスルール



シナリオ **1**：エンティティのソースレコードが cmdb_ci_linux_server テーブルに属し、2 番目のフィルターのすべての条件に一致する場合、エンティティのクラスはサブクラス **Department** として自動的に入力されます。

シナリオ **2**：エンティティのソースレコードが cmdb_ci_linux_server テーブルに属し、その名前が linux で始まる場合 (両方のフィルターを満たす)、サブクラス **Application** がエンティティクラスとして自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シナリオ **3**：エンティティのソースレコードがどのクラスルールフィルターも満たさない場合、クラス **Linux Server** がエンティティクラスとして自動的に入力されます。

エンティティクラスルールを作成する

エンティティクラスのルールを作成します。エンティティクラスルールは、クラスレベルでエンティティの分類を提供します。テーブルに関連付けられているエンティティクラスの新しいエンティティクラスルールを作成できます。新しいエンティティクラスルールを作成すると、エンティティクラスルールテーブルが新しいレコードで更新されます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティクラスルール] をクリックします。
2. [新規] をクリックします。
   [詳細] タブを含む新しいエンティティクラスの作成ページが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。

エンティティクラスルールフォームの作成

フィールド	説明
テーブル	エンティティクラスが属するテーブル。
クラス	エンティティに関連付けられているクラス (事業部門やアプリケーションなど)。

4. エンティティクラスルールを保存するには、[保存] をクリックします。

エンティティクラスルールフィルターを作成する

エンティティクラスルールフィルターを作成して、クラスルールで定義されているものと同じテーブルのクラスをフィルターレベルでアサインすることができます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティクラスルール] をクリックします。
2. リストから任意のエンティティクラスルールを選択します。
3. 新しいエンティティクラスルールフィルターを追加するには、[エンティティクラスルールフィルター] タブで [新規] をクリックします。
4. テーブルのフィールドに入力します。
   このフィールドの詳細については、「エンティティクラスルールのフィルターのフィールド」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
エンティティクラスルールフォームの [エンティティクラスルールフィルター] 関連リストの下に新しいレコードが作成されます。

エンティティクラスルールのフィルターのフィールド

エンティティクラスルールのフィルターを作成するには、[エンティティクラスルールのフィルター] 関連リストで [新規] オプションをクリックした後に表示されるフィールドに入力します。

エンティティクラスルールのフィルターのフィールド

フィールド	説明
テーブル	関連付けられたエンティティクラスルールから自動入力されるテーブル。
サブクラス	ソースレコードがクラスルールフィルターに一致するすべてのエンティティに適用されるエンティティクラス。
フィルター条件	テーブルからレコードを除外できる条件。サブクラスで指定されたエンティティクラスは、これらのレコードのいずれかに関連付けられているエンティティに (クラスアサインルールに従って) 適用できます。
フィルターの優先度	フィルターの優先度。エンティティのソースレコードが複数のクラスルールフィルター条件を満たす場合、クラスは優先度が最も低いフィルターから選択されます。 たとえば、それぞれ優先度が 0 と 1 の 2 つのサブクラスアプリケーションと部門がある場合、優先度の低いアプリケーションサブクラスがルールとコントロールのフォームに自動的に入力されます。

エンティティタイプ

エンティティタイプは、一連のフィルター条件に一致するエンティティをグループ化します。エンティティクラス内にエンティティタイプの階層を作成できます。[エンティティタイプ] オプションが、ワークスペースビューの [リスト] ビューの下に表示されます。エンティティタイプをクリックすると、その詳細が表示されます。

エンティティタイプは、フィルタリングに基づいてエンティティをグループ化したものです。エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および作成できます。エンティティクラス内に階層を作成できます。エンティティタイプを使用すると、あまり時間をかけずに各エンティティのリスクとコントロールを作成できます。たとえば、組織は、経理、HR、IT などの複数の部門を持つことができます。これらの部門はすべてエンティティと見なすことができ、部門と呼ばれるエンティティタイプの下にグループ化できます。

エンティティタイプ内で、オーナーとエンティティクラスをアサインできます。コントロール目標とリスクステートメントをエンティティタイプに関連付けて、それらのエンティティのリスクとコントロールが自動的に作成されるようにすることができます。エンティティタイプを使用して作成されたすべてのエンティティに対して、エンティティクラスとエンティティオーナーが自動的にアサインされるように構成とフィルターが適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティタイプを作成して、リスクステートメントとコントロール目標をそれに関連付ける場合、すべてのエンティティにリスクとコントロールが自動的に作成されます。エンティティタイプを作成するメリットは、各エンティティに関連付けられたリスクとコントロールを含む複数のスプレッドシートを維持する必要がなくなることです。エンティティタイプを適用すると、エンティティタイプ内に存在するエンティティフィルターを使用してエンティティをすばやく作成できます。エンティティタイプには、さまざまなクラスに関連付けられたエンティティを含めることができます。

エンティティのグループ化は、リスクアセスメントが実行された後にリスクスコアをロールアップおよび集計するためにも役立ちます。グループ化エンティティがリスクスコアのロールアップにどのように寄与するかを理解するために、次の例を考えてみましょう。Acer Finance という銀行組織があるとします。Acer Finance には、銀行と小売業の 2 つの事業部門があります。銀行部門には、商業銀行やプライベートバンキングなどのサブ部門があります。リスクアセスメントは通常、最下位のレベルで実行されます。この例では、アセスメントは商業銀行およびプライベートバンキングのレベルで実行されます。ただし、レポートは最上位レベルで行われます。これは、商業銀行およびプライベートバンキングのリスクアセスメントスコアが銀行レベルでロールアップされ、集計されることを意味します。同様に、銀行および投資のスコアは Acer Finance の組織レベルにロールアップされます。

エンティティタイプのエンティティは、エンティティフィルターで設定された条件に基づいて作成されます。エンティティフィルターでは、次のフィルター条件が定義されています。

- 独自の条件を作成：エンティティフィルターは、表示用に各エンティティタイプにプルされるデータの取得元テーブルを定義します。[エンティティタイプ] の下の [エンティティフィルター] 関連リストのオプションが変更され、[独自の条件を作成] が以前の条件ビルダーと同じになっています。
- 事前定義されたクエリから選択：Configuration Management Database (CMDB) クエリを使用する [事前定義されたクエリから選択] として新しいオプションが導入されています。

エンティティタイプページの [詳細] タブには、次の情報が表示されます。

- 名前
- コンプライアンススコア (%)
- エンティティタイプが有効な場合に表示するチェックボックス条件
- 説明

エンティティタイプページには、次の関連リストが表示されます。

[エンティティタイプ] セクションの関連リスト

関連リスト	説明
エンティティ	エンティティに関する情報： • エンティティ • 説明 • クラス • オーナー • 残存評価 • コンプライアンススコア (%)
エンティティフィルター	エンティティフィルターに関する情報：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンティティタイプ] セクションの関連リスト (続く)

関連リスト	説明
	• エンティティフィルタータイプ • テーブル • フィルター条件 • オーナーフィールドを使用 • オーナーフィールド
リスクフレームワーク	リスクフレームワークの詳細。[追加] をクリックして、新しいリスクフレームワークレコードを追加します。
リスクステートメント	リスクステートメント、フレームワーク、カテゴリ、説明などのリスクステートメントの詳細。
ポリシー	番号、名前、タイプ、オーナー、ステータス、有効開始日、有効終了日、コンプライアンススコア (%) などのポリシーの詳細。
コントロール目標	コントロール目標、カテゴリ、タイプ、分類、コンプライアンススコア (%) などのコントロール目標の詳細。
エンティティフィルター	エンティティフィルタータイプ、テーブル、フィルター条件、クエリ、情報オブジェクト、オーナーフィールドを使用、オーナーフィールドなどのエンティティフィルターの詳細。
ポリシー例外	ポリシー例外の詳細。
コンテンツ参照	コンテンツ参照の詳細。
プライバシーアセスメント	エンティティタイプのプライバシーアセスメントの詳細。
添付ファイル	サイドパネルに表示されるエンティティタイプに関連付けられた添付ファイル。

エンティティタイプの作成

システム内のエンティティのエンティティタイプを作成します。エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および新規作成できます。エンティティクラス内にエンティティタイプの階層を作成できます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティタイプ] をクリックします。
2. [新規] をクリックします。
   [詳細] タブを含む新しいエンティティタイプの作成ページが表示されます。
3. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいエンティティタイプの作成ページの [詳細] タブ

フィールド	説明
名前	エンティティタイプの名前。
コンプライアンススコア (%)	エンティティタイプにアサインされたコンプライアンススコア (%)。
有効	エンティティタイプをアクティブに設定するオプション。
説明	エンティティタイプの説明。

4. エンティティタイプを保存するには、[保存] をクリックします。
   エンティティタイプを保存すると、他の関連リストがエンティティタイプページに表示されます。該当する場合は関連リストを更新します。
   - 詳細
   - エンティティ
   - エンティティフィルター
   - リスクフレームワーク
   - リスクステートメント
   - ポリシー
   - コントロール目標
   - ポリシー例外
   - コンテンツ参照
   - プライバシーアセスメント

   詳細については、「ワークスペースビュー内のエンティティ」を参照してください。
5. エンティティタイプを保存するには、[保存] をクリックします。

エンティティフィルター

エンティティタイプを使用すると、一連のフィルター条件に一致するエンティティを検索および作成できます。エンティティタイプには、ユーザーインターフェイスに表示されるデータを定義する事前定義されたエンティティフィルターが含まれています。エンティティフィルターは、表示用に各エンティティタイプにプルされるデータの取得元テーブルを定義します。

エンティティタイプのエンティティは、エンティティフィルターで設定された条件に基づいて作成されます。新しいエンティティフィルターを作成するには、リストビューの [エンティティタイプ] タブに移動します。

[エンティティタイプ] の下の [エンティティフィルター] タブのオプションは変更され、[独自の条件を作成] 条件ビルダーは以前の条件ビルダーで使用されていたものと同じオプションを使用しています。さらに、新しい [事前定義されたクエリから選択] オプションは、Configuration Management Database (CMDB) クエリを活用します。[エンティティタイプ] の下の [エンティティフィルター] 関連リストで次のオプションを使用できるようになりました。

- 独自の条件を作成。
- Configuration Management Database (CMDB) クエリビルダーを使用する、事前定義されたクエリから選択。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンティティフィルター] タブには、次の情報が表示されます。

- エンティティフィルタータイプ： [独自の条件を構築] や [事前定義されたクエリから選択] などのエンティティフィルタータイプ。
- テーブル：sn_audit_advanced_auditable_unit などのクエリ対象のレコードを含むテーブル。
- フィルター条件：エンティティを生成するためのソーステーブルのフィルター条件。
- オーナーフィールドを使用：オーナーフィールドが空の場合、デフォルトオーナーを使用して単一のユーザーにリスクをアサインします。
- オーナーフィールド：エンティティタイプから生成された新しいエンティティの所有者。ソーステーブルのユーザー参照フィールドを特定して、リスクおよびコントロールのオーナーを自動的に特定します。

エンティティタイプの下のエンティティフィルターの新しい [エンティティクラス] フィールドを使用して、エンティティフィルターにエンティティクラスをアサインします。エンティティフィルターを使用してエンティティを作成すると、エンティティクラスが自動的にアサインされます。

エンティティフィルターを作成する

ワークスペースビューのエンティティタイプの下にエンティティフィルターを作成します。エンティティタイプのエンティティは、エンティティフィルターで設定された条件に基づいて作成されます。エンティティフィルターは、表示用に各エンティティタイプにプルされるデータの取得元テーブルを定義します。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

このタスクについて

エンティティタイプには、次のいずれかのフィルター条件を使用できます。

- 独自の条件を作成
- 事前定義されたクエリから選択

手順

1. 目的のワークスペース、リストビューの順に移動して、[エンティティタイプ] をクリックします。
2. リスト内のエンティティタイプをクリックし、[エンティティフィルター] タブに移動します。
3. 新しいエンティティフィルターを作成するには、[新規] をクリックします。
   新しいエンティティフィルターの作成ページが表示されます。
4. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

新しいエンティティフィルターの作成フォームの [詳細] タブ

フィールド	説明
フィルター対象	
エンティティタイプ	新しいエンティティフィルターが作成されるエンティティタイプの名前。
フィルター条件	
エンティティフィルタータイプ：独自の条件を作成	データのフィルタリングに使用されるエンティティフィルターのタイプ。Configuration Management Database (CMDB) クエリビルダーを使用して、独自のクエリを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	Configuration Management Database (CMDB) は、データベースでエンティティを検索するために使用されます。次のフィルタリング手法が用意されています。 ○ 独自の条件を作成 ○ 事前定義されたクエリから選択 [独自の条件を作成] エンティティフィルタータイプの場合、次の手順を実行します。 **a.** [エンティティフィルタータイプ] フィールドで、エンティティフィルタータイプとして [独自の条件を作成] を選択します。 **b.** [テーブル] フィールドで、設定されたリストからテーブルを選択します。 **c.** [フィルター条件] フィールドで [条件を設定] をクリックし、フィルター条件を作成して [設定] をクリックし、一致する結果を表示します。
エンティティフィルタータイプ：[事前定義されたクエリから選択] オプション	エンティティをスコープするための事前定義されたクエリ。[事前定義されたクエリから選択] オプションの場合は、次の手順を実行します。 **a.** [クエリ] フィールドで、選択したエンティティに適用可能な [情報オブジェクトを使用するビジネスアプリ **(Business Apps using Information Object)]** などの事前定義されたクエリを選択します。 事前定義されたクエリが選択されたときにエンティティに関連付けられたテーブル。テーブルは自動的に入力されます。 **b.** [情報オブジェクト] フィールドで、情報オブジェクトが関連付けられているアプリケーションとプロセスのみを選択します。情報オブジェクトを追加するには、[情報オブジェクト] をクリックし、「メール」などの情報オブジェクトを入力します。 **注:** エンティティスコーピングに事前定義された CMDB クエリを使用するには、GRC 管理者が選択した CMDB クエリに **GRC** スコーピングタグをアサインする必要があります。 sn_grc.admin ユーザーとして、次の場所に移動します。 **GRC** プロパティ**> Policy and Compliance >**管理 または次の場所に移動します。 **GRC** プロパティ**>**リスク管理 インスタンスで、[**CMDB** クエリのエンティティスコーピングを有効にする] プロパティを [はい] に設定し、[保存] をクリックします。
アサイン	
エンティティクラス	エンティティタイプに関連付けられるエンティティクラス。エンティティタイプの下でエンティティフィルターにエンティティクラスをアサインできるようになりました。エンティティフィルターを使用して新しいエンティティを作成すると、エンティティクラスが自動的にアサインされます。
オーナーフィールドを使用	オーナーフィールドを使用するためのオプション。オーナーは、エンティティタイプに関連付けられている特定されたリスクオーナーです。この条件は、クエリの [オーナー] フィールド情報を使用します。このフィールドのチェックボックスをオンにすると、次のフィールドが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [オーナー] フィールド：[オーナー] フィールドを変更する前に、テーブルを選択します。次に、新しいエンティティフィルターに関連付けるオーナーを選択します。 ○ [デフォルトのオーナー] フィールド：リストからデフォルトのオーナーを選択します。 ○ [空のオーナー] フィールド：次のいずれかのオプションを選択します。 ▪ [作成]：エンティティフィルターのオーナーを作成します。 ▪ [作成しない]：エンティティフィルターの新しいオーナーを作成しません。 ▪ [デフォルトを使用]：エンティティフィルターのデフォルトのオーナーを使用します。
添付ファイル	サイドパネルに表示されるエンティティに関連付けられた添付ファイル。

5. エンティティフィルターを保存するには、[保存] をクリックします。

クラシックユーザーインターフェイスでエンティティフィルターを作成する

クラシックユーザーインターフェイスのエンティティタイプで、エンティティフィルターを作成します。エンティティフィルターは、表示用に各エンティティタイプにプルされるデータの取得元テーブルを定義します。エンティティがアプリケーションに属している場合、エンティティに関連付けられているエンティティクラスへのアクセス権を持つユーザーは、それらのエンティティのみを表示できます。

始める前に

必要なロール：sn_grc.manager

手順

1. クラシックユーザーインターフェイスで、 エンティティタイプ 少し特別なマジックを 適用します

2. リスト内のエンティティタイプをクリックし、[エンティティフィルター] タブに移動します。

3. 新しいエンティティフィルターを作成するには、[新規] をクリックします。

エンティティフィルターの作成フォーム

フィールド	説明
エンティティタイプ	エンティティタイプの名前。
エンティティフィルタータイプ	エンティティフィルターのタイプ。オプションは次のとおりです。 ○ 独自の条件を作成 ○ 事前定義されたクエリから選択
テーブル	レコードがフィルターされるテーブルの名前。
フィルター条件	一致する結果を表示するフィルター条件。
エンティティクラス	エンティティタイプのエンティティクラス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
オーナーフィールドを使用	クエリの [オーナー] フィールド情報を使用するオプション。オーナーは、エンティティタイプに関連付けられている特定されたリスクオーナーです。このオプションをオンにすると、次のフィールドが表示されます。 ○ [オーナー] フィールド：[オーナー] フィールドを変更する前に、テーブルを選択します。次に、新しいエンティティフィルターに関連付けるオーナーを選択します。 ○ [デフォルトのオーナー] フィールド：リストからデフォルトのオーナーを選択します。 ○ [空のオーナー] フィールド：次のいずれかのオプションを選択します。 ▪ [作成]：エンティティフィルターのオーナーを作成します。 ▪ [作成しない]：エンティティフィルターの新しいオーナーを作成しません。 ▪ [デフォルトを使用]：エンティティフィルターのデフォルトのオーナーを使用します。

4. エンティティフィルターを保存するには、[送信] をクリックします。

エンティティ層

エンティティ層を作成すると、エンティティクラスにレベルまたは階層を適用できます。このレベルは、エンティティクラスに関連付けられているすべてのエンティティに適用されます。エンティティ層を使用すると、ビジネスで最も重要なアイテムのステータスを選択して表示できます。

次の例を考えてみましょう。組織の最高製品責任者が、最も重要な財務ビジネスアプリケーションのみのステータスの確認を希望しているとします。エンティティの階層または一連の層を作成した場合は、層 1 のエンティティをフィルターして、必要なデータを表示できます。各エンティティクラスは 1 つの層にのみ属することができます。

エンティティ層を作成することで、下位層のエンティティが上位層のエンティティにどのように影響するかをより適確に把握できます。たとえば、ビジネスが層 1、アプリケーションが層 2、IT 資産が層 3 であるエンティティ階層を作成したとします。そのため、層 3 のエンティティのリスクは層 2 のエンティティに影響し、さらに層 1 に影響します。このロールアップまたは集計により、正確なリスクスコアが得られます。

[エンティティ層] オプションは、ワークスペースのリストビューの下に表示されます。エンティティ層をクリックすると、その詳細が表示されます。エンティティ層ページの [詳細] タブには、次の情報が表示されます。

エンティティ層ページの [詳細] タブ

フィールド	説明
ラベル	「アプリケーション」や「ビジネス」などのユーザーインターフェイスに表示されるエンティティ層のラベル。
層レベル	15 または 20 などのエンティティ層の層レベル。
名前	アプリケーションやビジネスなどのエンティティ層の名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティ層を作成する

組織内のエンティティクラスのエンティティ層を作成します。エンティティ層を作成すると、エンティティクラスにレベルまたは階層を適用できます。階層レベルは、エンティティクラスに関連付けられているすべてのエンティティに適用されます。

始める前に
必要なロール：sn_grc.manager、sn_risk_workspace.IT_risk_manager、および sn_risk_workspace.operational_risk_manager

手順

1. に移動します。 エンティティのセットアップ > エンティティ層 ワークスペースビューのメニュー。
   [エンティティ層] リストが表示されます。
2. [新規] をクリックします。
   [詳細] タブを含む新しいエンティティ層の作成ページが表示されます。ブレッドクラムナビゲーションメニューがページの上部に表示されます。
3. [詳細] タブで、フィールドに入力します。

エンティティ層フォームの [詳細] タブ

フィールド	説明
ラベル	新しいエンティティ層のラベル。
層レベル	新しいエンティティ層の層ラベル。
名前	新しいエンティティ層の名前。
添付ファイル	サイドパネルに表示されるエンティティに関連付けられた添付ファイル。

4. エンティティ層を保存するには、[保存] をクリックします。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス 例外の表示と更新

ビジネスプロセスにおける重大な問題を迅速に特定して対処することが企業にとって極めて重要であるため、例外が問題になる前にそれらを報告します。例外を使用したエラーの管理は、従来のエラー管理手法よりも優れています。

始める前に
必要なロール：sn_grc.admin

このタスクについて
例外レポートは、実際のパフォーマンスが予想から逸脱しているインスタンスを一覧表示するドキュメントです。GRC 例外は、ビジネス例外を記録したり、GRC オブジェクト (各種法令・基準内項目、自動要素など) に関連付けたりすることができる機能です。各例外レコードには、例外のカテゴリ、テーブル内のレコード、例外が関連付けられているフィールドなどの詳細が含まれています。管理者は、例外のリストを表示して解決できます。例外が発生するたびに、例外を解決するためのソリューションも例外の説明で提示されます。管理者は、提案されたソリューションを使用して例外を解決します。例外の例として、ユーザーがリスクアセスメント方法を設定していないが、オブジェクトアセスメントを実行しようとしている場合があります。管理者が 1 つのタイプの例外を解決すると、他の同様の例外がすべて解決されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **GRC** 例外 > 例外レポート.
2. 解決する例外レコードを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

例外フォーム

フィールド	説明
数値	発生した例外の一意の番号。
例外カテゴリ	例外が属するカテゴリ。以下から選択可能です。 ○ 構成：例：リスク管理者は、フォームを構成し、ユーザーに適切なロールがないタスクを実行するための権限をそのユーザーに付与しようと試みます。 ○ ランタイム：例：インジケーターなど何かが自動的に実行される場合です。
ステータス	例外のステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
アプリケーション	例外が属するアプリケーション。
説明	例外の詳細な説明と、解決するための考えられるソリューション。
例外レコードの詳細	
ソーステーブル	例外が発生したテーブル。
レコード参照	例外が発生したレコード。たとえば、リスクアセスメントのインスタンス応答で例外が発生します。
列参照	レコードを含む列。
アクティビティ	
追加コメント	例外の解決に関するメモまたはその他の追加情報。
アクティビティ	例外に関するアクティビティのストリームを表示します。

4. 例外のステータスを変更した後、[更新] をクリックします。
5. [削除] をクリックしてレコードを削除します。

詳細 ガバナンス、リスク、コンプライアンス アプリケーションリスクダッシュボード

GRC アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要ダッシュボードは、企業で使用されているビジネスアプリケーションのリスクとコンプライアンスの側面の最新のビューを提供します。

アプリケーションリスクダッシュボードは、最高情報責任者 (CIO) とアプリケーションオーナーに役立ちます。これらの両方のユーザーは、ダッシュボードを表示するため

自動翻訳

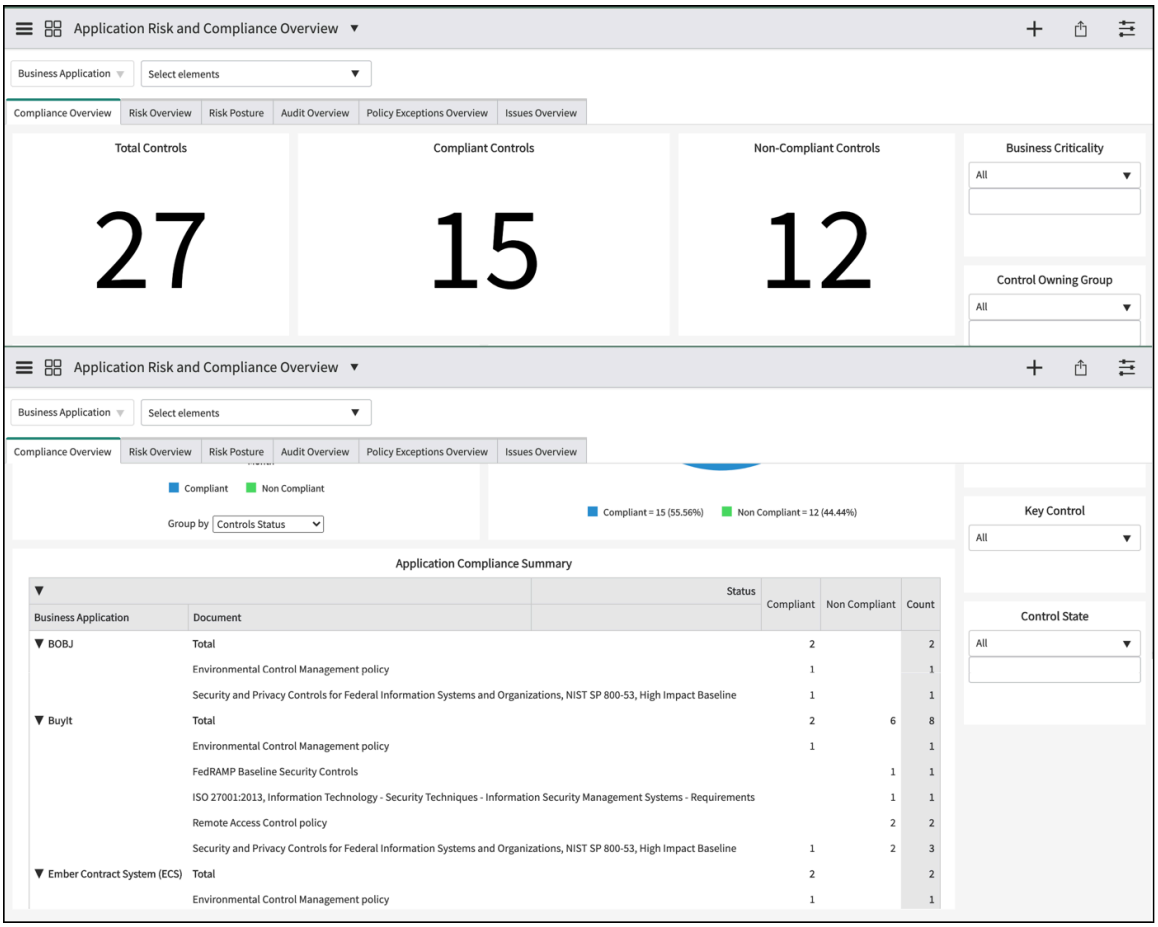
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に、sn_compliance.reader、sn_risk.reader、および sn_audit.user ロールが必要です。移動先 詳細 **GRC** ダッシュボード > アプリケーションリスクダッシュボード.[アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要ダッシュボード] が表示されます。

注:
このダッシュボードを表示できるようにするには、GRC: Advanced Dashboards (com.sn_grc_pa_advanced) プラグインと GRC: Policy and Compliance Management (sn_compliance) プラグインをアクティブ化する必要があります。

[アプリケーションリスクとコンプライアンスの概要] ダッシュボードは、組織内のすべてのビジネスアプリケーションのリスクとコンプライアンス体制の詳細なレポートを提供します。

アプリケーションリスクとコンプライアンスダッシュボード



このダッシュボードは、次の点をハイライト表示します。

- 使用中のアプリケーションのコンプライアンスへの影響。
- アプリケーションのリスク体制。
- 問題の修正および例外アクティビティのステータス。
- アプリケーションとステータスに関する監査アクティビティ。

このダッシュボードは、CIO とアプリケーションオーナーが関心を持つ、次の質問に対する回答を提供します。

1. 主要なアプリケーションは何であり、それらはすべて運用され、必要なサービスを最適に提供しているか？
2. アプリケーションが準拠する必要があるポリシーと各種法令・基準等は何か？アプリケーションはそれらに準拠しているか？

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. アプリケーションが直面するリスクは何か？それらのいずれかは懸念を提起する可能性が高いか？十分な軽減策が実施されているか？適切なコントロールがあり、効果的に機能しているか？
4. 修正が必要なアプリケーションについて、修正はサービスレベルアグリーメント (SLA) に従って適宜実施されているか？最大数の問題を生成するアプリケーションはどれか？
5. アプリケーションで例外が頻繁に求められているか？また、その理由は何か？管理可能な範囲内か？
6. アプリケーションの監査は随時可能か？アプリケーションはこれらの監査でどのような実績であったか？

ダッシュボードは、棒グラフ、ドーナツグラフ、トレンドチャートなどのさまざまな表現を提供します。アプリケーションオーナーは、ダッシュボードでさまざまなフィルターを使用して、重要なビジネスアプリケーション、特定のビジネスアプリケーションに関連する必須コントロール、または優先度の高い問題など、所有するビジネスアプリケーションに関連するレポートを表示できます。

コンプライアンスの概要

Policy and Compliance プラグインをアクティブ化すると、[コンプライアンスの概要] タブが表示されます。[コンプライアンスの概要] タブには、ビジネスアプリケーションのコンプライアンス体制の概要が表示され、次のレポートが表示されます。

- コントロール合計：このレポートには、アクティブなコントロールの合計数が表示されます。
- 準拠コントロール：このレポートには、ドラフトまたは廃止ステータスではない準拠コントロールの合計数が表示されます。
- 非準拠コントロール：このレポートには、ドラフトまたは廃止ステータスではない非準拠コントロールの合計数が表示されます。
- 月別のコンプライアンスステータス：このレポートには、月別のアクティブなコントロールの数が表示されます。

  注:
  この棒グラフは、当月のコンプライアンスステータスを示し、コントロールステータスまたはビジネスアプリケーションのいずれかでグループ化できます。

- コンプライアンス %：このレポートは、準拠、非準拠、適用外などのアクティブなコントロールのさまざまなステータスの割合を示します。
- アプリケーションコンプライアンスのサマリー：このレポートには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているポリシー、各種法令・基準等、およびコントロールのサマリーが表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 事業上の重要度
- エンティティオーナー
- 強制または任意のコントロールなどの適用
- キーコントロール
- コントロールステータス
- コントロール所有グループ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスク概要

Advanced Risk プラグインをアクティブ化すると、[リスク概要] タブが表示されます。[リスク概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているリスクの概要が表示され、次のレポートが表示されます。

- アプリケーション重要度別のリスクヒートマップ：このレポートには、アプリケーションの重要度とアプリケーションのリスク評価を比較したアプリケーションリスクのヒートマップが表示されます。
- リスク応答タスクの概要：このレポートには、リスクに対して作成された対応タスクと、それらのタスクのさまざまなステータスが表示されます。

  注:
  この棒グラフは、リスク応答、リスク応答ステータス、リスク計算済みスコア、リスク応答のアサイン先、またはビジネスアプリケーション別にグループ化およびスタックできます。

- アプリケーションリスクサマリー：このレポートには、アプリケーションの全体的なリスク評価に寄与する、アプリケーションに直接関連付けられたリスクのサマリーが表示されます。アプリケーションリスク評価に寄与する他のダウンストリームリスクは、このレポートには表示されません。このレポートで考慮されるリスクは、非常に高い、高、中です。
- アプリケーションリスク軽減コントロールのステータス：このレポートには、アプリケーションのリスクと関連付けられているコントロールに関する情報が表示されます。このレポートで考慮されるリスクは、非常に高い、高、中です。コントロールのステータスがドラフトまたは廃止である必要があります。1 年間のリスクのみが表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 重要度
- リスク評価
- アプリケーションオーナー
- 事業主

リスク体制

Risk プラグインをアクティブ化すると、[リスク体制] タブが表示されます。[リスク体制] タブは、ビジネスアプリケーションのリスクエクスポージャーに関する情報を提供します。このタブのレポートは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングすることもできます。[リスク体制] タブには以下が表示されます。

- 超高リスク：このレポートには、アプリケーションの超高リスクが表示されます。
- 高リスク：このレポートには、アプリケーションの高リスクが表示されます。
- 中リスク：このレポートには、アプリケーションの中リスクが表示されます。
- 受け入れタスクの有効期限：このレポートには、現在の日、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に有効期限があるリスク応答受け入れタスクが表示されます。
- 貢献リスクの傾向：このレポートには、ビジネスアプリケーションに直接関連付けられているリスクの傾向と、一定期間のリスクのパフォーマンスが表示されます。アプリケーションリスク評価に寄与する他のダウンストリームリスクは、このレポートには表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査の概要

Audit プラグインをアクティブ化すると、[監査の概要] タブが表示されます。[監査の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連する監査と監査アクティビティの概要が示され、次のレポートが表示されます。

- オープン監査エンゲージメント：このレポートには、オープンステータスの監査エンゲージメントの数が表示されます。
- 無効なコントロール：このレポートには、監査エンゲージメントに対して無効なコントロールの数が表示されます。
- オープンな問題：このレポートには、監査エンゲージメントのオープンな問題の数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、アプリケーションの期限切れの監査の問題の数が表示されます。
- 今後の監査エンゲージメント：このレポートには、今後の監査エンゲージメントの月次カウントが表示されます。
- 監査エンゲージメント別のオープンな問題：このレポートには、オープンな監査問題の月次カウントが表示されます。
- 監査エンゲージメント別の期限切れの問題：このレポートには、一定期間の期限切れの監査の問題が表示されます。
- 監査エンゲージメント別の無効なコントロール：このレポートには、監査エンゲージメントと関連付けられている無効なコントロールに関する情報が表示されます。

次のフィルターを使用して、レポートのデータをフィルタリングできます。

- ビジネスアプリケーション
- 監査エンゲージメント
- 重要度

ポリシー例外の概要

Policy and Compliance プラグインをアクティブ化すると、[ポリシー例外の概要] タブが表示されます。[ポリシー例外の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに対して要求されたポリシー例外に関する情報が表示されます。[ポリシー例外の概要] タブに表示されるデータは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングできます。このタブには次のレポートが表示されます。

- 新しい例外：このレポートは、要求された新しい例外に関する情報を提供します。
- 承認済み例外：このレポートは、承認済み例外の数に関する情報を提供します。
- 却下された例外：このレポートは、却下された例外の数に関する情報を提供します。
- 期限切れの例外：このレポートは、期限切れの例外の数に関する情報を提供します。
- 承認待ちの例外：このレポートは、現在の日付、現在の週、現在の月、および現在の四半期に期限が来る、承認待ちの例外に関する情報を提供します。
- 承認待ちの延長：このレポートは、現在の日付、現在の週、現在の月、および現在の四半期に期限が来る、承認待ちの延長に関する情報を提供します。
- 予定されている例外の有効期限：このレポートは、現在の日付、現在の日付の翌日、現在の週、現在の週の次の週、および現在の月に期限切れになる予定の例外に関する情報を提供します。
- 例外要求数と承認数：このレポートは、月ごとの要求された例外と承認された例外の数に関する情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題の概要

リスク管理 プラグインまたは ポリシーとコンプライアンス管理 プラグインをアクティブ化すると、[問題の概要] タブが表示されます。[問題の概要] タブには、ビジネスアプリケーションに関連付けられているさまざまなコンプライアンスとリスクの問題に関する情報が表示されます。[問題の概要] タブに表示されるデータは、ビジネスアプリケーションフィルターを使用してフィルタリングできます。このタブには次のレポートが表示されます。

- オープンな問題：このレポートには、オープンステータスの問題の数が表示されます。
- 重要な優先度の問題：このレポートには、重要な優先度の問題の数が表示されます。
- 最優先の問題：このレポートには、最優先の問題の数が表示されます。
- 承認された問題：このレポートには、承認された問題の数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、期限切れの問題の数が表示されます。
- 解決する問題：このレポートには、現在の日付、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に解決する必要がある問題の数が表示されます。
- 完了する修正タスク：このレポートには、現在の日付、現在の週、現在の月、現在の四半期、および現在の年に完了する必要がある修正タスクの数が表示されます。
- 期限切れの問題：このレポートには、一定期間の期限切れの問題の数が表示されます。
- 期限切れの修正タスク：このレポートには、一定期間の期限切れの修正タスクの数が表示されます。
- 問題作成の傾向：このレポートには、一定期間の問題の作成方法の傾向が表示されます。
- 問題クローズの傾向：このレポートには、一定期間の問題のクローズ方法の傾向が表示されます。
- 修正タスク作成の傾向：このレポートには、一定期間の修正タスクの作成方法の傾向が表示されます。
- 修正タスククローズの傾向：このレポートには、一定期間の修正タスクのクローズ方法の傾向が表示されます。

ワークスペースページ構成

すべての GRC アプリケーション内で共通のレコードページを使用および設定できます。

任意の GRC ワークスペースのテーブルをカスタマイズするために、共通のレコードページテンプレートが導入されました。レコードページを設定して、アイコン、セパレーター、およびステッパーコンポーネントを表示できます。ワークスペースの構成方法の詳細については、「トピック」を参照してください ワークスペースページを構成 。

ワークスペースページを構成

すべての GRC アプリケーションの外観が類似するようにワークスペースを構成およびカスタマイズできます。

始める前に
必要なロール:sn_grc_workspace.admin

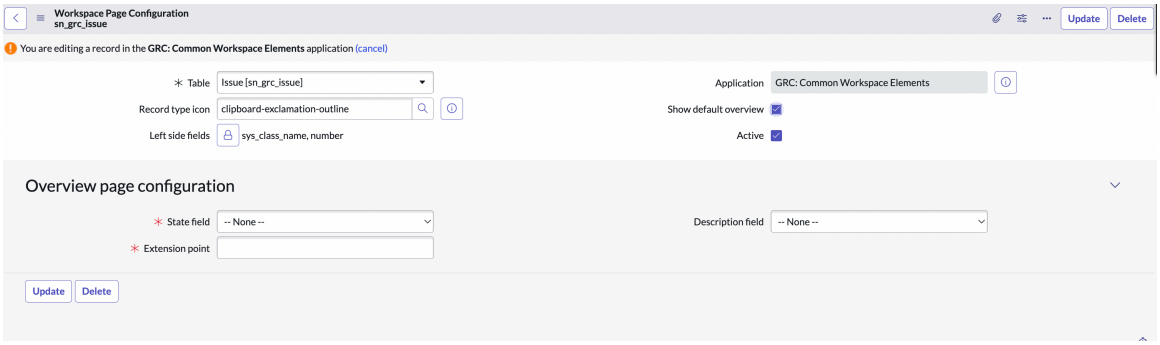
手順

1. 移動先 すべて > **GRC Administration** > ワークスペースページ構成.
2. 設定するレコードを選択します。
3. レコードを開き、フォームで ここ をクリックしてレコードを編集します。
   フォームのフィールドに入力します。詳細については、「[ワークスペースページ構成] フォーム」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ワークスペースページ構成] フォーム



4. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果
ワークスペースは構成に従ってカスタマイズされ、すべてのアプリケーションで類似しています GRC 。

[ワークスペースページ構成] フォーム

ワークスペース構成フォームのフィールド値の説明。

[ワークスペースページ構成] フォーム

フィールド	説明
テーブル	レコードページを設定するテーブル。
アプリケーション	現在のアプリケーションスコープ。
レコードタイプアイコン	既存のすべてのベースシステムアイコンのリスト。 **注:** Now Platform で利用可能なアイコンを使用します。カスタムアイコンを作成することはできません。
左側のフィールド	これらのフィールドには、レコードの標準的な情報が表示されます。レコードタイプは、デフォルトで選択されたレコードに基づいてレコードページに表示されます。 **注:** 左側に設定されていないセカンダリヘッダーフィールドは、セパレーターの右側にデフォルトフィールドとして表示されます。
デフォルトの概要を表示	レコードページのデフォルトの概要ページを選択するオプション。
有効	このオプションが選択されている場合にのみ、カスタマイズがレコードページに表示されます。
概要ページの構成	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ワークスペースページ構成] フォーム (続く)

フィールド	説明
ステータスフィールド	デフォルトの概要ページのステッパー地震コンポーネントのプロセスフロー情報。 現在のレコードのプロセスフローテーブルからキャプチャされたワークフローステータス情報。
説明フィールド	デフォルトの概要ページのレコードに関する追加情報またはコンテキスト。
拡張ポイント	デフォルトの概要ページのステッパーSeismicコンポーネントのカスタムプロセスフロー情報。 **注:** このフィールドは、[状態] フィールド が選択されている場合、グレー表示されます。

レコードページテンプレートを **17.x** より前のバージョンに戻す

既存の顧客で、カスタマイズされたレコードページがある場合は、その古いページに戻すことができます。

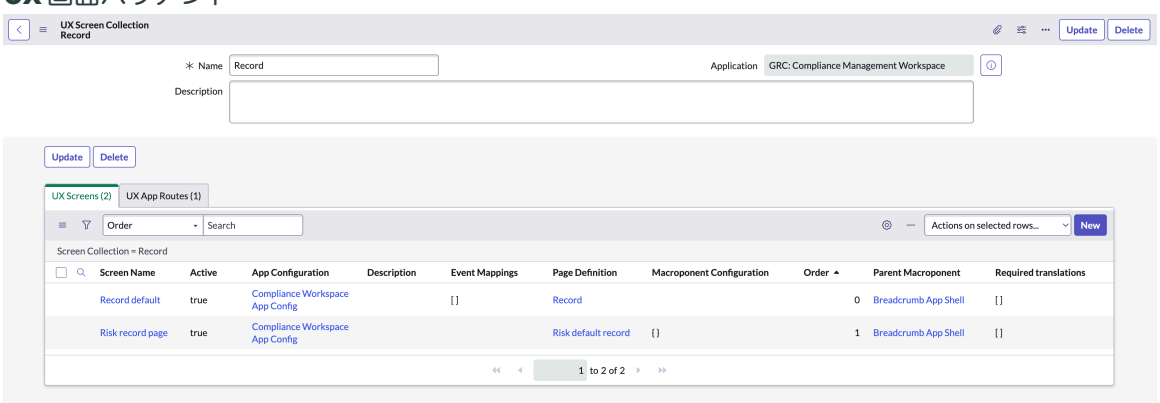
始める前に

必要なロール：workspace_admin。

手順

1. 移動先 すべて > **Now Experience** フレームワーク > **UI** ビルダー.
2. [自分のエクスペリエンス] リストから、変更を加えるワークスペースをクリックします。
3. からワークスペースに属する [レコード ページ] をクリックします。
4. レコードページで、[メニュー] タブにリストされている [開発者] をクリックし、[バリアントコレクションを開く] をクリックします。

UX 画面バリアント



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[UX 画面] タブには、[レコードの デフォルト] と [リスクレコードページ] の 2 つの画面が表示されます。

> **注:**
> 2 つの画面は、バージョン 17.x にアップグレードする場合にのみ表示されます。

5. 順序を変更するバリアントをクリックします。
上位の値を指定すると、古いレコードページに戻ります。新しいレコードページに切り替える場合は、下位の値に設定します。

のフォーム用に構成されたレコードタイプアイコン **GRC Common Workspace Elements**

次の表に、 および コンプライアンスワークスペースのAudit Workspaceフォーム用に構成されたアイコンのリストを示します。

のフォームに設定されたアイコン **Audit Workspace**

フォーム名	テーブル名	レコードアイコンタイプ	アイコン名
証拠要求	sn_grc_advanced_evide	e_request	panel-display-popout-outline
証拠への応答	sn_grc_advanced_evide	e_response	ポップインアウトライン
エンゲージメント	sn_audit_engagement		calendar-days-clock-outline
インジケーター	sn_grc_indicator		chart-speedometer-outline
プラン	sn_audit_advanced_pla		calendar-days-outline
観察事項	sn_audit_advanced_obs	vation	目の輪郭
面談	sn_audit_interview		会議室の概要
アクティビティ	sn_audit_activity		チェックリスト概要
マイルストーン	sn_audit_advanced_mil	one	flag-event-outline
監査可能単位	sn_audit_advanced_auc	ble_unit	component-outline

のフォームに設定されたアイコン コンプライアンスワークスペース

フォーム名	テーブル名	レコードアイコンタイプ	アイコン名
ポリシー例外	sn_compliance_policy_e	eption	ダイヤモンド-感嘆符-アウトライン
確認応答	sn_compliance_policy_a	nowledgement_instance	script-check-outline
各種法令・基準等	sn_compliance_authorit	ocument	文書証明書概要
ポリシー	sn_compliance_policy		form-outline

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム名	テーブル名	レコードアイコンタイプ	アイコン名
確認応答キャンペーン	sn_compliance_policy_a	nowledgement	calendar-check-outline
コントロール	sn_compliance_control		clipboard-check-outline
信頼できるソースコンテンツ	sn_compliance_citation		connect-view-document-outline
コントロール目標	sn_compliance_policy_s	tement	clipboard-lines-outline

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。